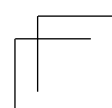
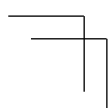


日本大学 法学部

【平成26年度以降入学者】



科目名索引

● : 教職課程科目

ア		外国法A（仏）Ⅰ	2278
アジアの歴史Ⅰ	305	外国法A（仏）Ⅱ	2281
アジアの歴史Ⅱ	307	外国法B（アジア）Ⅰ	2284
アメリカ経済論	2207	外国法B（アジア）Ⅱ	2287
アメリカ政治論	2210	外国法B（EU）Ⅰ	2290
イ		外国法B（EU）Ⅱ	2293
イノベーションと知的財産Ⅰ	2213	外国法B（英米）Ⅰ	2296
イノベーションと知的財産Ⅱ	2216	外国法B（英米）Ⅱ	2302
異文化メディア	2219	外国法B（独）Ⅰ	2308
インターンシップA	3	外国法B（独）Ⅱ	2311
インターンシップB	5	外国法B（仏）Ⅰ	2314
ウ		外国法B（仏）Ⅱ	2317
運輸政策	2222	外国法C（仏）Ⅰ	2320
エ		外国法C（仏）Ⅱ	2322
英検／IELTSⅠA	1078	学際教養A	309
英検／IELTSⅠB	1088	学際教養B	315
英検／IELTSⅡA	1098	科学の歴史Ⅰ	321
英検／IELTSⅡB	1102	科学の歴史Ⅱ	323
英検／IELTSⅢA	1106	環境論Ⅰ	325
英検／IELTSⅢB	1110	環境論Ⅱ	327
英検／IELTSⅣA	1114	韓国語ⅠA	2043
英検／IELTSⅣB	1116	韓国語ⅠB	2045
英語A	608	韓国語ⅢA	2047
英語B	721	韓国語ⅢB	2049
英語C【法職課程1年生共通クラス】	834	監査論Ⅰ	2324
英語D【経営法学科1年生共通クラス】	1000	監査論Ⅱ	2327
英語E	1026	管理会計論Ⅰ	2330
英語F	1028	管理会計論Ⅱ	2333
英語G	1030	キ	
英語H	1032	企業会計法Ⅰ	2336
英語演習A	1034	企業会計法Ⅱ	2339
英語演習B	1040	企業評価論Ⅰ	2342
英語演習C	1046	企業評価論Ⅱ	2345
英語演習D	1050	企業法務Ⅰ	2348
英語演習E	1054	企業法務Ⅱ	2351
英語演習F	1060	キャリア・デザインA	7
英語演習G	1066	キャリア・デザインB	9
英語演習H	1072	キャリア・デベロップメントA	11
映像／デジタル・ジャーナリズムⅠ	2225	キャリア・デベロップメントB	17
映像／デジタル・ジャーナリズムⅡ	2228	キャリア入門【人生と仕事】	21
カ		教育学Ⅰ	329
会計学Ⅰ	2231	教育学Ⅱ	333
会計学Ⅱ	2235	● 教育原論	4097
外国ジャーナリズム史A	2239	● 教職実践演習（中・高）	4100
外国ジャーナリズム史B	2242	教育政策	2354
外国法A（アジア）Ⅰ	2248	● 教育制度論	4109
外国法A（アジア）Ⅱ	2251	● 教育相談	4112
外国法A（EU）Ⅰ	2254	● 教育の方法・技術論	4115
外国法A（EU）Ⅱ	2257	行政学Ⅰ	2357
外国法A（英米）Ⅰ	2260	行政学Ⅱ	2369
外国法A（英米）Ⅱ	2266	行政管理研究	2381
外国法A（独）Ⅰ	2272	行政管理論	2383
外国法A（独）Ⅱ	2275	行政広報研究	2386

行政広報論	2388	刑事法特殊講義Ⅲ B	2623
行政実務演習	2391	刑事法特殊講義Ⅳ A	2625
行政組織研究	2393	刑事法特殊講義Ⅳ B	2627
行政組織論	2395	芸術論Ⅰ	361
行政法Ⅰ	2398	芸術論Ⅱ	367
行政法Ⅱ	2410	刑法Ⅰ	2629
共通科目特論 A	23	刑法Ⅱ	2649
共通科目特論 B	25	原価計算論Ⅰ	2673
教養演習Ⅰ A	337	原価計算論Ⅱ	2676
教養演習Ⅰ B	343	健康科学Ⅰ	373
教養演習Ⅱ A	349	健康科学Ⅱ	377
教養演習Ⅱ B	355	● 現代教職論	4118
金融商品取引法Ⅰ	2422	現代行政論Ⅰ	2679
金融商品取引法Ⅱ	2425	現代行政論Ⅱ	2682
金融法Ⅰ	2428	現代政治理論	2685
金融法Ⅱ	2431	現代メディア社会論Ⅰ	2691
金融マネジメント論	2434	現代メディア社会論Ⅱ	2695
ク		憲法Ⅰ（人権）	2699
グローバル・コミュニケーションⅠ	2436	憲法Ⅱ（統治機構）	2719
グローバル・コミュニケーションⅡ	2439	憲法A（人権）	2739
ケ		憲法B（統治機構）	2754
経営学Ⅰ	2442	コ	
経営学Ⅱ	2451	公共経済学Ⅰ	2769
経営管理研究	2460	公共経済学Ⅱ	2772
経営管理論	2462	公共政策基礎演習	2775
経営情報システム論Ⅰ	2465	公共政策特殊講義A	2787
経営情報システム論Ⅱ	2467	公共政策特殊講義B	2789
経営組織研究	2469	公共政策論	2791
経営組織論	2471	公共選択論	2794
経営訴訟法Ⅰ	2474	広告コミュニケーションⅠ	2797
経営訴訟法Ⅱ	2477	広告コミュニケーションⅡ	2800
経営分析論	2480	広報広告コミュニケーション演習Ⅰ	2803
経営法学特殊講義（企業と労働）Ⅰ	2483	広報広告コミュニケーション演習Ⅱ	2805
経営法学特殊講義（企業と労働）Ⅱ	2485	広報広告コミュニケーション演習Ⅲ	2807
経営法学特殊講義（ビジネス法学入門）Ⅰ	2487	公法特殊講義Ⅰ（憲法）A	2809
経営法学特殊講義（ビジネス法学入門）Ⅱ	2489	公法特殊講義Ⅰ（憲法）B	2811
経済学Ⅰ	2491	公法特殊講義Ⅱ（行政法）A	2813
経済学Ⅱ	2499	公法特殊講義Ⅱ（行政法）B	2815
経済行政法Ⅰ	2508	公務員制度論	2817
経済行政法Ⅱ	2511	コーポレート・ガバナンス論Ⅰ	2820
経済刑法Ⅰ	2514	コーポレート・ガバナンス論Ⅱ	2823
経済刑法Ⅱ	2520	国際関係史Ⅰ	2826
経済史	2526	国際関係史Ⅱ	2835
経済思想史Ⅰ	2529	国際関係法〔公法系〕AⅠ	2844
経済思想史Ⅱ	2532	国際関係法〔公法系〕AⅡ	2850
刑事政策Ⅰ	2535	国際関係法〔公法系〕BⅠ	2856
刑事政策Ⅱ	2541	国際関係法〔公法系〕BⅡ	2862
経済政策論	2547	国際関係法〔私法系〕AⅠ	2868
経済法Ⅰ	2550	国際関係法〔私法系〕AⅡ	2871
経済法Ⅱ	2556	国際関係法〔私法系〕BⅠ	2874
警察政策	2562	国際関係法〔私法系〕BⅡ	2880
刑事訴訟法Ⅰ	2565	国際関係論Ⅰ	2886
刑事訴訟法Ⅱ	2585	国際関係論Ⅱ	2889
刑事法Ⅰ	2593	国際金融論Ⅰ	2892
刑事法Ⅱ	2599	国際金融論Ⅱ	2895
刑事法特殊講義Ⅰ A	2605	国際経営法学Ⅰ	2898
刑事法特殊講義Ⅰ B	2609	国際経営法学Ⅱ	2900
刑事法特殊講義Ⅱ A	2613	国際経営論Ⅰ	2902
刑事法特殊講義Ⅱ B	2617	国際経営論Ⅱ	2904
刑事法特殊講義Ⅲ A	2621	国際経済法Ⅰ	2906

国際経済法Ⅱ	2909
国際経済論Ⅰ	2912
国際経済論Ⅱ	2915
国際契約法Ⅰ	2918
国際契約法Ⅱ	2921
国際研修（英）ⅠA	1166
国際研修（英）ⅠB	1168
国際研修（中）ⅠA	1929
国際研修（中）ⅠB	1931
国際研修（独）ⅠA	1637
国際研修（独）ⅠB	1639
国際研修（仏）ⅠA	1785
国際研修（仏）ⅠB	1787
国際政治学Ⅰ	2924
国際政治学Ⅱ	2930
国際政治経済特殊講義A	2936
国際政治経済特殊講義B	2938
国際取引法AⅠ	2940
国際取引法AⅡ	2943
国際取引法BⅠ	2946
国際取引法BⅡ	2949
国際民事紛争処理法Ⅰ	2952
国際民事紛争処理法Ⅱ	2954
国会論	2956
コミュニケーション演習Ⅰ	2959
コミュニケーションの科学A	2964
コミュニケーションの科学B	2970
コミュニケーション調査	2961
コンピュータ・リテラシーA	27
コンピュータ・リテラシーB	45

サ

債権法各論	2976
債権法総論	2982
財政学Ⅰ	2988
財政学Ⅱ	2994
サイバー法Ⅰ	3000
サイバー法Ⅱ	3002
財務諸表論Ⅰ	3004
財務諸表論Ⅱ	3007
産学連携と知的財産Ⅰ	3010
産学連携と知的財産Ⅱ	3013
産業技術と知財A（情報通信）Ⅰ	3016
産業技術と知財A（情報通信）Ⅱ	3018
産業技術と知財D（コンテンツ）Ⅰ	3020
産業技術と知財D（コンテンツ）Ⅱ	3022
産業技術と知財F（エレクトロニクス）Ⅰ	3024
産業技術と知財F（エレクトロニクス）Ⅱ	3026
産業立地論	3028

シ

自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	101
自主創造の基礎Ⅱ	181
自然人類学Ⅰ	381
自然人類学Ⅱ	383
● 自然地理学概論Ⅰ	4121
● 自然地理学概論Ⅱ	4124
実践教養A	385
実践教養B	387
資本市場論Ⅰ	3031
資本市場論Ⅱ	3034
ジャーナリズム演習Ⅰ	3037

ジャーナリズム演習Ⅱ	3039
ジャーナリズム演習Ⅲ	3041
ジャーナリズム・スタディーズⅠ	3043
ジャーナリズム・スタディーズⅡ	3046
ジャーナリズム倫理Ⅰ	3049
ジャーナリズム倫理Ⅱ	3052
社会学Ⅰ	389
社会学Ⅱ	397
● 社会科・公民科教育法Ⅰ	4127
● 社会科・公民科教育法Ⅱ	4133
● 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	4139
● 社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	4142
社会思想の歴史Ⅰ	405
社会思想の歴史Ⅱ	407
社会情報システム研究	3055
社会情報システム論	3057
社会政策論Ⅰ	3059
社会政策論Ⅱ	3062
社会調査概論	3065
社会保障法Ⅰ	3068
社会保障法Ⅱ	3071
社会保障論Ⅰ	3074
社会保障論Ⅱ	3080
宗教学Ⅰ	409
宗教学Ⅱ	413
出版メディアⅠ	3086
出版メディアⅡ	3088
上級簿記論Ⅰ	3090
上級簿記論Ⅱ	3093
少年法Ⅰ	3096
少年法Ⅱ	3099
商法Ⅰ（会社法）	3102
商法Ⅱ（商取引法）	3126
商法Ⅲ（支払システム法）	3138
商法Ⅳ（保険法）	3150
商法Ⅴ（運送法）	3158
情報システム論Ⅰ	3170
情報システム論Ⅱ	3172
消防政策	3174
情報通信政策	3177
情報の科学Ⅰ	3180
情報の科学Ⅱ	3182
情報法Ⅰ	3184
情報法Ⅱ	3187
人材マネジメント論Ⅰ	3190
人材マネジメント論Ⅱ	3193
● 人文地理学概論Ⅰ	4145
● 人文地理学概論Ⅱ	4148
心理学Ⅰ	417
心理学Ⅱ	425

ス

数学Ⅰ	433
数学Ⅱ	435
スピーキング・リスニング（中）ⅠA	1933
スピーキング・リスニング（中）ⅠB	1950
スピーキング・リスニング（中）ⅡA	1968
スピーキング・リスニング（中）ⅡB	1980
スピーキング・リスニング（中）ⅢA	1991
スピーキング・リスニング（中）ⅢB	1994
スピーキング・リスニング（独）ⅠA	1641

スピーキング・リスニング（独）ⅠB	1653	専門研究B	3357
スピーキング・リスニング（独）ⅡA	1665	ソ	
スピーキング・リスニング（独）ⅡB	1669	総合講座A〔（文学/芸術は「危機」をどう捉えたか）〕	461
スピーキング・リスニング（独）ⅢA	1673	総合講座B〔＜～らしさ＞をめぐる視点〕	463
スピーキング・リスニング（独）ⅢB	1677	ソーシャル・キャピタル論	3359
スピーキング・リスニング（仏）ⅠA	1789	タ	
スピーキング・リスニング（仏）ⅠB	1797	体育実技ⅠA	2061
スピーキング・リスニング（仏）ⅡA	1805	体育実技ⅠB	2093
スピーキング・リスニング（仏）ⅡB	1807	体育実技ⅠC	2125
スペイン語ⅠA	2035	体育実技Ⅱ	2201
スペイン語ⅠB	2037	体育実技Ⅲ	2203
スペイン語ⅡA	2039	体育スポーツ科学Ⅰ	465
スペイン語ⅡB	2041	体育スポーツ科学Ⅱ	467
セ		チ	
西欧政治思想史Ⅰ	3196	地域開発論	3362
西欧政治思想史Ⅱ	3202	地域コミュニケーションA	3365
政策過程論	3205	地域コミュニケーションB	3368
政策研究A	3208	地域コミュニケーション演習Ⅰ	3371
政治学Ⅰ	3210	地域コミュニケーション演習Ⅲ	3373
政治学Ⅱ	3222	地域政策	3375
政治学原論	3234	地球科学Ⅰ	469
政治経済原書研究A	3240	地球科学Ⅱ	471
政治経済原書研究B	3250	● 地誌学概論Ⅰ	4160
政治経済専門研究A	3254	● 地誌学概論Ⅱ	4163
政治経済専門研究B	3262	知的財産英語	3378
政治コミュニケーション	3270	知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ	3380
政治制度論	3273	知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ	3389
政治哲学	3276	知的財産法B（意匠）	3398
政治経済理論特殊講義A	3279	知的財産法C（商標・不正競争）	3401
政治経済理論特殊講義B	3281	知的財産法D（著作権）Ⅰ	3404
政治経済理論特殊講義C	3283	知的財産法D（著作権）Ⅱ	3410
政治経済理論特殊講義D	3285	知的財産法E（関連条約）Ⅰ	3416
精神分析学Ⅰ	437	知的財産法E（関連条約）Ⅱ	3419
精神分析学Ⅱ	439	知的財産政策	3422
● 生徒指導・進路指導論	4151	地方行財政特殊講義A	3425
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	3287	地方行財政特殊講義B	3427
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	3293	地方行財政特殊講義C	3429
税法ⅡA（所得税法）	3299	地方行財政特殊講義D	3431
税法ⅡB（法人税法）	3302	地方財政論Ⅰ	3433
税法ⅢA（資産税法）	3305	地方財政論Ⅱ	3436
税法ⅢB（消費・諸税法）	3308	地方自治法Ⅰ	3439
生命の科学Ⅰ	441	地方自治法Ⅱ	3442
生命の科学Ⅱ	443	地方自治論Ⅰ	3445
● 西洋史概論Ⅰ	4154	地方自治論Ⅱ	3457
● 西洋史概論Ⅱ	4157	中国語演習A	1881
西洋政治史Ⅰ	3311	中国語演習B	1888
西洋政治史Ⅱ	3317	中国語演習C	1895
西洋の歴史Ⅰ	445	中国語演習D	1900
西洋の歴史Ⅱ	447	中国語演習E	1905
西洋法制史Ⅰ	3320	中国語演習F	1907
西洋法制史Ⅱ	3323	中国語演習G	1909
世界文学Ⅰ	449	中国語演習H	1911
世界文学Ⅱ	455	中国語基礎文法A	1845
選挙制度論	3326	中国語基礎文法B	1863
専門演習A	3329	中国語資格試験対策ⅠA	1917
専門演習B	3337	中国語資格試験対策ⅠB	1919
専門演習C	3339	中国語資格試験対策ⅡA	1921
専門演習D	3341	中国語資格試験対策ⅡB	1923
専門演習E	3351	中国語資格試験対策ⅢA	1925
専門演習F	3355	中国語資格試験対策ⅢB	1927

中国語基礎表現A	1809	日本経済論Ⅱ	3490
中国語基礎表現B	1827	日本語Ⅰ	2003
調査ジャーナリズム	3469	日本語Ⅱ	2007
地理学Ⅰ	473	日本語Ⅲ	2011
地理学Ⅱ	475	日本語Ⅳ	2013
テ		日本語Ⅴ	2015
哲学Ⅰ	477	日本語Ⅵ	2019
哲学Ⅱ	483	日本語Ⅶ	2023
● 哲学概論Ⅰ	4166	日本語Ⅷ	2027
● 哲学概論Ⅱ	4169	日本語Ⅸ	2031
ト		日本語Ⅹ	2033
ドイツ語演習A	1557	日本国憲法	299
ドイツ語演習B	1563	● 日本史概論Ⅰ	4187
ドイツ語演習C	1569	● 日本史概論Ⅱ	4193
ドイツ語演習D	1575	日本ジャーナリズム史Ⅰ	3493
ドイツ語演習E	1581	日本ジャーナリズム史Ⅱ	3496
ドイツ語演習F	1587	日本政治史Ⅰ	3499
ドイツ語演習G	1593	日本政治史Ⅱ	3502
ドイツ語演習H	1599	日本政治思想史Ⅰ	3508
ドイツ語基礎表現A	1416	日本政治思想史Ⅱ	3511
ドイツ語基礎表現B	1446	日本政治特殊講義B	3514
ドイツ語基礎文法A	1477	日本政治論Ⅰ	3516
ドイツ語基礎文法B（月曜2時限）	1517	日本政治論Ⅱ	3522
ドイツ語資格試験対策ⅠA	1609	日本大学の歴史	301
ドイツ語資格試験対策ⅠB	1615	日本の近現代Ⅰ	498
ドイツ語資格試験対策ⅡA	1621	日本の近現代Ⅱ	500
ドイツ語資格試験対策ⅡB	1623	日本の自然A	502
ドイツ語資格試験対策ⅢA	1625	日本の自然B	504
ドイツ語資格試験対策ⅢB	1629	日本の社会A	506
ドイツ語資格試験対策ⅣA	1633	日本の社会B	508
ドイツ語資格試験対策ⅣB	1635	日本の前近代Ⅰ	510
統計学Ⅰ	489	日本の前近代Ⅱ	512
統計学Ⅱ	494	日本の文化A	514
倒産法Ⅰ	3472	日本の文化B	516
倒産法Ⅱ	3475	日本文学Ⅰ	518
● 道德教育の理論と方法	4172	日本文学Ⅱ	526
● 東洋史概論Ⅰ	4178	日本法制史Ⅰ	3528
● 東洋史概論Ⅱ	4181	日本法制史Ⅱ	3531
東洋法制史Ⅰ	3478	ニュース英語Ⅰ	3534
東洋法制史Ⅱ	3481	ニュース英語Ⅱ	3542
TOEICⅠA	1170	ノ	
TOEICⅠB	1189	農業政策	3550
TOEICⅡA	1208	ハ	
TOEICⅡB	1225	● 発達と学習	4199
TOEICⅢA	1242	発展教養A	534
TOEICⅢB	1254	発展教養B	538
TOEICⅣA	1266	犯罪心理学	3553
TOEICⅣB	1268	ヒ	
TOEFLⅠA	1118	比較行政論	3555
TOEFLⅠB	1128	比較憲法Ⅰ	3558
TOEFLⅡA	1138	比較憲法Ⅱ	3561
TOEFLⅡB	1146	比較ジャーナリズム史	3564
TOEFLⅢA	1154	比較政治学	3567
TOEFLⅢB	1158	東アジア経済論	3570
TOEFLⅣA	1162	東アジア政治論Ⅰ	3573
TOEFLⅣB	1164	東アジア政治論Ⅱ	3576
● 特別活動論	4184	東アジアの文学Ⅰ	542
都市政策	3484	東アジアの文学Ⅱ	544
ニ		ビジネスロー文献講読Ⅰ	3579
日本経済論Ⅰ	3487	ビジネスロー文献講読Ⅱ	3581

フ	
フォト・ジャーナリズム	3583
福祉契約論	3586
福祉政策	3589
物権・担保物権法	3592
フランス語演習C	1749
フランス語演習D	1753
フランス語演習E	1757
フランス語演習F	1759
フランス語演習G	1761
フランス語演習H	1763
フランス語基礎表現A	1685
フランス語基礎表現B	1699
フランス語基礎文法A	1713
フランス語基礎文法B	1731
フランス語資格試験対策ⅠA	1769
フランス語資格試験対策ⅠB	1773
フランス語資格試験対策ⅡA	1777
フランス語資格試験対策ⅡB	1779
フランス語資格試験対策ⅢA	1781
フランス語資格試験対策ⅢB	1783
文化人類学Ⅰ	546
文化人類学Ⅱ	548
文章表現法Ⅰ	550
文章表現法Ⅱ	568
へ	
平和学	3598
ホ	
法学Ⅰ	3601
法学Ⅱ	3629
法学演習AⅠ	3635
法学演習AⅡ	3637
法学演習BⅠ	3639
法学演習BⅡ	3641
法学演習CⅠ	3643
法学演習CⅡ	3647
法学演習DⅠ	3651
法学演習DⅡ	3653
法学演習EⅠ	3655
法学演習EⅡ	3657
法学特殊講義（ジェンダーと法）Ⅰ	3659
法学特殊講義（ジェンダーと法）Ⅱ	3661
法思想史Ⅰ	3663
法思想史Ⅱ	3669
法情報学Ⅰ	3675
法情報学Ⅱ	3677
法哲学Ⅰ	3679
法哲学Ⅱ	3682
法律外国語AⅠ	3685
法律外国語AⅡ	3689
法律外国語BⅠ【経営法学科】	3693
法律外国語BⅡ【経営法学科】	3696
法律外国語CⅠ【経営法学科】	3698
法律外国語CⅡ【経営法学科】	3700
簿記原理Ⅰ	3702
簿記原理Ⅱ	3712
マ	
マーケティング戦略論Ⅰ	3722
マーケティング戦略論Ⅱ	3725
マーケティング論Ⅰ	3728

マーケティング論Ⅱ	3731
マクロ経済学Ⅰ	3734
マクロ経済学Ⅱ	3746
ミ	
ミクロ経済学Ⅰ	3755
ミクロ経済学Ⅱ	3767
民事執行・保全法	3776
民事訴訟法	3780
民事法特殊講義Ⅰ（要件事実）A	3796
民事法特殊講義Ⅰ（要件事実）B	3800
民事法特殊講義Ⅱ（判例演習）A	3802
民事法特殊講義Ⅱ（判例演習）B	3804
民事法特殊講義Ⅲ（会社法）A	3806
民事法特殊講義Ⅲ（会社法）B	3808
民事法特殊講義Ⅳ（商法）A	3810
民事法特殊講義Ⅳ（商法）B	3812
民事法特殊講義Ⅴ（不動産登記法）	3814
民事法特殊講義Ⅵ（商業登記法）	3816
民事法特殊講義Ⅶ（民事手続法）A	3818
民事法特殊講義Ⅶ（民事手続法）B	3820
民法Ⅰ（民法総則）	3822
民法Ⅱ（物権法）	3854
民法Ⅲ（担保物権法）	3874
民法Ⅳ（債権法総論）	3886
民法Ⅴ（債権法各論）	3902
民法Ⅵ（親族法）	3918
民法Ⅶ（相続法）	3927
民法総則	3936
メ	
メディア演習Ⅰ	3942
メディア演習Ⅱ	3944
メディア演習Ⅲ	3946
メディア・コミュニケーションの科学A	3948
メディア・コミュニケーションの科学B	3954
メディア史	3960
メディア／情報産業Ⅰ	3966
メディア／情報産業Ⅱ	3969
メディア調査	3972
メディア・テキストの基礎Ⅰ	3975
メディア・テキストの基礎Ⅱ	3993
メディア・テキストの基礎Ⅲ	4011
メディア・ビジネス	4017
メディア文化演習Ⅰ	4020
メディア文化演習Ⅱ	4022
メディア文化演習Ⅲ	4024
メディア法Ⅰ	4026
メディア法Ⅱ	4032
メディア理論	4038
ヨ	
ヨーロッパ経済論	4041
ヨーロッパ政治論Ⅰ	4044
ヨーロッパ政治論Ⅱ	4047
ラ	
WritingⅠA	1408
WritingⅠB	1410
WritingⅡA	1412
WritingⅡB	1414
リ	
ReadingⅠA	1370
ReadingⅠB	1379

Reading II A	1388
Reading II B	1396
Reading III A	1404
Reading III B	1406
リーディング・ライティング（中）I A	1913
リーディング・ライティング（中）I B	1915
リーディング・ライティング（中）II A	1997
リーディング・ライティング（中）II B	2000
リーディング・ライティング（独）I A	1605
リーディング・ライティング（独）I B	1607
リーディング・ライティング（独）II A	1681
リーディング・ライティング（独）II B	1683
リーディング・ライティング（仏）I A	1765
リーディング・ライティング（仏）I B	1767
リサーチ・ペーパー（メディアと社会）	4050
リサーチ・ペーパー（情報と社会）	4052
リサーチ・ペーパー（政治行動論）	4054
リサーチ・ペーパー（メディアと文化）	4056
リサーチ・ペーパー（メディア史）	4058
リスク・コミュニケーション	4060
Listening & Speaking I A	1270
Listening & Speaking I B	1288
Listening & Speaking II A	1306
Listening & Speaking II B	1322
Listening & Speaking III A	1338
Listening & Speaking III B	1348
Listening & Speaking IV A	1358
Listening & Speaking IV B	1364
立法過程論	4062
倫理学 I	586
倫理学 II	592
● 倫理学概論 I	4202
● 倫理学概論 II	4208
□	
労働事情	4065
労働政策	4068
労働法 I	4071
労働法 II	4077
ローカル／コミュニティ・メディア I	4083
ローカル／コミュニティ・メディア II	4086
ローマ法 I	4089
ローマ法 II	4092
ロシア語 I A	2051
ロシア語 I B	2053
ロシア語 II A	2055
ロシア語 II B	2057
論理学 I	598
論理学 II	602

I 群

共通科目

I 群

共通科目

科目名	インターンシップA	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生自らキャリア目標を明確にし、就職活動に臨む準備を整えるため、それぞれ志望するマスコミ・メディア各業界別にグループを作り、業界研究と発表を繰り返し、第3学年夏から冬にかけて集中するマスコミ・メディアインターンシップに臨むための講座である。				
授業目的・到達目標	マスコミ業界ないしメディア関連企業への就職を目指す学生が、業界研究やインターンシップ実習などの演習を通して、就業に対する理解を深めることを目的とし、志望する業界に対する理解を深め、学内選抜だけでなく一般公募によるインターンシップに積極的に参加できるような能力を身につける事を目標とする。				
履修条件	2018年度に第3学年でマスコミやメディア関連企業への就職を第1志望に定めている者。原則「インターンシップA・B」両方を履修すること※初回講義出席必須。志望業界毎にグループ分けし、第2回よりグループ毎実習開始。				
授業方法	志望業界毎に編成したグループで業界研究を行いグループ発表する。夏季休業中に実施されるインターンシップ実習へのエントリーを行う。現業に携わるゲストスピーカーによる特別講習を実施する。事業毎リアクションペーパー提出。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	筆記試験は課さない。	
	平常評価		100%	積極的な参加度(50%)、業界研究レポートおよび発表(50%)。この他、資格試験や各種特別講座での実績を加味する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	業界を網羅している教科書として「図説 日本のメディア」藤竹 暁 著 NHKブックス 漢字検定2級以上、ニュース検定は受験することが望ましい。				
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	マスコミ・メディア各社のインターンシップの概要を調べておく
	授業内容	インターンシップとキャリア形成／初回ガイダンス (グループ分けを行うので、履修登録を悩んでいる者も必ず初回に出席すること)
	事後学習	グループ分け後に連絡を取れるよう各グループでコミュニケーションを密に出来るようにする。
2	事前学習	自身の志望業種を絞り、第1志望業界をグループ分けの根本にする。
	授業内容	業界研究についてのオリエンテーション／グループワーク
	事後学習	グループワークでの業界研究に必要な情報を入手する方法を考えておく。
3	事前学習	実際にインターンシップをした学生の企業を調べておく。
	授業内容	実際にインターンシップを経験した学生の話しを聞く①
	事後学習	講座を聴いてインターンシップで注意すべき点を確認しておく。
4	事前学習	実際にインターンシップをした学生の企業を調べておく。
	授業内容	実際にインターンシップを経験した学生の話しを聞く②
	事後学習	講座を聴いてインターンシップで注意すべき点を確認しておく。

5	事前学習	新聞業界について基本的なことを知っておく 発表はパワーポイントやレジュメ、板書を使い分かり易く行う
	授業内容	業界研究① 新聞 グループ研究発表&ディスカッション
	事後学習	研究発表を聴き業界の特徴をまとめる。
6	事前学習	出版業界について基本的なことを知っておく 発表はパワーポイントやレジュメ、板書を使い分かり易く行う
	授業内容	業界研究② 出版 グループ研究発表&ディスカッション
	事後学習	研究発表を聴き業界の特徴をまとめる。
7	事前学習	広告業界について基本的なことを知っておく 発表はパワーポイントやレジュメ、板書を使い分かり易く行う
	授業内容	業界研究③ 広告 グループ研究発表&ディスカッション
	事後学習	研究発表を聴き業界の特徴をまとめる。
8	事前学習	放送業界について基本的なことを知っておく 発表はパワーポイントやレジュメ、板書を使い分かり易く行う
	授業内容	業界研究④ 放送 グループ研究&ディスカッション
	事後学習	研究発表を聴き業界の特徴をまとめる。
9	事前学習	コンテンツ業界について基本的なことを知っておく 発表はパワーポイントやレジュメ、板書を使い分かり易く行う
	授業内容	業界研究⑤ コンテンツ グループ研究発表&ディスカッション
	事後学習	研究発表を聴き業界の特徴をまとめる。
10	事前学習	インターネット業界について基本的なことを知っておく 発表はパワーポイントやレジュメ、板書を使い分かり易く行う
	授業内容	業界研究⑥ インターネット グループ研究発表&ディスカッション インターンシップ公募用模擬ES配布
	事後学習	研究発表を聴き業界の特徴をまとめる。
11	事前学習	模擬ESに記入してみる。
	授業内容	インターンシップ一般公募対策 第一志望企業に出すESを提出する
	事後学習	講座を聴いて改めて自分の書いたESを推敲する。
12	事前学習	ゲストスピーカーについてプロフィールをよく読み、必ず質問を考えておく
	授業内容	マスコミ業界に求められる人材（1） （ゲストスピーカー）
	事後学習	自らにあてはめ、インターンシップに臨む業界についてまとめておく
13	事前学習	ゲストスピーカーについてプロフィールをよく読み、必ず質問を考えておく
	授業内容	マスコミ業界に求められる人材（2） （ゲストスピーカー）
	事後学習	自らにあてはめ、インターンシップに臨む業界についてまとめておく
14	事前学習	自らの志望する業界情報をまとめる。
	授業内容	インターンシップの心構え
	事後学習	これまでの講座で疑問点が生じていないかもう一度洗いなおす。
15	事前学習	講座について質問をまとめておく
	授業内容	講座前期総括と夏季集中講座ガイダンス
	事後学習	最終的に自らの志望するインターンシップの日程を確認。

科目名	インターンシップB	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生自らキャリア目標を明確にし、就職活動に臨む準備を整えるため、それぞれ志望するマスコミ・メディア各業界別にグループを作り、業界研究と発表を繰り返し、第3学年夏から冬にかけて集中するマスコミ・メディアインターンシップに臨むための講座である。							
授業目的・到達目標	マスコミ業界ないしメディア関連企業への就職を目指す学生が、業界研究やインターンシップ実習などの演習を通して、就業に対する理解を深めることを目的とし、志望する業界に対する理解を深め、学内選抜だけでなく一般公募によるインターンシップに積極的に参加できるような能力を身につける事を目標とする。							
履修条件	先修条件として「インターンシップA」を履修した者に限る。夏季休業中にインターンシップ実習や夏季集中講座（新聞学研究所講座）に参加した者（但し、後学期中に企業のインターンシップ実習に参加する意思がある者も履修可）。							
授業方法	インターンシップ実習の報告（個人発表）を通して、クラス全体で就業に対する理解を深める。また、現業に携わるゲストスピーカーによる特別講義を実施する。授業毎リアクションペーパー提出。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		0%		筆記試験は課さない。			
	平常評価		100%		積極的な参加度(50%)、インターン実習報告書および発表(50%)。この他、資格試験や各種特別講座の実績を加味。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	備考		使用しない					
参考書	必要な関連図書、資料については授業内で紹介する。 業界を網羅している教科書として 「図説 日本のメディア」 藤竹 暁 著 NHKブックス							
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	インターンシップ経験者は、自分の経験をまとめておく。提出ES、作文等あれば用意、また、実施演習や行ったグループディスカッションのテーマ等を分かり易くまとめておく。未経験者は今後のインターンシップ日程を調べ、エンリー出来るようにする。
	授業内容	ガイダンス 今後の講座の進め方とアンケート
	事後学習	講座の進め方をうけてインターンシップ経験の発表準備をする。
2	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表① （業界別・個人別）／ES・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。
3	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表② （業界別・個人別）／ES・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。
4	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表③ （業界別・個人別）／ES・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。

5	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表④（業界別・個人別）／ＥＳ・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。
6	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表⑤（業界別・個人別）／ＥＳ・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。
7	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表⑥（業界別・個人別）／ＥＳ・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。
8	事前学習	業界別に発表準備（パワーポイント、板書、レジュメ等工夫して発表準備をする）
	授業内容	インターン実習個人発表⑦（業界別・個人別）／ＥＳ・作文演習
	事後学習	各業界のインターンシップ内容を比較、業界間の違い、特徴をまとめる。
9	事前学習	ゲストのプロフィールをよく読み事前に質問を考えておく
	授業内容	マスコミ業界の実務と最新動向（１） （ゲストスピーカー）
	事後学習	最新のマスコミ企業の動向をまとめインターンシップだけでなく今後の就職活動に生かす。
10	事前学習	ゲストのプロフィールをよく読み事前に質問を考えておく
	授業内容	マスコミ業界の実務と最新動向（２） （ゲストスピーカー）
	事後学習	最新のマスコミ企業の動向をまとめインターンシップだけでなく今後の就職活動に生かす。
11	事前学習	ゲストのプロフィールをよく読み事前に質問を考えておく
	授業内容	マスコミ業界の実務と最新動向（３） （ゲストスピーカー）
	事後学習	最新のマスコミ企業の動向をまとめインターンシップだけでなく今後の就職活動に生かす。
12	事前学習	企業のエントリーシートにどんなものがあるか調べてみる
	授業内容	マスコミ就職対策① エントリーシートの書き方
	事後学習	実際にESを書き、見てもらう。
13	事前学習	入社試験にはどんなものがあるか調べておく
	授業内容	マスコミ就職対策② 筆記試験
	事後学習	漢字の読み書き・時事問題・作文はかならず出るので普段から、Webを含めマスメディアで取りあげられているものに触れまとめておくことが重要。
14	事前学習	インターンシップ等で行ったグループディスカッションでの反省点をまとめておく
	授業内容	マスコミ就職対策③ グループディスカッション
	事後学習	様々な題で、グループディスカッションを友人らと行って慣れておくこと。
15	事前学習	インターンシップで得たものをまとめておく。
	授業内容	総括：実習の経験を就職活動に活かすために
	事後学習	この時点で、３年次生は、既に自分の目指す仕事の方向や業種・企業等が定まっている事が必要。

科目名	キャリア・デザインA	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今日、キャリア開発の自己責任化、キャリア形成の自律化が求められている。この授業では、「キャリア・デザイン」に関連する基礎的なことがらを学習し、ワーク・キャリアとキャリア開発・形成の基本を理解する。			
授業目的・到達目標	キャリア・デザインの必要性、キャリアのセルフ・マネジメントの重要性を理解することが授業目的である。キャリア、ワーク・キャリア、キャリア開発・形成、キャリア・デザインなどの概念を理解することが到達目標である。			
履修条件	とくになし。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。			
授業方法	テキストによる講義と受講者による討議で授業を進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	学期末の論述試験の結果を基本にするが、自らテーマを設定して自発的にレポートを提出する者には加点する。	
	平常評価	0%	受講者が少ない場合は定期試験に代えて授業内試験を実施する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	晃洋書房	キャリア・マネジメントー人材マネジメントの視点からー	谷田部光一
	備考			
参考書	金井壽宏『働くひとのためのキャリア・デザイン』（PHP選書、2002年）、谷田部光一『働きがいの人材マネジメント』（晃洋書房、2016年）			
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス、働くことの意味
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	働き方の選択肢
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
3	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	日本的雇用システムとその変化の実態①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
4	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	日本的雇用システムとその変化の実態②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。

5	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	日本的雇用システムとその変化の実態③
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
6	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	キャリアとワーク・キャリア
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
7	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	キャリア開発・形成
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
8	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	キャリアの理論
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
9	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	キャリア・マネジメントとその主体
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
10	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	組織内キャリア開発・形成①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
11	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	組織内キャリア開発・形成②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
12	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	組織内キャリア開発・形成③
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
13	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	組織間キャリア開発・形成
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
14	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	組織外キャリア開発・形成
	事後学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
15	事前学習	これまでの授業内容全体を総括し、キャリア・デザインを総合的に理解する。
	授業内容	まとめ（授業内試験を実施する場合有り）
	事後学習	キャリアの理論やキャリア・デザインの手法に関して、発展的に学習する。

科目名	キャリア・デザインB	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、受講者によるアルバイト体験報告、業種・業界研究、職業・職種研究、職業人インタビューなどを行うことによって、「はたらくこと」をリアルに認識し、キャリア・デザインの必要性を学習する。				
授業目的・到達目標	キャリア・デザインの基礎的な知識、技能を身につけることが授業目的である。 組織で働くこと、職業人の実態、様々な業種・業界、多様な職種・職業をリアルに理解することが到達目標である。				
履修条件	前期の「キャリア・デザインA」を受講していることが望ましいが、絶対的条件ではない。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	教員による講義と受講者による作業、討議、報告、発表を組み合わせる授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	指定レポートの提出とその内容を基本に、授業内での報告、発表状況等を加味して総合評価する。自らテーマを選定して自発的レポートを提出する者には加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	晃洋書房		キャリア・マネジメントー人材マネジメントの視点からー	谷田部光一
	備考				
参考書	金井壽宏『働くひとのためのキャリア・デザイン』（PHP選書、2002年）、谷田部光一『働きがいの人材マネジメント』（晃洋書房、2016年）				
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス、キャリア・デザイン、キャリア開発・形成の必要性
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前にレジュメを読み、授業内容に関して自分なりの考えをまとめておく。
	授業内容	働くことの意味、働くことを選択肢雇用と労働市場の実態、就職の実態
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめておく。
3	事前学習	アルバイト体験のレポートを作成する。
	授業内容	アルバイト体験報告①
	事後学習	報告の内容を確認し、そこから得られたものを整理する。
4	事前学習	アルバイト体験のレポートを作成する。
	授業内容	アルバイト体験報告②
	事後学習	報告の内容を確認し、そこから得られたものを整理する。

5	事前学習	アルバイト体験のレポートを作成する。
	授業内容	アルバイト体験報告③ ワークショップ①
	事後学習	報告の内容を確認し、そこから得られたものを整理する。
6	事前学習	教員の提示する課題を事前に学習しておく。
	授業内容	組織・企業で働くことの理解 企業が求める人材像 産業と職業に対する理解
	事後学習	授業のノートを整理し、さらに資料、文献に当たり理解を深める。
7	事前学習	業種・業界研究のレポートを作成する。
	授業内容	業種・業界研究報告①
	事後学習	業種・業界研究の中身を深めるため、興味ある業種・業界に関して探索的学習を行う。
8	事前学習	業種・業界研究のレポートを作成する。
	授業内容	業種・業界研究報告② ワークショップ②
	事後学習	業種・業界研究の中身を深めるため、興味ある業種・業界に関して探索的学習を行う。
9	事前学習	職業・職種研究のレポートを作成する。
	授業内容	職業・職種研究報告①
	事後学習	職業・職種研究の中身を深めるため、興味ある職業・職種に関して探索的学習を行う。
10	事前学習	職業・職種研究のレポートを作成する。
	授業内容	職業・職種研究報告② ワークショップ③
	事後学習	職業・職種研究の中身を深めるため、興味ある職業・職種に関して探索的学習を行う。
11	事前学習	職業人インタビューの結果をレポートにまとめる。
	授業内容	職業人インタビュー報告①
	事後学習	報告から多種、多様なキャリアを理解する。
12	事前学習	職業人インタビューの結果をレポートにまとめる。
	授業内容	職業人インタビュー報告②
	事後学習	報告から多種、多様なキャリアを理解する。
13	事前学習	職業人インタビューの結果をレポートにまとめる。
	授業内容	職業人インタビュー報告③ ワークショップ④
	事後学習	報告とワークショップから多種、多様なキャリアを理解する。
14	事前学習	教員の提示する課題を事前に学習しておく。
	授業内容	賃金と法 労働時間と法 W L B
	事後学習	授業のノートを整理し、理解を深める。
15	事前学習	これまでの授業を総括し、そこから得られたものを整理する。
	授業内容	ワークショップ⑤ まとめ
	事後学習	実践的なキャリア・デザインを試みる。

科目名	キャリア・デベロップメントA	担当者	久地楽 雅也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【ＡＢ共通】生涯を充実させるための「創造力」を育てる、実践の授業。日常の人間生活に関心を向け、様々な「自問自答」を創造。全員で対話し、自己認識と社会認識を深める。〔時代潮流〕今の日本の若者には、人口減・長寿化・ＡＩ化などの大変化が、生涯にわたり進行。取説型「他問他答」と答案型「他問自答」の職業は、縮小する。当授業では、より重要になる創造型「自問自答」に取組み、自ら変化して成長できる体質を目指す。				
授業目的・到達目標	【目的：ＡＢ共通】自分の「創造力」を鍛えて、正答のない未来を肯定できる体質になること。〔注〕実社会は既に、特定の知識スキルでは、長期に活躍できない時代に突入。自ら変化して成長できるよう、自分の「創造力」を呼び覚ます。【目標：前期Ａ】自分で創造する習慣をもつこと。〔注〕日常の人間生活に関心を向け、発見・発想・創造する生活習慣をもつ。（参考）【目標：後期Ｂ】自分で仕事を企画できること。〔注〕前期からの生活習慣を土台にして、自分の仕事を企画する。				
履修条件	【ＡＢ共通】Ａ→Ｂの順で連続履修すること。〔注〕最適な履修時期は２年生、次いで３年生。就活期間や卒業間際の履修開始では、時期が遅い。単位取得者の再受講は可。				
授業方法	【ＡＢ共通】発表と質問を中心に、グループワークとレクチャーを交える。全員参加で全員対話、授業終了後はノーサイド。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		
	平常評価		100%		【ＡＢ共通】①授業点：５０点（発表・質問・提出物）、②習慣点：５０点（授業開始時に「生活メモ帳」の更新を確認）、③減点：授業妨害１件毎に１０点以上の減点。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	【ＡＢ共通】自分の日常生活が、教科書。			
参考書	【ＡＢ共通】自分の日常生活の雑感と素材を記録した「生活メモ帳」を、参考書にする。				
オフィスアワー	【ＡＢ共通】毎回の授業終了直後に、随時実施。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・このシラバスを読んで、当授業の特性、目的・目標を理解する。
	授業内容	◎【前期Ａ：創造習慣をもつ】ガイダンス。同時に、【後期Ｂ：仕事を企画する】の説明も行う。
	事後学習	・当授業の目的・目標と自分の未来との結びつきを考える。
2	事前学習	・「私の好き嫌い」の洗い出し。
	授業内容	◎ハガキ「私の好き嫌い」のオリエンテーション。 ◎生活メモ帳の実践（１）
	事後学習	・自分の日常生活と生活行動を見つめ直し、「生活メモ帳」の作り方と使い方を具体的にイメージする。
3	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。
	授業内容	◎生活メモ帳の実践（２）
	事後学習	・自分の日常生活と生活行動を見直し、「生活メモ帳」の作り方と使い方を具体的にイメージ。
4	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。
	授業内容	◎「私のおすすめ図書（指定）」と「私のおすすめ商品（自由）」のオリエンテーション。
	事後学習	・オリエンテーションの確認と準備計画の立案。 ・指定図書の閲読開始。

5	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・指定図書の閱讀終了。 ・「私のおすすめ図書（指定）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。
	授業内容	◎発想法（１）
	事後学習	・発想法の特徴と使い方を復習。
6	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ図書（指定）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。
	授業内容	◎発想法（２）
	事後学習	・自分の発想の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
7	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ図書（指定）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表のおすすめ商品の候補リスト作成。
	授業内容	◎「私のおすすめ図書（指定）」発表（１）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
8	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ図書（指定）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表のおすすめ商品の候補リスト作成。
	授業内容	◎「私のおすすめ図書（指定）」発表（２）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
9	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表のおすすめ商品の決定。
	授業内容	◎スピーチ視聴
	事後学習	・動画共有サービスで、社会的に評価の高いスピーチを探して視聴。
10	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。
	授業内容	◎「私のおすすめ商品（自由）」中間発表（１）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
11	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。
	授業内容	◎「私のおすすめ商品（自由）」中間発表（２）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
12	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。
	授業内容	◎「私のおすすめ商品（自由）」最終発表（１）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
13	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習。
	授業内容	◎「私のおすすめ商品（自由）」最終発表（２）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
14	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「私のおすすめ商品（自由）」発表を通じて、学んだことを記述。
	授業内容	◎「私のおすすめ商品（自由）」講評と意見交換
	事後学習	・「私のおすすめ商品（自由）」講評と意見交換を通じて、学んだことを確認。
15	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「授業目的」「到達目標」に沿って、自分の成長の振り返りと展望を記述。
	授業内容	◎振り返りと展望。「授業目的」と「到達目標」に沿った、行動宣言。
	事後学習	・行動宣言に沿って、創造習慣を続ける。

科目名	キャリア・デベロップメントA	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学卒業後の進路選択について、指針を示し、自らの希望・能力を考えた職種選択が可能なよう、自己分析、適性評価を行うなど、自らの意志と行動で、職業に就けるようにする。					
授業目的・到達目標	職業の多様化・細分化に伴い、仕事や雇用形態も複雑化している。大学卒業後の進路を4年次には自らの考えで選択・決定出来る事を目的に、自らの力で進路を切り開いて行く力をつけることを目指す。					
履修条件	共通科目として、法学部全学科学学生が受講可能である。レポート課題・討論などの内容から、特に、マスコミ業界を目指す学生は受講を勧めるが、一般企業、公務員等志望者にも受講可能な内容である。					
授業方法	キャリア・デベロップメントA、B両方受講の方が望ましい。受講生の発言や討論によって授業進め、受講生が、多人数の前で意見表明しやすくする。専門性の高いゲストを呼ぶこともある。授業毎にリアクションペーパーを書かせる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%		行わない	
	平常評価		100%		授業中に随時、レポート課題を出す、その提出物評価と授業内の討論、発言も評価対象となる。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	あるときは、随時、提示する。					
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	仕事をする。仕事に就くとはどういう事か考えてみる。
	授業内容	イントロダクション 講義内容と準備
	事後学習	自分はどんな仕事だったらやりたいと思うのか考えてみる。
2	事前学習	何故仕事をするか、その意味は何か考える。
	授業内容	何故仕事に就くか① 仕事をする意味 正社員・契約社員・総合職・一般職・起業・個人事業主
	事後学習	どんな方向の仕事だったらやりたいか、業界・業種を考える。
3	事前学習	好きな仕事が特に好きでなくてもやるか。
	授業内容	何故仕事に就くか② 好きな事が仕事になるか。敢えて好きなことは選ばないか。
	事後学習	講座を聴き改めて考察する。
4	事前学習	自らどんな仕事に向いているか考察した上で、友人知人に、自分はどんな仕事に向いていると思うか授業前に聞いておく。自らの考えと一致していればよいが、一致していなかった場合は、何故なのか考えていみる。
	授業内容	自己分析① 分析の仕方、課題提示 自分はどんな仕事に向いているか。
	事後学習	改めて、自己分析と他人からの意見を総合して、自らの進路を考えてみる。

5	事前学習	5年後、10年後、15年後、20年後の自分について、どうありたいか想像してみる。
	授業内容	自分の一生を考えてみよう 課題：生涯の青図を描いて発表する。5年後、10年後、15年後、20年後の自分の理想は何かどうありたいか。
	事後学習	他の学生と比較して自らの将来を再考してみる。
6	事前学習	友人、知人、親等周りの人に自分はどのような人間で、そういう性格にみえ、どのような人間に捉えられているかを聞く。
	授業内容	自己分析② 課題発表 自己紹介①（1人3分間）をする。
	事後学習	他の学生の発表を聞き、自分の自己紹介を改めて考えてみる。
7	事前学習	友人、知人、親等周りの人に自分はどのような人間で、そういう性格にみえ、どのような人間に捉えられているかを聞く。
	授業内容	自己分析② 課題発表 自己紹介②（1人3分間）をする。
	事後学習	他の学生の発表を聞き、自分の自己紹介を改めて考えてみる。
8	事前学習	自らの目指す仕事を大まかでもいいから決める。
	授業内容	業界研究（Ⅰ） 自らの目指すところとは何か？
	事後学習	講座を聞いてみて、再び自己分析を利用して自分の職業を具体的に考えてみる。
9	事前学習	方向が決まれば、業界研究に着手する。
	授業内容	業界研究（Ⅱ） Web、書籍をはじめキャリアセミナー、OB・OGからの情報を分析する。
	事後学習	情報の整理をする。どんな情報が自分に足りないか、何を求めるべきか整理し、小野情報を得る手法を考える。
10	事前学習	インターンシップとは何か概要を調べておく。
	授業内容	インターンシップ（Ⅰ）行ってみる。試してみる。調べてみる。殆どの企業が3年の夏から秋にかけて行う。
	事後学習	講座を聞き自らの志望する業界のインターンシップを調べ、申し込む。
11	事前学習	自らの志望する各企業のインターンシップを調べてみる。
	授業内容	インターンシップ（Ⅱ）インターンシップ経験者の話
	事後学習	インターンシップ経験者の話を聞き、夏に受けられるように準備をする。
12	事前学習	法律用語・一般常識の入社試験問題集を見える
	授業内容	法学部学生であることと、一般常識 入社試験、面接の常識・非常識
	事後学習	法学部学生として、専門知識がきちんと身についたか。また、改めて自己分析と自己紹介の練習をしておく。
13	事前学習	ゲストのプロフィールをよく読み質問を考えておく。
	授業内容	ゲストスピーカー招聘① 仕事について。何を目指してきたか、仕事とは何か。 レポート課題発表（7月締切）
	事後学習	ゲストの話の中で実行できるものをすぐ実行に移す。
14	事前学習	ゲストのプロフィールをよく読み質問を考えておく。
	授業内容	ゲストスピーカー招聘② 仕事について。何を目指してきたか、仕事とは何か。
	事後学習	ゲストの話の中で実行できるものをすぐ実行に移す。
15	事前学習	これまでのノートを見直してみる
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	インターンシップが経験できるようにES準備をする。

科目名	キャリア・デベロップメントA	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	職業としての教育、ボランティアとしての教育など教育の諸活動から教育について考える。					
授業目的・到達目標	教員になりたい人、将来教育関係の仕事をしたいという希望を持っている人が、「教育」とはどのような活動で、職業としてどのようなものがあるのか、またそのような仕事に就くためには、どのような準備が必要かということが理解できるようになることを授業目的とする。教員・教育関係の職業の重要性及び特殊性を認識し、教育活動をキャリアとして実践している人たちの、現状を理解することに到達目標を置く。					
履修条件	「教育」という世界に強い関心がある学生で、総合科目の「教育学ⅠⅡ」または教職課程を履修する予定がある学生。					
授業方法	履修学生数によって、授業方法を変更する可能性があるが、基本的には演習形式で進める。討論・個人発表を適宜組み込みながら進める。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業中の発表・討論での発言などから積極的に授業に参加したかどうかを評価基準とする。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の教育歴について考える。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	自分の教育歴をまとめる。
2	事前学習	社会のあらゆるところにある「教育」を列挙する。
	授業内容	「教育」に関するイメージについて発表。
	事後学習	社会のあらゆるところにある教育現象から「教育」とは何かを考える。
3	事前学習	職業としての教育、職業ではない教育を例を調査する。
	授業内容	教育に関係する職業とはどのようなものがあるかを考える。
	事後学習	職業としての教育にはどのような特徴があるかまとめる。
4	事前学習	「先生」と呼ばれる仕事について考える。
	授業内容	教師とはどのような仕事かを考える。
	事後学習	職業としての教師の特徴についてまとめる。

5	事前学習	学校の先生の生活について調査する。
	授業内容	教育関係の仕事をしている人たちの給与や生活実態について考える。
	事後学習	学校の先生の仕事と収入についての実態をまとめる。
6	事前学習	免許状が必要な教師と免許状が必要でない教師の区別について考える。
	授業内容	日本で教員になるための方法を考える。
	事後学習	教員免許制度とは何かを考える。
7	事前学習	海外の教育事情を調べる。
	授業内容	諸外国の教育事情について考える。
	事後学習	注目できる海外の教育制度についてまとめる。
8	事前学習	「教える」「指導する」以外の教育活動について考える。
	授業内容	教員以外の教育公務員、民間で教育活動をする人たちとはどのような人たちか考える。
	事後学習	教育に関するさまざまな職業についてまとめる。
9	事前学習	学生がおこなっている教育活動について考える。
	授業内容	学生でもできる「教育」関係の仕事について考える。
	事後学習	学生がおこなうことができる教育活動をまとめる。
10	事前学習	海外で教育活動をおこなっている日本人について調査する。
	授業内容	海外で教育関係の仕事をすることができるかどうか考える。
	事後学習	日本人がおこなっている海外での教育活動の実態をまとめる。
11	事前学習	ボランティアとしての教育活動の例を調査する。
	授業内容	教育ボランティアについて考える。
	事後学習	教育ボランティアの意義について考察する。
12	事前学習	教育に関する国際機関や民間組織にどんなものがあるか調査する。
	授業内容	国際協力機関や民間NPO等の教育活動について考える。
	事後学習	教育に関する国際機関や民間組織の活動実態をまとめる。
13	事前学習	海外で行われている教育ボランティアの例を調査する。
	授業内容	海外での教育ボランティアについて紹介する。
	事後学習	海外でかっどうしている教育ボランティアの意義についてまとめる。
14	事前学習	これまでの講義の中で取り上げられた教育で最も注目した職業や活動について深く調査する。
	授業内容	教育活動とはどのようなものか各自の考えをまとめる。
	事後学習	最も注目した教育活動についてその理由をまとめる。
15	事前学習	注目した教育活動や職業についてその理由を発表するための準備をおこなう。
	授業内容	学生の発表を通して各分野での教育の重要性や意義について考える。
	事後学習	講義を通じて学んだ教育の諸現象や職業について、今後、深く学んでいくための方法を考える。

科目名	キャリア・デベロップメントB	担当者	久地楽 雅也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【ＡＢ共通】生涯を充実させるための「創造力」を育てる、実践の授業。日常の人間生活に関心を向け、様々な「自問自答」を創造。全員で対話し、自己認識と社会認識を深める。〔時代潮流〕今の日本の若者には、人口減・長寿化・ＡＩ化などの大変化が、生涯にわたり進行。取説型「他問他答」と答案型「他問自答」の職業は、縮小する。当授業では、より重要になる創造型「自問自答」に取組み、自ら変化して成長できる体質を目指す。				
授業目的・到達目標	【目的：ＡＢ共通】自分の「創造力」を鍛えて、正答のない未来を肯定できる体質になること。〔注〕実社会は既に、特定の知識スキルでは、長期に活躍できない時代に突入。自ら変化して成長できるよう、自分の「創造力」を呼び覚ます。【目標：後期Ｂ】自分で仕事を企画できること。〔注〕前期からの生活習慣を土台にして、自分の仕事を企画する。（参考）【目標：前期Ａ】自分で創造する習慣をもつこと。〔注〕日常の人間生活に関心を向け、発見・発想・創造する生活習慣をもつ。				
履修条件	【ＡＢ共通】Ａ→Ｂの順で連続履修すること。〔注〕最適な履修時期は２年生、次いで３年生。就活期間や卒業間際の履修開始では、時期が遅い。単位取得者の再受講は可。				
授業方法	【ＡＢ共通】発表と質問を中心に、グループワークとレクチャーを交える。全員参加で全員対話、授業終了後はノーサイド。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	【ＡＢ共通】①授業点：５０点（発表・質問・提出物）、②習慣点：５０点（授業開始時に「生活メモ帳」の更新を確認）、③減点：授業妨害１件毎に１０点以上の減点。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	【ＡＢ共通】自分の日常生活が、教科書。			
参考書	【ＡＢ共通】自分の日常生活の雑感と素材を記録した「生活メモ帳」を、参考書にする。				
オフィスアワー	【ＡＢ共通】毎回の授業終了直後に、随時実施。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・このシラバスを読んで、当授業の特性、目的・目標を理解する。
	授業内容	◎【後期Ｂ：仕事を企画する】ガイダンス ◎生活メモ帳の実践。
	事後学習	・当授業の目的・目標と自分の未来との結びつきを考える。 ・自分の日常生活と生活行動を見つめ直し、「生活メモ帳」の作り方と使い方を具体的にイメージする。
2	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。
	授業内容	◎企画の実際（１）
	事後学習	・テキストを読み、企画の構造とキーワードを理解する。
3	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。
	授業内容	◎企画の実際（２）
	事後学習	・テキストを読み、企画の構造とキーワードを理解する。
4	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。
	授業内容	◎企画の実際（３）
	事後学習	・テキスト読み、企画の実際を理解する。

5	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。
	授業内容	◎「身近な自主企画」オリエンテーション ◎企画トライアルの例題を提示。
	事後学習	・オリエンテーションの確認と準備計画の立案。
6	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・企画トライアルの例題に取り組む。
	授業内容	◎企画トライアル（１）
	事後学習	・企画トライアルの自分の企画を見直し、企画の構造とキーワードへの理解を深める。
7	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・企画トライアルの例題に取り組む。
	授業内容	◎企画トライアル（２）
	事後学習	・企画トライアルの自分の企画を見直し、企画の構造とキーワードへの理解を深める。
8	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「身近な自主企画」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習のリハーサル。
	授業内容	◎「身近な自主企画」中間発表（１）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
9	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「身近な自主企画」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習のリハーサル。
	授業内容	◎「身近な自主企画」中間発表（２）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
10	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「身近な自主企画」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習のリハーサル。
	授業内容	◎「身近な自主企画」中間発表（３）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
11	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「身近な自主企画」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習のリハーサル。
	授業内容	◎「身近な自主企画」最終発表（１）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
12	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「身近な自主企画」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習のリハーサル。
	授業内容	◎「身近な自主企画」最終発表（２）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
13	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「身近な自主企画」発表に向けた、ドキュメント作成と発声練習のリハーサル。
	授業内容	◎「身近な自主企画」最終発表（３）
	事後学習	・自分の発表の特性と先入観をみつけ、今後の修正ポイントを確認。
14	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・発表「身近な自主企画」を通じて、学んだことを記述。
	授業内容	◎「身近な自主企画」講評と意見交換
	事後学習	・「身近な自主企画」の講評と意見交換を通じて、学んだことを確認。
15	事前学習	●「生活メモ帳」に、自分の日常生活の雑感と素材を記録。 ・「生活メモ帳」に、自分の創意工夫として、企画の視点を盛り込む。 ・「授業目的」「到達目標」に対する、振り返りと展望を記述。
	授業内容	◎振り返りと展望。「授業目的」と「到達目標」に沿った、行動宣言。
	事後学習	・行動宣言に沿って、創造習慣を続ける。

科目名	キャリア・デベロップメントB	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学卒業後の進路選択について指針を示し、自らの希望や、能力を考えた職種選択が可能なよう、自己分析、適性評価を行うなど、自らの意志と行動で、職業に就けるようにする。			
授業目的・到達目標	職業の多様化・細分化に伴い、仕事や雇用形態も複雑化している。大学卒業後の進路を4年次には自らの考えで選択・決定出来る事を目的に、自らの力で進路を切り開いて行く力をつけることを目指す。			
履修条件	共通科目として、法学部全学科学学生が受講可能である。レポート課題・討論などの内容から、特に、マスコミ業界を目指す学生は受講を勧めるが、一般企業、公務員志望者でも受講可能な内容である。			
授業方法	キャリア・デベロップメントA、Bを両方受講することが望ましい。受講生の発言や討論で授業を進める形式で、受講生が自らの考えを多人数の前で表明する。討論課題は前週講座で提示。授業毎リアクションペーパーを出させる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	授業中に随時、レポート課題を出す、その提出物評価と授業内の討論、発言も評価対象となる。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参 考 書	必要なときは、講座中、随時提示する。			
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	何故仕事をするか社会的意味を論理的に考えておく。
	授業内容	イントロダクション 講座の進め方 レポート課題のやりかた
	事後学習	講座を聴き受講計画を立てる。
2	事前学習	自ら希望する業種、業界を考えておく。
	授業内容	職業について 何故仕事に就くのか
	事後学習	何故仕事に就くのか理由を明確にしておく。
3	事前学習	自分はどんな仕事に就くのか、好きな事を仕事にするのか、そうではないのか。考えておく。
	授業内容	どんな仕事に就くのか 自己紹介書の配布
	事後学習	講座を聴き自分の進むべき方向を考える。自己紹介書を書く準備をする。
4	事前学習	自己紹介書を具体的に書いておく。
	授業内容	自分がどんな人間か 自己を知る 課題：自己紹介書を書き、発表する（1人3分間前後）①
	事後学習	他の学生の発表を聴いた上で、自己紹介書を直すべきところがあれば、書き直し推敲する。

5	事前学習	自己紹介書を具体的に書いておく。
	授業内容	自己紹介書の発表②
	事後学習	他の学生の発表を聴いた上で、自己紹介書を直すべきところがあれば、書き直し推敲する。
6	事前学習	改めて自分の書いた自己紹介書を確認しておく。
	授業内容	自己紹介書発表の評価
	事後学習	評価を受けて再度自己紹介書の点検と口頭での自己紹介の練習をしておく。
7	事前学習	これまでの講座をまとめ、自分の仕事の方向性を考える。好きな事を仕事とするならば、それは何か、その仕事へのアプローチはどうしたらいいか。好きな事を仕事にはしないのであれば、何を仕事として選べばいいか、方向性だけでもはっきりさせておく。
	授業内容	あなたが、気になる社会的事象とは リポート課題提示「私と仕事」「気になる出来事」 自らが、世の中で気になっている事と仕事との関係。
	事後学習	リポート締め切りを守って書く。
8	事前学習	討論の題について自らの意見をまとめておく。
	授業内容	討論① 社会的事象と自らの意見 世の中で起きている事を自分はどうとらえているか。 他の学生の意見の述べ方や表現の仕方も注意深くきいて良い点を参考にする。
	事後学習	討論を受けて他の学生の意見と自らの意見を比較、良い点を取り入れる。
9	事前学習	討論の題について自らの意見をまとめておく。
	授業内容	討論② 社会的事象と自らの意見 世の中で起きている事を自分はどうとらえているか。 他の学生の意見の述べ方や表現の仕方も注意深くきいて良い点を参考にする。
	事後学習	討論を受けて他の学生の意見と自らの意見を比較、良い点を取り入れる。
10	事前学習	討論の題について自らの意見をまとめておく。
	授業内容	討論③ 課題と問題解決策 ある問題が発生し、その解決にはどうしたら良いか考え意見を出し合う討論 他の学生の意見の述べ方や表現の仕方も注意深くきいて良い点を参考にする。
	事後学習	討論を受けて他の学生の意見と自らの意見を比較、良い点を取り入れる。
11	事前学習	討論の題について自らの意見をまとめておく。
	授業内容	討論④ 課題と問題解決策 ある問題が発生し、その解決にはどうしたら良いか考え意見を出し合う討論 他の学生の意見の述べ方や表現の仕方も注意深くきいて良い点を参考にする。
	事後学習	討論を受けて他の学生の意見と自らの意見を比較、良い点を取り入れる。
12	事前学習	討論の題について自らの意見をまとめておく。
	授業内容	討論⑤ 課題と問題解決策 ある問題が発生し、その解決にはどうしたら良いか考え意見を出し合う討論 他の学生の意見の述べ方や表現の仕方も注意深くきいて良い点を参考にする。
	事後学習	討論を受けて他の学生の意見と自らの意見を比較、良い点を取り入れる。
13	事前学習	インターンシップの概要について調べておく
	授業内容	インターンシップでは、何を見、なにを見られるか、資格と職業、様々な業態、
	事後学習	インターンシップ募集の情報があれば、すぐに対応できるように業界の事やE S の志望理由などの下書きをしておく。
14	事前学習	これまでのノートをまとめておく
	授業内容	授業内 リポート執筆 60分 ノート持ち込可 及びまとめ、振り返り
	事後学習	何をどう述べたか、リポート内容の検討をしておく。
15	事前学習	改めて自己紹介書や口頭での自己紹介をきちんとできるようにしておく。
	授業内容	講座のまとめと質疑応答
	事後学習	就職活動にすぐに移れるように、志望業界の資料をそろえておく。

科目名	キャリア入門[人生と仕事]	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	まず、人生には多様な生き方や役割があることを認識したうえで、働くことの意味を考える。次いで、社会の変化に伴う生き方や働き方の変化を理解し、日本経済や企業の実態、労働市場や産業、職業の実情、職業人の働き方の実際などを把握することを通して、キャリア（人生と仕事）に関する基礎的なことがらを学習する。				
授業目的・到達目標	大学での学びが社会人になるための準備として重要であることを理解し、充実した大学生活を計画する動機づけとすることが授業の目的である。 2年次以降のキャリア教育科目等の学習や、具体的な進路選択活動へ展開できる基礎的な力を身に付けるのが到達目標である。				
履修条件	1年次生を優先するが、2年次生でも履修可能。3年次生、4年次生は履修不可なので、キャリア・デザインA、B等を受講すること。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	担当教員の講義、実際に働いている職業人へのインタビュー、受講者のワークショップ、討議、発表などを組み合わせて授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	指定レポートの提出状況と内容、授業内小テスト、授業での報告、発表状況などを総合的に評価する。自発的レポートの提出者には加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	指定しない。			
参考書	谷田部光一『キャリア・マネジメント―人材マネジメントの視点から―』（晃洋書房、2010年） 金井壽宏『働く人のためのキャリア・デザイン』（PHP新書、2002年） その他授業内で適宜紹介する。				
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前にレジュメをよく読み、教員が提示するテーマについて自分なりに考えておく。
	授業内容	人生における多様な役割
	事後学習	授業のノートを整理し、自分なりの考え方をまとめる。
3	事前学習	事前にレジュメをよく読み、教員が提示するテーマについて自分なりに考えておく。
	授業内容	働くことの意味と働き方の選択肢
	事後学習	授業のノートを整理し、自分なりの考え方をまとめる。
4	事前学習	事前にレジュメをよく読み、教員が提示するテーマについて自分なりに考えておく。
	授業内容	社会の変化と新しい生き方、働き方
	事後学習	授業のノートを整理し、自分なりの考え方をまとめる。

5	事前学習	事前に資料をよく読み、教員が提示するテーマについて自分なりに考えておく。
	授業内容	若者と雇用・就業
	事後学習	授業のノートを整理し、自分なりの考え方をまとめる。
6	事前学習	事前に資料をよく読み、教員が提示するテーマについて自分なりに考えておく。
	授業内容	日本の経済と企業（会社）についての理解
	事後学習	授業のノートを整理し、自分なりの考え方をまとめる。
7	事前学習	事前に産業と職業について調べ、教員が提示するテーマについて自分なりに考えておく。
	授業内容	産業と職業に関する理解
	事後学習	授業のノートを整理し、産業と職業に関する理解を深める。
8	事前学習	製造業の概要とそこで働くことの実際について調べておく。
	授業内容	組織・企業（会社）で働くこと の理解① 「製造業で働くことの実際」
	事後学習	授業の感想をレポートにまとめる。
9	事前学習	小売業の概要とそこで働くことの実際について調べておく。
	授業内容	組織・企業（会社）で働くこと の理解② 「小売業で働くことの実際」
	事後学習	授業の感想をレポートにまとめる。
10	事前学習	金融業の概要とそこで働くことの実際について調べておく。
	授業内容	組織・企業（会社）で働くこと の理解③ 「金融業で働くことの実際」
	事後学習	授業の感想をレポートにまとめる。
11	事前学習	サービス業の概要とそこで働くことの実際について調べておく。
	授業内容	組織・企業（会社）で働くこと の理解④ 「サービス業で働くことの実際」
	事後学習	授業の感想をレポートにまとめる。
12	事前学習	公務員制度の概要とそこで働くことの実際について調べておく。
	授業内容	組織・企業（会社）で働くこと の理解⑤ 「公務員として働くことの実際」
	事後学習	授業の感想をレポートにまとめる。
13	事前学習	事前に自分の望むキャリアについて考えておく。
	授業内容	キャリア・デザインの基礎
	事後学習	将来の自分のキャリアをデザインしてみる。
14	事前学習	働くことに関する法律にはどんなものがあるか、事前に調べておく。
	授業内容	働くことと法律
	事後学習	厚生労働省のHP等で各種労働関係法規について学習する。
15	事前学習	これまでの授業内容全体を総括し、キャリアについての理解を深める。職業人にインタビューした結果をレポートにまとめておく。
	授業内容	職業人インタビュー報告、まとめ
	事後学習	自分なりのキャリア・デザインに基づき、アクションプランを考える。

科目名	共通科目特論 A	担当者	大熊 圭子	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	【思考方法論】 法科大学院適性試験、公務員試験などでは、判断力・思考力・分析力等の資質を有しているかどうか問われる。こういった力は、実際にはどのような職業に就くにしても必要とされるものであるが、授業では試験で出される問題を解くための知識を学び、問題を解く力（論理的な思考力）を身につけていく。				
授業目的・到達目標	【授業目的】論理的・批判的思考力：得られる情報をもとに論理的な思考を展開し、分析的・批判的な思考をすることができるようになる。さらに、自分の考えを論理的に伝えることができるようになる。 【到達目標】論理的に考える習慣がつく。論理的に判断し分析することができる。				
履修条件	特になし				
授業方法	論理的思考法について説明・問題を交互に行っていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回行う課題と授業内で行うまとめのテスト（80％）、および授業態度（20％。欠席、遅刻、積極的に授業に参加していない場合は減点）で総合評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。授業内でプリントを配布。			
参考書	野内良三『実践ロジカル・シンキング入門』大修館書店 野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書				
オフィスアワー	水曜日 18:00～19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること。 okuma.keiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む
	授業内容	思考方法論とは（ガイダンス）
	事後学習	授業内容を確認する
2	事前学習	授業内容をシラバスでよく確認しておく
	授業内容	命題、演繹と推測について
	事後学習	授業内容を復習する
3	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	真と偽、矛盾と反対、定言命題とは、ヴェン図（その1）
	事後学習	授業内容を復習する
4	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	ヴェン図（続き）、仮言命題と選言命題
	事後学習	授業内容を復習する

5	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	両刀論法、条件連鎖
	事後学習	授業内容を復習する
6	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	条件連鎖（続き）、ド・モルガンの法則、消去法
	事後学習	授業内容を復習する
7	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	消去法（続き）、背理法、存在文がある条件連鎖
	事後学習	授業内容を復習する
8	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	存在文がある条件連鎖（続き）、ヴェン図（その2）
	事後学習	授業内容を復習する
9	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	条件連鎖とヴェン図（続き）、命題論理概要
	事後学習	授業内容を復習する
10	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	真理表について
	事後学習	授業内容を復習する
11	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	真理値分析、命題論理応用問題
	事後学習	授業内容を復習する
12	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	命題論理応用問題（続き）
	事後学習	授業内容を復習する
13	事前学習	これまでの授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	復習
	事後学習	これまでの授業内容を復習する
14	事前学習	これまでの授業内容を復習をする
	授業内容	講義全体の理解度の確認
	事後学習	授業内容を復習する
15	事前学習	これまでの授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	講義全体のふり返り
	事後学習	授業内容全体を復習する

科目名	共通科目特論 B	担当者	大熊 圭子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【思考方法論】 法科大学院適性試験、公務員試験などでは、判断力・思考力・分析力等の資質を有しているかどうか問われる。こういった力は、実際にはどのような職業に就くにしても必要とされるものである。そこでこの授業では、このような論理的判断力・分析的判断力等を養っていき、特に立論や批判について理解し、それを十分に行えるような力をつけていく。			
授業目的・到達目標	【授業目的】論理的・批判的思考力：得られる情報をもとに論理的な思考を展開し、分析的・批判的な思考をすることができる力を身につける。 【到達目標】論理的に判断力し分析することができる。立論や異論、批判について理解し、それを十分に行うことができる。			
履修条件	前期に開講する共通科目特論A【思考方法論】を履修していることが望ましい。			
授業方法	論理的思考法について説明・問題を交互に行っていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回行う課題と授業内で行うまとめのテスト（80％）、および授業態度（20％。欠席、遅刻、積極的に授業に参加していない場合は減点）で総合評価	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず。授業内でプリントを配布。		
参考書	野内良三『実践ロジカル・シンキング入門』大修館書店 野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書			
オフィスアワー	水曜日 18:00～19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること。 okuma.keiko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。前期科目の共通科目特論A【思考方法論】のシラバスもよく読んでおく。
	授業内容	思考方法論とは（共通科目特論A【思考方法論】概要）
	事後学習	授業内容を確認する
2	事前学習	授業内容をシラバスでよく確認しておく
	授業内容	論証とは
	事後学習	授業内容を復習する
3	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	論証の前提・支持について
	事後学習	授業内容を復習する
4	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	論証の前提・支持について（続き）
	事後学習	授業内容を復習する

5	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について 1
	事後学習	授業内容を復習する
6	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について 2
	事後学習	授業内容を復習する
7	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について 3
	事後学習	授業内容を復習する
8	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について 4
	事後学習	授業内容を復習する
9	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	対立する議論、論理的誤謬について
	事後学習	授業内容を復習する
10	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について 5
	事後学習	授業内容を復習する
11	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	立論・異論・批判とは
	事後学習	授業内容を復習する
12	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について 6
	事後学習	授業内容を復習する
13	事前学習	これまでの授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	復習
	事後学習	これまでの授業内容を復習する
14	事前学習	これまでの授業内容を復習する
	授業内容	講義全体の理解度の確認
	事後学習	授業内容を復習する
15	事前学習	これまでの授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	講義全体のふり返し
	事後学習	授業内容全体を復習する

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	今福 啓	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Microsoft Excelを使って、データの合計、平均の計算、グラフ作成、必要なデータの抽出、まとめ直しといった、さまざまなデータ操作を学びます。また、キャッシュフロー計算、制約のある問題の効率的な答えを求めるといった実践的な解決手法も学びます。				
授業目的・到達目標	講義を通じて、Excelの基本操作から実践的な問題の解決方法まで処理できるようになることを目指します。				
履修条件	キーボードを使った文字入力や、ファイルのコピー、ファイル名の変更といった基本的なコンピュータの操作ができることを条件とします。				
授業方法	コンピュータ教室で、Excelを使った実習形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義時間の最後に作成する、期末レポート課題の内容により判断します。具体的な期末レポート課題の作成方法と成績の評価方法は、講義の1回目に説明します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義中に授業計画にしたがって、実習で使用するExcelおよびPDFファイルを配布します。			
参考書	立田ルミ、今福啓、堀江郁美『実践に役立つ情報処理―基礎から応用まで―』日経BP社（2018）				
オフィスアワー	keiimafuku@gmail.comまでメールをお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義でどのような内容を学ぶのか、シラバスに目を通して把握する。
	授業内容	講義の進め方と授業評価について
	事後学習	講義で使用する資料の配布方法を確認する。授業の進め方と評価方法を確認する。
2	事前学習	Excelとはどのようなソフトウェアであるのかを調べる。
	授業内容	データ入力と計算式、相対参照と絶対参照
	事後学習	計算式で使う「相対参照」「絶対参照」とはどのようなものであるのかを確認する。
3	事前学習	Excelの関数とはどのようなものであるのかを調べる。
	授業内容	関数を使った計算
	事後学習	「関数」の使い方と種類を確認する。
4	事前学習	Excelでのグラフ作成方法を調べる。
	授業内容	グラフの作成
	事後学習	グラフの作成方法を確認する。グラフにはどのような種類があるのか、「複合グラフ」とはどのように作成するのかを確認する。

5	事前学習	データ処理において、並べ替えや抽出が必要となる理由を調べる。
	授業内容	データの並べ替えと抽出　ソート、フィルタ
	事後学習	「2つ以上のキー」で並べ換える方法と、フィルタで「必要なデータのみ表示する方法」「元データはそのままに、必要なデータをシートに抽出する方法」を確認する。
6	事前学習	「クロス集計」とは何であるのかを調べる。
	授業内容	データの集計　ピボットテーブル、小計
	事後学習	同様の集計方法である「ピボットテーブル」と「小計」の違いを確認する。
7	事前学習	Excelの「マクロ」と「VBA」とは何であるのかを調べる。
	授業内容	操作の自動化　マクロ
	事後学習	マクロを使い、どのように操作を記録して使うのかを確認する。マクロがVBAとして記録されていることを確認する。「マクロを含んだファイルを保存する形式」を確認する。
8	事前学習	1ー7回の講義で学んだ内容を復習する。
	授業内容	総合課題の作成1　Excel基礎
	事後学習	総合課題で作成した内容で、理解が不十分であった点を復習する。
9	事前学習	お金を銀行に預けた際に必要となる知識である「複利方式」「積立」「利子」を調べる。
	授業内容	複利方式、積立
	事後学習	Excelのセルを使った複利方式と積立計算の方法を確認する。
10	事前学習	ローンとは何であるのかを調べる。
	授業内容	利子率の計算、ローン返済計画
	事後学習	「What-If分析」の「ゴールシーク」で、どのように「利子率」「ローン返済」を計算するのかを確認する。
11	事前学習	年金とは何であるのかを調べる。
	授業内容	個人年金の積立額
	事後学習	ゴールシークを使って、どのように個人年金の積立額を計算するのかを確認する。
12	事前学習	Excelの「ソルバー」とは何であるのかを調べる。
	授業内容	ソルバー1　効率的な資源配分（0-1整数計画問題）
	事後学習	0-1整数計画問題とはどのようなものであるのかを確認する。ソルバーを使って、どのように問題の効率的な答えを求めるのかを確認する。
13	事前学習	「線形」とは何を意味するのかを調べる。
	授業内容	ソルバー2　限られた資源の有効活用（線形計画問題）
	事後学習	「線形計画問題」とはどのような問題であるのかを確認する。具体的な問題にはどのようなものがあり、それをExcelでどのように解くのかを確認する。
14	事前学習	9ー13回の講義で学んだ内容を復習する。
	授業内容	総合課題の作成2　実践的な問題解決
	事後学習	総合課題で作成した内容で、理解が不十分であった点を復習する。
15	事前学習	この講義で学んだすべての内容を復習する。
	授業内容	講義のまとめ　期末レポート課題の作成
	事後学習	レポート課題の作成で、理解が不十分となっていた点を復習する。

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代において「情報活用能力」は社会を動かす基礎的スキルであり、この多様化した社会にとっての「共通言語」といえる。また、ICT（Information and Communication Technology）が注目される中、この「情報活用能力」はこれから社会で活躍する学生にとって有効な武器となる。本講義では、この「情報活用能力」を高めるため、PCの様々な操作方法を学習し社会で活躍できる人材の育成を目指す。				
授業目的・到達目標	【授業目的】現代社会において必要不可欠な「情報活用能力」を身に付ける。Word、Excelの基本的操作方法を学び、PowerPointについては、プレゼンテーション資料の作成と利用方法を学習する。また、ファイルの管理方法や、PCによる電子メール送受信のリテラシーを習得する。 【到達目標】1.PCの基礎的取り扱いやファイルの管理方法について理解する。2.インターネットや電子メールの基本を理解し、安全に使いこなせるようにする。3.Word、Excelの基本的操作方法を理解する。4.PowerPointを用いたプレゼンテーション資料の作成と利用方法を理解する。				
履修条件	わかりやすい授業を心掛けており、コンピュータ初心者でも可。				
授業方法	PC教室でコンピュータを利用した演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業内でコンピュータを利用した実技試験を実施（50%） 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付・提示する。			
参考書	講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ID、パスワードを事前に確認しておく、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	法学部情報システムの利用法、講義計画、成績評価方法
	事後学習	PCの基本構造について復習する
2	事前学習	最近のネットにおける問題点を調べておく
	授業内容	情報モラルとセキュリティ（ウィルス、スパイウェア）
	事後学習	情報モラルやセキュリティ問題について復習する
3	事前学習	スマートフォンとPCの違いを調べておく
	授業内容	インターネットによる情報検索（収集、加工、分析、評価）、Eメール利用、ファイル添付
	事後学習	情報の利用について復習する
4	事前学習	ビジネス文書の体裁を調べておく
	授業内容	Microsoft Word 1（基本操作、ファイル管理、保存）
	事後学習	Wordの基本操作を再確認する

5	事前学習	前回保存したファイルを開き、基本操作を確認する
	授業内容	Microsoft Word 2 (PC画面のキャプチャ、マニュアル作成)
	事後学習	PC画面をキャプチャし、簡単なマニュアルを作成する
6	事前学習	前回保存したファイルを開き、画面のキャプチャを確認する
	授業内容	Microsoft Word 3 (罫線, 図, 図形, 画像)
	事後学習	罫線を使って時間割表を作成する
7	事前学習	前回保存したファイルを開き、罫線等を確認する
	授業内容	Microsoft Word 4 (論文書式: 脚注, 段組み, ページ番号, PDFファイル)
	事後学習	書式の機能を復習する
8	事前学習	表計算ソフトについて調べておく
	授業内容	Microsoft Excel 1 (基本操作・表計算)
	事後学習	Excelの基本操作を再確認する
9	事前学習	Excelの関数について調べておく
	授業内容	Microsoft Excel 2 (関数: SUM, AVERAGE, RANK)
	事後学習	表作成の機能を復習する
10	事前学習	Excelの関数について調べておく
	授業内容	Microsoft Excel 3 (関数: IF, 棒グラフ作成)
	事後学習	グラフ作成の機能を復習する
11	事前学習	グラフの種類と役割についてしらべておく
	授業内容	Microsoft Excel 4 (2軸グラフ, 折れ線グラフ, 円グラフ, 複合参照)
	事後学習	各グラフ作成の機能を復習する
12	事前学習	データベースについて調べる
	授業内容	Microsoft Excel 5 (データベース機能)
	事後学習	機能について復習する
13	事前学習	作成テーマについて検討しておく
	授業内容	Power Point 1 (基本操作・プレゼンテーション作成)
	事後学習	課題作成を進める
14	事前学習	プレゼンテーション資料の作成確認
	授業内容	Power Point 2 (効果的な利用法)
	事後学習	課題作成を進める
15	事前学習	学習内容の再確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	作業内容について復習する

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	谷川 由紀子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座では、情報活用の実践力（課題や目的に応じて、コンピュータやインターネット等の情報手段を活用し、必要な情報を収集・分析・解釈・創造・表現するとともに、受け手の状況を踏まえて発信・伝達を行うスキル）を、基礎的な知識の学習とコンピュータやインターネットを活用した実習による課題作成を通じて育成する。				
授業目的・到達目標	本講座では、情報活用の実践力（課題や目的に応じて、コンピュータやインターネット等の情報手段を活用し、必要な情報を収集・分析・解釈・創造・表現すると共に、受け手の状況を踏まえて発信・伝達を行うスキル）の育成を目的とする。講座を通じて、データまたは情報を整理・分析し、受け手に理解しやすい文書にまとめるための基本的な考え方や方法を知ると共に、それらの知識を適用した情報の分析や解釈、また創造・表現・伝達が、コンピュータやインターネットを活用して実際にできるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	実習による課題作成を中心として授業を進める。課題内容に応じて、必要な講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	各学習項目（シリーズ）単位での課題（作品またはレポート）提出を課す。全課題提出の上で、指示した課題要件の充足度および課題別の目標達成度により評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に定めない。講義時に課題、参照資料等のプリントを配布する。			
参考書	必要に応じ、講義時に紹介する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 課題提出に関わる質問・相談は電子メールでも受け付ける（tanikawa.yukiko11@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ColnetのユーザIDとパスワードを確認しておくこと
	授業内容	社会が求める能力とは、情報活用の実践力、 授業計画と評価方法
	事後学習	講座オリエンテーションの内容（授業目的、計画、評価方法等）を再確認すること
2	事前学習	MS-WORDの起動方法、編集画面、文字入力方法を確認しておくこと
	授業内容	コンピュータとネットワークの活用 理解しやすい資料の作成（MS-Word）（1）：見本にそった2種類の資料作成
	事後学習	1種類目の課題作成が終わっていない場合は完了すること
3	事前学習	ワークシート（異なる編集方法による資料の比較）に記入しておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（2）： ワークシートを基にしたグループ討議、理解しやすい資料作成のための方法（講義）
	事後学習	講義内容を復習しておくこと
4	事前学習	2種類目の課題の見本、操作ガイド資料を確認しておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（3）： 見本にそった2種類の資料作成、テーマをもとにした資料作成
	事後学習	見本にそった資料作成で課した2種類目の課題作成が終わっていない場合は完了すること

5	事前学習	課題：テーマをもとにした資料作成に必要な調査・情報収集を行っておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（4）：テーマをもとにした資料作成
	事後学習	テーマをもとにした資料作成の課題が終わっていない場合は作成完了すること
6	事前学習	作成資料に対する自己評価シートを記入しておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（5）：受講者間での作成資料の相互評価
	事後学習	自己評価、また相互評価でのコメントを受けて、修正点がある場合は、資料を修正し再提出すること
7	事前学習	MS-Excelの起動方法、基本画面を確認しておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（1）：データ分析の基本的な考え方（講義）、課題説明、分析対象データのExcelへの入力
	事後学習	講義内容を復習しておくこと
8	事前学習	分析対象データのExcel入力を完了しておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（2）：測定項目毎の特徴の分析（数式、関数の活用）
	事後学習	測定項目毎に、平均や分散など指示した値の算出を完了すること
9	事前学習	講義内容を参考に、算出した値（平均や分散など）からわかる測定項目毎の特徴をまとめておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（3）：測定項目毎の特徴の分析（ヒストグラムの活用）
	事後学習	測定項目毎のヒストグラム作成が終わっていない場合は完了すること
10	事前学習	講義内容を参考に、ヒストグラムからわかる測定項目毎の特徴をまとめておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（4）：測定値の比較分析（偏差値の活用）
	事後学習	各測定値に対する偏差値の算出および指示したグラフ作成を完了すること
11	事前学習	講義内容を参考に、偏差値やグラフからわかる傾向をまとめておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（5）：分析レポートの作成
	事後学習	分析レポートの作成を完了すること
12	事前学習	MS-PowerPointの起動方法、基本画面を確認しておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（1）：企画書をもとにしたプレゼンテーション資料の作成
	事後学習	プレゼンテーション資料の構成が決まっていない場合、企画書の内容を確認し、資料化する部分を決めること
13	事前学習	プレゼンテーション資料作成に必要な写真やイラスト等の参考資料を集めておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（2）：企画書をもとにしたプレゼンテーション資料の作成
	事後学習	プレゼンテーション資料の作成を完了すること
14	事前学習	口頭発表の要件（時間他）を確認しておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（3）：プレゼンテーション資料にそった発表シナリオ作成、口頭発表時の留意点（講義）
	事後学習	口頭発表時の留意点も参考に、発表シナリオを作成完了すること
15	事前学習	プレゼンテーション（口頭発表）の練習をしておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（4）：企画プレゼンテーションと受講者間での相互評価 講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体を通じて学んだことの振り返りを行うこと

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	土屋 正寿	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基礎的な情報理論、コンピュータ理論の講義を行い、併せて大学生に必要なアカデミックスキルを確認し実習に入る。実習基礎編でWord、Excel、PowerPointの基本操作を確認する。実習応用編ではWordを使用し論文・レポートを作成、PowerPointによる論文の口頭発表、Excelによる統計解析などの実習を行う。実習はAが論文の作成、Bが口頭発表を重点とするのでA・B併せての履修も有用。				
授業目的・到達目標	大学における知的活動（＝情報処理：情報の収集、情報の評価と分析、情報の創造と発信）に必要な共通の作法や技法すなわちアカデミックスキルを踏まえつつ、これに必須のコンピュータやインターネットなど情報通信技術（ICT）の基本原則と効率的な利用技術を修得することを目的とする。併せて社会人となった後の活用にも留意し授業を行う。ICTを駆使し、必要な情報にアクセスし、それを的確に評価分析し、その結果を論理的な文章としてとりまとめ、効果的なプレゼンテーションを行うことが出来るようになることを到達目標とする。				
履修条件	初歩的な情報理論、コンピュータの基本操作を確認した後、講義、実習を進めるので特段の予備知識や経験は要しない。なお実習に関してはAが論文骨子の作成、Bが口頭発表を重点とするのでA・B通しての履修も有用。				
授業方法	講義と実習を適宜組み合わせ合わせて進める。授業内で1回または2回の確認テストを行う。実習は原則としてMicrosoft Officeの主要アプリを利用するが、適宜オープンソースやフリーのソフトウェアなども紹介する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	実施せず	
	平 常 評 価		100%	論文、口頭発表、授業内確認テスト、授業中の発言や実習の結果などから総合的に評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指定する			
参 考 書	授業中に随時紹介				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各回の授業の最後に次回の授業項目について指定するので、自分の知識の確認と必要な項目の予習を行う
	授業内容	ガイダンス（講義の目的、講義計画・成績評価の方法、実習テキスト、参考書などの紹介）
	事後学習	前回授業内容を理解していることを前提に授業を進めるので、ポイントの復習を怠らないこと特に実習項目については自ら再度実行すると理解度が格段に上がる
2	事前学習	自らのICTに関する知識を確認し疑問点などを抽出する
	授業内容	情報通信技術（ICT）の概要：情報処理の基礎理論とコンピュータの歴史と動作原理
	事後学習	コンピュータの歴史、ノイマン型、デジタル化（標本化と量子化）、情報量（ビットとバイト）、コンピュータの動作原理、OSとアプリなど基本概念・用語の確認をする
3	事前学習	ICTと社会に係る最近の課題について事前に情報収集する
	授業内容	情報通信技術（ICT）と社会：情報セキュリティ、個人情報保護、知的財産の保護、ネット利用の留意点など（授業内テスト：ICTと情報処理の基礎に係る確認テスト）
	事後学習	健全なネット利用に不可欠な情報セキュリティや知的財産の保護などの基本知識を再確認する
4	事前学習	自らのコンピュータに係る知識を確認する
	授業内容	【実習基礎編1】 コンピュータの基本操作の確認： Windowsの基本操作、基本的な文書作成（Word）、口頭発表用スライドの作成（PowerPoint）
	事後学習	Windowsの基本操作とWordやPowerPointの基本について再確認する

5	事前学習	自らのExcelに係る知識を整理確認し授業に臨む
	授業内容	【実習基礎編2】 コンピュータの基本操作の確認： データ集計・整理・分析、グラフの作成、データベース機能の活用（Excel）（コンピュータ・リテラシーAの重点項目）
	事後学習	Excelの三大機能（表計算、グラフ、データベース）の基本を再確認する
6	事前学習	自らのインターネットの利用イメージをまとめておく
	授業内容	【アカデミックスキル1（情報の収集）】インターネット上の情報利用の留意点、インターネット上のデータのインポート、図書館の活用
	事後学習	インターネットの仕組みと学問分野での利活用について確認
7	事前学習	自らの数学、統計学の知識の確認
	授業内容	【アカデミックスキル2（情報の評価・分析）】統計学の基本的な概念の確認、コンピュータを活用した情報整理法の例の紹介
	事後学習	統計学のポイントについて復習する
8	事前学習	これまでに学習した文章作成方法の確認
	授業内容	【アカデミックスキル3（情報の創造・発信）】論文・レポートの書き方（テーマと問題設定、論理展開と全体構成、引用の仕方、注と文献表の役割と書き方）、口頭による研究発表の方法（テーマと問題設定、論理展開と発表用スライドの構成など）
	事後学習	情動的な文章と論理的な文章の書き方の違いを明確に意識する
9	事前学習	自らの数学、統計学の知識を確認するとともに、基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編1】 Excelによる統計解析実習（正規分布、統計的推測と検定、偏差値、相関分析と回帰分析）、併せてRなど統計用フリーソフトの紹介
	事後学習	自らの手で再度、Excelによる統計解析を実行する
10	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編2】 Wordの利用実習： 図表などオブジェクトの挿入、ヘッダーとフッター、ページ番号や脚注の挿入、セクション区切り、等
	事後学習	論文やレポートに有用なこれらのツールの利用手順を確認
11	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編3】 Wordの利用実習：アウトライン設定、見出しスタイルの適用、目次・索引の作成、アウトライン表示の活用、Excel等との連携など（コンピュータ・リテラシーAの重点項目）
	事後学習	これらのツールは論文やレポートに極めて有用であり、確実に身に着くよう復習する
12	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編4】 Wordによる論文の作成（他の授業等で作成した論文・レポートを基に再構成も可）：Wordの論文作成に有効なツール（アウトライン表示、見出しスタイル、目次、脚注、文献管理など）を活用し論文を作成参考としてLaTeXによる論文作成の紹介（コンピュータ・リテラシーAの重点項目）
	事後学習	Wordのこれらの機能は社会人になった後も極めて有用であり、繰り返し実行し自分のものにする
13	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編5】 PowerPointの利用実習：口頭発表用（読ませるのではなく見せる）スライドの要件を踏まえ実習（マスター表示の活用、図表の挿入、アニメーション・画面切り替えの設定、自動プレゼン、ノート・配布資料の作成等）
	事後学習	フォントの種類やサイズ、1枚あたりの行数など口頭発表用スライド（見せるスライド）の要件を復習
14	事前学習	自らの問題意識、主張を明確にし発表のリハーサルを行う
	授業内容	【模擬発表会】作成した論文のポイントについてPowerPointのスライドショーを実行しながら各自5～10分程度の口頭発表を行う（発表時間は履修人数により調整）。発表後、質疑応答、相互評価を行う。
	事後学習	質疑応答や相互評価の指摘をふまえ発表資料を改訂
15	事前学習	AIやIoTなど最新のトピックについて情報収集し課題を確認する
	授業内容	【総まとめ講義】論文の技法などアカデミックスキルの再確認と実習のポイントの整理、ICT関連の最新動向の紹介
	事後学習	今後はアカデミックスキルとの関連を意識しつつコンピュータやネットワークなどの情報技術を活用することが重要

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	平井 智尚	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	情報化社会における基本的なスキル・知識としてのコンピュータ・リテラシーを実習により習得していきます。			
授業目的・到達目標	コンピュータの利用方法を覚えるだけでなく、実際に各場面で活用できるようになることを目的とします。オフィスソフトなどを活用して、大学生活で必須となるレジュメ、レポート、プレゼンテーション資料、ならびにビジネスの場面における各種書類等を作成できるようになることが目標です。			
履修条件	特段の履修条件はありませんが、カリキュラムの配置上、新入生の履修を念頭に置いています。			
授業方法	パソコンが設置された教室でコンピュータを利用した演習を行います。課題に際しては時事的な話題や問題を素材として扱うことが多いです。各回の授業内容は進行に応じて適宜調整・変更します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	期末課題（50%）授業で習得したコンピュータ・リテラシーの習熟度を確認する 受講態度、提出物等（50%）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	講義中に適宜紹介します。			
オフィスアワー	質問は随時受け付けます。連絡先（メールアドレス）は初回の授業の際にお伝えします。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	パソコンやオフィスソフトに日頃から慣れ親しんでおく
	授業内容	ガイダンス：コンピュータ・リテラシーについて
	事後学習	次回以降実習に取り掛かるのでつつがなく作業に臨めるよう準備しておく
2	事前学習	端末の仕様に際して必要となるアカウントなどを確認しておく
	授業内容	Microsoft Wordの活用（1）レジュメ作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
3	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Wordの活用（2）レポート作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
4	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Wordの活用（3）図表を盛り込んだ資料の作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する

5	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Excelの活用（1）情報入力の基本と表の作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
6	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Excelの活用（2）表計算
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
7	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Excelの活用（3）様々なグラフの作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
8	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	画像編集（1）ペイントを利用した簡易編集
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
9	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	画像編集（2）専用ソフトを利用した画像編集
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
10	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Power Pointの活用（1）パワーポイントの特性
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
11	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Power Pointの活用（2）画面効果とアニメーション
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
12	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Power Pointの活用（3）Power Pointを使用したプレゼンテーション
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
13	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	報告資料の作成（1）口頭報告を想定しながらWordで配布資料を作成する
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
14	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	報告資料の作成（2）口頭報告を想定しながらPower Pointで配布資料を作成する
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
15	事前学習	これまでの授業内容の全般を復習しておく
	授業内容	授業のまとめ：コンピュータ・リテラシーと実践
	事後学習	実際のレポートや口頭報告の場面で習得したリテラシーを活用していく

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	水野 正	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	コンピュータにインストールされている基本的なソフトウェアの操作方法ができるようになることを演習方式で学ぶ講義である。 ワープロソフトを利用して単純な文章を完成させるだけでなく、画像やエクセルデータを貼り付けるような編集ができるようになることや、表計算ソフトを十分に使いこなせるようにするための演習形式の講義である。			
授業目的・到達目標	情報は紙ベースの時代から電子データの時代へと変化している。そこで、ワード、エクセルによる電子データの作成と処理方法を習得することを目的とする。各ソフトウェアを十分に使いこなせること、さらに効果的に利用できるようになることを目標とする。 特にマイクロソフトエクセルを使いこなせるようになることを目標とする。			
履修条件	演習科目であるから、毎回出席して、説明に従ってソフトウェアを操作することが望ましい。			
授業方法	配布するデジタルデータを利用して、その処理を説明する方法で進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価	100%	学期末に習熟度を考査するために課題の処理を行ってもらいその評価と、受講態度を併せて評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	FOM出版	よくわかる Word 2013 ドリル	FOM株式会社
	2013年	FOM出版	よくわかる Excel 2013 ドリル	FOM株式会社
	備考			
参考書	市販の様々なテキストがあるが、ビジネス系パソコン雑誌の特集記事の方がより実践的な処理方法を記述しているのでそれらを入手して利用すること。			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	タッチキーで文字入力ができるか確認すること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	タッチキーで文字入力ができるように練習すること。
2	事前学習	演習問題を自ら完成させてみるようにすること。
	授業内容	マイクロソフトワードの基本操作 1
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。 一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
3	事前学習	前回の続きとなるので、続きとなる演習問題を自ら完成させるようにすること。
	授業内容	マイクロソフトワードの基本操作 2
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。 一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
4	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトワードの応用操作 1
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。 一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。

5	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトワードの応用操作 2
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
6	事前学習	演習問題を自ら完成させてみるようにすること。 算数の計算と代数計算や、累計、割合の意味を復習すること。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 1
	事後学習	代数計算など、自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
7	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 2
	事後学習	代数計算など、自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
8	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 3 関数の利用
	事後学習	関数の使用方法を十分に理解できたか、演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
9	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 4 グラフの作成
	事後学習	グラフを作成するための要素がなんであるか理解すること。演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
10	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 1 関数計算の応用
	事後学習	代数計算や関数の使用方法を十分に理解できたか、演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
11	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 2 関数計算の応用
	事後学習	代数計算や関数の使用方法を十分に理解できたか、演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
12	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 3 グラフの作成と応用
	事後学習	グラフを作成するための要素がなんであるか理解すること。演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
13	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 4 データベースの利用
	事後学習	必要なデータが抽出できるか、再度、演習問題を行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
14	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 5 まとめ
	事後学習	必要な作業ができるか、再度、演習問題を行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
15	事前学習	今学期で行った内容を復習すること。
	授業内容	習熟度チェック
	事後学習	どの程度できたかを自チェックし、できなかった部分を再度学習すること。

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	毛利 康秀	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、コンピュータ（Windows）の基本的な操作を修得したのち、Wordを用いた文書の作成、Excelを用いたデータ処理、WordとExcelの連携、PowerPointを用いたプレゼンテーション資料の作成、タイピングの練習、インターネットを用いた情報収集や電子メールの利用などの課題を行い、これらの操作方法を習得し、関連する課題が作成出来るようになることを目的とする。				
授業目的・到達目標	Wordを用いた文書の作成では、実用的な文書の作成、ビジネス文書の作成、インターネット上の情報を取り込んだ文書の作成等を行い、これらの課題が作成出来るようになる。Excelを用いたデータ処理では、四則演算、簡単な関数、IF関数の使いこなし、グラフの作成等を行い、これらの課題が作成出来るようになる。PowerPointを用いた資料の作成では、プレゼンテーションとは何かを理解した上で、発表テーマに即した構成・情報の収集と取り込み・配置、アニメーション機能の設定などを行い、これらの課題が作成出来るようになる。課題の作成を通して、コンピュータならびにインターネットの基本的な利用法を習得することが出来る。				
履修条件	初心者も十分に履修可能。各自でスキル向上に努めること。				
授業方法	PC教室にてコンピュータ（Windows）を利用した演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行わない。平常点で評価を行う。	
	平常評価		100%	授業中に作成した課題の成果、ならびに授業への参加度によって評価する。やむを得ず欠席した場合は、後日プリントにて自習に努めること。（課題提出で加点あり。）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しない。毎週プリントを配布する。			
参考書	必要に応じて、適宜紹介する。				
オフィスアワー	月曜日 6 限、授業の前後の時間帯。まずメールで問い合わせること。mohri-y@chs.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校時代にコンピュータ関係の授業で学習した内容を再確認する。（60分）
	授業内容	ガイダンス 授業内容の説明
	事後学習	Windows/パソコンの使用方法を再確認し、必要に応じて図書館のPCルーム等で実際に操作を行う。（60分）
2	事前学習	Windows/パソコンの使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	コンピュータの基本 インターネット・電子メール
	事後学習	Windows/パソコンの使用方法を再確認し、必要に応じて図書館のPCルーム等で実際に操作を行う。（60分）
3	事前学習	Microsoft社のビジネスアプリ「Word」の使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	Wordの基本的な操作（1）基本的な操作の確認
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
4	事前学習	ビジネス文書とは何かについて確認しておく。（60分）
	授業内容	Wordの基本的な操作（2）ビジネス文書の作成
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）

5	事前学習	Wordのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Wordの様々な機能を使う（１）画像の取り込みと加工
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
6	事前学習	Wordのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Wordの様々な機能を使う（２）スクリーンショットの活用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
7	事前学習	タイピングとは何かについてインターネットで検索しておく。（60分）
	授業内容	タイピングの練習
	事後学習	タイピングソフトを活用して習慣的に練習を行い、タッチタイピングが出来るようにする。（60分）
8	事前学習	Microsoft社のビジネスアプリ「Excel」の使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	Excelの基本的な操作（１）基本的な操作の確認
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
9	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの基本的な操作（２）算術演算子の活用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
10	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの様々な機能を使う（１）関数の活用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
11	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの様々な機能を使う（２）関数の応用、グラフの作成
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
12	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの様々な機能を使う（３）計算式の組み合わせ、グラフの応用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
13	事前学習	Microsoft社のビジネスアプリ「PowerPoint」の使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	PowerPointを用いた課題作成（１）プレゼンテーションとは何か
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
14	事前学習	PowerPointのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	PowerPointを用いた課題作成（２）プレゼンテーション課題の作成
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
15	事前学習	最終課題の内容を確認し、提出するまでの準備を整えておく。（60分）
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	最終課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	山田 正雄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会は仮想通貨やソーシャルメディア、ビッグデータの利用によるマーケティング、サイバー戦争そして2045年問題など政治や経済、教育、家庭生活など多様な扇面で利便性と危険を併せ持つ課題を抱える。 本授業はこのような高度情報化社会で求められる情報通信技術や情報倫理への理解と情報活用能力の醸成に向けてPCを利用した講義・実習を行う。				
授業目的・到達目標	1. ネットワーク・コンピューティングへの理解やMicrosoft WordやExcel、PowerPoint等の利用技術を深める。 2. 各種データの収集・分析を通じて問題の発見・考察・解決方法について複眼的思考と技法を獲得する。 3. 情報発信能力を高める。 (適切なデータの援用による明快な資料の作成とそれを含めたプレゼンテーション能力を高める)				
履修条件	情報処理の基本的な素養（コンピュータやネットワーク、経営情報、統計処理等々への理解）がほとんど無い学生を前提とする。				
授業方法	PC教室で配付資料（デジタルデータ、必要に応じてアナログデータ）による講義と実習を行う。 課題は基本課題と復習課題の2系統を用意しており、事前学習と事後学習で適宜振り分けて理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度（50%）と複数の提出課題等（50%）によって行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	テキストは使用しない。 授業の際に資料（デジタルデータ、必要に応じてアナログデータ）を配付・提示する。			
参考書	レイ・カーツワイル『シンギュラリティは近い（エッセンス版）人類が生命を超越するとき』NHK出版 2016 宮下 紘『ビッグデータの支配とプライバシー危機』集英社新書 2017				
オフィスアワー	原則的には火曜日・13時まで、または16時20分以降・学内某所としますが、ご希望によって日時・場所等を相談しましょう。 必ず事前に電子メールでアポイントメントを取って下さい。 → → → 【yamada.masao@nihon-u.ac.jp】 授業や就職活動、進学等キャンパスライフ全般についてご相談に応じます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・メディア教育センターに設置されているPCの利用方法に慣れておく。
	授業内容	・授業ガイダンス 法学部情報システム（COLNet）の利用方法・講義計画・課題の入手と提出方法・成績評価等について
	事後学習	・日本大学法学部のHPより初期パスワードの変更作業を行う。
2	事前学習	・リモートアクセスにチャレンジして【課題01¥課題1.xlsx】を閲覧しExcelの画面構成の理解に努める。 ・2回目の授業以降はポータルサイトから事前学習の内容について連絡を致します。
	授業内容	・各種デジタルデータの保存と管理・再利用、ネットワーク・コンピューティングと情報倫理 ・Microsoft WordやExcelの入門
	事後学習	・リモートアクセスで【課題1.xlsx】を指定フォルダへ提出する。
3	事前学習	・リモートアクセスで【復習01¥ご案内状.docx】を閲覧しWordの画面構成の理解に努める。
	授業内容	・リポート作成法（コピペと言われないレポートの作成方法） ・フォント、インデント、脚注（参考文献・参考資料・参考URL）、ページ設定、ページ番号等々。
	事後学習	・Microsoft Wordのページ設定（余白・字数・行数の調整）について理解しておく。 ・【ショートカット・キー一覧.pdf】を配布するので概観しておく。
4	事前学習	・配付資料から指定した5つのショートカット・キーを学習しておく。
	授業内容	Microsoft Wordの基本操作 2 (Desk Top Publishing 1) ・各種技法を採り入れたフライヤーの作成 ・高度情報化社会：インターネットの仕組みとビジネスモデル
	事後学習	・指定した5つ以外の利用度の高いショートカット・キーもマスターする。 ・リモートアクセスで【ご案内状.docx】を指定フォルダへ提出する。

5	事前学習	・リモートアクセスで【課題01¥受講者数統計.xlsx】を閲覧しExcelの画面構成の理解に努める。
	授業内容	Microsoft Excelの基本操作1 ・表計算と編集（データ入力と合計・平均関数）、PCの構造と機能、保存メディアの種類と機能
	事後学習	・リモートアクセスで【受講者数統計.xlsx】を指定フォルダへ提出する。 ・復習課題でMicrosoft Excelの合計・平均関数とオートフィル機能を復習しておく。
6	事前学習	・リモートアクセスで【復習01¥ (5) グラフとオートシェイプ.xlsx】を閲覧し理解できる範囲で各種グラフを作成しておく。
	授業内容	Microsoft Excelの基本操作2 ・（各種グラフ作成、基本的関数の利用） ・HP閲覧（検索エンジンの利用とデータ収集）
	事後学習	・リモートアクセスで【復習02¥ (7) IF評価A.xlsx】の予習結果を指定フォルダへ提出する。
7	事前学習	・官公庁や業界団体、任意の企業のHPからExcelデータ等をダウンロードしておく。
	授業内容	Microsoft Excelの応用操作1 ・（各種グラフ、DB関数） ・HP閲覧（EDINETや企業・自治体のデータ収集）
	事後学習	・リモートアクセスで【復習02¥ (7) IF評価B.xlsx】を指定フォルダへ提出する。 ・経済・経営・会計・ICT関連の「調査課題」を配布するので概観しておく。
8	事前学習	・各企業のHPや金融庁EDINETから任意の企業の有価証券報告書を閲覧し必要なデータをExcelファイルに保存しておく。
	授業内容	Microsoft Excelの応用操作2（経営トレンド分析） ・電子メールの利用（Excelファイルに読み取りパスワード設定を付けて添付して送信する）
	事後学習	・指定課題で復習してリモートアクセスで当該フォルダにアップしておく。 ・【復習14¥0. ABC分析.xlsx】に読み取りパスワードを付けて電子メールに添付して提出する。
9	事前学習	・日本社会学会等、任意の社会科学系の学会のHPより論文投稿規定を閲覧し、理解しておくこと。 ・リモートアクセスで【課題11Word & Excel】を閲覧し理解に努める。
	授業内容	・ABC分析について ・レポート作成（ExcelデータのWordへの転用） ・社会科学系論文・レポートの作成方法について ・ファイルサーバの利用と管理
	事後学習	・論文・レポートの作成要件・形式について復習しておく。 ・プレゼンのテーマについて調査・決定しておく。
10	事前学習	・プレゼン・テーマのアウトラインをWordに記述して指定フォルダにアップロードしておく。
	授業内容	PowerPointによるプレゼン資料の作成1 （アウトライン重視の効果的なプレゼン資料の作成）
	事後学習	各自のPowerPoint課題の作成作業を進めておく。
11	事前学習	・新たなデータを加えて各自のPowerPoint課題の作成作業を進めておく。
	授業内容	PowerPointによるプレゼン資料の作成2 （聴取者にマッチした訴求度の高いプレゼン資料の作成、評価の視点）
	事後学習	・各自のPowerPoint課題の作成作業を更に進めておく。
12	事前学習	・プレゼンテーションについて解説した指定教材を読み込んでおくこと。
	授業内容	PowerPointによるプレゼンテーション1 （学生によるプレゼンテーション1）
	事後学習	・プレゼンテーションの内容を評価して評価集計表に記入しておく。
13	事前学習	・プレゼンテーションの評価基準をWordにまとめリモートアクセスで当該フォルダにアップしておく。
	授業内容	PowerPointによるプレゼンテーション2 （学生によるプレゼンテーション2）
	事後学習	・プレゼンテーションの内容を評価して評価集計表に纏めておく。 ・官公庁や業界団体、任意の企業のHPからExcelデータ等をダウンロードしておく。 ・リモートアクセスで【復習11¥ 5 逆トーナメントデータ分析.xlsx】を閲覧し理解できる範囲で作業を進めておく。
14	事前学習	・官公庁HPから『各種白書』や業界団体、任意の企業のHPから業績Excelデータ等をダウンロードしておく。
	授業内容	Excelによるスモールデータの分析 （ピボットテーブルによるデータの分析と解釈）
	事後学習	・分析結果を再検討して更に異なる視点で検討した結果をWordにまとめておく。 ・Web上で「HTMLタグ」について5個以上の基本的なものについて理解しておく。
15	事前学習	・10行のHTMLを完成させておく。
	授業内容	・スクリプティング入門（HTML入門） ・講義全体の復習・スクリプティング入門（HTML入門）
	事後学習	☆「期末課題」を完成後に指定期日までに当該フォルダへアップロードする。

科目名	コンピュータ・リテラシーA	担当者	鈴木 正章	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータは、情報の収集、情報の制作やそれらの伝達などのツールとして現代社会において不可欠な機器である。本講義では、コンピュータのアプリケーションを利用して、文書作成，データの解析や処理および伝達やプレゼンテーション能力を養成する。			
授業目的・到達目標	情報の収集・分析・解釈・創造・編集・表現・伝達および理解などに関わる情報活用能力の育成を第一の目的とし、コンピュータ・インターネット・各種アプリケーションソフト等のスキルを身につける。出題された課題を、与えられた条件で完成させる事ができる。			
履修条件	毎時、出席できること。機器台数により、５０名を限度とする。コンピュータ・ネットワーク初心者可。			
授業方法	課題解決の実習形式			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は行わない。	
	平常評価	100%	課題の提出とその内容を併せて総合評価とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014	実教出版	30時間でマスター Word&Excel2013（Windows8対応）	実教出版編集部
	備考	なし		
参考書	講義時に随時紹介する。			
オフィスアワー	授業の前後とする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のにWindowsの基礎についてあらかじめ熟読しておくこと。
	授業内容	情報とメディアの活用法
	事後学習	学内パソコン使用について習熟すること。
2	事前学習	教科書のInternet Explorerのについて熟読しておくこと。
	授業内容	学内ネットワークの活用 クラウドの活用
	事後学習	様々なホームページを開き、学内メールも使ってみる。
3	事前学習	教科書のWord2013の基礎的な使い方について熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（1）
	事後学習	Word2013の画面構成の理解と文字入力に習熟しておくこと。
4	事前学習	教科書の文書の作成について熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（2）
	事後学習	文字入力と文書の書式設定に習熟しておくこと。

5	事前学習	教科書の編集機能について熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（3）
	事後学習	編集機能を使った様々な文書を作成すること。
6	事前学習	教科書の画像・テキストボックスの挿入を熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（4）
	事後学習	画像やテキストボックスを挿入した文章の作成に慣れておくこと。
7	事前学習	教科書のExcel2013の画面構成とそれらの機能について熟読し理解しておくこと。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（1）
	事後学習	Excel2013を使って表を作成出来るようにする。
8	事前学習	教科書のExcel2013の様々な書式設定を理解しておくこと。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（2）
	事後学習	数式を入力と様々な書式設定をして表の作成する。
9	事前学習	教科書のグラフの挿入の仕方を熟読および理解しておくこと
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（3）
	事後学習	表データから様々なグラフを作成する。
10	事前学習	教科書のグラフの書式設定変更の仕方を熟読および理解しておくこと。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（4）
	事後学習	表データからグラフを作成し、グラフの種類や数値軸目盛などの書式設定の変更ができるようにしておく。
11	事前学習	教科書を通して、Excelで活用する関数を調べておく。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（5）
	事後学習	Excelの関数を用いて様々な表データを作成する。
12	事前学習	教科書を通して、Excelで活用する関数を調べておく。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（6）
	事後学習	Excelの関数を用いて様々な表データを作成する。
13	事前学習	プレゼンテーションの内容とその構成について計画をたてる。
	授業内容	Power Pointを活用したプレゼンテーション（1）
	事後学習	Power Pointの画面構成との役割について理解しておくこと。
14	事前学習	Power Pointの機能についてあらかじめしらべておく。
	授業内容	Power Point活用したプレゼンテーション（2）
	事後学習	ワードアート、Smart Art、図の挿入やアニメーション効果を利用したプレゼンテーションの作成。
15	事前学習	Power Pointの機能についてあらかじめしらべておく。
	授業内容	Power Point活用したプレゼンテーション（3）
	事後学習	動画を挿入したプレゼンテーションの作成。

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	今福 啓	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Microsoft Excelを使って、データの合計、平均の計算、グラフ作成、必要なデータの抽出、まとめ直しといった、さまざまなデータ操作を学びます。また、キャッシュフロー計算、制約のある問題の効率的な答えを求めるといった実践的な解決手法も学びます。				
授業目的・到達目標	講義を通じて、Excelの基本操作から実践的な問題の解決方法まで処理できるようになることを目指します。				
履修条件	キーボードを使った文字入力や、ファイルのコピー、ファイル名の変更といった基本的なコンピュータの操作ができることを条件とします。				
授業方法	コンピュータ教室で、Excelを使った実習形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義時間の最後に作成する、期末レポート課題の内容により判断します。具体的な期末レポート課題の作成方法と成績の評価方法は、講義の1回目に説明します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義中に授業計画にしたがって、実習で使用するExcelおよびPDFファイルを配布します。			
参考書	立田ルミ、今福啓、堀江郁美『実践に役立つ情報処理―基礎から応用まで―』日経BP社（2018）				
オフィスアワー	keiimafuku@gmail.comまでメールをお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義でどのような内容を学ぶのか、シラバスに目を通して把握する。
	授業内容	講義の進め方と授業評価について
	事後学習	講義で使用する資料の配布方法を確認する。授業の進め方と評価方法を確認する。
2	事前学習	Excelとはどのようなソフトウェアであるのかを調べる。
	授業内容	データ入力と計算式、相対参照と絶対参照
	事後学習	計算式で使う「相対参照」「絶対参照」とはどのようなものであるのかを確認する。
3	事前学習	Excelの関数とはどのようなものであるのかを調べる。
	授業内容	関数を使った計算
	事後学習	「関数」の使い方と種類を確認する。
4	事前学習	Excelでのグラフ作成方法を調べる。
	授業内容	グラフの作成
	事後学習	グラフの作成方法を確認する。グラフにはどのような種類があるのか、「複合グラフ」とはどのように作成するのかを確認する。

5	事前学習	データ処理において、並べ替えや抽出が必要となる理由を調べる。
	授業内容	データの並べ替えと抽出　ソート、フィルタ
	事後学習	「2つ以上のキー」で並べ換える方法と、フィルタで「必要なデータのみ表示する方法」「元データはそのままに、必要なデータをシートに抽出する方法」を確認する。
6	事前学習	「クロス集計」とは何であるのかを調べる。
	授業内容	データの集計　ピボットテーブル、小計
	事後学習	同様の集計方法である「ピボットテーブル」と「小計」の違いを確認する。
7	事前学習	Excelの「マクロ」と「VBA」とは何であるのかを調べる。
	授業内容	操作の自動化　マクロ
	事後学習	マクロを使い、どのように操作を記録して使うのかを確認する。マクロがVBAとして記録されていることを確認する。「マクロを含んだファイルを保存する形式」を確認する。
8	事前学習	1ー7回の講義で学んだ内容を復習する。
	授業内容	総合課題の作成1　Excel基礎
	事後学習	総合課題で作成した内容で、理解が不十分であった点を復習する。
9	事前学習	お金を銀行に預けた際に必要となる知識である「複利方式」「積立」「利子」を調べる。
	授業内容	複利方式、積立
	事後学習	Excelのセルを使った複利方式と積立計算の方法を確認する。
10	事前学習	ローンとは何であるのかを調べる。
	授業内容	利子率の計算、ローン返済計画
	事後学習	「What-If分析」の「ゴールシーク」で、どのように「利子率」「ローン返済」を計算するのかを確認する。
11	事前学習	年金とは何であるのかを調べる。
	授業内容	個人年金の積立額
	事後学習	ゴールシークを使って、どのように個人年金の積立額を計算するのかを確認する。
12	事前学習	Excelの「ソルバー」とは何であるのかを調べる。
	授業内容	ソルバー1　効率的な資源配分（0-1整数計画問題）
	事後学習	0-1整数計画問題とはどのようなものであるのかを確認する。ソルバーを使って、どのように問題の効率的な答えを求めるのかを確認する。
13	事前学習	「線形」とは何を意味するのかを調べる。
	授業内容	ソルバー2　限られた資源の有効活用（線形計画問題）
	事後学習	「線形計画問題」とはどのような問題であるのかを確認する。具体的な問題にはどのようなものがあり、それをExcelでどのように解くのかを確認する。
14	事前学習	9ー13回の講義で学んだ内容を復習する。
	授業内容	総合課題の作成2　実践的な問題解決
	事後学習	総合課題で作成した内容で、理解が不十分であった点を復習する。
15	事前学習	この講義で学んだすべての内容を復習する。
	授業内容	講義のまとめ　期末レポート課題の作成
	事後学習	レポート課題の作成で、理解が不十分となっていた点を復習する。

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代において「情報活用能力」は社会を動かす基礎的スキルであり、この多様化した社会にとっての「共通言語」といえる。また、ICT（Information and Communication Technology）が注目される中、この「情報活用能力」はこれから社会で活躍する学生にとって有効な武器となる。本講義では、この「情報活用能力」を高めるため、PCの様々な操作方法を学習し社会で活躍できる人材の育成を目指す。			
授業目的・到達目標	【授業目的】現代社会において必要不可欠な「情報活用能力」を身に付ける。Word、Excelの基本的操作方法を学び、Accessについては、データベースの理解や操作方法を学習する。また、ホームページ作成については、HTMLの基礎等を学習し、情報活用能力を高めていくことを目標とする。 【到達目標】1. PCの基礎的取り扱いやファイルの管理方法について理解する。2. Word、Excelの基本的操作方法を理解する。3. Accessの基本的操作を学習し、データベースについて理解する。4. HTMLの基礎等を学習し、情報発信の方法について理解する。			
履修条件	わかりやすい授業を心掛けており、コンピュータ初心者でも可。			
授業方法	P C教室でコンピュータを利用した演習を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業内でコンピュータを利用した実技試験を実施（50%） 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（50%）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付・提示する。		
参 考 書	講義中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ID、パスワードを事前に確認しておく、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	法学部情報システムの利用法、講義計画・成績評価方法
	事後学習	PCの基本構造について復習する
2	事前学習	ビジネス文書の体裁を調べておく
	授業内容	Microsoft Word 1（基本操作・罫線・図・図形等）
	事後学習	Wordの基本操作を確認する
3	事前学習	前回保存したファイルを開き、基本操作を再確認する
	授業内容	Microsoft Word 2（論文書式・段組み・脚注等）
	事後学習	書式の機能を復習する
4	事前学習	表計算ソフトについて調べておく
	授業内容	Microsoft Excel 1（基本操作、SUM・AVERAGE関数、罫線等）
	事後学習	Excelの基本操作を確認する

5	事前学習	Excelの関数について調べておく
	授業内容	Microsoft Excel 2 (MAX・MIN・RANK・IF関数, ネスト, 相対・絶対参照等)
	事後学習	関数の機能を復習する
6	事前学習	グラフの種類と役割についてしらべておく
	授業内容	Microsoft Excel 3 (棒グラフ・折れ線グラフ・複合グラフ等)
	事後学習	各グラフ作成の機能を復習する
7	事前学習	データベースについて調べる
	授業内容	Microsoft Access 1 (データベースの設計)
	事後学習	Accessの基本操作を確認する
8	事前学習	前回の復習 (基本操作の確認)
	授業内容	Microsoft Access 2 (テーブルとフォーム)
	事後学習	作業内容の確認
9	事前学習	前回の復習 (基本操作の確認)
	授業内容	Microsoft Access 3 (リレーションシップとクエリ)
	事後学習	作業内容の確認
10	事前学習	前回の復習 (基本操作の確認)
	授業内容	Microsoft Access 4 (パラメータークエリと集計クエリ)
	事後学習	作業内容の確認
11	事前学習	前回の復習 (基本操作の確認)
	授業内容	Microsoft Access 5 (レポート等)
	事後学習	作業内容の確認
12	事前学習	HTMLとは何か調べる
	授業内容	ホームページの仕組み(HTML言語の基礎)
	事後学習	HTML言語の基礎の復習
13	事前学習	前回の復習 (基本操作の確認)
	授業内容	ホームページの作成 (フォント、区切り線、画像)
	事後学習	HTML言語のタグの確認
14	事前学習	前回の復習 (基本操作の確認)
	授業内容	ホームページの作成 (特殊効果、リンク)
	事後学習	HTML言語のタグの確認
15	事前学習	学習内容の再確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	作業内容について復習する

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	谷川 由紀子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座では、情報活用の実践力（課題や目的に応じて、コンピュータやインターネット等の情報手段を活用し、必要な情報を収集・分析・解釈・創造・表現するとともに、受け手の状況を踏まえて発信・伝達を行うスキル）を、基礎的な知識の学習とコンピュータやインターネットを活用した実習による課題作成を通じて育成する。				
授業目的・到達目標	本講座では、情報活用の実践力（課題や目的に応じて、コンピュータやインターネット等の情報手段を活用し、必要な情報を収集・分析・解釈・創造・表現すると共に、受け手の状況を踏まえて発信・伝達を行うスキル）の育成を目的とする。講座を通じて、データまたは情報を整理・分析し、受け手に理解しやすい文書にまとめるための基本的な考え方や方法を知ると共に、それらの知識を適用した情報の分析や解釈、また創造・表現・伝達が、コンピュータやインターネットを活用して実際にできるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	実習による課題作成を中心として授業を進める。課題内容に応じて、必要な講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	各学習項目（シリーズ）単位での課題（作品またはレポート）提出を課す。全課題提出の上で、指示した課題要件の充足度および課題別の目標達成度により評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に定めない。講義時に課題、参照資料等のプリントを配布する。			
参考書	必要に応じ、講義時に紹介する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 課題提出に関わる質問・相談は電子メールでも受け付ける（tanikawa.yukiko11@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ColnetのユーザIDとパスワードを確認しておくこと
	授業内容	社会が求める能力とは、情報活用の実践力、 授業計画と評価方法
	事後学習	講座オリエンテーションの内容（授業目的、計画、評価方法等）を再確認すること
2	事前学習	MS-WORDの起動方法、編集画面、文字入力方法を確認しておくこと
	授業内容	コンピュータとネットワークの活用 理解しやすい資料の作成（MS-Word）（1）：見本にそった2種類の資料作成
	事後学習	1種類目の課題作成が終わっていない場合は完了すること
3	事前学習	ワークシート（異なる編集方法による資料の比較）に記入しておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（2）： ワークシートを基にしたグループ討議、理解しやすい資料作成のための方法（講義）
	事後学習	講義内容を復習しておくこと
4	事前学習	2種類目の課題の見本、操作ガイド資料を確認しておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（3）： 見本にそった2種類の資料作成、テーマをもとにした資料作成
	事後学習	見本にそった資料作成で課した2種類目の課題作成が終わっていない場合は完了すること

5	事前学習	課題：テーマをもとにした資料作成に必要な調査・情報収集を行っておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（4）：テーマをもとにした資料作成
	事後学習	テーマをもとにした資料作成の課題が終わっていない場合は作成完了すること
6	事前学習	作成資料に対する自己評価シートを記入しておくこと
	授業内容	理解しやすい資料の作成（MS-Word）（5）：受講者間での作成資料の相互評価
	事後学習	自己評価、また相互評価でのコメントを受けて、修正点がある場合は、資料を修正し再提出すること
7	事前学習	MS-Excelの起動方法、基本画面を確認しておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（1）：データ分析の基本的な考え方（講義）、課題説明、分析対象データのExcelへの入力
	事後学習	講義内容を復習しておくこと
8	事前学習	分析対象データのExcel入力を完了しておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（2）：測定項目毎の特徴の分析（数式、関数の活用）
	事後学習	測定項目毎に、平均や分散など指示した値の算出を完了すること
9	事前学習	講義内容を参考に、算出した値（平均や分散など）からわかる測定項目毎の特徴をまとめておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（3）：測定項目毎の特徴の分析（ヒストグラムの活用）
	事後学習	測定項目毎のヒストグラム作成が終わっていない場合は完了すること
10	事前学習	講義内容を参考に、ヒストグラムからわかる測定項目毎の特徴をまとめておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（4）：測定値の比較分析（偏差値の活用）
	事後学習	各測定値に対する偏差値の算出および指示したグラフ作成を完了すること
11	事前学習	講義内容を参考に、偏差値やグラフからわかる傾向をまとめておくこと
	授業内容	データの分析と解釈（MS-Excel）（5）：分析レポートの作成
	事後学習	分析レポートの作成を完了すること
12	事前学習	MS-PowerPointの起動方法、基本画面を確認しておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（1）：企画書をもとにしたプレゼンテーション資料の作成
	事後学習	プレゼンテーション資料の構成が決まっていない場合、企画書の内容を確認し、資料化する部分を決めること
13	事前学習	プレゼンテーション資料作成に必要な写真やイラスト等の参考資料を集めておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（2）：企画書をもとにしたプレゼンテーション資料の作成
	事後学習	プレゼンテーション資料の作成を完了すること
14	事前学習	口頭発表の要件（時間他）を確認しておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（3）：プレゼンテーション資料にそった発表シナリオ作成、口頭発表時の留意点（講義）
	事後学習	口頭発表時の留意点も参考に、発表シナリオを作成完了すること
15	事前学習	プレゼンテーション（口頭発表）の練習をしておくこと
	授業内容	効果的に企画内容を伝える（MS-PowerPoint）（4）：企画プレゼンテーションと受講者間での相互評価 講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体を通じて学んだことの振り返りを行うこと

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	土屋 正寿	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基礎的な情報理論、コンピュータ理論の講義を行い、併せて大学生に必要なアカデミックスキルを確認し実習に入る。実習基礎編でWord、Excel、PowerPointの基本操作を確認する。実習応用編ではWordを使用し論文・レポートを作成、PowerPointによる論文の口頭発表、Excelによる統計解析などの実習を行う。実習はAが論文の作成、Bが口頭発表を重点とするのでA・B併せての履修も有用。				
授業目的・到達目標	大学における知的活動（＝情報処理：情報の収集、情報の評価と分析、情報の創造と発信）に必要な共通の作法や技法すなわちアカデミックスキルを踏まえつつ、これに必須のコンピュータやインターネットなど情報通信技術（ICT）の基本原理と効率的な利用技術を修得することを目的とする。併せて社会人となった後の活用にも留意し授業を行う。ICTを駆使し、必要な情報にアクセスし、それを的確に評価分析し、その結果を論理的な文章としてとりまとめ、効果的なプレゼンテーションを行うことが出来るようになることを到達目標とする。				
履修条件	初歩的な情報理論、コンピュータの基本操作を確認した後、講義、実習を進めるので特段の予備知識や経験は要しない。なお実習に関してはAが論文骨子の作成、Bが口頭発表を重点とするのでA・B通しての履修も有用。				
授業方法	講義と実習を適宜組み合わせ合わせて進める。授業内で1回または2回の確認テストを行う。実習は原則としてMicrosoft Officeの主要アプリを利用するが、適宜オープンソースやフリーのソフトウェアなども紹介する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	実施せず	
	平常評価		100%	論文、口頭発表、授業内確認テスト、授業中の発言や実習の結果などから総合的に評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指定する			
参考書	授業中に随時紹介				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各回の授業の最後に次回の授業項目について指定するので、自分の知識の確認と必要な項目の予習を行う
	授業内容	ガイダンス（講義の目的、講義計画・成績評価の方法、実習テキスト、参考書などの紹介）
	事後学習	前回授業内容を理解していることを前提に授業を進めるので、ポイントの復習を怠らないこと特に実習項目については自ら再度実行すると理解度が格段に上がる
2	事前学習	自らのICTに関する知識を確認し疑問点などを抽出する
	授業内容	情報通信技術（ICT）の概要：情報処理の基礎理論とコンピュータの歴史と動作原理
	事後学習	コンピュータの歴史、ノイマン型、デジタル化（標本化と量子化）、情報量（ビットとバイト）、コンピュータの動作原理、OSとアプリなど基本概念・用語の確認をする
3	事前学習	ICTと社会に係る最近の課題について事前に情報収集する
	授業内容	情報通信技術（ICT）と社会：情報セキュリティ、個人情報保護、知的財産の保護、ネット利用の留意点など（授業内テスト：ICTと情報処理の基礎に係る確認テスト）
	事後学習	健全なネット利用に不可欠な情報セキュリティや知的財産の保護などの基本知識を再確認する
4	事前学習	自らのコンピュータに係る知識を確認する
	授業内容	【実習基礎編1】コンピュータの基本操作の確認：Windowsの基本操作、基本的な文書作成（Word）、口頭発表用スライドの作成（PowerPoint）
	事後学習	Windowsの基本操作とWordとPowerPointの基本について再確認する

5	事前学習	自らのExcelに係る知識を整理確認し授業に臨む
	授業内容	【実習基礎編2】コンピュータの基本操作の確認： データ集計・整理・分析、グラフの作成、データベース機能の活用 (Excel)
	事後学習	Excelの三大機能（表計算、グラフ、データベース）の基本を復習する
6	事前学習	自らのインターネットの利用イメージをまとめておく
	授業内容	【アカデミックスキル1（情報の収集）】インターネット上の情報利用の留意点、インターネット上のデータのインポート、図書館の活用
	事後学習	インターネットの仕組みと学問分野での利活用について確認
7	事前学習	自らの数学、統計学の知識の確認
	授業内容	【アカデミックスキル2（情報の評価・分析）】統計学の基本的な概念の確認、コンピュータを活用した情報整理法の例の紹介
	事後学習	統計学のポイントについて復習する
8	事前学習	これまでに学習した文章作成方法の確認
	授業内容	【アカデミックスキル3（情報の創造・発信）】論文・レポートの書き方（テーマと問題設定、論理展開と全体構成、引用の仕方、注と文献表の役割と書き方）、口頭による研究発表の方法（テーマと問題設定、論理展開と発表用スライドの構成など）
	事後学習	情動的な文章と論理的な文章の書き方の違いを明確に意識する
9	事前学習	自らの数学、統計学の知識を確認するとともに、基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編1】Excelによる統計解析実習（正規分布、統計的推測と検定、偏差値、相関分析と回帰分析）、併せてRなど統計用フリーソフトの紹介（コンピュータ・リテラシーBの重点項目）
	事後学習	自らの手で再度、Excelによる統計解析を実行する
10	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編2】Wordの利用実習： 図表などオブジェクトの挿入、ヘッダーとフッター、ページ番号や脚注の挿入、セクション区切り、等
	事後学習	論文やレポートに有用なこれらのツールの利用手順を確認
11	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編3】Wordの利用実習：アウトライン設定、見出しスタイルの適用、目次・索引の作成、アウトライン表示の活用、Excel等との連携など
	事後学習	これらのツールは論文やレポートに極めて有用であり、確実に身に着くよう復習する
12	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編4】Wordによる論文の作成（他の授業等で作成した論文・レポートを基に再構成も可）：Wordの論文作成に有効なツール（アウトライン表示、見出しスタイル、目次、脚注、文献管理など）を活用し論文を作成参考としてLaTeXによる論文作成の紹介
	事後学習	Wordのこれらの機能は社会人になった後も極めて有用であり、繰り返し実行し自分のものにする
13	事前学習	基礎編の関連事項を整理し応用編に備える
	授業内容	【実習応用編5】PowerPointの利用実習：口頭発表用（読ませるのではなく見せる）スライドの要件を踏まえ実習（マスター表示の活用、図表の挿入、アニメーション・画面切り替えの設定、自動プレゼン、ノート・配布資料の作成等）（コンピュータ・リテラシーBの重点項目）
	事後学習	フォントの種類やサイズ、スライド1枚あたりの行数など口頭発表用スライド（見せるスライド）の要件を復習
14	事前学習	自らの問題意識、主張を明確にし発表のリハーサルを行う
	授業内容	【模擬発表会】作成した論文のポイントについてPowerPointのスライドショーを実行しながら各自5～10分程度の口頭発表を行う（発表時間は履修人数により調整）。発表後、質疑応答、相互評価を行う。
	事後学習	質疑応答や相互評価の指摘をふまえ発表資料を改訂
15	事前学習	AIやIoTなど最新のトピックについて情報収集し課題を確認する
	授業内容	【総まとめ講義】論文の技法などアカデミックスキルの再確認と実習のポイントの整理、ICT関連の最新動向の紹介
	事後学習	今後はアカデミックスキルとの関連を意識しつつコンピュータやネットワークなどの情報技術を活用することが重要

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	平井 智尚	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	情報化社会における基本的なスキル・知識としてのコンピュータ・リテラシーを実習により習得していきます。			
授業目的・到達目標	コンピュータの利用方法を覚えるだけでなく、実際に各場面で活用できるようになることを目的とします。オフィスソフトなどを活用して、大学生活で必須となるレジュメ、レポート、プレゼンテーション資料、ならびにビジネスの場面における各種書類等を作成できるようになることが目標です。			
履修条件	特段の履修条件はありませんが、カリキュラムの配置上、新入生の履修を念頭に置いています。			
授業方法	パソコンが設置された教室でコンピュータを利用した演習を行います。課題に際しては時事的な話題や問題を素材として扱うことが多いです。各回の授業内容は進行に応じて適宜調整・変更します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	期末課題（50%）授業で習得したコンピュータ・リテラシーの習熟度を確認する 受講態度、提出物等（50%）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	講義中に適宜紹介します。			
オフィスアワー	質問は随時受け付けます。連絡先（メールアドレス）は初回の授業の際にお伝えします。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	パソコンやオフィスソフトに日頃から慣れ親しんでおく
	授業内容	ガイダンス：コンピュータ・リテラシーについて
	事後学習	次回以降実習に取り掛かるのでつつがなく作業に臨めるよう準備しておく
2	事前学習	端末の仕様に際して必要となるアカウントなどを確認しておく
	授業内容	Microsoft Wordの活用（1）レジュメ作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
3	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Wordの活用（2）レポート作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
4	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Wordの活用（3）図表を盛り込んだ資料の作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する

5	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Excelの活用（1）情報入力の基本と表の作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
6	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Excelの活用（2）表計算
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
7	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Excelの活用（3）様々なグラフの作成
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
8	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	画像編集（1）ペイントを利用した簡易編集
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
9	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	画像編集（2）専用ソフトを利用した画像編集
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
10	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Power Pointの活用（1）パワーポイントの特性
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
11	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Power Pointの活用（2）画面効果とアニメーション
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
12	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	Microsoft Power Pointの活用（3）Power Pointを使用したプレゼンテーション
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
13	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	報告資料の作成（1）口頭報告を想定しながらWordで配布資料を作成する
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
14	事前学習	前回の授業内容をふまえて操作やソフトの扱いを確認しておく
	授業内容	報告資料の作成（2）口頭報告を想定しながらPower Pointで配布資料を作成する
	事後学習	授業内で提示された課題を期限内に提出できるよう作業を遂行する
15	事前学習	これまでの授業内容の全般を復習しておく
	授業内容	授業のまとめ：コンピュータ・リテラシーと実践
	事後学習	実際のレポートや口頭報告の場面で習得したリテラシーを活用していく

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	水野 正	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	コンピュータにインストールされている基本的なソフトウェアの操作方法ができるようになることを演習方式で学ぶ講義である。 ワープロソフトを利用して単純な文章を完成させるだけでなく、画像やエクセルデータを貼り付けるような編集ができるようになることや、表計算ソフトを十分に使いこなせるようにするための演習形式の講義である。			
授業目的・到達目標	情報は紙ベースの時代から電子データの時代へと変化している。そこで、ワード、エクセルによる電子データの作成と処理方法を習得することを目的とする。各ソフトウェアを十分に使いこなせること、さらに効果的に利用できるようになることを目標とする。 特にマイクロソフトエクセルを使いこなせるようになることを目標とする。			
履修条件	演習科目であるから、毎回出席して、説明に従ってソフトウェアを操作することが望ましい。			
授業方法	配布するデジタルデータを利用して、その処理を説明する方法で進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価	100%	学期末に習熟度を考査するために課題の処理を行ってもらいその評価と、受講態度を併せて評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	FOM出版	よくわかる Word 2013 ドリル	FOM株式会社
	2013年	FOM出版	よくわかる Excel 2013 ドリル	FOM株式会社
	備考			
参考書	市販の様々なテキストがあるが、ビジネス系パソコン雑誌の特集記事の方がより実践的な処理方法を記述しているのでそれらを入手して利用すること。			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	タッチキーで文字入力ができるか確認すること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	タッチキーで文字入力ができるように練習すること。
2	事前学習	演習問題を自ら完成させてみるようにすること。
	授業内容	マイクロソフトワードの基本操作 1
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。 一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
3	事前学習	前回の続きとなるので、続きとなる演習問題を自ら完成させるようにすること。
	授業内容	マイクロソフトワードの基本操作 2
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。 一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
4	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトワードの応用操作 1
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。 一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。

5	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトワードの応用操作 2
	事後学習	自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
6	事前学習	演習問題を自ら完成させてみるようにすること。 算数の計算と代数計算や、累計、割合の意味を復習すること。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 1
	事後学習	代数計算など、自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
7	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 2
	事後学習	代数計算など、自らができなかった部分を十分理解できたか、再度、演習問題を完成させてみる。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
8	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 3 関数の利用
	事後学習	関数の使用方法を十分に理解できたか、演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
9	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの基本操作 4 グラフの作成
	事後学習	グラフを作成するための要素がなんであるか理解すること。演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
10	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 1 関数計算の応用
	事後学習	代数計算や関数の使用方法を十分に理解できたか、演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
11	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 2 関数計算の応用
	事後学習	台数計算や関数の使用方法を十分に理解できたか、演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
12	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 3 グラフの作成と応用
	事後学習	グラフを作成するための要素がなんであるか理解すること。演習問題を再度行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
13	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 4
	事後学習	必要なデータが抽出できるか、再度、演習問題を行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
14	事前学習	前回の続きとなるが、似たような演習問題が続く場合は、前の講義の終了の際に、講義で説明する演習問題を事前に伝えるので、その演習問題を自ら完成させるようにする。
	授業内容	マイクロソフトエクセルの応用操作 5 まとめ
	事後学習	必要な作業ができるか、再度、演習問題を行い確認すること。一つの作業をするために、複数の操作方法があるので、自らが予習で行った方法と違いがある場合、違いを理解すること。
15	事前学習	今学期で行った内容を復習すること。
	授業内容	習熟度チェック
	事後学習	どの程度できたかを自チェックし、できなかった部分を再度学習すること。

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	毛利 康秀	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、コンピュータ（Windows）の基本的な操作を修得したのち、Wordを用いた文書の作成、Excelを用いたデータ処理、WordとExcelの連携、PowerPointを用いたプレゼンテーション資料の作成、タイピングの練習、インターネットを用いた情報収集や電子メールの利用などの課題を行い、これらの操作方法を習得し、関連する課題が作成出来るようになることを目的とする。				
授業目的・到達目標	Wordを用いた文書の作成では、実用的な文書の作成、ビジネス文書の作成、インターネット上の情報を取り込んだ文書の作成等を行い、これらの課題が作成出来るようになる。Excelを用いたデータ処理では、四則演算、簡単な関数、IF関数の使いこなし、グラフの作成等を行い、これらの課題が作成出来るようになる。PowerPointを用いた資料の作成では、プレゼンテーションとは何かを理解した上で、発表テーマに即した構成・情報の収集と取り込み・配置、アニメーション機能の設定などを行い、これらの課題が作成出来るようになる。課題の作成を通して、コンピュータならびにインターネットの基本的な利用法を習得することが出来る。				
履修条件	初心者も十分に履修可能。各自でスキル向上に努めること。				
授業方法	PC教室にてコンピュータ（Windows）を利用した演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行わない。平常点で評価を行う。	
	平常評価		100%	授業中に作成した課題の成果、ならびに出席状況によって評価する。やむを得ず欠席した場合は、後日プリントにて自習に努めること。（課題提出で加点あり。）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しない。毎週プリントを配布する。			
参考書	必要に応じて、適宜紹介する。				
オフィスアワー	月曜日 6 限、授業の前後の時間帯。まずメールで問い合わせること。mohri-y@chs.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校時代にコンピュータ関係の授業で学習した内容を再確認する。（60分）
	授業内容	ガイダンス 授業内容の説明
	事後学習	Windows/パソコンの使用方法を再確認し、必要に応じて図書館のPCルーム等で実際に操作を行う。（60分）
2	事前学習	Windows/パソコンの使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	コンピュータの基本 インターネット・電子メール
	事後学習	Windows/パソコンの使用方法を再確認し、必要に応じて図書館のPCルーム等で実際に操作を行う。（60分）
3	事前学習	Microsoft社のビジネスアプリ「Word」の使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	Wordの基本的な操作（1）基本的な操作の確認
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
4	事前学習	ビジネス文書とは何かについて確認しておく。（60分）
	授業内容	Wordの基本的な操作（2）ビジネス文書の作成
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）

5	事前学習	Wordのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Wordの様々な機能を使う（1）画像の取り込みと加工
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
6	事前学習	Wordのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Wordの様々な機能を使う（2）スクリーンショットの活用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
7	事前学習	タイピングとは何かについてインターネットで検索しておく。（60分）
	授業内容	タイピングの練習
	事後学習	タイピングソフトを活用して習慣的に練習を行い、タッチタイピングが出来るようにする。（60分）
8	事前学習	Microsoft社のビジネスアプリ「Excel」の使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	Excelの基本的な操作（1）基本的な操作の確認
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
9	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの基本的な操作（2）算術演算子の活用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
10	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの様々な機能を使う（1）関数の活用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
11	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの様々な機能を使う（2）関数の応用、グラフの作成
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
12	事前学習	Excelのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	Excelの様々な機能を使う（3）計算式の組み合わせ、グラフの応用
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
13	事前学習	Microsoft社のビジネスアプリ「PowerPoint」の使用方法について確認しておく。（60分）
	授業内容	PowerPointを用いた課題作成（1）プレゼンテーションとは何か
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
14	事前学習	PowerPointのメニュー欄をひととおり確認し、どのような機能があるのかを把握しておく。（60分）
	授業内容	PowerPointを用いた課題作成（2）プレゼンテーション課題の作成
	事後学習	本日の課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）
15	事前学習	最終課題の内容を確認し、提出するまでの準備を整えておく。（60分）
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	最終課題作成で使用した機能を復習し、いつでも使用出来るスキルを保てるようにする。（60分）

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	山田 正雄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会は仮想通貨やソーシャルメディア、ビッグデータの利用によるマーケティング、サイバー戦争そして2045年問題など政治や経済、教育、家庭生活など多様な扇面で利便性と危険を併せ持つ課題を抱える。 本授業はこのような高度情報化社会で求められる情報通信技術や情報倫理への理解と情報活用能力の醸成に向けてPCを利用した講義・実習を行う。							
授業目的・到達目標	1. ネットワーク・コンピューティングへの理解やMicrosoft WordやExcel、PowerPoint等の利用技術を深める。 2. 各種データの収集・分析を通じて問題の発見・考察・解決方法について複眼的思考と技法を獲得する。 3. 情報発信能力を高める。 （適切なデータの援用による明快な資料の作成とそれを含めたプレゼンテーション能力を高める）							
履修条件	情報処理の基本的な素養（コンピュータやネットワーク、経営情報、統計処理等々への理解）がほとんど無い学生を前提とする。							
授業方法	PC教室で配付資料（デジタルデータ、必要に応じてアナログデータ）による講義と実習を行う。 課題は基本課題と復習課題の2系統を用意しており、事前学習と事後学習で適宜振り分けて理解を深める。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		0%					
	平常評価		100%		授業への参加度（50%）と複数の提出課題等（50%）によって行う。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	備考		テキストは使用しない。 授業の際に資料（デジタルデータ、必要に応じてアナログデータ）を配付・提示する。					
参考書	レイ・カーツワイル 『シンギュラリティは近い（エッセンス版）人類が生命を超越するとき』 NHK出版 2016 宮下 紘 『ビッグデータの支配とプライバシー危機』 集英社新書 2017							
オフィスアワー	原則的には火曜日・13時まで、または16時20分以降・学内某所としますが、ご希望によって日時・場所等を相談しましょう。 必ず事前に電子メールでアポイントメントを取って下さい。 → → → 【yamada.masao@nihon-u.ac.jp】 授業や就職活動、進学等キャンパスライフ全般についてご相談に応じます。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・メディア教育センターに設置されているPCの利用方法に慣れておく。
	授業内容	・授業ガイダンス 法学部情報システム（COLNet）の利用方法・講義計画・課題の入手と提出方法・成績評価等について
	事後学習	・日本大学法学部のHPより初期パスワードの変更作業を行う。
2	事前学習	・リモートアクセスにチャレンジして【課題01¥課題1.xlsx】を閲覧しExcelの画面構成の理解に努める。 ・2回目の授業以降はポータルサイトから事前学習の内容について連絡を致します。
	授業内容	・各種デジタルデータの保存と管理・再利用、ネットワーク・コンピューティングと情報倫理 ・Microsoft WordやExcelの入門
	事後学習	・リモートアクセスで【課題1.xlsx】を指定フォルダへ提出する。
3	事前学習	・リモートアクセスで【復習01¥ご案内状.docx】を閲覧しWordの画面構成の理解に努める。
	授業内容	・リポート作成法（コピペと言われないレポートの作成方法） ・フォント、インデント、脚注（参考文献・参考資料・参考URL）、ページ設定、ページ番号等々。
	事後学習	・Microsoft Wordのページ設定（余白・字数・行数の調整）について理解しておく。 ・【ショートカット・キー一覧.pdf】を配布するので概観しておく。
4	事前学習	・配付資料から指定した5つのショートカット・キーを学習しておく。
	授業内容	Microsoft Wordの基本操作 2 (Desk Top Publishing 1) ・各種技法を採り入れたフライヤーの作成 ・高度情報化社会：インターネットの仕組みとビジネスモデル
	事後学習	・指定した5つ以外の利用度の高いショートカット・キーもマスターする。 ・リモートアクセスで【ご案内状.docx】を指定フォルダへ提出する。

5	事前学習	・リモートアクセスで【課題01¥受講者数統計.xlsx】を閲覧しExcelの画面構成の理解に努める。
	授業内容	Microsoft Excelの基本操作1 ・表計算と編集（データ入力と合計・平均関数）、PCの構造と機能、保存メディアの種類と機能
	事後学習	・リモートアクセスで【受講者数統計.xlsx】を指定フォルダへ提出する。 ・復習課題でMicrosoft Excelの合計・平均関数とオートフィル機能を復習しておく。
6	事前学習	・リモートアクセスで【復習01¥ (5) グラフとオートシェイプ.xlsx】を閲覧し理解できる範囲で各種グラフを作成しておく。
	授業内容	Microsoft Excelの基本操作2 ・（各種グラフ作成、基本的関数の利用） ・HP閲覧（検索エンジンの利用とデータ収集）
	事後学習	・リモートアクセスで【復習02¥ (7) IF評価A.xlsx】の予習結果を指定フォルダへ提出する。
7	事前学習	・官公庁や業界団体、任意の企業のHPからExcelデータ等をダウンロードしておく。
	授業内容	Microsoft Excelの応用操作1 ・（各種グラフ、DB関数） ・HP閲覧（EDINETや企業・自治体のデータ収集）
	事後学習	・リモートアクセスで【復習02¥ (7) IF評価B.xlsx】を指定フォルダへ提出する。 ・経済・経営・会計・ICT関連の「調査課題」を配布するので概観しておく。
8	事前学習	・各企業のHPや金融庁EDINETから任意の企業の有価証券報告書を閲覧し必要なデータをExcelファイルに保存しておく。
	授業内容	Microsoft Excelの応用操作2（経営トレンド分析） ・電子メールの利用（Excelファイルに読み取りパスワード設定を付けて添付して送信する）
	事後学習	・指定課題で復習してリモートアクセスで当該フォルダにアップしておく。 ・【復習14¥0. ABC分析.xlsx】に読み取りパスワードを付けて電子メールに添付して提出する。
9	事前学習	・日本社会学会等、任意の社会科学系の学会のHPより論文投稿規定を閲覧し、理解しておくこと。 ・リモートアクセスで【課題11Word & Excel】を閲覧し理解に努める。
	授業内容	・ABC分析について ・レポート作成（ExcelデータのWordへの転用） ・社会科学系論文・レポートの作成方法について ・ファイルサーバの利用と管理
	事後学習	・論文・レポートの作成要件・形式について復習しておく。 ・プレゼンのテーマについて調査・決定しておく。
10	事前学習	・プレゼン・テーマのアウトラインをWordに記述して指定フォルダにアップロードしておく。
	授業内容	PowerPointによるプレゼン資料の作成1 （アウトライン重視の効果的なプレゼン資料の作成）
	事後学習	各自のPowerPoint課題の作成作業を進めておく。
11	事前学習	・新たなデータを加えて各自のPowerPoint課題の作成作業を進めておく。
	授業内容	PowerPointによるプレゼン資料の作成2 （聴取者にマッチした訴求度の高いプレゼン資料の作成、評価の視点）
	事後学習	・各自のPowerPoint課題の作成作業を更に進めておく。
12	事前学習	・プレゼンテーションについて解説した指定教材を読み込んでおくこと。
	授業内容	PowerPointによるプレゼンテーション1 （学生によるプレゼンテーション1）
	事後学習	・プレゼンテーションの内容を評価して評価集計表に記入しておく。
13	事前学習	・プレゼンテーションの評価基準をWordにまとめリモートアクセスで当該フォルダにアップしておく。
	授業内容	PowerPointによるプレゼンテーション2 （学生によるプレゼンテーション2）
	事後学習	・プレゼンテーションの内容を評価して評価集計表に纏めておく。 ・官公庁や業界団体、任意の企業のHPからExcelデータ等をダウンロードしておく。 ・リモートアクセスで【復習11¥ 5 逆トーナメントデータ分析.xlsx】を閲覧し理解できる範囲で作業を進めておく。
14	事前学習	・官公庁HPから『各種白書』や業界団体、任意の企業のHPから業績Excelデータ等をダウンロードしておく。
	授業内容	Excelによるスモールデータの分析 （ピボットテーブルによるデータの分析と解釈）
	事後学習	・分析結果を再検討して更に異なる視点で検討した結果をWordにまとめておく。 ・Web上で「HTMLタグ」について5個以上の基本的なものについて理解しておく。
15	事前学習	・10行のHTMLを完成させておく。
	授業内容	・スクリプティング入門（HTML入門） ・講義全体の復習・スクリプティング入門（HTML入門）
	事後学習	☆「期末課題」を完成後に指定期日までに当該フォルダへアップロードする。

科目名	コンピュータ・リテラシーB	担当者	鈴木 正章	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータは、情報の収集、情報の制作やそれらの伝達などのツールとして現代社会において不可欠な機器である。本講義では、コンピュータのアプリケーションを利用して、文書作成，データの解析や処理および伝達やプレゼンテーション能力を養成する。				
授業目的・到達目標	情報の収集・分析・解釈・創造・編集・表現・伝達および理解などに関わる情報活用能力の育成を第一の目的とし、コンピュータ・インターネット・各種アプリケーションソフト等のスキルを身につける。出題された課題を、与えられた条件で完成させる事ができる。				
履修条件	毎時、出席できること。機器台数により、５０名を限度とする。コンピュータ・ネットワーク初心者可。				
授業方法	課題解決の実習形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行わない。	
	平常評価		100%	課題を提出と併せて総合評価とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	実教出版		30時間でマスター Word&Excel2013（Windows8対応）	実教出版編集部
	備考	なし			
参考書	講義時に随時紹介する。				
オフィスアワー	授業の前後とする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のにWindowsの基礎についてあらかじめ熟読しておくこと。
	授業内容	情報とメディアの活用法
	事後学習	学内パソコン使用について習熟すること。
2	事前学習	教科書のInternet Explorerのについて熟読しておくこと。
	授業内容	学内ネットワークの活用 クラウドの活用
	事後学習	様々なホームページを開き、学内メールも使ってみる。
3	事前学習	教科書のWord2013の基礎的な使い方について熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（1）
	事後学習	Word2013の画面構成の理解と文字入力に習熟しておくこと。
4	事前学習	教科書の文書の作成について熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（2）
	事後学習	文字入力と文書の書式設定に習熟しておくこと。

5	事前学習	教科書の編集機能について熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（3）
	事後学習	編集機能を使った様々な文書を作成すること。
6	事前学習	教科書の画像・テキストボックスの挿入を熟読しておくこと。
	授業内容	Wordを活用した分かりやすく正確に伝える文書作成（構造的テキストデザイン法）（4）
	事後学習	画像やテキストボックスを挿入した文章の作成に慣れておくこと。
7	事前学習	教科書のExcel2013の画面構成とそれらの機能について熟読し理解しておくこと。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（1）
	事後学習	Excel2013を使って表を作成出来るようにする。
8	事前学習	教科書のExcel2013の様々な書式設定を理解しておくこと。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（2）
	事後学習	数式を入力と様々な書式設定をして表の作成する。
9	事前学習	教科書のグラフの挿入の仕方を熟読および理解しておくこと
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（3）
	事後学習	表データから様々なグラフを作成する。
10	事前学習	教科書のグラフの書式設定変更の仕方を熟読および理解しておくこと。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（4）
	事後学習	表データからグラフを作成し、グラフの種類や数値軸目盛などの書式設定の変更ができるようにしておく。
11	事前学習	教科書を通して、Excelで活用する関数を調べておく。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（5）
	事後学習	Excelの関数を用いて様々な表データを作成する。
12	事前学習	教科書を通して、Excelで活用する関数を調べておく。
	授業内容	Excelを活用したデータの集計・分析・表現（6）
	事後学習	Excelの関数を用いて様々な表データを作成する。
13	事前学習	プレゼンテーションの内容とその構成について計画をたてる。
	授業内容	Power Pointを活用したプレゼンテーション（1）
	事後学習	Power Pointの画面構成との役割について理解しておくこと。
14	事前学習	Power Pointの機能についてあらかじめしらべておく。
	授業内容	Power Point活用したプレゼンテーション（2）
	事後学習	ワードアート、Smart Art、図の挿入やアニメーション効果を利用したプレゼンテーションの作成。
15	事前学習	Power Pointの機能についてあらかじめしらべておく。
	授業内容	Power Point活用したプレゼンテーション（3）
	事後学習	動画を挿入したプレゼンテーションの作成。

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	新谷 真人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参 考 書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	月曜日10:40～12:00			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日 2 限目			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	岩崎 正洋	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	月曜日12：10～13：00 研究室（4号館2階425）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	岩淵 美克	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	12：30～14：30 特に予約の必要はありませんが、急用等がある場合には閉室とします。必要に応じてHPにあるメールアドレスで、在室の確認をしてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	于 晓飛	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜16：10やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【新聞】	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】 1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法職】	担当者	大久保 拓也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜5時限。事前にメールでアポイントメントをとること オフィス 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	大熊 圭子	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日 18:00~19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること。 okuma.keiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【経営法】	担当者	大杉 麻美	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	金曜日2限。事前にアポイントをとってから訪問すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法職】	担当者	尾田 清貴	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	2限目に研究室で実施する。 ただし、メールで事前予約することが望ましい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【経営法】	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	加藤 暁子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜 16時30分～17時30分 研究室にて。なるべく事前にメール(以下のアドレス宛)でアポイントを採ることを勧める。メールでも質問等を受け付ける。kato.akiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	加藤 雅之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜日16：20～17：00、研究室で講義内容について質問を受け付ける。事前にアポイントをとること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	金澤 良弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜日16：30～17：30（7号館，742研究室）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	神尾 真知子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	月曜日12時30分～13時（事前にメールでアポイントを取る） 研究室（4号館4階444） kamio.machiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	黒川 功	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	金曜14時40分～16時10分。事前にアポイントメントを取り、相談内容を知らせた上で訪問してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【経営法】	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定する。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	柑本 英雄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取る)			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	児玉 直起	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応します。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	孔 義植	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	月曜日の12時20分～13：00（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室：9号館404室 メール：kong.eui.sik@law.nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	齋藤 史範	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。研究室（4号館1階412） saito.fuminori@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取ること）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	舘野 正生	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	澤田 康広	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜日及び水曜日 12：10 に質問を受け付けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【新聞】	担当者	設楽 裕文	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日（10：30）授業講堂ないしその周辺において、授業に関係する事項について、おこなう（最大で60分）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【経営法】	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日 12：20～12：50。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法職】	担当者	清水 恵介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	当該授業に関する質問を、授業期間中の火曜日12時～13時に研究室で受け付ける。ただし、オフィスアワーを利用した質問を希望する学生は、ガイダンスの際に教示するメールアドレス宛てに、質問の概要及び希望日を事前に通知し、希望者の競合等により対応不能である旨の回答がない場合であることを条件とする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【経営法】	担当者	杉本 純子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜日15:00～16:00（事前にメールでアポイントメントをとること） 研究室（4号館1階417） sugimoto.junko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【新聞】	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【経営法】	担当者	友岡 史仁	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日14：30/木曜日21：10 都度質問を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	中村 進	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	金曜日16:20~17:50（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館2階206号）nakamura.susumu00@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	野村 和彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）にありますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	長谷川 貞之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	木曜日・12時30分～50分、研究室（4号館2階443）。事前にアポイントを取ること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	福木 滋久	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【公共政策】	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【新聞】	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【新聞】	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館 7 F 1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。 （※相談の上、別の日時に設定することもあります。）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	矢野 聡	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	木、金曜日11時30分から13時前まで					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	山村 りつ	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【政治経済】	担当者	吉田 純平	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通り行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席したものが評価対象となる。①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する。					
オフィスアワー	水曜日12：10～13：00 研究室・メールアドレスは授業内で連絡します。 授業内容のほか、法科大学院進学について等					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する。
	授業内容	大学を知ろう。
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く。
2	事前学習	予習動画を視聴する。
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう。予習動画を題材として。
	事後学習	自主創造の精神を確認する。
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる。
	授業内容	大学生になるために。
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む。
4	事前学習	主権者の役割について調べる。
	授業内容	有権者としての自覚をもとう。
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む。

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する。
	授業内容	図書館を利用してみよう。
	事後学習	他大学のOPACを利用する。
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる。
	授業内容	情報を収集・整理してみよう。
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む。
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる。
	授業内容	論理的思考を身につけよう。
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む。
8	事前学習	新聞の社説を読む。
	授業内容	論説を要約してみよう。
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む。
9	事前学習	文章の違いを考える。
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう。
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む。
10	事前学習	著作権の重要性を考える。
	授業内容	レポートを書いてみよう。
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する。教科書第10章末の課題に取り組む。
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える。
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう。
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む。
12	事前学習	興味のあるテーマをいくつか提案する。
	授業内容	ディスカッションをしてみよう。
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む。 興味のあるテーマでディスカッションする。
13	事前学習	興味のあるテーマをいくつか提案する。
	授業内容	ディベートをしてみよう。
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む。 興味あるテーマでディベートする。
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる。
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう。
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する。 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する。
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう。
	事後学習	後学期の目標を設定する。

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【新聞】	担当者	吉原 達也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	金曜日12：10～13：00（事前にメールでアポイントメントをとること。） 研究室（本館9階1908）yoshihara.tatsuya@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅰ【法律】	担当者	若林 広二	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜 18：30～19：30 木曜 15：00～16：10、18:00～19:00 金曜 19：00～20：00 （予約メール）wakabayashi.koji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学OPACを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	新谷 真人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	月曜日10:40～12:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日 2 限目			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	岩崎 正洋	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	月曜日12：10～13：00 研究室（4号館2階425）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評　／　テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	岩 淵 美 克	部 別	第一部	期 間	前期	単 位 数	2
-----	----------	-----	---------	-----	-----	-----	----	-------	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	12：30～14：30 特に予約の必要はありませんが、急用等がある場合には閉室とします。必要に応じてHPにあるメールアドレスで、在室の確認をしてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	于 晓飛	部 別	第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜16：10やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【新聞】	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】 1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法職】	担当者	大久保 拓也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜 5 時限。事前にメールでアポイントメントをとること オフィス 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	大熊 圭子	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜日 18:00~19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること。 okuma.keiko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【経営法】	担当者	大杉 麻美	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参 考 書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	金曜日2限。事前にアポイントをとってから訪問すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法職】	担当者	尾田 清貴	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	2限目に研究室で実施する。 ただし、メールで事前予約することが望ましい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【経営法】	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	加藤 暁子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜 16時30分～17時30分 研究室にて。なるべく事前にメール(以下のアドレス宛)でアポイントを採ることを勧める。メールでも質問等を受け付ける。kato.akiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	加藤 雅之	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参 考 書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜日16：20～17：00、研究室で講義内容について質問を受け付ける。事前にアポイントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	金澤 良弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜日16：30～17：30（7号館，742研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	神尾 真知子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	月曜日12時30分～13時（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室（4号館4階444） kamio.machiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評　／　テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	黒川 功	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	金曜14時40分～16時10分。事前にアポイントメントを取り、相談内容を知らせた上で訪問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【経営法】	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】 1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定する。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	柑本 英雄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取る事)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようになしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	児玉 直起	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応します。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	孔 義植	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	月曜日の12時20分～13：00（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室：9号館404室 メール：kong.eui.sik@law.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	齋藤 史範	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参 考 書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。研究室（4号館1階412）saito.fuminori@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取ること）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	澤田 康広	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜日及び水曜日 12：10 に質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【新聞】	担当者	設楽 裕文	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日（10：30）授業講堂ないしその周辺において、授業に関係する事項について、おこなう（最大で60分）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【経営法】	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日12：20～12：50。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法職】	担当者	清水 恵介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	当該授業に関する質問を、授業期間中の火曜日12時～13時に研究室で受け付ける。ただし、オフィスアワーを利用した質問を希望する学生は、ガイダンスの際に教示するメールアドレス宛てに、質問の概要及び希望日を事前に通知し、希望者の競合等により対応不能である旨の回答がない場合であることを条件とする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【経営法】	担当者	杉本 純子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜日15:00～16:00（事前にメールでアポイントメントをとること） 研究室（4号館1階417） sugimoto.junko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	舘野 正生	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【新聞】	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【経営法】	担当者	友岡 史仁	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	火曜日14：30/木曜日21：10都度質問を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	中村 進	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	金曜日16:20~17:50（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館2階206号）nakamura.susumu00@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	野村 和彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）にありますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	長谷川 貞之	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	木曜日・12時30分～50分、研究室（4号館2階443）。事前にアポイントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	福木 滋久	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【公共政策】	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【新聞】	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【新聞】	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行に行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要					
授業目的・到達目標					
履修条件					
授業方法					
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参 考 書					
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館 7 F 1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
2	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
3	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
4	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

5	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
6	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
7	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
8	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
9	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
10	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
11	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
12	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
13	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
14	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
15	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	矢野 聡	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	木、金曜日11時30分から13時前まで			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評　／　テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	山村 りつ	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を導く。 【到達目標】1 学ぶ意味に気付くことができる。 2 主体的に学ぶ喜びを意識することができる。 3 積極的に参加する姿勢を持つことができる。 4 日本大学と所属学部について説明することができる。					
履修条件	なし					
授業方法	授業方法 参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通りに行うが、教室、図書館の利用状況、また授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）		
	備考					
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する					
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取る事) 研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を予習する
	授業内容	大学を知ろう
	事後学習	神田三崎町キャンパスを実際に歩く
2	事前学習	予習動画を視聴する
	授業内容	日本大学の歴史を訪ねてみよう 予習動画を教材として
	事後学習	自主創造の精神を確認する
3	事前学習	高校と大学の違いを調べる
	授業内容	大学生になるために
	事後学習	教科書第4章末の課題に取り組む
4	事前学習	主権者の役割について調べる
	授業内容	有権者としての自覚をもとう
	事後学習	教科書第5章末の課題に取り組む

5	事前学習	図書館の入館方法を確認する
	授業内容	図書館を利用してみよう
	事後学習	他大学O P A Cを利用する
6	事前学習	情報リテラシーの概念を調べる
	授業内容	情報を収集・整理してみよう
	事後学習	教科書第6章末の課題に取り組む
7	事前学習	批判的思考の概念を調べる
	授業内容	論理的思考を身につけよう
	事後学習	教科書第7章末の課題に取り組む
8	事前学習	新聞の社説を読む
	授業内容	論説を要約してみよう
	事後学習	教科書第8章末の課題に取り組む
9	事前学習	文章の違いを考える
	授業内容	論文と説明文の違いを理解しよう
	事後学習	教科書第9章末の課題に取り組む
10	事前学習	著作権の重要性を考える
	授業内容	レポートを書いてみよう
	事後学習	参考文献の引用、表記方法を確認する 教科書第10章末の課題に取り組む
11	事前学習	プレゼンテーションの役割を考える
	授業内容	プレゼンテーションをしてみよう
	事後学習	教科書第11章末の課題に取り組む
12	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディスカッションをしてみよう
	事後学習	教科書第12章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディスカッションをする
13	事前学習	興味あるテーマをいくつか提案する
	授業内容	ディベートをしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む 興味あるテーマでディベートをする
14	事前学習	キャリア・デザインの概念を調べる
	授業内容	自分のキャリアをデザインしてみよう
	事後学習	教科書第13章末の課題に取り組む
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する 後学期のグループ討論のテーマ案を準備する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう ※後学期のテーマについて準備しよう
	事後学習	後学期の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【政治経済】	担当者	吉田 純平	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	北樹出版		『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考				
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する				
オフィスアワー	水曜日12：10～13：00 研究室・メールアドレスは授業内で連絡します。 授業内容のほか、法科大学院進学について等				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【新聞】	担当者	吉原 達也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日）、21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	金曜日12：10～13：00（事前にメールでアポイントメントをとること。） 研究室（本館9階1908）yoshihara.tatsuya@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	自主創造の基礎Ⅱ【法律】	担当者	若林 広二	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学憲章では、以下のように定めており、この憲章を具体化する第一歩が、この自主創造の基礎です。 【日本大学憲章】日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】「自主創造の基礎Ⅰ」で身に付けた学修スキルを活用し、自主創造型パーソンに求められる「社会人」としての基本的知識や技能・態度を身につける。 【到達目標】1 リーダーシップを発揮できる。 2 多様な考えを認めることができる。 3 他者の意見を傾聴できる。 4 他者の考えを正しく捉えて理解できる。 5 協働で情報収集することができる。 6 解決すべき課題を協働で見出すことができる。 7 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 8 解決方法を協働で検討し、提案することができる。			
履修条件	なし			
授業方法	参加型（能動的）学習方法をとる。原則として下記の授業区分通行を行うが、授業の進捗具合によって区分を入れ替えることがある。10月14日（日），21日（日）に「ワールド・カフェ」が開催される。法職課程在籍者は、例年秋に開催される法律討論会への出席を平常評価で考慮する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	2/3以上出席した者が評価対象となる ①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度を勘案する）50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	北樹出版	『2018年度版 自主創造の基礎』（日本大学法学部編）	
	備考			
参考書	『“自主創造”のためのLearning Guide 2018』 その他授業中に指示する			
オフィスアワー	水曜 18：30～19：30 木曜 15：00～16：10、18:00～19:00 金曜 19：00～20：00 （予約メール）wakabayashi.koji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
	授業内容	テーマA（前学期最後の授業で指定）についての検討ー背景説明・論点の抽出・検討
	事後学習	抽出された論点について整理をする
2	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
3	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
4	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマAについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する

5	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（１）
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
6	事前学習	会場・日時・チーム番号・持ち物などの確認。
	授業内容	日本大学ワールド・カフェ（２）※予備日
	事後学習	当日配付されたレポート課題の作成やアンケートへの回答など
7	事前学習	当日配付されたレポート課題の見直し
	授業内容	日本大学ワールド・カフェの振り返り
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
8	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる 興味関心のあるテーマ候補を準備する
	授業内容	教員・学生による講評 / テーマBの選定
	事後学習	書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する
9	事前学習	自分の論点整理をまとめる
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの討論
	事後学習	グループの他のメンバーの論点整理を評価する
10	事前学習	パワポスライド原案を作成する
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとのまとめ
	事後学習	パワポスライド完成版を点検する
11	事前学習	発表リハーサル
	授業内容	テーマBについての検討ーグループごとの発表
	事後学習	次回発表に向けた反省点、課題を検討する
12	事前学習	前回発表の反省点、課題をまとめる
	授業内容	教員・学生による講評
	事後学習	テーマA Bの発表を振り返る
13	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（１）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
14	事前学習	小論文の文字数を確認する 書籍・新聞・雑誌などで関連情報を収集する 参考文献の引用、表記方法を確認する。
	授業内容	テーマA Bで取り上げられた論点について小論文を書いてみよう（２）
	事後学習	参考文献の引用、表記方法が適切であったか確認する。
15	事前学習	自主創造の基礎Ⅱの授業目的、到達目標を確認する
	授業内容	これまでの学びを振り返ってみよう
	事後学習	年度の目標を設定する

科目名	日本国憲法	担当者	田上 雄大	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	憲法についての理解を深めるため、学説や判例に触れながら講義する。また、必要に応じて時事問題についても触れる。			
授業目的・到達目標	憲法についての基礎知識を理解し、憲法にかかわる問題に自己の意見や問題意識を持てるようにすることを目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	必要に応じてレジュメを配布し、講義形式で行う。六法持参。 学生次第で内容もフレキシブルに対応するので、シラバスと異なる可能性もある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	講義で扱った内容についての理解度を論述試験をもとに評価する。詳細については講義中に適宜伝える。	
	平常評価	10%	授業態度などをもとに評価する。自主レポートは随時受け付ける。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成29	弘文堂	憲法（Next教科書シリーズ）第二版	齋藤康輝, 高畑英一郎（編集）
	備考			
参考書	講義内で必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	学内の開かれたスペースで行う。要事前連絡。 水曜日 17：50 / 19：30 に受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスを踏まえて学習予定を考える。
2	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	主権、天皇の地位と権能
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
3	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	戦争放棄
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
4	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	基本的人権とその限界
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。

5	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	法の下の平等
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
6	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	思想・良心の自由
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
7	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	信教の自由、政教分離
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
8	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	表現の自由
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
9	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	教育権
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
10	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	参政権
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
11	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	労働基本権、身体的自由権
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
12	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	立法
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
13	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	司法
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
14	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	行政
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
15	事前学習	今までの講義を振り返っておくことが望ましい。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。

科目名	日本大学の歴史	担当者	齋藤 史範	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本大学と我が国の高等教育の歴史的展開を講義する。			
授業目的・到達目標	幕末から現代までの歴史的展開に留意しつつ、学祖山田顕義の生涯と日本大学の歴史を学ぶ。さらに日本における高等教育についても考えたい。学生の皆さんが学び、そして卒業する日本大学について、学祖山田顕義や大学の歴史について理解し、日本の高等教育と日本大学の役割について認識を深め確実なものにする。さらに授業を通じて、あらためて大学での学修の意味を再認識してもらいたい。			
履修条件	学ぶ意欲がある学生を歓迎します。無礼な方は遠慮して下さい。			
授業方法	事前に課題を示し、授業は参考プリントを配布してすすめる。適宜、Power Pointを使用して画像による理解をはかる。事後学習レポート、および課題レポートを課す。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	山田顕義と日本大学の歴史についての確かつ簡潔に説明できるか否かをみる。	
	平常評価	30%	事後学習レポート、課題レポート。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	テキストは使用しません。リーフレット（日本大学広報部）を配布します。また、日本大学のホームページ http://www.nihon-u.ac.jp/history を参考にして下さい。		
参考書	天野郁夫『大学の誕生』上・下（中公新書） 天野郁夫『高等教育の時代』上・下（中公叢書） そのほか、授業で適宜指示する。			
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。 研究室（4号館1階412） saito.fuminori@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本大学のホームページで「日本大学の歴史」をみてくる。
	授業内容	ガイダンス 授業の展開についての説明 事前学習と事後学習 課題レポート 試験 成績評価 教育制度史からみた日本大学の歴史－4つの画期
	事後学習	「教育制度史からみた日本大学の歴史」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
2	事前学習	リーフレットを参考にして山田顕義の倒幕運動についてまとめてみよう。
	授業内容	学祖山田顕義（1）－松下村塾・討幕運動 幕末の政治状況 松下村塾への入塾とその教育 山田顕義の討幕運動参加
	事後学習	「学祖山田顕義（1）－松下村塾・討幕運動」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
3	事前学習	リーフレットを参考にして明治政府と山田顕義についてまとめてみよう。
	授業内容	学祖山田顕義（2）－明治政府と山田顕義 岩倉使節団に理事官として参加 戊辰戦争・西南戦争での活躍 軍政から司法へ
	事後学習	「学祖山田顕義（2）－明治政府と山田顕義」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
4	事前学習	リーフレットを参考にして司法と教育についてまとめてみよう。
	授業内容	学祖山田顕義（3）－司法と教育 「六法」と山田顕義
	事後学習	「学祖山田顕義（3）－司法と教育」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

5	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「大学の誕生と私立法律学校」についてまとめてみよう。
	授業内容	大学の誕生と私立法律学校 新時代の人材育成 専門学校 帝国大学 私立法律学校
	事後学習	「大学の誕生と私立法律学校」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
6	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「日本法律学校の設立」についてまとめてみよう。
	授業内容	日本法律学校の設立 山田顕義が学祖と称されるわけ 山田がめざした「法律学校」 創設者たち
	事後学習	「日本法律学校の設立」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
7	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「山田顕義の死と日本法律学校の廃校問題」についてまとめてみよう。
	授業内容	山田顕義の死と日本法律学校の廃校問題 山田顕義から松岡康毅へ
	事後学習	「山田顕義の死と日本法律学校の廃校問題」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
8	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「専門学校令と「日本大学」」についてまとめてみよう。
	授業内容	専門学校令と「日本大学」
	事後学習	「専門学校令と「日本大学」」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
9	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「大学令と日本大学（1）－大学令と大学昇格」についてまとめてみよう。
	授業内容	大学令と日本大学（1）－大学令と大学昇格
	事後学習	「大学令と日本大学（1）－大学令と大学昇格」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
10	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「大学令と日本大学（2）－教育組織の整備拡充」についてまとめてみよう。
	授業内容	大学令と日本大学（2）－教育組織の整備拡充
	事後学習	「大学令と日本大学（2）－教育組織の整備拡充」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
11	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「大正時代の日本大学」についてまとめてみよう。
	授業内容	大正時代の日本大学－関東大震災後の発展
	事後学習	「大正時代の日本大学－関東大震災後の発展」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
12	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「戦時体制下の日本大学」についてまとめてみよう。
	授業内容	昭和時代の日本大学（1）－戦時体制下
	事後学習	「昭和時代の日本大学（1）－戦時体制下」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
13	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「新制大学の誕生と日本大学」についてまとめてみよう。
	授業内容	昭和時代の日本大学（2）－新制大学の誕生と日本大学
	事後学習	「昭和時代の日本大学（2）－新制大学の誕生と日本大学」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
14	事前学習	日本大学のホームページの「日本大学の歴史」を参考にして「高度経済成長期の日本大学についてまとめてみよう。
	授業内容	昭和時代の日本大学（3）－高度経済成長期
	事後学習	「昭和時代の日本大学（3）－高度経済成長期」について、授業内容を反映させたレポート（800字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
15	事前学習	日本大学のホームページを参考にして「日本大学の現在」についてまとめてみよう。
	授業内容	高等教育の時代のなかで－むすびにかえて
	事後学習	「日本大学の歴史」について、授業内容をふまえた学期末テスト対策をしよう。

Ⅱ 群

総合科目

Ⅱ 群

総合科目

科目名	アジアの歴史 I	担当者	齋藤 史範	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	清朝末期から中華民国までの中国近代史の展開を、中国ナショナリズムや康有為・梁啓超や孫文の政治思想に視点をあてて講述する。			
授業目的・到達目標	アジアの歴史—なかでも近代中国についての歴史的な展開の講義を通じて、近代中国の歴史や文化を知り、それを通して近代中国が直面した課題にどのような対応をしたか考えてもらいたい。			
履修条件	学ぶ意欲がある学生を歓迎します。無礼な方は遠慮して下さい。			
授業方法	テキストを参考にしながら、清末から中華民国の成立までの中国の歴史の基礎的な事項と歴史的展開を講義する。適宜プリントを配布するので、クリアブック（A4）、クリアフォルダ（A4）を用意して欲しい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	前期末試験。授業で取り上げたテーマについての理解と、それをふまえた近代中国についての考察を問う。	
	平常評価	20%	授業およびテキストに関するレポートを課す。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	中公新書	『中国ナショナリズム』	小野寺史郎
	2010年	岩波新書	『近代国家への模索 1894-1925』〈シリーズ中国近現代史②〉	川島真
	備考			
参考書	川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』名古屋大学出版会、2007年			
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。研究室（4号館1階412） saito.fuminori@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入して、徳治と華夷思想、朝貢冊封体制についてまとめてみよう。
	授業内容	ガイダンス・参考文献案内・成績評価について 中国の歴史と伝統中国の歴史観
	事後学習	中国前近代史を概述し、中華思想についてまとめてみよう。
2	事前学習	『中国ナショナリズム』序章の「朝貢・冊封体制」「西洋諸国との関係」をまとめてみよう。
	授業内容	東アジアの国際秩序—朝鮮と琉球—
	事後学習	東アジアの国際秩序について、朝鮮と琉球を例に具体的にまとめてみよう。
3	事前学習	配布プリントを参考にして「二つのアヘン戦争」についてまとめてみよう。
	授業内容	二つのアヘン戦争 東アジア国際秩序の動揺・崩壊
	事後学習	二つのアヘン戦争をへて、東アジアの国際秩序がどのように変容したかをまとめてみよう。
4	事前学習	配布プリントを参考にして大院君政権から日清戦争までの朝鮮の歴史についてまとめてみよう。
	授業内容	朝鮮の近代と日清戦争
	事後学習	中国・日本・朝鮮の関係を明確にして、日清戦争への途をまとめてみよう。

5	事前学習	「瓜分の危機」とは何か、概略をとらえておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p2～p26参照）
	授業内容	中国ナショナリズムの起源－「瓜分の危機」
	事後学習	日清戦争が中国にとって、どのような意味をもつか具体的にまとめてみよう。
6	事前学習	「梁啓超の試み」について概観してみよう（『中国ナショナリズム』p26～p46参照）。
	授業内容	変法派の政治思想－康有為の構想と梁啓超の試み－
	事後学習	変法派の政治思想についてまとめてみよう。
7	事前学習	「日本経由の近代」といわれる理由を知っておこう（『中国ナショナリズム』p46～p53、『近代国家への模索 1894-1925』p69～p74参照）。
	授業内容	日本経由の「近代」 清朝の新政・立憲派と革命派にとっての日本
	事後学習	当時の中国にとって日本はどのような存在であったのか、清朝、立憲派、革命派に分けてまとめてみよう。
8	事前学習	配布プリントを参考にして日露戦争から韓国併合までを概観してみよう。
	授業内容	日露戦争から韓国併合へ
	事後学習	義和団事件から日露戦争講和後までを日本、ロシア、中国、アメリカの動向に留意してまとめてみよう。
9	事前学習	革命運動について概観してみよう（『中国ナショナリズム』p54～p61参照）
	授業内容	革命運動の発展－中国同盟会の成立
	事後学習	革命派の大同団結と中国同盟会の実態についてまとめてみよう。
10	事前学習	配布プリントを参考にして孫文について知っておこう。
	授業内容	孫文の革命戦略
	事後学習	孫文の「辺境革命論」を革命派の諸戦略の中に位置づけてまとめてみよう。
11	事前学習	辛亥革命と中華民国の成立について概観してみよう（『近代国家への模索 1894-1925』p130～p140参照）。
	授業内容	辛亥革命と中華民国の成立
	事後学習	共和国の成立について、辛亥革命の展開と中華民国成立の経緯からその内実をまとめてみよう。
12	事前学習	袁世凱は「国を盗んだ大泥棒」といわれる所以を理解しよう（『近代国家への模索 1894-1925』p147～p151、p159～p162参照）。
	授業内容	袁世凱政権と第三革命
	事後学習	「袁世凱の独裁への途」と孫文の活動についてまとめてみよう。
13	事前学習	「中華民国の公定ナショナリズム」（『中国ナショナリズム』p67～p84）を読んでおこう。
	授業内容	中華民国の公定ナショナリズム
	事後学習	新国家中華民国の成立過程における3つの矛盾についてまとめてみよう。
14	事前学習	配布プリントを参考に、孫文は民主主義に価値を見出していたかを考えてみよう。
	授業内容	孫文の革命思想
	事後学習	孫文の革命思想についてまとめてみよう。
15	事前学習	配布プリントを参考に孫文と日本との関係を知っておこう。
	授業内容	孫文を支えた日本人（一部映像を紹介する）
	事後学習	孫文と日本との関係をまとめてみよう。

科目名	アジアの歴史Ⅱ	担当者	齋藤 史範	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	19世紀末の東アジアについて概述し、第一次世界大戦から人民共和国成立までの中国近代史の展開を、中国ナショナリズムに視点をあてて講述する。			
授業目的・到達目標	アジアの歴史—なかでも近代中国を中心とした東アジア諸地域についての歴史的な展開の講義を通じて、近代の東アジアの歴史や文化を知り、それを通して近代中国が直面した課題にどのような対応をしたか考えてもらいたい。			
履修条件	学ぶ意欲がある学生を歓迎します。無礼な方は遠慮して下さい。			
授業方法	教科書・プリントを参考にしながら、近代中国史の基礎的な事項と、朝鮮・日本などの周辺地域との歴史的展開を講義する。適宜プリントを配布するので、クリアブック（A4）、クリアホルダー（A4）を用意して欲しい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	授業で取り上げたテーマについての理解と、それをふまえた近代中国についての考察を問う。	
	平常評価	20%	授業およびテキストに関するレポートを課す。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	中公新書	『中国ナショナリズム』	小野寺史郎
	2010年	岩波新書	『近代国家への模索 1894-1925』〈シリーズ中国近現代史②〉	川島真
	2010年	岩波新書	『革命とナショナリズム 1925-1945』〈シリーズ中国近現代史③〉	石川禎治
	備考			
参考書	川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』名古屋大学出版会、2007年			
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。研究室（4号館1階412） saito.fuminori@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第一次世界大戦の勃発と中国参戦問題について知っておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p152～p153、p163～p166、p170参照）。
	授業内容	ガイダンス 第一次世界大戦の勃発と中国
	事後学習	中国の参戦問題が北京政府に及ぼした影響に留意して、中国政治の展開をまとめてみよう。
2	事前学習	二十一カ条要求によって日本との関係がどうなったかを知っておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p153～p157。『中国ナショナリズム』p84～p88参照）
	授業内容	二十一カ条要求と対日感情
	事後学習	二十一カ条要求問題について、その内容と対日感情、列強と日本との関係についてまとめてみよう。
3	事前学習	国際社会での中国の地位向上を概観してみよう（『近代国家への模索 1894-1925』p182～p196参照）。
	授業内容	第一次世界大戦と中国—中国の国際社会での地位向上—
	事後学習	第一次世界大戦の戦勝国となった中国の国際地位について具体的にまとめておこう。
4	事前学習	新文化運動と五・四運動について知っておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p175～p177、p182～p186参照）。
	授業内容	新文化運動・五・四運動
	事後学習	新文化運動と五・四運動の意義についてまとめておこう。

5	事前学習	第一次世界大戦後の中国の転換について知っておこう（『中国ナショナリズム』p67～p84）。
	授業内容	第一次世界大戦後の中国の転換
	事後学習	第一次世界大戦後の中国の転換についてまとめておこう。
6	事前学習	袁世凱死後の中国の情勢について知っておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p162～p170、p205～p221参照）。
	授業内容	軍閥割拠－1910年代後半から20年代半ばの中国
	事後学習	「府院の争い」から広東政府（第三次）までの軍閥割拠の中国についてまとめてみよう。
7	事前学習	ソ連の出現と中国について概観しておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p196～p204参照）。
	授業内容	コミンテルンの中国へのまなざし－北京政府・孫文・陳独秀－
	事後学習	国民党の成立・共産党の誕生・国共合作についてまとめてみよう。
8	事前学習	孫文の死後のナショナリズムの高揚と北伐について知っておこう（『近代国家への模索 1894-1925』p219～p227参照）。
	授業内容	国共分裂と南京国民政府による統一
	事後学習	国民革命の進展と日中関係の変容についてまとめてみよう。
9	事前学習	満洲事変について知っておこう（『革命とナショナリズム 1925-1945』p72～p814参照）。
	授業内容	満洲事変の勃発
	事後学習	満洲事変と国民政府についてまとめてみよう。
10	事前学習	日本の華北侵略から西安事件までについて知っておこう（『革命とナショナリズム 1925-1945』p138～p148、p157～p168参照）。
	授業内容	日本の華北侵略と西安事件
	事後学習	日本の侵略と民族統一戦線の成立について、中国のナショナリズムに留意してまとめてみよう。
11	事前学習	盧溝橋事件から日中全面戦争へいたる経緯を知っておこう（『革命とナショナリズム 1925-1945』p170～p184参照）。
	授業内容	盧溝橋事件から日中全面戦争へ
	事後学習	日中戦争と中国ナショナリズムについてまとめてみよう。
12	事前学習	日中戦争の戦局の推移と第二次国共合作・中国の抗戦体制について知っておこう（『革命とナショナリズム 1925-1945』p184～p190参照）。
	授業内容	第二次国共合作 中国の抗戦体制
	事後学習	第二次国共合作の成立について、ナショナリズムの要求との関係についてまとめてみよう。
13	事前学習	戦時下の中国について概観してみよう（『革命とナショナリズム 1925-1945』p190～p205参照）。
	授業内容	戦時下の中国と傀儡政権
	事後学習	戦時下の中国と傀儡政権、「漢奸」についてまとめてみよう。
14	事前学習	日中戦争の国際化と太平洋戦争中の中国について概観してみよう（『革命とナショナリズム 1925-1945』p205～p209参照）。
	授業内容	より大きな戦争への日本の選択
	事後学習	日中戦争の解決策としてより大きな戦争を選んだというのは、どういうことか。事実とその経緯にもとづいてまとめてみよう。
15	事前学習	日中戦争の終結から中華人民共和国の成立までを概観してみよう（『中国ナショナリズム』p167～p173）。
	授業内容	中華人民共和国の成立
	事後学習	蒋介石と毛沢東の「戦後」展望に留意して、内戦の展開と中華人民共和国の成立についてまとめてみよう。

科目名	学際教養A	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【東京の社会文化史】 都市という複雑な対象を理解するには、学際的なアプローチが必要である。本講義では、都市論のさまざまなアプローチを織り込みながら、東京の明治・大正・昭和の歴史を考察し、この巨大都市の特質を考えたい。同時に、これからの都市とどのように向き合うべきかについて、受講生とともに考える場としたい。				
授業目的・到達目標	(1) 東京史の流れや東京の空間構造の特徴について理解すること。 (2) 都市空間に刻み込まれている歴史性を読み取れるようになること。 (3) 都市との向き合い方について、自分なりの考えを持つこと。				
履修条件	東京の過去・現在・未来に関心を持つ者、街歩きが好きな者、調べ物を厭わない者、都市にこだわった研究をしたいと考えている者の履修を歓迎する。2部生も履修可。単位だけが欲しいという方は履修しないほうが無難でしょう。				
授業方法	レジュメとパワーポイント・画像・映像を使用し、基本的には講義形式で進める。時折ディスカッションや小レポートなどを通じて参加型の形式を取り入れたい。課外でフィールドワークを行うこともある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート試験に加え、講義内での発言やコメントカードの提出による講義への貢献を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	さしあたり、藤田覚・大岡聡『江戸 街道の起点』(街道の日本史20)、吉川弘文館、2003年を紹介しておくが、読書リストは講義の中で配布する。				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス（履修案内、講義計画）
	事後学習	ガイダンスを踏まえ、履修を検討する。
2	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	東京遷都
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	明治の都市改造
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
4	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	下町の社会構造と暮らし
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。

5	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	山の手の主婦の日記を読む
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
6	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	最暗黒の東京——都市下層社会論
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
7	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	工業化と地域社会——新下町論
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
8	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	郊外の思想と住宅地形成
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
9	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	百貨店と商業空間の変容
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
10	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	関東大震災と朝鮮人虐殺
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
11	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	震災復興と都市構造の変容
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
12	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	浅草・銀座・新宿——東京の盛り場論
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
13	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	戦争と東京——地域の組織化と空襲による破壊
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
14	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	オリンピックと東京
	事後学習	プリントやノートを見直して、復習する。講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。
15	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義内容や都市への見方・考え方を振り返った上で、レポート課題に取り組む。 講義に出てきた場所を訪れるなどして、理解を深める。

科目名	学際教養A	担当者	舘野 正生	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	館野担当の宗教学Ⅰ・Ⅱの内容を踏まえ、進化・成長していくというためのことをさらにより深く探究し訓練していきたい。なお、授業に臨んで、その時その場で集中して考察してほしいため授業内容を細かく提示できないことから、下の授業計画の内容は単なる目安に過ぎない。					
授業目的・到達目標	特に、参加者の様々な見解を聞くことにより、今を生きる上で有益な自分にとっての最適解を見出していくことを目的とする。速やかに成長発達して、より生きやすくなることを目指して訓練する場にしたい。					
履修条件	館野担当の宗教学Ⅰ・Ⅱを履修済みであることが望ましい。その内容に基づいた授業を行なっていく。いかなる理由でも4回の欠席で成績は付かない。遅刻しないこと。真剣にしかも楽しく行なっていきたい。					
授業方法	授業者が提示する題材に対してまずレポートを書き、それを発表してもらい、さらにレポートを書くということを繰り返していく。宗教学との方法上の相違は「発表する」というところにある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		真剣さと自分を成長させることができたかを基準とし、授業内・中間・期末の各レポート、宿題、欠席・遅刻の回数などにより総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず。				
参考書	随時伝達する。					
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	ガイダンスなど
	事後学習	ガイダンス内容によって授業選択を検討すること
2	事前学習	先人の思想を調べ学ぶこと
	授業内容	どのように生きるかをさらに細かく先人の思想から学ぶ①
	事後学習	授業で明らかになったことを自分に当てはめて先人の思想を探っていく
3	事前学習	先人の思想を調べ学ぶこと。
	授業内容	どのように生きるかをさらに細かく先人の思想から学ぶ②
	事後学習	授業で明らかになったことを自分に当てはめて先人の思想を探っていく
4	事前学習	先人の思想を調べ学ぶこと
	授業内容	どのように生きるかをさらに細かく先人の思想から学ぶ③
	事後学習	授業で明らかになったことを自分に当てはめて先人の思想を探っていく

5	事前学習	先人の思想を調べ学ぶこと
	授業内容	どのように生きるかをさらに先人の思想から学ぶ④
	事後学習	授業で明らかになったことを自分に当てはめて先人の思想を探っていく
6	事前学習	これまでの授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	到達度確認試験①、及び解説
	事後学習	この期間の授業で明らかになったことなどを日常で行っていく
7	事前学習	身の回りのことに注意していること
	授業内容	どのように生きるかをより広く身の周りの対象から学ぶ①
	事後学習	いつも対象に教わる姿勢でいる
8	事前学習	身の回りのことに注意していること
	授業内容	どのように生きるかをより広く身の周りの対象から学ぶ②
	事後学習	いつも対象に教わる姿勢でいる
9	事前学習	身の回りのことに注意していること
	授業内容	どのように生きるかをより広く身の周りの対象から学ぶ③
	事後学習	いつも対象に教わる姿勢でいる
10	事前学習	これまでの授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	到達度確認試験②、及び解説
	事後学習	この期間の授業で明らかになったことなどを日常で行っていく
11	事前学習	どのように在りたいかを考える
	授業内容	どのように生きるかをより深く自ら思考する①
	事後学習	どのように在りたいかを意識して生きる
12	事前学習	どのように在りたいかを考える
	授業内容	どのように生きるかをより深く自ら思考する②
	事後学習	どのように在りたいかを意識して生きる
13	事前学習	どのように在りたいかを考える
	授業内容	どのように生きるかをより深く自ら思考する③
	事後学習	どのように在りたいかを意識して生きる
14	事前学習	これまでの全授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	前期総括
	事後学習	わかったことを身に付けることを行う
15	事前学習	これまでの全授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	到達度確認総合試験、及び解説
	事後学習	身に付けたことを日常に活かし、在りたい自分である

科目名	学際教養A	担当者	馬 渕 彰	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	【古代ローマ・中世ヨーロッパの宗教の虚と実】 古代ローマから「中世」にかけて、ローマ帝国やヨーロッパ世界に宗教（キリスト教）の問題がいかに大きく関わっていたか、その歴史の実態を「教義」の発展を中心に概観し、ヨーロッパ社会の宗教問題の本質を探る。「異教徒への布教」、「キリスト論」、「国家宗教化」、「教皇制度」、「異端審問」、「修道院」などの事項を取り上げ、「神の愛」の名のもとに各時代が生み出した虚と実の歴史を振り返る。							
授業目的・到達目標	ヨーロッパの歴史がいかにキリスト教の影響を強く受けて発展したか、またその逆に、キリスト教がいかにヨーロッパの歴史的出来事や状況によって大きく変容させられたか、という二者間（聖・俗）の複雑な相互作用を説明できる。							
履修条件	特になし（キリスト教会史の知識がなくても分かるよう授業を進めていく）。							
授業方法	講義が中心（映画や絵画などの視覚教材やプリントなどの配布資料を用いながら行なう）。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		0%					
	平常評価		100%		授業中の課題や参加態度、授業内課題、レポートなどを総合的に評価する。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	備考		必要に応じて、授業中に資料を配布する。					
参考書	荒井献編著『総説キリスト教史 1 原始・古代・中世篇』日本キリスト教団出版局。授業は、この書の要点に沿いながら進めていく。その他の参考書は授業中に、必要に応じて紹介する。							
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、講義の概要を把握してくる。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
2	事前学習	古代オリエントのシュメール、エジプト、アッカド王国、バビロン第一王朝、ヒッタイト、ヘブライ王国、アッシリア王国、新バビロニア王国、アケメネス朝ペルシアなどや、古代ギリシアや古代ローマ帝国について、いつ頃どこに存在し、どのような特徴を持っていたか調べる。
	授業内容	古代オリエント世界からイエスの磔刑までの期間 ① キリスト（メシア）待望論の系譜
	事後学習	キリスト待望論が古代オリエント世界の古い時代から伝わってきたものであること、本当の神意（実）とそうでないもの（虚）との分類がすでに厳格になされていたことを理解しまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
3	事前学習	古代イスラエルの歴史や聖書の構成などについて調べてくる。
	授業内容	古代オリエント世界からイエスの磔刑までの期間 ① イエスの布教活動と十字架上の死
	事後学習	ナザレのイエスが何を説いていたか、またなぜ処刑されたのかを示す記録にどのようなものがあるか、また反イエスの当時のユダヤ指導層が抱いていた正しい信仰の在り方（実）とそうでないもの（虚）が何であったかをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
4	事前学習	西暦1世紀のローマ帝国支配領域を示す地図を探し、ローマの支配がどの地域まで及んでおり、またどのような主要都市がローマ帝国領内にあったのか調べる。
	授業内容	キリスト教誕生から西ローマ帝国滅亡までの期間 ① キリスト教の誕生と世界宣教のはじまり
	事後学習	キリスト教がどのように誕生し、また、なぜエルサレム周辺にとどまらずなぜ各地に布教されるようになったのかについて、またイエスの生涯の正しい解釈（実）と間違った解釈（虚）がどのように生じたのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。

5	事前学習	グノーシス（グノーシス派）とは何か、またこれに対して初代キリスト教会がどのように応じたのかを調べてくる。
	授業内容	キリスト教誕生から西ローマ帝国滅亡までの期間 ② 信仰コミュニティの拡大と衝突
	事後学習	ローマ帝国領内各地のキリスト教が、地方によって異なる特徴を有していたこと、また、第一回エルサレム会議や使徒たちによって正しい教え（実）と間違った教え（虚）が定められていくことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
6	事前学習	ローマ帝国時代のキリスト教徒に対する迫害と、ローマ帝国のキリスト教化について、エジプトやシリア、小アジアなどの隠修士・修道士について、「単性論」について調べてくる。
	授業内容	キリスト教誕生から西ローマ帝国滅亡までの期間 ③ ローマ帝国によるキリスト教大迫害、そして国家宗教化
	事後学習	ローマ帝国の迫害がなぜ終り、ローマ帝国がなぜキリスト教を国教としたのか、またキリスト教国教化によって何が正しい帝国のキリスト教（実）とされ、どのキリスト教が排除されたのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
7	事前学習	ゲルマン民族の大移動とゲルマン民族が旧ローマ帝国領内に建てた国々について、それらの国々がどのような経緯でキリスト教を受容したのかについて、アリウス（アリウス派）とペラギウスについて調べてくる。
	授業内容	ゲルマン系諸国の改宗からカール大帝の登場までの期間 ① 西ローマ消滅による混乱とゲルマン人宣教の進展
	事後学習	ブリテン諸島やフランク王国領での「正統信仰」（実）の受容と伝播について、またケルト人やゲルマン人によるキリスト教宣教活動の開始についてをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
8	事前学習	ボエティウス、ヌルシアのベネディクトゥス、聖パトリック、聖ボニファティウス、アルクインの生涯と功績について調べてくる。
	授業内容	ゲルマン系諸国の改宗からカール大帝の登場までの期間 ② ヨーロッパの誕生：古典古代、キリスト教、ゲルマン世界の融合
	事後学習	古代ギリシア・ローマの文化とゲルマン世界とキリスト教が出会い、それらが融合されていく過程と、フランク王国カール大帝によって正しきキリスト教社会（実）の建設が開始されたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
9	事前学習	北方ゲルマン人であるノルマン人やデーン人（バイキング）がどの地域においてどのような活動を展開し、どのように世界を変容させたか、またカール大帝の帝国がどのように分裂したか、そして「フィリオクエ問題」『偽イシドールス教令集』について調べてくる。
	授業内容	ノルマン人の躍進からグレゴリウス改革までの期間 ① 「中世」の「暗黒時代」
	事後学習	皇帝と教皇の権威が喪失されていた実態（虚）と、それらがどのように権威を回復していったかの過程（実）をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
10	事前学習	オットー1世と教皇グレゴリウス7世のそれぞれの功績と「私有教会制度」「クリュニー修道院」について、また東西教会分裂について調べる。
	授業内容	ノルマン人の躍進からグレゴリウス改革までの期間 ② 皇帝権と教皇権との死闘
	事後学習	皇帝主導型のキリスト教社会と教皇主導型のキリスト教社会のどちらが「実」でどちらが「虚」となるのか、またローマ教皇が西ヨーロッパの諸教会への指導力を増していく過程をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
11	事前学習	十字軍、12世紀ルネサンス、カンタベリーのアンセルムス、アベラール、シトー会について調べる。
	授業内容	十字軍の開始から教会大分裂までの期間 ① ヨーロッパの羽化
	事後学習	異教徒に対するキリスト者の姿勢での虚と実、理性と信仰との関係での虚と実がどのような出来事を通してどのように形成されたかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
12	事前学習	「月と太陽」、化体説（実態変化）、カタリ派、托鉢修道会、フィオーレのヨアキム、異端審問について調べる。
	授業内容	十字軍の開始から教会大分裂までの期間 ② 照らし出されるカトリック世界の虚と実 （前半）
	事後学習	ローマ教皇権が絶頂期を迎えたこと、またローマ教皇権の脅かす勢力が各地に現れたこと、さらに双方が虚と実をめぐって緊張を高めたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
13	事前学習	アヴィニョンへの教皇庁移転、教皇庁の大分裂、オッカム、7つの秘跡、神秘主義、ウィクリフについて調べる。
	授業内容	十字軍の開始から教会大分裂までの期間 ③ 照らし出されるカトリック世界の虚と実 （後半）
	事後学習	教皇制度および教義を重視する立場の人々と、使徒的信仰生活や聖書の教えを重視する立場の人々が、それぞれの正しさ（実）を主張し、世俗的権威をも巻き込んで対立していたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
14	事前学習	これまでに学んだことの要点を理解できるまで復習する。
	授業内容	授業理解度確認作業
	事後学習	授業理解度確認作業をおこなってみて、どこが理解できていなかったのかまとめる。
15	事前学習	これまでの授業の中で理解しきれていない箇所をまとめてくる。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内に紹介された参考文献や配布された資料を読み、西洋史の知識や歴史学の手法を自分の研究に応用する能力を確かなものにしていく。

科目名	学際教養B	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【近代日本の戦争と社会】 狭義の戦争史や軍事史ではなく、一兵士の目線や地域、文化、民衆意識を重視した戦争社会史論、あるいは社会現象としての戦争や、社会のなかの軍隊を捉え直そうとする戦争社会学的研究が、近年活発になっている。そこでは戦争経験の戦後に対する規定性や戦後の戦争記憶の機能もまた、重要な論点となっている。こうした新しい研究潮流に学びながら、アジア・太平洋戦争を中心に、戦争と社会との関係について考えたい。					
授業目的・到達目標	(1)史料に基づき論理的に考察する力をつけること。 (2)歴史を構造的に捉える力をつけること。 (3)過去の人間や社会に対する歴史的想像力を養うこと。					
履修条件	本講義は軍事史や戦史そのものを扱うものではない。上記の講義の趣旨を良く理解した上で、履修を決めてほしい。心地よいものしか見たくないという人には合わないであろう。なお2部生も履修可。					
授業方法	レジュメとパワーポイント・映像を使用し、講義形式で進めることを考えているが、人数によっては演習形式を取り入れる。コメント提出やディスカッションには積極的に参加して欲しい。なお展示施設への見学会をする予定もある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験（レポート）に加え、講義内での発言やコメントカードを通じての講義への貢献も評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	吉田裕『日本人の戦争観―戦後史のなかの変容』(岩波現代文庫)、同『日本の軍隊―兵士たちの近代史』、『アジア・太平洋戦争』(岩波新書)、『日本軍兵士―アジア・太平洋戦争の現実』(中公新書)その他。					
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス（履修案内、講義計画） イントロダクション——戦場を想像することの意味
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
2	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	国民国家と軍隊
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	戦争とナショナリズム―日清戦争を中心に
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
4	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	世界戦争と戦争違法化——第一次世界大戦の意義
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。

5	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	良兵を作り出す社会——軍隊と社会構造
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
6	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	戦場の兵士——軍事郵便や兵士の日記を読む
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
7	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	マス・メディアと「大衆の国民化」——満州事変を例として
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
8	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	総力戦体制と「国民」(1)——国民の精神・身体の動員
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
9	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	総力戦と国民(2)——強制と同意
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
10	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	しょうけい館（戦傷病者資料館）見学会
	事後学習	見学で感じたこと、学んだことをレポートにまとめる。
11	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	アジア・太平洋戦争論
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
12	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	兵士たちの無残な死——餓死・玉砕死・特攻死
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
13	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	チョウ・ムンサンの遺書——極限下の人間から何を学べるか？
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
14	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	戦争の「傷痕」——忘れられた戦争犠牲
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。
15	事前学習	後期の講義内容を復習する。
	授業内容	おわりに
	事後学習	プリントやノートを見直して講義内容を復習する。 関連する文献を読む。

科目名	学際教養B	担当者	舘野 正生	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	館野担当の宗教学Ⅰ・Ⅱ、及び学際教養Aの内容を踏まえ、進化・成長していくということをさらにより深く探究し訓練していきたい。なお、授業に臨んで、その時その場で集中して考察してほしいため授業内容を細かく提示できないことから、下の授業計画の内容は目安に過ぎない。				
授業目的・到達目標	特に、参加者の様々な見解を聞くことにより、今を生きる上で有益な自分にとっての最適解を見出していくことを目的とする。速やかに成長発達して、より生きやすくなることを目指して訓練する場にしたい。				
履修条件	館野担当の宗教学Ⅰ・Ⅱ、及び学際教養Aを履修済みであることが望ましい。その内容に基づいた授業を行なっていく。いかなる理由でも4回の欠席で成績は付かない。				
授業方法	授業者が提示する題材に対してまずレポートを書き、それを発表してもらい、さらにレポートを書くということを繰り返していく。宗教学との方法上の相違は「発表する」というところにある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	真剣さと自分を成長させることができたかを基準とし、授業内・中間・期末の各レポート、宿題、欠席・遅刻の回数などにより総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。			
参考書	随時伝達する。				
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	ガイダンスなど
	事後学習	ガイダンス内容によって授業選択を検討すること
2	事前学習	自分を知ることについてさらに調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかをさらに深く追究する①
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する
3	事前学習	自分を知ることについてさらに調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかをさらに深く追究する②
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する
4	事前学習	自分を知ることについてさらに調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかをさらに深く追究する③
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する

5	事前学習	自分を知ることについてさらに調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかをさらに深く追究する④
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する
6	事前学習	これまでの授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	到達度確認試験①、及び解説
	事後学習	この期間の授業で明らかになったことなどを日常で行っていく
7	事前学習	より明確に自分に意識を向けて生きる
	授業内容	自分を深く知ることによって自分の芯を創る①
	事後学習	在りたい自分をより明確に意識して生きる
8	事前学習	より明確に自分に意識を向けて生きる
	授業内容	自分を深く知ることによって自分の芯を創る②
	事後学習	在りたい自分をより明確に意識して生きる
9	事前学習	より明確に自分に意識を向けて生きる
	授業内容	自分を深く知ることによって自分の芯を創る③
	事後学習	在りたい自分をより明確に意識して生きる
10	事前学習	これまでの授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	到達度確認試験②、及び解説
	事後学習	この期間の授業で明らかになったことなどを日常で行っていく
11	事前学習	どう生きればいいのかをより詳細に考える
	授業内容	自分をどのようにして生きたいかを追究する①
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
12	事前学習	どう生きればいいのかをより詳細に考える
	授業内容	自分をどのようにして生きたいかを追究する②
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
13	事前学習	どう生きればいいのかをより詳細に考える
	授業内容	自分をどのようにして生きたいかを追究する③
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
14	事前学習	これまでの全ての授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	前期総括
	事後学習	わかったことを身に付けることを行う
15	事前学習	これまでの全ての授業内容を振り返って纏めておく
	授業内容	到達度確認総合試験、及び解説
	事後学習	身に付けたことを日常に活かし、在りたい自分である

科目名	学際教養B	担当者	馬 渕 彰	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	【近代西洋の宗教の美と醜】 欧米世界の発展にキリスト教がいかに深く結びついてきたかを知るために、多角的にその歴史を概観し、欧米社会の宗教問題の本質を探る。「宗教改革」、「ルネサンス」、「主権国家」、「近代科学」、「植民地化」、「奴隷貿易」、「市場原理」、「工業化」、「都市問題」、「帝国主義」など事柄を取り上げ、政治や芸術・学問・経済・社会など各方面で「信仰」の名のもとに人々が生み出した美と醜の歴史を振り返る。					
授業目的・到達目標	欧米や他の地域の歴史がいかにキリスト教の影響を強く受けて発展したか、またその逆に、キリスト教がいかに欧米や他の地域の歴史的出来事や状況によって変容させられたか、という二者間の近代での複雑な相互作用を説明できる。					
履修条件	特になし（キリスト教会史の知識がなくても分かるよう授業を進めていく）。					
授業方法	講義（映画や絵画などの視覚教材やプリントなどの配布資料を用いながら行なう）。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業中の課題や参加態度、授業内試験などを総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	必要に応じて、授業内に資料を配布する。				
参考書	授業中に、必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、講義の概要などを理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
2	事前学習	15世紀のプラハ大学のフス、16世紀のヴィッテンベルク大学のルターについて、宗教改革においてどのような歴史的役割を果たしと言われているか調べてくる。
	授業内容	教皇インノケンティウス3世から教皇レオ10世までの期間 ① 絶頂からの転落への教皇権：超民族共同体（キリスト教社会）の美と醜
	事後学習	西ヨーロッパ世界ではローマ・カトリック（キリスト教社会：'Christendom'）の中に国々や民族が存在したこと、また、教皇を頂点にまとめられていたカトリック世界が聖書をベースとした改革運動によって崩壊していく過程をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
3	事前学習	聖書とは何か、新約聖書のパウロや16世紀のルターが強調した福音による救済とは何かを、聖書で語られる罪と義を中心に考えてくる。
	授業内容	教皇インノケンティウス3世から教皇レオ10世までの期間 ② 福音で照らし出される個々の教会構成員レベルでの美と醜
	事後学習	宗教改革で重要な役割を果たした、教会の権威と聖書の権威との問題、また個人的信仰や救済についてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
4	事前学習	16世紀のスイスの宗教改革カルヴァンとイギリス国教会に関して、それぞれルータ派の教会制度や教義の違いについて調べてくる。
	授業内容	宗教改革からピューリタン革命までの期間 ① 国王と議会の介入による教会の美と醜
	事後学習	聖書に基づく信仰や個人的信仰を重視するプロテスタントが、なぜ一致団結して一つにまとめることができなかったのか、教会制度と教義の視点からまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。

5	事前学習	フィレンツェから始まったとされる「ルネサンス」について、その特徴や代表的作品を調べ、また「ヒューマニスト（人文主義者）」とは何かについて調べてくる。
	授業内容	宗教改革からピューリタン革命までの期間 ② 文芸（芸術）と宗教との結合における美と醜
	事後学習	ローマ・カトリックとプロテスタント諸派が、芸術や古典文芸をどのように扱ったかについてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
6	事前学習	ピューリタン革命、クロムウェル、名誉革命について、それぞれどのような歴史的役割を果たしたと言われているか調べてくる。
	授業内容	宗教改革からピューリタン革命までの期間 ③ 主権国家の体制をめぐる争いでの宗教政策の美と醜
	事後学習	18世紀イングランドにおいて絶対王政、共和政、王政復古、議会主導型の君主制へと体制が変わる中、宗教問題が中心的役割を果たしたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
7	事前学習	コペルニクスの地動説、ケプラーの法則、ニュートンの万有引力の法則とは、それぞれどのようなものであり、それ以前の自然哲学や自然科学とはどのように異なっていたか調べてくる。
	授業内容	近代科学誕生から皇帝ナポレオンまでの期間 ① 自然哲学・自然科学での神の美と醜
	事後学習	近代自然科学の本質とキリスト教の自然観とが、どのようにつながっているのか、その関連をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
8	事前学習	ケンブリッジ・プラトン学派、王立科学研究所、理神論について調べ、また「魔女裁判」「魔女狩り」とは何か、そしてそれがいつまで続いたか調べてくる。
	授業内容	近代科学誕生から皇帝ナポレオンまでの期間 ② 理性と信仰との結合における美と醜
	事後学習	17世紀・18世紀の理性の時代の到来と、理性と信仰との融合の試み、そして科学者における理性的営みと非理性的な迷信の共存についてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
9	事前学習	重商主義政策、イエズス会、「グアラニー戦争」、黒人奴隷貿易、ウィリアム・ウィルバーフォースについて、それぞれ調べてくる。
	授業内容	近代科学誕生から皇帝ナポレオンまでの期間 ③ 異教徒への宣教活動における美と醜
	事後学習	大航海時代以降、ヨーロッパ各国の重商主義政策によりキリスト教が非キリスト教世界に布教されていくこと、また重商主義政策の闇の部分とキリスト教がどのようにかかわったのかについてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
10	事前学習	マックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と近代資本主義の精神』とは何を指摘した本か、また資本主義とは何かについて調べたり、考えたりしてくる。
	授業内容	産業革命期から救世軍誕生までの期間 ① 経済モラルにおける美と醜
	事後学習	キリスト教の教えにおいて、経済モラルがどのように教派によって異なるのか、それは何故かということについてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
11	事前学習	「産業革命」がどのように始まり、それによってイギリス社会がどのように変わったかについて調べ、また、新救貧法、キリスト教社会主義、オクタヴィア・ヒル、ウィリアム・ブースについても調べてくる。
	授業内容	産業革命期から救世軍誕生までの期間 ② 救貧問題・都市問題における美と醜
	事後学習	工業化などでの近代都市の誕生と、それにとまなう急激な社会変化によって生じた貧困や失業、犯罪、道徳的頹廃といった都市特有の問題に国家や民間団体そしてキリスト教がどのように関与したかをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
12	事前学習	帝国主義とはいつどのように始まったと言われ、その内容はどのようなものであったか、また、義和団の乱と三一運動とはそれぞれどのような歴史的出来事であったのか調べてくる。
	授業内容	帝国主義時代から冷戦期までの期間 ① 帝国主義とキリスト教宣教の美と醜
	事後学習	帝国主義政策とキリスト教との関係が、双方にとって補完的なものだったことや、また対立していたものであったことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
13	事前学習	第一次世界大戦と第二次世界大戦とが、それぞれどのように起こったのか、そしてどのような結果となったのか調べ、また、エキュメニカル運動、YMCA、クリスマス休戦、コヴェントリーとドレスデンとの関係、第二ヴァチカン公会議について調べてくる。
	授業内容	帝国主義時代から冷戦期までの期間 ② 国家間対立と世界教会運動における美と醜
	事後学習	列強各国のキリスト教へのナショナリズムと帝国主義の影響と、それとは異なるキリスト教の非ヨーロッパ化やグローバル化の進展についてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
14	事前学習	これまでに学んだことの要点を理解できるまで復習する。
	授業内容	授業理解度確認作業
	事後学習	授業理解度確認作業をおこなってみて、どこが理解できていなかったのかまとめる。
15	事前学習	これまでの授業の中で理解しきれっていない箇所をまとめてくる。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内に紹介された参考文献や配布された資料を読み、西洋史の知識や歴史学の手法を自分の研究に応用する能力を確かなものにしていく。

科目名	科学の歴史 I	担当者	古谷 紳太郎	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	現代社会は科学技術に依存しているため、たとえば法的対応においても、科学技術についての理解が求められるようになってきている。言うまでもなく、AI、Fintech、自動運転など新しい科学技術が社会に実装された場合は、科学技術についてのさらなる理解が求められることが予想される。そこで本講義では、社会における科学の歴史を通じて、受講者がそれぞれの立場から科学技術に関連する諸問題に取り組むための、基礎的教養を提供する。				
授業目的・到達目標	1) 歴史的な観点から、科学、技術、科学技術、それぞれの性質の違いおよび社会との関係を理解すること。 2) その理解をもとに、現在的な諸問題についても考察できるようになること。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的には、教科書に沿って、スライドと配布資料を用いた講義を行う。登録人数によっては、グループディスカッション等のアクティブ・ラーニングの導入も検討する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		40%	穴埋めと記述による試験で評価する。	
	平常評価		60%	授業への貢献度および任意の中間レポートで評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	左右社		『＜科学の発想＞をたずねて：自然哲学から現代科学まで』	橋本毅彦
	備考				
参考書	A) チャールズ・シンガー，西村顯治訳，『生物学の歴史』，1999，時空出版。 B) W.H. ブロック，大野誠・梅田淳・菊池好行訳，『化学の歴史（Ⅰ）・（Ⅱ）』，2003・2006，朝倉書店。				
オフィスアワー	授業後に講義室で受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	教科書の第二章を読むこと。
	授業内容	古代の科学1：自然哲学
	事後学習	配布物による復習。
3	事前学習	教科書の第二章を読むこと。
	授業内容	古代の科学2：アリストテレスの自然学
	事後学習	配布物による復習。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	古代の科学3：医学・生物学
	事後学習	配布物による復習。参考書Aの該当箇所を読むこと（任意）。

5	事前学習	教科書の第五章を読むこと。
	授業内容	古代の科学4：数学・天文学
	事後学習	配布物による復習。
6	事前学習	教科書の第三章を読むこと。
	授業内容	中世の科学1：アラビアの科学
	事後学習	配布物による復習。
7	事前学習	教科書の第三章を読むこと。
	授業内容	中世の科学2：12世紀ルネサンス
	事後学習	配布物による復習。
8	事前学習	教科書の第三章を読むこと。
	授業内容	中世の科学3：スコラ学
	事後学習	配布物による復習。
9	事前学習	教科書の第六章を読むこと。
	授業内容	中世の科学4：ルネサンスの影響
	事後学習	配布物による復習。
10	事前学習	教科書の第七章を読むこと。
	授業内容	17世紀科学革命1：実験科学
	事後学習	配布物による復習。
11	事前学習	教科書の第七章を読むこと。
	授業内容	17世紀科学革命2：自然観の変化
	事後学習	配布物による復習。
12	事前学習	教科書の第八章を読むこと。
	授業内容	17世紀科学革命3：古典力学
	事後学習	配布物による復習。
13	事前学習	教科書の第九章を読むこと。
	授業内容	近代の科学：化学革命
	事後学習	配布物による復習。参考書Bの該当箇所を読むこと（任意）。
14	事前学習	教科書の第十章を読むこと。
	授業内容	近代の科学：解析力学
	事後学習	配布物による復習。
15	事前学習	配布物による復習。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	科学の歴史Ⅱ	担当者	古谷 紳太郎	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	現代社会は科学技術に依存しているため、たとえば法的対応においても、科学技術についての理解が求められるようになってきている。言うまでもなく、AI、Fintech、自動運転など新しい科学技術が社会に実装された場合は、科学技術についてのさらなる理解が求められることが予想される。そこで本講義では、社会における科学の歴史を通じて、受講者がそれぞれの立場から科学技術に関連する諸問題に取り組むための、基礎的教養を提供する。				
授業目的・到達目標	1) 歴史的な観点から、科学、技術、科学技術、それぞれの性質の違いおよび社会との関係を理解すること。 2) その理解をもとに、現在的な諸問題についても考察できるようになること。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的には、教科書に沿って、スライドと配布資料を用いた講義を行う。登録人数によっては、グループディスカッション等のアクティブ・ラーニングの導入も検討する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		40%	穴埋めと記述による試験で評価する。	
	平常評価		60%	授業への貢献度および任意の中間レポートで評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	左右社		『＜科学の発想＞をたずねて：自然哲学から現代科学まで』	橋本毅彦
	備考				
参考書	A) チャールズ・シンガー，西村顯治訳，『生物学の歴史』，1999，時空出版。 B) W.H. ブロック，大野誠・梅田淳・菊池好行訳，『化学の歴史（Ⅰ）・（Ⅱ）』，2003・2006，朝倉書店。				
オフィスアワー	授業後に講義室で受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	教科書第十章までを一通り読むこと。
	授業内容	近代科学成立まで
	事後学習	配布物による復習。
3	事前学習	教科書第十一章と十二章を読むこと。
	授業内容	現代の科学1：電気化学と石炭化学
	事後学習	配布物による復習。参考書Bの該当箇所を読むこと（任意）。
4	事前学習	教科書第十一章と十二章を読むこと。
	授業内容	現代の科学2：元素から原子へ
	事後学習	配布物による復習。参考書Bの該当箇所を読むこと（任意）。

5	事前学習	教科書の第十三章を読むこと。
	授業内容	現代の科学3：量子論
	事後学習	配布物による復習。
6	事前学習	教科書の第十三章を読むこと。
	授業内容	現代の科学4：相対論
	事後学習	配布物による復習。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	現代の科学5：分類学・比較解剖学
	事後学習	配布物による復習。参考書Aの該当箇所を読むこと（任意）。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	現代の科学6：進化論
	事後学習	配布物による復習。参考書Aの該当箇所を読むこと（任意）。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	現代の科学7：遺伝学・分子生物学
	事後学習	配布物による復習。参考書Aの該当箇所を読むこと。
10	事前学習	教科書第十四章を読むこと。
	授業内容	科学研究の変遷：大学・研究所
	事後学習	配布物による復習。
11	事前学習	教科書の第十四章を読むこと。
	授業内容	科学研究の変遷：戦争と科学
	事後学習	配布物による復習。
12	事前学習	教科書の第十四章・第十五章を読むこと。
	授業内容	科学研究の変遷：研究開発体制
	事後学習	配布物による復習。
13	事前学習	教科書の第十五章を読むこと。
	授業内容	科学研究の変遷：研究開発競争
	事後学習	配布物による復習。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	科学研究の変遷：先端科学技術研究
	事後学習	配布物による復習。
15	事前学習	配布物による復習。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	環境論 I	担当者	田代 崇	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	環境論とは、人間と自然環境との関係に関する理論であり、古くは古代ギリシアより近代的理論へ通じる議論がおこなわれてきた。特に近年の日本では、「環境問題」という言葉が、公害や地球温暖化など、グローバルな社会・経済との関係から広く認識されるようになった。本科目では、現代社会における環境問題とこの問題解決策を具体的事例を通して学習する。				
授業目的・到達目標	世の中で起きている現象とその現象を主体とする環境に対し、そこに内在する問題を理解し、解決策に関して様々な視座から考察できるようになることを目的とする。				
履修条件	なし				
授業方法	基本的には講義形式でおこなう。必要な資料は、適宜プリントにして配布する。講義期間中に複数回の課題レポートの提出を課す。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	学期末試験の評価	
	平常評価		40%	課題提出内容の評価	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	なし。必要な教材は授業毎に配布。			
参考書	特に指定はないが、授業内にて適宜紹介をおこなう。				
オフィスアワー	月曜日１４：３０/水曜日１２：１０/火曜日１７：５０及び研究日以外に適宜対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス内容の理解
	授業内容	ガイダンスー環境を環境問題から考えるー
	事後学習	配布資料の内容確認
2	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	「環境問題」の歴史ー環境の定義とイメージー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
3	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題と社会
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
4	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	開発と環境①ー環境破壊と社会・市民運動・企業活動ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習

5	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	開発と環境②－法整備と規制－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
6	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題とその対応①－大気環境・水環境－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
7	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題とその対応②－生物環境・土壌環境－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
8	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題とその対応③－廃棄物・有機化合物－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
9	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題とその対応④－エネルギー問題－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
10	事前学習	前学期前半授業の復習
	授業内容	グループディスカッション－個別のテーマ設定と資料作成及びプレゼン－
	事後学習	ディスカッション内容のまとめ
11	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題を捉える視点①－環境倫理について－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
12	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題を捉える視点②－東洋と西洋の自然観－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
13	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題を捉える視点③－科学技術的問題としての捉え方－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
14	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題を捉える視点④－社会政治的問題としての捉え方－
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
15	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	前期の総括
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習

科目名	環境論Ⅱ	担当者	田代 崇	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	近年の日本においては里地里山に代表される生活環境と社会環境の変化が、固有の生態系に対して悪影響を与えているが指摘されている。これは、地域の自然環境が人間との関係を持ちながら維持されてきたことによっている。本科目では、ローカルからグローバルまで様々な空間スケールで発生する環境問題に対し、自然科学がどのようなアプローチを取ってきたかを学習すると共に、人間と環境の関係を理解し、将来に向け持続可能な人間環境を考える。			
授業目的・到達目標	様々な時空間スケールの環境問題に対し、その中で展開される自然科学的アプローチを理解すると共に、人間社会との繋がりを説明できるようになる事を目的とする。			
履修条件	なし。			
授業方法	基本的には講義形式で、複数回のグループディスカッションとプレゼンおこなう。講義期間中に複数回の課題レポートの提出を課す。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		60%	学期末試験の評価
	平常評価		40%	課題提出内容の評価
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない。		
参考書	必要な際に授業内にて参考図書を紹介する。			
オフィスアワー	月曜日１４：３０/水曜日１２：１０/火曜日１７：５０及び研究日以外に適宜対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス内容の理解
	授業内容	ガイダンス及び「環境論Ⅰ」の復習
	事後学習	配布資料の内容確認
2	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境論/地球環境論とはー環境にまつわる学問、環境論の歴史ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
3	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境問題の特性ー科学的不確実性と予測ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
4	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境学/環境科学の視点ー問題設定と解決への道筋ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習

5	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	日本の環境と生態系①ー森林の開発と保護，河川の開発と再生①ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
6	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	日本の環境と生態系②ー河川の開発と再生②，海洋の開発と環境保全ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
7	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	地球環境と生態系①ー条約，法制度，生態系の分断と破壊(生態系の汚染)ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
8	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	地球環境と生態系②ー森林保護，砂漠化防止，海洋の役割と汚染対策ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
9	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	地球環境と生態系③ーオゾン層破壊防止，酸性雨対策などー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
10	事前学習	後学期前半授業の復習
	授業内容	グループディスカッションー個別のテーマ設定と資料作成及びプレゼンー
	事後学習	ディスカッション内容のまとめ
11	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境保護の思想と現在の地球環境①ーエコロジー思想の系譜，ディープエコロジー，バイオ・リージョナリズムー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
12	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	環境保護の思想と現在の地球環境②ー環境保全に向けた様々な活動事例ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
13	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	持続可能な循環型社会への取り組みー循環型及び自然再生型社会への法的取り組み，環境技術の現状ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
14	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	地球時代の環境論ー現在における地球観を通して見た環境ー
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習
15	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	後期の総括
	事後学習	授業内容及び配布資料の復習

科目名	教育学 I	担当者	香川 七海	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「少年犯罪が増えている」、「朝食を食べない子どもが増えている」というふうに語られる多様な教育言説のあり方を再検討します。思い込みで、なんとなく、「教育」は語られがちです。イメージだけではなく、学術研究にもとづきながら、「教育」について理解することを目指します。					
授業目的・到達目標	「教育」とは、なにかということを考えます。「教育」にできること、「教育」にできないこと、「教育」がしてよいこと、「教育」がしてはいけないこと——を学ぶことを目的としています。保育と「教育」の接続についても考えていきたいと思っています。					
履修条件	教職、教育学分野、社会学分野に関心のある学生を主たる対象にしています。ですが、大学にて専攻する専門分野以外に、副専攻としての学問分野を身につけたいという学生も歓迎します。					
授業方法	講義と映像資料を中心に進めます。人数の都合で、グループワークなども実施するかもしれません。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		レポート作成（60％）、コメントペーパー、質疑など受講態度（40％）にて判断いたします。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	※特に指定はしません。				
参考書	田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二『やさしい教育原理 第3版』（有斐閣アルマ）、佐藤秀夫『教育の歴史』（放送大学）、好井裕明『差別原論』（平凡社新書）。					
オフィスアワー	金曜日 14：30 に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	個々人の学校体験から。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
2	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	明治維新から「軍国主義教育」、戦後初期の学校教育まで。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
3	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	1970年代の学校教育（校則、管理教育、荒れる学校、少年非行）。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
4	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	1990年代から2000年代の学校（「ゆとり教育」をめぐる）。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。

5	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	子育ての歴史（スワドリング・子捨て）。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
6	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	昔話はどう変化したか？（グリム童話と日本昔話の原作から）。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
7	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	子どもはどう見ていたか？（子ども像の変化と子ども服、おもちゃの登場）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
8	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	子どもの名づけから見る現代の「保育」と「教育」。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
9	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	曖昧になった男女の区分け？（色、ファッション、遊び）。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
10	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	「LGBT」概念の登場（差別問題と学校教育、グレーゾーンをどうつくるか？）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
11	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像視聴（１）（テーマ：個人の「生きづらさ」と価値観）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
12	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像視聴（２） 提出コメントをもとに討議。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
13	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像視聴（１）（テーマ：抑圧される女性と価値観）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
14	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像視聴（２） 提出コメントをもとに討議。
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
15	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	変わり続ける「保育」と「教育」の価値観【総括】
	事後学習	レポート作成。

科目名	教育学 I	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	教育学の基礎的概念を習得するため、教育の原理的観点から教育を探究する。				
授業目的・到達目標	人と社会の関係を「教育」の問題から考察していく。学校教育が人の成長に今日ほど大きな影響を与えなかった時代にも焦点をあて、教育の原点に立ち返りつつ今日の教育問題と今後の学校教育のあり方を考察・研究する。受験勉強を中心とした学校教育の概念を根本的に覆し、「教育」を考える広い視点を追求する。教育に対する自分の意見を持ち、自らが育ってきた教育環境を客観的に評価し、冷静に今日の教育問題に発言できる力をつける。				
履修条件	とくに条件を設けないが、学校教育など教育問題を真剣に考えようとする学生の履修を望む。				
授業方法	講義を中心とするが、毎時間講義内容に対する自分の考えを提出させる予定である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	講義内容に触れつつ、自分の意見を構成できる力がついたかどうか、最大の評価基準である。	
	平常評価		50%	講義に対する態度を重視する。とくに遅刻は厳禁であり、理由のない遅刻や欠席をした学生には以後の履修を拒否することがある。レポートの提出あり。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	『歴史教育の課題と教育の方法・技術』DTP出版				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の教育歴についてまとめる。
	授業内容	講義の概略と評価法等の説明（ガイダンス）と「教育」という概念について
	事後学習	学校教育だけでなく、広く教育を考える材料を見出す。
2	事前学習	各自の現在の人格を形成してきた作用について考える。
	授業内容	「教育は人間形成の作用である」について考える
	事後学習	人類史の中で教育の問題を考える材料を探す。
3	事前学習	子供、青年期の定義について考える。
	授業内容	「子どもの夜明け」と「夜明けの子ども」について考える
	事後学習	文明の発達をもたらした「子ども」について知見を広める。
4	事前学習	日本史の中で学んだ「教育」について復習する。
	授業内容	わが国の文化の革新期と教育の作用について考える。
	事後学習	教育がわが国の発展に大きく寄与した事例を集める。

5	事前学習	教育の事例を取り上げて、その教育現象を分析する。
	授業内容	教育の作用「陶冶」とは何か考える。
	事後学習	陶冶の教育現象を理解する事例を集め分類する。
6	事前学習	教育の事例を取り上げて、その教育現象を分析する。
	授業内容	教育の作用「教化」とは何か考える。
	事後学習	教化の教育現象を理解する事例を集め分類する。
7	事前学習	教育の事例を取り上げて、その教育現象を分析する。
	授業内容	教育の作用「形成」とは何か考える。
	事後学習	形成の教育現象を理解する事例を集め分類する。
8	事前学習	16世紀以降の中部ヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	ドイツ教育学における支配的概念である「陶冶」について考える
	事後学習	教育学の成立と中部ヨーロッパの歴史をまとめる。
9	事前学習	明治期の日本の歴史を調べる。
	授業内容	わが国への教育学の紹介とその後の発展について考える
	事後学習	わが国の近代化と近代公教育の発展についてまとめる。
10	事前学習	30年戦争について調べる。
	授業内容	教育思想家たちの考えた教育の世界について （1）コメニウスの世界
	事後学習	コメニウスの果たした役割についてまとめる。
11	事前学習	18世紀ヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	教育思想家たちの考えた教育の世界について （2）ルソーの世界
	事後学習	「子どもの発見」の意味を理解し、まとめる。
12	事前学習	18世紀以降のヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	教育思想家たちの考えた教育の世界について （3）ペスタロッチの世界
	事後学習	ペスタロッチが教育学の成立に果たした役割について理解する。
13	事前学習	19世紀以降のアメリカの歴史を調べる。
	授業内容	教育思想家たちの考えた教育の世界について （4）デューイの世界
	事後学習	進歩主義教育の意義についてまとめる。
14	事前学習	日本の歴史を振り返る。
	授業内容	「日本の人民はいかにしたたかに生きてきたか」を教育の問題から考える
	事後学習	庶民が文字能力をもつことに意味を考え、まとめる。
15	事前学習	これまでの講義から、学校にこだわらない教育現象を探す。
	授業内容	古代日本の教育の諸相から教育を考える
	事後学習	新たな「教育を見る目」から今日の教育問題を考える。

科目名	教育学Ⅱ	担当者	香川 七海	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「少年犯罪が増えている」、「朝食を食べない子どもが増えている」というふうに語られる多様な教育言説のあり方を再検討します。思い込みで、なんとなく、「教育」は語られがちです。イメージだけではなく、学術研究にもとづきながら、「教育」について理解することを目標とします。					
授業目的・到達目標	前期に引き続き、「教育」とは、なにかということを考えます。「教育」にできること、「教育」にできないこと、「教育」がしてよいこと、「教育」がしてはいけないこと——を学ぶことを目的としています。また、視点を海外にうつして、多角的な観点から日本国内外の「教育」のあり方について考察します。					
履修条件	教職、教育学分野、社会学分野に関心のある学生を主たる対象にしています。ですが、大学にて専攻する専門分野以外に、副専攻としての学問分野を身につけたいという学生も歓迎します。					
授業方法	講義と映像資料を中心に進めます。人数の都合で、グループワークなども実施するかもしれません。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		レポート作成（60％）、コメントペーパー、質疑など受講態度（40％）にて判断いたします。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	※特に指定はしません。				
参考書	好井裕明『差別の現在』（平凡社新書）、今井康雄『メディア・美・教育』、對馬達雄『ヒトラーに抵抗した人々』（中公新書）、アンネ・フランク【原著】『増補新訂版 アンネの日記』（文春文庫）、					
オフィスアワー	金曜日 14：30 に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	学校給食の歴史（「ちびまる子ちゃん」を手がかりに）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
2	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	社会問題としての貧困問題と学校教育（ブラック・バイト、ブラック企業、JK産業）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
3	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	子どもの貧困と学校教育（奨学金問題を中心に）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
4	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	移民問題・ニューカマー・在日コリアン（ヘイトスピーチ／排外主義と学校教育）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。

5	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像資料「アンネの日記」視聴（１）（テーマ：排外主義と子ども）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
6	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像資料「アンネの日記」視聴（２） 提出コメントをもとに議論
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
7	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	ナチス・ドイツの台頭について（ナチス・ドイツにおける「保育」・「教育」）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
8	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	映像資料「ナチスドイツ下の庶民の生活と子育て」（テーマ：教師とナショナリズム「凡庸な悪」）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
9	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	日本における戦時下の障害児教育（学童疎開と肢体不自由児）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
10	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	障害者差別と「青い芝の会」（差別のなかの差別構造について）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
11	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	「見た目」問題と子ども（ユニークフェイス・脱毛症・吃音症……）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
12	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	「曖昧な生きづらさ」と学校教育
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
13	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	世界の教育と保育（１）（フィンランド・オランダと日本の学校教育・幼児教育）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
14	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	世界の教育と保育（２）（発展途上国の子どもの育ち）
	事後学習	コメントペーパーの振り返り。
15	事前学習	配布資料をもとに復習。
	授業内容	変わり続ける「保育」と「教育」の価値観【総括】
	事後学習	レポート作成。

科目名	教育学Ⅱ	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	教育学の基礎的概念を習得するため、教育の原理的観点と制度的観点から教育を探究する。				
授業目的・到達目標	人と社会の関係を「教育」の問題から考察していく。学校教育が人の成長に今日ほど大きな影響を与えなかった時代にも焦点をあて、教育の原点に立ち返りつつ今日の教育問題と今後の学校教育のあり方を考察・研究する。受験勉強を中心とした学校教育の概念を根本的に覆し、「教育」を考える広い視点を追求する。教育に対する自分の意見を持ち、自らが育ってきた教育環境を客観的に評価し、冷静に今日の教育問題に発言できる力をつける。				
履修条件	とくに条件を設けないが、学校教育など教育問題を真剣に考えようとする学生の履修を望む。				
授業方法	講義を中心とするが、毎時間講義内容に対する自分の考えを提出させる予定である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	講義内容に触れつつ、自分の意見を構成できる力がついたかどうか、最大の評価基準である。	
	平常評価		50%	講義に対する態度を重視する。とくに遅刻は厳禁であり、理由のない遅刻や欠席をした学生には以後の履修を拒否することがある。レポートの提出あり。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	『歴史教育の課題と教育の方法・技術』DTP出版				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の学校歴についてまとめる。
	授業内容	講義の概略と評価法等の説明（ガイダンス）と「教育」という概念について
	事後学習	学校教育が自分の人格の形成に与えた意義を考える。
2	事前学習	公教育制度を支えているものは何か考える。
	授業内容	「教育制度」が意味する範疇とはなないか理解する。
	事後学習	自分の学校歴と教育制度の関係を理解する。
3	事前学習	昭和の歴史について調べる。
	授業内容	戦前の教育制度と戦後教育改革について理解する。
	事後学習	戦後教育改革の意義について考える。
4	事前学習	終戦直後の日本社会について調べる。
	授業内容	公選制教育委員会制度の意味を考える。
	事後学習	身近にある教育委員会の仕事を探す。

5	事前学習	県と市町村の仕事の違いを考える。
	授業内容	任命制教育委員会制度の意味を考える。
	事後学習	身近な教育委員会の仕事を探す。
6	事前学習	各自の住む都府県の教育委員を調べる。
	授業内容	教育委員会制度改革の意味と制度について理解する。
	事後学習	教育長の仕事について調べる。
7	事前学習	教育に関係する法律について調べる。
	授業内容	憲法26条の意味を理解する。
	事後学習	現在の日本社会が憲法26条の精神を生かしているかどうか考える。
8	事前学習	教育基本法改正について調べる。
	授業内容	教育基本法旧法と新法の違いと教育基本法の精神について理解する。
	事後学習	教育基本法の精神が生かされていないと思われる事例を探す。
9	事前学習	各自が受けた義務教育についてまとめる。
	授業内容	義務教育発生の二つの源流について理解する。
	事後学習	宗教と教育の関係について考える。
10	事前学習	戦前のわが国の教育について調べる。
	授業内容	絶対主義王政が作った義務教育制度について理解する。
	事後学習	義務教育制度と徴兵制度の関係を考える。
11	事前学習	戦後教育改革について復習する。
	授業内容	フランス革命後の義務教育制度について理解する。
	事後学習	民主主義と義務教育制度の関係について考える。
12	事前学習	昨今、マスコミで取り上げられる教育問題を考える。
	授業内容	昨今の義務教育制度の問題点について理解する。
	事後学習	義務教育制度の将来について考える。
13	事前学習	各自が経験した「受験」についてまとめる。
	授業内容	選別主義教育のもたらした弊害について理解する。
	事後学習	受験制度がもたらす社会問題について考える。
14	事前学習	偏差値について各自の意見をまとめる。
	授業内容	全国一斉学力テストがもたらした教育問題について考える。
	事後学習	偏差値と人の価値について考える。
15	事前学習	これまでの講義から、学校にこだわらない教育現象を探す。
	授業内容	戦後日本の教育行政が果たした役割について考える。
	事後学習	新たな「教育を見る目」から今日の教育問題を考える。

科目名	教養演習 I A	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	近年の戦争研究の焦点の一つは、過去の戦争をめぐる「記憶」「語り」「戦争観」「歴史認識」がどのような歴史過程を経て、変容したり、隠蔽されたり、対立したりするのかを、さまざまな媒体の分析を通して明らかにすることである。これは戦争記憶という切り口からの戦後史研究の方法ということもできる。当該分野の書物を精読することで、「戦争が残したもの」と「戦後」を歴史的に考察する演習としたい。				
授業目的・到達目標	①戦後日本社会や戦後の思想・社会意識の特質について見識をもつ ②社会現象を歴史的・構造的に理解する力をつける ③確かな根拠に基づいて、論理的な主張を展開する力をつける ④読解力や表現力、討論する能力を向上させる ⑤学問を媒介とした人間関係の構築				
履修条件	上記のテーマに関心を持つものなら学年を問わず参加できる（2部生も可）。 知的好奇心・向上心をもつ者、大教室講義に飽き足らなさを感じている者、自分の殻を破りたいという者を歓迎する。				
授業方法	ゼミナール形式で行う。毎回の担当者が内容紹介と補足説明、コメントを発表し、それをめぐって討論する。 必要があれば合宿や調査旅行を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	報告の内容、討論での貢献、提出物などを総合的に評価して採点する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2005	岩波現代文庫	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容		吉田裕
	2011	新曜社	焦土の記憶―沖縄・広島・長崎に見る戦後		福間良明
	備考	各自書店で購入のこと。古書でも可。			
参考書	吉田裕『兵士たちの戦後史』岩波書店、福間良明他『複数の「ヒロシマ」―記憶の戦後史とメディアの力学』（青弓社）他。				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス・参加者自己紹介・報告スケジュールの決定
	事後学習	配布のプリントをよく読む。指定のテキストを購入する。
2	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容(1)
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
3	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容(2)
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
4	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容(3)
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。

5	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容(4)
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
6	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容(5)
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
7	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	日本人の戦争観―戦後史のなかの変容(6)
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
8	事前学習	施設のパンフレットに目を通す。
	授業内容	しょうけい館（戦傷病者史料館）見学
	事後学習	感想を小レポートにまとめる。
9	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	焦土の記憶
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
10	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	焦土の記憶
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
11	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	焦土の記憶
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
12	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	焦土の記憶
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
13	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	焦土の記憶
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
14	事前学習	該当箇所をよく読み、コメントを準備する。
	授業内容	焦土の記憶
	事後学習	内容を振り返り、論点を整理する。関連文献にも目を通す。
15	事前学習	これまでの討論について振り返り、戦争記憶論の諸論点を整理する。 残された論点がないかを考える。
	授業内容	総括討論
	事後学習	前期の感想をまとめる。

科目名	教養演習 I A	担当者	岡山 敬二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【「美」を哲学する】 自然の美しさ、芸術作品の美しさ、人格の美しさ……等々、美は、様々な形で人間のまえに現れてくる。どのように、そしてなぜ人は、美というものを意識し、受け入れてきたのか。最高の美とは何なのか。美についての理念の変遷や芸術のあり方の展開をたどりなおしながら、人間存在にとっての美の存在の意味について、問い、考えてゆく。			
授業目的・到達目標	今道友信は『美について』（講談社現代新書）で、人間が何かを美しいと感じる美の経験について、そのなりたちや正体を問いなおしている。その試みを追いかけてながら、人間存在にとっての美の存在の意味について、自分なりに問い、考えてゆくことで、日常生活に埋もれている真理のありようを見つめなおす哲学的な視野を育てゆくことを目的とする。日常生活の有用性には収まらない美のありようを見つめなおしてゆくことで、既成の観点に縛られずに、さまざまな立場や視点を比較・検討できるようになる。			
履修条件	2年次生以上。有益に教科書を一緒に考えながら読み進めてゆくためには、それなりの哲学への関心と学習意欲が必要となる。			
授業方法	指定の教科書を読み進めていき、議論を通じて、教科書の内容を解釈、検討してゆく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	3分の2以上出席した者を評価対象とし、授業への参加度や取り組み方を評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1973年6月10日	講談社	美について（講談社現代新書）	今道友信
	備考	履修にあたっては上記教科書を各自用意すること。		
参考書	そのつど必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	原則として火曜日12：00～13：00、土曜日12:00～13:00（休暇期間は電子メールで相談の上対応する）。事前に電子メールでの連絡を踏まえ対応する。 研究室（本館6階1612）okayama.keiji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（1）——授業内容や評価方法などの説明
	事後学習	ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。
2	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。美の存在について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（2）——「美とは何か」という点から、授業の目的や到達目標について確認する。
	事後学習	美とは何かという問いがどうして哲学のテーマになるのかという意味について確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
3	事前学習	「1—美の発見」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（1）——1—美の発見（11ページ～）
	事後学習	「1—美の発見」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
4	事前学習	「2—美の理解」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（2）——2—美の理解（35ページ～）
	事後学習	「2—美の理解」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。

5	事前学習	「3―芸術の力」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（3）　――3―芸術の力（55ページ～）
	事後学習	「2―芸術の力」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと
6	事前学習	「4―芸術の理念　1再現と表現、2写意と形似、3逆現象の同時展開」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（4）　――4―芸術の理念　1再現と表現、2写意と形似、3逆現象の同時展開（81ページ～）
	事後学習	「4―芸術の理念　1再現と表現、2写意と形似、3逆現象の同時展開」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
7	事前学習	「4―芸術の理念　4素材としての風土　5様式史の成立　6芸術と歴史」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（5）　――4―芸術の理念　4素材としての風土　5様式史の成立　6芸術と歴史（99ページ～）
	事後学習	「4―芸術の理念　4素材としての風土　5様式史の成立　6芸術と歴史」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
8	事前学習	「5―芸術の源泉　1時間のなかの芸術　2狂気と天才」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（6）　――5―芸術の源泉　1時間のなかの芸術　2狂気と天才（115ページ～）
	事後学習	「5―芸術の源泉　1時間のなかの芸術　2狂気と天才」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
9	事前学習	「5―芸術の源泉　3解釈と価値　4躍動と枯淡」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（7）　――5―芸術の源泉　3解釈と価値　4躍動と枯淡（126ページ）
	事後学習	「5―芸術の源泉　3解釈と価値　4躍動と枯淡」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
10	事前学習	「6―芸術の社会的機能」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（8）　――6―芸術の社会的機能（141ページ～）
	事後学習	「6―芸術の社会的機能」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
11	事前学習	「7―人格の美」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（9）　――「7―人格の美」（163ページ～）
	事後学習	「7―人格の美」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
12	事前学習	「8―美の経験」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（10）　――「8―美の経験」（185ページ～）
	事後学習	「8―美の経験」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
13	事前学習	「9―最高の価値としての美　1美の合意するもの　2社会の芸術的機能」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（11）　――9―最高の価値としての美　1美の合意するもの　2社会の芸術的機能（209ページ～）
	事後学習	「9―最高の価値としての美　1美の合意するもの　2社会の芸術的機能」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
14	事前学習	「9―最高の価値としての美　3生命を秤とする　4美という価値」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（12）　――9―最高の価値としての美　3生命を秤とする　4美という価値（222ページ～）
	事後学習	「9―最高の価値としての美　3生命を秤とする　4美という価値」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
15	事前学習	教科書全体を振り返り、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括
	事後学習	教科書全体の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。

科目名	教養演習 I A	担当者	小野 美典	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	藤原定家の選んだ『小倉百人一首』の中から、担当者が自分の好きな歌を取り上げて、その解釈に関して総合的な調査を行い、演習形式で発表する。それをもとに、参加者全員で質疑・応答し、最も妥当性の高い解釈・学説は何なのかを議論する。					
授業目的・到達目標	〔一〕『小倉百人一首』に関する理解を深める。 〔二〕先行研究を踏まえた上で、様々な資料調査ができるようになるとともに、それを分析して自分なりの意見が発表できるようにすることを目的とする。					
履修条件	別になし					
授業方法	各自の好きな和歌を一首取り上げて、その調査報告を行う。テキストには高校までで学習する基本事項が網羅・説明されているので、この授業では鎌倉時代以降、一首をどのように理解してきたかの調査に主眼を置く。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		「演習発表」「授業中の質疑応答への参加」「レポート」を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年12月刊	文英堂		『原色小倉百人一首』（594円）		鈴木日出男・山口慎一
	備考					
参考書	講義中に適宜紹介する。調査に必要な基本的な著書に関しては教員の側で用意するので、一部を複写して利用してよい。『小倉百人一首』は著名な作品であるが、とんでもなく珍妙な解釈が存在していたことを知って、驚いてほしい。					
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの「小倉百人一首解説」の項を読んでおく。
	授業内容	授業概要の説明（成績評価の方法、授業の進め方などを詳細に説明するので必ず出席すること）
	事後学習	授業概要を理解した上で、テキストに目を通し、各自で発表する歌を決めておく。
2	事前学習	テキストの 2 番歌「春過ぎて夏来にけらし白妙の衣干すてふ天の香具山」の解説を読んでおく。
	授業内容	教員の側で発表例として、2 番歌「春過ぎて夏来にけらし白妙の衣干すてふ天の香具山」を取り上げて古注で意見の対立のあるもの、従来の理解のされ方などの説明を行う。併せて、各自の演習発表の順番と担当歌を決定する。
	事後学習	講義で扱った古注、先行研究などについてまとめておく。
3	事前学習	今日の発表者の担当する歌について、テキストの該当箇所を読んで発表に臨む。余裕がある場合は、図書館やネットを利用して、その歌に関して自分なりに理解を深めておく。
	授業内容	〔一〕発表者による調査報告 〔二〕それに対する質疑・応答 〔三〕最終的に最も妥当な解釈は何なのかを考える。
	事後学習	発表者が使った資料で、自分の発表に関連ある事項、関連しそうな著作・論文を押さえておく。テキストの歌の解説と今日の発表者の意見の違いを整理する。
4	事前学習	今日の発表者の担当する歌について、テキストの該当箇所を読んで発表に臨む。余裕がある場合は、図書館やネットを利用して、その歌に関して自分なりに理解を深めておく。
	授業内容	〔一〕発表者による調査報告 〔二〕それに対する質疑・応答 〔三〕最終的に最も妥当な解釈は何なのかを考える。
	事後学習	発表者が使った資料で、自分の発表に関連ある事項、関連しそうな著作・論文を押さえておく。テキストの歌の解説と今日の発表者の意見の違いを整理する。

科目名	教養演習 I B	担当者	大岡 聡	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	「1968年」は、世界的に若者・学生達による抗議運動が頂点を迎えた年であり、それらの動きは各国の政治・社会・文化に巨大な変化をもたらした。この現代史の転換点である「1968年」の歴史的意味を解明しようとする若い世代の研究者による研究が、近年積み重ねられてきている。「1968年」の日本社会に何が起こったのか？、そのことが持つ意味は何か？ この演習では小熊英二の大著『1968年』を足がかりにしながら考えてみたい。			
授業目的・到達目標	①戦後日本社会の歴史的変動や戦後日本の思想・社会意識の特質について見識をもつ ②社会現象を歴史的・構造的に理解する力をつける ③確かな根拠に基づいて、論理的な主張を展開する力をつける ④読解力や表現力、討論する能力を向上させる ⑤学問を媒介とした人間関係の構築			
履修条件	上記のテーマや講義の目標に関心のあるものであれば、学年を問わず参加できる。知的好奇心や知的向上心をもつ者、歴史を通じて日本社会の今と未来を考えたい者、大教室講義に飽き足らないものを感じている者を歓迎する。			
授業方法	受講生は交代でテキストの論点のまとめ・コメントの発表を行ない、それをめぐって討論を進める。可能であれば、当事者へのインタビューや資料調査を行ないたい。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	発表の内容や討論での貢献などを総合的に判断して評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2009年	新曜社	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』 『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』	小熊英二
	備考			
参考書	ノルベルト・フライ『1968年 反乱のグローバリズム』（みすず書房）、西田慎・梅崎透編『グローバル・ヒストリーとしての「1968年」』（ミネルヴァ書房）			
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス・参加者自己紹介・スケジュール決定
	事後学習	ガイダンスレジュメを見直す。テキストを購入する。
2	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(1)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
3	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(2)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
4	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(3)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。

5	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(4)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
6	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(5)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
7	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(6)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
8	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(上) 若者たちの叛乱とその背景』(7)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
9	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』(1)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
10	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』(2)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
11	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』(3)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
12	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』(4)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
13	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』(5)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
14	事前学習	テキストを精読し、コメントを準備する。
	授業内容	『1968年(下) 叛乱の終焉とその遺産』(6)
	事後学習	レジュメやノートを見直し、討論を振り返る。関連する文献に目を通す。
15	事前学習	テキストを見直し、レジュメやノートを見直す。
	授業内容	総括討論
	事後学習	全回の討論・総括討論を踏まえ、今後の研究課題を考える。

科目名	教養演習 I B	担当者	岡山 敬二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【「芸術」を哲学するために】 芸術の存在の意味を哲学的に問いなおそうとする試みとして、プラトン、カント、ヘーゲル、ニーチェ、ハイデガー、メルロ＝ポンティといった哲学者たちに注目し、彼らの言葉に残される、芸術についての思索の足跡をたどりなおしてゆく。芸術を哲学することの古典的な試みを手がかりにして、人間存在にとっての芸術の存在の意味について、問い、考えてゆく。				
授業目的・到達目標	ジョン・ラコスト著『芸術哲学入門』（阿部茂樹訳、文庫クセジュ）では、哲学史における芸術論の歩みのなかで代表的な議論を取り上げながら、芸術を哲学するための手引きが紹介されてゆく。その試みを追いかけてながら、人間存在にとっての芸術の存在の意味について、自分なりに問い、考えてゆくことで、日常生活に埋もれている真理のありようを見つめなおす哲学的な視野を育てゆくことを目的とする。 物や道具のあり方とは違う芸術のありようを見つめなおしてゆくことで、既成の観点に縛られずに、さまざまな立場や視点を比較・検討できるようになる。				
履修条件	2年次生以上。有益に教科書を一緒に考えながら読み進めてゆくためには、それなりの哲学への関心と学習意欲が必要となる。				
授業方法	指定の教科書を読み進めていき、議論を通じて、教科書の内容を解釈、検討してゆく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	3分の2以上出席した者を評価対象とし、授業への参加度や取り組み方を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2002年5月20日	白水社		芸術哲学入門（阿部茂樹訳、文庫クセジュ）	ジャン・ラコスト
	備考	履修にあたっては上記教科書を各自用意すること。			
参考書	そのつど必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	原則として火曜日12：00～13：00、土曜日12:00～13:00（休暇期間は電子メールで相談の上対応する）。 事前に電子メールでの連絡を踏まえ対応する。 研究室（本館6階1612）okayama.keiji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（1）——授業内容や評価方法などの説明
	事後学習	ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。
2	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。芸術とは何か、哲学とは何かについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（2）——「芸術とは何か」という点から、授業の目的や到達目標について確認する。
	事後学習	芸術とは何かという問いがどうして哲学のテーマになるのかという意味について確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
3	事前学習	「第一章 模倣 I ミメーシス II 芸術の魅惑」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（1）——第一章 模倣 I ミメーシス II 芸術の魅惑
	事後学習	「第一章 模倣 I ミメーシス II 芸術の魅惑」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
4	事前学習	「第一章 模倣 II 芸術の魅惑 III 美と芸術創造」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（2）——第一章 模倣 II 芸術の魅惑 III 美と芸術創造
	事後学習	「第一章 模倣 II 芸術の魅惑 III 美と芸術創造」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。

5	事前学習	「第二章 美学の問題 I 問題としての趣味 II 美と崇高」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（3） ——第二章 美学の問題 I 問題としての趣味 II 美と崇高
	事後学習	「第二章 美学の問題 I 問題としての趣味 II 美と崇高」講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
6	事前学習	「第二章 美学の問題 III 天才と諸芸術 IV 芸術と意志」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（4） ——第二章 美学の問題 III 天才と諸芸術 IV 芸術と意志
	事後学習	「第二章 美学の問題 III 天才と諸芸術 IV 芸術と意志」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
7	事前学習	「第三章 芸術の運命」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（5） ——第三章 芸術の運命
	事後学習	「第三章 芸術の運命」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
8	事前学習	「第四章 想像力」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（6） ——第四章 想像力
	事後学習	「第四章 想像力」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
9	事前学習	「第五章 芸術家 I ディオニュソスの発見 II ヴァーグナーの場合」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（7） ——第五章 芸術家 I ディオニュソスの発見 II ヴァーグナーの場合
	事後学習	「第五章 芸術家 I ディオニュソスの発見 II ヴァーグナーの場合」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
10	事前学習	「第五章 芸術家 II ヴァーグナーの場合 III 悲劇と「偉大な様式」」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（8） ——第五章 芸術家 II ヴァーグナーの場合 III 悲劇と「偉大な様式」
	事後学習	「第五章 芸術家 II ヴァーグナーの場合 III 悲劇と「偉大な様式」」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
11	事前学習	「第六章 芸術と真理 I 物、道具、作品」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（9） ——第六章 芸術と真理 I 物、道具、作品
	事後学習	「第六章 芸術と真理 I 物、道具、作品」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
12	事前学習	「第六章 芸術と真理 II 作品の本質」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（10） ——第六章 芸術と真理 II 作品の本質
	事後学習	「第六章 芸術と真理 II 作品の本質」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
13	事前学習	「第七章 表現 I 事物の現実性 II 絵画の世界」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（11） ——第七章 表現 I 事物の現実性 II 絵画の世界
	事後学習	「第七章 表現 I 事物の現実性 II 絵画の世界」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
14	事前学習	「第七章 表現 III 芸術家の自由 IV 沈黙の声」を読み、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	テキストの講読（12） ——第七章 表現 III 芸術家の自由 IV 沈黙の声
	事後学習	「第七章 表現 III 芸術家の自由 IV 沈黙の声」の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。
15	事前学習	教科書全体振り返り、疑問や質問、意見や感想等があれば整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括
	事後学習	教科書全体の講読を踏まえ、疑問や質問があれば整理しておくこと。

科目名	教養演習 I B	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	藤原定家の選んだ『小倉百人一首』の中から、担当者が自分の好きな歌を取り上げて、その解釈に関して総合的な調査を行い、演習形式で発表する。それをもとに、参加者全員で質疑・応答し、最も妥当性の高い解釈・学説は何なのかを議論する。			
授業目的・到達目標	〔一〕『小倉百人一首』に関する理解を深める。 〔二〕先行研究を踏まえた上で、様々な資料調査ができるようになるとともに、それを分析して自分なりの意見が発表できるようにすることを目的とする。			
履修条件	別になし			
授業方法	各自の好きな和歌を一首取り上げて、その調査報告を行う。テキストには高校までで学習する基本事項が網羅・説明されているので、この授業では鎌倉時代以降、一首をどのように理解してきたかの調査に主眼を置く。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	「演習発表」「授業中の質疑応答への参加」「レポート」を総合的に評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年12月刊	文英堂	『原色小倉百人一首』（594円）	鈴木日出男・山口慎一
	備考			
参考書	講義中に適宜紹介する。調査に必要な基本的な著書に関しては教員の側で用意するので、一部を複写して利用してよい。『小倉百人一首』は著名な作品であるが、とんでもなく珍妙な解釈が存在していたことを知って、驚いてほしい。			
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの「小倉百人一首解説」の項を読んでおく。
	授業内容	授業概要の説明（成績評価の方法、授業の進め方などを詳細に説明するので必ず出席すること）
	事後学習	授業概要を理解した上で、テキストに目を通し、各自で発表する歌を決めておく。
2	事前学習	テキストの2番歌「春過ぎて夏来にけらし白妙の衣干すてふ天の香具山」の解説を読んでおく。
	授業内容	教員の側で発表例として、92番歌「わか袖は潮干に見えぬ沖の石の人こそ知らねかはく間もなし」を取り上げて古注で意見の対立のあるもの、従来の理解のされ方などの説明を行う。併せて、各自の演習発表の順番と担当歌を決定する。
	事後学習	講義で扱った古注、先行研究などについてまとめておく。
3	事前学習	今日の発表者の担当する歌について、テキストの該当箇所を読んで発表に臨む。余裕がある場合は、図書館やネットを利用して、その歌に関して自分なりに理解を深めておく。
	授業内容	〔一〕発表者による調査報告 〔二〕それに対する質疑・応答 〔三〕最終的に最も妥当な解釈は何なのかを考える。
	事後学習	発表者が使った資料で、自分の発表に関連ある事項、関連しそうな著作・論文を押さえておく。テキストの歌の解説と今日の発表者の意見の違いを整理する。
4	事前学習	今日の発表者の担当する歌について、テキストの該当箇所を読んで発表に臨む。余裕がある場合は、図書館やネットを利用して、その歌に関して自分なりに理解を深めておく。
	授業内容	〔一〕発表者による調査報告 〔二〕それに対する質疑・応答 〔三〕最終的に最も妥当な解釈は何なのかを考える。
	事後学習	発表者が使った資料で、自分の発表に関連ある事項、関連しそうな著作・論文を押さえておく。テキストの歌の解説と今日の発表者の意見の違いを整理する。

科目名	教養演習ⅡA	担当者	舘野 正生	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【東洋思想に生きることを学ぶ】東洋思想の根幹には生きることにに対する追究があり、そこには今を生きる我々にとって有益な教えが説かれている。東洋思想におけるこの流れに基づいて、生きづらい人生がより生きやすくなるよう、参加者の発表を元にして参加者全員で探っていきたい。自分が今、生きている中での問題に関して、参加者全員で検討し考察を深めていくことにより、より良い人生のための糧となるように行っていきたい。				
授業目的・到達目標	参加者の様々な見解を聞くことにより、今を生きる上で有益な自分にとっての最適解を見出していくことを目的とする。速やかに成長発達して、より生きやすくなることを目指して訓練する場にしたい。肝心な点は、発表、検討を繰り返すことによって、普通に生きている日常の様々な物事から自分にとっての意味を見つけ出し、深く学ぶことを習慣化して「自分を成長（自己進化）させる」ことができるようになることにある。なお、自分の見解を発表してもらうので、簡潔、かつ明確に自分の考えを表明できることが求められる。なお、本授業は参加者の発表によって行われていくので、下の授業計画は単に仮に書かれたものに過ぎない。				
履修条件	舘野担当の宗教学Ⅰ・Ⅱ、及び教養演習ⅠA、ⅠBを履修済みであることが望ましい。面白く行いたいため真剣に懸命に取り組める人に参加してほしい。遅刻しないこと。遅刻・欠席は減点。いかなる理由でも欠席4回で成績は付かない				
授業方法	発表形式。参加者の発表を元にみんなで語り合い、さらに内容を深めて行く。発表はグループ発表、個人発表、双方とも複数回行ってもらう。学生教員共有フォルダに過去の授業アンケートを公開しているので参考にしてほしい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	真剣に参加し自分を成長させることができているか、より良い発表ができるように工夫しているか、より深く探っているか、さらに欠席・遅刻の回数などから総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。			
参考書	随時伝達する。				
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスを元に履修を検討する
2	事前学習	東洋思想について調べておく
	授業内容	東洋思想に基づき発表①
	事後学習	分かったことを日常に活かす
3	事前学習	東洋思想について調べておく
	授業内容	東洋思想に基づき発表②
	事後学習	分かったことを日常に活かす
4	事前学習	『論語』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「論語」①
	事後学習	分かったことを日常に活かす

5	事前学習	『論語』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「論語」②
	事後学習	分かったことを日常に活かす
6	事前学習	『老子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「老子」①
	事後学習	分かったことを日常に活かす
7	事前学習	『老子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「老子」②
	事後学習	分かったことを日常に活かす
8	事前学習	これまでの発表を振り返っておく
	授業内容	到達度確認試験、及び解説
	事後学習	ここまでの期間で分かったことをまとめ、日常で活用したことをまとめる
9	事前学習	『莊子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「莊子」①
	事後学習	分かったことを日常に活かす
10	事前学習	『莊子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「莊子」②
	事後学習	分かったことを日常に活かす
11	事前学習	『莊子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「莊子」③
	事後学習	分かったことを日常に活かす
12	事前学習	『列子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「列子」①
	事後学習	分かったことを日常に活かす
13	事前学習	『列子』について調べておく
	授業内容	中国古代思想に基づき発表「列子」②
	事後学習	分かったことを日常に活かす
14	事前学習	これまでの内容を振り返っておく
	授業内容	総括
	事後学習	授業内容を日常で活かす
15	事前学習	これまでの内容を振り返っておく
	授業内容	到達度確認総合試験、及び解説
	事後学習	全体から分かったことを自分に当てはめて日常で活用していく

科目名	教養演習ⅡA	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	史学的研究手法と他の学問の研究手法との違いやそれぞれの長短を、具体例を通して学ぶ。19世紀イギリスの政治文化での宗教の果たした役割に関する一つの通説をまず学び、その後、その通説がどの程度正しいかを具体的な事例（19世紀後半のイングランドの「農民反乱」と教会）を通して考える。また希望者には、歴史論文の作成指導を行なう。			
授業目的・到達目標	イギリスの政治がいかに文化的・精神的な要素に強く結びついているかを理解し、その結びつきに関する一般化や理論などを学ぶ。そのうえで、19世紀イギリスの政治文化における政治と宗教の複雑な関係、解釈の困難さを歴史学的視点から考えられる力を養う。史学的手法による小論文作成の指導を希望する学生は、一次資料や二次資料を用いて歴史学問いに自分なりの解答をだせるようになる。			
履修条件	特になし（キリスト教会史の知識がなくても分かるよう授業を進めていく）。			
授業方法	講義（ビデオや絵などの視覚教材やプリントなどの配布資料を用いながら行なう）。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	授業中の課題や参加態度、授業内試験などを総合的に評価する。
	平常評価		100%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	必要に応じて、授業中に資料を配布する。		
参考書	村岡健次・川北稔編著『イギリス近代史（改訂版）』ミネルヴァ書房。ローハン・マックウィリアム『一九世紀イギリスの民衆と政治文化：ホブズボーム・トムスン・修正主義をこえて』昭和堂。			
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ヘンリー8世の宗教改革、ピューリタン革命、名誉革命とはそれぞれどのようなものであったか、辞典などを用いて調べてくる。
	授業内容	前期ガイダンス 近代イギリスの宗教と政治での鍵 プロテスタント的立憲主義のネイション
	事後学習	17世紀後半にイングランドがプロテスタント・コンスティテューションをどのように形成したか、まとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
2	事前学習	ジョン・ウェスレーとはどんな人物か、またメソジスト派とはどのような活動をしたグループかについて、調べてくる。
	授業内容	沈黙の革命？：民衆の信仰、メソジスト 宗教的ヴォランタリ・ソサエティ 「チャーチ」と「チャペル」の融合
	事後学習	国教会と非国教会の境界が、メソジスト派によってどのように曖昧にされたかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
3	事前学習	産業革命とその社会的影響について、またフランス革命と19世紀のヨーロッパの暴動・革命について調べてくる。
	授業内容	19世紀イギリス政治文化の「旧説」「修正主義」 アレヴィ論争、階級闘争史観、言語論的転回
	事後学習	フランスの哲学者アレヴィが19世紀イギリス社会の相対的な政治的安定についてどのように説明したか、まとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
4	事前学習	イギリスの18世紀の「農業革命」について、また、19世紀の労働運動について調べてくる。
	授業内容	ケース・スタディの説明 19世紀後半イングランドの「農民反乱」と諸教会
	事後学習	19世紀後半のイングランドにおいて、農業労働者たちがどのように労働組合運動を生み出したのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。

5	事前学習	イギリス国教会、長老派、会衆派、バプティスト派、クエーカーとは、それぞれどのような特徴をもったキリスト教か調べてくる。
	授業内容	教会と経済（１）：労働組合の展開 「美化された労働運動史」「拭い難き教派的物語・護教的視座」
	事後学習	ナイジェル・スコットランド博士が、農業労働者の組合運動とキリスト教とのつながりについて、どのような仮説を立てているかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
6	事前学習	19世紀半ばのイングランドの農業労働者の生活水準や環境について調べてくる。
	授業内容	教会と経済（２）：労働争議 「公共文化」の功罪 「メディア」による虚像・刷り込み
	事後学習	農業労働者組合の労働争議に、各地の国教会と非国教会がどのように関与していたかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
7	事前学習	1870年代のイギリスが、どのような地域に植民地などを持っていたか調べてくる。
	授業内容	教会と経済（３）：労働者の国外移住 大英帝国領への「出エジプト」とイングランド地方教会崩壊の危機
	事後学習	農業労働者の国内外移住政策に、各地の国教会・非国教会がどのように関与したか調べてくる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
8	事前学習	19世紀半ばのイングランドにおいて、教区の行政がどのようになっていたのか、また教区による慈善活動にどのようなものがあったか調べてくる。
	授業内容	教会と政治（１）：教区権問題 家父長的国教会支配体制からの脱却 教区チャリティ運営での主導権争い
	事後学習	農業労働者組合の教区権への介入政策に、各地の国教会・非国教会がどのように関与したかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
9	事前学習	第二次困い込み運動とその影響について調べてくる。
	授業内容	教会と政治（２）：土地法改革運動 「チャーチ(国教会)」対「チャペル(非国教派)」のレトリック
	事後学習	農業労働者組合による土地購入政策と土地法改革運動に対して、各地の国教会・非国教会がどのように関与したかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
10	事前学習	政党政治とは何か、第一回選挙法改正と第二回選挙法改正はそれぞれどのような改正であったのか調べてくる。
	授業内容	教会と政治（３）：選挙法改正運動 政党政治と「リップ=ラプ」、ジェンダー オールド・ディッセンターと自由党
	事後学習	農業労働者組合と自由党との接近に対して、各地の国教会・非国教会はどのような態度を示したかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
11	事前学習	国教会と非国教派の諸教会の教会運営・維持費はどこから得られているか調べてくる。
	授業内容	教会と社会改革（１）：国教廃止運動 「反聖職者感情」と「千年王国論」の再燃 オールド・ディッセンターの国制観
	事後学習	農業労働者組合が急進的自由党員の政策を採用したことに対して、各地の国教会・非国教会がどのような態度を示したかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
12	事前学習	新救貧法、友愛組合、キリスト教社会主義、救世軍、COS(Charity Organization Society)、またイギリスのその他の救貧事業について調べてくる。
	授業内容	教会と社会改革（２）：救貧活動の変遷 友愛組合、キリスト教社会主義、救世軍、COS アガペーの伝統（呪縛）とその変形力
	事後学習	イギリスの伝統的な救貧事業や19世紀に新たに始まった救貧事業にどのようなものがあるかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
13	事前学習	19世紀のイギリスの社会保障の実態がどのようなものであったのか調べてくる。
	授業内容	教会と社会改革（３）：共済組織の形成 「リスペクタブル」な市民、「儉約・節酒」 非国教派的な地域共同体づくりの夢
	事後学習	農業労働者組合の共済組織形成に対して、各地の国教会・非国教会がどのように関与したかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
14	事前学習	第三回選挙法改正とはどのような改革だったのか調べてくる。
	授業内容	教会と政治・社会改革 政党政治・第三回選挙法改正・農業労働者組合の終焉
	事後学習	第三回選挙法改正の推進運動や改正後の最初の総選挙において、各地の国教会・非国教会がどのように関与したかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
15	事前学習	ナイジェル・スコットランドが宗教社会的に立てた仮説は、史学的手法を用いた今回の再検討の結果、修正が必要か、また必要ならばどのように修正されなければならないか考えてくる。
	授業内容	ケース・スタディのまとめ 19世紀後半イングランドの「農民反乱」と諸教会 通説と実態の相違 なぜ一般化や理論では歴史の実態を見誤るのか
	事後学習	授業内に紹介された参考文献や配布された資料を読み、歴史学的手法を自分の研究に応用する能力を確かなものにしていく。

科目名	教養演習ⅡA	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【武田泰淳の小説・評論を精読する】この演習では、小説家の武田泰淳（1912-1976）の小説と評論を精読する。小説「ひかりごけ」が知られている泰淳だが、小説と評論で扱っている問題は文学のみならず日本文化・政治・宗教・歴史・戦争論等の幅広い分野にわたっている。それらを読むことで、参加者の考えを多角的に深めてゆく。					
授業目的・到達目標	武田泰淳の小説と評論を通して様々な社会事象・歴史的観点・文学における問題等への認識を深めつつ、議論のなかで参加者各々の考えを確立してゆくことが目標である。なお、扱う題材は演習の進行度合いによって変更する可能性がある。					
履修条件	特になし。					
授業方法	一週に一作品のペースで読み進めてゆく（演習の進行具合により変動する場合がある）。担当者は必ず報告レジュメを作成すること。参加者は全員が当該短編を読んでくること。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		課題の提出と、演習内の参加度を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1992年	新潮文庫		ひかりごけ		武田泰淳
	1992年	岩波文庫		評論集 滅亡について・他十三篇		武田泰淳
	備考	評論集は現在古書でのみ入手可能のため、参加者の事情によっては、配布プリントをテキストに用いる。				
参考書	教場にて適宜指示する。					
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本の近代文学について、可能な範囲で調べておくこと。
	授業内容	日本文学について（総論）、イントロダクション
	事後学習	日本文学について、演習内容を確認しておくこと。
2	事前学習	武田泰淳について、可能な範囲で調べてくること。
	授業内容	武田泰淳について（総論）
	事後学習	武田泰淳について、演習内容を確認しておくこと。
3	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「滅亡について」を読む
	事後学習	「滅亡について」に関して、演習内容を確認しておくこと。
4	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「勸善懲惡について」を読む
	事後学習	「勸善懲惡について」に関して、演習内容を確認しておくこと。

5	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「無感覚なボタン」を読む
	事後学習	「無感覚なボタン」について、演習内容を確認しておくこと。
6	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「限界状況における人間」を読む
	事後学習	「限界状況における人間」について、演習内容を確認しておくこと。
7	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「異形の者」を読む
	事後学習	「異形の者」について、演習内容を確認しておくこと。
8	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「流人島にて」を読む
	事後学習	「流人島にて」について、演習内容を確認しておくこと。
9	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「作家と作品」を読む
	事後学習	「作家と作品」について、演習内容を確認しておくこと。
10	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「宇宙的なるもの」を読む
	事後学習	「宇宙的なるもの」について、演習内容を確認しておくこと。
11	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「私の創作体験」を読む
	事後学習	「私の創作体験」について、演習内容を確認しておくこと。
12	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「社会主義的指導者S氏と仏教者Bとの対話」を読む
	事後学習	「社会主義的指導者S氏と仏教者Bとの対話」について、演習内容を確認しておくこと。
13	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「海肌の匂い」を読む
	事後学習	「海肌の匂い」について、演習内容を確認しておくこと。
14	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「ひかりごけ」を読む（1）
	事後学習	「ひかりごけ」について、演習内容を確認しておくこと。
15	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「ひかりごけ」を読む（2）。半期の演習をふりかえり、理解の到達度を確認する
	事後学習	「ひかりごけ」について、演習内容を確認しておくこと。

科目名	教養演習ⅡB	担当者	舘野 正生	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	【日本の思想に生きることを学ぶ】たとえば世阿弥の稽古や宮本武蔵の鍛錬は自分や人間に対する探究であると言え、そのためその基盤には「人間の成長」が置かれている。このような追究を日本の思想家たちに範を取り、この基本線に則った様々な課題に対する数人でのグループ発表、個人の発表を元に参加者で検討し合うことによって、より速やかな進化・成長を目指したい。			
授業目的・到達目標	参加者の様々な見解を聞くことにより、今を生きる上で有益な自分にとっての最適解を見出していくことを目的とする。速やかに成長発達して、より生きやすくなることを目指して訓練する場にしたい。肝心な点は、発表、検討を繰り返すことによって、普通に生きている日常の様々な物事から自分にとっての意味を見つけ出し、深く学ぶことを習慣化して「自分を成長（自己進化）させる」ことができるようになることにある。なお、自分の見解を発表してもらうので、簡潔、かつ明確に自分の考えを表明できることが求められる。なお、本授業は参加者の発表によって行われていくので、下の授業計画は単に仮に書かれたものに過ぎない。			
履修条件	館野担当の宗教学Ⅰ・Ⅱ、及び教養演習ⅠA、ⅠB・ⅡAを履修済みであることが望ましい。おもしろく行いたいため、真剣に懸命に取り組める人に参加してほしい。遅刻・欠席は減点。いかなる理由でも欠席4回で成績は付かない。			
授業方法	発表形式。参加者の発表を元にみんなで語り合い、さらに内容を深めて行く。発表はグループ発表、個人発表、双方とも複数回行ってもらう。学生教員共有フォルダに過去の授業アンケートを公開しているので参考にしてほしい。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	真剣に参加し自分を成長させることができているか、より良い発表ができるように工夫しているか、より深く探っているか、および欠席・遅刻の回数などから総合的に評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず。		
参考書	随時伝達する。			
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスによって履修を検討する
2	事前学習	日本の思想について学んでおく
	授業内容	日本の思想に基づく内容についてグループ発表と検討
	事後学習	分かったことを日常で活かす
3	事前学習	日本の思想について学んでおく
	授業内容	日本の思想に基づく内容についてグループ発表と検討
	事後学習	分かったことを日常で活かす
4	事前学習	日本の思想について学んでおく
	授業内容	日本の思想に基づく内容についてグループ発表と検討
	事後学習	分かったことを日常で活かす

5	事前学習	日本の思想について学んでおく
	授業内容	日本の思想に基づく内容についてグループ発表と検討
	事後学習	分かったことを日常で活かす
6	事前学習	日本の思想について学んでおく
	授業内容	日本の思想に基づく内容についてグループ発表と検討
	事後学習	分かったことを日常で活かす
7	事前学習	これまでの内容を振り返っておく
	授業内容	到達度確認試験、及び解説
	事後学習	分かったことを日常で活かす
8	事前学習	宮本武蔵の思想について調べておく
	授業内容	日本の思想について発表「宮本武蔵」①
	事後学習	分かったことを日常で活かす
9	事前学習	宮本武蔵の思想について調べておく
	授業内容	日本の思想について発表「宮本武蔵」②
	事後学習	分かったことを日常で活かす
10	事前学習	宮本武蔵の思想について調べておく
	授業内容	日本の思想について発表「宮本武蔵」③
	事後学習	分かったことを日常で活かす
11	事前学習	世阿弥の思想について調べておく
	授業内容	日本の思想について発表「世阿弥」①
	事後学習	分かったことを日常で活かす
12	事前学習	世阿弥の思想について調べておく
	授業内容	日本の思想について発表「世阿弥」②
	事後学習	分かったことを日常で活かす
13	事前学習	世阿弥の思想について調べておく
	授業内容	日本の思想について発表「世阿弥」③
	事後学習	分かったことを日常で活かす
14	事前学習	これまでの内容を振り返っておく
	授業内容	総括
	事後学習	分かったことを日常で活かす
15	事前学習	これまでの全ての内容を振り返っておく
	授業内容	到達度確認総合試験、及び解説
	事後学習	全体から分かったことを自分に当てはめて日常で活用していく

科目名	教養演習ⅡB	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	歴史学の手法の諸問題を論じた英語文献を用いながら、歴史学的研究方法の理解を深める。また、希望者は、歴史学的手法による小論文作成の指導を受け、実際に小論文を作成する。			
授業目的・到達目標	学問としての歴史学研究のメリット・デメリットを十分理解し、説明することができるようになる。また、小論文作成を希望し、その指導を受けた受講生は、自ら歴史学的手法を用いて歴史的な問いに対して答えを導き出すことができるようになる。小論文作成指導の希望者は、日本語以外で最も自分が得意とする言語（外国語）で書かれた資料（史料）を材料にして小論文を作成することを目指してほしい。			
履修条件	英語文献を講読していくため、各回の箇所について事前に和訳等して、内容をできるだけ理解してくること。また英語の辞書を毎回持ってくること（電子辞書でも可だが、紙の英和辞典が好ましい）。			
授業方法	受講生による講読、および教師による解説。小論文作成希望者には、論文作成の指導。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業中の課題や参加態度、授業内試験などを総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2002 (1st ed., 1967)	Blackwell Publishing	The Practice of History	G. R. Elton
	備考	教科書などの資料の入手方法等に関しては、授業で説明し対応する。		
参考書	John Warren, "History and the Historians", Hodder& Stoughton, 1999. リチャード・J・エヴァンズ『歴史学の擁護―ポストモダニズムとの対話』、晃洋書房、1999年。			
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをしっかりと読み、この講座について目的や方法や履修条件を理解してくる。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	E. H. カーの主張とG. R. エルトンの主張は、どのような点でなぜ対立するのかまとめる。
2	事前学習	テキストの'Preface'の箇所pp. vii-viiiを読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Preface E. R. エルトンの執筆目的
	事後学習	この本が何の目的で書かれたものか、その趣旨についてまとめる。授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
3	事前学習	テキストの'The Present Debate'の箇所pp. 1-4を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	The Present Debate 近代歴史学の誕生と近代歴史学をめぐる論争
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
4	事前学習	テキストの'The Present Debate'の箇所pp. 4-7を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	The Present Debate 近代歴史学の誕生と近代歴史学をめぐる論争
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。

5	事前学習	テキストの'Autonomy'の箇所pp. 7-9を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Autonomy 歴史学独自の手法と歴史学独自の成果
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
6	事前学習	テキストの'Autonomy'の箇所pp. 9-11を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Autonomy 歴史学独自の手法と歴史学独自の成果
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
7	事前学習	テキストの'Kinds'の箇所pp. 11-15を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Kinds 歴史学による間違った研究と優れた研究の違い
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
8	事前学習	テキストの'Kinds'の箇所pp. 15-18を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Kinds 歴史学による間違った研究と優れた研究の違い
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
9	事前学習	テキストの'Kinds'の箇所pp. 18-21を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Kinds 歴史学による間違った研究と優れた研究の違い
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
10	事前学習	テキストの'Rivals'の箇所pp. 21-28を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Rivals 歴史学と他の学問との望ましい関係
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
11	事前学習	テキストの'Rivals'の箇所pp. 28-35を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Rivals 歴史学と他の学問との望ましい関係
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
12	事前学習	テキストの'Purpose'の箇所pp. 35-30を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Rivals 歴史学と他の学問との望ましい関係
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
13	事前学習	テキストの'Purpose'の箇所pp. 35-30を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Purpose 歴史学の目的と人類や社会への貢献
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
14	事前学習	テキストの'Purpose'の箇所pp. 40-45を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Purpose 歴史学の目的と人類や社会への貢献
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
15	事前学習	テキストAfterword by Richard Evans'の箇所pp. 165-203を読み、日本語で説明できるようにしてくる。
	授業内容	Afterword by Richard Evans 「E. H. カー vs. G. R. エルトン」論争を振り返って
	事後学習	授業中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。

科目名	教養演習ⅡB	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	【大江健三郎の短編小説を精読する】大江健三郎（1935-）の短篇小説を、半期をかけて精読してゆく。小説の描写、展開、構造等に注意を払いながら一つの作品を読み込んでゆくことは、時間をかけて読む者の頭へと浸透してゆく極めて濃密な体験となりうるだろう。			
授業目的・到達目標	一つの作品をつぶさに読むことで、物事に対する総体的な視野を養いつつ、同時に細部をおろそかにしない注意力を身につける。また小説の描写や構造等に注意することで読解力を高め、独自の視野を切り開く思考力と文章力を鍛える。			
履修条件	特になし。			
授業方法	一週に一作品のペースで読み進めてゆく（演習の進行具合により変動する場合がある）。担当者は必ず報告レジュメを作成すること。参加者は全員が当該短編を読んでくこと。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	演習内の参加度と、課題への取り組みを評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	岩波文庫	大江健三郎自選短篇	大江健三郎
	備考			
参考書	教場で適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本の近代文学について、可能な範囲で調べておくこと。
	授業内容	日本文学について（総論）、イントロダクション
	事後学習	日本文学について、演習内容を確認しておくこと。
2	事前学習	大江健三郎について、可能な範囲で調べてくること。
	授業内容	大江健三郎について（総論）
	事後学習	大江健三郎について、演習内容を確認しておくこと。
3	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「奇妙な仕事」を読む
	事後学習	「奇妙な仕事」について、演習内容を確認しておくこと。
4	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「死者の奢り」を読む
	事後学習	「死者の奢り」について、演習内容を確認しておくこと。

5	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「飼育」を読む
	事後学習	「飼育」について、演習内容を確認しておくこと。
6	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「人間の羊」を読む
	事後学習	「人間の羊」について、演習内容を確認しておくこと。
7	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「セヴンティーン」を読む
	事後学習	「セヴンティーン」について、演習内容を確認しておくこと。
8	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「空の怪物アグイー」を読む
	事後学習	「空の怪物アグイー」について、演習内容を確認しておくこと。
9	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「無垢の歌、経験の歌」を読む
	事後学習	「無垢の歌、経験の歌」について、演習内容を確認しておくこと。
10	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「怒りの大気に冷たい嬰兒が立ちあがって」を読む
	事後学習	「怒りの大気に冷たい嬰兒が立ちあがって」について、演習内容を確認しておくこと。
11	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「落ちる、落ちる、叫びながら」を読む
	事後学習	「落ちる、落ちる、叫びながら」について、演習内容を確認しておくこと。
12	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「新しい人よ眼ざめよ」を読む
	事後学習	「新しい人よ眼ざめよ」について、演習内容を確認しておくこと。
13	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「静かな生活」を読む
	事後学習	「静かな生活」について、演習内容を確認しておくこと。
14	事前学習	発表レジュメを作成してくること（発表者）。当該作品を読み、意見を考えてくること。
	授業内容	「案内人」を読む
	事後学習	「案内人」について、演習内容を確認しておくこと。
15	事前学習	これまで読んできた小説について、意見を考えてくること。
	授業内容	現代文学について。半期の演習をふりかえり、理解の到達度を確認する
	事後学習	半期の演習内容を総ざらいし、確認しておくこと。

科目名	芸術論 I	担当者	石井 香絵	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	美術作品は自身の感性で鑑賞、創作するものとしばしば考えられる。しかし作品に対峙する行為は時代背景や作者、または人は視覚表現をどのように行ってきたかといった知識や考察力を総合して行うものであり、自身の感性だけでなく社会や文化への見解をも深める活動であると考え。以上をふまえ、講義では近現代の美術作品を中心に、その成立事情や、近代以前、異文化等の影響関係を考察する。			
授業目的・到達目標	近現代視覚芸術に関する基本的な知識の修得。受講生の関心の幅を広げ、自発的な作品鑑賞・調査研究の支援となることを目的とする。			
履修条件	特に無し。			
授業方法	講義形式。レジュメ、スライド、視聴覚機器を使用し作例を具体的に紹介しながら進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点と課題の総合評価。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特に無し。授業内で適宜紹介する。		
参考書	授業内で適宜紹介する。			
オフィスアワー	授業前後に受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「芸術」「美術」について自身の知識、見解を整理しておく。
	授業内容	「芸術」「美術」とは何か 受け継がれるかたち まなざしの変遷
	事後学習	美術史の基本事項について復習。
2	事前学習	20世紀前後の美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	20世紀前後の西洋と日本① 自然主義の展開 日本の江戸と近代化
	事後学習	19世紀東西文化の復習。
3	事前学習	20世紀前後の美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	20世紀前後の西洋と日本② 印象派とジャポニスム 日本の近代化政策
	事後学習	ジャポニスムについて復習。
4	事前学習	20世紀前後の美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	表現主義とキュビズム マティス、ピカソの時代 色とかたちの追求
	事後学習	表現主義とキュビズムについて復習。

5	事前学習	20世紀前半の美術、文学活動について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ダダイズム、シュルレアリスム ツァラ、デュシャン、ブルトンの時代
	事後学習	ダダ、シュルレアリスムについて復習。
6	事前学習	アジア太平洋戦争に関する基礎知識について予習。
	授業内容	戦時下の美術 日本の戦争画 全体主義芸術の再考
	事後学習	戦争画について復習。
7	事前学習	戦後日本美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	前衛と戦争の影響 戦後の日本美術 アメリカ美術の台頭
	事後学習	戦前、戦後美術の復習。
8	事前学習	戦後西洋美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	アンフォルメル、アクションの時代① 抽象表現主義 未定形の表現
	事後学習	アンフォルメル、抽象表現主義の復習。
9	事前学習	戦後日本美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	アンフォルメル、アクションの時代② アンフォルメル旋風と日本 具体美術協会
	事後学習	50年代日本美術の復習。
10	事前学習	戦後日本美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ネオ・ダダ、反芸術① カラー・フィールド・ペインティングからネオ・ダダへ
	事後学習	50年代日本とアメリカ美術の復習。
11	事前学習	戦後日本美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ネオ・ダダ、反芸術② 読売アンデパンダン展の時代とその後
	事後学習	60年代日本美術の復習。
12	事前学習	戦後美術、コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ミニマル・アート、もの派、コンセプチュアル・アート 要素の抽出 ミニマルへの普遍的美意識
	事後学習	ミニマル・アート、コンセプチュアル・アートの復習。
13	事前学習	戦後美術、コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ポップ・アート 日用品、マスへの視点 イメージの提示
	事後学習	ポップ・アートについて復習。
14	事前学習	戦後美術、コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	シミュレーションイズム、ニューペインティング 未視感から既視感へ 新表現主義の台頭
	事後学習	シミュレーションイズム、ニューペインティングについて復習。
15	事前学習	コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	まとめ、現代の動向
	事後学習	授業全体の復習。

科目名	芸術論 I	担当者	河原 啓子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、現代の私たちの価値観形成にも関連する近代以降の芸術作品を主に解説する。近年デジタル技術の進展などで視覚の情報授受が変容してきていることを考慮し、見ることを伴う芸術作品（美術、映像など）が中心になる。さまざまな作品を鑑賞しながら深く考察し、芸術作品の存在意義を明らかにしてゆく。単に作品紹介にとどまらず、制作意図や時代を見据えて鑑賞する。				
授業目的・到達目標	多文化が進む社会における問題解明能力を向上させることを目的とする。さまざまな価値観を理解できるようになる。芸術の鑑賞を通して、考える力を養う。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式。パワー・ポイント、視聴覚機器を用いて、数多くの作品を映像などで紹介しながら進める。随時リアクションペーパーを行い、事後にフィードバックする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点と課題の総合評価。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。 vector13155@gmail.comでも対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	芸術とは何か 私たちの視野を広げてくれる芸術 ヴァーチャル技術の今後
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
2	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	複製技術時代の芸術（1） 写真の発明 写真は人々の認識をどのように変えたか 情報授受の変容
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
3	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	複製技術時代の芸術（2） 映画の発明 映画前史からたどる 世界初の映画の登場と影響
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
4	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	複製技術時代の芸術（3） 多様な映像 進展する映像技術は何をもたらすか
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。

5	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	複製技術時代の芸術（４） 音楽の複製　生演奏か録音か グレン・グールドの問題提起
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
6	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	マス・コミュニケーション時代の芸術（１） 芸術の授受システムの形成 異文化受容　ジャポニスム
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
7	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	マス・コミュニケーション時代の芸術（２） 印象派　モネ　ルノワール 芸術の自律へ向けて
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
8	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	マス・コミュニケーション時代の芸術（３） 新印象派 音楽への影響
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
9	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	マス・コミュニケーション時代の芸術（４） 後期印象派　ゴッホ　セザンヌ 日本の影響も交えて
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
10	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	ミュージアムと国家（１）イギリス　産業革命を起こした国はミュージアムで何を示すのか 大英博物館 ナショナル・ミュージアム　他
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
11	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	ミュージアムと国家（２）フランス　美の国フランスの誇りとは ルーヴル美術館 オルセー美術館　他
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
12	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	ミュージアムと国家（３）イタリア　芸術価値観を作り出した国 権力はなぜ美を擁護したのか ウフィッツィ美術館　他
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
13	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	ミュージアムと国家（４）アメリカ　新興国のエネルギー メトロポリタン美術館 ニューヨーク近代美術館　他
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
14	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	ミュージアムと国家（５）日本　欧米文化の受容はどのようになされたか 東京国立博物館 国立西洋美術館　他
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
15	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を講読する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。

科目名	芸術論Ⅰ	担当者	木名瀬 紀子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	芸術作品の鑑賞、解釈から論じていきます。 建築、絵画、彫刻、工芸を解説し、古代より室町時代までの豊かで多様な美術諸作品を見ていきます。 専門用語は丁寧に分かりやすく説明します。				
授業目的・到達目標	西洋美術史から見た日本美術史。 美術作品を通して美の本質を理解する。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	講義形式で行なう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内容の理解と習得に応じる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。			
参 考 書	授業内にて指示する。				
オフィス アワー	E-mail:wpmkc9ypj45pyumb@docomo.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	最初ですから、シラバス全体をよく読み、西洋と日本の美術には、どのような違いがあるかを、自分ながらに考えてみることを希望します。
	授業内容	序論Ⅰ：芸術論Ⅰについて 授業の紹介、オリエンテーション。
	事後学習	今日の授業内容や学習方法を、授業時のノートを見ながら再び復習すること。この授業では、毎回この復習を必ずすることを希望します。
2	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	西洋美術史から見た日本美術史 各論1－① 仏教伝来と飛鳥時代。鑑賞と解釈。 建築、絵画、彫刻、工芸の定義。
	事後学習	ノートなどで整理する。
3	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論1－② 国家事業としての法隆寺。 伽藍造営経緯、作品様式と諸技法。
	事後学習	成果を伸ばす。
4	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論1－③ 薬師寺と唐招提寺。 歴史記念建造物、世俗建築について。
	事後学習	ノートなどで整理する。

5	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論 1－④ 天平時代、奈良盛期。クラシック様式。 国家事業としての東大寺造営。
	事後学習	成果を伸ばす。
6	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	西洋美術史から見た日本美術史 各論 2－① 平安時代の建築と彫刻。 最澄、空海と造形。浄瑠璃寺、平等院。
	事後学習	ノートなどで整理する。
7	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論 2－② 曼荼羅と密教尊像。 大陸より伝承した図像形式。
	事後学習	成果を伸ばす。
8	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論 2－③ 絵巻物とやまと絵。 画面構成法、説話表現。
	事後学習	ノートなどで整理する。
9	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	西洋美術史から見た日本美術史。 各論 3－① 鎌倉時代における寺院建築再興。 大仏様と禪宗様。
	事後学習	成果を伸ばす。
10	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論 3－② 絵画、彫刻、工芸における鎌倉様式。 精緻な肖像に見る写実。
	事後学習	ノートなどで整理する。
11	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論 3－③ 室町時代。楼閣建築と庭園造営。 パラッツォ、ヴィッラの歴史。
	事後学習	成果を伸ばす。
12	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論 3－④ 水墨画、詩画軸山水。雪舟。 書斎と風景描写。
	事後学習	ノートなどで整理する。
13	事前学習	準備（1）
	授業内容	理解度の確認 1
	事後学習	整理（1）
14	事前学習	準備（2）
	授業内容	理解度の確認 2
	事後学習	整理（2）
15	事前学習	これまで学んだ内容について、時代順に、それぞれの時代の芸術の特色について、もう一度全体をよく復習してください。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	前期のまとめについて、知識の整理をしてください。

科目名	芸術論Ⅱ	担当者	石井 香絵	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	近現代に生み出された美術作品や出版物、広告等について、主に画材や技法に注目することで当時の社会背景や文化・思想を考察する。現在見慣れた手法でも、その黎明期は瑞々しい感性のもとに展開されていたり、あるいは現在馴染みがない手法やメディアでも過去に全盛であったものは多く存在する。あるビジュアルイメージが生み出されるまでの方法や、受容のあり方、その特徴を観察し、適宜同時代のテキストを用いながら授業を進める。			
授業目的・到達目標	時代や地域に限定されず、広い視野でものを見る力。資料や作品をじっくり観察する姿勢。			
履修条件	特に無し。			
授業方法	講義形式。レジュメ、スライド、視聴覚機器を用いて具体的な作例を紹介しつつ授業を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点と課題の総合評価。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特に無し。授業内で適宜紹介する。		
参考書	授業内で適宜紹介する。			
オフィスアワー	授業前後に受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日常的に使っている視覚メディア、今は使われなくなった視覚メディアについて自身の経験、見解を整理しておく。
	授業内容	美術、視覚メディアと素材 画材の歴史 複製技術とマチエール メディア・アート考察
	事後学習	美術、視覚メディア史の基本事項について復習。
2	事前学習	油絵、写真の歴史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	写真と油絵① 写真の登場と美術、社会への影響
	事後学習	写真と油絵の歴史について復習。
3	事前学習	絵、写真の歴史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	写真と油絵② 錦絵と写真鏡 “Photography”と「写真」
	事後学習	写真と油絵の歴史について復習。
4	事前学習	版画、印刷史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	複製技術の展開① 出版文化と複製イメージ 製版の多様性
	事後学習	複製技術史の復習。

5	事前学習	版画、印刷史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	複製技術の展開② 銅版、石版、木口木版の隆盛
	事後学習	複製技術史の復習。
6	事前学習	欧米、日本の近代化政策について予習。
	授業内容	博覧会の時代① 博覧会ブームの時代 万国博覧会
	事後学習	博覧会と近代化政策について復習。
7	事前学習	欧米、日本の近代化政策について予習。
	授業内容	博覧会の時代② 作品をみる「場所」考察
	事後学習	博覧会と近代化政策について復習。
8	事前学習	20世紀美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	コラージュの登場と展開① 素材の拡張 キュビズム以後
	事後学習	コラージュのはじまりと展開について復習。
9	事前学習	20世紀美術史について書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	コラージュの登場と展開② 現代のコラージュとその文脈
	事後学習	コラージュの展開について復習。
10	事前学習	コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ミニマリズムと素材① ミニマル・アート、もの派と素材
	事後学習	ミニマル・アートについて復習。
11	事前学習	コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	ミニマリズムと素材② コンセプチュアル・アートと素材
	事後学習	コンセプチュアル・アートについて復習。
12	事前学習	メディア・アートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	メディア・アート史① 実験映像の時代とCG黎明期
	事後学習	メディア・アート史の復習。
13	事前学習	メディア・アートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	メディア・アート史② CGの発展、「マルチメディア」とは何か
	事後学習	メディア・アート史の復習。
14	事前学習	コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	美術と画材の拡張① 画材と文化の諸問題
	事後学習	美術における画材の問題について復習。
15	事前学習	コンテンポラリーアートについて書籍、画集、展覧会などを通じて予習。
	授業内容	まとめ 美術と画材の拡張②
	事後学習	授業全体の復習。

科目名	芸術論Ⅱ	担当者	河原 啓子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	映像の時代を見据えて、写真や映画などがどのようなメディアなのかを考察する。芸術作品を鑑賞しながら人々の価値観を理解する。また、文化政策やマネジメントにおいて、人々の価値観がいかに文化に反映されているかを考える。世界遺産をめぐり、人類共通の文化遺産の意義についても検討する。				
授業目的・到達目標	社会における芸術や文化の位置づけを考える。芸術作品を鑑賞しながら既成価値観を見直し、多様化が進展する社会に対する広い視野を獲得することを目的とする。さまざまな価値観を理解できるようになる。文化のありようを吟味しながら、考える力を養う。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式。パワー・ポイント、視聴覚機器を用いて、数多くの作品を映像などで紹介しながら進める。随時リアクションペーパーを行い、事後にフィードバックする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点と課題の総合評価。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。 vector13155@gmail.comでも対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	芸術を観るとは 芸術の価値 クリエイティブ・クラス AIは何をもたらすか
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
2	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	既成価値観の見直し（1） 身のまわりを見つめ直す 赤瀬川原平『老人力』にみる新しい立脚点
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
3	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	既成価値観の見直し（2） 荒川修作 反芸術 弱者に向けた芸術
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
4	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	既成価値観の見直し（3） おたく クール？ 村上隆 コンテンツラリー・アートの意味
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。

5	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	20世紀のパラダイム・チェンジ（1） ピカソ キュビズム 近代の視覚芸術の問題意識
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
6	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	20世紀のパラダイム・チェンジ（2） イタリア未来派 同時代的感性を求めて ドイツ表現主義 人間の内面に迫る
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
7	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	20世紀のパラダイム・チェンジ（3） ダダ 芸術概念の見直し 手垢のついていない芸術とは？
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
8	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	20世紀のパラダイム・チェンジ（4） シュルレアリスム 理性に抑圧された夢や無意識の世界
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
9	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	20世紀のパラダイム・チェンジ（5） ポップ・アート 日常的イメージの引用 アンディ・ウォーホル ロイ・リキテンスタイン 他
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
10	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	20世紀のパラダイム・チェンジ（6） コンセプチュアル・アート 芸術を思索すること オノ・ヨーコとジョン・レノン
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
11	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	映像の時代を考える（1）写真 記録か？芸術か？ 報道写真 表現としての写真
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
12	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	映像の時代を考える（2）映画 娯楽か？芸術か？ ドキュメンタリー フィクション
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
13	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	文化政策 日本 アメリカ フランスを比較する 国家の文化や芸術に対する価値観はどのように反映されているか
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
14	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	文化価値観の形成 世界遺産 人類共通価値観としての文化形成 知的財産
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。
15	事前学習	社会における創造活動に注意を向けてみる。 任意の参考文献を読む。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で学習したことを再検討してみる。

科目名	芸術論Ⅱ	担当者	木名瀬 紀子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	芸術作品の鑑賞、解釈から論じていきます。 建築、絵画、彫刻、工芸を解説し、安土桃山時代より現代までの豊かで多様な美術諸作品を見ていきます。 専門用語は丁寧に分りやすく説明します。				
授業目的・到達目標	西洋美術史から見た日本美術史。 美術作品を通して美の本質を理解する。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	講義形式で行なう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内容の理解と習得に応じる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。			
参 考 書	授業内にて指示する。				
オフィス アワー	E-mail:wpmkc9ypj45pyumb@docomo.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	最初ですから、シラバス全体をよく読み、西洋と日本の美術には、どのような違いがあるかを、自分ながらに考えてみることを希望します。
	授業内容	序論Ⅱ：芸術論Ⅱについて 授業の紹介、オリエンテーション。
	事後学習	今日の授業内容や学習方法を、授業時のノートを見ながら再び復習すること。この授業では、毎回この復習を必ずすることを希望します。
2	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	西洋美術史から見た日本美術史 各論4－① 安土桃山、織豊時代。 国宝姫路城。
	事後学習	ノートなどで整理する。
3	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論4－② 西洋美術の伝播と導入。暮らしを彩る工芸意匠。 狩野派。茶の湯と茶室。数寄屋造から和式家屋へ。
	事後学習	成果を伸ばす。
4	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論4－③ 宗達光琳派。 季節の推移を味わう。
	事後学習	ノートなどで整理する。

5	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	西洋美術史から見た日本美術史 各論5－① 寛文美人画と浮世絵。 師宣肉筆、木版製作工程。
	事後学習	成果を伸ばす。
6	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論5－② 春信、歌麿、広重、北斎などの錦絵。 色彩や輪郭。
	事後学習	ノートなどで整理する。
7	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論5－③ 舶来機器と洋風絵画。 源内。蘭学と油彩。
	事後学習	成果を伸ばす。
8	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論5－④ 文人画。銅版、動植物絵。 空気と線などによる遠近法。
	事後学習	ノートなどで整理する。
9	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	西洋美術史から見た日本美術史 各論6－① 学制発布と美術教育の始まり。 明治以後の建築様式。
	事後学習	成果を伸ばす。
10	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論6－② 日本美術を鑑賞致します。 伝統保持や復古再生。
	事後学習	ノートなどで整理する。
11	事前学習	準備を行なう。
	授業内容	各論6－③ 近現代における芸術について。 洋画や彫刻における充実。
	事後学習	成果を伸ばす。
12	事前学習	興味に応じた予習。
	授業内容	各論6－④ 作品に描かれた人物、静物、風景。 美術を多様に楽しむ。
	事後学習	ノートなどで整理する。
13	事前学習	準備（1）
	授業内容	理解度の確認 1
	事後学習	整理（1）
14	事前学習	準備（2）
	授業内容	理解度の確認 2
	事後学習	整理（2）
15	事前学習	これまで学んだ内容について、時代順に、それぞれの時代の芸術の特色について、もう一度全体をよく復習してください。
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	後期のまとめについて、知識の整理をしてください。

科目名	健康科学 I	担当者	佐藤 秀明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	健康についてWHO憲章では「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義している。このように、人間の健康には様々な要素が存在していることがわかる。同時に人間の健康は様々な要因に左右されているといえる。健康科学Ⅰでは、人間の健康を左右する外的なものに焦点を当て講義を行う。			
授業目的・到達目標	授業目的：講義で取り上げた健康に関わる話題を出発点として、健康への理解を深める 到達目標：健康に関連する分野は多岐に渡るため、総合的に健康を考える力を身につける			
履修条件	健康についての関心を持ち、シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。			
授業方法	スライドを用いて授業を行う。 必要に応じて各自でノートを取ること。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	授業内試験（70％）、小テスト及びレポート課題（30％）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参 考 書	授業内で適宜紹介する。			
オフィスアワー	火曜日 16：30～18：00、木曜日 12：10～13：00 ※事前に連絡をしてください。 e-Mail satou.hideaki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	WHO憲章を読む
	授業内容	【健康とは】 ガイダンス（講義計画、授業内試験、小テスト・レポート課題等の説明）
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
2	事前学習	物理的環境について調べる
	授業内容	【気候変動と健康】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
3	事前学習	インフルエンザについて調べる
	授業内容	【危機管理と健康】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
4	事前学習	メタボリックシンドロームについて調べる
	授業内容	【肥満と健康科学】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める

5	事前学習	感染症について調べる
	授業内容	【グローバルヘルス】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
6	事前学習	放射線や化学的環境について調べる
	授業内容	【環境汚染科学物質】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
7	事前学習	遺伝子について関連資料を読む
	授業内容	【ヒトの健康】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
8	事前学習	QOLについて調べる
	授業内容	【ウェルビーイングとは】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める。
9	事前学習	孤独死について調べる
	授業内容	【社会と健康科学】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
10	事前学習	人口統計などの関連資料を読む
	授業内容	【統計と健康科学】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
11	事前学習	ストレスについて調べる
	授業内容	【メンタルヘルス】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
12	事前学習	高齢社会の課題について調べる
	授業内容	【健康寿命】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
13	事前学習	どのような要因があるか調べる
	授業内容	【健康の社会的決定要因】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
14	事前学習	講義内容をまとめる
	授業内容	【授業内試験】及びまとめ、振り返り
	事後学習	授業内試験の内容で不明な点を確認する
15	事前学習	授業内試験の内容で不明な点を確認する
	授業内容	【総括】 授業内試験問題の解答及び解説
	事後学習	講義で取り上げた健康に関わる話題を出発点として、関連資料や書籍を通して健康への理解を深める。

科目名	健康科学 I	担当者	山口 喜久	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学校保健、環境衛生学、母子保健、労働衛生を学ぶことで、健康科学の中心である衛生学を話す。				
授業目的・到達目標	生活習慣病予防対策においては、一人ひとりの生活習慣の改善がもっとも基本的な予防対策であるから、健康教育の充実を図る必要がある。そこで、本講座は生活習慣病の予防として運動が重要となり実践する人もいるので運動の有用性を話す。健康になるように生活習慣をより良好にする。 実践できるまでを 到着目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	図表を多く使用し、時流にそった内容にしたいので、毎回、概略のプリントを配布し、詳しく説明をしていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	授業中に話した内容から出題する。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参 考 書	指定なし。				
オフィス アワー	火曜日 18:00～19:40 電子メールによる質問・相談などを受け付ける。 yamaguchi.nobuhisa11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	わが国の健康の定義を調べておくこと。
	授業内容	衛生学
	事後学習	定期試験は授業中に話したWHOの健康の定義から出題する。
2	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	新しい健康科学の探求
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。
3	事前学習	小学生のころ学校生活を振り返っておくこと。
	授業内容	子どもの未来像と学校保健の方向
	事後学習	定期試験は授業中に話した学校保健の問題点はう歯、近視から出題する。
4	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	新しい学校保健の方向
	事後学習	定期試験は授業中に話した定期健康診断はスクリーニング健康診断から出題する。

5	事前学習	中学生に1年で10 c m以上背が伸びたことを思い出しておくこと。
	授業内容	発育特に最大発育年齢についての衛生学的意義
	事後学習	定期試験は授業中に話した最大発育年齢は、徐々に若年齢化から出題する。
6	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	わが国における発育促進現象の推移
	事後学習	定期試験は授業中に話した発育促進が見られて完了した20年後に栄養向上から出題する。
7	事前学習	近くのうるさい音はなにかないか考えてみる。
	授業内容	「騒音防止」から「快適音環境づくり」へ
	事後学習	定期試験は授業中に話した長期間の暴露に伴う難聴から出題する。
8	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	騒音のエネルギー則と心理量
	事後学習	定期試験は授業中に話した苦情件数が最も多いのは騒音から出題する。
9	事前学習	年を取ることはどういうことか考える。
	授業内容	聴覚の加齢変化
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。
10	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	最高可聴閾からみた聴覚の加齢変化
	事後学習	定期試験は授業中に話した高齢者になると最高可聴閾は加齢により低下から出題する。
11	事前学習	母子が近くにいたら困っていることを考えてみる。
	授業内容	少子化時代の子どもたちの健康づくり
	事後学習	定期試験は授業中に話した乳児死亡率の低下から出題する。
12	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	育児に関する意識調査とこれからの育児支援
	事後学習	定期試験は授業中に話した子育ての父親による協力は入浴と遊びから出題する。
13	事前学習	職場での父親の健康問題を考えてみる。
	授業内容	わが国における生涯を通じての健康づくりをめぐる
	事後学習	定期試験は授業中に話した脳・心臓疾患が発生したとき、業務と関連性の強いと判断される1カ月あたり時間外労働時間から出題する。
14	事前学習	前の時間までのプリントをよく理解しておくこと。
	授業内容	健康増進と生涯健康教育
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。
15	事前学習	復習の意味でプリントを使い衛生学の概略をつかんでおくこと。
	授業内容	衛生学、明日への指針
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。

科目名	健康科学Ⅱ	担当者	佐藤 秀明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	健康についてWHO憲章では「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義している。このように、人間の健康には様々な要素が存在していることがわかる。同時に人間の健康は様々な要因に左右されているといえる。健康科学Ⅱでは、人間の健康を左右する内的なものに焦点を当て講義を行う。			
授業目的・到達目標	授業目的：講義で取り上げた健康に関わる話題を出発点として、健康への理解を深める 到達目標：学習した内容を、知識だけに終わらず、健康の保持増進に向けた行動に繋げる			
履修条件	健康についての関心を持ち、シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。			
授業方法	スライドを用いて授業を行う。 必要に応じて各自でノートを取ること。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	授業内試験（70％）、小テスト及びレポート課題（30％）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参 考 書	授業内で適宜紹介する。			
オフィスアワー	火曜日 16：30～18：00、木曜日 12：10～13：00 ※事前に連絡をしてください。 e-Mail satou.hideaki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	体力の要素について調べる
	授業内容	【健康と体力】 ガイダンス（講義計画、授業内試験、小テスト・レポート課題等の説明）
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
2	事前学習	発育・発達曲線について調べる
	授業内容	【身体の発育・発達、加齢】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
3	事前学習	運動の功罪について調べる
	授業内容	【運動の効果】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
4	事前学習	三大栄養素について調べる
	授業内容	【栄養の役割】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める

5	事前学習	ストレッサーについて調べる
	授業内容	【一過性のストレス反応】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
6	事前学習	一週間の睡眠時間を記録する
	授業内容	【休養の役割】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
7	事前学習	一週間の自分の生活習慣について記録する
	授業内容	【身体運動と生活習慣】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
8	事前学習	一週間の自分の食事について記録する
	授業内容	【食事と健康】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める。
9	事前学習	ストレスコーピングについて調べる
	授業内容	【慢性のストレス反応】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
10	事前学習	エネルギー代謝について調べる
	授業内容	【エネルギー摂取と消費】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
11	事前学習	超回復のメカニズムについて調べる
	授業内容	【運動による疲労】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
12	事前学習	どのような被害があるか調べる
	授業内容	【飲酒、喫煙、薬物による健康被害】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
13	事前学習	健康に関連する法律を調べる
	授業内容	【法と健康】
	事後学習	講義内容を振り返り、理解を深める
14	事前学習	講義内容をまとめる
	授業内容	【授業内試験】及びまとめ、振り返り
	事後学習	授業内試験の内容で不明な点を確認する
15	事前学習	授業内試験の内容で不明な点を確認する
	授業内容	【総括】 授業内試験問題の解答及び解説
	事後学習	講義で取り上げた話題を出発点として、関連資料や書籍を通して健康への理解を深める。

科目名	健康科学Ⅱ	担当者	山口 喜久	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	運動の長所短所を話したのちに良い点を強調し、休養、食事の重要性も話す。たばこの害も言及する。			
授業目的・到達目標	生活習慣病予防対策においては、一人ひとりの生活習慣の改善がもっとも基本的な予防対策であるから、健康教育の充実を図る必要がある。そこで、本講座は生活習慣病の予防として運動が重要となり実践する人もいたので運動の有用性を話す。健康になるように生活習慣をより良好にする。実践できるまでを 到着目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	図表を多く使用し、時流にそった内容にしたいので、毎回、概略のプリントを配布し、詳しく説明をしていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	100%	授業中に話した内容から出題する。	
	平 常 評 価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参 考 書	指定なし。			
オフィスアワー	火曜日 18:00～19:40 電子メールによる質問・相談などを受け付ける。 yamaguchi.nobuhisa11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の場合、運動中の体の不具合を振り返ってみよう。
	授業内容	スポーツと健康管理
	事後学習	定期試験は授業中に話したオスグット・シュラッテル病の発症部位は足についてから出題する。
2	事前学習	前の時間までのプリントを見ておくこと。
	授業内容	運動災害
	事後学習	定期試験は授業中に話した運動による障害の予防について個人の発育段階や体質、能力、健康状態に応じた種目の選択から出題する。
3	事前学習	得意なスポーツは何か考えてみる。
	授業内容	スポーツ序説
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。
4	事前学習	過去に行ったトレーニングは何か考えてみる。
	授業内容	トレーニング
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。

5	事前学習	スクワットなど行ったことのある筋レジスタンストレーニングを考える。
	授業内容	筋レジスタンストレーニング
	事後学習	定期試験は授業中に話したダイエットについて体を構成する骨・筋肉を減らすから出題する。
6	事前学習	楽しかった有酸素運動は何かないか考える。
	授業内容	有酸素運動トレーニング
	事後学習	定期試験は授業中に話した有酸素運動トレーニングについて消費カロリーは1時間に200カロリーから300カロリー から出題する。
7	事前学習	ここ1年で行ったスポーツの頻度を思い出してみる。
	授業内容	スポーツを読む
	事後学習	定期試験は授業中に話したスポーツ観戦人口が最も多いのはプロ野球から出題する。
8	事前学習	ストレッチを過去にしたことがあるか考えてみる。
	授業内容	ストレッチ
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。
9	事前学習	前の時間までのプリントを見ておくこと。
	授業内容	山を下りたらストレッチ体操
	事後学習	定期試験は授業中に話したストレッチは痛くないから出題する。
10	事前学習	テニスをやったことがあるか考えてみる。
	授業内容	テニスは心血管疾患予防に最適
	事後学習	定期試験は授業中に話した内容から出題する。
11	事前学習	日常の食事を振り返ってみる。
	授業内容	栄養
	事後学習	定期試験は授業中に話したわが国における国民で足りない栄養素はカルシウムから出題する。
12	事前学習	極端に体重の多い人がいるか考えてみる。
	授業内容	高脂血
	事後学習	定期試験は授業中に話した高脂血について適度な運動がおすすめから出題する。
13	事前学習	自分がここ1年で家族旅行に行ったか考える。
	授業内容	温泉
	事後学習	定期試験は授業中に話した温泉についてかけ湯から出題する。
14	事前学習	喫煙習慣があるか考えてみる。
	授業内容	たばこ健康
	事後学習	定期試験は授業中に話したたばこの害は肺がんの発生率が増加から出題する。
15	事前学習	前の時間までのプリントを見ておくこと。
	授業内容	禁煙
	事後学習	定期試験は授業中に話した受動喫煙防止から出題する。

科目名	自然人類学Ⅰ	担当者	松浦 秀治	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	人類の特質を理解するには、まず、哺乳類、霊長類の特徴を捉え直しておく必要がある。授業では「霊長類とはどういう哺乳類か」を概観した上で、現在のヒトの身体的特徴を講義する。そうしたヒトの身体形質の特徴が、ヒトの持つ特殊な生活様式と環境とに強く関係していること、更に「直立姿勢と二足歩行」という特性が、ヒトの諸特徴、例えば、大きな脳と小さな顔面、音声言語の獲得、身体は無毛性、家族の形成などとも深く関連していることを解説する。				
授業目的・到達目標	「生物としてのヒト」という視点を持ち、ヒトの身体特徴を知ることで、ヒトの身体形質と文化環境は不可分の関係にあることを理解する。また、ヒトの特性・特質について科学的に偏りなく考察する基盤を培い、「人類の真の特徴」とは何かを正しく捉える見方を導入的に身につけることも目的とする。 この講義によって、「進化の結果として得た現在のヒトの身体的特徴」に関する基礎知識を学ぶ。また、それに基づいて、「ヒトが文化を創ったというよりは、文化がヒトを創り上げた」という観点を説明できるようになることが目標である。				
履修条件	授業時に知識整理用のプリントを配布し理解の助けとするが、教科書は用いないので、まずは出席し、説明をしっかり聴くことが大切である。授業をヒントにして、ヒトの身体の特徴について新たな視点からいろいろと考察してほしい。				
授業方法	板書に代わるプリントを配り、スライドを写しながら講義・解説する（スライドの撮影は厳禁）。授業内容に関する質問があれば、いつでも挙手すること（質疑応答は出席者全員の前で行うので、授業後でなく授業中に質問すること）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	参照可資料：A 4 判の紙 2 枚（表裏使用可）の自筆メモ（ワープロで作成されたものは不可。プリントの切り貼りやコピーも不可）。自筆であれば図表をメモ中に記してよい。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業時にプリントを配布し、スライドを写す（ただし、スライドの撮影は厳禁）。授業の出席は取らないが、配布プリントは前回授業のものまでしか持参しないので、注意（前回より前のプリントは配布しない）。			
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおくこと。
	授業内容	オリエンテーションおよびイントロダクション
	事後学習	第1回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（質問は第2回の授業時に受けるので、遠慮なく質問すること）。
2	事前学習	第1回で配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（特に、プリントに記された「授業計画（授業全体としての「目次」）」を参照）。また、第1回で理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトに至る生物の系譜（1）： ヒトの分類上の位置、各分類群の特徴（動物、脊椎動物）
	事後学習	第2回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
3	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトに至る生物の系譜（2）： 各分類群の特徴（脊椎動物の中の哺乳類）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
4	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトに至る生物の系譜（3）： 霊長類とはどういう哺乳類か
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。

5	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの定義
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
6	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（1）： 直立姿勢と二足歩行
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
7	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（2）： 直立姿勢と二足歩行（続）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
8	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（3）： 直立姿勢と二足歩行（続）（参考：ヒトは早く立ち上がりすぎた？）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
9	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（4）： 文化（文化と身体形質）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
10	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（5）： 咀嚼器官（咬器、歯と顎）の退化
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
11	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（6）： 脳の発達（左右差、一側優位性）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
12	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（7）： 生理的早産（習慣的早産）、成長遅滞
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
13	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（8）： 無毛性、音声言語
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
14	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	ヒトの特徴（9）： 繁殖期の季節性欠如（周年化）と発情期の非顕現化（長期化）、性差
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
15	事前学習	講義内容全体を復習し、質問があれば準備しておくこと。
	授業内容	まとめ 試験に関する注意事項等
	事後学習	定期試験への準備学習の強化。

科目名	自然人類学Ⅱ	担当者	松浦 秀治	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	ヒトの進化史を講義する。まず、新生代において霊長類が進化発展していく中で、人類と類人猿がどの様に分岐してきたのかを概観した上で、始原的人类から現生人類に至るヒトのおよそ6百万年間の変遷史を解説する。また、日本列島にはどれくらい古くからヒトが棲んでいたのか、現代の日本人が成立する過程はどのようなであったのかについても考察する。講義は主に化石骨を中心とした古人類学的証拠を基に進めるが、必要に応じて遺伝学的証拠にも言及する。				
授業目的・到達目標	最初の人類は必ずしもチンパンジーに似ていたわけではない。授業を受けることで、「人類」と「類人猿」という類型的な捉え方を見直すとともに、初期の人類から現生の人類まで、人類はいつの時代においても地域を越えて1つの系統として「猿人→原人→旧人→新人」と段階的かつ直線的に進化してきたのではない、ことを把握する。また、「日本人」は必ずしも均質ではなく、遺伝的に「日本人種」を定義するのは難しいことを理解するのが目的である。講義でヒトの出現と進化史にかかる基礎的な知識を学び、古人類は多様な種と複数の系統を有していたこと、また現生人類の起源に関する近年の考え方を知る。そうした進化史を踏まえた上で、日本人の起源と形成史について考察できることも目標とする。				
履修条件	授業時に知識整理用のプリントを配布し理解の助けとするが、教科書は用いないので、まずは出席し、説明をしっかりと聴くことが大切である。授業をヒントにして、「人類」「日本人」とは何かについて新たな視点から考察してほしい。				
授業方法	板書に代わるプリントを配り、スライドを写しながら講義・解説する（スライドの撮影は厳禁）。授業内容に関する質問があれば、いつでも挙手すること（質疑応答は出席者全員の前で行うので、授業後でなく授業中に質問すること）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	参照可資料：A4判の紙2枚（表裏使用可）の自筆メモ（ワープロで作成されたものは不可。プリントの切り貼りやコピーも不可）。自筆であれば図表をメモ中に記してよい。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業時にプリントを配布し、スライドを写す（ただし、スライドの撮影は厳禁）。授業の出席は取らないが、配布プリントは前回授業のものまでしか持参しないので、注意（前回より前のプリントは配布しない）。			
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおくこと。
	授業内容	オリエンテーションおよびイントロダクション 地質時代の区分－「人類の時代」はいつ？－
	事後学習	第1回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（質問は第2回の授業時に受けるので、遠慮なく質問すること）。
2	事前学習	第1回で配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（特に、プリントに記された「授業計画（授業全体としての「目次」）」を参照）。また、第1回で理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	現生霊長類（サル類）の分類と類縁関係
	事後学習	第2回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
3	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	新生代前半（古第三紀）における霊長類の進化と発展
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
4	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	中新世におけるヒト上科の展開（類人猿と人類の分岐）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。

5	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	サルからヒトへ（ホミニゼーション）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
6	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	鮮新世における猿人の展開　ーホモ Homo 属（humans）の出現へー（1）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
7	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	鮮新世における猿人の展開　ーホモ Homo 属（humans）の出現へー（2）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
8	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	鮮新世における猿人の展開　ーホモ Homo 属（humans）の出現へー（3） （猿人の系統関係の解釈　ーラミダスから原人へ至る系統ー）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
9	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	更新世における人類の進化　ー現代人への道ー（1）： 原人（ホモ・エレクトス）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
10	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	更新世における人類の進化　ー現代人への道ー（2）： 「旧人」（ホモ・ハイデルベルゲンシスとホモ・ネアンデルターレンシス）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
11	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	更新世における人類の進化　ー現代人への道ー（3）： 新人（ホモ・サピエンス）ー現生人類の起源問題ー
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
12	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	日本人の起源と形成　ー旧石器時代の日本列島人から現代日本人への系譜ー（1）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
13	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	日本人の起源と形成　ー旧石器時代の日本列島人から現代日本人への系譜ー（2）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
14	事前学習	それまでに配布されたプリントをもとにして、講義内容の全体的な流れをつかんでおくこと（授業計画を参照）。また、前回までに理解できなかった箇所があれば、質問を用意しておくこと（質疑応答は出席者全員に聴いてもらうので、授業時間内に質問すること）。
	授業内容	日本人の起源と形成　ー旧石器時代の日本列島人から現代日本人への系譜ー（3）
	事後学習	この回の講義内容を復習するとともに、理解できなかった箇所があれば、質問を準備しておくこと（授業では、前回までの講義内容に関する質問も受けるので、遠慮なく質問すること）。
15	事前学習	講義内容全体を復習し、質問があれば準備しておくこと。
	授業内容	まとめ 試験に関する注意事項等
	事後学習	定期試験への準備学習の強化。

科目名	実践教養A	担当者	常松 淳	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	近年では、人間に固有の能力・性質とされてきた自由意志や道徳性について、経験科学的方法によって解明しようとする研究が発展してきている。この授業では、いくつかの著名な研究例を取り上げ、そこで用いられている実験の中身やデータの取り扱い、さらにメディアにおける科学的知見の扱い等について実践的に学ぶ。					
授業目的・到達目標	人間性についての経験科学が、具体的にどのような方法によって何を明らかにしようとしているか考察できるようになることを目的とする。この授業を通して、実験的研究の結論を知るだけでなく、実験の内容やデータ分析の実態、研究者の置かれた状況まで含めて理解し、受講者が自ら批判的に議論できるようになることを目指す。					
履修条件	2年次以上での履修					
授業方法	講義のほか、よく知られた実験・調査で実際に使われた質問紙を読みその内容について自ら考え発表すること等を通じて、受講者も実践的に学習する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		受講（参加）状況と小レポートによって、議論の理解度を評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	指定しない。				
参考書	授業内で適宜紹介する。					
オフィスアワー	木曜16:00-17:00（本館6階1611号室）必ず事前にメールで問い合わせること。 メールアドレス：tsunematsu.jun@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す
	授業内容	イントロダクション：授業の概要と進め方について説明する。
	事後学習	授業についての見通しを整理しておく
2	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	人間は自由なのか？（1）われわれは本当に「自由」だと言えるか、「自由意志」を持っているかという問題について
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
3	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	人間は自由なのか？（2）このテーマに対して経験科学（自然科学・社会科学）がどのようにアプローチしてきたか
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
4	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	Libetによる実験（1）ひとが行為を意図する前に脳が動いている？——人間の自由意志をテーマにBenjamin Libetが行った画期的な実験について
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える

5	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	Libetによる実験（2）Libet実験が本当のところ何を示しているかを考える
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
6	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	ひとの行動は無意識に左右されている？：意識されていない刺激によってひとの行動は変化するのか？priming実験をめぐって
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
7	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	「自由意志は幻想に過ぎない」：果たして経験科学は自由意志など幻想だと示しているのか？だとしたらどうなのか？
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
8	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	科学者と科学ニュースサイクル（1）論文刊行・研究費獲得圧力にさらされている研究者の実態について
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
9	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	科学者と科学ニュースサイクル（2）科学論文がメディアに取り上げられると何が起るか
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
10	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	科学的証拠は信頼できるか？：発表された論文の示す科学的知見はいつも「正しい」と言えるか
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
11	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	ひとの道徳性を実験する：ひとの道徳的直観を引き出す手段としての実験
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
12	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	暴走するトロリー（1）1人を殺すのと5人を死なせるのはどちらが正しいか？——「トロリー実験」について
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
13	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	暴走するトロリー（2）この実験は、何が道徳的に正しいことかを教えてくれるのか？
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
14	事前学習	配布資料に目を通しておく
	授業内容	われわれの社会は変わるべきか？：経験科学の諸実験は社会のあり方について何を教えてくれるのか
	事後学習	授業で指示したテーマについて考える
15	事前学習	これまでの授業を振り返って考えをまとめる
	授業内容	授業全体のまとめと振り返り討論
	事後学習	社会と科学との関係を振り返る

科目名	実践教養B	担当者	常松 淳	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会統計データの分析法を、実際にコンピュータを使用して実践的に学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会統計学の基礎とデータ分析について、統計ソフトウェアを用いながら「手を動かして」学習できるように授業する。世界中で広く使用されている無料の統計分析ソフト〈R〉を使用して、社会統計学の知識を身につけつつ、簡単な統計分析ができるようになることを目指す。				
履修条件	コンピュータ（Windows）の基本的な使い方を知っていることが望ましい。				
授業方法	コンピュータで実際に統計ソフトウェア〈R〉を動かしながら授業する。〈R〉と統計学の知識は前提とせずに授業を進めるので、まったくの初心者でも意欲さえあれば受講可能である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	参加状況と提出課題によって評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	指定しない。			
参考書	授業内で適宜紹介する。				
オフィスアワー	木曜日16:00-17:00（本館6F1611）必ず事前にメールで問い合わせること。 メールアドレス：tsunematsu.jun@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す
	授業内容	イントロダクション：授業の目的と進め方，〈R〉とは何か，PCの使い方について
	事後学習	自分で作業環境を整えてみる
2	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	〈R〉を使ってみる（1）：〈R〉のインストールと基本的な使い方
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
3	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	〈R〉を使ってみる（2）：データの作成，読み込み，分析の初歩
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
4	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会統計学の基礎：記述統計と推測統計
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する

5	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	1変数の記述統計（1）変数とは何か、変数の種類
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
6	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	1変数の記述統計（2）：平均と分散、度数分布表
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
7	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	2変数の記述統計（1）：2つの変数の関連をどう捉えるか
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
8	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	2変数の記述統計（2）：相関係数、クロス表
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
9	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	推測統計の基礎（1）：母集団と標本、標本分布とは
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
10	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	推測統計の基礎（2）：データから母集団についてどう推測するか
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
11	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査データについて知る（1）：実際の社会調査データはどのようなものか
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
12	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査データについて知る（2）：社会調査データから知りたいことを探す
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
13	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査データの分析（1）：各自の関心に沿ってデータを分析してみる
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
14	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査データの分析（2）：各自の関心に沿ってデータを分析してみる
	事後学習	授業で扱った作業を自分で確認する
15	事前学習	これまでの作業を取りまとめる
	授業内容	社会調査データの分析（3）：結果を報告する
	事後学習	自分でも〈R〉を使いこなせるように練習する

科目名	社会学 I	担当者	常松 淳	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	社会学の基本的な方法と知見について，日本社会のデータを用いて講義する。					
授業目的・到達目標	現代社会および社会学についての基礎的な知識の習得を目的とする。授業では，日本社会の実態を表すデータを紹介しつつ，これまで社会学が蓄積してきた知見と理論を解説する。自分たちが暮らす社会について，学生自身が社会学的な観点から捉えられるようになることを目指す。					
履修条件	特になし。					
授業方法	資料を利用した講義形式（ただし，受講者数がごく少ない場合は授業方法を変更する可能性がある）。資料はファイルサーバにアップロードしておくので，事前に各自で用意しておくこと。学期の終わりに授業内試験を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験で，基礎的な社会学的知識と考え方が修得できているかを判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	指定しない。				
参考書	授業の中で適宜紹介する。					
オフィスアワー	木曜16:00-17:00（本館6階1611号室）必ず事前にメールで問い合わせること。 メールアドレス：tsunematsu. jun@nihon-u. ac. jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておく
	授業内容	イントロダクション：授業の進め方，扱うトピック等について
	事後学習	講義予定の概要を振り返っておく
2	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会学とは何か——その対象と方法，社会調査の重要性
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
3	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査の論理と方法（1）社会調査とは，質的調査と量的調査
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
4	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査の論理と方法（2）量的調査のプロセス，調査票はどう作られるか
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく

5	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査の論理と方法（3）量的データをどう読むかーその1
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
6	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査の論理と方法（4）量的データをどう読むかーその2
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
7	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査の論理と方法（5）質的調査とは
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
8	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会調査の論理と方法（6）質的調査の事例とその限界
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
9	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	家族（1）家族とは，働き方と家族，性別役割分業
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
10	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	家族（2）現代日本の家族，少子化と未婚化
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
11	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	ジェンダー（1）性とジェンダー，ジェンダー差をどう捉えるか
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
12	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	ジェンダー（2）社会関係におけるジェンダー
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
13	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	エスニシティ（1）「人種」とエスニシティ，レイシズム，文化相対主義
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
14	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	エスニシティ（2）日本のエスニックマイノリティ，外国人労働者をめぐって
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
15	事前学習	前期の復習をしておく
	授業内容	前期のまとめ，および理解度を測る試験とその解説
	事後学習	自分の答案を振り返る

科目名	社会学Ⅰ	担当者	中村 英代	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「社会学Ⅰ」の受講生には、初めて社会学を学ぶ方も多いと思います。まずは、私たちにとって身近な問題から、社会学の考え方や言葉に馴染んでいただきたいと思います。 本講義では現代社会を生きる私たちが抱えるさまざまな「生きづらさ」を取り上げ、そうした苦しさが生まれる社会環境を理解しつつ、そこからの解放について社会学の観点から考えていきます。					
授業目的・到達目標	【授業の目的】本講義では、個々の受講生が生きている現実（リアルライフ）と社会学の知識・考え方をリンクさせながら、①社会的思考力をマスターするとともに、②現代社会をサバイバルしていくための実践的な「知識」と「思考力」を身につけます。 【到達目標】社会学の基礎的な用語をマスターする。社会で起きている出来事や自分の身のまわりで起こる現象を社会的に考え、読み解き、説明し、対処することができる。ひとつの現象を多様な視点からとらえることができる。					
履修条件	他の受講生が静かに、集中して講義を受けることを妨げない方。ガイダンスでは、本講義で何が学べるのか、学ぶことで何が得られるのか、受講生は半期で何をどの程度習得できるかについて説明します。					
授業方法	指定テキストを用い、板書による説明を中心とした講義形式で行います。 講義内容への理解を深めるために、視聴覚作品（DVD）も鑑賞します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		80%		テストは、用語問題と論述問題です。	
	平常評価		20%		授業後に提出するレスポンスカードで評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	新曜社		『社会学ドリルーこの理不尽な世界の片隅で』（¥1,900＋税）		中村 英代
	備考	初回ガイダンスではテキスト（教科書）は使いません。テキストはガイダンスを聞いて受講を決めた後に購入して下さい。本講義では毎週必ず指定テキストを使います。第2回目から毎週テキストを持参して下さい。				
参考書	指定テキストの各章にブックガイドがあります。時間外学習の指針として下さい。					
オフィスアワー	質問等は講義の前後に受けつけます。 履修の際には、担当教員のウェブサイトも参考にして下さい。 http://www.hideyonakamura.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	ガイダンス&イントロダクション：社会学とはどのような学問なのか
	事後学習	身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。
2	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	現代の就労①：非正規雇用とワーキングプア
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
3	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	現代の就労②：格差の何が問題なのか
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
4	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	貧困と格差①：資本主義社会を理解する
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。

5	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	貧困と格差②：現代の貧困
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
6	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	恋愛と結婚①：恋愛と結婚はどのような関係にあるのか
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
7	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	恋愛と結婚②：データからみる現代の結婚
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
8	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	関係性と暴力①：ドメスティックバイオレンスを理解する
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
9	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	関係性と暴力②：ドメスティックバイオレンスに対処する
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
10	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	依存症の社会学①：生き延びるための依存
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
11	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	依存症の社会学②：セルフヘルプグループを理解する
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
12	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	依存症の社会学③：依存症からみえてくる現代の社会システム
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
13	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	権力論①：なぜ私たちは自ら何かに服従するのか
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
14	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	権力論②：目に見えない権力
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。
15	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	レポートの書き方：面白いレポートはなぜ、どのように面白いのか
	事後学習	前回の講義の復習。身近な出来事や社会現象を、講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象について理解を深める。

科目名	社会学Ⅰ	担当者	服部 慶亘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	我々は、「社会」とのかかわりの中で「人間らしさ」を身に付ける。つまり、「社会とのかかわりを拒否してしまえば自由な人間になれる」ということは有り得ない。 「人間」としての評価を落とさずに生きていくために必要とされる「社会学的想像力」を通して、日常生活の様々な場面を分析する。				
授業目的・到達目標	人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。よって、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。 また、「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、そんな疑問と対峙しつつ、学問が日常生活と密接に関わっていることを理解し、社会学的な視点を身につけてゆく。				
履修条件	特になし。ただし、「社会学Ⅱ」も継続履修することが望ましい。				
授業方法	受講生自身も陥りがちな（問題）行動を例示し、講義する。パワーポイント・テキスト類・プリント・視聴覚資料などを理解の助けとする。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		70%		講義内容をどの程度理解したか、どの程度自分の日常に活かしているのかを確認する。
	平常評価		30%		受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する予定。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	初回授業内で指示する。			
参考書	追って指示する。なお、講義で使用するプリントは、事前にサーバからダウンロードしてもらうことになる（詳細は、初回の講義で説明する予定）。				
オフィスアワー	木曜日昼休み、および講義終了後。 hattori.yoshinobull@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んで、講義の目的・目標を理解する。
	授業内容	前期ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）
	事後学習	テキストを入手し、「プロローグ」に目を通しておく。
2	事前学習	前回の講義内容を確認しておく。
	授業内容	状況（情況）判断①
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
3	事前学習	前回までの講義内容を確認しておく。
	授業内容	状況（情況）判断②
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
4	事前学習	これまでの講義内容をふまえて、「日常生活」について説明できるようにしておく。
	授業内容	社会（学）とは何か？
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。

5	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	社会的動物としての人間① Double Happiness
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
6	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	社会的動物としての人間② 生理的早産
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
7	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造① 総論
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
8	事前学習	前回の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造② 特徴
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
9	事前学習	区分7～8の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造③ パーソナリティ（personality）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
10	事前学習	区分7～9の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造④ 地位（status）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
11	事前学習	区分7～10の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造⑤ 役割（role）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
12	事前学習	区分7～11の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造⑥ アイドル（idol）工学
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
13	事前学習	区分7～12の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造⑦ ジェンダー（gender）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
14	事前学習	区分7～13の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	人間関係の諸相と構造⑧ 県民性
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
15	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	前半まとめ
	事後学習	定期試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。

科目名	社会学Ⅰ	担当者	三浦 倫平	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	授業の前半では、既存の社会学的な視点や方法を取り扱う。そして、後半では現実の社会問題を対象とした社会学的な分析を紹介する。				
授業目的・到達目標	社会問題を分析することを通して、「何故、いかにして社会問題が起きているのか」を社会学的な視点から理解し、「社会問題を解決していく為にはどのようにしたらいいのか」という点について考察することを目的とする。単に既存の社会学的な概念、説明を記憶するのではなく、それらを相対化した各自の視点、考察が出来るようになることが目標となる。 ①「社会学の基本的な視点について説明できる」②「社会学の基本的な視点から社会問題が生じる背景について説明できる」③「社会問題を解決する際の課題を指摘できる」④「社会問題について自分の意見を論理的に述べる事が出来る」				
履修条件	特になし。				
授業方法	パワーポイントなどを主に利用する。時に、トピックに関連した動画などを紹介することもある				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(80%)レポート (20%) 毎回配布するリアクションペーパーにおける記述や、授業への参加度を評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	適宜指示をする				
オフィスアワー	本授業に関する質問等は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で講堂で対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	社会学とはどのような学問とされているのかをネットで調べておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	自分が知りたい社会学の分野はどのような分野であるかを考えること
2	事前学習	当初の意図とは異なる形で生み出された社会現象についてどういうものがあるのかを調べておくこと
	授業内容	意図せざる結果という視点①
	事後学習	改めて、社会の中で、どのような意図せざる結果が起きているのかを考えること
3	事前学習	意図せざる結果の中でも、社会的に悪影響を及ぼす現象として具体的にはどのようなものがあるのかを調べておくこと
	授業内容	意図せざる結果という視点②——社会的ジレンマ
	事後学習	授業で学んだ社会的ジレンマについて、改めて、具体的にどのようなものがあるのかを調べること
4	事前学習	自分は他人の視点をいつもどのように意識しているのかを考えておくこと
	授業内容	相互行為という視点①
	事後学習	授業で学んだ日常生活における「儀式」について、他に具体的にどのようなものがあるのかを考えておくこと

5	事前学習	自分がどのような人間なのかということについて考えておくこと
	授業内容	相互行為という視点②
	事後学習	事前学習で考えた「自分がどのような人間なのか」という点が、いかなる他者の視線からもたらされているのかを考えておくこと
6	事前学習	他人がなぜそのような行為をするのか分からなかったケースを思い出しておくこと
	授業内容	相互行為という視点③
	事後学習	授業で学んだシンボリック相互作用論で事前学習に考えたケースを説明できるかどうかを検証してみよう
7	事前学習	社会のルールから逸脱しているものとして具体的にどのようなものがあるのかを考えておくこと
	授業内容	逸脱という視点
	事後学習	授業で学んだ視点を通して、事前学習で検討していた逸脱の事例がいかにして生まれたのかを考えてみよう
8	事前学習	人はなぜ自殺をするのかということについて考えておくこと
	授業内容	「社会的事実」という視点
	事後学習	授業で学んだ視点を通して改めて自殺というものについて考えてみよう
9	事前学習	「努力」というものが社会の中でどのように語られているのかを考えておこう
	授業内容	「文化装置」という視点
	事後学習	授業で学んだこと以外で、我々の解釈が社会的にいかに規定されているのかを考えてみよう
10	事前学習	若年労働で最近ニュースになったことなどを調べておこう
	授業内容	何故、若者は働くことに苦しんでいるのか①
	事後学習	非正規雇用者や失業者に対する支援の現状について調べておこう
11	事前学習	長時間労働の問題に関するニュースについて調べておこう
	授業内容	何故、若者は働くことに苦しんでいるのか②
	事後学習	ワークシェアリングの現状や海外の事例について調べておこう
12	事前学習	未婚化に関するニュースについて調べておこう
	授業内容	何故、未婚化が生じるのか
	事後学習	授業を経て、自分は未婚化に関してどのような意見なのか、まとめておこう
13	事前学習	最近でネット炎上した事例を調べておくこと
	授業内容	何故、ネットは荒れるのか
	事後学習	事前学習で調べたネット炎上の事例が、なぜ起きたのかを説明できるようにすること
14	事前学習	これまでの社会学的な分析はどのような視点、方法であったのかを改めて復習しておくこと
	授業内容	社会学の視点、方法のまとめ
	事後学習	自らのレポートにはどのような視点、方法を採用するかを考えておくこと
15	事前学習	これまでの授業を振り返り、不明なところがあるかどうかを把握しておくこと
	授業内容	授業理解度の確認と総まとめ
	事後学習	総まとめを経て、レポートに関連する先行文献を読み、レポート作成をすること

科目名	社会学Ⅱ	担当者	常松 淳	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	社会学の基本的な方法と知見について、日本社会のデータを用いて講義する。					
授業目的・到達目標	現代社会および社会学についての基礎的な知識の習得を目的とする。授業では、日本社会の実態を表すデータを紹介しつつ、これまで社会学が蓄積してきた知見と理論を解説する。自分たちが暮らす社会について、学生自身が社会的な観点から捉えられるようになることを目指す。後期は社会の階層的な構造に注目していく。					
履修条件	特になし。					
授業方法	資料を利用した講義形式（ただし、受講者数ごく少ない場合は授業方法を変更する可能性がある）。資料はファイルサーバにアップロードしておくので、事前に各自で用意しておくこと。学期の終わりに授業内試験を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験で、基礎的な社会的知識と考え方が修得できているかを判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	指定しない。				
参考書	授業の中で適宜紹介する。					
オフィスアワー	木曜16:00-17:00（本館6階1611号室）必ず事前にメールで問い合わせること。 メールアドレス：tsunematsu.jun@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておく
	授業内容	後期イントロダクション：授業の進め方、取り上げるトピック等について 権力と支配：Weberの権力論、支配の3類型
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
2	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会における法（1）法の社会的役割、日本の法専門職
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
3	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	社会における法（2）日本人の「法意識」論
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
4	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	働き方の変化と消費社会（1）産業構造と社会の変化、工場労働管理をめぐって
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく

5	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	働き方の変化と消費社会（2）日本的経営の変容，非正規雇用の拡大，外国人労働者問題
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
6	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	働き方の変化と消費社会（3）消費社会とは，「誇示的消費」，環境問題
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
7	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	教育とメリトクラシー（1）近代社会とメリトクラシー
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
8	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	教育とメリトクラシー（2）日本における学歴主義，教育格差
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
9	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	教育とメリトクラシー（3）教育システムの役割，「文化的再生産」論，機会の平等
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
10	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（1）階級と階層——MarxとWeber
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
11	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（2）格差問題，社会移動は何を表すか
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
12	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（3）社会移動データを読むーその1
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
13	事前学習	資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（3）社会移動データを読むーその2
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
14	事前学習	これまでの資料に目を通しておく
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	資料と講義の内容を復習しておく
15	事前学習	講義全体を見直しておく
	授業内容	後期の理解度を測る試験とその解説
	事後学習	自分の答案を振り返っておく

科目名	社会学Ⅱ	担当者	中村 英代	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「社会学Ⅱ」では、現代社会の生きづらさをテーマに、社会学を学んでいきます。私たちが抱えるさまざまな「生きづらさ」を取り上げ、そうした苦しさが生まれる社会環境を理解しつつ、そこからの解放について社会学の観点から考えていきます。本講義では、社会現象を社会学の理論と関連づけながら学んでいきます。社会学の理論といっても、それは私たちの日々の生活と密接に関係していることばかりです。				
授業目的・到達目標	【授業の目的】本講義では、個々の受講生が生きている現実（リアルライフ）と社会学の知識・考え方をリンクさせながら、①社会的思考力をマスターするとともに、②現代社会をサバイバルしていくための実践的な「知識」と「思考力」を身に付けます。 【到達目標】社会学のさまざまな概念、考え方を理解する。社会で起きている出来事や自分の身のまわりで起こる現象を社会的に考え、読み解き、説明し、対処することができる。ひとつの現象を多様な視点からとらえることができる。				
履修条件	他の受講生が静かに、集中して講義を受けることを妨げない方。担当教員による「社会学Ⅰ」を受講していると望ましいですが、「社会学Ⅰ」を受講していなくても問題のないように、講義を進めます。				
授業方法	指定テキストを用い、板書による説明を中心とした講義形式で行います。 授業内容への理解を深めるために、視聴覚作品（DVD）も鑑賞します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	テストは、用語問題と論述問題です。	
	平常評価		20%	授業後に提出するレスポンスカードで評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	新曜社		『社会学ドリルーこの理不尽な世界の片隅で』（¥1,900＋税）	中村 英代
	備考	初回ガイダンスではテキスト（教科書）は使いません。テキストはガイダンスを聞いて受講を決めた後に購入して下さい。本講義では毎週必ず指定テキストを使います。第2回目からは毎週テキストを持参して下さい。			
参考書	指定テキストの各章にブックガイドがあります。時間外学習の指針として下さい。				
オフィスアワー	質問等は講義の前後に受けつけます。 担当教員のウェブサイトも参考にして下さい。 http://www.hideyonakamura.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	ガイダンス&イントロダクション：社会学Ⅱで何を学ぶか
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。
2	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	ジェンダー論①：「男らしさ／女らしさ」と生きづらさ
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
3	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	ジェンダー論②：世界では誰が家事労働を担っているのか
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
4	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	儀礼と自己①：礼儀作法は身を守る？
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。

5	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	儀礼と自己②：エゴグラムで自分を知る
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
6	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	自殺論①：データから理解する現代の自殺
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
7	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	自殺論②：自殺希少地帯での人々に人間関係とは？
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
8	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	犯罪と逸脱①：逸脱行動の理論の歴史
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
9	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	犯罪と逸脱②：犯罪をとりまく社会環境
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
10	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	過食症と拒食症①：ダイエットをするとどうなるのか？
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
11	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	過食症と拒食症②：回復・承認・自己受容
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
12	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	医療の社会学①：私たちはどのような医療を受けているのか
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
13	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	医療の社会学②：医療化する社会
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
14	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	構築主義と心理療法①：「問題志向」・「解決志向」・「解消志向」
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。
15	事前学習	講義で扱うトピックについての知識をニュース、新聞、書籍などで得ておく。
	授業内容	構築主義と心理療法②：ナラティブ・アプローチを理解する
	事後学習	身近な出来事や社会現象を講義で学んだ知識を用いてとらえなおす。ブックガイドを指針として講義で取り上げた現象についての理解を深める。

科目名	社会学Ⅱ	担当者	服部 慶巨	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	我々は、「社会」とのかかわりの中で「人間らしさ」を身に付ける。つまり、「社会とのかかわりを拒否してしまえば自由な人間になれる」ということは有り得ない。 「人間」としての評価を落とさずに生きていくために必要とされる「社会学的想像力」を通して、日常生活の様々な場面を分析する。				
授業目的・到達目標	人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。そのため、社会生活の中で我々は様々な「問題」と遭遇する。本講義では、「社会学Ⅰ」で得られた知識と技術をもとに「問題行動」の発生要因を知り、それらの解決方法や防衛方法を社会学的に理解していくことになる。 また、「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、そんな疑問と対峙しつつ、学問が日常生活と密接に関わっていることを理解し、社会学的な視点を身につけてゆく。				
履修条件	特にないが、同一担当者による「社会学Ⅰ」を履修していることが望ましい。				
授業方法	受講生自身も陥りがちな（問題）行動を例示し、講義する。パワーポイント・テキスト類・プリント・視聴覚資料などを理解の助けとする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	講義内容をどの程度理解したか、どの程度自分の日常に活かしているのかを確認する。	
	平常評価		30%	受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する予定。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	初回授業内で指示する。なお、「社会学Ⅰ」履修者は、同一教科書を使用する。			
参考書	追って指示する。なお、講義で使用するプリントは、事前にサーバからダウンロードしてもらうことになる（詳細は、初回の講義で説明する予定）。				
オフィスアワー	木曜日昼休み、および講義終了後。 hattori.yoshinobull@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「社会学Ⅱ」から履修を開始する学生は、シラバスを読んで講義の目的・目標を理解する。「社会学Ⅰ」からの継続履修学生は、これまでの講義内容をテキストやノート、資料を読んで復習しておく。
	授業内容	ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。なお、「社会学Ⅱ」から履修を開始する学生は、テキストを入手して「プロローグ」に目を通しておく。
2	事前学習	前回の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の根源① 「問題行動」のとらえ方
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
3	事前学習	前回までの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の根源② 行為と行動
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
4	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	視聴覚機器による問題行動の理解①
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。

5	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	視聴覚機器による問題行動の理解②
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
6	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の根源③ 罪の認識（その１）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
7	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の根源④ 罪の認識（その２）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
8	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の根源⑤ アノミー（anomie）
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
9	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の誤対処① 人生縮小化
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
10	事前学習	前回の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の誤対処② リセットとリロード
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
11	事前学習	区分９～１０の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	問題行動の誤対処③ 防衛機制
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中で確認（照会）する。
12	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	「正義」の含意① 日本人の発想
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
13	事前学習	区分１２の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	「正義」の含意② 日本（人）的「私」
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
14	事前学習	区分１２～１３の講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	「正義」の含意③ 正義の定義づけ
	事後学習	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
15	事前学習	これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。
	授業内容	後半まとめ
	事後学習	定期試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。

科目名	社会学Ⅱ	担当者	三浦 倫平	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会学Ⅱでは、授業の前半で社会学の方法について紹介する。後半ではいくつかの社会問題に関する社会学的な分析を、その方法と照らし合わせながら理解する。				
授業目的・到達目標	社会問題を分析することを通して、「何故、いかにして社会問題が起きているのか」を社会学的な視点から理解し、「社会問題を解決していく為にはどのようにしたらいいのか」という点について考察することを目的とする。単に既存の社会学的な概念、説明を記憶するのではなく、それらを相対化した各自の視点、考察が出来るようになることが目標となる。 ①「社会学の基本的な視点について説明できる」②「社会学の基本的な視点から社会問題が生じる背景について説明できる」③「社会問題を解決する際の課題を指摘できる」④「社会問題について自分の意見を論理的に述べる事が出来る」				
履修条件	特になし。				
授業方法	パワーポイントなどを主に利用する。時に、トピックに関連した動画などを紹介することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(80%)筆記試験 (20%) 毎回配布するリアクションペーパーにおける記述や、授業への参加度を評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	適宜指示をする				
オフィスアワー	本授業に関する質問等は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で講堂で対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	社会学とはどのような学問とされているのかをネットで調べておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	自分が知りたい社会学の分野はどのような分野であるかを考えること
2	事前学習	インタビューを使っているニュースを調べておくこと
	授業内容	社会学の方法論①インタビュー
	事後学習	事前学習で調べたインタビューについて改めて授業で学んだ視点から考察すること
3	事前学習	友人などに簡単にインタビューをしてみよう
	授業内容	社会学の方法論①インタビューⅡ
	事後学習	インタビューを行う上で気を付けなければいけないことを考えてみよう
4	事前学習	参与観察を用いているニュースなどを調べておくこと
	授業内容	社会学の方法論②参与観察
	事後学習	簡単な参与観察をやってみよう

5	事前学習	最近のいじめのニュースを調べてみよう
	授業内容	何故いじめは生まれるのか——参与観察という方法から
	事後学習	授業で紹介するいじめの分析について自分の考えをまとめてみよう
6	事前学習	いじめがどのように語られているか調べてみよう
	授業内容	いじめはいかに語られたか——言説分析という方法から
	事後学習	言説分析はいじめ以外にどのような事例で用いることが出来るか考えてみよう
7	事前学習	性的マイノリティにはどのような人がいるか調べてみよう
	授業内容	何故同性愛は差別されるのか①
	事後学習	性自認、性志向について理解しておこう
8	事前学習	同性愛はどのように語られているか調べてみよう
	授業内容	何故同性愛は差別されるのか②
	事後学習	同性愛差別についての自分の意見をまとめておこう
9	事前学習	ジェンダーの定義について調べておこう
	授業内容	何故性役割分業は維持されるのか①
	事後学習	日常に潜むジェンダーについて考えてみよう
10	事前学習	性役割分業意識の定義を調べておこう
	授業内容	何故性役割分業は維持されるのか②
	事後学習	性役割分業意識ついて自分の意見をまとめておこう
11	事前学習	エスニシティの定義について調べておこう
	授業内容	エスニシティとは何か
	事後学習	在日差別に対する自分の意見をまとめておこう
12	事前学習	障害者差別解消法について簡単に調べておこう
	授業内容	何故障害者は差別されるのか
	事後学習	合理的配慮について自分の意見をまとめておこう
13	事前学習	震災復興の現状について簡単に調べておこう
	授業内容	何故震災復興はうまくいかないのか
	事後学習	震災復興に関する自分の意見をまとめておこう
14	事前学習	これまでの社会学的な分析はどのような視点、方法であったのかを改めて復習しておくこと
	授業内容	社会学の視点、方法のまとめ
	事後学習	自らのレポートにはどのような視点、方法を採用するかを考えておくこと
15	事前学習	これまでの授業を振り返り、不明なところがあるかどうかを把握しておくこと
	授業内容	授業理解度の確認と総まとめ
	事後学習	総まとめを経て、レポートに関連する先行文献を読み、レポート作成をすること

科目名	社会思想の歴史Ⅰ	担当者	川本 隆	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	現代は、ヒト、モノ、カネ、情報が、相互に大量に行き交うグローバル化時代といわれます。なにかと便利ですが、環境破壊や経済不況など深刻な矛盾も露呈しているようです。この講座では古の社会思想の歴史的推移を学びつつ、現代の問題解決の糸口を探ってゆきたいと思います。社会思想に関する一般的な基礎理解の上に、多角的な見方を柔軟な姿勢で身につける授業といえます。				
授業目的・到達目標	時と場が変われば、世の中の「あたり前」も当然、異なってきます。「誰が何を主張した」という事実確認（正確な知識）も重要ですが、そこから「今日のわれわれが考え直すべきことはなにか？」と頭をめぐらすことも大切です。前者はチェックテストで、後者は、リアクションペーパーの意見交換とレポートでおこないます。まずは「思い込み」の殻を破るきっかけをつかむことが授業目的です。そのうえで、新しい読み方・見方を習得するのが次の到達目標となります。				
履修条件	特にありませんが、自分と異なる考えを全く受け入れれないような姿勢はいただけません。いろいろな見方を、柔軟な構えで受け入れることが要求されます。				
授業方法	毎回プリントを配布し、講義形式で行います。毎回、授業最後の5分でリアクションペーパーに簡単な意見を書いてもらう予定です。それを翌週の授業時で一部紹介し、コメントや質疑を交わして理解を深めてゆきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	実施しません。	
	平常評価		100%	リアクションペーパーの意見20%、中間チェックテスト20%、Colnetにアップロード提出する学期末レポート60%で評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				指定教科書はありません。	
	備考	教科書は用いず、Colnet「教材提示」フォルダにアップするPDF資料と授業時に配布するプリントで授業を進めます。			
参考書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	火曜5限終了後、18：00～19：00（下記メール宛、アポイントを取ってください）。 本館2階教員控室。 kawamoto.takashil1@nihon-u.ac.jp（川本）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおいてください。
	授業内容	年間講義計画・成績評価の方法、参考文献紹介など。
	事後学習	授業時に配布された「履修上の注意」を精読し、次回以降の授業に臨んでください。
2	事前学習	「Colnet＞学生教員共有＞川本隆＞教材提示」フォルダにアクセスし、「社会思想とは？」のPDFをお読みください。
	授業内容	総論：社会思想史とは何か ルネサンス期の社会思想：宗教改革者ルター①
	事後学習	Colnetの「教材提示」フォルダにあるルター関連のPDFで授業内容を復習してください。
3	事前学習	前回配布の資料をよみ、疑問点をピックアップしておいてください。
	授業内容	ルネサンス期の社会思想：宗教改革者ルター②
	事後学習	Colnetの「教材提示」フォルダに提示された新しいルター関連のPDFも参考に、授業内容を復習してください。
4	事前学習	配布されたプリントやColnetのPDF資料をもとに、ルターのプロテスタンティズムとエラスムスやモアのカトリック的改革との違いを考えてみてください。
	授業内容	ルネサンス期の社会思想：エラスムス
	事後学習	時代のキリスト教を改革しようとする精神は共通しているにもかかわらず、ルターとエラスムスの両者が対立しているのはなぜかを考え、授業内容を復習してください。

5	事前学習	キリスト教教会の時代的な腐敗と国王の覇権主義との関係に注意しながら、モアの複雑な立ち位置を想像してみてください。
	授業内容	ルネサンス期の社会思想：モア
	事後学習	主著『ユートピア』が対話篇で綴られている理由は、プラトンの影響が考えられます。作中にモアが登場しますが、作中人物としてのモアと書き手としてのモアの使い分けはどう考えたら良いでしょう？　そこに留意しながら彼の思想をまとめてください。
6	事前学習	マキアヴェリの時代背景を知るには、イタリア・ルネサンスの時期の傭兵の役割を知る必要があります。その社会事情が、マキアヴェリの思想形成の一要因ともなっているからです。PDF資料の「傭兵の二千年史」を一読して授業に臨んでください。
	授業内容	ルネサンス期の社会思想：マキアヴェリとその時代
	事後学習	エラスムス、モア、ルター の3者と全く異なる発想がマキアヴェリにあることを、まずは確認してください。マキアヴェリにとって当時の「傭兵」がどのように映っていたかについて、資料を通して考えてみてください。
7	事前学習	事前に提示されているマキアヴェリ関連の資料PDFを参考に予習してください。キーワードは「フォルトゥーナ」と「ヴィルトゥ」です。英語なら何に相当するかを考えながら、解説を読むと原語（イタリア語）の言葉の広がりや味わえると思います。
	授業内容	ルネサンス期の社会思想：マキアヴェリ『君主論』
	事後学習	『君主論』を中心に概説しますが、他方で『ウィリウス論』も無視できません。後者については、復習の段階で各自、調べてみてください。
8	事前学習	ピューリタン革命の時代にホブズがどのような立場で思想を形成していたかを考えながら、事前資料PDFを読んでみてください。
	授業内容	近代の社会契約思想：ホブズ『リヴァイアサン』1
	事後学習	王党派に一時期接近したホブズをさして、「絶対王政擁護者」というレッテルを貼ることが妥当といえるでしょうか。ピューリタン革命当時の独立派や平等派との関係をみながら、この問題について考えを整理してみてください。
9	事前学習	一見似ているようなマキアヴェリの君主論とホブズのリヴァイアサンですが、両者で決定的に違うポイントがあります。それは何でしょうか。授業の解説を聞く前に、自分なりに答えを探してみてください。
	授業内容	近代の社会契約思想：ホブズ『リヴァイアサン』2
	事後学習	「自然権」と「自然法」の相違に注意しながら、コモンウェルスの必要性について考えてみてください。また「リヴァイアサン」の挿絵の意味も考えつつ、復習してください。
10	事前学習	ピューリタン革命から名誉革命に至るロックの時代背景を、大まかにでもチェックしてみてください。
	授業内容	近代の社会契約思想：ロック『統治論』1
	事後学習	時代の嵐に翻弄されながら、ロックがどのような政治体制を展望したのか、そこに留意しながら復習してください。
11	事前学習	自然状態がホブズと対比するとなり変わります。「自然権」と「自然法」との区別がロックではつきにくくなります。それはなぜでしょうか。その点を考えながら事前配布資料を一読することをお勧めします。
	授業内容	近代の社会契約思想：ロック『統治論』2
	事後学習	イギリスの議会政治の歴史的発達とロックの『統治論』は密接な関係があります。
12	事前学習	ルソーの破天荒な人生は、彼の思想形成にとっても重要な要因と言えます。ルソーにまつわる神話的イメージを払拭して、彼を等身大で見るように心がける必要があります。
	授業内容	近代の社会契約思想：ルソー『人間不平等起源論』
	事後学習	アムール・ド・ソワ とアムール・ド・プロブルは同じ愛でありながら、極端な差異として描かれます。その微妙なニュアンスの違いに気をつけながら、『不平等論』の理解を深めてください。
13	事前学習	『不平等論』と『社会契約論』とでは「自然状態」のとらえ方が大きく異なります。同じ人物がなぜこのような見方になるのかは授業時に確認するとし、まずは両著作の相違点を確認してください。
	授業内容	近代の社会契約思想：ルソー『社会契約論』
	事後学習	自然状態が破局寸前の状態として描かれるために、彼の社会契約はロックとうってかわって「全面譲渡」という極端な形で描かれます。なぜこのような極論に至るのでしょうか。時代背景と合わせて考えてみてください。
14	事前学習	法服貴族というモンテスキューの身分（立ち位置）が彼の思想とどのような関係にあるか、想像しながら事前配布資料を読んでみてください。
	授業内容	仏リベラリズム：モンテスキュー『法の精神』
	事後学習	権力分立論はロックも主張していたことですが、モンテスキューの場合は、今日の日本社会に近い三権分立を主張していました。「穏和な整体」というときの「穏和」の意味に注意しながら、モンテスキューの独自性がどこにあるか、考えてみてください。
15	事前学習	年代順に並べなおすと、マキアヴェリ、エラスムス、モア、ルター、ホブズ、ロック、モンテスキュー、ルソー、の順になりますが、なぜ上記のような順で概説したかを改めて考えてみてください。
	授業内容	前期まとめ：時代状況に即した思想家たちの改革の試み
	事後学習	「カトリシズム的改革とプロテスタンティズム」、「アダムの人間とプロメテウスの人間」、「社会契約思想と権力分立論」、「自然法概念」の推移、という4項目について、これまで学んできたことを整理してみてください。

科目名	社会思想の歴史Ⅱ	担当者	川本 隆	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	現代は、ヒト、モノ、カネ、情報が、相互に大量に行き交うグローバル化時代といわれます。なにかと便利ですが、環境破壊や経済不況など深刻な矛盾も露呈しているようです。この講座では古の社会思想の歴史的推移を学びつつ、現代の問題解決の糸口を探ってゆきたいと思います。社会思想に関する一般的な基礎理解の上に、多角的な見方を柔軟な姿勢で身につける授業といえます。				
授業目的・到達目標	時と場が変われば、世の中の「あたり前」も当然、異なってきます。「誰が何を主張した」という事実確認（正確な知識）も重要ですが、そこから「今日のわれわれが考え直すべきことはなにか？」と頭をめぐらすことも大切です。前者はチェックテストで、後者は、リアクションペーパーの意見交換とレポートでおこないます。まずは「思い込み」の殻を破るきっかけをつかむことが授業目的です。そのうえで、新しい読み方・見方を習得するのが次の到達目標となります。				
履修条件	特にありませんが、自分と異なる考えを全く受け入れられないような姿勢はいただけません。いろいろな見方を、柔軟な構えで受け入れることが要求されます。				
授業方法	毎回プリントを配布し、講義形式で行います。毎回、授業最後の5分でリアクションペーパーに簡単な意見を書いてもらう予定です。それを翌週の授業時で一部紹介し、コメントや質疑を交わして理解を深めてゆきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	実施しません。	
	平常評価		100%	リアクションペーパーの意見20%、中間チェックテスト20%、Colnetにアップロード提出する学期末レポート60%で評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				指定教科書はありません。	
	備考	教科書は用いず、Colnet「教材提示」フォルダにアップするPDF資料と授業時に配布するプリントで授業を進めます。			
参考書	必要に応じて紹介します。				
オフィスアワー	火曜5限終了後、18：00～19：00（下記メール宛、アポイントを取ってください）。 10号館2階教員控室。 kawamoto.takashil1@nihon-u.ac.jp（川本）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	スコットランドとイングランドとの対立やジャコバイトの乱などの時代背景に着目しながら、彼の道徳哲学がどのように形成されていくか、予想してみてください。
	授業内容	市民社会の思想：アダム・スミスの道徳哲学
	事後学習	道徳観各学派、マンデヴィル、ヒュームといった人たちの道徳論をスミスがどのように吸収していったか、整理してみてください。
2	事前学習	彼の道徳論が「共感」や「公平な観察者」というスミスのテクニカルタームにどうつながっていくか、予想してみてください。
	授業内容	市民社会の思想：アダム・スミス『国富論』
	事後学習	スミスの自由主義的経済思想の発展系が、現代のグローバル社会の新自由主義といえるのか？ この点を考えつつ、スミスの思想をまとめてください。
3	事前学習	カントの有名な定言命法「君の意志の格率が、つねに同時に、普遍的立法の原則にかなうよう行為しなさい」が、どのような意味をもつのか、具体的場面を想定しながら考えてみてください。
	授業内容	市民社会の思想：カントの道徳哲学と法論
	事後学習	カントの義務倫理は厳格だと批判する人が多いですが、不幸な介護殺人や鴎外の『高瀬舟』のような事例では、「生きる義務」という着想が必要とも考えられます。その点を加味しつつ、彼の道徳論をまとめてください。
4	事前学習	高校までの学習でヘーゲルの弁証法を「正→反→合」で説明するのは良しとしても、「カツ→カレー→カツカレー」にたとえるのは問題があります。なぜでしょう？ 予測してみてください。
	授業内容	市民社会の思想：ヘーゲル哲学への導入；弁証法とは何か？
	事後学習	弁証法は哲学的思弁の論理であり、アウフヘーベンされた「合」の段階では、前の二つの契機を内に含みながら一つになっているものとして概念的に把握されなければなりません。その点に注意しながら、弁証法の理解を深めてください。

5	事前学習	ヘーゲル『エントツェクロペディー』の壮大な体系は単なる「百科事典」ではないといわれる理由について、考えてみてください。
	授業内容	市民社会の思想：ヘーゲル哲学の体系
	事後学習	「精神哲学」の項目が「主観的精神論」「客観的精神論」「絶対的精神論」の三段階で構成されている意味を考えてみてください。
6	事前学習	カントが規定した「婚姻」や「愛」に対して、ヘーゲルは批判的でした。「個」を基礎におくか、「個」を超える「愛」を基礎に据えるか、の違いに注意しながら、事前資料を読んでみてください。
	授業内容	市民社会の思想：ヘーゲル『法哲学』の家族論
	事後学習	家族の一体性・普遍性は、子どもが陶冶され巣立っていくと、家族は背景に退き「解体」されますが、家族がバラバラになるわけではありません。用語に注意しながら、家族から市民社会への移行をまとめてください。
7	事前学習	スミスの主張する自由放任の市場は、公平な観察者が機能するかぎりで平等でしたが、ヘーゲルのとらえる市民社会は欲求の体系としての強制国家でした。克服に必要なものが行政と職業団体とされる理由を考えてください。
	授業内容	市民社会の思想：ヘーゲル『法哲学』の市民社会と国家
	事後学習	「家族→市民社会→国家」の歩みは、人倫精神の弁証法的発展と言えます。市民社会から国家への移行は、行政による施しよりも、職業団体が培われる「誇り」に力点があります。その点に注意しながら、まとめてみてください。
8	事前学習	労働における人間の「自己疎外」、すなわち「働けば働くほど人間が貧しくなる」という逆説がなぜ生じるか、予想してみてください。
	授業内容	経済社会の思想：マルクス『経済学・哲学草稿』の疎外論
	事後学習	授業では労働における人間の自己疎外を、チャップリンの『モダン・タイムス』から考察します。19世紀ドイツの状況と対比しながら、今日につながる問題があるという点を中心に見直してみてください。
9	事前学習	「マルクスの思想はマルクス主義ではない」という言説の根拠はどこにあるのか。源流となる思想と派生的形態としての運動を区別して、その理由を考えてください。
	授業内容	経済社会の思想：マルクス『資本論』の物象化論
	事後学習	マルクスが問題提起した労働者のアソシアションはいまだ実現されざる理想かもしれません。理想を空論の一言で片づけることなく、現代につながる問題があるという点を中心に見直してみてください。
10	事前学習	カーソン『沈黙の春』冒頭の「明日の寓話」は美しい文体で書かれていますが、それだけに背後から忍び寄る影が不気味です。「白い粉」は何の寓意か？ 考えてみてください。
	授業内容	現代の環境思想：レイチェル・カーソン『沈黙の春』と日本の公害
	事後学習	『沈黙の春』は現代の環境思想の原点です。生態系が「目に見えないネットワーク」であることを見定めつつ、彼女の思想をまとめてください。
11	事前学習	「自我」の狭い殻を破り「自己」を実現せよと主張するネスの「拡大自己実現」。近代の人間の基礎をなし、科学の発達を促した「自我」がなぜ批判されなければならないのか、その点を考えてください。
	授業内容	現代の環境思想：ディープ・エコロジー①；アルネ・ネスの拡大自己実現
	事後学習	実体としての「自我」、関係としての「自己」。後者が前者を包括するホーリズムがネスの思想の基礎にあります。ガンディーの非暴力主義との関連に配慮しながら、ネスの思想をまとめてください。
12	事前学習	ブラットフォーム原則は、思想や信条などの哲学的な根源をなすレベル1になく、その次のレベル2にあります。なぜでしょう？ 予想しながら事前資料を読んでみてください。
	授業内容	現代の環境思想：ディープ・エコロジー②；エプロン・ダイアグラムとブラットフォーム原則
	事後学習	ブラットフォーム原則の第4原則「不可欠の必要」は、なぜ「曖昧な」書き方になっているのか、その点を考えながら整理してみてください。
13	事前学習	人間が生きるためには、食べなければならず、食べるためには何らかの生物を殺さなければなりません。この矛盾をふまえつつ、「生命圏平等主義」を主張する意味は何なのか、考えてみてください。
	授業内容	現代の環境思想：ディープ・エコロジー③；食と生死の哲学
	事後学習	生けるものの「いのち」を「解く」ことなしに、われわれは食することができません。「いのちを解く」現場から離れた現代人の食生活の問題は何かを考えながら、「生命圏平等主義」の意義をまとめてください。
14	事前学習	フロムの説から入りましょう。世間体を気にする「立派な」母親の教育が、子どもにどんな悪影響を及ぼすのか、なぜ「自己愛」と「他者愛」が両立可能なのか、事前資料から読み取ってください。
	授業内容	現代の環境思想：アルネ・ネスにとつてのフロムとスピノザ
	事後学習	フロムから共感論のほかに、“preserve in his being”というスピノザの主張がなぜ必要となるのか、「エゴの脱色（解放）」という視点で考えてみてください。
15	事前学習	ブクチンの『エコロジーと社会』第1章に登場する、カリフォルニア出身のエコロジストの言説のおかしな点とは何でしょうか。探してみてください。
	授業内容	現代の環境思想：マレイ・ブクチンのソーシャル・エコロジー
	事後学習	授業では、生物資源を略奪するドイツの製薬会社の事例をVTRで見えていきます。この事例は、先進国日本に生きるわれわれの問題でもあります。社会的な人間相互の関係を改善せずには、地球環境問題の真の解決には至らない、というブクチンの主張をまとめてください。

科目名	宗教学 I	担当者	小林 紀由	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	宗教学が歴史的に築いてきた体系にしたがって、宗教についての科学的知見をえられるよう講義する。			
授業目的・到達目標	近代に生まれた学問としての「宗教学」の立場から、人間の文化的・社会的営みとしての宗教現象を理解することを目的とする。「宗教」という視点から、前近代と対比される近代という時代の特徴を理解し、今後の社会のあり方を考える基礎的知見を得ることを到達目標とする。特に、近代につくられた宗教という語の理解を集団と儀礼とのかかわりからとらえられるようにする。			
履修条件	特になし			
授業方法	基本的に講義による。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回の授業に関するリアクションの提出を求め、レポートより評価する。学習の成果を的確にしめすこととならんで、学んだところを批判的に考える努力をしめすこと。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1997年	講談社	宗教学入門	脇本平也
	備考			
参考書	授業中に指示する。			
オフィスアワー	非常勤講師につき、メールアドレスを初回授業にて提示する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスの内容をよく吟味し、授業選択にそなえること。
	授業内容	講義のねらいと概要
	事後学習	講義予定をよく吟味し、今後の授業にそなえること。
2	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	宗教学とはどのような学問か 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
3	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	宗教学とはどのような学問か 2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
4	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	近代における宗教と国家 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。

5	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	近代における宗教と国家 2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
6	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	宗教の構成要素 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
7	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	宗教の構成要素 2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
8	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	集団としての宗教 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
9	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	集団としての宗教 2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
10	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	集団としての宗教 3
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
11	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	儀礼という面からみた宗教 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
12	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	儀礼という面からみた宗教 2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
13	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	儀礼という面からみた宗教 3
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
14	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	儀礼という面からみた宗教 4
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
15	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	講義のまとめ
	事後学習	講義内容をよく吟味し、レポートの作成にそなえること。

科目名	宗教学 I	担当者	舘野 正生	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	宗教とは辞書の定義では「人間と超越的存在との関わり」とされるが、超越的存在とは主に人間から先に進んだ存在のことである。本授業では、こういった先人たちから教わり、人間がさらに進化していくことを宗教の本筋とみて、広く様々な対象から学んで成長・進化するためのことを身に付ける実践を行っていきたい。よって単に記憶するために宗教の歴史・教義などを一方的に話すことは行わない。				
授業目的・到達目標	自分で自分を成長進化させることができるようになること。自分の軸を創り自分で自分の人生を切り拓くことができるようになり、より苦しめない人生となることを目指したい。生きる基礎を訓練する時間であるため、話す、寝る、いい加減なレポートを提出するなど真剣に受講できない人は即刻、除籍する。授業内で書くレポートは試験と同じ扱いなので相談したり他者のを見るなどするとカンニングとみなし無効とする。自分で自分を成長させる訓練の時間と考え、単位のためなどではなく自分のために行える人に受講してほしい。その時その場で考察するため授業内容を細かく提示できないので下の授業計画は単なる目安に過ぎない。学生教員共有フォルダに授業アンケートを公開しているので参考にしてほしい。				
履修条件	自分と向き合い内面を深く探るので不向きな人、真剣に取り組めない人は参加を避けること。いかなる理由でも4回の欠席で成績は付かない。遅刻しないこと。遅刻・欠席は減点となる。隣の席は必ず空席にして着席すること。				
授業方法	授業者が提示する題材から自分の成長に結び付けたレポートを書くことを繰り返し、自らを成長させてゆく形態で行う。レポートは返却せず、中間・期末レポートで使用するので携帯端末などで必ず記録しバックアップも取っておくこと				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	真剣さと自分を成長させることができたかを基準とし、授業内・中間・期末の各レポート、宿題、欠席・遅刻の回数などにより総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。			
参考書	随時伝達する。				
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	ガイダンスなど
	事後学習	ガイダンス内容によって授業選択を検討すること
2	事前学習	先人の思想を調べる
	授業内容	どのように生きるかを先人の思想から学ぶ①
	事後学習	分かったことを日常で活かして生活する
3	事前学習	先人の思想を調べる
	授業内容	どのように生きるかを先人の思想から学ぶ②
	事後学習	分かったことを日常で活かして生活する
4	事前学習	先人の思想を調べる
	授業内容	どのように生きるかを先人の思想から学ぶ③
	事後学習	分かったことを日常で活かして生活する

5	事前学習	先人の思想を調べる
	授業内容	どのように生きるかを先人の思想から学ぶ④
	事後学習	分かったことを日常で活かして生活する
6	事前学習	これまでの期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	到達度確認試験①、及び解説
	事後学習	肝心なことを憶えて日常で行なっていく
7	事前学習	身の回りのことに注意していること
	授業内容	どのように生きるかを身の周りの対象から学ぶ①
	事後学習	いつも対象に教わる姿勢でいる
8	事前学習	身の回りのことに注意していること
	授業内容	どのように生きるかを身の周りの対象から学ぶ②
	事後学習	いつも対象に教わる姿勢でいる
9	事前学習	身の回りのことに注意していること
	授業内容	どのように生きるかを身の周りの対象から学ぶ③
	事後学習	いつも対象に教わる姿勢でいる
10	事前学習	これまでの期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	到達度確認試験②、及び解説
	事後学習	肝心なことを憶えて日常で行なっていく
11	事前学習	どのように在りたいかを考える
	授業内容	どのように生きるかを自ら思考する①
	事後学習	どのように在りたいかを意識して生きる
12	事前学習	どのように在りたいかを考える
	授業内容	どのように生きるかを自ら思考する②
	事後学習	どのように在りたいかを意識して生きる
13	事前学習	どのように在りたいかを考える
	授業内容	どのように生きるかを自ら思考する③
	事後学習	どのように在りたいかを意識して生きる
14	事前学習	これまでの全期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	前期総括
	事後学習	わかったことを身に付けることを行う
15	事前学習	これまでの全期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	到達度確認総合試験、及び解説
	事後学習	身に付けたことを日常に活かし、在りたい自分でいる

科目名	宗教学Ⅱ	担当者	小林 紀由	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	宗教学が歴史的に築いてきた体系にしたがって、宗教についての科学的知見を得られるよう講義する。			
授業目的・到達目標	近代に生まれた学問としての「宗教学」の立場から、人間の文化的・社会的営みとしての宗教現象を理解することを目的とする。「宗教思想」の分析という視点から、前近代と対比される近代という時代の特徴を、またその近代と対比される現代という時代の特徴を理解し、今後の社会のあり方を考える基礎的知見を得ることを到達目標とする。			
履修条件	特になし			
授業方法	講義による。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回の授業に関するリアクションの提出をもとめ、それにより評価する。学習の成果を的確にしめすこととならんで、学んだところを批判的に考える努力をしめすこと。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1997年	講談社	宗教学入門	脇本平也
	備考			
参考書	授業中に指示する。			
オフィスアワー	非常勤講師につき、メールアドレスを初回授業にて提示する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスをよく吟味し、授業選択にそなえること。
	授業内容	講義のねらいと概要
	事後学習	講義予定をよく吟味し、今後の授業にそなえること。
2	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	宗教思想の対象
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
3	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	世界起源・人間起源に関する神話 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
4	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	世界起源・人間起源に関する神話 2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。

5	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	世界起源・人間起源に関する神話 3
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
6	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	世界起源・人間起源に関する神話 4
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
7	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	世界起源・人間起源に関する神話 5
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
8	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	他界と来世に関する神話 1
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
9	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	他界と来世に関する神話2
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
10	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	他界と来世に関する神話 3
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
11	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	他界と来世に関する神話4
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
12	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	神観念の類型
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
13	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	近代の神
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
14	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	現代社会と神
	事後学習	講義内容をよく吟味し、リアクションの作成にそなえること。
15	事前学習	教科書該当箇所（前回授業で提示）を読んでおくこと。
	授業内容	講義のまとめ
	事後学習	講義内容をよく吟味し、レポートの作成にそなえること。

科目名	宗教学Ⅱ	担当者	舘野 正生	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	宗教とは辞書の定義では「人間と超越的存在との関わり」とされるが、超越的存在とは主に人間から先に進んだ存在のことである。本授業では、こういった先人たちから教わり、人間がさらに進化していくことを宗教の本筋とみて、広く様々な対象から学んで成長・進化するためのことを身に付ける実践を行っていきたい。よって単に記憶するために宗教の歴史・教義などを一方的に話すことは行わない。				
授業目的・到達目標	自分で自分を成長進化させることができるようになること。自分の軸を創り自分で自分の人生を切り拓くことができるようになり、より苦しまない人生となることを目指したい。生きる基礎を訓練する時間であるため、話す、寝る、いい加減なレポートを提出するなど真剣に受講できない人は即刻、除籍する。授業内で書くレポートは試験と同じ扱いなので相談したり他者のを見るなどするとカンニングとみなし無効とする。自分で自分を成長させる訓練の時間と考え、単位のためなどではなく自分のために行える人に受講してほしい。その時その場で考察するため授業内容を細かく提示できないので下の授業計画は単なる目安に過ぎない。学生教員共有フォルダに授業アンケートを公開しているので参考にしてほしい。				
履修条件	館野担当の宗教学Ⅰを大きく踏まえた内容となるので、受講していない人は受講した人に対して大きく不利であることを納得の上で参加してほしい。その他は館野の宗教学Ⅰに同じなので読んでほしい。				
授業方法	授業者が提示する題材から自分の成長に結び付けたレポートを書くことを繰り返し、自らを成長させてゆく形態で行う。レポートは返却せず、中間・期末レポートで使用するので携帯端末などで必ず記録しバックアップも取っておくこと				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	真剣さと自分を成長させることができたかを基準とし、授業内・中間・期末の各レポート、宿題、欠席・遅刻の回数などにより総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず。			
参考書	随時伝達する。				
オフィスアワー	火曜日09時～10時。ただし必ず事前にメールにて連絡すること。（授業者の大学アドレス tatenom.masao@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	ガイダンス、および授業
	事後学習	ガイダンス内容によって授業選択を検討すること
2	事前学習	自分を知ることについて調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかを追究する①
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する
3	事前学習	自分を知ることについて調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかを追究する②
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する
4	事前学習	自分を知ることについて調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかを追究する③
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する

5	事前学習	自分を知ることについて調べる
	授業内容	自分を知ることによってどのように生きるかを追究する④
	事後学習	この時間から分かった自分を日常で確認する
6	事前学習	これまでの期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	到達度確認試験①、及び解説
	事後学習	肝心なことを憶えて日常で行なっていく
7	事前学習	自分に意識を向けて生きる
	授業内容	自分を深く知ることによって自分の芯を創る①
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
8	事前学習	自分に意識を向けて生きる
	授業内容	自分を深く知ることによって自分の芯を創る②
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
9	事前学習	自分に意識を向けて生きる
	授業内容	自分を深く知ることによって自分の芯を創る③
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
10	事前学習	これまでの期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	到達度確認試験②、及び解説
	事後学習	肝心なことを憶えて日常で行なっていく
11	事前学習	どう生きればいいのかを考える
	授業内容	自分をどのようにして生きたいかを追究する①
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
12	事前学習	どう生きればいいのかを考える
	授業内容	自分をどのようにして生きたいかを追究する②
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
13	事前学習	どう生きればいいのかを考える
	授業内容	自分をどのようにして生きたいかを追究する③
	事後学習	在りたい自分を意識して生きる
14	事前学習	これまでの全期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	総括
	事後学習	わかったことを身に付けることを行う
15	事前学習	これまでの全期間のレポートを読み返しておく
	授業内容	到達度確認総合試験、及び解説
	事後学習	身に付けたことを日常に活かし、在りたい自分である

科目名	心理学 I	担当者	木村 敦	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	心理学は外部から直接観察できない「心」を客観的な手法で研究し、人間行動の理解や問題解決への応用に役立てる学問領域である。心理学Iでは、知覚、記憶、学習、感情、性格といった心理学の主要分野の基本的知識およびその研究法や研究史を概観するとともに、簡単な心理実験・検査への参加を通じて、心理学的現象を客観的に解釈し判断する力を身につける。				
授業目的・到達目標	標】社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得するために、知覚、記憶、学習、感情、性格に関わる心理学の基礎知識、および心理学の研究法や歴史について理解する。また、省察力を身につけるために、講義および心理実験・検査への参加を通じて、自分自身について心理学的見地から認識する。 【行動目標1】科目内で学習した心理学の概念や理論、用語について説明することができる。 【行動目標2】自分自身の心理的反応について、心理学の知識や技能を踏まえて客観的に解釈することができる。				
履修条件	事前履修科目は特になし。シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。				
授業方法	講義を中心とするが、授業に関連する調査や実験の体験およびレポート作成、授業内試験等も適宜実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験 【60%】 レポート 【30%】 レスポンスペーパー 【10%】 ※詳細は、ガイダンス等で適宜説明する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014	弘文堂	心理学 第2版		和田万紀 編
	備考				
参考書	授業内で適宜案内する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 E-mail: kimura.atsushi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をWEB、図書館等を利用して調べる。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の内容や進め方、評価方法についての説明を通じて、受講者が当科目の到達目標や授業内容を踏まえた上で学習準備を行えるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書1章を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【心理学とは】 心理学では人間の心や行動をどのように研究するか、心理学の学問的位置づけや研究法について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
3	事前学習	教科書序章を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【心理学の歴史と研究法】 心の探究に関する研究の歴史的変遷と心理学のアプローチについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
4	事前学習	教科書2章pp. 53-63を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【感覚・知覚(1)感覚の特徴と知覚】 感覚の一般的特性の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになるとともに、錯視量の測定に関する実験体験に基づいて「知覚は物理的環境の再現ではない」ことを論じられるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。

5	事前学習	教科書2章pp. 63-72を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【感覚・知覚(2)視覚】 知覚の成立条件、運動知覚・錯覚等の知覚の諸相の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
6	事前学習	教科書2章pp. 74-76を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【感覚・知覚(3)認知と感性】 知覚・認知と感性との関わりに関する諸理論を学習し、受講者がそれについて説明できるようになるとともに、感性評価の体験を通じて知覚特性と感性的印象との関連について考察できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。
7	事前学習	教科書3章pp. 81-91を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【記憶】 記憶の種類や特性に関する基礎的な理論や研究法を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
8	事前学習	教科書3章pp. 91-99を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【学習】 条件付けの概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
9	事前学習	教科書4章pp. 105-117を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【感情(1)感情の機能と働き】 感情・情動の分類、機能、発生について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
10	事前学習	教科書4章pp. 117-120を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【感情(2)感情のコントロールと心の健康】 感情とメンタルヘルスの関わり、および怒りや不安といった感情のコントロール技法について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
11	事前学習	教科書4章pp. 121-124を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【感情(3)動機づけと行動】 欲求や動機づけに関する基礎的な理論を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
12	事前学習	教科書5章の内容を概観し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【性格(1)性格の捉え方】 心理テスト、個人差についての概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになるとともに、性格検査の体験を通じて自己の性格を性格理論の枠組みから説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した検査についてのレポートを作成する。
13	事前学習	教科書5章の内容を概観し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【性格(2)性格と精神疾患】 パーソナリティに関係する精神疾患の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
14	事前学習	これまでのノートや資料を再度復習し、各回の学習内容について説明できるよう準備する。
	授業内容	【授業内テスト】 授業内テストを実施し、ここまでの学習内容についての到達度を確認する。
	事後学習	テストを振り返り、理解しきれいなかった点について再度まとめなおす。
15	事前学習	これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識、技能、態度を論じられるように準備する。
	授業内容	【総括】授業内テストの解説や授業総括を通じて、受講者が当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになる。
	事後学習	総括を振り返り、今後の学修方針を考える。

科目名	心理学 I	担当者	田中 堅一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	心理学の基礎領域を通覧し、心理学で使われる基礎用語を解説する。			
授業目的・到達目標	授業目的 哲学的論考から脱して、科学としてこころの科学を目指した心理学の歴史的経緯を理解し、心理学の中でも基礎的な領域について理解し、説明できるようになることを目的とする。 到達目標 受講した範囲で心理学の基本的用語について理解し、説明できる。習得した心理学的知見を基にして、自己理解を深めることができ、自分自身の身の回りの事象について考えられることができる。			
履修条件	心理学に興味があること。こころの働きを科学的アプローチから考えることに関心があること。			
授業方法	講義形式。設備環境が許すかぎり、毎回PowerPointを使いながら講義を行う（殆ど板書はしない）。時間が許せば、講義内容について討論の時間を設ける。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	筆記試験は、持ち込み不可。試験問題は、多肢選択法等による客観式の問題8割程度、論述式問題2割程度で構成される予定。	
	平常評価	20%	宿題としてレポート提出を課す。レポートの内容は、講義で出てきた内容に関連したテーマについて出題される。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	弘文堂	心理学〔第3版〕（Next教科書シリーズ）	和田万紀
	備考			
参考書	下山晴彦（編集代表）（2014）. 誠信心理学辞典 新版 誠信書房 中島義明ほか（編集）（1999）. 心理学辞典 有斐閣			
オフィスアワー	質問等は、e-mailで承ります（tanaka.kennichirou@nihon-u.ac.jp）。講義日には授業前30分に講師室にいますので、質問を受けます。授業後はすぐ帰ります。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「序章」「第1章」を中心に全体を通読すること。
	授業内容	心理学 I のガイダンス：科目（講義概要）紹介、成績評価についての留意点、心理学とはなにか、心理学の領域
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
2	事前学習	教科書「第1章」を通読すること。
	授業内容	心理学の研究法：心理学を研究する様々な手法（実験法、調査法、観察法、面接法）
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
3	事前学習	教科書「序章」を通読すること。
	授業内容	科学としての心理学が始まった歴史的経緯：19世紀後半を中心に
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
4	事前学習	教科書「第2章」を通読すること。
	授業内容	感覚・知覚 1：視覚のしくみ（その1）
	事後学習	授業内容に関してレポート提出を求めるかもしれないので、復習しておくこと。

5	事前学習	教科書「第2章」を通読すること。
	授業内容	感覚・知覚 2：視覚のしくみ（その2）、聴覚・味覚・触覚・嗅覚について
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
6	事前学習	教科書「第3章・2」を通読すること。
	授業内容	学習 1：心理学での「学習」とはなにか（古典的条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤学習）
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
7	事前学習	科書「第3章・2 学習」を通読すること。
	授業内容	学習 2：洞察学習、観察学習、条件づけの応用
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
8	事前学習	教科書「第4章・1，2」を通読すること。
	授業内容	感情 1：感情とは何か、感情の生起メカニズム
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
9	事前学習	教科書「第4章・4」を通読すること。
	授業内容	感情 2：動機づけ、欲求不満
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
10	事前学習	教科書「第2章・1」を通読すること。
	授業内容	記憶：記憶の種類とそれらの性質
	事後学習	授業内容に関してレポート提出を求めるかもしれないので、復習しておくこと。
11	事前学習	教科書「第5章」を通読すること。
	授業内容	パーソナリティ 1：性格に関する理論（類型論、特性論）
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
12	事前学習	教科書「第8章・4」を通読すること。
	授業内容	パーソナリティ 2：パーソナリティ検査の種類
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
13	事前学習	教科書「第6章・1，2」を通読すること。
	授業内容	発達 1：生まれてから成人し、そして高齢期を迎えるまで
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
14	事前学習	教科書「第6章・3」を通読すること。
	授業内容	発達 2：エリクソンの心理・社会的発達理論について考える
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
15	事前学習	今まで講義で使用されたPPT（あるいはその出力用紙）に目を通すこと。
	授業内容	講義の総括と期末試験についての留意点
	事後学習	留意点で述べられたことを参考書に示された辞書などで調べること。

科目名	心理学 I	担当者	種ヶ嶋 尚志	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	心理学は外部から直接観察できない「心」を客観的な手法で研究し、人間行動の理解や問題解決への応用に役立てる学問領域である。心理学Iでは、知覚、記憶、学習、感情、性格といった心理学の主要分野の基本的知識およびその研究法や研究史を概観するとともに、簡単な心理実験・検査への参加を通じて、心理学的現象を客観的に解釈し判断する力を身につける。				
授業目的・到達目標	【一般目標】社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得するために、知覚、記憶、学習、感情、性格に関わる心理学の基礎知識、および心理学の研究法や歴史について理解する。また、省察力を身につけるために、講義および心理実験・検査への参加を通じて、自分自身について心理学的見地から認識する。 【行動目標1】科目内で学習した心理学の概念や理論、用語について説明することができる。 【行動目標2】自分自身の心理的反応について、心理学の知識や技能を踏まえて客観的に解釈することができる。				
履修条件	事前履修科目は特になし。シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。				
授業方法	講義を中心とするが、授業に関連する調査や実験の体験およびレポート作成、授業内試験等も適宜実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験 【60%】 レポート 【30%】 レスポンスペーパー 【10%】 ※詳細はガイダンス等で適宜説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	弘文堂		心理学 第2版	和田万紀 編
	備考				
参考書	授業内で適宜案内する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をWEB、図書館等を利用して調べる。
	授業内容	”【ガイダンス】 授業の内容や進め方、評価方法についての説明を通じて、受講者が当科目の到達目標や授業内容を踏まえた上で学習準備を行えるようになる。”
	事後学習	授業ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書1章を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【心理学とは】 心理学では人間の心や行動をどのように研究するか、心理学の学問的位置づけや研究法について説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
3	事前学習	教科書序章を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【心理学の歴史と研究法】 心の探究に関する研究の歴史的変遷と心理学のアプローチについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
4	事前学習	教科書2章pp. 53-63を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【感覚・知覚(1)感覚の特徴と知覚】 感覚の一般的特性の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになるとともに、錯視量の測定に関する実験体験に基づいて「知覚は物理的環境の再現ではない」ことを論じられるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。

5	事前学習	教科書2章pp. 63-72を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【感覚・知覚(2)視覚】 知覚の成立条件、運動知覚・錯覚等の知覚の諸相の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
6	事前学習	教科書2章pp. 74-76を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【感覚・知覚(3)認知と感性】 知覚・認知と感性との関わりに関する諸理論を学習し、受講者がそれについて説明できるようになるとともに、感性評価の体験を通じて知覚特性と感性的印象との関連について考察できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。
7	事前学習	教科書3章pp. 81-91を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【記憶】 記憶の種類や特性に関する基礎的な理論や研究法を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
8	事前学習	教科書3章pp. 91-99を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【学習】 条件付けの概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
9	事前学習	教科書4章pp. 105-117を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【感情(1)感情の機能と働き】 感情・情動の分類、機能、発生について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
10	事前学習	教科書4章pp. 117-120を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【感情(2)感情のコントロールと心の健康】 感情とメンタルヘルスの関わり、および怒りや不安といった感情のコントロール技法について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
11	事前学習	教科書4章pp. 121-124を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【感情(3)動機づけと行動】 欲求や動機づけに関する基礎的な理論を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
12	事前学習	教科書5章の内容を概観し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【性格(1)性格の捉え方】 心理テスト、個人差についての概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになるとともに、性格検査の体験を通じて自己の性格を性格理論の枠組みから説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した検査についてのレポートを作成する。
13	事前学習	教科書5章の内容を概観し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	”【性格(2)性格と精神疾患】 パーソナリティに関係する精神疾患の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。”
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
14	事前学習	これまでのノートや資料を再度復習し、各回の学習内容について説明できるよう準備する。
	授業内容	”【授業内テスト】 授業内テストを実施し、ここまでの学習内容についての到達度を確認する。”
	事後学習	テストを振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
15	事前学習	これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識、技能、態度を論じられるように準備する。
	授業内容	【総括】授業内テストの解説や授業総括を通じて、受講者が当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになる。
	事後学習	総括を振り返り、今後の学修方針を考える。

科目名	心理学 I	担当者	和田 万紀	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	心理学の最新の知見を概観する。心理学に対する偏った見方や偏見を捨てて本講義を聴講していただきたい。本講義を通じて、自分自身そして他者の心の働きに目を向けて、自己理解の一助とすることを目的とする。				
授業目的・到達目標	「心」をできる限り「見える化」して、そこから得られた情報を基に、自分の心の働きに対して客観的に目を向けることを目的とする。 「あいまいな」心を対象とするとき、それを「みえる化」するとはどういうことか、を知る。そして自分の心の働きを対象として、心理学の用語を用いて語ることを目標とする。				
履修条件	心理学についての自分の偏見や常識を、この授業を通じてあらたに見つめ、考える機会にすること。				
授業方法	講義を中心として、授業中にエクササイズを行う。授業の最後に、レフレクションペーパーを提出する。心理検査、心理実習課題等を実施するので、その結果についてまとめてレポートとして提出する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	授業で取りあげた内容について試験を行う。論述式の場合には、授業中に目安となる字数を指示する。	
	平常評価		50%	リフレクションペーパーの提出、課題提出等を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	H27年度	弘文堂	心理学第3版		和田万紀編
	備考	課題の1つである「ミュラーリヤーの錯視」については、各自教科書とは別途に購入してもらう。詳細は、授業中に指示する。			
参考書	授業中指示する。				
オフィスアワー	月曜日2時限目				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を読み、心理学の対象領域について考える
	授業内容	講義計画、評価方法、参考文献などの説明
	事後学習	試験の日程、課題提出方法、課題等の購入の方法を確認する。
2	事前学習	教科書第1章を読む
	授業内容	「こころ」のありかを求めて；心理学の対象と方法
	事後学習	教科書第1章を読む
3	事前学習	教科書序章を読む
	授業内容	「心理学」の歴史；現代心理学はいかに誕生したのか
	事後学習	教科書序章を読む
4	事前学習	教科書第2章1，2節を読む
	授業内容	感覚と知覚 1；感覚の特徴と知覚
	事後学習	教科書第2章1，2節を読む

5	事前学習	教科書第2章、第3，4節を読む
	授業内容	感覚と知覚 2 ；「見る」ことと「見える」こと
	事後学習	教科書第2章、第3，4節を読む
6	事前学習	教科書第3章第1節を読む
	授業内容	記憶の仕組み 1 ；人は何を覚えているのか
	事後学習	教科書第3章第1節を読む
7	事前学習	教科書第3章第2節を読む
	授業内容	記憶の仕組み 2 ；人はどの様に覚えるのか
	事後学習	教科書第3章第2節を読む
8	事前学習	教科書第4章第1，2，3節を読む
	授業内容	感情の働き 1 ；感情の機能と働き
	事後学習	教科書第4章第 1， 2， 3 節を読む
9	事前学習	教科書第 4 章第 4， 5 節を読む
	授業内容	感情の働き 2 ；感情のコントロールと心の健康
	事後学習	教科書第 4 章第 4， 5 節を読む
10	事前学習	教科書第 4 章第 5 節を読む
	授業内容	欲求と動機づけ 1 ；なぜ人はその様に行動するのか
	事後学習	教科書第 4 章第 5 節を読む
11	事前学習	教科書第 4 章第 5 節を読む
	授業内容	欲求と動機づけ 2 ；満たされない欲求とその対処
	事後学習	教科書第 4 章第 5 節を読む
12	事前学習	教科書第 5 章を読む
	授業内容	性格のとらえ方 1 ；性格のとらえ方
	事後学習	教科書第 5 章を読む
13	事前学習	教科書第 5 章を読む
	授業内容	性格のとらえ方 2 ；「私」の性格とは
	事後学習	教科書第 5 章を読む
14	事前学習	教科書第 6 章を読む
	授業内容	発達；心の発達とは何か
	事後学習	教科書第 6 章を読む
15	事前学習	教科書、資料、ノート等をまとめる
	授業内容	まとめ
	事後学習	教科書、資料、ノート等をまとめる

科目名	心理学Ⅱ	担当者	木村 敦	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	心理学は外部から直接観察できない「心」を客観的な手法で研究し、人間行動の理解や問題解決への応用に役立てる学問領域である。心理学IIでは、社会の中の人間行動に焦点を当て、社会的認知やコミュニケーション、集団などの基本的知識およびその研究法を概観するとともに、学習内容を通じて自他の行動を解釈する課題を通じて、日常生活の中の人間行動を客観的に理解し判断する力を身につける。				
授業目的・到達目標	【一般目標】社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得するために、社会心理学の基礎的な概念や理論について理解する。また、省察力を身につけるために、自分や他者の行動について社会心理学的見地から省察する。 【行動目標1】科目内で学習した社会心理学の概念や理論、用語について説明することができる。 【行動目標2】自分や他者の振舞いについて、社会心理学のアプローチを踏まえて客観的に解釈することができる。				
履修条件	心理学Iを履修していること（担当教員は問わない）。シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。				
授業方法	講義を中心とするが、授業に関連する調査や実験の体験およびレポート作成、授業内試験等も適宜実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験 【60%】 レポート 【30%】 授業参加（レスポンスペーパー、授業内調査等）【10%】 ※詳細は授業内で説明	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用せず			
参考書	授業内で適宜案内する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 E-mail: kimura.atsushi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をWEB、図書館等を利用して調べる。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の進め方や評価方法について説明、及び心理学の主領域について簡単な解説をし、受講者が授業の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	授業ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【社会心理学の研究法】 社会の中の人間行動を科学的作法をもって研究するために社会心理学ではどのような実験技法が用いられるかを実験例を通じて学び、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
3	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【心理学の研究倫理】 人間を対象とした研究を遂行する上で留意すべき倫理的配慮について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
4	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【印象形成】 人間が他者や状況をどのように認知するかに関して、印象形成のメカニズムや諸要因について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。

5	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【社会的推論】 人間が他者や状況をどのように認知するかに関して、原因帰属のメカニズムや特性、ヒューリスティックについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【態度の形成と変容】 人間が他者や状況をどのように認知するかに関して、態度形成のメカニズムや態度変容・説得に影響を及ぼす要因について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや専門用語について論じられるよう準備する。
	授業内容	【前半復習・小テスト】 前半範囲の復習および、授業内小テスト(1)を実施し、ここまでの学習についての理解度を確認する。
	事後学習	小テストを振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
8	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【他者存在】 人間が集合・集団の中でどのように振る舞うかに関して、他者存在が個人のパフォーマンスに及ぼす影響の現象とメカニズムについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【対人関係・集団行動】 人間が集合・集団の中でどのように振る舞うかに関して、対人関係や集団行動の基礎的理論について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
10	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【対人コミュニケーション】 対人コミュニケーションにおける言語と非言語行動の機能や背景理論について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【環境と行動】 物理的環境と人間行動の相互作用に関して学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
12	事前学習	これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや専門用語について論じられるよう準備する。
	授業内容	【後半復習・小テスト】 後半範囲の復習および、授業内小テスト(2)を実施し、ここまでの学習についての理解度を確認する。
	事後学習	小テストを振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
13	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【法と心理学】 子どもを対象とした司法面接を行う際の心理学的側面からの留意点について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
14	事前学習	授業資料を事前に一読し、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【日常生活の心理学】 食事など身近な場面における心理・行動に関する最新の知見を学習し、これまで学習した心理学の知見を整理し直すとともに、日常生活への応用について自分の意見を述べられるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認し、授業内容について自分の言葉で他者に概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識や技能を論じられるように準備する。
	授業内容	【総括】 14回の授業で学習したことを総括し当科目に関するまとめを行うとともに、科目を通じて自分が何を修得したかを授業内レポートとして提出する。
	事後学習	授業総括および授業内レポートの内容を振り返り、自分の考えを再検証するとともに、今後の学修方針を考える。

科目名	心理学Ⅱ	担当者	田中 堅一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	心理学の応用領域のうち、組織や職場への応用を通覧し、心理学がどのように応用されているかについて解説する。			
授業目的・到達目標	授業目的 心理学の基礎領域を理解した上で、心理学がどのように応用されているかを理解し、説明できるようになることを目的とする。 到達目標 受講した範囲で心理学の基本的用語について理解し、説明できる。習得した心理学的知見を基にして、自己理解を深めることができ、自分自身の身の回りの事象について考えられることができる。			
履修条件	心理学に興味があること。こころの働きを科学的アプローチから考えることに関心があること。「心理学Ⅰ」を履修することが望ましい。			
授業方法	講義形式。設備環境が許すかぎり、毎回PowerPointを使いながら講義を行う（殆ど板書はしない）。時間が許せば、講義内容について討論の時間を設ける。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	筆記試験は、持ち込み不可。試験問題は、多肢選択法等による客観式の問題8割程度、論述式問題2割程度で構成される予定。	
	平常評価	20%	宿題としてレポート提出を課す。レポートの内容は、講義で出てきた内容に関連したテーマについて出題される。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	弘文堂	心理学〔第3版〕（Next教科書シリーズ）	和田万紀
	備考			
参考書	下山晴彦（編集代表）（2014）. 誠信心理学辞典 新版 誠信書房、中島義明ほか（編集）（1999）. 心理学辞典 有斐閣 田中堅一郎（2011）. 産業・組織心理学エッセンシャルズ(改訂三版) ナカニシヤ出版			
オフィスアワー	質問等は、e-mailで承ります（tanaka.kennichirou@nihon-u.ac.jp）。講義日には授業前30分に講師室にいますので、質問を受けます。授業後はすぐ帰ります。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「心理学Ⅰ」で学んだことを振り返っておく。
	授業内容	心理学Ⅱのガイダンス：科目（講義概要）紹介、成績評価についての留意点、心理学の応用領域について
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
2	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。
	授業内容	応用心理学の歴史的経緯
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
3	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	ワーク・モチベーション1：科学的管理法、ホーソン研究、達成動機理論
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
4	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	ワーク・モチベーション2：期待-価値モデル、目標設定理論と目標による管理
	事後学習	授業内容に関してレポート提出を求めるかもしれないので、復習しておくこと。

5	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	リーダーシップを心理学の視点から考える1：特性的アプローチ、行動的アプローチ
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
6	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	リーダーシップを心理学の視点から考える2：状況適合的アプローチ
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
7	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	リーダーシップを心理学の視点から考える3：21世紀のリーダーシップ理論
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
8	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	職業適性1：「自分に合う仕事とは何か」を科学する
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
9	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	職業適性2
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
10	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	組織における意思決定の落とし穴1：プロスペクト理論
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
11	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	組織における意思決定の落とし穴2：コミットメントのエスカレーション
	事後学習	授業内容に関してレポート提出を求めるかもしれないので、復習しておくこと。
12	事前学習	教科書「第4章・5」に目を通すこと。事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	職場におけるストレス：ストレスとは何か、ストレッサーとストレイン
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
13	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	ストレスへの対処：ストレスによる障害とその対処
	事後学習	授業内容に関してレポート提出を求めるかもしれないので、復習しておくこと。
14	事前学習	事前にダウンロード（もしくは配布）されたPPT資料に目を通すこと。参考書の該当箇所にも目を通すこと。
	授業内容	法と心理学：法学と心理学のコラボレーション
	事後学習	講義内容で出てきた心理学用語を、参考書に示された辞書などで調べること。
15	事前学習	今まで講義で使用されたPPT（あるいはその出力用紙）に目を通すこと。
	授業内容	講義の総括と期末試験についての留意点
	事後学習	講義の総括と期末試験についての留意点

科目名	心理学Ⅱ	担当者	種ヶ嶋 尚志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	心理学は外部から直接観察できない「心」を客観的な手法で研究し、人間行動の理解や問題解決への応用に役立てる学問領域である。心理学IIでは、発達、社会、言語思考、健康、臨床といった心理学の主要分野の基本的知識およびその研究方法や研究史を概観するとともに、簡単な心理実験・検査への参加を通じて、心理学的現象を客観的に解釈し判断する力を身につける。				
授業目的・到達目標	【一般目標】社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得するために、発達、社会、言語思考、健康、臨床に関わる心理学の基礎知識、および心理学の研究法や歴史について理解する。また、省察力を身につけるために、講義および心理検査への参加を通じて、自分自身について心理学的見地から認識する。 【行動目標1】科目内で学習した心理学の概念や理論、用語について説明することができる。 【行動目標2】自分自身の心理的反応について、心理学の知識や技能を踏まえて客観的に解釈することができる。				
履修条件	事前履修科目は特になし。シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。				
授業方法	講義を中心とするが、授業に関連する調査や実験の体験およびレポート作成、授業内試験等も適宜実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験 【60%】 レポート 【30%】 レスポンスペーパー 【10%】 ※詳細はガイダンス等で適宜説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	弘文堂		心理学 第2版	和田万紀 編
	備考				
参考書	授業内で適宜案内する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をWEB、図書館等を利用して調べる。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の内容や進め方、評価方法についての説明を通じて、受講者が当科目の到達目標や授業内容を踏まえた上で学習準備を行えるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【発達の心理学①】 発達と成熟、ピアジェの認知発達理論について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
3	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【発達の心理学②】 身体・心理の発育発達について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
4	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【発達の心理学③】 エリクソンの心理社会的発達理論を中心にした発達課題を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。

5	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【社会の心理学①】 対人認知、態度と態度変容の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
6	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【社会の心理学②】 対人魅力、恋愛、援助行動の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。
7	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【社会の心理学③】 集団心理的諸特徴(社会的促進・抑制、社会的手抜き等)の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
8	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【社会の心理学④】 集団心理的諸特徴(集団規範、凝集性、同調、服従、)の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
9	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【言語・思考・知能の心理学】 思考の特徴、推論等についての概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
10	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【健康の心理学①】 ストレスについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
11	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【健康の心理学②】 ストレスとメンタルヘルスの関係と予防について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
12	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【臨床・異常の心理学①】 精神疾患の基礎知識を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した検査についてのレポートを作成する。
13	事前学習	教科書の関連項目を読み、不明な点は調べたり、質問できるよう準備する。
	授業内容	【臨床・異常の心理学②】 精神疾患(うつ病、統合失調症、神経症、解離性障害、アディクション等)の概要を学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
14	事前学習	これまでのノートや資料を再度復習し、各回の学習内容について説明できるよう準備する。
	授業内容	【授業内テスト】 授業内テストを実施し、ここまでの学習内容についての到達度を確認する。
	事後学習	テストを振り返り、理解しきれいなかった点について再度まとめなおす。
15	事前学習	これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識、技能、態度を論じられるように準備する。
	授業内容	【総括】授業内テストの解説や授業総括を通じて、受講者が当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになる。
	事後学習	総括を振り返り、今後の学修方針を考える。

科目名	心理学Ⅱ	担当者	和田 万紀	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	心理学のなかでも社会心理学を中心として、心の働きを考えるための知見を概観する。特に、他者の存在が個人の心の働きに与える影響について、個人レベルから集団、集合レベルまでを考える。			
授業目的・到達目標	本講義を通じて、自分自身や他者の心の働きに目を向けて、他者の存在が自分の心の働きに与える影響を考えることを目的とする。 他者の存在が自分の心の働きに与える影響を意識し、そこから自己省察できること、また、他者との円滑なコミュニケーション及び集団での自分の役割を自覚し、リーダーシップをとることができることを目標とする。			
履修条件	心理学Ⅰを履修済み、または履修中であること。			
授業方法	講義を中心とする。講義中にエクササイズや心理検査等を行う。授業の最後にレフレクションペーパーを提出する。別途授業中に課題を提示するので、レポート等として提出する。試験を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		50%	授業で取り上げた内容について、試験をする。論述の場合には、字数を指定する。
	平常評価		50%	リフレクションペーパー、課題提出状況等を総合的に判断する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	弘文堂	心理学第3版	和田万紀編
	備考			
参考書	授業中指示する。			
オフィスアワー	月曜日2時限目			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を見て、心理学の対象を考える。
	授業内容	講義計画、評価方法、参考文献などの説明
	事後学習	評価方法等を確認する。
2	事前学習	教科書第6章、第7勝を読む
	授業内容	自己認知と他者認知；現実、理想、そして他者から見た「私」
	事後学習	教科書第6章第7勝を読む
3	事前学習	対人関係の構築について、自らの特徴を考える
	授業内容	対人関係の認知；対人関係を築く基本として、自分の基本的対人態度や対人不安の個人差等を、実習課題を通じて知る。 自分の対人関係の特徴を考える。
	事後学習	教科書第7章を読む
4	事前学習	自分の「見せ方」について、普段の例からその特徴と、成功した例、失敗した例を考える
	授業内容	上手な自己表現：自己提示 「私」をどの様に「見せる」のか。見せ方は対人関係にどのように影響するのか。上手な自己表現とは何か、を考える。
	事後学習	教科書第7章を読む

5	事前学習	「素の自分」をみせたときの経験について考える。
	授業内容	上手な自己表現：自己開示 「私」の本当の姿とは何か。なぜ「本当の私を見せる」ことが問題になるのか。上手な自己表現とどのように関連するのかを考える。
	事後学習	「自分にとって上手な」自己表現とは何かを考える。
6	事前学習	人を助ける、という行動が起きなかった例について、なぜ「行動」が起きなかったのかを考える
	授業内容	援助行動1；なぜ人は人を助けるのか。なぜ人は人を助けないのか。「行動を起こす」までの過程について考える。
	事後学習	教科書第7勝を読む
7	事前学習	援助が欲しい時に、援助要請行動を起こすことができなかった例を考える。
	授業内容	援助行動2；なぜ「助けて」と言えないのか。 「助けて」というまでの理的過程について考える。
	事後学習	教科書第7勝を読む
8	事前学習	自分の攻撃性の特徴について、なぜ攻撃行動を抑えることができなかったのか、という観点から考える。
	授業内容	攻撃行動；なぜ人は人を攻撃するのか 攻撃行動の原因、心理的過程について学び、攻撃行動を押さえることは可能なのか、について考える。
	事後学習	教科書第7章を読む
9	事前学習	他者が存在することで、自分の判断や行動に影響を受けた例を考える。
	授業内容	他者の存在の影響：個人の判断や行動に、なぜ、どのように他者の存在が影響するのか。
	事後学習	教科書第7章を読む
10	事前学習	教科書第7章を読む
	授業内容	集団の形成とその特徴：集団とは何か、集団は個人にどのような影響を与えるのか。集団と組織についても考える。
	事後学習	教科書第7勝を読む
11	事前学習	教科書第7勝を読む
	授業内容	リーダーとフォロワー 集団を構成する人に焦点を当てて、特にリーダーの役割等について考える。
	事後学習	教科書第7章を読む
12	事前学習	日本の文化に特有の「うち」と「そと」について考える
	授業内容	集団間関係；「ウチ」と「ソト」 実際に境界線がない場合にも、なぜ内集団と外集団にわかれるのか。わかれることがどのような行動的特徴を生むのか。
	事後学習	教科書第7章を読む
13	事前学習	「空気を読む」とは何かを考える。
	授業内容	見えないルール；規範の影響 「空気を読む」「空気」とは何か。空気を読まない個人には何が起こるのか。「空気をよむ」ことは本当に必要なのか。
	事後学習	教科書第7章を読む
14	事前学習	自分は周りに流されやすいのか。なぜ、そしていつ、周りに流されるという現象が自分に起きるのか、を考える。
	授業内容	”みんな”と私；集合行動 「みんな」とは誰か。みんなはどのように「私」に影響するのか。見えない「みんな」について考える。
	事後学習	教科書第7章を考える。
15	事前学習	教科書第6章、第7章、配布資料を読む
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で取り上げた教科書の章、配布資料を読み、確認する。

科目名	数学 I	担当者	木村 孝	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単 位 数	2
-----	------	-----	------	-----	------------	-----	----	-------	---

授業概要	数と式の計算および方程式と不等式を学習する。主な内容は素因数分解、記数法、数列、方程式の整数解、不等式等で、中高で学習したことの復習をしながらその発展および応用等を学習する。				
授業目的・到達目標	中学・高校程度の数学の復習を行いながら、公務員試験等で出題された問題の解法を考えることで、主に、文章化された問題を数学的に定式化することができるようになることを目的とする。より一般的には、多面的な見方・考え方ができるようになることも目的とする。柔軟で多面的な思考を身につけ、文章題で表現されるような具体的な課題を、数学的に表現し処理できる能力を身につけることを到達目標とする。				
履修条件	中学校程度の数学の数式処理に関する知識・技術は、身につけていることを仮定して講義する。				
授業方法	講義の最初にその回に必要な基本的な知識を説明する。次に学生に問題を解いてもらい、その後その問題を解決するためにどのように思考するか説明し解法を与える。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	試験およびレポートによって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	必要に応じて紹介する				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中高における数学内容を一通りおさらいしておくこと
	授業内容	講義計画等のガイダンス
	事後学習	ガイダンスを振り返り、次の授業に備えること
2	事前学習	中高における数と計算に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その１） 数と計算に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
3	事前学習	中高における素因数分解に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その２） 素因数分解に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
4	事前学習	中高における約数・倍数に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その３） 約数・倍数に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。

5	事前学習	中高における商と余りに関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その４） 商と余りに関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
6	事前学習	中高における記数法に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その５） 記数法に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
7	事前学習	中高における数量問題に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その６） 数量問題に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
8	事前学習	中高における数列に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	数と式の計算について（その７） 数列に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
9	事前学習	中高における方程式の整数解に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その１） 方程式の整数解に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
10	事前学習	中高における不等式に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その２） 不等式に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
11	事前学習	中高における時計算等に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その３） 時計算等に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
12	事前学習	中高における集合に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その４） 集合に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
13	事前学習	中高における速さ・距離・時間に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その５） 速さ・距離・時間に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
14	事前学習	中高における旅人算等に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その６） 旅人算等に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
15	事前学習	中高における通過算に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その７） 通過算に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。

科目名	数学Ⅱ	担当者	木村 孝	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	方程式と不等式、図形、場合の数と確率を学習する。主な内容は、ダイアグラム、仕事算、ニュートン算、三角形・円の面積に関連すること、順列・組み合わせ・確率等で、中高で学習したことの復習をしながらその発展および応用等を学習する。				
授業目的・到達目標	中学・高校程度の数学の復習を行いながら、公務員試験等で出題された問題の解法を考えることで、主に、文章化された問題を数学的に定式化することができるようになることを目的とする。より一般的には、多面的な見方・考え方ができるようになることも目的とする柔軟で多面的な思考を身につけ、文章題で表現されるような具体的な課題を、数学的に表現し処理できる能力を身につけることを到達目標とする。				
履修条件	中学校程度の数学の数式処理に関する知識・技術は、身につけていることを仮定して講義する。				
授業方法	講義の最初に必要な基本的な知識を説明する。次に学生に問題を解いてもらい、その後解法について説明する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	試験およびレポートによって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	必要に応じて紹介する				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中高におけるダイアグラムに関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その8）ダイアグラムに関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
2	事前学習	中高における比と割合に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その9）比と割合に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
3	事前学習	中高における濃度に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その10）濃度に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
4	事前学習	中高における仕事算に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その11）仕事算に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。

5	事前学習	中高におけるニュートン算に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	方程式と不等式について（その１２） ニュートン算に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
6	事前学習	中高における三角形に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	図形について（その１） 三角形に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
7	事前学習	中高における三角形の面積に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	図形について（その２） 三角形の面積に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
8	事前学習	中高における円に関する問題に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	図形について（その３） 円に関する問題－２つの円に外接する直線
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
9	事前学習	中高における円に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	図形について（その４） 円に関する問題－軌跡の長さ
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
10	事前学習	中高における円の面積に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	図形について（その５） 円の面積に関する問題－円の面積比
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
11	事前学習	中高における円の面積に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	図形について（その６） 円の面積に関する問題－２つの円が重なった部分の面積
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
12	事前学習	中高における場合の数に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	場合の数と確率について（その１） 場合の数に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
13	事前学習	中高における順列に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	場合の数と確率について（その２） 順列に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
14	事前学習	中高における組合せに関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	場合の数と確率について（その３） 組合せに関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。
15	事前学習	中高における確率に関する理解・知識・技術等が不十分ならば事前に補っておくこと。
	授業内容	場合の数と確率について（その４） 確率に関する問題
	事後学習	講義中に説明されたことのメモを見る等して、講義で出された問題の解答をノートに整理すること。

科目名	精神分析学Ⅰ	担当者	種ヶ嶋 尚志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フロイトの精神分析学を学び、精神分析学的人間理解の方法になじむ。精神分析学Ⅰでは、精神分析学の基礎を概観するとともに、自由連想法や精神分析学における精神病理的現象を客観的に解釈し判断する力を身につける。				
授業目的・到達目標	【一般目標】社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得するために、無意識、に関わる精神分析学の基礎知識や歴史について理解する。また、省察力を身につけるために、講義および心理検査等参加を通じて、自分自身について精神分析的見地から認識する。 【行動目標1】科目内で学習した精神分析学の概念や理論、用語について説明することができる。 【行動目標2】自分自身の心理的反応について、精神分析学の知識や技能を踏まえて客観的に解釈することができる。				
履修条件	事前履修科目は特になし。シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。				
授業方法	講義を中心とするが、授業に関連する調査やリアクションシート、授業内試験等も適宜実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内試験 【60%】 リアクションシート 【40%】 ※詳細はガイダンス等で適宜説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参 考 書	授業内で適宜案内する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をWEB、図書館等を利用して調べる。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の内容や進め方、評価方法についての説明を通じて、受講者が当科目の到達目標や授業内容を踏まえた上で学習準備を行えるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	無意識・夢について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【無意識・夢とは】 意識の3つのレベル、夢について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
3	事前学習	錯誤行為、心の構造について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【錯誤行為、心の構造とは】 (心的装置、エス、自我、超自我) について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
4	事前学習	防衛機制について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【防衛機制とは】 (抑圧、合理化、同一化、反動形成、等) について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。

5	事前学習	フロイト発達理論について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【心の発達】 フロイト発達理論（口唇期、肛門期、男根期、潜伏期、性器期）について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
6	事前学習	フロイトの性格形成について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【心の発達と性格形成】 各発達段階における固着した場合の性格タイプについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。
7	事前学習	フロイトにおけるヒステリーについて調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析と心の病①】 ヒステリーの症例について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
8	事前学習	転換性障害の心理面について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析と心の病②】 転換性障害等と精神分析との関わりについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
9	事前学習	人格障害について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析と心の病③】 パラノイア・境界性人格障害等と精神分析との関わりについて学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
10	事前学習	転移・逆転移について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析と心の病の治療①】 転移・逆転移等について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
11	事前学習	自由連想法における解釈と終結について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析と心の病の治療②】 精神分析学における解釈と終結について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
12	事前学習	分析心理学、自我心理学・対象関係論について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイト以降の精神分析①】 分析心理学、自我心理学・対象関係論の概略について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した検査についてのレポートを作成する。
13	事前学習	独立学派、自己心理学について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイト以降の精神分析②】 独立学派、自己心理学の概略について学習し、受講者がそれについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
14	事前学習	これまでのノートや資料を再度復習し、各回の学習内容について説明できるよう準備する。
	授業内容	【授業内テスト】 授業内テストを実施し、ここまでの学習内容についての到達度を確認する。”
	事後学習	テストを振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
15	事前学習	これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識、技能、態度を論じられるように準備する。
	授業内容	【総括】授業内テストの解説や授業総括を通じて、受講者が当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになる。
	事後学習	総括を振り返り、今後の学修方針を考える。

科目名	精神分析学Ⅱ	担当者	種ヶ嶋 尚志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フロイトの精神分析学を学び、精神分析学的人間理解の方法になじむ。精神分析学IIでは、精神分析学の一般知識（フロイトの生涯、思想観等）を概観するとともに、ユング（分析心理学）との比較における精神病理的現象を客観的に解釈し判断する力を身につける。				
授業目的・到達目標	【一般目標】社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得するために、精神分析学の一般知識や歴史について理解する。また、省察力を身につけるために、講義および心理検査を通じて、自分自身について精神分析学的見地からより深く認識する。 【行動目標1】科目内で学習した精神分析学の概念や理論、用語について説明することができる。 【行動目標2】自分自身の心理的反応について、精神分析学の知識や技能を踏まえて深い解釈を行うことができる。				
履修条件	事前履修科目は特になし。シラバスやガイダンスを通じて学習内容や授業方法を理解した上で履修すること。				
授業方法	講義を中心とするが、授業に関連する調査やリアクションシート、授業内試験等も適宜実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内試験 【60%】 リアクションシート 【40%】 ※詳細はガイダンス等で適宜説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参 考 書	授業内で適宜案内する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をWEB、図書館等を利用して調べる。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の内容や進め方、評価方法についての説明を通じて、受講者が当科目の到達目標や授業内容を踏まえた上で学習準備を行えるようになる。
	事後学習	授業ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	フロイトが活躍していた時代背景について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトの生涯①】 反ユダヤ主義の時代とフロイトの家族について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
3	事前学習	精神分析が発展する過程について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトの生涯②】 精神分析の発展していく時代とフロイトの亡命について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
4	事前学習	フロイトの思想について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトの思想①】 フロイトの思想（文化、社会、宗教等）について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した実験についてのレポートを作成する。

5	事前学習	ミケランジェロ、レオナルド・ダ・ビンチ、シェークスピア、ゲーテの代表作品について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトの思想②】フロイトが行った各芸術・文学作品の分析について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
6	事前学習	カール・グスタフ・ユングの生い立ちについて調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析の展開】ユングの分析心理学について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
7	事前学習	無意識、心的構造、コンプレックスについて調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトとユングの理論比較①】フロイトとユングの無意識、心的構造、コンプレックスの各理論の同異について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
8	事前学習	神経症理論、精神分析の技法について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトとユングの理論比較②】フロイトとユングの神経症理論、精神分析の技法の同異について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
9	事前学習	抑圧、強迫神経症について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトとユングの症例①】ドラ、ネズミ男、狼男の症例について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
10	事前学習	集合的無意識、うつ症状について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトとユングの症例②】太陽のファロスを見た男性、うつを呈した子ども殺人の女性、靴屋に恋した女性の症例について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
11	事前学習	エディプス・コンプレックス、統合失調症について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【フロイトとユングの症例③】少年ハンス、シュレーバー、15歳の少年、グレートヘンについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
12	事前学習	防衛機制について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析から見たフロイト①】フロイトのコンプレックスについて説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。また、授業で実施した検査についてのレポートを作成する。
13	事前学習	心的装置（エス、自我、超自我）について調べ、不明点については質問できるよう準備する。
	授業内容	【精神分析から見たフロイト②】フロイトの生涯からみた欲動論の変遷について説明できるようになる。
	事後学習	授業ノートを読み直し、学習内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
14	事前学習	これまでのノートや資料を再度復習し、各回の学習内容について説明できるよう準備する。
	授業内容	【授業内テスト】授業内テストを実施し、ここまでの学習内容についての到達度を確認する。”
	事後学習	テストを振り返り、理解しきれいなかった点について再度まとめなおす。
15	事前学習	これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識、技能、態度を論じられるように準備する。
	授業内容	【総括】授業内テストの解説や授業総括を通じて、受講者が当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになる。
	事後学習	総括を振り返り、今後の学修方針を考える。

科目名	生命の科学Ⅰ	担当者	宍倉 文夫	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	「生命の科学」にかかわる知識は、社会人として活躍を期待されている学生にとって、今日必携の知識となっている。生命の単位「細胞」を構成する物質の基礎を学び、生命体を構築・維持・継承するとき（「生きる」ということと同義）にそれらの物質が織りなす生命現象のメカニズムを学ぶ。特に、遺伝子にかかわる理解が必須である現代社会生活を鑑みて、7回の講義を実施する。				
授業目的・到達目標	「生命の科学」は生物学のみならず多様な学問との境界領域を含む。現代社会では、自然科学のみならず、人文・社会科学にも多大な影響をもたらしている。法学においても、生命に関わる知識は必須となっている。まず、生命の科学の基礎を学習し、並行して「生命の科学」に関わる同時代の課題とトピックスをとりあげ、本質的な理解に裏付けられた社会的教養を身につける。生命に関わる社会問題や科学記事を見聞したとき、問題の所在を的確に把握でき、適切に対処できる科学分野の素養を身につける。具体的には、授業で学習した課題・項目の本質を平易に解説できるようになる。また、受講生が「生命」とその「科学」を社会生活の中で意識し、生涯に亘り自ら進んで学び続ける事ができるように配慮する。				
履修条件	「生命の科学」にかかわる社会の課題に興味があるもののこの分野の授業を聴講する機会がなかった学生。また、生命科学を理解することは、社会人として必要と考える学生が望ましい。前期と後期を継続して聴講することが望ましい。				
授業方法	授業の始めの15分～20分を復習に使う。授業中、常に受講生の知識と理解度に立ち戻り、科学的知識の修得を積み重ね、生命の科学の本質を学ぶ。授業は視覚的（PowerPoint）におこなう。授業のレジュメを配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	科学的知識は正確か。「生命の科学」に関する基本的な問題に対して理解は十分か。筆記内容は論理的かなど（50点）。	
	平常評価		50%	レポートの提出（生命の科学にかかわる課題を1題：40点）。授業中の質問（出席カード裏に記述）の回数・内容を考慮する（10点）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用しない			
参考書	村松正實・木南凌監訳「細胞の世界」西村書店				
オフィスアワー	電子メールアドレス（shishikura@lebra.nihon-u.ac.jpまたはshishikura.fumio11@nihon-u.ac.jp）に質問等をお寄せください。また、講義担当日の13：30～14：30分まで、非常勤講師教員室に控えていますので、ご来室ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの第1回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の単位は細胞。細胞の中のようなすをみる トピックス：現代社会におけるサイエンスとアート
	事後学習	第1回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
2	事前学習	シラバスの第2回目授業内容を確認する
	授業内容	光と生命（ μm と nm の世界） トピックス：物を見る原理：光の波長が見える世界を決める
	事後学習	第2回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
3	事前学習	シラバスの第3回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の化学物質-1 水（細胞の約7割は水） トピックス：生命の居住可能場所（ハビタブルゾーン）を定める環境要因
	事後学習	第3回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
4	事前学習	シラバスの第4回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の化学物質-2 アミノ酸・タンパク質 トピックス：生命はどこから。宇宙起源説
	事後学習	第4回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。

5	事前学習	シラバスの第5回目授業内容を確認する
	授業内容	区分4のつづき：タンパク質の高次構造と生理機能 トピックス：世界の放射光施設と日本ならび日大の光施設
	事後学習	第5回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
6	事前学習	シラバスの第6回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の化学物質-3 糖・多糖。 トピックス：グルコース最も多い単糖・グルコースと生き物の戦術
	事後学習	第6回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
7	事前学習	シラバスの第7回目授業内容を確認する
	授業内容	区分6のつづき：グリコサミノグリカンとは何か トピックス：経口サプリメントの効果は期待できるか（ある科学者のコメント）
	事後学習	第7回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
8	事前学習	シラバスの第8回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の化学物質-4 核酸・遺伝子 トピックス：メンデルから現代遺伝子学まで
	事後学習	第8回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
9	事前学習	シラバスの第9回目授業内容を確認する
	授業内容	区分8のつづき：遺伝子の本体の解明と二重らせんモデル トピックス：遺伝子の突然変異とそれに基づく多様性
	事後学習	第9回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
10	事前学習	シラバスの第10回目授業内容を確認する
	授業内容	遺伝子の基礎と遺伝情報のながれ トピックス：イントロン（遺伝子の介在配列）はなぜあるの
	事後学習	第10回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
11	事前学習	シラバスの第11回目授業内容を確認する
	授業内容	区分10のつづき：遺伝子の文字と文法 トピックス：生命の設計図を解説する
	事後学習	第11回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
12	事前学習	シラバスの第12回目授業内容を確認する
	授業内容	区分10のつづき：情報から形あるものへ トピックス：遺伝子学とノーベル賞
	事後学習	第12回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
13	事前学習	シラバスの第13回目授業内容を確認する
	授業内容	遺伝子組み換え技術（技術の基礎） トピックス：遺伝子と応用科学（農学，医学）
	事後学習	第13回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
14	事前学習	シラバスの第14回目授業内容を確認する
	授業内容	区分13のつづき：技術の応用と現代社会 トピックス：遺伝子による個人識別と社会
	事後学習	第14回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
15	事前学習	シラバスの第15回目授業内容を確認する
	授業内容	前期のまとめ 社会に貢献する生命科学-1
	事後学習	第15回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。

科目名	生命の科学Ⅱ	担当者	宍倉 文夫	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	「生命の科学」にかかわる知識は、社会人として活躍を期待されている学生にとって、今日必携の知識となっている。生命の単位「細胞」を構成する物質の基礎を学び、生命体を構築・維持・継承するとき（「生きる」ということと同義）にそれらの物質が織りなす生命現象のメカニズムとそれらの現象の動力源としての生体エネルギー（化学物質）を学ぶ。さらに生体防御機構（免疫）を学習し、生命の脅威としての免疫系の破綻を学習する。			
授業目的・到達目標	「生命の科学」は生物学のみならず多様な学問との境界領域を含む。現代社会では、自然科学のみならず、人文・社会科学にも多大な影響をもたらしている。法学においても、生命に関わる知識は必須となっている。まず、生命の科学の基礎を学習し、並行して「生命の科学」に関わる同時代の課題とトピックスをとりあげ、本質的な理解に裏付けられた社会的教養を身につける。生命に関わる社会問題や科学記事を見聞したとき、問題の所在を的確に把握でき、適切に対処できる科学分野の素養を身につける。具体的には、授業で学習した課題・項目の本質を平易に解説できるようになる。また、受講生が「生命」とその「科学」を社会生活の中で意識し、生涯に亘り自ら進んで学び続ける事ができるように配慮する。			
履修条件	「生命」にかかわる社会の課題に興味があるもののこの分野の授業を聴講する機会がなかった学生。また、生命科学を理解することは、社会人として必要と考える学生が望ましい。前期と後期を継続して聴講することが望ましい。			
授業方法	授業の始めの15分～20分を復習に使う。授業中、常に受講生の知識と理解度に立ち戻り、科学的知識の修得を積み重ね、生命の科学的本質を学ぶ。授業は視覚的（PowerPoint）におこなう。授業のレジュメを配布する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		50%	科学的知識は正確か。「生命の科学」に関する基本的な問題に対して理解は十分か。筆記内容は論理的かなど（50点）。
	平常評価		50%	レポートの提出（生命の科学にかかわる課題を1題：40点）。授業中の質問（出席カード裏に記述）の回数・内容を考慮する（10点）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	村松正實・木南凌監訳「細胞の世界」西村書店 笹月健彦監訳「免疫生物学」南江堂			
オフィスアワー	電子メールアドレス（shishikura@lebra.nihon-u.ac.jpまたはshishikura.fumio11@nihon-u.ac.jp）に質問等をお寄せください。また、講義担当日の13：30～14：30分まで、非常勤講師教員室に控えていますので、来室ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの第1回目授業内容を確認する
	授業内容	細胞の多機能性および全能性（ES細胞、iPS細胞と受精卵） トピックス：Omnis cellula e cellula（全ての細胞は他の細胞に由来する）
	事後学習	第1回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める。
2	事前学習	シラバスの第2回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の化学物質（1-水、2-アミノ酸・タンパク質、3-糖・多糖、4-核酸・遺伝子）の復習 トピックス：タンパク質のかたちを見る方法
	事後学習	第2回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
3	事前学習	シラバスの第3回目授業内容を確認する
	授業内容	遺伝子と現代社会-1（遺伝情報の発現。その基盤） トピックス：PCR法（Polymerase Chain Reaction；遺伝子増幅法）
	事後学習	第3回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
4	事前学習	シラバスの第4回目授業内容を確認する
	授業内容	遺伝子と現代社会-2 トピックス：遺伝子組み換え技術と遺伝子編集技術。現代社会とどのように連携するか。法と倫理
	事後学習	第4回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める

5	事前学習	シラバスの第5回目授業内容を確認する
	授業内容	生殖と発生：受精のメカニズム（。ビデオ供覧）。体外受精（IVF:In Vitro Fertilization）と現代社会 トピックス：発生をコントロールする遺伝子
	事後学習	第5回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
6	事前学習	シラバスの第6回目授業内容を確認する
	授業内容	生命の化学物質-5 脂肪酸・脂質 トピックス：疎水性の化学物質と生き物（約7割は水性）の戦術（細胞膜-生体膜）
	事後学習	第6回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
7	事前学習	シラバスの第7回目授業内容を確認する
	授業内容	区分6のつづき（イソプレンを単位とする化学物質） トピックス：地球上にある多種多様な脂質と私たちの生活
	事後学習	第7回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
8	事前学習	シラバスの第8回目授業内容を確認する
	授業内容	生体膜と情報伝達（膜電位の脱分極による伝達。神経シグナルの伝達） トピックス：細胞膜モデルの変遷とその現代的な理解
	事後学習	第8回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
9	事前学習	シラバスの第9回目授業内容を確認する
	授業内容	物質の輸送（細胞の中へ・外へ）と細胞運動 トピックス：モータータンパク質（動く化学分子）の分子メカニズム
	事後学習	第9回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
10	事前学習	シラバスの第10回目授業内容を確認する
	授業内容	筋収縮の分子メカニズム トピックス：細胞内カルシウムイオンの働き エネルギーの獲得法-1：解糖とミトコンドリアの働き
	事後学習	第10回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
11	事前学習	シラバスの第11回目授業内容を確認する
	授業内容	エネルギー獲得法-2：光エネルギーを化学エネルギーへ（葉緑体の働き） トピックス：ATPはなぜ高エネルギー分子なのか
	事後学習	第11回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
12	事前学習	シラバスの第12回目授業内容を確認する
	授業内容	生きるための防御戦略：プロローグ（自然免疫-1と獲得免疫-1） トピックス：メチニコフ；ジェンナー；エールリッヒの慧眼
	事後学習	第12回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
13	事前学習	シラバスの第13回目授業内容を確認する
	授業内容	獲得免疫-2：液性免疫（B細胞） トピックス：。多様な抗体分子はどのように作られるのか-抗体遺伝子の再編成
	事後学習	第13回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
14	事前学習	シラバスの第14回目授業内容を確認する
	授業内容	獲得免疫-3：細胞性免疫（T細胞）。T細胞のMHC拘束性とは トピックス：主要組織適合抗原複合体（MHC）の役割
	事後学習	第14回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める
15	事前学習	シラバスの第15回目授業内容を確認する
	授業内容	自然免疫-2：補体系 トピックス：アレルギーとアナフィラキシー 社会に貢献する生命科学-2
	事後学習	第15回要旨（講義担当者が配布したもの）を読み、講義を聴講して新しく学んだことを纏める

科目名	西洋の歴史Ⅰ	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	授業では、主にルネサンスの時代から啓蒙思想の時代に至るまでの人物や事件、思想、文化などを取り上げて、ヨーロッパにおける政治、経済、社会、宗教、文化などにわたる幅広い歴史像を持つ力を養う。				
授業目的・到達目標	西洋史の主要な出来事を理解し、各出来事の関連性を多角的に考えられるようにする。また、西洋の過去の理解において、「近代歴史学」の可能性や問題、限界についても理解できるようになる。過去の世界を説明しようとする際に生じる諸々の問題を意識できるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義（具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内試験や授業中の態度なども数値化し最終評価に含める。出席日数不足の者は授業内課題や授業内試験を受けても点数がつかないことがある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じて、授業内で資料を配布する。			
参 考 書	『西洋の歴史：古代・中世編』『西洋の歴史：近現代編』『教養のための西洋史入門』（どれもミネルヴァ書房）。『歴史学における方法的転回：現代歴史学の成果と課題』青木書店。				
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、講義の概要などを理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
2	事前学習	西洋とは何か、また西洋史が東洋史など他の歴史とどうして区別されているのか考えておく。
	授業内容	西洋史とは何か
	事後学習	西洋史という歴史研究・教育領域が日本の特殊な歴史背景と関係していること、また今日では西洋史という枠組みが揺らいでいることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
3	事前学習	循環史観と直線史観とは何か、また代表的なものにそれぞれどのようなものがあるか調べておく。
	授業内容	西洋史における時代区分法 アジアの「直線史観」、西洋での継承と変容
	事後学習	ヨーロッパ世界に直線史観がどのような経緯で入ったのか、またどのような変容を遂げたのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
4	事前学習	古代ギリシアとはどのような世界であったか、政治・社会・文化などの特徴を調べる。
	授業内容	三時代区分再考：ルネサンス① 古代ギリシアの世界
	事後学習	「ルネサンス」期の人々が古代ギリシアの世界にアコがれた理由をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。

5	事前学習	古代ローマとはどのような世界であったか、政治・社会・文化などの特徴を調べる。
	授業内容	三時代区分再考：ルネサンス② 古代ローマの世界
	事後学習	「ルネサンス」期の人々が古代ローマの世界にあこがれた理由をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
6	事前学習	「ルネサンス」とは何か、また「ルネサンス」との呼称がついている歴史用語にどのようなものがあるか調べてくる。
	授業内容	三時代区分再考：ルネサンス③ 古代世界の再生か、「個」の発見か、前進か？
	事後学習	「ルネサンス」の前後で「中世」と「近代」とに時代を区分することの問題点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
7	事前学習	「宗教改革」とは、何をどのように改革しようと試みたものなのか調べておく。
	授業内容	三時代区分再考：宗教改革① ルターの福音解釈と近代個人主義？
	事後学習	ルターの説く福音信仰による個人の救いとはどういうことかをまとめる。
8	事前学習	己（個人）の魂の革新をえるために格闘し続けてきた隠修士・修道士に、古代ローマ時代から宗教改革期までの時期にどのようなグループ（修道院・修道会）があり、どのように発展してきたか調べておく。
	授業内容	三時代区分再考：宗教改革② 「中世」的世界観を引きずるルター？
	事後学習	「宗教改革」の前後で「中世」と「近代」とに時代を区分することの問題点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
9	事前学習	なぜイギリスでは地動説がキリスト教からの反発を受けず、ニュートンたちによって近代自然科学が確立したのか調べたり考えたりしておく。
	授業内容	三時代区分再考：自然科学革命① キリスト教自然観の落とし子「近代科学」
	事後学習	ある種のキリスト教的自然観が近代科学の誕生に影響を与えていたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
10	事前学習	近代自然科学の成果と啓蒙思想の発展がどのように関係しているか、また17世紀から19世紀において科学的・合理的世界とは異なる（あるいは反する）思想にどのようなものがああったか調べてくる。
	授業内容	三時代区分再考：自然科学革命② 法・政治・経済・社会の科学ブームとその反動
	事後学習	「科学革命」の前後で「中世」と「近代」とに時代を区分することの問題点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
11	事前学習	「ルネサンス」「宗教改革」「科学革命」のどれによってでも、「中世」と「近代」を区分する際に、過去の実態を見誤らせられることを再確認しておく。
	授業内容	三時代区分の問題点のまとめ 人類の歴史を三区分する賢さ、または愚かさ？
	事後学習	なぜ三時代区分が歴史研究において深刻な問題を生じさせるのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
12	事前学習	近代歴史学がどのように誕生したのか、近代歴史学はそれまでの歴史研究とどのような点で異なるか調べておく。
	授業内容	西洋における歴史研究の発展（近代歴史学の誕生） 科学的歴史研究へのチャレンジ
	事後学習	近代歴史学の手法が、これまで人類が持っていた歴史研究手法とは異なり、特殊であることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
13	事前学習	今日の歴史研究者が、近代歴史学に基づいて実際にどのように研究作業を遂行しているか調べる。
	授業内容	歴史研究の方法 ある種の「タイムマシーン」プロジェクト 現代人を過去の世界へと送り込めるか？
	事後学習	近代歴史学の手法による歴史研究の長所と短所をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
14	事前学習	前学期に学んだことの要点を理解できるまで復習する。
	授業内容	授業理解度確認作業
	事後学習	授業理解度確認作業をおこなってみて、どこが理解できていなかったのかまとめる。
15	事前学習	これまでの授業の中で理解しきれていない箇所をまとめてくる。
	授業内容	前学期のまとめ
	事後学習	授業内に紹介された参考文献や配布された資料を読み、西洋史の知識や歴史学の手法を自分の研究に応用する能力を確かなものにしていく。

科目名	西洋の歴史Ⅱ	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	授業では、主にフランス革命からドイツ統一に至るまでの人物や事件、思想、文化などを取り上げて、ヨーロッパにおける政治、経済、社会、宗教、文化などにわたる幅広い歴史像を持つ力を養う。				
授業目的・到達目標	西洋史の主要な出来事を理解し、各出来事の関連性を多角的に考えられるようにする。また、西洋の過去の理解において、「近代歴史学」の可能性や問題、限界についても理解できるようになる。過去の世界を説明しようとする際に生じる諸々の問題を意識できるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義（具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験や授業中の態度なども数値化し最終評価に含める。出席日数不足の者は授業内課題や授業内試験を受けても点数がつかないことがある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じて、授業内で資料を配布する。			
参考書	『西洋の歴史：古代・中世編』『西洋の歴史：近現代編』『教養のための西洋史入門』（どれもミネルヴァ書房）。『歴史学における方法的転回：現代歴史学の成果と課題』青木書店。				
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し概要を把握してくる。
	授業内容	ガイダンス 授業の説明
	事後学習	授業の視点がどのようなものかまとめる。
2	事前学習	歴史学も科学とだという主張が、どのようなことを根拠になされているか調べてくる。
	授業内容	「近代歴史学」の特徴と課題
	事後学習	近代歴史学に対する多くの批判があることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
3	事前学習	歴史学以外に過去を扱う学問にどのようなものがあるか、またそれらの学問と歴史学では過去の研究方法でどのように異なるか調べたり考えたりしてくる。
	授業内容	歴史学でしか説明できない過去の世界はあるのか
	事後学習	歴史学が過去を研究する手法において他の学問とは異なること点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
4	事前学習	歴史研究において優れた研究とは何か、また劣った研究とは何か考えてくる。
	授業内容	自分の理想や価値観で、過去を物語っていいのか
	事後学習	過去をその内側から理解することがなぜ必要であるかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。

5	事前学習	フランス革命の経緯とフランス革命の政治的・社会的・文化的影響を調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識：進歩史観 フランス革命
	事後学習	フランス革命と啓蒙主義や進歩史観との関係をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
6	事前学習	ナポレオン1世について、彼の功績や失脚の経緯などを調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識：ナショナルな歴史観 ナポレオン
	事後学習	ナポレオンの登場によってなぜナショナルな歴史観がヨーロッパ各地に芽生えたのかをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
7	事前学習	「産業革命」とはどのような歴史現象だったのか、また社会構造をどのように変容させる出来事だったのか調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識：自由主義、急進主義、社会主義、階級闘争的な歴史観 産業革命
	事後学習	「産業革命」を一つの契機として、なぜ自由主義や急進主義、社会主義、階級層的な歴史観が芽生えたのかをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
8	事前学習	「ウィーン体制」とは何かについて調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識： 超民族共同体的、漸進的保守主義の歴史観 ウィーン体制
	事後学習	メッテルニヒやウィーン体制によって、反ナショナリズム的、漸進的保守主義の歴史観が強められたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
9	事前学習	ヨーロッパの革命とされる1848年に、どのような革命がどの地域で生じたのか調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識：種々の歴史観の衝突 1848年の革命
	事後学習	フランス革命、ナポレオン、産業革命、ウィーン体制などによって生じた理想的社会像が1848年に衝突し、暴動や革命へと発展したことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
10	事前学習	東方問題がなぜ生じたのか、またヨーロッパ列強間でどのような対立構図が生じていたのかを調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識：ヨーロッパ中心的な歴史観 東方問題
	事後学習	イスラーム圏においてヨーロッパ列強間の対立が展開され、また帝国主義の時代の幕開けにつながることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
11	事前学習	イタリアの統一とドイツの統一が、それぞれどのように達成されたのか調べてくる。
	授業内容	西洋の歴史意識：民族中心の歴史観 イタリア統一・ドイツ統一
	事後学習	政府が展開した民族統一政策と、民族統一運動に貢献した民衆の民族意識についてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
12	事前学習	西洋の歴史のこの講義の17回・18回・19回で学習したことを復習しておく。
	授業内容	歴史の発展法則や理論を発見したいという誘惑
	事後学習	西洋史の学びが西洋の過去の実態の理解のためではなく、無意識のうちに別の目的のための道具にすり替えられていくカラクリについてまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
13	事前学習	西洋の歴史解釈が、特定の理想や信念に基づいて歪められていた実態を、ここまでの講義内容を振り返ることで再確認する。
	授業内容	歴史の学びは今日の社会に役に立つのか
	事後学習	学問としての歴史研究（近代歴史学）が、今日の社会に重要な役割を果たしていることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
14	事前学習	後学期に学んだことの要点を理解できるまで復習する。
	授業内容	授業理解度確認作業
	事後学習	授業理解度確認作業をおこなってみて、どこが理解できていなかったのかをまとめる。
15	事前学習	これまでの授業の中で理解しきれっていない箇所をまとめてくる。
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	授業内に紹介された参考文献や配布された資料を読み、西洋史の知識や歴史学の手法を自分の研究に応用する能力を確かなものにしていく。

科目名	世界文学 I	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ポスト革命期にあたる19世紀フランス文学を取り上げます。①19世紀フランス文学のいくつかの作品について知る ② 革命期に醸造されたさまざまな思想が、どのようなかたちで文学に反映されているのかを理解する ③ 19世紀文学について知ること、現在のフランスにおけるライシテ（政教分離、脱宗教性）の在り方の背景をなす考え方を理解する、以上の内容を中心に授業を展開します。					
授業目的・到達目標	①文学の背景となる歴史と社会について、基本事項を踏まえて説明できる。19世紀フランスにおける歴史・社会と文学の関係を理解し、その特異性について説明できる。②文学テキストを精緻に読み、独自の見解を展開することができる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	①毎回のテーマにそって、解説を行う。②毎回の授業で、受講者にコメントおよび質問を書いてもらい、その内容について次回に説明を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		前期試験（70%）、授業参加度とコメントペーパー（30%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考					
参考書	課題図書を前期1冊、後期1冊課します（詳しくは授業中に解説します）。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	フランス19世紀文学にどのような作品があるのか、調べておく。
	授業内容	授業の説明
	事後学習	授業で指定された書籍を購入すること。
2	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んでくること。
	授業内容	19世紀フランスの歴史と社会(1) 19世紀フランス文学概観(1)
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
3	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んでくること。
	授業内容	19世紀フランスの歴史と社会(2) 19世紀フランス文学概観(2)
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
4	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んでくること。
	授業内容	キリスト教とは何か(1)キリスト教の教義、その他
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。

5	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	キリスト教とは何か(2)フランス史におけるキリスト教
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
6	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	啓蒙思想家ジャン＝ジャック・ルソーの思想と19世紀文学(1)
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
7	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	啓蒙思想家ジャン＝ジャック・ルソーの思想と19世紀文学(2)
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
8	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ルソーの後継者たち（1）フェリシテ・ド・ラムネ
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
9	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ルソーの後継者たち（2）シャトーブリアン
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
10	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ルソーの後継者たち（3）アルフォンス・ド・ラマルティエヌ
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
11	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ルソーの後継者たち（4）ヴィクトール・ユゴー
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
12	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ミシュレ『フランス革命史』序説とヴォルテール
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
13	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	啓蒙思想家ヴォルテール『寛容論』とカラス事件（1）
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
14	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	啓蒙思想家ヴォルテール『寛容論』とカラス事件（2）
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
15	事前学習	前期試験の準備をすること。
	授業内容	前期試験とその解説
	事後学習	前期全体の復習をすること。

科目名	世界文学 I	担当者	児玉 直起	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「ロボット」という造語を世界に広めたカレル・チャペックの戯曲『ロボット（R.U.R.）』と平田オリザのロボット（アンドロイド）演劇（戯曲）を読みます。これらの文学（演劇）作品を通して、ロボットもしくは人工知能（AI）と人間との境界線の問題、さらに両者の共生の問題について考えます。					
授業目的・到達目標	目的は、外国文学の名作を味わいながら、人間性（人間とは何か）への認識を深め、共感力を養うこと。目標は、毎回の意見交換を通じ、自分の考えを根拠に基づいて表現することができるようになること。					
履修条件	文学・芸術への関心があればOKです。後期にフィールドワーク（関連バレエ鑑賞）をおこないますので、なるべく世界文学IIと通年で履修してください。					
授業方法	演習形式で進めます。適宜CDやDVDを使用。後期（II）には『くるみ割り人形とねずみの王さま』のバレエ版——チャイコフスキー作曲／イーグリング振付『くるみ割り人形』——を劇場で観る予定（12月）。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		前期テスト 40％，平常点（発表・発言・授業への取り組み等）60％。欠席を繰り返した場合、その時点で履修資格を失う。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1989	岩波文庫		ロボット（R.U.R.）		カレル・チャペック
	備考	平田オリザのロボット（アンドロイド）演劇はプリント配布				
参考書	石黒浩『ロボットとは何か——人の心を映す鏡』講談社現代新書，2009年 平野晋『ロボット法——AIとヒトの共生にむけて』弘文社，2017年					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後，または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応します。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	前期授業のガイダンス／イントロダクション
	事後学習	授業で何を学ぶのか確認する。
2	事前学習	演劇と小説の違いについて考えておく。
	授業内容	戯曲について——演劇と小説の違い 1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
3	事前学習	前回授業での疑問点を整理し、質問事項を準備する。
	授業内容	戯曲について——演劇と小説の違い 2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
4	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	チャペックの戯曲『ロボット (R. U. R.)』を読む 1 : 序幕
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。

5	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	『ロボット（R.U.R.）』を読む2：第1幕
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
6	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	『ロボット（R.U.R.）』を読む3：第2幕
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
7	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	『ロボット（R.U.R.）』を読む4：第3幕
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
8	事前学習	当該作品を読み返し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	『ロボット（R.U.R.）』を読む5：まとめ
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
9	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	平田オリザのロボット演劇を読む1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
10	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	平田オリザのロボット演劇を読む2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
11	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	平田オリザのロボット演劇を読む3
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
12	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	平田オリザのロボット演劇を読む4
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
13	事前学習	当該作品を読み返し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	資料映像を視聴し、意見交換する
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
14	事前学習	前期の授業内容を振り返り、疑問点等を整理する。
	授業内容	まとめ・質問・授業評価
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
15	事前学習	前期の学習内容を復習する。
	授業内容	前期目標の到達度を確認する
	事後学習	前期の授業で何を学んだか、整理する。

科目名	世界文学 I	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語圏文学を中心に文学とその読み方を講義します。前期は20世紀から現代までのオーストリア文学を中心に、後期は20世紀から現代までのドイツ文学を中心に扱います。				
授業目的・到達目標	文学の背景にある歴史、思想、文化、様式を手掛かりに、文学作品を解釈する方法に触れ、自律的に文学作品が解釈できるようになることが目的です。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式の授業です。テーマごとにワークシートを作成して、次の授業で提出します。前期・後期それぞれ扱った作品（テーマ）の中から一つずつ選んでレポートを提出。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	ワークシート30%＋レポート70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	授業中に指示します。				
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認
	授業内容	ガイダンス ドイツ語圏文学概論
	事後学習	ドイツ語圏に関する基本データをまとめる。
2	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ1-1 オーストリア文学の特徴 ー 多民族多文化国家の文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
3	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ1-2 オーストリア文学の特徴 ー 多民族多文化国家の文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
4	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ2-1 バロックの系譜1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。

5	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ2-2 バロックの系譜2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
6	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ3-1 ユダヤ人とオーストリア文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
7	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ3-2 ユダヤ人とオーストリア文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
8	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ4-1 カフェ文化と文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
9	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ4-2 カフェ文化と文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
10	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ5-1 精神分析学と文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
11	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ5-2 精神分析学と文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
12	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ6-1 ナチスとオーストリア文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
13	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ6-2 ナチスとオーストリア文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
14	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ7-1 オーストリアの亡命文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。 レポート作成
15	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ7-2 オーストリアの亡命文学2
	事後学習	前期振り返り

科目名	世界文学Ⅱ	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ポスト革命期にあたる19世紀フランス文学を取り上げます。①19世紀フランス文学のいくつかの作品について知る ② 革命期に醸造されたさまざまな思想が、どのようなかたちで文学に反映されているのかを理解する ③ 19世紀文学について知ることで、現在のフランスにおけるラインテ（政教分離、脱宗教性）の在り方の背景をなす考え方を理解する、以上の内容を中心に授業を展開します。					
授業目的・到達目標	①文学の背景となる歴史と社会について、基本事項を踏まえて説明できる。19世紀フランスにおける歴史・社会と文学の関係を理解し、その特異性について説明できる。②文学テキストを精緻に読み、独自の見解を展開することができる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	①毎回のテーマにそって、解説を行う。②毎回の授業で、受講者にコメントおよび質問を書いてもらい、その内容について次回に説明を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		前期試験（70%）、授業参加度とコメントペーパー（30%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考					
参考書	課題図書を前期1冊、後期1冊課します（詳しくは授業中に解説します）。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ヴィクトール・ユゴーについて調べてくること。
	授業内容	授業の説明
	事後学習	授業で指定された書籍を購入すること。
2	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んでくること。
	授業内容	19世紀の歴史とヴィクトル・ユゴーの政治的軌跡（1）
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
3	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んでくること。
	授業内容	19世紀の歴史とヴィクトル・ユゴーの政治的軌跡（2）
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
4	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んでくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（1） ②『レ・ミゼラブル』とシネマ/ミュージカル
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。

5	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（2） ②『レ・ミゼラブル』におけるキリスト教
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
6	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（3） ②『レ・ミゼラブル』におけるファンタスティック
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
7	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（4） ②『レ・ミゼラブル』における社会問題
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
8	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（4） ②『レ・ミゼラブル』と革命
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
9	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（5） ②『レ・ミゼラブル』と女性たち
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
10	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	①『レ・ミゼラブル』の概略（6） ②『レ・ミゼラブル』の文学としての位置づけ
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
11	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ユゴーのその他の作品（『クロード・グー』）
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
12	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ユゴーのその他の作品（『九十三年』）
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
13	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ユゴーの死刑廃止論(1)
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
14	事前学習	渡されたプリントの指定された中で、指定部分を読んてくること。
	授業内容	ユゴーの死刑廃止論(2)
	事後学習	今週学んだ内容について、プリントを読み返したうえで、重要事項を確認すること。
15	事前学習	後期試験の準備をする。
	授業内容	後期試験と解説
	事後学習	特になし。

科目名	世界文学Ⅱ	担当者	児玉 直起	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自動人形が登場するE. T. A. ホフマンの幻想的な短編小説群を読みます。前期から継続して、ロボットもしくは人工知能（AI）と人間との境界線の問題、さらに両者の共生の問題について考えます。				
授業目的・到達目標	目的は、外国文学の名作を味わいながら、人間性（人間とは何か）への認識を深め、共感力を養うこと。目標は、毎回の意見交換を通じ、自分の考えを根拠に基づいて表現することができるようになること。				
履修条件	文学・芸術への関心があればOKです。テーマが共通しているため、なるべく世界文学1（前期）と通年で履修してください。				
授業方法	演習形式で進めます。適宜CDやDVDを使用。『くるみ割り人形とねずみの王さま』のパレエ版——チャイコフスキー作曲／イーグリング振付『くるみ割り人形』——を劇場で観る予定（12月）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	小論文40％，平常点（発表・発言・授業への取り組み等）60％。欠席を繰り返した場合，その時点で履修資格を失う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	光文社古典新訳文庫		砂男/クレスペル顧問官	E. T. A. ホフマン
	2000	岩波少年文庫		クルミわりとネズミの王さま	E. T. A. ホフマン
	備考				
参 考 書	石黒浩『ロボットとは何か——人の心を映す鏡』講談社現代新書，2009年 平野晋『ロボット法——AIとヒトの共生にむけて』弘文社，2017年				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後，または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応します。 E-mail: kodama. naoki@nihon-u. ac. jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	授業で何を学ぶのか、再確認する。
2	事前学習	テキストを購入し、E. T. A. ホフマンについて図書館やインターネットで調べておく。
	授業内容	E. T. A. ホフマンについて
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
3	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの短編小説「砂男」を読む1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
4	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの短編小説「砂男」を読む2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。

5	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの短編小説「クレスベル顧問官」を読む 1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
6	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの短編小説「クレスベル顧問官」を読む 2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
7	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの短編小説「大晦日の夜の冒険」を読む 1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
8	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの短編小説「大晦日の夜の冒険」を読む 2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
9	事前学習	後期に読んだホフマンの三つの短編小説について、感想をまとめる。
	授業内容	オペラ《ホフマン物語》について／資料映像を視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
10	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの中編小説「くるみ割り人形とねずみの王さま」を読む 1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
11	事前学習	当該箇所を熟読し、感想と疑問点をメモする。
	授業内容	ホフマンの中編小説「くるみ割り人形とねずみの王さま」を読む 2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
12	事前学習	クラシックバレエについて図書館やインターネットで調べておく。
	授業内容	チャイコフスキーのバレエ音楽《くるみ割り人形》を聴く 1
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
13	事前学習	バレエ『くるみ割り人形』のストーリーをインターネットで調べておく。
	授業内容	チャイコフスキーのバレエ音楽《くるみ割り人形》を聴く 2
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
14	事前学習	フィールドワーク（バレエ鑑賞）の感想をまとめる。
	授業内容	バレエ『くるみ割り人形』についての意見交換
	事後学習	授業内容を振り返り、要点をまとめる。
15	事前学習	短編小説（原作）と舞台（バレエ）の違いについて考えておく。
	授業内容	短編小説（原作）と舞台（バレエ）の違いについて
	事後学習	授業で何を学んだか、整理する。

科目名	世界文学Ⅱ	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語圏文学を中心に文学とその読み方を講義します。前期は20世紀から現代までのオーストリア文学を中心に、後期は20世紀から現代までのドイツ文学を中心に扱います。				
授業目的・到達目標	文学の背景にある歴史、思想、文化、様式を手掛かりに、文学作品を解釈する方法に触れ、自律的に文学作品が解釈できるようになることが目的です。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式の授業です。テーマごとにワークシートを作成して、次の授業で提出します。前期・後期それぞれ扱った作品（テーマ）の中から一つずつ選んでレポートを提出。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	ワークシート30%＋レポート70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	授業中に指示します。				
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認
	授業内容	ガイダンス 20世紀のドイツ語圏文学概論
	事後学習	ドイツ語圏における20世の歴史についてまとめる
2	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ1-1 20世紀から現代のメディアとドイツ文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
3	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ1-2 20世紀から現代のメディアとドイツ文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
4	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ2-1 第二次世界大戦とドイツ文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。

5	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ2-2 第二次世界大戦とドイツ文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
6	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ3-1 皆伐文学 ― 言葉が皆伐された後1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
7	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ3-2 皆伐文学 ― 言葉が皆伐された後2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
8	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ4-1 ノンフィクション文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
9	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ4-2 ノンフィクション文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
10	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ5-1 グリム童話はどう読まれたか1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
11	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ5-2 グリム童話はどう読まれたか2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
12	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ6-1 東西ドイツの文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
13	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ6-2 東西ドイツの文学2
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。
14	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ7-1 EUとドイツ文学1
	事後学習	講義内容をワークシートにまとめる。 レポート作成
15	事前学習	作品予習
	授業内容	テーマ7-2 EUとドイツ文学2
	事後学習	全体振り返り

科目名	総合講座A〔(文学/芸術は「危機」をどう捉えたか)〕	担当者	児玉 直起 他	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------------------------	-----	---------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	戦争，災害，老い，狂気，愛——いずれも当事者の生命や存立基盤を危うくする「危機」の別名である。文学/芸術は、そうした危機的状況を好んで題材にし、むしろ危機の時代にこそ栄えた歴史を持っている。本講では、複数の講師による様々な分野の作品分析をととして、文学/芸術が危機をどう表現したか、危機とどう関わってきたのか、考察する。				
授業目的・到達目標	目的は、文学/芸術に親しむ機会を提供し、創造的思考力と“文化的体力”を養うこと。 目標は、「生きていく上での土台がぐった豊かになった」（授業アンケート）と実感できるようになること。				
履修条件	必ず初回に出席し、成績評価の方法・課題レポート作成の注意点を理解すること。				
授業方法	ゲスト（画家を予定）を含む複数の講師が共通テーマに基づき、様々なジャンル——詩・小説・戯曲（演劇）・映画、音楽等——の作品分析を講義形式でおこなう。適宜，ビデオ・画像等を用いる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題レポート 30%×3回（90%），平常点10% 著作権（知的所有権）を侵害するレポート提出者は不合格とする	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	各講師が扱うテキストについては下記の「参考文献表」を参照。			
参考書	初回の授業時に「参考文献表」を配付する。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室（児玉）で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp 各講師のオフィスアワーについては、各講義の初回にアナウンスする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シバラスを熟読する。
	授業内容	イントロダクション／共通テーマについて（文学/芸術と「危機」）【児玉直起】
	事後学習	この授業で何を学ぶのか確認し、配布した「参考文献表」の文献を図書館や書店で調べておく。
2	事前学習	『平家物語』について、高校で使用した「便覧」や図書館の書籍などで事前に調査しておく。
	授業内容	『平家物語』の描く「武将の死」——「一の谷の合戦」から（1）【小野美典】
	事後学習	講義で扱った本文を再度読み直し、そこに描かれている「武将の死」についてまとめておく。
3	事前学習	「一の谷の合戦」の概要に関して、図書館の書籍やウェブサイトで事前に調査しておく。
	授業内容	『平家物語』の描く「武将の死」——「一の谷の合戦」から（2）【小野美典】
	事後学習	講義で扱った本文を再度読み直し、そこに描かれている武将が死に至った原因を再検討する。
4	事前学習	『ユリシーズ』（ジェイムズ・ジョイス）について図書館等で事前に調べておくこと。特に英文学史における『ユリシーズ』の位置づけについて調べるとよい。
	授業内容	美学と政治のあいだ——『ユリシーズ』再考（1）【松山博樹】
	事後学習	次の講座に備え、「美学と政治のあいだ——『ユリシーズ』再考（1）」の振り返りをおこなうこと。

5	事前学習	前回の講座内容を踏まえ、『ユリシーズ』（ジェイムズ・ジョイス）の書かれた時代について図書館等で事前に調べておくこと。特にその時代の国際政治および芸術のおかれた状況について調べるとよい。
	授業内容	美学と政治のあいだ——『ユリシーズ』再考（2）【松山博樹】
	事後学習	「美学と政治のあいだ——『ユリシーズ』再考（2）」の振り返りをおこなうこと。
6	事前学習	授業で扱うテキストを予習する。
	授業内容	ウィーン発——亡命者の文学と思想【真道 杉】
	事後学習	授業内容をまとめ、授業内で紹介された文献を読む。該当者はレポートを作成する。
7	事前学習	授業で扱うテキストを予習する。
	授業内容	ウィーン発——残された者の文学と思想【真道 杉】
	事後学習	授業内容をまとめ、授業内で紹介された文献を読む。該当者はレポートを作成する。
8	事前学習	フランス・ルネサンスの歴史的・社会的・宗教的背景について、高校までに習った世界史の知識を復習し、図書館の書籍などで事前に調査しておく。
	授業内容	フランソワ・ラブレーとルネサンス——信仰の危機と人間性の回復（1）【石橋正孝】
	事後学習	講義で扱った本文を再度読み直し、パフチンの参考書と照らし合わせながら、生命の喜びと生命の死を文化の創造と破壊のサイクルに当てはめて読み直す。
9	事前学習	唯名論争、宗教革命について、高校までに習った世界史の知識を復習し、図書館の書籍などで事前に調査しておく。
	授業内容	フランソワ・ラブレーとルネサンス——信仰の危機と人間性の回復（2）【石橋正孝】
	事後学習	講義で扱った本文を、講義で学んだ歴史的・文化的文脈の中で再度読み直し、中世から近代への移行をもたらした要因について考察する。
10	事前学習	「作家エミール・ゾラ」と「自然主義文学」について、図書館の書籍やウェブサイトで事前に調査しておく。
	授業内容	エミール・ゾラとドレフュス事件（1）【江島泰子】
	事後学習	講義で配布した資料とノートを読み直して、質問があれば次回のためにメモしておく。
11	事前学習	「ドレフュス事件」について、図書館の書籍やウェブサイトで事前に調査しておく。
	授業内容	エミール・ゾラとドレフュス事件（2）【江島泰子】
	事後学習	講義で配布した資料とノートを読み直し、ドレフュス事件が後世に残した教訓について再検討する。
12	事前学習	木下晋氏の画業について調べ、美術館や画廊もしくは画集やインターネットで作品を見ておく。
	授業内容	高齢者/ハンセン病者からバンダへ——“鉛筆の画家”木下晋の世界【木下 晋+児玉】
	事後学習	講義の内容を振り返り、そこから得たものをメモしてみる。
13	事前学習	演劇などの「実演芸術」と映画などの「映像芸術」との違いはどこにあるのか、考えておく。
	授業内容	危機と共感——劇場文化論（1）【児玉】
	事後学習	授業の内容を振り返り、自分の考えを整理する。
14	事前学習	石黒浩『ロボットとは何か』（講談社現代新書）特に第6章「ロボット演劇」を読んでおく。
	授業内容	危機と共感——劇場文化論（2）【児玉】
	事後学習	授業の内容を振り返り、自分の考えを整理する。
15	事前学習	半期の授業を振り返り、何を得たかメモしてみる。
	授業内容	まとめ・半期の授業を振り返る【児玉】
	事後学習	授業で学んだことを今後に活かすにはどうすればよいか考える。

科目名	総合講座B[＜～らしさ＞をめぐる視点]	担当者	江島 泰子 他	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	テーマは「ジェンダーから見た労働」です。「ブラック企業」、「サービス残業」、「過労死」といった現実は今だ厳然と存在します。主として「賃金労働」を担ってきた男性は、今後どのようなかたちで就労すべきなのか。活躍が期待されている女性は、労働市場にどのように参入していくべきなのか。また、「家事」、「育児」などの「無償労働」をどう解釈するのか。こうした問題について講義から知見をえて、一人一人が自らの意見を深めていきます。				
授業目的・到達目標	授業目的は、次のような目標に到達することです。①「労働」に関して、過去の歴史を踏まえつつ、現在の日本が抱える諸問題を説明することができる。②「労働」について、ジェンダーの視点を導入して考察することができる。③「労働」の在り方の多様性について、説明することができる。④今年度のテーマに関して、自分なりの意見を展開できる。				
履修条件	必ず初回に出席すること。欠席した場合は、江島泰子のフォルダー「総合講座（後期）」で、次週以降の注意事項について確認すること。				
授業方法	ゲストを含む複数の講師が、それぞれの専門分野から講義を行う。適宜、ビデオ・画像等を用いる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度と課題提出（40％）、レポート（1回、60％）レポート評価基準：各講義の内容を的確に把握したうえで、独自の見解が展開されているか。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	原則として、各講師がプリントを配布する。			
参考書	初回の授業時に参考文献表を配布する。				
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んで、自分の興味関心に合った授業であるか確認しておく。
	授業内容	オリエンテーション 【江島泰子】
	事後学習	配布された参考文献に関して、興味あるものを選んで読んでおくこと。
2	事前学習	賃金労働と家事労働、その他様々な人間的な活動との違いや共通点について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	労働とは何なのか？生きることと働くこと【岡山敬二】
	事後学習	ヘーゲルのいう労働、マルクスのいう抽象的な人間労働、賃金労働と疎外についてその意味を確認し、疑問点があれば整理しておくこと。
3	事前学習	「労働」と「仕事」というそれぞれの言葉からイメージされる「働き方」を考えておくこと。
	授業内容	仕事と労働の法的評価【松島雪江】
	事後学習	「働くこと」が貨幣により評価されることと、「お金にならない」労働の意味について、自分の考えをまとめておくこと。
4	事前学習	50年前・100年前・200年前の家族についての自分のイメージを確認する。
	授業内容	歴史で考える労働とジェンダー(1)——近代家族と「良妻賢母」【大岡聡】
	事後学習	レジュメ・ノートに沿って、講義内容を復習する。

5	事前学習	父母・祖父母のライフヒストリー（教育歴・職歴・結婚・子育て・老後等）を確認してくる。
	授業内容	歴史で考える労働とジェンダー(2)——「職場の華」と「企業戦士」【大岡聡】
	事後学習	レジュメ・ノートに沿って、講義内容を復習する。
6	事前学習	中国の近代史について、確認しておくこと。
	授業内容	中国における労働とジェンダー【ゲストスピーカー】
	事後学習	配布された資料をもとに、中国における女性労働の特徴を整理する。
7	事前学習	フランスはどのような国か、基本的な情報を収集して、整理しておこう。
	授業内容	フランスのワーク・ライフ・バランス【神尾真知子】
	事後学習	フランスのワーク・ライフ・バランス政策を踏まえて、日本のワーク・ライフ・バランス政策が、女性に「自由な選択」を保障しているのか、批判的に検討してみよう
8	事前学習	「労働」に関して、現在の日本が抱える諸問題について、整理する。また、ジェンダーの視点から、これらの問題をどのように考えたらよいのか、検討しておく。
	授業内容	ディスカッション（1）【江島泰子】
	事後学習	グループで意見交換を行い、全体発表を聞いたのちに、自分の考えと他者の考えの相違について整理し、その差異の原因について自分なりに検討する。
9	事前学習	日本における女性の労働力人口比率、就業率、非正規社員比率、管理職比率などを調べる。
	授業内容	女性活躍推進と人材マネジメント【谷田部光一】
	事後学習	女性活躍を推進する企業の人事制度・施策を把握、整理し、それらが従業員と企業経営にとって持つ意味を考える。
10	事前学習	「資生堂ショック」とは何か、調べておく。
	授業内容	女性活躍推進の最前線【ゲストスピーカー】
	事後学習	講義から何を学んだかを整理し、女性の働き方に関して自分なりの意見を説明できるようにする。
11	事前学習	「労働」に関して、現在の日本が抱える諸問題を、もう一度整理しておく。
	授業内容	未来における労働の在り方を考える【ゲストスピーカー】
	事後学習	講義から何を学んだかを整理し、男女の今後の働き方に関して自分なりの意見を説明できるようにする。
12	事前学習	男女共同参画白書の概要程度を確認しておく。
	授業内容	マンガ・アニメ表象から考える労働（1）【小林義寛】
	事後学習	諸種の統計資料を比較してみる。
13	事前学習	男女共同参画白書の概要程度を確認しておく
	授業内容	マンガ・アニメ表象から考える労働（2）【小林義寛】
	事後学習	諸種の統計資料を比較してみる。
14	事前学習	「今後における男女それぞれの労働の在り方」について、自分なりの見解をまとめておく。
	授業内容	ディスカッション（2）【江島泰子】
	事後学習	ディスカッションで聞いた他の参加者たちと自分の意見の相違を整理する。さらに、その相違の背景となっている労働に関する認識の差について考える。
15	事前学習	到達目標を確認し、①～④について、自分が達成できているか確認する。
	授業内容	到達目標①～④の確認【江島泰子】
	事後学習	①～④について、自分が達成できているか、各講義の内容を踏まえてそれぞれが確認する。

科目名	体育スポーツ科学Ⅰ	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会においてスポーツが関わる領域は、現代生活を送る上で欠くことのできない一領域を形成している。この授業では、身体に関する科学的知識とスポーツに関する様々なテーマを通じて、体育スポーツを学ぶことを目的とする。					
授業目的・到達目標	身体運動やスポーツに関する諸理論とその成果を理解することを目的とする。					
履修条件	関連書籍を事前に読んでおくこと。 授業で示された論点を整理し、関係文献や資料を利用して理解を深めること。					
授業方法	授業はスライドや資料を配布し進める。 毎回小レポートを提出する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内に毎回小レポートを提出する。授業内試験を行い総合的に評価する。 授業内試験70%、毎回の小レポート30%とする。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	教科書はありません。 必要に応じてプリントの配布				
参考書	健康、身体、運動、スポーツに関する書籍					
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約すること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内容を理解し、関連書籍を読んでおくこと。
2	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	体育・スポーツとは何か
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
3	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	体力とは
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
4	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動と脳・神経系
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。

5	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動器のしくみと働き
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
6	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	循環器系とエネルギー代謝
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
7	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	身体の発育・発達と加齢
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
8	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	身体運動のコントロール
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
9	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動技能の向上 学習とスキルの獲得
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
10	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	スポーツの歴史と文化
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
11	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	フェアプレイ アンチ・ドーピング教育
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
12	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	スポーツとオリンピズム
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
13	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	スポーツと社会
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
14	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	授業内試験
	事後学習	関連文献や資料を利用し理解を深める。
15	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	関連文献や資料を利用し理解を深める。

科目名	体育スポーツ科学Ⅱ	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会においてスポーツが関わる領域は、現代生活を送る上で欠くことのできない一領域を形成している。この授業では、身体に関する科学的知識とスポーツに関する様々なテーマを通じて、体育スポーツを学ぶことを目的とする。			
授業目的・到達目標	身体運動やスポーツに関する諸理論とその成果を理解することを目的とする。			
履修条件	関連書籍を事前に読んでおくこと。 授業で示された論点を整理し、関係文献や資料を利用して理解を深める。			
授業方法	授業はスライドや資料を配布し進める。 毎回小レポートを提出する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	授業内に毎回小レポートを提出する。授業内試験を行い総合的に評価する。 授業内試験70%、毎回の小レポート30%とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書はありません。 必要に応じてプリントの配布。		
参 考 書	健康、身体、運動、スポーツに関する書籍			
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約すること。 tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内容を理解し、関係書籍を読んでおくこと。
2	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	健康と身体、加齢と老化
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
3	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動と生活習慣病の予防と軽減
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
4	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	トレーニングについて (1)
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。

5	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	トレーニングについて（2）
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
6	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	身体と栄養
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
7	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	身体と休養
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
8	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動とケガ
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
9	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動と心理（1）
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
10	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	運動と心理（2）
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
11	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	スポーツと法
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
12	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	スポーツと政策 第2期スポーツ基本計画
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
13	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	スポーツとビジネス
	事後学習	毎回、授業内容に関する小レポートを実施するので、復習をしておくこと。
14	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	授業内試験
	事後学習	関連文献や資料を利用し理解を深める。
15	事前学習	関連書籍を事前に読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	関連文献や資料を利用し理解を深める。

科目名	地球科学 I	担当者	松本 太	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自然環境の地理的な相違を気圏環境の側面からとらえ、それらと人間活動とのかかわりを含め講義する。その際、昨今地球規模、或いは地域で起こっている環境問題や気候変動を含め解説する。また、基礎的な大気環境のメカニズムについても取り上げる。			
授業目的・到達目標	自然環境や環境問題を理解するためには、基礎的な地球のなりたちを知る必要があります。講義では特に気圏環境に関する基本的な知識の習得を目的とします。また、地球の歴史についても学びます。地球のなりたちや自然環境に関する基本的事項を理解し、今後学んでいく環境に関連する科目への展開がはかれるようにします。			
履修条件	特にありません。			
授業方法	講義形式で行います。ビデオやDVDなど視聴覚資料も用います。進行状況により授業内容を変更することがあります。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		70%	地球のなりたちや自然環境に関する基礎知識が身についているかを判定します。授業中に説明した基本的な事項を理解しておいて下さい。
	平 常 評 価		30%	課題の提出状況、学習意欲、授業への参加状況等を評価の対象にします。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参 考 書	使用しません。			
オフィスアワー	授業時に説明します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	前期のガイダンス
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地球の歴史①
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
3	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地球の歴史②
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
4	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地球の大気組成
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。

5	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	大気圏の区分と構造①
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
6	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	大気圏の区分と構造②
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
7	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	太陽の放射エネルギーと地球の熱収支
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
8	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	大気現象（風、雲、雨などの成因）
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
9	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	高気圧と低気圧
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
10	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	世界の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
11	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	日本の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
12	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	異常気象と気象災害
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
13	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	大気環境の変化①
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
14	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	大気環境の変化②
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
15	事前学習	これまでの授業内容について、不明な点がないかなどをまとめておいてください。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	これまでの授業内容について、ノートやプリントなどを整理しておいてください。

科目名	地球科学Ⅱ	担当者	松本 太	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自然環境の地理的な相違を地圏環境の側面からとらえ、それらと人間活動とのかかわりを含め講義する。その際、昨今地球規模、或いは地域で起こっている環境問題を含め解説する。また、基礎的な地球のなりたち（メカニズム）についても取り上げる。				
授業目的・到達目標	自然環境や環境問題を理解するためには、基礎的な地球のなりたちを知る必要があります。講義では、特に地圏、水圏の環境に関する基本的な知識の習得を目的とします。また、環境と生物との関係についても学びます。地球のなりたちや自然環境に関する基本的事項を理解し、今後学んでいく環境に関連する科目への展開がはかれるようにします。				
履修条件	特にありません。				
授業方法	講義形式で行います。ビデオやDVDなど視聴覚資料も用います。進行状況により授業内容を変更することがあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		70%	地球のなりたちや自然環境に関する基礎知識が身についているかを判定します。授業中に説明した基本的な事項を理解しておいて下さい。	
	平 常 評 価		30%	課題の提出状況、学習意欲、授業への参加状況等を評価の対象にします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	使用しません。				
オフィスアワー	授業時に説明します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	後期のガイダンス
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	次の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地球の表面（地形）
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
3	事前学習	次の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	プレートテクトニクス
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
4	事前学習	次の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	巨大山脈と大陸移動説
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。

5	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	火山とマグマ
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
6	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地質と岩石
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
7	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	さまざまな地形（河川、湖沼、氷河など）
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
8	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	日本列島の形成
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
9	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	小地形（河川、海岸、氷河など）
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
10	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地形図の見方と利用
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
11	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地形図からみた自然環境
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
12	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	地形と人間生活
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
13	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	グローバルな環境問題
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
14	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	ローカルな環境問題
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
15	事前学習	これまでの授業内容について、不明な点がないかなどをまとめておいてください。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	これまでの授業内容について、ノートやプリントなどを整理しておいてください。

科目名	地理学 I	担当者	小倉 眞	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	地理学の主要な分析視点である「空間」の概念と社会的展開の関係、また自然環境と社会との関係について整理する。具体的には空間認識としての地図（地形図）の特徴と利用、世界の気候を中心とする自然環境と地域的特色や人口支持力、人口偏在と経済開発・経済発展の関係、工業資源の偏在と工業立地、日本の自然的特徴と工業開発などについて整理・分析する。				
授業目的・到達目標	現代の日本は「グローバル化の時代」と呼ばれるように、政治・経済・社会・情報などの面で急速な国際化が進展している。この国際化の中で世界及び日本の諸地域がどのような特色を持って展開しているかについて、地理学的な視点から解説する。多様な自然条件と社会発展との関係について、客観的に理解し整理できるようになることを目的とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	テキストを参照しつつ講義を進めるが、テキスト以外の内容についても取り上げるので、ノートは必ずとること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		85%	授業の内容を客観的に理解しているか、また論理思考がなされているかについて評価する。	
	平常評価		15%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート・発表などにより評価する。（5%） 特定のテーマについて課題を設定し、レポート提出を求める。（10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	原書房		世界を読む	青木英一・北村嘉行 著
	備考				
参考書	地図帳を準備する。その他の参考文献については授業中に指示する。				
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスで授業内容の確認をする。
	授業内容	講義概要の説明と学修のポイントについての説明
	事後学習	ノートの内容を整理する。
2	事前学習	教科書の4ページまでを読み、地理学の特色について事前に考えてみる。
	授業内容	地理学と現代社会
	事後学習	地理学の歴史と発展過程について整理する。
3	事前学習	自然環境と我々社会の発展との関係について事例を挙げて整理する。
	授業内容	地理学の学問的特徴と地形図の読図・利用法
	事後学習	社会発展と自然環境との関係について整理するとともに、与えられた課題についてのレポート作成をする。
4	事前学習	教科書の4～10ページまでを読み、空間の認識について事前に考えてみる。
	授業内容	地理学における空間論（1）広がりと境界
	事後学習	等質地域と機能地域について整理する。

5	事前学習	世界全図の種類や特徴について配布プリントを利用して検討する。
	授業内容	地理学における空間論（2）世界地図から見た空間
	事後学習	メルカトル図の特徴などについて整理する。
6	事前学習	世界や日本の自然的特徴，特に日本の地帯構造などについて事前に調べてみる。
	授業内容	世界の諸環境と人々が住む地域的特色（1） 自然環境 — 地形と諸地域
	事後学習	災害大国といわれる日本の地形・気候，海洋面積の広がりなどについて整理する。
7	事前学習	世界の気候分布等について事前に列記してみる。
	授業内容	世界の諸環境と人々が住む地域的特色（2） 自然環境 — 気候・土壌の分布
	事後学習	気候の形成メカニズムについて整理する。
8	事前学習	気候と土壌，農業環境について考える。
	授業内容	世界の諸環境と人々が住む地域的特色（3） 気候と社会
	事後学習	ケッペンの気候区分を中心に世界の気候区分方法と気候分布についてまとめてみる。次回小テストの準備をする。
9	事前学習	世界の人口増加状況と人口分布についてプリントにて整理・確認する。
	授業内容	世界の人口問題と経済開発（1） 人口の偏在性と食料供給力
	事後学習	アジアとヨーロッパ・新大陸等の人口分布特徴について整理する。
10	事前学習	人口分布と農業との関係について考察してみる。
	授業内容	世界の人口問題と経済開発（2） 農業生産力と人口収容力
	事後学習	畑作農業（ヨーロッパ）と水稲作灌漑農業（アジア）の相違について整理する。
11	事前学習	中国等アジアの人口分布と経済開発の関係について考察してみる。
	授業内容	世界の人口問題と経済開発（3） アジアの人口と経済開発
	事後学習	特に日本の水利社会の特質について整理する。次回小テストの準備をする。
12	事前学習	教科書の26～30ページまでを読み，またプリントにより資源の偏在状況について考える。
	授業内容	世界の経済と貿易（1） 変わる工業配置
	事後学習	工業立地型について整理するとともに，先進国と中進国における工業立地の状況について整理する。
13	事前学習	自然環境と工業立地の関係についてヨーロッパの事例を抽出してみる。
	授業内容	世界の経済と貿易（2） ヨーロッパの工業立地と資源
	事後学習	産業革命期のイギリスの綿織物工業の立地特性について整理する。
14	事前学習	教科書の30～34ページまでを読み，日本の工業立地空間の認識について事前に考えてみる。
	授業内容	世界の経済と貿易（3） 国際化と日本の工業
	事後学習	日本における工業発展の歴史・特徴などを整理するとともに，高度経済成長期の鉄鋼工業の立地変動について整理する。
15	事前学習	世界の農業・工業地域の展開過程について改めて考察してみる。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	自然環境の相違と社会開発・発展の関係について整理する。

科目名	地理学Ⅱ	担当者	小倉 眞	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	地理学の主要な分析視点である空間の概念と社会的展開の関係、また自然環境と社会との関係について整理する。特に地域構造の視点から世界および日本の地域的特色、歴史的発展過程などを中心として、都市と農村・中央と地方の関係を体系的に整理し、地域の構造問題について検討する。				
授業目的・到達目標	現代の日本は「グローバル化の時代」と呼ばれるように、政治・経済・社会・情報などの面で急速な国際化が進展している。この国際化の中で世界及び日本の諸地域がどのような特色を持って展開しているかについて、地理学的な視点から解説する。多様な自然条件と社会発展との関係について、客観的に整理できる能力を修得する。				
履修条件	特になし。				
授業方法	テキストを参照しつつ講義を進めるが、テキスト以外の内容についても取り上げるので、ノートは必ずとること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		85%	授業の内容を客観的に理解しているか、また論理思考がなされているかについて評価する。	
	平常評価		15%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート・発表などにより評価する。(5%) 特定のテーマについて課題を設定し、レポート提出を求める。(10%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	原書房		世界を読む	青木英一・北村嘉行 著
	備考				
参考書	地図帳を準備する。その他の参考文献については授業中に指示する。				
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスで授業内容の確認をする。
	授業内容	後期の講義概要についての説明
	事後学習	ノートの内容を整理する。
2	事前学習	社会的・歴史的・経済的視点で日本の特色を考えてみる。
	授業内容	世界の中の日本(1) 日本の諸地域の特色
	事後学習	北海道から沖縄に至る弧状列島の自然的・社会的特質について整理する。
3	事前学習	教科書の35～42ページまでを読み、都市と農村の相違・特質等について事前に考えてみる。
	授業内容	世界の中の日本(2) 日本における都市と農村
	事後学習	都市化の定義、日本の都市化と開発規制について整理する。
4	事前学習	水稲作農業を中心とする日本農村の特色について列記して考察してみる。
	授業内容	世界の中の日本(3) 日本の農業・農村の変容
	事後学習	「水によって結ばれた社会」の特質について整理する。与えられた課題についてのレポート作成する。

5	事前学習	都市としての東京の範囲，都市圏としての範囲などについて整理してみる。
	授業内容	日本の大都市圏（1）東京の都市構造
	事後学習	「江戸」の都市構造の特徴や「東京」への発展拡大過程などについて整理し，考察してみる。
6	事前学習	なぜ銀座に商業施設が集中するのか，その理由について考察してみる。
	授業内容	日本の大都市圏（2）東京と首都圏
	事後学習	一極集中型の経済・都市構造について検証し，整理する。
7	事前学習	教科書の61～76ページまでを読み，近畿圏・中京圏の特色について考えてみる。
	授業内容	日本の大都市圏（3）複核構造の近畿圏と大阪の役割
	事後学習	大阪の複核的都市構造と，経済の相対的低下の特徴，要因について整理する。
8	事前学習	名古屋の都市構造，経済的特色について列記し，考察してみる。
	授業内容	日本の大都市圏（4）多角的産業都市としての中京
	事後学習	自動車産業を中心として近年の経済的伸張と都市域の拡大について整理する。次回小テストの準備をする。
9	事前学習	北陸・東北・北海道などの地域的特色について考察する。
	授業内容	日本の地方圏の変容
	事後学習	北陸・東北日本における自然的・地域の特徴と西南日本のそれとの相違について整理する
10	事前学習	北陸の自然（豪雪地帯）と経済開発の関係について考察する。
	授業内容	日本の地方圏（1）日本海沿岸の経済的特色
	事後学習	半周辺地域ともいわれる北陸の地域的・経済的特徴について整理する。
11	事前学習	東北地方の地域的特色（位置的・自然的・交通アクセス等）について考察する。
	授業内容	日本の地方圏（2）工業化と東北
	事後学習	地方中核都市としての仙台と東北経済圏について整理する。
12	事前学習	北海道の開発史について事前に調べる。
	授業内容	日本の地方圏（3）北海道の近代化
	事後学習	人口減少と経済発展の相対的低下，札幌一極集中化について整理する。
13	事前学習	九州の地域的特徴について考え，整理する。
	授業内容	日本の地方圏（4）アジアと九州圏
	事後学習	九州経済圏とアジア経済圏の結びつきと発展過程について整理する。
14	事前学習	アジアと日本の社会的・歴史的結びつきについて考察する。
	授業内容	日本と世界（1）アジアの工業化と日本の地域的対応
	事後学習	アジアの地域経済圏と日本・中国・韓国との関係について整理する。
15	事前学習	日本の都市・農村の特色・展開状況について改めて考察してみる。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	都市と農村，中央と地方の関係，変動について整理する。

科目名	哲学Ⅰ	担当者	江川 晃	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	私たちの世界は、スマホ、インターネット、TVなどの科学・技術により植民地化されつつある。問題は、科学・技術が人類の幸福に役立つという本来の目的を忘れ、我が物顔で幅を利かしていることである。いま、私たちに必要な能力は、経済第一主義と結びついた科学・技術崇拜に陥らず、科学・技術を社会的かつ個人的にコントロールする「哲学力」である。特に哲学Ⅱでは、現代哲学を取り上げる。				
授業目的・到達目標	科学はギリシャの自然哲学にそのルーツがある。アテナイの哲学になると人間の道徳・倫理に問題が移る。中世になると、ギリシャ哲学とキリスト教が合体し、宗教が理性化される。近世では、科学革命により、科学的真理が発見されるに至り、人間の理性が哲学の中心的問題へと発展する。現代では、理性だけではなく、実存や行動、そして論理、言語、コンピュータとの対比を通して、人間が哲学的に考察されている。この授業の目的は、哲学と宗教と科学の関係という根本的問題を把握し、現代文明に振り回されずに、自由に創造的に生き抜く視点(哲学力)を開発することにある。				
履修条件	特になし				
授業方法	教科書とプリントによる講義。感想・意見・質問ペーパーを講義の最後に提出のこと。次回、それをもとに対話をしながら授業を進めていきたい。哲学レポートの書き方も指導します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	文書プリント、バワボプリントを配布する。			
参考書	授業中にて提示いたします。				
オフィスアワー	金曜日、授業終了後の教室にて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の復習。
2	事前学習	プリントを読んでくること。
	授業内容	哲学とは何か
	事後学習	哲学の語源と意味。
3	事前学習	プリントを読んでくること。
	授業内容	ギリシアの自然哲学1
	事後学習	哲学の発生の意義。
4	事前学習	自然哲学を把握してくること。
	授業内容	ギリシアの自然哲学2
	事後学習	タレスからデモクリトスの流れを理解。

5	事前学習	ソクラテスについて調べる。
	授業内容	ソクラテス
	事後学習	徳の定義を理解する。
6	事前学習	アイデアとは何か。
	授業内容	プラトン
	事後学習	具体的にアイデアを説明する。
7	事前学習	アリストテレスとはだれか。
	授業内容	アリストテレス
	事後学習	「存在論」の理解。
8	事前学習	コペルニクス・ガリレオとは誰だ。
	授業内容	科学革命（コペルニクス・ガリレオ）
	事後学習	天動説から地動説へ。
9	事前学習	デカルトについて調べる。
	授業内容	デカルト
	事後学習	「われ思う、ゆえにわれあり」を理解する。
10	事前学習	プリントを読んでくること。
	授業内容	F. ベーコン
	事後学習	「イドラ」を理解する。
11	事前学習	プリントを読んでくること。
	授業内容	カント
	事後学習	「純粋理性」を理解する。
12	事前学習	プリントを読んでくること。
	授業内容	キルケゴールの実存主義
	事後学習	「実存」の理解。
13	事前学習	プリントを読んでくること。
	授業内容	実存の三段階
	事後学習	「挫折」の必要性。
14	事前学習	課題を選択してくる。
	授業内容	哲学レポートの書き方 1（まとめ）
	事後学習	書き始めよう。
15	事前学習	完成させる。
	授業内容	授業補足と後期内容予告 前期レポート提出
	事後学習	反省。

科目名	哲学 I	担当者	岡山 敬二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「人間とは何か」という問いを大きなテーマにしなが、人間と機械や生物との違い、人間と自然や生物とのつながりについて、様々な角度から考察してゆく。その手がかりとして、人間特有の認識機能や言語能力、身体存在としての人間のあり方、人間と自然や世界との関係性について問い、考えてゆく。				
授業目的・到達目標	医療技術の進歩や人権意識の深まりによって、脳死や臓器移植、遺伝子組み換えの問題など、生命の意味を問いなおす機会が増え、人間を含めた生命体を一つの機械のように考えようとする機械論的自然観の限界に気づかされつつある。こうした状況を見据えなが、常識や科学知の前提を越えて、人間と世界のありようを根本から見つめなおす哲学的な視野を身につけることを目的とする。その手がかりとして、心と身体の関係について哲学的に考察する。常識や科学知の可能性と限界を見つめなおし、既成の観点にしばられずに、様々な立場を比較・検討できるようになる。				
履修条件	哲学への関心と学習意欲をもっていること。私語、遅刻厳禁（ばあいによっては減点対象にする）。				
授業方法	授業内容のレジュメを配布し（※共有フォルダからも入手可）、それに沿って講義を中心にすすめてゆく。リアクションペーパーにより質問、意見、感想等を提出してもらい、それに返答する機会を設け、一緒に問題を考えてゆきたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業内容の要点を理解し、それを自分の言葉でしっかりと表現できているかを見る。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年8月6日	亜紀書房		人間が人間でなくなるとき フッサールの影を追え、とメルロ=ポンティは言った	岡山敬二
	備考	上記教科書のみ定期試験で持ち込み可とするが、教科書の内容だけでは合格点に達する答案を準備できない点に十分注意すること。教科書の説明にはない講義内容についての理解も必要となる。			
参考書	木田元・須田朗編著『基礎講座 哲学』（ちくま学芸文庫）。その他、必要なものについては授業のなかでそのつど紹介してゆく。				
オフィスアワー	原則として火曜日12：00～13：00、土曜日12:00～13:00（休暇期間は電子メールで相談の上対応する）。事前に電子メールでの連絡を踏まえ対応する。 研究室（本館6階1612）okayama.keiji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス ——授業内容や評価方法などの説明。
	事後学習	ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。
2	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。人間とは何か、哲学とは何かについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	「人間らしさ」とは ——人間とは何かという問いと哲学の問いの関係について考える。
	事後学習	人間とは何かという問いがどうして哲学のテーマになるのかという意味について確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
3	事前学習	デカルトやニーチェとはどういう哲学者であったのかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	哲学的人間観 ——デカルトとニーチェの人間観を比較、検討する。
	事後学習	デカルトとニーチェの人間観の違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
4	事前学習	デカルトの哲学、とくに「われ思う、ゆえにわれあり」という命題の意味を調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	「私」という存在 ——デカルトの「われ思う、ゆえにわれあり」という命題について考える。
	事後学習	デカルトのいう、私の存在の確実性、「われ思う、ゆえにわれあり」という真理の意味について確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

5	事前学習	人間と動物との違い、心や利害意識、言語能力とは何かについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	人間はどこまで動物か　——動物に心や利害、言語能力はあるのか。
	事後学習	動物における心や利害、言語能力の有無についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
6	事前学習	言語とは、認識とは何かについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	人間らしさの基準とは　——言語と認識について考える。
	事後学習	言語と認識がどうして人間らしさの基準になるのか、その意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
7	事前学習	ヒト（ホモ・サピエンス）の誕生について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	人類の「心」の歴史　——人類の心の歴史をたどりながら、動物の行動と人間の行動を比較し、その違いについて考える。
	事後学習	霊長類学の知見から考察される、動物と人間との違いについてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
8	事前学習	ここまでの講義内容を振り返り、人間と機械や動物との違いについてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括　——授業内容のまとめ。
	事後学習	人間と機械や動物との違いについてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
9	事前学習	心（精神）と身体（肉体）と物質の違いや関係について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	心と身体　——身心問題の歴史的背景を確認し、その意味について考える。
	事後学習	身心問題の意味について確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
10	事前学習	心（精神）と身体（肉体）や物質とはどうつながるのかについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	デカルトを越えて　——デカルトの身心関係論の問題や限界を探る。
	事後学習	デカルトの身心関係論の問題や限界の意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
11	事前学習	物質と身体（肉体）との違いについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	生きられる身体へ　——物体存在ではない、内面としての「私」によって裏打ちされた身体のあり方について考える。
	事後学習	内面としての「私」に裏打ちされた身体についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
12	事前学習	表情や表現とは何かについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	「世界内存在」としての身体　——身体表現から自と他の関係について考える。
	事後学習	表現における心と身体との一体性、自己と他者との絆としての表現についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
13	事前学習	幻影肢という現象、ゲシュタルトという概念とはどういうものかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	身体図式とは　——感覚連合説の難点とゲシュタルトとしての「身体図式」について考える。
	事後学習	ゲシュタルトとしての身体図式についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
14	事前学習	フッサールとはどういう哲学者であったのかを調べておくこと。日常生活の世界と科学的世界との違いや関係について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	生きられた世界　——フッサールの「生活世界」の意味と役割について考える。
	事後学習	生活世界と科学的、客観的な世界との違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
15	事前学習	講義内容の全体を振り返り、人間と機械や動物との違いや関係についてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括　——授業内容のまとめ。定期試験の出題範囲や傾向、対策などの説明。
	事後学習	人間と機械や動物との違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

科目名	哲学 I	担当者	金子 佳司	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	哲学の源流である古代ギリシア哲学の歴史をたどります。すなわち、伝統的に哲学の始まりとされているミレトス派から始めて、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、さらに、ヘレニズム時代の代表的な哲学であるストア派とエピクロスまでをたどり、そもそも哲学とは何であったかを学びます。				
授業目的・到達目標	「哲学とは何か」という問いに対しては、これまで様々な答えが提出されてきましたが、未だに正解といえる答えはありません。そこで、歴史的事実として、もともとどのような知的活動が「哲学（philospphia）」と呼ばれるようになったのかを確かめることがこの授業の目的です。 哲学の源流である古代ギリシア哲学を理解することがこの授業の目標です。				
履修条件	本当に上記の〔到達目標〕の問題に取り組んでみようという人だけが受講してください。				
授業方法	授業は講義形式で行ないますが、できるかぎり学生のみなさんとの対話を取り入れながら、いっしょに問題を考えていきたいと思います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業中に取り上げた事項や問題がしっかり理解できているかどうか、またその理解したことを自分の言葉で的確に表現できているかどうかを定期試験で判定します。	
	平常評価		30%	授授業中に行なう小テスト（4回行なう予定）で評価します。なお、やむをえない事情があつて小テストを受けられなかった場合は必ず速やかに申し出ること。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	1994	北樹出版	西洋思想の要諦周覧		嘉吉純夫・斎藤隆
	備考				
参 考 書	授業中に随時紹介します。				
オフィスアワー	木曜日 2 部 1 限の前後の休み時間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを読んで、授業の内容を十分に把握する。
	授業内容	ガイダンス（授業計画や評価方法などの説明） 序論 哲学とは何か。哲学はいつ始まったのか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
2	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ミレトス派 —— 万物は何からできているのか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
3	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ピュタゴラス —— 万物は数で成り立っている。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
4	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ヘラクレイトス —— 万物は流転する。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

5	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	エレア派 —— 生成消滅は起こらない。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
6	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	エンペドクレスとアナクサゴラス —— 自然哲学はいかにして成立しうるのか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
7	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	レウキッポスとデモクリトス —— 古代原子論の成立
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
8	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ソフィストとソクラテス —— ソフィストは哲学者か。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
9	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	プラトン(1) 現実を考える視座としてのイデア論
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
10	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	プラトン(2) ソフィストへの反論
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
11	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	アリストテレス(1) 世界観
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
12	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	アリストテレス(2) 人間観
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
13	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ストア派 —— 禁欲主義の哲学
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
14	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	エピクロス —— 快楽主義の哲学
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
15	事前学習	前回までの授業内容をノートを読み直して確認しておく。
	授業内容	授業の総まとめと理解の確認
	事後学習	授業の総まとめを振り返って、自分の理解が確かであったかどうか確認する。

科目名	哲学Ⅱ	担当者	江川 晃	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	私たちの世界は、スマホ、インターネット、TVなどの科学・技術により植民地化されつつある。問題は、科学・技術が人類の幸福に役立つという本来の目的を忘れ、我が物顔で幅を利かしていることである。いま、私たちに必要な能力は、経済第一主義と結びついた科学・技術崇拜に陥らず、科学・技術を社会的かつ個人的にコントロールする「哲学力」である。特に哲学Ⅱでは、現代哲学であるプラグマティズムと科学哲学を取り上げる。				
授業目的・到達目標	科学はギリシャの自然哲学にそのルーツがある。アテナイの哲学になると人間の道徳・倫理に問題が移る。中世になると、ギリシャ哲学とキリスト教が合体し、宗教が理性化される。近世では、科学革命により、科学的真理が発見されるに至り、人間の理性が哲学の中心的問題へと発展する。現代では、理性だけではなく、実存や行動、そして論理、言語、コンピュータとの対比を通して、人間が哲学的に考察されている。この授業の目的は、現代は哲学と宗教と科学の関係という根本的問題を把握し、現代文明に振り回されずに、自由に創造的に生き抜く視点(哲学力)を開発することにある。				
履修条件	特になし				
授業方法	教科書とプリントによる講義。感想・意見・質問ペーパーを講義の最後に提出のこと。次回、それをもとに対話をしながら授業を進めていきたい。哲学レポートの書き方も指導します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	文書プリント、バワボプリントを配布する。			
参考書	授業中に提示します。				
オフィスアワー	金曜日、授業終了後の教室にて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	C. S. パースとは誰か調べておいてください。
	授業内容	プラグマティズム1：信念は行動の規則
	事後学習	疑念・信念・習慣・行動の関連を把握する。
2	事前学習	4つの方法について調べておいてください。
	授業内容	プラグマティズム2：信念の固め方
	事後学習	それぞれの方法を復習。
3	事前学習	シネマ“MATRIX”とは何か。
	授業内容	情報記号論：シネマ“MATRIX”の哲学
	事後学習	VRの哲学、復習。
4	事前学習	ロラン・バルトとはだれか？
	授業内容	構造主義1：メディアの神話作用
	事後学習	具体例をよく考えなおしてください。

5	事前学習	流行についての予習。
	授業内容	構造主義2：モードは言語だ！
	事後学習	言語と衣服の関連の復習。
6	事前学習	ウィトゲンシュタインとは誰だ？
	授業内容	分析哲学1：事実の像が命題だ！
	事後学習	「写像理論」の復習。
7	事前学習	カール・ポパーとは誰だ。
	授業内容	分析哲学2：なぜ占いは非科学なのか
	事後学習	「反証可能」はなぜ科学的？
8	事前学習	A. J. オースティンとは誰だ？
	授業内容	言語行為論：話すことは同時に3つの行為をしている。
	事後学習	言語行為論の復習。
9	事前学習	心と脳の関係について考えよう。
	授業内容	心の哲学1：心は脳にあるのか
	事後学習	「心脳同一説」批判しよう。
10	事前学習	AIが心を持つとは？
	授業内容	心の哲学2：ロボットに心はあるのか
	事後学習	「機能主義」の復習
11	事前学習	脳科学と哲学について予習しよう。
	授業内容	脳神経科学を哲学する
	事後学習	「脳倫理」復習。
12	事前学習	自由意志とは何。
	授業内容	われわれに自由意思はあるのか
	事後学習	脳に責任を転嫁できるか、考えよう。
13	事前学習	iPS細胞を調べてこよう。
	授業内容	生命科学と哲学：iPS細胞は人類に幸福をもたらすか？
	事後学習	そ本主義に徳はあるのか？
14	事前学習	課題を選択してこよう。
	授業内容	哲学レポートの書き方2（まとめ）
	事後学習	書き始めよう。
15	事前学習	完成させよう。
	授業内容	授業補足とレポート提出
	事後学習	反省。

科目名	哲学Ⅱ	担当者	岡山 敬二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「人間とは何か」という問いを大きなテーマにしなが、時間とは何か、生とは、死とは何かについて、様々な角度から考察してゆく。その手がかりとして、時計的な時間と現象学的な時間との違いや関係性、形而上学的な死生観と非形而上学的な死生観、存在論と死の問題について問い、考えてゆく。			
授業目的・到達目標	医療技術の進歩や人権意識の深まりによって、脳死や臓器移植、遺伝子組み換えの問題など、生命の意味を問いなおす機会が増え、人間を含めた生命体を一つの機械のように考えようとする機械論的自然観の限界に気づかされつつある。こうした状況を見据えながら、常識や科学知の前提を越えて、人間と世界のありようを根本から見つめなおす哲学的な視野を身につけることを目的とする。その手がかりとして、時間と死の問題について哲学的に考察する。常識や科学知の可能性と限界を見つめなおし、既成の観点にしばられずに、さまざまな立場を比較・検討できるようになる。			
履修条件	哲学への関心と学習意欲をもっていること。私語、遅刻厳禁（ばあいによっては減点対象にする）。			
授業方法	授業内容のレジュメを配布し（※共有フォルダからも入手可）、それに沿って講義を中心にすすめてゆく。リアクションペーパーにより質問、意見、感想等を提出してもらい、それに返答する機会を設け、一緒に問題を考えてゆきたい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	授業内容の要点を理解し、それを自分の言葉でしっかりと表現できているかを見る。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年8月6日	亜紀書房	人間が人間でなくなるとき フッサールの影を追え、とメルロ＝ポンティは言った	岡山敬二
	備考	上記教科書のみ定期試験で持ち込み可とするが、教科書の内容だけでは合格点に達する答案を準備できない点に十分注意すること。教科書の説明にはない講義内容についての理解も必要となる。		
参考書	その他、必要なものについては授業のなかでそのつど紹介してゆく。			
オフィスアワー	原則として火曜日12：00～13：00、土曜日12:00～13:00（休暇期間は電子メールで相談の上対応する）。事前に電子メールでの連絡を踏まえ対応する。 研究室（本館6階1612）okayama.keiji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容		
1	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。	
	授業内容	ガイダンス ——授業内容や評価方法の説明。	
	事後学習	ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。	
2	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。心と身体との違いや関係について思い、考えることを整理しておくこと。	
	授業内容	心と身体 ——「哲学Ⅰ」の授業内容を振り返り、「哲学Ⅱ」の授業内容とのつながりを確認する。	
	事後学習	心と身体との違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。	
3	事前学習	時間の存在について思い、考えることを整理しておくこと。	
	授業内容	時間とは ——時間の不思議さについて考える。	
	事後学習	時間の存在の矛盾や不思議さについてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。	
4	事前学習	アリストテレスやアウグスティヌスとはどういう哲学者であったかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。	
	授業内容	時間の見方 ——アリストテレスとアウグスティヌスの時間論を比較し、その違いの意味について考える。	
	事後学習	アリストテレスとアウグスティヌスの時間論の違いの意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。	

5	事前学習	現象学とはどういう哲学的な立場なのかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	現象学の視点　——フッサールをはじめとする現象学の時間論を考察する準備として、「現象学的還元」という方法について考える。
	事後学習	現象学的還元の意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
6	事前学習	フッサールの時間論について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	内的時間意識とは　——フッサールの時間論の「把持」と「予持」について考える。
	事後学習	フッサールのいう把持と予持の意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
7	事前学習	メルロ=ポンティとはどういう哲学者であったのかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと
	授業内容	積み重なる時間　——メルロ=ポンティの時間論の「現在野」について考える。
	事後学習	メルロ=ポンティのいう現在野の意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
8	事前学習	ここまでの講義内容を振り返り、流れ去る時間と積み重なる時間との違いや関係についてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括　——授業内容のまとめ。
	事後学習	流れ去る時間と積み重なる時間との違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
9	事前学習	生と死について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	死とは　——人間存在と死の問題について考える。
	事後学習	人間存在と死の問題の関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
10	事前学習	死後の世界、魂の不死について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	魂は不死なのか　——形而上学的不死思想（プラトンなど）について考える。
	事後学習	形而上学的な死生観についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
11	事前学習	死の悪について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	死の善と悪　——非形而上学的死生観（エンペドクレス、ソクラテスなど）について考える。
	事後学習	死の善と悪についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
12	事前学習	死と時間の関係について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	死と時間　——エピクロスの死生観を確認し、死と時間意識の関係について考える。
	事後学習	死と時間意識の関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
13	事前学習	ハイデガーとはどういう哲学者であったのかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	死と存在　——ハイデガーの存在論にとっての死の問題の意味と役割について考える。
	事後学習	存在論と死の問題の関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
14	事前学習	運命や縁の存在について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	時間と運命　——ハイデガーの時間論における本来的時間性と非本来的時間性との違いや関係について考える。
	事後学習	ハイデガーのいう本来的時間性と非本来的時間性との違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
15	事前学習	授業内容の全体を振り返り、人間存在と時間や死の問題との関係について整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括　——授業内容のまとめ。定期試験の出題範囲や傾向、対策などの説明。
	事後学習	人間存在と時間や死の問題との関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

科目名	哲学Ⅱ	担当者	金子 佳司	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ルネッサンスによるギリシア哲学の復興と、それをさらに乗り越える科学革命によって始まる西ヨーロッパの近代哲学を学びます。すなわち、デカルトやイギリス経験主義の認識論、カントやヘーゲルに代表されるドイツ哲学までの近代哲学、さらには、マルクス主義と実存主義までをたどります。				
授業目的・到達目標	17世紀ころ西ヨーロッパで大きな知的変革が起き、そこで生まれた新しい考え方が、その後の世界に大きな影響を与えました。そこで、17世紀以降の西ヨーロッパの哲学とそこから生まれた近代科学の考え方を理解し、現代の私たちの考え方の歴史的な特殊性を理解することがこの授業の目的です。近代の西ヨーロッパの哲学と科学の考え方の特殊性を理解できるようにすることがこの授業の目標です。				
履修条件	本当に上記の〔到達目標〕の問題に取り組んでみようという人だけが受講してください。				
授業方法	授業は講義形式で行ないますが、できるかぎり学生のみなさんとの対話を取り入れながら、いっしょに問題を考えていきたいと思っています。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業中に取り上げた事項や問題がしっかり理解できているかどうか、またその理解したことを自分の言葉で的確に表現できているかどうかを定期試験で判定します。	
	平常評価		30%	授授業中に行なう小テスト（4回行なう予定）で評価します。なお、やむをえない事情があつて小テストを受けられなかった場合は必ず速やかに申し出ること。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	1994	北樹出版	西洋思想の要諦周覧		嘉吉純夫・斎藤隆
	備考				
参考書	授業中に随時紹介します。				
オフィスアワー	木曜日 2 部 1 限の前後の休み時間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを読んで、授業の内容を十分に把握する。
	授業内容	ガイダンス（授業計画や評価方法などの説明） 序論 近代とは何か。近代哲学はどのようにして始まったのか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
2	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	二つのルネッサンス——西ヨーロッパにおけるギリシア哲学の復興
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
3	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	科学革命と近代科学——世界観の転換
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
4	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ペイコン——「知は力である。」
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

5	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	デカルト(1)「私は考える、だから私は存在する。」
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
6	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	デカルト(2) 精神と物体の二元論（物心二元論）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
7	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ロック——経験主義に基づく認識論
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
8	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	バークリーとヒューム——経験主義の徹底化
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
9	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	フランス啓蒙主義と産業革命——近代科学の変質
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
10	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カント(1) 認識論の発展
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
11	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カント(2) 義務論
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
12	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ヘーゲル——弁証法による世界観
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
13	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	マルクス——弁証法的唯物論
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
14	事前学習	記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	実存主義——主体性の再構築
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
15	事前学習	前回までの授業内容をノートを読み直して確認しておく。
	授業内容	授業の総まとめと理解の確認
	事後学習	授業の総まとめを振り返って、自分の理解が確かであったかどうか確認する。

科目名	統計学 I	担当者	荒関 仁志	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	本講座では、従来のような数式を中心とする説明ではなく、我々の身近にあるような具体的な例（ハンバーガーショップ）を取り上げ、数式を解さず、直接表計算ソフトを使うことで、数学が苦手な人でも統計処理の「基本的な考え方を理解する」ことを目的とします。				
授業目的・到達目標	統計が身近な疑問や現象に答えてくれる、比較的身近な数学であることを理解することを目的とします。統計処理は、決して理解が難しい数学ではなく、非常に単純な数学的思考に立脚した数値処理であることを理解してください。本講座では、統計処理ではよく使われている「平均・分散」や「有意差を表す検定」について理解することを目指します。特に「検定」に関しては、その背景にある単純な仮定を理解することで、検定の「考え方」や「適用範囲」を理解します。ここでは、それらの統計処理を使って身近なデータを処理し、それによって具体的な統計処理技術の習得も目指します。				
履修条件	各自が自由に使えるパソコンがご自宅にあること。また、利用可能なパソコンにはエクセルがインストールされていることを履修の条件とします。				
授業方法	事前に指定教科書の関連箇所を熟読してから授業に臨んでください。授業では講義ノートパワーポイントを使って授業を行い、各授業の最後に確認のための簡単なレポートを提出と、不定期で課題レポートの提出を課します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行いません。	
	平常評価		100%	授業内確認レポートと、課題レポートの評価の合計を成績とします。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2007年	技術評論社	ファーストブックシリーズ統計学がわかる		向後千春、富永敦子
	備考				
参考書	・『挫折しない統計学入門』、浅野晃著、オーム社 ・必要に応じて補助プリントを配布します。				
オフィスアワー	授業内容に関する不明な点や課題レポートに関する質問は、授業内で行うか、以下のメールでご質問ください。なお、メールでの質問には、学部名、学科名、学生番号と氏名を必ず明記してください。 araseki.hitoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	統計に関する各自の考えをまとめてください。 これに関しいては、授業内で確認レポートとして皆さんに解答してもらいます。
	授業内容	統計と確率の関係について講義を行います。 特に、統計から導かれる確率の考えが、個人の意思決定に利用できない理由等、統計処理の問題点を講義で明らかにします。また、指定教科書についての説明も行います。さらに、各自のパソコンのエクセルで「データ分析」が使えるようにするための設定手順も合わせて講義します。
	事後学習	今日の授業ノートを再度読み返し、統計に関する各自の考えをまとめてください。
2	事前学習	指定教科書の第1章を熟読してください。特に、「1－1 平均を調べる」と「1－2 度数分布」については、各自理解をして授業に臨んでください。
	授業内容	平均と分散、特に分散についての重要性について講義します。また、分散や標準偏差の考えと計算方法、その意味について講義を行います。
	事後学習	確認レポートで提出した「統計処理手順」を、再度自宅のパソコンで計算できるようにしてください。
3	事前学習	今日の授業で講義を行い、下記の単語を予めインターネットなどで調べてください。 ・正規分布 ・大数の定理 ・中心極限定理
	授業内容	統計分布としての正規分布、大数の定理と中心極限定理
	事後学習	統計処理における「データの正規性」が重要な役割を果たします。 データの正規分布と中心極限定理が密接な関係にあることを理解し、身の回りの正規分布を示すデータを探してみてください。

4	事前学習	指定教科書第2章を熟読して下さい。
	授業内容	データが従う統計分布が理解できると、それを利用した区間推定と信頼区間の考えを導入することができます。この信頼区間に考えが、有意差検定の基本であることを講義します。
	事後学習	この区間推定と信頼区間（と棄却域）は、有意差検定の根幹を成す考えですので、再度講義ノートを確認してください。
5	事前学習	指定教科書の第3章の「3－1」を熟読してください。 また、先週講義した「信頼区間」についても再度確認しておいてください。
	授業内容	有意差検定の考え方の基本を講義します。 第4回に講義した「信頼区間」との関係を講義します。 また、有意差検定の考え「帰無仮説」や「対立仮説」についても講義します。
	事後学習	今日の授業が、統計Ⅰの要となります。 「統計分布」と「信頼区間」の考えが重要なつながりがあることを再確認してください。
6	事前学習	指定教科書の第3章「3－2」と「3－3」を熟読してください。
	授業内容	カイ2乗検定の考え方を講義します。 有意差検定の最も基本になる考えを、このカイ2乗検定を使って具体的に説明します。
	事後学習	カイ2乗検定を理解してください。特に、授業内レポートについて再度確認をしてください。
7	事前学習	指定教科書の第3章「3－4」を熟読してください。特に計算について理解をしてください。
	授業内容	カイ2乗検定の計算の実際を講義します。 特に、実際のデータを使って、カイ2乗検定の具体的な計算方法の手順を講義します。
	事後学習	課題レポートが課されますので、各自のパソコンで、課題レポートを計算して指定された方法で、締め切り日までに課題を提出してください。
8	事前学習	指定教科書の第4章を熟読してください。 特に、計算方法について理解をしてください。
	授業内容	有意差検定で、最も利用されている「t検定（対応なし）」の考え方を講義します。 特に、正規分布とt分布、その信頼区間の関係について詳しく講義します。
	事後学習	次の課題レポート課題に関係しますので、必ず「t検定」の仕組みを理解してください。
9	事前学習	第8回の講義内容と指定教科書第4章を再度読み返してください。
	授業内容	実際のデータを使った「t検定（対応なし）」の計算方法について講義します。 計算の手順と、エクセルにおける「データ分析」を使った計算方法も講義します。 その上で、計算結果の解釈方法も講義します。また、「t検定（対応なし）」の前提条件である「等分散性」についても説明します。
	事後学習	課題レポートが課されますので、各自のパソコンで、課題レポートを計算して指定された方法で、締め切り日までに課題を提出してください。
10	事前学習	指定教科書第5章を再度読み返してください。
	授業内容	実際のデータを使った「t検定（対応あり）」を使った計算方法も講義します。 その上で、計算結果の解釈方法も講義します。さらに、第9回講義に「t検定（対応なし）」との違いについても講義します。
	事後学習	課題レポートが課されますので、各自のパソコンで、課題レポートを計算して指定された方法で、締め切り日までに課題を提出してください。
11	事前学習	指定教科書第6章を熟読してください。
	授業内容	多変量の有意差検定である「分散分析」の考え方を講義します。 特に「t検定」との違いと、「分散分析」の考え方を講義します。 特にF分布とF値の考えを理解することを目的とします。 また、分散分析の前提条件である等分散性についても講義します。
	事後学習	F分布の成り立ちと信頼区間との関係を確認してください。 この理解は、第12回以降の講義に必須です。
12	事前学習	指定教科書第6章を再度読み返してください。
	授業内容	実際のデータを使った「分散分析（1要因）」についての計算方法を講義します。 特に「等分散検定」と「分散分析」の計算手順についても解説します。
	事後学習	課題レポートが課されますので、各自のパソコンで、課題レポートを計算して指定された方法で、締め切り日までに課題を提出してください。
13	事前学習	指定教科書第7章を熟読してください。 特に「交互作用」について理解してください。
	授業内容	「分散分析（2要因）」について「分散分析（1要因）」との違いについて講義を行います。 特に「分散分析（多要因）」で現れる「交互作用」について詳しく説明します。
	事後学習	「分散分析（2要因）」の仕組みと「交互作用」について理解してください。 この理解は、第12回以降の講義に必須です。
14	事前学習	指定教科書第7章を再度読み返してください。
	授業内容	実際のデータを使った「分散分析（2要因）」についての計算方法を講義します。 特に「交互作用」について詳しく説明します。
	事後学習	課題レポートが課されますので、各自のパソコンで、課題レポートを計算して指定された方法で、締め切り日までに課題を提出してください。

15	事前学習	今まで講義について、どのような統計処理が、どのようなデータ分析に利用可能かを整理しておいてください。
	授業内容	総復習として、半年間行った講義内容を、データ分析の立場から講義します。 この講義によって、統計分析の適用範囲を正しく理解することを目指します。
	事後学習	講義内レポートと課題レポートをまとめてください。

科目名	統計学 I	担当者	廣瀬 毅士	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	さまざまな施策の立案には正しい現状認識が前提となるが、そのためには適切な情報が必要である。それらの情報は、社会についてのデータを分析することによって得られる。この授業では社会調査のマイクロデータを素材にして社会のありかたを把握するための統計量を計算する方法を実践的に学ぶ。				
授業目的・到達目標	基本的な統計量について、その意味や計算方法を理解し、説明できるようになる。 自分の問題意識や仮説の検証に適した統計量を選択し、PCを用いて計算できるようになる。 社会調査データを用いて、基礎的集計や統計量から社会の現状について把握できるようになる。				
履修条件	特に条件を設定しない。				
授業方法	講義およびパソコンを用いた実習を組み合わせる。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		60%		統計学の基本知識と実践的理解が身についているか判定する。
	平常評価		40%		授業への参加態度はもちろん、授業期間内に課す小課題で判定する。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	オーム社		社会調査のための統計データ分析	廣瀬毅士・寺島拓幸
	備考				
参考書	授業期間内に適宜指定する。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	統計学とはどのようなものか、ネット上のwebサイトなどで調べてみる。
	授業内容	授業の全体的な流れのほか、記述統計学の考え方の基礎について学ぶ。
	事後学習	統計学が社会においてどのようなことに用いられているか、ネット上のwebサイトなどで調べてみる。
2	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	社会調査とマイクロデータの基礎知識について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
3	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	代表値（平均値、メディアン、モードなど）について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
4	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	散らばりの指標（レンジ、分散、標準偏差）とデータの標準について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。

5	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	散らばりの指標とデータの標準化について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
6	事前学習	これまでに学習した、教科書の該当箇所を再度読んでおく。
	授業内容	小括として、ここまでの復習を行う。
	事後学習	ここまでの内容で理解できていなかった点があれば教科書の該当箇所ですでに再度学習する。
7	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	データを視覚化する手段として、グラフによる表現について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
8	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	データを視覚化する手段として、グラフ表現の注意点を学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
9	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	量的変数の共変動とその強さとして、共分散と相関係数の考え方について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
10	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	質的変数をまとめる手法として、度数分布表について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
11	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	質的変数の関連をみる手法として、クロス集計表について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
12	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	クロス集計における関連の強さについて学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
13	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	クロス表で第3変数の影響を統制する手法として、エラボレイションについて学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
14	事前学習	前回指定した教科書の該当箇所を事前に読んでおく。
	授業内容	分析結果のまとめ方について学ぶ。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、授業時間内で指定した小課題を完成する。
15	事前学習	これまでに学習した、教科書の該当箇所を再度読んでおく。
	授業内容	全体のまとめを行う。
	事後学習	授業で学んだことをふり返り、期末試験あるいは最終課題についての注意点を整理する。

科目名	統計学Ⅱ	担当者	荒関 仁志	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	最近のコンピュータの高性能化に伴い、高性能な統計ソフトを自由に利用できるようになってきました。その結果、今までは利用するのが難しかった、多変量解析などが簡単に誰でもが利用できるようになりました。本講座では、『多変量解析』における「回帰分析」，「相関係数」や「因子分析」などを，身近な具体例を使い，なるべく数式を介さずに表計算ソフトを利用することで，その基本的考え方を理解することを目指します。			
授業目的・到達目標	本講座では，実際に様々な統計処理で使われることが多い「多変量」の統計処理について学習します。特に，「相関」，「重回帰分析」や「因子分析」についての考え方や処理方法の取得を目指します。 多くの学生が統計を嫌いになるきっかけとなっているのが，この「多変量統計解析」ですが，その理論的背景を理解することで，多変量解析が単純な数学的仮定（線形関係）の上に成り立っていることを理解してください。その上でこれら線形関係を解くための数学が「線形代数」に起因することを理解し，その線形代数の手法が「最小2乗法」や「（座標）回転」や「固有値」と関係することを講義します。			
履修条件	統計Ⅰを受講していること。また，各自が自由に使えるパソコンがご自宅にあること。 なお，利用可能なパソコンにはエクセルがインストールされていることを履修の条件とします。			
授業方法	事前に指定教科書の関連箇所を熟読してから授業に臨んでください。授業では講義ノートパワーポイントを使って授業を行い，各授業の最後に確認のための簡単なレポートを提出と，不定期で課題レポートの提出を課します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は行いません。	
	平常評価	100%	講義内レポートとレポート課題が課されます。レポート課題の評価を成績とします。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008年	技術評論社	ファーストブックシリーズ統計学がわかる 【回帰分析・因子分析編】	向後千春，富永敦子
	備考			
参考書	『挫折しない 統計学入門』、浅野晃著、オーム社			
オフィスアワー	授業内容に関する不明な点や課題レポートに関する質問は、授業内で行うか、以下のメールでご質問ください。なお、メールでの質問には、学部名、学科名、学生番号と氏名を必ず明記してください。 araseki.hitoshi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	多変量解析について、各自インターネットで調べておいてください。
	授業内容	本講義で行う「多変量解析」について講義を行います。 指定教科書のについて解説します。 また、各自のパソコンでの統計処理を行うための設定についても説明します。
	事後学習	第2回の講義までに各自のパソコンの設定を確認してください。
2	事前学習	指定教科書の第1章を熟読してください。
	授業内容	教科書の例題を参考に、データに構造を表す「散布図と相関」について講義します。 特に、データ間に関係がデータ解析に重要な要素であることを理解します。
	事後学習	様々なデータに関する散布図を作成し、その背景にある相関関係を調べてください。
3	事前学習	指定教科書に第3章を熟読してください。
	授業内容	前回講義の「散布図」を基に、より定量的である「相関係数」について解説し、その計算方法を説明します。また、偏差積についても講義します。
	事後学習	相関係数の計算方法を確認してください。その場合、指定教科書の確認テストを計算することをお勧めします。
4	事前学習	指定教科書の第3章を熟読してください。 また、統計Ⅰで講義した「有意差検定」について確認してください。
	授業内容	相関検定で、より定量的に判断できる「無相関検定」について講義します。 この「無相関検定」を行う場合には、前期で学習した「有意差検定」を利用することを解説します。
	事後学習	課題レポートを課しますので、必ず締め切り日までに課題レポートを提出してください。

5	事前学習	指定教科書の第4章を熟読してください。
	授業内容	講義では「回帰分析」の考え方を講義します。特に計算の要となる「最小二乗法」について詳しく説明します。
	事後学習	回帰分析は何を計算できるのかを理解してください。特に、データからの推測が可能な統計処理であることを理解してください。
6	事前学習	指定教科書の第4章を再度読んでください。
	授業内容	本講義では、実際のデータを使った「単回帰分析」についての具体的な計算方法について講義します。また、この単回帰分析と相関係数との関係についても解説します。
	事後学習	課題レポートを課しますので、必ず締め切り日までに課題レポートを提出してください。
7	事前学習	指定教科書の第5章を熟読してください。
	授業内容	ここでは「偏相関」についての考え方と、その数学的意味を講義します。また、「偏相関」の計算方法についても解説します。
	事後学習	偏相関の考えは少々複雑で理解し難いので、必ず「確認テスト」を計算して、偏相関の理解を確実にしておいてください。
8	事前学習	指定教科書の第6章を熟読してください。
	授業内容	ここでは「重回帰分析」の考え方と計算方法を講義します。特に、重回帰分析での「説明変数の線形性の仮定」について詳しく講義します。また、重回帰分析で重要な条件である「多重共線性」についても解説します。
	事後学習	「重回帰分析」の考え方を理解してください。必要なら「確認テスト」で各自確認をしてください。
9	事前学習	指定教科書の第6章を再度読んでおいてください。
	授業内容	実際のデータを使って「重回帰分析」の計算方法を講義します。ここでは1ステップずつの計算方法を説明し、その後でエクセルの「データ分析」を使った計算方法も説明します。
	事後学習	課題レポートを課しますので、必ず締め切り日までに課題レポートを提出してください。
10	事前学習	指定教科書の第7章を熟読してください。
	授業内容	多変量解析における「相関行列」について講義します。第3回の講義で説明した「相関」との関係を解説し、「相関行列」の利用方法を解説します。
	事後学習	第7章の「確認テスト」を各自解答し、「相関行列」を理解してください。
11	事前学習	指定教科書の第8章を熟読してください。
	授業内容	「因子分析」の考え方を講義します。特に、因子分析の意味と、その結果の解釈の方法も解説します。また、「因子分析」の解法の基本である「行列式の解法」についても解説します。
	事後学習	因子分析の理解自体は難しくありませんが、その計算方法が非常に面倒ですので、不明な点などがありましたら、再度教科書を読んで確認してください。
12	事前学習	指定教科書の第8章を再度読んでください。
	授業内容	「因子分析」の計算方法について、教科書を参考に、手順を追って計算方法を講義します。また、因子分析の解釈の方法も合わせて解説します。
	事後学習	課題レポートを課しますので、必ず締め切り日までに課題レポートを提出してください。
13	事前学習	「主成分分析」は、指定教科書にはありません。事前に「資料」を配布しますので、それを熟読してください。
	授業内容	「因子分析」と非常に近い多変量解析として「主成分分析」を説明します。また、因子分析では何が分るのかも説明します。
	事後学習	配布資料を再度読んで、因子分析との違いを理解してください。
14	事前学習	配布資料と指定教科書の第8章を再度読んでください。
	授業内容	ここでは、「主成分分析」の計算方法と「主成分分析」との違いを講義します。また、実際のデータを使って、この2つの分析を行い、その違いを具体的に説明します。
	事後学習	どのような時に、因子分析と主成分分析を使い分けるのかを、各自理解してください。
15	事前学習	今まで講義について、多変量解析において、どのような統計処理が、どのようなデータ分析に利用可能かを整理しておいてください。
	授業内容	総復習として、半年間行った講義内容を、多変量解析の立場から講義します。この講義によって、多変量解析の適用範囲を正しく理解することを目指します。
	事後学習	講義内レポートと課題レポートをまとめてください。

科目名	統計学Ⅱ	担当者	廣瀬 毅士	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	さまざまな施策の立案には正しい現状認識が前提となるが、そのためには適切な情報が必要である。それらの情報は、社会についてのデータを分析することによって得られる。この授業では社会調査のマイクロデータを素材にした統計量の計算を用いて、社会について仮説を立て推論するための基本的なデータ分析手法について学ぶ。				
授業目的・到達目標	推測統計学の論理や手法を理解し、PCを用いて自分で計算できるようになる。 推測統計学によって「一部」から「全体」について推論し、仮説検証する方法を身につける。 社会調査データを用いて、自ら仮説を立ててデータ分析を通じた検証ができるようになる。				
履修条件	特に条件を設定しないが、統計学Ⅰを事前に履修しておくことを強く推奨する。				
授業方法	講義およびパソコンを用いた実習を組み合わせる。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		60%		統計学の基本知識と実践的理解が身についているか判定する。
	平常評価		40%		授業への参加態度はもちろんのこと、授業期間内に課す小課題で判定する。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	市販の教科書を指定せず、担当教員が作成・配布する資料によって授業を行う。			
参考書	授業期間内に適宜指定する場合がある。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	推測統計学とはどのようなものか、ネット上のwebサイトなどで調べてみる。
	授業内容	授業の全体的な流れのほか、推測統計学の考え方の基礎について学ぶ。
	事後学習	推測統計学が社会でどのようなことに用いられているか自ら考え、調べてみる。
2	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	標本抽出、とくに無作為標本抽出の考え方について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
3	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	確率論の基礎として、その基本的な概念と用語、基礎的な計算について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
4	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	確率変数の期待値や分散などについて学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。

5	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	主要な確率分布や、Excel関数を用いた計算について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
6	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	標本抽出に関連して、標本統計量と標本分布、中心極限定理について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
7	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	統計的推定の基礎として、点推定と区間推定、標本統計量と母数、母平均の推定について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
8	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	統計的推定の応用として、母比率の推定や標本サイズの決め方について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
9	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	統計的検定の基礎として、統計的検定の基本的な考え方、統計的検定の手順について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
10	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	統計的検定の具体的な方法、第一種の過誤・第二種の過誤、検定の方法、統計的有意性の概念について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
11	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	母平均の差の検定の手法として、小標本の場合に用いられる t 検定の手順について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
12	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	分散分析の考え方やその手順、多重比較の考え方について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
13	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	クロス表の2変数の独立性の検定方法として、統計的独立の下での期待度数の考え方、ピアソンのカイ二乗値の計算、カイ二乗検定の論理と方法についてについて学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
14	事前学習	事前配布する授業資料を事前に読んでおく。
	授業内容	相関係数、無相関検定、回帰分析の基礎、回帰係数の検定について学ぶ。
	事後学習	学んだことを授業資料でふり返し、授業時間内で指定した小課題があればそれを完成する。
15	事前学習	これまでに学習した、授業資料の該当箇所を再度読んでおく。
	授業内容	全体のまとめを行う。
	事後学習	授業で学んだことをふり返し、期末試験についての注意点を整理する。

科目名	日本の近現代 I	担当者	大岡 聡	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	以下のような問いを念頭に置きながら、日本の国民国家形成過程とその問題点を検討する。 ①ヨーロッパとの関係で日本はどのような道を選び取ったのか、それはアジアとの関係にどのような影響を与えたか。そのことの持つ意味は何か。 ②日本が選び取った道筋は、ふつうの人びとの生き方や価値観にどのような変化を与えたか。そのことの持つ意味は何か。				
授業目的・到達目標	①日本の近代のあゆみについての基本的な認識を獲得する。 ②日本社会の「いま」と「未来」を考えると歴史的な思考が大切である、ということを理解する。				
履修条件	特になし。日本史の学習歴は問わない。義務教育終了程度の常識を前提として講義する。				
授業方法	毎回レジュメと史料を配布し、なるべく一話完結式で進めるようにする。配布の史料の他、パワーポイントを用いて、写真、音声、映像などの教材も使用したい。講義中に小レポートやコメントカードの提出を課すことがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験を実施する。 オプションとして読書レポートを提出することができる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	教室で紹介するが、さしあたり井上勝生『幕末維新』、牧原憲夫『民権と憲法』、原田敬一『日清・日露戦争』（以上岩波新書）を薦める。				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（履修案内・注意事項・文献紹介）
	事後学習	ガイダンス資料をよく復習しながら、履修を検討する。
2	事前学習	前回配布資料とシラバスを熟読する。
	授業内容	第一部 近代社会の形成・イントロダクション
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「内憂」と「外患」（その1）——幕末の社会情勢と正統性の危機
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
4	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「内憂」と「外患」（その2）——世界史のなかの「開国」
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。

5	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	公論・尊王・世直し——開国後の政治社会情勢と維新政権の課題
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
6	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「国民」になるということ——<国民化>と国民国家形成の課題
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
7	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	文明開化論——対外的自立と<文明化>
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
8	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「文明」への懐疑——明治前期の民衆運動と「近代」
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
9	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「国民」の誕生？——自由民権と明治憲法
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
10	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	<文明化>と対アジア論——征韓論・興亜論・脱亜論・小国主義
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
11	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「欧化」と「国粹」——明治ナショナリズムについて
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
12	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	日清戦争論——「文明戦争論」とその実態
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
13	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	東アジア国際情勢の変化と日露戦争
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
14	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	日比谷焼打事件——20世紀の開幕
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
15	事前学習	プリントやノートに沿って、前期の講義内容を復習する。
	授業内容	まとめ・テスト
	事後学習	プリントやノートで講義内容を振り返りながら答案の自己採点・自己評価をする。

科目名	日本の近現代Ⅱ	担当者	大岡 聡	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	【近代社会の変容と「大日本帝国」の崩壊】20世紀初頭、世界の諸帝国の仲間入りをした日本は、それゆえ国内外にさまざまなジレンマを抱え込むことになり、これに規定されて内政・外交にわたる針路の変更を繰り返した。「帝国日本」は結局破局への道を歩むことになるが、その過程では現代日本社会につながるような社会変容も起きている。20世紀前半の日本の歩みと、それを規定した基本的な要因を検討する。				
授業目的・到達目標	①日本の近代社会の特徴についての基本的な認識を獲得する。 ②近代社会から現代社会への変容についての基本的な認識を獲得する。 ③日本社会の「いま」と「未来」を考えると歴史的思考が大切である、ということを理解する。				
履修条件	特になし。日本史の学習歴は問わない。				
授業方法	毎回レジュメと史料を配布し、なるべく一話完結式で進めるようにする。配布の史料の他、写真や音声、映像などの教材も使用したい。講義中に小レポートやコメントカードの提出を課すことがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験を実施する。 オプションとして読書レポートを提出することができる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	教室で紹介するが、さしあたり成田龍一『大正デモクラシー』、加藤陽子『満州事変から日中戦争へ』、吉田裕『アジア・太平洋戦争』（以上岩波新書）を薦める。				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	近代社会の変容・イントロダクション
	事後学習	プリントを見直して、履修を検討する。
2	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	多民族国家としての日本——「帝国」になるということ
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「帝国」の内実——日本の植民地主義と植民地支配
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
4	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「裏日本」「東北」とは何か——地域の不均等発展
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。

5	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	帝国主義世界の変容と日本の針路——第一次世界大戦のインパクト
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
6	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「職工」になること——労働者意識の変容
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
7	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	草の根のデモクラシー——「改造」・「解放」の願望
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
8	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	帝国のデモクラシー——普選体制論
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
9	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	岐路に立つ帝国日本——満州事変の歴史的意義
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
10	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	戦争拡大の構図——日中全面戦争
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
11	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	アジア・太平洋戦争論
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
12	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	総力戦体制と国民生活
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
13	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	「大日本帝国」の崩壊
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
14	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	戦争体験と戦後デモクラシー
	事後学習	プリントやノートに沿って、講義内容を文章化するなどして、復習する。
15	事前学習	プリントやノートに沿って前期の講義内容を復習する。
	授業内容	まとめ・テスト
	事後学習	プリントやノートを見直して、答案の内容を自己採点・自己評価する。

科目名	日本の自然A	担当者	松本 太	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本各地の自然環境について、気圏環境の側面からとらえ、それらと人間活動とのかかわりを含め講義する。				
授業目的・到達目標	講義では、日本の気候のなりたちや自然環境に関する基本的事項を理解し、今後学んでいく環境に関連する科目への展開がはかれるようにします。				
履修条件	外国人留学生のみ				
授業方法	講義形式で行います。ビデオやDVDなど視聴覚資料も用います。進行状況により授業内容を変更することがあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題の提出状況、学習意欲、授業への参加状況等を評価の対象にします。 自然環境に関する基礎知識が身についているかを判定します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しません。			
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	授業時に説明します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	前期のガイダンス
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	日本の気候のなりたち
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
3	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	日本の気候区分
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
4	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	北海道の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。

5	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	東北地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
6	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	関東地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
7	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	北陸地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
8	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	内陸地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
9	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	東海地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
10	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	近畿地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
11	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	中国地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
12	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	四国地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
13	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	九州地方の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
14	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	南西諸島の気候
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	日本の自然B	担当者	松本 太	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本各地の自然環境について、地図環境の側面からとらえ、それらと人間活動とのかかわりを含め講義する。				
授業目的・到達目標	講義では、日本の地形のなりたちに関する基本的事項を理解し、今後学んでいく自然環境に関連する科目への展開がはかれるようにします。				
履修条件	外国人留学生のみ。				
授業方法	講義形式で行います。ビデオやDVDなど視聴覚資料も用います。進行状況により授業内容を変更することがあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題の提出状況、学習意欲、授業への参加状況等を評価の対象にします。自然環境に関する基礎知識が身についているかを判定します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しません。			
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	授業時に説明します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	前期のガイダンス
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	日本の地形のなりたち
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
3	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	日本の山脈、河川、平野
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
4	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	北海道の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。

5	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	東北地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
6	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	関東地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
7	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	北陸地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
8	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	内陸地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
9	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	東海地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
10	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	近畿地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
11	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	四国地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
12	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	九州地方の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
13	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	南西諸島の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
14	事前学習	次回の授業内容について、不明な事項や用語の意味などを調べておいてください。
	授業内容	伊豆、小笠原諸島の地形
	事後学習	レジュメを読み直し、ノート（板書）の整理をしてください。
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	日本の社会A	担当者	常松 淳	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代の日本社会の基本的な仕組みと、近年の特徴を様々な角度から学ぶ。					
授業目的・到達目標	日本社会の特徴と、いま直面している問題について、人々の意識や行動に関する調査データ等を通じて理解することを目指す。現代の日本社会に関する基本的な知識を得ると同時に、日本語で書かれた文献・資料を読み解く力を身に付けることを目指す。					
履修条件	外国人留学生向けの授業である。					
授業方法	基礎的な事項については講義を行う。同時に、配付した文献・資料を受講生自身が読み解き、母国との違い等について議論することで、日本社会への理解を深める。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への参加とミニレポートによる	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	指定しない。				
参考書	講義の中で適宜紹介する。					
オフィスアワー	木曜日 16:00～17:00（本館6階1611号室）必ず事前にメールで問い合わせること。 メールアドレス：tsunematsu. jun@nihon-u. ac. jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておく
	授業内容	前期イントロダクション：授業の進め方と取り上げるトピックについて
	事後学習	授業の進め方を確認しておく
2	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会の仕組み（1）：日本社会の基本的な成り立ちと仕組み
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
3	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会の仕組み（2）：日本社会の基本的な成り立ちと仕組み
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
4	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会の仕組み（3）：日本社会の基本的な成り立ちと仕組み
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく

5	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	進む少子高齢化（1）結婚しない若者たち
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
6	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	進む少子高齢化（2）超高齢化社会
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
7	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	進む少子高齢化（3）増加する単身世帯と「孤立死」
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
8	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	進む少子高齢化（4）少子化対策は効果があったか
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
9	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	変わる働き方（1）日本型雇用慣行とその変容
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
10	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	変わる働き方（2）増える非正規雇用
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
11	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	変わる働き方（3）少子化・未婚化と働き方の変化
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
12	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の外国人（1）出入国の現状と歴史
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
13	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の外国人（2）日本のエスニックマイノリティ
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
14	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の外国人（3）外国人労働者の受け入れをめぐる
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
15	事前学習	これまでの授業で取り上げたトピックの復習
	授業内容	前期のまとめ：前期に取り上げたトピックを振り返る
	事後学習	前期に扱ったトピックについて復習しておく

科目名	日本の社会B	担当者	常松 淳	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代の日本社会の基本的な仕組みと、近年の特徴を様々な角度から学ぶ。					
授業目的・到達目標	日本社会の特徴と、いま直面している問題について、人々の意識や行動に関する調査データ等を通じて理解することを目指す。現代の日本社会に関する基本的な知識を得ると同時に、日本語で書かれた文献・資料を読み解く力を身に付けることを目指す。					
履修条件	外国人留学生向けの授業である。					
授業方法	基礎的な事項については講義を行う。同時に、配付した文献・資料を受講生自身が読み解き、母国との違い等について議論することで、日本社会への理解を深める。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への参加とミニレポートによる	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	指定しない。				
参考書	講義の中で適宜紹介する。					
オフィスアワー	木曜日 16:00～17:00（本館6階1611号室）必ず事前にメールで問い合わせること。 メールアドレス：tsunematsu. jun@nihon-u. ac. jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておく
	授業内容	後期イントロダクション：授業の進め方と取り上げるトピックについて
	事後学習	授業の進め方を確認しておく
2	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会と裁判（1）日本の法専門職
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
3	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会と裁判（2）司法制度改革
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
4	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会と裁判（3）日本人の法意識
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく

5	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本社会と裁判（4）日本人は「裁判嫌い」か？
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
6	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	学歴主義のゆくえ（1）日本の教育システム
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
7	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	学歴主義のゆくえ（2）大卒と非大卒への二分化
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
8	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	学歴主義のゆくえ（3）学歴の効用
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
9	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	学歴主義のゆくえ（4）変わる大学教育
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
10	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（1）社会階層とは
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
11	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（2）階層移動と教育
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
12	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（3）ライフスタイルの格差
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
13	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	日本の社会階層（4）健康の格差
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
14	事前学習	配付資料に目を通しておく
	授業内容	教育と社会階層
	事後学習	扱ったトピックについて復習しておく
15	事前学習	後期に取り上げたトピックを復習しておく
	授業内容	後期のまとめ：後期に取り上げたトピックのまとめ
	事後学習	日本社会の特徴を振り返る

科目名	日本の前近代Ⅰ	担当者	朴澤 直秀	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本講義のテーマは「歴史学と史料」である。具体的には、古文書や図像などのさまざまな史料（歴史研究の材料）を使ってどのように歴史研究を進めていくのか、ということの切り口にして、歴史学の特質に触れていきたい。とくに、前近代の日本の史料を中心に取り上げていく。					
授業目的・到達目標	人間の営為のなかで、どのように情報が残されていくのか。残された過去の情報をもとに、どのようにして「歴史」が明らかにされるのか、といったことについて理解を深めること。史料を通して、日本の前近代の特質に触れること。					
履修条件	担当者が後期に開講する「日本の前近代Ⅱ」とは独立した講義だが、広い意味で関連した講義としたいと考えている。単独の履修も可能だが、できれば「日本の前近代Ⅱ」と併せて履修することが望ましい。					
授業方法	講義形式で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内での到達度テストを中心に、受講態度などを勘案する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考					
参考書	講義内で適宜紹介する。					
オフィスアワー	原則として月曜日１８：００～１８：３０、ただし、必ず事前に、口頭、ないしはメールにてアポイントメントを取ること					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す。いままでに触れてきた「歴史」について、振り返っておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス時のアンケートで問われたことについて、振り返る。
2	事前学習	ガイダンスで説明された内容について、質問すべき点はなかったか、振り返っておく。ガイダンスの内容を受けて、「史料」とは何か、あらためて考えておく。
	授業内容	図像史料をよむ1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	図像史料をよむ2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
4	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	史料とは1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

5	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	史料とは2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
6	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	史料批判
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
7	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	文献史料の諸相 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
8	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	文献史料の諸相 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
9	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	文献史料の諸相 3
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
10	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	文献史料の諸相 4
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
11	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	聞き取りと史料
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
12	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	史料と史料群
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
13	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	史料と現在
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
14	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。これまでの講義内容について、質問すべき事はないか、点検しておく。
	授業内容	補足説明
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
15	事前学習	授業内に説明した問題について、いかに解答すべきかを考えておく。
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	今学期の到達度を振り返り、授業内で紹介した参考文献などに目を通して学習を深める。

科目名	日本の前近代Ⅱ	担当者	朴澤 直秀	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、「史料からみる江戸時代の村」をテーマに、いくつかの話題を取り上げ、中学・高校の教科書で取り上げられるような知識も手がかりにしながら、掘り下げて考えてみたい。そのことにより、（１）日本の村や、近世社会の特質について考えてみたい。さらに、（２）史料から歴史を読み取る、という作業に触れる、といったことも目指したい。					
授業目的・到達目標	過去の日本の社会の特質について考えてみること。それを踏まえて、現在の社会との類似点・相違点を考えることにより、現在の社会を捉え直すきっかけとすること。歴史研究において、史料を読み解くとはどういうことか、ということについて具体例から考えてみること。					
履修条件	担当者が前期に開講する「日本の前近代Ⅰ」とは独立した講義だが、広い意味で「日本の前近代Ⅰ」の内容を踏まえた講義としたいと考えている。単独の履修も可能だが、できれば「日本の前近代Ⅰ」と併せて履修することが望ましい。					
授業方法	講義形式で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内での到達度テストを中心に、受講態度などを勘案する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考					
参考書	講義内に適宜紹介する。					
オフィスアワー	原則として月曜日１８：００～１８：３０、ただし、必ず事前に、口頭、ないしはメールにてアポイントメントを取ること					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す。いままでに触れてきた「歴史」や、日本の近世に関する自分の知識について、振り返っておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス時のアンケートで問われたことについて、振り返る。
2	事前学習	ガイダンスで説明された内容について、質問すべき点はなかったか、振り返っておく。ガイダンスの内容を受けて、「日本の近世」や、「近世の村」について調べてみる。
	授業内容	江戸時代の社会 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	江戸時代の社会 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
4	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	江戸時代の書類 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

5	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	江戸時代の書類 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
6	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	村請制 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
7	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	村請制 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
8	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	村の諸相 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
9	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	村の諸相 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
10	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	領主との交渉 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
11	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	領主との交渉 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
12	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	領主との交渉 3
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
13	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	領主との交渉 4
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
14	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	補足説明
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
15	事前学習	授業内に説明した問題について、いかに解答すべきかを考えておく。
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	今学期の到達度を振り返り、授業内で紹介した参考文献などに目を通して学習を深める。

科目名	日本の文化A	担当者	浅野 充	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本では1年の各時期に、また人の生涯を通じてさまざまな行事を行っている。それらは外国人留学生にとって、知っているもの、知らないもの、なじみやすいもの、なじみにくいものもあるだろう。そこで、この科目ではそれらの行事について、テキスト購読を通じて学習していく。受講生にも意見を求めることも考えている。それ以外にも、江戸や東京について、また最新の出来事や日本独特の文化などに関しても考えていく（予備時間にて）。			
授業目的・到達目標	日本の年中行事や人生のいろいろな時期の行事について、その歴史も含めて日本の文化として理解し、説明できるようになることを目的とする。さらには日本の手紙の書き方についても学び、それにもとづき手紙を正しく書くことができるようになる。日本のいろいろな行事、しきたり、習慣の意味を知り、日本の文化、生活、社会に触れることで、有意義な留学生生活をおくれるようになる。			
履修条件	特になし。外国人留学生のみ。			
授業方法	テキスト購読を主とする。それ以外の内容についても、基本的に講義形式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	授業の内容が理解できているかどうかを判定する。 日本の文化と自国の文化を比べて、両者の違いが理解できているかどうかを確認する。	
	平常評価	30%	リアクションペーパーを毎回書いてもらう。 小テストを毎回行う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2003年	青春出版社	『日本人のしきたり』青春新書46	飯倉晴武
	備考			
参考書	参考になる書物がある場合は、テーマごとに授業の際に指示をする。			
オフィスアワー	木曜日の3限と5限（授業の前後）に対応可能です（本館2階の教員控室）にいます。 メールの場合はasano.mitsuru1@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス内容を確認しておくこと
	授業内容	授業計画などのガイダンス
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
2	事前学習	花見に行っておくことが望ましい
	授業内容	花見と日本人（最新の出来事①）
	事後学習	花見について、自分の国の習慣などと比較してみること
3	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：正月行事のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
4	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：正月行事のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること

5	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：正月行事のしきたり③
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
6	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：年中行事のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
7	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：年中行事のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
8	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：年中行事のしきたり③
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
9	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：結婚のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
10	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：結婚のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
11	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：懐妊・出産のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
12	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：懐妊・出産のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
13	事前学習	自分の住んでいる地域や日大法学部のある地域の地図をよく見ておくこと
	授業内容	予備時間①：江戸と東京
	事後学習	江戸について知りたいことを整理しておくこと
14	事前学習	配布したプリントの江戸と東京の地図をよく見ておくこと
	授業内容	予備時間②江戸と東京
	事後学習	江戸について知ったことを整理しておくこと
15	事前学習	日本の文化Aの授業内容を確認しておくこと
	授業内容	日本の文化Aのまとめ
	事後学習	日本のしきたりなどで、さらに知りたいことを整理しておくこと

科目名	日本の文化B	担当者	浅野 充	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本では1年の各時期に、また人の生涯を通じてさまざまな行事を行っている。それらは外国人留学生にとって、知っているもの、知らないもの、なじみやすいもの、なじみにくいものもあるだろう。そこで、この科目ではそれらの行事について、テキスト購読を通じて学習していく。受講生にも意見を求めることも考えている。それ以外にも、歴史都市京都について、また最新の出来事や日本独特の文化などに関しても考えていく（予備時間にて）。			
授業目的・到達目標	日本の年中行事や人生のいろいろな時期の行事について、その歴史も含めて日本の文化として理解し、説明できるようになることを目的とする。さらには日本の手紙の書き方についても学び、それにもとづき手紙を正しく書くことができるようになる。日本のいろいろな行事、しきたり、習慣の意味を知り、日本の文化、生活、社会に触れることで、有意義な留学生生活をおくれるようになる。			
履修条件	特になし。外国人留学生のみ。			
授業方法	テキスト購読を主とする。それ以外の内容についても基本的に講義形式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	授業の内容が理解できているかどうかを判定する。 日本の文化と自国の文化を比べて、両者の違いが理解できているかどうかを確認する。	
	平常評価	30%	リアクションペーパーを毎回書いてもらう。 小テストを毎回行う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2003年	青春出版社	『日本人のしきたり』青春新書46	飯倉晴武
	備考			
参考書	参考になる書物がある場合は、テーマごとに授業の際に指示をする。			
オフィスアワー	木曜日の3限と5限（授業の前後）に対応可能です（本館2階の教員控室）にいます。 メールの場合はasano.mitsuru1@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス内容を確認しておくこと
	授業内容	授業計画などのガイダンス：日本の文化Aの定期試験の返却なども行う予定
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
2	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：祝い事のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
3	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：祝い事のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
4	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：贈答のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること

5	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：贈答のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
6	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：手紙のしきたり①
	事後学習	これまでに、自分が日本で書いた手紙を思い起こしておくこと
7	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：手紙のしきたり②
	事後学習	①②の授業内容を整理しておくこと
8	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：手紙のしきたり③
	事後学習	実際に日本語の手紙を練習で書いてみること
9	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：葬式のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
10	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：葬式のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
11	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：縁起のしきたり①
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
12	事前学習	テキスト該当部分を読んでおくこと
	授業内容	テキスト購読：縁起のしきたり②
	事後学習	授業で取り扱ったしきたりについて、自分の国の習慣などと比較してみること
13	事前学習	自分が旅行などで、京都のどこに行ったかを思いだしておくこと
	授業内容	予備時間①観光都市・歴史都市の京都
	事後学習	京都について知りたいことを整理しておくこと
14	事前学習	配布プリントをよく見ておくこと
	授業内容	予備時間②観光都市・歴史都市の京都
	事後学習	今後、京都のどこに行きたいかをあらためて考えてみること
15	事前学習	日本の文化Bの授業内容を確認しておくこと
	授業内容	日本の文化Bのまとめ
	事後学習	日本のしきたりなどで、さらに知りたいことを整理しておくこと

科目名	日本文学 I	担当者	小野 美典	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	【平安・鎌倉時代の女流日記文学を読む】現代とは異なる社会体制の中で、平安・鎌倉時代の女性たちがいかに悩み、いかに生きてきたかを、本文に即して精読する。当時の女性たちの置かれた状況を知り、その苦悩の実態がどのように文学として結晶していったかを見るとともに、現代を生きる我々の思索の一助としたい。					
授業目的・到達目標	〔一〕当時の女性の置かれた状況と彼女たちの苦悩の実態を知る。〔二〕作者の思いが、どのように文学として結晶しているかを考える。〔三〕女流日記文学の特質を理解する。					
履修条件	特になし(古典の文章を扱うが、口語訳等は適宜配付する。口語訳することが目的ではなく、文学を理解するのが目的なので、高校初級程度の古典の力があれば理解できるように講義を進める)。古語辞典を持参すること。					
授業方法	プリント資料を使いながらの講義形式の授業。各自の意見をリアクションペーパーに書いて提出する（その紹介）などして、一方通行の授業にならないように注意する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上の出席を必要とする。授業内での理解度確認テストなどもあわせて総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない（担当者がプリントを用意する）。				
参考書	授業中に出来るだけ多く紹介する。					
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	図書館の資料や高校時代に使った便覧・文学史のテキストで、平安・鎌倉時代の女流日記について各自で調査して講義に臨む。
	授業内容	授業概要の説明（成績評価の方法、授業の進め方などを詳細に説明するので必ず出席すること）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
2	事前学習	藤原道綱の母、藤原兼家に関して、図書館やネットを利用して事前調査をして講義に臨む。
	授業内容	『蜻蛉日記』1——概説（作者と夫との関係。一夫多妻制の実態）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
3	事前学習	配付プリントの和歌に関して、各自で修辞技法を考えて講義に臨む。
	授業内容	『蜻蛉日記』2——町小路の女と夫の関係、作者の嘆き
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
4	事前学習	平安時代の婚姻制度に関して、図書館やネットを利用して各自で調べて講義に臨む。
	授業内容	『蜻蛉日記』3——町小路の女の懐妊、作者の苦悩
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。

5	事前学習	藤原道綱に関して、図書館やネットを利用して各自で調べて講義に臨む。
	授業内容	『蜻蛉日記』 4 ―― 町小路の女の死産、作者の思い
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
6	事前学習	菅原孝標の女に関して、図書館やネットを利用して事前調査をして講義に臨む。
	授業内容	『更級日記』 1 ―― 概説（作者について。女流日記としての特色）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
7	事前学習	配付プリントを一読して、作者の「夢」が何であるのかを考えて講義に臨む。
	授業内容	『更級日記』 2 ―― 上京の記と都への到着
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
8	事前学習	配付プリントに見られる二首の和歌が、それぞれどのような立場から読まれたものかを考えて講義に臨む。
	授業内容	『更級日記』 3 ―― 継母との別れ
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
9	事前学習	『源氏物語』の後代への影響に関して、図書館やネットを利用して事前調査をして講義に臨む。
	授業内容	『更級日記』 4 ―― 源氏物語耽読
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
10	事前学習	これまで学習した『更級日記』を読み直して、作者が求めていたものが何なのかを考えて講義に臨む。
	授業内容	『更級日記』 5 ―― 作者の結婚と物語への夢のついで
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
11	事前学習	建礼門院右京大夫に関して、図書館やネットを利用して事前調査をして講義に臨む。
	授業内容	『建礼門院右京大夫集』 1 ―― 概説（源平の争乱。作者の恋人）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
12	事前学習	平資盛に関して、図書館やネットを利用して事前調査をして講義に臨む。
	授業内容	『建礼門院右京大夫集』 2 ―― 恋人との別れ。恋人の戦死の報。
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
13	事前学習	配付プリントに見られる和歌に関して、作者の思いを考えた上で講義に臨む。
	授業内容	『建礼門院右京大夫集』 3 ―― 恋人との思い出。
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
14	事前学習	講義全体の内容を総復習した上で「授業目的・到達目標」に書かれている事項について、各自で考えて講義に臨む。
	授業内容	まとめ 1 ―― 女流日記文学の特質
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
15	事前学習	前回の講義で注意された点を復習して、講義に臨む。
	授業内容	まとめ 2 ―― 授業目的・到達目標の達成の確認
	事後学習	発展学習として、他の女流日記文学を図書館などで借りて各自で読み進めてみる。

科目名	日本文学 I	担当者	高橋 啓之	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期は言語遊戯について、韻文学（和歌・狂歌・川柳）を中心に講義する。				
授業目的・到達目標	本講座では、学生諸君がこれまであまり触れたことのない江戸の文学及び芸能について講義し、豊饒な江戸文学や歌舞伎について感得してもらうことを目的とする。日本の伝統文化を理解することができる。				
履修条件	特になし。ただし、4年生の優遇は、就職活動による欠席を含め、一切ないものとする。また、初回の講義には必ず出席すること。また、皆出席が前提であり、各期4回を超える欠席は原則として、単位を認定しない。				
授業方法	プリントやビデオを中心として講義をするが、講義ノートは必需品である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	筆記試験（70%）、授業中の課題（10%）。授業における積極性（10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	最初の講義で指示する。			
参考書	授業中に指示する				
オフィスアワー	メールによる質問、相談については授業時に説明する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読すること。
	授業内容	講義計画・評価法など
	事後学習	江戸時代について概観する。
2	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	江戸文学とは？
	事後学習	講義を踏まえてノートをまとめる。
3	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	言語遊戯について
	事後学習	講義を踏まえて復習する。
4	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	中世・近世の「なぞ」について
	事後学習	なぞについて調査する。

5	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳前夜
	事後学習	雑俳について調査する。
6	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳とは？
	事後学習	講義を踏まえて復習する。
7	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳を読む（１）歴史と川柳
	事後学習	講義を踏まえて復習する。
8	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳を読む（２）日常句と川柳
	事後学習	講義を踏まえて復習する。
9	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳を読む（３）医者と川柳・狂歌
	事後学習	狂歌についてまとめる。
10	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳を読む（４）物語と川柳
	事後学習	平家物語を概観する。
11	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳を読む（５）習俗・民間信仰と川柳
	事後学習	講義を踏まえて復習する。
12	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳と他文芸（１）歌舞伎と川柳
	事後学習	講義を踏まえて復習する。
13	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	川柳と他文芸（２）浮世絵と川柳
	事後学習	浮世絵についてレポート作成。
14	事前学習	前期内容を踏まえ、質問を用意する。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	川柳についてのレポート作成。
15	事前学習	テストのため、ノート整理。
	授業内容	授業内試験と解説
	事後学習	前期講義を復習する。今回のテーマについて予習する。

科目名	日本文学Ⅰ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生は、未来を創造する当事者である。そのための責任感や使命感は、これからも持ち続けなければならない。また、現在社会で起きている事象についても主体的に考察しながら、その解決策を見出さなければならない。本授業では、過去の事象から、問題点の解決策を見出す術を学び、未来に対しての責任感や使命感をいかに必要であるかを学ぶ。				
授業目的・到達目標	『万葉集』の宴席歌を取り上げる。万葉の時代は現代と違って、律令制に基づく厳然たる階級社会であった。文雅の世界とはいえ、身分秩序を抜きにして、歌を披露するわけにはいかなかった。従って宴席歌からは、彼らが現代とは異なる常識や価値観に支配されていたことが見えてくる。また現在と似たような人間関係が繰り広げられていたことにも気づかされる。当授業ではその両面を読み取り、歌の読み方を学ぶ。 『万葉集』の宴席歌を読むことを通して、歌はいかに表現されているものなのかを気づき、理解することを目指す。加えて、研究者の立場から『万葉集』を捉えた場合、研究書とはどのような性質のものなのかも理解できるようにする。				
履修条件	なし。				
授業方法	講義形式。授業中に配布するプリントを使用する。各章ごとに、復習テストを実施する。なお、詳細な古典文法を問うことはない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業態度（20%）＋レポート評価（80%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	おうふう		萬葉集	鶴久・森山隆編
	備考				
参考書	授業中に紹介する。				
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	前期の授業計画と内容の説明
	事後学習	『日本書紀』を読んでおく
2	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	「日本」と「天皇」の成立時期とその意義についての説明
	事後学習	『萬葉集』が成立した時期と、「日本」「天皇」が成立した時期について確認する
3	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	田辺福麻呂に関する説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
4	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	田辺福麻呂が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における田辺福麻呂の役割について確認する

5	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	秦朝元に関する説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
6	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	秦朝元が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における秦朝元の役割を確認する
7	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴家持に関する説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
8	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴家持が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における大伴家持の役割を確認する
9	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴坂上郎女に関する説明①
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
10	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴坂上郎女が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における大伴坂上郎女の役割を確認する①
11	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴坂上郎女に関する説明②
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
12	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴坂上郎女が歌を披露した宴席歌群の説明②＋復習問題
	事後学習	宴席における大伴坂上郎女の役割を確認する②
13	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	藤原仲麻呂に関する説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
14	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	藤原仲麻呂が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における藤原仲麻呂の役割を確認する
15	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	前期の授業内容を振り返り、理解の到達点を確認する
	事後学習	貴族は宴席をどのような場所として捉えていたのかを確認する①

科目名	日本文学Ⅰ	担当者	宮澤 隆義	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	多かれ少なかれ、人が文学に惹かれる理由には「現実と異なる秩序」のあり方への関心があるのではないだろうか。本講義では、このような「オルタナティブな世界」を近代の中で描こうとしていた文学を中心に、そこに機能している構想力や、またその中から逆にとらえ直される「現実的なもの」のあり方を問い直しながら、近代の日本文学をたどってゆく。そこから、「異なる近代」のあり方を果たして私たちが構想できるのかを問うてゆきたい。			
授業目的・到達目標	文学と社会構造を関連づけて読んでゆくことを目的とする。また、いわゆる「日常」の論理では言語化困難なものをめぐる言語行為として小説をとらえ返すことから、そこに存在していた問題を浮かび上がらせる読み方を習得できるようにしたい。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義時にプリントを配布する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	(70%)レポートにおける理解度を評価する。(30%)コメントシートにおける参加度を評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	講義中に配布するプリントを主に使用する。		
参考書	中村光夫『日本の近代文学』（岩波書店）、宮澤隆義『坂口安吾の未来―危機の時代と文学』（新曜社）ほか、適宜授業中に指示する。			
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	明治期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	イントロダクション。近代と日本の文学について。
	事後学習	近代と日本の文学について、講義内容を復習しておくこと。
2	事前学習	明治期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	明治期のユートピア：政治小説とSF
	事後学習	政治小説とSFについて、講義内容を復習しておくこと。
3	事前学習	明治期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	「いま・ここ」を描くこと：坪内逍遙と二葉亭四迷
	事後学習	坪内逍遙と二葉亭四迷について、講義内容を復習しておくこと。
4	事前学習	明治期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	「異郷」への欲望：泉鏡花と柳田国男
	事後学習	泉鏡花と柳田国男について、講義内容を復習しておくこと。

5	事前学習	明治期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	地下空間という深淵：夏目漱石「坑夫」
	事後学習	夏目漱石について、講義内容を復習しておくこと。
6	事前学習	明治期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	倫敦の夏目漱石と『吾輩は猫である』
	事後学習	夏目漱石について、講義内容を復習しておくこと。
7	事前学習	大正期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	「河童」の世界はどこにあるのか？：芥川龍之介
	事後学習	芥川龍之介について、講義内容を復習しておくこと。
8	事前学習	大正期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	転倒する秩序の享楽：谷崎潤一郎
	事後学習	谷崎潤一郎について、講義内容を復習しておくこと。
9	事前学習	大正期の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	都市と「人工の世界」：佐藤春夫
	事後学習	講義内容を復習しておくこと。
10	事前学習	昭和期（戦前）の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	商品世界の裏面：葉山嘉樹
	事後学習	葉山嘉樹について、講義内容を復習しておくこと。
11	事前学習	昭和期（戦前）の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	スパイ小説としての小林多喜二「党生活者」
	事後学習	小林多喜二について、講義内容を復習しておくこと。
12	事前学習	昭和期（戦前）の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	法外な幻想：江戸川乱歩「パノラマ島綺譚」
	事後学習	江戸川乱歩について、講義内容を復習しておくこと。
13	事前学習	昭和期（戦前）の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	人間認識の再定位：萩原朔太郎「猫町」
	事後学習	萩原朔太郎について、講義内容を復習しておくこと。
14	事前学習	昭和期（戦前）の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	空襲下の世界：坂口安吾
	事後学習	坂口安吾について、講義内容を復習しておくこと。
15	事前学習	最終課題の準備をしておくこと。
	授業内容	近代と日本の文学について。半期の授業をふりかえり、理解の到達度を確認する。
	事後学習	近代と日本の文学について、前期講義内容の確認をしておくこと。

科目名	日本文学Ⅱ	担当者	小野 美典	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	【古典文学に見られる「生」と「死」のかたち】現代とは異なる社会体制の中で、古典世界の人々がいかに悩み、いかに生きてきたかを、本文に即して精読する。前半は歌物語2作品から「恋に生きる」をテーマに、続いて中世説話から「庶民の様々な生きざま」、最後は軍記物語から「死にゆく人々の姿」をテーマとして作品を読む。人々の「生」と「死」が文学作品にどのように描写されているかを考えるとともに、現代を生きる我々の思索の一助としたい。					
授業目的・到達目標	〔一〕 古典世界の人々の置かれた状況とその苦悩の実態を知る。 〔二〕 「文学」としての表現の特徴を理解する。 〔三〕 古典文学を読むことの楽しさを知る。					
履修条件	特になし(古典の文章を扱うが、口語訳等は適宜配付する。口語訳することが目的ではなく、文学を理解するのが目的なので、高校初級程度の古典の力があれば理解できるように講義を進める)。古語辞典を持参すること。					
授業方法	プリント資料を使いながらの講義形式の授業。各自の意見をリアクションペーパーに書いて提出する(その紹介)などして、一方通行の授業にならないように注意する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上の出席を必要とする。授業内での理解度確認テストなどもあわせて総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない(担当者がプリントを用意する)。				
参考書	授業中に出来るだけ多く紹介する。					
オフィスアワー	水曜日の昼休み(12:10～13:00)に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける(メールで事前にアポをとること)。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校時代に学習した便覧・文学史のテキストなどで「生」「死」を扱った古典文学作品にどのようなものがあるのか調べて講義に臨む。
	授業内容	授業概要の説明(成績評価の方法、授業の進め方などを詳細に説明するので必ず出席すること)
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
2	事前学習	『伊勢物語』に関して高校時代に学習した便覧・文学史のテキストやネットなどで調べて講義に臨む。配付プリントの中に登場する和歌の中から好きなものを一緒に取り上げて、その好きな理由をまとめておく。
	授業内容	『伊勢物語』1——恋に殉じる生き方(二十二段「梓弓」)
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
3	事前学習	配付プリントの中に登場する老女に対して、男はどのような思いを持っていたのかを考えて講義に臨む。
	授業内容	『伊勢物語』2——老女との恋(六十三段「つくも髪」)
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
4	事前学習	「辞世の歌」に関して図書館やネットで調べて講義に臨む。
	授業内容	『伊勢物語』3——業平の死(百二十五段「つひに行く」)
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。

5	事前学習	『大和物語』に関して高校時代に学習した便覧・文学史のテキストやネットなどで調べて講義に臨む。
	授業内容	『大和物語』 1——二人の男からの求婚（百四十七段「生田川」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
6	事前学習	配付プリントで男が逃げ出した理由を考えて或る程度まとめてから講義に臨む。
	授業内容	『大和物語』 2——出世した女と零落した男の再会（百四十八段「蘆刈」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
7	事前学習	「姨捨」「姨捨山」に関して、図書館やネットで調べて講義に臨む。
	授業内容	『大和物語』 3——姨捨山伝説（百五十六段「姨捨」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
8	事前学習	「安倍晴明」に関して、図書館やネットで調べて講義に臨む。
	授業内容	『宇治拾遺物語』 1——安倍晴明（巻二「晴明蔵人少将封ずること」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
9	事前学習	「普賢菩薩」に関して、図書館やネットで調べて講義に臨む。
	授業内容	『宇治拾遺物語』 2——常識の有無（巻八「獵師仏を射ること」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
10	事前学習	配付プリントで、穀断聖の正体がばれた理由を考えて講義に臨む。
	授業内容	『宇治拾遺物語』 3——騙される人・騙す人（巻十二「穀断聖露頭のこと」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
11	事前学習	「乳母」「乳母子」に関して、図書館やネットで調べて講義に臨む。
	授業内容	『平家物語』 1——主君のために死ぬというあり方 1（巻九「木曾最期」 1）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
12	事前学習	木曾と今井の描写について整理して講義に臨む。
	授業内容	『平家物語』 2——主君のために死ぬというあり方 2（巻九「木曾最期」 2）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
13	事前学習	「平知盛」「平知章」に関して、図書館やネットで調べて講義に臨む。
	授業内容	『平家物語』 3——親子の情愛（巻九「知章最期」）
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
14	事前学習	講義全体の内容を総復習して講義に臨む。
	授業内容	まとめ 1——授業のまとめと確認
	事後学習	授業内配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
15	事前学習	前回の講義で注意された点を復習して、講義に臨む。
	授業内容	まとめ 2——授業目的・到達目標の達成の確認
	事後学習	発展学習として、講義で扱った古典作品を図書館などで借りて、他の章段を各自で読み進めてみる。

科目名	日本文学Ⅱ	担当者	高橋 啓之	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講義では伝統芸能である歌舞伎の成り立ち、その内容について講義し、その周辺文芸である浮世絵や落語、能狂言などについても言及する。				
授業目的・到達目標	本講座では、学生諸君がこれまであまり触れたことのない江戸の文学及び芸能について講義し、豊饒な江戸文学や歌舞伎について感得してもらうことを目的とする。日本の伝統文化を理解することができる。歌舞伎の歴史について説明できる。				
履修条件	特になし。ただし、出席を重視し、就職活動など、学年による優遇は一切ないものと思ってもらいたい。また、初回の講義には必ず出席すること。				
授業方法	プリントやビデオを中心として講義をするが、講義ノートは必需品である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	後期授業内筆記試験（70％）、授業中の課題（10％）、レポート（20％）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示する。			
参 考 書	授業中に指示する				
オフィスアワー	メールによる質問、相談については授業時に説明する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読すること。
	授業内容	後期講義のガイダンス
	事後学習	先行芸能について調査する。
2	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	歌舞伎の歴史（1）歌舞伎の発生
	事後学習	講義を踏まえてノートをまとめる。
3	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	歌舞伎の歴史（2）若衆歌舞伎まで
	事後学習	三味線について調査する。
4	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	歌舞伎の歴史（3）元禄歌舞伎
	事後学習	元禄という時代について調査する。

5	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	狂言舞踊鑑賞
	事後学習	感想文作成
6	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	歌舞伎の舞台装置
	事後学習	講義を踏まえてノートをとめる。
7	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	歌舞伎十八番について
	事後学習	講義を踏まえてノートをとめる。
8	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	歌舞伎十八番鑑賞
	事後学習	感想文作成
9	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	時代物と世話物
	事後学習	講義を踏まえてノートをとめる。
10	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	「世界」と趣向について
	事後学習	講義を踏まえてノートをとめる。
11	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	河竹黙阿弥の作品
	事後学習	黙阿弥の生涯について調査する。
12	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	作品鑑賞と解説（1）
	事後学習	講義を踏まえてあらすじをとめる。
13	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	作品鑑賞と解説（2）
	事後学習	感想文作成
14	事前学習	講義を踏まえて質問を準備する。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	全体的にノートをとめて、講義ノート作成。
15	事前学習	テストの準備をする。
	授業内容	期末試験と解説
	事後学習	講義を概観し、自分なりにまとめる。

科目名	日本文学Ⅱ	担当者	野口 恵子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	学生は、未来を創造する当事者である。そのための責任感や使命感は、これからも持ち続けなければならない。また、現在社会で起きている事象についても主体的に考察しながら、その解決策を見出さなければならない。本授業では、過去の事象から、問題点の解決策を見出す術を学び、未来に対しての責任感や使命感をいかに必要であるかを学ぶ。				
授業目的・到達目標	『万葉集』の宴席歌を取り上げる。万葉の時代は現代と違って、律令制に基づく厳然たる階級社会であった。文雅の世界とはいえ、身分秩序を抜きにして、歌を披露するわけにはいかなかった。従って宴席歌からは、彼らが現代とは異なる常識や価値観に支配されていたことが見えてくる。また現在と似たような人間関係が繰り広げられていたことにも気づかされる。当授業ではその両面を読み取り、歌の読み方を学ぶ。 『万葉集』の宴席歌を読むことを通して、歌はいかに表現されているものなのかを気づき、理解することを目指す。加えて、研究者の立場から『万葉集』を捉えた場合、研究書とはどのような性質のものなのかも理解できるようにする。				
履修条件	なし。				
授業方法	講義形式。授業中に配布するプリントを使用する。各章ごとに、復習テストを実施する。なお、詳細な古典文法を問うことはない。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		
	平常評価		100%		授業態度（20%）＋レポート評価（80%）
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	おうふう		萬葉集	鶴久・森山隆編
	備考				
参考書	授業中に紹介する。				
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	後期の授業計画と内容の説明
	事後学習	『続日本紀』を読んでいく
2	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	石上宅嗣に関する説明
	事後学習	次の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
3	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	石上宅嗣が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における石上宅嗣の役割を確認する
4	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	葛井広成に関する説明
	事後学習	次の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく

5	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	葛井広成が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における葛井広成の役割を確認する
6	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	文馬養に関する説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
7	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	文馬養が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における文馬養の役割について確認する
8	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	秦八十嶋に関する説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
9	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	秦八十嶋が歌を披露した宴席歌群の説明＋復習問題
	事後学習	宴席における秦八十嶋の役割を確認する
10	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴坂上郎女に関する説明③
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
11	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	大伴坂上郎女が歌を披露した宴席歌群の説明③＋復習問題
	事後学習	宴席における大伴坂上郎女の役割を確認する③
12	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	「梅花の宴」に関する研究史についての説明
	事後学習	研究史における問題点を確認する
13	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	「梅花の宴」の参加者についての説明
	事後学習	次回の授業では復習問題を課すので、授業内容とノートの整理をしておく
14	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	「梅花の宴」に参加した歌人の配置に関する説明＋復習問題
	事後学習	研究論文を読むことを通して、自分の考えはどのように述べるべきなのかを確認する
15	事前学習	前回の授業で配布した資料を読んでおく
	授業内容	後期の授業内容を振り返り、理解の到達点を確認する
	事後学習	貴族は宴席をどのような場所として捉えていたのかを確認する②

科目名	日本文学Ⅱ	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	この講義では、20世紀後半の文学をたどることで、「戦後文学」と呼ばれてきたものが総体として何を行ってきたのかを探る。文学を社会動向や科学技術との関係からも考察しつつ、どのような問題がそこで浮上していたのかを読みながら、それらの現代との相同性と差異について論じてゆく。			
授業目的・到達目標	「戦後文学」が、現代との関係でどのような思想的・社会的・歴史的意義を持っているのかについての理解を深めることを目的とする。また「戦後文学」の展開をおおよそ時代順に概観することで、歴史的問題と接合しながら小説を読解してゆく視点を獲得できるようにしてゆく。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義時にプリントを配布する。なお、扱う作家名は講義の進行具合によって変更する可能性があることをお断りしておく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	(70%)レポートにおける理解度を評価する。(30%)コメントシートにおける参加度を評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	講義中に配布するプリントを主に使用する。		
参考書	中村光夫『日本の現代文学』（岩波書店）、宮澤隆義『坂口安吾の未来―危機の時代と文学』（新曜社）ほか、授業時に適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	イントロダクション。「戦後」文学について。
	事後学習	「戦後」文学について復習をしておくこと。
2	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	敗戦と文学者：太宰治・坂口安吾
	事後学習	太宰治・坂口安吾について、講義内容の復習をしておくこと。
3	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	大岡昇平の戦争（1）
	事後学習	大岡昇平について、講義内容の復習をしておくこと。
4	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	大岡昇平の戦争（2）
	事後学習	大岡昇平について、講義内容の復習をしておくこと。

5	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	武田泰淳と中国（1）
	事後学習	武田泰淳について、講義内容の復習をしておくこと。
6	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	武田泰淳と中国（2）
	事後学習	武田泰淳について、講義内容の復習をしておくこと。
7	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	三島由紀夫のパフォーマンス
	事後学習	三島由紀夫について、講義内容の復習をしておくこと。
8	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	「第三の新人」について：安岡章太郎・小島信夫（1）
	事後学習	「第三の新人」について、講義内容の復習をしておくこと。
9	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	「第三の新人」について：安岡章太郎・小島信夫（2）
	事後学習	「第三の新人」について、講義内容の復習をしておくこと。
10	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	安部公房と偽装（1）
	事後学習	安部公房について、講義内容の復習をしておくこと。
11	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	安部公房と偽装（2）
	事後学習	安部公房について、講義内容の復習をしておくこと。
12	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	大江健三郎（1）
	事後学習	大江健三郎について、講義内容の復習をしておくこと。
13	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。
	授業内容	大江健三郎（2）
	事後学習	大江健三郎について、講義内容の復習をしておくこと。
14	事前学習	「戦後」の歴史について確認しておくこと。最終課題の準備をしておくこと。
	授業内容	中上健次と津島佑子
	事後学習	中上健次と津島佑子について、講義内容の復習をしておくこと。
15	事前学習	最終課題の準備をしておくこと。
	授業内容	現代と「戦後文学」について。半期の授業をふりかえり、理解の到達度を確認する。
	事後学習	「戦後」と文学の関係について、講義内容の復習をしておくこと。一年間の講義内容の確認をしておくこと。

科目名	発展教養A	担当者	長谷部 圭彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	イスラームの教義および「イスラーム地域」の歴史（7-15世紀）についての概説。			
授業目的・到達目標	【イスラームを知る】現代世界を理解するうえで極めて重要なイスラームについて、その基礎を理解すること。受講者が、イスラームの教義に関する基礎的な概念と、15世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を理解し、それを論理的に表現できるようになること。			
履修条件	講義に積極的に参加すること。具体的には、毎回配布する質問用紙に、講義に関する質問・意見・感想等を記入すること。			
授業方法	講義形式で行う。毎回質問用紙を配布するので、授業に関する質問・意見・感想等を記入すること。それらには、翌週の授業において可能な限り回答する。後期に開講される「発展教養B」も履修することが望ましい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	問いに対する答えであること。論理的な文章であること。誤字・脱字がないこと。	
	平常評価	30%	講義への貢献度。具体的には、質問用紙に記入する質問・意見・感想等の質と量。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない。		
参考書	大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。東長靖『イスラームのとりえ方』山川出版社、1996年。屋形碩亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993年。			
オフィスアワー	講義の前後で受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを精読すること。
	授業内容	現代の中東・イスラーム地域
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
2	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	イスラーム生誕
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
3	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	スンナ派とシーア派
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
4	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	イスラーム的世界秩序と法
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。

5	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	法の担い手とその養成
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
6	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	マムルークとイクター制
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
7	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	スーフィーと聖者
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
8	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	スンナ派の時代
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
9	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	モンゴルの時代
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
10	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	モンゴル後の世界1-マムルーク朝-
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
11	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	モンゴル後の世界2-オスマン朝-
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
12	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	モンゴル後の世界3-ティムール朝-
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
13	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	イスラーム世界の拡大と交流1-アフリカ・インド-
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
14	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	イスラーム世界の拡大と交流2-東南アジア・中国-
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
15	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	総括
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。

科目名	発展教養A	担当者	朴澤 直秀	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義は基本的には歴史学の講義であり、【民俗からみる近世日本列島の宗教】をテーマとする。現代の民俗行事の記録や歴史資料などを手がかりにしながら、イメージすることが困難になりつつある近世の宗教の諸相に言及し、近世社会の諸側面との関係を考えていく。さらに、それが現在にかけて変容していく局面にも注目する。				
授業目的・到達目標	過去の社会の実態や、その現在との類似点・相違点について考えてみる。さらに、民俗行事などの、近代を経て現在に掛けての変容の、様相や意味をめぐって考えてみる。また、過去の社会におけるさまざまな要素の相互関係について考えてみる。				
履修条件	担当者が後期に開講する「発展教養B」とは独立した講義だが、相互に関連する内容を扱う。片方のみの履修も可能だが、双方あわせて履修することにより理解が深まるであろう。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、受講者数によって柔軟に対応する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内での到達度テストを中心に、受講態度などを勘案する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	なし	なし		なし	なし
	備考				
参考書	講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則として月曜日18：00～18：30、ただし、必ず事前に、口頭、ないしはメールにてアポイントメントを取ること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す。いままでに触れてきた「歴史」や、民俗事象について、振り返っておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス時のアンケートで問われたことについて、振り返る。
2	事前学習	ガイダンスで説明された内容について、質問すべき点はなかったか、振り返っておく。ガイダンスの内容を受けて、日本の近世社会や現在の年中行事などについて、あらためて考えておく。
	授業内容	年中行事と祭り1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	年中行事と祭り2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
4	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	年中行事と祭り3
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

5	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	神仏習合と神仏分離 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
6	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	神仏習合と神仏分離 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
7	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	神仏習合と神仏分離 3
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
8	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	さまざまな宗教者 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
9	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	さまざまな宗教者 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
10	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	さまざまな宗教者 3
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
11	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	境界と信仰 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
12	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	境界と信仰 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
13	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	境界と信仰 3
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
14	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。これまでの講義内容について、質問すべき事はないか、点検しておく。
	授業内容	補足説明
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
15	事前学習	授業内に説明した問題について、いかに解答すべきかを考えておく。
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	今学期の到達度を振り返り、授業内で紹介した参考文献などに目を通して学習を深める。

科目名	発展教養B	担当者	長谷部 圭彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「イスラーム地域」の歴史（16-20世紀）についての概説。				
授業目的・到達目標	【オスマン帝国の歴史と文化】現代の「中東・イスラーム地域」および「バルカン・正教地域」の歴史的前提であるオスマン帝国（ca. 1300-1922）について、その歴史を理解すること。受講者が、16世紀以降の「中東・イスラーム地域」の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになること。				
履修条件	講義に積極的に参加すること。具体的には、毎回配布する質問用紙に、講義に関する質問・意見・感想等を記入すること。				
授業方法	講義形式で行う。毎回質問用紙を配布するので、授業に関する質問・意見・感想等を記入すること。それらには、翌週の授業において可能な限り回答する。前期に開講される「発展教養A」も履修することが望ましい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	問いに対する答えであること。論理的な文章であること。誤字・脱字がないこと。	
	平常評価		30%	講義への貢献度。具体的には、質問用紙に記入する質問・意見・感想等の質と量。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992年。永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998年。林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997年。同『オスマン帝国500年の平和』講談社、2008年。				
オフィスアワー	講義の前後で受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを精読すること。
	授業内容	15世紀までの中東・イスラーム地域
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
2	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	サファヴィー朝の興隆
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
3	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	ムガル帝国の繁栄
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
4	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン帝国の登場
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。

5	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン帝国の時代
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
6	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン帝国の変容
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
7	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン帝国が迎えた「近代」
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
8	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン帝国の終焉
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
9	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン後の世界1ー中東・イスラーム地域ー
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
10	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	オスマン後の世界2ーバルカン・正教地域ー
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
11	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	ガージャール朝からバフラヴィー朝へ
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
12	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	パレスチナ問題の展開
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
13	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	イスラーム復興
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
14	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	アラブの春と「イスラーム国」
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。
15	事前学習	事前に配布されているレジュメを精読すること。
	授業内容	総括
	事後学習	講義の内容を復習すること。その際、適宜参考文献を参照すること。参考文献は、上記の「参考書」のほか、講義中に提示する。

科目名	発展教養B	担当者	朴澤 直秀	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、【宗教からみる日本の近世】をテーマとして、とくに、原則として人々の葬祭を一手に担っていた、仏教の寺院や僧侶に関する実態や制度、それをめぐる通念にとくに焦点を当て、掘り下げて考えてみる。					
授業目的・到達目標	講義で取り上げる様々な論点　一例えば、制度や通念といったものが、歴史的にどのように形成されるのか、あるいは、あるものに対するイメージや、「歴史」がどのように形作られてくるのか、といったような点などー、について理解を深めること。過去の社会における様々な要素の相互関係について考えてみること。					
履修条件	担当者が前期に開講する「発展教養A」とは独立した講義だが、相互に関連する内容を扱う。片方のみの履修も可能だが、双方あわせて履修することにより理解が深まるであろう。					
授業方法	基本的に講義形式で行うが、受講者数によって柔軟に対応する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内での到達度テストを中心に、受講態度などを勘案する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考					
参考書	講義中に適宜紹介する。					
オフィスアワー	原則として月曜日１８：００～１８：３０、ただし、必ず事前に、口頭、ないしはメールにてアポイントメントを取ること					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す。「中世仏教」「近世仏教」をめぐるイメージについて、整理しておく。また、現在において、実態から乖離したイメージが肥大化したり、一人歩きしたりしている物事の例について、考えておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス時のアンケートで問われたことについて、振り返る。
2	事前学習	ガイダンスで説明された内容について、質問すべき点はなかったか、振り返っておく。ガイダンスの内容を受けて、日本の近世社会や現在の年中行事などについて、あらためて考えておく。
	授業内容	中世仏教・近世仏教をめぐるイメージ
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
3	事前学習	前回の講義内容を復習する。
	授業内容	中世仏教の展開
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
4	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	村と宗教 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

5	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	村と宗教 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
6	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	ギリシタン禁制
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
7	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	江戸幕府と教団 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
8	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	江戸幕府と教団 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
9	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	寺請制度 1
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
10	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	寺請制度 2
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
11	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	禁教と地下信仰
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
12	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	宗教をめぐる競合
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
13	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。
	授業内容	寺檀制度をめぐる通念
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
14	事前学習	前回の講義内容を中心に、前回までの講義内容を復習する。これまでの講義内容について、質問すべき事はないか、点検しておく。
	授業内容	補足説明
	事後学習	講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
15	事前学習	授業内に説明した問題について、いかに解答すべきかを考えておく。
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	今学期の到達度を振り返り、授業内で紹介した参考文献などに目を通して学習を深める。

科目名	東アジアの文学 I	担当者	福木 滋久	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	司馬遷の『史記』——特に秦の始皇帝による統一を中心テーマとして、そこに至る春秋戦国時代から戦国時代中盤までの部分を中心に講読する。各エピソードの歴史的背景を知り、原文に親しみつつ、いくつかの伝記をダイジェストで鑑賞していく。				
授業目的・到達目標	『史記』に描かれたエピソードの背景を知り、作者の言葉・文体・思想などについて理解する事を目指す。当時に生きた人々の事跡、成功や失敗、様々な思いを読み取り、受講者自らの生き方に如何に活かしていくかを考えてもらいたい。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式で行う。『史記』の各伝記より抜粋した文について、背景や内容に関する解説を加え、原文と訓読文を対照しつつ講読していく。配付教材を使用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	学期末提出課題の評価（70%）・平常評価（30%） 詳細な評価基準（ルーブリック表）を講義時に発表する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用せず、配付教材を用いる。			
参考書	『史記を語る』 宮崎市定 著 岩波文庫（『史記』の解説）・『史記の風景』 宮城谷昌光 著 新潮文庫（『史記』に関するエッセイ）・『史記』の日本語訳については講義時に紹介する				
オフィスアワー	木曜 2 限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおく
	授業内容	前期のはじめに 『史記』についてI プリントを配布
	事後学習	配付資料とノートを見直し講義内容を復習する
2	事前学習	配付資料(1)等により姜斉と斉の桓公についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「管晏列伝」を読む 斉の桓公、管仲と鮑叔① ― 中華統一の黎明（春秋時代 斉）
	事後学習	配付資料(1)とノートを見直して講義内容を復習し、斉の桓公や管仲等登場人物の行動について考える
3	事前学習	配付資料(1)や前回の講義内容等を振り返り姜斉と斉の桓公についての知識を深めておく
	授業内容	「管晏列伝」を読む 斉の桓公、管仲と鮑叔② ― 中華統一の黎明（春秋時代 斉）
	事後学習	配付資料(1)とノートを見直して講義内容を復習し、斉の桓公や管仲等登場人物の生き方について考える
4	事前学習	配付資料(2)等により春秋時代の秦についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「秦本紀」を読む 秦の穆公① ― 中華統一の黎明（春秋時代 秦）
	事後学習	配付資料(2)とノートを見直して講義内容を復習し、秦の穆公等登場人物の行動について考える

5	事前学習	配付資料(2)や前回の講義内容等を振り返り春秋時代の秦についての知識を深めておく
	授業内容	「秦本紀」を読む 秦の穆公② ― 中華統一の黎明（春秋時代 秦）
	事後学習	配付資料(2)とノートを見直して講義内容を復習し、秦の穆公等登場人物の生き方について考える
6	事前学習	配付資料(3)等により晋についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「晋世家」を読む 晋の文公と介子推① ― 中華統一の黎明（春秋時代 晋）
	事後学習	配付資料(3)とノートを見直して講義内容を復習し、晋の文公と介子推等登場人物の行動について考える
7	事前学習	配付資料(3)や前回の講義内容等を振り返り晋についての知識を深めておく
	授業内容	「晋世家」を読む 晋の文公と介子推② ― 中華統一の黎明（春秋時代 晋）
	事後学習	配付資料(3)とノートを見直して講義内容を復習し、晋の文公と介子推等登場人物の生き方について考える
8	事前学習	配付資料(4)等により春秋時代の楚についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「楚世家」を読む 楚の荘王① ― 中華統一の黎明（春秋時代 楚）
	事後学習	配付資料(4)とノートを見直して講義内容を復習し、楚の成王・荘王等登場人物の行動について考える
9	事前学習	配付資料(4)や前回の講義内容等を振り返り春秋時代の楚についての知識を深めておく
	授業内容	「楚世家」を読む 楚の荘王② ― 中華統一の黎明（春秋時代 楚）
	事後学習	配付資料(4)とノートを見直して講義内容を復習し、楚の成王・荘王等登場人物の生き方について考える
10	事前学習	配付資料(5)等により、春秋時代から戦国時代への移行と韓についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「刺客列伝」を読む 豫讓・聶政① ― 春秋から戦国へ（戦国七雄 韓）
	事後学習	配付資料(5)とノートを見直して講義内容を復習し、豫讓等登場人物の行動について考える
11	事前学習	配付資料(5)や前回の講義内容等を振り返り、春秋時代から戦国時代への移行と韓についての知識を深めておく
	授業内容	「刺客列伝」を読む 豫讓・聶政② ― 春秋から戦国へ（戦国七雄 韓）
	事後学習	配付資料(5)とノートを見直して講義内容を復習し、聶政等登場人物の行動について考える
12	事前学習	配付資料(5)や前回の講義内容等を振り返り、春秋時代から戦国時代への移行と韓についての知識を更に深めておく
	授業内容	「刺客列伝」を読む 豫讓・聶政③ ― 春秋から戦国へ（戦国七雄 韓）
	事後学習	配付資料(6)とノートを見直して講義内容を復習し、豫讓・聶政等登場人物の生き方について考える
13	事前学習	配付資料(6)等により燕についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「楽毅列伝」を読む 燕の楽毅① ― 中華統一の揺籃（戦国七雄 燕）
	事後学習	配付資料(6)とノートを見直して講義内容を復習し、楽毅等登場人物の行動について考える
14	事前学習	配付資料(6)や前回の講義内容等を振り返り燕についての知識を深めておく
	授業内容	「楽毅列伝」を読む 燕の楽毅② ― 中華統一の揺籃（戦国七雄 燕）
	事後学習	配付資料とノートを見直して講義内容を復習し、楽毅等登場人物の生き方について考える
15	事前学習	前期の配付資料とノートを見直し講義内容を復習しておく
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期の配付資料とノートを見直し前期の講義内容を再度復習する

科目名	東アジアの文学Ⅱ	担当者	福木 滋久	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	司馬遷の『史記』——特に秦の始皇帝による統一を中心テーマとして、戦国時代中期から中華統一までの部分を中心に講読する。各エピソードの歴史的背景を知り、原文に親しみつつ、いくつかの伝記をダイジェストで鑑賞していく。				
授業目的・到達目標	『史記』に描かれたエピソードの背景を知り、作者の言葉・文体・思想などについて理解する事を目指す。当時に生きた人々の事跡、成功や失敗、様々な思いを読み取り、受講者自らの生き方に如何に活かしていくかを考えてもらいたい。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式で行う。『史記』の各伝記より抜粋した文について、背景や内容に関する解説を加え、原文と訓読文を対照しつつ講読していく。配付教材を使用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	学期末提出課題の評価（70%）・平常評価（30%） 詳細な評価基準（ルーブリック表）を講義時に発表する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用せず、配付教材を用いる。			
参考書	『史記を語る』 宮崎市定 著 岩波文庫（『史記』の解説）・『史記の風景』 宮城谷昌光 著 新潮文庫（『史記』に関するエッセイ）・『史記』の日本語訳については講義時に紹介する				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおく
	授業内容	後期のはじめに 『史記』についてⅡ プリントを配布
	事後学習	配付資料とノートを見直し講義内容を復習する
2	事前学習	配付資料(7)等により田斉についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「田単列伝」を読む 斉の田単① ― 中華統一の揺籃（戦国七雄 斉）
	事後学習	配付資料(7)とノートを見直して講義内容を復習し、田単等登場人物の行動について考える
3	事前学習	配付資料(7)や前回の講義内容等を振り返り田斉についての知識を深めておく
	授業内容	「田単列伝」を読む 斉の田単② ― 中華統一の揺籃（戦国七雄 斉）
	事後学習	配付資料(7)とノートを見直して講義内容を復習し、田単等登場人物の生き方について考える
4	事前学習	配付資料(8)等により趙についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「廉頗藺相如列伝」を読むⅠ 藺相如と廉頗① ― 中華統一の揺籃（戦国七雄 趙）
	事後学習	配付資料(8)とノートを見直して講義内容を復習し、藺相如等登場人物の行動について考える

5	事前学習	配付資料(8)や前回の講義内容等を振り返り趙についての知識を深めておく
	授業内容	「廉頗藺相如列伝」を読むⅠ 藺相如と廉頗② — 中華統一の揺籃（戦国七雄 趙）
	事後学習	配付資料(8)とノートを見直して講義内容を復習し、藺相如等登場人物の生き方について考える
6	事前学習	配付資料(9)等により魏についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「魏公子列伝」を読む 魏の信陵君① — 中華統一の揺籃（戦国七雄 魏）
	事後学習	配付資料(9)とノートを見直して講義内容を復習し、信陵君等登場人物の行動について考える
7	事前学習	配付資料(9)や前回の講義内容等を振り返り魏についての知識を深めておく
	授業内容	「魏公子列伝」を読む 魏の信陵君② — 中華統一の揺籃（戦国七雄 魏）
	事後学習	配付資料(9)とノートを見直して講義内容を復習し、信陵君等登場人物の生き方について考える
8	事前学習	配付資料(10)等により戦国時代の秦についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「呂不韋列伝」を読む 呂不韋と秦王嬴政① — 中華統一への道（秦と六国の対立）
	事後学習	配付資料(10)とノートを見直して講義内容を復習し、呂不韋・子楚等登場人物の行動について考える
9	事前学習	配付資料(10)や前回の講義内容等を振り返り戦国時代の秦についての知識を深めておく
	授業内容	「呂不韋列伝」を読む 呂不韋と秦王嬴政② — 中華統一への道（秦と六国の対立）
	事後学習	配付資料(10)とノートを見直して講義内容を復習し、呂不韋等登場人物の行動について考える
10	事前学習	配付資料(10)や前回の講義内容等を振り返り戦国時代の秦についての知識を更に深めておく
	授業内容	「呂不韋列伝」を読む 呂不韋と秦王嬴政③ — 中華統一への道（秦と六国の対立）
	事後学習	配付資料(10)とノートを見直して講義内容を復習し、呂不韋等登場人物の生き方について考える
11	事前学習	配付資料(11)等により戦国時代末の六国についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「廉頗藺相如列伝」を読むⅡ 趙奢・李牧① — 中華統一への道（秦と六国の対立）
	事後学習	配付資料(11)とノートを見直して講義内容を復習し、趙奢・李牧等登場人物の行動について考える
12	事前学習	配付資料(11)や前回の講義内容等を振り返り戦国時代末の六国についての知識を深めておく
	授業内容	「廉頗藺相如列伝」を読むⅡ 趙奢・李牧② — 中華統一への道（秦と六国の対立）
	事後学習	配付資料(11)とノートを見直して講義内容を復習し、趙奢・李牧等登場人物の生き方について考える
13	事前学習	配付資料(12)等により、秦帝国成立直前の秦についての基礎知識を身につけておく
	授業内容	「白起王翦列伝」を読む 王翦・李信① — 中華統一の完成（六国併呑）
	事後学習	配付資料(12)とノートを見直して講義内容を復習し、王翦・李信等登場人物の行動について考える
14	事前学習	配付資料(12)や前回の講義内容等を振り返り、秦帝国成立直前の秦についての知識を深めておく
	授業内容	「白起王翦列伝」を読む 王翦・李信② — 中華統一の完成（六国併呑）
	事後学習	配付資料(12)とノートを見直して講義内容を復習し、王翦・李信等登場人物の生き方について考える
15	事前学習	後期の配付資料とノートを見直し講義内容を復習しておく
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期の配付資料とノートを見直し後期の講義内容を再度復習する

科目名	文化人類学Ⅰ	担当者	前嵩西 一馬	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	文化人類学の世界へようこそ。 共同体、記憶、ことば、そしてマイノリティといった現代社会を読み解くキーワードを軸に、私達を取り巻く様々な「文化」の諸相を具体的に考えます。				
授業目的・到達目標	本講義（前期）では、最前線の文化理論などを援用しつつ、マイノリティという視点から見た多様な「文化」の姿を考える。 後期では、文化人類学の学説史などを参照しつつ、文化という視点から見た様々な「マイノリティ」のあり方を考える。 日常生活における「文化の語り」の問題と可能性について、自前の言葉で把握する。 その理解を通して具体的な「文化の語り」を実践する。				
履修条件	初回のガイダンスをはじめ毎回遅刻せず出席すること。初回の参加人数によっては登録者数の制限を行う。 後期の文化人類学Ⅱは、本講義を履修した者のみ参加を認めることとする。				
授業方法	基本的にはレクチャーとグループワークの併用で90分間のトレーニングを行う。 また適宜視覚教材などを用いる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	ほぼ毎回配布するレビューシートならびに参加態度を総合評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011	昭和堂		『沖縄学入門 空腹の作法』	勝方＝稲福恵子 前嵩西一馬
	備考				
参 考 書	参考文献などは講義のなかで随時指示する。				
オフィスアワー	講義終了後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	前期ガイダンス（授業計画、参考文献紹介など）
	事後学習	ガイダンス内容の確認
2	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	「文化」「共同体」「民族」など、文化人類学の実践に関わる基礎的な諸概念について（1）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
3	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	「文化」「社会」「民族」など、文化人類学の実践に関わる基礎的な諸概念について（2）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
4	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	「文化」「社会」「民族」など、文化人類学の実践に関わる基礎的な諸概念について（3）
	事後学習	配付資料、教科書による復習

5	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代日本を中心としたマイノリティの形成過程について（１）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
6	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代日本を中心としたマイノリティの形成過程について（２）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
7	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代日本を中心としたマイノリティの形成過程について（３）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
8	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代日本を中心としたマイノリティの形成過程について（４）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
9	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代日本を中心としたマイノリティの形成過程について（５）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
10	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	日本を中心としたマイノリティの現状と課題について（１）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
11	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	日本を中心としたマイノリティの現状と課題について（２）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
12	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	日本を中心としたマイノリティの現状と課題について（３）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
13	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	日本を中心としたマイノリティの現状と課題について（４）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
14	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	日本を中心としたマイノリティの現状と課題について（５）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
15	事前学習	配付資料、教科書によるこれまでの復習
	授業内容	前学期まとめ
	事後学習	配付資料、教科書によるこれまでの復習

科目名	文化人類学Ⅱ	担当者	前嵩西 一馬	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	文化人類学の世界へようこそ。 共同体、記憶、ことば、そしてマイノリティといった現代社会を読み解くキーワードを軸に、私達を取り巻く様々な「文化」の諸相を具体的に考えます。					
授業目的・到達目標	前期の講義で扱った、最前線の文化理論やマイノリティという視点から見た多様な「文化」の姿を踏まえ、本講義（後期）では、文化人類学の学説史などを参照しつつ、文化という視点から見た様々な「マイノリティ」のあり方を考える。日常生活における「文化の語り」の問題と可能性について、自前の言葉で把握する。その理解を通して具体的な「文化の語り」を実践する。					
履修条件	初回のガイダンスをはじめ毎回遅刻せず出席すること。初回の参加人数によっては登録者数の制限を行う。前期の文化人類学Ⅰを履修した者のみ履修を認めることとする。					
授業方法	基本的にはレクチャーとグループワークの併用で90分間のトレーニングを行う。 また適宜視覚教材などを用いる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		ほぼ毎回配布するレビューシートならびに参加態度を総合評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	昭和堂		『沖縄学入門 空腹の作法』		勝方＝稲福恵子 前嵩西一馬
	備考					
参考書	参考文献などは講義のなかで随時指示する。					
オフィスアワー	講義終了後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	後期ガイダンス（授業計画、参考文献紹介など）
	事後学習	ガイダンス内容の確認
2	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	「文化」「共同体」「民族」など、文化人類学の実践に関わる文献と映像（1）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
3	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	「文化」「社会」「民族」など、文化人類学の実践に関わる文献と映像（2）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
4	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	「文化」「社会」「民族」など、文化人類学の実践に関わる文献と映像（3）
	事後学習	配付資料、教科書による復習

5	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代におけるマイノリティの形成過程についての文献と映像（１）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
6	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代におけるマイノリティの形成過程についての文献と映像（２）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
7	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代におけるマイノリティの形成過程についての文献と映像（３）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
8	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代におけるマイノリティの形成過程についての文献と映像（４）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
9	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	近・現代におけるマイノリティの形成過程についての文献と映像（５）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
10	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	マイノリティの可能性について（１）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
11	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	マイノリティの可能性について（２）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
12	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	マイノリティの可能性について（３）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
13	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	ポストモダン以降の人類学と文化理論について（１）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
14	事前学習	配付資料、教科書による予習
	授業内容	ポストモダン以降の人類学と文化理論について（２）
	事後学習	配付資料、教科書による復習
15	事前学習	配付資料、教科書によるこれまでの復習
	授業内容	後学期まとめ
	事後学習	配付資料、教科書によるこれまでの復習

科目名	文章表現法Ⅰ	担当者	大熊 圭子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	大学院入試・公務員試験など、今後さまざまな場面で論文（小論文）を書くことが要求されるだろう。この授業では論文の中でも、自分の主張を展開するだけでなく対立する主張と議論するようなものを書くこと、そして他の人と違う自分らしさの出した論文を書くことを指導していく。				
授業目的・到達目標	【授業目的】論理的・批判的思考力：あるテーマについて論理的に自分の主張を展開し、対立する主張と議論するような論文を書ける力をつける。 コミュニケーション力：他者の意見を理解する。自分の考えを伝えることができる。 【到達目標】きちんとした論証を展開している文を書ける。あるテーマについて多角的に捉えて他の人とは違う視点で論ずることができる。				
履修条件	大学生としての最低限の国語力を有する人。				
授業方法	テーマについて論理的に考え、それを論理的に書いていくトレーニング。提出したものはチェックして返却します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業態度および【到達目標】がどの程度できているか（授業内で行う課題でチェック）により総合評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参 考 書	野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書				
オフィスアワー	水曜日 18:00～19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること。 okuma.keiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む
	授業内容	論文とは何か（ガイダンス）
	事後学習	シラバスを見て授業内容を確認する
2	事前学習	これまでに習った原稿用紙の使い方を思い出しておく
	授業内容	原稿用紙の使い方
	事後学習	授業内容を復習する（新聞や本を見て確認する）
3	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	原稿用紙の使い方、論文を書く手順について
	事後学習	授業内容を復習する
4	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	論文を書く手順（続き）
	事後学習	授業内容を復習する

5	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	接続詞
	事後学習	授業内容を復習する 新聞の投書欄を見て、接続詞の使われ方を確認する。
6	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	接続詞（続き）
	事後学習	授業内容を復習する 友達にSNSを送るとき、積極的に接続詞を使ってみる
7	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	メモと構成の演習
	事後学習	授業内容を復習する 新聞の投書欄から一つ選び、その構成がどうなっているか確認する
8	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	論証について1
	事後学習	授業内容を復習する 自分でなにか主張を考え、その論証を書いてみる
9	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	論証について2
	事後学習	授業内容を復習する 自分でなにか主張を考え、その論証を書いてみる
10	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	論証について3
	事後学習	授業内容を復習する 自分で論証を考え、それをさらにできるだけ深く掘り下げてみる
11	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	構成を考える
	事後学習	授業内容を復習する
12	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	構成を考える（続き）
	事後学習	授業内容を復習する 実際に小論文を書くことを想定し（なんでもよいのでテーマを決める）、構成を考えてみる
13	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	これまでの復習
	事後学習	これまでに習ったことをすべて見直しておく
14	事前学習	これまでの授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	小論文を書く
	事後学習	できたところ、できなかったところを考える
15	事前学習	できたところ、できなかったところを再度考える
	授業内容	小論文講評
	事後学習	できなかったところを見直す

科目名	文章表現法 I	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、「社会人として実社会を生きていく上で必要な文章表現法」という観点から、講義を進める。具体的には、就職活動等において必要とされる各種小論文・論作文の書き方、エントリーシート・履歴書の書き方などを学習し、それが実際に使いこなせるようにすることを目的とする。			
授業目的・到達目標	〔一〕 社会生活を送る上で必要となる文章表現法を理解し、それを実際に使って、自己表現できることを目的とする。 〔二〕 就職活動などで必要とされる要約力・自己表現力・文章表現力を身に付けることも目標とする。			
履修条件	単位認定には2/3以上の出席が必要。欠席・遅刻・早退には厳しく対応する。ゼミ関連・遠征・競技・各種実習等での欠席は、90分授業相当の課題レポートを提出した者のみ出席扱いとする。以上を了解した者のみ履修を認める。			
授業方法	テキストとプリント資料併用で、講義と演習を組み合わせた授業。各自の文章を教材として使用することもあるので了承の上で履修して欲しい。レポート、小テストを多く課すので心して受講すること。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上の出席が必要。授業内試験、小テスト、課題レポートで総合的に評価する（上記「履修条件」を参照のこと）。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011年	翰林書房	『日本語表現法〔改訂版〕——21世紀を生きる社会人のたしなみ』	庄司達也・山岸郁子・小野美典ほか
	備考			
参考書	授業中に適宜紹介する。なお、授業には必ず国語辞典を持参すること。			
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス全体を読んで授業の概要と流れをつかむ。また、テキスト5ページの「はじめに」を読んでテキストの編集意図を理解しておく。
	授業内容	講義概要の説明（成績評価の方法なども詳細に説明するので、必ず出席すること）
	事後学習	講義中の配付プリントを読み返し、理解の徹底に努める。
2	事前学習	テキストの第9章を読んでおく。特に57ページに登場する語句で語義のわからないものは事前に調べて講義に臨む。
	授業内容	履歴書の書き方1（概説）
	事後学習	講義中の説明をもとに再度テキストを読み返し、理解の徹底に努める。テキストに掲載されている「履歴書」〔例〕に記入してみる。
3	事前学習	図書館の資料や各種ウェブサイトで、履歴書記入に際しての注意点を事前に調査しておく。
	授業内容	履歴書の書き方2（注意点）
	事後学習	講義中に配布した履歴書の下書きを完成させる。（最終的には完成させたものを課題学習として提出することになる）
4	事前学習	前回の事後学習において作成した履歴書に不備がないか事前に確認する。
	授業内容	履歴書の書き方3（実例をもとに）
	事後学習	講義中の配付プリントとテキストを読み返し、テキスト第9章の理解の徹底に努める。

5	事前学習	テキストの第7章の前半（39～44ページ）を読んでおく。初めて目にする語句で語義のわからないものは事前に調べて講義に臨む。
	授業内容	手紙の書き方1（手紙の基本と形式）
	事後学習	テキストの第7章の課題1（39ページ）をやり直すことにより、講義内容の理解の徹底に努める。
6	事前学習	テキストの第7章の後半（45～46ページ）を読んでおく。初めて目にする語句で語義のわからないものは事前に調べて講義に臨む。
	授業内容	手紙の書き方2（手紙文の構成と実例）
	事後学習	講義中に指示された手紙文を作成する。（最終的には完成させたものを課題学習として提出することになる）
7	事前学習	今回の講義内容はテキストには書あまり詳しくかかれていない事項なので、図書館の資料や各種ウェブサイトで、「カバーレター・添え状」に関して事前に調査しておく。
	授業内容	手紙の書き方3（カバーレターとは）
	事後学習	講義中の配付プリントを読み返し理解の徹底に努めるとともに、各自でカバーレターを書いてみる。
8	事前学習	第6回の事後学習で取り組んだ提出課題にミスがないか、再度確認する。
	授業内容	手紙の書き方4（実作演習）
	事後学習	テキストの第7章の課題2（39ページ）をやり直すことにより、講義内容の理解の徹底に努める。
9	事前学習	テキストの第4章を読んでおく。語義のわからない語句は事前に調べて講義に臨む。
	授業内容	小論文・作文の書き方1（小論文と作文）
	事後学習	講義中の説明をもとに再度テキストを読み返し、理解の徹底に努める。特にテキスト27ページの構成に関しては理解の徹底に努める。
10	事前学習	テキストの第1章を読んでおく。語義のわからない語句は事前に調べて講義に臨む。
	授業内容	小論文・作文の書き方2（文章を書く上での基礎知識1）
	事後学習	テキストの第1章の課題1・2（7ページ）をやり直すことにより、講義内容の理解の徹底に努める。
11	事前学習	テキストの第3章を読んでおく。語義のわからない語句は事前に調べて講義に臨む。
	授業内容	小論文・作文の書き方3（文章を書く上での基礎知識2）
	事後学習	テキストの第3章の課題（17ページ）をやり直すことにより、講義内容の理解の徹底に努める。
12	事前学習	今回は授業内での課題演習をおこなうので、9・10・11回で学習した内容を事前に復習して講義に臨む。
	授業内容	小論文・作文の書き方4（実作演習1）
	事後学習	自分が書き上げた課題に誤字・脱字がないか確認する。また、日本語として不自然な表現、わかりにくい言い回しがないか確認する。
13	事前学習	前回の事後学習の内容を再度確認して、講義に臨む。
	授業内容	小論文・作文の書き方5（実作演習2）
	事後学習	講義中に配布された他の人々の課題文の良い点・悪い点を各自で考える。
14	事前学習	前回の事後学習で考えた事項を再度確認する。
	授業内容	小論文・作文の書き方6（演習の解説）
	事後学習	返却された各自の答案の良い点・悪い点を考える。
15	事前学習	これまでの学習内容をまとめておく。
	授業内容	まとめと整理
	事後学習	全体の講義を通して、各自の提出した課題に関して良い点・悪い点を考える。

科目名	文章表現法Ⅰ	担当者	茅原 雅之	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本語表現に関する基礎的な事項について講義をおこなう。また講義によって得た知識を、実際の文章作成により、自生活の中で活用できるようにしていく。「文章表現法Ⅰ」では、漢字の学習、手紙の書き方、文章の書き方、原稿用紙の使用法、段落構成、作文の方法について学習する。			
授業目的・到達目標	日本語の表現力は、分かりやすい文章、上手な文章を書こうと意識して努力しないかぎり、なかなか上達するものではありません。この授業では、文章には一定の表現形式があり、書き方のルールがあることを学習します。また実際に文章を作成していくことで、文章を書くことの楽しさを学んでいきます。大学生として恥ずかしくないレベルでの文章作成能力の獲得を目指します。わかりやすく適切な文章が作成できること、論理的な文章が作成できることを到達目標とします。			
履修条件	文章表現の能力向上に興味がある者、また本気で取り組む意思がある者。授業では発言を求められることがあり、積極的に授業に参加できることが履修の条件となります。			
授業方法	講義および実習によって進める。文章作成にあたっての留意点を講義したのち、学生各自が実際に文章を作成する。また、ここで作成した文章を検討しながら、その問題点や良かった点などを探っていく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内で作成した文章の到達度、および授業内試験の成績。授業時に指示する文章作成の課題については、必ず提出すること。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年3月20日	翰林書房	日本語表現法〔改訂版〕21世紀を生きる社会人のたしなみ	庄司達也・山岸郁子・他
	備考			
参考書	『国語表現ハンドブック新訂版』長谷川泉著 明治書院			
オフィスアワー	質問・相談については電子メールにて対応。E-mail:locke@sea.plala.or.jp また授業の前後にも受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書・教科書の準備。教科書の内容確認。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	配布資料〈漢字〉の復習。
2	事前学習	配布資料〈手紙の構成〉に関する予習。
	授業内容	手紙の書き方。（１）
	事後学習	配布資料〈手紙の構成〉に関する復習。
3	事前学習	教科書〈手紙を書こう〉項目の予習。
	授業内容	手紙の書き方。（２）
	事後学習	教科書〈手紙を書こう〉項目の復習。
4	事前学習	配布資料〈読みやすい文章とは〉の予習。
	授業内容	「読みやすい文章」「誤った文章」とは。（１）
	事後学習	配布資料〈読みやすい文章とは〉の復習。

5	事前学習	教科書〈悪文とは〉項目の予習。
	授業内容	「読みやすい文章」「誤った文章」とは。（２）
	事後学習	教科書〈悪文とは〉項目の復習。
6	事前学習	配布資料〈敬語の理解〉に関する予習。
	授業内容	文章表現の基礎，敬語の確認。（１）
	事後学習	配布資料〈敬語の理解〉に関する復習。
7	事前学習	教科書〈敬語を適切に使おう〉項目の予習。
	授業内容	文章表現の基礎，敬語の確認。（２）
	事後学習	教科書〈敬語を適切に使おう〉項目の復習。
8	事前学習	教科書〈まずは書いてみよう〉項目の予習。
	授業内容	文章表現の基礎，原稿用紙の使い方。
	事後学習	教科書〈まずは書いてみよう〉項目の復習。
9	事前学習	教科書〈さあ文書をかいてみよう〉項目の予習。
	授業内容	文章表現の基礎，段落・構成の組み方。
	事後学習	教科書〈さあ文書をかいてみよう〉項目の復習。
10	事前学習	自分が紹介したいと思う作品の選定。
	授業内容	紹介文（小説・映画・漫画，その他）を書いてみよう。（１）
	事後学習	自分が紹介したいと思う作品の適否確認。
11	事前学習	自分が紹介したいと思う作品の調査。
	授業内容	紹介文（小説・映画・漫画，その他）を書いてみよう。（２）
	事後学習	自分が紹介したいと思う作品の調査と資料準備。
12	事前学習	紹介文の文章構成を考える。
	授業内容	紹介文（小説・映画・漫画，その他）を書いてみよう。（３）
	事後学習	提出課題〈紹介文〉の作成。
13	事前学習	教科書〈練習問題〉項目の予習。
	授業内容	文章表現の基礎，漢字の確認。（１）
	事後学習	教科書〈練習問題〉項目の復習。
14	事前学習	授業にて理解不十分であった点を自己点検する。
	授業内容	前期のまとめ。前期授業に関する質疑応答。
	事後学習	前期授業の自己総括。
15	事前学習	前期到達度試験に関する学習。
	授業内容	前期到達度試験、および解答と解説。講義全体のまとめ。
	事後学習	試験に関する自己反省。

科目名	文章表現法 I	担当者	木村 一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	われわれは〈ことば〉をもって思考し、意思を伝達する。それにも関わらず、意思の伝達が困難になりつつある。現代人であるわれわれは、いかに〈ことば〉の重要性を再認識し自身のものとなし得るのか。読みと考察と実践とで鍛錬していく。			
授業目的・到達目標	あらゆる状況に対して、ある程度の自信と指針を持って対処できるようになることを目的とする。 何が求められていて、自分が何をどのように表現していくべきなのかという状況判断ができるようになること。			
履修条件	特になし			
授業方法	テキスト・資料を参照し講義をする。基本的に毎回、課題に解答してもらう。 前期は基本編、後期は応用編。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	(70%)授業内試験。講義で鍛錬したことの基礎知識、理解度、応用度、柔軟性を総合的に評価する。(30%)受講態度、課題への取り組みの姿勢を評価の対象とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年3月	おうふう	文章表現ガイドンス	西山春文 他
	備考	各自、提出用の原稿用紙（縦書・四百字詰）とホチキスを用意すること。		
参考書	必要に応じて講義当日にプリントを配布する。辞書を必携とするが、電子辞書だと便利。 なお、電子端末（＝スマホ・タブレット）の使用は認めない。			
オフィスアワー	kimuraworknitidai@yahoo.co.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にテキストを入手できるようなら、該当章を読みおおよその内容を把握しておくこと。
	授業内容	導入、どうすすめるか。 自己紹介をしてみる 「普通」であることの弊害
	事後学習	テキストの内容と講義の内容と自身の書いた（あるいは考えた）ものの乖離を把握すること。
2	事前学習	事前にテキストを入手できるようなら、該当章を読みおおよその内容を把握しておくこと。
	授業内容	1 時限 まず自己紹介 1. 1 自己紹介文は説明文 1. 2 自己紹介の目的は 1. 3 簡潔な表現
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握 〈課される継続的課題〉
3	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	2 時限 論理的な「書き言葉」 2. 1 話し言葉と書きことば 2. 2 論理的な文章 2. 3 説明文
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
4	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	3 時限 発想力トレーニング 3. 1 三段論 3. 2 定義する 3. 3 逆転の発想 3. 4 言葉遊び
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握

5	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	4 時限 論理的文章 4. 1 事実と意見 4. 2 意見には根拠が必要 4. 3 根拠が大事 4. 4 「～と思う」と書いてはいけない
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
6	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	5 時限 文章を書くときのルール 5. 1 原稿用紙の使い方 5. 2 引用のルール 5. 3 表紙・注・参考文献 5. 4 文章の構成 5. 5 段落に分けよう
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
7	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	6 時限 学習レポートの作成 6. 1 レポートとは 6. 2 学習レポートの書き方
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
8	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	7 時限 意見文を書く 7. 1 課題文を理解する 7. 2 自分の意見をまとめる 7. 3 意見文を書く
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
9	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	8 時限 表現を工夫する 8. 1 句読点と語順 8. 2 ねじれない文 8. 3 文末表現 8. 4 指示表現・接続表現 8. 5 読み手の立場で
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
10	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	9 時限 研究レポートの作成 1 9. 1 プレーンストーミングで話題を絞る 9. 2 主題文を作る
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
11	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	1 0 時限 研究レポートの作成 2 10. 1 資料のいろいろ 10. 2 資料リストの作成 10. 3 先行研究について 10. 4 資料の収集方法 10. 5 文献以外の資料について
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
12	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	1 1 時限 研究レポートの作成 3 11. 1 論の展開 11. 2 リンクマップ 11. 3 反論を想定する 11. 4 データを集め、主張を微調整する 11. 5 構成を考える
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
13	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	1 2 時限 研究レポートの作成 4 12. 1 執筆時の注意 12. 2 表記上の注意
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
14	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	1 3 時限 手紙の書き方 13. 1 手紙文の形式 13. 2 封筒・葉書の使い方 13. 3 ビジネスレターの書き方 13. 4 手紙の言葉
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
15	事前学習	これまでの学修内容の整理と確認
	授業内容	試験及び振り返り
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握

科目名	文章表現法 I	担当者	鹿野 しのぶ	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文章表現における社会人としてのたしなみを身につけます。自身を見つめ分析し、そのことを的確に表現することを学びます。エントリーシートや手紙の書き方を身につけることを目標とします。また自分の考えをわかりやすく論理的に伝える書き方を学びます。					
授業目的・到達目標	文章を作成するに当たっての基本的なことを学び身に付けることを目的とします。自分の意見をまとめ、論理的な文章構成を考え、実践的に表現できるようになることを目標とします。					
履修条件	積極的に授業に参加できる学生向けの授業です。受講希望者は、第1回目の授業に必ず出席して、ガイダンスを受けてください。					
授業方法	課題作文やその発表など、学生による演習型の授業です。ほぼ毎回、課題を提出・添削を行うことにより、よりわかりやすい文章を書く力を身につけましょう。授業の始めに言葉に関する小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		課題作文の提出により評価をします。また、質疑応答での発言回数や内容なども評価ポイントとします。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011年	翰林書房		『日本語表現法 改訂版 21世紀を生きる社会人のたしなみ』		庄司達也・山岸郁子・小野美典他
	備考					
参考書	授業中になるべく多く紹介します。					
オフィスアワー	授業内で質問を受け付けます。その他、講義中に指示します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでください。
	授業内容	授業ガイダンス 授業の進め方、受講に当たってのルール、持参するものについて説明します。
	事後学習	テキストを準備し、一通り読んでおきましょう。
2	事前学習	テキスト7ページの課題1をやっておきましょう。 テキスト53・54ページを読んでおきましょう。
	授業内容	自己紹介文1 効果的な自己紹介の方法を考えます。また、エントリーシートの書き方を学びます。
	事後学習	授業で示した課題をやってきてください。
3	事前学習	テキスト8～9頁を読んでおきましょう。 400字で自己紹介文を考えてきてください。
	授業内容	自己紹介文2 前回の授業を確認し、自己紹介文を書きます。
	事後学習	授業で示した課題をやってきてください。
4	事前学習	自己紹介文を口頭発表できるように準備しておいてください。
	授業内容	自己紹介文3 自己紹介を各自口頭で行います。
	事後学習	他の受講者の発表を聞いた感想を書いてきてください。

5	事前学習	テキスト57ページを読み、履歴書が書けるように確認しておきましょう。
	授業内容	履歴書の書き方 テキスト57ページに従って実際に履歴書を書いてみましょう。
	事後学習	記入するべきところに空欄があるときは、埋めてきてください。
6	事前学習	テキスト39～46ページをよく読んできてください。
	授業内容	手紙を書く 1 時候の挨拶など、手紙の基本的な書き方について学びます。
	事後学習	テキスト40ページをよく読んでおいてください。
7	事前学習	前回出題される課題に添って、手紙を書けるように準備しておいてください。
	授業内容	手紙を書く 2 実際に手紙を書いてみましょう。
	事後学習	時候の挨拶など、実践で記したもの以外の表現も確認しておきましょう。
8	事前学習	テキスト37ページを読んでおきましょう。
	授業内容	手紙を書く 3 書いた手紙を添削、清書します。敬語表現などにも注意しながら書いてみましょう。
	事後学習	適切な敬語表現書かれているか、確認しておきましょう。
9	事前学習	テキスト47～51ページを読んでおきましょう。
	授業内容	電子メールの書き方 電子メールを使って自分の考えを的確に相手に伝える方法を学びます。
	事後学習	テキスト52ページを読んでおきましょう。
10	事前学習	自分が読んだ本の中からみんなに紹介したい作品を1冊、準備しておきましょう。その際に、図書館を利用しましょう。
	授業内容	課題作文 1 読書体験を書こう。今まで読んだ本の中で印象深かったものについて、感想や自分に与えた影響についてまとめます。
	事後学習	感想文の書き方を復習しておいてください。
11	事前学習	自分が紹介した本を、どのように表現したらみんなが読みたくなるか、プレゼンテーションの方法を考えておいてください。
	授業内容	課題作文 2 自分の読書体験を発表しよう。前回の課題について、自分の書いた文章を口頭発表してもらい、合評します。
	事後学習	添削で示された部分を復習しておきましょう。
12	事前学習	テキスト13～16ページをよく読んでおきましょう。
	授業内容	文章表現の基本 1 論理的な文章とはどのようなものかを考えます。
	事後学習	テキスト13ページの課題をやっておきましょう。
13	事前学習	テキスト17～24ページをよく読んでおきましょう。
	授業内容	文章表現の基本 2 論理的な文章の書き方を学び、実際に書いてみよう。
	事後学習	テキスト17ページの課題をやっておきましょう。
14	事前学習	テキスト25～28ページをよく読んでおきましょう。
	授業内容	文章表現の基本 3 前回書いた文章を添削し、全員で討論します。
	事後学習	添削で示された部分をリライトしておきましょう。
15	事前学習	半期に学んだことについて、質問事項をまとめておきましょう。
	授業内容	まとめ 前期に学んだことを振り返ります。
	事後学習	授業の到達目的が達成されたか、確認しましょう。

科目名	文章表現法 I	担当者	高橋 啓之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義においては、言語技能のうち、「書く」を中心に、文章の基礎を学んでいく。句読点の打ち方、表記の基礎から始まり、敬語の使い方や改まった手紙・メールの書き方、エントリーシートの書き方などを講義する。また、後期は2000字程度の論理的文章が作成できるよう、構成・参考文献・引用など、論文作成に特化した講義を行う予定である。				
授業目的・到達目標	日本語の「文章力」が落ちている昨今、正確なレポートや論文、或いは手紙や公用文をしっかりと各自が身につけることを目的とする。2000字程度の論文が作成できる。 敬語を使いこなせる。書簡文を正確に作成できる。				
履修条件	特になし。ただし、4年生の優遇は、就職活動を含め、一切ないものとする。また、必ず、1回目の講義に出席すること。 また、皆出席が前提であるため、三分の一以上の欠席は原則単位を認定しない。詳細は最初の講義で説明する。				
授業方法	基本的には講義中心だが、時間内にレポートを課す。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期授業内試験（50％）小テスト（20％）及び授業中の課題（10％）レポート（20％）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業時に指示する。			
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	メールによる質問、相談については授業時に説明する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、自分の文章力を把握する。
	授業内容	前期のガイダンス
	事後学習	次の課題について準備する。
2	事前学習	自分の文章力を元に、800字程度の文章を作成する。
	授業内容	小論文作成（800字程度）
	事後学習	本課題について考える。
3	事前学習	前回の文章をふまえて、改めて自身の文章力を見直す。
	授業内容	文章の基礎を学ぶ。
	事後学習	今回の講義を踏まえて文章を作る。
4	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	文章の長さと文末表現
	事後学習	自分の文章力を見直す。

5	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	句読点について
	事後学習	講義を踏まえて、文章を作成する。
6	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	悪文について（1）
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
7	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	悪文について（2）
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
8	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	話し言葉と書き言葉
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
9	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	引用について
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
10	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	参考文献について
	事後学習	文献収集し、参考文献一覧を作成する。
11	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	敬語について
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
12	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	手紙について（1）
	事後学習	手紙を書いてみる。
13	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	手紙について（2）
	事後学習	改まった手紙を書く。
14	事前学習	前期の講義を振り返り、質問を考える。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
15	事前学習	授業内試験の準備
	授業内容	前期のまとめ（2）
	事後学習	全体の復習

科目名	文章表現法Ⅰ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	直面する問題を主体的に考察し、関係のある情報を適切に整理しながら、解決策を的確に表現することができる。				
授業目的・到達目標	在学中・卒業後に書くことが求められる文章を取り上げる。それは、文学的な感動を起こさせるものではなく、事実を正確に伝える文章である。そして、事実に基づいた意見を主張する表現、または相手を納得させる表現とはどのようなものなのかを学ぶ。様々な文章を書くことによって、状況に応じた書き方の違いがあるに気づいた上で、それぞれの文書スタイルを修得する。				
履修条件	特になし。但し、受講希望者が多数の場合は添削指導の回数が減ることを了解してもらいたい。				
授業方法	教科書に従って進める。授業時間内で書くこともしばしば求めため、国語辞典（電子手帳可）を必ず持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内容をどの程度正確に理解しているかを評価する。 前期・後期授業内試験（80％）＋授業への参加度（20％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2007年	翰林書房	日本語表現法 21世紀を生きる社会人のたしなみ		庄司達也ほか
	備考				
参考書	三省堂編集所編『新しい国語表記ハンドブック』：三省堂など。授業中に、必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	要約ノートを準備し、新聞の社説を要約する（次回の授業で提出）
2	事前学習	前回の授業で配られたプリントを読んでおく
	授業内容	意見文を書く[実践]
	事後学習	新聞の社説を要約する（次回の授業で提出）
3	事前学習	前回の授業で配られたプリントを読んでおく
	授業内容	表記について[説明]
	事後学習	新聞の社説を要約する（次回の授業で提出）
4	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	（教科書）第1章「まずは書いてみよう」＋復習プリント
	事後学習	新聞の社説を要約する（次回の授業で提出）

5	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第2章「悪文とは？」＋復習プリント
	事後学習	新聞の社説を要約する(次回の授業で提出)
6	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	要約文と意見文の作成方法を学ぶ[説明]
	事後学習	要約文と意見文の違いを確認する
7	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	要約文と意見文の作成方法を学ぶ[実践①]
	事後学習	要約文の書き方を確認する
8	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	要約文と意見文の作成方法を学ぶ[実践②]
	事後学習	意見文の書き方を確認する
9	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第3章「良い文章を書くために」①
	事後学習	レポートの文体を確認する
10	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第3章「良い文章を書くために」②＋復習プリント
	事後学習	文献の引用方法を確認する
11	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第4章「さあ文章を書いてみよう」①
	事後学習	作文・論作文・論文それぞれの違いを確認する
12	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第4章「さあ文章を書いてみよう」②＋復習プリント
	事後学習	文章の構成を確認する
13	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第5章「プレゼンテーションをより効果的に」①
	事後学習	プレゼンテーションの手順と注意点を確認する
14	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第5章「プレゼンテーションをより効果的に」②＋復習プリント
	事後学習	プレゼンテーションのアウトラインを確認する
15	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	前期授業の復習テストとその解説
	事後学習	教科書巻末にある練習問題を解く

科目名	文章表現法 I	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代は誰もが「文章は書ける」ものだと思われているかもしれない。しかし、どれだけの人が読み手に対して説得的で、かつ魅力的な文章を書くことができるだろうか。本講義では、書くことに関して意識すべき、基本的な事柄を練習してゆく。					
授業目的・到達目標	日常生活に関して必要な文章作法を身につけ、的確な文章を書く力を習得する。学期を通じて、自分の意見を的確に表現できる文章力の向上と、レポート作成に関する技術の習得を目指す。					
履修条件	特になし。					
授業方法	おおよそ毎時間、履修生に課題を出し、文章を書いてもらう。それをもとに講義を行ってゆくため、欠席は原則として認めないので注意すること。なお、シラバスの授業進行はテーマが前後することもあることをお断りしておく。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の授業で課題として出す作文を、評価基準として重視する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内で配布するプリントをテキストとして使用する。				
参考書	授業中に適宜指示します。					
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの自分の文章表現に対する取り組みを振り返っておくこと。
	授業内容	イントロダクション。文章表現について
	事後学習	文章表現について、講義の要点の復習をしておくこと。
2	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	自己紹介文を書く
	事後学習	自己紹介文について、講義の要点の復習をしておくこと。
3	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	記憶を書く
	事後学習	記憶を書くことについて、講義の要点の復習をしておくこと。
4	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	悪文に学ぶ
	事後学習	悪文に学ぶことについて、講義の要点の復習をしておくこと。

5	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	厳密に書く
	事後学習	厳密に書くことについて、講義の要点の復習をしておくこと。
6	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	言い換えに注意して書く
	事後学習	言い換えに注意して書くことについて、講義の要点の復習をしておくこと。
7	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	エピソードを書く
	事後学習	エピソードを書くことについて、講義の要点の復習をしておくこと。
8	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	近親者に向けて書く
	事後学習	近親者に向けて書くことについて、講義の要点の復習をしておくこと。
9	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	長文記事をまとめる
	事後学習	長文記事をまとめることについて、講義の要点の復習をしておくこと。
10	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	肯定・否定の意見を書く
	事後学習	肯定・否定の意見を書くことについて、講義の要点の復習をしておくこと。
11	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	学生生活について報告する
	事後学習	学生生活の報告について、講義の要点の復習をしておくこと。
12	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。
	授業内容	レポートの目標を設定する
	事後学習	レポートの目標を設定することについて、講義の要点の復習をしておくこと。
13	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。最終課題に向けての準備をすること。
	授業内容	引用・参考文献をまとめる
	事後学習	引用・参考文献をまとめることについて、講義の要点の復習をしておくこと。
14	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。最終課題に向けての準備をすること。
	授業内容	レポートを執筆する
	事後学習	レポートを執筆することについて、講義の要点の復習をしておくこと。
15	事前学習	前回内容の確認をしておくこと。最終課題に向けての準備をすること。
	授業内容	半期の授業をふりかえり、理解の到達度を確認する。最終課題の提出
	事後学習	半期を振り返り、要点を復習すること。

科目名	文章表現法 I	担当者	渡辺 重人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文章表現法Ⅰは、〈書く〉という言語技能を中心に洗練し、効果的な文章表現ができるようになることを目指す授業です。そのため、授業時と準備学修時に文章作成を通して〈書く〉という言語技能を十分に発揮していくことが肝要となります。このプロセスによって、実用文などを必要に応じて適切に作成できるようになります。			
授業目的・到達目標	文章表現法Ⅰでは、文章表現に関する知識と技術を修得します。具体的な到達目標は以下のとおりです。１．文章表現に必要な基本的な知識と技術を身に付けることができる。２．敬語を用いた実用文などジャンル別の文章表現が適切にできる。			
履修条件	何事にも積極的に取り組むことを求めます。			
授業方法	講義形式と演習形式を複合して進めます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	到達度試験（敬意表現・手紙文）50%、小テスト（敬語）20%、提出物と授業時の積極性30%で評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリントを配布します。		
参考書	文章表現に関する文献を授業時に適宜紹介します。			
オフィスアワー	watanabe.shigetol1★nihon-u.ac.jp ★印を@に変更してください。エラーでメールのやりとりができないことがあります。レスポンスが遅い場合は授業の前後に直接申し出てください。なお、課題や演習問題の提出は紙媒体のみとなります。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、学修について見通しを持ちます。
	授業内容	学修活動を確認します。
	事後学習	スケジュールを踏まえて、各自の学修計画を立てます。
2	事前学習	日常的に用いている表記について想起しておきます。
	授業内容	表記法の確認：表記の基準と読みやすさについて確認します。
	事後学習	各自が用意した文章を表記の基準に注意しながら読みます。
3	事前学習	わかりやすい説明文の特徴について想起しておきます。
	授業内容	説明文の作成：わかりやすい説明の仕方について理解し、実践します。
	事後学習	作成例を基に説明文をリライトします。
4	事前学習	要約文作成のポイントについて想起しておきます。
	授業内容	要約文の作成：要点の捉え方と文章化の手順について理解し、実践します。
	事後学習	作成例を基に要約文をリライトします。

5	事前学習	日常的な尊敬語の使用について想起しておきます。
	授業内容	敬意表現：尊敬語 尊敬語の適切な使用について理解します。
	事後学習	日常的な尊敬語の使用が適切かどうかについて、学修内容を踏まえて再確認します。
6	事前学習	日常的な謙譲語の使用について想起しておきます。
	授業内容	敬意表現：謙譲語Ⅰ・謙譲語Ⅱ 謙譲語Ⅰ・謙譲語Ⅱの適切な使用について理解します。
	事後学習	日常的な謙譲語の使用が適切かどうかについて、学修内容を踏まえて再確認します。
7	事前学習	日常的な丁寧語・美化語の使用について想起しておきます。
	授業内容	敬意表現：丁寧語・美化語 丁寧語・美化語の適切な使用について理解します。
	事後学習	日常的な丁寧語・美化語の使用が適切かどうかについて、学修内容を踏まえて再確認します。
8	事前学習	日常的な敬語使用が適切かどうかについて想起しておきます。
	授業内容	敬意表現：誤用例　小テスト 誤用例について学び、小テストで到達度を確認します。
	事後学習	小テストを踏まえて、敬語使用についての弱点を確認します。
9	事前学習	手紙文作成に関する、現段階での知識をまとめておきます。
	授業内容	実用文：手紙文（目上宛の私信）の基本 手紙文の基本ルールについて理解します。
	事後学習	作成例を基に手紙文の基本ルールについて確認します。
10	事前学習	手紙文作成の準備をします。
	授業内容	実用文：手紙文の作成 基本ルールを活用し、手紙文を作成します。
	事後学習	作成例を基に手紙文をリライトします。
11	事前学習	日常的なメールの使用に問題点がないか、確認します。
	授業内容	実用文：メールの基本 教員とのメール、就職活動時のメールについての注意点を学びます。
	事後学習	作成例を基にメールをリライトします。
12	事前学習	自己分析の準備をします。
	授業内容	実用文：エントリーシート作成の基本 基本的な知識と手順について理解します。
	事後学習	エントリーシートの効果的な作成の仕方について整理します。
13	事前学習	自己分析を踏まえてアピールポイントを確認します。
	授業内容	実用文：自己PR作成 基本的な知識と手順を踏まえ、自己PRを作成します。
	事後学習	作成例を基に自己PRをリライトします。
14	事前学習	敬意表現と手紙文についての学修内容を整理します。
	授業内容	到達度試験の準備と実施：敬意表現と手紙について到達度を確認します。
	事後学習	敬意表現と手紙文について自己点検をします。
15	事前学習	敬意表現と手紙文についての自己点検の結果を振り返ります。
	授業内容	到達度試験の振り返り：到達度試験の結果を振り返り、各自の弱点について検討します。
	事後学習	敬意表現と手紙文についての弱点を再確認し、克服を図ります。

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	大熊 圭子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	大学院入試・公務員試験など、今後さまざまな場面で論文（小論文）を書くことが要求されるだろう。この授業では論文の中でも、自分の主張を展開するだけでなく対立する主張と議論するようなものを書くこと、そのために特に批判する力をつけること、そして他の人と違う自分らしさの出た論文を書くことを指導していく。				
授業目的・到達目標	【授業目的】論理的・批判的思考力：あるテーマについて論理的に自分の主張を展開し、対立する主張と議論するような論文を書ける力をつける。 コミュニケーション力：他者の意見を理解する。自分の考えを伝えることができる。 【到達目標】きちんとした論証を展開している文を書ける。自分とは違う主張を持つ人の立場で考え、さらにそれを的確に批判することができる。あるテーマについて多角的に捉えて他の人とは違う視点で論ずることができる。				
履修条件	大学生としての最低限の国語力を有する人。 前期の文章作法Ⅰを履修していることが望ましい。				
授業方法	テーマについて論理的に考え、それを論理的に書いていくトレーニング。提出したものはチェックして返却します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業態度および【到達目標】がどの程度できているか（授業内で行う課題でチェック）により総合評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書				
オフィスアワー	水曜日 18:00~19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること。 okuma.keiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む 特に、文章作法Ⅰの内容をよく読む。文章作法Ⅰを履修していた人はその内容を復習しておく。
	授業内容	授業概要
	事後学習	シラバスを見て授業内容を確認する
2	事前学習	シラバスで後期の内容を確認する
	授業内容	立論・異論・批判とは
	事後学習	授業内容を復習する
3	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判について
	事後学習	授業内容を復習する ニュースの中から主張を聞きとり、それについて批判してみる
4	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	立論・異論・批判を考える
	事後学習	授業内容を復習する テーマを設定し、立論・異論・批判を考えてみる

5	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	あいまいな表現について
	事後学習	授業内容を復習する 新聞の投書欄を見て、あいまいな表現を探してみる
6	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	立論・異論・批判を考える（続き）
	事後学習	授業内容を復習する テーマを設定し、立論・異論・批判を考えてみる
7	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	再批判の形
	事後学習	授業内容を復習する テーマを設定し、再批判の形で論証を作ってみる
8	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	批判の演習
	事後学習	授業内容を復習する 話題となっていることについて、いろいろな視点から眺めて批判してみる
9	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	構成の演習
	事後学習	授業内容を復習する 実際に小論文を書くことを前提に、構成を考えてみる
10	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	メモと構成の演習
	事後学習	授業内容を復習する 人と違う視点で書けるように、物事を多角的に見る練習をしておく
11	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	立論・異論・批判の演習
	事後学習	授業内容を復習する あるテーマを設定し、それについて立論・異論・批判を考えてみる
12	事前学習	前回の授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	構成について（続き）
	事後学習	授業内容を復習する 立論・異論・批判を考えつつ、小論文を書くための構成を考える練習をする
13	事前学習	これまでの授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	これまでの復習
	事後学習	これまでに習ったことをすべて見直しておく
14	事前学習	これまでに習った授業内容における不明点を明らかにしておく
	授業内容	小論文を書く
	事後学習	できたところ、できなかったところを考える
15	事前学習	できたところ、できなかったところを再度考える
	授業内容	小論文講評 論理的に考えるために
	事後学習	できなかったところを明確にしておく

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、「社会人として実社会を生きていく上で必要な文章表現法」という観点から、講義を進める。具体的には、社会に出てから必要とされる冠婚葬祭の場での祝儀袋・不祝儀袋・贈答品の表書きの書き方、敬語法の正しい理解と使用、就職活動等において必要とされる各種の課題文の書き方、長文の要約法などを中心に扱う。			
授業目的・到達目標	〔一〕 社会生活を送る上で必要となる文章表現法を理解し、それを実際に使って、自己表現できることを目的とする。 〔二〕 就職活動などで必要とされる要約力・自己表現力・文章表現力を身に付けることも目標とする。			
履修条件	2/3以上の出席が必要。欠席・遅刻・早退には厳しく対応する。ゼミ関連・遠征・競技・各種実習などでの欠席は、90分授業相当の課題レポートを提出した者のみ出席扱いとする。以上を了解した者のみ履修を認める。			
授業方法	テキストとプリント資料併用で、講義と演習を組み合わせた授業。各自の文章を教材として使用することもあるので了承の上で履修して欲しい。レポート、小テストを多く課すので心して受講すること。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上の出席が必要。授業内試験、小テスト、課題レポートで総合的に評価する（上記「履修条件」を参照のこと）。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	翰林書房	『日本語表現法〔改訂版〕——21世紀を生きる社会人のたしなみ』	庄司達也・山岸郁子・小野美典ほか
	備考			
参考書	授業中に適宜紹介する。なお、授業には必ず国語辞典を持参すること。			
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読んで、講義の流れを理解しておく。
	授業内容	講義概要の説明（成績評価の方法なども詳細に説明するので、必ず出席すること）
	事後学習	講義内での配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。
2	事前学習	テキストの第10章の前半（59～62ページ）を事前に読んで講義に臨む。わからない語句があったら事前に調べておく。
	授業内容	冠婚葬祭・贈答にかかわる文章表現1（祝儀・不祝儀袋のおもて書き）
	事後学習	テキストの課題1（59ページ）をやり直すことで、理解の徹底を図る。
3	事前学習	テキストの第10章の後半（63～64ページ）を事前に読んで講義に臨む。わからない語句があったら事前に調べておく。
	授業内容	冠婚葬祭・贈答にかかわる文章表現2（熨斗と水引の意味）
	事後学習	講義中の配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。ウェブサイトで熨斗・水引・熨斗袋・熨斗紙について調査する。
4	事前学習	図書館の資料やウェブサイトなどで日本の年中行事を調べ、その際に必要とされる「文章表現」や様々な「書き方」の慣習について調べておく。
	授業内容	冠婚葬祭・贈答にかかわる文章表現3（年中行事で使う文章表現）
	事後学習	テキストの課題2（59ページ）をやり直すことで、理解の徹底を図る。

5	事前学習	テキストの第6章の前半（33～34ページ）を事前に読んで講義に臨む。わからない語句があったら事前に調べておく。
	授業内容	敬語法 1（敬語法の基本概念）
	事後学習	テキストの課題（33ページ）をやり直すことで、理解の徹底を図る。
6	事前学習	テキストの第6章の後半（35～36ページ）を事前に読んで講義に臨む。わからない語句があったら事前に調べておく。
	授業内容	敬語法 2（社会の中に見られる敬語の誤用）
	事後学習	講義内での配付プリントを読み直し、理解の徹底を図る。また、配付プリントに掲載されている練習問題を解いてみる。
7	事前学習	今回の講義内容は、テキストにはない事項なので、5・6回の講義内容をよく復習して講義に臨む。
	授業内容	敬語法 3（注意すべき敬語の用法）
	事後学習	配付プリントに掲載されている各種試験における敬語法の練習問題を解いてみる。
8	事前学習	テキストの第6章の末尾掲載の資料（37～38ページ）を事前に読んで講義に臨む。わからない語句があったら事前に調べておく。
	授業内容	敬語法 4（正しい敬語）
	事後学習	返却された小テストの間違った箇所を各自で確認し、正しい解答を考える。
9	事前学習	今回から14回までは、「課題の完成・提出」「課題への解説」「添削の返却」「添削内容の確認」を繰り返す講義である。それらの前提が文章表現・論文作成の基礎なので、テキストの3・4章を事前に読んで講義に臨むようにする。
	授業内容	小論文・論文の実践演習 1（要約の方法）
	事後学習	講義内配布資料を読み直して、本文理解に誤りがないか確認する。また、各自の課題が適切になされているか確認する。
10	事前学習	14回までは、「課題の完成・提出」「課題への解説」「添削の返却」「添削内容の確認」を繰り返す講義である。それらの前提が文章表現・論文作成の基礎なので、テキストの3・4章を事前に読んで講義に臨むようにする。
	授業内容	小論文・論文の実践演習 2（要約の実践）
	事後学習	講義内配布資料を読み直して、本文理解に誤りがないか確認する。また、各自の課題が適切になされているか確認する。
11	事前学習	14回までは、「課題の完成・提出」「課題への解説」「添削の返却」「添削内容の確認」を繰り返す講義である。それらの前提が文章表現・論文作成の基礎なので、テキストの3・4章を事前に読んで講義に臨むようにする。
	授業内容	小論文・論文の実践演習 3（意見論述の方法）
	事後学習	講義内配布資料を読み直して、本文理解に誤りがないか確認する。また、各自の課題が適切になされているか確認するとともに、添削して返却された課題に関して、各自の答案の問題点を押さえておく。
12	事前学習	14回までは、「課題の完成・提出」「課題への解説」「添削の返却」「添削内容の確認」を繰り返す講義である。それらの前提が文章表現・論文作成の基礎なので、テキストの3・4章を事前に読んで講義に臨むようにする。
	授業内容	小論文・論文の実践演習 4（意見論述の実践）
	事後学習	講義内配布資料を読み直して、本文理解に誤りがないか確認する。また、各自の課題が適切になされているか確認する。
13	事前学習	14回までは、「課題の完成・提出」「課題への解説」「添削の返却」「添削内容の確認」を繰り返す講義である。それらの前提が文章表現・論文作成の基礎なので、テキストの3・4章を事前に読んで講義に臨むようにする。
	授業内容	小論文・論文の実践演習 5（演習解説 1）
	事後学習	講義内配布資料を読み直して、本文理解に誤りがないか確認する。また、各自の課題が適切になされているか確認するとともに、添削して返却された課題に関して、各自の答案の問題点を押さえておく。
14	事前学習	14回までは、「課題の完成・提出」「課題への解説」「添削の返却」「添削内容の確認」を繰り返す講義である。それらの前提が文章表現・論文作成の基礎なので、テキストの3・4章を事前に読んで講義に臨むようにする。
	授業内容	小論文・論文の実践演習 6（演習解説 2）
	事後学習	講義内配布資料を読み直して、本文理解に誤りがないか確認する。また、各自の課題が適切になされているか確認する。
15	事前学習	講義全体を振り返り、学習内容の整理をしておく。
	授業内容	まとめと整理
	事後学習	発展学習として、テキスト65～71ページの練習問題を解いてみる。

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	茅原 雅之	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本語表現に関する基礎的な事項を確認し、また講義によって得た知識を、実際の文章作成に活用できるようにしていく。「文章表現法Ⅱ」では、主に小論文の書き方を中心に学習する。小論文作成の技術を習得するとともに、文章を書くことに慣れ親しむことを目的に学習する。			
授業目的・到達目標	日本語の表現力は、分かりやすい文章、上手な文章を書こうと意識して努力しないかぎり、なかなか上達するものではありません。この授業では、文章には一定の表現形式があり、書き方のルールがあることを学習します。また実際に文章を作成していくことで、文章を書くことの楽しさを学んでいきます。大学生として恥ずかしくないレベルでの文章作成能力の獲得を目指します。わかりやすい文章が作成できること、論理的な文章が作成できることを到達目標とします。長文の作成により、文章の表現力を高めることを目標とします。			
履修条件	文章表現の能力向上に興味がある者、また本気で取り組む意思がある者。授業では発言を求められることがあり、積極的に授業に参加できることが履修の条件となります。			
授業方法	講義および実習によって進める。文章作成にあたっての留意点を講義したのち、学生各自が文章を作成する。また授業内において、作成した文章を学生各自が発表し、文章の問題点や良い点などを検討していく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内で作成した文章の到達度、および授業内試験の成績。授業時に指示する文章作成の課題については、必ず提出すること。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年3月20日	翰林書房	日本語表現法〔改訂版〕21世紀を生きる社会人のたしなみ	庄司達也・山岸郁子・他
	備考			
参考書	『国語表現ハンドブック新訂版』長谷川泉著 明治書院			
オフィスアワー	質問・相談については電子メールにて対応。E-mail:locke@sea.plala.or.jp また授業の前後にも受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書・辞書の準備。
	授業内容	文章表現の基礎、漢字の確認。（1）
	事後学習	教科書〈練習問題〉項目の復習。
2	事前学習	配布資料〈漢字〉の予習。
	授業内容	文章表現の基礎、ことわざ・故事成語の確認。
	事後学習	配布資料〈漢字〉の復習。
3	事前学習	配布資料〈小論文の書き方〉の予習。
	授業内容	小論文を書く。（1、小論文の書き方）
	事後学習	配布資料〈小論文の書き方〉の復習。
4	事前学習	教科書〈さあ文書を書いてみよう〉項目の予習。
	授業内容	小論文を書く。（2、小論文の構成）
	事後学習	教科書〈さあ文書を書いてみよう〉項目の復習。

5	事前学習	小論文執筆のための資料準備。
	授業内容	小論文を書く。（3，小論文における言葉遣い）
	事後学習	提出課題〈小論文A〉の作成。
6	事前学習	配布資料〈各種小論文〉の予習。
	授業内容	小論文を書く。（4，小論文の各種応用問題）
	事後学習	配布資料〈各種小論文〉の復習。
7	事前学習	小論文執筆のための資料準備。
	授業内容	小論文を書く。（5，小論文の作成）
	事後学習	提出課題〈小論文B〉の作成。
8	事前学習	エッセイについての事前調査。
	授業内容	エッセイを書く。（1，エッセイとは何か）
	事後学習	配布資料〈各種エッセイ〉の復習。
9	事前学習	エッセイにて表現する〈自分〉について考えておく。
	授業内容	エッセイを書く。（2，エッセイにおける「自分」）
	事後学習	提出課題〈3分スピーチ〉の作成。
10	事前学習	エッセイにて表現する〈文筆力〉について考えておく。
	授業内容	エッセイを書く。（3，エッセイにおける「文筆力」）
	事後学習	〈自分〉と〈文筆力〉をどのように表現するのか再確認する。
11	事前学習	エッセイ執筆のための資料準備。
	授業内容	エッセイを書く。（4，エッセイの作成）
	事後学習	提出課題〈エッセイ〉の作成。
12	事前学習	教科書〈効果的な文章作成〉項目の予習。
	授業内容	エントリーシート・公文書・履歴書の書き方。
	事後学習	提出課題〈エントリーシート〉の作成。
13	事前学習	配布資料〈ことわざ・四字熟語〉の予習。
	授業内容	文章表現の基礎，漢字の確認。（2）
	事後学習	配布資料〈ことわざ・四字熟語〉の復習。
14	事前学習	授業にて理解不十分であった点を自己点検する。
	授業内容	後期のまとめ。後期授業に関する質疑応答。
	事後学習	後期授業の自己総括。
15	事前学習	後期到達試験に関する学習。
	授業内容	後期到達度試験、および解答と解説。講義全体のまとめ。
	事後学習	試験に関する自己反省。

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	木村 一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	われわれは〈ことば〉をもって思考し、意思を伝達する。それにも関わらず、意思の伝達が困難になりつつある。現代人であるわれわれは、いかに〈ことば〉の重要性を再認識し自身のものとなし得るのか。読みと考察と実践とで鍛錬していく。			
授業目的・到達目標	あらゆる状況に対して、ある程度の自信と指針を持って対処できるようになることを目的とする。 何が求められていて、自分が何をどのように表現していくべきなのかという状況判断ができるようになること。			
履修条件	特になし			
授業方法	テキスト・資料を参照し講義をする。基本的に毎回、課題に解答してもらう。 前期は基本編、後期は応用編。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	(70%)授業内試験。講義で鍛錬したことの基礎知識、理解度、応用度、柔軟性を総合的に評価する。(30%)受講態度、課題への取り組みの姿勢を評価の対象とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年3月	おうふう	文章表現ガイダンス	西山春文 他
	備考	各自、提出用の原稿用紙（縦書・四百字詰）とホチキスを用意すること。		
参考書	必要に応じて講義当日にプリントを配布する。辞書を必携とするが、電子辞書だと便利。 なお、電子端末（＝スマホ・タブレット）の使用は認めない。			
オフィス アワー	kimuraworknitidai@yahoo.co.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期までの確認
	授業内容	後期導入、どのように進めるか。
	事後学習	これまでの学修内容の整理
2	事前学習	テキストの当該箇所の内容把握
	授業内容	1 4 時 限 エントリーシート・履歴書の書き方 14.1 エントリーシートの書き方 14.2 履歴書の書き方
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握
3	事前学習	前回の学修内容の整理
	授業内容	X 時 限 エントリーシート応用
	事後学習	学修内容の整理
4	事前学習	これまでの学修内容の応用編という自覚 後期の眼目は、歴代作家から文章について学ぶことである。
	授業内容	谷崎潤一郎の「文章読本」から学ぶこと
	事後学習	講義内容の確認

5	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	伊藤整から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
6	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	萩原朔太郎から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
7	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	井伏鱒二の苦悩から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
8	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	宇野千代のスタンスから学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
9	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	佐多稲子から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
10	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	川端康成のこだわりから学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
11	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	三島由紀夫の考え方から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
12	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	安岡章太郎から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
13	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	丸谷才一の「種明かし」から学ぶもの
	事後学習	講義内容の確認
14	事前学習	前回の講義内容の確認
	授業内容	金井美恵子に至るもの
	事後学習	講義内容の確認
15	事前学習	これまでの学修内容の整理と確認
	授業内容	期末試験及び振り返り
	事後学習	テキストの内容の把握と、講義での展開の把握

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	鹿野　しのぶ	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文章表現における社会人としてのたしなみを身につけます。特に冠婚葬祭でのマナー・敬語表現などを身に付けます。また、自分の考えをわかりやすく論理的に伝える書き方を学びます。					
授業目的・到達目標	文章を作成するに当たっての基本的なことを学ぶことを目的とします。自分の意見をまとめ、論理的な文章構成を考え、実践的に表現できるようになることを目標とします。					
履修条件	積極的に授業に参加できる学生向けの授業です。受講希望者は、第1回目の授業に必ず出席して、ガイダンスを受けてください。					
授業方法	課題作文やその発表など、学生による演習型の授業です。ほぼ毎回、課題を提出・添削を行うことにより、よりわかりやすい文章を書く力を身につけましょう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		課題作文の提出により評価をします。また、質疑応答での発言回数や内容なども評価ポイントとします。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011年	翰林書房		『日本語表現法 改訂版 21世紀を生きる社会人のたしなみ』		庄司達也・山岸郁子・小野美典他
	備考					
参考書	授業中になるべく多く紹介します。					
オフィスアワー	授業内で質問を受け付けます。その他、講義中に指示します。					

【授業計画】

回数	授　業　内　容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでください。
	授業内容	授業ガイダンス 授業の進め方、受講に当たってのルール、持参するものについて説明します。
	事後学習	テキストを準備し、一通り読んでおきましょう。
2	事前学習	テキスト59～63ページを読んでおきましょう。
	授業内容	冠婚葬祭のマナーを学びます。 祝儀・不祝儀袋の書き方、水引の意味など、伝統文化なども学びます。
	事後学習	付録6のbに祝儀袋の書き方にしたがってもう一度書き、確認しておきましょう。
3	事前学習	テキスト33～38ページを読んでおきましょう。
	授業内容	敬語法について学びます。 場面に応じた適切な敬語を使えるように学習します。
	事後学習	テキスト33ページの課題を再度確認しておきましょう。
4	事前学習	テキスト7～12ページをよく読んでおきましょう。
	授業内容	課題作文1 論理的な文章の書き方を学びます。400字程度の文章を書きます。
	事後学習	授業内で示された参考図書を読んでおきましょう。

5	事前学習	前回の授業で指示される課題1について、必要な参考文献を図書館で調べておきましょう。
	授業内容	課題作文2 前回の授業で指示される課題1について、自分の意見を文章に書きます。
	事後学習	テキスト13～16ページを復習しておきましょう。
6	事前学習	課題1について補足資料がないか、調べておきましょう。
	授業内容	課題作文3 課題1について書いた文章を適宜発表し、受講者全員で討議します。
	事後学習	添削された点を確認しリライトしてみましょう。
7	事前学習	前回の授業で指示される課題2について、必要な参考文献を図書館で調べておきましょう。
	授業内容	課題作文4 前回の授業で指示される課題2について、自分の意見を文章に書きます。
	事後学習	テキスト20～23ページを読み返しておきましょう。
8	事前学習	課題2について補足資料がないか、調べておきましょう。
	授業内容	課題作文5 課題2について書いた文章を適宜発表し、受講者全員で討議します。
	事後学習	添削された点について、リライトしてみましょう。
9	事前学習	前回の授業で指示される課題3について、必要な参考文献を図書館で調べておきましょう。
	授業内容	課題作文6 前回の授業で指示される課題3について、自分の意見を文章に書きます。
	事後学習	テキスト8～12ページを読んでおきましょう。
10	事前学習	課題3について補足資料がないか、調べておきましょう。
	授業内容	課題作文7 課題3について書いた文章を適宜発表し、受講者全員で討議します。
	事後学習	添削された点を確認し、リライトしてみましょう。
11	事前学習	自由作文1の題材について、図書館を利用して調べておきましょう。
	授業内容	自由作文1 各自が自由なテーマで文章を書きます。日ごろ受講者が考えていることを論理的な文章にまとめてみましょう。
	事後学習	補足資料がないか、図書館を利用して調べておきましょう。
12	事前学習	自由作文1について、問題点をまとめておきましょう。
	授業内容	自由作文1について、適宜口頭で発表し、講評をします。
	事後学習	添削された点を確認しリライトしてみましょう。
13	事前学習	自由作文2の題材について、図書館を利用して調べておきましょう。
	授業内容	自由作文2 各自が自由なテーマで文章を書きます。日ごろ考えていることを論理的な文章にまとめてみましょう。
	事後学習	補足資料がないか、図書館を利用して調べておきましょう。
14	事前学習	自由作文について、問題点をまとめておきましょう。
	授業内容	自由作文2について、適宜口頭で発表し、講評をします。
	事後学習	添削で示された部分をリライトしておきましょう。
15	事前学習	テキストを再度よく読んでください。
	授業内容	まとめ 半期で学んだことを振り返ります。
	事後学習	授業目的、到達目標が達成できたかを確認してみましょう。

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	高橋 啓之	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義においては、2000字程度の論理的文章が作成できるよう、構成・参考文献・引用・パラグラフライティングなど、論文作成に特化した講義を行う予定である。そのほか、エントリーシートや公用文などを実践的に講義する。				
授業目的・到達目標	日本語の「文章力」が落ちている昨今、正確なレポートや論文、或いは手紙や公用文をしっかりと各自が身につけることを目的とする。2000字程度の論文が作成できる。				
履修条件	特になし。ただし、4年生の優遇は、就職活動を含め、一切ないものとする。また、必ず、1回目の講義に出席すること。また、皆出席が前提であるため、三分の一以上の欠席は原則単位を認定しない。詳細は最初の講義で説明する。				
授業方法	基本的には講義中心だが、時間内にレポートを課す。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト（30％）レポート（20％）及び授業中の課題（10％）最終レポート（40％）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業時に支持する。			
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	メールによる質問、相談については授業時に説明する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、自分の文章力を把握する。
	授業内容	後期のガイダンス
	事後学習	次の課題について準備する。
2	事前学習	自分の文章力を元に、800字程度の文章を作成する。
	授業内容	説明スキーマについて
	事後学習	本課題について考える。
3	事前学習	前回の文章をふまえて、改めて自身の文章力を見直す。
	授業内容	説明文作成と相互添削
	事後学習	今回の講義を踏まえて文章を作る。
4	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	マッピングについて
	事後学習	自分の文章力を見直す。

5	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	構成について
	事後学習	講義を踏まえて、文章を作成する。
6	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	構成の方法
	事後学習	構成表を作成する。
7	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	パラグラフ・ライティングについて
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
8	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	引用について
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
9	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	引用について (2)
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
10	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	参考文献について
	事後学習	文献収集し、参考文献一覧を作成する。
11	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	要約について
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
12	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	他人の文章を批評する。
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
13	事前学習	今回のテーマについて予習する。
	授業内容	客観的文章について
	事後学習	講義を踏まえて文章を作る。
14	事前学習	レポート作成の準備
	授業内容	レポートについての質疑
	事後学習	レポート作成
15	事前学習	授業内試験の準備
	授業内容	レポート提出と批評
	事後学習	全体の復習

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	直面する問題を主体的に考察し、関係のある情報を適切に整理しながら、解決策を的確に表現することができる。				
授業目的・到達目標	在学中・卒業後に書くことが求められる文章を取り上げる。それは、文学的な感動を起こさせるものではなく、事実を正確に伝える文章である。そして、事実に基づいた意見を主張する表現、または相手を納得させる表現とはどのようなものなのかを学ぶ。様々な文章を書くことによって、状況に応じた書き方の違いがあるに気づいた上で、それぞれの文書スタイルを修得する。				
履修条件	特になし。但し、受講希望者が多数の場合は添削指導の回数が減ることを了解してもらいたい。				
授業方法	教科書に従って進める。授業時間内で書くこともしばしば求めため、国語辞典（電子手帳可）を必ず持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内容をどの程度正確に理解しているかを評価する。 前期・後期授業内試験（８０％）＋授業への参加度（２０％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	２００７年	翰林書房	日本語表現法　２１世紀を生きる社会人のたしなみ		庄司達也ほか
	備考				
参考書	三省堂編集所編『新しい国語表記ハンドブック』：三省堂など。授業中に、必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	研究室（９号館９３０７研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（１２時２０分～１２時５０分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	教科書巻末にある練習問題を解く
2	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	（教科書）第6章「敬語を適切に使おう」
	事後学習	敬語の種類と使用上の注意点を確認する
3	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	（教科書）第7章「手紙を書こう」①[説明]
	事後学習	手紙の構成と表現を確認する
4	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	（教科書）第7章「手紙を書こう」②[実践①]
	事後学習	近況報告の手紙の書き方を確認する

5	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第7章「手紙を書こう」③[実践②]
	事後学習	案内の手紙の書き方を確認する
6	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第7章「手紙を書こう」④[実践③]
	事後学習	お詫びの手紙の書き方を確認する
7	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第8章「効果的な電子メールとは？」
	事後学習	メールを書く時の注意点を確認する
8	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第9章「効果的な文書作成」①エントリーシートを書く[説明]
	事後学習	エントリーシートとはどのようなものなのかを確認する
9	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第9章「効果的な文書作成」②エントリーシートを書く[実践①]
	事後学習	エントリーシート「あなたの夢は何ですか？」を書く時の注意点を確認する
10	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第9章「効果的な文書作成」③エントリーシートを書く[実践②]
	事後学習	エントリーシート「あなたの理想は何ですか？」を書く時の注意点を確認する
11	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第9章「効果的な文書作成」④ビジネス文書を書く[説明]
	事後学習	ビジネス文書の種類と形式を確認する
12	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第9章「効果的な文書作成」⑤ビジネス文書を書く[実践]
	事後学習	社内文書と社外文書の違いを確認する
13	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第9章「効果的な文書作成」⑥履歴書を書く[説明・実践]
	事後学習	履歴書を書くときの注意点を確認する
14	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	(教科書) 第10章「冠婚葬祭・贈答のしきたり」
	事後学習	社会が求める礼儀作法やしきたりを確認する
15	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	後期授業の復習テストとその解説
	事後学習	教科書巻末にある練習問題を解く

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ある程度の長さの文を書くことは、書き慣れている人間でも難しい。本講義では長文を中心に、伝えるべき事柄を精確に書くことや、レトリックについて意識しながら、説得力のある長めの文章を書いてゆく。				
授業目的・到達目標	説得力を持ち、修辞にも意識的である文章を書くことを目的とする。最終的には小論文を作成するが、卒業後の様々な社会生活において文章を書く際にも有益となる文章力をつけてゆく。				
履修条件	「文章表現法Ⅰ」を履修していることが望ましい。				
授業方法	欠席は原則として認めないので注意すること。なお、シラバスの内容はテーマを変更することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義で課題として出す作文を、評価基準として重視する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業内で配布するプリントをテキストとして使用する。			
参考書	授業中に適宜指示する。				
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの自分の文章表現に対する取り組みを振り返っておくこと。
	授業内容	イントロダクション。文章表現について
	事後学習	文章表現について、講義内容の要点を確認しておくこと。
2	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	夏期休暇中の出来事を書く
	事後学習	夏期休暇中の出来事を書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
3	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	引用して書く
	事後学習	引用して書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
4	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	データを援用して書く
	事後学習	データを援用して書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。

5	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	手紙を書く
	事後学習	手紙を書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
6	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	メールを書く
	事後学習	メールを書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
7	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	依頼文を書く
	事後学習	依頼文を書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
8	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	自己PR文を書く
	事後学習	自己PR文を書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
9	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	エントリーシート形式で書く
	事後学習	エントリーシート形式で書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
10	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	書評を書く
	事後学習	書評を書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
11	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	課題文を書く
	事後学習	課題文を書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
12	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。
	授業内容	小論文のアウトラインを書く
	事後学習	小論文のアウトラインを書くことについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
13	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。最終課題に向けての準備をしておくこと。
	授業内容	引用・参考文献のまとめ
	事後学習	引用・参考文献のまとめについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
14	事前学習	前回講義の内容を復習しておくこと。最終課題に向けての準備をしておくこと。
	授業内容	小論文の仕上げ
	事後学習	小論文の仕上げについて、講義内容の要点を確認しておくこと。
15	事前学習	最終課題に向けての準備をしておくこと。
	授業内容	半期の授業をふりかえり、理解の到達度を確認する。最終課題の提出
	事後学習	半期の講義について、要点の復習をしておくこと。

科目名	文章表現法Ⅱ	担当者	渡辺 重人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文章表現法Ⅱは、〈書く〉という言語技能を中心に洗練し、効果的な文章表現ができるようになることを目指す授業です。そのため、授業時と準備学修時に文章作成を通して〈書く〉という言語技能を十分に発揮していくことが肝要となります。このプロセスによって、論理的な文章（小論文）を必要に応じて適切に作成できるようになります。			
授業目的・到達目標	文章表現法Ⅱでは、文章表現に関する知識と技術および論理的思考に基づくパラグラフ・ライティングを修得します。具体的な到達目標は以下のとおりです。1．文章表現に必要な知識とルールを身に付けることができる。2．論理的思考に基づく、論理的な文章を書くことができる。3．パラグラフ・ライティングによる小論文作成ができる。			
履修条件	何事にも積極的に取り組むことを求めます。			
授業方法	講義形式と演習形式を複合して進めます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	課題小論文50%、小テスト（表記と表現）20%、提出物と授業時の積極性30%で評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリントを配布します。		
参 考 書	文章表現に関する文献を授業時に適宜紹介します。			
オフィスアワー	watanabe.shigetol1★nihon-u.ac.jp ★印を@に変更してください。エラーでメールのやりとりができないことがあります。レスポンスが遅い場合は授業の前後に直接申し出てください。なお、課題や演習問題の提出は紙媒体のみとなります。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、学修について見通しを持ちます。
	授業内容	学修活動を確認します。
	事後学習	スケジュールを踏まえて、各自の学修計画を立てます。
2	事前学習	論理的な文章の特徴を想起しておきます。
	授業内容	論理的な文章の基本：パラグラフ・ライティングの概念について理解します。
	事後学習	パラグラフ・ライティングの概念を踏まえて、各自で用意した文章を読みます。
3	事前学習	パラグラフ・ライティングで書かれている文章を探します。
	授業内容	論理的な文章の基本：パラグラフ・ライティングの実際について理解します。
	事後学習	演習問題の解答例を踏まえて、もう一度演習問題に取り組みます。
4	事前学習	各自で用意した文章が、パラグラフ・ライティングで書かれているかについて検討します。
	授業内容	論理的な文章の基本：パラグラフの構造化について実践します。
	事後学習	演習問題の解答例を踏まえて、もう一度演習問題に取り組みます。

5	事前学習	キーワードの効果的な配置について想起しておきます。
	授業内容	論理的な文章の基本：センテンス間の結束性の高め方について実践します。
	事後学習	演習問題の解答例を踏まえて、もう一度演習問題に取り組みます。
6	事前学習	接続詞やキーワードの効果的な配置について想起しておきます。
	授業内容	論理的な文章の基本：パラグラフ間の結束性の高め方について実践します。
	事後学習	演習問題の解答例を踏まえて、もう一度演習問題に取り組みます。
7	事前学習	各自の小論文作成手順を想起しておきます。
	授業内容	誰でも書けるようになる小論文攻略法：論理的思考と発想法について理解します。
	事後学習	各自で課題を設定し、論理的思考と発想法についてトレーニングします。
8	事前学習	表記と表現についての確認に備え、文章作成に関する知識と技術を整理しておきます。
	授業内容	表記と表現についての確認：小テスト 表記と表現の基本について確認します。
	事後学習	表記と表現に関する弱点を再認識し、これまでに書いた文章を振り返ります。
9	事前学習	各自の提案型小論文作成手順を想起しておきます。
	授業内容	誰でも書けるようになる小論文攻略法：提案型小論文の攻略法を身に付けます。
	事後学習	作成例を参照し、提案型小論文の攻略法を修得します。
10	事前学習	各自の抽象題型小論文作成手順を想起しておきます。
	授業内容	誰でも書けるようになる小論文攻略法：抽象題型小論文の攻略法を身に付けます。
	事後学習	作成例を参照し、抽象題型小論文の攻略法を修得します。
11	事前学習	各自の自己PR型小論文作成手順を想起しておきます。
	授業内容	誰でも書けるようになる小論文攻略法：自己PR型小論文の攻略法を身に付けます。
	事後学習	作成例を参照し、自己PR型小論文の攻略法を修得します。
12	事前学習	課題小論文作成に必要な情報が何であるかについて検討しておきます。
	授業内容	誰でも書けるようになる小論文攻略法：情報収集の基本について確認し、実践します。
	事後学習	情報収集で得たデータを整理します。
13	事前学習	情報収集で得たデータを基に目標規定文を作成します。
	授業内容	誰でも書けるようになる小論文攻略法：パラグラフ・ライティングによる課題小論文作成の準備をします。
	事後学習	各論のパラグラフのトピックを選定し、アウトラインを考えます。
14	事前学習	各論のパラグラフのトピックを基にトピック・センテンスを作成します。
	授業内容	課題小論文（800字）の作成：課題小論文を作成し、提出します。
	事後学習	課題小論文の控えを熟読し、完成度を検証します。
15	事前学習	完成した課題小論文をリライトします。
	授業内容	課題小論文の振り返りと授業のまとめ。
	事後学習	課題小論文の振り返りを通して、文章作成上の注意事項を各自でまとめます。

科目名	倫理学 I	担当者	金子 佳司	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	まず、生きる意味について考察した上で、人生の目的について過去の様々な倫理学説を踏まえながら考察します。例えば、人生の目的を幸福だと考える幸福主義の立場に立った倫理学説や、その幸福主義を批判したカントの義務論の倫理学説を紹介します。さらには、幸福や義務と徳との関係についても考察します。				
授業目的・到達目標	私たち一人ひとりにとって生きる目的は何でしょう。また、私たちには生きる意味（価値）があるのでしょうか。このような問題に取り組んでみようというのがこの授業の目的です。私たちは誰でもよい人生を送りたいと思っているのですが、よい人生を送るためには考えてみるべき問題があります。学生のみなさんがそのような問題を考えるようになること自体が、この授業の目標です。				
履修条件	本当に上記の〔到達目標〕の問題に取り組んでみようという人だけが受講してください。				
授業方法	授業は講義形式で行ないますが、できるかぎり学生のみなさんとの対話を取り入れながら、いっしょに問題を考えていきたいと思います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		70%	授業中に取り上げた事項や問題がしっかり理解できているかどうか、またその理解したことを自分の言葉で的確に表現できているかどうかを定期試験で判定します。	
	平 常 評 価		30%	授業中に行なう小テスト（4回行なう予定）で評価します。なお、やむをえない事情があつて小テストを受けられなかった場合は必ず速やかに申し出ること。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	弘文堂		ブレップ倫理学	柘植尚則
	備考				
参 考 書	授業中に随時紹介します。				
オフィスアワー	木曜日 4 限の前後の休み時間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを読んで、授業の内容を十分に把握する。
	授業内容	ガイダンス（授業計画や評価方法などの説明） 序論 倫理学とは何か。よい人生とは何か。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
2	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	生きる意味を構築する力の弱体化 —— 戦後の日本社会の分析より
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
3	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	世界観の変化と生きる意味の喪失 —— 近代実証主義の分析より
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
4	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	生きる意味の創造 —— サルトルの実存主義の考察より（教科書p. 103～p. 104）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

5	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	人生における究極の目的は幸福である。―― アリストテレス倫理学より（教科書p. 27）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
6	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	快楽主義(1) キュレネ派とエピクロス ―― 真の快楽とは刺激か平静さか。（教科書p. 17～p. 20）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
7	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	快楽主義(2) ベンサムとミル ―― 快楽の価値は量にあるのか質にあるのか。（教科書p. 23～p. 24）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
8	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	アリストテレスの幸福論 ―― 人間らしさを発揮することが幸福である。（教科書p. 20）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
9	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カントの義務論(1) ―― 「したいこと（幸福）」より「すべきこと（義務）」をするのがよい人生である。（教科書p. 33～p. 42）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
10	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カントの義務論(2) ―― 「すべきこと（義務）」とは何か。（教科書 同上）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
11	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	人生の究極の目的は幸福の実現か義務の実行か。（教科書p. 42～p. 46）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
12	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	アリストテレスの徳論 ―― 人間として優れているとはどういうことか。（教科書p. 50～p. 56）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
13	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	徳と幸福の関係について（教科書p. 57～p. 64）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
14	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	徳と義務の関係について（教科書 同上）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
15	事前学習	前回までの授業内容をノートを読み直して確認しておく。
	授業内容	授業の総まとめと理解の確認
	事後学習	授業の総まとめを振り返って、自分の理解が確かであったかどうか確認する。

科目名	倫理学 I	担当者	嘉吉 純夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	倫理学は、古代ギリシアにおいて成立し、今日まで様々な思想家によって探究されつづけてきた学問である。それは、道徳哲学的側面をもち、法学や政治学との関連性をも有している。さらに、現在では、生命倫理をはじめとする多岐にわたる領域が登場し、新たな研究主題になっている。本講座では、総合教育科目の一つであることを意識して、西欧の倫理思想の歴史的展開と伝統的な倫理学上の理論を踏まえ、徳、幸福、生の選び等々の主題について考究する。					
授業目的・到達目標	まず、倫理学上のいくつかの根本問題について検討する。次いで、倫理学的観点から代表的な幸福観の類型を取り上げて紹介・検討し、そのひとつひとつに対して、現代に生きる私たちの立場から評価・批判を加える。受講者自身の倫理観・人生観の確立に寄与できれば幸いである。法学部の大学生に相応しい倫理観・人生観を養成することを目指す講座である。そのため、最終的に受講者各自がみずからの生き方について自分自身の頭で考える能力を錬成することを目標とする。					
履修条件	原則として1年次生を対象とする。2年次生以上については、座席の余裕等を考慮し、初回授業時に面談の上許可する（面談を経ないで勝手に履修登録しても単位を認定しない）					
授業方法	講義形式で進めるが、無味乾燥な知識供給型の授業に終止することを避け、できるだけ問題提起型の楽しい講義になるよう心がけたい。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		〈授業内考査〉（下記日程参照）90%を基礎に、授業に対する主体性10%を加えて評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず				
参考書	『哲学の軌跡』 嘉吉純夫編著（北樹出版）					
オフィスアワー	金曜日の3時限の前後、教員室にて、講義内容に関する質問のみ受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の周辺の倫理的問題について、どんな問題があるか、考えておく。
	授業内容	本講座の運営方針と授業内容の紹介 倫理学入門
	事後学習	倫理学の主題と特徴について関連図書にあたって調べ、講義内容をまとめる。
2	事前学習	わが国の倫理観の特質を、西欧と比較しながら考えておく。
	授業内容	倫理学上の根本問題1 倫理の普遍性と相対性
	事後学習	わが国の倫理観の特質を、いわゆる日本人論を参考にしながら、講義内容を踏まえてまとめる。。
3	事前学習	正邪善悪の判断の基準を行為の動機に置くべきか結果に置くべきか、考えておく。
	授業内容	倫理学上の根本問題2 法的判断と倫理的判断、動機説と結果説
	事後学習	正邪善悪の判断の基準について、講義内容を踏まえ、自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	人間性を構成する要素のうち、知性、感情、意志のいずれが最も重要か考えておく。
	授業内容	倫理学上の根本問題3 知か情か意か
	事後学習	知性主義、感情主義、主意主義のいずれが妥当か、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。

5	事前学習	義務の履行と幸福の獲得のいずれを基準を倫理裏の目標とするべきか、自分なりに考えておく。
	授業内容	倫理学上の根本問題4 幸福説と義務説
	事後学習	幸福説と義務説のいずれが妥当か、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
6	事前学習	古代ギリシアの思想家アリストIPPUSとエピクロスについて下調べをしておく。
	授業内容	幸福観の探求1 利己的快楽主義
	事後学習	利己的快楽主義の妥当性と限界について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
7	事前学習	イギリスの思想家ベンサムについて下調べをしておく。
	授業内容	幸福観の探求2 公衆的快楽主義（功利主義）上
	事後学習	ベンサムの量的功利主義の美点と欠点について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
8	事前学習	イギリスの思想家ミルについて下調べをしておく。
	授業内容	幸福観の探求3 公衆的快楽主義（功利主義）下
	事後学習	ミルの質的功利主義の美点と欠点について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
9	事前学習	古代ギリシアの思想家ベアリストテレスについて下調べをしておく。
	授業内容	幸福観の探求4 活動説（自己実現説）
	事後学習	アリストテレスの幸福観の現代性と問題点について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
10	事前学習	古代ギリシアの思想家アンティステネスとキプロスのゼノンについて下調べをしておく。
	授業内容	幸福観の探求5 脱俗的・超俗的幸福観
	事後学習	反世俗的幸福観の美点と欠点について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
11	事前学習	古代ギリシアの思想家プラトンとキリスト教や仏教について下調べをしておく。
	授業内容	幸福観の探求6 哲学的・宗教的幸福観
	事後学習	世俗的幸福観を超える幸福観について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
12	事前学習	岩波文庫所収『ラッセル 幸福論』を入手して読んでおく。
	授業内容	幸福観の探求7 ラッセルの幸福論
	事後学習	ラッセルの幸福論について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
13	事前学習	ここまでの講義内容を復習し、自分なりの見識を確立しておく。
	授業内容	《授業内考査（試験）》と補足
	事後学習	試験で問われたことについて、あらためて考え、自分の考えを省察する。
14	事前学習	これまでの講義内容と試験について、質問すべき事項・質問したい事柄を考えておく。
	授業内容	質問コーナー（質疑応答）
	事後学習	質疑応答を思い返しながら、本講座から得た学識を自分なりにまとめる。
15	事前学習	これまでの講義において触れられなかった幸福観としてどのようなものがあるか、自分なりに考えておく。
	授業内容	不幸脱出法について考える
	事後学習	現代人の不幸の原因について、講義内容を踏まえて、自分なりの考えをまとめる。

科目名	倫理学 I	担当者	佐々木 聖使	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	私たちは日常の生活を送るにあたって、倫理や法を意識して生活しているわけではない。しかし毎日の生活は、人と人との関係の上に築かれている。この関係をなくして私たちの生活は成り立たない。この関係こそ倫理の課題である。この講義では、日本人の人間関係や日本社会の特色について講義するとともに、現代の情報化社会における倫理関係について分析し、その知識を深めることを目的としている。					
授業目的・到達目標	1. 日本の社会の中で、人間関係がどのように形成されているのか、構造的関係を理解することを目的とする。 2. 価値観の違いが、日本と欧米の人間関係の違いを生み出していることを理解する。 3. 情報化社会が、人間関係を根本的に変えようとしている現状を理解する。 4. 青年期に、いかに自己実現を達成するのか、その過程と目標を理解する。					
履修条件	履修にあたっては、かなり厳しい本講義用の履修要項（ガイダンス時に配付する）を確認の上、受講すること。					
授業方法	講義形式で行なう。黒板を多用するので、専用のノートを用意すること。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業態度など。私語や遅刻などは減点対象とする。 授業内で学期末試験を実施する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず				
参考書	授業時に指示する。必要に応じて、新聞記事などを配布する。					
オフィスアワー	メールアドレス：sezi.wokoze@gmail.com（メールの内容にかかわらず、「授業について」と表題をつけること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校時代の『倫理社会と現代』を復習してくること
	授業内容	ガイダンス；授業概要と倫理について
	事後学習	道徳と倫理の違いについて確認すること
2	事前学習	南博『日本的自我』（岩波新書）を読んできること
	授業内容	倫理とは何か；現代社会における倫理
	事後学習	友人や後輩・先輩との人間関係に必要なことを考えること
3	事前学習	中根千枝『タテ社会の力学』（講談社学術文庫）を読んできること
	授業内容	日本社会の倫理；日本的社会と人間関係
	事後学習	日本の人間関係の特色について確認すること
4	事前学習	池田謙一『日本人の考え方 世界の人の考え方』（勁草書房）を読んできること
	授業内容	日本人の倫理と価値観；アメリカ人の正義・日本人の「和」
	事後学習	国や文化によって、人間関係の違いを確認しておくこと

5	事前学習	南博『日本人の心理と生活』（勁草書房）を読んでくこと
	授業内容	僕はどこにいるのか；社会の中での自己位置の確認
	事後学習	家族や友だちにとっての自分の立場を確認すること
6	事前学習	増成隆士『現代の人間観と世界観』（放送大学教材）を読んでくこと
	授業内容	社会と自己；弱気な私と強気な集団
	事後学習	集団的犯罪行為はなぜ起こるのか、新聞記事を調べること
7	事前学習	大平健『豊かさの精神病理』（岩波新書）を読んでくこと
	授業内容	「らしさ」と文化；日本人の同調性と倫理的行動
	事後学習	なぜ人と同じ行動を取るのか考えてみること
8	事前学習	梅本吉彦『情報社会と情報倫理』（丸善）を読んでくこと
	授業内容	メディアと人間関係；メディアが変える人間関係
	事後学習	TVやゲーム機がどのように日常生活の中に入り込んでいるのか、確認すること
9	事前学習	福島章『イメージ世代の心を読む』（新曜社）を読んでくこと
	授業内容	情報と人間関係；TV・コンピューターが生みだすデジタル人間と倫理
	事後学習	IT革命 がもたらす倫理的問題について考えること
10	事前学習	福島章『イメージ世代の心を読む』（新曜社）を読んでくこと
	授業内容	情報社会の人間関係；疑似現実世界の人間関係
	事後学習	Virtual reality がもたらす倫理的問題について考えること
11	事前学習	福島章『イメージ世代の心を読む』（新曜社）を読んでくこと
	授業内容	情報社会の恋愛；愛情は「モノ」でしか表現できないのか
	事後学習	Virtual な恋愛について、考えてみること
12	事前学習	福島章『青年期の心』（講談社現代新書）を読んでくこと
	授業内容	青年期の人間関係；反抗 ― 自立 ― 恋愛
	事後学習	それぞれが直面している倫理的問題を箇条書きしてみること
13	事前学習	小林司『「生きがい」とは何か』（NHKブックス）を読んでくこと
	授業内容	人間形成と自己実現；青年期の自己実現の意味と目的
	事後学習	何のために生きているのか、自己実現との関係で考えてみること
14	事前学習	これまでの講義ノートの整理と重要な点についての確認をすること
	授業内容	まとめ；講義の重要事項についての解説と補足
	事後学習	学年末試験の対策を講じること
15	事前学習	授業内容の総復習
	授業内容	学期末試験及び振り返り
	事後学習	自己採点をすること

科目名	倫理学Ⅱ	担当者	金子 佳司	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	まず、人間にはなぜ国家や社会が必要なのかという問題を、そして、国家や社会の秩序を保つために必要な正義とはどう いうものか、さらに、一人ひとりが自由な社会がよい社会なのか、それとも、みんなが平等な社会がよい社会なのかとい う問題を、政治学者や哲学者の学説を踏まえながら考察します。				
授業目的・ 到達目標	私たち人間は社会や国家の中で生きていかなければなりません、なぜ私たちには社会や国家が必要なのでしょう。また、社会や国家の中でどのような仕方で共存していくことが望ましいのでしょうか。この問題に取り組んでみようという のがこの授業の目的です。私たちは誰でもよい人生を送りたいと思っているものですが、よい人生を送るために考えてみ るべき問題があります。学生のみなさんがそのような問題を考えるようになること自体が、この授業の目標です。				
履修条件	本当に上記の〔到達目標〕の問題に取り組んでみようという人だけが受講してください。				
授業方法	授業は講義形式で行ないますが、できるかぎり学生のみなさんとの対話を取り入れながら、いっしょに問題を考えていき たいと思います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		70%	授業中に取り上げた事項や問題がしっかり理解できているかどうか、またその理解した ことを自分の言葉で的確に表現できているかどうかを定期試験で判定します。	
	平 常 評 価		30%	授授業中に行なう小テスト（4回行なう予定）で評価します。なお、やむをえない事情 があって小テストを受けられなかった場合は必ず速やかに申し出ること。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	弘文堂		ブレップ倫理学	柘植尚則
	備考				
参 考 書	授業中に随時紹介します。				
オフィス アワー	木曜日 4 限の前後の休み時間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを読んで、授業の内容を十分に把握する。
	授業内容	ガイダンス（授業計画や評価方法などの説明） 序論 人間らしく生きるとはどういうことか。人間は主体性と社会性を持つ。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
2	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	社会契約論（1）ホッブズ とロック ―― 人間にはなぜ国家が必要なのか。（教科書p. 113～p. 115）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
3	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	社会契約論（2）ルソー ―― 市民的自由とは何か。（教科書p. 118～p. 119）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
4	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	デカルトの人間観―― 西欧近代の個人主義（教科書p. 97～p. 108）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

5	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ヘーゲルの市民社会と国家（教科書p. 120～p. 121）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
6	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	マルクスの社会主義（教科書p. 121～p. 123）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
7	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	アレントの近代批判 ―― 公的なものの喪失（教科書p. 126～p. 127）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
8	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	相対主義的倫理観（教科書p. 95～p. 96）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
9	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	プラトンとアリストテレスの正義論（教科書p. 129 ～ p. 131）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
10	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	功利主義の正義論 ―― 最大多数の人たちの幸福（教科書p. 131 ～ p. 133）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
11	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ロールズの正義論 ―― 公正な分配（教科書p. 133 ～ p. 134）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
12	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ノージックの自由至上主義（リバタリアニズム） ―― 個人の自由の尊重（教科書p. 134～p. 135, p. 137～p. 142）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
13	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	サンデルの共同体主義（コミュニタリアニズム） ―― 人間は共同体の中で生きる存在である。（教科書p. 143～p. 144）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
14	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	個人の権利と公共道徳――生きる権利と死ぬ権利（教科書p. 145～p. 157）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
15	事前学習	前回までの授業内容をノートを読み直して確認しておく。
	授業内容	授業の総まとめと理解の確認
	事後学習	授業の総まとめを振り返って、自分の理解が確かであったか確認する。

科目名	倫理学Ⅱ	担当者	嘉吉 純夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	倫理学上の諸理論は、最終的に個々人の「生の選び」へと結びついていかなければあまり意味がない。この点を意識して、西欧の代表的な思想家たちがどのような生き方を提言し実践したかを通史的に見てゆく。古代ギリシアのソクラテスからニーチェまで取り上げた後、生の選びにおいて重要な「自由」や「愛」について考察する。最終的に、科学技術文明の真っ只中に置かれたわれわれは、どのように生きるべきか、考察する。			
授業目的・到達目標	西欧倫理思想史の流れを意識しつつ、西欧の代表的な思想家たちが「人生と倫理」について何をどのように考えたのかを紹介・検討し、彼らの思想的メッセージを現代に生きる私たちの立場から再評価する。その後、いくつかの現代の倫理的問題について考究する。受講者自身の倫理観・人生観の確立に寄与できれば幸いである。法学部の大学生に相応しい倫理観・人生観を養成することを目指す講座である。そのため、最終的に受講者各自がみずからの生き方について自分自身の頭で考える能力を錬成することを目指す。			
履修条件	原則として1年次生を対象とする。2年次生以上については、座席の余裕等を考慮し、初回授業時に面談の上許可する（面談を経ないで勝手に履修登録しても単位を認定しない）			
授業方法	講義形式で進めるが、無味乾燥な知識供給型の授業に終止することを避け、できるだけ問題提起型の楽しい講義になるよう心がけたい。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	〈授業内考査〉（下記日程参照）90%を基礎に、授業に対する主体性10%を加えて評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず		
参考書	『哲学の軌跡』嘉吉純夫編著（北樹出版）			
オフィスアワー	金曜日の3時限の前後、教員室にて、講義内容に関する質問のみ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	古代ギリシアの思想家ソクラテスについて下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史1
	事後学習	ソクラテスの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
2	事前学習	岩波文庫所収プラトン『国家』上・下を入手して読んでおく。
	授業内容	西欧倫理思想史2 プラトン
	事後学習	プラトンの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
3	事前学習	岩波文庫所収アリストテレス『ニコマコス倫理学』上・下を入手して読んでおく。
	授業内容	西欧倫理思想史3 アリストテレス
	事後学習	アリストテレスの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
4	事前学習	アガペーというキリスト教の愛について下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史4 イエス・キリスト
	事後学習	キリスト教の説くアガペーの現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。

5	事前学習	フランスの思想家デカルトについて下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史5 デカルト
	事後学習	デカルトの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
6	事前学習	ドイツの思想家カントについて下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史6 カント
	事後学習	カントの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
7	事前学習	ドイツの思想家ヘーゲルについて下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史7 ヘーゲル他
	事後学習	ヘーゲルの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
8	事前学習	ドイツの思想家ショーペンハウアーとデンマークの思想家キルケゴールについて下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史8 ショーペンハウアーとキルケゴール
	事後学習	ショーペンハウアーとキルケゴールの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
9	事前学習	ドイツの思想家ニーチェについて下調べをしておく。
	授業内容	西欧倫理思想史9 ニーチェ
	事後学習	ニーチェの倫理思想の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
10	事前学習	ミルの『自由論』について下調べをしておく。
	授業内容	自由について考える（ミルの自由論を中心に）
	事後学習	ミルの自由論の現代的意義について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
11	事前学習	現在のわが国の現状を見ると、愛の危機を感じさせるさまざまな事件や犯罪が頻発している。そのことについて自分なりに考えておく。
	授業内容	現代における愛と倫理について考える
	事後学習	現代における愛のあり方について、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
12	事前学習	科学技術文明の光と影について、自分なりに考えておく。
	授業内容	現代文明について倫理的に考える
	事後学習	科学技術文明の発展によってわれわれ現代人が失ったものについて、講義内容を踏まえて、自分自身の考えをまとめる。
13	事前学習	ここまでの講義内容を復習し、自分なりの見識を確立しておく。
	授業内容	《授業内考査（試験）》と補足
	事後学習	試験で問われたことについて、あらためて考え、自分の考えを省察する。
14	事前学習	これまでの講義内容と試験について、質問すべき事項・質問したい事柄を考えておく。
	授業内容	質問コーナー（質疑応答）
	事後学習	質疑応答を思い返しながら、本講座から得た学識を自分なりにまとめる。
15	事前学習	生と死について自分なりの考えをまとめておく。
	授業内容	生と死について考える
	事後学習	講義内容を踏まえて、自分なりの死生観を確立する。

科目名	倫理学Ⅱ	担当者	佐々木 聖使	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	この講義では、現代倫理を中心に、日本人が従来考えてきた自然観や生命観の理解をふまえ、現代の環境倫理・生命倫理の基本的問題点についての知識を深め、各自が主体的に考えることを目的としている。 環境倫理では、文化や民族によって、どのように自然に対する考え方の違いがあるのかを中心に講義する。 生命倫理では、医療技術の進展によって変わりつつある生命に対する考え方を講義する。					
授業目的・到達目標	1. 自然に対する考え方が、文化や宗教などで違うことを理解する。 2. 日本人の自然に対する考え方を理解する。 3. 環境問題が、現代社会の価値観を変えようとしていることを理解する。 4. 生命倫理や生殖医療を通して、現代人がどのように「生命」の問題に直面しているのか理解する。 5. 救急救命医療の進展により、従来の生命観が根底から変わり始めていることを理解する。 以上の各項目を理解し、説明できるようになることを目的とする。					
履修条件	履修にあたっては、かなり厳しい本講義用の履修要項（ガイダンス時に配付する）を確認の上、受講すること。					
授業方法	講義形式で行なう。黒板を多用するので、専用のノートを用意すること。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業態度など。私語や遅刻などは減点対象とする。 授業内で学期末試験を実施する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず				
参考書	授業時に指示する。必要に応じて、新聞記事などを配布する。					
オフィスアワー	メールアドレス：sezi.wokoze@gmail.com（メールの内容にかかわらず、「授業について」と表題をつけること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏期休業中の環境問題に関する新聞記事を確認すること
	授業内容	ガイダンス； 環境倫理とはなにか
	事後学習	環境の何が問題となっているのか、復習しておくこと
2	事前学習	安田喜憲『森を守る文明・支配する文明』（PHP新書）を読んでくること
	授業内容	自然とは何か； 東洋では自然をどのように考えてきたのか
	事後学習	中国以外の自然観を調査すること
3	事前学習	旧約聖書の「創世記」冒頭部分を読んでくること
	授業内容	西洋人の自然観； キリスト教的自然観と私たちの自然観とどのように違うのか
	事後学習	現代日本に於けるキリスト教の影響を考えてみること
4	事前学習	土橋寛『日本語に探る古代信仰』（中公新書）を読んでくること
	授業内容	日本人の自然観； 古代日本人の感じた神聖なる自然への眼差し
	事後学習	身近な神社のご神木に、どのような種類があるか、調べてみること

5	事前学習	「もののけ姫」のビデオを見てくること
	授業内容	現代日本人の自然観； 宮崎駿はもののけ姫で、何を主張しようとしたのか
	事後学習	宮崎駿の他のアニメで、どのように自然を描いているのか、調べてみること
6	事前学習	森本哲郎『そして文明は歩む』（新潮社）を読んでくること
	授業内容	文明と自然観； 世界の各文明がもっている自然観の違いを比較しながら考える
	事後学習	授業内容の文明における自然観の違いを、表にしてみること
7	事前学習	A. トフラー『第三の波』のなかで、近代社会の特色を確認すること
	授業内容	環境破壊の根源； 破壊をもたらした近代社会の構造的原因は何か
	事後学習	身近な環境問題にどのようなものがあるのか、確認すること
8	事前学習	A. トフラーの主張する、新しい社会について、調べてくること
	授業内容	環境倫理と新しい世界観・価値観； 近代社会の終焉と新しい世界像
	事後学習	「近代主義」の先の「人間と自然」の関係はどのようなものか、レポートにまとめること
9	事前学習	日常の新聞記事の中で、医療問題や終末期医療の問題を確認すること
	授業内容	生命倫理の基本的考え方； 生命倫理とバイオテクノロジー
	事後学習	環境倫理と生命倫理の区別を確認すること
10	事前学習	岸本英夫『死を見つめる心』（講談社文庫）を読んでくること
	授業内容	生命倫理と生殖医療問題Ⅰ； 体外受精・代理出産の現状
	事後学習	生殖医療を自らの問題として考えること
11	事前学習	日常の新聞記事の中で、生殖医療の問題を確認すること
	授業内容	生命倫理と生殖医療問題Ⅱ； 死後生殖やデザイナーベビー問題
	事後学習	生殖医療の現状を確認すること
12	事前学習	クレア・シルヴィア『記憶する心臓』（角川書店）を読んでくること
	授業内容	脳死・臓器移植問題； 人間の心はどこに宿るのか。生命倫理と心身論
	事後学習	臓器移植ネットワークのデータで、移植者のみならず移植希望者の数を確認すること
13	事前学習	奥野修司『魂でもいいから、そばにいて』（新潮社）を読んでくること
	授業内容	新しい「死」； 安楽死と生命の尊厳、現代医療技術がもたらす新しい死のあり方と意味
	事後学習	家族の死について、両親などより聞き取りをすること
14	事前学習	これまでの講義ノートの整理と重要な点についての確認をすること
	授業内容	まとめ；講義の重要事項と学年末試験問題についての解説
	事後学習	学年末試験の対策を講じること
15	事前学習	授業内容の総復習
	授業内容	学年末試験及び振り返り
	事後学習	自己採点をすること

科目名	論理学 I	担当者	江川 晃	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自分の考えを、飛躍の少ない、理解しやすい表現にするには、論理力が必要です。論理力とは、考えをしっかりと伝える力であり、伝えられたものをしっかりと受け取る力です。さらに、論理力がつければ、深い思考力、すばやい判断力、鋭い分析力、そして明解な読解力が養われ、議論に積極的に参加できる自信がついてきます。さあ、みなさん、いっしょに、論理力をつけましょう！					
授業目的・到達目標	論理学Ⅰの目的は、伝統的論理学の直接的推理である対当推理と変形推理、そして間接的推理である定言三段論法、選言三段論法、仮言三段論法を理解し、それらの日常生活における推論の応用力を養うことにあります。					
履修条件	間違っても恥ずかしくないという勇気を持つこと！演習問題はみんなで「ああこうだ」議論していきましょう。					
授業方法	講義と演習を交互に行ないます。まず基本的な形式論理学の原理を説明します。次に、徹底的に演習し、具体的な応用問題を皆で納得のいくまで議論し合いながら楽しく、解いていきましょう！「考えるより慣れていきましょう」。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%		授業内試験	
	平常評価		100%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリントを配布します。				
参考書	授業中に提示する。					
オフィスアワー	金曜日、授業終了後の教室にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおきましょう
	授業内容	ガイダンス：論理学とは何か
	事後学習	配布プリントをしっかりと復習しましょう。
2	事前学習	配布プリントを予習し、間接推理とは何かを理解してきましょう。
	授業内容	1 直接推理 (1) 対当推理
	事後学習	対当推理を復習しましょう。
3	事前学習	演習問題を予習してきてください。
	授業内容	演習
	事後学習	授業で練習した演習問題をもう一度考えてみましょう。。
4	事前学習	変形推理とは何かを把握しておきましょう。
	授業内容	(2) 変形推理
	事後学習	変形推理の復習。

5	事前学習	変形推理の演習問題を解いておきましょう。
	授業内容	演習
	事後学習	変形推理の演習問題をもう一度やってみよう。
6	事前学習	間接推理を把握しておこう。
	授業内容	2 間接推理 (1) 定言三段論法
	事後学習	定言三段論法の構造を説明できるか試してみよう。
7	事前学習	定言三段論法の演習問題の予習。
	授業内容	演習
	事後学習	授業で取り上げられた問題をもう一度試してみよう。
8	事前学習	仮言三段論法を把握してこよう。
	授業内容	(2) 仮言三段論法
	事後学習	仮言三段論法を復習しよう。
9	事前学習	仮言三段論法の演習問題を解いてこよう。
	授業内容	演習
	事後学習	仮言三段論法の演習問題の復讐
10	事前学習	選言三段論法を把握してこよう。
	授業内容	(3) 選言三段論法
	事後学習	選言三段論法の内容を振り帰ろう。
11	事前学習	演習問題を解いておこう。
	授業内容	演習
	事後学習	演習問題を復習しよう。
12	事前学習	記号論理学の基礎（論理語とは何か等）を把握してこよう。
	授業内容	3 記号論理学の基礎 命題計算
	事後学習	命題計算の構造と方法について復習しよう。。
13	事前学習	演習問題を解いておこう。
	授業内容	演習
	事後学習	演習問題を復習しよう。
14	事前学習	今まで配布されたプリントをしっかり理解しておこう。
	授業内容	模擬試験
	事後学習	模擬試験問題を徹底的に復習しよう。
15	事前学習	模擬試験においてミスしたところ克服しよう。
	授業内容	授業内試験と解説
	事後学習	試験でできなかった箇所を復習しておこう。

科目名	論理学 I	担当者	大熊 圭子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	法科大学院適性試験、公務員試験などでは、判断力・思考力・分析力等の資質を有しているかどうか問われる。これらの力は、実際にはどのような職業に就くにしても必要とされるものであろう。この授業では、論理的な文章を読み批判していくために必要な論理的思考方法の基礎について学ぶ。				
授業目的・到達目標	【授業目的】論理的・批判的思考力：論理的な思考とはいかなるものを理解し、論理的な思考ができるような能力を身につけることがこの授業の目的である。 【到達目標】論理的に文章を読み取ることができる。論理的に考える習慣がつく。読み取ったことを論理的に判断し分析することができる。				
履修条件	特になし				
授業方法	教科書に沿って説明、さらに教科書以外の題材を用いて論理的思考力を養うために課題を行っていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内で行う課題およびテストの成績（90％）と、授業態度（10％。欠席・遅刻・課題等に積極的に取り組んでいない場合が減点）で総合評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008	法学書院		『論理的思考の技法Ⅱ―三段論法と誤謬―』	鈴木美佐子
	備考				
参考書	野内良三『実践ロジカル・シンキング入門』大修館書店 野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書				
オフィスアワー	水曜日18:00～19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること okuma.keiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを十分に読む
	授業内容	論理学とは（ガイダンス）
	事後学習	教科書の目次を確認し、授業内容を把握する
2	事前学習	第1章第2節までを読んでおく
	授業内容	論証とは1
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
3	事前学習	第1章第3節を読んでおく
	授業内容	論証図 1
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
4	事前学習	論証図の書き方を十分に復習しておく
	授業内容	論証図 2
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す

5	事前学習	第1章第3節を読み直す 第1章第4節を読んでおく p.25の coffee break のところを読んでおく
	授業内容	論証図3
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
6	事前学習	第1章第4節を読みなおす
	授業内容	論証の評価
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
7	事前学習	第2章第2節までを読んでおく
	授業内容	三段論法
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
8	事前学習	第2章第3節 p.45 まで読んでおく
	授業内容	定言三段論法
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
9	事前学習	第2章第3節を読んでおく
	授業内容	三段論法の妥当性1
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
10	事前学習	第2章第4節までを読んでおく
	授業内容	三段論法の妥当性2
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
11	事前学習	第2章第5節までを読んでおく
	授業内容	誤った三段論法
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
12	事前学習	第2章第5節を読み直しておく
	授業内容	さまざまな三段論法
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
13	事前学習	第2章第6節までを読んでおく
	授業内容	両刀論法
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
14	事前学習	これまでの授業内容をすべて復習する
	授業内容	まとめ1（テスト）
	事後学習	できなかったところを確認する
15	事前学習	できなかったところをテキストで調べておく
	授業内容	まとめ2（テスト解説）
	事後学習	テキスト全体を復習する

科目名	論理学Ⅱ	担当者	江川 晃	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自分の考えを、飛躍の少ない、理解しやすい表現にするには、論理力が必要です。論理力とは、考えをしっかりと伝える力であり、伝えられたものをしっかりと受け取る力です。さらに、論理力がつければ、深い思考力、すばやい判断力、鋭い分析力、そして明解な読解力が養われ、議論に積極的に参加できる自信がついてきます。さあ、みなさん、いっしょに、論理力をつけましょう！					
授業目的・到達目標	論理学Ⅱの目的は、論証の図式化、演繹と推測の区別を理解し、さらに、ドモルガンの法則や条件法、消去法、記号論理を把握し、演習を行い、それらの論理的操作を使いこなすことにより、高度な実践的推理に慣れることにあります。					
履修条件	間違っても恥ずかしくないという勇気を持つこと！演習問題はみんなで「ああだこうだ」議論していきましょう。					
授業方法	講義と演習を交互に行ないます。まず基本的な形式論理学の原理を説明します。次に、徹底的に演習し、具体的な応用問題を皆で納得のいくまで議論し合いながら楽しく、解いていきましょう！「考えるより慣れていきましょう」					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリントを配布します。				
参考書	授業中に提示する。					
オフィスアワー	金曜日、授業終了後の教室にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおいてください。
	授業内容	ガイダンス：論理学とは何か
	事後学習	論理学とは何かについてもう一度考えてみよう。
2	事前学習	論証の構造と論証図について事前に把握しておこう。
	授業内容	1 論証の構造と論証図・演習
	事後学習	論証の構造と論証図について復習する。
3	事前学習	演繹と推測をどのように区別するのか考えておこう。
	授業内容	2 演繹と推測 (1) 演繹と推測の違い・演習
	事後学習	演繹と推測の復習。
4	事前学習	仮説形成とは何かを把握しておくこと。
	授業内容	(2) 仮説形成・演習
	事後学習	仮説形成・演習の復習。

5	事前学習	否定、反対、両立不可能の違いについて見ておこう。
	授業内容	3 否定 (1) 否定と反対
	事後学習	例題を復習しよう。
6	事前学習	ドモルガンの法則 1 とは何かを予習しておこう。
	授業内容	(2) 「かつ」と「または」 (ドモルガンの法則 1)
	事後学習	「かつ」と「または」の否定に関する例題をもう一度考え直そう。
7	事前学習	ドモルガンの法則 2 とは何かを予習しておこう。
	授業内容	(3) 「すべて」と「ある」 (ドモルガンの法則 2)
	事後学習	「すべて」と「ある」の否定に関する例題をもう一度考え直そう。
8	事前学習	条件構造とは何かを見ておこう。
	授業内容	4 条件構造 (1) 逆・裏・対偶
	事後学習	逆・裏・対偶の関係を、例題でもう一度理解してみよう。
9	事前学習	条件連鎖の構造を予習してみよう。
	授業内容	(2) 条件連鎖
	事後学習	例題を復習しよう。
10	事前学習	存在文の扱い方を予習しよう。
	授業内容	5 推論の技術 (1) 存在文の扱い方
	事後学習	例題の復習。
11	事前学習	消去法とは何かについて見ておこう。
	授業内容	(2) 消去法
	事後学習	例題の復習。
12	事前学習	背理法とは何かについて見ておこう。
	授業内容	(3) 背理法
	事後学習	例題の復習。
13	事前学習	配布プリントを総復習。
	授業内容	試験の傾向と対策 (1)
	事後学習	模擬問題を完全理解しよう。
14	事前学習	前回の復習と疑問点を明確化しておこう。
	授業内容	試験の傾向と対策 (2)
	事後学習	模擬問題を完全理解しよう。
15	事前学習	模擬問題の総復習しておこう。
	授業内容	授業内試験と解説
	事後学習	反省。

科目名	論理学Ⅱ	担当者	大熊 圭子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	法科大学院適性試験、公務員試験などでは、判断力・思考力・分析力等の資質を有しているかどうか問われる。これらの力は、実際にはどのような職業に就くにしても必要とされるものであろう。この授業では、論理的な文章を読み批判していくために必要な論理的思考方法の基礎について学ぶ。					
授業目的・到達目標	【授業目的】論理的・批判的思考力：論理的な思考とはいかなるものかを理解し、論理的な思考ができる。また批判的な思考をすることができる。そのような能力を身につけることがこの授業の目的である。 【到達目標】論理的に文章を読み取ることができる。論理的に考える習慣がつく。読み取ったことを論理的に判断し分析することができる。					
履修条件	論理学Ⅰ（担当大熊）を履修していることが望ましい					
授業方法	教科書に沿って説明、さらに教科書以外の題材を用いて論理的思考力を養うために課題を行っていく。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内で行う課題およびテストの成績（90％）と、授業態度（10％。欠席・遅刻・課題等に積極的に取り組んでいない場合が減点）で総合評価	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008	法学書院		『論理的思考の技法Ⅱ―三段論法と誤謬―』		鈴木美佐子
	備考					
参考書	野内良三『実践ロジカル・シンキング入門』大修館書店 野矢茂樹『新版論理トレーニング』産業図書					
オフィスアワー	水曜日18:00~19:00 研究室（本館8F） 事前にメールでアポイントメントをとること okuma.keiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを十分に読む テキストの1章2章を読んでおく
	授業内容	授業内容に関するガイダンス
	事後学習	教科書の目次を確認し、授業内容を把握する
2	事前学習	第3章第1節までを読んでおく
	授業内容	帰納的推論
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
3	事前学習	第3章第2節を読んでおく
	授業内容	前提について
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
4	事前学習	第3章第3節を読んでおく
	授業内容	演繹と帰納
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す

5	事前学習	第3章第4節を読んでおく
	授業内容	帰納的論証
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
6	事前学習	第3章第5節を読んでおく
	授業内容	帰納的推論 1
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
7	事前学習	第3章第5節を読み直しておく
	授業内容	帰納的推論 2
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
8	事前学習	第3章第5節を読み直しておく
	授業内容	帰納的推論 3
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
9	事前学習	第4章第1節までを読んでおく
	授業内容	論点先取りによる誤謬
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
10	事前学習	第4章第2節までを読んでおく
	授業内容	前提と結論
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
11	事前学習	第4章第3節までを読んでおく
	授業内容	意味に関する誤謬
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
12	事前学習	第4章第4節までを読んでおく
	授業内容	誤謬についてのまとめ 1
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
13	事前学習	第4章第5節までを読んでおく
	授業内容	誤謬についてのまとめ 2
	事後学習	授業中によくわからなかったところを中心にテキストを見直す
14	事前学習	これまで習ったことをすべて復習しておく
	授業内容	これまでの講義全体のまとめ
	事後学習	できなかったところを確認する
15	事前学習	できなかったところをテキストで調べておく
	授業内容	講義全体のふり返し
	事後学習	よくわからなかったところをテキストを読んで復習する

Ⅲ群

外国語科目

Ⅲ群

外国語科目

科目名	英語A【法職課程1年生共通クラス】	担当者	原田 明子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今までに学んだ英語の語彙や文法を復習しつつ、語彙力、読解力をさらに高め、大学での専門分野の学習や資格試験に対応できる英語力を目指す。英文の内容を正確に読み取り、的確に伝える能力を身に着ける。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解に必要なリーディング・文法の基礎力を磨く。テキストの[Reading]と同レベルの英文を読んで内容を理解し、要点を説明できるようにする。					
履修条件	法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	2回の授業でひとつの単元を学ぶ。1回目は[Reading]の内容を中心に学習する。2回目は問題の答え合わせ、TOEICの文法問題などを中心に学習する。各単元ごとにミニテストを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業での発表、小テストの結果など	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	成美堂		Science Finder:科学の不思議		
	備考					
参考書	授業にて指示					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはe-mailにて対応します。 e-mailには「日本大学法学部」「学籍番号」「名前」を明記してください。 harada@sakushin-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを入手し、事前にシラバスの内容を十分に確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	学習内容を確認
2	事前学習	Unit 1のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 1 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
3	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 1 問題とミニテスト TOEIC文法問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
4	事前学習	Unit 2のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 2 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。

5	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 2 問題とミニテスト TOEIC文法問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
6	事前学習	Unit 3のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 3 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
7	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 3 問題とミニテスト TOEIC文法問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
8	事前学習	Unit 4のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 4 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
9	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 4 問題とミニテスト TOEIC文法問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
10	事前学習	Unit 5のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 5 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
11	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 5 問題とミニテスト TOEIC文法問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
12	事前学習	Unit 6のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 6 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
13	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 6 問題とミニテスト TOEIC文法問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
14	事前学習	英文を読んでくる。
	授業内容	現代社会を扱った英文を読み、問いに答える。
	事後学習	英文に再度目を通し、内容をまとめる。
15	事前学習	今期の授業内容の疑問点などをチェックしてくる。
	授業内容	今期の授業内容を振り返る。
	事後学習	疑問点が解決されたか、内容を復習する。

科目名	英語A【法職課程1年生共通クラス】	担当者	水野 隆之	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験を目指すための基礎固めをします。基礎的な文法事項を身につけることを目標とするとともに、TOEICに出題される表現を多く覚えます。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標とします。					
履修条件	法職課程 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語 B と通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。毎時間小テストを実施。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		平常評価（授業態度、小テスト、期末試験等）100%、	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	成美堂		BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST REVISED EDITION		吉塚 弘
	備考					
参 考 書	英和辞典					
オフィス アワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、全体に目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、TOEICの概要を説明する。
	事後学習	テキストの予習箇所を確認する。
2	事前学習	テキスト1頁、4～7頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit1 人称代名詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
3	事前学習	テキスト8頁、11～14頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit2 不定代名詞と再帰代名詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
4	事前学習	テキスト15頁、18～21頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit3 現在・過去の時制について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。

5	事前学習	テキスト22頁、25~28頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit4 現在完了について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
6	事前学習	テキスト29頁、32~35頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit5 時・期間を表す前置詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
7	事前学習	テキスト36頁、39~42頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit6 位置・場所を表す前置詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
8	事前学習	テキスト43頁、46~49頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit7 数量形容詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
9	事前学習	テキスト50頁、53~56頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit8 自動詞と他動詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
10	事前学習	テキスト57頁、60~63頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit9 形容詞を作る接尾辞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
11	事前学習	テキスト64頁、67~70頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit10 副詞を作る接尾辞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
12	事前学習	テキスト71頁、74~78頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit11 分詞構文について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
13	事前学習	テキスト79頁、82~86頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit12 比較について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
14	事前学習	テキスト87頁、90~94頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit13 受動態について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
15	事前学習	テキストの総復習。
	授業内容	前期学習内容の振り返り
	事後学習	これまでの学習内容を確認する。

科目名	英語A【法職課程1年生共通クラス】	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	速読のトレーニングをする。それによりリスニングもできるようになる。そのためには単語を覚える必要がある。受講生は、1100 Words You Need to Know中のすべての単語を覚え、パッセージの訳が出来るようにする。 またBasic Word Listの単語をすべて覚える。そのための指導をする。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標とする。英語が諸君の人生における重要な要素となることは言を俟たない。英語学習の正しい方法を理解し、英語の学習習慣および基礎力を身につける必要がある。そのため毎回テストを行うが、答案は採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。英語はツールではない。偉大な、そして美しい伝統である。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検2級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。			
履修条件	法職課程1年生番号指定クラス。ノート検査をする。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。			
授業方法	原則として、講義・質疑応答、40分、リーディング・テスト、25～45分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Barron	1100 Words You Need to Know	Bromberg
	2017	Barron	Basic Word List	Brownstein
	備考			
参考書	リーダーズ英和辞典			
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業内容について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	1100 Words You Need to Knowの単語ノートを作成しなるべく多くの単語を覚え、4週からの単語テストに備える。同様にBasic Word List の単語テストにもノートを作成し備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 1、所有格について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	1100 Words You Need to Knowの単語ノートを作成しなるべく多くの単語を覚え、4週からの単語テストに備える。同様にBasic Word List の単語テストにもノートを作成し備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 2、接続詞について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	1100 Words You Need to Know(new wordsのみ)1-12 weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 3、挿入について、1100 Words You Need to Know(new wordsのみ)1-12 weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	1100 Words (new wordsのみ)13-25weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 4、独立節について、1100 Words (new wordsのみ)13-25weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	1100 Words (new wordsのみ)26-38 weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 5、句読法について、1100 Words (new wordsのみ) 26-38weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	1100 Words (new wordsのみ)1-46weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 6、数について、1100 Words (new wordsのみ)1-46 weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	Basic Word List (見出し語のみ)pp. 3-22の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 7、代名詞について、Basic Word List (見出し語のみ)pp. 3-22の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 23-43の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 8、分詞構文について、BWL (見出し語のみ)pp. 23-43の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 44-64の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 9、英作文について、BWL (見出し語のみ) pp. 44-64の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 65-85の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 10、能動態と受動態について、BWL (見出し語のみ)pp. 65-85の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 86-106の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 11、否定表現について、BWL (見出し語のみ)pp. 86-106の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 107-127の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 12、無駄な語を削ることについて、BWL (見出し語のみ)pp. 107-127の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	これまでの範囲すべての単語の総復習
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 13、散列文について、全範囲の単語テスト (1)
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	これまでの範囲すべての単語の総復習
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 14、文法の復習、全範囲の単語テスト (2)
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	石川 太郎	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の4技能（読み・聞く・話す・書く）を基礎から始めて出来るだけ発展させる事を目標としています。とにかく暗記中心でパターン化しやすく退屈になりがちな授業を少しでも楽しく行っていきたいと考えています。そのためになるべくクラスの皆さんで話し合いながら授業を進めていきます。また、映画等も教材として扱う予定です。楽しく頑張りましょう。					
授業目的・到達目標	これまで学習してきた英語の総復習及びその発展が目標です。リスニング力と読解力の養成中心に行います。TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。基礎力の確認から始めて、最終的にTOEFL/TOEIC等英語の資格試験で良い成績が望めるようになります。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。毎回の授業に出席する事はもちろん、出席しても寝ていたり、授業に参加する態度が感じられない場合は出席とカウントしない場合があります。					
授業方法	テキストの内容の文法理解に加えて、音読・シャドーイングが基本。テキストの内容に基づいた会話練習も行います。とにかく出席者が必ず英語を発音する場になります。毎回、前回の授業内容確認の小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		7月に試験を行います。内容は授業の復習です。（50%） 授業参加度（声の大きさ、課題提出率等）から総合的に判断します。（50%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	Cengage Learning		Good Morning World 1: Building Communication Skills through DVD		Susan Stempleski
	備考					
参考書	英和辞典（必ず毎回持って来てください）					
オフィスアワー	授業の前後、教員控室で。尚、前もってメールでアポを取っておくことが望ましい。メールアドレスは最初の授業内で伝える。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校もしくは前年度の英語授業の復習
	授業内容	イントロダクション（小テスト実施予定）
	事後学習	復習
2	事前学習	予習
	授業内容	Unit 1(1)DVD映像を見ながらリスニング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
3	事前学習	予習
	授業内容	Unit 1(2)簡単な自己紹介を英語で行う
	事後学習	復習
4	事前学習	予習
	授業内容	Unit 2(1)DVDを参考にリスニングやシャドーイングの練習
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング

5	事前学習	予習
	授業内容	Unit 2(2)DVDを参考にしながらUnit 2全体の内容をまとめて英語で説明する
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
6	事前学習	予習
	授業内容	Unit 3(1)DVDを参考にリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
7	事前学習	予習
	授業内容	Unit 3(2)DVDを参考にしながらUnit 3全体を英語で要約する
	事後学習	復習
8	事前学習	予習
	授業内容	Unit 4(1)DVDを参考にしながらリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
9	事前学習	予習
	授業内容	Unit 4(2)DVDを参考にUnit 4の内容を英語で要約
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
10	事前学習	予習
	授業内容	Unit 5(1)DVDを参考にリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
11	事前学習	予習
	授業内容	Unit 5(2)DVDを参考にUnit 5全体を英語で要約してペアワーク
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
12	事前学習	予習
	授業内容	Unit 6(1)DVDを参考にリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
13	事前学習	予習
	授業内容	Unit 6(2)DVDを参考にUnit 6の内容全体を英語で要約してグループワーク
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
14	事前学習	復習
	授業内容	これまでのまとめ及び時間が足りなくて出来なかった箇所を扱います。
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
15	事前学習	総復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	自己採点

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	井上 悦男	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC Listening & Reading テストの受験のための基礎力を養成する。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。TOEIC450点を目指します。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。TOEICの受験を奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	試験(60%)、平常点(毎回の小テスト、発表)(40%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	国際ビジネスコミュニケーション協会		公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service
	備考				
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	質問はメールで受けつけます。inoue_etsuo4949@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	既習事項の確認
	授業内容	ガイダンス(問題構成など)、模擬問題での演習、関連事項の演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
2	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part2, Part5、関連事項の演習、音読練習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
3	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part2, 5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
4	事前学習	前回までの復習
	授業内容	サンプル問題(listening)、Part2, 5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習

5	事前学習	前回までの復習
	授業内容	サンプル問題(reading)、Part2, 5
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
6	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part1, 2、Part5
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
7	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part3、Part2
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
8	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part5(前半)、Test1 Part3の復習(この後適宜行う)
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
9	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part4、Test1 Part5(後半)
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
10	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part4の復習(この後適宜行う)、Test1 Part6
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
11	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part 2, 5、 Test1 Part6の復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
12	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part2, 5
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
13	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part7
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
14	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part7
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
15	事前学習	前回までの復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	確認

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	井上 悦男	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語資格試験の受験に必要な基礎力を磨きます。語彙、表現、文法の基礎固めと、音読を中心としたリスニングの練習をします。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。TOEIC450点を目指します。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。TOEICの受験を奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		試験(60%)、平常点(毎回の小テスト、発表)(40%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリント使用				
参考書	授業時に指示する。					
オフィスアワー	質問はメールで受けつけます。inoue_etsuo4949@yahoo.co.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	既習事項の復習, シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス(問題構成など), 模擬問題での演習(TOEIC Part1), 以後毎回音読練習
	事後学習	問題構成の確認, 語彙の確認
2	事前学習	前回の復習
	授業内容	模擬問題での演習(TOEIC Part1、品詞：名詞・動詞), 前回までの復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
3	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(TOEIC Part2、品詞：形容詞・副詞), 前回までの復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
4	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(TOEIC Part2、品詞：形容詞・副詞), 前回までの復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習

5	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(文型)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
6	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(文型)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
7	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(時制)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
8	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(時制)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
9	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(準動詞)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
10	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(準動詞)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
11	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(語彙)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
12	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(語彙)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
13	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(読解)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
14	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(読解)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
15	事前学習	前回までの復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	見直し

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グローバル化する世界に対応するための英語力アップを目指す。							
授業目的・到達目標	TOE I C TOEFL 英検などの資格試験や専門分野の原書理解などに必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標とする。TOE I Cテストのための基礎力を身に付け、TOE I Cスコア450点以上、TOEFLの420点以上、英検二級以上を目標とする。							
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨める。原則英語Bと通年での履修を望む。							
授業方法	原則として、名簿順に演習する。殆ど毎回小テストをする。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定 期 試 験							
	平 常 評 価		100%		発表・プレゼンなど（50％）、殆ど毎回行う小テストなど（50％）			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	備考		原則、テキストを使用しない。常に、次回に使用する教材を渡す。					
参 考 書	随時紹介する。							
オフィスアワー	原則、授業の前後に随時受け付けるが、メールでも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英文法などをチェックしておく。
	授業内容	ガイダンス 基本的な文法事項の確認する（1）。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	インフレとCPI（経済）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	偉大なる建築家ビーバー（生物）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	地震と津波（地学）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	ブラックホールと反物質（天文学）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	基本的な文法事項の確認（2）。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	アメリカンフロンティア（文化）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	アメリカ先住民と新世界の遭遇(歴史)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	現代生活とストレス（医学）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	細胞と細胞膜（生物）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	基本的な文法事項の確認（3）。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	政党とイデオロギー（政治）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	アメリカ先住民の優れた文化（文化）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	Aワイエスの芸術世界（芸術） J R モートンとジャズ（音楽）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	総括と休暇中の学習の指針。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。自分の英語との関わりを再考し、そのための準備をする。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単語・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	成美堂	もっと知りたい！社会のいま 2		Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考				
参考書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 1 の予習
	授業内容	Chapter 1 Fake Online Reviews
	事後学習	Chapter 1 の復習
3	事前学習	Chapter 2 の予習
	授業内容	Chapter 2 Could I Become a YouTuber?
	事後学習	Chapter 2 の復習
4	事前学習	Chapter 3 の予習
	授業内容	Chapter 3 Selling Viral Videos Makes Big Money
	事後学習	Chapter 3 の復習

5	事前学習	Chapter 4 の予習
	授業内容	Chapter 4 Retro Video Games Become Popular Again
	事後学習	Chapter 4 の復習
6	事前学習	Chapter 5 の予習
	授業内容	Chapter 5 Why Don't We Ask Siri?
	事後学習	Chapter 5 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 1 ～ Chapter 5 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 6 の予習
	授業内容	Chapter 6 Uncanny Valley
	事後学習	Chapter 6 の復習
9	事前学習	Chapter 7 の予習
	授業内容	Chapter 7 Toddlers and Technology
	事後学習	Chapter 7 の復習
10	事前学習	Chapter 8 の予習
	授業内容	Chapter 8 No More Game-Changing Technology?
	事後学習	Chapter 8 の復習
11	事前学習	Chapter 9 の予習
	授業内容	Chapter 9 Waiting in Line for Delicious New Food
	事後学習	Chapter 9 の復習
12	事前学習	Chapter 10 の予習
	授業内容	Chapter 10 Sympathy for the Delivery Man
	事後学習	Chapter 10 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 6 ～ Chapter 10 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	小山 誠子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	English(language/literature),Fashion, Computer...など様々な「イギリス発祥」(Made in Britain)に関する英文の読解を通じて、一定の語彙力の増強及び構文(英文法の確認)の理解と共に、情報収集の「手段」「道具」としての英語の習得により「英語圏」という異文化を通じて国際社会への知識・「客観的」理解を深め、それらに対する「主体的」な判断・意見を涵養する。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要な語彙力及び文法等総合的な英語の基礎力を磨く。英文の読解を習慣化することで、TOEIC 500点代(意思疎通に必要な英語レベル)取得に必要な語彙及び文法の習得に努め、効率的な学習方法を身に付ける。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。到達目標を意識して意欲的に学習に取り組む者。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	受講者の予習を前提として、英文を通じた知識の涵養を目標に個々の英文の確認(精読)を行う。文法事項は本文の文構造に関連づけ展開する。加えて、Chapter毎に単語テストや指定範囲内の小テストを行う。(詳細は初回に説明する。)				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価(発表等の授業への積極的取組状況及びテスト(毎Chap. 等)により総合的に評価する。※上記各種英語資格試験もや関連情報の調査報告も推奨、評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	成美堂		Made in Britain	Anthony Sellik John Barton
	備考				
参考書	大学生/社会人レベルの辞書(電子辞書も可)を毎回携帯すること。学習記録用のノートを用意すること。 ※ PC・タブレット・携帯電話の使用は認めない。				
オフィスアワー	授業後20分間対応する。(※初回授業にて指示する。)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(初回以前にテキストが入手可能な場合)テキスト全体に目を通し、気になる点をメモして授業に臨むこと。 加えて、テキスト以外に「イギリス」と聞いて思いつく事柄があれば併せてメモしておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	テキスト全体を概観し、次回(第2回)展開範囲を中心に、辞書を使わずにどの程度内容が把握できそうか現時点での「実力チェック」を各自行っておく。(→3か月後の学習成果を自己確認できるようにするため。)
2	事前学習	1. Chapter16全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s)(固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。)
	授業内容	Chapter 16 Football - The Beautiful Game(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
3	事前学習	Chapter16前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 16 (Football - The Beautiful Game中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説 ※1つのChapter/ 2回のペースで進む予定。
	事後学習	1. Chapter16全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた、Footballの起源・変遷(歴史)に関する情報を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

4	事前学習	1. Chapter1全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。 2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter16 Mini Test Chapter 1 My English, Your English, Our English(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。 2. 英文から得た情報を整理する。 3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
5	事前学習	Chapter1前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 1 My English, Your English, Our English (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter1全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた、言語としてのEnglish「英語」の歴史を概観し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。 2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
6	事前学習	1. Chapter2全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。 2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter 1 Mini Test Chapter 2 A Short History of the Miniskirt (前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。 2. 英文から得た情報を整理する。 3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
7	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 2 A Short History of the Miniskirt (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた、流行・ファッションの発信地としてのイギリスに関する情報を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。 2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
8	事前学習	1. Chapter3全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。 2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter 2 Mini Test Chapter 3 The Cutest Car Ever Made - The Mini -(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。 2. 英文から得た情報を整理する。 3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
9	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 3 The Cutest Car Ever Made - The Mini -(中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(「Miniが何故イギリスを象徴する存在なのか」)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。 2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
10	事前学習	1. Chapter4全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。 2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter3 Mini Test Chapter 4 Always in Fashion - The Suit-(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。 2. 英文から得た情報を整理する。 3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
11	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 4 Always in Fashion - The Suit- (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を(特に最終段落の内容を具体的に)整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。 2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
12	事前学習	1. Chapter5全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。 2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter4 Mini Test Chapter 5 The English Gengleman - Does He Really Exist Anymore? -(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。 2. 英文から得た情報を整理する。 3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
13	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 5 The English Gengleman - Does He Really Exist Anymore? - (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を(タイトルにある質問への回答を中心に)整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。 2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

14	事前学習	1. Mini Test(Chapter5)に向けての準備に併せて、学期内展開範囲全てのMini Testを復習(特に初回にて不正解だったものを中心に)を行う。2. テキスト読解箇所全般の構文・内容についても各自確認する。(不明なものは授業にて確認すること。)
	授業内容	Chapter 5 Mini Test 及び学期内展開範囲の総復習
	事後学習	学習範囲全体を見直し、必要に応じて修正を行い、初回事前学習時からの成果を確認する。
15	事前学習	3か月学習内容を整理・総括する。(①「英語能力」②「英語圏文化について得た知識」の2つに関して)加えて、「異文化」との比較・対照によって得た感想・意見を整理する。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	初回事前学習からの成果を自己分析・確認するとともに、今後の課題(英語学習に関する具体的目標)を設定する。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TED Talksのコンテンツをもとに、授業内に意見交換するために内容を読み込んだ上で、意見をまとめ自分の言葉で相手に伝える力をつけます。テキスト以外にも興味ある分野の文章を読み、critical thinkingを養います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング、文法の基礎力を磨くことを目的としています。国際研修や交換留学等の海外留学に必要とされる英語力を総合的に身につけ、また、TOEICやTOEFLのスコアアップに繋がります。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加。小テスト結果。期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	Cengage Learning		Keynote 3 ISBN-13 978 1 305 96505 8		Paul Dummett
	備考					
参考書	辞書 は毎回持参してください。参考書は必要に応じて紹介します。リスニングに慣れるため、BBC, NHK World, CNNなどの英語ニュースに普段から慣れ親しんでください。					
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Preview Unit1
	授業内容	Introduction Overview of the course
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Preview Unit 1 Part 1
	授業内容	Unit 1 – Part 1 Making a difference
	事後学習	Vocabulary note
3	事前学習	Preview Unit 1 Part 2
	授業内容	Unit 1 – Part 2 A iife Lesson from a volunteer firefighter
	事後学習	Vocabulary note
4	事前学習	Preview Unit 2 Part 1
	授業内容	Unit 2 – Part 1 Trends
	事後学習	Vocabulary note

5	事前学習	Preview Unit 2 Part 2
	授業内容	Unit 2 – Part 2 How to start a movement
	事後学習	Vocabulary note
6	事前学習	Preview Unit 3 Part 1
	授業内容	Unit 3 – Part 1 Improving lives
	事後学習	Vocabulary note
7	事前学習	Preview Unit 3 Part 2
	授業内容	Unit 3 – Part 2 My simple invention, designed to keep my grandfather safe
	事後学習	Vocabulary note
8	事前学習	Preview Unit 4 Part 1
	授業内容	Unit 4 – Part 1 Designing the web
	事後学習	Vocabulary note
9	事前学習	Preview Unit 4 Part 2
	授業内容	Unit 4 – Part 2 How giant websites design for you
	事後学習	Vocabulary note
10	事前学習	Preview Unit 5 Part 1
	授業内容	Unit 5 – Part 1 Community builders
	事後学習	Vocabulary note
11	事前学習	Preview Unit 5 Part 2
	授業内容	Unit 5 – Part 2 How painting can transform communities
	事後学習	Vocabulary note
12	事前学習	Preview Unit 6 Part 1
	授業内容	Unit 6 – Part 1 Clear communication
	事後学習	Vocabulary note
13	事前学習	Preview Unit 6 Part 2
	授業内容	Unit 6 – Part 2 Talk nerdy to me
	事後学習	Vocabulary note
14	事前学習	Review Unit 1~6
	授業内容	Review
	事後学習	Vocabulary note Review Unit 1~6
15	事前学習	Review Unit 1~6
	授業内容	Summary of Unit 1~6
	事後学習	Review Unit 1~6

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ文化に関するさまざまな話題のエッセイを読みながら読解力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。英文法の知識を用いて英文を正確に理解できるようになることを目標とする。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	クラス内での発言などを含む授講態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	南雲堂	English Indicator 3 [Intermediate]	Joshua Cohen他
	備考			
参考書	特に指定しない。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail(kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp)で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスの内容を十分に確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	第二回授業の該当部分の予習をしておくこと。
2	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 1 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
3	事前学習	練習問題は listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 1 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
4	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 2 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。

5	事前学習	練習問題は listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 2 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
6	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 3 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
7	事前学習	練習問題は listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 3 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
8	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 4 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
9	事前学習	練習問題は listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 4 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
10	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 5 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
11	事前学習	練習問題は listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 5 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
12	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 6 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
13	事前学習	練習問題は listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 6 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
14	事前学習	Unit 1～6をもう一度読み返し、分かっている部分があるか確認し、もしあれば授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていたなかった部分が理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	北原 安治	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際文化関連のテキストを使い、各国の歴史や文化を学びながら、文法の理解と発音そして訳しかたなどの基本事項を学ぶ。本文のみやり、練習問題はやらない。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。また、多読により速読力を養成し、基礎文法を確認する講義である。基礎文法を確認して、正しい発音と訳ができるようになる。各国の歴史や文化を学ぶ。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	学生の理解度によって速度を調整する。小テストを毎回するので辞書を持ってくること。携帯やスマホやタブレットPCは使わせない。ノート検査をする。ノートなきものは不可。映像教材をみせる場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(80%)テスト (20%)小テスト、実力テストなど。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2006	鳳書房		Major Countries in the World ～世界の主要国～		小泉和弘
	備考					
参考書	『ロイヤル英文法』1,890円（旺文社）この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくること。					
オフィスアワー	授業終了後またはEメールで対応。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
2	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
3	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
4	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。

5	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
6	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
7	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
8	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
9	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
10	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
11	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
12	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
13	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
14	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
15	事前学習	試験範囲の復習。単語、文法、訳の確認。
	授業内容	復習とまとめ
	事後学習	間違った部分の復習。単語、文法、訳の確認。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 明子	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	このクラスでは、1年次の最後の実施される予定のTOEIC Listening & Reading Testに向けた英語の基礎力を養います。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	テキストを使用し、問題演習と解説をします。毎回小テストを実施します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	テスト（小テストを含む）やきちんと予習・復習ができているかなど総合的に判断して評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	セングージラーニング	TOEIC® TEST Trainer Target 470, Revised Edition	Masahiko Yamaguch他
	備考	授業中に指示します。		
参考書	授業中に指示します。			
オフィスアワー	水曜日16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特にありません。
	授業内容	ガイダンス。席を決め、グループを作ります。
	事後学習	特にありません。
2	事前学習	特にありません。
	授業内容	TOEICについての説明。Pre-testの実施。
	事後学習	Pre-test復習
3	事前学習	Unit 1 Listening 予習
	授業内容	Unit 1 動詞・五文型 Listening
	事後学習	Unit 1 Listening 復習
4	事前学習	Unit 1 Reading 予習
	授業内容	Unit 1 動詞・五文型 Reading
	事後学習	Unit 1 Reading 復習

5	事前学習	Unit 2 Listening 予習
	授業内容	Unit 2 数量を尋ねる-名詞 Listening
	事後学習	Unit 2 Listening 復習
6	事前学習	Unit 2 Reading 予習
	授業内容	Unit 2 数量を尋ねる-名詞 Reading
	事後学習	Unit 2 Reading 復習
7	事前学習	Unit 3 Listening 予習
	授業内容	Unit 3 命令・依頼-形容詞・副詞 Listening
	事後学習	Unit 3 Listening 復習
8	事前学習	Unit 3 Reading 予習
	授業内容	Unit 3 命令・依頼-形容詞・副詞 Reading
	事後学習	Unit 3 Reading 復習
9	事前学習	Unit 4 Listening 予習
	授業内容	Unit 4 広告・宣伝-フレーズ・リーディング Listening
	事後学習	Unit 4 Listening 復習
10	事前学習	Unit 4 Reading 予習
	授業内容	Unit 4 広告・宣伝-フレーズ・リーディング Reading
	事後学習	Unit 4 Reading 復習
11	事前学習	Unit 5 Listening 予習
	授業内容	Unit 5 時間を尋ねる-動名詞 Listening
	事後学習	Unit 5 Listening 復習
12	事前学習	Unit 5 Reading 予習
	授業内容	Unit 5 時間を尋ねる-動名詞 Reading
	事後学習	Unit 5 Reading 復習
13	事前学習	Unit 6 Listening 予習
	授業内容	Unit 6 場所を尋ねる-to不定詞 Listening
	事後学習	Unit 6 Listening 復習
14	事前学習	Unit 6 Reading 予習
	授業内容	Unit 6 場所を尋ねる-to不定詞 Reading
	事後学習	Unit 6 Reading 復習
15	事前学習	前期の復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期の復習

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカでベストセラーを記録した“Chicken Soup for the Soul”の精読を通して、文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学びます。また、適宜『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』を用いて、英文法・語法の知識を整理していきます。					
授業目的・到達目標	(1) TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 (2) 文法・語法の知識を整理するとともに、それらの知識に基づいた読解の方法を学ぶことを目標としています。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1997	金星堂		『Chicken Soup for the Soul チキンスープをどうぞー心あたたまる17のアメリカ小話集』		Jack Canfield 他
	2017	大修館書店		『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』		大修館書店編集部
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。				
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.					
オフィスアワー	水曜日10:30～※事前にアポイントを取ってください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson2, Lesson3のp8, p10を熟読しておくこと。
	授業内容	英文読解に必要な品詞と文型、句と節について学ぶ。
	事後学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson2, Lesson3のExercisesを解く。
3	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Circusを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
4	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Circusを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	関戸 冬彦	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語に積極的に触れ、楽しく、自律的に学習していく姿勢を養う授業です。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。英語の文章、音声に抵抗なく触れ、積極的にレスポンスできるようになる姿勢を養うことを目標とします。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	教員からの一方的な講義ではなく、受講者が積極的に、時にペアで、グループで、活動するような参加型（ワークショップ）方式にします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト、学期末ふりかえり、授業内課題等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	朝日出版社		CNN 10 Vol.1		関戸冬彦ほか
	備考					
参考書	随時指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問、相談などは授業終了後またはE-mailにて対応します。 fuyuhiko@df6. so-net. ne. jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校までの英語学習のふりかえり
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	今学期の英語学習の自分なりの計画をまとめる
2	事前学習	自分で立てた今学期の学習計画のチェック
	授業内容	Unit 1: Why Do English Keyboards Have QWERTY? リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第3回までの宿題
3	事前学習	第3回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 1: Why Do English Keyboards Have QWERTY? リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第4回までの宿題
4	事前学習	第4回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 2: How to Avoid Fake News リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第5回までの宿題

5	事前学習	第5回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 2: How to Avoid Fake News リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第6回までの宿題
6	事前学習	第6回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 3: Cooking for the Community リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第7回までの宿題
7	事前学習	第7回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 3: Cooking for the Community リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第8回までの宿題
8	事前学習	第8回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 4: The First Shinkansen リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第9回までの宿題
9	事前学習	第9回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 4: The First Shinkansen リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第10回までの宿題
10	事前学習	第10回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 5: Japan's Maglev Train リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第11回までの宿題
11	事前学習	第11回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 5: Japan's Maglev Train リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第12回までの宿題
12	事前学習	第12回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 6: Monitoring Shoppers リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第13回までの宿題
13	事前学習	第13回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 6: Monitoring Shoppers リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第14回までの宿題
14	事前学習	第14回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 7: A Teenager Fights Cyberbullying リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第15回までの宿題
15	事前学習	第15回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 7: A Teenager Fights Cyberbullying リーディング、今学期全体のふりかえり
	事後学習	夏休みの学習計画の確認

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法項目を確認しながら、演習・英文読解を行います。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。TOEICの基礎力を身につけ、スコア450点を目標とします。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く推奨します。原則、英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	毎回英単語を含む小テストを実施します。また、2回の課題レポート提出を課します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	小テスト、レポート、確認テストの結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015	朝日出版社	Refreshing English Grammar with Short Readings 『読解力をみがく基本英文法』	Keiichiro Fukui
	2016	アルク	新装版 TOEIC(R) テスト スーパー英単語	ロバート・ヒルキ、小石裕子
	備考			
参考書	英和辞典			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはE-mailにて対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト2冊の目次の確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	レポートの書き方、小テストの形式の確認
2	事前学習	Unit 1.2（名詞・冠詞）の例文確認
	授業内容	Unit 1.2の演習と解説
	事後学習	Unit 1.2の例文、演習問題復習
3	事前学習	単語1-50、Unit 2.22（冠詞・前置詞）の例文確認
	授業内容	小テスト1、Unit 2.22の演習と解説
	事後学習	Unit 2.22の復習
4	事前学習	単語51-100、Unit 3（代名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト2、Unit 3の演習と解説
	事後学習	Unit 3の復習

5	事前学習	単語101-150、Unit 4（代名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト3、Unit 4の演習と解説
	事後学習	Unit 4の復習
6	事前学習	単語151-200、Unit 5（基本時制）の例文確認
	授業内容	小テスト4、Unit 5の演習と解説
	事後学習	Unit 5の復習
7	事前学習	単語201-250、Unit 6（進行形）の例文確認
	授業内容	小テスト5、Unit 6の演習と解説
	事後学習	Unit 6の復習
8	事前学習	単語251-300、Unit 7（完了形）の例文確認
	授業内容	小テスト6、Unit 7の演習と解説
	事後学習	Unit 7の復習
9	事前学習	単語301-350、Unit 8（助動詞）の例文確認
	授業内容	小テスト7、Unit 8の演習と解説
	事後学習	Unit 8の復習
10	事前学習	単語351-400、Unit 9（助動詞）の例文確認
	授業内容	小テスト8、Unit 9の演習と解説
	事後学習	Unit 9の復習
11	事前学習	単語401-450 Unit 10（受動態）の例文確認
	授業内容	小テスト9、Unit 10の演習と解説
	事後学習	Unit 10の復習
12	事前学習	Unit 11（受動態）の例文確認
	授業内容	Unit 11の演習と解説
	事後学習	Unit 11の復習
13	事前学習	これまでの授業で扱った事項のチェック
	授業内容	これまでの授業の確認
	事後学習	配布プリントの確認
14	事前学習	英語圏の文化を調査
	授業内容	映像を使用した英語圏の文化分析（1）
	事後学習	英語圏の文化の確認
15	事前学習	単語451-550の確認
	授業内容	小テスト10、英語圏の文化、これまでの授業の解説等
	事後学習	15回までの文法事項の復讐

科目名	英語A【法律学科1年生上級クラス】	担当者	辻岡 宏子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	海外の慣習、文化についての知識を深めるとともに、リーディングの内容を理解し正確な情報を得るための語彙や表現の習得を目指します。 ペアワークやグループワークを通して、能動的に学ぶ態度やスキルの習得を目指します。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 文法事項の復習に重点を置き、外部試験のリーディング・文法のパートで高得点をとることを目標とします。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。 30分以上の遅刻は欠席とします。				
授業方法	ペアワーク、グループワークが中心です。 授業に積極的に参加することが求められます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	ペアワーク、グループワーク貢献度 宿題、授業課題、テスト等	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2004	Oxford University Press		Identity	Shauls, Tsujioka, Iida
	2014	Nan'undo		A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions	
	備考				
参考書	英和、和英辞書（電子辞書可）				
オフィスアワー	授業の前後に教室に来て下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書、文法書の使い方
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	課題 about yourself
2	事前学習	課題 grouping
	授業内容	Get to know each other
	事後学習	ジャーナル 1
3	事前学習	課題 your school life
	授業内容	culture shock 1
	事後学習	ジャーナル 2
4	事前学習	課題 cultural differences
	授業内容	culture shock 2
	事後学習	ジャーナル 3

5	事前学習	課題 language examples
	授業内容	culture in language 1
	事後学習	ジャーナル 4
6	事前学習	課題 proverbs
	授業内容	culture in language 2
	事後学習	ジャーナル 5
7	事前学習	課題 what you like
	授業内容	values 1
	事後学習	ジャーナル 6
8	事前学習	課題 your family
	授業内容	values 2
	事後学習	ジャーナル 7
9	事前学習	プレゼン準備
	授業内容	presentations
	事後学習	ジャーナル 8
10	事前学習	課題 Japanese body language
	授業内容	body language 1
	事後学習	ジャーナル 9
11	事前学習	課題 hidden language
	授業内容	body language 2
	事後学習	ジャーナル 10
12	事前学習	課題 your value
	授業内容	individualism
	事後学習	ジャーナル 11
13	事前学習	課題 who you are
	授業内容	identity
	事後学習	ジャーナル 12
14	事前学習	前期学習の復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	ジャーナルと振り返り
15	事前学習	課題 autonomous learning
	授業内容	リフレクション
	事後学習	ジャーナル 13

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	藤木 智子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	リーディングと文法を中心にTOEICの問題を解いていきます。予習で文法事項や単語の意味を確認しておきましょう。授業で積極的に質問をしましょう。また、復習をして、授業で学習したことをきちんとノートに書きこみ、知識の基礎固めをしましょう。授業は皆さんが主役なので、積極的に取り組んでください。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要な文法や読解力の基礎を磨くことを目的としています。できる限り多くの英文に触れ、そして授業の予習や復習で毎日英語に触れましょう。まずは目標をたてて、一年間で達成できるように挑戦しましょう。一年生ではTOEIC450点を目標とします。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。授業中の、携帯やスマートフォンの使用は固く禁止します。				
授業方法	本文や問題文の音読と、解説的な訳（代名詞が指すものを補うなど）を求めます。発表担当でない学生にも、発言が求められることがあります。毎回、全員が一度は発表しますので、事前に予習をしましょう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	60%)学期末にテストをします。 40%)平常評価では授業参加度を重視します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	15年度	朝日出版		『いま始めようTOEICテスト』	北尾泰幸
	14年度	南雲堂		『5分間 新TOEICテストリスニング 550』	片野田 浩子
	14年度	南雲堂		『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』	小池直己
	備考				
参考書	英和、和英辞書両方です。電子辞書、紙媒体どちらでも構いません。例文と品詞が載っているものに限ります。授業中に携帯やスマホを辞書代わりに使用することは認めません。必ず辞書を準備してください。				
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit1の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Orientation 授業の方法についてレクチャーをします。授業に関する質問に答えます。教科書および英和・和英辞書を用意してください。
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
2	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit1の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 1 『いま始めようTOEICテスト』、前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 『5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』Section1
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
3	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit2のテーマ、単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 2 『いま始めようTOEICテスト』 前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』Section1 『5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題2
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。

14	事前学習	事前学習として、どこがどのように分からないのかを明らかにし、備えておくこと。質問も遠慮なくしてください。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
15	事前学習	最近のニュースに関して事前に英字新聞などを読んで、時事英語に関する単語などを調べておく とより一層理解が深まるので準備しておくこと。
	授業内容	今期のまとめをして、時事英語に関するDVDを鑑賞しましょう。
	事後学習	事後学習として、今回のDVDの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめること。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	堀 紳介	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	この授業ではこれまでに習ったことがあるであろう基本的な文法事項を学びながらも、そこから英米文化を知ること为目标とします。授業では各自に和訳を発表してもらい、どのように英文を読んだのか、どうしてそのような和訳になったのか、を確認しながら進めていきます。英文の内容に関して問うこともあるでしょう。したがって、この授業で学生は自ら考えながら英文を読むことが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。この授業はTOEICなどの資格試験で必要となる基礎的な英語読解力を身につけることを目的としているが、TOEICの問題集のみを教材として用いることはしない。学生たちの英語へのニーズの多様性を考えれば、資格試験で点数を取ることのみを目的とした英語学習では限界がある。この授業ではTOEICを視野に入れながらも、英字新聞などの実用的な英語学習媒体を教材として用いることで基礎的な英語読解力の向上を図る。TOEICで500点取得を目指します。出来ればそれ以上。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	グループワークを取り入れ、発表形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価 (Report 30% Test 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、前期授業内容の説明
	事後学習	グループ内で英文を精読
2	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
3	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
4	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読

5	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
6	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
7	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
8	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
9	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
10	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
11	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
12	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
13	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	TOEIC模試：解答、解説
	事後学習	グループ内で英文を精読
14	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	テスト準備
	事後学習	既習事項の確認、復習
15	事前学習	既習事項の確認、復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	後期授業の範囲を読んでおくこと。

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	依田 悠介	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course develops essential knowledge and skills for learners to succeed in today's global society. Students are encouraged to work on in-and outside class activities enthusiastically.				
授業目的・到達目標	Students CAN (i) read about a 21st century topic, such as cyborg technology; (ii) learn more about the topic by viewing an authentic TED talk; and (iii) explore the topic further by completing collaborative research research project				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	Read the text, solve the quizzes, view the videos and discuss the contents.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	One examination 30% plus collaborative work (group poster presentation) 40% and quizzes 30%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015	Cengage Learning	21st Century Reading Level 3		Laurie Blass et.al
	備考				
参考書	Will be given in class				
オフィスアワー	by appointment: yusuke.yoda@tyg.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Look through the textbook
	授業内容	Introduction: Please bring the copy of syllabus and the textbook.
	事後学習	Read the passage in Unit 1
2	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Hidden Miracles: Life sciences
	事後学習	Review Vocabulary
3	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Hidden Miracles: Life sciences
	事後学習	Read the passage in Unit 2
4	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Sleep Matters: Health Sciences
	事後学習	Review Vocabulary

5	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Sleep Matters: Health Sciences
	事後学習	Read the passage in Unit 3
6	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Cyborg Tech: Engineering /Technology
	事後学習	Review Vocabulary
7	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Cyborg Tech: Engineering /Technology
	事後学習	Read the passage in Unit 4
8	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Happy Planet: Economics/ Statistics
	事後学習	Review Vocabulary
9	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Happy Planet: Economics/ Statistics
	事後学習	Read the passage in Unit 5
10	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Career path: Business/ Design
	事後学習	Review Vocabulary
11	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Career path: Business/ Design
	事後学習	Review Unit 1-5
12	事前学習	Review Unit 1-5
	授業内容	Overview (Examination)
	事後学習	Preparation for Group Presentation
13	事前学習	Preparation for Group Presentation
	授業内容	Group discussion
	事後学習	Making a poster
14	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-1
	事後学習	Evaluate your / your friends' presentation
15	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-2
	事後学習	Evaluate your/ your friends' presentation

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will read, discuss and write about English texts. You will communicate in English with your teacher and your classmates.			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。To learn about the international history of Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding, writing and speaking English. You will learn about important events in Japanese history. You discuss English texts with your teacher and your classmates.			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修してください。This course is aimed at students who wish to improve their English communication skills.			
授業方法	演習方式。Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.
教科書	年	出版社	書名	著者名
			前期「An International History of Japan I」(Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税)	Thomas Lockley
	備考			
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.			
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	First lesson Outline of the course
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
2	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Ancient international Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Japan Towns Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Yasuke - the African samurai Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Tensho Embassy Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: William Adams Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: International Nagasaki Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Yamada Nagamasa Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Tagawa Matsu Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Japanese families of European merchants Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Korean embassies to Tokugawa Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Zhu Shun-sui Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Waegwan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Write your reflections on the course.
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary.
	授業内容	Semester revision
	事後学習	revise for the upcoming test.
15	事前学習	Prepare for semester test.
	授業内容	Semester test Review
	事後学習	Review

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	成美堂	もっと知りたい！社会のいま 2	Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考			
参考書	必要に応じ紹介します。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 1 の予習
	授業内容	Chapter 1 Fake Online Reviews
	事後学習	Chapter 1 の復習
3	事前学習	Chapter 2 の予習
	授業内容	Chapter 2 Could I Become a YouTuber?
	事後学習	Chapter 2 の復習
4	事前学習	Chapter 3 の予習
	授業内容	Chapter 3 Selling Viral Videos Makes Big Money
	事後学習	Chapter 3 の復習

5	事前学習	Chapter 4 の予習
	授業内容	Chapter 4 Retro Video Games Become Popular Again
	事後学習	Chapter 4 の復習
6	事前学習	Chapter 5 の予習
	授業内容	Chapter 5 Why Don't We Ask Siri?
	事後学習	Chapter 5 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 1 ～ Chapter 5 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 6 の予習
	授業内容	Chapter 6 Uncanny Valley
	事後学習	Chapter 6 の復習
9	事前学習	Chapter 7 の予習
	授業内容	Chapter 7 Toddlers and Technology
	事後学習	Chapter 7 の復習
10	事前学習	Chapter 8 の予習
	授業内容	Chapter 8 No More Game-Changing Technology?
	事後学習	Chapter 8 の復習
11	事前学習	Chapter 9 の予習
	授業内容	Chapter 9 Waiting in Line for Delicious New Food
	事後学習	Chapter 9 の復習
12	事前学習	Chapter 10 の予習
	授業内容	Chapter 10 Sympathy for the Delivery Man
	事後学習	Chapter 10 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 6 ～ Chapter 10 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	小山 誠子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	English(language/literature),Fashion, Computer...など様々な「イギリス発祥」(Made in Britain)に関する英文の読解を通じて、一定の語彙力の増強及び構文(英文法の確認)の理解と共に、情報収集の「手段」「道具」としての英語の習得により「英語圏」という異文化を通じて国際社会への知識・「客観的」理解を深め、それらに対する「主体的」な判断・意見を涵養する。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要な語彙力及び文法等総合的な英語の基礎力を磨く。英文の読解を習慣化することで、TOEIC 500点代(意思疎通に必要な英語レベル)取得に必要な語彙及び文法の習得に努め、効率的な学習方法を身に付ける。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。到達目標を意識して意欲的に学習に取り組む者。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	受講者の予習を前提として、英文を通じた知識の涵養を目標に個々の英文の確認(精読)を行う。文法事項は本文の文構造に関連づけ展開する。加えて、Chapter毎に単語テストや指定範囲内の小テストを行う。(詳細は初回に説明する。)				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価(発表等の授業への積極的取組状況及びテスト(毎Chap. 等)により総合的に評価する。※上記各種英語資格試験もや関連情報の調査報告も推奨、評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	成美堂		Made in Britain	Anthony Sellik John Barton
	備考				
参考書	大学生/社会人レベルの辞書(電子辞書も可)を毎回携帯すること。学習記録用のノートを用意すること。 ※ PC・タブレット・携帯電話の使用は認めない。				
オフィスアワー	授業後20分間対応する。(※初回授業にて指示する。)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(初回以前にテキストが入手可能な場合)テキスト全体に目を通し、気になる点をメモして授業に臨むこと。 加えて、テキスト以外に「イギリス」と聞いて思いつく事柄があれば併せてメモしておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	テキスト全体を概観し、次回(第2回)展開範囲を中心に、辞書を使わずにどの程度内容が把握できそうか現時点での「実力チェック」を各自行っておく。(→3か月後の学習成果を自己確認できるようにするため。)
2	事前学習	1. Chapter16全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s)(固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。)
	授業内容	Chapter 16 Football - The Beautiful Game(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
3	事前学習	Chapter16前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 16 (Football - The Beautiful Game中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説 ※1つのChapter/ 2回のペースで進む予定。
	事後学習	1. Chapter16全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた、Footballの起源・変遷(歴史)に関する情報を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

4	事前学習	1. Chapter1全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter16 Mini Test Chapter 1 My English, Your English, Our English(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
5	事前学習	Chapter1前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 1 My English, Your English, Our English (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter1全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた、言語としてのEnglish「英語」の歴史を概観し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
6	事前学習	1. Chapter2全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter 1 Mini Test Chapter 2 A Short History of the Miniskirt (前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
7	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 2 A Short History of the Miniskirt (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた、流行・ファッションの発信地としてのイギリスに関する情報を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
8	事前学習	1. Chapter3全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter 2 Mini Test Chapter 3 The Cutest Car Ever Made - The Mini -(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
9	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 3 The Cutest Car Ever Made - The Mini -(中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(「Miniが何故イギリスを象徴する存在なのか」)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
10	事前学習	1. Chapter4全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter3 Mini Test Chapter 4 Always in Fashion - The Suit-(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
11	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 4 Always in Fashion - The Suit- (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を(特に最終段落の内容を具体的に)整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
12	事前学習	1. Chapter5全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等 (5W1H) をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。
	授業内容	Chapter4 Mini Test Chapter 5 The English Gengleman - Does He Really Exist Anymore? -(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
13	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 5 The English Gengleman - Does He Really Exist Anymore? - (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を(タイトルにある質問への回答を中心に)整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

14	事前学習	1. Mini Test(Chapter5)に向けての準備に併せて、学期内展開範囲全てのMini Testを復習(特に初回にて不正解だったものを中心に)を行う。2. テキスト読解箇所全般の構文・内容についても各自確認する。(不明なものは授業にて確認すること。)
	授業内容	Chapter 5 Mini Test 及び学期内展開範囲の総復習
	事後学習	学習範囲全体を見直し、必要に応じて修正を行い、初回事前学習時からの成果を確認する。
15	事前学習	3か月学習内容を整理・総括する。(①「英語能力」②「英語圏文化について得た知識」の2つに関して)加えて、「異文化」との比較・対照によって得た感想・意見を整理する。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	初回事前学習からの成果を自己分析・確認するとともに、今後の課題(英語学習に関する具体的目標)を設定する。

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TED Talksのコンテンツをもとに、授業内に意見交換するために内容を読み込んだ上で、意見をまとめ自分の言葉で相手に伝える力をつけます。テキスト以外にも興味ある分野の文章を読み、critical thinkingを養います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング、文法の基礎力を磨くことを目的としています。国際研修や交換留学等の海外留学に必要とされる英語力を総合的に身につけ、また、TOEICやTOEFLのスコアアップに繋がります。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加。小テスト結果。期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	Cengage Learning		Keynote 3 ISBN-13 978 1 305 96505 8		Paul Dummett
	備考					
参考書	辞書 は毎回持参してください。参考書は必要に応じて紹介します。リスニングに慣れるため、BBC, NHK World, CNNなどの英語ニュースに普段から慣れ親しんでください。					
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Preview Unit1
	授業内容	Introduction Overview of the course
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Preview Unit 1 Part 1
	授業内容	Unit 1 – Part 1 Making a difference
	事後学習	Vocabulary note
3	事前学習	Preview Unit 1 Part 2
	授業内容	Unit 1 – Part 2 A iife Lesson from a volunteer firefighter
	事後学習	Vocabulary note
4	事前学習	Preview Unit 2 Part 1
	授業内容	Unit 2 – Part 1 Trends
	事後学習	Vocabulary note

5	事前学習	Preview Unit 2 Part 2
	授業内容	Unit 2 – Part 2 How to start a movement
	事後学習	Vocabulary note
6	事前学習	Preview Unit 3 Part 1
	授業内容	Unit 3 – Part 1 Improving lives
	事後学習	Vocabulary note
7	事前学習	Preview Unit 3 Part 2
	授業内容	Unit 3 – Part 2 My simple invention, designed to keep my grandfather safe
	事後学習	Vocabulary note
8	事前学習	Preview Unit 4 Part 1
	授業内容	Unit 4 – Part 1 Designing the web
	事後学習	Vocabulary note
9	事前学習	Preview Unit 4 Part 2
	授業内容	Unit 4 – Part 2 How giant websites design for you
	事後学習	Vocabulary note
10	事前学習	Preview Unit 5 Part 1
	授業内容	Unit 5 – Part 1 Community builders
	事後学習	Vocabulary note
11	事前学習	Preview Unit 5 Part 2
	授業内容	Unit 5 – Part 2 How painting can transform communities
	事後学習	Vocabulary note
12	事前学習	Preview Unit 6 Part 1
	授業内容	Unit 6 – Part 1 Clear communication
	事後学習	Vocabulary note
13	事前学習	Preview Unit 6 Part 2
	授業内容	Unit 6 – Part 2 Talk nerdy to me
	事後学習	Vocabulary note
14	事前学習	Review Unit 1~6
	授業内容	Review
	事後学習	Vocabulary note Review Unit 1~6
15	事前学習	Review Unit 1~6
	授業内容	Summary of Unit 1~6
	事後学習	Review Unit 1~6

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ文化に関するさまざまな話題のエッセイを読みながら読解力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。英文法の知識を用いて英文を正確に理解できるようになることを目標とする。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	クラス内での発言などを含む授講態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	南雲堂	English Indicator 3 [Intermediate]	Joshua Cohen 他
	備考			
参考書	特に指定しない。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail(kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp)で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスの内容を十分に確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	第二回授業の該当部分の予習をしておくこと。
2	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 1 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
3	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 1 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
4	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 2 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。

5	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 2 Excercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
6	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 3 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
7	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 3 Excercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
8	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 4 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
9	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 4 Excercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
10	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 5 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
11	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 5 Excercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
12	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 6 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
13	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 6 Excercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
14	事前学習	Unit 1～6をもう一度読み返し、分かっている部分があるか確認し、もしあれば授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていたなかった部分を理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びこれまでのまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	北原 安治	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際文化関連のテキストを使い、各国の歴史や文化を学びながら、文法の理解と発音そして訳しかたなどの基本事項を学ぶ。本文のみやり、練習問題はやらない。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。また、多読により速読力を養成し、基礎文法を確認する講義である。基礎文法を確認して、正しい発音と訳ができるようになる。各国の歴史や文化を学ぶ。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	学生の理解度によって速度を調整する。小テストを毎回するので辞書を持ってくる。携帯やスマホやタブレットPCは使わせない。ノート検査をする。ノートなきものは不可。映像教材をみせる場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(80%)テスト (20%)小テスト、実力テストなど。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2006	鳳書房		Major Countries in the World ～世界の主要国～		小泉和弘
	備考					
参考書	『ロイヤル英文法』1,890円（旺文社）この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくる。					
オフィスアワー	授業終了後またはEメールで対応。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
2	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
3	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
4	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第1章 英国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。

5	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
6	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
7	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
8	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
9	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
10	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
11	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
12	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
13	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
14	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第2章 ドイツ（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
15	事前学習	試験範囲の復習。単語、文法、訳の確認。
	授業内容	復習とまとめ
	事後学習	間違った部分の復習。単語、文法、訳の確認。

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	異文化コミュニケーションの諸問題を通じて言語と社会や言語と文化の関係を概観し、異文化理解において言語は社会や文化と切り離して存在し得ないことを学んでいきます。論理的思考／批判的思考の手法を習得し、かつ、従来の学校英文法の不備を指摘しつつ、手段に過ぎなかった英文法の洗い直しを試みます。					
授業目的・到達目標	[授業目的]TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。[到達目標]眼前の一文のみに気をとられることなく文章全体の流れを意識し大意を掴めるようにするためskimming力の涵養を第一目標とします。さらに、自分の考えを客観的かつ論理的に明確な英語で表現できることを最終目標とします。TOEICの基礎力をつけ、スコア450を目指します。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。遅刻・欠席をせず、積極的かつ集中して授業に臨む必要があります。					
授業方法	輪読形式と演習形式を織り交ぜながら授業を展開していきます。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（５０％） 学期末試験（５０％）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2010年	金星堂		Polite Fictions in Collision		坂本ナンシー 坂本示洋
	備考					
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。辞書必携。					
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を用意する。シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・教科書の説明・辞書の使い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	指定された課題の予習をする。
	授業内容	英語のPolite Fiction／日本語の敬語行動について
	事後学習	弱点ノートを作成する。（要点の整理・理解）
3	事前学習	指定された課題の予習をする。
	授業内容	英語のPolite Fiction／日本語の敬語行動について
	事後学習	弱点ノートを作成する。（要点の整理・理解）
4	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 5
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 5
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
14	事前学習	Chapter 5までの復習
	授業内容	振り返り
	事後学習	振り返りの内容を確認する。
15	事前学習	講義全体の確認
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	英語A【法律学科1年生共通クラス】	担当者	児玉 直起	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法廷/法律にまつわる英語に親しみながら文法的事項を再確認し、コンテキストを読む読解力を身につけます。			
授業目的・到達目標	専門分野の英文原書読解や英語の資格試験（TOEIC, TOEFL, 英検等）等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことが目的です。 アメリカの陪審制度やデモクラシーについて、一定の見識を持つことができるようになることが目標です。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	殺人事件に関する陪審員の審議を扱ったアメリカのTVドラマ台本を基本教材とし、発表やグループワーク等を中心とした参加型の授業をおこないます。適宜ビデオを使います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	テスト40％，平常点（発表・小テスト・予習・授業参加度等）60％。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1995/2010	開文社	Twelve Angry Men	Reginald Rose
	備考			
参考書	授業時に指示する。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後，または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、テキストを購入する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内容を振り返る。
2	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Descriptions of Jurors／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
3	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
4	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。

5	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
6	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
7	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
8	事前学習	Act I を振り返り、理解が不十分な点等を再確認する。
	授業内容	Act I のまとめ／関連ビデオを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
9	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
10	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
11	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
12	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
13	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
14	事前学習	Act II を振り返り、理解が不十分な点等を再確認する。
	授業内容	Act II のまとめ／関連ビデオを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
15	事前学習	Act I Act II を振り返り、内容理解・語学上の疑問点を整理する。
	授業内容	前期の目標到達度を確認する
	事後学習	前期で学んだことを整理する。

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	児玉 直起	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法廷/法律にまつわる英語に親しみながら文法的事項を再確認し、コンテキストを読む読解力を身につけます。					
授業目的・到達目標	専門分野の英文原書読解や英語の資格試験（TOEIC, TOEFL, 英検等）等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことが目的です。 アメリカの陪審制度やデモクラシーについて、一定の見識を持つことができるようになることが目標です。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	殺人事件に関する陪審員の審議を扱ったアメリカのTVドラマ台本を基本教材とし、発表やグループワーク等を中心とした参加型の授業をおこないます。適宜ビデオを使います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		テスト40%, 平常点（発表・小テスト・予習・出席状況等）60%。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1995/2010	開文社		Twelve Angry Men		Reginald Rose
	備考					
参考書	授業時に指示する。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、テキストを購入する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内容を振り返る。
2	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Descriptions of Jurors／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
3	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
4	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。

5	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
6	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
7	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act I／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
8	事前学習	Act I を振り返り、理解が不十分な点等を再確認する。
	授業内容	Act I のまとめ／関連ビデオを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
9	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
10	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
11	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
12	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
13	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act II／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
14	事前学習	Act II を振り返り、理解が不十分な点等を再確認する。
	授業内容	Act II のまとめ／関連ビデオを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
15	事前学習	Act I Act II を振り返り、内容理解・語学上の疑問点を整理する。
	授業内容	前期の目標到達度を確認する
	事後学習	前期で学んだことを整理する。

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法項目を確認しながら、演習・英文読解を行っていきます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。TOEICの基礎力を身につけ、スコア450点を目標とします。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く推奨します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	毎回英単語を含む小テストを実施します。また、2回の課題レポート提出を課します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト、レポート、確認テストの結果等	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	朝日出版社		Refreshing English Grammar with Short Readings 『読解力をみがく基本英文法』	Keiichiro Fukui
	2016	アルク		新装版 TOEIC(R) テスト スーパー英単語	ロバート・ヒルキ、小石裕子
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはE-mailにて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト2冊の目次の確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	レポートの書き方、小テストの形式の確認
2	事前学習	Unit 1.2（名詞・冠詞）の例文確認
	授業内容	Unit 1.2の演習と解説
	事後学習	Unit 1.2の例文、演習問題復習
3	事前学習	単語1-50、Unit 2.22（冠詞・前置詞）の例文確認
	授業内容	小テスト1、Unit 2.22の演習と解説
	事後学習	Unit 2.22の復習
4	事前学習	単語51-100、Unit 3（代名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト2、Unit 3の演習と解説
	事後学習	Unit 3の復習

5	事前学習	単語101-150、Unit 4（代名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト3、Unit 4の演習と解説
	事後学習	Unit 4の復習
6	事前学習	単語151-200、Unit 5（基本時制）の例文確認
	授業内容	小テスト4、Unit 5の演習と解説
	事後学習	Unit 5の復習
7	事前学習	単語201-250、Unit 6（進行形）の例文確認
	授業内容	小テスト5、Unit 6の演習と解説
	事後学習	Unit 6の復習
8	事前学習	単語251-300、Unit 7（完了形）の例文確認
	授業内容	小テスト6、Unit 7の演習と解説
	事後学習	Unit 7の復習
9	事前学習	単語301-350、Unit 8（助動詞）の例文確認
	授業内容	小テスト7、Unit 8の演習と解説
	事後学習	Unit 8の復習
10	事前学習	単語351-400、Unit 9（助動詞）の例文確認
	授業内容	小テスト8、Unit 9の演習と解説
	事後学習	Unit 9の復習
11	事前学習	単語401-450 Unit 10（受動態）の例文確認
	授業内容	小テスト9、Unit 10の演習と解説
	事後学習	Unit 10の復習
12	事前学習	Unit 11（受動態）の例文確認
	授業内容	Unit 11の演習と解説
	事後学習	Unit 11の復習
13	事前学習	これまでの授業で扱った事項のチェック
	授業内容	これまでの授業の確認
	事後学習	配布プリントの確認
14	事前学習	英語圏の文化を調査
	授業内容	映像を使用した英語圏の文化分析（1）
	事後学習	英語圏の文化の確認
15	事前学習	単語451-550の確認
	授業内容	小テスト10、英語圏の文化、これまでの授業の解説等
	事後学習	15回までの文法事項の復讐

科目名	英語A【政治経済学科1年生上級クラス】	担当者	辻岡 宏子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	海外の慣習、文化についての知識を深めるとともに、リーディングの内容を理解し正確な情報を得るための語彙や表現の習得を目指します。 ペアワークやグループワークを通して、能動的に学ぶ態度やスキルの習得を目指します。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 文法事項の復習に重点を置き、外部試験のリーディング・文法のパートで高得点をとることを目標とします。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。 30分以上の遅刻は欠席とします。			
授業方法	ペアワーク、グループワークが中心です。 授業に積極的に参加することが求められます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	ペアワーク、グループワーク貢献度 宿題、授業課題、テスト等
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2004	Oxford University Press	Identity	Shauls, Tsujioka, Iida
	2014	Nan'undo	A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions	
	備考			
参考書	英和、和英辞書（電子辞書可）			
オフィスアワー	授業の前後に教室に来て下さい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書、文法書の使い方
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	課題 about yourself
2	事前学習	課題 grouping
	授業内容	Get to know each other
	事後学習	ジャーナル 1
3	事前学習	課題 your school life
	授業内容	culture shock 1
	事後学習	ジャーナル 2
4	事前学習	課題 cultural differences
	授業内容	culture shock 2
	事後学習	ジャーナル 3

5	事前学習	課題 language examples
	授業内容	culture in language 1
	事後学習	ジャーナル 4
6	事前学習	課題 proverbs
	授業内容	culture in language 2
	事後学習	ジャーナル 5
7	事前学習	課題 what you like
	授業内容	values 1
	事後学習	ジャーナル 6
8	事前学習	課題 your family
	授業内容	values 2
	事後学習	ジャーナル 7
9	事前学習	プレゼン準備
	授業内容	presentations
	事後学習	ジャーナル 8
10	事前学習	課題 Japanese body language
	授業内容	body language 1
	事後学習	ジャーナル 9
11	事前学習	課題 hidden language
	授業内容	body language 2
	事後学習	ジャーナル 10
12	事前学習	課題 your value
	授業内容	individualism
	事後学習	ジャーナル 11
13	事前学習	課題 who you are
	授業内容	identity
	事後学習	ジャーナル 12
14	事前学習	前期学習の復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	ジャーナルと振り返り
15	事前学習	課題 autonomous learning
	授業内容	リフレクション
	事後学習	ジャーナル 13

科目名	英語A【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	藤木 智子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	リーディングと文法を中心にTOEICの問題を解いていきます。予習で文法事項や単語の意味を確認しておきましょう。授業では積極的に質問をしましょう。また、復習をして、授業で学習したことをきちんとノートに書きこみ、知識の基礎固めをしましょう。授業は皆さんが主役なので、積極的に取り組んでください。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要な文法や独海力の基礎を磨くことを目的としています。できる限り多くの英文に触れ、そして授業の予習や復習で毎日英語に触れましょう。まずは目標をたてて、一年間で達成できるように挑戦しましょう。一年生ではTOEIC450点を目標とします。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。授業中の、携帯やスマートフォンの使用は固く禁止します。				
授業方法	本文や問題文の音読と、解説的な訳（代名詞が指すものを補うなど）を求めます。発表担当でない学生にも、発言が求められることがあります。毎回、全員が一度は発表しますので、事前に予習をしましょう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	60%)学期末にテストをします。 40%)平常評価では授業参加度を重視します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	15年度	朝日出版		『いま始めようTOEICテスト』	北尾泰幸
	14年度	南雲堂		『5分間 新TOEICテストリスニング 550』	片野田 浩子
	14年度	南雲堂		『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』	小池直己
	備考				
参考書	英和、和英辞書両方です。電子辞書、紙媒体どちらでも構いません。例文と品詞が載っているものに限ります。授業中に携帯やスマホを辞書代わりに使用することは認めません。必ず辞書を準備してください。				
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit1の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Orientation 授業の方法についてレクチャーをします。授業に関する質問に答えます。教科書および英和・和英辞書を用意してください。
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
2	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit1の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 1 『いま始めようTOEICテスト』、前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 『5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』Section1
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
3	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit2のテーマ、単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 2 『いま始めようTOEICテスト』 前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』Section1 『5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題2
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。

14	事前学習	事前学習として、どこがどのように分からないのかを明らかにし、備えておくこと。質問も遠慮なくしてください。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
15	事前学習	最近のニュースに関して事前に英字新聞などを読んで、時事英語に関する単語などを調べておく とより一層理解が深まるので準備しておくこと。
	授業内容	今期のまとめをして、時事英語に関するDVDを鑑賞しましょう。
	事後学習	事後学習として、今回のDVDの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめること。

科目名	英語A【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単語・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	成美堂	もっと知りたい！社会のいま 2		Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考				
参考書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 1 の予習
	授業内容	Chapter 1 Fake Online Reviews
	事後学習	Chapter 1 の復習
3	事前学習	Chapter 2 の予習
	授業内容	Chapter 2 Could I Become a YouTuber?
	事後学習	Chapter 2 の復習
4	事前学習	Chapter 3 の予習
	授業内容	Chapter 3 Selling Viral Videos Make Big Money
	事後学習	Chapter 3 の復習

5	事前学習	Chapter 4 の予習
	授業内容	Chapter 4 Retro Video Games Become Popular Again
	事後学習	Chapter 4 の復習
6	事前学習	Chapter 5 の予習
	授業内容	Chapter 5 Why Don't We Ask Siri?
	事後学習	Chapter 5 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 1 ～ Chapter 5 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 6 の予習
	授業内容	Chapter 6 Uncanny Valley
	事後学習	Chapter 6 の復習
9	事前学習	Chapter 7 の予習
	授業内容	Chapter 7 Toddlers and Technology
	事後学習	Chapter 7 の復習
10	事前学習	Chapter 8 の予習
	授業内容	Chapter 8 No More Game-Changing Technology?
	事後学習	Chapter 8 の復習
11	事前学習	Chapter 9 の予習
	授業内容	Chapter 9 Waiting in Line for Delicious New Food
	事後学習	Chapter 9 の復習
12	事前学習	Chapter 10 の予習
	授業内容	Chapter 10 Sympathy for the Delivery Man
	事後学習	Chapter 10 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 6 ～ Chapter 10 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語A【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	テキストの一つのUnitを2回で終わらす。1回目はReadingの英文の内容を段落ごとに把握して、難しい英文や語などを確認する。2回目はExerciseの答え合わせをしながらReadingの内容を復習する。学生は単語、熟語等の意味の確認してから段落ごとの英文の内容を発表する。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。英文を読み、段落、または文章全体の内容を把握できるのと同時に、個々の英文を正確に読むことができるようにするのを目的とします。到達目標はTOEIC, TOEFL, 英検等の長文問題や文法問題に対応できるようにすること。ペーパーバック、英字新聞などを辞書を使わずに読めるようになることです。				
履修条件	新聞学科1年生指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。授業回数の1/3以上欠席すると単位は取得できない。英和辞書を毎回持参すること。携帯、スマホの使用は認めない。				
授業方法	演習形式で行う。授業時の発表は学生が段落ごとに内容をまとめ、重要な語(句)等の説明をする。2回目の授業でそのUnitの復習小テストを行う。詳しいことは第1回目の授業で説明する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末試験50%、小テストや授業内の発表など50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	金星堂		English Stream(Pre-Intermediate)	竹内、植木他3名共著
	備考				
参考書	英和辞書 総合英語「Forest」(桐原書店)				
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。(対応できる時間一火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分～30分) e-mailアドレスについては第1回目の授業で希望者にお知らせします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの「はじめに」を読み、全体に目を通す
	授業内容	ガイダンス —— 英語Aの履修についての説明と注意、他
	事後学習	授業に関する説明を再度チェックしておく
2	事前学習	Unit 1 'Are You Ready fo a Pet?' :Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 1 'Are You Ready fo a Pet?' :Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 1 'Are You Ready fo a Pet?' : Readingの本文の復習
3	事前学習	Unit 1 'Are You Ready fo a Pet?' : Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 1 'Are You Ready fo a Pet?' :Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
	事後学習	Unit 1 'Are You Ready fo a Pet?' :Reading、Post-reading tasks(C), (D)、Review Quiz A, Bの復習
4	事前学習	Unit 2 'Gap Year':Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 2 'Gap Year':Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 2 'Gap Year' : Readingの本文の復習

5	事前学習	Unit 2'Gap Year': Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 2'Gap Year':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
	事後学習	Unit 2'Gap Year':Reading、Post-reading tasks(C), (D)、Review Quiz A, Bの復習
6	事前学習	Unit 3 'What Is Wealth':Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 3'What Is Wealth':Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 3'What Is Wealth': Readingの本文の復習
7	事前学習	Unit 3 'What Is Wealth': Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 3: 'What Is Wealth'eadingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
	事後学習	Unit 3'What Is Wealth':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
8	事前学習	Chapter 1 - 3の単語、語句、英文を復習して分からない英文をチェックしておく
	授業内容	Chapter 1 - 3の復習
	事後学習	Chapter 1 - 3で分からなかったところを見直す
9	事前学習	Unit 4 'Globalization':Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 4'Globalization':Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 4'Globalization': Readingの本文の復習
10	事前学習	Unit 4'Globalization': Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 4'Globalization':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
	事後学習	Unit 4 'Globalization':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
11	事前学習	Unit 5 'What I learned in College':Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 5'What I learned in College':Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 5 'What I learned in College': Readingの本文の復習
12	事前学習	Unit 5'What I learned in College': Readingの本文を読んで小テストに備える。Unit 1: Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 5'What I learned in College':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
	事後学習	Unit 5'What I learned in College':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
13	事前学習	Unit 6 'How Paper Is Recycled':Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 6'How Paper Is Recycled':Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 6'How Paper Is Recycled': Readingの本文の復習
14	事前学習	Unit 1 ~ Unit 6の復習・授業でした小テストの復習をする
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	Unit 1 ~ Unit 6までの復習
15	事前学習	テキストに出てきた単語、熟語等を覚える。
	授業内容	Readingのプリント、英文の解説
	事後学習	授業で読んだ英文の内容をもう一度見直す。解釈を間違えたところを復習

科目名	英語A【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語のリーディング、文法を中心に学習します。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨く。たとえば、英検では準1級合格を目標とします。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコアを450点以上を目標とします。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。TOEIC、TOEFL、等の資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。					
授業方法	実践演習をして解説をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	南雲堂		Gateway to Britain		Terry O'Brien, 他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書を購入する必要はない。適宜図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Check in and work out 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Check in and work out 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	What will the weather be like? 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	What will the weather be like? 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	A London without red buses? 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	A London without red buses? 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Back to the future 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Back to the future 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Shop-’n’-chat 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Shop-’n’-chat 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	More than just a post office 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	More than just a post office 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Off the beaten path
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語A【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	速読のトレーニングをする。それによりリスニングもできるようになる。そのためには単語を覚える必要がある。受講生は、1100 Words You Need to Know中のすべての単語を覚え、パッセージの訳が出来るようにする。 またBasic Word Listの単語をすべて覚える。そのための指導をする。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標とする。英語が諸君の人生における重要な要素となることは言を俟たない。英語学習の正しい方法を理解し、英語の学習習慣および基礎力を身につける必要がある。そのため毎回テストを行うが、答案は採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。英語はツールではない。偉大な、そして美しい伝統である。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検2級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。			
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。ノート検査をする。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。			
授業方法	原則として、講義・質疑応答、40分、リーディング・テスト、25～45分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Barron	1100 Words You Need to Know	Bromberg
	2017	Barron	Basic Word List	Brownstein
	備考			
参考書	リーダーズ英和辞典			
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業内容について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	1100 Words You Need to Knowの単語ノートを作成しなるべく多くの単語を覚え、4週からの単語テストに備える。同様にBasic Word List の単語テストにもノートを作成し備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 1、所有格について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	1100 Words You Need to Knowの単語ノートを作成しなるべく多くの単語を覚え、4週からの単語テストに備える。同様にBasic Word List の単語テストにもノートを作成し備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 2、接続詞について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	1100 Words You Need to Know(new wordsのみ)1-12 weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 3、挿入について、1100 Words You Need to Know(new wordsのみ)1-12 weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	1100 Words (new wordsのみ)13-25weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 4、独立節について、1100 Words (new wordsのみ)13-25weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	1100 Words (new wordsのみ)26-38 weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 5、句読法について、1100 Words (new wordsのみ) 26-38weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	1100 Words (new wordsのみ)1-46weekの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 6、数について、1100 Words (new wordsのみ)1-46 weekの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	Basic Word List (見出し語のみ)pp. 3-22の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 7、代名詞について、Basic Word List (見出し語のみ)pp. 3-22の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 23-43の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 8、分詞構文について、BWL (見出し語のみ)pp. 23-43の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 44-64の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 9、英作文について、BWL (見出し語のみ) pp. 44-64の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 65-85の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 10、能動態と受動態について、BWL (見出し語のみ)pp. 65-85の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 86-106の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 11、否定表現について、BWL (見出し語のみ)pp. 86-106の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	BWL (見出し語のみ)pp. 107-127の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 12、無駄な語を削ることについて、BWL (見出し語のみ)pp. 107-127の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	これまでの範囲すべての単語の総復習
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 13、散列文について、全範囲の単語テスト (1)
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	これまでの範囲すべての単語の総復習
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 14、文法の復習、全範囲の単語テスト (2)
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

科目名	英語A【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	山田 潤治	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学4年間での学習を経て、社会で役立つ英語力を育成するため、文法をブラッシュアップし、リーディング対策をおこないます。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くクラスです。大学英語に必要なアカデミック・スキルの基礎を身につけます。英文法の基礎的知識を再確認し、英文読解において、わからない文法事項はない、というレベルにまで到達します。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。英語AとBとを通年で履修してください。					
授業方法	テキストの指定された範囲の演習問題を自宅で事前学習します。講義では、重要項目を説明した上で、演習問題の解答確認をしていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		小テストの成績（40％）。授業の予習状況（30％）、Activity提出+Review提出状況（30%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Cambridge		『マーフィーのケンブリッジ英文法（中級編）第3版』		Raymond Murphy 渡辺雅仁訳
	備考					
参考書	大学生にふさわしい辞書、参考書について、初回授業時に詳しく説明いたします。					
オフィスアワー	junji%y. email. ne. jp （%は、@に変換する）まで電子メールで連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、テキストの構成を確認しておく。 かならず初回授業に、教科書を持参するように。
	授業内容	ガイダンス授業：クラスの到達目標、学習目標の定め方、辞書の選び方等、大学英語の全般についての説明。
	事後学習	学習目標をたてる。
2	事前学習	現在形と過去形1～6までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	現在形と過去形1～6
	事後学習	演習の間違い直しと復習
3	事前学習	現在完了形と過去形7～11までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	現在完了形と過去形7～11
	事後学習	演習の間違い直しと復習
4	事前学習	現在完了形と過去形12～17までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	現在完了形と過去形12～17
	事後学習	演習の間違い直しと復習

5	事前学習	未来１８～２４までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	未来１８～２４
	事後学習	演習の間違い直しと復習
6	事前学習	法助動詞２５～２９までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	法助動詞２５～２９
	事後学習	演習の間違い直しと復習
7	事前学習	法助動詞３０～３５までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	法助動詞３０～３５
	事後学習	演習の間違い直しと復習
8	事前学習	i fとw i s h ３６～３９ 受動態４０～４１までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	i fとw i s h ３６～３９ 受動態４０～４１
	事後学習	演習の間違い直しと復習
9	事前学習	受動態４２～４４ 間接話法４５～４６ までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	受動態４２～４４ 間接話法４５～４６
	事後学習	演習の間違い直しと復習
10	事前学習	疑問文と繰り返しを避ける助動詞４７～５０ 動名詞と不定詞５１～５２ までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	疑問文と繰り返しを避ける助動詞４７～５０ 動名詞と不定詞５１～５２
	事後学習	演習の間違い直しと復習
11	事前学習	動名詞と不定詞５３～５９までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	動名詞と不定詞５３～５９
	事後学習	演習の間違い直しと復習
12	事前学習	動名詞と不定詞６０～６６までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	動名詞と不定詞６０～６６
	事後学習	演習の間違い直しと復習
13	事前学習	冠詞と名詞６７～７３までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	冠詞と名詞６７～７３
	事後学習	演習の間違い直しと復習
14	事前学習	冠詞と名詞７４～７９までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	冠詞と名詞７４～７９
	事後学習	演習の間違い直しと復習
15	事前学習	総復習。ざっと学期の学習を見直す
	授業内容	Review
	事後学習	Reviewのみなおし

科目名	英語A【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	P.カレンダー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will improve your listening skills through listening to conversations by native speakers in different situations. Then there is simple conversation practice, usually between two students. Contents include listening and talking about yourself, families, weekend activities, shopping, travel plans, ordering food, and travel, etc.			
授業目的・到達目標	The objective of these classes is to focus on the development of listening skills through the use of authentic materials. The lessons are structured however, to reinforce some speaking and writing skills. To be able to understand reasonably complex and realistic conversations in a wide variety of useful situations and to be able to ask and answer questions on realistic conversation topics to the point of being able to hold a conversation.			
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	There are 20 lessons in the syllabus, covering so many important basic communications skills laid out in pre-listening activities, pronunciation & listening practice, talking time, and short dictation exercises.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50% = two tests of 50% each; participation and effort= 25%; textbook check = 25%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Macmillan Education	New Airwaves (Second Edition) ISBN: 978-4-7773-6390-2	Dale Fuller/Clyde W. Grimm
	備考			
参考書	English learners dictionary or an electronic dictionary			
オフィスアワー	If you need to contact me outside of lessons, my email is paulkallender@gmail.com. Contact me particularly if you are are ill, or to let me know the reason why you missed a lesson.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please make sure to check you have your textbook in advance
	授業内容	Course outline, expectations, testing, attendance, etc.
	事後学習	Please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	You're an Interesting Person! (Introductions)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
3	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	What an Unusual Family! (Exchanging family information, etc.)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
4	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	TGIF (Thank God It's Friday) (Weekend activities)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book

5	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Wow! Everything's on Sale (Shopping)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
6	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Mid-Term Review
	事後学習	Please practice your weak points.
7	事前学習	Please practice your weak points.
	授業内容	Mid-Term Speaking Test
	事後学習	Make a note of major mistakes made.
8	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Listen to That Engine! (Driving)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
9	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Got Any Travel Plans? (Traveling)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
10	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	That's Not Pizza! (Food choices, ordering)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
11	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Welcome to Las Vegas (Hotels, booking, schedules)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
12	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Hey Look at Her! (Personal appearances)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
13	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Final Review
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
14	事前学習	Please review your exercises
	授業内容	End-of-Term Speaking Test
	事後学習	Please make a note of mistakes
15	事前学習	Please make sure to review your dictation scripts
	授業内容	Review of dictation and listening challenge exercises
	事後学習	Please keep your textbook for follow-up

科目名	英語A【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	成美堂	もっと知りたい！社会のいま 2		Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考				
参 考 書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 1 の予習
	授業内容	Chapter 1 Fake Online Reviews
	事後学習	Chapter 1 の復習
3	事前学習	Chapter 2 の予習
	授業内容	Chapter 2 Could I Become a YouTuber?
	事後学習	Chapter 2 の復習
4	事前学習	Chapter 3 の予習
	授業内容	Chapter 3 Selling Viral Videos Makes Big Money
	事後学習	Chapter 3 の復習

5	事前学習	Chapter 4 の予習
	授業内容	Chapter4 Retro Video Games Become Popular Again
	事後学習	Chapter 4 の復習
6	事前学習	Chapter 5 の予習
	授業内容	chapter 5 Why Don't We Ask Siri?
	事後学習	Chapter 5 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 1 ～ Chapter 5 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 6 の予習
	授業内容	Chapter 6 Uncanny Valley
	事後学習	Chapter 6 の復習
9	事前学習	Chapter 7 の予習
	授業内容	Chapter 7 Toddlers and Technology
	事後学習	Chapter 7 の復習
10	事前学習	Chapter 8 の予習
	授業内容	Chapter 8 No More Game-Changing Technology?
	事後学習	Chapter 8 の復習
11	事前学習	Chapter 9 の予習
	授業内容	Chapter 9 Waiting in Line for Delicious New Food
	事後学習	Chapter 9 の復習
12	事前学習	Chapter 10 の予習
	授業内容	Chapter 10 Sympathy for the Delivery Man
	事後学習	Chapter 10 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 6 ～ Chapter 10 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語A【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英字新聞攻略法を身につけながら、時事英語の運用力を養成します。時事英語に特有な表現や語彙を学び、リスニングではチャンクで内容を捉えられるようになることを目指し、リーディングでは正確に英語を読む力を向上させます。また、授業で学習したことに基づき、各トピックについて自分の意見を英語で述べるができるようにします。				
授業目的・到達目標	[授業目的] TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。 [到達目標] skimming力を身につけながら、パラグラフの論理展開を学んでいき、自分の考えを客観的かつ論理的に明確な英語で表現できるようにすることを最終目標とします。TOEICの基礎力をつけ、スコア450を目指します。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。遅刻・欠席をせず、積極的かつ集中して授業に臨む必要があります。				
授業方法	critical thinking/creative thinkingの手法を下地とし、輪読形式と演習形式を織り交ぜながら授業を展開していきます。小テストを毎回実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（50%） 単元5つ毎に行われるテスト（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	成美堂		Meet the World 2018 ―English through Newspapers―	若有保彦
	備考				
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。辞書必携。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を用意する。シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス（年間授業計画・成績評価の方法・教科書の説明・辞書の扱い使い方や英語学習法など） ニュース記事の特徴
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
2	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 1 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 2 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 3 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 4 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 5 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	Unit 5までの復習
	授業内容	振り返り
	事後学習	振り返りの内容を確認する。
8	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 6 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 7 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 8 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 9 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 10 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	Unit10までの復習
	授業内容	振り返り
	事後学習	振り返りの内容を確認する。
14	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 11 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 12 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。

科目名	英語A【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC, TOEFL, 英検等に対応できる英語力を身に付けるため、速読、精読の両方の面から英文を読むことが出来るようにする。Readingの英文全体の内容を確認した後、英文を一文ずつ見ていく。Readingの英文全体の内容を理解できているかどうかをExercise5・7を使って確認する。Reading本文の内容、Exerciseの答えの確認等は学生が発表し、間違えたところを教師が訂正する。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。英文を読み、段落、または文章全体の内容を把握できるのと同時に、個々の英文を正確に読むことができるようになるのを目的とします。到達目標はTOEIC, TOEFL, 英検等の長文問題や文法問題に対応できるようにすること。ペーパーバック、英字新聞などを辞書を使わずに読めるようになることです				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。原則として英語Bと通年で履修すること。上記資格試験の受験を強く奨励する。授業回数の1/3以上欠席すると単位は取得できない。				
授業方法	演習方式で行う。1 unitを2回で終わらせる。Reading本文の全体の内容を把握した後でExerciseの答え合わせをする。携帯、スマホ等の使用は認めない。詳しいことは1回目の授業で説明する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末試験50%、平常点（小テスト、授業中の発表状況、課題等）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	成美堂		Reading Success 3	佐藤、Tidwell共著
	備考				
参考書	英和辞書 「総合英語 フォレスト」石黒昭博監修（桐原書店、1,500円）				
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。（対応できる時間—火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分—30分）e-mailアドレスについては第1回目の授業でお知らせします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト全体に目を通す
	授業内容	ガイダンス ―― 英語Aの履修についての説明と注意、他
	事後学習	授業に関する説明を再度チェックしておく
2	事前学習	テキストUnit 1 'A World of color':Exercise 2、 4. Readingの予習：分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく。
	授業内容	テキストUnit 1 'A World of color':2. Word definitions ～ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 1 'A World of color':2. Word definitions ～ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
3	事前学習	テキストUnit 1 'A World of color':4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5～7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 1 'A World of color': 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ～ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 1 'A World of color' 'A World of color':Exercise5～7の問題の間違えたところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
4	事前学習	テキストUnit 2 'The Olympics':Exercise 2及び4. Readingの予習：分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 2 'The Olympics':2. Word definitions ～ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 2 'The Olympics':2. Word definitions ～ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)

5	事前学習	テキストUnit 2 'The Olympics' :4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 2: 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 2 'The Olympics' :Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
6	事前学習	テキストUnit 3 'Power Foods' :Exercise 2及び4. Readingの予習 : 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 3 'Power Foods' :2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 3 'Power Foods' :2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
7	事前学習	テキストUnit 3 'Power Foods' : 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 3 'Power Foods' : 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 3 'Power Foods' :Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
8	事前学習	Unit 1 - Unit 3の復習小の準備をする。
	授業内容	Unit 1 - Unit 3の復習小テスト
	事後学習	Unit 1 - Unit 3の復習小テストを見直す
9	事前学習	テキストUnit 4: 'With a Little Help from Animals' :Exercise 2及び4. Readingの予習 : 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 4 'With a Little Help from Animals' : 2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 4 'With a Little Help from Animals' : 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
10	事前学習	テキストUnit 4 'With a Little Help from Animals' : 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 4 'With a Little Help from Animals' : 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 4 'With a Little Help from Animals' : Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
11	事前学習	テキストUnit 5 'You Know my Name' :Exercise 2及び4. Readingの予習 : 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 5 'You Know my Name' :2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 5 'You Know my Name' : 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
12	事前学習	テキストUnit 5 'You Know my Name' : 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 5 'You Know my Name' : 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 5 'You Know my Name' : Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
13	事前学習	テキストUnit 6 'The Quest for Beauty' : Exercise 2及び4. Readingの予習 : 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 6 'The Quest for Beauty' : 2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 6 'The Quest for Beauty' : 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
14	事前学習	Unit 1 ~ Unit 6の復習をする
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	Unit 1 ~ Unit 6のまとめのテスト問題をもう一度復習
15	事前学習	Unit 1 ~ Unit 6の単語等を復習
	授業内容	Readingのプリント、英文の解説、等
	事後学習	授業で読んだReadingのプリントをもう一度読み直す

科目名	英語A【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 明子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	このクラスでは、1年次の最後の実施される予定のTOEIC Listening & Reading Testに向けた英語の基礎力を養います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	テキストを使用し、問題演習と解説をします。毎回小テストを実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		テスト（小テストを含む）やきちんと予習・復習ができているかなど総合的に判断して評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	セングージラーニング		TOEIC® TEST Trainer Target 470, Revised Edition		Masahiko Yamaguch他
	備考					
参考書	授業中に指示します。					
オフィスアワー	水曜日 16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特にありません。
	授業内容	ガイダンス。必ず出席してください。
	事後学習	特にありません。テキストを注文すること。
2	事前学習	特にありません。
	授業内容	グループ、席を決める。TOEICについての説明。Pre-test実施。
	事後学習	Pre-testの復習。
3	事前学習	Unit 1 Listeningの予習
	授業内容	Unit 1 動詞・5文型 Listening
	事後学習	Unit 1 Listeningの復習
4	事前学習	Unit 1 Readingの予習
	授業内容	Unit 1 動詞・5文型 Reading
	事後学習	Unit 1 Readingの復習

5	事前学習	Unit 2 Listeningの予習
	授業内容	Unit 2 数量を尋ねる-名詞 Listening
	事後学習	Unit 2 Listeningの復習
6	事前学習	Unit 2 Readingの予習
	授業内容	Unit 2 数量を尋ねる-名詞 Reading
	事後学習	Unit 2 Readingの復習
7	事前学習	Unit 3 Listeningの予習
	授業内容	Unit 3 命令・依頼-形容詞・副詞 Listening
	事後学習	Unit 3 Listeningの復習
8	事前学習	Unit 3 Readingの予習
	授業内容	Unit 3 命令・依頼-形容詞・副詞 Reading
	事後学習	Unit 3 Readingの復習
9	事前学習	Unit 4 Listeningの予習
	授業内容	Unit 4 広告・宣伝-フレーズ・リーディング Listening
	事後学習	Unit 4 Listeningの復習
10	事前学習	Unit 4 Readingの予習
	授業内容	Unit 4 広告・宣伝-フレーズ・リーディング Reading
	事後学習	Unit 4 Readingの復習
11	事前学習	Unit 5 Listeningの予習
	授業内容	Unit 5 時間を尋ねる-動名詞 Listening
	事後学習	Unit 5 Listeningの復習
12	事前学習	Unit 5 Readingの予習
	授業内容	Unit 5 時間を尋ねる-動名詞 Reading
	事後学習	Unit 5 Readingの復習
13	事前学習	Unit 6 Listeningの予習
	授業内容	Unit 6 場所を尋ねる-to不定詞 Listening
	事後学習	Unit 6 Listeningの復習
14	事前学習	Unit 6 Readingの予習
	授業内容	Unit 6 場所を尋ねる-to不定詞 Reading
	事後学習	Unit 6 Readingの復習
15	事前学習	前期の復習
	授業内容	前期の復習、まとめ
	事後学習	前期の復習

科目名	英語A【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	堀 千和子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会の諸問題をトピックにした教科書を使用します。比較的わかりやすい英語を聞き取り、内容を理解し、重要語彙・表現を学んでいきます。世界で今何が起きているかも考えていきたいと思います。学んだ英語を定着させるために、シャドーイングや暗唱、会話練習も行っていきます。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なリーディング、文法の基礎力を磨くことを目的としています。1. 語彙力の増強、 2. 2年時の英語資格試験のクラスで余裕を持って勉強できる英語力をつけることを目標とします。				
履修条件	経営法学科1年生指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修して下さい。				
授業方法	教科書に沿って、聴解、ディクテーション、読解を行っていきます。文法事項や重要表現を学習した後、英作文や発話練習を行って、知識を定着させます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間試験 30%、 期末試験 40%、 提出物（読書記録表） 5%、 授業への貢献度 10%、 グループ・プレゼンテーション 15%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		AMBITIONS: Elementary（4技能統合型で学ぶ英語コース：初級編）	VELC研究会教材開発グループ
	備考				
参考書	英和辞書、英英辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問は、授業終了後またはE-mailにて対応します。授業開始時にアドレスをお知らせします。授業関連の連絡は大学ポータルを使用します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの自分の英語学習を振り返って、使用した辞書や単語集、教材などをまとめておく。大学で英語をどのように学習したいかという目標を考えておく。
	授業内容	ガイダンス、語彙・文法の振り返り
	事後学習	教科書を購入する。音声のダウンロードの準備をする。
2	事前学習	教科書Unit 1の読み物の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	教科書 Unit 1の1 異文化理解
	事後学習	既習事項の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。
3	事前学習	新出語彙と文法の確認をする。
	授業内容	テキスト Unit 1の2 異文化理解
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
4	事前学習	教科書Unit 2の英文の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 2の1 食料
	事後学習	既習事項の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。

5	事前学習	新出語彙と文法の確認をする。
	授業内容	テキスト Unit 2の2 食料
	事後学習	学習した英文のスク립トを使用し、音声の後について発音の練習をする。
6	事前学習	教科書Unit 3の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 3の1 外国語学習
	事後学習	既習事項の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。
7	事前学習	新出語彙と文法の確認をする。
	授業内容	テキスト Unit 3の2 外国語学習
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
8	事前学習	教科書Unit 4の英文の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 4の1 スポーツ
	事後学習	既習事項の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。
9	事前学習	新出語彙と文法の確認をする。
	授業内容	テキスト Unit 4の2 スポーツ
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
10	事前学習	教科書Unit 5の英文の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 5の1 ファッション
	事後学習	既習事項の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。
11	事前学習	新出語彙と文法の確認をする。
	授業内容	テキスト Unit 5の2 ファッション
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
12	事前学習	教科書Unit 6の英文の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 6の1 生物
	事後学習	既習事項の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。
13	事前学習	新出語彙と文法の確認をする。
	授業内容	テキスト Unit 6の2 生物
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
14	事前学習	教科書Unit 7の英文の大まかな内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 7、芸術、 到達度を測る聞き取り
	事後学習	聞き取りでできなかった箇所を復習する。
15	事前学習	今期の学習範囲の復習を行う。ポータルを見て、既習事項の内容を確認する。
	授業内容	前期の振り返り
	事後学習	理解があやふやな箇所を見直し、後期の学習に備える。

科目名	英語A【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	山田 潤治	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学4年間での学習を経て、社会で役立つ英語力を育成するため、文法をブラッシュアップし、リーディング対策をおこないます。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くクラスです。大学英語に必要なアカデミック・スキルの基礎を身につけます。英文法の基礎的知識を再確認し、英文読解において、わからない文法事項はない、というレベルにまで到達します。			
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。英語AとBとを通年で履修してください。			
授業方法	テキストの指定された範囲の演習問題を自宅で事前学習します。講義では、重要項目を説明した上で、演習問題の解答確認をしていきます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	小テストの成績（40％）。授業の予習状況（30％）、Activity提出+Review提出状況（30%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Cambridge	『マーフィーのケンブリッジ英文法（中級編）第3版』	Raymond Murphy 渡辺雅仁訳
	備考			
参考書	大学生にふさわしい辞書、参考書について、初回授業時に詳しく説明いたします。			
オフィスアワー	junji%y.email.ne.jp（％は、@に変換する）まで電子メールで連絡ください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、テキストの構成を確認しておく。 かならず初回授業に、教科書を持参するように。
	授業内容	ガイダンス授業：クラスの到達目標、学習目標の定め方、辞書の選び方等、大学英語の全般についての説明。
	事後学習	学習目標をたてる。
2	事前学習	現在形と過去形1～6までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	現在形と過去形1～6
	事後学習	演習の間違い直しと復習
3	事前学習	現在完了形と過去形7～11までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	現在完了形と過去形7～11
	事後学習	演習の間違い直しと復習
4	事前学習	現在完了形と過去形12～17までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	現在完了形と過去形12～17
	事後学習	演習の間違い直しと復習

5	事前学習	未来１８～２４までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	未来１８～２４
	事後学習	演習の間違い直しと復習
6	事前学習	法助動詞２５～２９までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	法助動詞２５～２９
	事後学習	演習の間違い直しと復習
7	事前学習	法助動詞３０～３５までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	法助動詞３０～３５
	事後学習	演習の間違い直しと復習
8	事前学習	i fとw i s h ３６～３９ 受動態４０～４１までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	i fとw i s h ３６～３９ 受動態４０～４１
	事後学習	演習の間違い直しと復習
9	事前学習	受動態４２～４４ 間接話法４５～４６ までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	受動態４２～４４ 間接話法４５～４６
	事後学習	演習の間違い直しと復習
10	事前学習	疑問文と繰り返しを避ける助動詞４７～５０ 動名詞と不定詞５１～５２ までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	疑問文と繰り返しを避ける助動詞４７～５０ 動名詞と不定詞５１～５２
	事後学習	演習の間違い直しと復習
11	事前学習	動名詞と不定詞５３～５９までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	動名詞と不定詞５３～５９
	事後学習	演習の間違い直しと復習
12	事前学習	動名詞と不定詞６０～６６までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	動名詞と不定詞６０～６６
	事後学習	演習の間違い直しと復習
13	事前学習	冠詞と名詞６７～７３までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	冠詞と名詞６７～７３
	事後学習	演習の間違い直しと復習
14	事前学習	冠詞と名詞７４～７９までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	冠詞と名詞７４～７９
	事後学習	演習の間違い直しと復習
15	事前学習	総復習。ざっと学期の学習を見直す
	授業内容	Review
	事後学習	Reviewのみなおし

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカでベストセラーを記録した“Chicken Soup for the Soul”の精読を通して、文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学びます。また、適宜『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』を用いて、英文法・語法の知識を整理していきます。			
授業目的・到達目標	(1) TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 (2) 文法・語法の知識を整理するとともに、それらの知識に基づいた読解の方法を学ぶことを目標としています。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1997	金星堂	『Chicken Soup for the Soul チキンスープをどうぞー心あたたまる17のアメリカ小話集』	Jack Canfield 他
	2017	大修館書店	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』	大修館書店編集部
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	金曜日12:10～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson2, Lesson3のp8, p10を熟読しておくこと。
	授業内容	英文読解に必要な品詞と文型、句と節について学ぶ。
	事後学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson2, Lesson3のExercisesを解く。
3	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Circusを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
4	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Circusを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	鈴木 京子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、英文を読むことで、書かれた内容の理解を深めるための学習を行います。教科書には身近な日本の様々な次章が書かれており、英文を読みながら内容が自然に理解できるようにしていきます。主に読解力向上を目指しますが、同時に基礎的な英文法の復習、重要な語彙、イディオム、構文などの復習も行います。また内容に関する質問は英語で書かれていますので、TOIECテスト形式に慣れていく練習も行います。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。TOEIC の基礎力を身につけ、スコア450点を目標とします。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への参加度、小テスト結果、期末試験の結果等を加味します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	南雲堂		Breakthrough Japan（躍進日本）		ジョアン・ペロケティ他4名
	備考					
参考書	英和辞書必携					
オフィスアワー	授業の前後で質問してください。アポイントメントを取りたいときにも授業の前後に相談してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自己紹介文を考える
	授業内容	オリエンテーション、自己紹介コンテンツ作成、プレゼンテーション
	事後学習	自己紹介文を書いてクラスで発表し提出
2	事前学習	Chapter 1 “Exile Hiro” の本文の予習
	授業内容	Chapter 1” Exile Hiro” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
3	事前学習	Chapter 1 “Exile Hiro” のExercises の予習
	授業内容	Chapter 1 “Exile Hiro” 本文の続き、Exercises
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
4	事前学習	Chapter 2 “Ebizo Ichikawa” の本文の予習
	授業内容	Chapter 2 “Ebizo Ichikawa” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備

5	事前学習	Chapter 2 “Ebizo Ichikawa” のExercises の予習
	授業内容	Chapter 2 “Ebizo Ichikawa” 本文の続き、Exercises
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
6	事前学習	Chapter 3 “400M Relay Silver Medal” の本文の予習
	授業内容	Chapter 3 “400M Relay Silver Medal” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
7	事前学習	Chapter 3 “400M Relay Silver Medal” のExercises の予習
	授業内容	Chapter 3 “400M Relay Silver Medal” 本文の続き、Exercises
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
8	事前学習	Chapter 4 “The Kimono” の本文の予習
	授業内容	Chapter 4 “The Kimono” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
9	事前学習	Chapter 4 “The Kimono” のExercisesの予習
	授業内容	Chapter 4 “The Kimono” 本文の続き、Exercises
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
10	事前学習	Chapter 5 “The Sanriku Railway” の本文の予習
	授業内容	Chapter 5 “The Sanriku Railway” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
11	事前学習	Chapter 5 “The Sanriku Railway” のExercises の予習
	授業内容	Chapter 5 “The Sanriku Raiwlay” 本文の続き、Exercises
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
12	事前学習	Chapter 6 “Local Issues” の本文の予習
	授業内容	Chapter 6 “Local Issues” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
13	事前学習	Chapter 6 “Local Issues” のExercises の予習
	授業内容	Chapter 6 “Local Issues” 本文の続き、Exercises
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
14	事前学習	Chapter 7 “Digital Manga” の本文の予習
	授業内容	Chapter 7 “Digital Manga” 本文
	事後学習	授業で学習したことの復習・小テストの準備
15	事前学習	前期でやったことの復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	前期授業の総復習

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	堀 紳介	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業ではこれまでに習ったことがあるであろう基本的な文法事項を学びながらも、そこから英米文化を知ること为目标とします。授業では各自に和訳を発表してもらい、どのように英文を読んだのか、どうしてそのような和訳になったのか、を確認しながら進めていきます。英文の内容に関して問うこともあるでしょう。したがって、この授業で学生は自ら考えながら英文を読むことが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。この授業はTOEICなどの資格試験で必要となる基礎的な英語読解力を身につけることを目的としているが、TOEICの問題集のみを教材として用いることはしない。学生たちの英語へのニーズの多様性を考えれば、資格試験で点数を取ることのみを目的とした英語学習では限界がある。この授業ではTOEICを視野に入れながらも、英字新聞などの実用的な英語学習媒体を教材として用いることで基礎的な英語読解力の向上を図る。TOEICで500点取得を目指します。出来ればそれ以上。				
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	グループワークを取り入れ、発表形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価 (Report 30% Test 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、前期授業内容の説明
	事後学習	グループ内で英文を精読
2	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
3	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
4	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読

5	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
6	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
7	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
8	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
9	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
10	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
11	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
12	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
13	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	TOEIC模試：解答、解説
	事後学習	グループ内で英文を精読
14	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	テスト準備
	事後学習	既習事項の確認、復習
15	事前学習	既習事項の確認、復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	後期授業の範囲を読んでおくこと。

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語のリーディング、文法を中心に学習します。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨く。たとえば、英検では準1級合格を目標とします。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコアを450点以上を目標とします。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。TOEIC、TOEFL、等の資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。					
授業方法	実践演習をして解説をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	南雲堂		Gateway to Britain		Terry O'Brien, 他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書を購入する必要はない。適宜図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Pub in decline 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Pub in decline 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Football: sport or business 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Football: sport or business 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Royal Family or TV melodrama? 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Royal Family or TV melodrama? 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Preserving Britain
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	茂木 健幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	読むことで情報を得て、書くことで自分自身についての情報や意見等を表現するという流れに重点を置き、英語リーディング、ライティングの基礎力向上に取り組みます。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。到達目標としては、文章読解で得た情報の理解と、それに関する自分の意見等の表現ができるようになること。					
履修条件	公共政策学科一年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	教科書に沿って授業を進めます。それぞれのユニットの終わりにあるライティングの課題はレポートとして提出することになります。長文読解部分の予習や、レポート作成については予習が必要となります。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への参加度、レポート等により評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	朝日出版社		コミュニケーションのための総合英語		阿野幸一
	備考					
参考書	使用せず。					
オフィスアワー	授業終了後。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 1 全体を読んでくること。
	授業内容	ガイダンス、授業の進め方、評価方法などの説明
	事後学習	授業内容の確認。
2	事前学習	Unit 1のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 1 Communication
	事後学習	Unit 1のリーディング部分の復習
3	事前学習	Unit 1のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 1 Communication
	事後学習	Unit 1のリーディング部分の復習
4	事前学習	Unit 1の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 1 Communication
	事後学習	Unit 1の文法問題の復習

5	事前学習	Unit 2のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 2 Friendship
	事後学習	Unit 2のリーディング部分の復習
6	事前学習	Unit 2の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 2 Friendship
	事後学習	Unit 2の文法問題の復習
7	事前学習	Unit 3のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 3 Health
	事後学習	Unit 3のリーディング部分の復習
8	事前学習	Unit 3の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 3 Health
	事後学習	Unit 3の文法問題の復習
9	事前学習	Unit 4のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 4 Environment
	事後学習	Unit 4のリーディング部分の復習
10	事前学習	Unit 4の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 4 Environment
	事後学習	Unit 4の文法問題の復習
11	事前学習	Unit 5のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 5 Fashion
	事後学習	Unit 5のリーディング部分の復習
12	事前学習	Unit 5の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 5 Fashion
	事後学習	Unit 5の文法問題の復習
13	事前学習	Unit 6のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 6 Food
	事後学習	Unit 6のリーディング部分の復習
14	事前学習	Unit 6の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 6 Food
	事後学習	Unit 6の文法問題の復習
15	事前学習	前期授業範囲であるUnit1～6までの復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	授業内容の復習。

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	吉澤 小百合	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会・文化・政治経済・情報・言語・教育・科学・医学・環境・娯楽・スポーツなど，身近に世界中のニュースに触れることを意図したテキストを使用して，英語の運用能力を向上させる。					
授業目的・到達目標	TOEIC，TOEFL，英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。総合的な英語力（特にリーディング）の基礎を固め，特定のテーマについて自分の意見を簡単な英語で述べられるようにする。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則として，英語Bと通年で履修すること。					
授業方法	教科書を中心に演習形式で行う。適宜，プリントも配布する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		小テスト(10%)や課題(10%)，授業参加度(30%)，期末試験(50%)により，総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		Insights 2018		村尾純子・深山晶子ほか
	備考					
参考書	適宜指示する。 書籍辞書または電子辞書を持参すること。					
オフィスアワー	授業に関する質問や相談は，授業の前後またはメールにて対応する。（メールアドレスは授業初回に知らせる）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	この授業について何か質問したいことがあれば考えておくこと。
	授業内容	前期授業についての説明
	事後学習	配布したプリントを読み，テキスト未購入の学生は必ず購入すること。
2	事前学習	p. 14-15のReading を読み，Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 1 Give Me an objective Opinion
	事後学習	Chapter 1 の授業内容を復習すること。特にp. 12の語彙や文法事項を確認すること。
3	事前学習	p. 20-21のReading を読み，Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 2 Antenna Shops, Symbols of Local Regions
	事後学習	Chapter 2 の授業内容を復習すること。特にp. 18の語彙や文法事項を確認すること。
4	事前学習	p. 26-27のReading を読み，Summaryの穴埋めをしてしておくこと。
	授業内容	Chapter 3 New Customers from Abroad
	事後学習	Chapter 3 の授業内容を復習すること。特にp. 24の語彙や文法事項を確認すること。

5	事前学習	p. 32-33のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 4 Rickshaw Runners Wait for Foreign Tourists
	事後学習	Chapter 4 の授業内容を復習すること。特にp. 30の語彙や文法事項を確認すること。
6	事前学習	p. 38-39のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 5 Try Minimalism
	事後学習	Chapter 5 の授業内容を復習すること。特にp. 36の語彙や熟語、文法事項を確認すること。
7	事前学習	Chapter 1～5までの復習をして小テストに備えること。
	授業内容	Chapter 1～5までの復習と小テスト
	事後学習	語彙や熟語、文法事項を確認し、小テストで間違えたところがあればテキストや辞書等を使って復習すること。
8	事前学習	p. 44-45のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 6 Producing Sound Everyone Can Enjoy Together
	事後学習	Chapter 6 の授業内容を復習すること。特にp. 42の語彙や熟語、文法事項を確認すること。
9	事前学習	p. 50-51のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 7 Race Against the Clock
	事後学習	Chapter 7 の授業内容を復習すること。特にp. 48の語彙や文法事項を確認すること。
10	事前学習	p. 56-57のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 8 A Happy Business Trip with Your Family
	事後学習	Chapter 8 の授業内容を復習すること。特にp. 54の語彙や文法事項を確認すること。
11	事前学習	p. 62-63のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 9 Are You Clean Enough?
	事後学習	Chapter 9 の授業内容を復習すること。特にp. 60の語彙や文法事項を確認すること。
12	事前学習	p. 66-67のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 10 Cry, and Refresh!
	事後学習	Chapter 10 の授業内容を復習すること。特にp. 66の語彙や熟語、文法事項を確認すること。
13	事前学習	授業当日にプリントを配布するので事前学習の必要はない。
	授業内容	プリント演習
	事後学習	授業で行なったプリントの内容を復習すること。
14	事前学習	これまでの授業内容で分からないところがないか確認し、質問ができるように準備しておくこと。
	授業内容	前期の総復習と質問受付
	事後学習	これまでの授業の総復習を改めてすること。
15	事前学習	前期の総まとめに備えること。
	授業内容	前期の総まとめ
	事後学習	授業で行なった内容をテキストで確認してみること。

科目名	英語A【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	スコットA.リー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this class we will use simplified news stories to practice and improve your English reading, listening, speaking and writing abilities. In interacting with the material and each other, you will also gain some basic critical thinking, discussion and presentation skills.					
授業目的・到達目標	By the end of the course, you should be able to better comprehend, raise thoughtful questions and express your thoughts about news topics related to your major.					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。You have sufficient high-school level English knowledge. Regular attendance and preparation are required.					
授業方法	First, read and listen to news stories. After, in pairs and groups, ask each other questions and discuss about the various topics. Some classes will be used for preparing and presenting a group research project.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		Tests (40%), Assignments & quizzes (30%), Group project (30%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				Breaking News English (Online) -- material provided by the instructor in class		
	備考					
参考書	None					
オフィスアワー	Please contact the instructor at (s.ree@mac.com) for any questions or to arrange a meeting.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to introduce yourself in English to other class members.
	授業内容	Course introduction
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
2	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 1: Education and Social Distinction--School Uniforms
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
3	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 2: Industrial Food System
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
4	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 3: Household Generated Pollution
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.

5	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 4: Ownership, Wealth and Property
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
6	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 5: Modern-Day Slavery
	事後学習	Review English learned in the first half of the course and prepare for the mid-term test.
7	事前学習	Review required material and prepare for the mid-term test.
	授業内容	Mid-term test (On Topics 1~4) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
8	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 6: Refugee Policy
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
9	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 7: Population Control Policy
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
10	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 8: Media Freedom & Citizenship
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
11	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group presentation preparation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
12	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
13	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
14	事前学習	Review required material and prepare for the final test
	授業内容	Final Test (On Topics 5~8) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
15	事前学習	Review the material covered in the course.
	授業内容	Test and course review
	事後学習	Review English learned in the lesson and set goals for advancing your English ability over the summer.

科目名	英語A	担当者	板倉 亨	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「人口」「貧困」「戦争」「インターネット」など様々な同時代の問題を扱っている英文エッセイを、基本的な英語の語彙と構文・文法を確認しながら精読して、英文を正確に読む力を身につけ、その上で、論の基本的な構成を理解して読む速度を上げていくクラスです。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。文法の基礎力を活用してより正確で速いリーディングができるようになることを目標とします。					
履修条件	2年次生以上対象。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	演習形式。ランダムに指名をして、音読、語彙や構文の説明、訳読等をしてもらい、それに補足や解説を加えながら授業を進めます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常点（授業への参加度、小テスト等）、授業内期末試験等を踏まえ、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	年度を問わず	金星堂		Issues of Our Age		Peter Weld
	備考					
参考書	英和辞書（電子辞書でも可）。英語文法書。 その他は授業内で適宜指示します。					
オフィスアワー	itakura.toru11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	上記の教科書を準備し、それに目を通して内容や英文の難易度など確認してください。また、ガイダンスの内容をメモするためルーズリーフを準備してください。
	授業内容	ガイダンス。授業内容・方法や成績評価について確認し、教科書を使いながら具体的な説明を補足します。
	事後学習	ガイダンスの説明を踏まえ、この授業についてしっかりと理解すること。
2	事前学習	授業内で指定された予習範囲で、必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめた上で、英文の構文や訳等を準備してください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語をしっかりと見直しておくこと。
	授業内容	1. Seven Billion and Counting(1) 1章のエッセイの導入部を精読します。 教科書の英文に出てくる語彙や基本的な構文・文法を確認して精読の仕方を理解します。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
3	事前学習	授業内で指定された予習範囲で、必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめた上で、英文の構文や訳等を準備してください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語をしっかりと見直しておくこと。
	授業内容	1. Seven Billion and Counting(2) 1章のエッセイの中盤を精読します。 教科書の英文に出てくる語彙や基本的な構文・文法を確認して精読の仕方を理解します。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。

14	事前学習	これまでのノートを整理しながら授業内容を復習して、理解できなかった箇所を授業で確認できるようにまとめておくこと。
	授業内容	前期授業の振り返り。前回までの授業内容を補足し、振り返りながら説明します。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
15	事前学習	前期授業内容を、授業内で指摘されたポイントを中心にしっかりと復習しておくこと。
	授業内容	前期の授業のまとめ。授業内容全体の理解度を確認するためのまとめです。授業内で指摘したポイントを中心に確認します。
	事後学習	前期の授業で理解できたものと理解できなかったものをしっかりと把握し、特に理解が不十分なものについてはこれからの英語の勉強に役立てるためにしっかりと復習しておいてください。

科目名	英語A	担当者	トーマス・ロックリー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In the first semester you will learn English through hearing the stories of some interesting men and women who have helped make international history in East-Asia.				
授業目的・到達目標	You will practice English reading, writing, listening and speaking skills.				
履修条件	There are no particular conditions apart from regular attendance and a positive attitude.				
授業方法	This class follows the concept of learning content (history and modern society) through learning English.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	Vocabulary and reflection 20%, Semester Test 30%, Spelling tests 20%, Participation and effort 30%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	DTP出版		East Asia in Japanese History	Thomas Lockley
	備考	授業が始まる前に教科書を必ず買ってください。			
参 考 書	None				
オフィスアワー	9:30-10:30am Thursdays or email lockleyta@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Theme: First Lesson and Course Introduction.
	事後学習	Learn new vocabulary for the short test.
2	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Ancient Japan and East-Asia. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
3	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Foreign Settlements in Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
4	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Kim Chung-son. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.

5	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Korean Potters in Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
6	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Yamada Nagamasa. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
7	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Tagawa Matsu. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
8	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Zhu Shun-sui. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
9	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme:Chinese Merchants and Smugglers in Tokugawa Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
10	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Sun Yat-sen in Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
11	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Prince Cuong De. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
12	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: The Takasago Volunteers. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
13	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Kyaw Din. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
14	事前学習	Revise for the test.
	授業内容	Theme: Revision
	事後学習	Revise for the test.
15	事前学習	Revise for the test.
	授業内容	Theme: Semester Test and review.
	事後学習	Reflect on the semester.

科目名	英語A	担当者	堀 紳介	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	この授業ではこれまでに習ったことがあるであろう基本的な文法事項を学びながらも、そこから英米文化を知ること为目标とします。授業では各自に和訳を発表してもらい、どのように英文を読んだのか、どうしてそのような和訳になったのか、を確認しながら進めていきます。英文の内容に関して問うこともあるでしょう。したがって、この授業で学生は自ら考えながら英文を読むことが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。この授業はTOEICなどの資格試験で必要となる基礎的な英語読解力を身につけることを目的としているが、TOEICの問題集のみを教材として用いることはしない。学生たちの英語へのニーズの多様性を考えれば、資格試験で点数を取ることのみを目的とした英語学習では限界がある。この授業ではTOEICを視野に入れながらも、英字新聞などの実用的な英語学習媒体を教材として用いることで基礎的な英語読解力の向上を図る。TOEICで500点取得を目指します。出来ればそれ以上。				
履修条件	上記資格試験の受験を強く奨励します。				
授業方法	グループワークを取り入れ、発表形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価 (Report 30% Test 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、前期授業内容の説明
	事後学習	グループ内で英文を精読
2	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
3	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
4	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読

5	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
6	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
7	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
8	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
9	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
10	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
11	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
12	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
13	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	TOEIC模試：解答、解説
	事後学習	グループ内で英文を精読
14	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	テスト準備
	事後学習	既習事項の確認、復習
15	事前学習	既習事項の確認、復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	後期授業の範囲を読んでおくこと。

科目名	英語B【法職課程1年生共通クラス】	担当者	原田 明子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期の英語Aに引き続き、今までに学んだ英語の語彙や文法を復習しつつ、語彙力、読解力をさらに高め、大学での専門分野の学習や資格試験に対応できる英語力を目指す。英文の内容を正確に読み取り、的確に伝える能力を身に着ける。					
授業目的・到達目標	前期の英語Aに引き続き、TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解に必要なリーディング・文法の基礎力を磨く。テキストの[Reading]と同レベルの英文を読んで内容を理解し、要点を説明できるようにする。					
履修条件	法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	2回の授業でひとつの単元を学ぶ。1回目は[Reading]の内容を中心に学習する。2回目は問題の答え合わせ、TOEICの文法問題などを中心に学習する。各単元ごとにミニテストを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業での発表、小テストの結果など。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	成美堂		Science Finder:科学の不思議		
	備考					
参考書	授業にて指示					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはe-mailにて対応します。 e-mailには「日本大学法学部」「学籍番号」「名前」を明記してください。 harada@sakushin-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏季休暇中、英字新聞やインターネット、衛星放送等を通じて、英語のニュースに触れておく。
	授業内容	英語の新聞記事を読む
	事後学習	新聞英語の特徴や語彙を復習する。 自分でほかの英文の記事を読んでみる。
2	事前学習	Unit 7のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 7 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
3	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 7 問題とミニテスト TOEIC読解問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
4	事前学習	Unit 8のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 8 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。

5	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 8 問題とミニテスト TOEIC読解問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
6	事前学習	Unit 9のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 9 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
7	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 9 問題とミニテスト TOEIC読解問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
8	事前学習	Unit 10のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 10 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
9	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 10 問題とミニテスト TOEIC読解問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
10	事前学習	Unit 11のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 11 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
11	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 11 問題とミニテスト TOEIC読解問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
12	事前学習	Unit 12のWarm-up Taskを解き、関連語句を復習しておく。 Readingの不明な語句を調べ、一通り自分で読んで内容を説明できるようにしておく。
	授業内容	Unit 12 Reading
	事後学習	Readingの内容を3回音読する。
13	事前学習	問題を解いてくる。
	授業内容	Unit 12 問題とミニテスト TOEIC読解問題
	事後学習	間違えた問題を復習し、正解が出せるようにする。
14	事前学習	英文を読んでくる。
	授業内容	現代社会を扱った英文を読む。
	事後学習	英文に再度目を通し、内容をまとめる。
15	事前学習	今期の授業内容の疑問点をチェックしてくる。
	授業内容	今期の授業内容を振り返る。
	事後学習	疑問点が解決されたか、内容を復習する。

科目名	英語B【法職課程1年生共通クラス】	担当者	水野 隆之	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験を目指すための基礎固めをします。基礎的な文法事項を身につけることを目標とするとともに、TOEICに出題される表現を多く覚えます。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。			
履修条件	法職課程 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語 A と通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。毎時間小テストを実施。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	平常評価（授業態度、小テスト、期末試験等）100%、
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	朝日出版社	STEP-UP SKILLS FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST:Level 2	北尾泰幸
	備考			
参 考 書	英和辞典			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、全体に目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、テキストの予習箇所等を説明する。
	事後学習	テキストの予習箇所を確認する。
2	事前学習	テキスト1頁、6～9頁の問題を解いてくる。 5頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit1 食事に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
3	事前学習	テキスト10頁、14～17頁の問題を解いてくる。 13頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit2 旅行に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
4	事前学習	テキスト18頁、22～25頁の問題を解いてくる。 21頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit3 娯楽に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。

5	事前学習	テキスト26頁、30`33頁の問題を解いてくる。 29頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit4 会議に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
6	事前学習	テキスト34頁、38`41頁の問題を解いてくる。 37頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit5 人事に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
7	事前学習	テキスト42頁、46`49頁の問題を解いてくる。 45頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit6 買い物に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
8	事前学習	テキスト50頁、54`57頁の問題を解いてくる。 53頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit7 広告に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
9	事前学習	テキスト58頁、62`65頁の問題を解いてくる。 61頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit8 日常生活に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
10	事前学習	テキスト66頁、70`73頁の問題を解いてくる。 69頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit9 オフィスに関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
11	事前学習	テキスト74頁、78`81頁の問題を解いてくる。 77頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit10 ビジネスに関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
12	事前学習	テキスト82頁、86`89頁の問題を解いてくる。 85頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit11 交通に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
13	事前学習	テキスト90頁、94`97頁の問題を解いてくる。 93頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit12 会計に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
14	事前学習	テキスト98頁、102`106頁の問題を解いてくる。 101頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit13 メディアに関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
15	事前学習	テキストの総復習
	授業内容	後期学習内容の振り返り
	事後学習	これまでの学習内容を確認する。

科目名	英語B【法職課程1年生共通クラス】	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	速読のトレーニングをする。それによりリスニングもできるようになる。そのためには単語を覚える必要がある。受講生は、1100 Words You Need to Know中のすべての単語を覚え、パッセージの訳ができるようにする。またBasic Word Listの単語をすべて覚える。そのための指導をする。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。英語が諸君の人生における重要な要素となることは言を俟たない。英語学習の正しい方法を理解し、英語の学習習慣および基礎力を身につける必要がある。そのため毎回テストを行うが、答案は採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。英語はツールではない。偉大な、そして美しい伝統である。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検2級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。				
履修条件	法職課程1年生番号指定クラス。ノート検査をする。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修すること。				
授業方法	原則として、講義・質疑応答、40分、リーディング・テスト、25～45分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018	Barron	1100 Words You Need to Know		Bromberg
	2017	Barron	Basic Word List		Brownstein
	備考				
参考書	リーダーズ英和辞典				
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業内容について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	1100 Words You Need to Know, およびBasic Word List、そして前期に配布されたプリントの単語を覚え、5週目からの単語テストに備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 15、対等関係について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	1100 Words You Need to Know, およびBasic Word List、そして前期に配布されたプリントの単語を覚え、5週目からの単語テストに備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 16、語順について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	1100 Words You Need to Know, およびBasic Word List、そして前期に配布されたプリントの単語を覚え、5週目からの単語テストに備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 17、要約文について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	生活用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 18、強調語について、生活用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	医学用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 19、関係代名詞について、医学用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	政治経済用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 20、限定用法について、政治経済用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	文学用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 21、不定詞について、文学用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	Basic Word List（見出し語のみ）A-Hまでの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 22、動名詞について、Basic Word List（見出し語のみ）A-Hの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	BWL（見出し語のみ）I-Zまでの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 23。仮定法について、BWL（見出し語のみ）I-Zの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	1100 Words You Need to Know(new wordsのみ全部)の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 24、現在形について、1100 Words You Need to Know(new wordsのみ全部)の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語を覚える（1）
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 25、時制について、1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語テスト（1）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語を覚える（2）
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 26、名詞について、1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語テスト（2）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	1100 Words とBWLのすべての単語を覚える（1）
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 27、動詞について、1100 Words とBWLのすべての単語テスト（1）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	1100 Words とBWLのすべての単語を覚える（2）
	授業内容	まとめ、1100 Words とBWLのすべての単語テスト（2）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	石川 太郎	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の4技能（読み・聞く・話す・書く）を基礎から始めて出来るだけ発展させる事を目標としています。とにかく暗記中心でパターン化しやすく退屈になりがちな授業を少しでも楽しく行っていきたいと考えています。そのためになるべくクラスの皆さんで話し合いながら授業を進めていきます。また、映画等も教材として扱う予定です。楽しく頑張りましょう。					
授業目的・到達目標	これまで学習してきた英語の総復習及びその発展が目標です。リスニング力と読解力の養成中心に行います。TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。基礎力の確認から始めて、最終的にTOEFL/TOEIC等英語の資格試験で良い成績が望めるようになります。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。毎回の授業に出席する事はもちろん、出席しても寝ていたり、授業に参加する態度が感じられない場合は出席とカウントしない場合があります。					
授業方法	テキストの内容の文法理解に加えて、音読・シャドーイングが基本。テキストの内容に基づいた会話練習も行います。とにかく出席者が必ず英語を発音する場になります。毎回、前回の授業内容確認の小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		年度末に試験を行います。内容は授業の復習です。（50%） 授業参加度（声の大きさ、課題提出率等）から総合的に判断します。（50%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	Cengage Learning		Good Morning World 1: Building Communication Skills through DVD		Susan Stempleski
	備考					
参考書	英和辞典（必ず毎回持って来てください）					
オフィスアワー	授業の前後、教員控室で。尚、前もってメールでアポを取っておくことが望ましい。メールアドレスは最初の授業内で伝える。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の英語授業の復習
	授業内容	イントロダクション（小テスト実施予定）
	事後学習	復習
2	事前学習	予習
	授業内容	Unit 7(1)DVD映像を見ながらリスニング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
3	事前学習	予習
	授業内容	Unit 7(2)DVDを参考にUnit 7の内容を英語で要約してペアワーク
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
4	事前学習	予習
	授業内容	Unit 8(1)DVDを参考にリスニングやシャドーイングの練習
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング

5	事前学習	予習
	授業内容	Unit 8(2)DVDを参考にしながらUnit 8全体の内容をまとめて英語で説明する
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
6	事前学習	予習
	授業内容	Unit 9(1)DVDを参考にリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
7	事前学習	予習
	授業内容	Unit 9(2)DVDを参考にしながらUnit 9全体を英語で要約する
	事後学習	復習
8	事前学習	予習
	授業内容	Unit 10(1)DVDを参考にしながらリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
9	事前学習	予習
	授業内容	Unit 10(2)DVDを参考にUnit 10の内容を英語で要約
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
10	事前学習	予習
	授業内容	Unit 11(1)DVDを参考にリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
11	事前学習	予習
	授業内容	Unit 11(2)DVDを参考にUnit 11全体を英語で要約してペアワーク
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
12	事前学習	予習
	授業内容	Unit 12(1)DVDを参考にリスニングとシャドーイング
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
13	事前学習	予習
	授業内容	Unit 12(2)DVDを参考にUnit 12の内容全体を英語で要約してグループワーク
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
14	事前学習	復習
	授業内容	これまでのまとめ及び時間が足りなくて出来なかった箇所を扱います。
	事後学習	復習DVDを参考にシャドーイング
15	事前学習	総復習
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	自己採点

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	井上 悦男	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC Listening & Reading テストの受験のための基礎力を養成する。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。TOEIC450点を目指します。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。TOEICの受験を奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		試験(60%)、平常点(毎回の小テスト、発表)(40%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	国際ビジネスコミュニケーション協会		公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3		Educational Testing Service
	備考					
参考書	授業時に指示する。					
オフィスアワー	質問はメールで受けつけます。inoue_etsuo4949@yahoo.co.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	既習事項の確認
	授業内容	ガイダンス(問題構成など)、模擬問題での演習、関連事項の演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
2	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part1, 2、Part5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
3	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part3、Part5、Test2 Part2の復習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
4	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part4、Test2 Part3の復習(この後適宜行う)
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習

5	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part4の復習(この後適宜行う)、Test2 Part5(前半)
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
6	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part5(後半)、Part6
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
7	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part6の復習、Part5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
8	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
9	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
10	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
11	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part3、リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
12	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part3の復習、リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
13	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part3の復習、リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
14	事前学習	前回までの復習
	授業内容	リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
15	事前学習	前回までの復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	確認

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	井上 悦男	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語資格試験の受験に必要な基礎力を磨きます。語彙、表現、文法の基礎固めと、音読を中心としたリスニングの練習をします。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。TOEIC450点を目指します。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。TOEICの受験を奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	試験(60%)、平常点(毎回の小テスト、発表)(40%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント使用			
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	質問はメールで受けつけます。inoUE_etsuo4949@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	既習事項の復習, シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス(問題構成など), 模擬問題での演習(TOEIC Part1), 以後毎回音読練習
	事後学習	問題構成の確認, 語彙の確認
2	事前学習	前回の復習
	授業内容	模擬問題での演習, 関連事項の演習(TOEIC Part 1), 前回までの復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
3	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(接続詞・前置詞), 前回までの復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習
4	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習(接続詞・前置詞), 前回までの復習
	事後学習	語彙の確認, 文法事項の確認, 音読練習

5	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (TOEIC Part2)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
6	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (TOEIC Part2)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
7	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (読解穴埋め)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
8	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (読解穴埋め)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
9	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (読解内容理解)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
10	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (読解内容理解)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
11	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (TOEIC Part5)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
12	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (TOEIC Part5)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
13	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (読解穴埋め)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
14	事前学習	前回までの復習
	授業内容	模擬問題での演習 (読解内容理解)，前回までの復習
	事後学習	語彙の確認，文法事項の確認，音読練習
15	事前学習	前回までの復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	見直し

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語化する世界に対応するための英語力アップを狙いとする。				
授業目的・到達目標	TOEIC TOEFL 英検などの資格試験や専門分野の原書理解などに必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標とする。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とする。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨める。原則英語Aとの通年での履修である。				
授業方法	原則、名簿順に演習する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	発表・プレゼンなど（50%） 殆ど毎回行う小テストなど（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	原則、テキストを使用しない。次回使用する教材は常に渡す。			
参考書	随時、紹介する。				
オフィスアワー	原則、授業の前後に受け付ける。その他、メールでも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英文法を再確認する。
	授業内容	ガイダンス 基本的な文法事項の確認。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	酸性雨と産業革命（環境）。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	建築家FLライド（建築）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	条件反射とイワンパブロフ（人体）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	ローランドゴリラ(動物学)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	基本的な文法事項の確認。(2)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	EMヘミングウエー(文学)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	血友病(医学)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	チョムスキーと言語学(言語学)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	抽象絵画(芸術)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	基本的な文法事項の確認。(3)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	リズム&ブルース(音楽)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	ガリレオと望遠鏡(天文学)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	蜂と社会生活(昆虫)
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	今回使用する教材を研究しておく。
	授業内容	総括とこれからの学習の指針。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。自分の英語力アップのために着実に努力する。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	成美堂	もっと知りたい！社会のいま 2		Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考				
参考書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 11 の予習
	授業内容	Chapter 11 Black Friday
	事後学習	Chapter 11 の復習
3	事前学習	Chapter 12 の予習
	授業内容	Chapter 12 Graduation Trips
	事後学習	Chapter 12 の復習
4	事前学習	Chapter 13 の予習
	授業内容	Chapter 13 Aspects of Sneaker Culture
	事後学習	Chapter 13 の復習

5	事前学習	Chapter 14 の予習
	授業内容	Chapter 14 The Union Jack as Fashionable Symbol
	事後学習	Chapter 14 の復習
6	事前学習	Chapter 15 の予習
	授業内容	Chapter 15 Trends in Fitness
	事後学習	Chapter 15 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 11 ～ Chapter 15 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 16 の予習
	授業内容	Chapter 16 Smart Rings
	事後学習	Chapter 16 の復習
9	事前学習	Chapter 17 の予習
	授業内容	Chapter 17 Photogenicity
	事後学習	Chapter 17 の復習
10	事前学習	Chapter 18 の予習
	授業内容	Chapter 18 Stress Relief
	事後学習	Chapter 18 の復習
11	事前学習	Chapter 19 の予習
	授業内容	Chapter 19 Young Women Turn to Gaming
	事後学習	Chapter 19 の復習
12	事前学習	Chapter 20 の予習
	授業内容	Chapter 20 Young People and Criticism
	事後学習	Chapter 20 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 16 ～ Chapter 20 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	小山 誠子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Tea, Transport, London Stock Exchange... など様々な「イギリス発祥」(Made in Britain)に関する英文の読解を通じて、一定の語彙力の増強及び構文(英文法の確認)の理解と共に、情報収集の「手段」「道具」としての英語の習得により「英語圏」という異文化を通じて国際社会への知識・「客観的」理解を深め、それらに対する「主体的」な判断・意見を涵養する。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要な語彙力及び文法等総合的な英語の基礎力を磨く。英文の読解を習慣化することで、TOEIC 500点代(意思疎通に必要な英語レベル)取得に必要な語彙及び文法の習得に努め、効率的な学習方法を身に付ける。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則英語Aと通年で履修すること。到達目標を意識して意欲的に学習に取り組む者。				
授業方法	受講者の予習を前提として、英文を通じた知識の涵養を目標に個々の英文の確認(精読)を行う。文法事項は本文の文構造に関連づけ展開する。加えて、Chapter毎に単語テストや指定範囲内の小テストを行う。(詳細は初回に説明する。)				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価(発表等の授業への積極的取組状況及びテスト(毎Chap. 等)により総合的に評価する。※上記各種英語資格試験もや関連情報の調査報告も推奨、評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	成美堂	Made in Britain		Anthony Sellik John Barton
	備考				
参考書	大学生/社会人レベルの辞書(電子辞書も可)を毎回携帯すること。学習記録用のノートを用意すること。 ※ PC・タブレット・携帯電話の使用は認めない。				
オフィスアワー	授業後20分間対応する。(※初回授業にて指示する。)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト(下記展開範囲)全体に目を通し、気になる点をメモして授業に臨むこと。 ※「イギリス」に関する情報(図書、映画(DVD)、雑誌など)の調査報告(レポート)があれば成績評価の一部とする。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	展開範囲を中心に、辞書を使わずにどの程度内容が把握できそうか現時点での「実力チェック」を各自行っておく。 (→3か月後の学習成果を自己確認できるようにするため。)
2	事前学習	1. Chapter12全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s)(固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。)
	授業内容	Chapter 12 A Nice Cup of Tea (前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
3	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 12 A Nice Cup of Tea (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説 ※1つのChapter/2回のペースで進む予定。
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(Teaがどのような歴史・変遷を辿りイギリスの国民的飲料となったか)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

4	事前学習	1. Chapter6全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter12 Mini Test Chapter 6 Thinking Machines -The Story of the Computer(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
5	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 6 Thinking Machines - The Story of the Computer (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(computerの歴史)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
6	事前学習	1. Chapter7全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter 6 Mini Test Chapter 7 I Get Around - Transport(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
7	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 7 I Get Around - Transport (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(交通機関に関する)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
8	事前学習	1. Chapter8全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter 7 Mini Test Chapter 8 London - How the Centre of the Financial World Started in a Coffee Shop(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
9	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 8 London - How the Centre of the Financial world Started in a Coffee Shop (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を(タイトルにある質問への回答を中心に)整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
10	事前学習	1. Chapter13全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter8 Mini Test Chapter 13 The British Pub(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
11	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 13 The British Pub (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報('pub'とはイギリス人にとってどんな存在・意味をもつか)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
12	事前学習	1. 該当Chapter全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter13 Mini Test Chapter○ (前半～中盤)※ (未修のchap. 10, 14, 17, 19の中から受講者の希望(多数決)により決定する。) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
13	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter ○※上記(第12回授業内容)参照 (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

14	事前学習	1. Mini Test(Chapter○)に向けての準備に併せて、学期内展開範囲全てのMini Testを復習(特に初回にて不正解だったものを中心に)を行う。2. テキスト読解箇所全般の構文・内容についても各自確認する。(不明なものは授業にて確認すること。)
	授業内容	Chapter ○(※第12-3回 学範囲) Mini Test 及び学期内展開範囲の総復習
	事後学習	学習範囲全体を見直し、必要に応じて修正を行い、初回からの成果を確認する。
15	事前学習	3か月学習内容を整理・総括する。(①「英語能力」②「英語圏文化について得た知識」の2つに関して)加えて、「異文化」との比較・対照によって得た感想・意見を整理する。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	初回事前学習からの成果を自己分析・確認するとともに、今後の課題(英語学習に関する具体的目標)を設定する。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TED Talksのコンテンツをもとに、授業内に意見交換するために内容を読み込んだ上で、意見をまとめ自分の言葉で相手に伝える力をつけます。テキスト以外にも興味ある分野の文章を読み、critical thinkingを養います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング、文法の基礎力を磨くことを目的としています。国際研修や交換留学等の海外留学に必要とされる英語力を総合的に身につけ、また、TOEICやTOEFLのスコアアップに繋がります。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加。小テスト結果。期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	Cengage Learning		Keynote 3 ISBN-13 978 1 305 96505 8		Paul Dummett
	備考					
参考書	辞書 は毎回持参してください。参考書は必要に応じて紹介します。リスニングに慣れるため、BBC, NHK World, CNNなどの英語ニュースに普段から慣れ親しんでください。					
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Preview Unit 7
	授業内容	Introduction Overview of the course
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Preview Unit 7 Part 1
	授業内容	Unit 7 – Part 1 Identity
	事後学習	Vocabulary note
3	事前学習	Preview Unit 7-Part 2
	授業内容	Unit 7 – Part 2 Where is home?
	事後学習	Vocabulary note
4	事前学習	Preview Unit 8 Part 1
	授業内容	Unit 8 – Part 1 Transportation solutions
	事後学習	Vocabulary note

5	事前学習	Preview Unit 8 Part 2
	授業内容	Unit 8 – Part 2 A skateboard, with a boost
	事後学習	Vocabulary note
6	事前学習	Preview Unit 9 Part 1
	授業内容	Unit 9 – Part 1 New words
	事後学習	Vocabulary note
7	事前学習	Preview Unit 9 Part 2
	授業内容	Unit 9 – Part 2 What makes a word “real”?
	事後学習	Vocabulary note
8	事前学習	Preview Unit 10 Part 1
	授業内容	Unit 10 – Part 1 understanding emotions
	事後学習	Vocabulary note
9	事前学習	Preview Unit 10 Part 2
	授業内容	Unit 10 – Part 2 This APP knows how you feel
	事後学習	Vocabulary note
10	事前学習	Preview Unit 11 Part 1
	授業内容	Unit 11 – Part 1 Leaders and thinkers
	事後学習	Vocabulary note
11	事前学習	Preview Unit 11 Part 2
	授業内容	Unit 11 – Part 2 Life at 30,000 feet
	事後学習	Vocabulary note
12	事前学習	Preview Unit 12 Part 1
	授業内容	Unit 12 – Part 1 Well-being
	事後学習	Vocabulary note
13	事前学習	Preview Unit 12 Part 2
	授業内容	Unit 6 – Part 2 How to succeed? Get more sleet
	事後学習	Vocabulary note
14	事前学習	Review Unit 7~12
	授業内容	Review
	事後学習	Vocabulary note Review Unit 7~12
15	事前学習	Review Unit 7~12
	授業内容	Summary of Unit 7~12
	事後学習	Review Unit 7~12

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ文化に関するさまざまな話題のエッセイを読みながら読解力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。英文法の知識を用いて英文を正確に理解できるようになることを目標とする。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修すること。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	クラス内での発言などを含む授講態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	南雲堂	English Indicator 3 [Intermediate]	Joshua Cohen他
	備考			
参考書	特に指定しない。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail (kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp) で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 7 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
2	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 7 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
3	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 8 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
4	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 8 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。

5	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 9 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
6	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 9 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
7	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 10 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
8	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 10 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
9	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 11 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
10	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 11 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
11	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語は意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 12 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
12	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 12 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
13	事前学習	配布されたプリントの練習問題を全て解いておく。
	授業内容	TOEIC Reading Part 練習問題
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
14	事前学習	Unit 7～12をもう一度読み返し、分かっている部分があるか確認し、もしあれば、授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていたなかった部分が理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	北原 安治	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際文化関連のテキストを使い、各国の歴史や文化を学びながら、文法の理解と発音そして訳しかたなどの基本事項を学ぶ。本文のみやり、練習問題はやらない。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。また、多読により速読力を養成し、基礎文法を確認する講義である。基礎文法を確認して、正しい発音と訳ができるようになる。各国の歴史や文化を学ぶ。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修してください。			
授業方法	学生の理解度によって速度を調整する。小テストを毎回するので辞書を持ってくる。携帯やスマホやタブレットPCは使わせない。ノート検査をする。ノートなきものは不可。映像教材をみせる場合がある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	(80%)テスト (20%)小テスト、実力テストなど。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006	鳳書房	Major Countries in the World ～世界の主要国～	小泉和弘
	備考			
参考書	『ロイヤル英文法』1,890円（旺文社）この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくる。			
オフィスアワー	授業終了後またはEメールで対応。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。前期の続きから始める。
	授業内容	前期の続きから始める。以下とりあえずの予定。第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
2	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
3	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
4	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。

5	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
6	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
7	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
8	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
9	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
10	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
11	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
12	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
13	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
14	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
15	事前学習	試験範囲の復習。単語、文法、訳の確認。
	授業内容	復習とまとめ
	事後学習	間違った部分の復習。単語、文法、訳の確認。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 明子	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	このクラスでは1年次の最後の実施される予定のTOEIC Listening & Reading Testに向けた英語の基礎力を養います。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Aと通年で履修してください。			
授業方法	テキストを使用し、問題演習と解説をします。毎回小テストを実施します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	テスト（小テストを含む）やきちんと予習・復習ができているかなど総合的に判断して評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	センゲージラーニング	TOEIC® TEST Trainer Target 470, Revised Edition	Masahiko Yamaguchi他
	備考	辞書を持ってくること。電子辞書はOKですが、スマートフォンなどは認めません。		
参考書	授業中に指示します。			
オフィスアワー	水曜日 16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習
	授業内容	グループ、席を決めます。後期ガイダンス。必ず出席してください。
	事後学習	特にありません。
2	事前学習	Unit 7 Listeningの予習
	授業内容	Unit 7 確認一分詞 Listening
	事後学習	Unit 7 Listeningの復習
3	事前学習	Unit 7 Readingの予習
	授業内容	Unit 7 確認一分詞 Reading
	事後学習	Unit 7 Readingの復習
4	事前学習	Unit 8 Listeningの予習
	授業内容	Unit 8 留守電ースキャニング Listening
	事後学習	Unit 8 Listeningの復習

5	事前学習	Unit 8 Readingの予習
	授業内容	Unit 8 留守電ースキャンニング Reading
	事後学習	Unit 8 Readingの復習
6	事前学習	Unit 9 Listeningの予習
	授業内容	Unit 9 アドバイスー受動態 Listening
	事後学習	Unit 9 Listeningの復習
7	事前学習	Unit 9 Readingの予習
	授業内容	Unit 9 アドバイスー受動態 Reading
	事後学習	Unit 9 Readingの復習
8	事前学習	Unit 10 Listeningの予習
	授業内容	Unit 10 誘いー比較 Listening
	事後学習	Unit 10 Listeningの復習
9	事前学習	Unit 10 Readingの予習
	授業内容	Unit 10 誘いー比較 Reading
	事後学習	Unit 10 Readingの復習
10	事前学習	Unit 11 Listeningの予習
	授業内容	Unit 11 申し出ー関係詞 Listening
	事後学習	Unit 11 Listeningの復習
11	事前学習	Unit 11 Readingの予習
	授業内容	Unit 11 申し出ー関係詞 Reading
	事後学習	Unit 11 Readingの復習
12	事前学習	Unit 12 Listeningの予習
	授業内容	Unit 12 講演者紹介ースキミング Listening
	事後学習	Unit 12 Listeningの復習
13	事前学習	Unit 12 Readingの予習
	授業内容	Unit 12 講演者紹介ースキミング Reading
	事後学習	Unit 12 Readingの復習
14	事前学習	後期の復習
	授業内容	後期のまとめ。Post-testと解説。
	事後学習	Post-testの復習
15	事前学習	前期・後期の復習
	授業内容	前期・後期の復習、まとめ
	事後学習	前期・後期の復習

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカでベストセラーを記録した“Chicken Soup for the Soul”の精読を通して、文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学びます。また、適宜『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』を用いて、英文法・語法の知識を整理していきます。					
授業目的・到達目標	(1) TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 (2) 文法・語法の知識を整理するとともに、それらの知識に基づいた読解の方法を学ぶことを目標としています。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1997	金星堂		『Chicken Soup for the Soul チキンスープをどうぞー心あたたまる17のアメリカ小話集』		Jack Canfield 他
	2017	大修館書店		『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』		大修館書店編集部
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。				
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.					
オフィスアワー	水曜日10:30～※事前にアポイントを取ってください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Smileを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
3	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Smileを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
4	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Smileを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。

5	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	A Simple Gestureを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
6	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	A Simple Gestureを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
7	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	A Simple Gestureを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
8	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	Nothing but Problemsを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
9	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	Nothing but Problemsを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
10	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	Nothing but Problemsを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
11	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	See you in the Morningを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
12	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	See you in the Morningを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
13	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	See you in the Morningを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
14	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	If I Had My Life To Live Overを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
15	事前学習	辞書や文法書，註などを参照しながら英文を精読し，和訳しておくこと。その際，どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	後期の授業のまとめ。
	事後学習	後期の授業内容について，授業ノートを基に今一度解釈を試みる。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	関戸 冬彦	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語に積極的に触れ、楽しく、自律的に学習していく姿勢を養う授業です。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。英語の文章、音声に抵抗なく触れ、積極的にレスポンスできるようになる姿勢を養うことを目標とします。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。					
授業方法	教員からの一方的な講義ではなく、受講者が積極的に、時にペアで、グループで、活動するような参加型（ワークショップ）方式にします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト、学期末ふりかえり、授業内課題等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	朝日出版社		CNN 10 Vol.1		関戸冬彦ほか
	備考					
参考書	随時指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問、相談などは授業終了後またはE-mailにて対応します。 fuyuhiko@df6. so-net. ne. jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの英語学習のふりかえり
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	今学期の英語学習の自分なりの計画をまとめる
2	事前学習	自分で立てた今学期の学習計画のチェック
	授業内容	Unit 8: Sugar Guidelines リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第3回までの宿題
3	事前学習	第3回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 8: Sugar Guidelines リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第4回までの宿題
4	事前学習	第4回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 9: Trying to Fill Cinemas with 4DX リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第5回までの宿題

5	事前学習	第5回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 9: Trying to Fill Cinemas with 4DX リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第6回までの宿題
6	事前学習	第6回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 10: New Technology for the 2020 Tokyo Olympics リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第7回までの宿題
7	事前学習	第7回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 10: New Technology for the 2020 Tokyo Olympics リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第8回までの宿題
8	事前学習	第8回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 11: New Technology in Medicine リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第9回までの宿題
9	事前学習	第9回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 11: New Technology in Medicine リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第10回までの宿題
10	事前学習	第10回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 12: Training to be a Santa リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第11回までの宿題
11	事前学習	第11回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 12: Training to be a Santa リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第12回までの宿題
12	事前学習	第12回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 13: Can a Job Make a Person Grow Old Faster? リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第13回までの宿題
13	事前学習	第13回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 13: Can a Job Make a Person Grow Old Faster? リーディング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第14回までの宿題
14	事前学習	第14回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 14: End of a Circus リスニング
	事後学習	学習した内容のまとめ、ふりかえり、第15回までの宿題
15	事前学習	第15回までの宿題の確認、今週の学習計画チェック
	授業内容	Unit 14: End of a Circus リーディング、今学期全体のふりかえり
	事後学習	春休み、二年生以降の学習計画の確認

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法項目を確認しながら、演習・英文読解を行っていきます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。TOEICの基礎力を身につけ、スコア450点を目標とします。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く推奨します。原則、英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	毎回英単語を含む小テストを実施します。また、2回の課題レポート提出を課します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト、レポート、確認テストの結果等	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	朝日出版社		Refreshing English Grammar with Short Readings 『読解力をみがく基本英文法』	Keiichiro Fukui
	2016	アルク		新装版 TOEIC(R) テスト スーパー英単語	ロバート・ヒルキ、小石裕子
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはE-mailにて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期文法事項の確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	レポートの書き方、小テストの形式の再確認
2	事前学習	Unit 12（不定詞）の例文確認
	授業内容	Unit 12の演習と解説
	事後学習	Unit 12の例文、演習問題復習
3	事前学習	単語551-600、Unit 13（不定詞）の例文確認
	授業内容	小テスト1、Unit 13の演習と解説
	事後学習	Unit 13の復習
4	事前学習	単語601-650、Unit 16（動名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト2、Unit 16の演習と解説
	事後学習	Unit 16の復習

5	事前学習	単語651-700、Unit 17（動名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト3、Unit 17の演習と解説
	事後学習	Unit 17の復習
6	事前学習	単語701-750、Unit 14（分詞）の例文確認
	授業内容	小テスト4、Unit 14の演習と解説
	事後学習	Unit 14の復習
7	事前学習	単語751-800、Unit 15（分詞）の例文確認
	授業内容	小テスト5、Unit 15の演習と解説
	事後学習	Unit 15の復習
8	事前学習	単語801-850、Unit 20（比較）の例文確認
	授業内容	小テスト6、Unit 20の演習と解説
	事後学習	Unit 20の復習
9	事前学習	単語851-900、Unit 23（関係詞）の例文確認
	授業内容	小テスト7、Unit 23の演習と解説
	事後学習	Unit 23の復習
10	事前学習	単語901-950、Unit 24（関係詞）の例文確認
	授業内容	小テスト8、Unit 24の演習と解説
	事後学習	Unit 24の復習
11	事前学習	単語951-1000 Unit 25（仮定法）の例文確認
	授業内容	小テスト9、Unit 25の演習と解説
	事後学習	Unit 25の復習
12	事前学習	Unit 26（仮定法）の例文確認
	授業内容	Unit 26の演習と解説
	事後学習	Unit 26の復習
13	事前学習	これまでの授業で扱った事項のチェック
	授業内容	これまでの授業の確認
	事後学習	配布プリントの確認
14	事前学習	英語圏の文化を調査
	授業内容	映像を使用した英語圏の文化分析（2）
	事後学習	英語圏の文化の確認
15	事前学習	単語990 - 1005/1-200の確認
	授業内容	小テスト10、英語圏の文化、これまでの授業の解説等
	事後学習	15回までの文法事項の復讐

科目名	英語B【法律学科1年生上級クラス】	担当者	辻岡 宏子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	海外の慣習、文化についての知識を深めるとともに、リーディングの内容を理解し正確な情報を得るための語彙や表現の習得を目指します。 グループワークやペアワークを通して、能動的に学ぶ態度やスキルの習得を目指します。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 文法事項の復習に重点を置き、外部試験のリーディング・文法のパートで高得点をとることを目標とします。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。 30分以上の遅刻は欠席とします。			
授業方法	ペアワーク、グループワークが中心です。 授業に積極的に参加することが求められます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	ペアワーク、グループワーク貢献度 宿題、授業課題、テスト等
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2004	Oxford University Press	Identity	Shauls, Tsujioka, Iida
	2014	Nan'undo	A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions	
	備考			
参考書	英和、和英辞書（電子辞書可）			
オフィスアワー	授業の前後に教室に来て下さい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	課題 discovery in summer
	授業内容	communication styles 1
	事後学習	ジャーナル 1
2	事前学習	課題 counseling
	授業内容	communication styles 2
	事後学習	ジャーナル 2
3	事前学習	課題 daily events
	授業内容	gender and culture 1
	事後学習	ジャーナル 3
4	事前学習	課題 social issues
	授業内容	gender and culture 2
	事後学習	ジャーナル 4

5	事前学習	課題 news report
	授業内容	diversity 1
	事後学習	ジャーナル 5
6	事前学習	課題 diversity in Japan
	授業内容	diversity 2
	事後学習	ジャーナル 6
7	事前学習	課題 news report
	授業内容	social change 1
	事後学習	ジャーナル 6
8	事前学習	課題 your opinion
	授業内容	social change 2
	事後学習	ジャーナル 7
9	事前学習	課題 preparation
	授業内容	projects 1
	事後学習	ジャーナル 8
10	事前学習	課題 preparation, evaluation
	授業内容	projects 2
	事後学習	ジャーナル 9
11	事前学習	課題 current events
	授業内容	global community 1
	事後学習	ジャーナル 10
12	事前学習	課題 good leader
	授業内容	global community 2
	事後学習	ジャーナル 11
13	事前学習	課題 grammar review
	授業内容	speed reading
	事後学習	ジャーナル 12
14	事前学習	後期学習の復習
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	ジャーナルと振り返り
15	事前学習	課題 vocabulary review
	授業内容	リフレクション
	事後学習	ジャーナル 13

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	藤木 智子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	リーディングと文法を中心にTOEICの問題を解いていきます。予習で英単語の意味や文法事項を確認しておきましょう。授業での質問を積極的に行いましょう。また、復習をして、授業で学習したことをきちんとノートに書きこみ、知識の基礎固めをしましょう。授業は皆さんが主役なので、積極的に取り組んでください。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要な文法や読解力の基礎力を磨くことを目的としています。できる限り多くのネイティブの発音する英語に触れ、そして時事英語にも触れましょう。まずは目標をたてて、一年間で達成できるように挑戦しましょう。一年生ではTOEIC450点を目標とします。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。スマートフォンや携帯などの端末の利用は厳禁です。			
授業方法	本文や問題文の音読と、解説的な訳（代名詞が指すものを補うなど）を求めます。発表担当でない学生にも、発言が求められることがあります。毎回、全員が一度は発表しますので、事前に予習をしましょう。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	60%)学期末にテストをします。 40%)平常評価では授業参加度を重視します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	15年度	朝日出版	『いま始めようTOEICテスト』	北尾泰幸
	14年度	南雲堂	『5分間 新TOEICテストリスニング 550』	片野田 浩子
	14年度	南雲堂	『5分間 新TOEICサブリメント 文法語法』	小池 直己
	備考			
参考書	英和、和英辞書両方です。電子辞書、紙媒体どちらでも構いません。例文と品詞が載っているものに限ります。授業中に携帯やスマホを辞書代わりに使用することは認めません。必ず辞書を準備してください。			
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 7の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Orientation 授業の方法についてレクチャーをします。授業に関する質問に答えます。教科書および英和・和英辞書を用意してください。
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
2	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 7の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 7 『いま始めようTOEICテスト』、前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 Section 4 『TOEICテストサブリメント』を扱います。 5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 0
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
3	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 8の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 8 『いま始めようTOEICテスト』前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 Section 4 『TOEICテストサブリメント』を扱います。 5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 1
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。

14	事前学習	事前学習として、どこがどのように分からないのかを明らかにし、備えておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
15	事前学習	最近のニュースに関して事前に英字新聞などを読んで、時事英語に関する単語などを調べておく とより一層理解が深まるので準備しておくこと。
	授業内容	今期のまとめをして、時事英語に関するDVDを鑑賞しましょう。
	事後学習	事後学習として、今回のDVDの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめること。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	堀 紳介	部 別	第二部	期 間	後期	単 位 数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-------	---

授業概要	この授業ではこれまでに習ったことがあるであろう基本的な文法事項を学びながらも、そこから英米文化を知ること为目标とします。授業では各自に和訳を発表してもらい、どのように英文を読んだのか、どうしてそのような和訳になったのか、を確認しながら進めていきます。英文の内容に関して問うこともあるでしょう。したがって、この授業で学生は自ら考えながら英文を読むことが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。この授業はTOEICなどの資格試験で必要となる基礎的な英語読解力を身につけることを目的としているが、TOEICの問題集のみを教材として用いることはしない。学生たちの英語へのニーズの多様性を考えれば、資格試験で点数を取ることのみを目的とした英語学習では限界がある。この授業ではTOEICを視野に入れながらも、英字新聞などの実用的な英語学習媒体を教材として用いることで基礎的な英語読解力の向上を図る。TOEICで500点取得を目指します。出来ればそれ以上。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	グループワークを取り入れ、発表形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価 (Report 30% Test 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、後期授業内容の説明
	事後学習	グループ内で英文を精読
2	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
3	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
4	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読

5	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
6	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
7	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
8	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
9	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
10	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
11	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
12	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
13	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	TOEIC模試：解答、解説
	事後学習	グループ内で英文を精読
14	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	テスト準備
	事後学習	既習事項の確認、復習
15	事前学習	既習事項の確認、復習
	授業内容	後期授業、1年の授業のまとめ
	事後学習	これまでの既習事項を復習しておくこと。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	依田 悠介	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course develops essential knowledge and skills for learners to succeed in today's global society. Students are encouraged to work on in-and outside class activities enthusiastically.				
授業目的・到達目標	Students CAN (i) read about a 21st century topic, such as cyborg technology; (ii) learn more about the topic by viewing an authentic TED talk; and (iii) explore the topic further by completing collaborative research research project				
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語 A と通年で履修してください。				
授業方法	Read the text, solve the quizzes, view the videos and discuss the contents.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	One examination 30% plus collaborative work (group poster presentation) 40% and quizzes 30%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015	Cengage Learning	21st Century Reading Level 3		Laurie Blass et.al
	備考				
参 考 書	Will be given in class				
オフィスアワー	by appointment: yusuke.yoda@tyg.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Look through the textbook
	授業内容	Introduction: Please bring the copy of syllabus and the textbook.
	事後学習	Read the passage in Unit 6
2	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Text Generation: Linguistics
	事後学習	Review Vocabulary
3	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Text Generation: Linguistics
	事後学習	Read the passage in Unit 7
4	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Barriers and Bridges: Sociology
	事後学習	Review Vocabulary

5	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Barriers and Bridges: Sociology
	事後学習	Read the passage in Unit 8
6	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Personality Types: Psychology
	事後学習	Review Vocabulary
7	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Personality Types: Psychology
	事後学習	Read the passage in Unit 9
8	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Smart Thinking: Behavior / Life Science
	事後学習	Review Vocabulary
9	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Smart Thinking: Behavior / Life Science
	事後学習	Read the passage in Unit 10
10	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Facing Fear: Psychology / Exploration
	事後学習	Review Vocabulary
11	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Facing Fear: Psychology / Exploration
	事後学習	Review Unit 6-10
12	事前学習	Review Unit 6-10
	授業内容	Overview (Examination)
	事後学習	Preparation for Group Presentation
13	事前学習	Preparation for Group Presentation
	授業内容	Group discussion
	事後学習	Making a poster
14	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-1
	事後学習	Evaluate your / your friends' presentation
15	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-2
	事後学習	Evaluate your/ your friends' presentation

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will read, discuss and write about English texts. You will communicate in English with your teacher and your classmates.					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。To learn about the international history of Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding, writing and speaking English. You will learn about important events in Japanese history. You will discuss English texts with your teacher and your classmates.					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修してください。This course is aimed at students who wish to improve their English communication skills.					
授業方法	演習方式。Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				後期「An International History of Japan II」(Thomas Lockley, DTP出版、1,750円＋税)		Thomas Lockley
	備考					
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.					
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Topic: Thomas Glover Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
2	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Choshu Five Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Nagasawa Kanaye Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Iwakura Embassy Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Bonin Islands Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Tsuda Umeko Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Karayukisan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Sun Yat-sen and Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Japanese emigration in the 20th century Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Immigration to Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Noguchi Hideo Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Sugihara Chiune Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: International spread of Japanese culture Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Write your reflections on the course
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the upcoming test
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Semester test Review
	事後学習	Review

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。							
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。							
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。							
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験							
	平常評価		100%		授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	2018年		成美堂		もっと知りたい！社会のいま 2		Jonathan Lynch, 委文光太郎	
	備考							
参考書	必要に応じ紹介します。							
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 11 の予習
	授業内容	Chapter 11 Black Friday
	事後学習	Chapter 11 の復習
3	事前学習	Chapter 12 の予習
	授業内容	Chapter 12 Graduation Trips
	事後学習	Chapter 12 の復習
4	事前学習	Chapter 13 の予習
	授業内容	Chapter 13 Aspects of Sneaker Culture
	事後学習	Chapter 13 の復習

5	事前学習	Chapter 14 の予習
	授業内容	Chapter 14 The Union Jack as Fashion Symbol
	事後学習	Chapter 14 の復習
6	事前学習	Chapter 15 の予習
	授業内容	Chapter 15 Trends in Fitness
	事後学習	Chapter 15 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 11 ～ Chapter 15 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 16 の予習
	授業内容	Chapter 16 Smart Rings
	事後学習	Chapter 16 の復習
9	事前学習	Chapter 17 の予習
	授業内容	Chapter 17 Photogenicity
	事後学習	Chapter 17 の復習
10	事前学習	Chapter 18 の予習
	授業内容	Chapter 18 Stress Relief
	事後学習	Chapter 18 の復習
11	事前学習	Chapter 19 の予習
	授業内容	Chapter 19 Young Women Turn to Gaming
	事後学習	Chapter 19 の復習
12	事前学習	Chapter 20 の予習
	授業内容	Chapter 20 Young People and Criticism
	事後学習	Chapter 20 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 16 ～ Chapter 20 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	小山 誠子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	Tea, Transport, London Stock Exchange... など様々な「イギリス発祥」(Made in Britain)に関する英文の読解を通じて、一定の語彙力の増強及び構文(英文法の確認)の理解と共に、情報収集の「手段」「道具」としての英語の習得により「英語圏」という異文化を通じて国際社会への知識・「客観的」理解を深め、それらに対する「主体的」な判断・意見を涵養する。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要な語彙力及び文法等総合的な英語の基礎力を磨く。英文の読解を習慣化することで、TOEIC 500点代(意思疎通に必要な英語レベル)取得に必要な語彙及び文法の習得に努め、効率的な学習方法を身に付ける。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則英語Aと通年で履修すること。到達目標を意識して意欲的に学習に取り組む者。				
授業方法	受講者の予習を前提として、英文を通じた知識の涵養を目標に個々の英文の確認(精読)を行う。文法事項は本文の文構造に関連づけ展開する。加えて、Chapter毎に単語テストや指定範囲内の小テストを行う。(詳細は初回に説明する。)				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価(発表等の授業への積極的取組状況及びテスト(毎Chap. 等)により総合的に評価する。※上記各種英語資格試験もや関連情報の調査報告も推奨、評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	成美堂	Made in Britain		Anthony Sellik John Barton
	備考				
参考書	大学生/社会人レベルの辞書(電子辞書も可)を毎回携帯すること。学習記録用のノートを用意すること。 ※ PC・タブレット・携帯電話の使用は認めない。				
オフィスアワー	授業後20分間対応する。(※初回授業にて指示する。)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト(下記展開範囲)全体に目を通し、気になる点をメモして授業に臨むこと。 ※「イギリス」に関する情報(図書、映画(DVD)、雑誌など)の調査報告(レポート)があれば成績評価の一部とする。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	展開範囲を中心に、辞書を使わずにどの程度内容が把握できそうか現時点での「実力チェック」を各自行っておく。 (→3か月後の学習成果を自己確認できるようにするため。)
2	事前学習	1. Chapter12全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s)(固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用のこと。)
	授業内容	Chapter 12 A Nice Cup of Tea (前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
3	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 12 A Nice Cup of Tea (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説 ※1つのChapter/ 2回のペースで進む予定。
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(Teaがどのような歴史・変遷を辿りイギリスの国民的飲料となったか)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

4	事前学習	1. Chapter6全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter12 Mini Test Chapter 6 Thinking Machines -The Story of the Computer(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
5	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 6 Thinking Machines - The Story of the Computer (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(computerの歴史)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
6	事前学習	1. Chapter7全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter 6 Mini Test Chapter 7 I Get Around - Transport(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
7	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 7 I Get Around - Transport (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報(交通機関に関する)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
8	事前学習	1. Chapter8全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter 7 Mini Test Chapter 8 London - How the Centre of the Financial World Started in a Coffee Shop(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
9	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 8 London - How the Centre of the Financial world Started in a Coffee Shop (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を(タイトルにある質問への回答を中心に)整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
10	事前学習	1. Chapter13全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter8 Mini Test Chapter 13 The British Pub(前半～中盤) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
11	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter 13 The British Pub (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報('pub'とはイギリス人にとってどんな存在・意味をもつか)を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。
12	事前学習	1. 該当Chapter全体に目を通し、事実関係を示すkeyword(s) (固有名詞、年代や場所等(5W1H)をピックアップし、全体の流れを予想する。2. 本文を声に出して読む。(不明なものは辞書の発音記号/音声機能を活用すること。) 3. 未修の語彙を辞書にあたり、(1)品詞(2)定義・意味を確認(←文脈に合致するものを予想)し、(3)構文を予想・判断しておく。、
	授業内容	Chapter13 Mini Test Chapter○ (前半～中盤)※ (未修のchap. 10, 14, 17, 19の中から受講者の希望(多数決)により決定する。) 演習(章全体の内容理解を意識・目標とした精読(訳読))と解説
	事後学習	1. 事前学習(予習)した内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に構文理解が不十分だと判断した箇所については文法理解の確認として解説を記録する。2. 英文から得た情報を整理する。3. 併せて、Mini Test (Chapter終了翌週実施)の準備も行う。
13	事前学習	Chapter前半の内容を十分確認するとともに、後半部分についても前半同様に、語彙及び構文の予想を行い、授業に臨むこと。
	授業内容	Chapter ○※上記(第12回授業内容)参照 (中盤～後半) 演習(章全体の内容(情報)の整理及び関連文法事項の確認)と解説
	事後学習	1. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現等))が理解できたか、並行してテキストから得られた情報を整理し、加えてそれに対する自身のコメントを記録する。2. Mini Test(翌週実施)の準備を行う。

14	事前学習	1. Mini Test(Chapter○)に向けての準備に併せて、学期内展開範囲全てのMini Testを復習(特に初回にて不正解だったものを中心に)を行う。2. テキスト読解箇所全般の構文・内容についても各自確認する。(不明なものは授業にて確認すること。)
	授業内容	Chapter ○(※第12-3回 学範囲) Mini Test 及び学期内展開範囲の総復習
	事後学習	学習範囲全体を見直し、必要に応じて修正を行い、初回からの成果を確認する。
15	事前学習	3か月学習内容を整理・総括する。(①「英語能力」②「英語圏文化について得た知識」の2つに関して)加えて、「異文化」との比較・対照によって得た感想・意見を整理する。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	初回事前学習からの成果を自己分析・確認するとともに、今後の課題(英語学習に関する具体的目標)を設定する。

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TED Talksのコンテンツをもとに、授業内に意見交換するために内容を読み込んだ上で、意見をまとめ自分の言葉で相手に伝える力をつけます。テキスト以外にも興味ある分野の文章を読み、critical thinkingを養います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング、文法の基礎力を磨くことを目的としています。国際研修や交換留学等の海外留学に必要とされる英語力を総合的に身につけ、また、TOEICやTOEFLのスコアアップに繋がります。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加。小テスト結果。期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	Cengage Learning		Keynote 3 ISBN-13 978 1 305 96505 8		Paul Dummett
	備考					
参考書	辞書 は毎回持参してください。参考書は必要に応じて紹介します。リスニングに慣れるため、BBC, NHK World, CNNなどの英語ニュースに普段から慣れ親しんでください。					
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Preview Unit 7
	授業内容	Introduction Overview of the course
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Preview Unit 7 Part 1
	授業内容	Unit 7 – Part 1 Identity
	事後学習	Vocabulary note
3	事前学習	Preview Unit 7-Part 2
	授業内容	Unit 7 – Part 2 Where is home?
	事後学習	Vocabulary note
4	事前学習	Preview Unit 8 Part 1
	授業内容	Unit 8 – Part 1 Transportation solutions
	事後学習	Vocabulary note

5	事前学習	Preview Unit 8 Part 2
	授業内容	Unit 8 – Part 2 A skateboard, with a boost
	事後学習	Vocabulary note
6	事前学習	Preview Unit 9 Part 1
	授業内容	Unit 9 – Part 1 New words
	事後学習	Vocabulary note
7	事前学習	Preview Unit 9 Part 2
	授業内容	Unit 9 – Part 2 What makes a word “real”?
	事後学習	Vocabulary note
8	事前学習	Preview Unit 10 Part 1
	授業内容	Unit 10 – Part 1 understanding emotions
	事後学習	Vocabulary note
9	事前学習	Preview Unit 10 Part 2
	授業内容	Unit 10 – Part 2 This APP knows how you feel
	事後学習	Vocabulary note
10	事前学習	Preview Unit 11 Part 1
	授業内容	Unit 11 – Part 1 Leaders and thinkers
	事後学習	Vocabulary note
11	事前学習	Preview Unit 11 Part 2
	授業内容	Unit 11 – Part 2 Life at 30,000 feet
	事後学習	Vocabulary note
12	事前学習	Preview Unit 12 Part 1
	授業内容	Unit 12 – Part 1 Well-being
	事後学習	Vocabulary note
13	事前学習	Preview Unit 12 Part 2
	授業内容	Unit 6 – Part 2 How to succeed? Get more sleet
	事後学習	Vocabulary note
14	事前学習	Review Unit 7~12
	授業内容	Review
	事後学習	Vocabulary note Review Unit 7~12
15	事前学習	Review Unit 7~12
	授業内容	Summary of Unit 7~12
	事後学習	Review Unit 7~12

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ文化に関するさまざまな話題のエッセイを読みながら読解力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。英文法の知識を用いて英文を正確に理解できるようになることを目標とする。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修すること。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	クラス内での発言などを含む授講態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	南雲堂	English Indicator 3 [Intermediate]	Joshua Cohen 他
	備考			
参考書	特に指定しない。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail (kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp) で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語があれば意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 7 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
2	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 7 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
3	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語があれば意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 8 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
4	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	unit 8 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。

5	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語があれば意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 9 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
6	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 9 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
7	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語があれば意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 10 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
8	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 10 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
9	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語があれば意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 11 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
10	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 11 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
11	事前学習	本文を一通り読み、知らない単語があれば意味を調べ、それ以外に分からない部分があれば明確にしておき、授業中に疑問を解決できるようにしておく。
	授業内容	Unit 12 Reading
	事後学習	予習で分からなかった部分を理解できたか確認する。
12	事前学習	練習問題は Listening を除いて全て解いておく。
	授業内容	Unit 12 Exercises
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
13	事前学習	配布されたプリントの練習問題を全て解いておく。
	授業内容	TOEIC Reading Part 練習問題
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
14	事前学習	Unit 7～12をもう一度読み返し、分かっている部分があるか確認し、もしあれば授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていたなかった部分を理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	北原 安治	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際文化関連のテキストを使い、各国の歴史や文化を学びながら、文法の理解と発音そして訳しかたなどの基本事項を学ぶ。本文のみやり、練習問題はやらない。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。また、多読により速読力を養成し、基礎文法を確認する講義である。基礎文法を確認して、正しい発音と訳ができるようになる。各国の歴史や文化を学ぶ。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	学生の理解度によって速度を調整する。小テストを毎回するので辞書を持ってくること。携帯やスマホやタブレットPCは使わせない。ノート検査をする。ノートなきものは不可。映像教材をみせる場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(80%)テスト (20%)小テスト、実力テストなど。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2006	鳳書房		Major Countries in the World ～世界の主要国～		小泉和弘
	備考					
参考書	『ロイヤル英文法』1,890円（旺文社）この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくること。					
オフィスアワー	授業終了後またはEメールで対応。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。前期の続きから始める。
	授業内容	前期の続きから始める。以下とりあえずの予定。第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
2	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
3	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
4	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。

5	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
6	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
7	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
8	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（1） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
9	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
10	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
11	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
12	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
13	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
14	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第3章 フランス（2） 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
15	事前学習	試験範囲の復習。単語、文法、訳の確認。
	授業内容	復習とまとめ
	事後学習	間違った部分の復習。単語、文法、訳の確認。

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	異文化コミュニケーションの諸問題を通じて言語と社会や言語と文化の関係を概観し、異文化理解において言語は社会や文化と切り離して存在し得ないことを学んでいきます。論理的思考／批判的思考の手法を習得し、かつ、従来の学校英文法の不備を指摘しつつ、手段に過ぎなかった英文法の洗い直しを試みます。				
授業目的・到達目標	[授業目的]TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。[到達目標]眼前の一文のみに気をとられることなく文章全体の流れを意識し大意を掴めるようにするためskimming力の涵養を第一目標とします。さらに、自分の考えを客観的かつ論理的に明確な英語で表現できることを最終目標とします。TOEICの基礎力をつけ、スコア450を目指します。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。遅刻・欠席をせず、積極的かつ集中して授業に臨む必要があります。				
授業方法	輪読形式と演習形式を織り交ぜながら授業を展開していきます。小テストを毎回実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（５０％） 学期末試験（５０％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2010年	金星堂	Polite Fictions in Collision		坂本ナンシー 坂本示洋
	備考				
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。辞書必携。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 6
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
2	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 6
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。指定された課題の予習をする。
	授業内容	Chapter 7
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 7
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 8
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 8
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 9
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 9
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 10
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 10
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 11
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Chapter 11
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題の準備をし、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	日本語と英語の比較
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点は質問できるようにしておく。
14	事前学習	Chapter 11までの復習
	授業内容	振り返り
	事後学習	振り返りの内容を確認する。
15	事前学習	講義全体の確認
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	児玉 直起	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法廷/法律にまつわる英語に親しみながら文法的事項を再確認し、コンテキストを読む読解力を身につけます。					
授業目的・到達目標	専門分野の英文原書読解や英語の資格試験（TOEIC, TOEFL, 英検等）等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことが目的です。 アメリカの陪審制度やデモクラシーについて、一定の見識を持つことができるようになることが目標です。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	殺人事件に関する陪審員の審議を扱ったアメリカのTVドラマ台本を基本教材とし、発表やグループワーク等を中心とした参加型の授業をおこないます。適宜ビデオを使います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		テスト40%, 平常点（発表・小テスト・予習・授業参加度等）60%。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1995/2010	開文社		Twelve Angry Men		Reginald Rose
	備考					
参考書	授業時に指示する。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内容を振り返る。
2	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
3	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
4	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。

5	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
6	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
7	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
8	事前学習	Act III を振り返り、理解が不十分な点等を再確認する。
	授業内容	Act III のまとめ／関連ビデオを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
9	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら理解を深め、疑問点を整理する。
	授業内容	グループワーク（collaboration）1
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
10	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら理解を深め、疑問点を整理する。
	授業内容	グループワーク（collaboration）2
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
11	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら理解を深め、疑問点を整理する。
	授業内容	グループワーク（collaboration）3
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
12	事前学習	当該箇所を熟読・音読し、場面やセリフへの理解を深める。
	授業内容	グループ発表（presentation）／振り返りと相互評価1
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
13	事前学習	当該箇所を熟読・音読し、場面やセリフへの理解を深める。
	授業内容	グループ発表（presentation）／振り返りと相互評価2
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
14	事前学習	後期を振り返りながら学習内容を整理する。
	授業内容	まとめ・後期を振り返る
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
15	事前学習	後期を振り返りながら学習内容を整理し、理解を深める。
	授業内容	後期の目標到達度を確認する
	事後学習	後期で学んだことを整理する。

科目名	英語B【法律学科1年生共通クラス】	担当者	児玉 直起	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法廷/法律にまつわる英語に親しみながら文法的事項を再確認し、コンテキストを読む読解力を身につけます。			
授業目的・到達目標	専門分野の英文原書読解や英語の資格試験（TOEIC, TOEFL, 英検等）等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことが目的です。 アメリカの陪審制度やデモクラシーについて、一定の見識を持つことができるようになることが目標です。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。			
授業方法	殺人事件に関する陪審員の審議を扱ったアメリカのTVドラマ台本を基本教材とし、発表やグループワーク等を中心とした参加型の授業をおこないます。適宜ビデオを使います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	テスト40%, 平常点（発表・小テスト・予習・授業参加度等）60%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1995/2010	開文社	Twelve Angry Men	Reginald Rose
	備考			
参考書	授業時に指示する。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内容を振り返る。
2	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
3	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
4	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。

5	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
6	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
7	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら疑問点を整理し、質問事項をまとめる。
	授業内容	Act III／英語構造・文法事項の確認
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
8	事前学習	Act III を振り返り、理解が不十分な点等を再確認する。
	授業内容	Act III のまとめ／関連ビデオを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
9	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら理解を深め、疑問点を整理する。
	授業内容	グループワーク（collaboration）1
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
10	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら理解を深め、疑問点を整理する。
	授業内容	グループワーク（collaboration）2
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
11	事前学習	当該箇所を熟読・音読しながら理解を深め、疑問点を整理する。
	授業内容	グループワーク（collaboration）3
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
12	事前学習	当該箇所を熟読・音読し、場面やセリフへの理解を深める。
	授業内容	グループ発表（presentation）／振り返りと相互評価1
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
13	事前学習	当該箇所を熟読・音読し、場面やセリフへの理解を深める。
	授業内容	グループ発表（presentation）／振り返りと相互評価2
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
14	事前学習	後期を振り返りながら学習内容を整理する。
	授業内容	まとめ・後期を振り返る
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
15	事前学習	後期を振り返りながら学習内容を整理し、理解を深める。
	授業内容	後期の目標到達度を確認する
	事後学習	後期で学んだことを整理する。

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法項目を確認しながら、演習・英文読解を行います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。TOEICの基礎力を身につけ、スコア450点を目標とします。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く推奨します。原則、英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	毎回英単語を含む小テストを実施します。また、2回の課題レポート提出を課します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト、レポート、確認テストの結果等	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	朝日出版社		Refreshing English Grammar with Short Readings 『読解力をみがく基本英文法』	Keiichiro Fukui
	2016	アルク		新装版 TOEIC(R) テスト スーパー英単語	ロバート・ヒルキ、小石裕子
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはE-mailにて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期文法事項の確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	レポートの書き方、小テストの形式の再確認
2	事前学習	Unit 12（不定詞）の例文確認
	授業内容	Unit 12の演習と解説
	事後学習	Unit 12の例文、演習問題復習
3	事前学習	単語551-600、Unit 13（不定詞）の例文確認
	授業内容	小テスト1、Unit 13の演習と解説
	事後学習	Unit 13の復習
4	事前学習	単語601-650、Unit 16（動名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト2、Unit 16の演習と解説
	事後学習	Unit 16の復習

5	事前学習	単語651-700、Unit 17（動名詞）の例文確認
	授業内容	小テスト3、Unit 17の演習と解説
	事後学習	Unit 17の復習
6	事前学習	単語701-750、Unit 14（分詞）の例文確認
	授業内容	小テスト4、Unit 14の演習と解説
	事後学習	Unit 14の復習
7	事前学習	単語751-800、Unit 15（分詞）の例文確認
	授業内容	小テスト5、Unit 15の演習と解説
	事後学習	Unit 15の復習
8	事前学習	単語801-850、Unit 20（比較）の例文確認
	授業内容	小テスト6、Unit 20の演習と解説
	事後学習	Unit 20の復習
9	事前学習	単語851-900、Unit 23（関係詞）の例文確認
	授業内容	小テスト7、Unit 23の演習と解説
	事後学習	Unit 23の復習
10	事前学習	単語901-950、Unit 24（関係詞）の例文確認
	授業内容	小テスト8、Unit 24の演習と解説
	事後学習	Unit 24の復習
11	事前学習	単語951-1000 Unit 25（仮定法）の例文確認
	授業内容	小テスト9、Unit 25の演習と解説
	事後学習	Unit 25の復習
12	事前学習	Unit 26（仮定法）の例文確認
	授業内容	Unit 26の演習と解説
	事後学習	Unit 26の復習
13	事前学習	これまでの授業で扱った事項のチェック
	授業内容	これまでの授業の確認
	事後学習	配布プリントの確認
14	事前学習	英語圏の文化を調査
	授業内容	映像を使用した英語圏の文化分析（2）
	事後学習	英語圏の文化の確認
15	事前学習	単語990 - 1005/1-200の確認
	授業内容	小テスト10、英語圏の文化、これまでの授業の解説等
	事後学習	15回までの文法事項の復讐

科目名	英語B【政治経済学科1年生上級クラス】	担当者	辻岡 宏子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	海外の慣習、文化についての知識を深めるとともに、リーディングの内容を理解し正確な情報を得るための語彙や表現の習得を目指します。 グループワークやペアワークを通して、能動的に学ぶ態度やスキルの習得を目指します。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 文法事項の復習に重点を置き、外部試験のリーディング・文法のパートで高得点をとることを目標とします。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。 30分以上の遅刻は欠席とします。			
授業方法	ペアワーク、グループワークが中心です。 授業に積極的に参加することが求められます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	ペアワーク、グループワーク貢献度 宿題、授業課題、テスト等
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2004	Oxford University Press	Identity	Shauls, Tsujioka, Iida
	2014	Nan'undo	A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions	
	備考			
参考書	英和、和英辞書（電子辞書可）			
オフィスアワー	授業の前後に教室に来て下さい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	課題 discovery in summer
	授業内容	communication styles 1
	事後学習	ジャーナル 1
2	事前学習	課題 counseling
	授業内容	communication styles 2
	事後学習	ジャーナル 2
3	事前学習	課題 daily events
	授業内容	gender and culture 1
	事後学習	ジャーナル 3
4	事前学習	課題 social issues
	授業内容	gender and culture 2
	事後学習	ジャーナル 4

5	事前学習	課題 news report
	授業内容	diversity 1
	事後学習	ジャーナル 5
6	事前学習	課題 diversity in Japan
	授業内容	diversity 2
	事後学習	ジャーナル 6
7	事前学習	課題 news report
	授業内容	social change 1
	事後学習	ジャーナル 6
8	事前学習	課題 your opinion
	授業内容	social change 2
	事後学習	ジャーナル 7
9	事前学習	課題 preparation
	授業内容	projects 1
	事後学習	ジャーナル 8
10	事前学習	課題 preparation, evaluation
	授業内容	projects 2
	事後学習	ジャーナル 9
11	事前学習	課題 current events
	授業内容	global community 1
	事後学習	ジャーナル 10
12	事前学習	課題 good leader
	授業内容	global community 2
	事後学習	ジャーナル 11
13	事前学習	課題 grammar review
	授業内容	speed reading
	事後学習	ジャーナル 12
14	事前学習	後期学習の復習
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	ジャーナルと振り返り
15	事前学習	課題 vocabulary review
	授業内容	リフレクション
	事後学習	ジャーナル 13

科目名	英語B【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	藤木 智子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	リーディングと文法を中心にTOEICの問題を解いていきます。予習で英単語の意味や文法事項を確認しておきましょう。授業での質問を積極的に行いましょう。また、復習をして、授業で学習したことをきちんとノートに書きこみ、知識の基礎固めをしましょう。授業は皆さんが主役なので、積極的に取り組んでください。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要な文法や読解力の基礎力を磨くことを目的としています。できる限り多くのネイティブの発音する英語に触れ、そして時事英語にも触れましょう。まずは目標をたてて、一年間で達成できるように挑戦しましょう。一年生ではTOEIC450点を目標とします。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。スマートフォンや携帯などの端末の利用は厳禁です。			
授業方法	本文や問題文の音読と、解説的な訳（代名詞が指すものを補うなど）を求めます。発表担当でない学生にも、発言が求められることがあります。毎回、全員が一度は発表しますので、事前に予習をしましょう。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	60%)学期末にテストをします。 40%)平常評価では授業参加度を重視します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	15年度	朝日出版	『いま始めようTOEICテスト』	北尾泰幸
	14年度	南雲堂	『5分間 新TOEICテストリスニング 550』	片野田 浩子
	14年度	南雲堂	『5分間 新TOEICサブリメント 文法語法』	小池 直己
	備考			
参考書	英和、和英辞書両方です。電子辞書、紙媒体どちらでも構いません。例文と品詞が載っているものに限ります。授業中に携帯やスマホを辞書代わりに使用することは認めません。必ず辞書を準備してください。			
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 7の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Orientation 授業の方法についてレクチャーをします。授業に関する質問に答えます。教科書および英和・和英辞書を用意してください。
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
2	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 7の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 7 『いま始めようTOEICテスト』、前回箇所を復習し、問題を解いていきます。Section 4 『TOEICテストサブリメント』を扱います。5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 0
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
3	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 8の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 8 『いま始めようTOEICテスト』前回箇所を復習し、問題を解いていきます。Section 4 『TOEICテストサブリメント』を扱います。5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 1
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。

14	事前学習	事前学習として、どこがどのように分からないのかを明らかにし、備えておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
15	事前学習	最近のニュースに関して事前に英字新聞などを読んで、時事英語に関する単語などを調べておく とより一層理解が深まるので準備しておくこと。
	授業内容	今期のまとめをして、時事英語に関するDVDを鑑賞しましょう。
	事後学習	事後学習として、今回のDVDの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめること。

科目名	英語B【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単語・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なりーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	成美堂	もっと知りたい！社会のいま 2		Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考				
参考書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 11 の予習
	授業内容	Chapter 11 Black Friday
	事後学習	Chapter 11 の復習
3	事前学習	Chapter 12 の予習
	授業内容	Chapter 12 Graduation Trips
	事後学習	Chapter 12 の復習
4	事前学習	Chapter 13 の予習
	授業内容	Chapter 13 Aspects of Sneaker Culture
	事後学習	Chapter 13 の復習

5	事前学習	Chapter 14 の予習
	授業内容	Chapter 14 The Union Jack as Fashion Symbol
	事後学習	Chapter 14 の復習
6	事前学習	chapter 15 の予習
	授業内容	Chapter 15 Trends in Fitness
	事後学習	chapter 15 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 11 ～ Chapter 15 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 16 の予習
	授業内容	Chapter 16 Smart Rings
	事後学習	Chapter 16 の復習
9	事前学習	Chapter 17 の予習
	授業内容	Chapter 17 Photogenicity
	事後学習	Chapter 17 の復習
10	事前学習	Chapter 18 の予習
	授業内容	Chapter 18 Stress Relief
	事後学習	Chapter 18 の復習
11	事前学習	Chapter 19 の予習
	授業内容	Chapter 19 Young Women Turn to Gaming
	事後学習	Chapter 19 の復習
12	事前学習	Chapter 20 の予習
	授業内容	Chapter 20 Young People and Criticism
	事後学習	Chapter 20 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 16 ～ Chapter 20 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語B【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	テキストの一つのUnitを2回で終わらす。1回目はReadingの英文の内容を段落ごとに把握して、難しい英文や語などを確認する。2回目はExerciseの答え合わせをしながらReadingの内容を復習する。学生は単語、熟語等の意味の確認してから段落ごとの英文の内容を発表する。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。英文を読み、段落、または文章全体の内容を把握できるのと同時に、個々の英文を正確に読むことができるようにするのを目的とします。到達目標はTOEIC, TOEFL, 英検等の長文問題や文法問題に対応できるようにすること。ペーパーバック、英字新聞などを辞書を使わずに読めるようになることです。					
履修条件	新聞学科1年生指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Aと通年で履修してください。授業回数の1/3以上欠席すると単位は取得できない。英和辞書を毎回持参すること。携帯、スマホの使用は認めない。					
授業方法	演習形式で行う。授業時の発表は学生が段落ごとに内容をまとめ、重要な語(句)等の説明をする。2回目の授業でそのUnitの復習小テストを行う。詳しいことは第1回目の授業で説明する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末試験50%、小テストや授業内の発表など50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	金星堂		English Stream(Pre-Intermediate)		竹内、植木他3名共著
	備考					
参考書	英和辞書 総合英語「Forest」(桐原書店)					
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。(対応できる時間一火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分～30分) e-mailアドレスについては第1回目の授業でお知らせします。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に学習したテキストの単語を復習、後期に進むテキストの範囲全体を見ておく
	授業内容	英語Bの履修についての説明と注意、Reading, Listening練習問題
	事後学習	授業で使ったReading, Listening練習問題の復習
2	事前学習	Unit 7 'Life Expectancy':Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句 は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Chapter 7 'Life Expectancy':Casinos and Gamblings-(For)-Casinos are a sure best- 本文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ
	事後学習	Unit 7 'Life Expectancy': Readingの本文の復習
3	事前学習	Unit 7 'Life Expectancy': Readingの本文を読んで小テストに備える
	授業内容	Unit 7 'Life Expectancy':Readingの復習、Post-reading tasks(C), (D)の答え合わせ/ Review Quiz A, B一解答と解説
	事後学習	Unit 7 'Life Expectancy':Reading、Post-reading tasks(C), (D)、Review Quiz A, Bの復習
4	事前学習	Unit 8 'From "Small Mail" to PDAs in Barely Thirty Years' :Pre-reading tasks-質問に対する答えを書く。 / Reading-段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句 は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 8 'From "Small Mail" to PDAs in Barely Thirty Years':Pre-reading tasks一答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading-本文を段落ごとに内容を確認、 重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks(A), (B)の答え合わせ
	事後学習	Unit 8'From "Small Mail" to PDAs in Barely Thirty Years': Readingの本文の復習

5	事前学習	Unit 8 'From "Small Mail" to PDAs in Barely Thirty Years': Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 8 'From "Small Mail" to PDAs in Barely Thirty Years': Readingの復習、Post-reading tasks (C), (D) の答え合わせ/ Review Quiz A, B—解答と解説
	事後学習	Unit 8 'From "Small Mail" to PDAs in Barely Thirty Years': Reading、Post-reading tasks (C), (D)、Review Quiz A, Bの復習
6	事前学習	Unit 9 'Rules for Success': Pre-reading tasks—質問に対する答えを書く。 / Reading—段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 9 'Rules for Success': Pre-reading tasks—答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading—本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks (A), (B) の答え合わせ
	事後学習	Unit 9 'Rules for Success': Readingの本文の復習
7	事前学習	Unit 9 'Rules for Success': Readingの本文を読んで小テストに備える
	授業内容	Unit 9 'Rules for Success': Readingの復習、Post-reading tasks (C), (D) の答え合わせ/ Review Quiz A, B—解答と解説
	事後学習	Unit 9 'Rules for Success': Reading、Post-reading tasks (C), (D)、Review Quiz A, Bの復習
8	事前学習	Chapter 7 - 9の単語、語句、英文を復習して分からない英文をチェックしておく
	授業内容	Chapter 7 ~ 9の復習
	事後学習	Chapter 7 - 9の復習
9	事前学習	Unit 10 'Paid Leave and Public Holidays': Pre-reading tasks—質問に対する答えを書く。 / Reading—段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句 は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 10 'Paid Leave and Public Holidays': Pre-reading tasks—答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading—本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks (A), (B) の答え合わせ
	事後学習	Unit 10 'Paid Leave and Public Holidays': Readingの本文の復習
10	事前学習	Unit 10 'Paid Leave and Public Holidays': Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 10 'Paid Leave and Public Holidays': Readingの復習、Post-reading tasks (C), (D) の答え合わせ/ Review Quiz A, B—解答と解説
	事後学習	Unit 10 'Paid Leave and Public Holidays': Readingの復習、Post-reading tasks (C), (D) の答え合わせ/ Review Quiz A, B—解答と解説
11	事前学習	Unit 11 'A Suitable Hotel': Pre-reading tasks—質問に対する答えを書く。 / Reading—段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句 は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 11 'A Suitable Hotel': Pre-reading tasks—答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading—本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks (A), (B) の答え合わせ
	事後学習	Unit 11 'A Suitable Hotel': Readingの本文の復習
12	事前学習	Unit 11 'A Suitable Hotel': Readingの本文を読んで小テストに備える。
	授業内容	Unit 11 'A Suitable Hotel': Readingの復習、Post-reading tasks (C), (D) の答え合わせ/ Review Quiz A, B—解答と解説
	事後学習	Unit 11 'A Suitable Hotel': Readingの復習、Post-reading tasks (C), (D) の答え合わせ/ Review Quiz A, B—解答と解説
13	事前学習	Unit 12 'Another Earth?': Pre-reading tasks—質問に対する答えを書く。 / Reading—段落ごとに英文を要約する。分からない語、語句 は辞書で調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	Unit 12 'Another Earth?': Pre-reading tasks—答えの発表、もしくは配られた用紙に書く。 Reading—本文を段落ごとに内容を確認、重要な語や語句の意味を確認、重要な英文、または難しい英文の和訳、解説、Exerciseの答え合わせ/ Post-reading tasks (A), (B) の答え合わせ
	事後学習	Unit 12 'Another Earth?': Readingの本文の復習
14	事前学習	Unit 7 ~ Unit 12の復習・授業でした小テスト等の復習
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	Unit 1 ~ Unit 6までの復習
15	事前学習	テキストに出てきた単語、熟語等を覚える。
	授業内容	Readingのプリント、英文の内容の解説
	事後学習	Readingのプリントを読み直す

科目名	英語B【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語のリーディング、文法を中心に学習します。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨く。たとえば、英検では準1級合格を目標とします。TOEICテストのための基礎力を身に着け、スコアを450点以上を目標とします。えいご				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。TOEIC、TOEFL、等の資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Bと通年で履修すること。				
授業方法	実践演習をして解説をします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	南雲堂		Gateway to Britain	Terry O'Brien, 他
	備考	なし			
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書を購入する必要はない。適宜図書館等で参照すること。				
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Pub in decline 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Pub in decline 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Football: sport or business 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Football: sport or business 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Royal Family or TV melodrama? 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Royal Family or TV melodrama? 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Preserving Britain
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語B【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	速読のトレーニングをする。それによりリスニングもできるようになる。そのためには単語を覚える必要がある。受講生は、1100 Words You Need to Know中のすべての単語を覚え、パッセージの訳ができるようにする。またBasic Word Listの単語をすべて覚える。そのための指導をする。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。英語が諸君の人生における重要な要素となることは言を俟たない。英語学習の正しい方法を理解し、英語の学習習慣および基礎力を身につける必要がある。そのため毎回テストを行うが、答案は採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。英語はツールではない。偉大な、そして美しい伝統である。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検2級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。			
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。ノート検査をする。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修すること。			
授業方法	原則として、講義・質疑応答、40分、リーディング・テスト、25～45分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Barron	1100 Words You Need to Know	Bromberg
	2017	Barron	Basic Word List	Brownstein
	備考			
参考書	リーダーズ英和辞典			
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業内容について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	1100 Words You Need to Know, およびBasic Word List、そして前期に配布されたプリントの単語を覚え、5週目からの単語テストに備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 15、対等関係について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	1100 Words You Need to Know, およびBasic Word List、そして前期に配布されたプリントの単語を覚え、5週目からの単語テストに備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 16、語順について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	1100 Words You Need to Know, およびBasic Word List、そして前期に配布されたプリントの単語を覚え、5週目からの単語テストに備える。
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 17、要約文について
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	生活用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 18、強調語について、生活用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	医学用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 19、関係代名詞について、医学用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	政治経済用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 20、限定用法について、政治経済用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	文学用語の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 21、不定詞について、文学用語の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	Basic Word List（見出し語のみ）A-Hまでの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 22、動名詞について、Basic Word List（見出し語のみ）A-Hの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	BWL（見出し語のみ）I-Zまでの単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 23。仮定法について、BWL（見出し語のみ）I-Zの単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	1100 Words You Need to Know(new wordsのみ全部)の単語を覚える
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 24、現在形について、1100 Words You Need to Know(new wordsのみ全部)の単語テスト
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語を覚える（1）
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 25、時制について、1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語テスト（1）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語を覚える（2）
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 26、名詞について、1100 Words とBWL（見出し語のみ全部)の単語テスト（2）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	1100 Words とBWLのすべての単語を覚える（1）
	授業内容	1100 Words You Need to Know, Week 27、動詞について、1100 Words とBWLのすべての単語テスト（1）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	1100 Words とBWLのすべての単語を覚える（2）
	授業内容	まとめ、1100 Words とBWLのすべての単語テスト（2）
	事後学習	授業でやったリーディングのテストの復習、単語の暗記

科目名	英語B【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	山田 潤治	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学4年間での学習を経て、社会で役立つ英語力を育成するため、文法をブラッシュアップし、リーディング対策をおこないます。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くクラスです。大学英語に必要なアカデミック・スキルの基礎を身につけます。英文法の基礎的知識を再確認し、英文読解において、わからない文法事項はない、というレベルにまで到達します。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。英語AとBとを通年で履修してください。					
授業方法	テキストの指定された範囲の演習問題を自宅で事前学習します。講義では、重要項目を説明した上で、演習問題の解答確認をしていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		小テストの成績（40％）。授業の予習状況（30％）、Activity提出+Review提出状況（30%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Cambridge		『マーフィーのケンブリッジ英文法（中級編）第3版』		Raymond Murphy 渡辺雅仁訳
	備考					
参考書	特になし					
オフィスアワー	junji%y. email. ne. jp （%は、@に変換する）まで電子メールで連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	代名詞と限定詞80～89までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	代名詞と限定詞80～89
	事後学習	演習の間違い直しと復習
2	事前学習	関係詞節90～95までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	関係詞節90～95
	事後学習	演習の間違い直しと復習
3	事前学習	形容詞と副詞96～102までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	形容詞と副詞96～102
	事後学習	演習の間違い直しと復習
4	事前学習	形容詞と副詞103～109までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	形容詞と副詞103～109
	事後学習	演習の間違い直しと復習

5	事前学習	接続詞と前置詞 1 1 0 ～ 1 1 7 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	接続詞と前置詞 1 1 0 ～ 1 1 7
	事後学習	演習の間違い直しと復習
6	事前学習	前置詞 1 1 8 ～ 1 2 5 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	前置詞 1 1 8 ～ 1 2 5
	事後学習	演習の間違い直しと復習
7	事前学習	前置詞 1 2 6 ～ 1 3 3 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	前置詞 1 2 6 ～ 1 3 3
	事後学習	演習の間違い直しと復習
8	事前学習	句動詞 1 3 4 ～ 1 4 2 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	句動詞 1 3 4 ～ 1 4 2
	事後学習	演習の間違い直しと復習
9	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（1）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
10	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（2）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
11	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（3）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
12	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（4）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
13	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（5）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
14	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（6）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
15	事前学習	総復習。ざっと学期の学習を見直す
	授業内容	Review
	事後学習	Reviewのみなおし

科目名	英語B【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	P.カレンダー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will improve your listening skills through listening to conversations by native speakers in different situations. Then there is simple conversation practice, usually between two students. Contents include listening and talking about yourself, families, weekend activities, shopping, travel plans, ordering food, and travel, etc.			
授業目的・到達目標	The objective of these classes is to focus on the development of listening skills through the use of authentic materials. The lessons are structured however, to reinforce some speaking and writing skills. To be able to understand reasonably complex and realistic conversations in a wide variety of useful situations and to be able to ask and answer questions on realistic conversation topics to the point of being able to hold a conversation.			
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	There are 20 lessons in the syllabus, covering so many important basic communications skills laid out in pre-listening activities, pronunciation & listening practice, talking time, and short dictation exercises.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50% = two tests of 50% each; participation and effort= 25%; textbook check = 25%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Macmillan Education	New Airwaves (Second Edition) ISBN: 978-4-7773-6390-	Dale Fuller/Clyde W. Grimm
	備考			
参考書	English learners dictionary or an electronic dictionary.			
オフィスアワー	If you need to contact me outside of lessons, my email is paulkallender@gmail.com. Contact me particularly if you are are ill, or to let me know the reason why you missed a lesson.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please make sure to check you have your textbook in advance
	授業内容	Course outline, expectations, testing, attendance, etc.
	事後学習	Make sure to read the lesson beforehand
2	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Meet Your Lucky Date! (Dating)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
3	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Traveling Around Japan (Opinions)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point
4	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Highlights in Sports (Discussing sports)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.

5	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Shake, Rattle and Roll (Music, types of music)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
6	事前学習	Please review all your exercises before the lesson and practice with your partner
	授業内容	Mid-Term Review
	事後学習	Please reflect on mistakes made
7	事前学習	Please review all your exercises before the test and practice with your partner if possible.
	授業内容	Mid-Term Speaking Test
	事後学習	Please make a note of mistakes
8	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	I Need a Job! (Work, applying for a job)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
9	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Dare to Dream (Future plans)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
10	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	I've Got a Question for You! (Evaluating questions)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
11	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	What's on Your Mind? (Opinions)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point
12	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Home is Where the Heart Is (Hometown, describing places)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point
13	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Holidays to Remember (Travel)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
14	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Guess What Happened to Me! (Past experiences)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
15	事前学習	Please review all your exercises before the test and practice with your partner if possible.
	授業内容	End of Term Combined Listening and Writing Test Review
	事後学習	Please keep your textbook for follow-up

科目名	英語B【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	小倉 浩子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	指定したテキストを使って英語読解の授業を行います。テキストは、現代社会で私達が直面する問題を論じた英文エッセイ集で、インターネット・テクノロジー・ショッピングや旅行など、幅広いジャンルに渡ります。授業では、各受講者が英単・熟語や英文法に留意しながら、テキストを着実に読み進めていけるよう指導します。又、各受講者がテキストの内容について考え、意見を持ったり、発言したりできるよう指導したいと思います。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目標としています。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。チャプターごとに小テストを行う予定です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業での発言、小テスト結果等を総合的に評価。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	成美堂		もっと知りたい！社会のいま 2	Jonathan Lynch, 委文光太郎
	備考				
参考書	必要に応じ紹介します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業の前後にお願いします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	Chapter 11 の予習
	授業内容	Chapter 11 Black Friday
	事後学習	Chapter 11 の復習
3	事前学習	Chapter 12 の予習
	授業内容	Chapter 12 Graduation Trips
	事後学習	Chapter 12 の復習
4	事前学習	Chapter 13 の予習
	授業内容	Chapter 13 Aspects of Sneaker Culture
	事後学習	Chapter 13 の復習

5	事前学習	Chapter 14 の予習
	授業内容	Chapter 14 The Union Jack as Fashion Symbol
	事後学習	Chapter 14 の復習
6	事前学習	Chapter 15 の予習
	授業内容	Chapter 15 Trends in Fitness
	事後学習	Chapter 15 の復習
7	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 11 ～ Chapter 15 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
8	事前学習	Chapter 16 の予習
	授業内容	Chapter 16 Smart Rings
	事後学習	Chapter 16 の復習
9	事前学習	Chapter 17 の予習
	授業内容	Chapter 17 Photogenicity
	事後学習	Chapter 17 の復習
10	事前学習	Chapter 18 の予習
	授業内容	Chapter 18 Stress Relief
	事後学習	Chapter 18 の復習
11	事前学習	Chapter 19 の予習
	授業内容	Chapter 19 Young Women Turn to Gaming
	事後学習	Chapter 19 の復習
12	事前学習	Chapter 20 の予習
	授業内容	Chapter 20 Young People and Criticism
	事後学習	Chapter 20 の復習
13	事前学習	復習前の見直し
	授業内容	Chapter 16 ～ Chapter 20 の復習
	事後学習	復習後の確認と反省
14	事前学習	まとめに向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	まとめ後の反省
15	事前学習	まとめ（2）に向けての勉強
	授業内容	授業のまとめ（2）
	事後学習	まとめ（2）後の反省

科目名	英語B【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英字新聞攻略法を身につけながら、時事英語の運用力を養成します。時事英語に特有な表現や語彙を学び、リスニングではチャンクで内容を捉えられるようになることを目指し、リーディングでは正確に英語を読む力を向上させます。また、授業で学習したことに基づき、各トピックについて自分の意見を英語で述べるができるようにします。				
授業目的・到達目標	[授業目的] TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。 [到達目標] skimming力を身につけながら、パラグラフの論理展開を学んでいき、自分の考えを客観的かつ論理的に明確な英語で表現できるようにすることを最終目標とします。TOEICの基礎力をつけ、スコア450を目指します。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。遅刻・欠席をせず、積極的かつ集中して授業に臨む必要があります。				
授業方法	critical thinking/creative thinkingの手法を下地とし、輪読形式と演習形式を織り交ぜながら授業を展開していきます。小テストを毎回実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（50%） 単元5つ毎に行われるテスト（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	成美堂		Meet the World 2018 ―English through Newspapers―	若有保彦
	備考				
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。辞書必携。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 13 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
2	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 14 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 15 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	Unit 15までの復習
	授業内容	振り返り
	事後学習	振り返りの内容を確認する。

5	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 16 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 17 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 18 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 19 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	課題のニュース記事を読み、理解できない点は質問できるようにしておく。
	授業内容	Unit 20 Reading/Grammar/Composition
	事後学習	学習した事項を復習し、理解できない点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	Unit 20までの復習
	授業内容	振り返り
	事後学習	振り返りの内容を確認する。
11	事前学習	各トピックについて自分の意見を英語でまとめる。
	授業内容	プレゼンとディスカッション
	事後学習	発表した内容及び英語を訂正する。
12	事前学習	各トピックについて自分の意見を英語でまとめる。
	授業内容	プレゼンとディスカッション
	事後学習	発表した内容及び英語を訂正する。
13	事前学習	各トピックについて自分の意見を英語でまとめる。
	授業内容	プレゼンとディスカッション
	事後学習	発表した内容及び英語を訂正する。
14	事前学習	各トピックについて自分の意見を英語でまとめる。
	授業内容	プレゼンとディスカッション
	事後学習	発表した内容及び英語を訂正する。
15	事前学習	Review
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	英語B【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC, TOEFL, 英検等に対応できる英語力を身に付けるため、速読、精読の両方の面から英文を読むことが出来るようにする。Readingの英文全体の内容を確認した後、英文を一文ずつ見ていく。Readingの英文全体の内容を理解できているかどうかをExercise5～7を使って確認する。Reading本文の内容、Exerciseの答えの確認等は学生が発表し、間違えたところを教師が訂正する。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を付けることを目的としています。TOEIC, TOEFL, 英検などに対応できる英語力を身につけ、基礎的な力英語力を養成するのを目標とする。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。原則として英語Aと通年で履修すること。上記資格試験の受験を強く奨励する。授業回数の1/3以上欠席すると単位は取得できない。				
授業方法	演習方式で行う。1 unitを2回で終わらせる。Reading本文の全体の内容を把握した後でExerciseの答え合わせをする。携帯、スマホ等の使用は認めない。詳しいことは1回目の授業で説明する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末試験50%、平常点（小テスト、授業中の発表状況、課題等）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	成美堂		Reading Success 3	佐藤、Tidwell共著
	備考				
参考書	英和辞書 「総合英語 フォレスト」石黒昭博監修（桐原書店、1,500円）				
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。（対応できる時間—火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分—30分）e-mailアドレスについては第1回目の授業でお知らせします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に学習したテキストの単語を復習、テキストの英文を音読しながら内容を確認する。
	授業内容	英語Bの履修についての説明と注意、Reading, Listening練習問題
	事後学習	授業で使ったReading, Listening練習問題の復習
2	事前学習	テキストUnit 7 'Social Network': Exercise 2、 4. Readingの予習：分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく。
	授業内容	テキストUnit 7 'Social Network': 2. Word definitions ～ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 7 'Social Network': 2. Word definitions ～ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
3	事前学習	テキストUnit 7 'Social Network': 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5～7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 7 'Social Network': 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ～ 8. Grammar and Expressions
	事後学習	テキストUnit 7 'Social Network': Exercise5～7の問題の間違えたところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
4	事前学習	テキストUnit 8 'Coming of Age': Exercise 2及び4. Readingの予習：分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 8 'Coming of Age': 2. Word definitions ～ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 8 'Coming of Age': 2. Word definitions ～ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)

5	事前学習	テキストUnit 8 'Coming of Age':4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 8 'Coming of Age': 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 8 'Coming of Age': Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
6	事前学習	テキストUnit 9 'Hidden Messages':Exercise 2及び4. Readingの予習: 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 9 'Hidden Messages': 2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 9 'Hidden Messages': 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習Hidden Message'で理解できなかった英文をもう一度復習)
7	事前学習	テキストUnit 9 'Hidden Messages': 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 9 'Hidden Messages': 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 9: Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
8	事前学習	Unit 7 - Unit 9の復習小の準備をする。
	授業内容	Unit 7 - Unit 9の復習小テスト
	事後学習	Unit 7 - Unit 9の復習小テストを見直す
9	事前学習	テキストUnit 10 'Boys and Girls': Exercise 2及び4. Readingの予習: 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 10 'Boys and Girls': 2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 10 'Boys and Girls': 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
10	事前学習	テキストUnit 10 'Boys and Girls': 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 10 'Boys and Girls': 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 10 'Boys and Girls': Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
11	事前学習	テキストUnit 11 'The Art of Monet':Exercise 2及び4. Readingの予習: 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 11 'The Art of Monet':2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 11 'The Art of Monet': 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
12	事前学習	テキストUnit 11 'The Art of Monet': 4. Readingの英文の内容をもう一度確認しながらExercise5~7の問題を解く
	授業内容	テキストUnit 11 'The Art of Monet': 4. Readingの復習 5. Matching the Idea/Classification/Completing Sentences/True, False, or Unknown ~ 8. Grammer and Expressions
	事後学習	テキストUnit 11 'The Art of Monet': Exercise5~7の問題の間違ったところをもう一度復習。テキスト本文の英文ももう一度復習。
13	事前学習	テキストUnit 12 'Extreme Sports': Exercise 2及び4. Readingの予習: 分からない単語を辞書で調べて理解できない英文を書き出しておく
	授業内容	テキストUnit 12 'Extreme Sports': 2. Word definitions ~ 4. Reading
	事後学習	テキストUnit 12 'Extreme Sports': 2. Word definitions ~ 4. Readingの復習(特に予習で理解できなかった英文をもう一度復習)
14	事前学習	Unit 7 ~ Unit 12の復習をする
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	Unit 7 ~ Unit 12のまとめのテスト問題をもう一度復習
15	事前学習	Unit 7 ~ Unit 12の単語等を復習
	授業内容	Readingのプリント、英文の解説、等
	事後学習	授業で読んだReadingのプリントをもう一度読み直す

科目名	英語B【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 明子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	このクラスでは1年次の最後の実施される予定のTOEIC Listening & Reading Testに向けた英語の基礎力を養います。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。			
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Aと通年で履修してください。			
授業方法	テキストを使用し、問題演習と解説をします。毎回小テストを実施します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	テスト（小テストを含む）やきちんと予習・復習ができているかなど総合的に判断して評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	セングージラーニング	TOEIC® TEST Trainer Target 470, Revised Edition	Masahiko Yamaguch他
	備考	辞書を持ってくること。電子辞書はOKですが、スマートフォンなどは認めません。		
参考書	授業中に指示します。			
オフィスアワー	水曜日 16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習
	授業内容	グループ、席を決めます。後期ガイダンス。必ず出席してください。
	事後学習	特にありません。
2	事前学習	Unit 7 Listeningの予習
	授業内容	Unit 7 確認一分詞 Listening
	事後学習	Unit 7 Listeningの復習
3	事前学習	Unit 7 Readingの予習
	授業内容	Unit 7 確認一分詞 Reading
	事後学習	Unit 7 Readingの復習
4	事前学習	Unit 8 Listeningの予習
	授業内容	Unit 8 留守電ースキャニング Listening
	事後学習	Unit 8 Listeningの復習

5	事前学習	Unit 8 Readingの予習
	授業内容	Unit 8 留守電ースキャンニング Reading
	事後学習	Unit 8 Readingの復習
6	事前学習	Unit 9 Listeningの予習
	授業内容	Unit 9 アドバイスー受動態 Listening
	事後学習	Unit 9 Listeningの復習
7	事前学習	Unit 9 Readingの予習
	授業内容	Unit 9 アドバイスー受動態 Reading
	事後学習	Unit 9 Readingの復習
8	事前学習	Unit 10 Listeningの予習
	授業内容	Unit 10 誘いー比較 Listening
	事後学習	Unit 10 Listeningの復習
9	事前学習	Unit 10 Readingの予習
	授業内容	Unit 10 誘いー比較 Reading
	事後学習	Unit 10 Readingの復習
10	事前学習	Unit 11 Listeningの予習
	授業内容	Unit 11 申し出ー関係詞 Listening
	事後学習	Unit 11 Listeningの復習
11	事前学習	Unit 11 Readingの予習
	授業内容	Unit 11 申し出ー関係詞 Reading
	事後学習	Unit 11 Readingの復習
12	事前学習	Unit 12 Listeningの予習
	授業内容	Unit 12 講演者紹介ースキミング Listening
	事後学習	Unit 12 Listeningの復習
13	事前学習	Unit 12 Readingの予習
	授業内容	Unit 12 講演者紹介ースキミング Reading
	事後学習	Unit 12 Readingの復習
14	事前学習	後期の復習
	授業内容	後期のまとめ。Post-testと解説。
	事後学習	Post-testの復習
15	事前学習	前期・後期の復習
	授業内容	前期・後期の復習、まとめ
	事後学習	前期・後期の復習

科目名	英語B【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	堀 千和子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会の諸問題をトピックにした教科書を使用します。比較的わかりやすい英語を聞き取り、内容を理解し、重要語彙・表現を学んでいきます。世界で今何が起きているかも考えていきたいと思います。学んだ英語を定着させるために、シャドーイングや暗唱、会話練習も行っていきます。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なリーディング、文法の基礎力を磨くことを目的としています。1. 語彙力の増強、 2. 2年時の英語資格試験のクラスで余裕を持って勉強できる英語力をつけることを目標とします。				
履修条件	経営法学科1年生指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修して下さい。				
授業方法	教科書のエクササイズに沿って、聴解と読解を行っていきます。文法事項や重要表現を学習した後、シャドーイングや発話練習を行って、知識を定着させます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間試験 30%、 期末試験 40%、 提出物（読書記録表） 5%、 授業への貢献度 10%、 グループ・プレゼンテーション 15%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		AMBITIONS: Elementary（4技能統合型で学ぶ英語コース：初級編）	VELC研究会教材開発グループ
	備考				
参考書	英和辞書、英英辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問は、授業終了後またはE-mailにて対応します。授業開始時にアドレスをお知らせします。授業関連の連絡は大学ポータルを使用します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習を振り返り、英語の資格試験などの後期の目標を考えておく。
	授業内容	ガイダンス、語彙・文法の振り返り、英語ニュース
	事後学習	音声のダウンロードの準備をする。
2	事前学習	教科書Unit 8のパスセージに目を通し、だいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	教科書 Unit 8の1 地球規模の問題
	事後学習	既習事項の復習をする。課題の英作文をする。
3	事前学習	授業で学んだ英文を復習し、ワークシートを完成させる。
	授業内容	テキスト Unit 8の2 地球規模の問題
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
4	事前学習	教科書Unit 9の英文のだいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 9の1 日本の文化
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。

5	事前学習	授業で学んだ英文を復習し、ワークシートを完成させる。
	授業内容	テキスト Unit 9の2 日本の文化
	事後学習	学習した教科書の英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
6	事前学習	教科書Unit 10の英文のだいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 10の1 人権
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
7	事前学習	授業で学んだ英文を復習し、ワークシートを完成させる。
	授業内容	テキスト Unit 10の2 人権
	事後学習	学習した英文を使用し、音声の後について発音の練習をする。
8	事前学習	教科書Unit 11の読み物のだいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 11の1 健康問題
	事後学習	ワークシートで英文の内容を復習する。課題の英作文をする。
9	事前学習	授業で学んだ英文を復習し、ワークシートを完成させる。
	授業内容	テキスト Unit 11の2 健康問題
	事後学習	学習した読み物のスクリプトを使用し、音声の後について発音の練習をする。
10	事前学習	教科書Unit 12の読み物のだいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 12の1 環境問題
	事後学習	ワークシートで英文の内容を復習する。課題の英作文をする。
11	事前学習	授業で学んだ英文を復習し、ワークシートを完成させる。
	授業内容	テキスト Unit 12の2 環境問題
	事後学習	学習した英文のスクリプトを使用し、音声の後について発音の練習をする。
12	事前学習	教科書Unit 13の読み物のだいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 13の1 経済
	事後学習	ワークシートで英文の内容を復習する。わからない箇所があれば、質問できるようにまとめておく。
13	事前学習	教科書の読み物を復習し、ワークシートを完成させる。
	授業内容	テキスト Unit 13の2 経済
	事後学習	学習した英文のスクリプトを使用し、音声の後について発音の練習をする。
14	事前学習	教科書Unit 14の読み物のだいたいの内容を把握しておく。
	授業内容	テキスト Unit 14 法律、 到達度を測る聞き取り
	事後学習	ワークシートで教科書の読み物の内容を復習する。聞き取りでできなかった箇所を復習する。
15	事前学習	今期の学習範囲の復習を行う。ポータルにある既習事項のまとめを必ず確認する。
	授業内容	後期の振り返り
	事後学習	理解があやふやな箇所を見直し、次年度の学習に備える。

科目名	英語B【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	山田 潤治	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学4年間での学習を経て、社会で役立つ英語力を育成するため、文法をブラッシュアップし、リーディング対策をおこないます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くクラスです。大学英語に必要なアカデミック・スキルの基礎を身につけます。英文法の基礎的知識を再確認し、英文読解において、わからない文法事項はない、というレベルにまで到達します。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。英語AとBとを通年で履修してください。				
授業方法	テキストの指定された範囲の演習問題を自宅です前学習します。講義では、重要項目を説明した上で、演習問題の解答確認をしていきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	小テストの成績（40％）。授業の予習状況（30％）、Activity提出+Review提出状況（30%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	Cambridge		『マーフィーのケンブリッジ英文法（中級編）第3版』	Raymond Murphy 渡辺雅仁訳
	備考				
参考書	特になし				
オフィスアワー	junji%y.email.ne.jp（%は、@に変換する）まで電子メールで連絡ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	代名詞と限定詞80～89までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	代名詞と限定詞80～89
	事後学習	演習の間違い直しと復習
2	事前学習	関係詞節90～95までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	関係詞節90～95
	事後学習	演習の間違い直しと復習
3	事前学習	形容詞と副詞96～102までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	形容詞と副詞96～102
	事後学習	演習の間違い直しと復習
4	事前学習	形容詞と副詞103～109までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	形容詞と副詞103～109
	事後学習	演習の間違い直しと復習

5	事前学習	接続詞と前置詞 1 1 0 ～ 1 1 7 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	接続詞と前置詞 1 1 0 ～ 1 1 7
	事後学習	演習の間違い直しと復習
6	事前学習	前置詞 1 1 8 ～ 1 2 5 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	前置詞 1 1 8 ～ 1 2 5
	事後学習	演習の間違い直しと復習
7	事前学習	前置詞 1 2 6 ～ 1 3 3 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	前置詞 1 2 6 ～ 1 3 3
	事後学習	演習の間違い直しと復習
8	事前学習	句動詞 1 3 4 ～ 1 4 2 までを読み演習問題の解答を作成する
	授業内容	句動詞 1 3 4 ～ 1 4 2
	事後学習	演習の間違い直しと復習
9	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（1）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
10	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（2）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
11	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（3）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
12	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（4）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
13	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（5）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
14	事前学習	課題プリントを読み、演習問題の解答を作成する
	授業内容	リーディング演習（6）
	事後学習	演習の間違い直しと復習
15	事前学習	総復習。ざっと学期の学習を見直す
	授業内容	Review
	事後学習	Reviewのみなおし

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカでベストセラーを記録した“Chicken Soup for the Soul”の精読を通して、文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学びます。また、適宜『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』を用いて、英文法・語法の知識を整理していきます。			
授業目的・到達目標	(1) TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。 (2) 文法・語法の知識を整理するとともに、それらの知識に基づいた読解の方法を学ぶことを目標としています。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Bと通年で履修してください。			
授業方法	輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1997	金星堂	『Chicken Soup for the Soul チキンスープをどうぞー心あたたまる17のアメリカ小話集』	Jack Canfield 他
	2017	大修館書店	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』	大修館書店編集部
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	金曜日12:10～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Smileを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
3	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Smileを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
4	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	The Smileを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。

5	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	A Simple Gestureを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
6	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	A Simple Gestureを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
7	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	A Simple Gestureを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
8	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	Nothing but Problemsを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
9	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	Nothing but Problemsを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
10	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	Nothing but Problemsを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
11	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	See you in the Morningを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
12	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	See you in the Morningを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
13	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	See you in the Morningを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
14	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	If I Had My Life To Live Overを輪読形式で読み進める。文法・語法の知識に基づいた読解の方法を学ぶ。
	事後学習	事前学習の際に理解できなかった箇所について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。 音読。
15	事前学習	辞書や文法書、註などを参照しながら英文を精読し、和訳しておくこと。その際、どこが理解できなかったのかを明らかにしておくこと。
	授業内容	後期の授業のまとめ。
	事後学習	後期の授業内容について、授業ノートを基に今一度解釈を試みる。

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	鈴木 京子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、学年末に受験するTOEICでどのような問題が出されるのかを学習して、TOEICの基礎的な力を培うことを演習を通じて行います。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。TOEICの基礎力を身につけ、スコア450点を目標とします。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く推奨します。原則英語Aと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への参加度、小テスト結果、期末テスト結果等を加味
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	CENGAGE Learning	First Time Trainer For the TOEIC TEST	ChizukoTsumatori 他3名
	備考			
参考書	英和辞書必携			
オフィスアワー	授業の前後で質問してください。アポイントメントを取りたいときにも授業の前後に相談してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みにやって特に面白かったことを考えてくる
	授業内容	夏休みにやったことのコンテンツ作成、プレゼンテーション
	事後学習	夏休みにやったことを書いてクラスで発表し提出
2	事前学習	前週末にやったことを英語で考えてくる
	授業内容	Pre-test 10頁～13頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test 11頁～12頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test 12頁～13頁
	事後学習	授業で学習したことの復習

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test 14頁～15頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test 14頁～16頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test 17頁～19頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
8	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test 20頁～21頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
9	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Post-test 118頁～121頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
10	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Post-test 119頁～120頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
11	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Post-test 121頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
12	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Post-test 122頁～129頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
13	事前学習	小テストの準備 123頁～125頁
	授業内容	Post-test 126頁～127頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
14	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Post-test 128頁～129頁
	事後学習	授業で学習したことの復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	後期授業の総復習

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	堀 紳介	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	この授業ではこれまでに習ったことがあるであろう基本的な文法事項を学びながらも、そこから英米文化を知ること为目标とします。授業では各自に和訳を発表してもらい、どのように英文を読んだのか、どうしてそのような和訳になったのか、を確認しながら進めていきます。英文の内容に関して問うこともあるでしょう。したがって、この授業で学生は自ら考えながら英文を読むことが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。この授業はTOEICなどの資格試験で必要となる基礎的な英語読解力を身につけることを目的としているが、TOEICの問題集のみを教材として用いることはしない。学生たちの英語へのニーズの多様性を考えれば、資格試験で点数を取ることのみを目的とした英語学習では限界がある。この授業ではTOEICを視野に入れながらも、英字新聞などの実用的な英語学習媒体を教材として用いることで基礎的な英語読解力の向上を図る。TOEICで500点取得を目指します。出来ればそれ以上。				
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Bと通年で履修してください。				
授業方法	グループワークを取り入れ、発表形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価 (Report 30% Test 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、後期授業内容の説明
	事後学習	グループ内で英文を精読
2	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
3	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
4	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読

5	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
6	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
7	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
8	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
9	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
10	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
11	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
12	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
13	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	TOEIC模試：解答、解説
	事後学習	グループ内で英文を精読
14	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	テスト準備
	事後学習	既習事項の確認、復習
15	事前学習	既習事項の確認、復習
	授業内容	後期授業、1年の授業のまとめ
	事後学習	これまでの既習事項を復習しておくこと。

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語のリーディング、文法を中心に学習します。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨く。たとえば、英検では準1級合格を目標とします。TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコアを450点以上を目標とします。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。TOEIC、TOEFL、等の資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Aと通年で履修すること。					
授業方法	実践演習をして解説をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	南雲堂		Gateway to Britain		Terry O'Brien, 他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書を購入する必要はない。適宜図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Pub in decline 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Pub in decline 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Football: sport or business 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Football: sport or business 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Royal Family or TV melodrama? 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	The Royal Family or TV melodrama? 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Preserving Britain
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	茂木 健幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	読むことで情報を得て、書くことで自分自身についての情報や意見等を表現するという流れに重点を置き、英語リーディング、ライティングの基礎力向上に取り組めます。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。到達目標としては、文章読解で得た情報の理解と、それに関する自分の意見等の表現ができるようになること。					
履修条件	公共政策学科一年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Aと通年で履修してください。					
授業方法	教科書に沿って授業を進めます。それぞれのユニットの終わりにあるライティングの課題はレポートとして提出することになります。長文読解部分の予習や、レポート作成については予習が必要となります。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への参加度、レポート等により評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	朝日出版社		コミュニケーションのための総合英語		阿野幸一
	備考					
参考書	使用せず。					
オフィスアワー	授業終了後。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit7全体を読んでくこと。
	授業内容	ガイダンス、授業の進め方、評価方法などの説明 Unit 7 Science and Technology
	事後学習	授業内容の確認。
2	事前学習	Unit 7のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 7 Science and Technology
	事後学習	Unit 7のリーディング部分の復習
3	事前学習	Unit 7の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 7 Science and Technology
	事後学習	Unit 7の文法問題の復習
4	事前学習	Unit 8のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 8 Study Abroad
	事後学習	Unit 8のリーディング部分の復習

5	事前学習	Unit 8の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 8 Study Abroad
	事後学習	Unit 8の文法問題の復習
6	事前学習	Unit 9のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 9 College Life in the U.S.
	事後学習	Unit 9のリーディング部分の復習
7	事前学習	Unit 9の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 9 College Life in the U.S.
	事後学習	Unit 9の文法問題の復習
8	事前学習	Unit 10のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 10 Steve Jobs
	事後学習	Unit 10のリーディング部分の復習
9	事前学習	Unit 10の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 10 Steve Jobs
	事後学習	Unit 10の文法問題の復習
10	事前学習	Unit 11のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 11 Volunteer Work
	事後学習	Unit 11のリーディング部分の復習
11	事前学習	Unit 11の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 11 Volunteer Work
	事後学習	Unit 11の文法問題の復習
12	事前学習	Unit 12のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 12 Internship
	事後学習	Unit 12のリーディング部分の復習
13	事前学習	Unit 12の文法解説部分を読んでおくこと。また授業内にレポート作成があるのでその準備。
	授業内容	Unit 12 Internship
	事後学習	Unit 12の文法問題の復習
14	事前学習	Unit 13のリーディング部分を読み、意味を捉えておくこと。
	授業内容	Unit 13 Travel
	事後学習	Unit 13のリーディング部分の復習
15	事前学習	前期授業範囲であるUnit7～13までの復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	授業内容の復習。

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	吉澤 小百合	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会・文化・政治経済・情報・言語・教育・科学・医学・環境・娯楽・スポーツなど、身近に世界中のニュースに触れることを意図したテキストを使用して、英語の運用能力を向上させる。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とする。総合的な英語力（特にリーディング）の基礎を固め、特定のテーマについて自分の意見を簡単な英語で述べられるようにする。				
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則として、英語Aと通年で履修すること。				
授業方法	教科書を中心に演習形式で行う。適宜、プリントも配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	小テスト(10%)や課題(10%), 授業参加度(30%), 期末試験(50%)により、総合的に判断する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018	金星堂	Insights 2018		村尾純子・深山晶子ほか
	備考				
参考書	適宜指示する。 書籍辞書または電子辞書を持参すること。				
オフィスアワー	授業に関する質問や相談は、授業の前後またはメールにて対応する。（メールアドレスは授業初回に知らせる）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	後期の授業について何か質問したいことがあれば考えておくこと。
	授業内容	後期授業についての説明
	事後学習	配布したプリントを読み、確認しておくこと。
2	事前学習	p. 74-75のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 11 Urban-Style Aquariums
	事後学習	Chapter 11 の授業内容を復習すること。特にp. 72の語彙や文法事項を確認すること。
3	事前学習	p. 80-81のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 12 Save the World's Plants
	事後学習	Chapter 12 の授業内容を復習すること。特にp. 78の語彙や文法事項を確認すること。
4	事前学習	p. 86-87のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 13 Long-Lasting Lunches
	事後学習	Chapter 13 の授業内容を復習すること。特にp. 84の語彙や文法事項を確認すること。

5	事前学習	p. 92-93のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 14 Troubled Aging Japan
	事後学習	Chapter 14 の授業内容を復習すること。特にp. 90の語彙や文法事項を確認すること。
6	事前学習	p. 98-99のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 15 How Convenient Is a Digital House?
	事後学習	Chapter 15 の授業内容を復習すること。特にp. 96の語彙や文法事項を確認すること。
7	事前学習	Chapter 11～15までの復習をして小テストに備えること。
	授業内容	Chapter 11～15までの復習と小テスト
	事後学習	語彙や熟語、文法事項を確認し、小テストで間違えたところがあればテキストや辞書等を使って復習すること。
8	事前学習	p. 98-99のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 16 You might Be Deceived
	事後学習	Chapter 16 の授業内容を復習すること。特にp. 102の語彙や熟語、文法事項を確認すること。
9	事前学習	p. 104-105のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 17 A Countermeasure against Dwindling Future
	事後学習	Chapter 17 の授業内容を復習すること。特にp. 108の語彙や熟語、文法事項を確認すること。
10	事前学習	p. 110-111のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 18 An Ultimate VR Gadget
	事後学習	Chapter 18 の授業内容を復習すること。特にp. 114の語彙や文法事項を確認すること。
11	事前学習	p. 116-117のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 19 Warming Asia
	事後学習	Chapter 19 の授業内容を復習すること。特にp. 120の語彙や熟語、文法事項を確認すること。
12	事前学習	p. 122-123のReading を読み、Summaryの穴埋めをしておくこと。
	授業内容	Chapter 20 A Step Forward to Become Yourself
	事後学習	Chapter 20 の授業内容を復習すること。特にp. 126の語彙や文法事項を確認すること。
13	事前学習	授業当日にプリントを配布するので事前学習の必要はない。
	授業内容	プリント演習
	事後学習	授業で行なったプリントの内容を復習すること。
14	事前学習	これまでの授業内容で分からないところがないか確認し、質問ができるように準備しておくこと。
	授業内容	後期の総復習と質問受付
	事後学習	これまでの授業の総復習を改めてすること。
15	事前学習	後期の総まとめに備えること。
	授業内容	後期の総まとめ
	事後学習	授業で行なった内容をテキストで確認してみること。

科目名	英語B【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	スコットA.リー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this class we will use simplified news stories to practice and improve your English reading, listening, speaking and writing abilities. In interacting with the material and each other, you will also gain some basic critical thinking, discussion and presentation skills.				
授業目的・到達目標	By the end of the course, you should be able to better comprehend, raise thoughtful questions and express your thoughts about news topics related to your major.				
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Aと通年で履修してください。You have sufficient high-school level English knowledge. Regular attendance and preparation are required.				
授業方法	First, read and listen to news stories. After, in pairs and groups, ask each other questions and discuss about the various topics. Some classes will be used for preparing and presenting a group research project.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Tests (40%), Assignments & quizzes (30%), Group project (30%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				Breaking News English (Online) -- material provided by the instructor in class	
	備考				
参 考 書	None				
オフィスアワー	Please contact the instructor at (s.ree@mac.com) for any questions or to arrange a meeting.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to talk, based on your notes, about English related experiences or interactions you have had during the summer break.
	授業内容	Set goals for the 2nd term and report on English related experiences or interactions you have had during the summer break.
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
2	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 1: The Right to Food
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
3	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 2: Smoking Policy
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
4	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 3: Working Hours
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.

5	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 4: Women in Government in Japan
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
6	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 5: Industrial Pollution and the Environment
	事後学習	Review English learned in the first half of the course and prepare for the mid-term test.
7	事前学習	Review required material and prepare for the mid-term test.
	授業内容	Mid-term test (On Topics 1~4) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
8	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 6: Renewable Energy
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
9	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 7: Demographic Policy in Japan
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
10	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 8: National Identity & European Union
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
11	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group presentation preparation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
12	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
13	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
14	事前学習	Review required material and prepare for the final test
	授業内容	Final Test (On Topics 5~8) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
15	事前学習	Review the material covered in the course.
	授業内容	Test and course review
	事後学習	Review English learned in the lesson and set goals for advancing your English ability for you future career.

科目名	英語B	担当者	板倉 亨	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「人口」「貧困」「戦争」「インターネット」など様々な同時代の問題を扱っている英文エッセイを、基本的な英語の語彙と構文・文法を確認しながら精読して、英文を正確に読む力を身につけ、その上で、論の基本的な構成を理解して読む速度を上げていくクラスです。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。文法の基礎力を活用しより正確で速いリーディングができるようになることを目標とします。				
履修条件	2年次生以上対象。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Aと通年で履修してください。				
授業方法	演習形式。ランダムに指名をして、音読、語彙や構文の説明、訳読等をしてもらい、それに補足や解説を加えながら授業を進めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（授業への参加度、小テスト等）、授業内期末試験等を踏まえ、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	年度を問わず	金星堂		Issues of Our Age	Peter Weld
	備考				
参考書	英和辞書（電子辞書でも可）。英語文法書。 その他は授業内で適宜指示します。				
オフィスアワー	itakura.toru11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	上記の教科書を準備し、それに目を通して内容や英文の難易度など確認してください。また、ガイダンスの内容をメモするためルーズリーフを準備してください。
	授業内容	ガイダンス。授業内容・方法や成績評価について確認し、教科書を使いながら具体的な説明を補足します。
	事後学習	ガイダンスの説明を踏まえ、この授業についてしっかりと理解すること。
2	事前学習	授業内で指定された予習範囲で、必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめた上で、英文の構文や訳等を準備してください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語をしっかりと見直しておくこと。
	授業内容	5. The Double-Edged Net(1) 5章のエッセイの導入部を精読します。 教科書の英文に出てくる語彙や基本的な構文・文法を確認して精読の理解を深めます。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
3	事前学習	授業内で指定された予習範囲で、必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめた上で、英文の構文や訳等を準備してください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語をしっかりと見直しておくこと。
	授業内容	5. The Double-Edged Net(2) 5章のエッセイの中盤を精読します。 教科書の英文に出てくる語彙や基本的な構文・文法を確認して精読の理解を深めます。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。

14	事前学習	これまでのノートを整理しながら授業内容を復習して、理解できなかった箇所を授業で確認できるようにまとめておくこと。
	授業内容	後期の授業の振り返り。 前回までの授業内容を補足し、振り返りながら説明します。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
15	事前学習	後期授業内容を、授業内で指摘されたポイントを中心にしっかりと復習しておくこと。
	授業内容	後期の授業のまとめ。授業内容全体の理解度を確認するためのまとめです。授業内で指摘したポイントを中心に確認します。
	事後学習	後期の授業で理解できたものと理解できなかったものをしっかりと把握し、特に理解が不十分なものについてはこれからの英語の勉強に役立てるためにしっかりと復習しておいてください。

科目名	英語B	担当者	堀 紳介	部 別	第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	この授業ではこれまでに習ったことがあるであろう基本的な文法事項を学びながらも、そこから英米文化を知ること为目标とします。授業では各自に和訳を発表してもらい、どのように英文を読んだのか、どうしてそのような和訳になったのか、を確認しながら進めていきます。英文の内容に関して問うこともあるでしょう。したがって、この授業で学生は自ら考えながら英文を読むことが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。この授業はTOEICなどの資格試験で必要となる基礎的な英語読解力を身につけることを目的としているが、TOEICの問題集のみを教材として用いることはしない。学生たちの英語へのニーズの多様性を考えれば、資格試験で点数を取ることのみを目的とした英語学習では限界がある。この授業ではTOEICを視野に入れながらも、英字新聞などの実用的な英語学習媒体を教材として用いることで基礎的な英語読解力の向上を図る。TOEICで500点取得を目指します。出来ればそれ以上。				
履修条件	上記資格試験の受験を強く奨励します。				
授業方法	グループワークを取り入れ、発表形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価 (Report 30% Test 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、後期授業内容の説明
	事後学習	グループ内で英文を精読
2	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
3	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
4	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読

5	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
6	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度1 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
7	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 各自が精読を行い、分からない単語などをまとめる。
	事後学習	グループ内で英文を精読
8	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
9	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 グループワークでレポート作成、単語リスト作成
	事後学習	グループ内で英文を精読
10	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
11	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
12	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	英字新聞（英字新聞以外含む）講読 難易度2 英文解説：担当者に和訳を発表してもらいながら進める。
	事後学習	グループ内で英文を精読
13	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	TOEIC模試：解答、解説
	事後学習	グループ内で英文を精読
14	事前学習	グループ内で英文を精読
	授業内容	テスト準備
	事後学習	既習事項の確認、復習
15	事前学習	既習事項の確認、復習
	授業内容	後期授業、1年の授業のまとめ
	事後学習	これまでの既習事項を復習しておくこと。

科目名	英語B	担当者	J.ジェルソ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve your listening and speaking skills through English-language discussion with your teacher and classmates. You will read and think about English texts.					
授業目的・到達目標	To learn about East Asia in Japanese history and multicultural stories from modern Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding and speaking English. You will learn about important events in Japanese history. You will listen to and read English texts. You will discuss those texts, in English, with your teacher and your classmates.					
履修条件	None					
授業方法	Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				前期 「Multicultural Stories from Modern Japan」 (Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税		
	備考					
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.					
オフィスアワー	You can contact me anytime for a question or to set up an appointment by email at: joe.geluso@gmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Tei Ei-kei: Japan's first coffee master. Skills: Listening, reading, writing, and speaking in English
	事後学習	Learn new vocabulary.
2	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Kairakutei Black: Japan's first foreign-born public story teller Skills: Reading, writing, and speaking in English
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Victor Starrfin: The first professional baseball pitcher to win 300 games in Japan Skills: Reading, writing, and speaking in English with a focus on baseball
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Rash Behari Bose: Learning about Bose's significance Skills: Listening, reading, writing, and speaking in English
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Leo Sirota: Pianos and Japan Skills: Listening, reading, writing, and speaking in English with a focus on music
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Chen Kenmin: Chinese and Japanese Cuisine in Japan Skills: Listening, reading, writing, and speaking with a focus of food vocabulary
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Rikidozan: Professional wrestling in Japan Skills: Listening, reading, writing, and speaking with a focus of wrestling
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Ando Momofuku
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Korean food in Japan
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Oh Sadaharu: 22 seasons with the Yomiuri Giants Skills: Focus on conversation about baseball in Japan
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Konishiki Yasokichi: Sumo Skills: Reading, writing, listening, and speaking about Japan's national sport
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Murata Renho: Politics Skills: Talking about politics
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Son Masayoshi: SoftBank Skills: Reading, writing, listening, and speaking
	事後学習	Learn new vocabulary.
14	事前学習	R e v i e w
	授業内容	Revision: Using revision guide to update lesson content
	事後学習	Continue revisions
15	事前学習	Prepare for final exam
	授業内容	Test: Final exam covering semester's content R e v i e w
	事後学習	R e v i e w

科目名	英語C【法職課程1年生共通クラス】	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の生の音声を楽しみながらたくさんインプットしていきます。英語の問題を解くためのリスニングではなく、純粹に自分が聴きたいと思う題材を選びます。生の音声をそっくり真似る音読やシャドーイングを通してリスニング力を高めていきます。また選んだ題材の内容についてプレゼンをします。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としたクラスです。 TOEICテストのリスニングの基礎力を身につけ、最終的にトータルスコア600点以上を目標とします。			
履修条件	法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。課題を必ず毎回提出しなくてはならない。			
授業方法	グループとペアワークの演習方式で授業を進めます。題材を自分で選び、リアクションペーパーを書いて、グループでシェアし、プレゼンをします。また、音読やシャドーイング、ディクテーションの課題が課されます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回実施する小テスト及びプレゼンを評価に含めます。リアクションペーパーの提出も評価の対象に入ります。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	IIBC	TOEICテスト公式問題集新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会）	IIBC
	2018年4月販売予定	朝日出版社	CNNニュースリスニング2018春夏	CNN English Express編
	備考	教員作成プリントも使用します		
参考書	辞書を持参すること。			
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入し、シラバスを読んでくる
	授業内容	オリエンテーション 音読とシャドーイングはどのようにリスニング力に結びつくのか。
	事後学習	音読方法の復習
2	事前学習	課題の音読を練習する
	授業内容	音読テスト シャドーイングとは？
	事後学習	シャドーイング方法を復習
3	事前学習	CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksとは？
	事後学習	TED talksを視聴してみる
4	事前学習	CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksを視聴する→dictationをしてみる
	事後学習	TED talksプリントを復習

5	事前学習	TED talksプリント課題 CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksを視聴する→内容を聞き取る
	事後学習	TED talksプリントを復習
6	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksについてgroup talk→発表
	事後学習	発表で気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
7	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く / 前回TED talksの単語テストの準備をする CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksについてgroup talk→発表
	事後学習	気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
8	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く / 前回TED talksの単語テストの準備をする CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト/ TED talks単語テスト TED talksについてgroup talk→発表
	事後学習	気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
9	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く/ 前回TED talksの単語テストの準備をする CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksについてgroup talk→発表
	事後学習	気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
10	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く/ 前回TED talksの単語テストの準備をする CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksについてgroup talk→最終プレゼンについて話し合う
	事後学習	気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
11	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksについてgroup talk→最終プレゼンについて話し合う
	事後学習	気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
12	事前学習	TED talksを視聴し、リアクションペーパーを書く CNN課題のシャドーイングを練習
	授業内容	CNN音読&シャドーイングテスト TED talksについてgroup talk→最終プレゼンについて話し合う
	事後学習	気に入ったTED talksを自分でも視聴してみる
13	事前学習	TED talks リアクションペーパー プレゼンに向けて準備する 課題のCNNシャドーイングを練習する
	授業内容	最終プレゼン I
	事後学習	プレゼンの準備を進めていく
14	事前学習	TED talks リアクションペーパー プレゼンに向けて準備する 課題のCNNシャドーイングを練習する
	授業内容	最終プレゼン II
	事後学習	プレゼンの準備を進めていく
15	事前学習	課題のCNNシャドーイングを練習する
	授業内容	まとめのシャドーイング TED talksまとめの単語
	事後学習	半期の学習を振り返る。夏休みの課題のシャドーイングを練習する

科目名	英語C【法職課程1年生共通クラス】	担当者	小林 晴子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際社会において情報収集に必要な英語力を、リスニング能力に重点をおいて修得する。英語音声、文書、インフォグラフィックスなどの理解に基づき、各々の理論的・批判的思考力を用いて導き出した情報、思考、意見を、聞き手に理解されやすい英語音声、表現、論理的提示方法で話す訓練を行う。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。英語資格試験の受験を視野に入れた、スピーキング・リスニングの基礎固めを目指します。そのために種々の発音、文法、語彙、構文、文章構造などの習得と、ディスカッション、プレゼンテーションなどの演習に取り組みます。TOEICテスト等のためのリスニング能力をさらに向上させ、リスニングパートのスコアを100点あげることが目標とします。			
履修条件	法律学科法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、原則英語Dと通年で履修してください。演習授業なので必ず8割以上出席をすることを求めます。			
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施。授業では、音読、シャドウイング、ディクテーション、ノートテイキング、学生のペアワーク、ディスカッション、ロールプレイング、プレゼンテーション等を行う。毎回リスニングに関する課題あり。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常評価：100%(授業パフォーマンス・スピーチ30%、小テスト・課題提出40%、期末テスト30%)
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年出版	センゲージラーニング	Pathways 1 - Listening, Speaking, and Critical Thinking	Becky Tarver Chase
	備考			
参考書	英和・和英辞書は必携。その他は、適宜指示する。			
オフィスアワー	kobayashi.haruko11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト全体に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス。テキスト・辞書を持ってくるように。授業の進め方、テキストの使用方法、予習・復習・学習法などを説明します。オンライン資料へのアクセス方法を確認します。
	事後学習	授業ガイダンスに従い Unit 1 Lesson A を予習する。
2	事前学習	Unit 1 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 1 Lesson A Living for Work のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
3	事前学習	Unit 1 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 1 Lesson A & B Living for Work のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
4	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 1 Lesson B Living for Work の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し

5	事前学習	Unit 2 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 2 Lesson A Good Times, Good Feelings のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
6	事前学習	Unit 2 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 2 Lesson A & B Good Times, Good Feelings のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
7	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 2 Lesson B Good Times, Good Feelings の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
8	事前学習	Unit 3 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 3 Lesson A Treasure from the Past のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
9	事前学習	Unit 3 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 3 Lesson A & B Treasure from the Past のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
10	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 3 Lesson B Treasure from the Past の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
11	事前学習	Unit 4 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 4 Lesson A Weather and Climate のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
12	事前学習	Unit 4 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 4 Lesson A & B Weather and Climate のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
13	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 4 Lesson B Weather and Climate の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
14	事前学習	Unit 5 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 5 Lesson A Focus on Food のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
15	事前学習	今学期の授業を振り返る
	授業内容	今学期の授業のまとめ
	事後学習	授業の見直しをする

科目名	英語C【法職課程1年生共通クラス】	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will read, discuss and write about English texts. You will communicate in English with your teacher and your classmates.					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。To learn about the international history of Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding, writing and speaking English. You will learn about important events in Japanese history. You discuss English texts with your teacher and your classmates.					
履修条件	法律学科法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。This course is aimed at students who wish to improve their English communication skills.					
授業方法	演習方式。Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				前期「An International History of Japan I」(Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税)		Thomas Lockley
	備考					
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.					
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	First lesson Outline of the course
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
2	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Ancient international Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Japan Towns Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	topic: Yasuke - the African samurai Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Tensho Embassy Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: William Adams Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: International Nagasaki Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Yamada Nagamasa Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Tagawa Matsu Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Japanese families of European merchants Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Korean embassies to Tokugawa Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Zhu Shun-sui Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Waegwan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Write your reflections on the course.
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary.
	授業内容	Semester revision
	事後学習	revise for the upcoming test.
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Semester test Review
	事後学習	Review

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	加賀 岳彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	これまで学んできた学習英語をベースにして、さらに大学・社会向けの一般英語への橋渡しをします。またそれに必要な思考力・リテラシーの向上も図ります。					
授業目的・到達目標	資格試験（TOEIC、TOEFL、英検等）、新聞・雑誌・ネットの英文理解、および専門分野の英語文献理解に必要なリスニング・スピーキングの基礎を磨きます。毎回の予習事項・学習事項の確認小テストにおいて70%以上の正答率を維持することを目標とします。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験等の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	十分な予習を前提として授業を行います。理解度・習得度を確認するための小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常点（小テスト、授業内での応答）50%、期末テスト50%で成績を評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内で授業用ハンドアウトを配布します。				
参考書	（電子）辞書は必ず持参して受講してください。					
オフィスアワー	質問等は授業終了後に受け付けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の英語学習を行う。
	授業内容	授業説明・オリエンテーション・初期演習を行います。
	事後学習	初期演習で学んだ事項を復習すること。
2	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習1 大意・論旨を把握する演習（基礎編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
3	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習2 大意・論旨を把握する演習（応用編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
4	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習3 細部の情報を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。

5	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習4 細部の情報を理解する演習（応用編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
6	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習5 所与の内容・情報のpositive / negativeの判別をする演習（基礎編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
7	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習6 所与の内容・情報のpositive / negativeの判別をする演習（応用編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
8	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習7 英文におけるcontrast(対照性)を把握する演習（基礎編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
9	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習8 英文におけるcontrast(対照性)を把握する演習（応用編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
10	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習9 英語で表現されたparadox（逆説的表現・内容）を把握する演習（基礎編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
11	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習10 英語で表現されたparadox（逆説的表現・内容）を把握する演習（応用編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
12	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習11 simpleに表現されているが意外に難しい英文を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
13	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習12 simpleに表現されているが意外に難しい英文を理解する演習（応用編）を行います。最後に小テストで確認します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
14	事前学習	指定された内容を予習・復習し、各自質問事項を用意してきてください。
	授業内容	これまでの学習内容の復習・弱点の補強を行います。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
15	事前学習	これまでの学習内容をすべて復習してきてください。
	授業内容	学習内容の総まとめを行います。
	事後学習	今学期学んだことを踏まえ、今後の各自の英語学習の方向性を考える。

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	世界のさまざまな英語圏に住む若者に関する映像を視聴しながら、リスニング及びスピーキングの演習を行う。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。まとまった英文を聞いて大まかな内容を把握し、必要な情報を得ることができる、また自分の考えを簡潔にまとめて発言できるようになることを目標とする。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修すること。					
授業方法	演習方式で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		クラス内での発言などを含む授業態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	成美堂		World Wide English on DVD Volume 1 -Revised Edition-		森田彰 他
	備考					
参考書	特に指定しない。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail(kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp)で対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスの内容を十分に確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	第二回授業の該当部分の予習をしておくこと。
2	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 1 Exercises 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
3	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 1 Exercises 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
4	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 2 Exercises 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。

5	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 2 Exercises 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
6	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 3 Exercises 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
7	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 3 Exercises 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
8	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 4 Exercises 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
9	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 4 Exercises 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
10	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 5 Exercises 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
11	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 5 Exercises 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
12	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 6 Exercises 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
13	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 6 Exercises 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
14	事前学習	Unit 1～6をもう一度見直し、分かっていない部分があれば明確にしておき、授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていなかった部分が理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	北村 豊	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律、政治経済、歴史に関する基礎レベルの話題についての英語に親しむと共に、ビジネス英語の世界にも親しむ。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 英語の講義やスピーチを聞き、要旨をまとめ、英語で自分の意見を提示する事が出来るようになるのが目標。 TOEICは500点を目標とする。			
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	演習形式。TOEFL的なアカデミックな話題、TOEIC的なビジネス関連の話題、法律や政治経済に関する基礎レベルの話題についての英語の講義を聞き（動画を見たりCDを聞く課題もあり）、簡単な要約をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内発表（発表、発言等による授業への貢献） 50% 授業内試験等50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	On Demand Publishing	Academic English, Business English: Beefing up the brain through...	ICC Committee
	備考			
参考書	英英辞典（初回の授業で使い方を学ぶ）			
オフィスアワー	質問等は授業の前後で受け付けます。授業外の場合は ykitamu@tcue.ac.jpまでメール送信の事。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業計画等について大学のHPで確認
	授業内容	General introduction to the course
	事後学習	英英辞典の使い方の確認
2	事前学習	ハンドアウト（教室英語）の内容の確認
	授業内容	Learning how to listen & speak
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
3	事前学習	Unit 1 前半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 1: English as a communication and survival tool (Part 1)
	事後学習	Unit 1 前半の内容の復習
4	事前学習	Unit 1 後半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 1: English as a communication and survival tool (Part 2)
	事後学習	Unit 1 後半の内容の復習

5	事前学習	Unit 2 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 2: Cultural issues and the world economy today
	事後学習	Unit 2 の内容の復習
6	事前学習	Unit 3 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 3: Living in the W-I-W system
	事後学習	Unit 3 の内容の復習
7	事前学習	Unit 4 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 4: Japanese companies that employ English as a common language
	事後学習	Unit 4 の内容の復習
8	事前学習	Unit 5 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 5: Our direction and goals
	事後学習	Unit 5 の内容の復習
9	事前学習	Unit 6 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 6: Why are there so many poor communicators of English in Japan?
	事後学習	Unit 6 の内容の復習
10	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party (1)
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
11	事前学習	Unit 7 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 7: Why is homeschooling illegal in Japan?
	事後学習	Unit 7 の内容の復習
12	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party (2)
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行なう
13	事前学習	Unit 9 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 9: Why do Japanese people exchange business cards at private parties?
	事後学習	Unit 9 の内容の復習
14	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party (3)
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行なう
15	事前学習	授業のまとめ
	授業内容	Overall summary
	事後学習	授業のまとめと内容の確認

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	杉本 桂子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ますます複雑化する国際社会のなかで主体的に行動するための手段としての英語の基礎力を徹底的に鍛えることは今日の日本の大学教育に課せられた重要な課題のひとつであろう。この授業では特に日本の英語教育の弱点になっているリスニング力を重点的に訓練し、同時にいろいろな場面で使える実用的な語彙をふくむ英文を音読し、覚え、使う。多量の英文を暗記し、それを最後にテストする形の授業になる。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。1 年次終了時にTOEIC(IP)で570点以上、TOEFL(ITP)で490点以上を目指す。					
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	リスニング力とスピーキング力をアップするために、オーバーラッピング、シャドーイングを徹底的に行い英語力を養う（身体で英語を覚える）。毎回小テストを行い、後半でプレゼンテーションを一回発表してもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業への取り組み方（20％）、毎回の小テスト（30％）、最終テスト（50％）で総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2003	成美堂		Listen to this!(Basic)		James Bean
	2018	NHK出版		ラジオ英会話 5月号		担当者
	備考					
参考書	英和、和英辞書(電子辞書可、スマートフォン不可)					
オフィスアワー	月曜日、授業の行われる校舎の講師室にて12時15分～12時35分					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英語の基礎勉強。
	授業内容	ガイダンス並びにTOEICリスニング実力テスト。テストの解説と音読練習。
	事後学習	授業で配られた英文のスク립トの音読練習。
2	事前学習	テキストUnit 1 It's nice to meet you(前半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	Unit 1 It's nice to meet you(前半) リスニング練習、ペアまたはグループで会話練習 NHK テキスト(5月号) Week 1-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト(5月号) Week 1-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスク립トの音読練習をしておくこと。
3	事前学習	テキストUnit 1 It's nice to meet you(後半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 1 It's nice to meet you(後半) リスニング練習、ペアまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 1-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスク립トの音読練習をしておくこと。
4	事前学習	テキストUnit 2 That's a great hairstyle(前半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 2 That's a great hairstyle(前半) リスニング練習、ペアまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek1-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスク립トの音読練習をしておくこと。

5	事前学習	テキストUnit 2 That's a great hairstyle(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 2 That's a great hairstyle(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 1-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
6	事前学習	テキストUnit 3 Shopping trip(前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 3 Shopping trip(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
7	事前学習	テキストUnit 3 Shopping trip(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 3 Shopping trip(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHK テキストWeek 2-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
8	事前学習	テキストUnit 4 What are you doing this weekend?(前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 4Unit 4 What are you doing this weekend?(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
9	事前学習	テキストUnit 4 What are you doing this weekend?(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 4 What are you doing this weekend?(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
10	事前学習	テキストUnit 5 Have you been to San Francisco?(前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 5 Have you been to San Francisco?(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
11	事前学習	テキストUnit 5 Have you been to San Francisco?(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 5 Have you been to San Francisco?(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
12	事前学習	テキストUnit 6 My best friend(前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 6 My best friend(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
13	事前学習	テキストUnit 6 My best friend(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 6 My best friend(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-④ 音読練習
	事後学習	この回で学習したことを復習し、授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
14	事前学習	プレゼンテーションの原稿を提出できるように作成し、発表の練習をしておくこと。
	授業内容	プレゼンテーション（60～70の英単語を使って決められたテーマに沿った内容の英文を発表する。）
	事後学習	前期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスクリプトの音読練習をしテスト準備をすること。
15	事前学習	前期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスクリプトの音読練習を行い充実した実力をつけておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ。
	事後学習	前期授業で学習したことを踏まえ、更に英語の実力をつける努力すること。

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	瀧野みゆき	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	インターネットなどで使われている英語を素材とし、自然なスピードの英語を聴き取り、理解する訓練をします。英語の聴き取りの方法を学び、繰り返し聴きながら内容への理解を深めます。授業の前半では、テーマ性のある英語の素材を聴いて理解し、表現や内容について学びます。後半では、テキストの指定されたユニットを聴き、英語の質問に英語で答える練習を行います。授業計画等は、状況によって、変更する可能性があります。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標にしています。自然な英語を日本語に訳さずに大意を理解し、必要な情報を聴き取れるようになります。継続的に英語を聴く習慣を身に着けることを目指します。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	英語の素材を聴き、内容を理解する練習を多用なテーマの素材を使って行います。授業の後半で聴くテキストについては、授業の前に指定されたユニットを繰り返し聴き、内容を理解してきてください。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業の参加と貢献（30%）授業内小テスト（30%）リスニングレポート（40%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008年	アルク出版社		究極の英語リスニング Vol.1 CD付き		英語出版編集部（編集）
	備考					
参考書	授業で適宜指示します。					
オフィスアワー	原則として授業終了後。詳細は授業で指示します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定テキストの購入と内容の確認
	授業内容	ガイダンス：リスニング力を伸ばすには、英語聴き取りの練習方法、授業の進め方、事前・事後学習の説明 リスニングミニテストの練習
	事後学習	授業の進め方の確認、ミニテストの復習
2	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	自己紹介：映画を聴く 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
3	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	映画を聴く 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
4	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

5	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
6	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
7	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 2 リスニングレポート提出 一回目（詳細は授業で指示します）
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
8	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	音楽を聴く
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
9	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	映画を聴く 3
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
10	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	映画を聴く 4
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
11	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 3
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
12	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 4
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
13	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 3
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
14	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 4 リスニングレポート提出 二回目
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
15	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	津田 千悦子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業ではリスニングとスピーキングを主に扱います。 日常的な英語を聴き取り、積極的に発言していけるように基礎的なことから始めます。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。 TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。 原則、英語Dと通年で履修して下さい。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	毎時間の小テスト, 前期末のまとめのテスト, 課題提出	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	成美堂	Quick Mastery of the TOEIC Listening Test	松本恵美子他
	2017	英宝社	Communication Strategies for Independent English Users	達川奎三他
	備考	(テキストは英語Dと共通です)		
参考書	必要な場合は指示します。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後に対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション。シラバスに基づき講義内容を説明する。
	事後学習	毎回、最初に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。
2	事前学習	CommunicationのテキストUnit1のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit1 Communication : Unit1 Starting a Conversation
	事後学習	TOEIC Unit1の語句を復習しておくこと。
3	事前学習	CommunicationのテキストUnit1のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit2 Communication : Unit1 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit2の語句を復習しておくこと。
4	事前学習	Unit2のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit3 Communication ; Unit2 Gerting The Floor
	事後学習	TOEIC Unit3の語句を復習しておくこと。

5	事前学習	Unit2のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit4 Communication : Unit2 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit4の語句を復習しておくこと。
6	事前学習	Unit3のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit5 Communication : Unit3 Keeping The Floor
	事後学習	TOEIC Unit5の語句を復習しておくこと。
7	事前学習	Unit3のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit6 Review1 Communication : Unit3 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit6の語句を復習しておくこと。
8	事前学習	Unit4のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit7 Communication : Unit4 Introducing a Topic
	事後学習	TOEIC Unit7の語句を復習しておくこと。
9	事前学習	Unit4のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit8 Communication : Unit4 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit8の語句を復習しておくこと。
10	事前学習	Unit5のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit9 Communication : Unit5 Changing a Topic
	事後学習	TOEIC Unit9の語句を復習しておくこと。
11	事前学習	Unit5のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit10 Communication : Unit5 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit10の語句を復習しておくこと。
12	事前学習	Unit6のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit11 Communication : Unit6 Asking for repetition
	事後学習	TOEIC Unit11の語句を復習しておくこと。
13	事前学習	Unit6のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit12 Review2 Communication : Unit6 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit12の語句を復習しておくこと。
14	事前学習	理解不十分だったところを確認しておく。
	授業内容	TOEIC Unit1～12のまとめ Communication : Unit1～6のまとめ
	事後学習	次週のテストに備えておくこと。
15	事前学習	前期の内容を復習しておくこと。
	授業内容	前期のまとめ（授業内テスト及び振り返り）
	事後学習	不十分な部分を確認し、後期に備える。

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	平岡 麻里	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策とその他の音声や映像を通じた内容理解の2つを柱として授業を行います。TOEIC対策では比較的容易なテキストを使用し、問題形式や語彙に慣れることを目指します。内容理解では留学のための資格試験やニュースなど様々な素材を使用し、大学生に求められる教養的な内容を扱います。授業以外にも英語音声に触れるように毎回の予習課題を設定し、授業で確認の小テストを実施した上で、学年末には学期全体の確認を行います。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。具体的には、1. TOEICで「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」とされるレベルC（スコア470-729）に到達する、2. 様々なリスニング・スキルを学び、それらを聞くべき内容や状況に応じて使い分けできるようになる、この2つを目標とします。また、様々な素材を通じ、これからの学生生活と卒業後の社会人生活において独力で英語学習を継続できる「独立した学習者」となる第一歩を踏み出せるような指導を行います。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラスです。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修して下さい。				
授業方法	すべての学生が語彙の予習を行っていること前提に、予習確認、問題演習、ディクテーションなどを行う演習形式で授業を進めます。ペアやグループでの活動が課されることもあり、学生には積極的な参加が求められます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の小テストの結果、問題演習や授業内課題への参加状況やその成果、受講態度、全体のまとめの最終確認などの授業内活動で評価を行います。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011	金星堂		『TOEICテストリスニング集中演習（Upward Listening for the TOEIC Test）』	蒔越知子、B. Smillie
	備考	その他、授業内で教材や資料を配付します。また、教材CDを聞くことができる機材およびオンラインの映像や音声にアクセスできるスマートフォンやパソコンなど（大学のパソコンでも可能）も必要になります。			
参考書	大学生から社会人レベルの英和辞典（電子辞書推奨）を授業時に必ず持参してください。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業前後またはE-mail(hiraoka.mari11@nihon-u.ac.jp)にて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認、教科書の購入
	授業内容	授業スケジュールと授業内容の確認 TOEIC概要の説明 TOEIC Unit 1[Part 1]の導入
	事後学習	予習・自習に必要な機材（CDプレーヤーやパソコン）の確認 TOEIC公式サイトの確認 過去の英語資格試験の成績確認
2	事前学習	TOEIC Unit1 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit1 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit1[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
3	事前学習	TOEIC Unit7 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit7 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit7[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
4	事前学習	TOEIC Unit13 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit13 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit13[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習

5	事前学習	TOEIC Unit19 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit19 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit19[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
6	事前学習	TOEIC Unit2 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit2 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit2[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
7	事前学習	TOEIC Unit8 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit8 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit8[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
8	事前学習	TOEIC Unit14 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit14 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit14[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
9	事前学習	TOEIC Unit20 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit20 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit20[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
10	事前学習	TOEIC Unit3 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit3 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit3[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
11	事前学習	TOEIC Unit9 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit9 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit9[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
12	事前学習	TOEIC Unit15 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit15 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit15[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
13	事前学習	TOEIC Unit21 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit21 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit21[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	学習記録シート記入と復習
14	事前学習	学期全体の学習事項の復習
	授業内容	学期全体のまとめと確認 新形式[Parts 3&4]の紹介と対策
	事後学習	新形式問題の復習
15	事前学習	学期全体の振り返り
	授業内容	全体のフィードバック 新形式[Parts 3&4]の演習
	事後学習	弱点の確認

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	高等学校までに習得した英語の基本的な知識を再確認し、2年次以降の発展的な学習に備え、日本人が注意すべき prosody (rhythm, stress, intonation) を習得する多様なトレーニングを行う。リスニング、スピーキング能力向上の一助とするために、TOEIC頻出単語、熟語、文法も習得する。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。日本語と英語の発音の構造的な違いを基礎知識として学び、実際に自然な発音で英語情報を受信、発信できるようになることを目標とする。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修すること。また、勉学上の大きな負荷に耐えうる強靱な忍耐力を期待する。グループ演習を行うため、積極性、協調性を強く求める。					
授業方法	英語Cはリスニング、スピーキング能力の向上を目指す科目であり、発音に関わる口唇、咽喉などの「筋トレ」の時間であることを念頭において、真剣にグループ演習に取り組んでもらいたい。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		あらゆる面から総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	Cengage Learning		Sounds Like American: A Guide to Fluency in Spoken English (ISBN 978-4-86312-117-1)		Ann Cook, Atsushi Mishima
	備考					
参考書	授業内において適宜指示をする。					
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	授業内演習に備え、tongue twister トレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	「ネイティブ発音への道」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「ネイティブ発音への道」の振り返り
3	事前学習	授業内演習に備え、chants トレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	「英語のアクセントとリズム (1)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「英語のアクセントとリズム (1)」の振り返り
4	事前学習	授業内演習に備え、gesture トレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り

5	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「英語のアクセントとリズム (2)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「英語のアクセントとリズム (2)」の振り返り
6	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「英語のアクセントとリズム (3)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「英語のアクセントとリズム (3)」の振り返り
7	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
8	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「ナチュラルな発音をめざして」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「ナチュラルな発音をめざして」の振り返り
9	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「母音の発音 (1)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「母音の発音 (1)」の振り返り
10	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
11	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「母音の発音 (2)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「母音の発音 (2)」の振り返り
12	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「母音の発音 (3)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「母音の発音 (3)」の振り返り
13	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
14	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	前期のまとめ (1)：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	前期のまとめ (1)の振り返り
15	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	前期のまとめ (2)：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	前期のまとめ (2)の振り返り

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	水野 隆之	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験を目指すための基礎固めをします。基礎的な文法事項を身につけることを目標とするとともに、TOEICに出題される表現を多く覚えます。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標とします。			
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。毎時間小テストを実施。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	平常評価（授業態度、小テスト、期末試験等）100%、
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	成美堂	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST REVISED EDITION	吉塚 弘
	備考			
参 考 書	英和辞典			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、全体に目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、TOEICの概要を説明する。
	事後学習	テキストの予習箇所を確認する。
2	事前学習	テキスト1頁、4～7頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit1 人称代名詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
3	事前学習	テキスト8頁、11～14頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit2 不定代名詞と再帰代名詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
4	事前学習	テキスト15頁、18～21頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit3 現在・過去の時制について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。

5	事前学習	テキスト22頁、25~28頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit4 現在完了について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
6	事前学習	テキスト29頁、32~35頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit5 時・期間を表す前置詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
7	事前学習	テキスト36頁、39~42頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit6 位置・場所を表す前置詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
8	事前学習	テキスト43頁、46~49頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit7 数量形容詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
9	事前学習	テキスト50頁、53~56頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit8 自動詞と他動詞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
10	事前学習	テキスト57頁、60~63頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit9 形容詞を作る接尾辞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
11	事前学習	テキスト64頁、67~70頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit10 副詞を作る接尾辞について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
12	事前学習	テキスト71頁、74~78頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit11 分詞構文について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
13	事前学習	テキスト79頁、82~86頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit12 比較について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
14	事前学習	テキスト87頁、90~94頁の問題を解いてくる。
	授業内容	Unit13 受動態について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 頻出単語を暗記する。
15	事前学習	テキストの総復習。
	授業内容	前期学習内容の振り返り
	事後学習	これまでの学習内容を確認する。

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	茂木 健幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	リスニング、スピーキングという日常で頻繁に必要なとなる英語の基礎能力の向上に取り組む。英語で話された内容を理解し、それに対し自分の意見を言えるようにすることを目標としている。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。英語で話された内容を理解し、それに対して適切な答えや、自分の意見をしっかりと相手に伝えられるようになることを到達目標としています。					
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	教科書に沿って授業を進めます。授業では、リスニング問題を解いたり、自分自身について話す原稿を書いたりします。また、自分自身について話し合うペアワークやグループワークがあるので、積極的な授業参加が求められます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業への参加度、レポート等で評価。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	南雲堂		New Time to Communicate		Eric Bray
	備考					
参 考 書	使用しない。					
オフィスアワー	授業終了後。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 1の予習。
	授業内容	ガイダンス：授業の進め方、評価の仕方などについての説明。 Unit 1 Meeting People
	事後学習	Unit 1の復習
2	事前学習	Unit 1の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 1 Meeting People
	事後学習	Unit 1の復習。
3	事前学習	Unit 1の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk) ので、その準備。
	授業内容	Unit 1 Meeting People
	事後学習	Unit 1の復習。
4	事前学習	Unit 2の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 2 Getting to Know Your Classmates
	事後学習	Unit 2の復習。

5	事前学習	Unit 2の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 2 Getting to Know Your Classmates
	事後学習	Unit 2の復習。
6	事前学習	Unit 3の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 3 Talking About Classes
	事後学習	Unit 3の復習。
7	事前学習	Unit 3の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 3 Talking About Classes
	事後学習	Unit 3の復習。
8	事前学習	Unit 4の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 4 Talking About Your Daily Life
	事後学習	Unit 4の復習。
9	事前学習	Unit 4の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 4 Talking About Your Daily Life
	事後学習	Unit 4の復習。
10	事前学習	Unit 5の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 5 Talking About People - Personality
	事後学習	Unit 5の復習。
11	事前学習	Unit 5の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 5 Talking About People - Personality
	事後学習	Unit 5の復習。
12	事前学習	Unit 6の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 6 Talking About People - Appearance
	事後学習	Unit 6の復習。
13	事前学習	Unit 6の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 6 Talking About People - Appearance
	事後学習	Unit 6の復習。
14	事前学習	Unit 7の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 7 Talking About Last Weekend
	事後学習	Unit 7の復習。
15	事前学習	Unit 1～7の復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	授業で行った内容のまとめ

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	元氏 久美子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日常の身近なテーマやビジネスシーンで見られる場面や表現で効率よく学習し、リスニング力を向上させることを目指しています。TOEICテストのリスニングのための戦略を身につけ、英語をたくさん聞き、直感的に理解し、音読することで基礎を固めていきます。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。TOEICテスト（特にリスニング）のための基礎力を身につけ、スコア450点以上を目標としています。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス、上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト、授業中の発言、授業内テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	南雲堂		Listening Breakthrough for the TOEIC Test 『TOEICテストのリスニング攻略』		Terry O'Brien 他
	備考					
参考書	英和辞典					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後または火曜日昼休み(12:20～12:50)にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中学、高校で学んだ英文法の確認。
	授業内容	ガイダンス(前期の授業計画について)、英語学習法の紹介など。
	事後学習	前期の英語学習計画を立てる。
2	事前学習	Unit 1 Fashion and Shopping（服の試着/プレゼントの購入）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 1 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 1 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
3	事前学習	Unit 2 Eating Out（料理の注文/レストランのオープン）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 2 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 2 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
4	事前学習	Unit 3 Entertainment（映画のチケットを購入/公演前にすること）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 3 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 3 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。

5	事前学習	Unit 4 Housing and Family Life（部屋の掃除/家のリフォーム）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 4 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 4 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
6	事前学習	Unit 5 Media（映画の配役/公平な報道）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 5 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 5 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
7	事前学習	Unit 1～6で学んだことを復習する。
	授業内容	Unit 6 Mini Test 1、解答と解説
	事後学習	Mini Test 1 の英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
8	事前学習	Unit 7 Travel and Airports（入国審査官の質問/機内放送）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 7 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 7 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
9	事前学習	Unit 8 Hotels（宿泊の手続き/ホテル経営）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 8 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 8 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
10	事前学習	Unit 9 The Weather（テレビの天気予報/1週間の天気）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 9 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 9 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
11	事前学習	Unit 10 Education（仕事につながる大学教育/授業中の学生）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 10 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 10 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
12	事前学習	Unit 11 Fitness（フィットネスクラブへ行く理由/スポーツをする利点）Warm-Upを予習する。
	授業内容	Unit 11 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 11 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
13	事前学習	Unit 7～11で学んだことを復習する。
	授業内容	Unit 12 Mini Test 2、解答と解説
	事後学習	Mini Test 2 の英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
14	事前学習	Unit 1～12で学んだことを復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ①
	事後学習	前期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
15	事前学習	前期の学習内容で理解不足だった点を復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ②
	事後学習	前期で学んだことを再確認する。

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	アソニー トービン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course students will learn the necessary vocabulary and phrases to engage in a wide variety of discussions.			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The objective of this course is to develop basic skills so that students comprehensively and conversationally communicate through authentic English materials and so that students can prepare for their certain language proficiency examination, such as TOEIC, TOEFL or Eiken test. The objective for this course is for students to learn a wide range of vocabulary and language patterns which will help them communicate actively in a wide variety of situations.			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。In this course students will engage in group and whole class discussions.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	50%:several short tests(throughout the semester), a speaking test(the end of the semester) 50%:Students are expected to participate in all class activities.
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008	Cengage	Communication Strategies 1	David Paul
	備考			
参考書	An English dictionary.			
オフィスアワー	The teacher can be reached at tonymtobin@hotmail.com to arrange a consultation.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare self-introduction
	授業内容	Orientation
	事後学習	Read materials
2	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1 Friends Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
3	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1 Friends Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
4	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 2 Free Time Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit

5	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 2 Free Time Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
6	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 3 The Past Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
7	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 3 The Past Skills: English listening and discussion skills Short Test
	事後学習	Review unit
8	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 4 The Family Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
9	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 4 The Family Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
10	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5 Work Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
11	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5 Work Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
12	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 6 City Life Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
13	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 6 City Life Skills: English listening and discussion skills Short Test
	事後学習	Review unit
14	事前学習	Revise all units
	授業内容	Speaking test
	事後学習	Revise all units
15	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review
	事後学習	Revise all units

科目名	英語C【法律学科1年生共通クラス】	担当者	M. ボックス	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course is designed to help students learn how to communicate more freely and fluently using the English that they have studied in the past using original materials designed to help them gain fluency.			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The main goal is for students to learn how to use the English they already know and to gain confidence in their ability to communicate in English.			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。Students will participate in a variety of activities designed to help meet the course goals. The teacher will supervise, guide, and counsel on an individual basis as necessary.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	No regular exam will be given, but performance will be measured on participation in each class.	
	平常評価	100%	The grade will be based 90% on in-class participation on a daily basis, and 10% on other activities.	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	None			
	備考	No text required. Printed materials will be distributed at each lesson.		
参考書	No additional reference materials are required.			
オフィスアワー	Email: micahbox@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Class explanation, orientation.
	事後学習	Review class rules.
2	事前学習	Prepare materials required for information cards and bring them to class.
	授業内容	Fill out information cards, class activity.
	事後学習	Review orientation materials.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity based on print outs. Print outs are based on what is happening in the world at the time.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
15	事前学習	Review class materials at home.
	授業内容	Final class evaluations. Review
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	加賀 岳彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	これまで学んできた学習英語をベースにして、さらに大学・社会向けの一般英語への橋渡しをします。またそれに必要な思考力・リテラシーの養成も図ります。				
授業目的・到達目標	資格試験（TOEIC、TOEFL、英検等）、新聞・雑誌・ネット等の英文理解、および専門分野の英語文献理解に必要なリスニング・スピーキングの基礎を磨きます。毎回の予習事項・学習事項の確認小テストにおいて70%以上の正答率を維持することを目標とします。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。				
授業方法	十分な予習を前提として授業を行います。理解度・習得度を確認するための小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価（小テスト、授業内での応答）50%、期末テスト50%で成績を評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業内で授業用ハンドアウトを配布します。			
参考書	（電子）辞書は必ず持参して受講してください。				
オフィスアワー	質問等は授業終了後に受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の英語学習を行う。
	授業内容	授業説明・オリエンテーション・初期演習を行います。
	事後学習	初期演習で学んだ事項を復習すること。
2	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題1 大意・趣旨を把握する演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
3	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題2 大意・趣旨を把握する演習（応用編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
4	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題3 細部の情報を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。

5	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題4 細部の情報を理解する演習（応用編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
6	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題5 所与の内容・情報の positive / negativeの判別をする演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
7	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題6 所与の内容・情報の positive / negativeの判別をする演習（応用編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
8	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題7 英文の構成におけるcontrast（対照性）を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
9	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題8 英文の構成におけるcontrast（対照性）を理解する演習（応用編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
10	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題9 英語で表現されたparadox（逆説的表現・内容）を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課しま
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
11	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題10 英語で表現されたparadox（逆説的表現・内容）を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課しま
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
12	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題11 simpleに表現されているが意外に難しい英文を理解する演習（基礎編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
13	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種演習問題12 simpleに表現されているが意外に難しい英文を理解する演習（応用編）を行います。最後に小テストを課します。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
14	事前学習	指定された内容を予習・復習し、各自質問事項を用意してきてください。
	授業内容	これまでの学習内容の復習・弱点の補強を行います。
	事後学習	課題・宿題を行うこと。
15	事前学習	これまでの学習内容をすべて復習してくる。
	授業内容	これまでの学習内容の総まとめを行います。
	事後学習	今学期学んだことを踏まえ、今後の各自の英語学習の方向性を考える。

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生向けのニュース番組、CNN 10の映像を視聴しながら聴解力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。まとまった英文を聞いて大まかな内容を把握し、必要な情報を得ることができる、また自分の考えを簡潔にまとめて発言できるようになることを目標とする。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修すること。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	クラス内での発言などを含む授業態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	朝日出版	CNN 10 Vol.1 -Student News-	関戸冬彦 他
	備考			
参考書	特に指定しない。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail(kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp)で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスの内容を十分に確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	第二回授業の該当部分の予習をしておくこと。
2	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 1 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
3	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 1 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
4	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 2 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。

5	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 2 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
6	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 3 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
7	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 3 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
8	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 4 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
9	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 4 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
10	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 5 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
11	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 5 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
12	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 6 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
13	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 6 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
14	事前学習	Unit 1～6をもう一度見直し、分かっていない部分があれば明確にしておき、授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていなかった部分が理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	北村 豊	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律、政治経済、歴史に関する基礎レベルの話題についての英語に親しむと共に、ビジネス英語の世界にも親しむ。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 英語の講義やスピーチを聞き、要旨をまとめ、英語で自分の意見を提示する事が出来るようになるのが目標。 TOEICは500点を目標とする。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	演習形式。TOEFL的なアカデミックな話題、TOEIC的なビジネス関連の話題、法律や政治経済に関する基礎レベルの話題についての英語の講義を聞き（動画を見たりCDを聞く課題もあり）、簡単な要約をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内発表（発表、発言等による授業への貢献）50% 授業内試験等50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	On Demand Publishing	Academic English, Business English: Beefing up the brain through...	ICC Committee
	備考			
参考書	英英辞典（初回の授業で使い方を学ぶ）			
オフィスアワー	質問等は授業の前後で受け付けます。授業外の場合は ykitamu@tcue.ac.jpまでメール送信の事。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業計画等について大学のHPで確認
	授業内容	General introduction to the course
	事後学習	英英辞典の使い方の確認
2	事前学習	ハンドアウト（教室英語）の内容の確認
	授業内容	Learning how to listen & speak
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
3	事前学習	Unit 1 前半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 1: English as a communication and survival tool (Part 1)
	事後学習	Unit 1 前半の内容の復習
4	事前学習	Unit 1 後半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 1: English as a communication and survival tool (Part 2)
	事後学習	Unit 1 後半の内容の復習

5	事前学習	Unit 2 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 2: Cultural issues and the world economy today
	事後学習	Unit 2 の内容の復習
6	事前学習	Unit 3 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 3: Living in the W-I-W system
	事後学習	Unit 3 の内容の復習
7	事前学習	Unit 4 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 4: Japanese companies that employ English as a common language
	事後学習	Unit 4 の内容の復習
8	事前学習	Unit 5 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 5: Our direction and goals
	事後学習	Unit 5 の内容の復習
9	事前学習	Unit 6 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 6: Why are there so many poor communicators of English in Japan?
	事後学習	Unit 6 の内容の復習
10	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party (1)
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
11	事前学習	Unit 7 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 7: Why is homeschooling illegal in Japan?
	事後学習	Unit 7 の内容の復習
12	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party (2)
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行なう
13	事前学習	Unit 9 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 9: Why do Japanese people exchange business cards at private parties?
	事後学習	Unit 9 の内容の復習
14	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party (3)
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
15	事前学習	前期授業のまとめ
	授業内容	Overall summary
	事後学習	前期授業の反省

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	小林 晴子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際社会において情報収集に必要な英語力を、リスニング能力に重点をおいて修得する。英語音声、文書、インフォグラフィックスなどの理解に基づき、各々の理論的・批判的思考力を用いて導き出した情報、思考、意見を、聞き手に理解されやすい英語音声、表現、論理的提示方法で話す訓練を行う。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。英語資格試験の受験を視野に入れた、スピーキング・リスニングの基礎固めを目指します。そのために種々の発音、文法、語彙、構文、文章構造などの習得と、ディスカッション、プレゼンテーションなどの演習に取り組みます。TOEICテスト等のためのリスニング能力をさらに向上させ、リスニングパートのスコアを100点あげることが目標とします。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。演習授業なので必ず8割以上出席することを求めます。			
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施。授業では、音読、シャドウイング、ディクテーション、ノートテイキング、学生のペアワーク、ディスカッション、ロールプレイング、プレゼンテーション等を行う。毎回リスニングに関する課題あり。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常評価：100%(授業パフォーマンス・スピーチ30%、小テスト・課題提出40%、期末テスト30%)
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年出版	センゲージラーニング	Pathways 1 - Listening, Speaking, and Critical Thinking	Becky Tarver Chase
	備考			
参考書	英和・和英辞書は必携。その他は、適宜指示する。			
オフィスアワー	kobayashi.haruko11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト全体に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス。テキスト・辞書を持ってくるように。授業の進め方、テキストの使用方法、予習・復習・学習法などを説明します。オンライン資料へのアクセス方法を確認します。
	事後学習	授業ガイダンスに従い Unit 1 Lesson A を予習する。
2	事前学習	Unit 1 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 1 Lesson A Living for Work のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
3	事前学習	Unit 1 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 1 Lesson A & B Living for Work のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
4	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 1 Lesson B Living for Work の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し

5	事前学習	Unit 2 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 2 Lesson A Good Times, Good Feelings のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
6	事前学習	Unit 2 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 2 Lesson A & B Good Times, Good Feelings のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
7	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 2 Lesson B Good Times, Good Feelings の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
8	事前学習	Unit 3 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 3 Lesson A Treasure from the Past のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
9	事前学習	Unit 3 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 3 Lesson A & B Treasure from the Past のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
10	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 3 Lesson B Treasure from the Past の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
11	事前学習	Unit 4 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 4 Lesson A Weather and Climate のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
12	事前学習	Unit 4 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 4 Lesson A & B Weather and Climate のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
13	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 4 Lesson B Weather and Climate の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
14	事前学習	Unit 5 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 5 Lesson A Focus on Food のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
15	事前学習	今学期の授業を振り返る
	授業内容	今学期の授業のまとめ
	事後学習	授業の見直しをする

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	杉本 桂子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ますます複雑化する国際社会のなかで主体的に行動するための手段としての英語の基礎力を徹底的に鍛えることは今日の日本の大学教育に課せられた重要な課題のひとつであろう。この授業では特に日本の英語教育の弱点になっているリスニング力を重点的に訓練し、同時にいろいろな場面で使える実用的な語彙をふくむ英文を音読し、覚え、使う。多量の英文を暗記し、それを最後にテストする形の授業になる。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。1 年次終了時にTOEIC(IP) で570点以上、TOEFL (ITP) で490点以上を目指す。					
履修条件	政治経済学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	リスニング力とスピーキング力をアップするために、オーバーラッピング、シャドーイングを徹底的に行い英語力を養う（身体で英語を覚える）。毎回小テストを行い、後半でプレゼンテーションを一回発表してもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業への取り組み方（２０％）、毎回の小テスト（３０％）、最終テスト（５０％）で総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2003	成美堂		Listen to this!(Basic)		James Bean
	2018	NHK出版		ラジオ英会話 ５月号		担当者
	備考					
参 考 書	英和、和英辞書(電子辞書可、スマートフォン不可)					
オフィスアワー	月曜日、授業の行われる校舎の講師室にて１２時１５分～１２時３５分					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英語の基礎学習。
	授業内容	ガイダンスならびにTOEICリスニングの実力テスト。
	事後学習	TOEIC実力テストの解説。音読練習。
2	事前学習	テキスト Unit 1 It's nice to meet you（前半）を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	テキストUnit 1 It's nice to meet you（前半） リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト（5月号） Week 1-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト（5月号）Week 1-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
3	事前学習	テキスト Unit 1 It's nice to meet you(後半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。ice to meet you 後半を読み
	授業内容	小テスト テキストUnit 1 It's nice to meet you（後半） リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 1-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスクリプトの音読練習をしておくこと。
4	事前学習	テキストThat's a great hairstyle(前半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト テキストUnit 2 That's a great hairsyle（前半） リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 1-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスクリプトの音読練習をしておくこと。

5	事前学習	テキストthat' a great hairsyyle (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 2 That'a great hairstyle (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 1-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
6	事前学習	テキストUnit 3 Shopping trip (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 3 Shopping trip (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-①音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
7	事前学習	テキストUnit 3 Shopping trip (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 3 Shopping trip (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-②
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
8	事前学習	テキストUnit 4 What are you doing this weekend? (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 4 What are you doing this weekend? (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
9	事前学習	テキスト Unit 4 What are you doing this weekend?(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 4 What zre you doing this weekend? (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
10	事前学習	テキスト Unit 5 Have you been to San Francisco? (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 5 Have you been to San Francisco? (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
11	事前学習	テキスト Unit 5 Have you been to San Francisco? (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 5 Have you been to San Francisco? (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
12	事前学習	テキスト Unit 6 My best friend (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 6 My best friend (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配った英語のスキットの音読練習をしておくこと。
13	事前学習	テキストUnit 6 My best frind (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト テキストUnit 6 My best friend (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-④ 音読練習
	事後学習	前期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスキットの音読練習をしテスト準備をすること。
14	事前学習	プレゼンテーションの原稿を提出できるように作成し、発表の練習をしておくこと。
	授業内容	プレゼンテーション (60～70の英単語を使って決められたテーマに沿った内容の英文を発表する。)
	事後学習	前期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスキットの音読練習をしテスト準備をすること。
15	事前学習	前期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスキットの音読練習を行い充実した実力をつけておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ。
	事後学習	前期授業で学習したことを踏まえ、更に英語の実力をつける努力すること。

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	瀧野みゆき	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	インターネットなどで使われている英語を素材とし、自然なスピードの英語を聴き取り、理解する訓練をします。英語の聴き取りの方法を学び、繰り返し聴きながら内容への理解を深めます。授業の前半では、テーマ性のある英語の素材を聴いて理解し、表現や内容について学びます。後半では、テキストの指定されたユニットを聴き、英語の質問に英語で答える練習を行います。授業計画等は、状況によって、変更する可能性があります。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標にしています。自然な英語を日本語に訳さずに大意を理解し、必要な情報を聴き取れるようになります。継続的に英語を聴く習慣を身に着けることを目指します。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	英語の素材を聴き、内容を理解する練習を多用なテーマの素材を使って行います。授業の後半で聴くテキストについては、授業の前に指定されたユニットを繰り返し聴き、内容を理解してきてください。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業の参加と貢献（30%）授業内小テスト（30%）リスニングレポート（40%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008年	株式会社アルク		究極の英語リスニング Vol.1 CD付		英語出版編集部（編集）
	備考					
参考書	授業で適宜指示します。					
オフィスアワー	原則として授業終了後。詳細は授業で指示します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの購入と内容の確認
	授業内容	ガイダンス：リスニング力を伸ばすには、英語聴き取りの練習方法、授業の進め方、事前・事後学習の説明 リスニングミニテストの練習
	事後学習	授業の進め方の確認、ミニテストの復習
2	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	自己紹介：映画を聴く 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
3	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	映画を聴く 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
4	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

5	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
6	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
7	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 2 リスニングレポート提出 一回目（詳細は授業で指示します）
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
8	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	音楽を聴く
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
9	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	映画を聴く 3
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
10	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	映画を聴く 4
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
11	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 3
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
12	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ニュースを聴く 4
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
13	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 3
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
14	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	プレゼンを聴く 4 リスニングレポート提出 二回目
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
15	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	津田 千悦子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業ではリスニングとスピーキングを主に扱います。 日常的な英語を聴き取り、積極的に発言していけるように基礎的なことから始めます。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。 TOEICテストのための基礎力を身に着け、スコア450点以上を目標とします。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。 原則、英語Dと通年で履修して下さい。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	毎時間の小テスト, 前期末のまとめのテスト, 課題提出	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	成美堂	Quick Mastery of the TOEIC Listening Test	松本恵美子他
	2017	英宝社	Communication Strategies for Independent English Users	達川奎三他
	備考	(テキストは英語Dと共通です)		
参考書	必要な場合は指示します。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後に対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション。シラバスに基づき講義内容を説明する。
	事後学習	毎回、最初に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。
2	事前学習	CommunicationのテキストUnit1のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit1 Communication : Unit1 Starting a Conversation
	事後学習	TOEIC Unit1の語句を復習しておくこと。
3	事前学習	CommunicationのテキストUnit1のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit2 Communication : Unit1 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit2の語句を復習しておくこと。
4	事前学習	Unit2のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit3 Communication ; Unit2 Gerting The Floor
	事後学習	TOEIC Unit3の語句を復習しておくこと。

5	事前学習	Unit2のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit4 Communication : Unit2 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit4の語句を復習しておくこと。
6	事前学習	Unit3のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit5 Communication : Unit3 Keeping The Floor
	事後学習	TOEIC Unit5の語句を復習しておくこと。
7	事前学習	Unit3のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit6 Review1 Communication : Unit3 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit6の語句を復習しておくこと。
8	事前学習	Unit4のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit7 Communication : Unit4 Introducing a Topic
	事後学習	TOEIC Unit7の語句を復習しておくこと。
9	事前学習	Unit4のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit8 Communication : Unit4 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit8の語句を復習しておくこと。
10	事前学習	Unit5のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit9 Communication : Unit5 Changing a Topic
	事後学習	TOEIC Unit9の語句を復習しておくこと。
11	事前学習	Unit5のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit10 Communication : Unit5 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit10の語句を復習しておくこと。
12	事前学習	Unit6のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit11 Communication : Unit6 Asking for repetition
	事後学習	TOEIC Unit11の語句を復習しておくこと。
13	事前学習	Unit6のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit12 Review2 Communication : Unit6 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit12の語句を復習しておくこと。
14	事前学習	理解不十分だったところを確認しておく。
	授業内容	TOEIC Unit1～12のまとめ Communication : Unit1～6のまとめ
	事後学習	次週のテストに備えておくこと。
15	事前学習	前期の内容を復習しておくこと。
	授業内容	前期のまとめ（授業内テスト及び振り返り）
	事後学習	不十分な部分を確認し、後期に備える。

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	平岡 麻里	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策とその他の音声や映像を通じた内容理解の2つを柱として授業を行います。TOEIC対策では比較的容易なテキストを使用し、問題形式や語彙に慣れることを目指します。内容理解では留学のための資格試験やニュースなど様々な素材を使用し、大学生に求められる教養的な内容を扱います。授業以外にも英語音声に触れるように毎回の予習課題を設定し、授業で確認の小テストを実施した上で、学年末には学期全体の確認を行います。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。具体的には、1. TOEICで「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」とされるレベルC（スコア470-729）に到達する、2. 様々なリスニング・スキルを学び、それらを聞くべき内容や状況に応じて使い分けできるようになる、この2つを目標とします。また、様々な素材を通じ、これからの学生生活と卒業後の社会人生活において独力で英語学習を継続できる「独立した学習者」となる第一歩を踏み出せるような指導を行います。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラスです。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修して下さい。				
授業方法	すべての学生が語彙の予習を行っていること前提に、予習確認、問題演習、ディクテーションなどを行う演習形式で授業を進めます。ペアやグループでの活動が課されることもあり、学生には積極的な参加が求められます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の小テストの結果、問題演習や授業内課題への参加状況やその成果、受講態度、全体のまとめの最終確認などの授業内活動で評価を行います。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011	金星堂		『TOEICテストリスニング集中演習（Upward Listening for the TOEIC Test）』	蒔越知子、B. Smillie
	備考	その他、授業内で教材や資料を配付します。また、教材CDを聞くことができる機材およびオンラインの映像や音声にアクセスできるスマートフォンやパソコンなど（大学のパソコンでも可能）も必要になります。			
参考書	大学生から社会人レベルの英和辞典（電子辞書推奨）を授業時に必ず持参してください。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業前後またはE-mail(hiraoka.mari11@nihon-u.ac.jp)にて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認、教科書の購入
	授業内容	授業スケジュールと授業内容の確認 TOEIC概要の説明 TOEIC Unit 1[Part 1]の導入
	事後学習	予習・自習に必要な機材（CDプレーヤーやパソコン）の確認 TOEIC公式サイトの確認 過去の英語資格試験の成績確認
2	事前学習	TOEIC Unit1 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit1 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit1[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
3	事前学習	TOEIC Unit7 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit7 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit7[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
4	事前学習	TOEIC Unit13 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit13 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit13[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習

5	事前学習	TOEIC Unit19 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit19 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit19[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
6	事前学習	TOEIC Unit2 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit2 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit2[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
7	事前学習	TOEIC Unit8 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit8 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit8[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
8	事前学習	TOEIC Unit14 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit14 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit14[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
9	事前学習	TOEIC Unit20 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit20 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit20[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
10	事前学習	TOEIC Unit3 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit3 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit3[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
11	事前学習	TOEIC Unit9 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit9 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit9[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
12	事前学習	TOEIC Unit15 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit15 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit15[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
13	事前学習	TOEIC Unit21 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit21 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit21[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	学習記録シート記入と復習
14	事前学習	学期全体の学習事項の復習
	授業内容	学期全体のまとめと確認 新形式[Parts 3&4]の紹介と対策
	事後学習	新形式問題の復習
15	事前学習	学期全体の振り返り
	授業内容	全体のフィードバック 新形式[Parts 3&4]の演習
	事後学習	弱点の確認

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	アソニー トービン	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-----------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	In this course students will learn the necessary vocabulary and phrases to engage in a wide variety of discussions.				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The objective of this course is to develop basic skills so that students comprehensively and conversationally communicate through authentic English materials and so that students can prepare for their certain language proficiency examination, such as TOEIC, TOEFL or Eiken test. The objective for this course is for students to learn a wide range of vocabulary and language patterns which will help them communicate actively in a wide variety of situations.				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。In this course students will engage in group and whole class discussions.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	50%:several short tests(throughout the semester), a speaking test(the end of the semester) 50%:Students are expected to participate in all class activities.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008	Cengage		Communication Strategies 1	David Paul
	備考				
参考書	An English dictionary.				
オフィスアワー	The teacher can be reached at tonymtobin@hotmail.com to arrange a consultation.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare self-introduction
	授業内容	Orientation
	事後学習	Read materials
2	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1 Friends Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
3	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1 Friends Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
4	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 2 Free Time Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit

5	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 2 Free Time Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
6	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 3 The Past Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
7	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 3 The Past Skills: English listening and discussion skills Short Test
	事後学習	Review unit
8	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 4 The Family Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
9	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 4 The Family Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
10	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5 Work Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
11	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5 Work Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
12	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 6 City Life Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
13	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 6 City Life Skills: English listening and discussion skills Short Test
	事後学習	Review unit
14	事前学習	Revise all units
	授業内容	Speaking test
	事後学習	Revise all units
15	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review
	事後学習	Revise all units

科目名	英語C【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	M. ボックス	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course is designed to help students learn how to communicate more freely and fluently using the English that they have studied in the past using original materials designed to help them gain fluency.				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The main goal is for students to learn how to use the English they already know and to gain confidence in their ability to communicate in English.				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。Students will participate in a variety of activities designed to help meet the course goals. The teacher will supervise, guide, and counsel on an individual basis as necessary.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	No regular exam will be given, but performance will be measured on participation in each class.	
	平常評価		100%	The grade will be based 90% on in-class participation on a daily basis, and 10% on other activities.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	None				
	備考	No text required. Printed materials will be distributed at each lesson.			
参考書	No additional reference materials are required.				
オフィスアワー	Email: micahbox@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Class explanation, orientation.
	事後学習	Review class rules.
2	事前学習	Prepare materials required for information cards and bring them to class.
	授業内容	Fill out information cards, class activity.
	事後学習	Review orientation materials.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
15	事前学習	Review class materials at home.
	授業内容	Final class evaluations. Review
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

科目名	英語C【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グローバル化する世界に対応するための英語力アップを目指す。				
授業目的・到達目標	TOEFL、TOEIC、英検などの資格試験や専門分野に必要なヒヤリング、表現（ライティング、スピーキング）の基本的な能力の習熟を目指す。TOEICテストのための基礎力を身に着け、TOEFLテストの420点以上、TOEICテストの450点以上、英検二級以上の獲得を目標とする。				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨める。原則、英語Dと通年で履修することを望む。2年生以上は履修はできない。				
授業方法	原則、名簿順に演習する。殆ど毎回小テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	発表・プレゼンなど（50%） 殆ど毎回行う小テスト（50%）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	原則、テキストを使用しない。次回使用する分は常に渡す。			
参考書	随時、紹介する。				
オフィスアワー	原則、授業前後随時受け付ける。その他、メールでも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の英語力を再確認する。
	授業内容	ガイダンス 基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	海外旅行に必要なリスニング・スピーキング・ライティング。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	海外滞在に必要なリスニング・スピーキング・ライティング。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	海外でのビジネスに必要なリスニング・スピーキング・ライティング。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（2）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（2）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（3）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（4）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（5）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（3）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（6）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（7）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（8）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	総括と休暇中の学習についての指針。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。自分の英語力アップのためのプログラミングをたて実行する。

科目名	英語C【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English speaking and listening skills.				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修すること。				
授業方法	演習方式。We will focus on speaking and listening to English in the class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75%, speaking/listening test 25%.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Cambridge UP		English Unlimited Elementary	Tilbury & Clementson
	備考				
参 考 書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 1A Personal Information. Talking about ourselves with other people.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 1B People. Getting along with the people around us and how they are different.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2A Jobs. Kinds of things people do to make money and live.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2B Interests. What we like to do when we aren't working or studying.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3A Requests. Getting people around you to help you do things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3B Free Time. Hobbies and interests in our leisure time.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4A Habits. What we usually do, good or bad.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4B Experiences. Things we have done in the past and learned from.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5A Events. Important things that are happening in the world.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5B Neighborhood. The place we live and its good and bad points.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6A Home. The rooms and things in our homes.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6B Shopping. Going out and buying things we need or want.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6C Meals. Kinds of food we like and how to eat them.
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	英語C【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	鬼塚 雅子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	世界の若者とのインタビューの教材を通して、他国の学校制度や社会生活、人々の考え方や価値観を学び、積極的にコミュニケーションを実践できるようになることを期待しています。他者を理解すると同時に、自己表現の力を身につけてほしいと思っています。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検などの資格試験に必要な語彙力を身に付け、リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。それによってある程度のコミュニケーションを自力で行うための土台作りができるでしょう。TOEICテストのための基礎英語力を身に付け、スコア450点を目標とします。英検の場合は2級合格を目標とします。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。授業時には必ず辞書（ただし携帯電話やスマートフォンは使用不可）を持参してください。					
授業方法	全員参加型の演習方式です。できるだけ耳と口と手を使って積極的に授業に参加して欲しいと思っています。1回の授業でone unitの学習を目指します。語彙力チェックや暗記（ペアやグループによる練習や発表）も実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度、グループワーク、小テスト・単語テスト結果、まとめのテスト結果など	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	成美堂		World Interviews—Improving Listening and Speaking Skills— （インタビューで学ぶ世界の英語）		Miles Craven
	備考					
参考書	英和・和英辞典（小学館、大修館など）、英英辞典（オックスフォード、ロングマンなど）、百科事典など					
オフィスアワー	質問や問い合わせはできるだけ授業前後をお願いします。メールについては授業内で説明します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの説明である「はしがき」と「構成と使い方」に目を通しておく
	授業内容	ガイダンス：授業の進め方・評価についての説明
	事後学習	自分で半年間の学習計画をたてる、もう一度テキストの説明の部分を読む。
2	事前学習	Unit 1 Vacations に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 1 Vacations Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 1 Vacations で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
3	事前学習	Unit 2 Growing Up に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 2 Growing Up Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 2 Growing Up で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
4	事前学習	Unit 3 Entertainment に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 3 Entertainment Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 3 Entertainment で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。

5	事前学習	Unit 4 Food and Drink に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 4 Food and Drink Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 4 Food and Drink で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
6	事前学習	Unit 5 Travel & Tourism に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 5 Travel & Tourism Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 5 Travel & Tourism で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
7	事前学習	Unit 6 Education に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 6 Education Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 6 Education で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
8	事前学習	Unit 7 Fashion に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 7 Fashion Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 7 Fashion で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
9	事前学習	Unit 8 Living Abroad に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 8 Living Abroad Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 8 Living Abroad で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
10	事前学習	Unit 9 Working life に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 9 Working life Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 9 Working life で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
11	事前学習	Unit 10 Health に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 10 Health Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 10 Health で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
12	事前学習	Unit 11 Changing Times に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 11 Changing Times Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 11 Changing Times で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストの Discussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
13	事前学習	前期に学習した語彙（単語、熟語、発音記号）を復習する。
	授業内容	語彙力チェック、復習
	事後学習	自分の弱点を探る。
14	事前学習	前期に学習した英語のさまざまな表現を復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	自分が何を理解できていなかったかを確認する。
15	事前学習	前期を通して、自分が学習した内容を振り返り、質問事項を整理する。
	授業内容	振り返り、質問への応答及疑問点の解説
	事後学習	自分の間違いを確認する。今後の学習方法や計画を考える。

科目名	英語C【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語による様々な場面の発話を教材として、語彙力を強化しつつ、リスニングの力を伸ばすことにより英語による発信力の土台とします。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。スピーキングの基礎力を磨くことを目的とし、TOEIC500点以上を目標とします。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	様々な場面の発話を聞きディクテーションを行い、それに沿って発話の練習をします。授業の初めに前回の授業のボキャブラリーと内容理解確認の小テストを実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の小テスト(50%)、まとめのテスト(50%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	南雲堂		Listening Breakthrough for the TOEIC Test		Terry O'Brien
	備考					
参考書	英和辞書。その他は授業の中で指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、8：30から9：00、授業終了後、お昼休み、4限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の概要を把握しておくこと。
	授業内容	ガイダンス TOEIC、TOEFL、英検など、資格試験のリスニングの解説
	事後学習	各種資格試験について調べること。
2	事前学習	CDを聞きUnit1の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 1 Fashion and Shopping
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
3	事前学習	CDを聞きUnit2の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 2 Eating Out
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
4	事前学習	CDを聞きUnit 3の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 3 Entertainment
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。

5	事前学習	CDを聞きUnit 4の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 4 Housing and Family Life
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
6	事前学習	CDを聞きUnit 5の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 5 Media
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
7	事前学習	CDを聞きUnit 6の問題をあらかじめ解いておくこと。
	授業内容	Unit 6 Mini Test 1
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
8	事前学習	CDを聞きUnit 7の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 7 Travel and Airports
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
9	事前学習	CDを聞きUnit 8の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 8 Hotels
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
10	事前学習	CDを聞きUnit 9の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 9 The Weather
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
11	事前学習	CDを聞きUnit 10の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 10 Education
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
12	事前学習	CDを聞きUnit 11の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 11 Fitness
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
13	事前学習	CDを聞きUnit 12の問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 12 Mini Test 2
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
14	事前学習	Unit 1 からUnit 12までの復習をして、質問の箇所を見付けておくこと。
	授業内容	Unit 1からUnit 12までの重要な箇所の復習を行う。
	事後学習	授業で行った復習箇所の再確認をすること。
15	事前学習	CDを聞き、小テストを振り返り、まとめの学習をしておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	今後の学習計画を立てる。

科目名	英語C【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	高等学校までに習得した英語の基本的な知識を再確認し、2年次以降の発展的な学習に備え、日本人が注意すべきprosody(rhythm, stress, intonation)を習得する多様なトレーニングを行う。リスニング、スピーキング能力向上の一助とするために、TOEIC頻出単語、熟語、文法も習得する。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。日本語と英語の発音の構造的な違いを基礎知識として学び、実際に自然な発音で英語情報を受信、発信できるようになることを目標とする。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修すること。また、勉学上の大きな負荷に耐えうる強靱な忍耐力を期待する。グループ演習を行うため、積極性、協調性を強く求める。					
授業方法	英語Cはリスニング、スピーキング能力の向上を目指す科目であり、発音に関わる口唇、咽喉などの「筋トレ」の時間であることを念頭において、真剣にグループ演習に取り組んでもらいたい。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		あらゆる面から総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	Cengage Learning		Sounds Like American: A Guide to Fluency in Spoken English (ISBN 978-4-86312-117-1)		Ann Cook, Atsushi Mishima
	備考					
参考書	授業内において適宜指示をする。					
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	「ネイティブ発音への道」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「ネイティブ発音への道」の振り返り
3	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	「英語のアクセントとリズム (1)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「英語のアクセントとリズム (1)」の振り返り
4	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り

5	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「英語のアクセントとリズム (2)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「英語のアクセントとリズム (2)」の振り返り
6	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「英語のアクセントとリズム (3)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「英語のアクセントとリズム (3)」の振り返り
7	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
8	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「ナチュラルな発音をめざして」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「ナチュラルな発音をめざして」の振り返り
9	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「母音の発音 (1)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「母音の発音 (1)」の振り返り
10	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
11	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「母音の発音 (2)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「母音の発音 (2)」の振り返り
12	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「母音の発音 (3)」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「母音の発音 (3)」の振り返り
13	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
14	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	前期のまとめ (1)：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	前期のまとめ (1)の振り返り
15	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	前期のまとめ (2)：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	前期のまとめ (2)の振り返り

科目名	英語C【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	山下 登子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英文法の基礎を見直しつつ、語彙力向上を目指した学習を行い、総合的な英語力向上につなげる授業です。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。できるだけ多くの語彙を習得し、基本文法の理解及びTOEICスコア450点レベルに達することができるようにする。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	グループ活動を中心とした演習形式の授業です。毎回単語練習の課題を出し、授業内で単語テストを行う。遅刻3回は1回分の欠席とし、欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		単語テスト、受講状況、単語ノート提出、授業内試験などを含めて総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	桐原書店		『English Quest Plus [New Edition]（アプリで演習 英語の基礎 中級編）』		酒井 志延ほか
	備考					
参考書	英和辞書（電子辞書可）					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談などは、授業前後や休み時間に、教室、教員室またはe-mailにて対応します。 yamashita.takako1@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の準備、シラバスの確認など
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	学習範囲の確認など
2	事前学習	学習範囲の確認、予習
	授業内容	単語テストについて・Unit 1 動詞[1]（学習Unitは変更する場合があります）
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
3	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト①・Unit 1 動詞[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
4	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト②・Unit 2 動詞[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習

5	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト③・Unit 2 動詞[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
6	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト④・Unit 3 動詞[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
7	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑤・Unit 3 動詞[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
8	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑥・Unit 4 受動態
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
9	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑦・Unit 4 受動態
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
10	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑧・Unit 5 準動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
11	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑨・Unit 5 準動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
12	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑩・Unit 6 修飾[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
13	事前学習	単語ノート提出の準備、学習範囲の予習
	授業内容	ノート提出・Unit 6 修飾[1]
	事後学習	学習範囲の復習
14	事前学習	学習範囲の総復習
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など
15	事前学習	重要箇所や分からないところの確認など
	授業内容	まとめと見直し
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など

科目名	英語C【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語化する世界に対応するための英語力アップを目指す。					
授業目的・到達目標	TOEFL、TOEIC、英検などの資格試験や専門分野の英文理解に必要なリスニング、表現（ライティング、スピーキング）などの基礎的な力の習熟を目的とする。英語表現の基本的な能力を身につけ、TOEFLテストの420点以上、TOEICテストの450点以上、英検テストの二級以上の獲得を目標とする。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨める。原則、英語Dと通年で履修することを望む。2年生以上は履修できない。					
授業方法	原則、名簿順に演習（ヒヤリング・ライティング・スピーキングなど）をする。殆ど毎回小テストを実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		発表・プレゼンなど（50%） 殆ど毎回行う小テストなど（50%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	原則、テキストを使用しない。				
参考書	随時、紹介する。					
オフィスアワー	原則、授業の前後に随時受ける。その他、メールでも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の英語表現力を確認しておく。
	授業内容	ガイダンス 基本的なリスニング・ライティング・スピーキングを確認する。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	海外旅行などに必要なリスニング・スピーキング・ライティング。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	海外滞在などに必要なリスニング・スピーキング・ライティング。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	海外でビジネスをするために必要なリスニング・スピーキング・ライティング。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なリスニング・スピーキング・ライティングの確認。（2）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（2）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（3）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（4）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（5）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（3）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（6）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（7）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	クールジャパンを紹介する。（8）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	総括と休暇中の学習への指針。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。これからの自分の英語力アップのためにスキルアップする。

科目名	英語C【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	鬼塚 雅子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	さまざまなジャンルを扱った英語教材を通して、異文化社会の生活習慣や価値観や人々の考え方を理解し、積極的にコミュニケーションを実践できるようになることを期待しています。他者を理解すると同時に、自己表現の力を学んでほしいと思っています。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検などの資格試験に必要な語彙力を身に付け、リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。それによってある程度のコミュニケーションを自力で行うための土台作りができるでしょう。TOEICテストのための基礎英語力を身に付け、スコア450点を目標とします。英検の場合は2級合格を目標とします。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。授業時には必ず辞書（ただし携帯電話やスマートフォンは使用不可）を持参してください。					
授業方法	全員参加型の演習方式です。できるだけ耳と口と手を使って積極的に授業に参加して欲しいと思っています。1回の授業でone unitの学習を目指します。語彙力チェックや暗記（ペアやグループによる練習や発表）も実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度、グループワーク、小テスト・単語テスト結果、まとめのテスト結果など	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	南雲堂		English Listening and Speaking Patterns 2 （『パターン』で学ぶ英語コミュニケーション2）		Andrew E. Bennett
	備考					
参考書	英和・和英辞典(小学館、大修館など)、英英辞典(オックスフォード、ロングマンなど)、百科事典など					
オフィスアワー	質問や問い合わせはできるだけ授業前後をお願いします。メールについては授業内で説明します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストのIntroductionに目を通しておく
	授業内容	ガイダンス：授業の進め方・評価についての説明
	事後学習	自分で半年間の学習計画をたてる、もう一度テキストのIntroductionを読む。
2	事前学習	Unit 1 Family に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 1 Family Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Responding positively and negatively
	事後学習	Unit 1 Family で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。
3	事前学習	Unit 2 Friends に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 2 Friends Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Expressing frequency
	事後学習	Unit 2 Friends で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。
4	事前学習	Unit 3 に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 3 Culture Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Talking about what should and shouldn't be done
	事後学習	Unit 3 で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。

5	事前学習	Unit 4 Education に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 4 Education Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Expressing opinions and making surprising statements
	事後学習	Unit 4 Education で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
6	事前学習	Unit 5 Sports に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 5 Sports Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Expressing honesty and hope
	事後学習	Unit 5 Sports で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
7	事前学習	Unit 6 Work に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 6 Work Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Talking about past, present, and future situations
	事後学習	Unit 6 Work で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
8	事前学習	Unit 7 Food に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 7 Food Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Talking about chances and conditions
	事後学習	Unit 7 Food で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
9	事前学習	Unit 8 Studying English に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 8 Studying English Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Talking about problems and goals
	事後学習	Unit 8 Studying English で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
10	事前学習	Unit 9 Health に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 9 Health Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Taking a sick day and expressing sympathy
	事後学習	Unit 9 Health で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
11	事前学習	Unit 10 Clothes に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 10 Clothes Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check,
	事後学習	Unit 10 Clothes で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It を完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
12	事前学習	Unit 10 Clothes に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 10 Clothes Usage Patterns: Giving reasons and conditions, Questions and Answers
	事後学習	Unit 10 Clothes で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる (PartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
13	事前学習	前期に学習した語彙 (単語、熟語、発音記号) を復習する。
	授業内容	語彙力チェック、復習
	事後学習	自分の弱点を探る。
14	事前学習	前期に学習した英語のさまざまな表現を復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	自分が何を理解できていなかったかを確認する。
15	事前学習	前期を通して、自分が学習した内容を振り返り、質問事項を整理する。
	授業内容	振り返り、質問への応答及び疑問点の解説
	事後学習	自分の間違いを確認する。今後の学習方法や計画を考える。

科目名	英語C【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語による様々な場面の発話を教材として、語彙力を強化しつつ、リスニングの力を伸ばすことにより英語による発信力の土台とします。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。スピーキングの基礎力を磨くことを目的とし、TOEIC500点以上を目標とします。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。				
授業方法	様々な場面の発話を聞きディクテーションを行い、それに沿って発話の練習をします。授業の初めに前回の授業のボキャブラリーと内容理解確認の小テストを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の小テスト(50%)、まとめのテスト(50%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	南雲堂		Listening Breakthrough for the TOEIC Test	Terry O'Brien
	備考				
参考書	英和辞書。その他は授業の中で指示します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、8：30から9：00、授業終了後、お昼休み、4限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の概要を把握しておくこと。
	授業内容	ガイダンス TOEIC、TOEFL、英検など、資格試験のリスニングの解説
	事後学習	各種資格試験について調べること。
2	事前学習	CDを聞きUnit1の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 1 Fashion and Shopping
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
3	事前学習	CDを聞きUnit2の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 2 Eating Out
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
4	事前学習	CDを聞きUnit 3の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 3 Entertainment
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。

5	事前学習	CDを聞きUnit 4の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 4 Housing and Family Life
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
6	事前学習	CDを聞きUnit 5の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 5 Media
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
7	事前学習	CDを聞きUnit 6の問題をあらかじめ解いておくこと。
	授業内容	Unit 6 Mini Test 1
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
8	事前学習	CDを聞きUnit 7の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 7 Travel and Airports
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
9	事前学習	CDを聞きUnit 8の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 8 Hotels
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
10	事前学習	CDを聞きUnit 9の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 9 The Weather
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
11	事前学習	CDを聞きUnit 10の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 10 Education
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
12	事前学習	CDを聞きUnit 11の問題を解き、語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 11 Fitness
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
13	事前学習	CDを聞きUnit 12の問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 12 Mini Test 2
	事後学習	次の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
14	事前学習	Unit 1 からUnit 12までの復習をして、質問の箇所を見付けておくこと。
	授業内容	Unit 1からUnit 12までの重要な箇所の復習を行う。
	事後学習	授業で行った復習箇所の再確認をすること。
15	事前学習	CDを聞き、小テストを振り返り、まとめの学習をしておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	今後の学習計画を立てる。

科目名	英語C【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	堀 紳介	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業の前半ではまず学生は基本的な英会話表現を学びます。後半では前半で学んだ表現を実際の英会話で実践する術を学びます。 テストでは英語面接を行ない、授業内で学んだ表現が実践できているかを確認します。 この授業では受け身的な英語学習に終始することはありません。学生は授業内で積極的に発言することが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング、スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。 授業ではテキストを用い、基本的な英会話表現を学びますが、学生が学んだ表現を能動的に実践することが出来るようになることを目指します。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。				
授業方法	授業は基本的に演習形式で進めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常評価 (Report 30% Interview 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		English First: Starter : 大学英語の総合的アプローチ	Robert Hickling 臼倉美里
	備考				
参 考 書	随時指示します。				
オフィスアワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、前期授業内容の説明、
	事後学習	Pre-Unitの問題を授業が始まる前までに解いておくこと。
2	事前学習	Pre-Unitの問題を授業が始まるまでに解いておくこと。
	授業内容	Pre-Unit : 英語の基本構造を学び (S+V+O+C) 、それを会話で実践する術を理解する。
	事後学習	授業後のノート整理 (レポート提出に備えて)
3	事前学習	授業が始まるまでにUnit 1 のリスニング部分を付属のCDで聞いておくこと。
	授業内容	Unit 1 リスニング問題 : 英語の発音の仕組み、日本語との違いを学ぶ
	事後学習	授業後のノート整理 (レポート提出に備えて)
4	事前学習	Unit 1 文法セクションを授業が始まるまでに解いておくこと。
	授業内容	Unit 1 リスニング問題、文法問題 : 実際の英会話実践例を紹介
	事後学習	授業後のノート整理 (レポート提出に備えて)

5	事前学習	授業が始まるまでにUnit 2 のリスニング部分を付属のCDで聞いておくこと。
	授業内容	Unit 2 リスニング問題：英文のスピードに慣れる。
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
6	事前学習	Unit 2 の文法問題を授業が始まるまでに解いておくこと。
	授業内容	Unit 2 文法問題：英米文化を紹介しながら、英会話を実践
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
7	事前学習	授業が始まるまでにUnit3のリスニング問題を付属のCDで聞いておくこと。
	授業内容	Unit 3 リスニング問題：英文のスピードに慣れる。
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
8	事前学習	授業が始まるまでにUnit 3 の文法問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 3 文法問題：英米文化を紹介しながら、英会話を実践
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
9	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表①
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
10	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表②
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
11	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表③
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
12	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表④
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
13	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表⑤
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
14	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表⑥
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
15	事前学習	英語面接に向けた準備
	授業内容	英語面接、前期授業のまとめ
	事後学習	これまでの既習事項を復習すること。

科目名	英語C【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	山下 登子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英文法の基礎を見直しつつ、語彙力向上を目指した学習を行い、総合的な英語力向上につなげる授業です。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。できるだけ多くの語彙を習得し、基本文法の理解及びTOEICスコア450点レベルに達することができるようにする。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	グループ活動を中心とした演習形式の授業です。毎回単語練習の課題を出し、授業内で単語テストを行う。遅刻3回は1回分の欠席とし、欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		単語テスト、受講状況、単語ノート提出、授業内試験などを含めて総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	桐原書店		『English Quest Plus [New Edition]（アプリで演習 英語の基礎 中級編）』		酒井 志延ほか
	備考					
参考書	英和辞書（電子辞書可）					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談などは、授業前後や休み時間に、教室、教員室またはe-mailにて対応します。 yamashita.takako1@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の準備、シラバスの確認など
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	学習範囲の確認と復習
2	事前学習	学習範囲の予習
	授業内容	単語テストについて・Unit 1 動詞[1]（学習Unitは変更する場合があります）
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
3	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト①・Unit 1 動詞[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
4	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト②・Unit 2 動詞[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習

5	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト③・Unit 2 動詞[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
6	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト④・Unit 3 動詞[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
7	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑤・Unit 3 動詞[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
8	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑥・Unit 4 受動態
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
9	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑦・Unit 4 受動態
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
10	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑧・Unit 5 準動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
11	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑨・Unit 5 準動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
12	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑩・Unit 6 修飾[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
13	事前学習	単語ノート提出の準備、学習範囲の予習
	授業内容	ノート提出・Unit 6 修飾[1]
	事後学習	学習範囲の復習
14	事前学習	学習範囲の総復習
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など
15	事前学習	重要箇所や分からないところの確認など
	授業内容	まとめと見直し
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など

科目名	英語C【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	吉澤 小百合	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日常の身近なテーマやビジネスシーンでよく見られる場面や表現を扱ったテキストなどを使用し、リスニング力が向上させる。また、ペアワークやグループワークを通してスピーキング能力を向上させる。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。総合的な英語力（特にリスニング）の基礎を固め、特定のテーマについて自分の意見を簡単な英語で述べられるようにする。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則英語Dと通年で履修すること。					
授業方法	教科書を中心に演習形式で行う。適宜、プリントも配布する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		小テスト(10%)や課題(10%)，授業参加度(30%)，期末試験(50%)により，総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	南雲堂		① Listening Breakthrough for the TOEIC Test (TOEICテストのリスニング攻略)		テリー・オブライエン，三原京ほか
	2018	金星堂		② Listening Upgrade for the TOEIC Test		薮越知子・Ryan Smithers
	備考					
参考書	適宜指示する。 書籍辞書または電子辞書を持参すること。					
オフィスアワー	授業に関する質問や相談は，授業の前後またはメールにて対応する。（メールアドレスは授業初回に知らせる）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	この授業について何か質問したいことがあれば考えておくこと。
	授業内容	前期授業についての説明
	事後学習	配布したプリントを読み，テキスト未購入の学生は必ず購入すること。
2	事前学習	① のUnit 1 Warm-up Check 1 & 2 (p. 8)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 1 Fashion and Shopping ② Unit 1 Part 1 写真描写問題①
	事後学習	授業で学んだ内容を，配布プリント② Unit 1 等で復習すること。
3	事前学習	① のUnit 2 Warm-up Check 1 & 2 (p. 10)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 2 Eating Out ② Unit 2 Part 1 写真描写問題②
	事後学習	授業で学んだ内容を，配布プリント② Unit 2 等で復習すること。
4	事前学習	① のUnit 3 Warm-up Check 1 & 2 (p. 12)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 3 Entertainment ② Unit 5 Part 2 応答問題①
	事後学習	授業で学んだ内容を，配布プリント② Unit 5 等で復習すること。

5	事前学習	① のUnit 4 Warm-up Check 1 & 2 (p. 14)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 4 Housing and Family Life ② Unit 6 Part 2 応答問題②
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 6 等で復習すること。
6	事前学習	① のUnit 5 Warm-up Check 1 & 2 (p. 16)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 5 Media ② Unit 7 Part 2 応答問題③
	事後学習	① Unit 1～5 の復習をしておくこと。 配布プリント② Unit 7 で復習すること。
7	事前学習	提出課題をやっておくこと。
	授業内容	① Unit 6 Mini Test 1 ② Unit 11 Part 3 会話問題①
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 11 等で復習すること。
8	事前学習	① のUnit 7 Warm-up Check 1 & 2 (p. 20)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 7 Travel and Airports ② Unit 12 Part 3 会話問題②
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 12 等で復習すること。
9	事前学習	① のUnit 8 Warm-up Check 1 & 2 (p. 22)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 8 Hotels ② Unit 13 Part 3 会話問題③
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 13 等で復習すること。
10	事前学習	① のUnit 9 Warm-up Check 1 & 2 (p. 24)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 9 The Weather ② Unit 14 Part 3 会話問題④
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 14 等で復習すること。
11	事前学習	① のUnit 10 Warm-up Check 1 & 2 (p. 26)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 10 Education ② Unit 19 Part 4 説明文問題①
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 19 等で復習すること。
12	事前学習	① のUnit 11 Warm-up Check 1 & 2 (p. 28)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 11 Fitness ② Unit 20 Part 4 説明文問題②
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 20 等で復習すること。
13	事前学習	提出課題をやっておくこと。
	授業内容	① Unit 12 Mini Test 2 ② Unit 21 Part 4 説明文問題③
	事後学習	② Unit 7～12 の復習をしておくこと。 配布プリント② Unit 21 で復習すること。
14	事前学習	これまでの授業内容で分らないところがないか確認し、質問ができるように準備しておくこと。
	授業内容	前期の総復習と質問受付
	事後学習	これまでの授業の総復習を改めてすること。
15	事前学習	前期の総まとめに備えること。
	授業内容	前期の総まとめ
	事後学習	授業で行った内容をテキスト等で確認してみること。

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TED Talksのコンテンツをもとに、授業内に意見交換するために内容を読み込んだ上で、自分の言葉で相手に伝え speakingの力をつけます。テキスト以外にも興味ある分野の文章を読み、発言できるようにします。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング、スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。国際研修や交換留学等の海外留学に必要とされる英語力を総合的に身につけ、また、TOEICやTOEFLのスコアアップに繋がります。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加。小テスト結果。期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	Cengage Learning		Keynote 3 ISBN-13 978 1 305 96505 8		Paul Dummett
	備考					
参考書	辞書 は毎回持参してください。参考書は必要に応じて紹介します。リスニングに慣れるため、BBC, NHK World, CNNなどの英語ニュースに普段から慣れ親しんでください。					
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Preview Unit1
	授業内容	Introduction Overview of the course
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Preview Unit 1 Part 1
	授業内容	Unit 1 - Part 1 Making a difference
	事後学習	Vocabulary note
3	事前学習	Preview Unit 1 Part 2
	授業内容	Unit 1 - Part 2 A life Lesson from a volunteer firefighter
	事後学習	Vocabulary note
4	事前学習	Preview Unit 2 Part 1
	授業内容	Unit 2 - Part 1 Trends
	事後学習	Vocabulary note

5	事前学習	Preview Unit 2 Part 2
	授業内容	Unit 2 – Part 2 How to start a movement
	事後学習	Vocabulary note
6	事前学習	Preview Unit 3 Part 1
	授業内容	Unit 3 – Part 1 Improving lives
	事後学習	Vocabulary note
7	事前学習	Preview Unit 3 Part 2
	授業内容	Unit 3 – Part 2 My simple invention, designed to keep my grandfather safe
	事後学習	Vocabulary note
8	事前学習	Preview Unit 4 Part 1
	授業内容	Unit 4 – Part 1 Designing the web
	事後学習	Vocabulary note
9	事前学習	Preview Unit 4 Part 2
	授業内容	Unit 4 – Part 2 How giant websites design for you
	事後学習	Vocabulary note
10	事前学習	Preview Unit 5 Part 1
	授業内容	Unit 5 – Part 1 Community builders
	事後学習	Vocabulary note
11	事前学習	Preview Unit 5 Part 2
	授業内容	Unit 5 – Part 2 How painting can transform communities
	事後学習	Vocabulary note
12	事前学習	Preview Unit 6 Part 1
	授業内容	Unit 6 – Part 1 Clear communication
	事後学習	Vocabulary note
13	事前学習	Preview Unit 6 Part 2
	授業内容	Unit 6 – Part 2 Talk nerdy to me
	事後学習	Vocabulary note
14	事前学習	Review Unit 1~6
	授業内容	Review
	事後学習	Vocabulary note Review Unit 1~6
15	事前学習	Review Unit 1~6
	授業内容	Summary of Unit 1~6
	事後学習	Review Unit 1~6

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	20世紀最大の海難事故とされるタイタニック号の悲劇を壮大なスケールで映像化した映画『タイタニック』（Titanic）を題材に、英語のリスニングとスピーキングを中心とした総合的な英語力を身につけていきます。同時に、Role PlayやDiscussionを通して、積極的に他者とかかわろうとするコミュニケーション能力を育みます。			
授業目的・到達目標	(1) TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 (2) Role PlayやDisucussionを通して、積極的に他者とかかわろうとする姿勢を育むことを目標としています。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	DVDを活用しながら授業を進めていきます。Role PlayやDiscussionなどのグループ・ワークも実施します。また、小テストを実施することで、理解度の確認をしていきます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	成美堂	『Learn English with TITANIC 映画『タイタニック』で学ぶ総合英語』	角山 照彦 他
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	火曜日10:30～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	Unit 1 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 1 The Woman in the Picture Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
3	事前学習	Unit 1 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 1 The Woman in the Picture Post-viewing Activities (Grammar, Discusion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。

4	事前学習	Unit 2 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 2 Back to Titanic Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
5	事前学習	Unit 2 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 2 Back to Titanic Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
6	事前学習	Unit 3 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 3 Leaving Port Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
7	事前学習	Unit 3 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 3 Leaving Port Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
8	事前学習	Unit 4 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 4 Don't Do It Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
9	事前学習	Unit 4 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 4 Don't Do It Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
10	事前学習	Unit 5 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 5 Do you Love Him? Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
11	事前学習	Unit 5 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 5 Do you Love Him? Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
12	事前学習	Unit 6 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 6 I Can't See You Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
13	事前学習	Unit 6 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 6 I Can't See You Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。

14	事前学習	Unit 7 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 7 I'm Flying! Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
15	事前学習	前期の授業内容を復習しておく。
	授業内容	前期の授業のまとめ。
	事後学習	『タイタニック』を再度視聴する。

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	藤木 智子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	リスニングおよびスピーキングを中心にTOEICの問題を解いていきます。予習で英単語の発音や意味を確認しておきましょう。授業での発話を積極的に行いましょう。また、復習をして、授業で学習したことをきちんとノートに書きこみ、知識の基礎固めをしましょう。授業は皆さんが主役なので、積極的に取り組んでください。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。できる限り多くのネイティブの発音する英語に触れ、そして時事英語にも触れましょう。まずは目標をたてて、一年間で達成できるように挑戦しましょう。一年生では450点を目標とします。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。授業中の、携帯やスマートフォンの使用は固く禁止します。					
授業方法	リスニングに関しては、本文や問題文の音読と、解説的な訳（代名詞が指すものを補うなど）を求めます。発表担当でない学生にも、発言が求められることがあります。毎回、全員が一度は発表しますので、事前に予習をしましょう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		60%)学期末にテストをします。 40%)平常評価では授業参加度を重視します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	15年度	朝日出版		『いま始めようTOEICテスト』		北尾泰幸
	14年度	南雲堂		『5分間 新TOEICテストリスニング 550』		片野田 浩子
	14年度	南雲堂		『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』		小池直己
	備考					
参考書	英和、和英辞書両方です。電子辞書、紙媒体どちらでも構いません。例文と品詞が載っているものに限ります。授業中に携帯やスマホを辞書代わりに使用することは認めません。必ず辞書を準備してください。					
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』を準備して臨むこと。Unit1の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Orientation 授業の方法についてレクチャーをします。授業に関する質問に答えます。オリエンテーション後授業をします。教科書および英和・和英辞書を用意してください。
	事後学習	オリエンテーションの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
2	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit1の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 1 『いま始めようTOEICテスト』、前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 『5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』Section1
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
3	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit2のテーマ、単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと (2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考えること。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。 (3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 2 『いま始めようTOEICテスト』 前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 『5分間 新TOEICテストサプリメント 文法語法』Section1 『5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題2
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。

14	事前学習	事前学習として、どこがどのように分からないのかを明らかにし、備えておくこと。テスト後の質問も遠慮なくしてください。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
15	事前学習	最近のニュースに関して事前に英字新聞などを読んで、時事英語に関する単語などを調べておく とより一層理解が深まるので準備しておくこと。
	授業内容	今期のまとめをして、時事英語に関するDVDを鑑賞しましょう。
	事後学習	事後学習として、今回のDVDの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめること。

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	堀 千和子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生の皆さんが遭遇する場面で使用できる英語表現を身に着けることが、この授業の目的です。英語の音声を取り、理解し、文法と英語表現を学習し、定着させます。その際に、ディクテーションの一種であるディクトグロスを使用して、インプットからアウトプットの活動を行っていきます。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検などの資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング、リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。1. 語彙力の増強、2. 自分の意見を平易な英語で伝える、3. 2年時の英語資格試験のクラスで余裕を持って勉強できる英語力をつける、の3点を目標とします。				
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修して下さい。				
授業方法	授業のはじめに英語ニュースを使ったクイズをします。ディクテーション、ペアワーク、グループワークをしながら、リスニング力と表現力を高めています。英字新聞や映像教材など副教材も取り入れます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間試験 25%、期末試験 35%、プレゼンテーション 20%、授業への貢献度 5%、レポート 5%、グループワーク 10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		ディクトグロスで学ぶコミュニケーション英文法 (Taking Action)	山本成、Kelly Kimura
	備考				
参考書	英和辞典、英英辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問は、授業終了後またはE-mailにて対応します。授業開始時にアドレスをお知らせします。授業関連の連絡は大学ポータルを使用します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの自分の英語学習の履歴をまとめておく。使用した英語辞書、単語集、教材などを振り返る。大学での英語学習に向けての目標を考えておく。
	授業内容	ガイダンス、プレゼンテーションの説明
	事後学習	教科書を購入する。音声をダウンロードしておく。
2	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	英字新聞や英語ニュースを使用して テキスト Unit 1 英語の文型
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
3	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 2 動詞の種類
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
4	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 3 現在完了形
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。

5	事前学習	これまで学んだ英語表現を使用し、プレゼンテーションができるように原稿と視聴覚資料を作成する。複数回、練習する。
	授業内容	プレゼンテーション 1
	事後学習	自分のプレゼンテーションの手直しを行う。
6	事前学習	これまで学んだ英語表現を使用し、プレゼンテーションができるように原稿と視聴覚資料を作成する。複数回、練習する。
	授業内容	プレゼンテーション 2
	事後学習	自分のプレゼンテーションを振り返り、改善点を挙げる。他の人の発表を振り返り、いい点を挙げる。
7	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 4 その1 疑問詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
8	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 4 その2 疑問文の作り方
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
9	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 5 その1 名詞の種類
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
10	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 5 その2 名詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
11	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 6 その1 不定詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
12	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 6 その2 動名詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
13	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 7 分詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
14	事前学習	前期に学習した会話文などのディクテーションができるようにしておく。
	授業内容	聞き取りの振り返り
	事後学習	聞き取れなかった箇所を復習する。
15	事前学習	前期に学習した箇所の文法や語彙などを復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	理解があやふやな箇所をチェックし、後期の授業に臨めるようにする。

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	本間 俊一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	まず映画 The third man の script に親しみ、英語特有の表現に習熟し、また音声のみでも作品を理解できるようにすることを目標にする。同時に、作品の歴史的・社会的背景を学習し、作品を深く読解し、内容の要旨を單元ごとにまとめて表現する力を養う。ドラマの natural な英語表現を理解し、最終的には字幕なしで理解できるようにする。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 多言語の国際社会は、事実上英語が共通語になっている。この国際社会の現状をよく認識し、英語学習への意欲をさらに高めることを大きな目標とします。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	複数の課題が要求される。web を通じて、課題を提出することが可能。 USBメモリがあると役立つ。イヤホンは携帯必須。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		平常評価（テスト70%、課題20%、小テスト10%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	朝日出版社		The Third Man		John S. Lander
	備考					
参 考 書	特になし。					
オフィス アワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはemailにて対応いたします。 homma.toshikazu11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	textの確認
	授業内容	オリエンテーション（1）
	事後学習	textの全体を把握
2	事前学習	textの再確認
	授業内容	オリエンテーション（2）
	事後学習	textの一部予習
3	事前学習	p.1 Introduction の予習
	授業内容	Unit 1 読解 (pp. 62-65)
	事後学習	Unit 1 読解 (pp. 62-65) のreview
4	事前学習	p.2 Vocabulary Preview の予習
	授業内容	Unit 1 読解 (pp. 62-65) Q&A thirdman01
	事後学習	Q&A thirdman01のreview

5	事前学習	p. 6 Introduction の予習
	授業内容	Unit 2 読解 (pp. 65-70) Q&A thirdman02 (unit2-1)
	事後学習	Q&A thirdman02 (unit2-1) のreview
6	事前学習	p. 7 Vocabulary Preview の予習
	授業内容	Unit 2 読解 (pp. 65-70) Q&A thirdman02 (unit2-2)
	事後学習	Q&A thirdman02 (unit2-2) のreview
7	事前学習	p. 11 Introduction の予習
	授業内容	Unit 3 読解 (pp. 70-74) Q&A thirdman03 (unit3-1)
	事後学習	Q&A thirdman03 (unit3-1) のreview
8	事前学習	p. 12 Vocabulary Preview の予習
	授業内容	Unit 3 読解 (pp. 70-74) Q&A thirdman03 (unit3-2)
	事後学習	Q&A thirdman03 (unit3-2) のreview
9	事前学習	p. 16 Introduction の予習
	授業内容	Unit 4 読解 (pp. 74-78) Q&A thirdman03 (unit4-1)
	事後学習	Q&A thirdman03 (unit4-1) のreview
10	事前学習	p. 17 Vocabulary Preview の予習
	授業内容	Unit 4 読解 (pp. 74-78) Q&A thirdman03 (unit4-2)
	事後学習	Q&A thirdman03 (unit4-2) のreview
11	事前学習	p. 21 Introduction の予習
	授業内容	Unit 5 読解 (pp. 79-80) Q&A thirdman05 (unit5-1)
	事後学習	Q&A thirdman05 (unit5-1) のreview
12	事前学習	review unit1-2
	授業内容	review unit1-2 Q&A
	事後学習	review unit1-unit2
13	事前学習	review unit3-5
	授業内容	review unit3-5 Q&A
	事後学習	review unit3-5
14	事前学習	review unit1-5
	授業内容	review unit1-5 Q&A
	事後学習	review unit1-5
15	事前学習	review 前半のtext
	授業内容	review 前半のtext
	事後学習	review 前半のtext

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	元氏 久美子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践的な練習を通して基礎的なリスニング力を身につけることを目指します。日常生活からビジネスまで幅広いトピックを扱いながら、英語をたくさん聞き、直感的に理解し、音読することで基礎を固めていきます。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。TOEICテスト（特にリスニング）のための基礎力を身につけ、スコア450点以上を目標としています。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス、上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト、授業中の発言、授業内テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013年	南雲堂		Listening Elements 大学生のための『リスニングエレメント』		Terry O'Brien
	備考					
参考書	英和辞典					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後または火曜日昼休み(12:20～12:50)にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中学、高校で学んだ英文法の確認。
	授業内容	ガイダンス(前期の授業計画について)、英語学習法の紹介など。
	事後学習	前期の英語学習計画を立てる。
2	事前学習	Unit 1 My House （どんな家に住んでいるの？）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 1 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 1 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
3	事前学習	Unit 2 Where is it? （あなたの家はどこ？）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 2 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 2 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
4	事前学習	Unit 3 Mom and Dad's House （大きくて古い両親の家）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 3 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 3 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。

5	事前学習	Unit 4 William Parker （営業部長のパーカー）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 4 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 4 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
6	事前学習	Unit 5 My Company （電化製品の輸入会社で働くサリー）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 5 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 5 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
7	事前学習	Unit 6 My Schedule （妻の誕生日は早く帰りたい）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 6 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 6 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
8	事前学習	Unit 7 When I was young ... （川岸でキャンプを楽しむ）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 7 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 7 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
9	事前学習	Unit 8 Questions （販売数や製品の苦情を聞きたい）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 8 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 8 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
10	事前学習	Unit 9 Answers （濡れていた段ボールケース）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 9 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 9 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
11	事前学習	Unit 10 My Office （輸送・販売をするオフィス）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 10 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 10 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
12	事前学習	Unit 11 The Travel Agent （フライトとホテルの予約）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 11 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 11 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
13	事前学習	Unit 12 At the Airport （電子機器はお持ちですか？）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 12 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 12 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
14	事前学習	Unit 1～12で学んだことを復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ①
	事後学習	前期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
15	事前学習	前期の学習内容で理解不足だった点を復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ②
	事後学習	前期で学んだことを再確認する。

科目名	英語C【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	依田 悠介	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course develops essential knowledge and skills for learners to succeed in today's global society. Students are encouraged to work on in-and outside class activities enthusiastically.					
授業目的・到達目標	Students CAN (i) read about a 21st century topic, such as cyborg technology; (ii) learn more about the topic by viewing an authentic TED talk; and (iii) explore the topic further by completing collaborative research research project					
履修条件	公共経済学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	Read the text, solve the quizzes, view the videos and discuss the contents.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		One examination 30% plus collaborative work (group poster presentation) 40% and quizzes 30%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	Cengage Learning		21st Century Reading Level 3		Laurie Blass et.al
	備考					
参 考 書	Will be given in class					
オフィスアワー	by appointment: yusuke.yoda@tyg.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Look through the textbook
	授業内容	Introduction: Please bring the copy of syllabus and the textbook.
	事後学習	Read the passage in Unit 1
2	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Hidden Miracles: Life sciences
	事後学習	Review Vocabulary
3	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Hidden Miracles: Life sciences
	事後学習	Read the passage in Unit 2
4	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Sleep Matters: Health Sciences
	事後学習	Review Vocabulary

5	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Sleep Matters: Health Sciences
	事後学習	Read the passage in Unit 3
6	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Cyborg Tech: Engineering /Technology
	事後学習	Review Vocabulary
7	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Cyborg Tech: Engineering /Technology
	事後学習	Read the passage in Unit 4
8	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Happy Planet: Economics/ Statistics
	事後学習	Review Vocabulary
9	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Happy Planet: Economics/ Statistics
	事後学習	Read the passage in Unit 5
10	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Career path: Business/ Design
	事後学習	Review Vocabulary
11	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Career path: Business/ Design
	事後学習	Review Unit 1-5
12	事前学習	Review Unit 1-5
	授業内容	Overview (Examination)
	事後学習	Preparation for Group Presentation
13	事前学習	Preparation for Group Presentation
	授業内容	Group discussion
	事後学習	Making a poster
14	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-1
	事後学習	Evaluate your / your friends' presentation
15	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-2
	事後学習	Evaluate your/ your friends' presentation

科目名	英語C	担当者	加藤 行夫	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	英語表現の基礎的演習				
授業目的・到達目標	日常生活の基本的な表現を英語で自由に書けるようにする。文章を書く上で必要な文法の復習も行なう。日常生活のさまざまな場面で必要とされる基本的な英語を自由に表現できるようにする。				
履修条件	中学程度の文法を理解していること				
授業方法	文法事項を確認し、続いて演習を行なう。黒板での添削および個人添削に十分時間をかける。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	演習の成果 20%、期末試験 80%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		Expressions for Everyday Life	根間弘海
	備考				
参 考 書	各自英和辞典を必ず（必要とする者は和英辞典も）持参すること				
オフィスアワー	金曜日午後6時～ 事前にメールで連絡のこと kiokato@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	授業方法、年間計画、成績評価などの説明
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
2	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	主語とは何か
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
3	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
4	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	補語とは何か
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する

5	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
6	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	目的語とは何か
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
7	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
8	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	修飾について
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
9	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
10	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	時間表現
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
11	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
12	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	否定表現
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
13	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
14	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	比較表現
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
15	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する

科目名	英語C	担当者	高田 宣子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	映画や音楽、ニュースなどで使われる英語表現に着目し、その背景を考えながら授業を進めていきます。 また、英語による創作会話や短いスピーチ、ミニプレゼンテーションなどを行うことで、英語の運用力を高めます。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 基礎的な文法を確認しながら、平易な英語で話し、英語で話された情報を聞き取る力を養うことを目標とします。					
履修条件	初回の授業に必ず出席できる学生。WordとPower Pointを使用できる学生のみ履修可。					
授業方法	演習方式。毎回コメントを執筆あるいは発表してもらいます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		毎週授業内ペーパー提出、英語スピーチ、ミニプレゼンテーション、その他	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリント使用				
参考書	開講時に説明します。					
オフィスアワー	休み時間、教室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞を読んでおく
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスプリントの確認を行う。
2	事前学習	プリントの確認を行う。
	授業内容	英文聞き取り、創作会話 その1 英語表現の確認 文法プリント演習
	事後学習	表現法と文法確認の確認を行う。
3	事前学習	表現法の確認を行う。
	授業内容	英文聞き取り 創作会話 その2 文法プリント 文法プリント演習
	事後学習	プリントの確認
4	事前学習	プリントの確認とスピーチのテーマを考える。
	授業内容	文法テスト 英語スピーチの原案作り
	事後学習	英語スピーチの原案修正を行う。

5	事前学習	英語スピーチの原案修正を行う。
	授業内容	英語スピーチ その1 コメント 英文聞き取り
	事後学習	英語スピーチの原案修正を行う。
6	事前学習	英語スピーチの原案修正を行う。
	授業内容	英語スピーチ その2 コメント 英文聞き取り
	事後学習	英語スピーチの原案修正を行う。
7	事前学習	英語スピーチの原稿修正を行う。
	授業内容	英語スピーチ その3 コメント 英文聞き取り
	事後学習	英語スピーチの原稿修正を行う。
8	事前学習	プリントの見直しを行う。
	授業内容	復習テスト タイピング練習
	事後学習	タイピング練習を行う。
9	事前学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿作を作成する
	授業内容	英語ミニプレゼンテーション 原稿修正
	事後学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を改良する。
10	事前学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を確認する。
	授業内容	英語ミニプレゼンテーション 原稿推敲 文法確認
	事後学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を改良する。
11	事前学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を改良する。
	授業内容	英語ミニプレゼンテーション 1 コメント
	事後学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を修正する。
12	事前学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を改良する。
	授業内容	英語ミニプレゼンテーション 2 コメント
	事後学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を修正する。
13	事前学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を改良する。
	授業内容	英語ミニプレゼンテーション 3 コメント
	事後学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を修正する。
14	事前学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を改良する。
	授業内容	英語ミニプレゼンテーション 4 コメント
	事後学習	英語ミニプレゼンテーション 原稿を修正する。
15	事前学習	原稿の確認を行う。
	授業内容	まとめと復習テスト レポート提出
	事後学習	テスト問題と解答の確認を行う。

科目名	英語D【法職課程1年生共通クラス】	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の生の音声を楽しみながらたくさんインプットしていきます。生の音声をそっくり真似る音読やシャドーイングを通してリスニング力を高めていきます。また選んだ題材の内容についてプレゼンをします。後期終了後に受験するTOEICテストのリスニングパート対策も進めていきます。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としたクラスです。 TOEICテストのリスニングの基礎力を身につけ、最終的にトータルスコア600点以上を目標とします。			
履修条件	法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。課題を必ず毎回提出しなくてはならない。			
授業方法	TOEIC対策としてリスニングパートの解説と演習をします。生の題材を自分で選び、リアクションペーパーを書いて、グループでシェアし、プレゼンをします。また、音読やシャドーイング、ディクテーションの課題が課されます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回実施する小テスト及びプレゼンを評価に含めます。リアクションペーパーの提出も評価の対象に入ります。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	IIBC	TOEICテスト公式問題集新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会）	IIBC
	2018年4月販売予定	朝日出版社	CNNニュースリスニング2018春夏	CNN English Express編
	備考	教員作成プリントも使用します		
参考書	辞書を持参すること。			
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シャドーイングを復習する
	授業内容	後期オリエンテーション TOEICリスニングパートの解説
	事後学習	TOEICリスニングパートの内容を復習する
2	事前学習	課題のシャドーイングを練習する
	授業内容	シャドーイングテスト TOEIC Part 1&2 解説 & Dictation
	事後学習	Dictationの方法を復習
3	事前学習	TOEIC課題のdictation シャドーイングを練習 TED talksリアクションペーパー
	授業内容	TOEIC 小テスト・シャドーイングテスト TOEIC Part 1 & 2 演習 TED talks group プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
4	事前学習	TOEIC課題のdictation, シャドーイング練習 TED talksリアクションペーパー
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 3 解説 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題dictation

5	事前学習	TED talks視聴 リアクションペーパー シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 3 演習 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
6	事前学習	TED talks視聴 リアクションペーパー シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 4 解説 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
7	事前学習	TED talks視聴 リアクションペーパー シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 4 演習 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
8	事前学習	TED talks視聴 リアクションペーパー シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 3 & 4 演習 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
9	事前学習	TED talks視聴 リアクションペーパー シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 3 & 4 演習 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
10	事前学習	TED talks視聴 リアクションペーパー シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TOEIC Part 1~4 復習 TED talks プレゼン
	事後学習	TOEIC課題のdictation
11	事前学習	TED talksプレゼン準備 シャドーイングを練習
	授業内容	TOEIC 小テスト&シャドーイングテスト TED talks group talk→最終プレゼンについて話し合う
	事後学習	プレゼンの準備を進めていく
12	事前学習	TED talksプレゼン準備 シャドーイングを練習
	授業内容	TOEICリスニングパート復習テストとシャドーイングテスト TED talks group talk→最終プレゼンについて話し合う
	事後学習	プレゼンの準備を進めていく
13	事前学習	TED talks リアクションペーパー プレゼンに向けて準備する 課題のシャドーイングを練習する
	授業内容	最終プレゼン I
	事後学習	プレゼンの準備を進めていく
14	事前学習	TED talks リアクションペーパー プレゼンに向けて準備する 課題のシャドーイングを練習する
	授業内容	最終プレゼン II
	事後学習	シャドーイングの復習
15	事前学習	課題のシャドーイングを練習する
	授業内容	TOEICのまとめとシャドーイングテスト
	事後学習	半期の学習を振り返る。

科目名	英語D【法職課程1年生共通クラス】	担当者	小林 晴子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際社会において情報収集に必要な英語力を、リスニング能力に重点をおいて修得する。英語音声、文書、インフォグラフィックスなどの理解に基づき、各々の理論的・批判的思考力を用いて導き出した情報、思考、意見を、聞き手に理解されやすい英語音声、表現、論理的提示方法で話す訓練を行う。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。英語資格試験の受験を視野に入れた、スピーキング・リスニングの基礎固めを目指します。そのために種々の発音、文法、語彙、構文、文章構造などの習得と、ディスカッション、プレゼンテーションなどの演習に取り組みます。TOEICテスト等のためのリスニング能力をさらに向上させ、リスニングパートのスコアを100点あげることが目標とします。				
履修条件	法律学科法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。演習授業なので必ず8割以上出席をすることを求めます。				
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施。授業では、音読、シャドウイング、ディクテーション、ノートテイキング、学生のペアワーク、ディスカッション、ロールプレイング、プレゼンテーション等を行う。毎回リスニングに関する課題あり。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価：100%(授業パフォーマンス・スピーチ30%、小テスト・課題提出40%、期末テスト30%)	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2013年出版	センゲージラーニング	Pathways 1 - Listening, Speaking, and Critical Thinking		Becky Tarver Chase
	備考				
参考書	英和・和英辞書は必携。その他は、適宜指示する。				
オフィスアワー	kobayashi.haruko11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 5 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 5 Lesson B Focus on Food のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
2	事前学習	Unit 6 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 6 Lesson A Housing のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
3	事前学習	Unit 6 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 6 Lesson A & B Housing のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
4	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 6 Lesson B Housing の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し

5	事前学習	Unit 7 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 7 Lesson A Exploring Space のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
6	事前学習	Unit 7 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 7 Lesson A & B Exploring Space のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
7	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 7 Lesson B Exploring Space の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
8	事前学習	Unit 8 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 8 Lesson A Art & Music のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
9	事前学習	Unit 8 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 8 Lesson A & B Art & Music のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
10	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 8 Lesson B Art & Music の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
11	事前学習	Unit 9 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 9 Lesson A Our Relationship with Nature のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
12	事前学習	Unit 9 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 9 Lesson A & B Our Relationship with Nature のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
13	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 9 Lesson B Our Relationship with Nature の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
14	事前学習	Unit 10 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 10 Lesson A How We Communicate のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
15	事前学習	今学期の授業を振り返る
	授業内容	今学期の授業のまとめ
	事後学習	授業の見直しをする

科目名	英語D【法職課程1年生共通クラス】	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will read, discuss and write about English texts. You will communicate in English with your teacher and your classmates.					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的としています。To learn about the international history of Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding, writing and speaking English. You will learn about important events in Japanese history. You will discuss English texts with your teacher and your classmates.					
履修条件	法律学科法職課程1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。This course is aimed at students who wish to improve their English communication skills.					
授業方法	演習方式。Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				後期「An International History of Japan II」(Thomas Lockley, DTP出版、1,750円＋税)		Thomas Lockley
	備考					
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.					
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Topic: Thomas Glover Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
2	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Choshu Five Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Nagasawa Kanaye Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Iwakura Embassy Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Bonin Islands Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Tsuda Umeko Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Karayukisan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Sun Yat-sen and Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Japanese emigration in the 20th century Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Immigration to Japan Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Noguchi Hideo Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Sugihara Chiune Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: International spread of Japanese culture Skills: Reading and discussing an English text. Writing in English about what you have learned.
	事後学習	Write your reflections on the course
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the upcoming test
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Semester test Review
	事後学習	Review

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	加賀 岳彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	これまで学んできた学習英語をベースにして、さらに大学・社会向けの一般英語への橋渡しをします。今学期ではとくに実用文を取り上げ、一般社会、ビジネスなどに近い領域の英語を学びます。				
授業目的・到達目標	資格試験（TOEIC、TOEFL、英検等）、新聞・雑誌・ネットの英文理解、および専門分野の英語文献理解に必要なリスニング・スピーキングの基礎を磨きます。毎回の予習事項・学習事項の確認小テストにおいて70%以上の正答率を維持することを目標とします。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験等の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。				
授業方法	十分な予習を前提として授業を行います。理解度・習得度を確認するための小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（小テスト、授業内での応答）50%、期末テスト50%で成績評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業内で授業用ハンドアウトを配布します。			
参考書	（電子）辞書は必ず持参して受講してください。				
オフィスアワー	質問等は授業終了後に受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の英語学習を行う。
	授業内容	授業説明・オリエンテーション・初期演習を行います。
	事後学習	初期演習で学んだことを復習し、次回の予習を行うこと。
2	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習1 自己の「経験・経歴・スキル」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
3	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習2 自己の「経験・経歴・スキル」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
4	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習3 「職」および「丁寧表現」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。

5	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習4 「職」および「丁寧表現」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
6	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習5 「面談・面接」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
7	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習6 「面談・面接」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
8	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習7 「経済・ビジネス」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
9	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習8 「経済・ビジネス」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
10	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習9 「福祉・政策」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
11	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習10 「福祉・政策」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
12	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習11 「効率・生産性」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
13	事前学習	指定された箇所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習12 「効率・生産性」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
14	事前学習	指定された箇所を復習し、各自質問事項を用意してきてください。
	授業内容	各種英語演習13 これまでの学習内容の復習・弱点の補強を行います。
	事後学習	各自の問題点を充分復習すること。
15	事前学習	これまでの学習内容をすべて復習してきてください。
	授業内容	これまでの学習内容の総まとめを行います。
	事後学習	今季学んだことを踏まえ、今後の各自の英語学習の方向性を考える。

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	世界のさまざまな英語圏に住む若者に関する映像を視聴しながら、リスニング及びスピーキングの演習を行う。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。まとまった英文を聞いて大まかな内容を把握し、必要な情報を得ることができる、また自分の考えを簡潔にまとめて発言できるようになることを目標とする。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修すること。					
授業方法	演習方式で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		クラス内での発言などを含む授講態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	成美堂		World Wide English on DVD Volume 1 -Revised Edition-		森田彰 他
	備考					
参考書	特に指定しない。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail(kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp)で対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 7 Exercise 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
2	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 7 Exercise 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
3	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 8 Exercise 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
4	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 8 Exercise 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。

5	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 9 Exercise 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
6	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 9 Exercise 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
7	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 10 Exercise 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
8	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 10 Exercise 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
9	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 11 Exercise 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
10	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 11 Exercise 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
11	事前学習	Opening Quizzes、New Words の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 12 Exercise 1 to 4
	事後学習	New Words で学習した語彙の意味を覚える。
12	事前学習	Useful Expressions、Summary の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 12 Exercise 5 to 8
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意して映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
13	事前学習	これまで授業で学んだTOEIC頻出表現を復習しておく。
	授業内容	TOEIC Listening Part 練習問題
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
14	事前学習	Unit 7～12をもう一度見直し、分かっていない部分があれば明確にしておき、授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていなかった部分が理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	北村 豊	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律、政治経済、歴史に関する基礎レベルの話題についての英語に親しむと共に、ビジネス英語の世界にも親しむ。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 英語の講義やスピーチを聞き、要旨をまとめ、英語で自分の意見を提示する事が出来るようになるのが目標。 TOEICは550点を目標とする。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。			
授業方法	演習形式。TOEFL的なアカデミックな話題、TOEIC的なビジネス関連の話題、法律や政治経済に関する基礎レベルの話題についての英語の講義を聞き（動画を見たりCDを聞く課題もあり）、簡単な要約をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内発表（発表、発言等による授業への貢献）50% 授業内試験等50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	On Demand Publishing	English as a communication and survival tool (2)	Yutaka
	備考			
参考書	英英辞典（上級の使い方を授業で学ぶ）			
オフィスアワー	質問等は授業の前後で受け付けます。授業外の場合は ykitamu@tcue.ac.jpまでメール送信の事。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 10 前半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 10: On listening (What is listening? / What is sound?) (Part 1)
	事後学習	Unit 10 前半の内容の復習
2	事前学習	Unit 10 後半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 10: On listening (What is listening? / What is sound?) (Part 2)
	事後学習	Unit 10 後半の内容の復習
3	事前学習	Unit 11 前半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 11: Why do Japanese employ an illegal system such as...? (Part 1)
	事後学習	Unit 11 前半の内容の復習
4	事前学習	Unit 11 後半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 11: Why do Japanese employ an illegal system such as...? (Part 2)
	事後学習	Unit 11 後半の内容の復習

5	事前学習	Unit 12 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 12: What is the origin of bowing?
	事後学習	Unit 12 の内容の復習
6	事前学習	Unit 13 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 13: Why do Japanese have no interests in religious topics?
	事後学習	Unit 13 の内容の復習
7	事前学習	Unit 14 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 14: Why is Japanese culture so androcentric?
	事後学習	Unit 14 の内容の復習
8	事前学習	Unit 15 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 15: Cultural issues regarding psychological factors (Part 1)
	事後学習	Unit 15 の内容の復習
9	事前学習	Unit 16 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 16: Cultural issues regarding psychological factors (Part 2)
	事後学習	Unit 16 の内容の復習
10	事前学習	Unit 17 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 17: Why do many people commit suicide in Japan?
	事後学習	Unit 17 の内容の復習
11	事前学習	Unit 18 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 18: Why are there so many people unhappy people in Japan?
	事後学習	Unit 18 の内容の復習
12	事前学習	Unit 19 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 19: Could you explain what ... is?
	事後学習	Unit 19 の内容の復習
13	事前学習	Unit 20 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 20: Where are we going?
	事後学習	Unit 20 の内容の復習
14	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
15	事前学習	後期のまとめ
	授業内容	Overall summary
	事後学習	後期の内容のまとめと確認

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	杉本 桂子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ますます複雑化する国際社会のなかで主体的に行動するための手段としての英語の基礎力を徹底的に鍛えることは今日の日本の大学教育に課せられた重要な課題のひとつであろう。この授業では特に日本の英語教育の弱点になっているリスニング力を重点的に訓練し、同時にいろいろな場面で使える実用的な語彙をふくむ英文を音読し、覚え、使う。多量の英文を暗記し、それを最後にテストする形の授業になる。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。1 年次終了時にTOEIC(IP)で570点以上、TOEFL(ITP)で490点以上を目指す。					
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語 C と通年で履修してください。					
授業方法	リスニング力とスピーキング力をアップするために、オーバーラッピング、シャドーイングを徹底的に行い英語力を養う。毎回小テストを行い、後半でプレゼンテーションを一回発表してもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業への取り組み方（20％）、毎回の小テスト（30％）、最終テスト（50％）で総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2003	成美堂		Listen to this!(Basic)		James Bean
	2018	NHK出版		ラジオ英会話 10月号		担当者
	備考					
参 考 書	英和、和英辞書(電子辞書可、スマートフォン不可)					
オフィスアワー	月曜日、授業の行われる校舎の講師室にて12時15分～12時35分					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストUnit 7 I'm taller than you(前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	Unit 7 I'm taller than you(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト(10月号) Week 1-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト(10月号)Week 1-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
2	事前学習	テキストUnit 7 I'm taller than you(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 7 I'm taller than you(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 1-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
3	事前学習	テキストUnit 8 Where shall we eat?(前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 8 Where shall we eat?(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト Week 1-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
4	事前学習	テキストUnit Where shall we eat?(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 8 Where shall we eat?(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek1-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。

5	事前学習	テキストUnit 9 Going to the movies(前半)) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 9 Going to the movies(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek2-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
6	事前学習	テキストUnit 9 Going to the movies(後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 9 Going to the movies(後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek2-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
7	事前学習	テキストUnit 10 Shopping for the perfect gift (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 10 Shopping for the perfect gift(前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek2-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
8	事前学習	テキストUnit 10 Shopping for the perfect gift (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 10 Shopping for the perfect gift (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト Week2-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
9	事前学習	テキストUnit 11 What’s your favorite? (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 11 What’s your favorite? (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
10	事前学習	テキストUnit 11 What’s your favorite? (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 11 What’s your favorite? (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
11	事前学習	テキストUnit 12 Hard work (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 12 Hard work (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
12	事前学習	テキストUnit 12 Hard work (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 12 Hard work (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek3-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
13	事前学習	テキストUnit 13 I was so embarrassed (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 13 Iwas so embarrassed (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 TOEIC リスニング練習
	事後学習	この回で学習したことは最終テストに出題されるので復習しておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
14	事前学習	プレゼンテーションの原稿を提出できるように作成し、発表の練習をしておくこと。
	授業内容	プレゼンテーション (6 0 ～ 7 0 の英単語を使って決められたテーマに沿った内容の英文を発表する。)
	事後学習	後期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスクリプトの音読練習を行い実力をつけておくこと。
15	事前学習	後期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスクリプトの音読練習を行い充実した実力をつけておくこと。
	授業内容	後期授業のまとめ。
	事後学習	前期授業で学習したことを踏まえ、更に英語の実力をつける努力すること。

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	瀧野みゆき	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	インターネットなどで使われている英語を素材とし、自然なスピードの英語を聴き取り、理解する訓練をします。また、関連の情報を読みあわせ、評価したり、意見を考え英語で表現する練習をします。授業の前半では、テーマ性のある英語の素材を理解し、表現や内容について学び、意見を考えます。後半では、テキストの指定されたユニットを聴き、英語の質問に英語で答える練習を行います。授業計画等は、状況によって、変更する可能性があります。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標にしています。自然な英語を日本語に訳さずに大意を理解し、必要な情報を聴き取れるようになります。自分の考えを英語で考え、伝える基礎を身に着けます。継続的に英語を聴く習慣を身に着けることを目指します。				
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Cと通年で履修してください。				
授業方法	英語の素材を聴き、その内容を理解し、考察する練習を、多様なテーマの素材を使って行います。授業の後半で聴くテキストは、授業前に指定されたユニットを繰り返し聴き、内容を理解してきてください。94文字 3行				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業の参加と貢献（30％）授業内小テスト（30％）リスニングレポート（40％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008年	株式会社アルク		究極の英語リスニング Vol.2 CD付	英語出版編集部（編集）
	備考				
参考書	授業で適宜指示します。				
オフィスアワー	原則として授業終了後。詳しくは授業で指示します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの購入と内容の確認
	授業内容	ガイダンス：共通語としての英語、英語リスニング・スピーキングの練習方法、授業の進め方、事前・事後学習の説明 リスニングミニテストの練習
	事後学習	授業の進め方の確認、ミニテストの復習
2	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外スタディツアーに行く
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
3	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ボランティア活動をする 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
4	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ボランティア活動をする 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

5	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	民泊を考える 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
6	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	民泊を考える 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
7	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外で友人を作る 1 リスニングレポート提出 一回目 （詳細は授業で指示します）
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
8	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外で友人を作る 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
9	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	クラウドファンディング 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
10	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	クラウドファンディング 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
11	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	社会起業 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
12	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	社会起業 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
13	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外留学をする 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
14	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外留学をする 2 リスニングレポート提出 二回目
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
15	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	津田 千悦子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語Cに続いて、リスニングとスピーキングの力をさらに高めていくように、日常的な話題、時事的な話題を扱います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。 TOEICテストのための基礎力を身に着け、スコア450点以上を目標とします。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。 原則、英語Cと通年で履修して下さい。					
授業方法	演習方式で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		毎時間の小テスト, 前期末のまとめのテスト, 課題提出	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	成美堂		Quick Mastery of the TOEIC Listening Test		松本恵美子他
	2017	英宝社		Communication Strategies for Independent English Users		達川奎三他
	備考	(テキストは英語Cと共通です)				
参考書	必要な場合は指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後に対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション。シラバスに基づき講義内容を説明する。
	事後学習	毎回、最初に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。
2	事前学習	CommunicationのテキストUnit7のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit13 Communication : Unit7 Asking for /Giveing Clarification
	事後学習	TOEIC Unit13の語句を復習しておくこと。
3	事前学習	CommunicationのテキストUnit7のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit14 Communication : Unit7 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit14の語句を復習しておくこと。
4	事前学習	Unit8のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit15 Communication ; Unit8 Checking and Indicating Understanding
	事後学習	TOEIC Unit15の語句を復習しておくこと。

5	事前学習	Unit8のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit16 Communication : Unit8 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit16の語句を復習しておくこと。
6	事前学習	Unit9のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit17 Communication : Unit9
	事後学習	TOEIC Unit17の語句を復習しておくこと。
7	事前学習	Unit9のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit18 Review3 Communication : Unit9 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit18の語句を復習しておくこと。
8	事前学習	Unit10のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit19 Communication : Unit10 Taking Time for Thinking
	事後学習	TOEIC Unit19の語句を復習しておくこと。
9	事前学習	Unit10のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit20 Communication : Unit10 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit20の語句を復習しておくこと。
10	事前学習	Unit11のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit21 Communication : Unit11 Breaking / Avoiding Silence
	事後学習	TOEIC Unit21の語句を復習しておくこと。
11	事前学習	Unit11のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit22 Communication : Unit11 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit22の語句を復習しておくこと。
12	事前学習	Unit12のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit23 Communication : Unit12
	事後学習	TOEIC Unit23の語句を復習しておくこと。
13	事前学習	Unit12のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit24 Review4 Communication : Unit12 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit24の語句を復習しておくこと。
14	事前学習	理解不十分だったところを確認しておく。
	授業内容	TOEIC Unit13～24のまとめ Communication : Unit7～12のまとめ
	事後学習	次週のテストに備えておくこと。
15	事前学習	後期の内容を復習しておくこと。
	授業内容	後期のまとめ（授業内テストおよび振り返り）
	事後学習	不十分な部分を確認しておく。

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	平岡 麻里	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策とその他の音声や映像を通じた内容理解の2つを柱として授業を行います。TOEIC対策では比較的容易なテキストを使用し、問題形式や語彙に慣れることを目指します。内容理解では留学のための資格試験やニュースなど様々な素材を使用し、大学生に求められる教養的な内容を扱います。授業以外にも英語音声に触れるように毎回の予習課題を設定し、授業で確認の小テストを実施した上で、学年末には学期全体の確認を行います。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。具体的には、1. TOEICで「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」とされるレベルC（スコア470-729）に到達する、2. 様々なリスニング・スキルを学び、それらを聞くべき内容や状況に応じて使い分けできるようになる、この2つを目標とします。また、様々な素材を通じ、これからの学生生活と卒業後の社会人生活において独力で英語学習を継続できる「独立した学習者」となる第一歩を踏み出せるような指導を行います。			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラスです。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修して下さい。英語Dのみ履修の場合でも教科書に購入は必須です。			
授業方法	すべての学生が語彙の予習を行っていること前提に、予習確認、問題演習、ディクテーションなどを行う演習形式で授業を進めます。ペアやグループでの活動が課されることもあり、学生には積極的な参加が求められます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回の小テストの結果、問題演習や授業内課題への参加状況やその成果、受講態度、全体のまとめの最終確認などの授業内活動で評価を行います。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	金星堂	『TOEICテストリスニング集中演習（Upward Listening for the TOEIC Test）』	薮越知子、B. Smillie
	備考	その他、授業内で教材や資料を配付します。また、教材CDを聞くことができる機材およびオンラインの映像や音声にアクセスできるスマートフォンやパソコンなど（大学のパソコンでも可能）も必要になります。		
参考書	大学生から社会人レベルの英和辞典（電子辞書推奨）を授業時に必ず持参してください。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業前後またはE-mail(hiraoka.mari11@nihon-u.ac.jp)にて対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認、教科書の所持確認、英語Dのみ履修の場合は教科書の購入
	授業内容	英語でCの学習内容確認 授業スケジュールと授業内容の確認 TOEIC Unit 4[Part 1]の導入
	事後学習	予習・自習に必要な機材（CDプレーヤーやパソコン）の確認 各自、学期末TOEIC-IPでの到達目標を設定
2	事前学習	TOEIC Unit4 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit4 予習確認テスト（語彙とCheck it Out!） TOEIC Unit4[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
3	事前学習	TOEIC Unit10 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit10 予習確認テスト（語彙とCheck it Out!） TOEIC Unit10[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
4	事前学習	TOEIC Unit16 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit16 予習確認テスト（語彙とCheck it Out!） TOEIC Unit16[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習

5	事前学習	TOEIC Unit22 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit22 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit22[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
6	事前学習	TOEIC Unit5 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit5 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit5[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
7	事前学習	TOEIC Unit11 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit11 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit11[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
8	事前学習	TOEIC Unit17 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit17 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit17[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
9	事前学習	TOEIC Unit23 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit23 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit23[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
10	事前学習	TOEIC Unit6 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit6 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit6[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
11	事前学習	TOEIC Unit12 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit12 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit12[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
12	事前学習	TOEIC Unit18 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit18 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit18[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
13	事前学習	TOEIC Unit24 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit24 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit24[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	学習記録シート記入と復習
14	事前学習	学期全体の学習事項の復習
	授業内容	学期全体のまとめと確認
	事後学習	弱点の確認
15	事前学習	学期全体の振り返り
	授業内容	全体のフィードバック
	事後学習	今後の英語学習計画

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	高等学校までに習得した英語の基本的な知識を再確認し、2年次以降の発展的な学習に備え、日本人が注意すべき prosody (rhythm, stress, intonation) を習得する多様なトレーニングを行う。リスニング、スピーキング能力向上の一助とするために、TOEIC頻出単語、熟語、文法も習得する。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。日本語と英語の発音の構造的な違いを基礎知識として学び、実際に自然な発音で英語情報を受信、発信できるようになることを目標とする。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修すること。また、勉学上の大きな負荷に耐えうる強靱な忍耐力を期待する。グループ演習を行うため、積極性、協調性を強く求める。					
授業方法	英語Dはリスニング、スピーキング能力の向上を目指す科目であり、発音に関わる口唇、咽喉などの「筋トレ」の時間であることを念頭において、真剣にグループ演習に取り組んでもらいたい。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		あらゆる面から総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	Cengage Learning		Sounds Like American: A Guide to Fluency in Spoken English (ISBN 978-4-86312-117-1)		Ann Cook, Atsushi Mishima
	備考					
参考書	授業内において適宜指示をする。					
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	プレゼンテーションコンテストの準備
	授業内容	プレゼンテーションコンテスト (1)
	事後学習	プレゼンテーションコンテスト (1) の振り返り
2	事前学習	授業内演習に備え、tongue twister トレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	プレゼンテーションコンテスト (2)
	事後学習	プレゼンテーションコンテスト (2) の振り返り
3	事前学習	授業内演習に備え、chants トレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
4	事前学習	授業内演習に備え、gesture トレーニングに取り組んでくこと 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくこと
	授業内容	「T の発音」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「T の発音」の振り返り

5	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「L と R の発音」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「L と R の発音」の振り返り
6	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
7	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「長い語句のアクセント」・「応用練習」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「長い語句のアクセント」・「応用練習」の振り返り
8	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「V, TH, S/Z, M, N, NG, H, K, G の発音」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「V, TH, S/Z, M, N, NG, H, K, G の発音」の振り返り
9	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
10	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「長い文をリズムカルに読む」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「長い文をリズムカルに読む」の振り返り
11	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「態度や感情を表すイントネーション」・「最後に」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「態度や感情を表すイントネーション」・「最後にの振り返り」
12	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
13	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	後期のまとめ（1）：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	後期のまとめ（1）の振り返り
14	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	後期のまとめ（2）：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	後期のまとめ（2）の振り返り
15	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	水野 隆之	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験を目指すための基礎固めをします。基礎的な文法事項を身につけることを目標とするとともに、TOEICに出題される表現を多く覚えます。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標とします。					
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語 C と通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。毎時間小テストを実施。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		平常評価（授業態度、小テスト、期末試験等）100%、	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	朝日出版社		STEP-UP SKILLS FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST:Level 2		北尾泰幸
	備考					
参 考 書	英和辞典					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、全体に目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、テキストの予習箇所等を説明する。
	事後学習	テキストの予習箇所を確認する。
2	事前学習	テキスト1頁、6～9頁の問題を解いてくる。 5頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit1 食事に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
3	事前学習	テキスト10頁、14～17頁の問題を解いてくる。 13頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit2 旅行に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
4	事前学習	テキスト18頁、22～25頁の問題を解いてくる。 21頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit3 娯楽に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。

5	事前学習	テキスト26頁、30`33頁の問題を解いてくる。 29頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit4 会議に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
6	事前学習	テキスト34頁、38`41頁の問題を解いてくる。 37頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit5 人事に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
7	事前学習	テキスト42頁、46`49頁の問題を解いてくる。 45頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit6 買い物に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
8	事前学習	テキスト50頁、54`57頁の問題を解いてくる。 53頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit7 広告に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
9	事前学習	テキスト58頁、62`65頁の問題を解いてくる。 61頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit8 日常生活に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
10	事前学習	テキスト66頁、70`73頁の問題を解いてくる。 69頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit9 オフィスに関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
11	事前学習	テキスト74頁、78`81頁の問題を解いてくる。 77頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit10 ビジネスに関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
12	事前学習	テキスト82頁、86`89頁の問題を解いてくる。 85頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit11 交通に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
13	事前学習	テキスト90頁、94`97頁の問題を解いてくる。 93頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit12 会計に関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
14	事前学習	テキスト98頁、102`106頁の問題を解いてくる。 101頁の解説を熟読する。
	授業内容	Unit13 メディアに関する表現について理解し、それに対応するTOEIC の問題を解答できる。
	事後学習	間違えた箇所の問題を解き直す。 Vocabulary, Useful Expression を暗記する。
15	事前学習	テキストの総復習
	授業内容	後期学習内容の振り返り
	事後学習	これまでの学習内容を確認する。

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	茂木 健幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	リスニング、スピーキングという日常で頻繁に必要なとなる英語の基礎能力の向上に取り組む。英語で話された内容を理解し、それに対し自分の意見を言えるようにすることを目標としている。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。英語で話された内容を理解し、それに対して適切な答えや、自分の意見をしっかりと相手に伝えられるようになることを到達目標としています。					
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	教科書に沿って授業を進めます。授業では、リスニング問題を解いたり、自分自身について話す原稿を書いたりします。また、自分自身について話し合うペアワークやグループワークがあるので、積極的な授業参加が求められます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業への参加度、レポート等で評価。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	南雲堂		New Time to Communicate		Eric Bray
	備考					
参 考 書	使用しない。					
オフィスアワー	授業終了後。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 7後半の予習。
	授業内容	ガイダンス：授業の進め方、評価の仕方などについての説明。 Unit 7 Talking About Last Weekend
	事後学習	Unit 7の復習
2	事前学習	Unit 8の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 8 Talking About the Vacation
	事後学習	Unit 8の復習。
3	事前学習	Unit 8の予習。自分のことについて話し合う (Write and Talk) ので、その準備。
	授業内容	Unit 8 Talking About the Vacation
	事後学習	Unit 8の復習。
4	事前学習	Unit 9の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んでくること。
	授業内容	Unit 9 Talking About Going Out on the Town
	事後学習	Unit 9の復習。

5	事前学習	Unit 9の予習。自分のことについて話し合う（Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 9 Talking About Going Out on the Town
	事後学習	Unit 9の復習。
6	事前学習	Unit 10の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んてくること。
	授業内容	Unit 10 Talking About Foods and Recipes
	事後学習	Unit 10の復習。
7	事前学習	Unit 10の予習。自分のことについて話し合う（Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 10 Talking About Foods and Recipes
	事後学習	Unit 10の復習。
8	事前学習	Unit 11の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んてくること。
	授業内容	Unit 11 Talking About Travel
	事後学習	Unit 11の復習。
9	事前学習	Unit 11の予習。自分のことについて話し合う（Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 11 Talking About Travel
	事後学習	Unit 11の復習。
10	事前学習	Unit 12の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んてくること。
	授業内容	Unit 12 Talking About Hometowns
	事後学習	Unit 12の復習。
11	事前学習	Unit 12の予習。自分のことについて話し合う（Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 12 Talking About Hometowns
	事後学習	Unit 12の復習。
12	事前学習	Unit 13の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んてくること。
	授業内容	Unit 13 Talking About Your Opinions
	事後学習	Unit 13の復習。
13	事前学習	Unit 13の予習。自分のことについて話し合う（Write and Talk)ので、その準備。
	授業内容	Unit 13 Talking About Your Opinions
	事後学習	Unit 13の復習。
14	事前学習	Unit 14の予習。Model Conversation、 Useful Languageを読んてくること。
	授業内容	Unit 14 Talking About Future Plans
	事後学習	Unit 14の復習。
15	事前学習	Unit 8～14の復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	授業で行った内容の復習

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	元氏 久美子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日常の身近なテーマやビジネスシーンで見られる場面や表現で効率よく学習し、リスニング力を向上させることを目指しています。TOEICテストのリスニングのための戦略を身につけ、英語をたくさん聞き、直感的に理解し、音読することで基礎を固めていきます。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。TOEICテスト（特にリスニング）のための基礎力を身につけ、スコア450点以上を目標としています。					
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス、上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト、授業中の発言、授業内テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	南雲堂		Listening Breakthrough for the TOEIC Test 『TOEICテストのリスニング攻略』		Terry O'Brien 他
	備考					
参考書	英和辞典					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後または火曜日昼休み(12:20～12:50)にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で学んだことの確認。
	授業内容	ガイダンス(後期の授業計画について)、前期の復習など。
	事後学習	後期の英語学習計画を立てる。
2	事前学習	Unit 13 Business Trips（ホテルをチェックアウト/領収書をもらう）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 13 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 13 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
3	事前学習	Unit 14 Production and Sales（広告で伸びる売上高/薄利で大量販売）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 14 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 14 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
4	事前学習	Unit 15 Job Hunting and Recruitment（面接/秘書の求人）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 15 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 15 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。

5	事前学習	Unit 16 Accounting（間違いのない会計/会計学を学ぶための学校）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 16 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 16 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
6	事前学習	Unit 17 Personnel（職場での迷惑な私語/グループを作らず仲良く）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 17 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 17 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
7	事前学習	Unit 13～17で学んだことを復習する。
	授業内容	Unit 18 Mini Test 3、解答と解説
	事後学習	Mini Test 3 の英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
8	事前学習	Unit 19 Customer Service（商品の遅配に対応/テキパキした発送作業）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 19 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 19 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
9	事前学習	Unit 20 Order and Shipping（注文品を大量発送/能率と信頼）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 20 Warm-upの解答、 Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 20 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
10	事前学習	Unit 21 Negotiations（遅延の解決/積極的な制裁）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 21 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 21 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
11	事前学習	Unit 22 Presentations（発表者に質問/スクリーンを使った説明）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 22 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 22 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
12	事前学習	Unit 23 Marketing（売上下落の理由/社員のスケジュール調整）Warm-upを予習する。
	授業内容	Unit 23 Warm-upの解答、Test Questionsと音読練習。
	事後学習	Unit 23 単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
13	事前学習	Unit 18～23で学んだことを復習する。
	授業内容	Unit 24 Mini Test 4、解答と解説
	事後学習	Mini Test 4 の英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
14	事前学習	Unit 13～24で学んだことを復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ①
	事後学習	後期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
15	事前学習	後期の学習内容で理解不足だった点を復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ②
	事後学習	後期で学んだことを再確認する。

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	アソニー トービン	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	In this course students will learn the necessary vocabulary and phrases to engage in a wide variety of discussions.			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The objective of this course is to develop basic skills so that students comprehensively and conversationally communicate through authentic English materials and so that students can prepare for their certain language proficiency examination, such as TOEIC, TOEFL or Eiken test. The objective for this course is for students to learn a wide range of vocabulary and language patterns which will help them communicate actively in a wide variety of situations.			
履修条件	法律学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。In this course students will engage in group and whole class discussions.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	50%:several short tests(throughout the semester),a presentation(the end of the semester) 50%:Students are expected to participate in all class activities.
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008	Cengage	Communication Strategies 1	David Paul
	備考			
参 考 書	An English dictionary.			
オフィスアワー	The teacher can be reached at tonymtobin@hotmail.com to arrange a consultation.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7 Beliefs Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
2	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7 Beliefs Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
3	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 8 The Future Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
4	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 8 The Future Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit

5	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 9 Transportation Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
6	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 9 Transportation Skills: English listening and discussion skills Short test
	事後学習	Review unit
7	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 10 Vices Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
8	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 10 Vices Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
9	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 11 Marriage Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
10	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 11 Marriage Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
11	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 12 Animals Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
12	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 12 Animals Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
13	事前学習	Revision for forthcoming test
	授業内容	Review Short test
	事後学習	Revise all units
14	事前学習	Revise all units
	授業内容	End of term presentations
	事後学習	Revise all units
15	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review
	事後学習	Revise all units

科目名	英語D【法律学科1年生共通クラス】	担当者	M. ボックス	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course is designed to help students learn how to communicate more freely and fluently using the English that they have studied in the past using original materials designed to help them gain fluency.			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The main goal is for students to learn how to use the English they already know and to gain confidence in their ability to communicate in English.			
履修条件	法律学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。Students will participate in a variety of activities designed to help meet the course goals. The teacher will supervise, guide, and counsel on an individual basis as necessary.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	No regular exam will be given, but performance will be measured on participation in each class.
	平常評価		100%	The grade will be based 90% on in-class participation on a daily basis, and 10% on other activities.
教科書	年	出版社	書名	著者名
	None			
	備考	No text required. Printed materials will be distributed at each lesson.		
参考書	No additional reference materials are required.			
オフィスアワー	micahbox@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Class explanation, orientation.
	事後学習	Review class rules.
2	事前学習	Prepare materials required for information cards and bring them to class.
	授業内容	Fill out information cards, class activity.
	事後学習	Review orientation materials.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
15	事前学習	Review class materials at home.
	授業内容	Final class evaluations. Review
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	加賀 岳彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	これまで学んできた学習英語をベースにして、さらに大学・社会向けの一般英語への橋渡しをします。今学期では特に実用文を取り上げ、一般社会、ビジネスなどに近い領域の英語を学びます。					
授業目的・到達目標	資格試験（TOEIC、TOEFL、英検等）、新聞・雑誌・ネットの英文理解、および専門分野の英語文献理解などに必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨きます。毎回の予習事項・学習事項の確認小テストにおいて70%の正答率を維持することを目標とします。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	十分な予習を前提として授業を行います。理解度・習得度を確認するための小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常点（小テスト、授業内での応答）50%、期末テスト50%。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内で授業用ハンドアウトを配布します。				
参考書	（電子）辞書は必ず持参して受講してください。					
オフィスアワー	質問等は授業終了後に受け付けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の英語学習を行う。
	授業内容	授業説明・オリエンテーション・初期演習を行います。
	事後学習	初期演習で学んだことを復習し、次回の予習を行うこと。
2	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習1 自己の「経験・履歴・スキル」等に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
3	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習2 自己の「経験・履歴・スキル」等に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
4	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習3 「職」および「丁寧表現」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。

5	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習4 「職」および「丁寧表現」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
6	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習5 「面談・面接」等に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
7	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習6 「面談・面接」等に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
8	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習7 「経済・ビジネス」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
9	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習8 「経済・ビジネス」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
10	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習9 「福祉・政策」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
11	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習10 「福祉・政策」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
12	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習11 「効率・生産性」に関する英語表現（基礎編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
13	事前学習	指定された個所を予習してきてください。
	授業内容	各種英語演習12 「効率・生産性」に関する英語表現（応用編）を学びます。小テストも行います。
	事後学習	課題・宿題を時間をかけて行うこと。
14	事前学習	指定された個所を復習し、各自質問事項を用意してきてください。
	授業内容	各種英語演習13 これまでの学習内容の復習・弱点の補強を行います。
	事後学習	各自の問題点を充分復習すること。
15	事前学習	これまでの学習内容をすべて復習してきてください。
	授業内容	これまでの学習内容の総まとめを行います。
	事後学習	今学期学んだことを踏まえ、今後の各自の英語学習の方向性を考える。

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	菊地 幸子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生向けのニュース番組、CNN 10の映像を視聴しながら聴解力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。まとまった英文を聞いて大まかな内容を把握し、必要な情報を得ることができる、また自分の考えを簡潔にまとめて発言できるようになることを目標とする。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修すること。			
授業方法	演習方式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	クラス内での発言などを含む授講態度、小テスト結果等	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	朝日出版	CNN 10 Vol.1 -Student News-	関戸冬彦 他
	備考			
参考書	特に指定しない。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後またはE-mail(kikuchi.sachiko11@nihon-u.ac.jp)で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 7 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
2	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 7 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
3	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 8 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
4	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 8 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。

5	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 9 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
6	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 9 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
7	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 10 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
8	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 10 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
9	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 11 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
10	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 11 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
11	事前学習	Warm Up, Vocabulary, Vocabulary Exercise の答えを用意しておく。
	授業内容	Unit 12 Exercises 1 to 5
	事後学習	学習した語彙の意味を覚え、正しく発音できるようにしておく。また、Topic Paragraph のシャドーイングの練習をする。
12	事前学習	Try this, too! の質問に対する自分の考えをまとめておく。
	授業内容	Unit 12 Exercises 6 to 8 and Try this, too!
	事後学習	授業中に聞き取れなかった部分に特に注意してニュース映像を何度も視聴し、内容を完全に理解する。
13	事前学習	これまで授業で学んだTOEIC頻出表現を復習しておく
	授業内容	TOEIC Listening Part 練習問題
	事後学習	間違えた部分はなぜ間違えたのか、また正解に至る考え方が理解できたか確認する。
14	事前学習	Unit 7～12をもう一度見直し、分かっていない部分があれば明確にしておき、授業中に質問できるよう準備しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	分かっていなかった部分が理解できたか確認する。
15	事前学習	テストに備え試験範囲を復習する。
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの授業内容の復習を行っておくこと。

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	北村 豊	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律、政治経済、歴史に関する基礎レベルの話題についての英語に親しむと共に、ビジネス英語の世界にも親しむ。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 英語の講義やスピーチを聞き、要旨をまとめ、英語で自分の意見を提示する事が出来るようになるのが目標。 TOEICは550点を目標とする。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。			
授業方法	演習形式。TOEFL的なアカデミックな話題、TOEIC的なビジネス関連の話題、法律や政治経済に関する基礎レベルの話題についての英語の講義を聞き（動画を見たりCDを聞く課題もあり）、簡単な要約を提出する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内発表（発表、発言等による授業への貢献）50% 授業内試験等50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	On Demand Publishing	English as a communication and survival tool (2)	Yutaka
	備考			
参考書	英英辞典（上級の使い方を授業で学ぶ）			
オフィスアワー	質問等は授業の前後で受け付けます。授業外の場合は ykitamu@tcue.ac.jpまでメール送信の事。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 10 前半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 10: On listening (What is listening? / What is sound?) (Part 1)
	事後学習	Unit 10 前半の内容の復習
2	事前学習	Unit 10 後半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 10: On listening (What is listening? / What is sound?) (Part 2)
	事後学習	Unit 10 後半の内容の復習
3	事前学習	Unit 11 前半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 11: Why do Japanese employ an illegal system such as...? (Part 1)
	事後学習	Unit 11 前半の内容の復習
4	事前学習	Unit 11 後半の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 11: Why do Japanese employ an illegal system such as...? (Part 2)
	事後学習	Unit 11 後半の内容の復習

5	事前学習	Unit 12 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 12: What is the origin of bowing?
	事後学習	Unit 12 の内容の復習
6	事前学習	Unit 13 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 13: Why do Japanese have no interests in religious topics?
	事後学習	Unit 13 の内容の復習
7	事前学習	Unit 14 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 14: Why is Japanese culture so androcentric?
	事後学習	Unit 14 の内容の復習
8	事前学習	Unit 15 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 15: Cultural issues regarding psychological factors (Part 1)
	事後学習	Unit 15 の内容の復習
9	事前学習	Unit 16 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 16: Cultural issues regarding psychological factors (Part 2)
	事後学習	Unit 16 の内容の復習
10	事前学習	Unit 17 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 17: Why do many people commit suicide in Japan?
	事後学習	Unit 17 の内容の復習
11	事前学習	Unit 18 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 18: Why are there so many people unhappy people in Japan?
	事後学習	Unit 18 の内容の復習
12	事前学習	Unit 19 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 19: Could you explain what ... is?
	事後学習	Unit 19 の内容の復習
13	事前学習	Unit 20 の内容の予習（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Unit 20: Where are we going?
	事後学習	Unit 20 の内容の復習
14	事前学習	授業内発表準備（必要に応じてリサーチを行う）
	授業内容	Speech party
	事後学習	授業の内容のまとめを英語で行う
15	事前学習	後期授業のまとめ
	授業内容	Overall summary
	事後学習	後期授業の反省

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	小林 晴子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際社会において情報収集に必要な英語力を、リスニング能力に重点をおいて修得する。英語音声、文書、インフォグラフィックスなどの理解に基づき、各々の理論的・批判的思考力を用いて導き出した情報、思考、意見を、聞き手に理解されやすい英語音声、表現、論理的提示方法で話す訓練を行う。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。英語資格試験の受験を視野に入れた、スピーキング・リスニングの基礎固めを目指します。そのために種々の発音、文法、語彙、構文、文章構造などの習得と、ディスカッション、プレゼンテーションなどの演習に取り組みます。TOEICテスト等のためのリスニング能力をさらに向上させ、リスニングパートのスコアを100点あげることが目標とします。				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。演習授業なので必ず8割以上出席することを求めます。				
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施。授業では、音読、シャドウイング、ディクテーション、ノートテイキング、学生のペアワーク、ディスカッション、ロールプレイング、プレゼンテーション等を行う。毎回リスニングに関する課題あり。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価：100%(授業パフォーマンス・スピーチ30%、小テスト・課題提出40%、期末テスト30%)	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2013年出版	センゲージラーニング	Pathways 1 - Listening, Speaking, and Critical Thinking		Becky Tarver Chase
	備考				
参考書	英和・和英辞書は必携。その他は、適宜指示する。				
オフィスアワー	kobayashi.haruko11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 5 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 5 Lesson B Focus on Food のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	課題：日常会話のディクテーション
2	事前学習	Unit 6 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 6 Lesson A Housing のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートテイキング
3	事前学習	Unit 6 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 6 Lesson A & B Housing のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
4	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 6 Lesson B Housing の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し

5	事前学習	Unit 7 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 7 Lesson A Exploring Space のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
6	事前学習	Unit 7 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 7 Lesson A & B Exploring Space のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
7	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 7 Lesson B Exploring Space の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
8	事前学習	Unit 8 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 8 Lesson A Art & Music のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
9	事前学習	Unit 8 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 8 Lesson A & B Art & Music のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
10	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 8 Lesson B Art & Music の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
11	事前学習	Unit 9 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 9 Lesson A Our Relationship with Nature のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
12	事前学習	Unit 9 Lesson B Building Vocabulary, Using Vocabulary を予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 9 Lesson A & B Our Relationship with Nature のテーマについての日常会話を聞く。指定された表現方法を用いて話す。
	事後学習	日常会話のディクテーション
13	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業内容	テキスト Unit 9 Lesson B Our Relationship with Nature の指定されたテーマについて発表する。
	事後学習	プレゼンテーションの反省と見直し
14	事前学習	Unit 10 Lesson A Building Vocabulary, Using Vocabularyを予習し、小テストの準備をする。
	授業内容	テキスト Unit 10 Lesson A How We Communicate のテーマについて講演を聞く。テーマに沿って会話をする。小テスト。
	事後学習	課題：講演内容のノートティキング
15	事前学習	今学期の授業を振り返る
	授業内容	今学期の授業のまとめ
	事後学習	授業の見直しをする

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	杉本 桂子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ますます複雑化する国際社会のなかで主体的に行動するための手段としての英語の基礎力を徹底的に鍛えることは今日の日本の大学教育に課せられた重要な課題のひとつであろう。この授業では特に日本の英語教育の弱点になっているリスニング力を重点的に訓練し、同時にいろいろな場面で使える実用的な語彙をふくむ英文を音読し、覚え、使う。多量の英文を暗記し、それを最後にテストする形の授業になる。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。1 年次終了時にTOEIC(IP)で570点以上、TOEFL(ITP)で490点以上を目指す。					
履修条件	政治経済学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語 C と通年で履修してください。					
授業方法	リスニング力とスピーキング力をアップするために、オーバーラッピング、シャドーイングを徹底的に行い英語力を養う(身体で英語を覚える)。毎回小テストを行い、後半でプレゼンテーションを一回発表してもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業への取り組み方（20％）、毎回の小テスト（30％）、最終テスト（50％）で総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2003	成美堂		Listen to this!(Basic)		James Bean
	2018	NHK出版		ラジオ英会話 10月号		担当者
	備考					
参 考 書	英和、和英辞書(電子辞書可、スマートフォン不可)					
オフィスアワー	月曜日、授業の行われる校舎の講師室にて12時15分～12時35分					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストUnit 7 I'm taller than you 前半を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	Unit 7 I'm taller than you (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト(10月号) Week 1-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト(10月号)Week 1-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
2	事前学習	テキストUnit 7 I'm taller than you (後半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 7 I'm taller than you (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト Week 1-② に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
3	事前学習	テキストUnit 8 Where shall we eat? (前半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 8 Where shall we eat? (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-③ 音読練習
	事後学習	、最初に前回授業内容NHKテキスト Week 1-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
4	事前学習	テキストUnit 8 Where shall we eat? (後半)を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくること。
	授業内容	小テスト Unit 8 Where shall we eat? (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 1-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容 NHKテキスト Week 1-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。

5	事前学習	テキストUnit 9 Going to the movies (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 9 Going to the movies (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト Week 2-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
6	事前学習	テキストUnit 9 Going to the movies (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 9 Going to the movies (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキスト Week 2-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
7	事前学習	テキストUnit 10 Shopping for the perfect gift (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 10 Shopping for the perfect gift (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
8	事前学習	テキストUnit 10 Shopping for the perfect gift (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 10 Shopping for the perfect gift (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 2-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 2-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
9	事前学習	テキストUnit 11 What’s your favorite? (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 11 What’s your favorite? (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-① 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-①に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
10	事前学習	テキストUnit 11 What’s your favorite? (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 11 What’s your favorite? (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-② 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-②に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
11	事前学習	テキストUnit 12 Hard work (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 12 Hard work (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-③ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-③に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
12	事前学習	テキストUnit 12 Hard work (後半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 12Unit 12Hard work (後半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 NHK テキスト Week 3-④ 音読練習
	事後学習	最初に前回授業内容NHKテキストWeek 3-④に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。授業で配られたスクリプトの音読練習をしておくこと。
13	事前学習	テキストUnit 13 I was so embarrassed (前半) を読みテキストに付いているCDを使ってリスニングの問題を解いてくること。授業で行われるトピックの会話をイメージし準備してくる。
	授業内容	小テスト Unit 13 I was so embarrassed (前半) リスニング練習、ペアーまたはグループで会話練習 TOEIC リスニング練習
	事後学習	この回で学習したことを復習し、スクリプトの音読練習を行うこと。
14	事前学習	プレゼンテーションの原稿を提出できるように作成し、発表の練習をしておくこと。
	授業内容	プレゼンテーション (6 0 ～ 7 0 の英単語を使って決められたテーマに沿った内容の英文を発表する。)
	事後学習	後期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスクリプトの音読練習を行い力を磨いておくこと。
15	事前学習	後期に学習したことを徹底的に確認すること。特にNHKテキストのスキットの暗記と配られたスクリプトの音読練習を行い充実した実力をつけておくこと。
	授業内容	後期授業のまとめ。
	事後学習	後期授業で学習したことを踏まえ、更に英語の実力をつける努力すること。

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	瀧野みゆき	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	インターネットなどで使われている英語を素材とし、自然なスピードの英語を聴き取り、理解する訓練をします。また、関連の情報を読みあわせ、評価したり、意見を考え英語で表現する練習をします。授業の前半では、テーマ性のある英語の素材を理解し、表現や内容について学び、意見を考えます。後半では、テキストの指定されたユニットを聴き、英語の質問に英語で答える練習を行います。授業計画等は、状況によって、変更する可能性があります。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標にしています。自然な英語を日本語に訳さずに大意を理解し、必要な情報を聴き取れるようになります。自分の考えを英語で考え、伝える基礎を身に着けます。継続的に英語を聴く習慣を身に着けることを目指します。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	英語の素材を聴き、その内容を理解し、考察する練習を、多様なテーマの素材を使って行います。授業の後半で聴くテキストは、授業前に指定されたユニットを繰り返し聴き、内容を理解してきてください。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業の参加と貢献（30%）授業内小テスト（30%）リスニングレポート（40%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008年	アルク出版社		究極の英語リスニング Vol.1.2 CD付き		英語出版編集部（編集）
	備考					
参考書	授業で適宜指示します。					
オフィスアワー	原則として授業終了後。詳しくは授業で指示します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前学習：テキストの購入と内容の確認
	授業内容	ガイダンス：共通語としての英語、英語リスニング・スピーキングの練習方法、授業の進め方、事前・事後学習の説明 リスニングミニテストの練習
	事後学習	授業の進め方の確認、ミニテストの復習
2	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外スタディツアーに行く
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
3	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ボランティア活動をする1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
4	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	ボランティア活動をする2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

5	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	民泊を考える 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
6	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	民泊を考える 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
7	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外で友人を作る 1 リスニングレポート提出 一回目（詳細は授業で指示します）
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
8	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外で友人を作る 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
9	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	クラウドファンディング 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
10	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	クラウドファンディング 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
11	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	社会起業 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
12	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	社会起業 2
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
13	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外留学をする 1
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
14	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	海外留学をする 2 リスニングレポート提出 二回目
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習
15	事前学習	テキストの指定されたユニットの聴き取りの練習・内容の理解
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で学んだ表現やミニテストの復習、多聴の練習

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	津田 千悦子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語Cに続いて、リスニングとスピーキングの力をさらに高めていくように、日常的な話題、時事的な話題を扱います。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。 TOEICテストのための基礎力を身に付け、スコア450点以上を目標とします。					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。 原則、英語Cと通年で履修して下さい。					
授業方法	演習方式で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		毎時間の小テスト, 前期末のまとめのテスト, 課題提出	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	成美堂		Quick Mastery of the TOEIC Listening Test		松本恵美子他
	2017	英宝社		Communication Strategies for Independent English Users		達川奎三他
	備考	(テキストは英語Cと共通です)				
参考書	必要な場合は指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後に対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション。シラバスに基づき講義内容を説明する。
	事後学習	毎回、最初に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと。
2	事前学習	CommunicationのテキストUnit7のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit13 Communication : Unit7 Asking for /Giveing Clarification
	事後学習	TOEIC Unit13の語句を復習しておくこと。
3	事前学習	CommunicationのテキストUnit7のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit14 Communication : Unit7 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit14の語句を復習しておくこと。
4	事前学習	Unit8のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit15 Communication ; Unit8 Checking and Indicating Understanding
	事後学習	TOEIC Unit15の語句を復習しておくこと。

5	事前学習	Unit8のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit16 Communication : Unit8 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit16の語句を復習しておくこと。
6	事前学習	Unit9のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit17 Communication : Unit9
	事後学習	TOEIC Unit17の語句を復習しておくこと。
7	事前学習	Unit9のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit18 Review3 Communication : Unit9 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit18の語句を復習しておくこと。
8	事前学習	Unit10のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit19 Communication : Unit10 Taking Time for Thinking
	事後学習	TOEIC Unit19の語句を復習しておくこと。
9	事前学習	Unit10のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit20 Communication : Unit10 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit20の語句を復習しておくこと。
10	事前学習	Unit11のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit21 Communication : Unit11 Breaking / Avoiding Silence
	事後学習	TOEIC Unit21の語句を復習しておくこと。
11	事前学習	Unit11のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit22 Communication : Unit11 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit22の語句を復習しておくこと。
12	事前学習	Unit12のダイアログ1を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit23 Communication : Unit12
	事後学習	TOEIC Unit23の語句を復習しておくこと。
13	事前学習	Unit12のダイアログ2を練習しておくこと。
	授業内容	TOEIC Unit24 Review4 Communication : Unit12 前回の続き
	事後学習	TOEIC Unit24の語句を復習しておくこと。
14	事前学習	理解不十分だったところを確認しておく。
	授業内容	TOEIC Unit13～24のまとめ Communication : Unit7～12のまとめ
	事後学習	次週のテストに備えておくこと。
15	事前学習	後期の内容を復習しておくこと。
	授業内容	後期のまとめ（授業内テスト及び振り返り）
	事後学習	不十分な部分を確認しておく。

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	平岡 麻里	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策とその他の音声や映像を通じた内容理解の2つを柱として授業を行います。TOEIC対策では比較的容易なテキストを使用し、問題形式や語彙に慣れることを目指します。内容理解では留学のための資格試験やニュースなど様々な素材を使用し、大学生に求められる教養的な内容を扱います。授業以外にも英語音声に触れるように毎回の予習課題を設定し、授業で確認の小テストを実施した上で、学年末には学期全体の確認を行います。			
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。具体的には、1. TOEICで「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」とされるレベルC（スコア470-729）に到達する、2. 様々なリスニング・スキルを学び、それらを聞くべき内容や状況に応じて使い分けできるようになる、この2つを目標とします。また、様々な素材を通じ、これからの学生生活と卒業後の社会人生活において独力で英語学習を継続できる「独立した学習者」となる第一歩を踏み出せるような指導を行います。			
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラスです。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修して下さい。英語Dのみ履修の場合でも教科書に購入は必須です。			
授業方法	すべての学生が語彙の予習を行っていること前提に、予習確認、問題演習、ディクテーションなどを行う演習形式で授業を進めます。ペアやグループでの活動が課されることもあり、学生には積極的な参加が求められます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回の小テストの結果、問題演習や授業内課題への参加状況やその成果、受講態度、全体のまとめの最終確認などの授業内活動で評価を行います。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	金星堂	『TOEICテストリスニング集中演習（Upward Listening for the TOEIC Test）』	蒔越知子、B. Smillie
	備考	その他、授業内で教材や資料を配付します。また、教材CDを聞くことができる機材およびオンラインの映像や音声にアクセスできるスマートフォンやパソコンなど（大学のパソコンでも可能）も必要になります。		
参考書	大学生から社会人レベルの英和辞典（電子辞書推奨）を授業時に必ず持参してください。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業前後またはE-mail(hiraoka.mari11@nihon-u.ac.jp)にて対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認、教科書の所持確認、英語Dのみ履修の場合は教科書の購入
	授業内容	英語でCの学習内容確認 授業スケジュールと授業内容の確認 TOEIC Unit 4[Part 1]の導入
	事後学習	予習・自習に必要な機材（CDプレーヤーやパソコン）の確認 各自、学期末TOEIC-IPでの到達目標を設定
2	事前学習	TOEIC Unit4 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit4 予習確認テスト（語彙とCheck it Out!） TOEIC Unit4[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
3	事前学習	TOEIC Unit10 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit10 予習確認テスト（語彙とCheck it Out!） TOEIC Unit10[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
4	事前学習	TOEIC Unit16 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit16 予習確認テスト（語彙とCheck it Out!） TOEIC Unit16[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習

5	事前学習	TOEIC Unit22 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit22 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit22[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
6	事前学習	TOEIC Unit5 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit5 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit5[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
7	事前学習	TOEIC Unit11 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit11 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit11[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
8	事前学習	TOEIC Unit17 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit17 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit17[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
9	事前学習	TOEIC Unit23 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit23 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit23[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
10	事前学習	TOEIC Unit6 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit6 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit6[Part1] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
11	事前学習	TOEIC Unit12 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit12 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit12[Part2] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
12	事前学習	TOEIC Unit18 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit18 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit18[Part3] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	TOEIC学習記録シート記入と復習
13	事前学習	TOEIC Unit24 予習確認テストの準備（語彙とCheck it Out!）
	授業内容	TOEIC Unit24 予習確認テスト(語彙とCheck it Out!) TOEIC Unit24[Part4] 演習 その他の教材の演習
	事後学習	学習記録シート記入と復習
14	事前学習	学期全体の学習事項の復習
	授業内容	学期全体のまとめと確認
	事後学習	弱点の確認
15	事前学習	学期全体の振り返り
	授業内容	全体のフィードバック
	事後学習	今後の英語学習計画

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	アソニー トービン	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-----------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	In this course students will learn the necessary vocabulary and phrases to engage in a wide variety of discussions.				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The objective of this course is to develop basic skills so that students comprehensively and conversationally communicate through authentic English materials and so that students can prepare for their certain language proficiency examination, such as TOEIC, TOEFL or Eiken test. The objective for this course is for students to learn a wide range of vocabulary and language patterns which will help them communicate actively in a wide variety of situations.				
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。In this course students will engage in group and whole class discussions.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	50%:several short tests(throughout the semester),a presentation(the end of the semester) 50%:Students are expected to participate in all class activities.	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2008	Cengage	Communication Strategies 1		David Paul
	備考				
参 考 書	An English dictionary.				
オフィスアワー	The teacher can be reached at tonymtobin@hotmail.com to arrange a consultation.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7 Beliefs Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
2	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7 Beliefs Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
3	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 8 The Future Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
4	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 8 The Future Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit

5	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 9 Transportation Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
6	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 9 Transportation Skills: English listening and discussion skills Short test
	事後学習	Review unit
7	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 10 Vices Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
8	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 10 Vices Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
9	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 11 Marriage Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
10	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 11 Marriage Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
11	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 12 Animals Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
12	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 12 Animals Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
13	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review Short test
	事後学習	Revise all units
14	事前学習	Revise all units
	授業内容	End of term presentations
	事後学習	Revise all units
15	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review
	事後学習	Revise all units

科目名	英語D【政治経済学科1年生共通クラス】	担当者	M. ボックス	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course is designed to help students learn how to communicate more freely and fluently using the English that they have studied in the past using original materials designed to help them gain fluency.					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。The main goal is for students to learn how to use the English they already know and to gain confidence in their ability to communicate in English.					
履修条件	政治経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。Students will participate in a variety of activities designed to help meet the course goals. The teacher will supervise, guide, and counsel on an individual basis as necessary.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%		No regular exam will be given, but performance will be measured on participatio in each class.	
	平常評価		100%		The grade will be based 90% on in-class participation on a daily basis, and 10% on other activities.	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	none					
	備考	No text required. Printed materials will be distributed at each lesson.				
参考書	No additional reference materials are required.					
オフィスアワー	micahbox@gmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Class explanation, orientation.
	事後学習	Review class rules.
2	事前学習	Prepare materials required for information cards and bring them to class.
	授業内容	Fill out information cards, class activity.
	事後学習	Review orientation materials.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Class activity will focus a specific English speaking target. Print outs and language targets will be specifically geared to the needs of the class and the progress they make each lesson.
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.
15	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Final class evaluations. Review
	事後学習	Review lesson and practice target skills from class materials.

科目名	英語D【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語化する世界に対応するための英語力アップを目指す。					
授業目的・到達目標	TOEFL、TOEIC、英検などの資格試験や専門分野に必要なリスニング、表現（ライティング、スピーキング）の基本的な能力を磨くことを目標とする。TOEICテスト、TOEFLテスト受験のための基礎力を身に着け、TOEFL（ITP）420点以上、TOEIC450点以上、英検二級以上などの獲得を目標とする。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強くすすめる。原則、英語Cと通年で履修することを望む。2年生以上は履修できない。					
授業方法	原則、名簿順に演習する。殆ど毎回小テストを実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		発表・プレゼンなど（50％）、殆ど毎回行う小テストなど（50％）。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	原則、テキストを使用しない。次回使用する分は常に渡す。				
参考書	随時、紹介する。					
オフィスアワー	原則、授業前後に随時受け付ける。その他、メールでも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の英語力を再確認する。
	授業内容	ガイダンス 基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（2）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（3）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（４）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（２）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（５）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（１）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（２）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（３）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（３）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（４）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（５）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（６）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	総括と今後の学習の指針。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。将来の自分の英語力アップのために計画をたて、努力する。

科目名	英語D【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English speaking and listening skills.				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野でのコミュニケーションに必要なスピーキング・リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。				
授業方法	演習方式。We will focus on speaking and listening to English in the class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	Evaluation will be classwork 75%, speaking/listening test 25%.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Cambridge UP		English Unlimited Elementary	Tilbury & Clementson
	備考				
参考書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 7A Work & Study. How we do things to learn and make money.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7B Activities. Things we can do when we go out.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8A Family. The people around us who are important in our lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8B Relationships. How we get along with friends and others.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9A Traveling. Going to new places by different ways.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9B Transportation. What we use to travel to different places, including school and work.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10A Movies. Kinds of movies and why we like them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10B Arrangements. Working out how to do things that are important.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11A Flying. Going to far away places.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11B Stories. Things that have happened to us.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12A Health. How we feel and what shape we are in.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12B Advice. Helping people know how to do things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12C Information. Finding out important things we need to know.
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	英語D【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	鬼塚 雅子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	世界の若者とのインタビューの教材を通して、他国の学校制度や社会生活、人々の考え方や価値観を学び、積極的にコミュニケーションを実践できるようになることを期待しています。他者を理解すると同時に、自己表現の力を身につけてほしいと思っています。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検などの資格試験に必要な語彙力を身に付け、リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。それによってある程度のコミュニケーションを自力で行うための土台作りができるでしょう。TOEICテストのための基礎英語力を身に付け、スコア450点を目標とします。英検の場合は2級合格を目標とします。				
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。授業時には必ず辞書（ただし携帯電話やスマートフォンは使用不可）を持参してください。				
授業方法	全員参加型の演習方式です。できるだけ耳と口と手を使って積極的に授業に参加して欲しいと思っています。1回の授業でone unitの学習を目指します。語彙力チェックや暗記（ペアやグループによる練習や発表）も実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度、グループワーク、小テスト・単語テスト結果、まとめのテスト結果など	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	成美堂		World Interviews—Improving Listening and Speaking Skills— （インタビューで学ぶ世界の英語）	Miles Craven
	備考				
参考書	英和・和英辞典(小学館、大修館など)、英英辞典（オックスフォード、ロングマンなど）、百科事典など				
オフィスアワー	質問や問い合わせはできるだけ授業前後をお願いします。メールについては授業内で説明します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 12 Student Life に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 12 Student Life Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 12 Student Life で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする
2	事前学習	Unit 13 The Arts に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 13 The Arts Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 13 The Arts で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
3	事前学習	Unit 14 Shopping に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 14 Shopping Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 14 Shopping で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
4	事前学習	Unit 15 Friends に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 15 Friends Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 15 Friends で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussion の質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。

5	事前学習	Unit 16 Sport に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 16 Sport Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 16 Sport で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
6	事前学習	Unit 17 Politics に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 17 Politics Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 17 Politics で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
7	事前学習	Unit 18 Animals に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 18 Animals Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 18 Animals で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
8	事前学習	Unit 19 Money Matters に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 19 Money Matters Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 19 Money Matters で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
9	事前学習	Unit 20 Cultural Identity に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 20 Cultural Identity Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 20 Cultural Identity で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
10	事前学習	Unit 21 Family に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 21 Family Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 21 Family で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
11	事前学習	Unit 22 Youth Culture に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 22 Youth Culture Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 22 Youth Culture で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
12	事前学習	Unit 23 Dating and Marriage に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 23 Dating and Marriage Dictation, Vocabulary, Pronunciation, Listening, Conversation, Note-taking
	事後学習	Unit 23 Dating and Marriage で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる（テキストのDiscussionの質問に応え、自分の意見をまとめる）。CDを聞いて音読練習をする。
13	事前学習	後期に学習した語彙（単語、熟語、発音記号）を復習する。
	授業内容	語彙力チェック、復習
	事後学習	自分の弱点を探る。
14	事前学習	前期に学習した英語のさまざまな表現を復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	自分が何を理解できていなかったかを確認する。
15	事前学習	後期を通して、自分が学習した内容を振り返り、質問事項を整理する。
	授業内容	振り返り、質問への応答及び疑問点の解説、今後の英語学習への助言
	事後学習	自分の間違いを確認する。今後の学習方法や計画を考える。

科目名	英語D【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語による様々な場面の発話を教材として語彙力を強化しつつ、リスニングの力を伸ばすことにより英語による発信力の土台とします。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要とされるリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。スピーキングの基礎となるリスニングの力を身につけ、TOEIC のスコア550点以上を目標とします。					
履修条件	新聞学科 1 年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。 原則、英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	様々な場面の発話を聞きディクテーションを行い、それに沿って発話の練習をします。授業の初めに前回の授業のボキャブラリーと内容理解確認の小テストを実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の小テスト(50%)、まとめのテスト(50%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	南雲堂		Listening Breakthrough for the TOEIC Test		Terry O' Brien
	備考					
参考書	英和辞書。その他は授業の中で指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、8：30から9：00、授業終了後、お昼休み、4限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 1からUnit 12までの復習をしておくこと。
	授業内容	Mini Testを行い、その解答と解説。
	事後学習	Mini Testの復習をしておくこと。
2	事前学習	Unit 13のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 13 Business Trips
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
3	事前学習	Unit 14のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 14 Production and Sales
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCをD聞き内容を理解しておくこと。
4	事前学習	Unit 15のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 15 Job Hunting and Recruitment
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCD聞き内容を理解しておくこと。。

5	事前学習	Unit 16のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 16 Accounting
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
6	事前学習	Unit 17のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 17 Personnel
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
7	事前学習	Unit 18のCDを聞き問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 18 Mini Test 3
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
8	事前学習	Unit 19のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 19 Customer Service
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
9	事前学習	Unit 20のCDを聞き問題を解き語彙を調べておく。
	授業内容	Unit 20 Order and Shipping
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
10	事前学習	Unit 21のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 21 Negotiations
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
11	事前学習	Unit 22のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 22 Persentations
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
12	事前学習	Unit 23のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 23 Marketing
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
13	事前学習	Unit 24のCDを聞き問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 24 Mini Test 4
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
14	事前学習	Unit13から24までの復習をして、質問の箇所を見付けておくこと。
	授業内容	Unit 13からUnit 24までの重要な箇所の復習を行う。
	事後学習	授業の復習箇所の内容を学習しておく。
15	事前学習	CDを聞き、小テストを振り返りまとめの学習をする。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	次年度の学習計画を立てること。

科目名	英語D【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	高等学校までに習得した英語の基本的な知識を再確認し、2年次以降の発展的な学習に備え、日本人が注意すべき prosody (rhythm, stress, intonation) を習得する多様なトレーニングを行う。リスニング、スピーキング能力向上の一助とするために、TOEIC頻出単語、熟語、文法も習得する。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。日本語と英語の発音の構造的な違いを基礎知識として学び、実際に自然な発音で英語情報を受信、発信できるようになることを目標とする。					
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修すること。また、勉学上の大きな負荷に耐えうる強靱な忍耐力を期待する。グループ演習を行うため、積極性、協調性を強く求める。					
授業方法	英語Dはリスニング、スピーキング能力の向上を目指す科目であり、発音に関わる口唇、咽喉などの「筋トレ」の時間であることを念頭において、真剣にグループ演習に取り組んでもらいたい。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		あらゆる面から総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	Cengage Learning		Sounds Like American: A Guide to Fluency in Spoken English (ISBN 978-4-86312-117-1)		Ann Cook, Atsushi Mishima
	備考					
参考書	授業内において適宜指示をする。					
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	プレゼンテーションコンテストの準備
	授業内容	プレゼンテーションコンテスト (1)
	事後学習	プレゼンテーションコンテスト (1) の振り返り
2	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	プレゼンテーションコンテスト (2)
	事後学習	プレゼンテーションコンテスト (2) の振り返り
3	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
4	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「T の発音」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「T の発音」の振り返り

5	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「L と R の発音」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「L と R の発音」の振り返り
6	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
7	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「長い語句のアクセント」・「応用練習」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「長い語句のアクセント」・「応用練習」の振り返り
8	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「V, TH, S/Z, M, N, NG, H, K, G の発音」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「V, TH, S/Z, M, N, NG, H, K, G の発音」の振り返り
9	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
10	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「長い文をリズムカルに読む」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「長い文をリズムカルに読む」の振り返り
11	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	「態度や感情を表すイントネーション」・「最後に」：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	「態度や感情を表すイントネーション」・「最後にの振り返り」
12	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り
13	事前学習	授業内演習に備え、gestureトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	後期のまとめ（1）：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	後期のまとめ（1）の振り返り
14	事前学習	授業内演習に備え、tongue twisterトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	後期のまとめ（2）：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	後期のまとめ（2）の振り返り
15	事前学習	授業内演習に備え、chantsトレーニングに取り組んでくること 小テストに備え、TOEIC頻出単語・熟語・文法プリントに取り組んでくること
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験および英会話演習の振り返り

科目名	英語D【新聞学科1年生共通クラス】	担当者	山下 登子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英文法の基礎を見直しつつ、語彙力向上を目指した学習を行い、総合的な英語力向上につなげる授業です。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。できるだけ多くの語彙を習得し、基本文法の理解及びTOEICスコア450点レベルに達することができるようにする。			
履修条件	新聞学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。			
授業方法	グループ活動を中心とした演習形式の授業です。毎回単語練習の課題を出し、授業内で単語テストを行う。遅刻3回は1回分の欠席とし、欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	単語テスト、受講状況、単語ノート提出、授業内試験などを含めて総合的に評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	桐原書店	『English Quest Plus [New Edition]（アプリで演習 英語の基礎 中級編）』	酒井 志延ほか
	備考			
参考書	英和辞書（電子辞書可）			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談などは、授業前後や休み時間に、教室、教員室またはe-mailにて対応します。 yamashita.takako1@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の準備、前期の復習など
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
2	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テストについて・Unit 7 修飾[2]（学習Unitは変更する場合があります）
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
3	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト①・Unit 7 修飾[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
4	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト②・Unit 8 修飾[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習

5	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト③・Unit 8 修飾[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
6	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト④・Unit 9 関係詞節[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
7	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑤・Unit 9 関係詞節[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
8	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑥・Unit 10 関係詞節[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
9	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑦・Unit 10 関係詞節[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
10	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑧・Unit 11 比較
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
11	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑨・Unit 11 比較
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
12	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑩・Unit 12 助動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
13	事前学習	単語ノート提出の準備、学習範囲の予習
	授業内容	ノート提出・Unit 12 助動詞
	事後学習	学習範囲の復習
14	事前学習	学習範囲の総復習
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など
15	事前学習	重要箇所や分からないところの確認など
	授業内容	まとめと見直し
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など

科目名	英語D【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グローバル化する世界に対応するための英語力アップを目指す。				
授業目的・到達目標	TOEFL、TOEIC、英検などの資格試験や専門分野に必要なリスニング、表現（ライティング、スピーキング）などの基礎的な力を磨くことを目標とする。英語表現のための必要な基本的な能力を獲得し、TOEFL（ITP）420点以上、TOEICの450点以上、英検二級以上などを目標とする。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨める。原則、英語Cと通年で履修することを望む。2年生以上は履修できない。				
授業方法	原則、名簿順に演習する。殆ど、毎回小テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	発表・プレゼンなど（50%） 殆ど毎回行う小テストなど（50%）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	原則、テキストを使用しない。次回使用する分を常に渡す。			
参考書	随時、紹介する。				
オフィスアワー	原則、授業前後に随時受け付ける。その他、メールで受ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の英語力を再確認する。
	授業内容	ガイダンス 基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（1）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（2）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（3）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（４）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（２）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ人政治家の演説を聞く。（５）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（１）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（２）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（３）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	基本的なヒヤリング・スピーキング・ライティングの確認。（３）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（４）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（５）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	アメリカ大統領の演説を聞く。（６）
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	前回の教材を復習しておく。
	授業内容	総括とこれからの学習への指針。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。これからの自分との英語との関わりを再確認し、そのスキルアップのために努力する。

科目名	英語D【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	鬼塚 雅子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	さまざまなジャンルを扱った英語教材を通して、異文化社会の生活習慣や価値観や人々の考え方を理解し、積極的にコミュニケーションを実践できるようになることを期待しています。他者を理解すると同時に、自己表現の力を学んでほしいと思っています。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検などの資格試験に必要な語彙力を身に付け、リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。それによってある程度のコミュニケーションを自力で行うための土台作りができるでしょう。TOEICテストのための基礎英語力を身に付け、スコア450点を目標とします。英検の場合は2級合格を目標とします。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。授業時には必ず辞書（ただし携帯電話やスマートフォンは使用不可）を持参してください。					
授業方法	全員参加型の演習方式です。できるだけ耳と口と手を使って積極的に授業に参加して欲しいと思っています。1回の授業でone unitの学習を目指します。語彙力チェックや暗記（ペアやグループによる練習や発表）も実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度、グループワーク、小テスト・単語テスト結果、まとめのテスト結果など	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	南雲堂		English Listening and Speaking Patterns 2 （『パターン』で学ぶ英語コミュニケーション2）		Andrew E. Bennett
	備考					
参考書	英和・和英辞典(小学館、大修館など)、英英辞典(オックスフォード、ロングマンなど)、百科事典など					
オフィスアワー	質問や問い合わせはできるだけ授業前後をお願いします。メールについては授業内で説明します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 11 Traveling に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる
	授業内容	Unit 11 Traveling Vocabulary Check, Listening: Dictation, Comprehension Check,
	事後学習	Unit 11 Traveling で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅢのPractice Itを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。
2	事前学習	Unit 11 Traveling に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 11 Traveling Usage Patterns: Talking about frequency, Questions and Answers
	事後学習	Unit 11 Traveling で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅣのYour Turnを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。
3	事前学習	Unit 12 Music に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 12 Music Vocabulary Check, Listening: Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Exaggerating what we like and dislike
	事後学習	Unit 12 Music で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅢのPractice ItとPartⅣのYour Turnを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。
4	事前学習	Unit 13 Movies に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 13 Movies Vocabulary Check, Listening: Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Comparatives and superlatives
	事後学習	Unit 13 Movies で学習した語句や表現を復習し、それらを応用した文章を自分で作ってみる（PartⅢのPractice ItとPartⅣのYour Turnを完成する）。CDを聞いて音読練習をする。

5	事前学習	Unit 14 Shopping に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 14 Shopping Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Adding comments and changing the subject
	事後学習	Unit 14 Shopping で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
6	事前学習	Unit 15 Internet に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 15 Internet Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Describing how something is changing
	事後学習	Unit 15 Internet で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる。CDを聞いて音読練習をする。
7	事前学習	Unit 16 Weather に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 16 Weather Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Expressing how often something happens
	事後学習	Unit 16 Weather で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
8	事前学習	Unit 17 Feelings に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 17 Feelings Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Talking about moods
	事後学習	Unit 17 Feelings で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
9	事前学習	Unit 18 Government に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 18 Government Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Answering difficult questions
	事後学習	Unit 18 Government で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
10	事前学習	Unit 19 Art に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 19 Art Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check, Usage Patterns: Polite negative statements and expressions of confusion
	事後学習	Unit 19 Art で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice It とPartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
11	事前学習	Unit 20 The Future に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 20 The Future Vocabulary Check, Listening:Dictation, Comprehension Check,
	事後学習	Unit 20 The Future で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅢのPractice Itを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
12	事前学習	Unit 20 The Future に一通り目を通し、わからない語句を辞書で調べる。練習問題をやってみる。
	授業内容	Unit 20 The Future Usage Patterns: Talking about the future, Questions and Answers
	事後学習	Unit 20 The Future で学習した語句や表現を復習し、それらに応用した文章を自分で作ってみる (PartⅣのYour Turnを完成する)。CDを聞いて音読練習をする。
13	事前学習	後期に学習した語彙 (単語、熟語、発音記号) を復習する。
	授業内容	語彙力チェック、復習
	事後学習	自分の弱点を探る。
14	事前学習	後期に学習した英語のさまざまな表現を復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	自分が何を理解できていなかったかを確認する。
15	事前学習	後期を通して、自分が学習した内容を振り返り、質問事項を整理する。
	授業内容	振り返り、質問への応答及び疑問点の解説、今後の英語学習への助言
	事後学習	自分の間違いを確認する。今後の学習方法や目標を考える。

科目名	英語D【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語による様々な場面の発話を教材として語彙力を強化しつつ、リスニングの力を伸ばすことにより英語による発信力の土台とします。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要とされるリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。スピーキングの基礎となるリスニングの力を身につけ、TOEIC のスコア550点以上を目標とします。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。 原則、英語Cと通年で履修してください。				
授業方法	様々な場面の発話を聞きディクテーションを行い、それに沿って発話の練習をします。授業の初めに前回の授業のボキャブラリーと内容理解確認の小テストを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の小テスト(50%)、まとめのテスト(50%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	南雲堂		Listening Breakthrough for the TOEIC Test	Terry O'Brien
	備考				
参考書	英和辞書。その他は授業の中で指示します。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、8：30から9：00、授業終了後、お昼休み、4限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unit 1からUnit 12までの復習をしておくこと。
	授業内容	Mini Testを行い、その解答と解説。
	事後学習	Mini Testの復習をしておくこと。
2	事前学習	Unit 13のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 13 Business Trips
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
3	事前学習	Unit 14のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 14 Production and Sales
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCをD聞き内容を理解しておくこと。
4	事前学習	Unit 15のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 15 Job Hunting and Recruitment
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCD聞き内容を理解しておくこと。。

5	事前学習	Unit 16のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 16 Accounting
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
6	事前学習	Unit 17のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 17 Personnel
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
7	事前学習	Unit 18のCDを聞き問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 18 Mini Test 3
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
8	事前学習	Unit 19のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 19 Customer Service
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
9	事前学習	Unit 20のCDを聞き問題を解き語彙を調べておく。
	授業内容	Unit 20 Order and Shipping
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
10	事前学習	Unit 21のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 21 Negotiations
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
11	事前学習	Unit 22のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 22 Persentations
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
12	事前学習	Unit 23のCDを聞き問題を解き語彙を調べておくこと。
	授業内容	Unit 23 Marketing
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
13	事前学習	Unit 24のCDを聞き問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 24 Mini Test 4
	事後学習	次回の小テストに備えてスクリプトを見ながらCDを聞き内容を理解しておくこと。
14	事前学習	Unit13から24までの復習をして、質問の箇所を見付けておくこと。
	授業内容	Unit 13からUnit 24までの重要な箇所の復習を行う。
	事後学習	授業の復習箇所の内容を学習しておく。
15	事前学習	CDを聞き、小テストを振り返りまとめの学習をする。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	次年度の学習計画を立てること。

科目名	英語D【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	堀 紳介	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	この授業の前半ではまず学生は基本的な英会話表現を学びます。後半では前半で学んだ表現を実際の英会話で実践する術を学びます。 テストでは英語面接を行ない、授業内で学んだ表現が実践できているかを確認します。 この授業では受け身的な英語学習に終始することはありません。学生は授業内で積極的に発言することが求められます。				
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング、スピーキングの基礎力を磨くことを目標としています。 授業ではテキストを用い、基本的な英会話表現を学びますが、学生が学んだ表現を能動的に実践することが出来るようになることを目指します。				
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。				
授業方法	授業は基本的に演習形式で進めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常評価 (Report 30% Interview 70%) *授業に出席することは単位を認定する上での前提条件とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		English First: Starter : 大学英語の総合的アプローチ	Robert Hickling 臼倉美里
	備考				
参 考 書	随時指示します。				
オフィス アワー	基本的には授業内で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、後期授業内容の説明、
	事後学習	Pre-Unitの問題を授業が始まる前までに解いておくこと。
2	事前学習	Unit 4 の問題を授業が始まるまでに解いておくこと。
	授業内容	Unit 4 : 英語の基本構造を学び (S+V+O+C) 、それを会話で実践する術を理解する。
	事後学習	授業後のノート整理 (レポート提出に備えて)
3	事前学習	授業が始まるまでにUnit 4 のリスニング部分を付属のCDで聞いておくこと。
	授業内容	Unit 4 リスニング問題 : 英語の発音の仕組み、日本語との違いを学ぶ
	事後学習	授業後のノート整理 (レポート提出に備えて)
4	事前学習	Unit 4 文法セクションを授業が始まるまでに解いておくこと。
	授業内容	Unit 4 リスニング問題、文法問題 : 実際の英会話実践例を紹介
	事後学習	授業後のノート整理 (レポート提出に備えて)

5	事前学習	授業が始まるまでにUnit 5 のリスニング部分を付属のCDで聞いておくこと。
	授業内容	Unit 5 リスニング問題：英文のスピードに慣れる。
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
6	事前学習	Unit 5 の文法問題を授業が始まるまでに解いておくこと。
	授業内容	Unit 5 文法問題：英米文化を紹介しながら、英会話を実践
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
7	事前学習	授業が始まるまでにUnit 6 のリスニング問題を付属のCDで聞いておくこと。
	授業内容	Unit 6 リスニング問題：英文のスピードに慣れる。
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
8	事前学習	授業が始まるまでにUnit 6 の文法問題を解いておくこと。
	授業内容	Unit 6 文法問題：英米文化を紹介しながら、英会話を実践
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
9	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表①
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
10	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表②
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
11	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表③
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
12	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表④
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
13	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表⑤
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
14	事前学習	授業が始まるまでに発表事項をまとめておくこと。
	授業内容	テスト準備：これまでに学んだ表現を用いて英会話発表⑥
	事後学習	授業後のノート整理（レポート提出に備えて）
15	事前学習	英語面接に向けた準備
	授業内容	英語面接、一年間の授業のまとめ
	事後学習	これまでの既習事項を復習すること。

科目名	英語D【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	山下 登子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英文法の基礎を見直しつつ、語彙力向上を目指した学習を行い、総合的な英語力向上につなげる授業です。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。できるだけ多くの語彙を習得し、基本文法の理解及びTOEICスコア450点レベルに達することができるようにする。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	グループ活動を中心とした演習形式の授業です。毎回単語練習の課題を出し、授業内で単語テストを行う。遅刻3回は1回分の欠席とし、欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		単語テスト、受講状況、単語ノート提出、授業内試験などを含めて総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	桐原書店		『English Quest Plus [New Edition]（アプリで演習 英語の基礎 中級編）』		酒井 志延ほか
	備考					
参考書	英和辞書（電子辞書可）					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談などは、授業前後や休み時間に、教室、教員室またはe-mailにて対応します。 yamashita.takako1@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の準備、前期の復習など
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
2	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テストについて・Unit 7 修飾[2]（学習Unitは変更する場合があります）
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
3	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト①・Unit 7 修飾[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
4	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト②・Unit 8 修飾[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習

5	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト③・Unit 8 修飾[3]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
6	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト④・Unit 9 関係詞節[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
7	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑤・Unit 9 関係詞節[1]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
8	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑥・Unit 10 関係詞節[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
9	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑦・Unit 10 関係詞節[2]
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
10	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑧・Unit 11 比較
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
11	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑨・Unit 11 比較
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
12	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト⑩・Unit 12 助動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
13	事前学習	単語ノート提出の準備、学習範囲の予習
	授業内容	ノート提出・Unit 12 助動詞
	事後学習	学習範囲の復習
14	事前学習	学習範囲の総復習
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など
15	事前学習	重要箇所や分からないところの確認など
	授業内容	まとめと見直し
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など

科目名	英語D【経営法学科1年生共通クラス】	担当者	吉澤 小百合	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日常の身近なテーマやビジネスシーンでよく見られる場面や表現を扱ったテキストなどを使用し、リスニング力が向上させる。また、ペアワークやグループワークを通してスピーキング能力を向上させる。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的とする。総合的な英語力（特にリスニング）の基礎を固め、特定のテーマについて自分の意見を簡単な英語で述べられるようにする。					
履修条件	経営法学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則英語Cと通年で履修すること。					
授業方法	教科書を中心に演習形式で行う。適宜、プリントも配布する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		小テスト(10%)や課題(10%)，授業参加度(30%)，期末試験(50%)により，総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	南雲堂		① Listening Breakthrough for the TOEIC Test (TOEICテストのリスニング攻略)		テリー・オブライエン，三原京ほか
	2018	金星堂		② Listening Upgrade for the TOEIC Test		薮越知子・Ryan Smithers
	備考					
参考書	適宜指示する。 書籍辞書または電子辞書を持参すること。					
オフィスアワー	授業に関する質問や相談は，授業の前後またはメールにて対応する。（メールアドレスは授業初回に知らせる）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	後期の授業について何か質問したいことがあれば考えておくこと。
	授業内容	後期授業についての説明
	事後学習	配布したプリントを読み，確認しておくこと。
2	事前学習	① のUnit 13 Warm-up Check 1 & 2 (p.32)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 13 Business Trips ② Unit 3 Part 1 写真描写問題③
	事後学習	授業で学んだ内容を，配布プリント② Unit 3 等で復習すること。
3	事前学習	① のUnit 14 Warm-up Check 1 & 2 (p.34)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 14 Production and Sales ② Unit 4 Part 1 写真描写問題 まとめ
	事後学習	授業で学んだ内容を，配布プリント② Unit 4 等で復習すること。
4	事前学習	① のUnit 15 Warm-up Check 1 & 2 (p.36)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 15 Job Hunting and Recruitment ② Unit 8 Part 2 応答問題④
	事後学習	授業で学んだ内容を，配布プリント② Unit 8 等で復習すること。

5	事前学習	① のUnit 16 Warm-up Check 1 & 2 (p.38)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 16 Accounting ② Unit 9 Part 2 応答問題⑤
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 9 等で復習すること。
6	事前学習	① のUnit 17 Warm-up Check 1 & 2 (p.40)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 17 Personnel ② Unit 10 Part 2 応答問題 まとめ
	事後学習	① Unit 13～17 の復習をしておくこと。 配布プリント② Unit 10 で復習すること。
7	事前学習	提出課題をやっておくこと。
	授業内容	① Unit 18 Mini Test 3 ② Unit 15 Part 3 会話問題⑤
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 15 等で復習すること。
8	事前学習	① のUnit 19 Warm-up Check 1 & 2 (p.44)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 19 Customer Service ② Unit 16 Part 3 会話問題⑥
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 16 等で復習すること。
9	事前学習	① のUnit 20 Warm-up Check 1 & 2 (p.46)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 20 Import and Export ② Unit 17 Part 3 会話問題⑦
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 17 等で復習すること。
10	事前学習	① のUnit 21 Warm-up Check 1 & 2 (p.48)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 21 Negotiations ② Unit 18 Part 3 会話問題 まとめ
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 18 等で復習すること。
11	事前学習	① のUnit 22 Warm-up Check 1 & 2 (p.50)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 22 Presentations ② Unit 22 Part 4 説明文問題④
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 22 等で復習すること。
12	事前学習	① のUnit 23 Warm-up Check 1 & 2 (p.52)を問題を解いておくこと。
	授業内容	① Unit 23 Marketing ② Unit 23 Part 4 説明文問題⑤
	事後学習	授業で学んだ内容を、配布プリント② Unit 23 等で復習すること。
13	事前学習	提出課題をやっておくこと。
	授業内容	① Unit 24 Mini Test 4 ② Unit 24 Part 4 説明文問題 まとめ
	事後学習	① Unit 18～24 の復習をしておくこと。 配布プリント② Unit 24 で復習すること。
14	事前学習	これまでの授業内容で分からないところがないか確認し、質問ができるように準備しておくこと。
	授業内容	後期の総復習と質問受付
	事後学習	これまでの授業の総復習を改めてすること。
15	事前学習	後期の総まとめに備えること。
	授業内容	後期の総まとめ
	事後学習	授業で行った内容をテキスト等で確認してみること。

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TED Talksのコンテンツをもとに、授業内に意見交換するために内容を読み込んだ上で、自分の言葉で相手に伝え speakingの力をつけます。テキスト以外にも興味ある分野の文章を読み、発言できるようにします。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要リスニング、スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。国際研修や交換留学等の海外留学に必要とされる英語力を総合的に身につけ、また、TOEICやTOEFLのスコアアップに繋がります。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Dと通年で履修してください。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加。小テスト結果。期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	Cengage Learning		Keynote 3 ISBN-13 978 1 305 96505 8		Paul Dummett
	備考					
参考書	辞書 は毎回持参してください。参考書は必要に応じて紹介します。リスニングに慣れるため、BBC, NHK World, CNNなどの英語ニュースに普段から慣れ親しんでください。					
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Preview Unit 7
	授業内容	Introduction Overview of the course
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Preview Unit 7 Part 1
	授業内容	Unit 7 – Part 1 Identity
	事後学習	Vocabulary note
3	事前学習	Preview Unit 7-Part 2
	授業内容	Unit 7 – Part 2 Where is home?
	事後学習	Vocabulary note
4	事前学習	Preview Unit 8 Part 1
	授業内容	Unit 8 – Part 1 Transportation solutions
	事後学習	Vocabulary note

5	事前学習	Preview Unit 8 Part 2
	授業内容	Unit 8 – Part 2 A skateboard, with a boost
	事後学習	Vocabulary note
6	事前学習	Preview Unit 9 Part 1
	授業内容	Unit 9 – Part 1 New words
	事後学習	Vocabulary note
7	事前学習	Preview Unit 9 Part 2
	授業内容	Unit 9 – Part 2 What makes a word “real”?
	事後学習	Vocabulary note
8	事前学習	Preview Unit 10 Part 1
	授業内容	Unit 10 – Part 1 understanding emotions
	事後学習	Vocabulary note
9	事前学習	Preview Unit 10 Part 2
	授業内容	Unit 10 – Part 2 This APP knows how you feel
	事後学習	Vocabulary note
10	事前学習	Preview Unit 11 Part 1
	授業内容	Unit 11 – Part 1 Leaders and thinkers
	事後学習	Vocabulary note
11	事前学習	Preview Unit 11 Part 2
	授業内容	Unit 11 – Part 2 Life at 30,000 feet
	事後学習	Vocabulary note
12	事前学習	Preview Unit 12 Part 1
	授業内容	Unit 12 – Part 1 Well-being
	事後学習	Vocabulary note
13	事前学習	Preview Unit 12 Part 2
	授業内容	Unit 6 – Part 2 How to succeed? Get more sleet
	事後学習	Vocabulary note
14	事前学習	Review Unit 7~12
	授業内容	Review
	事後学習	Vocabulary note Review Unit 7~12
15	事前学習	Review Unit 7~12
	授業内容	Summary of Unit 7~12
	事後学習	Review Unit 7~12

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	20世紀最大の海難事故とされるタイタニック号の悲劇を壮大なスケールで映像化した映画『タイタニック』（Titanic）を題材に、英語のリスニングとスピーキングを中心とした総合的な英語力を身につけていきます。同時に、Role PlayやDiscussionを通して、積極的に他者とかわろうとするコミュニケーション能力を育みます。			
授業目的・到達目標	(1) TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 (2) Role PlayやDisucussionを通して、積極的に他者とかわろうとする姿勢を育むことを目標としています。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Dと通年で履修してください。			
授業方法	DVDを活用しながら授業を進めていきます。Role PlayやDiscussionなどのグループ・ワークも実施します。また、小テストを実施することで、理解度の確認をしていきます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	成美堂	『Learn English with TITANIC 映画『タイタニック』で学ぶ総合英語』	角山 照彦 他
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	火曜日10:30～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	Unit 7 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 7 I'm Flying! Post-viewing Activities (Grammar, Discusion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
3	事前学習	Unit 8 のVocaburaryの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 8 Iceberg Right Ahead! Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
4	事前学習	Unit 8 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 8 Iceberg Right Ahead! Post-viewing Activities (Grammar, Discusion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。

5	事前学習	Unit 9 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 9 An Honest Thief Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
6	事前学習	Unit 9 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 9 An Honest Thief Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
7	事前学習	Unit 10 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 10 Goodbye, Mother Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
8	事前学習	Unit 10 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 10 Goodbye, Mother Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
9	事前学習	Unit 11 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 11 Get in the Boat Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
10	事前学習	Unit 11 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 11 Get in the Boat Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
11	事前学習	Unit 12 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 12 Two Tragic Bullets Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
12	事前学習	Unit 12 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 12 Two Tragic Bullets Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
13	事前学習	Unit 13 のVocabularyの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 13 Trust Me Previewing Activities (Vocabulary, Expressions, Listen Up) Viewing Activities (True/False Questions, Partial Dictation & Role Play) Post-viewing Activities (Summary)
	事後学習	授業内容の復習。 音読。
14	事前学習	Unit 13 のGrammarとReadingの問題を解いておく。
	授業内容	Unit 13 Trust Me Post-viewing Activities (Grammar, Discussion, Reading) 小テスト。
	事後学習	授業内容の復習。 音読。

15	事前学習	後期の授業内容を復習しておく。
	授業内容	後期の授業のまとめ。
	事後学習	『タイタニック』を再度視聴する。

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	藤木 智子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	リスニングおよびスピーキングを中心にTOEICの問題を解いていきます。予習で英単語の発音や意味を確認しておきましょう。授業での発話を積極的に行いましょう。また、復習をして、授業で学習したことをきちんとノートに書きこみ、知識の基礎固めをしましょう。授業は皆さんが主役なので、積極的に取り組んでください。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原著理解等に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。できる限り多くのネイティブの発音する英語に触れ、そして時事英語にも触れましょう。まずは目標をたてて、一年間で達成できるように挑戦しましょう。一年生では450点を目標とします。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。スマートフォンや携帯などの端末の利用は厳禁です。			
授業方法	リスニングに関しては、本文や問題文の音読と、解説的な訳（代名詞が指すものを補うなど）を求めます。発表担当でない学生にも、発言が求められることがあります。毎回、全員が一度は発表しますので、事前に予習をしましょう。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	60%) 学期末にテストをします。 40%) 平常評価では授業参加度を重視します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	15年度	朝日出版	『いま始めようTOEICテスト』	北尾泰幸
	14年度	南雲堂	『5分間 新TOEICテストリスニング 550』	片野田 浩子
	14年度	南雲堂	『5分間 新TOEICサブリメント 文法語法』	小池 直己
	備考			
参考書	英和、和英辞書両方です。電子辞書、紙媒体どちらでも構いません。例文と品詞が載っているものに限ります。授業中に携帯やスマホを辞書代わりに使用することは認めません。必ず辞書を準備してください。			
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 7の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと(2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。(3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Orientation 授業の方法についてレクチャーをします。授業に関する質問に答えます。オリエンテーションの後、授業をしますので、教科書および英和・和英辞書を用意してください。
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
2	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 7の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと(2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。(3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 7 『いま始めようTOEICテスト』、前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 Section 4 『TOEICテストサブリメント』を扱います。 5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 0
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
3	事前学習	(1) 事前学習として、教科書の『いま始めようTOEICテスト』Unit 8の単語や表現、文法事項などを調べながら読むこと(2) リーディングは訳を1度で日本語で書いてみる。また、文法は教科書で扱われているテーマについて考える。分からないところは、どこがどのように分からないのかを明らかにし、授業時の質問として備えておくこと。(3) リスニングは事前に音読の練習を行ってください。
	授業内容	Unit 8 『いま始めようTOEICテスト』前回箇所を復習し、問題を解いていきます。 Section 4 『TOEICテストサブリメント』を扱います。 5分間 新TOEICテストリスニング 550』問題1 1
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 毎回の授業内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。

14	事前学習	事前学習として、どこがどのように分からないのかを明らかにし、備えておくこと。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	事後学習として、間違えた箇所を必ず復習してください。 不明な点など、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめておくこと。
15	事前学習	最近のニュースに関して事前に英字新聞などを読んで、時事英語に関する単語などを調べておく とより一層理解が深まるので準備しておくこと。
	授業内容	今期のまとめをして、時事英語に関するDVDを鑑賞しましょう。
	事後学習	事後学習として、今回のDVDの内容を、自分で見て分かりやすいようにノートにまとめること。

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	堀 千和子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学生の皆さんが遭遇する場面で使用できる英語表現を身に着けることが、この授業の目的です。英語の音声を取り、理解し、文法と英語表現を学習し、定着させます。その際に、ディクテーションの一種であるディクトグロスを使用して、インプットからアウトプットの活動を行っていきます。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検などの資格試験や専門分野の学習に必要なスピーキング、リスニングの基礎力を磨くことを目的としています。1. 語彙力の増強、2. 自分の意見を平易な英語で伝える、3. 2年時の英語資格試験のクラスで余裕を持って勉強できる英語力をつける、の3点を目標とします。				
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修して下さい。				
授業方法	授業のはじめに英語ニュースを使ったクイズをします。ディクテーション、ペアワーク、グループワークをしながら、リスニング力と表現力を高めています。英字新聞や映像教材など副教材も取り入れます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間試験 25%、期末試験 35%、プレゼンテーション 20%、授業への貢献度 5%。レポート 5%、グループワーク 10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	金星堂		ディクトグロスで学ぶコミュニケーション英文法 (Taking Action)	山本成、Kelly Kimura
	備考				
参考書	英和辞典、英英辞典				
オフィスアワー	授業に関する質問は、授業終了後またはE-mailにて対応します。授業開始時にアドレスをお知らせします。授業関連の連絡は大学ポータルを使用します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の試験やプレゼンテーションを振り返り、後期の学習への目標を立てておく。
	授業内容	ガイダンス、後期のプレゼンテーションの説明
	事後学習	後期のプレゼンテーションの題材を考えておく。
2	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	英字新聞や英語ニュースを使用して テキスト Unit 8 助動詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
3	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話を聞いておく。8わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 9 受動態
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
4	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 10 前置詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。

5	事前学習	これまで学んだ英語表現を使用し、プレゼンテーションができるように原稿と視聴覚資料を作成する。複数回、練習する。
	授業内容	プレゼンテーション 1
	事後学習	自分のプレゼンテーションの手直しを行う。
6	事前学習	これまで学んだ英語表現を使用し、プレゼンテーションができるように原稿と視聴覚資料を作成する。複数回、練習する。
	授業内容	プレゼンテーション 2
	事後学習	自分のプレゼンテーションを振り返り、改善点を挙げる。他の人の発表を振り返り、いい点を挙げる。
7	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 1 1 未来形
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
8	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 1 2 比較
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
9	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 1 3 関係代名詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
10	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 1 4 関係副詞
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
11	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	テキスト Unit 1 5 仮定法
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
12	事前学習	わからない英単語は調べておく。
	授業内容	副教材 ニュース記事
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
13	事前学習	ダウンロードした聴覚教材で会話文を聞いておく。わからない英単語は調べておく。
	授業内容	副教材 英語ニュース
	事後学習	授業で学習した英単語、表現を復習する。内容でわからない箇所がないかチェックする。あれば質問できるようにしておく。
14	事前学習	今期に学習した会話文のディクテーションができるようにしておく。余力があればシャドーイングの練習をする。
	授業内容	聞き取りの振り返り
	事後学習	聞き取れなかった箇所を復習する。
15	事前学習	今期に学習した箇所を復習する。
	授業内容	後期の振り返り
	事後学習	理解があやふやな箇所をチェックし、次年度の学習に役立てられるようにする。

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	本間 俊一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	まず映画 The third man の script に親しみ、英語特有の表現に習熟し、また音声のみでも作品を理解できるようにすることを目標にする。同時に、作品の歴史的・社会的背景を学習し、作品を深く読解し、内容の要旨を単元ごとにまとめて表現する力を養う。ドラマの natural な英語表現を理解し、最終的には字幕なしで理解できるようにする。					
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 多言語の国際社会は、事実上英語が共通語になっている。この国際社会の現状をよく認識し、英語学習への意欲をさらに高めることを大きな目標とします。					
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励する。原則、英語Cと通年で履修してください。					
授業方法	複数の課題が要求される。web を通じて、課題を提出することが可能。 USBメモリがあると役立つ。イヤホンは携帯必須。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常評価（テスト70%、課題20%、小テスト10%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	朝日出版社		The Third Man		John S. Lander
	備考					
参考書	特になし。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはemailにて対応いたします。 homma.toshikazu11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	p. 26 Introduction の予習
	授業内容	Unit 6 読解(pp. 83-86) Q&A thirdman09(unit6-1)
	事後学習	Q&A thirdman09(unit6-1)のreview
2	事前学習	p. 27 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 6 Exercise pp.28-29
	事後学習	Unit 6 Exercise pp.28-29 のreview
3	事前学習	p. 31 Introduction の予習
	授業内容	Unit 7 読解(pp. 86-88) Q&A thirdman10(unit7-1)
	事後学習	Q&A thirdman10(unit7-1)のreview
4	事前学習	p. 32 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 7 Exercise pp.33-34
	事後学習	Unit 7 Exercise pp.33-34のreview

5	事前学習	p. 36 Introduction の予習
	授業内容	Unit 8 読解(pp. 88-92) Q&A thirdman11(unit8-1)
	事後学習	Q&A thirdman11(unit8-1)のreview
6	事前学習	p. 37 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 8 Exercise pp. 38-39
	事後学習	Unit 8 Exercise pp. 38-39のreview
7	事前学習	p. 41 Introduction の予習
	授業内容	Unit 9 読解(pp. 92-94) Q&A thirdman12(unit9-1)
	事後学習	Q&A thirdman12(unit9-1)のreview
8	事前学習	p. 42 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 9 Exercise pp. 43-45
	事後学習	Unit 9 Exercise pp. 43-45のreview
9	事前学習	p. 46 Introduction の予習
	授業内容	Unit 10 読解(pp. 94-98) Q&A thirdman13(unit10-1)
	事後学習	Q&A thirdman13(unit10-1)のreview
10	事前学習	p. 47 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 10 Exercise pp. 48-49
	事後学習	Unit 10 Exercise pp. 48-49のreview
11	事前学習	p. 51 Introduction の予習
	授業内容	Unit 11 読解(pp. 98-100) Q&A thirdman14(unit11-1)
	事後学習	Q&A thirdman14(unit11-1) のreview
12	事前学習	p. 52 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 11 Exercise pp. 53-54
	事後学習	Unit 11 Exercise pp. 53-54 のreview
13	事前学習	p. 56 Introduction の予習
	授業内容	Unit 12 読解(pp. 100-103) Q&A thirdman15(unit12-1)
	事後学習	Q&A thirdman15(unit12-1) のreview
14	事前学習	p. 57 vocabulary preview の予習
	授業内容	Unit 12 Exercise pp. 58-59
	事後学習	Unit 12 Exercise pp. 58-59 のreview
15	事前学習	text(unit5-12)のreview
	授業内容	review 後半のtext
	事後学習	review 後半のtext

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	元氏 久美子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践的な練習を通して基礎的なリスニング力を身につけることを目指します。日常生活からビジネスまで幅広いトピックを扱いながら、英語をたくさん聞き、直感的に理解し、音読することで基礎を固めていきます。			
授業目的・到達目標	TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。TOEICテスト（特にリスニング）のための基礎力を身につけ、スコア450点以上を目標としています。			
履修条件	公共政策学科1年生番号指定クラス、上記資格試験の受験を強く奨励します。原則、英語Cと通年で履修してください。			
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	小テスト、授業中の発言、授業内テスト結果等
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	南雲堂	Listening Elements 大学生のための『リスニングエレメント』	Terry O'Brien
	備考			
参考書	英和辞典			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後または火曜日昼休み(12:20～12:50)にて対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で学んだことの確認。
	授業内容	ガイダンス(後期の授業計画について)、前期の復習など。
	事後学習	後期の英語学習計画を立てる。
2	事前学習	Unit 13 Inthe Plane （間もなく離陸します)Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 13 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 13 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
3	事前学習	Unit 14 Hotel Check-in （予約をしていますか?)Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 14 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 14 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
4	事前学習	Unit 15 I am not satisfied. （部屋の苦情でフロントに電話)Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 15 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 15 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。

5	事前学習	Unit 16 How was it?（うまくいった会議）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 16 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 16 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
6	事前学習	Unit 17 A Business Meeting（利益を上げる特別な宣伝）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 17 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 17 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
7	事前学習	Unit 18 An Interview（当社で働きたい理由）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 18 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 18 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
8	事前学習	Unit 19 Is everything ready?（会議の準備はOK?）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 19 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 19 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
9	事前学習	Unit 20 Shopping（ジャケットを探して）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 20 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 20 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
10	事前学習	Unit 21 Which train?（乗るのはどの列車?）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 21 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 21 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
11	事前学習	Unit 22 Well, hello!（会えて嬉しい!）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 22 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 22 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
12	事前学習	Unit 23 I don't feel well.（風邪を引いているようです）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 23 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 23 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
13	事前学習	Unit 24 Are you in shape?（ハードなトレーニング・スケジュール）Listen and Writeの単語を調べてくる。
	授業内容	Unit 24 のリスニング問題と音読練習。
	事後学習	Unit 24 の単語の復習と英文の音読練習。特に授業中に聞き取れなかった英文を練習すること。
14	事前学習	Unit 13～24で学んだことを復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ①
	事後学習	後期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
15	事前学習	後期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
	授業内容	後期授業のまとめ②
	事後学習	後期で学んだことを再確認する。

科目名	英語D【公共政策学科1年生共通クラス】	担当者	依田 悠介	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course develops essential knowledge and skills for learners to succeed in today's global society. Students are encouraged to work on in-and outside class activities enthusiastically.				
授業目的・到達目標	Students CAN (i) read about a 21st century topic, such as cyborg technology; (ii) learn more about the topic by viewing an authentic TED talk; and (iii) explore the topic further by completing collaborative research research project				
履修条件	公共経済学科1年生番号指定クラス。上記資格試験の受験を強く奨励します。原則英語Cと通年で履修してください。				
授業方法	Read the text, solve the quizzes, view the videos and discuss the contents.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	One examination 30% plus collaborative work (group poster presentation) 40% and quizzes 30%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015	Cengage Learning	21st Century Reading Level 3		Laurie Blass et.al
	備考				
参 考 書	Will be given in class				
オフィスアワー	by appointment: yusuke.yoda@tyg.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Look through the textbook
	授業内容	Introduction: Please bring the copy of syllabus and the textbook.
	事後学習	Read the passage in Unit 6
2	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Text Generation: Linguistics
	事後学習	Review Vocabulary
3	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Text Generation: Linguistics
	事後学習	Read the passage in Unit 7
4	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Barriers and Bridges: Sociology
	事後学習	Review Vocabulary

5	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Barriers and Bridges: Sociology
	事後学習	Read the passage in Unit 8
6	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Personality Types: Psychology
	事後学習	Review Vocabulary
7	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Personality Types: Psychology
	事後学習	Read the passage in Unit 9
8	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Smart Thinking: Behavior / Life Science
	事後学習	Review Vocabulary
9	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Smart Thinking: Behavior / Life Science
	事後学習	Read the passage in Unit 10
10	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Facing Fear: Psychology / Exploration
	事後学習	Review Vocabulary
11	事前学習	Prep. for Quizz
	授業内容	Facing Fear: Psychology / Exploration
	事後学習	Review Unit 6-10
12	事前学習	Review Unit 6-10
	授業内容	Overview (Examination)
	事後学習	Preparation for Group Presentation
13	事前学習	Preparation for Group Presentation
	授業内容	Group discussion
	事後学習	Making a poster
14	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-1
	事後学習	Evaluate your / your friends' presentation
15	事前学習	Finalize your poster
	授業内容	Group Presentation-2
	事後学習	Evaluate your/ your friends' presentation

科目名	英語D	担当者	加藤 行夫	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	英語の基礎的な表現演習				
授業目的・到達目標	日常生活の基本的な表現を英語で自由に書けるようにする。文章を書く上で必要な文法の復習も行なう。日常生活のさまざまな場面で必要とされる基本的な英語を自由に表現できるようにする。				
履修条件	中学生程度の基本的な文法を理解していること。				
授業方法	文法事項を確認し、続いて演習を行なう。黒板での添削および個人添削に十分時間をかける。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	演習の成果 20%、期末試験 80%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018	金星堂	Expressions for Everyday Life		根間弘海
	備考				
参考書	各自英和辞典を必ず（必要とする者は和英辞典も）持参すること				
オフィスアワー	金曜日午後6時～ 事前にメールで連絡のこと kiokato@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	不定詞・分詞
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
2	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
3	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	動名詞
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
4	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する

5	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	態について
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
6	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
7	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	仮定法
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
8	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
9	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	前置詞
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
10	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
11	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	接続詞
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
12	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
13	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	さまざまな表現方法
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
14	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	演習および添削
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する
15	事前学習	テキストの該当箇所を読み、疑問点を整理する
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	授業を振り返り、学習内容を整理する

科目名	英語D	担当者	高田 宣子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期に引き続き、映画や音楽、ニュースなどで使われる応用的な英語表現に着目し、その背景を考えながら授業を進めていきます。 また、英語による創作会話やスピーチ、プレゼンテーションなどを行うことで、英語の運用力を高めます。					
授業目的・到達目標	基本的な文法を確認しながら、ある程度の平易な英語で話し、英語で話されたさまざまな情報を聞き取る力を養うことを目標とします。					
履修条件	初回の授業に必ず出席できる学生。WordとPower Pointを使用できる学生のみ履修可。					
授業方法	演習方式。毎回コメントを執筆あるいは発表してもらいます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		毎回の小テストあるいは、コメント、英語スピーチ、プレゼンテーションの合計による	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリント使用				
参考書	開講時に説明します。					
オフィスアワー	休み時間、教室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞を読んでおく。
	授業内容	ガイドダンス 英文聞き取り 文法確認
	事後学習	プリントを確認する。
2	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	英語表現の確認 英語プレゼンテーションのグループ分け
	事後学習	プリントを確認する。
3	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	文法テスト タイピング練習英文聞き取り
	事後学習	タイピングの練習を行う。
4	事前学習	スピーチの原稿を作成する。
	授業内容	英語スピーチ その1 コメント 英文聞き取り
	事後学習	スピーチの原稿を修正する。

5	事前学習	スピーチの原稿を修正する。
	授業内容	英語スピーチ その2 コメント 英文聞き取り
	事後学習	スピーチの原稿を修正する。
6	事前学習	スピーチの原稿を修正する。
	授業内容	英語スピーチ その3 コメント 英文聞き取り
	事後学習	スピーチの原稿を修正する。
7	事前学習	プレゼンテーションテーマを考える。
	授業内容	プレゼンテーションのワークシート作成 英文聞き取り
	事後学習	ワークシートの修正を行う。 タイピング練習を行う。
8	事前学習	ワークシートの修正を行う。
	授業内容	復習テスト タイピング練習
	事後学習	英語プレゼンテーション パワーポイント作成。
9	事前学習	英語プレゼンテーション パワーポイント修正。
	授業内容	英語プレゼンテーション ワークシート修正
	事後学習	英語プレゼンテーション ワークシートの修正を行う。
10	事前学習	プレゼンテーションの予行演習
	授業内容	英語プレゼンテーション 1 コメント
	事後学習	英語プレゼンテーション パワーポイントの修正を行う。
11	事前学習	プレゼンテーションの予行演習
	授業内容	英語プレゼンテーション 2 コメント
	事後学習	英語プレゼンテーション パワーポイントの修正を行う。
12	事前学習	プレゼンテーションの予行演習
	授業内容	英語プレゼンテーション 3 コメント
	事後学習	英語プレゼンテーション パワーポイントの修正を行う。
13	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	英文コメント作成の技術について
	事後学習	コメントを確認する。
14	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	英文コメントの作成技術について 応用
	事後学習	プリントを確認する。
15	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	まとめと復習テスト
	事後学習	テスト解答の確認を行う。

科目名	英語E	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	これからますますグローバル化する社会に対応するため、英語のインプットを増やし、アウトプットを磨くための授業です。「英語を学ぶ」というスタンスから「内容を学ぶ媒体が英語である」という姿勢を確立できるようにします。好奇心をくすぐるTED talksなどの教材を使用し、生の英語を英語のまま理解でき、かつ英語で発言できる力を養成します。					
授業目的・到達目標	英語の生のインプットを増やし、テスト勉強のための英語力を磨くのではなく、真に英語を道具として使える力を養成します。また英語学習についての様々な方策について知り、生涯英語学習を継続できる姿勢を学ぶことが目的です。TOEICテストスコア730点以上の力を目標とします。					
履修条件	Sコースのクラスです。入学前のTOEIC Bridge テストで選抜された学生のみが履修できます。前期に英語資格試験を受験していただきます。					
授業方法	シラバスに基づき授業の予習と課題を提出していただきます。グループで及びペアでリスニング力や発信力を磨くような授業展開で進めていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(30%)試験。学期末に最終プロジェクトの課題が出ます。 (70%)小テストを毎回受け、指定された課題を提出すること。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	教員作成プリント				
参考書	Murphy, R. English Grammar in Use (Cambridge University Press) CNNニュースリスニング (朝日出版社)					
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読む
	授業内容	オリエンテーション これまでの英語学習とこれからの英語学習について考えてみる 授業に必要なこと
	事後学習	学んだことについての振り返り
2	事前学習	教科書を購入し持参すること
	授業内容	TED talksを視聴する TOEIC Speaking & Writing Testとは
	事後学習	学習した内容について復習し、次の課題を準備する
3	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test 写真描写問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次の課題の準備をする
4	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test 写真描写問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次の課題の準備をする

5	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test Eメール作成問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
6	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test Eメール作成問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
7	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test Eメール作成問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
8	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test Eメール作成問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
9	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Writing Test 意見を記述する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
10	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation 最終プレゼンについて話し合う TOEIC Writing Test 意見を記述する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
11	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation 最終プレゼンについて話し合う TOEIC Writing Test 意見を記述する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
12	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation 最終プレゼンについて話し合う TOEIC Writing Test 意見を記述する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
13	事前学習	課題を提出できるようにする プレゼンの準備をする
	授業内容	Presentation 1 TOEIC Writing Test 意見を記述する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
14	事前学習	課題を提出できるようにする プレゼンの準備をする
	授業内容	Presentation 2
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
15	事前学習	課題を提出できるようにする プレゼンの準備をする
	授業内容	Presentation 3 最終writing test
	事後学習	これまでの英語学習をふりかえり、夏休みの語学学習を計画する

科目名	英語F	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	これからますますグローバル化する社会に対応するため、英語のインプットを増やし、アウトプットを磨くための授業です。「英語を学ぶ」というスタンスから「内容を学ぶ媒体が英語である」という姿勢を確立できるようにします。好奇心をくすぐるTED talksなどの教材を使用し、生の英語を英語のまま理解でき、かつ英語で発言できる力を養成します。					
授業目的・到達目標	英語の生のインプットを増やし、テスト勉強のための英語力を磨くのではなく、真に英語を道具として使える力を養成します。また英語学習についての様々な方策について知り、生涯英語学習を継続できる姿勢を学ぶことが目的です。TOEICテストスコア730点以上の力を目標とします。					
履修条件	Sコースのクラスです。入学前のTOEIC Bridge テストで選抜された学生のみが履修できます。後期に英語資格試験を受験していただきます。					
授業方法	シラバスに基づき授業の予習と課題を提出していただきます。グループで及びペアでリスニング力や発信力を磨くような授業展開で進めていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(30%)試験。学期末に最終プロジェクトの課題が出ます。 (70%)小テストを毎回受け、指定された課題を提出すること。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	教員作成プリント				
参考書	Murphy, R. English Grammar in Use (Cambridge University Press) CNNニュースリスニング (朝日出版社)					
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読む
	授業内容	オリエンテーション これまでの英語学習とこれからの英語学習について考えてみる 授業に必要なこと
	事後学習	学んだことについての振り返り
2	事前学習	TED talksを視聴してみる
	授業内容	TED talksを視聴する TOEIC Speaking Testの概要について
	事後学習	学習した内容について復習し、次の課題を準備する
3	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 音読問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次の課題の準備をする
4	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 写真描写問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次の課題の準備をする

5	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 応答問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
6	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 解決策を提案する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
7	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 解決策を提案する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
8	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 解決策を提案する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
9	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation TOEIC Speaking Test 解決策を提案する問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
10	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation 最終プレゼンについて話し合う TOEIC Speaking Test 意見を述べる問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
11	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation 最終プレゼンについて話し合う TOEIC Speaking Test 意見を述べる問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
12	事前学習	課題を提出できるようにする
	授業内容	TED talks: group discussion & presentation 最終プレゼンについて話し合う TOEIC Speaking Test 意見を述べる問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
13	事前学習	課題を提出できるようにする プレゼンの準備をする
	授業内容	Presentation 1 TOEIC Speaking Test 意見を述べる問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
14	事前学習	課題を提出できるようにする プレゼンの準備をする
	授業内容	Presentation 2 TOEIC Speaking Test 意見を述べる問題
	事後学習	学習した内容を復習し、次週の課題の準備をする
15	事前学習	課題を提出できるようにする プレゼンの準備をする
	授業内容	Presentation 3 最終 Speaking Test
	事後学習	これまでの英語学習をふりかえり、今後の語学学習を計画する

科目名	英語G	担当者	岡部 玲子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「Sコース（特別選抜による精鋭コース）」に所属する2年生を対象とする。現代社会に纏わる様々なトピックについて書かれたテキストを題材に、読んだり聞いたり、自分の意見を書いたり述べたり、英語の総合力を上げる練習をする。				
授業目的・到達目標	これまで身に付けてきた英語力を更に伸ばし、海外の大学・大学院への留学を目指したり、英語で議論や発表ができる力を養成したりするための高度な英語運用能力の習得を目指す。様々なトピックについて、内容を正確に把握する読解力・聴解力を身に付け、自分の意見を英語で発信できるようになることを目標とする。				
履修条件	Sコースに所属する2年生であること。学期中に少なくとも1回、検定試験を受験すること。常に問題意識を持ち積極的に授業に臨むこと。				
授業方法	様々なトピックについて書かれた文章を理解し、自分の意見をまとめるための道具立てとして語彙・表現や文法を学び、それを駆使してまとまりのある文章を書いたり発表したりする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題：50% 学期末テスト：30% 授業態度等：20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	センゲージ ラーニング		Pros and Con -Discussing Today's Controversial Issues-	植田一三ほか
	備考				
参考書	適宜指示します。				
オフィスアワー	事前にアポイントメントを取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英語E・Fで学んだことを総復習する。
	授業内容	ガイダンス（英語学習の目標・授業の進め方・評価方法などについての説明）
	事後学習	英語E・Fで学んだことを総復習する。
2	事前学習	自己紹介の内容を考えておく。
	授業内容	Introduction 1（英語で自己紹介（準備））
	事後学習	授業を踏まえて、自己紹介の原稿を作成する。
3	事前学習	自己紹介の練習をする。
	授業内容	Introduction 2（英語で自己紹介（発表））
	事後学習	他の履修者の自己紹介を参考に、自分の発表を振り返る。
4	事前学習	身近なことに関して英語で表現する準備をする。
	授業内容	Writing/speaking skills 1（発信型英語力養成の準備）
	事後学習	授業を踏まえて、学習した語彙や表現を復習する。

5	事前学習	他已紹介の練習をする。
	授業内容	Writing/speaking skills 2（発信型英語力養成の準備）
	事後学習	PCを使って英語をタイプする練習をする。
6	事前学習	文法事項の確認をする。
	授業内容	Writing/speaking skills 3（発信型英語力養成の準備）
	事後学習	パラグラフ・ライティングの基本を復習する。
7	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 1（Internet Safety or Freedom of Expression?）
	事後学習	授業中に学んだ語彙・文法などを確認する。
8	事前学習	テキストを参考に、自分の意見を表現できるように準備する。
	授業内容	Unit 1（Internet Safety or Freedom of Expression?）(continued)
	事後学習	Unit 1で学習した表現を自分で使えるように練習する。
9	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 2（Honor or Burden?）
	事後学習	授業中に学んだ語彙・文法などを確認する。
10	事前学習	テキストを参考に、自分の意見を表現できるように準備する。
	授業内容	Unit 2（Honor or Burden?）(continued)
	事後学習	Unit 2で学習した表現を自分で使えるように練習する。
11	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 3（Clean Energy or Potential Threat?）
	事後学習	Unit 3で学習した表現を復習し、自分で使えるように練習する。
12	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 4（Real Risk or Great Technology?）
	事後学習	Unit 4で学習した表現を復習し、自分で使えるように練習する。
13	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 5（Legalization or Outlawing of Gay Marriage?）
	事後学習	Unit 5で学習した表現を復習し、自分で使えるように練習する。
14	事前学習	Unit 1～5の内容を全て確認する。
	授業内容	前学期のまとめ。学期末テストの説明。
	事後学習	学期末テストに向けた準備
15	事前学習	学期末テストの準備
	授業内容	学期末テストと総括
	事後学習	夏休み中の英語学習計画を立て実践する

科目名	英語H	担当者	岡部 玲子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「Sコース（特別選抜による精鋭コース）」に所属する2年生を対象とする。現代社会に纏わる様々なトピックについて書かれたテキストを題材に、読んだり聞いたり、自分の意見を書いたり述べたり、英語の総合力を上げる練習をする。				
授業目的・到達目標	これまで身に付けてきた英語力を更に伸ばし、海外の大学・大学院への留学を目指したり、英語で議論や発表ができる力を養成したりするための高度な英語運用能力の習得を目指す。様々なトピックについて、内容を正確に把握する読解力・聴解力を身に付け、自分の意見を英語で発信できるようになることを目標とする。				
履修条件	Sコースに所属する2年生であること。学期中に少なくとも1回、検定試験を受験すること。常に問題意識を持ち積極的に授業に臨むこと。				
授業方法	様々なトピックについて書かれた文章を理解し、自分の意見をまとめるための道具立てとして語彙・表現や文法を学び、それを駆使してまとまりのある文章を書いたり発表したりする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	課題・発表：50％ 学期末レポート：30％ 授業態度等：20％	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	センテージ ラーニング		Pros and Con -Discussing Today's Controversial Issues-	植田一三ほか
	備考				
参 考 書	適宜指示します。				
オフィスアワー	事前にアポイントメントを取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前学期の復習
	授業内容	ガイダンス（英語学習の目標・授業の進め方・評価方法などについての説明）
	事後学習	前学期で学習した範囲を確認する。
2	事前学習	身近な内容について英語で説明できるように練習する。
	授業内容	Speaking practice
	事後学習	授業での練習を踏まえ、新しく学んだ表現などを反復練習する。
3	事前学習	プレゼンテーションのトピックとなる現代社会の問題などを考えておく。
	授業内容	Discussion toward group presentations
	事後学習	プレゼンテーションに向けて資料収集を始める。
4	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 6 (Separate Smoking Area or Total Ban?)
	事後学習	新しく学習した語彙・文法・表現などを確認する。

5	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 7 (Right to Die or Responsibility to Live?)
	事後学習	新しく学習した語彙・文法・表現などを確認する。 Unit 6に関する自らの英作文について、添削されたものを確認し、書き直しをする。
6	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 8 (Punishment or Discipline?)
	事後学習	新しく学習した語彙・文法・表現などを確認する。 Unit 7に関する自らの英作文について、添削されたものを確認し、書き直しをする。
7	事前学習	テキストの該当箇所を読み、分からない箇所を明確にする。
	授業内容	Unit 9 (To Skip or Not to Skip?)
	事後学習	新しく学習した語彙・文法・表現などを確認する。 Unit 8に関する自らの英作文について、添削されたものを確認し、書き直しをする。
8	事前学習	プレゼンテーションに向けて、グループメンバーで意見を出し合う。
	授業内容	Group presentation 準備1
	事後学習	Unit 9に関する自らの英作文について、添削されたものを確認し、書き直しをする。
9	事前学習	プレゼンテーションに向けて、発表のスライド・発表原稿の作成を始める。
	授業内容	Group presentation 準備2
	事後学習	プレゼンテーションに向けて各グループ、各メンバーで作業を進める。
10	事前学習	プレゼンテーションに向けて、発表のスライド・発表原稿の作成を進める。
	授業内容	Group presentation 準備3
	事後学習	プレゼンテーションの最終準備をする。
11	事前学習	プレゼンテーションの練習をする。
	授業内容	Group presentation 1
	事後学習	他のグループのプレゼンテーションを参考にし、自らの発表に備える。
12	事前学習	プレゼンテーションの練習をする。
	授業内容	Group presentation 2
	事後学習	他のグループのプレゼンテーションを参考にし、自らの発表に備える。
13	事前学習	プレゼンテーションの練習をする。
	授業内容	Group presentation 3
	事後学習	プレゼンテーションの方法・内容について反省点などを話し合う。
14	事前学習	プレゼンテーションを通して学習したことをまとめてくる。
	授業内容	後学期のまとめ（学期末課題（エッセイ）について）
	事後学習	学期末課題（エッセイ）として、プレゼンテーションで扱った内容についてまとめる。
15	事前学習	学期末課題を仕上げる。
	授業内容	学期末課題提出と総括
	事後学習	次年度に向けた英語学習の目標を立てる。

科目名	英語演習A	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	煩雑で混沌としたように捉えられる言語現象を理解するには、何らかの理論的枠組みが必要である。本授業では、言語と社会が密接に関連しているとみなす社会言語学の枠組みを通して、日英語の様々な言語現象についてみていく。言語と社会、言語と文化の関係を概観しながら異文化間コミュニケーションの諸問題を探り、社会言語学の社会的意義を考察する。後半は認知言語学の基本概念を体系的に身に付ける。				
授業目的・到達目標	[授業目的] 言語の本質と働きに関わる考察力を養い、ことばに関する様々な現象への洞察力や発展的探究心を深めることが本授業の目的である。言語は社会や文化と切り離して存在し得ないことを認識することをねらいとする。 [到達目標] 常に当然のように使っていながら実は理解不十分なことばの語りは卒業して、様々な言語現象を説明するための知識体系・思考の基盤や論理的・批判的思考力を身に付けられるようにする。				
履修条件	遅刻・欠席をせず、授業に積極的かつ集中して臨むこと。				
授業方法	準備学習で会得した先行知識をもとに、英語で書かれた文献のプリント教材も併用し、演習形式で授業を展開していく。随時質疑応答の機会を設け、ディスカッションを行いながら理解度を確認する。毎回確認テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（５０％） 学期末試験（５０％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	大修館書店		『解いて学ぶ認知言語学の基礎：認知言語学演習①』	瀬戸賢一、山添秀剛、小田希望
	備考				
参考書	適宜、英語の文献などの資料配布や参考文献紹介を行う。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定する。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を揃え、シラバスを確認する。
	授業内容	Introduction(授業計画、成績評価の方法、参考文献紹介、レポートの作成法、リサーチ法とプレゼンテーション)
	事後学習	講義全体の説明について理解を深める。
2	事前学習	指定された範囲の予習
	授業内容	言語と社会の関わり
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
3	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	言語の多様性
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
4	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	言語のバリエーション
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）

5	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	言語とジェンダー、若者言葉
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
6	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	言語とアイデンティティ、ポライトネス
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
7	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	認知言語学への導入
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
8	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	カテゴリー化、プロトタイプ
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
9	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	スキーマ、意味のネットワーク
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
10	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	意味拡張の仕組みと多様性
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
11	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	認知能力としてのメタファー
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
12	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	認知能力としてのメタファー
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
13	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	日英語対照
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
14	事前学習	弱点ノートの見直し
	授業内容	振り返り
	事後学習	講義全体の確認
15	事前学習	振り返りの内容の確認
	授業内容	授業の総括
	事後学習	講義全体の確認

科目名	英語演習A	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「英語で読んで考える西洋哲学」とする。			
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Aは「言語・哲学」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して多様な視点で分析する能力や意見を自ら発信する能力を得ることを到達目標とする。			
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。			
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。		
参考書	授業時に適宜指示をする。			
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	オリエンテーションの振り返り
2	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
3	事前学習	「Mill」、「Kant」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Mill」、「Kant」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Mill」、「Kant」を読み直し、次の章との関連について考えること。
4	事前学習	「Zeno」、「Descartes」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Zeno」、「Descartes」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Zeno」、「Descartes」を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「Russel」、「Aquinas」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Russel」、「Aquinas」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Russel」、「Aquinas」を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「Locke」、「Hegel」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Locke」、「Hegel」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Locke」、「Hegel」を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	前期前半に扱った章を読み直してくること
	授業内容	前期前半のまとめ
	事後学習	前期前半のまとめの振り返り
8	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
9	事前学習	「You can NEVER know it ALL」、「Do we really know the TRUTH?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「You can NEVER know it ALL」、「Do we really know the TRUTH?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「You can NEVER know it ALL」、「Do we really know the TRUTH?」を読み直し、次の章との関連について考えること。
10	事前学習	「What is REAL?」、「Is the world we know an ILLUSION?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「What is REAL?」、「Is the world we know an ILLUSION?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「What is REAL?」、「Is the world we know an ILLUSION?」を読み直し、次の章との関連について考えること。
11	事前学習	「How do you know anything exists?」、「Is there a GOD?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「How do you know anything exists?」、「Is there a GOD?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「How do you know anything exists?」、「Is there a GOD?」を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「Do you FEEL like I do?」、「What makes you YOU?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Do you FEEL like I do?」、「What makes you YOU?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Do you FEEL like I do?」、「What makes you YOU?」を読み直すこと。
13	事前学習	課題プリントを読んで分析してくること
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
14	事前学習	前期後半に扱った章を読み直してくること
	授業内容	前期後半のまとめ
	事後学習	前期後半のまとめの振り返り
15	事前学習	前期に扱った章を読み直してくること
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期のまとめの振り返り

科目名	英語演習A	担当者	水本 孝二	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「言語、哲学」に関する文献を読んで行きます。英語演習はゼミナール形式で授業を進めます。				
授業目的・到達目標	英語テキストを介して、学生が自らものを考えることが出来ることを目的とし、意見交換する場を提供することを目標とします。				
履修条件	特にありませんが、前学期に英語演習Aを履修した場合は後学期に英語演習Bを履修することが望ましいです。				
授業方法	実践演習をして解説をします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	南雲堂		Gateway to Britain	Terry O'Brien, 他
	備考	なし			
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること				
オフィスアワー	水曜日16：20-17：50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Check in and work out 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Check in and work out 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	What will the weather be like? 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	What will the weather be like? 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	A London without red buses? 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	A London without red buses? 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Back to the future 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	A London without red buses? 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Shop-'n'-chat 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	A London without red buses? 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	More than just a post office 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	More than just a post office 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Off the beaten path 7
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語演習B	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	煩雑で混沌としたように捉えられる言語現象を理解するには、何らかの理論的枠組みが必要である。本授業では、物事の捉え方とことばの仕組みが密接に関連しているとみなす認知言語学の枠組みを通して、日英語の様々な言語現象についてみていく。英語と日本語の相違点や類似点を探り、その理由を認知言語学的アプローチから説明した上で、「英語らしさ」・「日本語らしさ」を追究する。				
授業目的・到達目標	[授業目的]言語の本質と働きに関わる考察力を養い、ことばに関する様々な現象への洞察力や発展的探究心を深めることが本授業の目的である。日常言語に潜むことばの不思議を科学的思考で見出す知的発見の興奮を共有することをねらいとする。 [到達目標]常に当然のように使っていながら実は理解不十分なことばの語りは卒業して、様々な言語現象を説明するための知識体系・思考の基盤や論理的・批判的思考力を身に付けられるようにする。				
履修条件	遅刻・欠席をせず、授業に積極的かつ集中して臨むこと。				
授業方法	準備学習で会得した先行知識をもとに、英語で書かれた文献のプリント教材も併用し、演習形式で授業を展開していく。随時質疑応答の機会を設け、ディスカッションを行いながら理解度を確認する。毎回確認テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（５０％） 学期末試験（５０％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	大修館書店		『解いて学ぶ認知言語学の基礎：認知言語学演習①』	瀬戸賢一、山添秀剛、小田希望
	備考				
参 考 書	適宜、英語の文献などの資料配布や参考文献紹介を行う。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定する。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を揃え、シラバスを確認する。
	授業内容	Introduction(授業計画、成績評価の方法、参考文献紹介、レポートの作成法、リサーチ法とプレゼンテーション)
	事後学習	講義全体の説明について理解を深める。
2	事前学習	指定された範囲の予習
	授業内容	ことばのダイナミズム
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
3	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	ことばの意味変化
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
4	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	文法化と主体化
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）

5	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	日英語対照研究
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
6	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	日英語の好まれる事態把握
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
7	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	主観的把握・客観的把握
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
8	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	日英語の受身授受表現
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
9	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	「する」と「なる」
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
10	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	「英語らしさ」「日本語らしさ」
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
11	事前学習	指定された課題の準備
	授業内容	「英語らしさ」「日本語らしさ」
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
12	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	「英語らしさ」「日本語らしさ」
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
13	事前学習	指定された課題に取り組む。
	授業内容	言語と文化
	事後学習	弱点ノートの作成（要点の整理・理解）
14	事前学習	弱点ノートの見直し
	授業内容	振り返り
	事後学習	講義全体の確認
15	事前学習	振り返りの内容の確認
	授業内容	授業の総括
	事後学習	講義全体の確認

科目名	英語演習B	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「英語で読んで考える西洋哲学」とする。			
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Bは「言語・哲学」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して多様な視点で分析する能力や意見を自ら発信する能力を得ることを到達目標とする。			
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。			
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。		
参 考 書	授業時に適宜指示をする。			
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	オリエンテーションの振り返り
2	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
3	事前学習	「The evil demon」、「Wheel of fortune」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The evil demon」、「Wheel of fortune」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「The evil demon」、「Wheel of fortune」を読み直し、次の章との関連について考えること。
4	事前学習	「Picasso on the beach」、「Condemned to life」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Picasso on the beach」、「Condemned to life」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Picasso on the beach」、「Condemned to life」を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「The beetle in the box」、 「Gambling on God」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The beetle in the box」、 「Gambling on God」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「The beetle in the box」、 「Gambling on God」を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「The freeloader」、 「Something we know not what」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The freeloader」、 「Something we know not what」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「The freeloader」、 「Something we know not what」を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	後期前半に扱った章を読み直してくること
	授業内容	後期前半のまとめ
	事後学習	後期前半のまとめの振り返り
8	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
9	事前学習	「True or false?」、 「What is a LOGICAL ARGUMENT?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「True or false?」、 「What is a LOGICAL ARGUMENT?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「True or false?」、 「What is a LOGICAL ARGUMENT?」を読み直し、次の章との関連について考えること。
10	事前学習	「There's no such thing as GOOD and BAD」、 「What is a GOOD LIFE?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「There's no such thing as GOOD and BAD」、 「What is a GOOD LIFE?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「There's no such thing as GOOD and BAD」、 「What is a GOOD LIFE?」を読み直し、次の章との関連について考えること。
11	事前学習	「RIGHT and WRONG: It's all relative」、 「Do the ends JUSTIFY the means?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「RIGHT and WRONG: It's all relative」、 「Do the ends JUSTIFY the means?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「RIGHT and WRONG: It's all relative」、 「Do the ends JUSTIFY the means?」を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「What makes a society CIVILIZED?」、 「Is it possible to have FREEDOM and JUSTICE?」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「What makes a society CIVILIZED?」、 「Is it possible to have FREEDOM and JUSTICE?」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「What makes a society CIVILIZED?」、 「Is it possible to have FREEDOM and JUSTICE?」を読み直すこと。
13	事前学習	課題プリントを読んで分析してくること
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
14	事前学習	後期後半に扱った章を読み直してくること
	授業内容	後期後半のまとめ
	事後学習	後期後半のまとめの振り返り
15	事前学習	後期に扱った章を読み直してくること
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期のまとめの振り返り

科目名	英語演習B	担当者	水本 孝二	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「言語、哲学」に関する文献を読んで行きます。英語演習はゼミナール形式で授業を進めます。				
授業目的・到達目標	英語テキストを介して、学生が自らものを考えることが出来ることを目的とし、意見交換する場を提供することを目標とします。				
履修条件	特にありませんが、前学期に英語演習Aを履修した場合は後学期に英語演習Bを履修することが望ましいです。				
授業方法	実践演習をして解説をします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	南雲堂		Gateway to Britain	Terry O' Brien, 他
	備考	なし			
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること				
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Pubs in decline 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Pubs in decline 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Dining out diversity 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Afternoon tea 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Beatles are forever 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Football: sport or business? 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Football: sport or business? 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Royal famuily or TV melodrama? 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Royal famuily or TV melodrama? 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Preserving Britain 7
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語演習C	担当者	児玉 直起	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語学習の応用として英詩を読みます。取り上げる作品は、前期はイギリスロマン主義の比較的短い詩です。英語といえば「プラクティカル・ツール」のイメージが支配的な昨今ですが、この授業では、それとは「別の英語」に触れることになります。				
授業目的・到達目標	目的は、いまとは異なる時代、われわれのものとは異なる文化で生まれた詩歌を通じて、多様な価値観や世界観を理解し、その理解や解釈を他者に説明することができるようになること。 目標は、文化の精髓ともいえる詩歌（言語芸術）に親しみ、広い視野からものを見ることができるようになること。				
履修条件	一定の英語読解力と発言への意志を持っていること。				
授業方法	演習形式で進めます。なるべく作品自体から読み取れることに集中し、時代背景や詩人の伝記的事項への言及（作品を読まなくても言えること）は最小限にとどめます。詩の言葉（英語）に傾注するためです。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期テスト40％，平常点（発表・発言・授業への取り組み等）60％。欠席を繰り返した場合，その時点で履修資格を失う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	平井正徳 編『イギリス名詩選』岩波文庫など				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応します。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	この授業で何を学びたいのか、確認する。
2	事前学習	「詩とは何か」自分なりに考えてみる。
	授業内容	プリント配付・英詩の読み方について・輪読の分担等
	事後学習	プリント全体を見渡し、詩の解釈をメモするためのノートを用意する。
3	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	Robert Burns, “O my love’ s like a red, red rose”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
4	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	William Blake, “The Sick Rose”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。

5	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	William Blake, “The Fly”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
6	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	William Wordsworth, “She dwelt among the untrodden ways”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
7	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	William Wordsworth, “A slumber did my spirit seal”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
8	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	William Wordsworth, “We are seven”を読む1
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
9	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	William Wordsworth, “We are seven”を読む2
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
10	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	S. T. Coleridge, “Something Childish, But Very Natural”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
11	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	P. B. Shelley, “To ---” (Song)を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
12	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	Lord Byron, “So, we’ ll go on no more a roving”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
13	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	John Keats, “Stanzas” (In a drear-nighted December)を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
14	事前学習	これまで読んだ詩作品を振り返り、どの詩が心に残ったか、それはなぜか、メモしておく。
	授業内容	前期の授業を振り返る1
	事後学習	授業内容を振り返り、気づいたことをメモする。
15	事前学習	心に残った詩を暗唱する。
	授業内容	前期の授業を振り返る2
	事後学習	前期の授業で何が得られたか、あらためて考えてみる。

科目名	英語演習C	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「原著に触れる英米文学」とする。			
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Cは「文学・思想」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して学んだことを活かして自分自身の力で英米文学作品を分析、解説、発表できるようになることを到達目標とする。			
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。			
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動、課外活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。		
参考書	授業時に適宜指示をする。			
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	「Pygmalion」(George Bernard Shaw)を読んで授業に臨むこと。
	授業内容	プレゼンテーションの手法を学ぶ 「Pygmalion」(George Bernard Shaw)のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Pygmalion」(George Bernard Shaw)を読み直し、次の章との関連について考えること。
3	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
4	事前学習	「A Scandal in Bohemia」(Conan Doyle)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「A Scandal in Bohemia」(Conan Doyle)のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「A Scandal in Bohemia」(Conan Doyle)を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「Great Expectations」(Charles Dickens)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Great Expectations」(Charles Dickens)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Great Expectations」(Charles Dickens)を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「Gulliver's Travels」(Jonathan Swift)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Gulliver's Travels」(Jonathan Swift)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Gulliver's Travels」(Jonathan Swift)を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	「Tess of the d'Urbervilles」(Thomas Hardy)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Tess of the d'Urbervilles」(Thomas Hardy)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Tess of the d'Urbervilles」(Thomas Hardy)を読み直し、次の章との関連について考えること。
8	事前学習	前期前半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期前半のまとめ
	事後学習	前期前半のまとめの振り返り
9	事前学習	「William Shakespeareについて学ぶ」を読んで授業に臨むこと。
	授業内容	「William Shakespeareについて学ぶ」
	事後学習	「William Shakespeareについて学ぶ」の振り返り
10	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
11	事前学習	「Romeo and Juliet」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Romeo and Juliet」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Romeo and Juliet」(William Shakespeare)を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「Richard III」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Richard III」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Richard III」(William Shakespeare)を読み直し、次の章との関連について考えること。
13	事前学習	「Hamlet」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Hamlet」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Hamlet」(William Shakespeare)を読み直し、次の章との関連について考えること。
14	事前学習	「Macbeth」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Macbeth」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Macbeth」(William Shakespeare)を読み直すこと。
15	事前学習	前期後半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期後半のまとめ
	事後学習	前期後半のまとめの振り返り

科目名	英語演習D	担当者	児玉 直起	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語学習の応用として英詩を読みます。取り上げる作品は、イギリス・アメリカ・アイルランドにおける近現代の比較的短い詩です。英語といえば「プラクティカル・ツール」のイメージが支配的な昨今ですが、この授業では、それとは「別の英語」に触れることになります。					
授業目的・到達目標	目的は、いまとは異なる時代、われわれのものとは異なる文化で生まれた詩歌を通じて、多様な価値観や世界観を理解し、その理解や解釈を他者に説明することができるようになること。 目標は、文化の精髓ともいえる詩歌（言語芸術）に親しみ、広い視野からものを見ることができるようになること。					
履修条件	一定の英語読解力と発言への意志を持っていること。					
授業方法	演習形式で進めます。なるべく作品自体から読み取れることに集中し、時代背景や詩人の伝記的事項への言及（作品を読まなくても言えること）は最小限にとどめます。詩の言葉（英語）に傾注するためです。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小論文 40%，平常点（発表・発言・授業への取り組み等）60%。欠席を繰り返した場合、その時点で履修資格を失う。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	亀井俊介ほか 編『アメリカ名詩選』岩波文庫など					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後、または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応します。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	近現代のイギリス・アメリカ・アイルランドの詩について／輪読の分担等
	事後学習	この授業で何を学びたいのか、再確認する。
2	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	E. A. Poe, “Annabel Lee” を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
3	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	E. Dickinson, “Success is counted sweetest” / “My life closed twice before its close” を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
4	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	Thomas Hardy, “The Walk” を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。

5	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	Thomas Hardy, “The Voice”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
6	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	W. B. Yeats, “He Wishes for the Cloths of Heaven”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
7	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	W. B. Yeats, “Leda and the Swan”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
8	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	Robert Frost, “The Pasture” / “Stopping by Woods on a Snowy Evening”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
9	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	D. H. Lawrence, “Snake” を読む 1
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
10	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	D. H. Lawrence, “Snake” を読む 2
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
11	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	T. S. Eliot, “La Figlia Che Piange”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
12	事前学習	当該の詩作品を熟読・音読し、自分の解釈（どう読み理解したか）についてメモする。
	授業内容	Edmund Blunden, “Report on Experience”を読む
	事後学習	授業を振り返り、当該作品についての自分の考えを整理する。
13	事前学習	これまで読んだ詩作品を振り返り、どの詩が心に残ったか、それはなぜか、メモしておく。
	授業内容	後期の授業を振り返る 1
	事後学習	授業内容を振り返り、気づきことをメモする。
14	事前学習	心に残った詩のテーマについて考える。
	授業内容	小論文の書き方について・受講者による授業評価
	事後学習	授業内容（小論文の書き方）について整理する。
15	事前学習	後期に読んだ詩のなかから任意に選んだものについて作品論を書いてみる。
	授業内容	後期の授業を振り返る 2
	事後学習	この授業で学んだことを整理する。

科目名	英語演習D	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「原著に触れる英米文学」とする。			
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Dは「文学・思想」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して学んだことを活かして自分自身の力で英米文学作品を分析、解説、発表できるようになることを到達目標とする。			
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。			
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動、課外活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。		
参考書	授業時に適宜指示をする。			
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	「Gone With the Wind」(Margaret Mitchell)を読んで授業に臨むこと。
	授業内容	プレゼンテーションの手法を学ぶ 「Gone With the Wind」(Margaret Mitchell)のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Gone With the Wind」(Margaret Mitchell)を読み直し、次の章との関連について考えること。
3	事前学習	自分の担当章を読んでくること
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
4	事前学習	「The Last of the Mohicans」(James Fenimore Cooper)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Last of the Mohicans」(James Fenimore Cooper)のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「The Last of the Mohicans」(James Fenimore Cooper)を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「The Scarlet Letter」(Nathaniel Hawthorne)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Scarlet Letter」(Nathaniel Hawthorne)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Scarlet Letter」(Nathaniel Hawthorne)を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「Adventures of Huckleberry Finn」(Mark Twain)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Adventures of Huckleberry Finn」(Mark Twain)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Adventures of Huckleberry Finn」(Mark Twain)を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	「The Great Gatsby」(F. Scott Fitzgerald)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Great Gatsby」(F. Scott Fitzgerald)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Great Gatsby」(F. Scott Fitzgerald)を読み直し、次の章との関連について考えること。
8	事前学習	後期前半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期前半のまとめ
	事後学習	後期前半のまとめの振り返り
9	事前学習	「William Shakespeareについて学ぶ」を読んで授業に臨むこと。
	授業内容	「William Shakespeareについて学ぶ」
	事後学習	「William Shakespeareについて学ぶ」の振り返り
10	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
11	事前学習	「The Merchant of Venice」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Merchant of Venice」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Merchant of Venice」(William Shakespeare)を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「Titus Andronicus」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Titus Andronicus」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Titus Andronicus」(William Shakespeare)を読み直し、次の章との関連について考えること。
13	事前学習	「Othello」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Othello」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Othello」(William Shakespeare)を読み直し、次の章との関連について考えること。
14	事前学習	「A Midsummer Night's Dream」(William Shakespeare)を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「A Midsummer Night's Dream」(William Shakespeare)のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「A Midsummer Night's Dream」(William Shakespeare)を読み直すこと。
15	事前学習	後期後半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期後半のまとめ
	事後学習	後期後半のまとめの振り返り

科目名	英語演習E	担当者	児玉 直起	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	戯曲（演劇台本）を読みます。セリフとト書き（役者の動きや場面の説明等）から成る戯曲を対象に、コンテキストを読みとる“読解力”の向上を図ります。教材は、第二次世界大戦下のドイツを舞台に、戦時の芸術（音楽）家のあり方を問うた作品。作者は南アフリカ生まれのユダヤ系イギリス人で、映画『戦場のピアニスト』の脚本も手がけた劇作家です。			
授業目的・到達目標	【目的】 戯曲一冊を一年で読み切り、読解力・想像力・思考力を鍛えること。 【目標】 言葉の背後にある文化的・社会的なコンテキスト（文脈・背景）を読みとることができるようになること。			
履修条件	中級以上の英語読解力と、発言への意志を持っていること。一年で一冊読み切るため、英語演習Fと通年で履修すること。			
授業方法	登場人物を履修者でcastingし、ドラマ仕立ての“読み合わせ”を英語と日本語（各自が訳した）で実践しながら意見交換します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	前期テスト 20%，後期小論文30%，平常点（発表・発言・授業参加度等） 50%。欠席を繰り返した場合、その時点で履修資格を失う。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリント（Ronald Harwood, TAKING SIDES）を配布します		
参考書	授業内で適宜紹介します。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後，または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	この授業で何を学ぶのか、整理する。
2	事前学習	戯曲（演劇）と小説の違いについて調べておく。
	授業内容	戯曲（演劇台本）について／輪読／役の分担（casting）等
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
3	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	前書き，“Characters,” “Set,” pp. 3-6を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
4	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）pp. 7- を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。

5	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
6	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
7	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
8	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
9	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
10	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
11	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
12	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
13	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第一幕（Act One） pp. -41
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
14	事前学習	第一幕を読み返し、疑問点等があれば質問の準備をする。
	授業内容	まとめ・関連ビデオやCDを視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
15	事前学習	第一幕の内容を再確認する。
	授業内容	前期の学習内容を振り返る
	事後学習	前期で学んだことを整理する。

科目名	英語演習E	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「英語で読んで考えるカルチュラル・スタディーズ」とする。				
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Eは「芸術・文化」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して学んだことを活かして自分自身の力で英米文化を分析、解説、発表できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。				
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動、課外活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。			
参考書	授業時に適宜指示をする。				
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	「Frozen」を読んでくこと。
	授業内容	プレゼンテーションの手法を学ぶ 「Frozen」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Frozen」を読み直し、次の章との関連について考えること。
3	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
4	事前学習	「Harry Potter and the Philosopher's Stone」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Harry Potter and the Philosopher's Stone」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Harry Potter and the Philosopher's Stone」を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「The Remains of the Day」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Remains of the Day」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Remains of the Day」を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「The Full Monty」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Full Monty」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Full Monty」を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	「Bridget Jones's Diary」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Bridget Jones's Diary」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Bridget Jones's Diary」を読み直し、次の章との関連について考えること。
8	事前学習	前期前半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期前半のまとめ
	事後学習	前期前半のまとめの振り返り
9	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
10	事前学習	「Braveheart」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Braveheart」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Braveheart」を読み直し、次の章との関連について考えること。
11	事前学習	「The Crying Game」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Crying Game」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Crying Game」を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「Billy Elliot」、「Brassed Off」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Billy Elliot」、「Brassed Off」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Billy Elliot」、「Brassed Off」を読み直し、次の章との関連について考えること。
13	事前学習	「Notting Hill」、「Trainspotting」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Notting Hill」、「Trainspotting」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Notting Hill」、「Trainspotting」を読み直すこと。
14	事前学習	前期後半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期後半のまとめ
	事後学習	前期後半のまとめの振り返り
15	事前学習	前期に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期のまとめの振り返り

科目名	英語演習E	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「英語で読んで考える芸術のイデオロギー」とする。				
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Eは「芸術・文化」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して学んだことを活かして自分自身の力で英米文化を分析、解説、発表できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。				
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動、課外活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。			
参考書	授業時に適宜指示をする。				
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	「Renaissance」を読んでくこと。
	授業内容	プレゼンテーションの手法を学ぶ 「Renaissance」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Renaissance」を読み直し、次の章との関連について考えること。
3	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
4	事前学習	「International Gothicism」、「Classicism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「International Gothicism」、「Classicism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「International Gothicism」、「Classicism」を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「Humanism」、「Perspectivism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Humanism」、「Perspectivism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Humanism」、「Perspectivism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「Naturalism」、「Mannerism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Naturalism」、「Mannerism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Naturalism」、「Mannerism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	「Baroque」、「Rococo」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Baroque」、「Rococo」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Baroque」、「Rococo」を読み直し、次の章との関連について考えること。
8	事前学習	前期前半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期前半のまとめ
	事後学習	前期前半のまとめの振り返り
9	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
10	事前学習	「Neo-Classicism」、「19th Century」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Neo-Classicism」、「19th Century」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Neo-Classicism」、「19th Century」を読み直し、次の章との関連について考えること。
11	事前学習	「Romanticism」、「Orientalism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Romanticism」、「Orientalism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Romanticism」、「Orientalism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「Pre-Raphaelitism」、「Realism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Pre-Raphaelitism」、「Realism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Pre-Raphaelitism」、「Realism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
13	事前学習	「Materialism」、「Impressionism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Materialism」、「Impressionism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Materialism」、「Impressionism」を読み直すこと。
14	事前学習	前期後半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期後半のまとめ
	事後学習	前期後半のまとめの振り返り
15	事前学習	前期に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期のまとめの振り返り

科目名	英語演習F	担当者	児玉 直起	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	戯曲（演劇台本）を読みます。セリフとト書き（役者の動きや場面の説明等）から成る戯曲を対象に、コンテキストを読みとる“読解力”の向上を図ります。教材は、第二次世界大戦下のドイツを舞台に、戦時の芸術（音楽）家のあり方を問うた作品。作者は南アフリカ生まれのユダヤ系イギリス人で、映画『戦場のピアニスト』の脚本も手がけた劇作家です。			
授業目的・到達目標	【目的】 戯曲一冊を一年で読み切り、読解力・想像力・思考力を鍛えること。 【目標】 言葉の背後にある文化的・社会的なコンテキスト（文脈・背景）を読みとることができるようになること。			
履修条件	中級以上の英語読解力と、発言への意志を持っていること。一年で一冊読み切るため、英語演習Eと通年で履修すること。			
授業方法	登場人物を履修者でcastingし、ドラマ仕立ての“読み合わせ”を英語と日本語（各自が訳した）で実践しながら意見交換します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	小論文40％，平常点（発表・発言・授業参加度等）60％。欠席を繰り返した場合，その時点で履修資格を失う。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリント（Ronald Harwood, TAKING SIDES）を配布します		
参考書	授業内で適宜紹介します。			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は授業終了後，または水曜日12:20-13:00に435研究室で対応する。 E-mail: kodama.naoki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第一幕の内容を再確認しておく。
	授業内容	前期内容の振り返り／輪読／役の分担（casting）等
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
2	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）・第一場（Scene One） pp. 42- を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
3	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
4	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。

5	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）・第二場（Scene Two）pp. 49- を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
6	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
7	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
8	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
9	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）を読む
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
10	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
11	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
12	事前学習	該当箇所を熟読・音読し、内容についてのコメントと語学上の質問事項を準備する。
	授業内容	第二幕（Act Two）pp. -76
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
13	事前学習	第二幕を読み返し、疑問点等があれば質問の準備をする。
	授業内容	第二幕を振り返り、資料映像・音源を視聴する
	事後学習	授業内容を振り返り、学んだことを整理する。
14	事前学習	作品全体を振り返り、盛り込まれたテーマや問題点を整理する。
	授業内容	小論文の作成について・受講者による授業評価
	事後学習	作品についての感想をまとめる。
15	事前学習	作品についての小論文を作成する。
	授業内容	授業の内容を振り返る
	事後学習	授業で何を得たか、整理する。

科目名	英語演習F	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「英語で読んで考える芸術のイデオロギー」とする。				
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Fは「芸術・文化」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して学んだことを活かして自分自身の力で英米文化を分析、解説、発表できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。				
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動、課外活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。			
参考書	授業時に適宜指示をする。				
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	「Neo-Impressionism」を読んでくこと。
	授業内容	プレゼンテーションの手法を学ぶ 「Neo-Impressionism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Neo-Impressionism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
3	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
4	事前学習	「Aestheticism」、「Symbolism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Aestheticism」、「Symbolism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Aestheticism」、「Symbolism」を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「Modernism」、「Fauvism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Modernism」、「Fauvism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Modernism」、「Fauvism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「Primitivism」、「Expressionism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Primitivism」、「Expressionism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Primitivism」、「Expressionism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	「Cubism」、「Futurism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Cubism」、「Futurism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Cubism」、「Futurism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
8	事前学習	後期前半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期前半のまとめ
	事後学習	後期前半のまとめの振り返り
9	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
10	事前学習	「Dadaism」、「Constructivism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Dadaism」、「Constructivism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Dadaism」、「Constructivism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
11	事前学習	「Surrealism」、「Abstract Expressionism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Surrealism」、「Abstract Expressionism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Surrealism」、「Abstract Expressionism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「Social Realism」、「Post-Modernism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Social Realism」、「Post-Modernism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Social Realism」、「Post-Modernism」を読み直し、次の章との関連について考えること。
13	事前学習	「Conceptualism」、「Neo-Conceptualism」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Conceptualism」、「Neo-Conceptualism」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「Conceptualism」、「Neo-Conceptualism」を読み直すこと。
14	事前学習	後期後半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期後半のまとめ
	事後学習	後期後半のまとめの振り返り
15	事前学習	後期に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期のまとめの振り返り

科目名	英語演習F	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今年度のテーマは「英語で読んで考えるカルチュラル・スタディーズ」とする。				
授業目的・到達目標	英語演習科目共通の目的は、幅広い視野と教養を身につけ、読解力、対話（コミュニケーション）力、判断力、思考力を養うことである。特に英語演習Fは「芸術・文化」分野の英語文献を読み、議論・発表を行う科目として設定されている。演習を通して学んだことを活かして自分自身の力で英米文化を分析、解説、発表できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	「考える」、「分析する」ことが重要となる演習であるため、真摯に学ぶ真面目な受講生を求める。授業内外においてグループ活動を行うため、積極性、協調性が強く求められる。シラバスを熟読してオリエンテーションに臨むこと。				
授業方法	入念な準備を必要とするグループ演習が中心となる。半期に複数回、グループごとのプレゼンテーションが課せられる。英語演習科目における担当教員の役割はfacilitator（進行役）に過ぎない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	プレゼンテーション、レポート、授業内活動、課外活動などをもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント教材を配布する。			
参考書	授業時に適宜指示をする。				
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	「My Fair Lady」を読んでくこと。
	授業内容	プレゼンテーションの手法を学ぶ 「My Fair Lady」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「My Fair Lady」を読み直し、次の章との関連について考えること。
3	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
4	事前学習	「United Kingdom」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「United Kingdom」のプレゼンテーション レポート作成
	事後学習	「United Kingdom」を読み直し、次の章との関連について考えること。

5	事前学習	「The Wild West」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Wild West」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Wild West」を読み直し、次の章との関連について考えること。
6	事前学習	「Vietnam」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Vietnam」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Vietnam」を読み直し、次の章との関連について考えること。
7	事前学習	「The American Dream」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The American Dream」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The American Dream」を読み直し、次の章との関連について考えること。
8	事前学習	後期前半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期前半のまとめ
	事後学習	後期前半のまとめの振り返り
9	事前学習	自分の担当章を読んでくこと
	授業内容	グループディスカッション
	事後学習	グループディスカッションの振り返り
10	事前学習	「Historical Change」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「Historical Change」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「Historical Change」を読み直し、次の章との関連について考えること。
11	事前学習	「The Black Experience」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Black Experience」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Black Experience」を読み直し、次の章との関連について考えること。
12	事前学習	「The Female Experience」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Female Experience」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Female Experience」を読み直し、次の章との関連について考えること。
13	事前学習	「The Gay Experience」を読んで授業に臨むこと。プレゼンテーション担当グループは入念な準備を行い、配布資料を作成すること。
	授業内容	「The Gay Experience」のプレゼンテーションレポート作成
	事後学習	「The Gay Experience」を読み直すこと。
14	事前学習	後期後半に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期後半のまとめ
	事後学習	後期後半のまとめの振り返り
15	事前学習	後期に授業内で扱われた章を読み直してくること
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期のまとめの振り返り

科目名	英語演習G	担当者	トーマス・ロックリー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Welcome to An International History of Japan. The aim of this course is to teach you English through studying Japanese and East-Asian history.			
授業目的・到達目標	You will learn English vocabulary, discussion and thinking skills at the same time as learning the history of how the Japanese people have communicated with other peoples in history.You should be more confident in your English speaking,reading,writing,listening and thinking skills and have a wider knowledge of Japan's international history.			
履修条件	Willingness to talk in English,and to think about and discuss the class contents.			
授業方法	You will read, discuss and ask questions about class themes. Assessment will be through presentations.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	Participation and effort (30%), Vocabulary and reflection (30%), Presentation (40%)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	DTP出版	The International History of Japan I: Upper-Intermediate.	Thomas Lockley
	備考	Please buy this textbook before your first class. 授業が始まる前に教科書を必ず買ってください。		
参考書	None. But general knowledge of and interest in Japanese history is useful.			
オフィスアワー	9:30-10:30am Thursdays or email lockleyta@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	First Class - Introduction to the course
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
2	事前学習	Read and prepare texts for this lesson.
	授業内容	Theme: Ancient International Contacts. Skills: Introduction and writing summaries.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
3	事前学習	Read and prepare texts for this lesson.
	授業内容	Theme: Kofun to Kamakura. Skills: Lecture Note Taking.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
4	事前学習	Read and prepare texts for this lesson.
	授業内容	Theme: Muromachi and Early Edo Japanese Abroad. Skills: Discussion and reflection.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.

5	事前学習	Read and prepare texts for this lesson.
	授業内容	Theme: Muromachi and Early Edo Non-Japanese in Japan. Skills: Discussion and reflection.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
6	事前学習	Read and prepare texts for this lesson.
	授業内容	Theme: Mid-Edo Japanese Abroad. Skills: Discussion and reflection.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
7	事前学習	Read and prepare texts for this lesson.
	授業内容	Mid Edo non-Japanese in Japan. Skills: Discussion and reflection.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare a topic to practice presentation skills.
	授業内容	Presentation Practice. Skills: Presentation skills.
	事後学習	Finish reflections and learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare a topic for the assessment presentation.
	授業内容	Presentations preparation. Skills: Research focus.
	事後学習	Continue research. Email teacher with questions.
10	事前学習	Continue research. Email teacher with questions.
	授業内容	Presentations preparation. Skills: Research focus.
	事後学習	Continue research. Email teacher with questions.
11	事前学習	Continue research. Email teacher with questions.
	授業内容	Presentations preparation. Start to make Powerpoint and script. Skills: Powerpoint. Speech writing.
	事後学習	Continue research. Email teacher with questions and for English consultations.
12	事前学習	Continue class work. Email teacher with questions and for English consultations.
	授業内容	Presentations preparation. Continue to make Powerpoint and script. Skills: Powerpoint. Speech writing.
	事後学習	Continue class work. Email teacher with questions and for English consultations. Practice as a group or individually for the assessment.
13	事前学習	Have powerpoint and script finished.
	授業内容	Presentations preparation - Practice mock presentation with teacher Skills: Public speaking. Group work.
	事後学習	Practice as a group or individually for the assessment.
14	事前学習	Prepare for assessment.
	授業内容	Presentation Assessment
	事後学習	Reflect on assessment.
15	事前学習	Prepare for assessment.
	授業内容	Presentation Assessment
	事後学習	Reflect on assessment.

科目名	英語演習G	担当者	本間 俊一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	映画 Roman Holiday の script に親しみ、英語特有の表現に習熟し、また音声のみでも作品を理解できるようにする。同時に、作品の歴史的・社会的背景を学習し、作品を深く読解し、内容の要旨を單元ごとにまとめて表現する力を養う。ドラマの natural な英語表現を理解し、最終的には字幕なしで理解できるようにする。				
授業目的・到達目標	多言語の国際社会は、事実上英語が共通語になっている。この国際社会の現状をよく認識し、英語学習への意欲をさらに高めることを大きな目的とします。				
履修条件	原則として、公欠を除く、欠席が全体の1/3を超える学生には単位が認められない。				
授業方法	複数の課題が要求される。web を通じて、課題を提出することが可能。 USBメモリがあると役立つ。イヤホンは携帯必須。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常評価（テスト70%, 課題20%、小テスト10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2009	栄光社		Roman Holiday	Dalton Trumbo
	備考				
参 考 書	特になし。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはemailにて対応いたします。 homma.toshikazu11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	textを確認し、全体の内容把握
	授業内容	オリエンテーション（1）
	事後学習	textの一部の和訳
2	事前学習	textの日本語解説の読書
	授業内容	オリエンテーション（2）
	事後学習	添付されているDVDの鑑賞
3	事前学習	text (pp. 17-24) の予習
	授業内容	unit 1 読解 (pp. 17-24)
	事後学習	text (pp. 17-24) の復習
4	事前学習	Q&A unit1 (pp. 17-24) の予習
	授業内容	Q&A unit1 (pp. 17-24)
	事後学習	Q&A unit1 (pp. 17-24) の復習

5	事前学習	text (pp. 25-28) の予習
	授業内容	unit 2 読解 (pp. 25-28)
	事後学習	text (pp. 25-28) の復習
6	事前学習	Q&A unit 2 (pp. 25-28) の予習
	授業内容	Q&A unit 2 (pp. 25-28)
	事後学習	Q&A unit 2 (pp. 25-28) の復習
7	事前学習	text (pp. 29-34) の予習
	授業内容	unit 3 読解 (pp. 29-34)
	事後学習	text (pp. 29-34) の復習
8	事前学習	Q&A unit 3 (pp. 29-34) の予習
	授業内容	Q&A unit 3 (pp. 29-34)
	事後学習	Q&A unit 3 (pp. 29-34) の復習
9	事前学習	text (pp. 35-43) の予習
	授業内容	unit 4 読解 (pp. 35-43)
	事後学習	text (pp. 35-43) の復習
10	事前学習	Q&A unit 4 (pp. 35-43) の予習
	授業内容	Q&A unit 4 (pp. 35-43)
	事後学習	Q&A unit 4 (pp. 35-43) の復習
11	事前学習	text (pp. 48-53) の予習
	授業内容	unit 5 読解 (pp. 48-53)
	事後学習	text (pp. 48-53) の復習
12	事前学習	text (pp. 49-53) の予習
	授業内容	unit 6 読解 (pp. 49-53)
	事後学習	text (pp. 49-53) の復習
13	事前学習	text (pp. 54-58) の予習
	授業内容	unit 7 読解 (pp. 54-58)
	事後学習	text (pp. 54-58) の復習
14	事前学習	text (pp17-58) のreview
	授業内容	まとめ(1)
	事後学習	Q&A (unit1-7) のreview
15	事前学習	Q&A (unit1-7) のreview
	授業内容	まとめ(2)
	事後学習	まとめの内容確認

科目名	英語演習G	担当者	水本 孝二	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「歴史、社会」に関する文献を読んで行きます。英語演習はゼミナール形式で授業を進めます。					
授業目的・到達目標	英語テキストを介して、学生が自らものを考えることが出来ることを目的とし、意見交換する場を提供することを目標とします。					
履修条件	特にありませんが、前学期に英語演習Gを履修した場合は後学期に英語演習Hを履修することが望ましいです。					
授業方法	実践演習をして解説をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	南雲堂		Global Issues Towards Peace		Keiso Tatsukawa, 他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること					
オフィスアワー	水曜日16：20-17：50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Education and gender 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Education and gender 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Drinking water 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Drinking water 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Poverty and hunger 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Poverty and hunger 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Fighting disease 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Fighting disease 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Terrorism 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Terrorism 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Internment 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Internment 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Atomic weapons 7
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語演習H	担当者	本間 俊一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	映画 Roman Holiday の script に親しみ、英語特有の表現に習熟し、また音声のみでも作品を理解できるようにする。同時に、作品の歴史的・社会的背景を学習し、作品を深く読解し、内容の要旨を単元ごとにまとめて表現する力を養う。ドラマの natural な英語表現を理解し、最終的には字幕なしで理解できるようにする。				
授業目的・到達目標	多言語の国際社会は、事実上英語が共通語になっている。この国際社会の現状をよく認識し、英語学習への意欲をさらに高めることを大きな目的とします。				
履修条件	原則として、公欠を除く、欠席が全体の1/3を超える学生には単位が認められない。				
授業方法	複数の課題が要求される。web を通じて、課題を提出することが可能。USBメモリがあると役立つ。イヤホンは携帯必須。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常評価（テスト70%, 課題20%、小テスト10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2009	栄光社		Roman Holiday	Dalton Trumbo
	備考				
参 考 書	特になし。				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後またはemailにて対応いたします。 homma.toshikazu11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	text (pp. 59-61) の予習
	授業内容	unit 8 読解 (pp. 59-61)
	事後学習	text (pp. 59-61) の復習
2	事前学習	Q&A unit 8 (pp. 59-61) の予習
	授業内容	Q&A unit 8 (pp. 59-61)
	事後学習	Q&A unit 8 (pp. 59-61) の復習
3	事前学習	text (pp. 62-71) の予習
	授業内容	unit 9 読解 (pp. 62-71)
	事後学習	text (pp. 62-71) の復習
4	事前学習	Q&A unit 9 (pp. 62-71) の予習
	授業内容	Q&A unit 9 (pp. 62-71)
	事後学習	Q&A unit 9 (pp. 62-71) の復習

5	事前学習	text (pp. 67-71) の予習
	授業内容	unit 10 読解(pp. 67-71)
	事後学習	text (pp. 67-71) の復習
6	事前学習	Q&A unit 10(pp. 67-71) の予習
	授業内容	Q&A unit 10(pp. 67-71)
	事後学習	Q&A unit 10(pp. 67-71) の復習
7	事前学習	Q&A unit 10(pp. 67-71) の復習
	授業内容	unit 11 読解(pp. 72-75)
	事後学習	text (pp. 72-75) の復習
8	事前学習	Q&A unit 11(pp. 72-75) の予習
	授業内容	Q&A unit 11(pp. 72-75)
	事後学習	Q&A unit 11(pp. 72-75) の復習
9	事前学習	text (pp. 76-82) の予習
	授業内容	unit 12 読解(pp. 76-82)
	事後学習	text (pp. 76-82) の復習
10	事前学習	Q&A unit 12(pp. 83-87) の予習
	授業内容	Q&A unit 12(pp. 83-87)
	事後学習	Q&A unit 12(pp. 83-87) の復習
11	事前学習	text (pp. 83-87) の予習
	授業内容	unit 13 読解(pp. 83-87) Q&A unit13(pp. 83-87)
	事後学習	text (pp. 83-87) の復習
12	事前学習	text (pp. 88-92) の予習
	授業内容	unit 14 読解(pp. 88-92) Q&A unit 14(pp. 88-92)
	事後学習	text (pp. 88-92) の復習
13	事前学習	text (pp. 93-97) の予習
	授業内容	unit 15 読解(pp. 93-97) Q&a unit 15(pp. 93-97)
	事後学習	text (pp. 93-97) の復習
14	事前学習	text (pp. 59-97) のreview
	授業内容	まとめ(1)
	事後学習	Q&A unit 8-15のreview
15	事前学習	Q&A unit 8-15のreview
	授業内容	まとめ(2)
	事後学習	まとめの内容確

科目名	英語演習H	担当者	水本 孝二	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「歴史、社会」に関する文献を読んで行きます。英語演習はゼミナール形式で授業を進めます。				
授業目的・到達目標	英語テキストを介して、学生が自らものを考えることが出来ることを目的とし、意見交換する場を提供することを目標とします。				
履修条件	特にありませんが、前学期に英語演習Gを履修した場合は後学期に英語演習Hを履修することが望ましいです。				
授業方法	実践演習をして解説をします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	南雲堂		Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, 他
	備考	なし			
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること				
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50（4号館1階）連絡先：mizumoto.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Genocide and crimes against humanity 1-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Genocide and crimes against humanity 1-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Landmines 2-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Landmines 2-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Refuges 3-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Refuges 3-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Nelson Mandela 4-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Nelson Mandela 4-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Aung San Suu Kyi 5-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	Aung San Suu Kyi 5-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Red Cross and Red Crescent movement 6-1
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Red Cross and Red Crescent movement 6-2
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	The Red Cross and Red Crescent movement 6-3
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習しておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英語演習H	担当者	J.ジェルソ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve your reading and speaking skills while building English academic vocabulary through writing assignments, small group and class discussions.				
授業目的・到達目標	You will learn about American graphic novels and how they reflect historical and cultural aspects of the United States. Students will improve their analytical and summarizing within academic writing.				
履修条件	None				
授業方法	Weekly classes will consist of small group and class discussions. Vocabulary tests will be given throughout the semester and students will create an end-of-semester presentation/project.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	Participation and effort, 10%; Readings and reflections, 40%; Vocabulary tests, 10%; Mid-term exam, 20%; Final presentation, 20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	N o n e			
参 考 書	Dictionary or smartphone with a dictionary				
オフィスアワー	Make an appointment by email or ask me a question by email: joe.geluso@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Course introduction Summarizing skills focus
	事後学習	Study vocabulary words
2	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: The role graphic novels and comics in social commentary Origins of graphic novels in Pulp Fiction Hard-boiled detectives as precursors to heroes
	事後学習	Study vocabulary words
3	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: The Great Depression and the New Deal in America Comics: Superman as champion of the oppressed and under-privileged
	事後学習	Study vocabulary words
4	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: The Great Depression and the New Deal in America Comics: Green Lantern exposes worker exploitation Vocabulary Quiz 1
	事後学習	Study vocabulary words

5	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: World War II: American patriotism and racial profiling Comics: Captain America resists racial profiling Vocabulary Quiz 2
	事後学習	Study vocabulary words
6	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: The Marvel Age Marvel comics changes the game and directly addresses its audience Comics: Spiderman connects with adolescents in the USA
	事後学習	Study vocabulary words
7	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: The Cold War and Vietnam Comics: Iron Man questions American motives in Vietnam Vocabulary Quiz 3
	事後学習	Study vocabulary words
8	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: Race and Social Equality Comics: Hulk identifies with African Americans
	事後学習	Study vocabulary words
9	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: America in a Post-911 world and the ‘War on Terror’ Marvel’ s Civil War.
	事後学習	Study vocabulary words
10	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: America in a Post-911 world and the ‘War on Terror’ Marvel’ s Civil War Vocabulary Quiz 4
	事後学習	Study vocabulary words
11	事前学習	Readings for week
	授業内容	Small groups discussions: America in a Post-911 world and the ‘War on Terror’ Marvel’ s Civil War
	事後学習	Study vocabulary words
12	事前学習	Review and prepare questions about class content
	授業内容	Catch up time
	事後学習	Study vocabulary words
13	事前学習	Begin brainstorming projects
	授業内容	Projects and guidance
	事後学習	Continue work on projects
14	事前学習	Continue work on projects
	授業内容	Questions and guidance on projects
	事後学習	Work on presentations
15	事前学習	Practice presentations
	授業内容	Final presentations
	事後学習	Review

科目名	英検／IELTS I A	担当者	佐藤 健児	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、高等学校までの文法・語法の知識を総整理し、実用英語検定2級の取得を目指します。			
授業目的・到達目標	(1) 実用英語検定2級を取得する。 (2) 高等学校までの文法・語法の知識を総整理する。			
履修条件	実用英語技能検定2級以上を取得していないこと。前期または後期中に1度実用英語技能検定を受験すること。			
授業方法	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』を用いて、高等学校までの文法・語法の知識を総整理します。また、実用英語検定の過去問の演習を通して、実践的な得点力を養います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	大修館書店	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』	大修館書店編集部
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	金曜日17:50～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson2, Lesson3のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson2, Lesson3のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
3	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson4, Lesson5のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson4, Lesson5のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
4	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson6, Lesson7のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson6, Lesson7のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。

5	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson8, Lesson9のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson8, Lesson9のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
6	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson10, Lesson11のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson10, Lesson11のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
7	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson12, Lesson13のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson12, Lesson13のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
8	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson14, Lesson15のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson14, Lesson15のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
9	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson16, Lesson17のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson16, Lesson17のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
10	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson18, Lesson19のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson18, Lesson19のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
11	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson20, Lesson21のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson20, Lesson21のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
12	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson22, Lesson23のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson22, Lesson23のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
13	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson24, Lesson25のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson24, Lesson25のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
14	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson26, Lesson27のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson26, Lesson27のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
15	事前学習	前期の授業内容を復習しておく。
	授業内容	前期の授業のまとめ。
	事後学習	実用英語検定の過去問に挑戦する。

科目名	英検／IELTS I A	担当者	鈴木 ふさ子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英検２級相応の基礎力をつけるため、演習問題を解きながら、文法の復習やリスニングのコツをつかんでいきます。また、ライティングの方法や二次試験の面接の練習などを実践的に行います。				
授業目的・到達目標	英検２級合格に対応する英語力を養成するためのクラスです。テキストでは映画の聞き取りをしながら、リスニングの練習をし、台詞の中に出て来る文法の復習をします。小テストで英検向けの語彙や表現を覚え、総合的な英語力を高めます。また、模擬試験や苦手な学生が多い英検の２次試験（面接試験）の練習も行い、英検２級試験の実践力を身につけます。英検2級合格および英検2級合格にふさわしい英語力（簡単な説明、報告、電話での対応、簡単な通訳ができる・英語で書かれた新聞の記事、手紙、簡単なパンフレット、説明書を読むことができる・手紙や簡単な説明文を書くことができる）を身につけること。				
履修条件	１．指定された範囲の予習・課題を行うこと ２．やる気があること ３．英検２級を受験すること				
授業方法	毎回指定範囲の小テスト、リスニング、ライティングの解説、授業内にテキストを使い、リスニングや文法を中心に勉強をする。英検の試験日程に合わせ、模擬試験、面接対策を行う。その他、映画や洋楽の聞き取りなども適宜行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（１００％）、小テスト、授業内復習テスト、英検の合格状況などを総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	２０１８年	金星堂		『英検２級マスターコース』	Hiromi Imamura
	２０１２年	旺文社		『英検２級 出る順パス単』	
	備考				
参考書	『英検2級全問題集』（旺文社）				
オフィスアワー	授業終了後に対応する。事前に質問内容や相談内容を伝え、アポイントメントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英検２級はどのようなテストなのかを調べる
	授業内容	ガイダンス（英検について、授業の進め方、評価）
	事後学習	英検２級についての情報を整理する
2	事前学習	英検２級のテスト形式を把握し、それぞれのパートの問題を解いてみる
	授業内容	英検２級ミニテスト・解説
	事後学習	自分の弱点をチェックする
3	事前学習	ミニ模擬テストの結果を踏まえ、学習計画を立てる
	授業内容	各試験の対策法及び自宅学習の方法など
	事後学習	具体的で効率的な学習計画を立てる
4	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 1 のリスニング
	事後学習	授業でやったところリスニングを復習する

5	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 1 のリーディング（文法、読解）
	事後学習	授業でやったところを復習する
6	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 2 のリスニング練習
	事後学習	授業でやったところを復習する
7	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 2 のリーディング（文法、読解）
	事後学習	授業でやったところを復習する
8	事前学習	時間をはかって過去問を解いてみる
	授業内容	模擬テストと解説
	事後学習	間違えたところを復習する
9	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 3 のリーディング（文法、解説）、ライティング
	事後学習	授業でやったところを復習する
10	事前学習	小テスト該当範囲の学習、ライティングの過去問を調べる
	授業内容	小テスト、Lesson 3 のListening、ライティング
	事後学習	授業でやったところを復習する
11	事前学習	小テスト該当範囲の学習、二次面接がどのような問題なのかを調べる
	授業内容	小テスト、Lesson 4 のリスニング練習、英検 2 次（面接）対策
	事後学習	授業でやったところを復習する
12	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト英検 2 次（面接）対策
	事後学習	授業でやったことを復習する
13	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、英検 2 次（面接）対策
	事後学習	授業でやったことの総復習をする
14	事前学習	前期にやったことを総復習する
	授業内容	Lesson 4 のリーディング（文法と読解）、前期の内容の振り返り
	事後学習	できなかったところを見直す
15	事前学習	前期の復習
	授業内容	前期の総復習テストと解説
	事後学習	前期で自分が理解していなかった部分を復習する

科目名	英検／IELTS I A	担当者	町田 純子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英検2級やIELTS、公務員試験取得に向けての4スキルの基礎力充実をベースに英語の言語運用能力養成をします。					
授業目的・到達目標	文法や構文、語彙の知識を整理し、速読のための文章構造や段落構成、直読直解、大意把握の仕方等を習得し、又速聴のための英語リズムや音声現象に慣れ、二次面接の音読や英問英答、スピーチの高得点を目指します。					
履修条件	目的意識を持ち、英検を受験する姿勢が望まれます。(一次試験筆記、二次試験面接まで) ペアー授業実践が多いので、履修者同士でのコミュニケーションを図れることが必要とされます。					
授業方法	英語の4技能向上のタスクに触れ、速読力向上のタスク中心で基礎固め、二次試験対策も行います。実践的にライティング筆記や短文の語句空所、長文の語句空所補充、内容一致選択、リスニング 会話の応答文選択問題に慣れます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常評価(テスト+単語テスト+資格試験結果等)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		英検2級マスターコース		Hiromi Imamura 他
		桐原書店		DataBase4500 第5版		
	備考					
参考書	英和辞書は必携です。					
オフィスアワー	授業に関する質問やご相談等は、授業終了後又は前もってE-mailにて対応させていただきます。 machida.junko11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。
	授業内容	ガイダンス (授業内容・方針・英検等についての説明) ミニテスト実施
	事後学習	ミニテスト復習
2	事前学習	DataBase 4500 level 1
	授業内容	ミニテスト一次試験解説 (各自の弱点部分の客観的把握)
	事後学習	ミニテスト復習
3	事前学習	DataBase 4500 level 1
	授業内容	Unit 1基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 1
	事後学習	Unit 1復習
4	事前学習	DataBase 4500 level 1
	授業内容	Unit 2 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 1
	事後学習	Unit 2復習

5	事前学習	DataBase 4500 level 2
	授業内容	Unit 3 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 2
	事後学習	Unit 3復習
6	事前学習	DataBase 4500 level 2
	授業内容	Unit 4 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 2
	事後学習	Unit 4復習
7	事前学習	DataBase 4500 level 3
	授業内容	Unit 5 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 3
	事後学習	Unit 5復習
8	事前学習	DataBase 4500 level 3
	授業内容	Unit 6 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 3
	事後学習	Unit 6復習
9	事前学習	DataBase 4500 level 4
	授業内容	Unit 7 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 4
	事後学習	Unit 7復習
10	事前学習	DataBase 4500 level 4
	授業内容	Unit 8 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 4
	事後学習	Unit 8復習
11	事前学習	DataBase 4500 level 5
	授業内容	リスニング攻略、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 5
	事後学習	音読練習
12	事前学習	DataBase 4500 level5
	授業内容	リスニング攻略、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 5
	事後学習	音読練習
13	事前学習	DataBase 4500 level 6
	授業内容	読解攻略、単語テスト DataBase 4500 level 6
	事後学習	読解攻略復習
14	事前学習	DataBase 4500 level 6
	授業内容	模擬テスト DataBase 4500 level 6
	事後学習	模擬テスト復習
15	事前学習	Unit1~unit8
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	前期授業のまとめの復習

科目名	英検／IELTS I A	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語資格試験対策のクラスです。就職の履歴書には英検の級を資格として書くことができます。可能な限り高い級を取るようになしましょう。					
授業目的・到達目標	英検1-2級試験及び国家公務員Ⅱ種試験の「専門科目英語（基礎）（一般）」の受験に対応した英語力を養成するための授業です（地方公務員、教員採用試験も含みます）。英検の問題は4技能（読む、書く、聞く、話す）が総合的に高いレベルであることを要求するものなので、英検対応の勉強をすることはそのまま先の公務員試験等の対策にもなります。英検準1級合格を目指します。					
履修条件	履修年次に英検1-2級またはTOEFL／TOEICのどれかの試験を1回受験して成績を教員に提出すること。「話す・聞く」力をつけるために、ネイティブの教員の授業も併せて受講することを望みます。					
授業方法	演習形式。英検問題及び国家公務員Ⅱ種試験等の英語問題を扱うことで実践的な学習をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		英検2級対策実践演習講座		メアリー・チカヤマ、他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日　16:20-17：50					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 1-1 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 1-2 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 2-1 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 2-2 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 3-1 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 3-2 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 4-1 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 4-2 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 5-1 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 5-2 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 6-1 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 6-2 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 6-3 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英検／IELTS I A	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	外国語学習にまず必要なことは、その外国語の単語を大量に覚えることである。単語を知っていればリーディングができるようになり、それができればリスニングができるようになり、それができればスピーキングができるようになる。その指導をする。							
授業目的・到達目標	英検２級（大学卒業程度）に相当する英語力を身につけさせる。そのため毎回テストを行うが、答案は講師の手によって採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういうことを大切にしていきたい。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検２級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。							
履修条件	講師の指示通りに学習すること。ノート検査をする。欠席をしない。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。							
授業方法	原則として、講義・質疑応答、４０分、リーディング・テスト、２５～４５分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		0%					
	平常評価		100%		諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	2018		Barron		1100 Words You Need to Know		Bromberg	
	2017		Barron		Basic Word List		Brownstein	
	備考							
参考書	リーダーズ英和辞典							
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業受講上の注意について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	二つのテキストの単語ノートを作成し、単語を覚える。下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	Basic Word List(以下BWLと表記する)、v-xvi、3-10、1100 Words、Week 1
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL、11-20、1100 Words、Week 2
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL、21-30、1100 Words、Week 3
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 31-40、1100 Words, Week 4
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 41-50、1100 Words, Week 5
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 51-60、1100 Words, Week 6
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 61-70、1100 Words, Week 7
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 71-80、1100 Words, Week 8
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 81-90、1100 Words, Week 9
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 91-100、1100 Words, Week 10
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 101-110、1100 Words, Week 11
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 111-120、1100 Words, Week 12
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 121-130、1100 Words, Week 13
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 131-140、1100 Words, Week 14
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

科目名	英検／IELTS I B	担当者	佐藤 健児	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、高等学校までの文法・語法の知識を総整理し、実用英語検定2級の取得を目指します。			
授業目的・到達目標	(1) 実用英語検定2級を取得する。 (2) 高等学校までの文法・語法の知識を総整理する。			
履修条件	実用英語技能検定2級以上を取得していないこと。前期または後期中に1度実用英語技能検定を受験すること。			
授業方法	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』を用いて、高等学校までの文法・語法の知識を総整理します。また、実用英語検定の過去問の演習を通して、実践的な得点力を養います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	大修館書店	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』	大修館書店編集部
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017. 『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	金曜日17:50～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を購入し、シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson28, Lesson29のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson28, Lesson29のExercisesの解説。過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
3	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson30, Lesson31のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson30, Lesson31のExercisesの解説。過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
4	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson32, Lesson33のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson32, Lesson33のExercisesの解説。過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。

5	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson34, Lesson35のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson34, Lesson35のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
6	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson36, Lesson37のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson36, Lesson37のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
7	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson38, Lesson39のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson38, Lesson39のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
8	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson40, Lesson41のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson40, Lesson41のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
9	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson42, Lesson43のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson42, Lesson43のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
10	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson44, Lesson45のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson44, Lesson45のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
11	事前学習	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson46のExercisesを解いておくこと。
	授業内容	『Genius ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons』のLesson46のExercisesの解説。 過去問演習。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
12	事前学習	模擬試験，面接の準備をしておくこと。
	授業内容	模擬試験と解説。 面接対策。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
13	事前学習	模擬試験，面接の準備をしておくこと。
	授業内容	模擬試験と解説。 面接対策。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
14	事前学習	模擬試験，面接の準備をしておくこと。
	授業内容	模擬試験と解説。 面接対策。
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
15	事前学習	後期の授業内容を復習しておく。
	授業内容	後期の授業のまとめ。
	事後学習	実用英語検定の過去問に挑戦する。

科目名	英検／IELTS I B	担当者	鈴木 ふさ子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英検２級相応の基礎力をつけるため、演習問題を解きながら、文法の復習やリスニングのコツをつかんでいきます。また、ライティングの方法や二次試験の面接の練習などを実践的に行います。				
授業目的・到達目標	英検２級合格に対応する英語力を養成するためのクラスです。テキストでは映画の聞き取りをしながら、リスニングの練習をし、台詞の中に出て来る文法の復習をします。小テストで英検向けの語彙や表現を覚え、総合的な英語力を高めます。また、模擬試験や苦手な学生が多い英検の２次試験（面接試験）の練習も行い、英検２級試験の実践力を身につけます。英検2級合格および英検2級合格にふさわしい英語力（簡単な説明、報告、電話での対応、簡単な通訳ができる・英語で書かれた新聞の記事、手紙、簡単なパンフレット、説明書を読むことができる・手紙や簡単な説明文を書くことができる）を身につけること。				
履修条件	１．指定された範囲の予習・課題を行うこと ２．やる気があること ３．英検２級を受験すること				
授業方法	毎回指定範囲の小テスト、リスニング、ライティングの解説、授業内にテキストを使い、リスニングや文法を中心に勉強をする。英検の試験日程に合わせ、模擬試験、面接対策を行う。その他、映画や洋楽の聞き取りなども適宜行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（１００％）、小テスト、授業内復習テスト、英検の合格状況などを総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	２０１８年	金星堂		『英検２級マスターコース』	Hiromi Imamura
	２０１２年	旺文社		『英検２級 出る順パス単』	
	備考				
参考書	『英検2級全問題集』（旺文社）				
オフィスアワー	授業終了後に対応する。事前に質問内容や相談内容を伝え、アポイントメントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英検２級の過去問を見直す
	授業内容	後期授業のためのガイダンス、文法、読解
	事後学習	後期の学習計画を立てる
2	事前学習	英検２級の過去問を解いてみる
	授業内容	模擬テストと解説
	事後学習	できなかった問題を見直す
3	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 5 のリスニング
	事後学習	授業でやったところを復習する
4	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 5 のリーディング（文法、読解）
	事後学習	授業でやったところを復習する

5	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 6 のリスニング、Lesson 5 のライティング
	事後学習	授業でやったところを復習する
6	事前学習	小テスト該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 6 のリーディング（文法、読解、ライティング）、英検 2 次（面接）対策
	事後学習	授業でやったところを復習する
7	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、英検 2 次（面接）対策
	事後学習	授業でやったことを復習する
8	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、英検 2 次（面接）対策
	事後学習	授業でやったことを復習する
9	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 7 のリスニングとライティング
	事後学習	授業でやったところを復習する
10	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 7 のリーディング（文法、読解）
	事後学習	授業でやったところを復習する
11	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 8 のリスニング
	事後学習	授業でやったところを復習する
12	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 8 のリーディング（文法、読解）
	事後学習	授業でやったところを復習する
13	事前学習	小テストの該当範囲の学習
	授業内容	小テスト、Lesson 8 のライティング、ミニ模擬試験
	事後学習	授業でやったところを復習する
14	事前学習	後期の総復習
	授業内容	後期の振り返り
	事後学習	テストでできなかったところを見直す
15	事前学習	後期にやったことを復習する
	授業内容	後期の総復習テストと解説
	事後学習	後期にやったことを復習し、今後の学習計画を考える

科目名	英検／IELTS I B	担当者	町田 純子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英検2級やIELTS、公務員試験取得に向けての4スキルの基礎力充実をベースに英語の言語運用能力養成をします。				
授業目的・到達目標	文法や構文、語彙の知識を整理し、速読のための文章構造や段落構成、直読直解、大意把握の仕方等を習得し、又速聴のための英語リズムや音声現象に慣れ、二次面接の音読や英問英答、スピーチの高得点を目指します。				
履修条件	目的意識を持ち、英検を受験する姿勢が望まれます。(一次試験筆記、二次試験面接まで) ペアー授業実践が多いので、履修者同士でのコミュニケーションを図れることが必要とされます。				
授業方法	英語の4技能向上のタスクに触れ、速読力向上のタスク中心で基礎固め、二次試験対策も行います。実践的にライティング筆記や短文の語句空所、長文の語句空所補充、内容一致選択、リスニング 会話の応答文選択問題に慣れます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価(テスト+単語テスト+資格試験結果等)	
教科書	年	出版社	書名		著者名
		金星堂	English Sounds, English Minds		杉森幹彦
		桐原書店	DataBase4500 第5版		
	備考				
参考書	英和辞書は必携です。				
オフィスアワー	授業に関する質問やご相談等は、授業終了後又は前もってE-mailにて対応させていただきます。 machida.junko11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。
	授業内容	ガイダンス (授業内容・方針・英検等についての説明) ミ過去問試験 1 実施及び解説、夏休みの宿題提出
	事後学習	過去問試験 1 復習
2	事前学習	DataBase 4500level1の例文を速読速聴しつつシャドウイングしながら、各単語、熟語及び構文を覚える。
	授業内容	過去問試験 2 実施及び解説 (各自の弱点部分の客観的把握) DataBase 4500level 1
	事後学習	過去問試験 2 復習
3	事前学習	DataBase 4500level 2 の例文を速読速聴しつつシャドウイングしながら、各単語、熟語及び構文を覚える。
	授業内容	過去問試験 3 実施及び解説 DataBase 4500level 2
	事後学習	過去問試験 3 復習
4	事前学習	DataBase 4500level 3 の例文を速読速聴しつつシャドウイングしながら、各単語、熟語及び構文を覚える。 リスニングスクリプト内容把握Unit 1&2英語のアクセント (単語) 英語のリズム (内容語と機能語)
	授業内容	リスニング Unit 1&2 英語のアクセント (単語) 英語のリズム (内容語と機能語) DataBase 4500 level3
	事後学習	リスニングUnit 1&2 英語のアクセント (単語) 英語のリズム (内容語と機能語) スクリプト音読

5	事前学習	DataBase 4500level 4の例文を速読速聴しつつシャドウイングしながら、各単語、熟語及び構文を覚える。 リスニングスクリプト内容把握 Unit 3&4 紛らわしい母音
	授業内容	リスニングUnit 3&4 紛らわしい母音 dataBase 4500 level 4
	事後学習	リスニングUnit 3&4 紛らわしい母音スクリプト音読
6	事前学習	DataBase 4500level 5の例文を速読速聴しつつシャドウイングしながら、各単語、熟語及び構文を覚える。 リスニングスクリプト内容把握 Unit 5 紛らわしい子音 Unit 6 紛らわしい子音（2）
	授業内容	リスニングUnit 5 紛らわしい子音 Unit 6 紛らわしい子音（2） DataBase 4500 level 5
	事後学習	リスニングUnit 5 紛らわしい子音 Unit 6 紛らわしい子音（2）スクリプト音読
7	事前学習	DataBase 4500level 6の例文を速読速聴しつつシャドウイングしながら、各単語、熟語及び構文を覚える。 リスニングスクリプト内容把握 Unit 7 紛らわしい子音（3）と半母音 Unit 8 つながって聞こえる音
	授業内容	リスニングUnit 7 紛らわしい子音（3）と半母音 Unit 8 つながって聞こえる音 DataBase 4500 level 6
	事後学習	リスニングUnit 7 紛らわしい子音（3）と半母音 Unit 8 つながって聞こえる音 スクリプト音読
8	事前学習	英検模擬面接手順配布資料を読む
	授業内容	英検模擬面接練習①
	事後学習	英検模擬面接練習
9	事前学習	英検模擬面接練習
	授業内容	英検模擬面接練習②
	事後学習	英検模擬面接練習
10	事前学習	Unit9 変化して聞こえる音（同化）Unit 10 聞こえなくなる音（1）単語間の脱落 リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	リスニングUnit9 変化して聞こえる音（同化）Unit 10 聞こえなくなる音（1）単語間の脱落
	事後学習	リスニングUnit9 変化して聞こえる音（同化）Unit 10 聞こえなくなる音（1）単語間の脱落スクリプト音読
11	事前学習	リスニングUnit 11 聞こえなくなる音（2） 単語内の脱落・短縮形 Unit 12 英語のイントネーション リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	リスニングUnit 11 聞こえなくなる音（2） 単語内の脱落・短縮形 Unit 12 英語のイントネーション
	事後学習	リスニングUnit 11 聞こえなくなる音（2） 単語内の脱落・短縮形 Unit 12 英語のイントネーションスクリプト音読
12	事前学習	リスニングUnit 13 英語のイントネーションスクリプト内容把握
	授業内容	リスニングUnit 13 英語のイントネーション
	事後学習	リスニングUnit 13 英語のイントネーションスクリプト音読
13	事前学習	リスニングUnit 14 World Englishes スクリプト内容把握
	授業内容	リスニングUnit 14 World Englishes
	事後学習	リスニングUnit 14 World Englishes スクリプト音読
14	事前学習	リスニングUnit 15 数量表現スクリプト内容把握
	授業内容	リスニングUnit 15 数量表現
	事後学習	リスニングUnit 15 数量表現スクリプト音読
15	事前学習	まとめの試験
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	後期授業のまとめの復習

科目名	英検／IELTS I B	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語資格試験対策のクラスです。就職の履歴書には英検の級を資格として書くことができます。可能な限り高い級を取るようにしましょう。					
授業目的・到達目標	英検1-2級試験及び国家公務員Ⅱ種試験の「専門科目英語（基礎）（一般）」の受験に対応した英語力を養成するための授業です（地方公務員、教員採用試験も含みます）。英検の問題は4技能（読む、書く、聞く、話す）が総合的に高いレベルであることを要求するものなので、英検対応の勉強をすることはそのまま先の公務員試験等の対策にもなります。英検準1級合格を目指します。					
履修条件	履修年次に英検1-2級またはTOEFL／TOEICのどれかの試験を1回受験して成績を教員に提出すること。「話す・聞く」力をつけるために、ネイティブの教員の授業も併せて受講することを望みます。					
授業方法	演習形式。英検問題及び国家公務員Ⅱ種試験等の英語問題を扱うことで実践的な学習をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		英検2級対策実践演習講座		メアリー・チカヤマ、他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 7-1 長文読解問題一語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 7-2 長文読解問題一語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 8-1 長文読解問題一内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 8-2 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 9-1 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 9-2 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 10-1 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 10-2 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 11-1 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 11-2 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 12-1 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 12-2 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 12-3 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英検／IELTS I B	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	外国語学習にまず必要なことは、その外国語の単語を大量に覚えることである。単語を知っていればリーディングができるようになり、それができればリスニングができるようになり、それができればスピーキングができるようになる。その指導をする。					
授業目的・到達目標	英検２級（大学卒業程度）に相当する英語力を身につけさせる。そのため毎回テストを行うが、答案は講師の手によって採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検２級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。					
履修条件	講師の指示通りに学習すること。ノート検査をする。欠席をしない。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。					
授業方法	原則として、講義・質疑応答、４０分、リーディング・テスト、２５～４５分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Barron		1100 Words You Need to Know		Bromberg
	2017	Barron		Basic Word List		Brownstein
	備考					
参考書	リーダーズ英和辞典					
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業受講上の注意について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	二つのテキストの単語ノートを作成し、単語を覚える。下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	Basic Word List(以下BWLと表記する)、141-150、1100 Words, Week 15
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 151-160、1100 Words, Week 16
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 161-170、1100 Words, Week 17
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 171-180、1100 Words, Week 18
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 181-190、1100 Words, Week 19
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 191-200、1100 Words, Week 20
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 201-210、1100 Words, Week 21
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 211-220、1100 Words, Week 22
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 221-230、1100 Words, Week 23
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 231-240、1100 Words, Week 24
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 241-250、1100 Words, Week 25
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 251-260、1100 Words, Week 26
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 261-270、1100 Words, Week 27
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 271-280、1100 Words, Week 28
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

科目名	英検／IELTS II A	担当者	町田 純子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	英検 2 級や準 1 級、IELTS、公務員試験取得に向けての4スキルの基礎力充実をベースに英語の言語運用能力養成をします。			
授業目的・到達目標	文法や構文、語彙の知識を整理し、速読のための文章構造や段落構成、直読直解、大意把握の仕方等を習得し、又速聴のための英語リズムや音声現象に慣れ、二次面接の音読や英問英答、スピーチの高得点を目指します。			
履修条件	目的意識を持ち、英検を受験する姿勢が望まれます。(一次試験筆記、二次試験面接まで) ペアー授業実践が多いので、履修者同士でのコミュニケーションを図れることが必要とされます。			
授業方法	英語の 4 技能向上のタスクに触れ、速読力向上のタスク中心で基礎固め、二次試験対策も行います。実践的にライティング筆記や短文の語句空所、長文の語句空所補充、内容一致選択、リスニング 会話の応答文選択問題に慣れます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	平常評価(テスト+単語テスト+資格試験結果等)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	金星堂	英検2級マスターコース	Hiromi Imamura 他
		桐原書店	DataBase4500 第5版	
	備考			
参考書	英和辞書は必携です。			
オフィスアワー	授業に関する質問やご相談等は、授業終了後又は前もってE-mailにて対応させていただきます。 machida.junko11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。
	授業内容	ガイダンス（授業内容・方針・英検等についての説明） ミニテスト実施
	事後学習	ミニテスト復習
2	事前学習	DataBase 4500 level 1
	授業内容	ミニテスト一次試験解説（各自の弱点部分の客観的把握）
	事後学習	ミニテスト復習
3	事前学習	DataBase 4500 level 1
	授業内容	Unit 1基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 1
	事後学習	Unit 1復習
4	事前学習	DataBase 4500 level 1
	授業内容	Unit 2 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 1
	事後学習	Unit 2復習

5	事前学習	DataBase 4500 level 2
	授業内容	Unit 3 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 2
	事後学習	Unit 3復習
6	事前学習	DataBase 4500 level 2
	授業内容	Unit 4 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 2
	事後学習	Unit 4復習
7	事前学習	DataBase 4500 level 3
	授業内容	Unit 5 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 3
	事後学習	Unit 5復習
8	事前学習	DataBase 4500 level 3
	授業内容	Unit 6 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 3
	事後学習	Unit 6復習
9	事前学習	DataBase 4500 level 4
	授業内容	Unit 7 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 4
	事後学習	Unit 7復習
10	事前学習	DataBase 4500 level 4
	授業内容	Unit 8 基礎文法、読解、リスニング、ライティング、語彙、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 4
	事後学習	Unit 8復習
11	事前学習	DataBase 4500 level 5
	授業内容	リスニング攻略、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 5
	事後学習	音読練習
12	事前学習	DataBase 4500 level5
	授業内容	リスニング攻略、音読練習、単語テスト DataBase 4500 level 5
	事後学習	音読練習
13	事前学習	DataBase 4500 level 6
	授業内容	読解攻略、単語テスト DataBase 4500 level 6
	事後学習	読解攻略復習
14	事前学習	DataBase 4500 level 6
	授業内容	模擬テスト DataBase 4500 level 6
	事後学習	模擬テスト復習
15	事前学習	Unit1~unit8
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	前期授業のまとめの復習

科目名	英検／IELTS II A	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	外国語学習にまず必要なことは、その外国語の単語を大量に覚えることである。単語を知っていればリーディングができるようになり、それができればリスニングができるようになり、それができればスピーキングができるようになる。その指導をする。					
授業目的・到達目標	英検２級（大学卒業程度）に相当する英語力を身につけさせる。そのため毎回テストを行うが、答案は講師の手によって採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検２級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。					
履修条件	講師の指示通りに学習すること。ノート検査をする。欠席をしない。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。					
授業方法	原則として、講義・質疑応答、４０分、リーディング・テスト、２５～４５分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Barron		1100 Words You Need to Know		Bromberg
	2017	Barron		Basic Word List		Brownstein
	備考					
参考書	リーダーズ英和辞典					
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業受講上の注意について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	二つのテキストの単語ノートを作成し、単語を覚える。下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	Basic Word List(以下BWLと表記する)、v-xvi、3-10、1100 Words、Week 1
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL、11-20、1100 Words、Week 2
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL、21-30、1100 Words、Week 3
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 31-40、1100 Words, Week 4
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 41-50、1100 Words, Week 5
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 51-60、1100 Words, Week 6
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 61-70、1100 Words, Week 7
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 71-80、1100 Words, Week 8
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 81-90、1100 Words, Week 9
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 91-100、1100 Words, Week 10
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 101-110、1100 Words, Week 11
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 111-120、1100 Words, Week 12
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 121-130、1100 Words, Week 13
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 131-140、1100 Words, Week 14
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

科目名	英検／IELTS II B	担当者	町田 純子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	英検準1級取得や公務員試験合格に向けての基礎力充実を目的とした英語の言語運用能力養成をします。				
授業目的・到達目標	英語リズムや音声現象に慣れ、二次面接の音読や英問英答、スピーチの高得点を目指します。				
履修条件	目的意識を持ち、英検を受験する姿勢が望まれます。（一次試験筆記、二次試験面接まで）				
授業方法	リスニング、 会話の応答文に慣れます。実践的に二次試験対策も行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常評価(テスト＋単語テスト＋資格試験結果等)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		金星堂		English Sounds, English Minds	杉森幹彦
		桐原書店		DataBase4500 第5版	
	備考				
参 考 書	英和辞書は必携です。				
オフィスアワー	授業に関する質問やご相談等は、授業終了後又はE-mailにて対応させていただきます。 machida.junko11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの宿題提出チェック
	授業内容	ガイダンス 過去問試験1 実施及び解説、夏休みの宿題提出
	事後学習	DataBase 4500
2	事前学習	DataBase 4500
	授業内容	過去問試験2 及び解説、単語テスト
	事後学習	過去問試験2 復習
3	事前学習	DataBase 4500 まとめのテスト
	授業内容	DataBase 4500 まとめのテスト
	事後学習	DataBase 4500 まとめのテスト復習
4	事前学習	Unit1,2 英語のアクセント(単語・句英語のリズム) (内容語と機能語) リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit1,2 英語のアクセント(単語・句英語のリズム) (内容語と機能語) リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit1,2 英語のアクセント(単語・句英語のリズム) (内容語と機能語) リスニングスクリプト音読

5	事前学習	Unit3,4 紛らわしい母音 リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit3,4 紛らわしい母音 リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit3,4 紛らわしい母音 リスニングスクリプト音読
6	事前学習	Unit5,6 紛らわしい子音（1&2） リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit5,6 紛らわしい子音（1&2） リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit5,6 紛らわしい子音（1&2） リスニングスクリプト音読
7	事前学習	2次試験対策 模擬面接手順配布プリントを理解する。
	授業内容	2次試験対策 模擬面接練習
	事後学習	2次試験対策 模擬面接練習の内容を復習する。
8	事前学習	2次試験対策 模擬面接手順配布プリントを理解する。
	授業内容	2次試験対策 模擬面接練習
	事後学習	2次試験対策 模擬面接練習の内容を復習する。
9	事前学習	Unit7,8 紛らわしい子音（3）と半母音、 つながって聞こえる音（連結） リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit7,8 紛らわしい子音（3）と半母音、 つながって聞こえる音（連結） リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit7,8 紛らわしい子音（3）と半母音、 つながって聞こえる音（連結） リスニングスクリプト音読
10	事前学習	Unit9,10 変化して聞こえる音（同化）（単語間の脱落） リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit9,10 変化して聞こえる音（同化）（単語間の脱落） リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit9,10 変化して聞こえる音（同化）（単語間の脱落） リスニングスクリプト音読
11	事前学習	Unit11,12 聞こえなくなる音（2） 単語内の脱落・短縮形 英語のイントネーション リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit11,12 聞こえなくなる音（2） 単語内の脱落・短縮形 英語のイントネーション リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit11,12 聞こえなくなる音（2） 単語内の脱落・短縮形 英語のイントネーション リスニングスクリプト音読
12	事前学習	Unit13 英語のイントネーション リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit13 英語のイントネーション リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit13 英語のイントネーション リスニングスクリプト音読
13	事前学習	Unit14 World Englishes リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit14 World Englishes リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit14 World Englishes リスニングスクリプト音読
14	事前学習	Unit 15 数量表現 リスニングスクリプト内容把握
	授業内容	Unit 15 数量表現 リスニング、スピーキング
	事後学習	Unit 15 数量表現 リスニングスクリプト音読
15	事前学習	今までの復習
	授業内容	まとめの試験と解説
	事後学習	まとめの試験の復習

科目名	英検／IELTS II B	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	外国語学習にまず必要なことは、その外国語の単語を大量に覚えることである。単語を知っていればリーディングができるようになり、それができればリスニングができるようになり、それができればスピーキングができるようになる。その指導をする。					
授業目的・到達目標	英検２級（大学卒業程度）に相当する英語力を身につけさせる。そのため毎回テストを行うが、答案は講師の手によって採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検２級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。					
履修条件	講師の指示通りに学習すること。ノート検査をする。欠席をしない。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。					
授業方法	原則として、講義・質疑応答、４０分、リーディング・テスト、２５～４５分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Barron		1100 Words You Need to Know		Bromberg
	2017	Barron		Basic Word List		Brownstein
	備考					
参考書	リーダーズ英和辞典					
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業受講上の注意について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	二つのテキストの単語ノートを作成し、単語を覚える。下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	Basic Word List(以下BWLと表記する)、141-150、1100 Words, Week 15
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 151-160、1100 Words, Week 16
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 161-170、1100 Words, Week 17
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 171-180、1100 Words, Week 18
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 181-190、1100 Words, Week 19
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 191-200、1100 Words, Week 20
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 201-210、1100 Words, Week 21
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 211-220、1100 Words, Week 22
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 221-230、1100 Words, Week 23
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 231-240、1100 Words, Week 24
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 241-250、1100 Words, Week 25
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 251-260、1100 Words, Week 26
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 261-270、1100 Words, Week 27
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 271-280、1100 Words, Week 28
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

科目名	英検／IELTS ⅢA	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英検などに対応することを概要としている。				
授業目的・到達目標	英検準一級を目的とする。				
履修条件	大学の定める履修条件に従う。履修者は３５～４０名を厳守する。				
授業方法	原則として、名簿順に演習する。単語テストなども行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	小テスト（２５％）、レポート（２５％）、授業への参加度（５０％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	原則として、テキストを使用しない。担当者がプリント教材等を準備する。			
参考書	担当者が随時紹介する。				
オフィスアワー	原則として、授業の前後に受け付ける。その他、メール等でも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英語を確認しておく。
	授業内容	ガイドランス 英検などに必要な英語を確認する。1
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（大統領Aジャクソン・バレー創始者バレンチン・五大湖・鉄鉱石・連邦準備制度委員会） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（消費者物価指数・ビーバーの住処） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（地震と津波・ブラックホールと反物質） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（アメリカンフロンティア・最初期のアメリカ先住民の移動） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	英検などに必要な英語を確認する。2
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（ストレスと人間・細胞と細胞膜） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（政党・アメリカ先住民の文化） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（画家Aワイエス・ジャズとニューオーリンズ） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（大統領WHタフト・失われた世代の作家たち） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	英検などに必要な英語を確認する。3
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（ワニの生態・絶滅危惧種） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（フッ化水素酸・トウモロコシ） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（副鼻腔炎・ワクチン） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく。
	授業内容	リーディング（地震と断層・火山の分類） 文法 総括 以後の英語学習のための提案をする。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

科目名	英検／IELTS ⅢA	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	外国語学習にまず必要なことは、その外国語の単語を大量に覚えることである。単語を知っていればリーディングができるようになり、それができればリスニングができるようになり、それができればスピーキングができるようになる。その指導をする。					
授業目的・到達目標	英検２級（大学卒業程度）に相当する英語力を身につけさせる。そのため毎回テストを行うが、答案は講師の手によって採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検２級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。					
履修条件	講師の指示通りに学習すること。ノート検査をする。欠席をしない。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。					
授業方法	原則として、講義・質疑応答、４０分、リーディング・テスト、２５～４５分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Barron		1100 Words You Need to Know		Bromberg
	2017	Barron		Basic Word List		Brownstein
	備考					
参考書	リーダーズ英和辞典					
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業受講上の注意について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	二つのテキストの単語ノートを作成し、単語を覚える。下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	Basic Word List(以下BWLと表記する)、v-xvi、3-10、1100 Words、Week 1
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL、11-20、1100 Words、Week 2
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL、21-30、1100 Words、Week 3
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 31-40、1100 Words, Week 4
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 41-50、1100 Words, Week 5
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 51-60、1100 Words, Week 6
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 61-70、1100 Words, Week 7
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 71-80、1100 Words, Week 8
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 81-90、1100 Words, Week 9
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 91-100、1100 Words, Week 10
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 101-110、1100 Words, Week 11
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 111-120、1100 Words, Week 12
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 121-130、1100 Words, Week 13
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 131-140、1100 Words, Week 14
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

科目名	英検／IELTS ⅢB	担当者	岩城 久哲	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英検などに対応することが概要である。			
授業目的・到達目標	英検準一級を到達目標とする。			
履修条件	大学の定める履修条件に従う。履修者の数は３５～４０名を厳守する。			
授業方法	名簿順に演習する。小テストを行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	小テスト（２５％）、授業への参加度（５０％）、レポート（２５％）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	テキストを使用しない。担当者がプリント教材等を準備する。		
参考書	担当者が随時紹介する。			
オフィスアワー	原則として、授業の前後に受け付ける。その他、メール等でも受け付ける。desdetriana-hi@docomo.ne.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英検に必要な英語を確認しておく。
	授業内容	ガイダンス 英検などに必要な英語を確認する。1
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
2	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング（酸性雨・ＦＬライト） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
3	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング（Ｉパブロフ・ローランドゴリラ） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
4	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング（ＥＭヘミングウエー・血友病） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

5	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング（モヘンジョダロ・血友病） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
6	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	英検などに必要な英語を確認する。2
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
7	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング（リズム&ブルース・ガリレオ） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
8	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング（ミツバチの秘密・モヘンジョダロ） 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
9	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
10	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
11	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	英検などに必要な英語を確認する。3
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
12	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
13	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
14	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング 文法・ライティング
	事後学習	今日の教材を復習しておく。
15	事前学習	今日使用する教材を十分予習しておく
	授業内容	リーディング 文法 総括 以後の英語学習のための提案をする。
	事後学習	今日の教材を復習しておく。

科目名	英検／IELTS ⅢB	担当者	諸坂 成利	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	外国語学習にまず必要なことは、その外国語の単語を大量に覚えることである。単語を知っていればリーディングができるようになり、それができればリスニングができるようになり、それができればスピーキングができるようになる。その指導をする。					
授業目的・到達目標	英検２級（大学卒業程度）に相当する英語力を身につけさせる。そのため毎回テストを行うが、答案は講師の手によって採点され返却される。解答が記号であっても、講師自らが採点することによって学生の状態が把握できるからである。そういったことを大切にしていきたい。配布されたプリント、Basic Word List、および1100 Wordsの単語をすべて覚える。英検２級合格（大学卒業程度）の学力を目指す。					
履修条件	講師の指示通りに学習すること。ノート検査をする。欠席をしない。将来的に英語が人生の重要な要素となることを自覚すること。					
授業方法	原則として、講義・質疑応答、４０分、リーディング・テスト、２５～４５分、および単語テストで構成される。テストの得点は加算され、順位を出す。欠席者への再テストはしない。また講義内容についてのテストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		諸テストの得点を加算して順位を出して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	Barron		1100 Words You Need to Know		Bromberg
	2017	Barron		Basic Word List		Brownstein
	備考					
参考書	リーダーズ英和辞典					
オフィスアワー	水曜日、お昼休み、9107研究室にて、英語全般、留学などの相談を受け付ける。メールにての相談は随時受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス記載事項の熟読
	授業内容	Introduction、シラバス記載事項の確認、その他評価方法、シラバスに記載できなかった授業受講上の注意について説明する
	事後学習	配布されたプリントを熟読する
2	事前学習	二つのテキストの単語ノートを作成し、単語を覚える。下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	Basic Word List(以下BWLと表記する)、141-150、1100 Words, Week 15
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
3	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 151-160、1100 Words, Week 16
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
4	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 161-170、1100 Words, Week 17
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

5	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 171-180、1100 Words, Week 18
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
6	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 181-190、1100 Words, Week 19
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
7	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 191-200、1100 Words, Week 20
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
8	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 201-210、1100 Words, Week 21
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
9	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 211-220、1100 Words, Week 22
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
10	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 221-230、1100 Words, Week 23
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
11	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 231-240、1100 Words, Week 24
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
12	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 241-250、1100 Words, Week 25
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
13	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 251-260、1100 Words, Week 26
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
14	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 261-270、1100 Words, Week 27
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記
15	事前学習	下記授業内容範囲の単語を覚え、テストに備える
	授業内容	BWL, 271-280、1100 Words, Week 28
	事後学習	リーディングテストの復習、単語の暗記

科目名	英検／IELTS IVA	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語資格試験対策のクラスです。就職の履歴書には英検の級を資格として書くことができます。可能な限り高い級を取るようにしましょう。					
授業目的・到達目標	英検1-2級試験及び国家公務員Ⅱ種試験の「専門科目英語（基礎）（一般）」の受験に対応した英語力を養成するための授業です（地方公務員、教員採用試験も含みます）。英検の問題は4技能（読む、書く、聞く、話す）が総合的に高いレベルであることを要求するものなので、英検対応の勉強をすることはそのまま先の公務員試験等の対策にもなります。英検準1級合格を目指します。					
履修条件	履修年次に英検1-2級またはTOEFL／TOEICのどれかの試験を1回受験して成績を教員に提出すること。「話す・聞く」力をつけるために、ネイティブの教員の授業も併せて受講することを望みます。					
授業方法	演習形式。英検問題及び国家公務員Ⅱ種試験等の英語問題を扱うことで実践的な学習をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		英検2級対策実践演習講座		メアリー・チカヤマ、他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 1-1 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 1-2 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 2-1 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 2-2 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 3-1 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 3-2 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 4-1 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 4-2 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 5-1 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 5-2 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 6-1 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 6-2 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 6-3 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	英検／IELTS IVB	担当者	水本 孝二	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語資格試験対策のクラスです。就職の履歴書には英検の級を資格として書くことができます。可能な限り高い級を取るようにしましょう。					
授業目的・到達目標	英検1-2級試験及び国家公務員Ⅱ種試験の「専門科目英語（基礎）（一般）」の受験に対応した英語力を養成するための授業です（地方公務員、教員採用試験も含みます）。英検の問題は4技能（読む、書く、聞く、話す）が総合的に高いレベルであることを要求するものなので、英検対応の勉強をすることはそのまま先の公務員試験等の対策にもなります。英検準1級合格を目指します。					
履修条件	履修年次に英検1-2級またはTOEFL／TOEICのどれかの試験を1回受験して成績を教員に提出すること。「話す・聞く」力をつけるために、ネイティブの教員の授業も併せて受講することを望みます。					
授業方法	演習形式。英検問題及び国家公務員Ⅱ種試験等の英語問題を扱うことで実践的な学習をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		学期末授業内試験を実施します。また毎回、単語テストを行い、総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		英検2級対策実践演習講座		メアリー・チカヤマ、他
	備考	なし				
参考書	飛田茂雄（編）『現代英米情報辞典』研究社 参考書は購入する必要はない。適宜、図書館等で参照すること。					
オフィスアワー	水曜日 16:20-17:50					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
2	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 7-1 長文読解問題一語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
3	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 7-2 長文読解問題一語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
4	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 8-1 長文読解問題一内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと

5	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 8-2 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
6	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 9-1 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
7	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 9-2 語彙、熟語、文法問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
8	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 10-1 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
9	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 10-2 整序作文問題
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
10	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 11-1 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
11	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 11-2 長文読解問題－語句空所補充
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
12	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 12-1 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
13	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 12-2 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
14	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	Chapter 12-3 長文読解問題－内容一致選択
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
15	事前学習	毎回課題を示すので、予習をしておくこと
	授業内容	復習、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	TOEFL I A	担当者	佐藤 万里世	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	留学に必要な試験、TOEFLの中でも特にTOEFL ITPの教材を用いて授業を行います。 基礎クラスですので、TOEFLと英文法の2冊の教科書を用いて、英文法の基本から丁寧に学習していきます。					
授業目的・到達目標	TOEFLのスコアアップと基礎的な英文法の理解を目的とします。英文法に対する理解を深め、各セッションごと（リスニング、リーディング、文法）の総合的なスコアアップを目標とします。					
履修条件	前期中にTOEFL-ITPを1回以上受験すること。					
授業方法	講義と演習の形式で行います。学生の人数やレベルに合わせて行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への取り組み（授業態度・積極性・小テスト等）：40% 平常試験：60%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2010	Cengage Learning		Cengage Learning Power-up Trainer for the TOEFL ITP		Mark D. Stafford 他
	2017	いっずな書店		Evergreen English Grammar 47Lessons		いっずな書店編集部
	備考					
参考書	英語辞典（毎回必ず持参してください） 適宜指示します。					
オフィスアワー	昼休みと授業後に対応します。 また、事前に知らせていただければ、上記以外の対応も可能です。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	次回の模擬試験にむけて各自高校までの文法事項を確認しておく
2	事前学習	TOEFLがどのような試験なのか、最低限の知識を付けておく
	授業内容	TOEFL - ITPについての説明/模擬試験
	事後学習	模擬試験の結果をふまえ、苦手な文法事項の確認をする
3	事前学習	各自参考書等で品詞と文型の箇所を一読しておく
	授業内容	基礎的な文法の復習
	事後学習	今日学習したところをノートにまとめ、次回からの授業に備える
4	事前学習	Vocabulary Check をやっておく
	授業内容	unit1 The Racial Discrimination Problem
	事後学習	教科書を見直す 新出単語をチェックする

5	事前学習	p. 98の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:接続詞1
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
6	事前学習	P. 47の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:接続詞2
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
7	事前学習	接続詞の章を再度確認し、実践問題に備える
	授業内容	TOEFL実践問題
	事後学習	新出単語をチェックする
8	事前学習	Vocabulary Check をやっておく
	授業内容	unit2 Short Conversations
	事後学習	教科書を見直す 新出単語をチェックする
9	事前学習	P82 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:名詞
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
10	事前学習	名詞の章を再度確認し、実践問題に備える
	授業内容	TOEFL実践問題
	事後学習	新出単語をチェックする
11	事前学習	Vocabulary Check をやっておく
	授業内容	Unit3 The Dscovery of a New Medicine
	事後学習	教科書を見直す 新出単語をチェックする
12	事前学習	p. 62, 64 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:仮定法1, 2
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
13	事前学習	p. 66 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:仮定法3
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
14	事前学習	仮定法の章を再度確認し、実践問題に備える
	授業内容	TOEFL実践問題 まとめ
	事後学習	前期の学習内容を見直し、わからないところは講師に質問する 期末試験に備える
15	事前学習	文法事項、単語等をしっかり確認し試験に備える
	授業内容	前期末試験及び振り返り、解説
	事後学習	これまでの授業の復習を行うこと

科目名	TOEFL I A	担当者	高田 宣子	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	映画や音楽、ニュースなどを素材にしながら、英語表現の特色や文化的背景について楽しく学びます。 やさしい英語で文章を作成する秘訣や、相手に効果的に伝わる英語表現を紹介しながら、自分でも活用できるような英語力を身につけるよう指導します。				
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 単に話す、聞く、読む、書くの4技能だけでなく、英語による短いスピーチやプレゼンテーションを行うための技術を身につけます。ITP（ペーパーテスト）450点以上取得することを目標とします。				
履修条件	WordとPower Pointを使用できる学生は履修可能です。				
授業方法	実際に問題を解きながら、各自の弱点をチェックします。また、英語スピーチやプレゼンテーションあるいは異文化問題をテーマとする視覚教材を分析しながら、テーマや展開の工夫について実践的に学んでいきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎週行う小テストリアクションペーパー、英語スピーチおよびプレゼンテーションの合計点で評価を決定します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント使用			
参考書	開講時に指示いたします。				
オフィスアワー	休み時間、教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞を読んでおく。
	授業内容	はじめに一辞書と参考文献の紹介、評価基準について
	事後学習	プリントを確認する。
2	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	リスニング対策、リーディングの傾向と対策、ボキャブラリー・チェック
	事後学習	プリントを確認する。
3	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	リスニング対策、リーディング演習、会話表現、
	事後学習	プリントを確認する。
4	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	リスニング対策、文法復習チェック、ボキャブラリー・チェック
	事後学習	プリントを確認する。

5	事前学習	英語 1 分間スピーチのテーマを考える。
	授業内容	英語 1 分間スピーチとコメント その 1
	事後学習	英語 1 分間スピーチ原稿を修正する。
6	事前学習	英語 1 分間スピーチ原稿を修正する。
	授業内容	英語 1 分間スピーチとコメント その 2
	事後学習	英語 1 分間スピーチ原稿を修正する。
7	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	ライティング対策 パラグラフとは？ エッセイ・ライティング分析 会話表現
	事後学習	プリントを確認する。
8	事前学習	プリントを確認する。
	授業内容	ライティング演習 説得性とは？
	事後学習	プリントを確認する。
9	事前学習	英語プレゼンテーションのテーマを考える。
	授業内容	英語グループ・プレゼンテーション準備 ワークシートその 1
	事後学習	英語プレゼンテーションのテーマを修正する。
10	事前学習	英語プレゼンテーションのテーマを修正する。
	授業内容	英語グループ・プレゼンテーション準備 ワークシートその 2
	事後学習	英語プレゼンテーションのワークシートを修正する。
11	事前学習	英語プレゼンテーションのワークシートを修正する。
	授業内容	英語英語グループ・プレゼンテーション準備 ワークシートその 3
	事後学習	英語プレゼンテーションのワークシートを修正する。
12	事前学習	パワーポイントを作成する。
	授業内容	英語プレゼンテーションとコメント 1
	事後学習	パワーポイントを作成する。
13	事前学習	パワーポイントを作成する。
	授業内容	英語プレゼンテーションとコメント 2
	事後学習	パワーポイントを修正する。
14	事前学習	パワーポイントを修正する。
	授業内容	英語プレゼンテーションとコメント
	事後学習	パワーポイントを修正する。
15	事前学習	パワーポイントを修正する。
	授業内容	総まとめと復習テスト
	事後学習	テスト解答を確認する。

科目名	TOEFL I A	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEFLの基礎力養成コースです。アカデミックな英文の読解や聴解をし、語彙や基本的な文法事項を確認しつつ平易な文を読み・聞く力を養成します。教材に使用する英文の音がインターネット上にある場合はその音源を使用しリスニングの力を養成します。					
授業目的・到達目標	英文の正確な読解や聴解ができるようになるために、基本的な文法事項を確認しつつ平易な文を読み・聞くことで総合的な英語力の基礎作りをすることを目的とします。					
履修条件	TOEFL－ITPの受験が履修・評価の必要条件です。（受験料は自己負担です） 毎回辞書を持ってきてください。					
授業方法	演習方式で予習課題として配布した英文の理解のため、使われている用語、文法事項、構文の確認を行います。毎回、語彙・文法事項・内容理解の確認テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の小テスト50%、TOEFL-ITPのスコア50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリントを配布します。				
参考書	授業の中で指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、8：30から9：00、授業終了後、お昼休み、4限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自のこれまでの英語学習についてまとめておくこと。
	授業内容	ガイダンス、TOEFLとはどのような試験なのかを他の資格試験と比較しながら解説します。 Topic 1のプリントを配布し各自の英語力の確認をします。
	事後学習	Topic 1の復習をしておくこと。
2	事前学習	Topic 1の語彙・文法事項を復習しておくこと。
	授業内容	Topic 1の語彙・文法事項・内容理解確認テスト。 TOEFLの解説(Listening)
	事後学習	Listeningの復習をしておくこと。
3	事前学習	Topic 2の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	TOEFLについて TOEFLの解説(Structure and Written Expression, Reading) Topic 2の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
4	事前学習	Topic 3の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 3の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。

5	事前学習	Topic 4の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 4の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解の確認テスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
6	事前学習	Topic 5の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 5の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
7	事前学習	Topic 6の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 6の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
8	事前学習	Topic 7の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 7の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
9	事前学習	Topic 8の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 8の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
10	事前学習	Topic 9の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 9の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
11	事前学習	Topic 10の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 10の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
12	事前学習	Topic 11の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 11の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
13	事前学習	Topic 12の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 12の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
14	事前学習	Topic 13の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 13の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
15	事前学習	Topic 14の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Topic 14の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	テストとTOEFL-ITPのスコアを自己分析し、以後の学習の計画を立てる。

科目名	TOEFL I A	担当者	藤木 智子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEFLのスコアアップを目的としたクラスです。TOEFLでは短時間で相当量の英文を読むというリーディングの力を試されます。本授業は、速読に力をいれていきます。交換留学、ケンブリッジ大学のサマースクールにも参加できるレベルに到達することも視野にいて、一年間で目標を達成できるようにしましょう。				
授業目的・到達目標	TOEFLのスコアアップが目標です。リーディングの精読を重点的に行います。リスニング、文法は基礎を理解して、説明できるようになりましょう。多読をしましょう。そして時事英語にも触れましょう。ITP450点以上が目標です。				
履修条件	TOEFL-ITPを前期と後期に一回以上受験すること、評価に反映します。英和和英辞書は必須です。電子辞書も可。携帯、スマートフォンの使用は固く禁じます。				
授業方法	長文を速読して英語の速読力をつけていきましょう。TOEFL-ITPの過去問を本番と同じ条件で半期に一度行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	60%)筆記試験で、授業で講義した内容の基本的事項についてよく理解できているかを判定します。40%)出席を重視します。積極的に参加しましょう。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	17	成美堂		『Read, Read, Read 英文速読と理解のための実践演習』	宮崎充保
	14	南雲堂		『5分間 TOEIC テストサプリメント 文法・語法』	小池直己
	備考				
参考書	英和・和英辞書。電子辞書でも紙媒体でも構いません。スマートフォンを使用することは禁止しています。辞書は例文と品詞が載っているものにしてください。				
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業の予習の仕方について説明しますので、教科書を準備してください。
	授業内容	オリエンテーション 重要な説明をしますので、必ず出席してください。 Placement Test、est1, Test2, Test3。授業の予習について、TOEFLの特徴と種類について TOEICとの違いについて確認、成績にわけ方についての説明。様々な留学の方法について紹介。
	事後学習	今後のTOEFLITPテスト日を確認しておくこと。
2	事前学習	Placement Test、1, 2, 3の重要表現の確認 事前に単語を調べないで臨んでください。単語力に自信の無い方は事前に調べても大丈夫です。＜事前学習＞所要時間1時間該当Unitの要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 1 Register What It Looks Like Test1, Test2, Test3の重要表現の確認をします。 Unit1 Warm Upの復習。
	事後学習	Unit 1 Register What It Looks Like の単語を復習してください。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
3	事前学習	Unit 1 Register What It Looks Like の単語を復習してください。＜事前学習＞所要時間1時間該当Unitの要点や目標を読んでおいてください。単語は事前に調べなくてもよいです。初見でどのくらい読めるか、速読できるかを調べます。4
	授業内容	Unit 1 Register What It Looks Like Unit 2 Eye Movement (1): “Move Your Eyes from Left to Right”
	事後学習	Unit1 P16-P20の練習1-6を復習すること。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
4	事前学習	Unit1のまとめをすること。＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 1 の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 2 Eye Movement (1): “Move Your Eyes from Left to Right” 自分がどのくらいの速度で読めるのかを確認しましょう。
	事後学習	前回の復習, Today’s passageの重要表現の確認 Unit 2 重要表現をまとめること。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。

5	事前学習	Unit 2 重要表現をまとめること。＜事前学習＞所要時間1時間。該当Unit 2の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 2 Eye Movement (1): “Move Your Eyes from Left to Right” Unit 3 Expand Your Eye: “Eye Span” 速度に着目して速読します。
	事後学習	Develop Your Vocabulary Unit3 Warm Up, ＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
6	事前学習	Unit2 P26-P28の練習1-6を復習すること＜事前学習＞所要時間1時間該当Unitの要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 3 Expand Your Eye: “Eye Span” Unit 4 Eye Movement 速度に注目して速読します。
	事後学習	Today’s passage, Today’s passageの重要表現の確認＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
7	事前学習	前回の復習 Today’s passage, Today’s passageの重要表現の確認＜事前学習＞所要時間1時間。該当Unit 4の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 4 Eye Movement (2): “by Skipping Words with Little ” 速読するうえで、重要なテクニックを学びます。単語を固まりとしてとらえる練習をしていきます。
	事後学習	Unit3 P34-P38の練習1-9を復習すること。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
8	事前学習	Today’s passage, Today’s passageの重要表現の確認＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 4の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 4、Unit 5 Find it Quickly: “Scanning” 速読するうえで、重要なテクニックを学びます。単語を固まりとしてとらえる練習をしていきます。
	事後学習	Develop Your Vocabularyの確認＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
9	事前学習	Develop Your Vocabularyの確認＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 5の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 5 Find it Quickly: “Scanning” 速読するうえで、重要なテクニックを学びます。単語を固まりとしてとらえる練習をしていきます。
	事後学習	Unit4 P46-P51の練習1-6を復習すること＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
10	事前学習	P68-77 理解度に応じて練習1-9のいくつかをpick upしておくので、練習してください。Develop Your Vocabularyを見て、単語を確認しておくこと。＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 7の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 6 Get It Chunk by Chunk Unit7 Warm Up 速度を落とさず、一定のスピードで読み進めることを練習していきます。
	事後学習	Unit 5の重要単語の確認＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
11	事前学習	Unit 5 の重要表現の確認＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 6の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 6 Get It Chunk by Chunk 速度を落とさず、一定のスピードで読み進めることを練習していきます。
	事後学習	練習問題1-6, Develop Your Vocabulary をまとめておくこと。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
12	事前学習	事前にTOEFL ITPの過去問に目をとっておくと良いです。
	授業内容	TOEFLのリーディングの過去問を行います。
	事後学習	わからなかった点などは、書きとめて置き、今後の対策をねること。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
13	事前学習	事前にTOEFL ITPの過去問に目をとっておくと良いです。
	授業内容	TOEFLのリスニングの過去問を行います。
	事後学習	わからなかった点などは、書きとめておき、今後の対策を練ること。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
14	事前学習	これまでの授業の復習をすること。
	授業内容	TESTおよびまとめ
	事後学習	わからなかった点は、教科書を確認しましょう。
15	事前学習	これまでの授業の成果を見る為にネイティブの英語に触れてみましょう。
	授業内容	時事英語に関するDVDを見聞きましょう。
	事後学習	重要表現はまとめておきましょう。

科目名	TOEFL I A	担当者	堀 千和子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	海外大学への留学、公務員試験、ロースクールなどだけでなく、全般的な英語力のアップを目標とする人のために、TOEFLの演習問題をしながら勉強していきます。					
授業目的・到達目標	国際研修や交換留学に必要とされるTOEFL試験の準備講座です。TOEFLの問題の演習はもちろんのこと、文法の復習、聴解と語彙の習得に力を入れます。英字新聞、シャドーイングや映像教材も授業に取り入れる予定です。TOEFL受験に向けた基礎的な英語力の強化を目的とし、ITP 400点(iBT 32点)の得点を目標とします。					
履修条件	TOEFLの受験を考えている学生。基礎的な英語力をつけたい学生。 第一回目の授業には必ず出席のこと。					
授業方法	授業のはじめに毎時、ボキャブラリーと前回の授業の復習テストを行います。授業はTOEFLの演習を中心として、特に文法とリスニングに力を入れていきます。映画やニュース、英字新聞などの映像教材も授業に取り入れます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		語彙の小テスト 30%、TOEFL ITPのスコア 30%、期末試験 20%、会話の暗唱、ミニスピーチ 10%、授業への貢献度 10%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	成美堂		やさしく学ぶTOEFL®テスト ―iBT/ITP対応― (GET READY FOR THE TOEFL® TEST)		萱 忠義、Bill Benfield
	備考					
参考書	受講生の学力、授業の進度によって適宜指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問は、授業終了後またはE-mailにて対応します。授業開始時にアドレスをお知らせします。授業関連の連絡は大学ポータルを使用します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEFLを勉強する目標をたてておく。
	授業内容	ガイダンス、ウォームアップ、読解力のチェック
	事後学習	教科書を準備する。音声ダウンロードする。
2	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	語彙力のチェック、TOEFLとは？ 教科書 Unit 1の1大学生活
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
3	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 1の2大学生活
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
4	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 2 芸術
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。

5	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 3 医療・健康
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
6	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 4 環境
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
7	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 5 植物学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
8	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 6 教育
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
9	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 7 天候・気候
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
10	事前学習	これまでの演習問題を復習する。
	授業内容	ITPに向けて練習問題
	事後学習	できなかった箇所を復習し、ITP試験に活かせるようにする。
11	事前学習	VOA (Voice of America) の読み物、少なくとも一つは読んでおく。
	授業内容	VOAを使用して読解と聞き取り
	事後学習	授業で扱った文章を復習し、その他の文章も読んでみる。
12	事前学習	これまで出てきた教科書のモデル会話とスピーチを復習しておく。
	授業内容	会話の暗唱、ミニスピーチの作成と練習
	事後学習	スピーチの自分の原稿を完成させる。
13	事前学習	完成させたスピーチの原稿を暗記する。
	授業内容	会話の暗唱、ミニスピーチ
	事後学習	他の人と比較して、自分の暗唱や会話はどうかを振り返る。改善点を考えてみる。
14	事前学習	これまで教科書で学習した問題を復習する。
	授業内容	文法のまとめ、TOEFL模擬テスト
	事後学習	できなかった箇所を復習する。
15	事前学習	教科書を中心に、今期に学習した内容を振り返る。
	授業内容	前期の振り返り
	事後学習	理解があやふやな箇所を振り返り、後期の学習につなげられるようにする。

科目名	TOEFL I B	担当者	佐藤 万里世	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	留学に必要な試験、TOEFLの中でも特にTOEFL ITPの教材を用いて授業を行います。 基礎クラスですので、TOEFLと英文法の2冊の教科書を用いて、英文法の基本から丁寧に学習していきます。			
授業目的・到達目標	TOEFLのスコアアップと基礎的な英文法の理解を目的とします。英文法に対する理解を深め、各セッションごと（リスニング、リーディング、文法）の総合的なスコアアップを目標とします。			
履修条件	後期中にTOEFL-ITPを1回以上受験すること。			
授業方法	講義と演習の形式で行います。学生の人数やレベルに合わせて行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への取り組み（授業態度・積極性・小テスト等）：40% 平常試験：60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	Cengage Learning	Cengage Learning Power-up Trainer for the TOEFL ITP	Mark D. Stafford 他
	2017	いいずな書店	総合英語 Evergreen English Grammar 47 Lessons	いいずな書店編集部
	備考			
参考書	英語辞典（毎回必ず持参してください） 適宜指示します。			
オフィスアワー	昼休みと授業後に対応します。 また、事前に知らせていただければ、上記以外の対応も可能です。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認しておくこと
	授業内容	ガイダンス 後期からの授業の進め方について説明します。
	事後学習	第二回授業の該当箇所について、事前に予習をしておくこと
2	事前学習	Vocabulary Check をやっておく
	授業内容	Unit4 Looking for Reference Books in the Library
	事後学習	教科書を見直す 新出単語をチェックする
3	事前学習	p. 22, 24 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:助動詞1, 2
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
4	事前学習	p. 26 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:助動詞3
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく

5	事前学習	助動詞の章を再度確認し、実践問題に備える
	授業内容	TOEFL実践問題
	事後学習	新出単語をチェックする
6	事前学習	Vocabulary Check をやっておく
	授業内容	Unit5 The American Insurance System
	事後学習	教科書を見直す 新出単語をチェックする
7	事前学習	p. 48 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:比較1
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
8	事前学習	p. 50 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:比較2
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
9	事前学習	p. 52 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:比較3
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
10	事前学習	比較の章を再度確認し、実践問題に備える
	授業内容	TOEFL実践問題
	事後学習	新出単語をチェックする
11	事前学習	Vocabulary Check をやっておく
	授業内容	Unit6 Instructions on Class by a Professor
	事後学習	教科書を見直す 新出単語をチェックする
12	事前学習	p. 92 の英文を読んでおく
	授業内容	Evergreen:副詞
	事後学習	授業で行った事項を確認し、わからないところを明確にする 講師に質問する事項を書いておく
13	事前学習	副詞の章を再度確認し、実践問題に備える
	授業内容	TOEFL実践問題
	事後学習	新出単語をチェックする
14	事前学習	各自再度後期の学習内容を見直し、わからないところをまとめておく
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	前期の学習内容を見直し、わからないところは講師に質問する 期末試験に備える
15	事前学習	文法事項、単語等をしっかり確認し試験に備える
	授業内容	後期末試験及び振り返り、解説
	事後学習	これまでの授業の復習を行っておくこと

科目名	TOEFL I B	担当者	高田 宣子	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	映画や音楽、ニュースなどを素材にしながら、英語表現の特色や文化的背景について楽しく学びます。 やさしい英語で文章を作成する秘訣や、相手に効果的に伝わる英語表現を紹介しながら、自分でも活用できるような英語力を身につけるよう指導します。					
授業目的・到達目標	TOEIC, TOEFL, 英検等の資格試験や専門分野に必要なリスニング・スピーキングの基礎力を磨くことを目的としています。 単に話す、聞く、読む、書くの4技能だけでなく、英語による短いスピーチやプレゼンテーションを行うための技術を身につけます。ITP（ペーパーテスト）450点以上取得することを目標とします。					
履修条件	WordとPower Pointを使用できる学生は履修可能です。					
授業方法	実際に問題を解きながら、各自の弱点をチェックします。また、英語スピーチやプレゼンテーションあるいは異文化問題をテーマとする視覚教材を分析しながら、テーマや展開の工夫について実践的に学んでいきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テストあるいはコメントペーパー、短い英語スピーチおよびミニプレゼンテーションの合計点で評価を決定します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリント使用。映画や音楽などもテキストに使用します。				
参考書	開講時に指示いたします。					
オフィスアワー	休み時間、教室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞を読んでおく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	プリントを見直す。
2	事前学習	プリントの確認を行う。
	授業内容	創作会話、文法の復習と確認。
	事後学習	テストとプリントの確認を行う。
3	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	創作会話、文法解釈、文法テスト
	事後学習	プリントの確認を行う。
4	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	表現分析、英語プレゼンテーション分析
	事後学習	プリントの確認を行う。

5	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	表現分析、英語プレゼンテーション分析
	事後学習	プリントの確認を行う。
6	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	表現分析、英語プレゼンテーション分析
	事後学習	プリントの確認を行う。 タイピング練習
7	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	復習テスト タイピング練習
	事後学習	英語プレゼンテーションのテーマを考える。
8	事前学習	英語プレゼンテーションのテーマを考える。
	授業内容	英語プレゼンテーション準備 1
	事後学習	ワークシートの修正を行う。
9	事前学習	ワークシートの修正を行う。
	授業内容	英語プレゼンテーション準備 2
	事後学習	パワーポイントを作成する。
10	事前学習	パワーポイントを作成する。
	授業内容	英語プレゼンテーション準備 3
	事後学習	パワーポイントを改良する。 プレゼンテーションのリハーサルを行う。
11	事前学習	プレゼンテーションのリハーサル
	授業内容	英語プレゼンテーションとコメント
	事後学習	パワーポイントを修正する。
12	事前学習	プレゼンテーションのリハーサル
	授業内容	英語プレゼンテーションとコメント
	事後学習	パワーポイントを修正する。
13	事前学習	プレゼンテーションのリハーサル
	授業内容	英語プレゼンテーションとコメント
	事後学習	パワーポイントを修正する。
14	事前学習	プリントを見直す。
	授業内容	英文ライティング TOEFL 対策
	事後学習	コメントとプリントを見直す。
15	事前学習	配布されたすべてのプリントを見直す。
	授業内容	総まとめと復習テスト
	事後学習	テスト解答を確認する。

科目名	TOEFL I B	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEFLの基礎力養成コースです。アカデミックな英文の読解や聴解をし、語彙や基本的な文法事項を確認しつつ平易な文を読み・聞く力を養成します。教材に使用する英文の音がインターネット上にある場合はその音源を使用しリスニングの力を養成します。					
授業目的・到達目標	英文の正確な読解や聴解ができるようになるために、基本的な文法事項を確認しつつ平易な文を読み・聞くことで総合的な英語力の基礎作りをすることを目的とします。					
履修条件	TOEFL－ITPの受験が履修・評価の必要条件です。（受験料は自己負担です） 毎回辞書を持ってきてください。					
授業方法	演習方式で予習課題として配布した英文の理解のため、使われている用語、文法事項、構文の確認を行います。毎回、語彙・文法事項・内容理解の確認テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の小テスト50%、TOEFL-ITPのスコア50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリントを配布します。				
参考書	授業の中で指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、8：30から9：00、授業終了後、お昼休み、4限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自のこれまでの英語学習についてまとめておくこと。
	授業内容	ガイダンス、TOEFLとはどのような試験なのかを他の資格試験と比較しながら解説します。 Topic 1のプリントを配布し各自の英語力の確認をします。
	事後学習	Topic 1の復習をしておくこと。
2	事前学習	Topic 1の語彙・文法事項を復習しておくこと。
	授業内容	Topic 1の語彙・文法事項・内容理解確認テスト。 TOEFLの解説(Listening)
	事後学習	Listeningの復習をしておくこと。
3	事前学習	Topic 2の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	TOEFLについて TOEFLの解説(Structure and Written Expression, Reading) Topic 2の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
4	事前学習	Topic 3の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 3の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。

5	事前学習	Topic 4の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 4の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解の確認テスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
6	事前学習	Topic 5の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 5の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
7	事前学習	Topic 6の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 6の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
8	事前学習	Topic 7の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 7の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
9	事前学習	Topic 8の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 8の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
10	事前学習	Topic 9の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 9の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
11	事前学習	Topic 10の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 10の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
12	事前学習	Topic 11の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 11の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
13	事前学習	Topic 12の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 12の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
14	事前学習	Topic 13の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 13の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
15	事前学習	Topic 14の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Topic 14の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	テストとTOEFL-ITPのスコアを自己分析し、以後の学習の計画を立てる。

科目名	TOEFL I B	担当者	藤木 智子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEFLのスコアアップを目的としたクラスです。TOEFLでは短時間で相当量の英文を読むというリーディングの力を試されます。本授業は、速読に力をいれていきます。交換留学、ケンブリッジ大学のサマースクールにも参加できるレベルに到達することも視野にいて、一年間で目標を達成できるようにしましょう。				
授業目的・到達目標	TOEFLのスコアアップが目標です。リーディングの精読を重点的に行います。リスニング、文法は基礎を理解して、説明できるようになりましょう。多読をしましょう。そして時事英語にも触れましょう。TOEFL ITP 450点以上が目標です。				
履修条件	TOEFL-ITPを前期と後期に一回以上受験することが履修の条件です。評価に反映しますので必ず受験して下さい。英和和英辞書は必須です。電子辞書も可。携帯、スマートフォンの使用は固く禁じます。				
授業方法	演習形式で長文を速読して英語の速読力をつけていきましょう。単語を敢えて調べず初見で英語を速読することになれましょう。単語力に自信のない人は、事前に単語を調べても構いません。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	60%)筆記試験で、授業で講義した内容の基本的事項についてよく理解できているかを判定します。40%)出席を重視します。積極的に参加しましょう。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	17	成美堂		『Read, Read, Read 英文速読と理解のための実践演習』	宮崎充保
	14	南雲堂		『5分間 TOEIC テストサプリメント 文法・語法』	小池直己
	備考				
参考書	英和・和英辞書。電子辞書でも紙媒体でも構いません。スマートフォンを使用することは禁止しています。辞書は例文と品詞が載っているものにしてください。				
オフィスアワー	火曜日 9時～12時10分 水曜日 9時～12時10分 質問は授業の前が望ましいです。授業後の昼休みでの質問は、事前にアポイントメントを取ってください。メールアドレスを授業内で伝えますので、遠慮なくどんどん質問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業の予習の仕方について説明しますので、教科書を準備してください。
	授業内容	授業の予習について、TOEFLの特徴と種類についてTOEICとの違いについて確認、成績に着け方についての説明。様々な留学の方法について紹介。
	事後学習	今後のTOEFLITPテスト日を確認しておくこと。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
2	事前学習	Placement Test、1, 2, 3の重要表現の確認 事前に単語を調べないで臨んでください。単語力に自信の無い方は事前に調べても大丈夫です。＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 7の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 7 Find What Will Come After: “Prediction” 様々な文章を初見で読みましょう。
	事後学習	Unit 7 Find What Will Come After: “Prediction” の重要単語の復習をしてください。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
3	事前学習	Unit 7 Find What Will Come After: “Prediction” の重要単語の復習をしてください。＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 8の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 7 Find What Will Come After: “Prediction” Unit 8 Imagine What Will Come After: “Anticipation” 様々な文章を初見で読みましょう。
	事後学習	Unit 7 Find What Will Come After: “Prediction” の復習をしてください。＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
4	事前学習	Unit 7 Find What Will Come After: “Prediction” ＜事前学習＞所要時間1時間該当Unit 8の要点や目標を読んでおいてください。 の復習をしてください。
	授業内容	Unit 8 Imagine What Will Come After: “Anticipation” 速読に慣れてきたところで、WPSを確認しましょう。
	事後学習	前回の復習、Today’s passageの確認 Unit 8のまとめをすること＜事後学習＞所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。

5	事前学習	Unit 8 Imagine What Will Come After: “Anticipation” のまとめをすること<事前学習>所要時間1時間該当Unit 9 の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 8 Imagine What Will Come After: “Anticipation” Unit 9Read On and On without Turning Back: “Go Back Only When You’ re Lost”
	事後学習	Develop you vocabularyの確認 Unit8の復習<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
6	事前学習	Unit8の復習および<事前学習>所要時間1時間該当Unit 9 の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 9 Read On and On without Turning Back: “Go Back Only When You’ re Lost” 英文を読む速度を速めていくようにしましょう。
	事後学習	前回の復習,Today’s passage, Today’s passageの重要表現の確認<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
7	事前学習	<事前学習>所要時間1時間該当Unit 9 の要点や目標を読んでおいてください。 前回の復習,Today’s passage, Today’s passageの重要表現の確認
	授業内容	Unit 9 Read On and On without Turning Back: “Go Back Only When You’ re Lost” 多読をすることで、英文を読む速度を上げていきます。
	事後学習	Unit 9 Read On and On without Turning Back: “Go Back Only When You’ re Lost” を復習すること<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
8	事前学習	Today’s passage, Today’s passageの重要表現の確認<事前学習>所要時間1時間該当Unit 1 0 の要点や目標を読んでおいてください。
	授業内容	Unit 10 Read at Speed and Get the General Idea: “Skimming” 意味を大まかにとらえ、スピードを速める練習をしましょう。
	事後学習	Unit 10のDevelop Your Vocabularyの確認<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
9	事前学習	<事前学習>所要時間1時間該当Unit 1 0 の要点や目標を読んでおいてください。Develop Your Vocabularyの確認
	授業内容	Unit 10 Read at Speed and Get the General Idea: “Skimming” p151－121練習問題1－11、Develop Your vocaburaly 読解スピードを速める練習をしましょう。
	事後学習	Unit10を復習すること<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
10	事前学習	<事前学習>所要時間1時間該当Unitの要点や目標を読んでおいてください。Develop Your Vocabularyの確認
	授業内容	Unit11 意味を正確にとらえているか、演習形式で演習を通して確認しましょう。読む速度を確認し、これまでの達成度を確認しましょう。
	事後学習	Unit 11のDevelop Your Vocabularyをまとめておくこと。<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
11	事前学習	事前にTOEFL ITPの過去問に目をとおしておく和良好的です。
	授業内容	TOEFLのリーディングの過去問を行います。
	事後学習	わからなかった点などは、書きとめておき、今後の対策を練ること。
12	事前学習	事前にTOEFL ITPの過去問に目をとおしておく和良好的です。
	授業内容	TOEFLのリスニングの過去問を行います。
	事後学習	わからなかった点などは、書きとめておき、今後の対策を練ること。
13	事前学習	これまでの授業の復習をして準備すること。
	授業内容	問題演習。前期の授業を総復習するため、問題を解いていきます。達成度をみてきましょう。
	事後学習	わからなかった点は、教科書を確認しましょう。<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
14	事前学習	これまでの授業の復習をして準備すること。
	授業内容	前期授業のまとめ。テストの解説および総括をします。
	事後学習	不明な点を解説しますので、確認しましょう。<事後学習>所要時間1時間。授業内で指示した単語を覚えてください。
15	事前学習	これまでの授業の成果を見る為にネイティブの英語に触れてみましょう。
	授業内容	これまでの授業の成果をみるために、時事英語のDVDを見聞きましょう。
	事後学習	重要表現はまとめておきましょう。

科目名	TOEFL I B	担当者	堀 千和子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	海外大学への留学、公務員試験、ロースクールなどだけでなく、全般的な英語力のアップを目標とする人のために、TOEFLの演習問題をしながら勉強していきます。			
授業目的・到達目標	国際研修や交換留学に必要とされるTOEFL試験の準備講座です。TOEFLの問題の演習はもちろんのこと、文法の復習、聴解と語彙の習得に力を入れます。英字新聞、シャドーイングや映像教材も授業に取り入れる予定です。TOEFL受験に向けた基礎的な英語力の強化を目的とし、ITP 400点(iBT 32点)の得点を目標とします。			
履修条件	TOEFLの受験を考えている学生。基礎的な英語力をつけたい学生。 第一回目の授業には必ず出席のこと。			
授業方法	授業のはじめに毎時、ボキャブラリーと前回の授業の復習テストを行います。授業はTOEFLの演習を中心として、特に文法とリスニングに力を入れていきます。映画やニュース、英字新聞などの映像教材も授業に取り入れます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	語彙の小テスト 30%、TOEFL ITPのスコア 30%、期末試験 20%、会話の暗唱、ミニスピーチ 10%、授業への貢献度 10%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	成美堂	やさしく学ぶTOEFL®テスト ―iBT/ITP対応― (GET READY FOR THE TOEFL® TEST)	萱 忠義、Bill Benfield
	備考	1度は必ずTOEFL ITP試験を受験してスコアを提出してもらいます。		
参考書	受講生の学力、授業の進度によって適宜指示します。			
オフィスアワー	授業に関する質問は、授業終了後またはE-mailにて対応します。授業開始時にアドレスをお知らせします。授業関連の連絡は大学ポータルを使用します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習をし、後期の学習の目標を立てる。
	授業内容	ガイダンス、ウォームアップ、読解力のチェック
	事後学習	教科書を準備する。音声ダウンロードする。
2	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	語彙力のチェック、教科書 Unit 8の1 地球科学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
3	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 8の2 地球科学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
4	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 9 天文学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。

5	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 10 歴史
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
6	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 11 人類学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
7	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 12 哲学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
8	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 13 心理学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
9	事前学習	教科書のリーディングに目を通す。新出単語を調べておく。
	授業内容	教科書 Unit 14 生物学
	事後学習	リスニングの問題を復習し、シャドーイングの練習をする。
10	事前学習	これまでの演習問題を復習する。
	授業内容	ITPに向けて練習問題
	事後学習	できなかった箇所を復習し、ITP試験に活かせるようにする。
11	事前学習	VOA(Voice of America)の読み物、少なくとも一つは読んでおく。
	授業内容	VOAを使用して読解と聞き取り
	事後学習	授業で扱った文章を復習し、その他の文章も読んでみる。
12	事前学習	これまで出てきた教科書のモデル会話とスピーチを復習しておく。
	授業内容	会話の暗唱、ミニスピーチの作成と練習
	事後学習	スピーチの自分の原稿を完成させる。
13	事前学習	完成させたスピーチの原稿を暗記する。
	授業内容	会話の暗唱、ミニスピーチ
	事後学習	他の人と比較して、自分の暗唱や会話はどうかを振り返る。改善点を考えてみる。
14	事前学習	これまで教科書で学習した問題を復習する。
	授業内容	文法のまとめ、TOEFL模擬テスト
	事後学習	できなかった箇所を復習する。
15	事前学習	教科書を中心に、今期に学習した内容を振り返る。
	授業内容	後期の振り返り
	事後学習	理解があやふやな箇所を振り返り、次年度の学習につなげられるようにする。

科目名	TOEFL II A	担当者	加賀 岳彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業はTOEFLを主たる対象としつつ、英語の正確な理解力の向上・語彙力の強化・総合的リテラシーの向上を図ります。				
授業目的・到達目標	TOEFLの大量の読解問題に対処できるよう、今年度は特に語彙と読解力に焦点を当て、精読と多読を行います。当然それに必要になる思考力やリテラシー養成も行うことになります。地味でも着実な学習を続けていきます。十分な予習を踏まえ、毎回授業冒頭でのTOEFL形式小テストにおいて60%以上の正答率を維持することを目標とします。				
履修条件	TOEFLおよび各種資格試験の受験を強く奨励します。				
授業方法	指定された個所を十分予習してきてもらい、毎回TOEFL形式の小テストを行います。解答・解説も行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	毎回の小テスト、TOEFL-ITP等のスコアから総合的に評価します。学習の継続を図るため、特に「毎回の小テスト」を重視します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	金星堂		Issues of Our Age	Peter Weld
	備考				
参考書	受講生は毎回必ず各自の（電子）辞書を持参して受講してください。				
オフィスアワー	質問等は授業終了後に受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の英語学習を行う。
	授業内容	オリエンテーション：授業説明・TOEFLについての説明・英語学習法について 初期演習
	事後学習	初期演習の復習を行い、次回の予習を行うこと。
2	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 1: Seven Billion and Counting (前) TOEFL頻出多義語の意味を判別する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
3	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 1: Seven Billion and Counting (後) TOEFL頻出の多義語の意味を判別する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
4	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 2: Who Wants to be a Millionaire?(前) TOEFL頻出の前置詞に関する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。

5	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 2: Who Wants to be a Millionaire?(後) TOEFL頻出の語彙を増やす演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
6	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 3: Poverty's Partner: Hunger (前) TOEFL特有の文法問題を解く演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
7	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 3: Poverty's Partner: Hunger (後) TOEFL頻出の多義語の意味を判別する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
8	事前学習	Chapter 1からChapter 3までの復習を行う。
	授業内容	Chapter 1からChapter 3までの総復習 (単語・語法・解釈)
	事後学習	課題・宿題を行う。
9	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 4: Of Terror and Tantrums (前) TOEFL頻出の多義語の意味を判別する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
10	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 4: Of Terror and Tantrums (後) TOEFL頻出の多義語の意味を判別する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
11	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 5: Double Edged Net (前) TOEFL頻出の語彙を増やす演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
12	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 5: Double Edged Net (後) TOEFL頻出の語彙を増やす演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
13	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 6: The Issues of Oceans (前) TOEFL頻出の前置詞の意味・用法に関する演習1
	事後学習	課題・宿題を行う。
14	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 6: The Issues of Oceans (後) TOEFL頻出の前置詞の意味・用法に関する演習2
	事後学習	課題・宿題を行う。
15	事前学習	Chapter 4からChapter 6まで復習してくる。
	授業内容	Chapter 4からChapter 6までの総復習 (単語・語法・解釈)
	事後学習	今学期の学習を踏まえて、各自の今後の英語学習の方向性を考える。

科目名	TOEFL II A	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、国際研修や交換留学などの海外留学に必要なとされる英語力を総合的に身につけ、TOEFLのスコア・アップをはかるものです。アカデミックなテキストの読解、聴き取り、さらにはエッセイ等を書く際にも役立つアカデミック・ライティングのスキルを総合的に身に付けます。				
授業目的・到達目標	[授業目的] TOEFL-ITPに必要な基礎力を総合的に養うことは勿論、一貫した考えを文法的に正確にかつ説得力のある英文で論理的にまとめられるよう、論理的思考法を習得することを目的とします。 [到達目標] 留学先で即戦力として通用するような実効性のある英語力の向上を目指し、英語を駆使する運用能力を確実に養うことを目標とします。ITP-TOEFL450（iBT45）以上を取得目標とします。				
履修条件	ITP-TOEFL400 以上を取得している学生が望ましいです。学期内にITP-TOEFL（受験料は受講者負担）を1回は受験してください。				
授業方法	授業はコンピューターを使用し実践対応方式で展開されます。前半はListening, Structure and Reading能力を総合的に養い、後半はアカデミック・ライティングの実践的なスキルを学びます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題への取り組み・毎回の確認テストや授業への参加姿勢（50%） クライテリオンとTOEFLのスコア（50%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	南雲堂	All-round Practice for the TOEFL Test		菊池、Durand
	備考	随時プリント教材を使用する。 クライテリオン受験料(5回で1200円)は受講者負担。			
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・辞書の扱い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン5、まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	TOEFL II A	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、国際研修や交換留学などの海外留学に必要なとされる英語力を総合的に身につけ、TOEFLのスコア・アップをはかるものです。アカデミックなテキストの読解、聴き取り、さらにはエッセイ等を書く際にも役立つアカデミック・ライティングのスキルを総合的に身に付けます。				
授業目的・到達目標	[授業目的] TOEFL-ITPに必要な基礎力を総合的に養うことは勿論、一貫した考えを文法的に正確にかつ説得力のある英文で論理的にまとめられるよう、論理的思考法を習得することを目的とします。 [到達目標] 留学先で即戦力として通用するような実効性のある英語力の向上を目指し、英語を駆使する運用能力を確実に養うことを目標とします。ITP-TOEFL450（iBT45）以上を取得目標とします。				
履修条件	ITP-TOEFL400 以上を取得している学生が望ましいです。学期内にITP-TOEFL（受験料は受講者負担）を1回は受験してください。				
授業方法	授業はコンピューターを使用し実践対応方式で展開されます。前半はListening, Structure and Reading能力を総合的に養い、後半はアカデミック・ライティングの実践的なスキルを学びます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	課題への取り組み・毎回の確認テストや授業への参加姿勢（50％） クライテリアンとTOEFLのスコア（50％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	金星堂		Writing Frontiers	熊本、大井、上村、Sano、松本
	備考	随時プリント教材を使用する。 クライテリアン受験料(5回で1200円) は受講者負担。			
参 考 書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・辞書の扱い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン5、まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	TOEFL II A	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、TOEFL ITP450点以上の取得を目指します。			
授業目的・到達目標	(1) TOEFL ITP450点以上を取得する。 (2) ペア・ワークやディスカッションを通して、積極的なコミュニケーションの方法を身につける。			
履修条件	TOEFL ITP450点以上を取得していないこと。前期中に1度TOEFL ITPを受験すること。			
授業方法	演習方式の授業です。TOEFL ITPの対策を中心に、適宜、TOEFL iBTのSpeaking/Writingの対策も行っていきます。後者に関しては、ペア・ワークやディスカッションを通して、積極的なコミュニケーションの方法を身につけていきます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	成美堂	『GET READY FOR THE TOEFL TEST やさしく学ぶTOEFLテストー iBT/ITP対応ー』	成美堂
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	火曜日12:10～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	Unit1のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit1 Campus Life Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
3	事前学習	Unit1のSpeaking Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit1 Campus Life Speaking Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
4	事前学習	Unit2のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit2 Music, Arts, and Literature Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。

5	事前学習	Unit2のWriting Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit2 Music, Arts, and Literature Writing Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
6	事前学習	Unit3のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit3 Medicine and Health Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
7	事前学習	Unit3のSpeaking Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit3 Medicine and Health Speaking Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
8	事前学習	Unit4のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit4 Environment Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
9	事前学習	Unit4のWriting Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit4 Environment Writing Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
10	事前学習	Unit5のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit5 Botany Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
11	事前学習	Unit5のSpeaking Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit5 Botany Speaking Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
12	事前学習	Unit6のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit6 Education Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
13	事前学習	Unit6のWriting Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit6 Education Writing Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
14	事前学習	Unit7のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit7 Global Climate Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
15	事前学習	前期の授業内容を復習しておく。
	授業内容	前期の授業のまとめ。
	事後学習	TOEFL ITPの過去問に挑戦する。

科目名	TOEFL II B	担当者	加賀 岳彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業はTOEFLを主たる対象としつつ、英語の正確な理解力の向上・語彙力の強化・総合的リテラシーの向上を図ります。			
授業目的・到達目標	TOEFLの大量の読解問題に対処できるよう、今年度は特に語彙と読解力に焦点を当て、精読と多読を行います。当然それに必要になる思考力やリテラシーの養成も行うことになります。地味でも着実な学習を続けていきます。十分な予習を踏まえ、毎回授業冒頭で行う小テストにおいて60%以上の正答率を維持することを目標とします。			
履修条件	TOEFLおよび各種資格試験の受験を強く奨励します。			
授業方法	指定された個所を十分予習してきてもらい、毎回TOEFL形式の小テストを行います。解答・解説も行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	毎回の小テスト、TOEFL-ITP等のスコアから総合的に評価します。学習の継続を図るため、特に「毎回の小テスト」を重視します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	金星堂	Issues of Our Age	Peter Weld
	備考			
参考書	受講生は必ず各自（電子）辞書を持参の上受講してください。			
オフィスアワー	質問等は授業終了後に受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の英語学習を行う。
	授業内容	オリエンテーション：授業説明・TOEFLについて・英語学習法について 初期演習
	事後学習	初期演習を復習し、次回の指定された箇所を予習する。
2	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 7: Water, Water, Everywhere（前） TOEFL頻出の多義語に関する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
3	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 7: Water, Water, Everywhere（後） TOEFL頻出の多義語に関する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
4	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 8: An Obsession with Possession速読 英語独特の表現に関する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。

5	事前学習	Chapter 7, 8の復習を行うこと。
	授業内容	Chapter 7, 8の総復習（単語・語法・解釈）
	事後学習	課題・宿題を行う。
6	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 9: Heading for a Crash速読 TOEFL頻出の熟語に関する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
7	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 10: Survival of the Most Flexible（前） TOEFL頻出の語彙を増やす演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
8	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 10: Survival of the Most Flexible（後） TOEFL頻出の多義語に関する演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
9	事前学習	Chapter 9, 10の復習をすること。
	授業内容	Chapter 9, 10の総復習（単語・語法・解釈）
	事後学習	課題・宿題を行う。
10	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 11: Teach Your Children Well（前） TOEFLで注意すべき文法問題の演習1
	事後学習	課題・宿題を行う。
11	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 11: Teach Your Children Well（後） TOEFLで注意すべき文法問題の演習2
	事後学習	課題・宿題を行う。
12	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 12: The Other Precious Liquid（前） TOEFLで注意すべき文法問題の演習1
	事後学習	課題・宿題を行う。
13	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 12: The Other Precious Liquid（後） TOEFLで注意すべき文法問題の演習2
	事後学習	課題・宿題を行う。
14	事前学習	以下の箇所の予習を十分に行う・ノートをつくる。
	授業内容	Chapter 14: Good Help, Bad Help速読 TOEFL頻出の熟語の演習
	事後学習	課題・宿題を行う。
15	事前学習	Chapter 11, 12, 14の復習を行うこと。
	授業内容	Chapter 11, 12, 14の総復習（単語・語法・解釈）
	事後学習	今学期の学習内容を踏まえ、今後の各自の英語学習の方向性を考える。

科目名	TOEFL II B	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、国際研修や交換留学などの海外留学に必要なとされる英語力を総合的に身につけ、TOEFLのスコア・アップをはかるものです。アカデミックなテキストの読解、聴き取り、さらにはエッセイ等を書く際にも役立つアカデミック・ライティングのスキルを総合的に身に付けます。				
授業目的・到達目標	[授業目的] TOEFL-ITPに必要な基礎力を総合的に養うことは勿論、一貫した考えを文法的に正確にかつ説得力のある英文で論理的にまとめられるよう、論理的思考法を習得することを目的とします。 [到達目標] 留学先で即戦力として通用するような実効性のある英語力の向上を目指し、英語を駆使する運用能力を確実に養うことを目標とします。ITP-TOEFL450（iBT45）以上を取得目標とします。				
履修条件	ITP-TOEFL400 以上を取得している学生が望ましいです。学期内にITP-TOEFL（受験料は受講者負担）を1回は受験してください。				
授業方法	授業はコンピューターを使用し実践対応方式で展開されます。前半はListening, Structure and Reading能力を総合的に養い、後半はアカデミック・ライティングの実践的なスキルを学びます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	課題への取り組み・毎回の確認テストや授業への参加姿勢（５０％） クライテリオンとTOEFLのスコア（５０％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	金星堂		Writing Frontiers	熊本、大井、上村、Sano、松本
	備考	随時プリント教材を使用する。 クライテリオン受験料(5回で1200円) は受講者負担。			
参 考 書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・辞書の扱い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン5、まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	TOEFL II B	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、国際研修や交換留学などの海外留学に必要なとされる英語力を総合的に身につけ、TOEFLのスコア・アップをはかるものです。アカデミックなテキストの読解、聴き取り、さらにはエッセイ等を書く際にも役立つアカデミック・ライティングのスキルを総合的に身に付けます。				
授業目的・到達目標	[授業目的] TOEFL-ITPに必要な基礎力を総合的に養うことは勿論、一貫した考えを文法的に正確にかつ説得力のある英文で論理的にまとめられるよう、論理的思考法を習得することを目的とします。 [到達目標] 留学先で即戦力として通用するような実効性のある英語力の向上を目指し、英語を駆使する運用能力を確実に養うことを目標とします。ITP-TOEFL450（iBT45）以上を取得目標とします。				
履修条件	ITP-TOEFL400 以上を取得している学生が望ましいです。学期内にITP-TOEFL（受験料は受講者負担）を1回は受験してください。				
授業方法	授業はコンピューターを使用し実践対応方式で展開されます。前半はListening, Structure and Reading能力を総合的に養い、後半はアカデミック・ライティングの実践的なスキルを学びます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題への取り組み・毎回の確認テストや授業への参加姿勢（50％） クワイテリオンとTOEFLのスコア（50％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	南雲堂	All-round Practice for the TOEFL Test		菊池、Durand
	備考	随時プリント教材を使用する。 クワイテリオン受験料(5回で1200円) は受講者負担。			
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・辞書の扱い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング、TOEFL-ITP文法問題対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	アカデミック・ライティング手法、クライテリオン5、まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	TOEFL II B	担当者	佐藤 健児	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、TOEFL ITP450点以上の取得を目指します。			
授業目的・到達目標	(1) TOEFL ITP450点以上を取得する。 (2) ペア・ワークやディスカッションを通して、積極的なコミュニケーションの方法を身につける。			
履修条件	TOEFL ITP450点以上を取得していないこと。後期中に1度TOEFL ITPを受験すること。			
授業方法	演習方式の授業です。TOEFL ITPの対策を中心に、適宜、TOEFL iBTのSpeaking/Writingの対策も行っていきます。後者に関しては、ペア・ワークやディスカッションを通して、積極的なコミュニケーションの方法を身につけていきます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	予習状況・授業への取り組み（発表等）・小テスト・試験：100% 予習をしていない場合は、大幅に減点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	成美堂	『GET READY FOR THE TOEFL TEST やさしく学ぶTOEFLテスト－iBT/ITP対応－』	成美堂
	備考	『ジーニアス英和辞典 第5版』など、大学生向けの英和辞典を必ず毎回持参すること。		
参考書	仲邑光男・山岡憲史・柏野健次（編）2017.『ジーニアス総合英語』東京：大修館書店.			
オフィスアワー	火曜日12:10～※事前にアポイントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業概要・授業目的（・到達目標）・履修条件・授業方法・成績評価・教科書・参考書・オフィスアワー等について）
	事後学習	ガイダンスの内容を復習する。
2	事前学習	Unit8のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit8 Earth Science Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
3	事前学習	Unit8のWriting Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit8 Earth Science Writing Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
4	事前学習	Unit9のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit9 Astronomy Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。

5	事前学習	Unit9のSpeaking Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit9 Music, Arts, and Literature Speaking Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
6	事前学習	Unit10のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit10 History Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
7	事前学習	Unit10のWriting Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit10 History Writiing Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
8	事前学習	Unit11のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit11 Anthoropology and Archaeology Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
9	事前学習	Unit11のSpeaking Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit11 Anthoropology and Archaeology Speaking Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
10	事前学習	Unit12のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit12 Philosophy Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
11	事前学習	Unit12のWriting Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit12 Philosophy Writing Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
12	事前学習	Unit13のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit13 Psychology Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
13	事前学習	Unit13のSpeaking Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit13 Philosophy Speaking Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
14	事前学習	Unit14のReading Sectionを解いておくこと。
	授業内容	Unit14 Biology Reading Section Listening Section
	事後学習	授業内容の復習。予習段階で間違えた問題に再度取り組む。
15	事前学習	後期の授業内容を復習しておく。
	授業内容	後期の授業のまとめ。
	事後学習	TOEFL ITPの過去問に挑戦する。

科目名	TOEFL ⅢA	担当者	岡部 玲子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法・語彙知識の習得、リスニング力の向上、英文を的確に把握する読解力の養成を、TOEFL-ITPに準拠したテキストを使いながら行う。				
授業目的・到達目標	すでにTOEFLを受験した経験のある学生を主な対象とし、TOEFLのスコア・アップを目指す。ただし、テストのための学習ではなく、将来英語を使いこなせるようになるために必要な総合的な英語運用力を身に付けることを目的とする。英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をバランス良く向上させることを目標とする。				
履修条件	意欲的な学生の履修を期待する。毎回必ず予習・復習をして積極的な態度で授業に臨むこと。学期中に少なくとも1回TOEFL-ITPを受験すること。				
授業方法	テキストの該当箇所を予習してきていることを前提として、その内容を確認したり、読んだり聞いたりする練習を行う。また、授業内容の理解度を測るために毎週授業前に小テストを行う。授業には必ず使い慣れた辞書を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト：50% 学期末テスト：30% 授業態度等：20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	成美堂		Boost Your English 1 -Practice for TOEFL ITP-	宋戸真ほか
	備考				
参考書	適宜指示します。				
オフィスアワー	事前にアポイントメントを取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（テキスト・授業の進め方・評価方法などについての説明）
	事後学習	テキストを購入し、その形式などを確認しておく。
2	事前学習	英語を使って何がしたいのか、なぜ英語を学習するのか等、自分の英語学習の動機について考える。
	授業内容	海外研修・留学について。TOEFLの概要説明
	事後学習	授業内容を踏まえて、これまでの自分の英語学習について見直す。
3	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 1: Lesson 1 Listening (Understanding agreement and disagreement)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
4	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 1: Lesson 2 Listening (Understanding gist)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。

5	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 1: Lesson 3 Structure (Verb tenses)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
6	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 1: Lesson 4 Structure (Verb tenses)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
7	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 1: Lesson 5 Reading (Understanding gist)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
8	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 1: Lesson 6 Reading (Understanding purpose)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
9	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 2: Lesson 1 Listening (Understanding negatives)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
10	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 2: Lesson 2 Listening (Understanding specific information)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
11	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 2: Lesson 3 Structure (Articles)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
12	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 2: Lesson 4 Structure (Comparatives and superlatives)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
13	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 2: Lesson 5 Reading (Understanding specific information)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
14	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 2: Lesson 6 Reading (Understanding pronoun reference)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習する。
15	事前学習	前学期で学習した範囲について総復習し、学期末テストに備える。
	授業内容	学期末テストと総括
	事後学習	前学期の学習を踏まえ、夏休み中の英語学習の計画を立てる。

科目名	TOEFL ⅢA	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEFLの出題傾向に準拠した多種多様な内容の英文を教材として使用し、ボキャブラリーを増強するとともに、内容の予測、トピックの見つけ方、メイン・アイデアの把握、パラグラフ構造の理解、要約などのスキルの習得を行います。教材として、TED Talks、VOA、英字新聞等を使用します。				
授業目的・到達目標	アカデミックな英文を読み、聞き、内容を正確に理解することが出来る英語力の養成を図ることが目的です。TOEFL－ITPのスコア５００点を目標とします。。				
履修条件	TOEFL－ITPの受験が履修・評価の必要条件です。（受験料は自己負担です） 毎回辞書を持ってきてください。				
授業方法	予習課題として配布した英文の語彙、文法事項、構文等を演習方式で確認します。毎回ボキャブラリー・テスト・文法事項・内容理解確認のテストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		０％		
	平 常 評 価		100%	毎回の小テスト５０％、TOEFL-ITPのスコア５０％	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリントを配布します。			
参 考 書	授業の中で指示します。				
オフィス アワー	授業に関する質問・相談等は、８：３０から９：００、授業終了後、お昼休み、４限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自のこれまでの英語学習についてまとめておくこと。
	授業内容	ガイダンス、TOEFLとはどのような試験なのかを他の資格試験と比較しながら解説します。 Topic 1のプリントを配布し各自の英語力の確認をします。
	事後学習	Topic 1の復習をしておくこと。
2	事前学習	Topic 1の語彙・文法事項を復習しておくこと。
	授業内容	Topic 1の語彙・文法事項・内容理解確認テスト。 TOEFLの解説(Listening)
	事後学習	Listeningの復習をしておくこと。
3	事前学習	Topic 2の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	TOEFLの解説(Structure and Written Expression、Reading) Topic 2の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
4	事前学習	Topic 3の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 3の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。

5	事前学習	Topic 4の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 4の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解の確認テスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
6	事前学習	Topic 5の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 5の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
7	事前学習	Topic 6の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 6の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
8	事前学習	Topic 7の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 7の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
9	事前学習	Topic 8の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 8の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
10	事前学習	Topic 9の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 9の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
11	事前学習	Topic 10の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 10の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
12	事前学習	Topic 11の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 11の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
13	事前学習	Topic 12の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 12の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
14	事前学習	Topic 13の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 13の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
15	事前学習	Topic 14の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Topic 14の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	テストとTOEFL-ITPのスコアを自己分析し、以後の学習の計画を立てる。

科目名	TOEFL ⅢB	担当者	岡部 玲子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法・語彙知識の習得、リスニング力の向上、英文を的確に把握する読解力の養成を、TOEFL-ITPに準拠したテキストを使いながら行う。			
授業目的・到達目標	すでにTOEFLを受験した経験のある学生を主な対象とし、TOEFLのスコア・アップを目指す。ただし、テストのための学習ではなく、将来英語を使いこなせるようになるために必要な総合的な英語運用力を身に付けることを目的とする。英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）をバランス良く向上させることを目標とする。			
履修条件	意欲的な学生の履修を期待する。毎回必ず予習・復習をして積極的な態度で授業に臨むこと。学期中に少なくとも1回TOEFL-ITPを受験すること。			
授業方法	テキストの該当箇所を予習してきていることを前提として、その内容を確認したり、読んだり聞いたりする練習を行う。また、授業内容の理解度を測るために毎週授業前に小テストを行う。授業には必ず使い慣れた辞書を持参すること。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	小テスト：50% 学期末テスト：30% 授業態度等：20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	成美堂	Boost Your English 1 -Practice for TOEFL ITP-	宍戸真ほか
	備考			
参考書	適宜指示します。			
オフィスアワー	事前にアポイントメントを取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前学期の復習
	授業内容	ガイダンス（前学期の復習など）
	事後学習	授業を踏まえて、後学期の学習の計画を立てる。
2	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 3: Lesson 1 Listening (Understanding idiomatic expressions)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
3	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 3: Lesson 2 Listening (Understanding implication)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
4	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 3: Lesson 3 Structure (Participles)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。

5	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 3: Lesson 4 Structure (Prepositions)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
6	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 3: Lesson 5 Reading (Understanding unfamiliar words)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
7	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 3: Lesson 6 Reading (Understanding implication)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
8	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 4: Lesson 1 Listening (Understanding wishes and the conditional)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
9	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 4: Lesson 2 Listening (Integrating listening skills)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
10	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 4: Lesson 3 Structure (Plurals)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
11	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 4: Lesson 4 Structure (Present modals)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
12	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 4: Lesson 5 Reading (Understanding attitude)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
13	事前学習	テキストの該当箇所について、知らない単語や表現を辞書で調べ、問題に目を通し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	Module 4: Lesson 6 Reading (Integrating reading skills)
	事後学習	学習した内容を復習・反復練習し、次週の小テストに備える。
14	事前学習	後学期の学習内容を確認し、分からない箇所を明確にしておく。
	授業内容	後学期の復習とまとめ
	事後学習	後学期で学習した範囲について総復習し、学期末テストに備える。
15	事前学習	後学期で学習した範囲について総復習し、学期末テストに備える。
	授業内容	学期末テストと総括
	事後学習	次年度以降の英語学習について計画を立てる。

科目名	TOEFL ⅢB	担当者	庭山 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEFLの出題傾向に準拠した多種多様な内容の英文を教材として使用し、ボキャブラリーを増強するとともに、内容の予測、トピックの見つけ方、メイン・アイディアの把握、パラグラフ構造の理解、要約などのスキルの習得を行います。教材として、TED Talks、VOA、英字新聞等を使用します。					
授業目的・到達目標	アカデミックな英文を読み、聞き、内容を正確に理解することが出来る英語力の養成を図ることが目的です。TOEFL－ITPのスコア５００点を目標とします。。					
履修条件	TOEFL－ITPの受験が履修・評価の必要条件です。（受験料は自己負担です） 毎回辞書を持ってきてください。					
授業方法	予習課題として配布した英文の語彙、文法事項、構文等を演習方式で確認します。毎回ボキャブラリー・テスト・文法事項・内容理解確認のテストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		０％			
	平常評価		100%		毎回の小テスト５０％、TOEFL-ITPのスコア５０％	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリントを配布します。				
参考書	授業の中で指示します。					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、８：３０から９：００、授業終了後、お昼休み、４限終了後に、教室または教員室で対応します。（金曜日）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自のこれまでの英語学習についてまとめておくこと。
	授業内容	ガイダンス、TOEFLとはどのような試験なのかを他の資格試験と比較しながら解説します。 Topic 1のプリントを配布し各自の英語力の確認をします。
	事後学習	Topic 1の復習をしておくこと。
2	事前学習	Topic 1の語彙・文法事項を復習しておくこと。
	授業内容	Topic 1の語彙・文法事項・内容理解確認テスト。 TOEFLの解説(Listening)
	事後学習	Listeningの復習をしておくこと。
3	事前学習	Topic 2の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	TOEFLの解説(Structure and Written Expression、Reading) Topic 2の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
4	事前学習	Topic 3の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 3の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。

5	事前学習	Topic 4の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 4の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解の確認テスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
6	事前学習	Topic 5の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 5の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
7	事前学習	Topic 6の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 6の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
8	事前学習	Topic 7の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 7の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
9	事前学習	Topic 8の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 8の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
10	事前学習	Topic 9の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 9の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
11	事前学習	Topic 10の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 10の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
12	事前学習	Topic 11の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 11の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
13	事前学習	Topic 12の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Structure and Written Expression Topic 12の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
14	事前学習	Topic 13の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Listening、Reading Topic 13の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	返却されたテストの復習をして、不明なところの質問の準備をすること。
15	事前学習	Topic 14の語彙・文法事項を予習しておくこと。
	授業内容	Topic 14の内容を確認し、語彙・文法事項・内容理解確認のテスト。
	事後学習	テストとTOEFL-ITPのスコアを自己分析し、以後の学習の計画を立てる。

科目名	TOEFL IVA	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業は留学する最終段階で必須のTOEFL-iBTに対応するものです。アカデミックなリーディング素材を読解し、大量の問題を短時間で解けるような訓練を重ねていきます。さらには、iBTで高得点を得るカギを握っているライティング対策として、基本的なパラグラフ・ライティングからアカデミック・ライティングへの応用に至るまでを実践対応方式で習得していきます。			
授業目的・到達目標	〔授業目的〕 英文を構造で捉え、その論理的展開を掴むような構造理解力とエッセイ等を書く際に役立つライティングスキルを身につけ、英語の運用能力を伸ばすことを目的とします。論理的思考力を養うことがねらいです。 〔到達目標〕 留学先で即戦力として通用するような実効性のある英語力の育成を目指し、英語を駆使する運用能力を確実に養うことを目標とします。結果的に従来型のITPに必要な基礎力を総合的に養うことに繋がります。ITP-TOEFL550 (iBT79) 以上を取得目標とします。			
履修条件	ITP-TOEFL450 以上を取得している学生が望ましいです。学期中にITP-TOEFL（受験料は受講者負担）を1回は受験してください。			
授業方法	前半は文構造、語彙やリーディングを網羅したテキストにそって、具体的な練習・解説を行います。後半は、コンピューターを使用した実践対応方式で展開し、アカデミック・ライティングのスキルを身につけます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	課題への取り組み・毎回の確認テストや授業への参加姿勢（50%） クライテリオンとTOEFLのスコア（50%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	南雲堂	Skills for Better Reading －Structures and Strategies－	石谷、Wallis、Embury
	備考	プリント教材も併用する。 クライテリオン受験料（5回で1200円）は受講者負担。		
参考書	授業の展開や進度に合わせ、必要に応じて授業中に適宜指示します。			
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法やテキストと参考文献紹介・辞書の使い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング (Unit 1) 、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング (Unit 1) 、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング (Unit 2) 、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 2）、アカデミック・ライティング手法、
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 3）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 3）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 4）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 4）、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 5）、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 5）、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 6）、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフリーディング（Unit 6）、クライテリオン5
	事後学習	講義全体の確認

科目名	TOEFL IVB	担当者	黒滝 真理子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	本授業は留学する最終段階で必須のTOEFL-iBTに対応するものです。アカデミックなリーディング素材を読解し、大量の問題を短時間で解けるような訓練を重ねていきます。さらには、iBTで高得点を得るカギを握っているライティング対策として、基本的なパラグラフ・ライティングからアカデミック・ライティングへの応用に至るまでを実践対応方式で習得していきます。			
授業目的・到達目標	〔授業目的〕 英文を構造で捉え、その論理的展開を掴むような構造理解力とエッセイ等を書く際に役立つライティングスキルを身につけ、英語の運用能力を伸ばすことを目的とします。論理的思考力を養うことがねらいです。 〔到達目標〕 留学先で即戦力として通用するような実効性のある英語力の育成を目指し、英語を駆使する運用能力を確実に養うことを目標とします。結果的に従来型のITPに必要な基礎力を総合的に養うことに繋がります。ITP-TOEFL550 (iBT79) 以上を取得目標とします。			
履修条件	ITP-TOEFL450 以上を取得している学生が望ましいです。学期中にITP-TOEFL（受験料は受講者負担）を1回は受験してください。			
授業方法	前半は文構造、語彙やリーディングを網羅したテキストにそって、具体的な練習・解説を行います。後半は、コンピューターを使用した実践対応方式で展開し、アカデミック・ライティングのスキルを身につけます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	課題への取り組み・毎回の確認テストや授業への参加姿勢（50%） クライテリオンとTOEFLのスコア（50%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	南雲堂	Skills for Better Reading －Structures and Strategies－	石谷、Wallis、 Embury
	備考	プリント教材も併用する。 クライテリオン受験料（5回で1200円）は受講者負担。		
参考書	授業の展開や進度に合わせ、必要に応じて授業中に適宜指示します。			
オフィス アワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法やテキストと参考文献紹介・辞書の使い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 7）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 7）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 8）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 8）、アカデミック・ライティング手法、
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 9）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 9）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	リスニング、ITP対策
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 10）、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 11）、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 12）、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング（Unit 13）、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	パラグラフフリーディング、クライテリオン5
	事後学習	講義全体の確認

科目名	国際研修(英) I A	担当者	トーマス・ロックリー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	The aim of this class is to prepare you for studying and working abroad. You will learn about your destination country, study and presentation skills and finally cultural skills.			
授業目的・到達目標	You should feel more prepared to go abroad and this should ensure that your experience will be as smooth as possible.			
履修条件	You should be aiming to study or work abroad this year or in the future.			
授業方法	This will be a student centred class, the teacher will support you in independent learning and peer teaching.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	Essay 30%, Homework 30%,Presentation 30% Participation and effort 10%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	None	None	None	None
	備考	You will need a dictionary or Smartphone dictionary app and an A4 folder for class materials.		
参考書	None.All texts will be provided by the teacher.			
オフィスアワー	My office hour is 9:30-10:30am on Thursdays or you can contact me by email at any time. lockleyta@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	First Lesson. Introduction to the course.
	事後学習	Finish reflection and learn new words.
2	事前学習	Prepare A4 folder for lesson materials.
	授業内容	Theme: Some Shared Histories. Skills: Summary writing
	事後学習	Homework - News Report and Discussion
3	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: University Systems in Different Countries. Skills: Discussion and critical thinking.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion
4	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: Expectation Management Skills: Discussion and critical thinking.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion

5	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: Cross-cultural Understanding - Note Taking. Skills: Discussion and critical thinking and note taking in English.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion
6	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: Essay Writing. Skills: Essay writing in English.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion
7	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: Essay Writing. Skills: Essay writing in English.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion
8	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: Essay Writing. Skills: Essay writing in English.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion Prepare for essay assessment
9	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: Essay assessment. Skills: Essay writing in English.
	事後学習	Homework - News Report and Discussion Finish essay assessment
10	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Theme: How to Present. Skills: Presentation skills in English.
	事後学習	Think of theme for presentation assessment.
11	事前学習	Prepare useful materials for presentation.
	授業内容	Theme: Presentation Preparation Skills: Research
	事後学習	Continue research.
12	事前学習	Prepare to make powerpoint.
	授業内容	Theme: Presentation Preparation Skills: Research and powerpoint construction.
	事後学習	Continue powerpoint construction.
13	事前学習	Continue powerpoint construction.
	授業内容	Theme: Presentation Preparation. Skills: Powerpoint construction and scripts writing.
	事後学習	Continue powerpoint construction.Practice speech.
14	事前学習	Continue powerpoint construction.Practice speech.
	授業内容	Theme: Presentation Preparation.Final group practice. Skills: Public speaking
	事後学習	Practice assessment presentation.
15	事前学習	Practice assessment presentation.
	授業内容	Theme: Assessment Presentation.
	事後学習	Reflect on semester.

科目名	国際研修(英) I B	担当者	J.ジェルソ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve the four basic skills (listening, speaking, reading, and writing) through focused practice with your instructor and classmates.				
授業目的・到達目標	The goal of the course is to improve your English while learning about different countries around the world, specifically countries that are of interest to you. Extra focus will be placed on pronunciation for improved understanding and oral communication.				
履修条件	You should be aiming to study or work abroad this year or in the future.				
授業方法	Daily group discussions about current events in countries of interest to the students, and skills tasks.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	Presentation 10%, Pronunciation Unit 20%, Writing Unit 10%, Website 20%, Vocabulary tests 20%, Current Event Reports and participation 20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	You will need a dictionary or Smartphone dictionary app and an A4 folder for class materials.			
参 考 書	None. All texts will be provided by the teacher.				
オフィスアワー	You can contact me by email at any time to ask questions or set up an appointment: joe.geluso@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction; Begin summer study abroad trip presentation overview
	事後学習	Gathering content for presentation
2	事前学習	Gathering content for presentation
	授業内容	Presentation skills preparation
	事後学習	Prepare presentation
3	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion. Practice presentation
	授業内容	Presentations (5 min) Presentation assessment
	事後学習	Study for vocab test
4	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion. Study for vocab test
	授業内容	Pronunciation: Introduction to phonetics and talking to Siri vocab test 1
	事後学習	Readings for next week

5	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Pronunciation: Introduction to phonology and talking to Siri
	事後学習	Readings for next week
6	事前学習	Study for vocab test
	授業内容	Pronunciation: Introduction to software PRAAT vocab test 2
	事後学習	Use PRAAT for fun to better understand it, complete homework tasks
7	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion. Study for vocab test
	授業内容	Pronunciation: Analyzing vowels and “L” and “R” with PRAAT vocab test 3
	事後学習	Continue using PRAAT to analyze speech sounds
8	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Pronunciation wrap up: phonetics vs. phonology and pronunciation assessment
	事後学習	Readings for next week
9	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Writing emails to a specific audience: Audience identification and communicative goals
	事後学習	Readings for next week
10	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion. Study for vocab test
	授業内容	Writing emails to a specific audience: Presenting email drafts and peer review Vocab test 4
	事後学習	Readings for next week
11	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Writing emails to a specific audience: Presenting email drafts and peer review
	事後学習	Readings for next week
12	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion.
	授業内容	Creating a web presence: Introduction to WordPress and survey of sites
	事後学習	Brainstorm what you want your site to be like Investigate websites of people you like, note what you like and what you don’t like about the websites
13	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion. Study for vocab test
	授業内容	Share websites you found with class and outline good points and bad points Describe goals for your web presence (e.g., potential employers) Vocab test 6 (website vocabulary)
	事後学習	Work on your website
14	事前学習	Prepare summary and discussion questions for news discussion. Study for vocab test
	授業内容	Building your website: finalizing your site Vocab test 7
	事後学習	Practice presenting website
15	事前学習	Practice presenting website
	授業内容	Presenting your website
	事後学習	Review

科目名	TOEIC I A	担当者	石川 太郎	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICのような資格試験の授業は退屈なものになりがちです。ただ問題を解いて正解を得ることはもちろん大事ですが、それ以外にも日常生活に役立つ英語学習の一環としてTOEICの授業を考えています。つまり、読む・聞く以外にも書く・話す能力開発に役立つような授業にしたいと思います。また、ビジネス英語入門としての役割も視野に入れてTOEICの英語を頑張りましょう。							
授業目的・到達目標	初めてTOEICを受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEIC試験の内容、対策をパート別に解説し、TOEICの受験に必要な基礎力を身に付けます。TOEICを7500点台を目標にするクラスです。（TOEIC演習ⅠとⅡは同レベルです）前学期では、英語の聞き取りの力を、後学期では英文の読解力を向上させることを目標として授業を進めてゆきます。							
履修条件	学期内にTOEICを1回受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。							
授業方法	実践演習をして解説をします。必要に応じて補足の教材を配布します。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		0%					
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、等を総合的に判断します。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	2016		abax		TOEIC Skills 1		Alastsir Graham-Marr	
	備考							
参考書	特に指定はないが、必ず文法の参考書を1冊用意すること。高校時代に使用したもので十分です。							
オフィスアワー	初回の授業でメールアドレスを伝える。授業の前後、教員控室で。要予約（メールで）。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前年度の授業の復習
	授業内容	ガイダンス（小テスト実施予定）
	事後学習	小テストの復習
2	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	TOEICテストの概要（実際に問題を解いてもらう）
	事後学習	授業の復習
3	事前学習	前2回の授業の復習
	授業内容	Unit 1: Companies and Organisations 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
4	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 1: Companies and Organizations 2: リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習

5	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 2: Work Routines 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
6	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 2: Work Routines 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
7	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 3: Travel and Entertainment 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
8	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 3: Travel and Entertainment 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
9	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 4: Human Resources 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
10	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 4: Human Resources 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
11	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 5: Manufacturing 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
12	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 5: Manufacturing 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
13	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 6: Office Technology 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
14	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	これまでの授業中で扱いきれなかった項目を扱う集中授業
	事後学習	全体の復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	自己採点

科目名	TOEIC I A	担当者	板倉 亨	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICに必要な英語の基礎（語彙と構文・文法）をしっかりと確認し、それを活用しながら実践的なTOEICの問題の解き方を学びます。ただTOEICの問題を解くだけでなく、英語の基礎をしっかりと固めて、それをTOEICにつなげていくクラスです。			
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。(受験料及びClassMATE教材費は自己負担)。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	英語の基礎（語彙や構文・文法等）を確認し、それを踏まえて実践演習をして解説をします。毎回小テストを行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年第2刷	朝日出版社	STEP-UP SKILLS FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST:Level 2 -Intermediate-	北尾泰幸 他
	備考			
参考書	英和辞書、英語文法書。 その他は授業内で適宜指示します。			
オフィスアワー	itakura.toru11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	上記の教科書を準備し、それに目を通して内容や英文の難易度など確認してください。また、ガイダンスの内容をメモするためルーズリーフを準備してください。
	授業内容	ガイダンス。授業内容・方法や成績評価について確認し、教科書を使いながら具体的な説明を補足します。
	事後学習	ガイダンスの説明を踏まえ、この授業についてしっかりと理解すること。
2	事前学習	授業内で指定された予習範囲の音声聞き回答したうえで、必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめ、英文の構文や訳等を準備してください。授業開始時に予習範囲から単語や聞き取りの小テストを実施することがあるので、まとめた単語やリスニングの書き取りをしっかりと見直しておくこと。
	授業内容	TOEICについての説明。基礎英文法の復習・確認。 Unit1 listening section 小テストをして、それからスクリプトを見ながら答え合わせと解説をします。
	事後学習	リスニングのスクリプトを見ながら音声を聞き直し、聞き取れなかったり知らなかった単語を調べ直してルーズリーフに補足・追加しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
3	事前学習	授業内で指定された予習範囲の問題に解答し、その上で必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめ、英文の構文や訳等を準備してください。また、何となくではなく、なぜそれが答えだと思ったかの自分なりの説明をできるだけメモをしておいてください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語しっかりと見直しておくこと。
	授業内容	基礎英文法の復習・確認。 Unit1 Reading section (part5,6) 小テストをして、それから答え合わせと解説をします。
	事後学習	授業での答え合わせや説明を踏まえ、ノートを整理しながら、誤答した問題を中心にしっかりと復習しておいてください。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。

13	事前学習	授業内で指定された予習範囲の問題に解答し、その上で必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめ、英文の構文や訳等を準備してください。また、何となくではなく、なぜそれが答えだと思ったかの自分なりの説明をできるだけメモをしておいてください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語しっかり見直しておくこと。
	授業内容	基礎英文法の復習・確認。 Unit4 Reading section (part7) 小テストをして、それから答え合わせと解説をします。
	事後学習	授業での答え合わせや説明を踏まえ、ノートを整理しながら、誤答した問題を中心にしっかりと復習しておいてください。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
14	事前学習	これまでのノートを整理しながら授業内容を復習して、理解できなかった箇所を授業で確認できるようにまとめておくこと。
	授業内容	前期復習。前回までの授業内容を補足し、振り返りながら説明します。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
15	事前学習	前期授業内容を、授業内で指摘されたポイントを中心にしっかりと復習しておくこと。
	授業内容	前期の授業のまとめ。授業内容全体の理解度を確認するためのまとめです。授業内で指摘したポイントを中心に確認します。
	事後学習	前期の授業で理解できたものと理解できなかったものをしっかりと把握し、特に理解が不十分なものについては後期の英語の勉強に役立てるためにしっかりと復習しておいてください。

科目名	TOEIC I A	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC テストのスコアを伸ばすため、語彙力、Listening、Reading両方の力を向上させる。授業では テキスト、オンライン教材を中心に他の問題集の問題を数多く解く。授業以外でも英語を読んだり、聞いたりするための 課題を解く。				
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。				
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE (Online Training) をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。				
授業方法	毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。テキストを使ってミニテストを行いTOEICの形式に慣れるようにする。その後答え合わせと説明、復習をします。授業時間以外で行う課題を必ず提出する				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、課題等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年(第4版)	朝日出版社		SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LESTENING AND READING TEST 1 4th Ed	M. D. Stafford
	2015年	アルク		改訂版 TOEIC TEST 英単語出るところだけ！	小石裕子
	備考	SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LESTENING AND READING TEST 1(Goal 500) 4th Edition(朝日出版社) Stafford 著			
参考書	英和辞書/「TOEICテスト速読WPMトレーニング」西村恵美著 (ベレ出版、1,500円) 「TOEIC TEST リスニング(TARGET 600)」 森田鉄也著 (Jリサーチ出版、1、200円)				
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。（対応できる時間一火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分～30分）e-mailアドレスについては希望者に第1回目の授業でお知らせします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEIC L&Rテストについて試験の構成などについて調べておく
	授業内容	ガイダンス(必要があればクラス選抜テスト)：履修条件、授業の進め方、評価方法、TOEIC L&Rテストの必要性についての説明
	事後学習	ガイダンスで聞いた説明をよく考えてクラスを履修するかどうか検討する。
2	事前学習	単語のテキストの説明をよく読んで問題を解いておく。
	授業内容	TOEIC テストの概要について説明 /Pre-test (TOEIC ミニ模擬テスト)
	事後学習	Pre-testのReading Partの復習
3	事前学習	第1回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第1回英単語試験(No.1 - 45)/テキスト Unit 1 'Daily Life' ミニテスト/ TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 1 のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
4	事前学習	第2回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキスト Unit 1 'Daily Life' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない 単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第2回英単語試験(No.46 - 90)/テキスト Unit 1 'Daily Life' 復習/TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 1 'Daily Life' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。

5	事前学習	第3回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第3回英単語試験 (No. 91 - 143) / テキストUnit 2 'Places' ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 2 'Places' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
6	事前学習	第4回英単語試験の範囲の単語を覚える。/ テキスト Unit 2 'Places' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第4回英単語試験 (No. 144 - 195) / テキストUnit 2 'Places' 復習/TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 2 'Places' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
7	事前学習	第5回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第5回英単語試験 (No. 196 - 248) / テキスト Unit 3 'People' ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 3 'People' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
8	事前学習	第6回英単語試験の範囲の単語を覚える。/ テキスト Unit 3 'People' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第6回英単語試験 (No. 249 - 300) / テキスト Unit 3 'People' 復習/TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 3 'People' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
9	事前学習	第7回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第7回英単語試験 (No. 301 - 345) / テキストUnit 4 'Travel' ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 4 'Travel' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
10	事前学習	第8回英単語試験の範囲の単語を覚える。/ テキスト Unit 4 'Travel' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第8回英単語試験 (No. 346 - 398) / テキストUnit 4 'Travel' 復習 / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 4 Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
11	事前学習	第9回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第8回英単語試験 (No. 346 - 398) / Unit 5 'Business' ミニテスト
	事後学習	Unit 5 'Business' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
12	事前学習	第10回英単語試験の範囲の単語を覚える/ Class MATEをPart 1からPART 7まで問題の形式を意識しながら復習
	授業内容	第10回英単語試験 (No. 451 - 495) / TOEIC模擬試験
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
13	事前学習	第11回英単語試験の範囲の単語を覚える/ テキスト Unit 5 'Business' のReading Part単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておくeading Partの英文をよく読んでおく。分からない
	授業内容	第11回英単語試験 (No. 496 - 548) / テキストUnit 5 'Business' 復習/
	事後学習	テキスト Unit 5 'Business' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。/
14	事前学習	第12回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第12回英単語試験 (No. 549-600) / TOEIC模擬試験と解答と解説
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
15	事前学習	テキストUnit 1 ~ Unit 5の単語等を覚える
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	テキストUnit 1 ~ Unit 5の復習

科目名	TOEIC I A	担当者	鈴木 京子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICでよりよい得点を目指すことができるように、教科書を使用して毎回演習を行います。教科書のそれぞれの課はListeningとReadingのセクションがあり、毎回授業内で問題を解きます。Listeningの場合には問題を解いた後にスクリプトを使用して、どんな問題を聞いたのかを耳と目を使って確認していきます。Readingの場合には問題を解いた後に文法などの解説を行います。					
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEIC 1 回受験と、オンライン教材のClassMATEが義務づけられます。受験料と教材費は自己負担です。（TOEICを複数履修すると、教材費がその分増えます。）原則 I Bとともに通年で履修してください。					
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATE ポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	CENGAGE Learning		Before-After Practice for the TOEIC L&R TEST		Jonathan Lunch他2名
	備考					
参 考 書	英和辞書必携					
オフィスアワー	授業の前後で質問してください。アポイントメントを取る場合にも授業の前後で相談してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自己紹介文を考える
	授業内容	ガイダンス。Pre-test
	事後学習	授業で学習したことの復習
2	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test復習①
	事後学習	授業で学習したことの復習
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-test復習②
	事後学習	授業で学習したことの復習
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-testの復習③
	事後学習	授業で学習したことの復習

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 1 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 1 Listening 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 2 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
8	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 2 Reading 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
9	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 3 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
10	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 3 Listening 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
11	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 4 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
12	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 4 Reading 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
13	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 5 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
14	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 5 Listening 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
15	事前学習	小テストの準備
	授業内容	前期の授業のまとめ
	事後学習	前期の授業の総復習

科目名	TOEIC I A	担当者	鈴木 ふさ子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICがどのようなテストなのかを理解し、授業ではテキストの演習問題を解き、解説を聞くことで問題に慣れてもらう。解説では単に答え合わせをするのではなく、どのようにその解答に至ったのかを答えてもらい、英語の基礎力をブラッシュアップする。自宅ではオンライン教材や授業の復習をしっかりと行い、その成果を小テストや期末テストなどで確認していく。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。（TOEIC I と II は同じレベルです）				
履修条件	学期内にTOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。				
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点100% 授業内復習テスト、小テスト、Class MATEのポイントなどを総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	金星堂		『FULL GEAR FOR THE TOEIC L&R TEST』	Mark D. Stanford その他
	備考				
参考書	『新TOEIC Test 英文法出るとこだけ』（アルク出版）				
オフィスアワー	授業終了後、前の週の授業終了時に質問内容や相談内容を伝え、アポイントメントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEICがどのようなテストなのか調べておく
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	TOEICのテストの各パートの問題形式を頭に入れる
2	事前学習	テキストに掲載されているTOEICの各パートの模擬問題を解いてみる
	授業内容	TOEICテスト概要 ミニ模擬試験
	事後学習	どこが自分の弱点かをチェックする
3	事前学習	ミニ模擬試験の結果を踏まえて今後どのように学習するべきか計画を立てる
	授業内容	今後の学習法、目標を考える。TOEICの公式テストの解説
	事後学習	自分に合った参考書や問題集を選び、具体的な計画を立てる
4	事前学習	テキストのUnit 1 の単語を調べる
	授業内容	小テスト、Unit 1 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する

5	事前学習	テキストUnit 1 の単語を覚える
	授業内容	小テスト、Unit 1 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
6	事前学習	テキストUnit 2 の単語を調べる
	授業内容	小テスト、Unit 2 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
7	事前学習	テキストUnit 2 の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 2 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
8	事前学習	テキストUnit 3 の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 3 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
9	事前学習	テキストUnit 3 の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 3 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
10	事前学習	テキストUnit 4 の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 4 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
11	事前学習	テキストUnit 4 の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 4 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
12	事前学習	テキストUnit 5 の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 5 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
13	事前学習	テキストUnit 5 の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 5 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
14	事前学習	前期の授業をふりかえり、テストのための準備をする
	授業内容	小テスト、前期の総復習とまとめ
	事後学習	できなかった部分を見直す
15	事前学習	前期に学んだことを総復習する
	授業内容	前期の総復習テストと解説
	事後学習	前期に学んだところを総復習する

科目名	TOEIC I A	担当者	藤本 淳史	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。まずTOEICテストの形式に慣れることなら始めましょう。					
授業目的・到達目標	TOEIC受験の初心者、TOEIC450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。スコア500点台をめざします。TOEIC演習IとIIは同じ初級レベルのクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	桐原書店		MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC(R) L&R TEST All in One [New Edition]		早川 幸治
	備考					
参考書	追って指示します。					
オフィスアワー	質問がある場合にはlaw08775@law.nihon-u.ac.jp までメールをしてください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	オリエンテーション Unit 01 人物の動作と状態（Part 1） 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
2	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 01 表・用紙（Part 7） 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
3	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 02 疑問詞を使った疑問文（Part 2） 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
4	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 02 広告（Part 7） 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。

5	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 03 日常場面での会話 (Part 3) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
6	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 03 品詞 (Part 5) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
7	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 04 アナウンス・ツアー (Part 4) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
8	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 04 動詞 (Part 5) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
9	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 05 物の状態と位置 (Part 1) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
10	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 05 チャット (Part 7) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
11	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 06 基本構文 (依頼／提案・勧誘／申し出) と応答の決まり文句 (Part 2) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
12	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 06 手紙・Eメール (Part 7) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
13	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 07 電話での会話 (Part 3) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
14	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 07 代名詞・関係代名詞 (Part 5) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
15	事前学習	これまでの内容を復習して前期授業のまとめに備えること。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	前期授業のまとめの内容を解説したところを復習しておくこと。

科目名	TOEIC I A	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策に加え、ディクテーションやペアによるボキャブラリーチェックなどのエクササイズにより、受け身ではないTOEICの授業を行う。			
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とする。TOEICの受験に必要な基礎力を身につける。TOEICスコア500点台を目標とする。			
履修条件	TOEIC1回以上の受験、ClassMATE（Online Training）を義務付ける（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEIC科目を2科目以上受講した場合には教材費がその分増えるので注意すること。			
授業方法	オンラインによるペア演習を含む実践演習および解説を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、期末試験、単語・熟語・文法試験、授業内活動をもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015	金星堂	LIGHTING UP THE TOEIC TEST	Brent Cotsworth 他
	備考			
参考書	授業内において適宜指示する。			
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	Unit 1 Travelingの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 1 Traveling：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 1 Travelingの振り返り
3	事前学習	Unit 2 Daily Life & Shoppingの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 2 Daily Life & Shopping：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 2 Daily Life & Shoppingの振り返り
4	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り

5	事前学習	Unit 3 At Restaurantsの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 3 At Restaurants：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 3 At Restaurantsの振り返り
6	事前学習	Unit 4 Job Huntingの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 4 Job Hunting：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 4 Job Huntingの振り返り
7	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り
8	事前学習	Unit 5 At the Office 1の単語・熟語学習
	授業内容	Unit 5 At the Office 1：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 5 At the Office 1の振り返り
9	事前学習	Unit 6 At the Office 2の単語・熟語学習
	授業内容	Unit 6 At the Office 2：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 6 At the Office 2の振り返り
10	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り
11	事前学習	Unit 7 Review Test 1の単語・熟語学習
	授業内容	Unit 7 Review Test 1：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 7 Review Test 1の振り返り
12	事前学習	Unit 8 Doing Business Onlineの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 8 Doing Business Online：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 8 Doing Business Onlineの振り返り
13	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り
14	事前学習	TOEIC模擬試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC模擬試験
	事後学習	TOEIC模擬試験の振り返り
15	事前学習	前期のまとめの単語・熟語学習
	授業内容	前期のまとめ：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	前期のまとめの振り返り

科目名	TOEIC I A	担当者	山下 登子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	教科書やオンライン教材を使用し、TOEICの学力向上を目指す授業です。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台レベルに達することができるようにする。				
履修条件	TOEICテストを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）が義務付けられます。受験料とClassMATE教材費は自己負担です。（TOEICを2科目以上受講した場合は教材費がその分増えますのでご注意ください）				
授業方法	グループ活動を中心とした演習形式の授業です。毎回Online Training教材からの単語テストを行う。遅刻3回は1回分の欠席とし、欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	TOEICスコア、単語テスト、ClassMATEポイント、受講状況、単語ノート提出、授業内試験などを含めて総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	桐原書店		『Mastery Drills For the TOEIC L&R Test All in One [New Edition]（TOEIC L&R テスト マスタリードリル [全パート編]）』	早川 幸治
	備考				
参考書	英和辞書（電子辞書可）				
オフィスアワー	授業に関する質問・相談などは、授業前後や休み時間に、教室、教員室またはe-mailにて対応します。 yamashita.takako1@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の準備、シラバスの確認など
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材や学習範囲の確認
2	事前学習	学習範囲の予習
	授業内容	単語テストについて・Unit 1 人物の動作と状態（学習Unitは変更する場合があります）
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
3	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 1 表・用紙
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
4	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 2 疑問詞を使った疑問文
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習

5	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 2 広告
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
6	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 3 日常場面での会話
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
7	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 3 品詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
8	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 4 アナウンス・ツアー
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
9	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 4 動詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
10	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 5 物の状態と位置
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
11	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 5 チャット
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
12	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 6 基本構文と応答の決まり文句
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
13	事前学習	単語ノート提出の準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語ノート提出・Unit 6 手紙・Eメール
	事後学習	学習範囲の復習
14	事前学習	学習範囲の総復習
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など
15	事前学習	重要箇所や分からないところの確認など
	授業内容	まとめと見直し
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など

科目名	TOEIC I A	担当者	依田 悠介	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course students work on listening, grammar and reading practices to improve TOEIC score.			
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。			
履修条件	学期内にTOEIC(R)を1回以上受験しClass-MATE (Online Training)をやっていただきます。(受験料及びClassMate教材費は自己負担)。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行なう。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEIC(R)スコア、小テスト、Class-Mateポイント、授業参加度を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	アルク	TOEIC(R) テスト 新形式問題やり込みドリル〜	ヒロ 前田；ロス・タロック
	備考			
参考書	provided in each class			
オフィスアワー	by appointment: yusuke.yoda@tyg.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read the syllabus
	授業内容	Guidance: Bring the copy of this syllabus and textbook
	事後学習	Planning your study
2	事前学習	Prep. for pre-test
	授業内容	Pre-test
	事後学習	Review your score
3	事前学習	Prep. of vocabulary: computer and communication
	授業内容	Computers and Communication
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
4	事前学習	Prep. of vocabulary: music
	授業内容	Music
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.

5	事前学習	Prep. of vocabulary:advertising and marketing
	授業内容	Advertising and Marketing
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
6	事前学習	Prep. of vocabulary: shopping
	授業内容	Shopping
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
7	事前学習	Prep. of vocabulary: entertainment
	授業内容	Entertainment
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
8	事前学習	Prep. of vocabulary: eating and drinking
	授業内容	Eating and Drinking
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
9	事前学習	Prep. of vocabulary: sports
	授業内容	Sports
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
10	事前学習	Prep. of vocabulary: lectures and presentations
	授業内容	Lectures and Presentations
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
11	事前学習	Prep. of vocabulary: job
	授業内容	Applying for Job
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
12	事前学習	Review the words and vocabulary used in this semester
	授業内容	Review-1
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
13	事前学習	Review the sound mechanisms
	授業内容	Review 2
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
14	事前学習	Prep. for post-test
	授業内容	Post-test Review
	事後学習	Review the sounds/vocabulary of the material(s) provided in the class.
15	事前学習	Prep. for next class/Review your achievement
	授業内容	Review-3
	事後学習	Review your achievement

科目名	TOEIC I B	担当者	石川 太郎	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICのような資格試験の授業は退屈なものになりがちです。ただ問題を解いて正解を得ることはもちろん大事ですが、それ以外にも日常生活に役立つ英語学習の一環としてTOEICの授業を考えています。つまり、読む・聞く以外にも書く・話す能力開発に役立つような授業にしたいと思います。また、ビジネス英語入門としての役割も視野に入れてTOEICの英語を頑張りましょう。					
授業目的・到達目標	初めてTOEICを受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEIC試験の内容、対策をパート別に解説し、TOEICの受験に必要な基礎力を身に付けます。TOEICを7500点台を目標にするクラスです。（TOEIC演習ⅠとⅡは同レベルです）前学期では、英語の聞き取りの力を、後学期では英文の読解力を向上させることを目標として授業を進めてゆきます。					
履修条件	学期内にTOEICを1回受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。					
授業方法	実践演習をして解説をします。必要に応じて補足の教材を配布します。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	abax		TOEIC Skills 1		Alastsir Graham-Marr
	備考					
参考書	特に指定はないが、必ず文法の参考書を1冊用意すること。高校時代に使用したもので十分です。					
オフィスアワー	初回の授業でメールアドレスを伝える。授業の前後、教員控室で。要予約（メールで）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期授業の復習
	授業内容	前期授業の確認と復習
	事後学習	授業の復習
2	事前学習	Unit 6の予習
	授業内容	Unit 6: Office Technology 2:リーディングセッション
	事後学習	単語、熟語の復習
3	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 7: Purchasing 1:リスニングセッション
	事後学習	単語、熟語の復習
4	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 7: Purchasing 2:リーディングセッション
	事後学習	単語、熟語の復習

5	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 8: Health Care 1: リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
6	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 8: Health Care 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
7	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 9: Housing and Property 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
8	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 9: Housing and Property 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
9	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 10: Banking and Finance 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
10	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 10: Banking and Finance 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
11	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Test演習1（リスニングセクション中心）
	事後学習	単語、熟語の復習
12	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Test演習2（リーディング中心）
	事後学習	単語、熟語の復習
13	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Test演習3（文法項目中心）
	事後学習	文法事項の復習
14	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	3回の演習及び授業で扱いきれなかった項目を扱う
	事後学習	単語、熟語、文法の復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	自己採点

科目名	TOEIC I B	担当者	板倉 亨	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICに必要な英語の基礎（語彙と構文・文法）をしっかりと確認し、それを活用しながら実践的なTOEICの問題の解き方を学びます。ただTOEICの問題を解くだけでなく、英語の基礎をしっかりと固めて、それをTOEICにつなげていくクラスです。					
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。(受験料及びClassMATE教材費は自己負担)。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	英語の基礎（語彙や構文・文法等）を確認し、それを踏まえて実践演習をして解説をします。毎回小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年第2刷	朝日出版社		STEP-UP SKILLS FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST:Level 2 -Intermediate-		北尾泰幸 他
	備考					
参考書	英和辞書、英語文法書。 その他は授業内で適宜指示します。					
オフィスアワー	itakura.toru11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	上記の教科書を準備し、それに目を通して内容や英文の難易度など確認してください。また、ガイダンスの内容をメモするためルーズリーフを準備してください。
	授業内容	ガイダンス。授業内容・方法や成績評価について確認し、教科書を使いながら具体的な説明を補足します。
	事後学習	ガイダンスの説明を踏まえ、この授業についてしっかりと理解すること。
2	事前学習	授業内で指定された予習範囲の音声聞き回答したうえで、必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめ、英文の構文や訳等を準備してください。授業開始時に予習範囲から単語や聞き取りの小テストを実施することがあるので、まとめた単語やリスニングの書き取りをしっかりと見直しておくこと。
	授業内容	TOEICについての説明。基礎英文法の復習・確認。 Unit5 listening section 小テストをして、それからスクリプトを見ながら答え合わせと解説をします。
	事後学習	リスニングのスクリプトを見ながら音声を聞き直し、聞き取れなかったり知らなかった単語を調べ直してルーズリーフに補足・追加しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
3	事前学習	授業内で指定された予習範囲の問題に解答し、その上で必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめ、英文の構文や訳等を準備してください。また、何となくではなく、なぜそれが答えだと思ったかの自分なりの説明をできるだけメモをしておいてください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語しっかりと見直しておくこと。
	授業内容	基礎英文法の復習・確認。 Unit5 Reading section (part5,6) 小テストをして、それから答え合わせと解説をします。
	事後学習	授業での答え合わせや説明を踏まえ、ノートを整理しながら、誤答した問題を中心にしっかりと復習しておいてください。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。

13	事前学習	授業内で指定された予習範囲の問題に解答し、その上で必要な単語を調べ品詞と意味をルーズリーフにまとめ、英文の構文や訳等を準備してください。また、何となくではなく、なぜそれが答えだと思ったかの自分なりの説明をできるだけメモをしておいてください。授業開始時に予習範囲から単語の小テストを実施することがあるので、まとめた単語しっかり見直しておくこと。
	授業内容	基礎英文法の復習・確認。 Unit8 Reading section (part7) 小テストをして、それから答え合わせと解説をします。
	事後学習	授業での答え合わせや説明を踏まえ、ノートを整理しながら、誤答した問題を中心にしっかりと復習しておいてください。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
14	事前学習	これまでのノートを整理しながら授業内容を復習して、理解できなかった箇所を授業で確認できるようにまとめておくこと。
	授業内容	後期の復習。前回までの授業内容を補足し、振り返りながら説明します。
	事後学習	授業内で指摘された英単語や英語表現を調べ直して補足しながら、授業内容を復習しておくこと。また、構文・文法に関して課題が示され、それが自分にとって必要だと感じた場合には、その項目について文法書等を参照して補足しまとめながら、授業内で説明された構文・文法の理解を自分で確認しておくこと。
15	事前学習	後期授業内容を、授業内で指摘されたポイントを中心にしっかりと復習しておくこと。
	授業内容	後期の授業のまとめ。授業内容全体の理解度を確認するためのまとめです。授業内で指摘したポイントを中心に確認します。
	事後学習	後期の授業で理解できたものと理解できなかったものをしっかりと把握し、特に理解が不十分なものについてはこれからの英語の勉強に役立てるためにしっかりと復習しておいてください。

科目名	TOEIC I B	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC テストのスコアを伸ばすため、語彙力、Listening、Reading両方の力をを向上させる。授業では テキスト、オンライン教材を中心に他の問題集の問題を数多く解く。授業以外でも英語を読んだり、聞いたりするための 課題を解く。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICスコア500点台以上を目標にするクラスです。				
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE (Online Training) をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。				
授業方法	毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。テキストを使ってミニテストを行いTOEICの形式に慣れるようにする。その後答え合わせと説明、復習をします。授業時間以外で行う課題を必ず提出する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、課題等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年(第4版)	朝日出版社		SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LESTENING AND READING TEST 1 4th Ed	M. D. Stafford
	2015年	アルク		改訂版 TOEIC TEST 英単語出るとこだけ！	小石裕子
	備考	SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LESTENING AND READING TEST 1(Goal 500) 4th Edition、Stafford著(朝日出版)			
参 考 書	英和辞書/「TOEICテスト速読WPMトレーニング」西村恵美著 (ベレ出版、1,500円) 「TOEIC TEST リスニング(TARGET 600)」 森田鉄也著 (Jリサーチ出版、1、200円)				
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。（対応できる時間—火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分—30分）e-mailアドレスについては第1回目の授業でお知らせします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に英語の音声を聴き、 Listeningの練習をする。
	授業内容	IBについてのガイダンス：履修条件、授業の進め方、評価方法につ いての説明/ Listening練習問題
	事後学習	本日聴いた Listening練習を復習
2	事前学習	第13回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第13回英単語試験(No. 601 - 630/1~15)/テキスト テキストUnit 6 'Office' ミニテスト /TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト テキストUnit 6 'Office' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
3	事前学習	第14回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキスト Unit 6 'Office' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない 単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第14回英単語試験(No. 16 - 60)/テキストUnit 6 'Office' の復習/Unit 7 'Technology' ミニテスト
	事後学習	テキスト Unit 7 'Technology' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト Unit 6 'Office'：Reading Partの復習：特に Part 6, Part 7の間違えたところを中心に復習。
4	事前学習	第15回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキストUnit 7 'Technology' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない 単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第15回英単語試験(No. 61 - 113)/テキスト Unit 7 'Technology' の復習/ Unit 8 'Personnel' ミニテストと復習 / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 7 'Technology' の復習：特に Part 6, Part 7の間違えたところを中心に復習。 Unit 8 'Personnel' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習

5	事前学習	第16回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキスト Unit 8 'Personnel' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第16回英単語試験(No.114 - 165)/テキスト/Unit 8 'Personnel' の復習 Unit 9 'Management' ミニテスト
	事後学習	テキストUnit 9 'Management' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト Unit 8 'Personnel' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
6	事前学習	第17回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキスト Unit 9 'Management' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第17回英単語試験(No.166 - 218)/Unit 9 'Management' の復習/ 10' Purchasing' ミニテストと復習 / TOEIC 練習問題
	事後学習	テキスト Unit 10' Purchasing' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト Unit 9 'Management' : Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
7	事前学習	第18回英単語試験の範囲の単語を覚え。/テキスト10' Purchasing' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第18回英単語試験(No.219 - 263)/テキスト10' Purchasing' の復習 /テキストUnit 11 'Finances' ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 11 'Finances' をスクリプトを見ながら音読練習 /Reading Partテキスト10' Purchasing' の復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
8	事前学習	第19回英単語試験の範囲の単語を覚える/模擬問題のために Class MATEをPart 1からPART 7まで問題の形式を意識しながら復習
	授業内容	第19回英単語試験(No.264 - 315)/TOEIC模擬試験/ 解答と解説
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
9	事前学習	第20回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第20回英単語試験(No.316-360)/テキストUnit 12 'Media' ミニテストと復習 /TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 12 'Media' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト
10	事前学習	第21回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキストUnit 12 'Media' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第21回英単語試験(No.361-413)/テキストUnit 12 'Media' の復習/Unit 13 'Entertainment' ミニテストと復習 /TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 13 'Entertainment' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト Unit 12 'Media': Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
11	事前学習	第22回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第22回英単語試験(No.414-465)/テキストUnit 13 'Entertainment' の復習/ TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 13 'Entertainment' のReading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
12	事前学習	第23回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第23回英単語試験(No.466-518) テキストUnit 14 'Health' ミニテストと復習/TOEIC 練習問題
	事後学習	テキスト Unit 14 'Health' Reading PartのListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
13	事前学習	第24回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第24回英単語試験(No.519-570) /テキストUnit 15'Reataurants' ミニテストと復習
	事後学習	テキスト Unit 15 'Reataurants' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習
14	事前学習	Class MATEをPart 1からPART 7まで問題の形式を意識しながら復習
	授業内容	TOEIC模擬問題の解説と復習/TOEIC 練習問題
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
15	事前学習	テキストUnit 7 ~ Unit 15の単語等を覚える
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	テキストUnit 7 ~ Unit 15を復習する

科目名	TOEIC I B	担当者	鈴木 京子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICでよりよい得点を目指すことができるように、教科書を使用して毎回演習を行います。教科書のそれぞれの課は、Listening とReading のセクションがあり、毎回授業内で問題を解きます。Listeningの場合には問題を解いた後にスクリプトを使用して、どんな問題を聞いたのかを耳と目を使って確認していきます。Readingの場合には、問題を解いた後に文法等の解説を行います。			
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEIC 1 回受験と、オンライン教材のClassMATEが義務づけられます。受験料と教材費は自己負担です。（TOEICを複数履修すると、教材費がその分増えます。）原則 I Aとともに通年で履修してください。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回小テストを行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	CENGAGE Learning	Before-After Practice for the TOEIC L&R TEST	Jonathan Lynch他2名
	備考			
参 考 書	英和辞書必携			
オフィスアワー	授業の前後で質問してください。アポイントメントを取る場合にも授業の前後で相談してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みのプレゼン準備
	授業内容	Unit 6 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
2	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 6 Reading 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 7 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 7 Listening 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 8 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 8 Reding 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 9 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
8	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 9 Listening 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
9	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 10 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
10	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 10 Reading 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
11	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 11 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
12	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 11 Listening 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
13	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 12 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
14	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 12 Reading 問題復習
	事後学習	授業で学習したことの復習
15	事前学習	小テストの準備
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	後期授業の総復習

科目名	TOEIC I B	担当者	鈴木 ふさ子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICがどのようなテストなのかを理解し、授業ではテキストの演習問題を解き、解説を聞くことで問題に慣れてもらう。解説では単に答え合わせをするのではなく、どのようにその解答に至ったのかを答えてもらい、英語の基礎力をブラッシュアップする。自宅ではオンライン教材や授業の復習をしっかりと行い、その成果を小テストや期末テストなどで確認していく。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。（TOEIC I と II は同じレベルです）				
履修条件	学期内にTOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。				
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点100% 授業内復習テスト、小テスト、Class MATEのポイントなどを総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	金星堂		『FULL GEAR FOR THE TOEIC L&R TEST』	Mark D. Stanford その他
	備考				
参考書	『新TOEIC Test 英文法出るとこだけ』（アルク出版）				
オフィスアワー	授業終了後、前の週の授業終了時に質問内容や相談内容を伝え、アポイントメントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストUnit 6 の単語を調べる
	授業内容	後期における授業の進め方、Unit 6 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
2	事前学習	テキストUnit 6 の単語を覚える
	授業内容	小テスト、Unit 6 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
3	事前学習	テキストUnit 7 の単語を調べる
	授業内容	小テスト、Unit 7 のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
4	事前学習	テキストUnit 7 の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 7 のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する

5	事前学習	テキストUnit 8の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 8のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
6	事前学習	テキストUnit 8の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 8のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
7	事前学習	テキストUnit 9の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 9のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
8	事前学習	テキストUnit 9の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	小テスト、Unit 9のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
9	事前学習	テキストUnit 10の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	Unit10のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
10	事前学習	テキストUnit 10の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	Unit 10のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
11	事前学習	テキストUnit 11の単語を調べる、オンライン教材を行う
	授業内容	Unit 11のListeningの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
12	事前学習	テキストUnit 11の単語を覚える、オンライン教材を行う
	授業内容	Unit 11のReadingの演習と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
13	事前学習	TOEICのパートを復習する
	授業内容	TOEICミニ模擬試験と解説
	事後学習	授業で進んだところを復習する
14	事前学習	後期に学んだことを復習し、テストのための準備をする
	授業内容	後期の総復習とまとめ
	事後学習	できなかった部分を復習する
15	事前学習	後期に学習したことを復習する
	授業内容	後期の総復習テストと解説
	事後学習	後期に学習したことを総復習する

科目名	TOEIC I B	担当者	藤本 淳史	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。まずTOEICテストの形式に慣れることなら始めましょう。 (TOEIC IAからの続き)			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の初心者、TOEIC450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。まずTOEICテストの形式に慣れることなら始め、スコア500点台をめざします。TOEIC IとIIは同じ初級レベルのクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE (Online Training) をやっていただきます。(受験料及びClassMATE教材費は自己負担)。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回小テストを行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	桐原書店	MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC(R) L&R TEST All in One [New Edition]	早川 幸治
	備考			
参 考 書	追って指示します。			
オフィスアワー	質問がある場合にはメールをしてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 08 ラジオ放送・宣伝 (Part 4) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
2	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 08 接続詞・前置詞 (Part 5) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
3	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 09 Yes/No疑問文 (Part 2) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
4	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 09 ダブルパッセージ (2つの文書) (Part 7) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。

5	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 10 オフィスでの会話 ① (Part 3) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
6	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 10 Part 5の復習 (Part 5) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
7	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 11 留守番電話 (Part 4) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
8	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 11 トリプルパッセージ (3つの文書) (Part 7) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
9	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 12 オフィスでの会話 ② (Part 3) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
10	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 12 Part 7の復習 (Part 7) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
11	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 13 Part 1とPart 2の復習 (Part 1, Part 2) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
12	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 13 時制・代名詞・語い問題 (Part 6) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
13	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 14 トーク・スピーチ・会議の一部 (Part 4) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
14	事前学習	授業で行う予定の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	Unit 14 つなぎ言葉・文の挿入 (Part 6) 演習と解説をします。
	事後学習	演習と解説をしたところを丹念に復習すること。
15	事前学習	これまでの内容を復習して前期授業のまとめに備えること。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	前期授業のまとめの内容を解説したところを復習しておくこと。

科目名	TOEIC I B	担当者	松山 博樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策に加え、ディクテーションやペアによるボキャブラリーチェックなどのエクササイズにより、受け身ではないTOEICの授業を行う。			
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とする。TOEICの受験に必要な基礎力を身につける。TOEICスコア500点台を目標とする。			
履修条件	TOEIC1回以上の受験、ClassMATE（Online Training）を義務付ける（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEIC科目を2科目以上受講した場合には教材費がその分増えるので注意すること。			
授業方法	オンラインによるペア演習を含む実践演習および解説を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、期末試験、単語・熟語・文法試験、授業内活動をもとに総合的に評価する。詳細はオリエンテーションで説明する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015	金星堂	LIGHTING UP THE TOEIC TEST	Brent Cotsworth 他
	備考			
参考書	授業内において適宜指示する。			
オフィスアワー	担当教員研究室（本館8階1815研究室）にて金曜日3時限に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読してくること
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	イントロダクションの振り返り
2	事前学習	Unit 9 Housingの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 9 Housing：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 9 Housingの振り返り
3	事前学習	Unit 10 Making Deals & Contractsの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 10 Making Deals & Contracts：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 10 Making Deals & Contractsの振り返り
4	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り

5	事前学習	Unit 11 Public Serviceの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 11 Public Service：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 11 Public Serviceの振り返り
6	事前学習	Unit 12 Banking & Financeの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 12 Banking & Finance：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 12 Banking & Financeの振り返り
7	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り
8	事前学習	Unit 13 At Seminars & Workshopsの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 13 At Seminars & Workshops：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 13 At Seminars & Workshopsの振り返り
9	事前学習	Unit 14 News & Mediaの単語・熟語学習
	授業内容	Unit 14 News & Media：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 14 News & Mediaの振り返り
10	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り
11	事前学習	Unit 15 Review Test 2の単語・熟語学習
	授業内容	Unit 15 Review Test 2：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 15 Review Test 2の振り返り
12	事前学習	Unit 15 Review Test 2 (2)の単語・熟語学習
	授業内容	Unit 15 Review Test 2 (2)：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	Unit 15 Review Test 2 (2)の振り返り
13	事前学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験
	事後学習	TOEIC頻出単語・熟語・文法試験の振り返り
14	事前学習	TOEIC模擬試験の単語・熟語学習
	授業内容	TOEIC模擬試験
	事後学習	TOEIC模擬試験の振り返り
15	事前学習	後期のまとめの単語・熟語学習
	授業内容	後期のまとめ：ペアやグループで実践的な演習を行う
	事後学習	後期のまとめの振り返り

科目名	TOEIC I B	担当者	山下 登子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	教科書やオンライン教材を使用し、TOEICの学力向上を目指す授業です。					
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台レベルに達することができるようにする。					
履修条件	TOEICテストを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）が義務付けられます。受験料とClassMATE教材費は自己負担です。（TOEICを2科目以上受講した場合は教材費がその分増えますのでご注意ください）					
授業方法	グループ活動を中心とした演習形式の授業です。毎回Online Training教材からの単語テストを行う。遅刻3回は1回分の欠席とし、欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、単語テスト、ClassMATEポイント、受講状況、単語ノート提出、授業内試験などを含めて総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	桐原書店		『Mastery Drills For the TOEIC L&R Test All in One [New Edition]（TOEIC L&R テスト マスタリードリル [全パート編]）』		早川 幸治
	備考					
参考書	英和辞書（電子辞書可）					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談などは、授業前後や休み時間に、教室、教員室またはe-mailにて対応します。 yamashita.takako1@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の準備、前期学習したところの確認など
	授業内容	ガイダンス・単語テストについて
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
2	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 7 電話での会話（学習Unitは変更する場合があります）
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
3	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 7 代名詞・関係代名詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
4	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 8 ラジオ放送・宣伝
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習

5	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 8 接続詞・前置詞
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
6	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 9 Yes/No 疑問文
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
7	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 9 ダブルパッセージ
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
8	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 10 オフィスでの会話
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
9	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 11 留守番電話
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
10	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 11 トリプルパッセージ
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
11	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 12 オフィスでの会話
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
12	事前学習	単語テストの準備、学習範囲の予習
	授業内容	単語テスト・Unit 13 時制・代名詞・語い問題
	事後学習	単語ノート作成、学習範囲の復習
13	事前学習	単語ノート提出の準備、学習範囲の予習
	授業内容	ノート提出・Unit 14 トーク・スピーチ・会議の一部
	事後学習	学習範囲の復習
14	事前学習	学習範囲の総復習
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など
15	事前学習	重要箇所や分からないところの確認など
	授業内容	まとめと見直し
	事後学習	重要箇所や分からないところの確認など

科目名	TOEIC I B	担当者	依田 悠介	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course students work on listening, grammar and reading practices to improve TOEIC score.			
授業目的・到達目標	The aims of this class is (i) to familiarize students with the TOEIC (R) test; and (ii) improve student TOEIC score to achieve 500 on TOEIC (R) test			
履修条件	学期内にTOEIC (R) を1回以上受験しClass-MATE (Online Training)をやっていただきます。(受験料及びClassMate教材費は自己負担)。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行なう。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEIC (R) スコア, 小テスト, Class-Mateポイント, 授業参加度を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	アスク	TOEIC L&Rテスト 文法問題 での1000問	TEX加藤
	備考			
参考書	provided in each class			
オフィスアワー	by appointment: yusuke.yoda@tyg.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read the syllabus
	授業内容	Guidance: Bring the copy of this syllabus and textbook
	事後学習	Planning your study
2	事前学習	Prep. for pre-test
	授業内容	Pre-test
	事後学習	Review your score
3	事前学習	Prep. of vocabulary: housing
	授業内容	Housing
	事後学習	Review the sounds used in housing
4	事前学習	Prep. of vocabulary: commuting
	授業内容	Commuting
	事後学習	Review the sounds of English

5	事前学習	Prep. of vocabulary: seminars and trainning
	授業内容	Seminars and Trainnig
	事後学習	Review the sounds of English
6	事前学習	Prep. of vocabulary: family
	授業内容	Family
	事後学習	Review the sounds of English
7	事前学習	Prep. of vocabulary: money
	授業内容	Money
	事後学習	Review the sounds of English
8	事前学習	Prep. of vocabulary: figures and results
	授業内容	Figures and Results
	事後学習	Review the sounds of English
9	事前学習	Prep. of vocabulary: traveling overseas
	授業内容	Traveling Overseas
	事後学習	Review the sounds of English
10	事前学習	Prep. of vocabulary: charity activities
	授業内容	Charity Activities
	事後学習	Review the sounds of English
11	事前学習	Prep. of vocabulary: negotiating
	授業内容	Negotiating
	事後学習	Review the sounds of English
12	事前学習	Vocabulary Review
	授業内容	Review-1
	事後学習	Review the sounds of English
13	事前学習	English sound review
	授業内容	Review 2
	事後学習	Review the sounds of English
14	事前学習	Prep. for post-test
	授業内容	Post-test Review
	事後学習	check your achievement
15	事前学習	plan your future study
	授業内容	Review-3
	事後学習	plan your future schedule to achieve your next goal.

科目名	TOEIC II A	担当者	石川 太郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICのような資格試験の授業は退屈なものになりがちです。ただ問題を解いて正解を得ることはもちろん大事ですが、それ以外にも日常生活に役立つ英語学習の一環としてTOEICの授業を考えています。つまり、読む・聞く以外にも書く・話す能力開発に役立つような授業にしたいと思います。また、ビジネス英語入門としての役割も視野に入れてTOEICの英語を頑張りましょう。					
授業目的・到達目標	初めてTOEICを受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEIC試験の内容、対策をパート別に解説し、TOEICの受験に必要な基礎力を身に付けます。TOEICを7500点台を目標にするクラスです。（TOEIC演習ⅠとⅡは同レベルです）前学期では、英語の聞き取りの力を、後学期では英文の読解力を向上させることを目標として授業を進めてゆきます。					
履修条件	年度内にTOEICを1回受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。					
授業方法	実践演習をして解説をします。必要に応じて補足の教材を配布します。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	abax		TOEIC Skills 2		Alastsir Graham-Marr
	備考					
参考書	特に指定はないが、必ず文法の参考書を1冊用意すること。高校時代に使用したもので十分です。					
オフィスアワー	初回の授業でメールアドレスを伝える。授業の前後、教員控室で。要予約（メールで）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前年度の授業の復習
	授業内容	ガイダンス（小テスト実施予定）
	事後学習	小テストの復習
2	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	TOEICテストの概要（実際に問題を解いてもらう）
	事後学習	授業の復習
3	事前学習	前2回の授業の復習
	授業内容	Unit 1: Companies and Organisations 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
4	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 1: Companies and Organizations 2: リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習

5	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 2: Work Routines 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
6	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 2: Work Routines 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
7	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 3: Travel and Entertainment 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
8	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 3: Travel and Entertainment 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
9	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 4: Human Resources 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
10	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 4: Human Resources 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
11	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 5: Manufacturing 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
12	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 5: Manufacturing 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
13	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 6: Office Technology 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
14	事前学習	前回までの授業内容の復習
	授業内容	これまでの授業中で扱いきれなかった項目を扱う集中授業
	事後学習	全体の復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	自己採点

科目名	TOEIC II A	担当者	井上 悦男	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC Listening & Reading テストの受験のための基礎力を養成する。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とする。500点の取得に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標とするクラスです。				
履修条件	TOEIC 1回受験と、Online Trainingが義務付けられます。受験料と教材費は自己負担です。(TOEIC演習を複数履修すると、教材費がその分増えます) 原則、II Bとともに通年で履修してください。				
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末試験(35%)、TOEICスコア(30%)、平常点(毎回の小テスト、発表)(30%)、ClassMATEポイント(5%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	国際ビジネスコミュニケーション協会		公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service
	備考				
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	質問はメールで受けつけます。inoue_etsuo4949@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	既習事項の確認
	授業内容	ガイダンス(問題構成など)、模擬問題での演習、関連事項の演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
2	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part2,Part5、関連事項の演習、音読練習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
3	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part2, 5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
4	事前学習	前回までの復習
	授業内容	サンプル問題(listening)、Part2, 5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習

5	事前学習	前回までの復習
	授業内容	サンプル問題(reading)、Part2, 5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
6	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part1, 2、Part5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
7	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part3、Part2
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
8	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part5(前半)、Test1 Part3の復習(この後適宜行う)
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
9	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part4、Test1 Part5(後半)
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
10	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part4の復習(この後適宜行う)、Test1 Part6
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
11	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part 2, 5、 Test1 Part6の復習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
12	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part2, 5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
13	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
14	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test1 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
15	事前学習	前回までの復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	確認

科目名	TOEIC II A	担当者	大住 有里子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC公式問題集を使い、TOEICに慣れ、文法的説明、オーバーラッピング、シャドウイングで英語力アップを図ります。語彙を増やすため、授業のウォーミングアップとして、『出る単』を読み上げ、毎授業繰り返しながら語彙数を増やしていきます。授業時間だけでは英語力をつけるには不十分。授業で紹介する勉強の仕方を参考に、自分で毎日英語の勉強を生活に組み込み、TOEICスコアアップを成し遂げましょう。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア前期で450以上を目指します。				
履修条件	TOEIC前期1回の受験と、Online Trainingが義務付けられます。受験料と教材費は自己負担です。(TOEIC演習を複数履修すると、教材費がその分増えます。)				
授業方法	授業前にテキストのTEST 1のその週に扱うPartを解いて臨むこと。授業内で解答、解説、発音、シャドウイングをします。Online Trainingが始まれば、その小テストを毎回実施。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	TOEICスコア（1回分）、小テスト、ClassMATEポイント、授業参加状況等を総合的に判断しますが、主たる判断材料はTOEICスコアです。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	IIBC		TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編	E. T. S
	2017	朝日出版		TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX加藤
	備考				
参考書	授業で紹介します：NHKラジオ講座、Penguin Readers, Macmillan Readers, Oxford Readers				
オフィスアワー	授業の時間内、前後に質問にお答えします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	NHKラジオ講座を聞き、自分に合った講座を見つける。
	授業内容	授業の説明
	事後学習	テキストを購入し予習
2	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 TEST 1 Part 1 &Part 5
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 TEST 1 Part 1 &Part 5
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 TEST 1 Part 1 &Part 5
3	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 Part 2 & Part5 & 7
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 Part 2 & Part5 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 Part 2 & Part5 & 7
4	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 Part 2 & Part5 & 7
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 Part 2 & Part5 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル TOEIC公式問題集 Part 2 & Part5 & 7

5	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル Online Training: Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル Online Training: Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル Online Training: Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
6	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
7	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
8	事前学習	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル Class Mate TOEIC公式問題集 Part 3 & Part 6 & 7
9	事前学習	出る単 パート1重要語100 Class Mate TOEIC公式問題集 Part 4 & Part 7
	授業内容	出る単 パート1重要語100 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part 4 & Part 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 Class Mate TOEIC公式問題集 Part 4 & Part 7
10	事前学習	出る単 パート1重要語100 Class Mate TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	授業内容	出る単 パート1重要語100 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 Class Mate TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
11	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 パート1重要語100 小テスト TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
12	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 パート1重要語100 TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST1総復習
13	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST1総復習
14	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 パート1重要語100 TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST1総復習

15	事前学習	今までの総復習
	授業内容	出る単 パート1重要語100 TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST1総復習

科目名	TOEIC II A	担当者	佐藤 明子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	就職の際によく使われるTOEIC Listening & Reading Test の基礎力を身に着けます。					
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。ListeningとReadingの基礎力を身に着け、TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	テキストの課題を使って、実践演習をします。毎回単語テスト等の小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		Cengage Learning ELT		First Time Trainer for the TOEIC® TEST, Revised Edition (ISBN: 978-4-86312-293-2)		Chizuko Tsumatori, Masumi Tahira
	備考	授業中に指示します。				
参考書	授業に辞書を持ってくること。電子辞書はOKですが、スマートフォンやタブレットなどインターネットの使える機器を使用するのは認めていません。					
オフィス アワー	水曜日 16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特にありません。
	授業内容	ガイダンス。必ず出席すること。
	事後学習	特にありません。
2	事前学習	TOEICについてどのようなものかサイトで事前にチェックしましょう。
	授業内容	席替え、グループ作成。TOEICテストの概要について説明。Pre-testの実施。
	事後学習	Pre-testの復習をする。
3	事前学習	Unit 1 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 1 Shopping Listening
	事後学習	Unit 1 復習 Listening
4	事前学習	Unit 1 Dictation練習など
	授業内容	Unit 1 Shopping Reading
	事後学習	Unit 1 復習 Reading

5	事前学習	Unit 2 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 2 Daily Life Listening
	事後学習	Unit 2 復習 Listening
6	事前学習	Unit 2 Dictation練習など
	授業内容	Unit 2 Daily Life Reading
	事後学習	Unit 2 Daily Life Reading
7	事前学習	Unit 3 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 3 Transportation Listening
	事後学習	Unit 3 復習 Listening
8	事前学習	Unit 3 Dictation練習など
	授業内容	Unit 3 Transportation Reading
	事後学習	Unit 3 復習 Reading
9	事前学習	Unit 4 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 4 Jobs Listening
	事後学習	Unit 4 復習 Listening
10	事前学習	Unit 4 Dictation練習など
	授業内容	Unit 4 Jobs Reading
	事後学習	Unit 4 復習 Reading
11	事前学習	Unit 5 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 5 Meals Listening
	事後学習	Unit 5 復習 Listening
12	事前学習	Unit 5 Dictation練習など
	授業内容	Unit 5 Meals Reading
	事後学習	Unit 5 復習 Reading
13	事前学習	Unit 6 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 6 Communication Listening
	事後学習	Unit 6 復習 Listening
14	事前学習	Unit 6 Dictation練習など
	授業内容	Unit 6 Communication Reading
	事後学習	Unit 6 Communication Reading
15	事前学習	前期の復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期の復習

科目名	TOEIC II A	担当者	高城 えり子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際化時代かつ情報化時代において必要とされる幅広い英語力や英語コミュニケーション能力を養います。メディア、ビジネス場面などの実用的な生きた英語を学びながら、就職に活用できるようにTOEICのスコアアップを目指します。				
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。				
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやって頂きます。（受験料とClass MATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には、教材費がその分増えますのでご注意ください。				
授業方法	実践演習をして解説をする。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末の最終授業時にそれまでやった教科書の範囲のテストを行う。（60％）TOEICスコア、ClassMATEスコア、単語のテスト、（40％）などで総合評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	成美堂		Perfect Practice For The TOEIC L&R Test (Revised Edition)	石井隆之 山口
	備考				
参考書	英和辞書				
オフィスアワー	授業に関する質問、相談などは毎回配る” My Record”の質問欄またはE-mail にて対応します。授業内にメールアドレスを伝える。前もってアポイントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEICの予備知識
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書購入
2	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit1 Studying Abroad
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
3	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit1 Studying Abroad
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
4	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit2 International Conference
	事後学習	音読をする。（特にPart3）

5	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit2 International Conference
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
6	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit3 Holiday
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
7	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit3 Holiday
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
8	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit4 Leisure
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
9	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit4 Leisure
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
10	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit5 Restaurant
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
11	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit5 Restaurant
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
12	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit6 Online Shopping
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
13	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit6 Online Shopping
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
14	事前学習	Unit1～Unit6までに理解できないことをチェックする。
	授業内容	Unit1～Unit6までの復習
	事後学習	総復習
15	事前学習	小テストなどの復習
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	個人学習

科目名	TOEIC II A	担当者	高坂 映子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC受験に必要な基礎力を身につける 詳細は初回授業時に説明するので必ず出席すること。					
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。 TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験しClassMATE（Online Training）をやって頂きます。受験料とClassMATE教材費は自己負担。TOEIC2科目以上の受講は教材費がその分増えるのでご注意ください。					
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別実践演習し、解説します。毎回小テストを行います。 下記の授業内容は実際の授業状況に応じて変更する場合があります。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加状況、ClassMATEポイント、小テスト、TOEICスコア、まとめ試験等による総合評価。遅刻3回で欠席1回とし、2/3以上の出席者が評価対象です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	成美堂		ALL-POWERFUL STEPS FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST		石井 隆之 他
	備考					
参考書	英和辞書					
オフィスアワー	授業に関する質問は授業終了後に教室にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す
	授業内容	ガイダンス等
	事後学習	第1回授業時に指示する
2	事前学習	第1回授業時に指示する
	授業内容	Unit 1: Airport (Listening Section) Part 1 & Part 2
	事後学習	Unit 1: Airport (Listening Section) Part 1 & Part 2の復習
3	事前学習	Unit 1: Airport (Listening Section) Part 1 & Part 2の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 1: Airport (Listening Section) Part 3 & Part 4 / 小テスト
	事後学習	Unit 1: Airport (Listening Section) Part 3 & Part 4の復習
4	事前学習	Unit 1: Airport (Listening Section) Part 3 & Part 4の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 1: Airport (Reading Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 1: Airport (Reading Section)の復習

5	事前学習	Unit 1: Airport (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 2: Train Station (Listening Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 2: Train Station (Listening Section)の復習
6	事前学習	Unit 2: Train Station (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 2: Train Station (Reading Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 2: Train Station (Reading Section)の復習
7	事前学習	Unit 2: Train Station (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 3: Department Store (Listening Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 3: Department Store (Listening Section)の復習
8	事前学習	Unit 3: Department Store (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 3: Department Store (Reading Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 3: Department Store (Reading Section) の復習
9	事前学習	Unit 3: Department Store (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 4: Restaurant (Listening Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 4: Restaurant (Listening Section)の復習
10	事前学習	Unit 4: Restaurant (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 4: Restaurant (Reading Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 4: Restaurant (Reading Section)の復習
11	事前学習	Unit 4: Restaurant (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 5: Hotel (Listening Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 5: Hotel (Listening Section)の復習
12	事前学習	Unit 5: Hotel (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 5: Hotel (Reading Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 5: Hotel (Reading Section)の復習
13	事前学習	Unit 5: Hotel (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 6: Hospital (1)/ 小テスト
	事後学習	Unit 6: Hospital (1)の復習
14	事前学習	Unit 1 からUnit 6 (1)までの授業内容の復習
	授業内容	前期授業のまとめ等
	事後学習	第14回の授業時に指示する
15	事前学習	第14回の授業時に指示する
	授業内容	まとめ等
	事後学習	第15回の授業時に指示する

科目名	TOEIC II A	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策として基礎項目の復習と演習を行います。			
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。テストの内容、対策をパート別に解説し、TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。質問の回答時には、理由を尋ねながら巡回します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、レポート、ClassMATEポイント等を総合的に判断します
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	金星堂	FULL GEAR FOR THE TOEIC® L&R TEST ポイントで強化するTOEIC® L&Rテスト対策	Mark D. Stafford
	2016	アルク	新装版 TOEIC(R)テスト スーパー英単語	ロバート・ヒルキ、小石裕子
	備考			
参考書	英和辞典			
オフィスアワー	電子メールにより質問、相談を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの目次の確認と音声習得をする
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	音声の確認
2	事前学習	Unit 1:Events Part1.2の予習
	授業内容	Unit1 Part1.2 の演習と解説
	事後学習	Unit 1 Part1.2の復習
3	事前学習	単語1-50、Unit 1:Events Part3.4の予習
	授業内容	小テスト1、Unit 1:Events演習と解説
	事後学習	Unit 1 Part3.4の復習
4	事前学習	単語51-100、Unit 2:Eating Out Part1.2の予習
	授業内容	小テスト2、Unit 2:Eating Out演習と解説
	事後学習	Unit 2 Part1.2の復習

5	事前学習	単語101-150、Unit 2:Eating Out Part3.4の予習
	授業内容	小テスト3、Unit 2:Eating Out演習と解説
	事後学習	Unit 2 Part3.4の復習
6	事前学習	単語151-200、Unit 3:Shopping Part1.2の予習
	授業内容	小テスト4、Unit 3:Shopping演習と解説
	事後学習	Unit 3 Part1.2の復習
7	事前学習	単語201-250、Unit 3:Shopping Part3.4の予習
	授業内容	小テスト5、Unit 3:Shopping演習と解説
	事後学習	Unit 3 Part3.4の復習
8	事前学習	単語251-300、Unit 4:Office Part1.2の予習
	授業内容	小テスト6、Unit 4:Office演習と解説
	事後学習	Unit 4 Part1.2の復習
9	事前学習	単語301-350、Unit 4:Office Part3.4の予習
	授業内容	小テスト7、Unit 4:Office演習と解説
	事後学習	Unit 4 Part3.4の復習
10	事前学習	単語351-400、Unit 5:Housing Part1.2の予習
	授業内容	小テスト8、Unit 5:Housing演習と解説
	事後学習	Unit 5 Part1.2の復習
11	事前学習	単語401-450、Unit 5:Housing Part3.4の予習
	授業内容	小テスト9、Unit 5:Housing演習と解説
	事後学習	Unit 5 Part3.4の復習
12	事前学習	Unit 6:Community Part1.2の予習
	授業内容	Unit 6:Community演習と解説
	事後学習	Unit 6 Part1.2の復習
13	事前学習	単語小テストとUnit1-6の確認
	授業内容	授業のまとめ（レポート提出）
	事後学習	配布プリントの復習
14	事前学習	英語圏の思考形式に関する調査
	授業内容	英語圏の思考形式とディクテーション
	事後学習	英語圏と日本での人々の思考形式の相違を確認
15	事前学習	単語451-550
	授業内容	小テスト10、TOEIC演習のまとめ
	事後学習	TOEIC形式の確認

科目名	TOEIC II A	担当者	町田 純子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	2016年5月から変更の新TOEICの出題問題の傾向を探り慣れることで、戦略的に又実践的に、リーディングとリスニングの英語運用能力（Communicative Competence）を習得します。又同時に最低限の基礎文法知識の確認と定着や、語彙力増強、頻出会話表現を身につけることで、日常生活やビジネス現場で必要とされる基礎的な英語力をブラッシュアップできます。			
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。 TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	L（Part, 2, 3, 4）R（Part5, 6, 7）問題形式テキストに沿い基礎文法、速読力、読解力、語彙力強化を図り、音声の基礎知識を整理しつつ話し言葉に慣れ、基礎からTOEIC範囲の単語熟語力テストを行います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
		センゲージラーニング	『LEVEL-UP TRAINER for THE TOEIC TEST』（改訂版）	Ayako Yokogawa他
		南雲堂	『Word Builder』	
	備考			
参考書	英和辞書は必携です。			
オフィスアワー	授業に関する質問やご相談等は、授業終了後又は前もってE-mailにて対応させていただきます。 machida.junko11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス内容を確認の上、授業に臨み、授業計画を確認する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	13回実施予定の英単熟語確認テストの準備として、初回講義前にテキストを購入してテストに備る。
2	事前学習	13回実施予定の英単熟語確認テストの準備をする。
	授業内容	Preliminary Lesson（Mini- Test）
	事後学習	Preliminary Lesson（Mini- Test）の復習をする。 13回実施予定の英単熟語確認テストの準備をする。
3	事前学習	Unit 1TOEICを知る 語彙テスト1の準備をする。
	授業内容	Unit 1TOEICを知る 語彙テスト1
	事後学習	Unit 1TOEICを知る 語彙テスト1の復習をする。
4	事前学習	リスニングPart1, 2, 3, 4の速聴基礎プリント 語彙テスト2の準備をする。
	授業内容	リスニングPart1, 2, 3, 4の速聴基礎プリント 語彙テスト2
	事後学習	リスニングPart1, 2, 3, 4の速聴基礎プリント 語彙テスト2の復習をする。

5	事前学習	Unit2基本戦略1 語彙テスト3の準備をする。
	授業内容	Unit2基本戦略1 語彙テスト3
	事後学習	Unit2基本戦略1 語彙テスト3の復習をする。
6	事前学習	文法Part5 プリント CM、語彙テスト4の準備をする。
	授業内容	文法Part5 プリント CM、語彙テスト4
	事後学習	文法Part5 プリント CM、語彙テスト4の復習をする。
7	事前学習	Unit 3 基本戦略2 CM、語彙テスト5の準備をする。
	授業内容	Unit 3 基本戦略2 CM、語彙テスト5
	事後学習	Unit 3 基本戦略2 CM、語彙テスト5の復習をする。
8	事前学習	リスニング攻略 CM、語彙テスト6の準備をする。
	授業内容	リスニング攻略 CM、語彙テスト6
	事後学習	リスニング攻略 CM、語彙テスト6の復習をする。
9	事前学習	Unit4英文の基本構造を見抜く CM、語彙テスト7の準備をする。
	授業内容	Unit4英文の基本構造を見抜く CM、語彙テスト7
	事後学習	Unit4英文の基本構造を見抜く CM、語彙テスト7の復習をする。
10	事前学習	読解Part6, 7の速読攻略 CM、語彙テスト8の準備をする。
	授業内容	読解Part6, 7の速読攻略 CM、語彙テスト8
	事後学習	読解Part6, 7の速読攻略 CM、語彙テスト8の復習をする。
11	事前学習	Unit 5解答根拠の登場順 CM、語彙テスト9の準備をする。
	授業内容	CM、Unit 5解答根拠の登場順 CM、語彙テスト9
	事後学習	Unit 5解答根拠の登場順 CM、語彙テスト9の復習をする。
12	事前学習	リーディング攻略 CM、語彙テスト10の準備をする。
	授業内容	リーディング攻略 CM、語彙テスト10
	事後学習	リーディング攻略 CM、語彙テスト10の復習をする。
13	事前学習	Unit6 正解の言い換えパターン 語彙テスト11の準備をする。
	授業内容	Unit6 正解の言い換えパターン 語彙テスト11
	事後学習	Unit6 正解の言い換えパターン 語彙テスト11の復習をする。
14	事前学習	Unit7 機能疑問文を聞き取る 語彙テスト12の準備をする。
	授業内容	Unit7 機能疑問文を聞き取る 語彙テスト12
	事後学習	Unit7 機能疑問文を聞き取る 語彙テスト12の復習をする。
15	事前学習	Unit1~Unit7までの復習をする。
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	前期授業のまとめの復習をする。

科目名	TOEIC II B	担当者	石川 太郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICのような資格試験の授業は退屈なものになりがちです。ただ問題を解いて正解を得ることはもちろん大事ですが、それ以外にも日常生活に役立つ英語学習の一環としてTOEICの授業を考えています。つまり、読む・聞く以外にも書く・話す能力開発に役立つような授業にしたいと思います。また、ビジネス英語入門としての役割も視野に入れてTOEICの英語を頑張りましょう。			
授業目的・到達目標	初めてTOEICを受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEIC試験の内容、対策をパート別に解説し、TOEICの受験に必要な基礎力を身に付けます。TOEICを7500点台を目標にするクラスです。（TOEIC演習ⅠとⅡは同レベルです）前学期では、英語の聞き取りの力を、後学期では英文の読解力を向上させることを目標として授業を進めてゆきます。			
履修条件	年度内にTOEICを1回受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。			
授業方法	実践演習をして解説をします。必要に応じて補足の教材を配布します。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、等を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	abax	TOEIC Skills 2	Alastsir Graham-Marr
	備考			
参考書	特に指定はないが、必ず文法の参考書を1冊用意すること。高校時代に使用したもので十分です。			
オフィスアワー	初回の授業でメールアドレスを伝える。授業の前後、教員控室で。要予約（メールで）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期授業の復習
	授業内容	前期授業の確認と復習
	事後学習	授業の復習
2	事前学習	Unit 6の予習
	授業内容	Unit 6: Office Technology 2:リーディングセッション
	事後学習	単語、熟語の復習
3	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 7: Purchasing 1:リスニングセッション
	事後学習	単語、熟語の復習
4	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 7: Purchasing 2:リーディングセッション
	事後学習	単語、熟語の復習

5	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 8: Health Care 1: リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
6	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 8: Health Care 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
7	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 9: Housing and Property 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
8	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 9: Housing and Property 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
9	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 10: Banking and Finance 1:リスニングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
10	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Unit 10: Banking and Finance 2:リーディングセクション
	事後学習	単語、熟語の復習
11	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Test演習1（リスニングセクション中心）
	事後学習	単語、熟語の復習
12	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Test演習2（リーディング中心）
	事後学習	単語、熟語の復習
13	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	Test演習3（文法項目中心）
	事後学習	文法事項の復習
14	事前学習	前回授業の復習
	授業内容	3回の演習及び授業で扱いきれなかった項目を扱う
	事後学習	単語、熟語、文法の復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	自己採点

科目名	TOEIC II B	担当者	井上 悦男	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC Listening & Reading テストの受験のための基礎力を養成する。				
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とする。500点の取得に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標とするクラスです。				
履修条件	TOEIC 1回受験と、Online Trainingが義務付けられます。受験料と教材費は自己負担です。(TOEIC演習を複数履修すると、教材費がその分増えます) 原則、IIAとともに通年で履修してください。				
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末試験(35%)、TOEICスコア(30%)、平常点(毎回の小テスト、発表)(30%)、ClassMATEポイント(5%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	国際ビジネスコミュニケーション協会		公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service
	備考				
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	質問はメールで受けつけます。inoue_etsuo4949@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	既習事項の確認
	授業内容	ガイダンス(問題構成など)、模擬問題での演習、関連事項の演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
2	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part1, 2、Part5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
3	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part3、Part5、Test2 Part2の復習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
4	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part4、Test2 Part3の復習(この後適宜行う)
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習

5	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part4の復習(この後適宜行う)、Test2 Part5(前半)
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
6	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part5(後半)、Part6
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
7	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part6の復習、Part5
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
8	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
9	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
10	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Test2 Part7
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
11	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part3、リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
12	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part3の復習、リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
13	事前学習	前回までの復習
	授業内容	Part3の復習、リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
14	事前学習	前回までの復習
	授業内容	リーディングセクションの全般的な演習
	事後学習	語彙の確認、文法事項の確認、音読練習
15	事前学習	前回までの復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	確認

科目名	TOEIC II B	担当者	大住 有里子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC公式問題集を使い、TOEICに慣れ、文法的説明、オーバーラッピング、シャドウイングで英語力アップを図ります。語彙を増やすため、授業のウォーミングアップとして、『出る単』を読み上げ、毎授業繰り返しながら語彙数を増やしていきます。授業時間だけでは英語力をつけるには不十分。授業で紹介する勉強の仕方を参考に、自分で毎日英語の勉強を生活の中に組み込み、TOEICスコアアップをすることを努めて下さい。					
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500以上を目指します。					
履修条件	TOEIC後期1回の受験と、Online Trainingが義務付けられます。受験料と教材費は自己負担です。(TOEIC演習を複数履修すると、教材費がその分増えます。)					
授業方法	授業前にテキストのTEST 2の問題を解いて教室において下さい。授業内で解答の解説、発音、シャドウイングをします。Online Trainingが始まれば、その小テストを毎回実施。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア（1回分）、小テスト、ClassMATEポイント、授業参加状況等を総合的に判断しますが、主たる判断材料はTOEICスコアです。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	IIBC		TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編		E. T. S
	2017	朝日出版		TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ		TEX加藤
	備考					
参考書	NHKラジオ講座 Penguin Readers、Macmillan Readers、Oxford Graded Readers					
オフィスアワー	授業の時間内又は前後に質問にお答えします。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	出る単 前期の箇所 助走の400語&パート1重要語100語
	授業内容	出る単 前期の箇所の復讐 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 TEST 2 Part1&5
	事後学習	出る単 前期の箇所の復讐 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 TEST 2 Part1&5
2	事前学習	出る単 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 TEST 2 Part 2 &Part 5
	授業内容	出る単 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 TEST 2 Part 2 &Part 5
	事後学習	出る単 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 TEST 2 Part 2 &Part 5
3	事前学習	出る単 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 Part 2 & Part 5 & 7
	授業内容	出る単 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 Part 2 & Part 5 & 7
	事後学習	出る単 助走の400語からパート1重要語100、更に加速の300語 TOEIC公式問題集 Part 2 & Part 5 & 7
4	事前学習	出る単 加速の300語 TOEIC公式問題集 Part 2 & Part 5 & 7
	授業内容	出る単 加速の300語 TOEIC公式問題集 Part 2 & Part 5 & 7
	事後学習	出る単 加速の300語 TOEIC公式問題集 Part 2 & Part 5 & 7

5	事前学習	出る単 加速の300語 Online Training: Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	授業内容	出る単 加速の300語 Online Training: Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	事後学習	出る単 加速の300語 Online Training: Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
6	事前学習	出る単 加速の300語 部署・職業名 Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	授業内容	出る単 加速の300語 部署・職業名 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	事後学習	出る単 加速の300語 部署・職業名 Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
7	事前学習	出る単 飛躍の200語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	授業内容	出る単 飛躍の200語 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	事後学習	出る単 飛躍の200語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
8	事前学習	出る単 飛躍の200語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	授業内容	出る単 飛躍の200語 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
	事後学習	出る単 飛躍の200語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part3 & Part6 & 7
9	事前学習	出る単 飛躍の200語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part4 & Part7
	授業内容	出る単 飛躍の200語 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part4 & Part7
	事後学習	TOEICを意識して 出る単を初めから総復習 助走400語&パート1 100語 & 加速の300語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part4 & Part7
10	事前学習	出る単 飛躍の200語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part4&7
	授業内容	出る単 飛躍の200語 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part4&7
	事後学習	出る単 助走400語 & パート1重要語100 & 加速の300語 Class Mate TOEIC公式問題集 Part4&7
11	事前学習	TOEIC受験に向けて今までの総復習 Class Mate
	授業内容	出る単 多義語 Class Mate 小テスト TOEIC公式問題集 Part4&7
	事後学習	出る単 助走400語 & パート1重要語100 & 加速の300語 授業で進んだ箇所の復習
12	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 多義語 TOEIC公式問題集 Part4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST2総復習
13	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 助走400語から多義語まで TOEIC公式問題集 Part4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST2総復習
14	事前学習	授業で進む箇所の予習とTOEIC受験に向けて今までの総復習
	授業内容	出る単 助走400語から多義語まで TOEIC公式問題集 Part4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 600点レベル & パート1重要語100 TOEIC公式問題集TEST2総復習

15	事前学習	今までの総復習
	授業内容	出る単 助走400語から多義語まで TOEIC公式問題集 Part 4 & 7
	事後学習	出る単 助走400語 から 多義語まで TOEIC公式問題集TEST2総復習

科目名	TOEIC II B	担当者	佐藤 明子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	就職の際によく使われるTOEIC Listening & Reading Test の基礎力を身に着けます。					
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。ListeningとReadingの基礎力を身に着け、TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE (Online Training) をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	テキストの課題を使って、実践演習をします。毎回単語テスト等の小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント、等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		Cengage Learning ELT		First Time Trainer for the TOEIC® TEST, Revised Edition (ISBN: 978-4-86312-293-2)		Chizuko Tsumatori, Masumi Tahira
	備考	テキストは前期の続きからになります。				
参考書	授業に辞書を持ってくること。電子辞書はOKですが、スマートフォンやタブレットなどインターネットの使える機器を使用するのは認めていません。					
オフィス アワー	水曜日 16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特にありません。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	特にありません。
2	事前学習	Unit 7 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 7 Fun Listening
	事後学習	Unit 7 復習 Listening
3	事前学習	Unit 7 復習 Listening
	授業内容	Unit 7 Fun reading
	事後学習	Unit 7 復習 Reading
4	事前学習	Unit 8 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 8 Office Work Listening
	事後学習	Unit 8 復習 Listening

5	事前学習	Unit 8 Dictation練習など
	授業内容	Unit 8 Office Work Reading
	事後学習	Unit 8 復習 Reading
6	事前学習	Unit 9 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 9 Meeting Listening
	事後学習	Unit 9 復習 Listening
7	事前学習	Unit 9 Dictation練習など
	授業内容	Unit 9 Meeting Reading
	事後学習	Unit 9 復習 Reading
8	事前学習	Unit 10 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 10 Travel Listening
	事後学習	Unit 10 復習 Listening
9	事前学習	Unit 10 Dictation練習など
	授業内容	Unit 10 Travel reading
	事後学習	Unit 10 復習 Reading
10	事前学習	Unit 11 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 11 Finance Listening
	事後学習	Unit 11 復習 Listening
11	事前学習	Unit 11 Dictation練習など
	授業内容	Unit 11 Finance Reading
	事後学習	Unit 11 復習 Reading
12	事前学習	Unit 12 予習 Listening/Reading
	授業内容	Unit 12 Business Listening
	事後学習	Unit 12 復習 Listening
13	事前学習	Unit 12 Dictation練習など
	授業内容	Unit 12 Business Reading
	事後学習	Unit 12 復習 Reading
14	事前学習	後期の復習
	授業内容	後期のまとめ、Post-test。
	事後学習	Post-testの復習
15	事前学習	前期・後期総復習
	授業内容	前期・後期のまとめ
	事後学習	前期・後期総復習

科目名	TOEIC II B	担当者	高城 えり子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際化時代かつ情報化時代において必要とされる幅広い英語力や英語コミュニケーション能力を養います。メディア、ビジネス場面などの実用的な生きた英語を学びながら、就職に活用できるようにTOEICのスコアアップを目指します。				
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。				
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやって頂きます。（受験料とClass MATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には、教材費がその分増えますのでご注意ください。				
授業方法	実践演習をして解説をする。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末の最終授業時にそれまでやった教科書の範囲のテストを行う。（60％）TOEICスコア、Class MATEスコア、単語のテスト、（40％）などで総合評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	成美堂		Perfect Practice For The TOEIC L&R Test (Revised Edition)	石井隆之
	備考				
参考書	英和辞書				
オフィスアワー	授業に関する質問、相談などは毎回配る” My Record”の質問欄またはE-mail にて対応します。授業内にメールアドレスを伝える。前もってアポイントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit7 Global Warming
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
2	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit7 Global Warming
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
3	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit8 Website
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
4	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit8 Website
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。

5	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit9 Workplace
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
6	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit9 Workplace
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
7	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit10 Nursing Care
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
8	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit10 Nursing Care
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
9	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit11 Global Trading
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
10	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit11 Global Trading
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
11	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit12 Eco-Friendly Economyy
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
12	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit12 Eco-Friendly Economyy
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
13	事前学習	Part1～Part4のCDを聞く。
	授業内容	演習と解説 Unit13 Business Trip
	事後学習	音読をする。（特にPart3）
14	事前学習	Part5～Part7の予習をする。
	授業内容	演習と解説 Unit13 Business Trip
	事後学習	Partt5～Part7の復習をする。
15	事前学習	小テストなどの復習
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	個人学習

科目名	TOEIC II B	担当者	高坂 映子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICの受験に必要な基礎力を身につける。 詳細は初回授業時に説明するので必ず出席すること。			
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。 TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験しClassMATE（Online Training）をやって頂きます。受験料とClassMATE教材費は自己負担。TOEIC2科目以上の受講は教材費がその分増えるのでご注意ください。			
授業方法	TOEICの内容、対策をパート別に実践演習し、解説します。毎回小テストを行います。 下記の授業内容は実際の授業状況に応じて変更する場合があります。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参加状況、ClassMATEポイント、小テスト、TOEICスコア、まとめ試験等による総合評価。遅刻3回で欠席1回とし、2/3以上の出席者が評価対象です。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	成美堂	ALL-POWERFUL STEPS FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST	石井 隆之 他
	備考			
参考書	英和辞書			
オフィスアワー	授業に関する質問は授業終了後に教室にて対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す
	授業内容	ガイダンス等 / Unit 6: Hospital (2)
	事後学習	Unit 6: Hospital (2)の復習
2	事前学習	Unit 6: Hospital (2)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 7: Bank (Listening Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 7: Bank (Listening Section)の復習
3	事前学習	Unit 7: Bank (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 7: Bank (Reading Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 7: Bank (Reading Section)の復習
4	事前学習	Unit 7: Bank (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 8: Workplace (Listening Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 8: Workplace (Listening Section)の復習

5	事前学習	Unit 8: Workplace (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 8: Workplace (Reading Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 8: Workplace (Reading Section)の復習
6	事前学習	Unit 8: Workplace (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 9: Fitness Club (Listening Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 9: Fitness Club (Listening Section)の復習
7	事前学習	Unit 9: Fitness Club (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 9: Fitness Club (Reading Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 9: Fitness Club (Reading Section)の復習
8	事前学習	Unit 9: Fitness Club (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 10: Sightseeing (Listening Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 10: Sightseeing (Listening Section)の復習
9	事前学習	Unit 10: Sightseeing (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 10: Sightseeing (Reading Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 10: Sightseeing (Reading Section)の復習
10	事前学習	Unit 10: Sightseeing (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 11: International Conference (Listening Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 11: International Conference (Listening Section)の復習
11	事前学習	Unit 11: International Conference (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 11: International Conference (Reading Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 11: International Conference (Reading Section)の復習
12	事前学習	Unit 11: International Conference (Reading Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 12: Computer Society (Listening Section) / 小テスト
	事後学習	Unit 12: Computer Society (Listening Section)の復習
13	事前学習	Unit 12: Computer Society (Listening Section)の復習と小テスト準備
	授業内容	Unit 12: Computer Society (Reading Section)/ 小テスト
	事後学習	Unit 12: Computer Society (Reading Section)の復習
14	事前学習	Unit 6 (2)からUnit 12 までの授業内容の復習
	授業内容	後期授業のまとめ等
	事後学習	第14回授業時に指示する
15	事前学習	第14回授業時に指示する
	授業内容	まとめ等
	事後学習	第15回授業時に指示する

科目名	TOEIC II B	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策として基礎項目の復習と演習を行います。					
授業目的・到達目標	TOEICを初めて受験する学生、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。テストの内容、対策をパート別に解説し、TOEICの受験に必要な基礎力を身につけます。TOEICスコア500点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。質問の回答時には、理由を尋ねながら巡回します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、レポート、ClassMATEポイント等を総合的に判断します	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	金星堂		FULL GEAR FOR THE TOEIC® L&R TEST ポイントで強化するTOEIC® L&Rテスト対策		Mark D.Stafford
	2016	アルク		新装版 TOEIC(R)テスト スーパー英単語		ロバート・ヒルキ、小石裕子
	備考					
参考書	英和辞典					
オフィスアワー	電子メールにより質問、相談を受け付けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各パートの対策の復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	パートごとの対策方法を確認
2	事前学習	Unit 8:Personnel Part1.2の予習
	授業内容	Unit 8 Part1.2の演習と解説
	事後学習	Unit 8 Part1.2の復習
3	事前学習	単語501-550、Unit 8:Personnel Part3.4の予習
	授業内容	小テスト1、Unit 8:Personnel演習と解説
	事後学習	Unit 8 Part3.4の復習
4	事前学習	単語551-600、Unit 9:Meetings and Workshops Part1.2の予習
	授業内容	小テスト2、Unit 9:Meetings and Workshops演習と解説
	事後学習	Unit 9 Part1.2の復習

5	事前学習	単語601-650、Unit 9:Meetings and Workshops Part3.4の予習
	授業内容	小テスト3、Unit 9:Meetings and Workshops演習と解説
	事後学習	Unit 9 Part3.4の復習
6	事前学習	単語651-700、Unit 10:Transaction and Finance Part1.2の予習
	授業内容	小テスト4、Unit 10:Transaction and Finance演習と解説
	事後学習	Unit 10 Part1.2の復習
7	事前学習	単語701-750、Unit 10:Transaction and Finance Part3.4の予習
	授業内容	小テスト5、Unit 10:Transaction and Finance演習と解説
	事後学習	Unit 10 Part3.4の復習
8	事前学習	単語751-800、Unit 11:Travel Part1.2の予習
	授業内容	小テスト6、Unit 11:Travel演習と解説
	事後学習	Unit 11 Part1.2の復習
9	事前学習	単語801-850、Unit 11:Travel Part3.4の予習
	授業内容	小テスト7、Unit 11:Travel演習と解説
	事後学習	Unit 11 Part3.4の復習
10	事前学習	単語851-900、Unit 12:Health Part1.2の予習
	授業内容	小テスト8、Unit 12:Health演習と解説
	事後学習	Unit 12 Part1.2の復習
11	事前学習	単語901-950、Unit 12:Health Part3.4の予習
	授業内容	小テスト9、Unit 12:Health演習と解説
	事後学習	Unit 12 Part3.4の復習
12	事前学習	Unit 13:Letter and Email Part1.2の予習
	授業内容	Unit 13:Letter and Email演習と解説
	事後学習	Unit 13 Part1.2の復習
13	事前学習	単語小テストとUnit8-13の確認
	授業内容	授業のまとめ（レポート提出）
	事後学習	配布プリントの復習
14	事前学習	英語圏の思考形式に関する調査
	授業内容	英語圏の思考形式とディクテーション(2)
	事後学習	英語圏と日本での人々の思考形式の相違を確認
15	事前学習	単語951 - 1005
	授業内容	小テスト10、TOEIC演習のまとめ
	事後学習	TOEICセッション毎の確認

科目名	TOEIC II B	担当者	町田 純子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	2016年5月から変更の新TOEICの出題問題の傾向を探り慣れることで、戦略的に又実践的に、リーディングとリスニングの英語運用能力（Communicative Competence）を習得します。又同時に最低限の基礎文法知識の確認と定着や、語彙力増強、頻出会話表現を身につけることで、日常生活やビジネス現場で必要とされる基礎的な英語力をブラッシュアップできます。					
授業目的・到達目標	TOEIC初心者、または450点未満のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICスコア500点以上を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	L（Part, 2, 3, 4）R（Part5, 6, 7）問題形式テキストに沿い基礎文法、速読力、読解力、語彙力強化を図り、音声の基礎知識を整理しつつ話し言葉に慣れ、基礎からTOEIC範囲の単語熟語力テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		セングージラーニング		『LEVEL-UP TRAINER for THE TOEIC TEST』（改訂版）		Ayako Yokogawa他
		南雲堂		『Word Builder』		
	備考					
参考書	英和辞書は必携です。					
オフィスアワー	授業に関する質問やご相談等は、授業終了後又は前もってE-mailにて対応させていただきます。 machida.junko11@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス内容を確認の上授業に臨む。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	語彙実力テストの準備をする。
2	事前学習	語彙実力テストの準備をする。
	授業内容	レベルチェックテストと 解説 語彙実力テスト
	事後学習	レベルチェックテストの復習をする。
3	事前学習	Unit 8動詞の時制を見極めるの準備をする。
	授業内容	Unit 8動詞の時制を見極める
	事後学習	Unit 8の復習をする。
4	事前学習	Unit9 接続詞v.s. 前置詞CM、Unit11 接続副詞に強くなるの準備をする。
	授業内容	Unit9 接続詞v.s. 前置詞
	事後学習	Unit9 の復習をする。

5	事前学習	Unit 10 ダブルパッセージの攻略の準備をする。
	授業内容	Unit 10 ダブルパッセージの攻略
	事後学習	Unit 10 の復習をする。
6	事前学習	CM、Unit11Unit 10 ダブルパッセージの攻略の準備をする。
	授業内容	CM、Unit11 接続副詞に強くなる
	事後学習	CM、Unit11 の復習をする。
7	事前学習	CM、Unit12NOT型設問のコツの準備をする。
	授業内容	CM、Unit12NOT型設問のコツ
	事後学習	CM、Unit12の復習をする。
8	事前学習	CMの準備をする。
	授業内容	TOEIC 模擬テスト1
	事後学習	CM、TOEIC 模擬テスト1の復習をする。
9	事前学習	CMの準備をする。
	授業内容	TOEIC 模擬テスト2
	事後学習	CM、TOEIC 模擬テスト2の復習をする。
10	事前学習	CMの準備をする。
	授業内容	TOEIC 模擬テスト3
	事後学習	CM、TOEIC 模擬テスト3の復習をする。
11	事前学習	CMの準備をする。
	授業内容	TOEIC 模擬テスト4
	事後学習	CM、TOEIC 模擬テスト4の復習をする。
12	事前学習	CMの準備をする。
	授業内容	TOEIC 模擬テスト5
	事後学習	cmCM、TOEIC 模擬テスト5の復習をする。
13	事前学習	CMの準備をする。
	授業内容	TOEIC 模擬テスト6
	事後学習	CM、TOEIC 模擬テスト6の復習をする。
14	事前学習	Unit7~12の復習をする。
	授業内容	まとめ
	事後学習	Unit7~12のテスト
15	事前学習	Unit7~12の復習をする。
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	後期授業のまとめの復習をする。

科目名	TOEIC ⅢA	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義ではTOEICテストの得点を伸ばすためにListening, Reading各問題になれ、迅速に解く攻略法を取得します。同時にTOEICで使用される語彙や表現は日常頻繁に使用する為、理解習得し、自分の言葉に応用し発進する力を身につけます。			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。TOEICスコア600点以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE (Online Training)をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEIC演習を2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	小テストを毎回実施します。内容はその前の授業で扱った単語や表現から出題するので必ずvocabulary noteを準備し毎回復習してください。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	小テスト、TOEICスコア、ClassMATEポイント、積極的な授業参加度、等を総合的に評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	Oxford	Tactics for the TOEIC TEST Listening and Reading Test Introductory Course	Grant Trew
	備考	ISBN978 0 19 452976 1		
参考書	辞書			
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の裏表紙にあるMP3ファイルにアクセスし、音声を開始する。
	授業内容	Introduction to the course Becoming familiar with TOEIC
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Unit1の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 1 Photo Questions
	事後学習	vocabulary note
3	事前学習	Unit 2の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 2 Question and Response
	事後学習	vocabulary note
4	事前学習	Unit 3の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 3 conversations
	事後学習	vocabulary note

5	事前学習	Unit 4の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 4 Talks
	事後学習	vocabulary note
6	事前学習	Unit 1-4 review listening
	授業内容	Unit 1 - Unit 4 review
	事後学習	vocabulary note
7	事前学習	Unit 5 練習問題
	授業内容	Unit 5 Incomplete Sentences
	事後学習	vocabulary note
8	事前学習	Unit 6 練習問題
	授業内容	Unit 6 Text Completion
	事後学習	vocabulary note
9	事前学習	Unit 5 - Unit 6 review
	授業内容	Unit 5 - Unit 6 review
	事後学習	vocabulary note
10	事前学習	Unit 7 練習問題
	授業内容	Unit 7 Reading Comprehension
	事後学習	vocabulary note
11	事前学習	Reading part review
	授業内容	Reading part review
	事後学習	vocabulary note
12	事前学習	TOEIC Practice Test 1 Listening Part
	授業内容	TOEIC Practice Test (1) Listening Part and review
	事後学習	vocabulary note
13	事前学習	TOEIC Practice Test 1 Reading Part
	授業内容	TOEIC Practice Test (1) reading part and review
	事後学習	vocabulary note
14	事前学習	Review Practice Test (1) and all units
	授業内容	Review Practice Test (1) and all units
	事後学習	vocabulary note
15	事前学習	Review Unit 1~7
	授業内容	Summary of Unit 1~7
	事後学習	Review Unit 1~7

科目名	TOEIC ⅢA	担当者	北村 豊	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC受験に向けての準備の仕方、日頃の学習方法、自宅でのトレーニング方法等を学ぶ。			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。TOEIC受験対策に終始することなく、総合的英語運用能力の強化も図ります。TOEICスコア600点以上を目標にするクラスです。TOEICの問題への取り組みを通して、英語の幅広いリスニング力とリーディング力をつけ、ビジネス英語をより深く理解し、楽しめるようになる事を目的とする。			
履修条件	学期内にTOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、MlassMateポイント等を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	On Demand Publishing	Ivan's Adventure in the business world (1)	Yutaka Kitamura
	備考			
参考書	適宜ハンドアウトをお渡しします。また、英英辞典の使い方も学びます。			
オフィスアワー	質問等は授業の前後で受け付けます。授業外の場合は ykitamu@tcue.ac.jpまでメール送信の事。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業の概要を大学のHPで確認する
	授業内容	ガイダンス： TOEICテストの概要とTOEICビジネス英語の特殊性について
	事後学習	ガイダンス内容の復習
2	事前学習	リスニング第1部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第1部：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リスニング第1部問題演習の復習
3	事前学習	リスニング第2部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第2部：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リスニング第2部問題演習の復習
4	事前学習	リスニング第3部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第3部：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リスニング第3部問題演習の復習

5	事前学習	リスニング第4部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第4部：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リスニング第4部問題演習の復習
6	事前学習	リーディング第5部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第5部：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リーディング第5部問題演習の復習
7	事前学習	リーディング第6部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第6部：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リーディング第6部問題演習の復習
8	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第7部（1）：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
9	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第7部（2）：演習と解説 (新旧公式問題集の活用法の紹介)
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
10	事前学習	リスニング第1－2部問題演習の準備
	授業内容	リスニング問題演習（第1部～第2部）と解説 自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リスニング第1－2部問題演習の復習
11	事前学習	リスニング第3－4部問題演習の準備
	授業内容	リスニング問題演習（第3部～第4部）と解説 自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リスニング第3－4部問題演習の復習
12	事前学習	リーディング第5－6部問題演習の準備
	授業内容	リーディング問題演習（第5部～第6部）と解説 自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リーディング第5－6部問題演習の復習
13	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング問題演習（第7部前半）と解説 自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
14	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング問題演習（第7部後半）と解説 自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
15	事前学習	「前期のまとめ」準備
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	「前期のまとめ」の内容の復習

科目名	TOEIC ⅢA	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今までに獲得したTOEIC L&Rテストのスコアを更に伸ばすため、語彙力、リスニング力、読解力を向上させる。授業ではテキスト、オンライン教材を中心に他の問題集の問題を数多く解く。授業以外でも英語を読んだり、聞いたりするための課題を解く。			
授業目的・到達目標	TOEICの受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。TOEICスコア600点台以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICテスト1回の受験とClass MATE(Online Training)が義務付けられます。受験料及び教材費は自己負担。TOEIC演習を2科目以上履修すると教材費がその分増えるので注意してください。原則IIIBと共に通年で履修してください。			
授業方法	毎回単語・熟語の試験、オンライン教材の復習テストを行う。テキストは予め自分で解いたものを答え合わせする。詳しいことは第1回目の授業で説明します。辞書は毎時間持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	TOEICテストのスコア、オンライン教材とオンライン教材の復習テストの結果、単語の試験、授業中に行うミニテスト、課題等の結果を総合的に評価	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年(第4版)	朝日出版社	SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LISTENING AND READING TEST 3 4th Ed.	M. D. Stafford
	2015年	アルク	改訂版 TOEIC TEST 英単語出るとこだけ！	小石裕子
	備考	SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LISTENING AND READING TEST 3(Goal 700) 4th Edition M. D. Stafford著		
参考書	「TOEICテスト速読WPMトレーニング」西村恵美著 (ベレ, 500円) 「TOEIC TEST リスニング (TARGET 600)」 森田鉄也著 (Jリサーチ出版、1、200円)			
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。(対応できる時間一火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分～30分) 希望する学生にはe-mailアドレスを第1回目の授業でお知らせします。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEIC L&Rテストについて試験の構成などについて調べておく。
	授業内容	ガイダンス(必要があればクラス選抜テスト)：履修条件、授業の進め方、評価方法、TOEIC L&Rテストの必要性についての説明
	事後学習	ガイダンスで聞いた説明をよく考えてクラスを履修するかどうか検討する。
2	事前学習	単語のテキストの説明をよく読んで問題を解いておく。
	授業内容	TOEIC テストの概要について説明 /Pre-test
	事後学習	Pre-testのReading Partの復習
3	事前学習	第1回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第1回英単語試験(No.1 - 45)/テキスト Unit 1'Daily Life'ミニテスト/ TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 1'Daily Life'のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/
4	事前学習	第2回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキストUnit 1'Daily Life' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第2回英単語試験(No..46 - 90)/テキスト Unit 1'Daily Life' 復習 /TOEIC練習問題/
	事後学習	テキスト Unit 1'Daily Life' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。

5	事前学習	第3回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第3回英単語試験 (No. 91 - 143) / テキストUnit 2 'Places' : ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 2 'Places' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習 /
6	事前学習	第4回英単語試験の範囲の単語を覚える。 / テキスト Unit 2 'Places' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第4回英単語試験 (No. 144 - 195) / テキストUnit 2 'Places' : 復習 / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 2 'Places' : Reading Partの復習 : 特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
7	事前学習	第5回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第5回英単語試験 (No. 196 - 248) / テキスト Unit 3 'People' : ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 3 'People' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
8	事前学習	第6回英単語試験の範囲の単語を覚える。 / テキスト Unit 3 'People' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第6回英単語試験 (No. 249 - 300) / テキスト Unit 3 'People' 復習 / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 3 'People' : Reading Partの復習 : 特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
9	事前学習	第7回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第7回英単語試験 (No. 301 - 345) / テキストUnit 4 'Travel' ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 4 'Travel' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
10	事前学習	第8回英単語試験の範囲の単語を覚える。 / テキスト Unit 4 'Travel' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第8回英単語試験 (No. 346 - 398) / テキストUnit 4 'Travel' 復習 / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 4 'Travel' Reading Partの復習 : 特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
11	事前学習	第9回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第9回英単語試験 (No. 399 - 450) / テキストUnit 5 'Business' ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 5 'Business' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
12	事前学習	第10回英単語試験の範囲の単語を覚える / Class MATEをPart 1からPART 7まで問題の形式を意識しながら復習
	授業内容	第10回英単語試験 (No. 451 - 495) / TOEIC模擬試験
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
13	事前学習	第11回英単語試験の範囲の単語を覚える / テキスト Unit 5 'Business' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第11回英単語試験 (No. 496 - 548) / テキストUnit 5 'Business' 復習 / テキストUnit 6 'Office' ミニテスト
	事後学習	テキスト Unit 5 'Business' : Reading Partの復習 : 特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。 / テキスト Unit 6 'Office' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
14	事前学習	第12回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第12回英単語試験 (No. 549-600) / テキストUnit 6 'Office' 復習 / テキストUnit 7 'Technology' ミニテスト
	事後学習	テキスト Unit 6 'Office' Reading Partの復習 : 特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。 / テキスト Unit 7 'Technology' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
15	事前学習	テキストUnit 1 ~ Unit 7の単語等を覚える
	授業内容	前期授業のまとめ
	事後学習	テキストUnit 1 ~ Unit 7の復習

科目名	TOEIC ⅢA	担当者	鈴木 京子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICでさらに高得点を目指すことができるように、教科書を使用して毎回演習を行います。教科書のそれぞれの課は、ListeningとReading のセクションがあり、毎回授業内で問題を解きます。Listening の場合には問題を解いた後に問題のスク립トを使用して、どんな問題を聞いたのかを耳と目を使って確認していきます。Readingの場合には問題を解いた後に文法などの解説を行います。					
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEIC450点以上のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。TOEICスコア600点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATEを受講してください。受験料とClassMATE教材費は自己負担です。TOEICを2科目以上受講した場合には、教材費が増えます。TOEICⅢBも履修してください。					
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア（1回分）、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	CENGAGE Learning		The TOEIC TEST Trainer Target 650		Masahiko Yamaguchi他3名
	備考					
参考書	英和辞書必携					
オフィスアワー	授業の前後で質問してください。アポイントメントを取る場合にも授業の前後に相談してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自己紹介文の準備
	授業内容	ガイダンス。Pre-test
	事後学習	授業で学習したことの復習
2	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-testの復習①
	事後学習	授業で学習したことの復習
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Pre-testの復習②
	事後学習	授業で学習したことの復習
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 1 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 1 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 2 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 2 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
8	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 3 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
9	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 3 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
10	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 4 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
11	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 4 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
12	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 5 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
13	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 5 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
14	事前学習	小テスト
	授業内容	Unit 6 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
15	事前学習	小テストの準備
	授業内容	前期の授業のまとめ
	事後学習	前期の授業の総復習

科目名	TOEIC ⅢA	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策として、リスニングセクション、リーディングセクションにおいて、英語的思考形式を活用する術を常に念頭において行います。			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。 TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。 TOEIC受験対策に終始することなく、総合的英語運用能力の強化を図り、さらなるスコアアップをめざします。 TOEICスコア600点台以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。質問の回答時には、理由を尋ねながら巡回します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、レポート、ClassMATEポイント等を総合的に判断します
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	南雲堂	Totally TOEIC L&R Test Challenge 500-600	Alison Kei Mihara
	2017	アルク	キクタンTOEIC TEST SCORE 800	一杉武史 編集
	備考			
参考書	英和辞典			
オフィスアワー	電子メールにより質問、相談を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの目次の確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	TOEIC形式の確認
2	事前学習	Unit1:shopping Part1.2の予習
	授業内容	Unit1 Part1.2 の演習と解説
	事後学習	Unit 1 Part1.2の復習
3	事前学習	単語1-48、Unit 1:Shopping Part3.4の予習
	授業内容	小テスト1、Unit 1:Shopping演習と解説
	事後学習	Unit 1 Part3.4の復習
4	事前学習	単語49-96、Unit 2:Entertainment & Weather Part1.2の予習
	授業内容	小テスト2、Unit 2:Entertainment & Weather演習と解説
	事後学習	Unit 2 Part1.2の復習

5	事前学習	単語97-144、Unit 2:Entertainment & Weather Part3.4の予習
	授業内容	小テスト3、Unit 2:Entertainment & Weather演習と解説
	事後学習	Unit 2 Part3.4の復習
6	事前学習	単語145-192、Unit 3:Eating Out Part1.2の予習
	授業内容	小テスト4、Unit 3:Eating Out演習と解説
	事後学習	Unit 3 Part1.2の復習
7	事前学習	単語193-240、Unit 3:Eating Out Part3.4の予習
	授業内容	小テスト5、Unit 3:Eating Out演習と解説
	事後学習	Unit 3 Part3.4の復習
8	事前学習	単語241-288、Unit 4:Travel Part1.2の予習
	授業内容	小テスト6、Unit 4:Travel演習と解説
	事後学習	Unit 4 Part1.2の復習
9	事前学習	単語289-336、Unit 4:Travel Part3.4の予習
	授業内容	小テスト7、Unit 4:Travel演習と解説
	事後学習	Unit 4 Part3.4の復習
10	事前学習	単語337-384、Unit 5:Health Part1.2の予習
	授業内容	小テスト8、Unit 5:Health演習と解説
	事後学習	Unit 5 Part1.2の復習
11	事前学習	単語385-432、Unit 5:Health Part3.4の予習
	授業内容	小テスト9、Unit 5:Health演習と解説
	事後学習	Unit 5 Part3.4の復習
12	事前学習	Unit 6:Housing & Media Part1.2の予習
	授業内容	Unit 6:Housing & Media演習と解説
	事後学習	Unit 6 Part1.2の復習
13	事前学習	単語小テストとUnit1-6の確認
	授業内容	授業のまとめ（レポート提出）
	事後学習	配布プリントの復習
14	事前学習	英語圏の思考形式に関する調査
	授業内容	英語圏の思考形式とディクテーション
	事後学習	英語圏と日本での人々の思考形式の相違を確認
15	事前学習	単語433-528
	授業内容	小テスト10、TOEIC演習のまとめ
	事後学習	TOEIC形式の確認

科目名	TOEIC ⅢA	担当者	辻岡 宏子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。 ペアワークやグループワークを通して、能動的に学ぶ態度やスキルの習得を目指します。					
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。 TOEICスコア600点台以上を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEIC を1回以上受験し、ClassMATE (Online Training)を学習します。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担） TOEIC演習を2科目以上受講した場合には、教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	リーディングでは語彙と文法、リスニングでは英語特有の音声と解法のテクニックを主に学びます。 毎回、小テストを行います。遅刻30分以上は欠席とします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、Class MATEポイント、課題等を総合的に判断します	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	南雲堂		Totally TOEIC L&R Test Challenge 500-600		Kitzman
	備考					
参考書	英和、和英辞書（電子辞書可）					
オフィスアワー	授業の前後に教室に来て下さい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEIC目標の設定
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ジャーナルの書き方
2	事前学習	語彙復習
	授業内容	TOEIC診断テスト
	事後学習	ジャーナル 1
3	事前学習	課題 文法復習 1
	授業内容	TOEIC演習 1
	事後学習	ジャーナル 2
4	事前学習	課題 文法復習 2
	授業内容	TOEIC演習 2
	事後学習	ジャーナル 3

5	事前学習	課題 リーディング
	授業内容	TOEIC演習 3
	事後学習	ジャーナル 4
6	事前学習	課題 問題分析
	授業内容	TOEIC演習 4
	事後学習	ジャーナル 5
7	事前学習	課題 問題作成
	授業内容	TOEIC演習 5
	事後学習	ジャーナル 6
8	事前学習	課題 発表準備
	授業内容	TOEIC演習 6
	事後学習	ジャーナル 7
9	事前学習	課題 グループワーク
	授業内容	TOEIC演習 7
	事後学習	ジャーナル 8
10	事前学習	課題 リフレクションシート
	授業内容	TOEIC演習 8
	事後学習	ジャーナル 9
11	事前学習	課題 語彙
	授業内容	TOEIC演習 9
	事後学習	ジャーナル 10
12	事前学習	課題 表現
	授業内容	TOEIC演習 10
	事後学習	ジャーナル 11
13	事前学習	課題 文法
	授業内容	TOEIC演習 11
	事後学習	ジャーナル 12
14	事前学習	課題 総復習
	授業内容	TOEIC Review
	事後学習	ジャーナル 13
15	事前学習	課題 振り返り
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	ジャーナル 14

科目名	TOEIC ⅢB	担当者	河本 房子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義ではTOEICテストの得点を伸ばすためにListening, Reading各問題になれ、迅速に解く攻略法を取得します。同時にTOEICで使用される語彙や表現は日常頻繁に使用する為、理解習得し、自分の言葉に応用し発進する力を身につけます。			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。TOEICスコア600点以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE (Online Training)をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEIC演習を2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	小テストを毎回実施します。内容はその前の授業で扱った単語や表現から出題するので必ずvocabulary noteを準備し毎回復習してください。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	小テスト、TOEICスコア、ClassMATEポイント、積極的な授業参加度、等を総合的に評価します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	Oxford	Tactics for the TOEIC TEST Listening and Reading Test Introductory Course	Grant Trew
	備考	ISBN978 0 19 452976 1		
参考書	辞書			
オフィスアワー	毎回の授業開始前、開始後に授業が行われる講堂にて。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の裏表紙にあるMP3ファイルにアクセスし、音声を開始する。
	授業内容	Introduction to the course Becoming familiar with TOEIC
	事後学習	vocabulary note
2	事前学習	Unit 8の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 8 Photo Questions
	事後学習	vocabulary note
3	事前学習	Unit 9の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 9 Question and Response
	事後学習	vocabulary note
4	事前学習	Unit 10 の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 10 conversations
	事後学習	vocabulary note

5	事前学習	Unit 11 の音声箇所をリスニングする。
	授業内容	Unit 11 Talks
	事後学習	vocabulary note
6	事前学習	Unit 8-11 review listening
	授業内容	Unit 8 - Unit 11 review
	事後学習	vocabulary note
7	事前学習	Unit 12 練習問題
	授業内容	Unit 12 Incomplete Sentences
	事後学習	vocabulary note
8	事前学習	Unit 13 練習問題
	授業内容	Unit 13 Text Completion
	事後学習	vocabulary note
9	事前学習	Unit 12 - Unit 13 review
	授業内容	Unit 12 - Unit 13 review
	事後学習	vocabulary note
10	事前学習	Unit 14 練習問題
	授業内容	Unit 14 Reading Comprehension
	事後学習	vocabulary note
11	事前学習	Reading part review
	授業内容	Reading part review
	事後学習	vocabulary note
12	事前学習	TOEIC Practice Test 2 Listening Part
	授業内容	TOEIC Practice Test (2) Listening Part and review
	事後学習	vocabulary note
13	事前学習	TOEIC Practice Test 2 Reading Part
	授業内容	TOEIC Practice Test (2) reading part and review
	事後学習	vocabulary note
14	事前学習	Review Practice Test (2) and all units
	授業内容	Review Practice Test (2) and all units
	事後学習	vocabulary note
15	事前学習	Review Unit 8~14
	授業内容	Summary of Unit 8~14
	事後学習	Review Unit 8~14

科目名	TOEIC ⅢB	担当者	北村 豊	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC受験に向けての準備の仕方、日頃の学習方法、自宅でのトレーニング方法等を学ぶ。			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。TOEICの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。TOEIC受験対策に終始することなく、総合的英語運用能力の強化も図ります。TOEICスコア600点以上を目標にするクラスです。TOEICの問題への取り組みを通して、英語の幅広いリスニング力とリーディング力をつけ、ビジネス英語をより深く理解し、楽しめるようになる事を目的とする。			
履修条件	学期内にTOEICを1回以上受験し、ClassMATE(Online Training)をやっていただきます。（受験料及び教材費は自己負担）。注：TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えます。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	TOEICスコア、小テスト、MlassMateポイント等を総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	On Demand Publishing	Ivan's Adventure in the business world (2)	Yutaka Kitamura
	備考			
参考書	適宜ハンドアウトをお渡しします。また、英英辞典の使い方も学びます。			
オフィスアワー	質問等は授業の前後で受け付けます。授業外の場合は ykitamu@tcue.ac.jpまでメール送信の事。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業の概要を大学のHPで確認する
	授業内容	ガイダンス： TOEICテストの概要とTOEICビジネス英語の特殊性について
	事後学習	ガイダンス内容の復習
2	事前学習	リスニング第1部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第1部：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リスニング第1部問題演習の復習
3	事前学習	リスニング第2部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第2部：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リスニング第2部問題演習の復習
4	事前学習	リスニング第3部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第3部：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リスニング第3部問題演習の復習

5	事前学習	リスニング第4部問題演習の準備
	授業内容	リスニング第4部：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リスニング第4部問題演習の復習
6	事前学習	リーディング第5部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第5部：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リーディング第5部問題演習の復習
7	事前学習	リーディング第6部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第6部：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リーディング第6部問題演習の復習
8	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第7部（1）：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
9	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング第7部（2）：演習と解説 (中級者向けトレーニング方法の紹介)
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
10	事前学習	リスニング第1－2部問題演習の準備
	授業内容	リスニング問題演習（第1部～第2部）と解説 中級者向け自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リスニング第1－2部問題演習の復習
11	事前学習	リスニング第3－4部問題演習の準備
	授業内容	リスニング問題演習（第3部～第4部）と解説 中級者向け自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リスニング第3－4部問題演習の復習
12	事前学習	リーディング第5－6部問題演習の準備
	授業内容	リーディング問題演習（第5部～第6部）と解説 中級者向け自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リーディング第5－6部問題演習の復習
13	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング問題演習（第7部前半）と解説 中級者向け自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
14	事前学習	リーディング第7部問題演習の準備
	授業内容	リーディング問題演習（第7部後半）と解説 中級者向け自宅トレーニング方法の紹介
	事後学習	リーディング第7部問題演習の復習
15	事前学習	「後期のまとめ」準備
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	「後期のまとめ」の内容の復習

科目名	TOEIC ⅢB	担当者	桑山 啓子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今までに獲得したTOEIC L&Rテストのスコアを更に伸ばすため、語彙力、リスニング力、読解力を向上させる。授業ではテキスト、オンライン教材を中心に他の問題集の問題を数多く解く。授業以外でも英語を読んだり、聞いたりするための課題を行う。			
授業目的・到達目標	TOEICの受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。TOEICスコア600点台以上を目標にします。			
履修条件	TOEICテスト1回の受験とOnline Trainingが義務付けられます。受験料及び教材費は自己負担。TOEIC科目を複数履修すると、教材費がその分増えます。			
授業方法	毎回単語・熟語の試験、オンライン教材の復習テストを毎週行う。テキストや練習問題のプリントをミニテスト形式で行います。詳しいことは第1回目の授業で説明します。辞書は毎時間持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	TOEICテストのスコア、オンライン教材とオンライン教材の復習テストの結果、単語の試験、授業中に行うミニテスト、課題等の結果を総合的に評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年(第4版)	朝日出版社	SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LISTENING AND READING TEST 3 4th Ed.	M. D. Stafford
	2015年	アルク	改訂版 TOEIC TEST 英単語出るとこだけ	小石裕子
	備考	SUCCESSFUL KEYS TO TOEIC LISTENING AND READING TEST 3(Goal 700) 4th Edition, Stafford著 (朝日出版)		
参考書	「TOEICテスト速読WPMトレーニング」西村恵美著 (ベレ出版、1,500円) 「TOEIC TEST リスニング (TARGET 600)」 森田鉄也著 (Jリサーチ出版、1、200円)			
オフィスアワー	授業終了後または休み時間等。(対応できる時間一火曜日：午前8時30分～9時、1時限目と2時限の間の休み時間/木曜日：午後12時30分～1時/4時10分～30分) e-mailアドレスについては希望者に第1回目の授業でお知らせします。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に英語の音声を聴き、 Listeningの練習をする。
	授業内容	IIIBについてのガイダンス：履修条件、授業の進め方、評価方法についての説明/ Listening練習問題
	事後学習	本日聴いた Listening練習を復習
2	事前学習	第13回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第13回英単語試験(No. 601 - 630/1-15)/テキスト Unit 8 'Personnel' ミニテスト /TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 8 'Personnel' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
3	事前学習	第14回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキスト Unit 8 'Personnel' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第14回英単語試験(No. 16 - 60)/テキスト Unit 8'Personnel' Reading Partの復習 /Unit 9 'Management' ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 9 のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト Unit 8 'Personnel' Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
4	事前学習	第15回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキスト Unit 9 'Management' のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第15回英単語試験(No. 61 - 113)/テキスト Unit 9'Management' Reading Partの復習 /Unit 10 'Purchasing' ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキスト Unit 10 'Purchasing' のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキスト Unit 9 'Management' :Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。

5	事前学習	第16回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキストUnit 10'Purchasing'のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第16回英単語試験(No.114 - 165)/テキストUnit 10'Purchasing' Reading Partの復習 /Unit 11 'Finances' ミニテスト/ TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 11 'Finances'のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキストUnit 10 Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
6	事前学習	第17回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキストUnit 11 'Finances'のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第17回英単語試験(No.166 - 218)/テキストUnit 11'Finances' Reading Partの復習 /Unit 12 'Media' ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 12 'Media'のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/テキストUnit 11 'Finances' :Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
7	事前学習	第18回英単語試験の範囲の単語を覚え。/テキストUnit 12 'Media'のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第18回英単語試験(No.219 - 263)/テキストUnit 12 'Media' :Reading Partの復習 /TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 12 'Media':Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
8	事前学習	第19回英単語試験の範囲の単語を覚える/模擬問題のために Class MATEをPart 1からPART 7まで問題の形式を意識しながら復習
	授業内容	第19回英単語試験(No.264 - 315)/TOEIC模擬試験/ 解答と解説
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
9	事前学習	第20回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第20回英単語試験(No.316-360)/テキストUnit 13 'Entertainment' ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 13 'Entertainment'のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
10	事前学習	第21回英単語試験の範囲の単語を覚える。/テキストUnit 13 'Entertainment'のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第21回英単語試験(No.361-413)/テキストUnit 13 'Entertainment' 復習 /TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 13 'Entertainment' :Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
11	事前学習	第22回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第22回英単語試験(No.414-465)/unit 14 'Health' ミニテスト / TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 14 'Health'のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習
12	事前学習	第23回英単語試験の範囲の単語を覚える/ Unit 14 'Health'のReading Partの英文をよく読んでおく。分からない単語を調べ、理解できない英文を抜き出しておく。
	授業内容	第23回英単語試験(No.466-518) テキストUnit 14 'Health' 復習 /TOEIC 練習問題
	事後学習	テキストUnit 14 'Health':Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
13	事前学習	第24回英単語試験の範囲の単語を覚える
	授業内容	第24回英単語試験(No.519-570) /テキストUnit 15 ミニテスト/TOEIC練習問題
	事後学習	テキストUnit 15のListening Partをスクリプトを見ながら音読練習/Reading Partの復習：特にPart 6, Part 7の間違ったところを中心に復習。
14	事前学習	Class MATEをPart 1からPART 7まで問題の形式を意識しながら復習
	授業内容	TOEIC 模擬問題/解答と解説
	事後学習	TOEIC模擬試験の復習
15	事前学習	テキストUnit 8 ～ Unit 15の単語等を覚える
	授業内容	後期授業のまとめ
	事後学習	テキストUnit 8 ～ Unit 15を復習する

科目名	TOEIC ⅢB	担当者	鈴木 京子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICでさらに高得点を目指すことができるように、教科書を使用して毎回演習を行います。教科書のそれぞれの課はListening とReading のセクションがあり、毎回授業内で問題を解きます。Listeningの場合には問題を解いた後に問題のスク립トを使用して、どんな問題を聞いたのかを耳と目を使って確認していきます。Readingの場合には問題を解いた後に文法の解説を行います。					
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、TOEIC 450点以上のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。TOEICスコア600点台を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEICテスト1回受験と、ClassMATEが義務づけられます。受験料と教材費は自己負担です。（TOEICを複数履修すると、教材費がその分増えます。）原則TOEICⅢAと共に通年で履修してください。					
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア（1回分）、小テスト、ClassMATEポイント等を総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	CENGAGE Learning		The TOEIC TEST Trainer Target 650		Masahiko Yamaguchi他3名
	備考					
参考書	英和辞書必携					
オフィスアワー	授業の前後で質問してください。アポイントメントを取る場合にも授業の前後で相談してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みのプレゼン準備
	授業内容	Unit 6 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
2	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 7 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 7 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 8 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 8 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 9 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 9 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
8	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 10 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
9	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 10 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
10	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 11 Listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
11	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 11 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
12	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 12 listening 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
13	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Unit 12 Reading 問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
14	事前学習	小テストの準備
	授業内容	Post-test問題
	事後学習	授業で学習したことの復習
15	事前学習	小テストの準備
	授業内容	後期の授業のまとめ
	事後学習	後期の授業の総復習

科目名	TOEIC ⅢB	担当者	塚田 英博	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC対策として、リスニングセクション、リーディングセクションにおいて、英語的思考形式を活用する術を常に念頭において行います。			
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。 TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。 TOEIC受験対策に終始することなく、総合的英語運用能力の強化を図り、さらなるスコアアップをめざします。 TOEICスコア600点台以上を目標にするクラスです。			
履修条件	TOEICを1回以上受験し、ClassMATE（Online Training）をやっていただきます。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担）。TOEICを2科目以上受講した場合には教材費がその分増えますのでご注意ください。			
授業方法	実践演習をして解説をします。毎回単語テストや指定範囲の小テストを行います。質問の回答時には、理由を尋ねながら巡回します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	TOEICスコア、小テスト、レポート、ClassMATEポイント等を総合的に判断します	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	南雲堂	Totally TOEIC L&R Test Challenge 500-600	Alison Kei Mihara
	2017	アルク	キクタンTOEIC TEST SCORE 800	一杉武史 編集
	備考			
参考書	英和辞典			
オフィスアワー	電子メールにより質問、相談を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各パートの対策の復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	パートごとの対策方法を確認
2	事前学習	Unit 8:Employment Part1.2の予習
	授業内容	Unit 8 Part1.2の演習と解説
	事後学習	Unit 8 Part1.2の復習
3	事前学習	単語529-576、Unit 8:Employment Part3.4の予習
	授業内容	小テスト1、Unit 8:Employment演習と解説
	事後学習	Unit 8 Part3.4の復習
4	事前学習	単語577-624、Unit 9:Wrkingplaces & Products Part1.2の予習
	授業内容	小テスト2、Unit 9:Wrkingplaces & Products演習と解説
	事後学習	Unit 9 Part1.2の復習

5	事前学習	単語625-672、Unit 9:Wrkingplaces & Products Part3.4の予習
	授業内容	小テスト3、Unit 9:Wrkingplaces & Products演習と解説
	事後学習	Unit 9 Part3.4の復習
6	事前学習	単語673-720、Unit 10:Making Deals Part1.2の予習
	授業内容	小テスト4、Unit 10:Making Deals演習と解説
	事後学習	Unit 10 Part1.2の復習
7	事前学習	単語721-768、Unit 10:Making Deals Part3.4の予習
	授業内容	小テスト5、Unit 10:Making Deals演習と解説
	事後学習	Unit 10 Part3.4の復習
8	事前学習	単語769-816、Unit 11:Office Messages Part1.2の予習
	授業内容	小テスト6、Unit 11:Office Messages演習と解説
	事後学習	Unit 11 Part1.2の復習
9	事前学習	単語817-880、Unit 11:Office Messages Part3.4の予習
	授業内容	小テスト7、Unit 11:Office Messages演習と解説
	事後学習	Unit 11 Part3.4の復習
10	事前学習	単語881-944、Unit 12:Sales Part1.2の予習
	授業内容	小テスト8、Unit 12:Sales演習と解説
	事後学習	Unit 12 Part1.2の復習
11	事前学習	単語945-1008、Unit 12:Sales Part3.4の予習
	授業内容	小テスト9、Unit 12:Sales演習と解説
	事後学習	Unit 12 Part3.4の復習
12	事前学習	Unit 13:Commuting & Meetingts Part1.2の予習
	授業内容	Unit 13:Commuting & Meetingts演習と解説
	事後学習	Unit 13 Part1.2の復習
13	事前学習	単語小テストとUnit8-13の確認
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	配布プリントの復習
14	事前学習	英語圏の思考形式に関する調査
	授業内容	英語圏の思考形式とディクテーション(2)
	事後学習	英語圏と日本での人々の思考形式の相違を確認
15	事前学習	単語1009-1120
	授業内容	小テスト10、TOEIC演習のまとめ
	事後学習	TOEIC形式の確認

科目名	TOEIC ⅢB	担当者	辻岡 宏子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEICテストの内容、対策をパート別に解説し、演習を行います。 ペアワークやグループワークを通して、能動的に学ぶ態度やスキルの習得を目指します。					
授業目的・到達目標	TOEIC受験の経験があり、すでにTOEICで450点以上取得している学生を対象とするクラスです。 TOEICスコア600点台以上を目標にするクラスです。					
履修条件	TOEIC を1回以上受験し、ClassMATE (Online Training)を学習します。（受験料及びClassMATE教材費は自己負担） TOEIC演習を2科目以上受講した場合には、教材費がその分増えますのでご注意ください。					
授業方法	リーディングでは語彙と文法、リスニングでは英語特有の音声と解法のテクニックを主に学びます。 毎回、小テストを行います。遅刻30分以上は欠席とします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		TOEICスコア、小テスト、Class MATEポイント、課題等を総合的に判断します	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	to be announced				
参考書	英和、和英辞書（電子辞書可）					
オフィスアワー	授業の前後に教室に来て下さい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	TOEIC目標の設定
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ジャーナルの書き方
2	事前学習	語彙復習
	授業内容	TOEIC診断テスト
	事後学習	ジャーナル 1
3	事前学習	課題 文法復習 1
	授業内容	TOEIC演習 1
	事後学習	ジャーナル 2
4	事前学習	課題 文法復習 2
	授業内容	TOEIC演習 2
	事後学習	ジャーナル 3

5	事前学習	課題 リーディング
	授業内容	TOEIC演習 3
	事後学習	ジャーナル 4
6	事前学習	課題 問題分析
	授業内容	TOEIC演習 4
	事後学習	ジャーナル 5
7	事前学習	課題 問題作成
	授業内容	TOEIC演習 5
	事後学習	ジャーナル 6
8	事前学習	課題 発表準備
	授業内容	TOEIC演習 6
	事後学習	ジャーナル 7
9	事前学習	課題 グループワーク
	授業内容	TOEIC演習 7
	事後学習	ジャーナル 8
10	事前学習	課題 リフレクションシート
	授業内容	TOEIC演習 8
	事後学習	ジャーナル 9
11	事前学習	課題 語彙
	授業内容	TOEIC演習 9
	事後学習	ジャーナル 10
12	事前学習	課題 表現
	授業内容	TOEIC演習 10
	事後学習	ジャーナル 11
13	事前学習	課題 文法
	授業内容	TOEIC演習 11
	事後学習	ジャーナル 12
14	事前学習	課題 総復習
	授業内容	TOEIC Review
	事後学習	ジャーナル 13
15	事前学習	課題 振り返り
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	ジャーナル 14

科目名	TOEIC IVA	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC受験の経験があり、TOEIC500点以上のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEIC受験対策に終始することなく、総合的英語運用能力の強化を図り、さらなるスコアアップをめざします。					
授業目的・到達目標	TOEICテスト700点以上をめざすことが目標ですが、TOEICテスト問題を解き、回答を解説することのみを中心とする授業ではありません。授業外で各自が英語力を伸ばしていける様々な方策を知り、生涯を通して英語学習を継続し、「使える英語力」を身に着けることを目的としているクラスです。					
履修条件	前期にTOEICIPテストもしくは公開テストを1回以上受験しClassMATE(オンライン・トレーニング)をやっていただきます。TOEIC-IPテスト・公開テスト受験料及びClassMATE教材費は受講者負担になります。原則TOEIC IV/B と履修すること。					
授業方法	最初の授業で詳しいシラバスを配布するのでそれに沿って予習をしてきたものについて、授業内で小テストやシャドーイングをしてもらいます。グループワーク、ペアワークを中心に進めていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト、毎週の課題、期末テスト、オンライン教材の達成度、TOEICテストスコア1回分を評価に入れます。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	IIBC		TOEIC公式問題集新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会）		IIBC
	備考	教員作成プリント				
参考書	CNNニュースリスニング（朝日出版社）					
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方・TOEICを受験する目的
	事後学習	今日の振り返り 配布されたプリントを読む
2	事前学習	教科書を購入する、配布されたプリントを読む
	授業内容	CALL教室の使い方 音読・シャドーイング・ディクテーションの方法
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
3	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 1 & 2 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
4	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 2 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する

5	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。
	授業内容	Part 3 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
6	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 3 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
7	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 3 / Part 6 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
8	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 4 / Part 5 & 6 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
9	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
10	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
11	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
12	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
13	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
14	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Part 1~7 まとめ
	事後学習	最終課題を準備する
15	事前学習	テストに備える。 最終シャドーイング課題の練習をする
	授業内容	期末テスト&シャドーイング課題発表
	事後学習	これまでの振り返り。音読の練習を続け、夏休み後のTOEICテストに向けて計画を立てる

科目名	TOEIC IVB	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	TOEIC受験の経験があり、TOEIC500点以上のスコアを持つ学生を対象とするクラスです。TOEIC受験対策に終始することなく、総合的英語運用能力の強化を図り、さらなるスコアアップをめざします。					
授業目的・到達目標	TOEICテスト700点以上をめざすことが目標ですが、TOEICテスト問題を解き、回答を解説することのみを中心とする授業ではありません。授業外で各自が英語力を伸ばしていける様々な方策を知り、生涯を通して英語学習を継続し、「使える英語力」を身に着けることを目的としているクラスです。					
履修条件	前期にTOEICIPテストもしくは公開テストを1回以上受験しClassMATE(オンライン・トレーニング)をやっていただきます。TOEIC-IPテスト・公開テスト受験料及びClassMATE教材費は受講者負担になります。原則TOEIC IV/B と履修すること。					
授業方法	最初の授業で詳しいシラバスを配布するのでそれに沿って予習をしてきたものについて、授業内で小テストやシャドーイングをしてもらいます。グループワーク、ペアワークを中心に進めていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		小テスト、毎週の課題、期末テスト、オンライン教材の達成度、TOEICテストスコア1回分を評価に入れます。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	IIBC		TOEIC公式問題集新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会）		IIBC
	備考	教員作成プリント				
参 考 書	CNNニュースリスニング（朝日出版社）					
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	ガイダンス 後期授業の進め方
	事後学習	今日の振り返り 配布されたプリントを読む
2	事前学習	プリントの課題を準備する
	授業内容	TOEICテストを受験する意味と学習方策、後期の目標をグループで話し合う 英語学習の様々な方策について
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
3	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 1 & 2 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
4	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 2 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する

5	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。
	授業内容	Test 2 Part 3 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
6	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 3 / Part 5 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
7	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 3 / Part 6 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
8	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 4 / Part 5 & 6 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
9	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
10	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Test 2 Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
11	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
12	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
13	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 4 / Part 7 演習と解説 音読、シャドーイング、ディクテーション課題提出
	事後学習	学習した内容を復習し、音読の練習をする。次週の課題を準備する
14	事前学習	プリントの音読とシャドーイングの練習をし、テストに備える。 指定された範囲の課題を完成する。
	授業内容	Test 2 Part 1~7 まとめ
	事後学習	最終課題を準備する
15	事前学習	テストに備える。 最終シャドーイング課題の練習をする
	授業内容	期末テスト&シャドーイング課題発表
	事後学習	これまでの振り返り。 今後のTOEICテストに向けて計画を立てる

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	アンソニー・トビン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course students will learn the necessary vocabulary and phrases to engage in a wide variety of discussions.				
授業目的・到達目標	The purpose of this course is to expand students' vocabulary and to improve their speaking and listening skills. The objective for this course is for students to learn a wide range of vocabulary and language patterns which will help them communicate actively in a wide variety of situations.				
履修条件	Open to all students.				
授業方法	In this course students will engage in group and whole class discussions.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	50%:short tests, speaking test 50%: Participation and effort	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	Oxford		English File Pre-Intermediate Student's Book 3rd Edition	Latham-Koenig Oxenden
	備考				
参 考 書	An English dictionary.				
オフィス アワー	The teacher can be reached at tonymtobin@hotmail.com to arrange a consultation.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare self-introduction
	授業内容	Orientation
	事後学習	Read materials
2	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1A Where are you from? Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
3	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1B Charlotte's Choice Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
4	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 1C Mr and Mrs Clark and Percy Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit

5	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 2A Right place, wrong person Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
6	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 2B The story behind the photo Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
7	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 2C One dark October evening Skills: English listening and discussion skills Short Test
	事後学習	Review unit
8	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 3A Plans and dreams Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
9	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 3B Let's meet again Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
10	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 3C What's the word? Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
11	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 4A Parents and teenagers Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
12	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 4B Fashion and shopping Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
13	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 4C Lost weekend Skills: English listening and discussion skills Short Test
	事後学習	Review unit
14	事前学習	Revise all units
	授業内容	Speaking test
	事後学習	Revise all units
15	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review
	事後学習	Revise all units

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	P.カレンダー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will improve your listening skills through listening to conversations by native speakers in different situations. Then there is simple conversation practice, usually between two students. Contents include listening and talking about yourself, families, weekend activities, shopping, travel plans, ordering food, and travel, etc.			
授業目的・到達目標	The objective of these classes is to focus on the development of listening skills through the use of authentic materials. The lessons are structured however, to reinforce some speaking and writing skills. To be able to understand reasonably complex and realistic conversations in a wide variety of useful situations and to be able to ask and answer questions on realistic conversation topics to the point of being able to hold a conversation.			
履修条件	This course will benefit first, second and even third year students.			
授業方法	There are 20 lessons in the syllabus, covering so many important basic communications skills laid out in pre-listening activities, pronunciation & listening practice, talking time, and short dictation exercises.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験			
	平 常 評 価	100%	50% = two tests of 50% each; participation and effort = 25%; textbook check = 25%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Macmillan Education	New Airwaves (Second Edition) ISBN: 978-4-7773-6390-2	Dale Fuller/Clyde W. Grimm
	備考			
参 考 書	English learners dictionary or an electronic dictionary			
オフィスアワー	If you need to contact me outside of lessons, my email is paulkallender@gmail.com. Contact me particularly if you are are ill, or to let me know the reason why you missed a lesson.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please make sure to check you have your textbook in advance
	授業内容	Course outline, expectations, testing, attendance, etc.
	事後学習	Please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	You're an Interesting Person! (Introductions)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
3	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	What an Unusual Family! (Exchanging family information, etc.)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
4	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	TGIF (Thank God It's Friday) (Weekend activities)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book

5	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Wow! Everything's on Sale (Shopping)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
6	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Mid-Term Review
	事後学習	Please practice your weak points.
7	事前学習	Please practice your weak points.
	授業内容	Mid-Term Speaking Test
	事後学習	Make a note of major mistakes made.
8	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Listen to That Engine! (Driving)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
9	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Got Any Travel Plans? (Traveling)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
10	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	That's Not Pizza! (Food choices, ordering)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
11	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Welcome to Las Vegas (Hotels, booking, schedules)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
12	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Hey Look at Her! (Personal appearances)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
13	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Final Review
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
14	事前学習	Please review your exercises
	授業内容	End-of-Term Speaking Test
	事後学習	Please make a note of mistakes
15	事前学習	Please make sure to review your dictation scripts
	授業内容	Review of dictation and listening challenge exercises
	事後学習	Please keep your textbook for follow-up

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	ダイアン ホーリー ナ ガトモ	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	--------------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This is a class for students who have little or no confidence in their English ability. We focus on basic grammar structures After two semesters students can will be able to communicate in basic English.					
授業目的・到達目標	Students will improve their speaking and listening skills by taking part in pair work and group discussions. Topics will focus mainly on familiar everyday situations. To develop confidence in communicating in basic English in various every day situations.					
履修条件	This is not a difficult class, but students must be serious and willing to work hard. Students MUST be willing to talk to classmates and engage in pair work. Students who refuse to participate will be asked to leave. Weekly attendance is mandatory.					
授業方法	Individual work, pair work, group discussions, writing.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		25% : Exam, 75%:Participation and effort, group work	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		Pearson		Side by Side Book 1, International Edition, 3rd Edition		
		Pearson		Side by Side Book 1 Workbook 3rd Edition		
	備考	Students MUST come to class with the textbook AND the workbook. Those without the books will not be allowed in the class.				
参 考 書	Textbook, workbook, dictionary, pens, papers, notebooks, etc.					
オフィスアワー	hawley.diane.edla@ocha.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Basic expresions
	授業内容	Orientation, introducing yourself, Pair work, pattern practice, drills.
	事後学習	Introducing oneself
2	事前学習	Be verb
	授業内容	Unit 1 Personal information. Pair work, pattern practice, drills, writing exercises.
	事後学習	Can say basic things about oneself and ask questions
3	事前学習	Be verb
	授業内容	Unit 1B Meeting people. Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to provide personal information and ask questions.
	事後学習	Can provide personal information about oneself and ask question
4	事前学習	Be verb and location subject pronouns
	授業内容	Unit 2A Classroom objects, rooms in the home. Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about everyday items.
	事後学習	Can greet people

5	事前学習	Be verb and subject location pronouns
	授業内容	Unit 2B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about cities and nationalities.
	事後学習	Can ask and answer questions about people's locations and places around town
6	事前学習	Present continuous tense
	授業内容	Unit 3A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about everyday activities and ask questions.
	事後学習	Can talk about doing every day activities and ask others about them.
7	事前学習	To be, short answers, possessive adjectives
	授業内容	Unit 3B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about what people do every day.
	事後学習	Can talk about doing every day activities and ask others about them.
8	事前学習	Present continuous tense, be verb
	授業内容	Unit 4A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about places inside a community or town
	事後学習	Can ask and answer questions, talk about a place in the community
9	事前学習	Adjectives, possessive nouns
	授業内容	Unit 4B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about what people do every day.
	事後学習	Can talk about doing everyday activities.
10	事前学習	Present continuous tense,
	授業内容	Unit 5A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to describe family members and things
	事後学習	Can talk about family members
11	事前学習	Adjectives, possessive nouns
	授業内容	Unit 5B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to describe the weather
	事後学習	Can talk about the weather
12	事前学習	Present continuous tense
	授業内容	Unit 6A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about families and people.
	事後学習	Can introduce people
13	事前学習	Prepositions of location
	授業内容	Unit 6B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about activities and events
	事後学習	Can talk about things that people do.
14	事前学習	Review of the grammar learned throughout the semester
	授業内容	Semester Review Pair work, pattern practice, and drills to review the grammar and vocabulary.
	事後学習	Practice putting everything together.
15	事前学習	Students will study Units 1-7
	授業内容	Test on Units 1-7 Review
	事後学習	Students will demonstrate their comprehension of vocabulary and grammar taught in Units 1-7

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	B. ダム	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will help students improve their communicative language skills, especially their listening comprehension and speaking ability.			
授業目的・到達目標	This course will focus on communicative speaking and listening skills. Students will practice and gain confidence in introducing themselves, asking for and giving personal information, and discussing various topics of interests.The focus of this course will be to improve the students English listening and speaking skills.			
履修条件	Good attendance (75% minimum),active participation, textbook.			
授業方法	Pair work, small group work, class discussions.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	Midterm and final speaking tests (50%),active participation in class (25%), homework (25%).	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018-2019	Macmillan Education	Breakthrough Plus 1, 2nd Edition	Miles Craven
	備考			
参 考 書	Textbook, notebook, dictionary, pens/pencils.			
オフィスアワー	Students can contact me at: bjdamm@yahoo.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Come to class well rested and ready to participate.
	授業内容	Instructor & course introduction
	事後学習	Reflection and review of lesson.
2	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Introducing yourself/ Personal information
	事後学習	Reflection and review of lesson.
3	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Daily life / A typical day
	事後学習	Reflection and review of lesson.
4	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Free time
	事後学習	Reflection and review of lesson.

5	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Social activities you enjoy
	事後学習	Reflection and review of lesson.
6	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Hometowns: Our neighborhood
	事後学習	Reflection and review of lesson.
7	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Neighborhood facilities
	事後学習	Reflection and review of lesson.
8	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Directions & locations
	事後学習	Reflection and review of lesson.
9	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Directions & locations 2
	事後学習	Reflection and review of lesson.
10	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Shopping habits
	事後学習	Reflection and review of lesson.
11	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Shopping preferences
	事後学習	Reflection and review of lesson.
12	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Whats' happening?
	事後学習	Reflection and review of lesson.
13	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Review
	事後学習	Reflection and review of lesson.
14	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Speaking Test
	事後学習	Reflection and review of lesson.
15	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Speaking Test
	事後学習	Reflection and review of lesson.

科目名	Listening & Speaking I A(金曜5時限)	担当者	J. B. タロフスキー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------------	-----	--------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course the main focus of study will be on the skills of listening and speaking. The other main focus of this class is speaking.			
授業目的・到達目標	To increase the motivation of students to communicate in English by giving them something interesting to study and talk about in class. The other main focus of this class is note taking. By the end of this class students will have a much deeper understanding of American concepts of law and justice and good and bad types of authority and government			
履修条件	an open mind about how to learn language, willingness to work hard and genuine curiosity about cultures			
授業方法	show excerpts from classic American Westerns during which students take notes and answer questions			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	There are from seven to nine short tests given during each semester (60%) ,based on active, motivated and cooperative participation in the class (40%)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	There is no text book for the class		
参 考 書	Students should be ready to use their smartphones to access the internet during class time.			
オフィスアワー	Questions about the contents of the class should be asked during class time (and you will get credit for doing so). Questions about attendance, grades and so forth should be asked only at the end of the class.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	HW : Worksheet #1 : Icons of the West
	授業内容	1. Introductions: the course, the instructor, method, topic, rules. How to tell a story using film. The first Western: The Great Train Robbery. Excerpts from Unforgiven (1992)
	事後学習	HW : Worksheet #1 : Icons of the West
2	事前学習	HW: Reading: Boundaries of American West
	授業内容	2. Make Discussion Groups (4-6 members). Review activity #1. The West: a time and a place. Excerpts from Cimmaron (1931)
	事後学習	HW: Reading: Boundaries of American West
3	事前学習	HW: Reading about John Ford
	授業内容	3. Quiz#1. Screening Part 1 (32 minutes) of Stagecoach (1939) Taking notes about each character in the film
	事後学習	HW: Reading about John Ford
4	事前学習	HW: East Vs West
	授業内容	4. Quiz #2 Lecture on the first 32 minutes of Stagecoach Screening Part 2 of Stagecoach (1939) Search for redemption: Good deeds and vengeance
	事後学習	HW: East Vs West

5	事前学習	HW Summing up Stagecoach
	授業内容	5. Lecture on Part 2 of Stagecoach Screening Part 3 of Stagecoach (1939), Last words on the film.
	事後学習	HW Summing up Stagecoach
6	事前学習	HW: Wagon Trains
	授業内容	6. Change Groups , Quiz# 3 Wagons West! Excerpts from How the West Was Won, A Bend In the River, Wagon Master
	事後学習	HW: Wagon Trains
7	事前学習	HW Cattle Drives
	授業内容	7. Quiz#4 Cowboys and Cattle Culture, Branding, Cattle Barons. Screening Part One of Red River (1948)
	事後学習	HW Cattle Drives
8	事前学習	HW Cowboys
	授業内容	8. Quiz #5 Screening Part Two of Red River (1948) Lecture on part one of Red River
	事後学習	HW Cowboys
9	事前学習	Homework on Part Three of Red River (1948)
	授業内容	9. Quiz #6 Lecture on Part Two of Red River Screening Part Three of Red River (1948)
	事後学習	Homework on Part Three of Red River (1948)
10	事前学習	HW no homework
	授業内容	10. Lecture on last part of Red River
	事後学習	HW no homework
11	事前学習	HW The Legends of Billy the Kid and Johnny Ringo
	授業内容	11. Change groups , Quiz #7 Excerpts and lectures on The Left Handed Gun (1958) and The Gunfighter (1950)
	事後学習	HW The Legends of Billy the Kid and Johnny Ringo
12	事前学習	HW The Range Wars
	授業内容	12. Quiz #8 Introduction to Shane (1953) Screening Part One Shane
	事後学習	HW The Range Wars
13	事前学習	HW Shane’ s Search for Redemption
	授業内容	3. Quiz #9 Lecture on part one and two of Shane Screening Part Two of Shane (1953)
	事後学習	HW Shane’ s Search for Redemption
14	事前学習	HW no homework
	授業内容	14. Screening Part Three of Shane (1953) Lectures on last part of Shane
	事後学習	HW no homework
15	事前学習	HW no homework
	授業内容	15. Comprehensive review of the course, student conferences.
	事後学習	HW no homework

科目名	Listening & Speaking I A(月曜5時限・水曜5時限)	担当者	J. B. タロフスキー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------------------	-----	--------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course the main focus of study will be on the skills of listening and speaking. The other main focus of this class is speaking.			
授業目的・到達目標	To increase the motivation of students to communicate in English by giving them something interesting to study and talk about in class. The other main focus of this class is note taking. By the end of this class students will have a much deeper understanding of American concepts of law and justice and good and bad types of authority and government			
履修条件	an open mind about how to learn language, willingness to work hard and genuine curiosity about cultures			
授業方法	show excerpts from classic American Westerns during which students take notes and answer questions			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	There are from seven to nine short tests given during each semester (60%) ,based on active, motivated and cooperative participation in the class (40%)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	There is no text book for the class		
参考書	Students should be ready to use their smartphones to access the internet during class time.			
オフィスアワー	Questions about the contents of the class should be asked during class time (and you will get credit for doing so). Questions about attendance, grades and so forth should be asked only at the end of the class.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	HW : Worksheet #1 : Icons of the West
	授業内容	1. Introductions: the course, the instructor, method, topic, rules. How to tell a story using film. The first Western: The Great Train Robbery. Excerpts from Unforgiven (1992)
	事後学習	HW : Worksheet #1 : Icons of the West
2	事前学習	HW: Reading: Boundaries of American West
	授業内容	2. Make Discussion Groups (4-6 members). Review activity #1. The West: a time and a place. Excerpts from Cimmaron (1931)
	事後学習	HW: Reading: Boundaries of American West
3	事前学習	HW: Reading about John Ford
	授業内容	3. Quiz#1. Screening Part 1 (32 minutes) of Stagecoach (1939) Taking notes about each character in the film
	事後学習	HW: Reading about John Ford
4	事前学習	HW: East Vs West
	授業内容	4. Quiz #2 Lecture on the first 32 minutes of Stagecoach Screening Part 2 of Stagecoach (1939) Search for redemption: Good deeds and vengeance
	事後学習	HW: East Vs West

5	事前学習	HW Summing up Stagecoach
	授業内容	5. Lecture on Part 2 of Stagecoach Screening Part 3 of Stagecoach (1939), Last words on the film.
	事後学習	HW Summing up Stagecoach
6	事前学習	HW: Wagon Trains
	授業内容	6. Change Groups , Quiz# 3 Wagons West! Excerpts from How the West Was Won, A Bend In the River, Wagon Master
	事後学習	HW: Wagon Trains
7	事前学習	HW Cattle Drives
	授業内容	7. Quiz#4 Cowboys and Cattle Culture, Branding, Cattle Barons. Screening Part One of Red River (1948)
	事後学習	HW Cattle Drives
8	事前学習	HW Cowboys
	授業内容	8. Quiz #5 Screening Part Two of Red River (1948) Lecture on part one of Red River
	事後学習	HW Cowboys
9	事前学習	Homework on Part Three of Red River (1948)
	授業内容	9. Quiz #6 Lecture on Part Two of Red River Screening Part Three of Red River (1948)
	事後学習	Homework on Part Three of Red River (1948)
10	事前学習	HW no homework
	授業内容	10. Lecture on last part of Red River
	事後学習	HW no homework
11	事前学習	HW The Legends of Billy the Kid and Johnny Ringo
	授業内容	11. Change groups , Quiz #7 Excerpts and lectures on The Left Handed Gun (1958) and The Gunfighter (1950)
	事後学習	HW The Legends of Billy the Kid and Johnny Ringo
12	事前学習	HW The Range Wars
	授業内容	12. Quiz #8 Introduction to Shane (1953) Screening Part One Shane
	事後学習	HW The Range Wars
13	事前学習	HW Shane’ s Search for Redemption
	授業内容	3. Quiz #9 Lecture on part one and two of Shane Screening Part Two of Shane (1953)
	事後学習	HW Shane’ s Search for Redemption
14	事前学習	HW no homework
	授業内容	14. Screening Part Three of Shane (1953) Lectures on last part of Shane
	事後学習	HW no homework
15	事前学習	HW no homework
	授業内容	15. Comprehensive review of the course, student conferences.
	事後学習	HW no homework

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	M. チャプレン	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	----------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	Students will learn to speak in English. Students will have to be able to deal with direct and indirect questions as well as direct and indirect commands, using ten verbs. Students will understand how to respond to questions and will be able to answer questions.			
授業目的・到達目標	Since there is no textbook, excellent attendance is essential. The student will be practicing English in every lesson. Lack of practice in class means the possibility of passing the class will be slim to none.			
履修条件	特になし			
授業方法	Teacher will have the students ask and answer questions.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	Final Examination 100%. If the student is absent more than 1/3 of the classes, he/she will not be allowed to take the final examination.
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参 考 書	None.			
オフィスアワー	e-mail: mchaplan@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Introduction. Be prepared to ask the teacher questions about what will happen in class
	授業内容	Explanation of what is expected in the course. Initial lesson. "What's this?" "What's that?" "It's the door."
	事後学習	Practice pronunciation.
2	事前学習	Why does the teacher always use the short form?
	授業内容	Liaison.
	事後学習	How important is the short form in English? Practice with short form.
3	事前学習	Make sure that your pronunciation is good.
	授業内容	Is this MY necktie? Is this YOUR pencil? Whose pencil is this? Am I a pencil? Who is your teacher?
	事後学習	Make sure you can use these forms and answer when the teacher asks.
4	事前学習	The ~be verb is done. There will be a Quiz. Make sure you have memorized the forms and can answer whatever questions appear on the quiz.
	授業内容	What did I do:? Did I stand up? (past tense.) Direct commands.
	事後学習	Practice pronunciation. Make sure you understand why you made your mistakes.

5	事前学習	Model questions. Make sure you can answer the questions without having to think about the answers.
	授業内容	Questions with What, where when and who. Indirect commands.
	事後学習	Make sure you know what to listen for!
6	事前学習	Practice questions with what, where, when and who.
	授業内容	How and why questions with past tense.
	事後学習	Memorize the model answers to “how” and “why” questions.
7	事前学習	Can you answer all questions in the past tense?
	授業内容	Quiz over past tense, dealing with the questions taught
	事後学習	Do you understand your mistakes? Can you understand the teacher’s spoken English?
8	事前学習	The teacher will explain the important parts in indirect questions. Can you hear those parts? If you can’t hear them, be prepared to ask the teacher about that.
	授業内容	Indirect questions with what, when, where, how and why. Drills!
	事後学習	Practice indirect questions with your friends.
9	事前学習	Can you ask and respond to indirect questions?
	授業内容	Indirect questions with “if...” Introduction of intonation. drills.
	事後学習	Practice all indirect questions!
10	事前学習	Can you hear the difference between indirect questions and indirect commands?
	授業内容	Contrast indirect commands and indirect questions.
	事後学習	Practice with friends
11	事前学習	Are you comfortable with direct and indirect questions and commands?
	授業内容	Rules for polite “free conversation” using past tense
	事後学習	Are the rules the same in Japanese?
12	事前学習	What is the point of all of these drills and practice? Where is it leading?
	授業内容	Transfer. Can you use what you have learned in a real conversation? Practice asking other students in class questions about their weekend.
	事後学習	Practice with your friends.
13	事前学習	What will be on the examination? Make sure your notes are complete.
	授業内容	Practice midterm. Practice with weak points. Transfer points (free conversation with past tense and cultural contrasts)
	事後学習	Where did you make mistakes? Ask the teacher if you can’t hear a question or do not know how to respond to it.
14	事前学習	Practice all the forms!
	授業内容	First semester examination Review
	事後学習	Make sure you know where your weak points are!
15	事前学習	Review weak forms.
	授業内容	Discussion
	事後学習	Do you understand your mistakes?

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	ハートリライアン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	A research and presentation based English class: Social, Political, and International Issues 研究とプレゼンテーションをベースにした英語のクラス：社会的、政治的、国際的な問題					
授業目的・到達目標	To master basic English skills through the active practice of all four skills using authentic materials. TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。本物の素材を使用して、すべて4つ技能の積極的な実践を通して、基本的な英語のスキルを習得する。					
履修条件	Individual and group work using student's own research. 英語の学生の研究して、個人およびグループ作業。学期の終わりに研究発表。					
授業方法	Three research presentations at the end of the semester. 学期中の3件の研究発表					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		三つのプロジェクトプレゼンテーションの平均	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	Websites: BBC Learning English, Englishpage.com, Englisch-hilfen.de, ESLgold.com, Englishpage.com, British Council - Phonemic Chart, Englishclub.com, myenglishpages.com					
オフィスアワー	The teacher can be reached at ryanxhartley@gmail.com to arrange a consultation.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	Introduction, getting to know you, course explanation 自己紹介, 議論, コースの説明
	事後学習	第一回授業の復習を行っておくこと。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - preparation I プロジェクト 1 社会問題・文化問題一の準備 I
	事後学習	自分の研究
3	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - preparation II プロジェクト 1 社会問題・文化問題一準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
4	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - presentation I プロジェクト 1 社会問題・文化問題一プロジェクト 1 のプレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る

5	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - presentation II プロジェクト 1 社会問題・文化問題ープロジェクト 1 のプレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - preparation I プロジェクト2 政治問題・経済問題ー準備 I
	事後学習	自分の研究
7	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - preparation II プロジェクト 2政治問題・経済問題ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
8	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - presentation I プロジェクト 2政治問題・経済問題ープレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
9	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - presentation II プロジェクト 2政治問題・経済問題ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 3 (international issue) - preparation I プロジェクト 3国際問題ー準備 I
	事後学習	自分の研究
11	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (international issue) - preparation II プロジェクト 3国際問題ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
12	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (international issue) - presentation I プロジェクト 3国際問題ープレゼンテーション I (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
13	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (international issue) - presentation II プロジェクト 3国際問題ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Class reflections and feedback クラスの反射とフィードバック
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Review 復習
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	Listening & Speaking I A	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve your listening and speaking skills through English-language discussion with your teacher and classmates. You will read and think about English texts.			
授業目的・到達目標	To learn about East Asia in Japanese history through listening to, reading and discussing English texts.To be more confident and skilled in understanding and speaking English. You will learn about important events in East Asian and Japanese history. You will listen to and read English texts. You will discuss those texts, in English, with your teacher and your classmates.			
履修条件	None.			
授業方法	Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.	
教科書	年	出版社	書名	著者名
			前期 「East Asia in Japanese history」 (Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税)	Thomas Lockley
	備考			
参 考 書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.			
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	First lesson Outline of the course
	事後学習	Please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Topic: Ancient Japan and East Asia Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Foreign settlements in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Kim Chung-son Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Korean potters in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Yamada Nagamasa Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Tagawa Matsu Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Zhu Shun-sui Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Chinese merchants and smugglers in Tokugawa Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Sun Yat-sen in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Prince Cuong De Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Takasago volunteers Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Kyaw Din Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Write your reflections on the course.
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the upcoming test
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Test Review
	事後学習	Review

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	アンソニー・トビン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course students will learn the necessary vocabulary and phrases to engage in a wide variety of discussions.				
授業目的・到達目標	The purpose of this course is to expand students' vocabulary and to improve their speaking and listening skills. The objective for this course is for students to learn a wide range of vocabulary and language patterns which will help them communicate actively in a wide variety of situations.				
履修条件	Open to all students.				
授業方法	In this course students will engage in group and whole class discussions.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	50%:short tests, presentation 50%:Participation and effort	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	Oxford		English File Pre-Intermediate Student's Book 3rd Edition	Latham-Koenig Oxenden
	備考				
参 考 書	An English dictionary.				
オフィスアワー	The teacher can be reached at tonymtobin@hotmail.com to arrange a consultation.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5A No time for anything Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
2	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5B Superlative cities Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
3	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 5C How much is too much? Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
4	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 6A Are you pessimist? Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit

5	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 6B I'll never forget you Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
6	事前学習	Read unit Revision for forthcoming test
	授業内容	Unit 6C The meaning of dreaming Skills: English listening and discussion skills Short test
	事後学習	Review unit
7	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7A How to... Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
8	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7B Being happy Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
9	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7C Learn a language in a month! Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
10	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 7C Learn a language in a month! Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
11	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 8B If something can go wrong... Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit
12	事前学習	Read unit
	授業内容	Unit 8C You must be mine Skills: English listening and discussion skills
	事後学習	Review unit Revision for forthcoming test
13	事前学習	Revise all units Revision for forthcoming test
	授業内容	Short test Review
	事後学習	Revise all units
14	事前学習	Revise all units
	授業内容	End of term presentations
	事後学習	Revise all units
15	事前学習	Revise all units
	授業内容	Review
	事後学習	Revise all units

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	P.カレンダー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will improve your listening skills through listening to conversations by native speakers in different situations. Then there is simple conversation practice, usually between two students. Contents include listening and talking about yourself, families, weekend activities, shopping, travel plans, ordering food, and travel, etc.			
授業目的・到達目標	The objective of these classes is to focus on the development of listening skills through the use of authentic materials. The lessons are structured however, to reinforce some speaking and writing skills. To be able to understand reasonably complex and realistic conversations in a wide variety of useful situations and to be able to ask and answer questions on realistic conversation topics to the point of being able to hold a conversation.			
履修条件	This course will benefit first, second and even third year students.			
授業方法	There are 20 lessons in the syllabus, covering so many important basic communications skills laid out in pre-listening activities, pronunciation & listening practice, talking time, and short dictation exercises.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験			
	平 常 評 価	100%	Assessment and reflection, 20%, Final test, 30%, Participation and effort, 30%, Weekly tests, 20%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Macmillan Education	New Airwaves (Second Edition) ISBN: 978-4-7773-6390-2Dale Fuller/Clyde W. Grimm	
	備考			
参 考 書	A dictionary or a Smartphone with a dictionary app.			
オフィスアワー	If you need to contact me outside of lessons, my email is paulkallender@gmail.com. Contact me particularly if you are are ill, or to let me know the reason why you missed a lesson.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please make sure to check you have your textbook in advance
	授業内容	Course outline, expectations, testing, attendance, etc.
	事後学習	Not required, but please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	Please make sure to read the first lesson
	授業内容	Meet Your Lucky Date! (Dating)
	事後学習	Please review your exercises
3	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Traveling Around Japan (Opinions)
	事後学習	Please review your exercises
4	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Highlights in Sports (Discussing sports)
	事後学習	Please review your exercises

5	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Shake, Rattle and Roll (Music, types of music)
	事後学習	Please review your exercises
6	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	I Need a Job! (Work, applying for a job)
	事後学習	Please review your exercises
7	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Mid-Term Review
	事後学習	Please practice your weak points
8	事前学習	Please practice your weak points
	授業内容	Mid-Term Speaking Test
	事後学習	Make a note of major mistakes made
9	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Dare to Dream (Future plans)
	事後学習	Please review your exercises
10	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	I've Got a Question for You! (Evaluating questions)
	事後学習	Please review your exercises
11	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	What's on Your Mind? (Opinions)
	事後学習	Please review your exercises
12	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Holidays to Remember (Travel)
	事後学習	Please review your exercises
13	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Guess What Happened to Me! (Past experiences)
	事後学習	Please review your exercises
14	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Final Review
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
15	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	15 Test Review
	事後学習	Keep your textbook for the future

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	ダイアン ホーリー ナ ガトモ	部 別	第二部	期 間	後期	単 位 数	1
-----	--------------------------	-----	--------------------	-----	-----	-----	----	-------------	---

授業概要	This is a class for students who have little or no confidence in their English ability. We focus on basic grammar structures After two semesters students can will be able to communicate in basic English.				
授業目的・到達目標	Students will improve their speaking and listening skills by taking part in pair work and group discussions. Topics will focus mainly on familiar everyday situations. To develop confidence in communicating in basic English in various every day situations.				
履修条件	This is not a difficult class, but students must be serious and willing to work hard.				
授業方法	Individual work, pair work, group discussions, writing.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	25% : Exam, 75% : Active participation, and worksheets	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2003	Pearson	Side by Side, International Edition, 3rd edition		Stephen Molinsky; Bill Bliss
			Side by Side Activity Workbook 1		Stephen Molinsky; Bill Bliss
	備考	Students without textbook and workbook cannot take this class.			
参 考 書	Textbook, workbook, pen, paper, dictionary				
オフィスアワー	hawley.diane.edla@ocha.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Singular and Plural, clothes, colors
	授業内容	Orientation and Unit 8A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about clothing
	事後学習	Can describe clothing, give compliments
2	事前学習	Adjectives, "this" and "that", cardinal numbers, currency
	授業内容	Unit 8 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about giving and receiving compliments.
	事後学習	Can describe homes
3	事前学習	Simple present tense, languages and nationalities
	授業内容	Unit 9 Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about different languages and nationalities
	事後学習	Can talk about languages and nationalities
4	事前学習	Simple present tense
	授業内容	Unit 9 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about everyday activities
	事後学習	Can talk about everyday activities

5	事前学習	Simple present tense. Habitual actions, people's interests and hobbies
	授業内容	Unit 10 A Unit 9 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about starting conversations
	事後学習	Can start a conversation and ask yes/no questions
6	事前学習	Negatives, short answer
	授業内容	Unit 10 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about hobbies, interests, and days of week
	事後学習	Can talk about hobbies, interests, days of the week, nationalities
7	事前学習	Describe the frequency of action, describe people, the calendar
	授業内容	Unit 11 A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about how often people do things
	事後学習	Can talk about how often people do things
8	事前学習	Time expressions, adverbs of frequency, have/has
	授業内容	Unit 11 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about the things that people do
	事後学習	Can talk about the things that people do
9	事前学習	Feelings and emotion, simple present and present continuous tense
	授業内容	Unit 12 A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about emotions
	事後学習	Can talk about emotions
10	事前学習	Time expressions, interpreting percentages, adverbs of frequency
	授業内容	Unit 12 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about positive and negative emotions
	事後学習	Can talk about emotions and feelings
11	事前学習	Express ability, occupations, looking for a job, can, have to
	授業内容	Unit 13 A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about personal abilities
	事後学習	Can talk about personal abilities
12	事前学習	Can/ have to
	授業内容	Unit 13 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to apologize, give invitations, and answer questions
	事後学習	Can give an invitation, respond to questions in a job interview
13	事前学習	Future: going to, Time expressions
	授業内容	Unit 14 A Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about time, months, and seasons
	事後学習	Can talk about time, months of the year, seasons
14	事前学習	Describing future plans, weather forecasts predictions
	授業内容	Unit 14 B Pair work, pattern practice, drills, writing exercises to talk about the future
	事後学習	Can talk about the future
15	事前学習	Students will study Units 8-14
	授業内容	Test will be given on Units 8-14 Review
	事後学習	Students will be tested on Units 8-14

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	B. ダム	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will help students improve their communicative abilities, especially their listening comprehension and speaking ability.					
授業目的・到達目標	This course will focus on communicative speaking and listening skills. Students will practice and gain confidence in introducing themselves, asking for and giving personal information, and discussing various topics of interestsThe focus of this course will be to improve the students English listening and speaking skills.					
履修条件	Good attendance (75% minimum),active participation, textbook.					
授業方法	Pair work, small group work, class discussions.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		Midterm and final speaking tests (50%) Active participation in class (25%), homework (25%).	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018-2019	Macmillan Education		Breakthrough Plus 1, 2nd Edition.		Miles Craven
	備考					
参 考 書	Textbook, notebook, dictionary, pens/pencils.					
オフィスアワー	Students can contact me at: bjdamm@yahoo.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Come to class well rested and ready to participate.
	授業内容	House hold chores and everyday tasks
	事後学習	Reflection and review of lesson.
2	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Talking about what's happening in your life
	事後学習	Reflection and review of lesson.
3	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Describing people
	事後学習	Reflection and review of lesson.
4	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Future arrangements
	事後学習	Reflection and review of lesson.

5	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Life stories
	事後学習	Reflection and review of lesson.
6	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Describing people
	事後学習	Reflection and review of lesson.
7	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Making future arrangements
	事後学習	Reflection and review of lesson.
8	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Talking about hopes and dreams
	事後学習	Reflection and review of lesson.
9	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	English through movies
	事後学習	Reflection and review of lesson.
10	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Talking about after graduation
	事後学習	Reflection and review of lesson.
11	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Holidays around the world
	事後学習	Reflection and review of lesson.
12	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Sophie's Dilemma
	事後学習	Reflection and review of lesson.
13	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Review
	事後学習	Reflection and review of lesson.
14	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Speaking Test
	事後学習	Reflection and review of lesson.
15	事前学習	Completion of homework and review of lesson.
	授業内容	Speaking Test
	事後学習	Reflection and review of lesson.

科目名	Listening & Speaking I B(金曜5時限)	担当者	J. B. タロフスキー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------------	-----	--------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course the main focus of study will be on the skills of listening and speaking. The other main focus of this class is speaking.			
授業目的・到達目標	To increase the motivation of students to communicate in English by giving them something interesting to study and talk about in class. The other main focus of this class is note taking. By the end of this class students will have a much deeper understanding of American concepts of law and justice and good and bad types of authority and government			
履修条件	an open mind about how to learn language, willingness to work hard and genuine curiosity about cultures			
授業方法	show excerpts from classic American Westerns during which students take notes and answer questions			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	There are from seven to nine short tests given during each semester (60%) ,based on active, motivated and cooperative participation in the class (40%)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	There is no text book for the class		
参 考 書	Students should be ready to use their smartphones to access the internet during class time.			
オフィスアワー	Questions about the contents of the class should be asked during class time (and you will get credit for doing so). Questions about attendance, grades and so forth should be asked only at the end of the class.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	HW : Lawmen of the old west
	授業内容	TheLawlessLawman:LittleBillDaggetinUnforgiven, Judge Bean in The Westerner (1940) and Pop in One Eyed Jacks (1960)
	事後学習	HW : Lawmen of the old west
2	事前学習	HW: Aging Icons
	授業内容	2. Quiz #1. Screening Part 1 of The Man Who Shot Liberty Valance (1962)
	事後学習	HW: Aging Icons
3	事前学習	HW: Ransom' s School
	授業内容	3. Lecture: The Man Who Shot Liberty Valance Screening Part 2 of The Man Who Shot Liberty Valance (1962)
	事後学習	HW: Ransom' s School
4	事前学習	HW: Why Did the Western Change?
	授業内容	4. Quiz #2 Screening Part 3 of The Man Who Shot Liberty Valance (1962)
	事後学習	HW: Why Did the Western Change?

5	事前学習	HW: Introduction to High Noon (1952)
	授業内容	5. Quiz #3 . Going out with guns blazing ; Excerpts from The Shootist (1976) and Ride the High Country (1962)
	事後学習	HW: Introduction to High Noon (1952)
6	事前学習	HW: The Code of Honor
	授業内容	6. Screening High Noon (1952)
	事後学習	HW: The Code of Honor
7	事前学習	HW; The Hollywood Witch Hunts
	授業内容	7. Lecture on High Noon (1952)
	事後学習	HW; The Hollywood Witch Hunts
8	事前学習	HW Images of the American Indian
	授業内容	8. Quiz #4 Early images of the American Indian: Excerpts from Cimmaron, Stagecoach and Drums Along the Mohawk (1939).
	事後学習	HW Images of the American Indian
9	事前学習	HW Weapons and warriors
	授業内容	9. Quiz #5 From torturer and rapist to noble savage . Excerpts from She Wore A Yellow Ribbon (1949), Winchester ' 73 (1950), Broken Arrow (1950)
	事後学習	HW Weapons and warriors
10	事前学習	HW How do you get people to look at what they don't want to see?
	授業内容	10. Quiz #6 John Ford' s Transformation : Excerpts from The Searchers (1956) and Cheyenne Autumn (1964)
	事後学習	HW How do you get people to look at what they don't want to see?
11	事前学習	W The American Counter Culture
	授業内容	11. Quiz #7 Screening Part One Little Big Man (1970)
	事後学習	W The American Counter Culture
12	事前学習	HW Trickster
	授業内容	12. Quiz #8 Screening Part Two of Little Big Man (1970)
	事後学習	HW Trickster
13	事前学習	HW And Now?
	授業内容	13. Quiz #9 Screening Part Three of Little Big Man (1970)
	事後学習	HW And Now?
14	事前学習	HW no homework
	授業内容	14. The music of the West. Listening to the songs and music of Western films.
	事後学習	HW no homework
15	事前学習	HW no homework
	授業内容	15. Comprehensive review and student conferences
	事後学習	HW no homework

科目名	Listening & Speaking I B(月曜5時限・水曜5時限)	担当者	J. B. タロフスキー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------------------	-----	--------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this course the main focus of study will be on the skills of listening and speaking. The other main focus of this class is speaking.			
授業目的・到達目標	To increase the motivation of students to communicate in English by giving them something interesting to study and talk about in class. The other main focus of this class is note taking. By the end of this class students will have a much deeper understanding of American concepts of law and justice and good and bad types of authority and government			
履修条件	an open mind about how to learn language, willingness to work hard and genuine curiosity about cultures			
授業方法	show excerpts from classic American Westerns during which students take notes and answer questions			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	There are from seven to nine short tests given during each semester (60%) ,based on active, motivated and cooperative participation in the class (40%)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	There is no text book for the class		
参考書	Students should be ready to use their smartphones to access the internet during class time.			
オフィスアワー	Questions about the contents of the class should be asked during class time (and you will get credit for doing so). Questions about attendance, grades and so forth should be asked only at the end of the class.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	HW : Lawmen of the old west
	授業内容	TheLawlessLawman:LittleBillDaggetinUnforgiven, Judge Bean in The Westerner (1940) and Pop in One Eyed Jacks (1960)
	事後学習	HW : Lawmen of the old west
2	事前学習	HW: Aging Icons
	授業内容	2. Quiz #1. Screening Part 1 of The Man Who Shot Liberty Valance (1962)
	事後学習	HW: Aging Icons
3	事前学習	HW: Ransom' s School
	授業内容	3. Lecture: The Man Who Shot Liberty Valance Screening Part 2 of The Man Who Shot Liberty Valance (1962)
	事後学習	HW: Ransom' s School
4	事前学習	HW: Why Did the Western Change?
	授業内容	4. Quiz #2 Screening Part 3 of The Man Who Shot Liberty Valance (1962)
	事後学習	HW: Why Did the Western Change?

5	事前学習	HW: Introduction to High Noon (1952)
	授業内容	5. Quiz #3 . Going out with guns blazing ; Excerpts from The Shootist (1976) and Ride the High Country (1962)
	事後学習	HW: Introduction to High Noon (1952)
6	事前学習	HW: The Code of Honor
	授業内容	6. Screening High Noon (1952)
	事後学習	HW: The Code of Honor
7	事前学習	HW; The Hollywood Witch Hunts
	授業内容	7. Lecture on High Noon (1952)
	事後学習	HW; The Hollywood Witch Hunts
8	事前学習	HW Images of the American Indian
	授業内容	8. Quiz #4 Early images of the American Indian: Excerpts from Cimmaron, Stagecoach and Drums Along the Mohawk (1939).
	事後学習	HW Images of the American Indian
9	事前学習	HW Weapons and warriors
	授業内容	9. Quiz #5 From torturer and rapist to noble savage . Excerpts from She Wore A Yellow Ribbon (1949), Winchester ' 73 (1950), Broken Arrow (1950)
	事後学習	HW Weapons and warriors
10	事前学習	HW How do you get people to look at what they don't want to see?
	授業内容	10. Quiz #6 John Ford' s Transformation : Excerpts from The Searchers (1956) and Cheyenne Autumn (1964)
	事後学習	HW How do you get people to look at what they don't want to see?
11	事前学習	W The American Counter Culture
	授業内容	11. Quiz #7 Screening Part One Little Big Man (1970)
	事後学習	W The American Counter Culture
12	事前学習	HW Trickster
	授業内容	12. Quiz #8 Screening Part Two of Little Big Man (1970)
	事後学習	HW Trickster
13	事前学習	HW And Now?
	授業内容	13. Quiz #9 Screening Part Three of Little Big Man (1970)
	事後学習	HW And Now?
14	事前学習	HW no homework
	授業内容	14. The music of the West. Listening to the songs and music of Western films.
	事後学習	HW no homework
15	事前学習	HW no homework
	授業内容	15. Comprehensive review and student conferences
	事後学習	HW no homework

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	M. チャプレン	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	----------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	Students will learn to speak in English. Students will have to be able to deal with direct and indirect questions as well as direct and indirect commands, using these verbs. Students beginning this class with the second semester (1B) are expected to be able to handle the material in the first semester (1a).Students will understand how to respond to questions and will be able to answer questions.			
授業目的・到達目標	Since there is no textbook, excellent attendance is essential. The students will practice a lot of English in class. If they do not practice, they will not pass.			
履修条件	特になし			
授業方法	Teacher will have the students ask and answer questions.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	Final Examination 100%. If the student is absent more than 1/3 of the classes, he/she will not be allowed to take the Final examination.
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参 考 書	None.			
オフィスアワー	e-mail: mchaplan@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	If the students attended the first semester, they must not forget what they learned. If the student is starting at the second semester, the student is expected to know the material of the first semester. If the student does not know what that means, he had better ask the teacher.
	授業内容	Practice with past tense (Results of examination) and discussion
	事後学習	The students should be clear on what sort of things he is expected to know from the first semester.
2	事前学習	Practice with the questions and answers of the first semester.
	授業内容	Introduction of present continuous
	事後学習	How is the present continuous different from the present continuous of Japanese? Also, practice with pronunciation.
3	事前学習	Pronunciation of present continuous. "You're sitting in your chair." The same sound twice!
	授業内容	Contrast present continuous with past tense. Use of all of the vocabulary and structures used in the exam for the first semester.
	事後学習	Hearing the difference between the past and present continuous should be easy. Also the differences in meaning should be easy to understand. If you can't hear or understand... Ask!
4	事前学習	How is the present continuous different from the present tense?
	授業内容	Introduction of present tense with "want to do" and "think."
	事後学習	Practice pronunciation of present tense!

5	事前学習	Does the present tense occur only in certain situations? What situations does it occur in?
	授業内容	Introduction of more present tense verbs, such as “like to do” and the habitual use of present tense. “What do you do?”
	事後学習	Make sure you can hear and answer all questions in present tense, using the verbs you have learned.
6	事前学習	What are your weak points?
	授業内容	What does he do? Where do you live? Quiz contrasting present and present continuous.
	事後学習	Look over your mistakes.
7	事前学習	Can you hear the difference between present and present continuous?
	授業内容	Contrast present tense with present continuous.
	事後学習	Practice pronunciation.
8	事前学習	Think about how to express the future in English
	授業内容	Introduction of how to discuss the future in English, with emphasis on “going to”
	事後学習	Contrast pronunciation of “wanna” and “gonna.”
9	事前学習	Why is “gonna” emphasized?
	授業内容	Contrast with other ways to talk about the future.
	事後学習	Practice with “gonna.”
10	事前学習	Remember that only “gonna” will appear on the exam. If you use any other form of future, it will be considered a mistake.
	授業内容	Practice with the “going to” form of future tense
	事後学習	Practice with your friends. Review past tense. You will see why in the next lesson.
11	事前学習	Contrast English past tense with Japanese past tense. What is the difference?
	授業内容	Present perfect tense, contrasted with past tense
	事後学習	Where is the present perfect used?
12	事前学習	What are polite questions in Japanese.... and impolite questions in Japanese? Why are those questions impolite?
	授業内容	Introduction of tag, negative and personal questions
	事後学習	Make sure you can remember these questions.
13	事前学習	Compare and contrast past tense, present continuous, present tense, be going to, and present perfect.
	授業内容	Practice final examination
	事後学習	What are your weak points? Are your notes complete?
14	事前学習	Are you ready for the exam?
	授業内容	Final Examination Review
	事後学習	Where did you make your mistakes?
15	事前学習	Review your weaknesses.
	授業内容	Discussion
	事後学習	Do you understand your mistakes?

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	ハートリ ライアン	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	-----------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	A research and presentation based English class: Social, Political, and International Issues 研究とプレゼンテーションをベースにした英語のクラス：社会的、政治的、国際的な問題			
授業目的・到達目標	To master basic English skills through the active practice of all four skills using authentic materials. TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。本物の素材を使用して、すべて4つ技能の積極的な実践を通して、基本的な英語のスキルを習得する。			
履修条件	Individual and group work using student's own research. 英語の学生の研究して、個人およびグループ作業。学期の終わりに研究発表。			
授業方法	Three research presentations at the end of the semester. 学期中の3件の研究発表			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	Active participation, final presentation. 積極的な参加、最終的なプレゼンテーション。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	Websites: BBC Learning English, Englishpage.com, Englisch-hilfen.de, ESLgold.com, Englishpage.com, British Council - Phonemic Chart, Englishclub.com, myenglishpages.com			
オフィスアワー	The teacher can be reached at ryanxhartley@gmail.com to arrange a consultation.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	Introduction, getting to know you, course explanation 自己紹介, 議論, コースの説明
	事後学習	第一回授業の復習を行っておくこと。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - preparation I プロジェクト 1 社会問題・文化問題一の準備 I
	事後学習	自分の研究
3	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - preparation II プロジェクト 1 社会問題・文化問題一準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
4	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - presentation I プロジェクト 1 社会問題・文化問題一プロジェクト 1 のプレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る

5	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (social / cultural issue) - presentation II プロジェクト 1 社会問題・文化問題ープロジェクト 1 のプレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - preparation I プロジェクト2 政治問題・経済問題ー準備 I
	事後学習	自分の研究
7	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - preparation II プロジェクト 2政治問題・経済問題ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
8	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - presentation I プロジェクト 2政治問題・経済問題ープレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
9	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (political / economic issue) - presentation II プロジェクト 2政治問題・経済問題ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 3 (international issue) - preparation I プロジェクト 3国際問題ー準備 I
	事後学習	自分の研究
11	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (international issue) - preparation II プロジェクト 3国際問題ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
12	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (international issue) - presentation I プロジェクト 3国際問題ープレゼンテーション I (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
13	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (international issue) - presentation II プロジェクト 3国際問題ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Class reflections and feedback クラスの反射とフィードバック
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Review 復習
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	Listening & Speaking I B	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve your listening and speaking skills through English-language discussion with your teacher and classmates. You will read and think about English texts.				
授業目的・到達目標	To learn about multicultural stories from modern Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding and speaking English. You will learn about important events in modern Japanese history. You will listen to and read English texts. You will discuss those texts, in English, with your teacher and your classmates.				
履修条件	None				
授業方法	Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				前期 「Multicultural Stories from Modern Japan」 (Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税	Thomas Lockley
	備考				
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.				
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Topic: Tei Ei-kei Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
2	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Kairakutei Black Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Victor Starrfin Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Rash Behari Bose Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Leo Sirota Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Chen Kenmin Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Rikidozan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Ando Momofuku Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Korean food in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Oh Sadaharu Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Konishiki Yasokichi Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Murata Renho Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Son Masayoshi Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Write your reflections on the course.
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the upcoming test
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Test Review
	事後学習	Review

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.				
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in this class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75% and speaking/listening test 25%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Oxford UP		American Headway Book 1 Second Edition	Liz&John Soars
	備考				
参 考 書	None				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 1, Hello! Meeting and greeting people.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2A, Countries. Talking about different countries in the world.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2B, Numbers. Learning about numbers and how to use them.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3A, Ourselves. Talking about ourselves and who we are.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3B, Jobs. Different kinds of work that people do.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4A, Family. The people in our families and how we feel about them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4B, Friends. The people we like to spend time with, beside our families.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5A, Activities. Things we like to do in our spare time.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5B, Money. Using money to buy things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6A, Time. Expressions of time and when we do things during the day.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6B, Daily Actions. What we do every day.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7A, Describing Things. Talking about how things look and act.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7B, Abilities. Things we can and cannot do.
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	J. ウッド	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.				
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in this class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75% and speaking/listening test 25%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Oxford UP		American Headway Starter Second Edition	Liz&John Soars
	備考				
参 考 書	None				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 1, Hello! Meeting and greeting people.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2A, Countries. Talking about different countries in the world.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2B, Numbers. Learning about numbers and how to use them.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3A, Ourselves. Talking about ourselves and who we are.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3B, Jobs. Different kinds of work that people do.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4A, Family. The people in our families and how we feel about them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4B, Friends. The people we like to spend time with, beside our families.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5A, Activities. Things we like to do in our spare time.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5B, Money. Using money to buy things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6A, Time. Expressions of time and when we do things during the day.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6B, Daily Actions. What we do every day.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7A, Describing Things. Talking about how things look and act.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7B, Abilities. Things we can and cannot do.
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	トーマス・ロックリー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In the first semester you will learn English through hearing the stories of some interesting men and women who have helped make international history in East-Asia.				
授業目的・到達目標	You will practice English reading, writing,listening and speaking skills.				
履修条件	There are no particular conditions apart from regular attendance and a positive attitude.				
授業方法	This class follows the concept of learning content (history and modern society) through learning English.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	Vocabulary and reflection 20%, Semester Test 30%, Spelling tests 20%, Participation and effort 30%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	DTP出版		East Asia in Japanese History	Thomas Lockley
	備考	授業が始まる前に教科書を必ず買ってください。			
参 考 書	None				
オフィスアワー	9:30-10:30am Thursdays or email lockleyta@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Theme: First Lesson and Course Introduction.
	事後学習	Learn new vocabulary for the short test.
2	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Ancient Japan and East-Asia. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
3	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Foreign Settlements in Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
4	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Kim Chung-son. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.

5	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Korean Potters in Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
6	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Yamada Nagamasa. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
7	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Tagawa Matsu. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
8	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Zhu Shun-sui. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
9	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Chinese Merchants and Smugglers in Tokugawa Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
10	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Sun Yat-sen in Japan. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
11	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Prince Cuong De. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
12	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: The Takasago Volunteers. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
13	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Theme: Kyaw Din. Skills: Reading, writing, listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflection and learn new vocabulary.
14	事前学習	Revise for the test.
	授業内容	Theme: Revision
	事後学習	Revise for the test.
15	事前学習	Revise for the test.
	授業内容	Theme: Semester Test and review.
	事後学習	Reflect on the semester.

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	P.カレンダー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will improve your listening skills through listening to conversations by native speakers in different situations. Then there is simple conversation practice, usually between two students. Contents include listening and talking about yourself, families, weekend activities, shopping, travel plans, ordering food, and travel, etc.			
授業目的・到達目標	The objective of these classes is to focus on the development of listening skills through the use of authentic materials. The lessons are structured however, to reinforce some speaking and writing skills. To be able to understand reasonably complex and realistic conversations in a wide variety of useful situations and to be able to ask and answer questions on realistic conversation topics to the point of being able to hold a conversation.			
履修条件	This course will benefit first, second and even third year students.			
授業方法	There are 20 lessons in the syllabus, covering so many important basic communications skills laid out in pre-listening activities, pronunciation & listening practice, talking time, and short dictation exercises.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50% = two tests of 50% each; participation and effort= 25%; textbook check = 25%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Macmillan Education	New Airwaves (Second Edition) ISBN: 978-4-7773-6390-2	Dale Fuller/Clyde W. Grimm
	備考			
参考書	English learners dictionary or an electronic dictionary			
オフィスアワー	If you need to contact me outside of lessons, my email is paulkallender@gmail.com. Contact me particularly if you are are ill, or to let me know the reason why you missed a lesson.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please make sure to check you have your textbook in advance
	授業内容	Course outline, expectations, testing, attendance, etc.
	事後学習	Please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	You're an Interesting Person! (Introductions)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
3	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	What an Unusual Family! (Exchanging family information, etc.)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
4	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	TGIF (Thank God It's Friday) (Weekend activities)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book

5	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Wow! Everything's on Sale (Shopping)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
6	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Mid-Term Review
	事後学習	Please practice your weak points.
7	事前学習	Please practice your weak points.
	授業内容	Mid-Term Speaking Test
	事後学習	Make a note of major mistakes made.
8	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Listen to That Engine! (Driving)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
9	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Got Any Travel Plans? (Traveling)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
10	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	That's Not Pizza! (Food choices, ordering)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
11	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Welcome to Las Vegas (Hotels, booking, schedules)
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
12	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Hey Look at Her! (Personal appearances)
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point.
13	事前学習	Make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Final Review
	事後学習	Please make sure to complete exercises in the book
14	事前学習	Please review your exercises
	授業内容	End-of-Term Speaking Test
	事後学習	Please make a note of mistakes
15	事前学習	Please make sure to review your dictation scripts
	授業内容	Review of dictation and listening challenge exercises
	事後学習	Please keep your textbook for follow-up

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	スコットA.リー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this class will use an assigned text to focus on improving your English listening and speaking abilities. In interacting with the material and each other, you will also advance your critical thinking, discussion and presentation skills.					
授業目的・到達目標	By the end of the course, you should be able to better comprehend spoken English, raise thoughtful questions and express your ideas in English.					
履修条件	You have sufficient high-school level English knowledge. Regular attendance and preparation are required.					
授業方法	First, complete listening practice and vocabulary building exercises. Then in pairs and groups go over answers. Finally, carry out speaking activities. Some classes will be used for a group interview project.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		Tests (40%), Assignments & quizzes (30%), Group project (30%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	MacMillan		Skillful: Listening & Speaking (Student's Book Pack 1)		Lida Baker & Steven Gershon
	備考					
参 考 書	None					
オフィスアワー	Please contact the instructor at (s.ree@mac.com) for any questions or to arrange a meeting.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to introduce yourself in English to other class members.
	授業内容	Course introduction
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
2	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 1: Psychology
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
3	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 2: Child Development
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
4	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 3: Biology
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.

5	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 4: Popular Science
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
6	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 5: Urban Planning & Architecture
	事後学習	Review English learned in the first half of the course and prepare for the mid-term test.
7	事前学習	Review required material and prepare for the mid-term test.
	授業内容	Mid-term test (On Topics 1~4) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
8	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 6: Media Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
9	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 7: Medicine
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
10	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 8: Forensic Science
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
11	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project preparation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
12	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
13	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
14	事前学習	Review required material and prepare for the final test
	授業内容	Final Test (On Topics 5~8) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
15	事前学習	Review the material covered in the course.
	授業内容	Test and course review
	事後学習	Review English learned in the lesson and set goals for advancing your English ability over the summer.

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	ダイアン ホーリー ナ ガトモ	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	--------------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This is a topic based listening and speaking course.Students will exchange opinions and share ideas. on a variety of topics.			
授業目的・到達目標	To be able to speak fluently on a variety of conversational topics, to be able to listen to and understand a different accents and voices, and be able to express own opinions and state own ideas.			
履修条件	Students MUST have textbook and MUST participate. Attendance is mandatory.			
授業方法	Pair practice, group discussion, listening exercises, written homework, quizzes, and exam.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	30% : A quiz after each unit,70% : Quizzes, homework, class participation and effort, exam	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008	Cambridge University Press	Let's Talk 1, Second Edition	Cambridge University Press
	備考	Textbook and class participation is mandatory.		
参 考 書	Textbook, notebook, pens, paper, dictionary			
オフィスアワー	hawley.diane.edla@ocha.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Introduction to the class
	授業内容	Orientation: Communicating in English. Pair work, listening, and self introductions
	事後学習	Students will understand the criteria for this course.
2	事前学習	Self introductions, exchanging personal information
	授業内容	Unit 1 Communicating in English: Exchanging personal information through air work, listening and group discussion.
	事後学習	Can talk about phone numbers, email addresses, ages, birthdays.
3	事前学習	Describing personal experience
	授業内容	Unit 2A What do they look like? Role plays, pair work, and discussion about people's appearances.
	事後学習	Can use adjectives to describe people
4	事前学習	Describing personality charactersitcis
	授業内容	Unit 2B Your personality. Role plays, pair work, listening activities and discussion about people's personalities.
	事後学習	Can talk about and listen to conversations concerning personality characteristics

5	事前学習	To talk about free-time activities and hobbies
	授業内容	Unit 3A Talking about hobbies. Role plays, pair work, listening activities and discussion about hobbies and interests.
	事後学習	Can talk about and listen to conversations about hobbies and interests
6	事前学習	To talk about different sports, to compare likes and dislikes
	授業内容	Unit 3B Sports: Role plays, pair work, listening activities, and discussion about traditional and extreme sports
	事後学習	Can describe and listen to conversations about various sports.
7	事前学習	To talk about family relationships; to understand vocabulary describing families
	授業内容	Unit 4A Families. Role plays, pair work, listening activities and discussion about your own and other people's families
	事後学習	Can talk about families, relatives, and different livings situations
8	事前学習	To talk about friends; to understand people talking about what they like to do with friends.
	授業内容	Unit 4B Friends Role plays, pair work, listening activities and discussion about your own and other people's friends
	事後学習	Can talk about the qualities of a good friend.
9	事前学習	To talk about clothes and shopping
	授業内容	Unit 5A Money: Role plays, pair work, listening activities and discussion about shopping and spending money
	事後学習	Can understand people talking about shopping and can describe recent purchases
10	事前学習	To talk about ways of saving money; to understand people talking about how they save money
	授業内容	Unit 5B Saving and spending. Role plays, pair work, listening activities and discussion about saving money
	事後学習	Can talk about attitudes toward money
11	事前学習	To talk about various kinds of travel
	授業内容	Unit 6A: Travel and Tourism. Role play, pair work, listening activities and discussion about travel in Japan
	事後学習	Can talk about trips taken in the past
12	事前学習	To discuss international travel
	授業内容	Unit 6B: International travel and tourism. Role play, pair work, listening activities and discussion about international travel.
	事後学習	Can discuss and understand conversations about foreign vacations
13	事前学習	To talk about various kinds of food served in restaurants
	授業内容	Unit 7A Food and drink. Role play, pair work, listening activities and discussion food in restaurants.
	事後学習	Can talk about favorite foods and how food tastes.
14	事前学習	To talk about food eaten around the world
	授業内容	Unit 7B Food and Drink Role play, pair work, listening activities and discussion about food from around the world.
	事後学習	Can talk about ethnic food and compare different flavors
15	事前学習	Students will be tested on Units 1-7
	授業内容	Semester Test Students will be given a test on Units 1-7 Review
	事後学習	Students will demonstrate knowledge and understanding of Units 1-7

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	B. ダム	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will help students improve their English skills, especially listening comprehension and their speaking abilities. Vocabulary building and grammar instruction will also be part of the lesson.				
授業目的・到達目標	Students will enjoy improving their language skills through the study of a variety of interesting topics. Active participation in pair work and small group discussions will help learners improve their fluency and confidence in English. Funny stories, movies, and music will also be an important part of the class.The aim of this course will be to improve the student's English speaking and listening skills.				
履修条件	Good attendance (75% minimum), active participation, textbook.				
授業方法	Pair work, small group work, class discussions.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	.	
	平 常 評 価		100%	There will be a midterm and final speaking exam (50%) , active in-class participation, homework. (50%).	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018-2019	Macmillan Education		Breakthrough Plus 2, 2nd Edition	Miles Craven
	備考				
参 考 書	Textbook, notebook, dictionary, pens/pencils.				
オフィスアワー	Students can contact me at: bjdamm@yahoo.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Come to class well rested and prepared to participate.
	授業内容	Instructor and course introduction
	事後学習	Reflection and review of lesson.
2	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Introducing yourself / Introducing a friend
	事後学習	Reflection and review of lesson.
3	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Lifestyles
	事後学習	Reflection and review of lesson.
4	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Leisure: hobbies & interests
	事後学習	Reflection and review of lesson.

5	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Likes and dislikes
	事後学習	Reflection and review of lesson.
6	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Getting along: requests & permission
	事後学習	Reflection and review of lesson.
7	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Celebrations & Holidays
	事後学習	Reflection and review of lesson.
8	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Favorite hobbies and interests
	事後学習	Reflection and review of lesson.
9	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Storytelling 1
	事後学習	Reflection and review of lesson.
10	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Storytelling 2
	事後学習	Reflection and review of lesson.
11	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Future plans and decisions
	事後学習	Reflection and review of lesson.
12	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Summer fun
	事後学習	Reflection and review of lesson.
13	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Review
	事後学習	Reflection and review of lesson.
14	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Speaking Test
	事後学習	Reflection and review of lesson.
15	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Speaking Test
	事後学習	Reflection and review of lesson.

科目名	Listening & Speaking II A	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve your listening and speaking skills through English-language discussion with your teacher and classmates. You will read and think about English texts.			
授業目的・到達目標	To learn about East Asia in Japanese history through listening to, reading and discussing English texts.To be more confident and skilled in understanding and speaking English. You will learn about important events in East Asian and Japanese history. You will listen to and read English texts. You will discuss those texts, in English, with your teacher and your classmates.			
履修条件	None.			
授業方法	Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.	
教科書	年	出版社	書名	著者名
			前期 「East Asia in Japanese history」 (Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税)	Thomas Lockley
	備考			
参 考 書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.			
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	First lesson Outline of the course
	事後学習	Please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Topic: Ancient Japan and East Asia Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Foreign settlements in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Kim Chung-son Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Korean potters in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Yamada Nagamasa Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Tagawa Matsu Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Zhu Shun-sui Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Chinese merchants and smugglers in Tokugawa Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Sun Yat-sen in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Prince Cuong De Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: The Takasago volunteers Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Kyaw Din Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Write your reflections on the course
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the upcoming test
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Test Review
	事後学習	Review

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.				
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in this class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75%, speaking/listening test 25%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Oxford UP		American Headway Book 1 Second Edition	Liz&John Soars
	備考				
参 考 書	None				
オフィス アワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 8A, House. Talking about where we live.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8B, Directions. How to tell someone where to go.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9A, Past. Talking about things in the past.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9B, Months and dates. When we do things and saying the dates in months.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10A, Weekend. What we like to do on weekends.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10B, Seasons. Doing things at different times of the year.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11A, Requests. Asking people to help us do things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11B, Internet. Things people like doing on the Internet.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12A, Shopping. Going out and buying things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12B, Restaurant. Ordering food in a restaurant.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 13A, Now. Doing things right now.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 13B, Feelings. Talking about how we feel, including illness.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 14, Future. Talking about what will happen in the future.
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	J. ウッド	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.				
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in this class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75%, speaking/listening test 25%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Oxford UP		American Headway Starter Second Edition	Liz&John Soars
	備考				
参 考 書	None				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 8A, House. Talking about where we live.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8B, Directions. How to tell someone where to go.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9A, Past. Talking about things in the past.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9B, Months and dates. When we do things and saying the dates in months.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10A, Weekend. What we like to do on weekends.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10B, Seasons. Doing things at different times of the year.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11A, Requests. Asking people to help us do things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11B, Internet. Things people like doing on the Internet.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12A, Shopping. Going out and buying things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12B, Restaurant. Ordering food in a restaurant.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 13A, Now. Doing things right now.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 13B, Feelings. Talking about how we feel, including illness.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 14, Future. Talking about what will happen in the future.
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	トーマス・ロックリー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will learn about multicultural Japan through the stories of (originally) non-Japanese politicians, entertainers, business people and sport stars who have helped make modern Japanese society.					
授業目的・到達目標	You will practice English reading, writing, listening and speaking skills.					
履修条件	There are no particular conditions apart from regular attendance and a positive attitude.					
授業方法	This class follows the idea of learning content (history and modern society) through learning English.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		Vocabulary and reflection 20%, Semester Test 30%, Spelling tests 20%, Participation and effort 30%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	DTP出版		Multicultural Stories from Modern Japan		Thomas Lockley
	備考	授業が始まる前に必ず教科書を買ってください。				
参 考 書	None					
オフィスアワー	9:30-10:30am Thursdays or email lockleyta@gmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Tei Ei-Kei
	事後学習	Skills: Listening and speaking in English. Finish reflections and learn new words.
2	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Kairakutei Black
	事後学習	Skills: Listening and speaking in English. Finish reflections and learn new words.
3	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Victor Starrfin
	事後学習	Skills: Listening and speaking in English. Finish reflections and learn new words.
4	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Rash Behari Bose
	事後学習	Skills: Listening and speaking in English. Finish reflections and learn new words.

5	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Leo Sirota Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
6	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Chen Kenmin Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
7	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Rikidozan Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
8	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Ando Momofuku Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
9	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Korean food in Japan Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
10	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Oh Sadaharu Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
11	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Konishiki Yasokichi Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
12	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Murata Renho Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
13	事前学習	Learn new vocabulary for the short test.
	授業内容	Son Masayoshi Skills: Listening and speaking in English.
	事後学習	Finish reflections and learn new words.
14	事前学習	Revise for the semester test.
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the semester test.
15	事前学習	Revise for the semester test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Reflect on the semester.

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	P.カレンダー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will improve your listening skills through listening to conversations by native speakers in different situations. Then there is simple conversation practice, usually between two students. Contents include listening and talking about yourself, families, weekend activities, shopping, travel plans, ordering food, and travel, etc.			
授業目的・到達目標	The objective of these classes is to focus on the development of listening skills through the use of authentic materials. The lessons are structured however, to reinforce some speaking and writing skills. To be able to understand reasonably complex and realistic conversations in a wide variety of useful situations and to be able to ask and answer questions on realistic conversation topics to the point of being able to hold a conversation.			
履修条件	This course will benefit first, second and even third year students.			
授業方法	There are 20 lessons in the syllabus, covering so many important basic communications skills laid out in pre-listening activities, pronunciation & listening practice, talking time, and short dictation exercises.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験			
	平 常 評 価	100%	Assessment and reflection, 20%, Final test, 30%, Participation and effort, 30%, Weekly tests, 20%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	Macmillan Education	New Airwaves (Second Edition) ISBN: 978-4-7773-6390-2Dale Fuller/Clyde W. Grimm	
	備考			
参 考 書	A dictionary or a Smartphone with a dictionary app.			
オフィスアワー	If you need to contact me outside of lessons, my email is paulkallender@gmail.com. Contact me particularly if you are are ill, or to let me know the reason why you missed a lesson.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please make sure to check you have your textbook in advance
	授業内容	Course outline, expectations, testing, attendance, etc.
	事後学習	Not required, but please make sure to read the first lesson before the next lesson
2	事前学習	Please make sure to read the first lesson
	授業内容	Meet Your Lucky Date! (Dating)
	事後学習	Please review your exercises
3	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Traveling Around Japan (Opinions)
	事後学習	Please review your exercises
4	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Highlights in Sports (Discussing sports)
	事後学習	Please review your exercises

5	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Shake, Rattle and Roll (Music, types of music)
	事後学習	Please review your exercises
6	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	I Need a Job! (Work, applying for a job)
	事後学習	Please review your exercises
7	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Mid-Term Review
	事後学習	Please practice your weak points
8	事前学習	Please practice your weak points
	授業内容	Mid-Term Speaking Test
	事後学習	Make a note of major mistakes made
9	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Dare to Dream (Future plans)
	事後学習	Please review your exercises
10	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	I've Got a Question for You! (Evaluating questions)
	事後学習	Please review your exercises
11	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	What's on Your Mind? (Opinions)
	事後学習	Please review your exercises
12	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Holidays to Remember (Travel)
	事後学習	Please review your exercises
13	事前学習	Please make sure to read the lesson beforehand
	授業内容	Guess What Happened to Me! (Past experiences)
	事後学習	Please review your exercises
14	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	Final Review
	事後学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
15	事前学習	Please make sure to complete all the exercises up to this point. Please practice with a partner in preparation for the test.
	授業内容	15 Test Review
	事後学習	Keep your textbook for the future

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	スコットA.リー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this class will use an assigned text to focus on improving your English listening and speaking abilities. In interacting with the material and each other, you will also advance your critical thinking, discussion and presentation skills.					
授業目的・到達目標	By the end of the course, you should be able to better comprehend spoken English, raise thoughtful questions and express your ideas in English.					
履修条件	You have sufficient high-school level English knowledge. Regular attendance and preparation are required.					
授業方法	First, complete listening practice and vocabulary building exercises. Then in pairs and groups go over answers. Finally, carry out speaking activities. Some classes will be used for a group interview project.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		Tests (40%), Assignments & quizzes (30%), Group project (30%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	MacMillan		Skillful: Listening & Speaking (Student's Book Pack 1)		Lida Baker & Steven Gershon
	備考					
参 考 書	None					
オフィスアワー	Please contact the instructor at (s.ree@mac.com) for any questions or to arrange a meeting.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to talk, based on your notes, about English related experiences or interactions you have had during the summer break.
	授業内容	Set goals for the 2nd term and report on English related experiences or interactions you have had during the summer break.
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
2	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 1: Travel
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
3	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 2: Urban Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
4	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 3: Culinary Arts
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.

5	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 4: Neuroscience
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
6	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 5: Environmental Skills
	事後学習	Review English learned in the first half of the course and prepare for the mid-term test.
7	事前学習	Review required material and prepare for the mid-term test.
	授業内容	Mid-term test (On Topics 1~4) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
8	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 6: Literary Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
9	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 7: Human Behaviour
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
10	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 8: Economics
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
11	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project preparation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
12	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
13	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
14	事前学習	Review required material and prepare for the final test
	授業内容	Final Test (On Topics 5~8) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
15	事前学習	Review the material covered in the course.
	授業内容	Test and course review
	事後学習	Review English learned in the lesson and set goals for advancing your English ability for you future career.

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	ダイアン ホーリー ナ ガトモ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	--------------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This is a topic based listening and speaking course.Students will exchange opinions and share ideas. on a variety of topics.					
授業目的・到達目標	To be able to speak fluently on a variety of conversational topics, to be able to listen to and understand a different accents and voices, and be able to express own opinions and state own ideas.					
履修条件	Students must be willing to work in pairs and groups.					
授業方法	Pair practice, group discussion, listening exercises, written homework, quizzes, and a final exam.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		30% : Quizzes, 70% : Participation and effort, quizzes, homework, exam	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008	Cambridge University Press		Let's Talk 1, Second edition		Leo Jones
	備考	Students MUST have textbook and MUST participate. Attendance is mandatory.				
参 考 書	TEXTBOOK notebook, pens, paper, dictionary					
オフィスアワー	hawley.diane.edla@ocha.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Different kinds of movies
	授業内容	Orientation 8A Movies. Exercises involve describing different genres of movies Pair work and group discussion.
	事後学習	Can talk about different movies, and what they liked and disliked about them
2	事前学習	Different kinds of TV programs
	授業内容	Unit 8B Television. Pair work, listening activities, discussion about different kinds of TV programs and role plays.
	事後学習	Can discuss various kinds of television shows and express likes and dislikes
3	事前学習	to talk about healthy and unhealthy lifestyles
	授業内容	Unit 9A Staying healthy. Talking about different ways to have a healthy lifestyle. Pair work, discussions, role plays.
	事後学習	Can talk about health problems, understand people, give advice on health problems
4	事前学習	To talk about personal sleeping habits
	授業内容	Unit 9 B Sleep and dreams. Pair work, role plays, listening activities and discussions about personal sleeping habits.
	事後学習	Can talk about sleep and dreams

5	事前学習	To discuss the challenges of remembering things
	授業内容	Unit 10 A Memory. Pair work, discussions, listening activities and role plays about how to remember things.
	事後学習	Can talk about techniques for improving the memory.
6	事前学習	To talk about difficult situations and discuss solutions to them
	授業内容	Unit 10 B Problems and advice. Role plays, pair work, and discussion of difficult situations and solutions.
	事後学習	Can understand advice being given and give advice
7	事前学習	To understand people giving directions
	授業内容	Unit 11 A Transportation and giving directions. Role plays, pair work, and discussion on asking for and giving directions.
	事後学習	Can follow and give directions
8	事前学習	To understand people talking about their cities
	授業内容	Unit 11 B Sightseeing and leisure activities. Role plays, pair work and discussion on talking about their own towns.
	事後学習	Can talk about sightseeing attractions in different cities
9	事前学習	To talk about various holidays
	授業内容	Unit 12 A Holidays in the US and elsewhere. Role plays, pair work and discussion about holidays around the world.
	事後学習	Can understand and talk about holidays
10	事前学習	To talk about polite and impolite behavior
	授業内容	Unit 12 B Manners and customs. Role play, pair work and discussion about polite behavior in Japan and the world
	事後学習	Can discuss manners, customs, and inappropriate and appropriate behavior
11	事前学習	To talk about celebrities around the world
	授業内容	Unit 13 B Famous people in the present: Role play, pair work, discussion about Japanese and international celebrities.
	事後学習	Can describe celebrities
12	事前学習	To understand people talking about inventions
	授業内容	Unit 13 B: Famous people: Role play, pair work and discussion about important inventions that changed the world.
	事後学習	Can talk about famous people in the past
13	事前学習	To talk about rooms and furniture; to discuss different tastes in home styles
	授業内容	Unit 14 A: Homes. Role play, pair work, and discussion about what students consider to be an ideal home.
	事後学習	Can talk about an ideal home
14	事前学習	To talk about unusual homes
	授業内容	Unit 14 A Unusual homes. Role play, pair work, and discussion about different kinds of unusual homes in the world.
	事後学習	Can give opinions on housing preferences
15	事前学習	Students will review lessons 8-14 before the test
	授業内容	Semester Test: Students will be tested on chapters 8-14 from the textbook. Review
	事後学習	Students should be able to understand the content of lessons 8-14

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	B. ダム	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course will help students improve their English skills, especially their listening comprehension and speaking abilities.					
授業目的・到達目標	Students will enjoy improving their language skills through the study of a variety of interesting topics. Active participation in pair work and small group discussions will help learners improve both their fluency and confidence in English. Funny stories, movies, and music will also be an important part of the class. The aim of this course is to help students greatly improve their English speaking and listening skills.					
履修条件	Good attendance (75% minimum), active participation, textbook.					
授業方法	Pair work, small group work, class discussions.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%		.	
	平 常 評 価		100%		Midterm and final speaking test (50%) ,active in-class participation (25%), homework(25%).	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018-2019	Macmillan Education		Breakthrough Plus 2, 2nd Edition		Miles Craven
	備考					
参 考 書	Textbook, notebook, dictionary, pens/pencils.					
オフィスアワー	Students can contact me at: bjdamm@yahoo.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Come to every class well rested and ready to participate.
	授業内容	Food and Drinks
	事後学習	Reflection and review of lesson.
2	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Rules in your life
	事後学習	Reflection and review of lesson.
3	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Health: Giving advice and suggestions
	事後学習	Reflection and review of lesson.
4	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Comparatives & Superlatives
	事後学習	Reflection and review of lesson.

5	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Talking about rules in your life
	事後学習	Reflection and review of lesson.
6	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Adventure activities
	事後学習	Reflection and review of lesson.
7	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Advice and suggestions about health
	事後学習	Reflection and review of lesson.
8	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	English through movies
	事後学習	Reflection and review of lesson.
9	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Part-time jobs
	事後学習	Reflection and review of lesson.
10	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Technology in your life
	事後学習	Reflection and review of lesson.
11	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Holidays around the world
	事後学習	Reflection and review of lesson.
12	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	The Cultural and Spiritual meaning of Christmas
	事後学習	Reflection and review of lesson.
13	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Review
	事後学習	Reflection and review of lesson.
14	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Speaking test
	事後学習	Reflection and review of lesson.
15	事前学習	Completion of any assigned homework and review of previous lesson.
	授業内容	Speaking test
	事後学習	Reflection and review of lesson.

科目名	Listening & Speaking II B	担当者	G. ハイデン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	You will improve your listening and speaking skills through English-language discussion with your teacher and classmates. You will read and think about English texts.			
授業目的・到達目標	To learn about multicultural stories from modern Japan through listening to, reading and discussing English texts. To be more confident and skilled in understanding and speaking English. You will learn about important events in modern Japanese history. You will listen to and read English texts. You will discuss those texts, in English, with your teacher and your classmates.			
履修条件	None			
授業方法	Listening, reading and brief writing tasks. Pair-, group- and class-discussion. Weekly vocabulary tests.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	Assessment and reflection 20%. Final test 30%. Participation and effort 30%. Weekly tests 20%.
教科書	年	出版社	書名	著者名
			前期 「Multicultural Stories from Modern Japan」 (Thomas Lockley、DTP出版、1,700円＋税	Thomas Lockley
	備考			
参考書	A dictionary, or a smartphone with a dictionary app.			
オフィスアワー	Email gary@garyhayden.co.uk Please ask questions after the class, or by e-mail.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	You will be given a vocabulary test each week. So please be prepared.
	授業内容	Topic: Tei Ei-kei Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	You will need to learn some new vocabulary each week. There will be a small vocabulary test at the beginning of each lesson.
2	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Kairakutei Black Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
3	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Victor Starrfin Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
4	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Rash Behari Bose Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.

5	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Leo Sirota Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
6	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Chen Kenmin Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
7	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Rikidozan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
8	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Ando Momofuku Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
9	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Korean food in Japan Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
10	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Oh Sadaharu Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
11	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Konishiki Yasokichi Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
12	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Murata Renho Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Learn new vocabulary.
13	事前学習	Prepare for vocabulary test.
	授業内容	Topic: Son Masayoshi Skills: Listening and speaking skills in English. Reading and understanding an English text.
	事後学習	Write your reflections on the course
14	事前学習	Revise all of the course vocabulary
	授業内容	Revision
	事後学習	Revise for the upcoming test
15	事前学習	Prepare for semester test
	授業内容	Test Review
	事後学習	Review

科目名	Listening & Speaking ⅢA	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English speaking and listening abilities.				
授業目的・到達目標	We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English				
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.				
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in the class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75% speaking/listening test 25%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
		Longman/Pearson	New Total English Elementary		Foley/Hall
	備考				
参 考 書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready for next class.
2	事前学習	Start thinking in English.
	授業内容	Lesson 1 Nationalities. Where people come from and what their countries are like.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 2 Favorite Things. What we have and what we like to do with them.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 3 Celebrations. Holidays from around the world.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 4 Modern World. The latest in technology and useful items.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 5 Traveling. Getting around from one place to another.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 6 Possessions. What we have and how we use them.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 7 Sports. Activities that we like to watch and do.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 8 Shopping. Buying what we like and different kinds of shops.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 9 Places. Areas that are interesting to see.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 10 Weekend. Leisure activities that we can do in our free time.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 11 Office. The workplace and the kinds of jobs available.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 12 Family. The people we are related to, their looks and personalities.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Review
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Listening and Speaking Test and review.
	事後学習	Enjoy learning English.

科目名	Listening & Speaking ⅢA	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English speaking and listening skills.			
授業目的・到達目標	This is a high-level class. Students must be willing to speak English eagerly! We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening ability.Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.			
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.			
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in the class.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75%, Speaking/Listening Test 25%
教科書	年	出版社	書名	著者名
		Pearson/Longman	New Total English Pre-intermediate	Crace/Acklam
	備考			
参 考 書	なし			
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 1 Personalities. What people are like.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2 Home. Where we live, including our houses and neighborhoods.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3 Memories. What we most recall about when we were young.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4 Money. How to spend it and save it.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5 Obligation. Things we must do for ourselves and others.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6 Holiday. What we can do when we have the time and money to do it.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7 Childhood. Our lives when we were younger.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8 Services. Things that we can use where we live.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9 Imagination. How to think in creative ways.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10 Description. Saying what things are really like.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11 Predictions. Talking about what we think will happen in the future.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12 Accidents. Things that we don't expect to happen.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Review
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking ⅢA	担当者	スコットA.リー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this class will use an assigned text to focus on improving your English listening and speaking abilities. In interacting with the material and each other, you will also advance your critical thinking, discussion and presentation skills.					
授業目的・到達目標	By the end of the course, you should be able to better comprehend spoken English, raise thoughtful questions and express your ideas in English.					
履修条件	You have conversational English ability above Level II. Regular attendance and preparation are required.					
授業方法	First, complete listening practice and vocabulary building exercises. Then in pairs and groups go over answers. Finally, carry out speaking activities. Some classes will be used for a group interview project.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		Tests (40%), Assignments & quizzes (30%), Group project (30%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	MacMillan		Skillful:Listening & Speaking(Student's Book Pack 2)		David Bohlke その他の著者
	備考					
参 考 書	None					
オフィスアワー	Please contact the instructor at (s.ree@mac.com) for any questions or to arrange a meeting.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to introduce yourself in English to other class members.
	授業内容	Course introduction
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
2	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 1: Health and Nutrition
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
3	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 2: Psychology
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
4	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 3: Social Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.

5	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 4: Current Affairs
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
6	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 5: Design and Urban Studies
	事後学習	Review English learned in the first half of the course and prepare for the mid-term test.
7	事前学習	Review required material and prepare for the mid-term test.
	授業内容	Mid-term test (On Topics 1~4) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
8	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 6: Design and Technology
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
9	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 7: Business Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
10	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 8: Personal Development
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
11	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project preparation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
12	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
13	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Interview Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
14	事前学習	Review required material and prepare for the final test
	授業内容	Final Test (On Topics 5~8) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
15	事前学習	Review the material covered in the course.
	授業内容	Test and course review
	事後学習	Review English learned in the lesson and set goals for advancing your English ability over the summer.

科目名	Listening & Speaking ⅢA	担当者	ハートリ ライアン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	A research and presentation based English class: A Focus on World History 研究とプレゼンテーションをベースにした英語のクラス：世界歴史			
授業目的・到達目標	To master basic English skills through the active practice of all four skills using authentic materials. TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。本物の素材を使用して、すべて4つ技能の積極的な実践を通して、基本的な英語のスキルを習得する。			
履修条件	Individual and group work using student's own research. 英語の学生の研究して、個人およびグループ作業。学期の終わりに研究発表。			
授業方法	Three research presentations at the end of the semester. 学期中の3件の研究発表			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	三つのプロジェクトプレゼンテーションの平均
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参考書	Websites: BBC Learning English, Englishpage.com, Englisch-hilfen.de, ESLgold.com, Englishpage.com, British Council - Phonemic Chart, Englishclub.com, myenglishpages.com			
オフィスアワー	The teacher can be reached at ryanxhartley@gmail.com to arrange a consultation.			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	Introduction, getting to know you, course explanation 自己紹介, 議論, コースの説明
	事後学習	第一回授業の復習を行っておくこと。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 1 (regional history) - preparation I プロジェクト 1 地域の歴史ー準備 I
	事後学習	自分の研究
3	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (regional history) - preparation II プロジェクト 1 地域の歴史ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
4	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (regional history) - presentation I プロジェクト 1 地域の歴史ープロジェクト 1 のプレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る

5	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (regional history) - presentation II プロジェクト 1 地域の歴史ー1 のプレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 2 (periodical history) - preparation I プロジェクト2 時代ごとの歴史ー準備 I
	事後学習	自分の研究
7	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (periodical history) - preparation II プロジェクト 2時代ごとの歴史ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
8	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (periodical history) - presentation I プロジェクト 2時代ごとの歴史ープレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
9	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (periodical history) - presentation II プロジェクト 2時代ごとの歴史ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 3 (biographical history) - preparation I プロジェクト 3歴史上人物の伝記 ー準備 I
	事後学習	自分の研究
11	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (biographical history) - preparation II プロジェクト 3歴史上人物の伝記ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
12	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (biographical history) - presentation I プロジェクト 3歴史上人物の伝記ープレゼンテーション I (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
13	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (biographical history) - presentation II プロジェクト 3歴史上人物の伝記ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Class reflections and feedback クラスの反射とフィードバック
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Review 復習
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	Listening & Speaking ⅢA	担当者	M. ボックス	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course is designed to give students the freedom to develop their English speaking ability and fluency by studying and discussing topics of interest in small, independent study groups using the textbook.				
授業目的・到達目標	This class is oriented toward developing good communication skills. Emphasis will be placed on using English to effectively understand and convey ideas, needs, and information rather than on developing traditional grammar-based skills. The main goal is for students to learn how to use the English they already know and to gain confidence in their ability to communicate in English.				
履修条件	Students who enroll in this class must be willing and able to actively participate in class activities and be interested in improving their ability to use the English they already know				
授業方法	Students will work independently in small groups, and work at their own pace. The teacher will supervise, guide, and counsel each group on an individual basis.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	No regular exam will be given, but performance will be measured each class.	
	平常評価		100%	The grade will be based 90% on in-class participation on a daily basis, and 10% on other activities.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2, 3, 4	Heinle ELT		The Non-Stop Discussion Workbook	George Rooks
	備考				
参考書	No additional reference materials are required.				
オフィス アワー	micahbox@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Class explanation, orientation.
	事後学習	Review class rules.
2	事前学習	Review class rules.
	授業内容	Class explanation, orientation, part two, and "get to know your classmates" activity so that students will be able to form study groups with like-minded classmates.
	事後学習	Review class rules and consider who they would like to form a study group with.
3	事前学習	Consider potential study group partners. Prepare materials to make information cards.
	授業内容	Fill out information cards, and "get to know your classmates" activity so that students will be able to form study groups with like-minded classmates.
	事後学習	Form independent study groups.
4	事前学習	Make sure to purchase and bring textbooks.
	授業内容	Each study group will select a chapter of interest from the text and study independently as a group. The instructor will meet with each group during the class for guidance. When the group finishes a chapter, they will pick another and then proceed to study that one.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.

5	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
6	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
7	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
8	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
9	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
10	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
11	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
12	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
13	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
14	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
15	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Review and end of term evaluations.
	事後学習	Review lessons from this class.

科目名	Listening & Speaking ⅢB	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening abilities. Students must try their best to speak English in class with the teacher and with each other. Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English				
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.				
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in the class.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 75% speaking/listening test 25%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Longman/Pearson		New Total English Elementary	Foley/Hall
	備考				
参 考 書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to think in English.
2	事前学習	Have textbook for class.
	授業内容	Lesson 14 Love Story. Relationships with the people around us.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 15 Memories. Things that were important to us when we were young.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 16 Life. What we like to do in our current lives.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 17 Numbers. Dates and other things we use numbers for.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 18 Food. What kinds of food we like to eat and what's healthy.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 19 Plans. Deciding what to do in the future.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 20 Weather. How to talk about the ways the weather affects us.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 21 Requests. How to get others to do things for you.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 22 Pets. The animals we live our lives with.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 23 Restaurants. Places to eat out and how to order food.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 24 Future. What the world will be like many years from now.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Lesson 25 Lifestyle. How to live our lives so that we can enjoy them.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Review
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking ⅢB	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English speaking and listening skills.					
授業目的・到達目標	This is a high-level class. Students must be willing to speak English eagerly! We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening ability.Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.					
履修条件	No conditions. If too many students apply, 4th-year students will have priority.					
授業方法	We will focus on speaking and listening to English in the class.					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		Evaluation will be classwork 75%, Speaking/Listening Test 25%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		Pearson/Longman		New Total English Pre-intermediate		Crace/Acklam
	備考					
参 考 書	なし					
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Get textbook.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 14 Media. How we get information in our daily lives.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 15 Recent Events. Things that have happened in the world recently.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 16 Learning. How to improve our lives by getting knowledge.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 17 Stories. Interesting things that happen to all of us.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 18 Crime. When people do bad things.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 19 Favorites. What we like most in our lives.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 20 Life. What we see around us every day and how to make the most of it.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 21 Information. Finding out helpful ideas from around us.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 22 Feelings. How we relate to ourselves and what our emotions are.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 23 If. Making predictions about what will happen next.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 24 Environment. All the world around us and how to take care of it.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 25 Memory. How we decide what to remember and how it changes.
	事後学習	Remember English vocabulary and phrases.
14	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Review
	事後学習	Study for test.
15	事前学習	Study for test.
	授業内容	Test and review.
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking ⅢB	担当者	スコットA.リー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	In this class will use an assigned text to focus on improving your English listening and speaking abilities. In interacting with the material and each other, you will also advance your critical thinking, discussion and presentation skills.				
授業目的・到達目標	By the end of the course, you should be able to better comprehend spoken English, raise thoughtful questions and express your ideas in English.				
履修条件	You have sufficient high-school level English knowledge. Regular attendance and preparation are required.				
授業方法	First, complete listening practice and vocabulary building exercises. Then in pairs and groups go over answers. Finally, carry out speaking activities. Some classes will be used for a group project.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	Tests (40%), Assignments & quizzes (30%), Group project (30%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	MacMillan		Skillful: Listening & Speaking (Student's Book Pack 2)	David Bohlke その他の著者
	備考				
参考書	None				
オフィスアワー	Please contact the instructor at (s.ree@mac.com) for any questions or to arrange a meeting.				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to talk, based on your notes, about English related experiences or interactions you have had during the summer break.
	授業内容	Set goals for the 2nd term and report on English related experiences or interactions you have had during the summer break.
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
2	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 1: Geology
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
3	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 2: Psychology of Fear
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
4	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 3: Popular Culture
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.

5	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 4: Literary Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
6	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 5: Ecology
	事後学習	Review English learned in the first half of the course and prepare for the mid-term test.
7	事前学習	Review required material and prepare for the mid-term test.
	授業内容	Mid-term test (On Topics 1~4) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
8	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 6: Chemistry
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
9	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 7: Business Studies
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
10	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Topic 8: Education
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
11	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Project preparation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
12	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
13	事前学習	Spend at least one hour preparing for class. Go over the previous week's material and complete any assignments.
	授業内容	Group Project presentation
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
14	事前学習	Review required material and prepare for the final test
	授業内容	Final Test (On Topics 5~8) Review
	事後学習	Review English learned in the lesson and complete any assignments for the next class.
15	事前学習	Review the material covered in the course.
	授業内容	Test and course review
	事後学習	Review English learned in the lessons and set goals for advancing your English ability for you future career.

科目名	Listening & Speaking III B	担当者	ハートリ ライアン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	A research and presentation based English class: A Focus on World History 研究とプレゼンテーションをベースにした英語のクラス：世界歴史					
授業目的・到達目標	To master basic English skills through the active practice of all four skills using authentic materials. TOEIC、TOEFL、英検等の資格試験や専門分野の原書理解等に必要なリーディング・文法の基礎力を磨くことを目的とします。本物の素材を使用して、すべて4つ技能の積極的な実践を通して、基本的な英語のスキルを習得する。					
履修条件	Individual and group work using student's own research. 英語の学生の研究して、個人およびグループ作業。学期の終わりに研究発表。					
授業方法	Three research presentations at the end of the semester. 学期中の3件の研究発表					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		三つのプロジェクトプレゼンテーションの平均	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	Websites: BBC Learning English, Englishpage.com, Englisch-hilfen.de, ESLgold.com, Englishpage.com, British Council - Phonemic Chart, Englishclub.com, myenglishpages.com					
オフィスアワー	The teacher can be reached at ryanxhartley@gmail.com to arrange a consultation.					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	Introduction, getting to know you, course explanation 自己紹介, 議論, コースの説明
	事後学習	第一回授業の復習を行っておくこと。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 1 (regional history) - preparation I プロジェクト 1 地域の歴史ー準備 I
	事後学習	自分の研究
3	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (regional history) - preparation II プロジェクト 1 地域の歴史ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
4	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (regional history) - presentation I プロジェクト 1 地域の歴史ープロジェクト 1 のプレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る

5	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 1 (regional history) - presentation II プロジェクト 1 地域の歴史ー1 のプレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 2 (periodical history) - preparation I プロジェクト2 時代ごとの歴史ー準備 I
	事後学習	自分の研究
7	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (periodical history) - preparation II プロジェクト 2時代ごとの歴史ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
8	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (periodical history) - presentation I プロジェクト 2時代ごとの歴史ープレゼンテーションI (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
9	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 2 (periodical history) - presentation II プロジェクト 2時代ごとの歴史ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Project 3 (biographical history) - preparation I プロジェクト 3歴史上人物の伝記 ー準備 I
	事後学習	自分の研究
11	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (biographical history) - preparation II プロジェクト 3歴史上人物の伝記ー準備 II
	事後学習	プレゼンテーション概要計画
12	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (biographical history) - presentation I プロジェクト 3歴史上人物の伝記ープレゼンテーション I (練習)
	事後学習	プレゼンテーションポスターを作る
13	事前学習	自分の研究
	授業内容	Project 3 (biographical history) - presentation II プロジェクト 3歴史上人物の伝記ープレゼンテーション II (本番)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Class reflections and feedback クラスの反射とフィードバック
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	Review 復習
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	Listening & Speaking ⅢB	担当者	M. ボックス	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course is designed to give students the freedom to develop their English speaking ability and fluency by studying and discussing topics of interest in small, independent study groups using the textbook.				
授業目的・到達目標	This class is oriented toward developing good communication skills. Emphasis will be placed on using English to effectively understand and convey ideas, needs, and information rather than on developing traditional grammar-based skills.The main goal is for students to learn how to use the English they already know and to gain confidence in their ability to communicate in English.				
履修条件	Students who enroll in this class must be willing and able to actively participate in class activities and be interested in improving their ability to use the English they already know.				
授業方法	Students will work independently in small groups, and work at their own pace. The teacher will supervise, guide, and counsel each group on an individual basis.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	No regular exam will be given, but performance will be measured each class.	
	平 常 評 価		100%	The grade will be based 90% on in-class participation on a daily basis, and 10% on other activities.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2, 3, 4	Heinle ELT		The Non-Stop Discussion Workbook	George Rooks
	備考				
参 考 書	No additional reference materials are required.				
オフィス アワー	micahbox@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Class explanation, orientation.
	事後学習	Review class rules.
2	事前学習	Review class rules.
	授業内容	Class explanation, orientation, part two, and "get to know your classmates" activity so that students will be able to form study groups with like-minded classmates.
	事後学習	Review class rules and consider who they would like to form a study group with.
3	事前学習	Consider potential study group partners. Prepare materials to make information cards.
	授業内容	Fill out information cards, and "get to know your classmates" activity so that students will be able to form study groups with like-minded classmates.
	事後学習	Form independent study groups.
4	事前学習	Make sure to purchase and bring textbooks.
	授業内容	Each study group will select a chapter of interest from the text and study independently as a group. The instructor will meet with each group during the class for guidance. When the group finishes a chapter, they will pick another and then proceed to study that one.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.

5	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
6	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
7	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
8	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
9	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
10	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
11	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
12	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
13	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
14	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Continue studying from where left off the week before. When a chapter is finished, choose another, and begin work on that chapter.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.
15	事前学習	Prepare any necessary materials for consideration during group study.
	授業内容	Review and end of term evaluations.
	事後学習	Review and prepare for next lesson.

科目名	Listening & Speaking IVA(金曜3限)	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	This is a high-level class. Students must be willing to speak English eagerly! We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening ability.Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	Students must be able to speak English well.				
授業方法	We will focus on speaking English in the class, as well as listening and reading.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 100%.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Heinle		Life Intermediate	Stephenson, Dummett, Hughes
	備考				
参 考 書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 1.1 Color. The way color works and how it affects us.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 1.2 Routine. What we do in our daily lives and why it's important.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2.1 Performance. Actions to show to others about ourselves.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2.2 Globalization. The world gets smaller as we learn more about people in other countries.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3.1 Water. How important it is for the earth and all of us.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3.2 Experiences. Things we've done in the past and what we've learned from them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4.1 Opportunities. Chances to improve things in our lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4.2 Future. What will happen in the years ahead.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5.1 Travel. Being able to see different places anywhere in the world.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5.2 Conservation. Saving important parts of the the earth and living things around us.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6.1 Wellbeing. Being healthy and taking care of our bodies.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6.2 Lifestyle. The things we like to do in our daily lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare for review.
	授業内容	Review
	事後学習	Remember English words and phrases.
15	事前学習	Prepare for review.
	授業内容	Review
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking IVA(金曜4限)	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	Students must be willing to speak English eagerly! We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening ability.Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	Students must be able to speak English well.				
授業方法	We will focus on speaking English in the class, as well as listening and reading.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 100%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Heinle		Life Upper-intermediate	Dummett, Stephenson, Hughes
	備考				
参 考 書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 1.1 Relationships. How we get along with the people around us, but inside and outside our families.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 1.2 Friendship. What makes people become friends and how they stay friends.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2.1 Storytelling. Relating events that have happened to us in our lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 2.2 Movies. Different kinds of movies and what we get out of watching them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3.1 Science. One way to learn about the world around us.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 3.2 Technology. Using machines to improve our lives, but also make them more complicated.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4.1 Art. Seeing things around us for the pleasure of enjoying them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 4.2 Creativity. Being able to make new things and come up with new ideas.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5.1 Development. Building new concepts into real things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 5.2 Society. The way people interact with one another in the world.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6.1 Alternative Travel. New and interesting ways to go places.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 6.2 Vacations. What we do when we have some free time, especially in summer or winter.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare for review.
	授業内容	Review
	事後学習	Remember English words and phrases.
15	事前学習	Prepare for review.
	授業内容	Review
	事後学習	Enjoy having studied English.

科目名	Listening & Speaking IVA	担当者	ジョン・B. パワー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	The format of this class is based on active participation and it is designed for enthusiastic students.				
授業目的・到達目標	This is an upper-intermediate course for students who have mastered ordinary conversation and wish to progress to a higher level. The aim is to develop real fluency in English.To develop the ability to discuss all kinds of subjects at an advanced level. To improve communication skills to the level required to study overseas or work in an English-language environment.				
履修条件	Ability in conversational English. Regular attendance and preparation are required.				
授業方法	Group discussion, pair practice, listening to tapes. Prints may be distributed occasionally.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	The basis for evaluation is classroom performance.	
	平 常 評 価		100%	Classroom performance is all-important. The basis for good performance is regular preparation.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	any year	CUP		Let's Talk 3 (Cambridge University Press) (2nd edition)	Leo Jones
	備考	This book is available at Amazon Japan. Please order early.			
参 考 書	Find an English dictionary you like. (I like Shogakukan Progressive.)				
オフィス アワー	johnpowerjapan@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to discuss your goals in learning English.
	授業内容	Introduction & discussion of the course
	事後学習	Consider whether or not this class will suit you.
2	事前学習	Think about how to express yourself in English on the designated topics.
	授業内容	Discussion: your reasons for studying English; its role in your life
	事後学習	Review your impressions before deciding whether or not to enroll in the course.
3	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 1A: Successful conversations
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
4	事前学習	Do the homework.
	授業内容	Unit 1B: Solving problems
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.

5	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 2A: Feelings, emotions
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
6	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 2B: Communication and gestures
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
7	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 3A: Breaking the law
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
8	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 4A: Optical illusions NOTE that we skip 3B.
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
9	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 4B: Luck & superstitions
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
10	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 5A: School days
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
11	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 5B: Brain power
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
12	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 6A: Success
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
13	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Unit 6B: Wealth
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
14	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Discuss summer vacation; Units 7A & 7B
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
15	事前学習	Do the homework and think about the main topic.
	授業内容	Review discussion of semester topics
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.

科目名	Listening & Speaking IVB(金曜4限)	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.			
授業目的・到達目標	Students must be willing to speak English eagerly! We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening ability.Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.			
履修条件	Students must be able to speak English well.			
授業方法	We will focus on speaking English in the class, as well as listening and reading.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 100%
教科書	年	出版社	書名	著者名
		Heile	Life Upper-intermediate	Dummett, Stephenson, Hughes
	備考			
参 考 書	なし			
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study Englihs.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 7.1 Natural Resources. Parts of nature and the earth that we use in our daily lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7.2 Water. How important is it in the world and how we have to be careful about it.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8.1 News. Current events that are happening around us.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8.2 Media. The way we learn about things that occur in the world every day.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9.1 Talent. Special abilities to do things that others enjoy.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9.2 Career. Jobs and how we decide what we want to do or be in the future.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10.1 Customs. Things that we grow up doing because they have always been done that way.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10.2 Behavior. Actions that we do in our lives, for better or worse.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11.1 Knowledge. What we find out in school that we can then use in our lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11.2 Learning. Being able to find out new information that we can remember and use.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12.1 Economy. How business and finance work together to make our lives run smoothly.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12.2 Exchange Systems. Ways of trading information in order to improve things.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare for the review.
	授業内容	Review
	事後学習	Remember English words and phrases.
15	事前学習	Prepare for the review.
	授業内容	Review
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking IVB(金曜3限)	担当者	J. ウッド	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Improving English listening and speaking skills.				
授業目的・到達目標	This is a high-level class. Students must be willing to speak English eagerly! We will practice speaking, listening, reading and writing English, with the focus on improving speaking and listening ability.Students will be able to understand English better and communicate their thoughts and feelings better in English.				
履修条件	Students must be able to speak English well.				
授業方法	We will focus on speaking English in the class, as well as listening and reading.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Evaluation will be classwork 100%.	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		Heinle		Life Intermediate	Stephenson, Dummett, Hughes
	備考				
参 考 書	なし				
オフィスアワー	Friday, 12:10-13:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Please read the contents of syllabus.
	授業内容	Introduction
	事後学習	Be ready to study English.
2	事前学習	Be ready to study English.
	授業内容	Unit 7.1 Living Space. How we use the rooms and items in our houses.
	事後学習	Remember English words and phrases.
3	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 7.2 Homes. Different kinds of places to live and how they affect us.
	事後学習	Remember English words and phrases.
4	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8.1 Weird News. Strange and interesting things that happen around the world.
	事後学習	Remember English words and phrases.

5	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 8.2 Mysteries. Things that are hard to explain why they happen.
	事後学習	Remember English words and phrases.
6	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9.1 Trade. Business and how things are bought and sold.
	事後学習	Remember English words and phrases.
7	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 9.2 Finance. The use of money in business and also in our own lives.
	事後学習	Remember English words and phrases.
8	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10.1 No Limits. Extreme sports and actions for people who want challenges.
	事後学習	Remember English words and phrases.
9	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 10.2 Medicine. How science is working to heal people and make us healthier.
	事後学習	Remember English words and phrases.
10	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11.1 Connections. The people and things around us and how we relate to them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
11	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 11.2 Social Media. Communicating with friends by using technology.
	事後学習	Remember English words and phrases.
12	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12.1 Experts. People who know a lot about their special fields and what we can learn from them.
	事後学習	Remember English words and phrases.
13	事前学習	Prepare homework.
	授業内容	Unit 12.2 Predicting. Thinking about what might happen in the future.
	事後学習	Remember English words and phrases.
14	事前学習	Prepare for review.
	授業内容	Review
	事後学習	Remember English words and phrases.
15	事前学習	Prepare for review.
	授業内容	Review
	事後学習	Enjoy having learned English.

科目名	Listening & Speaking IVB	担当者	ジョン・B. パワー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	This course aims at elevating your conversational skills through in-depth discussion. The textbook is top-based and requires student to actively express themselves.			
授業目的・到達目標	This is an upper-intermediate course for students who have mastered ordinary conversation and wish to progress to a higher level. The aim is to develop real fluency in English.To develop the ability to discuss all kinds of subjects at an advanced level. To improve communication skills to the level required to study overseas or work in an English-language environment.			
履修条件	Ability in conversational English. Regular attendance and preparation are required.			
授業方法	Group discussion, pair practice, listening to CDs.			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%	The basis for evaluation is classroom performance.	
	平 常 評 価	100%	Classroom performance is all-important. The basis for good performance is regular preparation.	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	any year	CUP	Let's Talk 3 (Cambridge University Press) (2nd edition)	Leo Jones
	備考	This book is available on Amazon Japan. Order it as soon as you can.		
参 考 書	Find a good English dictionary (expecially English-English).			
オフィス パワー	johnpowerjapan@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 7B (continued); 8A: Gadgets
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
2	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 8B: Inventions
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
3	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 9A: Staying healthy
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
4	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 9B: Coping with stress
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.

5	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 10A: Advertising
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
6	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 10B: Being and selling
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
7	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 11A & 11B: news stories
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
8	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 12A: Friendship
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
9	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 12B: Meeting people
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
10	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 13A: Being careful
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
11	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 13B: Taking risks
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
12	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 14A: Popularity
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
13	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 14B: Success and happiness
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
14	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 16A: The ideal job (NOTE that we skip 15A & 15B.)
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.
15	事前学習	Prepare the lesson in the textbook and prepare to express your own ideas in English (this may require dictionary work).
	授業内容	Unit 16B: Getting a job Course review
	事後学習	Review your notes, check new vocabulary and idioms that came up, and expand your notes through your own research.

科目名	Reading I A	担当者	石川 勝	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学生がヨーロッパを旅した経験もとにしたテキストである。内容としては学生が興味を持てるものだと思う。比較的優しい英語を的確に訳していく。				
授業目的・到達目標	文法を理解しながら英文を正確に読解するとともに、テキストを通してヨーロッパの文化を学ぶ。基本的な文法事項を理解したうえで、長文読解力を身に着ける。				
履修条件	特になし。				
授業方法	学生一人一人に訳してもらう。一時間に2ページのペースで読み進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テストを2回行い成績をつける。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		金星堂		ジローのヨーロッパ旅行	
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	木曜日13時～18時				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの購入，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義計画の説明
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit1を読む
	事後学習	訳の訂正
3	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit1を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
4	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit2を読む
	事後学習	訳の訂正

5	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit2を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
6	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit3を読む
	事後学習	訳の訂正
7	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	Unit3を読む 続き 小テスト
	事後学習	訳の訂正
8	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit4を読む
	事後学習	訳の訂正
9	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit4を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
10	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit5を読む
	事後学習	訳の訂正
11	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit5を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
12	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit6を読む
	事後学習	訳の訂正
13	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit6を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
14	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit 6を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
15	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	間違った箇所を理解し直す。

科目名	Reading I A	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の多読をマラソンに例えて、目標キロ数する（語数）を達成します。「読まされる」英文を読むのではなく、自分が選んだ英文の本を楽しみながら読みます。簡単な絵本のようなものをたくさん読んでいううちに英語の基礎力が定着し、日本語の介入なしに、英語が英語として頭に入ってくるようになります。簡単なものでも一冊読み終える達成感も味わえます。				
授業目的・到達目標	英語の多読をして速読力を養成することが目的です。また読んだ本について「再話」をする力をつけます。リーディングマラソンをして、目標キロ数（語数）と冊数を走り（読み）終えることです。単位取得のためには必ず毎週一定キロ数、冊数を読み続け、最終目標を達成しなくてははいけません。2017年前期の目標冊数は130km（52000語）、最低20冊でした。今学期の目標は最初の授業でお知らせします。				
履修条件	英語は好きだけれど、苦手意識を持つという学生。但し毎週必ず定められた目標のキロ数・冊数を読み、そしてリアクションペーパーを書くことができる学生のみ履修してください。リアクションを入力するIRCサイトは半期500円です。				
授業方法	学生主体の授業です。グループに分かれ、学生それぞれが一週間で読んだものについてbook talkをし、クラスでも発表をして授業を進めていきます。IRCサイトを利用して、感想を入力します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎週の目標ページ数を読み、最終目標ゴールを達成すること。感想文を毎回提出すること。最終課題も含めて総合的に評価をします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	法学部図書館 6 階の洋書多読本を使用します			
参考書	多聴多読マガジン（コスモピア）				
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	授業の概要を説明 Reading Marathonとは？ Graded Readers他、多読本の種類について
	事後学習	履修を決めた人は配布資料を読む
2	事前学習	法学部図書館 6 階で本を借りる
	授業内容	法学部図書館 6 階で各出版社多読本の特徴と種類の説明を受ける IRCの説明と登録 多読本を読んでみる
	事後学習	図書館で本を借りる
3	事前学習	図書館から本を 2， 3 冊借りて授業に持参する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
4	事前学習	最低 2 冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 グループメンバーにコメントをつける
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める

5	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 聞かせ読みを体験する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
6	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語を発表する表現を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
7	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語で発表する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
8	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語）
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
9	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 英語の本を音読する方法を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
10	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
11	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
12	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする 最終課題の説明
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
13	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の準備
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
14	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読の練習
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の練習をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
15	事前学習	課題プレゼン&課題を準備する
	授業内容	最終課題プレゼン 前期top runners 発表&表彰
	事後学習	夏休みの目標kmを設定する

科目名	Reading I A	担当者	小山 誠子	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	'Football','Royal Family','gentlemen','tea'等の歴史や伝統、加えて現在は'Brexit'で注目される「イギリス」「英国」について書かれた英文を、既習の文法事項の確認しながら知識を得るための手段として精読する。加えて、授業内/外の英語の「多読」(学習者各自による。初回にて指示)により英文の情報を正確に読み取り、一定量以上の英文(語数)の読書を行う。			
授業目的・到達目標	最終的に、受講者各自の専門研究に必要な情報が日本語同様に英語でも入手/活用できるように、まずは英文への抵抗を軽減し(英語読解の習慣化)、英文の見方(正確な構文/文法理解)及び一定の語彙力を身に着けることを目標とする。加えて、イギリスという「英語圏」＝「異文化」を通じて、国際的視野を広げる。			
履修条件	授業概要及び到達目的・目標(授業内/外の「多読」活動=読書量に応じて成績評価)を意識し、興味を持って主体的・積極的かつ他の受講者と協力し合って授業に取り組む者。引き続きReading I Bを受講する予定の者。			
授業方法	受講者の予習を前提とし、英文精読(訳読)及び関連資料及び音声や映像を使って情報の確認を行う。更にChapter毎に指定範囲内の小テスト(単語)を行う。(開始15分前後は別教材にて全体で「多読」練習実施。)			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常評価(発表(テキスト精読)等授業への積極的取組/テスト)+「多読」による読書量(履修期間のtotal)を総合的に評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	音羽書房鶴見書店	Welcome to Britain 【Revised Edition】英国の(いま)を知りたい [改訂新版]	Tim Knight
	2008	MACMILLAN	King Arthur and the Knights of the Round Table	Stephen Colbourn
	備考	2冊とも授業にて使用するので必ず購入すること。		
参考書	大学生/社会人レベルの辞書(電子辞書も可)を毎回携帯すること。学習記録用のノートを用意すること。 ※ PC・タブレット・携帯電話の使用は認めない。			
オフィスアワー	授業後20分間対応する。(※初回授業にて指示する。)			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	(事前にテキストが入手可能な場合)テキスト全体に目を通し、気になる点をメモして授業に臨むこと。 加えて、テキスト以外に「イギリス」関連で興味のあることも併せてメモしておくこと。
	授業内容	ガイドダンス+初回reading("King Arthur and the Knights of the Round Table"について)
	事後学習	テキスト全体を概観し、次回(第2回)展開範囲(Chapter 1)を中心に、まずは辞書を使わずにどの程度内容が把握できそうか現時点での「実力チェック」を各自行っておくこと。(→学期末の学習成果を自己評価できるようにするため。)
2	事前学習	1. "King Arthur"(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. (毎回開始時に全体にて)「多読」("King Arthur"(15分程度)) 2. Chapter 1 The United Kingdom? (前半)演習(受講者主体による精読)と解説 (※1chapter/2classesペースの予定。)
	事後学習	1. "King Arthur"のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
3	事前学習	1. "King Arthur"については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」("King Arthur"(15分程度)) 2. Chapter 1 The United Kingdom? (後半) 演習と解説
	事後学習	1. "King Arthur"のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。

4	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter1) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 2 Multicultural Britain (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
5	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 2 Multicultural Britain (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
6	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter 2) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 14 Language (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
7	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 14 Language (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
8	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter 14) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 3 The UK and the EU (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
9	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 3 The UK and the EU (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
10	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter3) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 5 Social class (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
11	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 6 Social class (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
12	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter 6) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter○(前半) ※受講者の要望/選択によるもの。但し、(Chapter1, 2, 3, 4-7, 10, 14以外)
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
13	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter○(第12回の続き)(後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。

14	事前学習	Mini Testに向けての準備と併せて、学期内展開範囲全てのMini Testを復習(特に不正解問題を中心に)する。テキスト展開箇所全般の構文・内容についても各自見直しを行う。(不明なものは授業にて確認すること。)
	授業内容	1. Mini Test(Chapter ○(第12-13回展開範囲) 2. 「多読」(“King Arthur”練習(15分程度)) 3. 学期内展開範囲の総復習 + ((受講者による) Book report 等を予定)
	事後学習	学習内容全体を見直し、必要に応じて修正・確認を行うことで、正確に学習内容を記録する。
15	事前学習	3か月の学習内容を次の3点に関して整理・分析する。(1)習得された語彙や基本的文法事項理解の確認、(2)“King Arthur”のストーリー展開/(3)関連情報を含め「イギリス」について得た情報、(4)「英語圏」＝「異文化」を通じて得た受講者各自の意見・感想
	授業内容	まとめ(試験を含む)
	事後学習	初回事前学習からの学習成果を自己分析・確認にもとづき、今後の課題(英語学習に関する具体的目標)を設定する。 (受講者各自の専門分野に関する英文(文献やニュース等最新のWeb情報など)どれくらい読めるようになったかを確認

科目名	Reading I A	担当者	佐藤 明子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	このクラスは「多読」を中心としています。平易な英語をたくさん読むことで、自然な英語を身に着けます。Interactive Reading Communityという多読サイトに参加し、本を通じて多読仲間とコミュニケーションをはかります。			
授業目的・到達目標	図書館にある多読のテキストを20冊以上、130キロ(400 words = 1キロ)読むことを目的としています。最初は絵本のような簡単なレベルから始め、徐々に語彙数の多いものへと進めていくことで、英語への苦手意識を克服し、読解力・速度力を身に着けることを目標としています。			
履修条件	出席を重視します。グループ・ワークやペア・ワークに積極的に参加できること。またPCの基本操作ができること。			
授業方法	読んだ本のレポートを作成し、グループやクラスメートに紹介のプレゼンをします。また多読に役立つクイズを毎回実施します。CALLシステムを使ってListeningやSpeakingの練習もしたいと思っています。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業への参加度、課題の提出（後輩に勧める本についてのレポート、POP）、テストなどを総合的に評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
			なし	
	備考	教材は図書館にある多読用リーダーを使用します。本が不足しているので、図書館で借りるのは一度に3冊までにしてください。IRCの教材費が別途かかります（500～1,000円程度の予定）。		
参考書	図書館の多読用テキストの他に地元図書館の多読テキストなどを利用しても結構です。			
オフィスアワー	水曜日16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特に必要はありません。
	授業内容	ガイダンス。受講希望者は必ず出席すること。事前抽選で履修許可をもらっている場合でも初回到休むと許可が取り消されますから、注意してください。就活などでやむを得ず休む場合は事前にメールをしてください。
	事後学習	特に必要はありません。
2	事前学習	図書館で多読のテキストを1冊借りて、読んでおくこと。
	授業内容	グループ（席）を決める。IRCの登録。IRCの使い方の説明。IRCのレポートの作成・投稿の仕方を学ぶ。
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
3	事前学習	本を読んで、レポートを作成する
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
4	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。

5	事前学習	本を読んで、レポートを作成する（目標30キロクリア）。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
6	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
7	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
8	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
9	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
10	事前学習	本を読んで、レポートを作成する（目標70キロ・クリア）。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
11	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
12	事前学習	本を読んで、レポートを作成する
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
13	事前学習	本を読んで、レポートを作成する
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
14	事前学習	レポート、Popを仕上げる。目標冊数、キロ数を達成する。（20冊以上、130キロ以上）。
	授業内容	レポート提出（多読おすすめ教材5冊の紹介）、Popの提出。
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
15	事前学習	プレゼンテーションの準備をする。
	授業内容	授業内多読ランキングの発表。一番面白かった本の紹介のプレゼンテーション。
	事後学習	特にありませんが、授業が終わっても是非多読を続けてください！

科目名	Reading I B	担当者	石川 勝	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	大学生がヨーロッパを旅した経験もとにしたテキストである。内容としては学生が興味を持てるものと思われる。比較的優しい英語を的確に訳していく。				
授業目的・到達目標	文法を理解しながら英文を正確に読解するとともに、テキストを通してヨーロッパの文化を学ぶ。基本的な文法事項を理解したうえで、長文読解力を身に着ける。				
履修条件	特になし。				
授業方法	学生一人一人に訳してもらう。一時間に2ページのペースで読み進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テストを2回行い成績をつける。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		金星堂		ジローのヨーロッパ旅行	
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	木曜日13時～18時				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの購入，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義計画の説明
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit7を読む
	事後学習	訳の訂正
3	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit7を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
4	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit8を読む
	事後学習	訳の訂正

5	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit8を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
6	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit9を読む
	事後学習	訳の訂正
7	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	Unit9を読む 続き 小テスト
	事後学習	訳の訂正
8	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit10を読む
	事後学習	訳の訂正
9	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit10を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
10	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit11を読む
	事後学習	訳の訂正
11	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit11を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
12	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit12を読む
	事後学習	訳の訂正
13	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit12を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
14	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	Unit 13を読む
	事後学習	訳の訂正
15	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	間違った箇所を理解し直す。

科目名	Reading I B	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の多読をマラソンに例えて、目標キロ数する（語数）を達成します。「読まされる」英文を読むのではなく、自分が選んだ英文の本を楽しみながら読みます。簡単な絵本のようなものをたくさん読んでいううちに英語の基礎力が定着し、日本語の介入なしに、英語が英語として頭に入ってくるようになります。簡単なものでも一冊読み終える達成感も味わえます。				
授業目的・到達目標	英語の多読をして速読力を養成することが目的です。また読んだ本について「再話」をする力をつけます。リーディングマラソンをして、目標キロ数（語数）と冊数を走り（読み）終えることです。単位取得のためには必ず毎週一定キロ数、冊数を読み続け、最終目標を達成しなくてはなりません。前期を履修した学生は後期それ以上走ってもらいます。2017年後期は目標冊数は150km（60000語）、最低10冊でした。初めて履修する学生は別の目標kmを設定します。今学期の目標は最初の授業でお知らせします。				
履修条件	英語は好きだけれど、苦手意識を持つという学生。但し毎週必ず定められた目標のキロ数・冊数を読み、そしてリアクションペーパーを書くことができる学生のみ履修してください。リアクションを入力するIRCサイトは半期500円です。				
授業方法	学生主体の授業です。グループに分かれ、学生それぞれが一週間で読んだものについてbook talkをし、クラスでも発表をして授業を進めていきます。IRCサイトを利用して、感想を入力します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎週の目標ページ数を読み、最終目標ゴールを達成すること。感想文を毎回提出すること。最終課題も含めて総合的に評価をします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	法学部図書館 6 階の洋書多読本を使用します			
参考書	多聴多読マガジン（コスモピア）				
オフィスアワー	水曜日 15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	授業の概要を説明 後期のReading Marathonの走り方について
	事後学習	履修を決めた人は配布資料を読む
2	事前学習	法学部図書館 6 階で本を借りる
	授業内容	IRCの説明と登録 多読本を読んでみる
	事後学習	図書館で本を借りる
3	事前学習	図書館から本を 2， 3 冊借りて授業に持参する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
4	事前学習	最低 2 冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 グループメンバーにコメントをつける
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める

5	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 聞かせ読みを体験する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
6	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語を発表する表現を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
7	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語で発表する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
8	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語）
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
9	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 英語の本を音読する方法を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
10	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
11	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
12	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする 最終課題の説明
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
13	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の準備
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
14	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読の練習
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の練習をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
15	事前学習	課題プレゼン&課題を準備する
	授業内容	最終課題プレゼン 後期top runners 発表&表彰
	事後学習	これからの多読と英語学習について考える

科目名	Reading I B	担当者	小山 誠子	部 別	第一部	期 間	後期	単 位 数	1
-----	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-------	---

授業概要	'Football','Royal Family','gentlemen','tea'等の歴史や伝統、加えて現在は'Brexit'で注目される「イギリス」「英国」について書かれた英文を、既習の文法事項の確認しながら知識を得るための手段として精読する。加えて、授業内/外の英語の「多読」(学習者各自による。初回にて指示)により英文の情報を正確に読み取り、一定量以上の英文(語数)の読書を行う。				
授業目的・到達目標	最終的に、受講者各自の専門研究に必要な情報が日本語同様に英語でも入手/活用できるように、まずは英文への抵抗を軽減し(英語読解の習慣化)、英文の見方(正確な構文/文法理解)及び一定の語彙力を身に着けることを目標とする。加えて、イギリスという「英語圏」＝「異文化」を通じて、国際的視野を広げる。				
履修条件	授業概要及び到達目的・目標(授業内/外の「多読」活動=読書量に応じて成績評価)を意識し、興味を持って主体的・積極的かつ他の受講者と協力し合って授業に取り組む者。				
授業方法	受講者の予習を前提とし、英文精読(訳読)及び関連資料及び音声や映像を使って情報の確認を行う。更にChapter毎に指定範囲内の小テスト(単語)を行う。(開始15分前後は別教材にて全体で「多読」練習実施。)				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常評価(発表(テキスト精読)等授業への積極的取組/テスト)+「多読」による読書量(履修期間のtotal)を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	音羽書房鶴見書店		Welcome to Britain【Revised Edition】英国の(いま)を知りたい [改訂新版]	Tim Knight
	2008	MACMILLAN		King Arthur and the Knights of the Round Table	Stephen Colbourn
	備考	2冊とも授業にて使用するので必ず購入すること。			
参考書	大学生/社会人レベルの辞書(電子辞書も可)を毎回携帯すること。学習記録用のノートを用意すること。 ※ PC・タブレット・携帯電話の使用は認めない。				
オフィスアワー	授業後20分間対応する。(※初回授業にて指示する。)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト展開範囲(下記参照)全体に目を通し、気になる点をメモして授業に臨むこと。 加えて、テキスト以外に「イギリス」関連で興味のあることも併せてメモしておくこと。
	授業内容	ガイダンス＋初回reading("King Arthur and the Knights of the Round Table":Reading I A(前期)の確認)
	事後学習	テキスト全体を概観し、次回(第2回)展開範囲(Chapter 10)を中心に、まずは辞書を使わずにどの程度内容が把握できそうか現時点での「実力チェック」を各自行っておくこと。(→学期末の学習成果を自己評価できるようにするため。)
2	事前学習	1. "King Arthur"(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. (毎回開始時に全体にて)「多読」("King Arthur"(15分程度)) 2. Chapter 10 Politics and government (前半)演習(受講者主体による精読)と解説 (※1chapter/2classesペースの予定。)
	事後学習	1. "King Arthur"のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
3	事前学習	1. "King Arthur"については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」("King Arthur"(15分程度)) 2. Chapter 10 Politics and government (後半) 演習と解説
	事後学習	1. "King Arthur"のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。

4	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter10) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 6 Schools and education (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
5	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 6 Schools and education (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
6	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter 6) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 7 University students and higher education (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
7	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 7 University students and higher education (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
8	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter 7) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 4 Tea (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
9	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 4 Tea (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
10	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter4) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter 11 Food (前半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
11	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter 11 Food (後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。
12	事前学習	1. Mini Testの準備をする。2. “King Arthur”(「多読」用教材)：指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。3. テキストも同様にkeywordsをチェックしながら、声に出して読み(必要に応じ発音記号や辞書の音声機能を活用)、未修の語彙は辞書にあたり、各文の構文・大体の意味を予想しておく。
	授業内容	1. Mini Test(Chapter 11) 2. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 3. Chapter○(前半) ※未習のもので受講者の要望/選択によるもの。
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. 事前学習(予習)内容と照合し、必要に応じて修正を行う。特に(1)文脈に合う語彙の定義・意味の選択であったか、(2)構文理解が不十分であった箇所は詳細に解説を記録する。(3)知り得た「イギリス」情報(事実関係)も整理・記録しておく。
13	事前学習	1. “King Arthur”については指定範囲を辞書を引かずにkeywords(固有名詞を含む5W1H)を中心に概観しておく。2. Chapter前半の内容を確認するとともに、後半部分についても同様に、語彙の発音、品詞、定義/意味(文脈に合致しそうなものを複数記録)、構文を予想し、授業に臨むこと。
	授業内容	1. 「多読」(“King Arthur”(15分程度)) 2. Chapter○(第12回の続き)(後半) 演習と解説
	事後学習	1. “King Arthur”のストーリー展開を整理する。(学期末に纏める予定。) 2. Chapter全体の英文(語彙・構文(文法/表現)が理解できたか、並行して英文から得た「イギリス」情報を整理し、コメントも併せて記録する。

14	事前学習	Mini Testに向けての準備と併せて、学期内展開範囲全てのMini Testを復習(特に不正解問題を中心に)する。テキスト展開箇所全般の構文・内容についても各自見直しを行う。(不明なものは授業にて確認すること。)
	授業内容	1. Mini Test(Chapter ○(第12-13回展開範囲)) 2. 「多読」(“King Arthur”練習(15分程度)) 3. 学期内展開範囲の総復習 + (受講者による) Book report 等を予定)
	事後学習	学習内容全体を見直し、必要に応じて修正・確認を行うことで、正確に学習内容を記録する。
15	事前学習	3か月の学習内容を次の3点に関して整理・分析する。(1)習得された語彙や基本的文法事項理解の確認、(2)“King Arthur”のストーリー展開/(3)関連情報を含め「イギリス」について得た情報、(4)「英語圏」＝「異文化」を通じて得た受講者各自の意見・感想
	授業内容	まとめ(試験を含む)
	事後学習	初回事前学習からの学習成果を自己分析・確認にもとづき、今後の課題(英語学習に関する具体的目標)を設定する。 (受講者各自の専門分野に関する英文(文献やニュース等最新のWeb情報など)どれくらい読めるようになったかを確認

科目名	Reading I B	担当者	佐藤 明子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	このクラスは「多読」を中心としています。平易な英語をたくさん読むことで、自然な英語を身に着けます。Interactive Reading Communityという多読サイトに参加し、本を通じて多読仲間とコミュニケーションをはかります。			
授業目的・到達目標	図書館にある多読のテキストを20冊以上、130キロ(400 words = 1キロ)読むことを目的としています。最初は絵本のような簡単なレベルから始め、徐々に語彙数の多いものへと進めていくことで、英語への苦手意識を克服し、読解力・速度力を身に着けることを目標としています。			
履修条件	出席を重視します。グループ・ワークやペア・ワークに積極的に参加できること。またPCの基本操作ができること。			
授業方法	読んだ本のレポートを作成し、グループやクラスメートに紹介のプレゼンをします。また多読に役立つクイズを毎回実施します。CALLシステムを使ってListeningやSpeakingの練習もしたいと思っています。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業への参加度、課題の提出（後輩に勧める本についてのレポート、POP）、テストなどを総合的に評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
			なし	
	備考	教材は図書館にある多読用リーダーを使用します。本が不足しているので、図書館で借りるのは一度に3冊までにしてください。IRCの教材費が別途かかります（500～1,000円程度の予定）。		
参考書	図書館の多読用テキストの他に地元図書館の多読テキストなどを利用しても結構です。			
オフィスアワー	水曜日16：30～17：30 前もってメールで連絡してください。sato.akiko01@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特に必要はありません。
	授業内容	ガイダンス。受講希望者は必ず出席すること。事前抽選で履修許可をもらっている場合でも初回に休むと許可が取り消されますから、注意してください。就活などでやむを得ず休む場合は事前にメールをしてください。
	事後学習	特に必要はありません。
2	事前学習	図書館で多読のテキストを1冊借りて、読んでおくこと。
	授業内容	グループ（席）を決める。IRCの登録。IRCの使い方の説明。IRCのレポートの作成・投稿の仕方を学ぶ。
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
3	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
4	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。

5	事前学習	本を読んで、レポートを作成する（目標30キロクリア）。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
6	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
7	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
8	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
9	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
10	事前学習	本を読んで、レポートを作成する（目標70キロ・クリア）。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
11	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
12	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。最終レポート、POPの準備。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
13	事前学習	本を読んで、レポートを作成する。最終レポート、POPの準備。
	授業内容	クイズ、Listening & Speaking Lesson、グループ・ワーク、プレゼンテーション、レポート作成
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
14	事前学習	レポート、Popを仕上げる。目標冊数、キロ数を達成する。（20冊以上、130キロ以上）。
	授業内容	レポート提出（多読おすすめ教材5冊の紹介）、POPの提出。
	事後学習	授業内で終わらなかったレポートを完成させる。
15	事前学習	プレゼンテーションの準備をする。
	授業内容	授業内多読ランキングの発表。一番面白かった本の紹介のプレゼンテーション。
	事後学習	特にありませんが、授業が終わっても是非多読を続けてください！

科目名	Reading II A	担当者	石川 勝	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ヨーロッパの歴史と文化について詳しく説明しているテキストである。内容としては学生が興味を持てるものだと思う。 中級レベルの英語を的確に訳していく。				
授業目的・到達目標	文法を理解しながら英文を正確に読解するとともに、テキストを通してヨーロッパの文化を学ぶ。基本的な文法事項を理解したうえで、長文読解力を身に着ける。				
履修条件	特になし。				
授業方法	学生一人一人に訳してもらう。一時間に2ページのペースで読み進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テストを2回行い成績をつける。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		金星堂		ヨーロッパの国と人々	
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	木曜日13時～18時				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの購入，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義計画の説明
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit1を読む
	事後学習	訳の訂正
3	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit1を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
4	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit1を読む 続き
	事後学習	訳の訂正

5	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit1を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
6	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit2を読む
	事後学習	訳の訂正
7	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	Unit2を読む 続き 小テスト
	事後学習	訳の訂正
8	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit2を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
9	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit2を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
10	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit3を読む
	事後学習	訳の訂正
11	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit3を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
12	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit3を読む
	事後学習	訳の訂正
13	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit3を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
14	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit3を読む
	事後学習	訳の訂正
15	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	間違った箇所を理解し直す。

科目名	Reading II A	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の多読をマラソンに例えて、目標キロ数する（語数）を達成します。「読まされる」英文を読むのではなく、自分が選んだ英文の本を楽しみながら読みます。簡単な絵本のようなものをたくさん読んでいううちに英語の基礎力が定着し、日本語の介入なしに、英語が英語として頭に入ってくるようになります。簡単なものでも一冊読み終える達成感も味わえます。			
授業目的・到達目標	英語の多読をして速読力を養成することが目的です。また読んだ本について「再話」をする力をつけます。リーディングマラソンをして、目標キロ数（語数）と冊数を走り（読み）終えることです。単位取得のためには必ず毎週一定キロ数、冊数を読み続け、最終目標を達成しなくてはなりません。2017年前期の目標冊数は130km（52000語）、最低20冊でした。既にReading Iを履修済の学生は別の目標kmを設定します。今学期の目標は最初の授業でお知らせします。			
履修条件	英語は好きだけれど、苦手意識を持つという学生。但し毎週必ず定められた目標のキロ数・冊数を読み、そしてリアクションペーパーを書くことができる学生のみ履修してください。リアクションを入力するIRCサイトは半期500円です。			
授業方法	学生主体の授業です。グループに分かれ、学生それぞれが一週間で読んだものについてbook talkをし、クラスでも発表をして授業を進めていきます。IRCサイトを利用して、感想を入力します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎週の目標ページ数を読み、最終目標ゴールを達成すること。感想文を毎回提出すること。最終課題も含めて総合的に評価をします。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	法学部図書館 6 階の洋書多読本を使用します		
参考書	多聴多読マガジン（コスモピア）			
オフィスアワー	水曜日15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	授業の概要を説明 Reading Marathonとは？ Graded Readers他、多読本の種類について
	事後学習	履修を決めた人は配布資料を読む
2	事前学習	法学部図書館 6 階で本を借りる
	授業内容	法学部図書館 6 階で各出版社多読本の特徴と種類の説明を受ける IRCの説明と登録 多読本を読んでみる
	事後学習	図書館で本を借りる
3	事前学習	図書館から本を 2， 3 冊借りて授業に持参する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
4	事前学習	最低 2 冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 グループメンバーにコメントをつける
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める

5	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 聞かせ読みを体験する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
6	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語を発表する表現を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
7	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語で発表する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
8	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語）
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
9	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 英語の本を音読する方法を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
10	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
11	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
12	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする 最終課題の説明
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
13	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の準備
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
14	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読の練習
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の練習をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
15	事前学習	課題プレゼン&課題を準備する
	授業内容	最終課題プレゼン 前期top runners 発表&表彰
	事後学習	夏休みの目標kmを設定する

科目名	Reading II A	担当者	北原 安治	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	各国の歴史や文化を学びながら、文法の理解と発音そして訳しかたなどの基本事項を学ぶ。本文のみやり練習問題はやらない。				
授業目的・到達目標	多読により速読力を養成し、基礎文法を確認することを目的とする。基礎的な英文の構造を理解して、正しい発音と訳ができることを目標とする。				
履修条件	とくに履修条件はない。				
授業方法	学生の理解度によって速度を調整する。小テストを毎回するので辞書を持ってくること。携帯やスマホやタブレットPCは使わせない。ノート検査をする。ノートなきものは不可。映像教材をみせる場合がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(80%)テスト (20%)小テスト、実力テストなど。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2006	鳳書房		Major Countries in the World ～世界の主要国～	小泉和弘
	備考				
参考書	『ロイヤル英文法』1,890円（旺文社）この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくること。				
オフィスアワー	授業終了後またはEメールで対応。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
2	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
3	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
4	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。

5	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
6	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
7	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
8	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
9	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
10	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第6章 カナダ 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
11	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
12	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
13	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
14	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
15	事前学習	試験範囲の復習。単語、文法、訳の確認。
	授業内容	復習とまとめ
	事後学習	間違った部分の復習。単語、文法、訳の確認。

科目名	Reading II A	担当者	元氏 久美子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	地球上にはさまざまな生き物が生活していますが、自然破壊が進み、我々にもなじみの深い生き物が絶滅しようとしています。テキストの英文を読みながら、一生懸命生きているさまざまな野生動物の姿を知り、自然を守り、あるいは種の絶滅を防ぐことの意義を考えると同時に、テキストの多彩なアクティビティを通して、英語の読解力を育成します。					
授業目的・到達目標	短いストーリーを読みながら語彙力・文法力を養い、文の構造を確認し、英文の内容を理解する力を身につけ、将来、辞書を用いて英文の専門書や文学作品、一般の雑誌などを読めるような読解力を養うことを目標とします。					
履修条件	中学・高校で学んだ基本的文法知識があることを前提に授業を行います。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		小テスト、授業中の発言、授業内テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	南雲堂		英語で読む『心ふるえる野生動物の物語』		荒金房子、Mark Lemon
	備考					
参 考 書	英和辞典					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後または火曜日昼休み(12:20～12:50)にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中学、高校で学んだ英文法の確認。
	授業内容	ガイダンス(前期の授業計画について)、英語学習法の紹介など。
	事後学習	前期の英語学習計画を立てる。
2	事前学習	Unit 1 The Giant Leader of the African Plain (アフリカゾウ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 1 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読、
	事後学習	Unit 1 Passageの内容確認
3	事前学習	Unit 1 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 1 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(基本時制)の解説
	事後学習	Unit 1 Critical Thinking
4	事前学習	Unit 2 Thinkers of the Forest - The Jungle's Gentle Great Apes - (ゴリラ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 2 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読、
	事後学習	Unit 2 Passageの内容確認

5	事前学習	Unit 2 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 2 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(基本5文型)の解説
	事後学習	Unit 2 Critical Thinking
6	事前学習	Unit 3 The Heart-Warming Story of Two Emperor Penguin Chicks (皇帝ペンギン) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 3 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読、
	事後学習	Unit 3 Passageの内容確認
7	事前学習	Unit 3 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 3 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(動名詞と不定詞)の解説
	事後学習	Unit 3 Critical Thinking
8	事前学習	Unit 4 The Impossible Romance of a Short-Tailed Albatross (アホウドリ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 4 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読、
	事後学習	Unit 4 Passageの内容確認
9	事前学習	Unit 4 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 4 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(前置詞・接続詞)の解説
	事後学習	Unit 4 Critical Thinking
10	事前学習	Unit 5 Hero or Victim? - The Sad Fate of War Pigeons - (ハト) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 5 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読、
	事後学習	Unit 5 Passageの内容確認
11	事前学習	Unit 5 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 5 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(助動詞)の解説
	事後学習	Unit 5 Critical Thinking
12	事前学習	Unit 6 The Tragedy of a Pure-Hearted Sea Animal (カイギュウ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 6 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読、
	事後学習	Unit 6 Passageの内容確認
13	事前学習	Unit 6 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 6 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(受動態)の解説
	事後学習	Unit 6 Critical Thinking
14	事前学習	Unit 1～6で学んだことを復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ①
	事後学習	前期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
15	事前学習	前期の学習内容で理解不足だった点を復習する。
	授業内容	前期授業のまとめ②
	事後学習	前期で学んだことを再確認する。

科目名	Reading II B	担当者	石川 勝	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ヨーロッパの歴史と文化について詳しく説明しているテキストである。内容としては学生が興味を持てるものだと思う。 中級レベルの英語を的確に訳していく。				
授業目的・到達目標	文法を理解しながら英文を正確に読解するとともに、テキストを通してヨーロッパの文化を学ぶ。基本的な文法事項を理解したうえで、長文読解力を身に着ける。				
履修条件	特になし。				
授業方法	学生一人一人に訳してもらう。一時間に2ページのペースで読み進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テストを2回行い成績をつける。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		金星堂		ヨーロッパの国と人々	
	備考				
参考書	英和辞典				
オフィスアワー	木曜日13時～18時				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの購入，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義計画の説明
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit4を読む
	事後学習	訳の訂正
3	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit4を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
4	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit4を読む 続き
	事後学習	訳の訂正

5	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit4を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
6	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit5を読む
	事後学習	訳の訂正
7	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	Unit5を読む 続き 小テスト
	事後学習	訳の訂正
8	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit5を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
9	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit5を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
10	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit6を読む
	事後学習	訳の訂正
11	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit6を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
12	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit6を読む
	事後学習	訳の訂正
13	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit6を読む 続き
	事後学習	訳の訂正
14	事前学習	指示された個所の予習
	授業内容	Unit 6を読む
	事後学習	訳の訂正
15	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	間違った箇所を理解し直す。

科目名	Reading II B	担当者	太田 晴美	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語の多読をマラソンに例えて、目標キロ数する（語数）を達成します。「読まされる」英文を読むのではなく、自分が選んだ英文の本を楽しみながら読みます。簡単な絵本のようなものをたくさん読んでいううちに英語の基礎力が定着し、日本語の介入なしに、英語が英語として頭に入ってくるようになります。簡単なものでも一冊読み終える達成感も味わえます。				
授業目的・到達目標	英語の多読をして速読力を養成することが目的です。また読んだ本について「再話」をする力をつけます。リーディングマラソンをして、目標キロ数（語数）と冊数を走り（読み）終えることです。単位取得のためには必ず毎週一定キロ数、冊数を読み続け、最終目標を達成しなくてはなりません。前期を履修した学生はそれ以上走ってもらいます。2017年後期は目標冊数は150km（60000語）、最低10冊でした。Reading Iを既に履修した学生、及び初めて履修する学生は別の目標kmを設定します。今学期の目標は最初の授業でお知らせします。				
履修条件	英語は好きだけれど、苦手意識を持つという学生。但し毎週必ず定められた目標のキロ数・冊数を読み、そしてリアクションペーパーを書くことができる学生のみ履修してください。リアクションを入力するIRCサイトは半期500円です。				
授業方法	学生主体の授業です。グループに分かれ、学生それぞれが一週間で読んだものについてbook talkをし、クラスでも発表をして授業を進めていきます。IRCサイトを利用して、感想を入力します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎週の目標ページ数を読み、最終目標ゴールを達成すること。感想文を毎回提出すること。最終課題も含めて総合的に評価をします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	法学部図書館 6 階の洋書多読本を使用します			
参考書	多聴多読マガジン（コスモピア）				
オフィスアワー	水曜日 15：00～16：00 電話かメールでアポイントメントをお取りください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	授業の概要を説明 後期のReading Marathonの走り方について
	事後学習	履修を決めた人は配布資料を読む
2	事前学習	法学部図書館 6 階で本を借りる
	授業内容	IRCの説明と登録 多読本を読んでみる
	事後学習	図書館で本を借りる
3	事前学習	図書館から本を 2， 3 冊借りて授業に持参する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
4	事前学習	最低 2 冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 グループメンバーにコメントをつける
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める

5	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 聞かせ読みを体験する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
6	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語を発表する表現を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
7	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表 リアクションを英語で発表する
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
8	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 英語でリアクションを書く
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語）
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
9	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 英語の本を音読する方法を学ぶ
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
10	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
11	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
12	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） グループで音読をする 最終課題の説明
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
13	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読を練習する
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の準備
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
14	事前学習	最低2冊を読み、IRCにリアクションを入れる 音読の練習
	授業内容	本を読む→IRCでリアクションを入れる→Group Book Talk & 発表（日本語&英語） 最終課題の練習をする
	事後学習	図書館で本を借りて読み進める
15	事前学習	課題プレゼン&課題を準備する
	授業内容	最終課題プレゼン 後期top runners 発表&表彰
	事後学習	これからの多読と英語学習について考える

科目名	Reading II B	担当者	北原 安治	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	各国の歴史や文化を学びながら、文法の理解と発音そして訳しかたなどの基本事項を学ぶ。本文のみやり練習問題はやらない。					
授業目的・到達目標	多読により速読力を養成し、基礎文法を確認することを目的とする。基礎的な英文の構造を理解して、正しい発音と訳ができることを目標とする。					
履修条件	とくに履修条件はない。					
授業方法	学生の理解度によって速度を調整する。小テストを毎回するので辞書を持ってくること。携帯やスマホやタブレットPCは使わせない。ノート検査をする。ノートなきものは不可。映像教材をみせる場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(80%)テスト (20%)小テスト、実力テストなど。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2006	鳳書房		Major Countries in the World ～世界の主要国～		小泉和弘
	備考					
参考書	『ロイヤル英文法』1,890円（旺文社）この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくること。					
オフィスアワー	授業終了後またはEメールで対応。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。前期の続きから始める。
	授業内容	前期の続きから始めるが、以下はとりあえずの予定。第7章 ロシア」 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
2	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
3	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
4	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。

5	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第7章 ロシア 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
6	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
7	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
8	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
9	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
10	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
11	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
12	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
13	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
14	事前学習	該当部分の予習。単語を調べて自分なりの訳をしておく。
	授業内容	第8章 中国 発音、文法、和訳、文化と歴史について学ぶ。最後の練習問題はやらない。
	事後学習	該当部分の復習。予習で間違った部分の確認。
15	事前学習	試験範囲の復習。単語、文法、訳の確認。
	授業内容	復習とまとめ
	事後学習	間違った部分の復習。単語、文法、訳の確認。

科目名	Reading II B	担当者	元氏 久美子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	地球上にはさまざまな生き物が生活していますが、自然破壊が進み、我々にもなじみの深い生き物が絶滅しようとしています。テキストの英文を読みながら、一生懸命生きているさまざまな野生動物の姿を知り、自然を守り、あるいは種の絶滅を防ぐことの意義を考えると同時に、テキストの多彩なアクティビティを通して、英語の読解力を育成します。					
授業目的・到達目標	短いストーリーを読みながら語彙力・文法力を養い、文の構造を確認し、英文の内容を理解する力を身につけ、将来、辞書を用いて英文の専門書や文学作品、一般の雑誌などを読めるような読解力を養うことを目標にします。					
履修条件	中学・高校で学んだ基本的文法知識があることを前提に授業を行います。					
授業方法	演習方式。小テストを毎回実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		小テスト、授業中の発言、授業内テスト結果等	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	南雲堂		英語で読む『心ふるえる野生動物の物語』		荒金房子、Mark Lemon
	備考					
参 考 書	英和辞典					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は、授業終了後または火曜日昼休み(12:20～12:50)にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で学んだことの確認。
	授業内容	ガイダンス(後期の授業計画について)、前期の復習など。
	事後学習	後期の英語学習計画を立てる。
2	事前学習	Unit 7 The Gray Whale's Struggle for Survival (クジラ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 7 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読
	事後学習	Unit 7 passageの内容確認
3	事前学習	Unit 7 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 7 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(比較)の解説
	事後学習	Unit 7 Critical Thinking
4	事前学習	Unit 8 The Story of Sheila, the Baby Walrus (セイウチ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 8 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読
	事後学習	Unit 8 passageの内容確認

5	事前学習	Unit 8 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 8 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(Itの特別用法)の解説
	事後学習	Unit 8 Critical Thinking
6	事前学習	Unit 9 The Lion Raised in a London Furniture Shop (ライオン) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 9 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読
	事後学習	Unit 9 passageの内容確認
7	事前学習	Unit 9 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 9 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(完了形)の解説
	事後学習	Unit 9 Critical Thinking
8	事前学習	Unit 10 The Wise Wolf-King of Currumpaw (オオカミ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 10 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読
	事後学習	Unit 10 passageの内容確認
9	事前学習	Unit 10 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 10 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(分詞)の解説
	事後学習	Unit 10 Critical Thinking
10	事前学習	Unit 11 Never Give Up! - A Polar Bear's Struggle for Life - (ホッキョクグマ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 11 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読
	事後学習	Unit 11 passageの内容確認
11	事前学習	Unit 11 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 11 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(関係詞)の解説
	事後学習	Unit 11 Critical Thinking
12	事前学習	Unit 12 The Odds of Meeting Again at the Circus - The Adventure of Two Young Tigers - (トラ) Pre-Reading Tasksの予習
	授業内容	Unit 12 Pre-Reading Tasksの解答、Passageの精読
	事後学習	Unit 12 passageの内容確認
13	事前学習	Unit 12 Comprehension Questions、Practiceの予習
	授業内容	Unit 12 Comprehension Questions、Practiceの解答、Useful Grammar(仮定法)の解説
	事後学習	Unit 12 Critical Thinking
14	事前学習	Unit 7～12で学んだことを復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ①
	事後学習	後期の学習内容で理解不足だった点を確認する。
15	事前学習	後期の学習内容で理解不足だった点を復習する。
	授業内容	後期授業のまとめ②
	事後学習	後期で学んだことを再確認する。

科目名	Reading ⅢA	担当者	小林 晴子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語圏のマスコミが発信するニュースを読んで理解するコースです。main mediaと呼ばれるThe New York Times, The Washington Post, The Financial Times, The Times等の新聞記事、The Economist, The Time等の週刊記事を取り上げ、BBC, ABC, CBS, NBC等のTVニュースの画像も見て国際社会、世界情勢の現状を理解します。				
授業目的・到達目標	学生諸君が独力で、英語のニュースを情報収集のために使いこなすことができるようにすることが本コースの目的です。英語メディアによって、世界のあらゆる地域、分野の情報が発信されています。それを使いこなせることは、皆さんの知識・教養をさらに深め、問題の発見、そして解決を探るための強力な助けとなるでしょう。また同じ出来事でも日本と外国ではとらえ方が異なることがあります。英米圏・EUの政治、経済、外交、軍事、などの背景を理解し、国益のみならず文化・習慣の違いも理解できるようになることも、併せて目標としています。				
履修条件	(1) 日常的にニュースに興味をもっている学生であること。(2) 英字新聞を読む基礎英語力があること。(3) インターネットにアクセスして課題のニュースを視聴できること。(4) 学習意欲があること。				
授業方法	演習形式。(1) テキストの内容確認。(2) テキストの内容に関連し、授業を行っている時点で報道されているニュースを読んで、インターネット上のニュースの視聴も行う。(他) 授業資料配布や連絡を大学のネットを通して行う。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		
	平常評価		100%		(1)授業中の発表などパフォーマンス：30% (2)課題：40% (3)期末試験：30%
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年出版	朝日出版社		English for Mass Communication (2018 Edition) 時事英語の総合演習-2018年度版-	堀江洋文、加藤香織、ほか
	備考				
参考書	適宜、授業中に指示する。世界年鑑（共同通信社）				
オフィスアワー	kobayashi.haruko11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト全体に目を通しておく。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業資料を見直す。
2	事前学習	テキスト Chapter 1 予習
	授業内容	テキスト Chapter 1 国内政治
	事後学習	テキスト Chapter 1 関連ビデオ再視聴
3	事前学習	テキスト Chapter 1 国内政治関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 1 国内政治関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 1 国内政治関連の最新ニュースビデオ再視聴
4	事前学習	テキスト Chapter 14 スポーツ(1)予習
	授業内容	テキスト Chapter 14 スポーツ(1)
	事後学習	テキスト Chapter 14 スポーツ(1)関連ビデオ再視聴

5	事前学習	テキスト Chapter 14 スポーツ(1)関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 14 スポーツ(1)関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 14 スポーツ(1)関連の最新ニュースビデオ再視聴
6	事前学習	テキスト Chapter 2 経済・ビジネス(1)予習
	授業内容	テキスト Chapter 2 経済・ビジネス(1)
	事後学習	テキスト Chapter 2 経済・ビジネス(1)関連ビデオ再視聴
7	事前学習	テキスト Chapter 2 経済・ビジネス(1)関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 2 経済・ビジネス(1)関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 2 経済・ビジネス(1)関連の最新ニュースビデオ再視聴
8	事前学習	テキスト Chapter 11 気象・災害予習
	授業内容	テキスト Chapter 11 気象・災害
	事後学習	テキスト Chapter 11 気象・災害関連ビデオ再視聴
9	事前学習	テキスト Chapter 11 気象・災害関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 11 気象・災害関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 11 気象・災害関連の最新ニュースビデオ再視聴
10	事前学習	テキスト Chapter 4 外交・国際会議予習
	授業内容	テキスト Chapter 4 外交・国際会議
	事後学習	テキスト Chapter 4 外交・国際会議関連ビデオ再視聴
11	事前学習	テキスト Chapter 4 外交・国際会議関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 4 外交・国際会議関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 4 外交・国際会議関連の最新ニュースビデオ再視聴
12	事前学習	テキスト Chapter 13 テクノロジー予習
	授業内容	テキスト Chapter 13 テクノロジー
	事後学習	テキスト Chapter 13 テクノロジー関連ビデオ再視聴
13	事前学習	テキスト Chapter 13 テクノロジー関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 13 テクノロジー関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 13 テクノロジー関連の最新ニュースビデオ再視聴
14	事前学習	テキスト Chapter 8 犯罪・事件予習
	授業内容	テキスト Chapter 8 犯罪・事件
	事後学習	テキスト Chapter 8 犯罪・事件関連ビデオ再視聴
15	事前学習	今学期の授業を振り返る
	授業内容	今学期の授業のまとめ
	事後学習	授業の見直しをする

科目名	Reading ⅢB	担当者	小林 晴子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英語圏のマスコミが発信するニュースを読んで理解するコースです。main mediaと呼ばれるThe New York Times, The Washington Post, The Financial Times, The Times等の新聞記事、The Economist, The Time等の週刊記事を取り上げ、BBC, ABC, CBS, NBC等のTVニュースの画像も見て国際社会、世界情勢の現状を理解します。			
授業目的・到達目標	学生諸君が独力で、英語のニュースを情報収集のために使いこなすことができるようにすることが本コースの目的です。英語メディアによって、世界のあらゆる地域、分野の情報が発信されています。それを使いこなせることは、皆さんの知識・教養をさらに深め、問題の発見、そして解決を探るための強力な助けとなるでしょう。また同じ出来事でも日本と外国ではとらえ方が異なることがあります。英米圏・EUの政治、経済、外交、軍事、などの背景を理解し、国益のみならず文化・習慣の違いも理解できるようになることも、併せて目標としています。			
履修条件	(1) 日常的にニュースに興味をもっている学生であること。(2) 英字新聞を読む基礎英語力があること。(3) インターネットにアクセスして課題のニュースを視聴できること。(4) 学習意欲があること。			
授業方法	演習形式。(1) テキストの内容確認。(2) テキストの内容に関連し、授業を行っている時点で報道されているニュースを読んで、インターネット上のニュースの視聴も行う。(他) 授業資料配布や連絡を大学のネットを通して行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	(1)授業中の発表などパフォーマンス：30% (2)課題：40% (3)期末試験：30%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年出版	朝日出版社	English for Mass Communication (2018 Edition) 時事英語の総合演習-2018年度版-	堀江洋文、加藤香織、ほか
	備考			
参考書	適宜、授業中に指示する。世界年鑑（共同通信社）			
オフィスアワー	kobayashi.haruko11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト全体に目を通しておく。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業資料を見直す。
2	事前学習	テキスト Chapter 5 予習
	授業内容	テキスト Chapter 5 軍事
	事後学習	テキスト Chapter 5 関連ビデオ再視聴
3	事前学習	テキスト Chapter 5 軍事関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 5 軍事関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 5 軍事関連の最新ニュースビデオ再視聴
4	事前学習	テキスト Chapter 15 スポーツ(2) 予習
	授業内容	テキスト Chapter 15 スポーツ(2)
	事後学習	テキスト Chapter 15 スポーツ(2)関連ビデオ再視聴

5	事前学習	テキスト Chapter 15 スポーツ(2)関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 15 スポーツ(2)関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 15 スポーツ(2)関連の最新ニュースビデオ再視聴
6	事前学習	テキスト Chapter 3 経済・ビジネス(2)予習
	授業内容	テキスト Chapter 3 経済・ビジネス(2)
	事後学習	テキスト Chapter 3 経済・ビジネス(2)関連ビデオ再視聴
7	事前学習	テキスト Chapter 3 経済・ビジネス(2)関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 3 経済・ビジネス(2)関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 3 経済・ビジネス(2)関連の最新ニュースビデオ再視聴
8	事前学習	テキスト Chapter 6 海外政治情勢予習
	授業内容	テキスト Chapter 6 海外政治情勢
	事後学習	テキスト Chapter 6 海外政治情勢関連ビデオ再視聴
9	事前学習	テキスト Chapter 6 海外政治情勢関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 6 海外政治情勢関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 6 海外政治情勢関連の最新ニュースビデオ再視聴
10	事前学習	テキスト Chapter 9 裁判・法令予習
	授業内容	テキスト Chapter 9 裁判・法令
	事後学習	テキスト Chapter 9 裁判・法令関連ビデオ再視聴
11	事前学習	テキスト Chapter 9 裁判・法令関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 9 裁判・法令関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 9 裁判・法令関連の最新ニュースビデオ再視聴
12	事前学習	テキスト Chapter 10 地球環境予習
	授業内容	テキスト Chapter 10 地球環境
	事後学習	テキスト Chapter 10 地球環境関連ビデオ再視聴
13	事前学習	テキスト Chapter 10 地球環境関連の最新ニュース記事を予習
	授業内容	テキスト Chapter 10 地球環境関連の最新ニュース
	事後学習	テキスト Chapter 10 地球環境関連の最新ニュースビデオ再視聴
14	事前学習	テキスト Chapter 12 人口・男女格差問題予習
	授業内容	テキスト Chapter 12 人口・男女格差問題
	事後学習	テキスト Chapter 12 人口・男女格差問題関連ビデオ再視聴
15	事前学習	今学期の授業を振り返る
	授業内容	今学期の授業のまとめ
	事後学習	授業の見直しをする

科目名	Writing I A	担当者	高田 宣子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	英文を書くのに必要な基本的な文法や表現を学び、パラグラフの構成と展開を考えながら、一つのテーマについてやさしい英文で表現できるように、毎回実践的に指導します。				
授業目的・到達目標	英文を書く力と相手に伝える技術を養成します。簡単な内容の状況説明の文章が書けるようにします。また、自分の作成した英文内容を「文章」だけでなく、「口頭」でも相手に伝える力を身につけます。				
履修条件	Power Point および Wordを使用できる学生のみ履修可能です。				
授業方法	履修人数および履修学生の英語運用力によって調整いたします。基本的には、表現実例を使用しながら、毎週実際に文章を書きます。また、作成した英文を皆の前で発表してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	小テスト、発表、中間テストなどの合計点により、決定します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント配布			
参 考 書	開講時に説明します。				
オフィスアワー	休み時間、教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読しておく
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの確認を行う
2	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	文法確認 英文実例（自己紹介）の表現分析 英文作成演習と発表
	事後学習	作成した英文の確認を行う
3	事前学習	プリントの予習を行う
	授業内容	文法確認 英文実例（場面説明）の表現分析 英文作成演習 グループ発表（3～5分間程度）の編成
	事後学習	英文の確認と修正を行う
4	事前学習	英文の確認を行う
	授業内容	文法確認 英文実例（状況説明）の表現分析 英文作成演習 グループ発表（2～3人で5～10分間程度）のメンバー編成確認およびテーマについて議論
	事後学習	テーマ確認を行う

5	事前学習	テーマ検討を行う
	授業内容	まとめと文法確認テスト グループ発表の決定およびテーマについての確認
	事後学習	テーマ検討と再確認を行う
6	事前学習	文法見直しを行う
	授業内容	文法確認 英文実例（意見、主張を伝える内容）の表現分析 その1 発表グループのワークシート打ち合わせ その1
	事後学習	ワークシートの検討を行う。
7	事前学習	プリントの確認を行う。
	授業内容	文法確認 英文実例（意見、主張を伝える内容）の表現分析 その2 発表グループのワークシート打ち合わせ その2
	事後学習	ワークシートについて検討する。
8	事前学習	プリントの予習を行う。
	授業内容	文法確認 英文コメント表現の実例紹介と分析 発表グループのワークシート打ち合わせ その3
	事後学習	ワークシートの検討を行う。
9	事前学習	パワーポイント作成のための資料収集を行う。
	授業内容	パワー・ポイントの英文作成演習 その1
	事後学習	パワーポイントの修正を行う。
10	事前学習	パワーポイントの修正を行う。
	授業内容	パワー・ポイントの英文作成演習 その2
	事後学習	パワーポイントの修正を行う。
11	事前学習	文法プリントの予習を行う。
	授業内容	まとめと文法確認テスト
	事後学習	文法プリントの確認を行う。
12	事前学習	英文コメントのプリントを確認する。
	授業内容	グループ（あるいは個人）発表および英文コメント執筆 その1
	事後学習	英文コメントのプリントを確認する。
13	事前学習	英文コメントのプリントを予習する。
	授業内容	グループ（あるいは個人）発表および英文コメント執筆 その2
	事後学習	英文コメントのプリントを確認する。
14	事前学習	英文コメントのプリントを予習する。
	授業内容	グループ（あるいは個人）発表および英文コメント執筆 その2
	事後学習	英文コメントのプリントを確認する。
15	事前学習	英文コメントのプリントを確認する。
	授業内容	まとめと復習テスト
	事後学習	英文コメントのプリントを確認する。

科目名	Writing I B	担当者	高田 宣子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期で学んだ基本的な文法や表現を確認し、より効果的なパラグラフの構成と展開を考えながら、一つのテーマについて英文で表現できるように、毎回実践的に指導します。				
授業目的・到達目標	文法を活用しながら、ある程度の量の英文を書く力と、その内容を相手に伝える技術を養成します。状況説明や自分の意見を書けるようにします。また、自分の作成した英文内容を「文章」だけでなく、「口頭」でも相手に伝える力を身につけます。				
履修条件	Power Point および Wordを使用できる学生のみ履修可能です。原則として、前期にWriting IAを履修した学生を対象とします。				
授業方法	履修人数にもよりますが、表現実例を参考にしながら、毎週実際に文章を書いてもらいます。また、実際に作成した英文を皆の前で発表してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	小テスト、発表、中間テストなどの合計点により、決定します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリント配布			
参 考 書	開講時指示します。				
オフィスアワー	休み時間、教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの注意事項を確認する。
2	事前学習	文法プリントを予習する。
	授業内容	文法確認 英文実例（場面説明）の表現分析 英文作成演習
	事後学習	文法プリントを確認する。
3	事前学習	文法プリントを予習する。
	授業内容	文法確認 英文実例（状況説明）の表現分析 英文作成演習
	事後学習	英文を修正する。
4	事前学習	文法プリントを確認する。
	授業内容	文法確認 英文実例（パラグラフ構成）の表現分析 その1 英文作成演習 個人発表（3分程度）のテーマ設定
	事後学習	発表原稿を確認する。

5	事前学習	発表原稿を確認する。
	授業内容	まとめと文法確認テスト 個人発表のテーマとアプローチ方法の確認 質疑応答
	事後学習	発表原稿を確認する。
6	事前学習	プリントを予習する。
	授業内容	文法確認 英文実例（提案）の表現分析 英文ワークシート作成 その1
	事後学習	ワークシートを修正する。
7	事前学習	ワークシートを確認する
	授業内容	文法確認 英文実例（根拠や理由）の表現分析 英文ワークシート作成 その2
	事後学習	ワークシートを修正する
8	事前学習	ワークシートを確認する
	授業内容	文法確認 英文実例（まとめ）の表現分析 英文ワークシート作成 その3
	事後学習	ワークシートを改良する
9	事前学習	ワークシートを確認する
	授業内容	パワー・ポイント用 英文作成実習 その1 質疑応答
	事後学習	パワーポイントの修正を行う。
10	事前学習	パワーポイントの改良を行う。
	授業内容	パワー・ポイント用 英文作成実習 その1 質疑応答
	事後学習	パワーポイントの修正を行う。
11	事前学習	パワーポイントの改良を行う。
	授業内容	まとめと復習テスト 発表に向けての質疑応答
	事後学習	パワーポイントの修正を行う。
12	事前学習	パワーポイントの改良を行う。
	授業内容	個人発表 その1 英文コメント作成
	事後学習	発表の内容を確認する。
13	事前学習	発表の内容を確認する。
	授業内容	個人発表 その2 英文コメント作成
	事後学習	発表の内容を確認する。
14	事前学習	発表の内容を確認する。
	授業内容	個人発表 その3 英文コメントの作成
	事後学習	発表の内容を確認する。
15	事前学習	コメントを確認する。
	授業内容	まとめと復習テスト
	事後学習	コメントを確認する。

科目名	Writing II A	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	身近な 内容の英文Eメールを読み返信を書くという「Eメールのやり取り」によって、コミュニケーション表現力を養成します。「依頼」「提案」「断り」など目的別に基本表現を学習し、様々なタスク によって英語らしい文を書けるようにします。 従来の学校英文法の不備を指摘しつつ、手段に過ぎなかった英文法の洗い直しを試み、日本語と英語の発想の違いを認識します。その上で、アカデミック・ライティングの手法を身に付けます。				
授業目的・到達目標	〔授業目的〕 TOEFL-iBTやTOEIC Speaking&Writingなどの資格試験に対応できるように、エッセイを書くためのライティングスキルを身につけることを目的とします。 〔到達目標〕 書くプロセスを重視しながら、Eメールなどの基本的なものからパラグラフ・ライティング、アカデミック・ライティングに至るまでを習得することが目標です。creative thinkingの手法を生かしつつ自分の見解を客観的かつ論理的に明確な英語で表現する能力を養うことと、ライティングによる内容伝達力を向上させることが最終目標となります。				
履修条件	パソコンが駆使できること。				
授業方法	前半は様々なライティングの手法を身につけ、後半はコンピューターを使用した実践対応方式で展開し、アカデミック・ライティングの実践的なスキルを学びます。随時プリント教材を併用します。辞書必携。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（５０％） クライテリオン（５０％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	金星堂		Write me back soon!:Communicationg through Email	成岡、早野、Hackett
	備考	クライテリオン受験料(5回1200円) は受講者負担			
参 考 書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。				
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を用意する。シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・教科書の説明・辞書の使い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 1、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 2、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 3、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 4、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 5、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 6、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 7、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 8、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 9、クライテリオン
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 10、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 11、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 12、クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 13、クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	クライテリオン5、まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	Writing II B	担当者	黒滝 真理子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	身近な 内容の英文Eメールを読み返信を書くという「Eメールのやり取り」によって、コミュニケーション表現力を養成します。「依頼」「提案」「断り」など目的別に基本表現を学習し、様々なタスク によって英語らしい文を書けるようにします。 従来の学校英文法の不備を指摘しつつ、手段に過ぎなかった英文法の洗い直しを試み、日本語と英語の発想の違いを認識します。その上で、アカデミック・ライティングの手法を身に付けます。			
授業目的・到達目標	〔授業目的〕 TOEFL-iBTやTOEIC Speaking&Writingなどの資格試験に対応できるように、エッセイを書くためのライティングスキルを身につけることを目的とします。 〔到達目標〕 書くプロセスを重視しながら、Eメールなどの基本的なものからパラグラフ・ライティング、アカデミック・ライティングに至るまでを習得することが目標です。creative thinkingの手法を生かしつつ自分の見解を客観的かつ論理的に明確な英語で表現する能力を養うことと、ライティングによる内容伝達力を向上させることが最終目標となります。			
履修条件	パソコンが駆使できること。			
授業方法	前半は様々なライティングの手法を身につけ、後半はコンピューターを使用した実践対応方式で展開し、アカデミック・ライティングの実践的なスキルを学びます。随時プリント教材を併用します。辞書必携。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回の確認テスト・課題への取り組みや授業への参加姿勢（５０％） クライテリオン（５０％）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	金星堂	Write me back soon!:Communicationg through Email	成岡、早野、Hackett
	備考	クライテリオン受験料(5回1200円) は受講者負担		
参考書	適宜、資料配布や参考文献紹介を行います。			
オフィスアワー	火曜日・水曜日のお昼休み、場所は授業後指定します。相談内容は、英語の勉強法や留学などに関すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を用意する。シラバスの内容をよく読み、授業に関する質問を考えてくる。
	授業内容	ガイダンス(年間授業計画・成績評価の方法・教科書の説明・辞書の使い方や英語学習法など)
	事後学習	ガイダンスの説明を整理し確認する。
2	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 14、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
3	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 15、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
4	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 16、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。

5	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 17、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
6	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 18、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
7	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 19、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
8	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 20、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
9	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 21、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
10	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 22、アカデミック・ライティング手法
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
11	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 23、クライテリオン1
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
12	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	Unit 24、クライテリオン2
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
13	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	クライテリオン3
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
14	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	クライテリオン4
	事後学習	学習内容を確認し理解を深めると同時に、理解不十分な点を質問できるようにしておく。
15	事前学習	与えられた課題を準備し、理解できない箇所をチェックしておく。
	授業内容	クライテリオン5、まとめ
	事後学習	講義全体の確認

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	青木 和子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級者のためのドイツ語学習を行う。 言葉としてのドイツ語に取り組む中で、この言語空間がドイツの文化を形成していることを学ぶ。				
授業目的・到達目標	(1) 正確な発音ができる (2) 基礎文法を正確に習得する (3) 簡単な会話のための表現力と文章を読む語学力を身につける				
履修条件	学習への熱意があること。				
授業方法	文法の解説をした上で、練習問題や購読を順次にあてる演習形式となる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テスト80%，平常点（授業参加度・演習回数）20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		朝日出版社		ブーメラン・エルエー	小野寿美子 他
	備考				
参考書	独和辞書は、授業時に必ず必要。				
オフィスアワー	質問は授業中にいつでも受け付けるが、授業後も教室にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を必ず持参し『はじめに』の箇所を読んでおく。
	授業内容	ガイドダンス あいさつ等の発音練習
	事後学習	発音練習した箇所を復習する。
2	事前学習	C Dでアルファベット、単語の発音のし方の箇所を聞いておく。
	授業内容	アルファベット及び単語の発音のし方とその練習。
	事後学習	C Dを聞きながら発音練習をする。
3	事前学習	Lektion 1（第1課）を読んでおく。
	授業内容	前回の発音を復習する。 人称代名詞と動詞の現在人称変化（規則動詞）語順
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
4	事前学習	Lektion 1 の末学習の箇所を予習する。
	授業内容	動詞sein・habenの現在人称変化 ja・neinの使い方 疑問詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。

5	事前学習	Lektion 2 の予習をする。
	授業内容	名詞の性と格 定冠詞と名詞の格変化
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
6	事前学習	Lektion 2 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	不定冠詞の格変化 名詞の複数形
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
7	事前学習	Lektion 3 の予習をする。
	授業内容	動詞の現在認証変化（不規則動詞） 命令形
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
8	事前学習	Lektion 3 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	非人称のes、時刻表現 並列の接続詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
9	事前学習	Lektion 4 の予習をする。
	授業内容	定冠詞類・不定冠詞類の格変化
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
10	事前学習	Lektion 4 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	否定冠詞keinとnichtの使い分け 人称代名詞 3 格と 4 格
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
11	事前学習	Lektion 5 の予習をする。
	授業内容	前置詞の種類と格支配
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
12	事前学習	Lektion 5 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	接続詞と副文・話法の助動詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
13	事前学習	Lektion 6 の予習をする。
	授業内容	話法の助動詞、未来形
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
14	事前学習	Lektion 6 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	分離動詞と非分離動詞 従属の接続詞と副文
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う。
15	事前学習	試験範囲を十分に勉強する。
	授業内容	期末試験及び振り返り
	事後学習	試験内容をチェックし、反省点を出す。

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	跡守 美音	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎を学ぶ。			
授業目的・到達目標	基本的な文法の知識と辞書を使って、ドイツ語を運用（おもに読解）することができるようになること、また、ドイツ語の学習と同時にドイツ語圏の文化についても理解を深めることを目的とする。 ドイツ語の初級文法を身に付け、その文法の知識と辞書を使いながら、平易な文章を読むことができるようになる。 独検（ドイツ語技能検定試験）5級レベルのドイツ語力を身に付け、運用することができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎表現Aと併せて、ドイツ語基礎文法Aを履修すること（または履修済み）が望ましい。 後期のドイツ語基礎表現Bは、独検を受験することが履修条件となりますので注意して下さい。			
授業方法	教科書に沿って解説し、その後、練習問題や読解を通じて、学習した内容の定着を深めていきます。練習問題やテキストの訳は、受講生に積極的に発表してもらいます。毎回、予習をしっかりとやってくるのが前提となります。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への参加および小テスト30%、学期末試験70%。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	朝日出版社	たいむりーAltuelles aus Deutschlandー	森田悟、川上博子 他
	備考			
参考書	毎回、辞書を使用しますので必ず持参して下さい。辞書については初回の授業で説明します。			
オフィスアワー	授業の前後とする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく。
	授業内容	導入（授業の進め方、辞書の紹介）。
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
2	事前学習	第1回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	つづり字と発音
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
3	事前学習	第2回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	動詞の変化、動詞の位置
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
4	事前学習	第3回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	seinとhaben
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。

5	事前学習	第4回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	名詞の性、複数形
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
6	事前学習	第5回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	冠詞、否定文[1]
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
7	事前学習	第6回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	名詞の格
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
8	事前学習	第7回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	定冠詞（類）、不定冠詞（類）
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
9	事前学習	第8回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	否定文[2]
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
10	事前学習	第9回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	不規則変化動詞、命令形
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
11	事前学習	第10回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	人称代名詞の変化、非人称のes
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
12	事前学習	第11回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	前置詞
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
13	事前学習	第12回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	接続詞
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
14	事前学習	第1回～第13回の学習内容を復習すること。
	授業内容	学期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	学期末試験でできなかった箇所を確認しておくこと。
15	事前学習	第1回～第14回の中で理解できていないと思うところを、事前に確認しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内で質疑応答したことを復習しておくこと。

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	天沼 春樹	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初歩と、ドイツ文化理解。ドイツ語を初歩から、親しみやすくまなび、読み書き聴くバランスをとった基礎を身につけていく。視聴覚教材を利用し、ドイツ事情にもたくさん触れていく。初級のドイツ語の運用能力。読み、聞き、書けるちから。通年の目安としてドイツ語検定5級程度の能力。とくに、後期12月の独検にはチャレンジしてほしい。授業内でも過去問などを指導します。				
授業目的・到達目標	初歩的日常表現・日常語彙・現在形の表現を身につけることができる(文法事項も補う)。				
履修条件	出席重視。初歩からやるので、欠席がかさなると理解不能になります。				
授業方法	講義による。視聴覚教材も適宜利用して、耳と目からもドイツ語にしたしんでもらうつもりである。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末に行う教場試験による。小試験。授業内発表なども平常点として評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	第三書房		『ドイツ環境問題へのアプローチ ノイ』	ヘルマン・トロール他
	備考				
参考書	独和辞書(中級)/電子辞書可				
オフィスアワー	講義時間前後。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材の下見。
	授業内容	ドイツ語の世界に入門。かんたんなあいさつからABCの発音。講義のすすめかた案内。教材について。
	事後学習	ノート整理・宿題
2	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion1 人称代名詞・動詞sein, haben, trinken テーマ「ドイツへの到着」
	事後学習	ノート整理・宿題
3	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion2/名詞の性 動詞の位置 テーマ「ライン河」
	事後学習	ノート整理・宿題
4	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion2 疑問文 ja と nein
	事後学習	ノート整理・宿題

5	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion3 不規則な動詞 名詞の格 1/4格 テーマ Es gibt Wein. ドイツ・ワイン!
	事後学習	ノート整理・宿題
6	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion3 否定冠詞 kein 否定をふくむ疑問文のこたえ
	事後学習	ノート整理・宿題
7	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion4 名詞の1/3/4格の使い方 テーマ「エネルギー問題」
	事後学習	ノート整理・宿題
8	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion4 名詞の2格の使い方
	事後学習	ノート整理・宿題
9	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion5 前置詞の使い方 例文 作文 テーマ「ドイツの地理」
	事後学習	ノート整理・宿題
10	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion5 人称代名詞 1/3/4格の使い方
	事後学習	ノート整理・宿題
11	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion6 3・4格支配の前置詞 テーマ「ドイツの環境政策・廃棄物処理など」
	事後学習	ノート整理・宿題
12	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	テキストLektion6 3・4格支配の前置詞 テーマ「ドイツの環境政策・廃棄物処理など」
	事後学習	ノート整理・宿題
13	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	前期の復習 和訳練習 語彙力アップ指導
	事後学習	ノート整理・宿題
14	事前学習	前回やったところの復習。若干の予習(単語調べなど)
	授業内容	辞書を使ってかんたんな読解練習。
	事後学習	試験準備学習
15	事前学習	試験範囲学習。
	授業内容	前期筆記試験(予定) 内容・範囲は授業内で指示する。 まとめ、振り返り
	事後学習	試験結果の反省。

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	石井 寿子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を学びながら現在事情を知り、ドイツという国に興味を持ていただければと願っています。			
授業目的・到達目標	初級文法の知識を応用し、簡単なドイツ語を読み、聞き、書き、話す力を養います。ミュンヘンをテーマとした教科書を用い、ドイツ語を学びながら最新のドイツ事情についても知識を深めることを目標とします。			
履修条件	特にありません。初習者も歓迎します。			
授業方法	まず文法事項を理解し、会話の内容を把握した後、練習問題と読むテキストで理解度を確認します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	20点満点の平常点（授業態度）と80点満点の筆記試験を総合し、60点以上を合格とします。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	同学者	ミュンヘンに夢中	ラーブ・石井・保阪
	備考			
参考書	独和辞典（電子辞書も可）			
オフィスアワー	金曜午後本館講師控室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
2	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第1課 フ라우エン教会 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
3	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第1課 フ라우エン教会 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
4	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第2課 国立劇場 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる

5	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第2課 国立劇場 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
6	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第3課 ヴィクトアーリエンマルクト 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
7	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第3課 ヴィクトアーリエンマルクト 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
8	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第4課 バイエレン料理 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
9	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第4課 バイエレン料理 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
10	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第5課 マリーエンブラッツ 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
11	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第5課 マリーエンブラッツ 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
12	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第6課 ミュンヘン大学 読本と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
13	事前学習	事前に教科書を一読する
	授業内容	第6課 ミュンヘン大学 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
14	事前学習	授業で勉強したことを復習する
	授業内容	前期の力試し、まとめ
	事後学習	出題箇所を確認する
15	事前学習	不明箇所をピックアップする
	授業内容	答え合わせと解説
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	大森 信明	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎知識を得て、ドイツ語の基礎能力の養成をする。それは、日本語、英語を含めた言語能力の充実にもつながる。 ドイツの言語、文化、社会との触れ合いが、国際社会における日本のあり方への思索を深める。			
授業目的・到達目標	文章講読、文法演習を通してドイツ語能力の基礎を作る。 辞書と文法書を用いて基礎的ドイツ語の運用ができる。			
履修条件	特になし			
授業方法	文法学習、文章講読に問題演習を加える			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	文法問題を中心とした筆記試験。80% 授業で問題演習。20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度	第三書房	さあ、ドイツ語で！	前田 智 著
	備考			
参 考 書	特になし			
オフィスアワー	水曜日昼休み 本館 2 階教員室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツ語についての知識をまとめてみる。
	授業内容	年間講義計画・成績評価の方法など
	事後学習	ドイツ語学習を、この半年の学生生活に位置付けてみる。
2	事前学習	教科書添付のCDを聴き、ドイツ語の音声に親しむ。
	授業内容	発音
	事後学習	発音の要点を確認する。重要項目を声に出し、綴り字を書いて覚える。
3	事前学習	教科書の説明を読み、英語との違いを知る。
	授業内容	動詞の現在人称変化
	事後学習	ドイツ語の人称変化の基本であるから確実に覚える。
4	事前学習	英語の文の種類、それぞれの文における動詞の位置をまとめてみる。 そこで使われている文法用語も確認する。
	授業内容	文の種類と動詞の位置
	事後学習	練習問題で、ドイツ語の語順に慣れる。

5	事前学習	教科書の説明を読み、英語と比較してみる。
	授業内容	名詞の性と冠詞
	事後学習	名詞、冠詞の基本であることを理解する。 他の言語との比較も試してみる。
6	事前学習	英語の複数形をまとめてみる。
	授業内容	名詞の複数形
	事後学習	自分の辞書の表記など確認しながら、代表例を覚える。
7	事前学習	第5回名詞の性と冠詞、を復習する。
	授業内容	定冠詞・不定冠詞と名詞の格変化
	事後学習	前期の最重要項目のひとつである。格変化を確実に覚えること。
8	事前学習	英語の人称代名詞の使い方をまとめる。
	授業内容	人称代名詞の格変化
	事後学習	人称代名詞の格変化を覚える。英語の用法との違いを確認する。
9	事前学習	冠詞、名詞、代名詞の格変化を復習する。
	授業内容	前置詞
	事後学習	具体的な用例をそのまま覚えて、ドイツ語の前置詞と格支配を理解する。 英語の前置詞との対応関係を考える。
10	事前学習	英語の熟語動詞表現をまとめてみる。
	授業内容	分離動詞
	事後学習	分離動詞の使い方を、基礎動詞、前綴りの配語法から確認する。
11	事前学習	英語、日本語の再帰表現を思い起こしてみる。
	授業内容	再帰動詞
	事後学習	再帰代名詞を覚えた上で、具体的な使い方を熟語表現として練習する。
12	事前学習	英語の非人称表現をまとめてみる。
	授業内容	非人称動詞
	事後学習	ドイツ語独特の非人称表現など、例文のまま理解する。
13	事前学習	ドイツ語の助動詞を、英語のそれと対応させてみる。
	授業内容	語法の助動詞
	事後学習	助動詞の人称変化を覚える。 例文で、助動詞、本動詞の語順を理解する。
14	事前学習	前期の学習を振り返り、疑問点をまとめる。
	授業内容	前期まとめ・質問受付
	事後学習	重要項目を再度確認する。
15	事前学習	重要項目を書きながら、理解と暗記を確認する。
	授業内容	試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	試験を自己点検し、疑問点があればまとめておく。

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	川上 博子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	基本文法の定着と、辞書を使いながらドイツ語の読解力をつける			
授業目的・到達目標	基礎的文法を確認するとともに、着実にドイツ語が身につくように、簡単な会話表現から複合文まで読み進めることができる力を養うことを目的とする。またテキスト講読しながらドイツ語圏の人々の生活や文化についての知識や異文化への関心を深めることができるようになる。さらにドイツ語の発音、基本単語、基本表現の習得ができる。ドイツ語基礎表現Bを後期続けて履修することで、最終的にドイツ語検定4級レベルの語学力を身につけることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎文法A・B（ドイツ語Ⅱ）も併せて履修すること。和独辞書必携。予習は必須。欠席しないこと。			
授業方法	発音練習、基本文法の確認、辞書を使いながらのテキスト講読、簡単な表現練習を総合的に行う。確認小テストを適宜行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	期末テスト。60% 受講態度・積極性・小テスト・発表。40%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	朝日出版社	ドイツ語ナビゲーション2.0	前田良三
	備考			
参考書	必要に応じ紹介する			
オフィスアワー	授業の前後とする。授業中でも質問を受け付ける。 h.kawakami18@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読んでくる。
	授業内容	年間授業計画・成績評価の方法・辞書紹介
	事後学習	教科書、辞書の準備をする。
2	事前学習	ドイツ語のアルファベットと英語のアルファベットの違いを確認してくる。
	授業内容	ドイツ語のつづり字と発音の関係 アルファベット、発音の規則、母音の読み方
	事後学習	アルファベット、単語のアクセント位置、母音のつづり字の発音を繰り返し練習し、確実に覚えること。
3	事前学習	ローマ字読みで読める単語を読む練習をしてくる。
	授業内容	子音の読み方、簡単な挨拶表現、短文を音読練習
	事後学習	子音のつづり字の発音、挨拶表現、短文をの発音を繰り返し練習し、確実に覚えること。
4	事前学習	教科書の単語を読む練習をしてくること。
	授業内容	1課 動詞〔規則動詞〕の変化 動詞の位置〔平叙文・疑問文〕動詞の辞書の引き方
	事後学習	主語になる代名詞と動詞の変化と位置を復習すること。

5	事前学習	会話文練習P5の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	注意すべき現在人称変化、重要動詞の変化 会話文練習(訳、発音練習)ー自己紹介 重要表現練習
	事後学習	重要表現練習を復習してくること。
6	事前学習	ドイツ語の名詞と英語の名詞の違いを確認してくること。
	授業内容	2 課 名詞について〔性・数・格〕 定冠詞、不定冠詞 格の用法、名詞の辞書の引き方
	事後学習	定冠詞、不定冠詞の格変化を確実に覚えること。格の用法について復習してくること。
7	事前学習	会話文の名詞を辞書で調べてくこと。
	授業内容	疑問代名詞 会話文練習(訳、発音練習) 重要表現練習
	事後学習	重要表現練習を復習してくること。
8	事前学習	テキスト講読P12の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	テキスト講読P12ーケルンでの散策ー（発音練習、訳）
	事後学習	重要表現を復習してくること。
9	事前学習	会話文練習P15の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	3 課 動詞〔不規則動詞〕の変化、命令形 会話文練習(訳、発音練習) 重要表現練習
	事後学習	不規則動詞の変化を確実に覚えること。命令形を復習すること。
10	事前学習	会話文練習P17の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	代名詞の変化、非人称のes 会話文練習(訳、発音練習) 重要表現練習
	事後学習	代名詞の変化を確実に覚えること。非人称のesを使った表現を復習してくること。
11	事前学習	名詞を辞書で調べて、複数形を調べてくこと。
	授業内容	4 課 名詞の複数形について 定冠詞類、不定冠詞類、否定冠詞の使い方、否定文
	事後学習	否定文の作り方を復習すること。
12	事前学習	会話文練習P23の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	疑問文の答え方 会話文練習(訳、発音練習) 重要表現練習
	事後学習	重要表現を復習してくること。
13	事前学習	テキスト講読P24の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	テキスト講読P24ーベルリンへの研修旅行ー（発音練習、訳）
	事後学習	重要表現を復習してくること。
14	事前学習	練習プリントをやってくこと。
	授業内容	前期のまとめ 質問など個別指導
	事後学習	出来なかった所を復習してくること。
15	事前学習	今までの重要表現練習を復習してくること。
	授業内容	期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	出来なかった所をしっかり復習する。

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	川嶋 正幸	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法知識を一步一步確実なものにしながら、テキストを講読することによって、独検3・4級に合格する読解力・聞き取りの力が養成できる。			
授業目的・到達目標	ドイツの風土や文化について書かれた文章を読みながら、基礎のドイツ語力を身に付け、これまでの世界とは異なる新たなもう一つの世界を自分の中に構築してゆくための手助けをすることをこの授業の目的とする。ドイツ語を理解するための基礎力を獲得し、その結果ドイツ語技能検定4級に合格できる力が養成できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	予め説明した文法事項をもとに、各自が事前学修としてテキストを訳し、練習問題を解き、それを授業で確認し、理解が十分でない場合は質問をして、確実に理解してゆくという形で進めて行く。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参画度及び小テスト 40% 授業内テスト 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	朝日出版社	フランクフルト四重奏	川嶋正幸 中村憲治 Schlichtmann
	備考			
参考書	独和辞典が必携。携帯電話、スマホ等の独和辞典アプリの授業中の使用は認めない。具体的にはガイドンスで説明する。既に辞書を持っている場合、ガイドンスの際に持参するか書名、出版社名、出版年度を書いて持参すること。			
オフィスアワー	授業後に相談のうえ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツと言えば何を連想するか考えておくこと。
	授業内容	ガイドンス(年間講義計画・成績評価の方法・辞書等の紹介)
	事後学習	授業で触れた事柄をまとめておくこと。
2	事前学習	テキストのvi頁からx頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	ドイツ語のアルファベットと発音
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。
3	事前学習	テキストのx頁から6頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	母音と子音の発音 規則動詞
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	テキストの7頁の設問に回答し、8頁を訳出しておくこと。また9頁から13頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	冠詞 名詞
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	テキスト14頁の設問に回答し、15頁を訳出しておくこと。またテキスト16頁から19頁に目を通しておくこと。
	授業内容	不規則動詞 命令形
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	テキスト20頁の設問に回答し、21頁を訳出しておくこと。またテキスト22頁から25頁に目を通しておくこと。
	授業内容	冠詞類 人称代名詞
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	テキスト26頁の設問に回答し、27頁を訳出しておくこと。またテキスト28頁から32頁に目を通しておくこと。
	授業内容	前置詞
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	テキスト32頁から34頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続詞 副文
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	テキスト35頁の設問に回答し、36頁を訳出しておくこと。またテキスト37頁から39頁に目を通しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞 zu不定詞
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	テキスト40頁の設問に回答し、41頁を訳出しておくこと。またテキスト42頁から44頁に目を通しておくこと。
	授業内容	複合動詞
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	テキスト44頁から46頁に目を通しておくこと。
	授業内容	再帰動詞 非人称動詞
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	テキスト47頁の設問に回答し、48頁を訳出しておくこと。またテキスト49頁から53頁に目を通しておくこと。
	授業内容	形容詞
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	テキスト57頁から60頁に目を通しておくこと。
	授業内容	動詞の3基本形
	事後学習	授業で扱ったテキストを再度目を通し再確認するとともに、録音教材によって発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	これまでの学修を振り返り、理解が行き届かない点があれば質問できるように準備すること。
	授業内容	ドイツの社会・文化を扱った映像教材を見る。
	事後学習	授業で見た映像教材についての感想文を書くこと。
15	事前学習	これまでの学修を振り返り、質問に答えられるように準備すること。
	授業内容	これまでのまとめ(授業内テスト)
	事後学習	質問に対して、分からなかったりあやふやだった点を再確認すること。

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	川尻 竜彰	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を通してドイツならびにヨーロッパに対する知識や理解を深め、異なるものの見方や価値観、幅広い視野・思考を養います。				
授業目的・到達目標	基本的なドイツ語文法を習得し、特に平易な文章を読む事が出来るようにすることを目標にしています。あわせてドイツ文化についての理解も深めていきたい。ドイツ語検定 4 級に合格出来るようになる。				
履修条件	冬期ドイツ語技能検定試験を受験すること。				
授業方法	2時間に1課のペースで進んでいきますが、最初の1時間を文法の説明に、次の1時間を読章と練習問題に当てます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	試験 70% 小テスト 10% 授業時発表 10% 授業参加度 10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011	朝日出版		『希望のドイツ語』	小塩 節
	備考				
参 考 書	授業中に指示する。				
オフィス アワー	授業内で質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	添付CDのアルファベートをよく聞いておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、辞書の選び方について。
	事後学習	アルファベートを暗記して発音できるようにすること
2	事前学習	教科書2、3ページの単語をCDを聞きながら発音してみること
	授業内容	ドイツ語の発音。
	事後学習	ローマ字読みできない複母音を特に練習すること。
3	事前学習	教科書4ページのテキストを音読しておくこと
	授業内容	第1課 動詞の人称変化および語順について。平叙文では主語がつねに文頭に来るわけではないことを学ぶ
	事後学習	教科書6ページの練習問題で動詞の人称変化に習熟すること。
4	事前学習	教科書4ページを予習してくること
	授業内容	読章 「私たちはドイツ語を学ぶ」
	事後学習	不定代名詞manの用法を復習すること

5	事前学習	教科書8ページのテキストを音読しておくこと
	授業内容	第2課 名詞の姓・格、冠詞の変化、複数形について。
	事後学習	教科書10ページの練習問題で動詞の人称変化を復習しておくこと。
6	事前学習	教科書8ページを予習してくること
	授業内容	読章 「朝食」
	事後学習	定冠詞・不定冠詞の使い分けを整理しておくこと。
7	事前学習	格の概念について整理しておくこと。
	授業内容	第3課 冠詞類、人称代名詞の格変化について。welcherの用法に習熟する
	事後学習	教科書10ページの練習問題で冠詞類の変化に慣れておくこと。
8	事前学習	教科書12ページを予習してくること
	授業内容	読章 「労働時間」
	事後学習	動詞が特定の格の目的語をとることを理解する。
9	事前学習	2、3課の冠詞類の格変化を今一度確認しておくこと。
	授業内容	第4課 前置詞、命令法について。特に頻出する3格支配、3・4格支配の前置詞について学ぶ
	事後学習	教科書19ページの練習問題で命令法に慣れること。
10	事前学習	教科書16ページを予習してくること
	授業内容	読章 「ドイツー森の国」
	事後学習	3・4格支配の前置詞の3，4格の使い分けを復習しておくこと。
11	事前学習	形容詞の語尾変化表と2、3課の格変化表を見比べておくこと。
	授業内容	第5課 形容詞の用法、付加語形容詞の語尾変化について。形容詞は副詞としても使われることを学ぶ
	事後学習	教科書22ページの練習問題を解いておくこと。
12	事前学習	教科書20ページを予習してくること
	授業内容	読章 「菩提樹」
	事後学習	名詞の複数形から単数形を導き出すことに慣れておくこと。
13	事前学習	付加語形容詞の語尾変化を復習しておくこと。
	授業内容	第6課 形容詞の名詞化、形容詞の比較変化について。多用される中性名詞化について学ぶ
	事後学習	教科書26ページの練習問題を解いておくこと。
14	事前学習	教科書24ページを予習してくること
	授業内容	読章 「整頓好き」比較の様々な用法について学ぶ。基数詞を覚える。
	事後学習	基数詞の発音、つづりを練習しておくこと。
15	事前学習	指定された範囲の文法事項を把握しておくこと
	授業内容	試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	わからなかった問題を必ず確認して府復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	黒瀬 志保	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初級文法を学びながら、「読む、書く、話す、聞く」という4技能の練習を行う。また、テキストで扱われている題材をもとにドイツの文化や歴史にも触れる。			
授業目的・到達目標	初級文法を習得し、ドイツ語を読む、書く、話す、聞くという基本能力、また、ドイツ語技能検定試験（独検）4級に合格するための基礎を身につけることを目標とする。 ドイツ語のつづりの読み方について学び、それにもとづき発音できるようになる。辞書を使って簡単なドイツ語の文章を理解できるようになる。基本的な文法と語彙を使って、簡単なドイツ語の表現ができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎文法A、Bを平行して履修すること（または履修済み）が望ましい。 ドイツ語技能検定試験の受験を奨励する。			
授業方法	教科書に沿って、テキストの発音練習、文法説明、テキスト読解、練習問題を行う。テキスト読解と練習問題は宿題として課し、授業時に解説を行う。基本的な表現を覚えるための小テストも行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	平常点（学習態度、小テスト、課題、独検）40%、授業内試験60% 原則として出席が2/3に満たない場合は単位は認めない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	三修社	ドイツ語ベーシック・コース [改訂版]	大園正彦 他
	備考			
参考書	初回授業で独和辞典について指示する。その他の参考書については授業中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	初回授業でメールアドレスを公開する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	教科書 6 ～ 9 ページの講読とCD試聴
	授業内容	アルファベット つづりの読み方と発音
	事後学習	教科書 6 ～ 9 ページの復習と発音練習
3	事前学習	教科書 1 2 ～ 1 5 ページの講読
	授業内容	Lektion 1 テキストの発音練習 文法説明（動詞の人称変化）
	事後学習	教科書 1 2 ～ 1 5 ページの復習と発音練習および 1 6 ページの練習
4	事前学習	教科書 1 8 ページのテキスト読解および 1 9 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 1 テキスト読解「ナオキとティーロ」 練習問題
	事後学習	教科書 1 8 ～ 1 9 ページの復習および発音練習

5	事前学習	教科書 2 0 ～ 2 3 ページの講読
	授業内容	Lektion 2 テキストの発音練習 文法説明（名詞の性）
	事後学習	教科書 2 0 ～ 2 3 ページの復習と発音練習および 2 4 ページの練習
6	事前学習	教科書 2 6 ページのテキスト読解および 2 7 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 2 テキスト読解「トリアの町」 練習問題
	事後学習	教科書 2 6 ～ 2 7 ページの復習および発音練習
7	事前学習	教科書 2 8 ～ 3 1 ページの講読
	授業内容	Lektion 3 テキストの発音練習 文法説明（名詞の格変化）
	事後学習	教科書 2 8 ～ 3 1 ページの復習と発音練習および 3 2 ページの練習
8	事前学習	教科書 3 4 ページのテキスト読解および 3 5 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 3 テキスト読解「誕生日プレゼント」 練習問題
	事後学習	教科書 3 4 ～ 3 5 ページの復習および発音練習
9	事前学習	教科書 3 6 ～ 3 9 ページの講読
	授業内容	Lektion 4 テキストの発音練習 文法説明（名詞の複数形）
	事後学習	教科書 3 6 ～ 3 9 ページの復習と発音練習および 4 0 ページの練習
10	事前学習	教科書 4 2 ページのテキスト読解および 4 3 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 4 テキスト読解「ナオキは食器が必要」 練習問題
	事後学習	教科書 4 2 ～ 4 3 ページの復習および発音練習
11	事前学習	教科書 4 4 ～ 4 7 ページの講読
	授業内容	Lektion 5 テキストの発音練習 文法説明（前置詞）
	事後学習	教科書 4 4 ～ 4 7 ページの復習と発音練習および 4 8 ページの練習
12	事前学習	教科書 5 0 ページのテキスト読解および 5 1 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 5 テキスト読解「夏休み」 練習問題
	事後学習	教科書 5 0 ～ 5 1 ページの復習および発音練習
13	事前学習	教科書 5 2 ～ 5 5 ページの講読
	授業内容	Lektion 6 テキストの発音練習 文法説明（冠詞類）
	事後学習	教科書 5 2 ～ 5 5 ページの復習と発音練習および 5 6 ページの練習
14	事前学習	教科書 5 8 ページのテキスト読解および 5 9 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 6 テキスト読解「家族写真」 練習問題
	事後学習	教科書 5 8 ～ 5 9 ページの復習および発音練習
15	事前学習	教科書 5 9 ページまでの復習
	授業内容	授業内試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	文法項目および基本表現の再チェック

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級ドイツ語のインテンシブ・クラスです。在学中のドイツ語圏への短期研修・長期留学・将来 ドイツ語で仕事をする ことを目指している学生さんを対象とします。				
授業目的・到達目標	初級ドイツ語文法の習得。CEFR A1-1レベルの読解・聞き取り・作文・会話能力の養成。 ドイツ語圏における滞在に通用 するドイツ語能力の 育成を目標とするクラスです。独検4級・3級及びCEFR A1-1終了レベルのドイツ語力の養成を目標と します。 学習した文法事項を踏まえ、身近なテーマについて読み・聞 き・書き・会話ができるようになることが目標で す。				
履修条件	火曜3時限目 ドイツ語基礎文法 A（真道）を同時に受講すること。 授業に積極的に参加すること。 火曜3時限目ドイツ語基礎文法 A（真道）に登録すると、自動的に本授業に登録されます。				
授業方法	文法説明はできるだけわかりやすくします。練習問題、会話練習等を行いながら、実際に学んだ文法の知識を実践できる ようにしてゆきます。参加型授業です。ほぼ毎回小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	検定試験の結果及び授業内試験50%、授業参加態度15%、提出物15%、小テスト20%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2008	同学社	ドイツ文法・100語の世界		清水 薫
	2005	cornelsen	studio d A1 Kurs- und Übungsbuch		Hermann Funk
	備考	ドイツ語1（木1）と共通教科書です。			
参 考 書	独和辞典（授業中に説明します） その他の参考書については、授業中に紹介します。				
オフィス アワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材準備
2	事前学習	CD確認 アルファベート予習
	授業内容	アルファベート Start auf Deutsch
	事後学習	アルファベート・発音復習
3	事前学習	文法事項確認
	授業内容	1課 規則的に人称変化する動詞 Lektion 1 Café d 2
	事後学習	1 課 / Lektion 1練習問題
4	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 2 2課 文を作る Lektion 1 Café d 4
	事後学習	2課 / Lektion 1 練習問題

5	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 4 3課 名詞の性と格(1格・4格) seinとhaben Lektion 2 Im Sprachkurs 2
	事後学習	3課 / Lektion 2 練習問題
6	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 6 4課 不規則に変化する動詞1 名詞の格(2格・3格) Lektion 2 Im Sprachkurs 4
	事後学習	4課 / Lektion 2 練習問題
7	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 8 5課 冠詞類 不規則に人称変化する動詞2 Lektion 3 Städte- Länder- Sprachen 2
	事後学習	5課 / Lektion 3 練習問題
8	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 10 6課 複数形 人称代名詞 Lektion 3 Städte- Länder- Sprachen 4
	事後学習	6課 /Lektion 3 練習問題
9	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 12 7課 前置詞 Lektion 4 Menschen und Häuser 2
	事後学習	7課 / Lektion 4 練習問題
10	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 14 8課 話法の助動詞 未来形 Lektion 5 Termine 1
	事後学習	8課 / Lektion 4 練習問題
11	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 16 9課 形容詞の格語尾 序数 Lektion 5 Termine 3
	事後学習	9課 / Lektion 5 練習問題
12	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 18 10課 比較級 非人称表現 不定代名詞 Lektion 6 Orientierung 2
	事後学習	10課 / Lektion 6 練習問題
13	事前学習	文法・語彙復習
	授業内容	文法まとめ Lektion 6 Orientierung 4
	事後学習	Lektion 6 練習問題
14	事前学習	中間試験準備
	授業内容	中間試験 筆記試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価
15	事前学習	中間試験準備
	授業内容	中間試験 口述試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	鈴木 満	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	「理解力」「暗記」「継続」の大切さを確認しながら、ドイツ語を学びます。			
授業目的・到達目標	ドイツ語を読み・書き・聞き・話すための基礎学力の習得、特に「正確に書くこと」、およびドイツ語検定試験４級合格を目的とします。 ドイツ語圏の文化を自分で調べることができるようになります。			
履修条件	ドイツ語を初めて学ぶ１年生が対象ですが４年生の受講は認めます。人数によって２年生・３年生も受講できることがあります。			
授業方法	不定期に小テストを行い、これが平常点に加味されます。授業の復習が必須です。検定試験に合格するための自習も必要です。受講生の数などによって授業の進め方を決めます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	小テスト・検定試験結果も含む。出席不良、私語が多い、辞書がない、復習が著しく不十分、不正行為（小テストでも）があった場合などは学期途中でも不合格となります。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014	白水社	やさしいドイツ語入門	増本浩子
	備考			
参考書	辞書（アポロン独和辞典・クラウン独和辞典など）			
オフィスアワー	suzuki.mitsuru11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツの観光情報などを参照して、ドイツの様子を知る。 ドイツの歴史を復習するなどして、ドイツ語圏への関心を高める。
	授業内容	前期ガイダンス 文字と発音
	事後学習	文字と発音の復習 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
2	事前学習	教科書付属のCD等を聞く
	授業内容	人称代名詞 動詞の現在人称変化（規則変化） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
3	事前学習	授業1回目～2回目の復習
	授業内容	ja/nein で答える疑問文 疑問詞を使った疑問文 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
4	事前学習	授業1回目～3回目の復習
	授業内容	nicht を使った否定文 動詞の現在人称変化（不規則変化） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる

5	事前学習	授業 1 回目～ 4 回目の復習
	授業内容	名詞の性と格 不定冠詞・否定冠詞・所有冠詞の格変化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
6	事前学習	授業 1 回目～ 5 回目の復習
	授業内容	名詞の複数形 sein と haben の現在人称変化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
7	事前学習	授業 1 回目～ 6 回目の復習
	授業内容	定冠詞（類）の格変化 mein 以外の所有冠詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
8	事前学習	授業 1 回目～ 7 回目の復習
	授業内容	「gehören + 3 格」の文型 所有を表す 2 格 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
9	事前学習	授業 1 回目～ 8 回目の復習
	授業内容	さまざまな前置詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
10	事前学習	授業 1 回目～ 9 回目の復習
	授業内容	命令文 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記
11	事前学習	授業 1 回目～ 1 0 回目の復習
	授業内容	人称代名詞の 3 格と 4 格 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味の沸いた点を調べる
12	事前学習	授業 1 回目～ 1 1 回目の復習
	授業内容	非人称の es 「es gibt + 4 格」の文型 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
13	事前学習	授業 1 回目～ 1 2 回目の復習
	授業内容	話法の助動詞 3 基本形入門 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
14	事前学習	授業 1 回目～ 1 3 回目の復習
	授業内容	さまざまな接続詞 副文構造 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
15	事前学習	前期学習事項の総復習
	授業内容	前期の補足・総合復習・演習 確認テスト
	事後学習	確認テストで学習不足の点を重点的に復習

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	三浦 美紀子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	各課とも、二つのテキスト、文法説明、2ページの練習問題から成る教科書を使用、まず文法ポイントを説明したのち、該当する練習問題を解き、事前に配付した予習用宿題プリントに基づいて、ドイツ語のテキストを読んでいく。練習問題の解答とテキストの読解は、受講者が行う形で進める。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 ドイツ語の文法を学んで、さまざまなタイプの練習問題を数多く解き、ドイツを紹介する文章を読みながら、ドイツ語圏の生活や社会、文化について理解できるようになることを目的とする。 【到達目標】 ドイツ語の基本的な文法事項と正しい発音について学び、まとまった文の読解ができるようになる。				
履修条件	事前に配布する予習宿題プリントを参考に、必ず辞書を引いて予習を済ませ、独和辞典を持って出席すること。				
授業方法	教科書とCDを用いての演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常点（受講態度と授業に対する積極性）30% 期末に実施する授業内試験 70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	同学社		一歩ずつ楽しいドイツ語（テキスト+CDセット）	小川さくえ/片岡律子
	備考	予習用宿題プリントを各課ごとに配布			
参 考 書	指定しない				
オフィスアワー	木曜日17時50分～18時20分、10号館2階ロビー（事前に必ず授業に出席して、アポイントメントを取ること）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書6～8ページ、11ページに目を通す
	授業内容	導入、ドイツ語のアルファベットと発音、辞書の紹介、第1課（1）動詞の現在形、動詞の位置について
	事後学習	教科書6～8ページの発音練習、11、13ページの文法復習
2	事前学習	10ページと14ページの予習
	授業内容	第1課（2）「自己紹介」
	事後学習	10ページと14ページの復習
3	事前学習	12ページと15ページの予習
	授業内容	第1課(3) 「質問するとき」
	事後学習	12ページと15ページの復習
4	事前学習	17、20ページの予習
	授業内容	第2課（1）不規則変化をする動詞について
	事後学習	17、20ページの復習

5	事前学習	16ページの予習
	授業内容	第2課（2）「人物紹介」
	事後学習	16ページの復習
6	事前学習	18、19、21ページの予習
	授業内容	第2課（3）「時間がありますか？」
	事後学習	18、19、21ページの復習
7	事前学習	23、26ページの予習
	授業内容	第3課（1）格について、冠詞と名詞の格変化について
	事後学習	23、26ページの復習
8	事前学習	22ページの予習
	授業内容	第3課（2）「これは～です」
	事後学習	22ページの復習
9	事前学習	25、27ページの予習
	授業内容	第3課（3）「兄弟姉妹」
	事後学習	25、27ページの復習
10	事前学習	32ページの予習
	授業内容	第4課（1）名詞の複数形、数詞について
	事後学習	32ページの復習
11	事前学習	28、30ページの予習
	授業内容	第4課（2）「パン屋で、図書館で」
	事後学習	28、30ページの復習
12	事前学習	35、38ページの予習
	授業内容	第5課（1）前置詞について
	事後学習	35、38ページの復習
13	事前学習	34、39ページの予習
	授業内容	第5課（2）「道をたずねる」
	事後学習	34、39ページの復習
14	事前学習	36、37ページの予習
	授業内容	第5課（3）「パウルの一日」
	事後学習	36、37ページの復習
15	事前学習	前学期に学習したことの総復習
	授業内容	前学期末 授業内試験及びまとめ、振返り
	事後学習	分からなかった箇所、間違えた箇所の再確認

科目名	ドイツ語基礎表現A	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	一年間の授業で、基礎文法を手掛かりに簡単な自己表現と原文の読解ができるように指導していきたい。 ドイツ語技能検定試験(略称：独検)の5級（入門）、4級（初級）に合格できるように指導していく。					
授業目的・到達目標	授業目的：一年間の授業で、大学の英語のレベルまで引き上げることを目標にしている。 到達目標：①独検の合格レベルに到達できる。②ドイツ語でメールニュースが把握できる。					
履修条件	事前抽選で外れた人は、取ることができない。					
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う。②独和辞典を一年を通じて毎回使うので、必ず持つてくること。③確認ために、課題と小テストを実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験（筆記試験）（90%）＋レポート課題、小テスト、独検の結果（10%） 遅刻、欠席の多い場合、評価しない。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	三修社		『ドイツ語ルネサンス 第3版』		本郷建治 佐藤彰
	備考					
参考書	授業時に説明する。					
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイドランス 4年生は必ず出ること 独和辞典の紹介 アルファベット、母音
	事後学習	アルファベットを覚える。 教科書と辞書の準備をすること。
2	事前学習	前回の復習。
	授業内容	発音の原則 母音と子音の発音 人称代名詞の暗唱
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。
3	事前学習	前回の復習。 動詞の位置に注意する。
	授業内容	復習 L.1：動詞（sein, habenを含む）の人称変化 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。 独文法の太原則を頭に入れておくこと。
4	事前学習	前回の復習。 小テストのために完全に暗記すること。
	授業内容	小テスト、復習 練習問題 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。

5	事前学習	前回の復習。 動詞の変化の箇所不明な点があれば、教員に質問し、解決しておくこと。
	授業内容	復習 L. 2：名詞と冠詞 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。
6	事前学習	前回の復習。
	授業内容	復習 定冠詞と不定冠詞の格変化 複数形5タイプ
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。
7	事前学習	前回の復習。 小テストのために完全に暗記すること。
	授業内容	復習、小テスト、練習問題 L. 3：動詞の現在人称変化 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 規則動詞と不規則動詞の変化を比較してみる。 課題をすること。
8	事前学習	前回の復習。
	授業内容	復習 練習問題 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。
9	事前学習	前回の復習。 冠詞の変化を確認しておく。
	授業内容	復習 L. 4：冠詞類、人称代名詞 辞書の引き方、練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 冠詞と冠詞類の語尾とを比較してみる。
10	事前学習	前回の復習。 定形第2位の原則とは、何か確認しておく。
	授業内容	復習 L. 5：動詞の位置の3タイプ 辞書の引き方、練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 ドイツ語の定型の位置は、1位、2位、文末の3通りのみであることを確認すること。
11	事前学習	前回の復習。 冠詞、冠詞類の変化を確認しておく
	授業内容	復習 L. 6：前置詞 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。
12	事前学習	前回の復習。
	授業内容	復習 辞書の引き方。 練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 3・4格支配の前置詞の用法を辞書の用例を確認しておくこと。
13	事前学習	前回の復習。 読本の単語、文構造をあらかじめチェックしておく。 CDを聞いておく。
	授業内容	復習 読本 1 辞書の引き方。
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 訳文をノートに記しておく。
14	事前学習	前回の復習。 読本の単語、文構造をあらかじめチェックしておく。CDを聞いておく。 前期の単語、文法を確認しておく。
	授業内容	復習 読本 2 試験について
	事後学習	訳文をノートに記しておく。前期授業の総復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。
15	事前学習	試験範囲のすべてに目を通し、意味を考えながら、CDを聞いておく。
	授業内容	授業内試験（70分、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検結果の報告

科目名	ドイツ語基礎表現A(水曜3時限)	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する方を対象とした授業です。この授業は、月曜・3限の渡辺徳夫先生の「ドイツ語基礎文法」(旧カリキュラムの「ドイツ語Ⅱ」)との同時履修を前提としたもので、この授業単独での履修はできません。ドイツ語技能検定試験(独検)の5級と4級の出題内容を踏まえて、受験のアドバイスもします。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の文法と基本的な語彙を習得し、平易な文章を読解できるようになることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の文法と基本的な語彙を習得し、平易な文章を読解できるようになる。				
履修条件	月曜3限の渡辺徳夫先生の「ドイツ語基礎文法」(旧「ドイツ語Ⅱ」)と同時に履修すること。受講の際には、私の授業に登録すること(渡辺先生の授業も自動登録される)。他のクラスより進度が早いいため、その覚悟で受講すること。				
授業方法	文法事項の説明、問題練習、小テスト(単語テストを含む)、例文の音読、リスニングの練習などを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点40%、試験60%。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	白水社		ブレーミエ ドイツ語総合読本(CD付)	神竹道士ほか
	備考				
参考書	『新・独検合格 単語+熟語1800』(第三書房、2010年)。授業では使用しないが、自習用問題集を必要とする場合には、森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)を勧めたい。				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイドンス、ドイツ語の発音
	事後学習	第2回の授業までに教科書を準備しておくこと。
2	事前学習	教科書を持参して授業に参加すること。学習事項を前もって少し予習しておくこと。
	授業内容	動詞の現在人称変化(1)、人称代名詞(1)、sein動詞、疑問文(1)
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
3	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	名詞の性、定冠詞と不定冠詞、haben動詞、注意すべき動詞、疑問文(2)
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
4	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	名詞の複数形、定冠詞類・不定冠詞類、否定文
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。

5	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	動詞の現在人称変化(2)
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
6	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	人称代名詞(2)、前置詞、並列接続詞
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
7	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞、未来の助動詞、zu不定詞
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
8	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	形容詞の格変化、形容詞の名詞化、序数詞
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
9	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	形容詞・副詞の比較変化、比較表現、esの用例
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
10	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
11	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	現在完了形、従属接続詞、相関接続詞
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
12	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	再帰代名詞、再帰動詞、分詞
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
13	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	定関係代名詞、指示代名詞、不定関係代名詞
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
14	事前学習	前期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	前期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎表現A(火曜3時限)	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する方を対象とした、ドイツ語でのさまざまな表現を学習する授業である。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の基礎的な文法を確認しつつ、ドイツ語の総合的な運用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の基礎的な表現を習得し、平易なテキストの理解や簡単な会話ができるようになる。				
履修条件	・1年生は、今年度のうちに、「ドイツ語基礎文法」も履修すること(私以外の先生の授業でもよい)。 ・ドイツ語技能検定試験(独検)をなるべく受験すること。				
授業方法	テキストの音読・訳読、文法の説明、問題練習、単語テストなどをします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点: 40% 試験: 60%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	白水社		クラッセ! ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付)	谷澤優子ほか
	備考				
参考書	授業では使用しないが、自習用教材として森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)、単語集として在間進ほか『新・独検合格 単語+熟語1800』(第三書房、2010年)を推薦したい。				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、文字と発音練習
	事後学習	第2回の授業までに教科書を準備すること。
2	事前学習	教科書を準備して授業に参加すること。
	授業内容	文字と発音練習、数字
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
3	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第1課 あいさつ①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
4	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第1課 あいさつ②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。

5	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第2課 紹介①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。
6	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第2課 紹介②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
7	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第3課 持ち物①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
8	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第3課 持ち物②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
9	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第4課 食事①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
10	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第4課 食事②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
11	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第5課 家族①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
12	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第5課 家族②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
13	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第6課 好きなこと①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
14	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第6課 好きなこと②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
15	事前学習	前期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	青木 和子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級者のためのドイツ語学習を行う。 言葉としてのドイツ語に取り組む中で、この言語空間がドイツの文化を形成していることを学ぶ。				
授業目的・到達目標	(1) 正確な発音ができる (2) 基礎文法を正確に習得する (3) 会話のための表現力と文章を読む語学力を身につける				
履修条件	学習への熱意があること。				
授業方法	各課の文法のテーマの内容を解説をした上で、練習問題を順次する演習形式となる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テスト80％，平常点（授業参加度・演習回数）20％	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		朝日出版社		ブーメラン・エルエー	小野寿美子 他
	備考				
参考書	独和辞書は、授業時に必ず必要。				
オフィスアワー	質問は授業中にいつでも受け付けるが、授業後も教室にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休み課題をしておく。 Lektion 7 の予習をする。
	授業内容	夏休み課題の答え合わせ
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	Lektion 7 の末学習の箇所を予習する。
	授業内容	形容詞・副詞の比較級・最上級
	事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	Lektion 8 の予習をする。
	授業内容	動詞の 3 基本形
	事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	過去形の予習
	授業内容	過去形
	事後学習	授業内容の復習

5	事前学習	現在完了形の予習
	授業内容	現在完了形
	事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	過去形と現在完了形を再度復習
	授業内容	過去形と現在完了形を復習
	事後学習	授業内容の復習
7	事前学習	Lektion 9 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	再帰代名詞と再帰動詞
	事後学習	授業内容の復習
8	事前学習	Lektion 1 0 不定詞の予習をする。
	授業内容	再帰動詞の復習 不定詞
	事後学習	授業内容の復習
9	事前学習	Lektion 1 0 の未学習の箇所を予習する。
	授業内容	不定詞の用法 関係代名詞
	事後学習	授業内容の復習
10	事前学習	関係代名詞の復習
	授業内容	関係代名詞・不定関係代名詞 関係副詞
	事後学習	授業内容の復習
11	事前学習	受動態の予習
	授業内容	受動態と能動態
	事後学習	授業内容の復習
12	事前学習	接続法の予習
	授業内容	受動表現の復習 接続法
	事後学習	授業内容の復習
13	事前学習	接続法の復習
	授業内容	接続法
	事後学習	授業内容の復習
14	事前学習	後期学習した範囲を見直し疑問点を出しておく
	授業内容	後期の総復習
	事後学習	授業内容の復習
15	事前学習	テスト準備のための総復習をする
	授業内容	期末テスト及び振り返り
	事後学習	試験内容のチェック

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	跡守 美音	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎を学ぶ。					
授業目的・到達目標	基本的な文法の知識と辞書を使って、ドイツ語を運用（おもに読解）することができるようになること、また、ドイツ語の学習の中でドイツ語圏の文化についても理解を深めることを目的とする。 ドイツ語の初級文法を身に付け、その文法の知識と辞書を使いながら、平易な文章を読むことができるようになる。 独検(ドイツ語技能検定試験)4級レベルのドイツ語力を身につけ、運用することができるようになる。					
履修条件	ドイツ語基礎表現Bと併せて、ドイツ語基礎文法Bを履修すること（または履修済み）が望ましい。 独検を受験すること。					
授業方法	教科書に沿って解説し、その後、練習問題や読解を通じて、学習した内容の定着を深めていきます。練習問題やテキストの訳は、受講生に積極的に発表してもらいます。毎回、予習をしっかりとやることが前提となります。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への参加および小テスト30%、独検の成績20%、学期末試験50%。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	朝日出版社		たいむりーAltuelles aus Deutschlandー		森田悟、川上博子 他
	備考					
参考書	毎回、辞書を使用しますので必ず持参して下さい。辞書については初回の授業で説明します。					
オフィスアワー	授業の前後とする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく。
	授業内容	導入
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
2	事前学習	第1回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
3	事前学習	第2回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	分離動詞・非分離動詞
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
4	事前学習	第3回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	zu不定詞
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。

5	事前学習	第4回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	形容詞の付加語的用法
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
6	事前学習	第5回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	再帰表現
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
7	事前学習	第6回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	比較表現
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
8	事前学習	第7回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	動詞の三基本形
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
9	事前学習	第8回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	過去形
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
10	事前学習	第9回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	現在完了形
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
11	事前学習	第10回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	受動態
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
12	事前学習	第11回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
13	事前学習	第12回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	接続法
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
14	事前学習	第1回～第13回の学習内容を復習すること。
	授業内容	学期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	学期末試験でできなかった箇所を確認しておくこと
15	事前学習	第1回～第14回の中で理解できていないと思うところを、事前に確認しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内で質疑応答したことを復習しておくこと。

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	天沼 春樹	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初歩と、ドイツ文化理解。ドイツ語を初歩から、親しみやすくまなび、読み書き聴くバランスをとった基礎を身につけていく。視聴覚教材を利用し、ドイツ事情にもたくさん触れていく。とくにB（後半内容）では、前期の内容をしっかりと復習したうえで、応用表現をしっかりと身につけてもらいます				
授業目的・到達目標	初級のドイツ語の運用能力。読み、聞き、書けるちから。目安としてドイツ語検定5級程度の能力。とくに、後期12月の独検にはチャレンジしてほしい。授業内でも過去問などを指導します。いちおう初級文法は基本をすべて教えていきます、				
履修条件	出席重視。初歩からやるので、欠席がかさなると理解不能になります。やむをえぬ事由で欠席が複数回におぶときは、事前か事後に申し出て、指導をうけてください。				
授業方法	前期教材、ドイツ語基礎表現Aの後半を使用して指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験の小試験と学期末の筆記試験。ドイツ語検定の結果も平常評価として考慮します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	第三書房		『ドイツ環境問題へのアプローチ ノイ』	ヘルマン・トロール他
	備考	現代のドイツの環境意識をテーマに、やさしくドイツ語を学べます。			
参考書	独和辞書				
オフィスアワー	講義時間前後。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習
	授業内容	前期の復習授業。
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
2	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion7 ドイツのお城に泊まる 語法の助動詞
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
3	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion7 ドイツのお城に泊まる 名詞の複数形
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
4	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion8 待ち合わせはどうやって？ 時刻表現・再帰動詞
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。

5	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion8 待ち合わせはどうやって？
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
6	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion9 旅行案内所にて 分離／非分離動詞の使い方
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
7	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion9 旅行案内所にて 分離／非分離動詞の使い方
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
8	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion10 誰と会ったのですか？ 完了表現
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
9	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion10 誰と会ったのですか？ 完了表現
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
10	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion11 過去と完了表現のちがい(1) 過去形の基本
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
11	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion11 過去と完了表現のちがい(2) 過去形の応用
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
12	事前学習	単語調べ。
	授業内容	テキストLektion12 冬時間と夏時間 形容詞の比較 付加語的用法
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
13	事前学習	単語調べ。
	授業内容	接続法というもうひとつの動詞の変化（1）
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
14	事前学習	前回までのまとめ学習
	授業内容	接続法というもうひとつの動詞の変化（2）
	事後学習	ノート整理。単語整理。例文整理。
15	事前学習	試験準備
	授業内容	学期末の教場筆記試験 まとめ、振り返り
	事後学習	試験の反省。

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	石井 寿子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を学びながら現代事情を知り、ドイツという国に興味を持ていただければと願っています。				
授業目的・到達目標	初級文法を応用し、簡単なドイツ語を読み、聞き、書き、話す力を養います。ミュンヘンをテーマにした教科書を用い、ドイツ語を学びながら最新のドイツ事情についても知識を深めることを目標とします。				
履修条件	特にありません。初習者も歓迎します				
授業方法	まず文法事項を学習し、会話を理解した後、練習問題と読むテキストで確認します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	20点満点の平常点（授業態度）と、80点満点の筆記試験を総合し、60点以上を合格とします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	同学社		ミュンヘンに夢中	ラーブ・石井・保阪
	備考				
参考書	独和辞典（電子辞書も可）。				
オフィスアワー	金曜午後本館講師控室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第7課 英国庭園 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
2	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第7課 英国庭園 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
3	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第8課 ドイツ博物館 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
4	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第8課 ドイツ博物館 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる

5	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第9課 アリアンツ・アレーナ 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
6	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第9課 アリアンツ・アレーナ 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
7	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第10課 ピナコテーク 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
8	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第10課 ピナコテーク 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
9	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第11課 オクトーバーフェスト 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
10	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第11課 オクトーバーフェスト 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
11	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第12課 イーザル川 文法と会話
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
12	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第12課 イーザル川 練習問題と読本
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
13	事前学習	授業で勉強したことを復習する
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	不明な箇所をピックアップし、クリアにする
14	事前学習	授業で勉強したことを復習する
	授業内容	後期の力試し、まとめ
	事後学習	出題箇所を確認する
15	事前学習	不明だった箇所をピックアップする
	授業内容	答え合わせと解説
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	大森 信明	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎知識を得て、ドイツ語の基礎能力の養成をする。それは、日本語、英語を含めた言語能力の充実にもつながる。 ドイツの言語、文化、社会との触れ合いが、国際社会における日本のあり方への思索を深める。			
授業目的・到達目標	文章講読、文法演習を通してドイツ語能力の基礎を作る。 辞書と文法書を用いて基礎的ドイツ語の運用ができる。			
履修条件	特になし			
授業方法	文法学習、文章講読に問題演習を加える			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	文法問題を中心とした筆記試験。80% 授業で問題演習。20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度	第三書房	さあ、ドイツ語で！	ヘルマン・トロール、前田 智
	備考			
参 考 書	特になし			
オフィスアワー	水曜日昼休み 本館２階教員室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期第13回の語法の助動詞の使い方を復習する。
	授業内容	未来の助動詞
	事後学習	用法を三つの項目でまとめてみる。
2	事前学習	英語の動詞の三基本形を振り返ってみる。
	授業内容	動詞の三基本形
	事後学習	先ず規則変化を確実に覚える。不規則変化は重要動詞から徐々に覚えていく。
3	事前学習	前期第3回の現在人称変化を復習する。
	授業内容	動詞の過去人称変化
	事後学習	例文、練習問題を読み直し、過去時制の判断が可能になっているか確認する。
4	事前学習	英語の完了時制をまとめてみる。 haben, seinの人称変化を復習する。
	授業内容	完了形
	事後学習	語順、用法について英語との違いなどを確認する。

5	事前学習	前期第7回の定冠詞、不定冠詞と名詞の格変化を復習する。
	授業内容	形容詞の格変化
	事後学習	変化語尾についての基本的考え方を理解した上で、徐々に覚えていく。
6	事前学習	英語の用例を振り返ってみる。
	授業内容	形容詞・副詞の比較変化
	事後学習	例文、練習問題の具体例で慣れていく。
7	事前学習	werden, seinの人称変化を復習する。
	授業内容	受動態
	事後学習	状態受動、時制による表現形式の違いなど例文で確かめる。
8	事前学習	英語のto不定詞表現をまとめる。
	授業内容	zu不定形
	事後学習	句になった場合の語順、分離動詞のzu不定詞など確認する。
9	事前学習	二人称の人称代名詞、不規則動詞の現在人称変化を復習する。
	授業内容	命令
	事後学習	三つの形式を、例文で理解する。
10	事前学習	動詞の位置に関して、今まで学んだことを復習する。
	授業内容	接続詞
	事後学習	例文、練習問題の長文を、接続詞を中心に読み直してみる。
11	事前学習	英語の関係代名詞の使い方をまとめてみる。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	性、数、格、動詞の位置などの観点からドイツ語の関係代名詞の使い方を復習する。
12	事前学習	前回（関係代名詞）、前々回（接続詞）の復習。
	授業内容	関連の接続詞、関係副詞
	事後学習	文章の形で覚えるようにする。 英語の表現と比べてみる。
13	事前学習	英語の間接話法、仮定法を復習する。
	授業内容	接続法の形態
	事後学習	先ず接続法の人称変化を確認する。 代表的な用例を理解する。
14	事前学習	後期全体の復習をする。 疑問点をまとめる。
	授業内容	後期まとめ・質問受付
	事後学習	理解が不十分な点を再度復習。
15	事前学習	語順を中心にして重要項目を復習する。 暗記項目の確認。
	授業内容	試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	試験結果を自己点検し、弱点項目の学び直しをする。

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	川上 博子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	基本文法の定着と、辞書を使いながらドイツ語の読解力をつける					
授業目的・到達目標	基礎的文法を確認するとともに、着実にドイツ語が身につくように、簡単な会話表現から複合文まで読み進めていく力を養うことを目的とする。テキスト講読しながらドイツ語圏の人々の生活や文化についての知識や異文化への関心を深めることができるようになる。さらにドイツ語の聞き取り、基本単語、基本表現の習得ができる。最終的にドイツ語検定4級レベルの語学力を身につけることができるようになる。					
履修条件	ドイツ語基礎文法B（ドイツ語Ⅱ）も併せて履修すること。和独辞書必携。予習は必須。欠席しないこと。					
授業方法	発音練習、基本文法の確認、辞書を使いながらのテキスト講読、簡単な表現練習を総合的に行う。確認小テストを適宜行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		期末テスト。40% 受講態度・積極性・小テスト・発表。20% 独検4級成績40%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	朝日出版社		ドイツ語ナビゲーション2.0		前田良三
	備考					
参考書	必要に応じ紹介する					
オフィスアワー	授業の前後とする。授業中でも質問を受け付ける。 h.kawakami18@gmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に練習した単語のプリントの発音を復習してくること。
	授業内容	前期復習：発音の復習、数字の読み方
	事後学習	数字の読み方を確実に覚えること。
2	事前学習	会話文練習P27の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	5課 前置詞の使い方と前置詞と定冠詞の融合形について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント
	事後学習	前置詞の格支配と使い方を復習すること。
3	事前学習	会話文練習P29の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	5課 動詞・形容詞の前置詞の格支配 前置詞と代名詞の融合形について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現練習を復習する。
4	事前学習	会話文練習P33の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	6課 話法の助動詞の変化とその構文、未来形について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現練習を復習する。

5	事前学習	会話文練習P35の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	6課 分離動詞とその構文、接続詞について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現練習を復習してくること。
6	事前学習	テキスト講読P36の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	テキスト講読P36―語学コースでの口頭発表―（発音練習、訳）
	事後学習	重要表現練習を復習してくること。重要単語を覚えること。
7	事前学習	練習プリントやってくること。
	授業内容	疑問詞の練習
	事後学習	重要表現練習を復習してくること。
8	事前学習	会話文練習P45の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	8課 再帰代名詞と再帰動詞について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現を復習してくること。重要単語を覚えること。
9	事前学習	会話文練習P47の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	8課 zu不定詞について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現を復習してくること。重要単語を覚えること。
10	事前学習	会話文練習P39の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	7課 動詞の三基本形と過去形について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	動詞の三基本形を確実に覚える。
11	事前学習	会話文練習P41の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	7課 現在完了形について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現を復習してくること。
12	事前学習	テキスト講読P48の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	テキスト講読P48―サッカー観戦―（発音練習、訳）
	事後学習	重要表現を復習してくること。重要単語を覚えること。
13	事前学習	会話文練習P51の訳と発音練習をしてくること。
	授業内容	9課 形容詞について学習する。 会話文練習(訳、発音練習) チェックポイント 重要表現練習
	事後学習	重要表現を復習してくること。
14	事前学習	練習プリントをやってくること。
	授業内容	前期のまとめと練習 質問など個別指導
	事後学習	出来なかった所を復習してくること。
15	事前学習	今までの重要表現練習を復習してくること。
	授業内容	期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	出来なかった所をしっかり復習する。

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	川嶋 正幸	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法知識を一步一步確実なものにしながら、テキストを講読することによって、独検3・4級に合格する読解力・聞き取りの力が養成できる。			
授業目的・到達目標	ドイツの風土や文化について書かれた文章を読みながら、基礎のドイツ語力を身に付け、これまでの世界とは異なる新たなもう一つの世界を自分の中に構築してゆくための手助けをすることをこの授業の目的とする。ドイツ語を理解するための基礎力を獲得し、その結果ドイツ語技能検定4級に合格できる力が養成できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	予め説明した文法事項をもとに、各自が事前学修としてテキストを訳し、練習問題を解き、それを授業で確認し、理解が十分でない場合は質問をして、確実に理解してゆくという形で進めて行く。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参画度及び小テスト 40% 授業内テスト 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	朝日出版社	フランクフルト四重奏	川嶋正幸 中村憲治 Schlichtmann
	備考			
参考書	独和辞典が必携。携帯電話、スマホ等の独和辞典アプリの授業中の使用は認めない。具体的にはガイダンスで説明する。既に辞書を持っている場合、ガイダンスの際に持参するか書名、出版社名、出版年度を書いて持参すること。			
オフィスアワー	授業後に相談のうえ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでに獲得したドイツ語の文法・語彙に対して、まだあやふやな点があれば再確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 小テスト
	事後学習	授業によってあぶりだされたドイツ語の文法・語彙に対するあやふやな点を再確認してしっかり記憶すること。
2	事前学習	テキスト55頁の設問に回答し、56頁を訳出しておくこと。
	授業内容	比較級 最上級
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
3	事前学習	テキスト57頁から60頁に再び目を通し、61頁にも目を通しておくこと。
	授業内容	過去形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	テキスト62頁の設問に回答し、63頁を訳出しておくこと。またテキスト64頁から66頁に目を通しておくこと。
	授業内容	複合時制
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	テキスト67頁の設問に回答し、68頁を訳出しておくこと。またテキスト69頁から71頁に目を通しておくこと。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	テキスト71頁から73頁に目を通しておくこと。
	授業内容	受動態 分詞
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	テキスト74頁の設問に回答し、75頁を訳出しておくこと。またテキスト76頁から77頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続法第1式
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	テキスト77頁から79頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続法第2式
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	テキスト80頁の設問に回答し、81頁本文13行目まで訳出しておくこと。
	授業内容	ドイツの平和について(1)
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	テキスト81頁の最後までを訳出しておくこと。
	授業内容	ドイツの平和について(2)
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	テキスト全体を振り返り、よく理解出来ていない箇所があれば、質問できるように準備する。
	授業内容	テキスト全体についてまとめる。
	事後学習	授業で扱った重点をまとめておく。
12	事前学習	テキスト82頁 Anhang 本文21行目まで訳出しておくこと。
	授業内容	国際連合(1)
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	テキスト82頁 Anhang 本文22行目から最後まで訳出しておくこと。
	授業内容	国際連合(2)
	事後学習	授業で扱った発音をテキストの録音教材によって確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次の授業で質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	これまでの学修を振り返り、理解が行き届かない点があれば質問できるように準備すること。
	授業内容	ドイツの社会・文化を扱った映像教材を見る。
	事後学習	授業で見た映像教材についての感想文を書くこと。
15	事前学習	これまでの学修を振り返り、質問に答えられるように準備すること。
	授業内容	前期のまとめ(授業内テスト)
	事後学習	質問に対して、分からなかったりあやふやだったりした点を再確認すること。

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	川尻 竜彰	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を通してドイツならびにヨーロッパに対する知識や理解を深め、異なるものの見方や価値観、幅広い視野・思考を養います。				
授業目的・到達目標	基本的なドイツ語文法を習得し、特に平易な文章を読む事が出来るようにすることを目標にしています。あわせてドイツ文化についての理解も深めていきたい。ドイツ語検定 4 級に合格出来るようになる。				
履修条件	冬期ドイツ語技能検定試験を受験すること。				
授業方法	2時間に1課のペースで進んでいきますが、最初の1時間を文法の説明に、次の1時間を読章と練習問題に当てます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	試験 70% 小テスト 10% 授業時発表 10% 授業参加度 10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011	朝日出版		『希望のドイツ語』	小塩 節
	備考				
参 考 書	授業中に指示する。				
オフィス アワー	授業内で質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期範囲のテキストを音読しておくこと
	授業内容	ガイダンス 前期の復習、前期試験の総評。
	事後学習	特に定冠詞の格変化をもう一度復習しておくこと。
2	事前学習	動詞の人称変化および人称代名詞の格変化を復習しておくこと。
	授業内容	第7課 再帰動詞、非人称のes、zu不定詞について。
	事後学習	zu不定詞の様々な用法を整理しておくこと。
3	事前学習	教科書28ページを予習してくること
	授業内容	読章 「ろうそくの灯りのもとで」重要な熟語「es gibt 4格」の用法について学ぶ
	事後学習	序数の使い方を復習しておくこと。
4	事前学習	不規則動詞変化表の読み方をもう一度確認しておくこと。
	授業内容	第8課 動詞の3基本形および過去人称変化について。分詞の様々な用法について学ぶ
	事後学習	課題に出された動詞の3基本形、過去人称変化を練習しておくこと。

5	事前学習	教科書32ページを予習してくる
	授業内容	読章 「トーマス・マン」 不規則動詞の過去形から不定詞を見つけ出すことに慣れる
	事後学習	規則動詞の3基本形のパターンを覚えておく。
6	事前学習	平叙文、疑問文の定動詞の位置を今一度確認しておく。
	授業内容	第9課 分離動詞・非分離動詞、副文について。
	事後学習	分離動詞・非分離動詞の3基本形の作り方を練習しておく。
7	事前学習	教科書36ページを予習してくる
	授業内容	読章 「自分の意見」
	事後学習	主文と従属文からなる複文の構造に慣れておく。
8	事前学習	不定詞と定動詞の違いについて確認しておく。
	授業内容	第10課 話法の助動詞について。sollenの様々な用法について学ぶ
	事後学習	課題に出された文章を話法の助動詞を使って書き換えてくる。
9	事前学習	教科書40ページを予習してくる
	授業内容	読章 「ドイツの手工業－マイスター制度」
	事後学習	語順の点で英語と最も違う枠構造に慣れておく。
10	事前学習	haben と sein の現在人称変化を復習しておく。
	授業内容	第11課 完了形とその用法について。特に英語と異なる現在完了の用法に習熟する
	事後学習	完了形、話法の助動詞、分離動詞はすべて枠構造であることを理解すること。
11	事前学習	教科書44ページを予習してくる
	授業内容	読章 「クリスマスツリー」
	事後学習	過去分詞から不定詞を導き出すことに慣れておく。
12	事前学習	従属文の定動詞の位置について確認しておく。
	授業内容	第12課 関係代名詞について。関係文も従属文であることを学ぶ
	事後学習	教科書50ページの練習問題で関係文に慣れておく。
13	事前学習	教科書48ページを予習してくる
	授業内容	読章 「ウィーンのカフェ」 不定関係文章について学ぶ
	事後学習	関係代名詞のえらび方を復習しておく。
14	事前学習	格変化に関係するもの（冠詞類、形容詞、前置詞）を特に整理しておく。
	授業内容	まとめ。
	事後学習	テキストに出てくる単語の変化や性別を覚えておく。
15	事前学習	指定された範囲の文法事項を把握しておく
	授業内容	試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	わからなかった問題を必ず確認して復習しておく

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	黒瀬 志保	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初級文法を学びながら、「読む、書く、話す、聞く」という4技能の練習を行う。また、テキストで扱われている題材をもとにドイツの文化や歴史にも触れる。				
授業目的・到達目標	初級文法を習得し、ドイツ語を読む、書く、話す、聞くという基本能力を身につけることを目標とする。ドイツ語のつづりの読み方について学び、それにもとづき発音できるようになる。辞書を使って簡単なドイツ語の文章を理解できるようになる。基本的な文法と語彙を使って、簡単なドイツ語の表現ができるようになる。ドイツ語技能検定試験（独検）4級に合格する。				
履修条件	ドイツ語基礎文法A、Bを平行して履修すること（または履修済み）が望ましい。ドイツ語技能検定試験の受験を奨励する。				
授業方法	教科書に沿って、テキストの発音練習、文法説明、テキスト読解、練習問題を行う。テキスト読解と練習問題は宿題として課し、授業時に解説を行う。基本単語を覚えるための小テストも行う。また、過去問を用いて、独検対策も行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（学習態度、小テスト、課題、独検）40%、授業内試験60% 原則として出席が2/3に満たない場合は単位は認めない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	三修社		ドイツ語ベーシック・コース [改訂版]	大園正彦 他
	備考				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	初回授業でメールアドレスを公開する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Lektion 1～6の復習
	授業内容	ガイダンス Lektion 1～6学習事項の確認
	事後学習	Lektion 1～6の文法項目と基本表現のまとめ
2	事前学習	教科書62～63ページの講読および66ページのテキスト読解 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 7 文法説明（分離動詞）・テキスト読解「映画を見に行く」 独検対策(1)
	事後学習	教科書62～63、66ページの復習および発音練習 プリントの復習
3	事前学習	教科書67ページの練習問題 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 7 練習問題 独検対策(2)
	事後学習	教科書67ページの復習 プリントの復習
4	事前学習	教科書70～71ページの講読および74ページのテキスト読解 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 8 文法説明（再帰動詞）・テキスト読解「ワイン祭り」 独検対策(3)
	事後学習	教科書70～71、74ページの復習および発音練習 プリントの復習

5	事前学習	教科書 7 5 ページの練習問題 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 8 練習問題 独検対策(4)
	事後学習	教科書 7 5 ページの復習 プリントの復習
6	事前学習	教科書 7 8 ～ 7 9 ページの講読および 8 2 ページのテキスト読解 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 9 文法説明（話法の助動詞）・テキスト読解「ドイツ語のテスト」 独検対策(5)
	事後学習	教科書 7 8 ～ 7 9、8 2 ページの復習および発音練習 プリントの復習
7	事前学習	教科書 8 3 ページの練習問題 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 9 練習問題 独検対策(6)
	事後学習	教科書 8 3 ページの復習 プリントの復習
8	事前学習	教科書 8 6 ～ 8 7 ページの講読および 9 0 ページのテキスト読解 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 10 文法説明（形容詞の格変化）・テキスト読解「ティーロのおじいちゃんの家で」 独検対策(7)
	事後学習	教科書 8 6 ～ 8 7、9 0 ページの復習および発音練習 プリントの復習
9	事前学習	教科書 9 1 ページの練習問題 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 10 練習問題 独検対策(8)
	事後学習	教科書 9 1 ページの復習 プリントの復習
10	事前学習	教科書 9 4 ～ 9 5 ページの講読 プリントの問題（独検過去問）
	授業内容	Lektion 11 文法説明（比較の表現） 独検対策(9)
	事後学習	教科書 9 4 ～ 9 5、9 8 ページの復習および発音練習 プリントの復習
11	事前学習	教科書 9 8 ページのテキスト読解および 9 9 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 11 テキスト読解「ドイツ」 練習問題
	事後学習	教科書 9 8 ～ 9 9 ページの復習および発音練習
12	事前学習	教科書 1 0 0 ～ 1 0 3 ページの講読
	授業内容	Lektion 12 テキストの発音練習 文法説明（現在完了形）
	事後学習	教科書 1 0 0 ～ 1 0 3 ページの復習と発音練習および 1 0 4 ページの練習
13	事前学習	教科書 1 0 6 ページのテキスト読解および 1 0 7 ページの練習問題
	授業内容	Lektion 12 テキスト読解「昨晚」 練習問題
	事後学習	教科書 1 0 6 ～ 1 0 7 ページの復習および発音練習
14	事前学習	プリントの練習問題
	授業内容	復習
	事後学習	プリントの復習と発音練習
15	事前学習	教科書 6 2 ～ 1 0 7 ページの復習
	授業内容	授業内試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	文法項目および基本表現の再チェック

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級ドイツ語のインテンシブ・クラスです。在学中のドイツ語圏への短期研修・長期留学・将来 ドイツ語で仕事をする ことを目指している学生さんを対象とします。				
授業目的・ 到達目標	初級ドイツ語文法の習得。CEFR A1-1レベルの読解・聞き取り・作文・会話能力の養成。 ドイツ語圏における滞在に通用 するドイツ語能力の 育成を目標とするクラスです。独検4級・3級及びCEFR A1-1終了レベルのドイツ語力の養成を目標と します。 学習した文法事項を踏まえ、身近なテーマについて読み・聞 き・書き・会話ができるようになることが目標で す。				
履修条件	火曜 3 時限目 ドイツ語基礎文法 B（真道）を同時に受講すること。 授業に積極的に参加すること。 火曜 3 時限目ドイツ語基礎文法 B（真道）に登録すると、自動的に本授業に登録されます。				
授業方法	文法説明はできるだけわかりやすくします。練習問題、会話練習等を行いながら、実際に学んだ文法の知識を実践できる ようにしてゆきます。参加型授業です。ほぼ毎回小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	検定試験の結果及び授業内試験50%、授業参加態度15%、提出物15%、小テスト20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008	同学社		ドイツ文法・1 0 0 語の世界	清水 薫
	2005	cornelsen		studio d A1 Kurs- und Übungsbuch	Hermann Funk
	備考	ドイツ語1（木1）と共通教科書です。			
参 考 書	独和辞典（授業中に説明します） その他の参考書については、授業中に紹介します。				
オフィス アワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認 教材準備 文法・語彙復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	文法・語彙復習
2	事前学習	独検4級・3級過去問
	授業内容	独検4級・3級解説 11課 時刻 分離動詞 非分離動詞 Lektion 7 Berufe 2
	事後学習	11課 / Lektion 7 練習問題
3	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 20 12課 再帰動詞 接続詞 Lektion 7 Berufe 4
	事後学習	12課 / Lektion 7 練習問題
4	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 22 13課 動詞の3基本形 過去人称変化 Lektion 8 Berlin sehen 2
	事後学習	13課 / Lektion 8 練習問題

5	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 24 14課 完了形 zu不定詞 Lektion 8 Berlin sehen 4
	事後学習	14課 / Lektion 8 練習問題
6	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 26 15課 受動態 分詞 Lektion 9 Ferien und Urlaub 2
	事後学習	15課 / Lektion 9 練習問題
7	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 28 16課 関係代名詞 指示代名詞 Lektion 9 Ferien und Urlaub 4
	事後学習	16課 / Lektion 9 練習問題
8	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 30 17課 接続法 Lektion 10 Essen und trinken 2
	事後学習	17課 / Lektion 10 練習問題
9	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 32 文法復習 1 Lektion 10 Essen und trinken 4
	事後学習	Lektion 10 練習問題
10	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 34 文法復習 2 Lektion 11 Kleidung und Wetter 2
	事後学習	Lektion 11 練習問題
11	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 36 文法復習 3 Lektion 11 Kleidung und Wetter 4
	事後学習	Lektion 11 練習問題
12	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 38 文法復習 4 Lektion 12 Körper und Gesundheit 2
	事後学習	Lektion 12 練習問題
13	事前学習	作文練習
	授業内容	文法復習 5 Lektion 12 Körper und Gesundheit 4
	事後学習	Lektion 12 練習問題
14	事前学習	期末試験準備
	授業内容	期末試験 筆記試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価
15	事前学習	期末試験準備
	授業内容	期末試験 口述試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	鈴木 満	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	「理解力」「暗記」「継続」の大切さを確認しながらドイツ語を学びます。				
授業目的・到達目標	ドイツ語を読み・書き・聞き・話すための基礎学力の習得、特に「正確に書くこと」、およびドイツ語検定試験４級合格を目的とします。 ドイツ語圏の文化を自分で調べることができるようになります。				
履修条件	ドイツ語を初めて学ぶ１年生が対象ですが４年生の受講は認めます。人数によって２年生・３年生も受講できることがあります。				
授業方法	不定期に小テストを行い、これが平常点に加味されます。授業の復習が必須です。検定試験に合格するための自習も必要です。受講生の数などによって授業の進め方を決めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト・検定試験結果も含む。出席不良、私語が多い、辞書がない、復習が著しく不十分、不正行為（小テストでも）があった場合などは学期途中でも不合格となります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	白水社		やさしいドイツ語入門	増本浩子
	備考				
参考書	辞書（アポロン独和辞典・クラウン独和辞典など）				
オフィスアワー	suzuki.mitsuru11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習事項を見直しておく
	授業内容	後期ガイダンス 前期の復習
	事後学習	発音（単語の読み方）、定冠詞・不定冠詞、sein / haben の変化などを覚えなおす
2	事前学習	前回の学習事項の復習
	授業内容	分離動詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
3	事前学習	授業2回目の復習
	授業内容	形容詞の比較級・最高級 形容詞の語尾変化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
4	事前学習	授業2回目～3回目の復習
	授業内容	動詞の3基本形（前期の続き） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる

5	事前学習	授業 2 回目～ 4 回目の復習
	授業内容	sein / haben の過去形、話法の助動詞の過去形 否定疑問文、非分離動詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
6	事前学習	授業 2 回目～ 5 回目の復習
	授業内容	現在完了形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
7	事前学習	授業 2 回目～ 6 回目の復習
	授業内容	werden の現在人称変化、未来形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
8	事前学習	授業 2 回目～ 7 回目の復習
	授業内容	zu 不定詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
9	事前学習	授業 2 回目～ 8 回目の復習
	授業内容	再帰表現、man の用法 形容詞の名詞化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
10	事前学習	授業 2 回目～ 9 回目の復習
	授業内容	受動態の現在と過去 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
11	事前学習	授業 2 回目～ 1 0 回目の復習
	授業内容	定関係代名詞 男性弱変化名詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
12	事前学習	授業 2 回目～ 1 1 回目の復習
	授業内容	接続法第II式 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
13	事前学習	授業 2 回目～ 1 2 回目の復習
	授業内容	würde を使った仮定の表現 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
14	事前学習	授業 2 回目～ 1 3 回目の復習
	授業内容	後期の補足・総合復習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記
15	事前学習	後期学習事項の総復習
	授業内容	後期の総括・総合復習 確認テスト
	事後学習	確認テストで学習不足の点を重点的に復習

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	三浦 美紀子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	各課とも2つのテキスト、文法説明、2ページの練習問題から成る教科書を使用、まず文法ポイントを説明し、該当する練習問題を解き、事前に配付した予習用宿題プリントに基づいて、ドイツ語のテキストを読んでいく。練習問題の解答とテキストの読解は、受講者が行う形で進める。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 ドイツ語の文法を学んで、さまざまなタイプの練習問題を数多く解き、ドイツを紹介する文章を読みながら、ドイツ語圏の生活や社会、文化、現代史について理解できるようになることを目的とする。 【到達目標】 ドイツ語の基本的な文法事項と正しい発音について学び、まとまった文の読解ができるようになる。				
履修条件	事前に配布する予習用宿題プリントを参考にして、必ず辞書を引いて予習を済ませ、独和辞典を持って出席すること。				
授業方法	教科書とCDを用いての演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（受講態度と授業に対する積極性） 30% 期末に実施する授業内試験 70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	同学社		一歩ずつー楽しいドイツ語（テキスト＋CDセット）	小川さくえ／片岡律子
	備考	予習用宿題プリントを各課ごとに配布。			
参考書	指定しない				
オフィスアワー	木曜日17時50分～18時20分、10号館2階ロビー（事前に必ず授業に出席してアポイントメントを取ること）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	40、41、43ページの予習
	授業内容	第6課（1）形容詞の格変化と比較変化について
	事後学習	40、41、43ページの復習
2	事前学習	42、44、45ページの予習
	授業内容	第6課（2）「かばん売り場で」「はがきで連絡」
	事後学習	42、44、45ページの復習
3	事前学習	47、50ページの予習
	授業内容	第7課（1）話法の助動詞について
	事後学習	47、50ページの復習
4	事前学習	46ページの予習
	授業内容	第7課（2）「薬を飲まなければなりません」
	事後学習	46ページの復習

5	事前学習	48、49、51ページの予習
	授業内容	第7課（3）「エンマの夢」
	事後学習	48、49、51ページの復習
6	事前学習	53、56ページの予習
	授業内容	第8課（1）分離動詞と従属接続詞について
	事後学習	53、56ページの復習
7	事前学習	52、55ページの予習
	授業内容	第8課（2）「週末の予定」
	事後学習	52、55ページの復習
8	事前学習	54、57ページの予習
	授業内容	第8課（3）「結婚式にご招待」
	事後学習	54、57ページの復習
9	事前学習	59、62ページの予習
	授業内容	第9課（1）過去形と現在完了形について
	事後学習	59、62ページの復習
10	事前学習	58、61ページの予習
	授業内容	第9課（2）「灰かぶり（グリム童話）」
	事後学習	58、61ページの復習
11	事前学習	60、63ページの予習
	授業内容	第9課（3）「ベルリン壁博物館」
	事後学習	60、63ページの復習
12	事前学習	65、67ページの予習
	授業内容	第10課（1）再帰動詞と関係代名詞について
	事後学習	65、67ページの復習
13	事前学習	64ページの予習
	授業内容	第10課（2）「環境問題」
	事後学習	64ページの復習
14	事前学習	66、68ページの予習
	授業内容	第10課（3）「ドイツの観光案内」
	事後学習	66、68ページの復習
15	事前学習	後学期に学習したことの総復習
	授業内容	後学期末 授業内試験及びまとめ、振返り
	事後学習	分からなかった箇所、間違えた箇所の再確認

科目名	ドイツ語基礎表現B	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	一年間の授業で、基礎文法を手掛かりに簡単な自己表現と原文の読解ができるように指導していきたい。 ドイツ語技能検定試験(略称：独検)の5級（入門）、4級（初級）に合格できるように指導していく。					
授業目的・到達目標	授業目的：一年間の授業で、大学の英語のレベルまで引き上げることを目標にしている。 到達目標：①独検の合格レベルに到達できる。②ドイツ語でメールニュースが把握できる。					
履修条件	事前抽選で外れた人は、取ることができない。					
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う。②独和辞典を一年を通じて毎回使うので、必ず持ってくる。③確認ために、課題と小テストを実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験（筆記試験）（90%）＋レポート課題、小テスト、独検の結果（10%） 遅刻、欠席の多い場合、評価しない。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	三修社		『ドイツ語ルネサンス 第3版』		本郷建治 佐藤彰
	備考					
参考書	授業時に説明する。					
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の箇所を見ておく。
	授業内容	ガイダンス（前期文法の復習）
	事後学習	後期文法を概観しておく。 課題をしておく。
2	事前学習	前回の復習。 助動詞構文を観察しておく。
	授業内容	L. 7：話法の助動詞 練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。
3	事前学習	前回の復習。 現在人称語尾を確認すること。
	授業内容	復習 L. 8: 3 基本形 過去人称変化
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 過去人称語尾と現在人称語尾とを比較してみること。
4	事前学習	前回の復習。 読本の単語、基礎文法をチェックしておくこと。
	授業内容	復習 練習問題、読本 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 訳文をノートに記しておくこと。

5	事前学習	前回の復習。sein, habenの変化、過去分詞の作り方を確認すること。 助動詞構文を観察しておくこと。
	授業内容	復習 L. 9: 現在完了形 練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 助動詞構文と比較してみる。 課題をすること。
6	事前学習	前回の復習。 読本の単語、基礎文法をチェックしておくこと。
	授業内容	復習 読本 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。 訳文をノートに記しておくこと。
7	事前学習	前回の復習。 英語のget up, stand upのupはどういう機能を持っているか考えてみる。
	授業内容	L. 10: 分離動詞 辞書の引き方 練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 分離動詞の文構造が、ドイツ語の文構造の特徴を示していることを確認する。
8	事前学習	前回の復習。 定冠詞類の語尾を確認しておく。
	授業内容	復習 L. 11: 形容詞の格変化 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。
9	事前学習	前回の復習。 人称代名詞の3・4格の変化を確認しておく。 英語のitの用法を思い出すこと。
	授業内容	復習 練習問題、検定対策（発音、語順） L. 12: 再帰動詞・es
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。
10	事前学習	前回の復習。 werdenの変化、過去分詞の作り方を復習しておく。
	授業内容	復習 練習問題、検定対策（文法問題） 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 課題をすること。 検定試験の傾向を考えてみる。
11	事前学習	前回の復習。 前置詞の用法と意味を確認しておくこと。
	授業内容	復習 L. 13: 受動態、検定対策（会話、図解問題） 練習問題
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 前置詞の用法と意味を改めて覚えておくこと。
12	事前学習	前回の復習。 副文の文構造を観察しておく。
	授業内容	復習 L. 14: 関係代名詞、検定対策（聞き取り） 辞書の引き方
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 聞き取り問題の形式に慣れること。
13	事前学習	前回の復習。 メールニュースの単語、文構造をあらかじめチェックしておく。
	授業内容	復習 L. 15: 接続法、L. 16: 分詞、zu不定詞、辞書の引き方 メールニュースを読む(日本)
	事後学習	授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 日本語の情報でニュースの内容を確認しておく。
14	事前学習	前回の復習。 メールニュースの単語、文構造をあらかじめチェックしておく。 後期の単語、文法を確認しておく。
	授業内容	復習 メールニュースを読む(世界) 辞書の引き方
	事後学習	試験について 授業の復習。CDを聞くこと。音読と暗唱をすること。 日本語の情報でニュースの内容を確認しておく。

15	事前学習	前回の復習。 試験範囲のすべてに目を通し、意味を考えながら、CDを聞いておく。
	授業内容	試験（70分、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検結果の報告

科目名	ドイツ語基礎表現B(火曜3時限)	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する方を対象とした、ドイツ語でのさまざまな表現を学習する授業である。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の基礎的な文法を確認しつつ、ドイツ語の総合的な運用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の基礎的な表現を習得し、平易なテキストの理解や簡単な会話ができるようになる。				
履修条件	・1年生は、今年度のうちに、「ドイツ語基礎文法」も履修すること(私以外の先生の授業でもよい)。 ・ドイツ語技能検定試験(独検)をなるべく受験すること。				
授業方法	テキストの音読・訳読、文法の説明、問題練習、単語テストなどをします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点: 40% 試験: 60%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	白水社		クラッセ! ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付)	谷澤優子ほか
	備考				
参考書	授業では使用しないが、自習用教材として森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)、単語集として在間進ほか『新・独検合格 単語+熟語1800』(第三書房、2010年)を推薦したい。				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習内容について、あらためて十分に時間をかけて確認しておくこと。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
2	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第7課 ファッション①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
3	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第7課 ファッション②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
4	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第8課 街にて①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。

5	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第8課 街にて②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
6	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第9課 休暇①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
7	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第9課 休暇②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
8	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第10課 身体①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
9	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第10課 身体②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
10	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第11課 活動①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
11	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第11課 活動②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
12	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。
	授業内容	第12課 天候と統計①
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
13	事前学習	新しい表現がどんどん出てくるので、前の時間に学習したことを時間をかけて復習し、消化しておくこと。「ドイツ語を読む」のページを、文法のページを参照しながら読んでおくこと。
	授業内容	第12課 天候と統計②
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習すること。単語は意味を覚えるだけでなく、正確に音読でき、なおかつ書けるように、練習しておくこと。
14	事前学習	後期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	後期の復習
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。
15	事前学習	後期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	後期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎表現B(水曜3時限)	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する方を対象とした授業です。この授業は、月曜・3限の渡辺徳夫先生の「ドイツ語基礎文法」(旧カリキュラムの「ドイツ語Ⅱ」)との同時履修を前提としたもので、この授業単独での履修はできません。ドイツ語技能検定試験(独検)の5級と4級の出題内容を踏まえて、受験のアドバイスもします。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の文法と基本的な語彙を習得し、平易な文章を読解できるようになることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の文法と基本的な語彙を習得し、平易な文章を読解できるようになる。				
履修条件	月曜3限の渡辺徳夫先生の「ドイツ語基礎文法」(旧「ドイツ語Ⅱ」)と同時に履修すること。受講の際には、私の授業に登録すること(渡辺先生の授業も自動登録される)。他のクラスより進度が早いため、その覚悟で受講すること。				
授業方法	文法事項の説明、問題練習、小テスト(単語テストを含む)、例文の音読、リスニングの練習などを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点40%、試験60%。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	白水社	ブレーミエ ドイツ語総合読本(CD付)		神竹道士ほか
	備考				
参考書	『新・独検合格 単語+熟語1800』(第三書房、2010年)。授業では使用しないが、自習用問題集を必要とする場合には、森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)を勧めたい。				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	ガイダンス、前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
2	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	受動文
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
3	事前学習	前回の学習事項を必ず復習し、疑問点があれば授業で質問できるようにしておくこと。指示された宿題をしてくること。学習予定内容に、少し目を通しておくこと。
	授業内容	接続法Ⅰ式、接続法Ⅱ式
	事後学習	学習した文法事項を必ず復習すること。指示に応じて、宿題をすること。
4	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくこと。
	授業内容	独検3～4級の長文問題による読解練習①
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出て正解となるよう、繰り返し解いてみること。

5	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検3～4級の長文問題による読解練習②
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出ても正解となるよう、繰り返し解いてみること。
6	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検3～4級の長文問題による読解練習③
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出ても正解となるよう、繰り返し解いてみること。
7	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検3～4級の長文問題による読解練習④
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出ても正解となるよう、繰り返し解いてみること。
8	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検直前対策演習①
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出ても正解となるよう、繰り返し解いてみること。
9	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検直前対策演習②
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出ても正解となるよう、繰り返し解いてみること。
10	事前学習	指示された独検の過去問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検直前対策演習③
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出ても正解となるよう、繰り返し解いてみること。
11	事前学習	独検当日に使用した問題冊子を持参すること。
	授業内容	独検受験を踏まえての今後の学習指導
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、知識が確実なものとなるよう、あらためて正解となる理由をよく考えること。
12	事前学習	指示されたテキストを自宅を読んでくること。訳文を必ず書いてくること。
	授業内容	テキスト読解(独検3級程度のテキストを使用)①
	事後学習	予習で分からなかった部分を重点的に復習する。よく理解できた部分についても、繰り返し読み、ドイツ語の文章の正しい解釈の仕方について、きちんと習得するよう努めること。
13	事前学習	指示されたテキストを自宅を読んでくること。訳文を必ず書いてくること。
	授業内容	テキスト読解(独検3級程度のテキストを使用)②
	事後学習	予習で分からなかった部分を重点的に復習する。よく理解できた部分についても、繰り返し読み、ドイツ語の文章の正しい解釈の仕方について、きちんと習得するよう努めること。
14	事前学習	これまでの学習を振り返り、理解が十分でないところがどこか、確認しておくこと。
	授業内容	後期の学習事項の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	後期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	青木 和子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級者のためのドイツ語学習を行う。 言葉としてのドイツ語に取り組む中で、この言語空間がドイツの文化を形成していることを学ぶ。				
授業目的・到達目標	(1) 正確な発音ができる。 (2) 文法構造を体系的に学び、話し、読むための語学力を習得する。				
履修条件	学習に熱意があること。				
授業方法	各課の文法テーマの内容をしっかりと解説した上で練習問題を順次する演習形式となる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テスト80% 平常点20% (授業参加度と演習回数)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		第三書房		ゲナウ！グラマティック ノイ	新倉真矢子他
	備考				
参考書	授業時に独和辞書は必ず必要。				
オフィスアワー	授業中にいつでも質問を受け付けるので活発に質問すること。 授業後も教室で対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を必ず購入し持参すること。 教科書の『はじめに』の箇所を読んでおく。
	授業内容	ガイダンス。独和辞書の紹介 アルファベットの発音練習 あいさつ表現の発音練習
	事後学習	CDで発音練習をする
2	事前学習	単語の発音の箇所を読んでおく
	授業内容	アルファベット・単語の発音練習
	事後学習	CDを聞き発音の復習をする
3	事前学習	独和辞書を必ず持参する Lektion1 (第1課) を読んでおく
	授業内容	Lektion1 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (1)
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
4	事前学習	Lektion2を読んでおく
	授業内容	Lektion1の復習 Lektion2 動詞 (sein・haben) の現在人称変化 (2)
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う

5	事前学習	Lektion2の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion2 werdenの人称変化 並列の接続詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
6	事前学習	Lektion3を読んでおく
	授業内容	Lektion3 名詞の性と格 定冠詞と不定冠詞の格変化
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
7	事前学習	Lektion4を読んでおく
	授業内容	Lektion4 名詞の複数形 人称代名詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
8	事前学習	Lektion5を読んでおく
	授業内容	Lektion5 定冠詞類と不定冠詞類
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
9	事前学習	Lektion5の未学習箇所・Lektion6を読んでおく
	授業内容	Lektion5の復習 Lektion6 不規則動詞の現在人称変化
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
10	事前学習	Lektion6の未学習箇所・Lektion7を読んでおく
	授業内容	Lektion6 命令形 Lektion7 語法の助動詞の種類と人称変化
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
11	事前学習	Lektion7の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion7 語法の助動詞の用法 未来形の助動詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
12	事前学習	Lektion8を読んでおく
	授業内容	Lektion8 前置詞の種類と格支配
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
13	事前学習	Lektion8の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion8 再帰代名詞と再帰動詞
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
14	事前学習	前期学習した文法内容を総復習して疑問点を出しておく
	授業内容	前期の総復習
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う
15	事前学習	期末テスト範囲を総復習する
	授業内容	期末テスト及び振り返り
	事後学習	授業内容の復習と課題を行う 夏期休みの課題をしておく

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	天沼 春樹	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語文法の初歩と、ドイツ文化理解。ドイツ語を初歩から親しみやすくまなび、読み書き聴くバランスをとった基礎を身につけていく。視聴覚教材も利用し、ドイツ事情にもたくさん触れていく。初級のドイツ語の運用能力。読み、聞き、書けるちから。目安としてドイツ語検定5級程度の能力。				
授業目的・到達目標	ABCから過去形など、初級の文法事項をマスターできるようになる。				
履修条件	出席重視。初歩からやるので、欠席がかさなると理解不能になります。				
授業方法	テキスト『ブ롬ナード やさしいドイツ語文法』（白水社）を主教材に、そのほか視聴覚教材もまじえてわかりやすく指導していく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常授業時の小試験と学期最終日に行う試験。 授業時発表などを評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	白水社		『ブ롬ナード やさしいドイツ語文法』	荻原耕平 他
	備考	「はじめに」などの前書きに目をとっておいてください。			
参考書	中級独和辞書（BOOKOFFや神保町の古書街にも新品同様のものがみつかります）				
オフィスアワー	講義時間前後。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の下見。
	授業内容	ドイツとドイツ語入門・ドイツ語が話されている国ぐに アルファベット/基本的あいさつ。以後の進捗は学習成果によって多少ズレこむ可能性もある。
	事後学習	ノート整理。復習。以下同様に心がけてください。
2	事前学習	復習
	授業内容	Lektion1 ドイツ語の発音
	事後学習	ノート整理。復習。
3	事前学習	復習
	授業内容	Lektion2 人称代名詞と動詞の現在人称変化 その①
	事後学習	ノート整理。復習。
4	事前学習	復習
	授業内容	Lektion2 動詞の現在人称変化 その②
	事後学習	ノート整理。復習。

5	事前学習	復習
	授業内容	Lektion3 名詞の性と格①
	事後学習	復習・ノート整理。
6	事前学習	復習。
	授業内容	Lektion3 名詞の性と格②
	事後学習	ノート整理。
7	事前学習	復習
	授業内容	Lektion4 定冠詞類と不定冠詞類①
	事後学習	ノート整理。
8	事前学習	復習
	授業内容	Lektion4 定冠詞類と不定冠詞類②
	事後学習	ノート整理。
9	事前学習	復習
	授業内容	Lektion5 人称代名詞
	事後学習	ノート整理。
10	事前学習	復習
	授業内容	Lektion6 不規則動詞・命令形
	事後学習	ノート整理。
11	事前学習	復習
	授業内容	Lektion7 前置詞
	事後学習	ノート整理。
12	事前学習	復習
	授業内容	Lektion8 分離動詞・接続詞
	事後学習	ノート整理。
13	事前学習	復習
	授業内容	Lektion前期内容の総復習
	事後学習	ノート整理。
14	事前学習	復習
	授業内容	Lektion前期内容の総復習
	事後学習	ノート整理。
15	事前学習	復習
	授業内容	前期教場筆記試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験結果の反省

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	安藤 勉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この時間は、ヨーロッパ・ゲルマン語の代表的なドイツ語の成り立ちを学びます。同時に、やはりゲルマン語の代表的な英語との関連についても言及したいと思います。ドイツ語を学ぶことにより、英語構造の理解も深まると思います。およそ言語の学習には、その背後にひそむ無量の深みがあるはずです。					
授業目的・到達目標	初級文法の時間ですから、ゆっくりと文法の段階にしたがい、辞書を用いながら、やさしいドイツ語文章の構造を理解できることを目標とします。なによりもドイツ語を楽しく読める気分を味わおうではありませんか。ドイツ語についての様々を学びながら、簡潔なドイツ語を理解するための力、読み・書き・話す・聞くことができるようになります。					
履修条件	とくにありません。					
授業方法	ごくやさしく煩雑ではない教科書を用い、辞書の引き方も学びながら、授業を進めます。授業の冒頭で必ず前回の復習をします。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		出席・学習状況（４０％）、試験（６０％）。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	間違いがないように、最初の授業時間の中で、教科書・辞書について詳しく説明します。				
参考書	とくに指定はしませんが、辞書などについては、そのつど説明します。					
オフィスアワー	メール（ann16@poem.ocn.ne.jp）にて対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書など具体的な説明は、この最初の時間に説明しますから、ノートと筆記具は準備してください。
	授業内容	ガイダンス。教科書・辞書、授業の進め方、成績評価について、プリントを配布して説明します。
	事後学習	まず、教科書などを手配してください。
2	事前学習	購入した教科書の目次とアルファベットを見てきてください。
	授業内容	ドイツ語という言葉。
	事後学習	教科書とノートに沿って復習してください。
3	事前学習	ドイツ語の文字について教科書で予習してください。
	授業内容	文字と発音（１）
	事後学習	文字と発音を復習してください。とくに英語にはない４文字について。
4	事前学習	前回の文字と発音を確認してください。
	授業内容	文字と発音（２）
	事後学習	文字と発音を復習してください。

5	事前学習	前回までの文字と発音を確認してください。
	授業内容	動詞の変化（１）
	事後学習	動詞は英語と異なり、語尾などが変化します。その変化を復習してください。動詞はとくに重要です。
6	事前学習	前回の同士の変化について確認してください。
	授業内容	動詞の変化（２）
	事後学習	動詞の変化を復習してください。
7	事前学習	前回の動詞の変化について確認してください。
	授業内容	名詞と冠詞（１）
	事後学習	名詞と冠詞の変化について復習してください。名詞も冠詞も語尾などが変化します。
8	事前学習	前回の名詞と冠詞について確認してください。
	授業内容	名詞と冠詞（２）
	事後学習	名詞と冠詞について復習してください。
9	事前学習	前回の名詞と冠詞について確認してください。
	授業内容	命令形
	事後学習	２人称に対する命令形について復習してください。
10	事前学習	前回の命令形について確認してください。
	授業内容	形容詞
	事後学習	形容詞の語尾変化を復習してください。
11	事前学習	前回の形容詞について確認してください。
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	人称代名詞について復習してください。
12	事前学習	前回の人称代名詞を確認してください。
	授業内容	前置詞
	事後学習	特定の格と結びつく前置詞の復習をしてください。
13	事前学習	前回の前置詞について復習してください。
	授業内容	接続詞
	事後学習	とくに接続詞の種類について復習してください。
14	事前学習	前回の接続詞の種類について確認してください。
	授業内容	定動詞の位置
	事後学習	動詞の位置、接続詞との関係について復習してください。また、試験に向かって総復習してください。次回の試験の冒頭で質問の時間を設けます。
15	事前学習	試験のための準備をしてください。
	授業内容	前期のまとめ（授業内試験を予定しています。）
	事後学習	試験のまとめをしてください。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	川上 博子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法の基礎を身につける			
授業目的・到達目標	基礎文法を大系的に学び、簡単なドイツ語の文を作れるようになることを目的とする。大学で初めて学ぶ外国語を楽しみながら学習することができるよう、ドイツ語の基礎となる文法・発音をしっかりと習得することができる。独和辞書を使いこなせるようになる。ドイツ語基礎文法Bを後期続けて履修することで、最終的にドイツ語検定4級レベルの語学力を身につけることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎表現A・Bも併せて履修すること。独和辞書必携。予習復習を怠らず授業への積極的な参加が求められる。欠席をしないこと。			
授業方法	発音から始まって初級文法をひとつひとつ段階的に学習する。身近な基本的表現を多く使って、反復練習を積み重ねながら着実に文法を身につける。特に確実に習得してほしい事項に関しては小テストを行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	期末テスト。70% 受講態度・積極性・小テスト及び発表。30%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	朝日出版社	たいむりい	森田悟
	備考			
参考書	授業中指示			
オフィスアワー	授業の前後とする。授業中でも質問を受け付ける。 h.kawakami18@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読んでおくこと。
	授業内容	年間授業計画・成績評価の方法・辞書紹介
	事後学習	教科書、辞書の準備をする。
2	事前学習	ドイツ語のアルファベットと英語のアルファベットの違いを確認しておくこと。
	授業内容	1課ドイツ語のつづり字と発音の関係
	事後学習	アルファベット、単語のアクセントの位置、母音のつづり字の発音を繰り返し練習し、確実に覚えること。
3	事前学習	ローマ字読みで読める単語を発音練習してくる。
	授業内容	子音字の読み方、簡単な挨拶表現、数字の読み方
	事後学習	子音つづり字の発音、挨拶表現、数字の読み方を繰り返し練習し、確実に覚えること。
4	事前学習	教科書の単語を発音練習をしてくること。
	授業内容	2課 主語と動詞〔規則動詞〕の変化について学習する一動詞の形は主語の種類で決まる― 〔動詞の辞書の引き方〕
	事後学習	主語と規則変化動詞の人称変化を確実に覚えること。

5	事前学習	練習問題P8 I を予習してくること。
	授業内容	語順について：動詞の位置〔平叙文、疑問文の作り方〕重要動詞〔sein, haben〕の変化 ―動詞の位置で文のタイプが決まる― 練習問題P8
	事後学習	動詞の位置と復習する。小テストを実施するので、重要動詞〔sein, haben〕の変化は確実に覚えること。
6	事前学習	ドイツ語の名詞と英語の名詞の違いを確認しておくこと。
	授業内容	3課 名詞の性と数ついて学習する 一名詞には3タイプがある―〔名詞の辞書の引き方〕 複数形、定冠詞、不定冠詞、所有冠詞、否定文[1]
	事後学習	名詞の複数形、定冠詞、不定冠詞について復習すること。
7	事前学習	練習問題P12 I を辞書引きながら予習してくること。
	授業内容	練習問題P12
	事後学習	三人称の代名詞の使い方について、練習問題を復習すること。
8	事前学習	名詞の性、複数形、定冠詞、不定冠詞についてもう一度復習しておくこと。
	授業内容	4課 文中での名詞のはたらき格変化について学習する。[1・2・3・4格]―どの名詞が主語か目的語か― 冠詞類の変化、否定冠詞―否定文[2]
	事後学習	名詞の格変化についてを復習すること。小テストを実施するので、定冠詞、不定冠詞の変化は確実に覚えること。
9	事前学習	練習問題P16を辞書引きながら予習してくること。
	授業内容	練習問題P16
	事後学習	練習問題を復習すること。
10	事前学習	動詞の規則変化についてもう一度復習しておくこと。
	授業内容	5課 動詞〔不規則動詞〕の変化について学習する―動詞の語幹も変化する― 命令表現、人称代名詞の変化、非人称のes
	事後学習	不規則動詞の変化、命令表現について復習すること。小テストを実施するので、人称代名詞の変化は確実に覚えること。
11	事前学習	練習問題P20を辞書引きながら予習してくること。
	授業内容	練習問題P20
	事後学習	練習問題を復習すること。
12	事前学習	名詞、定冠詞、不定冠詞の変化についてもう一度復習しておくこと。
	授業内容	6課 前置詞と格について学習する。―前置詞によって結び付く名詞の格が決まる―
	事後学習	前置詞の格変化と意味について復習すること。
13	事前学習	練習問題P24 I を辞書引きながら予習してくること。
	授業内容	練習問題P24 I
	事後学習	練習問題を復習すること。
14	事前学習	練習プリントで復習してくる。
	授業内容	前期のまとめと練習 質問など個別指導
	事後学習	出来なかった問題を復習する。
15	事前学習	前期の文法を復習する。
	授業内容	試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	出来なかった所を復習する。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	川尻 竜彰	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を通してドイツならびにヨーロッパに対する知識や理解を深め、異なるものの見方や価値観，幅広い視野・思考を養います。				
授業目的・到達目標	ドイツ語文法の大まかな基礎を固め、「読む・書く・聞く・話す」という語学の4つ能力をバランスよく身につける事を目標としている。既習の英語と比較しながら、わかりやすい授業を心がけるつもりである。ドイツ語検定4級に合格出来るようになる。				
履修条件	冬期ドイツ語技能検定試験を受験すること。				
授業方法	2時間に1課のペースで進み、最初の1時間を文法説明、次の1時間を練習問題に当てる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	試験 70% 小テスト 10% 授業時発表 10% 授業参加度 10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	同学社		『ドイツ語なんて怖くない』	西村祐子
	備考				
参考書	授業中に指示する				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	添付CDのアルファベートをよく聞いておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、辞書の選び方について。
	事後学習	アルファベートを暗記して発音できるようにすること
2	事前学習	添付CDで9、10ページの単語の発音をよく聞いておくこと。
	授業内容	第1課ドイツ語の発音。 特に英語と発音が異なる子音に注意して単語の発音を学ぶ。
	事後学習	教科書11ページの単語を発音して意味を調べること。
3	事前学習	教科書15ページの人称代名詞に目を通しておくこと
	授業内容	第2課 動詞の現在人称変化、sein動詞、語順について。 動詞は人称と数に応じて語尾変化することを学ぶ。
	事後学習	教科書12ページの不定詞句を使って文章を作ってみること。
4	事前学習	教科書17ページを予習しておくこと。
	授業内容	第2課 練習問題 定動詞の位置に注意しながら問題を解いていく
	事後学習	自己紹介の仕方を練習しておくこと。

5	事前学習	教科書19～21ページに目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 名詞の姓と格変化（単数）について。名詞には男性・女性・中性と3つの性があり、役割に応じて格変化することを学ぶ。
	事後学習	課題に出された単語を定冠詞を付けて格変化させること。
6	事前学習	教科書23ページを予習しておくこと。
	授業内容	第3課 練習問題 格の用法に注意しながら問題を解いていく
	事後学習	課題に出された単語を不定冠詞を付けて格変化させること。
7	事前学習	定冠詞の格変化を復習しておくこと。
	授業内容	第4課 名詞の複数形、人称代名詞の格変化、定冠詞類について。名詞の複数形には様々なタイプがあることを学ぶ。
	事後学習	第6回授業で課題に出した単語の複数格を格変化させること。
8	事前学習	教科書29ページを予習しておくこと。
	授業内容	第4課 練習問題 英語とは使い方が違う単数3人称の人称代名詞に注意して問題を解いていく
	事後学習	基数詞を発音し、書けるようにしておくこと。
9	事前学習	不定冠詞の格変化を復習しておくこと。
	授業内容	第5課 不定冠詞類、否定冠詞keinの用法について学ぶ。
	事後学習	与えられた文章を否定文にしてみること。
10	事前学習	教科書35ページを予習しておくこと。
	授業内容	第5課 練習問題
	事後学習	nichtとkeinの使い分けについて整理しておくこと。
11	事前学習	平叙文と疑問文の定動詞の位置を復習しておくこと。
	授業内容	第6課 不規則動詞の現在人称変化、従属文について。従属文では定動詞が後置されることを学ぶ。
	事後学習	不規則動詞変化表の見方を復習しておくこと。
12	事前学習	教科書41ページを予習しておくこと。
	授業内容	第6課 練習問題 不規則動詞の辞書での調べ方を復習しつつ問題を解いていく
	事後学習	教科書36ページの不規則動詞の変化を覚えること。
13	事前学習	定冠詞・不定冠詞の格変化をもう一度復習しておくこと
	授業内容	第7課 前置詞、非人称のesについて。前置詞は特定の格を支配することを学ぶ。
	事後学習	3・4格支配の前置詞の3格、4格の意味の違いを整理しておくこと。
14	事前学習	教科書47ページを予習しておくこと。
	授業内容	第7課 練習問題 3・4格支配の前置詞の3格、4格の意味の違いに注意して問題を解いていく
	事後学習	時刻の言い方を練習しておくこと。
15	事前学習	指定された範囲の文法事項を把握しておくこと
	授業内容	試験及び振り返りまとめ
	事後学習	わからなかった問題を必ず確認して府復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	河田 一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では初級ドイツ語文法をわかりやすく、丁寧に指導を行う。			
授業目的・到達目標	ドイツ語の初級文法と簡単な会話をマスターする。ドイツ語検定 5 ・ 4 級合格出来るようになる。			
履修条件	ドイツ語が初めての場合は、そのほかの初級文法の授業も履修することが望ましい。			
授業方法	テキストに沿って文法事項を確認しつつ、ゆっくり丁寧に授業を進める。クラシック音楽の紹介を兼ね、音楽をバックに文法と会話を優雅に極めていただきたい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業への積極的な参加・授業内テスト	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	三修社	ドイツ語ルネサンス【第3版】	本郷、佐藤ほか
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	心静かに、ガンダンスを待つこと。 シラバスを事前に確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスで説明された内容を確認し、次回必要なものを準備しておくこと。
2	事前学習	前回のガイダンスで説明された内容を確認しておくこと。
	授業内容	発音練習Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
3	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	発音練習Ⅱ・動詞の変化Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
4	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	発音練習Ⅲ・sein の変化
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。

5	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	haben の変化
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
6	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	名詞とは？
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
7	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	冠詞の変化
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
8	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	名詞の複数形
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
9	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	冠詞類
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
10	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
11	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	前置詞Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
12	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	前置詞Ⅱ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
13	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	接続詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
14	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	疑問詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
15	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	心静かに、前期の学習を振り返る。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	黒瀬 志保	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初級文法を学習する。			
授業目的・到達目標	ドイツ語の初級文法を習得して、ドイツ語の文章を理解し、運用するための基礎を身につけることを目標とする。 動詞・助動詞の人称変化、名詞と冠詞類・代名詞の格変化、語順を覚え、ドイツ語の文を組み立てられるようになる。 ドイツ語技能検定試験（独検）4級に合格するための基礎を身につける。			
履修条件	特になし。 ドイツ語技能検定試験の受験を奨励する。			
授業方法	教科書に沿って文法説明をした後、練習問題を宿題とし、次の授業で確認する。発音練習も適宜行う。また、基本的な語形変化を覚えるための小テストも行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	平常点（学習態度、小テスト、課題、独検）40%、授業内試験60% 原則として出席が2/3に満たない場合は単位は認めない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	第三書房	ゲナウ！ グラマティック ノイ	新倉真矢子 他
	備考			
参考書	初回授業で独和辞典について指示する。その他の参考書については授業中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	初回授業でメールアドレスを公開する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認
2	事前学習	教科書 5 ～ 8 ページの講読
	授業内容	アルファベート・発音
	事後学習	教科書 4 ～ 8 ページの発音練習
3	事前学習	教科書 9 ページの講読
	授業内容	動詞の現在人称変化（Ⅰ）
	事後学習	教科書 1 2 ページの練習問題Ⅰ
4	事前学習	教科書 1 0 ～ 1 1 ページの講読
	授業内容	動詞の位置
	事後学習	教科書 1 2 ページの練習問題Ⅱ

5	事前学習	教科書 1 4 ～ 1 6 ページの講読
	授業内容	動詞の現在人称変化（Ⅱ）・並列の接続詞
	事後学習	教科書 1 7 ページの練習問題
6	事前学習	教科書 1 9 ページの講読
	授業内容	定冠詞
	事後学習	教科書 2 2 ページの練習問題Ⅰ
7	事前学習	教科書 2 0 ～ 2 1 ページの講読
	授業内容	不定冠詞・否定冠詞
	事後学習	教科書 2 2 ページの練習問題Ⅱ
8	事前学習	教科書 2 4 ～ 2 6 ページの講読
	授業内容	名詞の複数形・人称代名詞
	事後学習	教科書 2 7 ページの練習問題
9	事前学習	教科書 2 9 ページの講読
	授業内容	不定冠詞類
	事後学習	教科書 3 2 ページの練習問題Ⅰ
10	事前学習	教科書 3 0 ページの講読
	授業内容	定冠詞類
	事後学習	教科書 3 2 ページの練習問題Ⅱ
11	事前学習	教科書 3 4 ～ 3 5 ページの講読
	授業内容	動詞の現在人称変化（Ⅱ）
	事後学習	教科書 3 7 ページの練習問題Ⅰ
12	事前学習	教科書 3 6 ページの講読
	授業内容	命令形
	事後学習	教科書 3 7 ページの練習問題Ⅱ
13	事前学習	教科書 4 4 ～ 4 5 ページの講読
	授業内容	前置詞
	事後学習	教科書 4 7 ページの練習問題Ⅰ～Ⅱ
14	事前学習	プリントの練習問題
	授業内容	復習
	事後学習	プリントの復習
15	事前学習	教科書 9 ～ 3 7、4 4 ～ 4 5、4 7 ページの復習
	授業内容	授業内試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	文法項目の再チェック

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する方を対象とした、初級文法の授業である。ドイツ語技能検定試験(独検)の5級と4級の出題内容を踏まえて、受験のアドバイスもする。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語文法の基礎と、基礎的な語彙を習得することを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の初級文法を十分に理解し、基本語彙を身につけることができるようになる。			
履修条件	・1年生は「ドイツ語基礎表現」も今年度中に受講すること(私以外の先生の授業でもよい)。 ・ドイツ語技能検定試験(独検)をなるべく受験すること。			
授業方法	文法事項の説明、問題練習、小テスト(単語テストを含む)、例文の音読、リスニングの練習などを行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点: 40% 試験: 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	朝日出版社	ドイツ語の時間<話すための文法>(web練習問題付)	清野智昭
	2010年	第三書房	新・独検合格 単語+熟語1800	在間進ほか
	備考			
参考書	授業では使用しないが、自習用問題集を必要とする場合には、森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)を勧めたい。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回の授業までにテキストを準備すること。
2	事前学習	テキストを準備して授業に来ること。
	授業内容	文字と発音
	事後学習	音声教材を利用し、発音練習を行うこと。前期を通じての「事後学習」として、単語を覚えることを課したい。前期末までに単語集の「超基礎」の単語をすべて覚えられるよう、計画的に学習すること(以下の「事後学習」では、各授業の後に重点的に行うべき文法事項についてのみ示すが、単語の学習も忘れずに行うこと)。
3	事前学習	前回の授業の復習を十分にしておくこと。第1課の内容について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 動詞の現在人称変化と語順
	事後学習	第1課の内容を十分に復習し、確実に習得すること。指示された宿題をしておくこと。
4	事前学習	発音練習と、第1課の文法事項をあらためて復習しておくこと。予習する場合には、授業内容を参照し、学習する場所を間違えないこと。
	授業内容	第1課 動詞の現在人称変化と語順、第2課(前半) 名詞の性と格変化(あわせて15ページの3番と23ページの4番も扱う)
	事後学習	定冠詞・不定冠詞の格変化の表を覚えてくること。指示された宿題をしておくこと。

5	事前学習	名詞の格変化について、十分に復習しておくこと。予習する場合には、授業内容を参照し、学習する場所を間違えないこと。
	授業内容	第2課(前半) 名詞の性と格変化(あわせて15ページの2番と3番、23ページの4番も扱う)、第2課後半 重要な動詞
	事後学習	重要な動詞の人称変化を覚えてくること。指示された宿題をしておくこと。
6	事前学習	第1課の学習内容をあらためて復習しておくこと。新たに学習する不規則動詞の人称変化についても、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 不規則動詞の現在人称変化
	事後学習	第1課、第2課でも動詞に関することを学習しているので、第3課の内容とごちゃごちゃにならないよう、注意深く復習すること。
7	事前学習	前回の学習内容を復習しておくこと。今回の授業の学習内容も、あらかじめ少し目を通しておくことが望ましい(今回はテキストの後半部分の第10課の一部を扱うため、予習する場合には気をつけること)。
	授業内容	第10課(後半) 命令形
	事後学習	命令形について、よく復習すること。指示された宿題をしておくこと。
8	事前学習	定冠詞・不定冠詞の格変化について、復習しておくこと。前置詞について、あらかじめ、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第4課(前半) 前置詞
	事後学習	前置詞について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
9	事前学習	第1課で学習したドイツ語の語順について、復習しておくこと。
	授業内容	第4課(後半) 副文
	事後学習	副文は、英語とは語順が異なるため、十分に時間をかけて復習すること。指示された宿題をしておくこと。
10	事前学習	新たに学習する人称代名詞について、少し目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	第5課(前半) 人称代名詞
	事後学習	人称代名詞について、十分に復習すること(表を覚えること)。指示された宿題をしておくこと。
11	事前学習	前回の学習事項が基礎となるので、復習してから授業にのぞむこと。
	授業内容	第5課(後半) 再帰動詞
	事後学習	再帰動詞について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
12	事前学習	すでに学習した定冠詞・不定冠詞の知識が基礎となるので、よく復習して授業に来ること。第6課の内容も、前もって少し目を通しておくのが望ましい。
	授業内容	第6課 定冠詞類・不定冠詞類
	事後学習	定冠詞類・不定冠詞類について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
13	事前学習	英語のto不定詞について、思い出しておくこと。動詞の不定詞について、復習しておくこと。
	授業内容	第7課① zu不定詞
	事後学習	英語のto不定詞と語順が異なるので、ドイツ語特有の構文をよく理解するよう、復習すること。
14	事前学習	前期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認する。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	前期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	佐藤 英	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学ぶ学生が、ドイツ語文法の基礎を学習する授業である。授業では、ドイツ語技能検定試験(独検)の5級と4級の出題内容を踏まえて、受験のアドバイスも行う。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語文法の基礎を習得することを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の初級文法を十分に理解し、基本語彙も身につけることができる。				
履修条件	・1年生は「ドイツ語基礎表現」も今年度中に受講すること。 ・ドイツ語技能検定試験(独検)をなるべく受験すること。				
授業方法	文法事項の説明、問題練習、小テスト(単語テストを含む)、例文の音読、リスニングの練習などを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点(小テスト・宿題・授業態度等): 40% 試験: 60%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	白水社		ブロムナード やさしいドイツ語	荻野耕平ほか
	備考				
参考書	『新・独検合格 単語+熟語1800』(第三書房、2010年)				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回の授業までに教科書を準備すること。
2	事前学習	教科書を準備して授業に参加すること。
	授業内容	第1課 ドイツ語の発音
	事後学習	教科書の音声教材を利用し、復習する。
3	事前学習	第2課の内容について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 代名詞と動詞の現在人称変化
	事後学習	第2課の内容を十分に復習し、確実に習得すること。
4	事前学習	前回の授業の復習を十分に行っておくこと。
	授業内容	第2課 代名詞と動詞の現在人称変化
	事後学習	第2課の内容を十分に復習し、確実に習得すること。

5	事前学習	第3課の学習事項について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 名詞の性と格
	事後学習	第3課の内容を十分に復習し、確実に習得すること。
6	事前学習	前回の学習事項を十分に復習し、第4課の内容について少し目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 名詞の性と格/第4課 定冠詞類と不定冠詞類
	事後学習	第4課の内容は第3課の延長上にある。第3課と第4課の復習を十分にすること。
7	事前学習	前回の学習事項を十分に復習し、第5課の内容について少し目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 定冠詞類と不定冠詞類/第5課 人称代名詞
	事後学習	第3課と第4課の内容について、きちんと覚えること。第5課の内容についても、概要を理解できるようにしておくこと。
8	事前学習	第5課の学習内容について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 人称代名詞
	事後学習	第5課の人称代名詞の一覧表をすべて覚えること。期末テストに備えて、第1課から第4課の学習内容についても、復習すること。
9	事前学習	第6課の不規則動詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 不規則動詞、命令形
	事後学習	不規則動詞について、練習問題等も活用しながら、十分に復習すること。期末テストに備えて、第1課から第5課の学習内容についても、復習すること。
10	事前学習	前回の学習事項について、十分に復習しておくこと。
	授業内容	第6課 不規則動詞、命令形
	事後学習	命令形について、練習問題等を活用し、十分に復習すること。期末テストに備えて、第1課から第5課の学習内容についても、復習すること。
11	事前学習	第7課の学習事項について、少し目を通しておくこと。第3～5課の内容も関係してくるので、よく復習しておくこと。
	授業内容	第7課 前置詞
	事後学習	期末テストに備えて、第1課から第6課の学習内容についても、復習すること。
12	事前学習	前回の学習事項を十分に復習しておくこと。第8課の分離動詞について、少し目を通しておくこと。動詞の人称変化の知識が求められるので、あらためて復習しておくこと。
	授業内容	第7課 前置詞/第8課 分離動詞、接続詞
	事後学習	期末テストに備えて、第1課から第6課の学習内容についても、復習すること。
13	事前学習	第8課の分離動詞について、十分に復習しておくこと。接続詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 分離動詞、接続詞
	事後学習	第8課の学習内容について、十分に復習すること。期末テストに備えて、第1課から第7課の学習内容についても、復習すること。
14	事前学習	前期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	前期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級ドイツ語のインテンシブ・クラスです。在学中のドイツ語圏への短期研修・長期留学・将来 ドイツ語で仕事をする ことを目指している学生さんを対象とします。				
授業目的・到達目標	初級ドイツ語文法の習得。CEFR A1-1レベルの読解・聞き取り・作文・会話能力の養成。 ドイツ語圏における滞在に通用 するドイツ語能力の 育成を目標とするクラスです。独検4級・3級及びCEFR A1-1終了レベルのドイツ語力の養成を目標と します。 学習した文法事項を踏まえ、身近なテーマについて読み・聞 き・書き・会話ができるようになることが目標で す。				
履修条件	木曜 1 時限目 ドイツ語基礎表現A（真道）を同時に受講すること。 授業に積極的に参加すること。 木曜 1 時限目ドイツ語基礎表現A（真道）に登録すると、自動的に本授業に登録されます。				
授業方法	文法説明はできるだけわかりやすくします。練習問題、会話練習等を行いながら、実際に学んだ文法の知識を実践できる ようにしてゆきます。参加型授業です。ほぼ毎回小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	検定試験の結果及び授業内試験50%、授業参加態度15%、提出物15%、小テスト20%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2008	同学社	ドイツ文法・1 0 0 語の世界		清水 薫
	2005	cornelsen	studio d A1 Kurs- und Übungsbuch		Hermann Funk
	備考	ドイツ語1（木1）と共通教科書です。			
参 考 書	独和辞典（授業中に説明します） その他の参考書については、授業中に紹介します。				
オフィス アワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材準備
2	事前学習	CD確認 アルファベート予習
	授業内容	アルファベート Start auf Deutsch
	事後学習	アルファベート・発音復習
3	事前学習	文法事項確認
	授業内容	1課 規則的に人称変化する動詞 Lektion 1 Café d 1
	事後学習	1 課 / Lektion 1練習問題
4	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト1 2課 文を作る Lektion 1 Café d 3
	事後学習	2課 / Lektion 1 練習問題

5	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 3 3課 名詞の性と格(1格・4格) seinとhaben Lektion 2 Im Sprachkurs 1
	事後学習	3課 / Lektion 2 練習問題
6	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 5 4課 不規則に変化する動詞1 名詞の格(2格・3格) Lektion 2 Im Sprachkurs 3
	事後学習	4課 / Lektion 2 練習問題
7	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 7 5課 冠詞類 不規則に人称変化する動詞2 Lektion 3 Städte- Länder- Sprachen 1
	事後学習	5課 / Lektion 3 練習問題
8	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 9 6課 複数形 人称代名詞 Lektion 3 Städte- Länder- Sprachen 3
	事後学習	6課 /Lektion 3 練習問題
9	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 1 1 7課 前置詞 Lektion 4 Menschen und Häuser 1
	事後学習	7課 / Lektion 4 練習問題
10	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 1 3 8課 話法の助動詞 未来形 Lektion 4 Menschen und Häuser 3
	事後学習	8課 / Lektion 4 練習問題
11	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 1 5 9課 形容詞の格語尾 序数 Lektion 5 Termine 2
	事後学習	9課 / Lektion 5 練習問題
12	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 1 7 10課 比較級 非人称表現 不定代名詞 6 Orientierung 1
	事後学習	10課 / Lektion 6 練習問題
13	事前学習	文法・語彙復習
	授業内容	文法まとめ 6 Orientierung 3
	事後学習	Lektion 6 練習問題
14	事前学習	中間試験準備
	授業内容	中間試験 筆記試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価
15	事前学習	中間試験準備
	授業内容	中間試験 口述試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語基礎文法の習得と独検 5 級及び 4 級対策				
授業目的・到達目標	初級ドイツ文法の習得。 前期は独検 5 級、後期は4級レベルのドイツ語能力の養成を目標とします。 簡単な日常会話の練習をしてゆく中で、基礎文法の応用ができるようになること、ドイツを読んで基礎文法について説明ができるようになることが目的です。				
履修条件	ドイツ語基礎表現ABを同時に受講すること。				
授業方法	文法説明はできるだけわかりやすくします。練習問題、会話練習等を行いながら、実際に学んだ文法の知識を実践できるようにしていきます。参加型授業です。ほぼ毎回小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	試験50% 検定試験結果は加点します 平常点(授業参加態度、提出物、小テスト)50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008	同学社		ドイツ文法・1 0 0 語の世界	清水 薫
	備考				
参 考 書	独和辞典（授業中に説明します） その他の参考書については、授業中に紹介します。				
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認する
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材準備
2	事前学習	アルファベート ドイツ語の発音予習
	授業内容	アルファベート ドイツ語の発音
	事後学習	アルファベート ドイツ語の発音復習
3	事前学習	小テスト 1 試験準備
	授業内容	小テスト 1 Lektion 1 規則的に変化する動詞
	事後学習	Lektion 1 練習問題
4	事前学習	小テスト 2 試験準備
	授業内容	小テスト 2 Lektion 2 文を作る
	事後学習	Lektion 2 練習問題

5	事前学習	小テスト3試験準備
	授業内容	小テスト3 Lektion 3 名詞の性と格（1格/4格） seinとhaben
	事後学習	Lektion 3 練習問題
6	事前学習	小テスト4試験準備
	授業内容	小テスト4 Lektion 4 不規則変化する動詞1 名詞の格(2格/3格)
	事後学習	Lektion 4 練習問題
7	事前学習	小テスト5試験準備
	授業内容	小テスト5 Lektion 5 冠詞類
	事後学習	Lektion 5 練習問題
8	事前学習	小テスト6試験準備
	授業内容	小テスト6 Lektion 5 不規則に人称変化する動詞2 命令形
	事後学習	Lektion 6 練習問題
9	事前学習	小テスト7試験準備
	授業内容	小テスト7 Lektion 6 複数形
	事後学習	Lektion 6 練習問題
10	事前学習	小テスト8試験準備
	授業内容	小テスト8 Lektion 6 人称代名詞
	事後学習	Lektion 6 練習問題
11	事前学習	小テスト9試験準備
	授業内容	小テスト9 Lektion 7 前置詞
	事後学習	Lektion 7 練習問題
12	事前学習	小テスト10試験準備
	授業内容	小テスト10 Lektion 8 話法の助動詞
	事後学習	Lektion 8 練習問題
13	事前学習	小テスト11試験準備
	授業内容	小テスト11 Lektion 8 未来形
	事後学習	Lektion 8 練習問題
14	事前学習	小テスト12試験準備
	授業内容	小テスト12 前期まとめ
	事後学習	文法・語彙復習
15	事前学習	試験準備
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	鈴木 満	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「理解力」「暗記」「継続」の大切さを確認しながら、ドイツ語を学びます。			
授業目的・到達目標	ドイツ語を読み・書き・聞き・話すための基礎学力の習得、特に「正確に書くこと」、およびドイツ語検定試験４級合格を目的とします。 ドイツ語圏の文化を自分で調べることができるようになります。			
履修条件	ドイツ語を初めて学ぶ１年生が対象ですが４年生の受講は認めます。人数によって２年生・３年生も受講できることがあります。			
授業方法	不定期に小テストを行い、これが平常点に加味されます。授業の復習が必須です。検定試験に合格するための自習も必要です。受講生の数などによって授業の進め方を決めます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	小テスト・検定試験結果も含む。出席不良、私語が多い、辞書がない、復習が著しく不十分、不正行為（小テストでも）があった場合などは学期途中でも不合格となります。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	白水社	ブロムナード やさしいドイツ語文法	荻原耕平 山崎泰孝
	備考			
参考書	辞書（アポロン独和辞典・クラウン独和辞典など）			
オフィスアワー	suzuki.mitsuru11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツの観光情報などを参照して、ドイツの様子を知る。 ドイツの歴史を復習するなどして、ドイツ語圏への関心を高める。
	授業内容	前期ガイダンス 文字（および発音）
	事後学習	文字と発音の復習 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
2	事前学習	教科書付属のCD等を聞く
	授業内容	ドイツ語の発音 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
3	事前学習	授業1回目～2回目の復習
	授業内容	1格の人称代名詞 動詞の人称変化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
4	事前学習	授業1回目～3回目の復習
	授業内容	sein と haben ドイツ語の語順 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる

5	事前学習	授業 1 回目～ 4 回目の復習
	授業内容	名詞の性と格 定冠詞と不定冠詞の変化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
6	事前学習	授業 1 回目～ 5 回目の復習
	授業内容	複数形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
7	事前学習	授業 1 回目～ 6 回目の復習
	授業内容	定冠詞類 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
8	事前学習	授業 1 回目～ 7 回目の復習
	授業内容	不定冠詞類 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
9	事前学習	授業 1 回目～ 8 回目の復習
	授業内容	人称代名詞の格変化 3 人称の人称代名詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
10	事前学習	授業 1 回目～ 9 回目の復習
	授業内容	3 格と 4 格 非人称の es 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記
11	事前学習	授業 1 回目～ 1 0 回目の復習
	授業内容	動詞の現在人称変化（不規則変化） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味の沸いた点を調べる
12	事前学習	授業 1 回目～ 1 1 回目の復習
	授業内容	重要な不規則変化動詞 命令形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
13	事前学習	授業 1 回目～ 1 2 回目の復習
	授業内容	前置詞 3 基本形入門 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
14	事前学習	授業 1 回目～ 1 3 回目の復習
	授業内容	前期の補足・総合復習・演習 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
15	事前学習	前期学習事項の総復習
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	確認テストで学習不足の点を重点的に復習

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	中村 毅	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	法学部の各学科における、教育研究上の目的にのっとり、欧州を牽引する中心的な国ドイツ連邦共和国やオーストリア及びスイスで使用されている「ドイツ語」の基礎的運用能力を身につける授業を実施する。前・後期の各15週にわたり、演習形式で動詞の用法や運用について、特に前学期は現在形を中心に、後学期は完了形、受動文及び要求や仮定を表現する「接続法」と呼ばれる動詞の形態を、演習形式で学ぶ。使用教科書のweb練習問題も活用する。				
授業目的・到達目標	ドイツ語を初めて学ぶ学生や上級生でも基本的なドイツ語文法を確実に学ぶことで、異文化理解の基礎となる能力を身につけることを目的とする。ドイツ語で書かれた原書講読やインターネット上での内容を理解するために必要なドイツ語の知識を学ぶ。前学期は、動詞の現在人称変化、文章の構成（主語と定動詞の位置や語順）等を学び、ドイツ語検定4級程度を目標とする。後学期は前綴りを持つ動詞の運用や6時称の判別及び受動文や接続法の運用が出来る。				
履修条件	特になし				
授業方法	教科書を中心に授業をすすめるが、プリントや教科書会社運用のweb練習問題なども利用し、演習形式で実施する。レポート提出もあるので注意すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	受講態度・授業参画度〔10%〕及び前学期重要項目のレポート〔30%〕 前学期授業内テスト〔60%〕	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年度	朝日出版社		ドイツ語の時間〈話すための文法〉web練習問題付	清野 智昭
	備考				
参考書	第1回の授業時間に指示する				
オフィスアワー	電子メール（第1回の授業で公表する）。ただし授業前後の休み時間も可（講師室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第1回目の授業でプリントを配布するが、シラバスの確認及び購入教科書の「アルファベート」等を予習すること。
	授業内容	年間授業計画・成績評価の方法・辞書参考書紹介など。ドイツ語のAlphabet等
	事後学習	配布したプリントにより「アルファベート」や「単語」の発音を復習しておくこと。
2	事前学習	教科書付のCDでドイツ人の発音や音声になれるよう学習すること。
	授業内容	ドイツ語のAlphabetと特殊文字ä, ö, ü, ßの発音及び単語の発音練習（1）
	事後学習	教科書付のCDでドイツ人の発音や音声になれるよう学習すること。
3	事前学習	前回の授業で練習したドイツ語特有な単語の発音を授業の最初に質問するので答えられるよう復習をしておくこと。
	授業内容	様々な単語の発音練習（2）：挨拶・季節・月・曜日・数字など
	事後学習	教科書に添付のCDでドイツ人の発音や音声になれるよう学習すること。
4	事前学習	英語で学んだ「人称」の概念を再認識し、教科書会社のweb上の練習問題で確認しておくこと。
	授業内容	主語としての人称代名詞と基本的な動詞の現在人称変化（1）
	事後学習	授業で学習した内容に関するレポート用プリントを配布するので、次回に提出すること。

5	事前学習	前回の授業で学習した内容に関するレポートを提出すること。
	授業内容	平叙文の語順（主語と定動詞の位置）や疑問文
	事後学習	教科書の練習問題を解答しておくこと。
6	事前学習	教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	文法上の名詞の性別と冠詞
	事後学習	配布プリント「定冠詞と不定冠詞」のレポートで練習すること。
7	事前学習	英語の自動詞・他動詞の概念を確認しておくこと。
	授業内容	自動詞と他動詞および重要な動詞（sein, haben, werden）／ja, nein, dochでの答え方
	事後学習	重要な動詞（sein, haben, werden）の現在人称変化の練習プリントを配布する。
8	事前学習	重要な動詞（sein, haben, werden）の現在人称変化の練習プリントを提出する。
	授業内容	不規則動詞の現在人称変化（2）
	事後学習	配布された「不規則動詞」の現在人称変化レポートで練習すること。
9	事前学習	教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	定冠詞・不定冠詞の格変化と文中の役割(格の用法)
	事後学習	教科書会社のweb上の説明や練習問題で復習しておくこと。
10	事前学習	教科書および教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	及び名詞の複数形（5種類）と格変化
	事後学習	配布された「名詞の複数形」のレポートで練習すること。
11	事前学習	教科書および教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	前置詞（1）の「格支配」と名詞
	事後学習	教科書および教科書会社のweb上の説明や練習問題で復習しておくこと。
12	事前学習	教科書および教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	前置詞（2）の「格支配（3・4格支配）」及び従属接続詞と定動詞の位置
	事後学習	前置詞（1）と前置詞（2）の「格支配（3・4格支配）」のレポートで復習しておくこと。
13	事前学習	人称代名詞の3・4格の用法及び再帰代名詞を教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	人称代名詞の用法及び再帰代名詞の理解と運用
	事後学習	教科書および教科書会社のweb上の説明や練習問題で復習しておくこと。
14	事前学習	英語の過去形や過去分詞の概念を再確認し、教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	動詞の3基本形及び前期のまとめ
	事後学習	前期の学習内容を教科書会社のweb上の説明や練習問題で復習しておくこと。学習内容で不明な箇所についての質問はメール等でも回答する。
15	事前学習	前回までの学習内容を教科書会社のweb上の説明や練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	授業（試験と振り返り）
	事後学習	前期授業内試験の学習内容で理解不明な点を教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で復習しておくこと。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	三浦 美紀子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法説明のあと、受講者は各自辞書を引いて練習問題を解き、理解できたかどうか、CDを聞いて確認ながら進めていく。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 練習を重ねて例文を覚え、基本的な文法事項と正しい発音を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ドイツ語の初級文法全般を確実に身につけ、中級に進む準備をととのえることができるようになる。				
履修条件	必ず、独和辞典持参で出席すること。				
授業方法	CDを用いて、演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（受講態度と授業に対する積極性）30% 期末に実施する授業内試験 70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	三修社		CD付き 気分はドイツ	本郷建治、佐藤彰、他
	備考				
参考書	指定しない				
オフィスアワー	木曜日17時50分～18時20分、10号館2階ロビー（事前に必ず授業に出席してアポイントメントを取ること）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書1、8、10ページに目を通す
	授業内容	辞書について、アルファベートと発音、主語と動詞について
	事後学習	1、8、10ページの復習
2	事前学習	10ページに再度目を通す
	授業内容	辞書の紹介、第1課 動詞の現在形 （1）
	事後学習	12ページ前半の練習問題を復習する
3	事前学習	11ページに目を通す
	授業内容	第1課 （2）
	事後学習	12ページ後半の復習
4	事前学習	13、14ページに目を通す
	授業内容	第2課 冠詞と名詞 （1）
	事後学習	16ページ前半の復習

5	事前学習	14、15ページに目を通す
	授業内容	第2課 (2)
	事後学習	16ページ後半の復習
6	事前学習	17、18ページに目を通す
	授業内容	第3課 不規則変化動詞 (1)
	事後学習	19ページの復習
7	事前学習	21ページに目を通す
	授業内容	第4課 人称代名詞
	事後学習	24ページ前半の復習
8	事前学習	22、23ページに目を通す
	授業内容	第4課 その他の冠詞
	事後学習	24ページ後半の復習
9	事前学習	26、27ページに目を通す
	授業内容	第5課 動詞の位置、副文
	事後学習	29ページの復習
10	事前学習	31ページに目を通す
	授業内容	第6課 前置詞 (1)
	事後学習	34ページ前半の復習
11	事前学習	32、33ページに目を通す
	授業内容	第6課 (2)
	事後学習	34ページ後半の復習
12	事前学習	35ページに目を通す
	授業内容	第7課 話法の助動詞 (1)
	事後学習	37ページ前半の復習
13	事前学習	36ページに目を通す
	授業内容	第7課 (2)
	事後学習	37ページ後半の復習
14	事前学習	39ページに目を通す
	授業内容	第8課 動詞の三基本形
	事後学習	39ページの復習
15	事前学習	前学期に学習したことの総復習
	授業内容	前学期末 授業内試験及びまとめ、振返り
	事後学習	分からなかった箇所、間違えた箇所の再確認

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	森田 悟	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎を学び、あわせてドイツ文化について知りたい			
授業目的・到達目標	ドイツ語の基礎文法を学びながら現在のドイツについても考えてみたいと思います。ドイツ語の基礎理解に必要な文法事項の前半部分を丁寧に学びます。			
履修条件	学部の規定による。			
授業方法	講義形式ですが、毎回練習や質問ができるようにしたいと思います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	平常授業の学習、授業内試験の結果で評価します。原則として80パーセント以上の出席も必要です。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	白水社	ブロムナードやさしいドイツ語語文法	萩原耕平、山崎泰孝
	備考			
参考書	辞書（授業開始時に説明）			
オフィスアワー	授業終了時、ただし、できる限り事前に申し出ること			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	ガイダンス、ドイツ語学習の意味と広がりを考える
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
2	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	発音、綴り字等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
3	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	名詞の性と格
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
4	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	名詞の性と格
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

5	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
6	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	定冠詞、不定冠詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
7	事前学習	新しく学ぶ単語等を調べておくこと
	授業内容	定冠詞、不定冠詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
8	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
9	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
10	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	不規則動詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
11	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	不規則動詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
12	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	前置詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
13	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	前置詞、命令
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
14	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	授業内試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
15	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	これまでの学習のまとめ
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	森田 悟	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎を学び、あわせてドイツ文化について知りたい					
授業目的・到達目標	ドイツ語の基礎文法を学びながら現在のドイツについても考えてみたいと思います。ドイツ語の基礎理解に必要な文法事項の前半部分を丁寧に学びます。					
履修条件	学部の規定による。					
授業方法	講義形式ですが、毎回練習や質問ができるようにしたいと思います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常授業の学習、授業内試験の結果で評価します。原則として80パーセント以上の出席も必要です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	白水社		ブロムナードやさしいドイツ語語文法		萩原耕平、山崎泰孝
	備考					
参考書	辞書（授業開始時に説明）					
オフィスアワー	授業終了時、ただし、できる限り事前に申し出ること					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	ガイダンス、ドイツ語学習の意味と広がりを考える
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
2	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	発音、綴り字等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
3	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	名詞の性と格
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
4	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	名詞の性と格
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

5	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
6	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	定冠詞、不定冠詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
7	事前学習	新しく学ぶ単語等を調べておくこと
	授業内容	定冠詞、不定冠詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
8	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
9	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
10	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	不規則動詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
11	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	不規則動詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
12	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	前置詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
13	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	前置詞、命令
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
14	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	授業内試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
15	事前学習	新しく学ぶ単語等調べておくこと
	授業内容	これまでの学習のまとめ
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	山崎 良介	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本的なドイツ文法を体系的に概観しながら、簡単な表現を自分のことばとして確実に学習できるようにする。表現練習を通じて、学習した文法事項を実践的な表現力として生かせるようにする。				
授業目的・到達目標	ドイツ文法を基礎に「読む」「書く」「聞く」「話す」「感じる」の5技能を総合的に学習し、ドイツ語・ドイツ語圏の文化について理解を深める。確かなドイツ文法力を身につけることを目的とする。それにもとづきドイツ語検定試験4級以上が合格できるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	テキストを中心にできるだけやさしく進めていく。授業のための積極的な学習が必要。「検定試験対策」も行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内試験 80% レポートと小テスト 20%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015年	郁文堂	身につくドイツ文法<Leicht>		前田良三・高木葉子
	備考				
参 考 書	『教室と自修のためのドイツ語入門』山本 明・古賀允洋：同学社				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 yamazaki.ryosuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	付録のCDを聞き、アルファベートを発音できるようにしておくこと。
	授業内容	ガイドンス ドイツ語を話す国々 辞書の紹介 ドイツ語のアルファベートの発音を説明する。 プリント配布。
	事後学習	アルファベートの発音を覚える。
2	事前学習	付録のCDを聞き、挨拶の表現を発音できるようにしておくこと。
	授業内容	発音 母音と子音 日常会話の基本的表現 Lektion 1 動詞の現在人称変化を説明する。プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
3	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 1 動詞の現在人称変化について説明する Lektion 2 名詞と冠詞の格変化について説明する。プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
4	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 2 名詞と冠詞の格変化について説明する。 ドイツの民謡（1） プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。

5	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 2 名詞と冠詞の格変化について説明する。 プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
6	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 3 名詞の複数形・人称代名詞について説明する。 プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
7	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	Lektion 1`3 までの復習 Lektion 4 動詞の現在人称変化（2）・命令法について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
8	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 4 動詞の現在人称変化（2）・命令法。Lektion 5 定冠詞類・不定冠詞類について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
9	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 5 定冠詞類・不定冠詞類について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
10	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 6 前置詞について説明する。 英語の前置詞をあげてみる。 プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
11	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 6 前置詞について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
12	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞について説明する。 プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
13	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞について説明する。 「ドイツ国歌」について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
14	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	Lektion 1`7までの復習を行う。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
15	事前学習	授業内容を習得しておくこと。
	授業内容	授業内試験（参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習しておくこと。

科目名	ドイツ語基礎文法A	担当者	渡邊 善和	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	一年の授業期間を通じてドイツ語の初歩的語学力が習得できたと得心できるように、言語的4技能の個別的、総合的鍛錬をする。テキストのみならず、視聴覚教材などの補助教材をフルに利用して授業を活性化していく。また終了時点で次の段階(ドイツ語科目、専門科目、他の一般教養科目など)へのステップアップへの意欲の促進を図る。				
授業目的・到達目標	長年学んできた「英語」以外の新たな外国語として「ドイツ語」を学ぶ。単なるツールとしての言葉ではなく、国民のアイデンティティーの基盤である「言語」に触れ、また「英語圏」とは違う外国文化への理解を深める。さらにもう一つの「外国語」の学習を通して日本語を含めた「言葉」そのものの感性を磨く。学期末には、受講生それぞれが、その努力に見合ったドイツ語の「言語4技能」のスキルアップを達成する。また言語を学ぶ過程で、その国の人々および文化を偏見なく見る目を養う。				
履修条件	ドイツ語基礎文法Bも続けて受講することを期待する。学習に当たっては謙虚に、しかし好奇心旺盛に、しかも自発的にこつこつと学んでいく姿勢を望む。途中で放棄するような弱気な人は受講を遠慮して欲しい。				
授業方法	テキストにそう。毎回復習を繰り返し、既習内容の定着を図る。授業は拙速に進めることなく、解説、指導は丁寧なことを心がける。ドイツおよびドイツ語に興味を持ってもらうためにDVDをはじめ多様な視聴覚教材を活用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義の理解度、初歩的ドイツ語運用力を筆記試験で評価する。(80%) 数回のレポート(10%)、平常点(授業への熱意など)(10%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成30年度	同学社		『ベルリンに夢中』	石井学他
	備考				
参考書	中型の独和辞典以外特に用意する必要はない。参考書は要望があれば適宜紹介する。				
オフィスアワー	木曜日(8:30~8:50分)。10号館2階講師室。また特に要望のある学生には私のメールアドレスでの質問に応じる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツを紹介する本(新書程度でよい)を読んでくること
	授業内容	授業ガイダンス。『ドイツ』『ドイツ語』概観。
	事後学習	上記の本を続けて読んでおくこと
2	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	ドイツ語のアルファベット ドイツ紹介DVD視聴1
	事後学習	授業で習った内容を復習すること(発音は声を出して練習すること)
3	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	ドイツ語のつづりと発音 1 ドイツ紹介DVD視聴2
	事後学習	授業で習った内容を復習すること(発音は声を出して練習すること)
4	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	前回の復習+ " 2 第1課 動詞の現在人称変化、語順など+練習問題 ベルリン紹介DVD 1 + ドイツ紹介DVD3
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習

5	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	第1課練習問題+会話訳 第2課 名詞、冠詞類+練習問題 ベルリン紹介DVD 2 + スイス紹介DVD 1
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習
6	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	第2課練習問題+会話訳 第3課 複数形 ベルリン紹介DVD 3 + スイス紹介DVD 2
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習
7	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	第3課練習問題+会話訳 第4課 不規則変化動詞、人称代名詞など+練習問題 ベルリン紹介DVD 4 + //
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習
8	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	第4課練習問題+会話訳 第5課 前置詞の格支配+練習問題 ベルリン紹介DVD 5 + オーストリア紹介DVD 1
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習
9	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	第5課練習問題+会話訳 これまでの総復習 1 //
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習
10	事前学習	これまでの総復習 2
	授業内容	これまでの総復習 2 ドイツ・オーストリア・スイス世界遺産紹介DVD
	事後学習	総復習内容の確認
11	事前学習	ドイツにかかわるテレビ番組や映画を見てくこと
	授業内容	ドイツ映画鑑賞
	事後学習	映画の感想をメモしておくこと
12	事前学習	メモの整理
	授業内容	ドイツ映画鑑賞（続き）
	事後学習	他のドイツ映画を見ること
13	事前学習	テキストの該当ページを精読してくること
	授業内容	第6課 冠詞類、冠詞類の格変化、nichtとkein+練習問題 ベルリン紹介DVD 6 + ドイツ・オーストリア・スイス紹介DVD
	事後学習	授業で習った内容の復習および練習問題の予習
14	事前学習	これまでの総復習
	授業内容	これまでの総復習
	事後学習	総復習の確認
15	事前学習	試験範囲の復習
	授業内容	前期末学力考査及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験の反省

科目名	ドイツ語基礎文法A(月曜2時限)	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する人を対象に、一年間でドイツ語の文法をアウトラインを学び、ドイツ語の文章の基本構造を把握する授業である。基礎文法の知識を手掛かりに、辞書を使用しながら、やや高度な文章を把握させる練習をやっている。 ドイツ語技能検定（独検）の5級と4級のレベルのドイツ語力を養成する。					
授業目的・到達目標	授業目的：基本文法と語彙を使って、簡単な自己紹介と簡単な原文の読解できるようになることを目的とする。 授業目標：簡単な自己紹介と簡単な原文の読解ができる。独検5級に合格できる。					
履修条件	特になし					
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う予定でいる。 ②辞書をを引きながら、独訳、和訳、文法問題をやっていく。③確認のための小テスト、レポートも実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		年2回行う授業内試験 基本的な問題（参照不可）（90%） レポート課題、小テスト、独検の結果、授業への積極的参加（10%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	三修社		『気分はドイツ』		本郷建治 佐藤彰
	備考					
参考書	独和辞典については最初の授業時に、参考書、独検対策問題集については必要に応じて紹介する。 独和辞典は、3回目の授業から1年間必ず持参すること。					
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス及び外国語学習ガイド（『日法の外国語教育』）の「ドイツ語」のページを読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス 独和辞典の紹介 アルファベット、母音の発音
	事後学習	アルファベット、母音の発音の復習をすること。
2	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	アルファベット、発音の原則 主語となる人称代名詞 動詞は、主語に応じて変化、辞書の引き方
	事後学習	授業内容を必ず復習すること。単語を書けるようになること。
3	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 第1課：動詞の人称変化 辞書の引き方
	事後学習	宿題をしておくこと。暗記用例文を暗記しておくこと。授業内容を必ず復習すること。単語を書けるようになること。
4	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 sein, habenの変化 辞書の引き方
	事後学習	授業内容を必ず復習すること。動詞の変化の小テストを行うので、完全にかけるようにしておくこと。単語を書けるようになること。ドイツ語の文における動詞の位置を把握すること。

5	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習。小テスト 第2課：名詞。性別。 辞書の引き方
	事後学習	暗記用例文を暗記しておくこと。授業内容を必ず復習すること。
6	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 定冠詞、不定冠詞、複数形5タイプ。 辞書の引き方
	事後学習	宿題をしておくこと。授業内容を必ず復習すること。冠詞の変化の小テストを行うので、完全に見えるようにしておくこと。単語を書けるようになること。
7	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 辞書の引き方
	事後学習	暗記用例文を暗記しておくこと。授業内容を必ず復習すること。
8	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。1課の規則動詞の変化を復習しておくこと。
	授業内容	復習 第3課：不規則動詞 辞書の引き方
	事後学習	授業内容を必ず復習すること。単語を書けるようになること。
9	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 辞書の引き方
	事後学習	暗記用例文を暗記しておくこと。授業内容を必ず復習すること。
10	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 第4課：人称代名詞3格・4格 辞書の引き方
	事後学習	授業内容を必ず復習すること。単語を書けるようになること。
11	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。定冠詞、不定冠詞の格変化を確認しておくこと。
	授業内容	復習 定冠詞類、不定冠詞類 辞書の引き方
	事後学習	暗記用例文を暗記しておくこと。授業内容を必ず復習すること。
12	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。格という文法用語を意識すること。
	授業内容	復習 第6課：前置詞4タイプのうちの3タイプについて 辞書の引き方
	事後学習	授業内容を必ず復習すること。単語を書けるようになること。
13	事前学習	前回の復習しておくこと。授業予定の単語を調べておくこと。
	授業内容	復習 3・4格支配の前置詞について 辞書の引き方
	事後学習	暗記用例文を暗記しておくこと。授業内容を必ず復習すること。 どういった場合に3格を支配し、どういった場合に4格を支配にするのかが要点なので、よく考えること。単語を書けるようになること。
14	事前学習	前回の復習しておくこと。試験範囲の単語を書けるようになること。
	授業内容	前期文法の復習 試験について
	事後学習	これまでの授業内容を必ず復習すること。基本文法、基本単語、基本文を完全に暗唱すること。
15	事前学習	暗記用例文を十分に暗記しておくこと。
	授業内容	試験（70分、応用問題、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検5級の結果を報告すること。

科目名	ドイツ語基礎文法A(月曜3時限)	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	一年の授業で基本文法、基本語彙を習得し、中級レベル（検定合格、語学研修、交換留学）への橋渡しをするための授業である。 形式としては、水曜日3時限目の佐藤英先生の「ドイツ語基礎表現」（旧カリキュラム：「ドイツ語Ⅰ」）とのセットである。					
授業目的・到達目標	授業目的：一年間の授業で、大学の英語のレベルまで引き上げることを目的としている。 到達目標：①ドイツ語の基本構造が把握できるようになる。 ②独検4級のレベルに到達し、合格する力を身につけることができる。 ③簡単なドイツ語の記事を読むことができるようになる。					
履修条件	①水曜3時限目の佐藤英先生の「ドイツ語基礎表現」（旧カリキュラム：「ドイツ語Ⅰ」）も必ず履修すること。 ②この授業を単独で取ることはできない。③ウェブ抽選では、佐藤先生の上記の授業に登録すること。					
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う予定でいる。 ②辞書を引きながら、独訳、和訳、文法問題をやっていく。③確認のための小テスト、レポートも実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験 基本的な問題（参照不可）（90%） レポート課題、小テスト、独検の結果、授業への積極的参加（10%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	白水社		『プレーミエ』		神竹・國光・田島
	備考					
参考書	独和辞典の紹介（電子辞書を勧めない）は最初の授業時に行う。単語集、参考書も授業時に指示する。					
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスと外国語学習ガイド(『日法の外国語教育』)のドイツ語のページを読んでおくこと。
	授業内容	ガイドダンス 独和辞典の紹介 アルファベット、母音の発音
	事後学習	教科書、および、紹介された独和辞典を用意する（電子辞書は不可）。
2	事前学習	前回の復習をすること。
	授業内容	アルファベット、発音の原則 主語となる人称代名詞 動詞は、主語に応じて変化、辞書の引き方
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。辞書を引いてみる。
3	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。
	授業内容	動詞の基本変化 重要動詞sein（英：be）とhaben(英：have)変化
	事後学習	課題を行うこと。復習をすること。単語を書けるようにすること。
4	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。
	授業内容	復習 名詞は大文字で書き始め、性は3つ、文中の役割を示す格は4つ、複数形は5タイプ 辞書の引き方
	事後学習	課題を行うこと。復習をすること。単語を書けるようにすること。

5	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。小テストために完全に暗記すること。
	授業内容	復習 小テスト 定冠詞類・不定冠詞類。辞書の引き方
	事後学習	冠詞の語尾と冠詞類の語尾を比較してみる。復習をすること。単語を書けるようにすること。
6	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。わからない点を書き記しておく。
	授業内容	復習 不規則動詞
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。規則動詞の語尾と比較してみる。
7	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。
	授業内容	復習 前置詞の4種類。人称代名詞の3格と4格。 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。3・4格支配の前置詞の用法を検討してみる。
8	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。助動詞の文構造について観察してみる。
	授業内容	復習 話法の助動詞、未来・推量の助動詞、zu不定詞 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。zu不定句内の語順と日本語の語順の類似性を確認する。
9	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。定冠詞類の語尾を確認しておく。
	授業内容	復習 形容詞の格変化、比較 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
10	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。現在人称語尾と過去人称語尾とを比較してみる。
	授業内容	復習 動詞の3基本形、過去人称変化、分離動詞 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。不規則動詞を辞書で調べておく。
11	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。sein, habenの変化を確認しておく。
	授業内容	復習 現在完了形、接続詞、定形の位置の3タイプ、副文 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。ドイツ語の文章における動詞の位置を確認してみよう。
12	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。「再帰」や「分詞」の意味を調べてみよう。
	授業内容	復習 再帰代名詞、再帰動詞、非人称表現、分詞、esの用法 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
13	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。関係文の構造を観察しておく。
	授業内容	復習 関係文 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
14	事前学習	前回の復習をすること。今まで習った単語の意味を覚えなおす。
	授業内容	前期文法の復習 試験について
	事後学習	試験範囲を何度も目を通し、CDを聞きながら音読をする。
15	事前学習	習った単語、文法、文章を完全に覚えたかどうか確認する。
	授業内容	試験（70分、応用問題、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検5級の結果を提出すること。

科目名	ドイツ語基礎文法B(月曜2時限)	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する人を対象に、一年間でドイツ語の文法をアウトラインを学び、ドイツ語の文章の基本構造を把握する授業である。基礎文法の知識を手掛かりに、辞書を使用しながら、やや高度な文章を把握させる練習をやっている。ドイツ語技能検定（独検）の5級と4級のレベルのドイツ語力を養成する。			
授業目的・到達目標	授業目的：基本文法に基づき、簡単な自己表現ができ、簡単なインターネット記事の情報を理解できるドイツ語力の習得を目的とする。 授業目標：簡単な自己表現ができる。簡単なインターネットの記事の情報を得ることができる。独検4級に合格できる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う予定でいる。 ②辞書を引きながら、独訳、和訳、文法問題をやっていく。③確認のための小テスト、レポートも実施する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業内試験（基本的な問題、参照不可、70分）（90%） レポート課題、小テスト、独検の結果、授業への積極的参加（10%）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	三修社	『気分はドイツ』	本郷建治 佐藤彰
	備考			
参考書	単語集、独検対策問題集、参考書については必要に応じ紹介する。			
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	前期文法の復習 後期文法の概観 第7課：話法の助動詞
	事後学習	復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。
2	事前学習	前回の復習をしておくこと。 文構造を観察してみよう。
	授業内容	復習 辞書の引き方
	事後学習	宿題をしておくこと。復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。
3	事前学習	前回の復習をしておくこと。
	授業内容	復習 第8課：動詞の三基本形 辞書の引き方
	事後学習	宿題をしておくこと。復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。
4	事前学習	前回の復習をしておくこと。 現在人称変化の語尾と過去人称変化の語尾とを比較してみよう。
	授業内容	復習 過去人称変化 辞書の引き方
	事後学習	宿題をしておくこと。復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。

5	事前学習	前回の復習をしておくこと。 sein, habenの変化の復習をしておくこと。
	授業内容	復習 第9課：現在完了 辞書の引き方
	事後学習	宿題をしておくこと。復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。
6	事前学習	前回の復習をしておくこと。 文構造を観察してみよう。
	授業内容	復習 第10課：分離動詞 辞書の引き方
	事後学習	復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。 英語のstand up, get upと比較してみよう。
7	事前学習	前回の復習をしておくこと。 文構造を観察してみよう。 定冠詞類の格語尾を確認しておくこと。
	授業内容	復習 第11課：形容詞 辞書の引き方
	事後学習	形容詞の付加語尾と定冠詞の語尾とを比較してみよう。宿題をしておくこと。復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。
8	事前学習	前回の復習をしておくこと。
	授業内容	復習 第12課：再帰代名詞、非人称表現、esの用法、zu不定詞 辞書の引き方
	事後学習	復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。
9	事前学習	前回の復習をしておくこと。 werdenの変化を復習しておくこと。過去分詞の作り方を復習しておくこと。 文構造を観察してみよう。
	授業内容	復習 第13課：受動態 辞書の引き方
	事後学習	復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。
10	事前学習	前回の復習をしておくこと。 文構造を観察してみよう。
	授業内容	復習 第14課：関係文。辞書の引き方。 ドイツ語検定の対策
	事後学習	復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。 過去問を何度も覚えるまで反復すること。
11	事前学習	前回の復習をしておくこと。 文構造を観察してみよう。
	授業内容	復習 第15課：接続法。辞書の引き方。 ドイツ語検定の対策（4級レベルの聞き取り）
	事後学習	復習しておくこと。単語を暗記しておくこと。暗記用例文を完全に暗記しておくこと。 過去問を何度も覚えるまで反復すること。
12	事前学習	前回の復習をしておくこと。
	授業内容	復習 インターネットのドイツ語情報（記事）を読んでみよう。 構文分析と文法解説
	事後学習	自分で決定訳を書いてみる。内容を読み込む。
13	事前学習	前回の復習をしておくこと。 文構造を観察してみよう。
	授業内容	復習 インターネットのドイツ語情報（記事）を読んでみよう。 構文分析と文法解説
	事後学習	自分で決定訳を書いてみる。内容を読み込む。
14	事前学習	文法事項、文構造、暗記用例文、基本単語を完全に暗記しておくこと。
	授業内容	試験について
	事後学習	復習しておくこと。試験範囲内の単語を書けるようにしておくこと。暗記用例文を書けるようにしておくこと。
15	事前学習	今までの基本単語、基本文法、暗記用例文をすべて暗記しておくこと。
	授業内容	試験（参照不可、70分）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検の結果を報告すること。

科目名	ドイツ語基礎文法B(月曜3時限)	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	一年の授業で基本文法、基本語彙を習得し、中級レベル（検定合格、語学研修、交換留学）への橋渡しをするための授業である。 形式としては、水曜日3時限目の佐藤英先生の「ドイツ語基礎表現」（旧カリキュラム：「ドイツ語Ⅰ」）とのセットである。					
授業目的・到達目標	授業目的：一年間の授業で、大学の英語のレベルまで引き上げることを目的としている。 到達目標：①ドイツ語の基本構造が把握できるようになる。 ②独検4級のレベルに到達し、合格する力を身につけることができる。 ③簡単なドイツ語の記事を読むことができるようになる。					
履修条件	①水曜3時限目の佐藤英先生の「ドイツ語基礎表現」（旧カリキュラム：「ドイツ語Ⅰ」）も必ず履修すること。 ②この授業を単独で取ることはできない。③ウェブ抽選では、佐藤先生の上記の授業に登録すること。					
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う予定でいる。 ②辞書を引きながら、独訳、和訳、文法問題をやっていく。③確認のための小テスト、レポートも実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内試験 基本的な問題（参照不可）（90%） レポート課題、小テスト、独検の結果、授業への積極的参加（10%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	白水社		『プレーミエ』		神竹・國光・田島
	備考					
参考書	独和辞典の紹介（電子辞書を勧めない）は最初の授業時に行う。単語集、参考書も授業時に指示する。					
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	ガイドンス（前期文法の復習） 後期文法の概観
	事後学習	復習をすること。
2	事前学習	前回の復習をすること。werdenの変化と過去分詞の作り方を確認しておく。
	授業内容	復習 受動文 辞書の引き方
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。
3	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。「接続法」の「接続」とは何か調べておく。
	授業内容	復習 接続法 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。現在人称変化語尾と接続法変化語尾を比較してみる。
4	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	復習 テキスト読解 辞書の引き方
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。

5	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	テキスト読解 独作文演習（助動詞）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。
6	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	テキスト読解 独作文演習（過去・完了形）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。
7	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。 何が起こったのか、誰がそれを伝えているのかを調べておく。
	授業内容	テキスト読解 メールニュースを読む（日本）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。 日本語の記事で内容を確認しておく。
8	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。 何が起こったのか、誰がそれを伝えているのかを調べておく。
	授業内容	テキスト読解 メールニュースを読む（日本）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。 日本語の記事で内容を確認しておく。
9	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。 何が起こったのか、誰がそれを伝えているのかを調べておく。
	授業内容	テキスト読解 メールニュースを読む（世界）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。 日本語の記事で内容を確認しておく。
10	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	テキスト読解 独検長文問題（5級レベル）
	事後学習	復習をすること。速読して意味を把握すること。
11	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。
	授業内容	ドイツ語検定試験の対策 過去問（4級レベル）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。出題傾向を調べてみる。速読して意味を把握すること。
12	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	ドイツ語検定試験の対策 過去問（4級レベル）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。出題傾向を調べてみる。速読して意味を把握すること。
13	事前学習	前回の復習をすること。
	授業内容	ドイツ語検定試験の対策 過去問（4級レベル）聞き取り
	事後学習	問題の形式に習熟すること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
14	事前学習	今まで習った、文法、単語の意味を覚えなおす。
	授業内容	試験について 文法の総復習
	事後学習	試験範囲を何度も目を通す。CDを聞きながら何度も音読をし、意味を取ること。
15	事前学習	試験範囲の内容を完全に覚える。
	授業内容	試験（70分、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検の成績を提出すること

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	青木 和子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級者のためのドイツ語学習を行う。 言葉としてのドイツ語に取り組む中で、この言語空間がドイツの文化を形成していることを学ぶ。					
授業目的・到達目標	(1) 正確な発音ができる。 (2) 文法構造を体系的に学び、話し、読むための語学力を習得する。					
履修条件	学習に熱意があること。					
授業方法	各課の文法テーマの内容を解説した上で、練習問題を順次する演習形式となる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内テスト80% 平常点20% (授業参加度と演習回数)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		第三書房		ゲナウ！グラマティック ノイ		新倉真矢子他
	備考					
参考書	授業時に独和辞書は必ず必要。					
オフィスアワー	授業中にいつでも質問を受けつける。 又、授業後も教室で対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏期課題を持参する Lektion9を読んでおく
	授業内容	夏期課題の答え合わせ Lektion9 分離動詞
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
2	事前学習	Lektion9を読んでおく
	授業内容	Lektion9 分離動詞と非分離動詞
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
3	事前学習	Lektion9の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion9 zu不定詞 従属の接続詞と副文
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
4	事前学習	Lektion10を読んでおく
	授業内容	Lektion10 動詞の三基本形
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う

5	事前学習	Lektion10の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion10 過去形
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
6	事前学習	Lektion10の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion10 現在完了形
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
7	事前学習	Lektion11を読んでおく
	授業内容	現在完了形の復習 Lektion11 受動態
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
8	事前学習	Lektion11の未学習箇所とLektion12を読んでおく
	授業内容	受動態の復習 Lektion12 形容詞の格変化
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
9	事前学習	Lektion12の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion12 形容詞・副詞の比較変化
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
10	事前学習	Lektion12の関係代名詞を読んでおく
	授業内容	Lektion12 関係代名詞
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
11	事前学習	Lektion12の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	Lektion12 関係代名詞・不定関係代名詞
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
12	事前学習	「ステップアップ」を読んでおく
	授業内容	接続法第Ⅰ式
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
13	事前学習	「ステップアップ」の未学習箇所を読んでおく
	授業内容	接続法第Ⅱ式
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
14	事前学習	後期学習範囲を総復習して疑問点を出しておく
	授業内容	後期の総復習
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う
15	事前学習	期末テストに向け準備する
	授業内容	期末テスト及び振り返り
	事後学習	授業内容を復習し課題を行う

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	天沼 春樹	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期ドイツ語文法Bの後半の授業です。動詞の過去形以後の内容になります。				
授業目的・到達目標	初級のドイツ語の運用能力。読み、聞き、書けるちから。目安としてドイツ語検定5級程度の能力。とくに、後期の独検にはチャレンジしてほしい。授業内でも過去問などを指導します。				
履修条件	出席重視。初歩からやるので、欠席がかさなると理解不能になります。				
授業方法	講義により文法説明・学生による発表をふくむ問題練習。視聴覚教材によって、眼と耳でドイツとドイツ語の世界に親しむ。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内小試験＋学期末に行う授業内試験(文法問題・独文和訳) 接続法をのぞく全項目の理解を!!ドイツ語検定の結果。授業内発表など。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	白水社		『ブロムナード やさしいドイツ文法』	荻原耕平他
	備考				
参考書	中級独和辞書				
オフィスアワー	講義時間前後。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の下見
	授業内容	前期リバビリ授業。わたしたちは何をまなんできたか？復習と後期への展望。
	事後学習	復習/ノート整理。学期末にノート提出あり。
2	事前学習	教科書の下見
	授業内容	Lektion9 助動詞
	事後学習	復習/ノート整理。学期末にノート提出あり。
3	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion10 動詞の三基本形 不定詞・過去基本形・過去分詞 不規則動詞変化表の使いかた。
	事後学習	復習/ノート整理。
4	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion10 不規則動詞の例文になれる。
	事後学習	復習/ノート整理。

5	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion11 現在完了形
	事後学習	復習/ノート整理。
6	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion11 受動文
	事後学習	復習/ノート整理。
7	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion12 形容詞 比較級・最上級
	事後学習	復習/ノート整理。
8	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion12 形容詞の付加語的用法
	事後学習	復習/ノート整理。
9	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion13 再帰代名詞・zu 不定詞のの用法
	事後学習	復習/ノート整理。
10	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion14 関係文(1)
	事後学習	復習/ノート整理。
11	事前学習	前回の復習
	授業内容	Lektion 14 関係文(2)
	事後学習	復習/ノート整理。
12	事前学習	前回の復習
	授業内容	後期内容の復習と応用練習(1) 習熟練習
	事後学習	復習/ノート整理。
13	事前学習	前回の復習
	授業内容	後期内容の復習と応用練習(2) 習熟練習
	事後学習	復習/ノート整理。
14	事前学習	前回の復習
	授業内容	後期内容の復習と応用練習(3) 模擬問題練習(予定)
	事後学習	試験準備学習のこと。
15	事前学習	試験準備学習のこと。
	授業内容	後期試験 筆記及びまとめ、振返り
	事後学習	試験結果の反省。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	安藤 勉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この時間は、ヨーロッパ・ゲルマン語の代表的なドイツ語の成り立ちを学びます。やはりゲルマン語の代表的な英語との関連についても言及したいと思います。ドイツ語を学ぶことにより、英語構造の理解も深まると思います。およそ言語の学習には、その背後にひそむ無量の深みがあるはずです。				
授業目的・到達目標	前期にひきつづき、ゆっくりと文法の段階にしたがい、やさしいドイツ語の文章を理解できることを目標とします。なによりも、ドイツ語を楽しく読める気分を味わおうではありませんか。およそ言語の学習には、その背後にひそむ無量の深みがあるはずです。ドイツについての様々を学びながら、簡潔なドイツ語を読み・書き・話し・聞くことができるようになります。				
履修条件	ドイツ語基礎文法Aを履修した学生が望ましい。				
授業方法	ごくやさしく、目でも楽しめる教科書を用い、授業を進めます。授業の冒頭で必ず前回の復習をします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	出席・学習状況（40%） 試験（60%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	間違いがないように、最初の授業時間の中で、教科書・辞書について詳しく説明します。			
参 考 書	とくに指定はしませんが、辞書などについては、そのつど説明します。				
オフィスアワー	メール（ann16@poem.ocn.ne.jp）にて対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の総復習をしてください。
	授業内容	話法の助動詞
	事後学習	話法の助動詞の意味と用い方を復習してください。
2	事前学習	前回の話法の助動詞について確認してください。
	授業内容	分離動詞
	事後学習	複合的な分離動詞の前つづりと用い方を復習してください。
3	事前学習	前回の分離動詞の特徴を確認してください。
	授業内容	非分離動詞
	事後学習	非分離動詞の用い方を復習してください。
4	事前学習	前回の非分離動詞の前つづりを確認してください。
	授業内容	再帰動詞
	事後学習	再帰の意味について復習してください。

5	事前学習	前回の再帰動詞と再帰代名詞を確認してください。
	授業内容	未来形
	事後学習	とくに未来形の構造を復習してください。
6	事前学習	前回の未来形の用い方を復習してください。
	授業内容	zu不定詞
	事後学習	とくにzu不定詞の語順を復習してください。
7	事前学習	前回のzu不定詞の用法を確認してください。
	授業内容	過去形
	事後学習	過去形の変化を復習してください。
8	事前学習	前回の過去形の用法を確認してください。
	授業内容	完了形
	事後学習	完了形の意味と構造を復習してください。
9	事前学習	前回の完了形の用法を確認してください。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	関係代名詞と動詞の位置について復習してください。
10	事前学習	前回の関係代名詞の用法を確認してください。
	授業内容	受動形
	事後学習	受動形の助動詞と構造について復習してください。
11	事前学習	前回の受動形の用法を確認してください。
	授業内容	分詞
	事後学習	分詞の種類と意味を確認してください。
12	事前学習	前回の分詞の用法を確認してください。
	授業内容	枠構造
	事後学習	ドイツ語文の特徴である枠構造を復習してください。
13	事前学習	前回の枠構造の意味を復習してください。
	授業内容	接続法（1）
	事後学習	事実でないことを述べる接続法の動詞変化を復習してください。
14	事前学習	前回の接続法の用い方を確認してください。
	授業内容	接続法（2）
	事後学習	事実でないことを述べる接続法の動詞変化を復習してください。
15	事前学習	試験のための準備をしてください。
	授業内容	まとめ（授業内試験を予定しています。）
	事後学習	試験のまとめをしてください。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	川上 博子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法の基礎を身につける			
授業目的・到達目標	基礎文法を大系的に学び、簡単なドイツ語の文を作れるようになることを目的とする。大学で初めて学ぶ外国語を楽しみながら学習することができるよう、ドイツ語の基礎となる文法・発音をしっかりと習得することができる。独和辞書を使いこなせるようになる。最終的にドイツ語検定4級レベルの語学力を身につけることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎表現Bも併せて履修すること。独和辞書必携。予習復習を怠らず授業への積極的な参加が求められる。欠席をしないこと。			
授業方法	ドイツ語基礎文法Aの続きの文法を学習する。文法をひとつひとつ段階的に学習する。反復練習を積み重ねながら着実に文法を身につける。確実に習得してほしい事項に関しては小テストを行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	期末テスト。40% 受講態度・積極性・小テスト・発表。20% 検定成績。40%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	朝日出版社	たいむりい	森田悟
	備考			
参考書	必要に応じ紹介する			
オフィスアワー	授業の前後とする。授業中でも質問を受け付ける。 h.kawakami18@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	単語と数字の発音を復習しておくこと。
	授業内容	20以上の数字、時刻の表現について学習する。
	事後学習	数字、時刻の表現を確実に覚えること。
2	事前学習	前置詞を復習しておくこと。
	授業内容	6課 前置詞、接続詞について学習する。 3格4格支配の前置詞、接続詞の種類と文の構造 練習問題P24 I / II
	事後学習	3格4格支配の前置詞、接続詞を覚えること。副文の作り方を復習する。
3	事前学習	練習問題P28 II 辞書を使って予習しておくこと。
	授業内容	7課 話法の助動詞、未来形について学習する。―助動詞構文の構造― 練習問題P28 II
	事後学習	助動詞の人称変化と意味と助動詞構文の構造を確実に覚える。
4	事前学習	練習問題P28 I 辞書を使って予習しておくこと。
	授業内容	7課 分離する動詞と分離しない動詞について学習する。 ―ドイツ語の特徴：重要なものは文末に置かれる― 練習問題P28 I
	事後学習	分離動詞を使った文の構造（助動詞構文と同じ）を確実に覚える。

5	事前学習	練習問題P32Ⅰ辞書を使って予習しておくこと。
	授業内容	8課 zu不定詞の用法について学習する。―zuは動詞を変身させる!― 練習問題P28Ⅰ辞書を使って予習しておくこと。
	事後学習	zu不定詞の用法について復習する。
6	事前学習	定冠詞の変化を復習しておくこと。 練習問題P32Ⅱ辞書を使って予習しておくこと。
	授業内容	8課 形容詞の付加語的用法について学習する。 練習問題P32Ⅱ
	事後学習	形容詞の変化を復習する。
7	事前学習	練習プリントを予習してくること。
	授業内容	疑問詞、前置詞、語順、話法の助動詞、分離動詞の練習
	事後学習	出来なかった問題を復習する。
8	事前学習	これまでの練習問題を復習する。
	授業内容	テスト・検定試験のための練習 9課 形容詞の比較表現について学習する。練習問題P36Ⅱ
	事後学習	形容詞の比較表現を復習する。
9	事前学習	人称代名詞の変化を確認しておくこと。 練習問題P36Ⅰ辞書を使って予習しておくこと。
	授業内容	9課 再帰表現について学習する。―主語と目的語が同じものを表わす表現― 練習問題P36Ⅰ
	事後学習	再帰動詞を復習する。
10	事前学習	動詞の現在人称変化を復習しておくこと。
	授業内容	10課 動詞の三基本形と過去形について学習する。―過去のことを言うときの表現Ⅰ―
	事後学習	動詞の三基本形と過去形の人称変化を確実に覚える。
11	事前学習	動詞の過去分詞を復習しておくこと。
	授業内容	11課 現在完了形について学習する。―過去のことを言うときの表現Ⅱ― 受動態について学習する。―「～される」の表現―
	事後学習	現在完了形と受動態の文を復習する。
12	事前学習	動詞の三基本形を復習しておくこと。
	授業内容	過去形と現在完了形の練習問題
	事後学習	過去形と現在完了形を復習する。
13	事前学習	定冠詞の変化を確認しておくこと。
	授業内容	12課 関係代名詞について学習する。―名詞を修飾する関係文について― 接続法の作り方、使い方について学習する。
	事後学習	関係文のつくり方を復習する。
14	事前学習	練習プリントを文法を復習しながらやってくること。
	授業内容	後期のまとめと練習 質問など個別指導
	事後学習	練習プリントのできなかった箇所をもう一度練習する。
15	事前学習	過去形、現在完了形、zu不定詞、受動態、関係文の復習をすること。
	授業内容	期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	出来なかったところを復習すること。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	川尻 竜彰	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を通してドイツならびにヨーロッパに対する知識や理解を深め、異なるものの見方や価値観、幅広い視野・思考を養います。				
授業目的・到達目標	ドイツ語文法の大まかな基礎を固め、「読む・書く・聞く・話す」という語学の4つ能力をバランスよく身につける事を目標としている。既習の英語と比較しながら、わかりやすい授業を心がけるつもりである。ドイツ語検定4級に合格出来るようになる。				
履修条件	冬期ドイツ語技能検定試験を受験すること。				
授業方法	2時間に1課のペースで進み、最初の1時間を文法説明、次の1時間を練習問題に当てる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	試験 70% 小テスト 10% 授業時発表 10% 授業参加度 10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	同学社		『ドイツ語なんて怖くない』	西村祐子
	備考				
参考書	授業中に指示する				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期範囲の文法事項を整理しておくこと
	授業内容	ガイダンス 前期の復習、前期試験の総評。
	事後学習	特に定冠詞の格変化をもう一度復習しておくこと。
2	事前学習	不定詞と定動詞の違いをもう一度確認すること。
	授業内容	第8課 話法の助動詞、命令法について。話法の助動詞の人称変化と様々な意味について学ぶ
	事後学習	課題に出された文章を話法の助動詞を使って書き換えてくること。
3	事前学習	教科書53ページを予習しておくこと。
	授業内容	第8課 練習問題 助動詞構文は枠構造になることを学ぶ。
	事後学習	課題に出された文章を命令法に書き換えてくること。
4	事前学習	教科書55～56ページの表と定冠詞類の表を比べてみること。
	授業内容	第9課 形容詞の用法。複合動詞について。分離動詞は一種の枠構造を形作ることを学ぶ。
	事後学習	与えられた分離動詞を使って文章を作ってみること。

5	事前学習	教科書59ページを予習しておくこと。
	授業内容	第9課 練習問題
	事後学習	よく出てくる分離動詞前つづりの意味に習熟すること。
6	事前学習	人称代名詞を復習しておくこと
	授業内容	第10課 再帰動詞・再帰代名詞、zu不定詞（句）について。「再帰」とは何かを学ぶ。
	事後学習	zu不定詞の様々な用法を整理しておくこと。
7	事前学習	教科書65ページを予習しておくこと。
	授業内容	第10課 練習問題 3人称だけは再帰代名詞がsichになることに注意して問題を解いていく
	事後学習	教科書60ページの再帰動詞を使って文章を作ってみること。
8	事前学習	教科書55～56ページの形容詞の用法について復習しておくこと
	授業内容	第11課 形容詞と副詞の比較級について。比較の様々な用法について学ぶ。
	事後学習	よく出てくる形容詞とその反対語を覚えること。
9	事前学習	教科書69ページを予習しておくこと。
	授業内容	第11課 練習問題 比較級・最上級が付加語的に使われた場合の語尾変化に注意して問題を解いていく
	事後学習	序数を覚えておくこと。
10	事前学習	現在人称変化を復習しておくこと
	授業内容	第12課 動詞の3基本形および過去人称変化。 3基本形とは何かについて学ぶ。
	事後学習	課題に出された動詞の3基本形、過去人称変化を練習しておくこと。
11	事前学習	教科書73ページを予習しておくこと。
	授業内容	第12課 練習問題 3基本形の作り方を復習しつつ問題を解いていく
	事後学習	規則動詞の3基本形のパターンを完全に覚えておくこと。
12	事前学習	habenおよびseinの現在人称変化を復習しておくこと
	授業内容	第13課 完了形の作り方とその用法。分詞について。完了形も枠構造になることを学ぶ。
	事後学習	課題に出された文章を現在完了形に書き換えてくること。
13	事前学習	教科書79ページを予習しておくこと。
	授業内容	第13課 練習問題 過去形との違いを確認しつつ問題を解いていく
	事後学習	完了形、話法の助動詞、分離動詞はすべて枠構造であることを理解すること。
14	事前学習	格変化に関係するもの（冠詞類、形容詞、前置詞）を特に整理しておくこと。
	授業内容	まとめ。
	事後学習	問題に出てくる単語の変化や性別を覚えておくこと。
15	事前学習	指定された範囲の文法事項を把握しておくこと
	授業内容	試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	わからなかった問題を必ず確認して復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	河田 一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では初級ドイツ語文法をわかりやすく、丁寧に指導を行う。				
授業目的・到達目標	ドイツ語の初級文法と簡単な会話をマスターする。ドイツ語検定5・4級合格出来るようになる。				
履修条件	ドイツ語が初めての場合は、そのほかの初級文法の授業も履修することが望ましい。				
授業方法	テキストに沿って文法事項を確認しつつ、ゆっくり丁寧に授業を進める。クラシック音楽の紹介を兼ね、音楽をバックに文法と会話を優雅に極めていただきたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業への積極的な参加・授業内テスト	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	三修社		ドイツ語ルネサンス【第3版】	本郷、佐藤ほか
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の内容を確認しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
2	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	話法の助動詞Ⅱ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
3	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	形容詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
4	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	副詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。

5	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	分離動詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
6	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	動詞の3基本形と過去形
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
7	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	現在完了形
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
8	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
9	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	受動態
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
10	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	zu不定詞
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
11	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	接続法
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
12	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	総合問題Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
13	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	総合問題Ⅱ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
14	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	総合問題Ⅲ
	事後学習	授業内容を確認し、ポイントを整理しておくこと。
15	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	心静かに、一年の学習を振り返る。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	黒瀬 志保	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初級文法を学習する。					
授業目的・到達目標	ドイツ語の初級文法を習得して、ドイツ語の文章を理解し、運用するための基礎を身につけることを目標とする。 動詞・助動詞の人称変化、名詞と冠詞類・代名詞の格変化、語順を覚え、ドイツ語の文を組み立てられるようになる。 ドイツ語技能検定試験（独検）4級に合格するための基礎を身につける。					
履修条件	特になし。 ドイツ語技能検定試験の受験を奨励する。					
授業方法	教科書に沿って文法説明をした後、練習問題を宿題とし、次の授業で確認する。発音練習も適宜行う。また、基本的な語形変化を覚えるための小テストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常点（学習態度、小テスト、課題、独検）40%、授業内試験60% 原則として出席が2/3に満たない場合は単位は認めない。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	第三書房		ゲナウ！ グラマティック ノイ		新倉真矢子 他
	備考					
参考書	授業中に適宜紹介する。					
オフィスアワー	初回授業でメールアドレスを公開する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツ語基礎文法Aの復習
	授業内容	ガイダンス ドイツ語基礎文法A学習事項の復習
	事後学習	ドイツ語基礎文法Aの文法項目のまとめ
2	事前学習	教科書 3 9 ～ 4 1 ページの講読
	授業内容	話法の助動詞・未来形
	事後学習	教科書 4 2 ページの練習問題
3	事前学習	教科書 4 6 ページの講読
	授業内容	再帰代名詞・再帰動詞
	事後学習	教科書 4 7 ページの練習問題Ⅲ
4	事前学習	教科書 4 9 ページの講読
	授業内容	分離動詞・非分離動詞
	事後学習	教科書 5 2 ページの練習問題Ⅰ

5	事前学習	教科書 5 0 ～ 5 1 ページの講読
	授業内容	zu不定詞・従属の接続詞
	事後学習	教科書 5 2 ページの練習問題Ⅱ
6	事前学習	教科書 5 4 ～ 5 5 ページの講読
	授業内容	動詞の3基本形（Ⅰ）・過去形
	事後学習	教科書 5 7 ページの練習問題Ⅰ
7	事前学習	教科書 5 6 ページの講読
	授業内容	現在完了形
	事後学習	教科書 5 7 ページの練習問題Ⅱ
8	事前学習	教科書 5 9 ～ 6 0 ページの講読
	授業内容	3基本形（Ⅱ）
	事後学習	教科書 6 2 ページの練習問題Ⅰ
9	事前学習	教科書 6 0 ～ 6 1 ページの講読
	授業内容	受動態
	事後学習	教科書 6 2 ページの練習問題Ⅱ
10	事前学習	教科書 6 4 ～ 6 6 ページの講読
	授業内容	形容詞の変化・比較
	事後学習	教科書 6 8 ページの練習問題Ⅰ
11	事前学習	教科書 6 6 ～ 6 7 ページの講読
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	教科書 6 8 ページの練習問題Ⅱ
12	事前学習	教科書 7 0 ～ 7 1 ページの講読
	授業内容	接続法第Ⅰ式
	事後学習	教科書 7 3 ページの練習問題Ⅰ
13	事前学習	教科書 7 1 ～ 7 2 ページの講読
	授業内容	接続法第Ⅱ式
	事後学習	教科書 7 3 ページの練習問題Ⅱ
14	事前学習	プリントの練習問題
	授業内容	復習
	事後学習	プリントの復習
15	事前学習	教科書 3 9 ～ 7 3 ページの復習
	授業内容	授業内試験
	事後学習	文法項目の再チェック

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学習する方を対象とした、初級文法の授業である。ドイツ語技能検定試験(独検)の5級と4級の出題内容を踏まえて、受験のアドバイスもする。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語文法の基礎と、基礎的な語彙を習得することを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の初級文法を十分に理解し、基本語彙を身につけることができるようになる。				
履修条件	・1年生は「ドイツ語基礎表現」も今年度中に受講すること(私以外の先生の授業でもよい)。 ・ドイツ語技能検定試験(独検)をなるべく受験すること。				
授業方法	文法事項の説明、問題練習、小テスト(単語テストを含む)、例文の音読、リスニングの練習などを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点: 40% 試験: 60%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	朝日出版社		ドイツ語の時間<話すための文法>(web練習問題付)	清野智昭
	2010年	第三書房		新・独検合格 単語+熟語1800	在間進ほか
	備考				
参考書	授業では使用しないが、自習用問題集を必要とする場合には、森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)を勧めたい。				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習内容について、あらためて十分に時間をかけて確認しておくこと。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
2	事前学習	前期に学習した動詞の人称変化の知識が必要になるため、よく復習しておくこと。
	授業内容	第7課② 分離動詞
	事後学習	分離動詞は英語に無い発想なので、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
3	事前学習	前期に学習した動詞の現在人称変化について、もう一度確かめてから授業にのぞむこと。英語の助動詞がどうだったか、思い出しておくこと。
	授業内容	第7課③ 話法の助動詞
	事後学習	助動詞について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
4	事前学習	配布する筆記試験の問題を自宅で解いてから授業に来ること。授業では筆記の解説とリスニングの問題を扱う予定である。
	授業内容	独検4級問題に挑戦
	事後学習	間違えた問題は、どうして間違えたか、よく検討すること。正解した問題についても、次に同じような問題が出て正解となるよう、繰り返し解いてみること。

5	事前学習	新たに学ぶ第8課の内容について、あらかじめ目を通しておくこと。
	授業内容	第8課① 三基本形、過去形
	事後学習	三基本形と過去形について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
6	事前学習	三基本形について、よく復習してから授業にのぞむこと。また、第2課で学習したhabenとseinの現在人称変化も、この授業が始まる前までに、絶対に覚えておくこと。
	授業内容	第8課② 現在完了形
	事後学習	現在完了形について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
7	事前学習	第2課で学習したwerdenの現在人称変化を、この授業が始まる前までに、絶対に覚えておくこと。過去分詞についての知識を整理しておくこと。
	授業内容	第8課③ 受動態
	事後学習	受動態について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
8	事前学習	定冠詞(類)・不定冠詞(類)の格変化について、十分に復習してから授業に来ること。新たな学習事項について、少し目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	第9課(前半) 形容詞の格変化
	事後学習	形容詞の表を見て格変化ができるように、ルールをよく復習しておくこと。
9	事前学習	前回学習した形容詞の格変化語尾について、復習しておくこと。新たな学習事項について、少し目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	第9課(後半) 比較級と最上級
	事後学習	比較級と最上級について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
10	事前学習	定冠詞の格変化を十分に復習してから授業にのぞむこと。新たに学ぶ関係代名詞について、少し目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	第10課(前半) 関係代名詞
	事後学習	関係代名詞について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
11	事前学習	過去形の作り方、過去形の人称変化について、復習しておくこと。新たに学ぶ接続法について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 接続法(前半)
	事後学習	接続法について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
12	事前学習	過去形の作り方、過去形の人称変化について、復習しておくこと。新たに学ぶ接続法について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 接続法(後半)
	事後学習	接続法について、十分に復習すること。指示された宿題をしておくこと。
13	事前学習	これまでの学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認する。
	授業内容	これまでの学習内容の復習1
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
14	事前学習	これまでの学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認する。
	授業内容	これまでの学習内容の復習2
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	後期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	佐藤 英	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語を初めて学ぶ学生が、ドイツ語文法の基礎を学習する授業である。授業では、ドイツ語技能検定試験(独検)の5級と4級の出題内容を踏まえて、受験のアドバイスも行う。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語文法の基礎を習得することを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の初級文法を十分に理解し、基本語彙も身につけることができる。			
履修条件	・1年生は「ドイツ語基礎表現」も今年度中に受講すること。 ・ドイツ語技能検定試験(独検)をなるべく受験すること。			
授業方法	文法事項の説明、問題練習、小テスト(単語テストを含む)、例文の音読、リスニングの練習などを行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点(小テスト・宿題・授業態度等): 40% 試験: 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	白水社	ブロムナード やさしいドイツ語	荻野耕平ほか
	備考			
参考書	『新・独検合格 単語+熟語1800』(第三書房、2010年)			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習内容について、あらためて十分に時間をかけて確認しておくこと。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
2	事前学習	第9課の学習事項について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 話法の助動詞
	事後学習	助動詞の変化表とそれぞれの機能について、十分に復習すること。
3	事前学習	第10課の動詞の3基本形について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 動詞の3基本形、過去形
	事後学習	動詞の3基本形について、十分に復習すること。
4	事前学習	前回の学習事項を復習しておくこと。第10課の過去形について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 動詞の3基本形、過去形
	事後学習	第10課の学習内容について、十分に復習すること。

5	事前学習	第10課の動詞の3基本形について復習しておくこと。第11課の現在完了形について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 現在完了形、受動文
	事後学習	現在完了形について、十分に復習すること。
6	事前学習	第10課の現在完了形について復習しておくこと。第11課の受動文について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 現在完了形、受動文
	事後学習	第11課の学習内容について、十分に復習すること。
7	事前学習	前期で学習した第3課と第4課の復習をしておくこと。第12課の形容詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 形容詞、比較表現
	事後学習	形容詞の格変化について、一覧表の使い方がわかるようにしておくこと。
8	事前学習	第12課の比較表現について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 形容詞、比較表現
	事後学習	第12課の学習内容について、十分に復習すること。
9	事前学習	第13課の再帰代名詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第13課 再帰代名詞、zu不定詞
	事後学習	再帰代名詞について、十分に復習すること。
10	事前学習	第13課のzu不定詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第13課 再帰代名詞、zu不定詞
	事後学習	第13課の学習内容について、十分に復習すること。期末テストに備えて、第8課から第12課の学習内容についても、復習すること。
11	事前学習	第14課の関係代名詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第14課 関係代名詞、接続法
	事後学習	関係代名詞について、十分に復習すること。期末テストに備えて、第8課から第13課の学習内容についても、復習すること。
12	事前学習	第14課の接続詞について、少し目を通しておくこと。
	授業内容	第14課 関係代名詞、接続法
	事後学習	第14課の学習内容について、十分に復習すること。期末テストに備えて、第8課から第13課の学習内容についても、復習すること。
13	事前学習	後期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	これまでの復習1
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
14	事前学習	後期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	これまでの復習2
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	後期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級ドイツ語のインテンシブ・クラスです。在学中のドイツ語圏への短期研修・長期留学・将来 ドイツ語で仕事をする ことを目指している学生さんを対象とします。				
授業目的・ 到達目標	初級ドイツ語文法の習得。CEFR A1-1レベルの読解・聞き取り・作文・会話能力の養成。 ドイツ語圏における滞在に通用 するドイツ語能力の 育成を目標とするクラスです。独検4級・3級及びCEFR A1-1終了レベルのドイツ語力の養成を目標と します。 学習した文法事項を踏まえ、身近なテーマについて読み・聞 き・書き・会話ができるようになることが目標で す。				
履修条件	木曜 1 時限目 ドイツ語基礎表現B（真道）を同時に受講すること。 授業に積極的に参加すること。 木曜 1 時限目ドイツ語基礎表現B（真道）に登録すると、自動的に本授業に登録されます。				
授業方法	文法説明はできるだけわかりやすくします。練習問題、会話練習等を行いながら、実際に学んだ文法の知識を実践できる ようにしてゆきます。参加型授業です。ほぼ毎回小テストを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	検定試験の結果及び授業内試験50%、授業参加態度15%、提出物15%、小テスト20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008	同学社		ドイツ文法・1 0 0 語の世界	清水 薫
	2005	cornelsen		studio d A1 Kurs- und Übungsbuch	Hermann Funk
	備考	ドイツ語1（木1）と共通教科書です。			
参 考 書	独和辞典（授業中に説明します） その他の参考書については、授業中に紹介します。				
オフィス アワー	火曜日 昼休み 研究室（4 号館 4 2 4 研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認 教材準備 文法・語彙復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	文法・語彙復習
2	事前学習	独検 4 級・3 級過去問
	授業内容	独検 4 級・3 級解説 11課 時刻 分離動詞 非分離動詞 Lektion 7 Berufe 1
	事後学習	11課 / Lektion 7 練習問題
3	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 1 9 12課 再帰動詞 接続詞 Lektion 7 Berufe 3
	事後学習	12課 / Lektion 7 練習問題
4	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト 2 1 13課 動詞の3基本形 過去人称変化 Lektion 8 Berlin sehen 1
	事後学習	13課 / Lektion 8 練習問題

5	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト2 3 14課 完了形 zu不定詞 Lektion 8 Berlin sehen 3
	事後学習	14課 / Lektion 8 練習問題
6	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト2 5 15課 受動態 分詞 Lektion 9 Ferien und Urlaub 1
	事後学習	15課 / Lektion 9 練習問題
7	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト2 7 16課 関係代名詞 指示代名詞 Lektion 9 Ferien und Urlaub 3
	事後学習	16課 / Lektion 9 練習問題
8	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト2 9 17課 接続法 Lektion 10 Essen und trinken 1
	事後学習	17課 / Lektion 10 練習問題
9	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト3 1 文法復習 1 Lektion 10 Essen und trinken 3
	事後学習	Lektion 10 練習問題
10	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト3 3 文法復習 2 Lektion 11 Kleidung und Wetter 1
	事後学習	Lektion 11 練習問題
11	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト3 5 文法復習 3 Lektion 11 Kleidung und Wetter 3
	事後学習	Lektion 11 練習問題
12	事前学習	小テスト準備
	授業内容	小テスト3 7 文法復習 4 Lektion 12 Körper und Gesundheit 1
	事後学習	Lektion 12 練習問題
13	事前学習	作文練習
	授業内容	文法復習 5 Lektion 12 Körper und Gesundheit 3
	事後学習	Lektion 12 練習問題
14	事前学習	期末試験準備
	授業内容	期末試験 筆記試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価
15	事前学習	期末試験準備
	授業内容	期末試験 口述試験及びまとめ、振返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語基礎文法の習得と独検 5 級及び 4 級対策			
授業目的・到達目標	初級ドイツ文法の習得。 前期は独検 5 級、後期は4級レベルのドイツ語能力の養成を目標とします。 簡単な日常会話の練習をしてゆく中で、基礎文法の応用ができるようになること、ドイツを読んで基礎文法について説明ができるようになることが目的です。			
履修条件	ドイツ語基礎表現ABを同時に受講すること。			
授業方法	文法説明はできるだけわかりやすくします。練習問題、会話練習等を行いながら、実際に学んだ文法の知識を実践できるようにしてゆきます。参加型授業です。ほぼ毎回小テストを行います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	試験50% 検定試験結果は加点します 平常点(授業参加態度、提出物、小テスト)50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008	同学社	ドイツ文法・100語の世界	清水 薫
	備考			
参考書	独和辞典（授業中に説明します） その他の参考書については、授業中に紹介します。			
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認 文法・語彙復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材準備 文法・語彙復習
2	事前学習	独検 4 級過去問
	授業内容	独検 4 級過去問解説 Lektion 9 形容詞の格語尾 序数
	事後学習	Lektion 9 練習問題
3	事前学習	小テスト 13 試験準備
	授業内容	小テスト 13 Lektion 10 比較変化
	事後学習	Lektion 10 練習問題
4	事前学習	小テスト 14 試験準備
	授業内容	小テスト 14 Lektion 10 非人称表現 不定代名詞
	事後学習	Lektion 10 練習問題

5	事前学習	小テスト15試験準備
	授業内容	小テスト15 Lektion 11 時刻 分離動詞
	事後学習	Lektion 11 練習問題
6	事前学習	小テスト16試験準備
	授業内容	小テスト16 Lektion 11 非分離動詞
	事後学習	Lektion 11 練習問題
7	事前学習	小テスト17試験準備
	授業内容	小テスト17 Lektion 12 再帰動詞
	事後学習	Lektion 12 練習問題
8	事前学習	小テスト18試験準備
	授業内容	小テスト18 Lektion 12 接続詞
	事後学習	Lektion 12 練習問題
9	事前学習	小テスト19試験準備
	授業内容	小テスト19 Lektion 13 動詞の3基本形 過去人称変化
	事後学習	Lektion 13 練習問題
10	事前学習	小テスト20試験準備
	授業内容	小テスト20 Lektion 14 完了形 zu不定詞
	事後学習	Lektion 14 練習問題
11	事前学習	小テスト21試験準備
	授業内容	小テスト21 Lektion 15 受動 分詞
	事後学習	Lektion 15 練習問題
12	事前学習	小テスト22試験準備
	授業内容	小テスト22 Lektion 16 関係代名詞 指示代名詞
	事後学習	Lektion 16 練習問題
13	事前学習	小テスト23試験準備
	授業内容	小テスト23 Lektion 17 接続法
	事後学習	Lektion 17 練習問題
14	事前学習	小テスト24試験準備
	授業内容	小テスト24 総まとめ
	事後学習	文法・語彙復習
15	事前学習	試験準備
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	鈴木 満	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「理解力」「暗記」「継続」の大切さを確認しながらドイツ語を学びます。				
授業目的・到達目標	ドイツ語を読み・書き・聞き・話すための基礎学力の習得、特に「正確に書くこと」、およびドイツ語検定試験４級合格を目的とします。 ドイツ語圏の文化を自分で調べることができるようになります。				
履修条件	ドイツ語を初めて学ぶ１年生が対象ですが４年生の受講は認めます。人数によって２年生・３年生も受講できることがあります。				
授業方法	不定期に小テストを行い、これが平常点に加味されます。授業の復習が必須です。検定試験に合格するための自習も必要です。受講生の数などによって授業の進め方を決めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト・検定試験結果も含む。出席不良、私語が多い、辞書がない、復習が著しく不十分、不正行為（小テストでも）があった場合などは学期途中でも不合格となります。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	白水社	ブロムナード やさしいドイツ語文法		荻原耕平 山崎泰孝
	備考				
参考書	辞書（アポロン独和辞典・クラウン独和辞典など）				
オフィスアワー	suzuki.mitsuru11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習事項を見直しておく
	授業内容	後期ガイダンス 前期の復習
	事後学習	発音（単語の読み方）、定冠詞・不定冠詞、sein / haben の変化などを覚えなおす
2	事前学習	前回の学習事項の復習
	授業内容	分離動詞・非分離動詞 従属接続詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
3	事前学習	授業2回目の復習
	授業内容	話法の助動詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
4	事前学習	授業2回目～3回目の復習
	授業内容	未来推量の助動詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる

5	事前学習	授業 2 回目～ 4 回目の復習
	授業内容	3 基本形（前期の続き） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
6	事前学習	授業 2 回目～ 5 回目の復習
	授業内容	過去形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
7	事前学習	授業 2 回目～ 6 回目の復習
	授業内容	現在完了形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
8	事前学習	授業 2 回目～ 7 回目の復習
	授業内容	受動文 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
9	事前学習	授業 2 回目～ 8 回目の復習
	授業内容	形容詞の変化 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
10	事前学習	授業 2 回目～ 9 回目の復習
	授業内容	比較表現 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
11	事前学習	授業 2 回目～ 1 0 回目の復習
	授業内容	再帰表現 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
12	事前学習	授業 2 回目～ 1 1 回目の復習
	授業内容	zu 不定詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
13	事前学習	授業 2 回目～ 1 2 回目の復習
	授業内容	関係代名詞 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
14	事前学習	授業 2 回目～ 1 3 回目の復習
	授業内容	接続法 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記
15	事前学習	後期学習事項の総復習
	授業内容	後期の総括・総合復習 確認テスト
	事後学習	確認テストで学習不足の点を重点的に復習

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	中村 毅	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法学部の各学科における、教育研究上の目的に則り、欧州を牽引する中心的な存在の国ドイツ連邦共和国やオーストリア及びスイスで使用されている「ドイツ語」の基礎的運用能力を身につける授業おこなう。前期と後期の各15週にわたり、演習形式で動詞の用法や運用について、後学期は話法の助動詞や過去を表現できる完了形、受動文及び要求や仮定を表現する「接続法」の形態を、演習形式で学ぶ。使用教科書のweb練習問題も活用する。					
授業目的・到達目標	ドイツ語を初めて学ぶ学生や上級生でも基本的なドイツ語文法を確実に学ぶことで、異文化理解の基礎となる能力を身につけることを目的とする。ドイツ語で書かれた原書講読やインターネット上での内容を理解するために必要なドイツ語の知識を学ぶ。前学期は、動詞の現在人称変化、文章の構成（主語と定動詞の位置や語順）等を学び、ドイツ語検定4級程度を目標とする。後学期は前綴りを持つ動詞の運用や6時称の判別及び受動文や接続法の運用が出来る。					
履修条件	授業方法および単元の未学習や欠落防止の為、原則として前学期の担当で受講することを望む。					
授業方法	教科書を中心に授業をすすめるが、プリントや教科書会社運用のweb練習問題なども利用し、演習形式で実施する。レポート提出もあるので注意すること。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		受講態度・授業参画度等〔10%〕及びレポート〔30%〕後学期の授業内テスト〔60%〕	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年度	朝日出版社		ドイツ語の時間〈話すための文法〉web練習問題付		清野 智昭
	備考					
参考書	後学期第1回の授業時間に指示する					
オフィスアワー	電子メール（第1回の授業で公表する）。ただし授業前後の休み時間も可（講師室）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期授業内試験の学習内容で理解不明な点を教科書及び教科書会社のweb上の説明や練習問題で復習しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション・前学期の復習
	事後学習	前期授業内試験の学習内容で理解不明な点を教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で復習しておくこと。
2	事前学習	「定冠詞と不定冠詞」が基本となるので、再度学習内容を確認しておくこと。
	授業内容	定冠詞類の用法（定冠詞類・不定冠詞類）と名詞の否定の表現
	事後学習	定冠詞類（定冠詞類・不定冠詞類）と否定冠詞の配布プリントで練習すること。
3	事前学習	定冠詞類（定冠詞類・不定冠詞類）と否定冠詞の配布プリントを提出すること。教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	zu不定詞とzuの無い不定詞
	事後学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で復習しておくこと。
4	事前学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	前綴りを持つ動詞（分離動詞・非分離動詞・分離非分離動詞）
	事後学習	前綴りを持つ動詞（分離・非分離）の配布プリントで復習すること。

5	事前学習	前綴りを持つ動詞（分離・非分離動詞）のレポート提出すること。
	授業内容	梓構造の文（話法の助動詞〔接続法を含む〕と未来形・使役動詞）
	事後学習	話法の助動詞〔接続法を含む〕をCDで発音練習すること。
6	事前学習	過去形及び完了形の形態を教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	6時称と三基本形
	事後学習	三基本形の配布プリントで復習すること。
7	事前学習	三基本形の配布プリント提出。教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	過去人称変化（規則変化・不規則変化動詞）完了形の形態と用法
	事後学習	教科書の練習問題で復習すること。
8	事前学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	受動の表現（動作受動と状態受動）
	事後学習	教科書の練習問題で復習すること。
9	事前学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	形容詞の付加語的用法（日付の表現を含む）と名詞化及び形容詞や副詞の比較表現
	事後学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で復習すること。
10	事前学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	関係代名詞の文と指示代名詞と3種類の命令形
	事後学習	命令文の作り方を教科書の練習問題で復習すること。
11	事前学習	教科書会社のweb上の説明や既学習の「形容詞の用法」を教科書で予習しておくこと。
	授業内容	非人称動詞の表現とes
	事後学習	配布されたプリントで復習すること。
12	事前学習	教科書会社のweb上の説明や既学習の「形容詞の用法」を教科書で予習しておくこと。
	授業内容	分詞（現在分詞・過去分詞・未来分詞）
	事後学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で復習すること。
13	事前学習	教科書会社のweb上の説明や教科書の練習問題で予習しておくこと。
	授業内容	接続法の種類と用法（1）
	事後学習	配布されたプリントで復習すること。
14	事前学習	教科書会社のweb上の説明や教科書で予習しておくこと。
	授業内容	接続法の種類と用法（2）と後学期学習内容のまとめ
	事後学習	配布されたプリントで復習すること。
15	事前学習	後学期学習内容を確認し、教科書会社のweb上の説明や教科書で予習しておくこと。
	授業内容	授業（試験と振り返り）
	事後学習	初級ドイツ語の文法事項を全体として把握し、中級ドイツ語への準備をしておくこと。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	三浦 美紀子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文法説明のあと、受講者は各自辞書を引いて練習問題を解き、理解できたかどうかCDを聞いて確認しながら進めて、初級文法をすべて概観する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 練習を重ねて例文を覚え、基本的な文法事項と正しい発音を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ドイツ語の初級文法全般を身につけ、中級に進む準備をととのえることができるようになる。				
履修条件	必ず、独和辞典持参で出席すること。				
授業方法	教科書とCDを用いての演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常点（受講態度と授業に対する積極性）30% 期末に実施する授業内試験 70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	三修社		CD付き 気分はドイツ	本郷建治、佐藤彰、他
	備考				
参 考 書	指定しない				
オフィスアワー	木曜日17時50分～18時20分、10号館2階ロビー（事前に必ず授業に出席してアポイントメントを取ること）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	40ページに目を通す
	授業内容	第8課 過去形
	事後学習	41ページの復習
2	事前学習	39、42、43ページに目を通す
	授業内容	第9課 現在完了形（1）
	事後学習	39、42、43ページの復習
3	事前学習	42、43ページに再度目を通す
	授業内容	第9課 （2）
	事後学習	44ページの復習
4	事前学習	48ページに目を通す
	授業内容	第10課 分離動詞
	事後学習	49ページの復習

5	事前学習	50～52ページに目を通す
	授業内容	第11課 形容詞の用法
	事後学習	53ページの復習
6	事前学習	54ページに目を通す
	授業内容	第12課 再帰動詞
	事後学習	56ページ前半の復習
7	事前学習	55ページに目を通す
	授業内容	第12課 esの用法
	事後学習	56ページ後半の復習
8	事前学習	57ページに目を通す
	授業内容	第13課 関係代名詞 (1)
	事後学習	57ページの復習
9	事前学習	再度、57ページに目を通す
	授業内容	第13課 (2)
	事後学習	58ページの復習
10	事前学習	59～60ページに目を通す
	授業内容	第14課 受動 (1)
	事後学習	59～60ページの復習
11	事前学習	再度、59ページに目を通す
	授業内容	第14課 (2)
	事後学習	61ページの復習
12	事前学習	64～66ページに目を通す
	授業内容	第15課 接続法 (1)
	事後学習	64～66ページの復習
13	事前学習	再度64～66ページに目を通し、自分の言葉でまとめてみる
	授業内容	第15課 (2)
	事後学習	67ページの復習
14	事前学習	68ページに目を通す
	授業内容	第16課 分詞、zu不定詞
	事後学習	69ページの復習
15	事前学習	後学期で学習したことの総復習
	授業内容	後学期末 授業内試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	分からなかった箇所、間違えた箇所の再確認

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	森田 悟	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎を学び、あわせてドイツの文化について知りたい			
授業目的・到達目標	ドイツ語の基礎を学びながら現在のドイツについても考えていきたいと思いますドイツ語の基礎理解に必要な文法の後半部分を学習			
履修条件	学部の規定による。			
授業方法	講義形式ですが、毎回練習や質問ができるようにしたいと思います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	平常授業の学習、授業内試験の結果で評価します。原則として80パーセン以上の出席も必要です。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	白水社	ブロムナードやさしいドイツ語文法	萩原耕平、山崎泰孝
	備考			
参 考 書	辞書、参考書等は必要に応じて指示します。			
オフィスアワー	授業終了後（ただし、できる限り事前に申し出ること）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	後半の学習のためのガイダンス、前半の確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
2	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	前半の学習の確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
3	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	分離動詞、接続詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
4	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	動詞の3基本形、過去
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

5	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	動詞の3基本形、過去
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
6	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	現在完了、受動
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
7	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	現在完了、受動
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
8	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	形容詞、比較
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
9	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	形容詞、比較
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
10	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	再帰代名詞、zu不定詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
11	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	再帰代名詞、zu不定詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
12	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
13	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	接続法
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
14	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	授業内試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
15	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	補足
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	森田 悟	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基礎を学び、あわせてドイツの文化について知りたい					
授業目的・到達目標	ドイツ語の基礎を学びながら現在のドイツについても考えていきたいと思いますドイツ語の基礎理解に必要な文法の後半部分を学習					
履修条件	学部の規定による。					
授業方法	講義形式ですが、毎回練習や質問ができるようにしたいと思います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常授業の学習、授業内試験の結果で評価します。原則として80パーセン以上の出席も必要です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	白水社		ブロムナードやさしいドイツ語文法		萩原耕平、山崎泰孝
	備考					
参考書	辞書、参考書等は必要に応じて指示します。					
オフィスアワー	授業終了後（ただし、できる限り事前に申し出ること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	後半の学習のためのガイダンス、前半の確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
2	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	前半の学習の確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
3	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	分離動詞、接続詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
4	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	動詞の3基本形、過去
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

5	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	動詞の3基本形、過去
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
6	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	現在完了、受動
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
7	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	現在完了、受動
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
8	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	形容詞、比較
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
9	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	形容詞、比較
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
10	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	再帰代名詞、zu不定詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
11	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	再帰代名詞、zu不定詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
12	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
13	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	接続法
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
14	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	授業内試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
15	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	補足
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	山崎 良介	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本的なドイツ文法の知識を体系的に概観しながら、簡単な表現を自分のことばとして確実に学習できるようにする。表現練習を通じて、学習した文法事項を実践的な表現力として生かせるようにする。			
授業目的・到達目標	ドイツ文法を基礎に「読む」「書く」「聞く」「話す」「感じる」の5技能を総合的に学習し、ドイツ語・ドイツ語圏の文化について理解を深める。確かなドイツ文法力を身につけることを目的とする。それにもとづきドイツ語検定試験4級が合格できるようになる。			
履修条件	特になし			
授業方法	テキストを中心にできるだけやさしく進めていく。授業のための積極的な学習が必要。「検定試験対策」も行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験 80% レポートと小テスト 20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	郁文堂	身につくドイツ文法<Leicht>	前田良三・高木葉子
	備考			
参考書	『教室と自修のためのドイツ語入門』山本 明・古賀允洋：同学社			
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 yamazaki.ryosuke@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前学期の復習をしておくこと
	授業内容	「検定試験対策」Lektion 8 分離動詞と非分離動詞・接続詞について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
2	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」Lektion 8 分離動詞と非分離動詞・接続詞について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと
3	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 9 動詞の三基本形・過去人称変化について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
4	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 10 現在完了・再帰表現について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。

5	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 11 形容詞の格変化について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
6	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 11 形容詞の格変化について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
7	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 12 形容詞と副詞の比較表現・zu不定詞について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
8	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 13 関係代名詞・指示代名詞について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておくこと。
9	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 13 関係代名詞・指示代名詞について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておく。
10	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 14 受動態について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておく。
11	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	「検定試験対策」復習 Lektion 14 受動態について説明する。
	事後学習	授業内容を復習しておく。
12	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 15 接続法について説明する。 プリント配布。
	事後学習	授業内容を復習しておく。
13	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	復習 Lektion 15 接続法について説明する。英語の仮定法と比較してみる。
	事後学習	授業内容を復習しておく。
14	事前学習	付録のCDを聞き、練習問題をやっておくこと。
	授業内容	Lektion 8`15までの復習をおこなう。
	事後学習	授業内容を復習しておく。
15	事前学習	授業内容を習得しておくこと。
	授業内容	授業内試験（参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習しておくこと。

科目名	ドイツ語基礎文法B	担当者	渡邊 善和	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期の成果をもとにドイツ語の初歩的語学力が習得できたと得心できるように、言語的4技能の個別的、総合的鍛錬をする。テキストのみならず、視聴覚教材などの補助教材をフルに利用して授業を活性化していく。また終了時点で次の段階（ドイツ語科目、専門科目、他の一般教養科目など）へのステップアップへの意欲の促進を図る。				
授業目的・到達目標	長年学んできた「英語」以外の新たな外国語として「ドイツ語」を学ぶ。単なるツールとしての言葉ではなく、国民のアイデンティティの基盤である「言語」に触れ、また「英語圏」とは一味違う外国文化への理解を深める。さらにもう一つの「外国語」の学習を通して「言葉」そのものの感性を磨く。学期末には、受講生それぞれが、その努力に見合ったドイツ語の『言語4技能』のアップを達成する。言語を学ぶ過程で、その国の人々および文化を偏見なく見る目を養う。				
履修条件	「ドイツ語基礎文法A」が習得済みであることが望ましい。学習に対しては、謙虚に、しかし好奇心旺盛に、そして自発的にこつこつと学んでいく姿勢を期待する。途中で放棄しそうな人は受講を遠慮して欲しい。				
授業方法	テキストに沿って授業を進めていく。常に復習を繰り返し、既習の内容の定着を図る。授業は拙速に進めることなく、解説、指導は丁寧にする。ドイツおよびドイツ語に関わる、DVDをはじめ多様な視聴覚教材を活用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義の理解度、初歩的ドイツ語運用力を筆記試験で評価する。（80%）また数回のレポート（10%）、平常点（授業への熱意など）（10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成30年度	同学社		『ベルリンに夢中』	石井学他
	備考				
参考書	中型の独和辞典以外特に用意する必要はない。参考書は要望があれば折に触れて紹介する。				
オフィスアワー	木曜日（8：30～8：50分）10号館2階講師室。また特に要望のある学生にはメールでの質問にも対応する				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツに関する本(新書程度でよい)を読む
	授業内容	授業ガイダンス、「ドイツ」、「ドイツ語」概観。
	事後学習	上記の本を読み進める
2	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	ドイツ語のアルファベットと単語の発音
	事後学習	授業の内容の復習(発音は声を出して練習する)
3	事前学習	再度発音練習をする
	授業内容	前回の復習
	事後学習	発音の総まとめ的練習をする
4	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第7課 分離動詞、非分離動詞、接続詞+練習問題 ベルリン紹介DVD 7
	事後学習	授業の内容の復習および練習問題の予習

5	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第7課練習問題+会話訳 第8課 話法の助動詞、未来時制+練習問題 ベルリン紹介DVD 8
	事後学習	授業の内容の復習および練習問題の予習
6	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第8課練習問題+会話訳 第9課 動詞の3基本形、過去+練習問題 ベルリン紹介DVD 9
	事後学習	授業の内容の復習および練習問題の予習
7	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第9課練習問題+会話訳 第10課 現在完了+練習問題 ベルリン紹介DVD 10
	事後学習	授業の内容の復習および練習問題の予習
8	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第10課練習問題+会話訳 第11課 形容詞+練習問題 ベルリン紹介DVD 11
	事後学習	授業の内容の復習および練習問題の予習
9	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第11課練習問題+会話訳 第12課 受動態、再帰動詞+練習問題 ベルリン紹介DVD 12
	事後学習	授業の内容の復習および練習問題の予習
10	事前学習	テキストの該当の箇所を精読する
	授業内容	第12課練習問題+会話訳 補足
	事後学習	これまでの総復習
11	事前学習	ドイツの映画について文献で調べる
	授業内容	ドイツ映画鑑賞
	事後学習	映画の感想をメモする
12	事前学習	他のドイツ映画について調べる
	授業内容	ドイツ映画鑑賞（続き）
	事後学習	映画の感想の整理、提出
13	事前学習	後期の範囲(前半)の総復習 1
	授業内容	後期の範囲(前半)の総復習 1
	事後学習	総復習(前半)の内容の確認
14	事前学習	後期の範囲(後半)の総復習 2
	授業内容	後期の範囲(後半)の総復習 2
	事後学習	総復習(後半)の内容の確認
15	事前学習	後期の範囲の徹底的復習
	授業内容	学期末学力考査及びまとめ、振り返り
	事後学習	学力考査の反省

科目名	ドイツ語演習A	担当者	跡守 美音	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語－中級へのステップアップー				
授業目的・到達目標	様々なテキストを読みながら、既習文法を確認するとともに、中級ドイツ語の読解力を身につけることを目的とする。また、テキストに紹介されているドイツ語圏の文化や社会についての理解も深めていくを目的とする。初級ドイツ語では習わなかった文法や表現について学び、中級レベルの文章を読むことができるようになる。				
履修条件	ドイツ語基礎表現A・Bを修得していることが望ましい。				
授業方法	受講生によるテキストの日本語訳の発表の後、適宜、解説を加えながらテキストを講読していきます。演習科目のため、訳や練習問題は、受講生に積極的に発表してもらいます。毎回、予習をしっかりとやってくるのが前提となります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業への参加および小テスト30%、学期末試験70%。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	三修社		ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章 プラス・エクストラ	Ute Schmidt, 和泉雅人他
	備考				
参 考 書	なし。ただし、毎回、独和辞典を使用しますので必ず持参して下さい。				
オフィスアワー	授業の前後とする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	導入
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
2	事前学習	第1回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 1 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
3	事前学習	第2回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 1 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
4	事前学習	第3回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 1 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。

5	事前学習	第4回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 2 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
6	事前学習	第5回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 2 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
7	事前学習	第6回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 2 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
8	事前学習	第7回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 3 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
9	事前学習	第8回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 3 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
10	事前学習	第9回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 3 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
11	事前学習	第10回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 4 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
12	事前学習	第11回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 3 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
13	事前学習	第12回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 4 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
14	事前学習	第1回～第13回の学習内容を復習すること。
	授業内容	学期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	学期末試験でできなかった箇所を確認しておくこと。
15	事前学習	第1回～第14回の中で理解できていないと思うところを、事前に確認しておくこと。
	授業内容	総括
	事後学習	授業内で質疑応答したことを復習しておくこと。

科目名	ドイツ語演習A	担当者	黒瀬 志保	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初級文法を学び直し、テキストの読解と練習問題を行う。				
授業目的・到達目標	初級文法を重要なポイント（動詞・名詞の形と語順）を中心に習得し、ドイツ語の読み書きへと応用できるようなること、また、ドイツ語の発音も身につけることを目標とする。 辞書を引きながらドイツ語の文章を正確に理解できるようになる。ドイツ語のつづりの読み方について学び、それにもとづき発音できるようになる。ドイツ語技能検定試験（独検）4級・3級に合格する。				
履修条件	ドイツ語基礎文法A、Bを履修済み、あるいは初級文法の知識を必要とする。 ドイツ語技能検定試験の受験を奨励する。				
授業方法	教科書に沿って、テキスト読解、文法説明、練習問題を行う。発音練習も適宜行う。理解度を確認するための小テストも適宜行い、教科書の内容を補うための課題を課す。必要に応じて独検対策も行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（学習態度、小テスト、課題、独検）50%、授業内試験50% 原則として出席が2/3に満たない場合は単位は認めない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	朝日出版社		おさらいドイツ語―納得！ドイツ語ってそうなのか	在間進
	備考				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	初回授業でメールアドレスを公開する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツ語のつづりの読み方の復習
	授業内容	ガイダンス 第0課 発音とつづりを楽しむ
	事後学習	教科書2ページの発音の復習、3ページの課題
2	事前学習	教科書4ページのテキストの和訳
	授業内容	第1課 テキスト読解 文法説明（文と動詞の位置）
	事後学習	教科書4～6ページの復習およびテキストの発音練習
3	事前学習	教科書7ページの練習問題
	授業内容	第1課 練習問題1
	事後学習	教科書7ページの復習および発音練習
4	事前学習	教科書8ページのテキストの和訳
	授業内容	第2課 テキスト読解 文法説明（主語と動詞）
	事後学習	教科書8～10ページの復習およびテキストの発音練習

5	事前学習	教科書 1 1 ページの練習問題
	授業内容	第 2 課 練習問題 2
	事後学習	教科書 1 1 ページの復習および発音練習
6	事前学習	教科書 1 4 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 3 課 テキスト読解 文法説明（名詞と冠詞）
	事後学習	教科書 1 4 ～ 1 6 ページの復習およびテキストの発音練習
7	事前学習	教科書 1 7 ページの練習問題
	授業内容	第 3 課 練習問題 3
	事後学習	教科書 1 7 ページの復習および発音練習
8	事前学習	教科書 1 8 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 4 課 テキスト読解 文法説明（複数形）
	事後学習	教科書 1 8 ～ 2 0 ページの復習およびテキストの発音練習
9	事前学習	教科書 2 1 ページの練習問題
	授業内容	第 4 課 練習問題 4
	事後学習	教科書 2 1 ページの復習および発音練習
10	事前学習	教科書 2 2 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 5 課 テキスト読解 文法説明（冠詞の仲間）
	事後学習	教科書 2 2 ～ 2 4 ページの復習およびテキストの発音練習
11	事前学習	教科書 2 5 ページの練習問題
	授業内容	第 5 課 練習問題 5
	事後学習	教科書 2 5 ページの復習および発音練習
12	事前学習	教科書 2 8 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 6 課 テキスト読解 文法説明（前置詞）
	事後学習	教科書 2 8 ～ 3 0 ページの復習およびテキストの発音練習
13	事前学習	教科書 3 1 ページの練習問題
	授業内容	第 6 課 練習問題 6
	事後学習	教科書 3 1 ページの復習および発音練習
14	事前学習	プリントの練習問題
	授業内容	復習
	事後学習	プリントの復習と発音練習
15	事前学習	教科書 3 1 ページまでの復習
	授業内容	授業内試験
	事後学習	文法項目の再チェック

科目名	ドイツ語演習A	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語圏へ短期及び長期留学を希望している、あるいは仕事でドイツ語を使うことを目標にしている学生さん対象のインテンシブクラスです。 月曜1時間目ドイツ語スピーキング・リスニングⅢ（レンツ先生）と同一教科書を用いたペア授業です。					
授業目的・到達目標	アクティブ・ラーニングを用いたドイツ語運用能力の養成。1年次に学習した内容をCEFRA2レベルの運用能力に応用できるようになる。主に読む・書く・話す作業を通じて、ドイツ地誌や文化を体験的に学ぶ。本授業ではドイツ語圏において遭遇するであろうシチュエーションに対応するための読解力・作文力の養成を目的とする。					
履修条件	ドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを履修していること。あるいは、独検4級及びCEFRA1レベルのドイツ語力を有していること。					
授業方法	参加型の授業です。ペア・ワークやグループ・ワークをしながら会話・読解・作文のトレーニングをしてゆきます。定期的に小テストを行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		期末試験50%、授業態度15%、提出物15%、小テスト20%、検定試験の結果も加点します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005	cornelsen		studio d A2 Kurs- und Übungsbuch		Hermann Funk
	備考	月1ドイツ語スピーキング・リスニングⅢ（レンツ先生）と共通教科書				
参考書	独和辞典（電子辞書不可） その他授業中に適宜紹介します。					
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	文法復習
2	事前学習	Einheit 1 Sprachen und Biographien 1 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 1 Sprachen und Biographien 1
	事後学習	Einheit 1 Sprachen und Biographien 1練習問題
3	事前学習	Einheit 1 Sprachen und Biographien 2 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 1 Sprachen und Biographien 2
	事後学習	Einheit 1 Sprachen und Biographien 2練習問題
4	事前学習	Einheit 2 Familienalbum 1 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 2 Familienalbum 1
	事後学習	Einheit 2 Familienalbum 1 練習問題

5	事前学習	Einheit 2 Familienalbum 2 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 2 Familienalbum 2
	事後学習	Einheit 2 Familienalbum 2 練習問題
6	事前学習	Einheit 3 Reisen und Mobilität 1 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 3 Reisen und Mobilität 1
	事後学習	Einheit 3 Reisen und Mobilität 1 練習問題
7	事前学習	Einheit 3 Reisen und Mobilität 2 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 3 Reisen und Mobilität 2
	事後学習	Einheit 3 Reisen und Mobilität 2 練習問題
8	事前学習	Einheit 4 Aktiv in der Freizeit 1 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 4 Aktiv in der Freizeit 1
	事後学習	Einheit 4 Aktiv in der Freizeit 1 練習問題
9	事前学習	Einheit 4 Aktiv in der Freizeit 2 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 4 Aktiv in der Freizeit 2
	事後学習	Einheit 4 Aktiv in der Freizeit 2 練習問題
10	事前学習	Einheit 5 Medien 1 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 5 Medien 1
	事後学習	Einheit 5 Medien 1 練習問題
11	事前学習	Einheit 5 Medien 2 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 5 Medien 2
	事後学習	Einheit 5 Medien 2 練習問題
12	事前学習	Einheit 6 Ausgehen 1 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 6 Ausgehen 1
	事後学習	Einheit 6 Ausgehen 1 練習問題
13	事前学習	Einheit 6 Ausgehen 2 長文読解翻訳
	授業内容	Einheit 6 Aufgehen 2
	事後学習	Einheit 6 Ausgehen 2 練習問題
14	事前学習	作文課題
	授業内容	総まとめ
	事後学習	練習問題総まとめ
15	事前学習	試験準備
	授業内容	中間試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語演習B	担当者	跡守 美音	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語－中級へのステップアップー			
授業目的・到達目標	様々なテキストを読みながら、既習文法を確認するとともに、中級ドイツ語の読解力を身につけることを目的とする。また、テキストに紹介されているドイツ語圏の文化や社会についての理解も深めていくを目的とする。初級ドイツ語では習わなかった文法や表現について学び、中級レベルの文章を読むことができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎表現A・Bを修得していることが望ましい。			
授業方法	受講生によるテキストの日本語訳の発表の後、適宜、解説を加えながらテキストを講読していきます。演習科目のため、訳や練習問題は、受講生に積極的に発表してもらいます。毎回、予習をしっかりとやることが前提となります。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業への参加および小テスト30%、学期末試験70%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	三修社	ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章 プラス・エクストラ	Ute Schmidt, 和泉雅人他
	備考			
参考書	なし。ただし、毎回、独和辞典を使用しますので必ず持参して下さい。			
オフィスアワー	授業の前後とする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	導入
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
2	事前学習	第1回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 5 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
3	事前学習	第2回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 5 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
4	事前学習	第3回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 5 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。

5	事前学習	第4回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 6 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
6	事前学習	第5回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 6 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
7	事前学習	第6回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 6 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
8	事前学習	第7回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 7 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
9	事前学習	第8回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 7 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
10	事前学習	第9回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 7 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
11	事前学習	第10回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 8 Lesetext 1
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
12	事前学習	第11回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 8 Übung
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
13	事前学習	第12回の授業時に指示された箇所を予習しておくこと。
	授業内容	Kapitel 8 Lesetext 2
	事後学習	授業で学んだ新しい事項を復習しておくこと。
14	事前学習	第1回～第13回の学習内容をを復習しておくこと。
	授業内容	学期末試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	学期末試験でできなかった箇所を確認しておくこと。
15	事前学習	第1回～第14回の中で理解できていないと思うところを、事前に確認しておくこと。
	授業内容	総括
	事後学習	授業内で質疑応答したことを復習したおくこと

科目名	ドイツ語演習B	担当者	黒瀬 志保	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の初級文法を学び直し、テキストの読解と練習問題を行う。			
授業目的・到達目標	初級文法を重要なポイント（動詞・名詞の形と語順）を中心に習得し、ドイツ語の読み書きへと応用できるようになること、また、ドイツ語の発音も身につけることを目標とする。 辞書を引きながらドイツ語の文章を正確に理解できるようになる。ドイツ語のつづりの読み方について学び、それにもとづき発音できるようになる。ドイツ語技能検定試験（独検）4級・3級に合格する。			
履修条件	ドイツ語基礎文法A，Bを履修済み、あるいは初級文法の知識を必要とする。 ドイツ語技能検定試験の受験を奨励する。			
授業方法	教科書に沿って、テキスト読解、文法説明、練習問題を行う。発音練習も適宜行う。理解度を確認するための小テストも適宜行い、教科書の内容を補うための課題を課す。必要に応じて独検対策も行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	平常点（学習態度、小テスト、課題、独検）50%、授業内試験50% 原則として出席が2/3に満たない場合は単位は認めない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	朝日出版社	おさらいドイツ語―納得！ドイツ語ってそうなのか	在間進
	備考			
参考書	授業中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	初回授業でメールアドレスを公開する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書 3 1 ページまでの復習
	授業内容	ガイドダンス 前期の復習
	事後学習	第 6 課までの文法項目のまとめ
2	事前学習	教科書 3 2 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 7 課 テキスト読解 文法説明（形容詞）
	事後学習	教科書 3 2 ～ 3 5 ページの復習およびテキストの発音練習
3	事前学習	教科書 3 6 ページの練習問題
	授業内容	第 7 課 練習問題 7
	事後学習	教科書 3 6 ページの復習および発音練習
4	事前学習	教科書 3 7 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 8 課 テキスト読解 文法説明（分離動詞と語法の助動詞）
	事後学習	教科書 3 7 ～ 3 9 ページの復習およびテキストの発音練習

5	事前学習	教科書 4 0 ページの練習問題
	授業内容	第 8 課 練習問題 8
	事後学習	教科書 4 0 ページの復習および発音練習
6	事前学習	教科書 4 1 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 9 課 テキスト読解 文法説明（過去の表現）
	事後学習	教科書 4 1 ～ 4 4 ページの復習およびテキストの発音練習
7	事前学習	教科書 4 5 ページの練習問題
	授業内容	第 9 課 練習問題 9
	事後学習	教科書 4 5 ページの復習および発音練習
8	事前学習	教科書 4 6 ページのテキストの和訳
	授業内容	第 1 0 課 テキスト読解 文法説明（接続法）
	事後学習	教科書 4 6 ～ 4 8 ページの復習およびテキストの発音練習
9	事前学習	教科書 4 9 ページの練習問題
	授業内容	第 1 0 課 練習問題 1 0
	事後学習	教科書 4 9 ページの復習および発音練習
10	事前学習	教科書 5 0 ページの講読
	授業内容	比較表現
	事後学習	プリントの練習問題
11	事前学習	教科書 5 1 ページの講読
	授業内容	zu不定詞
	事後学習	プリントの練習問題
12	事前学習	教科書 5 2 ～ 5 3 ページの講読
	授業内容	受動文
	事後学習	プリントの練習問題
13	事前学習	教科書 5 4 ～ 5 5 ページの講読
	授業内容	関係文
	事後学習	プリントの練習問題
14	事前学習	プリントの練習問題
	授業内容	復習
	事後学習	プリントの復習と発音練習
15	事前学習	教科書 3 2 ～ 5 5 ページの復習
	授業内容	授業内試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	文法項目の再チェック

科目名	ドイツ語演習B	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語圏へ短期及び長期留学を希望している、あるいは仕事でドイツ語を使うことを目標にしている学生さん対象のインテンシブクラスです。 月曜1時間目ドイツ語スピーキング・リスニングⅢ（レンツ先生）と同一教科書を用いたペア授業です。			
授業目的・到達目標	アクティブ・ラーニングを用いたドイツ語運用能力の養成。1年次に学習した内容をCEFRA2レベルの運用能力に応用できるようになる。主に読む・書く・話す作業を通じて、ドイツ地誌や文化を体験的に学ぶ。本授業ではドイツ語圏において遭遇するであろうシチュエーションに対応するための読解力・作文力の養成を目的とする。			
履修条件	ドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを履修していること。あるいは、独検4級及びCEFRA1レベルのドイツ語力を有していること。			
授業方法	参加型の授業です。ペア・ワークやグループ・ワークをしながら会話・読解・作文のトレーニングをしてゆきます。定期的に小テストを行います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	期末試験50%、授業態度15%、提出物15%、小テスト20%、検定試験の結果も加点します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2005	cornelsen	studio d A2 Kurs- und Übungsbuch	Hermann Funk
	備考	月1ドイツ語スピーキング・リスニングⅢ（レンツ先生）と共通教科書		
参考書	独和辞典（電子辞書不可） その他授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認 教材準備
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	文法・語彙復習
2	事前学習	Lektion 7 Zu Hause 1 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 7 Zu Hause 1
	事後学習	Lektion 7 Zu Hause 1 練習問題
3	事前学習	Lektion 7 Zu Hause 2 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 7 Zu Hause 2
	事後学習	Lektion 7 Zu Hause 1 練習問題
4	事前学習	Lektion 8 Kultur erleben 1 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 8 Kultur erleben 1
	事後学習	Lektion 8 Kultur erleben 1 練習問題

5	事前学習	Lektion 8 Kultur erleben 2 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 8 Kultur erleben 2
	事後学習	Lektion 8 Kultur erleben 2 練習問題
6	事前学習	Lektion 9 Arbeitswelten 1 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 9 Arbeitswelten 1
	事後学習	Lektion 9 Arbeitswelten 1 練習問題
7	事前学習	Lektion 9 Arbeitswelten 2 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 9 Arbeitswelten 2
	事後学習	Lektion 9 Arbeitswelten 2 練習問題
8	事前学習	Lektion 10 Feste und Geschenke 1 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 10 Feste und Geschenke 1
	事後学習	Lektion 10 Feste und Geschenke 1 練習問題
9	事前学習	Lektion 10 Feste und Geschenke 2 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 10 Feste und Geschenke 2
	事後学習	Lektion 10 Feste und Geschenke 2 練習問題
10	事前学習	Lektion 11 Mit allen Sinnen 1 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 11 Mit allen Sinnen 1
	事後学習	Lektion 11 Mit allen Sinnen 1 練習問題
11	事前学習	Lektion 11 Mit allen Sinnen 2 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 11 Mit allen Sinnen 2
	事後学習	Lektion 11 Mit allen Sinnen 2 練習問題
12	事前学習	Lektion 12 Erfindungen und Erfinder 1 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 12 Erfindungen und Erfinder 1
	事後学習	Lektion 12 Erfindungen und Erfinder 1 練習問題
13	事前学習	Lektion 12 Erfindungen und Erfinder 2 長文読解翻訳
	授業内容	Lektion 12 Erfindungen und Erfinder 2
	事後学習	Lektion 12 Erfindungen und Erfinder 2 練習問題
14	事前学習	作文練習
	授業内容	総まとめ
	事後学習	練習問題まとめ
15	事前学習	試験準備
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語演習C	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グリム童話を、初級文法を確認しながら読み進める。関連した映像なども参考にしながら、ドイツ語圏の音楽など、文化についての知識を広げてゆくことも目指す。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の読解力を強化するとともに、ドイツ語圏の文化について、見識を得ることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語で書かれた平易なテキストを読み解く力をつけることができるようになる。また、テキストの理解を通じて、ドイツ語圏の文化について見聞を広めることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語の初級文法を習得していること。初回の授業には必ず出席すること。平易なドイツ語をたくさん読むので、その覚悟で授業を履修すること。独検をなるべく受験すること。			
授業方法	ドイツ語のテキストの音読や訳読、文法の要点の説明が授業の中心である。必要に応じて、映像等も参照する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点：50% 試験：50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2002年	郁文堂	グリム童話で学ぶドイツ語	シュテファン・ヴント、本橋右京
	備考			
参考書	必要に応じて、授業内に指示する。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス。必ず参加すること。
	事後学習	第2回の授業までに、テキストを準備し、第1課の予習をしておくこと。
2	事前学習	テキストを準備し、第1課の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Katze und Maus in Gesellschaft①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
3	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Katze und Maus in Gesellschaft②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
4	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Katze und Maus in Gesellschaft③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。

5	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Katze und Maus in Gesellschaft④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
6	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Katze und Maus in Gesellschaft⑤
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
7	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
8	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
9	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
10	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
11	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater⑤
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
12	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater⑥
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
13	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der gestiefelte Kater⑦
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
14	事前学習	前期に読んだ箇所を復習し、分からないところがどこかを明らかにしておくこと。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	授業内で理解したところを重点的に復習し、テキスト全体を改めて通読すること。
15	事前学習	テキスト全体を通読し、前期に読んだテキストの感想をまとめておくこと。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	できないと思った部分を改めてテキストで確認すること。

科目名	ドイツ語演習C	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級文法を振り返りながら、前期は易しい読み物を、後期からはやや難しい読み物を読んでいく。その際、基本文法に従いながら、厳密に意味を取っていく。同時に、6月と12月に実施されている独検3級、4級の合格も目指す。				
授業目的・到達目標	授業目的：易しい文章に数多く当たって、ドイツ語の文章に慣れる。 到達目標：独検3級・4級レベルに到達することができる。				
履修条件	①事前抽選に外れた人は、履修できない。②基本文法の知識を前提としている。③独検の5級の資格を持っていない者は、6月に受験すること。④独和辞典を必ず持ってくること。				
授業方法	CDを聞き、音読し、文法分析、構文分析をまず行い、そのあと辞書を丹念に引き、文を解釈する。前期は、ゆっくり進むが、後期にはテンポよく読み進めていく予定でいる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験90%+平常点（小テスト、授業参加度、レポート、独検の結果）10% 遅刻と欠席の多い場合、評価しない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	白水社		『ようこそヴィーンへ』	関根裕子 川村雅之
	備考				
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	1年次の教科書を読んでおく。 ドイツとオーストリアの位置を地図で確認し、首都はそれぞれどこかを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス ドイツ語のあいさつ。 主語となる代名詞。
	事後学習	オーストリアの首都ヴィーン（ウィーン）で活躍した著名人について調べておく。
2	事前学習	発音の規則を確認しておく。 主語となる代名詞を確認しておく。
	授業内容	動詞の現在（1） 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 小テストのために完全に暗記をしておくこと。
3	事前学習	辞書を引くこと。
	授業内容	動詞の現在（1） 冠詞と名詞 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 小テストのために完全に暗記をしておくこと。
4	事前学習	辞書を引くこと。
	授業内容	冠詞と名詞 動詞の現在（2） 小テスト、読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。

5	事前学習	辞書を引くこと。 規則動詞と不規則動詞を比較してみよう。
	授業内容	動詞の現在（2）（3） 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 小テストのために完全に暗記をしておくこと。
6	事前学習	辞書を引くこと。 前置詞の種類について確認しておく。
	授業内容	動詞の現在（3） 前置詞 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 3・4格支配の用法を教科書と辞書にあたって復習しておくこと。
7	事前学習	辞書を引くこと。
	授業内容	前置詞 人称代名詞3格・4格 小テスト、読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
8	事前学習	助動詞構文の文構造を観察する。 辞書を引くこと。
	授業内容	人称代名詞3格・4格 話法の助動詞、副文 読み物
	事後学習	ドイツ語における、3つの定型の位置を確認してみること。 もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
9	事前学習	冠詞と冠詞類の語尾を比較してみること。 辞書を引くこと。
	授業内容	定冠詞類と不定冠詞類 分離動詞 読み物
	事後学習	分離動詞の文構造を観察する。そこからドイツ語の文構造の特徴を把握してみること。 もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
10	事前学習	現在人称変化と過去人称変化の語尾の比較をしてみること。 辞書を引くこと。
	授業内容	定冠詞類と不定冠詞類、分離動詞 動詞の3基本形、過去人称変化 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
11	事前学習	辞書を引くこと。 sein, habenの変化を確認しておくこと。過去分詞の作り方を確認しておくこと。
	授業内容	動詞の3基本形、過去人称変化 現在完了形 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
12	事前学習	辞書を引くこと。 完了形の文構造を観察してみること。
	授業内容	動詞の3基本形、現在完了形 読み物 時刻の表し方
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 シューベルトの『野ばら』を音読すること。
13	事前学習	辞書を引くこと。 定冠詞類の語尾を確認しておくこと。
	授業内容	現在完了形 形容詞、比較、最高級 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 形容詞の付加語語尾と定冠詞類の語尾を比較してみること。
14	事前学習	今までのテキストを何度も読み返すこと。 不明な点を教員に質問すること。
	授業内容	前期文法の確認 読み物 試験について
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
15	事前学習	CDを聞きながら、音読すること。次に、意味を考え、音読すること。
	授業内容	授業内試験、70分、参照不可及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検の結果を報告すること。

科目名	ドイツ語演習C	担当者	渡辺 徳夫	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今まで初級向きの教科書や検定試験の問題ばかりやってきたと思うので、この授業ではまとまったドイツ語の読み物を読んでもみる。					
授業目的・到達目標	文法を手掛かりに辞書を使いながら、1年でドイツ語の読み物を一冊読み終えることができる。					
履修条件	基本文法の知識を前提としている。					
授業方法	短編なので、1ページ1ページ丁寧に読んでいく。その際、教科書の文法表を参照する。必ず辞書を持参すること。3回おきに課題、レポートを課す。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度やレポートを考慮して評価。遅刻と欠席の多い場合、評価しない。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1996年	朝日出版社		『フォン・ブラウン物語』		飯吉光夫編
	2016年	三修社		『気分はドイツ』		本郷・佐藤著
	備考					
参考書	授業時に指示します。					
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書2冊準備する。辞書も持参すること。事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイドンス ロケットの父、ヴェルンヘル・フォン・ブラウンについて
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
2	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 アポロ11号について調べてみる。
	授業内容	第1章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
3	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 冠詞の格変化、用法を確認しておく。
	授業内容	第1章 歴史的現在の文体と和訳の仕方について
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
4	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 2格の用法、前置詞の用法について教科書で確認しておく。
	授業内容	第1章 当時のニュースフィルムを見る。
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。

5	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 年号の読み方を確認しておく。 zu不定詞の用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第2章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
6	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 esの用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第2章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
7	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 話法の助動詞の用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第2章 無声映画『月世界の女』を観る。
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
8	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第2章 無声映画『月世界の女』を観る。
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
9	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第3章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
10	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第3章 無声映画『月世界の女』の内容との関係について
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
11	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第3章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
12	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 未来形の用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第3章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
13	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておく。 間接疑問文について教科書で調べておく。
	授業内容	第4章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
14	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 今まで学んだことを復習し、もう一度訳を点検すること。
	授業内容	第4章
	事後学習	手書きでレポートを作成すること。 提出上の注意点を厳守すること。
15	事前学習	提出上の注意点を確認すること。
	授業内容	第4章 レポート課題提出
	事後学習	独検の結果を提出すること。

科目名	ドイツ語演習D	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グリム童話を、初級文法を確認しながら読み進める。関連した映像なども参考にしながら、ドイツ語圏の音楽など、文化についての知識を広げてゆくことも目指す。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の読解力を強化するとともに、ドイツ語圏の文化について、見識を得ることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語で書かれた平易なテキストを読み解く力をつけることができるようになる。また、テキストの理解を通じて、ドイツ語圏の文化について見聞を広めることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語の初級文法を習得していること。初回の授業には必ず出席すること。平易なドイツ語をたくさん読むので、その覚悟で授業を履修すること。独検をなるべく受験すること。			
授業方法	ドイツ語のテキストの音読や訳読、文法の要点の説明が授業の中心である。必要に応じて、映像等も参照する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点：50% 試験：50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2002年	郁文堂	グリム童話で学ぶドイツ語	シュテファン・ヴント、本橋右京
	備考			
参考書	必要に応じて、授業内に指示する。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で読んだ部分をあらためて通読し、夏休み後の授業に備える。後期からの参加者は、後期の初回の授業に必ず参加すること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
2	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Haensel und Gretel①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
3	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Haensel und Gretel②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
4	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Haensel und Gretel③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。

5	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Haensel und Gretel④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
6	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Haensel und Gretel⑤
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
7	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Haensel und Gretel⑥
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
8	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der Eisenofen①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
9	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der Eisenofen②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
10	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der Eisenofen③前半
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
11	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der Eisenofen③後半
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
12	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der Eisenofen④前半
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
13	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・Der Eisenofen④後半
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
14	事前学習	後期に読んだ箇所を復習し、分からないところがどこかを明らかにしておくこと。
	授業内容	後期の復習
	事後学習	授業内で理解したところを重点的に復習し、テキスト全体を改めて通読すること。
15	事前学習	テキスト全体を通読し、後期に読んだテキストの感想をまとめておくこと。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	できないと思った部分を改めてテキストで確認すること。

科目名	ドイツ語演習D	担当者	渡辺 徳夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級文法を振り返りながら、前期は易しい読み物を、後期からはやや難しい読み物を読んでいく。その際、基本文法に従いながら、厳密に意味を取っていく。同時に、6月と12月に実施されている独検3級、4級の合格も目指す。				
授業目的・到達目標	授業目的：易しい文章に数多く当たって、ドイツ語の文章に慣れる。 到達目標：独検3級・4級レベルに到達することができる。				
履修条件	①事前抽選に外れた人は、履修できない。②基本文法の知識を前提としている。③独検の5級の資格を持っていない者は、6月に受験すること。④独和辞典を必ず持ってくること。				
授業方法	CDを聞き、音読し、文法分析、構文分析をまず行い、そのあと辞書を丹念に引き、文を解釈する。前期は、ゆっくり進むが、後期にはテンポよく読み進めていく予定でいる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験90%+平常点（小テスト、授業参加度、レポート、独検の結果）10% 遅刻と欠席の多い場合、評価しない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	白水社		『ようこそヴィーンへ』	関根裕子 川村雅之
	備考				
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を引くこと。事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	後期のガイダンス 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。
2	事前学習	辞書を引くこと。 副文の種類は3つあるが、この3つについて確認しておく。
	授業内容	関係文、命令文 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 関係文の構造を観察するすること。
3	事前学習	辞書を引くこと。 werdenの変化と過去分詞の作り方を確認しておくこと。
	授業内容	関係文、命令文 受動、再帰動詞 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 受動文の構造を観察しておくこと。その際、話法の助動詞、分離動詞、完了形の文構造との共通項を取り出してみよう。
4	事前学習	辞書を引くこと。 接続法の「接続」とは何を意味しているのかを調べておこう。 接続法の変化語尾と現在人称語尾を比較してみること。
	授業内容	関係文、命令文 接続法 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。

5	事前学習	辞書を引くこと。 要求話法、間接話法とは何かを調べておこう。
	授業内容	接続法Ⅰ式 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 3人称単数の箇所をよく覚えておくこと。
6	事前学習	辞書を引くこと。 英語の仮定法の「仮定」とはどういう意味なのかを調べておこう。
	授業内容	接続法Ⅱ式 読み物
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 「非現実」とは何かを確認しておこう。
7	事前学習	ドイツ語技能検定試験（独検）について情報を得ておこう。
	授業内容	検定演習4級 過去問（発音、動詞の変化）
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 過去問から出題傾向を把握してみよう。
8	事前学習	辞書を引くこと。 過去問を繰り返し解くこと。
	授業内容	検定演習4級 過去問（格変化、語順、前置詞）
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 過去問から出題傾向を把握してみよう。
9	事前学習	辞書を引くこと。 過去問を繰り返し解くこと。
	授業内容	検定演習4級 過去問（会話、図解問題）
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 過去問から出題傾向を把握してみよう。
10	事前学習	辞書を引くこと。 過去問を繰り返し解くこと。
	授業内容	検定演習4級 過去問（長文）
	事後学習	もう一度辞書
11	事前学習	辞書を引くこと。 過去問を繰り返し解くこと。
	授業内容	検定演習4級 過去問（聞き取り）
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 聞き取りの問題形式に習熟すること。
12	事前学習	辞書を引くこと。 基本文法を手掛かりに読み進めること。
	授業内容	インターネットの記事の読解（日本） 何が起ったのか、それについて誰が言ったのかを確認する。
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、文法的に意味を点検すること。 日本語の記事の内容を参照してみよう。
13	事前学習	辞書を引くこと。 基本文法を手掛かりに読み進めること。
	授業内容	インターネットの記事の読解（世界） 何が起ったのか、それについて誰が言ったのかを確認する。
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、文法的に意味を点検すること。 日本語の記事の内容を参照してみよう。
14	事前学習	試験範囲を総復習しておくこと。
	授業内容	後期文法 試験について
	事後学習	もう一度辞書を引きなおして、意味を点検すること。 試験範囲を完全に理解しておくこと。
15	事前学習	CDを聞き、音読し、試験範囲を反復しておくこと。
	授業内容	授業内試験、70分、参照不可及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検の結果を報告すること。

科目名	ドイツ語演習D	担当者	渡辺 徳夫	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今まで初級向きの教科書や検定試験の問題ばかりやってきたと思うので、この授業ではまとまったドイツ語の読み物を読んでもみる。				
授業目的・到達目標	文法を手掛かりに辞書を使いながら、1年でドイツ語の読み物を一冊読み終えることができる。				
履修条件	基本文法の知識を前提としている。				
授業方法	短編なので、1ページ1ページ丁寧に読んでいく。その際、教科書の文法表を参照する。必ず辞書を持参すること。3回おきに課題、レポートを課す。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度やレポートを考慮して評価。遅刻と欠席の多い場合、評価しない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	1996年	朝日出版社		『フォン・ブラウン物語』	飯吉光夫編
	2016年	三修社		『気分はドイツ』	本郷・佐藤著
	備考				
参考書	授業時に指示します。				
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 定関係代名詞の用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第5章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
2	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 不定関係代名詞の用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第5章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
3	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 zu不定詞の用法を教科書で調べておく。
	授業内容	第5章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
4	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第6章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。

5	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第6章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
6	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第6章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
7	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 ペーネミュンデはどこに位置するか調べておく。
	授業内容	第6章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
8	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 年号の読み方を確認しておく。 世界恐慌について調べておく。
	授業内容	第7章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。 文章が長い場合には、文を切って、訳出する工夫をすること。
9	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 年号の読み方を確認しておく。
	授業内容	第7章 当時のニュースフィルムを見る。
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
10	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 年号の読み方を確認しておく。
	授業内容	第7章
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
11	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第7章 当時のニュースフィルムを見る。
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
12	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。
	授業内容	第8章 当時のニュースフィルムを見る。
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
13	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 アポロ11号について調べてみる。 第1章を読んでおく。
	授業内容	第8章 第1章との関係
	事後学習	授業で学習したところを復習し、必ずノートに訳を記しておくこと。
14	事前学習	文章構造を分析した上で、必ず単語の意味を調べておくこと。 今までの箇所をもう一度読み直し、訳を点検すること。
	授業内容	第8章 レポートの提出について 小説の円環構造について
	事後学習	手書きでレポートを作成すること。 提出上の注意点を厳守すること。
15	事前学習	提出上の注意点を確認すること。
	授業内容	レポート課題提出及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検の結果を提出すること。

科目名	ドイツ語演習E	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語圏の伝説、メルヘン、詩などを平易なドイツ語に書き改められたテキストを、初級文法を確認しながら読み進める。関連した映像なども参考にしながら、ドイツ語圏の音楽など、文化についての知識を広げてゆくことも目指す。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の読解力を強化するとともに、ドイツ語圏の文化について、見識を得ることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語で書かれた平易なテキストを読み解く力をつけることができるようになる。また、テキストの理解を通じて、ドイツ語圏の文化について見聞を広めることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語の初級文法を習得していること。初回の授業には必ず出席すること。平易なドイツ語をたくさん読むので、その覚悟で授業を履修すること。独検をなるべく受験すること。			
授業方法	ドイツ語のテキストの音読や訳読、文法の要点の説明が授業の中心である。必要に応じて、映像等も参照する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点：50% 試験：50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	朝日出版社	名作イージーリーダー	久保哲司
	備考			
参考書	必要に応じて、授業内に指示する。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス。必ず参加すること。
	事後学習	第2回の授業までに、テキストを準備し、テキストの2ページ(最初から注の23があるところまで)の予習をしておくこと。
2	事前学習	テキストを準備し、2ページ(最初から注の23があるところまで)の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第1章 Die Buergerschaft①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
3	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第1章 Die Buergerschaft②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
4	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第1章 Die Buergerschaft③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。

5	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第1章 Die Buergerschaft④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
6	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第2章 Lohengrin①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
7	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第2章 Lohengrin②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
8	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第2章 Lohengrin③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
9	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第2章 Lohengrin④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
10	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第3章 Erste Legende des Ruebezahl①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
11	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第3章 Erste Legende des Ruebezahl②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
12	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第3章 Erste Legende des Ruebezahl③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
13	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第1部第3章 Erste Legende des Ruebezahl④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
14	事前学習	前期に読んだ箇所を復習し、分からないところがどこかを明らかにしておくこと。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	授業内で理解したところを重点的に復習し、テキスト全体を改めて通読すること。
15	事前学習	テキスト全体を通読し、前期に読んだテキストの感想をまとめておくこと。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	できないと思った部分を改めてテキストで確認すること。

科目名	ドイツ語演習E	担当者	鈴木 満	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「理解力」「暗記」「継続」の大切さを確認しながら、ドイツ語を学びます。			
授業目的・到達目標	ドイツ語を読み・書き・聞き・話すための基礎を発展させて学ぶこと、そしてドイツ語検定試験4級・3級合格を目的とします。 ドイツ語圏の文化を自分で調べることができるようになります。			
履修条件	ドイツ語の基礎をひとつとおり学習していることが前提ですが、受講生の実力と希望を参考にして決めます。			
授業方法	不定期に小テストを行い、これが平常点に加味されます。授業の復習が必須です。受講生の数などによって授業の進め方を決めます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	小テスト・検定試験結果も含む。出席不良、私語が多い、辞書がない、復習が著しく不十分、不正行為（小テストでも）があった場合などは学期途中でも不合格となります。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008	白水社	たのしいドイツ語 読む・聞く・話す	片岡・小川・宮本
	備考			
参考書	辞書（アポロン独和辞典・クラウン独和辞典など）			
オフィスアワー	suzuki.mitsuru11@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツの観光情報などを参照して、ドイツの様子を知る。 ドイツの歴史を復習するなどして、ドイツ語圏への関心を高める。
	授業内容	前期ガイダンス 文字および発音
	事後学習	文字と発音の復習 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
2	事前学習	授業第1回目の復習
	授業内容	自己紹介（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
3	事前学習	授業1回目～2回目の復習
	授業内容	自己紹介（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
4	事前学習	授業1回目～3回目の復習
	授業内容	人物紹介（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる

5	事前学習	授業 1 回目～ 4 回目の復習
	授業内容	人物紹介（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
6	事前学習	授業 1 回目～ 5 回目の復習
	授業内容	持ち物（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
7	事前学習	授業 1 回目～ 6 回目の復習
	授業内容	持ち物（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
8	事前学習	授業 1 回目～ 7 回目の復習
	授業内容	家族（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
9	事前学習	授業 1 回目～ 8 回目の復習
	授業内容	家族（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
10	事前学習	授業 1 回目～ 9 回目の復習
	授業内容	買い物（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記
11	事前学習	授業 1 回目～ 1 0 回目の復習
	授業内容	買い物（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
12	事前学習	レストランで（1） 復習・演習
	授業内容	重要な不規則変化動詞 命令形 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
13	事前学習	ファッション 復習・演習
	授業内容	前置詞 3 基本形入門 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
14	事前学習	授業 1 回目～ 1 3 回目の復習
	授業内容	観劇 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味をわいた点を調べる
15	事前学習	これまでの学習事項の総復習
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	確認テストで学習不足の点を重点的に復習

科目名	ドイツ語演習E	担当者	森田 悟	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	すでにドイツ語の学習経験のある学生の皆さんとともにドイツ語で書かれたドイツの歴史についての文章を読みながら、ドイツ語の読解能力を高める。説明する文化的な事柄を通してドイツの歴史の一端を知るとともに、ドイツ語の文法力・理解力を身につける。					
授業目的・到達目標	ドイツ語の能力を高め、やや難しい読み物が読むことが出来るようになることを目的にする。					
履修条件	学部の規定による					
授業方法	適宜、受講者に問題の解答を求めながらじっくり少しずつ読み進む。ドイツ語文法については初級段階からの説明をおこなう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		出席が前提ではあるが、平常授業の学習、授業内試験の結果で評価します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	1993年	朝日出版		西ドイツ・戦後40年の歩み		小名木榮三郎
	備考					
参考書	適宜必要に応じて指示する					
オフィスアワー	火曜日の授業時間終了後					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
2	事前学習	ドイツ語文法を復習
	授業内容	ドイツ語文法の復習確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
3	事前学習	ドイツ語文法を復習
	授業内容	ドイツ語文法の復習確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
4	事前学習	ドイツ語文法を復習
	授業内容	ドイツ語文法の復習確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

5	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	戦後のドイツ
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
6	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	戦後のドイツ
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
7	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ポツダム会談など
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
8	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ポツダム会談等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
9	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	追放されるドイツ人
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
10	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	民主主義の始まり
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
11	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	民主主義の始まり
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
12	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ベルリン占領地域、通貨改革等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
13	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ベルリン封鎖など
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
14	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	到達度の確認(授業内試験)
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
15	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

科目名	ドイツ語演習F	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語圏の伝説、メルヘン、詩などを平易なドイツ語に書き改められたテキストを、初級文法を確認しながら読み進める。関連した映像なども参考にしながら、ドイツ語圏の音楽など、文化についての知識を広げてゆくことも目指す。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の読解力を強化するとともに、ドイツ語圏の文化について、見識を得ることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語で書かれた平易なテキストを読み解く力をつけることができるようになる。また、テキストの理解を通じて、ドイツ語圏の文化について見聞を広めることができるようになる。			
履修条件	ドイツ語の初級文法を習得していること。初回の授業には必ず出席すること。平易なドイツ語をたくさん読むので、その覚悟で授業を履修すること。独検をなるべく受験すること。			
授業方法	ドイツ語のテキストの音読や訳読、文法の要点の説明が授業の中心である。必要に応じて、映像等も参照する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点：50% 試験：50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	朝日出版社	名作イージーリーダー	久保哲司
	備考			
参考書	必要に応じて、授業内に指示する。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で読んだ部分をあらためて通読し、夏休み後の授業に備える。後期からの参加者は、後期の初回の授業に必ず参加すること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
2	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第1章 Tannhaeuser①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
3	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第1章 Tannhaeuser②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。
4	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第1章 Tannhaeuser③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。授業で指示された部分の予習をすること。

5	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第1章 Tannhaeuser④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
6	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第2章 Das Buch des Wan-Hu-Tschen①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
7	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第2章 Das Buch des Wan-Hu-Tschen②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
8	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第2章 Das Buch des Wan-Hu-Tschen③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
9	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第2部第2章 Das Buch des Wan-Hu-Tschen④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
10	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第3部 Die Gaensemagd①
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
11	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第3部 Die Gaensemagd②
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
12	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第3部 Die Gaensemagd③
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
13	事前学習	授業で指示された部分の予習をしてくること。
	授業内容	テキスト読解・第3部 Die Gaensemagd④
	事後学習	予習してきた部分と授業での学習内容を照らし合わせ、分からなかった部分が解決できたかどうか、確認すること。 授業で指示された部分の予習をすること。
14	事前学習	後期に読んだ箇所を復習し、分からないところがどこかを明らかにしておくこと。
	授業内容	後期の復習
	事後学習	授業内で理解したところを重点的に復習し、テキスト全体を改めて通読すること。
15	事前学習	テキスト全体を通読し、後期に読んだテキストの感想をまとめておくこと。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	できないと思った部分を改めてテキストで確認すること。

科目名	ドイツ語演習F	担当者	鈴木 満	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「理解力」「暗記」「継続」の大切さを確認しながら、ドイツ語を学びます。				
授業目的・到達目標	ドイツ語を読み・書き・聞き・話すための基礎を発展させて学ぶこと、そしてドイツ語検定試験4級・3級合格を目的とします。 ドイツ語圏の文化を自分で調べることができるようになります。				
履修条件	ドイツ語の基礎をひととおり学習していることが前提ですが、受講生の実力と希望を参考にして決めます。				
授業方法	不定期に小テストを行い、これが平常点に加味されます。授業の復習が必須です。受講生の数などによって授業の進め方を決めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小テスト・検定試験結果も含む。出席不良、私語が多い、辞書がない、復習が著しく不十分、不正行為（小テストでも）があった場合などは学期途中でも不合格となります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008	白水社		たのしいドイツ語 読む・聞く・話す	片岡・小川・宮本
	備考				
参考書	辞書（アポロン独和辞典・クラウン独和辞典など）				
オフィスアワー	suzuki.mitsuru11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツの観光情報などを参照して、ドイツの様子を知る。 ドイツの歴史を復習するなどして、ドイツ語圏への関心を高める。
	授業内容	後期ガイダンス 基礎文法の復習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
2	事前学習	授業第1回目の復習
	授業内容	乗り物（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
3	事前学習	授業1回目～2回目の復習
	授業内容	乗り物（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる
4	事前学習	授業1回目～3回目の復習
	授業内容	グリム童話（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のわいた点を調べる

5	事前学習	授業 1 回目～ 4 回目の復習
	授業内容	グリム童話（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
6	事前学習	授業 1 回目～ 5 回目の復習
	授業内容	スポーツ（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
7	事前学習	授業 1 回目～ 6 回目の復習
	授業内容	スポーツ（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
8	事前学習	授業 1 回目～ 7 回目の復習
	授業内容	手紙（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
9	事前学習	授業 1 回目～ 8 回目の復習
	授業内容	手紙（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
10	事前学習	授業 1 回目～ 9 回目の復習
	授業内容	ベルリンの歴史 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記
11	事前学習	授業 1 回目～ 1 0 回目の復習
	授業内容	教育制度（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
12	事前学習	授業 1 回目～ 1 1 回目の復習
	授業内容	教育制度（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
13	事前学習	授業 1 回目～ 1 2 回目の復習
	授業内容	宇宙飛行士の夢（1） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
14	事前学習	授業 1 回目～ 1 3 回目の復習
	授業内容	宇宙飛行士の夢（2） 復習・演習
	事後学習	授業で学習した単語・例文の暗記 ドイツ文化について興味のをいた点を調べる
15	事前学習	これまでの学習事項の総復習
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	確認テストで学習不足の点を重点的に復習

科目名	ドイツ語演習F	担当者	森田 悟	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	すでにドイツ語の学習経験のある学生の皆さんとともにドイツの歴史についてドイツ語で書かれた文章を読みながら、ドイツ語の読解能力を高める。説明する文化的な事柄を通してドイツの歴史の一端を知るとともに、ドイツ語の文法力・理解力を身につける。				
授業目的・到達目標	ドイツ語の能力を高め、やや難しい読み物を読むことが出来るようになることを目的とする。				
履修条件	学部の規定による				
授業方法	適宜、受講者に読解を求めながら、じっくり少しずつ読み進む。ドイツ語文法については初級段階からの説明を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	出席は前提ではあるが、平常授業の学習、授業内試験の結果で評価します。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	1993	朝日出版	西ドイツ・戦後40年の歩み		荻原耕平、山崎泰孝
	備考				
参 考 書	適宜必要に応じて指示する				
オフィスアワー	火曜日の授業時間終了後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
2	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	議院評議会等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
3	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ドイツ連邦共和国
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
4	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ドイツ連邦共和国
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

5	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	連邦制
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
6	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ベルリンの特殊性等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
7	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ベルリンの特殊性等
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
8	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ベルリンの特殊性
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
9	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	アデナウアー時代
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
10	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	アデナウアー時代
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
11	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ドイツの分断
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
12	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ドイツの分断
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
13	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	ドイツの分断
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
14	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと
15	事前学習	新しい単語等を調べておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	年間数回確認テストをするので復習しておくこと

科目名	ドイツ語演習G	担当者	川嶋 正幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法知識を一步一步確実なものにすることによって、独検3・4級に合格する読解力・聞き取りの力が養成できる。			
授業目的・到達目標	ドイツの風土や文化について書かれた文章を読みながら、基礎のドイツ語力を身に付け、これまでの世界とは異なる新たなもう一つの世界を自分の中に構築してゆくための手助けをすることをこの授業の目的とする。ドイツ語を理解するための基礎力を獲得し、その結果ドイツ語技能検定4級に合格できる力が養成できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	予め説明した文法事項をもとに、各自が事前学修としてテキストを訳し、練習問題を解き、それを授業で確認し、理解が十分でない場合は質問をして、確実に理解してゆくという形で進めて行く。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	授業参画度及び小テスト 40% 授業内テスト 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	朝日出版社	フランクフルト四重奏	川嶋正幸 中村憲治 Schlichtmann
	備考			
参 考 書	独和辞典が必携。携帯電話、スマホ等の独和辞典アプリの授業中の使用は認めない。具体的にはガイダンスで説明する。既に辞書を持っている場合、ガイダンスの際に持参するか書名、出版社名、出版年度を書いて持参すること。			
オフィスアワー	授業後に相談のうえ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツと言えば何を連想するか考えておくこと。
	授業内容	ガイダンス(年間講義計画・成績評価の方法・辞書等の紹介)
	事後学習	授業で触れた事柄をまとめ、よく理解ができなかった箇所があれば次回の授業で質問できるようにしておくこと。
2	事前学習	テキストvi頁からx頁に目を通し、xi頁の発音練習をしておくこと。
	授業内容	発音
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。
3	事前学習	テキストxii頁から6頁に目を通し、よく理解ができなかった箇所があれば次回の授業で質問できるようにし、発音を録音教材で確認しておくこと。
	授業内容	規則動詞 不規則動詞(1)
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	テキスト7頁の設問に回答し、8頁を訳出しておくこと。またテキスト9頁から13頁に目を通しておくこと。発音を録音教材で確認しておくこと。
	授業内容	ドイツへの旅 名詞・冠詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	テキスト14頁の設問に回答し、15頁を訳出しておくこと。またテキスト16頁から19頁に目を通しておくこと。
	授業内容	フランクフルト到着　不規則動詞(2) 命令形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	テキスト20頁の設問に回答し、21頁を訳出しておくこと。またテキスト22頁から25頁に目を通しておくこと。
	授業内容	ゲーテの家　冠詞類　人称代名詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	テキスト26頁の設問に回答し、27頁を訳出しておくこと。またテキスト28頁から32頁に目を通しておくこと。
	授業内容	フランクフルトでの買い物　前置詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	テキスト32頁から34頁に目を通しておくこと。
	授業内容	博物館へ行きますか　接続詞　副文
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	テキスト35頁の設問に回答し、36頁を訳出しておくこと。またテキスト37頁から39頁に目を通しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞　zu不定詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	テキスト40頁の設問に回答し、41頁を訳出しておくこと。またテキスト41頁から44頁に目を通しておくこと。
	授業内容	日本とドイツの学校について　複合動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	テキスト44頁から46頁に目を通しておくこと。
	授業内容	再帰動詞　非人称動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	テキスト47頁の設問に回答し、48頁を訳出しておくこと。またテキスト49頁から53頁に目を通しておくこと。
	授業内容	形容詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	テキスト57頁から60頁に目を通しておくこと。
	授業内容	動詞の3基本形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	これまでの学修を振り返り、理解が行き届かない点があれば質問できるように準備すること。
	授業内容	ドイツの社会・文化を扱った映像教材を見る。
	事後学習	授業で見た映像教材についての感想文を書くこと。
15	事前学習	もう一度全体を見直して、不確実なところがあればしっかりと記憶すること。
	授業内容	これまでのまとめ　(授業内テスト)
	事後学習	質問に対して、分からなかったりあやふやだった点を確認すること。

科目名	ドイツ語演習G	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	時事ドイツ語の購読とプレゼンテーション。				
授業目的・到達目標	ドイツ語圏の時事問題の講読が自律的にできるようになり、そのテーマについて自律的に情報収集をしてプレゼンテーションができるようになることを目的とする。 ドイツ語圏のメディアで発信されている政治・経済・社会・文化の分野からアクチュアルな記事を読んで、それについてプレゼンテーションや質疑応答ができるようになる。CEFR B1レベルの文章を読み解くことができ、また、そのテーマについてプレゼンテーションができるようになる。				
履修条件	ドイツ語基礎文法AB及びドイツ語基礎表現ABが履修済みである者。				
授業方法	テーマごとにドイツ語テキストを翻訳し、それを踏まえた上で、そのテーマについてのプレゼンテーションを行います。翻訳は毎回あたります。学生さんの参加型授業です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	試験 5 0 % 検定試験の結果は加点します。 平常点（授業参加態度、提出物、プレゼンテーション） 5 0 %	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	プリントを使用します。			
参考書	独和辞典（電子辞書不可） その他の参考書は授業中に指示します。				
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスで授業の内容を確認・文法及び語彙復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材の準備・文法復習
2	事前学習	時事問題テキスト1 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト1
	事後学習	時事問題テキスト1 訳語及び文法事項まとめ
3	事前学習	時事問題テキスト2 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト2
	事後学習	時事問題テキスト2 訳語及び文法事項まとめ
4	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト1・2 プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ

5	事前学習	時事問題テキスト3 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト3
	事後学習	時事問題テキスト3 訳語及び文法事項まとめ
6	事前学習	時事問題テキスト4 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト4
	事後学習	時事問題テキスト4 訳語及び文法事項まとめ
7	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト3・4 プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ
8	事前学習	時事問題テキスト5 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト5
	事後学習	時事問題テキスト5 訳語及び文法事項まとめ
9	事前学習	時事問題テキスト6 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト6
	事後学習	時事問題テキスト6 訳語及び文法事項まとめ
10	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト5・6 プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ
11	事前学習	時事問題テキスト7 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト7
	事後学習	時事問題テキスト7 訳語及び文法事項まとめ
12	事前学習	時事問題テキスト8 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト8
	事後学習	時事問題テキスト8 訳語及び文法事項まとめ
13	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト7・8 プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ
14	事前学習	レポート準備
	授業内容	まとめ
	事後学習	レポート作成
15	事前学習	試験準備
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語演習G	担当者	渡辺 徳夫	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	インターネットや新聞、雑誌のドイツ語情報を読んでもみる。				
授業目的・到達目標	基礎文法を手掛かりにして、辞書を使えば、ドイツ語で書かれた記事が理解できるようになる。				
履修条件	初級文法を理解していること。				
授業方法	文章の音読と文章の観察の後、一語一語文法的に厳密に訳す。慣れてきたら、演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業の参加度、レポート、学期末の試験。遅刻、欠席が多いと評価しない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	三修社		『気分はドイツ』	本郷・佐藤著
	備考	コピーを配布する。			
参考書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書と辞書を準備する。
	授業内容	ガイドダンス 4年生は必ず出ること
	事後学習	教科書の文法を概観しておくこと。 課題をやること。
2	事前学習	学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（動詞変化系）、sein, haben 練習 定形2位
	事後学習	課題をやること。 定形2位の原則を覚えること。
3	事前学習	学習予定の単元を予習しておくこと。 規則動詞との変化語尾を比較してみること。
	授業内容	文法の確認（動詞変化系） 練習 不規則動詞
	事後学習	課題をやること。
4	事前学習	学習予定の単元を予習しておくこと。 規則動詞との変化語尾を比較してみること。
	授業内容	文法の確認（動詞変化系） 練習 不規則動詞（2）
	事後学習	課題をやること。

5	事前学習	学習予定の単元を予習しておくこと。 wissen型の変化を確認しておくこと。
	授業内容	文法の確認（動詞変化系） 練習 助動詞
	事後学習	課題をやること。
6	事前学習	学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（動詞変化系） 練習 分離動詞、zu不定詞
	事後学習	課題をやること。 分離動詞とドイツの文構造との関係を考えてみること。
7	事前学習	3基本形、sein, haben, werdenの変化を確認しておく。 学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（動詞変化系） 練習 語順、完了形、受動態
	事後学習	課題をやること。 3通りの定型の位置を確認すること。
8	事前学習	格の用法を調べること。 学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（格変化系） 練習 定冠詞と不定冠詞
	事後学習	課題をやること。
9	事前学習	冠詞と冠詞類の語尾を比較すること。 学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（格変化系） 練習 冠詞類
	事後学習	課題をやること。
10	事前学習	定冠詞の語尾を確認しておくこと。 学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（格変化系） 練習 人称代名詞、疑問代名詞
	事後学習	課題をやること。
11	事前学習	学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（格変化系） 練習 前置詞
	事後学習	課題をやること。 3・4格支配の前置詞の用法を確認し、完全に覚えること。
12	事前学習	定冠詞類の語尾を確認しておくこと。 学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（格変化系） 練習 形容詞
	事後学習	課題をやること。
13	事前学習	副文の構造を確認しておくこと。 学習予定の単元を予習しておくこと。
	授業内容	文法の確認（格変化系） 練習 関係代名詞
	事後学習	課題をやること。
14	事前学習	前期文法を総復習すること。
	授業内容	試験、レポートの注意点
	事後学習	試験、レポートの注意点を厳守すること。
15	事前学習	試験、レポートの注意点の確認、点検
	授業内容	試験（ドイツ語ニュースの和訳）。参照可。 （もしくはレポート）
	事後学習	検定試験を受けた人は、結果を報告すること。

科目名	ドイツ語演習H	担当者	川嶋 正幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法知識を一步一步確実なものにすることによって、独検3・4級に合格する読解力・聞き取りの力が養成できる。			
授業目的・到達目標	ドイツの風土や文化について書かれた文章を読みながら、基礎のドイツ語力を身に付け、これまでの世界とは異なる新たなもう一つの世界を自分の中に構築してゆくための手助けをすることをこの授業の目的とする。ドイツ語を理解するための基礎力を獲得し、その結果ドイツ語技能検定4級に合格できる力が養成できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	予め説明した文法事項をもとに、各自が事前学修としてテキストを訳し、練習問題を解き、それを授業で確認し、理解が十分でない場合は質問をして、確実に理解してゆくという形で進めて行く。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	授業参画度及び小テスト 40% 授業内テスト 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	朝日出版社	フランクフルト四重奏	川嶋正幸 中村憲治 Schlichtmann
	備考			
参考書	独和辞典が必携。携帯電話、スマホ等の独和辞典アプリの授業中の使用は認めない。具体的にはガイダンスで説明する。既に辞書を持っている場合、ガイダンスの際に持参するか書名、出版社名、出版年度を書いて持参すること。			
オフィスアワー	授業後に相談のうえ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでに獲得したドイツ語の文法・語彙に対して、まだあやふやな点があれば再確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 小テスト
	事後学習	小テストであやふやだったり覚えていなかった点があれば、再確認して記憶しておくこと。
2	事前学習	テキスト55頁の設問に回答し、56頁を訳出しておくこと。
	授業内容	比較級 最上級
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
3	事前学習	テキスト57頁から60頁に再び目を通し、61頁にも目を通してておくこと。
	授業内容	過去形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	テキスト62頁の設問に回答し、63頁を訳出しておくこと。またテキスト64頁から66頁に目を通しておくこと。
	授業内容	日本人とドイツの歴史について 複合時制
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	テキスト67頁の設問に回答し、68頁を訳出しておくこと。またテキスト69頁から71頁に目を通しておくこと。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	テキスト71頁から73頁に目を通しておくこと。
	授業内容	受動態
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	テキスト74頁の設問に回答し、75頁を訳出しておくこと。またテキスト76頁から77頁に目を通しておくこと。
	授業内容	ドイツの環境問題 接続法第1式
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	テキスト77頁から79頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続法第2式
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	テキスト全体を振り返り、よく理解できていない箇所があれば、質問できるように準備する。
	授業内容	テキスト全体について重要な事項を中心に振り返る。
	事後学習	授業前に分からなかったり、あいまいだった箇所が和得るようになったかを確認する。
10	事前学習	テキスト80頁の設問に回答し、81頁の13行目までを訳出しておくこと。
	授業内容	ドイツの平和について (1)
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと
11	事前学習	テキスト81頁の最後までを訳出しておくこと。
	授業内容	ドイツの平和について (2)
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと
12	事前学習	テキスト82頁 Anhang 本文21行目まで訳出しておくこと。
	授業内容	国際連合(1)
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと
13	事前学習	テキスト82頁 Anhang 本文21行目から最後まで訳出しておくこと。
	授業内容	国際連合(2)
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。
14	事前学習	これまでの学修を振り返り、理解が行き届かない点があれば質問できるように準備すること。
	授業内容	ドイツの社会・文化を扱った映像教材を見る。
	事後学習	授業で見た映像教材についての感想文を書くこと。
15	事前学習	これまでの学修を振り返り、質問に答えられるように準備すること。
	授業内容	まとめ(授業内テスト)
	事後学習	質問に対して、分からなかったりあやふやだった点を確認すること。

科目名	ドイツ語演習H	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	時事ドイツ語の購読とプレゼンテーション。			
授業目的・到達目標	ドイツ語圏の時事問題の講読が自律的にできるようになり、そのテーマについて自律的に情報収集をしてプレゼンテーションができるようになることを目的とする。 ドイツ語圏のメディアで発信されている政治・経済・社会・文化の分野からアクチュアルな記事を読んで、それについてプレゼンテーションや質疑応答ができるようになる。CEFR B1レベルの文章を読み解くことができ、また、そのテーマについてプレゼンテーションができるようになる。			
履修条件	ドイツ語基礎文法AB及びドイツ語基礎表現ABが履修済みである者。			
授業方法	テーマごとにドイツ語テキストを翻訳し、それを踏まえた上で、そのテーマについてのプレゼンテーションを行います。翻訳は毎回あたります。学生さんの参加型授業です。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	試験５０％ 検定試験の結果は加点します。 平常点（授業参加態度、提出物、プレゼンテーション）５０％	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	プリントを使用します。		
参考書	独和辞典（電子辞書不可） その他の参考書は授業中に指示します。			
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（４号館４２４研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材準備・文法復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教材準備・文法復習
2	事前学習	時事問題テキスト９ 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト９
	事後学習	時事問題テキスト９ 訳語及び文法事項まとめ
3	事前学習	時事問題テキスト１０ 翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１０
	事後学習	時事問題テキスト１０ 訳語及び文法事項まとめ
4	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト９・１０ プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ

5	事前学習	時事問題テキスト１１　翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１１
	事後学習	時事問題テキスト１１　訳語及び文法事項まとめ
6	事前学習	時事問題テキスト１２　翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１２
	事後学習	時事問題テキスト１２　訳語及び文法事項まとめ
7	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト１１・１２　プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ
8	事前学習	時事問題テキスト１３　翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１３
	事後学習	時事問題テキスト１３　訳語及び文法事項まとめ
9	事前学習	時事問題テキスト１４　翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１４
	事後学習	時事問題テキスト１４　訳語及び文法事項まとめ
10	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト１３・１４　プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ
11	事前学習	時事問題テキスト１５　翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１５
	事後学習	時事問題テキスト１５　訳語及び文法事項まとめ
12	事前学習	時事問題テキスト１６　翻訳
	授業内容	時事問題テキスト１６
	事後学習	時事問題テキスト１６　訳語及び文法事項まとめ
13	事前学習	プレゼンテーション準備
	授業内容	時事問題テキスト１５・１６　プレゼンテーション
	事後学習	プレゼンテーション・ワークシートまとめ
14	事前学習	レポート準備
	授業内容	まとめ
	事後学習	レポート作成
15	事前学習	試験準備
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己評価

科目名	ドイツ語演習H	担当者	渡辺 徳夫	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	インターネットや新聞、雑誌のドイツ語情報を読んでもみる。			
授業目的・到達目標	基礎文法を手掛かりにして、辞書を使えば、ドイツ語で書かれた記事が理解できるようになる。			
履修条件	初級文法を理解していること。			
授業方法	文章の音読と文章の観察の後、一語一語文法的に厳密に訳す。慣れてきたら、演習形式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業の参加度、レポート、学期末の試験。遅刻、欠席が多いと評価しない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	三修社	『気分はドイツ』	本郷・佐藤著
	備考	コピーを配布する。		
参考書	授業時に指示する。			
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期文法を概観すること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	前期文法の全体を把握すること。
2	事前学習	分詞の定義、接続法の接続とは何か調べてみること。
	授業内容	文法の確認 分詞、zu不定詞、接続法（間接話法）
	事後学習	ニュース記事には間接話法が多用されることを覚えておくこと。
3	事前学習	前回の単元を復習すること。
	授業内容	文法の確認 分詞、zu不定詞、接続法（非現実）
	事後学習	間接話法で接続法2式が使用されるのはどういう場合かを覚えること。
4	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	ドイツ語の記事の音読（日本） 文構造の分析 文法の確認
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。

5	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	和訳 日本語の記事の確認、比較
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。
6	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	ドイツ語の記事の音読 文構造の分析 文法の確認
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。
7	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	和訳 日本語の記事の確認、比較
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。
8	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	ドイツ語の記事の音読（日本） 文構造の分析 文法の確認
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。
9	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	和訳 日本語の記事の確認、比較
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。
10	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	ドイツ語の記事の音読（日本） 文構造の分析 文法の確認
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。 独文が長い場合には、一度切って、和訳してみること。
11	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	和訳 日本語の記事の確認、比較
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。 独文が長い場合には、一度切って、和訳してみること。
12	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	ドイツ語の記事の音読（世界） 文構造の分析 文法の確認
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。 独文が長い場合には、一度切って、和訳してみること。
13	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	和訳 日本語の記事の確認、比較
	事後学習	決定訳をノートに記すこと。 独文が長い場合には、一度切って、和訳してみること。
14	事前学習	記事の文構造、文法分析、音読をすること。
	授業内容	試験、レポートについて
	事後学習	注意点を厳守すること。 手書きで書くこと。
15	事前学習	訳および注意点を確認、点検
	授業内容	レポート試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	検定試験の結果を報告すること。

科目名	リーディング・ライティング(独) I A	担当者	H. トロル	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Understand and practise basic German in written and spoken form. Learn to read and write easy German. テキストとCD をつかって進みます。			
授業目的・到達目標	基本的な表現，文法上のポイントなどをまんで，聴き取りを練習しながら，コース終了時には日常的場面に対処出来る力をつける。 難しくないですけど継続して出席することがだいじです。 Deutsch を楽しく勉強しましょう。ドイツ語がききとれるようにこたえられるように。			
履修条件	積極的な授業参加。			
授業方法	教科書とビデオ教材を用いて重要表現の練習を繰り返します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	2 tests (80%) and 20% class performance
教科書	年	出版社	書名	著者名
	第三書房	第三書房	ドイツ語の翼 ISBN4-8086-1013-2	Hermann Troll/Kiyoko Ogushi
	備考			
参 考 書	文法から学べる ドイツ語 【ナツメ社） ISBN978-4-8163-3820-5			
オフィス アワー	授業の後			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み予習30分
	授業内容	ガイダンス First expressions
	事後学習	復習30分
2	事前学習	予習30分
	授業内容	発音練習 など
	事後学習	復習60分
3	事前学習	予習60分
	授業内容	挨拶の言葉、自己紹介
	事後学習	復習60分
4	事前学習	予習60分
	授業内容	第1課
	事後学習	復習60分

5	事前学習	予習60分
	授業内容	第1課
	事後学習	復習60分
6	事前学習	予習60分
	授業内容	第2課
	事後学習	復習60分
7	事前学習	予習60分
	授業内容	第2課
	事後学習	復習60分
8	事前学習	予習60分
	授業内容	第3課
	事後学習	復習60分
9	事前学習	予習60分
	授業内容	第3課
	事後学習	復習60分
10	事前学習	予習90分
	授業内容	小テスト, ドイツの生活 (ビデオ1)
	事後学習	復習30分
11	事前学習	予習60分
	授業内容	第4課
	事後学習	復習60分
12	事前学習	予習60分
	授業内容	第4課
	事後学習	復習60分
13	事前学習	予習60分
	授業内容	第5課
	事後学習	復習60分
14	事前学習	予習60分
	授業内容	第5課
	事後学習	復習60分
15	事前学習	予習90分
	授業内容	小テスト, ドイツの生活 (ビデオⅡ) まとめ
	事後学習	復習30分

科目名	リーディング・ライティング(独) I B	担当者	H. トロル	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	難しくないですけど動力が必要です。 Easy German read and write We follow our textbook			
授業目的・到達目標	Basic German texts and sentences 文法の復習と応用 Lesson 6 to lesson 11 of textbook, dialogues and practice			
履修条件	None 積極的な態度が必要です。			
授業方法	Grammatical exercises, repetition and easy sentences 文法の復習, 分の作り方			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	2 tests (80%) and 20% class performance	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	第三書房	第三書房	ドイツ語の翼 ISBN4-8086-1013-2	Troll/ Ogushi
	備考			
参 考 書	文法から学べるドイツ語 (ナツメ社) I S B N 9 7 8 - 4 - 8 1 6 3 - 3 8 2 0 - 5			
オフィス アワー	授業の後			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み予習30分
	授業内容	Repetition of first semester 復習
	事後学習	復習 6 0 分
2	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 6
	事後学習	復習 6 0 分
3	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 6
	事後学習	復習 6 0 分
4	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 7
	事後学習	復習 6 0 分

5	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 7
	事後学習	復習 6 0 分
6	事前学習	予習 9 0 分
	授業内容	Short test 1 and video
	事後学習	復習 3 0 分
7	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 8
	事後学習	復習 6 0 分
8	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 8
	事後学習	復習 6 0 分
9	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 9
	事後学習	復習 6 0 分
10	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 9
	事後学習	復習 6 0 分
11	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 10
	事後学習	復習 6 0 分
12	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 10
	事後学習	復習 6 0 分
13	事前学習	予習 9 0 分
	授業内容	Short test and video
	事後学習	復習 3 0 分
14	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 11
	事後学習	復習 6 0 分
15	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 11 まとめ
	事後学習	復習 6 0 分

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅠA	担当者	川嶋 正幸	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法・単語の知識を一步一步確実にものにすることにより、独検3・4級に合格する読解力・聞き取りの力が養成できる。			
授業目的・到達目標	ドイツ語技能検定(独検)4級に合格できる力を獲得すること。必要最低限のドイツ語初級文法力と単語力を付けることによって、独検4級に合格すること。			
履修条件	特になし。			
授業方法	予め説明した文法事項をもとに、各自が事前学修としてテキストを訳し、練習問題を解き、それを授業で確認し、理解が十分でない場合は質問をして、確実に理解してゆくという形で進めて行く。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参画度及び小テスト 40% 授業内テスト 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010年度	三修社	らくらくドイツ文法	長谷川つとむ 他
	備考			
参考書	独和辞典が必携。携帯電話、スマホ等の独和辞典アプリの授業中の使用は認めない。具体的にはガイダンスで説明する。既に辞書を持っている場合、ガイダンスの際に持参するか書名、出版社名、出版年度を書いて持参すること。			
オフィスアワー	授業後に相談のうえ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドイツと言えば何を連想するか考えておくこと。
	授業内容	ガイダンス(年間講義計画・成績評価の方法・辞書等の紹介)
	事後学習	授業で触れた事柄をまとめておくこと。
2	事前学習	テキストの7頁から8頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	ドイツ語のアルファベットと発音
	事後学習	授業で扱った発音を録音教材によって確認し、発音練習をすること。
3	事前学習	テキストの8頁から9頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	母音と子音の発音
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	テキストの10頁から12頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	単語の発音 動詞の現在人称変化
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	テキストの13頁の設問に回答し、14頁から16頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	名詞 冠詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	テキストの16頁から17頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	名詞の複数形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	テキスト18頁の設問に回答し、19頁から21頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	不規則動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	テキスト21頁から22頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	命令形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	テキスト23頁の設問に回答し、24頁から26頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	冠詞類 人称代名詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	テキスト27頁の設問に回答し、28頁から30頁まで目を通しておくこと。
	授業内容	前置詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	テキスト30頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	テキスト31頁の設問に回答し、32頁から34頁までに目を通しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	テキスト35頁の設問に回答し、テキストの36頁から37頁までに目を通しておくこと。
	授業内容	分離動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	これまでの学修を振り返り、理解が行き届かない点があれば質問できるように準備すること。
	授業内容	ドイツの社会・文化を扱った映像教材を見る。
	事後学習	授業で見た映像教材についての感想文を書くこと。
15	事前学習	これまでの学修を振り返り、質問に答えられるように準備すること。
	授業内容	これまでのまとめ(授業内テスト)
	事後学習	質問に対して、分からなかったりあやふやだった点を確認すること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅠA	担当者	河田 一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業ではドイツ語検定試験４・５級の出題傾向を解説し、試験に合格するための指導を行う。					
授業目的・到達目標	6月と12月に行われるドイツ語検定試験４・５級合格を目指します。単語力のアップに重点を置き、過去問題を使用し、出題傾向を徹底的に分析します。課題の多いハードな授業ですが、最後まで授業に参加した学生は、黄金に輝く合格証を手にすることができます。ドイツ語検定合格のみ。					
履修条件	ドイツ語が初めての場合は、ドイツ語基礎表現・ドイツ語基礎文法も履修することが望ましい。					
授業方法	テキストにより文法事項を確認しつつ、プリントを使用し検定の形式に慣れてもらいます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加・受講態度及び毎回の小テスト	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	三修社		気分はドイツ		本郷、佐藤他
	備考					
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	心静かに、ガンダンスを待つこと。 シラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を確認し、次回からの授業に必要なものを用意すること。
2	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	発音問題　Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
3	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	発音問題　Ⅱ・動詞の変化　Ⅰ
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
4	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	発音問題　Ⅲ・動詞の変化　Ⅱ
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。

5	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	sein ・ haben
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
6	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	名詞と冠詞
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
7	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	名詞の複数形
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
8	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	不規則変化動詞
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
9	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	冠詞類
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
10	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	人称代名詞
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
11	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	前置詞 I
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
12	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	前置詞 II
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
13	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	接続詞
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
14	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	ヒアリング練習 I
	事後学習	授業内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
15	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	授業内容を確認し、後期に備えること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅠA	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基本を確認しながら、ドイツ語技能検定試験(独検)の4級と3級の合格を目指す授業である。前期で4級レベル、後期で3級レベルの事項を扱う。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の文法知識と基本的な語彙を習得し、ドイツ語検定試験の4級と3級に合格できるレベルの運用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の文法知識と基本的な語彙を習得し、ドイツ語検定試験の4級と3級に合格できるレベルの運用能力を身につけることができるようになる。			
履修条件	独検合格を目指す授業である以上、独検は必ず受験すること(独検を受験しない者の受講は認めない)。			
授業方法	文法の復習、単語・熟語の知識の確認、過去問の解説、等。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点:50点 試験:50点
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	三修社	独検5級・4級・3級対応 ドイツ語文法	在間進ほか
	2010年	第三書房	新・独検合格 単語+熟語1800	在間進ほか
	備考	単語集は、同じ書籍を持っている場合には、あらためて購入する必要はない(2017年度に私が担当した「ドイツ語基礎文法」で使用したものと同一である)。		
参考書	授業では使用しないが、自習用問題集を必要とする場合には、森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)を勧めたい。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	「ドイツ語基礎文法」で学習した文法事項のうち、独検4級の出題範囲をざっと目を通しておくこと。
2	事前学習	「ドイツ語基礎文法」で学習した文法事項のうち、独検4級の出題範囲をざっと目を通しておくこと。
	授業内容	独検4級 模擬試験(筆記とリスニング)
	事後学習	現時点での実力と弱点がどこであるかを把握し、該当する文法項目を「ドイツ語基礎文法」の授業で使用した教科書で確認しておくこと。独検3級の出題範囲をざっと目を通しておくこと。
3	事前学習	「ドイツ語基礎文法」で学習した文法事項のうち、独検3級の出題範囲をざっと目を通しておくこと。
	授業内容	独検3級 模擬試験(筆記とリスニング)
	事後学習	現時点での実力と弱点がどこであるかを把握し、該当する文法項目を「ドイツ語基礎文法」の授業で使用した教科書で確認しておくこと。
4	事前学習	教科書を準備して授業に来ること。学習予定内容について、あらかじめ教科書をよく読んでくること。
	授業内容	第1章 発音、第2章 動詞と文
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。

5	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第3章 格変化(単数形)、第4章 複数形
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
6	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	対策学習編1(3人称の人称代名詞と疑問代名詞、疑問副詞)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
7	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第5章 冠詞類
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
8	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	対策学習編2(不規則変化動詞、複合的な疑問詞)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
9	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第6章 前置詞
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
10	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第7章 人称代名詞、再帰代名詞
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
11	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第8章 話法の助動詞、未来形
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
12	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	対策学習編3(分離動詞、命令形)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
13	事前学習	これまでの学習事項を復習してくること。
	授業内容	独検4級 模擬試験
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
14	事前学習	前期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認する。
	授業内容	前期の復習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
15	事前学習	前期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅠB	担当者	川嶋 正幸	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法・単語の知識を一步一步確実なものにすることにより、独検3・4級に合格する読解力・聞き取りの力が養成できる。			
授業目的・到達目標	ドイツ語技能検定(独検)4級に合格できる力を獲得すること。必要最低限のドイツ語初級文法力と単語力を付けることによって、独検4級に合格すること。			
履修条件	特になし。			
授業方法	予め説明した文法事項をもとに、各自がテキストを訳し、練習問題を解くという方法で授業を進めてゆく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参画度及び小テスト 40% 授業内テスト 60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010年度	三修社	らくらくドイツ文法	長谷川つとむ 他
	備考			
参考書	独和辞典が必携。携帯電話、スマホ等の独和辞典アプリの授業中の使用は認めない。具体的にはガイダンスで説明する。既に辞書を持っている場合、ガイダンスの際に持参するか書名、出版社名、出版年度を書いて持参すること。			
オフィスアワー	授業後に相談のうえ受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでに獲得したドイツ語の文法・語彙に対して、まだあやふやな点があれば再確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 小テスト
	事後学習	授業によってあぶりだされたドイツ語の文法・語彙に対するあやふやな点を再確認してしっかり記憶すること。
2	事前学習	テキスト37頁から38頁に目を通しておくこと。
	授業内容	分離動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
3	事前学習	テキスト38頁から39頁に目を通しておくこと。
	授業内容	再帰動詞 非人称動詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	テキスト40頁の設問に回答し、41頁から43頁に目を通しておくこと。
	授業内容	形容詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	テキスト43頁から45頁に目を通しておくこと。
	授業内容	比較級 最高級
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	テキスト46頁の設問に回答し、テキスト47頁から49頁に目を通しておくこと。
	授業内容	過去形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	テキスト50頁の設問に回答し、51頁から53頁に目を通しておくこと。
	授業内容	未来形 完了形
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	テキスト54頁の設問に回答し、テキスト55頁から56頁に目を通しておくこと。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	テキスト56頁に目を通しておくこと。
	授業内容	不定関係代名詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	テキスト57頁の設問に回答し、テキスト58頁から60頁に目を通しておくこと。
	授業内容	受動態
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	テキスト60頁から61頁に目を通しておくこと。
	授業内容	zu不定詞 分詞
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	テキスト62頁の設問に回答し、テキスト63頁から64頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続法第1式
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	テキスト64頁から66頁に目を通しておくこと。
	授業内容	接続法第2式
	事後学習	テキストの発音を録音教材で確認し、発音練習をすること。またよく理解ができなかった箇所があれば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	これまでの学修を振り返り、理解が行き届かない点があれば質問できるように準備すること。
	授業内容	ドイツの社会・文化を扱った映像教材を見る。
	事後学習	授業で見た映像教材についての感想文を書くこと。
15	事前学習	これまでの学修を振り返り、質問に答えられるように準備すること。
	授業内容	まとめ(授業内テスト)
	事後学習	質問に対して、分からなかったりあやふやだった点を確認すること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅠB	担当者	河田 一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業ではドイツ語検定試験４・５級の出題傾向をピンポイントで解説し、試験に合格するための指導を行う。					
授業目的・到達目標	6月と12月に行われるドイツ語検定試験４・５級合格を目指します。単語力のアップに重点を置き、過去問題を使用し、出題傾向を徹底的に分析します。課題の多いハードな授業ですが、最後まで授業に参加した学生は、黄金に輝く合格証を手にすることができます。ドイツ語検定合格のみ。					
履修条件	ドイツ語が初めての場合は、ドイツ語基礎表現・ドイツ語基礎文法も履修することが望ましい。					
授業方法	テキストにより文法事項を確認しつつ、プリントを使用し検定の形式に慣れてもらいます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への積極的な参加・受講態度及び毎回の小テスト	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	三修社		気分はドイツ		本郷、佐藤ほか
	備考					
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の内容を確認しておくこと。
	授業内容	話法の助動詞Ⅰ
	事後学習	授業の内容を確認し、次回的小テストに備えて準備を行うこと。
2	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	話法の助動詞Ⅱ
	事後学習	授業の内容を確認し、次回的小テストに備えて準備を行うこと。
3	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	ヒアリング練習Ⅱ
	事後学習	授業の内容を確認し、次回的小テストに備えて準備を行うこと。
4	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	形容詞
	事後学習	授業の内容を確認し、次回的小テストに備えて準備を行うこと。

5	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	分離動詞
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
6	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	動詞の3基本形と過去
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
7	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	完了形
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
8	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	関係代名詞
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
9	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	受動態
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
10	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	zu 不定詞
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
11	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	接続法
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
12	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	総合問題　Ⅰ
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
13	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	総合問題　Ⅱ
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
14	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	総合問題　Ⅲ
	事後学習	授業の内容を確認し、次回の小テストに備えて準備を行うこと。
15	事前学習	前回の授業で示された課題を行うこと。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	心静かに、一年の学習を振り返ること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅠB	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の基本を確認しながら、ドイツ語技能検定試験(独検)の4級と3級の合格を目指す授業である。前期で4級レベル、後期で3級レベルの事項を扱う。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語の文法知識と基本的な語彙を習得し、ドイツ語検定試験の4級と3級に合格できるレベルの運用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語の文法知識と基本的な語彙を習得し、ドイツ語検定試験の4級と3級に合格できるレベルの運用能力を身につけることができるようになる。			
履修条件	独検合格を目指す授業である以上、独検は必ず受験すること(独検を受験しない者の受講は認めない)。			
授業方法	文法の復習、単語・熟語の知識の確認、過去問の解説、等。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点:50点 試験:50点
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	三修社	独検5級・4級・3級対応 ドイツ語文法	在間進ほか
	2010年	第三書房	新・独検合格 単語+熟語1800	在間進ほか
	備考	単語集は、同じ書籍を持っている場合には、あらためて購入する必要はない(2017年度に私が担当した「ドイツ語基礎文法」で使用したものと同一である)。		
参考書	授業では使用しないが、自習用問題集を必要とする場合には、森泉『しっかり身につくドイツ語トレーニングブック』(ベレ書房、2006年)を勧めたい。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習事項を復習しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、独検4級 模擬試験(筆記とリスニング)
	事後学習	現時点での実力と弱点がどこであるかを把握し、該当する文法項目を教科書で確認しておくこと。独検3級の出題範囲をざっと目を通しておくこと。
2	事前学習	独検3級の出題範囲をざっと目を通しておくこと。
	授業内容	独検3級 模擬試験(筆記とリスニング)
	事後学習	現時点での実力と弱点がどこであるかを把握し、該当する文法項目を教科書で確認しておくこと。
3	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	準備編(三基本形)、第9章 過去形
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
4	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第10章 現在完了形
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。

5	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第11章 受動文
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
6	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第12章 接続詞、副文、 第16章 zu不定詞
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
7	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第13章 接続法
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
8	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第14章 比較変化、第17章 形容詞の格変化
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
9	事前学習	学習予定内容について、あらかじめ目を通してくること。単語と熟語をきちんと覚えてくること。
	授業内容	第15章 関係文
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
10	事前学習	これまでの学習事項を復習してくること。
	授業内容	独検3級 模擬試験(筆記とリスニング)
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
11	事前学習	12月に実施予定の独検の問題冊子を持ってくること。
	授業内容	独検 解説
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
12	事前学習	後期の学習内容について復習し、何が理解できていないかを確認する。
	授業内容	後期の復習と発展学習
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。
13	事前学習	ドイツ語圏の文化について、テレビやインターネットなどを通じて、情報を得るようにすること。
	授業内容	後期の復習と発展学習
	事後学習	ドイツ語圏の文化で興味のあることについて、本を読むこと。
14	事前学習	ドイツ語圏の文化について、テレビやインターネットなどを通じて、情報を得るようにすること。
	授業内容	後期の復習と発展学習
	事後学習	ドイツ語圏の文化で興味のあることについて、本を読むこと。
15	事前学習	後期の学習内容について、十分に時間をかけて確認すること。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	問題を解いてできないと思ったところを十分に復習すること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅡA	担当者	富山 典彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	すでに習得しているはずのドイツ語の初級文法を復習しながら、独検三級合格に必要な語彙や表現を習得する。また、独検三級の過去問を文法項目などに合わせて使用する。教科書の問題は翌週の小テストに出題するとともに、独検の過去問も小テストに加えて、知識の整理だけではなく新しい問題にも対応できる能力を養う。			
授業目的・到達目標	ドイツ語技能検定試験、略称「独検」は、ドイツ語の能力を認定するわが国独自の検定試験であるが、ドイツでもその成果を認められつつある。ドイツ語の基礎的知識、とりわけいわゆる初級文法を体系的に復習する際に、日常的によく使われる単語や表現を用いることで、ドイツ語の柔軟な運用能力を養うとともに、独検に出題された過去問を教材とすることで、その出題形式に慣れ、合格をより確かなものにする。一年次ですでに独検四級を取得している者も多いと思うが、独検三級合格を目指す。独検三級合格に必要な文法の知識・語彙・会話表現・読解と聞き取りの能力を身につける。また、ドイツ語を話す人たちの歴史や文化も理解する。			
履修条件	ドイツ語の基礎を習得していること。独検合格に意欲を持っていること。授業に積極的に参加すること。			
授業方法	独検の出題形式にならった教科書で、ドイツ語の基礎的な文法を復習しつつ、過去問を用いて、毎時間小テストを行い、独検合格に必要な語彙と聞き取り能力を習得する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回小テストを実施し、その成績を100%とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2004	郁文堂	独検合格スーパートレーニング	高木昌史他
	備考			
参考書	ドイツ語学文学振興会編『独検過去問題集』郁文堂。			
オフィスアワー	tomiya@seiyo.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでのドイツ語学習を振り返ってみて、疑問点などを整理しておく。
	授業内容	はじめに
	事後学習	前年度に用いたドイツ語教科書の発音の課を復習しておく。
2	事前学習	母音の読み方について整理しておく。
	授業内容	発音問題の問題演習(1)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
3	事前学習	子音の読み方について整理しておく。
	授業内容	発音問題の問題演習(2)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
4	事前学習	これまでに学んだ名詞を整理しておく。
	授業内容	名詞の性と格変化の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。

5	事前学習	sein, haben, werdenのほか、よく使う動詞を整理しておく。
	授業内容	動詞の現在人称変化の問題演習(1)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
6	事前学習	代表的な不規則変化動詞とその意味を調べておく。
	授業内容	動詞の現在人称変化の問題演習(2)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
7	事前学習	定冠詞と不定冠詞の格変化について調べておく。
	授業内容	定冠詞・不定冠詞の格変化の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
8	事前学習	定冠詞類と不定冠詞類について調べておく。
	授業内容	定冠詞類・不定冠詞類の格変化の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
9	事前学習	格支配ごとに前置詞を調べておく
	授業内容	前置詞の問題演習(1)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
10	事前学習	前置詞を用いた熟語について調べておく。
	授業内容	前置詞の問題演習(2)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
11	事前学習	前置詞を用いた熟語について調べておく。
	授業内容	再帰動詞・非人称動詞の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
12	事前学習	話法の助動詞の現在人称変化について調べておく。
	授業内容	話法の助動詞の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
13	事前学習	未来時称の意味について調べておく。
	授業内容	未来時称の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
14	事前学習	おもな動詞の三基本形を覚えておく。
	授業内容	動詞の三基本形の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
15	事前学習	これまでに覚えた単語や表現を整理しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	前期の授業で説明された表現を使って文を作る練習をする。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅡB	担当者	富山 典彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	すでに習得しているはずのドイツ語の初級文法を復習しながら、独検三級合格に必要な語彙や表現を習得する。また、独検三級の過去問を文法項目などに合わせて使用する。教科書の問題は翌週の小テストに出題するとともに、独検の過去問も小テストに加えて、知識の整理だけではなく新しい問題にも対応できる能力を養う。			
授業目的・到達目標	ドイツ語技能検定試験、略称「独検」は、ドイツ語の能力を認定するわが国独自の検定試験であるが、ドイツでもその成果を認められつつある。ドイツ語の基礎的知識、とりわけいわゆる初級文法を体系的に復習する際に、日常的によく使われる単語や表現を用いることで、ドイツ語の柔軟な運用能力を養うとともに、独検に出題された過去問を教材とすることで、その出題形式に慣れ、合格をより確かなものにする。一年次ですでに独検四級を取得している者も多いと思うが、独検三級合格を目指す。独検三級合格に必要な文法の知識・語彙・会話表現・読解と聞き取りの能力を身につける。また、ドイツ語を話す人たちの歴史や文化も理解する。			
履修条件	ドイツ語の基礎を習得していること。独検合格に意欲を持っていること。授業に積極的に参加すること。			
授業方法	独検の出題形式にならった教科書で、ドイツ語の基礎的な文法を復習しつつ、過去問を用いて、毎時間小テストを行い、独検合格に必要な語彙や表現と聞き取り能力を習得する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回小テストを実施し、その成績を100%とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2004	郁文堂	独検合格スーパートレーニング	高木昌史他
	備考			
参考書	ドイツ語学文学振興会編『独検過去問題集』郁文堂。			
オフィスアワー	tomiya@seiyo.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前年度に用いた教科書の後半部分に載っている例文をノートする。
	授業内容	はじめに
	事後学習	前年度に用いた教科書の過去形のところを読んでおく。
2	事前学習	おもな動詞の三基本形を復習しておく。
	授業内容	過去時称の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
3	事前学習	sein支配とhaben支配の動詞を調べておく。
	授業内容	完了時称の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
4	事前学習	受動態の作り方について調べておく。
	授業内容	受動態の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。

5	事前学習	おもな接続詞を調べておく。
	授業内容	接続詞の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
6	事前学習	関係代名詞の使い方について調べておく。
	授業内容	関係詞の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
7	事前学習	形容詞の使い方について調べておく。
	授業内容	形容詞の格変化の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
8	事前学習	おもな形容詞の比較級と最上級の作り方について調べておく。
	授業内容	形容詞の比較変化の問題演習
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
9	事前学習	接続法の動詞の変化について調べておく。
	授業内容	接続法の問題演習(1)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
10	事前学習	接続法の使い方について調べておく。
	授業内容	接続法の問題演習(2)
	事後学習	小テストにそなえて教科書の問題をもう一度やっておく。
11	事前学習	これまでに説明された表現を整理しておく。
	授業内容	長文問題の問題演習(1)
	事後学習	長文問題の単語をもう一度調べなおす。
12	事前学習	長文の読み方について考えてみる。
	授業内容	長文問題の問題演習(2)
	事後学習	長文問題の単語をもう一度調べなおす。
13	事前学習	会話表現について考えてみる。
	授業内容	長文問題の問題演習(3)
	事後学習	長文問題の単語をもう一度調べなおす。
14	事前学習	独検の過去問題集をやってみる。
	授業内容	総合演習(1)
	事後学習	もう一度問題を解いてみる。
15	事前学習	独検の過去問題集をやってみる。
	授業内容	総合演習(2)
	事後学習	これまでの単語や表現などを整理しなおす。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅢA	担当者	石井 寿子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語検定では基礎文法の知識が問われるので、文法を1からおさらいします。			
授業目的・到達目標	ドイツ語技能検定3級合格を目指し、文法の復習をします。実際に独検を受験しなくてもかまいませんが、せっかく勉強するので力試しに是非受験してください。独検3級に合格できるドイツ語能力を養います。			
履修条件	特にありません。初習者も歓迎します。			
授業方法	練習問題を解きながら、文法事項を確認します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	筆記試験：80満点の試験で、40点に満たない場合は追試となります。（80%） 受講態度で採点します。（20%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2001年	朝日出版社	ドイツ文法へのやさしい離陸	石井寿子
	備考			
参考書	独和辞典（電子辞書も可）。			
オフィスアワー	金曜午後本館講師控室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第1課 発音
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
2	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第2課 数詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
3	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第3課 動詞の現在人称変化
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
4	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第4課 強変化動詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる

5	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第5課 名詞の各変化
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
6	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第6課 冠詞類
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
7	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第7課 人称代名詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
8	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第8課 話法の助動詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
9	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第9課 前置詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
10	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第10課 複合動詞・命令形
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
11	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第11課 形容詞の格変化
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
12	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第12課 動詞の過去人称変化
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
13	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第13課 現在完了
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
14	事前学習	授業で習ったことを復習する
	授業内容	前期の力だめし、まとめ
	事後学習	出題された箇所を確認する
15	事前学習	自己採点し、不明箇所をピックアップする
	授業内容	答え合わせ、解説
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅢA	担当者	渡辺 徳夫	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	一年の授業で基本文法、基本語彙を習得し、中級レベル（検定合格、語学研修、交換留学）への橋渡しをするための授業である。			
授業目的・到達目標	授業目的：一年間の授業で、大学の英語のレベルまで引き上げることを目的としている。 到達目標：①ドイツ語の基本構造が把握できるようになる。 ②独検4級のレベルに到達し、合格する力を身につけることができる。 ③簡単なドイツ語の記事を読むことができるようになる。			
履修条件	ドイツ語技能検定試験（独検）を受験すること。			
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う予定でいる。 ②辞書をを引きながら、独訳、和訳、文法問題をやっていく。③確認のための小テスト、レポートも実施する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験 基本的な問題（参照不可）（90%） レポート課題、小テスト、独検の結果、授業への積極的参加（10%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	白水社	『プレーミエ』	神竹・國光・田島
	備考			
参考書	独和辞典の紹介（電子辞書を勧めない）は最初の授業時に行う。単語集、参考書も授業時に指示する。			
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス 独和辞典の紹介 アルファベット、母音の発音
	事後学習	教科書、および、紹介された独和辞典を用意する（電子辞書は不可）。
2	事前学習	前回の復習をすること。
	授業内容	アルファベット、発音の原則 主語となる人称代名詞 動詞は、主語に応じて変化、辞書の引き方
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。辞書を引いてみる。
3	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。
	授業内容	動詞の基本変化 重要動詞sein（英：be）とhaben(英：have)変化
	事後学習	課題を行うこと。復習をすること。単語を書けるようにすること。
4	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。
	授業内容	復習 名詞は大文字で書き始め、性は3つ、文中の役割を示す格は4つ、複数形は5タイプ 辞書の引き方
	事後学習	課題を行うこと。復習をすること。単語を書けるようにすること。

5	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。小テストために完全に暗記すること。
	授業内容	復習 小テスト 定冠詞類・不定冠詞類。辞書の引き方
	事後学習	冠詞の語尾と冠詞類の語尾を比較してみる。復習をすること。単語を書けるようにすること。
6	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。わからない点を書き記しておく。
	授業内容	復習 不規則動詞
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。規則動詞の語尾と比較してみる。
7	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。
	授業内容	復習 前置詞の4種類。人称代名詞の3格と4格。 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。3・4格支配の前置詞の用法を検討してみる。
8	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。助動詞の文構造について観察してみる。
	授業内容	復習 話法の助動詞、未来・推量の助動詞、zu不定詞 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。zu不定句内の語順と日本語の語順の類似性を確認する。
9	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。定冠詞類の語尾を確認しておく。
	授業内容	復習 形容詞の格変化、比較 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
10	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。現在人称語尾と過去人称語尾とを比較してみる。
	授業内容	復習 動詞の3基本形、過去人称変化、分離動詞 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。不規則動詞を辞書で調べておく。
11	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。sein, habenの変化を確認しておく。
	授業内容	復習 現在完了形、接続詞、定形の位置の3タイプ、副文 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。ドイツ語の文章における動詞の位置を確認してみよう。
12	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。「再帰」や「分詞」の意味を調べてみよう。
	授業内容	復習 再帰代名詞、再帰動詞、非人称表現、分詞、esの用法 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
13	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。関係文の構造を観察しておく。
	授業内容	復習 関係文 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
14	事前学習	前回の復習をすること。今まで習った単語の意味を覚えなおす。
	授業内容	前期文法の復習 試験について
	事後学習	試験範囲を何度も目を通し、CDを聞きながら音読をする。
15	事前学習	習った単語、文法、文章を完全に覚えたかどうか確認する。
	授業内容	試験（70分、応用問題、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検5級の結果を提出すること。

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅢB	担当者	石井 寿子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語の文法知識を応用し、過去問題を確実に解けるようにします。				
授業目的・到達目標	ドイツ語技能検定３級合格を目指して文法の復習をし、過去問題を学習します。実際に独検を受験しなくてもかまいませんが、せっかく勉強するので力試しに是非受験してください。独検３級に合格できるドイツ語力を養います。				
履修条件	特にありませんが、初級文法を既習済みであることを前提に授業を進めます。				
授業方法	2015年・2016年の春・秋季の過去問題を解きながら、傾向と対策を確認していきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	筆記試験：８０点満点の試験で、４０点未満の場合は追試となります。（80%） 受講態度で採点します。（20%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	初回授業の時に教材プリントを配布します。必ず出席して下さい。			
参 考 書	独和辞典（電子辞書も可）。				
オフィスアワー	金曜午後本館講師控室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第14課 接続詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
2	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第15課 関係代名詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
3	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第16課 zu 不定詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
4	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第17課 再帰代名詞
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる

5	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第18課 受動
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
6	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第19課 形容詞の比較表現
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
7	事前学習	教科書を事前に一読する
	授業内容	第20課 接続法
	事後学習	課題となった練習問題を必ずやってくる
8	事前学習	過去問題を自力で解いてみる
	授業内容	過去問題 1・2
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする
9	事前学習	過去問題を自力で解いてみる
	授業内容	過去問題 3・4
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする
10	事前学習	過去問題を自力で解いてみる
	授業内容	過去問題 5・6
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする
11	事前学習	過去問題を自力で解いてみる
	授業内容	過去問題 7
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする
12	事前学習	過去問題を自力で解いてみる
	授業内容	過去問題 8
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする
13	事前学習	過去問題を自力で解いてみる
	授業内容	聞き取り問題
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする
14	事前学習	授業で勉強したことを復習する
	授業内容	後期の力だめし、まとめ
	事後学習	出題箇所を確認する
15	事前学習	不明だった箇所をピックアップする
	授業内容	答え合わせ・解説
	事後学習	間違った箇所を確認し、クリアにする

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅢB	担当者	渡辺 徳夫	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	一年の授業で基本文法、基本語彙を習得し、中級レベル（検定合格、語学研修、交換留学）への橋渡しをするための授業である。				
授業目的・到達目標	授業目的：一年間の授業で、大学の英語のレベルまで引き上げることを目的としている。 到達目標：①ドイツ語の基本構造が把握できるようになる。 ②独検4級のレベルに到達し、合格する力を身につけることができる。 ③簡単なドイツ語の記事を読むことができるようになる。				
履修条件	ドイツ語技能検定試験（独検）を受験すること。				
授業方法	①中級文法や細則を避け、基礎文法にしぼって教えていく。慣れてきたら、演習形式で行う予定でいる。 ②辞書をを引きながら、独訳、和訳、文法問題をやっていく。③確認のための小テスト、レポートも実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験 基本的な問題（参照不可）（90%） レポート課題、小テスト、独検の結果、授業への積極的参加（10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	白水社		『プレーミエ』	神竹・國光・田島
	備考				
参考書	独和辞典の紹介（電子辞書を勧めない）は最初の授業時に行う。単語集、参考書も授業時に指示する。				
オフィスアワー	水曜日、昼休み。図書館1階オフィスアワー・スペース もしくは、5号館国際交流センター入室時。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（前期文法の復習） 後期文法の概観
	事後学習	復習をすること。
2	事前学習	前回の復習をすること。werdenの変化と過去分詞の作り方を確認しておく。
	授業内容	復習 受動文 辞書の引き方
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。
3	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。「接続法」の「接続」とは何か調べておく。
	授業内容	復習 接続法 辞書の引き方
	事後学習	課題をすること。復習をすること。単語を書けるようにすること。現在人称変化語尾と接続法変化語尾を比較してみる。
4	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	復習 テキスト読解 辞書の引き方
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。

5	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	テキスト読解 独作文演習（助動詞）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。
6	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	テキスト読解 独作文演習（過去・完了形）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。
7	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。 何が起こったのか、誰がそれを伝えているのかを調べておく。
	授業内容	テキスト読解 メールニュースを読む（日本）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。 日本語の記事で内容を確認しておく。
8	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。 何が起こったのか、誰がそれを伝えているのかを調べておく。
	授業内容	テキスト読解 メールニュースを読む（日本）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。 日本語の記事で内容を確認しておく。
9	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。 何が起こったのか、誰がそれを伝えているのかを調べておく。
	授業内容	テキスト読解 メールニュースを読む（世界）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。 日本語の記事で内容を確認しておく。
10	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	テキスト読解 独検長文問題（5級レベル）
	事後学習	復習をすること。速読して意味を把握すること。
11	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。文法項目をチェックしておく。
	授業内容	ドイツ語検定試験の対策 過去問（4級レベル）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。出題傾向を調べてみる。速読して意味を把握すること。
12	事前学習	前回の復習をすること。単語の意味を調べておく。文構造を調べておく。
	授業内容	ドイツ語検定試験の対策 過去問（4級レベル）
	事後学習	復習をすること。単語を書けるようにすること。出題傾向を調べてみる。速読して意味を把握すること。
13	事前学習	前回の復習をすること。
	授業内容	ドイツ語検定試験の対策 過去問（4級レベル）聞き取り
	事後学習	問題の形式に習熟すること。復習をすること。単語を書けるようにすること。
14	事前学習	今まで習った、文法、単語の意味を覚えなおす。
	授業内容	試験について 文法の総復習
	事後学習	試験範囲を何度も目を通す。CDを聞きながら何度も音読をし、意味を取ること。
15	事前学習	試験範囲の内容を完全に覚える。
	授業内容	試験（70分、参照不可）及びまとめ、振り返り
	事後学習	独検の成績を提出すること

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅣA	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	独検2級及び準1級、CEFR B1, B2用の対策講座です。長文読解、長文の聞き取り、作文、ドイツ語のプレゼンテーションを中心に総合的なドイツ語運用能力をトレーニングします。			
授業目的・到達目標	独検2級及び準1級、CEFR B1, B2に合格できるドイツ語能力の養成。ドイツ語の獲得語彙数2000語から3500語レベルのテキストを読み、聞き取れるようになる。 日常会話から身近な話題について、ドイツ語で自分の意見が作文・プレゼンテーションできるようになる。			
履修条件	独検定3級以上、CEFR A2レベル以上のドイツ語力を有していること。あるいは、ドイツ語圏に短期・長期留学を目指していること。			
授業方法	ドイツ語の読解及び文法トレーニング、作文トレーニング及びプレゼンテーション・ディスカッションを行います。参加型授業です。小テストを定期的に行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	検定・CEFR試験の結果50%、授業の参加態度10%、課題20%、小テスト20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2005	cornelsen	studio d B1 Kurs- und Übungsbuch mit Zertifikatstraining	Hermann Funk
	備考			
参考書	授業中に提示します。			
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認・教材準備
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	文法・語彙復習
2	事前学習	Einheit 1 長文翻訳 1
	授業内容	Einheit 1 Zeitpunkte 1
	事後学習	Einheit 1 Übung 1
3	事前学習	小テスト準備 Einheit 1 長文翻訳 2
	授業内容	小テスト1 Einheit 1 Zeitpunkte 2
	事後学習	Einheit 1 Übung 2
4	事前学習	小テスト準備 Einheit 2 長文翻訳 1
	授業内容	小テスト 2 Einheit 2 Alltag 1
	事後学習	Einheit 2 Übung 1

5	事前学習	小テスト準備 Einheit 2 長文翻訳 1
	授業内容	小テスト 3 Einheit 2 Alltag 2
	事後学習	Einheit 2 Übung 2
6	事前学習	小テスト準備 Einheit 3 長文翻訳 1
	授業内容	小テスト 4 Einheit 3 Männer - Frauen - Paare 1
	事後学習	Einheit 3 Übung 1
7	事前学習	小テスト準備 Einheit 3 長文翻訳 2
	授業内容	小テスト 5 Einheit 3 Männer - Frauen - Paare 2
	事後学習	Einheit 3 Übung 2
8	事前学習	小テスト準備 Einheit 4 長文翻訳 1
	授業内容	小テスト 6 Einheit 4 Deutschlands größte Stadt 1
	事後学習	Einheit 4 Übung 1
9	事前学習	小テスト準備 Einheit 4 長文翻訳 2
	授業内容	小テスト 7 Einheit 4 Deutschlands größte Stadt 2
	事後学習	Einheit 4 Übung 2
10	事前学習	小テスト準備 Einheit 5 長文翻訳 1
	授業内容	小テスト 8 Einheit 5 Schule und lernen 1
	事後学習	Einheit 5 Übung 1
11	事前学習	小テスト準備 Einheit 5 長文翻訳 2
	授業内容	小テスト 9 Einheit 5 Schule und lernen 2
	事後学習	Einheit 5 Übung 2
12	事前学習	独検過去問 1
	授業内容	独検過去問解説 1
	事後学習	独検過去問 1 復習
13	事前学習	独検過去問 2
	授業内容	独検過去問解説 2
	事後学習	独検過去問復習 2
14	事前学習	Zertifikat 模擬問題 Schreiben, Sprechen 準備
	授業内容	Zertifikat 模擬問題Schreiben, Sprechen解説
	事後学習	Zertifikat 模擬試験Schreiben, Sprechen復習
15	事前学習	Zertifikat 模擬試験Lesen, Hören準備
	授業内容	Zertifikat 模擬試験Lesen, Hören解説
	事後学習	Zertifikat 模擬試験Schreiben, Sprechen復習

科目名	ドイツ語資格試験対策ⅣB	担当者	真道 杉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	独検2級及び準1級、CEFR B1, B2用の対策講座です。長文読解、長文の聞き取り、作文、ドイツ語のプレゼンテーションを中心に総合的なドイツ語運用能力をトレーニングします。			
授業目的・到達目標	独検2級及び準1級、CEFR B1, B2に合格できるドイツ語能力の養成。ドイツ語の獲得語彙数2000語から3500語レベルのテキストを読み、聞き取れるようになる。 日常会話から身近な話題について、ドイツ語で自分の意見が作文・プレゼンテーションできるようになる。			
履修条件	独検定3級以上、CEFR A2レベル以上のドイツ語力を有していること。あるいは、ドイツ語圏に短期・長期留学を目指していること。			
授業方法	ドイツ語の読解及び文法トレーニング、作文トレーニング及びプレゼンテーション・ディスカッションを行います。参加型授業です。小テストを定期的に行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	検定・CEFR試験の結果50%、授業の参加態度10%、課題20%、小テスト20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2005	cornelsen	studio d B1 Kurs- und Übungsbuch mit Zertifikatstraining	Hermann Funk
	備考			
参考書	授業中に提示します。			
オフィスアワー	火曜日 昼休み 研究室（4号館424研究室）（shindou.sugi@nihon-u.ac.jp） 授業内容以外で受け付ける質問：ドイツ語圏留学相談、CEFR型ドイツ語検定試験			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認 教材準備
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	文法・語彙復習
2	事前学習	Einheit 6 長文翻訳 1
	授業内容	Einheit 6 Klima und Umwelt 1
	事後学習	Einheit 6 Übung 1
3	事前学習	小テスト準備 Einheit 6 長文翻訳 2
	授業内容	小スト 10 Einheit 6 Klima und Umwelt 2
	事後学習	Einheit 6 Übung 2
4	事前学習	小テスト準備 Einheit 7 長文翻訳 1
	授業内容	小スト 11 Einheit 7 Peinlich? Peinlich! 1
	事後学習	Einheit 7 Übung 1

5	事前学習	小テスト準備 Einheit 7 長文翻訳 2
	授業内容	小スト 12 Einheit 7 Peinlich? Peinlich! 2
	事後学習	Einheit 7 Übung 2
6	事前学習	小テスト準備 Einheit 8 長文翻訳 1
	授業内容	小スト 13 Einheit 8 Generationen 1
	事後学習	Einheit 8 Übung 1
7	事前学習	小テスト準備 Einheit 8 長文翻訳 2
	授業内容	小スト 14 Einheit 8 Generationen 2
	事後学習	Einheit 8 Übung 2
8	事前学習	小テスト準備 Einheit 9 長文翻訳 1
	授業内容	小スト 15 Einheit 9 Migration 1
	事後学習	Einheit 9 Übung 1
9	事前学習	小テスト準備 Einheit 9 長文翻訳 2
	授業内容	小スト 16 Einheit 9 Migration 2
	事後学習	Einheit 9 Übung 2
10	事前学習	独検過去問 1 準備
	授業内容	独検過去問 1 解説
	事後学習	独検過去問 1 復習
11	事前学習	独検過去問 2 準備
	授業内容	独検過去問 2 解説
	事後学習	独検過去問 2 復習
12	事前学習	小テスト準備 Einheit 10 長文翻訳 1独検過去問 1 準備
	授業内容	小スト 17 Einheit 10 Europa: Politik und mehr 1独検過去問 1 解説
	事後学習	Einheit 10 Übung 1
13	事前学習	小テスト準備 Einheit 10 長文翻訳 2
	授業内容	小スト 17 Einheit 10 Europa: Politik und mehr 2
	事後学習	Einheit 10 Übung 2
14	事前学習	Zertifikat 模擬問題 Schreiben, Sprechen 準備
	授業内容	Zertifikat 模擬問題 Schreiben, Sprechen 解説
	事後学習	Zertifikat 模擬問題 Schreiben, Sprechen 復習
15	事前学習	Zertifikat 模擬問題 Lesen, Hören 準備
	授業内容	Zertifikat 模擬問題 Lesen, Hören 解説
	事後学習	Zertifikat 模擬問題 Lesen, Hören 復習

科目名	国際研修(独) I A	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期は、ウィーン大学での夏期ドイツ語研修に参加する学生のための指導を目的とする。ドイツ語のみならず、ドイツの社会、文化、歴史、生活などについての情報も提供する。後期は独検対策や、法学部ならびに本部の派遣交換留学生試験についても、視野に入れた授業を行う。			
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語でのコミュニケーション能力を向上させることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語で簡単な会話や文章が理解できるようになる。			
履修条件	ウィーン研修参加者、留学希望者を優先する。			
授業方法	DVD、CD等のAV資料を適宜利用し、ドイツ理解を深める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業貢献度：70% 試験：30%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010年	第三書房	新・独検合格 単語+熟語1800	在間進ほか
	備考			
参考書	適宜紹介します。			
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	指示された課題を次回の授業までしてくること。
2	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	挨拶表現（1）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
3	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	挨拶表現（2）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
4	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	趣味や職業に関する表現（1）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。

5	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	趣味や職業に関する表現（2）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
6	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	道案内（1）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
7	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	道案内（2）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
8	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	食生活（1）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
9	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	食生活（2）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
10	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	時刻やスケジュールに関する表現（1）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
11	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	時刻やスケジュールに関する表現（2）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
12	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	友人たちとの時間（1）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
13	事前学習	課題をきちんとしてくること。隙間の時間を使って、単語をよく覚えること。
	授業内容	友人たちとの時間（2）
	事後学習	毎時間、新しい表現をたくさん覚えることになるので、発音しながら何度も書くなどして、きちんと消化しておくこと。単語テストは随時行うので、単語の意味を日本語で覚えるだけでなく、表現として使えるように、きちんと発音でき、なおかつ書けるようにしておくこと。
14	事前学習	ウィーン研修に向けて、前期で学んだことをあらためて復習しておくこと。疑問点を整理しておくこと。
	授業内容	夏期ドイツ語研修準備
	事後学習	疑問に思っていたことを解決するよう、努力すること。
15	事前学習	ウィーン研修に向けて、前期で学んだことをあらためて復習しておくこと。疑問点を整理しておくこと。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	ウィーンでの生活に備え、持っていく荷物の準備を始めること。

科目名	国際研修(独) I B	担当者	佐藤 英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期は、ウィーン大学での夏期ドイツ語研修に参加する学生のための指導を目的とする。ドイツ語のみならず、ドイツの社会、文化、歴史、生活などについての情報も提供する。後期は独検対策や、法学部ならびに本部の派遣交換留学生試験についても、視野に入れた授業を行う。				
授業目的・到達目標	【授業目的】ドイツ語でのコミュニケーション能力を向上させることを目的とする。 【到達目標】ドイツ語で簡単な会話や文章が理解できるようになる。				
履修条件	ウィーン研修参加者、留学希望者を優先する。				
授業方法	DVD、CD等のAV資料を適宜利用し、ドイツ理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業貢献度：70% 試験：30%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	第三書房		新・独検合格 単語+熟語1800	在間進ほか
	備考				
参考書	適宜紹介します。				
オフィスアワー	・授業期間中の水曜日の昼休み、本館7階の私の研究室とする。 ・必ず事前に、授業時間の前後やメール(sato.suguru@nihon-u.ac.jp)で、連絡すること。 ・授業内容のほか、ドイツ語圏の芸術文化に関する質問も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ウィーンで学んだことについて、まとめておくこと。
	授業内容	夏期ドイツ語研修を振り返る
	事後学習	12月の独検の受験に向けて、単語と熟語の勉強を始めること。
2	事前学習	「ドイツ語基礎文法」やこれまでの「国際研修」の授業、それからウィーンで使用した教材をもとに、文法を一通り確認しておくこと。
	授業内容	独検模試3級(筆記とリスニング)
	事後学習	できなかったところを中心に、十分に復習すること。隙間の時間を使って、単語と熟語を覚えること。
3	事前学習	これから数回を使って、文法の概要を改めて復習するので、これまでの学習で使用してきた教科書や参考書を使って、ポイントを整理しておくこと。
	授業内容	3級対策・文法の復習(現在形、前置詞)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
4	事前学習	文法の概要を改めて復習するので、これまでの学習で使用してきた教科書や参考書を使って、ポイントを整理しておくこと。これからの数回は、「ドイツ語基礎文法」であまり時間をかけて勉強できなかったところと思われるため、疑問点を整理しておくこと。
	授業内容	3級対策・文法の復習(過去形と現在完了形)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。

5	事前学習	文法の概要を改めて復習するので、これまでの学習で使用してきた教科書や参考書を使って、ポイントを整理しておくこと。今回は「ドイツ語基礎文法」であまり時間をかけて勉強できなかったところと思われるため、疑問点を整理しておくこと。
	授業内容	3級対策・文法の復習(現在完了形と受動態)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
6	事前学習	文法の概要を改めて復習するので、これまでの学習で使用してきた教科書や参考書を使って、ポイントを整理しておくこと。今回は「ドイツ語基礎文法」であまり時間をかけて勉強できなかったところと思われるため、疑問点を整理しておくこと。
	授業内容	3級対策・文法の復習(関係代名詞)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
7	事前学習	文法の概要を改めて復習するので、これまでの学習で使用してきた教科書や参考書を使って、ポイントを整理しておくこと。今回は「ドイツ語基礎文法」であまり時間をかけて勉強できなかったところと思われるため、疑問点を整理しておくこと。
	授業内容	3級対策・文法の復習(接続法)
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
8	事前学習	指示された独検の問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検対策（１）文法問題を中心に
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
9	事前学習	指示された独検の問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検対策（２）長文読解問題を中心に
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
10	事前学習	指示された独検の問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検対策（３）長文読解問題を中心に
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
11	事前学習	指示された独検の問題を自宅で解いてくること。
	授業内容	独検対策（４）リスニングを中心に
	事後学習	毎時間、単語テストや文法の説明など、かなりの情報を扱うことになるので、確実に消化しておくこと。練習問題は、正解したものも含めて、繰り返し解くこと。
12	事前学習	12月に実施の独検の問題冊子を持ってくること。
	授業内容	独検の解説
	事後学習	できなかったところを中心に、よく復習すること。
13	事前学習	ドイツ語圏の文化について、テレビやインターネットなどを通じて、情報を得るようにすること。
	授業内容	ドイツ語圏を知る、総合編（１）
	事後学習	ドイツ語圏の文化で興味のあることについて、本を読むこと。
14	事前学習	ドイツ語圏の文化について、テレビやインターネットなどを通じて、情報を得るようにすること。
	授業内容	ドイツ語圏を知る、総合編（２）
	事後学習	ドイツ語圏の文化で興味のあることについて、本を読むこと。
15	事前学習	後期の学習事項について、時間をかけて復習すること。
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	理解が十分でないところを重点的に復習すること。

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠA	担当者	V. カレンベルク	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語でコミュニケーションをとれるようになるための文法と会話レッスンを行います。				
授業目的・到達目標	簡単なドイツ語の会話が教科書を使わなくてもできるようになること。具体的には、いろいろな挨拶、自己紹介、電話のかけ方、家族と友人紹介、旅行に必要な会話などを身につける。ドイツ語検定試験5級か4級に合格できるレベルに達すること。動詞の現在形と助動詞を理解し使えるようになる。				
履修条件	ドイツ語の初学者であること。				
授業方法	全員に発言させる。黒板にセンテンスパターンを書くので、学生はそれをノートに書き写し、声を出して復習する。必要に応じてDVDを見たり、CDを聞いたりする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点40%：出席を取る時のオラルテストと小テストで評価。筆記試験60%：100点満点の筆記試験で評価。このうち20点は聞き取りと書き取り。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	『ドイツ語文法へのプロローグ』岡本順治：郁文堂、 独和辞典（3ヵ月後に必要になります。あわてて買わないでください）、『DVDで入門ドイツ語』関ロー郎：白水社				
オフィスアワー	授業日の12時10分から30分までをオフィスアワーとします。質問等のある学生は事前に質問内容を紙に書いて担当教員まで提出のこと。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を買う、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	何時ですか？ いくつですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
2	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	誰ですか？ 何ですか？（所有代名詞）
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
3	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	どういうふうですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
4	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	何が好きですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

5	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	これは・あなたは 何といますか？ これを持っていますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
6	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	ごきげんいかがですか？ 何を持っていますか？ (三格と四格の練習)
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
7	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	どこの出身ですか？ これはどこから来ましたか？ どうしてわかるんですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
8	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	誰のものですか？ 誰のためですか？ どこにありますか？ (二格、三格、四格をとる前置詞)
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
9	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	何をしますか？ これは何をするものですか？ どこへ行きますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
10	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	なぜそこにいますか？ なぜそこへ行きますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
11	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
12	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
13	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
14	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
15	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠA	担当者	A. サトー	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Basic daily conversation for beginners We use a new textbook from Germany to learn natural German for basic daily conversation. Photo stories with audio followed by exercises, vocabulary drills and grammar.					
授業目的・到達目標	ドイツ語会話 基礎文法 簡単な短文の読解 Basic daily conversation for beginner students,listening to dialogues and understanding situations, reading and simple writing skills.単純日常会話力・基礎文法・簡単な文章の読解力・短文を制作できる文章力、を身に付ける。 listening, pronunciation, speaking, reading and writing skills					
履修条件	interest in developing communication skills in German, incl. listening					
授業方法	二人一組での練習 テキスト ノート 板書 listening to dialogues on CD					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		00%			
	平 常 評 価		100%		授業内試験（70%） 授業態度（30%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	Hueber		Schritte International NEU 1 , A1.1		Daniela Niebisch
	備考					
参 考 書	German dictionary iphone/smartphone application					
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read page 9-11
	授業内容	1. Introducing yourself and others (picture story)
	事後学習	Learn vocabulary
2	事前学習	Read page 12, 13
	授業内容	2. greetings
	事後学習	Workbook section A, B
3	事前学習	Read page 14, 15
	授業内容	3. self introduction, "Where do you come from?"
	事後学習	Workbook section C
4	事前学習	Read page 16, 17
	授業内容	4. countries and languages
	事後学習	Workbook section C

5	事前学習	Read page 16, 17
	授業内容	5. the alphabet, telephone call, business cards
	事後学習	Workbook section D, E, review alphabet and verb conjugation , test workbook p. 18
6	事前学習	Read p. 22, 23
	授業内容	6. family and friends (picture story)
	事後学習	Vocabulary
7	事前学習	Read p. 24, 25
	授業内容	7. "How are you?"
	事後学習	Workbook section A, B
8	事前学習	Read page 25
	授業内容	8. introducing family members
	事後学習	Vocabulary, workbook section B
9	事前学習	URead page 26
	授業内容	9. introducing friends
	事後学習	Workbook section C , verb conjugation
10	事前学習	Read page 27
	授業内容	10. numbers 1-20, personal data
	事後学習	Learn numbers 1-20, vocabulary , workbook D
11	事前学習	Read page 29 , 32
	授業内容	11. talk about yourself
	事後学習	Review grammar on page 30, phrases p. 31
12	事前学習	Read page 34, 35
	授業内容	12. Food and drink (picture story)
	事後学習	Food vocabulary
13	事前学習	Read p. 36, 37
	授業内容	13. food vocabulary, "the" and "a", plural
	事後学習	Workbook section A, B
14	事前学習	Review food vocabulary , see page 44
	授業内容	14. grocery shopping, numbers 20-100, lunch and dinner
	事後学習	Learn numbers 20-100
15	事前学習	Prepare test , check grammar summaries , vocabulary section , read sample phrases
	授業内容	test (written), review
	事後学習	Grammar review

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠA	担当者	A. サトー	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Basic daily conversation for beginners We use a new textbook from Germany to learn natural German for basic daily conversation. Photo stories with audio followed by exercises, vocabulary drills and grammar.					
授業目的・到達目標	ドイツ語会話 基礎文法 簡単な短文の読解 Basic daily conversation for beginner students,listening to dialogues and understanding situations, reading and simple writing skills.単純日常会話力・基礎文法・簡単な文章の読解力・短文を制作できる文章力、を身に付ける。 listening, pronunciation, speaking, reading and writing skills					
履修条件	interest in developing communication skills in German, incl. listening					
授業方法	二人一組での練習 テキスト ノート 板書 listening to dialogues on CD					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		00%			
	平 常 評 価		100%		授業内試験 (70%) 授業態度 (30%)	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016	Hueber		Schritte International NEU 1 , A1.1		Daniela Niebisch
	備考					
参 考 書	German dictionary iphone/smartphone application					
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read page 9-11
	授業内容	1. Introducing yourself and others (picture story)
	事後学習	Learn vocabulary
2	事前学習	Read page 12, 13
	授業内容	2. greetings
	事後学習	Workbook section A, B
3	事前学習	Read page 14, 15
	授業内容	3. self introduction, "Where do you come from?"
	事後学習	Workbook section C
4	事前学習	Read page 16, 17
	授業内容	4. countries and languages
	事後学習	Workbook section C

5	事前学習	Read page 16, 17
	授業内容	5. the alphabet, telephone call, business cards
	事後学習	Workbook section D, E, review alphabet and verb conjugation , test workbook p. 18
6	事前学習	Read p. 22, 23
	授業内容	6. family and friends (picture story)
	事後学習	Vocabulary
7	事前学習	Read p. 24, 25
	授業内容	7. "How are you?"
	事後学習	Workbook section A, B
8	事前学習	Read page 25
	授業内容	8. introducing family members
	事後学習	Vocabulary, workbook section B
9	事前学習	URead page 26
	授業内容	9. introducing friends
	事後学習	Workbook section C , verb conjugation
10	事前学習	Read page 27
	授業内容	10. numbers 1-20, personal data
	事後学習	Learn numbers 1-20, vocabulary , workbook D
11	事前学習	Read page 29 , 32
	授業内容	11. talk about yourself
	事後学習	Review grammar on page 30, phrases p. 31
12	事前学習	Read page 34, 35
	授業内容	12. Food and drink (picture story)
	事後学習	Food vocabulary
13	事前学習	Read p. 36, 37
	授業内容	13. food vocabulary, "the" and "a", plural
	事後学習	Workbook section A, B
14	事前学習	Review food vocabulary , see page 44
	授業内容	14. grocery shopping, numbers 20-100, lunch and dinner
	事後学習	Learn numbers 20-100
15	事前学習	Prepare test , check grammar summaries , vocabulary section , read sample phrases
	授業内容	test (written), review
	事後学習	Grammar review

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠA	担当者	H. トロル	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	テキストとCD とビデオを使って ゆっくりと進みます。				
授業目的・到達目標	基本的な表現，文法上のポイントなどをまんで，聴き取りを練習しながら，コース終了時には日常的場面に対処出来る力をつける。 難しくないですけど継続して出席することがだいじです。 Deutsch を楽しく勉強しましょう。ドイツ語がききとれるように答えられるように。				
履修条件	積極的な授業で参加。				
授業方法	教科書とビデオ教材を用いて重要表現の練習を繰り返します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	小テスト2回：80％ 授業態度：20％	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	第三書房	第三書房		ドイツ語の翼 ISBN4-8086-1013-2	Troll/Ogushi
	備考				
参 考 書	「文法から学べるドイツ語」（ナツメ社）ISBN4－8163－3820－9 a n d 独和辞書				
オフィス アワー	授業の後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み予習30分
	授業内容	ガイダンス and first expressions
	事後学習	復習30分
2	事前学習	予習60分
	授業内容	発音練習 など
	事後学習	復習60分
3	事前学習	予習60分
	授業内容	挨拶の言葉、自己紹介と練習
	事後学習	復習60分
4	事前学習	予習60分
	授業内容	第1課
	事後学習	復習60分

5	事前学習	予習60分
	授業内容	第1課
	事後学習	復習60分
6	事前学習	予習60分
	授業内容	第2課
	事後学習	復習60分
7	事前学習	予習60分
	授業内容	第2課
	事後学習	復習60分
8	事前学習	予習60分
	授業内容	第3課
	事後学習	復習60分
9	事前学習	予習60分
	授業内容	第3課
	事後学習	復習60分
10	事前学習	予習90分
	授業内容	小テスト, ドイツの生活 (ビデオ)
	事後学習	復習30分
11	事前学習	予習60分
	授業内容	第4課
	事後学習	復習60分
12	事前学習	予習60分
	授業内容	第4課
	事後学習	復習60分
13	事前学習	予習60分
	授業内容	第5課
	事後学習	復習60分
14	事前学習	予習60分
	授業内容	第5課
	事後学習	復習60分
15	事前学習	予習90分
	授業内容	小テスト, ドイツの生活 (ビデオ) まとめ
	事後学習	復習30分

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠA	担当者	R. ペトリック	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実生活で使えるドイツの習得 自主的に発話し、相手に伝えることができる 相手の言葉と表現を理解できる ドイツの発音、イントネーションを特に重点的に練習する				
授業目的・到達目標	DVDの主人公はベルリンで社会学を専攻している女子学生、クラウディア・シュミットです。クラウディアのミュンヘンへの旅を通して、生き生きとしたドイツ語とドイツの文化を学びます。文法知識を実際のコミュニケーションのなかで応用できるものとする。 ドイツ語の理解をより深める。				
履修条件	特になし。				
授業方法	小グループで、与えられた課題を練習する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	積極的な授業参加	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	白水社		ハロー・ミュンヘン・ノイ	関口一郎
	備考				
参考書	独和辞典				
オフィスアワー	話し合いの必要がある場合は電話してください（電話番号：042-666-8960）。 その時、場所と時間等について決めます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通す
	授業内容	授業についての説明
	事後学習	教科書に目を通す
2	事前学習	Lektion 1 予習
	授業内容	Lektion 1 （自己紹介、挨拶、ミュンヘンの紹介、ホテルのチェックイン）
	事後学習	CDを聞く
3	事前学習	Lektion 1 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 1 （続き）
	事後学習	CDを聞く
4	事前学習	Lektion 2 予習
	授業内容	Lektion 2 （市内見物、道の聞き方、訪問、挨拶、お茶）
	事後学習	CDを聞く

5	事前学習	Lektion 2 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 2 (続き)
	事後学習	CDを聞く
6	事前学習	Lektion 3 予習
	授業内容	Lektion 3 (ヴォーングマインシャフト、買い物、食事の用意 食事)
	事後学習	CDを聞く
7	事前学習	Lektion 3 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 3 (続き)
	事後学習	CDを聞く
8	事前学習	Lektion 4 予習
	授業内容	Lektion 4 (小旅行、駅での案内、切符の購入、車中、ザルツブルク観光)
	事後学習	CDを聞く
9	事前学習	Lektion 4 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 4 (続き)
	事後学習	CDを聞く
10	事前学習	Lektion 1-4 疑問点を探す
	授業内容	数字 (0－1 0 0)
	事後学習	CDを聞く
11	事前学習	Lektion 1-4 疑問点を探す
	授業内容	時間の言い方を学ぶ
	事後学習	CDを聞く
12	事前学習	Lektion 5 予習
	授業内容	Lektion 5 (大学生の一日、起床、図書館、学食、デート)
	事後学習	CDを聞く
13	事前学習	Lektion 5 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 5 (続き)
	事後学習	CDを聞く
14	事前学習	Lektion 1-5 復習
	授業内容	復習：これまでの授業を進めてきた中で特に目についた間違いを指摘する。教科書の練習問題だけでなく、応用問題を解く
	事後学習	CDを聞く
15	事前学習	Lektion 1-5 復習
	授業内容	特別なドイツ語の発音の練習
	事後学習	CDを聞く

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠA	担当者	A. リープハート	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践ドイツ語の入門。初級ドイツ語文法や基本語彙を学習しながら、日常生活上の実際の場面に即した「話す」「聞く」「読む」「書く」といった総合的なコミュニケーション能力を養う。具体的には、挨拶、数字、自己紹介などから始まって食事、趣味、買い物、家族などをテーマにして、パートナーとの会話練習や聞き取り練習など、多様な応用練習や様々なシチュエーションを想定したロールプレイなどを行う。					
授業目的・到達目標	ドイツ語でコミュニケーションができるように、「話す」と「聞く」を重視し、日常生活に密着したドイツ語を身につける。					
履修条件	特になし。授業への積極的参加が重要です。					
授業方法	学生参加型の授業を中心に、対話練習やグループ学習を多用します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度、会話のテスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年			Szenen 1 heute aktuell		佐藤修子
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	授業終了時					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	導入、挨拶
	事後学習	復習
2	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	人と知り合う
	事後学習	復習
3	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	人と知り合う
	事後学習	復習
4	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	数字
	事後学習	復習

5	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	地理、出身、住まい
	事後学習	復習
6	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	学問と言語
	事後学習	復習
7	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	学問と言語
	事後学習	復習
8	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	食事
	事後学習	復習
9	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	食事
	事後学習	復習
10	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	趣味と余暇
	事後学習	復習
11	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	趣味と余暇
	事後学習	復習
12	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	家族と職業
	事後学習	復習
13	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	家族と職業
	事後学習	テスト予備
14	事前学習	テスト予備
	授業内容	テスト予備及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト勉強
15	事前学習	テスト勉強
	授業内容	小テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠB	担当者	V. カレンベルク	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語でコミュニケーションをとれるようになるための文法と会話レッスンをを行います。				
授業目的・到達目標	簡単なドイツ語の会話が教科書を使わなくてもできるようになる。具体的には、いろいろな挨拶、自己紹介、電話のかけ方、家族と友人紹介、旅行に必要な会話などが身につく。ドイツ語検定試験5級か4級に合格できるレベルに達すること。動詞の現在形と助動詞を理解し使えるようになる。				
履修条件	ドイツ語の初学者であること。				
授業方法	全員に発言させる。黒板にセンテンスパターンを書くので、学生はそれをノートに書き写し、声に出して復習する。必要に応じてDVDを見たりCDを聞いたりする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点40%：出席を取る時のオラルテストと小テストで評価。筆記試験60%：100点満点の筆記試験で評価。検定試験5級か4級に合格した者は筆記試験を免除する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	『ドイツ語文法へのプロローグ』岡本順治：郁文堂、独和辞典 『DVDで入門ドイツ語』関ロー郎：白水社				
オフィスアワー	授業日の12時10分から30分までをオフィスアワーとします。質問等のある学生は事前に質問内容を紙に書いて担当教員まで提出のこと。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を買う、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	何をしたいんですか？ 何をしなくちゃいけませんか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
2	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	…してもいいですか？ それはできますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
3	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	…してはいけません …するように言われています
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
4	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	どうして…してはいませんか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

5	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	手を貸してくれますか？ …してもいいですか？ どうしたらいいですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
6	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	どれが好きですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
7	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	…が一番好きです。
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
8	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	いつ来ますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
9	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	命令形の練習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
10	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	何をするつもりですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
11	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
12	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
13	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
14	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
15	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

科目名	スピーキング・リスニング(独) I B	担当者	A. サトー	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Basic daily conversation for beginners We use a new textbook from Germany to learn natural German for basic daily conversation. Photo stories with audio followed by exercises, vocabulary drills and grammar.				
授業目的・到達目標	ドイツ語会話 基礎文法 簡単な短文の読解 Basic daily conversation for beginner students,listening to dialogues and understanding situations, reading and simple writing skills.単純日常会話力・基礎文法・簡単な文章の読解力・短文を制作できる文章力、を身に付ける。 listening, pronunciation, speaking, reading and writing skills				
履修条件	interest in developing communication skills in German, incl. listening				
授業方法	二人一組での練習 テキスト ノート 板書 listening to dialogues on CD				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		00%		
	平 常 評 価		100%	授業内試験 (70%) 授業態度 (30%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	Hueber		Schritte International NEU 1 , A1.1	Daniela Niebisch
	備考				
参 考 書	German dictionary iphone/smartphone application				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read p 46, 47
	授業内容	16. My apartment (picture story)
	事後学習	Learn vocabulary
2	事前学習	Read p 48, 49
	授業内容	17. rooms, houses, adjectives
	事後学習	Learn adjectives and pronouns
3	事前学習	Read p 50, 51
	授業内容	18. furniture, household gadgets
	事後学習	Learn vocabulary
4	事前学習	Read page 52, 53
	授業内容	19. numbers to 100- 1 million, real estate market
	事後学習	Learn numbers, workbook D, E

5	事前学習	Read p 56
	授業内容	20. describe your apartment
	事後学習	Vocabulary review, review numbers, pronouns, articles
6	事前学習	Read page 58, 59
	授業内容	21. My day (picture story)
	事後学習	Learn new verbs
7	事前学習	Read page 60, 61, review numbers 1-24
	授業内容	22. the clock
	事後学習	Workbook section A, B
8	事前学習	Review the clock , verbs, read p 65
	授業内容	23. daily activities, times of day
	事後学習	Grammar: sentence structure, word order , prepositions , p 66, 67
9	事前学習	Read p 70, 71
	授業内容	24. leisure (picture story)
	事後学習	Learn vocabulary
10	事前学習	Read p. 72,73
	授業内容	25. the weather
	事後学習	Learn vocabulary , workbook A, B
11	事前学習	Read p 75
	授業内容	26. hobbies, activities
	事後学習	Workbook D
12	事前学習	Read p 82, 83
	授業内容	28. Learning, study (picture story
	事後学習	Vocabulary
13	事前学習	Read p 84, 85, check verb tables
	授業内容	28. culture school courses, hobbies
	事後学習	Grammar verbs, sentence structure
14	事前学習	Read page 86
	授業内容	29. talk about what you did (perfect tense) 復習
	事後学習	Grammar prrfect tense
15	事前学習	Review grammar, phrases , vocabulary
	授業内容	テスト(written), review
	事後学習	Grammar review

科目名	スピーキング・リスニング(独) I B	担当者	A. サトー	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Basic daily conversation for beginners We use a new textbook from Germany to learn natural German for basic daily conversation. Photo stories with audio followed by exercises, vocabulary drills and grammar.				
授業目的・到達目標	ドイツ語会話 基礎文法 簡単な短文の読解 Basic daily conversation for beginner students,listening to dialogues and understanding situations, reading and simple writing skills.単純日常会話力・基礎文法・簡単な文章の読解力・短文を制作できる文章力、を身に付ける。 listening, pronunciation, speaking, reading and writing skills				
履修条件	interest in developing communication skills in German, incl. listening				
授業方法	二人一組での練習 テキスト ノート 板書 listening to dialogues on CD				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		00%		
	平 常 評 価		100%	授業内試験（70%） 授業態度（30%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	Hueber		Schritte International NEU 1 , A1.1	Daniela Niebisch
	備考				
参 考 書	German dictionary iphone/smartphone application				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Read p 46, 47
	授業内容	16. My apartment (picture story)
	事後学習	Learn vocabulary
2	事前学習	Read p 48, 49
	授業内容	17. rooms, houses, adjectives
	事後学習	Learn adjectives and pronouns
3	事前学習	Read p 50, 51
	授業内容	18. furniture, household gadgets
	事後学習	Learn vocabulary
4	事前学習	Read page 52, 53
	授業内容	19. numbers to 100- 1 million, real estate market
	事後学習	Learn numbers, workbook D, E

5	事前学習	Read p 56
	授業内容	20. describe your apartment
	事後学習	Vocabulary review, review numbers, pronouns, articles
6	事前学習	Read page 58, 59
	授業内容	21. My day (picture story)
	事後学習	Learn new verbs
7	事前学習	Read page 60, 61, review numbers 1-24
	授業内容	22. the clock
	事後学習	Workbook section A, B
8	事前学習	Review the clock , verbs, read p 65
	授業内容	23. daily activities, times of day
	事後学習	Grammar: sentence structure, word order , prepositions , p 66, 67
9	事前学習	Read p 70, 71
	授業内容	24. leisure (picture story)
	事後学習	Learn vocabulary
10	事前学習	Read p. 72, 73
	授業内容	25. the weather
	事後学習	Learn vocabulary , workbook A, B
11	事前学習	Read p 75
	授業内容	26. hobbies, activities
	事後学習	Workbook D
12	事前学習	Read p 82, 83
	授業内容	28. Learning, study (picture story
	事後学習	Vocabulary
13	事前学習	Read p 84, 85, check verb tables
	授業内容	28. culture school courses, hobbies
	事後学習	Grammar verbs, sentence structure
14	事前学習	Read page 86
	授業内容	29. talk about what you did (perfect tense) 復習
	事後学習	Grammar prrfect tense
15	事前学習	Review grammar, phrases , vocabulary
	授業内容	テスト(written), review
	事後学習	Grammar review

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠB	担当者	H. トロル	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期の復習 テキストとCDを使って進みます。				
授業目的・到達目標	Basic German conversation 文法の復習と応用 Lesson 6 to lesson 11 of textbook, dialogues and practice, 復習と練習				
履修条件	ドイツ語に興味がある学生				
授業方法	Grammatical exercises, repetition and easy conversation 文法の復習、簡単な会話				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	2 tests (80%) and 20% class performance	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	第三書房	第三書房		ドイツ語の翼 ISBN4-8086-1013-2	Troll/Ogushi
	備考				
参 考 書	文法から学べるドイツ語 (ナツメ社) I S B N 9 7 8 - 4 - 8 1 6 3 - 3 8 2 0 - 5				
オフィス アワー	授業の後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み予習 6 0 分
	授業内容	Repetition of first semester 復習
	事後学習	復習 6 0 分
2	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 6
	事後学習	復習 6 0 分
3	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 6
	事後学習	復習 6 0 分
4	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 7
	事後学習	復習 6 0 分

5	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 7
	事後学習	復習 6 0 分
6	事前学習	予習 9 0 分
	授業内容	Short test 1 and video
	事後学習	復習 3 0 分
7	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 8
	事後学習	復習 6 0 分
8	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 8
	事後学習	復習 6 0 分
9	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 9
	事後学習	復習 6 0 分
10	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 9
	事後学習	復習 6 0 分
11	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 10
	事後学習	復習 6 0 分
12	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 10
	事後学習	復習 6 0 分
13	事前学習	予習 9 0 分
	授業内容	Short test 2 and video
	事後学習	復習 3 0 分
14	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 11
	事後学習	復習 6 0 分
15	事前学習	予習 6 0 分
	授業内容	Lesson 11 まとめ
	事後学習	復習 6 0 分

科目名	スピーキング・リスニング(独) I B	担当者	R. ペトリック	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実生活で使えるドイツの習得 自主的に発話し、相手に伝えることができる 相手の言葉と表現を理解できる ドイツの発音、イントネーションを特に重点的に練習する				
授業目的・到達目標	DVDの主人公はベルリンで社会学を専攻している女子学生、クラウディア・シュミットです。クラウディアのミュンヘンへの旅を通して、生き生きとしたドイツ語とドイツの文化を学びます。文法知識を実際のコミュニケーションのなかで応用できるものとする。 ドイツ語の理解をより深める。				
履修条件	特になし。				
授業方法	小グループで、与えられた課題を練習する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	積極的な授業参加	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2010	白水社	ハロー・ミュンヘン・ノイ		関口一郎
	備考				
参考書	独和辞典				
オフィスアワー	話し合いの必要がある場合は電話してください（電話番号：042-666-8960）。 その時、場所と時間等について決めます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通す
	授業内容	授業の紹介、説明
	事後学習	教科書に目を通す
2	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 6 （ミュンヘンのオリンピック競技場、電話、サッカー観戦）
	事後学習	CDを聞く
3	事前学習	Lektion 6 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 6 （続き）
	事後学習	CDを聞く
4	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 7 （ミュンヘンの街中、ファッション、洋服選び）
	事後学習	CDを聞く

5	事前学習	Lektion 7 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 7 (続き)
	事後学習	CDを聞く
6	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 8 (週末、訪問、ソーセージ工場見学)
	事後学習	CDを聞く
7	事前学習	現在完了形の予習
	授業内容	特別な現在完了形練習
	事後学習	現在完了形の復習
8	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 9 (ベルリン紹介)
	事後学習	CDを聞く
9	事前学習	過去形の予習
	授業内容	特別な過去形練習
	事後学習	過去形の復習
10	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 10 (ミュンヘン紹介、音楽会、レストラン)
	事後学習	CDを聞く
11	事前学習	Lektion 10 疑問点を探す
	授業内容	Lektion 10 (続き)
	事後学習	CDを聞く
12	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 11 (ルードヴィッヒ 2 世)
	事後学習	CDを聞く
13	事前学習	関係代名詞の予習
	授業内容	特別な関係代名詞練習
	事後学習	関係代名詞の復習
14	事前学習	予習
	授業内容	Lektion 12 (さようならミュンヘン)
	事後学習	CDを聞く
15	事前学習	Lektion 6-12 復習
	授業内容	復習：プリントを配布し、今まで教科書で扱った問題を、異なる角度、または複合した角度から解いてみる
	事後学習	CDを聞く

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅠB	担当者	A. リープハート	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期に続けて、実践ドイツ語の入門。住まい、日常、スケジュール、休暇、観光、体験などをテーマにして、ほととの会話練習や聞き取り練習など、多様な応用練習や様々なシチュエーションを想定したロールプレイなどを行う。ドイツ語文法や基本語彙を学習しながら、日常生活上の実際の場面に即した「話す」「聞く」「読む」「書く」とした総合的なコミュニケーション能力を養う。				
授業目的・到達目標	ドイツ語でコミュニケーションができるように、「話す」と「聞く」を重視し、日常生活に密着したドイツ語を身につける。				
履修条件	特になし。授業への積極的参加が重要です。				
授業方法	学生参加型の授業を中心に、対話練習やグループ学習を多用します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度、会話のテスト。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	三修社		Szenen 1 heute aktuell	佐藤修子
	備考				
参考書	なし				
オフィスアワー	授業終了時				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、持ち物と買い物
	事後学習	復習
2	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	持ち物と買い物
	事後学習	復習
3	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	持ち物と買い物
	事後学習	復習
4	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	過去
	事後学習	復習

5	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	過去
	事後学習	復習
6	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	住居
	事後学習	復習
7	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	住居
	事後学習	復習
8	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	時刻と日程
	事後学習	復習
9	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	時刻と日程
	事後学習	復習
10	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	街と大学
	事後学習	復習
11	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	街と大学
	事後学習	復習
12	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	休暇と観光
	事後学習	復習
13	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	休暇と観光
	事後学習	テスト予備
14	事前学習	テスト予備
	授業内容	テスト予備及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト勉強
15	事前学習	テスト勉強
	授業内容	小テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅡA	担当者	V. カレンベルク	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語で日常的なコミュニケーションをとれるようになるための文法と会話レッスンを行います。				
授業目的・到達目標	日常的なドイツ語の会話が教科書を使わなくてもできるようになること。いろいろな挨拶、自己紹介、電話のかけ方、家族と友人紹介、旅行に必要な会話などを身につける。ドイツ語検定試験4級に合格できるレベルに達すること。動詞の現在形と助動詞を理解し使えるようになる。				
履修条件	ドイツ語で自分の自己紹介ができる程度のドイツ語力があること。				
授業方法	全員に発言させる。黒板にセンテンスパターンを書くので、学生はそれをノートに書き写し、声を出して復習する。必要に応じてDVDを見たり、CDを聞いたりする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点40%：出席を取る時のオラルテストと小テストで評価。筆記試験60%：100点満点の筆記試験で評価。このうち20点は聞き取りと書き取り。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	『ドイツ語文法へのプロローグ』岡本順治：郁文堂、独和辞典（3ヵ月後に必要になります。あわてて買わないでください）、『DVDで入門ドイツ語』関ロー郎：白水社				
オフィスアワー	授業日の12時10分から30分までをオフィスアワーとします。質問等のある学生は事前に質問内容を紙に書いて担当教員まで提出のこと。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を買う，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	何時ですか？ いくつですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
2	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	誰ですか？ 何ですか？（所有代名詞）
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
3	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	どういうふうですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
4	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	何が好きですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

5	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	これは・あなたは 何といますか？ これを持っていますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
6	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	ごきげんいかがですか？ 何を持っていますか？ (三格と四格の練習)
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
7	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	どこの出身ですか？ これはどこから来ましたか？ どうしてわかるんですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
8	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	誰のものですか？ 誰のためですか？ どこにありますか？ (二格、三格、四格をとる前置詞)
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
9	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	何をしますか？ これは何をするものですか？ どこへ行きますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
10	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	なぜそこにいますか？ なぜそこへ行きますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
11	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
12	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
13	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
14	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
15	事前学習	前回授業で配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅡA	担当者	A. リープハート	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、様々な場面における実践的なドイツ語運用力の向上を目指す。初級レベルの基礎を復習しながら、文法や基本語彙知識をさらに広げ、「話す」と「聞く」を重視し、総合的なコミュニケーション能力を身につける。視聴覚教材など、多様なメディアを使い、できる限り、ドイツ語圏に関する知識を深めることによって異文化を理解する力も育成したい。				
授業目的・到達目標	外国語の確かな運営能力を涵養し、 異文化に対する理解力と対応力を高め、 国際的な交流と共生に貢献で ける力を養う。				
履修条件	授業への積極的参加が重要です。				
授業方法	学生参加型の授業を中心に、対話練習やグループ学習を多用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度、会話のテスト	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	Hueber		Schritte International NEU 1 A1.1 Kurs- und Arbeitsbuch	Daniela Niebisch
	備考				
参 考 書	独和辞典				
オフィスアワー	授業終了時				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、挨拶、紹介
	事後学習	復習
2	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	人と知り合う
	事後学習	復習
3	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	出身、言語
	事後学習	復習
4	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	アルファベット、住所
	事後学習	復習

5	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	家族、知り合い
	事後学習	復習
6	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	数字
	事後学習	復習
7	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	自己紹介
	事後学習	復習
8	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	食品
	事後学習	復習
9	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	買い物、値段
	事後学習	復習
10	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	食事、レシピ
	事後学習	復習
11	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	住まい、部屋
	事後学習	復習
12	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	家具
	事後学習	復習
13	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	賃貸
	事後学習	テスト予備
14	事前学習	テスト予備
	授業内容	テスト予備及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト勉強
15	事前学習	テスト勉強
	授業内容	小テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅡB	担当者	V. カレンベルク	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ドイツ語で日常的なコミュニケーションをとれるようになるための文法と会話レッスンを行います。			
授業目的・到達目標	日常的なドイツ語の会話が教科書を使わなくてもできるようになる。いろいろな挨拶、自己紹介、電話のかけ方、家族と友人紹介、旅行に必要な会話などが身につく。ドイツ語検定試験4級に合格できるレベルに達すること。動詞の現在形と助動詞を理解し使えるようになる。			
履修条件	ドイツ語で自分の自己紹介ができる程度のドイツ語力があること。			
授業方法	全員に発言させる。黒板にセンテンスパターンを書くので、学生はそれをノートに書き写し、声に出して復習する。必要に応じてDVDを見たりCDを聞いたりする。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点40%：出席を取る時のオラルテストと小テストで評価。筆記試験60%：100点満点の筆記試験で評価。検定試験5級か4級に合格した者は筆記試験を免除する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	『ドイツ語文法へのプロローグ』岡本順治：郁文堂、独和辞典 『DVDで入門ドイツ語』関ロー郎：白水社			
オフィスアワー	授業日の12時10分から30分までをオフィスアワーとします。質問等のある学生は事前に質問内容を紙に書いて担当教員まで提出のこと。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を買う，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	何をしたいんですか？ 何をしなくちゃいけませんか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
2	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	…してもいいですか？ それはできますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
3	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	…してはいけません …するように言われています
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
4	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	どうして…してはいませんか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

5	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	手を貸してくれますか？ …してもいいですか？ どうしたらいいですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
6	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	どれが好きですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
7	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	…が一番好きです。
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
8	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	いつ来ますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
9	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	命令形の練習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
10	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	何をするつもりですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
11	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
12	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
13	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
14	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
15	事前学習	前回授業で配布したプリントで予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅡB	担当者	A. リープハート	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、前期に続けて、様々な場面における実践的なドイツ語運用力の向上を目指す。初級レベルの基礎を復習しながら、文法や基本語彙知識をさらに広げ、「話す」と「聞く」を重視し、総合的なコミュニケーション能力を身につける。視聴覚教材など、多様なメディアを使い、できる限り、ドイツ語圏に関する知識を深めることによって異文化を理解する力も育成したい。			
授業目的・到達目標	外国語の確かな運営能力を涵養し、異文化に対する理解力と対応力を高め、国際的な交流と共生に貢献できる力を養成する。			
履修条件	授業への積極的参加が重要です。			
授業方法	学生参加型の授業を中心に、対話練習やグループ学習を多用する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参加度、会話のテスト
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	Hueber	Schritte International NEU 1 A1.1 Kurs- und Arbeitsbuch	Daniela Niebisch
	備考			
参考書	独和辞典			
オフィスアワー	授業終了時			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、ドイツの日常
	事後学習	復習
2	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	日常
	事後学習	復習
3	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	時刻
	事後学習	復習
4	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	曜日、予定
	事後学習	復習

5	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	日程、ベルリンにて
	事後学習	復習
6	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	天気
	事後学習	復習
7	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	ピクニック、軽食
	事後学習	復習
8	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	趣味
	事後学習	復習
9	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	余暇
	事後学習	復習
10	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	スキル
	事後学習	復習
11	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	習い事
	事後学習	復習
12	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	過去
	事後学習	復習
13	事前学習	前回の授業内容
	授業内容	過去
	事後学習	テスト予備
14	事前学習	テスト予備
	授業内容	テスト予備及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト予備
15	事前学習	テスト予備
	授業内容	小テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅢA	担当者	V. カレンベルク	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	検定試験三級に必要な文法を学び、会話を練習する。			
授業目的・到達目標	検定試験三級に必要な文法を学び、会話を練習する。検定試験三級合格 動詞の時制-特に過去形と現在完了、接続法II、受け身が理解できるようになる。			
履修条件	スピーキング・リスニング（独）ⅠA・Bを履修した方。定員（20名）。定員オーバーの場合は、四級を持っている人を優先します。			
授業方法	全員に発言させる。黒板にセンテンスパターンを書くので、学生はそれをノートに書き写し声を出して練習する。必要に応じてDVDを見たりCDを聞いたりする。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点40%：出席をとる際のオラルテストと小テストで評価。筆記試験60%：100点満点の試験で評価。このうち20点は聞き取りと書き取り。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	『必携 ドイツ文法総まとめ』 中島悠爾 他著：白水社、『ドイツ語文法へのプロローグ』岡本順治：郁文堂、『ドンと来い分離動詞』渡水久雄：駿河台ドイツ語工房、『DVDで入門ドイツ語』関ロー郎：白水社、			
オフィスアワー	授業日の12時10分から30分までをオフィスアワーとします。質問等のある学生は事前に質問内容を紙に書いて担当教員まで提出のこと。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を買う、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	どこでドイツ語を習いましたか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
2	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	きのう何をしましたか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
3	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	誰でしたか？ 何でしたか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
4	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	休暇先からの手紙
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

5	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	手紙の返事
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
6	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	手を貸していただけませんか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
7	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	何がいいですか？ これはどうでしょう？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
8	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	一緒に行きましょうか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
9	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	何ことができましたか？ 何がやりたかったですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
10	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	何をしなければならなかったのですか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
11	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
12	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
13	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
14	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
15	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅢA	担当者	I. レンツ	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Sprechen und Hören			
授業目的・到達目標	Deutsch sprechen und Hörtraining. Natürlich klingendes Deutsch erlernen und in Dialogen anwenden. Themen sind Alltagssituationen, zum Beispiel Familie, Restaurant oder im Freundeskreis. Außerdem Unterschiede zwischen Japanisch und Deutsch herausstellen, zum Beispiel 予定がありますか? Haben Sie schon etwas vor? Durch zahlreiche Wiederholungen verstärken wir das Hörverstehen. Mit Hilfe des Lehrwerkes neue Wörter, Pattern und Grammatik erlernen und dann anschließend frei in eigenen Dialogen anwenden. Zum Training des Hörverstehens benutzen wir nicht nur Dialoge, sondern es gibt auch Gegenwärtige deutsche Grammatik , Deutschniveau A2			
履修条件				
授業方法	Dialoge üben, in kommunikative Dialoge anwenden. Durch zahlreiche Wiederholungen das Hörverstehen, das freie Sprechen meistern. Sprechmöglichkeiten in der Klasse, in Partnerarbeit und mit der Lehrerin.			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	Test (50%) active Teilnahme am Unterricht (50%)
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	Cornelsen	studio d A2, ISBN978-3-464-20712-3	Funk, Kuhn, Demme
	備考			
参 考 書	NHK Radio- und Fernsehprogramm			
オフィスアワー	授業の後			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Deutsch lernen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
2	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Englisch für alle?
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
3	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Rekorde
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
4	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Familienalbum
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen

5	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Geburtstag
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
6	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Einladungen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
7	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Eine Reise
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
8	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Reisepläne
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
9	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Hobbys
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
10	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Im Verein
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
11	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Medien
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
12	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Einkaufen im Internet
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
13	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Ausgehen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
14	事前学習	Üben
	授業内容	Test及びまとめ、振返り
	事後学習	Test überarbeiten
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	Video
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅢB	担当者	V. カレンベルク	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	検定試験三級に必要な文法を学び、会話を練習する。			
授業目的・到達目標	検定試験三級に必要な文法を学び、会話を練習する。検定試験三級合格動詞の時制-特に過去形と現在完了、接続法II、受け身が理解できるようになる。			
履修条件	スピーキング・リスニング（独）III Aを履修した方。定員（20名）。定員オーバーの場合は、四級を持っている人を優先します。			
授業方法	全員に発言させる。黒板にセンテンスパターンを書くので、学生はそれをノートに書き写し声を出して練習する。必要に応じてDVDを見たりCDを聞いたりする。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	平常点40%：出席をとる際のオラレストと小テストで評価。筆記試験60%：100点満点の試験で評価。検定試験3級合格者は筆記試験を免除する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	『必携 ドイツ文法総まとめ』 中島悠爾 他著：白水社、『ドイツ語文法へのプロローグ』岡本順治：郁文堂、『ドンと来い分離動詞』渡水久雄：駿河台ドイツ語工房、『DVDで入門ドイツ語』関ロー郎：白水社			
オフィスアワー	授業日の12時10分から30分までをオフィスアワーとします。質問等のある学生は事前に質問内容を紙に書いて担当教員まで提出のこと。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	辞書を買う，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	何になりますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
2	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	あしたどうなりますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
3	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	もしあなたがたったらどうしましたか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
4	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	もし、…だったら、そうすると、…でしょう
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

5	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	…だったらいいなあ
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
6	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	ドイツでは何が食べられていますか？
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
7	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	ドイツの祭日と宗教I
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
8	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	ドイツの祭日と宗教II
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
9	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	どう思いますか？（接続法を使って）
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
10	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
11	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
12	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
13	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
14	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習
15	事前学習	前回配布したプリントを予習
	授業内容	復習
	事後学習	授業で配布したプリントで復習

科目名	スピーキング・リスニング(独)ⅢB	担当者	I. レンツ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Deutsch hören und sprechen				
授業目的・到達目標	Deutsch sprechen und Hörtraining。Natürlich klingendes Deutsch erlernen und in Dialogen anwenden。Themen sind Alltagssituationen, zum Beispiel Familie, Restaurant oder im Freundeskreis。Außerdem Unterschiede zwischen Japanisch und Deutsch herausstellen, zum Beispiel 予定がありますか？ Haben Sie schon etwas vor？ Durch zahlreiche Wiederholungen verstärken wir das Hörverstehen。Mit Hilfe des Lehrwerkes neue Wörter, Pattern und Grammatik erlernen und dann anschließend frei in eigenen Dialogen anwenden。Zum Training des Hörverstehens benutzen wir nicht nur Dialoge, sondern es gibt auch regelmäßige Diktate。				
履修条件	Grundwissen der deutschen Grammatik , Deutschniveau A2				
授業方法	Dialoge üben, in kommunikativen Dialogen anwenden。Durch zahlreiche Wiederholungen das Hörverstehen, das freie Sprechen meistern。Sprechmöglichkeiten in der Klasse, in Partnerarbeit und mit der Lehrerin。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Test (50%) 5 aktive Teilnahme am Unterricht (50%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	Cornelsen		studio d A2, ISBN 978-3-464-20712-3	Funk, Kuhn, Demme
	備考				
参 考 書	NHK Radio- und Fernsehprogramm				
オフィスアワー	授業の後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Rund ums Essen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
2	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Ausgehen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
3	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Stadtleben
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
4	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Wohnungssuche
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen

5	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Was machen Sie, wennn...?
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
6	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Europa
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
7	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Weimar
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
8	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Damals
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
9	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Arbeit
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
10	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Berufswunsch
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
11	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Feste
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
12	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Geschenke
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
13	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	wiederholung復習
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
14	事前学習	Üben
	授業内容	Test及びまとめ、振返り
	事後学習	Test nacharbeiten
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	VIdео
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	リーディング・ライティング(独)ⅡA	担当者	I. レンツ	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Lesen und schreiben				
授業目的・到達目標	Gute Aussprache und situationsgerechtes Schreiben				
履修条件	Grundwissen der deutschen Grammatik , Deutschniveau A2				
授業方法	Mit dem Lehrwerk saubere Aussprache erlernen und situations gerechtes Schreiben				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Test (50%) aktive Teilnahme am Unterricht (50%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	Hueber		Lesen & Schreiben	Anneli Billina
	備考				
参 考 書	NHK Radio - und Fernsehprogramm				
オフィスアワー	授業の後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Brieffreunde gesucht
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
2	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Mama, Papa
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
3	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	verliebt, verlobt, verheiratet
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
4	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Ihr Traummann
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen

5	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Familienfeste
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
6	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Traumhaus
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
7	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Wohnungssuche
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
8	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Kochen oder Essen gehen
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
9	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Gasthaus
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
10	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Hübsch, fit und gesund
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
11	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Lernen und Beruf
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
12	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Bewerbungsunterlagen
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
13	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Lebenslauf
	事後学習	Gelernte Vokabeln regelmäßig wiederholen
14	事前学習	Üben
	授業内容	Test及びまとめ、振り返り
	事後学習	Test überarbeiten
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	Video
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	リーディング・ライティング(独)ⅡB	担当者	I. レンツ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	Deutsch hören und sprechen				
授業目的・到達目標	Deutsch sprechen und Hörtraining. Natürlich klingendes Deutsch erlernen und in Dialogen anwenden. Themen sind Alltagssituationen, zum Beispiel Familie, Restaurant oder im Freundeskreis. Außerdem Unterschiede zwischen Japanisch und Deutsch herausstellen, zum Beispiel 予定がありますか？ Haben Sie schon etwas vor？ Durch zahlreiche Wiederholungen verstärken wir das Hörverstehen. Mit Hilfe des Lehrwerkes neue Wörter, Pattern und Grammatik erlernen und dann anschließend frei in eigenen Dialogen anwenden. Zum Training des Hörverstehens benutzen wir nicht nur Dialoge, sondern es gibt auch Gegenwärtigen Diktat.				
履修条件	Deutsch Grammatik , Deutschniveau A2				
授業方法	Dialoge üben, in kommunikativen Dialogen anwenden. Durch zahlreiche Wiederholungen das Hörverstehen, das freie Sprechen meistern. Sprechmöglichkeiten in der Klasse, in Partnerarbeit und mit der Lehrerin.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Test (50%) active Teilnahme am Unterricht (50%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	Cornelsen		studio d A2, ISBN978-3-464-20712-3	Funk, Kuhn, Demme
	備考				
参 考 書	NHK Radio- und Fernsehprogramm				
オフィスアワー	授業の後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Essen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
2	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Ausgehen
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
3	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Stadtleben
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
4	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Wohnungssuche
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen

5	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	was machen Sie, wenn...?
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
6	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Europa
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
7	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Weimar
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
8	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Damals
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
9	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Arbeit
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
10	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Berufswunsch
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
11	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Feste
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
12	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	Geschenke
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
13	事前学習	Unterricht vorbereiten, neue Wörter rausschreiben und übersetzen
	授業内容	wiederholung復習
	事後学習	Neue Vokabeln regelmäßig wiederholen
14	事前学習	Üben
	授業内容	Test及びまとめ、振返り
	事後学習	Test nacharbeiten
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	VIdeo
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の音に慣れ、基本的な表現や文法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	フランス語の簡単な日常的表現を学び、初歩的な会話や読み書きができるようになる。				
履修条件	後期科目のフランス語基礎表現Bと通年での履修が望ましい。				
授業方法	簡単なフレーズを繰り返し聞き発音する。音として身に付けた後で文法的な解説を加える。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	中間小テスト50%、期末テスト50%で60点以上で合格とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	明日香出版		たったの72パターンでこんなに話せるフランス語会話	小林知子 他
	備考				
参考書	久松健一「ケータイ万能フランス語文法」駿河台出版社				
オフィスアワー	火曜日 2 限目				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	1, 2課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	ガイダンス。これは～です／C'est～、私は～です①／Je suis～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
2	事前学習	3, 4課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	私は～です②／J'ai～、～します／Je＋一般動詞
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
3	事前学習	5, 6課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～しています／Je suis en train de＋動詞の原形、～すると思います／Je＋動詞の単純未来形
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
4	事前学習	7, 8課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	…からずっと～しています／Je＋動詞の現在形＋depuis…、～しました／Je＋動詞の複合過去形
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。

5	事前学習	9, 10課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～したことがあります／Je＋動詞の複合過去形＋déjà、～できます／Je peux＋動詞の原形
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
6	事前学習	11, 12課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～しなければなりません①／Je dois＋動詞の原形、～しなければなりません②／Il faut＋動詞の原形
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
7	事前学習	13, 14課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～したいです／Je veux＋動詞の原形、～があります／Il y a～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
8	事前学習	1回目から7回目までの復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った箇所の見直し、復習。
9	事前学習	15, 16課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～は何ですか？／Quel est～？、どちらが～？／Lequel est～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
10	事前学習	17, 18課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～は誰？／Qui est～？、～はいつ？／Quand est～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
11	事前学習	19, 20課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～はどこ？／Où est～？、どうして～？／Pourquoi～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
12	事前学習	21, 22課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	どうやって～？／Comment～？、～をいただきたいのですが／Je voudrais～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
13	事前学習	23, 24課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～したいのですが／Je voudrais、～してほしいな／Je veux que～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
14	事前学習	25, 26課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～はいかがですか？／Voudriez-vous～？、～なさいませんか？／Voudriez-vous～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
15	事前学習	授業の9回目から14回目までの復習。
	授業内容	期末テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った箇所を見直し・復習

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級文法知識を習得するとともに、基本単語を学習します。そのうえで、日常的会話のスピーキングに慣れ、また簡単なメールが書けるようになるよう練習します。					
授業目的・到達目標	以下の内容を達成することが授業の目的です。①綴り字を正しく読むことができる。② 授業で学んだ文法・語彙を運用して、日常会話のスピーキングができる。④授業で学んだ文法・語彙を運用して、簡単なメールを書くことができる。					
履修条件	特になし					
授業方法	Call教室で、授業を行います。① 教科書を用いて文法を学習する ② 配布プリントにより、単語の意味その他について解説する。③ コンピュータ上でエクササイズを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		中間および期末試験（50％）、授業参加度・小テスト（50％）。仏検成績も評価に含める。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005年	第三書房		英語でわかるフランス語		滑川明彦他
	備考					
参考書	特になし。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	フランス語がどのような特徴をもつ言語か調べておく。
	授業内容	①授業の説明 ②綴り字の読み方(1) ③フランス語の名詞/不定冠詞と定冠詞(1)
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
2	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①フランス語のアルファベ(1) ②綴り字の読み方(2) ③フランス語の名詞/不定冠詞と定冠詞(2)
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
3	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①フランス語のアルファベ(2) ②綴り字の読み方(3) ③主語となる代名詞と動詞 être（第1課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
4	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①-er動詞（第3課） ②綴り字の読み方(4) ③ Il y a/C'est, Ce sont（第1課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。

5	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 avoir（第3課） ②綴り字の読み方(5) ③ Voici, Voilà（第1課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
6	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①形容詞の性と数（第2課） ②語彙リスト(1)-1 ③週と月（第12課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
7	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①形容詞の位置（第3課） ②語彙リスト(1)-2 ③疑問文の作り方（第5課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
8	事前学習	前期中間試験の準備をする。
	授業内容	前期中間試験、採点、その解説。 ①語彙リスト(1)-3 ②-er動詞のヴァリエーション manger, commencer, acheter（第3課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
9	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①前置詞de, à と定冠詞の縮約（第4課） ②語彙リスト(1)-4 ③動詞 connaître（第11課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
10	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①所有形容詞（第4課） ②語彙(2)-1 ③数詞1~30（第3課、第8課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
11	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①人称代名詞強勢形（第7課） ②語彙リスト(2)-2 ③動詞allerと近接未来（第5課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
12	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①いろいろな疑問文(1)（第5課） ②語彙リスト(2)-3 ③動詞venirと近接過去（第5課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
13	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①人称代名詞（1）（第7課） ②語彙リスト(2)-4
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
14	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①人称代名詞（2）（第7課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
15	事前学習	前期末試験の準備をする。
	授業内容	前期末試験、採点、その解説
	事後学習	前期全体の復習を行う。

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	岡本 健	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基礎表現を基本単語をもって学ぶ。			
授業目的・到達目標	フランス語の基礎力の習得を目標にする。会話文を通して語彙と表現を覚える。段階的な基本文法の学習も含めて、習う、よりも、慣れる、これに重きをおく。フランス語検定試験にもチャレンジしよう。日常生活に関する簡単なフランス語の問いかけに、フランス語で応えることができ、そのフランス語を書くことができるようになる。			
履修条件	とくにない。			
授業方法	演習形式の授業なので、積極的な授業参加が必要になる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験、50%：基礎知識の定着度を判定する。 宿題レポート、50%：授業の理解度を判定する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	白水社	ぜんぶ話して！	レナ・ジュンタ 清岡智比古
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	原則、電子メールによる質問・相談を受け付ける。kanzo-foshi@aurora.ocn.ne.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	アルファベットの音声を聞く。
	授業内容	ガイダンス。
	事後学習	アルファベットの音を覚える。
2	事前学習	1 課前半の予習。
	授業内容	国籍や職業をたずね、それに答える。
	事後学習	1 課前半の単語を覚える。
3	事前学習	1 課後半の予習。
	授業内容	出身や学部をたずね、それに答える。
	事後学習	1 課後半の単語を覚える。
4	事前学習	2 課前半の予習。
	授業内容	規則動詞を肯定・否定で使う。
	事後学習	2 課前半の単語を覚える。

5	事前学習	2 課後半の予習。
	授業内容	否定疑問形でたずね、それに答える。
	事後学習	2 課後半の単語を覚える。
6	事前学習	3 課前半の予習。
	授業内容	「～が好き？」とたずね、それにニュアンスをつけて答える。
	事後学習	3 課前半の単語を覚える。
7	事前学習	3 課後半の予習。
	授業内容	形容詞を使ってコメントする。
	事後学習	3 課後半の単語を覚える。
8	事前学習	4 課前半の予習。
	授業内容	「どこで」「だれと」をたずね、それに答える。
	事後学習	4 課前半の単語を覚える。
9	事前学習	4 課後半の予習。
	授業内容	質問の答えを展開させる。
	事後学習	4 課後半の単語を覚える。
10	事前学習	5 課前半の予習。
	授業内容	「～を持っている/持っていない」を表現する。
	事後学習	5 課前半の単語を覚える。
11	事前学習	5 課後半の予習。
	授業内容	年齢や学年をたずね、それに答える。
	事後学習	5 課後半の単語を覚える。
12	事前学習	6 課前半の予習。
	授業内容	家族の名前や身分・職業をたずね、それに答える。
	事後学習	6 課前半の単語を覚える。
13	事前学習	6 課後半の予習。
	授業内容	人について好き/きらいを言い、その人がどんな風か言う。
	事後学習	6 課後半の単語を覚える。
14	事前学習	7 課の予習。
	授業内容	さまざまな活動について話す。
	事後学習	7 課の単語を覚える。
15	事前学習	事前に配布されたプリントの予習。
	授業内容	前期のまとめ。
	事後学習	プリントの単語を覚える。

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	中川 高行	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の世界に語彙・言い回しの側面からアプローチする。			
授業目的・到達目標	実際の場面で使えるコミュニケーションのためのことばをできるだけたくさん覚えること、これがこの授業の目的である。規則を頭で理解できてもそれは使えるということとは別、教室では聞いたり口を開いたりする機会を多くしたい。 （【授業区分】の内容は進度によって変更の可能性もあります）仏検4級レベルの語彙・表現は最低限マスターしたい。到達目標＝①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明することができる。			
履修条件	特にありません。文法の授業(＝フランス語Ⅱ)も同じ年度に履修するほうが効果的です。			
授業方法	教師が一方的に知識を提供するのではなくて、参加型の、受講生各人が何らかの仕事をする授業にします。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験、発表・発言の回数などを総合的に勘案して評価します。仏検受験も評価の対象になります。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	白水社	ボン・ジュールネ	ブレンダン・ル・ルー他
	備考			
参考書	必要に応じて授業の中で紹介します。			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	インターネットなどで世界の言語の中にフランス語が占める位置について下調べをしておいていただけると有り難い。
	授業内容	1 課 自己紹介, アルファベット, 「～です」他
	事後学習	街角で出逢うフランス語の単語・表現を収集する。
2	事前学習	教科書付録のCDの最初の部分を繰り返し聴いてみる。
	授業内容	1 課 数字1～10, 「それは～です」
	事後学習	数字1～10を暗記(発音・スペル)する。
3	事前学習	CDの第2課前半部分を聴いておく。
	授業内容	2 課 職業, 国籍, 住所他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
4	事前学習	CDの第2課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	2 課 数字11～20, 動詞habiter 他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。

5	事前学習	CDの第3課前半部分を聴いておく。
	授業内容	3 課 否定, 言語, カフェにて他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
6	事前学習	CDの第3課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	3 課 名詞の性数, 不定冠詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
7	事前学習	CDの第4課前半部分を聴いておく。
	授業内容	4 課 身の回りのもの, 兄弟, 年齢について他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
8	事前学習	CDの第4課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	4 課 動詞avoir, 否定のde他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
9	事前学習	CDの第5課前半部分を聴いておく。
	授業内容	5 課 人物描写, 国名他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
10	事前学習	CDの第5課後半部分を聴いておく。
	授業内容	5 課 所有形容詞, 疑問詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
11	事前学習	CDの第6課前半部分を聴いておく。
	授業内容	6 課 ものの位置他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
12	事前学習	CDの第6課後半部分を聴いておく。
	授業内容	6 課 定冠詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
13	事前学習	CDの第7課前半部分を聴いておく。
	授業内容	7 課 好き嫌いの表現, 形容詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
14	事前学習	CDの第7課後半部分を聴いておく。
	授業内容	7 課 aimer, il y a他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
15	事前学習	試験範囲の総まとめ。
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	前期の学習項目を見直す。

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	根岸 知生	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初めてフランス語を学ぶ人を対象に、アルファベットの発音から始めて、基礎的な文法や読解、日本とフランスの文化の違い等を学びます。			
授業目的・到達目標	フランス語を正しく発音し、読み書きする力を身に付けることができるようになる。 フランス語検定5級～4級の取得を視野に入れることができる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	基礎的な文法をまとめながら、音読や和訳、書き取り、会話の練習をします。 DVD教材でフランスの文化について学ぶ機会も作ります。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への貢献度と、前期の最後に実施するテストの結果から総合的に判断します。 また年度内の仏検合格者には、点数を加算します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006年	白水社	パスカル・オ・ジャポン（CD付）	藤田祐二
	備考			
参考書	特になし。			
オフィスアワー	質問・相談がある場合は授業内や授業後に声を掛けてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	オリエンテーション フランス語に親しむ（1）：アルファベ・フランス語表現
	事後学習	アルファベを覚えましょう。
2	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	フランス語に親しむ（2）：綴り字の読み方
	事後学習	綴り字の発音の規則を覚えましょう。
3	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	国籍を言う：主語人称代名詞・動詞
	事後学習	基本的な動詞の活用を覚えましょう。
4	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	名前・職業を言う：形容詞の性・数の一致
	事後学習	形容詞の変化の原則を覚えましょう。

5	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	持ち物を尋ねる（1）：不定冠詞・指示代名詞
	事後学習	不定冠詞を覚えましょう。
6	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	持ち物を尋ねる（2）：形容詞の位置
	事後学習	形容詞を使った表現を自分で考えてみましょう。
7	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	趣味を語る（1）：定冠詞・疑問文
	事後学習	定冠詞を覚えましょう。また自分でも疑問文を作ってみましょう。
8	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	趣味を語る（2）：疑問形容詞
	事後学習	疑問形容詞を使った文を考えてみましょう。
9	事前学習	1 課から 4 課までに学んだ文法事項を整理しておきましょう。
	授業内容	まとめの練習問題
	事後学習	間違えたところを確認し、復習しておきましょう。
10	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	誰か尋ねる（1）：否定文
	事後学習	疑問代名詞を使った文を作ってみましょう。
11	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	誰か尋ねる（2）：疑問代名詞
	事後学習	疑問代名詞を使った文を作ってみましょう。
12	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	したいことを尋ねる：前置詞と定冠詞の縮約・疑問代名詞
	事後学習	縮約形を覚えましょう。
13	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	住んでいる所を言う：人称代名詞の強勢形・所有形容詞
	事後学習	強勢形と所有形容詞の変化をしっかりと覚えましょう。
14	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	何をしているか尋ねる：疑問代名詞・場所を表す前置詞
	事後学習	疑問代名詞を使った文を作ってみましょう。
15	事前学習	今までに学んだ文法事項や表現をまとめておきましょう。
	授業内容	前期のまとめ・期末テスト
	事後学習	出来なかったところを確認し、復習しておきましょう。

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	藤井 陽子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基本的な表現や文法、発音を学ぶ。				
授業目的・到達目標	フランス語検定5級相当のフランス語力を身につけることを目的とする。 フランス語の習得を通して異文化理解を深め、コミュニケーション力を身につけることを目的とする。 フランス語の日常的表現を学び、簡単な会話や読み書きができるようになる。				
履修条件	特になし。後期科目のフランス語基礎表現Bと続けて履修することが望ましい。				
授業方法	発音・会話練習を中心に、教科書の内容にしたがってCD・DVD等を利用しながら授業を進める。 毎回小テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験60%、授業中の小テスト20%、授業への参加態度や課題への取組20%。フランス語検定の結果も評価の対象になる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	朝日出版社		『きみと話したい！フランス語』	大久保政憲
	備考				
参考書	数江譲治 『フランス語のABC』 白水社				
オフィスアワー	授業内および授業前後に質問を受けつける。緊急の場合はメールにて受付（fujii.yoko11@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ノートを準備し、教科書の内容に目を通しておくこと
	授業内容	オリエンテーション フランス語の文字と発音 アルファベ
	事後学習	フランス語のアルファベの読みを暗記すること
2	事前学習	教科書5～6ページの発音の決まりに目を通しておくこと
	授業内容	フランス語の文字と発音 アクサン
	事後学習	発音規則を確認しながら、単語の読みを復習すること
3	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 1 あいさつ 自己紹介 （主語人称代名詞）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
4	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 1 あいさつ 自己紹介 （国籍）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと

5	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 2 ～があります （提示表現）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
6	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 2 ～があります （名詞と冠詞）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
7	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 3 ～を持っている （動詞avoir）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
8	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 3 ～を持っている （疑問文・否定文）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
9	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 4 どんな言葉？ （er動詞）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
10	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 4 どんな言葉？ （形容詞）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
11	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 5 買い物 （部分冠詞）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
12	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 5 買い物 （中性代名詞en）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
13	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 6 どこに？ （前置詞と定冠詞の縮約）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
14	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 6 どこに？ （疑問副詞）
	事後学習	前期の授業内容を整理し、全体を復習しておくこと
15	事前学習	前期の授業内容を整理し、全体を復習しておくこと
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	前期の授業内容を整理し、見直しておくこと

科目名	フランス語基礎表現A	担当者	吉澤 保	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基礎的表現を学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的は、基礎表現に重点をおきながらフランス語の基礎学力を養成することにあります。当然ですが、文法も重要で、これについての学習も同時に行います。また、フランス語実用技能検定試験（仏検）の5級あるいは4級の取得も目指します。この授業の到達目標をいえば、基礎表現に重点をおいたフランス語の基礎学力が習得できるようになります。それによって、仏検5級あるいは4級を取得することができるようになります。同時に、フランスの文化・社会についても勉強することになります。				
履修条件	ありません。				
授業方法	こちらが表現、文法の説明を行い、その後皆さんに練習してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	平常点（授業参加度、小テスト）：50%、中間・期末テスト：50% 原則このようにします。ただし仏検の成績も考慮に入れます。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	駿河台出版社		『フランス語の庭』	那波陽子
	備考				
参 考 書	授業時に指示します。				
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時（事前にメールでアポイントメントを取ってください） 研究室（本館9階1910）yoshizawa.tamotsu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	前期イントロダクション
	事後学習	授業内容を復習しておくこと
2	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	あいさつと簡単な自己紹介
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
3	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	自己紹介し合う 国籍・職業・名前を言う（1）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
4	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	自己紹介し合う 国籍・職業・名前を言う（2）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと

5	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	カフェで コーヒーをください おいくらですか？（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
6	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	カフェで コーヒーをください おいくらですか？（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
7	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	友達を紹介する 話す言語・住んでいる所・好みを言う・否定で言う（１）
	事後学習	試験対策の勉強を行うこと
8	事前学習	試験対策の勉強を行うこと
	授業内容	前期中間試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容の復習を行うこと
9	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	友達を紹介する 話す言語・住んでいる所・好みを言う・否定で言う（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
10	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	持ち物を言う・説明する ～を持っている、それはなんですか、それは・それらは～です、～に～があります（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
11	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	持ち物を言う・説明する ～を持っている、それはなんですか、それは・それらは～です、～に～があります（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
12	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	人について聞く・説明する それは誰ですか、どんな人ですか（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
13	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	人について聞く・説明する それは誰ですか、どんな人ですか（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
14	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	食べるもの・飲み物を言う サラダを食べる、ワインは飲まない、何を食べる（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
15	事前学習	試験対策の授業を行うこと
	授業内容	前期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容の復習を行うこと

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の音に慣れ、基本的な表現や文法を学ぶ。			
授業目的・到達目標	フランス語の簡単な日常的表現を学び、初歩的な会話や読み書きができるようになる。			
履修条件	後期科目のフランス語基礎表現Bと通年での履修が望ましい。			
授業方法	簡単なフレーズを繰り返し聞いて発音する。音として身に着けた後で文法的な解説を加える。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	中間小テスト50%、期末テスト50%で60点以上で合格とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	明日香出版	たったの72パターンでこんなに話せるフランス語会話	小林知子 他
	備考			
参考書	久松健一「ケータイ万能フランス語文法」駿河台出版社			
オフィスアワー	火曜日 2 限目			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	27, 28課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	ガイダンス、～したらどう？／Pourquoi ne pas～？、～しよう！／～ons！、～だと思うよ／Je pense que～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
2	事前学習	29, 30課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～だといいな／J' espère que～、前は～だったよ／J' avais l'habitude de～、～させて／Laisse-moi～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
3	事前学習	31, 32課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～をありがとう／Merci pour～、～してごめんね／Je suis désolé(e) de～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
4	事前学習	33, 34課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	そんなに～じゃないよ／Ce n' est pas si～、～すぎるよ／C' est trop～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。

5	事前学習	35, 36課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～しないの？／Tu ne＋動詞の現在形＋pas？、～しなかったの？／Tu ne＋動詞の複合過去形＋pas？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
6	事前学習	37, 38課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～するつもりです／J'ai l'intention de～、～するはずでした／Je devais～、～すればよかった／J'aurais dû～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
7	事前学習	39, 40課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～するかもしれない／Peut-être que ～、～するはずだよ／Tu devrais～、～するはずがない／Tu ne peux pas～
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
8	事前学習	1回目から7回目までの復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った箇所の見直し、復習。
9	事前学習	41, 42課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～するに違いない／Je suis sûr(e) que～、～してください／～、s'il vous plaît.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
10	事前学習	43, 44課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～しないで！／Ne～pas!、～してもいい？／Je peux～？、～してもいいですか？／Puis-je～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
11	事前学習	45, 46課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～してもらえない？／Peux-tu～？, ～が必要です／J'ai besoin de～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
12	事前学習	47, 48課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～が怖いです／J'ai peur de～？、どんな～？／Quel type de～？、よく～するの？／～souvent？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
13	事前学習	49, 50課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～そうだね／Ça semble～、～によるよ／Ça dépend de～、～ってこと？／Tu veux dire que～？
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
14	事前学習	51, 52課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	～だよな？／～、n'est-ce pas？、～はどんな感じ？／Comment est～？、～頑張って！／Bon courage pour～！
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
15	事前学習	授業の9回目から14回目までの復習。
	授業内容	期末テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った箇所を見直し・復習

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級文法知識を習得するとともに、基本単語を学習します。そのうえで、日常的会話のスピーキングに慣れ、また簡単なメールが書けるようになるよう練習します。					
授業目的・到達目標	以下の内容を達成することが授業の目的です。①綴り字を正しく読むことができる。② 授業で学んだ文法・語彙を運用して、日常会話のスピーキングができる。④授業で学んだ文法・語彙を運用して、簡単なメールを書くことができる。					
履修条件	特になし					
授業方法	Call教室で、授業を行います。① 教科書を用いて文法を学習する ② 配布プリントにより、単語の意味その他について解説する。③ コンピュータ上でエクササイズを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		中間および期末試験（50％）、授業参加度・小テスト（50％）。仏検成績も評価に含める。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005年	第三書房		英語でわかるフランス語		滑川明彦他
	備考					
参考書	特になし。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①数詞31-69（第8課） ②語彙リスト(3)-1 ③動詞se coucher（第9課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
2	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①数詞70-100（第8課） ②語彙リスト(3)-2 ③さまざまな前置詞(1)（第5課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
3	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①時間表現（第9課） ②語彙リスト(3)-3 ③さまざまな前置詞(2)プリント
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
4	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①天候表現（第7課） ②語彙リスト(3)-4 ③部分冠詞
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。

5	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 prendre（第6課） ②語彙(4)-1 ③不定冠詞・部分冠詞の変形（第6課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
6	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 pouvoir（第7課） ②語彙リスト(4)-2 ③比較級・最上級(1)（第7課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
7	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 vouloir（第11課） ②語彙(4)-3 ③比較級・最上級(2)（第7課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
8	事前学習	後期中間試験の準備をする。
	授業内容	後期中間試験、採点、その解説 ①語彙(4)-4 ②比較級・最上級(3)（第7課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
9	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 finir（第8課） ②語彙リスト(5)-1 ③さまざまな否定表現(1)（第6課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
10	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 faire（第9課） ②語彙リスト(5)-2 ③さまざまな否定表現(2)（第6課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
11	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①動詞 sortir（第8課） ②語彙リスト(5)-3 ③いろいろな疑問文(2)-1（第10課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
12	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①単純未来形（第10課） ②語彙リスト(5)-4 ③いろいろな疑問文(2)-2（第10課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
13	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①語彙リスト(6)-1 ②複合過去形(1)（第8課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
14	事前学習	小テストの準備をする。 今週の文法事項に対応する教科書の項目を読んでおく。
	授業内容	①語彙リスト(6)-2 ②複合過去形(2)（第8課）
	事後学習	今週に学習した文法内容について復習する。
15	事前学習	後期末試験の準備をする。
	授業内容	後期末試験、採点、その解説
	事後学習	後期全体の復習をする。

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	岡本 健	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基礎表現を基本単語をもって学ぶ。			
授業目的・到達目標	フランス語の基礎力の習得を目標にする。会話文を通して語彙と表現を覚える。段階的な基本文法の学習も含めて、習う、よりも、慣れる、これに重きをおく。フランス語検定試験にもチャレンジしよう。日常生活に関する簡単なフランス語の問いかけに、フランス語で応えることができ、そのフランス語を書くことができるようになる。			
履修条件	とくにない。			
授業方法	演習形式の授業なので、積極的な授業参加が必要になる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験、50%：基礎知識の定着度を判定する。 宿題レポート、50%：授業の理解度を判定する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	白水社	ぜんぶ話して！	レナ・ジュンタ 清岡智比古
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	原則、電子メールによる質問・相談を受け付ける。kanzo-foshi@aurora.ocn.ne.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	8 課前半の予習。
	授業内容	食事について話す。
	事後学習	8 課前半の単語を覚える。
2	事前学習	8 課後半の予習。
	授業内容	頻度を表現する。
	事後学習	8 課後半の単語を覚える。
3	事前学習	9 課前半の予習。
	授業内容	よく行く場所について話す。
	事後学習	9 課前半の単語を覚える。
4	事前学習	9 課後半の予習。
	授業内容	移動手段について話す。
	事後学習	9 課後半の単語を覚える。

5	事前学習	1 0 課前半の予習。
	授業内容	習慣についてたずね、代名詞を使って答える。
	事後学習	1 0 課前半の単語を覚える。
6	事前学習	1 0 課後半の予習。
	授業内容	代名動詞を使って習慣について話す。
	事後学習	1 0 課後半の単語を覚える。
7	事前学習	1 1 課前半の予習。
	授業内容	生活時間についてたずね、それに答える。
	事後学習	1 1 課前半の単語を覚える。
8	事前学習	1 1 課後半の予習。
	授業内容	計画についてたずね、それに答える。
	事後学習	1 1 課後半の単語を覚える。
9	事前学習	1 2 課前半の予習。
	授業内容	行きたい場所についてたずね、その土地の天候について話す。
	事後学習	1 2 課前半の単語を覚える。
10	事前学習	1 2 課後半の予習。
	授業内容	アドバイスを求める/与える。
	事後学習	1 2 課後半の単語を覚える。
11	事前学習	1 3 課前半の予習。
	授業内容	過去の出来事について質問し、それに答える。
	事後学習	1 3 課前半の単語を覚える。
12	事前学習	1 3 課後半の予習。
	授業内容	過去の表現を使って、一日の出来事・週末・ヴァカンスについて話す。
	事後学習	1 3 課後半の単語を覚える。
13	事前学習	1 4 課前半の予習。
	授業内容	代名詞を使って、過去の事柄を話す。
	事後学習	1 4 課前半の単語を覚える。
14	事前学習	1 4 課後半の予習。
	授業内容	話を組み立てて、一日の行動を話す。
	事後学習	1 4 課後半の単語を覚える。
15	事前学習	事前に配布されたプリントの予習。
	授業内容	後期のまとめ。
	事後学習	プリントの単語を覚える。

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	中川 高行	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の世界に語彙・言い回しの側面からアプローチする。			
授業目的・到達目標	実際の場面で使えるコミュニケーションのためのことばをできるだけたくさん覚えること、これがこの授業の目的である。規則を頭で理解できてもそれは使えるということとは別、教室では聞いたり口を開いたりする機会を多くしたい。 （【授業区分】の内容は進度によって変更の可能性もあります）仏検4級レベルの語彙・表現は最低限マスターしたい。 到達目標＝①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明することができる。			
履修条件	特にありません。文法の授業(＝フランス語Ⅱ)も同じ年度に履修するほうが効果的です。			
授業方法	教師が一方的に知識を提供するのではなくて、参加型の、受講生各人が何らかの仕事をする授業にします。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験、発表・発言の回数などを総合的に勘案して評価します。仏検受験も評価の対象になります。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	白水社	ボン・ジュールネ	ブレンダン・ル・ルー他
	備考			
参考書	必要に応じて授業の中で紹介します。			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDの第8課前半部分を聴いておく。
	授業内容	8 課 色, 衣服, 比較他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
2	事前学習	CDの第8課後半部分を聴いておく。
	授業内容	8 課 比較級, 非人称構文他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
3	事前学習	CDの第9課前半部分を聴いておく。
	授業内容	9 課 朝食, 頻度の副詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
4	事前学習	CDの第9課後半部分を聴いておく。
	授業内容	9 課 縮約, 部分冠詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。

5	事前学習	CDの第10課前半部分を聴いておく。
	授業内容	1 0 課 曜日，場所他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
6	事前学習	CDの第10課後半部分を聴いておく。
	授業内容	1 0 課 動詞vouloir，中性代名詞y他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
7	事前学習	CDの第11課前半部分を聴いておく。
	授業内容	1 1 課 時間，日常生活の表現他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
8	事前学習	CDの第11課後半部分を聴いておく。
	授業内容	1 1 課 代名動詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
9	事前学習	CDの第12課前半部分を聴いておく。
	授業内容	1 2 課 情報を得る，アルバイトについて他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
10	事前学習	CDの第12課後半部分を聴いておく。
	授業内容	1 2 課 目的語人称代名詞他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
11	事前学習	CDの第13課前半部分を聴いておく。
	授業内容	1 3 課 食事の流れ，注文の仕方他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
12	事前学習	CDの第13課後半部分を聴いておく。
	授業内容	1 3 課 複合過去，半過去
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
13	事前学習	CDの第14課を聴いておく。
	授業内容	1 4 課 ヴァカンスの過ごし方他
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
14	事前学習	CDの第15課を聴いておく。
	授業内容	1 5 課 未来の計画，メールの書き方
	事後学習	学習したページの単語・表現を筆写し発音してみる。
15	事前学習	後期に学習した内容を総合的に見直しておく。
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	1 年間の学習内容をまとめた冊子をお渡しします。各項目がどの程度まで身についているか、自己検証する。

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	根岸 知生	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初めてフランス語を学ぶ人を対象に、アルファベットの発音から始めて、基礎的な文法や読解、日本とフランスの文化の違い等を学びます。			
授業目的・到達目標	フランス語を正しく発音し、読み書きする力を身に付けることができるようになる。 フランス語検定5級～4級の取得を視野に入れることができる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	基礎的な文法をまとめながら、音読や和訳、書き取り、会話の練習をします。 DVD教材でフランスの文化について学ぶ機会も作ります。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への貢献度と、後期の最後に実施するテストの結果から総合的に判断します。 また年度内の仏検合格者には、点数を加算します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006年	白水社	パスカル・オ・ジャポン（CD付）	藤田祐二
	備考			
参考書	特になし。			
オフィスアワー	質問・相談がある場合は授業内や授業後に声を掛けてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	5課から8課までに学んだ文法事項を整理しておきましょう。
	授業内容	ガイダンス まとめの練習問題
	事後学習	間違えたところを確認し、復習しておきましょう。
2	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	家族を語る：否定文における冠詞の変形・女性形容詞の特殊な形
	事後学習	形容詞の女性形をまとめてみましょう。
3	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	年齢を言う：数字（1～30）・疑問副詞
	事後学習	数字を30まで暗記しましょう。
4	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	時刻を言う：時刻の言い方・時の前置詞
	事後学習	いろんな時刻をフランス語で言う練習をしてみましょう。

5	事前学習	9 課から 1 1 課までに学んだ文法事項を整理しておきましょう。
	授業内容	まとめの練習問題
	事後学習	間違えたところを確認し、復習しておきましょう。
6	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	紹介する：補語人称代名詞・指示代名詞
	事後学習	補語人称代名詞の変化を覚えましょう。
7	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	日常生活の表現：代名動詞・近接未来と近接過去
	事後学習	近接未来と近接過去の文を作ってみましょう。
8	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	量を表す：部分冠詞・中性代名詞 en
	事後学習	部分冠詞を覚えましょう。
9	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	天候を言う：命令形・中性代名詞 y・天候の表現
	事後学習	命令形の文を作ってみましょう。
10	事前学習	1 2 課から 1 5 課までに学んだ文法事項を整理しておきましょう。
	授業内容	まとめの練習問題
	事後学習	間違えたところを確認し、復習しておきましょう。
11	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	比較する：比較級・指示代名詞
	事後学習	比較級の文を作ってみましょう。
12	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	過去のことを語る：複合過去形
	事後学習	複合過去形の文を作ってみましょう。
13	事前学習	CDであらかじめ発音の確認をしておいてください。
	授業内容	未来のことを語る：単純未来形
	事後学習	単純未来形の文を作ってみましょう。
14	事前学習	1 6 課から 1 8 課までに学んだ文法事項を整理しておきましょう。
	授業内容	まとめの練習問題
	事後学習	間違えたところを確認し、復習しておきましょう。
15	事前学習	今までに学んだ文法事項や表現をまとめておきましょう。
	授業内容	後期のまとめ・期末テスト
	事後学習	出来なかったところを確認し、復習しておきましょう。

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	藤井 陽子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基本的な表現や文法、発音を学ぶ。			
授業目的・到達目標	フランス語検定5級相当のフランス語力を身につけることを目的とする。 フランス語の習得を通して異文化理解を深め、コミュニケーション力を身につけることを目的とする。 フランス語の日常的表現を学び、簡単な会話や読み書きができるようになる。			
履修条件	特になし。前期科目のフランス語基礎表現Aより引き続き履修することが望ましい。			
授業方法	発音・会話練習を中心に、教科書の内容にしたがってCD・DVD等を利用しながら授業を進める。 毎回小テストを行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内試験60%、授業内の小テスト20%、授業への参加態度や課題への取組20%。フランス語検定の結果も評価の対象になる。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	朝日出版社	『きみと話したい！フランス語』	大久保政憲
	備考			
参考書	数江譲治 『フランス語のABC』 白水社			
オフィスアワー	授業内および授業前後に質問を受けつける。緊急の場合はメールにて受付（fujii.yoko11@nihon-u.ac.jp）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 1～6の復習 Leçon 7 何時に？（時刻の表現）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
2	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 7 何時に？（非人称構文）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
3	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 8 ～をするつもり ～をしたばかり（近接未来・近接過去）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
4	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 8 ～をするつもり ～をしたばかり（中性代名詞y）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと

5	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 9 比べる （比較級・最上級）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
6	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 9 比べる （指示代名詞）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
7	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 10 ～を知っている （目的語人称代名詞）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
8	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 10 ～を知っている （疑問代名詞）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
9	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 10 ～を知っている （フランス映画について）
	事後学習	授業内で指示された課題に取り組むこと
10	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 11 起きる 寝る 散歩する （代名動詞）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
11	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 11 起きる 寝る 散歩する （命令形）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
12	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 12 過去のことを言う1 （複合過去）
	事後学習	授業内容を見直してノートにまとめ、疑問点を整理しておくこと
13	事前学習	前回授業で指示された課題および文法の練習問題を準備しておくこと
	授業内容	Leçon 12 過去のことを言う1 （複合過去の用法）
	事後学習	授業内で指示された本文の内容を暗記し、書けるようにしておくこと
14	事前学習	本文をノートに写し、新出単語を辞書で調べ、本文を日本語に訳しておくこと
	授業内容	Leçon 13 未来のことを言う （単純未来）
	事後学習	後期の授業内容を整理し、全体を復習しておくこと
15	事前学習	後期の授業内容を整理し、全体を復習しておくこと
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	後期の授業内容を整理し、見直しておくこと

科目名	フランス語基礎表現B	担当者	吉澤 保	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基礎的表現を学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的は、基礎表現に重点をおきながらフランス語の基礎学力を養成することにあります。当然ですが、文法も重要で、これについての学習も同時に行います。また、フランス語実用技能検定試験（仏検）の5級あるいは4級の取得も目指します。この授業の到達目標をいえば、基礎表現に重点をおいたフランス語の基礎学力が習得できるようになります。それによって、仏検5級あるいは4級を取得することができるようになります。同時に、フランスの文化・社会についても勉強することになります。				
履修条件	ありません。				
授業方法	こちらが表現、文法の説明を行い、その後皆さんに練習してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	平常点（授業参加度、小テスト）：50%、中間・期末テスト：50% 原則このようにします。ただし仏検の成績も考慮に入れます。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	駿河台出版社		『フランス語の庭』	那波陽子
	備考				
参 考 書	授業時に指示します。				
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時（事前にメールでアポイントメントを取ってください） 研究室（本館9階1910） yoshizawa.tamotsu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと
	授業内容	後期イントロダクション
	事後学習	授業で指示されたことを復習すること
2	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	食べるもの・飲み物を言う サラダを食べる、ワインは飲まない、何を食べる（2）
	事後学習	前回行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
3	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	行きたい場所を聞く 〜はどちらですか、そこへ行く（場所を言い換える代名詞） 天気を言う（1）
	事後学習	前回行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
4	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	行きたい場所を聞く 〜はどちらですか、そこへ行く（場所を言い換える代名詞） 天気を言う（2）
	事後学習	前回行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと

5	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	日程について話す 曜日・日付を言う ～が終わる・～を終える、いつ・いくつの～、感想や印象を言う（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
6	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	日程について話す 曜日・日付を言う ～が終わる・～を終える、いつ・いくつの～、感想や印象を言う（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
7	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	これからする事・したばかりの事を言う ～をする、～できる、なぜ～、なぜならば～（１）
	事後学習	試験対策の勉強を行うこと
8	事前学習	試験対策の勉強を行うこと
	授業内容	後期中間試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容の復習を行うこと
9	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	これからする事・したばかりの事を言う ～をする、～できる、なぜ～、なぜならば～（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
10	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	日常の生活を言う 六時に起きます、朝早く出る、新聞をいつも読む（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
11	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	日常の生活を言う 六時に起きます、朝早く出る、新聞をいつも読む（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
12	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	身体の状態を言う ～が痛い、熱い、寒い、ほしいもの・したいことを言う ～しなければならない（１）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
13	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	身体の状態を言う ～が痛い、熱い、寒い、ほしいもの・したいことを言う ～しなければならない（２）
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
14	事前学習	今週行われる授業の予習を行うこと
	授業内容	身につける物を言う ～色の洋服を着る、比較する ～より～です・最も～です、人・物を言い換える
	事後学習	前回は行われた授業の小テストを行うので復習しておくこと
15	事前学習	試験対策の勉強を行うこと
	授業内容	後期期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容の復習を行うこと

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の文法事項の基礎を学びます。その際、いずれ使えるフランス語につながるような基礎の作り方をするため、日本語の解説の前にフランス語の音になじんでもらうことを優先し、例文を音で学びながら、文法事項を学んでいきます。				
授業目的・到達目標	初級文法の基礎を感覚的に理解する。フランス語の音声での反復練習からある程度の基本フレーズがとっさに使えるようにする。				
履修条件	フランス語・フランス文化に興味をもっていること。				
授業方法	フランス語のフレーズを反復して聞いて、発話して、それから文法説明に入ります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	中間小テスト50%、期末テスト50%の60点以上で合格です。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	朝日出版		フランス語ブルー 1 トリコロール 文法編	高橋信良 他
	備考				
参 考 書	久松健一著「ケータイ万能フランス語文法」駿河台出版社				
オフィスアワー	火曜日 2 限目				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教材とポケット版ではない学習辞書を用意してください。
	授業内容	ガイダンス。授業目的、内容、評価方法、このクラスで守るべき規則などについて説明します。導入で簡単なフランス語に触れてみます。
	事後学習	指定教材に目を通しておいってください。
2	事前学習	0課に目を通し、知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon0: 発音、綴り。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
3	事前学習	1課に目を通し、知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon1: 主語人称代名詞と動詞être、性・数一致、リエゾン、アンシェヌマン。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
4	事前学習	2課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon2: 動詞avoir、不定冠詞、エリズィオン。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。

5	事前学習	3課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon3: C'est/Ce sont, Il y aとVoici/Voilà, 形容詞
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
6	事前学習	4課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon4: 第一群規則動詞aimer, 定冠詞と部分冠詞、否定文、疑問文。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
7	事前学習	5課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 5: 動詞aller, venir, 前置詞と定冠詞の縮約。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
8	事前学習	0, 1, 2, 3, 4, 5課の復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。
9	事前学習	6課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 6: 動詞faire、疑問形容詞、所有形容詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
10	事前学習	7課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 7: 第二群規則動詞とpartir, 代名動詞、受動態。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
11	事前学習	8課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 8: 直接法複合過去、補語人称代名詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
12	事前学習	9課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon9: 語幹の特殊変化 préférer、指示形容詞、指示代名詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
13	事前学習	10課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 10: 動詞pouvoir, vouloir、疑問代名詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
14	事前学習	11課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon11: 比較級、最上級。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
15	事前学習	後半6, 7, 8, 9, 10, 11課の復習。
	授業内容	期末テスト、採点、解説、まとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は、次の①②③を考慮して進行します。 ①フランス語の初級文法を学び、簡単なフランス語の文章を読むことができるようになること。 ②フランス語実用技能検定試験（仏検）において5級を取得できる語彙力・聴解力をつけること。 ③フランスの文化や生活習慣について知ること。					
授業目的・到達目標	以下の目標に達することが、この授業の目的です。①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。 ②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明できる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	①教科書にそって文法説明を行う。②練習問題を解き、本文を読解する。③毎回、前回授業の内容にそった小テストを行う。④文化面について解説する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		原則として ①中間および期末試験（50%） ②授業参加度・小テストおよび課題提出（50%） ③仏検の成績を考慮する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	第三書房		『アレグレス』		江島泰子
	備考					
参考書	滑川明彦他著『英語でわかるフランス語』（第三書房）。あるいは、自分で選んで参考書を購入してください。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	フランス語とはどんな言語なのか調べてくること。
	授業内容	① 授業の説明 ② フランス語の挨拶(1) ③ 発音と綴り字の読み方(1)
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
2	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① フランス語の挨拶(2) ① 発音と綴り字の読み方(2) ② 名詞の性・数と不定冠詞（第1課）
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
3	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① フランス語の挨拶(3) ② 発音と綴り字の読み方(3) ③ 名詞の性・数と不定冠詞/形容詞(第1課)
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
4	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① フランス語の挨拶(4) ② 発音と綴り字の読み方(4) ③ 主語となる代名詞と動詞 être/提示の表現
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。

5	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 発音と綴り字の読み方(5) ② 第1課の本文/文化面 ③ 定冠詞/動詞 avoir (第2課)
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
6	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① voici・voilà/形容詞の位置 (第2課) ② 数詞 (第2課) ③ 第2課の本文/文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
7	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 第一群規則動詞/疑問文の作り方 (第3課) ② 曜日と月(1) (第3課) ③ 第3課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
8	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 疑問形容詞 (第3課) ② 第3課の本文 ③ 曜日と月(2) (第3課)
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
9	事前学習	前期中間試験の準備をする。
	授業内容	前期中間試験 (第1回～8回までの内容)、採点とその解説
	事後学習	前期前半の復習をする。
10	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 所有形容詞(1)/動詞 faireの活用 (第4課) ② 時間表現(1) (第4課) ③ 第4課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
11	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 所有形容詞(2) ② 時間表現(1) (第4課) ③ 第4課の本文
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
12	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 指示形容詞/Il y a... (第5課) ② 位置を示す表現 (第5課) ③ 第5課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
13	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 疑問詞quiとque (1) (第5課) ② 位置を示す表現 (第5課) ③ 第5課の本文
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
14	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 疑問詞quiとque (1) (第5課) ② 前期文法項目の再確認
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
15	事前学習	前期末試験の準備をする。
	授業内容	前期期末試験 (第9回～第14回までの内容)、採点とその解説
	事後学習	今週に課した課題について確認し、解答する。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	江島 泰子	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は次の①②③の項目を考慮して、進行します。 ①フランス語の初級文法を学び、簡単なフランス語の文章を読むことができるようになること。 ②フランス語実用技能検定試験（仏検）において5級を取得できる語彙力・聴解力をつけること。 ③フランスの文化や生活習慣について知ること。					
授業目的・到達目標	以下の目標に到達することが、この授業の目的です。①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明できる。					
履修条件	特になし					
授業方法	①教科書にそって文法説明を行う。②練習問題を解き、本文を読解する。③毎回、前回授業の内容にそった小テストを行う。④フランス文化について解説する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%		原則として ①前期の中間および期末試験（50%）、②授業参加度・小テストおよび課題提出（50%） ③仏検の成績を考慮する。	
	平常評価		100%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005年	第三書房		英語でわかるフランス語		滑川明彦他
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく。
	授業内容	① 授業の説明 ② フランス語の挨拶(1) ③ 発音と綴り字の読み方(1)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
2	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① フランス語の挨拶(2) ② 発音と綴り字の読み方(2) ② フランス語の名詞/不定冠詞と定冠詞（第1課）
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
3	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① C'est, Ce sont/ Il y a ② 発音と綴り字の読み方(1) ③フランス人の名前
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
4	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 会話をしましょう（第1課） ② 発音と綴り字の読み方(4) ③ 主語となる代名詞と動詞 être の活用（第2課）
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習

5	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 発音と綴り字の読み方(5) ② 品質形容詞の性と数/否定文（第2課） ③ フランスの食事
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
6	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① avoir の活用/品質形容詞の位置（第3課） ② 数詞(1)（第3課） ③ フランスの地理(1)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
7	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 第一群規則動詞（第3課）/ 所有形容詞（1）（第4課） ② 数詞(2)（第3課） ③ フランスの地理(2)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
8	事前学習	前期中間試験の準備をする。
	授業内容	前期中間試験（第1回～第7回の内容）、採点とその解説。 ①所有形容詞（2）（第4課）
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
9	事前学習	①今回的小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 指示形容詞/前置詞de, à と定冠詞の縮約（第4課） ② 会話をしましょう（第4課） ③ フランスの祝祭日
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項の復習
10	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 動詞 allerの活用/近接未来（第5課） ② 空間的位置関係の表現（第5課） ③ フランスの生活習慣
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
11	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 動詞 venir/近接過去（第5課） ② いろいろな疑問文（第5課） ③ 世界のフランス語圏
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
12	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 命令法/疑問文の作り方（第5課） ② 部分冠詞（第6課） ③ フランスの町々(1)
	事後学習	①今回の授業で学んだ文法事項等の復習 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
13	事前学習	今週の小テストの準備
	授業内容	① 動詞prendre（第6課） ② ne pas 以外の否定表現（第6課） ③ フランスの町々(2)
	事後学習	①今回の授業で学んだ文法事項等の復習 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
14	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	①比較級・最上級（第6課） ②前期で学んだ文法事項の確認
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
15	事前学習	前期末試験の準備
	授業内容	前期末試験（第8回～第14回までの内容）、採点とその解説。
	事後学習	前期全体の復習をする。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	岡本 健	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基礎文法を基本単語をもって学ぶ。			
授業目的・到達目標	フランス語の文法の習得を目標にする。基本的な語彙と表現を覚えながら、基礎文法を段階的に学んでゆく。フランス語検定試験にもチャレンジしよう。日常生活に関する簡単なフランス語の問いかけに、フランス語で応えることができ、そのフランス語を書くことができるようになる。			
履修条件	とくにない。			
授業方法	授業時には発言が求められるので、積極的な授業参加が必要になる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験、50%：基礎知識の定着度を判定する。 宿題レポート、50%：授業の理解度を判定する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	白水社	ル・フランセ・クレール	清岡智比古
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	メールによる質問・相談を受け付ける。kanzo-foshi@aurora.ocn.ne.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	アルファベットの音声をCDで聞く。
	授業内容	ガイダンス。
	事後学習	アルファベットの音を覚える。
2	事前学習	1課の予習。
	授業内容	名詞と冠詞。
	事後学習	1課の単語を覚える。
3	事前学習	2課前半の予習。
	授業内容	主語代名詞と動詞「～である」の活用。
	事後学習	2課前半の単語を覚える。
4	事前学習	2課後半の予習。
	授業内容	動詞「～をもつ」の活用。
	事後学習	2課後半の単語を覚える。

5	事前学習	3 課の予習。
	授業内容	否定文の作り方と形容詞。
	事後学習	3 課の単語を覚える。
6	事前学習	4 課前半の予習。
	授業内容	規則動詞の活用。
	事後学習	4 課前半の単語を覚える。
7	事前学習	4 課後半の予習。
	授業内容	疑問文の作り方。
	事後学習	4 課後半の単語を覚える。
8	事前学習	5 課の予習。
	授業内容	指示形容詞と所有形容詞。
	事後学習	5 課の単語を覚える。
9	事前学習	6 課の予習。
	授業内容	近い未来と近い過去の言い方。
	事後学習	6 課の単語を覚える。
10	事前学習	7 課前半の予習。
	授業内容	疑問代名詞。
	事後学習	7 課前半の単語を覚える。
11	事前学習	7 課後半の予習。
	授業内容	疑問副詞。
	事後学習	7 課後半の単語を覚える。
12	事前学習	8 課の予習。
	授業内容	比較級と最上級。
	事後学習	8 課の単語を覚える。
13	事前学習	9 課の予習。
	授業内容	命令文と非人称構文。
	事後学習	9 課の単語を覚える。
14	事前学習	1 0 課の予習。
	授業内容	直接目的と間接目的。
	事後学習	1 0 課の単語を覚える。
15	事前学習	事前に配布されたプリントの予習。
	授業内容	前期のまとめ。
	事後学習	プリントの単語を覚える。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	中川 高行	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語のシステムを主として構造の面から理解するための授業。ここで理解するという意味は、フランス語のメッセージを正確にキャッチするということだけではなく、相手に自分の考えを正確に伝えるための方法・道具を手にするということです。				
授業目的・到達目標	コミュニケーションは音声でやるのだから、文字も文法も適当にやるだけでいい、あまり細かいことを気にすると返って話せなくなる、文法はコミュニケーションには邪魔になる場合が多い。このような考え方は、明らかに誤りであって、信用してはいけない。この授業ではきちんと規則を学びます。（【授業区分】の内容は進度によって変更の可能性もあります）仏検3級レベルの文法事項はマスターしたいと思っています。 到達目標＝①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。②初級の語彙力・聴解力をみにつけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明することができる。 特にありません。				
履修条件					
授業方法	あまり先は急がず、練習問題を数多くこなして、フランス語は難しくないということを実感してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	試験、受講態度、授業への関わり方などを総合的に勘案して評価します。仏検受験も評価の対象となります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	年度	朝日出版社		新・コンタクトABC	中川高行他
	備考				
参考書	必要な場合は授業中にお伝えします。				
オフィスアワー	授業の前後で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	インターネットなどで、世界の言語の中でフランス語はどんな位置にあるかを調べておいていただけると有り難い。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	街角で出逢うフランス語の単語・表現を収集する。
2	事前学習	教科書付属のCDの発音のページを聴いておく。
	授業内容	アルフェベ、発音のきまり
	事後学習	CDを聴き、スペルと発音の関係をチェックする。
3	事前学習	CDの第1課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	名詞、冠詞、提示表現
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
4	事前学習	CDの第1課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	主語人称代名詞、動詞ETREとAVOIR
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。

5	事前学習	CDの第2課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	規則動詞PARLERとFINIR、形容詞
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
6	事前学習	CDの第2課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	指示形容詞、所有形容詞、強勢形人称代名詞
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
7	事前学習	CDの第3課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	否定文、否定のde、疑問文
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
8	事前学習	CDの第3課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	不規則動詞ALLERとVENIR、近接未来・過去、強調構文
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
9	事前学習	CDの第4課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	疑問形容詞、疑問副詞、疑問代名詞（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
10	事前学習	CDの第4課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	命令法、非人称構文、疑問代名詞（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
11	事前学習	CDの第5課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	比較級、最上級
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
12	事前学習	CDの第5課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	目的語人称代名詞（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
13	事前学習	CDの第6課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	目的語人称代名詞（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
14	事前学習	CDの第6課後半の部分を聴いておく。
	授業内容	複合過去（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
15	事前学習	CDの第7課前半の部分を聴いておく。
	授業内容	複合過去（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	畠山 達	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業はフランス語を学ぶ上での根幹をなす初級文法を一年間で学びます。フランス語を勉強する楽しみは、新しい世界が開かれることにもあります。文化的な側面なども重視して授業中に話をします。					
授業目的・到達目標	フランス語の初級文法の習得し、異文化への理解を深めることができるようになる。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級、4級レベルのフランス語能力を習得できるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	文法の説明、発音、練習問題を繰り返します。小テストは毎回実施し、確実に実力がつくことを目指します。特に復習は必須です。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト50% 前期期末テスト50% 仏検の成績は評価に加えます。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	駿河台出版社		新・フランス語文法の“基礎”		太田 浩一、前田保、渡辺 仁
	備考					
参考書	授業で指示します。					
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本で使われるフランス語とは何か、考えておく
	授業内容	ガイダンス：発音：授業の方針、辞書、参考書、成績評価の方法など説明するので参加すること
	事後学習	発音練習の復習
2	事前学習	発音練習
	授業内容	発音、アルファベ、基礎知識
	事後学習	発音、アルファベ、基礎知識の復習
3	事前学習	Leçon 1 ・ être の直説法現在形、主語人称代名詞、名詞の性と数の予習
	授業内容	Leçon 1 ・ être の直説法現在形、主語人称代名詞、名詞の性と数
	事後学習	Leçon 1 ・ être の直説法現在形、主語人称代名詞、名詞の性と数の復習、練習問題
4	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 1 ・ être の直説法現在形、主語人称代名詞、名詞の性と数の訳
	授業内容	Leçon 1 ・ être の直説法現在形、主語人称代名詞、名詞の性と数
	事後学習	Leçon 1 ・ être の直説法現在形、主語人称代名詞、名詞の性と数の復習、練習問題

5	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 2 ・不定冠詞、定冠詞、avoirの直説法現在形の訳
	授業内容	Leçon 2 ・不定冠詞、定冠詞、avoirの直説法現在形
	事後学習	Leçon 2 ・不定冠詞、定冠詞、avoirの直説法現在形の復習、練習問題
6	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 2 ・不定冠詞、定冠詞、avoirの直説法現在形の訳
	授業内容	Leçon 2 ・不定冠詞、定冠詞、avoirの直説法現在形
	事後学習	Leçon 2 ・不定冠詞、定冠詞、avoirの直説法現在形の復習、練習問題
7	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 3 ・第一群規則動詞の活用、指示形容詞、所有形容詞、品質形容詞の訳
	授業内容	Leçon 3 ・第一群規則動詞の活用、指示形容詞、所有形容詞、品質形容詞
	事後学習	Leçon 3 ・第一群規則動詞の活用、指示形容詞、所有形容詞、品質形容詞の復習、練習問題
8	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 3 ・第一群規則動詞の活用、指示形容詞、所有形容詞、品質形容詞の訳
	授業内容	Leçon 3 ・第一群規則動詞の活用、指示形容詞、所有形容詞、品質形容詞
	事後学習	Leçon 3 ・第一群規則動詞の活用、指示形容詞、所有形容詞、品質形容詞の復習、練習問題
9	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 4 ・第二群規則動詞の活用、不規則動詞（faireとprendre）の活用の訳
	授業内容	Leçon 4 ・第二群規則動詞の活用、不規則動詞（faireとprendre）の活用
	事後学習	Leçon 4 ・第二群規則動詞の活用、不規則動詞（faireとprendre）の活用の復習、練習問題
10	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 4 ・第二群規則動詞の活用、不規則動詞（faireとprendre）の活用の訳
	授業内容	Leçon 4 ・第二群規則動詞の活用、不規則動詞（faireとprendre）の活用
	事後学習	Leçon 4 ・第二群規則動詞の活用、不規則動詞（faireとprendre）の活用の復習、練習問題
11	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 5 ・allerとvenirの活用、前置詞の縮約、近接未来、近接過去の訳
	授業内容	Leçon 5 ・allerとvenirの活用、前置詞の縮約、近接未来、近接過去
	事後学習	Leçon 5 ・allerとvenirの活用、前置詞の縮約、近接未来、近接過去の復習、練習問題
12	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 5 ・allerとvenirの活用、前置詞の縮約、近接未来、近接過去の訳
	授業内容	Leçon 5 ・allerとvenirの活用、前置詞の縮約、近接未来、近接過去
	事後学習	Leçon 5 ・allerとvenirの活用、前置詞の縮約、近接未来、近接過去の復習、練習問題
13	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 6 ・pouvoirとvouloirの活用、疑問形容詞、非人称構文の訳
	授業内容	Leçon 6 ・pouvoirとvouloirの活用、疑問形容詞、非人称構文
	事後学習	Leçon 6 ・pouvoirとvouloirの活用、疑問形容詞、非人称構文の復習、練習問題
14	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 6 ・pouvoirとvouloirの活用、疑問形容詞、非人称構文の訳
	授業内容	Leçon 6 ・pouvoirとvouloirの活用、疑問形容詞、非人称構文
	事後学習	Leçon 6 ・pouvoirとvouloirの活用、疑問形容詞、非人称構文の復習、練習問題
15	事前学習	期末テストのための事前学習
	授業内容	前期・期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	期末テストの復習、間違ったところの確認

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	浜田 泉	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語文法を楽しく学びましょう。初めにちょっと苦勞するのも後の喜びのためです。フランスの存在感や魅力を知ることと思えばその苦勞も軽いものと思われます。楽しいテキストに導かれて、工夫をしながら進んでいきます。共に、フレッシュな気持ちでとりくみましょう。				
授業目的・到達目標	一年間で大体、ひと通りの知識を得て、中級につなげたいと思います。発音や単語レベルから始めて、徐々に、文をふくらませていきます。余り煩瑣なことには触れずに、基本だけは、しっかり覚えてほしいと思います。手作りのテキストでフランス語の知識を深めていきましょう。フランス語の基礎を文法、発音を主にしながら獲得できます。その上で、フランスの文化・社会・政治など言葉の背景にあるものの存在にも触れながら、文法、会話、作文などを通した総合学習を行うので、「使えるフランス語」が達成できるようになります。仏検、5級がとれます。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教壇からの一方通行でない全員参加型をめざす。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験：授業理解度（文法知識，訳能力，仏作文，ディクテーション等）60％ 授業参加度，練習問題等，動詞活用 の暗誦，テキストを用いず会話場面を再現：40％	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	朝日出版社		フランス語の彼方に	加賀野井 秀一
	備考				
参考書	授業で指示				
オフィスアワー	本授業に関する質問等は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で講堂で対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト購入，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション，ABC，発音。
	事後学習	発音とスペルの関係に留意する。
2	事前学習	ABCの読み方を覚える。
	授業内容	0課、母音と子音の発音練習。
	事後学習	復唱して覚える。
3	事前学習	母音と子音を発音練習しておく。
	授業内容	第一課、フランス語発音の規則。綴り字記号。
	事後学習	発音とスペルの関連を確認する。
4	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第二課、「男と女」名詞の性と数。冠詞。
	事後学習	本課で習った単語の復習と宿題をやる。

5	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	続。指示形容詞。前置詞と定冠詞の縮約。数。
	事後学習	本課で習った内容の整理と宿題をする。
6	事前学習	次に進むページの仏単語の意味を辞書で調べておく。
	授業内容	第三課、「我思う、ゆえに我あり」人称代名詞、第一群規則動詞。Etre動詞。
	事後学習	本課で習った動詞の暗唱をする。
7	事前学習	暗唱に備える。
	授業内容	動詞暗唱。国籍、身分、職業。Ceの構文。所有形容詞。
	事後学習	暗唱した動詞のスペルを覚える書き取り練習。
8	事前学習	dictation用意。
	授業内容	第四課、「遠くを見よ」ディクテ小テスト。avoir動詞。否定形。
	事後学習	本課で習った動詞avoirの活用を暗唱し、宿題をやる。
9	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	続。疑問形。第二群規則動詞。命令形。
	事後学習	本課で習ったページを復習し宿題をやる。
10	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	宿題を第五課、「大切なものは目に見えない」形容詞の一致と位置。特殊な性変化をする形容詞。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
11	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	続。allerとvenir. バリと都市。近接未来と近接過去。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
12	事前学習	与えられたテーマから フランス文化について調べる。
	授業内容	フランス語の発音と会話の成果を試すフランス映画鑑賞。
	事後学習	その映画に関し、レポート作成。
13	事前学習	レポート提出準備。
	授業内容	第六課、「私は何を知っているだろうか」疑問副詞、疑問代名詞。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題。
14	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	総復習。試験内容と範囲の発表。
	事後学習	試験勉強。
15	事前学習	試験対策。
	授業内容	前期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	解説。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	村岡 正明	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	私たちのまわりで用いられているフランス語の単語を手がかりとして授業を始めます。単語の発音から、男性名詞や女性名詞の冠詞や、動詞を用いた短文へと進みます。フランス語の習得には、この時期の習熟度がとくに大切ですから、一歩一歩の歩みを確実にしてゆきます。現在形、未来形、過去形の文章表現を学び、自分の意思を伝えるさまざまな表現へと発展させてゆきます。テキストの第6課までを修了します。第8回の授業中に小テストを実施します。				
授業目的・到達目標	フランス語の基礎文法を学び、読解や会話に活用できる実力を培うことを授業の目的とします。初級文法を修得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検5級に合格することができる。フランスの文化や生活習慣について理解し、説明することができる。この3点が到達目標です。				
履修条件	教科書と、仏和辞典または電子辞書を、つねにかならず教室に持参すること。				
授業方法	教科書を軸として、授業中に配布するコピー問題も補充しつつ、授業を進めます。基礎文法の理解・習熟が授業の中心ですが、その過程で日欧の問題にも言及し、国際的な視野を広げる機会とします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験(70%)。板書による解答の成否・口頭による応答(30%)。仏検の成果も評価の対象とします。2/3以上出席の履修者を、成績評価の対象とします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	第三書房		アレグレス	江島泰子
	備考	前期末の授業内試験は、上記教科書から出題します。			
参考書	とくに指定しません。				
オフィスアワー	授業中と授業後に、教室内で質問を受け付けます。とくに、授業中の質問は、他の履修者にとっても理解を深めるうえで有益ですので、大歓迎です。疑問点は、その都度その場で解決してください。多くの質問を期待しています。新たな進展が得られるはずです。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書添付の音声CDで、フランス語のABCの発音を聴いておいてください。
	授業内容	授業の目標や進め方、教科書や辞書の紹介。受講上の注意点。フランス語のつづり字・発音の基礎(1)
	事後学習	CDをくりかえし聴いて、ABCの発音を覚えてください。
2	事前学習	教科書第1課(p. 11, 12)の単語の意味と、男性名詞か女性名詞かを、辞書で確認しておく。
	授業内容	フランス語の表記・発音の基礎(2)・名詞の性と数・不定冠詞
	事後学習	教科書第1課の単語と不定冠詞、形容詞の性数変化を修得する。
3	事前学習	リエゾンとアンシェヌマンに慣れる。
	授業内容	定冠詞・主語となる代名詞・être 動詞の活用。être動詞を用いた短い作文。指示の表現・挨拶の表現。
	事後学習	être 動詞の活用に習熟する。
4	事前学習	第2課(grammarとexercice)の単語の意味と発音を確認しておく。
	授業内容	形容詞の位置・avoir 動詞の活用・数詞。
	事後学習	定冠詞と不定冠詞・avoir 動詞の活用・数詞を覚える。

5	事前学習	形容詞の位置、とくに名詞の前に位置する形容詞について復習しておく。
	授業内容	第1群規則動詞の活用・疑問文の作り方(1)、疑問形容詞。
	事後学習	教科書の第1群規則動詞を主語代名詞とともに残らず活用させてみる。
6	事前学習	既修ページのさまざまな例文を熟読しておく。
	授業内容	疑問文の作り方(2)・問いと答えの文。曜日と月。
	事後学習	第1課と第2課をCDで聴き、発音を確かめておく。
7	事前学習	曜日と月を覚えておく。
	授業内容	所有形容詞・faire 動詞の活用・否定文の作り方。
	事後学習	第1課と第2課のexerciceで取り上げられている肯定文を否定文に書き換えてみる。
8	事前学習	所有形容詞に習熟しておく。
	授業内容	時間の表現。履修者各自の学習進度を自覚してもらうために、教科書内から出題する小テストを実施します。
	事後学習	小テストの結果に照らして、弱点箇所を復習する。
9	事前学習	être 動詞・avoir 動詞・さまざまな第1群規則動詞を活用させ、例文で確認する。、
	授業内容	指示形容詞・il y a の表現・位置関係を示す表現
	事後学習	第5課の指示形容詞の問題exerciceを活かし、単数名詞を複数名詞に書き換える文などを自分で工夫してみる。
10	事前学習	il y a の表現を応用したさまざまな疑問文や否定文をつくってみる。
	授業内容	疑問代名詞quiとque・中性代名詞y・第2群規則動詞の活用。
	事後学習	中性代名詞を用いた問答文をつくり、否定の答えも書き、発音してみる。
11	事前学習	第3課、第4課、第5課のディアローグを復習する。
	授業内容	疑問副詞・aller動詞とvenir動詞の活用。
	事後学習	教科書p. 30の疑問副詞を用いた問いに、それぞれ自分なりの答えを創作してみる。
12	事前学習	教科書p. 32の1を否定文に書き換え、主語の単数名詞を複数名詞に書き換えてみる。
	授業内容	中性代名詞y・aller 動詞の活用・venir 動詞の活用。
	事後学習	aller 動詞とvenir 動詞を活用と発音を覚える。
13	事前学習	所有形容詞と指示形容詞を復習する。
	授業内容	近接未来と近接過去・前置詞と定冠詞の縮約。
	事後学習	第6課ディアローグに精通する。用いられている動詞をすべて活用させてみる。
14	事前学習	教科書p. 34からp. 36までを予習し、疑問点を特定しておく。
	授業内容	教科書p. 34からp. 36までを修了する。
	事後学習	教科書p. 34からp. 36までを復習し、単語の意味などもすべて覚えておく。
15	事前学習	第1課から第6課までの復習。
	授業内容	前期のまとめ（授業内試験）
	事後学習	教科書で弱点を確認し、補強する。

科目名	フランス語基礎文法A	担当者	吉澤 保	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単 位 数	1
-----	------------	-----	------	-----	------------	-----	----	-------	---

授業概要	フランス語の基礎文法を学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的は、基礎文法習得に照準を合わせながら、フランス語の基礎学力を養成することです。この基礎学力こそが、スピーキング・リスニング、仏語演習、実用フランス語技能試験受験、それぞれの専門における仏語原典講読など、多様な方向・多様なレベルでの仏語力の発展へとつながります。これはまた同時に、フランスの文化・社会を学ぶことにもなります。授業の到達目標について言えば、フランス語の基礎文法を習得し、フランス語の基礎学力を獲得し、フランスの文化・社会を学ぶことができます。				
履修条件	ありません。				
授業方法	文法事項の説明を行います。やってもらった練習問題の解説を行います。発音練習、聞き取りもやってもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	平常点（授業参加度、小テストなど）：50%、期末テスト：50% 原則、このようになります。ただし仏検の成績も考慮に入れます。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	白水社		『《新版》ル・フランセ・クレール』	清岡智比古
	備考				
参考書	授業時に指示します。				
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時（事前にメールでアポイントメントを取ってください） 研究室（本館9階1910）yoshizawa.tamotsu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今週の授業の予習をしてください。
	授業内容	前期イントロダクション
	事後学習	次回最初に小テストを実施するので復習してください。
2	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	アルファベ、綴り字、発音
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
3	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第一課。名詞と冠詞。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
4	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第二課。主語になる代名詞など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。

5	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第三課。否定形など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
6	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第四課。er動詞の直説法現在形など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
7	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第五課。指示形容詞など。
	事後学習	試験なので復習してください。
8	事前学習	試験対策の勉強をしてください。
	授業内容	前期中間テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習してください。
9	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第六課。aller, venirの直説法現在など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
10	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第七課。finirの直説法現在など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
11	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第八課。voirの直説法現在など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
12	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第九課。faireの直説法現在など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
13	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十課。目的語になる人称代名詞など。
	事後学習	試験なので復習してください。
14	事前学習	試験対策の勉強をしてください。
	授業内容	前期期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習してください。
15	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	今週の授業を復習してください。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の文法事項の基礎を学びます。その際、いずれ使えるフランス語につながるような基礎の作り方をするため、日本語の解説の前にフランス語の音になじんでもらうことを優先し、例文を音で学びながら、文法事項を学んでいきます。				
授業目的・到達目標	初級文法の基礎を感覚的に理解する。フランス語の音声での反復練習からある程度の基本フレーズがとっさに使えるようにする。				
履修条件	フランス語・フランス文化に興味をもっていること。				
授業方法	フランス語のフレーズを反復して聞いて、発話して、それから文法説明に入ります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	中間小テスト50%、期末テスト50%の60点以上で合格です。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	朝日出版		フランス語ブルー 2 トリコロール 文法編	高橋信良 他
	備考				
参考書	久松健一著「ケータイ 万能フランス語文法」駿河台出版社				
オフィスアワー	火曜日 2 限目				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教材とポケット版ではない学習辞書を用意してください。前期教科書のフランス語ブルー1の復習をしておいてください。
	授業内容	ガイダンス。授業目的、内容、評価方法、このクラスで守るべき規則などについて説明します。導入で簡単なフランス語に触れてみます。
	事後学習	指定教材フランス語ブルー2に目を通しておいてください。
2	事前学習	1課に目を通し、知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon1: 動詞connaître, savoir、関係代名詞qui, que dont, où、中性代名詞 en, y, le。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
3	事前学習	2課に目を通し、知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon2: 動詞mettreとprendre、補語人称代名詞の語順、命令法。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
4	事前学習	3課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon3: 動詞devoirとrendre、非人称代名詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。

5	事前学習	4課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon4: 動詞direとécrire、現在分詞、ジェロンディフ。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
6	事前学習	5課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon5: 動詞croireとvoir、知覚動詞、使役動詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
7	事前学習	6課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 6: 直接法大過去、補語人称代名詞の語順。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
8	事前学習	1, 2, 3, 4, 5, 6課の復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。
9	事前学習	7課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 7: 直接法単純未来、直接法全未来。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
10	事前学習	8課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 8: 関係代名詞lequel、接続詞。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
11	事前学習	9課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 9: 条件法現在、条件法過去。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
12	事前学習	10課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon10: 間接話法、感嘆文。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
13	事前学習	11課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon 11: 接続法現在、接続法過去。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
14	事前学習	12課の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	Leçon12: 接続法の用法。
	事後学習	音声で学んだ事項・例文を教科書で確認。
15	事前学習	後半7, 8, 9, 10, 11, 12課の復習。
	授業内容	期末テスト、採点、解説、まとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は、次の①②③を考慮して進行します。 ①フランス語の初級文法を学び、簡単なフランス語の文章を読むことができるようになること。 ②フランス語実用技能検定試験（仏検）において5級を取得できる語彙力・聴解力をつけること。 ③フランスの文化や生活習慣について知ること。					
授業目的・到達目標	以下の目標に達することが、この授業の目的です。①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。 ②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明できる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	①教科書にそって文法説明を行う。②練習問題を解き、本文を読解する。③毎回、前回授業の内容にそった小テストを行う。④文化面について解説する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		原則として ①中間および期末試験（50％） ②授業参加度・小テストおよび課題提出（50％） ③仏検の成績を考慮する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	第三書房		『アレグレス』		江島泰子
	備考					
参考書	滑川明彦他著『英語でわかるフランス語』（第三書房）。あるいは、自分で選んで参考書を購入してください。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に出席していた人は、15回目に課した課題に解答する。
	授業内容	① 動詞 aller/近接未来（第6課） ② Bilan1-1(4, 5, 6)/Bilan1-2(5, 6)の答え合わせ（pp. 34-37）
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
2	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 動詞 venir/近接過去（第6課） ② 疑問副詞（第6課） ③ 第6課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
3	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 動詞 venir/近接過去（第6課） ② 疑問副詞（第6課） ③ 第6課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
4	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 部分冠詞/動詞 pouvoir（第7課） ② 数詞(1)（第7課） ③ 第7課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。

5	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 比較級・最上級/動詞 vouloir （第7課） ② 数詞(2)（第7課） ③ 第7課の本文
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
6	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	仏検の解説（5級と4級）
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
7	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 目的補語主語人称代名詞（第8課） ② 天気に関する表現（第8課） ③ 第8課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
8	事前学習	後期中間試験の準備をする。
	授業内容	後期中間試験（第16回～22回までの内容）、採点とその解説
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
9	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 複合過去（第8課） ② 否定の表現（第9課） ③ 第8課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
10	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 代名動詞/命令法（第9課） ② 関係代名詞 qui と que（第10課） ③ 第10課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
11	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① ジェロンディフ（第9課） ② 半過去（第10課） ③ 第10課の本文
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
12	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 単純未来（第11課） ② 第11課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
13	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 条件法現在（第11課） ② 非人称表現 Il y a(第12課)
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
14	事前学習	今週の小テストの準備をする。
	授業内容	① 接続法現在（第12課） ② 第12課の文化面
	事後学習	授業で学んだ文法事項等を復習する。
15	事前学習	後期末試験の準備をする。
	授業内容	後期末試験（第24回～29回までの内容）、採点とその解説。
	事後学習	後期全体の復習をする。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	江島 泰子	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は次の①②③の項目を考慮して、進行します。 ①フランス語の初級文法を学び、簡単なフランス語の文章を読むことができるようになること。 ②フランス語実用技能検定試験（仏検）において5級を取得できる語彙力・聴解力をつけること。 ③フランスの文化や生活習慣について知ること。			
授業目的・到達目標	以下の目標に到達することが、この授業の目的です。①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明できる。			
履修条件	特になし			
授業方法	①教科書にそって文法説明を行う。②練習問題を解き、本文を読解する。③毎回、前回授業の内容にそった小テストを行う。④フランス文化について解説する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	原則として ①前期の中間および期末試験（50%）、②授業参加度・小テストおよび課題提出（50%） ③仏検の成績を考慮する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2005年	第三書房	英語でわかるフランス語	滑川明彦他
	備考			
参考書	なし			
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	①今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 人称代名詞(1)（第7課） ② pouvoirの活用（第7課） ③ フランスのサマータイム
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
2	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 人称代名詞(2)（第7課） ② vouloir の活用（p.153） ③ フランスにおける結婚
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
3	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 天候表現（第7課） ② 会話をしましょう（第7課） ③ フランスの政治
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
4	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 中性代名詞(1)（第7課） ② 数詞(1)（第8課） ③ フランスのシャンソン(1)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習

5	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 中性代名詞(2) (第7課) ② 数詞(2) (第8課) ③ フランスのシャンソン(2)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
6	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	仏検の解説 (5級と4級)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
7	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 複合過去(1) (第8課) ② 非人称の表現(1) (第9課) ③ フランスの偉人達
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
8	事前学習	後期中間試験の準備をする。
	授業内容	後期中間試験(第16回から第22回の内容)、採点とその解説。 ①複合過去(2) (第8課)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
9	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 代名動詞(第9課) ② 非人称の表現(2) (第9課) ③ 『レ・ミゼラブル』
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
10	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 動詞 faire/ジェロンディフ(第9課) ② 会話をしましょう(第9課) ③ フランスの世界遺産(1)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
11	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 直説法半過去(第10課) ② 関係代名詞 qui と que (第10課) ③ フランスの世界遺産(2)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
12	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 直説法単純未来(第10課) ② 会話をしましょう(第10課) ③ フランス語の特色
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
13	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	① 条件法現在(第11課) ② vouloirの活用(第11課) ③ フランス語の特色
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
14	事前学習	①今週の小テストの準備 ②今週に学ぶ教科書の文法事項を読んでおく。
	授業内容	①接続法現在(第12課) ②attendreの活用(第12課)
	事後学習	今回の授業で学んだ文法事項等の復習
15	事前学習	後期末試験の準備
	授業内容	後期期末試験(第23回から第29回の内容)、採点とその解説
	事後学習	後期全体の復習をする。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	岡本 健	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の基礎文法を基本単語をもって学ぶ。			
授業目的・到達目標	フランス語の文法の習得を目標にする。基本的な語彙と表現を覚えながら、基礎文法を段階的に学んでゆく。フランス語検定試験にもチャレンジしよう。日常生活に関する簡単なフランス語の問いかけに、フランス語で応えることができ、そのフランス語を書くことができるようになる。			
履修条件	とくにない。			
授業方法	授業時には発言が求められるので、積極的な授業参加が必要になる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験、50%：基礎知識の定着度を判定する。 宿題レポート、50%：授業の理解度を判定する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	白水社	ル・フランセ・クレール	清岡智比古
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	メールによる質問・相談を受け付ける。kanzo-foshi@aurora.ocn.ne.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	11課前半の予習。
	授業内容	複合過去の作り方。
	事後学習	11課前半の単語を覚える。
2	事前学習	11課後半の予習。
	授業内容	複合過去の練習。
	事後学習	11課後半の単語を覚える。
3	事前学習	12課の予習。
	授業内容	関係代名詞。
	事後学習	12課の単語を覚える。
4	事前学習	13課前半の予習。
	授業内容	代名動詞の作り方。
	事後学習	13課前半の単語を覚える。

5	事前学習	1 3 課後半の予習。
	授業内容	代名動詞の練習。
	事後学習	1 3 課後半の単語を覚える。
6	事前学習	1 4 課の予習。
	授業内容	単純未来。
	事後学習	1 4 課の単語を覚える。
7	事前学習	1 5 課の予習。
	授業内容	中性代名詞。
	事後学習	1 5 課の単語を覚える。
8	事前学習	1 6 課前半の予習。
	授業内容	半過去の作り方。
	事後学習	1 6 課前半の単語を覚える。
9	事前学習	1 6 課後半の予習。
	授業内容	半過去の練習。
	事後学習	1 6 課後半の単語を覚える。
10	事前学習	1 7 課の予習。
	授業内容	現在分詞とジェロンディフ。
	事後学習	1 7 課の単語を覚える。
11	事前学習	事前に配布されたプリントの予習。
	授業内容	直説法時制のまとめ。
	事後学習	プリントの単語を覚える。
12	事前学習	1 8 課の予習。
	授業内容	条件法の作り方。
	事後学習	1 8 課の単語を覚える。
13	事前学習	1 9 課の予習。
	授業内容	接続法の作り方。
	事後学習	1 9 課の単語を覚える。
14	事前学習	事前に配布されたプリントの予習。
	授業内容	条件法と接続法の練習。
	事後学習	プリントの単語を覚える。
15	事前学習	事前に配布されたプリントの予習。
	授業内容	後期のまとめ。
	事後学習	プリントの単語を覚える。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	中川 高行	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語のシステムを主として構造の面から理解するための授業。ここで理解するという意味は、フランス語のメッセージを正確にキャッチするというだけではなく、相手に自分の考えを正確に伝えるための方法・道具を手にするということです。				
授業目的・到達目標	コミュニケーションは音声でやるのだから、文字も文法も適当にやるだけでいい、あまり細かいことを気にすると返って話せなくなる、文法はコミュニケーションには邪魔になる場合が多い。このような考え方は、明らかに誤りであって、信用してはいけない。この授業ではきちんと規則を学びます。（【授業区分】の内容は進度によって変更の可能性もあります）仏検3級レベルの文法事項はマスターしたいと思っています。 到達目標＝①初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検において5級に合格することができる。③フランスの文化や生活習慣について理解し、説明することができる。				
履修条件	特にありません。				
授業方法	あまり先は急がず、練習問題を数多くこなして、フランス語は難しくないということを実感してもらいます。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		
	平常評価		100%		試験、受講態度、授業への関わり方などを総合的に勘案して評価します。仏検受験も評価の対象となります。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	年度	朝日出版社		新・コンタクトABC	中川高行他
	備考				
参考書	必要な場合は授業中にお伝えします。				
オフィスアワー	授業の前後で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	付録CDの第8回前半部分を聴いておく。
	授業内容	代名動詞（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
2	事前学習	付録CDの第8課後半部分を聴いておく。
	授業内容	代名動詞（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
3	事前学習	付録CDの第8回前半部分を聴いておく。
	授業内容	中性代名詞（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
4	事前学習	付録CDの第9課後半部分を聴いておく。
	授業内容	中性代名詞（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。

5	事前学習	付録CDの第9回前半部分を聴いておく。
	授業内容	関係代名詞（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
6	事前学習	付録CDの第10課後半部分を聴いておく。
	授業内容	関係代名詞（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
7	事前学習	付録CDの第10回前半部分を聴いておく。
	授業内容	指示代名詞、所有代名詞
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
8	事前学習	付録CDの第11課後半部分を聴いておく。
	授業内容	半過去（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
9	事前学習	付録CDの第12回前半部分を聴いておく。
	授業内容	半過去（2）、大過去
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
10	事前学習	付録CDの第12課後半部分を聴いておく。
	授業内容	単純未来、前未来
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
11	事前学習	付録CDの第13回前半部分を聴いておく。
	授業内容	現在分詞、ジェロンディフ
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
12	事前学習	付録CDの第13課後半部分を聴いておく。
	授業内容	条件法（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
13	事前学習	付録CDの第14回前半部分を聴いておく。
	授業内容	条件法（2）、話法
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
14	事前学習	付録CDの第14課後半部分を聴いておく。
	授業内容	接続法（1）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。
15	事前学習	付録CDの第15回前半部分を聴いておく。
	授業内容	接続法（2）
	事後学習	講義内容を黙読し、さらに紙に書いてみる。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	畠山 達	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業はフランス語を学ぶ上での根幹をなす初級文法を一年間で学びます。フランス語を勉強する楽しみは、新しい世界が開かれることにもあります。文化的な側面なども重視して授業中に話をします。					
授業目的・到達目標	フランス語の初級文法の習得し、異文化への理解を深めることができるようになる。実用フランス語技能検定試験（仏検）5級、4級レベルのフランス語能力を習得できるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	文法の説明、発音、練習問題を繰り返します。小テストは毎回実施し、確実に実力がつくことを目指します。特に復習は必須です。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト50% 後期期末テスト50% 仏検の成績は評価に加えます。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	駿河台出版社		新・フランス語文法の“基礎”		太田 浩一、前田保、渡辺 仁
	備考					
参考書	授業で指示します。					
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 7 ・人称代名詞（直接目的、間接目的、強勢形）の訳
	授業内容	Leçon 7 ・人称代名詞（直接目的、間接目的、強勢形）
	事後学習	Leçon 7 ・人称代名詞（直接目的、間接目的、強勢形）の復習、練習問題
2	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 7 ・人称代名詞（直接目的、間接目的、強勢形）の訳
	授業内容	Leçon 7 ・人称代名詞（直接目的、間接目的、強勢形）
	事後学習	Leçon 7 ・人称代名詞（直接目的、間接目的、強勢形）の復習、練習問題
3	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 8 ・非人称構文il faut...、命令法、不規則動詞devoirの活用の訳
	授業内容	Leçon 8 ・非人称構文il faut...、命令法、不規則動詞devoirの活用
	事後学習	Leçon 8 ・非人称構文il faut...、命令法、不規則動詞devoirの活用の復習、練習問題
4	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 8 ・非人称構文il faut...、命令法、不規則動詞devoirの活用の訳
	授業内容	Leçon 8 ・非人称構文il faut...、命令法、不規則動詞devoirの活用
	事後学習	Leçon 8 ・非人称構文il faut...、命令法、不規則動詞devoirの活用の復習、練習問題

5	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 9 ・代名詞動詞、関係代名詞の訳
	授業内容	Leçon 9 ・代名詞動詞、関係代名詞
	事後学習	Leçon 9 ・代名詞動詞、関係代名詞の復習、練習問題
6	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 9 ・代名詞動詞、関係代名詞の訳
	授業内容	Leçon 9 ・代名詞動詞、関係代名詞
	事後学習	Leçon 9 ・代名詞動詞、関係代名詞の復習、練習問題
7	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 10 ・複合過去の訳
	授業内容	Leçon 10 ・複合過去
	事後学習	Leçon 10 ・複合過去の復習、練習問題
8	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 10 ・複合過去の訳
	授業内容	Leçon 10 ・複合過去
	事後学習	Leçon 10 ・複合過去の復習、練習問題
9	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 11 ・半過去、受動態、指示代名詞の訳
	授業内容	Leçon 11 ・半過去、受動態、指示代名詞
	事後学習	Leçon 11 ・半過去、受動態、指示代名詞の復習、練習問題
10	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 11 ・半過去、受動態、指示代名詞の訳
	授業内容	Leçon 11 ・半過去、受動態、指示代名詞
	事後学習	Leçon 11 ・半過去、受動態、指示代名詞の復習、練習問題
11	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 12 ・中性代名詞、比較級、最上級の訳
	授業内容	Leçon 12 ・中性代名詞、比較級、最上級
	事後学習	Leçon 12 ・中性代名詞、比較級、最上級の復習、練習問題
12	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 12 ・中性代名詞、比較級、最上級の訳
	授業内容	Leçon 12 ・中性代名詞、比較級、最上級
	事後学習	Leçon 12 ・中性代名詞、比較級、最上級の復習、練習問題
13	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 13 ・単純未来、現在分詞、ジェロンディフの訳
	授業内容	Leçon 13 ・単純未来、現在分詞、ジェロンディフ
	事後学習	Leçon 13 ・単純未来、現在分詞、ジェロンディフの復習、練習問題
14	事前学習	練習問題に関する小テストのための事前学習 Leçon 13 ・単純未来、現在分詞、ジェロンディフの訳
	授業内容	Leçon 13 ・単純未来、現在分詞、ジェロンディフ
	事後学習	Leçon 13 ・単純未来、現在分詞、ジェロンディフの復習、練習問題
15	事前学習	期末テストのための事前学習
	授業内容	後期・期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	後期・期末テストの復習、間違えたところの確認

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	浜田 泉	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期に引き続き、楽しく文法学習をやりましょう。後期は知識の量が、大きく増えます。英語とはまた違うフランス語の形がみえてくるでしょう。語学の彼方に行けるのにあと一歩です。			
授業目的・到達目標	一年間で大体、ひと通りの知識を得て、中級につなげたいと思います。発音や単語レベルから始めて、徐々に、文をふくらませていきます。余り煩瑣なことには触れないので、基本だけは、しっかり覚えられます。フランス語の基礎を文法、発音を主にしながら学ぶことができます。その上で、フランスの文化・社会・政治など言葉の背景にあるものの存在にも触れるので、文法、会話、作文などを通した総合学習がおこなわれ「使えるフランス語」が達成されます。仏検5級がとれます。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教壇からの一方通行でない全員参加型をめざす。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験：授業理解度（文法知識、訳能力、仏作文、ディクテーション等）60% 授業参加度、練習問題等、動詞活用の暗誦、テキストを用いず会話場面を再現：40%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	朝日出版社	フランス語の彼方に	加賀野井 秀一
	備考			
参考書	授業で指示			
オフィスアワー	本授業に関する質問等は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で講堂で対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト確認。
	授業内容	後期説明、ヴァカンスの話。フランス事情。テーマを与えるので、各人レポート作成する。
	事後学習	前期のおさらいをしておく。
2	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	休暇中の宿題を解説する。／天気、体感を言う。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
3	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第六課の残りとの復習。所有代名詞。／場所の表現。感想，印象。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
4	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	疑問副詞の会話練習。／曜日，日付。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。

5	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第七課、「来た、見た、勝った」直説法複合過去　／時に関する言葉。
	事後学習	複合過去動詞を暗唱する。
6	事前学習	暗唱準備。
	授業内容	各人の暗唱点検。受動態、疑問形容詞。Pourquoi～？　Parce que　～,～をする,　～できる／原因, 目的。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
7	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第八課、「ああ、私の心は悲しかった。」　比較級と最上級。特殊な優等比較級。人称代名詞の強勢形。 ／日常の生活を言う。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
8	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	続。直説法半過去、大過去。
	事後学習	本課で習った動詞の復習と宿題をする。
9	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第九課、「いつまでも愛しているよ」補語人称代名詞、代名動詞、 avoir mal à + 身体の部分＝～が痛い／身体の状態
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
10	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	続、関係代名詞、動詞：vouloir, devoir。寒暖の表現, 非人称表現。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
11	事前学習	テーマを与えるのでフランス文化を調べる。
	授業内容	フランスのシャンソンを聴く。フランスのドキュメンタリーを見る。
	事後学習	本日見たものに関してレポート作成する。
12	事前学習	レポート提出用意。次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第十課、「明日の朝早く私は旅だとう」直説法単純未来、前未来。中性代名詞。 ／着る物について。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
13	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第十一課、 「食欲は食べるにつれ湧いてくる」現在分詞とジェロンディフ、不定詞の便利な用法、強調構文。
	事後学習	本課で習ったページの復習と宿題をする。
14	事前学習	次に進むページの仏単語を辞書で調べておく。
	授業内容	第十二課「光あれ」、条件法現在・過去, 接続法現在・過去。 試験範囲と内容の発表。
	事後学習	総復習。試験勉強。
15	事前学習	試験準備。
	授業内容	後期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	解説。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	村岡 正明	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のフランス語基礎文法Aで培った実力を活かして授業を始めます。とくに後期のこの授業では、直説法現在の文だけでなく、過去や未来の内容を表現する文や、条件法や接続法を用いた文にも表現の幅を広げてゆきます。前期の習得内容も振り返りつつ、教科書の第7課から第12課までを修了します。自分の学習進度を把握してもらうために、第8回の授業中に小テストを実施します。			
授業目的・到達目標	フランス語の読解や会話の基礎である文法の実力を確実に培うことを授業の目的とします。初級文法を習得し、簡単なフランス語の文章を読むことができる。初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検5級に合格することができる。フランスの文化や生活習慣について理解し、説明することができる。この3点が到達目標です。			
履修条件	教科書と、仏和辞典または電子辞書を、つねにかならず教室に持参すること。			
授業方法	教科書を軸として、授業中に配布するコピー問題も補充しつつ、授業を進めます。基礎文法の理解・習熟が授業の中心ですが、その過程で日欧の問題にも言及し、国際的な視野を広げる機会とします。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内試験(70%)。板書による解答の成否・口頭による応答(30%)。仏検の成果も評価の対象とします。2/3以上出席の履修者を、成績評価の対象とします。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	第三書房	アレグレス	江島泰子
	備考	後期末の授業内試験は、上記教科書から出題します。		
参考書	とくに指定しません。			
オフィスアワー	授業中と授業後に、教室内で質問を受け付けます。とくに、授業中の質問は、他の履修者にとっても理解を深めるうえで有益ですので、大歓迎です。疑問点は、その都度その場で解決してください。多くの質問を期待しています。新たな進展が得られるはずです。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書添付のCDで、第1課から第7課までの発音を聴く。
	授業内容	授業の目標と進め方、受講上の注意事項。部分冠詞。
	事後学習	教科書p. 40の部分冠詞のexerciceを解き直す。
2	事前学習	教科書p. 39を参照し、exerciceの2を解いてみる。
	授業内容	pouvoir動詞とvouloir動詞の活用・中性代名詞。
	事後学習	教科書p. 40の2の主語をさまざまに換えた問いの文をつくり、否定の答えを考えてみる。
3	事前学習	教科書p. 38を予習する。
	授業内容	比較級と最上級。数詞(31~100)。第7課ディアローグ。
	事後学習	教科書p. 40の文を否定の疑問文に書き換え、Siを用いた肯定の答えをつくる。
4	事前学習	教科書p. 14の数詞とp. 22の時間表現を確認しておく。
	授業内容	目的補語人称代名詞・複合過去(1)。
	事後学習	目的補語人称代名詞とその強勢形を覚える。

5	事前学習	形容詞の位置、とくに名詞の前に位置する形容詞について復習しておく。
	授業内容	複合過去(2)。2種類の複合過去。
	事後学習	複合過去で用いられる助動詞avoirとêtreの使い分けに習熟する。
6	事前学習	教科書巻末の動詞活用表で、さまざまな過去分詞を確認する。
	授業内容	複合過去の否定文。疑問文と肯定・否定の答え。
	事後学習	教科書p. 44の2の主語を、単複を逆にして書き換える。
7	事前学習	教科書p. 46を予習しておく。
	授業内容	代名動詞の分類と現在形の活用。
	事後学習	CDで、第7課から第9課までを聴く。
8	事前学習	教科書p. 48の1と2を、主語を換えた文に書き換えてみる。
	授業内容	代名動詞の否定形と複合過去の活用。履修者各自の学習進度を自覚してもらうために、小テストを実施します。
	事後学習	小テストの結果に照らして、弱点箇所を復習する。
9	事前学習	être 動詞・avoir 動詞・さまざまな第1群規則動詞を活用させ、例文で確認する。
	授業内容	命令法とジェロンディフ。
	事後学習	教科書巻末の動詞活用表で、さまざまな動詞の命令形と現在分詞形を確認する。
10	事前学習	il y a の表現を応用したさまざまな疑問文や否定文をつくってみる。
	授業内容	半過去・関係代名詞のquiとque。
	事後学習	半過去の語幹と語尾活用に習熟する。
11	事前学習	教科書第10課のディアログで用いられている関係代名詞の用法を確認する。
	授業内容	単純未来形と条件法現在形の意義と活用。
	事後学習	単純未来と条件法現在の共通語尾を覚える。
12	事前学習	教科書p. 32の1を否定文に書き換え、主語の単数名詞を複数名詞に書き換えてみる。
	授業内容	接続法現在・非人称表現。
	事後学習	教科書第12課ディアログを復習し、「時間的前後関係の表現」を和訳してみる。
13	事前学習	所有形容詞と指示形容詞を復習する。
	授業内容	教科書p. 62、63の習得と、p. 51とp. 59とp. 63とp. 65の不規則動詞の活用。
	事後学習	さまざまな不規則動詞の活用を覚える。
14	事前学習	教科書p. 64からp. 65までを予習し、p. 38からp. 65までの疑問点を特定しておく。
	授業内容	教科書p. 64からp. 65までを修了する。
	事後学習	教科書p. 38からp. 65までを復習する。
15	事前学習	重要と思われる箇所を見直す。
	授業内容	前期のまとめ（授業内試験）
	事後学習	自分の答案を教科書で照合し、可否を確認する。

科目名	フランス語基礎文法B	担当者	吉澤 保	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単 位 数	1
-----	------------	-----	------	-----	------------	-----	----	-------	---

授業概要	フランス語の基礎文法を学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的は、基礎文法習得に照準を合わせながら、フランス語の基礎学力を養成することです。この基礎学力こそが、スピーキング・リスニング、仏語演習、実用フランス語技能試験受験、それぞれの専門における仏語原典講読など、多様な方向・多様なレベルでの仏語力の発展へとつながります。これはまた同時に、フランスの文化・社会を学ぶことにもなります。授業の到達目標について言えば、フランス語の基礎文法を習得し、フランス語の基礎学力を獲得し、フランスの文化・社会を学ぶことができます。				
履修条件	ありません。				
授業方法	文法事項の説明を行います。やってもらった練習問題の解説を行います。発音練習、聞き取りもやってもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	平常点（授業参加度、小テストなど）：50%、期末テスト：50% 原則、このようになります。ただし仏検の成績も考慮に入れます。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	白水社		『《新版》ル・フランセ・クレール』	清岡智比古
	備考				
参考書	授業時に指示します。				
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時（事前にメールでアポイントメントを取ってください） 研究室（本館9階1910）yoshizawa.tamotsu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	後期イントロダクション
	事後学習	次回最初に授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
2	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十一課。過去分詞など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
3	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十二課。関係代名詞など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
4	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十三課。代名動詞など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。

5	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十四課。pouvoirの直説法現在など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
6	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十五課。中性代名詞など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
7	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十六課。直説法半過去など。
	事後学習	試験対策の復習をしてください。
8	事前学習	試験対策の勉強を行ってください。
	授業内容	後期中間テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習してください。
9	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十七課。現在分詞など。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
10	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	復習。直説法時制のまとめ。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
11	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十八課。条件法現在。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
12	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	第十九課。接続法現在。
	事後学習	最初に先週の授業内容に関する小テストを実施するので、復習してください。
13	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	補遺
	事後学習	試験対策の復習をしてください。
14	事前学習	試験対策の勉強をしてください。
	授業内容	後期期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習してください。
15	事前学習	今週行われる授業の予習を行ってください。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	授業の復習をしてください。

科目名	フランス語演習C	担当者	飯島 幸夫	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語文法の後半（複合過去～受動態）を説明し、問題練習を行います。			
授業目的・到達目標	文法の基礎を習得し、フランス語の理解力向上に役立てることが授業目的です。 辞書を引いて、やさしいフランス語が読めるようになることが到達目標です。			
履修条件	なし			
授業方法	1．発音を練習し　2．文法の基礎を説明し　3．問題練習を行います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	1．期末の試験　2．授業・学習への積極的な取り組み・意欲　3．仏検を受験した場合には考慮します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	最新版	白水社	ル・フランセ	斎藤昌三
	備考	本体1,750円＋税　（音声はダウンロード）		
参考書	参考書は特に必要ありません。（授業中は使いませんが）仏和辞典を用意してください。（三省堂『クラウン仏和辞典』、白水社『デスコ仏和辞典』など）			
オフィスアワー	金曜日　19:00～19:30（事前にメールでアポイントメントを取ってください。メールアドレスは教室でお知らせします） 本館2階　講師室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の進め方を理解する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書と辞書を用意し、シラバスを読み、授業の進め方を理解する。
2	事前学習	音声をダウンロードし、発音を練習する。
	授業内容	1. 仏検についての説明 2. 発音の復習
	事後学習	1. 授業で渡す資料を読み、仏検について理解する。 2. 音声を聞きながら、発音を練習する。
3	事前学習	1. 音声を聞きながら、教科書を声を出して読む。 2. 辞書を引いて教科書の内容を理解する。
	授業内容	L.8 比較級・最上級
	事後学習	1. 音声を聞きながら、教科書を声を出して何度も読む。 2. 辞書を引いて教科書の内容を確認する。 3. 文法・動詞の活用・基本的な言い回しを覚える。
4	事前学習	練習問題をできるだけ解いてみる。
	授業内容	L.8 練習問題
	事後学習	1. 練習問題を理解する。 2. 教科書を声を出して読む。

5	事前学習	L. 9 複合過去 について、第3回と同様
	授業内容	L. 9 複合過去
	事後学習	L. 9 複合過去 について、第3回と同様
6	事前学習	L. 9 練習問題 について、第4回と同様
	授業内容	L. 9 練習問題
	事後学習	L. 9 練習問題 について、第4回と同様
7	事前学習	L. 10 関係代名詞・疑問代名詞 について、第3回と同様
	授業内容	L. 10 関係代名詞・疑問代名詞
	事後学習	L. 10 関係代名詞・疑問代名詞 について、第3回と同様
8	事前学習	L. 10 練習問題 について、第4回と同様
	授業内容	L. 10 練習問題
	事後学習	L. 10 練習問題 について、第4回と同様
9	事前学習	L. 11 人称代名詞 について、第3回と同様
	授業内容	L. 11 人称代名詞
	事後学習	L. 11 人称代名詞 について、第3回と同様
10	事前学習	L. 11 練習問題 について、第4回と同様
	授業内容	L. 11 練習問題
	事後学習	L. 11 練習問題 について、第4回と同様
11	事前学習	L. 12 受動態・指示代名詞・強調構文 について、第3回と同様
	授業内容	L. 12 受動態・指示代名詞・強調構文
	事後学習	L. 12 受動態・指示代名詞・強調構文 について、第3回と同様
12	事前学習	L. 12 練習問題 について、第4回と同様
	授業内容	L. 12 練習問題
	事後学習	L. 12 練習問題 について、第4回と同様
13	事前学習	該当箇所について、第3回と同様
	授業内容	まとめ（進度調整）
	事後学習	該当箇所について、第3回と同様
14	事前学習	該当箇所について、第3回と同様
	授業内容	質疑応答
	事後学習	該当箇所について、第3回と同様
15	事前学習	L. 8～L. 12について、第3回と同様
	授業内容	前期のまとめ（授業内テスト）
	事後学習	L. 8～L. 12について、第3回と同様

科目名	フランス語演習C	担当者	玉井 崇夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今、世界で一番読まれている文学作品は、サン・テグジュペリの『星の王子さま』です。200以上の国と地域の言葉に翻訳されて読み継がれてきた超ベストセラーです。日本では20もの出版社で新訳が刊行されています。原文と翻訳を読み合わせながら、作者（44歳で戦死）が作品に込めた「遺言」を解明したいと思います。				
授業目的・到達目標	原文フランス語で読むことによって、文学的な理解（人気の秘密と魅力を探る）と語学的な上達（読解力を深める）を目的とします。辞書を用いれば、多少難しいフランス語でも、和訳して概要を把握できるようになることを、まずは目標とします。				
履修条件	初級文法を修了した者。				
授業方法	毎回、教材のプリント（Le Petit Prince の抜粋）を配布し、文学的な話題をまじえながら、精読していきます。授業が軌道に乗った頃に、個人発表（履修者の訳読発表）を取り入れます。出席は毎回とります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度、個人発表などの平常評価（50％）、期末の授業内考査（50％）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	内藤濯訳『星の王子さま』岩波少年文庫。				
オフィスアワー	毎回の授業終了後、質問・相談を受け付けます。内容によって、また即答しかねる場合は、他の日時の指示あるいはメール等の手段で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	初回ですから、各自、この授業でやって欲しい事を考えて来てください。
	授業内容	作品と作者の紹介
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （1）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
3	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （2）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
4	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （3）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。

5	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （4）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
6	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （5）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
7	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （6）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
8	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （7）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
9	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （8）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
10	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （9）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
11	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （10）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
12	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （11）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
13	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （12）
	事後学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
14	事前学習	これまでのプリントの見直し。
	授業内容	授業内考査及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
15	事前学習	疑問箇所の洗い直し。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	フランス語演習D	担当者	飯島 幸夫	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語文法の後半（代名動詞～接続法）を説明し、問題練習を行います。			
授業目的・到達目標	文法の基礎を習得し、フランス語の理解力向上に役立てることが授業目的です。 辞書を引いて、やさしいフランス語が読めるようになることが到達目標です。			
履修条件	なし			
授業方法	1．発音を練習し　2．文法の基礎を説明し　3．練習問題を行います。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	1．期末の試験　2．授業・学習への積極的な取り組み・意欲　3．仏検を受験した場合には考慮します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	最新版	白水社	ル・フランセ	斎藤昌三
	備考	本体1,750円＋税　（音声はダウンロード）		
参考書	参考書は特に必要ありません。（授業中は使いませんが）仏和辞典を用意してください。（三省堂『クラウン仏和辞典』、白水社『デスコ仏和辞典』など）			
オフィスアワー	金曜日　19:00～19:30（事前にメールでアポイントメントを取ってください。メールアドレスは教室でお知らせします） 本館2階　講師室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	1. 音声を聞きながら、教科書を声を出して読む。 2. 辞書を引いて教科書の内容を理解する。
	授業内容	ガイダンス L. 13 代名動詞・非人称構文
	事後学習	1. 音声を聞きながら、教科書を声を出して何度も読む。 2. 辞書を引いて教科書の内容を確認する。 3. 文法・動詞の活用・基本的な言い回しを覚える。
2	事前学習	練習問題をできるだけ解いてみる。
	授業内容	L. 13 練習問題
	事後学習	1. 練習問題を理解する。 2. 教科書を声を出して読む。
3	事前学習	L. 14 単純未来・中性代名詞 について、第1回と同様
	授業内容	L. 14 単純未来・中性代名詞
	事後学習	L. 14 単純未来・中性代名詞 について、第1回と同様
4	事前学習	L. 14 練習問題 について、第2回と同様
	授業内容	L. 14 練習問題
	事後学習	L. 14 練習問題 について、第2回と同様

5	事前学習	L. 15 半過去・大過去 について、第1回と同様
	授業内容	L. 15 半過去・大過去
	事後学習	L. 15 半過去・大過去 について、第1回と同様
6	事前学習	L. 15 練習問題 について、第2回と同様
	授業内容	L. 15 練習問題
	事後学習	L. 15 練習問題 について、第2回と同様
7	事前学習	L. 16 条件法・現在分詞 について、第1回と同様
	授業内容	L. 16 条件法・現在分詞
	事後学習	L. 16 条件法・現在分詞 について、第1回と同様
8	事前学習	L. 16 練習問題 について、第2回と同様
	授業内容	L. 16 練習問題
	事後学習	L. 16 練習問題 について、第2回と同様
9	事前学習	L. 17 単純過去・話法 について、第1回と同様
	授業内容	L. 17 単純過去・話法
	事後学習	L. 17 単純過去・話法 について、第1回と同様
10	事前学習	L. 17 練習問題 について、第2回と同様
	授業内容	L. 17 練習問題
	事後学習	L. 17 練習問題 について、第2回と同様
11	事前学習	L. 18 接続法 について、第1回と同様
	授業内容	L. 18 接続法
	事後学習	L. 18 接続法 について、第1回と同様
12	事前学習	L. 18 練習問題 について、第2回と同様
	授業内容	L. 18 練習問題
	事後学習	L. 18 練習問題 について、第2回と同様
13	事前学習	該当箇所について、第1回と同様
	授業内容	まとめ（進度調整）
	事後学習	該当箇所について、第1回と同様
14	事前学習	該当箇所について、第1回と同様
	授業内容	質疑応答
	事後学習	該当箇所について、第1回と同様
15	事前学習	L. 13～L. 18について、第1回と同様
	授業内容	後期のまとめ（授業内テスト）
	事後学習	L. 13～L. 18について、第1回と同様

科目名	フランス語演習D	担当者	玉井 崇夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今、世界で一番読まれている文学作品は、サン・テグジュペリの『星の王子さま』です。200以上の国と地域の言葉に翻訳されて読み継がれてきた超ベストセラーです。日本では20もの出版社で新訳が刊行されています。原文と翻訳を読み合わせながら、作者（44歳で戦死）が作品に込めた「遺言」を解明したいと思います。					
授業目的・到達目標	文学的な理解（人気の秘密と魅力を探る）と語学的な上達（読解力を深める）を目的とします。辞書を用いれば、多少難しいフランス語でも、和訳して概要を把握できるようになることを、まずは目標とします。					
履修条件	初級文法を修了した者。					
授業方法	毎回、教材のプリント（Le Petit Prince の抜粋）を配布し、文学的な話題をまじえながら、精読していきます。授業が軌道に乗った頃に、個人発表（履修者の訳読発表）を取り入れます。出席は毎回とります。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度、個人発表などの平常評価（50％）、期末の授業内考査（50％）。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	内藤濯訳『星の王子さま』岩波少年文庫。					
オフィスアワー	毎回の授業終了後、質問・相談を受け付けます。内容によって、また即答しかねる場合は、他の日時の指示あるいはメール等の手段で対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期にできなかった、あるいは引き続きやって欲しい事を考えて来てください。
	授業内容	「フランス語演習C」の復習
	事後学習	復習と確認。
2	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （1）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
3	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （2）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
4	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （3）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。

5	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （4）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
6	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （5）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
7	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （6）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
8	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （7）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
9	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （8）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
10	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （9）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
11	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （10）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
12	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （11）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
13	事前学習	基礎的な文法解説を繰り返しますので、各自前もって質問の箇所・事項をチェックしておいてください。
	授業内容	Le Petit Prince プリント （12）
	事後学習	語学の勉強は、予習は兎も角、復習がもっと大事です。
14	事前学習	これまでのプリントの見直し。
	授業内容	授業内考査及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
15	事前学習	疑問箇所の洗い直し。
	授業内容	補足・まとめ
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	フランス語演習E	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス文化を日本人向けに紹介する少し長めのフランス語の文章を読みます。ただ辞書を引いて文法を説明しながら読み進めるのではなく、音で繰り返し聞いて、その文を口で言えるようにしてから説明に入ること、フランス語の総合力を高めます。					
授業目的・到達目標	初級から中級への橋渡しとなります。フランス語の総合力を高めるために、語彙、文法、リスニング、発音のすべてにおいて中級レベル、仏検という3級から準2級にレベルアップしていく準備段階となります。					
履修条件	初級文法を修了していることが条件となります。					
授業方法	最初はひたすら音源を聞いてもらいます。文字を見ずに発音できるようになったところで、語彙・文法説明をすこしずつ進めていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		中間小テスト50%、期末テスト50%の60点以上で合格です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013	三修社		耳が喜ぶフランス語		山下利枝 他
	備考					
参考書	久松健一著「ケータイ 万能フランス語文法」駿河台出版社					
オフィスアワー	火曜日 2 限目					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教材とポケット版ではない学習辞書を用意してください。
	授業内容	ガイダンス。授業目的、内容、評価方法、このクラスで守るべき規則などについて説明します。導入で簡単なフランス語に触れてみます。
	事後学習	指定教材に目を通しておいってください。
2	事前学習	1. Qui suis-je?前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	1. Qui suis-je?
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
3	事前学習	1. Qui suis-je?後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	1. Qui suis-je? 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
4	事前学習	2. Mon appartement au Japon前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	2. Mon appartement au Japon
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。

5	事前学習	2. Mon appartement au Japon後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	2. Mon appartement au Japon 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
6	事前学習	3. Qu'est-ce qui me plaît au Japon?前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	3. Qu'est-ce qui me plaît au Japon?
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
7	事前学習	3. Qu'est-ce qui me plaît au Japon?後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	3. Qu'est-ce qui me plaît au Japon? 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
8	事前学習	1, 2, 3課の復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。
9	事前学習	4. Le métro de Tokyo前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	4. Le métro de Tokyo
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
10	事前学習	4. Le métro de Tokyo 2後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	4. Le métro de Tokyo 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
11	事前学習	5. Les prénoms前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	5. Les prénoms
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
12	事前学習	5. Les prénoms後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	5. Les prénoms 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
13	事前学習	6. La Dernière Classe前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	6. La Dernière Classe
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
14	事前学習	6. La Dernière Classe後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	6. La Dernière Classe 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
15	事前学習	後半4, 5, 6課の復習。
	授業内容	期末テスト、採点、解説、まとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。

科目名	フランス語演習F	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス文化を日本人向けに紹介する少し長めのフランス語の文章を読みます。ただ辞書を引いて文法を説明しながら読み進めるのではなく、音で繰り返し聞いて、その文を口で言えるようにしてから説明に入ること、フランス語の総合力を高めます。					
授業目的・到達目標	初級から中級への橋渡しとなります。フランス語の総合力を高めるために、語彙、文法、リスニング、発音のすべてにおいて中級レベル、仏検でいう3級から準2級にレベルアップしていく準備段階となります。					
履修条件	初級文法を修了していることが条件となります。					
授業方法	最初はひたすら音源を聞いてもらいます。文字を見ずに発音できるようになったところで、語彙・文法説明をすこしずつ進めていきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		中間小テスト50%、期末テスト50%の60点以上で合格です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013	三修社		耳が喜ぶフランス語		山下利枝 他
	備考					
参考書	久松健一著「ケータイ 万能フランス語文法」駿河台出版社					
オフィスアワー	火曜日 2 限目					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教材とポケット版ではない学習辞書を用意してください。
	授業内容	ガイダンス。授業目的、内容、評価方法、このクラスで守るべき規則などについて説明します。導入で簡単なフランス語に触れてみます。
	事後学習	指定教材に目を通しておいってください。
2	事前学習	7. Etudier le français前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	7. Etudier le français
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
3	事前学習	7. Etudier le français後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	7. Etudier le français 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
4	事前学習	8. Tu et vous 前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	8. Tu et vous
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。

5	事前学習	8. Tu et vous 後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	8. Tu et vous 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
6	事前学習	9. Les plats alsaciens 前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	9. Les plats alsaciens
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
7	事前学習	9. Les plats alsaciens 後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	9. Les plats alsaciens 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
8	事前学習	7, 8, 9課の復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。
9	事前学習	10. L'hiver froid 前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	10. L'hiver froid
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
10	事前学習	10. L'hiver froid 後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	10. L'hiver froid 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
11	事前学習	11. La fête 前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	11. La fête
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
12	事前学習	11. La fête 後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	11. La fête 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
13	事前学習	12. La pétanque 前半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	12. La pétanque
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
14	事前学習	12. La pétanque 後半の知らない単語を辞書で調べておくこと。
	授業内容	12. La pétanque 2
	事後学習	音で学んだテキストを文章で確認。
15	事前学習	後半10, 11, 12課の復習。
	授業内容	期末テスト、採点、解説、まとめ。
	事後学習	答案で間違えた事項の復習。

科目名	フランス語演習G	担当者	吉澤 保	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	フランスの社会問題（ラシズム）を扱った文章を読む					
授業目的・到達目標	授業の第一の目的は、フランス語の比較的簡単な文章を読むことによって、フランス語の読解力、その総合的学力を向上させることです。第二の目的は、フランスの社会・文化に関する理解を深化させることです。ラシズムは、英語のレイシズムにあたりますが、両者のニュアンスの違いは見落とすことはできません。ラシズムは、フランスだけの問題ではありません。移民こそ歓迎すべきであるという声もあるなか、移民排斥の動きは強まっているように見えます。当然ながら日本の問題も振り返らざるを得ません。到達目標を言えば、フランス語の比較的簡単な文章を読み理解できるようになり、フランス語の総合的学力を高め、同時にフランスの社会・文化に関する理解も深めることができるようになります。					
履修条件	原則として、フランス語学習歴一年以上の方。					
授業方法	一般的な講読の授業を行います。テキストの訳をしてもらい、こちらが解説を行います。まだ習熟できていない文法事項は詳しく説明します。内容はこちらが説明するか、発表を担当してもらいます。音読も行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常点（出席、発表など）：５０％、中間・期末テスト：５０％ 原則、このようにします。仏検の成績は考慮に入れます。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		白水社		『娘に語るラシズムLe racisme expliqué à ma fille』		ベンジェルーン
	備考					
参考書	授業時に指示します。					
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時（事前にメールでアポイントメントを取ってください） 研究室（本館9階1910）yoshizawa.tamotsu@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	前期ガイダンス
	事後学習	授業時に指示された内容を復習すること
2	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	1 ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
3	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	2 ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
4	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	3 ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること。またこれまで読み進めた文章（2，3，4回）について感想あるいはコメントを書くこと

5	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	4 ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
6	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	5 ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
7	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	6 ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること。またこれまで読み進めた文章（2，3，4 回）について感想あるいはコメントを書くこと
8	事前学習	試験対策の勉強をすること
	授業内容	前期中間試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習すること
9	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	7～8 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
10	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	9～10 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
11	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	11～12 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること。またこれまで読み進めた文章（9，10，11 回）について感想あるいはコメントを書くこと
12	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	13～14 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
13	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	15～16 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
14	事前学習	試験対策の勉強をすること
	授業内容	前期期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習すること
15	事前学習	前期読んだ箇所を振り返っておくこと
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	授業の復習をすること。またこれまで読み進めた文章（前期に読んだ文章）について感想あるいはコメントを書くこと

科目名	フランス語演習H	担当者	吉澤 保	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	フランスの社会問題（ラシズム）を扱った文章を読む					
授業目的・到達目標	授業の第一の目的は、フランス語の比較的簡単な文章を読むことによって、フランス語の読解力、その総合的学力を向上させることです。第二の目的は、フランスの社会・文化に関する理解を深化させることです。ラシズムは、英語のレイシズムにあたりますが、両者のニュアンスの違いは見落とすことはできません。ラシズムは、フランスだけの問題ではありません。移民こそ歓迎すべきであるという声もあるなか、移民排斥の動きは強まっているように見えます。当然ながら日本の問題も振り返らざるを得ません。到達目標を言えば、フランス語の比較的簡単な文章を読み理解できるようになり、フランス語の総合的学力を高め、同時にフランスの社会・文化に関する理解も深めることができるようになります。					
履修条件	原則として、フランス語学習歴一年以上の方。					
授業方法	一般的な講読の授業を行います。テキストの訳をしてもらい、こちらが解説を行います。まだ習熟できていない文法事項は詳しく説明します。内容はこちらが説明するか、発表を担当してもらいます。音読も行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		平常点（出席、発表など）：50％、中間・期末テスト：50％ 原則、このようにします。仏検の成績は考慮に入れます。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		白水社		『娘に語るラシズムLe racisme expliqué à ma fille』		ベンジェルーン
	備考					
参考書	授業時に指示します。					
オフィスアワー	水曜日12時20分から13時（事前にメールでアポイントメントを取ってください） 研究室（本館9階1910）yoshizawa.tamotsu@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	後期ガイダンス
	事後学習	指示された内容を調べること
2	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	17ページ、文法の復習
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
3	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	18～19ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
4	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	20～21ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること。またこれまで読み進めた文章（17、18、19回）について感想あるいはコメントを書くこと

5	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	2 2 ～ 2 3 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
6	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	2 4 ～ 2 5 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
7	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	2 6 ～ 2 7 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること。またこれまで読み進めた文章（2 0， 2 1， 2 2 回）について感想あるいはコメントを書くこと
8	事前学習	試験勉強をすること
	授業内容	後期中間試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習すること
9	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	2 8 ～ 2 9 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
10	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	3 0 ～ 3 1 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
11	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	3 2 ～ 3 3 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること。またこれまで読み進めた文章（2 4， 2 5， 2 6 回）について感想あるいはコメントを書くこと
12	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	3 4 ～ 3 5 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
13	事前学習	その回で進められる文章を読み訳してくること
	授業内容	3 6 ～ 3 7 ページ
	事後学習	読み進めた文章を、構文、発音、意味など様々な点から復習すること
14	事前学習	試験勉強をすること
	授業内容	後期期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験内容を復習すること
15	事前学習	これまでの文章を振り返っておくこと
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	授業内容を復習すること。またこれまで読み進めた文章（後期に読んだ文章）について感想あるいはコメントを書くこと

科目名	リーディング・ライティング(仏) I A	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際人として世界に向かって情報を発信していくには、書くことによる情報伝達の方法を身につけることが重要です。自国の文化を世界に向かって発信するためにも、ライティング力を磨く必要があります。本授業は、基礎文法の修得を終えた人向けであり、ビジネスレターの基礎となる、簡単なフランス語メールが書けるように訓練します。					
授業目的・到達目標	以下の目標に到達することが、授業の目的です。①日本語とフランス語の文の相違を理解することができる。②日常的な日本語の文章を、自然なフランス語にすることができる。② フランス語にした文章を音読することができる。③ ビジネスレターの基礎として、簡単なフランス語のメールを書くことができる。					
履修条件	①フランス語II（文法）の単位を取得していること。②毎回必ず、和仏辞書（電子辞書可）を持参すること。③フランス語II（基礎文法）を履修した際の教科書、あるいは初級文法参考書を持参してください。					
授業方法	①例文の解説をする。②和仏辞書を用いて練習問題を解き、正解を確認する。③課題として出されていた問題の答え合わせと解説を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		期末テスト（50%）、授業参加度・課題提出（50%）、仏検の成績も考慮します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考	第一回授業で、プリントを配布します。				
参考書	フランス語IIの教科書、あるいは初級文法参考書（特に指定はなし）。毎回の事前学習に必要な文法事項は、プリントに記載されています。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	英語の文型を想起して、文型を構成する要素を確認すること。
	授業内容	①授業の説明 ②フランス語の文型 ③綴り字の読み方(1)
	事後学習	今週に学んだ文型と綴り字の読み方の復習をする。
2	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(2) ②Leçon1 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
3	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(3) ②Leçon1 練習 3
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
4	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(4) ②Leçon 2 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。

5	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(5) ②Leçon 2 練習 3
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
6	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(6) ②Leçon 3 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
7	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(7) ②Leçon 3 練習 3, 4
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
8	事前学習	前期中間試験の準備をする。
	授業内容	①前期中間試験 ②Leçon 4 練習 1
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
9	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	前期中間試験の返却と解説 ①綴り字の読み方(8) ②Leçon 4 練習 2, 3
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
10	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(9) ②Leçon 5 練習 1
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
11	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(10) ②Leçon 5 練習 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
12	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(11) ②Leçon 6 練習 1
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
13	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(12) ②Leçon 6 練習 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
14	事前学習	前期末試験の準備をする。
	授業内容	前期末試験及び振り返り。
	事後学習	試験の内容に関して、疑問点や質問を準備する。
15	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	前期末試験の返却と解説 ①綴り字の読み方 (13) ②Leçon 6 練習 3
	事後学習	前期全体の復習をする。

科目名	リーディング・ライティング(仏) I B	担当者	江島 泰子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際人として世界に向かって情報を発信していくには、書くことによる情報伝達の方法を身につけることが重要です。自国の文化を世界に向かって発信するためにも、ライティング力を磨く必要があります。本授業は、基礎文法の修得を終えた人向けであり、ビジネスレターの基礎となる、簡単なフランス語メールが書けるように訓練します。					
授業目的・到達目標	以下の目標に到達することが、授業の目的です。①日本語とフランス語の文の相違を理解することができる。②日常的な日本語の文章を、自然なフランス語にすることができる。② フランス語にした文章を音読することができる。③ ビジネスレターの基礎として、簡単なフランス語のメールを書くことができる。					
履修条件	①フランス語II（文法）の単位を取得していること。②毎回必ず、和仏辞書（電子辞書可）を持参すること。③フランス語II（基礎文法）を履修した際の教科書、あるいは初級文法参考書を持参してください。					
授業方法	①例文の解説をする。②和仏辞書を用いて練習問題を解き、正解を確認する。③課題として出されていた問題の答え合わせと解説を行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		期末テスト（50％）、授業参加度・課題提出（50％）、仏検の成績も考慮します。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	なし	なし		なし		なし
	備考	第一回授業で、プリントを配布します。				
参考書	フランス語IIの教科書、あるいは初級文法参考書（特に指定はなし）。毎回の事前学習に必要な文法事項は、プリントに記載されています。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	フランス語の文型について確認すること。
	授業内容	①授業の説明 ②綴り字の読み方(1) ③Leçon 7 練習 1
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
2	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(2) ②Leçon 7 練習 2、3
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
3	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(3) ②Leçon 8 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
4	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(4) ②Leçon 8 練習 3, 4
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。

5	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(5) ②Leçon 9 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
6	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(6) ②Leçon 9 練習 3
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
7	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(7) ②Leçon 1 0 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
8	事前学習	後期中間試験の準備をする。
	授業内容	後期中間試験 ②Leçon 1 0 練習 3
	事後学習	試験の内容に関して、疑問点や質問を準備する。
9	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	後期中間試験の返却と解説 ①綴り字の読み方(8) ②Leçon 1 1 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
10	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(9) ②Leçon 1 1 練習 3, 4
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
11	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(10) ②Leçon 1 2 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
12	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方(11) ②Leçon 1 2 練習 3
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
13	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	①綴り字の読み方 (12) ②Leçon 1 3 練習 1, 2
	事後学習	今週に学んだ綴り字の読み方を復習し、課題を行う。
14	事前学習	後期期末試験の準備をする。
	授業内容	後期期末試験及び振り返り。
	事後学習	試験の内容に関して、疑問点や質問を準備する。
15	事前学習	今週のLeçonの箇所に含まれる文法事項を学習してくる。
	授業内容	後期期末試験の返却と解説 ①綴り字の読み方 (14) ②Leçon 1 3 練習 3, 4
	事後学習	後期全体の復習をする。

科目名	フランス語資格試験対策ⅠA	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	仏検対策の授業です。秋季での4級合格を目指します。とはいえ、検定試験はあくまでもフランス語の上達をはかる目安に過ぎません。仏検のためのフランス語ではなくて、フランス語のための仏検です。本末転倒にならないように、練習問題を解きながら、フランス語力の向上と基本文法事項の確実な定着を目指します。					
授業目的・到達目標	初級文法の習得、フランス語の音声に慣れることを主眼として、その結果として秋季の実用フランス語技能検定試験4級の合格を目指します。					
履修条件	実用フランス語技能検定試験5級、4級を受けること。					
授業方法	音声の反復からフランス語を身に着けながら、そこに文法説明・練習問題の反復を加えることで、知識としてではなく言葉としてのフランス語の定着を目指します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		小テスト50%、前期期末テスト50%の合計100点で、60点以上で合格です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	CLE International		Grammaire progressive du Français		Maïa Grégoire
	備考					
参考書	久松健一著「ケータイ 万能フランス語文法」駿河台出版社。					
オフィスアワー	火曜日 2 限目					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書、ポケット版ではない学習辞書を用意してください。
	授業内容	ガイダンス:授業の方針、使用教科書、参考書紹介、成績評価方法の説明、導入として簡単なフランス語練習。
	事後学習	指定教科書、文法書に簡単に目を通しておいください。
2	事前学習	1、2課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	1,2課: La présentation, la description.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
3	事前学習	3,4課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	3,4課: La description 2, le verbe "être".
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
4	事前学習	5,6課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	5,6課: L'interrogation simple, les verbes en "er" 1.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。

5	事前学習	7, 8課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	7, 8課: Les verbes en "er" 2, 3.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
6	事前学習	9, 10課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	9, 10課: Les verbes pronominaux en "er", le nom et l'article.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
7	事前学習	11, 12課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	11, 12課: Singulier et pluriel des noms, l'article défini/indéfini.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
8	事前学習	1課から12課までの復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った項目を見直し。
9	事前学習	13, 14課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	13, 14課: 前置詞と定冠詞の縮約、les possessifs.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
10	事前学習	15, 16課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	15, 16課: les démonstratifs, la possession.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
11	事前学習	17, 18課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	17, 18課: les caractéristiques physiques, les sensations négatives.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
12	事前学習	19, 20課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	19, 20課: le verbe "avoir", la négation.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
13	事前学習	21, 22課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	21, 22課: 場所の前置詞と国。
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
14	事前学習	23, 24課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	23, 24課: 前置詞 "dans", "sur", "sous", 非人称構文 "il y a".
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
15	事前学習	13課から24課までの復習。
	授業内容	前期末テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った項目を見直し。

科目名	フランス語資格試験対策ⅠA	担当者	江島 泰子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、フランス語実用技能検定試験（仏検）等の検定試験の級を取得して ①将来の就職に役立てる ②国際人として活躍するための基礎作りをすること、を念頭に置いています。資格試験はたとえ取得級が低い場合でも、多様な興味を持っていること、学習意欲の高さなどを示すものです。また、語学学習は目標が明確であると取り組みやすくなります。					
授業目的・到達目標	以下の①と②に到達することが、授業の目的です。①初級文法の文法と語彙を習得することで、仏検5級ないし4級の筆記問題を的確に解くことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検5級ないし4級の聴解問題に的確に解答することができる。					
履修条件	既習者は、前期に仏検5級を、後期に仏検4級を受験すること。初学者は、後期に仏検5級を受験すること。					
授業方法	①教科書にそって文法説明を行う。②仏検の練習問題を解き、解説する。③毎回、前回授業の内容にそった小テストを行う。④語彙プリントの記入、文法問題を課題として課す（不定期）。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		①授業参加度、小テスト、課題提出（50%） ③仏検成績・期末テスト成績（50%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005	第三書房		英語でわかるフランス語		滑川明彦、他
	備考					
参考書	教科書は、独習用参考書として編まれたものですので、教科書を参考書としても利用してください。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①授業の説明 ②フランス語の発音(1) ③フランス語の名詞と不定冠詞と定冠詞（第1課）
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
2	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①フランス語の発音(1) ②部分冠詞（第6課） ③主語となる代名詞と第一群規則動詞（第3課）
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
3	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①フランス語の発音(2) ②否定文の作り方（第2課） ③動詞 être（第2課）
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
4	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①フランス語の発音(3) ②動詞 avoir（第3課） ③不定冠詞・部分冠詞の変形（第6課）
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。

5	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①フランス語の発音(4) ②動詞 sortir (第8課) ③所有形容詞・指示形容詞 (第4課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
6	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①フランス語の発音(5) ②時空間の前置詞 (第5課、第12課) ③形容詞の変化と位置 (第2課、第3課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
7	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①数詞 (1～20まで) ②前置詞de, à と定冠詞の縮約 (第4課) ③動詞aller/近接未来 (第5課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
8	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り① ②命令法 (第5課) ③動詞venir/近接過去 (第5課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
9	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り② ②疑問文の作り方 (第5課) ③疑問形容詞 (第9課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
10	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①いろいろな疑問文(1) (第8課) ②動詞 faire (第9課) ③天候表現 (第7課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
11	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①動詞 pouvoir (第7課) ②比較級・最上級(第9課) ③数詞 (21～69まで) (第8課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
12	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①動詞 vouloir (第11課) ②いろいろな疑問文(2) (第10課) ③数詞 (70～99まで) (第8課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
13	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①代名動詞① (第9課) ②いろいろな疑問文(3) (第10課) ③聞き取り③
	事後学習	期末試験にそなえて、当日の授業内容も含めて学習すること。
14	事前学習	前期末試験の準備をすること。
	授業内容	前期末試験、採点、その解説
	事後学習	試験で間違ったところに関して、復習すること。
15	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①代名動詞② (第9課) ②いろいろな疑問文(4) (第10課)
	事後学習	前期全体の内容について、復習すること。

科目名	フランス語資格試験対策ⅠB	担当者	石橋 正孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	仏検対策の授業です。秋季での4級合格を目指します。とはいえ、検定試験はあくまでもフランス語の上達をはかる目安に過ぎません。仏検のためのフランス語ではなくて、フランス語のための仏検です。本末転倒にならないように、練習問題を解きながら、フランス語力の向上と基本文法事項の確実な定着を目指します。			
授業目的・到達目標	初級文法の習得、フランス語の音声に慣れることを主眼として、その結果として秋季の実用フランス語技能検定試験4級の合格を目指します。			
履修条件	実用フランス語技能検定試験5級、4級を受けること。			
授業方法	音声の反復からフランス語を身に着けながら、そこに文法説明・練習問題の反復を加えることで、知識としてではなく言葉としてのフランス語の定着を目指します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	小テスト50%、前期期末テスト50%の合計100点で、60点以上で合格です。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014	CLE International	Grammaire progressive du Français	Maïa Grégoire
	備考			
参考書	久松健一著「ケータイ 万能フランス語文法」駿河台出版社。			
オフィスアワー	火曜日 2 限目			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書、ポケット版ではない学習辞書を用意してください。
	授業内容	ガイダンス:授業の方針、使用教科書、参考書紹介、成績評価方法の説明、導入として簡単なフランス語練習。
	事後学習	指定教科書、文法書に簡単に目を通しておいください。
2	事前学習	25, 26課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	25, 26課: "Qui est-ce" et "Qu'est-ce que c'est?", "C'est" et "Il est".
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
3	事前学習	27, 28課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	27, 28課: "C'est" + adjectif, les nombres.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
4	事前学習	29, 30課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	29, 30課: "Il est" + heures, le temps.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。

5	事前学習	31, 32課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	31, 32課: Les partitifs et la quantité exprimée.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
6	事前学習	33, 34課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	33, 34課: La comparaison et le superlatif.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
7	事前学習	35, 36課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	35, 36課: Les verbes en “-ir” à deux formes.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
8	事前学習	25課から36課までの復習。
	授業内容	中間小テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った項目を見直し。
9	事前学習	37, 38課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	37, 38課: Les verbes en “-re”, les cas particuliers de verbes.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
10	事前学習	39, 40課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	39, 40課: Les démonstratifs, la possession.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
11	事前学習	41, 42課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	41, 42課: Le verbes “faire”, “aller”.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
12	事前学習	43, 44課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	43, 44課: Le futur proche, le passé composé avec “avoir”.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
13	事前学習	45, 46課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	45, 46課: Le passé composé avec “avoir” et “être”.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
14	事前学習	47, 48課のわからない単語を辞書で調べてくること。
	授業内容	47, 48課: L’imparfait, le future simple.
	事後学習	音声から学んだフレーズ、文法事項を教科書・文法書で確認すること。
15	事前学習	37課から48課までの復習。
	授業内容	前期末テスト、採点、解説とまとめ。
	事後学習	答案の間違った項目を見直し。

科目名	フランス語資格試験対策ⅠB	担当者	江島 泰子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、フランス語実用技能検定試験（仏検）等の検定試験の級を取得して ①将来の就職に役立てる ②国際人として活躍するための基礎作りをすること、を念頭に置いています。資格試験はたとえ取得級が低い場合でも、多様な興味を持っていること、学習意欲の高さなどを示すものです。また、語学学習は目標が明確であると取り組みやすくなります。					
授業目的・到達目標	以下の①と②に到達することが、授業の目的です。①初級文法の文法と語彙を習得することで、仏検5級ないし4級の筆記問題を的確に解くことができる。②初級の語彙力・聴解力を身につけ、仏検5級ないし4級の聴解問題に的確に解答することができる。					
履修条件	既習者は、前期に仏検5級を、後期に仏検4級を受験すること。初学者は、後期に仏検5級を受験すること。					
授業方法	①教科書にそって文法説明を行う。②仏検の練習問題を解き、解説する。③毎回、前回授業の内容にそった小テストを行う。④語彙プリントの記入、文法問題を課題として課す（不定期）。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		①授業参加度、小テスト、課題提出（50%） ③仏検成績・期末テスト成績（50%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005	第三書房		英語でわかるフランス語		滑川明彦、他
	備考					
参考書	教科書は、独習用参考書として編まれたものですので、教科書を参考書としても利用してください。					
オフィスアワー	日時：月曜日15：00～16：00 場所：第一回授業の際に説明します。 内容：フランス語学習に関する質問、留学相談、その他 メールによる問い合わせ・相談も受け付けます（eshima.yasuko@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①授業の説明 ②中性代名詞(1)（第7課） ③複合過去(1)（第8課）
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
2	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り① ②中性代名詞(2)（第7課） ③複合過去(2)（第8課）
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
3	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り② ②ne...pas以外の否定表現 ③単純未来(1)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
4	事前学習	次週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り③ ②指示代名詞（第4課） ③単純未来(2)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。

5	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り④ ②前置詞(1) ③半過去(1)
	事後学習	次週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
6	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①聞き取り⑤ ②前置詞(2) ③半過去(2)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
7	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①並べ替え問題(1) ②動詞prendre (第6課) ③会話表現(1)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
8	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①並べ替え問題(2) ②動詞savoir (第11課) ③会話表現(2)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
9	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①書き取り問題(1) ②所有代名詞 (第4課) ③条件法現在(1)(第11課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
10	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①書き取り問題(2) ②所有代名詞(1) (第4課) ③条件法現在(2)(第11課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
11	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①書き取り問題(3) ②関係代名詞(1) (第10課) ③接続法現在(1)(第12課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
12	事前学習	今週の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①書き取り問題(4) ②関係代名詞(2) (第10課) ③接続法現在(2)(第12課)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
13	事前学習	後期の文法事項に対応する教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	①書き取り問題(5) ②後期の内容の復習 (1)
	事後学習	次回の小テストの準備をすること。
14	事前学習	後期末試験の準備をする。
	授業内容	後期末試験、採点、その解説
	事後学習	試験で間違った部分の復習をする。
15	事前学習	後期に学んだ事項について、質問を準備する。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期全体の学習の復習をする。

科目名	フランス語資格試験対策ⅡA	担当者	根岸 知生	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「実用フランス語技能検定試験」４級・３級受験希望者を対象にした授業です。 仏検に合格するためには文法の知識だけでなく、単語や動詞の活用、聞き取りの力も必要です。 総合的な力を身に付けて、合格を目指して頑張りましょう。 年度内の仏検合格者には、成績評価で点数を加算します。			
授業目的・到達目標	前期で仏検４級か３級、後期では３級か準２級の取得を視野に入れることができる。			
履修条件	今年度中に仏検を受験すること。			
授業方法	過去の問題や予想問題を解きながら、解説を加えます。 定期的に小テストも実施します。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回実施する小テストや期末テストの結果、及び仏検の可否から総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008年	駿河台出版社	改訂版 完全予想 仏検４級 改訂 CD付	富田正二
	備考			
参考書	特になし			
オフィスアワー	質問・相談がある場合は授業内や授業後に声を掛けてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今までに習った文法事項の範囲や使用したテキスト名を確認するので、あらかじめ調べてメモしておいてください
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	基礎的な文法事項を確認しておきましょう
2	事前学習	小テストの準備
	授業内容	直説法現在形（1）
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	直説法現在形（2） 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	直説法現在形（3） 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	命令形 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	直説法複合過去形 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	直説法単純未来形・前未来形 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
8	事前学習	小テストの準備
	授業内容	直説法半過去形・大過去形 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
9	事前学習	小テストの準備
	授業内容	条件法現在形 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
10	事前学習	小テストの準備
	授業内容	ジェロンディフ 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
11	事前学習	小テストの準備
	授業内容	接続法現在形 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
12	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（5級） 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
13	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（4級） 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
14	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（3級） 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
15	事前学習	動詞の活用をしっかりと覚えましょう
	授業内容	前期のまとめ・期末テスト
	事後学習	わからなかった事項があれば、教科書で確認しておきましょう

科目名	フランス語資格試験対策ⅡB	担当者	根岸 知生	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「実用フランス語技能検定試験」４級・３級受験希望者を対象にした授業です。 仏検に合格するためには文法の知識だけでなく、単語や動詞の活用、聞き取りの力も必要です。 総合的な力を身に付けて、合格を目指して頑張りましょう。 年度内の仏検合格者には、成績評価で点数を加算します。				
授業目的・到達目標	前期で仏検４級か３級、後期では３級か準２級の取得を視野に入れることができる。				
履修条件	今年度中に仏検を受験すること。				
授業方法	過去の問題や予想問題を解きながら、解説を加えます。 定期的に小テストも実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回実施する小テストや期末テストの結果、及び仏検の可否から総合的に判断します。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2008年	駿河台出版社	改訂版 完全予想 仏検４級 改訂 CD付		富田正二
	備考				
参考書	特になし				
オフィスアワー	質問・相談がある場合は授業内や授業後に声を掛けてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	小テストの準備
	授業内容	ガイドダンス 強勢形人称代名詞 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
2	事前学習	小テストの準備
	授業内容	目的語人称代名詞 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
3	事前学習	小テストの準備
	授業内容	再帰代名詞 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
4	事前学習	小テストの準備
	授業内容	中性代名詞 小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください

5	事前学習	小テストの準備
	授業内容	指示代名詞・所有代名詞　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
6	事前学習	小テストの準備
	授業内容	疑問代名詞　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
7	事前学習	小テストの準備
	授業内容	関係代名詞　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
8	事前学習	小テストの準備
	授業内容	読解（１）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
9	事前学習	小テストの準備
	授業内容	読解（２）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
10	事前学習	小テストの準備
	授業内容	読解（３）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
11	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（５級）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
12	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（４級）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
13	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（３級）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
14	事前学習	小テストの準備
	授業内容	仏検過去問題（準２級）　小テスト
	事後学習	授業で出た項目を復習し、疑問がある場合はそのままにしないで次回に質問してください
15	事前学習	今までに勉強したことを、しっかり復習しておきましょう
	授業内容	後期のまとめ・期末テスト
	事後学習	わからなかった事項があれば、教科書で確認しておきましょう

科目名	フランス語資格試験対策ⅢA	担当者	畠山 達	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	効率よく合格を目指すために、初回の授業で目標とする級、一週間毎の学習ペースを設定するので参加すること。単語力は重要なので、単語帳から毎回試験をします。英語以外の資格を持つことは将来さまざまな面で有利に働きます。また自分の世界を広げるという意味でも仏検の取得は良い機会になります。是非仏検の取得を目指してください。なお【授業区分】の内容は進度によって変更の可能性もあります。				
授業目的・到達目標	秋の実用フランス語技能検定試験（仏検）にて3級および準2級を取得し、そのレベルのフランス語能力を運用できるようになる。				
履修条件	仏検を受験し、取得することを目標とする人。				
授業方法	毎回単語テストを行います。必ず予習してくる。読解、聞き取り、文法など毎回繰り返し練習します。一年次で使用していた教科書を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回行う小テスト50% 前期期末テスト50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回、それぞれの課に合わせたプリントを配布			
参考書	『データ本位 での順仏検単語集—5級~2級準備レベル』久松健一、駿河台出版社				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	フランス語の教科書復習
	授業内容	ガイダンス：授業の方針、辞書、参考書、成績評価の方法など説明するので参加すること
	事後学習	単語テスト用準備、文法該当箇所の復習
2	事前学習	フランス語の教科書復習
	授業内容	発音、文の構成、動詞の活用
	事後学習	単語テスト準備、発音、文の構成、動詞の活用の試験準備
3	事前学習	単語テスト準備、発音、文の構成、動詞の活用の試験準備
	授業内容	名詞の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、名詞の使用法と特徴の試験準備
4	事前学習	単語テスト準備、名詞の使用法と特徴の試験準備
	授業内容	冠詞の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、冠詞の使用法と特徴の試験準備

5	事前学習	単語テスト準備、冠詞の使用法と特徴の試験準備
	授業内容	形容詞の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、形容詞の使用法と特徴の試験準備
6	事前学習	単語テスト準備、形容詞の使用法と特徴の試験準備
	授業内容	代名詞の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、代名詞の使用法と特徴の試験準備
7	事前学習	単語テスト準備、代名詞の使用法と特徴の試験準備
	授業内容	代名動詞の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、代名動詞の使用法と特徴の試験準備
8	事前学習	単語テスト準備、代名動詞の使用法と特徴の試験準備
	授業内容	仏検受験直前チェック（1）
	事後学習	単語テスト準備、仏検受験直前チェック（1）の復習
9	事前学習	単語テスト準備、仏検受験直前チェック（1）の復習
	授業内容	仏検受験直前チェック（2）
	事後学習	単語テスト準備、仏検受験直前チェック（2）の復習
10	事前学習	単語テスト準備、仏検受験直前チェック（2）の復習
	授業内容	条件法の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、条件法の使用法と特徴の復習
11	事前学習	単語テスト準備、条件法の使用法と特徴の復習
	授業内容	条件法の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、条件法の使用法と特徴の復習
12	事前学習	単語テスト準備、条件法の使用法と特徴の復習
	授業内容	接続法の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、接続法の使用法と特徴の復習
13	事前学習	単語テスト準備、接続法の使用法と特徴の復習
	授業内容	接続法の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、接続法の使用法と特徴の復習
14	事前学習	単語テスト準備、接続法の使用法と特徴の復習
	授業内容	前置詞の使用法と特徴
	事後学習	単語テスト準備、前置詞の使用法と特徴の復習
15	事前学習	単語テスト準備、前置詞の使用法と特徴の復習
	授業内容	前期・期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	期末テストの復習

科目名	フランス語資格試験対策ⅢB	担当者	畠山 達	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	効率よく合格を目指すために、初回の授業で目標とする級、一週間毎の学習ペースを設定するので参加すること。単語力は重要なので、単語帳から毎回試験をします。英語以外の資格を持つことは将来さまざまな面で有利に働きます。また自分の世界を広げるという意味でも仏検の取得は良い機会になります。是非仏検の取得を目指してください。なお【授業区分】の内容は進度によって変更の可能性もあります。				
授業目的・到達目標	秋の実用フランス語技能検定試験（仏検）にて3級および準2級を取得し、そのレベルのフランス語能力を運用できるようになる。				
履修条件	仏検を受験し、取得することを目標とする人。				
授業方法	毎回単語テストを行います。必ず予習してくること。読解、聞き取り、文法など毎回繰り返し練習します。一年次で使用していた教科書を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	毎回行う小テスト50% 後期期末テスト50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回、それぞれの課に合わせたプリントを配布			
参 考 書	『データ本位 での順仏検単語集—5級~2級準備レベル』久松健一、駿河台出版社				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	期末テストの復習
	授業内容	前期の復習
	事後学習	前期末テストの復習
2	事前学習	仏検 過去問 1
	授業内容	仏検 過去問 1
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 1
3	事前学習	仏検 過去問 1
	授業内容	仏検 過去問 1
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 1
4	事前学習	仏検 過去問 2
	授業内容	仏検 過去問 2
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 2

5	事前学習	仏検 過去問 2
	授業内容	仏検 過去問 2
	事後学習	単語テスト準備、
6	事前学習	仏検 過去問 3
	授業内容	仏検 過去問 3
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 3
7	事前学習	仏検 過去問 3
	授業内容	仏検 過去問 3
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 3
8	事前学習	仏検受験直前チェック (1)
	授業内容	仏検受験直前チェック (1)
	事後学習	単語テスト準備、仏検受験直前チェック (1)
9	事前学習	仏検受験直前チェック (2)
	授業内容	仏検受験直前チェック (2)
	事後学習	単語テスト準備、仏検受験直前チェック (2)
10	事前学習	仏検 過去問 4
	授業内容	仏検 過去問 4
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 4
11	事前学習	仏検 過去問 4
	授業内容	仏検 過去問 4
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 4
12	事前学習	仏検 過去問 5
	授業内容	仏検 過去問 5
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 5
13	事前学習	仏検 過去問 5
	授業内容	仏検 過去問 5
	事後学習	単語テスト準備、仏検 過去問 5
14	事前学習	仏検 過去問 6
	授業内容	仏検 過去問 6
	事後学習	単語テスト準備、期末テストのための準備
15	事前学習	期末テストのための準備
	授業内容	後期・期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	期末テストの復習

科目名	国際研修(仏) I A	担当者	C. ルヌール	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	このクラスでは具体的な練習問題を繰り返すことによって、DELF A1試験への適応能力を見つけます。DELF (Diplôme d'Études en Langue Française) とはフランス国民教育省が認定した唯一のフランス語資格です。レベルA1は初級段階です。試験には、筆記試験（聴解・読解・文書作成）と口頭表現試験があり、4つの能力が評価されます。					
授業目的・到達目標	基礎的な聴解、読解、文書作成能力を身につけ、DELF A 1 試験に合格できる。 日常生活や旅行などで必要な簡単な表現を理解し、使うことができる。自己紹介、他人の紹介ができ、住んでいる場所や自分や家族に関しての基本的な情報、買い物に関する質問・応答ができる。フランスと日本のコミュニケーションとの違いを意識するのも目的になっている。。アヴィニョン大学短期研修に参加する人におすすめです。フランス語圏の国を旅行したときに困らないレベルのフランス語を身につけること。 リスニングが多い授業で、分からない単語があっても推測して全部分からなくても会話を続けられること。					
履修条件	3 0 人以内に限定 フランスに興味があってコミュニケーションの好きな学生を対象とした授業である。授業に積極的に参加することは評価される。					
授業方法	スキット、ヒヤリング、発音の練習など。学生のレベル、希望に合わせてプログラムの変更は可能です。授業言語はフランス語と日本語の併用。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		授業中のテスト：ペーパーテスト（1 5 %）会話（1 5 %）授業への積極的参加度（2 0 %） 期末テスト：口頭（3 0 %）筆記（2 0 %）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	プリント使用				
参 考 書	なし					
オフィスアワー	授業の前後に対応する					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義計画・DEL F A1の説明
	事後学習	音声を聞いて、発音する
2	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	挨拶
	事後学習	音声を聞いて、発音する
3	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	発音と文字の読み方
	事後学習	音声を聞いて、発音する
4	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	綴りを言う
	事後学習	音声を聞いて、発音する

5	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	自己紹介
	事後学習	音声を聞いて、発音する
6	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	自己紹介
	事後学習	音声を聞いて、発音する
7	事前学習	テスト勉強
	授業内容	DELF A1の模擬試験
	事後学習	未定
8	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	趣味
	事後学習	音声を聞いて、発音する
9	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	日付けと数字
	事後学習	音声を聞いて、発音する
10	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	家族
	事後学習	音声を聞いて、発音する
11	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	人を紹介する
	事後学習	音声を聞いて、発音する
12	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	定期的な活動
	事後学習	音声を聞いて、発音する
13	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	一日のアクティビティ
	事後学習	音声を聞いて、発音する
14	事前学習	テスト勉強
	授業内容	到達度の確認 : DELF A1の過去問題 : 筆記試験（聴解・読解・文書作成）と口頭表現試験
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	レクリエーション
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	国際研修(仏) I B	担当者	C. ルヌール	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	このクラスでは具体的な練習問題を繰り返すことによって、DELF A1試験への適応能力を見つけます。DELF (Diplôme d'Études en Langue Française) とはフランス国民教育省が認定した唯一のフランス語資格です。レベルA1は初級段階です。試験には、筆記試験（聴解・読解・文書作成）と口頭表現試験があり、4つの能力が評価されます。				
授業目的・到達目標	基礎的な聴解、読解、文書作成能力を身につけ、DELF A1 試験に合格できる。 日常生活や旅行などで必要な簡単な表現を理解し、使うことができる。自己紹介、他人の紹介ができ、住んでいる場所や自分や家族に関しての基本的な情報、買い物に関する質問・応答ができる。フランスと日本のコミュニケーションとの違いを意識するのも目的になっている。。アヴィニョン大学短期研修に参加する人におすすめです。フランス語圏の国を旅行したときに困らないレベルのフランス語を身につけること。 リスニングが多い授業で、分からない単語があっても推測して全部分からなくても会話を続けられること。				
履修条件	30人以内に限定 フランスに興味があってコミュニケーションの好きな学生を対象とした授業である。授業に積極的に参加することは評価される。				
授業方法	スキット、ヒヤリング、発音の練習など。学生のレベル、希望に合わせてプログラムの変更は可能です。授業言語はフランス語と日本語の併用。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業中のテスト：ペーパーテスト（15%）会話（15%）授業への積極的参加度（20%） 期末テスト：口頭（30%）筆記（20%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	プリント使用			
参考書	なし				
オフィスアワー	授業の前後に対応する				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	前期のレッスンの復習
	事後学習	音声を聞いて、発音する
2	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	食べ物
	事後学習	音声を聞いて、発音する
3	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	買い物
	事後学習	音声を聞いて、発音する
4	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	レシピを書く
	事後学習	音声を聞いて、発音する

5	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	朝ご飯
	事後学習	音声を聞いて、発音する
6	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	レストランで注文する
	事後学習	音声を聞いて、発音する
7	事前学習	テスト勉強
	授業内容	DELF A1の模擬試験
	事後学習	未定
8	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	道案内
	事後学習	音声を聞いて、発音する
9	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	道案内
	事後学習	音声を聞いて、発音する
10	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	天気予報
	事後学習	音声を聞いて、発音する
11	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	ヴァカンスの過ごし方
	事後学習	音声を聞いて、発音する
12	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	ヴァカンスの過ごし方
	事後学習	音声を聞いて、発音する
13	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	ハガキを書く
	事後学習	音声を聞いて、発音する
14	事前学習	テスト勉強
	授業内容	到達度の確認 : DELF A1の過去問題 : 筆記試験(聴解・読解・文書作成)と口頭表現試験
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	レクリエーション
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I A	担当者	G. デルメール	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	簡単なフランス語で人とコミュニケーションが取れるような授業です。					
授業目的・到達目標	初心者向けのクラスです。理解と表現（読み・書き・聞く・話す）の調和の取れた練習を通じ、フランス語の基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目指します。また将来の発展的学習のための基礎作りに励みます。自己紹介、好み、日常生活の説明などをフランス語で表現できること。					
履修条件	出席と授業への参加を重視します。 毎週宿題を出します。					
授業方法	教科書に沿って授業を進めます。 ペアーの会話が多いです。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(50%)前期終わりに試験を行います。(50%)授業への参加と宿題です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013	朝日出版社		Entre amis		小松祐子、Gilles Delmaire
	備考					
参考書	久松 健一 携帯く万能＞フランス語文法 出版社：駿河台出版社					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	Initiation
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
2	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 1
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
3	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 1
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
4	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 1/2
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。

5	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 2
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
6	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 2
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
7	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 3
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
8	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 3
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
9	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 3/4
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
10	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 4
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
11	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 4
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
12	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 5
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
13	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 5
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
14	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
15	事前学習	試験のための復習する。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I A	担当者	Ch. パジエス	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は、フランス語で自己表現ができるようになることを目的とした、フランス語会話クラスです。限られた文法知識の中で、日常的な話題について話ができるようになることを目指し、自然なフランス語での会話の仕方やボキャブラリーを学びます。また、DVDを使用して、フランスの文化についても学びます。			
授業目的・到達目標	フランス語で日常的な会話について自己表現ができるようになることを目的としています。			
履修条件	積極的な授業への参加、学生数30人まで			
授業方法	発音、基本会話の習得、会話練習、リスニングという要素で構成された授業を、教科書及びDVDを使用して行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への積極的参:40%／授業内での小テスト:60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	ALMA	Moi, je... コミュニケーション (ISBN 978-4-905343-03-5)	Vannieuwenhuyse
	備考			
参考書	特に無し			
オフィスアワー	授業内に対応する			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	テキストの確認をしておくこと。
2	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 1 あなたは日本人ですか？ ○○○はフランス語で何と言いますか？
	事後学習	復習
3	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 2 あなたはどこに住んでいますか？ どうやってここに来ますか？
	事後学習	復習
4	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 3 あなたの出身はどこですか？ 戸屋を知っていますか？
	事後学習	復習

5	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 4 来るのにどのくらい時間がかかりますか？ 週に何回フランス語を勉強していますか？
	事後学習	復習
6	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 5 アルバイトをしていますか？ (アルバイトは) いいですか？
	事後学習	復習
7	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 6 あなたには兄弟姉妹はいますか？ あなたは何歳ですか？
	事後学習	復習
8	事前学習	テスト準備
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト見直し
9	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 7 自由な時間があるときは何をしますか？ どんな音楽が好きですか？
	事後学習	復習
10	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 8 今週末何をするつもりですか？ 休みのあいだどこかに行くつもりですか？
	事後学習	復習
11	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 9 ふつうバリでは 8 月はどんな天気ですか？ 明日はどんな天気ですか？
	事後学習	復習
12	事前学習	予習
	授業内容	アクティビテ 1 道を尋ねる
	事後学習	復習
13	事前学習	予習
	授業内容	アクティビテ 2 生活している場所を説明する
	事後学習	復習
14	事前学習	予習
	授業内容	アクティビテ 3 天気について話す
	事後学習	復習
15	事前学習	テスト準備
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト見直し

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I A	担当者	プピ ダミアン	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本的なフランス語およびフランスの文化に触れる授業になります。フランスと日本の共通点と相違点、ベーシックな知識を得ることを目指す。 フランス語が初めての学生にこの一年間で必要なボキャブラリーと文法を勉強する。レッスンを題材にして会話を中心にする。				
授業目的・到達目標	文型に自信を持たせるように、そしてもっと自由に話せるように、と表現力を高める。 最低限の表現力を身につけ、簡単な会話ができるようになる。 仏検5級と同じレベルの知識を習得できる。				
履修条件	フランス語が初めてとする人も、基礎の知識を深めたい人にも対応しています。				
授業方法	授業での活動的な参加は求められている（出席だけでは参加になりません） 毎週グループで会話の作成・発表を行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度20%、そして発表60%（表現力、文法、イントネーション、それぞれ20%） 先生との対話20%（1対1で質問のやり取りなど、理解度と表現力の評価）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	白水社		Pascal au Japon （パスカル・オ・ジャポン） ISBN 978-4-560-06083-4	
	備考				
参考書	NHKラジオ講座及びテレビ講座を活用しましょう。				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	早めに教科書の用意をすること。不足していた場合はコピーなどを用意する。
	授業内容	授業のオリエンテーション。フランス語での基本な挨拶など（前半）。
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
2	事前学習	授業開始前、前回の会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	数字とアルファベット、基本な挨拶表現（後半）。
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
3	事前学習	授業開始前、前回の会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	国籍を言う（代名詞と名詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
4	事前学習	授業開始前、前回の会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	名前、職業を言う（名詞、形容詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。

5	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	発音と綴り字記号の読み方
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
6	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	持ち物を尋ねる（名詞と冠詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
7	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	趣味を語る（疑問文）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
8	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	好き嫌いを語る（疑問文）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
9	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	だれか尋ねる（疑問代名詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
10	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	したいことを尋ねる（前置詞、指示形容詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
11	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	住んでいるところを言う（所有形容詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
12	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	何をしているか尋ねる（疑問代名詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
13	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	行きたい場所を尋ねる（助動詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
14	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	自分のことを語る（所有形容詞、否定文）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
15	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	家族を語る（所有形容詞、否定文）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I A (木曜3時限)	担当者	C. ルヌール	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の発音は見た目の綴りと異なることが多く、最初は「難しい」と感じる人が多いものです。でも、実はフランス語の綴りと発音の間には規則があり、それさえ覚えればフランス語は 知らない単語でも、簡単に発音できます。その規則を覚えてみましょう。					
授業目的・到達目標	人を知り合う時にフランス語の簡単な会話ができることを目標とする。フランスと日本のコミュニケーションとの違いを意識するのも目的になっている。質問とそれに対する答えを、自然な流れで言うことができる。					
履修条件	30人以内に限定 コミュニケーションの好きな学生を対象とした授業である。授業に積極的に参加することは評価される。ペアワークが多い授業なので、これは本人だけの問題でなくパートナーになった学生にも影響を与えます。					
授業方法	会話テーマは日常の話題です。学習形態：まず発音練習、会話ドリル（表現を何度も繰り返し練習する）、会話練習、リスニングと最後に練習問題。時間を許す限りフランス文化を紹介します。授業言語はフランス語と日本語の併用。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業中のテスト：ペーパーテスト（15%）会話（15%）授業への積極的参加度（20%） 期末テスト：口頭（30%）筆記（20%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2012	アルマ		Moi, je... コミュニケーション		Bruno Vannieuwenhuyse
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	授業の前後に対応する					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	授業のオリエンテーション
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
2	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 0 発音練習 これはどういう意味ですか。フランス語で〜何と言いますか。
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
3	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 1 自己紹介をする
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
4	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 1 自己紹介をする
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す

5	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 2 今住んでいるところや出身地について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
6	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 2 今住んでいるところや出身地について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
7	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 2 今住んでいるところや出身地について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
8	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 3 交通手段について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
9	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 3 交通手段について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
10	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 3 交通手段について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
11	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 4 アルバイトについて話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
12	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 4 アルバイトについて話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
13	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 4 アルバイトについて話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
14	事前学習	試験勉強
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	まとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I B	担当者	G. デルメール	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	簡単なフランス語で人とコミュニケーションが取れるような授業です。					
授業目的・到達目標	初心者向けのクラスです。理解と表現（読み・書き・聞く・話す）の調和の取れた練習を通じ、フランス語の基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目指します。また将来の発展的学習のための基礎作りに励みます。自己紹介、好み、日常生活の説明などをフランス語で表現できること。					
履修条件	出席と授業への参加を重視します。 毎週宿題を出します。					
授業方法	教科書に沿って授業を進めます。 ペアの会話が多いです。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(50%)後期の終わりに試験を行います。(50%)授業への参加と宿題です。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013	朝日出版社		Entre amis		小松祐子、Gilles Delmaire
	備考					
参考書	久松 健一 携帯く万能＞フランス語文法 出版社：駿河台出版社					
オフィスアワー	授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	前学期の復習
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
2	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 6
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
3	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 6
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
4	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 6/7
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。

5	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 7
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
6	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 7
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
7	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 8
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
8	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 8
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
9	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 8/9
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
10	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 9
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
11	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 9
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
12	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 10
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
13	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 10
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
14	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
15	事前学習	試験のための復習する。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I B	担当者	Ch. パジエス	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は、フランス語で自己表現ができるようになることを目的とした、フランス語会話クラスです。限られた文法知識の中で、日常的な話題について話ができるようになることを目指し、自然なフランス語での会話の仕方やボキャブラリーを学びます。また、DVDを使用して、フランスの文化についても学びます。			
授業目的・到達目標	フランス語で日常的な会話について自己表現ができるようになることを目的としています。			
履修条件	積極的な授業への参加、学生数30人まで			
授業方法	発音、基本会話の習得、会話練習、リスニングという要素で構成された授業を、教科書及びDVDを使用して行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への積極的参:40%／授業内での小テスト:60%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	ALMA	Moi, je... コミュニケーション (ISBN 978-4-905343-03-5)	Vannieuwenhuyse
	備考			
参考書	特に無し			
オフィスアワー	授業内に対応する			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	テキストの確認をしておくこと。
2	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 1 あなたは休みのあいだ何をしましたか？ それはどうでしたか？
	事後学習	復習
3	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 2 外国に行ったことがありますか？ エスカルゴを食べたことがありますか？
	事後学習	復習
4	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 3 フランスに行ったら、何をするのがおすすめですか？いつの季節に行くのがいいですか？
	事後学習	復習

5	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 4 あなたは最近よい映画を見ましたか？ あなたの一番好きな俳優は誰ですか？
	事後学習	復習
6	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 5 ふつう朝御飯は何を食べますか？ あなたの家で料理をするのは誰ですか？
	事後学習	復習
7	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 6 普段何時に起きますか？ 今朝は何時に起きましたか？
	事後学習	復習
8	事前学習	テスト準備
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト見直し
9	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 7 あなたは高校生の時どんなスポーツをしていましたか？まだやっていますか？
	事後学習	復習
10	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 8 時間がたくさんあったら、どんなことをしてみたいですか？
	事後学習	復習
11	事前学習	予習
	授業内容	レッスン 9 将来何をしたいですか？ 5年後はどこに住んでいると思いますか？
	事後学習	復習
12	事前学習	予習
	授業内容	アクティビテ 1 その日・その週のスケジュール
	事後学習	復習
13	事前学習	予習
	授業内容	アクティビテ 2 レストランで何かを注文する
	事後学習	復習
14	事前学習	予習
	授業内容	アクティビテ 3 観光ガイドブックを読む（気候、観光情報、特産品）
	事後学習	復習
15	事前学習	テスト準備
	授業内容	確認テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	テスト見直し

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I B	担当者	プピ ダミアン	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本的なフランス語およびフランスの文化に触れる授業になります。フランスと日本の共通点と相違点、ベーシックな知識を得ることを目指す。 フランス語が初めての学生にこの一年間で必要なボキャブラリーと文法を勉強する。レッスンを題材にして会話を中心にする。					
授業目的・到達目標	文型に自信を持たせるように、そしてもっと自由に話せるように、と表現力を高める。 最低限の表現力を身につけ、簡単な会話ができるようになる。 仏検5級と同じレベルの知識を習得できる。					
履修条件	フランス語が初めてとする人も、基礎の知識を深めたい人にも対応しています。					
授業方法	授業での活動的な参加は求められている（出席だけでは参加になりません） 毎週グループで会話の作成・発表を行います。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度20%、そして発表60%（表現力、文法、イントネーション、それぞれ20%） 先生との対話20%（1対1で質問のやり取りなど、理解度と表現力の評価）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	白水社		Pascal au Japon （パスカル・オ・ジャポン） ISBN 978-4-560-06083-4		
	備考					
参考書	NHKラジオ講座及びテレビ講座を活用しましょう。					
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	一学期全体の範囲で今まで習得した会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	後期の授業のオリオンテーション。簡単な復習。
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
2	事前学習	授業開始前、前回の会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	家族について語る 2（指示形容詞、動詞の活用）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
3	事前学習	授業開始前、前回の会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	年齢を言う（数字、疑問副詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
4	事前学習	授業開始前、前回の会話文を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	時刻を言う（表現、数え方、前置詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。

5	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	人を紹介する1（補語人称代名詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
6	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	人を紹介する2（補語人称代名詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
7	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	日常生活の表現1（代名動詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
8	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	日常生活の表現2（近接未来）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
9	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	量を表す（部分冠詞、中世代名詞）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
10	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	天候を言う（中世代名詞2、命令形）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
11	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	比較する（比較級、最上級）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
12	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	過去のことを語る1（複合過去形）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
13	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	過去のことを語る2（複合過去形）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
14	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	未来のことを語る1（単純未来形）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。
15	事前学習	授業開始前、前回の会話を再チェックし、発音練習を行うこと。授業開始は発表からになります。
	授業内容	未来のことを語る2（単純未来形）
	事後学習	授業で習得した表現を付属CDで再確認して発音の練習を行うこと。なお、付属問題集を指定された範囲で解答する。

科目名	スピーキング・リスニング(仏) I B(木曜3時限)	担当者	C. ルヌール	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------------------	-----	---------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランス語の発音は見た目の綴りと異なることが多く、最初は「難しい」と感じる人が多いものです。でも、実はフランス語の綴りと発音の間には規則があり、それさえ覚えればフランス語は 知らない単語でも、簡単に発音できます。その規則を覚えてみましょう。					
授業目的・到達目標	人を知り合う時にフランス語の簡単な会話ができることを目標とする。フランスと日本のコミュニケーションとの違いを意識するのも目的になっている。質問とそれに対する答えを、自然な流れで言うことができる。					
履修条件	30人以内に限定 コミュニケーションの好きな学生を対象とした授業である。授業に積極的に参加することは評価される。ペアワークが多い授業なので、これは本人だけの問題でなくパートナーになった学生にも影響を与えます。					
授業方法	会話テーマは日常の話題です。学習形態：まず発音練習、会話ドリル（表現を何度も繰り返し練習する）、会話練習、リスニングと最後に練習問題。時間を許す限りフランス文化を紹介します。授業言語はフランス語と日本語の併用。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業中のテスト：ペーパーテスト（15%）会話（15%）授業への積極的参加度（20%） 期末テスト：口頭（30%）筆記（20%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2012	アルマ		Moi, je... コミュニケーション		Bruno Vannieuwenhuyse
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	授業の前後に対応する					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ウェブサイトで前期の単語を聞いて、繰り返す
	授業内容	前期のレッスンの練習問題
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
2	事前学習	レッスンの予習
	授業内容	Leçon 5 ペット・持ち物・家族について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
3	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 5 ペット・持ち物・家族について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
4	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 5 ペット・持ち物・家族について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す

5	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 6 科目・先生について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
6	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 6 科目・先生について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
7	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 6 科目・先生について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
8	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 7 食べ物について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
9	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 7 食べ物について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
10	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Leçon 7 食べ物について話す
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
11	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Activité 2 レストランで注文する
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
12	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Activité 2 レストランで注文する
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
13	事前学習	レッスンの単語を調べる
	授業内容	Activité 2 レストランで注文する
	事後学習	ウェブサイトで単語を聞いて、繰り返す
14	事前学習	試験勉強
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ、振り返り
15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	まとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(仏)ⅡA	担当者	G. デルメール	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	簡単なフランス語で人とコミュニケーションが取れるような授業です。			
授業目的・到達目標	フランス語の初歩的知識のある学習者を対象としたコースです。読む・書く・聞く・話すの四技能にわたる調和の取れたフランス語の学習を目指しています。			
履修条件	出席と授業への参加を重視します。			
授業方法	ゆっくりした進度の教科書を用い、これに沿って授業を進めます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	(60%) 前期の終わりに学期に身に着けたフランス語を使ってテストがあります。 (40%) 授業への参加と宿題は総合評価の40%となります。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014	Hachette	Totem 1 (livre de l'élève)	Marie-José Lopes
	備考			
参 考 書	久松 健一 携帯く万能＞フランス語文法 出版社： 駿河台出版社			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の終わりに学期に身に着けたフランス語を使ってテストがあります。
	授業内容	授業方法の説明
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
2	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 9 : Et pour vous ? レストランで注文する
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
3	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 9 : Et pour vous ? レストランで注文する (続き)
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
4	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 10 : À Paris パリの観光
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。

5	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 10 : À Paris 天気の説明
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
6	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 11 Métro Odéon 約束をとる
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
7	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 11 Métro Odéon 時間
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
8	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 13 : Ça vous plait ? 服を描写する
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
9	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 13 : Ça vous plait ? ファッション
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
10	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 14 : Qu'est-ce qu'on mange ? 容量を言う
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
11	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 14 : Qu'est-ce qu'on mange ? レシビ
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
12	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 15 : Au marché 買い物
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
13	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 15 : Au marché 買い物（続き）
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
14	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
15	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。

科目名	スピーキング・リスニング(仏)ⅡB	担当者	G. デルメール	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	----------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	簡単なフランス語で人とコミュニケーションが取れるような授業です。			
授業目的・到達目標	フランス語の初歩的知識のある学習者を対象としたコースです。読む・書く・聞く・話すの四技能にわたる調和の取れたフランス語の学習を目指しています。			
履修条件	出席と授業への参加を重視します。			
授業方法	ゆっくりした進度の教科書を用い、これに沿って授業を進めます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	(60%) 後期の終わりに学期に身に着けたフランス語を使ってテストがあります。 (40%) 授業への参加と宿題は総合評価の40%となります。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014	Hachette	Totem 1 (livre de l'élève)	Marie-José Lopes
	備考			
参 考 書	久松 健一 携帯く万能＞フランス語文法 出版社：駿河台出版社			
オフィスアワー	授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	前学期の復習
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
2	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 17 : Et une comédie ? 自分の好みを表現する
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
3	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 17 : Et une comédie ? 未来の話をする
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
4	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 18 : Personnalités 人を描写する (見かけ/正確)
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。

5	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 18 : Personnalités 人を描写する（見かけ/正確）（続き）
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
6	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 19 : Le livre du jour 過去の話をする
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
7	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 19 : Le livre du jour 過去の話をする（続き）
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
8	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 21 : Le lycée, c'est fini ! 専攻を説明する
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
9	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 21 : Le lycée, c'est fini ! 驚きを表現する
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
10	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 22 : les vacances 思い出を語る
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
11	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 22 : les vacances 頻度を表現する
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
12	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	Leçon 23 : Erasmus 相談する
	事後学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
13	事前学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
	授業内容	Leçon 23 : Erasmus 必要さを表現する
	事後学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
14	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。
15	事前学習	前回学んだ事項の練習問題を可能なかぎりやっておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	新しく学んだ文法事項と語彙を整理して頭に入れる。

科目名	中国語基礎表現A	担当者	小林 光考	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語を初めて学ぶ学生を対象に、中国語とはどういった言語なのか？ということをもまず発音習得から開始し、後に文法、語彙の面においても合わせて習得する。中国語のコミュニケーションに必要な、書く、聞く、話すの3分野の初級基礎能力を表現(発音)を中心に身に付ける。			
授業目的・到達目標	発音の習得を到達の最大目標とする。具体的には、ピンインを正しくしつかり読める、聞き取れる能力の養成を目指す。また、習得した発音力を基にして、文法、語彙、解釈の各種能力を習得する。11月に行われる中国語検定試験準4級の合格を目指す。			
履修条件	単位取得だけの為ではなく中国語を進んで学習し、習得したいという意欲を持っている事。授業に関する決まり(欠席や遅刻、私語、居眠り、授業以外の事をしないなど)を守る事。初回の授業には開始時より必ず出席している事。			
授業方法	先に文法の説明を行いその後、学生を指名して本文訳、練習問題等を解いて教科書を進めて行く。また同時に中国語学習に有用な時事面、文化面などの知識も合わせて教授していく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	学期末試験(リスニングを含む)60%。本文音読テスト及びピンイン書き取り小テスト20%。平常点(授業態度、宿題の履行など授業への参加度)20%。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	白水社	はじめまして！中国語	喜多山幸子・鄭幸枝
	備考			
参考書	【参考書】『やさしくくわしい中国語文法の基礎』守屋宏則著、東方書店刊、『完全マスター中国語文法改訂版』瀬戸口律子著、語研刊【辞典】状況によって中日辞典を使用する場合がある。具体的なものについては授業中に紹介する。			
オフィスアワー	授業開始前(教員控室)又は授業終了後(教室)で直接訪ねること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中国語とはどのようなものなのかを調べておく
	授業内容	①ガイダンス(授業概要説明) ②中国語について(発音・文字・方言など)
	事後学習	授業の進め方の確認、発音、文字(簡体字)の理解確認
2	事前学習	発音、文字(簡体字)について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得(声調・単母音)
	事後学習	声調、単母音の習得確認
3	事前学習	声調、単母音について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得(①子音、有気音・無気音)
	事後学習	①子音、有気音・無気音の習得確認
4	事前学習	①子音、有気音・無気音について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得(②子音、有気音・無気音・複合母音)
	事後学習	②子音、有気音・無気音・複合母音の習得確認

5	事前学習	②子音、有気音・無気音・複合母音について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得（鼻母音・声調の変化・er化・軽声等）
	事後学習	鼻母音・声調の変化・er化・軽声等の習得確認
6	事前学習	鼻母音・声調の変化・er化・軽声等について、教科書で再度確認、ピンイン書き取りテスト準備、第1課予習
	授業内容	第1課① 校門で （ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第1課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
7	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第1課文法事項等について、教科書で再度確認、第1、2課予習
	授業内容	第1課② 校門で （ピンイン書き取り小テスト） 第2課① 廊下で
	事後学習	第1課全事項の習得確認、第2課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
8	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第2課文法事項等について、教科書で再度確認、第2課予習
	授業内容	第2課② 廊下で （ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第2課全事項の習得確認
9	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第3課予習
	授業内容	第3課① キャンパスで （ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第3課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
10	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第3課文法事項等について、教科書で再度確認、第3、4課予習
	授業内容	第3課② キャンパスで （ピンイン書き取り小テスト） 第4課① 携帯を見ながら
	事後学習	第3課全事項の習得確認、第4課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
11	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第4課文法事項等について、教科書で再度確認、第4課予習
	授業内容	第4課② 携帯を見ながら （ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第4課全事項の習得確認
12	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第5課予習
	授業内容	第5課① 学生食堂で （ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	ピンイン書き取りテスト、第5課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
13	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第5課予習
	授業内容	第5課② 学生食堂で （ピンイン書き取り小テスト） 前期授業総復習
	事後学習	第5課全事項の習得確認、前期授業における習得の総確認
14	事前学習	教科書本文音読テスト準備
	授業内容	教科書本文音読テスト
	事後学習	教科書本文音読テストの問題点改善
15	事前学習	前期試験準備
	授業内容	前期試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	前期試験の問題点改善、夏休み課題

科目名	中国語基礎表現A	担当者	篠田 幸夫	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代中国語の発音と文法の基礎を学ぶ。			
授業目的・到達目標	はじめに中国語の正確な発音を習得し、基本構文に慣れる。さらに聞く・話す・読む・書くの四技能の中で特に聞く・話す能力の向上を目指す。四声を聞き分けまた言い分けられる。第三声の声調変化や「a」「i」「u」の複数ある発音について説明できる。また形容詞・動詞述語文の基本語順や、連体・連用修飾語の位置を説明できる。各課の本文を暗誦できる。			
履修条件	休まず授業に参加できる。授業以外に1回10分以上1週間に2回以上の復習を習慣化できる。授業に積極的に参加し失敗を恐れずに発音練習できる。小テストの準備ができる。私語を我慢できる。			
授業方法	学生が主体となって練習する機会を非常に多く取る。概ね以下の順に進める。重要事項の説明・C Dを使って発音練習・和訳練習・中訳練習・シャドーイング・暗唱対話練習・小テスト。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	期末試験50%、小テスト50%。私語・居眠り・練習しない・独自の判断で練習を終えてしまう場合は減点する。出席点はない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	朝日出版社	『楽しい中国語第一歩』	山下輝彦
	備考			
参考書	『はじめての中国語』相原茂著：講談社現代新書			
オフィスアワー	「shinoda.hanyu2018@gmail.com」で対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト8ページを一読しておく。
	授業内容	中国語について 発音（1）四声・単母音
	事後学習	CDを使い四声・単母音の発音練習をする。
2	事前学習	テキスト9・10ページを一読しておく。
	授業内容	発音（2）子音
	事後学習	CDを使い四声・単母音・子音の発音練習をする。
3	事前学習	テキスト8・9ページを一読しておく。
	授業内容	発音（3）複合母音・鼻母音
	事後学習	CDを使い子音・複合母音・鼻母音の発音練習をする。
4	事前学習	CDを聞き第1課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第1課前半 人称代名詞、〈姓〜〉苗字の言い方、〈叫〜〉名前の言い方
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。

5	事前学習	C Dを聞き第1課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第1課前半小テスト 第1課後半 「是」の文、〈嗎〉疑問文、〈～也〉副詞
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
6	事前学習	C Dを聞き第2課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第1課後半小テスト 第2課前半 指示代名詞、疑問詞疑問文、「的」の用法
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
7	事前学習	C Dを聞き第2課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第2課前半小テスト 第2課後半 動詞述語文、形容詞述語文、〈都〉副詞
	事後学習	動詞述語文と形容詞述語文の基本語順を説明できるようにする。副詞の位置を説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
8	事前学習	C Dを聞き第3課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第2課後半小テスト 第3課前半 〈在〉と〈有〉、場所代名詞、〈吧〉語気助詞
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
9	事前学習	C Dを聞き第3課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第2課前半・第3課前半小テスト 第3課後半 〈～上〉方位詞、量詞
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
10	事前学習	C Dを聞き第4課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第2課後半・第3課後半小テスト 第4課前半 年月日の言い方、曜日の言い方
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
11	事前学習	C Dを聞き第4課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第3課前半・第4課前半小テスト 第4課後半 時刻、〈从～〉〈到～〉前置詞、〈～和～〉接続詞
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
12	事前学習	C Dを聞き第5課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第3課後半・第4課後半小テスト 第5課前半 完了の「了」、〈還〉副詞
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
13	事前学習	C Dを聞き第5課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第4課前半・第5課前半小テスト 第5課後半 〈過〉経験、数量補語、〈好嗎〉相手の気持ちを確認する表現
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
14	事前学習	第5課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。
	授業内容	総復習
	事後学習	第5課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。第5課までの文法事項を説明できるようにする。
15	事前学習	第5課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。動詞述語文・形容詞述語文の基本語順を説明できるようにする。修飾語と被修飾語との前後関係を説明できるようにする。
	授業内容	前期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	随時C Dを聞き復習する。

科目名	中国語基礎表現A	担当者	白石 裕一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級中国語。			
授業目的・到達目標	中国語の基礎的な力を身に着ける。特に表現力をつけるために発音と作文を重点的に学ぶ。中国語の基本的な力を身に着ける。前期は声調（四声）の習得を最低条件とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書に沿って進めていく。毎回単語テストを行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	授業内試験50% 授業内評価50%：単語テストなど30%、授業参加度20%。遅刻・早退は3回をもって1回の欠席とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	白帝社	基礎から学ぶ実践中国語	王学群・高麗貞
	備考			
参 考 書	『中日辞典 第3版』 講談社			
オフィス アワー	授業後に質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと
	授業内容	発音練習（1）
	事後学習	発音の復習をすること。
2	事前学習	苦手な発音を確認しておくこと。
	授業内容	発音練習（2）
	事後学習	発音の復習をすること。
3	事前学習	苦手な発音を確認しておくこと。
	授業内容	発音練習（3）
	事後学習	発音の復習をすること。
4	事前学習	苦手な発音を確認しておくこと。
	授業内容	第1課：本文の翻訳、①人称代詞、②動詞述語文。発音練習（4）
	事後学習	発音の復習をすること。

5	事前学習	苦手な発音を確認しておくこと。
	授業内容	第1課：③疑問を表す“ma”、④否定を表す“不”、練習問題。発音練習（5）
	事後学習	発音の復習をすること。
6	事前学習	苦手な発音を確認しておくこと。
	授業内容	発音の確認
	事後学習	発音の復習をすること
7	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第2課：本文の翻訳、①指示代詞（1）、②判断を表す“是”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
8	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第2課：③連体修飾の“的”、④疑問詞疑問文、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
9	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第3課：本文の翻訳、①数詞・曜日・年月日、②時刻
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
10	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第3課：③名詞述語文、④省略疑問文の“ne”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
11	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第4課：本文の翻訳、①指示代詞（2）、②存在文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
12	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第4課：③形容詞述語文、④前置詞の“離”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
13	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第5課：本文の翻訳、①所有を表す“有”、②反復疑問文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
14	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第5課：③ “的”の省略、家族の言い方、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
15	事前学習	これまで学習してきた内容をすべて復習しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	きちんと理解していないところは再度復習しておくこと。

科目名	中国語基礎表現A	担当者	高橋 弥守彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の基礎発音を掌握して基礎的表現を習得できる様に授業を進める。			
授業目的・到達目標	読む、書く、聞く、話すことができるための中国語の基礎を学ぶ。特に聞くことと話すことに重点を置き、短期留学や中国旅行をすることがあっても対応できるように授業を進める。また、中国語検定試験準4級合格を目指して勉強し、レポートにより広く中国社会も学ぶ。基礎発音のマスターと教科書を正しく発音できるようになることを目指す。単語と文型をマスターすることにより、中国へ旅行や短期研修に行っても基本的な会話ができるように指導する。中国語検定試験準4級合格を目指す。			
履修条件	特になし			
授業方法	テキストによって授業を進める。1回または2回の授業で1課進むことを原則とするので、予習復習が必要である。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	発音試験と筆記試験を行う。これにより、発音と文脈理解の向上を目指す。また、中国社会を広く理解できるよう、夏期休暇中にテーマを出すので、レポートの提出。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008年初版	郁文堂	スタンダード実用中国語	高橋弥守彦、関華、三上強
	備考			
参考書	『実用詳解中国語文法』高橋 弥守彦著：郁文堂			
オフィスアワー	授業時間前後に於いて中国語学習方法等の事に関して質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	初回授業にしっかりと付いてゆける様に第1課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 課 「発音1」 中国語各種母音、声調(アクセント)に関して学習する。
	事後学習	中国語各種母音、声調(アクセント)に関して自身で発音して復習すること。
2	事前学習	各種母音や声調に関して理解を固めた上で、第2課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 2 課 「発音2」 中国語各種子音に関して学習する。
	事後学習	中国語各種子音に関して自身で発音して復習すること。
3	事前学習	各種母音、各種子音、声調に関して理解を固めた上で、第3課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 3 課 「発音3」 基礎発音(各種母音、各種子音、声調)に関して総復習を行い、更に時間名詞、曜日の言い方、教室用語に関しても学習する。
	事後学習	基礎発音(各種母音、各種子音、声調)や時間名詞、曜日の言い方、教室用語に関して自身で発音して復習すること。
4	事前学習	基礎発音(各種母音、各種子音、声調)を打ち固めた上で、第4課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 4 課 「はじめまして」「S＋V＋O」文型、並列の「和」に関して学習する。
	事後学習	「S＋V＋O」文型、並列の「和」に関して読んで書いて復習すること。

5	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第4課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 4 課 「はじめまして」 副詞「也」「都」に関して学習する。
	事後学習	副詞「也」「都」に関して読んで書いて復習すること。
6	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第5課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 5 課 「新入生歓迎会」 動詞述語文に関して学習する。
	事後学習	動詞述語文に関して読んで書いて復習すること。
7	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第6課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 6 課 「会話練習」 状況語(連用修飾語)、年齢の尋ね方に関して学習する。
	事後学習	状況語(連用修飾語)、年齢の尋ね方に関して読んで書いて復習すること。
8	事前学習	基礎発音(各種母音、各種子音、声調)に関して再度総復習を行って発音テストに臨むこと。
	授業内容	前期発音テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して基礎発音(各種母音、各種子音、声調)に関して弱点が無いか自身で確認すること。
9	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第7課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 7 課 「買物」 名詞述語文、時間表現に関して学習する。
	事後学習	名詞述語文、時間表現に関して読んで書いて復習すること。
10	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第8課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 8 課 「日本の四季」 形容詞述語文に関して学習する。
	事後学習	形容詞述語文に関して読んで書いて復習すること。
11	事前学習	第8課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 8 課 「日本の四季」 部分否定と全否定に関して学習する。
	事後学習	部分否定と全否定に関して読んで書いて復習すること。
12	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第9課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 9 課 「わが家」 動詞・介詞(前置詞)・副詞の「在」に関して学習する。
	事後学習	動詞・介詞(前置詞)・副詞の「在」に関して読んで書いて復習すること。
13	事前学習	第9課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 9 課 「わが家」 所有を表す「有」、連述文、否定を表す「不」「没」に関して学習する。
	事後学習	所有を表す「有」、連述文、否定を表す「不」「没」に関して読んで書いて復習すること。
14	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で第10課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 「先生の研究室」 存現文、量詞(助数詞)に関して学習する。
	事後学習	存現文、量詞(助数詞)に関して読んで書いて復習すること。
15	事前学習	これまでに学習した内容を総復習した上でテストに臨むこと。
	授業内容	前期テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して何処かに弱点が無いか自身で確認し、次に繋げられる様に努めること。

科目名	中国語基礎表現A	担当者	長田 徳子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は中国語の発音から勉強し、語彙・表現など学生生活に密着したものを絞り、活用度の高い内容や中国の諸事情を短いセンテンスで紹介する。会話だけではなく「別冊問題集」も付いてるので、練習としても役に立つ。			
授業目的・到達目標	中国語の日常会話や基礎文法の習得を目的とする。 簡単な会話や簡単な文章の読み書きと翻訳ができるようになる。			
履修条件	なし			
授業方法	朗読、翻訳、会話、書きとりという方式で授業を進めていく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	授業参加度（受講態度を含む）10%、平常点（宿題と授業中の小テスト）40%、前期末の授業内テスト50%。また、中国語検定試験の合格も成績の評価に加味する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年	白水社	（最新2訂版）中国語はじめの一步	竹島全吾 伊景春 竹島毅
	備考			
参 考 書	日中辞書、中日辞書			
オフィスアワー	授業の前・後、当該教室にて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入し、目を通してください。
	授業内容	1、オリエンテーション 2、中国の概況 3、中国語の発音：短母音、声調
	事後学習	短母音、声調の復習
2	事前学習	子音、複合母音の予習
	授業内容	発音：子音、複合母音
	事後学習	子音、複合母音の復習
3	事前学習	鼻母音の予習
	授業内容	発音：鼻母音、発音のトレーニング
	事後学習	発音の総復習
4	事前学習	第1課の予習
	授業内容	第1課 あなたは中国人ですか。 本文訳、ポイント 1. 人称代名詞 2. “是” の文
	事後学習	文法の復習

5	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第1課 あなたは中国人ですか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
6	事前学習	第2課の予習
	授業内容	第2課 これはなんですか。 本文訳、ポイント 1. 指示代名詞 (1) 2. 疑問詞疑問文 3. “的” の用法 4. 副詞
	事後学習	文法の復習
7	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第2課 これはなんですか。 本文、トレーニング、
	事後学習	本文の暗記
8	事前学習	第3課の予習
	授業内容	第3課 あなたはどこに行きますか。 本文訳、ポイント 1. 動詞の文 2. 「所有」を表わす“有” 3. 省略疑問の“呢”
	事後学習	文法の復習
9	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第3課 あなたはどこに行きますか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
10	事前学習	第4課の予習
	授業内容	第4課 このバックはいくらですか。 本文訳、ポイント 1. 量詞 2. 指示代名詞 (2) 3. 形容詞の文 4. “几” と“多少”
	事後学習	文法の復習
11	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第4課 このバックはいくらですか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
12	事前学習	第5課の予習
	授業内容	第5課 あなたは夜用事がありますか。 本文訳、ポイント 1. 数字 2. 日付・時刻を表す語 3. 「動作の時点」を言う表現
	事後学習	文法の復習
13	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第5課 あなたは夜用事がありますか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
14	事前学習	第1課～5課の復習
	授業内容	前期のまとめ（前期末授業内テスト）
	事後学習	問題点の復習
15	事前学習	前期の総復習
	授業内容	総括
	事後学習	問題点の復習

科目名	中国語基礎表現A	担当者	福木 滋久	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語を初めて学習する学生、あるいはゼロから中国語を復習したいと考えている学生向けの入門講座。ビデオストーリーを見ながら、中国語の基本表現を学ぶ。同じ担当者の中国語基礎文法A(一部金2・二部土2)と内容は異なるが同一テキストを用いる。同教員の担当講座の並行履修者には試験等の負担に配慮した特典を設ける。受講する者は、以下「履修条件」3項を満たしている必要があるので、よく考えてエントリーすること。				
授業目的・到達目標	本授業は、中国語初心者が、発音の基礎と基本的な語彙・挨拶語・慣用表現等を習得し、簡単な文章を聞き取れ、話せるようになることを目指す。具体的には、ゼロからスタートして、11月の中国語検定試験において準4級を取得できるレベルを目標とする。同担当者の中国語基礎文法A(一部金2・二部土2)、あるいは中国語資格試験対策1A(火2)との並行履修を推奨する。これは、基礎的な語学力の涵養のみならず、一目標として検定合格を念頭におくため、週複数回に渡り、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待する故である。同様の理由により、後期同一担当者による中国語基礎表現B(木1)の継続受講を原則とする。				
履修条件	条件1：中国語初心者で、全日程休むことなく、指示された学習内容について努力できる者。 条件2：中国語検定過去問WEB※に加入し、11月の中検準4級を受験できる者。 条件3：このシラバスの内容を了解している者。				
授業方法	授業形式で行う。4～5月中旬は発音を重点的に学び、それ以降はおおむね1日1課のペースで進む。毎時間小テストを実施し、客観的な到達レベルを判断する意味で、筆記試験の代わりに11月の検定試験を受験してもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	①前期筆記試験、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細（ルーブリック表）を発表。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	—	朝日出版社		理香と王麗 話す中国語1 DVD付	董燕・遠藤光暁
	備考				
参考書	※受講者は、履修決定後に自宅学習用として「中国語検定過去問WEB」へ加入すること。（中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。）加入は教務課にて。詳細は授業時に伝える。				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前抽選の結果を受けて受講を決めたら、シラバスを再度よく読んでおく
	授業内容	○受講アンケート ○導入 ○発音①四声 ○挨拶語慣用表現① プリントを使用
	事後学習	配付プリントなどをもちいて四声・挨拶語慣用表現①の復習をする
2	事前学習	小テスト(前①)課題などをもちいて四声の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音②単母音・有気/無気音 プリント使用 ○挨拶語慣用表現② ●小テスト(前①)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて単母音・有気/無気音・挨拶語慣用表現②の復習をする
3	事前学習	小テスト(前②)課題などをもちいて単母音・有気/無気音の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音③-n/-ng・-ian・er テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現③ ●小テスト(前②)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて-n/-ng・-ian・er・挨拶語慣用表現③の復習をする
4	事前学習	小テスト(前③)課題などをもちいて-n/-ng・-ian・erの発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音④-iou/-uei/-uen・舌歯音 テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現④ ●小テスト(前③)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて-iou/-uei/-uen・舌歯音・挨拶語慣用表現④の復習をする

5	事前学習	小テスト(前④)課題などを持ちいて-iou等の綴り、舌歯音の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑤y-/w・-u テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現⑤ ●小テスト(前④)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいてy-/w・-uを用いた綴り・挨拶語慣用表現⑤の復習をする
6	事前学習	小テスト(前⑤)課題などを持ちいてy-/w・-uを用いた綴り方を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑥ソリ舌音・児化 テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現⑥ ●小テスト(前⑤)
	事後学習	配付プリントを持ちいてソリ舌音・児化・挨拶語慣用表現⑥の復習をする
7	事前学習	小テスト(前⑥)課題などを持ちいてソリ舌音・児化の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第5・6課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑥)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて疑問詞疑問文・反復疑問文等の復習をする
8	事前学習	小テスト(前⑦)課題などを持ちいて疑問詞疑問文・反復疑問文の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第7・8課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑦)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて選択疑問文等の復習をする
9	事前学習	小テスト(前⑧)課題などを持ちいて選択疑問文の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第9課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑧)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて文末付加型疑問文等の復習をする
10	事前学習	小テスト(前⑨)課題などを持ちいて文末付加型疑問文の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第11課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑨)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて所有表現等の復習をする
11	事前学習	小テスト(前⑩)課題などを持ちいて所有表現の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第12課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑩)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて順と量の概念等の復習をする
12	事前学習	小テスト(前⑪)課題などを持ちいて順と量の概念等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第10課(余裕があれば講読文を学ぶ) テキスト・プリント ●小テスト(前⑪)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて第10課講読文の復習をする
13	事前学習	前期を振り返り疑問点を整理して授業にのぞむ
	授業内容	○前期総復習 テキスト・プリント ●小テスト(前⑫)
	事後学習	前期口頭試験課題文の発音練習をする
14	事前学習	前期口頭試験課題文における疑問点を整理しておく
	授業内容	◎前期筆記試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	前期筆記試験を振り返り復習すべき部分を復習する
15	事前学習	前期口頭試験課題文の暗唱にとりくむ
	授業内容	◎前期口頭試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	前期口頭試験課題文を中心に復習する

科目名	中国語基礎表現A	担当者	吉田 雅子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級中国語の文章を読んで理解し、聞いてわかる。さらに、簡単な中国語作文が書けるようになるために、テキストを使って学ぶ。				
授業目的・到達目標	中国語の発音表記であるピンインが読めること、中国語のしくみを理解し、初級会話が出来ること、さらに日本語から中国語に直すことができる。以上を主な授業目的とする。中検準4級合格、4級文法項目学習終了。				
履修条件	特に無いが、初習者対象。				
授業方法	基本的には、テキストに沿って行う。会話練習には、適宜単語を提示し練習に加える。音読に中心をおいて、授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	小テストほか20%、読みテスト20%、期末筆記テスト60%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018	金星堂	中国語初級マスター 2 2 ISBN 978 - 4 - 7647 - 0708 - 5 C1087 ￥2500		阿部慎太郎ほか
	備考				
参 考 書	『中日辞典』小学館				
オフィスアワー	月曜日の2時目終了後、教室で、質問・相談を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の発音編を見ておく
	授業内容	年間授業予定、授業方法、評価について 中国語とは。 単母音、声調、複母音
	事後学習	単母音6個を復習し、ローマ字の区別をする
2	事前学習	教科書の発音編を見ておく
	授業内容	子音、鼻母音
	事後学習	子音21個の区別をする
3	事前学習	声調の区別を確認する
	授業内容	声調の組み合わせ
	事後学習	自分で組み合わせの音調を確認し、練習する
4	事前学習	テキストのポイントを見ておく
	授業内容	第1課「自己紹介」名詞述語文、副詞「也」
	事後学習	「～も」の使い方と、「～の」の使い方を復習する

5	事前学習	動詞を使った文を見ておく
	授業内容	第2課「行く先を聞く」 動詞述語文、疑問詞疑問文
	事後学習	疑問詞疑問文の形を復習する
6	事前学習	形容詞述語文の形を見ておく
	授業内容	第3課「雑談」 形容詞述語文、反復疑問文
	事後学習	反復疑問文と省略疑問文の区別をする
7	事前学習	所有をあらわす文の形を見ておく
	授業内容	第4課「家族構成」 所有表現、副詞の「都」
	事後学習	副詞「都」の位置に注意する
8	事前学習	CDを聞いておく
	授業内容	復習1から4課
	事後学習	1から4の会話文を読めるようにする
9	事前学習	時間詞を確認する
	授業内容	第5課「スケジュール」 連動文、時間詞
	事後学習	乗り物を使った連動文の復習をする
10	事前学習	時刻の表現を見ておく
	授業内容	第6課「待ち合わせ」 所在の在、時刻
	事後学習	所在をあらわす文の形を復習する
11	事前学習	CDを聞いておく
	授業内容	復習 5, 6 課
	事後学習	5, 6 課の会話文を読めるようにする
12	事前学習	助数詞を見ておく
	授業内容	第7課「機内食」 前置詞、選択疑問文、量詞
	事後学習	前置詞の給について復習する
13	事前学習	完了をあらわす文の組み立てを見ておく
	授業内容	第8課「連絡を取る」 完了の「了」、前置詞の「在」
	事後学習	完了の文章の否定詞を確認する
14	事前学習	CDを聞いておく
	授業内容	復習 7, 8 課
	事後学習	会話文を読めるようにする
15	事前学習	春学期の復習をする
	授業内容	前期期末テスト（テキスト第1課から第8課まで） 内容確認とまとめ
	事後学習	聞き取りの問題の内容をノートに書いておく

科目名	中国語基礎表現A	担当者	何 秋平	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語漢字の発音、文章の簡単な読み書き、リスニング、及び会話を習得します。				
授業目的・到達目標	中国語の発音、基本の会話力を修得する。会話中心の授業ですので、練習を多くし、場面の設定をきちんと説明して正しく使えるように努力する。一年を通じ、覚えてほしい基本的な単語、表現を段どりを踏んで進めていく。中国語検定試験準四級に合格する				
履修条件	出席重視する。訓練を重視するので、積極的な参加が必要。				
授業方法	平易な中国語を可能な限りたくさん使い、中国語に親しめるよう楽しく授業を進めたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内での筆記試験（70%） 平常点（30%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014年02月 26日刊行	駿河台出版	改訂版「Campus漢語」		原瀬 隆司
	備考				
参 考 書	『中日・日中辞典』				
オフィス アワー	授業後に質問を受け付けます				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	及びまとめ、振り返り
	授業内容	ガイダンス（年間講義計画、成績評価の方法、授業方法紹介など） 発音練習
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
2	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	発音について 練習
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
3	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第1課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
4	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第1課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

5	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第2課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
6	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第2課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
7	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第3課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
8	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第3課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
9	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第4課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
10	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第4課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
11	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第5課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
12	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第5課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
13	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第6課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
14	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第6課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
15	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

科目名	中国語基礎表現A	担当者	劉 秋佳	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	中国語ゼロから始める方に対象として、発音、基礎文法と基礎表現を中心して、初級レベルの中国語の知識と学力を身につける。			
授業目的・到達目標	中国語の基礎から学ぶ。発音のローマ字表記（ピンイン）、四つの声調を習得し、初級会話の勉強を通じて、文法の仕組みを理解し、簡単なコミュニケーションができるようになることを目指す。 また、中国に関連するビデオ、DVDを見るや新聞記事などを用いて、中国の文化や変化する現代社会を理解していく。 1．中国語検定試験（中検）準4級、4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。 2．現代中国語圏文化を理解することができる。			
履修条件	3分の2以上の出席は必要。積極的に授業での練習に参加すること、出席状況、授業での態度悪いと成績の評価ができないになる。			
授業方法	発音と基本表現の会話練習を中心に授業を楽しく行う。授業中で一人ずつ練習をさせ、発音、口頭練習や会話練習、質問への答えなどに対して、毎回A、B、C 三つのレベルで評価します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	(60%) ①ピンインを読めかける②単語と基本表現を覚え、理解する③基礎文本を理解する④文の語順と虚詞の用法が理解する	
	平常評価	100%	(40%) この授業では授業中の発言、口頭練習の受け答えなども評価の重要な対象です。授業時の応答30%、小テスト、提出もの：10%になる。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度	飛鳥文化出版	中国語耳留学・基礎編 CD2枚つけ ￥2600円	陳洲舉など共著
	備考			
参考書	中日・日中辞書 具体的には指定しない			
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、メールにて受け付ける。（メールアドレス ryu.shuka11@nihon-u.ac.jp / Wechat:koku811）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本授業のシラバスを事前に読んでください
	授業内容	導 入 中国と中国語について紹介する 中国語の特徴と勉強方法、中国の歴史文化と現代社会
	事後学習	中国について、基本状況と中国語の特徴をまとめで、レポートを提出します
2	事前学習	教科書の付けたCDの発音部分を聞き流してください
	授業内容	第1回 （発音一） 韻母、 四声、単母音、複母音(授業用語)
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまでくれ返して練習しなさい
3	事前学習	発音練習CDの学習予定部分を聞き流してください
	授業内容	第2回 （発音二） 声母(子音)と鼻母音(声調符号の付け方)、
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまでくれ返して練習しなさい
4	事前学習	発音練習CDの学習予定部分を聞き流してください
	授業内容	第3回 （発音三） 特殊発音、声調の変化 （授業用語)
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまでくれ返して練習しなさい

5	事前学習	教科書の練習と配った練習問題を復習してください
	授業内容	第4回（発音四） 発音の総合練習 発音部分の小テスト
	事後学習	練習とテストのできないところを確認して、できるまでに練習してください
6	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第1課 挨拶
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
7	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第2課 姓名
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
8	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第3課 身分
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
9	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習 グループで会話練習を確認させて評価します
	事後学習	慣れてない会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
10	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第4課 日付
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
11	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第5課 時刻
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
12	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習
	事後学習	慣れてない会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
13	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第6課 家庭
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
14	事前学習	学習予定部分の単語と文法解釈を読んで予習してください
	授業内容	第7課 年齢
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
15	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください
	授業内容	前期総復習
	事後学習	ミスした所とできない部分を確認して、今度間違いないように注意します。

科目名	中国語基礎表現B	担当者	小林 光考	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期から継続する授業で、中国語基礎表現Aにおいて発音を中心に身に付けた基礎表現力を礎として、更にしっかりと文法力や語彙力などの面における総合的な中国語基礎力の強化、完成を行っていく。			
授業目的・到達目標	前期に引き続き発音の習得を到達の最大目標とする。具体的には、ピンインを正しくしっかり読める、聞き取れる能力の養成を目指す。また、習得した発音力を基にして、文法、語彙、解釈の各種基礎能力を習得し、中級に進める能力の習得を目指す。11月に行われる中国語検定試験準4級の合格を目指す。			
履修条件	単位取得だけの為ではなく中国語を進んで学習し、習得したいという意欲を持っていること。授業に関する一般的な決まり（規定数以上の欠席や遅刻、私語、居眠り、授業以外の事をしないなど）を守ることが出来ること。			
授業方法	先に文法の説明を行いその後、学生を指名して本文訳、練習問題等を解いて教科書を進めて行く。また同時に中国語学習に有用な時事面、文化面などの知識も合わせて教授していく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	学期末試験（リスニングを含む）60%。本文音読テスト10%。平常点（授業態度、積極性（予習や宿題の履行など授業への参加度））30%。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	白水社	はじめまして！中国語	喜多山幸子、鄭幸枝
	備考			
参考書	【参考書】『やさしくくわしい中国語文法の基礎』守屋宏則著、東方書店刊、『完全マスター中国語文法改訂版』瀬戸口律子著、語研刊【辞典】状況によって中日辞典を使用する場合がある。具体的なものについては授業中に紹介する。			
オフィスアワー	授業前（教員控室）又は授業後（教室）で直接訪ねること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書発音部及び第1～5課全事項について、再度確認
	授業内容	前期授業復習 前期試験解説
	事後学習	前期試験の問題点改善、授業の進め方の確認
2	事前学習	第6課予習
	授業内容	第6課① 王先生の研究室で
	事後学習	第6課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
3	事前学習	第6課文法事項等について、教科書で再度確認、第6、7課予習
	授業内容	第6課② 王先生の研究室で 第7課① コンビニで
	事後学習	第6課全事項の習得確認、第7課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
4	事前学習	第7課文法事項等について、教科書で再度確認、第7課予習
	授業内容	第7課② コンビニで
	事後学習	第7課全事項の習得確認

5	事前学習	第8課予習
	授業内容	第8課① バス停で
	事後学習	第8課文法事項等の習得の確認及び本文訳、練習問題の解答
6	事前学習	第8課文法事項等について、教科書で再度確認、第8、9課予習
	授業内容	第8課② バス停で 第9課① 放課後に
	事後学習	第8課全事項の習得確認、第9課文法事項等の習得の確認及び本文訳、練習問題の解答
7	事前学習	第9課文法事項等について、教科書で再度確認、第9課予習
	授業内容	第9課② 放課後に
	事後学習	第9課全事項の習得の確認
8	事前学習	第10課予習
	授業内容	第10課① 卓球の中継を見ながら
	事後学習	第10課文法事項等の習得の確認及び本文訳、練習問題の解答
9	事前学習	第10課文法事項等について、教科書で再度確認、第10、11課予習
	授業内容	第10課② 卓球の中継を見ながら 第11課① ディズニーランドで待ち合わせ
	事後学習	第10課全事項の習得の確認、第11課文法事項等の習得の確認及び本文訳、練習問題の解答
10	事前学習	第11課文法事項等について、教科書で再度確認、第11課予習
	授業内容	第11課② ディズニーランドで待ち合わせ
	事後学習	第11課全事項の習得の確認
11	事前学習	第12課予習
	授業内容	第12課① カフェテラスで
	事後学習	第12課文法事項等の習得の確認及び本文訳、練習問題の解答
12	事前学習	第12課文法事項等について、教科書で再度確認、第12課予習
	授業内容	第12課② カフェテラスで
	事後学習	第12課全事項の習得確認
13	事前学習	第6～12課の習得確認
	授業内容	後期授業総復習
	事後学習	後期授業における習得の総確認
14	事前学習	教科書本文音読テスト準備
	授業内容	教科書本文音読テスト
	事後学習	教科書本文音読テストの問題点改善
15	事前学習	後期試験準備
	授業内容	後期試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	後期試験の問題点改善、中級に向けた春休みにおける学習

科目名	中国語基礎表現B	担当者	篠田 幸夫	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代中国語の発音と文法の基礎を学ぶ。					
授業目的・到達目標	はじめに中国語の正確な発音を習得し、基本構文に慣れる。さらに聞く・話す・読む・書くの四技能の中で特に聞く・話す能力の向上を目指す。四声を聞き分けまた言い分けられる。第三声の声調変化や「a」「i」「u」の複数ある発音について説明できる。また形容詞・動詞述語文の基本語順や、連体・連用修飾語の位置を説明できる。各課の本文を暗誦できる。					
履修条件	休まず授業に参加できる。授業以外に1回10分以上1週間に2回以上の復習を習慣化できる。授業に積極的に参加し失敗を恐れずに発音練習できる。小テストの準備ができる。私語を我慢できる。					
授業方法	学生が主体となって練習する機会を非常に多く取る。概ね以下の順に進める。重要事項の説明・CDを使って発音練習・和訳練習・中訳練習・シャドーイング・暗唱対話練習・小テスト。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		期末試験50%、小テスト50%。私語・居眠り・練習しない・独自の判断で練習を終えてしまう場合は減点する。出席点はない。11月の中国語検定試験4級合格者には加点する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	朝日出版社		『楽しい中国語第一部』		山下輝彦
	備考					
参考書	『7カ国語をモノにした人の勉強法』橋本陽介著：祥伝社新書					
オフィスアワー	「shinoda.hanyu2018@gmail.com」で対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDを聞き第6課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第6課前半〈要〉〈想〉助動詞1、〈用〜〉
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
2	事前学習	CDを聞き第6課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第6課前半小テスト 第6課後半〈能〉〈会〉〈可以〉助動詞2、様態補語
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
3	事前学習	CDを聞き第7課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第6課後半小テスト 第7課前半 選択疑問文、反復疑問文
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
4	事前学習	CDを聞き第7課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第6課前半・第7課前半小テスト 第7課後半〈在〜〉進行形、〈比〜〉比較表現、〈〜呢〉語気助詞
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。

5	事前学習	C Dを聞き第8課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第6課後半・第7課後半小テスト 第8課前半 〈～着〉持続、〈～的～〉動詞句修飾語
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
6	事前学習	C Dを聞き第8課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第7課前半・第8課前半小テスト 第8課後半 〈又～又～〉、〈～再～〉「～してから」
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
7	事前学習	C Dを聞き第9課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第7課後半・第8課後半小テスト 第9課前半 方向補語、結果補語
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
8	事前学習	C Dを聞き第9課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第8課前半・第9課前半小テスト 第9課後半 程度補語、可能補語
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
9	事前学習	C Dを聞き第10課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第8課後半・第9課後半小テスト 第10課前半 〈要～了〉「まもなく～しそうだ」、〈譲〉使役表現、〈把〉処置文
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
10	事前学習	C Dを聞き第10課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第9課前半・第10課前半小テスト 第10課後半 〈来/去～〉連動文、〈既然～就～〉仮定関係
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
11	事前学習	C Dを聞き第11課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第9課後半・第10課後半小テスト 第11課前半 〈喜歡～〉、〈跟～一樣〉同等比較
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
12	事前学習	C Dを聞き第11課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第10課・第11課前半小テスト 第11課後半 〈我頭疼〉二重主語、〈看看〉動詞の重ね型
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
13	事前学習	C Dを聞き第12課前半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第10課後半・第11課後半小テスト 第12課前半 〈讓/被～〉受身、〈是～的〉構文、
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
14	事前学習	C Dを聞き第12課後半新出語句を数回発音する。
	授業内容	第11課前半・第12課前半小テスト 第12課後半 〈雖然～但是～〉逆説関係、〈越～越～〉「～すればするほど」
	事後学習	本文の内容が聞き取れるようになるまでC Dを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
15	事前学習	第12課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。第12課まで動詞述語文・形容詞述語文の基本語順を説明できるようにする。修飾語と被修飾語との前後関係を説明できるようにする。
	授業内容	後期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	随時C Dを聞き復習する。

科目名	中国語基礎表現B	担当者	白石 裕一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級中国語。			
授業目的・到達目標	中国語の基礎的な力を身に着ける。特に表現力をつけるために発音と作文を重点的に学ぶ。中国語の基本的な力を身に着ける。後期は日常よく用いる表現（約100）を作文できるようにする。もちろん一年を通して単語（約500）も覚えなければならない。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書に沿って進めていく。毎回単語テストを行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	授業内試験50% 授業内評価50%：単語テストなど30%、授業参加度20%。遅刻・早退は3回をもって1回の欠席とする。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	白帝社	基礎から学ぶ実践中国語	王学群・高麗貞
	備考			
参 考 書	『中日辞典 第3版』 講談社			
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第6課：本文の翻訳、①連動文、②進行を表す“正在、在、ne”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
2	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第6課：③前置詞の“在”、④助動詞の“想”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
3	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第7課：本文の翻訳、① “了”の用法（1）、②動詞の重ね型
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
4	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第7課：③選択疑問文、④前置詞“cong／dao”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。

5	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第8課：本文の翻訳、① “了”の用法（2）、②可能を表す“能”と”会”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
6	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第8課：③経験を表す“過”、④gen/he…yiqi/yikuair、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
7	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第9課：本文の翻訳、① “比”との比較文、② “V得＋補語”の構文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
8	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第9課：③主述述語文、④ “有点兒”と“一点兒”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
9	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第10課：本文の翻訳、① “是…的”構文、②二重目的語を持つ動詞
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
10	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第10課：③限定語となる動詞と形容詞、④前置詞の“給”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
11	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第11課：本文の翻訳、①方位詞、②継続を表す“着”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
12	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第11課：③概数表現、④可能を表す“可以”、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
13	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第12課：本文の翻訳、①趨向補語、②付帯状況と方式を表す“着”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
14	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第12課：③禁止を表す“別／不要…（了）”、④疑問詞＋都／也…、練習問題
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
15	事前学習	これまで学んできたことを復習しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	よく理解していないところを再度復習しておくこと。

科目名	中国語基礎表現B	担当者	高橋 弥守彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	発音練習は継続しつつも、更なる基礎表現力の習得に向けて授業を進める。			
授業目的・到達目標	読む、書く、聞く、話すことができるための中国語の基礎を学ぶ。特に聞くことと話すことに重点を置き、短期留学や中国旅行をすることがあっても対応できるように授業を進める。また、中国語検定試験準4級合格を目指して勉強し、レポートにより広く中国社会も学ぶ。基礎発音のマスターと教科書を正しく発音できるようになることを目指す。単語と文型をマスターすることにより、中国へ旅行や短期研修に行っても基本的な会話ができるように指導する。中国語検定試験準4級合格を目指す。			
履修条件	特になし			
授業方法	テキストによって授業を進める。1回または2回の授業で1課進むことを原則とするので、予習復習が必要である。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	発音試験と筆記試験を行う。これにより、発音と文脈理解の向上を目指す。また、中国社会を広く理解できるよう、夏期休暇中にテーマを出すので、レポートの提出。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2008年初版	郁文堂	スタンダード実用中国語	高橋弥守彦、関華、三上強
	備考			
参考書	『実用詳解中国語文法』高橋 弥守彦著：郁文堂			
オフィスアワー	授業時間前後に於いて中国語学習方法等の事に関して質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第10課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 「先生の研究室」 前期既習内容及び第10課部分の総復習。
	事後学習	授業後に自身でも既習内容の総復習を行う様に心掛けること。
2	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第11課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 「私の一日」 副詞「就」「才」、介詞(前置詞)「從～到～」に関して学習する。
	事後学習	副詞「就」「才」、介詞(前置詞)「從～到～」に関して読んで書いて復習すること。
3	事前学習	第11課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 「私の一日」 離合動詞、時点と時段(時間の長さ)に関して学習する。
	事後学習	離合動詞、時点と時段(時間の長さ)に関して読んで書いて復習すること。
4	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第12課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「旅行」 「快～了」文式、語気助詞・動態助詞の「了」に関して学習する。
	事後学習	「快～了」文式、語気助詞・動態助詞の「了」に関して読んで書いて復習すること。

5	事前学習	第12課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 2 課 「旅行」 構造助詞「得」、介詞(前置詞)「給」に関して学習する。
	事後学習	構造助詞「得」、介詞(前置詞)「給」に関して読んで書いて復習すること。
6	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第13課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 3 課 「盆踊り」 動詞「好像」、介詞(前置詞)「比」に関して学習する。
	事後学習	動詞「好像」、介詞(前置詞)「比」に関して読んで書いて復習すること。
7	事前学習	第13課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 3 課 「盆踊り」 副詞「更」、結果補語「在」、動態助詞「着」に関して学習する。
	事後学習	副詞「更」、結果補語「在」、動態助詞「着」に関して読んで書いて復習すること。
8	事前学習	これまでに学習した部分の本文や例文を自身で発音して一通り読み込んでおくこと。
	授業内容	後期発音テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して復習を行い、弱点の克服に努める様に心掛けること。
9	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第14課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 4 課 「スポーツ」 能願動詞(助動詞)「会」「能」「可以」に関して学習する。
	事後学習	能願動詞(助動詞)「会」「能」「可以」に関して読んで書いて復習すること。
10	事前学習	第14課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 4 課 「スポーツ」 「～極了」に関して学習する。
	事後学習	「～極了」に関して読んで書いて復習すること。
11	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第15課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 5 課 「おしゃべり」 時間副詞「正」「在」「正在」、「是～的」文式に関して学習する。
	事後学習	時間副詞「正」「在」「正在」、「是～的」文式に関して読んで書いて復習すること。
12	事前学習	第15課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 5 課 「おしゃべり」 動態助詞「過」、動詞の重ね型に関して学習する。
	事後学習	動態助詞「過」、動詞の重ね型に関して読んで書いて復習すること。
13	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第16課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 6 課 「新年」 兼語文、疑問詞「幾」不定用法、疑問詞包括的用法に関して学習する。
	事後学習	兼語文、疑問詞「幾」不定用法、疑問詞包括的用法に関して読んで書いて復習すること。
14	事前学習	第16課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第 1 6 課 「新年」 「一辺～一辺～」、因果関係を表す「因為～所以～」に関して学習する。
	事後学習	「一辺～一辺～」、因果関係を表す「因為～所以～」に関して読んで書いて復習すること。
15	事前学習	これまでに学習した内容を総復習して理解を固めた上でテストに臨むこと。
	授業内容	後期テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して弱点は何処か自身で把握して次に繋げられる様に心掛けること。

科目名	中国語基礎表現B	担当者	長田 徳子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は中国語の発音から勉強し、語彙・表現など学生生活に密着したものを絞り、活用度の高い内容や中国の諸事情を短いセンテンスで紹介する。会話だけではなく「別冊問題集」も付いているので、練習としても役に立つ。				
授業目的・到達目標	中国語の日常会話や基礎文法の習得を目的とする。簡単な会話や簡単な文章の読み書きと翻訳ができるようになる。				
履修条件	なし				
授業方法	朗読、翻訳、会話、書きとりという方式で授業を進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度（受講態度を含む）10%、平常点（宿題や授業中の小テスト）40%、後期末の授業内テスト50%。また、中国語検定試験の合格も成績の評価に加味する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2012年	白水社	（最新2訂版）中国語はじめの一步		竹島全吾 伊景春 竹島毅
	備考				
参考書	日中辞書、中日辞書				
オフィスアワー	授業の前・後、当該教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第6課の予習
	授業内容	オリエンテーション 第6課 あなたは食事をしましたか。 本文訳、ポイント 1.「完了」を表わす“了” 2.「所在」を表わす“在” 3.助動詞“想”
	事後学習	文法の復習
2	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第6課 あなたは食事をしましたか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
3	事前学習	第7課の予習
	授業内容	第7課 あなたの家族は何人ですか。 本文訳、ポイント 1.介詞“在”，” 离” 2.「存在」を表わす“有” 3.反復疑問文
	事後学習	文法の復習
4	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第7課 あなたの家族は何人ですか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記

5	事前学習	第8課の予習
	授業内容	第8課 あなたは何時からアルバイトを始めますか。 本文訳、ポイント 1.「時間量」を表わす語 2.助動詞“得” 3.介詞 (2) “从”
	事後学習	文法の復習
6	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第8課 あなたは何時からアルバイトを始めますか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
7	事前学習	第9課の予習
	授業内容	第9課 あなたはアメリカに行ったことがありますか。 本文訳、ポイント 1.「過去の経験」を表わす“過” 2.“是～的”の文 3.介詞 (3) “跟”，“給”
	事後学習	文法の復習
8	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第9課 あなたはアメリカに行ったことがありますか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
9	事前学習	第10課の予習
	授業内容	第10課 あなたは歌を歌えますか。 本文訳、ポイント 1.助動詞“能”，“会” 2.「動作の様態」を言う表現 3.動詞の重ね型
	事後学習	文法の復習
10	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第10課 あなたは歌を歌えますか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
11	事前学習	第11課の予習
	授業内容	第11課 あなたは何をしているのですか。 本文訳、ポイント 1.「動詞の進行」を表わす“在～呢” 2.「～しに来る・～しに行く」の表し方 3.“還是” 4.目的語を文頭に出す表現
	事後学習	文法の復習
12	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第11課 あなたは何をしているのですか。 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
13	事前学習	第12課の予習
	授業内容	第12課 楽しい旅行を 本文訳、ポイント 1.「比較」の表現 2.“的”の用法 (2) 3.2つの目的語をとる動詞 4.目的語が主述句の時
	事後学習	文法の復習
14	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第12課 楽しい旅行を 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
15	事前学習	第6課～12課の復習
	授業内容	後期のまとめ（後期末授業内テスト）
	事後学習	問題点の復習

科目名	中国語基礎表現B	担当者	福木 滋久	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の発音を身につけ、半年の学習を終えた学習者向けの入門講座。ビデオストーリーを見ながら、中国語の基本表現を学ぶ。同じ担当者の中国語基礎文法(一部金2・二部土2)と内容は異なるが同一テキストを用いる。同教員の担当講座の並行履修者には試験等の負担に配慮した特典を設ける。受講する者は、以下「履修条件」3項を満たしている必要がある ので、よく考えてエントリーすること。					
授業目的・到達目標	本授業は、中国語初心者が、半年の発音学習と基本的な中国語の知識を得た段階として、簡単な文章を聞き取れ、話せるようになることを目指す。具体的には、4月にゼロからスタートした者が、11月の中国語検定試験において準4級を取得できるレベルが目標である。同担当者の中国語基礎文法B(一部金2・二部土2)、あるいは中国語資格試験対策IB(火2)との並行履修を推奨する。これは、基礎的な語学力の涵養のみならず、一目標として検定合格を念頭におくため、週複数回に渡り、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待する故である。同様の理由により、同一担当者による前期中国語基礎表現A(木1)からの継続受講を原則とする。					
履修条件	条件1：中国語初心者で、全日程休むことなく、指示された学習内容について努力できる者。 条件2：中国語検定過去問WEB※に加入し、11月の中検準4級を受験できる者。 条件3：このシラバスの内容を了解している者。					
授業方法	授業形式で行う。4～5月中旬は発音を重点的に学び、それ以降はおおむね1日1課のペースで進む。毎時間小テストを実施し、客観的な到達レベルを判断する意味で、筆記試験の代わりに11月の検定試験を受験してもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		①中国語検定試験績、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細(ルーブリック表)を発表。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	—	朝日出版社		理香と王麗 話す中国語1 DVD付		董燕・遠藤光暁
	備考					
参考書	※受講者は、履修決定後に自宅学習用として「中国語検定過去問WEB」へ加入すること。(中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。)加入は教務課にて。詳細は授業時に伝える。					
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ネットワークドライブより小テスト(後①)課題を入手し、覚えて授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第13課 テキスト・プリント ●小テスト(後①)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて存在表現等の復習をする
2	事前学習	小テスト(後①)課題などをもちいて存在表現の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第14課 テキスト・プリント ●小テスト(後②)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて年齢・学年の尋ね方等の復習をする
3	事前学習	小テスト(後③)課題などをもちいて年齢・学年の尋ね方に関する例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第15課 テキスト・プリント ●小テスト(後③)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて能力を表わす助動詞の復習をする
4	事前学習	小テスト(後④)課題などをもちいて能力を表わす助動詞を用いた例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第17課 テキスト・プリント ●小テスト(後④)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて時刻・曜日等の復習をする

5	事前学習	小テスト(後⑤)課題などをもちいて時刻・曜日の言い方等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第18課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑤)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて前置詞等の復習をする 過去問WEBに取り組む
6	事前学習	小テスト(後⑥)課題などをもちいて前置詞を用いた例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第19課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑥)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて比較表現等の復習をする 過去問WEBに取り組む
7	事前学習	小テスト(後⑦)課題などをもちいて比較表現の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第20課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑦)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて金額の言い方の復習をする 過去問WEBに取り組む
8	事前学習	小テスト(後⑧)課題などをもちいて金額の言い方等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○検定試験直前対策 テキスト・プリント ●小テスト(後⑧)
	事後学習	ここまでの学習を振り返り復習しておく 過去問WEBに取り組む
9	事前学習	検定試験準備 過去問WEBに取り組む
	授業内容	○検定試験本年度秋期準4級問題解答と解説
	事後学習	検定試験本年度秋期準4級問題を中心とした復習
10	事前学習	過去問WEBで4級の過去問題に取り組んでみる
	授業内容	○検定試験本年度秋期4問題級解答と解説
	事後学習	検定試験本年度秋期4級問題を中心とした復習
11	事前学習	小テスト(後⑨)課題などをもちいて四声の発音の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第21課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑨)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて“一下”“給”等の復習をする
12	事前学習	小テスト(後⑩)課題などをもちいて“一下”“給”を用いた例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第16課 (余裕があれば講読文を学ぶ) テキスト・プリント ●小テスト(後⑩)
	事後学習	ユニット3の復習 後期口頭試験課題文の発音練習
13	事前学習	ユニット4の疑問点を整理しておく
	授業内容	○ユニット4-第22課 (余裕があれば講読文を学ぶ) テキスト・プリント ●小テスト(後⑪)
	事後学習	ユニット4の復習 後期口頭試験課題文の発音練習
14	事前学習	後期口頭試験課題文の疑問点を整理しておく
	授業内容	○後期口頭試験の練習 プリント ●小テスト(後⑫)
	事後学習	後期口頭試験課題文の暗唱
15	事前学習	後期口頭試験の準備
	授業内容	◎後期口頭試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	後期口頭試験課題文を中心に復習する

科目名	中国語基礎表現B	担当者	吉田 雅子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級中国語の文章を読んで理解し、聞いてわかる。さらに、簡単な中国語作文が書けるようになるために、テキストを使って学ぶ。				
授業目的・到達目標	中国語の発音表記であるピンインが読めること、中国語のしくみを理解し、初級会話が出来ること、さらに日本語から中国語に直すことができる。以上を主な授業目的とする。中検準4級合格、4級文法項目学習終了。				
履修条件	特に無いが、初習者対象。				
授業方法	基本的には、テキストに沿って行う。会話練習には、適宜単語を提示し練習に加える。音読に中心をおいて、授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	小テストほか20%、読みテスト20%、期末筆記テスト60%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018	金星堂	中国語初級マスター 2 2 ISBN 978 - 4 - 7647 - 0708 - 5 C1087 ￥2500		阿部慎太郎ほか
	備考				
参 考 書	『中日辞典』小学館				
オフィスアワー	月曜日の2時間目終了後、教室で、質問・相談を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の学習内容を復習しておく
	授業内容	前期期末テストの返却と解答
	事後学習	間違いの個所の確認をする
2	事前学習	願望をあらわす文の形を見ておく
	授業内容	第9課「道案内」 助動詞の「要」と「想」
	事後学習	したい、したくないの文を自分で作り、否定形を作ってみる
3	事前学習	時刻と時間の違いを考えておく
	授業内容	第10課「待ち時間」 時間量、動詞の重ね型
	事後学習	～をどのくらいの時間行った、という文を復習する
4	事前学習	できるという表現をイメージして、どのような文ができるかを考えておく
	授業内容	第11課「趣味」 二重目的語、習得の「会」
	事後学習	二重目的語を使った文を復習する、可能表現の文を作る

5	事前学習	CDを聞いておく
	授業内容	9から11課の復習
	事後学習	9から11の会話文を読めるようにする
6	事前学習	いる、あるの違いを考えておく
	授業内容	第12課「レストラン」 存在の「有」、許可の助動詞
	事後学習	許可の表現を復習する
7	事前学習	経験の表現を考えておく
	授業内容	第13課「チケット」 経験、動作の回数
	事後学習	動作の回数を含んだ表現を復習する
8	事前学習	日本語の複合動詞の表現を考えておく
	授業内容	第14課「道案内」 結果補語・方向補語
	事後学習	結果補語の否定形を復習する
9	事前学習	CDを聞いておく
	授業内容	復習12から14課
	事後学習	12から14課の会話文を読めるようにする
10	事前学習	日本語で「できる」という表現の内容を考えておく
	授業内容	第15課「所要時間」助動詞、把構文
	事後学習	「できない」をあらわす表現の助動詞を復習する
11	事前学習	比較表現のスタイルを見ておく
	授業内容	第16課「チェックイン」比較文、持続表現
	事後学習	比較文の否定形を復習する
12	事前学習	CDを聞いておく
	授業内容	復習 15, 16課
	事後学習	15, 16課の会話文を読めるようにする
13	事前学習	程度表現を見ておく
	授業内容	第17課「道案内」 様態補語・進行形
	事後学習	確認文と進行形の文章を復習する
14	事前学習	可能補語の使い方を見ておく
	授業内容	第18課「雑談」 可能補語、文末の「了」
	事後学習	どのようにできるかにこだわった表現を復習する
15	事前学習	秋学期の復習をする
	授業内容	後期期末テスト（テキスト第9課から第18課まで） 内容確認とまとめ
	事後学習	一年間の学習内容で不明な点がないか自分で確認する

科目名	中国語基礎表現B	担当者	何 秋平	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語漢字の発音、文章の簡単な読み書き、リスニング、及び会話を習得します。			
授業目的・到達目標	本講座では、発音の基礎から始め、実践的な語学能力を身につけることを目的としています。11月に中国語検定試験準四級に合格する。			
履修条件	特になし			
授業方法	平易な中国語を可能な限りたくさん使い、中国語に親しめるよう楽しく授業を進めます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内での筆記試験（70%） 平常点（30%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年02月 26日刊行	駿河台出版	改訂版「Campus漢語」	原瀬 隆司
	備考			
参考書	『中日・日中辞典』			
オフィスアワー	授業後に質問を受け付けます			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第7課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
2	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第7課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
3	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第8課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
4	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第8課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

5	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第9課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
6	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第9課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
7	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第10課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
8	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第10課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
9	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第11課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
10	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第11課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
11	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第12課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
12	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第12課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
13	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	復習 1
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
14	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	復習 2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
15	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	後期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

科目名	中国語基礎表現B	担当者	劉 秋佳	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	中国語ゼロから始める方に対象として、発音、基礎文法と基礎表現を中心して、初級レベルの中国語の知識と学力を身につける。				
授業目的・到達目標	中国語の基礎から学ぶ。発音のローマ字表記（ピンイン）、四つの声調を習得し、初級会話の勉強を通じて、文法の仕組みを理解し、簡単なコミュニケーションができるようになることを目指す。 また、中国に関連するビデオ、DVDを見るや新聞記事などを用いて、中国の文化や変化する現代社会を理解していく。 1. 中国語検定試験（中検）準4級、4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。 2. 現代中国語圏文化を理解することができる。				
履修条件	積極的に授業での練習に参加すること、出席状況、授業での態度や答えおよび筆記試験により評価。3分の2以上の出席は必要。				
授業方法	発音と基本表現の会話練習を中心に授業を楽しく行う。授業中で一人ずつ練習をさせ、発音、口頭練習や会話練習、質問への答えなどに対して、毎回A、B、C 三つのレベルで評価します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	（60％）①ピンインを読めかける②単語と基本表現を覚え、理解する③基礎文本を理解する④文の語順と虚詞の用法が理解する	
	平常評価		100%	（40％）この授業では授業中の発言、口頭練習の受け答えなども評価の重要な対象です。授業時の応答30％、小テスト、提出もの：10％になる。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成30年度	飛鳥文化出版	中国語耳留学・基礎編 CD2枚つけ ￥2600円		陳洲舉など共著
	備考				
参考書	中日・日中辞書 具体的には指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、メールにて受け付ける。（メールアドレス ryu.shuka11@nihon-u.ac.jp / Wechat:koku811）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	配ったプリントの記事を読んでください
	授業内容	中国文化事情の紹介
	事後学習	感想と見解をレポート書いて提出下さい
2	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第8課 方位
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話すができるように復習しなさい
3	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第9課 行為
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話すができるように復習しなさい
4	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習
	事後学習	慣れてない会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい

5	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第10課 職業
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話することができるように復習しなさい
6	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第11課 評価
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話することができるように復習しなさい
7	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習 グループで会話練習を確認させて評価します
	事後学習	慣れてない会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
8	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第12課 買い物
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話することができるように復習しなさい
9	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第13課 行為
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話することができるように復習しなさい
10	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話応答練習
	事後学習	慣れてない会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
11	事前学習	配ったプリントの記事を読んでください
	授業内容	文化事情
	事後学習	感想と見解をレポート書いて提出下さい
12	事前学習	学習予定の単語と文法解釈を読んで予習しなさい
	授業内容	第14課 趣味
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話することができるように復習しなさい
13	事前学習	例文を参考して、中国語文の語順を理解する上に作文を書きます
	授業内容	作文練習
	事後学習	先生から訂正されたところを確認して理解しなさい
14	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習問題を復習してください
	授業内容	総復習
	事後学習	ミスした所とできない部分を理解して、できるようにきちんと練習してください
15	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください。
	授業内容	小テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	ミスした所とできない部分をできるようにきちんと練習してください

科目名	中国語基礎文法A	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初期段階においては中国語の基礎発音や発音記号(ピンインツームー)に対する練習を繰り返して行い、中国語学習に入るための土台を打ち固め、その後は基礎発音の練習も継続して行いつつ、初歩的会話表現に対する発音練習も行っていく。			
授業目的・到達目標	中国語の基礎発音を習得し、基礎中国語の文法知識、語彙力、表現力を身につけることを目的とする。中国語の基礎発音、初歩的会話表現を習得することができる。			
履修条件	継続して授業に出席すること。授業中、発音練習の際、読込の際は大声で丁寧に発音すること。			
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	前期試験(授業内)、平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第13刷	白帝社	出発 中国語	本間直人、栗原千里、王熙萍
	備考	なし		
参考書	なし			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業時間や講堂番号を間違えない様しっかりと時間割を確認すること。
	授業内容	授業説明
	事後学習	教科書を出来るだけ早く揃えられる様心掛けること。
2	事前学習	簡単に可能な範囲で中国語について下調べすること。
	授業内容	発音練習(母音)
	事後学習	習った基礎発音(母音部分)を自身で発音練習すること。
3	事前学習	中国語の子音に関する教科書該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	発音練習(子音)
	事後学習	習った基礎発音(子音部分)を自身で発音練習すること。
4	事前学習	中国語の声調に関する教科書該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	発音練習(声調)
	事後学習	習った基礎発音(声調)を自身で発音練習すること。

5	事前学習	事前に第1課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 人称代名詞、名前の聞き方と答え方
	事後学習	人称代名詞や名前の聞き方と答え方の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第2課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 動詞述語文、疑問詞「哪儿」「什麼」
	事後学習	動詞述語文、疑問詞「哪儿」「什麼」の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第3課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 形容詞述語文、疑問詞「誰」
	事後学習	形容詞述語文、疑問詞「誰」の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第4課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 「的」の用法
	事後学習	所有等を表す「的」の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 数字、量詞
	事後学習	数字、量詞の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 量詞、序数
	事後学習	量詞、序数の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 完了の「了」、助動詞「想」
	事後学習	完了の「了」、助動詞「想」の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 「多少」「幾」、存在を表す「有」
	事後学習	疑問詞「多少」「幾」、存在を表す「有」の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 時を表す語
	事後学習	時を表す語の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 時を表す語が述語となる文
	事後学習	時を表す語が述語となる文の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	前期中に学習した内容を整理して頭に入れておくこと。
	授業内容	前期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	中国語基礎文法A	担当者	小林 光考	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語を初めて学ぶ学生を対象に、中国語とはどういった言語なのか?ということをもず発音習得から開始し、中国語のコミュニケーションに必要な、書く、聞く、話すの3分野の初級基礎能力を文法を中心にして、同時に発音や語彙といった総合的な中国語基礎文法能力を身に付ける。				
授業目的・到達目標	基礎文法力及び発音の習得を到達の最大目標とする。具体的には、基本的な基礎文法事項の理解及びピンインを正しくしっかり読める、聞き取れるといった発音面における基礎能力の習得を目指す。11月に行われる中国語検定試験準4級合格を目指す。				
履修条件	単位取得だけの為ではなく中国語を進んで学習し、習得したいという意欲を持っている事。授業に関する決まり(欠席や遅刻、私語、居眠り、授業以外の事をしないなど)を守る事。初回の授業には、開始時より必ず出席する事。				
授業方法	先に文法の説明を行いその後、学生を指名して本文訳、練習問題等を解いて教科書を進めて行く。また同時に中国語学習に有用な時事面、文化面などの知識も合わせて教授していく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	学期末試験(リスニングを含む)60%。本文音読テスト及びピンイン書き取り小テスト20%。平常点(授業態度、宿題の履行など授業への参加度)20%。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	白水社		中国語1年め	緒方昭、小林光考、胡慶華著
	備考				
参考書	【参考書】『やさしくくわしい中国語文法の基礎』守屋宏則著、東方書店刊、『完全マスター中国語文法改訂版』瀬戸口律子著、語研刊【辞典】状況によって中日辞典を使用する場合がある。具体的なものについては授業中に紹介する。				
オフィスアワー	授業前(教員控室)又は授業後(教室)で直接訪ねること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中国語とはどのようなものなのかを調べておく
	授業内容	①ガイダンス(授業概要説明) ②中国語について(発音・文字・方言など)
	事後学習	授業の進め方の確認、発音、文字(簡体字)の理解確認
2	事前学習	発音、文字(簡体字)について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得(声調・単母音)
	事後学習	声調・単母音の習得確認
3	事前学習	声調・単母音について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得(複合母音・子音①)
	事後学習	複合母音、子音①の習得確認
4	事前学習	複合母音、子音①について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得(子音②・鼻母音)
	事後学習	子音②・鼻母音の習得確認

5	事前学習	子音②・鼻母音について、教科書で再度確認
	授業内容	発音習得（鼻母音・er化・声調の組合せ・軽声・声調の変化）
	事後学習	鼻母音・er化・声調の組合せ・軽声・声調の変化の習得確認
6	事前学習	鼻母音・er化・声調の組合せ・軽声・声調の変化について、教科書で再度確認、ピンイン書き取りテスト準備、第1課予習
	授業内容	第1課① 中国人留学生と知り合う（ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第1課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
7	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第1課文法事項等について、教科書で再度確認、第1、2課予習
	授業内容	第1課② 中国人留学生と知り合う（ピンイン書き取り小テスト） 第2課① 携帯の写真を見て
	事後学習	第1課全事項の習得確認、第2課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
8	事前学習	ピンイン書き取り準備、第2課文法事項等について、教科書で再度確認、第2課予習
	授業内容	第2課② 携帯の写真を見て（ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第2課全事項の習得確認
9	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第3課予習
	授業内容	第3課① いっしょに勉強しよう！（ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第3課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
10	事前学習	ピンイン書き取りテスト、第3課文法事項等について、教科書で再度確認、第3、4課予習
	授業内容	第3課② いっしょに勉強しよう！（ピンイン書き取り小テスト） 第4課① ファストフード店で
	事後学習	第3課全事項の習得確認、第4課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
11	事前学習	ピンイン書き取り準備、第4課予習
	授業内容	第4課② ファストフード店で（ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第4課全事項の習得確認
12	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第5課予習
	授業内容	第5課① Tシャツを買う（ピンイン書き取り小テスト）
	事後学習	第5課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
13	事前学習	ピンイン書き取りテスト準備、第5課予習
	授業内容	第5課② Tシャツを買う（ピンイン書き取り小テスト） 前期授業総復習
	事後学習	第5課全事項の習得確認、前期授業における習得の総確認
14	事前学習	教科書本文音読テスト準備
	授業内容	教科書本文音読テスト
	事後学習	教科書本文音読テストの問題点改善
15	事前学習	前期試験準備
	授業内容	前期試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	前期試験の問題点改善、夏休み課題

科目名	中国語基礎文法A	担当者	篠田 幸夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代中国語の発音と文法の基礎を学ぶ。					
授業目的・到達目標	はじめに中国語の正確な発音を聞き分け同時に言い分けられるよう訓練する。その後基本構文を学習し、日本語とは異なる場合もある中国語の語順体系を把握し、将来文章を読解するために有効な分析方法の基礎を学ぶ。四声を正確に発音できる。第三声の声調変化を説明できる。「a」「i」「u」の複数ある発音について聞き分け・言い分けられる。形容詞・動詞述語文の基本語順や、連体・連用修飾語の位置について説明できる。					
履修条件	休まず授業に参加できる。授業以外に1回10分以上1週間に2回以上の復習を習慣化できる。授業に積極的に参加し失敗を恐れずに発音練習できる。小テストの準備ができる。私語を我慢できる。					
授業方法	学生が主体となって練習する機会を非常に多く取る。概ね以下の順に進める。重要事項の説明・CDを使って発音練習・和訳練習・中訳練習・作文練習・小テスト。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		期末試験50%、小テスト50%。私語・居眠り・練習しない・独自の判断で練習を終えてしまう場合は減点する。出席点はない。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009年	朝日出版社		『新訂 語法ルール66-漢語精粹』		相原茂・玄宜青
	備考					
参考書	相原 茂 他 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 』 同学社 相原 茂 『謎解き中国語文法 』 講談社現代新書					
オフィスアワー	「shinoda.hanyu2018@gmail.com」で対応します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト2～3ページを一読しておく。
	授業内容	中国語について 発音（1）四声・単母音
	事後学習	CDを使い四声・単母音の発音練習をする。
2	事前学習	テキスト8・9・11ページを一読しておく。
	授業内容	発音（2）子音
	事後学習	CDを使い四声・単母音・子音の発音練習をする。
3	事前学習	テキスト4・14～16・22・23ページを一読しておく。
	授業内容	発音（3）複合母音・鼻母音、声調の組み合わせと声調の変化
	事後学習	CDを使い子音・複合母音、声調の組み合わせと声調の変化の発音練習をする。
4	事前学習	第1課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	小テスト（声調の変化・「a」の発音の区別・「i」の発音） 第1課（人称代名詞、「是」の文、副詞「也・都・不」）
	事後学習	「是」の文の語順を説明できるようにする。副詞「也・都・不」の文中の位置を説明できるようにする。 本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。

5	事前学習	第2課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第1課小テスト 第2課（指示代名詞、「嗎」疑問文、反復疑問文）
	事後学習	指示代名詞を中国語で言えるようにする。「嗎」はどのような疑問文で使用するかを説明できるようにする。反復疑問文とはどのような疑問文かを説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
6	事前学習	第3課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第2課小テスト 第3課（形容詞述語文、副詞「很」）
	事後学習	形容詞述語文の基本語順を説明できるようにする。訳さない「很」のはたらきを説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
7	事前学習	第4課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第3課小テスト 第4課（親族呼称・名詞を修飾する「的」）
	事後学習	親族呼称を中国語で言えるようにする。「的」の場所とはたらきを説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
8	事前学習	第1課～第3課の中で音を聞いて不明な単語がないように準備する。
	授業内容	第1課～第3課復習 第4課（親族呼称・名詞を修飾する「的」）
	事後学習	1課～4課本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
9	事前学習	第5課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第4課小テスト 第5課（前置詞「在」、「是～的」構文、疑問詞疑問文）
	事後学習	前置詞「在」の場所とはたらきを説明できるようにする。「是～的」構文について説明できるようにする。五つの疑問詞を言えるように練習する。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
10	事前学習	第6課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第5課小テスト 第6課（数の数え方・年月日・曜日、疑問詞「几」、省略疑問の「呢」）
	事後学習	数字（1～100と千の位）・曜日・年月日を言えるように練習する。省略疑問の「呢」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
11	事前学習	第7課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第6課小テスト 第7課（数詞、量詞、二と兩の使い分け、所有の「有」）
	事後学習	九つの量詞を言えるようにする。二と兩の使い分けを説明できるようにする。動詞「有」とその否定を言えるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
12	事前学習	第8課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第7課小テスト 第8課（存在の「有」、所在の「在」）
	事後学習	存在と所在の違いを説明できるようにする。動詞「有」と「在」のそれぞれの基本語順を説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
13	事前学習	第9課新出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第8課小テスト 第9課（二種類の「怎么」、「為什麼」、「这么」「那么」）
	事後学習	二種類の「怎么」意味と区別する方法を説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
14	事前学習	第9課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。
	授業内容	第9課小テスト 総復習
	事後学習	第9課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
15	事前学習	第9課までで音を聞いて不明な単語がないように準備する。第9課までの文法事項を説明できるようにする。特に動詞述語文・形容詞述語文の基本語順そして修飾語と被修飾語との前後関係を説明できるようにする。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	9課までを随時復習する。

科目名	中国語基礎文法A	担当者	白石 裕一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級中国語。				
授業目的・到達目標	中国語の基礎的な力を身に着ける。特に発音と文法を重点的に学ぶ。音節表と声調（四声）を正確に発音できるようにする。単語を約200覚え、簡単な文章を訳せるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教科書に沿ってすすめていく。毎回単語テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内試験50%。授業内評価50%：単語テストなど30%、授業参加度20%。遅刻・早退は3回をもって1回の欠席とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	朝日出版社		初級中国語　オリンピックへようこそ　講読編	徐送迎
	備考				
参考書	『中日辞典　第3版』　講談社				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	声調（四声）、軽声、単母音
	事後学習	発音の復習をしておくこと。
2	事前学習	苦手な発音を確認しておくこと。
	授業内容	子音、複母音、鼻母音、声調の変化、兒化
	事後学習	発音の復習をしておくこと。
3	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第1課 人称代名詞、判断動詞“是”、助詞“的”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
4	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第1課 中国語の基本的な語順、疑問を表す“ma”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。

5	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第2課 名詞述語文、動詞“有”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
6	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第2課 数量詞の位置、形容詞述語文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
7	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第3課 語気助詞“了”、疑問詞疑問文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
8	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第3課 介詞“cong”、連動文、動詞“在”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
9	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第4課 動態助詞“了”、介詞“在～”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
10	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第4課 助動詞“想”、指示代名詞、“是～的”構文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
11	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第5課 動態助詞“過”、二重目的語
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
12	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第5課 禁止を表す“別”と“不要”、介詞“給～”、人民元の数え方
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
13	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第6課 副詞“在”、助動詞“会”（1）
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
14	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第6課 動詞の重ね型、“的”構文、語気助詞“ba”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
15	事前学習	これまでの学習内容を総復習しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	よく理解できていないところを再度復習しておくこと。

科目名	中国語基礎文法A	担当者	福木 滋久	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	中国語を初めて学習する学生、あるいはゼロから中国語を復習したいと考えている学生向けの入門講座。ビデオストーリーを見ながら、中国語の基本文法を学ぶ。同じ担当者の中国語基礎表現A(一部木1)と内容は異なるが同一テキストを用いる。同教員の担当講座の並行履修者には試験等の負担に配慮した特典を設ける。受講する者は、以下「履修条件」3項を満たしている必要があるので、よく考えてエントリーすること。				
授業目的・到達目標	本授業は、中国語初心者が、発音の基本と基礎文法等を習得し、簡単な文章を開き取れ、話せ、読めるようになることを目指す。具体的には、ゼロからスタートして、11月の中国語検定試験において準4級を取得できるレベルを目標とする。同担当者の中国語基礎表現A(一部木1)、あるいは中国語資格試験対策ⅠA(火2)との並行履修を推奨する。これは、基礎的な語学力の涵養のみならず、一目標として検定合格を念頭におくため、週複数回に渡り、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待する故である。同様の理由により、後期同一担当者による中国語基礎文法B(一部金2・二部土2)の継続受講を原則とする。				
履修条件	条件1：中国語初心者で、全日程休むことなく、指示された学習内容について努力できる者。 条件2：中国語検定過去問WEB※に加入し、11月の中検準4級を受験できる者。 条件3：このシラバスの内容を了解している者。				
授業方法	授業形式で行う。4～5月中旬は発音を重点的に学び、それ以降はおおむね1日1課のペースで進む。毎時間小テストを実施し、客観的な到達レベルを判断する意味で、筆記試験の代わりに11月の検定試験を受験してもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	①前期筆記試験、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細（ルーブリック表）を発表。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	—	朝日出版社		理香と王麗 話す中国語 1 DVD付	董燕・遠藤光暁
	備考				
参考書	※受講者は、履修決定後に自宅学習用として「中国語検定過去問WEB」へ加入すること。（中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。）加入は教務課にて。詳細は授業時に伝える。				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前抽選の結果を受けて受講を決めたら、シラバスを再度よく読んでおく
	授業内容	○受講アンケート ○導入 ○発音①四声 ○挨拶語慣用表現① プリントを使用
	事後学習	配付プリントなどをもちいて四声・挨拶語慣用表現①の復習をする
2	事前学習	小テスト(前①)課題などをもちいて四声の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音②単母音・有気/無気音 プリント使用 ○挨拶語慣用表現② ●小テスト(前①)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて単母音・有気/無気音・挨拶語慣用表現②の復習をする
3	事前学習	小テスト(前②)課題などをもちいて単母音・有気/無気音の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音③-n/-ng・-ian・er テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現③ ●小テスト(前②)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて-n/-ng・-ian・er・挨拶語慣用表現③の復習をする
4	事前学習	小テスト(前③)課題などをもちいて-n/-ng・-ian・erの発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音④-iou/-uei/-uen・舌歯音 テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現④ ●小テスト(前③)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて-iou/-uei/-uen・舌歯音・挨拶語慣用表現④の復習をする

5	事前学習	小テスト(前④)課題などを持ちいて-iou等の綴り、舌歯音の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑤y-/w・-u テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現⑤ ●小テスト(前④)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいてy-/w・-uを用いた綴り・挨拶語慣用表現⑤の復習をする
6	事前学習	小テスト(前⑤)課題などを持ちいてy-/w・-uを用いた綴り方を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑥ソリ舌音・児化 テキスト・プリント ○挨拶語慣用表現⑥ ●小テスト(前⑤)
	事後学習	配付プリントを持ちいてソリ舌音・児化・挨拶語慣用表現⑥の復習をする
7	事前学習	小テスト(前⑥)課題などを持ちいてソリ舌音・児化の発音を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第5・6課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑥)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて疑問詞疑問文・反復疑問文等の復習をする
8	事前学習	小テスト(前⑦)課題などを持ちいて疑問詞疑問文・反復疑問文の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第7・8課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑦)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて選択疑問文等の復習をする
9	事前学習	小テスト(前⑧)課題などを持ちいて選択疑問文の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第9課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑧)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて文末付加型疑問文等の復習をする
10	事前学習	小テスト(前⑨)課題などを持ちいて文末付加型疑問文の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第11課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑨)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて所有表現等の復習をする
11	事前学習	小テスト(前⑩)課題などを持ちいて所有表現の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第12課 テキスト・プリント ●小テスト(前⑩)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて順と量の概念等の復習をする
12	事前学習	小テスト(前⑪)課題などを持ちいて順と量の概念等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット2-第10課(余裕があれば講読文を学ぶ) テキスト・プリント ●小テスト(前⑪)
	事後学習	テキストや配付プリントを持ちいて第10課講読文の復習をする
13	事前学習	前期を振り返り疑問点を整理して授業にのぞむ
	授業内容	○前期総復習 テキスト・プリント ●小テスト(前⑫)
	事後学習	前期口頭試験課題文の発音練習をする
14	事前学習	前期口頭試験課題文における疑問点を整理しておく
	授業内容	◎前期筆記試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	前期筆記試験を振り返り復習すべき部分を復習する
15	事前学習	前期口頭試験課題文の暗唱にとりくむ
	授業内容	◎前期口頭試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	前期口頭試験課題文を中心に復習する

科目名	中国語基礎文法A	担当者	本間 直人	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の入門期に習得すべき発音の原則、文法事項について学習する。なお、テキストだけでは分かりにくい点については、学習の要点をまとめたプリントなどを使って理解を深める。あわせて、最新の中国事情についても学ぶ。				
授業目的・到達目標	中国語入門の基本であるローマ字音、声調、有気音と無気音、そり舌音などについて理解する。基本的な文法事項については、豊富な練習問題によって知識を確かなものにする。初めて中国語を学ぶ学生諸君を対象に、聞く、話す、読む、書くといった総合的な中国語力の基礎づくりを目標とする。中国に対する興味と関心を深めるとともに、半年間の学習によって、中国語検定準4級に合格できる語学力の獲得を目指す。				
履修条件	特になし。				
授業方法	発音練習と基本的な文法の習得に力を入れる。また、中国語に対する興味と関心を深めるために、日本の楽曲の中国語カバー曲の紹介や中国語のなぞなぞなども授業に取り入れる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	受講態度及び小テスト（20%） 授業内テスト（80%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2006年 初版発行	白帝社	『出発 中国語』		栗原千里・王熙萍・本間直人
	備考				
参考書	授業中に説明する。				
オフィスアワー	木曜日の1、2時限に出講します。授業の前後の時間帯に教室で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認の上、授業に臨むこと。
	授業内容	ガイダンス（授業の進め方などについての説明） 発音練習
	事後学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
2	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	発音練習、第1課 人称代名詞、“是”の文について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
3	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第1課 名前の聞き方と答え方について、第2課 場所を表す指示代名詞などについて学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
4	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第2課 疑問詞“哪儿”“什么”“什么……”、省略疑問文“……呢”について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。

5	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第3課 副詞“都……”について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
6	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第3課 形容詞述語文について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
7	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第4課 指示代名詞、“的”の用法について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
8	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第4課 所有などを表す“有”、副詞“也”について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
9	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第5課 数字、量詞について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
10	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第5課 序数、“几”を用いて数を尋ねる表現について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
11	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第6課 完了の“了”、助動詞“想”について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
12	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第6課 存在を表す“有”、“多少”と“几”の違いについて学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
13	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第7課 時を表す語、月・日・曜日の言い方、時刻の言い方について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
14	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第7課 時を表す語の位置、時を表す語が述語となる文について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
15	事前学習	テキストの本文と練習問題を中心に、よく復習しておくこと。また、授業中に配布したプリントも見直しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ、振返り
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。

科目名	中国語基礎文法A	担当者	吉富 透	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	中国語を初めて習う学生が基礎文法を習得する科目である。ただし文法構造の理解だけでなく、発音表記ピンイン・書体の違いなど初歩の一步から学ぶ総合的中国語授業でもある。				
授業目的・到達目標	世界経済は中国抜きで語ることはできない。日本の大手企業も20代の社員を中国へ留学させ、将来的には日本人社員が中国で中国語を用いて顧客に接しなければならないとする動きがある。これは台湾においても同様である。就職のことも鑑み、初級中国語の基礎文法を習得しておくことが望まれる。ただし文法理解だけでコミュニケーションがとれるわけではない。そのため発音（ピンイン・四声）と現代中国語の簡体字に慣れ親しむことを目的とする。初級中国語の基礎を習得し、簡単な自己紹介を中国語でできるようになることを目指す。そのためにも発音（ピンイン）と声調を正しく理解することも要求する。総合学習により中国語検定4級レベルを到達目標とする。				
履修条件	積極的に取り組み、声を出すことに抵抗を感じない者、及び現代中国語の発音・意味・書体が日本語と全く違う外国語であると認識している者が望ましい。				
授業方法	学生参加形式で行う。テキストに従い、毎時間指名し中国語で答えていただく。また随時小テストも行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(80%)前期末の筆記試験の点数に重点をおく。 (20%)受講姿勢および授業内での小テストや発音・中国語での質問応答等を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	郁文堂		楽しく学ぼうやさしい中国語「基礎編」	張慧絹・王武雲・朱芸 共著
	備考				
参考書	『中日辞典』 小学館・講談社 『やさしくくわしい 中国語文法の基礎』守屋宏則 東方書店				
オフィスアワー	授業終了後教室内・講師控室で受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	まえがきと発音篇の説明を読み、声調とはどういうものであるのかCDを聞いておく。
	授業内容	ガイダンス 授業方針・評価方法・中国語の特徴・発音について
	事後学習	CDを聞いて声調練習をしてみる。
2	事前学習	CDを聞いて単母音・複合母音を発音してみる。 発音ローマ字ピンインを書いてみる。
	授業内容	発音練習1 中国語の声調 単母音 複合母音
	事後学習	CDを聞いて復習し、さらにピンイン表記を書いて覚える。
3	事前学習	CDを聞いて鼻母音・子音を発音してみる。 発音ローマ字ピンインを書いてみる。
	授業内容	発音練習2 中国語の鼻母音・子音とその組み合わせ
	事後学習	CDを聞いて発音の復習をし、実際の発音とピンイン表記e, iの違いを確認し覚える。 ピンインを書いて覚える。
4	事前学習	CDを聞いて鼻母音・子音を発音してみる。 発音ローマ字ピンインを書いてみる。
	授業内容	発音練習3 ピンイン表記の変化 声調の変化
	事後学習	ある母音で始まるピンイン表記が変化することを書いて確認し発音してみる。 声調の変化がある第三声と“不”“一”の変化を確認し、書いて覚える。

5	事前学習	日本語と表記が違うものをピックアップし、先に単語を覚える。 CDを聞いてピンインを見ながら発音練習してみる。
	授業内容	発音の総復習
	事後学習	日本語表記と違う単語を再確認する。 ピンイン表記を再確認し、CDを聞いて発音してみる。
6	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 自分の名前の簡体字・ピンインを中国語辞書で調べておく。
	授業内容	第1課 文法ポイント：名前の聞き方と答え方 動詞述語文（1） ドリル問題
	事後学習	自分の名前の簡体字とピンイン表記を再確認する。 「AはBです」の肯定文・否定文・疑問文を再確認する。
7	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。
	授業内容	第2課 文法ポイント：疑問詞疑問文 名詞の修飾の仕方 副詞「も」の用法 ドリル問題
	事後学習	人称代名詞・指示代名詞を確認する。 第1課と第2課の疑問文の違いを確認する。 名詞を修飾する場合の「の」に相当する“的”が不要なケースを再確認する。
8	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 形容詞述語文に“是”が用いられてないことを確認しておく。
	授業内容	第3課 文法ポイント：形容詞述語文 ドリル問題
	事後学習	場所代名詞をしっかりと覚える。 形容詞述語文の肯定文・否定文・疑問文の特徴を再確認する。特に副詞との組み合わせに注意。
9	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 時点の語句は16－17頁参照。
	授業内容	第4課 文法ポイント：動詞述語文（2） 時点を表す語句の位置 省略疑問文 ドリル問題
	事後学習	動詞述語文と時点を組み合わせた文に慣れるよう書いて覚える。
10	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。
	授業内容	第5課 文法ポイント：所在の表現 方位詞の用法 前置詞“離”を用いた表現 ドリル問題
	事後学習	英語の前置詞句と違うことを再確認する。 日本人の言語習慣上忘れやすい「中」を再確認し、日中言語の相違を再考する。
11	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 今までの否定文と違うことに着目しておく。
	授業内容	第6課 文法ポイント：所有の表現 量詞＋名詞の組み合わせ 二つの数の尋ね方 ドリル問題
	事後学習	量詞と名詞の組み合わせは一定なので、単語で覚えるよりもセットで確認する。 所有の否定文に用いられる“没”を再確認する。
12	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第5課“在”と第6課“有”の違いを確認しておく。
	授業内容	第7課 文法ポイント：存在を表現する“有”の文 各種年齢の尋ね方 ドリル問題
	事後学習	短文を自分の家族構成に沿って表現できるようにする。 第5課から第7課までの“在”と“有”、場所を表す語句がどのように並び替えされるのか再確認する。
13	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 英語の前置詞句と違うことを確認しておく。
	授業内容	第8課 文法ポイント：前置詞“在”を用いた表現 連動文（1） ドリル問題
	事後学習	4つの「で」に相当する前置詞を使い分けできるよう再確認する。 場所表現が置かれる位置を確認し、中国語の基本動詞述語文の構成を再確認する。
14	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第5課の前置詞句を確認しておく。
	授業内容	第9課 文法ポイント：動作の完了表現 前置詞“跟”を用いた表現 ドリル問題
	事後学習	動作の完了を表現する“了”の位置と否定文・疑問文を再確認する。 述語が形容詞の場合の前置詞句を再確認する。
15	事前学習	ピンインと簡体字が対照になるよう書いて覚える。 特に各種否定文の違いを整理して覚えること。
	授業内容	前期の総合復習
	事後学習	ピンインと簡体字が一致したか確認する。 疑問文に対する各種否定文の違いと数と量詞を用いた肯定文を再確認する。

科目名	中国語基礎文法A	担当者	徐 前	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	本講義は、中国語の発音と基礎文法や表現を中心に学ぶ授業である。本講義では、中国語の基本としての発音や基本知識をマスターさせると同時に、その背景とする中国の文化などに関する知識の習得にも留意する。				
授業目的・到達目標	中国語の発音、単語、基本表現などを覚えるだけではなく、それらを用いて活用することもできることを目指す。 到達目標としては 中国語のピンインと四声を正しく発音することができること 自分の名前を中国語で発音でき、また聞き取ることができること 中国語の基本文法をマスターし、簡単な自己紹介や日常会話ができること				
履修条件	1年次生(中国語の初心者)を対象とする。				
授業方法	講義と添削により指導を行い、繰り返しのトレーニングを中心に授業を進めていく。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%		授業参加度 30% 小テスト 10% 期末テスト(満点 100点 合格点 60点) 60%
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年12月 第29刷発行	白水社		一冊めの中国語 購読クラス	劉穎・喜多山幸子・松田かの子
	備考				
参 考 書	中日・日中辞典（版本、出版社の指定なし）				
オフィス アワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義に関する要望などを考えておく。
	授業内容	ガイダンス（本講義の授業計画・内容などについての説明）
	事後学習	中国語に関する基本知識を調べておく。
2	事前学習	テキストの用意
	授業内容	中国語の発音 1 単母音、四声（声調）
	事後学習	既習した単母音、四声を復習する。
3	事前学習	CDを聴きながら複合母音、子音を予習する。
	授業内容	中国語の発音 2 複合母音、子音
	事後学習	既習した複合母音、子音を復習する。
4	事前学習	CDを聴きながら鼻母音を予習する。
	授業内容	中国語の発音 3 鼻母音 総合復習
	事後学習	既習した発音と声調を復習してまとめる。

5	事前学習	第1課の単語を予習する。
	授業内容	第1課　どうぞよろしく ポイント：　人称代名詞 動詞「是」の使い方 簡単な自己紹介
	事後学習	簡単な自己紹介を練習して覚える。
6	事前学習	第2課の単語を予習する。
	授業内容	第2課　到着ロビーで ポイント：　指示代名詞 形容詞述語文
	事後学習	形容詞述語文の特徴をまとめる。
7	事前学習	第1課と第2課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第1課と第2課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ1とチャレンジ2の問題を解く。
	事後学習	既習した言葉を使って友だちと会話する。
8	事前学習	第3課の単語を予習する。
	授業内容	第3課　明日のスケジュール ポイント：　場所代名詞 動詞述語文
	事後学習	中国語の動詞述語文と日本語の動詞述語文との違いをまとめる。
9	事前学習	第4課の単語を予習する。
	授業内容	第4課　喫茶店で ポイント：　助動詞の使い方 選択疑問文
	事後学習	助動詞を用いる文の語順をまとめる。
10	事前学習	第3課と第4課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第3課と第4課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ3とチャレンジ4の問題を解く。
	事後学習	動詞述語文の構文について復習する。
11	事前学習	第5課の単語を予習する。
	授業内容	第5課　コンビニで買い物 ポイント：　数詞・量詞の使い方 名詞文
	事後学習	数詞・量詞の読み方を練習して覚える。
12	事前学習	第6課の単語を予習する。
	授業内容	第6課　電子辞書がほしい ポイント：　動詞「在」と「有」の使い方 反復疑問文
	事後学習	動詞「在」と「有」の違いをまとめる。
13	事前学習	第5課と第6課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第5課と第6課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ5とチャレンジ6の問題を解く。
	事後学習	動詞「在」と「有」を用いて作文してみる。
14	事前学習	これまでに習ったことをまとめる。
	授業内容	総合復習
	事後学習	これまでに習った発音や基本文法を独自で復習する。
15	事前学習	既習したことをじっくり復習して覚える。
	授業内容	期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	中国語の勉強についてのまとめを独自でする。

科目名	中国語基礎文法A	担当者	鄭 曉青	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の発音記号、簡体字、簡単な文型を学ぶ。				
授業目的・到達目標	基本的な日常会話を学ぶ。簡単な会話から入り、反復繰り返しにより発音になじみ、中国語の発音記号と四声を修得させる。発音と基本文法を身につけ、中国語で自己紹介ができるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	初歩の中国語で最も大切な発音に特に重点を置いて指導する。二人で組んで会話の練習をする				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（学習の積極性）及び小テスト。40%小テストと60%前期の発音テスト	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	隆美出版		歩歩高	康音
	備考				
参考書	中国語辞書必要 指定なし				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を読む
	授業内容	年間講義計画・成績評価の方法・数の読み方
	事後学習	復習
2	事前学習	数を暗記
	授業内容	発音Ⅰ 発音Ⅱ
	事後学習	復習
3	事前学習	予習
	授業内容	発音Ⅲ
	事後学習	復習
4	事前学習	予習
	授業内容	発音Ⅳ
	事後学習	発音のまとめ

5	事前学習	予習
	授業内容	第1課 お名前は
	事後学習	復習
6	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
7	事前学習	予習
	授業内容	第2課 何人家族ですか
	事後学習	復習
8	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
9	事前学習	予習
	授業内容	第3課 マクドナルドに行きますか
	事後学習	復習
10	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
11	事前学習	予習
	授業内容	第4課 今日は何曜日ですか
	事後学習	復習
12	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
13	事前学習	予習
	授業内容	第5課 いくらですか
	事後学習	復習
14	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
15	事前学習	復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ

科目名	中国語基礎文法B	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基礎発音の練習は尚も継続しつつ、初歩的会話表現、初歩的文法事項の習得を目指し、授業を進めてゆく。			
授業目的・到達目標	中国語の基礎発音を習得し、基礎中国語の文法知識、語彙力、表現力を身につけることを目的とする。中国語の基礎発音、初歩的会話表現を習得することができる。			
履修条件	継続して授業に出席すること。授業中、発音練習の際、読込の際は大声で丁寧に発音すること。			
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	なし	
	平常評価	100%	後期試験(授業内)、平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第13刷	白帝社	出発 中国語	本間直人、栗原千里、王熙萍
	備考			
参考書	なし			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 時間の長さの表現、動作の回数と継続時間
	事後学習	時間の長さの表現、動作の回数と継続時間の用法に関して読んで書いて練習すること。
2	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 離合詞、介詞「從」「在」
	事後学習	離合詞、介詞「從」「在」の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 経験を表す「過」、可能を表す助動詞「会」「能」「可以」
	事後学習	経験を表す「過」、可能を表す助動詞「会」「能」「可以」の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 反復疑問文、選択疑問文「還是」
	事後学習	反復疑問文、選択疑問文「還是」の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 方位を表す言い方、存在を表す「有」「在」
	事後学習	方位を表す言い方、存在を表す「有」「在」の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 介詞「給」、動詞「喜歡」
	事後学習	介詞「給」、動詞「喜歡」の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 程度補語、動詞の重ね型
	事後学習	程度補語、動詞の重ね型の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 介詞「離」、連動文
	事後学習	介詞「離」、連動文の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 動作進行の「在」
	事後学習	動作進行の「在」の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「別」、「的」の用法
	事後学習	禁止を表す「別」、修飾語と被修飾語を繋ぐ「的」の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第13課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第13課 「是～的」構文
	事後学習	「是～的」構文の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第13課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第13課 比較表現
	事後学習	比較表現の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第14課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第14課 二重目的語をとる動詞
	事後学習	二重目的語をとる動詞の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第14課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第14課 使役の「讓」
	事後学習	使役の「讓」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	後期中に学習した内容を事前に整理して頭に入れておくこと。
	授業内容	後期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々には読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	中国語基礎文法B	担当者	小林 光考	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期から継続する授業で、中国語基礎文法Aにおいて文法を中心に身に付けた基礎文法力を礎として、更にしっかりとした発音力や語彙力などの面における総合的な中国語基礎力の強化、完成を行ってゆく。			
授業目的・到達目標	前期に引き続き基礎文法力及び発音の習得を到達の最大目標とする。具体的には、基本的な文法事項の理解、ピンインを正しくしっかり読める、聞き取れる各種基礎能力を習得し、中級に進める能力の習得を目指す。1 1月に行われる中国語検定試験準4級合格を目指す。			
履修条件	単位取得だけの為ではなく中国語を進んで学習し、習得したいという意欲を持っていること。授業に関する一般的な決まり（規定数以上の欠席や遅刻、私語、居眠り、授業以外の事をしないなど）を守ることが出来ること。			
授業方法	先に文法の説明を行いその後、学生を指名して本文訳、練習問題等を解いて教科書を進めて行く。また同時に中国語学習に有用な時事面、文化面などの知識も合わせて教授していく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	学期末試験（リスニングを含む）65%。本文音読テスト10%。平常点(授業態度、積極性(予習や宿題の履行など授業への参加度)25%。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	白水社	中国語1年め	緒方昭・小林光考・胡慶華
	備考			
参考書	【参考書】『やさしくくわしい中国語文法の基礎』守屋宏則著、東方書店刊、『完全マスター中国語文法改訂版』瀬戸口律子著、語研刊【辞典】状況によって中日辞典を使用する場合がある。具体的なものについては授業中に紹介する。			
オフィスアワー	授業開始前（教員控室）又は授業終了後（教室）で直接訪ねること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書発音部及び第1～5課全事項について、再度確認
	授業内容	前期試験解説 前期授業復習
	事後学習	前期試験の問題点改善、授業の進め方の確認
2	事前学習	第6課予習
	授業内容	第6課① いっしょに遊びに出かける
	事後学習	第6課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
3	事前学習	第6課文法事項等について、教科書で再度確認、第6、7課予習
	授業内容	第6課② いっしょに遊びに出かける 第7課① 花火は何時から？
	事後学習	第6課全事項の習得確認、第7課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
4	事前学習	第7課予習
	授業内容	第7課② 花火は何時から？
	事後学習	第7課全事項の習得確認

5	事前学習	第8課予習
	授業内容	第8課① 学園祭
	事後学習	第8課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
6	事前学習	第8課文法事項について、教科書で再度確認、第8、9課予習
	授業内容	第8課② 学園祭 第9課① カラオケに行く
	事後学習	第8課全事項の習得確認、第9課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
7	事前学習	第9課文法事項等について、教科書で再度確認、第9課予習
	授業内容	第9課② カラオケに行く
	事後学習	第9課全事項の習得確認
8	事前学習	第10課予習
	授業内容	第10課① 中国の映画を見る
	事後学習	第10課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
9	事前学習	第10課文法事項等について、教科書で再度確認、第10、11課予習
	授業内容	第10課② 中国の映画を見る 第11課① 帰国を前にして
	事後学習	第10課全事項の習得確認、第11課文法事項等の取得確認及び本文訳、練習問題の解答
10	事前学習	第11課文法事項等について、教科書で再度確認、第11課予習
	授業内容	第11課② 帰国を前にして
	事後学習	第11課全事項の習得確認
11	事前学習	第12課予習
	授業内容	第12課① 空港で
	事後学習	第12課文法事項等の習得確認及び本文訳、練習問題の解答
12	事前学習	第12課文法事項等について、教科書にて再度確認、第12課予習
	授業内容	第12課② 空港で
	事後学習	第12課全事項の習得確認
13	事前学習	第6～12課の習得確認
	授業内容	後期授業総復習
	事後学習	後期授業における習得の総確認
14	事前学習	教科書本文音読テスト準備
	授業内容	教科書本文音読テスト
	事後学習	教科書本文音読テストの問題点改善
15	事前学習	後期試験準備
	授業内容	後期試験及び振り返り、まとめ
	事後学習	後期試験の問題点改善、中級に向けた春休みにおける学習

科目名	中国語基礎文法B	担当者	篠田 幸夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代中国語の発音と文法の基礎を学ぶ。			
授業目的・到達目標	中国語の正確な発音を習得し、そして基本構文に習熟する。日本語とは異なる場合もある中国語の語順体系をしっかりと把握し、将来文章を読解するために有効な分析方法の基礎を学ぶ。さらに見て分かるだけでなく聞いて分かり且つ話せる単語量を増やす。形容詞・動詞述語文の基本語順や連体・連用修飾語の位置、補語の語順、助動詞「会・能・可以」「想・要」、助詞「了・着・」の用法、「不」と「没」の違い、動詞の重ね型、「一下」、「把」構文について説明できる。			
履修条件	休まず授業に参加できる。授業以外に1回10分以上1週間に2回以上の復習を習慣化できる。授業に積極的に参加し失敗を恐れずに発音練習できる。小テストの準備ができる。私語を我慢できる。			
授業方法	学生が主体となって練習する機会を非常に多く取る。概ね以下の順に進める。重要事項の説明・CDを使って発音練習・和訳練習・中訳練習・作文練習・小テスト。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	期末試験50%、小テスト50%。私語・居眠り・練習しない・独自の判断で練習を終えてしまう場合は減点する。出席点はない。11月の中国語検定試験4級合格者には加点する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2009年	朝日出版社	『新訂 語法ルール66-漢語精粹』	相原茂・玄宜青
	備考			
参考書	相原 茂 他 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 』 同学社 相原 茂『謎解き中国語文法 』講談社現代新書			
オフィスアワー	「shinoda.hanyu2018@gmail.com」で対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	単母音・子音・複合母音・鼻母音を正確に発音できるようにする。動詞述語文・形容詞述語文について説明できるようにする。修飾語の種類と位置について説明できるようにする。第9課までの本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
	授業内容	復習（発音の基礎、四つの述語文、連体修飾語、連用修飾語）
	事後学習	第9課までの本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
2	事前学習	第10課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第10課（進行態、前置詞「离・往」、助動詞「要・得」）
	事後学習	進行態、前置詞「离・往」、助動詞「要・得」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
3	事前学習	第11課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第10課小テスト 第11課（連動文、使役「讓・叫」、前置詞「給」）
	事後学習	連動文、使役「讓・叫」、前置詞「給」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
4	事前学習	第12課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第11課小テスト 第12課（「不」と「没」の使い分け、二重目的語を取る動詞、様態補語）
	事後学習	「不」と「没」の使い分け、二重目的語を取る動詞、様態補語について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。

5	事前学習	第13課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第12課小テスト 第13課（助動詞「会・能・可以」、助動詞「想・要」、完了の「了」）
	事後学習	助動詞「会・能・可以」、助動詞「想・要」、完了の「了」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
6	事前学習	第14課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第13課小テスト 第14課（持続の「着」、経験の「過」）
	事後学習	持続の「着」、経験の「過」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
7	事前学習	第15課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第14課小テスト 第15課（完了の「了」と変化の「了」）
	事後学習	完了の「了」と変化の「了」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
8	事前学習	第10課～第15課の中で発音を聞いて不明な単語がないようにする。
	授業内容	第15課小テスト 第10課～第15課の復習
	事後学習	第10課～第15課の文法事項について説明できるようにする。
9	事前学習	第16課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第16課（自然現象、比較、「少し」の言い方、近い未来を表す「了」）
	事後学習	自然現象、比較、「少し」の言い方、近い未来を表す「了」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
10	事前学習	第17課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第16課小テスト 第17課（結果補語、受け身）
	事後学習	結果補語、受け身について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
11	事前学習	第18課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第17課小テスト 第18課（動詞の重ね型、「一下」、「把」構文）
	事後学習	動詞の重ね型、「一下」、「把」構文について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
12	事前学習	第19課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第18課小テスト 第19課（方向補語、可能補語、「越来越」）
	事後学習	方向補語、可能補語、「越来越」について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
13	事前学習	第20課進出単語欄のピンインと漢字を記入する。
	授業内容	第19課小テスト 第20課（疑問詞の呼応、複文、離合詞）
	事後学習	疑問詞の呼応、複文、離合詞について説明できるようにする。本文の内容が聞き取れるようになるまでCDを繰り返し聞き、同時に本文を正確な声調で発音できるように練習する。
14	事前学習	第10課～第20課の中で発音を聞いて不明な単語がないようにする。
	授業内容	総復習
	事後学習	第10課～第20課の中で発音を聞いて不明な単語がないようにする。第10課～第20課の文法事項について説明できるようにする。
15	事前学習	第10課～第20課の中で発音を聞いて不明な単語がないようにする。第10課～第20課の文法事項について説明できるようにする。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	20課までを随時復習する。

科目名	中国語基礎文法B	担当者	白石 裕一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初級中国語。				
授業目的・到達目標	中国語基礎文法Aに引き続き、中国語の基礎的な力を身に着ける。特に文法を重点的に学ぶ。単語を約300覚える。中国語の文の構造を理解し、簡単な文章を翻訳・作文できるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教科書に沿ってすすめていく。毎回単語テストを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内試験50%。授業内評価50%：単語テストなど30%、授業参加度20%。遅刻・早退は3回をもって1回の欠席とする。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	朝日出版社	初級中国語　オリンピックへようこそ　講読編		徐送迎
	備考				
参考書	『中日辞典　第3版』　講談社				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	単語の復習
	事後学習	忘れてしまっている単語はよく覚えておくこと。
2	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第7課 結果補語、助動詞“要”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
3	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第7課 “因為～所以～”、比較文“A比B～”、介詞“離～”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
4	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第8課 介詞“向～”、動態助詞“着”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。

5	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第8課 時量補語、様態補語、使役表現
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
6	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第9課 可能補語、単純方向補語
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
7	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第9課 助動詞“能”、反復疑問文、“有点兒”と“一点兒”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
8	事前学習	声調の確認をしておくこと。
	授業内容	発音の復習
	事後学習	声調は必ずできるようにしておくこと。
9	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第10課 存現文、主述述語文
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
10	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第10課 助動詞“会”、“如果～就～”、助動詞“可以”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
11	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第11課 選択疑問文“(是)A, 還是B”、挿入語“据说～”と“ting説～”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
12	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第11課 介詞“gen～”、動量補語
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
13	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第12課 動詞“地”、介詞“用～”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
14	事前学習	教科書に意味が書いてある単語でも、自分の辞書で意味を確認しておくこと。
	授業内容	第12課 “把”構文、受身分“被～”、副詞“又”と“再”
	事後学習	聴いて意味が理解できるまで、CDを繰り返し聞くこと。
15	事前学習	これまでに学習してきた内容を総復習しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	よく理解できていないところを再度復習しておくこと。

科目名	中国語基礎文法B	担当者	福木 滋久	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	中国語の発音を身につけ、半年の学習を終えた学習者向きの入門講座。ビデオストーリーを見ながら、中国語の基本文法を学ぶ。同じ担当者の中国語基礎表現(一部木1)と内容は異なるが同一テキストを用いる。同教員の担当講座の並行履修者には試験等の負担に配慮した特典を設ける。受講する者は、以下「履修条件」3項を満たしている必要があるので、よく考えてエントリーすること。				
授業目的・到達目標	本授業は、中国語初心者が、半年の発音学習と基本的な中国語の知識を得た段階として、簡単な文章を聞き取れ、話せ、読めるようになることを目指す。具体的には、4月にゼロからスタートした者が、11月の中国語検定試験において準4級を取得できるレベルが目標である。同担当者の中国語基礎表現B(一部木1)、あるいは中国語資格試験対策1B(火2)との並行履修を推奨する。これは、基礎的な語学力の涵養のみならず、一目標として検定合格を念頭におくため、週複数回に渡り、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待する故である。同様の理由により、同一担当者による前期中国語基礎文法A(一部金2・二部土2)からの継続受講を原則とする。				
履修条件	条件1：中国語初心者で、全日程休むことなく、指示された学習内容について努力できる者。 条件2：中国語検定過去問WEB※に加入し、11月の中検準4級を受験できる者。 条件3：このシラバスの内容を了解している者。				
授業方法	授業形式で行う。4～5月中旬は発音を重点的に学び、それ以降はおおむね1日1課のペースで進む。毎時間小テストを実施し、客観的な到達レベルを判断する意味で、筆記試験の代わりに11月の検定試験を受験してもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	①中国語検定試験績、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細(ループリック表)を発表。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	—	朝日出版社		理香と王麗 話す中国語1 DVD付	董燕・遠藤光暁
	備考				
参考書	※受講者は、履修決定後に自宅学習用として「中国語検定過去問WEB」へ加入すること。(中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。)加入は教務課にて。詳細は授業時に伝える。				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ネットワークドライブより小テスト(後①)課題を入手し、覚えて授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第13課 テキスト・プリント ●小テスト(後①)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて存在表現等の復習をする
2	事前学習	小テスト(後①)課題などをもちいて存在表現の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第14課 テキスト・プリント ●小テスト(後②)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて年齢・学年の尋ね方等の復習をする
3	事前学習	小テスト(後③)課題などをもちいて年齢・学年の尋ね方に関する例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第15課 テキスト・プリント ●小テスト(後③)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて能力を表わす助動詞の復習をする
4	事前学習	小テスト(後④)課題などをもちいて能力を表わす助動詞を用いた例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第17課 テキスト・プリント ●小テスト(後④)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて時刻・曜日等の復習をする

5	事前学習	小テスト(後⑤)課題などをもちいて時刻・曜日の言い方等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第18課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑤)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて前置詞等の復習をする 過去問WEBに取り組む
6	事前学習	小テスト(後⑥)課題などをもちいて前置詞を用いた例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第19課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑥)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて比較表現等の復習をする 過去問WEBに取り組む
7	事前学習	小テスト(後⑦)課題などをもちいて比較表現の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット4-第20課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑦)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて金額の言い方の復習をする 過去問WEBに取り組む
8	事前学習	小テスト(後⑧)課題などをもちいて金額の言い方等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○検定試験直前対策 テキスト・プリント ●小テスト(後⑧)
	事後学習	ここまでの学習を振り返り復習しておく 過去問WEBに取り組む
9	事前学習	検定試験準備 過去問WEBに取り組む
	授業内容	○検定試験本年度秋期準4級問題解答と解説
	事後学習	検定試験本年度秋期準4級問題を中心とした復習
10	事前学習	過去問WEBで4級の過去問題に取り組んでみる
	授業内容	○検定試験本年度秋期4問題級解答と解説
	事後学習	検定試験本年度秋期4級問題を中心とした復習
11	事前学習	小テスト(後⑨)課題などをもちいて四声の発音の例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第21課 テキスト・プリント ●小テスト(後⑨)
	事後学習	テキストや配付プリントをもちいて“一下”“給”等の復習をする
12	事前学習	小テスト(後⑩)課題などをもちいて“一下”“給”を用いた例文等を覚え授業にのぞむ
	授業内容	○ユニット3-第16課 (余裕があれば講読文を学ぶ) テキスト・プリント ●小テスト(後⑩)
	事後学習	ユニット3の復習 後期口頭試験課題文の発音練習
13	事前学習	ユニット4の疑問点を整理しておく
	授業内容	○ユニット4-第22課 (余裕があれば講読文を学ぶ) テキスト・プリント ●小テスト(後⑪)
	事後学習	ユニット4の復習 後期口頭試験課題文の発音練習
14	事前学習	後期口頭試験課題文の疑問点を整理しておく
	授業内容	○後期口頭試験の練習 プリント ●小テスト(後⑫)
	事後学習	後期口頭試験課題文の暗唱
15	事前学習	後期口頭試験の準備
	授業内容	◎後期口頭試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	後期口頭試験課題文を中心に復習する

科目名	中国語基礎文法B	担当者	本間 直人	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の入門期に習得すべき発音の原則、文法事項について学習する。なお、テキストだけでは分かりにくい点については、学習の要点をまとめたプリントなどを使って理解を深める。あわせて、最新の中国事情についても学ぶ。				
授業目的・到達目標	中国語入門の基本であるローマ字音、声調、有気音と無気音、そり舌音などについて理解する。基本的な文法事項については、豊富な練習問題によって知識を確かなものにする。聞く、話す、読む、書くといった総合的な中国語力の基礎づくりを目標とする。中国に対する興味と関心を深めるとともに、中国語検定４級に合格できる語学力の獲得を目指す。				
履修条件	特になし。				
授業方法	発音練習と基本的な文法の習得に力を入れる。また、日本の楽曲の中国語カバー曲の紹介や中国語のなぞなぞなども授業に取り入れる。理解の助けのために、学習の要点をまとめたプリントなどを用意する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	受講態度及び小テスト（20%） 授業内テスト（80%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2006年 初版発行	白帝社		『出発 中国語』	栗原千里・王熙萍・本間直人
	備考				
参考書	授業中に説明する。				
オフィスアワー	木曜日の1、2時限に出講します。授業の前後の時間帯に教室で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業の進め方などについての説明） 第8課 時間の長さの表現、動作・行為の回数と継続時間について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
2	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第8課 離合詞、介詞“从”“在”について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
3	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第9課 助動詞“会、能、可以”について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
4	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第9課 反復疑問文、選択疑問文について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。

5	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第10課 方位を表す言い方、存在を表す言い方について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
6	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第10課 動作の対象や受益者を導く表現について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
7	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第11課 程度補語、動詞の重ね型について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
8	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第11課 介詞“离”、連動文について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
9	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第12課 動作進行の“在”、“的”の用法について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
10	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第12課 禁止表現について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
11	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第13課 過去の強調を表す“是……的”、“比”の比較表現について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
12	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第13課 “没有”の比較表現、類似を表す表現について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。指定された例文を暗記すること。
13	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第14課 二重目的語をとる動詞、使役表現について学習する。 小テスト
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
14	事前学習	授業内容について、テキスト付属のCDを使って、発音練習をしておくこと。
	授業内容	第14課 “跟……一起”を用いた表現について学習する。
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
15	事前学習	テキストの本文と練習問題を中心に、よく復習しておくこと。また、授業中に配布したプリントも見直しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。

科目名	中国語基礎文法B	担当者	吉富 透	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	中国語基礎文法（中国語初級文法）Aを履修し単位を取得した者が、それを基に応用発展させた基礎文法を習得する科目である。					
授業目的・到達目標	前期で習得した中国語基礎文法をさらに発展・応用させた文法を習得し、併せて11月に実施される中国語検定試験準4級・4級合格レベルに到達することを目指す。					
履修条件	積極的に取り組み、声を出すことに抵抗を感じない者、及び現代中国語が日本語で通じるなどと安易に考えていない積極的な者が望ましい。					
授業方法	学生参加形式で行う。テキストに従い、毎時間指名し中国語で答えていただく。また随時小テストも行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		(80%)後期末の筆記試験の点数に重点をおく。 (20%)受講姿勢および授業内での小テストや発音・中国語での質問応答等を評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	郁文堂		楽しく学ぼうやさしい中国語「基礎編」		張慧絹・王武雲・主芸 共著
	備考					
参考書	『中日辞典』 小学館・講談社 『やさしくくわしい 中国語文法の基礎』守屋宏則 東方書店					
オフィスアワー	教室内あるいは講師控室で受け付けています。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。
	授業内容	第10課 文法ポイント：願望表現 選択疑問文 提案文 ドリル問題
	事後学習	助動詞文の肯定文・否定文・二種類の疑問文を確認する。 選択疑問文と提案文の構文を確認する。
2	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第5課・第8課の形容詞が述語になる時の前置詞句との違いに着目しておく。
	授業内容	第11課 文法ポイント：比較表現 「～が好きだ」の表現 副詞“越”の用法 ドリル問題
	事後学習	第5課・第8課・第11課の前置詞句の違いを再確認する。特に比較文の否定文に気を付ける。 日本人が間違えやすい“好”の意味を再確認し、中国語の「好き」「嫌い」を正しく覚える。
3	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第9課の“了”を用いた文と比較してみる。
	授業内容	第12課 文法ポイント：過去の経験表現 助動詞“打算” 状況の変化表現 ドリル問題
	事後学習	第9課“了”を用いた文との違いを再確認する。 第10課の助動詞と合わせて否定文の表現を再確認する。
4	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第9課・第12課の時制文と文構成を比較してみる。 第8課の連動文を再確認しておく。
	授業内容	第13課 文法ポイント：動作の進行表現 連動文（2） 推量と確認の表現 ドリル問題
	事後学習	3つの時制文を整理し再確認する。 第8課の連動文との違いを整理し再確認する。

5	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 助動詞使用法の違いを読んでおく。
	授業内容	第14課 文法ポイント：3つの「できる」の表現 動詞の重ね型 依頼の表現（1） ドリル問題
	事後学習	三種類の助動詞の使用法と否定文のニュアンスの違いを再確認する。 命令形と依頼文の違いを再確認する。
6	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第5（時点）・8（場所・前置詞）・9（了）課の内容を再確認しておく。
	授業内容	第15課 強調表現（1） お金の言い方 ドリル問題
	事後学習	第5課と第9課の語順を再確認し、強調文の構成文字の位置を再確認する。 数に慣れるようCDを聞いて発音し再確認する。
7	事前学習	ピンインと簡体字が対照になるよう書いて覚える。 時制文を覚える。特に助動詞文も含めて各種否定文の違いを整理して覚えること。
	授業内容	既習事項の確認
	事後学習	ピンインと簡体字が一致したか確認する。 疑問文に対する各種否定文の違いと時点・場所・数量表現を再確認する。
8	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第9・15課の前置詞文を確認しておく。
	授業内容	第16課 文法ポイント：依頼の表現（2） 結果補語の表現 前置詞“用”を用いた文 ドリル問題
	事後学習	結果補語の有無による肯定文と否定文の違いを整理し再確認する。 前置詞文の否定文が第5・9課と違うことを再確認する。
9	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 方向補語の説明文を読んでおく。動詞が述語になる前置詞文を確認しておく。
	授業内容	第17課 文法ポイント：方向補語の表現 前置詞“給”“従”を用いた表現 ドリル問題
	事後学習	各種前置詞の用法を整理し再確認する。 方向補語のニュアンスを再確認する。
10	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第12課の助動詞を確認しておく。
	授業内容	第18課 文法ポイント：可能補語の表現 「それから」の表現 ドリル問題
	事後学習	第16課の結果補語からの応用形であることを整理し再確認する。 第12課「できる」表現との違いを整理し再確認する。
11	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第3課形容詞文と第9課の“了”を用いた文を再確認しておく。
	授業内容	第19課 文法ポイント：様態補語の表現 時間量の表現と“了” ドリル問題
	事後学習	様態補語の肯定文は日本語表現の語順と同じであり、否定文疑問文は第3課と同じ表現であることを再確認する。 時間量の表現がある場合の“了”の位置を再確認する。
12	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 英語と同じ文構造であることと、助動詞の説明文を読んでおく。
	授業内容	第20課 文法ポイント：二重目的語を用いる動詞 助動詞を用いた「しなければならない」の表現 ドリル問題
	事後学習	助動詞の否定文を再確認し、併せて各種助動詞を整理して覚える。
13	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第16課の依頼文の構成を確認しておく。
	授業内容	第21課 文法ポイント：使役の表現 副詞を用いた各種強調表現（2） ドリル問題
	事後学習	使役文の文構成を整理し、日本語の翻訳の仕方を再確認する。 各種程度副詞と併せて整理し再確認する。
14	事前学習	新出語句の意味・ピンインを調べ、CDを聞いて発音してみる。 第21課の使役文の文構成を確認しておく。
	授業内容	第22課 文法ポイント：受身の表現 近接未来の表現 伝聞表現 ドリル問題
	事後学習	使役文と受身文の違いを整理し再確認する。 近接未来表現にも“了”が用いられるが、第9・12課の“了”と区分できるよう整理し再確認する。
15	事前学習	ピンインと簡体字が対照になるよう書いて覚える。 特に各種補語表現と否定文の違いを整理して覚えること。
	授業内容	一年間の基礎中国語文法総復習
	事後学習	ピンインと簡体字が一致したか確認する。 疑問文に対する各種否定文の違いと時間量を用いた肯定文・各種補語表現を再確認する。

科目名	中国語基礎文法B	担当者	徐 前	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-----	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義は、中国語の発音と基礎文法や表現を中心に学ぶ授業である。本講義では、中国語の基本としての発音や基本知識をマスターさせると同時に、その背景とする中国の文化などに関する知識の習得にも留意する。			
授業目的・到達目標	これまで学んだ中国語の発音や表現を復習しながら、中国語の読解力と会話力をレベルアップすることを目指す。 到達目標としては 簡単な自己紹介ができること 中国語の言葉や表現を用いて簡単な日常会話ができること 基本文法を活用して簡単な作文が出来ること			
履修条件	中国語基礎文法Aを修了した学生を対象とする。			
授業方法	講義と添削により指導を行い、繰り返しのトレーニングを中心に授業を進めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業参加度 30% 小テスト 10% 期末テスト(満点 100点 合格点 60点)60%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年12月 第29刷発行	白水社	一冊めの中国語 購読クラス	
	備考			
参考書	中日・日中辞典 (版本、出版社の指定なし)			
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第7課の単語を予習する。
	授業内容	第7課 京劇を見る ポイント： 完了を表わす助詞「了」の使い方 連動文
	事後学習	助詞「了」を用いて作文してみる。
2	事前学習	第8課の単語を予習する。
	授業内容	第8課 ファーストフード店で昼食 ポイント： 変化を表わす助詞「了」の使い方 前置詞の使い方
	事後学習	完了を表わす助詞「了」と変化を表わす助詞「了」の違いをまとめる。
3	事前学習	第7課と第8課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第7課と第8課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ7とチャレンジ8の問題を解く。
	事後学習	二つの「了」を用いて作文してみる。
4	事前学習	第9課の単語を予習する。
	授業内容	第9課 カラオケ店で ポイント： 助動詞「会」「能」「可以」の使い方
	事後学習	「会」「能」「可以」の相違点についてまとめる。

5	事前学習	第10課の単語を予習する。
	授業内容	第10課 万里の長城に登る ポイント： 時刻の言い方 方向補語
	事後学習	方向補語の使い方を復習する。
6	事前学習	第9課と第10課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第9課と第10課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ9とチャレンジ10の問題を解く。
	事後学習	時刻の言い方を復習して覚える。
7	事前学習	第11課の単語を予習する。
	授業内容	第11課 診察を受ける ポイント： 比較の表現 「是～的」の使い方
	事後学習	比較表現の構文を復習する。
8	事前学習	第12課の単語を予習する。
	授業内容	第12課 タクシーに乗る ポイント： 結果補語 前置詞「把」「从」「到」の使い方
	事後学習	既習した前置詞の使い方についてまとめる。
9	事前学習	第11課と第12課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第11課と第12課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ11とチャレンジ12の問題を解く。
	事後学習	前置詞「把」「从」「到」などを用いて作文してみる。
10	事前学習	第13課の単語を予習する。
	授業内容	第13課 修理を頼む ポイント： 使役動詞 疑問詞「怎么」の使い方
	事後学習	使役動詞の構文を復習する。
11	事前学習	第14課の単語を予習する。
	授業内容	第14課 訪問する ポイント： 様態動詞 動詞の進行形
	事後学習	動詞の進行形を復習する。
12	事前学習	第13課と第14課の本文の内容をよく復習する。
	授業内容	第13課と第14課の本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ13とチャレンジ14の問題を解く。
	事後学習	既習した補語の種類をまとめる。
13	事前学習	第15課の単語を予習する。
	授業内容	第15課 乾杯 ポイント： 名詞を修飾する語 主述構造の目的語
	事後学習	本文の内容に基づく会話の練習をする。 チャレンジ15の問題を解く。
14	事前学習	これまでに習ったことをまとめる。
	授業内容	総合復習
	事後学習	これまでに習った言葉、表現および基本文法を独自で復習する。
15	事前学習	既習した言葉や表現をじっくり復習して覚える。
	授業内容	期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	中国語の勉強についてのまとめを独自でする。

科目名	中国語基礎文法B	担当者	鄭 曉青	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の発音記号、簡体字、簡単な文型を学ぶ。				
授業目的・到達目標	基本的な日常会話を学ぶ。簡単な会話から入り、反復繰り返しにより発音になじみ、中国語の発音記号と四声を修得させる。発音と基本文法を身につけ、中国語で自己紹介ができるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	初歩の中国語で最も大切な発音に特に重点を置いて指導する。二人で組んで会話の練習をする				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（学習の積極性）及び小テスト。40%小テストと60%期末テスト。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	隆美出版		步步高	康音
	備考				
参考書	中国語辞書必要 指定なし				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習
	授業内容	第6課
	事後学習	復習
2	事前学習	単語を暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
3	事前学習	予習
	授業内容	第7課
	事後学習	復習
4	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認

5	事前学習	予習
	授業内容	第8課
	事後学習	復習
6	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
7	事前学習	予習
	授業内容	第9課
	事後学習	復習
8	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
9	事前学習	予習
	授業内容	第10課
	事後学習	復習
10	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
11	事前学習	予習
	授業内容	第11課
	事後学習	復習
12	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
13	事前学習	予習
	授業内容	第12課
	事後学習	復習
14	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
15	事前学習	復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ

科目名	中国語演習A	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現をみにつけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて学習する学生を対象として、中国語の基礎知識を習得させるものです。そのために、正しい発音を訓練しながら、基本文型や、簡単な会話ができ、簡単な文章が理解できる学力を身につけることを目的として授業を進めます。 或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させ、上級へすすむための基礎的な学力を身につけ、コミュニケーションできるようになるのは、この授業の目的です。初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互交通的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生或いは初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから相互的なコミュニケーション能力を獲得したい学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィスアワー	水曜１６：１０やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDを聞き、先に発音の練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音
	事後学習	CDを聞きながら、中国語の発音とピンインの書き方を覚える
2	事前学習	CDを聞く、発音を練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音と声調
	事後学習	勉強した発音を、CDをききながら覚えること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発音 声調変化と総合練習
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	挨拶言葉と自己紹介を通して発音のチャックをする。 クラスメイトの名前を中国語で覚える。
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	日期と時刻：年月日について、時刻、またお誕生日について、会話する。 準備：家族構成と職業に関する単語を調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	家庭：家族についての紹介と質問
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	年齢：各年齢段についての聞き方と答え。 宿題：今まで勉強をしたものを文章にまとめ、発表。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	中間発表 次の課を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	方位：学内と学校周囲にあるものについて質問と答え；関連単語を事前に調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	行為（未然）：自分の日常生活のスケジュールを事前に予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	職業：自分とご家族の職業についての関連用語を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	評価：教科書以外に自分が知っている事について評価する。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	買い物：人民元の言い方と値段を聞く、値引きの練習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
14	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発表テスト 小文章を書き、口頭発表と筆記テスト
	事後学習	問題を修正し、正しい表現で暗記すること

15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	中国の映画を鑑賞
	事後学習	感想文を書く

科目名	中国語演習A	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語初中級表現の読込練習を繰り返し行い、加えて中国の時事問題に関連した中国語表現も学習する。			
授業目的・到達目標	中国語発音の基礎を固め、更に中国語の初中級表現能力を初歩的に習得することを目的とする。基礎発音を掌握し、中国語初中級表現能力の習得を目指すことができる。			
履修条件	すでに1年間以上の中国語学習経験のある人。			
授業方法	所定教科書の内容に沿って進める。授業中は繰り返し発音練習を行うので、その際は大声で丁寧に発音すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	前期試験(授業内)・平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第45刷	白水社	《新版》中国語さらなる一歩	尹景春、竹島毅
	備考	なし		
参考書	なし			
オフィス アワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業時間や講堂番号を間違えない様しっかりと時間割を確認すること。
	授業内容	授業説明
	事後学習	教科書を出来るだけ早く揃えられる様心掛けること。
2	事前学習	事前に第1課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 助動詞「可以」「要」
	事後学習	助動詞「可以」「要」の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第1課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 主述述語文
	事後学習	主述述語文の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第2課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 原因や理由を表す「因為」
	事後学習	原因や理由を表す「因為」の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第2課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 逆接を表す「可是」
	事後学習	逆接を表す「可是」の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第3課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 連動文、「是～的」の文
	事後学習	連動文、「是～的」の文の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第3課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 疑問詞「怎麼」
	事後学習	疑問詞「怎麼」の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第4課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 「了」の三つの用法
	事後学習	「了」の三つの用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第4課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 副詞「就」
	事後学習	副詞「就」の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 結果補語「懂、完、到、錯、好」、副詞「有点兒」
	事後学習	結果補語「懂、完、到、錯、好」、副詞「有点兒」の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 仮定を表す「要是」
	事後学習	仮定を表す「要是」の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 存現文
	事後学習	存現文の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 主語がフレーズの時
	事後学習	主語がフレーズの時の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 「又～又～」「一边兒～一边兒～」の用法
	事後学習	「又～又～」「一边兒～一边兒～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	前期中に学習した内容を整理して事前に頭に入れておくこと。
	授業内容	前期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様心掛けること。

科目名	中国語演習A	担当者	劉 力	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	授業中、発音の繰り返し練習をして、口頭で練習問題に答えられ、聞いて漢字とピンインが書けるように指導する予定です。					
授業目的・到達目標	この授業では、中国語の発音を習得し、基礎的な文法体系を理解し、中国語の会話力、聴解力を身につけることを目指す。中国語検定試験４級相当の実力を身につける。					
履修条件	初心者					
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。出欠は毎回確認する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度と２回の試験平均点で評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年後度	駿河台出版社		未来への中国語		矢野 光治 劉 力・翠川信人
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書を用意すること
2	事前学習	発音の予習
	授業内容	発音:音節のしく・声調・声調の変化・母音・子音・アル化音み
	事後学習	発音の復習
3	事前学習	第一課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第一課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第一課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
4	事前学習	第一課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第一課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第一課本文の意味・漢字・ピンインを覚える

5	事前学習	第二課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第二課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第二課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
6	事前学習	第二課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第二課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第二課本文の意味・漢字・ピンインを覚える
7	事前学習	第三課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第三課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第三課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
8	事前学習	第三課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第三課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第三課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
9	事前学習	第一課～第三課まで本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第一回目試験及びまとめ、振返り 範囲：第一課～第三課の新出単語と本文
	事後学習	第一課～第三課の内容を復習すること
10	事前学習	第四課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第四課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第四課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
11	事前学習	第四課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
	授業内容	第四課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第四課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
12	事前学習	第五課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第五課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第五課のポイントの中のChekの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
13	事前学習	第五課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
	授業内容	第五課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第五課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
14	事前学習	第六課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をし、ポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習し、ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第六課の新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習をする
	事後学習	第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
15	事前学習	第四課～第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第二回目試験及びまとめ、振返り 範囲：第五課～第六課の新出単語と本文
	事後学習	第一課～第六課の内容を復習すること

科目名	中国語演習B	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現を身につけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて履修する学生、或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させたい学生に対して、正しい発音ができ、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生、或いは一年間履修した事がある学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参 考 書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィス アワー	水曜１６：１０やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの事について、作文と発表準備。
	授業内容	第1回 前期の復習 夏休みの話
	事後学習	文章と表現を修正し、正しい表現を暗記する。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2回 行（已然） 過去を表現する文型の用法を理解し、確りと身につけます。 ポイント：1、動詞+了+数量詞+名詞 2、是～的
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3回 好 興味・趣味の表現：自分の好きなことに関連ある単語を調べてくる。 ポイント：1、喜+動詞 2、+動詞 3、～感趣
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第4回 行（体験） 自分の経験を話す。必要な単語を調べてくる。 ポイント：1、動詞+ 2、動詞+目的語+同じ動詞+時間補語
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第5回 比 比較の表現を習得する。各種の比較表現の準備として単語を調べてくる。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第6回 行（進行） 現在進行形の表現を練習し、習得する。 ポイント：進行中の●正在～呢● 持続表現の●動詞+着●
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第7回 可能 可能・不可能、予想、予感の表現を練習します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第8回 中間発表： 中国語の小文章を事前に用意して、授業中口頭で発表します。 中国語学習で問題となる点について解説します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第9回 行（結果） ポイント：1、様々な意味を持つ「了」2、「把」を用いる構文と補語を理解し習得 十分時間をかけて練習をし、正しい中国語の表現を身につけます。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第10回 能力 「能」、「会」、「可以」の応用練習をし、会話能力を向上させます！ ポイント：様々な補語を用いて、応用練習をします。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第11回 求 1、義務「ねばならない」の表現、また依頼の表現を習得します。 2、中国語の使役と受身の表現を習得します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第12回 試発表 題「私の夢」の中国語の作文を事前に用意し、口頭発表の練習をします。 作文中の問題点を解説し、正しい作文を暗記します。。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	作文と発表の準備
	授業内容	第13回 正式発表 口頭発表：作文「私の夢」
	事後学習	問題を修正する

14	事前学習	テスト範囲を覚えること
	授業内容	第14回 期末筆記テスト 範囲：第12課～22課まで、会話文の日本語から中国語に、中国語から日本語に翻訳します。
	事後学習	今まで勉強した中国語の知識を毎三回復習、練習すること。
15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	第15回 中国の映画
	事後学習	感想文を書く。

科目名	中国語演習B	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語中級表現の読込練習を繰り返し行い、加えて中国の時事問題に関連した中国語表現も学習する。					
授業目的・到達目標	中国語中級表現能力の習得を目指すことを目的とする。中国語中級表現の幅広い習得を目指すことができる。					
履修条件	すでに1年間以上の中国語学習経験のある人。					
授業方法	所定教科書の内容に沿って進める。授業中は繰り返し発音練習を行うので、その際は大声で丁寧に発音すること。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		後期試験(授業内)・平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成30年第45刷	白水社		《新版》中国語さらなる一歩		尹景春、竹島毅
	備考	なし				
参考書	なし					
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 状態の持続を表す「着」
	事後学習	状態の持続を表す「着」の用法に関して読んで書いて練習すること。
2	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 副詞「再」、部分否定
	事後学習	副詞「再」、部分否定の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 方向補語、使役を表す「讓」
	事後学習	方向補語、使役を表す「讓」の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 疑問詞の不定用法
	事後学習	疑問詞の不定用法の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 可能補語
	事後学習	可能補語の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 強調表現
	事後学習	強調表現の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 目的を表す「為了」、推測を表す「会」
	事後学習	目的を表す「為了」、推測を表す「会」の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 「～了～了」の用法
	事後学習	「～了～了」の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 結果補語「到」「在」
	事後学習	結果補語「到」「在」の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 結果補語「給」
	事後学習	結果補語「給」の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 受け身を表す「被」
	事後学習	受け身を表す「被」の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「快～了」の用法
	事後学習	「快～了」の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「快要～了」の用法
	事後学習	「快要～了」の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 介詞「把」
	事後学習	介詞「把」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	後期中に学習した内容を事前に整理して頭に入れておくこと。
	授業内容	後期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	中国語演習B	担当者	劉 力	部 別	第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	授業中、発音の繰り返し練習をして、口頭で練習問題に答えられ、聞いて漢字とピンインが書けるように指導する予定です。					
授業目的・到達目標	この授業では、中国語の発音を習得し、基礎的な文法体系を理解し、中国語の会話力、聴解力を身につけることを目指す。中国語検定試験4級相当の実力を身につける。					
履修条件	初心者					
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。出欠は毎回確認する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度と2回の試験平均点で評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	駿河台出版社		未来への中国語		矢野 光治 劉 力
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第六課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第六課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第六課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
2	事前学習	第六課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第六課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
3	事前学習	第七課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第七課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第七課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
4	事前学習	第七課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第七課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第七課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える

5	事前学習	第八課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第八課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第八課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
6	事前学習	第八課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第八課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第八課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
7	事前学習	第九課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第九課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第九課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
8	事前学習	第九課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第九課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第九課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
9	事前学習	第七課～第九課までの新出単語・本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第一回目試験及びまとめ、振返り 範囲: 第七課～第九課の新出単語と本文
	事後学習	第7課～第九課の内容を復習する
10	事前学習	第十課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
11	事前学習	第十課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
12	事前学習	第十一課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十一課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十一課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
13	事前学習	第十一課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十一課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十一課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
14	事前学習	第十二課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をし、本文の意味の予習、ポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること、ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十二課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・
	事後学習	第十二課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
15	事前学習	第十課～第十二課までの新出単語・本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第二回目試験及びまとめ、振返り 範囲: 第十課～第十二課の新出単語と本文
	事後学習	第七課～第十二課の復習

科目名	中国語演習C	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現をみにつけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて学習する学生を対象として、中国語の基礎知識を習得させるものです。そのために、正しい発音を訓練しながら、基本文型や、簡単な会話ができ、簡単な文章が理解できる学力を身につけることを目的として授業を進めます。 或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させ、上級へすすむための基礎的な学力を身につけ、コミュニケーションできるようになるのは、この授業の目的です。初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互交通的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生或いは初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから相互的なコミュニケーション能力を獲得したい学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィスアワー	水曜17：50やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDを聞き、先に発音の練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音
	事後学習	CDを聞きながら、中国語の発音とピンインの書き方を覚える
2	事前学習	CDを聞く、発音を練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音と声調
	事後学習	勉強した発音を、CDをききながら覚えること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発音 声調変化と総合練習
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	挨拶言葉と自己紹介を通して発音のチャックをする。 クラスメイトの名前を中国語で覚える。
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	日期と時刻：年月日について、時刻、またお誕生日について、会話する。 準備：家族構成と職業に関する単語を調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	家庭：家族についての紹介と質問
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	年齢：各年齢段についての聞き方と答え。 宿題：今まで勉強をしたものを文章にまとめ、発表。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	中間発表 次の課を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	方位：学内と学校周囲にあるものについて質問と答え；関連単語を事前に調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	行為（未然）：自分の日常生活のスケジュールを事前に予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	職業：自分とご家族の職業についての関連用語を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	評価：教科書以外に自分が知っている事について評価する。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	買い物：人民元の言い方と値段を聞く、値引きの練習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
14	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発表テスト 小文章を書き、口頭発表と筆記テスト
	事後学習	問題を修正し、正しい表現で暗記すること

15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	中国の映画を鑑賞
	事後学習	感想文を書く

科目名	中国語演習C	担当者	高橋 弥守彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語初中級表現の習得を目指して授業を進める。				
授業目的・到達目標	読む、書く、聞く、話すことができるための中国語の基礎を学ぶ。特に中国語検定試験合格(実用中国語検定試験準4級)を目指して授業を進める。基礎発音のマスターと教科書を中心とする会話の練習。場面を中心とする会話の練習により、中国旅行や短期研究への対応。中国語検定試験準4級合格を目指す。				
履修条件	特になし				
授業方法	テキストによって授業を進める。毎回1課進むことを原則とするので、予習復習が必要である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	発音と筆記の試験を実施する。夏期休暇中には中国を広く理解するための課題がある。夏休み明けにレポートを提出すること。授業態度や授業中の成績も評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年第2刷	駿河台出版社		達成感を味わえる中国語〈初級〉	高橋弥守彦、徐送迎
	備考				
参考書	『実用詳解中国語文法』 高橋 弥守彦著：郁文堂				
オフィスアワー	授業前後に於いて中国語学習方法等の事に関して質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書発音編の該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	「発音編」 中国語の母音に関して学習する。
	事後学習	中国語の母音に関して自身で発音して復習すること。
2	事前学習	中国語母音の発音を固めた上で、教科書発音編の該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	「発音編」 中国語の子音に関して学習する。
	事後学習	中国語の子音や母音に関して自身で発音して復習すること。
3	事前学習	中国語の子音や母音の発音を固めた上で、教科書発音編の該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	「発音編」 中国語の声調(アクセント)に関して学習する。
	事後学習	中国語の子音、母音、声調(アクセント)に関して自身で発音して復習すること。
4	事前学習	基礎発音(子音、母音、声調)を固めた上で、第1課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 「友人」 人称代名詞、判断動詞「是」、否定を表す副詞「不」に関して学習する。
	事後学習	人称代名詞、判断動詞「是」、否定を表す副詞「不」に関して読んで書いて復習すること。

5	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第2課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 「お尋ねします」 疑問を表す「嗎」、中国語の基本的語順、省略疑問文「呢」に関して学習する。
	事後学習	疑問を表す「」、中国語の基本的語順、省略疑問文「呢」に関して読んで書いて復習すること。
6	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第3課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 「銀行」 場所代名詞、動詞「在」、疑問詞疑問文、語気助詞「吧」に関して学習する。
	事後学習	場所代名詞、動詞「在」、疑問詞疑問文、語気助詞「吧」に関して読んで書いて復習すること。
7	事前学習	基礎発音(子音、母音、声調)に関して再度総復習を行って発音テストに臨むこと。
	授業内容	前期発音テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して基礎発音(子音、母音、声調)に関して弱点が無いか自身で確認すること。
8	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第4課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 「家庭」 動詞「有」、数量詞の位置、所有・所属関係を示す「的」に関して学習する。
	事後学習	動詞「有」、数量詞の位置、所有・所属関係を示す「的」に関して読んで書いて復習すること。
9	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第5課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 「アルバイト」 形容詞述語文、連動文、介詞(前置詞)「在」に関して学習する。
	事後学習	形容詞述語文、連動文、介詞(前置詞)「在」に関して読んで書いて復習すること。
10	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第6課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 「おいくらですか」 指示代名詞、名詞述語文、人民元の数え方に関して学習する。
	事後学習	指示代名詞、名詞述語文、人民元の数え方に関して読んで書いて復習すること。
11	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第7課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 「スーパーマーケット」 否定を表す副詞「没」、動態助詞「了」、動詞の重ね型に関して学習する。
	事後学習	否定を表す副詞「没」、動態助詞「了」、動詞の重ね型に関して読んで書いて復習すること。
12	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第8課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 「年令」 語気助詞「了」、比較文「A比B～」に関して学習する。
	事後学習	語気助詞「了」、比較文「A比B～」に関して読んで書いて復習すること。
13	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第9課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 「チャイナドレス」 助動詞「可以」、名詞化を表す「的」に関して学習する。
	事後学習	助動詞「可以」、名詞化を表す「的」に関して読んで書いて復習すること。
14	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第10課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 「起床」 時刻の言い方、様態補語に関して学習する。
	事後学習	時刻の言い方、様態補語に関して読んで書いて復習すること。
15	事前学習	これまでに学習した内容を総復習した上でテストに臨むこと。
	授業内容	前期テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して何処かに弱点が無いか自身で確認し、次に繋げられる様に心掛けること。

科目名	中国語演習D	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現を身につけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて履修する学生、或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させたい学生に対して、正しい発音ができ、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生、或いは一年間履修した事がある学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参 考 書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィス アワー	水曜日 1 7 : 5 0 やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの事について、作文と発表準備。
	授業内容	第1回 前期の復習 夏休みの話
	事後学習	文章と表現を修正し、正しい表現を暗記する。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2回 行（已然） 過去を表現する文型の用法を理解し、確りと身につけます。 ポイント：1、動詞+了+数量詞+名詞 2、是～的
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3回 好 興味・趣味の表現：自分の好きなことに関連ある単語を調べてくる。 ポイント：1、喜+動詞 2、+動詞 3、～感趣
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第4回 行（体験） 自分の経験を話す。必要な単語を調べてくる。 ポイント：1、動詞+ 2、動詞+目的語+同じ動詞+時間補語
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第5回 比 比較の表現を習得する。各種の比較表現の準備として単語を調べてくる。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第6回 行（進行） 現在進行形の表現を練習し、習得する。 ポイント：進行中の●正在～呢● 持続表現の●動詞+着●
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第7回 可能 可能・不可能、予想、予感の表現を練習します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第8回 中間発表： 中国語の小文章を事前に用意して、授業中口頭で発表します。 中国語学習で問題となる点について解説します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第9回 行（結果） ポイント：1、様々な意味を持つ「了」2、「把」を用いる構文と補語を理解し習得 十分時間をかけて練習をし、正しい中国語の表現を身につけます。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第10回 能力 「能」、「会」、「可以」の応用練習をし、会話能力を向上させます！ ポイント：様々な補語を用いて、応用練習をします。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第11回 求 1、義務「ねばならない」の表現、また依頼の表現を習得します。 2、中国語の使役と受身の表現を習得します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第12回 試発表 題「私の夢」の中国語の作文を事前に用意し、口頭発表の練習をします。 作文中の問題点を解説し、正しい作文を暗記します。。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	作文と発表の準備
	授業内容	第13回 正式発表 口頭発表：作文「私の夢」
	事後学習	問題を修正する

14	事前学習	テスト範囲を覚えること
	授業内容	第14回 期末筆記テスト 範囲：第12課～22課まで、会話文の日本語から中国語に、中国語から日本語に翻訳します。
	事後学習	今まで勉強した中国語の知識を毎三回復習、練習すること。
15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	第15回 中国の映画
	事後学習	感想文を書く。

科目名	中国語演習D	担当者	高橋 弥守彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語中級表現の習得を目指して授業を進める。				
授業目的・到達目標	読む、書く、聞く、話すことができるための中国語の基礎を学ぶ。特に中国語検定試験合格(実用中国語検定試験準4級)を目指して授業を進める。基礎発音のマスターと教科書を中心とする会話の練習。場面を中心とする会話の練習により、中国旅行や短期研究への対応。中国語検定試験準4級合格を目指す。				
履修条件	特になし				
授業方法	テキストによって授業を進める。毎回1課進むことを原則とするので、予習復習が必要である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	発音と筆記の試験を実施する。夏期休暇中には中国を広く理解するための課題がある。夏休み明けにレポートを提出すること。出席や授業中の成績も評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	21018年第2刷	駿河台出版社		達成感を味わえる中国語〈初級〉	高橋弥守彦、徐送迎
	備考				
参考書	『実用詳解中国語文法』 高橋 弥守彦著：郁文堂				
オフィスアワー	木曜日 12：20～13：00 教員控室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	発音に関して総復習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	発音の復習
	事後学習	基礎発音を復習し、又既習箇所の記事の読込練習を行うこと。
2	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第11課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 「日曜日」 助動詞「想」、疑問詞「怎麼樣」、曜日の言い方に関して学習する。
	事後学習	助動詞「想」、疑問詞「怎么」、曜日の言い方に関して読んで書いて復習すること。
3	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第12課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「運転」 助動詞「会」、反復疑問文に関して学習する。
	事後学習	助動詞「会」、反復疑問文に関して読んで書いて復習すること。
4	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第13課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第13課 「料理の注文」 禁止を表す「別」、選択疑問文「還是」に関して学習する。
	事後学習	禁止を表す「別」、選択疑問文「還是」に関して読んで書いて復習すること。

5	事前学習	これまでに学習した部分の本文や例文を自身で発音して一通り読み込んでおくこと。
	授業内容	後期発音テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して復習を行い、弱点の克服に努める様に心掛けること。
6	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第14課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第14課 「電話」 助動詞「能」、年月日の言い方に関して学習する。
	事後学習	助動詞「能」、年月日の言い方に関して読んで書いて復習すること。
7	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第15課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第15課 「携帯番号」 疑問詞「幾」「多少」、電話・部屋番号の言い方に関して学習する。
	事後学習	疑問詞「幾」「多少」、電話・部屋番号の言い方に関して読んで書いて復習すること。
8	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第16課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第16課 「北京ダック」 動態助詞「過」、動量補語に関して学習する。
	事後学習	動態助詞「過」、動量補語に関して読んで書いて復習すること。
9	事前学習	中国の地図を眺め、簡単に中国の地理状況に関して理解しておくこと。
	授業内容	ビデオによる中国紹介
	事後学習	ビデオ内容に関して自分なりに復習すること。
10	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第17課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第17課 「インターネット」 副詞「在」、介詞(前置詞)「給～」に関して学習する。
	事後学習	副詞「在」、介詞(前置詞)「給～」に関して読んで書いて復習すること。
11	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第18課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第18課 「どうしたの」 助動詞「要」、介詞(前置詞)「離～」に関して学習する。
	事後学習	助動詞「要」、介詞(前置詞)「離～」に関して読んで書いて復習すること。
12	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第19課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第19課 「誕生日プレゼント」 方向補語、二重目的語に関して学習する。
	事後学習	方向補語、二重目的語に関して読んで書いて復習すること。
13	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第20課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第20課 「趣味」 時量補語、挿入語「聽說～」に関して学習する。
	事後学習	時量補語、挿入語「聽說～」に関して読んで書いて復習すること。
14	事前学習	これまでに学習した内容を踏まえた上で、第21課部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第21課 「春休み」 結果補語、「把」構文に関して学習する。
	事後学習	結果補語、「把」構文に関して読んで書いて復習すること。
15	事前学習	これまでに学習した内容を総復習して理解を固めた上でテストに臨むこと。
	授業内容	後期テスト及び解説
	事後学習	テスト内容を再確認して弱点は何処か自身で把握して次に繋げられる様に心掛けること。

科目名	中国語演習E	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の初中級表現の読込練習を繰り返し行い、文法表現を発音と共に学習してゆく。			
授業目的・到達目標	中国語の初中級表現力を固め、加えて中国文化に対する初歩的理解を目的とする。中国語発音を復習し、初中級表現力を固め、中国文化を初歩的に理解できるようになる。			
履修条件	すでに1年間以上の中国語学習経験がある人。継続して授業に出席すること。			
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進め、中国語学習の合間に中国文化の紹介を行ってゆく。授業中は読込を繰り返し行うので、大声で丁寧に発音すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	前期試験(授業内)、平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第5刷	白水社	2年目の中国語ポイント45	本間史、孟広学
	備考	なし		
参考書	なし			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業時間や講堂番号を間違えない様しっかりと時間割を確認すること。
	授業内容	授業説明
	事後学習	教科書を出来るだけ早く揃えられる様心掛けること。
2	事前学習	事前に第1課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 名詞や動詞の前に置く「的」「地」
	事後学習	名詞や動詞の前に置く「的」「地」の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第1課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 助動詞「要」、連動文
	事後学習	助動詞「要」、連動文の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第2課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 動態助詞や語気助詞の「了」
	事後学習	動態助詞や語気助詞の「了」の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第2課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 語気助詞「嗎」「吧」
	事後学習	語気助詞「嗎」「吧」の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第3課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 経験と経過を表す「過」
	事後学習	経験と経過を表す「過」の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第3課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 離合詞
	事後学習	離合詞の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第4課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 動作の進行と持続を表す表現
	事後学習	動作の進行と持続を表す表現の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第4課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 動作の継続時間と回数
	事後学習	動作の継続時間と回数の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 「要～了」「快～了」
	事後学習	「要～了」「快～了」の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 副詞「就」の用法
	事後学習	副詞「就」の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 結果補語
	事後学習	結果補語の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 副詞「還」の用法
	事後学習	副詞「還」の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 「雖然～但是～」の用法
	事後学習	「雖然～但是～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	前期中に学習した内容を整理して事前に頭に入れておくこと。
	授業内容	前期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様心掛けること。

科目名	中国語演習F	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の中級表現の読込練習を繰り返し行い、文法表現を発音と共に学習してゆく。			
授業目的・到達目標	中国語中級表現力を向上させ、加えて中国文化への理解促進を目的とする。中国語発音に慣れ、中級会話表現力を習得し、中国文化に対する理解を深めることができる。			
履修条件	すでに1年間以上の中国語学習経験がある人。継続して授業に出席すること。			
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進め、中国語学習の合間に中国文化の紹介を行ってゆく。授業中は読込を繰り返し行うので、大声で丁寧に発音すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	後期試験(授業内)、平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第5刷	白水社	2年目の中国語ポイント45	本間史、孟広学
	備考	なし		
参考書	なし			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 様態補語、比較の表現
	事後学習	様態補語、比較の表現の用法に関して読んで書いて練習すること。
2	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 形容詞の重ね型
	事後学習	形容詞の重ね型の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 方向補語、複合方向補語
	事後学習	方向補語、複合方向補語の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 強調表現「連～也～」
	事後学習	強調表現「連～也～」の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 「把」構文
	事後学習	「把」構文の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 副詞「再」「又」の用法
	事後学習	副詞「再」「又」の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 可能補語
	事後学習	可能補語の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 「是～的」の構文、「只有～才～」の表現
	事後学習	「是～的」の構文、「只有～才～」の表現の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 「～得了」「～不了」
	事後学習	「～得了」「～不了」の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 兼語文
	事後学習	兼語文の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 「不是～而是～」
	事後学習	「不是～而是～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 存現文
	事後学習	存現文の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 同じ疑問詞の呼応
	事後学習	同じ疑問詞の呼応の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「不管～都～」
	事後学習	「不管～都～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	後期中に学習した内容を整理して事前に頭に入れておくこと。
	授業内容	後期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	中国語演習G	担当者	本間 直人	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	最新の中国事情を読み解く。テキストの内容は、現代中国の政治・経済から文化にいたるまで、多岐にわたる。そこから、今、中国では何が起きており、その何が問題かについて考える。テキストの精読により、自力で中国の新聞を読める程度の語学力を身につける。				
授業目的・到達目標	テキストの精読を通じて、最新の中国事情への理解と関心を深める。その際、中国の歴史、文学、思想などについても学ぶ。また、これまでに学んだ文法事項や表現を復習しながら、中国語の読解力のさらなる向上を目指す。現代の中国事情を学びながら、中級中国語の基礎固めをする。				
履修条件	1年以上の中国語学習歴があること。				
授業方法	本文の精読とプリントを用いた演習。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	受講態度及び小レポート（20%） 授業内テスト（80%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年初版発行	朝日出版社	『時事中国語の教科書 ―2018年度版―』		三瀧正道・陳祖蓓
	備考				
参考書	授業中に説明する。				
オフィスアワー	木曜日の1、2時限に出講します。授業の前後の時間帯に教室で対応します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認の上、授業に臨むこと。
	授業内容	ガイダンス（授業の進め方などについての説明） 基本単語と基本文型の復習①
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
2	事前学習	前回の授業で配布されたプリントの問題を解いておくこと。
	授業内容	基本単語と基本文型の復習②
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
3	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第1課 海のシルクロードの輝く真珠 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
4	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第1課 海のシルクロードの輝く真珠 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。

5	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第2課 又吉直樹、友好の「火花」 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
6	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第2課 又吉直樹、友好の「火花」 問題演習、小レポート
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
7	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第3課 「普通話」発祥地、灤平 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
8	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第3課 「普通話」発祥地、灤平 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
9	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第4課 高速鉄道で料理を予約注文！ 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
10	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第4課 高速鉄道で料理を予約注文！ 問題演習、小レポート
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
11	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第5課 九寨溝、震災に哭く 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
12	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第5課 九寨溝、震災に哭く 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
13	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第6課 2人の女性が外出を変えた！ 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
14	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第6課 2人の女性が外出を変えた！ 問題演習、小レポート
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
15	事前学習	テキストの本文を中心によく復習しておくこと。また、授業中に配布したプリントも見直しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ、振返り
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。

科目名	中国語演習H	担当者	本間 直人	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	最新の中国事情を読み解く。テキストの内容は、現代中国の政治・経済から文化にいたるまで、多岐にわたる。そこから、今、中国では何が起きており、その何が問題かについて考える。テキストの精読により、自力で中国の新聞を読める程度の語学力を身につける。			
授業目的・到達目標	テキストの精読を通じて、最新の中国事情への理解と関心を深める。その際、中国の歴史、文学、思想などについても学ぶ。また、これまでに学んだ文法事項や表現を復習しながら、中国語の読解力のさらなる向上を目指す。現代の中国事情を学びながら、中級中国語の基礎固めをする。			
履修条件	1年以上の中国語学習歴があること。			
授業方法	本文の精読とプリントを用いた演習。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	受講態度及び小レポート（20%） 授業内テスト（80%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年初版発行	朝日出版社	『時事中国語の教科書 ―2018年度版―』	三瀧正道・陳祖蓓
	備考			
参考書	授業中に説明する。			
オフィスアワー	木曜日の1、2時限に出講します。授業の前後の時間帯に教室で対応します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの内容について、「解読の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	ガイダンス（授業の進め方などについての説明） 講読 第7課 故郷を離れた大学生活とは？ 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
2	事前学習	テキストの内容について、「解読の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第7課 故郷を離れた大学生活とは？ 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
3	事前学習	テキストの内容について、「解読の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第8課 考古学、驚きの発見続々 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
4	事前学習	テキストの内容について、「解読の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第8課 考古学、驚きの発見続々 問題演習、小レポート
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。

5	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第9課 中国版《深夜食堂》、話題の真相 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
6	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第9課 中国版《深夜食堂》、話題の真相 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
7	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第10課 海外旅行、爆買いから深化 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
8	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第10課 海外旅行、爆買いから深化 問題演習、小レポート
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
9	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第11課 ヒトとゾウ、共存への模索 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
10	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第11課 ヒトとゾウ、共存への模索 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
11	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第12課 どうなる？ 中国の子供たち 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
12	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第12課 どうなる？ 中国の子供たち 問題演習、小レポート
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
13	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第13課 糖尿病大国にどう取り組む？ 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
14	事前学習	テキストの内容について、「解説の手がかり」を中心に下調べをしておくこと。
	授業内容	講読 第13課 糖尿病大国にどう取り組む？ 問題演習
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。
15	事前学習	テキストの本文を中心によく復習しておくこと。また、授業中に配布したプリントも見直しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ、振返り
	事後学習	出来なかった問題を中心によく復習しておくこと。

科目名	リーディング・ライティング(中) I A	担当者	長田 徳子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は発音から勉強する。大学を舞台にして、中国語を学んでいる日本人学生が、中国人の留学生に声をかけるところから始まり、日常的な生活の中でのいろんな場面をを想定した会話、練習問題はポイントを確認し理解してもらうためのものである。				
授業目的・到達目標	中国語の日常会話や基礎文法の習得を目的とする。簡単な会話や簡単な文章の読み書きと翻訳ができるようになる。				
履修条件	なし				
授業方法	朗読、翻訳、会話、書き取り、文を作るという方式で授業を進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業参加度（受講態度を含む10%、平常点（宿題や授業中の小テスト）40%、前期末授業内テスト50%。また、中国語検定試験の合格も成績の評価に加味する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年	白水社	はじめまして！中国語		喜多山幸子 劉 幸枝
	備考				
参 考 書	日中辞書、中日辞書				
オフィスアワー	授業の前・後、当該教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入して、目を通してください。
	授業内容	1、オリエンテーション 2、中国の概況 3、中国語の発音：単母音、声調
	事後学習	単母音、声調の復習
2	事前学習	複母音の予習
	授業内容	1、発音：複母音 2、日常会話
	事後学習	複母音の復習
3	事前学習	子音の予習
	授業内容	1、発音：子音 2、声調の変化 3、挨拶言葉
	事後学習	発音の復習
4	事前学習	第1課の予習
	授業内容	第1課 校門で 本文訳、ポイント 1. 人称代名詞 2. 動詞“是”を使った文 3. “嗎”を使った疑問文
	事後学習	文法の復習

5	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第1課 校門で 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
6	事前学習	第2課の予習
	授業内容	第2課 廊下で 本文訳、ポイント 1. 動詞述語文 2. 疑問詞疑問文“什么”，“誰” 3. 省略疑問文“呢”
	事後学習	文法の復習
7	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第2課 廊下で 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
8	事前学習	第3課の予習
	授業内容	第3課 キャンパスで 本文訳、ポイント 1. 指示代名詞 2. 形容詞述語文 3. “～的” 4. 語気助詞“吧”
	事後学習	文法の復習
9	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第3課 キャンパスで 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
10	事前学習	第4課の予習
	授業内容	第4課 携帯を見ながら 本文訳、ポイント 1. 所有を表わす“有” 2. 反復疑問文 3. 数詞
	事後学習	文法の復習
11	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第4課 携帯を見ながら 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
12	事前学習	第5課の予習
	授業内容	第5課 学生食堂で 本文訳、ポイント 1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす“有” 3. 副詞“也” と“都” 4. 二重目的語文
	事後学習	文法の復習
13	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第5課 学生食堂で 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
14	事前学習	第1課～5課の復習
	授業内容	前期のまとめ（前期末授業内テスト）
	事後学習	問題点の復習
15	事前学習	前期の総復習
	授業内容	総括
	事後学習	問題点の復習

科目名	リーディング・ライティング(中) I B	担当者	長田 徳子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は発音から勉強する。大学を舞台にして、日本人学生が中国人の留学生に声をかけるところから始まり、日常的な生活の中でのいろんな場面を想定した会話、練習問題はポイントを確認し理解してもらうためのものである。				
授業目的・到達目標	中国語の日常会話や基礎文法の習得を目的とする。簡単な会話や簡単な文章の読み書きと翻訳ができるようになる。				
履修条件	なし				
授業方法	朗読、翻訳、会話、書き取り、文を作るという方式で授業を進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業参加度（受講態度を含む）10%、平常点（宿題や授業中の小テスト）40%、後期末の授業内テスト50%、また、中国語検定試験の合格も成績の評価に加味する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年	白水社	はじめまして！中国語		喜多山幸子 鄭 幸枝
	備考				
参 考 書	日中辞書、中日辞書				
オフィスアワー	授業の前・後、当該教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第6課の予習
	授業内容	オリエンテーション 第6課 王先生の研究室で 本文訳、ポイント 1. 動詞“在” 2. 動詞の重ね型 3. 時を表わす語の位置
	事後学習	文法の復習
2	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第6課 王先生の研究室で 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
3	事前学習	第7課の予習
	授業内容	第7課 コンビニで 本文訳、ポイント 1. 量詞 2. 実現・完了を表わす“了” 3. 助動詞“想”
	事後学習	文法の復習
4	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第7課 コンビニで 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記

5	事前学習	第8課の予習
	授業内容	第8課 バス停で 本文訳、ポイント 1. 連動文 2. 前置詞“在” 3. 時刻の言い方 4. “是”の省略
	事後学習	文法の復習
6	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第8課 バス停で 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
7	事前学習	第9課の予習
	授業内容	第9課 放課後に 本文訳、ポイント 1. 助動詞“会”，“能”，“可以” 2. 前置詞“跟”と“給” 3. 主述述語文
	事後学習	文法の復習
8	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第9課 放課後に 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
9	事前学習	第10課の予習
	授業内容	第10課 卓球の中継を見ながら 本文訳、ポイント 1. 様態補語 2. 経験を表わす“過” 3. 比較を表わす“比” 4. 動詞“喜歡”
	事後学習	文法の復習
10	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第10課 卓球の中継を見ながら 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
11	事前学習	第11課の予習
	授業内容	第11課 ディズニランドで待ち合わせ 本文訳、ポイント 1. 進行を表わす“在” 2. 方向補語 3. 選択疑問詞
	事後学習	文法の復習
12	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第11課 ディズニランドで待ち合わせ 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
13	事前学習	第12課の予習
	授業内容	第12課 カフェテラスで 本文訳、ポイント 1. “是～的”の文 2. 結果補語 3. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置
	事後学習	文法の復習
14	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第12課 カフェテラスで 本文、トレーニング
	事後学習	本文の暗記
15	事前学習	第6課～12課の復習
	授業内容	後期のまとめ（後期末授業内テスト）
	事後学習	問題点の復習

科目名	中国語資格試験対策ⅠA	担当者	福木 滋久	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語未習者か初心者を対象とした語学演習。初学者を悩ませる発音を3ヶ月かけてじっくりと学ぶ。同一担当者による中国語基礎表現A（一部木1）あるいは中国語基礎文法A（一部金2・二部土2）との並行履修者に対しては、試験などの負担を考慮した特典を設ける。WEB抽選で決まらなかった者も初回時座席に余裕があれば受け入れる。			
授業目的・到達目標	中国語の基礎を身につけつつ、11月末の検定準4級合格を目標として総合的語学力の獲得を目指す。11月の中国語検定試験において比較的高得点で準4級を合格でき、次の4級受験にスムーズにステップアップするために必要な、前期語学レベルへの到達を目標とする。同担当者の、基礎表現A（一部木1）あるいは基礎文法A（一部金2・二部土2）との並行履修を推奨する。これは、基礎的な語学力の涵養のみならず、一目標として検定合格を念頭におくため、週複数回に渡り、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待する故である。同様の理由により、後期同一担当者による中国語資格試験対策ⅠB(火2)の継続受講を原則とする。			
履修条件	条件1：中国語未習者か初心者で、全日程休むことなく、指示された学習について努力できる者。条件2：中国語検定過去問WEBに加入し、11月の中国語検定試験を受験できる者。条件3：このシラパスの内容を了解している者。			
授業方法	プリントを使用して、口頭練習を中心に行う。毎時間小テストを実施し、前期末には口頭試験と筆記試験を課す。筆記試験は11月の中国語検定試験準4級受験に向けての模擬試験となる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	①前期筆記試験と中国語検定試験績、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細（ルーブリック表）を発表。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書は使用せず、授業時は配付教材を用いる		
参考書	受講者は、自宅学習用として、「中国語検定過去問WEB」へ加入する。（中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。）申込は履修登録後に教務課にて。詳細は授業時に伝える。			
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前抽選の結果を受けて受講を決めたら、シラパスを再度よく読んでおく
	授業内容	中国語とは ○発音①四声 ○次週の小テスト予告
	事後学習	配付プリントなどをもちいて四声と動詞述語文等の復習をする
2	事前学習	小テスト(前①)課題などをもちいて四声の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音②有気音・無気音 ○否定文 ○疑問文① ●小テスト(前①)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて有気音・無気音と否定形等の復習をする
3	事前学習	小テスト(前②)課題などをもちいて有気音・無気音の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音③-n・-ng・軽声 ○請～ ○形容詞述語文 ○日 ●小テスト(前②)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて -n・-ng・軽声、“請～”等の復習をする
4	事前学習	小テスト(前③)課題などをもちいて-n・-ng・軽声の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音④基本母音 ○疑問文② ○副詞① ●小テスト(前③)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて基本母音、助詞等の復習をする

5	事前学習	小テスト(前④)課題などを持ちいて基本母音の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑤ “-ian” 等 ○～年・～日間 ○時を表す語 ●小テスト(前④)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて“-ian”等の発音、形容詞述語文等の復習をする
6	事前学習	小テスト(前⑤)課題などを持ちいて“-ian”等の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑥捲舌音 ○量詞① ○是 ○疑問詞① ○指示代詞 ●小テスト(前⑤)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて捲舌音の発音、“是”等の復習をする
7	事前学習	小テスト(前⑥)課題などを持ちいて捲舌音の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑦舌歯音 ○量詞② ○疑問詞② ○疑問文③ ●小テスト(前⑥)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて舌歯音の発音、疑問詞等の復習をする
8	事前学習	小テスト(前⑦)課題などを持ちいて舌歯音の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑧ “y-” “w-” ○動詞の重ね型 ○疑問文④⑤ ●小テスト(前⑦)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて“y-” “w-”の使い方、動詞の重ね型等の復習をする
9	事前学習	小テスト(前⑧)課題などを持ちいて“y-” “w-”の使い方等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑨ “-iou” 等 ○～月 ○副詞② ○有① ●小テスト(前⑧)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて複母音“-iou”等の綴り方、“有”の使い方復習をする
10	事前学習	小テスト(前⑨)課題などを持ちいて“-iou”等の綴りを身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑩ “児化” ○年月日曜日 ○有② ○在① ●小テスト(前⑨)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて“児化”、年月日曜日等の復習をする
11	事前学習	小テスト(前⑩)課題などを持ちいて“児化”の発音等を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑪ “前半のまとめ” ○指示代詞のまとめ ●小テスト(前⑩)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて前期前半の復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
12	事前学習	小テスト(前⑪)課題などを持ちいて発音の前半を復習し授業にのぞむ
	授業内容	○発音⑫後半のまとめ ○順と量 ○主述述語文 ○量詞③ ●小テスト(前⑪)
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて前期後半の復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
13	事前学習	口頭試験・筆記試験の準備
	授業内容	○前期総復習 ○口頭試験練習
	事後学習	配付プリントなどを持ちいて前期全般の復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
14	事前学習	筆記試験の準備
	授業内容	◎前期筆記試験及びまとめ、振返り
	事後学習	筆記試験を振り返り復習する。過去問WEBの課題に取り組む
15	事前学習	口頭試験の準備
	授業内容	◎前期口頭試験及びまとめ、振返り
	事後学習	口頭試験課題文を中心に復習する。過去問WEBの課題に取り組む

科目名	中国語資格試験対策 I B	担当者	福木 滋久	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	中国語未習者か初心者を対象とした語学演習。初学者を悩ませる発音を3ヶ月かけてじっくりと学ぶ。同一担当者による中国語基礎表現B（一部木1）あるいは中国語基礎文法B（一部金2・二部土2）との並行履修者に対しては、試験などの負担を考慮した特典を設ける。WEB抽選で決まらなかった者も初回時座席に余裕があれば受け入れる。				
授業目的・到達目標	中国語の基礎を身につけつつ、11月末の検定準4級合格を目標として総合的語学力の獲得を目指す。具体的には、前期の基礎学習を受け、11月の中国語検定試験において比較的高得点で準4級を合格でき、次の4級受験にスムーズにステップアップできるレベルを目標とする。同担当者の、基礎表現B(一部木1)あるいは基礎文法B(一部金2・二部土2)との並行履修を推奨する。これは、基礎的な語学力の涵養のみならず、一目標として検定合格を念頭におくため、週複数回に渡り、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待する故である。同様の理由により、前期同一担当者による中国語資格試験対策IA(火2)からの継続受講を原則とする。				
履修条件	条件1：中国語未習者か初心者で、全日程休むことなく、指示された学習について努力できる者。条件2：中国語検定過去問WEBに加入し、11月の中国語検定試験を受験できる者。条件3：このシラバスの内容を了解している者。				
授業方法	プリントを使用して、口頭練習を中心に行う。毎時間小テストを実施し、後期末には口頭試験を課す。11月の中国語検定試験を準4級受験してもらい、成績の一部にあてる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	①前期筆記試験と中国語検定試験績、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細（ルーブリック表）を発表。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用せず、授業時は配付教材を用いる			
参考書	受講者は、自宅学習用として、「中国語検定過去問WEB」へ加入する。（中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。）申込は履修登録後に教務課にて。詳細は授業時に伝える。				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ネットワークドライブより小テスト(後①)課題を入手し、その内容を身につけて授業にのぞむ
	授業内容	○時点と時量① ●小テスト(後①)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて時点と時量①等の復習をする
2	事前学習	小テスト(後②)課題などをもちいて時点と時量①等の言い方を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○時点と時量② ○量詞⑤ ○連動文① ●小テスト(後②)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて時点と時量②等の復習をする。
3	事前学習	小テスト(後③)課題などをもちいて時点と時量②等の言い方を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○時刻と時間①他 ○動作量 ●小テスト(後③)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて時刻と時間①等の言い方について復習をする
4	事前学習	小テスト(後④)課題などをもちいて時刻と時間①等の言い方を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○時刻と時間②他 ○連動文② ●小テスト(後④)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて時刻と時間②の言い方等について復習をする。

5	事前学習	小テスト(後⑤)課題などをもちいて時刻と時間②の言い方等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○100以上の数①他　○想　○有意思　●小テスト(後⑤)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて100以上の数①の言い方等について復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
6	事前学習	小テスト(後⑥)課題などをもちいて100以上の数について①の言い方等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○100以上の数②他　○在③④　○場所詞　●小テスト(後⑥)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて100以上の数②の言い方等について復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
7	事前学習	小テスト(後⑦)課題などをもちいて100以上の数について②の言い方等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○金額　○介詞　○助動詞　○動態助詞　●小テスト(後⑦)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて金額の言い方に等ついて復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
8	事前学習	小テスト(後⑧)課題などをもちいて金額についての言い方等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○量詞⑥　○その他　●小テスト(後⑧)
	事後学習	配付プリントなどをもちいて量詞の用い方等について復習をする。過去問WEBの課題に取り組む
9	事前学習	検定試験を振り返って次の授業にのぞむ
	授業内容	○中国語検定試験準4級 解答例と解説
	事後学習	検定試験の解答と解説を受けて復習すべき部分を復習する
10	事前学習	過去問WEB 4級の過去問題の聴解問題に取り組んでみる
	授業内容	○中国語検定試験 4級 解答例と解説①
	事後学習	検定試験 4級の解答と解説①を受けて復習すべき部分があれば復習する
11	事前学習	過去問WEB 4級の過去問題の筆記問題に取り組んでみる
	授業内容	○中国語検定試験 4級 解答例と解説②
	事後学習	検定試験 4級の解答と解説②を受けて復習すべき部分があれば復習する
12	事前学習	前期の学習を振り返り疑問点を整理する
	授業内容	○後期総復習　○後期口頭試験の練習①
	事後学習	授業の内容を受けて復習すべき部分を復習する
13	事前学習	後期口頭試験の内容、意味を確認しておく
	授業内容	○一年間のまとめ①　○後期口頭試験の練習②
	事後学習	後期口頭試験の発音について苦手な部分、問題点を整理しておく
14	事前学習	後期口頭試験課題文の発音練習を十分こなして授業にのぞむ
	授業内容	○一年間のまとめ②　○後期口頭試験の練習③
	事後学習	後期口頭試験課題文暗唱に向けて繰り返し練習する
15	事前学習	後期口頭試験の準備
	授業内容	◎後期口頭試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	後期口頭試験の内容の課題文を中心に復習する

科目名	中国語資格試験対策ⅡA	担当者	福木 滋久	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	すでに中国語の基礎を習得した者を対象とする初級卒業レベルの語学演習。中国語検定4級取得を希望する学生向けの指導を行い、受講者には必ず年内に検定試験（原則として4級以上）を受検してもらう。毎回の小テストはハードである。前年度のネットワークドライブを参照、内容をあらかじめ確認し、よく考えてから受講を決めてほしい。				
授業目的・到達目標	検定合格を一目標に定めつつ、学習を通して、話す・聴く・読む・書くといった総合的な中国語運用能力を養う。中国語検定の4級は、聴解と講読筆記に対して共に一定レベル以上の能力が求められる。中国語の履修が週1～2コマ程度の本学部生にとって、中検4級合格は決して容易ではない。語彙を増やし、聴解・読解の訓練を繰り返し行って、11月末までに検定4級合格レベルへの到達を目指す。後期同一担当者による中国語資格試験対策ⅡB(火4)の継続受講を原則とする。これは、総合的語学力の涵養のみならず、目標の一つとして検定合格を念頭におくことから、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待するためである。				
履修条件	条件1：学習2年目以上で、全日程休むことなく、指示された学習について努力できる者。 条件2：中国語検定過去問題WEBに加入し、秋に中検4級以上を受験する者。 条件3：本シラバスの内容を了解している者。				
授業方法	プリントを使用して、口頭練習を中心に行う。毎時間小テストを実施し、期末には筆記試験と口頭試験を課す。期末筆記試験は11月の中国語検定試験4級受験を念頭においた模擬試験となる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	①前期筆記試験、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細（ルーブリック表）を発表。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用せず配付教材を用いる			
参考書	受講者は、自宅学習用として「中国語検定過去問WEB」へ加入する。（中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。）申込は履修登録後に教務課にて。詳細は授業時に伝える。				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	受講を決めたら、シラバスを再度よく読んでおく
	授業内容	○基礎の復習① ○次週の小テストについて（毎回の小テストは語彙・文法・講読・聴解の総合能力を問う）
	事後学習	配付プリントをもちいて基礎の復習①を振り返る
2	事前学習	小テスト(前①)課題をもちいて、基礎の復習①の内容や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○基礎の復習② ●小テスト(前①)
	事後学習	配付プリントをもちいて基礎の復習②を振り返る
3	事前学習	小テスト(前②)課題をもちいて、基礎の復習②の内容や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○基礎の復習③ ●小テスト(前②)
	事後学習	配付プリントをもちいて基礎の復習③を振り返る
4	事前学習	小テスト(前③)課題をもちいて、基礎の復習③の内容や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○介詞① ●小テスト(前③)
	事後学習	配付プリントをもちいて介詞①等の復習をおこなう

5	事前学習	小テスト(前④)課題をもちいて、介詞①の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○副詞① ●小テスト(前④)
	事後学習	配付プリントをもちいて副詞①等の復習をおこなう 過去問WEBをもちいて過去問題に取り組む
6	事前学習	小テスト(前⑤)課題をもちいて、副詞①の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○疑問詞① ●小テスト(前⑤)
	事後学習	配付プリントをもちいて疑問詞①等の復習をおこなう 過去問WEB
7	事前学習	小テスト(前⑥)課題をもちいて、疑問詞①の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○能願動詞① ●小テスト(前⑥)
	事後学習	配付プリントをもちいて能願動詞①等の復習をおこなう 過去問WEB
8	事前学習	小テスト(前⑦)課題をもちいて、能願動詞①の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○動態助詞① ●小テスト(前⑦)
	事後学習	配付プリントをもちいて動態助詞①等の復習をおこなう 過去問WEB
9	事前学習	小テスト(前⑧)課題をもちいて、動態助詞①の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○離合詞・数量補語 ●小テスト(前⑧)
	事後学習	配付プリントをもちいて離合詞・数量補語等の復習をおこなう 過去問WEB
10	事前学習	小テスト(前⑨)課題をもちいて、離合詞・数量補語の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○結果補語他 ●小テスト(前⑨)
	事後学習	配付プリントをもちいて結果補語等の復習をおこなう 過去問WEB
11	事前学習	小テスト(前⑩)課題をもちいて、結果補語他の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○動態助詞② ●小テスト(前⑩)
	事後学習	配付プリントをもちいて動態助詞②等の復習をおこなう。動態助詞②に関する小テストは後期に実施 過去問WEB
12	事前学習	前期の学習をまとめて定着度を確認し授業にのぞむ
	授業内容	○前期総復習① ●小テスト(前⑪)
	事後学習	配付プリントをもちいて前期総復習①を振り返る 過去問WEB
13	事前学習	前期の学習における疑問点などを整理して授業にのぞむ
	授業内容	○前期総復習② ●小テスト(前⑫) ○前期口頭試験課題文の練習①
	事後学習	配付プリントをもちいて前期総復習②を振り返る 前期口頭試験課題文の発音練習 過去問WEB
14	事前学習	前期筆記試験の準備
	授業内容	◎前期筆記試験 ○前期口頭試験の練習②
	事後学習	前期筆記試験を振り返り、前期口頭試験課題文暗唱のための練習
15	事前学習	前期口頭試験にむけての準備
	授業内容	◎前期口頭試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	前期口頭試験課題文を中心とした復習 過去問WEB

科目名	中国語資格試験対策ⅡB	担当者	福木 滋久	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期中国語資格試験対策ⅡAとセットとなる後期科目。すでに中国語の基礎を習得した者を対象とする初級卒業レベルの語学演習。中国語検定4級取得を希望する学生向けの指導を行い、受講者には必ず年内に検定試験（原則として4級以上）を受検してもらう。毎回の小テストはハードである。前年度のネットワークドライブを参照し、内容をあらかじめ確認、よく考えてから受講を決めてほしい。				
授業目的・到達目標	検定合格を一目標に定めつつ、学習を通して、話す・聴く・読む・書くといった総合的な中国語運用能力を養う。中国語検定の4級は、聴解と講読筆記に対して共に一定レベル以上の能力が求められる。中国語の履修が週1～2コマ程度の本学部生にとって、中検4級合格は決して容易ではない。語彙を増やし、聴解・読解の訓練を繰り返し行って、11月末までに検定4級合格レベルへの到達を目指す。前期同一担当者による中国語資格試験対策ⅡA(火4)からの継続受講を原則とする。これは、総合的語学力の涵養のみならず、目標の一つとして検定合格を念頭におくことから、ある意味一貫した学びができるという教育効果を期待するためである。				
履修条件	条件1：学習2年目以上で、全日程休むことなく、指示された学習について努力できる者。 条件2：中国語検定過去問題WEBに加入し、秋に中検4級以上を受験する者。 条件3：本シラバスの内容を了解している者。				
授業方法	プリントを使用して、口頭練習を中心に行う。毎時間小テストを実施し、期末には口頭試験を課す。11月の中国語検定試験4級等を受験してもらい、成績の一部にあてる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	①中国語検定試験の成績、②授業態度、③小テスト、④口頭試験、⑤自宅学習…の5項目を総合的に評価。授業時に評価の詳細（ルーブリック表）を発表。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用せず配付教材を用いる			
参考書	受講者は、自宅学習用として「中国語検定過去問WEB」へ加入する。（中検全級の問題を、翌年3月末まで自由に学習できるWEB教材。2000円。）申込は履修登録後に教務課にて。詳細は授業時に伝える。				
オフィスアワー	木曜2限。授業後やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。s-fukugi.2018@ceres.dti.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ネットワークドライブより小テスト(後①)課題を入手、動態助詞②の例文・聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○様態補語・程度補語 ●小テスト(後①)
	事後学習	配付プリントをもちいて様態補語・程度補語等の復習をおこなう 過去問WEBをもちいて過去問題に取り組む
2	事前学習	小テスト(後②)課題をもちいて、様態補語・程度補語の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○方向補語①・存現文 ●小テスト(後②)
	事後学習	配付プリントをもちいて方向補語①・存現文等の復習をおこなう 過去問WEB
3	事前学習	小テスト(後③)課題をもちいて、方向補語①・存現文の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○方向補語②・比較表現 ●小テスト(後③)
	事後学習	配付プリントをもちいて方向補語②・比較表現等の復習をおこなう 過去問WEB
4	事前学習	小テスト(後④)課題をもちいて、方向補語②・比較表現の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○処置式・「是～的」構文 ●小テスト(後④)
	事後学習	配付プリントをもちいて処置式・「是～的」構文等の復習をおこなう 過去問WEB

5	事前学習	小テスト(後⑤)課題をもちいて、処置式・「是～的」構文の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○可能補語　●小テスト(後⑤)
	事後学習	配付プリントをもちいて可能補語等の復習をおこなう　過去問WEB
6	事前学習	小テスト(後⑥)課題をもちいて、可能補語の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○使役表現・受け身表現　●小テスト(後⑥)
	事後学習	配付プリントをもちいて使役表現・受け身表現等の復習をおこなう　過去問WEB
7	事前学習	小テスト(後⑦)課題をもちいて、使役表現・受け身表現の例文や指定された聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○副詞②・能願動詞②・疑問詞②　●小テスト(後⑦)
	事後学習	配付プリントをもちいて副詞②・能願動詞②・疑問詞②等の復習をおこなう　過去問WEB
8	事前学習	小テスト(後⑧)課題をもちいて、副詞②・能願動詞②・疑問詞②の例文や指定の聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○疑問詞③・呼応表現・複文他　●小テスト(後⑧)
	事後学習	配付プリントをもちいて疑問詞③・呼応表現・複文等の復習をおこなう　過去問WEB
9	事前学習	小テスト(後⑨)課題をもちいて、疑問詞③・呼応表現・複文の例文や指定の聴解例文等を身につけ授業にのぞむ
	授業内容	○これまでのまとめ　●小テスト(後⑨)
	事後学習	これまでの学習を振り返り検定試験受験の準備につなげる　過去問WEBをもちいて過去問題に取り組む
10	事前学習	検定試験の結果を振り返って授業にのぞむ
	授業内容	○検定試験当年秋期4級問題解答と解説
	事後学習	検定試験当年秋期4級問題解答と解説を振り返り復習すべき部分は復習する
11	事前学習	過去問WEBをもちいて3級の過去問題の筆記部分を確認し授業にのぞむ
	授業内容	○検定試験当年秋期3級筆記問題解答と解説
	事後学習	検定試験当年秋期3級筆記問題解答と解説を振り返り復習すべき部分は復習する
12	事前学習	過去問WEBをもちいて3級の過去問題の聴解部分を確認し授業にのぞむ
	授業内容	○検定試験当年秋期3級聴解問題解答と解説
	事後学習	検定試験当年秋期3級聴解問題解答と解説を振り返り復習すべき部分は復習する
13	事前学習	前期の学習を振り返り、疑問点を整理して授業にのぞむ
	授業内容	○後期のまとめ①　○後期口頭試験練習①
	事後学習	後期のまとめ①を復習する　後期口頭試験課題文の発音練習
14	事前学習	後期口頭試験課題文における疑問点等を整理して授業にのぞむ
	授業内容	○後期のまとめ②　○後期口頭試験練習②
	事後学習	後期のまとめ②を復習する　後期口頭試験課題文暗唱のための練習
15	事前学習	後期口頭試験にむけての準備
	授業内容	◎後期口頭試験　及びまとめ、振返り
	事後学習	後期口頭試験課題文を中心とした復習

科目名	中国語資格試験対策ⅢA	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験 3 級過去問に対する回答及び解説を継続して行う。				
授業目的・到達目標	日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験 3 級の合格を目標、目的とする。中国語検定試験(日本中国語検定協会) 3 級合格程度の実力をつけることができる。				
履修条件	すでに 1 年間以上の中国語学習経験のある人。日中辞典、中日辞典を毎回必ず持参すること。				
授業方法	授業時に配布する教材の内容に従って授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	前期試験(授業内)、平常点及び中国語検定試験の合否より総合的に評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	日中辞典、中日辞典を毎回必ず持参すること。				
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業時間や講堂番号を間違えない様しっかりと時間割を確認すること。
	授業内容	授業説明
	事後学習	中国語検定試験に関して可能な範囲で下調べすること。
2	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第81回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
3	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第81回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
4	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第82回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。

5	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第82回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
6	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第83回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
7	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第83回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
8	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第84回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
9	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第84回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
10	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第85回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
11	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第95回中国語検定試験(平成30年6月24日実施予定)過去問(聞取、並べ替え)に対する解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
12	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第85回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
13	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第86回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
14	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第86回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
15	事前学習	前期中に学習した内容を整理して事前に頭に入れておくこと。
	授業内容	前期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	中国語資格試験対策ⅢB	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験 3 級の過去問に対する回答及び解説を継続して行い、その出題形式に慣れ てもらう。				
授業目的・ 到達目標	日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験 3 級の合格を目的とする。中国語検定試験(日本中国語検定協会) 3 級合格 程度の実力をつけることができる。				
履修条件	すでに 1 年間以上の中国語学習経験のある人。日中辞典、中日辞典を毎回必ず持参すること。				
授業方法	授業時に配布する教材の内容に従って授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	後期試験(授業内)、平常点及び中国語検定試験の合否より総合的に評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	日中辞典、中日辞典を毎回必ず持参すること。				
オフィス アワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第87回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
2	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第88回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
3	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第88回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
4	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第89回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。

5	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第89回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
6	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第90回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
7	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第90回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
8	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第91回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
9	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第91回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
10	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第96回中国語検定試験(平成30年11月25日実施予定)過去問(聞取、並べ替え)に対する解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
11	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第92回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
12	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第92回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
13	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第93回中国語検定試験過去問(聞取、穴埋)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
14	事前学習	中国語単語等を事前に覚え込んで語彙数を増やしておく様心掛けること。
	授業内容	第93回中国語検定試験過去問(聞取、並べ替え)に対する回答及び解説
	事後学習	学習した文法事項に関する文例を読んで書いて練習すること。
15	事前学習	後期中に学習した内容を事前に整理して頭に入れること。
	授業内容	後期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々には読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	国際研修(中) I A	担当者	栗原 千里	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	教科書本文及びその他文例の読込練習を継続して行い、中国語中級表現に慣れてもらう。			
授業目的・到達目標	毎年2～3月に実施される中国語語学研修(中国科技大学)に向け語学力の充実を図り、中国語中級表現能力を向上させることを目的とする。中国語語学研修(中国科技大学)に参加するか否かについては自由。中国語発音を掌握して中級表現能力を習得することができる。			
履修条件	すでに1年間以上の中国語学習経験がある人。中国語語学研修(中国科技大学)に参加するか否かについては自由。授業中は読込練習を繰り返して行うので、大声を出して丁寧に発音するよう心掛けること。			
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	前期試験(授業内)、平常点を総合的に評価。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第16刷	白水社	2冊め中国語《講読クラス》	劉穎、柴森、小澤直人
	備考	なし		
参考書	なし			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏留学等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業時間や講堂番号を間違えない様しっかりと時間割を確認すること。
	授業内容	授業説明
	事後学習	教科書を出来るだけ早く揃えられる様心掛けること。
2	事前学習	事前に第1課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 前置詞「对」、名詞の前の「的」
	事後学習	前置詞「对」、名詞の前の「的」の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第1課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第1課 「有的～有的～」、「既～又～」
	事後学習	「有的～有的～」、「既～又～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第2課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 「每～都～」、動詞と形容詞の前の「的」
	事後学習	「每～都～」、動詞と形容詞の前の「的」の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第2課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第2課 比較用法、「連～也～」
	事後学習	比較用法、「連～也～」の「的」の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第3課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 「除了～以外～」、疑問詞の呼応表現
	事後学習	「除了～以外～」、疑問詞の呼応表現の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第3課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第3課 「即使～也～」、「一点兒也～」
	事後学習	「即使～也～」、「一点兒也～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第4課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 持続を表す「着」、手段や状態を表す「着」
	事後学習	持続を表す「着」、手段や状態を表す「着」の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第4課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第4課 複合方向補語、動詞の重ね型の完了形
	事後学習	複合方向補語、動詞の重ね型の完了形の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 結果補語、存現文
	事後学習	結果補語、存現文の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第5課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第5課 「因為～所以～」、「一边兒～一边兒～」
	事後学習	「因為～所以～」、「一边兒～一边兒～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
12	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 可能補語、「什麼的」
	事後学習	可能補語、「什麼的」の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 「只要～就～」
	事後学習	「只要～就～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第6課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第6課 「一～就～」
	事後学習	「一～就～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	前期中に学習した内容を整理して事前に頭に入れておくこと。
	授業内容	前期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く時々には読込練習を行い、習得した発音や表現を忘れない様心掛けること。

科目名	国際研修(中) I B	担当者	栗原 千里	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	教科書及びその他文例の読込練習を継続して行い、中国語中上級表現に慣れてもらう。			
授業目的・到達目標	毎年2～3月に実施される中国語語学研修(中国科技大学)に向け語学力の充実を図り、中国語中上級表現能力を向上させることを目的とする。中国語語学研修(中国科技大学)に参加するか否かについては自由。中国語発音を掌握して中上級表現能力を習得することができる。			
履修条件	すでに1年間以上の中国語学習経験がある人。中国語語学研修(中国科技大学)に参加するか否かについては自由。授業中は読込練習を繰り返し行うので、大声を出して丁寧に発音するよう心掛けること。			
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	後期試験(授業内)、平常点を総合的に評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度 第16刷	白水社	2冊めの中国語《講読クラス》	劉穎、柴森、小澤直人
	備考	なし		
参考書	なし			
オフィスアワー	火曜昼休み(12:10～13:00)研究室。中国語学習方法、中国語圏等々可能な範囲で相談に応ずる所存である。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 「是～的」、様態補語
	事後学習	「是～的」、様態補語の用法に関して読んで書いて練習すること。
2	事前学習	事前に第7課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第7課 「不知道～才好」、「好像～一樣」
	事後学習	「不知道～才好」、「好像～一樣」の用法に関して読んで書いて練習すること。
3	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 疑問詞の不定用法、可能補語
	事後学習	疑問詞の不定用法、可能補語の用法に関して読んで書いて練習すること。
4	事前学習	事前に第8課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第8課 「無論～都～」、「要是～的話，就～」
	事後学習	「無論～都～」、「要是～的話，就～」の用法に関して読んで書いて練習すること。

5	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 動詞の後の「給」、受身文
	事後学習	動詞の後の「給」、受身文の用法に関して読んで書いて練習すること。
6	事前学習	事前に第9課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第9課 「不是～就是～」、「再也没～過」
	事後学習	「不是～就是～」、「再也没～過」の用法に関して読んで書いて練習すること。
7	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 動量補語、離合詞
	事後学習	動量補語、離合詞の用法に関して読んで書いて練習すること。
8	事前学習	事前に第10課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第10課 「雖然～但是～」、「不但～而且～」
	事後学習	「雖然～但是～」、「不但～而且～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
9	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 「有」の兼語文
	事後学習	「有」の兼語文の用法に関して読んで書いて練習すること。
10	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 使役の「讓」
	事後学習	使役の「讓」の用法に関して読んで書いて練習すること。
11	事前学習	事前に第11課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第11課 副詞「就」、副詞「都」
	事後学習	副詞「就」、副詞「都」
12	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「把」の連動文
	事後学習	「把」の連動文の用法に関して読んで書いて練習すること。
13	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「对～來說」
	事後学習	「对～來說」の用法に関して読んで書いて練習すること。
14	事前学習	事前に第12課該当部分に目を通しておくこと。
	授業内容	第12課 「只有～才～」
	事後学習	「只有～才～」の用法に関して読んで書いて練習すること。
15	事前学習	後期中に学習した内容を整理して事前に頭に入れておくこと。
	授業内容	後期試験(授業内)
	事後学習	休暇期間中も怠り無く読込練習を時々に行い、習得した発音や表現を忘れない様に心掛けること。

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅠA	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現をみにつけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて学習する学生を対象として、中国語の基礎知識を習得させるものです。そのために、正しい発音を訓練しながら、基本文型や、簡単な会話ができ、簡単な文章が理解できる学力を身につけることを目的として授業を進めます。 或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させ、上級へすすむための基礎的な学力を身につけ、コミュニケーションできるようになるのは、この授業の目的です。初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互交通的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生或いは初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから相互的なコミュニケーション能力を獲得したい学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参 考 書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィス アワー	木曜日12：10やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDを聞き、先に発音の練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音
	事後学習	CDを聞きながら、中国語の発音とピンインの書き方を覚える
2	事前学習	CDを聞く、発音を練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音と声調
	事後学習	勉強した発音を、CDをききながら覚えること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発音 声調変化と総合練習
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	挨拶言葉と自己紹介を通して発音のチャックをする。 クラスメイトの名前を中国語で覚える。
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	日期と時刻：年月日について、時刻、またお誕生日について、会話する。 準備：家族構成と職業に関する単語を調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	家庭：家族についての紹介と質問
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	年齢：各年齢段についての聞き方と答え。 宿題：今まで勉強をしたものを文章にまとめ、発表。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	中間発表 次の課を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	方位：学内と学校周囲にあるものについて質問と答え；関連単語を事前に調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	行為（未然）：自分の日常生活のスケジュールを事前に予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	職業：自分とご家族の職業についての関連用語を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	評価：教科書以外に自分が知っている事について評価する。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	買い物：人民元の言い方と値段を聞く、値引きの練習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
14	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発表テスト 小文章を書き、口頭発表と筆記テスト
	事後学習	問題を修正し、正しい表現で暗記すること

15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	中国の映画を鑑賞
	事後学習	感想文を書く

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅠA	担当者	長田 徳子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は中国語の発音から勉強し、豊富な練習問題で基本的な表現を学ぶ。本文は日本人学生が中国人のメル友を訪ね、初めて北京に行って、出会った様々な場面での会話、また、会話に出てくる文法を簡潔にまとめている。				
授業目的・到達目標	中国語の日常会話や基礎文法の習得を目的とする。簡単な会話や簡単な文章の読み書きと翻訳ができるようになる。コミュニケーションに最も必要な基本的な表現を身につけることができる。				
履修条件	なし				
授業方法	朗読、翻訳、会話、リスニングという方式で授業を進めていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度（受講態度を含む）10%、平常点（宿題や授業中の小テスト）40%、前期末の授業内テスト50%。また、中国語検定試験の合格も成績の評価に加味する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2011年	白水社	I 冊目の中国語一会話クラス		劉 喜多山幸子 松田かの子
	備考				
参 考 書	日中辞書、中日辞書				
オフィスアワー	授業の前・後、当該教室にて				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入し、目を通してください。
	授業内容	1、オリエンテーション 2、中国の概況 3、中国語の発音：単母音と声調
	事後学習	単母音と声調の復習
2	事前学習	子音と複母音の予習
	授業内容	発音：子音と複母音
	事後学習	子音と複母音の復習
3	事前学習	鼻母音の予習
	授業内容	発音：鼻母音と発音の復習
	事後学習	発音の総復習
4	事前学習	第1課の予習
	授業内容	第1課 楊麗さんですか。 本文訳、ポイント 1. 人称代名詞 2. 動詞“是” 3. 否定を表す“不” 4. 疑問を表す“嗎”
	事後学習	文法の復習

5	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第1課 楊麗さんですか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
6	事前学習	第2課の予習
	授業内容	第2課 荷物は多いですか。 本文訳、ポイント 1. 指示代名詞 2. 形容詞述語文 3. 疑問詞“怎么样” 4. “的”
	事後学習	文法の復習
7	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第2課 荷物は多いですか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
8	事前学習	第3課の予習
	授業内容	第3課 明日はどこへ行きますか。 本文訳、ポイント 1. 場所代名詞 2. 動詞述語文 3. 疑問詞疑問文 4. 省略疑問文“呢” 5. 時を表すことばの位置
	事後学習	文法の復習
9	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第3課 明日はどこへ行きますか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
10	事前学習	第4課の予習
	授業内容	第4課 ケーキを食べたいですか。 本文訳、ポイント 1. 助動詞“想” 2. 選択疑問文 3. 副詞“也” 4. 動詞の重ね型 5. 語気助詞“吧”
	事後学習	文法の復習
11	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第4課 ケーキを食べたいですか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
12	事前学習	第5課の予習
	授業内容	第5課 これはいくらですか。 本文訳、ポイント 1. 数詞 2. 量詞の使い方 3. 反復疑問文
	事後学習	文法の復習
13	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第5課 これはいくらですか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
14	事前学習	第1課～5課の復習
	授業内容	前期のまとめ（前期末授業内テスト）
	事後学習	問題点の復習
15	事前学習	前期の総復習
	授業内容	総括
	事後学習	問題点の復習

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅠA	担当者	汪 鴻祥	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業は初級中国語のスピーキングとリスニングを基本内容とし、正確な発音を把握し、初級の文法を理解すると同時に、「話すと聴く」の訓練を重視します。発音段階では母音や子音などのピンインをしっかりと勉強します。会話段階では毎回一つテーマを巡って関連の単語や文法を勉強し、また練習を行います。日常学習状況と期末試験結果により総合評価をします。				
授業目的・到達目標	この授業を通して、会話力と聴取力を中心とする初級中国語能力の向上を目標とします。				
履修条件	中国語や中国文化に興味を持つ者を対象とします。 履修者30名に限定します。				
授業方法	指定のテキストを参照しつつ授業をしますが、中国関連の話題を取り入れ、楽しく中国語会話の練習を行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末テストの結果により評価します（70%） 練習、発表など日常の学習状況により評価します（30%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年度	白帝社	大学生活 中国語基礎 改訂版 2018年3月3刷発行		汪鴻祥 主編
	備考				
参考書	辞書が必要です。開講時指示します。				
オフィスアワー	授業中に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト6－7ページ（中国の基本データと中国の基本知識）と発音編の予習
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	発音編の予習
	授業内容	発音と練習
	事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	発音編の予習
	授業内容	発音と練習
	事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	発音編の予習
	授業内容	発音と練習
	事後学習	授業内容の復習

5	事前学習	発音編の予習
	授業内容	発音と練習
	事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	第1課：「初次面」の予習
	授業内容	第1課：「初次面」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
7	事前学習	第2課：「迎新生」の予習
	授業内容	第2課：「迎新生」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
8	事前学習	第3課：「我的一家」の予習
	授業内容	第3課：「我的一家」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
9	事前学習	第4課：「生日快」の予習
	授業内容	第4課：「生日快」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
10	事前学習	第5課：「漫学」の予習
	授業内容	第5課：「漫学」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
11	事前学習	第6課：「参校园」の予習
	授業内容	第6課：「参校园」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
12	事前学習	第7課：「趣好」の予習
	授業内容	第7課：「趣好」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
13	事前学習	第8課：「学」の予習
	授業内容	第8課：「学」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
14	事前学習	総合復習の準備
	授業内容	期末総合復習
	事後学習	授業内容の復習
15	事前学習	試験の準備
	授業内容	期末総括試験及びまとめ、振返り
	事後学習	前期授業内容の復習

科目名	スピーキング・リスニング(中) I A	担当者	何 秋平	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語漢字の発音、文章の簡単な読み書き、リスニング、及び会話を習得します。				
授業目的・到達目標	本講座では、発音の基礎から始め、実践的な語学能力を身につけることを目的としています。11月に中国語検定試験準四級に合格する。				
履修条件	特になし				
授業方法	平易な中国語を可能な限りたくさん使い、中国語に親しめるよう楽しく授業を進めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内での筆記試験（70%） 平常点（30%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年02月 26日刊行	駿河台出版		改訂版「Campus漢語」	原瀬 隆司
	備考				
参考書	『中日・日中辞典』				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付けます				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	ガイダンス（成績評価の方法、授業方法など） 発音について
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
2	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	発音
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
3	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第1課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
4	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第1課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

5	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第2課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
6	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第2課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
7	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第3課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
8	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第3課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
9	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第4課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
10	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第4課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
11	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第5課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
12	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第5課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
13	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第6課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
14	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第6課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
15	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	前期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅠA	担当者	鄭 暁青	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語基礎的なものを30回を通して学ぶ。会話を中心としての授業である。				
授業目的・到達目標	基本的な日常会話を学ぶ。簡単な会話から入り、反復繰り返しにより発音になじみ、中国語の発音記号と四声を修得させる。発音と基本文法を身につけ、中国語で簡単な会話ができるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	初歩の中国語で最も大切な発音に特に重点を置いて指導する。二人で組んで会話の練習をする				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（学習の積極性）及び小テスト。40%小テストと60%前期の発音テスト	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	白水社		はじめまして！中国語	喜多山幸子等著
	備考				
参考書	中国語辞書必要 指定なし				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を読む
	授業内容	年間講義計画・成績評価の方法 中国語の特色と勉強について
	事後学習	復習
2	事前学習	予習
	授業内容	発音
	事後学習	復習
3	事前学習	発音の確認
	授業内容	発音
	事後学習	復習
4	事前学習	発音の確認
	授業内容	発音
	事後学習	復習

5	事前学習	単語の予習
	授業内容	第1課 校門で
	事後学習	文型の確認
6	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	簡体字の確認
7	事前学習	単語の予習
	授業内容	第2課 廊下で
	事後学習	文型の確認
8	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
9	事前学習	単語の予習
	授業内容	第3課 キャンパスで
	事後学習	簡体字の確認
10	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
11	事前学習	単語の予習
	授業内容	第4課 携帯を見ながら
	事後学習	簡体字の確認
12	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
13	事前学習	単語の予習
	授業内容	第5課 学生食堂で
	事後学習	簡体字の確認
14	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
15	事前学習	復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅠA	担当者	萬 清華	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	入門～初級段階の中国語。話しかた、聴きかた、読みかた、書きかた中心として中国語会話の基礎を教える。教材には、朗読と理解とのし易くなるために、文章の切り取り、ピークストレスをつけた。標準的な発音から、挨拶、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどに必要な基礎知識を覚えやすいように一つ一つセットで丁寧に教える。（後期には、HSK漢語検定1級～2級受験、及び日本中国語検定の準4級～4級受験は、可能。）				
授業目的・到達目標	標準的な発音から、挨拶、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどに必要な基礎知識を教え、また、読解やヒアリング、会話の訓練、小テストを行い、総合的な中国語の言語能力の基礎を作ることを目的とする。授業にはHSK漢語検定受験指導をし（後期にはHSK漢語検定1級～2級受験、及び日本中国語検定の準4級～4級受験は、可能）、毎年受験合格実績がある。中国語で簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	標準的な発音と朗読や会話の基礎知識、読解や会話の訓練、小テストなどを合わせて行う。HSK漢語検定受験指導、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）』、前・後期末テスト（口頭試験、リスニング・筆記）がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度や小テスト、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）』成績（50%）、前・後期末テスト成績（50%）によって総合評価する。中検受験加点ある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書の使用について、授業の時に指示する。			
参考書	指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	筆記と書き取り練習用ノート（1）を用意する。
	授業内容	授業概要。第一課「候」①本課概要。挨拶。標準的な中国語の発音法。会話入門。語順、語調。②挨拶語。文章の切り取り、ピークストレス。単語表、本文を読む。本文を訳す。本文と日本語訳を書く。挨拶・会話練習。③呼称・人称代名詞。二つの語気助詞と比較。中国語の語順、語調。④音節・四声・轻声・単韻母。
	事後学習	復習。第一課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
2	事前学習	教科書の第一課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第一課 ①復習問題。②複韻母。③音節・変調発音訓練。④文の種類。会話1(1) - (3)。会話練習。⑤声母と韻母。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話1(1) - (3)を声出して読む。第一課会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。会話文の要点と発音の要点をチェック。
3	事前学習	第一課会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第一課 ①復習問題。②鼻韻母。③親族。四声と轻声の比較練習。④音の識別、常用単語発音練習。⑤会話2(4) - (6)。会話練習。⑥声調と鼻韻母。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話2(4) - (6)を声出して読む。第一課会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。会話文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第一課』。
4	事前学習	第一課会話2(4) - (6)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第一課 ①復習問題。②アル化韻。③ローマ字綴り規則。音節表。④音の識別、朗読練習。会話練習・語調。⑤単語と会話。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第一課常用単語と会話を声出して読む。常用単語と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第一課』。

5	事前学習	第一課会話(1) - (6)を声出して読む。第一課の要点をチェック。第二課の単語表を声出して読む。第二課の単語表と日本語訳を書く。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第一課』完成し、成績表のコピーを用意する。
	授業内容	第一課復習問題。第二課「我是学生」①第二課概要。名詞述語文。数を数える。疑問文(1) - (3)。会話。自己紹介。②単語表、本文を読む。本文を訳す。③「是」構文(1)。「的」。「指示代名詞」。「副詞」。④二つの疑問語気助詞と六つの疑問詞。疑問文(1) - (3)。⑤本文について会話練習。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第一課』成績表を提出。
	事後学習	復習。第二課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
6	事前学習	第二課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。疑問文(1) - (3)、二つの疑問語気助詞と六つの疑問詞をチェック。
	授業内容	第二課 ①復習問題。②強勢と弱勢。強勢と弱勢の変化。③疑問文(1) - (3)と会話練習(1) - (4)。④四声練習。音の識別。疑問文の語調。⑤数の数え方(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話練習(1) - (4)を声出して読む。会話練習(1) - (4)と日本語訳を書く。数の数え方(1) - (3)を声出して読む。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第二課』。
7	事前学習	第二課疑問文(1) - (3)、二つの疑問語気助詞と六つの疑問詞をチェック。数の数え方、会話練習(1) - (4)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第二課 ①復習問題。②品詞一覧。③置換え会話(1) - (3)。④会話1(1) - (3)。⑤名前の聞き方。自己紹介。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第二課』。
8	事前学習	第二課数の数え方(1) - (3)、会話1(1) - (3)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第二課 ①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第二課』。
9	事前学習	第二課会話2(4) - (6)を声出して読む。第三課の単語表を声出して読む。第三課の単語表と日本語訳を書く。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第二課』完成し、成績表のコピーを用意する。
	授業内容	第二課復習問題。第三課「我的父母」①第三課概要。形容詞述語文・主述述語文・動詞述語文。副詞の種類。介詞。接続詞。助詞「的」「地」「得」。補語の種類。量詞の分類。疑問文(4)。会話。②単語表、本文を読む。本文を訳す。③程度副詞。介詞。接続詞。④本文について会話練習。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第二課』成績表を提出する。
	事後学習	復習。第三課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
10	事前学習	第三課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第三課 ①復習問題。②三つの「de」。「得」つくる補語と他の補語。③量詞の分類。④疑問文(4)。会話練習(1) - (4)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。数量詞。疑問文(4)。三つの「de」。程度補語と可能補語。会話練習(1) - (4)を声出して読む。会話練習(1) - (4)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第三課』。
11	事前学習	第三課会話練習(1) - (4)を声出して読む。数量詞、三つの「de」、程度補語と可能補語、疑問文(1) - (4)をチェック。
	授業内容	第三課 ①復習問題。②四声練習。音の識別。③置換え会話(1) - (3)。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第三課』。
12	事前学習	第三課会話1(1) - (3)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第三課 ①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③年齢の聞き方。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第三課』。
13	事前学習	第三課会話2(4) - (6)を声出して読む。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第三課』完成し、成績表のコピーを用意する。
	授業内容	第三課①復習問題。②第一課～第三課復習。③中国語作文。④宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第三課』成績表を提出する。
	事後学習	自分の中国語作文を声出して読む。
14	事前学習	自分の中国語作文を声出して読む。
	授業内容	中国語作文口頭発表会（口頭試験）及びまとめ、振り返り。
	事後学習	第一課～第三課復習。
15	事前学習	第一課～第三課復習。
	授業内容	(授業内)テスト（リスニング、筆記）。及びまとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(中) I A	担当者	劉 秋佳	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本表現中止をして中国語の基礎から学ぶ。中国の事情も少々紹介する。				
授業目的・到達目標	中国語の基礎から学ぶ。発音のローマ字表記（ピンイン）、四つの声調を習得し、初級会話の勉強を通じて、文法の仕組みを理解し、簡単なコミュニケーションができるようになることを目指す。 また、中国に関連するビデオ、DVDを見るや新聞記事などを用いて、中国の文化や変化する現代社会を理解していく。 1．中国語検定試験（中検）準4級、4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。 2．現代中国語圏文化を理解することができる。				
履修条件	積極的に授業での練習に参加すること、出席状況、授業での態度や答えおよび筆記試験により評価。3分の2以上の出席は必要。				
授業方法	発音と基本表現の会話練習を中心に授業を楽しく行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業中の発音、会話口頭練習の受け答えなどで評価の重要な対象です。授業時の応答30%、小テスト：30%（2回）、提出もの：10%になる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用教科書は授業のとき指示します			
参考書	中日・日中辞書 具体的には指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、メールにて受け付ける。（メールアドレス ryu.shuka11@nihon-u.ac.jp / Wechat:koku811）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでください
	授業内容	導 入 中国と中国語について紹介する 中国語の特徴と勉強方法、中国言語の歴史文化背景の概述
	事後学習	中国の一般事情をネットで調べでまとめて書いて提出します
2	事前学習	教科書の付けたCDの発音部分を聞き流してください
	授業内容	第1課 （発音一）韻母、四声、単母音、複母音
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまでくれ返して練習しなさい
3	事前学習	発音練習CDの学習予定部分を聞き流してください
	授業内容	第2課 （発音二）声母(子音)有気音と無気音（簡単な挨拶言葉）
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまで繰り返し練習しなさい
4	事前学習	発音練習CDの学習予定部分を聞き流してください
	授業内容	第3課 （発音三）鼻母音(母音声調符号の付け方)、(授業用語)
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまで繰り返し練習しなさい

5	事前学習	発音練習CDの学習予定部分を聞き流してください
	授業内容	第4課(発音四) 特殊発音、声調の変化
	事後学習	勉強したピンインのローマ字を暗記で書き出しできるまで練習しなさい 四声慣れるまで繰り返して練習しなさい
6	事前学習	教科書の課後練習と配った練習問題を予習してください。
	授業内容	発音の総合練習 発音部分の小テスト
	事後学習	練習とテストのできないところを確認し、できるまでに練習してください
7	事前学習	配ったプリントの記事を読んでください
	授業内容	文化事情
	事後学習	感想と見解を書いて提出下さい
8	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第5課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
9	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第6課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
10	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習 グループで会話練習を確認させて評価します
	事後学習	慣れてない会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
11	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第7課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
12	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第8課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
13	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習 グループで会話練習を確認させて評価します
	事後学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
14	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください。
	授業内容	総復習
	事後学習	ミスした所とできない部分をできるようにきちんと練習してください
15	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください。
	授業内容	小テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	ミスした所とできない部分をできるようにきちんと練習してください

科目名	スピーキング・リスニング(中) I A	担当者	劉 力	部 別	第一部	期 間	前期	単 位 数	1
-----	---------------------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-------	---

授業概要	授業中、発音の繰り返し練習をして、口頭で練習問題に答えられ、聞いて漢字とピンインが書けるように指導する予定です。					
授業目的・到達目標	この授業では、中国語の発音を習得し、基礎的な文法体系を理解し、中国語の会話力、聴解力を身につけることを目指す。中国語検定試験４級相当の実力を身につける。					
履修条件	初心者					
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。出欠は毎回確認する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度と２回の試験平均点で評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年後度	駿河台出版社		hikaru中国語力		矢野 光治 劉 力
	備考					
参考書	なし					
オフィス アワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書を用意すること
2	事前学習	発音の予習
	授業内容	発音:音節のしく・声調・声調の変化・母音・子音・アル化音み
	事後学習	発音の復習
3	事前学習	第一課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第一課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第一課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
4	事前学習	第一課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第一課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第一課本文の意味・漢字・ピンインを覚える

5	事前学習	第二課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第二課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第二課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
6	事前学習	第二課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第二課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第二課本文の意味・漢字・ピンインを覚える
7	事前学習	第三課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第三課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第三課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
8	事前学習	第三課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第三課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第三課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
9	事前学習	第一課～第三課まで本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第一回目試験及びまとめ、振返り 範囲：第一課～第三課の新出単語と本文
	事後学習	第一課～第三課の内容を復習すること
10	事前学習	第四課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第四課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第四課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
11	事前学習	第四課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
	授業内容	第四課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第四課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
12	事前学習	第五課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第五課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第五課のポイントの中のChekの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
13	事前学習	第五課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
	授業内容	第五課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第五課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
14	事前学習	第六課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をし、ポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習し、ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第六課の新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習をする
	事後学習	第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
15	事前学習	第四課～第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第二回目試験及びまとめ、振返り 範囲：第五課～第六課の新出単語と本文
	事後学習	第一課～第六課の内容を復習すること

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現を身につけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて履修する学生、或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させたい学生に対して、正しい発音ができ、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生、或いは一年間履修した事がある学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィスアワー	木曜日 12：10 やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの事について、作文と発表準備。
	授業内容	第1回 前期の復習 夏休みの話
	事後学習	文章と表現を修正し、正しい表現を暗記する。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2回 行（已然） 過去を表現する文型の用法を理解し、確りと身につけます。 ポイント：1、動詞+了+数量詞+名詞 2、是～的
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3回 好 興味・趣味の表現：自分の好きなことに関連ある単語を調べてくる。 ポイント：1、喜+動詞 2、+動詞 3、～感趣
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第4回 行（体験） 自分の経験を話す。必要な単語を調べてくる。 ポイント：1、動詞+ 2、動詞+目的語+同じ動詞+時間補語
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第5回 比 比較の表現を習得する。各種の比較表現の準備として単語を調べてくる。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第6回 行（進行） 現在進行形の表現を練習し、習得する。 ポイント：進行中の●正在～呢● 持続表現の●動詞+着●
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第7回 可能 可能・不可能、予想、予感の表現を練習します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第8回 中間発表： 中国語の小文章を事前に用意して、授業中口頭で発表します。 中国語学習で問題となる点について解説します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第9回 行（結果） ポイント：1、様々な意味を持つ「了」2、「把」を用いる構文と補語を理解し習得 十分時間をかけて練習をし、正しい中国語の表現を身につけます。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第10回 能力 「能」、「会」、「可以」の応用練習をし、会話能力を向上させます！ ポイント：様々な補語を用いて、応用練習をします。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第11回 求 1、義務「ねばならない」の表現、また依頼の表現を習得します。 2、中国語の使役と受身の表現を習得します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第12回 試発表 題「私の夢」の中国語の作文を事前に用意し、口頭発表の練習をします。 作文中の問題点を解説し、正しい作文を暗記します。。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	作文と発表の準備
	授業内容	第13回 正式発表 口頭発表：作文「私の夢」
	事後学習	問題を修正する

14	事前学習	テスト範囲を覚えること
	授業内容	第14回 期末筆記テスト 範囲：第12課～22課まで、会話文の日本語から中国語に、中国語から日本語に翻訳します。
	事後学習	今まで勉強した中国語の知識を毎三回復習、練習すること。
15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	第15回 中国の映画
	事後学習	感想文を書く。

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	長田 徳子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は中国語の発音から勉強し、豊富な練習問題で基本的な表現を学ぶ。本文は日本人学生が中国人のメル友を訪ね、初めて北京に行って、出会った様々な場面での会話、また、会話に出てくる文法を簡潔にまとめている。			
授業目的・到達目標	中国語の日常会話や基礎文法の習得を目的とする。簡単な会話や簡単な文章の読み書きと翻訳ができるようになる。コミュニケーションに最も必要な基本的な表現を身につけることができる。			
履修条件	なし			
授業方法	朗読、翻訳、会話、リスニングという方式で授業を進めていく。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	授業参加度（受講態度を含む）10%、平常点（宿題や授業中の小テスト）40%、後期末の授業内テスト50%。また、中国語検定試験の合格も成績の評価に加味する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011年	白水社	I 冊目の中国語一会話クラス	劉 喜多山幸子 松田かの子
	備考			
参考書	日中辞書、中日辞書			
オフィスアワー	授業の前・後、当該教室にて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第6課の予習
	授業内容	オリエンテーション 第6課 電子辞書を持っていますか。 本文訳、ポイント 1. 動詞“有” 2. 動詞“在” 3. 前置詞“离”
	事後学習	文法の復習
2	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第6課 電子辞書を持っていますか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文を暗記
3	事前学習	第7課の予習
	授業内容	第7課 京劇のチケットを買いました。 本文訳、ポイント 1. 連動文 2. “什么” + 名詞 3. 完了の“了” 4. 疑問詞“怎么”
	事後学習	文法の復習
4	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第7課 京劇のチケットを買いました。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記

5	事前学習	第8課の予習
	授業内容	第8課 ファーストフード店がありますか。 本文訳、ポイント 1. 変化を表わす“了” 2. 動詞“有” 3. 前置詞“在”
	事後学習	文法の復習
6	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第8課 ファーストフード店がありますか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
7	事前学習	第9課の予習
	授業内容	第9課 中国の歌が歌えますか。 本文訳、ポイント 1. 助動詞“可以” “会” “能” 2. 動詞“喜歡” 3. 前置詞“給”
	事後学習	文法の復習
8	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第9課 中国の歌が歌えますか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
9	事前学習	第10課の予習
	授業内容	第10課 長城に行ったことがありますか。 本文訳、ポイント 1. 時刻の言い方 2. 経験を表わす“過” 3. 動作の回数を表わす言い方 4. 方向補語
	事後学習	文法の復習
10	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第10課 長城に行ったことがありますか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
11	事前学習	第11課の予習
	授業内容	第11課 お腹をこわしました。 本文訳、ポイント 1. 主述述語文 2. “有点儿” 3. “是～的” 4. 比較の表現
	事後学習	文法の復習
12	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第11課 お腹をこわしました。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
13	事前学習	第12課の予習
	授業内容	第12課 どのくらいの時間がかかりますか。 本文訳、ポイント 1. 結果補語 2. “从～到…” 3. 二つの目的語をもつ動詞
	事後学習	文法の復習
14	事前学習	練習問題の予習
	授業内容	第12課 どのくらいの時間がかかりますか。 トレーニング、リスニング
	事後学習	本文の暗記
15	事前学習	第6課～12課の復習
	授業内容	後期のまとめ（後期末授業内テスト）
	事後学習	問題点の復習

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	汪 鴻祥	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業は初級中国語のスピーキングとリスニングを基本内容とし、正確な発音を把握し、初級の文法を理解すると同時に、「話すと聴く」の訓練を重視します。発音段階では母音や子音などのピンインをしっかりと勉強します。会話段階では毎回一つテーマを巡って関連の単語や文法を勉強し、また練習を行います。日常学習状況と期末試験結果により総合評価をします。				
授業目的・到達目標	この授業を通して、会話力と聴取力を中心とする初級中国語能力の向上を目標とします。				
履修条件	中国語や中国文化に興味を持つ者を対象とします。 履修者30名に限定します。				
授業方法	指定のテキストを参照しつつ授業をしますが、中国関連の話題を取り入れ、楽しく中国語会話の練習を行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末テストの結果により評価します（70%） 練習、発表など日常の学習状況により評価します（30%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	白帝社	大学生生活 中国語基礎 改訂版 2018年3月3刷発行		汪 鴻祥 主編
	備考				
参考書	辞書が必要です。開講時指示します。				
オフィスアワー	授業中に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休み報告発表の準備
	授業内容	前期で学ばれた基本語彙と基本文法の復習 夏休みの報告
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	第9課：「广交朋友」の予習
	授業内容	第9課：「广交朋友」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	第10課：「周末活」の予習
	授業内容	第10課：「周末活」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	第11課：「超市物」の予習
	授業内容	第11課：「超市物」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習

5	事前学習	第 1 2 課：「季化」の予習
	授業内容	第 1 2 課：「季化」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	第 1 3 課：「上学交通」の予習
	授業内容	第 1 3 課：「上学交通」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
7	事前学習	第 1 4 課：「余打工」の予習
	授業内容	第 1 4 課：「余打工」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
8	事前学習	第 1 5 課：「外活」の予習
	授業内容	第 1 5 課：「外活」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
9	事前学習	第 1 6 課：「晚会」の予習
	授業内容	第 1 6 課：「晚会」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
10	事前学習	第 1 7 課：「出国留学」の予習
	授業内容	第 1 7 課：「出国留学」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
11	事前学習	第 1 8 課：「求活」の予習
	授業内容	第 1 8 課：「求活」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
12	事前学習	第 1 9 課：「典礼」の予習
	授業内容	第 1 9 課：「典礼」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
13	事前学習	第 2 0 課：「人生理想」の予習
	授業内容	第 2 0 課：「人生理想」 会話と練習
	事後学習	授業内容の復習
14	事前学習	総合復習の準備
	授業内容	期末総合復習
	事後学習	授業内容の復習
15	事前学習	期末試験の準備
	授業内容	期末総括試験及びまとめ、振返り
	事後学習	後期授業内容の復習

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	何 秋平	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語漢字の発音、文章の簡単な読み書き、リスニング、及び会話を習得します。			
授業目的・到達目標	本講座では、発音の基礎から始め、実践的な語学能力を身につけることを目的としています。11月に中国語検定試験準四級に合格する。			
履修条件	特になし			
授業方法	平易な中国語を可能な限りたくさん使い、中国語に親しめるよう楽しく授業を進めます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内での筆記試験（70%） 平常点（30%）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年02月 26日刊行	駿河台出版	改訂版「Campus漢語」	原瀬 隆司
	備考			
参考書	『中日・日中辞典』			
オフィス アワー	授業後に質問を受け付けます			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第7課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
2	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第7課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
3	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第8課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
4	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第8課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

5	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第9課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
6	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第9課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
7	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第10課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
8	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第10課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
9	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第11課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
10	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第11課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
11	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第12課 本文 単語、文法
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
12	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	第12課 練習 ステップ1、2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
13	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	復習 1
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
14	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	復習 2
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください
15	事前学習	教科書の内容を簡単に見ておいてください
	授業内容	後期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	教科書の練習問題を解いてください

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	鄭 暁青	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語基礎的なものを30回を通して学ぶ。会話を中心としての授業である。			
授業目的・到達目標	基本的な日常会話を学ぶ。簡単な会話から入り、反復繰り返しにより発音になじみ、中国語の発音記号と四声を修得させる。発音と基本文法を身につけ、中国語で簡単な会話ができるようにする。			
履修条件	特になし			
授業方法	初歩の中国語で最も大切な発音に特に重点を置いて指導する。二人で組んで会話の練習をする			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業参加度（学習の積極性）及び小テスト。40%小テストと60%期末テスト。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	白水社	はじめまして！中国語	喜多山幸子等著
	備考			
参考書	中国語辞書必要 指定なし			
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習
	授業内容	第6課 王先生の研究室で
	事後学習	復習
2	事前学習	予習
	授業内容	トレーニング
	事後学習	復習
3	事前学習	発音の確認
	授業内容	第7課 コンビニで
	事後学習	復習
4	事前学習	発音の確認
	授業内容	トレーニング
	事後学習	復習

5	事前学習	単語の予習
	授業内容	第8課　バス停で
	事後学習	文型の確認
6	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	簡体字の確認
7	事前学習	単語の予習
	授業内容	第9課　放課後
	事後学習	文型の確認
8	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
9	事前学習	単語の予習
	授業内容	第10課　卓球の中継を見ながら
	事後学習	簡体字の確認
10	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
11	事前学習	単語の予習
	授業内容	第11課　デイズニーランドで待ち合わせ
	事後学習	簡体字の確認
12	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
13	事前学習	単語の予習
	授業内容	第12課　カフェテラスで
	事後学習	簡体字の確認
14	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
15	事前学習	復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	萬 清華	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	入門～初級段階の中国語。話しかた、聴きかた、読みかた、書きかた中心として中国語会話の基礎を教える。教材には、朗読と理解とのし易くなるために、文章の切り取り、ピークストレスをつけた。標準的な発音から、挨拶、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどに必要な基礎知識を覚えやすいように一つ一つセットで丁寧に教える。（後期には、HSK漢語検定１級～２級受験、及び日本中国語検定の準４級～４級受験は、可能。）				
授業目的・到達目標	標準的な発音から、挨拶、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどに必要な基礎知識を教え、また、読解やヒアリング、会話の訓練、小テストを行い、総合的な中国語の言語能力の基礎を作ることを目的とする。授業にはHSK漢語検定受験指導をし（後期にはHSK漢語検定１級～２級受験、及び日本中国語検定の準４級～４級受験は、可能）、毎年受験合格実績がある。中国語で簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	標準的な発音と朗読や会話の基礎知識、読解や会話の訓練、小テストなどを合わせて行う。HSK漢語検定受験指導、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）』、前・後期末テスト（口頭試験、リスニング・筆記）がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度や小テスト、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）』成績（50％）、前後期末テスト成績（50％）によって総合評価し、HSK・中検受験加点ある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書の使用について、授業の時に指示する。			
参考書	指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期第一課～第三課復習。第四課の単語表を声出して読む。第四課の単語表と日本語訳を書く。
	授業内容	前期復習問題。第四課「我家有五口人」①第四課概要。「有」構文。存現文(1)。不定数。方位詞。疑問文(5) - (6)。中国の通貨—人民幣元。番号と金額の言い方。朗読短文。会話。②単語表、本文を読む。本文を訳す。本文の要点をチェック。③「有」構文。存現文(1)。不定数の使い方比較。方位詞。④本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第四課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（I）第四課』。
2	事前学習	第四課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第四課 ①復習問題。②中国の通貨—人民幣元。番号と金額。③四声練習。音の識別。④疑問文(5) - (6)。会話練習(1) - (4)。⑤置換え会話(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話練習(1) - (4)を声出して読む。会話練習(1) - (4)と日本語訳を書く。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（I）第四課』。
3	事前学習	第四課会話練習(1) - (4)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第四課 ①復習問題。②朗読短文1, 2。③置換え会話(4) - (6)。④会話1(1) - (3)。会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。朗読短文1, 2。短文と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（I）第四課』。

4	事前学習	第四課会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。第五課の単語表を声出して読む。第三課の単語表と日本語訳を書く。要点をチェック。完成した宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第四課』成績表のコピーを用意して提出する。
	授業内容	第四課復習問題。第五課「今天休息」①第五課概要。自動詞と他動詞。方向補語、数量補語。連動文・兼語文。使役・受身文。曜日・週と年・月・日。二つの「了」。朗読短文。会話。②単語表、本文を読む。本文を訳す。本文の要点をチェック。③連動文・兼語文。使役・受身文。六種類の疑問文。④本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト
	事後学習	復習。第五課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第五課』。
5	事前学習	第五課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第五課 ①復習問題。②曜日・週と年・月・日。③方向補語。数量補語。④四声練習。音の識別。二つの「了」。会話練習(1) - (4)。⑤置換え会話(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話練習(1) - (4)を声出して読む。会話練習(1) - (4)と日本語訳を書く。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第五課』。
6	事前学習	第五課会話練習(1) - (4)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第五課 ①復習問題。②朗読短文1, 2。③置換え会話(4) - (6)。④会話1(1) - (3)。会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。朗読短文1, 2。短文と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第五課』。
7	事前学習	第五課会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。要点をチェック。第六課の単語表を声出して読む。第六課の単語表と日本語訳を書く。完成した宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第五課』成績表のコピーを用意して提出する。
	授業内容	第五課復習問題。第六課「我家在横」①第六課概要。「在」構文。存現文(2)。二つの「在」。二つの「着」。結果補語。四種類の文。時刻・時間・時。朗読短文。会話。②単語表、本文を読む。本文を訳す。本文の要点をチェック。③「在」構文。存現文(2)。二つの「在」。結果補語。四種類の文。④本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト
	事後学習	復習。第六課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。要点をチェック。
8	事前学習	第六課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第六課 ①復習問題。②時間点・時間段。時刻・時間・時。③二つの「着」。④四声練習。音の識別。会話練習(1) - (4)。⑤置換え会話(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話練習(1) - (4)を声出して読む。会話練習(1) - (4)と日本語訳を書く。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第六課』。
9	事前学習	第六課会話練習(1) - (4)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第六課 ①復習問題。②朗読短文1, 2。③置換え会話(4) - (6)。④会話1(1) - (3)。会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。朗読短文1, 2。短文と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第六課』。
10	事前学習	第六課会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。要点をチェック。第七課の単語表を声出して読む。第七課の単語表と日本語訳を書く。完成した宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第六課』成績表のコピーを用意して提出する。
	授業内容	第六課復習問題。第七課「祝」①第七課概要。祝いと祈り常用語。方位詞の分類。五種類の補語。二つの「」。朗読短文。会話。②単語表、本文を読む。本文を訳す。本文の要点をチェック。③祝いと祈り常用語。五種類の補語。④本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第七課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第七課』。
11	事前学習	第七課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第七課 ①復習問題。②方位詞の分類。「～左右」・「～上下」・「～前后」。③二つの「」。④四声練習。音の識別。会話練習(1) - (4)。⑤置換え会話(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。会話練習(1) - (4)を声出して読む。会話練習(1) - (4)と日本語訳を書く。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第七課』。
12	事前学習	第七課会話練習(1) - (4)を声出して読む。要点をチェック。
	授業内容	第七課 ①復習問題。②朗読短文1, 2。③置換え会話(4) - (6)。④会話1(1) - (3)。会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。朗読短文1, 2。短文と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第七課』。
13	事前学習	第七課会話1(1) - (3)、会話2(4) - (6)を声出して読む。要点をチェック。完成した宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅰ）第七課』成績表のコピーを用意して提出する。
	授業内容	第七課①復習問題。②第四課～第七課復習。 ③第四課～第七課朗読短文復習。（口頭試験の朗読短文（Ⅰ）を選択）。
	事後学習	第四課～第七課復習。
14	事前学習	第四課～第七課復習。
	授業内容	(授業内)テスト（リスニング、筆記）及びまとめ、振り返り。
	事後学習	朗読短文を声出して読む。

15	事前学習	朗読短文を声出して読む。
	授業内容	中国語朗読短文発表会（口頭試験）及びまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	劉 秋佳	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	中国語の基礎から学ぶ。言葉の文化背景と国の一般事情もふれあい。				
授業目的・到達目標	中国語の基礎から学ぶ。発音のローマ字表記（ピンイン）、四つの声調を習得し、初級会話の勉強を通じて、文法の仕組みを理解し、簡単なコミュニケーションができるようになることを目指す。 また、中国に関連するビデオ、DVDを見るや新聞記事などを用いて、中国の文化や変化する現代社会を理解していく。 1．中国語検定試験（中検）準4級、4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。 2．現代中国語圏文化を理解することができる。				
履修条件	積極的に授業での練習に参加すること、出席状況、授業での態度や答えおよび筆記試験により評価。3分の2以上の出席は必要。				
授業方法	発音と基本表現の会話練習を中心に授業を楽しく行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	この授業では授業中の発言、口頭練習の受け答えなども評価の重要な対象です。授業時の応答30%、小テスト：30%（2回）、提出もの：10%になる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用教科書は授業のとき指示します			
参考書	中日・日中辞書 具体的には指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、メールにて受け付ける。（メールアドレス ryu.shuka11@nihon-u.ac.jp / Wechat:koku811）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	配ったプリントの記事を読んでください
	授業内容	中国文化の紹介（中国の映画鑑賞）
	事後学習	感想と見解をレポート書いて提出下さい
2	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第9課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
3	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第10課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
4	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習
	事後学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい

5	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第11課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
6	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第12課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
7	事前学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
	授業内容	会話の応用練習
	事後学習	指定した会話表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
8	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第13課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
9	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第14課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
10	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください。 総復習
	授業内容	総合練習
	事後学習	ミスした所とできない部分をできるようにきちんと練習してください
11	事前学習	配ったプリントの記事を読んでください
	授業内容	文化事情
	事後学習	感想と見解をレポート書いて提出下さい
12	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第15課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
13	事前学習	単語の意味と文法解釈を予習してください
	授業内容	第16課
	事後学習	勉強した単語と表現を書き、読め、話せができるまで練習しなさい
14	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください
	授業内容	総復習/作文練習
	事後学習	ミスした所とできない部分をできるようにきちんと練習してください
15	事前学習	教科書の指定範囲と配った復習練習問題を復習してください
	授業内容	テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	ミスした所とできない部分をできるようにきちんと練習してください

科目名	スピーキング・リスニング(中) I B	担当者	劉 力	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	---------------------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	授業中、発音の繰り返し練習をして、口頭で練習問題に答えられ、聞いて漢字とピンインが書けるように指導する予定です。					
授業目的・到達目標	この授業では、中国語の発音を習得し、基礎的な文法体系を理解し、中国語の会話力、聴解力を身につけることを目指す。中国語検定試験4級相当の実力を身につける。					
履修条件	初心者					
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。出欠は毎回確認する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度と2回の試験平均点で評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	駿河台出版社		hikaru中国語力		矢野 光治 劉 力
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第七課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第七課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第七課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
2	事前学習	第七課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第七課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第七課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
3	事前学習	第八課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第八課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第八課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
4	事前学習	第八課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第八課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第八課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える

5	事前学習	第九課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第九課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第九課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
6	事前学習	第九課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第九課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第九課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
7	事前学習	第七課～第九課までの新出単語・本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第一回目試験及びまとめ、振り返り 範囲: 第七課～第九課の新出単語と本文
	事後学習	第7課～第九課の内容を復習する
8	事前学習	第十課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
9	事前学習	第十課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
10	事前学習	第十一課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十一課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十一課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
11	事前学習	第十一課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十一課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十一課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
12	事前学習	第十二課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十二課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十二課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
13	事前学習	第十二課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十二課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十二課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
14	事前学習	第十課～第十二課までの新出単語・本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第二回目試験及びまとめ、振り返り 範囲: 第十課～第十二課の新出単語と本文
	事後学習	第七課～第十二課の復習
15	事前学習	登場人物の大島さんまたは孫さんについての800字の作文を書く
	授業内容	作文提出
	事後学習	第一～第十二課の復習

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡA	担当者	于 晓飛	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現をみにつけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて学習する学生を対象として、中国語の基礎知識を習得させるものです。そのために、正しい発音を訓練しながら、基本文型や、簡単な会話ができ、簡単な文章が理解できる学力を身につけることを目的として授業を進めます。 或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させ、上級へすすむための基礎的な学力を身につけ、コミュニケーションできるようになるのは、この授業の目的です。初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互交通的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生或いは初級で学んだ基礎の上にたって、正確な発音の定着、日常会話のレベルから相互的なコミュニケーション能力を獲得したい学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィスアワー	火曜日 1 9：3 0 やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	CDを聞き、先に発音の練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音
	事後学習	CDを聞きながら、中国語の発音とピンインの書き方を覚える
2	事前学習	CDを聞く、発音を練習すること。
	授業内容	発音 母音、子音と声調
	事後学習	勉強した発音を、CDをききながら覚えること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発音 声調変化と総合練習
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	挨拶言葉と自己紹介を通して発音のチャックをする。 クラスメイトの名前を中国語で覚える。
	事後学習	授業後の課の文について、①発音をを暗記しする、②文を音読し暗唱する、③暗記した単語を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	日期と時刻：年月日について、時刻、またお誕生日について、会話する。 準備：家族構成と職業に関する単語を調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	家庭：家族についての紹介と質問
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	年齢：各年齢段についての聞き方と答え。 宿題：今まで勉強をしたものを文章にまとめ、発表。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	中間発表 次の課を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	方位：学内と学校周囲にあるものについて質問と答え；関連単語を事前に調べる
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	行為（未然）：自分の日常生活のスケジュールを事前に予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	職業：自分とご家族の職業についての関連用語を予習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	評価：教科書以外に自分が知っている事について評価する。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	買い物：人民元の言い方と値段を聞く、値引きの練習
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
14	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発表テスト 小文章を書き、口頭発表と筆記テスト
	事後学習	問題を修正し、正しい表現で暗記すること

15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	中国の映画を鑑賞
	事後学習	感想文を書く

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡA	担当者	徐 前	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	本講義は2年次生を対象とする授業である。1年目に習った初級中国語を復習しながら、新しい語彙や表現を徐々に増やし、簡単な日常会話と作文ができることを目指す。					
授業目的・到達目標	繰り返し練習することによってさらに充実したコミュニケーションができることを目的とする。既習した中国語を活用して簡単な日常会話を行うことができるようにする。 到達目標としては 1 ビンインを正しく発音し、聞き取ることが出来ること 2 既習した語彙や表現を用いて、日常会話ができること 3 既習した語彙や表現を用いて、作文することが出来ること					
履修条件	中国語の基礎を修めた2年次生を対象とする。					
授業方法	テキストに沿って、講義と添削により指導を行い、ヒアリングと会話に慣れるトレーニングを中心にして授業を進めていく。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		平常点（出席・受講態度・小テスト）40% 前期末テスト(満点 100点 合格点 60点) 60%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年12月 第13刷発行	白水社		新版 中国語さらなる一歩		尹景春他
	備考					
参考書	日中・中日辞典（版本・出版社の指定なし）					
オフィス アワー	授業後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義に関する要望などを考えておく。
	授業内容	ガイダンス（本講義の授業計画・内容についての説明）
	事後学習	1年目に習った中国語の単語を復習する。
2	事前学習	テキストの用意
	授業内容	中国語のピンインと四声の復習
	事後学習	大きな声で発音の練習をする。
3	事前学習	1年目に習った中国語の表現を復習する。
	授業内容	中国語の基本的構文の復習
	事後学習	既習した前置詞、疑問詞、助動詞などを復習する。
4	事前学習	第1課の単語を予習する。
	授業内容	第1課 中国に行こう ポイント： 主述述語文 助動詞「可以」「要」
	事後学習	形容詞文の構文を復習して覚える。

5	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング1の練習問題を解く。
	事後学習	第1課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
6	事前学習	第2課の単語を予習する。
	授業内容	第2課　ウーロン茶を飲もう ポイント：　「原因・理由」を表わす「因」
	事後学習	本文を復習して、因果関係の表現を覚える。
7	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング2の練習問題を解く。
	事後学習	第2課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
8	事前学習	第3課の単語を予習する。
	授業内容	第3課　友だちをつくろう ポイント：　連動文
	事後学習	本文を復習して、連動文の構文を覚える。
9	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング3の練習問題を解く。
	事後学習	第3課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
10	事前学習	第4課の単語を予習する。
	授業内容	第4課　長城に登ろう ポイント：　完了を表わす「了」と変化を表わす「了」の使い方
	事後学習	完了を表わす「了」と変化を表わす「了」の違いをまとめてみる。
11	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング4の練習問題を解く。
	事後学習	第4課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
12	事前学習	第5課の単語を予習する。
	授業内容	第5課　漢字を覚えよう ポイント：　結果補語
	事後学習	結果補語の構文を復習して覚える。
13	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング5の練習問題を解く。
	事後学習	第5課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
14	事前学習	これまでに習ったことをまとめる。
	授業内容	総合復習
	事後学習	これまでに習った語彙と表現を覚える。
15	事前学習	既習した言葉や表現をじっくり復習して覚える。
	授業内容	期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	中国語の勉強についての感想をまとめる。

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡA	担当者	鄭 暁青	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	会話とヒヤリングを中心とする授業である。			
授業目的・到達目標	一年次に習得したものをさらに深めていく。中国語の「話す 聞く 表現する」の面での基礎力を充実させ、中国語コミュニケーション能力を養成する。中国語検定試験4級に合格できるレベル。			
履修条件	発音記号、基礎文法を履修した者。			
授業方法	初級で習った表現を繰り返し復習しながら、語彙と表現を少しずつ増やしていく。 二人で組んで会話の練習をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業参加度（学習の積極性）及び小テスト。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	朝日出版	コミュニケーション中国語	斎藤敏康等
	備考			
参考書	中国語辞書必要 指定なし			
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次
	授業内容	年間講義計画・成績評価の方法
	事後学習	学習計画を立てる
2	事前学習	予習
	授業内容	発音の復習 1
	事後学習	発音の確認
3	事前学習	予習
	授業内容	復習 2
	事後学習	発音の確認
4	事前学習	予習
	授業内容	第1課 私は大学生です
	事後学習	復習

5	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
6	事前学習	予習
	授業内容	第2課 私は山本恵子と言います
	事後学習	復習
7	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
8	事前学習	予習
	授業内容	第3課 桜がきれいです
	事後学習	復習
9	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
10	事前学習	予習
	授業内容	第4課 王さんが寮にいます
	事後学習	復習
11	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
12	事前学習	予習
	授業内容	第5課 四川料理を食べたことがありますか
	事後学習	復習
13	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
14	事前学習	予習
	授業内容	まとめ・総合練習
	事後学習	復習
15	事前学習	文型の確認
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡA	担当者	萬 清華	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初級段階の中国語。話しかた、聴きかた、読みかた、書きかた中心として中国語会話の基礎を教える。教材には、朗読と理解とのし易くなるために、文章の切り取り（句切）、ピークストレス（標峰重音）をつけた。標準的な発音から、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどに必要な基礎知識を覚えやすいように一つ一つセットで丁寧に教える。（後期にはHSK漢語検定1級～3級受験、日本中国語検定準4級～3級受験は、可能。）				
授業目的・到達目標	標準的な発音から、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどと必要な基礎知識を教え、また、読解やヒアリング、会話の訓練、小テストを行い、総合的な中国語の言語能力の基礎を作ることを目的とする。授業には、HSK漢語検定受験指導をし（後期には、HSK漢語検定の1級～3級受験、及び日本中国語検定の準4級～3級受験は、可能）、毎年受験合格実績がある。中国語で簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	標準的な発音と朗読や会話の基礎知識、読解や会話の訓練、小テストなどを合わせて行う。HSK漢語検定受験指導、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）』、前・後期末テスト（口頭試験、リスニング・筆記）がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度や小テスト、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）』成績（50%）、前後期末テスト成績（50%）によって総合評価し、HSK・中検受験加点ある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書の使用について、授業の時に指示する。			
参考書	指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	筆記と書き取り練習用ノート（1）を用意する。
	授業内容	授業概要。第一課「介」①本課概要。句切と標峰重音。自己紹介。挨拶復習。標準的な中国語の発音法復習。動詞、形容詞の重ね型。能願動詞。練習問題。会話。②自己紹介。挨拶復習。標準的な中国語の発音法復習。③単語表、本文(一)を読んで、訳す。本文(一)と日本語訳を書く。④自分の名前を本文に入り替え、お互いに自己紹介する。会話練習。
	事後学習	復習。第一課本文（一）と自己紹介を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
2	事前学習	教科書の第一課本文（一）と自己紹介を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第一課 ①復習問題。②本文（二）を読んで、訳す。③本文の要点をチェック。動詞、形容詞の重ね型。能願動詞。ちよっとの表現を比較。副詞用法比較。三つの「de」復習。六種類の疑問文復習。④本文について聞き取り練習。⑤本文について聞き取り練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。本文（二）を声出して読む。本文（二）と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
3	事前学習	第一課本文（二）を声出して読む。本文（二）と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第一課 ①復習問題。②置換え会話(1) - (3)。③聞き取り練習問題1 - 2。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。会話文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第一課』。

4	事前学習	第一課会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第一課 ①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③聞き取り練習問題3。作文練習問題4。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。会話文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第一課』。
5	事前学習	第一課会話2(4) - (6)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。第一課の要点と発音の要点をチェック。第二課の単語表を声出して読む。第二課の単語表と日本語訳を書く。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第一課』完成し、成績表のコピーを提出する。
	授業内容	第一課復習問題。第二課「吃」①第二課概要。日常生活と挨拶。動詞のアスペクト。語気助詞用法比較。単文と複文。接続詞。文の種類復習。連動文復習。補語復習。聞き取り練習。会話練習。②単語表、本文を読んで訳す。③本文の要点をチェック。日常生活と挨拶。接続詞。語気助詞用法比較。文の種類。連動文、補語復習。
	事後学習	復習。第二課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
6	事前学習	第二課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第二課 ①復習問題。②動詞のアスペクト。単文と複文。③本文を読む。④本文について聞き取り練習。⑤本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第二課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第二課』。
7	事前学習	第二課本文（二）を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第二課 ①復習問題。②置換え会話(1) - (3)。③聞き取り練習問題1 - 2。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第二課』。
8	事前学習	第二課会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第二課 ①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③聞き取り練習問題3。作文練習問題4。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第二課』。
9	事前学習	第二課会話2(4) - (6)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。第三課の単語表を声出して読む。第三課の単語表と日本語訳を書く。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第二課』完成し、成績表のコピーを提出する。
	授業内容	第二課復習問題。第三課「朋友」①第三課概要。比較文の種類。四種類の比較方式。聞き取り練習。会話練習。②単語表、本文を読んで訳す。比較文の種類。③本文の要点をチェック。
	事後学習	復習。第三課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
10	事前学習	第三課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第三課 ①復習問題。②四種類の比較方式。③本文を読む。④本文について聞き取り練習。⑤本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第三課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第三課』。
11	事前学習	第三課本文（二）を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第三課 ①復習問題。②置換え会話(1) - (3)。③聞き取り練習問題1 - 2。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第三課』。
12	事前学習	第三課会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第三課①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③聞き取り練習問題3。作文練習問題4。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第三課』。
13	事前学習	第三課会話2(4) - (6)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第三課』完成し、成績表のコピーを提出する。
	授業内容	第三課①復習問題。②第一課～第三課復習。③中国語作文。④宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第三課』成績表を提出する。
	事後学習	自分の中国語作文を声出して読む。
14	事前学習	自分の中国語作文を声出して読む。
	授業内容	中国語作文口頭発表会（口頭試験）及びまとめ、振り返り。
	事後学習	第一課～第三課復習。

15	事前学習	第一課～第三課復習。
	授業内容	(授業内)テスト (リスニング、筆記) 及びまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡA	担当者	劉 力	部 別	第一部	期 間	前期	単 位 数	1
-----	-------------------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-------	---

授業概要	授業中、発音の繰り返し練習をして、口頭で練習問題に答えられ、聞いて漢字とピンインが書けるように指導する予定です。					
授業目的・到達目標	この授業では、中国語の発音を習得し、基礎的な文法体系を理解し、中国語の会話力、聴解力を身につけることを目指す。中国語検定試験４級相当の実力を身につける。					
履修条件	初心者					
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。出欠は毎回確認する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度と２回の試験平均点で評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年後度	駿河台出版社		未来への中国語		矢野 光治・ 劉 力・翠川信人
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書を用意すること
2	事前学習	発音1・2の予習
	授業内容	発音1 音節のしく発音1の復習 発音2 子音・声調の変化・アル化音み・声調・母音・複母音・鼻母音/ 発音1・2の復習
	事後学習	
3	事前学習	第一課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第一課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第一課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
4	事前学習	第一課のポイント中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第一課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第一課本文の意味・漢字・ピンインを覚える

5	事前学習	第二課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第二課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第二課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
6	事前学習	第二課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第二課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第二課本文の意味・漢字・ピンインを覚える
7	事前学習	第三課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第三課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第三課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
8	事前学習	第三課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第三課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第三課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
9	事前学習	第一課～第三課まで本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第一回目試験及びまとめ、振返り 範囲：第一課～第三課の新出単語と本文
	事後学習	第一課～第三課の内容を復習すること
10	事前学習	第四課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第四課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第四課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
11	事前学習	第四課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
	授業内容	第四課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第四課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
12	事前学習	第五課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第五課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第五課のポイントの中のChekの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
13	事前学習	第五課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
	授業内容	第五課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第五課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
14	事前学習	第六課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をし、ポイントの中のChekの日本語を中国語に訳す練習を やって口頭で答えられるように練習し、ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第六課の新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習をする
	事後学習	第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
15	事前学習	第四課～第六課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第二回目試験及びまとめ、振返り 範囲：第五課～第六課の新出単語と本文
	事後学習	第一課～第六課の内容を復習すること

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡB	担当者	于 晓飛	部 別	第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初めて中国語を勉強する学生を対象とします。まず時間が掛けて、中国語の発音の基礎を訓練します、個々の学生の発音を矯正し、上手く発音できるように丁寧に指導します。教科書の内容に基づき、同じ題材で応用会話を作成させ、実際に会話を実演させます。それを通して、発音をチェックし、中国語の基本表現を身につけさせます。				
授業目的・到達目標	初めて履修する学生、或いは初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、様々な表現、文型を読み解く能力、それを実際の場面に応用する能力を向上させたい学生に対して、正しい発音ができ、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互的なコミュニケーション能力（聴く力、話す力）の獲得を目標とする。				
履修条件	初めて中国語を履修する学生、或いは一年間履修した事がある学生。				
授業方法	本講義は学生達が主役で、教師はその補佐役に過ぎません。学習者はCDを聞き、そのまねをし、音読を繰り返すことにより実力を身につけましょう。教師が授業を通してその成果を確認し指導する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度と毎回授業の実績 50% 期末筆記試験 50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に指示します。			
参考書	日中・中国辞書 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）、年末まで使い放題になります。				
オフィスアワー	火曜日 19：30やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの事について、作文と発表準備。
	授業内容	第1回 前期の復習 夏休みの話
	事後学習	文章と表現を修正し、正しい表現を暗記する。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2回 行（已然） 過去を表現する文型の用法を理解し、確りと身につけます。 ポイント：1、動詞+了+数量詞+名詞 2、是～的
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3回 好 興味・趣味の表現：自分の好きなことに関連ある単語を調べてくる。 ポイント：1、喜+動詞 2、+動詞 3、～感趣
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第4回 行（体験） 自分の経験を話す。必要な単語を調べてくる。 ポイント：1、動詞+ 2、動詞+目的語+同じ動詞+時間補語
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第5回 比 比較の表現を習得する。各種の比較表現の準備として単語を調べてくる。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第6回 行（進行） 現在進行形の表現を練習し、習得する。 ポイント：進行中の●正在～呢● 持続表現の●動詞+着●
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第7回 可能 可能・不可能、予想、予感の表現を練習します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第8回 中間発表： 中国語の小文章を事前に用意して、授業中口頭で発表します。 中国語学習で問題となる点について解説します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第9回 行（結果） ポイント：1、様々な意味を持つ「了」2、「把」を用いる構文と補語を理解し習得 十分時間をかけて練習をし、正しい中国語の表現を身につけます。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第10回 能力 「能」、「会」、「可以」の応用練習をし、会話能力を向上させます！ ポイント：様々な補語を用いて、応用練習をします。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第11回 求 1、義務「ねばならない」の表現、また依頼の表現を習得します。 2、中国語の使役と受身の表現を習得します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第12回 試発表 題「私の夢」の中国語の作文を事前に用意し、口頭発表の練習をします。 作文中の問題点を解説し、正しい作文を暗記します。。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記しする、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	作文と発表の準備
	授業内容	第13回 正式発表 口頭発表：作文「私の夢」
	事後学習	問題を修正する

14	事前学習	テスト範囲を覚えること
	授業内容	第14回 期末筆記テスト 範囲：第12課～22課まで、会話文の日本語から中国語に、中国語から日本語に翻訳します。
	事後学習	今まで勉強した中国語の知識を毎三回復習、練習すること。
15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	第15回 中国の映画
	事後学習	感想文を書く。

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡB	担当者	徐 前	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義は二年次生を対象とする授業である。一年目に習った初級中国語を復習しながら、新しい語彙や表現を徐々に増やし、簡単な日常会話と作文ができることを目指す。				
授業目的・到達目標	繰り返し練習することによってさらに充実したコミュニケーションができることを目的とする。既習した中国語を活用して簡単な日常会話をすることができるようにする。 到達目標としては 1 ピンインを正しく発音し、聞き取ることが出来ること 2 既習した語彙や表現を用いて、日常会話が出来ること 3 既習した語彙や表現を用いて、作文することが出来ること				
履修条件	中国語の基礎を修めた2年次生を対象とする				
授業方法	テキストに沿ってヒアリングと会話に慣れるトレーニングを中心にする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点（出席・受講態度・小テスト）40% 後期期末テスト(満点 100点 合格点 60点) 60%	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017年12月 第13刷発行	白水社	新版 中国語さらなる一歩		尹景春他
	備考				
参考書	中日・日中辞典（版本・出版社の指定なし）				
オフィス アワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第6課の単語を予習する。
	授業内容	第6課 街を歩こう ポイント： 存現文
	事後学習	存現文の構文を復習して覚える。
2	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング6の練習問題を解く。
	事後学習	第6課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
3	事前学習	第7課の単語を予習する。
	授業内容	第7課 中国映画を見よう ポイント： 状態持続の表現
	事後学習	持続状態の表現を用いて作文する。
4	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング7の練習問題を解く。
	事後学習	第7課の本文の内容に基づく会話の練習をする。

5	事前学習	第8課の単語を予習する。
	授業内容	第8課 シルクを買おう ポイント： 方向補語
	事後学習	方向補語の構文を復習して覚える。
6	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング8の練習問題を解く。
	事後学習	第8課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
7	事前学習	第9課の単語を予習する。
	授業内容	第9課 中華を食べよう ポイント： 可能補語
	事後学習	可能補語の構文を復習して覚える。
8	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング1の練習問題を解く。
	事後学習	第9課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
9	事前学習	第10課の単語を予習する。
	授業内容	第10課 太極拳を習おう ポイント： 「了」などの表現
	事後学習	「了」を用いて作文する。
10	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング10の練習問題を解く。
	事後学習	第10課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
11	事前学習	第11課の単語を予習する。
	授業内容	第11課 「水」を楽しもう ポイント： 結果補語 2
	事後学習	結果補語の構文を復習して覚える。
12	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング11の練習問題を解く。
	事後学習	第11課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
13	事前学習	第12課の単語を予習する。
	授業内容	第12課 春節を過ごそう ポイント： 前置詞「把」の使い方
	事後学習	中国の春節について調べる
14	事前学習	前回の授業で習った会話文を朗読する。
	授業内容	トレーニング12の練習問題を解く。
	事後学習	第12課の本文の内容に基づく会話の練習をする。
15	事前学習	既習した言葉や表現をじっくり復習して覚える。
	授業内容	期末テスト及びまとめ、振り返り
	事後学習	中国語の勉強についての感想をまとめる。

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡB	担当者	鄭 暁青	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	会話とヒヤリングを中心とする授業である。					
授業目的・到達目標	一年次に習得したものをさらに深めていく。中国語の「話す 聞く 表現する」の面での基礎力を充実させ、中国語コミュニケーション能力を養成する。中国語検定試験4級に合格できるレベル。					
履修条件	発音記号、基礎文法を履修した者。					
授業方法	初級で習った表現を繰り返し復習しながら、語彙と表現を少しずつ増やしていく。二人で組んで会話の練習をする。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業参加度（学習の積極性）及び小テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	朝日出版		コミュニケーション中国語		斎藤敏康
	備考					
参考書	中国語辞書必要 指定なし					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習
	授業内容	第6課 中国語を勉強したい
	事後学習	復習
2	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
3	事前学習	予習
	授業内容	第7課 私は水泳ができます
	事後学習	復習
4	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認

5	事前学習	予習
	授業内容	第8課 宿題をやっています
	事後学習	復習
6	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
7	事前学習	予習
	授業内容	第9課 辞書を持ってきましたか
	事後学習	復習
8	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
9	事前学習	予習
	授業内容	第10課 自転車が妹に乗って行かれた
	事後学習	復習
10	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
11	事前学習	予習
	授業内容	第11課 あなたは私より三つ年下
	事後学習	復習
12	事前学習	単語の暗記
	授業内容	トレーニング
	事後学習	文型の確認
13	事前学習	予習
	授業内容	第12課 家で勉強するように言われた
	事後学習	復習
14	事前学習	予習
	授業内容	まとめ・総合練習
	事後学習	文型の確認
15	事前学習	復習
	授業内容	学年末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	まとめ

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡB	担当者	萬 清華	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	初級段階の中国語。話しかた、聴きかた、読みかた、書きかた中心として中国語会話の基礎を教える。教材には、朗読と理解とのし易くなるために、文章の切り取り（句切）、ピークストレス（標峰重音）をつけた。標準的な発音から、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどに必要な基礎知識を覚えやすいように一つ一つセットで丁寧に教える。（後期にはHSK漢語検定1級～3級受験、日本中国語検定準4級～3級受験は、可能。）				
授業目的・到達目標	標準的な発音から、簡単な日常会話までの話しかた、聴きかた、読みかた、書きかたなどと必要な基礎知識を教え、また、読解やヒアリング、会話の訓練、小テストを行い、総合的な中国語の言語能力の基礎を作ることを目的とする。授業には、HSK漢語検定受験指導をし（後期には、HSK漢語検定の1級～3級受験、及び日本中国語検定の準4級～3級受験は、可能）、毎年受験合格実績がある。中国語で簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	標準的な発音と朗読や会話の基礎知識、読解や会話の訓練、小テストなどを合わせて行う。HSK漢語検定受験指導、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）』、前・後期末テスト（口頭試験、リスニング・筆記）がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度や小テスト、宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）』成績（50%）、前後期末テスト成績（50%）によって総合評価し、HSK・中検受験加点ある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書の使用について、授業の時に指示する。			
参考書	指定しない				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期第一課～第三課復習。第四課の単語表を声出して読む。第四課の単語表と日本語訳を書く。
	授業内容	前期復習問題。第四課「聊天」①第四課概要。常用介詞と副詞。聞き取り練習。会話練習。②単語表、本文を読んで訳す。常用介詞。③本文の要点をチェック。
	事後学習	復習。第四課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
2	事前学習	第四課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第四課 ①復習問題。②常用副詞。③本文を読む。④本文について聞き取り練習。⑤本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第四課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第四課』。
3	事前学習	第四課本文（二）を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第四課 ①復習問題。②置換え会話(1) - (3)。③聞き取り練習問題1 - 2。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第四課』。
4	事前学習	第四課会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第四課復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③聞き取り練習問題3。作文練習問題4。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第四課』。

5	事前学習	第四課会話2(4) - (6)を声出して読む。第五課の単語表を声出して読む。第五課の単語表と日本語訳を書く。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第四課』完成し、成績表のコピーを提出する。
	授業内容	第四課復習問題。第五課「客人」①第五課概要。数種類の特殊動詞述語文。聞き取り練習。会話練習。②単語表、本文を読んで訳す。特殊動詞述語文1 - 3。③本文の要点をチェック。
	事後学習	復習。第五課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
6	事前学習	第五課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第五課 ①復習問題。②特殊動詞述語文4 - 5。③本文を読む。④本文について聞き取り練習。⑤本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第五課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第五課』。
7	事前学習	第五課本文（二）を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第五課 ①復習問題。②置換え会話(1) - (3)。③聞き取り練習問題1 - 2。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第五課』。
8	事前学習	第五課 会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第五課 ①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③聞き取り練習問題3。作文練習問題4。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第五課』。
9	事前学習	第五課会話2(4) - (6)を声出して読む。第六課の単語表を声出して読む。第六課の単語表と日本語訳を書く。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第五課』完成し、成績表のコピーを提出する。
	授業内容	第五課復習問題。第六課「旅行」①第六課概要。常用複文。聞き取り練習。会話練習。②単語表、本文を読んで訳す。常用複文1 - 6。③本文の要点をチェック。
	事後学習	復習。第六課本文を声出して読む。本文と日本語訳を書く。本文の要点と発音の要点をチェック。
10	事前学習	第六課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第六課 ①復習問題。②常用複文7 - 13。③本文を読む。④本文について聞き取り練習。⑤本文について会話練習。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。第六課本文を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第六課』。
11	事前学習	第六課本文（二）を声出して読む。本文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第六課 ①復習問題。②置換え会話(1) - (3)。③聞き取り練習問題1 - 2。④会話1(1) - (3)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(1) - (3)を声出して読む。置換え会話(1) - (3)と交替用単語と日本語訳を書く。会話1(1) - (3)を声出して読む。会話1(1) - (3)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第六課』。
12	事前学習	第六課 会話1(1) - (3)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。
	授業内容	第六課 ①復習問題。②置換え会話(4) - (6)。③聞き取り練習問題3。作文練習問題4。④会話2(4) - (6)。聞き取り・書き取りテスト。
	事後学習	復習。置換え会話(4) - (6)を声出して読む。置換え会話(4) - (6)と交替用単語と日本語訳を書く。会話2(4) - (6)を声出して読む。会話2(4) - (6)と日本語訳を書く。要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第六課』。
13	事前学習	第六課会話2(4) - (6)を声出して読む。会話文の要点と発音の要点をチェック。宿題『CD/DVD-ROM中国語練習問題集（Ⅱ）第六課』完成し、成績表のコピーを提出する。
	授業内容	第六課①復習問題。②第四課～第六課復習。③第四課～第六課本文朗読復習。（口頭試験の朗読課文（1）を選択）。
	事後学習	第四課～第六課復習。
14	事前学習	第四課～第六課復習。
	授業内容	(授業内)テスト（リスニング、筆記）及びまとめ、振り返り。
	事後学習	朗読課文を声出して読む。
15	事前学習	朗読課文を声出して読む。
	授業内容	中国語朗読発表会（口頭試験）及びまとめ、振り返り。
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅡB	担当者	劉 力	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	授業中、発音の繰り返し練習をして、口頭で練習問題に答えられ、聞いて漢字とピンインが書けるように指導する予定です。					
授業目的・到達目標	この授業では、中国語の発音を習得し、基礎的な文法体系を理解し、中国語の会話力、聴解力を身につけることを目指す。中国語検定試験4級相当の実力を身につける。					
履修条件	初心者					
授業方法	指定する教科書の内容に沿って進める。出欠は毎回確認する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度と2回の試験平均点で評価を下す。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年度	駿河台出版社		未来への中国語		矢野 光治 劉 力・翠川信人
	備考					
参考書	なし					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第七課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第七課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第七課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
2	事前学習	第七課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第七課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第七課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
3	事前学習	第八課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第八課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第八課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
4	事前学習	第八課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第八課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第八課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える

5	事前学習	第九課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第九課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第九課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
6	事前学習	第九課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第九課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第九課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
7	事前学習	第七課～第九課までの新出単語・本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第一回目試験及びまとめ、振り返り 範囲: 第七課～第九課の新出単語と本文
	事後学習	第7課～第九課の内容を復習する
8	事前学習	第十課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
9	事前学習	第十課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
10	事前学習	第十一課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十一課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十一課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
11	事前学習	第十一課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十一課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十一課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
12	事前学習	第十二課のCDを聞いて新出単語・本文・関連語句の発音練習をすること
	授業内容	第十二課 新出単語・本文・関連語句・ポイントの例文の発音練習と理解度確認をし、本文と関連語句の筆写を練習する
	事後学習	第十二課の新出単語・本文・関連語句の漢字とピンインを見なくても書けるように練習すること
13	事前学習	第十二課のポイントの中のCheckの日本語を中国語に訳す練習をやって口頭で答えられるように練習すること ドリルⅠ・Ⅱの予習をすること
	授業内容	第十二課の文法のポイント中のCheckとドリルⅠ・Ⅱの答え合わせ・書き取り練習
	事後学習	第十二課の本文の意味・漢字・ピンインを覚える
14	事前学習	第十課～第十二課までの新出単語・本文の意味・漢字・ピンインを覚える
	授業内容	第二回目試験及びまとめ、振り返り 範囲: 第十課～第十二課の新出単語と本文
	事後学習	第七課～第十二課の復習
15	事前学習	登場人物の大島さんまたは孫さんについての800字の作文を書く
	授業内容	作文提出
	事後学習	第一～第十二課の復習

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅢA	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	中国語中級クラスで、中国語を一年以上履修した学生を対象とします。中国語による自己の意見が発表できる能力をつけることが目的です。そのため練習により着実に中国語の学力を身に着けるため、毎回の授業で、中国語の発音をチェックし、発表文章を正し、会話を練習し、応用会話を身につけます。中国語作文を通して作文力をたかめ、自分の表現をできるように繰り返し練習します。授業は教科書の内容に従います。					
授業目的・到達目標	初級段階より密度の高い中国語の学習を続けるクラスです。 今まで学んだ語彙や文法を最大限に活用して、思ったことを中国語で発信する機会の多い授業とします。聴解力と口頭表現力の向上に重点を置き、文法力及び読解力のスキルアップに繋がる中国語の習得を目指します。授業はできる限り中国語で進め、リスニングや筆記と口頭での質疑応答練習を毎週教室で行い、適宜グループディスカッションや個人スピーチを加えます。					
履修条件	一年間以上中国語を履修した、及びそれに相当する学力を持っている学生を対象する。 CALL教室での授業ですので、PCを利用し、中国語ピンインの能力が必要。					
授業方法	毎回例文を解説して、全員に作文をさせ、発表させる。会話例文に基づいた役を演じ、更に自由会話に発展させる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業中の会話及び作文による採点する50%。期末テスト50%。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	参加する学生のレベルにより、授業中に指示します。				
参考書	日中、中日辞書。 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）すると、年度末まで使い放題になります。					
オフィスアワー	火曜日17：50やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第1回 発音練習 講義と教材の説明/ウォーミングアップ朗読/質疑応答 発音チェック：自己紹介と挨拶
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

14	事前学習	中国語の知識を把握し、テスト範囲をしっかりと覚えること。
	授業内容	第14回 総括/期末試験（筆記）
	事後学習	今まで勉強したことを復習練習すること。
15	事前学習	中国社会と中国人の生活について、ネットで調べる。
	授業内容	中国人の生活に反映されている映画を鑑賞
	事後学習	感想文を書く。

科目名	スピーキング・リスニング(中)ⅢB	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	中国語中級クラスで、中国語を一年以上履修した学生を対象とします。中国語による自己の意見が発表できる能力をつけることが目的です。そのため練習により着実に中国語の学力を身に着けるため、毎回の授業で、中国語の発音をチェックし、発表文章を正し、会話を練習し、応用会話を身につけます。中国語作文を通して作文力をたかめ、自分の表現をできるように繰り返し練習します。授業は教科書の内容に従います。					
授業目的・到達目標	初級段階より密度の高い中国語の学習を続けるクラスです。 今まで学んだ語彙や文法を最大限に活用して、思ったことを中国語で発信する機会の多い授業とします。聴解力と口頭表現力の向上に重点を置き、文法力及び読解力のスキルアップに繋がる中国語の習得を目指します。 一年間中国語を履修した学生を対象とする中級クラスで、初級で学んだ基礎の上に正確な発音の定着させ、日常会話のレベルから更に一歩進んだ相互コミュニケーション能力（聞く力、話す力）取得を目標とする。					
履修条件	一年間以上中国語を履修した、及びそれに相当する学力をもっている学生を対象する。					
授業方法	毎授業はできる限り中国語で進め、リスニングや筆記と口頭での質疑応答練習を毎週教室で行い、適宜グループディスカッションや個人スピーチを加えます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業中の会話及び作文による採点する５０％。期末テスト５０％。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	前期と同じ、参加した学生のレベルにより、授業中に指示します。				
参考書	日中、中日辞書。 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）すると、年度末まで使い放題になります。					
オフィスアワー	火曜日１７：５０やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第1回 夏休み宿題の口頭発表
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第4回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第5回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第6回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第7回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第8回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第9回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第10回 文型/朗読/質疑応答/リスニングなど
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	1、作文：「私の夢」 2、その問題点について議論をし、正しい中国語の表現を身に着けます。 3、自分の作文を暗記します。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第13回 補充説明/中国文化の時間/プレゼンテーション
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	教科書の表現に基づき、テーマは自由に文章を書く。
	授業内容	1、作文を発表 2、自由会話
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。作文の準備すること。

14	事前学習	中国語の知識を把握し、テスト範囲をしっかり覚えること。
	授業内容	後期末試験及び振り返り
	事後学習	今まで勉強をしたことを復習、練習すること。
15	事前学習	現在中国の社会についてネットで調べる。
	授業内容	中国の映画を鑑賞
	事後学習	感想文を書く。

科目名	リーディング・ライティング(中)ⅡA	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	--------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	一年間中国語を履修した学生を対象とします。初級で勉強をした課文を復習し、発音を矯正します。さらも、中国語の文法を理解し、例文を暗唱し、会話の練習をします。課の文の要約を中国語で作成し、内容についての自己の意見を発表できるように訓練します。内容は、教科書に従い、簡単な中国語短文を用い、その応用を練習する。					
授業目的・到達目標	初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、読解、聞き取り、作文など総合的な言語能力の向上を目指し、様々な表現をよく理解でき、それを実際の場面に応用する能力を向上させ、更に上級へ進むための基礎的な学力を身に着ける。一年間中国語を修得した学生を対象とした中級クラスです。初級で学んだ基礎の上に正確な発音の定着させ、日常会話のレベルからさらに一歩進んだ相互コミュニケーション能力（聴く力、話す力）取得を目標とする。					
履修条件	一年間以上中国語を履修した、及びそれに相当する学力を持っている学生を対象する。 CALL教室での授業ですので、PCを利用し、中国語ピンインの能力が必要。					
授業方法	毎回例文を解説して、全員に作文をさせ、発表させる。会話例文に基づいた役を演じ、更に自由会話に発展させる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業中の会話及び作文による採点する50%。期末テスト50%。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	参加する学生のレベルにより、授業中に指示します。				
参考書	日中、中日辞書。 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）すると、年度末まで使い放題になります。					
オフィスアワー	水曜日14：30やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発音練習（1） 発音チェック
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	発音練習（2） 自己紹介と挨拶
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第1課 大学生活 課文を正確な発音で読む、日中文化の相違点を理解するとともに文法を学びます。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

4	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	ポイントの例文を理解して、ドリルの完成。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
5	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	大学生活について作文させます、それを発表させ問題点について議論をし、中国語のたどしい表現を身に付きます。
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
6	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第2課 大学的作息 課文を正確な発音で読む、内容について文法を学びます
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
7	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	本文音読、例文に基づく作文演習、会話文説明
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
8	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	会話の役割を演じる。自由会話。作文発表
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
9	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第3課 早 ポイントの例文を理解して、文を作り、ドリルの完成
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
10	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	本文音読、例文に基づく作文演習、会話文説明
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
11	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	会話の役割を演じる。自由会話。作文発表
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
12	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	第4課 喝茶 ポイントの例文を理解して、文を作る ドリルの完成
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
13	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	食と生活習慣 本文音読、例文に基づく作文演習、会話文説明
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみる。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

14	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	生活 会話の役割を演じる。自由会話。作文発表
	事後学習	作文を発表の練習すること。
15	事前学習	ネットで中国の社会について調べる
	授業内容	中国人の社会、および中国人の生活に反映している映画を鑑賞する。
	事後学習	感想文を書く。

科目名	リーディング・ライティング(中)ⅡB	担当者	于 晓飛	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	--------------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	一年間中国語を履修した学生を対象とします。初級で勉強をした課文を復習し、発音を矯正します。さらも、中国語の文法を理解し、例文を暗唱し、会話の練習をします。課の文の要約を中国語で作成し、内容についての自己の意見を発表できるように訓練します。内容は、教科書に従い、簡単な中国語短文を用い、その応用を練習する。					
授業目的・到達目標	初級で習得した発音と文法の定着を図りながら、読解、聞き取り、作文など総合的な言語能力の向上を目指し、様々な表現をよく理解でき、それを実際の場面に応用する能力を向上させ、更に上級へ進むための基礎的な学力を身に着ける。一年間中国語を修得した学生を対象とした中級クラスです。初級で学んだ基礎の上に正確な発音の定着させ、日常会話のレベルからさらに一歩進んだ相互コミュニケーション能力（聴く力、話す力）取得を目標とする。					
履修条件	一年間以上中国語を履修した、及びそれに相当する学力を持っている学生を対象する。 CALL教室での授業ですので、PCを利用し、中国語ピンインの能力が必要。					
授業方法	毎回例文を解説して、全員に作文をさせ、発表させる。会話例文に基づいた役を演じ、更に自由会話に発展させる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		授業中の会話及び作文による採点する５０％。期末テスト５０％。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	参加する学生のレベルにより授業中に指示します				
参 考 書	日中、中日辞書。 教務課で「中国語検定過去問WEB」に登録（2000円負担）すると、年度末まで使い放題になります。					
オフィス アワー	水曜日１４：３０やメールによる申し込みを受けてその都度実施する。xiaofei_yu@hotmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの宿題を完成すること。
	授業内容	夏休み作文発表
	事後学習	作文の問題を改正し、正文章を暗記すること。
2	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	8課 ポイントの例文を理解して、文を作る ドリルの完成
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。
3	事前学習	授業前に各課について、①辞書を使用して単語を調べる、②単語を発音し覚える、③課の文を日本語に訳す、③課の文を音読する、④課の題材に関連した題材で中国語作文を行う、⑤自作した作文を音読し授業での発表の準備を行う。
	授業内容	9課 ポイントの例文を理解して、文を作る ドリルの完成
	事後学習	授業後の課の文について、①文章を暗記する、②文章を音読し暗唱する、③暗記した文章を紙に書きとる、④課の文に沿って友人たちと会話を練習する、⑤自作した作文を暗唱し友人たちと会話してみること。そのためには、週三時間以上かけて、復習と練習をすること。

14	事前学習	テスト範囲をしっかりと覚えること。
	授業内容	後期末試験及び振り返り。
	事後学習	毎日中国語を復習、練習すること。
15	事前学習	ネットで中国について調べる。
	授業内容	中国社会、および中国人の生活に反映している映画を鑑賞する。
	事後学習	感想文を書く。

科目名	日本語 I	担当者	杉山 俊一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、新聞、雑誌記事、小説などの読解を通して、その中に出てくる漢字語の読み・意味・用法を中心に学んでゆく。 また、有意義な大学生活を送るために必要な文法・語彙の基礎知識についても確認する。				
授業目的・到達目標	新聞で使用されている漢字上位500字の読み書きができるようになる。 大学の教科書や論文を読むために必要な文法・語彙の基礎知識が身につく。				
履修条件	なし。				
授業方法	事前学習の段階で、各授業時に取り扱う漢字について把握していることを前提として、配布プリントを用いた読解の授業を行う。調べるのがメインの授業になるので、受講の際には必ず、国語辞典（電子辞書も可）を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	各授業内で実施する小テスト50%、授業内試験（筆記）50%。ただし、授業回数の3分の2以上出席しなければ、授業内試験を受けることができない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	三省堂		『日本語学習のための よく使う順 漢字2200』	徳弘康代
	備考	教科書は、2015年7月10日（第2刷）発行のものが望ましい。			
参考書	国語辞典、漢和辞典、電子辞書など。				
オフィスアワー	水曜日12：40～13：00 事前に要予約				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書に目を通しておくこと。
2	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0001～0020の漢字をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(1)＋ひらがな・カタカナ・漢字の使い分けと配分
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
3	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0020～0040の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(2)＋送り仮名
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
4	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0041～0060の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(3)＋同音意義語
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。

5	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0061～0080の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(4)＋表記による使い分けの応用
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
6	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0081～0100の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(5)＋地名・人名と漢字表記
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
7	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0101～0120の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(6)＋日本漢字音の問題(1)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
8	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0121～0140の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(7)＋日本漢字音の問題(2)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
9	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0141～0160の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(8)＋漢語
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
10	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0161～0180の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(9)＋和製漢語
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
11	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0180～0200の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(10)＋漢語の用法
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
12	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0201～0220の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(11)＋和語と漢語の使い分け(1)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
13	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0221～0235の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(12)＋和語と漢語の使い分け(2)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
14	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0236～0250の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(13)＋和語と漢語の使い分け(3)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
15	事前学習	前期学習分の内容を復習しておくこと。特に、各授業内の小テストで間違えた箇所についてはよく確認しておくこと。
	授業内容	前期授業の到達度を試験で確認する
	事後学習	試験でできなかった箇所を復習しておくこと。

科目名	日本語 I	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本社会での積極的なコミュニケーションを実践し、自らの考えを正確に伝える基礎的能力を身につける。				
授業目的・到達目標	聞く・読む・話す・書くといった、これまで習得した日本語力をより向上させ、大学の講義を受けて学習する際、不自由のない日本語能力を身につける。前期は大学の講義を理解する上で必要な日本語を習得する。後期はプレゼンテーションをする際によく使う日本語を習得し、実践する。				
履修条件	なし				
授業方法	授業時に配布するプリントを使用するが、ディスカッションも行う。 必ず、国語辞典（電子辞書も可）を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期は授業内試験・漢字テスト、後期はプレゼンテーションとレポートで評価する。※授業回数の2／3以上は出席すること。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業中に指示する。				
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	大学で必要とされる日本語とはどのようなものなのかを考えておく
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	卒業後の進路を考え、4年間の学修計画を立てておく
2	事前学習	大学とはどのような場所で、何を学ぶべきところなのかを考えておく
	授業内容	講義の受け方とメモの取り方を学ぶ
	事後学習	他の講義で実際にメモを取り、その改善点を考える
3	事前学習	他の講義で指定されている教科書を読み、問題点を考える
	授業内容	教科書の情報をどのように読み取るのかを学ぶ
	事後学習	他の講義で指定されている教科書の読み取り方の改善点を考える
4	事前学習	レポートに用いる言葉遣いを考える
	授業内容	話し言葉と書き言葉の違いを学ぶ＋レポートに使う漢字を修得する①
	事後学習	書き言葉を使って文章を書く＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく

5	事前学習	読みやすい文章とはどのような文章なのかを考える
	授業内容	明解な文章を書くにはどのようにするのかを学ぶ①＋レポートに使う漢字を修得する②
	事後学習	客観的な証拠を示すとはどのようなことかを考える＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
6	事前学習	自分の言葉と他人の言葉を分けて書く方法を考える
	授業内容	明解な文章を書くにはどのようにするのかを学ぶ②＋レポートに使う漢字を修得する②
	事後学習	引用の方法を考える＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
7	事前学習	構成とは何かを考える
	授業内容	明解な文章を書くにはどのようにするのかを学ぶ③＋レポートに使う漢字を修得する③
	事後学習	五つの構成要素を確認する＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
8	事前学習	パラグラフとは何かを考える
	授業内容	明解な文章を書くにはどのようにするのかを学ぶ④＋レポートに使う漢字を修得する④
	事後学習	論理的な文章を書く＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
9	事前学習	インターネットで情報を探す上での注意点を考える
	授業内容	ストラテジーを使って文章を読む方法を学ぶ①＋レポートに使う漢字を修得する⑤
	事後学習	インターネットを使って、実際に情報を検索する＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
10	事前学習	図解から情報を読み取り方を考える
	授業内容	ストラテジーを使って文章を読む方法を学ぶ②＋レポートに使う漢字を修得する⑥
	事後学習	図解から情報を読み取る際の注意点を確認する＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
11	事前学習	レポートの文章の特徴とは何かを考える
	授業内容	レポートで用いるにはふさわしくない表現を学ぶ①＋レポートに使う漢字を修得する⑦
	事後学習	文章の種類とその違いを確認する＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
12	事前学習	記録文と説明文の違いを考える
	授業内容	レポートで用いるにはふさわしくない表現を学ぶ②＋レポートに使う漢字を修得する⑧
	事後学習	記録文と説明文の書き方の違いを確認する＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
13	事前学習	自分の考えをどのように表現すればいいのか考える
	授業内容	レポートで用いるにはふさわしくない表現を学ぶ③＋レポートに使う漢字を修得する⑨
	事後学習	良い例と悪い例の違いを確認する
14	事前学習	自分の考えをどのような手順で書けばいいのか考える
	授業内容	レポートで用いるにはふさわしくない表現を学ぶ④＋レポートに使う漢字を修得する⑩
	事後学習	主帳を正確に伝えるための3つのポイントを確認する＋次回の授業で漢字のテストを実施するので予習しておく
15	事前学習	前期授業内容を復習する
	授業内容	前期授業の復習テストとその解説
	事後学習	理解出来なかった内容を、再度復習する

科目名	日本語Ⅱ	担当者	杉山 俊一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、新聞、雑誌記事、小説などの読解を通して、その中に出てくる漢字語の読み・意味・用法を中心に学んでゆく。 また、有意義な大学生活を送るために必要な文法・語彙の基礎知識についても確認する。			
授業目的・到達目標	新聞で使用されている漢字上位500字の読み書きができるようになる。 大学の教科書や論文を読むために必要な文法・語彙の基礎知識が身につく。			
履修条件	なし。			
授業方法	事前学習の段階で、各授業時に取り扱う漢字について把握していることを前提として、配布プリントを用いた読解の授業を行う。調べるのがメインの授業になるので、受講の際には必ず、国語辞典（電子辞書も可）を持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	各授業内で実施する小テスト50%、授業内試験（筆記）50%。ただし、授業回数の3分の2以上出席しなければ、授業内試験を受けることができない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	三省堂	『日本語学習のための よく使う順 漢字2200』	徳弘康代
	備考	教科書は、2015年7月10日（第2刷）発行のものが望ましい。		
参考書	国語辞典、漢和辞典、電子辞書など。			
オフィスアワー	水曜日12：40～13：00 事前に要予約			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	前期試験の復習と後期授業内容の説明
	事後学習	授業内で配布するプリントの内容を確認すること。
2	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0251～0270の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(1)＋文体とことば(1)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
3	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0271～0290の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(2)＋文体とことば(2)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
4	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0291～0310の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(3)＋文体とことば(3)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。

5	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0311～0330の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(4)＋時間を表す語彙
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
6	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0331～0350の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(5)＋時間表現と述語のかたち(1)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
7	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0351～0370の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(6)＋時間表現と述語のかたち(2)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
8	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0371～0390の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(7)＋時間名詞と格助詞の使い分け
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
9	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0391～0410の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(8)＋格助詞の使い分け(1)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
10	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0411～0430の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(9)＋格助詞の使い分け(2)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
11	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0431～0450の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(10)＋格助詞の使い分け(3)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
12	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0451～0470の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(11)＋「は」と「が」
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
13	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0471～0485の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(12)＋文法のまとめ(1)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
14	事前学習	授業の最初に小テストを実施するので、教科書0486～0500の漢字と、前回学習分の漢字・漢字語をマスターしておくこと。
	授業内容	頻出漢字の読み・意味・用法について学ぶ(13)＋文法のまとめ(2)
	事後学習	配布プリントの内容を復習しておくこと。
15	事前学習	後期学習分の内容を復習しておくこと。特に、各授業内の小テストで間違えた箇所についてはよく確認しておくこと。
	授業内容	後期授業の到達度を試験で確認する
	事後学習	試験でできなかった箇所を復習しておくこと。

科目名	日本語Ⅱ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本社会での積極的なコミュニケーションを実践し、自らの考えを正確に伝える基礎的能力を身につける。				
授業目的・到達目標	聞く・読む・話す・書くといった、これまで習得した日本語力をより向上させ、大学の講義を受けて学習する際、不自由のない日本語能力を身につける。前期は大学の講義を理解する上で必要な日本語を習得する。後期はプレゼンテーションをする際によく使う日本語を習得し、実践する。				
履修条件	なし				
授業方法	授業時に配布するプリントを使用するが、ディスカッションも行う。 必ず、国語辞典（電子辞書も可）を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期は授業内試験・漢字テスト、後期はプレゼンテーションとレポートで評価する。※授業回数の2／3以上は出席すること。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業中に指示する。				
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞や教科書等の日本語の文章を何度も音読しておく
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	正確な日本語の発音が出来るように意識する
2	事前学習	箇条書きとは何かを考える
	授業内容	プレゼンテーションで用いる表現を学ぶ①
	事後学習	箇条書きの注意点を確認する
3	事前学習	図表を用いた場合の利点を考える
	授業内容	プレゼンテーションで用いる表現を学ぶ②
	事後学習	図表を用いる際の注意点を確認する
4	事前学習	レジュメとは何かを考える
	授業内容	プレゼンテーションの方法を学ぶ①
	事後学習	レジュメの使い方と種類を確認する

5	事前学習	レジュメに何を書くのかを考える
	授業内容	プレゼンテーションの方法を学ぶ②
	事後学習	レジュメ作成のポイントを確認する
6	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	15分のプレゼンテーションをする①〈テーマ〉飲料水について（指定されたデーターを用いる）
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
7	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	15分のプレゼンテーションをする②〈テーマ〉飲料水について（指定されたデーターを用いる）
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
8	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	15分のプレゼンテーションをする③〈テーマ〉飲料水について（指定されたデーターを用いる）
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
9	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	20分のプレゼンテーションをする④〈テーマ〉日本の文化について
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
10	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	20分のプレゼンテーションをする⑤〈テーマ〉日本の文化について
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
11	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	20分のプレゼンテーションをする⑥〈テーマ〉日本の文化について
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
12	事前学習	与えられたテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする
	授業内容	20分のプレゼンテーションをする⑦〈テーマ〉日本の文化について
	事後学習	他学生のプレゼンテーションの改善点を確認する
13	事前学習	プレゼンテーションの修正版を作成する
	授業内容	レポート作成の方法を学ぶ①
	事後学習	教師から指摘された改善点を修正する
14	事前学習	プレゼンテーションの修正版を作成する
	授業内容	レポート作成の方法を学ぶ②
	事後学習	教師から指摘された改善点を修正する
15	事前学習	レポートを作成する
	授業内容	レポート提出日
	事後学習	この授業で身につけたことは何かを確認する

科目名	日本語Ⅲ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本社会での積極的なコミュニケーションを実践し、自らの考えを正確に伝える能力を身に着ける。					
授業目的・到達目標	単なる語彙習得の日本語の授業では終わらせない。大学での学習成果をあげるため、有意義な留学生生活を過ごすために必要とされる情報も習得しながら、実践につなげられるようにする。主に読む・書く・といった、これまで習得した日本語力だけでなく、大学の講義を受けて学習する際、不自由のない日本語能力を身につける。また、大学で学ぶとはどのようなことかを知る。					
履修条件	当該科目は1コマ開講である。従って、1年生は必ずこの授業（月曜日・4時限目）を履修すること。					
授業方法	授業は①漢字テストを受ける。②語彙プリントを解く。③教科書を朗読する。※必ず国語辞典（電子辞書可）を持参すること。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		前期・後期試験・漢字テスト（80%）+授業への参加度（20%） ※授業回数の2/3以上出席すること。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2005年	ひつじ書房		広げる知の世界 大学での学びのレッスン		北尾謙治ほか
	備考					
参考書	授業中に指示する。					
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は、月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分から12時50分）、メールの場合は、noguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの日本語学習の改善点を考える
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	具体的な改善点を箇条書きにする
2	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学の魅力」①を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
3	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学の魅力」②を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
4	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「有意義な大学生活と学習・研究」①を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく

5	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「有意義な大学生活と学習・研究」②を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
6	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学の学習・研究の実際」①を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
7	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学の学習・研究の実際」②を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
8	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学の学習・研究の実際」③を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
9	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「ノートの取り方」①を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
10	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「ノートの取り方」②を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
11	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「ノートの取り方」③を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
12	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学生のための読解」①を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
13	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学生のための読解」②を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
14	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける+語彙問題を解く+（教科書）「大学生のための読解」③を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字テストを実施するので、復習しておく
15	事前学習	前期授業内容を復習しておく
	授業内容	前期授業の復習テストとその解説
	事後学習	大学では何をどのように学ぶのかを確認する

科目名	日本語Ⅳ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本社会での積極的なコミュニケーションを実践し、自らの考えを正確に伝える能力を身につける。			
授業目的・到達目標	単なる語彙取得の日本語の授業で終わらせない。大学での学習成果を上げ、有意義な留学生生活を過ごすために必要とされる情報をも取得しながら、実践につなげられるようにする。主に読む・書くといった、これまで習得した日本語力だけでなく、大学の講義を受けて学習する際、不自由のない日本語能力を身につける。また、大学で学ぶとはどのようなことなのかを知る。			
履修条件	当該科目は1コマしか開講していない。従って、1年生は、必ずこの授業（月曜日・4時限目）を履修すること。			
授業方法	授業は以下の順で進める。①漢字テストを受ける（テストは次週返却する）。②語彙プリントを解く。③教科書を朗読する。※必ず国語辞典（電子辞書可）を持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	前期・後期試験・漢字テスト（80%）＋授業への参加度（20%） ※授業回数の2／3以上出席すること。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2005年	ひつじ書房	広げる地の世界 大学でのまなびのレッスン	北尾謙治ほか
	備考			
参考書	授業中に指示する。			
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「情報収集」を音読する①
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
2	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「情報収集」を音読する②
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
3	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「情報収集」を音読する③
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
4	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「インターネット」を音読する
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと

5	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「テーマの選び方」を音読する①
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
6	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「テーマの選び方」を音読する②
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
7	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「情報の整理」を音読する①
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
8	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「情報の整理」を音読する②
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
9	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「書くことの重要性」を音読する①
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
10	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「書くことの重要性」を音読する②
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
11	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「レポートや論文を書く」を音読する①
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
12	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「レポートや論文を書く」を音読する②
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
13	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「プレゼンテーション」を音読する①
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
14	事前学習	教科書を読んでおく
	授業内容	漢字テストを受ける＋語彙問題を解く＋（教科書）「プレゼンテーション」を音読する②
	事後学習	前回の授業で音読した範囲から漢字のテストを実施するので、復習しておくこと
15	事前学習	後期授業内容を復習しておくこと
	授業内容	後期授業の復習テストとその解説
	事後学習	大学では何をどのように学ぶのかを確認する

科目名	日本語Ⅴ	担当者	杉山 俊一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、大学でのレポートや論文に必要な論理的な文章の書き方を学習する。 また、レポート・論文作成に必要な情報収集の具体的な方法についても学んでゆく。			
授業目的・到達目標	書き言葉で正確に文章を書くことができるようになる。 日本語で書かれた文章(新聞・雑誌記事・論文など)の集め方、読み方、まとめ方などが分かる。			
履修条件	日本語Ⅰか日本語Ⅱを履修済みもしくは履修中の2年生以上。			
授業方法	教科書に沿って、語彙・文法・表記の基礎を確認する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	各授業での提出物50%、授業内試験50%で評価する。ただし、授業回数の3分の2以上出席しなければ、授業内試験を受けることができない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	くろしお出版	『レポート・論文を書くための日本語文法』	小森万里・三井久美子
	備考			
参考書	国語辞典、漢和辞典、電子辞書など。			
オフィスアワー	水曜日12：40～13：00 事前に要予約			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書に目を通しておくこと。
2	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	書き言葉の文体と表現
	事後学習	授業内で配布する補助プリントの内容を確認しておくこと。
3	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	複文の適切な使い方
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
4	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	名詞節「こと」と「の」の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。

5	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	語や節の名詞化
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
6	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	レポート・論文でよく使う語彙の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
7	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	文を首尾一貫させる
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
8	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	助詞相当語の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
9	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	助詞「は」と「が」の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
10	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	他動詞・自動詞（使役形・受身形）
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
11	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	ル形・タ形・テイル形・テイタ形
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
12	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	指示詞「こ」と「そ」の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
13	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	接続詞・接続表現の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
14	事前学習	教科書の該当箇所をよく読んで、疑問点がないか確認しておくこと。
	授業内容	「のだ」文の使い方・意見を述べる文末表現の使い分け
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
15	事前学習	前期の学習事項について確認しておくこと。
	授業内容	前期授業の到達度を試験で確認する
	事後学習	試験でできなかった箇所について復習すること。

科目名	日本語Ⅴ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本社会での積極的なコミュニケーションを実践し、自らの考えを正確に伝える能力を向上させる。			
授業目的・到達目標	大学生活のみならず、社会人としての生活においても必要とされる日本語力を身につけるため、日本語検定問題を解きながら、これまで以上の表現力・語彙力・思考力を身につける。日本語力のトレーニングを行うことで、日本語の適切さがどのように決まるのかを知り、実践できるようになる。			
履修条件	2年生以上			
授業方法	教科書に従って進める。必ず、国語辞書（電子辞書可）を持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	前期試験・後期試験・漢字テスト（80％）＋授業への参加度（20％） ※授業回数の2／3以上出席すること。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2009年	東京書籍	スキルアップ！日本語力 大学生のための日本語練習帳	名古屋大学日本語研究会GK7
	備考			
参考書	日本語検定については、「日本語検定公式ホームページ」（ http://www.nihongokentei.jp ）を参照。その他の参考書については授業内で指示する。			
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	大学卒業後の進路を考え、これからの計画を立てる
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	ビジネスの現場ではどのような日本語を使用しているのかを考える
2	事前学習	ビジネス日本語とはどのようなものかを考える
	授業内容	ビジネス日本語能力テストを解く①
	事後学習	ビジネスに際してのコミュニケーションスキルを向上させるには、どのような学習が必要かを考える
3	事前学習	電話の内容を伝言メモにする時はどうすればいいのか考える
	授業内容	ビジネス日本語能力テストを解く②
	事後学習	ビジネスコミュニケーション上の課題とは何かを考える
4	事前学習	適切な日本語とはどのようなものかを考える
	授業内容	（教科書）第0回「はじめに」
	事後学習	日本語の適切さがどのように決まるのかを確認する

5	事前学習	敬語の種類と使い分けを確認する
	授業内容	(教科書) 第1回「敬語の種類と使い分け」①
	事後学習	間違いやすい敬語を確認する
6	事前学習	自分と相手の関係を言葉で表現する際の注意点を考える
	授業内容	(教科書) 第1回「敬語の種類と使い分け」②+復習プリント
	事後学習	敬語の使い分けにおける注意点を確認する
7	事前学習	尊敬語と謙譲語の混同とは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第2回「注意すべき敬語」①
	事後学習	間違いやすい敬語を確認する
8	事前学習	二重敬語やマニュアル敬語とは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第2回「注意すべき敬語」②+復習プリント
	事後学習	間違いやすい敬語を確認する
9	事前学習	敬語を使うことが必ずしも適切ではない場合を考える
	授業内容	(教科書) 第3回「配慮を示す言葉」①
	事後学習	「忌み言葉」とは何かを確認する
10	事前学習	敬語を使うことが必ずしも適切ではない場合を考える
	授業内容	(教科書) 第3回「配慮を示す言葉」②+復習プリント
	事後学習	「ほのめかし」とは何かを確認する
11	事前学習	ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉とは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第5回「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」+復習プリント
	事後学習	間違いやすい敬語を確認する
12	事前学習	文のねじれとは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第6回「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」①
	事後学習	主語と述語が対応している文を書く
13	事前学習	「あいまい文」とは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第6回「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」②+復習プリント
	事後学習	あいまい文を書かないようにする
14	事前学習	接続語・指示語とはどのような働きがあるかを考える
	授業内容	(教科書) 第7回「接続語・指示語と文章」+復習プリント
	事後学習	文章の中での接続と指示語の役割を確認する
15	事前学習	前期授業内容を復習する
	授業内容	前期授業の復習テストとその解説
	事後学習	試験で間違った問題を再度復習する

科目名	日本語Ⅵ	担当者	杉山 俊一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、大学でのレポートや論文に必要な論理的な文章の書き方を学習する。 また、レポート・論文作成に必要な情報収集の具体的な方法についても学んでゆく。			
授業目的・到達目標	書き言葉で正確に文章を書くことができるようになる。 日本語で書かれた文章(新聞・雑誌記事・論文など)の集め方、読み方、まとめ方などが分かる。			
履修条件	日本語Ⅰか日本語Ⅱを履修済みもしくは履修中の2年生以上。			
授業方法	授業時に配布するプリントを使用して、文章構成の方法を実践的に学ぶ。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	各授業での提出物50%に加え、まとめのレポート50%で評価する。ただし、授業回数の3分の2以上出席しなければ、授業内試験を受けることができない。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない。		
参考書	国語辞典、漢和辞典、電子辞書など。			
オフィスアワー	水曜日12：40～13：00 事前に要予約			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
	授業内容	後期授業内容の説明
	事後学習	授業内で配布するプリントの内容を確認しておくこと。
2	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	自分の考えを述べる
	事後学習	原稿用紙の使い方についてよく復習しておくこと。
3	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	構想メモを利用した文章の作成
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
4	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	文章を要約する
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。

5	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	文章を要約して自分の意見を述べる
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
6	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	説得力を高める書き方
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
7	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	事実と意見の書き分け方
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
8	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	比較・対照(1)
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
9	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	比較・対照(2)
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
10	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	資料の収集・整理の方法
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
11	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	レポート作成の実際(1)構想メモの作成
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
12	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	レポート作成の実際(2)資料収集と整理・分析
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
13	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	レポート作成の実際(3)文章にまとめる
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
14	事前学習	事前に配布するプリントの内容を確認しておくこと。
	授業内容	レポート作成の実際(4)推敲
	事後学習	返却された答案・課題の内容を確認しておくこと。
15	事前学習	授業で学んだことを中心に、レポートの内容をよりよくまとめておくこと。
	授業内容	レポート提出・後期授業のまとめ
	事後学習	実際のレポート作成を通して困った点、疑問に思った点などについて確認しておくこと。

科目名	日本語Ⅵ	担当者	野口 恵子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本社会での積極的なコミュニケーションを実践し、自らの考えを正確に伝える能力を向上させる。			
授業目的・到達目標	大学生活のみならず、社会人としての生活においても必要とされる日本語力を身につけるため、日本語検定問題を解きながら、これまで以上の表現力・語彙力・思考力を身につける。日本語力のトレーニングを行うことで、日本語の適切さがどのように決まるのかを知り、実践できるようになる。			
履修条件	2年生以上			
授業方法	教科書に従って進める。必ず、国語辞書（電子辞書可）を持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	前期試験・後期試験・漢字テスト（80%）＋授業への参加度（20%） ※授業回数の2／3以上出席すること。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2009年	東京書籍	スキルアップ！日本語力 大学生のための日本語練習帳	名古屋大学日本語研究会GK7
	備考			
参考書	日本語検定については、「日本語検定公式ホームページ」（ http://www.nihongokentei.jp ）を参照。その他の参考書については授業内で指示する。			
オフィスアワー	研究室（9号館9307研究室）での場合は月曜日と火曜日の昼休み時間（12時20分～12時50分）、メールの場合はnoguchi.keiko@nihon-u.ac.jpで受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの日本語学習の改善点を考える
	授業内容	授業計画とその内容の説明
	事後学習	具体的な改善点を箇条書きにする
2	事前学習	類義語・対義語とは何かを考える
	授業内容	（教科書）第8回「類義語・対義語」①
	事後学習	類義語・対義語の使い分けを確認する
3	事前学習	和語・漢語・外来語とは何かを考える
	授業内容	（教科書）第8回「類義語・対義語」②＋復習プリント
	事後学習	和語・漢語・外来語の意味や語感の違いを確認する
4	事前学習	文体とは何かを考える
	授業内容	（教科書）第10回「文体、話し言葉・書き言葉」①
	事後学習	文体の使い分けを確認する

5	事前学習	話し言葉・書き言葉とは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第10回「文体、話し言葉・書き言葉」②+復習プリント
	事後学習	話し言葉・書き言葉の注意点を確認する
6	事前学習	コロケーションとは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第11回「コロケーション」①
	事後学習	慣用的な言葉のつながり方を確認する
7	事前学習	コロケーションとは何かを考える
	授業内容	(教科書) 第11回「コロケーション」②+復習プリント
	事後学習	間違いやすいコロケーションを確認する
8	事前学習	部首・音訓・熟語を確認する
	授業内容	(教科書) 第12回「部首・音訓・熟語」①
	事後学習	漢字の成り立ち、部首とは何かを確認する
9	事前学習	音読み・訓読みの違いは何かを確認する
	授業内容	(教科書) 第12回「部首・音訓・熟語」②+復習プリント
	事後学習	音訓や熟語とは何かを確認する
10	事前学習	現代仮名遣いと送り仮名の付け方を確認する
	授業内容	(教科書) 第13回「仮名遣い・送り仮名」①
	事後学習	間違いやすい現代仮名遣いと送り仮名の付け方を確認する
11	事前学習	現代仮名遣いと送り仮名の付け方を確認する
	授業内容	(教科書) 第13回「仮名遣い・送り仮名」②+復習プリント
	事後学習	間違いやすい現代仮名遣いと送り仮名の付け方を確認する
12	事前学習	これまでの学習を復習する
	授業内容	(教科書) 第14回「総合問題」①
	事後学習	総合問題で間違った問題を再度復習する
13	事前学習	これまでの学習を復習する
	授業内容	(教科書) 第14回「総合問題」②
	事後学習	総合問題で間違った問題を再度復習する
14	事前学習	これまでの学習を復習する
	授業内容	(教科書) 第14回「総合問題」③
	事後学習	総合問題で間違った問題を再度復習する
15	事前学習	後期授業内容を復習する
	授業内容	後期授業の復習テストとその解説
	事後学習	試験で間違った問題を再度復習する

科目名	日本語Ⅶ	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	担当者が用意したプリント資料に沿って授業を進める。授業は、（１）問題をその場で解く時間、（２）解説の時間、（３）全員で討議する時間の三つの部分に分ける。資料には、最近の新聞に載ったコラム・社説を用いる。最新の日本語が適切に読めて正しい日本語表現ができるようになることを目指す。			
授業目的・到達目標	正しい日本語表現法を身に付け、それを実践して学生生活に生かすことを目的とする。身近な新聞や雑誌のコラムなどを精読することで、日本語の特質を理解する。そして、留学生生活の中で正しい日本語が使えるようにする。最終的には、様々な文章が適切に書けるようになることをめざす。			
履修条件	国語辞典を持参すること（電子辞書可）。 なお、日本語ⅠからⅦうち、少なくとも３つ以上を履修した上で受講すること。			
授業方法	教員が資料を用意し、その解説を行う。それをもとに全体で討論を行う。また、課題を用意するので、それに関して文章を書いてもらい、添削指導を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	3分の1以上欠席したものには単位を与えない。遅刻は0.5回の出席として換算。また、提出物も評価の対象とする。詳しくは、第1回に解説する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない。		
参考書	講義中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んで、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	講義概要と成績評価に関する説明。
	事後学習	講義概要と成績評価に関する説明をまとめ、理解の徹底を図る。不明な点は、質問用メールアドレスを使用し、メールでの質問に慣れるようにする。
2	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「日本人の清潔好き」に関するコラムの解説（１）。
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
3	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「日本人の清潔好き」に関するコラムの解説（２）。
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
4	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 2回・3回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	2回・3回授業の確認小テスト 「新入社員の心構え」に関するコラムの解説（１）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。

5	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「新入社員の心構え」に関するコラムの解説（2）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
6	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 4回・5回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	4回・5回授業の確認小テスト 「異文化の理解」に関するコラムの解説（1）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
7	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「異文化の理解」に関するコラムの解説（2）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
8	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 6回・7回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	6回・7回授業の確認小テスト 「モナリザ」に関するコラムの解説（1）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
9	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「モナリザ」に関するコラムの解説（2）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
10	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 8回・9回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	8回・9回授業の確認小テスト 「いじめ問題」に関する社説の解説（1）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
11	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「いじめ問題」に関する社説の解説（2）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
12	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 10回・11回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	10回・11回授業の確認小テスト 「地方の活性化」に関する社説の解説（1）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
13	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「地方の活性化」に関する社説の解説（2）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
14	事前学習	12回・13回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	12回・13回授業の確認小テスト 半年の学習を自分の言葉でまとめる。
	事後学習	確認小テストで、間違えた個所を復習しておく。
15	事前学習	これまでのプリントと確認小テストを復習しておく。
	授業内容	授業内容のまとめと確認
	事後学習	図書館で各自の興味を持った事項について調査し、それをまとめる。

科目名	日本語Ⅶ	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文章表現を行うさいに有用な日本語の文章力を身につける。メールや簡単な日常表現における日本語の読解から、論文の比較的高度な日本語の運用まで、一年で長文の読み書きや、文面のやり取りに関する能力の上達を目指す。					
授業目的・到達目標	大学生活におけるレポートや論文の作成、また社会生活におけるメールや手紙、書類をやり取りする際の文章作法の習得を目標とする。加えて、レポートや論文形式の文章において、論旨の明確な意見を書くことができるようにする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	おおよそ毎時間、履修生に課題を出し、文章を書いてもらう。遅刻・欠席は厳しく取り、原則として認めない。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		毎回の授業で課題として出す作文を、評価基準として重視する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	アルク		改訂版 大学・大学院留学生の日本語①読解編		アカデミックジャパニーズ研究会
	備考					
参考書	二通信子他『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』（東京大学出版会）					
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本語についてのこれまでの知識を復習しておくこと。
	授業内容	ガイダンス。日本語について。
	事後学習	日本語の特徴について調べておくこと。講義内容の復習をしておくこと。
2	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第1課「言葉の役割」
	事後学習	第1課「言葉の役割」について、講義内容の復習をしておくこと。
3	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第2課「イルカと超音波」
	事後学習	第2課「イルカと超音波」について、講義内容の復習をしておくこと。
4	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第3課「地図の分類」
	事後学習	第3課「地図の分類」について、講義内容の復習をしておくこと。

5	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第4課「睡眠時間」
	事後学習	第4課「睡眠時間」について、講義内容の復習をしておくこと。
6	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第5課「日時計」
	事後学習	第5課「日時計」について、講義内容の復習をしておくこと。
7	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第6課「研究者の二つのタイプ」
	事後学習	第6課「研究者の二つのタイプ」について、講義内容の復習をしておくこと。
8	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第7課「地球温暖化」
	事後学習	第7課「地球温暖化」について、講義内容の復習をしておくこと。
9	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第8課「風呂場の戸」
	事後学習	第8課「風呂場の戸」について、講義内容の復習をしておくこと。
10	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第9課「手で数を表す」
	事後学習	第9課「手で数を表す」について、講義内容の復習をしておくこと。
11	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第10課「文明はどのように伝わったか1」
	事後学習	第10課「文明はどのように伝わったか1」について、講義内容の復習をしておくこと。
12	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第11課「文明はどのように伝わったか2」
	事後学習	第11課「文明はどのように伝わったか2」について、講義内容の復習をしておくこと。
13	事前学習	テキストを事前に読んでくること。
	授業内容	第12課「カラスの自動車利用行動」
	事後学習	第12課「カラスの自動車利用行動」について、講義内容の復習をしておくこと。
14	事前学習	テキストを事前に読んでくること。最終課題に向けての準備をしておくこと。
	授業内容	第13課「台湾南部の客家社会についての一考察」
	事後学習	第13課「台湾南部の客家社会についての一考察」について、講義内容の復習をしておくこと。最終課題に向けての準備をしておくこと。
15	事前学習	半期の内容の復習をしておくこと。最終課題に向けての準備をしておくこと。
	授業内容	アカデミック・ライティングについて。半期の授業をふりかえり、理解の到達度を確認する。
	事後学習	アカデミック・ライティングについて調べておくこと。半期の内容を振り返り、確認すること。

科目名	日本語Ⅷ	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	担当者が用意したプリント資料に沿って授業を進める。授業は、（１）問題をその場で解く時間、（２）解説の時間、（３）全員で討議する時間の三つの部分に分ける。資料には、最近の新聞に載ったコラム・社説を用いる。最新の日本語が適切に読めて正しい日本語表現ができるようになることを目指す。				
授業目的・到達目標	正しい日本語表現法を身に付け、それを実践して学生生活に生かすことを目的とする。身近な新聞や雑誌のコラムなどを精読することで、日本語の特質を理解する。そして、留学生生活の中で正しい日本語が使えるようにする。最終的には、様々な文章が適切に書けるようになることをめざす。				
履修条件	国語辞典を持参すること（電子辞書可）。 なお、日本語ⅠからⅣち、少なくとも２つ以上を履修した上で受講すること。				
授業方法	教員が資料を用意し、その解説を行う。それをもとに全体で討論を行う。また、課題を用意するので、それに関して文章を書いてもらい、添削指導を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	3分の1以上欠席したものには単位を与えない。遅刻は0.5回の出席として換算。また、提出物も評価の対象とする。詳しくは、第1回に解説する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んで、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	講義概要と成績評価に関する説明。
	事後学習	講義概要と成績評価に関する説明をまとめ、理解の徹底を図る。不明な点は、質問用メールアドレスを使用し、メールでの質問に慣れるようにする。
2	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「日本人の清潔好き」に関するコラムの解説（１）。
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
3	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「日本人の清潔好き」に関するコラムの解説（２）。
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
4	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 2回・3回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	2回・3回授業の確認小テスト 「新入社員の心構え」に関するコラムの解説（１）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。

5	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「新入社員の心構え」に関するコラムの解説（２）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
6	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 ４回・５回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	４回・５回授業の確認小テスト 「異文化の理解」に関するコラムの解説（１）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
7	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「異文化の理解」に関するコラムの解説（２）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
8	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 ６回・７回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	６回・７回授業の確認小テスト 「モナリザ」に関するコラムの解説（１）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
9	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「モナリザ」に関するコラムの解説（２）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
10	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 ８回・９回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	８回・９回授業の確認小テスト 「いじめ問題」に関する社説の解説（１）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
11	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「いじめ問題」に関する社説の解説（２）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
12	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。 １０回・１１回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	１０回・１１回授業の確認小テスト 「地方の活性化」に関する社説の解説（１）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
13	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	「地方の活性化」に関する社説の解説（２）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。
14	事前学習	１２回・１３回授業の確認小テストを行うので、事前の復習をしておく。
	授業内容	１２回・１３回授業の確認小テスト 半年の学習を自分の言葉でまとめる。
	事後学習	確認小テストで、間違えた個所を復習しておく。
15	事前学習	これまでのプリントと確認小テストを復習しておく。
	授業内容	授業内容のまとめと確認
	事後学習	図書館で各自の興味を持った事項について調査し、それをまとめる。

科目名	日本語Ⅷ	担当者	宮澤 隆義	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文章表現を行うさいに有用な日本語の文章力を身につける。メールや簡単な日常表現から、小説・論文の比較的高度な日本語の運用まで、長文の読み書きや文面のやり取りに関する能力の上達を目指す。			
授業目的・到達目標	大学生活におけるレポートや論文の作成、また社会生活におけるメールや手紙、書類をやり取りする際の文章作法の習得を目的とする。加えて、論旨の明確な意見を書くことができるようにする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	おおよそ毎時間、履修生に課題を出し、文章を書いてもらう。遅刻・欠席は厳しく取り、原則として認めない。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	毎回の授業で課題として出す作文を、評価基準として重視する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	アルク	改訂版 大学・大学院留学生の日本語④論文作成編	アカデミックジャパンニーズ研究会
	備考			
参 考 書	二通信子他『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』（東京大学出版会）			
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本語についてのこれまでの知識を復習しておくこと。
	授業内容	ガイダンス。日本語について。
	事後学習	日本語について書かれた書籍を図書館で調べておくこと。講義内容の復習をしておくこと。
2	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第1課「作文の基本（1）」
	事後学習	第1課「作文の基本（1）」について、講義内容の復習をしておくこと。
3	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第2課「作文の基本（2）」
	事後学習	第2課「作文の基本（2）」について、講義内容の復習をしておくこと。
4	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第3課「課題の提示」
	事後学習	第3課「課題の提示」について、講義内容の復習をしておくこと。

5	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第4課「目的の提示」
	事後学習	第4課「目的の提示」について、講義内容の復習をしておくこと。
6	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第5課「定義と分類」
	事後学習	第5課「定義と分類」について、講義内容の復習をしておくこと。
7	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第6課「図表の提示」
	事後学習	第6課「図表の提示」について、講義内容の復習をしておくこと。
8	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第7課「変化の形容」
	事後学習	第7課「変化の形容」について、講義内容の復習をしておくこと。
9	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第8課「対比と比較」
	事後学習	第8課「対比と比較」について、講義内容の復習をしておくこと。
10	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第9課「原因の考察」
	事後学習	第9課「原因の考察」について、講義内容の復習をしておくこと。
11	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第10課「列挙」
	事後学習	第10課「列挙」について、講義内容の復習をしておくこと。
12	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第11課「引用」
	事後学習	第11課「引用」について、講義内容の復習をしておくこと。
13	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。
	授業内容	第12課「同意と反論」
	事後学習	第12課「同意と反論」について、講義内容の復習をしておくこと。
14	事前学習	事前にテキストを読んでおくこと。最終課題の準備をしておくこと。
	授業内容	第13課「帰結」
	事後学習	第13課「帰結」について、講義内容の復習をしておくこと。
15	事前学習	最終課題の準備をしておくこと。
	授業内容	アカデミック・ライティングと文章一般について。半期の授業をふりかえり、理解の到達度を確認する。
	事後学習	アカデミック・ライティングと文章一般について、講義内容を復習しておくこと。一年の講義内容を確認すること。

科目名	日本語Ⅸ	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	担当者が用意したプリント資料に沿って授業を進める。授業は、（１）問題をその場で解く時間、（２）解説の時間、（３）全員で討議する時間の三つの部分に分ける。資料には、様々な書籍から、今問題となっている事項を取り出して扱う。最新の日本語が適切に読めて正しい日本語表現ができるようになることを目指す。			
授業目的・到達目標	正しい日本語表現法を身に付け、それを実践して学生生活に生かすことを目的とする。特に、日本語Ⅸでは、比較的長い文章の読解と、それに関する意見文の作成を目指す。〔一〕日本語の特質を理解する。〔二〕日本語で書かれた文章を正確に理解する。 〔三〕日本語で一つの論文・感想文などを書き上げる。			
履修条件	「日本語Ⅰ～Ⅳ」は履修済みであることを履修条件とする。「日本語Ⅴ～Ⅷ」のうち２科目は履修済みであることが望ましい。なお、授業には「国語辞典（日本語辞典）」を持参すること。			
授業方法	教員の側が課題を用意し、その演習と解説で授業を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	3分の1以上欠席したものには単位を与えない。また、提出物も評価の対象とする。詳しくは、第1回に解説する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	講義中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んで、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	講義概要と成績評価に関する説明（履修希望者は必ず出席すること）
	事後学習	講義概要と成績評価に関する説明をまとめ、理解の徹底を図る。不明な点は、質問用メールアドレスを使用し、メールでの質問に慣れるようにする。
2	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	文章読解と文章作成の基本1（要約の方法と実践）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
3	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	文章読解と文章作成の基本2（段落構成の方法）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
4	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	文章読解と文章作成の基本3（引用などのルール）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。

5	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 1（「異文化理解」に関する文章の読解）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
6	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 2（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
7	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 3（「現代日本の若者」に関する文章の読解）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
8	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 4（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
9	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 5（「科学思想史」に関する文章の読解）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
10	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 6（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
11	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 1（「日本の美」に関する文章の読解）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
12	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 2（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
13	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 3（「生と死」に関する文章の読解）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
14	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 4（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。また、確認小テストの対策をしておく。
15	事前学習	これまでの学習の総復習をする。
	授業内容	まとめと確認問題
	事後学習	講義の内容を再確認し、難しい語句は理解して使えるようにする。

科目名	日本語Ⅹ	担当者	小野 美典	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	担当者が用意したプリント資料に沿って授業を進める。授業は、（１）問題をその場で解く時間、（２）解説の時間、（３）全員で討議する時間の三つの部分に分ける。資料には、最近問題となっている事項に関する様々な書籍から一部を抜粋して使用する。最新の日本語が適切に読めて正しい日本語表現ができるようになることを目指す。					
授業目的・到達目標	正しい日本語表現法を身に付け、それを実践して学生生活に生かすことを目的とする。特に、日本語Ⅹでは、比較的長い文章の読解と、それに関する意見文の作成を目指す。〔一〕日本語の特質を理解する。〔二〕日本語で書かれた文章を正確に理解する。 〔三〕日本語で一つの論文・感想文などを書き上げる。					
履修条件	「日本語Ⅰ～Ⅳ」は履修済みであることを履修条件とする。「日本語Ⅴ～Ⅷ」のうち２科目は履修済みであることが望ましい。なお、授業には「国語辞典（日本語辞典）」を持参すること。					
授業方法	教員の側が課題を用意し、その演習と解説で授業を進める。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		3分の1以上欠席したものには単位を与えない。また、提出物も評価の対象とする。詳しくは、第1回に解説する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。				
参考書	講義中に適宜紹介する。					
オフィスアワー	火曜日の昼休み（12:10～13:00）に本館8階の小野研究室にて質問・相談を受け付ける（メールで事前にアポをとること）。また、第1回の授業時に質問用メールアドレスを公表するので、それも積極的に利用し、質問などで授業への理解を深めて欲しい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んで、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	講義概要と成績評価に関する説明（履修希望者は必ず出席すること）
	事後学習	講義概要と成績評価に関する説明をまとめ、理解の徹底を図る。不明な点は、質問用メールアドレスを使用し、メールでの質問に慣れるようにする。
2	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	文章読解と文章作成の基本1（留学生の間違えやすい日本語表現）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
3	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	文章読解と文章作成の基本2（推敲の方法）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
4	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	文章読解と文章作成の基本3（制限文字数で作文する方法）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。

5	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 1（「日本文化」に関する文章の読解）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
6	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 2（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
7	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 3（「現象学からみた現代日本」に関する文章の読解）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
8	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 4（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
9	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 5（「近代科学の歩み」に関する文章の読解）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
10	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	評論文の読解と演習 6（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
11	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 1（「日本の四季」に関する文章の読解）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
12	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 2（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
13	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 3（「生きる力」に関する文章の読解）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
14	事前学習	教材プリントを事前に読み、読めない漢字、意味の分からない言葉などを調べる。
	授業内容	随筆の読解と演習 4（前項に関する文章作成と解説）
	事後学習	教材プリントの練習問題で、間違えた個所を復習しておく。また、確認小テストのために語句の整理と復習を行う。
15	事前学習	これまでの学習の総復習をしておく。
	授業内容	まとめと確認問題
	事後学習	半年間学習して、興味を持った事項を図書館で調査する。

科目名	スペイン語ⅠA	担当者	河崎 佳代	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践的なスペイン語を身につけるために、毎回、文法の学習の後、会話練習のペアまたはグループワークをします。また、学習したことを定着、確認のための小テストがあります。また、スペイン語圏の文化などについても折に触れて紹介していきます。				
授業目的・到達目標	スペイン語だけではなく、スペイン語圏の習慣、文化や歴史などにも触れ、国際感覚を養うことを目的とします。基礎力を身につけ、挨拶、自己紹介、簡単な旅行会話などができるようになることを目標とします。				
履修条件	特になし				
授業方法	テキストを中心に進めます。辞書必携。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間テスト（30％） 期末試験（40％） 小テスト、授業参加度、提出物の総合（30％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2011年初版	朝日出版	Plaza Amigos Español para hablar I		青砥清一他
	備考				
参考書	『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』 高垣敏博 他 小学館				
オフィスアワー	授業日またはメールで質問を受け付けます。 kawasakikayo2006@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション・参考文献の紹介・挨拶
	事後学習	復習
2	事前学習	スペイン語圏の文化、歴史、音楽、スポーツなど興味があることについて簡単にまとめておく。
	授業内容	L1 スペイン語の発音
	事後学習	復習
3	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L1 スペイン語の発音
	事後学習	復習
4	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L2 名詞・冠詞
	事後学習	復習

5	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L2 名詞・冠詞
	事後学習	復習
6	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L3 形容詞・指示詞
	事後学習	復習
7	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L3 形容詞・指示詞
	事後学習	復習
8	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L4 ser
	事後学習	復習
9	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L4 ser
	事後学習	復習
10	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L5 estar
	事後学習	復習
11	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L5 estar
	事後学習	復習
12	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L6 hay
	事後学習	復習
13	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L6 hay
	事後学習	復習
14	事前学習	総復習
	授業内容	復習
	事後学習	復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験のフィードバック

科目名	スペイン語 I B	担当者	河崎 佳代	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践的なスペイン語を身につけるために、毎回、文法の学習の後、会話練習のペアまたはグループワークをします。また、学習したことを定着、確認のための小テストがあります。また、スペイン語圏の文化などについても折に触れて紹介していきます。				
授業目的・到達目標	スペイン語だけではなく、スペイン語圏の習慣、文化や歴史などにも触れ、国際感覚を養うことを目的とします。スペイン語IAで学習したことを定着させ、更に多くの表現ができるようになることを目標とします。				
履修条件	スペイン語IAを履修しているか、同等のレベルであること。				
授業方法	テキストを中心に進めます。辞書必携。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間テスト（30％） 期末テスト（40％） 小テスト、授業参加度、提出物の総合（30％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011年初版	朝日出版		Plaza Amigos Español para hablar I	青砥清一他
	備考				
参考書	『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』 高垣敏博 他 小学館				
オフィスアワー	授業日またはメールで質問を受け付けます。 kawasakikayo2006@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	スペイン語の挨拶、ser, estar動詞の活用などを覚えておく。 新出単語調べ
	授業内容	復習
	事後学習	復習
2	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L7 ar動詞
	事後学習	復習
3	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L7 ar動詞
	事後学習	復習
4	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L8 er動詞、ir動詞
	事後学習	復習

5	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L8 er動詞、ir動詞
	事後学習	復習
6	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L9 querer, poder
	事後学習	復習
7	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L9 querer, poder
	事後学習	復習
8	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L10 hacer, tener
	事後学習	復習
9	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L10 hacer, tener
	事後学習	復習
10	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L11 ir, venir
	事後学習	復習
11	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L11 ir, venir
	事後学習	復習
12	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L12 dar, saber
	事後学習	復習
13	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L12 dar, saber
	事後学習	復習
14	事前学習	総復習
	授業内容	期末試験対策
	事後学習	総復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験のフィードバック

科目名	スペイン語ⅡA	担当者	河崎 佳代	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践的なスペイン語を身につけるために、毎回、文法の学習の後、会話練習のペアまたはグループワークをします。また、学習したことを定着、確認のための小テストがあります。また、スペイン語圏の文化などについても折に触れて紹介していきます。				
授業目的・到達目標	スペイン語だけではなく、スペイン語圏の習慣、文化や歴史などにも触れ、国際感覚を養うことを目的とします。スペイン語Ⅰで習得した文法事項を基礎に、現在形のgustar型動詞、再起動詞、比較など更に多くの表現を学習し身につけることを目標とします。				
履修条件	スペイン語Ⅰを履修した者、または直説法現在、目的格人称代名詞を習得済みの者				
授業方法	テキストを中心に進めます。辞書必携。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間試験（30％）期末試験（40％） 小テスト、授業参加度、提出物の総合（30％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年初版	朝日出版		Plaza Amigos Español para hablar II	青砥清一他
	備考				
参考書	『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』 高垣敏博 他 小学館				
オフィスアワー	授業日またはメールで質問を受け付けます。 kawasakikayo2006@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	スペイン語Ⅰで学習した規則動詞の活用、語彙などの復習
	授業内容	オリエンテーション L1 好きなことについて話す gustar
	事後学習	復習
2	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L1 体調が悪い時の表現 doler
	事後学習	復習
3	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L1 その他のgustar型動詞
	事後学習	復習
4	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L2 考えを述べる pensar型の動詞
	事後学習	復習

5	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L2 教室での会話 volver型の動詞
	事後学習	復習
6	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L3 美術館で
	事後学習	復習
7	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L3 レストランで
	事後学習	復習
8	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L4 日常生活I 再帰動詞
	事後学習	復習
9	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L4 日常生活 再帰動詞
	事後学習	復習
10	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L5 待ち合わせをする 無人称構文
	事後学習	復習
11	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L5 道を探ねる 無人称構文
	事後学習	復習
12	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L6 図書館で 比較表現
	事後学習	復習
13	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L6 旅行会社で 最上級
	事後学習	復習
14	事前学習	総復習
	授業内容	試験対策
	事後学習	復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験のフィードバック

科目名	スペイン語ⅡB	担当者	河崎 佳代	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実践的なスペイン語を身につけるために、毎回、文法の学習の後、会話練習のペアまたはグループワークをします。また、学習したことを定着、確認のための小テストがあります。また、スペイン語圏の文化などについても折に触れて紹介していきます。				
授業目的・到達目標	スペイン語だけではなく、スペイン語圏の習慣、文化や歴史などにも触れ、国際感覚を養うことを目的とします。現在形だけではなく現在完了、点過去、線過去、未来形、命令表現など様々な時制について学習し、身につけることを目標とします。				
履修条件	スペイン語Ⅰ、ⅡAを履修した者、または直説法現在、目的格人称代名詞を習得済みの者				
授業方法	テキストを中心に進めます。辞書必携。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	中間試験（30％）期末試験（40％） 小テスト、授業参加度、提出物の総合（30％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年初版	朝日出版		Plaza Amigos Español para hablar II	青砥清一他
	備考				
参考書	『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』 高垣敏博 他 小学館				
オフィスアワー	授業日またはメールで質問を受け付けます。 kawasakikayo2006@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現在形の動詞の活用、既習語彙の復習
	授業内容	L7 過去分詞
	事後学習	復習
2	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L7 経験について話す 現在完了形
	事後学習	復習
3	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L7 現在進行形
	事後学習	復習
4	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L8 点過去
	事後学習	復習

5	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L8 点過去
	事後学習	復習
6	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L9 点過去 不規則動詞
	事後学習	復習
7	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L9 点過去 不規則動詞
	事後学習	復習
8	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L10 線過去
	事後学習	復習
9	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L10 線過去
	事後学習	復習
10	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L11 未来形
	事後学習	復習
11	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L11 過去未来形
	事後学習	復習
12	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L12 命令形
	事後学習	復習
13	事前学習	新出単語調べ
	授業内容	L12 命令形
	事後学習	復習
14	事前学習	総復習
	授業内容	試験対策
	事後学習	総復習
15	事前学習	総復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験フィードバック

科目名	韓国語 I A	担当者	鄭 長勲	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	韓国語の文字と発音を覚え、基礎的な文法と表現を学ぶ。言葉と関連して韓国の社会・文化に触れ、日本との差異と類似点を考えてみる。			
授業目的・到達目標	・韓国語のアルファベット、ハングル文字の書き方と発音を覚える。あいさつと自己紹介、簡単な会話ができるようになることを目的とする ・初級の前半課程を習得できるようになる（単語200語、基本表現4個）。			
履修条件	特になし			
授業方法	講義と練習を適宜交互に行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	受講姿勢/小テスト：60% 期末試験：40%（ハングル検定試験の5級合格者には期末試験を免除する）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	朝日出版社	韓国語へ旅しよう 初級	李昌圭
	備考			
参考書	授業中提示			
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 cuch1113@gmail.com			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	1課の韓国語と文字を読む。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
2	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	基本母音 ・韓国語の概要を理解する。 ・基本母音字と発音を覚える。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
3	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	基本子音 ・基本子音字と発音を覚える。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
4	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	激音、濃音 ・基本子音字と合成子音字の発音を覚える。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。

5	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	合成母音、終声（パッチム） ・合成母音字と終声に使われる子音の発音を覚える。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
6	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	終声（パッチム）
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
7	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	読み方練習①
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
8	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	読み方練習②
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
9	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第10課 私は学生です。 ・人称代名詞を覚える。 ・自己紹介の表現を学ぶ。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
10	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第11課 これは何ですか。 ・指示代名詞を覚える。 ・体験の否定表現を学ぶ。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
11	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第12課 この人は誰ですか。 ・家族名称を覚える。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
12	事前学習	読んでCDを聞く。
	授業内容	第13課 復習
	事後学習	CDを聞き、訳を覚える
13	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第14課 教室に何がありますか。 ・位置関係の語を覚える。 ・存在の表現を学ぶ。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
14	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第15課 何をしますか。 ・丁寧形表現を覚える。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
15	事前学習	出題範囲の内容を覚える。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題の誤答を確認する。

科目名	韓国語 I B	担当者	鄭 長勲	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	韓国語の文字と発音を覚え、基礎的な文法と表現を学ぶ。言葉と関連して韓国の社会・文化に触れ、日本との差異と類似点を考えてみる。				
授業目的・到達目標	・韓国語のアルファベット、ハングル文字の書き方と発音を覚える。あいさつと自己紹介、簡単な会話ができるようになることを目的とする ・初級の前半課程を習得できるようになる（単語300語、基本表現6個）。				
履修条件	韓国語の文字が読めること。				
授業方法	講義と練習を適宜交互に行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	受講姿勢/小テスト：60% 期末試験：40%（ハングル検定試験の5級合格者には期末試験を免除する）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	朝日出版社		韓国語へ旅しよう 初級	李昌圭
	備考				
参考書	授業中提示				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。 cuch1113@gmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	出題範囲の単語と表現を覚える。
	授業内容	ハングル検定対策①
	事後学習	問題で理解度を確認する。
2	事前学習	出題範囲の単語と表現を覚える。
	授業内容	ハングル検定対策②
	事後学習	問題で理解度を確認する。
3	事前学習	出題範囲の単語と表現を覚える。
	授業内容	ハングル検定対策③
	事後学習	問題で理解度を確認する。
4	事前学習	出題範囲の単語と表現を覚える。
	授業内容	ハングル検定対策④
	事後学習	問題で理解度を確認する。

5	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第16課 どこへ行かれますか。 ・時間関係をの語を覚える。 ・尊敬形表現を学ぶ。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
6	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第16課の継続
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
7	事前学習	読んでCDを聞く。
	授業内容	第17課 復習
	事後学習	CDを聞き、訳を覚える
8	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第18課 昨日何をしましたか。 ・過去形表現を覚える。 ・連結語尾を練習する。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
9	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第18課の継続
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
10	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第19課 験はいつですか。 ・漢数字を覚える。 ・年月日の言い方を学ぶ。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
11	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第19課の継続
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
12	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第20課 いま何時ですか。 ・固有数字を覚える。 ・時刻の言い方を学ぶ。
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
13	事前学習	説明を読んでCDを聞く。
	授業内容	第20課の継続
	事後学習	練習問題で理解度を確認する。
14	事前学習	読んでCDを聞く。
	授業内容	第21課 復習
	事後学習	CDを聞き、訳を覚える
15	事前学習	出題範囲の内容を覚える。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題の誤答を確認する。

科目名	韓国語ⅢA	担当者	孔 義植	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日常生活に必要な韓国語の読み・書き・聞き取りを学習する。			
授業目的・到達目標	中級レベルの語彙・表現を習得（単語2000、基本表現200個）して、日常会話ができるようになる。			
履修条件	韓国語Ⅰ、韓国語Ⅱの学習を終えた人。また、ハングル検定4級以上の合格者。			
授業方法	講義と練習を適宜交互に行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業内テスト：60% 授業参加度：20%、宿題：20%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	白水社	表現のための中級韓国語	中西恭子
	備考			
参考書	李昌圭『韓国語へ旅しよう』朝日出版社、2012年 野間秀樹・キムジナ『VIBA中級韓国語』朝日出版社、205年			
オフィスアワー	火曜日の12時20分～13：00（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室：9号館404室 メール：kong.eui.sik@law.nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	韓国語ⅢAの科目に関する情報を得ること
	授業内容	オリエンテーションとレベルテスト
	事後学習	オリエンテーションを整理して見ること
2	事前学習	韓国や韓国人に関する著作や雑誌などを読むこと
	授業内容	韓国語と韓国人の行動パターンとの関係を説明する。
	事後学習	韓国語と韓国人の行動パターンに関して整理する。
3	事前学習	1のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	1：初めての出会い （型とおりでない出会いへの対応）
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
4	事前学習	2のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	2：下宿さがし （丁寧な言い方とざんざいな言い方に慣れる。）
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと

5	事前学習	3のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	3 ? : 何食べます? (食事の席での表現に慣れる。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
6	事前学習	4のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	4 : 酒の席で (酒の席での表現に慣れる。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
7	事前学習	5のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	5 : 友達の噂 (容貌、性格についての会話)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
8	事前学習	6のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	6 : 約束 (待ち合わせの表現を学ぶ。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
9	事前学習	7のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	7 : 天気 (天気の話しができる。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
10	事前学習	8のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	8 ? : うまく行ってますか? (授業に関する表現を学ぶ。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
11	事前学習	9のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	9 : 趣味 (趣味についての話しができる。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
12	事前学習	10のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	10 : お出かけ (車、運転関連の表現を学ぶ。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
13	事前学習	11のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	11 : けんか、そして仲直り (喧嘩と仲直りの表現を学ぶ。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
14	事前学習	12のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	12 : 試験 (試験関連の表現を学ぶ。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
15	事前学習	授業に関する感想や問題点などを整理しておくこと
	授業内容	前期授業の総括
	事後学習	話合われた内容を自分なりに整理すること

科目名	韓国語ⅢB	担当者	孔 義植	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日常生活に必要な韓国語の読み・書き・聞き取りを学習する。			
授業目的・到達目標	中級レベルの語彙・表現を習得（単語3000、基本表現300個）して、日常会話ができるようになる。			
履修条件	韓国語ⅠA，韓国語ⅠB，韓国語ⅡA，韓国語ⅡBの学習を終えた人。また、ハングル検定4級以上の合格者。			
授業方法	講義と練習を適宜交互に行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業内テスト：60% 授業参加度：20%、宿題：20%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	白水社	表現のための中級韓国語	中西恭子
	備考			
参考書	李昌圭『韓国語へ旅しよう』朝日出版社、2012年 野間秀樹・キムジナ『VIBA中級韓国語』朝日出版社、205年			
オフィスアワー	月曜日の12時20分～13：00（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室：9号館404室 メール：kong.eui.sik@law.nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	13のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	授業オリエンテーションとレベルテスト 13 ？；いい休暇を過ごされましたか。（近況を話すことができる。）
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
2	事前学習	14のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	14 ：映画を見る （映画に関する表現を学ぶ。）
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
3	事前学習	15のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	15 ：芸能人の噂 （理想のタイプについて話すことができる。）
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
4	事前学習	16のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	16 ：野球観戦 （スポーツ関連の表現を身に付ける。）
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと

5	事前学習	17のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	17 ? : どこへ行く? (目的地を相談する。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
6	事前学習	18のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	18 : ウィンドーショッピング (ショッピングしながらの会話ができる。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
7	事前学習	19のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	19 : これにします。 (ショッピングでの希望を述べ値段の交渉をする。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
8	事前学習	20のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	20 : なんてったってマネー (金銭関連の表現を身に付ける。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
9	事前学習	21のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	21 : コンピュータ (コンピュータ関連の用語を身に付ける。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
10	事前学習	22のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	22 : 飛行機のチケット (交通関連の表現を身に付ける。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
11	事前学習	23のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	23 : 引っ越しの荷物 (電話で事務的な会話を身に付ける。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
12	事前学習	24のCDを20回以上聞くこと
	授業内容	24 : また会おうね。 (別れを惜しむ表現を学ぶ。)
	事後学習	毎回、前回の授業内容に関する小テストを実施するので、復習をしておくこと
13	事前学習	提示する問題集の問題を解くこと
	授業内容	試験対策問題Ⅰ
	事後学習	自分が解いた解答と正解を合わせながら復習をすること
14	事前学習	提示する問題集の問題を解くこと
	授業内容	試験対策問題Ⅱ
	事後学習	自分が解いた解答と正解を合わせながら復習をすること
15	事前学習	授業に関する感想や問題点などを整理しておくこと
	授業内容	試験対策問題Ⅱ
	事後学習	話われた内容を自分なりに整理すること

科目名	ロシア語ⅠA	担当者	加藤 栄一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ロシア語をゼロレベルからスタートする。				
授業目的・到達目標	ロシア語の基本語彙・文法・表現を概説的に学ぶ。言語としてのロシア語学習にとどまらず、ロシアおよびロシア語圏の社会事情や国際関係などへも視野を広げる。辞書を引きつつ大意が把握できるレベルへの到達を目指す。				
履修条件	授業に建設的に参加する態度を持つこと。				
授業方法	教科書に従って文法事項を学び、実例をビデオやプリントで検証します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	期末に授業内試験を実施（30%）課題提出および授業内小テスト（70%）も含めた平常点により判断する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2007	白水社	ニューエクスプレスロシア語		黒田龍之助
	2017	外研刊行会	改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）		加藤栄一
	2015	小学館	プログレッシubroシア語辞典		中澤英彦他
	備考	「改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）」は https://www.dlmarket.jp/products/detail/223725 にて入手し、各自プリントアウトの上持参すること。			
参考書	授業中に指示します。				
オフィスアワー	授業後およびメールにより対応(kato.eiichill@nihon-u.ac.jp)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書類を購入しておくこと、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	使用教材類を確認すること
2	事前学習	「エクスプレス」p.11-14まで目を通すこと
	授業内容	音と文字（1）
	事後学習	アルファベット大文字をすべて覚える
3	事前学習	アルファベットを覚えた後「エクスプレス」p.15-17まで目を通すこと。
	授業内容	音と文字（2）
	事後学習	アルファベット大文字・小文字と日本語のキリル文字転写を覚える
4	事前学習	「エクスプレス」第1課を読むこと。
	授業内容	A=Bの構文。簡単な疑問文とそのイントネーション
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返し返すこと。

5	事前学習	「エクスプレス」第2課を読むこと。
	授業内容	人称代名詞。簡単な否定文とそのイントネーション
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
6	事前学習	「エクスプレス」第3課を読むこと
	授業内容	名詞の性・数。所有代名詞と指示代名詞
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
7	事前学習	「エクスプレス」第4課を読むこと。
	授業内容	形容詞概要
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
8	事前学習	「エクスプレス」第5課を読むこと。
	授業内容	動詞の変化（現在形）I
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
9	事前学習	「エクスプレス」第6課を読むこと
	授業内容	動詞の変化（現在形）II
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
10	事前学習	「エクスプレス」第7課を読むこと
	授業内容	場所の表現（в/на + 前置格），-с я 動詞の現在変化
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
11	事前学習	「エクスプレス」第8課を読むこと
	授業内容	所有の表現
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
12	事前学習	「エクスプレス」第9課を読むこと
	授業内容	名詞の格変化, 直接目的語としての対格の用法
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
13	事前学習	「エクスプレス」第10課を読むこと
	授業内容	「～へゆく」の表現（移動動詞と в/на 対格
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
14	事前学習	「エクスプレス」1－10課に目を通すこと。
	授業内容	1－10課の文法まとめと整理と補足（1）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
15	事前学習	「エクスプレス」1－10課に目を通すこと。
	授業内容	1－10課の文法まとめと整理と補足（2）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。

科目名	ロシア語ⅠB	担当者	加藤 栄一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ロシア語をゼロレベルからスタートする。				
授業目的・到達目標	ロシア語の基本語彙・文法・表現を概説的に学ぶ。言語としてのロシア語学習にとどまらず、ロシアおよびロシア語圏の社会事情や国際関係などへも視野を広げる。辞書を引きつつ大意が把握できるレベルへの到達を目指す。				
履修条件	授業に建設的に参加する態度を持つこと。				
授業方法	教科書に従って文法事項を学び、実例をビデオやプリントで検証します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末に授業内試験を実施（30%）課題提出および授業内小テスト（70%）も含めた平常点により判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	外研刊行会		改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）	加藤栄一
	2015	小学館		プログレッシubroシア語辞典	中澤英彦他
	2007	白水社		ニューエクスプレスロシア語	黒田龍之助
	備考	「改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）」は https://www.dlmarket.jp/products/detail/223725 にて入手し、各自プリントアウトの上持参すること。			
参考書	授業中に指示します。				
オフィスアワー	メールにより対応(kato.eiichi11@nihon-u.ac.jp)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「エクスプレス」第11課に目を通しておくこと
	授業内容	動詞の過去形
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
2	事前学習	「エクスプレス」第12課に目を通しておくこと。
	授業内容	б ы т ь の過去形・所有表現の過去
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
3	事前学習	「エクスプレス」第13課に目を通しておくこと。
	授業内容	動詞の未来。病気の表現。やや不規則な動詞変化（1）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
4	事前学習	[準備] 「エクスプレス」第14課に目を通しておくこと。
	授業内容	生格とその用法（1）やや不規則な動詞変化（2）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。

5	事前学習	「エクスプレス」第14課に目を通しておくこと。
	授業内容	生格とその用法（2）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
6	事前学習	「エクスプレス」第15課に目を通しておくこと。
	授業内容	与格とその用法
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
7	事前学習	「エクスプレス」第16課に目を通しておくこと。
	授業内容	造格とその用法
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
8	事前学習	「エクスプレス」第17課に目を通しておくこと。
	授業内容	人・生物を表す名詞の対格。形容詞と格変化
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
9	事前学習	「エクスプレス」第18課に目を通しておくこと。
	授業内容	動詞の体（完了体と不完了体）（1）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
10	事前学習	「エクスプレス」第18課に目を通しておくこと。
	授業内容	動詞の体（完了体と不完了体）（2）
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
11	事前学習	「エクスプレス」第19課に目を通しておくこと。
	授業内容	完了体と不完了体の未来。禁止の表現
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
12	事前学習	「エクスプレス」第20課に目を通しておくこと。
	授業内容	仮定法
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
13	事前学習	「エクスプレス」第20課に目を通しておくこと。
	授業内容	動詞と接頭辞
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
14	事前学習	「エクスプレス」p. 117に目を通しておくこと。
	授業内容	前置詞と格
	事後学習	テキストの音読と書写を最低3回繰り返すこと。
15	事前学習	「エクスプレス」11-20課を見直すこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	動詞・名詞の不規則変化を復習すること

科目名	ロシア語ⅡA	担当者	加藤 栄一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ロシア語の基礎文法力・語彙力を向上させる。				
授業目的・到達目標	ロシア語Ⅰで概説した文法基礎事項の確実な定着を目指す。不規則な語形に踏み込んだ理解および語彙力の体系的な強化を目標とする。				
履修条件	授業に建設的に参加する態度を持つこと（初学者の単独履修もロシア語Ⅰとの並行履修も大いに歓迎します。）				
授業方法	演習問題を解きつつ、実例をビデオやプリントで検証します。和文露訳の課題については、クラス全体で検討を加えます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題提出および小テストを含めた平常点により判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	外研刊行会		改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）	加藤栄一
	2015	小学館		プログレッシubroシア語辞典	中澤英彦他
	2007	白水社		ニューエクスプレスロシア語	黒田龍之助
	備考	「改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）」は https://www.dlmarket.jp/products/detail/223725 にて入手し、各自プリントアウトの上持参すること。			
参考書	授業中に指示します。				
オフィスアワー	メールにより対応(kato.eiichi11@nihon-u.ac.jp)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	基本問題集」У р о к 0をやっておくこと。
	授業内容	授業で使う語彙、文法用語の概説
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
2	事前学習	「基本問題集」У р о к 1をやっておくこと。
	授業内容	A=Bの構文
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
3	事前学習	「基本問題集」У р о к 2をやっておくこと。
	授業内容	人称代名詞および否定表現
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
4	事前学習	「基本問題集」У р о к 3をやっておくこと。
	授業内容	所有代名詞・指示代名詞の用法
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。

5	事前学習	「基本問題集」У р о к 4 をやっておくこと。
	授業内容	形容詞の主格および名詞の性
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
6	事前学習	「基本問題集」У р о к 5 をやっておくこと。
	授業内容	動詞現在変化（1）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
7	事前学習	「基本問題集」У р о к 6 をやっておくこと。
	授業内容	動詞現在変化（2）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
8	事前学習	「基本問題集」У р о к 7 やっておくこと。
	授業内容	前置格の用法、場所の表現
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
9	事前学習	「基本問題集」У р о к 8 をやっておくこと。
	授業内容	動詞の命令形、所有表現の基礎
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
10	事前学習	「基本問題集」У р о к 9 をやっておくこと。
	授業内容	名詞の格の用法（主格・対格）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
11	事前学習	「基本問題集」У р о к 10 をやっておくこと。
	授業内容	不規則動詞の変化（1）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
12	事前学習	「基本問題集」У р о к 11 をやっておくこと。
	授業内容	動詞の過去（不規則過去をふくむ）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
13	事前学習	「基本問題集」У р о к 12 をやっておくこと。
	授業内容	不規則動詞の現在変化（2）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
14	事前学習	「基本問題集」У р о к 13 をやっておくこと。
	授業内容	未来時制の文章
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
15	事前学習	「基本問題集」У р о к 14 をやっておくこと。
	授業内容	否定生格の用法
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。

科目名	ロシア語ⅡB	担当者	加藤 栄一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ロシア語の基礎文法力・語彙力を向上させる。				
授業目的・到達目標	ロシア語Ⅰで概説した文法基礎事項の確実な定着を目指す。不規則な語形に踏み込んだ理解および語彙力の体系的な強化を目標とする。				
履修条件	授業に建設的に参加する態度を持つこと（初学者の単独履修もロシア語Ⅰとの並行履修も大いに歓迎します。）				
授業方法	演習問題を解きつつ、実例をビデオやプリントで検証します。和文露訳の課題については、クラス全体で検討を加えます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題提出および小テストを含めた平常点により判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	外研刊行会		改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）	加藤栄一
	2015	小学館		プログレッシubroシア語辞典	中澤英彦他
	2007	白水社		ニューエクスプレスロシア語	黒田龍之助
	備考	「改訂ロシア語基本問題集（電子書籍）」は https://www.dlmarket.jp/products/detail/223725 にて入手し、各自プリントアウトの上持参すること。			
参考書	授業中に指示します。				
オフィスアワー	メールにより対応(kato.eiichi11@nihon-u.ac.jp)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「基本問題集」У р о к 15をやっておくこと。
	授業内容	与格の用法
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
2	事前学習	「基本問題集」У р о к 16をやっておくこと。
	授業内容	造格の用法
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
3	事前学習	「基本問題集」У р о к 17をやっておくこと。
	授業内容	対格の用法
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
4	事前学習	「基本問題集」У р о к 18をやっておくこと。
	授業内容	動詞の体（現在時制）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。

5	事前学習	「基本問題集」У р о к 19をやっておくこと。
	授業内容	動詞の体（未来時制）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
6	事前学習	「基本問題集」У р о к 20をやっておくこと。
	授業内容	仮定法の用法
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
7	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-1をやっておくこと。
	授業内容	関係代名詞（1）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
8	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-2をやっておくこと。
	授業内容	関係代名詞（2）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
9	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-3をやっておくこと。
	授業内容	能動形動詞（1）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
10	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-4をやっておくこと。
	授業内容	能動形動詞（2）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
11	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-5をやっておくこと。
	授業内容	被動形動詞（1）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
12	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-6をやっておくこと。
	授業内容	被動形動詞（2）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
13	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-7をやっておくこと。
	授業内容	副分詞
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
14	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-8をやっておくこと。
	授業内容	形容詞の用法（補足）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。
15	事前学習	「基本問題集」У р о к 21-9をやっておくこと。
	授業内容	数詞の用法（補足）
	事後学習	指示された例文を暗唱すること。

IV群

体育实技科目

IV群

体育实技科目

科目名	体育実技 I A	担当者	伊藤 華英	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	様々な競技を体験することと、体力測定などを通して自身の健康や、今後の生活でどのようにスポーツが活かせるかを学ぶこと。スポーツの概念のすること、見ること、支えること自身で考える授業。また普段の生活習慣や、運動習慣の現状知る機会にする。スポーツを通して、コミュニティの構築する機会にする。				
授業目的・到達目標	勉学に励む学生たちの、心身ともに健康な学生生活に運動やスポーツの役割は多い。スポーツを楽しむ人生を豊かに、コミュニケーション能力の向上にも運動やスポーツは一助になる。スマートフォンや、パソコンの生活から少し離れる時間も、心身を健康に保つ1つの要因になる。この授業では、自身の身体や心への興味をもつこと。心身の健康が、人生に大いなる意味を持つことを様々な知見を深め体験し、社会性を養うことを目的とする。年を通して、基礎体力を向上する。また、心身の健康のために、知見を深める。生活の中で、運動、スポーツを習慣になることを習得する。				
履修条件	受講者は室内用運動靴（紐靴）、運動着（トレーニングウェア、ヨガウェア等、動き易い格好）、必要であれば水分、タオル。※1回目は不要。				
授業方法	授業開始時に出席確認、実施内容の説明。※授業内容は変更する場合あり。 授業開始時にはと終了時に、ストレッチなど、準備運動を取り入れる。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度60%、平常点20%（授業態度、意欲的であるか）、レポート20%（レポート課題 最終授業で課題あり）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	資料を配布することもある。				
オフィスアワー	金曜日、4限終了後30分。体育教員室にて受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	クリアファイル持参，事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業目的・方法、評価方法など、注意事項の説明
	事後学習	次の体力測定の内容を確認
2	事前学習	基本的な日本の体力測定の平均を調べる
	授業内容	身体チェック（体力測定）
	事後学習	自身がどのような結果であったのかを考える
3	事前学習	ストレッチの効果を自身で考える。または、調べる。
	授業内容	柔軟性を高めるトレーニング （ストレッチ、体幹トレーニング等）
	事後学習	ストレッチの重要性をフィードバックする
4	事前学習	マシンを使用したトレーニング効果を調べる。
	授業内容	体力向上トレーニングの説明と実践 （マシンの使用の仕方や、今後の計画）
	事後学習	自身の授業内での計画をする

5	事前学習	今後の授業内のトレーニングを考える。授業中に提出。レポート用紙配布。
	授業内容	ピラティスを取り入れたエクササイズ、前授業で学んだことの復習（呼吸法や、軸を感じる）
	事後学習	感想をレポート用紙に記載。
6	事前学習	ピラティスについて調べ提出。
	授業内容	授業内で計画したトレーニングの実践。（体幹トレーニング）
	事後学習	感想を次回授業でレポートで提出。
7	事前学習	フットサルのルールを調べ、レポートで提出。
	授業内容	フットサル トレーニング（バランスボールやチューブを用いたトレーニング）
	事後学習	トレーニングの感想または、フットサルの感想
8	事前学習	フットサルのレポートを提出。
	授業内容	フットサル トレーニング（自身で考えたトレーニング）
	事後学習	トレーニングの課題、感想レポート提出。
9	事前学習	ホッケーのルールと、楽しさや概要をレポート。
	授業内容	ホッケー（ルール説明、実践） トレーニング
	事後学習	授業の感想を提出。
10	事前学習	9回目講義と同様。
	授業内容	ホッケー（ルール説明、実践） トレーニング
	事後学習	9回目授業と同様。
11	事前学習	ソフトテニスのルールレポート。
	授業内容	ソフトテニス（ルール説明、実践） ストレッチボールEX（説明と実践）
	事後学習	授業の感想レポート。
12	事前学習	11回目と同様。
	授業内容	ソフトテニス（ルール説明、実践） ストレッチボールEX（説明と実践）
	事後学習	11回目と同様。
13	事前学習	ドッジボールのルールを調べてくる。
	授業内容	ドッジボール（ルール説明、実践） トレーニング（自身の計画に基づいた）
	事後学習	授業の感想。
14	事前学習	13回目と同様
	授業内容	ドッジボール（ルール説明、実践） トレーニング（自身の計画に基づいた）
	事後学習	13回目と同様。また、前期最終授業日にレポート提出の準備。
15	事前学習	トレーニングの成果をまとめる。
	授業内容	まとめ （フィットネスチェック等）
	事後学習	夏休みのトレーニングの計画提出。

科目名	体育実技 I A	担当者	岩本 良裕	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	健康を支えているものは、栄養、運動、休養、ストレス管理という柱です。日常生活の中で、これらを上手にバランスよく保っていくことによって健康は維持されています。現代人にとって、特に不足がちとなる運動は、健康の維持増進に極めて重要な役割を果たしています。本授業では、その運動を日常生活に無理なく取り入れていく方法について解説し、そして実践することによって、運動を習慣化し、健康な生活を自ら作り上げていくことをねらいとします。				
授業目的・到達目標	運動やスポーツがあまり得意でない人向けに、手軽にできるトレーニングを行い、健康の維持増進と体力をつけることをねらいとします。エアロバイクやランニングマシンで、有酸素的トレーニングを行い呼吸循環器系を鍛え、また一人で簡単にできる筋トレやマシンを使ったトレーニングを行って筋力系を鍛えて、少しずつシェーブアップを図ります。無理なく自分のペースで進めていきます。将来にわたってスマートな身体を保ちたいという人には最適です。運動不足を解消し、健康な生活が送れるように、基礎的な体力の向上を目指します。トレーニング目標を設定し、それに向かって計画的に進めていきます。運動が日常的に行えるようになります。				
履修条件	実技の授業であるので、トレーニングウェアとトレーニングシューズが必要です。運動終了後シャワーが利用できます。				
授業方法	毎回トレーニングメニューに従い、自分のペースでトレーニングを進めます。エアロバイクやランニングマシンでトレーニングを行う際には、ウォークマン等を使用しても構いません。水分摂取も適宜行ってください。 内容によっては多目的コートを使用することもあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（５０％）、目標到達度（３０％）、学習態度（２０％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業時に紹介する。				
オフィスアワー	毎週金曜日4時限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	毎授業時に、筋力（握力・背筋力）、体脂肪等の測定を行います。記録をまとめること。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業は週一回なので、トレーニング効果を高めるためには、授業日以外に週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
2	事前学習	前回の記録をまとめること。
	授業内容	トレーニングの原則、体力測定、体脂肪測定
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
3	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップの方法 ストレッチング
	事後学習	週2回3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
4	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 1 エアロビックトレーニング(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。

5	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 2 エアロビックトレーニング(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
6	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 3 エアロビックトレーニング(3)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
7	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 4 体幹部強化メニュー(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
8	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 5 体幹部強化メニュー(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
9	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 6 体幹部強化メニュー(3)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
10	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 7 下肢筋力強化メニュー(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
11	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 8 下肢筋力強化メニュー(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
12	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 9 上肢筋力強化メニュー(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
13	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 10 上肢筋力強化メニュー(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
14	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	シェーブアップトレーニング 11 体力測定、体脂肪測定
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
15	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。

科目名	体育実技 I A(水曜3・4時限)	担当者	公文 暉巴	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現在大学生の体力の低下が進んでいる。体力低下によって生涯への影響が懸念される。その為、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の保持・増進の為の基礎知識の習得や態度を講義・スポーツ・トレーニングを通じて育成する。				
授業目的・到達目標	体育での身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、健康（栄養・運動・休養）の保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚させたい。各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指すことを目的とする。1) 自己の体力レベルを把握し体力を向上する方法を確立する 2) 生涯にわたる運動習慣を獲得し心身の健康維持を図る 3) 実社会において活躍する上で重要であると考えられる他者とのコミュニケートを通してリーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける				
履修条件	受講時は、必ず運動着と室内用運動靴を着用すること。健康管理に留意し、遅刻をしないように出席のこと。				
授業方法	個人の体力カード、プリント資料を用い、授業を展開する。進捗状況により授業内容の変更もある。内容によっては「多目的コート」を使用することがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業中の活動に対する参画状況60%、授業に対する姿勢、理解と達成度20%、トレーニングの記録やまとめのレポート内容20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず、授業時に体力カード資料を配布する			
参考書	必要、希望に応じて紹介する				
オフィスアワー	水曜日は4時限終了後16:10～ 土曜日は2限終了後12:10～の時間帯にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を理解し遅刻をしないように出席すること
	授業内容	年間の授業展開、履修上の留意点及び評価方法などのガイダンス、履修カードの作成
	事後学習	次週の授業の為の運動着や提出物の準備・睡眠を取り体調を整えること
2	事前学習	提出物の作成と体力の要素について情報を得ること
	授業内容	体力カード、プリントの配布、身体ほぐし、各種トレーニング器具使用方法の説明と実践
	事後学習	配布されたプリント資料よりストレッチ方法を理解し実践に移すこと
3	事前学習	日常生活の中でストレッチを15～30分行い習慣とすること
	授業内容	ストレッチ、健医チェック、ボール運動
	事後学習	体組成の測定データより筋肉量、体水分量、骨量等の項目をチェックすること
4	事前学習	簡単な体幹トレーニングを心がけて実践すること
	授業内容	ストレッチ、ボール運動、簡単な体力チェック
	事後学習	現在の体力レベルをチェックして向上の為のトレーニング方法を計画すること

5	事前学習	筋力測定のための準備と食生活を日々チェックすること
	授業内容	最大筋力測定、卓球の基礎技術
	事後学習	測定結果を認知しトレーニング種目を構築すること
6	事前学習	有酸素運動の知識を得て適切な方法を考える、平常時の心拍数をチェックすること、卓球のゲーム方法とルールを調べること
	授業内容	前回に続き最大筋力測定、エアロバイク・エアロクライムの使用方法と実践、卓球（ゲームとルール）
	事後学習	エアロバイク・エアロクライムに於けるトレーニングを理解し、トレーニング方法を組み立てること、ゲーム結果より次回の勝利に向けてゲーム展開を整理すること
7	事前学習	筋力トレーニング種目を測定結果より5～6種目選択しメニューを作成すること、シングルスゲームの戦術を工夫すること
	授業内容	筋力トレーニングの説明と実践、卓球（シングルスゲーム）
	事後学習	実施した結果より再度メニューを検討すること、シングルスゲームで対戦した相手とコミュニケーションを取り健闘を讃える
8	事前学習	確実なトレーニングのための方法と内容を計画すること、ダブルスゲーム方法とルールを調べること
	授業内容	個々の体力に合わせたトレーニングのプログラム作成と実践、卓球（ダブルスゲーム）
	事後学習	適切なプログラム構成か確認し修正すること、ダブルスゲームのペアに感謝し次回の種目に生かすこと
9	事前学習	スムーズにトレーニングを展開する為に更にストレッチを実施すること、バドミントンの技術を調べること
	授業内容	体力診断、トレーニング、ミニバドミントン
	事後学習	効率の良いトレーニングを実施する為種目の序列を再チェック、バドミントンの技術をゲームに生かす為のイメージトレーニングをすること
10	事前学習	トレーニングの負荷量や運動量について更にチェックしメニューを増やし次に生かすこと、バドミントンのダブルスゲームのルールを調べること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ミニバドミントン
	事後学習	エアロバイクやエアロクライムに於けるカロリー消費率を記録し効果をチェックすること、バドミントンのゲーム展開を認識し次回のゲームに生かすこと
11	事前学習	筋力量を増やす為の食生活をチェックしバランスの良い食事を取り、体幹トレーニングを怠らないこと、フットサルのルールや技術を調べること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フットサル
	事後学習	体力カードをチェックし正確な記録とフットサルでチームのコミュニケートとリーダーシップを取り、満足なゲーム展開が出来たか確認すること
12	事前学習	筋力測定に向けて確立したトレーニングを再度チェックすること、フットサルでのボールコントロールについて考えること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フットサル
	事後学習	刺激を感じられるトレーニングであったか考え、残りのトレーニングに生かす、フットサルのゲームでのポジションが適切であったか考えること
13	事前学習	前期のトレーニング結果をまとめ後期に継続されるよう取り組むこと
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ユニホッケー
	事後学習	トレーニングの結果より記録をまとめレポートに生かせること、ユニホッケーのスティック操作がスムーズに出来、パスワークは満足出来たか確認すること
14	事前学習	最大筋力測定の手順と結果の処理について確認すること、ダーツについての技術やゲーム方法を調べること
	授業内容	最大筋力測定、ダーツ
	事後学習	正確に測定し結果より効果のあるトレーニング内容か確認すること、ダーツの得点結果を見直し次回に生かすこと
15	事前学習	前期のまとめのレポート作成の資料をチェックし構想を練ること
	授業内容	前期のまとめ、レポート、健医チェック、質疑応答
	事後学習	積極的に参加し健康や体力の重要性を理解し、後期に向けて更に進歩したトレーニングを目指すこと

科目名	体育実技 I A(土曜1・2時限)	担当者	公文 暉巴	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現在大学生の体力の低下が進んでいる。体力低下によって生涯への影響が懸念される。その為、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の保持・増進の為の基礎知識の習得や態度を講義・スポーツ・トレーニングを通じて育成する。			
授業目的・到達目標	体育での身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、健康（栄養・運動・休養）の保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚させたい。各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指すことを目的とする。1) 自己の体力レベルを把握し体力を向上する方法を確立する 2) 生涯にわたる運動習慣を獲得し心身の健康維持を図る 3) 実社会において活躍する上で重要であると考えられる他者とのコミュニケートを通してリーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける			
履修条件	運動やスポーツが不得意な人を優先とする。受講時は運動着と室内用運動靴を着用すること。			
授業方法	個人の体力カード、プリント資料を用い、授業を展開する。進捗状況により授業内容の変更もある。内容によっては多目的コートを使用することもある。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業中の活動に対する参画状況60%、授業に対する姿勢、理解と達成度20%、トレーニングの記録やまとめのレポート内容20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず、授業時に体力カード資料を配布する		
参考書	必要、希望に応じて紹介する			
オフィスアワー	水曜日は4時限終了後16:10～ 土曜日は2限終了後12:10～の時間帯にて対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を理解し遅刻をしないように出席すること
	授業内容	年間の授業展開、履修上の留意点及び評価方法などのガイダンス、履修カードの作成
	事後学習	次週の授業の為の運動着や提出物の準備・睡眠を取り体調を整えること
2	事前学習	提出物の作成と体力の要素について情報を得ること
	授業内容	体力カード、プリントの配布、身体ほぐし、各種トレーニング器具使用方法の説明と実践
	事後学習	配布されたプリント資料よりストレッチ方法を理解し実践に移すこと
3	事前学習	日常生活の中でストレッチを15～30分行い習慣とすること
	授業内容	ストレッチ、健医チェック、ボール運動
	事後学習	体組成の測定データより筋肉量、体水分量、骨量等の項目をチェックすること
4	事前学習	簡単な体幹トレーニングを心がけて実践すること
	授業内容	ストレッチ、ボール運動、簡単な体力チェック
	事後学習	現在の体力レベルをチェックして向上の為のトレーニング方法を計画すること

5	事前学習	筋力測定のための準備と食生活を日々チェックすること
	授業内容	最大筋力測定、卓球の基礎技術
	事後学習	測定結果を認知しトレーニング種目を構築すること
6	事前学習	有酸素運動の知識を得て適切な方法を考える、平常時の心拍数をチェックすること、卓球のゲーム方法とルールを調べること
	授業内容	前回に続き最大筋力測定、エアロバイク・エアロクライムの使用方法と実践、卓球（ゲームとルール）
	事後学習	エアロバイク・エアロクライムに於けるトレーニングを理解し、トレーニング方法を組み立てること、ゲーム結果より次回の勝利に向けてゲーム展開を整理すること
7	事前学習	筋力トレーニング種目を測定結果より5～6種目選択しメニューを作成すること、シングルスゲームの戦術を工夫すること
	授業内容	筋力トレーニングの説明と実践、卓球（シングルスゲーム）
	事後学習	実施した結果より再度メニューを検討すること、シングルスゲームで対戦した相手とコミュニケーションを取り健闘を讃える
8	事前学習	確実なトレーニングのための方法と内容を計画すること、ダブルスゲーム方法とルールを調べること
	授業内容	個々の体力に合わせたトレーニングのプログラム作成と実践、卓球（ダブルスゲーム）
	事後学習	適切なプログラム構成か確認し修正すること、ダブルスゲームのペアに感謝し次回の種目に生かすこと
9	事前学習	スムーズにトレーニングを展開する為に更にストレッチを実施すること、バドミントンの技術を調べること
	授業内容	体力診断、トレーニング、ミニバドミントン
	事後学習	効率の良いトレーニングを実施する為種目の序列を再チェック、バドミントンの技術をゲームに生かす為のイメージトレーニングをすること
10	事前学習	トレーニングの負荷量や運動量について更にチェックしメニューを増やし次に生かすこと、バドミントンのダブルスゲームのルールを調べること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ミニバドミントン
	事後学習	エアロバイクやエアロクライムに於けるカロリー消費率を記録し効果をチェックすること、バドミントンのゲーム展開を認識し次回のゲームに生かすこと
11	事前学習	筋力量を増やす為の食生活をチェックしバランスの良い食事を取り、体幹トレーニングを怠らないこと、フットサルのルールや技術を調べること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フットサル
	事後学習	体力カードをチェックし正確な記録とフットサルでチームのコミュニケートとリーダーシップを取り、満足なゲーム展開が出来たか確認すること
12	事前学習	筋力測定に向けて確立したトレーニングを再度チェックすること、フットサルでのボールコントロールについて考えること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フットサル
	事後学習	刺激を感じられるトレーニングであったか考え、残りのトレーニングに生かす、フットサルのゲームでのポジションが適切であったか考えること
13	事前学習	前期のトレーニング結果をまとめ後期に継続されるよう取り組むこと
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ユニホッケー
	事後学習	トレーニングの結果より記録をまとめレポートに生かせること、ユニホッケーのスティック操作がスムーズに出来、パスワークは満足出来たか確認すること
14	事前学習	最大筋力測定の手順と結果の処理について確認すること、ダーツについての技術やゲーム方法を調べること
	授業内容	最大筋力測定、ダーツ（ハイスコア・ゼロワン）
	事後学習	正確に測定し結果より効果のあるトレーニング内容か確認すること、ダーツの得点結果を見直し次回に生かすこと
15	事前学習	前期のまとめのレポート作成の資料をチェックし構想を練ること
	授業内容	前期のまとめ、レポート、健医チェック、質疑応答
	事後学習	積極的に参加し健康や体力の重要性を理解し、後期に向けて更に進歩したトレーニングを目指すこと

科目名	体育実技 I A	担当者	佐藤 秀明	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	心身ともに健康な学生生活を送ることはもちろんであるが、その後の人生において充実した時間を持てるかは学生時代の健康に関する認識と運動習慣、そしてコミュニケーションスキルの獲得が大きく影響する。体育実技IAでは、それらの獲得を目的とする授業を展開する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】この授業では、身体運動やスポーツの実践を通じて健康及び体力の向上を図るとともに、他者との交流を通じてコミュニケーション力をはじめとする社会性を養うことを目的とする。 【到達目標】健康で活力ある生活を営むために、身体運動やスポーツ活動を通じて運動習慣と実践する態度、コミュニケーション力を身につける。生涯スポーツへの準備をする。			
履修条件	屋外及び室内用運動靴（紐靴）、運動着（トレーニングウェア等）、タオル等を準備すること。授業は、2号館体育場及びトレーニングルーム、屋外多目的施設を使用する。※第1回目は準備不要（履修カードに貼り付ける写真を準備）			
授業方法	授業開始時に出席確認及び実施内容の説明をする。授業開始・終了時に、傷害予防のためウォーミングアップとクールダウンを行う。半期の前半は健康や体力の増進を目的とする様々な運動を実践し、後半はスポーツを行う。			
成績評価	種別		割合	
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	
教科書	年		出版社	
			書名	
			著者名	
	備考		なし	
参考書	必要に応じてプリントを配付する。			
オフィスアワー	火曜日 16：30～18：00、木曜日 12：10～13：00 ※事前に連絡をしてください。 e-mail satou.hideaki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業概要、授業目的、到達目標、授業方法を確認する。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の目的・方法、評価方法、受講時の注意、授業計画の説明等
	事後学習	ガイダンスの内容を再度確認する。
2	事前学習	フィットネス測定種目を確認する（握力、反復横跳び、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳、閉眼片足立ち） 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【フィットネスチェック】 フィットネスチェック（握力、反復横跳び、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳、閉眼片足立ち）
	事後学習	フィットネスチェックの結果を踏まえて、体力及び健康の維持増進に向けた目標を立てる。 また、日常生活においてフィジカルアクティビティを積極的に取り入れる。
3	事前学習	体力要素の一つである「柔軟性」とは何かを調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【柔軟性を高めるエクササイズ】 身体ほぐし運動（セルフ・ペアストレッチ）、ストレッチ用具を用いて行う。
	事後学習	実施した種目を振り返り、積極的に実施する。
4	事前学習	等張性筋収縮について調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【自重トレーニングを知る】 クイック&スロー、スタビラゼーショントレーニングを行う。
	事後学習	実施した種目を振り返り、積極的に実施する。

5	事前学習	体力要素の一つである「敏捷性」とは何かを調べる。 週3回程度は30分以上の連続歩行を実施すること。 柔軟性を高めるため、ストレッチ運動などを実施すること。
	授業内容	【敏捷性（アジリティ）を高める】 ラダーなどを用いて行う。
	事後学習	実施した種目を振り返り、積極的に実施する。
6	事前学習	「竹馬」の乗り方について調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【平衡性（バランス）を高める】 平衡性を必要とする用具を用いて行う。
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
7	事前学習	サーキットトレーニングについて調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【サーキットトレーニングを知る】 筋力と持久力を同時に向上させるサーキットトレーニングの有効性と、トレーニングプログラム作成の考え方など
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
8	事前学習	既習の回転運動について、自宅で可能な範囲で行う。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【身体感覚の再考】 マット運動による回転動作を行う。自己の身体感覚とそれを言語化して他者に伝える。
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。 ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
9	事前学習	ダブルダッチについて調べる。その際、 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ロープスポーツ①】 ダブルダッチを行う。※屋外多目的施設で実施
	事後学習	スポーツの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。 グループを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
10	事前学習	30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ロープスポーツ②】 ダブルダッチを行う。技能チェックを実施する。※屋外多目的施設で実施
	事後学習	スポーツの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。 グループを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
11	事前学習	30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ボールゲーム】 少人数あるいは多人数のゲームを行う。※屋外多目的施設で実施
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
12	事前学習	ヨガの種類、方法、効用等について調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ヨーガ】 呼吸法、基本動作（太陽礼拝）
	事後学習	再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。
13	事前学習	ウェイトトレーニングのRM法を調べる。トレーニングの原理・原則を調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【マシンを使ったトレーニング①】 適切な負荷の設定を学ぶ（オーバーロードなど）
	事後学習	目的に応じた適切な負荷の設定方法について復習する。
14	事前学習	「超回復理論」と「フィットネス・疲労理論」について調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【マシンを使ったトレーニング②】 プログラムの作成と実施
	事後学習	作成したプログラムの良い点・課題点をまとめる。 学びを生かし様々なプログラムの作成を試みる。
15	事前学習	半期の振り返りを行う
	授業内容	【まとめ】 フィットネスチェック、授業の振り返り、講評
	事後学習	半期の振り返りを行い、運動・スポーツ実施の有効性について理解を深める。 また、各自の目標達成のために必要不可欠な体力及び健康の維持増進に向けた目標を立てる。

科目名	体育実技 I A	担当者	塩嶋 理恵	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	スポーツを通じて体力の向上、人とのコミュニケーション能力を高める。 また、生涯スポーツとしての習慣を身につける。				
授業目的・到達目標	①体力の向上 ②個々に応じた各種目のスキルアップを目指す				
履修条件	受講時は運動に適した服装（ジャージ等）、室内用シューズを必ず準備すること。				
授業方法	施設・人数等に応じて、各種運動と器具トレーニングを並行して展開していく。 出席人数状況で授業内容を変更する場合もある。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	積極的な授業への参加状況を重視（70%） 随時レポート課題、卓球実技試験を課す（30%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	必要に応じてプリント等を配布する。 DVDなども参考資料として活用する。				
オフィス アワー	授業の前後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容等の把握、シラバス参照
	授業内容	年間授業計画、評価の方法に関するガイダンス
	事後学習	体育実技にふさわしい服装の準備すること
2	事前学習	体育実技にふさわしい服装の準備すること
	授業内容	各施設使用方法説明 体力チェックテスト（1）
	事後学習	体力チェックテスト（2）に対応できるよう復習しておくこと
3	事前学習	体操にふさわしい服装の準備すること
	授業内容	ゆがみ修正体操
	事後学習	ゆがみ修正体操 ストレッチング
4	事前学習	卓球のフォア・バックの予習
	授業内容	卓球 シングルス （基本練習①、フォア・バック） 器具トレーニング
	事後学習	卓球のフォア・バックの復習

5	事前学習	卓球のフォア・バックの予習
	授業内容	卓球 シングルス (基本練習②、フォア・バック) 器具トレーニング
	事後学習	卓球のフォア・バックの復習
6	事前学習	卓球のサーブの予習
	授業内容	卓球 シングルス (基本練習、サーブ) 器具トレーニング
	事後学習	卓球のサーブの復習
7	事前学習	卓球のサーブとレシーブの予習
	授業内容	卓球 シングルス (基本練習、サーブとレシーブ) 器具トレーニング
	事後学習	卓球のサーブとレシーブの復習
8	事前学習	卓球シングルのゲームとルールの予習
	授業内容	卓球 シングルス (ゲームとルールの説明) 器具トレーニング
	事後学習	卓球シングルのゲームとルールの復習
9	事前学習	卓球シングルのルールとマナーの予習
	授業内容	卓球 シングルス (リーグ戦①) 器具トレーニング
	事後学習	卓球シングルのルールとマナーの復習
10	事前学習	卓球シングルのルールとマナーの予習
	授業内容	卓球 シングルス (リーグ戦②) 器具トレーニング
	事後学習	卓球シングルのルールとマナーの復習
11	事前学習	卓球ダブルスのルールとマナーの予習
	授業内容	卓球 ダブルス (リーグ戦①) 器具トレーニング
	事後学習	卓球ダブルスのルールとマナーの復習
12	事前学習	卓球ダブルスのルールとマナーの予習
	授業内容	卓球 ダブルス (リーグ戦②) 器具トレーニング
	事後学習	卓球ダブルスのルールとマナーの復習
13	事前学習	卓球ダブルスのルールとマナーの予習
	授業内容	卓球 ダブルス (リーグ戦③) 器具トレーニング
	事後学習	卓球ダブルスのルールとマナーの復習
14	事前学習	ダーツなど軽スポーツ 予習
	授業内容	器具トレーニング ダーツなど軽スポーツ各種
	事後学習	ダーツなど軽スポーツ 復習
15	事前学習	フットサルなど軽スポーツ 予習
	授業内容	器具トレーニング フットサルなど軽スポーツ各種
	事後学習	フットサルなど軽スポーツ 復習

科目名	体育実技 I A	担当者	白土 男女幸	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	生涯を通して健康で豊かな生活を送るためには健康寿命を延伸することが重要です。そのためには、筋量や筋力および心肺機能の保持増進のためトレーニングを自ら実践する必要があります。この授業では、筋力および持久力トレーニングを中心に引き上げ、その科学的方法を解説した上で様々なトレーニングを実践します。また、グループ実践の中で、学生同士のコミュニケーションの促進をはじめ、個人のリーダーシップや協働力の涵養を目指します。					
授業目的・到達目標	自らの行動体力を客観的に把握したうえで、様々なトレーニング科学的手法やその効果を理解し、自ら実践できる能力を身につけることを目的とする。また、体力の向上をはじめ、他者とのコミュニケーション能力やリーダーシップおよび協働能力などの社会性を向上させることも目的とする。 様々なトレーニング手法や効果について学習し、それにもとづき生涯トレーニングを自ら実践することができるようになる。					
履修条件	運動をするうえで健康上の問題がないこと（不安のある学生は第1回目のオリエンテーション時に相談してください）。また、各種トレーニングに対し積極的に取り組む意欲のある学生の履修を期待します。					
授業方法	水道橋キャンパスの体育施設を使用して実施する実技科目です。主に全体指導、必要に応じてグループワークも実施します。また事後学習として、トレーニング記録や自己省察を目的とした授業省察ノートの作成をしてもらいます。内容によっては多目的コートを使用することがあります。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度60%、平常点40%（レポート15%、授業省察ノート15%、受講態度10%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	基本的には授業前後の時間のみ。どうしても時間が作れない場合は授業実施期間の水曜日19：30以降に対応（要事前相談）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本授業のシラバスを事前に一読しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション（授業概要等の説明、アイスブレイキングの実施、＊着替えは不要）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
2	事前学習	体力要素や体力測定方法について予習しておくこと（文部科学省HP_新体力テスト実施要項を参照）。また、ストレッチや軽いジョギングや筋力トレーニングなどで身体を慣らしておくこと。
	授業内容	体力測定①（握力、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし、体前屈）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
3	事前学習	全身持久力測定のため、軽いジョギングなどで心肺機能に軽い負荷を与えておくこと。
	授業内容	体力測定②（踏み台昇降、各体力要素の評価）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
4	事前学習	筋力トレーニングについて基本的な方法や健康効果について調べておくこと。
	授業内容	トレーニングマシンによる筋力トレーニングの実践①（筋力トレーニングの方法と健康効果の解説、各種マシンの使用方法とフォームの解説、至適強度の設定）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。

5	事前学習	第4回目の配布資料を再読しておくこと。
	授業内容	トレーニングマシンによる筋力トレーニングの実践②（至適強度による筋力トレーニングの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
6	事前学習	スロートレーニング（スロトレ）について調べておくこと。
	授業内容	自重負荷による筋力トレーニングの実践（自らの体重を負荷にして様々な筋力トレーニングを実践する ～スロートレーニングを中心に～）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
7	事前学習	持久力トレーニングの健康効果について調べえておくこと。
	授業内容	持久力トレーニングの解説と実践（心拍数による運動強度の確認方法とその健康効果の解説、運動と心拍数の関係を軽い運動を実践しながら体感してみる）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
8	事前学習	インターバル速歩およびTABATAメソッドについて調べておくこと。
	授業内容	持久力トレーニングの実践（心拍数を確認しながらインターバル速歩およびTABATAメソッドの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
9	事前学習	エアロビクスの健康効果やステップについて調べておくこと。
	授業内容	エアロビクスの解説と実践（歴史と効果の解説、基本的なリズムとステップの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
10	事前学習	第9回で紹介したステップを練習しておくこと。
	授業内容	エアロビクスの実践（基本ステップで構成したベーシックエアロビクスの実践 ～心拍数を確認しながら実践する～）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
11	事前学習	ストレッチングについて調べておくこと。
	授業内容	ストレッチングの解説と実践（種類と効果の解説、個人およびペアでストレッチングの実践～静的および動的ストレッチから簡易PNFまで～）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
12	事前学習	ヨガの歴史や健康効果について調べておくこと。
	授業内容	ヨガの解説と実践①（ヨガの歴史や効果の解説、太陽礼拝の実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
13	事前学習	太陽礼拝のルーティンを実践しておくこと。
	授業内容	ヨガの実践②（呼吸と自分の身体に意識を向けて太陽礼拝、各種ポーズの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
14	事前学習	太陽礼拝のルーティンを実践しておくこと。
	授業内容	ヨガの実践③（太陽礼拝、各種ポーズの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
15	事前学習	これまでの授業を振り返り、授業省察ノートの「全体の感想」について記述しておくこと。
	授業内容	レポートおよび授業省察ノートの提出、全体のまとめ
	事後学習	今後の健康保持増進のためのトレーニング計画を再考すること。

科目名	体育実技 I A	担当者	鈴木 由美	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「健康」「体力」に関する知識を理解し、目的に応じた運動の方法（筋力トレーニング及び有酸素運動の方法）の計画、実践、評価を習得する。				
授業目的・到達目標	運動・食・休養など生活全般にわたるトータルな視点から「健康」「身体作り」についての理解を深める。各種エクササイズやスポーツを実践することによって、自らの目的に応じた運動をプログラムし実践できるようになる。				
履修条件	運動実践に備え、体調管理をしておくこと。 運動に適した服装（トレーニングウェア、シューズ）を必ず着用すること。				
授業方法	配布資料をもとに「身体づくり」について理論学習しながら、2号館体育場及び多目的コートにて様々なエクササイズやニュースポーツを実践する。身体組成の計測により、自分に必要な身体づくりや調整方法をわかりやすく学習する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度、課題への積極的参加度・習熟度、授業記録ノート等を総合的に評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	学習テーマに応じた資料を配布する			
参考書	必要に応じ紹介				
オフィスアワー	金曜日　8：30～12：30　2号館B1教員控室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み学習の目的・内容について理解しておく
	授業内容	前期ガイダンス（授業方法・内容についての説明）
	事後学習	授業記録の準備
2	事前学習	「健康」の概念・3要素について調べておく
	授業内容	体力測定&仲間づくりのゲーム ○健康の概念と3要素 ※ストレッチング（以降、毎回実施）
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
3	事前学習	筋力トレーニングの種類・方法について調べておくこと
	授業内容	マシントレーニング Max測定（間接法）① ○筋コンディショニングとは？
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
4	事前学習	前回学習を参考に自分のトレーニングの目的を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング Max測定（間接法）② ○トレーニング理論①
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく

5	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	エアロビックダンス（導入） ○トレーニング理論②
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
6	事前学習	「有酸素運動」について調べておくこと
	授業内容	エアロビックダンス①（リニアで動くローインパクト） 筋コンディショニング①（自重）
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
7	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	エアロビックダンス②（コンビネーションで動くローインパクト） 筋コンディショニング②（自重）
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
8	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	ステップエアロビクス①（踏み台を利用して音楽に合わせて動く有酸素運動） 筋コンディショニング③（自重）
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
9	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	ステップエアロビクス②（踏み台を利用して音楽に合わせて動く有酸素運動） 筋コンディショニング④（自重）
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
10	事前学習	ユニバーサルホッケー関連の動画を見てルールやゲームのイメージを掴んでおくこと
	授業内容	ユニバーサルホッケー① 筋コンディショニング⑤
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
11	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	ユニバーサルホッケー② 筋コンディショニング⑥
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
12	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	ユニバーサルホッケー② 筋コンディショニング⑦
	事後学習	配布した資料をもとに取り扱った内容を復習しておく
13	事前学習	各種ヨガの動画を見てイメージを掴んでおく ヨガの発祥について調べておく
	授業内容	ヨガ①（ヨガとは？呼吸とポーズ）
	事後学習	授業で扱った授業で扱ったヨガのポーズを復習しておく
14	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確化しておく
	授業内容	ヨガ②（パワーヨガ） 「準備」前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	事後学習	授業で扱った授業で扱ったヨガのポーズを復習しておく
15	事前学習	これまで取り扱った各種エクササイズについて、目的に応じて効果的に行うポイントを整理しておく
	授業内容	前期実施した各エクササイズのまとめ
	事後学習	前期扱った資料をもとに復習しておく

科目名	体育実技 I A	担当者	高田 佑輔	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	健康で充実した大学生活を送るためにも、普段から意識的に身体活動を行うなど心身の健康づくりが必要になる。この授業では運動やスポーツを通じて健康維持や増進を図ることと、コミュニケーション力を養うことを実践し学習する。生涯スポーツに繋がる一助になるよう、様々なスポーツに取り組む。 授業は多目的コート（3号館跡地の屋外コート）で行う場合もある。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 運動やスポーツの実践を通じて体を動かすことと健康の重要性を理解し、日常生活に運動を取り入れられるようにする。また、ルールやマナーの遵守、仲間とコミュニケーションをとるといった社会性を身につけることを目的とする。 【到達目標】 運動の重要性を理解するとともに、運動を実践することによる基礎体力の向上を目指す。				
履修条件	室内用運動靴、動きやすいジャージ等の運動着やタオルを用意すること。飲み物は蓋付きのものにすること。 自他の怪我や事故を防ぐためにもアクセサリ類はすべて外し、爪の手入れをしておくこと。				
授業方法	実技形式。授業開始時に出欠確認とその日に実施する内容の説明をする。 当日の出席者数やそれまでの実施状況、または天候によって授業内容を変更する場合もある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	積極的な授業参画度，レポート課題や各自の努力度などを鑑みて総合的に評価します。 用具の準備や片付け，提出物や服装も評価対象です。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じて配布資料を用意します。			
参考書	必要に応じて配布資料を用意します。				
オフィスアワー	授業の前後に対応しますが、事前にポータルサイト等を用いて連絡をしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、質問をまとめておく
	授業内容	ガイダンス（この授業の進め方（ルール）などの説明） ※集合は2号館地下202教場、更衣は不要
	事後学習	ポータルサイトで授業ルールの確認テスト 授業に必要なものを準備する
2	事前学習	ポータルサイト上の資料を読み、体力測定の方法を知る
	授業内容	体力測定1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
3	事前学習	今までに体験したストレッチを確認しておく
	授業内容	柔軟性のトレーニング
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
4	事前学習	持久力が向上するトレーニングを確認しておく
	授業内容	全身持久力のトレーニング1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理

5	事前学習	第4回の授業での注意点を事前に確認しておく
	授業内容	全身持久力のトレーニング2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
6	事前学習	敏捷性を高めるトレーニングを確認しておく
	授業内容	敏捷性のトレーニング1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
7	事前学習	第6回の授業での注意点を事前に確認しておく
	授業内容	敏捷性のトレーニング2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
8	事前学習	体幹トレーニングを確認しておく
	授業内容	体幹のトレーニング1（スタビライゼーション）
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
9	事前学習	第8回の授業での注意点を事前に確認しておく
	授業内容	体幹のトレーニング2（スタビライゼーション）
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
10	事前学習	今まで行ったことのあるレジスタンストレーニングを確認しておく
	授業内容	レジスタンストレーニング1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
11	事前学習	第10回の授業での注意点を事前に確認しておく
	授業内容	レジスタンストレーニング2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
12	事前学習	アルティメットのルールを確認しておく
	授業内容	アルティメット
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
13	事前学習	ユニバーサルホッケーのルールを確認しておく
	授業内容	ユニバーサルホッケー
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
14	事前学習	ポータルサイト上の資料を読み、体力測定の方法を知る
	授業内容	体力測定2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
15	事前学習	卓球のルールを確認しておく
	授業内容	卓球
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理

科目名	体育実技 I A	担当者	田中 雅子	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	音楽に合わせて楽しくエアロビックダンスを行います。エアロビックダンスは自分のペースで行うことのできる運動です。そのため、初心者でも無理なく運動することができます。エアロビックダンスの技術を習得できるように、アニメソングやJポップなどの学生諸君に馴染みのある課題曲でエアロビックダンスを行います。それらの課題曲を行うことにより、段階的にエアロビックダンスの構成や動き方を学ぶことができます。				
授業目的・到達目標	健康体力づくりのための、エアロビックダンスプログラムの基礎知識を学びます。自分の体力に合った運動を選択、実施できる能力、知識を身に付けます。それによって、大学生活において健康的な生活を送ること、さらに、生涯を通じて運動に親しむことができるようになることが目的です。基本的なステップの習得やプログラムの構成を理解し、指導者がいなくても自ら運動できる能力を身に付けることを目標とします。				
履修条件	医師に運動を止められていない者。				
授業方法	実技と演習を行います。アニメソングなどを用いた振り付けのあるエアロビックダンス（フィットネスダンス）を行います。なじみのある楽曲で無理なく運動を行うことができます。内容によっては「多目的コート」を使用することがあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業態度、実技テスト、レポート	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	公益社団 日本 フィットネス協会		フィットネスダンス指導教本	編者 池田美知子
	備考				
参 考 書	該当なし				
オフィス アワー	質問、相談は毎授業後に受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト第1章を読む。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	テキスト第1章を読む。
2	事前学習	テキスト第1章を読む。
	授業内容	ステップシート プログラムの表記方法の読み方を学習しプログラムを視覚的に理解する。
	事後学習	テキスト第2章のステップシート、コンビネーションの種類について確認する。
3	事前学習	授業で行ったステップをテキストのステップ辞書にて確認する。
	授業内容	コンビネーション（1） 動きの塊の規則性を理解して動く。
	事後学習	授業で行ったステップをテキストのステップ辞書にて確認する。 生活習慣チェック表を記入し、自らの生活習慣を意識する。
4	事前学習	授業で行ったステップをテキストのステップ辞書にて確認する。
	授業内容	コンビネーション（2）
	事後学習	授業で行ったステップをテキストのステップ辞書にて確認する。

5	事前学習	授業で行ったステップをテキストのステップ辞書にて確認する。
	授業内容	コンビネーション（3）
	事後学習	授業で行ったステップをテキストのステップ辞書にて確認する。
6	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	フィットネスダンス（1） 振り付けのあるエアロビックダンス
	事後学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
7	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	フィットネスダンス（2）
	事後学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。 生活習慣チェック表を記入、前回にチェックと比べ、良い習慣が身についたかを確認する。
8	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	フィットネスダンス（3）
	事後学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
9	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	フィットネスダンス（4）
	事後学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
10	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	コンビネーション作成
	事後学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
11	事前学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
	授業内容	コンビネーションとプログラム（1） 学生が作成したコンビネーションをプログラムに発展させ運動を行う。
	事後学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
12	事前学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
	授業内容	コンビネーションとプログラム（2）
	事後学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
13	事前学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
	授業内容	実技試験準備 コンビネーションの指導の練習
	事後学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
14	事前学習	自分が作成したコンビネーションの練習。
	授業内容	実技試験 各自の動き、姿勢の矯正（教員から個別にアドバイス）
	事後学習	課題曲、全曲のステップシート確認
15	事前学習	課題曲、全曲のステップシート確認
	授業内容	まとめ 課題曲を全曲続けて行う。
	事後学習	生活習慣チェック表を確認し、自らの生活習慣をもう一度見直す。そして、良い習慣が身につかなかった部分への原因と改善方法について考察しレポートを作成する。

科目名	体育実技 I A	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	スポーツは体を動かす生活文化である。大学体育の目的は学生生活(健康の保持、増進)、社会性（社会性の育成）を豊かにすることの基礎づくりとして行われる。自ら考え創意工夫し、ルール、マナー、体を動かす楽しみを経験し生涯を通してスポーツ活動の足掛かりとなる健康、体力づくりを行う。				
授業目的・到達目標	スポーツにおける運動の基本的技術習得、ゲームにおける実践的な能力を身につけ、体力を向上させる。またスポーツを通して、体を動かす習慣を身につけ健康の保持増進を図り、チームワークに必要なコミュニケーションをとることができるようにすることを目的とする。				
履修条件	受講時には授業に適した運動着と運動靴（トレーニングウェア・シューズ等を準備）を着用すること。				
授業方法	施設に応じた種目やトレーニング運動等を実施する。 内容によっては「多目的コート」を使用することがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	技術の理解度、チームワーク、コミュニケーション（信頼関係構築、対人スキル）受講態度など総合して評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じてプリントの配布。			
参考書	特になし				
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	授業内容の説明
	事後学習	授業内容を理解し、授業に必要なものを準備する。
2	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチ体操を確認する。
	授業内容	ストレッチ体操 1
	事後学習	ストレッチ体操のポイントを理解し体力向上に取り組む。
3	事前学習	今まで行ったことがある、体力測定を確認する。
	授業内容	体力測定 1
	事後学習	体力測定の結果を踏まえ、体力向上に取り組む。
4	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 1 (メディシンボール・軽運動)
	事後学習	トレーニングのポイントを理解し体力向上に取り組む。

5	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 2 (軽運動)
	事後学習	トレーニングのポイントを理解し体力向上に取り組む。
6	事前学習	体力を把握しておくこと。
	授業内容	縄跳び (ダブル・ダッチ) ・竹馬
	事後学習	調整力 (バランス・敏捷性) さらには反応能力を高めるトレーニングを継続する。
7	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておく。
	授業内容	球技 (卓球 1)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
8	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技 (卓球 2)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
9	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技 (卓球 3)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
10	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技 (卓球 4)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
11	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 3 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングのポイントを理解し体力向上に取り組む。
12	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 4 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングのポイントを理解し体力向上に取り組む。
13	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておく。
	授業内容	球技 (フットサル) 1
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
14	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技 (フットサル) 2
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
15	事前学習	個人・チームスポーツにおける体力分析をしておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	体力向上や維持に必要なトレーニングを理解し、様々なスポーツを継続して行う。

科目名	体育実技 I A	担当者	朴 鍾赫	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	近年、技術の高度化、情報化等が進展している反面、人間関係の希薄化、精神的なストレス増大や運動不足により、心身両面にわたり健康上の様々な問題を生み出してきている。学生の身体諸機能の向上ならびに体力の増進をはかり、将来の社会生活の活動基盤となる体力および生涯スポーツ実践のための方法や技術、身体運動に関する知識を学習する。				
授業目的・到達目標	運動やスポーツを通じて挑戦力、コミュニケーション力、協同力を身につけるとともに健康・体力向上に関する知識を深めることを目的とする。身体運動が日常生活に及ぼす影響について学び、それを活かしてより健康で活力ある学校生活を過ごすことができるようになる。				
履修条件	受講者は室内用運動靴（紐靴）、トレーニングウェア（自由に運動ができる服装）、タオル等を各自で準備すること。 ※ 第1回目は準備不要				
授業方法	授業開始時に出席確認及び実施内容の説明をする。※授業内容は変更する場合がある。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業への取り組み姿勢、授業参加度、レポート等を加え総合的に評価する。経験者・未経験者が一緒に協力し合う授業であるため、技術的レベルに関しては、評価の対象としない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しない。			
参 考 書	必要に応じてプリントを配付する。				
オフィスアワー	授業の前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	体育実技1Aに関する総合的な説明をするので、筆記用具等を持参すること
	授業内容	ガイダンス 授業の目的・方法、評価方法、受講時の注意、シラバスについて説明
	事後学習	次の種目に関するルールを調べておくこと
2	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかりと行うこと
	授業内容	ダーツ① ルールの説明、基本練習、ゲーム
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
3	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかりと行うこと
	授業内容	体力測定
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
4	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかりと行うこと
	授業内容	卓球① ルールの説明、基本練習、ゲーム（ダブルス）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること

5	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フロアカーリング① ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
6	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ハンドボール① ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
7	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フットサル① ルールの説明、基本練習、ゲーム（4人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
8	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ビックルボール① ルールの説明、基本練習、ゲーム（3人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
9	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ドッチボール① ルールの説明、基本練習、ゲーム（6人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
10	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	卓球② 基本練習、ゲーム（ダブルス）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
11	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フロアカーリング② ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
12	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ハンドボール② ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
13	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フットサル② ルールの説明、基本練習、ゲーム（4人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
14	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ビックルボール② ルールの説明、基本練習、ゲーム（3人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
15	事前学習	まとめ
	授業内容	レクリエーション、講評
	事後学習	総合評価

科目名	体育実技 I A	担当者	深田 喜八郎	部別	第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自身の健康を維持するための知識は、人生をより良く生きるための教養になっている。将来、疾病に罹患する危険性を低下させるためには、運動習慣を身に付けることが必要である。基礎的な運動トレーニングの方法を学ぶとともに、運動を通して他者と関することで、社会性を養うことを目的とする。				
授業目的・到達目標	様々なトレーニングを経験し、効果的なトレーニングの方法を修得することを目的とする。身体組成や体力水準を確認し、自分自身に適したトレーニングプログラムを構築することができるようになる。				
履修条件	室内用運動靴、トレーニングウェア、タオル等を持参して受講すること。 ※第1回目は準備不要				
授業方法	授業内容の説明、準備運動、運動実践、ディスカッションなどを人数に応じて実施する。 ※授業内容は変更する場合がある。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業参加度50%、レポート課題、授業態度等50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。				
オフィスアワー	授業終了時に相談すること。必要に応じて別途、時間等を指示する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業計画を確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の目的・内容、評価方法、諸注意について説明する
	事後学習	授業計画に対する疑問点をまとめておくこと。
2	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	アيسブレイク、身体ほぐしの運動 グループミーティング、パートナーストレッチ
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
3	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	体力テスト① 筋力・俊敏性・柔軟性等の計測
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
4	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク① 柔軟性を向上させる方法
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

5	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク② 自身の体重を利用した筋力トレーニング
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
6	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク③ 器具を用いた筋力トレーニング、負荷の設定方法
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
7	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク④ 目的別筋力トレーニングの実施
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
8	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク⑤ 有酸素運動について
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
9	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク⑥ エアロバイクを用いたトレーニング
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
10	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク⑦ 昇降運動によるトレーニング
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
11	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トレーニングによるボディメイク⑧ トレーニングプログラムの考案と実践
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
12	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ヨーガ① 呼吸法や基本動作
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
13	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ヨーガ② 様々な動作の実施
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
14	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	体力テスト② 筋力・俊敏性・柔軟性等の計測
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
15	事前学習	これまでの学修内容についてまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	学修内容の実践方法を考案すること。

科目名	体育実技 I A	担当者	藤井 洋武	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	様々な運動やスポーツ・トレーニングを体験し、自分自身の健康について考える授業です おもにからだ動かすことを中心に、心身のリフレッシュや体力の向上について学びます					
授業目的・到達目標	①仲間と共にスポーツやトレーニングを行うことで一体感や楽しさを共有し、社会性やコミュニケーションスキルを向上させることを目的とします ②自分自身の身体について学び、自分に適した運動法や強度を理解することを目的とし、かつ実践できるようにします ③授業を通して積極的に仲間と交流し、色々なことを話し合える仲間を作ります					
履修条件	①毎回の授業への出席はもちろん、積極的に参加し、取り組むこと ②運動にふさわしい服装（ジャージ等）、靴（室内用）を必ず用意すること					
授業方法	施設、人数などに応じて各種運動を行います。また当日の出席状況によっては、シラバスの内容と違う種目を行うことがあります。 時期と天候によって、多目的コートを使用して授業を行う場合があります					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		授業参加度を踏まえ、数回のレポート課題、授業態度、授業への取り組みで評価する	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない 授業内にて資料を適宜配布する				
参 考 書	なし					
オフィスアワー	質問・相談については授業時間内にしてください 個別に質問・相談がある学生は2号館地下1階の体育教員室に来てください 火曜日のみ16:00～ 授業間の休み時間等に対応します					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、年間のスケジュール授業概要、到達目標などをよく理解してガイダンスに臨むこと
	授業内容	年間授業計画、授業の進め方になどに関するガイダンス
	事後学習	ガイダンスの説明を振り返って授業内容、授業の進め方を理解する。また次週以降の授業に備えて体調管理に留意する
2	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	体ほぐし、ストレッチング
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
3	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	身体を使ったコミュニケーションゲーム① 体力チェック
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
4	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	身体を使ったコミュニケーションゲーム② 体力チェック
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える

5	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	サーキットトレーニング①
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
6	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	サーキットトレーニング②
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
7	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	卓球① シングルス
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
8	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	卓球② シングルス
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
9	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	ウォーキング
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
10	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	フットサル①
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
11	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	フットサル②
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
12	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	DVD鑑賞
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
13	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	ダーツ①
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
14	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	ダーツ②
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
15	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	半期の授業を振り返り、授業を通して、自分自身のからだにとってどのような学びがあったのかをまとめる 今後も継続して運動やスポーツを続けるためにはどのような運動が適しているか、自己分析をおこなう

科目名	体育実技 I A	担当者	山田 美絵子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	トレーニングとレクリエーションを半々で行う。 大学生の体力低下、運動不足を補うためのスポーツマネジメントサイクルを学び、自分で運動メニューを作り、実践し、体育の授業がなくても運動習慣を持てるように導く。				
授業目的・到達目標	体育実践を通し、健康の維持・増進の知識を学び、身体を使うことや身体の変化を楽しむ。生涯にわたって運動を習慣づけられるようにすることを目的とする。体力と運動スキルの向上、自分に適した必要な運動を考え、行えるようにする。				
履修条件	運動に適した服装、室内シューズ、タオルの用意				
授業方法	講義、身体チェック、トレーニングを基盤として施設や人数に合わせた用具・ルールで運動を実践する。 ボールゲームやニュースポーツは「多目的コート」を使用することがあるので前の週の授業時に連絡をする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート(体力・筋力測定の結果、トレーニングについて)20%、運動の実践状況、授業内容・ルールの理解、体力やトレーニングの状況理解、コミュニケーション、リーダーシップ等80%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	必要に応じて授業時にプリント配布する。				
オフィスアワー	木曜日13:00から18:00　2号館地下（体育教員室，体育場）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	筆記用具、写真の準備をする、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容に従い、トレーニングウェア、シューズ、タオルなどの準備、購入をする。
2	事前学習	体調管理
	授業内容	各種ストレッチ トレーニング機器の使い方
	事後学習	トレーニング機器の使い方とトレーニングルームでのルールの再確認
3	事前学習	体調管理、体力測定内容の確認
	授業内容	身体チェック（体力測定）
	事後学習	ストレッチなどの筋肉をフォロー 自分の体力測定の結果を確認し、高める体力をチェックする。
4	事前学習	体調管理 ストレッチなど筋肉に刺激を与えておく
	授業内容	からだほぐし運動
	事後学習	初めて行うからだの使い方を復習してみる

5	事前学習	体調管理 ストレッチなど筋肉に刺激を与えておく
	授業内容	からだほぐし運動
	事後学習	初めて行うからだの使い方を復習してみる
6	事前学習	体調管理 ボールを使ったからだほぐし運動を調べてくる
	授業内容	からだほぐし運動（多目的コートor体育場）
	事後学習	初めて行うからだの使い方を復習してみる
7	事前学習	体調管理 ボールを使ったからだほぐし運動を調べてくる
	授業内容	からだほぐし運動（多目的コートor体育場）
	事後学習	初めて行うからだの使い方を復習してみる
8	事前学習	体調管理、 筋力測定内容の確認
	授業内容	マシントレーニング 筋力測定
	事後学習	ストレッチなどの筋肉をフォロー 自分の筋力測定の結果を確認し、高める体力をチェックする
9	事前学習	マシンの使い方の確認
	授業内容	マシントレーニング
	事後学習	初めて使うマシンの使い方を復習してみる
10	事前学習	ボールの扱いを調べてくる
	授業内容	トレーニング ボールゲーム（多目的コートor体育場）
	事後学習	体力の弱点など高めるためのトレーニング方法を再確認する
11	事前学習	ボールの扱いを前回より上手にするためには、何を意識するのか考えてくる
	授業内容	トレーニング ボールゲーム（多目的コートor体育場）
	事後学習	体力の弱点など高めるためのトレーニング方法を再確認する ボールの扱いは上手くできたのか再確認
12	事前学習	インディアカという羽をコントロールするためにはどうしたらよいか調べてくる
	授業内容	トレーニング インディアカ（多目的コートor体育場）
	事後学習	羽はコントロールできたか再確認 トレーニングの負荷は適当か再調整が必要か再確認
13	事前学習	自分に合うラケットはどっちなのか調べてくる ストロークを調べてくる
	授業内容	トレーニング 卓球（シングルス）
	事後学習	トレーニングの負荷は適当か再調整が必要か再確認
14	事前学習	苦手なストロークができるようになるには何をしたらよいか調べてくる
	授業内容	トレーニング 卓球（シングルス）
	事後学習	トレーニングの負荷は適当か再調整が必要か再確認 授業ではトレーニングが最後なので、休み中にできる内容を考える
15	事前学習	ルールの確認 休み中に行うトレーニングメニューを作成
	授業内容	卓球大会 まとめ
	事後学習	筋疲労を残さないように、ストレッチを行う。

科目名	体育実技 I A	担当者	吉田 明	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、実技実習での理論と実践による「科学知と身体知の融和」を図り、早期から健康の保持・増進に関心を持ってもらい、生涯スポーツに対する動機づけを高めること。そして、運動とスポーツを通して他者を信頼し、ルールを厳守することなどの社会性を身につけ、そして、様々な競技の基礎技術を習得すると同時にゲームを通してコミュニケーションやリーダーシップを図り、チームワークを獲得することを目的とする。					
授業目的・到達目標	半期を通して、健康の保持増進の重要性とその方法を理解し競技の本質を知る。そして、対象となる種目の特徴や他種目との近似点・相違点、設定されている動作やその根拠、動作実行のためのトレーニング方法、戦術など、実践を通じて理解を深めることを目的とする。					
履修条件	受講時は運動に適した服装（トレーニングウェア等）、多目的コートも使用するので、シューズ（外履き、室内履き、授業内容によって準備）を必ず準備すること。					
授業方法	施設、人数等に応じて、各種運動とトレーニングを並行して展開していく。 （受講人数によって授業内容を変更する場合がある）					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		出席60%、平常点40%（受講態度、授業への参加度、課題提出など）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし。				
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	三崎町キャンパス、火曜日、12：00～13：00にて対応。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容について事前に確認しておくこと
	授業内容	ガイダンス（授業の目的と内容、評価方法、諸注意について）
	事後学習	授業目的、内容、方法などを理解しておくこと
2	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	身体測定、体力測定
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
3	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	アイスブレイク、身体ほぐし運動
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
4	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	トレーニング（体幹、バランスボール、ストレッチング）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと

5	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	フィジカルトレーニング（ウェイトマシン、ストレッチング）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
6	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	フィットネストレーニング（エアロバイク、ストレッチング）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
7	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	タグラグビー①（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
8	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	タグラグビー②（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
9	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	タグラグビー③（ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
10	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	ポートボール①（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
11	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	ポートボール②（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
12	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	ポートボール③（ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
13	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	ダーツ
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
14	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	大縄跳び、縄跳びエクササイズ
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
15	事前学習	書籍やインターネット等を活用し各回の授業内容を調べておくこと
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと

科目名	体育実技 I B	担当者	伊藤 華英	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	様々な競技を体験することと、体力測定などを通して自身の健康や、今後の生活でどのようにスポーツが活かせるかを学ぶこと。スポーツの概念のすること、見ること、支えること自身で考える授業。また普段の生活習慣や、運動習慣の現状知る機会にする。スポーツを通して、コミュニティの構築する機会にする。				
授業目的・到達目標	勉学に励む学生たちの、心身ともに健康な学生生活に運動やスポーツの役割は多い。スポーツを楽しむ人生を豊かに、コミュニケーション能力の向上にも運動やスポーツは一助になる。スマートフォンや、パソコンの生活から少し離れる時間も、心身を健康に保つ1つの要因になる。この授業では、自身の身体や心への興味をもつこと。心身の健康が、人生に大いなる意味を持つことを様々な知見を深め体験し、社会性を養うことを目的とする。年を通して、基礎体力を向上する。また、心身の健康のために、知見を深める。生活の中で、運動、スポーツを習慣になることを習得する。				
履修条件	受講者は室内用運動靴（紐靴）、運動着（トレーニングウェア、ヨガウェア等、動き易い格好）、必要であれば水分、タオル。※1回目は不要。				
授業方法	授業開始時に出席確認、実施内容の説明。※授業内容は変更する場合あり。 授業開始時にはと終了時に、ストレッチなど、準備運動を取り入れる。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度60%、平常点20%（授業態度、意欲的であるか）、レポート20%（レポート課題 最終授業で課題あり）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	資料を配布することもある。				
オフィスアワー	金曜日、4 限終了後30分。体育教員室にて受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	夏休みの課題をクリアファイルに入れて持参、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 復習、課題確認。
	事後学習	次の体力測定の内容を確認
2	事前学習	今後の自身のトレーニングを考えるため、ある程度考えておく。
	授業内容	身体チェック（体力測定）
	事後学習	自身がどのような結果であったのかを考える
3	事前学習	有酸素運動と無酸素運動の違いを調べておく
	授業内容	マシントレーニング ボールゲーム
	事後学習	自身の行ったトレーニングを振り返る。
4	事前学習	マシンを使用したトレーニング効果を調べる。
	授業内容	マシントレーニング ボールゲーム
	事後学習	自身の授業内での計画をする

5	事前学習	今後の授業内のトレーニングを考える。授業中に提出。レポート用紙配布。
	授業内容	マシンントレーニング、体幹トレーニング フアンスポーツを体験または、パラスポーツ体験（シッティングバレー）
	事後学習	感想をレポート用紙に記載。
6	事前学習	前回に行ったパラスポーツについて調べる
	授業内容	マシンントレーニング フアンスポーツを体験または、パラスポーツ体験（シッティングバレー）
	事後学習	感想を次回授業でレポートで提出。
7	事前学習	卓球のルール（シングルス）を調べ、レポートで提出。
	授業内容	マシンントレーニング 卓球（シングルス）
	事後学習	トレーニングの感想または、卓球の感想
8	事前学習	卓球のレポートを提出。
	授業内容	マシンントレーニング 卓球（前授業と同じ）
	事後学習	トレーニングの課題、感想レポート提出。
9	事前学習	卓球のダブルスについて調べておく
	授業内容	卓球（ダブルストーナメント戦） マシンントレーニング
	事後学習	授業の感想を提出。
10	事前学習	卓球のダブルスについて調べる
	授業内容	卓球ダブルス続き（トーナメント） マシンントレーニング
	事後学習	9回目授業と同様。
11	事前学習	ダーツのルールや種類を調べてくる。
	授業内容	ダーツ（ルール説明、実践） マシンントレーニング
	事後学習	授業の感想レポート。
12	事前学習	11回目と同様。
	授業内容	ダーツ（ルール説明、実践） マシンントレーニング
	事後学習	11回目と同様。
13	事前学習	ドッジビーのルールを調べてくる。
	授業内容	ドッジビー（ルール説明、実践） トレーニング（自身の計画に基づいた）
	事後学習	授業の感想。
14	事前学習	授業を振り返る。
	授業内容	身体測定、骨密度など。
	事後学習	最終課題におけるレサーチをする
15	事前学習	レポート提出。※重要なレポート
	授業内容	まとめ （フィットネスチェック等）
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	体育実技 I B	担当者	岩本 良裕	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	健康を支えているものは、栄養、運動、休養、ストレス管理という柱です。日常生活の中で、これらを上手にバランスよく保っていくことによって、健康は維持されています。現代人にとって、特に不足がちとなる運動は健康の維持増進に極めて重要な役割を果たしています。本授業では、その運動を日常生活に無理なく取り入れていく方法について解説し、そして実践することによって、運動を習慣化し、健康な生活を自ら作り上げてことをねらいとします。				
授業目的・到達目標	運動やスポーツがあまり得意でない人向けに、手軽にできるトレーニングを行い、健康の維持増進と体力の向上をねらいとします。エアロバイクやランニングマシンで、有酸素のトレーニングを行い呼吸循環器系を鍛え、また一人で簡単にできる筋トレやマシンを使ったトレーニングを行って筋力系を鍛えて、少しずつシェーブアップを図ります。無理なく自分のペースで進めていきます。将来にわたってスマートな身体を保ちたいという人には最適です。運動不足を解消し、健康な生活がおくれるように、基礎的な体力の向上を目指します。トレーニング目標を設定し、それに向かって計画的に進めていきます。運動が日常的に行えるようになります。				
履修条件	実技の授業であるので、トレーニングウェアとトレーニングシューズが必要です。運動終了後シャワーが利用できます。				
授業方法	毎回トレーニングメニューに従い、自分のペースでトレーニングを進めます。エアロバイクやランニングマシンでトレーニングを行う際には、ウォークマン等を使用しても構いません。水分摂取も適宜行ってください。 内容によっては多目的コートを使用することもあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（５０％）、目標到達度（３０％）、学習態度（２０％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業時に紹介する。				
オフィスアワー	毎週金曜日4時限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	毎授業時に、筋力（握力・背筋力）、体脂肪等の測定を行う。記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニングの方法 体力測定、体脂肪測定
	事後学習	授業は週一回なので、授業以外に週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
2	事前学習	前回の記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 1 体幹筋力アップトレーニング(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
3	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 2 体幹筋力アップトレーニング(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
4	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 3 体幹筋力アップトレーニング(3)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。

5	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 4 体幹筋力アップトレーニング(4)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
6	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 5 下肢筋力アップトレーニング(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
7	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 6 下肢筋力アップトレーニング(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
8	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 7 下肢筋力アップトレーニング(3)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
9	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 8 下肢筋力アップトレーニング(4)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
10	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 9 上肢筋力アップトレーニング(1)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
11	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 10 上肢筋力アップトレーニング(2)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
12	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 11 上肢筋力アップトレーニング(3)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
13	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 12 上肢筋力アップトレーニング(4)
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
14	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	筋力アップトレーニング 13 体力測定、体脂肪測定
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。
15	事前学習	前回までの記録をまとめること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	週2回か3回ほどのトレーニングを行うことが望ましい。

科目名	体育実技 I B(水曜3・4時限)	担当者	公文 暉巴	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現在大学生の体力の低下が進んでいる。体力低下によって生涯への影響が懸念される。その為、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の保持・増進の為の基礎知識の習得や態度を講義・スポーツ・トレーニングを通じて育成する。			
授業目的・到達目標	体育での身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、健康（栄養・運動・休養）の保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚させたい。各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指すことを目的とする。1) 自己の体力レベルを把握し体力を向上する方法を確立する 2) 生涯にわたる運動習慣を獲得し心身の健康維持を図る 3) 実社会において活躍する上で重要であると考えられる他者とのコミュニケートを通してリーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける			
履修条件	受講時は、必ず運動着と室内用運動靴を着用すること。健康管理に留意し、遅刻をしないように出席のこと。			
授業方法	個人の体力カード、プリント資料を用い、授業を展開する。進捗状況により授業内容の変更もある。内容によっては「多目的コート」を使用することがある。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業中の活動に対する参画状況60%、授業に対する姿勢、理解と達成度20%、トレーニングの記録やまとめのレポート内容20%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず、授業時に体力カード、資料を配布する		
参考書	必要、希望に応じて紹介する			
オフィスアワー	水曜日は4時限終了後16:10～ 土曜日は2限終了後12:10～の時間帯にて対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	後期のトレーニングプログラムを作成すること
	授業内容	健医チェック、トレーニングプログラム作成、バランスボール
	事後学習	体組成結果より生活習慣をチェックし、トレーニングメニューを再確認すること
2	事前学習	筋力測定方法の確認と測定負荷量の決定と心拍数のチェックをすること、バランスボールの運動をプリントより決めること
	授業内容	最大筋力測定、エアロバイク体力テスト、バランスボール
	事後学習	正しく測定出来たか、又エアロバイクの測定結果より負荷・消費カロリー・心拍数をチェックし記録すること
3	事前学習	トレーニングのプログラムを修正しメニューを作成すること、カーリングについて調べること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、陸上カーリング
	事後学習	トレーニング時間と内容が妥当か確認すること、カーリングのゲーム方法とルールを理解すること
4	事前学習	筋肉疲労を軽減する為ストレッチを必ず実施すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、陸上カーリング
	事後学習	トレーニング種目が適切か確認し、カーリングのゲームに参加しチームに貢献出来たか省みること

5	事前学習	食生活をチェックし蛋白質やビタミンの摂取を重視し、日常生活での歩行数もチェックすること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ミニテニス
	事後学習	筋力トレーニングの負荷量を検討し、ミニテニスの技術とルールを確認し理解すること
6	事前学習	トレーニングが4週目に入り最大筋力測定の準備をすること、ミニテニスのダブルスゲーム方法を理解すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ミニテニス
	事後学習	トレーニング段階の一区切りとしてプログラムを再検討すること、ミニテニスの技術とルールについて理解し満足出来るゲームを展開出来たか省みること
7	事前学習	第2段階のトレーニングを意識し体幹トレーニングを習慣とすること、フットサルは前期のゲームと比較しよりフットワークを充実させること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フットサル
	事後学習	特にトレーニングの運動量を検討し意識を高めること、チームの中で充分活躍出来たか検証すること
8	事前学習	トレーニングに余裕が出来ればトレッドミルのトレーニング方法も工夫すること、卓球はルールを再確認すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、卓球（ゲーム）
	事後学習	有酸素トレーニング種目の確認をし次回に展開すること、シングルスゲームは前回よりも技術レベルを高めることが出来たか検証すること
9	事前学習	スキップングローブを試みること、卓球のダブルスゲームに於ける戦術を工夫すること
	授業内容	スキップングローブ、卓球（ゲーム）
	事後学習	トレーニングとしてのスキップングローブを活用することもあること、ダブルスゲームでペアとのコミュニケーションが取れ良い結果を得たか検証すること
10	事前学習	第2段階のトレーニングを検証し次の段階での体力アップを重視し、更にプログラム内容を工夫すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ユニホッケー
	事後学習	体組成のチェックにより食生活や運動習慣を考慮すること、ユニホッケーのゲームではチームワークのもとに貢献出来たか検証すること
11	事前学習	トレーニングの結果を認識し更にトレーニングの原則を確認すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フリスビー
	事後学習	正しくトレーニングを実施し記録が確実かチェックすること、フリスビーに於ける正確なパスワークが出来たか検証すること
12	事前学習	トレーニング後半に向けての記録を整理すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ダーツ
	事後学習	筋力測定に向けて確立したトレーニング内容かチェックすること、ダーツは前回よりもスコアがアップ出来、ルールを正しく理解出来たか省みること
13	事前学習	後半のトレーニングをまとめレポート作成の準備をすること、希望種目を考え決定すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、希望種目
	事後学習	トレーニングの記録、特に有酸素運動の結果についての記録を適確に取ること、次回の希望種目を考えること
14	事前学習	効率の良い最大筋力測定の手順と結果の処理について工夫すること
	授業内容	最大筋力測定、希望種目
	事後学習	正確に測定し、その結果を処理しレポートに生かすこと
15	事前学習	後期のまとめのレポート作成の資料をチェックすること
	授業内容	後期のまとめ、レポート、健医チェック
	事後学習	到達目標を再認識し、将来に向けて健康や体力の向上を目指し運動習慣を獲得すること

科目名	体育実技 I B(土曜1・2時限)	担当者	公文 暉巴	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現在大学生の体力の低下が進んでいる。体力低下によって生涯への影響が懸念される。その為、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の保持・増進の為の基礎知識の習得や態度を講義・スポーツ・トレーニングを通じて育成する。				
授業目的・到達目標	体育での身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、健康（栄養・運動・休養）の保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚させたい。各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指すことを目的とする。1) 自己の体力レベルを把握し体力を向上する方法を確立する 2) 生涯にわたる運動習慣を獲得し心身の健康維持を図る 3) 実社会において活躍する上で重要であると考えられる他者とのコミュニケートを通してリーダーシップの発揮、問題解決等の能力を身につける				
履修条件	運動やスポーツが不得意な人を優先とする。受講時は、必ず運動着と室内用運動靴を着用すること。				
授業方法	個人の体力カード、プリント資料を用い、授業を展開する。進捗状況により授業内容の変更もある。内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業中の活動に対する参画状況60%、授業に対する姿勢、理解と達成度20%、トレーニングの記録やまとめのレポート内容20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず、授業時に体力カード、資料を配布する			
参考書	必要、希望に応じて紹介する				
オフィスアワー	水曜日は4時限終了後16:10～ 土曜日は2限終了後12:10～の時間帯にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	後期のトレーニングプログラムを作成すること
	授業内容	健医チェック、トレーニングプログラム作成、バランスボール
	事後学習	体組成結果より生活習慣をチェックし、トレーニングメニューを再確認すること
2	事前学習	筋力測定方法の確認と測定負荷量の決定と心拍数のチェックをすること、バランスボールの運動をプリントより決めること
	授業内容	最大筋力測定、エアロバイク体力テスト、バランスボール
	事後学習	正しく測定出来たか、又エアロバイクの測定結果より負荷・消費カロリー・心拍数をチェックし記録すること
3	事前学習	トレーニングのプログラムを修正しメニューを作成すること、カーリングについて調べること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、陸上カーリング
	事後学習	トレーニング時間と内容が妥当か確認すること、カーリングのゲーム方法とルールを理解すること
4	事前学習	筋肉疲労を軽減する為ストレッチを必ず実施すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、陸上カーリング
	事後学習	トレーニング種目が適切か確認し、カーリングのゲームに参加しチームに貢献出来たか省みること

5	事前学習	食生活をチェックし蛋白質やビタミンの摂取を重視し、日常生活での歩行数もチェックすること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ミニテニス
	事後学習	筋力トレーニングの負荷量を検討し、ミニテニスの技術とルールを確認し理解すること
6	事前学習	トレーニングが4週目に入り最大筋力測定の準備をすること、ミニテニスのダブルスゲーム方法を理解すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ミニテニス
	事後学習	トレーニング段階の一区切りとしてプログラムを再検討すること、ミニテニスの技術とルールについて理解し満足出来るゲームを展開出来たか省みること
7	事前学習	第2段階のトレーニングを意識し体幹トレーニングを習慣とすること、フットサルは前期のゲームと比較しよりフットワークを充実させること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フットサル
	事後学習	特にトレーニングの運動量を検討し意識を高めること、チームの中で充分活躍出来たか検証すること
8	事前学習	トレーニングに余裕が出来ればトレッドミルのトレーニング方法も工夫すること、卓球はルールを再確認すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、卓球（シングルスゲーム）
	事後学習	有酸素トレーニング種目の確認をし次回に展開すること、シングルスゲームは前回よりも技術レベルを高めることが出来たか検証すること
9	事前学習	スキップングローブを試みること、卓球のダブルスゲームに於ける戦術を工夫すること
	授業内容	スキップングローブ、卓球（ダブルスゲーム）
	事後学習	トレーニングとしてのスキップングローブを活用することもあること、ダブルスゲームでペアとのコミュニケーションが取れ良い結果を得たか検証すること
10	事前学習	第2段階のトレーニングを検証し次の段階での体力アップを重視し、更にプログラム内容を工夫すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ユニホッケー
	事後学習	体組成のチェックにより食生活や運動習慣を考えると、ユニホッケーのゲームではチームワークのもとに貢献出来たか検証すること
11	事前学習	トレーニングの結果を認識し更にトレーニングの原則を確認すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、フリスビー
	事後学習	正しくトレーニングを実施し記録が確実かチェックすること、フリスビーに於ける正確なパスワークが出来たか検証すること
12	事前学習	トレーニング後半に向けての記録を整理すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、ダーツ
	事後学習	筋力測定に向けて確立したトレーニング内容かチェックすること、ダーツは前回よりもスコアがアップ出来、ルールを正しく理解出来たか省みること
13	事前学習	後半のトレーニングをまとめレポート作成の準備をすること、希望種目を考え決定すること
	授業内容	トレーニング（筋力・エアロ）、希望種目
	事後学習	トレーニングの記録、特に有酸素運動の結果についての記録を適確に取ること、次回の希望種目を考えること
14	事前学習	効率の良い最大筋力測定の手順と結果の処理について工夫すること
	授業内容	最大筋力測定、希望種目
	事後学習	正確に測定し、その結果を処理しレポートに生かすこと
15	事前学習	後期のまとめのレポート作成の資料をチェックすること
	授業内容	後期のまとめ、レポート、健医チェック
	事後学習	到達目標を再認識し、将来に向けて健康や体力の向上を目指し運動習慣を獲得すること

科目名	体育実技 I B	担当者	佐藤 秀明	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	心身ともに健康な学生生活を送ることはもちろんであるが、その後の人生において充実した時間を持てるかは学生時代の健康に関する認識と運動習慣、そしてコミュニケーションスキルの獲得が大きく影響する。体育実技IBでは、それらの獲得を目的とする授業を展開する。					
授業目的・到達目標	【授業目的】この授業では、身体運動やスポーツの実践を通じて健康及び体力の向上を図るとともに、他者との交流を通じてコミュニケーション力をはじめとする社会性を養うことを目的とする。 【到達目標】健康で活力ある生活を営むために、身体運動やスポーツ活動を通じて運動習慣と実践する態度、コミュニケーション力を身につける。生涯スポーツへの準備をする。					
履修条件	屋外・室内用運動靴（紐靴）、運動着（トレーニングウェア等）、タオル等を準備すること。授業は、2号館体育場・トレーニングルーム、屋外運動施設で行う。※第1回目から実技を行う。					
授業方法	授業開始時に出席確認及び実施内容の説明をする。授業開始・終了時に、傷害予防のためウォーミングアップとクールダウンを行う。半期の前半は健康や体力の増進を目的とする様々な運動を実践し、後半は身近なスポーツを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業への参画状況（60%）、レポート課題、受講準備、各自の目標達成度等（40%）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	必要に応じてプリントを配付する。					
オフィスアワー	火曜日 16：30～18：00、木曜日 12：10～13：00 ※事前に連絡をしてください。 e-Mail satou.hideaki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	フィットネス測定種目を確認する（握力、反復横跳び、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳、閉眼片足立ち） 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ガイダンス等】 授業の目的・方法、評価方法、受講時の注意、授業計画の説明等 身体ほぐし運動（セルフ・ペアストレッチ、フィットネスチェック）
	事後学習	フィットネスチェックの結果を踏まえて、体力及び健康の維持増進に向けた目標を立てる。 また、日常生活においてフィジカルアクティビティを積極的に取り入れる。
2	事前学習	30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【体幹のエクササイズ（スタビライゼーション）】 動的なスタビライゼーション
	事後学習	実施した種目を振り返り、積極的に実施する。
3	事前学習	インターバルトレーニングについて調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【全身持久力のトレーニング（サーキットトレーニング）】 高強度エクササイズ
	事後学習	実施した種目を振り返り、積極的に実施する。
4	事前学習	フライングディスクのスロー及びキャッチについて確認する。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ニュースポーツ①】 フライングディスク ※屋外で実施
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 授業で実施した方法以外の楽しみ方を発案してみる。

5	事前学習	リングテニスのルールをを確認する。動画を視聴し投動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ニュースポーツ②】 リングテニス ※屋外で実施
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 授業で実施した方法以外の楽しみ方を発案してみる。
6	事前学習	卓球（シングルス）のルールについて調べる。動画を視聴し基本的な動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【卓球①】 ルールの説明、基本練習、シングルスゲーム（リーグ戦）
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
7	事前学習	30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【卓球②】 シングルスゲーム（リーグ戦）
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
8	事前学習	卓球（ダブルス）のルールについて調べる。動画を視聴し基本的な動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【卓球③】 ダブルスゲーム（リーグ戦）
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。 ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
9	事前学習	30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【卓球④】 ダブルスゲーム（トーナメント戦）
	事後学習	競技ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。 ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
10	事前学習	卓球（チーム）のルールについて調べる。動画を視聴し基本的な動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【卓球⑤】 チーム戦
	事後学習	授業の振り返り（リアクションペーパーの作成）
11	事前学習	ダーツ（カウントアップ）のルールを確認する。動画を視聴し投動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ターゲットスポーツ①】 ダーツ（カウントアップ）ルールの説明、基本練習、ゲーム
	事後学習	ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
12	事前学習	ダーツ（ゼロワン）のルールを確認する。動画を視聴し投動作を確認する。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【ターゲットスポーツ②】 ダーツ（ゼロワン）ルールの説明、基本練習、ゲーム
	事後学習	ルールの再確認と動作の反復練習を実施し理解を深める。 ※必要であれば試合中の動画を撮影し、各自で動作分析等を行う。
13	事前学習	トレーニングの原理・原則について調べる。 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【マシーンを利用したトレーニング①】 目的に応じた種目及び負荷の設定
	事後学習	トレーニングの負荷設定に方法について再確認し、理解を深める。
14	事前学習	強度、時間、頻度など考慮したプログラムを作成する 30分以上の連続歩行を週3回程度実施する。 柔軟性を高めるトレーニングを実施する。
	授業内容	【マシーンを利用したトレーニング②】 プログラムの実践
	事後学習	作成したプログラムの良い点・課題点をまとめる。 学びを生かし様々なプログラムの作成をしてみる。
15	事前学習	半期の振り返りを行う
	授業内容	【まとめ】 フィットネスチェック、授業の振り返り、講評
	事後学習	半期の振り返りを行い、運動・スポーツ実施の有効性について理解を深める。 また、各自の目標達成のために必要不可欠な体力及び健康の維持増進に向けた目標を立てる。

科目名	体育実技 I B	担当者	塩嶋 理恵	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	スポーツを通じて体力の向上、人とのコミュニケーション能力を高める。 また、生涯スポーツとしての習慣を身につける。				
授業目的・到達目標	①体力の向上 ②個々に応じた各種目のスキルアップを目指す				
履修条件	受講時は運動に適した服装（ジャージ等）、室内用シューズを必ず準備すること。				
授業方法	施設・人数等に応じて、各種運動と器具トレーニングを並行して展開していく。 出席人数状況で授業内容を変更する場合もある。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	積極的な授業への参加状況を重視（70%） 随時レポート課題、卓球実技試験を課す（30%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	必要に応じてプリント等を配布する。 DVDなども参考資料として活用する。				
オフィス アワー	授業の前後				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容等の確認 体育実技にふさわしい服装の準備すること
	授業内容	準備体操などストレッチング
	事後学習	体育実技にふさわしい服装の準備すること
2	事前学習	体育実技にふさわしい服装の準備すること
	授業内容	各施設使用方法説明 体力チェックテスト（2）
	事後学習	ストレッチング
3	事前学習	体操にふさわしい服装の準備すること
	授業内容	ストレッチング体操
	事後学習	ストレッチング 復習
4	事前学習	バドミントンのフォア・バックの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （基本練習①、フォア・バック） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンのフォア・バックの復習

5	事前学習	バドミントンのフォア・バックの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （基本練習②、フォア・バック） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンのフォア・バックの復習
6	事前学習	バドミントンのサーブの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （基本練習、サーブ） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンのサーブの復習
7	事前学習	バドミントンのサーブとレシーブの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （基本練習、サーブとレシーブ） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンのサーブとレシーブの復習
8	事前学習	バドミントンシングルのゲームとルールの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （ゲームとルールの説明） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンシングルのゲームとルールの復習
9	事前学習	バドミントンシングルのルールとマナーの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （リーグ戦①） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンシングルのルールとマナーの復習
10	事前学習	バドミントンシングルのルールとマナーの予習
	授業内容	バドミントン シングルス （リーグ戦②） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンシングルのルールとマナーの復習
11	事前学習	バドミントンダブルスのルールとマナーの予習
	授業内容	バドミントン ダブルス （リーグ戦①） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンダブルスのルールとマナーの復習
12	事前学習	バドミントンダブルスのルールとマナーの予習
	授業内容	バドミントン ダブルス （リーグ戦②） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンダブルスのルールとマナーの復習
13	事前学習	バドミントンダブルスのルールとマナーの予習
	授業内容	バドミントン ダブルス （リーグ戦③） 器具トレーニング
	事後学習	バドミントンダブルスのルールとマナーの復習
14	事前学習	ビックルボールなど軽スポーツ 予習
	授業内容	器具トレーニング ビックルボールなど軽スポーツ各種
	事後学習	ビックルボールなど軽スポーツ 復習
15	事前学習	ドッジボールなど軽スポーツ 予習
	授業内容	器具トレーニング ドッジボールなど軽スポーツ各種
	事後学習	ドッジボールなど軽スポーツ 復習

科目名	体育実技 I B	担当者	白土 男女幸	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	-----	------------	-----	----	-----	---

授業概要	生涯を通して健康な生活を送るためには健康寿命を延伸することが重要です。そのためには、日常生活での身体活動量を増やし、加えてスポーツなどの運動が必要です。また、生涯スポーツを継続し健康格差を最小限にするためには仲間や社会性の広がりも大切です。この授業では、様々なスポーツ種目を実践する中で、技術やルールを理解するとともに、スポーツの楽しさや仲間とのコミュニケーションを実感し、生涯スポーツへと繋がる体育授業を展開します。				
授業目的・到達目標	様々なスポーツ種目のルールや技術および戦術を理解・習得し、生涯スポーツとして自ら実践できる能力を身につけることを目的とする。また、チームスポーツの特性を生かし、他者とのコミュニケーション能力やリーダーシップおよび協働力などの社会性を向上させることも目的とする。 様々なスポーツ種目について実践することで、ルールを理解しながらある程度の技術や戦術を習得し、それにもとづき生涯スポーツを自ら実践することができるようになる。				
履修条件	運動をするうえで健康上問題がないこと（不安のある学生は第一回目のオリエンテーション時に相談してください）。また、設定されたスポーツ種目に対し積極的に取り組む意欲のある学生の履修を期待します。				
授業方法	水道橋キャンパスの体育施設を使用して実施する実技科目です。一斉指導を中心に実施します。通常サイズの体育館ではないため、履修人数によってはトレーニングとスポーツ種目を交代制にして実施する場合があります。内容によっては多目的コートを使用することがあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度60%、平常点40%（レポート15%、授業ノート15%、受講態度10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	基本的には授業前後の時間のみ。どうしても時間が作れない場合は授業実施期間の水曜日19：30以降に対応（要事前相談）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本授業のシラバスを一読しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション（授業概要等の説明、授業省察ノートの説明、アイスブレイキングの実施、*着替えは不要）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
2	事前学習	スポーツ実践のために、ストレッチやジョギングなどで軽く身体を動かしておくこと。 卓球というスポーツについてインターネット等で歴史やルールについて調べておくこと。
	授業内容	卓球①（用具やルールの解説、グリップやスウィングの基本、簡単なラリーの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
3	事前学習	配布資料を再読し用具やルールの理解をしておくこと。
	授業内容	卓球②（サーブやショットでのボールの回転を理解する、簡易ダブルスゲームの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
4	事前学習	配布資料を再読しルールの理解をしておくこと。
	授業内容	卓球③（より正確でスピードのあるラリーの実践、ダブルスゲームの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。

5	事前学習	配布資料を再読しルールを理解しておくこと。
	授業内容	卓球④（ダブルスゲーム団体戦の実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
6	事前学習	ユニバーサルホッケーというニューススポーツについて、歴史や用具およびルールについて調べておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー①（用具とルールの解説、トラップやパスワークの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
7	事前学習	配布資料を再読しルールについて理解しておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー②（ディフェンスを入れた実践的なパスワークの実践、簡易ゲーム）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
8	事前学習	配布資料を再読しルールについて理解しておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー③（フロアバランスを考えたオフENSEとディフェンスの理解、ゲームの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
9	事前学習	配布資料を再読しルールについて理解しておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー④（リーグ戦の実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
10	事前学習	フットサルというスポーツについて、歴史やルールについて調べておくこと。
	授業内容	フットサル①（用具やコートおよびルールの解説、トラップやパスワークの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
11	事前学習	配布資料を再読しルールについて理解しておくこと。
	授業内容	フットサル②（対人でのボールコントロールとパスワークの実践、簡易ゲーム）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
12	事前学習	配布資料を再読しルールについて理解しておくこと。
	授業内容	フットサル③（ゲームの実践）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
13	事前学習	体力要素や測定方法について事前に予習しておくこと（文部科学省HP_新体力テスト実施要項を参照）。
	授業内容	体力測定①（握力、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし、体前屈）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
14	事前学習	全身持久力測定のため、軽いジョギングなどで心肺機能に軽い負荷を与えておくこと。
	授業内容	体力測定②（踏み台昇降、各体力要素の評価および前期との比較）
	事後学習	授業省察ノートを作成しておくこと。
15	事前学習	これまでの授業を振り返り、授業省察ノートの「全体の感想」について記述しておくこと。
	授業内容	レポートおよび授業省察ノートの提出、全体のまとめ
	事後学習	今後の生涯スポーツの実践に向けて、興味のある社会人スポーツサークルについて調べ、実際に参加してみる。

科目名	体育実技 I B	担当者	鈴木 由美	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「健康」「体力」に関する知識を理解し、目的に応じた運動の方法（筋力トレーニング及び有酸素運動の方法）の計画、実践、評価を習得する。				
授業目的・到達目標	運動・食・休養など生活全般にわたるトータルな視点から「健康」「身体作り」についての理解を深める。各種エクササイズやスポーツを実践することによって、自らの目的に応じた運動をプログラムし実践できるようになる。				
履修条件	運動実践に備え、体調管理をしておくこと。 運動に適した服装（トレーニングウェア、シューズ）を必ず着用すること。				
授業方法	配布資料をもとに「身体づくり」について理論学習しながら、2号館体育場及び多目的コートにて様々なエクササイズやニュースポーツを実践する。身体組成の計測により、自分に必要な身体づくりや調整方法をわかりやすく学習する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度、課題への積極的参加度・習熟度、授業記録ノート等を総合的に評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	各テーマごとに資料を配布する			
参考書	必要に応じ紹介				
オフィスアワー	金曜日 8：30～12：30 2号館B1教員控室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	3日分の食事記録をつけておくこと
	授業内容	後期ガイダンス（講義） ○人生を豊かにする「食行動」について
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
2	事前学習	「インナーマッスル」について調べておくこと
	授業内容	エアロビックダンス（ミドルインパクト）&ストレッチング（以降毎回） インナーマッスルを鍛えるトレーニング①
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
3	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	ステップエアロビクス インナーマッスルを鍛えるトレーニング②
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
4	事前学習	バランスボールの特徴とエクササイズの効果を調べておくこと
	授業内容	マシントレーニング① & バランスボール① ○目的に応じた運動負荷の決定
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく

5	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング② & バランスボール② ○目的に応じた運動負荷の決定
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
6	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング③ & ストレッチボール（ベーシックセブン）
	事後学習	ベーシックセブンを実践可能にしておくこと
7	事前学習	アルティメット関連の動画を見て、ルールを理解し、ゲームのイメージを掴んでおく
	授業内容	マシントレーニング④ アルティメット①（フライングディスクを使用したゲーム）
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
8	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング⑤ アルティメット②
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
9	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング⑥ アルティメット③
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
10	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング⑦&ボールゲーム①
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
11	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	マシントレーニング⑧&ボールゲーム②
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
12	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	ボールゲーム③
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
13	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと
	授業内容	ボールゲーム④
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
14	事前学習	前回の授業記録に記載した疑問点や改善点の解決方法を明確にしておくこと 生活の中で実践可能な運動プランを具体的に考えておくこと
	授業内容	ボールゲーム⑤
	事後学習	配布資料をもとに取り扱った学習内容を復習しておく
15	事前学習	生活の中で実践可能な運動プランを具体的に考えておくこと
	授業内容	リクエストウィーク・これまで扱った種目の中から実践 ライフスタイルのチェックとプランニング
	事後学習	後期を通して配布した資料をもとに目的に応じた効果的な運動の方法を復習しておくこと

科目名	体育実技 I B	担当者	高田 佑輔	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	健康で充実した大学生活を送るためにも、普段から意識的に身体活動を行うなど心身の健康づくりが必要になる。この授業では運動やスポーツを通じて健康維持や増進を図ることと、コミュニケーション力を養うことを実践し学習する。生涯スポーツに繋がる一助になるよう、様々なスポーツに取り組む。 授業は多目的コート（3号館跡地の屋外コート）で行う場合もある。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 運動やスポーツの実践を通じて体を動かすことと健康の重要性を理解し、日常生活に運動を取り入れられるようにする。また、ルールやマナーの遵守、仲間とコミュニケーションをとるといった社会性を身につけることを目的とする。 【到達目標】 運動の重要性を理解するとともに、運動を実践することによる基礎体力の向上を目指す。				
履修条件	室内用運動靴、動きやすいジャージ等の運動着やタオルを用意すること。飲み物は蓋付きのものにすること。 自他の怪我や事故を防ぐためにもアクセサリ類はすべて外し、爪の手入れをしておくこと。				
授業方法	実技形式。授業開始時に出欠確認とその日に実施する内容の説明をする。 当日の出席者数やそれまでの実施状況の関係で授業内容を変更する場合もある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	積極的な授業参画度，レポート課題や各自の努力度などを鑑みて総合的に評価します。 用具の準備や片付け，提出物や服装も評価対象です。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じて配布資料を用意します。			
参考書	必要に応じて配布資料を用意します。				
オフィスアワー	授業の前後に対応しますが、事前にポータルサイト等を用いて連絡をしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、質問をまとめておく
	授業内容	ガイドダンス（この授業の進め方（ルール）などの説明） ※集合は2号館地下202教場、更衣は不要
	事後学習	ポータルサイトで授業ルールの確認テスト 授業に必要なものを準備する
2	事前学習	ポータルサイト上の資料を読み、体力測定の方法を知る
	授業内容	体力測定1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
3	事前学習	ポータルサイト上の資料を読んで理解しておく
	授業内容	フロアカーリング1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
4	事前学習	ポータルサイト上の資料を読んで理解しておく
	授業内容	フロアカーリング2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理

5	事前学習	アルティメットのルールの再確認と前期の反省をまとめておく
	授業内容	アルティメット1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
6	事前学習	前回の授業での注意点を事前に確認しておく
	授業内容	アルティメット2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
7	事前学習	ユニバーサルホッケーのルールの再確認と前期の反省をまとめておく
	授業内容	ユニバーサルホッケー1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
8	事前学習	前回の授業の注意点を事前に確認しておく
	授業内容	ユニバーサルホッケー2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
9	事前学習	卓球のルールの再確認と前期の反省をまとめておく
	授業内容	卓球1
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
10	事前学習	前回の授業の注意点を事前に確認しておく
	授業内容	卓球2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
11	事前学習	バドミントンのルールを確認しておく
	授業内容	バドミントン
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
12	事前学習	フットサルのルールを確認しておく
	授業内容	フットサル
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
13	事前学習	ダーツのルールを確認しておく
	授業内容	ダーツ
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
14	事前学習	ポータルサイト上の資料を読み、体力測定の方法を知る
	授業内容	体力測定2
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理
15	事前学習	今までの授業内容を整理する
	授業内容	レクリエーション
	事後学習	ポータルサイトで授業内容の整理と今後も運動を継続して行う

科目名	体育実技 I B	担当者	田中 雅子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	音楽に合わせて楽しくエアロビックダンスを行います。エアロビックダンスは自分のペースで行うことのできる運動です。そのため、初心者でも無理なく運動をすることができます。さらにエアロビックダンスの技術を習得できるように、アニメソングやJポップなど学生諸君になじみのある課題曲でエアロビックダンスを行います。それらの課題曲を行うことにより、段階的にエアロビックダンスの構成や動き方を学ぶことができます。				
授業目的・到達目標	健康体力づくりのための、エアロビックダンスプログラムの基礎知識を学びます。自分の体力に合った運動を選択、実施できる能力、知識を身に付けます。それによって、大学生活において健康的な生活を送ること、さらに、生涯を通じて運動に親しむことができるようになることが目的です。基本的なステップの習得やプログラムの構成を理解し、指導者がいなくても自ら運動できる能力を身に付けることを目標とします。				
履修条件	医師に運動を止められていない者。				
授業方法	実技と演習を行います。アニメソングやJポップなどを用いた振り付けのあるエアロビックダンス（フィットネスダンス）を行います。なじみのある楽曲で無理なく運動を行うことができます。 内容によっては「多目的コート」を使用することがあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業態度、実技テスト、レポート	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	公益社団 日本 フィットネス協会		フィットネスダンス指導教本	編者 池田美知子
	備考				
参 考 書	該当なし				
オフィス アワー	質問、相談は毎授業後に受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	フィットネスダンスの復習
	事後学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
2	事前学習	演習ノートの課題曲のステップシートを確認する。
	授業内容	コンビネーションの復習と指導（1）
	事後学習	演習ノートの自らが作成したコンビネーションを確認する。
3	事前学習	演習ノートの自らが作成したコンビネーションを確認する。
	授業内容	コンビネーションの復習と指導（2）
	事後学習	演習ノートの自らが作成したコンビネーションを確認する。
4	事前学習	ダンス作成のための、楽曲の候補を選んでくる。
	授業内容	指導方法 キューイング
	事後学習	ダンス作成のための、楽曲の候補を選んでくる。

5	事前学習	ダンス作成のための、楽曲の候補を選んでくる。
	授業内容	フォーメーションの効果
	事後学習	ダンス作成のための、楽曲の候補を選んでくる。
6	事前学習	ダンス作成のための、楽曲の候補を選んでくる。
	授業内容	グループワーク（1） 楽曲の決定とステップシートを用いて、楽曲の分析を行う。
	事後学習	楽曲の構成をステップシートにて確認。
7	事前学習	楽曲の構成をステップシートにて確認。
	授業内容	グループワーク（2） 楽曲の構成に合ったコンビネーションを作成
	事後学習	作成中のダンスの練習。
8	事前学習	作成中のダンスの練習。
	授業内容	グループワーク（3） 楽曲の構成に合ったコンビネーションを作成
	事後学習	作成中のダンスの練習。
9	事前学習	作成中のダンスの練習。
	授業内容	グループワーク（4） 楽曲の構成に合ったコンビネーションを作成
	事後学習	作成中のダンスの練習。
10	事前学習	作成中のダンスの練習。
	授業内容	グループワーク（5）
	事後学習	作成中のダンスの練習。
11	事前学習	完成したダンスの練習。
	授業内容	グループワーク（6）
	事後学習	完成したダンスの練習。
12	事前学習	完成したダンスの練習。
	授業内容	グループワーク（7）
	事後学習	完成したダンスの練習。
13	事前学習	完成したダンスの練習。
	授業内容	発表 実技テスト
	事後学習	完成したダンスの練習
14	事前学習	完成したダンスの練習
	授業内容	学生の作成したプログラムの実施
	事後学習	ダンス作成の手順を演習ノートにまとめる。
15	事前学習	ダンス作成の手順を演習ノートにまとめる。
	授業内容	まとめ
	事後学習	健康づくりのために自分たちが作成したダンスを学士同士で実施し運動習慣をつける。、

科目名	体育実技 I B	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	スポーツは体を動かす生活文化である。大学体育の目的は学生生活(健康の保持、増進)、社会性(社会性の育成)を豊かにすることの基礎づくりとして行われる。自ら考え創意工夫し、ルール、マナー、体を動かす楽しみを経験し生涯を通してスポーツ活動の足掛かりとなる健康、体力づくりを行う。				
授業目的・到達目標	スポーツにおける運動の基本的技術習得、ゲームにおける実践的な能力を身につけ、体力を向上させる。また、スポーツを通して、体を動かす習慣を身につけ健康の保持増進を図り、チームワークに必要なコミュニケーションをとることができるようになることを目的とする。				
履修条件	受講時には授業に適した運動着と運動靴(トレーニングウェア・シューズ等を準備)を着用すること。				
授業方法	施設に応じた種目やトレーニング運動等を実施する。 内容によっては「多目的コート」を使用することがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	技術の理解度、チームワーク、コミュニケーション(信頼関係構築、対人スキル)受講態度など総合して評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じてプリントの配布			
参考書	特になし				
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	授業内容の説明
	事後学習	授業内容を理解し、授業に必要なものを準備する。
2	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチを確認する。
	授業内容	ストレッチ体操
	事後学習	ストレッチ体操のポイントを理解し体力向上に取り組む。
3	事前学習	今まで行ったことがある、体力測定を確認する。
	授業内容	体力測定 1
	事後学習	体力測定の結果を踏まえ、体力向上に取り組む。
4	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておく。
	授業内容	球技(ドッジボール)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。

5	事前学習	今まで行ったことがある、柔道の動きを確認する。
	授業内容	柔道 1
	事後学習	柔道受身におけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
6	事前学習	今まで行ったことがある、柔道の動きを確認する。
	授業内容	柔道 2
	事後学習	柔道受身におけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
7	事前学習	今まで行ったことがある、柔道の動きを確認する。
	授業内容	柔道 3
	事後学習	柔道受身におけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
8	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 1 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
9	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 2 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
10	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技 (フットサル 1)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
11	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技 (フットサル 2)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
12	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー 1
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
13	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー 2
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
14	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー 3
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
15	事前学習	個人・チームスポーツにおける体力を分析しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	体力向上や維持に必要なトレーニングを理解し、様々なスポーツを継続して行う。

科目名	体育実技 I B	担当者	朴 鍾赫	部 別	第二部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	近年、技術の高度化、情報化等が進展している反面、人間関係の希薄化、精神的なストレス増大や運動不足により、心身両面にわたり健康上の様々な問題を生み出してきている。学生の身体諸機能の向上ならびに体力の増進をはかり、将来の社会生活の活動基盤となる体力および生涯スポーツ実践のための方法や技術、身体運動に関する知識を学習する。				
授業目的・到達目標	運動やスポーツを通じて挑戦力、コミュニケーション力、協同力を身につけるとともに健康・体力向上に関する知識を深めることを目的とする。身体運動が日常生活に及ぼす影響について学び、それを活かしてより健康で活力ある学校生活を過ごすことができるようになる。				
履修条件	受講者は室内用運動靴（紐靴）、トレーニングウェア（自由に運動ができる服装）、タオル等を各自で準備すること。 ※ 第1回目は準備不要				
授業方法	授業開始時に出席確認及び実施内容の説明をする。※授業内容は変更する場合がある。 内容によっては多目的コートを使用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業への取り組み姿勢、授業参加度、レポート等を加え総合的に評価する。経験者・未経験者が一緒に協力し合う授業であるため、技術的レベルに関しては、評価の対象としない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しない。			
参 考 書	必要に応じてプリントを配付する。				
オフィスアワー	授業の前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	体育実技1Bに関する総合的な説明をするので、筆記用具等を持参すること
	授業内容	ガイダンス 授業の目的・方法、評価方法、受講時の注意、シラバスについて説明
	事後学習	次の種目に関するルールを調べておくこと
2	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかりと行うこと
	授業内容	レジスタンストレーニング スロートレーニング
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
3	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかりと行うこと
	授業内容	卓球③ 基本練習、ゲーム（ダブルス）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
4	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかりと行うこと
	授業内容	ユニホッケー① ルールの説明、基本練習、ゲーム（4人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること

5	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フローアーカーリング③ ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
6	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ハンドボール③ ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
7	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フットサル③ ルールの説明、基本練習、ゲーム（4人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
8	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ビックルボール③ ルールの説明、基本練習、ゲーム（3人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
9	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ドッチボール② ルールの説明、基本練習、ゲーム（6人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
10	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ユニホッケー② ルールの説明、基本練習、ゲーム（4人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
11	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フローアーカーリング④ ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
12	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ハンドボール④ ルールの説明、基本練習、ゲーム（5人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
13	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	フットサル④ ルールの説明、基本練習、ゲーム（4人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
14	事前学習	事故やけがの予防のため、授業時の準備運動をしっかり行うこと
	授業内容	ビックルボール④ ルールの説明、基本練習、ゲーム（3人組）
	事後学習	十分にクールダウンを実施し、疲労回復および傷害予防に努めること
15	事前学習	まとめ
	授業内容	レクリエーション、講評
	事後学習	総合評価

科目名	体育実技 I B	担当者	深田 喜八郎	部別	第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自身の健康を維持するための知識は、人生をより良く生きるための教養になっている。将来、疾病に罹患する危険性を低下させるためには、運動習慣を身に付けることが必要である。各種スポーツ種目の実施方法を学ぶとともに、運動を通して他者と関することで、社会性を養うことを目的とする。					
授業目的・到達目標	スポーツ種目の実施方法や技術・ルールを修得し、自主的にスポーツ種目を実践することを目的とする。スポーツ種目の運営を企画し、実践することで、他者と良好な人間関係を構築することができるようになる。					
履修条件	室内用運動靴、トレーニングウェア、タオル等を持参して受講すること。 ※第1回目は準備不要					
授業方法	授業内容の説明、準備運動、運動実践、ディスカッションなどを人数に応じて実施する。 ※授業内容は変更する場合がある。 内容によっては多目的コートを使用することもある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度50%、レポート課題、授業態度等50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。				
参考書	必要に応じて資料を配布する。					
オフィスアワー	授業終了時に相談すること。必要に応じて別途、時間等を指示する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業計画を確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の目的・内容、評価方法、諸注意について説明する。
	事後学習	授業計画に対する疑問点をまとめておくこと。
2	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	卓球① 基本動作、練習試合
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
3	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	卓球② リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
4	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	卓球③ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

5	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー① 基本動作、練習試合
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
6	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ユニバーサルホッケー② リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
7	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ドッジビー① ドッジボール形式でのゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
8	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ドッジビー② ボートボール形式でのゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
9	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ニューススポーツ実践① 様々な種目の紹介、実践
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
10	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ニューススポーツ実践② 様々な種目の紹介、実践
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
11	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ニューススポーツ実践③ 様々な種目の紹介、実践
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
12	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	バットゴルフ① 基本動作、練習
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
13	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	バットゴルフ② コンペティション
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
14	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるスポーツ実践
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
15	事前学習	これまでの学修内容についてまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	学修内容の実践方法を考案すること。

科目名	体育実技 I B	担当者	藤井 洋武	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	様々な運動やスポーツ・トレーニングを体験し、自分自身の健康について考える授業です おもにからだ動かすことを中心に、心身のリフレッシュや体力の向上について学びます				
授業目的・到達目標	①仲間と共にスポーツやトレーニングを行うことで一体感や楽しさを共有し、社会性やコミュニケーションスキルを向上させることを目的とします ②自分自身の身体について学び、自分に適した運動法や強度を理解することを目的とし、かつ実践できるようにします ③授業を通して積極的に仲間と交流し、色々なことを話し合える仲間を作ります				
履修条件	①毎回の授業への出席はもちろん、積極的に参加し、取り組むこと ②運動にふさわしい服装（ジャージ等）、靴（室内用）を必ず用意すること				
授業方法	施設、人数などに応じて各種運動を行います。また当日の出席状況によっては、シラバスの内容と違う種目を行うことがあります。 時期と天候によって、多目的コートを使用して授業を行う場合があります				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度を踏まえ、数回のレポート課題、授業態度、授業への取り組みで評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない 授業内にて資料を適宜配布する			
参 考 書	なし				
オフィスアワー	質問・相談については授業時間内にしてください 個別に質問・相談がある学生は2号館地下1階の体育教員室に来てください 火曜日のみ16:00～ 授業間の休み時間等に対応します				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、年間のスケジュール授業概要、到達目標などをよく理解してガイダンスに臨むこと
	授業内容	年間授業計画、授業の進め方になどに関するガイダンス
	事後学習	ガイダンスの説明を振り返って授業内容、授業の進め方を理解する。また次週以降の授業に備えて体調管理に留意する
2	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	体ほぐし、ストレッチング
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
3	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	身体を使ったコミュニケーションゲーム① 体力チェック
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
4	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	身体を使ったコミュニケーションゲーム② 体力チェック
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える

5	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	サーキットトレーニング①
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
6	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	サーキットトレーニング②
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
7	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	卓球① シングルス
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
8	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	卓球② シングルス
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
9	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	ウォーキング
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
10	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	フットサル①
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
11	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	フットサル②
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
12	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	DVD鑑賞
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
13	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	ダーツ①
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
14	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	ダーツ②
	事後学習	授業後の心身の状態を振り返り、本時の内容が自身にとってどのような効果があったかを自己分析する 疲れが残るようなら、ウォーキングやストレッチなどを行い次週の授業に備える
15	事前学習	授業の進め方を振り返り、今週の内容をシラバスで確認する。 授業開始時間の確認や、服装・靴などの忘れ物が内容に留意する
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	半期の授業を振り返り、授業を通して、自分自身のからだにとってどのような学びがあったのかをまとめる 今後も継続して運動やスポーツを続けるためにはどのような運動が適しているか、自己分析をおこなう

科目名	体育実技 I B	担当者	山田 美絵子	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	--------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	トレーニングとレクリエーションを半々で行う。 大学生の体力低下、運動不足を補うためのスポーツマネジメントサイクルを学び、自分で運動メニューを作り、実践し、体育の授業がなくても運動習慣を持てるように導く。			
授業目的・到達目標	体育実践を通し、健康の維持・増進の知識を学び、身体を使うことや身体の変化を楽しむ。生涯にわたって運動を習慣づけられるようにすることを目的とする。体力と運動スキルの向上、自分に適した必要な運動を考え、行えるようにする。			
履修条件	運動に適した服装、室内シューズ、タオルの用意			
授業方法	講義、身体チェック、トレーニングを基盤として施設や人数に合わせた用具・ルールで運動を実践する。 ボールゲームやニュースポーツは「多目的コート」を使用することがあるので前の週の授業時に連絡をする。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	レポート(体力・筋力測定の結果,トレーニングについて)20%,運動の実践状況,授業内容・ルールの理解,体力やトレーニングの状況理解,コミュニケーション,リーダーシップ等80%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず		
参考書	必要に応じて授業時にプリント配布する。			
オフィスアワー	木曜日13:00から18:00　2号館地下（体育教員室，体育場）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認 筆記用具、スポーツウェア、シューズの準備
	授業内容	ガイダンス 各種ストレッチ からだほぐし運動
	事後学習	授業で行ったからだほぐしを行ってみる
2	事前学習	体調管理 筋力・体力が落ちている可能性を考えて、トレーニングのペースを考えてくる
	授業内容	ダーツ
	事後学習	トレーニングメニューの見直しが必要であるか確認する
3	事前学習	体調管理 ニュースポーツにはどのような種目があるのか調べてくる
	授業内容	トレーニング ニュースポーツ（多目的コートor体育場）
	事後学習	トレーニングメニューの見直しが必要であるか確認する
4	事前学習	体調管理 行うニュースポーツはどんなものか調べてくる
	授業内容	トレーニング ニュースポーツ（多目的コートor体育場）
	事後学習	手具はコントロールできたか確認

5	事前学習	体調管理 行うニュースポーツはどんなものか調べてくる
	授業内容	トレーニング ニュースポーツ（多目的コートor体育場）
	事後学習	手具はコントロールできたか確認
6	事前学習	体調管理 行うボールゲームはどんなものか調べてくる
	授業内容	トレーニング ボールゲーム（多目的コートor体育場）
	事後学習	ボールの種類によって自分の体の使い方はコントロールできたのか確認する
7	事前学習	体調管理 行うボールゲームはどんなものか調べてくる
	授業内容	トレーニング ボールゲーム（多目的コートor体育場）
	事後学習	ボールの種類、扱い方によって自分の体の使い方はコントロールできたのか確認する
8	事前学習	体調管理 行うボールゲームはどんなものか調べてくる
	授業内容	トレーニング ボールゲーム（多目的コートor体育場）
	事後学習	ボールの種類、扱い方によって自分の体の使い方はコントロールできたのか確認する
9	事前学習	体調管理 バウンドテニスの特徴を調べてくる
	授業内容	トレーニング バウンドテニス
	事後学習	ボールの特徴が理解できたか確認
10	事前学習	体調管理 スポンジボールの特徴を活かしたストロークを調べてくる
	授業内容	トレーニング バウンドテニス
	事後学習	スポンジボールは自分の思う通りにコントロールできたか確認
11	事前学習	体調管理 ペアと協力して行う動き方を調べてくる
	授業内容	トレーニング 卓球（ダブルス）
	事後学習	動き方は上手くできたか、ペアと協力できたかの再確認
12	事前学習	体調管理 ルールの確認
	授業内容	トレーニング 卓球（ダブルス）
	事後学習	ルールを利用したダブルスの戦い方、ペアとのコンビネーションはうまくいったのか再確認
13	事前学習	筋力測定の方法を再確認
	授業内容	筋力測定
	事後学習	結果のまとめ
14	事前学習	体力測定の方法を再確認
	授業内容	身体チェック（体力測定）
	事後学習	結果のまとめ
15	事前学習	球技大会が円滑に楽しく、良いパフォーマンスを発揮できるように調整
	授業内容	球技大会（多目的コートor体育場） まとめ（体力、筋力測定の結果をまとめて提出）
	事後学習	休みに入ってから運動習慣

科目名	体育実技 I B	担当者	吉田 明	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、実技実習での理論と実践による「科学知と身体知の融和」を図り、早期から健康の保持・増進に関心を持ってもらい、生涯スポーツに対する動機づけを高めること。そして、運動とスポーツを通して他者を信頼し、ルールを厳守することなどの社会性を身につけ、そして、様々な競技の基礎技術を習得すると同時にゲームを通してコミュニケーションやリーダーシップを図り、チームワークを獲得することを目的とする。					
授業目的・到達目標	半期を通して、健康の保持増進の重要性とその方法を理解し競技の本質を知る。そして、対象となる種目の特徴や他種目との近似点・相違点、設定されている動作やその根拠、動作実行のためのトレーニング方法、戦術など、実践を通じて理解を深めることを目的とする。					
履修条件	受講時は運動に適した服装（トレーニングウェア等）、多目的コートも使用するので、シューズ（外履き、室内履き、授業内容によって準備）を必ず準備すること。					
授業方法	施設、人数等に応じて、各種運動とトレーニングを並行して展開していく。 （受講人数によって授業内容を変更する場合があります）					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		出席60%、平常点40%（受講態度、授業への参加度、課題提出など）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特になし。				
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	三崎町キャンパス、火曜日、12：00～13：00にて対応。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容について事前に確認しておくこと
	授業内容	ガイダンス（授業の目的と内容、評価方法、諸注意について）
	事後学習	授業目的、内容、方法などを理解しておくこと
2	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	卓球①（基本スキルの習得）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
3	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	卓球②（ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
4	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	グランドホッケー①（基本スキルの習得、ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと

5	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	グランドホッケー①（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
6	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	フットサル①（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
7	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	フットサル②（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
8	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	アルティメット①（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
9	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	アルティメット②（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
10	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	バドミントン①（ルール理解と簡易ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
11	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	バドミントン②（シングルス・ダブルス）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
12	事前学習	次回、実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	ドッチボール①（ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
13	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	ドッチボール②（ゲーム）
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
14	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	学生企画によるスポーツ実践
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと
15	事前学習	実施される種目や内容についてのルールや方法について、事前に調べておくこと
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	毎回、最初に前回授業内容に関する質問を行うので、復習しておくこと

科目名	体育実技 I C(サッカー)	担当者	坂本 宗司	部別	第一部	期間	前期 2 時限 連続	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	サッカーをプレーする上で必要な、個人技術・個人戦術の向上させ、チームスポーツとしてのグループ戦術・チーム戦術へと発展させる。 また、健康な生活を送るために必要な運動習慣を確立し、チームスポーツの醍醐味、サッカーの楽しさを学ぶ。				
授業目的・到達目標	サッカーの基礎技術を習得すると同時に、ゲームを通じてコミュニケーション（メンバーシップ、リーダーシップ）を図り、チームワークを獲得することを目的とする。 サッカーを通してスポーツマンシップ、マナーを身に付ける。				
履修条件	初級者から上級者まで誰でも可。				
授業方法	授業は技術について、様々なコートの大きさ、条件をルールにゲームの中から学べるように展開する。サッカーに適した服装とシューズを用意し、大宮キャンパスのサッカー場にて行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	平常点80% 試験 授業内においての試合・技術・試験を考慮する（20%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	ゼロからのサッカー サッカー基本攻略法				
オフィスアワー	初回ガイダンス時に指示することとする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ガイダンスの注意事項に従いサッカーを行うことのできる準備をする
	授業内容	ガイダンス及び体力測定 コミュニケーション（声・アイコンタクト・ボディランゲージ・協力）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
2	事前学習	ガイダンスの注意事項に従いサッカーを行うことのできる準備をする
	授業内容	ガイダンス及び体力測定 コミュニケーション（声・アイコンタクト・ボディランゲージ・協力）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
3	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 ボールフィーリング： ドリブル（見る・聞く・止める）ゲーム形式
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
4	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 ボールフィーリング（ドリブル） ドリブル（見る・聞く・止める）ゲーム形式
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

5	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 パス&コントロール ゲーム形式
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
6	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 パス&コントロール ゲーム形式
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
7	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 フェイント&ターン（1対1の突破・攻撃）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
8	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 フェイント&ターン（1対1の突破・守備）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
9	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 スクリーンとボールキープ（1対1・チーム）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
10	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 スクリーンとボールキープ（1対1・チーム）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
11	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 シュート（ドロップ・パントキック）GK・ヘディング（スタンディング・ジャンプヘッド）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
12	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 シュート（ドロップ・パントキック）GK・ヘディング（スタンディング・ジャンプヘッド）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
13	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 リフティング（ひとり・グループ）色々な場所
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
14	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 リフティング（ひとり・グループ）色々な場所
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
15	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 パス&コントロール（クッション・ウェッジ）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
16	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基礎技術 パス&コントロール（クッション・ウェッジ）
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

29	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	スモールゲーム リーグ戦形式でゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
30	事前学習	前回授業の内容を確認し、基本技術、サッカー専門用語を習得しておくこと
	授業内容	スモールゲーム リーグ戦形式でゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

科目名	体育実技 I C(フットサル)	担当者	坂本 宗司	部別	第一部	期間	後期 2 時限 連続	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	フットサルをプレーする上で必要な、個人技術・個人戦術の向上させ、チームスポーツとしてのグループ戦術・チーム戦術へと発展させる。 また、健康な生活を送るために必要な運動習慣を確立し、チームスポーツの醍醐味、フットサルの楽しさを学ぶ。 サッカーとフットサルの違いを学ぶ。				
授業目的・到達目標	チームスポーツであるフットサルを通してコミュニケーションを理解する。 生涯スポーツとしてサッカー及びフットサルを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。 誰でも手軽に楽しめるスポーツとして性別・経験を問わずフットサルを楽しむ。 ボールを蹴る・止める・運ぶの基本技術の習得と、試合を通じてコミュニケーション能力を身につける。				
履修条件	初級者から上級者まで誰でも可。				
授業方法	この科目は、大宮キャンパス体育館を使用して後期２時限連続で実施する授業である。 フットサルに適した服装とフットサル用のシューズを用意すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	平常点80% 試験 授業内においての試合・技術・試験を考慮する20%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	フットサル教本：日本フットサル連盟（監修）、松崎康裕、須田芳正（著）、大修館書店。				
オフィス アワー	初回ガイダンス時に指示することとする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ガイダンスの注意事項に従いサッカーを行うことのできる準備をする
	授業内容	ガイダンス及び体力測定
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
2	事前学習	ガイダンスの注意事項に従いサッカーを行うことのできる準備をする
	授業内容	基本技術：ボールフィーリング(ドリブル)、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
3	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本技術：ボールフィーリング(ドリブル)、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
4	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本技術：ボールフィーリング(ドリブル)、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

5	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本技術：パス&コントロール、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
6	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本技術：パス&コントロール、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
7	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本技術：パス&コントロール、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
8	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：シュート練習、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
9	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：シュート練習、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
10	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：1対1の突破、2対2の突破、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
11	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：1対1の突破、2対2の突破、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
12	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：1対1の突破、2対2の突破、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
13	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：4対2のボール回し、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
14	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：4対2のボール回し、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
15	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	基本戦術：4対2のボール回し、ゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
16	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	リーグ戦形式でゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

29	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	リーグ戦形式でゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
30	事前学習	前回授業の内容を確認し、サッカーとフットサルの違いを理解し、基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	リーグ戦形式でゲーム
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

科目名	体育実技 I C(ゴルフ初級)	担当者	坂本 宗司	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	羽付きボールを使用した初心者向けの実技とする。 羽付きボールを使ってコースのラウンドがスムーズに実施できるようになること。 パープレイに近づけるように努力する。					
授業目的・到達目標	ゴルフの技術を短期間で習得することは難しい。しかし、この羽付きボールを使ったバードゴルフは、ショット練習だけではなく、グラウンドのコースをラウンドする事によってゴルフを理解するのに役立ち、上達が早まる様に工夫されている。従ってルールの理解を含めたゴルフの基礎を習得し将来の余暇善用に役立てる事を目的とする。					
履修条件	通常の筋力があれば問題ないとする。 誰でも受講可とする。					
授業方法	大宮キャンパスにて行う。 クラブ等は学部で準備してあるものを貸与する。スポーツシューズ、運動着、ゴルフ手袋は各自で準備する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度60% 実技課題点40% 意欲・技能・理解・進歩度 受講態度等の総合評価とする。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参考書	指導パンフレットを配布する。					
オフィスアワー	初回ガイダンス時に指示することとする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ガイダンスの注意事項に従いゴルフを行うことのできる準備をする
	授業内容	ガイダンス及び体力測定
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
2	事前学習	ガイダンスの注意事項に従いゴルフを行うことのできる準備をする
	授業内容	ガイダンス及び体力測定
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
3	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	ゴルフボールを使った遊び、スイング練習
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
4	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	スイングの基礎理論① (軽いボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

5	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	スイングの基礎理論② (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
6	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	体育館内でアプローチショットの練習1 (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
7	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	体育館内でアプローチショットの練習2 (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
8	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	体育館内でアプローチショットの練習3 (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
9	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	体育館内でフルショット練習1 (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
10	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	体育館内でフルショット練習2 (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
11	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	体育館内でフルショット練習3 (バードボール使用)
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
12	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	グラウンドでフルショットとアプローチショットの練習1
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
13	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	グラウンドでフルショットとアプローチショットの練習2
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
14	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	グラウンドでフルショットとアプローチショットの練習3
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
15	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	コース設営 18ホールラウンド練習
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
16	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	コース設営 18ホールラウンド練習
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

17	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	コース設営 18ホールラウンド練習
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
18	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	コース設営 18ホールラウンド練習
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
19	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦1 新ペリア方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
20	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦2 新ペリア方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
21	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦3 新ペリア方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
22	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦4 新ペリア方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
23	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦5 公式戦1、2、3、4のスコアーからハンデキャップ設定し18ホール ストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
24	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦6 ハンディキャップ方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
25	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦7 ハンディキャップ方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
26	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦8 ハンディキャップ方式で、18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
27	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦9 新しいハンディキャップで18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
28	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦10 新しいハンディキャップで18ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

29	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦 1 1 新しいハンディキャップで 1 8 ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する
30	事前学習	前回授業の内容を確認し、ゴルフの基本技術、専門用語を習得しておくこと
	授業内容	公式戦 1 2 新しいハンディキャップで 1 8 ホールストロークプレイ
	事後学習	授業内容を振り返り、基本技術や専門用語を整理する

科目名	体育実技 I C(コンバインドスポーツ)	担当者	佐藤 秀明	部別	第一部	期間	前期 2 時限 連続	単位数	2
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	様々なスポーツを体験し、「複合的にスポーツ」を楽しみます。そして、健康や体力に関する知識の学びや、運動やスポーツの実践を通じて各々が主体性をもって健康な生活を実践できるように授業を展開する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】仲間との交流を通じて社会性を養うことを目的としています。 【到達目標】スポーツを楽しむ態度を身につける。主体性と判断力を養う。				
履修条件	屋外・屋内運動靴（紐靴が望ましい）、運動着（トレーニングウェア等）、タオル、その他運動・スポーツに必要な準備をしてください。				
授業方法	この科目は、大宮キャンパス体育館及びグラウンドを使用して前学期2時限連続で実施する実技です。授業開始時と終了時に、傷害予防のためウォーミングアップとクールグダウンを行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参画状況（60%） レポート課題、受講準備、各自の目標達成度（40%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	「観る前に読む大修館スポーツルール2017」大修館書店 ISBN 978-4-469-26792-1				
オフィスアワー	火曜日 16：30～18：00、木曜日 12：10～13：00 ※事前に連絡をしてください。 e-Mail satou.hideaki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業概要、授業目的、到達目標、授業方法を確認する。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の目的・方法、評価方法、受講時の注意、授業計画についての説明 体育実技と健康について（講義形式）
	事後学習	ガイダンスの内容を再度確認する。
2	事前学習	運動の身体的・精神的効果について調べる 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する
	授業内容	【身体ほぐし運動】 軽運動、体操、ストレッチ等
	事後学習	学んだ内容を再確認し、理解を深め、以後実践できるようにする。
3	事前学習	フィットネスチェックの測定種目を確認する（握力、反復横跳び、立ち幅跳、長座体前屈、上体起こし、閉眼片足立ち） 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する
	授業内容	【フィットネスチェック】 柔軟性、敏捷性、平衡性、筋力、筋持久力の測定
	事後学習	フィットネスチェックの結果を踏まえて、体力及び健康の維持増進に向けた目標を立てる。 また、日常生活においてフィジカルアクティビティを積極的に取り入れる。
4	事前学習	ソフトバレーボールのルール、技術等を各自で調べる。動画を視聴し各自で調べる。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ソフトバレーボール①】 ルールの説明、基本練習、ゲーム
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。

5	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ソフトバレーボール②】 リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
6	事前学習	インディアカのルールを調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【インディアカ①】 トーナメント戦①
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
7	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【インディアカ②】 トーナメント戦②
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
8	事前学習	シングルのルール、技術等を各自で調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【バドミントン①】 ルールの説明、基本練習、ゲーム（シングルス）
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
9	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【バドミントン②】 シングルス リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
10	事前学習	ダブルスのルール、技術等を各自で調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【バドミントン③】 ダブルス リーグ戦
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
11	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【バドミントン④】 ダブルス トーナメント戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
12	事前学習	チェックボールのルールを調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【チェックボール①】 ルールの説明、基本練習、ゲーム
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
13	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【チェックボール②】 シングルス リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
14	事前学習	スポンジテニスのルールを調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【スポンジテニス①】 ダブルス リーグ戦
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
15	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【スポンジテニス②】 ダブルス トーナメント戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
16	事前学習	シングルのルール、技術等を各自で調べてくる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【卓球①】 ルールの説明、基本練習、ミニゲーム
	事後学習	自らの良い点や課題などを抽出する。

17	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【卓球①】 シングルス リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
18	事前学習	ダブルスのルール、技術等を各自で調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【卓球③】 ダブルス リーグ戦
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
19	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【卓球④】 ダブルス トーナメント戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
20	事前学習	ユニバーサルホッケーのルール、技術等を各自で調べる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ユニバーサルホッケー①】 ルールの説明、チーム分け、基本練習
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
21	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ユニバーサルホッケー②】 リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
22	事前学習	アルティメットのルール、技術等を各自で調べる。 フライングディスクのスロー及びキャッチについて確認する。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【アルティメット】 ルールの説明、チーム分け、基本練習
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
23	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【アルティメット】 リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
24	事前学習	ティーボールのルール、技術等を各自で調べてくる。 動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ティーボール①】 ルール説明、チーム分け、基本練習 【準備】各自で調べてくる
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
25	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ティーボール②】 リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
26	事前学習	キンボールのルール、技術等を各自で調べる。 動画を視聴し各自で調べる。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【キンボール①】 ルールの説明、チーム分け、基本練習
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
27	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する
	授業内容	【キンボール②】 リーグ戦
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
28	事前学習	フェンシングのルール（フルーレ、エペ種目）、技術等を各自で調べる。 動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【フェンシング①】 ルール説明、基本練習
	事後学習	仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。

29	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方策を設定する。
	授業内容	【フェンシング①】 体験用具を使ってゲームをする
	事後学習	自らが設定した課題解決方策の達成度などの振り返りを行う。
30	事前学習	半期の振り返りを行う
	授業内容	まとめ 授業の振り返り、各自の目標達成度を確認する
	事後学習	健康行動の一つであるスポーツ活動の継続的な実施を心がける。

科目名	体育実技 I C(卓球)	担当者	佐藤 秀明	部別	第一部	期間	後期 2 時限 連続	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	卓球を体験し、楽しむ。そして、健康や体力に関する知識の学びや、運動やスポーツの実践を通じて各々が主体性をもって健康な生活を実践できるように授業を展開する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】：スポーツマンシップ（相手への尊敬、ルールの遵守、フェアプレイ等）を理解し、主体性と判断力を養う。 【到達目標】：技術の習得やルール、マナーの学びを通じて卓球の楽しさを享受し、生涯スポーツの導入とする。また主体性をもってスポーツ活動を実践し、健康的なライフスタイルを獲得できるようにする。				
履修条件	卓球経験の有無は不問。運動靴（紐靴が望ましい）、運動着（トレーニングウェア等）、タオル、その他運動・スポーツに必要な準備をしてください。用具（ラケット、ボール）の準備はありますが、個人で準備しても構いません。				
授業方法	大宮キャンパス体育館で後学期 2 時限連続（180分）で実施する実技科目です。 授業開始時と終了時に、傷害予防のためウォーミングアップとクールグダウンを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参画状況（50％）、技能試験（20％）、平常点（30％） ※平常点は、課題リポート、授業準備、受講態度等、各自の目標達成度	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	日本卓球ルールブック（JTТА）				
オフィスアワー	火曜日 16：30～18：00、水曜日 9：00～15:00、木曜日 12：10～13：00 ※事前に連絡をしてください。 e-Mail satou.hideaki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業概要、授業目的、到達目標、授業方法を確認する。
	授業内容	【ガイダンス】 授業の目的・方法、評価方法、受講時の注意、授業計画についての説明 卓球について（ルールの説明、用具等解説）
	事後学習	ガイダンスの内容を再度確認する
2	事前学習	運動の身体的・精神的効果について調べてくる。 フィットネスチェックの測定種目について事前に確認してくる。こと。 ※測定種目：握力・反復横跳び・長座体前屈・立ち幅跳び・上体起こし・閉眼片足立ち
	授業内容	【身体ほぐし運動】軽運動、体操、ストレッチ等 【フィットネスチェック】柔軟性、敏捷性、平衡性、筋力、筋持久力の測定
	事後学習	フィットネスチェックの結果を踏まえて、体力及び健康の維持増進に向けた目標を立てる。 また、日常生活においてフィジカルアクティビティを積極的に取り入れる。
3	事前学習	技術等を各自で調べてくる。動画を視聴し各動作を確認する。 30 分以上の連続歩行運動を週 3 回程度実施する。
	授業内容	【基本的な動作の習得①】基本的な動作と技術（フォアハンド、バックハンド、サーブ）を学ぶ① 実践練習とミニゲーム（シングルス）
	事後学習	自らの良い点や課題などを抽出する。
4	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【基本的な動作の習得②】基本的な動作と技術（フォアハンド、バックハンド、サーブ）を学ぶ② 実践練習とミニゲーム（シングルス）
	事後学習	自らが設定した課題解決方策の達成度などの振り返りを行う。

5	事前学習	技術等を各自で調べてくる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【基本的な動作の習得③】基本的な動作と技術（ショート、ツッツキ、レシーブ、スマッシュ、カット）を学ぶ③ 実践練習とミニゲーム（シングルス）
	事後学習	自らの良い点や課題などを抽出する。
6	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【基本的な動作の習得④】基本的な動作と技術（ショート、ツッツキ、レシーブ、スマッシュ、カット）を学ぶ④ 実践練習とミニゲーム（シングルス）
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
7	事前学習	技術等を各自で調べてくる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【審判技術（カウント、ジャッジ）を学ぶ】 ゲームにおけるマナーを学ぶ
	事後学習	審判技術について復習する。
8	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【技術のチェック】 基本動作、審判技術の習得状況等 ミニゲーム（シングルス）
	事後学習	技術チェックの結果を踏まえ、課題を明確にし具体的な解決方をあげる。
9	事前学習	技術等を各自で調べてくる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【基本的な戦術を学ぶ】 ミニゲーム（シングルス）、練習方法の工夫
	事後学習	戦術について復習する。
10	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【リーグ戦①】 シングルスゲーム
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
11	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【リーグ戦②】 シングルスゲーム
	事後学習	自らの良い点や課題などを抽出する。
12	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【リーグ戦③】 シングルスゲーム
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
13	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【トーナメント戦①】 シングルスゲーム
	事後学習	自らの良い点や課題などを抽出する。
14	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【トーナメント戦②】 シングルスゲーム
	事後学習	自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
15	事前学習	技術等を各自で調べてくる。動画を視聴し各動作を確認する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ダブルスの基本的な技術を学ぶ①】 実践練習とミニゲーム（ダブルス）
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
16	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ダブルスの基本的な技術を学ぶ②】 実践練習とミニゲーム（ダブルス）
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。

17	事前学習	30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ダブルスの実践練習】 基本動作、技術のチェック
	事後学習	技術チェックの結果を踏まえ、課題を明確にし具体的な解決方をあげる。
18	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ダブルスゲーム リーグ戦①】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
19	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ダブルスゲーム リーグ戦②】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
20	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ダブルスゲーム リーグ戦③】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
21	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ダブルスゲーム トーナメント戦①】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
22	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ダブルスゲーム トーナメント戦②】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
23	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ダブルスゲーム トーナメント戦③】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
24	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ダブルスゲーム トーナメント戦④】
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
25	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【ダブルスゲーム トーナメント戦⑤】※技能レベルに分けて実施
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
26	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【ダブルスゲーム トーナメント戦⑥】※技能レベルに分けて実施
	事後学習	ペアを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。
27	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【チーム戦①】 チーム戦を体験する ※シングルスとダブルスの混合
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。
28	事前学習	前回の課題を確認し、具体的な解決方を設定する。
	授業内容	【チーム戦②】 チーム戦を体験する ※シングルスとダブルスの混合
	事後学習	チームを組んだ仲間とお互いの良い点や課題などを共有する。 自らが設定した課題解決方の達成度などの振り返りを行う。

29	事前学習	各自でレクリエーションとしての卓球について考える。 30分以上の連続歩行運動を週3回程度実施する。
	授業内容	【レクリエーションとしての卓球を学ぶ】 ゲーム方法を工夫して行う
	事後学習	みる・するスポーツについて考える。
30	事前学習	半期の振り返りを行う
	授業内容	【まとめ】 授業の振り返り、各自の目標達成度を確認する
	事後学習	健康行動の一つであるスポーツ活動の継続的な実施を心がける。

科目名	体育実技 I C(バドミントン)	担当者	高階 曜衣	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	バドミントンの基礎技術習得とゲームを中心に授業を進め、生涯スポーツとしてバドミントンを実践することを期待する。					
授業目的・到達目標	バドミントンを楽しめるようになる。 基礎的な技術を身に付け、シングルス、ダブルスの戦略や審判法を理解し、実践することを目指す。 健康づくりとしての生涯スポーツを自ら実践できる能力を養い、体力向上を図る。また、コミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。					
履修条件	経験の有無は問わない。 室内用運動靴、運動着、タオルを準備すること。					
授業方法	この授業は、大宮キャンパスを使用して前学期2時限連続で実施する実技種目である。 授業開始時と終了時に、ウォーミングアップとクールダウンを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		技術・ルールの理解度、受講態度などを総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	使用しない。					
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容を振り返る
2	事前学習	体力測定の種類や方法について調べてくる
	授業内容	軽運動、体力測定
	事後学習	測定結果から自身の体力について考える
3	事前学習	グリップの握り方や基本動作について調べてくる
	授業内容	基本技術1 ラケットとシャトルに慣れる
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
4	事前学習	ストローク、サービス、ショットについて調べてくる
	授業内容	基本技術2 ストローク、サービス、ショットの練習①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める

5	事前学習	ストローク、サービス、ショットについて調べてくる
	授業内容	基本技術3 ストローク、サービス、ショットの練習②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
6	事前学習	ストローク、サービス、ショットについて調べてくる
	授業内容	基本技術4 ストローク、サービス、ショットの練習③
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
7	事前学習	ストローク、サービス、ショットについて調べてくる
	授業内容	基本技術5 ストローク、サービス、ショットの練習④
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
8	事前学習	シングルの戦略や審判法について調べてくる
	授業内容	シングルの導入(ルールの理解)、試合形式練習①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
9	事前学習	シングルの戦略や審判法について調べてくる
	授業内容	シングルス試合形式練習②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、シングルのゲームで実践できるようにする
10	事前学習	基本技術、シングルの戦略や審判法のおさらいをしてくる
	授業内容	シングルスゲーム(リーグ戦①)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
11	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルスゲーム(リーグ戦②)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
12	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルスゲーム(リーグ戦③)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
13	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルスゲーム(トーナメント①)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
14	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルスゲーム(トーナメント②)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
15	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルス・グループ対抗
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
16	事前学習	ダブルスの戦略や審判法について調べてくる
	授業内容	ダブルスの導入(ルールの理解)
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める

17	事前学習	ダブルスの戦略や審判法についておさらいしてくる
	授業内容	ダブルスの試合形式練習①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、ダブルスのゲームで実践できるようにする
18	事前学習	ダブルスの戦略や審判法についておさらいしてくる
	授業内容	ダブルスの試合形式練習②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、ダブルスのゲームで実践できるようにする
19	事前学習	基本技術、ダブルスの戦略や審判法のおさらいをしてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦①)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
20	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦②)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
21	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦③)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
22	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦④)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
23	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(トーナメント戦①)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
24	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(トーナメント戦②)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
25	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(トーナメント戦③)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
26	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(トーナメント戦④)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
27	事前学習	グループ対抗の戦略を考えてくる
	授業内容	ダブルス・グループ対抗①
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
28	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルス・グループ対抗②
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける

29	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルス・グループ対抗③
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
30	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルス・グループ対抗④
	事後学習	授業全体を振り返り、今後も運動を継続して行うようにする

科目名	体育実技 I C(テニス初級)	担当者	高階 曜衣	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初心者を対象とする。 テニスの基礎技術習得とゲームを中心に授業を進め、生涯スポーツとしてテニスを実践することを期待する。				
授業目的・到達目標	テニスを楽しめるようになる。 基礎的な技術を身に付け、シングルス、ダブルスの戦略や審判法を理解し、実践することを目指す。 健康づくりとしての生涯スポーツを自ら実践できる能力を養い、体力向上を図る。また、コミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。				
履修条件	経験の有無は問わない。 運動靴、運動着、タオルを準備すること。※雨天時は、室内用運動靴を準備すること。				
授業方法	この授業は、大宮キャンパスを使用して前学期2時限連続で実施する実技種目である。 授業開始時と終了時に、ウォーミングアップとクールダウンを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	技術・ルールの理解度、受講態度などを総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参 考 書	使用しない。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくる
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容を振り返る
2	事前学習	体力測定の種類や方法について調べてくる
	授業内容	軽運動、体力測定
	事後学習	測定結果から自身の体力について考える
3	事前学習	グリップの握り方や基本動作について調べてくる
	授業内容	基本技術1 ボールコントロール、ラケットワーク
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
4	事前学習	ミニテニスについて調べてくる
	授業内容	基本技術2 ミニテニス
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める

5	事前学習	フォアハンドについて調べてくる
	授業内容	基本技術3 フォアハンドストローク①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
6	事前学習	フォアハンドについて調べてくる
	授業内容	基本技術4 フォアハンドストローク②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
7	事前学習	バックハンドについて調べてくる
	授業内容	基本技術5 バックハンドストローク①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
8	事前学習	バックハンドについて調べてくる
	授業内容	基本技術6 バックハンドストローク②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
9	事前学習	サービス、ボレーについて調べてくる
	授業内容	基本技術7 サービス、ボレー①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
10	事前学習	サービス、ボレーについて調べてくる
	授業内容	基本技術8 サービス、ボレー②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める
11	事前学習	シングルの戦略や審判法について調べてくる
	授業内容	シングルの導入①(ルールの理解、ミニテニス)
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、シングルのゲームで実践できるようにする
12	事前学習	ミニテニスのおさらいをしてくる
	授業内容	シングルの導入②(ミニテニス)
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、シングルのゲームで実践できるようにする
13	事前学習	基本技術、シングルの戦略や審判法のおさらいをしてくる
	授業内容	シングルスゲーム(リーグ戦①)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
14	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルスゲーム(リーグ戦②)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
15	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	シングルスゲーム(リーグ戦③)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
16	事前学習	ダブルスの戦略や審判法について調べてくる
	授業内容	ダブルスの導入(ルールの理解、ミニテニス)
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、理解を深める

17	事前学習	ダブルスの戦略や審判法についておさらいしてくる
	授業内容	ダブルスの試合形式練習①
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、ダブルスのゲームで実践できるようにする
18	事前学習	ダブルスの戦略や審判法についておさらいしてくる
	授業内容	ダブルスの試合形式練習②
	事後学習	授業で行った内容のポイントをおさえ、ダブルスのゲームで実践できるようにする
19	事前学習	基本技術、ダブルスの戦略や審判法のおさらいをしてくる
	授業内容	ダブルスゲーム①
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
20	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム②
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
21	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム③
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
22	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム④
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
23	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦①)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
24	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦②)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
25	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦③)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
26	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルスゲーム(リーグ戦④)
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
27	事前学習	チーム戦の戦略を考えてくる
	授業内容	ダブルス・チーム戦①
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
28	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルス・チーム戦②
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける

29	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルス・チーム戦③
	事後学習	ゲーム内容を思い出し、課題点を見つける
30	事前学習	課題点の改善策を考えてくる
	授業内容	ダブルス・チーム戦④
	事後学習	授業全体を振り返り、今後も運動を継続して行うようにする

科目名	体育実技 I C(ソフトボール)	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	前期 2 時限 連続	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	スポーツは体を動かす生活文化である。大学体育の目的は学生生活(健康の保持、増進)、社会性（社会性の育成）を豊かにすることの基礎づくりとして行われる。自ら考え創意工夫し、技術を高めながら、ルール、マナー、体を動かす楽しみを経験し生涯を通してスポーツ活動の足掛かりとなる健康、体力づくりを行う。				
授業目的・到達目標	ソフトボールの基本的技術の習得、ゲームにおける実践的な能力を身につけ、ソフトボールの技術を理解し、チームワークに必要なコミュニケーション(信頼関係構築や対人スキル)をとることができるようにすることを目的とする。				
履修条件	この科目は、大宮キャンパスグラウンドを使用して2時限連続で実施する授業である。受講時には授業に適した運動着と運動靴を着用すること。				
授業方法	ソフトボールの基礎からゲームまでを行い、個人技術とチーム技術を高め競技力を向上させる。ゲームにおいては、戦術戦略を話し合いチームワークを構築する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	技術の理解度、チームワーク、コミュニケーション(信頼関係構築、対人スキル)受講態度など総合して評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じてプリントの配布			
参考書	使用しない				
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	授業内容の説明
	事後学習	授業内容を理解し、授業に必要なものを準備すること。
2	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチを確認すること。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 1
	事後学習	ストレッチ体操 トレーニングにおけるポイントを理解しウォーミングアップに取り入れる。
3	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチを確認すること。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 2
	事後学習	ストレッチ体操 トレーニングにおけるポイントを理解しウォーミングアップに取り入れる。
4	事前学習	各ポジションに必要な技術を確認すること。
	授業内容	チーム分け キャッチボール
	事後学習	基礎的な動作であるキャッチボールの技術を身につけておくこと。

5	事前学習	個人技術での強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	ソフトボール チーム別基本練習 1
	事後学習	個人技術を高めるためのトレーニングを継続すること。
6	事前学習	個人技術での強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	チーム別基本練習 2
	事後学習	個人技術を高めるためのトレーニングを継続すること。
7	事前学習	個人とチームにおける技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	チーム別基本練習 3
	事後学習	個人とチーム力を生かした戦略を立てておくこと。
8	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておくこと。
	授業内容	ソフトボール リーグ戦 1
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
9	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 2
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
10	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 3
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
11	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 4
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
12	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 5
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
13	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 6
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
14	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 7
	事後学習	勝敗要因からゲーム分析を行い次のリーグ戦に役立てること。
15	事前学習	個人技術に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 8
	事後学習	リーグ戦を通してチームの競技力を分析する。
16	事前学習	体力を把握しておくこと。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 3
	事後学習	体力向上のために必要なトレーニングを継続すること。

17	事前学習	各ポジションに必要な技術を確認すること。
	授業内容	チーム分け キャッチボール
	事後学習	基礎的技術を再度見直して、基礎的技術を向上させるためのトレーニングを行う。
18	事前学習	個人技術での強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	ソフトボール チーム別基本練習 1
	事後学習	リーグ戦に向けた戦術を磨く。
19	事前学習	個人技術での強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	チーム別基本練習 2
	事後学習	リーグ戦に向けた戦術を磨く。
20	事前学習	個人技術での強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	チーム別基本練習 3
	事後学習	リーグ戦に向けた戦術を磨く。
21	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	ソフトボール リーグ戦 1
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
22	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 2
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
23	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 3
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
24	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 4
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
25	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 5
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
26	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 6
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
27	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 7
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。
28	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 8
	事後学習	チーム分析を行い次回の戦略に役立てる。

29	事前学習	技術向上に必要な競技分析を行うこと。
	授業内容	リーグ戦 9
	事後学習	リーグ戦を通してチームの競技力を分析する。
30	事前学習	個人とチームの技術分析を行う。
	授業内容	まとめ
	事後学習	リーグ戦を通して個人とチームの競技力を分析する。

科目名	体育実技 I C(多種目スポーツ)	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	後期 2 時限 連続	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	スポーツは体を動かす生活文化である。大学体育の目的は学生生活(健康の保持、増進)、社会性(社会性の育成)を豊かにすることの基礎づくりとして行われる。自ら考え創意工夫し、ルール、マナー、体を動かす楽しみを経験し生涯を通してスポーツ活動の足掛かりとなる健康、体力づくりを行う。				
授業目的・到達目標	多種目スポーツにおける運動の基本的技術習得、ゲームにおける実践的な能力を身につけ、体力を向上させる。また多種目スポーツを通してチームワークに必要なコミュニケーションをとることができるようにすることを目的とする。				
履修条件	この科目は、大宮キャンパスでの体育館やグラウンドを使用して2時限連続で実施する授業である。受講時には授業に適した運動着と運動靴を着用すること。				
授業方法	多種目スポーツにおける体力向上・維持、スポーツの基本的技術習得を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	技術の理解度、チームワーク、コミュニケーション(信頼関係構築、対人スキル)受講態度など総合して評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じてプリントの配布			
参考書	特になし				
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	授業内容の説明
	事後学習	授業内容を理解し、授業に必要なものを準備する。
2	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチを確認する。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 1
	事後学習	ストレッチ体操 トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
3	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチを確認する。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 2
	事後学習	ストレッチ体操 トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
4	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておくこと。
	授業内容	球技(卓球 1)
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。

5	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（卓球 2）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
6	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（卓球 3）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
7	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（卓球 4）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
8	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（卓球 5）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
9	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておくこと。
	授業内容	球技（バドミントン 1）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
10	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バドミントン 2）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
11	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バドミントン 3）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
12	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バドミントン 4）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
13	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バドミントン 5）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
14	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バドミントン 6）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析すること。
15	事前学習	チームスポーツにおける戦略を立てること。
	授業内容	球技（ドッジボール 1）
	事後学習	体力維持・向上のためのトレーニングを継続すること。
16	事前学習	体力を把握しておくこと。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 3
	事後学習	体力維持・向上のためのトレーニングを継続すること。

17	事前学習	体力を把握しておくこと。
	授業内容	ストレッチ体操 トレーニング 4
	事後学習	体力維持・向上のためのトレーニングを継続すること。
18	事前学習	体力を把握しておくこと。
	授業内容	縄跳び（ダブル・ダッチ 1） / 竹馬
	事後学習	調整力（バランス・敏捷性）さらには反応能力を高めるトレーニングを継続する。
19	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておくこと。
	授業内容	球技（バスケットボール 1）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
20	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バスケットボール 2）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
21	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バスケットボール 3）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
22	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バスケットボール 4）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
23	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バスケットボール 5）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
24	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（バスケットボール 6）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
25	事前学習	ゲームにおけるルールを理解しておくこと。
	授業内容	球技（フットサル 1）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
26	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（フットサル 2）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
27	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（フットサル 3）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
28	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（フットサル 4）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。

29	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておくこと。
	授業内容	球技（フットサル 5）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
30	事前学習	個人・チームスポーツにおける体力分析をしておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	体力向上や維持に必要なトレーニングを理解し、様々なスポーツを継続して行う。

科目名	体育実技 I C(バドミントン)	担当者	深田 喜八郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自身の健康を維持するための知識は、人生をより良く生きるための教養になっている。将来、疾病に罹患する危険性を低下させるためには、運動習慣を身に付けることが必要である。バドミントンの実施方法を学ぶとともに、バドミントンを通して他者と関することで、社会性を養うことを目的とする。					
授業目的・到達目標	バドミントンの実施方法や技術・ルールを修得し、自主的に実践することを目的とする。バドミントンのゲーム運営を企画し、実践することで、他者と良好な人間関係を構築することができるようになる。					
履修条件	経験の有無は問わない。室内用運動靴、トレーニングウェア、タオル等を持参して受講すること。 ※第1回目は準備不要					
授業方法	大宮キャンパス体育館を使用して2時限連続で実施する実技科目である。 必要に応じ、バドミントンの技能別に実施することがある。※授業内容は変更する場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業参加度50%、レポート課題、授業態度等50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。				
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。					
オフィスアワー	授業終了時に相談すること。必要に応じて別途、時間等を指示する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業計画を確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の目的・内容、評価方法、諸注意について説明する
	事後学習	授業計画に対する疑問点をまとめておくこと。
2	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	身体ほぐしの運動、体力テスト 筋力・俊敏性・柔軟性等の計測
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
3	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	基本的なショットの習得① シャトルに慣れる、サーブ・ドライブの練習
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
4	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	基本的なショットの習得② クリアー・プッシュ・ドロップの練習、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

5	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	基本的なショットの習得③ スマッシュの練習、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
6	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	半面シングルス① ラリー継続の練習
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
7	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	半面シングルス② リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
8	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合① 審判方法の修得
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
9	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合② サービスの方法、戦術の理解
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
10	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合③ リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
11	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合④ リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
12	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合⑤ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
13	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの練習① 簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
14	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの練習② サービスの順番・審判方法の修得、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
15	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの練習③ 戦術の紹介、ラリー継続の練習、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
16	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合① リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

17	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合② リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
18	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合③ リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
19	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合④ トーナメント戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
20	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合⑤ トーナメント戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
21	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合⑥ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
22	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合⑦ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
23	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トリプルの試合① サービスの順番・審判方法の修得、リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
24	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トリプルの試合② 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
25	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営① シングルス、ダブルス、トリプルによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
26	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営② シングルス、ダブルス、トリプルによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
27	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営③ シングルス、ダブルス、トリプルによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
28	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営④ シングルス、ダブルス、トリプルによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

29	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営⑤ シングルス、ダブルス、トリプルスによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
30	事前学習	これまでの学修内容についてまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	学修内容の実践方法を考案すること。

科目名	体育実技 I C(バドミントン)	担当者	深田 喜八郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	自身の健康を維持するための知識は、人生をより良く生きるための教養になっている。将来、疾病に罹患する危険性を低下させるためには、運動習慣を身に付けることが必要である。バドミントンの実施方法を学ぶとともに、バドミントンを通して他者と関することで、社会性を養うことを目的とする。					
授業目的・到達目標	バドミントンの実施方法や技術・ルールを修得し、自主的に実践することを目的とする。バドミントンのゲーム運営を企画し、実践することで、他者と良好な人間関係を構築することができるようになる。					
履修条件	経験の有無は問わない。室内用運動靴、トレーニングウェア、タオル等を持参して受講すること。 ※第1回目は準備不要					
授業方法	大宮キャンパス体育館を使用して2時限連続で実施する実技科目である。 必要に応じ、バドミントンの技能別に実施することがある。※授業内容は変更する場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業参加度50%、レポート課題、授業態度等50%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。				
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。					
オフィスアワー	授業終了時に相談すること。必要に応じて別途、時間等を指示する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業計画を確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の目的・内容、評価方法、諸注意について説明する
	事後学習	授業計画に対する疑問点をまとめておくこと。
2	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	身体ほぐしの運動、体力テスト 筋力・俊敏性・柔軟性等の計測
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
3	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	基本的なショットの習得① シャトルに慣れる、サーブ・ドライブの練習
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
4	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	基本的なショットの習得② クリアー・プッシュ・ドロップの練習、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

5	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	基本的なショットの習得③ スマッシュの練習、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
6	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	半面シングルス① ラリー継続の練習
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
7	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	半面シングルス② リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
8	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合① 審判方法の修得
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
9	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合② サービスの方法、戦術の理解
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
10	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合③ リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
11	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合④ リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
12	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	シングルの試合⑤ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
13	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの練習① 簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
14	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの練習② サービスの順番・審判方法の修得、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
15	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの練習③ 戦術の紹介、ラリー継続の練習、簡易ゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
16	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合① リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

17	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合② リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
18	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合③ リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
19	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合④ トーナメント戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
20	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合⑤ トーナメント戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
21	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合⑥ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
22	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	ダブルスの試合⑦ 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
23	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トリプルの試合① サービスの順番・審判方法の修得、リーグ戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
24	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	トリプルの試合② 団体戦
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
25	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営① シングルス、ダブルス、トリプルスによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
26	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営② シングルス、ダブルス、トリプルスによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
27	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営③ シングルス、ダブルス、トリプルスによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
28	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営④ シングルス、ダブルス、トリプルスによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。

29	事前学習	学修内容について事前に調べ学習を行うこと。
	授業内容	学生企画によるゲーム運営⑤ シングルス、ダブルス、トリプルスによるゲーム
	事後学習	学修内容を見直し、理解不足・疑問点を各自調べておくこと。
30	事前学習	これまでの学修内容についてまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	学修内容の実践方法を考案すること。

科目名	体育実技 I C(バレーボール)	担当者	松田 有司	部別	第一部	期間	前期 2 時限 連続	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	生涯スポーツのひとつであるバレーボールを実施し、バレーボールの基礎的技術(パス、アタック、サーブ)やルールを習得する。授業は個人練習、全体練習、および試合からなる。試合は、受講人数に応じて男女別もしくは男女混合で行う。実技を実施する中で、自身の体を動かすこと楽しさや重要性を知り、体を動かす習慣を作る。また、チームメイトとの関係から、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力、協調性などの社会的能力を身につける。					
授業目的・到達目標	基礎的技術を向上させ、ゲームを遂行することができるようになる チームスポーツを通じて、他者とのコミュニケーション能力やチーム運営能力を培うゲームにおいて各ポジションの役割を果たすことができ、ゲームを遂行することができるようになること 自身の体を動かし、仲間との係わり合いを通じてバレーボールの楽しさを知ること					
履修条件	基本的筋力が必要である バレーボールに興味がありバレーボールを楽しむことができること					
授業方法	大宮キャンパス体育館を使用して前期2時限連続で実施する 男女混合の6人制バレーボールを半年間実施する					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業参加度50、実技課題50(チーム成績 理解進歩度 受講姿勢)の総合評価とする	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	使用しない					
オフィスアワー	大宮体育館事務室1時より受付					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション授業 三崎町校舎3時限目
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	バレーボールの技術や動作方法について調べる
	授業内容	身体能力および技術測定 1
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
3	事前学習	バレーボールの技術や動作方法について調べる
	授業内容	身体能力および技術測定 2
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
4	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	パス技術の習得
	事後学習	パス技術改善点についてまとめる

5	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	仮チーム編成での練習
	事後学習	パス技術改善点についてまとめる
6	事前学習	バレーボールのルールを調べる
	授業内容	アタック・サーブ技術の取得
	事後学習	自身のアタック・サーブの技術改善点についてまとめる
7	事前学習	バレーボールのルールを調べる
	授業内容	仮チーム編成での練習・練習試合
	事後学習	自身のアタック・サーブの技術改善点についてまとめる
8	事前学習	フォーメーションについて調べる
	授業内容	チーム練習(フォーメーション・ラリー)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
9	事前学習	フォーメーションについて調べる
	授業内容	チーム練習および練習試合
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
16	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる

17	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
18	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	チーム変えでのチーム練習
	事後学習	チームでの課題点を抽出し、改善するための練習方法を考える
19	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	チーム練習・練習試合
	事後学習	チームでの課題点を抽出し、改善するための練習方法を考える
20	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
21	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
22	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
23	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	第3次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
24	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	チーム力向上の攻撃&守備のバリエーション
	事後学習	個人技術の改善点について調べ、今後の練習方法を考える
25	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	攻撃・守備のフォーメーション練習
	事後学習	個人技術の改善点について調べ、今後の練習方法を考える
26	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第4次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
27	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第4次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
28	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第4次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる

29	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
30	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	ルール&バレーボール理論の確認
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	体育実技 I C(バレーボール)	担当者	松田 有司	部別	第一部	期間	後期 2 時限 連続	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	生涯スポーツのひとつであるバレーボールを実施し、バレーボールの基礎的技術(パス、アタック、サーブ)やルールを習得する。授業は個人練習、全体練習、および試合からなる。試合は、受講人数に応じて男女別もしくは男女混合で行う。実技を実施する中で、自身の体を動かすこと楽しさや重要性を知り、体を動かす習慣を作る。また、チームメイトとの関係から、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力、協調性などの社会的能力を身につける。					
授業目的・到達目標	基礎的技術を向上させ、ゲームを遂行することができるようになる チームスポーツを通じて、他者とのコミュニケーション能力やチーム運営能力を培うゲームにおいて各ポジションの役割を果たすことができ、ゲームを遂行することができるようになること 自身の体を動かし、仲間との係わり合いを通じてバレーボールの楽しさを知ること					
履修条件	基本的筋力が必要である バレーボールに興味がありバレーボールを楽しむことができること					
授業方法	大宮キャンパス体育館を使用して前期2時限連続で実施する 男女混合の6人制バレーボールを半年間実施する					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		授業参加度50、実技課題50(チーム成績 理解進歩度 受講姿勢)の総合評価とする	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参 考 書	使用しない					
オフィスアワー	大宮体育館事務室1時より受付					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション授業 三崎町校舎3時限目
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	バレーボールの技術や動作方法について調べる
	授業内容	身体能力および技術測定 1
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
3	事前学習	バレーボールの技術や動作方法について調べる
	授業内容	身体能力および技術測定 2
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
4	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	パス技術の習得
	事後学習	パス技術改善点についてまとめる

5	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	仮チーム編成での練習
	事後学習	パス技術改善点についてまとめる
6	事前学習	バレーボールのルールを調べる
	授業内容	アタック・サーブ技術の取得
	事後学習	自身のアタック・サーブの技術改善点についてまとめる
7	事前学習	バレーボールのルールを調べる
	授業内容	仮チーム編成での練習・練習試合
	事後学習	自身のアタック・サーブの技術改善点についてまとめる
8	事前学習	フォーメーションについて調べる
	授業内容	チーム練習(フォーメーション・ラリー)
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
9	事前学習	フォーメーションについて調べる
	授業内容	チーム練習および練習試合
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第1次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
16	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる

17	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第2次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
18	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	チーム変えでのチーム練習
	事後学習	チームでの課題点を抽出し、改善するための練習方法を考える
19	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	チーム練習・練習試合
	事後学習	チームでの課題点を抽出し、改善するための練習方法を考える
20	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
21	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
22	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
23	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	第3次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
24	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	チーム力向上の攻撃&守備のバリエーション
	事後学習	個人技術の改善点について調べ、今後の練習方法を考える
25	事前学習	バレーボールの試合映像を見る
	授業内容	攻撃・守備のフォーメーション練習
	事後学習	個人技術の改善点について調べ、今後の練習方法を考える
26	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第4次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
27	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第4次公式戦リーグ 1週目
	事後学習	試合での課題点(個人技術)についてまとめる
28	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第4次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる

29	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	第3次公式戦リーグ 2週目
	事後学習	試合での課題点(チームプレイ)についてまとめる
30	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	ルール&バレーボール理論の確認
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	体育実技 I C(バスケットボール)	担当者	松本 真	部別	第一部	期間	前期 2 時限 連続	単位数	2
-----	--------------------	-----	------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	バスケットボールの技術・戦術を学び、様々な側面からバスケットボールを楽しめるようになる。バスケットボールの技術と戦術について理解を深める。そのために、パスを主体として、ボール運びから、最終手的なシュートまでの一定のパターンを習得してもらい、その重要性について理解する。			
授業目的・到達目標	バスケットボールの技術・戦術を学び、様々な側面からバスケットボールを楽しめるようになる。バスケットボールの技術と戦術について理解を深める。そのために、パスを主体として、ボール運びから、最終手的なシュートまでの一定のパターンを習得してもらい、その重要性について理解する。			
履修条件	バスケットボールが好きである。また、パスゲームでバスケットボールを理解したいと考える者。			
授業方法	この科目は、大宮キャンパス 体育館を使用して前期 2 時限連続または後期 2 時限連続で実施する授業である。基本ドリル（個人技、チーム戦術）を行う。その後に、ゲームをして、特に戦術的な実践を試みる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業への積極的な参加と、バスケットボールの個人技、戦術的な理解が進んだかを評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない。		
参考書	使用しない。			
オフィスアワー	授業終了後に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校までに習得したゴール型球技に対する知識を確認する。
	授業内容	履修受付・オリエンテーション授業。
	事後学習	オリエンテーションで示された授業内容の確認。
2	事前学習	高校までに習得したバスケットボールに対する知識を確認する。
	授業内容	班分けと試しのゲーム。
	事後学習	班員の確認。自分の身体の状態を確認する。
3	事前学習	バスケットボールのルールを確認する。
	授業内容	全体戦術である「側線のボール運び」を行い、試しのゲームを行う。
	事後学習	「側線のボール運び」について復習確認する。
4	事前学習	「側線のボール運び」について動き方を確認する。
	授業内容	「側線のボール運び」とパス&ランを基本としたハーフコートオフェンスのバリエーションを習得する。試しのゲームを行う。
	事後学習	パス&ランを基本としたハーフコートオフェンスのバリエーションの復習確認をする。

5	事前学習	パス&ランを基本としたハーフコートオフENSEスのバリエーションを確認をする。
	授業内容	「側線のボール運び」をゲームで行うための対応を学ぶ。パス&ランを基本としたハーフコートオフENSEスのバリエーションを習得する。試しのゲームを行う。
	事後学習	戦術学習にとって、対応することの重要性を確認する。
6	事前学習	戦術学習の基本を確認する。
	授業内容	「スクエアカットからの五人のボール運び」を習得する。試しのゲームを行う。
	事後学習	「スクエアカットからの五人のボール運び」の復習確認する。試しのゲームをする。
7	事前学習	「スクエアカットからの五人のボール運び」の確認する。
	授業内容	「スクエアカットからの五人のボール運び」のバリエーションを習得する。戦術にとって役割分担の重要性とタイミングの大切さを学ぶ。試しのゲームをする。
	事後学習	戦術にとって役割分担の重要性とタイミングの大切さを復習する。
8	事前学習	戦術にとって役割分担の重要性とタイミングの大切さを確認する。
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にドリブルについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ドリブルについて復習確認する。
9	事前学習	ドリブルについて復習確認する。
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にレイアップ・シュートについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	レイアップ・シュートについて復習確認する。
10	事前学習	レイアップ・シュートについて復習確認する
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にワンハンドセットシュートについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ワンハンドセットシュートについて復習確認する。
11	事前学習	ワンハンドセットシュートについて確認する。
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にワンハンドの3ポイントシュートについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ワンハンドの3ポイントシュートについて復習確認する。
12	事前学習	ワンハンドの3ポイントシュートについて確認する。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、2対2のパス&ランの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	2対2のパス&ランについて復習確認する。
13	事前学習	2対2のパス&ランの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、ピック&ロールの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ピック&ロールの復習確認をする。
14	事前学習	ピック&ロールの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、3対3のポストパターンの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	3対3のポストパターンの復習確認する。
15	事前学習	3対3のポストパターンの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、3対3のポストパターンからのシザーズのタイミングの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	3対3のポストパターンからのシザーズのタイミングについて復習確認する。
16	事前学習	3対3のポストパターンからのシザーズのタイミングの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、ヘルプサイドからの飛び込み（ボールサイドカット）についての基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ヘルプサイドからの飛び込み（ボールサイドカット）について復習確認する。

17	事前学習	ヘルプサイドからの飛び込み（ボールサイドカット）の確認をする。
	授業内容	ハーフコートオフェンスにとってのエントリーの大切さについて学ぶ。試しのゲームを行う。
	事後学習	ハーフコートオフェンスにとってのエントリーの復習確認をする。
18	事前学習	ハーフコートオフェンスにとってのエントリーの確認をする。
	授業内容	バスケットボールのマンツーマンディフェンスの基本を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	マンツーマンディフェンスの復習確認をする。
19	事前学習	マンツーマンディフェンスの確認をする。
	授業内容	バスケットボールのゾーンディフェンスの形式を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	ゾーンディフェンスの形式について復習確認する。
20	事前学習	ゾーンディフェンスの形式について確認する。
	授業内容	バスケットボールのゾーンディフェンスの考え方を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	ゾーンディフェンスの考え方の復習確認をする。
21	事前学習	ゾーンディフェンスの考え方の確認をする。
	授業内容	バスケットボールのゾーンディフェンスを特徴づけるために、マンツーマンディフェンスの違いを明確にすることを習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	マンツーマンディフェンスとの違いについて復習確認する。
22	事前学習	マンツーマンディフェンスの違いについて確認する。
	授業内容	ファーストブレイクの守り方を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	ファーストブレイクの守り方の復習確認をする。
23	事前学習	ファーストブレイクの守り方の確認をする。
	授業内容	オールコートディフェンスの狙いと考え方を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	オールコートのディフェンスについて復習確認する。
24	事前学習	オールコートのディフェンスについて確認する。
	授業内容	バスケットボールのゲームについての考え方、特に攻撃回数についての考え方を学ぶ。試しのゲームをする。
	事後学習	攻撃回数についての考え方を復習確認する。
25	事前学習	攻撃回数についての考え方を確認する。
	授業内容	バスケットボールのゲームについての考え方、特に接戦でのゲームの終わり方について（勝ち逃げ）の考え方を学ぶ。試しのゲームをする。
	事後学習	ゲームの終わり方について復習確認する。
26	事前学習	リーグ戦を行うための班の方針を考える。
	授業内容	これまで学習してきた知識と習得してきた技能・戦術を確認し、各班ごとに目標を定め、リーグ戦1を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。
27	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	前回の課題が是正されるように、を各班ごとに目標を定め、リーグ戦2を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。
28	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	前回の課題が是正されるように、を各班ごとに目標を定め、リーグ戦3を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。

29	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	前回の課題が是正されるように、を各班ごとに目標を定め、リーグ戦4を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。
30	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	生涯学習として、バスケットボールに取り組むための指針を考える。

科目名	体育実技 I C(バスケットボール)	担当者	松本 真	部別	第一部	期間	後期 2 時限 連続	単位数	2
-----	--------------------	-----	------	----	-----	----	---------------	-----	---

授業概要	バスケットボールの戦術、個人技の習得とその対応をいくつかを学ぶことで、問題を把握し、解決する能力とコミュニケーション力、そして、できないことへん挑戦することを学ばせる。				
授業目的・到達目標	バスケットボールの技術・戦術を学び、様々な側面からバスケットボールを楽しめるようになる。バスケットボールの技術と戦術について理解を深める。そのために、パスを主体として、ボール運びから、最終手的なシュートまでの一定のパターンを習得してもらい、その重要性について理解する。				
履修条件	バスケットボールが好きである。また、パスゲームでバスケットボールを理解したいと考える者。				
授業方法	この科目は、大宮キャンパス体育館を使用して前期 2 時限連続または後期 2 時限連続で実施する授業である。基本ドリル（個人技、チーム戦術）を行う。その後に、ゲームをして、特に戦術的な実践を試みる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業への積極的な参加と、バスケットボールの個人技、戦術的な理解が進んだかを評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用いない。			
参 考 書	使用しない。				
オフィスアワー	授業終了後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校までに習得したゴール型球技に対する知識を確認する。
	授業内容	履修受付・オリエンテーション授業。
	事後学習	オリエンテーションで示された授業内容の確認。
2	事前学習	高校までに習得したバスケットボールに対する知識を確認する。
	授業内容	班分けと試しのゲーム。
	事後学習	班員の確認。自分の身体の状態を確認する。
3	事前学習	バスケットボールのルールを確認する。
	授業内容	全体戦術である「側線のボール運び」を行い、試しのゲームを行う。
	事後学習	「側線のボール運び」について復習確認する。
4	事前学習	「側線のボール運び」について動き方を確認する。
	授業内容	「側線のボール運び」とパス&ランを基本としたハーフコートオフェンスのバリエーションを習得する。試しのゲームを行う。
	事後学習	パス&ランを基本としたハーフコートオフェンスのバリエーションの復習確認をする。

5	事前学習	パス&ランを基本としたハーフコートオフENSEスのバリエーションを確認をする。
	授業内容	「側線のボール運び」をゲームで行うための対応を学ぶ。パス&ランを基本としたハーフコートオフENSEスのバリエーションを習得する。試しのゲームを行う。
	事後学習	戦術学習にとって、対応することの重要性を確認する。
6	事前学習	戦術学習の基本を確認する。
	授業内容	「スクエアカットからの五人のボール運び」を習得する。試しのゲームを行う。
	事後学習	「スクエアカットからの五人のボール運び」の復習確認する。試しのゲームをする。
7	事前学習	「スクエアカットからの五人のボール運び」の確認する。
	授業内容	「スクエアカットからの五人のボール運び」のバリエーションを習得する。戦術にとって役割分担の重要性とタイミングの大切さを学ぶ。試しのゲームをする。
	事後学習	戦術にとって役割分担の重要性とタイミングの大切さを復習する。
8	事前学習	戦術にとって役割分担の重要性とタイミングの大切さを確認する。
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にドリブルについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ドリブルについて復習確認する。
9	事前学習	ドリブルについて復習確認する。
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にレイアップ・シュートについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	レイアップ・シュートについて復習確認する。
10	事前学習	レイアップ・シュートについて復習確認する
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にワンハンドセットシュートについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ワンハンドセットシュートについて復習確認する。
11	事前学習	ワンハンドセットシュートについて確認する。
	授業内容	戦術の中で必要となる個人技について習得する。特にワンハンドの3ポイントシュートについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ワンハンドの3ポイントシュートについて復習確認する。
12	事前学習	ワンハンドの3ポイントシュートについて確認する。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、2対2のパス&ランの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	2対2のパス&ランについて復習確認する。
13	事前学習	2対2のパス&ランの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、ピック&ロールの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ピック&ロールの復習確認をする。
14	事前学習	ピック&ロールの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、3対3のポストパターンの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	3対3のポストパターンの復習確認する。
15	事前学習	3対3のポストパターンの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、3対3のポストパターンからのシザーズのタイミングの基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	3対3のポストパターンからのシザーズのタイミングについて復習確認する。
16	事前学習	3対3のポストパターンからのシザーズのタイミングの確認をする。
	授業内容	部分戦術を習得する。特に、ヘルプサイドからの飛び込み（ボールサイドカット）についての基本と狙いについて。試しのゲームを行う。
	事後学習	ヘルプサイドからの飛び込み（ボールサイドカット）について復習確認する。

17	事前学習	ヘルプサイドからの飛び込み（ボールサイドカット）の確認をする。
	授業内容	ハーフコートオフェンスにとってのエントリーの大切さについて学ぶ。試しのゲームを行う。
	事後学習	ハーフコートオフェンスにとってのエントリーの復習確認をする。
18	事前学習	ハーフコートオフェンスにとってのエントリーの確認をする。
	授業内容	バスケットボールのマンツーマンディフェンスの基本を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	マンツーマンディフェンスの復習確認をする。
19	事前学習	マンツーマンディフェンスの確認をする。
	授業内容	バスケットボールのゾーンディフェンスの形式を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	ゾーンディフェンスの形式について復習確認する。
20	事前学習	ゾーンディフェンスの形式について確認する。
	授業内容	バスケットボールのゾーンディフェンスの考え方を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	ゾーンディフェンスの考え方の復習確認をする。
21	事前学習	ゾーンディフェンスの考え方の確認をする。
	授業内容	バスケットボールのゾーンディフェンスを特徴づけるために、マンツーマンディフェンスの違いを明確にすることを習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	マンツーマンディフェンスとの違いについて復習確認する。
22	事前学習	マンツーマンディフェンスの違いについて確認する。
	授業内容	ファーストブレイクの守り方を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	ファーストブレイクの守り方の復習確認をする。
23	事前学習	ファーストブレイクの守り方の確認をする。
	授業内容	オールコートディフェンスの狙いと考え方を習得する。試しのゲームをする。
	事後学習	オールコートのディフェンスについて復習確認する。
24	事前学習	オールコートのディフェンスについて確認する。
	授業内容	バスケットボールのゲームについての考え方、特に攻撃回数についての考え方を学ぶ。試しのゲームをする。
	事後学習	攻撃回数についての考え方を復習確認する。
25	事前学習	攻撃回数についての考え方を確認する。
	授業内容	バスケットボールのゲームについての考え方、特に接戦でのゲームの終わり方について（勝ち逃げ）の考え方を学ぶ。試しのゲームをする。
	事後学習	ゲームの終わり方について復習確認する。
26	事前学習	リーグ戦を行うための班の方針を考える。
	授業内容	これまで学習してきた知識と習得してきた技能・戦術を確認し、各班ごとに目標を定め、リーグ戦1を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。
27	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	前回の課題が是正されるように、を各班ごとに目標を定め、リーグ戦2を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。
28	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	前回の課題が是正されるように、を各班ごとに目標を定め、リーグ戦3を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。

29	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	前回の課題が是正されるように、を各班ごとに目標を定め、リーグ戦4を行う。
	事後学習	リーグ戦を行った結果の反省をし、次週の課題を浮き彫りにする。
30	事前学習	前回の課題を確認する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	生涯学習として、バスケットボールに取り組むための指針を考える。

科目名	体育実技 I C(テニス初級)	担当者	水落 文夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	テニスのルール、運動特性、安全管理を理解したうえで、基本的な技術の反復練習から、技術をゲームで応用する練習、そしてダブルスのゲームを楽しむように展開する。課題練習やゲーム実践・運営を通して競技スポーツおよび健康スポーツとしてのテニスの位置づけを理解し、スポーツ活動によって得られる身体的・心理的・社会的な恩恵と課題について学ぶ。			
授業目的・到達目標	テニスの基本的な技術、戦術、ルール、マナーを習得する。この習得プロセスにおいて、適正にボールを見る、追う、打つことの知覚・運動の仕方を学び、自ら問題解決の方法を探って試行錯誤する態度を身につける。また、テニスゲームの実践・運営を通して、技術・戦術の発揮によるスポーツの楽しさと達成感を体現し、他者とのコミュニケーションによる社会性の向上を促す。そして、生涯にわたる適正なスポーツ活動の身体的・精神的基盤をつくるとともに、スポーツ環境に潜む健康と安全を障害する要因を理解する。			
履修条件	テニス初心者・初級者を対象とする。テニス（運動）に相応しい服装とテニスシューズで受講する。適宜に補給用の水分、汗拭き用のタオルを準備する。			
授業方法	大宮キャンパスのスポーツ施設（テニスコート）で2時限連続の実技形式により行う。授業ではテニスの基本的な技術・戦術を習得するための反復練習とゲーム実践・運営が中心である。雨天時も体育館のコートで同様の内容を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	テニスの技術獲得、テニスのルールとマナーの習得、技術獲得・ゲーム運営・安全管理を学ぶ意欲的態度、テニスを楽しむ積極的態度などから総合的に評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない（資料集を配布する）		
参考書	使用しない			
オフィスアワー	授業の前後とする			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認する。
	授業内容	ガイダンス（半期授業の組み立て、授業方法、履修条件などについて説明） 三崎町キャンパスにて行う。
	事後学習	実技授業を受講するために必要な準備を確認する。
2	事前学習	テニスにおける基本的な技術の名称を確認する。
	授業内容	テニスの運動特性と期待される恩恵および授業における安全管理について概説する。 三崎町キャンパスにて行う。
	事後学習	テニスの運動特性と健康スポーツとしてのテニスの位置づけについて理解を深める。
3	事前学習	大宮キャンパスで実施する実技授業の準備と安全管理のための方策を確認する。
	授業内容	テニス実技授業を安全に行うための約束と授業運営への協力。 ラケットを使ったボール遊び、キャッチボール、グリップとラケット慣れ。
	事後学習	テニスで使うラケットやボールの特性について認識する。
4	事前学習	すでに配布されている資料を見て、フォアハンドのスイングの重要ポイントを確認する。
	授業内容	フォアハンドストロークの習得(1) ラケットを使ったボール遊び、ワンバウンドのラリー、フォアハンドのグリップによるスイング。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。

5	事前学習	配布資料を見て、フォアハンドストロークの重要ポイントを確認する。
	授業内容	フォアハンドストロークの習得(2) ワンバウンドのボールのキャッチ。飛来してワンバウンドするボールの見え方とフォアハンドストロークのスタンス・打点。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
6	事前学習	配布資料を見て、フォアハンドストロークの重要ポイントを確認する。
	授業内容	フォアハンドストロークの習得(3) スイングの準備（ステップ：前後の動き、スタンス、構え、打点の予測）。基本的なスイングフォーム。ボール軌道の知覚と予測の重要性、および初心者課題。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
7	事前学習	配布資料を見て、フォアハンドストロークの重要ポイントを確認する。
	授業内容	フォアハンドストロークの習得(4) サービスコートのストロークラリー。動画によるスイングのワンポイントフィードバック。
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認する。
8	事前学習	配布資料を見て、フォアハンドストロークの重要ポイントを確認する。
	授業内容	フォアハンドストロークの習得(5) サービスコートのストロークによるシングルスゲーム。フォアハンドストロークの修正ポイントをチェック。
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認する。
9	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。 配布資料をもとに、テニスのダブルスゲームのルールを確認する。
	授業内容	フォアハンドストロークの習得(6) サービスコートのストロークラリー20回以上。 ダブルスゲームのルールとマナー。ゲームの審判法。サービスラインからのアンダーサーブによるダブルスゲーム。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
10	事前学習	すでに配布されている資料を見て、バックハンドのスイングの重要ポイントを確認する。 テニスのダブルスゲームのマナーと審判法を確認する。
	授業内容	バックハンドストロークの習得(1) バックハンドストロークのダブルハンドグリップ・スタンス・打点。基本的なスイングの準備（ステップ：左右の動き、スタンス、構え、打点の予測）。基本的なスイングフォーム。フォアハンドとの違い。 サービスラインからのアンダーサーブによるダブルスゲーム。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
11	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。 テニスのダブルスゲームのコートカバーについて確認する。
	授業内容	バックハンドストロークの習得(2) サービスコートのストロークラリー。動画によるスイングのワンポイントフィードバック。 サービスラインからのアンダーサーブによるダブルスゲーム。
	事後学習	授業でチェックされた修正ポイントを確認する。
12	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	バックハンドストロークの習得(3) サービスコートのストロークラリー。バックハンドストロークの修正ポイントをチェック。 サービスラインからのアンダーサーブによるダブルスゲーム。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
13	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	バックハンドストロークの習得(4) サービスコートのストロークラリー。ベースラインからのフォアとバックのストロークラリー10回以上。 サービスラインからのアンダーサーブによるダブルスゲーム。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
14	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	フォアハンドおよびバックハンドストロークのテニスレイティングテスト（HCの設定） サービスラインからのアンダーサーブによるダブルスゲーム。
	事後学習	レイティングテストで評価された技術獲得度から、自らの修正ポイントを確認する。
15	事前学習	すでに配布されている資料を見て、サーブの重要ポイントを確認する。 テニスのダブルスゲームの戦略と意図を確認する。
	授業内容	サーブの習得(1) オーバーヘッドサーブの準備（グリップの握り方、構え、スイング軌道、スタンスと打点）。ラケットを担いだ小さなスイングによる打点と打球方向のコントロール。 ダブルスゲームの実践。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。

16	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	サーブの習得(2) オーバーヘッドサーブのスイング（グリップの握り方、構え、スイング軌道、スタンスと打点）．大きなスイングによるフラットなボールコンタクト．クローズドスキルの繰り返し練習の効果．ダブルスゲームの実践．
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
17	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	サーブの習得(3) オーバーヘッドサーブの様々なグリップと球種．正確性を高めるポイント．動画によるスイングのワンポイントフィードバック．ダブルスゲームの実践．
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認する。
18	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	サーブのテニスレイティングテスト（HCの設定）ダブルスゲームの実践と審判．
	事後学習	レイティングテストで評価された技術獲得度から、自らの修正ポイントを確認する．審判における基本的なコールを振り返る．
19	事前学習	すでに配布されている資料を見て、ボレーの重要ポイントを確認する．テニスのダブルスゲームにおけるボレーの意義を確認する．
	授業内容	ボレーの習得(1) 構えとボールへの反応動作（ステップ）．ボレーを打つ位置．フォアボレーのグリップの握り方、打点の高さによるラケットの角度調整．基本的なスイング．グランドストロークとの違い．ダブルスゲームの実践と審判．
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
20	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	ボレーの習得(2) バックボレーのグリップの握り方、打点の高さによるラケットの角度調整．基本的なステップとスイング．練習で狙う地点．ダブルスゲームの実践と審判．
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
21	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	ボレーの習得(3) ボレーのラリー20回以上．動画によるボレーフォームのチェック．ダブルスゲームの実践と審判．
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認しておくこと．
22	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	ボレーのテニスレイティングテスト（HCの設定）．グランドストロークからボレー，サーブからボレーへとつなぐ．ダブルスゲームの実践と審判．
	事後学習	レイティングテストで評価された技術獲得度から、自らの修正ポイントを確認しておくこと．
23	事前学習	すでに配布されている資料を見て、ロブとスマッシュの重要ポイントを確認する．テニスのダブルスゲームにおける戦略としてのボレーの意図を確認する．
	授業内容	ロブとスマッシュの習得(1) スマッシュのステップ、構え、打点．スマッシュの基本的なスイング．ロブのボール軌道と狙う地点．ダブルスゲームのトーナメント大会、大会運営．
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
24	事前学習	前回の授業で紹介されたゲームにおける代表的な技術の流れを確認する。
	授業内容	ドリル練習(1) 左右のグランドストローク⇒左右のボレー．ダブルスゲームの基本的ポジションとフォーメーション．ダブルスゲームのトーナメント大会、大会運営．
	事後学習	ドリル練習で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
25	事前学習	前回の授業で紹介されたドリル練習で用いる技術の流れをイメージする。
	授業内容	ドリル練習(2) 左右のグランドストローク⇒ローボレー⇒ハイボレー⇒スマッシュ．ダブルスゲームのポジションと打球に対する動き．コートカバーの意義．ダブルスゲームのトーナメント大会、大会運営．
	事後学習	ドリル練習で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
26	事前学習	前回の授業で紹介されたドリル練習におけるポジションの変化を確認する。
	授業内容	ドリル練習(3) コートカバーを中心とした打球によるポジションの変化．ダブルスゲームのトーナメント大会、大会運営．
	事後学習	ポジショニングとコートカバーの必要性和方法を確認し、ゲームのどの場面で発揮するか考える。

27	事前学習	テニスゲームで行われる基本的なリーグ戦の方法を確認する。 審判におけるコールの仕方を確認する。
	授業内容	ダブルスゲームのリーグ戦（HC戦），大会運営。
	事後学習	ゲームで使う得意な技術と苦手な技術を確認して，苦手な技術の修正ポイントをイメージする。 ゲームで使った戦略的な技術を確認する。
28	事前学習	ゲームを楽しむための積極的な関わり方を考える。
	授業内容	ダブルスゲームのリーグ戦（HC戦），大会運営。
	事後学習	テニスゲームの様々な楽しみ方を再考する。
29	事前学習	ゲームを楽しむための積極的な関わり方を考える。
	授業内容	ダブルスゲームのリーグ戦（HC戦），大会運営。
	事後学習	テニスゲームの様々な楽しみ方を確認する。
30	事前学習	テニスの試合におけるルールとマナーについて，配布した資料をもとに確認する。
	授業内容	テニスのルールとマナーに関する理解度確認。 ダブルスゲームのリーグ戦（HC戦），大会運営。
	事後学習	テニスの健康スポーツとしての可能性とスポーツ活動によって得られる恩恵を再考する。

科目名	体育実技 I C(ゴルフ)	担当者	水落 文夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ゴルフのルール、マナー、運動特性、安全管理を理解したうえで、主にバードゴルフボールを用いた基本的な技術の反復練習から、技術をゲームで応用する練習、そしてバードゴルフコースのラウンドを楽しむように展開する。課題練習やラウンド実践・運営を通して競技スポーツおよび健康スポーツとしてのゴルフの位置づけを理解し、スポーツ活動によって得られる身体的・心理的・社会的な恩恵と課題について学ぶ。				
授業目的・到達目標	ゴルフの基本的な技術、戦術、ルール、マナーを習得して、実際のゴルフのラウンドに移行できるようにする。この習得プロセスにおいて、適正にボールを打つことの知覚・運動の仕方を学び、自ら問題解決の方法を探って試行錯誤する態度を身につける。また、バードゴルフのラウンドを通して、技術・戦術の発揮によるスポーツの楽しさと達成感を体現し、他者とのコミュニケーションによる社会性の向上を促す。そして、生涯にわたる適正なスポーツ活動の身体的・精神的基盤をつくるとともに、スポーツ環境に潜む健康と安全を障害する要因を理解する。				
履修条件	ゴルフ初心者・初級者を対象とする。ゴルフ（運動）に相応しい服装、およびゴルフ手袋と屋外シューズを準備する。適宜に補給用の水分、汗拭き用のタオルを準備する。				
授業方法	大宮キャンパスのスポーツ施設（主にグラウンド）で2時限連続の実技形式により行う。授業では、バードゴルフを用いた基本的な技術を習得するための反復練習とラウンドが中心である。雨天時も体育館のネットで同様の内容を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	ゴルフの技術獲得、ゴルフのルールとマナーの習得、技術獲得・ラウンド運営・安全管理を学ぶ意欲的態度、バードゴルフを楽しむ積極的態度などから総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない（資料集を配布する）			
参考書	使用しない				
オフィスアワー	授業の前後とする				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を確認する。
	授業内容	ガイダンス（半期授業の組み立て、授業方法、履修条件などについて説明）
	事後学習	実技授業を受講するために必要な準備を確認する。
2	事前学習	ゴルフおよびバードゴルフにおける基本的な技術の名称を確認する。
	授業内容	ゴルフの運動特性と期待される恩恵および授業における安全管理について概説する。
	事後学習	ゴルフの運動特性と健康スポーツとしてのゴルフの位置づけについて理解を深める。
3	事前学習	大宮キャンパスで実施する実技授業の準備と安全管理のための方策を確認する。
	授業内容	ゴルフおよびバードゴルフの実技授業を安全に行うための約束と授業運営への協力、クラブとゴルフボールを使った遊び、クラブの種類と名称、グリップとスイングに対する慣れ。
	事後学習	ゴルフで使うクラブの種類と名称、およびボールの特性について認識する。
4	事前学習	すでに配布されている資料を見て、ゴルフクラブの特性とスイングの重要ポイントを確認する。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(1) ゴルフクラブの特性、基本的なスタンスとボールの位置、グリップのつくり方、素振りによるハーフスイング、軽いボールを使ったハーフスイングによる打撃練習。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。

5	事前学習	配布資料を見て、スイングの重要ポイントを確認する。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(2) 基本的なスタンスとボールの位置、グリップのつくり方、軽いボールを使ったハーフスイングによる打撃練習。注視点と頭の位置、テイクバック中の両腕の形状とクラブの角度、スイング中の重心移動。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
6	事前学習	配布資料を見て、スイングの重要ポイントを確認する。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(3) 軽いボールを使ったハーフスイングによる打撃練習。テイクバックの大きさと飛距離の関係、スイング中の重心移動と上半身の回転運動、クラブスイングの軌道。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
7	事前学習	配布資料を見て、スイングの重要ポイントを確認する。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(4) バードゴルフボールを使ったハーフスイングとフルスイングによる打撃（体育館で行う）。動画によるスイングのワンポイントフィードバック。
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認する。
8	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(5) バードゴルフボールを使ったアプローチショット（体育館で行う）。テイクバックの大きさによる飛距離の調整。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
9	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(5) バードゴルフボールを使ったアプローチショット（体育館で行う）。的入れゲームによるテスト。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
10	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	ショートアイアンの打撃練習(6) バードゴルフボールを使ったアプローチショットとフルショット（体育館で行う）。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
11	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	様々なアイアンによる打撃練習(1) バードゴルフボールを使ったアプローチショットとフルショット（グラウンドで行う）。
	事後学習	授業でチェックされた修正ポイントを確認する。
12	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。 配布資料をもとに、ゴルフの基本的なルールとマナーを確認する。
	授業内容	様々なアイアンによる打撃練習(2) バードゴルフボールを使ったアプローチショットとフルショット（グラウンドで行う）。 ゴルフの基本的なルールとマナーについて学び、ゴルフの発生・成立の経緯との関係について理解する。
	事後学習	ゴルフの発生・成立の経緯とルールの関係、およびゴルフ競技の普及について調査する。
13	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	様々なアイアンによる打撃練習(3) ゴルフボールを使ったアプローチショット（グラウンドで行う）。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
14	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	様々なアイアンによる打撃練習(4) ゴルフボールを使ったアプローチショット（グラウンドで行う）。動画によるスイングのワンポイントフィードバック。
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認する。
15	事前学習	配布資料を見て、コースラウンドの方法と安全管理を確認する。
	授業内容	グラウンドにコース設営(1) バードゴルフ18ホールラウンド練習。ゴルフラウンドにおける基本的なルール、マナー、スコア。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
16	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。指摘されたマナーを確認する。
	授業内容	グラウンドにコース設営(2) バードゴルフ18ホールラウンド練習、ホールのまわり方。コース戦略。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。

17	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドにコース設営(3) バードゴルフ18ホールラウンド練習, コース戦略の基本。
	事後学習	授業でチェックしたスイング, マナーの修正ポイントを確認する。
18	事前学習	ゴルフ競技会の方法と運営について, 配布資料をもとに理解する。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(1) 新ベリア方式による18ホールストロークプレイ。スコアの記録と確認の方法。
	事後学習	スコアから読み取れる技術獲得度と修正ポイントを認識する。 アプローチショットの問題点を把握する。
19	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(2) 新ベリア方式による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
20	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(3) 新ベリア方式による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
21	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(4) 前回授業までのストロークプレイによる試合結果をもとにハンディキャップを設定して, 新ベリア方式による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業でチェックした修正ポイントを確認する。
22	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(5) ハンディキャップ方式による18ホールストロークプレイ。ハンディキャップの意義。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
23	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(6) ハンディキャップ方式による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
24	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。 スポーツにおけるハンディキャップの意義を理解する。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(7) ハンディキャップ方式(新しいHC)による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
25	事前学習	前回の授業でチェックされたポイントについて修正した動作をイメージする。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(8) ハンディキャップ方式(新しいHC)による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
26	事前学習	配布資料を確認し, 前回の授業でチェックされたポイントについて自分の課題を推測する。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(9) ハンディキャップ方式(新しいHC)による18ホールストロークプレイ。
	事後学習	授業で指摘・観察された「うまくできたところ」と「うまくできなかったところ」を整理する。
27	事前学習	ゴルフ競技には様々な形態があることを確認する。
	授業内容	グラウンドコースでバードゴルフ公式戦(9) 団体戦による18ホールマッチプレイ。ゴルフ競技の様々な形態。
	事後学習	アプローチショットのチェックポイントのうち苦手な部分を確認して修正ポイントをイメージする。 公式戦を通じて使った戦略的な技術を確認する。
28	事前学習	ゴルフゲームを楽しむための積極的な関わり方を考える。
	授業内容	グラウンドコースでゴルフ公式戦(1) ハンディキャップ方式によるゴルフ18ホールストロークプレイ。 パットの構えとスイング, および方向と距離の調整。
	事後学習	ゴルフゲームの様々な楽しみ方を再考する。

29	事前学習	ゲームを楽しむための積極的な関わり方を考える。
	授業内容	グラウンドコースでゴルフ公式戦(2) ハンディキャップ方式によるゴルフ18ホールストロークプレイ。
	事後学習	ゴルフゲームの様々な楽しみ方を確認する。
30	事前学習	ゴルフの試合におけるルールとマナーについて、配布した資料をもとに確認する。
	授業内容	ゴルフのルールとマナーに関する理解度確認。 アプローチショットの的入れによる打撃スキルのチェック。
	事後学習	ゴルフの健康スポーツとしての可能性とスポーツ活動によって得られる恩恵を再考する。

科目名	体育実技 I C(テニス上級)	担当者	村田 宗紀	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前半の授業では「テニスの基礎的な技術の向上（特にサーブ技術）」および「ダブルスを中心にゲーム形式の練習を通じて基本的な戦術」を学ぶ。後半では、ダブルスの試合を行う。また、試合を通じて、テニスを楽しむ上で最低限理解すべきルール、コートマナーやコミュニケーションについて学ぶ。なお、内容に関しては受講者の習熟度に応じて適宜調整する。				
授業目的・到達目標	テニスの基本技術の習得、およびダブルスを中心に基本的な戦術を理解することを目的とする。また、生涯にわたってテニスを楽しむために、基本的なコートマナー、ルールを学ぶとともに、コミュニケーション能力を養成する。具体的には雁行陣と並行陣の使い分けことや、サービスから積極的に主導権を握ることが出来るようになる。また、試合におけるマナーや主体的な試合の運営を行えるようになる。				
履修条件	テニス中級者以上を対象とする。カウントの数え方など、基本的なルールを理解していること。運動が出来る服装、テニスシューズを用意すること。ラケットは各自で所有のものを使用しても良い。				
授業方法	実技形式で行う。前半では、サーブとその他の技術（グラウンドストロークやボレーなど）をセットで行う。その後ポイント形式の練習で基本的な戦術を学ぶ。後半はダブルスのリーグ戦を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート課題、授業への参加意欲、技能の向上、知識などの観点から評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	使用しない。				
オフィスアワー	火曜日：大宮体育館12：30～13：30				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、授業の目的、成績評価、受講時の注意点などに関する説明。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	コート上での安全配慮、コートマナーについて予習すること。
	授業内容	コート上での安全配慮に関する諸注意
	事後学習	授業内容を復習すること。コート上での安全配慮、コートマナーについて調べること。
3	事前学習	前回に行うコート上での安全配慮について再度復習すること。
	授業内容	グラウンドストロークおよびサーブの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
4	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	クロスコートでのポイント形式練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。

5	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレーおよびサーブの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
6	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレー対ボレーのポイント形式の練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
7	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレー対ストロークの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
8	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレー対ストロークのポイント形式の練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
9	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	スマッシュおよびロブの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
10	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ロブを用いた駆け引き
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
11	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（雁行陣）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
12	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（並行陣）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
13	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（後ろでの並行陣）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
14	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（陣形の使い分け①）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
15	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（陣形の使い分け②）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
16	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（サーブからの組み立て①）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。

17	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（サーブからの組み立て②）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
18	事前学習	これまでの授業内容から、自身の課題を整理すること。
	授業内容	ここまでの振り返り
	事後学習	自習から試合を行うため、これまでに学んだの授業内容（特に試合形式練習）について良く振り返ること。
19	事前学習	試合を行うため、ルールやコートマナー、安全配慮ついてよく確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
20	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
21	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
22	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
23	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
24	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
25	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
26	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
27	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
28	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。

29	事前学習	前週の試合内容を踏まえ，修正点を確認すること．
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること．特に，効果的にポイントが獲得できた要因や，どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること．
30	事前学習	前週の試合内容を踏まえ，修正点を確認すること．
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること．特に，効果的にポイントが獲得できた要因や，どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること．

科目名	体育実技 I C(テニス上級)	担当者	村田 宗紀	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前半の授業では「テニスの基礎的な技術の向上（特にサーブ技術）」および「ダブルスを中心にゲーム形式の練習を通じて基本的な戦術」を学ぶ。後半では、ダブルスの試合を行う。また、試合を通じて、テニスを楽しむ上で最低限理解すべきルール、コートマナーやコミュニケーションについて学ぶ。なお、内容に関しては受講者の習熟度に応じて適宜調整する。				
授業目的・到達目標	テニスの基本技術の習得、およびダブルスを中心に基本的な戦術を理解することを目的とする。また、生涯にわたってテニスを楽しむために、基本的なコートマナー、ルールを学ぶとともに、コミュニケーション能力を養成する。具体的には雁行陣と並行陣の使い分けことや、サービスから積極的に主導権を握ることが出来るようになる。また、試合におけるマナーや主体的な試合の運営を行えるようになる。				
履修条件	テニス中級者以上を対象とする。カウントの数え方など、基本的なルールを理解していること。運動が出来る服装、テニスシューズを用意すること。ラケットは各自で所有のものを使用しても良い。				
授業方法	実技形式で行う。前半では、サーブとその他の技術（グラウンドストロークやボレーなど）をセットで行う。その後ポイント形式の練習で基本的な戦術を学ぶ。後半はダブルスのリーグ戦を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート課題、授業への参加意欲、技能の向上、知識などの観点から評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	使用しない。				
オフィスアワー	火曜日：大宮体育館12：30～13：30				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、授業の目的、成績評価、受講時の注意点などに関する説明。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	コート上での安全配慮、コートマナーについて予習すること。
	授業内容	コート上での安全配慮に関する諸注意
	事後学習	授業内容を復習すること。コート上での安全配慮、コートマナーについて調べること。
3	事前学習	前回に行うコート上での安全配慮について再度復習すること。
	授業内容	グラウンドストロークおよびサーブの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
4	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	クロスコートでのポイント形式練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。

5	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレーおよびサーブの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
6	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレー対ボレーのポイント形式の練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
7	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレー対ストロークの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
8	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ボレー対ストロークのポイント形式の練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
9	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	スマッシュおよびロブの練習
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
10	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ロブを用いた駆け引き
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
11	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（雁行陣）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
12	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（並行陣）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
13	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（後ろでの並行陣）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
14	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（陣形の使い分け①）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
15	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（陣形の使い分け②）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
16	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（サーブからの組み立て①）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。

17	事前学習	前回の内容を復習し、修正すべき課題を抽出すること。
	授業内容	ダブルス試合形式練習（サーブからの組み立て②）
	事後学習	授業内容を復習すること。特に、うまく出来た点、うまく出来なかった点を評価し、次回の課題を整理すること。また、可能であれば実際に練習すること。
18	事前学習	これまでの授業内容から、自身の課題を整理すること。
	授業内容	ここまでの振り返り
	事後学習	自習から試合を行うため、これまでに学んだの授業内容（特に試合形式練習）について良く振り返ること。
19	事前学習	試合を行うため、ルールやコートマナー、安全配慮ついてよく確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
20	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
21	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
22	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
23	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
24	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
25	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
26	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
27	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。
28	事前学習	前週の試合内容を踏まえ、修正点を確認すること。
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること。特に、効果的にポイントが獲得できた要因や、どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること。

29	事前学習	前週の試合内容を踏まえ，修正点を確認すること．
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること．特に，効果的にポイントが獲得できた要因や，どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること．
30	事前学習	前週の試合内容を踏まえ，修正点を確認すること．
	授業内容	ダブルスリーグ戦
	事後学習	試合の内容を振り返ること．特に，効果的にポイントが獲得できた要因や，どのような状況で相手にポイントを獲得されていたかを整理すること．

科目名	体育実技Ⅱ	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	体育実技Ⅰで学んだ体を動かす楽しみ・習慣を継続して行い体力を向上させる。 スポーツにおけるルール、マナーを理解し生涯を通してスポーツ活動の足掛かりとなる健康、体力づくりを行う。				
授業目的・到達目標	より専門的な技術の習得を図りながら、健康と体力の向上、維持を行う。また、競技のルールを理解して戦術的な理解を深め、チームワークに必要なコミュニケーションをとることができるようにすることを目的とする。				
履修条件	受講時には授業に適した運動着と運動靴（トレーニングウェア・シューズ等を準備）を着用する。				
授業方法	施設に応じた種目やトレーニング運動等を実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	技術の理解度、チームワーク、コミュニケーション能力、受講態度など総合して評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じてプリントの配布			
参考書	特になし				
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。
	授業内容	授業内容の説明
	事後学習	授業内容を理解し、授業に必要なものを準備する。
2	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチ体操を確認する。
	授業内容	ストレッチ体操 1
	事後学習	ストレッチ体操におけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
3	事前学習	今まで行ったことがある、体力測定を確認する。
	授業内容	体力測定 1
	事後学習	体力測定の結果を踏まえ、体力向上に取り組む。
4	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 1 (アニマルウォーク・軽運動)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。

5	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 2 (サーキットトレーニング・軽運動)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
6	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 3 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
7	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 4 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
8	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 5 (トレーニング機器を用いたトレーニング)
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
9	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（卓球 1）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
10	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（卓球 2）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
11	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（卓球 3）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
12	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（卓球 4）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
13	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（卓球 5）
	事後学習	試合を通して個人の競技力を分析する。
14	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチ体操を確認する。
	授業内容	ストレッチ体操 2
	事後学習	ストレッチ体操におけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
15	事前学習	体力を向上における分析をしておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	体力向上や維持に必要なトレーニングを理解し、様々なスポーツを継続して行う。

科目名	体育実技Ⅲ	担当者	田邊 陽子	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	体育実技Ⅰ・Ⅱで学んだ体を動かす楽しみ・習慣を継続して行い健康の保持増進を図る。 スポーツにおけるルール、マナーを理解し生涯を通してスポーツ活動の足掛かりとなる健康、体力づくりを行う。			
授業目的・到達目標	より専門的な技術の習得を図りながら、体力の向上、競技のルールを理解して戦術的な理解ができるようになることを目的とする。			
履修条件	受講時には授業に適した運動着と運動靴（トレーニングウェア・シューズ等を準備）を着用する。			
授業方法	施設に応じた種目やトレーニング運動等を実施する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	技術の理解度、チームワーク、コミュニケーション能力、受講態度など総合して評価を行う。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	必要に応じてプリントの配布		
参考書	特になし			
オフィスアワー	金曜日の昼休み メールにて事前に予約をすること tanabe.yoko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業内容を理解しておく。
	授業内容	授業内容の説明
	事後学習	授業内容を理解し、授業に必要なものを準備する。
2	事前学習	今まで行ったことがある、ストレッチ体操を確認する。
	授業内容	ストレッチ体操(二人組)
	事後学習	ストレッチ体操におけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
3	事前学習	今まで行ったことがある、体力測定を確認する。
	授業内容	体力測定
	事後学習	体力測定の結果を踏まえ、体力向上に取り組む。
4	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（フットサル 1）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。

5	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（フットサル 2）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
6	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（フットサル 3）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
7	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（フットサル 4）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
8	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	球技（フットサル 5）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
9	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	ユニバーサルホッケー（1）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
10	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	ユニバーサルホッケー（2）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
11	事前学習	個人技術の強み弱みを分析しておく。
	授業内容	ユニバーサルホッケー（3）
	事後学習	試合を通して個人・チームの競技力を分析すること。
12	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 1（トレーニング機器を用いたトレーニング）
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
13	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 2（トレーニング機器を用いたトレーニング）
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
14	事前学習	今まで行ったことがある、トレーニングを確認する。
	授業内容	トレーニング 3（トレーニング機器を用いたトレーニング）
	事後学習	トレーニングにおけるポイントを理解し体力向上に取り組む。
15	事前学習	個人・チームスポーツにおける体力を分析しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	体力向上や維持に必要なトレーニングを理解し、様々なスポーツを継続して行う。

V ~ VII群

専門科目

専門基幹・専門展開・専門演習関連

V
VII群
専門科目

科目名	アメリカ経済論	担当者	円居 総一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	20世紀初頭の台頭から現在に至る米国経済の史的変遷と構造変化の推移を、内包する問題や直面する課題を含めて国際的文脈から解き明かしていく。米経済の台頭と発展を決定づけた分業と大量生産システムの意義、発展の大きな基盤となった世界的なエネルギー転換の推移を含めて飛躍過程を明らかにする。その上で、この米国モデルの行き詰まりとその後の情報革新による経済再生、及び金融危機の発生過程を明らかにし政策対応問題を含め講義していく。					
授業目的・到達目標	20世紀をリードし、現在も世界経済の中心を占める米国経済の史的変遷とその構造的特徴を理解し、現在抱える問題を把握する。分業と大量生産を基礎に20世紀を画してきた米経済は、その後の行き詰まりを経て情報化を軸に再生に奏功した。だが、金融危機によりその成長モデルは再び問題を露呈した。その米経済の特徴を体系的に把握し、米国の自由主義経済モデルの特徴とそのダイナミズムをマクロ、ミクロの両面から国際的視野を持って理解し、今後の日米関係や国際通貨、通商政策、及び世界経済の構造変化を含めて、自身で考察や洞察していける知識基盤と応用力を身に付けていくことを目指す。					
履修条件	特にないが、マクロ経済学、国際経済学、国際金融論などの基礎理論を履修していると理解が早くなろう。但し、関連基礎理論は授業においても解説していくので、それら科目が未修でも問題はない。					
授業方法	通常の講義形式を原則とするが、対話形式での講義も交えて授業を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	レポート提出及び授業への参加意欲と授業態度。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	30年度	東洋経済新報社		『ブランシヤール マクロ経済学上』 鵜田忠彦他〔訳〕		オリヴィエ・ブランシヤール
	備考	教科書は経済学知識基盤の基本書として使用。テーマに沿った補完ペーパー、参考文献等は授業中に適宜必要に応じ紹介しないし指示する。				
参考書	『国際政治経済学新論―新しい国際関係の理論と実践―』、川戸秀昭・円居総一・小林通 共編、時潮社2013年。及びその他関連、応用文献は授業開始後必要に応じ適宜紹介しないし指示する。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書第一部の概読と米国経済史関連のペーパーや書籍で予備知識を学んでおくことが望ましい。
	授業内容	米経済の台頭 19世紀をリードした英国、その経済を急速に凌駕していった米国経済の台頭の背景と要因、その発展過程を、国際的なエネルギー転換の動きを含めて解き明かしていく。
	事後学習	できるだけ板書するようにする。そのノートやメモで授業の要点を各回ごとに復習していくことが望ましい。
2	事前学習	教科書第一部の概読と米国経済史関連のペーパーや書籍で予備知識を学んでおくことが望ましい。
	授業内容	大量生産とビッグ・ビジネスの時代1. 米国経済の飛躍的発展と覇権経済の確立を促すことになった分業と大量生産方式の誕生とメカニズムを中心に学習していく。
	事後学習	各回ごとのノート等による復習の積み上げが望ましいこと、上記一回目に同じ。

3	事前学習	教科書第二部の概読ないし自己学習が望ましい。
	授業内容	大量生産とビッグ・ビジネスの時代2. 米国型大量生産モデルとエネルギー転換がどのように関連し、ビッグ・ビジネスへと発展し、マクロ的な経済覇権レベルへと発展を見たのか？またその発展過程での29年恐慌はどのように位置づけられるのか、当時の経済構造の問題を含めて解説、講義していく。適宜対話形式を交えて授業を進める。
	事後学習	各回ごとのノート等による復習の積み上げが望ましいこと、上記一回目に同じ。
4	事前学習	教科書第二部の概読ないし自己学習が望ましい。
	授業内容	ドル体制の確立 第二次大戦を経て米国と米国経済は圧倒的な覇権の地位に達し、戦後の国際経済、金融体制をも統括していくことになる。通商面のG. A. T. T. とともに通貨・金融体制としてドル体制を構築していくことになる。その形成過程とドル体制のメカニズム、マクロ経済上との関係や体制修復への諸改革を含めて解説、講義を進める。
	事後学習	上記前回に同じながら、国際金融関連の図書等での自主的補完学習が望ましい。
5	事前学習	上記前回に同じながらも、国際金融とドル体制などの関連図書での自主的事前学習が望ましい。
	授業内容	ドル体制の動揺 戦後の日欧の経済復興の進展によるキャッチアップと米国の「大砲（ベトナム戦争）とバター（高度福祉国家）政策」による供給力不足の深化から国際的過剰ドルの問題を生み、ドルの信認とそれを基盤とするドル体制が崩れ始める。そのマクロ経済状況との関係や体制修復への諸改革を含めて解説、講義を進める。
	事後学習	上記前回に同じながら、国際金融関連の図書等での自主的補完学習が望ましい。
6	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	大量生産モデルの行き詰まり ドル体制と国際通貨体制の動揺の背景には米国経済の退潮があったことは明らかだが、その退潮の根本要因となったのが、世界をリードしてきた米国型大量生産モデルの行き詰まりであった。その退潮のメカニズムを推移を中心に学習を進める。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
7	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	米経済の空洞化 分業と大量生産方式の欠点と米国型経営システムの弱点が重なり、産業レベルでの空洞化がマクロ的な空洞化となって米国経済の退潮を助長していく。その衰退のメカニズムと衰退の経緯を明らかにしていく。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
8	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	通商政策の変遷と日本の台頭1. 米国経済、産業の退潮の原因は、外国、特に日本やアジアNIESの不当なダンピングや不公正貿易慣行などに求められ、米国の通商政策は保護主義化するとともに貿易摩擦が過熱していくことになる。その推移、経緯を中心に解説、講義を進める。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
9	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	通商政策の変遷と日本の台頭2. 80年代の大半を通じた激しい日米通商摩擦の経緯、米国サイドにおけるミクロ産業的視野からマクロ経済的視野への変化と産業衰退の自国としての問題の位置づけへの変化を見ていく。日米構造協議もここから始まるが、後に学ぶようにその後日本は情報化革命に遅れ、的外れの構造改革や中国の台頭などからジャパン・バッシングからバッシングに移り、摩擦は収束していく。そうした流れも見据えながら授業を進める。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
10	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	日米通商摩擦の特徴 長く続いた日米間の通商摩擦、その背景や展開は多くが他国の例にも共通する。それら特徴を日米通商摩擦の実際の経験等を踏まえ、明らかにしていく。それは米中貿易摩擦にも、また最近のトランプ大統領の通商政策と摩擦の喚起にも通じる。保護貿易化の危険性を含めて講義を進める。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
11	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	情報化と米経済の再生1. 産業・経済の空洞化の原因は自国の生産。経営モデルにあることを自覚して、米国は組織改革（リ・ストラクチャリング、リ・エンジニアリング）を進め始める。コンピューターの小型化や効率化、付加価値経営への転換等スリム化と効率化を標題に改革が進められた。その経緯と発展過程を教授していく。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
12	事前学習	教科書第二部の事前学習が望ましい。
	授業内容	情報化と米経済の再生2. リストラ、スリム化は産業の再生基盤の整備を促したが、供給サイドの効率化の段階では雇用や成長に限界がある。そのためジョブレス・グロースとも呼ばれる低成長期が生じた。それを大きく変えたのが、情報化、特に情報ネットワーク化の進展であった。それは米国型の経営システムの欠点を補い、逆に優位性を際立たせるなど広範な効果を米国産業と経済にもたらすことになった。その展開を理論裏付けを含め教授していく。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。

13	事前学習	ユーロや中国の経済台頭関係について書籍等で事前学習しておくことが望ましい。
	授業内容	Euroの出現、中国・新興経済の台頭と米国ドル体制の動揺と並行して欧州の安定通貨圏構想が古くから進み、今日の統一通貨、ユーロの出現となったが、この間、中国経済の台頭、新興市場経済国の台頭など国際環境は大きく変わってきた。G-7もG-20へと拡大されたが、こうした国際環境変化の中での米国経済の位置づけと影響力、国際経済体制の構造変化などを学習していく。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
14	事前学習	リーマンショックショックに関した予備知識を備えておくことが望ましい。
	授業内容	金融危機後の米経済と世界経済の構造変化 情報ネットワーク化は米国経済の再生を大きく促すと同時に、金融革新の加速も促した。情報化の果実が通減していく中で経済刺激としての住宅政策の拡大と金融緩和が異常な金融バブルを生み、リーマンショックを招くに至る。その崩壊は、英米型新保守主義経済政策の崩壊も意味する構造的問題も内包するものであった。そこからの転換問題を含めて、日米の位相も踏まえながら内包する問題を含め講義していく。
	事後学習	ノートやメモによる要点の復習の積み重ねが望ましい。
15	事前学習	これまでの授業のポイントを14回目授業内で伝え、授業内レポート試験に備えること。
	授業内容	まとめと期末レポート試験 これまでの授業のポイントを14回目授業で伝え、授業内レポート試験とする。
	事後学習	レポート内容を振り返り、知識の補完に努めることが望まれる。

科目名	アメリカ政治論	担当者	梶田 秀	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	アメリカ合衆国の政治について、大統領や連邦議会、連邦裁判所といった国家の統治機構や、政党あるいは利益団体に代表される関連組織を取り上げ、これらの概要と相互作用を中心に解説を行います。				
授業目的・到達目標	アメリカ政治の全体像と特徴を概括的に把握し、基本的な知識を習得することを目的とします。アメリカ政治に関係する各種の制度やアクターが相互に及ぼす作用を学び、アメリカ合衆国における政治的な出来事について、その背景や影響を妥当な理由をもって解釈できるようになることを目標とします。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート試験と授業参加度で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	弘文堂		アメリカの政治 新版	久保文明 編
	備考				
参考書	『アメリカ政治 第3版』久保文明・砂田一郎・松岡泰・森脇俊雅著 有斐閣アルマ、『アメリカ憲法入門』松井茂記著 有斐閣、『ホワイトハウスの広報戦略』マーサ・J・クマー著 吉牟田剛訳 東信堂				
オフィスアワー	質問等については授業終了後に受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	統治構造の類型
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと

3	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	アメリカ合衆国のなりたち
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
4	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	大統領の権限
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
5	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	大統領選挙
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
6	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	行政の機構
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
7	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	司法制度
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
8	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	連邦議会の組織と作用
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
9	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	立法過程
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
10	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	予算プロセス
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
11	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	政党
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
12	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	利益団体
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
13	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	地方自治
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと
14	事前学習	授業のテーマに関係する報道があれば一読しておくこと
	授業内容	内政と外交
	事後学習	学期の最後に課題を示すので、優れたレポートを作成できるよう授業内容をよく復習し、興味をもったテーマについては関係する文献や報道にも目を配っておくこと

15	事前学習	これまで授業で取り上げたテーマのうち、特に興味をひかれたものを特定しておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	示された課題に対して、レポートを作成して所定の期限内に提出すること

科目名	イノベーションと知的財産 I	担当者	金澤 良弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	イノベーションは、エネルギー・環境、健康・医療・福祉の向上等地球的・社会的課題の解決、グローバル化する経済環境における企業の競争力向上等経済社会の発展に重要な役割を果たすものとして注目され、その創出に向けた取組が進められている。本授業は、イノベーションに関する基本的な概念、イノベーションの企業競争力への影響、イノベーションをめぐる最近の動向等を概観し、イノベーション創出を促進するための方策を考える。				
授業目的・到達目標	イノベーションに関する基本的な知識を理解するとともにイノベーションを考える際の視点を獲得すること目的とする。本授業を通じて得られた知識と視点を活かして、将来企業等における創造的な活動を担うための能力を身につけることを目標とする。				
履修条件	創造的な活動に関心を持つ学生の受講を希望する。				
授業方法	毎回配布する資料に基づく講義及びディスカッションによる。授業中に小テスト、レポート課題等を課すことがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（出席率70%未満者は採点しない），小テスト及びレポートの内容並びに授業への参加・貢献を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	必要な場合には授業中に指示する。				
オフィスアワー	火曜日16：30～17：30（7号館，742研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の概要、授業目的・到達目標、授業の進め方等を理解する。
	授業内容	イントロダクション 授業のねらい、進め方、成績評価の方法等
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
2	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションについて① イノベーションに関連する概念、イノベーションへの期待等
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

3	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションについて② イノベーション・マネジメントの重要性等
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
4	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションとは何か③ イノベーションの普及等
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
5	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション事例研究① 様々なタイプのイノベーション事例分析
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
6	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション事例研究 2 様々なタイプのイノベーション事例分析
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
7	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと企業の競争力① 企業の競争力とイノベーション概説
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
8	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと企業の競争力② 企業の競争力に強い影響を与えるイノベーション
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
9	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと企業の競争力③ 企業の競争力に強い影響を与えるイノベーション
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
10	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと企業の競争力④ 競争力あるイノベーションの創出
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
11	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと企業の競争力⑤ 競争力あるイノベーションの創出
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
12	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	オープン・イノベーション① オープン・イノベーションの概要
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
13	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	オープン・イノベーション② オープン・イノベーションへの対応
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
14	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションをめぐる最近の話題
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

15	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	授業のまとめ イノベーション創出に向けて
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

科目名	イノベーションと知的財産Ⅱ	担当者	金澤 良弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業は、イノベーションと知的財産Ⅰに引き続き、イノベーションにおける知的財産の活用、イノベーション創出に向けた活動、イノベーションに関する最近の政策制度等を概観し、イノベーション創出を促進するための方策を考える。				
授業目的・ 到達目標	イノベーションに関する基本的な知識を理解するとともにイノベーションを考える際の視点を獲得すること目的とする。本授業を通じて得られた知識と視点を活かして、将来企業等における創造的な活動を担うための能力を身につけることを目標とする。				
履修条件	創造的な活動に関心を持つ学生の受講を希望する。				
授業方法	毎回配布する資料に基づく講義及びディスカッションによる。授業中に小テスト、レポート課題等を課すことがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度（出席率70%未満者は採点しない），小テスト及びレポートの内容並びに授業への参加・貢献を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	必要な場合には授業中に指示する。				
オフィス アワー	火曜日16：30～17：30（7号館，742研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の概要、授業目的・到達目標、授業の進め方等を理解する。
	授業内容	イノベーションと知的財産マネジメント① イノベーションにおける知的財産及び知的財産マネジメントの重要性
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
2	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと知的財産マネジメント② 知的財産マネジメントの方法
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

3	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーションと知的財産マネジメント③ 知的財産マネジメントの方法
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
4	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント① イノベーションのプロセス概観
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
5	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント② 研究・技術開発のマネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
6	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント③ 研究・技術開発のマネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
7	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント④ 研究・技術開発のマネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
8	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント⑤ 新製品開発のマネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
9	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント⑥ 新製品開発のマネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
10	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	イノベーション・マネジメント⑦ ビジネスモデルのマネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
11	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	アントレプレナーの役割と人材育成① イノベイティブな人材の育成
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
12	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	アントレプレナーの役割と人材育成② イノベイティブな人材の育成
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
13	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	日本のイノベーション政策
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
14	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	主要国のイノベーション政策
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

15	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	授業のまとめ イノベーション創出に向けて
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

科目名	異文化メディア	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	民族や宗教、言語、文化的な背景の異なる者同士が、ともに暮らす社会において、メディアを用いたコミュニケーションは、とりわけ重要である。本授業は、「エスニック・メディア」に着目し、多文化が共存する地球社会におけるメディアの機能と構造について学ぶものである。それは、現代日本社会の現在と今後を考えるうえで、有効な手がかりを提供するものである。					
授業目的・到達目標	世界の至るところで、民族や宗教、言語や文化の違いを理由とした対立や紛争、差別や抑圧が発生している。これらは、これまで人類が数世紀にわたって繰り返してきたことであり、いまだに克服できていない。いったい、なぜなのか。この問いについて考え、克服の手がかりとしてメディア・コミュニケーションに着目して講ずることが、本授業の目的である。 本授業の到達目標は、第一に差別や抑圧を生み出す「装置」に関する知識の習得、第二に地球社会における「多者」への想像力の獲得、第三に現代日本社会の多様性への理解を通じた人権意識の涵養におかれている。					
履修条件	国際政治や海外事情、異文化交流、民族・人種問題などに興味を持つ学生を、特に歓迎する。					
授業方法	授業では学生の理解を助けるために、レジュメを配付し、随時、視聴覚教材（映画やドキュメンタリー）を活用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	小レポートなどの提出課題と試験による評価		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	随時、授業内で紹介する。					
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際紛争に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	はじめに
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
2	事前学習	国際紛争に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「多民族化」から見える現在の課題
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと

3	事前学習	民族や宗教対立に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「国家」と「民族」を考える（1）
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
4	事前学習	民族や宗教対立に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「国家」と「民族」を考える（2）
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
5	事前学習	民族や宗教対立に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「想像の共同体」とメディア
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
6	事前学習	移民問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「移民」を考える（1）
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
7	事前学習	移民問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「移民」を考える（2）
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
8	事前学習	民族や人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「エスニック・メディア」とは何か
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
9	事前学習	民族や人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「エスニック・メディア」研究の系譜
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
10	事前学習	民族や人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「エスニック・メディア」とアメリカ
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
11	事前学習	民族や人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「エスニック・メディア」の日本的展開
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
12	事前学習	民族や人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	「エスニック・メディア」の現状
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
13	事前学習	民族屋人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	エスニック・メディア研究の射程（1）
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと
14	事前学習	民族や人種問題に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	エスニック・メディア研究の射程（2）
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと

15	事前学習	多文化共生に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	おわりに
	事後学習	授業時に紹介した参考文献に目を通しておくこと

科目名	運輸政策	担当者	小野 芳計	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める科目区分又は事項等							
授業概要	運輸政策について、まず概論、基礎を講義し、その後各分野についてその現状、政策効果及び課題などを講義する。運輸政策についての理解を深めるとともに、他の政策分野への展開が図れるよう講義する。						
授業目的・到達目標	日常生活に関連する運輸政策について、その現状、政策効果及び課題などを講義し、運輸政策についての理解を深めることを目的とする。外国の運輸政策についても触れる。運輸政策の概念を習得して、その基礎にある理論を履修するとともに、他の政策分野への展開が図れるようにする。						
履修条件	2年次以降生を対象とする。						
授業方法	講義形式						
成績評価	種別		割合		評価方法		
	定期試験		0%				
	平常評価		100%		レポートによる(80%) 授業態度による(20%)		
教科書	年	出版社		書名			著者名
	備考	使用しない					
参考書	講義中に適宜紹介。						
オフィスアワー	onoyoshi@a08.itscom.net						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	運輸概論Ⅰ―目的・概要
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
2	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	運輸概論Ⅱ―意義・沿革・機構
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと

3	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	運輸政策の基礎
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
4	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	鉄道政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
5	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	自動車交通政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
6	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	海運政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
7	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	船舶関係政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
8	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	船員政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
9	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	港湾政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
10	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	航空政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
11	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	海上保安政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
12	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	気象行政
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
13	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	貨物流通政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと
14	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	国際運輸政策
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと

15	事前学習	各回ごとに事前に講義の資料を示すので、目を通しておくこと
	授業内容	地球環境問題
	事後学習	講義終了後、ノートを整理し復習をしておくこと

科目名	映像／デジタル・ジャーナリズムⅠ	担当者	米倉 律	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	映像、音声を組み合わせてメッセージが伝達される放送ジャーナリズムは、その政治的・社会的影響力の大きさゆえに、現代のジャーナリズム空間においても大きな位置を占めてきた。他方、近年のインターネットやデジタル機器の普及は、従来型の放送ジャーナリズムのあり方に大きな変更を迫っている。変容期の放送ジャーナリズムについて多角的に講義する。				
授業目的・到達目標	放送ジャーナリズムが置かれている現状と今後に向けた問題の所在を理解することが本授業の目的である。放送（映像）ジャーナリズムをめぐる現状と課題についての基本的知識や考え方を身につけ、今後のジャーナリズム研究、メディア研究の基礎を築くこと。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期間中に2回程度のレポートを実施し、その結果で評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	学文社		新 放送論	島崎哲彦・米倉律 編著
	備考				
参考書	授業時に適宜指示する				
オフィスアワー	毎週水曜日の昼休み。研究室は本館7階（1719）できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	入手した教科書、参考書などに目を通しておく。
	授業内容	イントロダクション：放送メディアを取り巻く現況と課題
	事後学習	イントロダクションの内容について、実際のテレビ番組を視聴したり、資料・情報を収集するなどして確認すること。
2	事前学習	メディア論の基本的考え方、知識について、教科書（第Ⅰ章）、参考書等で予習する。
	授業内容	映像ジャーナリズムの特徴
	事後学習	授業ノートと配布した資料などを読み直し、知識を定着させる。

3	事前学習	テレビのニュース番組を事前に視聴し特徴を把握しておく。
	授業内容	テレビのニュース番組の構造とメディア特性
	事後学習	授業内容を踏まえテレビのニュース番組を分析的に視聴する。
4	事前学習	放送法や放送の公共性について教科書（第Ⅲ章、第Ⅳ章）、参考書等で予習する。
	授業内容	放送の公共性の論理構造
	事後学習	授業ノートと配布資料を使って復習する。
5	事前学習	公共放送について、教科書（第Ⅷ章）、参考書、資料などで予習する。
	授業内容	放送体制①： 公共放送の組織構造、財源
	事後学習	授業ノートと配布資料による振り返り。
6	事前学習	公共放送について、教科書（第Ⅷ章）、参考書、資料などで予習する。
	授業内容	放送体制②： 公共放送によるジャーナリズムの特徴と課題
	事後学習	授業ノートと配布した資料、参考書などを用いて復習する。
7	事前学習	民放の特徴、問題点などについて教科書（第Ⅲ章）、参考書等で調べておく。
	授業内容	放送体制③： 民放のネットワークとビジネスモデル
	事後学習	授業ノートを用いて振り返り学習する。
8	事前学習	民放の特徴、問題点などについて教科書（第Ⅲ章）、参考書等で調べておく。
	授業内容	放送体制④： 民放によるジャーナリズムの特徴と課題（小レポート実施）
	事後学習	授業ノートと配布した資料、参考書などを用いて復習する。
9	事前学習	第4～8回までの授業内容を教科書、ノート、資料などを用いて復習しておく。
	授業内容	放送体制⑤： テレビジャーナリズムの変容
	事後学習	授業ノートと配布資料による振り返り。
10	事前学習	教科書（第Ⅹ章）、参考資料などを読んでおく。
	授業内容	番組制作の現場①
	事後学習	授業ノートと配布資料、教科書などを用いて復習する。
11	事前学習	教科書（第Ⅹ章）、参考資料などを読んでおく。
	授業内容	番組制作の現場②（ゲストスピーカー）
	事後学習	授業ノートと配布資料、教科書などを用いて復習する。
12	事前学習	メディアの影響について教科書（第Ⅰ章）、関連資料などに目を通しておく。
	授業内容	放送番組の社会的影響～アジェンダ・セッティング機能を中心に
	事後学習	授業ノートと教科書による振り返り。
13	事前学習	ジェンダーとは何か、日本社会のジェンダー論的特徴などについて関連資料を読んでおく。
	授業内容	放送とジェンダー①：番組の中のジェンダー
	事後学習	授業ノート、配布資料などを用いて復習する。
14	事前学習	日本のメディア産業におけるジェンダー論的な問題点について関連資料などを読んでおく。
	授業内容	放送とジェンダー②：放送業界におけるジェンダー
	事後学習	授業ノート、配布資料などを用いて復習する。

15	事前学習	授業総括したうえで小レポートを実施するので第1～14回の授業内容を復習しておく。
	授業内容	まとめ（小レポート実施）
	事後学習	授業ノート、教科書による振り返り

科目名	映像／デジタル・ジャーナリズムⅡ	担当者	米倉 律	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	放送ジャーナリズムは、その政治的・社会的影響力の大きさゆえに、現代のジャーナリズム空間において大きな位置を占めているが、近年の「放送と通信の融合」の進展は、これまでの映像ジャーナリズム、テレビジャーナリズムのあり方に大きな変化を迫っている。そうした変化の諸相について、災害報道、海外の動向、放送と市民の関係性、アーカイブなどを中心に講義する。					
授業目的・到達目標	映像ジャーナリズム、デジタルジャーナリズムの先端的状況についての知識を身につけ、今後の方向性、可能性、課題などについて理解を深めること。					
履修条件	映像・デジタルジャーナリズムⅠを履修し、単位取得していること					
授業方法	講義形式					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	学期末に定期試験を実施する		
	平常評価		40%	学期中に授業内小レポートを1回実施する		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	学文社		新 放送論		島崎哲彦・米倉律編著
	備考					
参考書	授業時に適宜指示する					
オフィスアワー	毎週水曜日の昼休み。研究室は本館7階（1719） できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の内容について目を通しておく。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	資料、ノートを用いて振り返り。
2	事前学習	関連の情報を収集し、整理しておく。
	授業内容	災害報道①： マス・メディアによる緊急報道の限界
	事後学習	配布資料、ノートを用いて復習する。

3	事前学習	関連の情報を収集し、整理しておく。
	授業内容	災害報道②： メディア間連携の可能性と課題
	事後学習	講義内容を整理してまとめておく。
4	事前学習	教科書（第Ⅱ章）を読んでおく。
	授業内容	映像ジャーナリズムの歴史的展開①： 草創期のテレビ放送
	事後学習	配布資料、ノートを用いて復習する。
5	事前学習	教科書（第Ⅱ、Ⅴ章）を読んでおく。
	授業内容	映像ジャーナリズムの歴史的展開②： テレビドキュメンタリーの成立と発展
	事後学習	配布資料、ノートを用いて復習する。
6	事前学習	教科書（第Ⅵ章）を読んでおく。
	授業内容	映像ジャーナリズムの歴史的展開③： テレビドラマの誕生とその社会的機能
	事後学習	講義内容を整理してまとめておく。
7	事前学習	教科書（第Ⅵ章）を読んでおく。
	授業内容	映像ジャーナリズムの歴史的展開④： テレビドラマの発展とその後
	事後学習	講義内容をノート、配布資料を用いて復習する。
8	事前学習	教科書（第Ⅷ章）を読んでおく。
	授業内容	海外の映像ジャーナリズム①： アメリカにおける映像ジャーナリズム
	事後学習	配布資料、ノートを用いて授業内容の振り返り。
9	事前学習	教科書（第Ⅷ章）を読んでおく。
	授業内容	海外の映像ジャーナリズム②： メディアの多チャンネル化、デジタル化
	事後学習	講義内容を整理してまとめておく。
10	事前学習	関連の情報を収集し整理しておく。
	授業内容	海外の映像ジャーナリズム③： 「放送と通信の融合」と寡占化の進行（小レポート実施）
	事後学習	レポート内容について資料やノート等を用いて振り返り。
11	事前学習	放送と通信の融合についての概要を情報収集しておく
	授業内容	放送と通信の融合（ゲストスピーカー招聘）
	事後学習	講義内容をノート、配布資料を用いて復習する。
12	事前学習	教科書（第Ⅹ章）を読んでおく。
	授業内容	放送と市民①： パブリック・アクセス～韓国的事例～
	事後学習	講義内容をノート、配布資料を用いて復習する。
13	事前学習	教科書（第Ⅹ章）を読んでおく。
	授業内容	放送と市民②： パブリック・アクセス～日本の事例～
	事後学習	講義内容をノート、配布資料を用いて復習する。
14	事前学習	関連の情報を収集し、整理しておく。
	授業内容	映像ジャーナリズムと集合的記憶①： テレビにおける戦争の表象
	事後学習	授業内容について、配布資料やノートを用いて振り返る。

15	事前学習	関連の情報を収集し、整理しておく。
	授業内容	映像ジャーナリズムと集合的記憶②： アーカイブ時代における映像ジャーナリズム
	事後学習	講義内容を整理してまとめておく。

科目名	会計学Ⅰ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、会計学（主として財務会計）の基礎について学習します。企業（株式会社）の作成する財務諸表（計算書類）には会計基準と呼ばれる一定の作成ルールが存在しますが、それらの基礎にある理論的思考方に触れ、実際の企業が公表する財務諸表がいかにして作成されるのかを学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・財務諸表の作成ルールである会計基準などの基本的考え方を理解し、説明できる能力を身に付けること。 ・実際に会計基準の規定に従った会計処理能力を身に付けること。				
履修条件	簿記原理Ⅰおよび簿記原理Ⅱを履修し、簿記の基礎についての学修を終えていることが望ましいです。また、会計学Ⅱを併せて履修するようにしてください。				
授業方法	毎回の授業に先だって共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、講義を行います。各自プリントアウトして持参してください。また電卓を使用しますので、電卓を持参してください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業内容の理解度を確認するために、前学期末に試験を実施します。	
	平常評価		30%	授業参加態度を評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません。			
参考書	『財務会計入門 第4版』 田中建二 著 中央経済社				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	簿記手続き一巡を復習しておく （第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	財務会計の基礎 ①：複式簿記の仕組み、会計とは何か
	事後学習	会計の目的について理解する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務会計の基礎 ②：会計制度、会計基準
	事後学習	我が国における会計制度の展開を把握する
3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務諸表の仕組み ①：財務諸表の種類、貸借対照表
	事後学習	貸借対照表の様式と役割について理解する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務諸表の仕組み ②：損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書
	事後学習	損益計算書、株主資本等変動計算書およびキャッシュ・フロー計算書について、それらの様式と役割を理解する

5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	棚卸資産の会計 ①：意義と範囲、取得原価、売上原価の計算
	事後学習	棚卸資産会計の論点を把握し、取得原価および売上原価の算定方法を理解する
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	棚卸資産の会計 ②：評価方法、期末評価
	事後学習	棚卸資産の期末評価方法を習得するとともに、その理論的根拠を理解する
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	有形固定資産の会計 ①：種類、設備投資、取得原価、減価償却
	事後学習	有形固定資産会計の論点を把握し、各減価償却費の算定方法を身に付ける
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	有形固定資産の会計 ②：減価償却の目的と効果、修繕費と改良費
	事後学習	減価償却の理論的根拠とその効果の違いを理解する
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	有形固定資産の会計 ③：リース取引
	事後学習	リース取引の態様について理解し、リース資産およびリース債務の測定方法である割引計算の考え方を理解する
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	有形固定資産の会計 ④：減損会計
	事後学習	減損会計の基本的考えを理解し、一連の減損処理手続きを身に付ける
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	無形固定資産および繰延資産の会計 ①：無形固定資産、繰延資産
	事後学習	無形固定資産会計および繰延資産会計の論点を把握する
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	無形固定資産および繰延資産の会計 ②：研究開発費、ソフトウェア
	事後学習	研究開発費の会計処理を理解し、ソフトウェアの会計処理（主として減価償却手続）を身に付ける
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	金融資産の会計 ①：金融資産、当座資産
	事後学習	金融資産と事業用資産の違いや、金銭債権に対する各種貸倒見積高の算定方法について理解する
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	金融資産の会計 ②：有価証券
	事後学習	有価証券の保有目的別分類とそれぞれの会計処理方法を理解する
15	事前学習	前期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：会計の基礎と資産会計についての学習内容のまとめ
	事後学習	定期試験に向けて前期の学習内容を包括的に復習する

科目名	会計学 I	担当者	佐藤 利光	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業の主要な領域は財務会計論となります（他に管理会計論、会計監査論等があります）。財務会計論は企業経営に役立つ実学と言われています。そこで、本授業では会計実務を实践する上で必要な会計ルールを学びますが、会計のルールを学習する際に重要な点はそのルールの背後にある意味を理解することです。したがって、授業はこの観点から展開されます。				
授業目的・到達目標	この授業では財務会計論の全般について概説する。会計の史的展開過程を概観し、特に現代社会における財務会計論の領域・目的・役割等について学習します。また、昨今の金融市場の歴史的変化を取り上げ公表財務諸表の信頼性の担保の観点から会計監査論についても言及します。そして、この授業の主要な学習領域は財務会計なので財務諸表や新聞記事の会計に関する事項を理解できるようになることが望ましい。				
履修条件	簿記の基礎的学習を終えていることが望ましい。				
授業方法	原則として講義形式。講義では毎回レジメを配布する予定。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(50%)理解度測定のため、前期授業終了時に小テストを実施します。 (50%)毎授業の終了時に当日学習した重要項目について理解度チェックをします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年3月	白桃書房		ケースでまなぶ財務会計（第7版）	永野則雄
	備考				
参考書	神戸大学会計学研究室編『会計学基礎論』同文館 醍醐 聡著『会計学講義』東京大学出版会 友岡 賛編『会計学』慶応義塾大学出版会 岡本治雄著『会計と財務諸表分析』唯学書房				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	最近の新聞紙上で取り上げられた会計関連の記事を読んでほしい
	授業内容	授業計画とその概要
	事後学習	学習の内容を現実の社会現象と関連させてほしい
2	事前学習	身近にある会計数値の意味を考えてください
	授業内容	社会と会計：会計の仕事
	事後学習	学習の内容を現実の社会現象と関連させてほしい
3	事前学習	テキストの該当する章を読んでください
	授業内容	会計の役割と規制
	事後学習	種々の会計ルールの強制性と任意性を考えてほしい
4	事前学習	会計の果たせる機能と限界を理解してほしい
	授業内容	財産の変動とその記録
	事後学習	取引の形態と記録の在り方を理解してほしい

5	事前学習	取引の形態と記録の在り方について
	授業内容	財産変動の結果の報告（貸借対照表）
	事後学習	利益の額とその貸借対照表での表れ方
6	事前学習	貸借対照表の簡単な理解
	授業内容	財産変動の原因の報告（損益計算書）
	事後学習	収益と費用の理解
7	事前学習	損益計算書の簡単な理解
	授業内容	財産の変動と「取引」
	事後学習	資産・負債・純資産・収益・費用の大まかな理解
8	事前学習	貸借対照表と損益計算書が伝える内容
	授業内容	財務諸表の体系
	事後学習	貸借対照表と損益計算書との関係
9	事前学習	情報源としての財務諸表について
	授業内容	財務諸表の読み方
	事後学習	財務諸表からの情報とその限界
10	事前学習	収益と費用の大まかな理解
	授業内容	「収入・支出」と「収益・費用」
	事後学習	「収入-支出」と「収益-費用」との違い
11	事前学習	「収益と費用」の測定基準としての「収入・支出」について
	授業内容	「見越し」と「繰り延べ」
	事後学習	損益法と貸借対照表項目
12	事前学習	貸借対照表に計上される勘定科目について
	授業内容	貸借対照表の表示方法
	事後学習	企業の財務安全分析と貸借対照表
13	事前学習	損益計算書に計上される勘定科目について
	授業内容	損益計算書の表示方法
	事後学習	企業の収益性分析と損益計算書
14	事前学習	「もの」の「価値」について
	授業内容	「原価」と「時価」：「配分」と「評価」
	事後学習	原価情報と時価情報と差異
15	事前学習	財務情報の限界を理解してほしい
	授業内容	「まとめ」と理解度測定
	事後学習	理解が十分でない項目の抽出

科目名	会計学Ⅱ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、会計学（主として財務会計）の基礎について学習します。企業（株式会社）の作成する財務諸表（計算書類）には会計基準と呼ばれる一定の作成ルールが存在しますが、それらの基礎にある理論的考え方に触れ、実際の企業が公表する財務諸表がいかんにして作成されるのかを学びます。また、実際の企業の財務諸表を用いた財務分析も行います。				
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・財務諸表の作成ルールである会計基準などの基本的考え方を理解し、説明できる能力を身に付けること。 ・実際に会計基準の規定に従った会計処理能力を身に付けること。 ・企業の財務諸表を使った基本的な財務分析ができるようになること。				
履修条件	会計学Ⅱの履修希望者は、会計学Ⅰと併せて履修するようにしてください。また、簿記原理Ⅰおよび簿記原理Ⅱを履修し、簿記の基礎についての学修を終えていることが望ましいです。				
授業方法	毎回の授業に先だって共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、講義を行います。各自プリントアウトして持参してください。また電卓を使用しますので、電卓を持参してください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業内容の理解度を確認するために、後学期末に試験を実施します。	
	平常評価		30%	授業参加態度を評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません。			
参考書	『財務会計入門 第4版』 田中建二 著 中央経済社				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に配布したレジュメを通読しておく （会計学Ⅱの第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	会計学Ⅰで学習した内容の復習
	事後学習	会計の基礎と資産会計の全体像を再確認する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の会計 ①：負債概念、流動負債
	事後学習	会計学上の資産および負債の定義を理解し、負債と純資産の違いを理解する
3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の会計 ②：固定負債、引当金
	事後学習	社債の仕組みを理解し、会計処理方法を身に付けるとともに、引当金の理論的根拠を理解する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の会計 ③：退職給付
	事後学習	退職給付会計の基本的考え方を理解し、退職給付の会計処理方法を身に付ける

5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	純資産の会計 ①：純資産の部、資本と利益の区分
	事後学習	純資産の部の構成を把握し、資本と利益区分の原則を理解する
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	純資産の会計 ②：払込資本、留保利益、剰余金の配当
	事後学習	払込資本の会計処理を理解し、剰余金の配当における分配可能額の算定方法を身に付ける
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	収益と費用の会計 ①：現金主義、発生主義、実現主義
	事後学習	現金主義、発生主義および実現主義それぞれの考え方の違いを理解する
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	収益と費用の会計 ②：工事契約、費用収益対応の原則
	事後学習	工事契約における各種収益認識方法についての考え方や、費用収益対応の原則の考え方を理解する
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	連結財務諸表 ①：意義、連結の範囲、連結貸借対照表の作成
	事後学習	連結財務諸表の役割を理解し、資本連結の手続きを身に付ける
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	連結財務諸表 ②：連結損益計算書の作成
	事後学習	連結損益計算書の作成手順を理解し、連結修正手続きの考え方を理解する
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務諸表の分析 ①：分析の意義、流動性の分析
	事後学習	財務諸表分析の基礎を理解し、流動性分析のための各手法を身に付ける
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務諸表の分析 ②：安全性の分析
	事後学習	安全性分析のための各手法を身に付ける
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務諸表の分析 ③：効率性の分析
	事後学習	効率性分析のための各手法を身に付ける
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	財務諸表の分析 ④：収益性の分析
	事後学習	収益性分析のための各手法を身に付ける
15	事前学習	後期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：負債会計、純資産会計、損益会計および財務分析についての学習内容のまとめ
	事後学習	定期試験に向けて後期の学習内容を包括的に復習する

科目名	会計学Ⅱ	担当者	佐藤 利光	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業の主要な領域は財務会計論となります（他に管理会計論、会計監査論等があります）。財務会計論は企業会計に役立つ実学と言われています。そこで、本授業では会計実務を実践する上で必要な会計ルールを学びますが、その際、大切な点はそのルールの背後にある論理、あるいは社会的要請を理解することです。したがって、本授業はこの観点から展開されます。				
授業目的・到達目標	この授業では財務会計論の全般について概説します。会計の史的展開過程を概観し、特に現代社会における財務会計論の領域・目的・役割等について学習します。また、昨今の金融市場の歴史的変化を取り上げ公表財務諸表の信頼性の担保の観点から会計監査論についても言及します。そして、この授業の主要な学習領域は財務会計論なので財務諸表や新聞記事の会計に関する事項を理解できるようになることが望ましい。				
履修条件	簿記の基礎的学習を終えていること、「会計学Ⅰ」を履修していることが望ましい。				
授業方法	原則として講義形式。講義では毎回レジメを配布する予定。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(50%)理解度測定のため、後期授業終了時に小テストを実施します。 (50%)授業の終了時毎に当日学習した重要項目について理解度チェックをします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年3月	白桃書房		ケースでまなぶ財務会計（第7版）	永野則雄
	備考				
参考書	神戸大学会計学研究室編『会計学基礎論』同文館 醍醐 聡著『会計学講義』東京大学出版会 友岡 賛編『会計学』慶応義塾大学出版会 岡本治雄著『会計と財務諸表分析』唯学書房				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	最近の新聞紙上で取り上げられた会計関連の記事を読んでほしい
	授業内容	「会計学Ⅰ」の理解度測定の結果と理解不十分項目の抽出
	事後学習	理解不十分項目の要点整理
2	事前学習	テキストで関連する章を読んでほしい
	授業内容	基礎概念と一般原則（１）
	事後学習	計算原理を支える「基礎概念」の理解
3	事前学習	各「基礎概念」間の関連
	授業内容	基礎概念と一般原則（２）
	事後学習	「一般原則」と基礎概念の関連
4	事前学習	「資産」について
	授業内容	棚卸資産の会計
	事後学習	「仕入高」・「売上原価」・「期末棚卸商品」の理解

5	事前学習	「資産」について
	授業内容	固定資産の会計
	事後学習	固定資産の簿価と時価の認識
6	事前学習	「資産」について
	授業内容	繰延資産の会計
	事後学習	「繰延資産」の特異性
7	事前学習	「資産」について
	授業内容	金融資産の会計
	事後学習	「金融資産」の特異性
8	事前学習	「負債」の一般的特性
	授業内容	負債の会計
	事後学習	法的債務と会計上の債務（特に各種の引当金）
9	事前学習	「株式会社」の有限責任について
	授業内容	純資産の会計
	事後学習	「払込資本」と「剰余金」
10	事前学習	「勘定科目」の分類
	授業内容	数値例による貸借対照表と損益計算書の作成
	事後学習	理解不十分項目の抽出
11	事前学習	「発生主義」会計の特性
	授業内容	キャッシュ・フロー計算書の作成
	事後学習	「損益計算書」と「キャッシュ・フロー計算書」との役割の相違
12	事前学習	製品の価格の決め方を考えてほしい
	授業内容	管理会計論の概説
	事後学習	「製品原価」と「原価計算」
13	事前学習	最近の「会計不正」の新聞記事等を読む
	授業内容	会計監査論の概説
	事後学習	会計監査と会計不正
14	事前学習	経済のグローバル化
	授業内容	会計の今後：「国際財務報告基準（IFRS）」について
	事後学習	「国際会計基準」構築の必要性の可否
15	事前学習	会計数値の特異性を理解してほしい
	授業内容	全体の「まとめ」と理解度測定
	事後学習	今後の会計学のひとつの動向

科目名	外国ジャーナリズム史A	担当者	山本 賢二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	中国共産党は「鉄砲」（武力）と「ペン」（宣伝）で1949年に中華人民共和国を打ち立てた。建国初期を除き、中国のジャーナリズム・メディアは「党と国家の喉舌」として機能してきた。そして、現在は「党がメディアを管理する」という方針の下で新たに登場したインターネットという新興メディアと伝統メディアの融合を目指している。こうした中華人民共和国建国以来のジャーナリズム・メディアの歴史を主要な出来事を中心に概観する。				
授業目的・到達目標	中国共産党支配下にある中華人民共和国のジャーナリズム・メディアの歴史について基本的知識を得ることを目的とする。この目的を達成することを通じて中国の実情を理解する目標を実現する。				
履修条件	特になし。				
授業方法	授業担当者の論文を基礎とし、そのテーマと前後するジャーナリズム・メディアを取り巻く歴史的政治環境について講義するとともに、その内容について議論したい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	中華人民共和国のジャーナリズムの歴史を問う問題を提出する。	
	平常評価		50%	授業担当者の論文の読後感と授業参加度を評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年度	教員学生共有サイト掲載	2018 外国ジャーナリズム史A（山本）教材		山本賢二
	備考	上記のように「教材」は本学の教員学生共有サイト（教材配布）に掲載してあるので、プリントアウトまたは情報端末で閲覧できるようにしておくこと。			
参考書	中華人民共和国の歴史を概観した新書は読んでおくこと。				
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	2018 外国ジャーナリズム史A（山本）教材（以下「教材」）P. 2-25を読む。
	授業内容	習近平体制5年と中国の言論空間 －党政軍の三権を掌握した習近平総書記の情報統制から、いまの中国の「言論空間」について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
2	事前学習	「教材」p. 26-33を読む。
	授業内容	中華人民共和国建国前後のマスメディア接收政策 －建国前後において公表された文献から中国共産党のジャーナリズム・メディア観について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。

3	事前学習	「教材」 p. 34-45を読む。
	授業内容	「政治協商会議共同綱領」を読む －建国前夜に公表された「政治協商会議共同綱領」に現れたジャーナリズム・メディア観について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
4	事前学習	「教材」 p. 46-71を読む。
	授業内容	「百花齊放・百家争鳴」と反右派闘争・大躍進運動キャンペーンと廬山会議 －中国共産党一党支配が強化された反体制派一掃と党内批判派排除について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
5	事前学習	「教材」 p. 72-103を読む。
	授業内容	プロレタリア階級文化大革命とジャーナリズム・メディア －毛沢東をはじめとする文革派のジャーナリズム観について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
6	事前学習	「教材」 p. 104-128を読む。
	授業内容	中国の「四大自由」(大鳴、大放、大字報、大弁論)の消長 －「大字報」を中心とした「四大自由」の変遷を概観し、党内左右の対立について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
7	事前学習	「教材」 p. 129-169を読む。
	授業内容	「真理の基準」キャンペーン・「精神汚染除去」キャンペーン －改革開放の思想的準備をした「真理の基準」キャンペーンと「精神汚染除去」キャンペーンを比較し、改革開放の本質について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
8	事前学習	「教材」 p. 170-205を読む。
	授業内容	1989年の民主化運動と言論の自由 －1989年に起きた民主化運動の中で呼びかけられた「言論の自由」と中国共産党の対応について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
9	事前学習	「教材」 p. 206-268を読む。
	授業内容	「新聞法」草案の消長 －1989年前後につくられた「新聞法」草案を概観し、当時の「新聞の自由」について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
10	事前学習	「教材」 p. 269-284を読む。
	授業内容	「9・11」事件と中国メディア －米国において発生した「9・11」同時多発テロに対しての中国メディアの反応について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
11	事前学習	中国の近現代史と梁啓超に関する著作を読む。
	授業内容	梁啓超のジャーナリズム・メディア観 －清末の体制内改革派梁啓超のジャーナリズム・メディア観を概観する。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
12	事前学習	中国の近現代史と孫文に関する著作を読む。
	授業内容	孫文のジャーナリズム・メディア観 －清末の革命派孫文のジャーナリズム・メディア観を概観する。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
13	事前学習	中国の近現代史と蒋介石に関する著作を読む。
	授業内容	蒋介石のジャーナリズム・メディア観 －国民党の蒋介石のジャーナリズム・メディア観を概観する。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。
14	事前学習	中国の近現代史と毛沢東に関する著作を読む。
	授業内容	毛沢東のジャーナリズム・メディア観 －中国共産党の毛沢東のジャーナリズム・メディア観を概観する。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば、次回授業時に提起する。

15	事前学習	これまで学んできた内容を再確認する。
	授業内容	中国のジャーナリズム・メディアの歴史について、その国情を踏まえて、議論する。
	事後学習	中華人民共和国のジャーナリズム・メディアの歴史をまとめる。

科目名	外国ジャーナリズム史B	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	ジャーナリズムやメディアを批判的に読み解くうえで、その特性を表面的に捉えているだけでは十分な考察はできない。それらの成り立ちから現代までに展開された歴史的経緯を把握してこそ、本質に迫る議論が可能となる。こうした視座から、本講義では、欧米におけるマス・メディアの発展過程の中から、ジャーナリズムの社会的意義について考察する。また、世界と日本との関係を視野に入れ、外国における邦字新聞の歴史にも言及する。			
授業目的・到達目標	米国などで主要メディアに対する一方的な「フェイク・ニュース」といった誇りが横行する昨今、現代の課題を考察するためのよすがとして、歴史的視座からジャーナリズムの構造と機能について根幹から理解しておくことが重要である。本講義では、こうした視座を涵養することを目的とする。到達目標としては、「欧米におけるジャーナリズムの発展と変遷について、系統立てて説明することができる」ことと、「歴史的出来事の中でジャーナリズムが果たした役割について、具体例をあげて説明することができる」ことの2点を重視する。			
履修条件	【履修制限あり】平成25年度以前の新聞学科入学者のみ履修可（ジャーナリズム・コース必修「報道編集論」）。平成26年度以降の入学者で「外国ジャーナリズム史B」を受講する者は、本講義ではなく大井眞二師の講義を履修すること。			
授業方法	講義形式。 受講にあたっては必ずノートを持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	講義総数の3分の1以上の欠席があるものは評価対象としないので注意すること。 進捗と理解度に応じて、小テストやレポートを実施する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書は指定しない。		
参考書	必要に応じて講義で紹介する。 一例として、佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店、マイケル・エメリーほか『アメリカ報道史』松柏社など。			
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れた者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスによく目を通してくること。 ※以下の事前学習は、時代背景を把握するために高校「世界史」レベルの振り返りを行っていただきたい。
	授業内容	イントロダクション 新聞の起源と定義
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
2	事前学習	市民社会の発展と啓蒙思想について
	授業内容	【第1クール：欧米におけるマス・コミュニケーションの成立過程】 市民啓蒙の時代
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。

3	事前学習	第一次世界大戦下の組織的宣伝戦について
	授業内容	【第1クール：欧米におけるマス・コミュニケーションの成立過程】 大衆操作の時代
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
4	事前学習	第二次世界大戦以後のメディア環境の変容について
	授業内容	【第1クール：欧米におけるマス・コミュニケーションの成立過程】 文化的消費と情報化の時代
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
5	事前学習	自筆のノートの整理と復習。
	授業内容	【第1クール：欧米におけるマス・コミュニケーションの成立過程】 第1クールのまとめと小テスト
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
6	事前学習	植民地時代のアメリカと独立戦争について
	授業内容	【第2クール：英米におけるジャーナリズムの歴史】アメリカ植民地時代の新聞 ベンジャミン・フランクリン『ペンシルベニア・ガゼット』／ゼンガー事件 独立戦争期の新聞：トーリーとホイッグ／トマス・ペイン『危機』
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
7	事前学習	アメリカにおける産業革命について
	授業内容	【第2クール：英米におけるジャーナリズムの歴史】プレスの発展期 米国における日刊紙の誕生／産業革命 大衆新聞の誕生：ペニーペーパー／ベンジャミン・デイ『ニューヨーク・サン』
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
8	事前学習	ハーストとビュリッツァーについて
	授業内容	【第2クール：英米におけるジャーナリズムの歴史】戦争と新聞 南北戦争と新聞論調／イエロージャーナリズム／ハーストとビュリッツァー／米西戦争 プレスの企業化：『ニューヨーク・タイムズ』／『ロサンゼルス・タイムズ』／AP
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
9	事前学習	自筆のノートの整理と復習。
	授業内容	【第2クール：英米におけるジャーナリズムの歴史】 第2クールのまとめと小テスト
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
10	事前学習	日本人が海外に移住した理由について
	授業内容	【第3クール：外国における日本語新聞の歴史】 海外邦字新聞の概説 日本人移民と新聞発行
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
11	事前学習	いわゆる排日移民法について
	授業内容	【第3クール：外国における日本語新聞の歴史】 米国日系新聞史 柔港／羅府／布哇／紐育／その他
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
12	事前学習	日清戦争・日露戦争期の対外関係について
	授業内容	【第3クール：外国における日本語新聞の歴史】 アジアにおける邦字新聞発行 朝鮮／中国
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
13	事前学習	アジア太平洋戦争期の南方進出について
	授業内容	【第3クール：外国における日本語新聞の歴史】 アジアにおける邦字新聞発行 東南アジア／南方軍政地域新聞政策要領
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。

14	事前学習	自筆のノートの整理と復習。
	授業内容	【第3クール：外国における日本語新聞の歴史】 第3クールのまとめと小テスト
	事後学習	ノートの整理。講義資料はCOLNet共有フォルダで確認可能。
15	事前学習	これまでの授業内容を振り返り、疑問点があれば具体的にまとめておくこと。
	授業内容	総括 質疑応答
	事後学習	本講義を通して得た知見を今後の学習に活かせるように、自分がまとめたノートをいつでも見られる状態にしておくこと。

科目名	外国ジャーナリズム史B	担当者	大井 眞二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	アジア・太平洋戦争後、日本のジャーナリズムに大きな影響を与えたという観点から、主として米国のジャーナリズム史を主題とする。				
授業目的・到達目標	ジャーナリズムの歴史は、歴史的過程に登場した様々な規範的行為を評価し、現代のジャーナリズムの様々な問題と照応させることに、その研究の意義を持つ。その意味で歴史は「現在と過去の対話」である。豊かな対話を生み出すことを授業の目的としたい。対話の話題は「客観性」である。歴史には、様々な並行現象と、個々の国、社会に固有の現象が存在する。これら二つの現象を「現在と過去の対話」を通して、ジャーナリズム現象の具体的なありようを理解すること。これを目標とする。				
履修条件	日本ジャーナリズム史、ジャーナリズム・スタディーズの履修が望ましい。				
授業方法	ネットワークドライブ：学生教員共有（Y）にアップロードした授業フォルダー資料を使用して、可能な限りインタラクティブな授業を行う。受講生の積極的参加を期待している。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業への参加度＋リアクションペーパー（25%）、小テスト（25%）、期末のまとめレポート（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし			
参考書	大井眞二他訳、『アメリカ報道史』（2016年、松柏社） 他授業の折にその都度紹介する。				
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	講義概要・注意事項：参考文献紹介など。
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	授業フォルダー資料（1）
	授業内容	欧州近代社会における「ジャーナリズム」の誕生（1） 政治史の視点から
	事後学習	リアクションペーパーの作成

3	事前学習	授業フォルダー資料（2）
	授業内容	欧州近代社会における「ジャーナリズムの誕生」（2） 文化史の視点から
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	授業フォルダー資料（3）
	授業内容	「米国」の歴史を考える：さまざまな学派（1） 革新主義の歴史観
	事後学習	リアクションペーパーの作成
5	事前学習	授業フォルダー資料（4）
	授業内容	「米国」の歴史を考える：さまざまな学派（2） コンセンサス、修正主義
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び授業フォルダー資料（1）から（4）の復習（小テスト準備）
6	事前学習	授業フォルダー資料（5）
	授業内容	ジャーナリズム史における客観性（1） 事実をどのように突き止めるか？ 小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	授業フォルダー資料（6）
	授業内容	建国後のジャーナリズム 憲法修正第一条と客観性
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	授業フォルダー資料（7）
	授業内容	ベニー新聞と客観性 「事実」の発見
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	授業フォルダー資料（8）
	授業内容	AP通信と客観性 党派性を超えて
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び授業フォルダー（5）から（8）の復習（小テスト準備）
10	事前学習	授業フォルダー資料（9）
	授業内容	プロフェッショナリズムと客観性（1） プロフェッショナリズムとはなにか？ 小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成及
11	事前学習	授業フォルダー資料（10）
	授業内容	プロフェッショナリズムと客観性（2） 経験論の認識
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	授業フォルダー資料（11）
	授業内容	プロフェッショナリズムと客観性（3） 職業倫理
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	授業フォルダー資料（12）
	授業内容	プロフェッショナリズムと客観性（4） 認識論から手続き論
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び授業フォルダー（9）から（12）の復習（小テスト準備）
14	事前学習	授業フォルダー資料（9）から（12）のノート整理
	授業内容	前期授業の総括と小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成

15	事前学習	授業フォルダー（1）から（12）の復習（まとめレポート準備）
	授業内容	まとめ：レポート
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成

科目名	外国法A(アジア) I	担当者	徐 瑞静	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	アジア諸国を見れば、大陸法系、英米法系、宗教法型、慣習法型、ハイブリッド型等の法体系が存在する。その他にも、社会主義法系国家が比較的に多いことが東アジア法の特色である。とりわけ、中華人民共和国法は独自の社会主義法体系を有するが、国際的には、香港、マカオ、多数の少数民族自治区等を通じて複合的な法体系を有している。本講義においては、中華人民共和国法について、その法体系の特徴、公法及び私法に亘って講義する。				
授業目的・到達目標	中華人民共和国法の総合的な知識の習得を目的として、中華人民共和国の基本原則、主要な実定法に関する基礎知識について講義する。それにより、中華人民共和国法と日本法との相互の共通点及び相違点について、多角的に正確な理解がなされることを到達目標とする。				
履修条件	特になし。なお、日本法の主要実定法の基礎知識を有していることが望ましい。				
授業方法	担当者が作成したプリントに基づいて講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度、小テスト、期末における課題レポートの成績をもって評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用しない			
参考書	随時、指示する。				
オフィスアワー	次のメールアドレスへの連絡をもって行う。 jozuisei@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義の進め方、配布資料、期末レポート等についてガイダンスする。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中国法の歴史（古代から現代に至るまでの中国法の変遷）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	現代中国法の体系（中華人民共和国法、香港法、マカオ法、台湾法、少数民族自治区法）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国司法制度（裁判所制度、法曹制度等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国実定法の種類（公法、刑事法、私法、司法解釈等）について総説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国憲法（1954年憲法、1975年憲法、1978年憲法、1982年憲法及び修正）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国行政法（行政組織、法治行政原則、行政法の種類等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国行政訴訟法（行政救済制度の目的、対象、範囲及び整備）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国刑法（基本原則、適用範囲、刑罰の種類）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国刑事訴訟法（基本原則、取調べ手続、公判手続、上訴手続き等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国民法通則（私法における位置付け、私法基本原則等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国物権法（基本原則、所有権、区分所有、共有等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国契約法（合同法の基本原則、経済法との関係、有名契約、無名契約等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国不法行為法（侵權責任法の基本原則、一般不法行為、特殊不法行為等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

科目名	外国法A(アジア)Ⅱ	担当者	徐 瑞静	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	アジア諸国を見れば、大陸法系、英米法系、宗教法型、慣習法型、ハイブリッド型等の法体系が存在する。その他にも、社会主義法系国家が比較的に多いことが東アジア法の特色である。とりわけ、中華人民共和国法は独自の社会主義法体系を有するが、国際的には、香港、マカオ、多数の少数民族自治区等を通じて複合的な法体系を有している。本講義においては、中華人民共和国法について、その法体系の特徴、公法及び私法に亘って講義する。				
授業目的・到達目標	中華人民共和国法の総合的な知識の習得を目的として、中華人民共和国の基本原則、主要な実定法に関する基礎知識について講義する。それにより、中華人民共和国法と日本法との相互の共通点及び相違点について、多角的に正確な理解がなされることを到達目標とする。				
履修条件	特になし。なお、日本法の主要実定法の基礎知識を有していることが望ましい。				
授業方法	担当者が作成したプリントに基づいて講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度、小テスト、期末における課題レポートの成績をもって評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用しない			
参考書	随時、指示する。				
オフィスアワー	次のメールアドレスへの連絡をもって行う。 jozuisei@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	後期の授業の進め方についてガイダンスする。 中華人民共和国婚姻法（基本原則、婚姻の成立、身分的効力、財産的効力、離婚の方法等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国養子縁組法（基本原則、養子縁組の成立及び効力、離縁等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国相続法（承法の基本原則、法定相続、遺言相続等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国会社法（公司法の変遷、会社の形態、企業法務の課題）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国有価証券法（有価証券市場、有価証券の種類、株式投資の現状）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国民事訴訟法（紛争解決機関及び方法、調停主義、改正法の内容等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国破産法（破産制度、手続、債権者の権利、民事再生制度等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国仲裁法（民事訴訟との関係、手続、涉外仲裁の課題等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国知的財産権法（知的財産権の種類、管轄官庁、権利行使等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国労働法（基本理念、労働立法の種類、労働契約、労働基準等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国経済法（範囲、独占禁止法、不正競争法、企業所得税法等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国国際私法（涉外民事関係法律適用法、最高人民法院司法解释、条約、区際私法等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国における国際公法（国際条約、二国間条約、国際慣習法、国籍法）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華人民共和国における国際経済法（WTOの加盟及び課題、対外貿易の規制等）について解説する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

科目名	外国法A(EU) I	担当者	庄司 克宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	超国家的な法秩序を構成するEUの憲法について、統治機構および基本的人権の観点から授業を行う。				
授業目的・到達目標	超国家的なEU法は、域内で事業を展開する日系企業を含む域外企業にとって無視できない存在である。日系企業も細心の注意を払ってEU 法令のコンプライアンスを確保する必要がある。しかし、わが国ではEU 法に十分精通した人がほとんどいないため「EU 法ギャップ」が存在する。これを解消し、受講者にとってEU法の知識が「付加価値」となるよう、実社会で役立つ専門知識を提供することを目的とする。EU法の基礎的事項を踏まえた後、EUの立法・行政・司法、基本的人権の保護など憲法的側面について、判例を紹介しながらバランスよく理解できるようにする。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	教科書2冊を毎回使用するので必ず持参すること。また、ポータルシステムを通じて授業用のハンドアウトを配布するので、それも毎回持参すること。時間が許せば、担当者が出演したEU関連報道番組の収録ビデオを鑑賞する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	EU法の基礎知識が理解できているかを判定する。教科書、ノート、ハンドアウトの持込可で行う。それらにより基本的な事項を理解しておくこと。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	岩波書店		新EU法基礎篇	庄司克宏
	2015年	有斐閣		はじめてのEU法	庄司克宏
	備考				
参考書	『新EU法政策篇』庄司克宏、岩波書店、2014年 『欧州連合 統治の論理とゆくえ』庄司克宏、岩波書店、2007年（2016年第10刷）				
オフィスアワー	授業の前後に質問・相談を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第1～2回を通読する。
	授業内容	EU法入門（1）EU法を支える原則は何か（一） ヨーロッパ統合とEU法、個人が裁判所でEU法を使えるということ
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
2	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第3回を通読する。
	授業内容	EU法入門（2）EU法を支える原則は何か（二） EU法と国家主権の調整
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

3	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第4～5回を通読する。
	授業内容	EU法入門（3）トランスナショナルな法空間の構築（一） トランスナショナルな法空間、物・人・サービス・資本の自由移動、
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
4	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第6～7回を通読する。
	授業内容	EU法入門（4）トランスナショナルな法空間の構築（二） トランスナショナルな自由競争、単一通貨ユーロの仕組み
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
5	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第8～11回を通読する。
	授業内容	EU法入門（5）トランスナショナルな課題とEU法 EU市民権と外国人、物の自由移動と契約法、人の自由移動と刑事司法協力、域内市場と環境保護
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
6	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』序章、第1～2章、第5章、『はじめてのEU法』第12回を通読する。
	授業内容	EU法制度の発展（一） EU法制度とその発展を、EU基本条約、権限類型、法源、EU諸機関の発展に関連づけてそれぞれ説明する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
7	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』序章、第1～2章、第5章、『はじめてのEU法』第12回を通読する。
	授業内容	EU法制度の発展（二） EU法制度とその発展を、EU基本条約、権限類型、法源、EU諸機関の発展に関連づけてそれぞれ説明する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
8	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第2章、第3章1～3節、6節、『はじめてのEU法』第13回を通読する。
	授業内容	EU立法（一） 通常立法手続および特別立法手続、立法手続における諸機関の役割、補完性手続による国内議会の監視について説明した後、「民主主義の赤字」という問題についても触れる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
9	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第2章、第3章1～3節、6節、『はじめてのEU法』第13回を通読する。
	授業内容	EU立法（二） 通常立法手続および特別立法手続、立法手続における諸機関の役割、補完性手続による国内議会の監視について説明した後、「民主主義の赤字」という問題についても触れる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
10	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第2章、第3章4節、『はじめてのEU法』第14回を通読する。
	授業内容	EU行政 コミッションによる委任立法、EU立法の実施におけるコミットロジーおよび補助機関についてメローニ原則を中心に解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
11	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第4章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU司法（一） 裁判所組織と訴訟の類型を概観した後、先決付託手続と国内裁判所との関係に焦点を当てる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
12	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第4章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU司法（二） 裁判所組織と訴訟の類型を概観した後、先決付託手続と国内裁判所との関係に焦点を当てる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
13	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第4章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU司法（三） 取消訴訟（先決付託手続きとの関係を含む）および違法性の抗弁、ならびに義務不履行訴訟を中心に解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
14	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第4章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU司法（四） 取消訴訟（先決付託手続きとの関係を含む）および違法性の抗弁、ならびに義務不履行訴訟を中心に解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

15	事前学習	教科書『はじめてのEU法』および『新EU法基礎篇』の学習部分を再読する。
	授業内容	総括と質疑
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容全体について復習する。

科目名	外国法A(EU)Ⅱ	担当者	庄司 克宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	超国家的な法秩序を構成するEUの憲法について、統治機構および基本的人権の観点から授業を行う。				
授業目的・到達目標	超国家的なEU法は、域内で事業を展開する日系企業を含む域外企業にとって無視できない存在である。日系企業も細心の注意を払ってEU 法令のコンプライアンスを確保する必要がある。しかし、わが国ではEU 法に十分精通した人がほとんどいないため「EU 法ギャップ」が存在する。これを解消し、受講者にとってEU法の知識が「付加価値」となるよう、実社会で役立つ専門知識を提供することを目的とする。EU法の基礎的事項を踏まえた後、EUの立法・行政・司法、基本的人権の保護など憲法的側面について、判例を紹介しながらバランスよく理解できるようにする。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	教科書2冊を毎回使用するので必ず持参すること。また、ポータルシステムを通じて授業用のハンドアウトを配布するので、それも毎回持参すること。時間が許せば、担当者が出演したEU関連報道番組の収録ビデオを鑑賞する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	EU法の基礎知識が理解できているかを判定する。教科書、ノート、ハンドアウトの持込可で行う。それらにより基本的な事項を理解しておくこと。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	岩波書店		新EU法基礎篇	庄司克宏
	2015年	有斐閣		はじめてのEU法	庄司克宏
	備考				
参考書	『新EU法 政策篇』庄司克宏、岩波書店、2014年 『欧州連合 統治の論理とゆくえ』庄司克宏、岩波書店、2007年（2016年第10刷）				
オフィスアワー	授業の前後に質問、相談を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第2回を再読する。
	授業内容	EU法の直接効果の概念について再確認する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
2	事前学習	教科書『はじめてのEU法』第3回を再読する。
	授業内容	EU法の国内法に対する優越性について再確認する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

3	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第6章、『はじめてのEU法』第2回を通読する。
	授業内容	EU法の直接効果と優越性（一） EU法秩序を確立した判例法として、直接効果に関するVan Gend en Loos判決および優越性に関するCosta v ENEL判決を紹介した後、EU法の直接効果の定義および要件を踏まえて、とくに「指令」の直接効果について解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
4	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第6章、『はじめてのEU法』第2回を通読する。
	授業内容	EU法の直接効果と優越性（二） EU法秩序を確立した判例法として、直接効果に関するVan Gend en Loos判決および優越性に関するCosta v ENEL判決を紹介した後、EU法の直接効果の定義および要件を踏まえて、とくに「指令」の直接効果について解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
5	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第7章、『はじめてのEU法』第3回を通読する。
	授業内容	EU法の直接効果と優越性（三） とくに「指令」の直接効果以外の効果（国内裁判所の適合解釈義務、抵触国内法の適用排除義務、加盟国の損害賠償責任）について解説する。また、EU法の優越性の範囲と国民の一体性条項について解説する。その際、立憲的多元主義についても触れる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
6	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第7章、『はじめてのEU法』第3回を通読する。
	授業内容	EU法の直接効果と優越性（四） とくに「指令」の直接効果以外の効果（国内裁判所の適合解釈義務、抵触国内法の適用排除義務、加盟国の損害賠償責任）について解説する。また、EU法の優越性の範囲と国民の一体性条項について解説する。その際、立憲的多元主義についても触れる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
7	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第8章を通読する。
	授業内容	EU法上の権利に対する国内的救済—加盟国の手続的自律性（一） 直接効果を有し、かつ国内法に優越するEU法規定に基づく権利が私人に付与されたとしても、その侵害に対する救済は国内裁判所において国内法に依拠して行われる。それは加盟国の手続的自律性と呼ばれる。その内容および範囲について理論的に解説する。とくに根拠および定義、要件としての同等性および実効性に焦点を当てる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
8	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第8章を通読する。
	授業内容	EU法上の権利に対する国内的救済—加盟国の手続的自律性（二） 直接効果を有し、かつ国内法に優越するEU法規定に基づく権利が私人に付与されたとしても、その侵害に対する救済は国内裁判所において国内法に依拠して行われる。それは加盟国の手続的自律性と呼ばれる。その内容および範囲について理論的に解説する。とくに根拠および定義、要件としての同等性および実効性に焦点を当てる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
9	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第9章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU法の下における基本的人権の保護（一） EU司法裁判所が基本権保護に関する判例法をどのように形成してきたのか、また、基本権に関する審査権の範囲はどこまで及ぶのかについて概観した後、EU基本権憲章および欧州人権条約の位置づけについて解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
10	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第9章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU法の下における基本的人権の保護（二） EU司法裁判所が基本権保護に関する判例法をどのように形成してきたのか、また、基本権に関する審査権の範囲はどこまで及ぶのかについて概観した後、EU基本権憲章および欧州人権条約の位置づけについて解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
11	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第9章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU法の下における基本的人権の保護（三） EUの欧州人権条約加入問題の現状と課題について、EU司法裁判所の判例法を中心に検討する
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
12	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第9章、『はじめてのEU法』第15回を通読する。
	授業内容	EU法の下における基本的人権の保護（四） EUの欧州人権条約加入問題の現状と課題について、EU司法裁判所の判例法を中心に検討する
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
13	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第10章を通読する。
	授業内容	EU脱退手続と権利停止手続（一） Brexitとポーランド・ハンガリー問題
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

14	事前学習	教科書『新EU法基礎篇』第10章を通読する。
	授業内容	EU脱退手続と権利停止手続（二） Brexitとポーランド・ハンガリー問題
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
15	事前学習	教科書『はじめてのEU法』および『新EU法基礎篇』の学習部分を再読する。
	授業内容	総括と質疑
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容全体について復習する。

科目名	外国法A(英米) I	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	アメリカでは、連邦も各州も憲法を有し、立法府、行政府、司法府が、連邦と各州にそれぞれ存在する。この状況においては、立法府の規制権や司法府の裁判管轄権の範囲が連邦と州との間で競合することが多々ある。本授業では、そのときいずれが優先されるべきかを判断した合衆国最高裁の判例を主に読み、アメリカの連邦制度について学習する。				
授業目的・到達目標	目的：(1) 合衆国憲法下における連邦と州の二重構造とそこから生じる法的争点と法理を理解し、説明できるようになることを目的とする。(2) 英米法に属する人々のリーガル・マインド（法的思考）を理解し、説明できるようになることを目的とする。 到達目標：(1) 合衆国憲法の内容を判例に言及して説明できるようになる。(2) 判例から法的争点と法理を抽出できるようになる。(3) 英米法の法律専門用語を指摘しその意味を説明できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義を主体として進めて行くが、配布する判例を充分予習してディスカッションに参加することを望む。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	判例の法的争点と法理を理解し他の関連判例との関係において説明できるようになったか、また、英米法の法律専門用語を理解し説明できるようになったか、を評価する。	
	平常評価		30%	授業への参加と発言状況を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2006	敬文堂		『アメリカ法総論』	山岡永知
	1989	国際書院		『対訳アメリカ合衆国憲法』	北脇敏一・山岡永知（共訳）
	備考				
参考書	『英米判例百選[第三版]』別冊ジュリスト、No. 139、有斐閣（1996）；『アメリカ法判例百選』別冊ジュリスト、No. 213、有斐閣（2012）；『英米法辞典』東京大学出版会（1991）				
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取ること）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	アメリカ合衆国の概要を調べ授業に臨む。また、大陸法系と英米法系の法制度にみられるそれぞれの特徴の相違が現代の私たちの生活に与える影響について考えをまとめておく。
	授業内容	テーマ：英米法・アメリカ合衆国概要 （1）アメリカ合衆国（The United States of America）の概要 （人口、人種構成、使用言語、法律問題、政治問題、経済問題、等） （2）英米法（Common Law）と大陸法（Civil Law）の比較
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
2	事前学習	アメリカ合衆国憲法1条8節1項～18項および修正10条の条文を読み、連邦議会の規制権の対象と州の規制権の範囲を学習し考えをまとめておく。
	授業内容	テーマ：アメリカ合衆国の連邦制度 （1）アメリカ連邦政府誕生の史的背景 （2）アメリカ連邦制度における連邦の権限 （3）アメリカ連邦制度における州の権限
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

3	事前学習	アメリカ法の法源とその分類の仕方について学習し考えをまとめておく。アメリカの連邦と州の裁判制度について学習し考えをまとめておく。
	授業内容	テーマ：アメリカの法と裁判制度 （１）アメリカ法の法源（コモンロー、エクイティー、制定法、リステイトメント） （２）アメリカ法の分類（連邦法と州法、公法と私法、民法と商法、手続法と実体法） （３）アメリカ裁判制度概観
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
4	事前学習	アメリカ合衆国憲法１条～３条を読み、違憲立法審査権を定める条文の有無を確認しておく。
	授業内容	テーマ：アメリカ合衆国憲法と三権分立（Separation of Powers） （１）立法府と行政府の間にみる抑制と均衡 （２）行政府と司法府の間にみる抑制と均衡 （３）司法府と立法府の間にみる抑制と均衡
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
5	事前学習	前回の授業で配布された判例（Marbury v. Madison）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：連邦司法府の連邦議会に対する違憲立法審査権 （１）連邦司法府の違憲立法審査権とその根拠 （２）判例研究：Marbury v. Madison
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
6	事前学習	前回の授業で配布された判例（Fletcher v. Peck; Martin v. Hunter’ s Lessee）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：連邦司法府の州議会および州最高裁判決に対する違憲立法審査権 （１）判例研究：Fletcher v. Peck （２）判例研究：Martin v. Hunter’ s Lessee
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
7	事前学習	前回の授業で配布された判例（McCulloch v. Maryland）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：「必要かつ適當条項」に基づく連邦議会の立法権 （１）合衆国憲法１条８節１８項（「必要かつ適當条項」） （２）判例研究：McCulloch v. Maryland
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
8	事前学習	前回の授業で配布された判例（Gibbons v. Ogden）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：「州際通商条項」に基づく連邦議会の立法権I （１）合衆国憲法１条８節３項（「州際通商条項」） （２）合衆国憲法修正１０条（「留保条項」）との関係 （３）Gibbons v. Ogden
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
9	事前学習	前回の授業で配布された判例（Wickard v. Filburn; Cooley v. Board of Wrdens; Southern Pacific Co. v. Arizona）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：「州際通商条項」に基づく連邦議会の立法権II （１）判例研究：Wickard v. Filburn （２）判例研究：Cooley v. Board of Wrdens （３）判例研究：Southern Pacific Co. v. Arizona
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
10	事前学習	前回の授業で配布された判例（Garcia v. San Antonio Metropolitan Transit Authority）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：「州際通商条項」に基づく連邦議会の立法権III （１）判例研究：Garcia v. San Antonio Metropolitan Transit Authority （２）「州際通商条項」に関する判例の流れとまとめ
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
11	事前学習	前回の授業で配布された判例（London Tramways Co. v. London County Council）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。また、配布資料（Practice Statement〔１９６６〕）を読み、イギリスの判例法主義についてまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：判例法主義I （１）イギリスの先例拘束性 （２）判例研究：London Tramways Co. v. London County Council （３）Practice Statement〔１９６６〕による修正
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
12	事前学習	前回の授業で配布された判例（Flood v. Kuhn; Roe v. Wade; Planned Parenthood v. Casey）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：判例法主義II （１）アメリカの先例拘束性 （２）判例研究：Flood v. Kuhn ; Roe v. Wade ; Planned Parenthood v. Casey
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

13	事前学習	前回の授業で配布された判例（Swift v. Tyson; Erie Railroad Co. v. Tompkins）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ： 連邦裁判所で適用される州法I （1）「エリー法理」の確立 （2）判例研究：Swift v. Tyson （3）判例研究：Erie Railroad Co. v. Tompkins
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
14	事前学習	前回の授業で配布された判例（Guaranty Trust Co. v. York; Hanna v. Plumer）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ： 連邦裁判所で適用される州法II （1）判例研究：Guaranty Trust Co. v. York （2）判例研究：Hanna v. Plumer
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
15	事前学習	前回の授業で配布されたアメリカの裁判手続に関する資料を読み、訴訟の流れを学習しておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく
	授業内容	テーマ：アメリカの訴訟手続き （1）訴状の送達、管轄権、判決の承認と執行との関係 （2）ディスカバリー （3）クラスアクション
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

科目名	外国法A(英米) I	担当者	西山 敏夫	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義では、アメリカ憲法の出発点であり、その基礎となっている「連邦と州の関係」に焦点を当て、連邦の管轄の限界について検討する。 次いで、重要ではあるが誤解しやすい「違憲立法審査」「デュー・プロセス」「大統領の権限」について判例をベースに正確な理解を目指す。 連邦制国家であるアメリカ憲法の「誤解しやすい点」をわかりやすく解説する。			
授業目的・到達目標	(1) 連邦制の国であるアメリカの法制度を合衆国憲法の条文に遡って検証し、それがどのように発展してきたかを判例に基づき理解する (2) アメリカ憲法に関するリーディング・ケースを少なくとも20以上読み、理解することによりアメリカ憲法の動態を把握する (3) 合衆国憲法」という切り口から、アメリカの社会、政治体制についての特徴、発展、問題点を抽出し、検証する			
履修条件	特になし。			
授業方法	基本的事項については、事前に配布するレジメに基づき講義形式で説明した後、「アメリカ法判例百選」をベースにディスカッションを行なう。必要な事項については適宜、英文判例、ケースブックのコピーを配布する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	講義で説明した判例の法的争点と法理を理解して説明できるようになったか。また、英米法特有の専門用語を理解して説明出来るようになったかを判断する。	
	平常評価	30%	月に1回(半期に合計3回)、10分程度の「Quiz」を行う。内容は、英文主要法律単語の邦訳。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年	有斐閣	アメリカ法判例百選	樋口範雄他編
	2012年	有斐閣	アメリカ憲法入門(第7版)	松井茂紀
	備考			
参考書	「リーガル・マキシム」吉原、松嶋、西山編、三修社、2013年			
オフィスアワー	質問・相談は、以下のメール・アドレスに。 「tonkichi@msh.biglobe.ne.jp」			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布するレジメを読み、英米法系と大陸法系の差異について自分なりのイメージを構成しておく
	授業内容	アメリカ法の特徴； 英米法の別名であるコモン・ローの本質をその起源をたどることによって理解する 続いて、大陸法系と英米法系の法システムを比較し、それぞれの特徴を理解する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
2	事前学習	事前に配布するレジメを読み、イギリス法とアメリカ法の共通点および差異について自分なりのイメージを構成しておく
	授業内容	イギリス法とアメリカ法； アメリカとイギリスの政治体制、判例法主義の相違点を理解する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する

3	事前学習	事前に配布するレジメを読み、「連邦制」とは何かについて考えておく
	授業内容	合衆国憲法の成立と連邦政府の誕生； 連邦政府誕生の史的背景について概観し、州が一般的な権限を留保し、連邦が限定的な権限を州から委譲されているアメリカの連邦制度を理解する
	事後学習	「州」の重要性という観点から、授業内容を整理する
4	事前学習	事前に配布するレジメを読み、アメリカと日本の三権分立がどこまで類似し、どこが違うか考えておく
	授業内容	合衆国憲法の特徴と三権分立；アメリカ合衆国憲法の条文を参照しながら、連邦政府の立法部、執行部、司法部の「抑制と均衡（Checks and Balances）」を確認する
	事後学習	授業内容、レジメをベースに類似点、相違点を整理する
5	事前学習	判例百選#2；Fletcher v. Peck, 同#11;McCulloch v. Maryland の2ケースを予習のこと
	授業内容	連邦と州；①権限の配分、管轄； 連邦と州の権限配分における重要判例を検討し理解する。また、連邦権限拡大の根拠となった憲法条文を確認する。
	事後学習	判例の争点、判旨を整理し理解する
6	事前学習	判例百選#13;Gibbons v. Ogden, 同# 1 4；Wickard v. Filburn他、同# 1 5；Heart of Atlanta Motel v. U.S., 同# 1 6；Obama Care の4ケースを予習のこと
	授業内容	連邦と州；②州際通商条項； 本来連邦には予定されていなかった連邦権限の経済、社会分野への拡大について判例をベースに理解する。
	事後学習	判例の争点、判旨を整理し理解する 州際通商条項が連邦の権限拡大に如何に貢献したかを理解する
7	事前学習	前回の州際通商の判例、事前に配布するレジメを読み、ニュー・ディール政策がどのような憲法上の問題を含んでいたかを考えておく
	授業内容	ニュー・ディールと憲法革命； 大恐慌により危機に陥った国を救うため連邦政府は憲法を超えたニューディール政策を実行した。 この「憲法違反」について最高裁がどう対応したかを検証する
	事後学習	憲法改正手続きによらない、いわゆる「憲法革命」の内容を理解する
8	事前学習	事前に配布するレジメを読み、連邦と州の司法制度の併存に由来する問題点を考察しておく また、連邦の裁判制度が厳密な「三審制」なのかについて考えておく
	授業内容	司法権の役割と司法制度； 連邦の司法制度と州の司法制度の概要を整理する 連邦司法部の権限と限界について検証する 連邦最高裁の役割について考察する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
9	事前学習	判例百選# 1、Marbury v. Madisonならびに別途配布する英文資料ーを予習しておく
	授業内容	違憲立法審査権とマーベリー判決； 違憲立法審査権の根拠となったMarbury v. Madison 判決を精読し、その論理構成を検証する
	事後学習	違憲立法審査権の根拠を探求するとともに、Marbury v. Madison 判決の問題点を理解する
10	事前学習	事前に配布するレジメを読み、「執行権」とは何かについて考えておく 判例百選# 8；U.S. v. NixonおよびINS v. Chadha Case(別途コピー配布)を予習しておく
	授業内容	大統領（執行権）の役割①； 三権分立における執行権の定義、行政権との違いを確認する 連邦議会、司法との関係を検証する
	事後学習	大統領の権限の範囲、限界について整理、理解する
11	事前学習	判例百選# 3 8；Korematsu v. U.S., 同# 7；Hamdan v. Rumsfeldを予習しておく
	授業内容	大統領（執行権）の役割②；大統領の戦時権限について、Korematsu Case, Ramdan v. Rumsfeld Caseをベースに検証する。
	事後学習	非常時における大統領の権限について整理、理解する
12	事前学習	事前に配布するレジメを読み、「デュー・プロセス」の概要を把握しておく 判例百選# 1 0；Goldberg v. Kelly, 同# 4 4；Lochner v. New Yorkを予習しておく
	授業内容	デュー・プロセス；①Lockner判決； 人権の基本的規定であるデュー・プロセス条項の役割を理解する 手続的デュー・プロセスと実体的デュー・プロセスの違いを確認する 自由経済を支えたLochner 判決の意義を検討する。
	事後学習	デュー・プロセスが人権保護に果たした広範な役割について整理、理解する
13	事前学習	判例百選# 4 7；Roe v. Wade, 同# 4 8；Planned Parenthood v. Caseyを予習しておく
	授業内容	デュー・プロセス；②Lockner時代の終焉； ニュー・ディール期以降の判例の変更を検証する また、1970年代以降の、デュー・プロセスの復活について、プライバシーの権利に焦点を当てフォローする
	事後学習	実体的デュー・プロセスについて整理、理解する
14	事前学習	事前に配布するレジメを読み、連邦最高裁判決の流れを把握しておく
	授業内容	連邦最高裁の動向； 1950年代のウォーレン・コートから現在のロバーツ・コートに至る連邦最高裁の変遷を概観する
	事後学習	連邦最高裁がアメリカ社会において果たしてきた大きな役割について整理、理解する

15	事前学習	春学期に学習した判例、レジメを整理し、疑問点を抽出する
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	合衆国憲法に関する最高裁判例を整理し、その歴史、動態、役割につき考察する

科目名	外国法A(英米)Ⅱ	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業では、連邦と州の二重構造を有するアメリカ合衆国の司法制度について知識を深め、アメリカ合衆国憲法に基づく基本的人権を扱った判例を題材として、アメリカにおけるリーガル・マインドについて考察する。				
授業目的・到達目標	目的：(1) 合衆国憲法下における連邦と州の二重構造とそこから生じる法的争点と法理を理解し、説明できるようになることを目的とする。(2) 英米法に属する人々のリーガル・マインド（法的思考）を理解し、説明できるようになることを目的とする。 到達目標：(1) 合衆国憲法の内容を判例に言及して説明できるようになる。(2) 判例から法的争点と法理を抽出できるようになる。(3) 英米法の法律専門用語を指摘しその意味を説明できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義を主体として進めて行くが、配布する判例を充分予習してディスカッションに参加することを望む。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	判例の法的争点と法理を理解し他の関連判例との関係において説明できるようになったか、また、英米法の法律専門用語を理解し説明できるようになったか、を評価する。	
	平常評価		30%	授業への参加と発言状況を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2006	敬文堂		『アメリカ法総論』	山岡永知
	1989	国際書院		『対訳アメリカ合衆国憲法』	北脇敏一・山岡永知（共訳）
	備考				
参考書	『英米判例百選[第三版]』別冊ジュリスト、No. 139、有斐閣（1996）；『アメリカ法判例百選』別冊ジュリスト、No. 213、有斐閣（2012）；『英米法辞典』東京大学出版会（1991）				
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（講義後にアポイントメントを取る）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	連邦と州の二重構造における裁判制度を学習しておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：連邦と州の裁判制度I （1）連邦の裁判制度 （2）州の裁判制度 （3）裁判所の選択
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
2	事前学習	合衆国憲法 3 条を読み、連邦司法府の事物的管轄権の範囲を学習する。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：連邦と州の事物的管轄権 （1）連邦裁判所の事物的管轄権 （2）州裁判所の事物的管轄権 （3）競合的事物的管轄権
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

3	事前学習	前回の授業で配布された判例（Pennoyer v. Neff; International Shoe Co. v. Washington; Shaffer v. Heitner）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：人的管轄権の拡張 （1）判例研究：Pennoyer v. Neff （2）判例研究：International Shoe Co. v. Washington （3）判例研究：Shaffer v. Heitner
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
4	事前学習	前回の授業で配布された判例（Sherrer v. Sherrer; Williams v. North Carolina）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：州と州の関係 （1）他州判決の承認と執行 （2）判例研究：Sherrer v. Sherrer （3）判例研究：Williams v. North Carolina
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
5	事前学習	前回の授業で配布された判例（Babcock v. Jackson）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：裁判所における実体準拠法の選択基準 （1）契約法の準拠法の選択基準 （2）不法行為法の準拠法の選択基準 （3）判例研究：Babcock v. Jackson
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
6	事前学習	合衆国憲法修正6条および7条を読み、連邦が刑事事件または民事事件で保障する陪審制度を学習しまとめておく。前回の授業で配布された判例（Curtis v. Loether）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：陪審制度I （1）連邦と州の刑事および民事陪審制度の相関関係 （2）民事陪審制度におけるコモンローとエクイティーの救済 （3）判例研究：Curtis v. Loether
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
7	事前学習	前回の授業で配布された判例（Apodaca v. Oregon; J.E.B. v. Alabama ex rel. TB; Williams v. Florida）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：陪審制度II （1）判例研究：Apodaca v. Oregon （2）判例研究：J.E.B. v. Alabama ex rel. TB （3）判例研究：Williams v. Florida
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
8	事前学習	前回の授業で配布された判例（Lemon v. Kurtzman; Wisconsin v. Yoder）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：政教分離 （1）判例研究：Lemon v. Kurtzman （2）判例研究：Wisconsin v. Yoder
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
9	事前学習	前回の授業で配布された判例（Schenck v. United States; New York Times Co. v. United States）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：言論・出版の自由I （1）言論・出版の自由 （2）判例研究：Schenck v. United States （3）判例研究：New York Times Co. v. United States
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
10	事前学習	前回の授業で配布された判例（Miller v. California; New York Times Co. v. Sullivan; Texas v. Johnson）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：言論・出版の自由II （1）判例研究：Miller v. California （2）判例研究：New York Times Co. v. Sullivan （3）判例研究：Texas v. Johnson
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
11	事前学習	前回の授業で配布された判例（Dred Scott Case; Plessy v. Ferguson; Korematsu v. United States）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：平等権I （1）判例研究：Dred Scott Case （2）判例研究：Plessy v. Ferguson （3）判例研究：Korematsu v. United States
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
12	事前学習	前回の授業で配布された判例（Shelley v. Kraemer; Brown v. Board of Education of Topeka; Moose Lodge No. 107 v. Irvis）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：平等権II （1）判例研究：Shelley v. Kraemer （2）判例研究：Brown v. Board of Education of Topeka （3）判例研究：Moose Lodge No. 107 v. Irvis
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

13	事前学習	前回の授業で配布された判例（Regents of the University of California v. Bakke ; Phillips v. Martin Marietta Corp. ; Missouri v. Jenkins）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：平等権III （1）判例研究：Regents of the University of California v. Bakke （2）判例研究：Phillips v. Martin Marietta Corp. （3）判例研究：Missouri v. Jenkins
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
14	事前学習	前回の授業で配布された判例（The Slaughter-House Cases ; Lochner v New York ; Muller v. Oregon）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：デュープロセス(Due Process of Law)I （1）判例研究： The Slaughter-House Cases （2）判例研究： Lochner v New York （3）判例研究： Muller v. Oregon
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
15	事前学習	前回の授業で配布された判例（Village of Euclid, Ohio v. Ambler Realty Co. ; West Coast Hotel Co. v. Parrish）を読み、法的争点と法理を抽出しまとめておく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：デュープロセス(Due Process of Law)II （1）判例研究： Village of Euclid, Ohio v. Ambler Realty Co. （2）判例研究： West Coast Hotel Co. v. Parrish
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

科目名	外国法A(英米)Ⅱ	担当者	西山 敏夫	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本学期（後期）は合衆国における、司法制度、訴訟手続、並びに人権問題について考察する。人権に関する憲法上の問題を取り扱う上で重要なのは、「連邦法と州法の関係」及び「デュー・プロセス」である。これらを手掛かりに、人種差別、性と婚姻の自由、銃器規制等を検証する。また、表現の自由、信教の自由等についても検証する。 これらの判例を分析しながら、アメリカの社会、道徳について最高裁が果たす役割について考察する。			
授業目的・到達目標	1. 連邦制の国であるアメリカの基本的権利を合衆国憲法の条文に遡って検証し、それがどのように発展してきたかを判例に基づき理解する 2. 人権問題に関するリーディング・ケースを少なくとも20以上読み、理解することによりアメリカ憲法の動態を把握する 3. 合衆国憲法」という切り口から、アメリカの社会、政治体制についての特徴、発展、問題点を抽出し、検証する。			
履修条件	特になし。			
授業方法	基本的事項については、事前に配布するレジメに基づき講義形式で説明した後、「アメリカ法判例百選」をベースにディスカッションを行なう。必要な事項については適宜、英文判例、ケースブックのコピーを配布する			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	講義で説明した判例の法的争点と法理を理解して説明できるようになったか。また、英米法特有の専門用語を理解して説明出来るようになったかを判断する。	
	平常評価	30%	月1回(半期に3回) 10分程度の「Quiz」を行う。内容は、法律専門英単語の邦訳。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年	有斐閣	アメリカ法判例百選	樋口範雄他編
	2012年	有斐閣	アメリカ憲法入門（第7版）	松井茂記
	備考			
参考書	「リーガル・マキシム」 吉原、松嶋、西山編、三修社、2013年			
オフィスアワー	質問・相談は、以下のメール・アドレスに。 「tonkichi@msh.biglobe.ne.jp」			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布するレジメを読み、アメリカの司法制度のイメージをつかんでおく アメリカ法判例百選＃7 6、International Shoe Caseを予習しておく
	授業内容	アメリカの司法制度；裁判所と管轄、および連邦裁判所、州裁判所の併存、管轄、機能について確認する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
2	事前学習	事前に配布するレジメを読み、アメリカの訴訟手続について自分なりのイメージを構成しておく アメリカ法判例百選＃7 1、Matsushita Eletric v. Zenithを予習しておく
	授業内容	訴訟制度；アメリカにおける民事訴訟手続の概要を当事者主義の観点から考察する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する

3	事前学習	事前に配布するレジメを読み、本邦の裁判員制度とアメリカの陪審制度を対比して共通点、相違点を考えておく アメリカ法判例百選 # 6 2、Apodaca v. Oregon, 同 # 6 3、Batson v. kentuckyを予習しておく
	授業内容	陪審制度； 陪審の歴史とアメリカにおける重要性を確認する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
4	事前学習	事前に配布するレジメを読み、人権に関する重要な包括規定であるデュー・プロセスについて復習しておく アメリカ法判例百選 # 4 7、Roe v. WAdeを予習しておく
	授業内容	デュー・プロセスとプライバシー；実体的デュー・プロセスの応用であるプライバシーの考え方と妊娠中絶事件の関係を検証する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
5	事前学習	アメリカ憲法と人権の関係について考えておく アメリカ法判例百選 # 4 3、Slaughter Caseを予習しておく
	授業内容	基本的権利；アメリカ憲法における人権規定の根拠を検証する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
6	事前学習	事前に配布するレジメを読み、三つの審査基準につき一応の理解をしておく アメリカ法判例百選 # 2 2、Calorene Products、同 # 3 8、Korematsu Caseを予習しておく
	授業内容	平等条項と審査基準；修正14条の平等条項適用に当たり、厳格審査をはじめとする三つの判断基準について考察する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
7	事前学習	事前に配布するレジメを読み、人種差別問題とは何かについて考えておく アメリカ法判例百選 # 3 7、Plessy v. Ferguson , 同 # 39,Brown v. Board of Educationsを予習しておく
	授業内容	人種差別① Brown 判決とそれ以前； 従来の判例とブラウン判決を比較し、ブラウン判決の画期性を確認する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
8	事前学習	事前に配布するレジメを読み、ブラウン判決以降の発展について概要を把握しておく アメリカ法判例百選 # 41,Grutter v. Bolinger, 同 # 4 2、Parents in Seattle Caseを予習しておく
	授業内容	人種差別②；Brown 判決以降； 主に「逆差別」の問題について検証する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
9	事前学習	事前に配布するレジメを読み、アメリカ社会における「表現の自由」問題の複雑性について考えておく アメリカ法判例百選 # 3 0、Schenck Case, 同 # 3 4、New york times v. Sullivanを予習しておく
	授業内容	表現の自由； 憲法上、最も多岐にわたり体系化が困難と言われる修正1条の問題を概観する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
10	事前学習	事前に配布するレジメを読み、他民族、他宗教社会であるアメリカにおける信教の自由とは何かについて考えておく アメリカ法判例百選 # 2 7、Lemon Case、同 # 2 9、Smith Caseを予習しておく
	授業内容	信教の自由；修正1条の政教分離と信教の自由について検証する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
11	事前学習	事前に配布するレジメを読み、性差別、同性婚問題について考えておく アメリカ法判例百選 # 4 0、Frontiero v. Richadson, 同 # 5 0.Lawrence v. Teasを予習しておく
	授業内容	性と婚姻の自由；女性、同性愛者への性差別、同性婚問題を検証する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
12	事前学習	事前に配布するレジメを読み、アメリカにおける銃器規制問題について問題点を考えておく アメリカ法判例百選 # 5 2、Heller Caeeを予習しておく
	授業内容	銃器規制問題；賛成、反対両論の憲法上の根拠を検証する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
13	事前学習	事前に配布するレジメを読み、第二次大戦後の最高裁の動向につき概要を把握しておく
	授業内容	連邦最高裁の動向①；1950年代のWarrenコートからRehnquistコートに至る連邦最高裁の歴史を概観する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する
14	事前学習	事前に配布する英文資料を読み、アメリカ社会において連邦最高裁が果たす重要な役割を理解しておく
	授業内容	連邦最高裁の動向②；現在のRobertsコートの構成、スタンス、今後の行方について考察する
	事後学習	授業内容、レジメをベースにポイントを整理する

15	事前学習	後期に取り扱った判例、レジメを読み返し、疑問点を抽出しておく
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	アメリカにおける人権問題、それに対する最高裁の判断の推移に関する要点をまとめておく

科目名	外国法A(独) I	担当者	玉蟲 由樹	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義は、ドイツの公法学（とりわけドイツ憲法学）に関する知見について講義するとともに、日本の公法学との異同や影響にも注目して論じるものである。 とくにドイツの基本権論および国家組織論の特徴的思考を、学説および裁判所判例から明らかにする。具体的には、基本権論の領域での三段階審査論，基本権保護義務論，国家組織論領域での憲法裁判制などに重点を置く。				
授業目的・到達目標	本講義では、ドイツ公法（憲法・行政法）に関する理論・実践を学び、ドイツ公法の特徴を理解することを目的とする。日本の憲法学・行政法学においては、近年、とくにドイツ公法学からの影響が多く見られるようになっている。そこで、本講義では、こうした点に配慮しつつ、比較法学的な検証も行い、日本法への示唆をも得る。ドイツ基本権論および国家組織論の展開および到達点を検証し、その独自性を理解するとともに、比較法的視点から日本法への示唆を得られるようにすることが目標となる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。配布資料を準備すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	講義の理解，論証のプロセス等を総合的に判断する。	
	平 常 評 価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例』Ⅰ～Ⅲ 信山社，村上・守矢・マルチュケ著『ドイツ法入門』（改訂第8版）有斐閣，高橋和之編『世界憲法集』（新版第2版）岩波書店				
オフィスアワー	木曜10：40～12：10 金曜13：00～14：30 事前にメール等で連絡をすること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス（講義内容の説明，資料等の取扱いなど）
	事後学習	配布資料によく目を通しておくこと。
2	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ基本権論概説（Ⅰ）
	事後学習	ドイツにおける基本権の展開について復習しておくこと。

3	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ基本権論概説（2）
	事後学習	ドイツにおける基本権の性格について復習しておくこと。
4	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ基本権論の特徴（1）基本権の保障
	事後学習	基本法下での基本権の保障形態について復習しておくこと。
5	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ基本権論の特徴（2）基本権の制限と正当化
	事後学習	基本権制限についての原則的な考え方を復習しておくこと。
6	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	三段階審査と比例原則（1）基本図式
	事後学習	三段階審査の基本図式を復習しておくこと。
7	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	三段階審査と比例原則（2）審査尺度・審査密度
	事後学習	審査密度の決定について復習しておくこと。
8	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	三段階審査と比例原則（3）具体例とバリエーション
	事後学習	さまざまな具体例について整理・復習しておくこと。
9	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	基本権の客観法的理解と基本権保護義務論（1）リュート判決
	事後学習	リュート判決の意義と内容について復習しておくこと。
10	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	基本権の客観法的理解と基本権保護義務論（2）第1次堕胎判決
	事後学習	第1次堕胎判決の構造と基本権保護の構想について復習しておくこと。
11	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	基本権の客観法的理解と基本権保護義務論（3）その後の展開
	事後学習	基本権保護義務論の展開について復習しておくこと。
12	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	自由と安全をめぐる（1）航空安全法判決
	事後学習	航空安全法判決の意義と内容について復習しておくこと。
13	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	自由と安全をめぐる（2）ラスター捜査決定
	事後学習	ラスター捜査決定の意義と内容について復習しておくこと。
14	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	社会的法治国家と最低限度の生存（1）歴史的状況
	事後学習	社会的基本権の位置づけについて復習しておくこと。

15	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	社会的法治国家と最低限度の生存（2）ハルツⅣ判決以降の状況
	事後学習	ハルツⅣ判決の意義と内容を復習しておくこと。

科目名	外国法A(独)Ⅱ	担当者	玉蟲 由樹	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義は、ドイツの公法学（とりわけドイツ憲法学）に関する知見について講義するとともに、日本の公法学との異同や影響にも注目して論じるものである。 とくにドイツの基本権論および国家組織論の特徴的思考を、学説および裁判所判例から明らかにする。具体的には、基本権論の領域での三段階審査論，基本権保護義務論，国家組織論領域での憲法裁判制などに重点を置く。			
授業目的・到達目標	本講義では、ドイツ公法（憲法・行政法）に関する理論・実践を学び、ドイツ公法の特徴を理解することを目的とする。日本の憲法学・行政法学においては、近年，とくにドイツ公法学からの影響が多く見られるようになっている。そこで、本講義では、こうした点に配慮しつつ，比較法学的な検証も行い，日本法への示唆をも得る。ドイツ基本権論および国家組織論の展開および到達点を検証し，その独自性を理解するとともに，比較法的視点から日本法への示唆を得られるようにすることが目標となる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義形式で行う。配布資料を準備すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	講義の理解，論証のプロセス等を総合的に判断する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例』Ⅰ～Ⅲ 信山社，村上・守矢・マルチュケ著『ドイツ法入門』（改訂第8版）有斐閣，高橋和之編『世界憲法集』（新版第2版）岩波書店			
オフィスアワー	木曜10：40～12：10 金曜13：00～14：30 事前にメール等で連絡をすること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ国家組織論の特徴（1）民主政原理
	事後学習	民主政原理の特徴について復習しておくこと。
2	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ国家組織論の特徴（2）権力分立原理
	事後学習	権力分立原理の特徴と変容について復習しておくこと。

3	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	立法と「法律の留保」
	事後学習	法律の留保に関する基本的な思考を復習しておくこと。
4	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	法律の留保と「本質性」理論
	事後学習	カルカー判決と本質性理論について復習しておくこと。
5	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	執行権論（1）政府の組織
	事後学習	ドイツの議院内閣制について復習しておくこと。
6	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	執行権論（2）執政作用をめぐる
	事後学習	執政（Regierung）の位置づけについて復習しておくこと。
7	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法裁判制（1）「法」と「政治」
	事後学習	憲法裁判制と権力分立の関係性を復習しておくこと。
8	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法裁判制（2）連邦憲法裁判所の権限と限界
	事後学習	連邦憲法裁判所の権限を整理・復習しておくこと。
9	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法裁判制（3）憲法訴訟法の問題
	事後学習	憲法訴訟法の意義と内容について復習しておくこと。
10	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	環境国家論（1）国家の環境保護義務
	事後学習	環境保護義務論について復習しておくこと。
11	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	環境国家論（2）基本法20a条
	事後学習	基本法20a条の成立と展開について復習しておくこと。
12	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	防衛憲法論（1）
	事後学習	国防義務について復習しておくこと。
13	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	防衛憲法論（2）
	事後学習	国防義務をめぐる裁判例について整理・復習しておくこと。
14	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法保障システム
	事後学習	憲法保障の体制について復習しておくこと。

15	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	全体の関連性に留意して、これまでの講義内容をまとめておくこと。

科目名	外国法A(仏) I	担当者	兼頭 ゆみ子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	外国法の勉強は、条文の解説に留まらず、それが制定された背景にある歴史、思想、社会を理解することが必要となります。本講義では、フランス法の歴史と現代フランスの基本的法構造を学習します。					
授業目的・到達目標	フランス法の歴史的発展過程と現代の基本構造について理解し、日本との違いを説明することができる。					
履修条件	フランスに関心があること。フランス語履修者であれば一層望ましい。					
授業方法	講義形式。レジュメ配布。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		100%	講義の理解		
	平 常 評 価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず				
参 考 書	滝沢正『フランス法』（三省堂、2010年）、大山礼子『フランスの政治制度』（東信堂、2013年） ペルトラン・マチュー著（訳：植野妙実子・兼頭ゆみ子）『フランスの事後的違憲審査制』（日本評論社、2015年）					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	ガイダンス：講義概要、フランス法学習の意義
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
2	事前学習	フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法の歴史 (1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。

3	事前学習	フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法の歴史（2）
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
4	事前学習	フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法の歴史（3）
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
5	事前学習	フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法の歴史（4）
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
6	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	第五共和制憲法の構造
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
7	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	大統領と政府
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
8	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	国会
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
9	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	行政組織・地方自治
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
10	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	裁判制度（1）司法裁判所
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
11	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	裁判制度（2）行政裁判所
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
12	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	裁判制度（3）その他の裁判所
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
13	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	裁判制度（4）違憲審査制の発展
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。
14	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法改正・国民投票
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。

15	事前学習	該当箇所 ¹ の憲法条文を読んでもくること。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	総括
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。課題を課した場合には、課題を行うこと。

科目名	外国法A(仏)Ⅱ	担当者	兼頭 ゆみ子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	フランス語の法源およびフランス法の一部であり重要な関係を有する法規範（国際法・EU法）との関わりを学習します。後半は、人権保障に関する憲法判例をいくつかとりあげます。					
授業目的・到達目標	フランス法の法源およびフランス法と国際法・EU法との関わりを理解し、フランスを取り巻く広義の法構造を説明することができる。					
履修条件	外国法A（仏）Ⅰを履修済であること。あるいはこれと同等程度にフランスの基本的法構造を理解していること。					
授業方法	講義形式。レジュメ配布。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		100%	講義の理解		
	平 常 評 価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず。				
参 考 書	滝沢正『フランス法 [第4版] 』（三省堂、2010年） フランス憲法判例研究会（編）『フランスの憲法判例Ⅰ・Ⅱ』（信山社、2002年、2013年）					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくること。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	ガイダンス：講義概要
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
2	事前学習	該当箇所の憲法条文を読んでもくること。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	法源（Ⅰ）
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

3	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	法源 (2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
4	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法とヨーロッパ法 (1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
5	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法とヨーロッパ法 (2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
6	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法とヨーロッパ法 (3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
7	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス法とヨーロッパ法 (4)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
8	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	法学教育と法曹
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
9	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	フランス憲法における人権保障
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
10	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	国際人権法とフランス of 人権保障との関わり
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
11	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	人権に関する憲法判例 (1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
12	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	人権に関する憲法判例 (2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
13	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	人権に関する憲法判例 (3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。
14	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢 of ニュースに関心をもつこと。
	授業内容	人権に関する憲法判例 (4)
	事後学習	毎回最初に、前回授業 of 理解度を確認するので、復習しておくこと。

15	事前学習	該当箇所 of 憲法条文を読んでくること。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	総括
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

科目名	外国法B(アジア) I	担当者	徐 瑞静	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	中国文化圏における台湾（中華民国）、香港、マカオの法制度及び実定法について講義する。台湾法については日本法との関連において、香港法については英国法との関連において、マカオ法についてはポルトガル法との関連において論及する。更に、それらの地域の居住民と中華人民共和国本地居住民との間における交錯についても、随時、解説する。				
授業目的・到達目標	広義の中国法文化圏に属する台湾法（中華民国法）、香港法、マカオ法の司法制度及び主要な実定法に関する基礎知識を習得することを授業目的とする。また、それらの司法制度の基本理念及び実定法と日本法との相互の共通点及び相違点について正確に理解することを到達目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	担当者が作成したレジュメ（中華民国の主要法規の概要）に基づいて講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度、小テスト、期末における課題レポートの成績をもって評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用しない			
参考書	随時、指示する。				
オフィスアワー	次のメールアドレスへの連絡をもって行う。 jozuisei@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	前期のガイダンス。講義の進め方、配布資料、期末レポート等について説明する。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国法総説（1）
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民法総説（2）
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国憲法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国行政法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国刑事法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国財産法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国家族法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国商事法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国労働法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国知的財産法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国国際私法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国環境法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	中華民国の紛争解決方法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

科目名	外国法B(アジア)Ⅱ	担当者	徐 瑞静	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	中国文化圏における台湾（中華民国）、香港、マカオの法制度及び実定法について講義する。台湾法については日本法との関連において、香港法については英国法との関連において、マカオ法についてはポルトガル法との関連において論及する。更に、それらの地域の居住民と中華人民共和国本地居住民との間における交錯についても、随時、解説する。					
授業目的・到達目標	広義の中国法文化圏に属する台湾法（中華民国法）、香港法、マカオ法の司法制度及び主要な実定法に関する基礎知識を習得することを授業目的とする。また、それらの司法制度の基本理念及び実定法と日本法との相互の共通点及び相違点について正確に理解することを到達目標とする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	担当者が作成したレジュメ（香港法及びマカオ法の主要法規の概要）に基づいて講義する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験					
	平常評価		100%	授業参加度、小テスト、期末における課題レポートの成績をもって評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	随時、指示する。					
オフィスアワー	次のメールアドレスへの連絡をもって行う。 jozuisei@yahoo.co.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義の進め方、配布資料、期末レポート等についてガイダンスする。
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港法総説
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港の憲法性法律について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港行政法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港刑事法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港財産法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港家族法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	香港企業法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	マカオ法総説
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	マカオ民法総説
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	マカオ債権法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	マカオ物権法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	マカオ家族法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	マカオ商事法について解説する
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

15	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布プリント及びノートを復習する。

科目名	外国法B(EU) I	担当者	庄司 克宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	超国家的な法秩序を構成するEUについて、単一市場（物・人・サービス・資本の自由移動）および競争法の観点から授業を行う。			
授業目的・到達目標	超国家的なEU法は、域内で事業を展開する日系企業を含む域外企業にとって無視できない存在である。日系企業も細心の注意を払ってEU 法令のコンプライアンスを確保する必要がある。しかし、わが国ではEU 法に十分精通した人がほとんどいないため「EU 法ギャップ」が存在する。これを解消し、受講者にとってEU法の知識が「付加価値」となるよう、実社会で役立つ専門知識を提供することを目的とする。EU法の基礎的事項を踏まえた後、EUの単一市場（物・人・サービス・資本の自由移動）および競争法について、判例を紹介しながらバランスよく理解できるようにする。			
履修条件	とくになし。			
授業方法	教科書2冊を毎回使用するので必ず持参すること。また、ポータルシステムを通じて授業用のハンドアウトを配布するので、それも毎回持参すること。時間が許せば、担当者が出演したEU関連報道番組の収録ビデオを鑑賞する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	EU法の基礎知識が理解できているかを判定する。教科書、ノート、ハンドアウトの持込可で行う。それらにより基本的な事項を理解しておくこと。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	岩波書店	新EU法政策篇	庄司克宏
	2007年 16年10刷	岩波書店	欧州連合 統治の論理とゆくえ	庄司克宏
	備考			
参考書	『新EU法基礎篇』庄司克宏、岩波書店、2013年 『はじめてのEU法』庄司克宏、有斐閣、2015年			
オフィスアワー	授業の前後に、質問等を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第1～3章を通読する。
	授業内容	EUの基礎知識（一）EUの仕事、制度、拡大と深化 （1）EUはどのような仕事を行っているか。誰によりどのように運営されているか。 （2）EUはどのように拡大してきたか。どこまで拡大するのか。脱退はあるか。 （3）EUの深化にはどのような限界があるか。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
2	事前学習	教科書『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第4～7章を通読する。
	授業内容	EUの基礎知識（二）EUの単一市場と自由移動、経済通貨同盟 （1）域内市場の統治モデルとしての市場統合アプローチにはどのようなものがあるか。 （2）EU司法裁判所は、加盟国の社会的価値や文化的多様性に対して、どのように配慮しているか。 （3）EU市民権はどのように保護されているか。 （4）経済通貨同盟における金融政策と財政政策は、どのような意味で非対称的吗。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

3	事前学習	教科書『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第8～10章を通読する。
	授業内容	EUの基礎知識（三）EUの規範形成力、安全保障、東アジアとの関係 （1） EUはどのような意味で規範形成力を行使しているか。 （2） EUはどのようにして安全保障上の役割を果たしているか。 （3） EUは東アジアのモデルとなるか。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
4	事前学習	教科書『新EU法政策篇』序章、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第4章を通読する。
	授業内容	域内市場（単一市場）総論 物・人・サービス・資本の自由移動および競争法を中心とする域内市場について概観する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
5	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章1～3節を通読する。
	授業内容	物の自由移動（関税・課徴金、内国税）（一） 物の自由移動のうち関税・課徴金の廃止（EU機能条約第30条）について解説する。また、物自由移動のうち差別的 内国税の禁止（EU機能条約第110条）について解説し、関税・課徴金の禁止（第30条）との関係を述べる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
6	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章1～3節を通読する。
	授業内容	物の自由移動（関税・課徴金、内国税）（二） 物の自由移動のうち関税・課徴金の廃止（EU機能条約第30条）について解説する。また、物自由移動のうち差別的 内国税の禁止（EU機能条約第110条）について解説し、関税・課徴金の禁止（第30条）との関係を述べる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
7	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章1～3節を通読する。
	授業内容	物の自由移動（関税・課徴金、内国税）（三） 物の自由移動のうち関税・課徴金の廃止（EU機能条約第30条）について解説する。また、物自由移動のうち差別的 内国税の禁止（EU機能条約第110条）について解説し、関税・課徴金の禁止（第30条）との関係を述べる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
8	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章4節、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第4章を通読する。
	授業内容	物の自由移動（数量制限と同等の効果を有する措置）（一） 物の自由移動における最大の問題である数量制限と同等の効果を有する措置の禁止（EU機能条約第34－36条）に ついて、定義、明文の適用除外、相互承認と「不可避免的要請」、デ・ミニミス・ルールの有無、遠隔度テスト、「一 定の販売取り決め」および市場アクセス・アプローチに関連する判例を取り上げながら解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
9	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章4節、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第4章を通読する。
	授業内容	物の自由移動（数量制限と同等の効果を有する措置）（二） 物の自由移動における最大の問題である数量制限と同等の効果を有する措置の禁止（EU機能条約第34－36条）に ついて、定義、明文の適用除外、相互承認と「不可避免的要請」、デ・ミニミス・ルールの有無、遠隔度テスト、「一 定の販売取り決め」および市場アクセス・アプローチに関連する判例を取り上げながら解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
10	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章4節、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第4章を通読する。
	授業内容	物の自由移動（数量制限と同等の効果を有する措置）（三） 物の自由移動における最大の問題である数量制限と同等の効果を有する措置の禁止（EU機能条約第34－36条）に ついて、定義、明文の適用除外、相互承認と「不可避免的要請」、デ・ミニミス・ルールの有無、遠隔度テスト、「一 定の販売取り決め」および市場アクセス・アプローチに関連する判例を取り上げながら解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
11	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第2章5節を通読する。
	授業内容	物の自由移動Ⅲ（知的財産権との関係） 国内法の所産としての知的財産権はEU域内市場における物の自由移動を制限する方向に働くが、EU司法裁判所はどの ようにして両者の調和を図っているかについて権利消尽理論に焦点を当て、特許、商標、著作権に関する判例を取り 上げながら説明する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
12	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第3節、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第5章を通読する。
	授業内容	人の自由移動（労働者、開業、サービス）（一） 経済活動に従事するEU加盟国国民の自由移動について物の自由移動と比較しつつ、その範囲、明文の適用除外、相互 承認と「公益上不可欠の理由」、資格同等性原則、デ・ミニミス・ルールの有無、遠隔度テストおよび市場アクセ ス・アプローチに関連する判例を取り上げながら解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

13	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第3節、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第5章を通読する。
	授業内容	人の自由移動（労働者、開業、サービス）（二） 経済活動に従事するEU加盟国国民の自由移動について物の自由移動と比較しつつ、その範囲、明文の適用除外、相互承認と「公益上不可欠の理由」、資格同等性原則、デ・ミニミス・ルールの有無、遠隔度テストおよび市場アクセス・アプローチに関連する判例を取り上げながら解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
14	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第3節、『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第5章を通読する。
	授業内容	人の自由移動（労働者、開業、サービス）（三） 経済活動に従事するEU加盟国国民の自由移動について物の自由移動と比較しつつ、その範囲、明文の適用除外、相互承認と「公益上不可欠の理由」、資格同等性原則、デ・ミニミス・ルールの有無、遠隔度テストおよび市場アクセス・アプローチに関連する判例を取り上げながら解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
15	事前学習	教科書『欧州連合 統治の論理とゆくえ』および『新EU法政策篇』の学習部分を再読する。
	授業内容	総括と質疑
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容全体について復習する。

科目名	外国法B(EU)Ⅱ	担当者	庄司 克宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	超国家的な法秩序を構成するEUについて、単一市場（物・人・サービス・資本の自由移動）および競争法の観点から授業を行う。					
授業目的・到達目標	超国家的なEU法は、域内で事業を展開する日系企業を含む域外企業にとって無視できない存在である。日系企業も細心の注意を払ってEU 法令のコンプライアンスを確保する必要がある。しかし、わが国ではEU 法に十分精通した人がほとんどいないため「EU 法ギャップ」が存在する。これを解消し、受講者にとってEU法の知識が「付加価値」となるよう、実社会で役立つ専門知識を提供することを目的とする。EU法の基礎的事項を踏まえた後、EUの単一市場（物・人・サービス・資本の自由移動）および競争法について、判例を紹介しながらバランスよく理解できるようにする。					
履修条件	とくになし。					
授業方法	教科書2冊を毎回使用するので必ず持参すること。また、ポータルシステムを通じて授業用のハンドアウトを配布するので、それも毎回持参すること。時間が許せば、担当者が出演したEU関連報道番組の収録ビデオを鑑賞する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	EU法の基礎知識が理解できているかを判定する。教科書、ノート、ハンドアウトの持込可で行う。それらにより基本的な事項を理解しておくこと。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	岩波書店		新EU法政策篇		庄司克宏
	2017年 16年10刷	岩波書店		欧州連合 統治の論理とゆくえ		庄司克宏
	備考					
参考書	『新EU法基礎篇』庄司克宏、岩波書店、2013年 『はじめてのEU法』庄司克宏、有斐閣、2015年					
オフィスアワー	授業の前後に、質問等を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『欧州連合 統治の論理とゆくえ』全体を再読する。
	授業内容	EUの基礎知識の再確認
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
2	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第4章を通読する。
	授業内容	資本の自由移動 資本の自由移動について他の自由移動との相違を踏まえながら、その範囲および適用除外について判例の動向とともに解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

3	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第6章を通読する。
	授業内容	EU競争法（EU競争法の制度・手続）（一） まずEU競争法の枠組みおよび目的について説明し、次にEU競争法の遵守確保（enforcement）について定める規則1/2003に焦点を当て、とくにコミッション、国内裁判所、国内競争当局の関係に関して解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
4	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第6章を通読する。
	授業内容	EU競争法（EU競争法の制度・手続）（二） まずEU競争法の枠組みおよび目的について説明し、次にEU競争法の遵守確保（enforcement）について定める規則1/2003に焦点を当て、とくにコミッション、国内裁判所、国内競争当局の関係に関して解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
5	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第6章を通読する。
	授業内容	EU競争法（EU競争法の制度・手続）（三） まずEU競争法の枠組みおよび目的について説明し、次にEU競争法の遵守確保（enforcement）について定める規則1/2003に焦点を当て、とくにコミッション、国内裁判所、国内競争当局の関係に関して解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
6	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第7章を通読する。
	授業内容	EU競争法（競争制限的行為の禁止）（一） EU機能条約第101条の解説を行う。まず第101条1項について、事業者、協定および協調的行為、「目的又は効果」、デ・ミニミス・ルール等の解説を行う。また、第101条3項の適用除外について、排他的流通や選択的流通などの垂直的制限に関する一括適用除外なども素材として使用しながら解説する。最後に、域外適用の問題についても取り上げる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
7	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第7章を通読する。
	授業内容	EU競争法（競争制限的行為の禁止）（二） EU機能条約第101条の解説を行う。まず第101条1項について、事業者、協定および協調的行為、「目的又は効果」、デ・ミニミス・ルール等の解説を行う。また、第101条3項の適用除外について、排他的流通や選択的流通などの垂直的制限に関する一括適用除外なども素材として使用しながら解説する。最後に、域外適用の問題についても取り上げる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
8	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第7章を通読する。
	授業内容	EU競争法（競争制限的行為の禁止）（三） EU機能条約第101条の解説を行う。まず第101条1項について、事業者、協定および協調的行為、「目的又は効果」、デ・ミニミス・ルール等の解説を行う。また、第101条3項の適用除外について、排他的流通や選択的流通などの垂直的制限に関する一括適用除外なども素材として使用しながら解説する。最後に、域外適用の問題についても取り上げる。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
9	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第8章を通読する。
	授業内容	EU競争法（支配的地位の濫用の禁止）（一） EU機能条約第102条の解説を行う。まず支配的地位の有無に関し、産品市場および地理的市場、市場占有率および参入障壁について解説した後、濫用の態様について説明する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
10	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第8章を通読する。
	授業内容	EU競争法（支配的地位の濫用の禁止）（二） EU機能条約第102条の解説を行う。まず支配的地位の有無に関し、産品市場および地理的市場、市場占有率および参入障壁について解説した後、濫用の態様について説明する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
11	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第9章を通読する。
	授業内容	EU競争法（合併規則） EU合併規則の背景、合併規則におけるEUの管轄、手続および実体的審査について、それぞれ解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
12	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第10章を通読する。
	授業内容	EU競争法EU競争法と公共サービス） まずEU法における市場と国家の関係について述べた後、公の事業者等に対するEU競争法の適用の問題、国家援助規制と公共サービスの関係、一般的経済利益を有するサービスの順に解説を行う。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。

13	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第1章および『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第6章を通読する。
	授業内容	EU市民権（一） 経済活動に従事していなくとも加盟国国民のEU市民権という基本的地位に基づいて、移動・居住することが可能となっている。EU市民権に基づく移動・居住の自由に関するEU司法裁判所の判例法の発展について解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
14	事前学習	教科書『新EU法政策篇』第1章および『欧州連合 統治の論理とゆくえ』第6章を通読する。
	授業内容	EU市民権（二） 経済活動に従事していなくとも加盟国国民のEU市民権という基本的地位に基づいて、移動・居住することが可能となっている。EU市民権に基づく移動・居住の自由に関するEU司法裁判所の判例法の発展について解説する。
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容について復習する。
15	事前学習	教科書『欧州連合 統治の論理とゆくえ』および『新EU法政策篇』の学習部分を再読する。
	授業内容	総括と質疑
	事後学習	ハンドアウトに照らして、教科書を参照しながら、授業内容全体について復習する。

科目名	外国法B(英米) I	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本科目では、判例法として発展してきた英米契約法の法理をとりあげ、特に、アメリカ契約法について、大陸法との比較においてその特徴を把握することに努める。なお、受講生には、講義ごとに課される英文資料の読解に努め、授業での質疑応答に積極的に参加することが求められる。				
授業目的・到達目標	英米契約法の下での契約成立要件に関する基本的法理と法律専門用語を原文（英語）で理解し日本語で説明できるようになり、英米法系諸国の当事者との契約交渉に役立つ法的思考能力（リーガル・マインド）を身につけることを目的とする。 英米契約法の下での契約成立要件に関する基本的法理と法律専門用語について、原文（英文）のテキストを使用し、事例と判例をとおして理解し、日本語で説明できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義と質疑応答を主体として進めて行く。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加（３０％）およびレポート（７０％）を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	1969	WEST PUBLISHING CO		『CONTRACTS』	C. H. SMITH
	備考	教科書は絶版であるため必要箇所のコピーを資料として配布する。			
参考書	『英米判例百選[第三版]』別冊ジュリスト、No. 139、有斐閣（1996）；『アメリカ法判例百選』別冊ジュリスト、No. 213、有斐閣（2012）；『英米法辞典』東京大学出版会（1991）				
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取ること）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	大陸法系と英米法系の契約法にみられるそれぞれの特徴についてできるだけ調べ、現代社会のわれわれの生活に与える影響について考えをまとめておく
	授業内容	テーマ：英米契約法総論Ⅰ （1）日本法との比較 （2）英米契約法の法源とその相関関係
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく
2	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：英米契約法総論Ⅱ （1）コモンローとエクイティー （2）契約の定義 （3）契約の成立要件
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

3	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：相互の合意の一致：申込（offer）Ⅰ （1）申込の定義 （2）申込の要件 （3）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
4	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：相互の合意の一致：申込（offer）Ⅱ （1）申込撤回自由の原則 （2）オプション契約 （3）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
5	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：相互の合意の一致：承諾（acceptance）Ⅰ （1）承諾の定義 （2）承諾の要件 （3）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
6	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：相互の合意の一致：承諾（acceptance）Ⅱ （1）ミラーイメージルール（mirror image rule） （2）書式の戦い（battle of the forms） （3）メールボックスルール（mailbox rule） （4）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
7	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：約因（consideration）Ⅰ （1）約因の定義 （2）約因の法理
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
8	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：約因（consideration）Ⅱ （1）約因の法理（前回からつづく） （2）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
9	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：約因（consideration）Ⅲ （1）約因の法理（前回からつづく） （2）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
10	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：約因（consideration）Ⅳ （1）約因の法理（前回からつづく） （2）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
11	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：約因の代替（substitutes for consideration）Ⅰ （1）捺印証書（sealed instrument） （2）約束的禁反言（promissory estoppel） （3）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
12	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立要件：約因の代替（substitutes for consideration）Ⅱ （1）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

13	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁 (Legal Defense to Contract Formation) I (1) 契約締結能力 (capacity) の欠如 (2) 違法性 (illegality) (3) 強迫 (duress)
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
14	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁 (Legal Defense to Contract Formation) II (1) 契約が無効 (void) とされる場合 (2) 取消しうべき (voidable) 契約とされる場合 (3) 判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
15	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁 (Legal Defense to Contract Formation) III (1) 錯誤 (mistake) (2) 詐欺 (fraud) (3) 非良心性 (unconscionability)
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

科目名	外国法B(英米) I	担当者	西山 敏夫	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	アメリカ法の内、ビジネスに直接関連する基本法を概観するとともに、その根底にある英米法特有の概念が歴史的にどのようなように発生したのか、大陸法系とどのように違うのかを探求する。 また、連邦法と州法のすみわけについても考察する。前期は、ビジネス関連法の基本である、契約法、会社法、統一商事法典、証券取引法等を判例を通じて分析、理解する。				
授業目的・到達目標	1. アメリカ・ビジネス法の基本を理解し、実際にアメリカ法に基づきビジネスを行う上で必要なベーシックな法律知識を修得する 2. 本邦法と対比してアメリカ・ビジネス法の特徴、本質に迫る 3. 主要判例を20程度読み、具体的な問題事例を学習する 4. 基本的なビジネス法律英語の語彙を習得する				
履修条件	アメリカのビジネス法に関心があり、積極的に勉強する意欲があること				
授業方法	講義を主体として進めて行くが、適宜ディスカッションを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	講義で説明した判例の法的争点と法理を理解して説明できるようになったか。また、英米法特有の専門用語を理解して説明出来るようになったかを判断する。	
	平常評価		30%	月1回(半期に3回)、10分程度の「Quiz」を行う。内容は英文専門用語の和訳。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	有斐閣		アメリカ法判例百選	樋口範雄他編
	備考				
参考書	「リーガル・マキシム」吉原、松嶋、西山編、三修社、2013年 「英米法総論（上）」田中英夫、東大出版会、1980年				
オフィスアワー	質問・相談は、以下のメール・アドレスに。 「tonkichichi@msh.biglobe.ne.jp」				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、講義の進め方および授業目的； アメリカ・ビジネス法が大陸法系と如何に異なるか
	事後学習	英米型と大陸型の相異を自分なりに整理しておく
2	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	アメリカ・ビジネス法の概要；アメリカでビジネスを行う上で関係するビジネス法の概観
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理

3	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	契約法;①契約法の成立、概要；英米契約法が歴史的にどのように成立したか、およびその特徴
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
4	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 9 4, 同# 9 5を予習
	授業内容	契約法;②約因の理論；英米契約法の主要概念である約因の意味と役割
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
5	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 9 3を予習
	授業内容	契約法；③契約の成立と抗弁自由；申込と承諾、抗弁自由
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
6	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 1 0 1、# 1 0 2、# 1 0 3を予習
	授業内容	契約法；④契約の終結と救済；契約終結の事由、契約が履行されない場合の救済、損害賠償の範囲
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
7	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	統一商事法典；契約法の特別法ともいえる統一商事法典の概要、要点を把握する
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
8	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	会社法；①事業形態一会社とパートナーシップ；事業を始める時にどの形態を選ぶか、その利害得失
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
9	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	会社法； ②会社の設立、運営；会社の設立手続、会社の機関（取締役会、役員、従業員、株主）
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
10	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	会社法;③取締役の役割と責任；経営陣との関係、フィデューシャリー・デューティ
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
11	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 1 1 8、# 1 1 9、# 1 2 0を予習
	授業内容	会社法；④取締役会の経営判断原則；取締役会は主要な経営判断につき株主の同意を得ないでどこまで独自に判断できるか
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
12	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 7 1、Matsushita Electric v. Zenithを予習
	授業内容	民事訴訟と陪審；トラブル発生時の救済方法
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
13	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 1 2 1、# 1 2 2を予習
	授業内容	連邦証券取引法；州法である会社法に対し、「連邦会社法」とも言える証券取引法の概要
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
14	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選# 124を予習
	授業内容	独占禁止法；アメリカで独自の発展を遂げた独占禁止法の概要
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理

15	事前学習	これまでに学習した判例、レジメを読み返し、疑問点を抽出する
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	アメリカ・ビジネス法に特徴的な約因、取締役の責任等を引き続き調べる

科目名	外国法B(英米)Ⅱ	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本科目では、特に、アメリカ契約法について、大陸法との比較においてその特徴を把握することに努める。なお、受講生には、講義ごとに課される英文資料の読解に努め、授業での質疑応答に積極的に参加することが求められる。				
授業目的・到達目標	英米契約法の下での契約成立要件に関する基本的法理と法律専門用語を原文（英語）で理解し日本語で説明できるようになり、英米法系諸国の当事者との契約交渉に役立つ法的思考能力（リーガル・マインド）を身につけることを目的とする。 英米契約法の下での契約成立要件に関する基本的法理と法律専門用語について、原文（英文）のテキストを使用し、事例と判例をとおして理解し、日本語で説明できるようになる。				
履修条件	「外国法B(英米)Ⅰ」を履修済であることが望ましい。				
授業方法	講義と質疑応答を主体として進めて行く。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加（３０％）およびレポート（７０％）を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	1969	WEST PUBLISHING CO		『CONTRACTS』	C. H. SMITH
	備考	教科書は絶版であるため必要箇所のコピーを資料として配布する。			
参考書	『英米判例百選[第三版]』別冊ジュリスト、No. 139、有斐閣（1996）；『アメリカ法判例百選』別冊ジュリスト、No. 213、有斐閣（2012）；『英米法辞典』東京大学出版会（1991）				
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取るこ）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	大陸法系と英米法系の契約法にみられるそれぞれの特徴についてできるだけ調べ、現代社会のわれわれの生活に与える影響について考えをまとめておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁（Legal Defense to Contract Formation）Ⅰ （1）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
2	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁（Legal Defense to Contract Formation）Ⅱ （1）詐欺防止法（Statute of Frauds）の範囲内にある口頭契約 （2）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

3	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁（Legal Defense to Contract Formation）Ⅲ （１）詐欺防止法（Statute of Frauds）の範囲内にある口頭契約（前回から続く） （２）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
4	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約の成立に対する抗弁（Legal Defense to Contract Formation）Ⅳ （１）詐欺防止法の適用を免れる場合：部分履行（part performance）の法理 （２）詐欺防止法の適用を免れる場合：禁反言（estoppel）の法理
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
5	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約条項の解釈：パロールエヴィデンスルール（parol evidence rule）Ⅰ （１）パロールエヴィデンスルール （２）パロールエヴィデンスルールの例外
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
6	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：契約条項の解釈：パロールエヴィデンスルール（parol evidence rule）Ⅱ （１）パロールエヴィデンスルールの例外（前回から続く） （２）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
7	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：履行：条件（condition）Ⅰ （１）条件の種類と立証責任 （２）条件と契約不履行の関係
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
8	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：履行：条件（condition）Ⅱ （１）条件的約束 （２）判例・事案研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
9	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：履行：契約不履行（breach of contract）Ⅰ （１）契約不履行の有無の判断基準である実質的履行（substantial performance）の法理（コモンロー） （２）完全履行の法理（perfect tender rule）（UCC）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
10	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：履行：契約不履行（breach of contract）Ⅱ （１）契約不履行を構成する履行期前の履行拒絶（anticipatory repudiation） （２）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
11	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：救済：類型と範囲Ⅰ （１）コモンロー上の損害賠償（damages） （２）エクイティー上の特定履行（specific performance）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
12	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：救済：類型と範囲Ⅱ （１）コモンロー上の損害賠償（damages）に関する事案・判例研究 （２）エクイティー上の特定履行（specific performance）に関する判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
13	事前学習	配布した資料を読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	テーマ：救済：類型と範囲Ⅲ （１）判例・事例研究
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

14	事前学習	これまでの授業で学んだポイントのまとめを読んでおく。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	総合事案問題
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
15	事前学習	総合事案問題から抽出された法的争点について回答を作成する。わからない英米法の法律専門用語を『英米法辞典』等で調べておく。
	授業内容	総合事案問題の解説
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

科目名	外国法B(英米)Ⅱ	担当者	西山 敏夫	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	アメリカ法の内、ビジネスに直接関連する基本法を概観するとともに、その根本にある基本原理、特に「信託」「フィデューシャリー」の考え方について理解することを目的とする。その前提として、コモン・ローの根源である不動産法の基礎を解説する。秋学期後半に企業買収（M&A）契約書を読み、具体的実務に触れる機会を持つ。				
授業目的・到達目標	1. アメリカ・ビジネス法の基本を理解し、実際にアメリカ法に基づいてビジネスを行う上で必要な基礎法律知識を修得する 2. アメリカ私法の特徴であり、わかりにくい「信託」の概念を正確に把握する 3. 「信託」の延長としてのフィデューシャリー・デューティ、コーポレイト・ガバナンスの本質を理解する 3. 本邦法と対比してアメリカ・ビジネス法の特異点注意点を正確に把握する				
履修条件	アメリカのビジネス法に関心があり、積極的に勉強する意欲があること				
授業方法	講義を主体として進めて行くが、適宜ディスカッションを行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	講義で説明した判例の法的争点と法理を理解して説明できるようになったか。また、英米法特有の専門用語を理解して説明出来るようになったかを判断する。	
	平常評価		30%	月1回(半期に3回)、10分程度の「Quiz」を行う。内容は法律専門英単語の邦訳	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	「リーガル・マキシム」吉原、松嶋、西山編、三修社、2013年 「英米法総論（上）」田中英夫、東大出版会、1980年				
オフィスアワー	質問・相談は、以下のメール・アドレスに。 「tonkichi@msh.biglobe.ne.jp」				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	コモン・ローとエクイティ；英米法の別名であるコモン・ローとその例我としてのエクイティの理解
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
2	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	アメリカ私法における「信託」の意義；もとは不動産相続に用いられたが、現在では団体法、担保権法に拡大
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理

3	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	不動産法の特徴、歴史；所有権というより「占有権」的な概念
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
4	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	現代の不動産法；不動産取引のプロセス、登記制度の未発達 アメリカ法判例百選＃１０５を予習
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
5	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する アメリカ法判例百選＃１０７、＃１０８
	授業内容	信託法の起源、発展；もとは「ユース」、英米の不動産法体系を浸食
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
6	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	譲渡抵当と信託；信託概念の担保権への応用
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
7	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	信託と法人；法人格を得られない場合の団体を信託形式で設立
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
8	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	本邦信託法の考察；大陸法系の上での信託法の発展
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
9	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	フィデュシャリー・デューティ；信託概念の応用、身分から契約へ、契約から信託へ アメリカ法判例百選＃１１１を予習
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
10	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	コーポレート・ガバナンス；誰が何を統治するのか
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
11	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	知的財産法；特許権、著作権、商標権の概要
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
12	事前学習	事前に配布するレジメを読み、全体像をつかむとともに疑問点を抽出する
	授業内容	契約書の読み方；英文契約書の構成、表現
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
13	事前学習	事前に配布するM&A契約書をできるだけ予習し授業に臨む
	授業内容	M&A（企業買収）契約書演習①
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理
14	事前学習	事前に配布するM&A契約書をできるだけ予習し授業に臨む
	授業内容	M&A契約書演習②
	事後学習	授業内容、レジメのポイントの整理

15	事前学習	今学期に学習した判例、レジメを読み返し疑問点を抽出し授業の際に質問する
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	ビジネス法と「信託」の関係について引き続き調べる

科目名	外国法B(独) I	担当者	難波 岳穂	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	ドイツは2017年に「同性婚」を連邦議会及び政府見解の決定として認めている。「Lebensgemeinschaft（生活共同体）」に対するこうした新たな決定が行われたのに対し、婚姻と家族、親子関係を規定するドイツ基本法6条に基づくドイツ連邦憲法裁判所による家族の解釈は、家族を「男女による異性婚」を基盤とする核家族として理解するものである。本講義ではドイツ基本法6条が規定する婚姻と家族、親子関係に関して検討する。					
授業目的・到達目標	ドイツ家族法制は中核概念に「Lebensgemeinschaft」としての家族概念を据えている。その特徴を理解する為にはドイツ基本法6条の判例及び学説が重要な手掛かりとなる。ドイツ基本法6条の特徴が婚姻と家族、親子関係を保障する家族制度であることから様々な基本権の機能が合流する。連邦憲法裁判所による実践的対策は民法・所得税法・刑法・児童福祉法等との関係をどのように規定するかにある。本講義ではその構造原理の理解を目的とする。特に、ドイツ基本法6条に基づく判例を手掛かりにし、ドイツ家族法制の中核概念（Lebensgemeinschaft）である家族概念に係る法整備の歴史的な足跡と理論を学び、ドイツ家族法制の特徴の理解ができるようになることが目的である。					
履修条件	特になし。ただし、板書で説明を行う際にドイツ語を表記するので、受講生はドイツ語の辞書を持参してもらうことをおすすめする。辞書を持ち込むことが叶わない場合を考慮し、ハンドアウトの用語集を配布予定でもある。					
授業方法	講義形式で行う。講義ごとにレジュメおよび配布資料等（ドイツ連邦憲法裁判所の判例ないしコメンタル等）を準備する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験					
	平常評価		100%	講義内容の理解を確認するために、ミニレポート及び前期1回、後期1回のレポート提出によって成績を判断する。出欠席に関しては評価対象としない。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成28年度	国会図書館		調査資料2017－2平成28年度国際政策セミナー報告書 家族のダイバーシティ－ヨーロッパの経験から考える－		国会図書館調査及び立法考査局
		尚学社		憲法における家族－親の人権と子どもの人権－		古野豊秋
		信山社		ドイツの憲法判例Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		ドイツ憲法判例研究会編
	備考	「国会図書館調査資料2017－2」はインターネットより閲覧可能。 http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_10980299_po_201711.pdf?contentNo=1				
参考書	畑尻剛他編『ドイツの憲法裁判〔第2版〕連邦憲法裁判所の組織・手続・権限－日本比較法研究所研究叢書（88）－』中央大学出版部、君塚正臣編著『比較憲法』ミネルヴァ書房、高橋和之編『〔新版〕世界憲法集 第2版』岩波書店					
オフィスアワー	木曜日10：40～12：10 事前にメール等で連絡すること。 ※なお、講義内容に関する質問等については、メールにでも対応する予定である。 nanba.takeho@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（講義内容の説明、資料等の取扱い、レポート等の書き方など）
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	ヴァイマル憲法期と男女同権
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	連邦憲法裁判所とドイツ基本法（Grundgesetz）における男女同権ードイツ基本法6条の観点からー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	家族法制をめぐる議論（1） ドイツ連邦憲法裁判所とドイツ家族法制改革ー歴史的背景からの考察ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	家族法制をめぐる議論（2） ドイツ民法典（BGB）の「親権」、ヴァイマル憲法の「親の権利」とドイツ基本法の「親の権利」
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	男女不平等の残存と「Gender Gap」 ー婚姻・家族の特別の保護と夫婦合算課税違憲判決ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	ドイツ連邦憲法裁判所の家族法制（1）ー妊娠中絶の自由化と胎児の生命保護ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	ドイツ連邦憲法裁判所の家族法制（2） 「Gender Gap」と「男女の共生と共働」ー家事労働日州法違憲決定ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	ドイツ連邦憲法裁判所の家族法制（3）ー児童の扶養に伴う負担と経済的負担能力ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	子どもの福祉と男女同権 夫婦財産契約における契約の自由とその限界ー扶養請求権放棄契約事件ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	介護保険制度と家族の特別の保護 社会保険費算定における教育費の考慮ー家族介護判決ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	夫婦同氏原則と男女同権（1） ー夫の出生氏優先適用規定の合憲決定ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	夫婦同氏原則と男女同権（2） ー夫の出生氏の優先適用規定の違憲性事件ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	子どもの福祉をめぐる連邦憲法裁判所の判例 ー「親権」から「親の権利」への変遷ー
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

15	事前学習	レポート提出に向けた準備（レポートの構成等）をミニレポートにまとめておくことをすすめる。
	授業内容	子ども福祉と婚姻観・家族観をめぐる判例 離婚に関する苛酷条項と婚姻・家族の特別の保護 一期限付き苛酷条項違憲決定一
	事後学習	レポート提出に向けた準備として、これまでの復習を十分に行っておくことをすすめる。

科目名	外国法B(独)Ⅱ	担当者	難波 岳穂	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	ドイツは2017年に「同性婚」を連邦議会及び政府見解の決定として認めている。「Lebensgemeinschaft（生活共同体）」に対するこうした新たな決定が行われたのに対し、婚姻と家族、親子関係を規定するドイツ基本法6条に基づくドイツ連邦憲法裁判所による家族の解釈は、家族を「男女による異性婚」を基盤とする核家族として理解するものである。本講義ではドイツ基本法6条が規定する婚姻と家族、親子関係に関して検討する。				
授業目的・到達目標	ドイツ家族法制は中核概念に「Lebensgemeinschaft」としての家族概念を据えている。その特徴を理解する為にはドイツ基本法6条の判例及び学説が重要な手掛かりとなる。ドイツ基本法6条の特徴が婚姻と家族、親子関係を保障する家族制度であることから様々な基本権の機能が合流する。連邦憲法裁判所による実践的対策は民法・所得税法・刑法・児童福祉法等との関係をどのように規定するかにある。本講義ではその構造原理の理解を目的とする。特に、ドイツ基本法6条に基づく判例を手掛かりにし、ドイツ家族法制の中核概念（Lebensgemeinschaft）である家族概念に係る法整備の歴史的な足跡と理論を学び、ドイツ家族法制の特徴の理解ができるようになることが目的である。				
履修条件	特になし。ただし、板書で説明を行う際にドイツ語を表記するので、受講生はドイツ語の辞書を持参してもらうことをおすすめする。辞書を持ち込むことが叶わない場合を考慮し、ハンドアウトの用語集を配布予定でもある。				
授業方法	講義形式で行う。講義ごとにレジュメおよび配布資料等（ドイツ連邦憲法裁判所の判例ないしコメンタル等）を準備する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	講義内容の理解を確認するために、ミニレポート及び前期1回、後期1回のレポート提出によって成績を判断する。出欠席に関しては評価対象としない。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成28年度	国立国会図書館	調査資料2017－2平成28年度国際政策セミナー報告書 家族のダイバーシティ－ヨーロッパの経験から考える－		国立国会図書館調査及び立法考査局
		尚学社	憲法における家族－親の人権と子どもの人権－		古野豊秋
		信山社	ドイツの憲法判例Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		ドイツ憲法判例研究会編
	備考	「国会図書館調査資料2017－2」はインターネットより閲覧とダウンロードが可能である。 http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_10980299_po_201711.pdf?contentNo=1			
参考書	畑尻剛他編『ドイツの憲法裁判〔第2版〕連邦憲法裁判所の組織・手続・権限－日本比較法研究所研究叢書（88）－』中央大学出版部、君塚正臣編著『比較憲法』ミネルヴァ書房、高橋和之編『〔新版〕世界憲法集 第2版』岩波書店				
オフィスアワー	木曜日10：40～12：10 事前にメール等で連絡すること。 ※なお、講義内容に関する質問等については、メールにでも対応する予定である。 nanba.takeho@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前確認しておくこと。
	授業内容	親の学校教育権と子どもの福祉への適合可能性（1） －「有害図書」規制と裸体主義教育事件－
	事後学習	次回授業の予習と第1回目授業の復習をすすめる。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	親の学校教育権と子どもの福祉への適合可能性（2） －宗教混合学校事件－
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	「子どもの権利条約」の子どもの福祉（1） 自己の出自を知る権利と子による嫡出の否認
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	「子どもの権利条約」の子どもの福祉（2） 非嫡出子の基本権と憲法委託－非嫡出子決定－
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	「子どもの権利条約」の子どもの福祉（3） 婚外子に対する親としての配慮権（elterliche Sorge）
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	親の配慮権と子どもの福祉への適合可能性 婚外子の父を知る権利と母の人格権
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	親の配慮権における男女平等と子どもの福祉 婚外子に対する父母の配慮宣言と親による配慮権
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	核家族と男女同権の合憲性 －親権における父親の単独代理と最終決定権判決－
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	核家族と家族の特別の保護と外国人の滞在許可 －成年養子縁組事件－
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	核家族と両親・里親・里子の基本権 －里親の養育権（Sorgerecht）訴訟－
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	近時の家族概念の拡大をめぐる連邦憲法裁判所の判例 －多世代型大家族への配慮－（2014年6月24日判決）
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	近時の児童手当をめぐる連邦憲法裁判所の判例 －バイエルン州児童手当事件－（2012年2月7日判決）
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	近時の育児手当をめぐる連邦憲法裁判所の判例 －育児手当に対する違憲性－（2015年7月21日判決）
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	生活パートナーシップ法をめぐる連邦憲法裁判所の判例 生活パートナーシップ法の合憲性
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

15	事前学習	レポート提出に向けた準備（レポートの構成等）をミニレポートにまとめておくことをすすめる。
	授業内容	まとめ
	事後学習	レポート提出に向けた準備として、これまでの復習を十分に行っておくことをすすめる。

科目名	外国法B(仏) I	担当者	兼頭 ゆみ子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	前半はフランスの法的基本構造を学習します。後半は、実際のフランス憲法判例を読み、法の多様性について考えます。					
授業目的・到達目標	フランス法の基礎およびフランス法と国際法・EU法との関わりを理解し、フランスを取り巻く広義の法構造を説明することができる。原語での法文読解の基礎を習得する。					
履修条件	原語（フランス語）で条文や判例を読むため、フランス語を履修していること。					
授業方法	前半は講義形式で、レジュメを配ります。予習課題への取り組みを含め、積極的な参加を求めます。授業計画は受講生の構成および関心によって変更する可能性があります。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	講義の理解		
	平常評価		30%	授業への取り組み		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	仏和辞書を必携のこと。				
参考書	滝沢正『フランス法〔第4版〕』（三省堂、2010年） フランス憲法判例研究会（編）『フランスの憲法判例I・II』（信山社、2002年、2013年）					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	ガイダンス：講義概要、法令等の調べ方
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
2	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	概説フランス法史
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

3	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	第五共和制憲法の構造
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
4	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	大統領・政府
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
5	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	国会
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
6	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	行政組織・地方自治
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
7	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	司法裁判
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
8	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	行政裁判
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
9	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	違憲審査制度
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
10	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	法源
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
11	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	国際法・EU法とフランス法の関係
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
12	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：死刑廃止(1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
13	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：死刑廃止(2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
14	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：死刑廃止(3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

15	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	総括
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

科目名	外国法B(仏)Ⅱ	担当者	兼頭 ゆみ子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校　社会　及び　高等学校　公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】　【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	婚姻の形、生命の尊重、言語の多様性、環境保護に関するフランスの憲法判例について学習する。				
授業目的・到達目標	フランス憲法判例の学習を通じて、文化、社会、法制度の多様性に対する視座を獲得する。原語での判例読解の基礎を習得する。				
履修条件	外国法B（仏）Ⅰを履修済であること。あるいはこれと同等程度にフランスの基本的法構造を理解し、フランス法の読解ができること。				
授業方法	予習課題への取り組みを含め、積極的な参加を求めます。レポートの提出を求めます。授業計画は受講生の構成および関心によって変更する可能性があります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業への取り組みとレポート評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	仏和辞書を必携のこと。			
参 考 書	滝沢正『フランス法〔第4版〕』（三省堂、2010年） フランス憲法判例研究会（編）『フランスの憲法判例Ⅰ・Ⅱ』（信山社、2002年、2013年）				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	ガイダンス：講義概要、法令等の調べ方
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
2	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：婚姻の形(1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

3	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：婚姻の形(2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
4	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：婚姻の形(3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
5	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：生命の尊重(1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
6	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：生命の尊重(2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
7	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：生命の尊重(3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
8	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：言語の多様性(1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
9	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：言語の多様性(2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
10	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：言語の多様性(3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
11	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：環境保護(1)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
12	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：環境保護(2)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
13	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：環境保護(3)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
14	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	憲法判例：環境保護(4)
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

15	事前学習	予習課題を行うこと。フランスを含む世界情勢のニュースに関心をもつこと。
	授業内容	総括
	事後学習	毎回最初に、前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

科目名	外国法C(仏) I	担当者	兼頭 ゆみ子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランスの法的基本構造を踏まえた上で、労働法に関する概説書を講読します。				
授業目的・到達目標	フランス労働法の学習を通じて、法制度やその背後にある文化、社会の多様性に対する視座を獲得する。				
履修条件	原語（フランス語）を読むため、フランス語を履修していること。また、労働法を履修していることが望ましい。				
授業方法	講読の予習を含め、積極的な参加を求めます。授業計画は受講生の構成や授業の進行により変更する可能性があります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業への取り組み	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	PUF		Le droit du travail	Alain Supiot
	備考	教科書を購入する必要はありません。 仏和辞書を必携のこと。			
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	ガイダンス：講義概要、法令等の調べ方
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
2	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	フランス法の基本構造1：法源
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
3	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	フランス法の基本構造2：裁判制度
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
4	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働契約に関する規制・制度(1)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

5	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働契約に関する規制・制度(2)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
6	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働契約に関する規制・制度(3)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
7	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働契約に関する規制・制度(4)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
8	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	従属関係(1)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
9	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	従属関係(2)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
10	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	従属関係(3)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
11	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	従属関係(4)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
12	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働者の保護(1)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
13	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働者の保護(2)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
14	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働者の保護(3)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
15	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	労働者の保護(4)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

科目名	外国法C(仏)Ⅱ	担当者	兼頭 ゆみ子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	フランスにおける職場のモラルハラスメントとセクシャルハラスメントについて法的規制や判例について学習する。				
授業目的・到達目標	労働の現場におけるハラスメントに対する法的対応を比較法的に理解する。				
履修条件	原語（フランス語）を読むため、フランス語を履修していること。				
授業方法	邦文文献を読み把握したうえで、仏語の法文と判例を読解します。邦文文献については発表を求め、議論します。従って、文献講読と仏文読解の予習を含め、積極的な参加を求めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業への取り組み	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	白水社		モラル・ハラスメント:職場におけるみえない暴力	マリー＝フランス・イルゴイエヌ
	備考	仏和辞書を必携のこと。			
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業の前後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	ガイダンス：講義概要、法令等の調べ方
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
2	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	フランス法の基本構造1：法源
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
3	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	フランス法の基本構造2：裁判制度
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
4	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	モラルハラスメント(1)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

5	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	モラルハラスメント(2)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
6	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	モラルハラスメント(3)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
7	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	モラルハラスメント(4)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
8	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	モラルハラスメント(5)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
9	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	モラルハラスメント(6)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
10	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	セクシャルハラスメント(1)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
11	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	セクシャルハラスメント(2)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
12	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	セクシャルハラスメント(3)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
13	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	セクシャルハラスメント(4)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
14	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	セクシャルハラスメント(5)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。
15	事前学習	予習を行うこと。
	授業内容	セクシャルハラスメント(6)
	事後学習	前回授業の理解度を確認するので、復習しておくこと。

科目名	監査論Ⅰ	担当者	北川 道男	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	監査と社会の関係を理解する。				
授業目的・到達目標	監査は、独立性を堅持する第3者の検証行為である。現代社会における企業活動の持続的発展、複雑化したステークホルダーとの関係の維持・改善に不可欠な社会的制度である公認会計士・監査法人による財務諸表監査の構造を中心に明らかにする。財務諸表監査の基礎を理解する。				
履修条件	簿記原理を履修していることが望まれる。				
授業方法	教室の条件が許せばpower point授業による。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(70%)授業内試験。論述問題。 (30%)課題レポート。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		同文館		ベーシック監査論	伊予田、他
	備考				
参考書	随時指示する				
オフィスアワー	事前にkitagawa.michio@nihon-u.ac.jpにメールし時間を調整してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む
	授業内容	講義の方法、成績評価、勉強の方法、公認会計士試験
	事後学習	勉強計画を立てる
2	事前学習	インターネット、新聞で過去生じた企業の不正会計事件を調べる
	授業内容	経済社会を揺るがす経済事件（1）東芝
	事後学習	事件の概要を整理

3	事前学習	インターネット、新聞で過去生じた企業の不正会計事件を調べる
	授業内容	経済社会を揺がす経済事件（2）オリンパス光学
	事後学習	事件の概要を整理
4	事前学習	インターネット、新聞で過去生じた企業の不正会計事件を調べる
	授業内容	経済社会を揺るがす経済事件（3）大和銀行事件
	事後学習	事件の概要を整理、課題レポート
5	事前学習	テキスト1章4項を読む
	授業内容	Accountabilityと監査
	事後学習	監査の必要性を整理
6	事前学習	テキスト1章を読む
	授業内容	監査の生成と監査の種類
	事後学習	ポイントを整理
7	事前学習	テキスト2章1項をよく読む
	授業内容	財務諸表監査、貸借対照監査、精密監査
	事後学習	ポイントを整理
8	事前学習	テキスト3章1校から3項をよく読む
	授業内容	財務諸表監査とリスクアプローチ
	事後学習	なぜ導入されたかをよく整理
9	事前学習	テキスト1章5項を読む
	授業内容	財務諸表監査仮説
	事後学習	現代の適合性を考える
10	事前学習	テキスト1章3項を読む
	授業内容	会社法監査
	事後学習	会社法監査の目的と制度を整理すること
11	事前学習	テキスト1章4項を読む
	授業内容	金融商品取引法監査
	事後学習	証券取引法の導入からの変化を把握
12	事前学習	公認会計士法を読んでおく
	授業内容	公認会計士、監査法人
	事後学習	どのような制限があるのか
13	事前学習	監査基準をよく読んで
	授業内容	監査基準の概要
	事後学習	発展の背景をよく整理
14	事前学習	監査基準をよく読んでおく
	授業内容	監査基準；一般基準
	事後学習	ポイントを整理

15	事前学習	試験勉強
	授業内容	進捗確認試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	反省

科目名	監査論Ⅱ	担当者	北川 道男	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	監査と社会の関係を把握				
授業目的・到達目標	監査は、独立性を堅持する第3者の検証行為である。現代社会における企業活動の持続的発展、複雑化したステークホルダーとの関係の維持・改善に不可欠な社会的制度である公認会計士・監査法人による財務諸表監査の構造を中心に明らかにする。財務諸表監査の基礎を理解する。				
履修条件	簿記原理を履修していることが望まれる。				
授業方法	教室の条件が許せばpower point授業による。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(70%)授業内試験。論述問題。 (30%)課題レポート。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		同文館		ベーシック監査論	伊予田、他
	備考				
参考書	随時指示する				
オフィスアワー	事前にkitagawa.michio@nihon-u.ac.jpにメールし時間を調整してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む
	授業内容	ガイダンス、登録
	事後学習	学習計画を立てる
2	事前学習	テキスト4章をよく読む
	授業内容	監査意見形成プロセス－経営者の主張と監査命題
	事後学習	監査命題のポイントを整理

3	事前学習	テキスト4章4-6項をよく読むこと
	授業内容	監査意見形成プロセスー監査技術と監査証拠
	事後学習	関係の整理
4	事前学習	テキスト
	授業内容	監査意見形成プロセスー合理的基礎と合理的保障
	事後学習	違いを整理
5	事前学習	テキスト第6章をよく読む
	授業内容	監査のリスクアプローチ
	事後学習	ポイント整理
6	事前学習	テキスト7章1・2項をよく読む
	授業内容	監査報告書の様式、監査意見の種類
	事後学習	ポイント整理
7	事前学習	テキスト7章3項をよく読む
	授業内容	監査意見の種類
	事後学習	各意見のポイント整理
8	事前学習	テキスト7章3項をよく読んでおく
	授業内容	監査意見の種類
	事後学習	課題レポート
9	事前学習	テキスト7章4項をよく読む
	授業内容	追記事項、継続性監査
	事後学習	監査意見との関係整理
10	事前学習	テキスト8章1項をよく読んで
	授業内容	中間監査と四半期報告書レビュー
	事後学習	意見の種類の整理
11	事前学習	テキスト8章2項をよく読んでおく
	授業内容	内部統制監査
	事後学習	制度の目的を検討する
12	事前学習	テキスト2章・3項をよく読む
	授業内容	監査役監査と監査委員会
	事後学習	制度の整理
13	事前学習	内部監査基準をよく読む
	授業内容	内部監査
	事後学習	外部監査との関係を整理
14	事前学習	答案作成の方法の検討
	授業内容	質問、試験説明
	事後学習	試験勉強

15	事前学習	試験勉強
	授業内容	授業内試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	反省

科目名	管理会計論Ⅰ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営管理のために行われる管理会計は、財務会計とは異なり企業内部で利用するための会計情報の提供を目的とするため、目的に応じた多様な会計情報が提供されます。この授業では、企業経営のさまざまな場面で活用される管理会計の基礎について学習します。				
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・経営意思決定における会計情報の役立ちについて理解すること。 ・製造原価の管理、CVP分析および業務的意思決定について理解すること。				
履修条件	原価計算論Ⅰおよび原価計算論Ⅱをあらかじめ履修し、原価計算の基礎についての学修を終えていることが望ましいです。また、管理会計論Ⅱを併せて履修するようにしてください。				
授業方法	毎回の授業に先立って共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、講義を実施します。また計算問題を扱いますので、電卓を持参するようにしてください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業内容の理解度を確認するために、前学期末に試験を実施します。	
	平常評価		30%	各回の授業の終わりに、授業内容についての理解度を問うミニテストを実施します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません。			
参考書	授業内で適宜指示します。				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	原価計算の基本について確認しておく （第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	管理会計とは
	事後学習	管理会計の役割を理解し、財務会計との違いを理解する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	原価計算の考え方①：個別原価計算
	事後学習	個別原価計算の仕組みを理解する

3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	原価計算の考え方②：総合原価計算
	事後学習	総合原価計算の仕組みを理解する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	標準原価計算①：標準原価による製品原価の計算
	事後学習	標準原価計算の方法と考え方を理解する
5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	標準原価計算②：標準原価差異分析
	事後学習	標準原価計算における原価差異分析の目的を理解し、原価差異分析方法を身に付ける
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	直接原価計算
	事後学習	直接原価計算の方法と固定費調整を理解する
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	原価・営業量・利益関係の分析①：固変分解
	事後学習	CVP分析の基本となる変動費と固定費の分解方法を理解する
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	原価・営業量・利益関係の分析②：CVP分析
	事後学習	損益分岐点分析等の各種CVP分析の手法を理解する
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	原価・営業量・利益関係の分析③：多品種製品のCVP分析
	事後学習	多品種の製品を扱っている場合のCVP分析の手法を理解する
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	予算実績差異分析
	事後学習	販売部門における予算と実績の差異分析を理解する
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	活動基準原価計算
	事後学習	活動基準原価計算（ABC）による製品原価の計算方法を理解する
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	差額原価収益分析①：差額原価・埋没原価
	事後学習	業務的意思決定の基本である差額原価・埋没原価概念について理解する
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	差額原価収益分析②：自製か外注かの意思決定
	事後学習	部品の自製と外注をめぐる意思決定を例に業務的意思決定を理解する
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	差額原価収益分析③：受注引受の是非
	事後学習	受注引受の是非の意思決定を例に業務的意思決定を理解する

15	事前学習	前期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：標準原価計算・CVP分析・ABCおよび業務的意思決定
	事後学習	定期試験に向けて前期の学習内容を包括的に復習する

科目名	管理会計論Ⅱ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営管理のために行われる管理会計は、財務会計とは異なり企業内部で利用するための会計情報の提供を目的とするため、目的に応じた多様な会計情報が提供されます。この授業では、企業経営のさまざまな場面で活用される管理会計の基礎について学習します。				
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・経営意思決定における会計情報の役立ちについて理解すること。 ・構造的意思決定や、ライフサイクル・コストینگ等の諸論点について理解すること。				
履修条件	原価計算論Ⅰおよび原価計算論Ⅱをあらかじめ履修し、原価計算の基礎についての学修を終えていることが望ましいです。また、管理会計論Ⅰと併せて履修するようにしてください。				
授業方法	毎回の授業に先立って共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、講義を実施します。また計算問題を扱いますので、電卓を持参するようにしてください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業内容の理解度を確認するために、後学期末に試験を実施します。	
	平常評価		30%	各回の授業の終わりに、授業内容についての理解度を問うミニテストを実施します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません。			
参考書	授業内で適宜指示します。				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアボを取るようにしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に配布したレジュメを通読しておく （管理会計論Ⅱの第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	管理会計論Ⅰで学習した内容の復習
	事後学習	標準原価計算・CVP分析・ABCおよび業務的意思決定について再確認する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定①：構造的意思決定と業務的意思決定との相違、キャッシュ・フローの計算
	事後学習	設備投資をめぐる意思決定の概要と業務的意思決定との違いを理解し、キャッシュ・フローの計算方法を身に付ける

3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定②：貨幣の時間価値を考慮しない意思決定方法
	事後学習	回収期間法および投下資本利益率法による意思決定を理解する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定③：貨幣の時間価値と資本コスト
	事後学習	貨幣の時間価値について理解し、資本コストの計算方法を身に付ける
5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定④：正味現在価値法による意思決定
	事後学習	正味現在価値法（NPV法）による設備投資の意思決定を理解する
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定⑤：内部利益率法による意思決定
	事後学習	内部利益率法（IRR法）による設備投資の意思決定を理解する
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定⑥：相互排他的投資案の選択
	事後学習	NPV法による相互排他的投資案選択の意思決定を理解する
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	構造的意思決定⑦：取替投資と反復投資
	事後学習	取替投資や反復投資が行われる場合の意思決定を理解する
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	配当割引モデルによる企業価値評価
	事後学習	設備投資の意思決定と企業価値評価との関係性を理解する
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	ライフサイクル・コスト①：製品ライフサイクルとライフサイクル・コスト
	事後学習	製品のライフサイクルとそれに関連するライフサイクル・コストについて理解する
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	ライフサイクル・コスト②：ライフサイクル・コストの実践
	事後学習	ライフサイクル・コスト（LCC）に関する例題を用いた計算を理解する
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	品質原価計算
	事後学習	品質原価計算の考え方を理解し、計算技法を身に付ける
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	原価企画・原価維持・原価改善
	事後学習	原価企画・原価維持や原価改善の基本的考え方を理解する
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	バランスト・スコアカード
	事後学習	バランスト・スコアカード（BSC）による非会計情報を利用した経営管理を理解する

15	事前学習	後期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：構造的意図決定・LCC・品質原価計算・原価企画等およびBSC
	事後学習	定期試験に向けて後期の学習内容を包括的に復習する

科目名	企業会計法Ⅰ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業が行う財務報告は、会計基準に従って作成された財務諸表によって行われますが、財務諸表そのものの作成開示を要請しているのは、金融商品取引法や会社法といった法律です。このように企業会計は法律とも密接に結びついており、会計数値の中には法律によって測定方法が定められているものもあります。この授業では、「会計に関する法律」という視点から会計学を学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・主として会社法における各種計算規程を理解し、それらに準拠した会計処理を行えるようになる ・株式会社を取り巻く法規と会計規制についての総合的な理解を身に付ける				
履修条件	簿記原理、会計学、財務諸表論および会社法についての履修を済ませ、これらの科目についての基本的理解が得られていることが望ましいです。また、企業会計法Ⅱを併せて履修するようにしてください。				
授業方法	毎回の授業に先だって共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、講義を行います。各自プリントアウトして持参してください。また、電卓および六法（可能であれば会計法規集）を併せて持参するようにしてください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業内容の理解度を確認するために、前学期末に試験を実施します。	
	平常評価		30%	各回の授業の終わりに、授業内容についての理解度を問うミニテストを実施します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません。			
参考書	授業内で適宜指示します。				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	簿記会計の基礎について確認しておく （第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	企業会計にまつわる法規、会計規制の必要性
	事後学習	会計規制の必要性をめぐる各種議論について理解する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	金融商品取引法による会計規制の概要
	事後学習	ディスクロージャー制度の基本的考え方について理解する

3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	会社法による会計規制の概要
	事後学習	会社法と金融商品取引法における会計規制の基本的考え方の違いを理解する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	貸借対照表に関する諸規定
	事後学習	貸借対照表の計上項目に関する会社計算規則の諸規定を理解する
5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	損益計算書に関する諸規定
	事後学習	損益計算書の様式と段階的利益計算に関する会社計算規則の諸規定を理解する
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	株主資本等変動計算書とキャッシュ・フロー計算書
	事後学習	株主資本等変動計算書の様式と作成に関する会社計算規則の諸規定を理解する
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資産の評価①：資産評価総論
	事後学習	資産評価のための各測定値の考え方を理解する
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資産の評価②：各種評価値による具体的な資産評価
	事後学習	資産評価のための各測定値の算定方法を身に付ける
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資産の評価③：現在価値による資産評価
	事後学習	現在価値の基本的考え方と現在価値による資産評価をめぐる議論を理解する
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資産の評価④：リース資産の測定
	事後学習	リース取引の概要を理解し、リース取引における借手が行う一連の会計処理を身に付ける
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の評価①：負債評価総論
	事後学習	負債評価のための各測定値の考え方を理解する
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の評価②：引当金会計
	事後学習	引当金の理論的根拠を理解し、引当金の分類を把握する
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の評価③：退職給付会計
	事後学習	退職給付会計の概要を理解し、一連の会計処理を身に付ける
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	負債の評価④：債務性引当金と非債務性引当金
	事後学習	債務性引当金と非債務性引当金との相違を理解し、後者に関する会計理論上の問題点を理解する

15	事前学習	前期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：会社法における会計規制の概要と資産および負債の測定方法についての学習内容のまとめ
	事後学習	定期試験に向けて前期の学習内容を包括的に復習する

科目名	企業会計法Ⅱ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業が行う財務報告は、会計基準に従って作成された財務諸表によって行われますが、財務諸表そのものの作成開示を要請しているのは、金融商品取引法や会社法といった法律です。このように企業会計は法律とも密接に結びついており、会計数値の中には法律によって測定方法が定められているものもあります。この授業では、「会計に関する法律」という視点から会計学を学びます。				
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・主として会社法における各種計算規程を理解し、それらに準拠した会計処理を行えるようになる ・株式会社を取り巻く法規と会計規制についての総合的な理解を身に付ける				
履修条件	簿記原理、会計学、財務諸表論および会社法についての履修を済ませ、これらの科目についての基本的理解が得られていることが望ましいです。また、企業会計法Ⅰを併せて履修するようにしてください。				
授業方法	毎回の授業に先だって共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、講義を行います。各自プリントアウトして持参してください。また、電卓および六法（可能であれば会計法規集）を併せて持参するようにしてください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業内容の理解度を確認するために、後学期末に試験を実施します。	
	平常評価		30%	各回の授業の終わりに、授業内容についての理解度を問うミニテストを実施します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません。			
参考書	授業内で適宜指示します。				
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に配布したレジュメを通読しておく （企業会計法Ⅱの第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	企業会計法Ⅰで学習した内容の復習
	事後学習	会社法における会計規制の概要と資産および負債の測定方法について再確認する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	純資産の部、資本金と資本剰余金
	事後学習	純資産の部の構成を把握し、払込資本に関する会社法上の諸規定を理解する

3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資本金等の増減、利益剰余金
	事後学習	資本金等の増減についての処理方法を身に付け、払込資本と留保利益の性格の相違を理解する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	剰余金の配当と分配可能額
	事後学習	剰余金の配当に関する会社法上の規定を理解し、分配可能額の算定方法を身に付ける
5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	自己株式の意義
	事後学習	自己株式の意義および自己株式の取得をめぐる諸論点を理解する
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	自己株式の取得規制
	事後学習	自己株式の取得規制を理解し、取得時や処分時の会計処理方法を身に付ける
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	新株予約権の意義
	事後学習	新株予約権の仕組みを理解し、通常の発行時の会計処理方法を身に付ける
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	ストック・オプション会計
	事後学習	ストック・オプションとして発行される新株予約権の会計処理方法を身に付ける
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	新株予約権の行使と失効
	事後学習	新株予約権行使時および失効時の会計処理方法を身に付ける
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	連結計算書類の作成開示に関する諸規定
	事後学習	連結計算書類の構成を把握し、会社法における作成規定を理解する
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資本連結手続と連結貸借対照表の作成
	事後学習	資本連結手続における一連の会計処理を身に付ける
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	組織再編①：吸収合併および株式交換の会計処理
	事後学習	組織再編の類型を把握し、吸収合併や株式交換といった企業結合取引の会計処理を身に付ける
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	組織再編②：新設合併および株式移転の会計処理
	事後学習	新設合併や株式移転といった企業結合取引の会計処理を身に付ける
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	組織再編③：会社分割および営業譲渡の会計処理
	事後学習	会社分割や営業譲渡といった事業分離取引の会計処理を身に付ける

15	事前学習	後期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：純資産会計および組織再編会計についての学習内容のまとめ
	事後学習	定期試験に向けて後期の学習内容を包括的に復習する

科目名	企業評価論 I	担当者	円谷 昭一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	本講義では、財務諸表を中心とした企業の開示情報を用いて、その企業の財務分析を行うための手法を学ぶ。企業を分析するうえで、財務諸表に代表される会計情報はもっとも有益な情報源となる。しかしながら、こうした潤沢な情報があっても、それを理解することができれば何も意味をなさない。本講義の目的は、まずは財務諸表の読み方を習得し、そのうえで分析力を養うことにある。				
授業目的・到達目標	これまでイメージのみで判断していた企業の姿を、会計情報を通して覗いてみると、君の眼に映る企業の姿は大きく変わるであろう。その意味では、本講義の到達目標は、君たちの企業を見る目を「イメージベース」から「エビデンスベース」へと変えること、とも言えるだろう。要点解説はパワーポイントを用いて講義形式で行うが、実際の企業の財務諸表を配布し、講義内で手を動かして計算をしてもらう機会が多々ある。おそらくこのようなスタイルの講義は法学部では珍しいであろう。きっと君たちにとっては新鮮であり、驚きの連続であると思う。				
履修条件	会計や資本市場に関する事前知識は一切求めない。初歩的な知識から講義するので安心して欲しい。				
授業方法	解説はパワーポイントを用いたプレゼンテーションで行う。全講義時間のうち、教員のプレゼンテーションと、実際に企業の財務諸表を分析する実践の時間はおよそ半々である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義内での小試験30%、期末レポート70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	伊藤邦雄『新・企業価値評価』日本経済新聞出版社、2014年。				
オフィスアワー	要件があればメールで問い合わせ欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	問題意識の設定
	授業内容	ガイダンス・企業と資本市場の仕組み①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
2	事前学習	前回指示された宿題への取り組み
	授業内容	企業と資本市場の仕組み②
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題

3	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	貸借対照表の解説（資産・負債・純資産とは）
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
4	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	損益計算書の仕組み（収益・費用・利益とは）
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
5	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	単体財務諸表の分析①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
6	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	単体財務諸表の分析②
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
7	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	連結財務諸表の複数社比較①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
8	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	連結財務諸表の複数社比較②
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
9	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	連結財務諸表の複数社比較③
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
10	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	財務分析と資本市場（アナリストの役割）
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
11	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	財務情報と非財務情報
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
12	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	財務分析（総合）①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
13	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	財務分析（総合）②
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
14	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	財務分析（総合）③
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題

15	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	講義のまとめ
	事後学習	講義全体の復習

科目名	企業評価論Ⅱ	担当者	円谷 昭一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	本講義では、財務分析の結果を踏まえて、企業の理論上の株価（target price）を推計するための手法を学ぶ。企業の理論上の株価を推計するためには、企業の将来利益の予想と資本コストの設定が必要となる。企業の将来利益を予想するためには、過去の利益の分析である財務情報分析が必要となる。財務情報分析については、企業評価論Ⅰで講義する。したがって、企業評価論Ⅱは同Ⅰの発展という位置づけである。				
授業目的・到達目標	これまでイメージのみで判断していた企業の姿を、会計情報を通して覗いてみると、君の眼に映る企業の姿は大きく変わるであろう。その意味では、本講義の到達目標は、君たちの企業を見る目を「イメージベース」から「エビデンスベース」へと変えること、とも言えるだろう。要点解説はパワーポイントを用いて講義形式で行うが、実際の企業の財務諸表を配布し、講義内で手を動かして計算をしてもらう機会が多々ある。おそらくこのようなスタイルの講義は法学部では珍しいであろう。きっと君たちにとっては新鮮であり、驚きの連続であると思う。ただし、難易度はかなり高度であることを事前に伝えておく。				
履修条件	企業評価論Ⅰを履修済みであることを前提として講義を進める。仮に会計の知識を持っていたとして、企業評価論Ⅰを履修せずに企業評価論Ⅱを履修するのは相当に厳しいと思われる。				
授業方法	解説はパワーポイントを用いたプレゼンテーションで行う。全講義時間のうち、教員のプレゼンテーションと、実際に企業の財務諸表を分析する実践の時間はおよそ半々である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義内での小試験30%、期末レポート70%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	伊藤邦雄『新・企業価値評価』日本経済新聞出版社、2014年。				
オフィスアワー	要件があればメールで問い合わせ欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	問題意識の設定
	授業内容	ガイダンス・財務諸表分析の復習
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
2	事前学習	前回指示された宿題への取り組み
	授業内容	キャッシュフロー計算書の構造
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題

3	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	セグメント情報の分析手法
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
4	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	キャッシュフローのセグメント別配分の基準
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
5	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	日本基準と国際会計基準の相違点
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
6	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	英文財務諸表の分析①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
7	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	英文財務諸表の分析②
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
8	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	企業のディスクロージャー（情報開示）
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
9	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	資本コストの概念
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
10	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	将来キャッシュフローとDCF法①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
11	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	将来キャッシュフローとDCF法②
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
12	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	実践的財務分析（応用）①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
13	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	実践的財務分析（応用）①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
14	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	実践的財務分析（応用）①
	事後学習	講義内で（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題

15	事前学習	前回指示された宿題への取組み
	授業内容	講義のまとめ
	事後学習	講義全体の復習

科目名	企業法務Ⅰ	担当者	若林 莊太郎	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	---------	------	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業活動に関連する法務事項について、前期（企業法務I）及び後期（企業法務II）を通して、幅広く概要を解説する。前期（企業法務I）は、①企業の仕組み、統治体制、機関、②内部統制システム、③倫理法令遵守（コンプライアンス）、④企業情報開示、内部者取引、⑤情報管理関連ルール（営業秘密、個人情報）、⑥契約書の基礎（国内、英文契約書）を採り上げる予定				
授業目的・到達目標	企業が事業活動を展開する中で発生する様々なリスク、遵守すべきルール、契約書（国内、英文）の重要性、企業経営の仕組みである企業統治（ガバナンス）の課題、今後も刻々変化する企業経営環境とそれに応じ発生する新たな法務問題などのリスク、ルール・規制への対応、海外事業展開に係るトラブル、係争など、企業のリスク管理機能の一翼を担う企業法務部門の視点から、幅広く、学生諸君に出来るだけ分かりやすく解説したい。企業活動において生じる法務問題など様々なリスクのアウトラインを多少とも理解し、個別法務テーマへの学習意欲を持つきっかけを掴む。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義とケーススタディ中心。適宜テーマのレジュメを配付、説明する予定。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート(提出期限は後日指示する)。注)レポートは引用文献を明記すること。論文等の丸写しはしないこと。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	講義の中で必要に応じて指示する。				
オフィスアワー	質問、相談は講義終了後、又はメールで受け付ける。（講師のメールアドレスは、wkbys@c08.itscom.net）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	はじめに一企業経営を取巻く環境の変化、企業活動を取り巻く種々のリスク
	事後学習	配付レジュメの理解
2	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	企業経営におけるリスク管理の意義、重要性、法務部門の役割と課題
	事後学習	配付レジュメの理解

3	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	会社の仕組み―ガバナンス
	事後学習	配付レジュメの理解
4	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	会社の仕組み―ガバナンス、最近の動き（伊藤レポート、スチュワードシップコード、コーポレートガバナンスコード等）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
5	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	会社法―機関設計、改正会社法の機関設計（監査等委員会設置会社等）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
6	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	会社法―その他の主要な内容（内部統制、再編法制、役員の責任、経営判断原則、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
7	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	会社法―その他の主要な内容（内部統制、再編法制、役員の責任、経営判断原則、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
8	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	コンプライアンス（倫理法令遵守）の考え方、CSR、株主代表訴訟、内部告発、公益通報者保護法、事例（第三者委員会報告書事例など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
9	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	コンプライアンス（倫理法令遵守）の考え方、CSR、株主代表訴訟、内部告発、公益通報者保護法、事例（第三者委員会報告書事例など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
10	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	金融商品取引法（財務報告に係る内部統制、開示規制、内部者取引、事例研究、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
11	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	金融商品取引法（財務報告に係る内部統制、開示規制、内部者取引、事例研究、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
12	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	情報管理関連ルール（個人情報、特定個人情報、営業秘密、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
13	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	情報管理関連ルール（個人情報、特定個人情報、営業秘密、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
14	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	契約書の意義、基礎（国内契約、英文契約の基礎、サンプル説明）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解

15	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	契約書の意義、基礎（国内契約、英文契約の基礎、サンプル説明）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解

科目名	企業法務Ⅱ	担当者	若林 莊太郎	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	---------	------	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業活動に関連する法務事項で、①競争法、独禁法、②海外事業、自由貿易関連ルール、③企業再生、経営破綻、④労働関連法、④企業再編（合併・買収、合併等）、④製品安全、表示関連、⑤知的財産関連、⑥環境関連、⑤その他トピックスを適宜採り上げる予定。				
授業目的・到達目標	企業が事業活動を展開する中で発生する様々なリスク、遵守すべきルール、契約書（国内、英文）の重要性、企業経営の仕組みである企業統治（ガバナンス）の課題、今後も刻々変化する企業経営環境とそれに応じ発生する新たな法務問題などのリスク、ルール・規制への対応、海外事業展開に係るトラブル、係争など、企業のリスク管理機能の一翼を担う企業法務部門の視点から、幅広く、学生諸君に出来るだけ分かりやすく解説したい。企業活動において生じる法務問題など様々なリスクのアウトラインを多少とも理解し、個別法務テーマへの学習意欲を持つきっかけを掴む。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義とケーススタディ中心。適宜テーマのレジュメを配付、説明する予定。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート提出。（提出期限は後日指示予定）注）レポートに引用文献明記すること。論文等の丸写しはしないこと。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	講義の中で必要に応じて指示する。				
オフィスアワー	質問、相談は授業終了後又はメールで受け付ける。（講師のメールアドレスは、wkbys@c08.itscom.net）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	独禁法・競争法 （基本的内容、近時の主要な改正内容、リニエンシー、下請法、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
2	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	独禁法・競争法、国際的贈収賄規制（FCPA等世界各国の贈収賄規制、日本企業の違反事例等）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解

3	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	債権法（民法）改正の概要
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
4	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	国際取引、海外法務（現地進出の形態→独資、合弁、買収など）海外事業リスク管理、WTO、T P P等
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
5	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	企業再生、経営破綻（民事再生、会社更生、破産法、米国の企業再編、国際倒産、事例研究など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
6	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	企業再生、経営破綻（民事再生、会社更生、破産法、米国の企業再編、国際倒産、事例研究など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
7	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	労働問題（労働契約法、労働時間等労基法、働き方改革、請負・派遣、ハラスメント、労働安全衛生法、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
8	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	労働問題（労働契約法、労働時間等労基法、働き方改革、請負・派遣、ハラスメント、労働安全衛生法、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
9	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	製品安全・表示関連（製造物責任法、品質管理、リコール、PL訴訟、消費者契約法、景表法、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
10	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	製品安全・表示関連（製造物責任法、品質管理、リコール、PL訴訟、消費者契約法、景表法、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
11	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	環境関連（地球温暖化防止パリ協定、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
12	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	知的財産関連（特許、商標、著作権、営業秘密、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
13	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	企業再編の基礎（買収・合併：国内、海外でのM&A、株式移転・株式交換、会社分割、合弁、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解
14	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	企業再編の基礎（買収・合併：国内、海外でのM&A、株式移転・株式交換、会社分割、合併、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解

15	事前学習	初回に配付する授業内容骨子を読み、理解する
	授業内容	その他トピックス（サブライチエーン、日本版司法取引、など）
	事後学習	配付レジュメ、講義の理解

科目名	教育政策	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	「子供の貧困」に対する教育政策のあり方について考察する。					
授業目的・到達目標	教育政策は、政治的権力の行使者である国・地方自治体・政党などの教育に関する意思の具体的表現である。一般に、学校教育では、それは学習指導要領として現れると言われている。本講義では教育政策立案の基盤となる社会情勢や政権のあり方にも注目しながら教育政策と社会の関係を考察する。教育政策はその社会のあり方を示す指標であること、さらに、その教育政策が将来の社会のあり方を決めるものであることを理解することを目標とする。					
履修条件	とくに設けないが、教育の問題をまじめに考えようとする学生の履修を求める。					
授業方法	講義形式。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	講義内容を中心として出題するが、問題点をどのように認識し、自分で考えようとしているかが評価の最大の基準となる。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成25年3月	弘文堂		教育政策・行政		安藤忠・壽福隆人 監修
	備考					
参 考 書	適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	なぜ本講義を履修することにしたのか各自の考えをまとめる。
	授業内容	ガイダンス（講義の進め方・評価法などの説明）
	事後学習	本講義の問題意識をまとめる。
2	事前学習	身近な教育政策について考える。
	授業内容	教育政策とは何かについて考察する
	事後学習	教育政策が担っていることをまとめる。

3	事前学習	明治以降の教育政策で知っていることをまとめる。
	授業内容	近代日本に見る教育政策と近代社会の発展について考察する。
	事後学習	教育政策が日本の近代化で果たした役割を考察する。
4	事前学習	各自が考える現代の教育問題についてまとめる。
	授業内容	現代の教育政策立案の過程について考察する。
	事後学習	なぜ、多くの教育問題が発生し、なかなか改善されないか各自の意見をまとめる。
5	事前学習	各自が考える最も重要な学校教育の問題点をまとめる。
	授業内容	学習指導要領にみる現代日本の教育政策について考察する。
	事後学習	現代の教育政策の特徴について考察する。
6	事前学習	アジア史の概略について調べる。
	授業内容	歴史的に教育政策を考える（1）中国古代の教育政策
	事後学習	科挙制度と日本の試験制度の歴史をまとめる。
7	事前学習	古代ギリシャの歴史について調べる。
	授業内容	歴史的に教育政策を考える（2）ヨーロッパ古代の教育政策
	事後学習	国家による教育統制の問題点について考察する。
8	事前学習	絶対主義王政について調べる。
	授業内容	歴史的に教育政策を考える（3）絶対主義王政下の教育政策
	事後学習	絶対主義王政の教育政策についてまとめる。
9	事前学習	資本主義の発達について調べる。
	授業内容	歴史的に教育政策を考える（4）ヨーロッパ近代の教育政策
	事後学習	資本主義の発達と教育政策について考察する。
10	事前学習	アメリカ史の概略を調べる。
	授業内容	現代アメリカの教育政策について考察する。
	事後学習	アメリカの教育の日本への影響についてまとめる。
11	事前学習	「子供の貧困」という言葉について調べる。
	授業内容	「子供の貧困」の実態について考察する。（1）「1億総中流」をどう考えるか
	事後学習	「子どもの貧困」に対する各自の意見をまとめる。
12	事前学習	「子供の貧困」という言葉について調べる。
	授業内容	「子供の貧困」の実態について考察する。（2）医療の問題から
	事後学習	「子どもの貧困」に対する各自の意見をまとめる。
13	事前学習	「子供の貧困」という言葉について調べる。
	授業内容	「子供の貧困」の実態について考察する。（3）「15の春」の観点から
	事後学習	「子どもの貧困」に対する各自の意見をまとめる。
14	事前学習	ベトナム戦争について調べる。
	授業内容	東南アジアの教育政策について考察する。
	事後学習	東南アジアに見られる「子供の貧困」についてまとめる。

15	事前学習	子供の貧困に対する各自の考えを発表できるようにまとめる
	授業内容	学生の発表を通して「子供の貧困」について考察する。
	事後学習	「子供の貧困」について今後も考えていくための方法を考察する。

科目名	行政学 I	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要					
授業目的・ 到達目標					
履修条件					
授業方法					
成績評価	種別	割合	評価方法		
	定期試験				
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考				
参考書					
オフィス アワー					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
2	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

3	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
4	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
5	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
6	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
7	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
8	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
9	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
10	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
11	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
12	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
13	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
14	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

15	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

科目名	行政学 I	担当者	代田 剛彦	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	現代行政学が使用する「行政」という言葉意味の変遷、行政学という学問の特色、行政サービスの守備範囲・性格、現代行政学の起源としてドイツ官房学及びアメリカ行政学の背景と生成発展について学ぶ。			
授業目的・到達目標	われわれの身近にありながら漠然として掴みどころの乏しい行政について研究するのが行政学である。現代行政学の起源としてのドイツ官房学及びアメリカ行政学を理解することで、現代行政学が扱う諸領域について認識を深めるための基礎的な知識を身に着けるようにしたい。			
履修条件	特になし。			
授業方法	板書を中心に講義形式で行う。必要に応じて資料を配布する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	設問の趣旨を理解して専門用語を適切に使用しているか、論理的な文章構成になっているかなどを基準に評価する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書なし		
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	講義終了時に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	前期の学習計画をたてる。
2	事前学習	身近な行政現象と思われることを思い浮かべてみる。
	授業内容	行政サービスの変遷と範囲、性格
	事後学習	行政サービスの変遷と範囲、行政活動の性格について復讐する。

3	事前学習	行政という言葉の意味は固定的なものか変動するもの考えてみる。
	授業内容	行政の概念
	事後学習	行政の概念を政治との関係から捉えたものについて復習する。
4	事前学習	行政学というタイトルがついた書籍の目次を何か1つ選んで目を通してみる。
	授業内容	行政学とはどのような学問か
	事後学習	行政学という学問の特色、現状について復習する。
5	事前学習	さしあたり西尾 勝「行政学」有斐閣にあたってみる。
	授業内容	行政学の起源
	事後学習	現代行政学の起源としてのドイツ官房学及びアメリカ行政学について復讐する。
6	事前学習	17世紀、18世紀のドイツの政治・経済の歴史を調べる。
	授業内容	ドイツ官房学の背景
	事後学習	ドイツ官房学の背景に30年戦争、絶対主義思想があることについて復習する。
7	事前学習	ドイツ重商主義について調べる。
	授業内容	ドイツ官房学の系譜 (1) 前期官房学、後期官房学 (警察学)
	事後学習	前期官房学者のゼッケンドルフ、後期官房学者のユスティの思想について復習する。
8	事前学習	L. v. シュタインについて調べる。
	授業内容	ドイツ官房学の系譜 (2) シュタイン行政学
	事後学習	シュタイン行政学登場の背景と特色、学問体系について復讐する。
9	事前学習	ボナンについて調べる。
	授業内容	フランスの行政学 (ボナンの行政学)
	事後学習	従来の現代行政学の起源は一般的にドイツ官房学及びアメリカ行政学と s れてきたが、最近の研究ではフランスの行政学に起源を求める見解が現れたことに注目しておく。
10	事前学習	19世紀湖畔のアメリカの政治・経済の歴史を調べる。
	授業内容	アメリカ行政学の背景
	事後学習	アメリカ行政学の生成発展の背景に急速な資本主義経済の発展や諸制度改革があることについて復習する。
11	事前学習	w. ウィルソン、F. グッドナウ、F. テーラーについて調べる。
	授業内容	アメリカ行政学の系譜 (1)
	事後学習	政治・行政分離論、科学的管理法について復習する。
12	事前学習	L. H. ギューリック、ホーソン工場の実験について調べる。
	授業内容	アメリカ行政学の系譜 (2)
	事後学習	行政管理論が提示した諸原理、人間関係論について復習する。
13	事前学習	C. バーナード、H. サイモンについて調べる。
	授業内容	アメリカ行政学の系譜 (3)
	事後学習	政治・行政融合論、バーナード革命、制約された合理性論について復習する。
14	事前学習	新行政学運動について調べる。
	授業内容	アメリカ行政学の系譜 (4)
	事後学習	新行政学運動、プロフェッショナル・アプローチについて復習する。

15	事前学習	前期の講義ノートに目を通しておく。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	前期の講義ノートを整理する。重要事項をチェックする。

科目名	行政学Ⅰ	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	行政学の基礎理論を勉強することで、行政を見るを養い、主権者として行政について理解し、そのあり方について考えていきたい。また、公務員試験の問題をとける実力を養成する。				
授業目的・到達目標	この講義は、「行政学の基礎理論」を理解することを主目的としている。講義では、「公務員のための学問」の性格を有する「行政学」の理論、歴史、特質など「現代行政を見る眼」を養うことも目的とする。現代行政のあり方や課題を理解する能力と共に国家・地方公務員試験の行政学択一及び論述問題に対応可能な能力を有するようにすることを目標とする。				
履修条件	特にない。「公共政策論」、「地方自治論」などを履修済又は平行履修しているほうが望ましい。				
授業方法	テキストや参考書を使用して行政学の基礎理論を講義していく。人数によっては小テストのを実施かレポートを提出してもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	論述試験を実施し、評価する。（90％，但し、履修人数によっては講義内試験が困難な場合がある。）講義中に実施する小テストなどで評価する。（10％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	弘文堂		行政学	外山公美編
	備考				
参考書	西尾勝『行政学』（有斐閣）				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいつていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	行政学を受講する理由を自分なりに整理しておくこと。目的意識をもって受講すること。
	授業内容	ガイダンス：準備学習の説明、授業内容・評価方法の確認
	事後学習	受講目的を再度整理しておくこと。
2	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	行政学のすすめ
	事後学習	行政学がどのような学問が整理すること。

3	事前学習	該当のページを読んでくること。福祉国家の特徴は何か整理すること。
	授業内容	行政サービスと福祉国家
	事後学習	行政の役割を時代ごとに整理すること。
4	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	行政学の起源：官房学、警察学、シュタイン行政学
	事後学習	教科書の練習問題を解いてみること。
5	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	アメリカ行政学の発展
	事後学習	アメリカ行政学の背景について理解すること。
6	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	アメリカ行政学の歴史（1）
	事後学習	行政学の誕生についてまとめておくこと。
7	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	アメリカ行政学の歴史（2）
	事後学習	科学的管理法についてまとめておくこと。
8	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	アメリカ行政学の歴史（3）
	事後学習	組織論についてまとめておくこと。
9	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	日本の行政学
	事後学習	日本の行政学の歴史の発展についてまとめる。
10	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	官僚制論（1）
	事後学習	官僚制に意義についてまとめる。
11	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	官僚制論（2）
	事後学習	官僚制の特徴についてまとめる。
12	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	官僚制論（3）
	事後学習	官僚制の課題についてまとめる。
13	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	行政管理論（1）
	事後学習	行政管理の歴史をまとめたうえで、テキストの練習問題をやる。
14	事前学習	該当のページを読んでくること。
	授業内容	行政管理論（2）
	事後学習	行政管理の歴史をまとめたうえで、テキストの練習問題をやる。

15	事前学習	該当のページを読んできること。
	授業内容	試験とまとめ 履修人数によっては講義内試験が困難な場合がある。
	事後学習	全体を俯瞰すること。

科目名	行政学 I	担当者	山田 光矢	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	人類の歴史を背景に、国家や地方公共団体の存在意義や役割が激変し、それに対応する形で行財政改革が実践されてきていることから、そうした変革を導いてきた時代や社会的な背景と、改革を促進してきた理論や政策の変遷を合わせる形で、神聖ローマ帝国（ドイツ）、アメリカ、日本の行政国家化の進展に応じ国家の役割の変革と、組織や制度改革の歴史を背景に、今後の行財政改革の望まれる方向性について説明していく。					
授業目的・到達目標	行財政改革、すなわち時代に応じた行政活動を行うための組織改革や政策変更や権限と財源の再配分などがなぜ必要なのかと、そうした改革のあるべき姿や方向性などについて、人類の歴史とその中で展開されてきた人間と国家や政治や行政や経済を中心した社会全体とのかかわりについて分析し、各時代のそれぞれの実態やそこで展開された理論や改革の結果などを手がかりに、行政そのもののあり方や改革の方向性などについて学生自身の考えを確立させる。					
履修条件	講義では、教科書の内容だけではなく、実際の行政も扱うので、一般紙を毎朝読んでおくことができ、かつ、教室において常識として求められている基本的なマナーやエチケットを守ることができること。					
授業方法	原則として講義形式で行う。対話のある講義にするため、質問への積極的な返答を要求するとともに、積極的な質問を歓迎します。なお、時事問題や行政上の常識や講義内容の理解などに関する小テストも時折実施します。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	大きな問題1題と、項目の説明を問う小テスト4問を出題する。大問題を60%、小テストを40%で評価する。内容により加点する場合もある。		
	平常評価		40%	前期レポート（2,000字以上・A4版：前期提出）と授業への参加度と小テストを総合して評価する。自主レポート（2,000字以上・A4版：試験前まで提出）は加点要素とする。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		政治学（第二版）		吉野篤編 山田光矢他 著
	2005	日本大学法学会		「行政改革の理論と実態」『政経研究』第四一卷第四号		山田光矢
	備考	その他必要に応じて資料を配布する				
参考書	『行政学入門』 村松岐夫著 有斐閣 講義の中で必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	水曜日5限に研究室（9号館5階9505）で行います。 ※会議等のために毎週確実に対応できないことも考えられるので、相談を希望する場合には事前にメールで連絡し、私からの 相談可能な連絡を受けてからきてください。（yamada.mitsuya@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国家、政治、行政などどのようなものなのか、法律学と政治学の違いはどのようなものなのかを考えてくる
	授業内容	ガイダンス授業：国家・政治・行政と行政学の特質 法律学と行政（三権分立論） 行政学と行政（五権分立論）
	事後学習	法律学と政治学の行政に関する考え方の違いを理解する
2	事前学習	教科書第1章の1を読んでくる
	授業内容	人類の歴史と文化や文明 地球の誕生や人類の歴と国家・政治・行政等の役割の変化 文明の発達と人類の生活の激変
	事後学習	人間にとっての文化と文明の働きや影響を理解する

3	事前学習	教科書第1章の2を読んてくる
	授業内容	人類の歴史と政治・行政：take offの原理： 時代区分と国家・政治・行政・経済社会の変質 時代の変遷と行政需要の変化：国家と行政の変質
	事後学習	時代の変化と国家・政治・行政の役割（警察国家・立法国家・行政国家）の変質を理解する
4	事前学習	「行政学の理論と実態」の一（P123-127）を読んてくる
	授業内容	国家の形態と政治および行政 単一国家と連邦国家、議院内閣制と大統領制 英米法系の国家と大陸法系の国家
	事後学習	イギリス、アメリカ、フランス、ドイツの国家と政治・行政の特徴を整理する
5	事前学習	「行政学の理論と実態」の二の（P130-133）を読んてくる
	授業内容	絶対主義王政下の政治と行政 イギリス絶対主義とチューダー朝・スチュアート朝およびエリザベス救貧法 フランス絶対主義とブルボン王朝
	事後学習	国民国家（統一国家）におけるイギリスとフランスの政治・行政の特徴を理解する
6	事前学習	教科書第1章の3-4と「行政学の理論と実態」の二の（P133-136）を読んてくる 「行政学の理論と実態」の三を要約したレポートを提出する
	授業内容	行政学の前史：神聖ローマ帝国（ドイツ） 三十年戦争とウェストファリア体制 官房学（前期官房学）と警察学（後期官房学）
	事後学習	三十年清掃とその後のドイツ復興理論としての官房学・警察学を理解する
7	事前学習	「行政学の理論と実態」の三の（P136-139）を読んてくる
	授業内容	シュタイン行政学の誕生：神聖ローマ帝国崩壊後のドイツの政治と行政 ナポレオン戦争と神聖ローマ帝国の崩壊 ドイツ帝国とシュタイン行政学
	事後学習	シュタイン行政学の特徴を理解する
8	事前学習	教科書第3章の7A・第6章の4-6を読み合わせてアメリカ合衆国の歴史の概略を調べてくる。
	授業内容	アメリカ行政学誕生の背景：アメリカの建国とジャクソニアンデモクラシー アメリカ植民の開始・アメリカ独立革命・1830年の革命 官職交代制、猟官制、ペンドルトン法、連邦人事委員会、資格任用制
	事後学習	アメリカ行政学誕生までの歴史を理解する
9	事前学習	教科書第1章の3の表と「行政学の理論と実態」の三の（P139-141）を読んてくる
	授業内容	アメリカ行政学の誕生：W. ウィルソンとアメリカ行政学 政治行政分断（二分）論、経営学の影響 take administration out of politics
	事後学習	初期のアメリカ行政学の特徴を確認する
10	事前学習	「行政学の理論と実態」の三の（P141-144）を読んてくる
	授業内容	アメリカ行政学の展開：官僚制擁護論と行政学 M. ウェーバー、フェイヨール、テーラー ギューリックとPOSDCoRB
	事後学習	初期アメリカ行政学と官僚制および科学的管理論の関係を理解する
11	事前学習	「行政学の理論と実態」の四の（P144-145）を読み、ホーソン実験の内容を調べてくる
	授業内容	アメリカ行政学の変質：行政管理論と人間関係論 刺激的管理論、強圧的管理論、科学的管理論 ホーソン実験、機能的管理論と人間関係論、集団の類型
	事後学習	ホーソン実験がアメリカ行政学の変質に与えた役割を理解する
12	事前学習	「行政学の理論と実態」の四の（P145-146）を読み、世界大恐慌とケインズ経済学の関係を調べてくる
	授業内容	世界大恐慌とニューディール政策および行政需要の拡大 アダム・スミス（資本主義）とケインズ（修正資本主義） 自由放任・自己責任から経済計画への転換と国家の役割の変質 小さな政府から大きな政府への転換
	事後学習	世界大恐慌後の国家の役割の変化（小さな政府論と大きな政府論）とその内容を理解する
13	事前学習	「行政学の理論と実態」の四の（P146-148）を読んてくる
	授業内容	戦後復興・高度経済成長・福祉国家化の進展 行政機構の肥大化 高度経済成長と福祉政策の拡充
	事後学習	小さな政府と市場の失敗、大きな政府と政府の失敗の関係を理解する

14	事前学習	行財政改革の望ましい方向性について考えてくる
	授業内容	時代の変遷と国家および行政の役割の変質 時代の変遷と国家および行政の役割の変化 行政学の変化からみる行政の役割の変質
	事後学習	近世から現代にいたるまでの国家と行政の役割を理解する
15	事前学習	これまでの講義の内容を確認してくる
	授業内容	講義の整理：概要の整理や質疑応答 学生の理解度の判断 小テストやレポート提出(必要に応じて)
	事後学習	試験に向けて講義内容を再確認する

科目名	行政学Ⅱ	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	行政学は、行政を対象とする社会科学である。ここで言う行政は、広義において社会集団、すなわち政府(中央ならびに地方)・企業・教会・国際機関などを指すが、その社会集団の目的を実現する手段としての行動または過程のことである。従って、現代の社会において行政の占める比重はきわめて高く、人々の生活環境と密接な関係をもっているだけではなく、経済・文化・教育・福祉などの分野における人間の活動や組織にも強い影響力をもっている。そこでこの授業では、特に政府(中央ならびに地方)の行政が国民の為に存在すること、また国民の為に行われなければならないことを学ぶ。				
授業目的・到達目標	現在、日本における行政は、国・地方の関係を含め、行政の仕組みや運用のあり方が問われ、大規模で重要な改革が行われている。そこで、本講義では、行政組織に着目し動向を捉え、その歴史・仕組み・機能・課題を理解してもらう。そして、国民と行政が密着していることを学び、行政への関心をもってもらい、実際は行政だけにまかせるのえではなく、自分たち自身も主人公であるという認識を醸成する。行政に関心を持ち、行政に関するニュースなどを理解し、市民としての自覚を持つようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義ノート・教科書・資料に沿って講義を行うので、受講にあたっては必ずノートを持参し、自書すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	講義内容の理解を学年末試験で判定し、授業進行によって授業内レポートを行い、平常点として加味して総合評価する。	
	平常評価		40%	授業への参加度及び授業態度（10%） 授業中に指摘したポイントが身に付いているかを課題レポートで判定。（30%）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年	弘文堂	Next 教科書シリーズ 行政学第2版		外山公美編
	備考				
参考書	西尾勝『行政学』有斐閣				
オフィスアワー	水曜日、3時限目（13：30～14：30） 尚、来訪時間の調整のため、必ず事前にメールでアポイントを取るようにしてください。 iwai.yoshikazu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	官僚制組織の作動様式
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
2	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	官僚制組織と職員の行動様式
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。

3	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	政策形成と立案
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
4	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	環境変化と政策立案①
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
5	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	環境変化と政策立案②
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
6	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	政策の実施：許認可・行政指導
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
7	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	政策評価
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
8	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	日本の中央省庁における意思決定方式
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
9	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	日本の中央省庁における意思決定方式
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
10	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	予算と会計
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
11	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	議院内閣制と省庁制
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
12	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	戦後日本の中央地方関係①
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
13	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	戦後日本の中央地方関係②
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。
14	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	行政統制と行政責任
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。

15	事前学習	指定した教科書の部分を必ず読んでくること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義で指示されマーカーを引いた教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、理解を深めること。

科目名	行政学Ⅱ	担当者	代田 剛彦	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	行政の活動を担う組織とされる行政官僚制をその典型とする官僚制の概念とその理論を踏まえて日本の官僚制の特色、政と官の関係のあり方、日本及び欧米の公務員制度、主として日本の行政改革の諸手法について学ぶ。				
授業目的・到達目標	現代の行政をめぐる諸問題を的確に認識するために、官僚制の概念やその理論、日本の官僚制の特色を踏まえて行政改革の諸手法について学ぶことで、行政の諸問題解決の処方箋を自分なりにイメージできるようにしたい。				
履修条件	特になし。				
授業方法	板書を中心に講義形式で行う。必要に応じて資料を配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	設問の趣旨を理解し、専門用語を正しく使用しているか。論理的な文章構成になっているかなどを基準に評価する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	教科書なし			
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	講義終了後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	後期のシラバスを読んでおく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	好機で学ぶ内容を吟味して学習計画をたてる。
2	事前学習	M. ウェーバーの官僚制論について調べる。
	授業内容	官僚制の概念、官僚制の理論
	事後学習	ウェーバーの官僚制論、マートンの官僚制の逆機能について復習する。

3	事前学習	日本の官僚制についてどのような印象があるか考える。
	授業内容	日本の官僚制の特色
	事後学習	主として村松岐夫の提示する特色について復讐する。
4	事前学習	稟議制について調べる。
	授業内容	日本の中央省庁の意思決定方式
	事後学習	日本の官僚制に特有の稟議制、合議（あいぎ）について復習する。
5	事前学習	1990年代初め頃から取り組まれた地方分権改革について調べる。
	授業内容	日本の中央地方関係
	事後学習	中央地方関係の捉え方として岩崎美紀子の4つのモデルについて復習する。
6	事前学習	日本における政治家と官僚の関係はどのようなものか考えてみる。
	授業内容	政官関係
	事後学習	政官関係に関するJ.D. アバーバックらの4つのモデル、大森 弥が提案する改革について復習する。
7	事前学習	とくに国家公務員試験について調べる。
	授業内容	日本の公務員制度
	事後学習	日本の国家公務員試験の歴史と現状、採用・昇進・再就職、キャリア・ノンキャリアについて復習する。
8	事前学習	イギリス、アメリカ、ドイツ、フランスの公務員試験についてどれか1つ選んで調べる。
	授業内容	欧米の公務員制度
	事後学習	アメリカのメリット・システム、フランスのENAの試験について復習する。
9	事前学習	行政改革が必要だと思われることについて考えてみる。
	授業内容	行政改革の意義と必要性
	事後学習	行政改革の必要性について最近の話題からしっかり認識する。
10	事前学習	第二臨調について調べる。
	授業内容	行政改革の歴史
	事後学習	主として戦後日本の行政改革の概要を整理する。
11	事前学習	橋本龍太郎内閣の行政改革について調べる。
	授業内容	中央省庁再編
	事後学習	2001年スタートの新たな省庁再編の経緯とその課題について復習する。
12	事前学習	小さな政府論について調べる。
	授業内容	民営化 外部委託 NPM 行政評価
	事後学習	行政のスリム化・効率化などを主たる目的とする行政改革の諸手法について復習する。
13	事前学習	行政機関や公務員が所有する行政情報を公開する意義について最近の話題から考えてみる。
	授業内容	情報公開制度、オンブズマン制度
	事後学習	情報公開制度の意義とその運用、行政情報の管理、行政に対する不平不満・苦情処理を任務とするオンブズマン制度について復習する。
14	事前学習	行政機関や公務員に責任を果たさせるにはどうしたら良いか考えてみる。
	授業内容	行政責任と行政統制
	事後学習	行政責任を確保する方法としての行政統制に関するギルバートと類型について復習する。行政責任を確保する方法をめぐるフリードリッヒ/ファイナーの論争についても復習する。

15	事前学習	後期の講義ノートに目を通しておく。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期の講義ノートを整理し重要事項をチェックする。

科目名	行政学Ⅱ	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この講義は、「行政学の基礎理論」を理解することを主目的としている。講義では、「公務員のための学問」の性格を有する「行政学」の理論、歴史、特質などを学び、「現代行政を見る眼」を養うことも目的とする。				
授業目的・到達目標	現代行政のあり方や課題を理解する能力と共に国家・地方公務員試験の行政学択一を解けるぐらいの理解力をもつこと。				
履修条件	行政学Ⅰと継続履修が望ましい。				
授業方法	テキストや参考書を使用して行政学の基礎理論を講義していく。講義中に小テストの実施か、レポートを提出してもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	論述試験を実施し、評価する。（90％、但し、履修人数によっては講義内試験が困難な場合がある。）講義中に実施する小テストなどで評価する。（10％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	弘文堂		行政学	外山公美編
	備考				
参考書	西尾勝『行政学』（有斐閣）				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期までの講義を復習して講義に臨む。
	授業内容	ガイダンス 講義の概要や評価方法について説明する。
	事後学習	後期のテーマの概要を復讐する。
2	事前学習	古典的行政組織論について調べてくる。
	授業内容	行政組織論（1）
	事後学習	古典的行政組織論の学説を整理する。

3	事前学習	現代行政組織論について調べてくる。
	授業内容	行政組織論（2）
	事後学習	現代行政組織論の学説を整理する。
4	事前学習	テキストの該当ページを読んで切る。
	授業内容	稟議制
	事後学習	稟議制の形態についてまとめる。
5	事前学習	行政責任の類型を調べる。
	授業内容	行政統制論と行政責任論（1）
	事後学習	現代社会における行政責任の重要性について考える。
6	事前学習	ギルバートのマトリックスについてまとめる。
	授業内容	行政統制論と行政責任論（2）
	事後学習	日本の行政統制手段について整理する。
7	事前学習	地方自治の本旨について考える。
	授業内容	地方自治論（1）
	事後学習	中央地方関係の類型について考える。
8	事前学習	海外の中央地方関係について考える。
	授業内容	地方自治論（2）
	事後学習	各国の地方自治のあり方を比較してみる。
9	事前学習	テキストの該当ページを読む。
	授業内容	行政理論の新動向（1）
	事後学習	NPMとはなにか考える。
10	事前学習	テキストの該当ページを読む。
	授業内容	行政理論の新動向（2）
	事後学習	行政の新傾向についてまとめる。
11	事前学習	行政改革の必要性について勉強してくる。
	授業内容	行政改革（1）
	事後学習	行政改革の歴史についてまとめる。
12	事前学習	日本の行政改革についてまとめる
	授業内容	行政改革（2）
	事後学習	日本の行政改革の成果を確認する。
13	事前学習	閉鎖型と開放型の人事システムについて調べてくる。
	授業内容	公務員制度（1）
	事後学習	閉鎖型と開放型の人事システムの特徴をまとめる。
14	事前学習	キャリア・ノンキャリア制度についてまとめる。
	授業内容	公務員制度（2）
	事後学習	各国の公務員制度についてまとめる。

15	事前学習	いままでの学習成果をまとめておくこと。
	授業内容	試験とまとめ 履修人数によっては学期末試験期間中に行う。履修者数が決定した後に、講義中にアナウンスする。
	事後学習	どこができなかったのか復習すること。

科目名	行政学Ⅱ	担当者	山田 光矢	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	行財政改革の歴史と流れから、現在の日本の行財政サービスの目的と内容、並びに行財政改革のあり方を、最初は「行政改革の理論と実際」を手がかりに解説し、その後に各種資料を用いて日本を中心にした行財政改革の実態を解説することで理解してもらい、日本の行政の特徴や問題点を財政問題も含めて分析し、日本の行財政改革の目的や望ましい方向性を説明していく。					
授業目的・到達目標	国家の変遷と行政需要の変遷が、各国の行政組織や制度あるいは行政サービスの内容にどのような変革を求めてきたのかを、歴史や理論や実態から分析し、それに合わせて日本の行財政の特徴や問題点を、各国の行財政制度との比較から理解してもらい、日本の行財政改革の流れを最初に理化してもらう。その後は資料等で日本に行財政の実態と行うべき行財政改革の課題やあり方について分析し、受講生各自の日本の行財政改革の必要性や方向性に関する考えを確立してもらう。					
履修条件	講義では、教科書の内容だけではなく実際の行政も扱うので、一般紙を毎朝読んでくること。また教室において常識として求められている基本的なマナーやエチケットを守ること。					
授業方法	原則として講義形式で行う。対話のある講義にするため、質問への積極的な返答を要求するとともに、積極的な質問を歓迎します。なお、時事問題や行政上の常識や講義内容の理解などに関する小テストも時折実施します。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	大きな問題1題と、項目の説明を問う小テスト4問を出題する。大問題を60%、小テストを40%で評価する。内容により加点する場合もある。		
	平常評価		40%	前期レポート（2,000字以上・A4版：前期提出）と授業への参加度と小テストを総合して評価する。自主レポート（2,000字以上・A4版：試験前まで提出）は加点要素とする。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		『政治学』（第二版）		吉野篤編 山田光矢他 著
	2005	日本大学法学会		「行政改革の理論と実態」『政経研究』（第四一卷第4号）		山田光矢
	備考	「行政改革の理論と実態」はコピーを配布する				
参考書	『行政学入門』 村松岐夫著 有斐閣 その他は講義の中で必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	水曜日5限に研究室（9号館5階9505）で行います。 ※会議等のために毎週確実に対応できないことも考えられるので、相談を希望する場合には事前にメールで連絡し、私からの 相談可能な連絡を受けてからきてください。（yamada.mitsuya@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今年の夏休み終了までに話題となった日本の行財政改革について考えてくる
	授業内容	ガイダンス授業：前期内容の確認 近現代の国家と行政 日本の現在の行財政改革の目的と方向性
	事後学習	夏休み終了までに話題となった日本の行財政問題を整理する
2	事前学習	教科書第1章と「行政改革の理論と実践」のP123-148までを読んでくる
	授業内容	前期講義の概略 近世から現在までの国家と行政 行財政改革の歴史・理論・実体
	事後学習	高度経済成長期までの行政理論と行財政改革の流れを理解する

3	事前学習	教科書第14章の1を読んでくる
	授業内容	明治維新と官制 三職制・太政官職制・政体書・職員令 太政官官制・内閣官制
	事後学習	明治維新と日本の行政機構の整備の歴史と内容を理解する
4	事前学習	教科書第14章の2を読んでくる
	授業内容	統一国家の確立と行政機構 明治維新と行政機構の整備 廃藩置県・明治六年の行政機構改革
	事後学習	明治維新以降の日本の近代国家建設職の実態を理解する
5	事前学習	教科書第14章の3読んでくる
	授業内容	近代的統一国家と行政機構 近代国家化と地方制度改革 内閣制度の創設・大日本帝国憲法と内閣制度整備
	事後学習	戦前の内閣制度の特質と問題点を理解する
6	事前学習	教科書第14章の4を読んでくる
	授業内容	公務員（官吏・吏員）制度の変遷 公務員制度改革の歴史 戦前の公務員制度・戦後の公務員制度
	事後学習	日本の公務員制度の特質や問題点を理解する
7	事前学習	教科書第14章の5を読んでくる
	授業内容	国家の変質と行政組織 大日本帝国憲法下の国家行政組織と日本国憲法下の国家行政組織 中央省庁の再編と行政組織
	事後学習	日本の行政組織改革の目的と方向性を理解する
8	事前学習	内閣法、内閣府設置法、国家行政組織法に目を通してくる
	授業内容	日本の行政システム スタッフとライン：1府12省庁制と内閣官房 国家行政組織法：省・委員会・庁・審議会
	事後学習	日本の国家行政組織の実態を理解する
9	事前学習	教科書第14章の6を読んでくる
	授業内容	行（財）政改革の歴史と手法 佐藤内閣と中曽根内閣の行（財）政改革 小泉内閣と行（財）制政改革
	事後学習	高度経済成長期以降の日本の行（財）政改革の歴史と内容等を理解する
10	事前学習	教科書第14章の7を読んでくる
	授業内容	行政機構改革と内閣府 橋本行革とその後 小泉改革と経済財政諮問会議、安倍内閣とアベノミクス
	事後学習	安倍内閣の行（財）政改革の適否について自分の考えを確立する
11	事前学習	「行政改革の理論と実態」の四（P148-151）を読んでくる
	授業内容	新自由主義・新保守主義と小さな政府論とNew Public Management(NPM) サッチャー改革と中曽根改革 EUと日本の行（財）政改革
	事後学習	行政機構の肥大化と財政赤字の増大に対する改革の特色を理解する
12	事前学習	「行政改革の理論と実態」の四（P151）を読み予算制度について考えてくる
	授業内容	行（財）政改革と予算制度改革 P P B S、M B O、Z B B スクラップ・アンド・ビルト方式・サンセット方式
	事後学習	アメリカ行（財）政改革の制度と特徴を理解する
13	事前学習	「行政改革の理論と実態」の四（P151-158）を読んでくる
	授業内容	N P Mとガバナンス ガバメントとガバナンス 国家経営・自治体経営
	事後学習	N P Mとガバナンスを通じた行（財）政改革のあるべき方向性を理解する

14	事前学習	「行政改革の理論と実態」と配布資料を整理したレポートを作成してくる
	授業内容	ポストモダンにおける行（財）政改革 PPP、独立行政法人（エージェンシー）、第三セクター NGO、NPO、新しい公共
	事後学習	日本の行（財）政改革のあるべき方向性について自分の考えを整理する
15	事前学習	これまでの講義の内容について整理してくる
	授業内容	講義の整理：概要の整理や質疑応答 学生の理解度の判断 小テストやレポート提出(必要に応じて)
	事後学習	試験に向けて講義内容を再確認する

科目名	行政管理研究	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	行政組織の業務を目的活動と区別し、目的活動を効率的に達成できるようにするための組織と維持発展をはかるためには何が必要かを検討する。具体的にはトップ・マネジメント、ミドル・マネジメント、ローアー・マネジメントを、行政活動との関連で講義し、行政管理のあり方を考える。				
授業目的・到達目標	現代国家において、行政は社会・国民に対して大きな影響力を複雑多岐にわたり及ぼしている。そして、行政が国民の期待にさらに応え、社会により貢献していくためには、行政を科学的・能率的に管理（Managing）することが必要とされる。すなわち、行政が効率的に機能を果たすためには、行政活動の改善・合理化を進め、行政機能をより一層有効に果たすことが要請されているのである。そこで本講義では、行政管理の基礎理論を解説しつつ、行政管理の問題点・展望を検討していく。さらに行政の目的のひとつである能率に検討を加えることで、能率よりも高い価値とされる「公益」とのバランスを学生には考えられるようになってもらうことを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義ノート・教科書・資料に沿って講義するので、受講に当たっては必ずノートを持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	講義内容の理解を学年末試験で判定し、授業進行によって授業内レポートを行い、平常点として加味して総合評価する。	
	平常評価		40%	出授業への参加度及び授業態度（10％） 授業中に指摘したポイントが身に付いているかを課題レポートで判定。（30％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	講義時に随時、紹介する。				
オフィスアワー	水曜日、3時限目（13：30～14：30） 尚、来訪時間の調整のため、必ず事前にメールでアポイントを取るようになしてください。 iwai.yoshikazu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政管理論について理解しておく。
	授業内容	行政組織と行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
2	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政組織論について理解しておくこと。
	授業内容	行政組織と行政管理②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
3	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政の意思決定過程について理解しておくこと。
	授業内容	行政の意思決定と行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
4	事前学習	自分が住んでいる自治体のホームページを見て、基本構想を見ておくこと。
	授業内容	行政の意思決定と行政管理②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。

5	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、政策とは何かについて理解しておくこと。
	授業内容	政策実施と行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
6	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、政策実施とは何かについて理解しておくこと。
	授業内容	政策実施と行政管理②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
7	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政責任とは何かについて理解しておくこと。
	授業内容	行政責任と行政管理
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
8	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政改革の歴史について理解しておくこと。
	授業内容	行政改革と行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
9	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政改革が行われた理由について理解しておくこと。
	授業内容	行政改革と行政管理②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
10	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政評価について理解しておくこと。
	授業内容	行政評価と行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
11	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政評価と政策評価について理解しておくこと。
	授業内容	行政評価と行政管理②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
12	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、行政における情報とは何かについて理解しておくこと。
	授業内容	行政情報と行政管理
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
13	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、NPMについて理解しておくこと。
	授業内容	NPMと行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
14	事前学習	一般的な行政学の教科書を参照し、NPMと行政の能率について理解しておくこと。
	授業内容	NPMと行政管理①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
15	事前学習	行政管理全体の流れを自分のノートを見て理解しておくこと。
	授業内容	まとめ・質問受付
	事後学習	自分のノートを見て、講義全体の流れをつかみ理解を深めること。

科目名	行政管理論	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要					
授業目的・到達目標					
履修条件					
授業方法					
成績評価	種別	割合	評価方法		
	定期試験				
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考				
参考書					
オフィスアワー					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
2	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

3	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
4	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
5	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
6	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
7	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
8	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
9	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
10	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
11	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
12	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
13	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
14	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

15	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

科目名	行政広報研究	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	公共政策を実行していく課題として、自治体経営力を強化し、住民本位の政策を展開していくことが求められる。そのためには、社会とのコミュニケーション手段である「広聴広報」を戦略的に展開する、いわば「戦略的広報」の視点を持つことが必要になってくる。この「戦略的広報」を実施していくにあたって、広聴広報行政の課題である「役割分担の明確化と連携の強化」、「PDCAサイクルのCAの強化」、及び「情報の共有化」の推進を一連の仕組みに取り入れていく必要がある。そこで本講義では、戦略的広報に必要となる情報創造・経営意思の明確化・組織内外の情報収集などの課題を検討する。			
授業目的・到達目標	現在、情報化・高齢化・国際化などによる行政環境の変容は、次第に行政の遂行を困難な状況にしつつある。さらに、地方分権が進む中、行政機関が地域住民の理解と協力なくしては解決できない多くの新しい問題が生まれ、より一層、行政機関と地域住民とを結ぶパイプ・ラインが必要不可欠となってきている。そこで本講義では、こうした状況を行政と住民の善意友好関係を築く行政広報・広聴（Public Relations）を出発点として、広報活動を多角的に考察する。そして、市民との関係を調整する、Public Relationsの優れた機能を検討することで、行政組織におけるマネジメントとしての行政広報を理解できるようになることを目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義ノート・教科書・資料に沿って講義するので、受講に当たっては必ずノートを持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	60%	講義内容の理解を学年末試験で判定し、授業進行によって授業内レポートを行い、平常点として加味して総合評価する。	
	平常評価	40%	授業への参加度及び授業態度（10％） 授業中に指摘したポイントが身に付いているかを課題レポートで判定。（30％）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	講義時に随時、紹介する。			
オフィスアワー	水曜日、3時限目（13：30～14：30） 尚、来訪時間の調整のため、必ず事前にメールでアポイントを取るようにしてください。 iwai.yoshikazu@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	広報という言葉に対する印象を一人一人考えておくこと。
	授業内容	ガイダンス（講義計画、成績評価等の説明）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
2	事前学習	日本における広報の一般理解について調べておくこと。
	授業内容	広報・広聴の理論
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
3	事前学習	自分が住んでいる自治体などの広報紙を読んでおくこと。
	授業内容	行政組織における広報・広聴の役割①（組織内）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
4	事前学習	自分が住んでいる自治体のホームページを見ておくこと。
	授業内容	行政組織における広報・広聴の役割②（組織外）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。

5	事前学習	自分が住んでいる自治体のホームページを見て、広報課などの仕事を理解しておくこと。
	授業内容	広報・広聴制度の検討
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
6	事前学習	自分が住んでいる自治体のホームページを見て、基本構想を見ておくこと。
	授業内容	広報・広聴戦略立案
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
7	事前学習	自分が住んでいる自治体のホームページを見て、地域の活性化方策を見ておくこと。
	授業内容	広報・広聴と地域活性化
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
8	事前学習	自分が住んでいる自治体のホームページを見て、地域の財政を見ておくこと。
	授業内容	地域経営と広報・広聴戦略
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
9	事前学習	どこか民間企業のホームページなどみて、その活動を知っておくこと。
	授業内容	広報・広聴マネジメント
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
10	事前学習	合意形成の必要性について、官民の活動を見ておくこと。
	授業内容	住民との合意形成
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
11	事前学習	迷惑施設とは何かについて、理解しておくこと。
	授業内容	迷惑施設と合意形成①（事例研究）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
12	事前学習	民間企業における地域開発事例、地元の企業誘致活動などを調べておくように。
	授業内容	迷惑施設と合意形成②（事例研究）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
13	事前学習	身近にある迷惑施設と、自らの関係を調べ、自分で問題意識を持っておくように。
	授業内容	迷惑施設と合意形成③（事例研究）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
14	事前学習	双方向コミュニケーションについて調べておくように。
	授業内容	広聴と広報の連動
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
15	事前学習	行政広報全体の流れを自分のノートを見て理解しておくこと。
	授業内容	前期まとめ・質問受付
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。

科目名	行政広報論	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要					
授業目的・ 到達目標					
履修条件					
授業方法					
成績評価	種別	割合	評価方法		
	定期試験				
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考				
参考書					
オフィス アワー					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
2	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

3	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
4	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
5	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
6	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
7	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
8	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
9	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
10	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
11	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
12	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
13	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	
14	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

15	事前学習	
	授業内容	
	事後学習	

科目名	行政実務演習	担当者	福島 康仁 木川 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	---------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	行政機関や非営利法人などにおいて2週間以上のインターンシップを行うことを前提とする。インターンシップによって今後の公務員等の公職への就職を希望するもののキャリア形成に資することを目的とする。					
授業目的・到達目標	インターンシップにより行政の理論と実際を体験することで、より理論的考察を深化させ、多角的思考ができる。					
履修条件	①4月7日のガイダンスに出席すること。出席しないと履修ができません。②学内で行われるインターンシップ・マナー講座を受講すること。③公職につく意思があること。その他の事項について詳細はガイダンス期間中に説明する。					
授業方法	この科目は①事前調査、②インターンシップ、③事後報告、④事後レポートの作成をする。なお、インターンシップ先は、行政機関が行う公募によって決定する方法と本学部が提携する機関で行う方法（学内での選抜）を予定している。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		事前学習20%、事後レポート提出20%、インターンシップ60%	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	各人にそれぞれアドバイスする。インターンシップ先について、インターネットなどをフル活用してください。					
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	インターンシップガイダンスに参加していること。
	授業内容	本講座受講に関する諸注意 インターンシップとは行政機関の公募試験の概要、学内選抜試験の概要
	事後学習	履修条件と自分の将来との関係を考える
2	事前学習	インターンシップの行先を考えてくる
	授業内容	インターンシップ先についての留意点、相談、決定①
	事後学習	希望先について調べる
3	事前学習	インターンシップの行先を考えてくる
	授業内容	インターンシップ先についての留意点、相談、決定②
	事後学習	希望先について調べる
4	事前学習	志願書を自分で書いてみる
	授業内容	志願書の書き方など留意点、相談
	事後学習	指摘事項を修正する

5	事前学習	レポートの書き方を調べてくる。
	授業内容	事前レポート①
	事後学習	アドバイスをもとにレポートを書いてみる
6	事前学習	レポートを書いてみる
	授業内容	事前レポート②
	事後学習	アドバイスをもとにレポートを修正する
7	事前学習	レポートを書いてみる
	授業内容	事前レポート③
	事後学習	アドバイスをもとにレポートを書いてみる
8	事前学習	レポートを書いてみる
	授業内容	事前レポート④
	事後学習	アドバイスをもとにレポートを書いてみる
9	事前学習	レポートを書いてみる
	授業内容	事前レポート⑤
	事後学習	アドバイスをもとにレポートを書いてみる
10	事前学習	レポートを書いてみる
	授業内容	事前レポート⑥
	事後学習	アドバイスをもとにレポートを修正する
11	事前学習	先方のことをよく調べて、課題を整理して臨む
	授業内容	インターンシップ
	事後学習	反省し課題を抽出し、改善点を考える
12	事前学習	先方のことをよく調べて、課題を整理して臨む
	授業内容	インターンシップ
	事後学習	反省し課題を抽出し、改善点を考える
13	事前学習	先方のことをよく調べて、課題を整理して臨む
	授業内容	インターンシップ
	事後学習	反省し課題を抽出し、改善点を考える
14	事前学習	メモをまとめてレポートを作成する
	授業内容	事後レポートの書き方
	事後学習	アドバイスをもとに修正する
15	事前学習	レポートの総仕上げをする
	授業内容	事後レポートの書き方
	事後学習	提出後の反省を整理する

科目名	行政組織研究	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	①我が国中央行政組織の歴史的展開の探求、②内閣・府省組織の基本的構造の体系的把握、③府省以外の担い手としての独立行政法人の制度の理解、を内容とする。				
授業目的・到達目標	我が国中央行政組織は、なぜ今日見る形となっているのか。歴史的経緯、理論面からの合理性、業務遂行上の要請、累次行政改革（省庁再編・独立行政法人化等）の経過等を通して多面的な理解が出来るようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		75%		
	平常評価		25%	事前学習の出来映え、講義中の質問・議論への参加状況等を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない。			
参考書	必要に応じて適宜紹介する。				
オフィスアワー	金曜日 3 限。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本史教科書等で大化改新～大宝律令成立時点の我が国を取り巻く国内・国際情勢を学習しておくこと。
	授業内容	律令時代の行政組織①（古代律令の概要・政治体制）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
2	事前学習	前回講義で提示された律令行政体制と現在の我が国中央行政機構の異同等について説明できるようにしておくこと。
	授業内容	律令時代の行政組織②（二官八省の組織構造）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
3	事前学習	日本史教科書等で江戸幕府の全国支配方式について概要を把握しておくこと。
	授業内容	江戸幕藩体制下の行政組織①（幕府官僚制・全国支配体制）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	幕府行政組織が老中支配組織と若年寄支配組織に大きく二分されていた理由等について考察し、説明できるようにしておくこと。
	授業内容	江戸幕藩体制下の行政組織②（幕府家政組織・文書行政）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	日本史教科書等で幕末から明治中期にかけての大きな政治的イベント（王政復古、廃藩置県、西南戦争、国会開設など）の概要を把握しておくこと。
	授業内容	明治時代の行政組織①（太政官時代）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	前回講義で学習した明治期太政官制度の問題点等につき復習し、咀嚼しておくこと。
	授業内容	明治時代の行政組織②（内閣制度以降）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	日本史教科書等でGHQによる占領政策の概要を把握しておくこと。
	授業内容	戦後占領期の行政組織改革
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	可能な範囲で行政法テキスト等により国家行政組織法及び総定員法の概要を学習しておくこと。
	授業内容	行政組織法制と機構定員管理
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	内閣法の規定する内閣組織の基本構造等について学習しておくこと。 可能な範囲で内閣官房等の公式ウェブサイトを閲覧しておくこと。
	授業内容	内閣の組織体制①（内閣官房等）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	内閣府各部局、宮内庁、国家公安委員会、金融庁、消費者庁等はなぜ一般の省庁でなく、内閣府に置かれているのか、考察し、あなたの考えをまとめておくこと。内閣府の公式ウェブサイトを閲覧しておくこと。
	授業内容	内閣の組織体制②（内閣府及びその外局、人事院、会計検査院等）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	可能な範囲で「行政機構図」サイト等を閲覧しておくことが望ましい。 国家行政組織法の内部部局等に係る諸規定に目を通しておくこと。
	授業内容	行政組織の基本構造①（本省内部部局）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	国家行政組織法の外局・附属機関等に係る諸規定に目を通しておくこと。
	授業内容	行政組織の基本構造②（外局・審議会・附属機関・地方支分部局）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	可能な範囲で各省の公式ウェブサイトを閲覧し、主要組織・業務等を把握しておくこと（次回も同じ）。
	授業内容	各省の組織①（総務省、法務省、外務省、財務省等）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	前回講義内容を踏まえて、各省の組織構造の違い（地方支分部局の有無など）はどこに由来するのか考察し、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	各省の組織②（厚生労働省、農林水産省、国土交通省、防衛省等）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
15	事前学習	独立行政法人によって担われている具体的な行政分野を調べ、そこからどのような類型化が可能かまとめておくこと。
	授業内容	独立行政法人制度
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	行政組織論	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	組織論の主要理論のうちから代表的なものを選択肢し、特に行政組織・非営利組織を特徴づける基本要素は何か、その行動原理はどのようなものかを体系的に講義する。				
授業目的・到達目標	現実の行政運営を担当する個々の公務員、彼らが所属する本省局課、出先機関あるいは政府関係の法人はどのような原理の下に構成され、運営されているかを体得し、効率的・効果的な行政の在り方についての理解を深めることを目的とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		75%		
	平 常 評 価		25%	授業への参加度、事前学習の出来映え、授業中の質問・発言等を評価対象とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない。			
参 考 書	外山公美・村松岐夫・西尾勝・真淵勝・曾我謙悟各氏の教科書は随時参照。他に東田親司「現代行政と行政改革」（芦書房）、田尾雅夫他「組織論」「非営利組織論」（有斐閣アルマ）など。				
オフィスアワー	金曜日 3 限。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	講義の概要等
	事後学習	講義で紹介された文献・資料等の収集
2	事前学習	あなたが考える「組織」とは何か？人はなぜ「組織」を作るのか？あなたの考えをまとめ、発表出来るようにしておくこと。
	授業内容	組織の基礎理論1
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。

3	事前学習	組織の「内」と「外」はどこで分割するのが最も適切なのか？一般的に最適な解答はあり得るか、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	組織の基礎理論 2
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	強い組織の条件とは何か？どのように組織を構築するのが最も適切か？あなたの属している組織（学校、サークル、ゼミ、バイト先、家族）の事例から、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	組織の基礎理論 3
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
5	事前学習	組織カルチャーの重要性とモチベーション論等について可能な範囲で経営管理論・経営学等のテキスト等により学習しておくこと。
	授業内容	組織の基礎理論 4
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	組織が生き残っていく条件とは何か、成長する組織の秘訣とは何か、民間企業等の事例をもとに考察しておくこと。
	授業内容	組織の基礎理論 5
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	公共的な組織と民間組織の違いはなにか、そのメルクマールはどこにあるか、行政学のテキスト等により事前に学習しておくこと。
	授業内容	非営利組織理論 1
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	いわゆるNPOと言われるものにどのような類型があるか、各種文献等で調べておくこと。
	授業内容	非営利組織論 2
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	経済学テキスト等により、いわゆる「市場の失敗」「政府の失敗」論について学習しておくこと
	授業内容	非営利組織論 3
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	今回以降は、具体的著作に即した講義となるので、前回までの講義内容を十分復習し、咀嚼しておくこと。
	授業内容	サイモンの組織理論 1
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	前回講義で学習した「限定的合理性」「誘因一貢献論」について、具体的事例に則して自分の言葉で説明できるよう準備しておくこと。
	授業内容	サイモンの組織論 2
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	第 7 ～ 8 回の授業内容を復習し、非営利機関の特徴とは何か、自分の言葉で説明出来るようにしておくこと。
	授業内容	ドラッカーの非営利組織論 1
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	非営利機関のマネジメントに係る特徴的な点について、具体的な事例に則して自分の言葉で説明出来るようにしておくこと。
	授業内容	ドラッカーの非営利組織論 2
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	世界史教科書等で「キューバ危機」の概要を把握しておくこと。 可能であれば米映画「13 デイズ」をDVD等で視聴しておくことが望ましい。
	授業内容	アリソンの組織決定論 1
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認し、次回講義時に疑問点を質問できるようにしておくこと。

15	事前学習	前回講義で提示した組織決定モデルのうち、あなたが見聞する組織等に最も適合性の高いものはどれか、具体的に説明できるようにしておくこと。
	授業内容	アリソンの組織決定論 2、総括
	事後学習	講義内で紹介する事例・文献を各自で確認しておくこと。

科目名	行政法 I	担当者	池村 正道	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業では、行政法の理論や制度についての基本的な知識や考え方を習得することを目的としている。重要な問題を取り上げて、簡潔に説明する。				
授業目的・到達目標	行政法の基本的構造とそれを支える基本的概念を理解しながら、身近で重要な法律の一つである「行政法」に興味・関心を持ってもらえるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	行政法の基本的な事項が十分に理解できているかどうかを判定する。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		行政法（第3版）	池村正道編
	備考				
参 考 書	講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	金曜日 4 時限※事前にアポイントを取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を事前にざっと目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書をざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政法とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

3	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政法の法源（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
5	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政法の法源（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	法律による行政の原理（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	法律による行政の原理（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政主体
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政機関
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政過程と法
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
14	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

15	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
16	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政上の強制手段
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
17	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政立法
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
18	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政計画
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
19	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政契約
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
20	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政指導（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
21	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政指導（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
22	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政手続（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
23	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政手続（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
24	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	情報公開
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
25	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	個人情報保護
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
26	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服申立て
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

27	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
28	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
29	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
30	事前学習	これまでの学んだことを復習してみること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの学んだことを再度復習し、さらに理解を深めること。

科目名	行政法Ⅰ	担当者	高橋 雅夫	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	4
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	いわゆる行政法総論について学ぶ。具体的には、行政活動を担う組織に関する行政組織法、行政活動において用いられる手段に関する行政作用法、そして行政活動が行われる際の手続に関する行政手続法について学ぶ。				
授業目的・到達目標	現代行政が高度化し、行政活動において採られる手法も多様化している。したがって、行政活動をコントロールする行政法学もそれに対応することが求められている。そこで、この授業では、行政活動における典型的な活動形式を把握し、それを法的にいかにコントロールすべきかを理解することを目的とする。 現実の行政活動で生起する様々な問題点について、授業で学んだ概念を手がかりに、解決の端緒を自ら発見できるようになることが目標である。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		95%	行政法学の基礎概念を理解しているかを判定する。	
	平常評価		5%	概ね定期試験の評価に基づき成績評価を行うが、任意の提出のレポートの評価も成績評価に加味する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		行政法[第3版]	池村正道 編
	備考				
参考書	『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ（第7版）』（有斐閣、2017年）				
オフィスアワー	月曜日12:10～13:00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（本館6階1609） takahashi.masao@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダから第1回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	年間講義計画・成績評価の方法・参考文献紹介などのガイダンス
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
2	事前学習	学生教員共有フォルダから第2回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	行政と法(Ⅰ) 具体的事例を取り上げ、行政活動と法の関係に対する理解を深める
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと

3	事前学習	学生教員共有フォルダから第3回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	行政と法(2) 具体的事例を取り上げ、行政活動と法の関係に対する理解を深める
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
4	事前学習	学生教員共有フォルダから第4回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第1章を読んでおくこと
	授業内容	行政とは何か 行政法学の対象である「行政」の意義を考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第1章関連問題を検討しておくこと
5	事前学習	学生教員共有フォルダから第5回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第2章を読んでおくこと
	授業内容	行政法の法源、行政法の意義・特質について 行政法とされる法の存在形式とその特質等を考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第2章関連問題を検討しておくこと
6	事前学習	学生教員共有フォルダから第6回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第3章1～4を読んでおくこと
	授業内容	行政組織について 行政活動の担い手である行政組織について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
7	事前学習	学生教員共有フォルダから第7回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第3章4・5を読んでおくこと
	授業内容	公務員・公物について 行政活動の人的資源である公務員と物的資源である公物について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第3章関連問題を検討しておくこと
8	事前学習	学生教員共有フォルダから第8回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第4章1を読んでおくこと
	授業内容	行政過程 行政法学が従来想定してきた行政過程のモデルを考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
9	事前学習	学生教員共有フォルダから第9回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第4章2を読んでおくこと
	授業内容	法律による行政の原理について (1) 行政活動をコントロールする原理である「法律による行政の原理」を考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
10	事前学習	学生教員共有フォルダから第10回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	法律による行政の原理について (2) 「法律による行政の原理」の例外を考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
11	事前学習	学生教員共有フォルダから第11回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第4章3を読んでおくこと
	授業内容	行政手続について 行政活動の手続的コントロールのあり方を考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
12	事前学習	学生教員共有フォルダから第12回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第4章4・5を読んでおくこと
	授業内容	行政情報管理について 情報公開制度、個人情報保護、公文書管理、行政調査について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第4章関連問題を検討しておくこと
13	事前学習	学生教員共有フォルダから第13回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第5章1・3を読んでおくこと
	授業内容	行政行為について (1) 行政行為の意義と効力について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
14	事前学習	学生教員共有フォルダから第14回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第5章2・7を読んでおくこと
	授業内容	行政行為について (2) 行政行為の分類と附款について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと

15	事前学習	学生教員共有フォルダから第15回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第5章4を読んでおくこと
	授業内容	行政行為について (3) 行政裁量のコントロールのあり方について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
16	事前学習	学生教員共有フォルダから第16回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第5章5・6を読んでおくこと
	授業内容	行政行為について (4) 行政行為の瑕疵について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第5章関連問題を検討しておくこと
17	事前学習	学生教員共有フォルダから第17回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第6章1・2を読んでおくこと
	授業内容	行政立法について (1) 行政立法の意義と法規命令について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
18	事前学習	学生教員共有フォルダから第18回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第6章3を読んでおくこと
	授業内容	行政立法について (2) 行政規則について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第6章関連問題を検討しておくこと
19	事前学習	学生教員共有フォルダから第19回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第7章1～3を読んでおくこと
	授業内容	行政計画について (1) 行政計画の意義、種類等について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
20	事前学習	学生教員共有フォルダから第20回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第7章4・5を読んでおくこと
	授業内容	行政計画について (2) 行政計画の手続的コントロール、司法的コントロールについて考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第7章関連問題を検討しておくこと
21	事前学習	学生教員共有フォルダから第21回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第8章1～3を読んでおくこと
	授業内容	行政指導について (1) 行政指導の意義、分類等について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
22	事前学習	学生教員共有フォルダから第22回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第8章4・5を読んでおくこと
	授業内容	行政指導について (2) 行政指導の手続的コントロール、司法的コントロールについて考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第8章関連問題を検討しておくこと
23	事前学習	学生教員共有フォルダから第23回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第9章1を読んでおくこと
	授業内容	行政契約について (1) 行政契約の意義、種類について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
24	事前学習	学生教員共有フォルダから第24回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第9章2・3を読んでおくこと
	授業内容	行政契約について (2) 各行政分野で用いられる行政契約と履行確保手段について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第9章関連問題を検討しておくこと
25	事前学習	学生教員共有フォルダから第25回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第10章1・2を読んでおくこと
	授業内容	行政上の義務履行確保の手段について (1) 行政上の義務履行確保制度の類型について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
26	事前学習	学生教員共有フォルダから第26回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第10章3～6を読んでおくこと
	授業内容	行政上の義務履行確保の手段について (2) 行政代執行、直接強制、執行罰、金銭債権の強制徴収について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと

27	事前学習	学生教員共有フォルダから第27回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第10章7・8を読んでおくこと
	授業内容	行政上の義務履行確保の手段について (3) 行政罰、その他の義務履行確保の制度について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
28	事前学習	学生教員共有フォルダから第28回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書の第10章9を読んでおくこと
	授業内容	行政上の義務履行確保の手段について (4) 即時強制について考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 教科書の第10章関連問題を検討しておくこと
29	事前学習	学生教員共有フォルダから第29回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	現代の行政活動のコントロールのあり方について これまで検討してきた諸点から把握できる、行政活動に対するコントロールのあり方を考える
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
30	事前学習	これまでのレジュメ、教科書を読み返し、不明な部分について考えておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	各項目について、簡単にまとめたものを文章化しておく

科目名	行政法Ⅰ	担当者	西原 雄二	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	4
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業では、行政法の理論や制度についての基本的な知識や考え方を習得することを目的としている。重要な問題を取り上げて、簡潔に説明する。				
授業目的・到達目標	行政法の基本的構造とそれを支える基本的概念を理解しながら、身近で重要な法律の一つである「行政法」に興味・関心を持ってもらえるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	行政法の基本的な事項が十分に理解できているかどうかを判定する。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		行政法（第3版）	池村正道編
	備考				
参 考 書	講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	月曜日１２：１０/月曜日１９：３０/火曜日２１：１０/土曜日１２：１０に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を事前にざっと目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書をざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政法とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。

3	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政法の法源（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
5	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政法の法源（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	法律による行政の原理（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	法律による行政の原理（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政主体
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政機関
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政過程と法
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
14	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

15	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政行為（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
16	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政上の強制手段
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
17	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政立法
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
18	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政計画
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
19	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政契約
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
20	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政指導（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
21	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政指導（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
22	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政手続（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
23	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政手続（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
24	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	情報公開
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
25	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	個人情報保護
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
26	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服申立て
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

27	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
28	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
29	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
30	事前学習	これまでの学んだことを復習してみること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの学んだことを再度復習し、さらに理解を深めること。

科目名	行政法Ⅱ	担当者	西原 雄二 (池村 正道 代講)	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	------	-----	---------------------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	行政活動に対する国民の救済手段に関する法である「行政救済法」について、主として、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法、損失補償等の解説を通じて、理解することを目的とする。				
授業目的・到達目標	行政救済に関する法を具体的に学ぶことで、行政法全体の理解をさらに深める。いかに行政救済法が国民にとって重要なものかを理解できるようになる。				
履修条件	六法を持参すること。				
授業方法	講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	行政救済法の基本的な事項が十分に理解できているかどうかを判定する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		行政法（第3版）	池村正道編
	備考				
参考書	講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	月曜日１０：３０/月曜日２１：１０/火曜日１９：３０に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の行政救済に関する箇所をざっと目を通してみること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書をざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政救済法とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

3	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政争訟とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
5	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
14	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

15	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
16	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家補償とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
17	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
18	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
19	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
20	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
21	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
22	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
23	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（６）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
24	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
25	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
26	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

27	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（3）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
28	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（4）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
29	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政救済法の課題
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
30	事前学習	これまでの学んだことを復習してみること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの学んだことを再度復習し、さらに理解を深めること。

科目名	行政法Ⅱ	担当者	西原 雄二	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	4
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	行政活動に対する国民の救済手段に関する法である「行政救済法」について、主として、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法、損失補償等の解説を通じて、理解することを目的とする。				
授業目的・到達目標	行政救済に関する法を具体的に学ぶことで、行政法全体の理解をさらに深める。いかに行政救済法が国民にとって重要なものかを理解できるようになる。				
履修条件	六法を持参すること。				
授業方法	講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	行政救済法の基本的な事項が十分に理解できているかどうかを判定する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		行政法（第3版）	池村正道編
	備考				
参考書	講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	月曜日１０：３０/月曜日２１：１０/火曜日１９：３０に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の行政救済に関する箇所をざっと目を通してみること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書をざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政救済法とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

3	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政争訟とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
5	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政不服審査法（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
14	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

15	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政事件訴訟法（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
16	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家補償とは何か
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
17	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
18	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
19	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
20	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（３）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
21	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（４）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
22	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（５）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
23	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	国家賠償法（６）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
24	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償の概説
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
25	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
26	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。

27	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（3）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
28	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	損失補償（4）
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
29	事前学習	事前に教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	授業内容	行政救済法の課題
	事後学習	授業で行った内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
30	事前学習	これまでの学んだことを復習してみること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの学んだことを再度復習し、さらに理解を深めること。

科目名	行政法Ⅱ	担当者	長谷川 福造	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講座で取り扱う主な領域は、行政活動に関する救済手段を類型化した「行政救済法」である。行政活動の多様化に対応した行政救済のあり方を検討する。			
授業目的・到達目標	行政不服審査法、行政事件訴訟法及び国家賠償法等の解説を通じて、行政救済法を理解することを目的とする。行政救済法の分野を具体的に学習することによって、行政法全体の理解を更に深めることが到達目標である。それぞれの法律や制度が作られた経緯や趣旨を理解することも目標に設定している。法令の改正を踏まえて、法制度の仕組みや条文の機能を理解する上で重要な事柄を説明する。場面に応じて、行政組織法や行政作用法の領域についても解説を行う。			
履修条件	3年生・4年生。学科は問わない。教科書と六法を必ず毎回持参すること。六法は平成30(2018)年版を使用すること。デイリー六法（三省堂）とポケット六法（有斐閣）を推薦する。			
授業方法	講義形式で行う。基本的に教科書所定の順序で説明を行う。理解の進捗に対応して説明の順番を適宜工夫する。必要に応じて、スライド等のデータを学生教員共有のフォルダにアップし、又は講義中にプリントを配付する予定。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	行政救済法の基本的事項が、授業目的と到達目標の観点から十分に理解できているかを基準とする。	
	平常評価	0%	受講者数や理解の進展に応じて、出席確認や理解度の点検を行う場合がある。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	弘文堂	行政法（第3版）Next教科書シリーズ	池村正道 編
	備考	教科書と小型六法（平成30(2018)年版デイリー六法（三省堂）又はポケット六法（有斐閣）等）を必ず講義に持参すること。		
参考書	行政判例百選Ⅰ（第7版）有斐閣（2017年） 行政判例百選Ⅱ（第7版）有斐閣（2017年）			
オフィスアワー	火曜日15:00から16:00まで。事前にメールでアポイントメントを取ること。他の時間帯については必要に応じて個別に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講座内容の確認
2	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政救済法の概要
	事後学習	講義で説明した内容の復習

3	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政争訟の概要
	事後学習	講義で説明した内容の復習
4	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政不服審査法の概説
	事後学習	講義で説明した内容の復習
5	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政不服審査法①
	事後学習	講義で説明した内容の復習
6	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政不服審査法②
	事後学習	講義で説明した内容の復習
7	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政不服審査法③
	事後学習	講義で説明した内容の復習
8	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政不服審査法④
	事後学習	講義で説明した内容の復習
9	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政不服審査法⑤
	事後学習	講義で説明した内容の復習
10	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法の概説
	事後学習	講義で説明した内容の復習
11	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法① 行政事件訴訟の沿革と特徴
	事後学習	講義で説明した内容の復習
12	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法② 訴訟類型
	事後学習	講義で説明した内容の復習
13	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法③ 処分性
	事後学習	講義で説明した内容の復習
14	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法④ 原告適格
	事後学習	講義で説明した内容の復習

15	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法⑤ 狭義の訴えの利益
	事後学習	講義で説明した内容の復習
16	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法⑥ 出訴期間及び被告適格等
	事後学習	講義で説明した内容の復習
17	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法⑦ 取消訴訟の審理、執行停止及び教示制度等
	事後学習	講義で説明した内容の復習
18	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法⑧ 無効等確認訴訟及び不作为の違法確認訴訟等
	事後学習	講義で説明した内容の復習
19	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法⑨ 義務付け訴訟及び差止め訴訟等
	事後学習	講義で説明した内容の復習
20	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	行政事件訴訟法⑩ 当事者訴訟、民衆訴訟及び機関訴訟等
	事後学習	講義で説明した内容の復習
21	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	国家賠償法の概説
	事後学習	講義で説明した内容の復習
22	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	国家賠償法①
	事後学習	講義で説明した内容の復習
23	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	国家賠償法②
	事後学習	講義で説明した内容の復習
24	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	国家賠償法③
	事後学習	講義で説明した内容の復習
25	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	国家賠償法④
	事後学習	講義で説明した内容の復習
26	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	損失補償①
	事後学習	講義で説明した内容の復習

27	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	損失補償②
	事後学習	講義で説明した内容の復習
28	事前学習	教科書の所定範囲を読むこと
	授業内容	損失補償③
	事後学習	講義で説明した内容の復習
29	事前学習	本講座で説明した内容を復習すること
	授業内容	事例研究・まとめ
	事後学習	講義で説明した内容の復習
30	事前学習	本講座で説明した内容を復習すること
	授業内容	事例研究・まとめ
	事後学習	定期試験の準備

科目名	金融商品取引法Ⅰ	担当者	中曽根 玲子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	金融商品取引法は大きく分けて、①ディスクロージャー規制、②不公正な取引規制、③金融商品取引業者規制に分かれる。前期では、金融商品取引法の目的である「資本市場の機能の十全の発揮による金融商品等の公正な価格形成等を図る」ために、上場会社等に課されている①ディスクロージャー規制を取り上げる。金融商品取引法は広く有価証券を対象としているが、有価証券の典型例である株式を中心に検討をしていく予定である。				
授業目的・到達目標	経済のグローバル化と資本市場の活用により粉飾決算、M&A、公開買付け、インサイダー取引、相場操縦などのニュースが頻繁に報道されているが、これらのニュースは、本講義で学ぶ金融商品取引法規制と深く関係している。本講義では、すでに施行から20年を越え、横断的資本市場法制としての重要な役割を果たしている金融商品取引法の目的（資本市場における公正な価格形成）を担保するための①ディスクロージャー制度を概観し、基礎知識を修得し、制度の趣旨・法的効果を学ぶことを第一目標とする。そして、そうした知識をベースに、証券市場を巡る多様な問題について原因や背景を主体的に考えることができるようになることを最終目標とする。証券市場に関心のある者の受講を期待する。				
履修条件	・株式の知識があることが望ましいので、会社法（株式・株主総会）をすでに履修または同時並行で履修していること ・金融商品取引法全体を理解するには、金融商品取引法ⅠおよびⅡの履修が望ましい				
授業方法	受講生の理解度を見つつ講義形式で行う。金融商品取引法上の規制と密接に関連する会社法の制度については、授業内で随時認をする。授業の冒頭で、金融商品取引法に関係するタイムリーな事例や話題を適宜取り上げる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		75%	期末試験のみ（1回）。半期の授業内容に基づき、金融商品取引法の基礎知識や法制度の趣旨などの理解度を論文式の問題で評価する。披見資料はない。	
	平常評価		25%	授業への参加の姿勢（発言等）を点数化し加点する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018	弘文堂	基礎から学べる金融商品取引法（第4版）		近藤光男ほか3名
	備考	最新の六法を携行すること。できれば金融商品取引法全文が掲載されているものが好ましいが、省略部分については、コピーでも構わない。			
参考書	黒沼悦郎「金融商品取引法入門（最新版）」（日経文庫）、近藤光男・吉原和志・黒沼悦郎「金融商品取引法入門（最新版）」（商事法務）。その他、適宜紹介する。				
オフィスアワー	授業内および授業終了後に適宜質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・シラバスをよく読んでおく ・六法を持参する
	授業内容	【イントロダクション】 ・授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する ・会社法と金融商品取引法の関係について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
2	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【金融商品取引法概観】 ・金融商品取引法の目的を考える ・金融商品取引法の全体像を確認する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする

3	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【有価証券（１）】 ・金融商品取引法が規制の対象とする有価証券とは、どのようなものかを概観する ・とくに株式の特色について確認する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
4	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【有価証券（２）】 ・資産流動化法に基づく有価証券について概観する ・みなし有価証券（とくに集団投資スキーム）について説明する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
5	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【証券市場の役割】 ・株式の上場の意義を考える ・振替株式について確認する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
6	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【証券市場のプレーヤー】 ・証券会社（第１種金融商品取引業者）の役割について知る ・証券取引所（金融商品取引所）の役割について知る
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
7	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【流通市場の情報開示（１）】 ・上場会社における会計と監査の意義とその制度について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
8	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【流通市場の情報開示（２）】 ・金融商品取引法が上場会社等に課す情報開示義務について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
9	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【流通市場の情報開示（３）】 ・引き続き、金融商品取引法が上場会社等に課す情報開示義務について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
10	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【発行市場の役割】 ・上場会社の資金調達方法について俯瞰する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
11	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【発行市場の情報開示（１）】 ・発行市場におけるディスクロージャー規制の全体像を概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
12	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【発行市場の情報開示（２）】 ・引き続き、発行市場におけるディスクロージャー規制の全体像を概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
13	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【発行市場・流通市場における虚偽記載等の責任（１）】 ・発行市場における虚偽記載等の問題点について説明する ・発行会社がどのような責任を負うか検討する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする

14	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【発行市場・流通市場における虚偽記載等の責任（２）】 ・流通市場における虚偽記載等の問題点について説明する、 ・発行会社の役員等がどのような責任を負うか検討する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料を整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
15	事前学習	・14回までの授業の内容を確認し、質問を用意する
	授業内容	【まとめ】 ・前期の講義内容について振り返る
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付されたチェックシートに目を通す

科目名	金融商品取引法Ⅱ	担当者	中曽根 玲子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	金融商品取引法は大きく分けて、①ディスクロージャー規制、②不公正な取引規制、③金融商品取引業者規制に分かれる。前期の講義をベースに、後期では、金融商品取引法の目的である「資本市場の機能の十全の発揮による金融商品等の公正な価格形成等を図る」ために定められている公開買付け、インサイダー取引、相場操縦などの②不公正な取引規制を取り上げる。また、③資本市場を支える証券会社に対する業者規制や行為規制についても概観する。				
授業目的・到達目標	経済のグローバル化と資本市場の活用によりM&A、公開買付け、インサイダー取引、相場操縦、粉飾決算などのニュースが頻繁に報道されているが、これらのニュースは、本講義で学ぶ金融商品取引法規制と深く関係している。本講義では、すでに施行から20年を越え、横断的資本市場法制としての重要な役割を果たしている金融商品取引法の目的（資本市場における公正な価格形成）を担保するための不公正な取引規制について基礎知識を修得し、制度の趣旨・法的効果を学ぶことを第一目標とする。そして、そうした知識をベースに、証券市場を巡る多様な問題について原因や背景を主体的に考えることができるようになることを最終目標とする。証券市場に関心のある者の受講を期待する。				
履修条件	・株式の知識があることが望ましいので、会社法（株式・株主総会）をすでに履修または同時並行で履修すること ・金融商品取引法Ⅰをベースに説明をすることが多いので、できれば金融商品取引法Ⅰを履修していること				
授業方法	受講生の理解度を見つつ講義形式で行う。金融商品取引法上の規制と密接に関連する会社法の制度については、授業内で随時確認をする。授業の冒頭で、金融商品取引法に関係するタイムリーな事例や話題を適宜取り上げる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		75%	期末試験のみ（1回）。半期の授業内容に基づき、金融商品取引法の基礎知識や法制度の趣旨などの理解度を論文式の問題で評価する。披見資料はない。	
	平常評価		25%	授業への参加の姿勢（発言等）を点数化し加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		基礎から学べる金融商品取引法（第4版）	近藤光男ほか3名
	備考	最新の六法を携行すること。できれば金融商品取引法全文が掲載されているものが好ましいが、省略部分については、コピーでも構わない。			
参考書	黒沼悦郎「金融商品取引法入門（最新版）」（日経文庫）、近藤光男＝吉原和志＝黒沼悦郎「金融商品取引法入門（最新版）」（商事法務）。その他、適宜紹介する。				
オフィスアワー	授業内および授業終了後に適宜質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・シラバスをよく読んでおく ・テキストおよび六法を持参する
	授業内容	【イントロダクション】 ・授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する ・後期に取り上げる規制の全体像について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
2	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【公開買付制度（1）】 ・公開買付制度の意義について考える ・公開買付制度の全体像を知る
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする

3	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【公開買付制度（２）】 ・公開買付けの手続規制について説明する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
4	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【公開買付制度（３）】 ・公開買付けの実体的規制について説明する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
5	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【公開買付制度（４）】 ・発行者による公開買付けについて概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
6	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【委任状勧誘制度】 ・上場会社で行われるプロキシファイトについて概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
7	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【大量保有報告制度】 ・大量保有報告制度の規制の目的について考える ・大量保有報告制度の手続規制について説明する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
8	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【インサイダー取引規制（１）】 ・インサイダー取引規制の意義について考える ・インサイダー取引規制の全体像を概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
9	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【インサイダー取引規制（２）】 ・引き続き、インサイダー取引規制について説明をする
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
10	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【インサイダー取引規制（３）】 ・公開買付けにおけるインサイダー取引について取り上げる
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
11	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【不正取引規制（１）】 ・風説の流布や偽計取引規制について取り上げる
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
12	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【不正取引規制（２）】 ・相場操縦規制について説明する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
13	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【金融商品取引業者に対する規制（１）】 ・第１種金融商品取引業者として証券会社に課されている業者規制について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする
14	事前学習	・テキストの該当箇所を読んでおく ・質問を用意する
	授業内容	【金融商品取引業者に対する規制（２）】 ・証券会社に課されている行為規制について概観する
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付された資料をし整理する ・授業で出てきた条文の素読をする

15	事前学習	・14回までの授業の内容を確認し、質問を用意する
	授業内容	【まとめ】 ・後期の講義内容について振り返る
	事後学習	・テキストおよびノートの確認と配付されたチェックシートに目を通す

科目名	金融法Ⅰ	担当者	松村 英二夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	金融機関の種類としては、広い意味では証券会社、生命保険も入るが、本講座ではいわゆる預金を集めてそれを原資として貸出を行っている金融機関その代表としての銀行を取り上げ、「銀行に関する各種法令と種々の法的問題」について説明する				
授業目的・到達目標	まず金融とは何かを理解してもらい、銀行等金融機関の経営・業務を規制する諸法令のうち独占禁止法、本人確認・消費者保護関係等を解説し、主な金融取引のうち、預金取引の法的性質、各種預金規定等の内容と最新の判例を踏まえた銀行実務上の取扱いのポイントを説明する。企業取引に欠かせない当座勘定取引と、貸出取引およびその基本となる銀行取引約定書等について解説し、為替取引・付随取引についても、その法的性質や法的問題について、実務上の取扱いを中心に説明する。銀行の三大業務である預金、貸出、為替取引の概要と法的性質を理解し、実際の取引に用いられる預金規程・銀行取引約定書等各種約款の内容についての知識を得る。				
履修条件	民法総則、債権法（総論、各論）を履修済みであること。				
授業方法	レジュメ・資料を使用して講義形式で進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	前期末に実施する授業内でのテストにより評価する。随時行う小テストも加味する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	『新営業店の金融法務』経済法令研究会				
オフィスアワー	授業終了後に受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	金融に関する新聞、雑誌の記事に目を通しておく
	授業内容	授業案内
	事後学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
2	事前学習	金融に関する新聞、雑誌の記事に目を通しておく
	授業内容	金融システムと銀行、金融取引の当事者
	事後学習	レジュメ・資料を再読し、金融に関する参考図書に目を通す

3	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	銀行取引と独占禁止法
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
4	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	金利に関する法的規制
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
5	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	貸金業法、グレーゾーン金利問題
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
6	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	金融取引と消費者保護
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
7	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	消費者ローン・カードローン、個人信用情報
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
8	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	マネー・ローンダリング規制と本人確認・疑わしい取引の届け出
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
9	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	電子記録債権と金融取引
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
10	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	銀行取引約款
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
11	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	銀行の秘密保持義務
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
12	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	銀行法（1）
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
13	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	銀行法（2）
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
14	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	金融犯罪と銀行
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する

15	事前学習	講義に使用したレジюме・資料を再読し、レポート課題への対応を図る
	授業内容	前期まとめ（レポート）
	事後学習	レポート課題への解答についてレジюме等により確認する

科目名	金融法Ⅱ	担当者	松村 英二夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	金融機関の種類としては、広い意味では証券会社、生命保険も入るが、本講座ではいわゆる預金を集めてそれを原資として貸出を行っている金融機関その代表としての銀行を取り上げ、「銀行に関する各種法令と種々の法的問題」について説明する					
授業目的・ 到達目標	金融法Ⅱでは、前期の金融法Ⅰを踏まえ、預金取引の法的性質、各種預金規定等と判例を踏まえた銀行実務上の取扱いを説明し、企業取引に欠かせない当座勘定取引と貸出取引および銀行取引約定書等ならびに為替取引の法的性質や法的問題について説明する。前期の金融法Ⅰと併せて履修することで金融法全体を理解してもらうこととしている。銀行の三大業務である預金、貸出、為替取引の概要と法的性質を理解し、実際の取引に用いられる預金規程・銀行取引約定書等各種約款の内容についての知識を得る。					
履修条件	金融法Ⅰを履修済みであること（民法総則、債権法（総論、各論）を履修済みであること）					
授業方法	レジュメ・資料を使用して講義形式で進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験					
	平常評価		100%	後期末に実施する授業内でのテストにより評価する。随時行う小テストも加味する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用せず				
参 考 書	『新営業店の金融法務』経済法令研究会					
オフィス アワー	授業終了後に受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	預金取引の法的性質
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
2	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	預金者の認定と預金の帰属
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する

3	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	預金の受入れ、振込および手形小切手による入金
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
4	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	為替取引（振込の法律関係）
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
5	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	誤振込の法律関係
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
6	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	預金債権の消滅（弁済・免責）
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
7	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	預金債権の消滅（相殺・時効）
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
8	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	預金債権の譲渡・質入
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
9	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	各種預金取引
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
10	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	総合口座取引
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
11	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	当座勘定取引契約、当座預金への入金
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
12	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	当座預金の支払い、当座勘定取引の終了
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
13	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	各種貸出取引の法的性質
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する
14	事前学習	事前に配布されたレジュメ・資料を読む
	授業内容	銀行取引約定書
	事後学習	講義に使用したレジュメ・資料を再読するとともに、関連する法令・判例を確認する

15	事前学習	講義に使用したレジюме・資料を再読し、レポート課題への対応を図る
	授業内容	後期まとめ（レポート）
	事後学習	レポート課題への解答についてレジюме等により確認する

科目名	金融マネジメント論	担当者	輿水 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	経済活動の裏側には必ずお金の流れがあり金融市場があります。金融市場では取引価格や金利が毎日大きく変動しており、経済活動や資産形成などに大きな影響を与えています。金融市場の動きに関心を持ち、基礎的な知識を習得し、市場メカニズムを理解することが必要です。当授業では、金融市場に関して「歴史、理論・仮説、実証分析、新聞記事」等を紹介しつつ、市場メカニズムやリスク管理を理解する一助としたいと思います。			
授業目的・到達目標	【授業目的】①金融市場に関する基本知識、②金利・株価・為替相場に関する歴史や理論・仮説、③経済と金融市場の相互関連性や法則性、④資産配分、等について学びます。金融市場に関する基礎的知識の習得に加え、新聞記事等を参考にしながら現実の市場への理解と関心を高めます。 【到達目標】上記学習を通じて、①金融市場に関する解説記事をより深く理解できるようになること、②自分なりの意見を述べられるようになること。			
履修条件	特になし			
授業方法	講義形式。プリント、新聞記事等を併用。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業課題に関するミニレポート提出（4回程度） 前回授業内容に関するミニテスト実施（毎回）
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	必要に応じて授業中に紹介			
オフィスアワー	koshimizui219@gmail.com 質問等のメールはいつでも可			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと
	授業内容	講義計画・成績評価の方法・参考文献
	事後学習	参考文献等の参照
2	事前学習	経済新聞の金融・証券市場欄の概要把握
	授業内容	経済新聞と金融市場
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
3	事前学習	金利に関するミニレポート準備
	授業内容	金利①（市場の動き、要因）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
4	事前学習	金利に関するミニレポート準備・提出
	授業内容	金利②（歴史、理論）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備

5	事前学習	株価に関するミニレポート準備
	授業内容	株価①（市場の動き、要因）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
6	事前学習	株価に関するミニレポート準備・提出
	授業内容	株価②（歴史、理論）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
7	事前学習	為替に関するミニレポート準備
	授業内容	為替相場①（市場の動き、要因）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
8	事前学習	為替に関するミニレポート準備・提出
	授業内容	為替相場②（歴史、理論）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
9	事前学習	オルタナティブに関する事前学習
	授業内容	オルタナティブ、デリバティブ
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
10	事前学習	経済と金融市場の相互関連性に関するレポート準備
	授業内容	経済と金融市場の相互関連性①
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
11	事前学習	経済と金融市場の相互関連性に関するレポート準備
	授業内容	経済と金融市場の相互関連性②
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
12	事前学習	経済と金融市場の相互関連性に関するレポート準備・提出
	授業内容	経済と金融市場の相互関連性③
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
13	事前学習	アセットアロケーションの事前学習
	授業内容	アセットアロケーション
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
14	事前学習	ファイナンスの事前学習
	授業内容	ファイナンス（デット、アセット）
	事後学習	授業内容の復習とミニテスト準備
15	事前学習	授業課題の予習
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内容の復習

科目名	グローバル・コミュニケーション I	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	冷戦期アメリカは、どのようにメディアを駆使し、東アジアの人々の心と精神を勝ち取ろうとしたのか。本授業では、アメリカのメディア戦略と実践について学びながら、それに対して東アジアの人々が見せた「受容」や「反発」「葛藤」を見ていく。本授業は、一見すると国際政治や日米関係史を学ぶもののように思えるが、実際には、マス・コミュニケーション研究や広告研究などにも密接に繋がっており、領域横断的なトピックを講ずるものである。				
授業目的・到達目標	本授業は、昨今の国際政治・外交で大きな注目を浴びている広報文化外交やパブリック・ディプロマシーの可能性や限界、課題を考えるための知識と新たな視点の提供を目的としている。到達目標は、次の三点におかれている。 1. 東アジアの国際政治とメディアの関係性に対する理解 2. 広報文化外交やパブリック・ディプロマシーに関する知識の獲得 3. メディアやコミュニケーション、広告研究への新たな視座の提供				
履修条件	国際政治や海外メディア事情などに関心をもつ学生を、特に歓迎する。				
授業方法	授業では学生の理解を助けるために、詳細なレジュメを配付し、随時、視聴覚教材（映画やドキュメンタリー）を活用する。また、できるだけ学生との対話を重視したインタラクティブな授業を目指すつもりである。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内での課題および試験にて評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業内で、適宜、紹介する。				
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	はじめに
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
2	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	広報文化外交とは何か (1)
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと

3	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	広報文化外交とは何か （2）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
4	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	広報文化外交とは何か （3）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
5	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	アメリカの広報文化外交：戦前／戦後の連続性
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
6	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	映像で辿るプロパガンダ/広報
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
7	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	GHQ占領とアメリカの文化攻勢 （1）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
8	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	GHQ占領とアメリカの文化攻勢 （2）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
9	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	GHQ占領とアメリカの文化攻勢 （3）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
10	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	対日広報文化外交の形成と展開 （1）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
11	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	対日広報文化外交の形成と展開 （2）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
12	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	対日広報文化外交の形成と展開 （3）
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
13	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	日本の広報文化外交の現状
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと
14	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	日本の広報文化外交の課題
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと

15	事前学習	国際情勢に関する報道に日常的に接しておくこと
	授業内容	おわりに
	事後学習	授業で紹介した参考文献に目を通すこと

科目名	グローバル・コミュニケーションⅡ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	ヨーロッパ放送は公共放送を中心に発展し、一方、アメリカ放送は商業放送が中心となり発展してきました。こうした欧米各国の放送の発展過程と現状を解説します。また、一つの国や地域を超えたグローバルな視聴者を対象とした、メディアやその報道活動も考察します。				
授業目的・到達目標	放送を通じた各国およびグローバルなコミュニケーションのあり方を理解して欲しい。				
履修条件	特にありません。				
授業方法	講義形式を中心に行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内レポートおよび、最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜、プリントを配付します。			
参考書	「NHKデータブック世界の放送2017」（NHK放送文化研究所編、NHK出版）				
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでください。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	公共放送と商業放送の違いをまとめてください。
2	事前学習	BBCについて調べてください。
	授業内容	イギリスの放送Ⅰ：BBC、ITV、チャンネル4、Skyなど
	事後学習	イギリスの放送の特徴をまとめてください。

3	事前学習	インターネット上の「BBC iPlayer」でどのようなコンテンツが提供されているか調べてください（日本からは映像はみられません）。
	授業内容	イギリスの放送2：放送局のインターネット展開
	事後学習	イギリスの放送局が積極的に動画を配信する理由をまとめてください。
4	事前学習	ARD、ZDFについて調べてください。
	授業内容	ドイツの放送：ARD、ZDFなど
	事後学習	ドイツの公共放送の特徴をまとめてください。
5	事前学習	フランステレビジョンについて調べてください。
	授業内容	フランスの放送：フランステレビジョンなど
	事後学習	ドイツとフランスの公共放送の異なる点をまとめてください。
6	事前学習	イギリス、ドイツ、フランス以外の国にはどのような放送局があるか調べてください。
	授業内容	その他、ヨーロッパの放送
	事後学習	ヨーロッパ各国の放送の特徴をまとめてください。
7	事前学習	ABC、CBS、NBCについて調べてください。
	授業内容	アメリカの放送の変遷Ⅰ：ラジオの誕生から3大ネットワークができるまで
	事後学習	アメリカの放送政策の特徴をまとめてください。
8	事前学習	アメリカのケーブルテレビではどのような番組が放送されているか調べてください。
	授業内容	アメリカの放送の変遷Ⅱ：3大ネットワークの台頭からケーブルテレビ登場まで
	事後学習	シンジケーション市場ができた要因をまとめてください。
9	事前学習	メディアコングロマリットについて調べてください。
	授業内容	アメリカの放送の変遷Ⅲ：ケーブルテレビの台頭からメディアコングロマリットの形成まで
	事後学習	メディアコングロマリットが形成された要因をまとめてください。
10	事前学習	アメリカで行われているインターネット動画配信サービスについて調べてください。
	授業内容	アメリカのOTTサービスについて
	事後学習	日本で動画配信サービスが欧米ほど、普及しない理由を考えてみてください。
11	事前学習	9.11テロ、イラク戦争について調べてください
	授業内容	グローバルメディアとはⅠ：9.11テロ、イラク戦争、アラブの春
	事後学習	メディアの発展と情報のグローバル化についてまとめてください。
12	事前学習	文化帝国主義について調べてください。
	授業内容	グローバルメディアとはⅡ：アメリカの多国籍企業、文化帝国主義
	事後学習	欧米主導のグローバルメディアが相対的に影響力を失っていった理由をまとめてください。
13	事前学習	BBCワールドについて調べてください。
	授業内容	国際ニュースの流れ
	事後学習	ニュースの「南北問題」についてまとめてください。
14	事前学習	「国境なき記者団」の発表する「報道の自由度ランキング」について調べてください。
	授業内容	世界の報道の自由
	事後学習	メディアシステムの3分類についてまとめてください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、後学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでください。

科目名	経営学 I	担当者	臼井 哲也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	経営学の起源、諸理論の展開、現代経営における諸問題について体系的に講じる。とくに事業システムと組織内の機能別の役割（研究開発と生産機能）について理解を深める。				
授業目的・到達目標	ビジネスの成功は、急変を繰り返す環境要因を所与としながらも、「考え抜く力」と「実現力」で決まる。本講義では、教員が受講生に対して常に疑問を投げかけることにより、受講生が自ら考える抜く力の基礎を修得することを第一の目標としている。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教員による講義と受講生による討論により進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	詳しくは第1回目の講義にて説明するため、必ず出席すること。第1回目の講義に出席できないものは受講資格を失うこともあるので注意すること。	
	平常評価		40%	40%の内訳は、原則としてグループ演習20%×2回とするが、その他参加態度を加味し、総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	創成社		実践に学ぶ経営学	風間・松田編著
	備考	教科書の事前の購入の必要はない。講義内で詳しく説明する。			
参考書	伊丹・加護野著『ゼミナール経営学入門 第4版』日本経済新聞社 諸上・藤澤・嶋編著『国際ビジネス戦略の新機軸』同文館出版				
オフィスアワー	水曜13：30～14：30 以下のメールアドレスへ問い合わせること。個別に時間を設定する。 usui.tetsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講義ノートの整理
2	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	経営と経営学ー経営は学問かー
	事後学習	講義ノートの整理

3	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	事業システム1
	事後学習	講義ノートの整理
4	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	事業システム2（取引コストと企業の存在）
	事後学習	講義ノートの整理
5	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	組織構造と価値連鎖システム
	事後学習	講義ノートの整理
6	事前学習	グループ演習課題のための2次資料の収集
	授業内容	グループ演習1 （事業システムを考案する）
	事後学習	講義ノートの整理
7	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	研究開発機能1
	事後学習	講義ノートの整理
8	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	研究開発機能2
	事後学習	講義ノートの整理
9	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	イノベーション研究の系譜
	事後学習	講義ノートの整理
10	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	生産機能とアウトソーシング1
	事後学習	講義ノートの整理
11	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	生産機能とアウトソーシング2
	事後学習	講義ノートの整理
12	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ものづくりとアーキテクチャー論 1
	事後学習	講義ノートの整理
13	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ものづくりとアーキテクチャー論 2
	事後学習	講義ノートの整理
14	事前学習	グループ演習課題のための2次資料の収集
	授業内容	グループ演習2 （研究開発と生産技術について）
	事後学習	講義ノートの整理

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験及び解説
	事後学習	試験の振り返り

科目名	経営学 I	担当者	築場 保行	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営活動、事業・商業・ビジネスの歴史を最初に学び、そして近現代の企業の経営、管理、組織の発展、さらに近年のIT技術の発展とそのビジネスでの利用について学習する。適宜、経済・ビジネス記事について解説、質問する。				
授業目的・到達目標	商業活動, 企業活動の歴史を踏まえて、現代企業の構造、行動についてケース・スタディをまじえて検討し、企業社会の理解のための基礎的知識を提供したい。適時、時事（経営）問題を解説するため、予定を変更することがある。現代のビジネスを理解する				
履修条件	なし				
授業方法	講義。板書必要。学生に質問する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	プリント，コピーについてレポートを課すことがある Q&AのAの内容、積極性を評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	文真堂		企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中。後日指示。			
参考書	適宜紹介指示				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	年間授業計画
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営学の体系、経営学を学ぶ意義
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	商業活動の歴史と意味（1）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	商業活動の歴史と意味（2）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	管理活動の歴史（1）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	管理活動の歴史（2）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	資本主義経営の生成、確立（1）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	資本主義経営の生成、確立（2）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	ビック・ビジネスの生成と確立
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営管理技術の発展（1）
	事後学習	授業ノート、コピーを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営管理技術の発展（2）
	事後学習	授業ノート、コピーを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	日本の商業活動、管理活動の歴史
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	日本の企業活動、企業管理の歴史
	事後学習	授業ノート、コピーを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	前期まとめ, 質疑
	事後学習	授業ノートを読む、コピー復習

15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、コピー、新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

科目名	経営学 I	担当者	若林 広二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校　社会　及び　高等学校　公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】　　【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	「経営」を「構造」と「戦略」の組み合わせととらえ、経営現場で頻繁に活用されている理論を中心に学修する。重要な理論については、実在企業のケースを使用し、理論を経営現場に適用する方法を学ぶ。前半に組織論、後半に戦略論を配し、最後に経営全体の整合性をとる方法について触れる。				
授業目的・ 到達目標	組織の「経営」を取り巻く現象を理解し、組織構成員や経営トップとしてそれに対処するための理論の修得を目的とする。組織論・戦略論の主要理論とその適用方法について、理解できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義、クラス討議、プレゼンテーション、グループワークで構成。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	クラス貢献30%、プレゼンテーション20%、中間レポート20%、期末レポート30% （注）成績評価方法は、状況に応じて変更されることがあります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	日本経済新聞出版社		経営学入門（上）第2版	榊原清則
	2012年	日本経済新聞出版社		ケースブック経営戦略の論理（全面改定版）	伊丹敬之 西野和美
	備考				
参 考 書	高橋伸夫『コア・テキスト経営学入門』新世社2007年、若林広二『道具としての「事業定義」』中央経済社2012年				
オフィス アワー	水曜　18：30～19：30 木曜　15：00～16：10、18:00～19:00 金曜　19：00～20：00 （予約メール）wakabayashi.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「経営」と「経営学」の違いについて考察する。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	配布資料の復習
2	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	ミクロ組織論
	事後学習	配布資料の復習

3	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	マクロ組織論
	事後学習	配布資料の復習
4	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	社会的ネットワーク論と柔構造組織
	事後学習	配布資料の復習
5	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	業務プロセスと人事制度
	事後学習	配布資料の復習
6	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業定義1（概念）
	事後学習	配布資料の復習
7	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業定義2（方法）
	事後学習	配布資料の復習
8	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	SWOT
	事後学習	配布資料の復習
9	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	製品・市場戦略とマーケティング
	事後学習	配布資料の復習
10	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	5フォースと競争戦略
	事後学習	配布資料の復習
11	事前学習	指定資料の講読と課題への回答 中間レポート作成（提出）
	授業内容	P P M
	事後学習	配布資料の復習
12	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	コア・コンピタンス
	事後学習	配布資料の復習
13	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	バランス・スコアカード
	事後学習	配布資料の復習
14	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	戦略プロファイリング
	事後学習	配布資料の復習

15	事前学習	期末レポート作成（提出）
	授業内容	まとめ
	事後学習	学生教員共有フォルダーから全事前配布資料（PDF）をダウンロード

科目名	経営学Ⅱ	担当者	臼井 哲也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態			
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
授業概要	経営学の起源、諸理論の展開、現代経営における諸問題について体系的に講じる。とくにマネジメントの内容（インセンティブ、経営理念と組織文化、リーダーシップなど）について理解を深める。国際経営の独自問題とその対処法についても講じる。					
授業目的・到達目標	ビジネスの成功は、急変を繰り返す環境要因を所与としながらも、「考え抜く力」と「実現力」で決まる。本講義では、教員が受講生に対して常に疑問を投げかけることにより、受講生が自ら考える抜く力の基礎を修得することを第一の目標としている。					
履修条件	特になし。					
授業方法	教員による講義と受講生による討論により進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	詳しくは第1回目の講義にて説明するため、必ず出席すること。第1回目の講義に出席できないものは受講資格を失うこともあるので注意すること。		
	平常評価		40%	個人演習（レポート）とその他参加態度を加味し、総合的に判断する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	創成社		実践に学ぶ経営学		風間・松田編著
	備考	教科書の事前の購入の必要はない。講義内で詳しく説明する。				
参考書	伊丹・加護野著『ゼミナール経営学入門 第4版』日本経済新聞社 諸上・藤澤・嶋編著『国際ビジネス戦略の新機軸』同文館出版					
オフィスアワー	水曜13：30～14：30 以下のメールアドレスへ問い合わせること。個別に時間を設定する。 usui.tetsuya@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習と講義ノートの準備
	授業内容	ガイダンスと前期復習
	事後学習	講義ノートの整理
2	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	マネジメント（経営管理）の全体像
	事後学習	講義ノートの整理

3	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	インセンティブシステム1
	事後学習	講義ノートの整理
4	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	インセンティブシステム2
	事後学習	講義ノートの整理
5	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	経営理念と組織文化1
	事後学習	講義ノートの整理
6	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	経営理念と組織文化2
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
7	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	リーダーシップ論1
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
8	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	リーダーシップ論2
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
9	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	組織行動論
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
10	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	国際経営論―独自の経営問題―
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
11	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	国際経営組織
	事後学習	講義ノートの整理
12	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	経営の現地化とグローバル人材
	事後学習	講義ノートの整理
13	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	個人演習1
	事後学習	講義ノートの整理
14	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	個人演習2
	事後学習	講義ノートの整理

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験及び解説
	事後学習	試験の振り返り

科目名	経営学Ⅱ	担当者	築場 保行	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営活動、事業・商業・ビジネスの歴史を最初に学び、そして近現代の企業の経営、管理、組織の発展、さらに近年のIT技術の発展とそのビジネスでの利用について学習する。適時、時事（経営）問題を解説する。				
授業目的・到達目標	商業活動、企業活動の歴史を踏まえて、現代企業の構造、行動についてケース・スタディをまじえて検討し、企業社会の理解のための基礎的知識を提供したい。適時、時事（経営）問題を解説するため、予定を変更することが多い。現代のビジネスを理解する				
履修条件	経営学I（築場）履修が望ましい 経営学領域科目（築場）履修が望ましい				
授業方法	板書、講義, Q&A				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	プリント、コピーについてレポートを課すことがある Q&Aの内容、積極性を評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	文真堂		企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示			
参考書	適宜紹介指示				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	近年の主要な経済経営事件と企業経営（経営の環境）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	近年の主要な事件と企業経営（経営の環境）
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	情報化、国際化と企業革新の必然性
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	現代企業のマーケティング：ユニクロ、セブン-イレブン、CCC等
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	ネット広告、SNSの活用
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	業種・業態、その古今東西、事業の仕組み、
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	事業モデルを考える、その設計デザイン
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	現代企業の経営戦略
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	現代企業の経営組織：管理組織、事業組織、企業間関係、フランチャイズ
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	イノベーション、ベンチャービジネスとグーグル、テラスモーター等事例研究
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	グローバリゼーション、企業活動の国際化
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	日本企業の国際経営
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	アジア企業の国際化
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	後期まとめ、質疑
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む 総復習
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事、プリントを読む

科目名	経営学Ⅱ	担当者	若林 広二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	「経営学Ⅰ」で学んだ理論を経営現場に適用するための各種コンサルティング手法について学修する。また、企業の企画部門やコンサルティング業界で働くことを目指す学生のために、コンサルティング業界やコンサルティング業務に関する知識を修得する。					
授業目的・到達目標	主要コンサルティング手法とその適用方法の修得を目的とする。経営理論を経営現場に適用しながら、ある程度コンサルティングプロジェクトを企画・推進できるようになることを到達目標とする。					
履修条件	「経営学Ⅰ」の履修。					
授業方法	講義、クラス討議、グループワーク、プレゼンテーションで構成。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	クラス貢献30%、演習課題25%、中間レポート15%、期末レポート30% （注）成績評価方法は、状況に応じて変更されることがあります。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特に指定しない				
参考書	神川貴実彦『コンサルティングの基本』日本実業出版社2008年、神川貴実彦『コンサルティングの基本 ベストプラクティス集』日本実業出版社2013年、若林広二『道具としての「事業定義」』中央経済社2012年					
オフィスアワー	水曜 18：30～19：30 木曜 15：00～16：10、18:00～19:00 金曜 19：00～20：00 （予約メール）wakabayashi.koji@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておく
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	配布資料の復習
2	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	コンサルティング業界と組織
	事後学習	配布資料の復習

3	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	コンサルティング業務
	事後学習	配布資料の復習
4	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業ドメインコンサルティング1（概要）
	事後学習	配布資料の復習
5	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業ドメインコンサルティング2（演習1）
	事後学習	配布資料の復習
6	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業ドメインコンサルティング3（演習2）
	事後学習	配布資料の復習
7	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	収益コンサルティング
	事後学習	配布資料の復習
8	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業戦略コンサルティング
	事後学習	配布資料の復習
9	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	人事・組織コンサルティング
	事後学習	配布資料の復習
10	事前学習	中間レポート作成（提出）
	授業内容	ファイナンスと将来設計
	事後学習	配布資料の復習
11	事前学習	中間レポートプレゼンテーション準備
	授業内容	中間レポートプレゼンテーション
	事後学習	配布資料の復習
12	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	バランス・スコアカードコンサルティング1（概要）
	事後学習	配布資料の復習
13	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	バランス・スコアカードコンサルティング2（演習1）
	事後学習	配布資料の復習
14	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	バランス・スコアカードコンサルティング3（演習2）
	事後学習	配布資料の復習

15	事前学習	期末レポート作成（提出）
	授業内容	まとめ
	事後学習	学生教員共有フォルダーから全事前配布資料（PDF）をダウンロード

科目名	経営管理研究	担当者	築場 保行	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	景気循環、情報化、グローバル化など経済環境の変化と事業管理、経営管理、会社管理の動態を分析検討する。テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。			
授業目的・到達目標	現代企業の管理活動の特色を理論とケース・スタディをつうじて明らかにし、企業社会の理解のための基礎的知識を提供したい。適宜、時事（経営管理）問題を解説するため予定を変更することが多い。経営管理を身近な問題として理解できるようにしたい。			
履修条件	経営学領域科目（築場担当）学習が望ましい			
授業方法	講義			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	80%:授業内試験 20%:その他平常評価
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	文真堂	企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示		
参 考 書	適宜指示（プリント配布）			
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	ケーススタディとその意義
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	情報化、情報技術の利用と経営管理
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	工場現場の生産管理事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	採用、就労、評価、異動、処分等の一連の人事管理事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	マーケティング新手法、SNSの利用等新事例紹介
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	企業活動の国際化と経営管理、為替変動等に対応する財務管理とその事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営戦略、事業戦略
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	合併・買収（M&A）の意義、合併買収戦略
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	M&A事例紹介、アフターM&Aの経営管理、企業統治事例
	事後学習	コピー、授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	事業戦略事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	製品・商品開発事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	海外事業戦略事例 1
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	海外事業戦略事例 2
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	復習
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事、プリントを読む

科目名	経営管理論	担当者	築場 保行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	景気循環、情報化、グローバル化など経済環境の変化と事業管理、経営管理、会社管理の動態を分析検討する。テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。				
授業目的・到達目標	事業活動の管理の歴史をふまえて、現代企業の管理活動の特色を理論とケース・スタディをつうじて明らかにし、企業社会の理解のための基礎的知識を提供したい。適時、時事（経営管理）問題を解説するため予定を変更することが多い。企業の経営管理が社会に生きる普通の者に身近なものとして理解できるようにしたい				
履修条件	経営学領域科目（築場担当）学習が望ましい				
授業方法	講義。板書必要。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	70%:授業内試験（テキスト、講義理解度プラス意見を評価する） 30%:授業中のQ&Aの内容、積極性評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	文真堂		企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示			
参考書	適宜指示（プリント配布）				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	なぜ学ぶか？経営管理の領域 用語の意味
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	管理の概念、用法、会社と管理
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	事業経営と管理の歴史：古代、中世、近世
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	社会的分業、工場制・工場内分業進展と管理 会社制度の歴史 共同出資と管理者・経営者の出現
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	企業組織の発展と経営管理制度の歴史1：作業管理、生産管理、財務管理、経営管理の進展
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	同上2：販売管理・マーケティングの進展、事業組織の革新 管理の目的・ロジック、トップマネジメントのミッション
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	事業経営、トップマネジメントの思想・理念：日本と欧米
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	企業の競争戦略：価格戦略プライシング、差別化戦略ディファレンシエイション
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	製品革新、ビジネスモデルイノベーション：カップヌードル、スマートホン、アマゾン、AKB48 イノベーションの継続
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	ビジネスモデルの輸出と国際化：日本モデルの国際化
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営管理の国際化：ヒト、モノ、カネの国際化と国際経営管理
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	承前：国際経営の人材育成 最新経営管理事例1
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	承前：国際経営の人材育成 最新経営管理事例2
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	復習
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

科目名	経営情報システム論Ⅰ	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代の企業等は、「情報システム」と個々の「人間固有の情報処理能力」が相互補完的に機能することで、全体としての組織活動が展開されている。経営情報システム論の講義においては、このような見地から社会的存在としての企業その他組織体の一般的特性を理論化していく。					
授業目的・到達目標	【授業目的】今日の情報技術環境を前提にして、「情報システム」と個々の「人間固有の情報処理能力」の情動的相互作用を組織全体として整合性のあるものにする理論の構築ができ、それによって組織体の維持発展や革新のための提案ができる。 【到達目標】1. 経営情報システムについて理解している。2. 情報通信技術について理解している。					
履修条件	経営情報システム論Ⅱと併せて履修することが望ましい。					
授業方法	パワーポイントとテキストを使用して授業を行い、基本的にテキスト中の練習問題を次回に提出してもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（70%） 授業最後に小テストを実施（30%）テキストは持ち込み可	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年2月20日	有斐閣アルマ		経営情報論（新版補訂第3刷）		遠山暁・村田潔・岸真理子
	備考					
参考書	講義中に適宜紹介する。					
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	経営情報システムについて関心を持つ
	授業内容	講義計画，成績評価方法
	事後学習	経営情報システムについて関心を持つ
2	事前学習	テキストの目次に目を通してくること
	授業内容	経営情報システム論とは
	事後学習	授業の復習
3	事前学習	テキストの該当ページを読んでくること
	授業内容	経営情報論の基礎
	事後学習	テキスト p 26の練習問題
4	事前学習	テキストの該当ページを読んでくること
	授業内容	経営情報論の基礎理論
	事後学習	テキスト p 53の練習問題

5	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	経営情報システムの変遷
	事後学習	テキスト p 77の練習問題
6	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	情報通信技術の進展
	事後学習	テキスト p 107の練習問題
7	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	経営情報システムの設計・開発
	事後学習	テキスト p 133-134の練習問題
8	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	経営情報システムの管理
	事後学習	テキスト p 161-162の練習問題
9	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	情報通信技術とビジネス・プロセス革新
	事後学習	テキスト p 185の練習問題
10	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	ネット・ビジネス
	事後学習	テキスト p 211-212の練習問題
11	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	情報通信技術と組織変革
	事後学習	テキスト p 238の練習問題
12	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	情報通信技術と組織コミュニケーション
	事後学習	テキスト p 259-260の練習問題
13	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	情報通信技術と社会
	事後学習	テキスト p 284-285の練習問題
14	事前学習	テキストの該当ページを読んで行くこと
	授業内容	今後の展望
	事後学習	テキスト p 304-305の練習問題
15	事前学習	学習内容の確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	授業内容の総点検

科目名	経営情報システム論Ⅱ	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	近年、経営情報システムはICTの急激な進歩に伴って大きく変化している。ERP（Enterprise Resource Planning）やSCM（Supply Chain Management）をはじめ、クラウドやIoT、ビッグデータ、AIなど様々な環境の変化に対応し変化している。本講義では、実際に事例に当たることで、企業等で経営情報システムの構築、運用、改善できる知識を身に付けていく。				
授業目的・到達目標	【授業目的】経営情報システムの最新技術への対応を理解しシステムを体験することで、企業等で経営情報システムの構築、運用、改善について提案できる人材を育成する。 【到達目標】1. 経営情報システムの最新技術について理解している。2. 情報通信技術について理解している。3. 経営情報システムの構築、運用、改善について提案できる。				
履修条件	経営情報システム論Ⅰと併せて履修することが望ましい。				
授業方法	パワーポイントを使用して授業を行い、授業内で小テストを複数回実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（60%） 授業時に小テストを実施（40%） ノートは持ち込み可	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付する。			
参考書	中央経済社『入門ガイダンス 経営情報システム（第2版）』古殿幸雄				
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	経営情報システムについて調べる
	授業内容	講義計画，成績評価方法
	事後学習	経営情報システムについて調べる
2	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	経営モデルと経営システム
	事後学習	授業の復習
3	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	待ち行列モデル
	事後学習	授業の復習
4	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	生産管理情報システム
	事後学習	授業の復習

5	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	資材所要量計画（MRP）
	事後学習	授業の復習
6	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	基幹業務統合システム（ERP）
	事後学習	授業の復習
7	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	サプライチェーンの全体最適化（SCM）
	事後学習	授業の復習
8	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	制約条件の理論（TOC）
	事後学習	授業の復習
9	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	TOC手法
	事後学習	授業の復習
10	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	コンピュータネットワークと経営情報システム
	事後学習	授業の復習
11	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	業務・システムの全体最適化（EA）
	事後学習	授業の復習
12	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	ビジネスモデル特許
	事後学習	授業の復習
13	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	システムの評価と改善（DEA）
	事後学習	授業の復習
14	事前学習	授業内容をネットで調べる
	授業内容	イノベーション
	事後学習	授業の復習
15	事前学習	学習内容の確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	授業内容の総点検

科目名	経営組織研究	担当者	築場 保行	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。景気循環、情報化、グローバル化など経済環境の変化と事業組織、管理組織、企業間関係の動態を分析検討する。			
授業目的・到達目標	現代企業の事業組織、管理組織についてケース・スタディをまじえて研究し、企業社会の理解のための基礎的知識を提供したい。予定以外に適時、時事的な経営組織問題を解説するため予定を変更することが多い。現代の経営組織を身近な問題として理解できるようにしたい			
履修条件	経営学領域科目（築場）履修が望ましい			
授業方法	講義			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	80%:授業内試験（テキスト、講義の理解力プラス意見力評価） 20%:その他平常評価, Q&Aの内容と積極性評価
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	文真堂	企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示		
参考書	適宜紹介、プリント配布。			
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	ケーススタディとその意義、情報革命と経営組織
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営組織事例：作業組織革新（セル生産組織の登場）
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	外部組織組織の利用（外部委託、シェアドサービス）
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	外部委託：EMSの利用、国際分業iPhone生産事例ほか、オープンアーキテクチャー
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	日本の企業組織、企業グループ：旧財閥系集団、企業集团の特色、その再編成。 日本の総合商社と組織：三菱商事、ローソン、KFC他
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	会社の事業組織：本支店、本社・支社、親会社・子会社・関連会社、分社、「カンパニー」
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	会社の合併・買収事例 海外企業事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	同上会社の合併・買収、日本企業事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	I Tと経営組織事例 IBM、マイクロソフト
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	インタネットと経営組織1. シスコ社、デル社
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	インタネットと経営組織2. ポイントカードと企業間事業組織 Tポイント、CCC等
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営と企業組織、企業間組織の事例：ヒト、モノ、カネの国際化
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	企業組織最新事例
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	復習、Q&A
	事後学習	コピー、授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事、プリントを読む

科目名	経営組織論	担当者	築場 保行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	景気循環、情報化、グローバル化など経済環境の変化と事業組織、管理組織、企業間関係の動態を分析検討する。テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。				
授業目的・到達目標	現代企業の事業組織、管理組織、企業間関係についてケース・スタディをまじえて研究し、企業社会の理解のための基礎的知識を提供したい。適時、時事的な経営組織問題を解説するため予定を変更することが多い。現代の経営組織が現代社会に生きる者の自身の問題として把握できるようにしたい				
履修条件	経営学領域科目（築場担当）学習が望ましい				
授業方法	講義				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	80%:授業内試験（テキスト、講義理解度プラス意見を評価する） 20%:Q&A内容、積極性評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	文真堂		企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示			
参考書	適宜紹介、プリント配布。				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営組織研究の意義、なぜ学ぶか？
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	組織の歴史：古代、中世、近世、近代
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	会社組織の生成：東インド会社の誕生、産業革命と工場制大規模組織、会社制度の発展
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	組織の理論：組織の意義、分業の意義
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	承前：組織化、その設計、組織原則とモチベーション
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	資本主義経営組織の生成・発展：産業資本の生成、社会的分業の発展と企業内分業・管理組織生成
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	大規模会社経営の発展と組織の発展：フォード・システム、スタンダード・オイル等。 その再編・発展：事業部制、企業組織の多国籍化
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	工場管理組織の変革：キャノン、パナソニック等のセル生産組織
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	現代企業の持株会社組織、合併・買収（M&A）の意義
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	承前：その事例。NTT, メガバンク、セブン&アイ、三越・伊勢丹HD、JフロントR, 日本電産等
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	I T と生産・販売・管理組織、企業間関係、SNSの利用
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	ポイントサービスの普及と企業間関係
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営と組織
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	復習&Q&A
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事、プリントを読む

科目名	経営訴訟法Ⅰ	担当者	坪川 弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営法学的観点に立脚すると、現代企業は予防法的・戦略法務的な経営を目指している。前者においてはリコールにいかに対処するか、さらにPL法紛争に対処できる内部統制システムの構築を目指している。他方、後者においてはいかに自社の知的財産権の創造、および活用を推進するかが急務となっている。そして、訴訟以外の方法による紛争解決制度の利用も増加している。これらに対する総合的学習が本講座の目的である。				
授業目的・到達目標	現在の企業経営において、その意思決定に法的要素をどのように反映させるかが重要である。特に、企業の最大のリーガル・リスクである訴訟に対する対応は、企業の存亡にかかわる問題である。そこで、本講義においては、企業経営に関連して発生する訴訟を具体的に取り上げて、その具体的内容と対処方法を検討し、企業法務に必要な基本的な知識の習得を目的とする。本講義において取り上げた様々なリーガル・リスクに対する対処方法は、企業法務・企業経営の中で生かされるであろう。また、クラスにおけるプレゼンテーションおよびディスカッションを行うことで、学問に対する積極的な取り組みを養われることを期待する。				
履修条件	民法、商法、民事訴訟法、会社法などを履修していることが望ましいが、条件とはしない。				
授業方法	講義時に配布するプリント、ビデオなどを利用して、講義を進める。また、講義には、六法を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期で取り上げたテーマのレポートを作成・提出する。自身のクラス・プレゼンテーション及び他人の発表に対する評価レポートも評価対象とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	民法、商法、会社法、民事訴訟法、知的財産権法などのテキスト。				
オフィスアワー	講義等に関する質問および課題の提出は、下記のメール・アドレスへ講義の前日（水曜日）までにアップすること。 tubokawa@shodai.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	経営訴訟法で学ぶべき事項を事後学習で確認する。
2	事前学習	企業経営における様々なリーガル・リスクにはどんなものがあるか考えてみること。
	授業内容	企業経営とリーガル・リスク
	事後学習	企業の法務部の関心事項がどのようなものか確認すること。

3	事前学習	企業は果たして訴訟をすることを好ましいと考えているかどうか自分自身で検討すること。
	授業内容	リーガル・リスクとしての訴訟リスク
	事後学習	企業が訴訟リスクを回避するためにどのような法的観点からその是非を検討しているかを考える。
4	事前学習	現代の企業においてはどのようなリーガル・リスクがあるかについて検討すること。
	授業内容	企業経営におけるリーガル・リスク・マネジメント
	事後学習	講義で検討したリーガル・リスクを再確認すること。
5	事前学習	どのような場合に企業はリコールを実行すべきかについて検討すること。
	授業内容	企業経営におけるリコールの現代的意義
	事後学習	企業が単なるコスト的観点でリコールを回避した場合の危険性を確認すること。
6	事前学習	リコールはあらゆる製造製品に関して発生するが、その製造製品ごとにリコール対応が変わることを確認すること。
	授業内容	リコールの特性と企業対応
	事後学習	製造製品によってどのように企業が対応するかは、企業の日常的緊急的体制構築が必要であることを確認すること。
7	事前学習	リコールの典型事例といわれる自動車のケースでどれくらいの頻度でリコールが行われているか調べてみる。
	授業内容	リコール事例の検討：その1
	事後学習	自動車リコール事例の古典的ケースといえるフォード・ピント事件における企業の対応と裁判の結果について考える。
8	事前学習	食品・飲料・生活製品等の日常的に消費者が利用するものに対するリコールについて考える。
	授業内容	リコール事例の検討：その2
	事後学習	これらのものの特性に応じた各企業の対処方法について確認すること。
9	事前学習	最近発生したリコール事例を検討してみる。
	授業内容	リコール事例の検討：その3
	事後学習	最近のリコール事例において成功または失敗したと考えられるものを検討すること。
10	事前学習	企業経営におけるコンプライアンスとは何か考える。
	授業内容	企業経営とコンプライアンス
	事後学習	東証の『コーポレートガバナンスコード』がどのようなものか検討すること。
11	事前学習	製造物責任法がどのような経緯で成立したか考える。
	授業内容	製造物責任法の構造
	事後学習	製造物責任における「製造物の範囲」・「欠陥の種類」・「責任主体」・「免責事由および消滅時効」等がPL法でどのように規定されているか確認すること。
12	事前学習	事前に与えられたPLケースを検討すること。
	授業内容	製造物責任訴訟の事例：その1
	事後学習	講義で扱った事例で何が問題になったか検討すること。
13	事前学習	事前に与えられたPLケースを検討すること。
	授業内容	製造物責任訴訟の事例：その2
	事後学習	講義で扱った事例で何が問題になったか検討すること。
14	事前学習	講義で扱った事例を検討すること。
	授業内容	製造物責任のリスク対策
	事後学習	PL対策としての平時及び緊急時体制構築の重要性を確認すること。

15	事前学習	前期でやったことの確認をすること。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	今までの講義の内容を再検討すること。

科目名	経営訴訟法Ⅱ	担当者	坪川 弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営法学的観点に立脚すると、現代企業は予防法的・戦略法務的な経営を目指している。前者においてはリコールにいかに対処するか、さらにPL法紛争に対処できる内部統制システムの構築を目指している。他方、後者においてはいかに自社の知的財産権の創造、および活用を推進するかが急務となっている。そして、訴訟以外の方法による紛争解決制度の利用も増加している。これらに対する総合的学習が本講座の目的である。				
授業目的・到達目標	現在の企業経営において、その意思決定に法的要素をどのように反映させるかが重要である。特に、企業の最大のリーガル・リスクである訴訟に対する対応は、企業の存亡にかかわる問題である。そこで、本講義においては、企業経営に関連して発生する訴訟を具体的に引き上げて、その具体的内容と対処方法を検討し、企業法務に必要な基本的な知識の習得を目的とする。本講義において引き上げた様々なリーガル・リスクに対する対処方法は、企業法務・企業経営の中で生かされるであろう。また、クラスにおけるプレゼンテーションおよびディスカッションを行うことで、学問に対する積極的な取り組みを養われることを期待する。				
履修条件	民法、商法、民事訴訟法、会社法などを履修していることが望ましいが、条件とはしない。				
授業方法	講義時に配布するプリント、ビデオなどを利用して、講義を進める。また、講義には、六法を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	後期で取り上げたテーマのレポートを作成・提出する。自身のクラス・プレゼンテーション及び他人の発表に対する評価レポートも評価対象とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	民法、商法、会社法、民事訴訟法、知的財産権法などのテキスト。				
オフィスアワー	講義等に関する質問および課題の提出は、下記のメール・アドレスへ講義の前日（水曜日）までにアップすること。 tubokawa@shodai.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産権にはどのような種類があるか検討すること。
	授業内容	企業経営と知的財産権
	事後学習	個々の知的財産権の具体的な内容を検討してみること。
2	事前学習	自社が侵害を受けた場合と他社の特許権等を侵害した場合を検討してみること。
	授業内容	特許侵害訴訟の構造
	事後学習	特許侵害訴訟の流れを確認すること。

3	事前学習	事前に取り上げた特許侵害訴訟を検討してみることに。
	授業内容	特許侵害訴訟の事例：その1
	事後学習	講義で取り扱った訴訟の特徴は何かを確認すること。
4	事前学習	事前に取り上げた特許侵害訴訟を検討してみることに。
	授業内容	特許侵害訴訟の事例：その2
	事後学習	講義で取り扱った訴訟の特徴は何かを確認すること。
5	事前学習	商標権および不正競争防止法等の事例を考察してみよう。
	授業内容	その他の知的財産権関連訴訟：その1
	事後学習	講義で扱った訴訟の特性を確認しよう。
6	事前学習	著作権に関する事例を検討してみよう。
	授業内容	その他の知的財産権関連訴訟：その2
	事後学習	最近のインターネット関連の著作権問題を検討してみよう。
7	事前学習	取締役等の企業経営者の責任を確認すること。
	授業内容	経営者の会社に対する責任
	事後学習	講義で確認した取締役等の責任を検討すること。
8	事前学習	なぜ株主代表訴訟が提起されるのか考えてみよう。
	授業内容	株主代表訴訟の構造
	事後学習	株主代表訴訟の訴訟過程における問題点を確認しよう。
9	事前学習	講義で取り扱う株主代表訴訟の事例を検討すること。
	授業内容	株主代表訴訟の事例：その1
	事後学習	講義で検討した事例の問題点を明確にすること。
10	事前学習	講義で取り扱う株主代表訴訟の事例を検討すること。
	授業内容	株主代表訴訟の事例：その2
	事後学習	講義で検討した事例の問題点を明確にすること。
11	事前学習	司法改革におけるADRの活用について検討してみよう。
	授業内容	ADR（裁判外紛争処理）制度の現代的意義
	事後学習	訴訟とADRの手続きの相違点を確認すること。
12	事前学習	どのようなADRがあるか考えてみよう。
	授業内容	ADRの種類
	事後学習	様々なADR制度の特性を確認すること。
13	事前学習	各ADRの主体と判断効力等について考えてみよう
	授業内容	ADRの活用
	事後学習	各ADR制度の現状を確認してみよう。
14	事前学習	司法改革以降の企業の法務部の活動を調べてみよう。
	授業内容	企業における法務部門の位置付け
	事後学習	これからの法務部門の進展について考えてみよう。

15	事前学習	後期の検討項目を確認しよう。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	今までの講義の内容を再検討すること。

科目名	経営分析論	担当者	森 久	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	損益計算書，貸借対照表，キャッシュ・フロー計算書などは財務諸表とよばれ，企業経営の状況を表している。この授業では，それらによって収益性と安全性を明らかに方法について解説する。					
授業目的・到達目標	この授業の経営分析に関する基礎的知識やスキルを修得することにより，企業経営を実際に分析できるようになることである。その能力は，民間企業の経営状況を把握するときや，法知識を実際の経営に活かすうえで役立つ。到達目標は，実際の財務諸表を用いて財務比率を計算し，それにもとづいて企業経営の状態について判断できるようになることである。					
履修条件	簿記や財務諸表についての知識があれば理解がいつそう容易になるが，必須ではない。関連科目であるので財務管理論の履修を推奨する。					
授業方法	経営分析の目的と方法について取り上げたうえで，四つのテーマごとに講義，計算・分析，報告・演習を繰り返していく。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	授業への参加状況，報告回数，レポートにより総合的に判定する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成27年	森山書店		財務分析からの会計学		森久，関利恵子他
	備考					
参 考 書	青木茂男他『要説 経営分析』森山書店。桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。					
オフィスアワー	木曜日 5 時限目終了後に設定する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み，授業の概要を把握する。
	授業内容	この授業の目的を明らかにしたうえで，授業計画，授業の進め方，取り上げる企業，教科書，参考書，成績評価方法について説明する。
	事後学習	授業内容に関心がもてるか，この授業を何を学ぼうとしているのかを考え，履修について検討する。
2	事前学習	教科書の第 1 章と第 2 章を読み，経営分析の目的と方法について学ぶ。
	授業内容	株主・投資家，債権者などの利害関係者が経営分析を行う目的を把握するとともに，分析視点，比率分析と実数分析，比較基準について解説する。
	事後学習	教科書の第 1 章と第 2 章を読んで，理解を確認する。

3	事前学習	教科書の第10章を読み、資本利益率の計算方法と表している意味について学習する。
	授業内容	収益性の総合指標である資本利益率を取り上げて、その計算方法、表している意味、分析方法などについて解説する。
	事後学習	教科書の第10章を読み、資本利益率の意味や分析方法について確認する。
4	事前学習	教科書の第10章を読み、資本利益率の計算方法を改めて学習する。
	授業内容	4社の実際のデータを用いて資本利益率を計算し、各社の収益性について分析する。
	事後学習	計算、分析した結果をレポートとしてまとめる。
5	事前学習	教科書の第10章を参照し、レポートの内容の適否について検討する。
	授業内容	4社の資本利益率についての分析結果を発表し、その内容について意見交換をする。
	事後学習	意見交換の結果を踏まえて、資本利益率の分析方法について確認する。
6	事前学習	教科書の第6章と第11章を読み、売上高利益率の計算方法と表している意味について学習する。
	授業内容	損益計算書データで計算される売上高利益率を取り上げて、その計算方法、表している意味、分析方法などについて解説する。
	事後学習	教科書の第6章と第11章を読み、売上高利益率の意味や分析方法について確認する。
7	事前学習	教科書の第6章と第11章を読み、売上高利益率の計算方法を改めて学習する。
	授業内容	4社の実際のデータを用いて売上高利益率を計算し、各社の収益性について分析する。
	事後学習	計算、分析した結果をレポートとしてまとめる。
8	事前学習	教科書の第6章と第11章を参照し、レポートの内容の適否について検討する。
	授業内容	4社の売上高利益率についての分析結果を発表し、その内容について意見交換をする。
	事後学習	意見交換の結果を踏まえて、資本利益率の分析方法について確認する。
9	事前学習	教科書の第5章と第14章を読み、ストック指標の計算方法と表している意味について学習する。
	授業内容	貸借対照表データで計算されるストック指標を取り上げて、その計算方法、表している意味、分析方法などについて解説する。
	事後学習	教科書の第5章と第14章を読み、ストック指標の意味や分析方法について確認する。
10	事前学習	教科書の第5章と第14章を読み、ストック指標の計算方法を改めて学習する。
	授業内容	4社の実際のデータを用いてストック指標を計算し、各社の安全性について分析する。
	事後学習	計算、分析した結果をレポートとしてまとめる。
11	事前学習	教科書の第5章と第14章を参照し、レポートの内容の適否について検討する。
	授業内容	4社のストック指標についての分析結果を発表し、その内容について意見交換をする。
	事後学習	意見交換の結果を踏まえて、ストック指標の分析方法について確認する。
12	事前学習	教科書の第7章と第15章を読み、キャッシュフロー・データの計算方法と表している意味について学習する。
	授業内容	キャッシュフロー計算書によるデータを取り上げて、その計算方法、表している意味、分析方法などについて解説する。
	事後学習	教科書の第7章と第15章を読み、ストック指標の意味や分析方法について確認する。
13	事前学習	教科書の第7章と第15章を読み、キャッシュフロー・データの計算方法を改めて学習する。
	授業内容	4社の実際のデータを用いてキャッシュフロー・データを計算し、各社の安全性について分析する。
	事後学習	計算、分析した結果をレポートとしてまとめる。
14	事前学習	教科書の第7章と第15章を参照し、レポートの内容の適否について検討する。
	授業内容	4社のキャッシュフロー・データについての分析結果を発表し、その内容について意見交換をする。
	事後学習	意見交換の結果を踏まえて、キャッシュフロー・データの分析方法について確認する。

15	事前学習	教科書の第 1， 2， 5 ～ 7， 1 0， 1 1， 1 4， 1 5 章を読み，収益性と安全性の分析の概要を把握する。
	授業内容	収益性と安全性の分析の方法について，体系的なまとめを行う。
	事後学習	作成した四つのレポートを改めて読み直し，収益性と安全性を分析する方法について確認する。

科目名	経営法学特殊講義（企業と労働）Ⅰ	担当者	若林 広二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	企業を変革し従業員の働き方を変える上で、経営戦略の果たす役割が大きい。実在企業のケースに基づく課題に取り組むことで、経営戦略の主要理論の適用方法・適用範囲とその限界を理解する。特に「戦略プロファイリング」手法の修得に重点を置く。				
授業目的・到達目標	本講座では、組織体の戦略を策定しその実施を推進し、働き方を変えていくための実践的スキルを身につけることを目的とする。「経営学Ⅰ」で取り上げた経営戦略の主要理論の理解を前提に、より多くのケースに接することで、組織内のファシリテーターやリーダーとして戦略作りを推進できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	「経営学Ⅰ」の履修、あるいは、経営戦略の主要理論を理解していること。				
授業方法	ケース課題とそれに基づくクラス討議を中心とする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	クラス貢献 40%、課題 1 30%、課題 2 30% （注）成績評価方法は、状況に応じて変更されることがあります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない			
参 考 書	榊原清則『経営学入門（上）第2版』日本経済新聞社2013年、伊丹敬之・西野和美『ケースブック経営戦略の論理（全面改定版）』日本経済新聞社2012年				
オフィス アワー	水曜 18：30～19：30 木曜 15：00～16：10、18:00～19:00 金曜 19：00～20：00 （予約メール）wakabayashi.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「経営戦略Ⅰ」の授業コンテンツの復習
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	配布資料の復習
2	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業定義 1（理論）
	事後学習	配布資料の復習
3	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	事業定義 2（ケース）
	事後学習	配布資料の復習
4	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	戦略プロファイリング 1（理論）
	事後学習	配布資料の復習

5	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	製品・市場戦略1（理論）
	事後学習	配布資料の復習
6	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	製品・市場戦略2（ケース）
	事後学習	配布資料の復習
7	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	SWOTと業界構造分析1（理論）
	事後学習	配布資料の復習
8	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	SWOTと業界構造分析2（ケース1）
	事後学習	配布資料の復習
9	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	SWOTと業界構造分析3（ケース2）
	事後学習	配布資料の復習
10	事前学習	課題1回答（提出）
	授業内容	戦略プロファイリング2（ケース1）
	事後学習	配布資料の復習
11	事前学習	課題1回答修正（提出）
	授業内容	戦略プロファイリング3（ケース2）
	事後学習	配布資料の復習
12	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	P P M 1（理論）
	事後学習	配布資料の復習
13	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	P P M 2（ケース）
	事後学習	配布資料の復習
14	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	コア・コンピタンス（ケース）
	事後学習	配布資料の復習
15	事前学習	課題2回答（提出）
	授業内容	全体のまとめ（AI時代の経営戦略）
	事後学習	学生教員共有フォルダーから全事前配布資料（PDF）をダウンロード

科目名	経営法学特殊講義（企業と労働）Ⅱ	担当者	若林 広二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	多くの企業にとって、企業成長と働き方改革の両立が重要課題とされる。企業成長・働き方改革両立の鍵の一つが、イノベーションである。イノベーションとは「価値創造」であり、必ずしも技術革新を伴うものではないという認識の下、イノベーションの主要フレームワークをケースを用いながら理解する。				
授業目的・到達目標	本講座では、企業を成長させ従業員の働き方を変えるイノベーションとは何かを理解するとともに、その主要理論について学修することを目的とする。現象としてのイノベーションを、イノベーション理論で説明できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	事前課題とそれに基づくクラス討議を中心とする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	クラス貢献40%、中間課題20%、期末課題40% （注）成績評価方法は、状況に応じて変更されることがあります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	新世社		コア・テキスト イノベーション・マネジメント	近能善範 高井文子
	備考				
参考書	P.F. ドラッカー（上田惇夫監訳）『イノベーションと企業家精神[エッセンシャル版]』ダイヤモンド社2015年				
オフィスアワー	水曜 18：30～19：30 木曜 15：00～16：10、18:00～19:00 金曜 19：00～20：00 （予約メール）wakabayashi.koji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておく
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	配布資料の復習
2	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションの定義
	事後学習	配布資料の復習
3	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションとバリューチェーン（理論）
	事後学習	配布資料の復習
4	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションとバリューチェーン（ケース）
	事後学習	配布資料の復習

5	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションのライフサイクル
	事後学習	配布資料の復習
6	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションの連続性
	事後学習	配布資料の復習
7	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションとアーキテクチャ
	事後学習	配布資料の復習
8	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションの課題
	事後学習	配布資料の復習
9	事前学習	中間課題作成（提出）
	授業内容	中間課題プレゼンテーション
	事後学習	配布資料の復習
10	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションと知的財産
	事後学習	配布資料の復習
11	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションとBOP（ケース）
	事後学習	配布資料の復習
12	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーション組織
	事後学習	配布資料の復習
13	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションの評価
	事後学習	配布資料の復習
14	事前学習	指定資料の講読と課題への回答
	授業内容	イノベーションと経営戦略
	事後学習	配布資料の復習
15	事前学習	期末課題作成（提出）
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	学生教員共有フォルダーから全事前配布資料（PDF）をダウンロード

科目名	経営法学特殊講義(ビジネス法学入門)Ⅰ	担当者	南 健悟	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講義では、ビジネスにおいて必要となる法律知識について扱う。具体的には、会社法、民法及び商法における取引法、債権管理及び債権回収に関わる法的問題を中心とした講義を行う。更に、経済法、労働法や消費者法に関する企業法務にとって必要な法的知識のベースとなる制度等について説明を行う。				
授業目的・到達目標	この講義では、ビジネスにおいて必要とされる最低限の法的知識を知り、もって経営法学における基礎的な能力を涵養することを目的とする。企業経営にとって法的な知識は、今や必要不可欠となっている。些細な法令違反が企業の行き末を決める社会となっている現在、企業経営にとって最低限の法的知識は重要であることから、この講義により、企業経営にとって必要な最低限の法的素養を身につけることが到達目標である。				
履修条件	特になし（ただし、経営法学特殊講義Ⅱを引き続き履修することが望ましい）				
授業方法	原則として講義形式となるが、適宜予習等を促し、講義中に質疑応答を行うこともある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	定期試験において、択一・論述式による問題を出し、講義で扱った法的問題について適切に理解をしているかを確認する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に教科書等は指定しないが、既に持っている「民法」や「会社法」に関する教科書等があれば、それを持参すること。また、ビジネス法務実務検定やコンプライアンス検定の取得を目指す学生はその参考書等。			
参考書	林誠司編『カリンと学ぶ法学入門』（法律文化社、2015年）				
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自身の持っている教科書や参考書を確認しておく
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	この講義が扱う内容について教科書や参考書に目を通す
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	取引の法主体—法人制度概説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
3	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	株式会社の設立
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	株式制度（1）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

5	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	株式制度（2）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	株式会社の機関（1）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	株式会社の機関（2）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	株式会社の機関（3）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	組織再編行為
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	資金調達・会社の計算
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	取引法概論—典型契約
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	電子商取引・商法上の契約類型
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	契約・不法行為に基づく損害賠償責任
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	特殊不法行為責任
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
15	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	最後のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	経営法学特殊講義(ビジネス法学入門)Ⅱ	担当者	南 健悟	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講義では、ビジネスにおいて必要となる法律知識について扱う。具体的には、会社法、民法及び商法における取引法、債権管理及び債権回収に関わる法的問題を中心とした講義を行う。更に、経済法、労働法や消費者法に関する企業法務にとって必要な法的知識のベースとなる制度等について説明を行う。				
授業目的・到達目標	この講義では、ビジネスにおいて必要とされる最低限の法的知識を知り、もって経営法学における基礎的な能力を涵養することを目的とする。企業経営にとって法的な知識は、今や必要不可欠となっている。些細な法令違反が企業の行き末を決める社会となっている現在、企業経営にとって最低限の法的知識は重要であることから、この講義により、企業経営にとって必要な最低限の法的素養を身につけることが到達目標である。				
履修条件	特になし（ただし、経営法学特殊講義Ⅰを履修していることが望ましい）				
授業方法	原則として講義形式となるが、適宜予習等を促し、講義中に質疑応答を行うこともある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	定期試験において、択一・論述式による問題を出し、講義で扱った法的問題について適切に理解をしているかを確認する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に教科書等は指定しないが、既に持っている「民法」や「会社法」に関する教科書等があれば、それを持参すること。また、ビジネス法務実務検定やコンプライアンス検定の取得を目指す学生はその参考書等。			
参考書	林誠司編『カリンと学ぶ法学入門』（法律文化社、2015年）				
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自身の持っている教科書や参考書を確認しておく
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	この講義が扱う内容について教科書や参考書に目を通す
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	会社財産の管理に関する法律
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
3	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	債権管理と債権回収（1）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	債権管理と債権回収（2）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

5	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	債権管理と債権回収（3）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	債権の強制的回収
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	経済法入門
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	消費者法入門
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	労働法入門（1）—個別的労使関係法
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	労働法入門（2）—集団的労使関係法
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	民事訴訟手続入門
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	国際取引法入門（1）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	国際取引法入門（2）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	企業法務応用—敵対的企業買収と防衛策
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
15	事前学習	事前に配布されるレジュメ等を読む
	授業内容	最後のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	経済学 I	担当者	川又 祐	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現実社会で起こっている経済的事象を適宜紹介しながら、学生自らそれらを理解し、説明できるよう授業を行う。また、各種公務員試験や資格試験でも、経済学や財政学が重要科目となっている。経済学や財政学の学びを通じて、試験対策に役立つよう授業を行う。				
授業目的・到達目標	経済学を学ぶ必要性、そしてそのおもしろさを理解することを授業の目的とします。経済学の基本的な事項、概念を理解して、経済学原論（ミクロ経済学、マクロ経済学）や財政学などの経済科目の学習に対応できる力を獲得する。				
履修条件	とくになし				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	論述試験の成績で評価	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	弘文堂		経済学入門	山口正春、楠谷清編
	備考				
参 考 書	使用しない。				
オフィスアワー	毎週金曜日昼休み、本館8階の研究室で質問・相談に応じます。それ以外の時間でも、事前に連絡をもらえれば、対応可能です。kawamata.hiroshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読み、経済学の内容を理解する。経済学が想定する「経済人」を調べる。
	授業内容	第1章 経済学の基本問題と経済学の課題 1 経済と経済学 2 経済循環の構造 3 市場経済・計画経済・混合経済
	事後学習	ノートを整理して経済学の課題を整理する。
2	事前学習	市場機構の仕組みや役割を予習する。また経済学の歴史や流れを概観する。
	授業内容	4 市場機構の仕組み 5 経済学の歴史
	事後学習	興味ある経済学者について調べる。
3	事前学習	「経済主体」、「消費者」、「効用」、「無差別曲線」の概念を予習する。
	授業内容	第2章 消費者行動の理論 1 消費者行動 2 効用関数と無差別曲線
	事後学習	「経済主体」、「消費者」、「効用」、「無差別曲線」の概念を説明できるようにする。
4	事前学習	消費者の合理的行動について予習する。
	授業内容	3 最適消費の決定 4 所得変化と価格変化の効果
	事後学習	消費者の合理的行動を説明できるようにする。

5	事前学習	経済主体である「生産者（企業）」の概念を予習する。
	授業内容	第3章 生産者行動の理論 1 生産者の行動
	事後学習	生産者（企業）の目的を説明できるようにする。
6	事前学習	生産に必要なものは何か（生産要素）、を予習する。
	授業内容	2 生産関数
	事後学習	生産要素投入量と産出量（生産量）との関係を説明できるようにする。
7	事前学習	等費用線と等量曲線を予習する。
	授業内容	3 等費用線と費用最小化
	事後学習	費用最小化を説明できるようにする。
8	事前学習	生産量と生産費との関係を予習する。
	授業内容	4 費用関数
	事後学習	各種の費用関数をグラフ化できるようにする。
9	事前学習	生産者（企業）の合理的行動を予習する。
	授業内容	5 最適生産の決定
	事後学習	生産者（企業）の利潤極大条件を説明できるようにする。
10	事前学習	限界費用曲線と供給曲線との関係を予習する。
	授業内容	6 供給曲線
	事後学習	供給曲線がなぜ右上がりのグラフになるのか説明できるようにする。
11	事前学習	経済学でいう「市場」の概念を予習する。
	授業内容	第4章 競争市場均衡 1 市場の分類 2 市場均衡
	事後学習	需要曲線と供給曲線の関係を説明できるようにする。
12	事前学習	効用と利潤の概念を再確認する。
	授業内容	3 余剰分析
	事後学習	消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰を説明できるようにする。
13	事前学習	条件が変化したら需要曲線や供給曲線はどのように変化するかを予習する。
	授業内容	4 比較静学
	事後学習	与件の変化による市場均衡の変化を説明できるようにする。
14	事前学習	市場の種類を予習する。
	授業内容	第5章 不完全競争市場 1 独占市場 2 完全独占市場
	事後学習	独占市場を説明できるようにする。
15	事前学習	利潤極大化条件を再確認する。
	授業内容	3 価格差別 4 独占と資源配分の効率性 5 不完全競争と独占的競争 6 寡占市場とゲーム理論
	事後学習	独占における利潤極大化を説明できるようにする。

科目名	経済学 I	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講座では、経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生起する様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を学習する。経済学理論は大きくミクロ理論とマクロ理論に分類することが出来るが、この講座では、主に消費者（家計）、企業の行動分析に関するミクロ理論を学習し、市場の需要曲線と供給曲線を導出し、市場における価格決定の理論を学習する。				
授業目的・到達目標	中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎理論の修得を目的とする。 現代社会で生じる様々な経済現象にアプローチするための基礎的知識を修得するとともに、ミクロ・マクロ経済学や財政学、公共経済学、国際経済学といった応用経済学の理解を深めるに初級の経済理論の修得し、社会で生じる価格決定や価格の変動について、受講生が説明できることを目標とする。				
履修条件	なし				
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配付する。 スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		80%		筆記試験は経済学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された基本的な項目・事項について理解すること。
	平常評価		20%		レポート提出、授業への参加度によって評価する。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	弘文堂		『Next 教科書シリーズ 経済学入門』	山口・楠谷編著
	備考				
参考書	山崎昭著『ミクロ経済学入門』（日本評論社）、竹内靖雄著『経済思想の巨人たち』（新潮文庫）、その他、授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432）kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。 教科書を入手して、各章の冒頭にある導入説明を読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的にに行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 第1章の「1. 経済と経済学」「2. 経済循環の構造」「3. 市場経済・計画経済・混合経済」の部分を再度読み、経済と経済学の関係、経済用語の概念を考察する。
	授業内容	【経済学の基本問題と経済学の課題1】 経済と経済学の関係を学習し、経済学の主要テーマが何であるかを考察する。経済循環の構造を学習し、消費者（家計）、企業、政府との財や金の流れから経済主体の繋がりを考察する。市場経済・計画経済・混合経済の意味と各経済の違いを学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、第1章末の問題（1）と（2）を自分なりの説明をまとめる。
3	事前学習	教科書 第1章の「4. 市場機構の仕組み」を読み、市場機構の大枠を考察する。
	授業内容	【経済学の基本問題と経済学の課題2】 市場とは何か、財の価格と生産量はどのように決定するのか、価格が上がったり下がったりするのはなぜか、市場の需要曲線と供給曲線の意義を学習して市場機構の仕組みを考察する。
	事後学習	講義ノートを確認して、需要曲線や供給曲線が移動すると価格と生産量はどのように変化するか、作図してみよう。
4	事前学習	教科書 第1章の「5. 経済学の歴史」を読み、歴史に残る著名な経済学者の時代的背景や学説を考察する。
	授業内容	【経済学の基本問題と経済学の課題3】 経済学の大きな流れとして、重商主義、重農主義、アダム・スミス、リカード、マルサス、マルクス、ワルラス、マーシャル、ケインズ、フリードマン等の学説の特徴を学習し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートや配付資料を確認して、スミス、マルクス、ケインズの経済学の特質について自分なりの説明をまとめる。

5	事前学習	教科書 第2章の「1. 消費者行動」「2. 効用関数と無差別曲線」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【消費者行動の理論1】 消費者行動とは何か、また、消費者行動の分析に用いる効用関数と無差別曲線の概念を身近な例を挙げて学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題（1）と（2）を解いてみる。
6	事前学習	教科書 第2章の「3. 最適消費の決定」「4. 所得変化と価格変化の効果」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【消費者行動の理論2】 予算制約線の概念を学習し、予算制約線と無差別曲線を用いて、予算制約の下で消費者はどのように買い物をすれば満足を最大化できるか最適消費の決定を理解する。さらに、消費者の所得が変化や財の価格が変化が、消費者の財購入にどう影響するか学習する。また、財の価格変化と消費者の購入量変化から消費者の需要曲線を導出する。
	事後学習	講義ノートや配付資料を確認して、章末にある問題（3）と（4）を解いてみる。
7	事前学習	教科書 第3章の「1. 生産者の行動」、「2. 生産関数」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【生産者行動の理論1】 生産者の行動とは何を意味するのか学習する。また、生産要素の投入量と生産量の技術的關係を表す生産関数、等量曲線の概念、技術的限界代替率の概念、生産可能性フロンティアの概念を学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題（1）を解いてみる。
8	事前学習	教科書 第3章の「3. 等量曲線と費用最小化」、「4. 費用関数」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【生産者行動の理論2】 企業が生産要素を購入する費用に限りがある。その費用で購入できる生産要素の組み合わせを表す等費用線を学習する。等費用線と等量曲線から要素投入の最適条件を学習する。さらに、生産量と生産費用との關係を表す各種の費用関数を学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題（2）について自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	教科書 第3章の「5. 最適生産の決定」、「6. 供給曲線」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【生産者行動の理論3】 最適生産の決定を意味する利潤最大化の条件について学習する。また、財の市場価格変化と企業の各種費用曲線から企業の供給曲線を導出する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題（3）を自分なりの説明でまとめる。
10	事前学習	教科書 第4章の「1. 市場の分類」、「2. 市場の均衡」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【競争市場均衡1】 市場の分類と各市場の相違点を学習する。市場の需要曲線と供給曲線の導出方法を学習し、市場均衡の概念、部分均衡と一般均衡の概念、安定分析、について学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題（1）と（2）を自分なりの説明でまとめる。
11	事前学習	教科書 第4章「3. 余剰分析」、「4. 比較静学」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【競争市場均衡2】 経済学における効率性の基準を表す余剰の概念と余剰分析を学習する。また、市場の需要曲線、供給曲線のシフト（移動）の原因を学習し、シフトによって市場価格、取引量に変化が生じることを考察する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認し、章末の問題（3）を自分なりの説明でまとめる。
12	事前学習	教科書 第5章「1. 独占市場」、「2. 完全独占市場」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【不完全競争市場1】 独占市場とはどのような市場をいうのか学習する。完全独占市場における独占企業の特徴を完全競争市場における企業と比較して学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、完全競争市場に在る企業の個別需要曲線と独占企業の個別需要曲線の相違について自分なりの説明をまとめる。
13	事前学習	教科書 第5章の「3. 価格差別」、「4. 独占と資源配分の効率性」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【不完全競争市場2】 価格差別の概念を学習。また、独占が資源配分の非効率をもたらし、結果として、社会に損失をもたらすことを余剰概念を用いて理論的に学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題（1）と（2）について自分なりの説明でまとめる。
14	事前学習	教科書 第5章の「5. 不完全競争と独占的競争」、「6. 寡占市場とゲームの理論」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【不完全競争市場3】 不完全競争理論と独占的競争理論とはそれぞれどのような状況を想定した理論であるのか学習する。また独占度の測定理論であるラーナーの尺度を学習。さらに、寡占市場の企業戦略を分析するゲームの理論を学習する。
	事後学習	囚人のジレンマ理論が、社会的取引や国家間の取引のどのような場面の分析に応用できるか、自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、ミクロ経済学の体系を考察する。
	授業内容	講義のまとめ
	事後学習	初回からの教科書の各章と授業ノートを見直し、期末試験に向けて準備をする。

科目名	経済学 I	担当者	斎藤 英明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	経済学の基本的な理論を学びながら、それが日常生活にどのように関係しているのかを学びます。そして、現在の日本が抱えている問題に対して自分なりの考えを自分の言葉で伝えられるようにします。				
授業目的・到達目標	新聞やニュースなどを通して伝えられる政治経済の諸問題は、さまざまな形で私たちの生活と関係しています。経済学の授業では、日々伝えられる事柄が、どのような仕組みによって発生し、どのようにして私たちの生活に影響しているかについて学習します。政治経済の問題に興味・関心を持ち、積極的に目を向ける習慣を身に付けることが最大の目標です。そして、さまざまな理論や考え方を学びながら、自分の意見を自分の言葉で表現できるようにすることがそれに次ぐ目標です。				
履修条件	特に条件はありません。経済学の基本から学びますので、高校生の時やこれまでに政治経済を学んだことがなくても問題ありません。				
授業方法	【授業計画】にしたがって、講義形式で進めます。授業の最後に質問やコメントを書いてもらい、次の授業でレスポンスするなど、双方向性を高めたいと考えています。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業で学んだ理論や考え方が身に付き、自分の言葉で説明できるようになっているかを筆記試験にて判断します。	
	平常評価		30%	授業へ臨む態度、有意義な質問やコメントなどから判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。授業で使用する教材については、毎回ポータル等を通じて配布します。			
参考書	山口正春・楠谷清編著（2015）『Next教科書シリーズ 経済学入門』弘文堂 その他、必要に応じて適宜紹介します。				
オフィスアワー	下記のアドレスにメールを送ってください。 hideaki_saito318@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞やニュース等で経済について触れましょう。
	授業内容	ガイダンス ・履修上の注意点、成績評価の方法等の説明 ・授業でどのようなことを学ぶのか
	事後学習	授業への臨み方を確認しておきましょう。
2	事前学習	新聞やニュース等で経済について触れましょう。
	授業内容	経済学の見方・考え方を身に付けよう（1） ・稀少性、トレード・オフ、機会費用、限界、インセンティブ、取引
	事後学習	経済の見方・考え方を確認して、実生活での具体例を考えてみましょう。
3	事前学習	新聞やニュース等で経済について触れましょう。
	授業内容	経済学の見方・考え方を身に付けよう（2） ・見えざる手、政府の介入、生産性、インフレーション、失業、経済の三主体
	事後学習	経済の見方・考え方を確認して、実生活での具体例を考えてみましょう。
4	事前学習	私たちはどのように行動をするか考えてみましょう。
	授業内容	経済の主役は誰だろうか（1） ・家計の目的と役割
	事後学習	家計の目的と役割を確認しておきましょう。

5	事前学習	企業の行動基準を考えてみましょう。
	授業内容	経済の主役は誰だろうか（2） ・企業の目的と役割
	事後学習	企業の目的と役割を確認しておきましょう。
6	事前学習	政府はどのようなことを私たちにしてくれているのか考えてみましょう。
	授業内容	経済の主役は誰だろうか（3） ・政府の目的と役割，三主体の関係
	事後学習	政府の目的と役割を確認しておきましょう。
7	事前学習	自分がお小遣いやアルバイト代をどのように使っているか考えてみましょう。
	授業内容	消費者の行動を考えてみよう（1） ・無差別曲線と予算制約線
	事後学習	予算制約線と無差別曲線のグラフを自分で描いてみましょう。
8	事前学習	最も幸せを感じられるお金の使い方を考えてみましょう。
	授業内容	消費者の行動を考えてみよう（2） ・最適消費の決定
	事後学習	最適消費点をグラフで説明できるようにしましょう。
9	事前学習	お小遣いやアルバイト代が増えた場合のお金の使い方の変化を考えてみましょう。
	授業内容	消費者の行動を考えてみよう（3） ・所得効果と代替効果
	事後学習	所得効果と代替効果をグラフを使って説明してみましょう。
10	事前学習	企業の行動基準を思い出してみましょう。
	授業内容	生産者の行動を考えてみよう ・生産要素が1つの場合
	事後学習	生産は何によって行われているか確認しておきましょう。
11	事前学習	どのような時に取引が行われるか考えてみましょう。
	授業内容	価格と取引量の決まり方を知ろう（1） ・市場とは何か ・需要と供給①
	事後学習	市場，需要，供給の言葉の意味を整理しておきましょう。
12	事前学習	何を基準にして財・サービスを購入するか考えてみましょう。
	授業内容	価格と取引量の決まり方を知ろう（2） ・需要と供給② ・政府の政策の影響
	事後学習	政府が市場に介入した場合の影響をグラフを使って説明できるようにしましょう。
13	事前学習	自分の住んでいる市区町村が提供しているサービスを探してみましょう。
	授業内容	市場が上手く機能しないと何が起こるか（1） ・外部性、公共財
	事後学習	政府の存在理由を整理しましょう。
14	事前学習	価格が一方的に決められている財・サービスを探してみましょう。
	授業内容	市場が上手く機能しないと何が起こるか（2） ・不完全競争市場
	事後学習	不完全市場の弊害を復習しておきましょう。
15	事前学習	第1回～第14回の内容を思い出しておきましょう。
	授業内容	授業のまとめと復習 ・授業の復習 ・準備のポイント説明
	事後学習	これまでの内容を復習して，試験に備えましょう。

科目名	経済学 I	担当者	横溝 えりか	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、経済学が扱う問題を紹介した後、市場経済について説明します。説明にあたり、経済学で用いる基本的な概念と専門用語を紹介していきます。その上で政府の役割について考え、さらに企業行動分析、消費者行動分析の基礎理論を学びます。			
授業目的・到達目標	経済学が扱おうとする問題を知ること。経済学で用いる基本概念を理解し、今後、経済学科目を履修するための基礎作りを目指します。			
履修条件	経済学をはじめて学ぶ学生を対象とします。			
授業方法	講義形式で行います。また授業中に、小テストを実施します。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	経済学で用いる基本概念を理解していること。 政府の役割、企業行動分析、消費者行動の基礎理論を理解していること。	
	平常評価	30%	授業時間中に実施する小テストで評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018	有斐閣	ベーシック経済学	古沢泰治・塩路悦朗
	備考			
参考書	西村和雄著『ミクロ経済学(現代経済学入門)』岩波書店			
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	経済学を学ぶにあたって
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
2	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	需要と供給 需要曲線
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
3	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	需要と供給 供給曲線
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
4	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	市場均衡
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。

5	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	余剰
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
6	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	市場への政府介入
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
7	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	市場の失敗 外部経済
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
8	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	企業行動 生産費用と生産量
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
9	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	企業行動 完全競争
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
10	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	企業行動 独占
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
11	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	消費者行動 無差別曲線
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
12	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	消費者行動 予算制約
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
13	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	消費者行動 所得・価格の変化と財需要
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
14	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	市場の失敗と政府の役割
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。
15	事前学習	教科書を利用する。
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する。

科目名	経済学Ⅱ	担当者	川又 祐	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現実社会で起こっている経済的事象を適宜紹介しながら、学生自らそれらを理解し、説明できるよう授業を行う。また、各種公務員試験や資格試験でも、経済学や財政学が重要科目となっている。経済学や財政学の学びを通じて、試験対策に役立つよう授業を行う。			
授業目的・到達目標	経済学を学ぶ必要性、そしてそのおもしろさを理解することを授業の目的とします。経済学の基本的な重要事項、概念を理解して、経済学原論（ミクロ経済学、マクロ経済学）や財政学などの経済科目の学習に対応できる力を獲得する。			
履修条件	経済学Ⅰを履修していることが望ましい。			
授業方法	講義形式			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		100%	論述試験の成績で評価
	平常評価		0%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015	弘文堂	経済学入門	山口正春、楠谷清編
	備考			
参考書	使用しない。			
オフィスアワー	毎週金曜日昼休み、本館8階の研究室で質問・相談に応じます。それ以外の時間でも、事前に連絡をもらえれば、対応可能です。kawamata.hiroshi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国民所得の概念を予習する。
	授業内容	第16章 国民所得のさまざまな概念 1 国民所得 2 国内総生産 3 名目GDPと実質GDP 4 三面等価の原則
	事後学習	GDPの概念を説明できるようにする。
2	事前学習	ケインズの業績を調べる。
	授業内容	第7章 均衡国民所得の決定 1 総需要と総供給 2 消費、投資と乗数効果の関係
	事後学習	有効需要の原理、乗数理論を説明できるようにする。
3	事前学習	自発的失業と非自発的失業を調べる。
	授業内容	3 均衡国民所得の決定
	事後学習	完全雇用の概念を説明できるようにする。
4	事前学習	貨幣の役割を調べる。
	授業内容	第8章 貨幣と金融 1 貨幣とは 2 貨幣の供給と需要
	事後学習	貨幣の機能を説明できるようにする。

5	事前学習	直接金融と間接金融の違いを調べる。
	授業内容	3 金融とは 4 金融機関と金融市場
	事後学習	金融機関の役割を説明できるようにする。
6	事前学習	流動性選好を調べる。
	授業内容	第9章 IS-LM分析と財政・金融政策 1 IS-LM分析の意義 2 財市場の均衡を表すIS曲線 3 貨幣市場の均衡を表すLM曲線
	事後学習	IS曲線とLM曲線を説明できるようにする。
7	事前学習	IS曲線とLM曲線を復習する。
	授業内容	4 財市場と貨幣市場の同時均衡 5 財政・金融政策 6 IS-LM分析による財政・金融政策の効果
	事後学習	クラウディングアウトを説明できるようにする。
8	事前学習	財政の役割を調べる。
	授業内容	第10章 財政学の基礎 1 政府の経済活動 2 財政 3 日本の財政問題
	事後学習	財政の3大機能を説明できるようにする。
9	事前学習	財政学と公共経済学の関係を調べる。
	授業内容	第11章 公共経済学の基礎 1 公共経済学とは何か 2 市場の機能と失敗
	事後学習	市場の役割と市場の失敗を説明できるようにする。
10	事前学習	公共財の概念を予習する。
	授業内容	3 公共財の供給 4 外部性 5 自然独占
	事後学習	純粋公共財と準公共財を説明できるようにする。
11	事前学習	大戦後の日本経済の歴史を調べる。
	授業内容	第12章 日本経済論 1 日本経済の歩み 2 日本経済の構造
	事後学習	日本経済の特徴を説明できるようにする。
12	事前学習	バブル経済とその崩壊を調べる。
	授業内容	3 日本経済のターニングポイント 4 日本の改革とその現状
	事後学習	日本経済の課題を説明できるようにする。
13	事前学習	リカードの業績を調べる。
	授業内容	第13章 国際経済学入門 1 国際貿易の基礎理論
	事後学習	比較優位の原理を説明できるようにする。
14	事前学習	外国為替相場の仕組みを予習する。
	授業内容	2 外国為替制度と国際収支の構造
	事後学習	国際収支を説明できるようにする。
15	事前学習	IS曲線、LM曲線を復習する。
	授業内容	3 オープンマクロと経済政策
	事後学習	固定為替相場と変動為替相場における経済政策の効果を説明できるようにする。

科目名	経済学Ⅱ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講座では、経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生起する様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を学習する。経済学理論は大きくミクロ理論とマクロ理論に分類することが出来るが、この講座では、主にマクロ経済に分類される国民所得決定に関する基礎理論を学習し、さらに、経済学の応用科目である財政学、公共経済学、国際経済学といった科の基礎理論を学習する。			
授業目的・到達目標	中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎理論の修得を目的とする。 現代社会で生じる様々な経済現象にアプローチするための主に基礎的なマクロ経済理論（国民所得決定の理論）を修得するとともに、経済学の応用科目である財政学、公共経済学、国際経済学といった科目の理解を深める初級の経済理論の修得し説明できるようになることを目標とする。			
履修条件	経済学Ⅰを履修していること。			
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配付する。 スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	筆記試験は経済学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された基本的な項目・事項について理解すること。	
	平常評価	20%	レポート提出、授業への参加度も評価の対象とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	弘文堂	『Next 教科書シリーズ 経済学入門』	山口・楠谷編著
	備考			
参考書	授業中に適宜、紹介する。			
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。 教科書を入手して、各章の冒頭にある導入説明を読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 「第6章 国民所得のさまざまな概念」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【国民所得のさまざまな概念1】 マクロ経済学の分析手法の特徴点と意義を学習し、また、国民所得決定の理論とも呼ばれるマクロ経済学の基礎概念である、国民所得、国内総生産、名目GDPと実質GDP、三面等価の原則について学習し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題について自分なりの説明をまとめる。
3	事前学習	教科書 第7章の「1．総需要と総供給」、「2．消費、投資と乗数効果の関係」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【均衡国民所得の決定1】 総需要と総供給の概念を学習し、総需要額と総供給額が等しくなるときに国民所得の額が決まることを学習する。所得と消費支出の関係を表す消費関数を学習し、さらに投資が行われると国民所得が増えること、投資が行われると投資額の数倍の国民所得が増えるという乗数効果の理論を学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末にある問題を解いてみる。

4	事前学習	教科書 第7章の「3. 均衡国民所得の決定」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【均衡国民所得の決定2】 国民所得の規模（金額）の決定を重要な恒等式と作図によって学習する。
	事後学習	教科書、講義ノート、配付資料を確認して、以下の問題を解きなさい。 $C=40+0.6Y$ （消費関数）、 $I=100$ （投資額）、 $G=50$ （政府支出額）のとき、 （問） Y （ $GDP=国民所得$ ）の金額を求めよ。
5	事前学習	教科書 第8章の「1. 貨幣とは」、「2. 貨幣の供給と需要」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【貨幣と金融1】 貨幣とは何か、貨幣のもつ機能と貨幣の範囲から学習する。 貨幣供給（マネーサプライ又はマネースtock）と貨幣需要、信用創造、流動性選好説の各概念について学習する。
	事後学習	教科書、講義ノート、配付資料を確認して、章末の問題（1）と（2）について、自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	教科書 第8章の「3. 金融とは」、「4. 金融機関と金融市場」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【貨幣と金融2】 金融とは何を意味するのか学習し、また、金融機関の分類と金融市場の分類について学習する。
	事後学習	教科書、講義ノート、配付資料を確認して、章末の問題（3）と（4）について、自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	教科書 第9章の「1. $IS-LM$ 分析の意義」、「2. 財市場の均衡を表す IS 曲線」、「3. 貨幣市場の均衡を表す LM 曲線」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【 $IS-LM$ 分析と財政・金融政策1】 財市場と金融市場はお互いに影響を及ぼし合っている。財市場と金融市場の相互作用を同時に捉えることによって、国民所得の決定を分析する $IS-LM$ 分析について、学習する。
	事後学習	横軸に国民所得（ Y ）、縦軸に利子率（ r ）を表したとき、 IS 曲線が右下がりに表されること。また、 LM 曲線が右上がりに表されることを、自分なりの説明をまとめる。
8	事前学習	教科書 第9章の「4. 財市場と貨幣市場の同時均衡」、「5. 財政・金融政策」、「6. $IS-LM$ 分析による財政・金融政策の効果」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【 $IS-LM$ 分析と財政・金融政策2】 前回の学習を踏まえて、財市場と貨幣市場の同時均衡を作図して学習する。 財政政策の役割と手段、金融政策の目的と手段を学習し、 $IS-LM$ 分析によって、財政政策と金融政策の効果の違いを学習する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題を解いてみる。
9	事前学習	教科書 「第10章 財政学の基礎」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【財政学の基礎】 経済循環の図によって、政府と民間部門（家計、企業）の繋がりを学習する。 財政の役割は何か、財政学の研究対象は何か、日本の財政の問題点は何か等について学習する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題について自分なりの説明をまとめる。
10	事前学習	教科書 第11章の「1. 公共経済学とは何か」、「2. 市場の機能と失敗」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【公共経済学の基礎1】 市場の失敗を明らかにし、その失敗を解決するには政府はどのような調整策を採るべきかを提案する学問が公共経済学の特徴点であることを学習する。
	事後学習	市場の機能とメリットは何か、教科書、講義ノートと配付資料を確認して、自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	教科書 第11章の「3. 公共財の供給」、「4. 外部性」、「5. 自然独占」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【公共経済学の基礎2】 どのような場合に市場は失敗してしまうのか、つまり、最適（効率的）資源配分を実現することが出来ないのか学習し、どのような調整策があるかを考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題を解いてみる。
12	事前学習	教科書 「第12章 日本経済論」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【日本経済論】 日本経済の歩みを、戦後から高度成長の時代を概観し、行動成長を可能とした要因を学習する。 現代のデフレーションの状態、将来に向けての日本経済の改革の現状を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題について自分なりの説明をまとめる。
13	事前学習	教科書 第13章の「1. 国際貿易の基礎理論」、「2. 外国為替制度と国際収支の構造」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【国際経済学入門1】 国際貿易の基礎理論として、比較優位の原理、ヘクシャーオリーン定理を学習し、近代貿易理論の展開を概観する。 また、外国為替制度と国際収支の構造について、外国為替相場と国際通貨制度や国際収支の構造、経常収支の国内マクロ経済との関連、為替相場の変動と経常収支を挙げて学習する。
	事後学習	章末の問題（1）と（2）について、自分なりの説明をまとめる。
14	事前学習	教科書 第13章の「3. オープンマクロと経済政策」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【国際経済学入門2】 オープンマクロと経済政策として、マンデル＝フレミングモデルを学習し、財政政策の効果と金融政策の効果の違いを学習する。
	事後学習	章末の問題（3）について、自分なりの説明をまとめる。

15	事前学習	初回からの教科書の該当する各章と講義ノートと配付資料を見直し、マクロ経済学のポイント、財政学や公共経済学などの研究テーマを確認する。
	授業内容	講義のまとめとして、マクロ経済学のポイント、財政学、公共経済学、日本経済論、国際経済学といった経済学の応用分野の研究テーマのポイントを整理する。
	事後学習	初回からの教科書の該当する各章と講義ノートと配付資料を見直し、期末テストの準備をする。

科目名	経済学Ⅱ	担当者	斎藤 英明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	経済学の基本的な理論を学びながら、それが日常生活にどのように関係しているのかを学びます。そして、現在の日本が抱えている問題に対して自分なりの考えを自分の言葉で伝えられるようにします。			
授業目的・到達目標	新聞やニュースなどを通して伝えられる政治経済の諸問題は、さまざまな形で私たちの生活と関係しています。経済学の授業では、日々伝えられる事柄が、どのような仕組みによって発生し、どのようにして私たちの生活に影響しているかについて学習します。政治経済の問題に興味・関心を持ち、積極的に目を向ける習慣を身に付けることが最大の目標です。そして、さまざまな理論や考え方を学びながら、自分の意見を自分の言葉で表現できるようにすることがそれに次ぐ目標です。			
履修条件	特に条件はありません。経済学の基本から学びますので、高校生の時やこれまでに政治経済を学んだことがなくても問題ありません。			
授業方法	【授業計画】にしたがって、講義形式で進めます。授業の最後に質問やコメントを書いてもらい、次の授業でレスポンスするなど、双方向性を高めたいと考えています。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	授業で学んだ理論や考え方が身に付き、自分の言葉で説明できるようになっているかを筆記試験にて判断します。	
	平常評価	30%	授業へ臨む態度、有意義な質問やコメントなどから判断します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特に指定しません。授業で使用する教材については、毎回ポータル等を通じて配布します。		
参考書	山口正春・楠谷清編著（2015）『Next教科書シリーズ 経済学入門』弘文堂 その他、必要に応じて適宜紹介します。			
オフィスアワー	下記のアドレスにメールを送ってください。 hideaki_saito0318@yahoo.co.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞やニュース等で経済について触れましょう。
	授業内容	ガイダンス ・履修上の注意点、成績評価の方法等の説明 ・授業でどのようなことを学ぶのか
	事後学習	授業への臨み方を確認しておきましょう。
2	事前学習	財が生産される過程を考えておきましょう。
	授業内容	国の経済規模を計ってみよう ・国民経済計算 ・産業連関表
	事後学習	産業連関表の見方を復習しておきましょう。
3	事前学習	国内総生産の意味を調べておきましょう。
	授業内容	「景気が良い」とはどういう状況だろう（1） ・GDPとは何か ・名目GDPと実質GDPの違い
	事後学習	名目と実質の違いを説明できるようにしておきましょう。
4	事前学習	どんな時に景気が良いと感じるか考えてみましょう。
	授業内容	「景気が良い」とはどういう状況だろう（2） ・国民所得が変化する理由 ・景気の移り変わり
	事後学習	景気循環を整理しておきましょう。

5	事前学習	三面等価の原則を思い出しておきましょう。
	授業内容	国民所得をコントロールすることは可能か ・45度線分析を使った国民所得の決定
	事後学習	45度線分析をグラフを使って説明できるようにしましょう。
6	事前学習	GDPの構成要素を確認しておきましょう。
	授業内容	国民所得を増やす方法を考えてみよう（1） ・財市場とIS曲線
	事後学習	IS曲線の求め方を復習しておきましょう。
7	事前学習	政府の目的と役割を思い出しておきましょう。
	授業内容	国民所得を増やす方法を考えてみよう（2） ・財政の仕組みと財政政策
	事後学習	財政政策の効果と弊害を確認しておきましょう。
8	事前学習	貨幣の種類を調べておきましょう。
	授業内容	お金の持っている機能と役割を知ろう
	事後学習	貨幣の機能を復習しておきましょう。
9	事前学習	貨幣需要と貨幣供給を調べておきましょう。
	授業内容	別の方法で国民所得を増やしてみよう（1） ・貨幣市場とLM曲線 ・日本銀行と金融政策
	事後学習	LM曲線の求め方を復習おきましょう。
10	事前学習	IS曲線とLM曲線の求め方を思い出しておきましょう。
	授業内容	別の方法で国民所得を増やしてみよう（2） ・IS曲線とLM曲線の統合
	事後学習	均衡利子率と均衡国民所得を求められるようにしましょう。
11	事前学習	公債の種類を調べておきましょう。
	授業内容	日本が抱えている問題を知ろう ・公債とは何か ・公債発行の弊害
	事後学習	公債は誰の負担になるか確認しておきましょう。
12	事前学習	日本にある租税を調べてみましょう。
	授業内容	稼いだお金はすべて自分のものか（1） ・租税とは何か
	事後学習	租税原則を確認しておきましょう。
13	事前学習	所得とは何か調べておきましょう。
	授業内容	稼いだお金はすべて自分のものか（2） ・所得税と住民税の仕組み
	事後学習	所得税と住民税の納税先を整理しておきましょう。
14	事前学習	身近にある消費税がかかる財・サービスを考えてみましょう。
	授業内容	稼いだお金はすべて自分のものか（3） ・消費税の仕組み
	事後学習	消費税の納税先を確認しておきましょう。
15	事前学習	第1回～第14回の内容を思い出しておきましょう。
	授業内容	授業のまとめと復習 ・授業の復習 ・試験準備のポイント説明
	事後学習	これまでの内容を復習して、試験に備えましょう。

科目名	経済学Ⅱ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、代表的な経済指標の読み方、およびマクロ経済活動の測定や分析のための基礎理論を学びます。同時に、この基礎理論を用いて、財政・金融政策がどのような目的で実施されるのか、政策的な視野も学びます。				
授業目的・到達目標	代表的な経済指標が読めるようになること、マクロ経済活動の測定や分析のための基礎理論を理解することを目的・目標とします。				
履修条件	経済学Ⅰの受講を終えていることが望ましい				
授業方法	講義形式で行います。また授業中に、小テストを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	代表的な経済指標が読めるか。 マクロ経済活動の測定や分析のための基礎理論を理解しているか。	
	平常評価		30%	授業時間中に実施する小テストで評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	有斐閣		マクロ経済学・入門 第5版	福田慎一・照山博司
	備考				
参考書	古沢泰治・塩路悦朗著『ベーシック経済学』有斐閣				
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	国内総生産 (GDP)
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
2	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	産業連関表
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
3	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	名目GDPと実質GDP、GDPデフレーター、経済成長率
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
4	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	物価指数、インフレーション
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

5	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	景気判断の指標
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
6	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	GDPの三面等価
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
7	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	マクロ経済の鳥瞰図
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
8	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	消費関数
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
9	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	GDP水準の決定
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
10	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	有効需要と乗数メカニズム
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
11	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	投資・IS曲線の導出
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
12	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	貨幣市場、LM曲線の導出
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
13	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融政策の効果
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
14	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	財政政策の効果
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
15	事前学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

科目名	経済行政法Ⅰ	担当者	友岡 史仁	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	世の中多くの場所で国や公共団体が規制を行っています。このような規制が、私たちの日常生活（経済活動）にどのような影響を与えているかを法的に見ようというのが、この授業の主な目的です。規制は必要と考えられるので行われますが、不要となると本当はそれをやめるべきです。しかしながら、利害関係が複雑に絡み合うのでなかなかそういうわけにはいきません。このような状態をどのように考えたらよいのかを具体例を交えながら検討します。				
授業目的・到達目標	国や公共団体が私たちの日常生活（経済活動）を規制する場合、それを「行政上の規制」と呼ぶことができます。これまで国は「公的規制」と呼んできましたが、その規制が効率的であるべきなのに非効率化したり、時代の変化で技術が各段に成長したりして、規制が不要となってきました。しかし本当のところは、非常に多くの規制が残ったり、逆に規制が生み出されたりしているのが実態です（典型例として、情報通信改革・電力改革等）。本授業では、このような「行政上の規制」の具体例を学ぶことを主な目的として、それにかかわる諸問題を法的思考（リーガルマインド）で解き明かすための能力を身につけられるようにします。				
履修条件	憲法、民法、行政法を履修していることが望ましいのですが、初めて法律科目を学ぶ履修予定者も考慮します。				
授業方法	講義およびケーススタディになります。担当者が執筆したテキストを中心に進めますが、最新事情を交えた時事問題にも触れます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	説明問題（いわゆる「一行問題」）と事例問題を併せた設問を出します。これらはともに講義中に触れることばかりですので、常に聞き逃さないように出席を心がけてください。	
	平常評価		0%	ここでは0％としていますが、履修者数との兼ね合いから、レポート課題を課すこともあり、仮にその場合であれば、筆記試験とあわせてその結果を加味することがあります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	弘文堂		要説経済行政法	友岡史仁
	備考				
参考書	詳細は初回講義時に提示します。				
オフィスアワー	火曜日 14：30/木曜日 21：10 都度質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本授業で用いる教科書の最初（第1部のサマリー）を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政法総論（総説）——経済行政法の位置づけ（1）経済行政とは何か？公的規制と規制緩和の関係。民間化・民営化などのキーワードを説明し、これから本授業で扱う論点などを概説します。
	事後学習	授業内容について次の回につなげられるよう、当日扱った教科書の該当箇所をもう一度読んでみましょう。次に出てくる具体例も想定してみてください。
2	事前学習	第1回目で取り上げた授業内容から、教科書ではどのような話が登場するのかを自分なりに考えてみましょう。
	授業内容	経済行政法の位置付け（2）経済行政上の規制のとらえ方、経済行政法の位置付け等について説明していきます。「経済行政法」という授業は、他の法律分野とは異なり位置づけが難しいところがあります。それを平易に解説します。
	事後学習	第1回目と第2回目の授業内容を比較して、自分が接した時事問題とどのように関係するかを考えよう。第3回目につなげてみましょう。

3	事前学習	第2回目の事後学習で踏まえた時事問題がどのように法的に問題となるのかを考えるため、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政法の位置付け（3）経済行政と法治主義、公的規制の機能、独禁法の適用関係などの多様な論点について、学んでいきます。
	事後学習	今回の授業内容は、本授業の中でももっともコアとなり学習するうえでも基礎的な内容を含むものですので、応用的論点に移る前に今一度その内容を復習してみましょう。
4	事前学習	第3回目での基礎的な議論が、他の法分野とどのように関係するかを考えるため、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政法の位置付け（4）経済行政の歴史と外国法のほか、隣接諸分野との関係として、憲法、民事法、経済法・独禁法、刑事法等を取り上げます。独禁法の適用関係は第3回目で触れていますが、ここで改めて触れることにします。
	事後学習	他の法分野は受講生の中にはまだ学んだことのない諸君もおられるはずですので、今回の授業の復習を兼ねて、どのような法分野が経済行政法と関わり合いがあるのかを思い描いて見ましょう。
5	事前学習	今回の授業から、法解釈の方法について学んでいきます。本授業では特に行政法・経済法（独禁法）との接点が密接なため、その両方（または行政法を中心に）について、教科書を通じて学ぶよう心がけてください。
	授業内容	経済行政過程論（1）経済行政の基本的前提となる二面関係・三面関係、および公法私法の関係等について取り上げます。これらは、行政法の講義でも触れる箇所ですが、経済活動を視野に入れて、具体例を織り交ぜながら検討します。
	事後学習	理論的な問題、事例的な議論が複雑に絡み合ってきますので、その整理をこの段階でしてみましょう。
6	事前学習	第5回目の事後学習を通じて得られた概念が、どのように実際に応用されているかを学ぶ必要があり、そのことがまさにこの回の授業内容になりますので、該当箇所の教科書を一読しておきましょう。
	授業内容	経済行政過程論（2）経済行政の政策論であり、経済行政における政策、政策過程がどのように具体的課題と接点を持つかについて検討するものです。本来、法律は条文を解釈するものと思われがちですが、経済行政の世界では政策の実現可能性を踏まえた検討が必要ですので、このことを意識することになります。
	事後学習	授業では経済政策を中心としてどのように形成されていったのかといった歴史的な過程を中心に議論の対象にしていますので、これまで学んできた歴史を中心に、自分の知識と照らし合わせてみましょう。
7	事前学習	経済政策の形成を歴史的にとらえる前回の授業に引き続き、それが具体的にどのような形になっていくのかについて、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政過程論（3）経済行政計画は経済政策の実現のための具体的なロードマップを示したものですが、それがどのように形作られ、それとあわせて、実現過程の中で国民の意思がどのように反映されるのか（国民参加）について、学びます。
	事後学習	難しい言葉が連続して出てきますので、授業で扱われた専門的単語を今一度復習してみましょう。
8	事前学習	今回からは「行為形式」として、国や公の団体がどのように「規制」を行っているかという形式面について議論するものです。このため、できる限り「経済行政過程論」を扱う部分の教科書を、読むようにしておきましょう。
	授業内容	経済行政過程論（4）経済行政における行為形式（1）として、この回では行政立法について学びます。法律では規定されていない事柄について、いったいどのような形で「規制」するのかという視点から、説明していきます。その中でも、経済行政法として最も多用されている「通達」の形式について、その機能等を学びます。
	事後学習	複雑な構造を伴う「規制」を具体例を持って説明されますので、どのようにその「規制」が機能しているのかを、時事問題を交えながら考えてみてください。
9	事前学習	前回の授業で扱った形式以外のものを取り上げる観点から、該当箇所の教科書を読むようにしておきましょう。
	授業内容	経済行政過程論（5）経済行政における行為形式（1）として、「行政処分」について学びます。行政法の履修者はこの表現に聞き覚えがあると思いますが、そうではない諸君に対して、ここでイメージ作りをしてもらうよう試みます。その内容としては、伝統的な整理方法のほかに、詳しい機能ごとに整理します。
	事後学習	許認可と呼ばれる行為形式を今回は学びましたので、自ら日頃接する時事問題に照らして頭にその内容を吸収しましょう。
10	事前学習	今回は前回までに学んだ行為形式とは違い、民法などで取り上げられる「契約」をベースにした議論になります。ですので、民法を履修中または履修済の諸君は、そこで学んでいる（学んだ）内容を思い浮かべながら、該当箇所の教科書を一読しましょう。
	授業内容	経済行政過程論（6）経済行政における行為形式（2）として、「行政契約」という内容について、経済活動への「規制」という視点にてらして論じます。通常の契約は対等な当事者間で成立しますが、ここでは一方的な義務を負う側（国・公共団体等）に関する法的問題、その他、公のサービスを民間企業が行う場合の課題について、取り上げる予定です。
	事後学習	今回は、行為形式の中でも、どのような実体があるのかという「現象面」で議論していますので、講義を通じてわかりにくいと感じる諸君については、そこで話された事実がどのように身近な場面で起きているかを思い浮かべるようにしてください。
11	事前学習	「規制」は表面上行われても、それが実際に受け手の側で守られなければ意味がありません。なので、該当箇所の教科書を読むことで、どのような手段がそのためにあるのかについて予習してみましょう。
	授業内容	経済行政過程論（7）経済行政上のエンフォースメント（実効性確保）を取り上げます。独禁法などでは一般的な課徴金納付命令、公共的なサービスでは問題の多い役務提供拒否（給付拒否）などが、この具体例になります。
	事後学習	ここでも専門用語がたくさん出てきますので、一つ一つの意味合い（使われ方など）に気をつけながら、疑問点を集約しておきましょう。
12	事前学習	経済行政における行為形式に取り上げた一連の手段は、かなり政策とからみ合わさりながら実行に移されていますので、該当箇所の教科書を一読することで、それらがどのような組織により実行されているのかを意識してみましょう。
	授業内容	経済行政過程論（8）経済行政組織という名称で、「総合調整機能」といった複雑な問題の解決に関する具体的課題、そのた組織として独任制（大臣責任制）と合議制（第三者機関制）の関係性など、多様な方法の存在を意識して解説します。
	事後学習	国や公の団体を動かすための組織に関するルールとして、今回取り上げた課題がどのような問題点をはらんでいるかについて、考えてみましょう。
13	事前学習	前回で学んだ経済行政組織としてのルールを実際に運用する法的主体も多数存在するため、どのようなものが具体的ににあるかについて、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政過程論（9）具体的な主体として掲げられるものに、特殊法人、独立行政法人といった法的責任を負う主体があるほか、第三者機関として構成される審議会がどのように経済行政に関与しているかについて、具体例を交えながら論じます。
	事後学習	今回取り上げた法主体・機関は行政改革の議論の中でも、その存在意義が問われてきましたので、そのことを思い起こしてみましょう。

14	事前学習	ここからは訴訟手続の議論にはいりますが、そもそも裁判手続について聞き慣れない、または学んだことがない諸君がいる場合は、是非訴訟手続について書かれた書物を手に取りながら、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政過程論（10）経済行政の行政救済論として、経済行政法の特有の訴訟事例を学ぶための基礎知識を身につけることになります。具体的には、全体像を眺めることと並び、行政訴訟を中心にその訴訟手続についてとりあげることにします。
	事後学習	訴訟手続が中心的な議論になりますので、頭には行っていくことは事実です。ですので、しっかりと教科書で復習などしながら、授業中に取り上げた諸事例への当てはめ方について勉強しておきましょう。
15	事前学習	前回の授業では主に訴訟手続を中心に議論していますが、それが実際にどのように行われるのかについて、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政過程論（11）前回の授業中には十分取り上げられなかった裁判所による国・公の団体の活動に対するコントロールの方法や、損害賠償請求、損失補償等の訴訟事例や制度設計の方法について、取り上げます。
	事後学習	今回までが経済行政法の総論部分となりますので、これまで学んだことを該当箇所の教科書を通じて自分なりにまとめるようつとめてください。

科目名	経済行政法Ⅱ	担当者	友岡 史仁	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	世の中多くの場所で国や公共団体が規制を行っています。このような規制が、私たちの日常生活（経済活動）にどのような影響を与えているかを法的に見ようというのが、この授業の主な目的です。規制は必要と考えられるので行われますが、不要となると本当はそれをやめるべきです。しかしながら、利害関係が複雑に絡み合うのでなかなかそういうわけにはいきません。このような状態をどのように考えたらよいのかを具体例を交えながら検討します。				
授業目的・到達目標	国や公共団体が私たちの日常生活（経済活動）を規制する場合、それを「行政上の規制」と呼ぶことができます。これまで国は「公的規制」と呼んできましたが、その規制が効率的であるべきなのに非効率化したり、時代の変化で技術が各段に成長したりして、規制が不要となってきました。しかし本当のところは、非常に多くの規制が残ったり、逆に規制が生み出されたりしているのが実態です（典型例として、情報通信改革・電力改革等）。本授業では、このような「行政上の規制」の具体例を学ぶことを主な目的として、それにかかわる諸問題を法的思考（リーガルマインド）で解き明かすための能力を身につけられるようにします。				
履修条件	憲法、民法、行政法を履修していることが望ましいのですが、初めて法律科目を学ぶ履修予定者も考慮します。				
授業方法	講義およびケーススタディになります。担当者が執筆したテキストを中心に進めますが、最新事情を交えた時事問題にも触れます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	説明問題（いわゆる「一行問題」）と事例問題を併せた設問を出します。これらはともに講義中に触れることばかりですので、常に聞き逃さないように出席を心がけてください。	
	平常評価		0%	ここでは0％としていますが、履修者数との兼ね合いから、レポート課題を課すこともあり、仮にその場合であれば、筆記試験とあわせてその結果を加味することがあります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	弘文堂		要説経済行政法	友岡史仁
	備考				
参考書	詳細は初回講義時に提示します。				
オフィスアワー	火曜日 14：30/木曜日 21：10 都度質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今回から経済行政法各論にはっていきます。まずはどのような内容が各論で扱われるのかを、該当箇所の教科書（とりわけ教科書第2部要旨部分）を一読してみましょう。
	授業内容	経済行政法各論では、まずは「事業規制」・「業務規制」に関わる法制度について、その意味内容を理解することになります。このような用語方法は、本授業独特の側面があるので、その理解につとめます。
	事後学習	用語法の理解を通じて、各論で何が具体的に問題となりそうかについて、総論の復習も兼ねながら考えてみましょう。
2	事前学習	今回から、本当の意味の各論がはじまります。ここで取り上げる「公益事業」とは何を意味するかについて、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	伝統的に「公企業」とか「公共企業」と呼ばれてきたいわゆる「ネットワーク産業」に関する規制の初歩的な内容についてとりあげます。「ネットワーク産業」とは、電力・ガス、電気通信などの点と点を線で結ばなければ産業として成立しない分野ですが、これには多数の規制が存在していますので、その理解を理論的に説明します。
	事後学習	初めて聞く単語ばかりであり、「ネットワーク産業」に対する規制の理由は、経済学とも関係しますので、可能な限り、授業で扱った単語の基礎的理解を進めるよう心がけてください。

3	事前学習	事業規制と業務規制という用語で分けた経済行政に関する「規制」について、多様な目的から成り立っていることを念頭に置き、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	次回以降に触れる事業規制の具体的内容を踏まえるために、それらの諸規制に見られる共通した機能（公益性担保機能、行政監督機能、補完的機能）の意味、相関関係について取り上げます。
	事後学習	さまざまな規制にどのような機能が備わっているかをとらえることの大切さを、授業で取り上げた事例を通じて改めて検討し直してみましょう。
4	事前学習	前回までに取り上げた内容として「市場」という言葉をキーワードとすることができることから、このキーワードがどのように事業規制と関係するのかについて、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	事業規制の中身として、参入規制を取り上げます。ネットワーク産業では複数の事業者間で競争が生ずることにより大きな影響（消費者への悪影響等）が考えられるため、従来、そのために独占を保護する規制が存在していた点を踏まえ、それに関連した多様な規制について説明していきます。
	事後学習	具体例を交えた規制の説明ですが、授業内では十分に議論できないところがあるので、自らインターネットや新聞報道等で補うように努めましょう。
5	事前学習	前回は参入規制を主としましたが、今回は事業者が本来自由に設定できる料金が規制される場合について学びますので、身近にある料金規制に関する諸事例を思い描き、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	まずは規制の対象となる「料金」について学びます。その際、ネットワーク産業は私たちの生活にとって不可欠なサービスを提供するものと位置づけられることが多いのですが、それはまた、「公共料金」とも賞されることがあります。授業ではこのあたりを批判的にとらえながら、どのような規制が実際に存在しているかを取り上げます。
	事後学習	なぜ「公共料金」と呼ばれたり、その料金がどのように規制されているかを考えてみましょう。
6	事前学習	料金規制は単にその種類を論ずるだけではならず、どのような手続によって規制されるかを具体的に検討する必要がありますので、その内容に関する該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	料金決定手続はかなり複雑ですので、総括原価主義やプライスキップ規制など、基本的な論点として整理し学びます。この場合、規制緩和政策との関係などについても触れることにします。
	事後学習	複雑ではありますが、そこにある原理原則は外さずに記憶に残しておくことが重要です。このため、何がここで取り上げる手続の原理原則であるのかを、今一度検討してみましょう。
7	事前学習	料金規制の最後の回ですので、前回と前々回の議論を踏まえるためにも、過去2回分の講義内容を復習して今回の授業に臨むことを期待します。
	授業内容	料金決定原則の基本は「原価」を規制対象とすることですので、その定義が法的にどのようになされているのか、その他、参入規制と並び、事業の終了に関わる規制（退出規制）についても学びます。
	事後学習	今回は事業規制法制の総括を含む意味もありますので、第16回目以降の議論をここで頭に入れ直してみましょう。
8	事前学習	今回は業務規制法制という新たな項目に移りますので、第16回目で取り上げた事業規制法制との区別がどのようなものだったかについて、学び直しましょう。
	授業内容	業務規制法制を総説します。参入・料金・退出といった事業規制との違いを見据えながら、今回は役務の利用者にとって役務の提供が不可欠とされる場合に、通常の経済活動（競争）では賄えない場合にその提供を義務付けるための規制について、概念・必要性などの諸問題を扱います。
	事後学習	今回学んだ役務提供義務は、私たちが日常必要とされる公共サービスがその対象とされることが多いので、身近な場面を思い起こしながら、今回学んだ内容を思い起こすようにしましょう。
9	事前学習	規制緩和とともに、競争が不適切と考えられてきた分野に競争が導入されることになる場合に、どのようにそのギャップを是正するかが問題となります。いかなる規制がその是正に必要とされるかについて、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	競争が導入される際に、規制の撤廃とあわせて、規制の受け手（事業者）が競争しやすい環境を作り出すなどの競争促進的なさまざまな規制が登場しますので、その種類をここで学びます。
	事後学習	今回学んだ業務規制が日常接する分野においてどのように活用されているかを、インターネット・新聞報道などを通じて思い起こすようにしましょう。
10	事前学習	前回までとは違って、個別の規制を見るのではなく、種別の隔てがない形での規制が行われている場合があるので、その一例をここで学びます。
	授業内容	産業保護・育成法制について学んでいきます。この法制が一体何を意味するのかについて解説し、その必要性について詳述していきます。具体的には、国や公の団体から拠出される補助金などの金銭の提供を通じて、経済活動を担う企業を保護したり育成するための法制度について見ていきます。
	事後学習	他の箇所とは異なり、聞きなれない言葉遣いにはまずは慣れるため、該当箇所の教科書を再読し復習してみましょう。
11	事前学習	言葉遣いに慣れたことを前提に、どのような法制度があるかを該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	産業保護・育成法制には、産業助成型、競争制限型、外資規制型といった様々な手段が設けられていることから、それぞれの類型についてどのような制度が存在し、課題とされているかを見ていきます。
	事後学習	ここでは、補助金といった金銭の提供だけで産業が保護・育成されるわけではないことを確認しておきましょう。
12	事前学習	経済行政法各論の集大成の第1回目は、エネルギー産業を取り上げます。これ以前で具体例において時折この産業が登場することはあるので、そのことの復習もかねて、どのような話がそれ以前に登場したかを思い起こしながら、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	今回は、エネルギー産業を取り上げますが、それが電力やガスといった私たちの生活に密接につながっている産業であるために、常に意識せざるを得ない分野であると同時に、複雑な規制、そして規制改革の流れの中で、産業構造自体が大きく変化しています。その内容をできるだけ平易かつ具体例を出しながら、解説していきます。
	事後学習	現在、電力会社、ガス会社が複数の会社から選択できるようになっているので、履修者諸君のご家庭での実体験があればそのことが、本授業とどのように関連付けられるかを検討してみましょう。
13	事前学習	各論集大成の第2回目は、交通産業を取り上げます。これまでの授業内でも断片的ではありますが取り上げられることがあった産業がどのような規制によって存在しているかを見ていきますので、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	交通産業は、その手段に応じて自動車、鉄道、航空機および船舶の4つに分けることができますが、それぞれに特徴のある規制が存在していることも事実です。密接につながりがある一方、特徴を持つ規制もありますので、事業規制・業務規制法制で学んだ知識をここであてはめながら、その内容について解説していきます。
	事後学習	身近であるものとそうではないものがこの産業ではありますが、いずれも経済活動を支える大動脈を担う手段ばかりですので、どのような規制が登場していたのか、それに伴いどのような訴訟などの具体的事例が登場するのかを思い起こしてみましょう。

14	事前学習	各論集大成の第3回目は、通信産業を取り上げます。第1回目および第2回目と同様に、これまでの授業内で断片的に取り上げてきましたので、ある程度聞きなれた単語が出てきますが、ここではそれを前提にしながら応用的な問題について取り上げますので、該当箇所の教科書を一読してみましょう。
	授業内容	通信産業は、電気通信と郵便に分けて論ずることが適当と考えられます。時に電気通信は、日進月歩の技術革新によって日々発展し続けていますので、規制がそれに追いついていないこともある一方、郵便は競争とどのようになじんでいるかという問題点を抱えています。このような具体例を事例を通じて検討します。
	事後学習	通信産業はいずれも身近なものばかりですから、その背景にある規制の構造を把握することで、身近なものの存在を意識してみましょう。
15	事前学習	第16回目から第29回目までの議論を前提に、経済行政法の世界で何が起こっていたのかを、まとめてみましょう。
	授業内容	経済行政法の各論にかかわる様々な課題について総括し、今後の経済活動にもたらす影響、その他国民生活への影響やその法的問題点について、ここで展望を明らかにしておきます。
	事後学習	各論で取り扱った授業内容の復習を通じて、発見できた問題がどのように法的に解決されているのか、それとも解決されていないのかについて、具体例をイメージしながら改めて復習してみましょう。

科目名	経済刑法Ⅰ	担当者	岡西 賢治	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める 科目区分又は事項等							
授業概要	経済活動と刑法の関係は軽視されがちであるが、事後チェック型社会といわれるなかで今後の刑事規制の重要性を見直しつつ、現実のケースを通して経済犯罪に対する刑事制裁の機能について論じたい。経済犯罪に関する基礎的な知識を講じるだけでなく、具体的な事件や現象にそくして、経済刑法に関する理論や実務の実態をみながらそれぞれの問題点を検討する。						
授業目的・ 到達目標	経済犯罪といわれるものについて深い関心を持ち、自分なりの分析や意見が持てるようにする。また、自分の関心のあるテーマや現象について、専門的知識を前提とした報告またはディスカッションができる能力を修得する。						
履修条件	履修人数にもよるが、5月までに報告またはディスカッションする日程を決めることとし、その時期に必ず出席し報告等の割当てを受けることを履修条件とする。なお、刑法Ⅰまたは刑法Ⅱをすでに履修しているほうが望ましい。						
授業方法	事例研究を中心にディスカッションおよび報告などを取り入れて進める。						
成績評価	種別		割合	評価方法			
	定 期 試 験		0%				
	平 常 評 価		100%	講義内での報告および発言等によって判断する。 なお、講義日数の2/3以上の出席数がなければ、成績評価の対象としない。			
教科書	年	出版社		書名			著者名
	備考	講義において指定する。					
参 考 書	講義において指定する。						
オフィス アワー	月曜 12：10～13：00						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	経済犯罪と考えるものを調べておく。
	授業内容	経済犯罪とは
	事後学習	経済犯罪についての概念や定義を理解する。
2	事前学習	教科書（第1回目で指定したもの。以下同じ）または配布資料で、経済刑法に関する基礎的知識を理解しておく。
	授業内容	経済刑法の概念と範囲
	事後学習	経済刑法に関して比較法的な観点から理解できるようにする。

3	事前学習	教科書または配布資料で、経済刑法に関する基礎的知識を理解しておく。
	授業内容	経済刑法の基本理念
	事後学習	経済刑法に関する基礎的概念を整理し、理解する。
4	事前学習	教科書または配布資料で、法的制裁に関する基礎的知識を理解しておく。
	授業内容	経済犯罪に対する法的制裁の体系
	事後学習	刑罰と法的制裁の違いについて理解する。
5	事前学習	教科書または配布資料で、消費者犯罪・悪質商法に関する事例を調べておく。
	授業内容	消費者犯罪・悪質商法に関する事例の検討①
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
6	事前学習	教科書または配布資料で、消費者犯罪・悪質商法に関する事例を調べておく。
	授業内容	消費者犯罪・悪質商法に関する事例の検討②
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
7	事前学習	教科書または配布資料で、不当表示に関する事例を調べておく。
	授業内容	不当表示に関する事例の検討①
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
8	事前学習	教科書または配布資料で、不当表示に関する事例を調べておく。
	授業内容	不当表示に関する事例の検討②
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
9	事前学習	教科書または配布資料で、欠陥商品に関する事例を調べておく。
	授業内容	欠陥商品に関する事例の検討
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
10	事前学習	教科書または配布資料で、独占禁止法に関する基礎的知識を理解しておく。
	授業内容	独占禁止法上の犯罪
	事後学習	独占禁止法の基礎的概念を理解する。
11	事前学習	教科書または配布資料で、独占禁止法上の犯罪に関する事例を調べておく。
	授業内容	独占禁止法上の犯罪に関する事例の検討①
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
12	事前学習	教科書または配布資料で、独占禁止法上の犯罪に関する事例を調べておく。
	授業内容	独占禁止法上の犯罪に関する事例の検討②
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
13	事前学習	教科書または配布資料で、知的財産・企業秘密の侵害に関する事例を調べておく。
	授業内容	知的財産・企業秘密の侵害に関する事例の検討①
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
14	事前学習	教科書または配布資料で、知的財産・企業秘密の侵害に関する事例を調べておく。
	授業内容	知的財産・企業秘密の侵害に関する事例の検討②
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。

15	事前学習	ネットワーク化に伴う新たな経済犯罪について考えておく。
	授業内容	新しい経済犯罪の種類とその対策
	事後学習	新たな経済犯罪への対応のあり方を考える。

科目名	経済刑法Ⅰ	担当者	西貝 吉晃	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済刑法に関する議論を実際の事案を通して学ぶ。				
授業目的・到達目標	経済刑法に関する判例を採り上げ、重点的に議論し、知識を定着させる。経済刑法に関するテーマについて調査・報告・議論ができるようになること。2017年度は営業秘密侵害罪を、2018年度はサイバー犯罪及び営業秘密侵害罪以外の不正競争防止法違反の罪を取り扱った。				
履修条件	民刑法の基本的な理解がないとついていくことができない。				
授業方法	報告者には指定する内容について報告してもらい、その後全員で議論を行う。各回の予定は授業内容参照。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での報告および発言によって判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	例えば、 芝原邦爾＝古田佑紀＝佐伯仁志編著『経済刑法——実務と理論』， 山口厚編著『経済刑法』。				
オフィスアワー	火曜日１４：４０～１６：１０				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解する。
	授業内容	経済犯罪の規定の中から重点的に議論したい規定を決める。これらを規定１，２，３とする(第15回まで)。
	事後学習	授業内容の復習をする。
2	事前学習	指定された判例や論文の報告ができるように調査し、レジュメを作成する等する。
	授業内容	【規定１】規定１に関して指定する判例１－１の内容を報告してもらい、議論を行う。(判例等は随時指定する。以下同じ。)
	事後学習	報告者は議論内容を踏まえ、自身の報告のレビューを行い、知識を定着させる。議論参加者は報告者の報告内容を批判的に考えることで知識を定着させる。

15	事前学習	今までの授業の復習をしておく。
	授業内容	【復習】今回の講義で行った事柄をまとめる。（報告課題の指定はなし。）
	事後学習	全体を総括して経済刑法（前期）で扱ったことを復習する。

科目名	経済刑法Ⅱ	担当者	岡西 賢治	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める科目区分又は事項等							
授業概要	経済活動と刑法の関係は軽視されがちであるが、事後チェック型社会といわれるなかで今後の刑事規制の重要性を見直しつつ、現実のケースを通して経済犯罪に対する刑事制裁の機能について論じたい。経済犯罪に関する基礎的な知識を講じるだけでなく、具体的な事件や現象にそくして、経済刑法に関する理論や実務の実態をみながらそれぞれの問題点を検討する。						
授業目的・到達目標	経済犯罪といわれるものについて深い関心を持ち、自分なりの分析や意見が持てるようにする。また、自分の関心のあるテーマや現象について、専門的知識を前提とした報告またはディスカッションができる能力を修得する。						
履修条件	履修人数にもよるが、5月までに報告またはディスカッションする日程を決めることとし、その時期に必ず出席し報告等の割当てを受けることを履修条件とする。なお、刑法Ⅰまたは刑法Ⅱをすでに履修しているほうが望ましい。						
授業方法	事例研究を中心にディスカッションおよび報告などを取り入れて進める。						
成績評価	種別		割合	評価方法			
	定期試験		0%				
	平常評価		100%	講義内での報告および発言等によって判断する。 なお、講義日数の2/3以上の出席数がなければ、成績評価の対象としない。			
教科書	年	出版社		書名			著者名
	備考	講義において指定する。					
参考書	講義において指定する。						
オフィスアワー	月曜 12：10～13：00						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	具体的な経済事犯の流れを調べておく。
	授業内容	経済犯罪の捜査の特徴
	事後学習	犯罪捜査の流れと経済事犯の処理の特徴を理解する。
2	事前学習	教科書または配布資料で、会社法上の犯罪に関する事例を調べておく。
	授業内容	会社法上の犯罪に関する事例の検討①
	事後学習	会社法の基礎的概念を整理し、個々の事案について分析・検討をしておく。

3	事前学習	教科書または配布資料で、会社法上の犯罪に関する事例を調べておく。
	授業内容	会社法上の犯罪に関する事例の検討②
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
4	事前学習	教科書または配布資料で、会社法上の犯罪に関する事例を調べておく。
	授業内容	会社法上の犯罪に関する事例の検討③
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
5	事前学習	教科書または配布資料で、会社法上の犯罪に関する事例を調べておく。
	授業内容	会社法上の犯罪に関する事例の検討④
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
6	事前学習	教科書または配布資料で、証券等取引に関する犯罪の事例を調べておく。
	授業内容	証券等取引に関する犯罪の事例の検討①
	事後学習	証券取引に関する基本的概念を整理しながら、個々の事案について分析・検討をしておく。
7	事前学習	教科書または配布資料で、証券等取引に関する犯罪の事例を調べておく。
	授業内容	証券等取引に関する犯罪の事例の検討②
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
8	事前学習	教科書または配布資料で、証券等取引に関する犯罪の事例を調べておく。
	授業内容	証券等取引に関する犯罪の事例の検討③
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
9	事前学習	教科書または配布資料で、証券等取引に関する犯罪の事例を調べておく。
	授業内容	証券等取引に関する犯罪の事例の検討④
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
10	事前学習	教科書または配布資料で、法人の刑事責任について考えておく。
	授業内容	法人の刑事責任①
	事後学習	法人の刑事責任に関する基礎的概念を整理する。
11	事前学習	教科書または配布資料で、法人の刑事責任について考えておく。
	授業内容	法人の刑事責任② 事例の検討
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
12	事前学習	教科書または配布資料で、租税犯罪について考えておく。
	授業内容	租税犯罪に関する事例の検討
	事後学習	個々の事案について分析・検討をしておく。
13	事前学習	教科書または配布資料で、国際取引と犯罪の関係について考えておく。
	授業内容	国際取引をめぐる犯罪
	事後学習	国際取引と犯罪に関して現状と問題点を整理しておく。
14	事前学習	具体的な事例を通して、企業と犯罪の関係について考えておく。
	授業内容	内部統制と経済犯罪①
	事後学習	社会人として、あるいは企業の中で果たすべき使命について考える。

15	事前学習	具体的な事例を通して、企業と犯罪の関係について考えておく。
	授業内容	内部統制と経済犯罪②
	事後学習	社会人として、あるいは企業の中で果たすべき使命について考える。

科目名	経済刑法Ⅱ	担当者	西貝 吉晃	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済刑法に関する議論を実際の事案を通して学ぶ。				
授業目的・到達目標	経済刑法に関する判例を採り上げ、重点的に議論し、知識を定着させる。経済刑法に関するテーマについて調査・報告・議論ができるようになること。2017年度は営業秘密侵害罪を、2018年度はサイバー犯罪及び営業秘密侵害罪以外の不正競争防止法違反の罪を取り扱った。				
履修条件	民刑法の基本的な理解がないとついていくことができない。				
授業方法	報告者には指定する内容について報告してもらい、その後全員で議論を行う。各回の予定は授業内容参照。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義内での報告および発言によって判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	例えば、芝原邦爾＝古田佑紀＝佐伯仁志編著『経済刑法——実務と理論』，山口厚編著『経済刑法』。				
オフィスアワー	火曜日１４：４０～１６：１０				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み，授業概要や目的を理解する。
	授業内容	経済犯罪の規定の中から重点的に議論したい規定を決める。これらを規定1，2，3とする。
	事後学習	授業内容の復習をする。
2	事前学習	指定された判例や論文の報告ができるように調査し，レジュメを作成する等する。
	授業内容	【規定1】規定1に関して指定する判例1－1の内容を報告してもらい，議論を行う。(判例等は随時指定する。以下同じ。)
	事後学習	報告者は議論内容を踏まえ，自身の報告のレビューを行い，知識を定着させる。議論参加者は報告者の報告内容を批判的に考えることで知識を定着させる。

15	事前学習	今までの授業を振り返る。
	授業内容	【復習】今回の講義で行った事柄をまとめる。（報告課題の指定はなし。）
	事後学習	全体を総括して経済刑法で扱ったことを復習する。

科目名	経済史	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	日本経済の歩みを、戦後から最近年までを学習する。戦後70年以上が経つが、その間の経済状況に様々な現象や変化が起きた。戦後の改革と復興期、高度経済成長期、ニクソン・ショック、高度経済の終焉と経済安定期、バブル経済の発生と崩壊、デフレーションなどの現象を取り扱いながら現代の日本経済がどのように形成されたのか考察する。				
授業目的・到達目標	この講座では、欧米の経済に大きく遅れをとりながらも、短期間のうちに驚異的な発展を遂げ、欧米先進資本主義国と肩を並べる地位にまで躍進した日本経済の現代史的展開について、第二次世界大戦以降を中心に考察する。現代の日本経済がどのように形成されたのか、その歴史的過程を考察することで現代の経済の本質を分析し、また現代日本経済のかかえる問題点を歴史的に検出することを目的とする。 受講生が、戦後日本経済に生じた様々な社会経済現象の要因に関する通説を修得して経済現象の歴史性を理解し、それを論理的に説明できるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配付する。 スライド（パワー・ポイント）を使用しての講義の予定。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	経済現象の歴史性を理解し、それを論理的に説明できるか確認する。	
	平常評価		20%	レポート提出、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	有斐閣		『現代日本経済史〔新版〕』有斐閣Sシリーズ	森・浅井・西成 田・春日・伊藤著
	備考				
参考書	沢井・谷本著『日本経済史』（有斐閣）、有沢広巳監修『昭和経済史』（日本経済新聞社）、 中村隆英著『昭和経済史』岩波セミナーブックス17（岩波書店）、野口悠紀雄著『戦後経済史』（東洋経済新報社）				
オフィス アワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。教科書 第1章と第2章を読み、内容を考察する。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて経済史の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 第2章 改革と復興（1945～1954年）の「1. 占領下の暮らし」、「2. 戦後改革と占領政策の転換」、「3. 生産の再開と復興」を読み、終戦直後の経済状態について考察する。
	授業内容	【改革と復興（1945～1954年）（1）】 終戦直後の「占領下の暮らし」、「戦後改革と占領政策の転換」、「生産の再開と復興」を学習し、この時期の生活構造、産業構造や生産・資本蓄積のあり方を検討する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。

3	事前学習	教科書 第2章 改革と復興（1945～1954年）の「4. 労働・農民運動の再興と資本の再編」、「5. 朝鮮戦争と日米経済協力」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【改革と復興（1945～1954年）（2）】 終戦直後の「労働・農民運動の再興と資本の再編」、「朝鮮戦争と日米経済協力」を学習し、この時期の経済政策の検討を通じて管理・支配の特徴を検出し、また、対外関係、国際関係を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
4	事前学習	教科書 第3章 成長と「自立」（1955～1964年）の「1. 高度成長下の暮らし」、「2. 農業・重化学工業化・技術革新」、「3. 企業集団と中小企業」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【成長と「自立」（1955～1964年）（1）】 戦後の高度経済成長がスタートした年とされる1955年以降の時期における、「高度成長下の暮らし」、「農業・重化学工業化・技術革新」、「企業集団と中小企業」を学習し、この時期の生活構造、産業構造や生産・資本蓄積のあり方を検討する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
5	事前学習	教科書 第3章 成長と「自立」（1955～1964年）の「4. 日本的労使関係の成立」、「5. 経済政策と権力構造」、「6. 貿易為替の自由化」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【成長と「自立」（1955～1964年）（2）】 高度経済成長期の「日本的労使関係の成立」、「経済政策と権力構造」、「貿易為替の自由化」を学習し、この時期の経済政策の検討を通じて管理・支配の特徴を検出し、また、対外関係、国際関係を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	教科書 第4章 成長と軋轢（1965～1971年）の「1. 大衆消費社会と暮らし」、「2. 長期好況と大型化投資」、「3. 〔企業主義原理〕の普及」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【成長と軋轢（1965～1971年）（1）】 後期高度経済成長期と呼ばれる1965年以降の時期における「大衆消費社会と暮らし」、「長期好況と大型化投資」、「〔企業主義原理〕の普及」を学習し、この時期の生活構造、産業構造や生産・資本蓄積の状態を検討する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	教科書 第4章 成長と軋轢（1965～1971年）の「4. 高度成長政策と地域開発政策」、「5. 高度成長と対外経済関係」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【成長と軋轢（1965～1971年）（2）】 後期高度成長期の「高度成長政策と地域開発政策」、「高度成長と対外経済関係」を学習し、この時期の経済政策を検討を通じて管理・支配の特徴を検出し、また、対外関係、国際関係を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
8	事前学習	教科書 第5章 過剰と摩擦（1971～1991年）の「1. 1980年代の暮らし」、「2. ドル・ショックと石油危機」、「3. 企業と職場の変貌」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【過剰と摩擦（1971～1991年）（1）】 高度経済成長の終焉と、低経済成長期、バブル経済発生とバブル経済の崩壊などが生じた時期に当たるこの時期の「1980年代の暮らし」、「ドル・ショックと石油危機」を学習し、高度成長期はなぜ終焉したのか、ドル・ショックはなぜ起きたのか、考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	教科書 第5章 過剰と摩擦（1971～1991年）の「3. 企業と職場の変貌」を読み、内容について考察する。
	授業内容	この時期に生じた「企業と職場の変貌」を学習し、管理・支配関係の特徴を検出、また、「バブル経済」と呼ばれる現象が何であったか、バブル経済の発生と原因（資産価格の上昇、経済のファンダメンタルズによる適正価格を超える市場での資産価格、消費者物価の低水準で安定下原因（プラザ合意→円高、新興国NIEs）、金融政策の失敗を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
10	事前学習	教科書 第5章 過剰と摩擦（1971～1991年）の「4. 臨調・行革の構図―総需要管理政策の破綻と再編」、「5. 世界のなかの日本―欧米とアジア」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【過剰と摩擦（1971～1991年）（2）】 「臨調・行革の構図―総需要管理政策の破綻と再編」、「5. 世界のなかの日本―欧米とアジア」を学習し、1980年代の経済政策、対外関係・国際関係を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	教科書 第6章 暗転と「再生」（1992～2001年）の「1. バブル崩壊後の暮らし」、「2. 金融システム不安と〔失われた10年〕」「3. 1990年代の日本企業と仕事の現場」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【暗転と「再生」（1992～2001年）（1）】 1999年代の時期における「バブル崩壊後の暮らし」、「金融システム不安と〔失われた10年〕」、「1990年代の日本企業と仕事の現場」を学習し、この時期の生活構造、産業構造や生産・資本蓄積の状態を検討する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
12	事前学習	教科書 第6章 暗転と「再生」（1992～2001年）の「4. 橋本〔6大改革〕から小泉〔構造改革〕へ」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【暗転と「再生」（1992～2001年）（2）】 「橋本〔6大改革〕」から「小泉〔構造改革〕へ」橋本政権（1996年1月11日～1998年7月30日）および小泉政権（2001年4月26日～2006年9月26日）を学習し、経済政策のめざした経済構造改革を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
13	事前学習	教科書 第6章 暗転と「再生」（1992～2001年）の「5. 21世紀の国際関係―アジアのなかの日本経済」を読み、内容を考察する。
	授業内容	【暗転と「再生」（1992～2001年）（3）】 「21世紀の国際関係―アジアのなかの日本経済」と題し、この時代の対外関係・国際関係を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。

14	事前学習	安倍政権の経済政策に関する資料を収集し、考察してみる。
	授業内容	日本経済の課題（2000年～） 安倍政権の経済政策、雇用状況、所得格差、財政状況を考察し、特徴を検討する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、学習したこの時期の特徴を検出し、その要因について自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、日本経済に生じた経済現象を理解し、それを論理的に説明できるように考察する。
	授業内容	講義のまとめ
	事後学習	初回からの教科書、授業ノート、配付資料を確認し、経済現象の歴史性を理解し、それを論理的に説明できるか確認する。 期末試験の準備をする。

科目名	経済思想史Ⅰ	担当者	高橋 宏幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義では、各時代の経済学がどのような時代背景でどのような思想を持った経済学者によってどのように構築・展開されたかを学ぶ。経済思想史Ⅰでは、経済学の形成期から19世紀初頭頃までを主たる対象とする。			
授業目的・ 到達目標	本講義の目的は、経済学とその思想の歴史を学ぶことで、その通史を理解することはもとより、経済学が各時代の社会的背景や思想と結びついて生み出された時代の産物であることを理解することにある。経済学が、様々な価値判断に立脚して組み立てられていること、時代的制約性を有していることを説明できるようになること、そして現代の経済社会の改良のための新しい着想を引き出せるようになることを到達目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	基本的には板書とその解説を中心とした講義形式で行う。必要に応じてプリント等を使用する。毎回しっかりとノートをとることが重要である。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	各時代の経済学とその思想がどのような時代背景や思想を土台として生み出されたかを理解しているかを判定する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特に使用しない。		
参考書	適宜、授業中に紹介する。			
オフィス アワー	授業中に指示する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通してくること
	授業内容	講義における目標や方法、講義内容についての概説
	事後学習	今回の講義内容をノートやシラバス等で確認・復習しておくこと
2	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	経済思想史とは？経済思想史とはどのような学問分野か
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと

3	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	重商主義の概念、イギリス重商主義の政策体系
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
4	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	イギリス重商主義：経済理論および政策論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
5	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	フランス重商主義：コルベール主義の政策体系
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
6	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	重農主義の社会的背景・哲学的基础
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
7	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	F・ケネーとその『経済表』、経済政策論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
8	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アダム・スミスの経済学体系① 生涯と著作、富の概念、分業論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
9	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アダム・スミスの経済学体系② 価値論、自然価格・市場価格論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
10	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アダム・スミスの経済学体系③ 分配論、資本蓄積論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
11	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アダム・スミスの経済学体系④ 投資の自然的順序、経済発展論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
12	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	T・R・マルサス：『人口論』
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
13	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	T・R・マルサスとD・リカードの論争
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
14	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	T・R・マルサスとD・リカードの経済学の特質
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと

15	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義全体の内容をノート等で確認・復習しておくこと

科目名	経済思想史Ⅱ	担当者	高橋 宏幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義では、各時代の経済学がどのような時代背景でどのような思想を持った経済学者によってどのように構築・展開されたかを学ぶ。経済思想史Ⅱでは、19世紀中頃から20世紀中頃までを主たる対象とする。				
授業目的・到達目標	本講義の目的は、経済学とその思想の歴史を学ぶことで、その通史を理解することはもとより、経済学が各時代の社会的背景や思想と結びついて生み出された時代の産物であることを理解することにある。経済学が、様々な価値判断に立脚して組み立てられていること、時代的制約性を有していることを説明できるようになること、そして現代の経済社会の改良のための新しい着想を引き出せるようになることを到達目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的には板書とその解説を中心とした講義形式で行う。必要に応じてプリント等を使用する。毎回しっかりとノートをとることが重要である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	各時代の経済学とその思想がどのような時代背景や思想を土台として生み出されたかを理解しているかを判定する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	特に使用しない。			
参考書	適宜、授業中に紹介する。				
オフィスアワー	授業中に指示する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	講義における目標や方法、講義内容についての概説
	事後学習	今回の講義内容をノートやシラバス等で確認・復習しておくこと
2	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	J・S・ミル① 生涯と著作、思想形成過程、経済思想の特質
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと

3	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	J・S・ミル② 生産論、分配論、社会主義論
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
4	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	ドイツ歴史学派① F・リストと旧歴史学派
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
5	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	ドイツ歴史学派② 新歴史学派
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
6	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	K・マルクス① マルクスの思想と経済学
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
7	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	K・マルクス② マルクスと資本主義経済の発展方向
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
8	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	限界革命の3大学派の特質
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
9	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	A・マーシャルの経済学体系
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
10	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	J・M・ケインズ① 生涯と著作、思想形成過程
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
11	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	J・M・ケインズ② ケインズ経済学の骨格と経済政策
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
12	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アメリカ制度学派① T・B・ヴェブレン
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
13	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アメリカ制度学派② W・C・ミッチェル
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと
14	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	アメリカ制度学派③ J・R・コモنز
	事後学習	今回の講義内容をノート等で確認・復習しておくこと

15	事前学習	前回までの講義内容をノート等で確認・見直しを行っておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義全体の内容をノート等で確認・復習しておくこと

科目名	刑事政策Ⅰ	担当者	尾田 清貴	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	リストは、最良の刑事政策は、社会福祉である、と言ったが、その意味を考え、人は何故犯罪を犯すのかについて考える。					
授業目的・到達目標	【授業目的】人はなぜ犯罪や非行を犯すのか、社会はこの様な者に対してどのような処遇と教育を行い、再社会化を促しているのかについて検討するとともに、主として米国・英国の刑事司法制度と比較しながら、刑事司法の在り方を学ぶ。 【到達目標】犯罪の成否や事件処理に必要な基本的な知識を習得すること、及び、憲法・刑法・刑事訴訟法が実際の刑事司法制度の中でどの様に運用されているか理解できるようにする。					
履修条件	憲法・刑法・刑事訴訟法の一般的知識を持っていることが望ましい					
授業方法	教科書は事前に読んできていることを前提に、配付資料を踏まえてディスカッションを含めて行う。VTRも利用					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	前期試験で80%の評価を行う。		
	平常評価		20%	ディベートを踏まえて課題が与えられるので、出席していないと、課題レポートを受理しない。前期、後期に各1回、課題レポートがある。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	弘文堂		新版 刑事政策講義		大谷 實
	備考					
参考書	平成29年版犯罪白書・警察白書					
オフィスアワー	5限目に研究室で実施する。 ただし、メールで事前予約することが望ましい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	それぞれが、誰を対象とした法（制度）かについて、調べてみよう
	授業内容	刑事政策と刑法・刑事訴訟法の違い
	事後学習	犯罪者のマグナカルタとは、何を意味するのか調べてみよう
2	事前学習	刑事司法手続の全ての段階にどのような専門家・非専門家が関わっているのか考えてみよう
	授業内容	刑事司法手続に関わる人々
	事後学習	相互の関係に追まとめてみよう

3	事前学習	法務省のHPで調べておく
	授業内容	刑事裁判と少年審判の違い（アメリカとの比較も踏まえて）
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
4	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	犯罪原因論（1）・犯罪＝環境＋素質
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
5	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	犯罪原因論（2）・犯罪＝被害者＋加害者＋物理的環境
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
6	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	同害報復から教育・治療への刑罰制度の歴史的変遷
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
7	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	死刑制度とその存廃
	事後学習	ディベートを踏まえて、レポートを書き、翌週提出すること
8	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	自由刑の現状と課題
	事後学習	短期自由刑の弊害についてまとめる
9	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	財産刑の現状と課題
	事後学習	財産刑に代わる刑罰について考えてみる
10	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	保護観察制度の現状と課題（1）
	事後学習	対策について、講義の内容を踏まえて考えてみよう
11	事前学習	（1）で配付された資料を踏まえて、法務省のHPで調べてみよう
	授業内容	保護観察制度の現状と課題（2）
	事後学習	5種類の保護観察の異同についてまとめてみよう
12	事前学習	危険な犯罪者とは、何を意味するのか考えてみよう
	授業内容	危険な犯罪者に対する施策について
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
13	事前学習	修復的司法とは何かについて、調べてみよう
	授業内容	修復的司法と応報的司法について
	事後学習	配付資料に書き込んで整理し、わが国に導入可能か検討する
14	事前学習	テーマの意味を考えてみよう
	授業内容	刑事司法制度の国際化
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく

15	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	猶予制度の現状と課題（刑の一部執行猶予を含む）
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく

科目名	刑事政策Ⅰ	担当者	西山 智之	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	刑事政策とは、犯罪の原因を探求し、これに基づき犯罪を予防するために行われる国または地方公共団体の施策である。この授業では、何が犯罪を生み出すのかについて事例を用いて説明したり、刑事施設について図や写真等を用いて説明するなど、イメージがわかりやすいように進めていきたいと考えている。前期は、犯罪の起こる原因や刑罰制度の意義・犯罪者の処遇制度等、刑事政策の基本理論を講義する。			
授業目的・到達目標	犯罪を予防・鎮圧するためには、どのような立法上、司法上、行政上の措置を行えばいいのか、そうした問を解決する能力を身につけるため、犯罪原因の分析や犯罪者の処遇制度、各種犯罪に対する対策などの現状やその歴史について学ぶことを目的とする。犯罪発生理由の分析や刑罰制度の意義といった刑事政策における基本的な内容を理解し、現在の刑事司法システムがなぜこのようになっているのかを理解した上で、現在のシステムに批判を行えるレベルに到達する。			
履修条件	特になし。但し、刑法・刑事訴訟法・少年法を履修済み、もしくは平行して履修していると授業内容の理解がしやすいと思われる。			
授業方法	講義形式を中心とするが、ディベート等発言する機会を多く設ける予定である。積極的に発言して欲しい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	60%	論述式の試験を実施する。制度の理解、問題点の抽出、その問題点への解決策が書けているかをみる。	
	平常評価	40%	授業への参加度、またディベート中の発言や授業中の教員からの問いに答えた場合には加点をする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
			特に指定しない。	
	備考	授業で取り扱ったテーマについて最適な文献をその都度紹介する。また授業において毎回レジュメを配布する。		
参考書	平成28年版犯罪白書・警察白書、藤本哲也『刑事政策概論〔全訂第7版〕』青林書院(2015) 船山泰範 編『Next教科書シリーズ 刑事法入門』弘文堂(2014)			
オフィスアワー	月曜日16：20～19：30 事前にnishiyama.tomoyuki@nihon-u.ac.jp まで連絡を入れてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	刑事政策とは何か、犯罪とは何かについて
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
2	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪原因論①犯罪の科学的分析の歴史、生物学的要因・精神医学的要因・心理学的要因について解説
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。

3	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪原因論②社会学的要因について解説、犯罪学の新しい動向
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
4	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪機会論①犯罪原因論から犯罪機会論への変遷、環境犯罪学における犯罪の事前予防の基になる考え方について
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
5	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪機会論②破れ(割れ)窓理論、防犯環境設計(CPTED)、セーフコミュニティ等についての解説。
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
6	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪機会論③犯罪の事前予防の実践方法を事例を用いて紹介
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
7	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	刑罰制度①刑罰制度総論(刑罰の歴史、種類、意義など)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
8	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	刑罰制度②刑罰制度各論Ⅰ(死刑制度・不定期刑を中心に問題点の検討)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
9	事前学習	死刑制度についてディベートを行うので、事前に自らの立場を明確にして死刑制度について調べてくる。
	授業内容	刑罰制度②ー2死刑制度の是非について全員でディベートを行う。
	事後学習	ディベートの内容を基にした死刑制度についてのレポートを、前期末までに作成し提出すること。
10	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	刑罰制度③刑罰制度各論Ⅱ(罰金刑、短期自由刑を中心に問題点の検討)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
11	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪者の処遇①総論・処遇の担い手(犯罪者処遇の歴史及び現状)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
12	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪者の処遇②司法的処遇(警察・検察・裁判所とダイバージョン)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
13	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪者の処遇③施設内処遇(刑事施設内での処遇の制度)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
14	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪者の処遇④社会内処遇(仮釈放、保護観察)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。

15	事前学習	前期の総復習を行い、試験に挑む。
	授業内容	まとめ：試験を行う。
	事後学習	試験について再検証を行う。

科目名	刑事政策Ⅱ	担当者	尾田 清貴	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	現代大きな社会問題となっている事象について、その現状と対策について概観し、刑事政策の役割について学ぶ。					
授業目的・到達目標	【授業目的】人はなぜ犯罪や非行を犯すのか、社会はこの様な者に対してどのような処遇と教育を行い、再社会化を促しているのかについて検討するとともに、主として米国・英国の刑事司法制度と比較しながら、刑事司法の在り方を学ぶ。 【到達目標】犯罪の成否や事件処理に必要な基本的な知識を習得すること、及び、憲法・刑法・刑事訴訟法が実際の刑事司法制度の中でどの様に運用されているか理解できるようにする。					
履修条件	憲法・刑法・刑事訴訟法の一般的知識を持っていることが望ましい					
授業方法	教科書は事前に読んできていることを前提に、配付資料を踏まえてディスカッションを含めて行う。VTRも利用					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	後期試験で80%の評価を行う。		
	平常評価		20%	ディベートを踏まえて課題が与えられるので、出席していないと、課題レポートを受理しない。前期、後期に各1回、課題レポートがある。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	弘文堂		新版 刑事政策講義		大谷 實
	備考					
参考書	平成29年版犯罪白書・警察白書					
オフィスアワー	5限目に研究室で実施する。 ただし、メールで事前予約することが望ましい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	警察白書で調べてみよう
	授業内容	会社・企業犯罪の現状と課題
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
2	事前学習	警察庁のHPで調べてみよう
	授業内容	交通犯罪（自動車運転処罰法を含む）
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく

3	事前学習	警察白書・犯罪白書で調べてみよう
	授業内容	組織暴力犯罪
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
4	事前学習	警察白書・犯罪白書で調べてみよう
	授業内容	薬物犯罪
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
5	事前学習	警察白書・犯罪白書で調べてみよう
	授業内容	精神障害者による犯罪（触法性精神障害者の処遇を含む）
	事後学習	医療と司法の関係について調べてみる
6	事前学習	警察白書・犯罪白書で調べてみよう
	授業内容	公務員犯罪
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
7	事前学習	現状については、警察白書・犯罪白書で調べてみよう。また、ミーガン法については、Web検索してみよう
	授業内容	性犯罪と日本版ミーガン法について
	事後学習	ミーガン法の導入について、レポートにまとめて、翌週提出する
8	事前学習	外国人の種類について調べてみよう
	授業内容	外国人犯罪
	事後学習	配付資料に書き込んで整理しておく
9	事前学習	DVと児童虐待の現状について調べる
	授業内容	DV及び児童虐待
	事後学習	防止策についてまとめる
10	事前学習	その内容と現状について調べる
	授業内容	セクシャルハラスメント
	事後学習	刑事特別法制定の是非について考えをまとめてみる
11	事前学習	警察白書・犯罪白書で調べてみよう
	授業内容	少年非行の現状と課題（1）
	事後学習	刑法犯・特別法犯 × 少年に関する年齢 = 制度の違いについて、まとめてみる
12	事前学習	警察白書・犯罪白書で調べてみよう
	授業内容	少年非行の現状と課題（2）
	事後学習	対策について考えてみる
13	事前学習	犯罪被害者保護に関する法制度について調べてみよう
	授業内容	被害者の権利と保護制度の現状と課題（1）
	事後学習	制度設計の基本について理解できているか、考えてみよう
14	事前学習	法定されているものだけで被害者保護になるか考えてみよう
	授業内容	被害者の権利と保護制度の現状と課題（2）
	事後学習	制度設計の見直しをしてみよう

15	事前学習	最高裁のHPで現状について調べておく
	授業内容	裁判員裁判の課題
	事後学習	どう改善すれば良いか、まとめしてみる

科目名	刑事政策Ⅱ	担当者	西山 智之	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	刑事政策とは、犯罪の原因を探求し、これに基づき犯罪を予防するために行われる国または地方公共団体の施策である。この授業では、何が犯罪を生み出すのかについて事例を用いて説明したり、刑事施設について図や写真等を用いて説明するなど、イメージがわきやすいように進めていきたいと考えている。後期は、性犯罪・薬物犯罪・交通犯罪など各テーマごとに分析を行っていく。			
授業目的・到達目標	犯罪を予防・鎮圧するためには、どのような立法上、司法上、行政上の措置を行えばいいのか、そうした問を解決する能力を身につけるため、犯罪原因の分析や犯罪者の処遇制度、各種犯罪に対する対策などの現状やその歴史について学ぶことを目的とする。犯罪発生理由の分析や刑罰制度の意義といった刑事政策における基本的な内容を理解し、現在の刑事司法システムがなぜこのようになっているのかを理解した上で、現在のシステムに批判を行えるレベルに到達する。			
履修条件	特になし。但し、刑法・刑事訴訟法・少年法を履修済み、もしくは平行して履修していると授業内容の理解がしやすいと思われる。			
授業方法	講義形式を中心とするが、ディベート等発言する機会を多く設ける予定である。積極的に発言して欲しい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	60%	論述式の試験を実施する。制度の理解、問題点の抽出、その問題点への解決策が書けているかをみる。	
	平常評価	40%	授業への参加度、またディベート中の発言や授業中の教員からの問いに答えた場合には加点をする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
			特に指定しない。	
	備考	授業で取り扱ったテーマについて最適な文献をその都度紹介する。また授業において毎回レジュメを配布する。		
参考書	平成28年版犯罪白書・警察白書、藤本哲也『刑事政策概論〔全訂第7版〕』青林書院(2015) 船山泰範 編『Next教科書シリーズ 刑事法入門』弘文堂(2014)			
オフィスアワー	月曜日16：20～19：30 事前にnishiyama.tomoyuki@nihon-u.ac.jp まで連絡を入れてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現在の日本の犯罪情勢について新聞・インターネット等で調べてくる。
	授業内容	現在の日本の犯罪情勢と分析方法
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
2	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	犯罪被害者の保護と支援
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。

3	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは少年法の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	少年非行①少年法の基本理念と少年事件の手続きの流れ
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
4	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは少年法の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	少年非行②非行少年の処遇と少年非行対策の課題
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
5	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	組織犯罪
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
6	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	交通犯罪
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
7	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	薬物犯罪
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
8	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	精神障害者の犯罪
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
9	事前学習	死刑制度についてディベートを行うので、事前に自らの立場を明確にして死刑制度について調べてくる。
	授業内容	外国人犯罪
	事後学習	ディベートの内容を基にした死刑制度についてのレポートを、前期末までに作成し提出すること。
10	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	高齢者による犯罪
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
11	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	児童虐待・DV(ファミリーバイオレンス)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
12	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	性犯罪①性犯罪の現状と暗数、性犯罪の罰則のあり方に関する議論
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
13	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	性犯罪②性犯罪の再犯防止(刑事施設における性犯罪再犯防止指導、ミーガン法、GPS監視等)
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。
14	事前学習	授業で取り扱うテーマについて、刑事政策もしくは犯罪学の教科書の該当箇所を読んでおく。
	授業内容	性犯罪③犯罪機会論に基づく性犯罪の事前予防策
	事後学習	授業で配布したレジュメを見直し理解を深める。

15	事前学習	後期の総復習を行い、試験に挑む。
	授業内容	まとめ：試験を行う。
	事後学習	試験について再検証を行う。

科目名	経済政策論	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	経済政策とは、経済理論を背景に政策的介入や規制等の効果について検討を行うものである。本講義ではミクロ経済政策について学習する。 なお、講義の進捗に応じて講義内容を多少変更する場合がある。			
授業目的・到達目標	経済政策について、その理論的背景を理解することで、現実の経済問題（人口減少、雇用、経済成長、規制緩和、少子化、高齢化、社会保障）に対する、その問題の所在について理解し、説明できるようになる。また、それに加えて、現実の経済政策がどのような効果をもたらすかについて、理論的に理解できるようになる。経済政策論では主にミクロ経済政策について扱う。経済政策の理論的背景について学び、それに基づいて経済政策の効果の範囲と限界について論じることができるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書及び講義ノートに基づいて、講義形式で行う。なお、講義ノートは授業前日までに学生教員フォルダにアップするので必要に応じて持参すること。（教員から配布は行わない）			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	学期末試験で評価する	
	平常評価	10%	小テストの結果を考慮する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006年	日本経済新聞出版社	ゼミナール「経済政策入門」	岩田規久男、飯田泰之
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の全体を一読しておくことが望ましい。
	授業内容	オリエンテーション：経済政策の基礎理論①
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
2	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	経済政策の基礎理論②
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。

3	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	競争市場と税・規制
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
4	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	貿易政策と産業政策
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
5	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	独占と規制
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
6	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	インセンティブと規制緩和
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
7	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	外部性と環境政策
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
8	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	公共財の供給
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
9	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	不完全情報とリスク
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
10	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	不完全情報下の経済政策
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
11	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	金融政策と情報の非対称性
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
12	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	税制①
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
13	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	税制②
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
14	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	所得再分配政策の基準
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。

15	事前学習	これまでの講義内容について整理し、理解しておく。
	授業内容	機会の平等と資源配分の効率性
	事後学習	定期試験に向けて準備しておくこと。

科目名	経済法Ⅰ	担当者	友岡 史仁	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	独占禁止法（独禁法）は「公正且つ自由な競争」の促進を目的とし、わが国における経済活動の基本方針を定める重要な法律です。時に「経済憲法」とも呼ばれるように、経済活動に伴う多くの諸問題にかかわる法的問題を規律するための根本規範ともいえるものです。実際は抽象的に規定される独禁法の解釈の基本的な考え方を、本授業では勉強していきます。					
授業目的・到達目標	本授業では、独禁法にかかわる解釈や判例・裁判例の検討を通じ、その基礎的理解を深めることを目的とします。独禁法の規定がどのように用いられているのかを、条文になるべく忠実に理解することを心がけることで、どのような場合に独禁法が適用されるのか、その手段とは何かといった、法的な思考方法をあわせて身につけることを目指します。					
履修条件	関連科目として、憲法、民法、行政法、会社法等があります、履修していない場合は配慮する予定です。					
授業方法	講義及びケーススタディー。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	例年、説明問題（いわゆる「一行問題」）と事例問題を併せた設問を出している。これらはともに講義中に触れることばかりであるので、常に聞き逃さないでください。		
	平常評価		0%	ここでは0％としているが、履修者数との兼ね合いから、レポート課題を課することもあります。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	有斐閣		経済法・第8版		岸井大太郎ほか
	2018年度	有斐閣		経済法判例・審決百選〔第2版〕		金井貴嗣ほか編
	備考					
参考書	講義の中で必要に応じて指示します。					
オフィスアワー	木曜日１９：３０都度質問を受け付けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	独禁法はどのような規定であるのかについて、六法を開けてざっと読んでください。
	授業内容	序論として独占禁止法の全体を眺め、どのような規定があるかを概観します。
	事後学習	授業で話された内容を六法で確認しておきましょう。
2	事前学習	独禁法の歴史的経緯が書かれた教科書の該当箇所を見ておきましょう。
	授業内容	独禁法の成り立ちを説明することで、どのような適用事例があるかを学びます。ここで景表法などの成り立ちも扱います。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。

3	事前学習	独禁法の歴史的経緯が書かれた教科書の該当箇所を見ておきましょう。
	授業内容	制定経緯から独禁法を眺めることで、その後の柱となる概念の活用を理解します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
4	事前学習	独禁法の実体的規定に共通する概念を六法で見ておきましょう。
	授業内容	基礎的概念（１）「一定の取引分野」、「競争の実質的制限」、公正競争阻害性といった実体的規定の柱となる概念を学びます。
	事後学習	これらの概念がどの規定と共通するかを六法で確認しましょう。
5	事前学習	第4回で学んだ独禁法の実体的規定がどのような場合に当てはまるのかに注意しながら、教科書の該当箇所を一読しましょう。
	授業内容	基礎的概念（２）柱となる違反項に関する概念がどのように活用されるかを概観します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
6	事前学習	独禁法を適用する主体が誰であるかを教科書の該当箇所から学び取ってみましょう。
	授業内容	公正取引委員会の組織と権限（１）独禁法を具体的に適用する行政組織に与えられる権原、その他の特殊性について取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
7	事前学習	公正取引委員会に与えられる諸権限を六法で確認しておきましょう。
	授業内容	公正取引委員会の組織と権限（２）独禁法の適用事例を通じて組織上の課題を取り上げます。なお、すでに審判手続は廃止されていますが、学ぶ諸事例はこの手続にのっとり解決されているケースが多数になりますので、現在の制度と対比させながら論じます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
8	事前学習	公正取引委員会の諸権限がどのように六法で規定されているかを一読しておきましょう。
	授業内容	違反事件の処理手続（１）公正取引委員会に与えられる行政上の諸権限がどのような意味を持ち、それがどのように行使されるのかについて、主に手続的な問題として取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
9	事前学習	公正取引委員会が定めた規則がありますので、その規則をインターネット等で調べてみましょう。
	授業内容	違反事件の処理手続（２）公正取引委員会に与えられた特殊な権限が違反事件にいかに関与しているかを概観します。この場合、詳細な手続が委員会規則によって定められていることがあるので、事前学習で調べたものに照らし合わせることを期待します。
	事後学習	取り上げられた諸権限が具体的にどのように活用されているのかを教科書などで確認しておきましょう。
10	事前学習	公正取引委員会の諸権限がどのように六法で規定されているかを一読しておきましょう。
	授業内容	実効性確保手段（１）公正取引委員会による違反事件に対する行政上の措置として排除措置命令・課徴金納付命令を取り上げる。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
11	事前学習	独禁法の中で訴訟にかかわる部分についてどのような規定があるかを、六法の中から探し出してみましょう。
	授業内容	実効性確保手段（２）違反事件に対する民事上・刑事上の現れ方を概観します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
12	事前学習	独禁法の柱となる概念はどのようなものがあるかを確認するため、教科書を読んでみましょう。
	授業内容	これまでに取り上げてきた内容について、独禁法がどのように機能するかを全体的に概観します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
13	事前学習	私的独占について独禁法がどのように規定しているかを六法から読み取ってみましょう。
	授業内容	独禁法2条5項・3条前段の規定の意味を取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
14	事前学習	第13回で学んだ内容に照らし、排除型と支配型の違いは何であるかについて、教科書を一読してみましょう。
	授業内容	今回は、私的独占の類型のうち排除型に関する諸事例を取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。

15	事前学習	第14回で学んだ排除型私的独占と対比させながら、何が支配型私的独占であるのかについて、教科書を一読してみましよう。
	授業内容	今回は、私的独占の類型のうち支配型に関する諸事例を取り上げる。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。

科目名	経済法Ⅰ	担当者	野木村 忠邦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	我が国の独占禁止法の成立背景・目的・役割・効果について、検討を行う。また、その過程で独占禁止法に影響を与えている米国・EUにおける競争法についても検討を進める。					
授業目的・到達目標	最近、ようやくわが国経済法制の中核的位置を効果的な占めるに至った独占禁止法の目的・役割・効果について、解説する。独占禁止法が、資本主義体制維持のための法的装置であることを、受講者に理解させたい。実例中心に分かり易く説明したい。最近の産業界のトピックスを取り上げ、「市場」とは何か、「資本主義的経営」の在り方の観点から、独占禁止法のあるべき姿を理解させたい。					
履修条件	なし					
授業方法	開講の際、指示する					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	独占禁止法制の仕組みを正しく理解しているかについて問う。基礎的問題を出題		
	平常評価		20%	時事問題についてのレポートの提出を求めている（任意）		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	尚学社		本年5月に発刊するため、講義の際に指示する。		野木村忠度著・野木村忠邦監修
	備考					
参考書	講義の中で、その都度指示する、例えば、M.フリードマン『政府からの自由』中央公論社、R/コース『企業・市場・法』東洋経済社等。					
オフィスアワー	木曜日12：10～13：00 教員室（2号館1階）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	競争とはどのような状態かを調べておくこと。
	授業内容	競争とは何か/独占禁止法概論Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
2	事前学習	独占禁止法とはどのようなものかを事前に調べておくこと。
	授業内容	独占禁止法概論Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。

3	事前学習	独占禁止法成立の経緯
	授業内容	独占禁止法概論Ⅲ
	事後学習	講義の際に指示する。
4	事前学習	独占禁止法の目的について自身でまとめ、疑問点を明らかにすること。
	授業内容	独占禁止の目的
	事後学習	講義の際に指示する。
5	事前学習	独占禁止法がどのように構成されているかを自身でまとめておくこと。
	授業内容	独占禁止法の構成
	事後学習	講義の際に指示する。
6	事前学習	独占禁止法の運用機関について調べておくこと。
	授業内容	独占禁止法の運用Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
7	事前学習	独占禁止法の運用機関についてさらに前回講義を参考に調べておくこと。
	授業内容	独占禁止法の運用Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。
8	事前学習	私的独占とは何かを調べておくこと。
	授業内容	私的独占の規制Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
9	事前学習	私的独占が起こる状況について調べておくこと。
	授業内容	私的独占の規制Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。
10	事前学習	私的独占が問題になる場合について自身で調べておくこと。
	授業内容	私的独占の規制Ⅲ
	事後学習	講義の際に指示する。
11	事前学習	M&Aとはなにかを考えておくこと。
	授業内容	集中（合併・株式資産の取得）の規制Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
12	事前学習	これまで問題となったM&Aについて自身で調べ、何が問題かを考えておくこと。
	授業内容	集中（合併・株式資産の取得）の規制Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。
13	事前学習	前回とは別個の問題となったM&Aについて自身で調べ、何が問題かを考えておくこと。
	授業内容	集中（合併・株式資産の取得）の規制Ⅲ
	事後学習	講義の際に指示する。
14	事前学習	独占状態についてどのような状態かを調べておくこと。
	授業内容	独占的状态に対する措置
	事後学習	講義の際に指示する。

15	事前学習	適用除外の意味について調べておくこと。
	授業内容	適用除外
	事後学習	講義の際に指示する。

科目名	経済法Ⅱ	担当者	友岡 史仁	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	独占禁止法（独禁法）は「公正且つ自由な競争」の促進を目的とし、わが国における経済活動の基本方針を定める重要な法律です。時に「経済憲法」とも呼ばれるように、経済活動に伴う多くの諸問題にかかわる法的問題を規律するための根本規範ともいえるものです。実際は抽象的に規定される独禁法の解釈の基本的な考え方を、本授業では勉強していきます。				
授業目的・到達目標	本授業では、独禁法にかかわる解釈や判例・裁判例の検討を通じ、その基礎的理解を深めることを目的とします。独禁法の規定がどのように用いられているのかを、条文になるべく忠実に理解することを心がけることで、どのような場合に独禁法が適用されるのか、その手段とは何かといった、法的な思考方法をあわせて身につけることを目指します。				
履修条件	関連科目として、憲法、民法、行政法、会社法等があります、履修していない場合は配慮する予定です。なお経済法Ⅰで勉強する内容を踏まえることが多いので、ⅠとⅡを連続して履修することを期待します。				
授業方法	講義及びケーススタディー。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	例年、説明問題（いわゆる「一行問題」）と事例問題を併せた設問を出している。これらはともに講義中に触れることばかりであるので、常に聞き逃さないでください。	
	平常評価		0%	ここでは0％としているが、履修者数との兼ね合いから、レポート課題を課することもあります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	有斐閣		経済法・第8版	岸井大太郎ほか
	2018年度	有斐閣		経済法判例・審決百選〔第2版〕	金井貴嗣ほか編
	備考				
参 考 書	講義の中で必要に応じて指示します。				
オフィスアワー	木曜日１９：３０都度質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今回から不当な取引制限（カルテル）について学んでいきますので、カルテルとは何かなどを、身近な事例で感じながら教科書を一読してみましょう。あわせて六法で該当する規定を読んでおきましょう。
	授業内容	独禁法2条6項・3条後段の規定の意味を取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
2	事前学習	第16回で概要を理解した「不当な取引制限」がどのように活用されるのかについて、教科書を一読してみましょう。
	授業内容	多数の不当な取引制限に関する諸事例の典型的なものについて、取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。

3	事前学習	不当な取引制限のうち、「談合」を典型として特殊な事例として行政機関が関わるものもあるので、それらが何かに ついて教科書で一読してみましょう。
	授業内容	官製談合のように行政機関が関与する特殊な諸事例について検討します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
4	事前学習	独禁法の実効性確保手段（エンフォースメント）について、六法で該当する規定を探し出してみましょう。
	授業内容	不当な取引制限に関する課徴金納付命令などの特殊な手続について、復習およびそれにかかわる諸手続の問題を検討 します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
5	事前学習	構造規制がどのような意味を持つのかについて、教科書で確認してみましょう。
	授業内容	独禁法8条の4に規定される独占的状态規制について取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を教科書などで確認しておきましょう。
6	事前学習	インターネット・新聞報道でもよく扱われるM&Aについて、どのような時事問題が登場するかを意識して教科書を 一読してみましょう。
	授業内容	企業結合のうち集中規制（一般・市場）の意味について取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を教科書やインターネット・新聞報道などで確認しておきましょう。
7	事前学習	企業結合に関する独禁法の規定を六法で確認してみましょう。その際、公正取引委員会が公表している事業支配力過 度集中規制ガイドラインもインターネット等で確認してみましょう。
	授業内容	独禁法9条・11条について取り上げ、特に持株会社規制に関する問題を取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を教科書などで確認しておきましょう。
8	事前学習	第22回の授業で取り上げられなかった企業結合に関する独禁法の規定を六法で確認してみましょう。その際、公正取 引委員会が公表している企業結合ガイドラインもインターネット等で確認してみましょう。
	授業内容	独禁法10条、13条以下について取り上げ、株式保有・役員兼任・合併といった諸規制について概観します。
	事後学習	取り上げられた事例を教科書などで確認しておきましょう。
9	事前学習	企業結合ガイドラインで触れられた内容に照らしてどのような問題が生ずるのかについて、教科書を一読してみましょ う。
	授業内容	これまでの公正取引委員会による審決例などを通じて、企業結合に関する諸事例の理解を進めます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
10	事前学習	六法の中で不公正な取引方法はどのように規定されているかを確認してみましょう。
	授業内容	不公正な取引方法について、私的独占・不当な取引制限とは異なる構成要件とその意味を概観します。
	事後学習	取り上げられた規定の意味を教科書などで確認しておきましょう。
11	事前学習	不公正な取引方法に関する独禁法本体の条文および公正取引委員会が公表している流通取引慣行ガイドラインを見て おきましょう。
	授業内容	排他条件付取引を中心に、それにかかわる他の不公正な取引方法も含めて解説します。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
12	事前学習	不公正な取引方法に関する独禁法本体の条文および公正取引委員会が公表している流通取引慣行ガイドラインを見て おきましょう。
	授業内容	再販売価格の拘束、拘束条件付取引について取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
13	事前学習	不公正な取引方法に関する独禁法本体の条文および公正取引委員会が公表している流通取引慣行ガイドラインを見て おきましょう。
	授業内容	共同・その他の取引拒絶、差別対価等の差別的取扱いについて取り上げます。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。
14	事前学習	不公正な取引方法に関する独禁法本体の条文および公正取引委員会が公表している流通取引慣行ガイドラインを見て おきましょう。
	授業内容	不当廉売、優越的地位の濫用、その他の不公正な取引方法について取り上げる。
	事後学習	取り上げられた事例を百選などで確認しておきましょう。

15	事前学習	前回までに学んだ独禁法に関する諸規定の解釈と具体的な諸事例について、復習してみましょう。なお、経済法Ⅰで取り上げる私的独占について、未修者については教科書を一読しておくことを期待します。
	授業内容	経済法Ⅰでも触れる私的独占も含め、独禁法の実体的規定を通じて学んだ諸事項を総括し、問題発見能力（リーガルマインド）が養われていることを確認します。
	事後学習	確認できたことを教科書・百選に照らして検討してみましょう。

科目名	経済法Ⅱ	担当者	野木村 忠邦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	我が国の独占禁止法の成立背景・目的・役割・効果について、検討を行う。また、その過程で独占禁止法に影響を与えている米国・EUにおける競争法についても検討を進める。					
授業目的・到達目標	最近、ようやくわが国経済法制の中核的位置を効果的な占めるに至った独占禁止法の目的・役割・効果について、解説する。独占禁止法が、資本主義体制維持のための法的装置であることを、受講者に理解させたい。実例中心に分かり易く説明したい。最近の産業界のトピックスを取り上げ、「市場」とは何か、「資本主義的経営」の在り方の観点から、独占禁止法のあるべき姿を理解させたい。					
履修条件	なし					
授業方法	開講の際、指示する					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	独占禁止法制の仕組みを正しく理解しているかについて問う。基礎的問題を出題		
	平常評価		20%	時事問題についてのレポートの提出を求めている（任意）		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	尚学社		本年5月に発刊するため、講義の際に指示する。		野木村忠度著・野木村忠邦監修
	備考					
参考書	講義の中で、その都度指示する、例えば、M.フリードマン『政府からの自由』中央公論社、R/コース『企業・市場・法』東洋経済社等。					
オフィスアワー	木曜日12：10～13：00 教員室（2号館1階）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	カルテルとはどのような状態化を調べておくこと。
	授業内容	カルテルの規制Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
2	事前学習	カルテルの問題点についてまとめておくこと。
	授業内容	カルテルの規制Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。

3	事前学習	カルテルに対し、どのような規制が設けられるかを検討すること。
	授業内容	カルテルの規制Ⅲ
	事後学習	講義の際に指示する。
4	事前学習	不公正な取引方法について調べておくこと。
	授業内容	不公正な取引方法の規制Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
5	事前学習	不公正な取引方法の類型について調べておくこと。
	授業内容	不公正な取引方法の規制Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。
6	事前学習	再販売価格維持行為について検討すること。
	授業内容	不公正な取引方法の規制Ⅲ
	事後学習	講義の際に指示する。
7	事前学習	優越的地位の濫用についてしらべておくこと。
	授業内容	不公正な取引方法の規制Ⅳ
	事後学習	講義の際に指示する。
8	事前学習	どのような場合に独占禁止法に違反するかを事前に各自で検討すること。
	授業内容	独占禁止法違反行為に対する規律
	事後学習	講義の際に指示する。
9	事前学習	中小企業を保護する必要があるのか、消費者をなぜ保護しなくてはならないかをまとめておくこと。
	授業内容	中小企業保護・消費者保護と独占禁止法
	事後学習	講義の際に指示する。
10	事前学習	国際取引で独占禁止法にと関連する事案はどのようなときかを検討すること。
	授業内容	国際取引と独占禁止法
	事後学習	講義の際に指示する。
11	事前学習	公正取引委員会について調べておくこと。
	授業内容	公正取引委員会の役割
	事後学習	講義の際に指示する。
12	事前学習	米国における反トラスト法、及びEUにおける競争法とはどのようなものかを調べておくこと。
	授業内容	米国・EUの独占禁止法制
	事後学習	講義の際に指示する。
13	事前学習	独占禁止法の役割について自身で検討すること。
	授業内容	資本主義体制と独占禁止法の役割
	事後学習	講義の際に指示する。
14	事前学習	我が国における独占禁止法の問題点について検討すること。
	授業内容	わが国における独禁政策の功罪評価
	事後学習	講義の際に指示する。

15	事前学習	これまでの独占禁止法の在り方について自身でまとめること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	期末テストに向けて考えを再度まとめること。

科目名	警察政策	担当者	金山 泰介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	治安行政は、外交及び防衛と並んで重要な国家の基本機能でありながら、我が国の大学ではあまり論じられてこなかった分野である。しかしながら、平成に入っての犯罪急増、サイバー犯罪、振り込め詐欺、ストーカー等新たな治安への脅威の出現により、治安に対する国民の関心が高まっているところである。本科目においては、警察行政を中心に犯罪や事故等人に起因する危険から個人や社会を守るための行政政策を説明する。				
授業目的・到達目標	治安行政は、平成期に入り犯罪急増等により国民の関心が高まるとともに、配偶者暴力、ストーカー、児童虐待等の新規立法が相次いで行われるなど大きく進展している。こうした治安行政の中核に担う警察行政の進展の背景、内容を理解することが目的である。 到達目標は、近年の警察行政の進展の背景、内容について自分の言葉で説明できるようになることである。				
履修条件	2－4年次生を対象とする。				
授業方法	パワーポイントを用いた講義形式で行うが、随時質問をするので準備をしておくこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	論述式試験	
	平常評価		20%	授業中の建設的質問、教員からの質問に対する適切な回答等授業参加を加点。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	立花書房		警察行政概論	金山泰介
	備考				
参考書	『警察白書平成29年版』 警察庁 https://www.npa.go.jp/hakusyo/h28/index.html				
オフィスアワー	メールで受け付ける。kanayama.taisuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの精読
	授業内容	ガイダンス～社会の安全を守るための行政とは
	事後学習	講義ノートを整理し自らの学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪統計の対象を理解する。
	授業内容	犯罪情勢の推移と変化の原因：戦後の犯罪情勢を概観するとともに犯罪統計について理解する。
	事後学習	講義ノートを整理し、犯罪統計におけるキーワードを記憶する。

3	事前学習	事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、明治憲法下の警察と現行警察との違いを考察する。
	授業内容	警察及び刑事司法制度：警察制度を中心に我が国の刑事司法制度を理解する。
	事後学習	講義ノートを整理し、旧警察法と新警察法の違いをまとめる。
4	事前学習	事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、警察法第1条及び第2条の趣旨を考察する。
	授業内容	警察権限行使の法理：警察権限の法的根拠とその執行の基本的原則を理解する。
	事後学習	講義ノートを整理し、警察権限行使の基本原則をまとめる。
5	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、警察倫理と公務員理の違いを考察する。
	授業内容	警察官の倫理：警察官の職務倫理について理解するとともに警察官の倫理の特徴について考察する。
	事後学習	講義ノートを整理し、警察官は一般公務員よりも高い倫理性が求められる理由についてまとめる。
6	事前学習	事前配布資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪捜査の法的根拠を確認する。
	授業内容	警察の捜査：警察の行う犯罪捜査の意義と任意捜査の原則について理解するとともに、主に英米法との比較において任意捜査の原則の意義を考察する。
	事後学習	講義ノートを整理し、警察、検察それぞれの捜査の違いをまとめる。
7	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪被害者の置かれている立場に思いを寄せる。
	授業内容	被害者対策と犯罪予防の理論：犯罪被害者対策及び犯罪理論の概要を理解する。
	事後学習	講義ノート整理し、犯罪予防の理論の発展の経緯を整理する。
8	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪予防の重要性を理解する。
	授業内容	公共空間・地域の安全：公共空間における犯罪防止政策の変遷と現状を理解するとともに、犯罪予防の理論の適用を考察する。
	事後学習	講義ノートを整理し、犯罪予防の理論に基づく各種施策をまとめる。
9	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、家族間の犯罪について考察する。
	授業内容	家庭等親密圏の安全：配偶者暴力、ストーカー、児童虐待等親密な関係にある者の間で生ずる事案への対応について考察する。
	事後学習	講義ノートを整理し、夫婦間暴力、ストーカー対策、児童虐待対策に共通する事項をまとめる。
10	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、暴力団対策の歴史を考察する。
	授業内容	反社会的勢力対策：暴力団等反社会的勢力への対処について理解する。
	事後学習	講義ノートを整理し、暴力団対策の変化と国民の意識の変化についてまとめる。
11	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、サイバーセキュリティ基本法の基本条項に目を通す。
	授業内容	サイバー空間の安全：サイバー犯罪対策の歴史と現行法制度について理解するとともに、サイバー空間の秩序構築について考察する。
	事後学習	講義ノートを整理し、サイバー空間の秩序構築のための諸施策についてまとめる。
12	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分の精読し、交通事故対策の歴史について考察する。
	授業内容	道路交通の安全：交通死亡事故防止対策について理解する。
	事後学習	講義ノートを整理し、交通死亡事故抑止に効果をもたらした諸要素をまとめる。
13	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分の精読し、テロの歴史を考察する。
	授業内容	テロ対策：テロの歴史と対策について理解する。
	事後学習	講義ノートを整理し、テロ防止のための規制の必要性和個人の自由とのバランスについてまとめる。
14	事前学習	事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、「行動計画」策定の背景を検討する。
	授業内容	犯罪対策閣僚会議と行動計画：犯罪対策閣僚会議の設置と「犯罪に強い社会の実現のための行動計画」の策定について考察する。
	事後学習	講義ノートを整理し、第1次から3次の「行動計画」の発展についてまとめる。

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験：論述式1問。テキスト、配布資料、ノート等紙媒体は持ちこみ可。 まとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	刑事訴訟法Ⅰ	担当者	加藤 克佳	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑法（刑罰法令）を具体的に実現するには、犯罪事実を認定し（事実認定）、科すべき刑を量定する手続（量刑）が必要となる。この手続が刑事訴訟（刑事手続）である。この授業では、捜査、公訴、公判のうち、捜査手続について、その概略を説明するとともに、そこに生ずる重要な法的諸問題につき検討を行う。				
授業目的・到達目標	刑事訴訟法（特に捜査手続法）の基礎を修得する。その上で、刑事手続制度をめぐる諸問題への適正な対応が図れるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。授業には、必ず六法およびテキスト類を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業で提示した基礎的な知識の理解・修得ができているかを判定する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	有斐閣		入門刑事手続法〔第7版〕	三井誠＝酒巻匡
	2017	有斐閣		刑事訴訟法判例百選〔第10版〕	井上正仁ほか編
	備考	必要に応じて授業の際に指示・紹介する。			
参考書	必要に応じて授業の際に指示・紹介する。				
オフィスアワー	授業後に行う。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	ガイダンスとイントロダクション：講義予定，教科書等，成績評価方法など
	事後学習	該当箇所の復習，課題
2	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	刑事訴訟法の意義・特色，刑事手続の流れ
	事後学習	該当箇所の復習，課題

3	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の意義・構造，捜査の主体(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
4	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の意義・構造，捜査の主体(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
5	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の端緒(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
6	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の端緒(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
7	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の基本原則(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
8	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の基本原則(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
9	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の身体拘束(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
10	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の身体拘束(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
11	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の身体拘束(3)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
12	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の身体拘束(4)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
13	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の身体拘束(5)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
14	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	物的証拠の収集(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題

15	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	物的証拠の収集(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
16	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	物的証拠の収集(3)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
17	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	物的証拠の収集(4)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
18	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	物的証拠の収集(5)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
19	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	供述証拠の収集(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
20	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	供述証拠の収集(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
21	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査行為の限界(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
22	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査行為の限界(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
23	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査行為の限界(3)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
24	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査行為の限界(4)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
25	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の防御権(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
26	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	被疑者の防御権(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題

27	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の終結と検察官の事件処理(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
28	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	捜査の終結と検察官の事件処理(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
29	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	公訴の提起(1)
	事後学習	該当箇所の復習，課題
30	事前学習	該当箇所の予習
	授業内容	公訴の提起(2)
	事後学習	該当箇所の復習，課題

科目名	刑事訴訟法Ⅰ	担当者	澤田 康広	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑事訴訟法の基本的理論を条文と判例に基づき、できるだけ具体的事例を紹介しながら説明して刑事訴訟法の目的を理解し、それが刑事訴訟手続にどのように反映されているか、また、担い手である裁判官、検察官、弁護士がどのような役割を果たしているか、その問題点はどこにあるかを理解できるよう説明する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 人権保障と実体的真実発見という刑事訴訟法の目的やその担い手の果たす役割について理解するとともに、刑事訴訟手続のうち、捜査手続を中心に公訴提起に至るまでの流れを理解することを目的とする。 【到達目標】 刑事手続の基本的な流れを学び、判例や具体的事例に即して捜査手続における各種問題点を解決できるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑事訴訟法の基礎理論を理解し、基本的知識を身につけているかを判定する。授業で説明した基本的な概念や基礎理論等を整理し、理解しておくこと。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	弘文堂		「刑事訴訟法（Next教科書シリーズ）」	関正晴編
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	火曜日及び水曜日 12：10 に質問を受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を一覧しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（講師の紹介、年間の講義予定、刑事訴訟法を学習する際の注意点などの説明。成績評価、教科書・参考文献等の説明）
	事後学習	教科書の目次を一覧し、今後学ぶべき事項を確認する。
2	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の意義と目的
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。

3	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事手続の概要
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
4	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟の担い手①裁判所
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
5	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟の担い手②検察官，捜査機関を含む
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
6	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟の担い手③被告人
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
7	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の担い手④弁護士
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
8	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	捜査の概況（捜査の意義，構造）
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
9	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	捜査の端緒
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
10	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	任意捜査の原則
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
11	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	強制処分法定主義
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
12	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	新しい強制処分
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
13	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	逮捕
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
14	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	勾留
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。

15	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	逮捕・勾留の諸問題
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
16	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	令状による捜索・差押・検証
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
17	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	逮捕に伴う捜索・差押・検証
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
18	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	特殊な捜査の方法（科学的捜査）
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
19	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者の取調べ
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
20	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被告人の取調べ
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
21	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	余罪の取調べ
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
22	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者の黙秘権
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
23	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者の弁護人の援助を受ける権利
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
24	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者と弁護人との接見交通権
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
25	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	捜査の終結と検察官の事件処理
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
26	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	起訴便宜主義と起訴猶予処分
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。

27	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	検察官の訴追裁量に対する抑制方法
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
28	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	違法捜査の救済
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
29	事前学習	事前に出題した事例問題を検討しておくこと。
	授業内容	各種事件の捜査①
	事後学習	授業で説明した判例等を確認すること。
30	事前学習	事前に出題した事例問題を検討しておくこと。
	授業内容	各種事件の捜査②
	事後学習	授業で説明した判例等を確認すること。

科目名	刑事訴訟法Ⅰ	担当者	澤田 康広	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	4
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	刑事訴訟法の基本的理論を条文と判例に基づき、できるだけ具体的事例を紹介しながら説明して刑事訴訟法の目的を理解し、それが刑事訴訟手続にどのように反映されているか、また、担い手である裁判官、検察官、弁護士がどのような役割を果たしているか、その問題点はどこにあるかを理解できるよう説明する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】 人権保障と実体的真実発見という刑事訴訟法の目的やその担い手の果たす役割について理解するとともに、刑事訴訟手続のうち、捜査手続を中心に公訴提起に至るまでの流れを理解することを目的とする。 【到達目標】 刑事手続の基本的な流れを学び、判例や具体的事例に即して捜査手続における各種問題点を解決できるようになる。			
履修条件	特になし			
授業方法	講義形式			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	刑事訴訟法の基礎理論を理解し、基本的知識を身につけているかを判定する。授業で説明した基本的な概念や基礎理論等を整理し、理解しておくこと。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	弘文堂	「刑事訴訟法（Next教科書シリーズ）」	関正晴編
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	火曜日及び水曜日 12：10 火曜日及び木曜日 19：30 に質問を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を一覧しておくこと。
	授業内容	ガイダンス（講師の紹介、年間の講義予定、刑事訴訟法を学習する際の注意点などの説明。成績評価、教科書・参考文献等の説明）
	事後学習	教科書の目次を一覧し、今後学ぶべき事項を確認する。
2	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の意義と目的
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。

3	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事手続の概要
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
4	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟の担い手①裁判所
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
5	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟の担い手②検察官，捜査機関を含む
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
6	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟の担い手③被告人
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
7	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の担い手④弁護士
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
8	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	捜査の概況（捜査の意義，構造）
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
9	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	捜査の端緒
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
10	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	任意捜査の原則
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
11	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	強制処分法定主義
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
12	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	新しい強制処分
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
13	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	逮捕
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
14	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	勾留
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。

15	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	逮捕・勾留の諸問題
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
16	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	令状による捜索・差押・検証
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
17	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	逮捕に伴う捜索・差押・検証
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
18	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	特殊な捜査の方法（科学的捜査）
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
19	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者の取調べ
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
20	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被告人の取調べ
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
21	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	余罪の取調べ
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
22	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者の黙秘権
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
23	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者の弁護人の援助を受ける権利
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
24	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	被疑者と弁護人との接見交通権
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
25	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	捜査の終結と検察官の事件処理
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
26	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	起訴便宜主義と起訴猶予処分
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。

27	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	検察官の訴追裁量に対する抑制方法
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
28	事前学習	説明が予定されている教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	違法捜査の救済
	事後学習	教科書の該当箇所を確認する。
29	事前学習	事前に出題した事例問題を検討しておくこと。
	授業内容	各種事件の捜査①
	事後学習	授業で説明した判例等を確認すること。
30	事前学習	事前に出題した事例問題を検討しておくこと。
	授業内容	各種事件の捜査②
	事後学習	授業で説明した判例等を確認すること。

科目名	刑事訴訟法Ⅰ	担当者	関 正 晴	部 別	第一部	期 間	後 期	単 位 数	4
-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-------	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	刑事訴訟の目的、刑事訴訟の基本構造、刑事訴訟の主体等の基本的事項を説明した後、捜査手続の概要と捜査の構造、被疑者の身柄拘束制度(逮捕・勾留)、証拠の収集保全制度(捜索・差押、検証等)、被疑者や参考人の取調べ、被疑者・被告人の黙秘権、刑事弁護制度、検察官の捜査の終結処分(起訴処分、不起訴処分、起訴猶予等)について説明し、これらについての主要な判例を説明する。					
授業目的・到達目標	刑事訴訟手続を無害の不処罰主義とデュー・プロセスの理念の下に犯罪者の人権保障を実践するための手続過程と位置づけ、このような基本的視座にもとづいて刑事訴訟制度の基本的過程を説明するとともに、あわせて刑事訴訟制度の現状と将来にむけての改革課題を検討する。刑事訴訟法の基本構造と手続の流れを習得して、刑事裁判を進める手続の内容が理解できるようにする。特に、捜査手続の具体的な問題点についての基本判例の検討を通して、捜査手続の具体的な内容の理解がはかれるようにする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	テキストに依拠しつつ刑事手続を説明し、あわせて適宜、判例百選等の事例も検討する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	刑事訴訟法の基礎理論と基礎知識が身についているかを判定する。授業で説明した基本的な概念・理論等を整理し理解しておくこと。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成24年	弘文堂		N e x t教科書シリーズ 刑事訴訟法		関正晴編
	備考					
参考書	刑事訴訟法判例百選（第10版）井上正仁編：有斐閣 他の参考書については、初回の授業の際に具体的に説明し指示する。					
オフィスアワー	水曜日及び木曜日の10：30に、質問を受け付けます。質問内容によっては、授業終了後に、事前のアポイントをとってもらい相談の時間を設けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	1年生のときに学習した法学の教科書等の「刑事裁判手続」等の該当箇所を一読しておくこと。
	授業内容	年間の講義予定、成績評価の方法、教科書・参考文献などの説明、刑事裁判手続の一般的な説明
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の8頁の図と比べあわせて、全体としての刑事手続の流れの理解に努める。
2	事前学習	教科書の1頁から10頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の意義：、刑事訴訟制度の歴史、意義、憲法や刑法との関係、刑事手続を捜査、公訴提起、公判、刑の執行等の内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

3	事前学習	法律用語辞典や各人の参考書で適正手続主義、実体的真実主義、当事者主義、職権主義という専門用語の内容を確認すること。教科書12頁から14頁を読み、近年の司法制度改革によってなされた刑事訴訟法の改正事項を確認しておくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の目的と構造：刑事訴訟の目的に関して、刑事訴訟法1条に表れている指導理念である適正手続主義、実体的真実主義の内容について確認し、訴訟構造に関する当事者主義の意義について、職権主義との対比で内容を説明し、刑事訴訟法の改正事項を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4	事前学習	教科書の14頁から20頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体①（裁判所）：刑事裁判権、刑事訴訟を担当する裁判所の種類と役割、国法上の裁判所と訴訟法上の裁判所、裁判官の除斥・忌避・回避、管轄についての条文の概要、事物管轄、土地管轄、審級管轄の意義
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5	事前学習	教科書の20頁から14頁から25頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体②（裁判員裁判）：裁判員裁判について対象事件、裁判体の構成、裁判官と裁判員の権限及び評決方法等の内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6	事前学習	教科書の26頁から33頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体③（検察官、捜査機関を含む）：刑事手続における検察官の地位・役割、司法警察職員の地位・役割、捜査における検察官と司法警察職員との関係について内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7	事前学習	教科書の33頁から41頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体④（被告人・弁護人）：被疑者・被告人の訴訟法上の地位、当事者能力と訴訟能力、黙秘権・迅速な裁判を受ける権利、弁護人選任権、被疑者と被告人についてそれぞれの国選弁護制度の仕組み、弁護人の弁護義務と真実義務について内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8	事前学習	教科書の42頁から48頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事手続における被害者の地位：、被害者に対する従来の刑事手続における取扱い、犯罪被害者保護法によって新たに導入されて制度の内容について条文に即して内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9	事前学習	教科書の49頁から54頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	捜査の概説（捜査の意義・構造）と捜査の端緒：、捜査の概念・定義、捜査の端緒の意義と種類、告訴・告発等の意義と内容、職務質問の法的根拠と法的性格、要件、実力行使と所持品検査の許否について内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10	事前学習	教科書の54頁から56頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	任意捜査の原則：任意捜査を規制する原理（適法性の判断枠組）としての警察(捜査)比例の原則、鑑定の囑託、実況見分、任意同行に対する規制の内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11	事前学習	教科書の56頁から57頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	強制処分法定主義：強制処分法定主義の条文上の根拠、意義・趣旨、令状主義との関係・異同、任意捜査と強制捜査との区別の基準について内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12	事前学習	教科書の56頁から57頁を再度読み、また教科書84頁から57頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	新しい強制処分説と科学的捜査：科学捜査とされる写真撮影や電話傍受について任意捜査と強制捜査との区別の基準がどうもように適用されるか、強制処分とされた捜査手段に対する適法性の判断方法について内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13	事前学習	教科書の58頁から63頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	逮捕：逮捕の種類とそれぞれの異同、通常逮捕の要件と手続、現行犯及び準現行犯の意義と要件、緊急逮捕の要件と手続、逮捕後の手続の流れについて、条文に則して内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14	事前学習	教科書の63頁から67頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	勾留：逮捕前置主義の条文上の根拠と趣旨、勾留の実体要件としての勾留の理由と必要性、勾留の手続(勾留質問、勾留請求権者、勾留請求の時間制限等)、勾留機関と延長、被疑者勾留の場所、勾留に対する不服申立方法について内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

15	事前学習	教科書の67頁から68頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	逮捕・勾留の諸問題(1)：事件単位の原則の趣旨と意義、二重逮捕・勾留の許否、再逮捕・勾留の許否(一罪一逮捕の原則)について内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
16	事前学習	教科書の68頁から69頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	逮捕・勾留の諸問題(2)：別件逮捕・勾留の問題点と主要な学説と判例、違法な別件逮捕・勾留があった場合の法的効果についてについて内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
17	事前学習	教科書の70頁から76頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	令状による搜索・差押：憲法35条の法意、搜索と差押の実体的要件(理由と必要性)、搜索差押令状の請求手続、搜索場所の特定、差押目的物の特定、搜索・差押の実施手続、令状の事前提示が要求される趣旨、搜索・差押の実施に「必要な処分」の内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
18	事前学習	教科書の80頁から82頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	逮捕に伴う搜索・差押：逮捕に伴う搜索・差押が無令状で許される理由、逮捕に伴う搜索・差押の対象物、搜索の対象となる場所の範囲、逮捕に伴う搜索・差押が許される時間的範囲、被逮捕者の身体・所持品の搜索を実施できる場所等についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
19	事前学習	教科書の76頁から78頁、84頁から87頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	科学的捜査被疑者の取調べ：強制採尿の許容性と実施の要件と手続、写真撮影と通信の傍受に対する法的規制についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
20	事前学習	教科書の83頁から84頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	おとり捜査に対する法的規制：おとり捜査の意義、適法性の判断基準、違法なおとり捜査の訴訟法上の効果についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
21	事前学習	教科書の88頁から904頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	身柄拘束中の被疑者やの取調べ、余罪の取調べ、被告人の取調べ：捜査構造論、被疑者の取調べ受忍義務の肯定説と否定説、余罪取調べの限界についての学説、起訴後の被告人の取調べの許否についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
22	事前学習	教科書の90頁から92頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者の黙秘権：黙秘権の根拠条文と保障の趣旨、黙秘権の保障の及ぶ事項、刑事手続以外の手続における黙秘権の保障の有無についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
23	事前学習	教科書の36頁から37頁、92頁から93頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者等の弁護人の援助を受ける権利：刑事弁護人制度の意義、弁護人依頼権の憲法上及び刑事訴訟法上の根拠、実質的で有効な弁護を受ける権利についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
24	事前学習	教科書の92頁から94頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者等と弁護人の接見交通権(1)：接見交通権の内容と保障の趣旨、憲法34条の弁護人依頼権との関係、接見指定要件である「捜査のため必要がある」とい」の解釈についての学説と判例についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
25	事前学習	教科書の92頁から94頁と各人の参考書の該当箇所を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者等と弁護人の接見交通権(2)：一接見指定要件を定める刑事訴訟法39条3項の合憲性についての最高裁判例、起訴後の余罪捜査と接見指定の許否について判例の立場と学説の内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
26	事前学習	教科書の89頁、66頁等を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者の証拠保全制度と被疑者の勾留理由開示請求：証拠保全と勾留理由開示制度について、それらの意義、要件及び手続について条文に則して内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

27	事前学習	教科書の95頁から96頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	違法捜査からの救済：違法捜査に対する刑事手続の内外で講じることのできる措置(準抗告、違法収集証拠の排除法則、控訴棄却、懲戒処分、刑事罰、国家賠償等)の内容を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
28	事前学習	教科書の90頁から98頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	捜査手続の終結と検察官の終局的事件処理の運用原則：検察官への事件装置手続、検察官の行う事件処理の種類（狭義の不起訴処分、起訴猶予処分、起訴処分）についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
29	事前学習	教科書の102頁から102頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	公訴権の運用原則：国家訴迫主義と起訴独占主義、起訴便宜主義と起訴法定主義、起訴猶予処分を行う際の考慮要素、公訴の取消制度についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
30	事前学習	教科書の100頁から105頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	検察官の事件処理を適正化する制度：察審査会制度、付審判請求手続、公訴権乱用論の意義と具体例についての内容等を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

科目名	刑事訴訟法Ⅰ	担当者	緑 大輔	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑事手続のうち、捜査から公訴提起に至る過程に関連する基本原理およびそれにかかわる解釈論、近時の改革課題と関連する動向について学びます。				
授業目的・ 到達目標	刑事訴訟法典のうち、捜査手続の流れを把握し、主要な判例の判断枠組みを理解するとともに、学説上の主要な見解を把握することを目的とします。また、刑事訴訟の意義・目的や担い手などについても理解することも、本講義の目的とします。捜査手続および公訴提起の基本的な手続を理解するとともに、具体的な事例に即して条文の解釈を展開して自分なりの解決を示せるようになることが目標です。				
履修条件	特になし。				
授業方法	レジュメを配布した上で講述する予定です。なお、成績評価は後に示すように期末試験をもとに行いますが、講義時に短いレポートないし感想を提出を求め、加点事由とする場合があります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	(1)刑事訴訟法の基本的な知識を理解できているか否か、(2)比較的シンプルな事例について、条文を解釈・適用して解決を導くことができているか否かを問います。	
	平 常 評 価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017年	日本評論社	刑事訴訟法入門（第2版）		緑大輔
	備考	既に刑事訴訟法の教科書を有している場合は、当該教科書を継続して使用しても構わない。			
参 考 書	初回の講義時に指示します。				
オフィス アワー	講義前後または休憩時間（非常勤のため）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書第1講（刑事手続の流れ）および関連条文の確認
	授業内容	ガイダンス・刑事訴訟法の存在意義
	事後学習	教科書第1講（刑事手続の流れ）による復習
2	事前学習	教科書第2講（裁判の当事者）および関連条文の確認
	授業内容	刑事訴訟の目的・手続の概観
	事後学習	教科書第2講（裁判の当事者）による復習

3	事前学習	教科書第3講（行政警察活動と司法警察活動）および関連条文の確認
	授業内容	捜査の意義・捜査の端緒(1)
	事後学習	教科書第3講（行政警察活動と司法警察活動）による復習
4	事前学習	教科書第3講（行政警察活動と司法警察活動）および関連条文の確認
	授業内容	捜査の端緒(2)
	事後学習	教科書第3講（行政警察活動と司法警察活動）による復習
5	事前学習	復習事例問題の検討。
	授業内容	事例問題研究(1)
	事後学習	配布資料および教科書第3講（行政警察活動と司法警察活動）による復習
6	事前学習	教科書第4講（強制と任意）および関連条文の確認
	授業内容	強制と任意(1)
	事後学習	教科書第4講（強制と任意）による復習
7	事前学習	教科書第4講（強制と任意）および関連条文の確認
	授業内容	強制と任意(2)
	事後学習	教科書第4講（強制と任意）による復習
8	事前学習	復習事例問題の検討。
	授業内容	事例問題研究(2)
	事後学習	配布資料および教科書第4講（強制と任意）による復習
9	事前学習	教科書第5講（捜査によって制約される利益）および関連条文の確認
	授業内容	任意捜査の諸類型(1)
	事後学習	教科書第5講（捜査によって制約される利益）による復習
10	事前学習	および関連条文の確認
	授業内容	任意捜査の諸類型(2)
	事後学習	教科書第5講（捜査によって制約される利益）による復習
11	事前学習	復習事例問題の検討。
	授業内容	事例問題研究(3)
	事後学習	配布資料および教科書第5講（捜査によって制約される利益）による復習
12	事前学習	教科書第9講（逮捕の諸類型および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の身体拘束(1)——逮捕の類型と要件・その1
	事後学習	教科書第9講（逮捕の諸類型）による復習
13	事前学習	教科書第9講（逮捕の諸類型および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の身体拘束(2)——逮捕の類型と要件・その2
	事後学習	教科書第9講（逮捕の諸類型）による復習
14	事前学習	教科書第8講（逮捕と勾留の関係）および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の身体拘束(3)——逮捕勾留の諸原則・その1
	事後学習	教科書第8講（逮捕と勾留の関係）による復習

15	事前学習	教科書第8講（逮捕と勾留の関係）および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の身体拘束(4)——逮捕勾留の諸原則・その2
	事後学習	教科書第8講（逮捕と勾留の関係）による復習
16	事前学習	復習事例問題の検討
	授業内容	事例問題研究(4)
	事後学習	配布資料および教科書第8講（逮捕と勾留の関係）による復習
17	事前学習	教科書第10講（逮捕・勾留と被疑者取調べおよび関連条文の確認
	授業内容	被疑者の取調べと身体拘束——別件逮捕勾留・余罪取調べ
	事後学習	教科書第10講（逮捕・勾留と被疑者取調べ）による復習
18	事前学習	復習事例問題の検討
	授業内容	事例問題研究(5)
	事後学習	配布資料および教科書第8講（逮捕と勾留の関係）による復習
19	事前学習	教科書第6講（令状による規律）および関連条文の確認
	授業内容	物的証拠の収集(1)——令状による対物的強制処分・その1
	事後学習	教科書第6講（令状による規律）による復習
20	事前学習	教科書第7講（対物的強制処分の執行）および関連条文の確認
	授業内容	物的証拠の収集(2)——令状による対物的強制処分・その2
	事後学習	教科書第7講（対物的強制処分の執行）による復習
21	事前学習	教科書第11講義（逮捕の執行と証拠収集）および関連条文の確認
	授業内容	物的証拠の収集(3)——無令状の対物的強制処分
	事後学習	教科書第11講義（逮捕の執行と証拠収集）による復習
22	事前学習	教科書第7講（対物的強制処分の執行）および関連条文の確認
	授業内容	物的証拠の収集(4)——強制採尿・電話検証など
	事後学習	教科書第7講（対物的強制処分の執行）による復習。
23	事前学習	復習事例問題の検討
	授業内容	事例問題研究
	事後学習	配布資料および教科書第7講（対物的強制処分の執行）による復習。
24	事前学習	教科書第13講（被疑者・被告人の黙秘権）および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の防御(1)——黙秘権・弁護人選任権など
	事後学習	教科書第13講（被疑者・被告人の黙秘権）による復習
25	事前学習	教科書第12講（被疑者の防御）および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の防御(2)——接見交通権に関する諸問題
	事後学習	教科書第12講（被疑者の防御）による復習
26	事前学習	教科書第12講（被疑者の防御）および関連条文の確認
	授業内容	被疑者の防御(3)——秘密交通権に関する諸問題
	事後学習	教科書第12講（被疑者の防御）による復習

27	事前学習	復習事例問題の検討
	授業内容	事例問題研究(5)
	事後学習	配布資料および教科書第12講（被疑者の防御）による復習
28	事前学習	教科書第14講（検察官の訴追裁量とその限界）および関連条文の確認
	授業内容	検察官の訴追裁量(1)——起訴便宜主義、司法と福祉
	事後学習	教科書第14講（検察官の訴追裁量とその限界）による復習
29	事前学習	教科書第14講（検察官の訴追裁量とその限界）および関連条文の確認
	授業内容	検察官の訴追裁量(2)——訴追裁量の制御、協議合意制度
	事後学習	教科書第14講（検察官の訴追裁量とその限界）による復習
30	事前学習	教科書の上記範囲の読み込みおよび関連条文の確認
	授業内容	まとめ（時間調整予備）
	事後学習	期末試験前の学修

科目名	刑事訴訟法Ⅱ	担当者	関 正晴	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	4
-----	--------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	公訴提起の手続、起訴状の記載事項、起訴状一本主義、検察官の公訴権行使の適法性を担保する諸制度、訴因制度、公判の準備手続、公判手続、判決宣告手続、判決の効力、証拠法概説、証拠法の基本用語の説明、証拠裁判主義、自由心象主義、挙証責任、自白法則、補強法則、伝聞法則とその例外、上訴制度（控訴、上告）、非常救済手続（再審、非常上告）等を説明する。				
授業目的・到達目標	刑事訴訟手続を無害の不処罰主義とデュー・プロセスの理念の下に犯罪者の人権保障を実践するための手続過程と位置付け、このような基本的視座にもとづいて刑事訴訟制度の基本的過程を説明するとともに、あわせて刑事訴訟制度の現状と将来にむけての改革課題を検討する。刑事訴訟法の基本的構造と手続の流れを習得して、刑事裁判を進める手続の内容が理解できるようにする。特に公判手続等の具体的な問題点についての基本判例の検討を通して、公判手続等の具体的な内容の理解がはかれるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	テキストに依拠しつつ刑事手続を説明し、あわせて適宜、判例百選等の事例も検討する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑事訴訟法の基本理論と基礎知識が身についているかを判定する。授業で説明した基本的な概念・理論等を整理し理解しておくこと。	
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成24年	弘文堂	N e x t 教科書シリーズ 刑事訴訟法		
	備考				
参考書	刑事訴訟法判例百選(第10版)井上正仁編、有斐閣、他の参考書については、初回の授業の際に具体的に説明し指示する。				
オフィスアワー	水曜日及び木曜日の１０：３０に、質問を受ける。質問内容によっては、授業終了後に、事前のアポイントをとってもらい相談の時間を設けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の7頁から10頁を読み刑事手続の全体の流れについて理解しておくこと。
	授業内容	年間の講義予定、成績費評価の方法、教科書・参考文献などの説明、刑事訴訟手続の概要、特に公訴提起と公判手続の概要についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2	事前学習	教科書の3頁から4頁、10頁から11頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	刑事裁判の原理(弾劾主義と当事者主義):刑事訴訟法1条が規定する指導理念である適正手続主義、実体的真実主義の内容と、訴訟構造に関する当事者主義の意義を職権主義との対比で内容の説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

3	事前学習	教科書の100頁から105頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	公訴提起の総説、公訴権の運用とその規制：国家訴追主義と起訴独占主義、起訴便宜主義と起訴法定主義、検察審査会制度、付審判請求手続、公訴権乱用論の意義と具体例についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4	事前学習	教科書の105から109頁、134頁から135頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	公判提起の方式と効果：公訴提起の方式、不告不理の原則、条文に則した起訴状の記載事項についての説明。
	事後学習	従業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5	事前学習	教科書の108頁から110頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	起訴状一本主義：起訴状一本主義の趣旨、具体的事例に則した予断排除の原則違反の有無を説明、同原則違反の効果についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6	事前学習	教科書の110頁から115頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	訴因制度：訴因制度、訴因と公訴事実の関係、訴因の明示・特定の要請、判例の訴因が明示・特定されているか否かの基準と具体的事例の説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7	事前学習	教科書の115頁から126頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	訴因変更制度①(訴因変更の要否)：訴因変更制度の意義、訴因の追加、撤回、狭義の変更、訴因変更の要否を判断する基準についての判例の立場と主要な学説の考え方についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8	事前学習	教科書の126頁から132頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	訴因変更制度②(公訴事実の同一性)：公訴事実の同一性を判断する基準についての判例の立場と主要な学説の考え方、訴因変更の時機的な限界についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9	事前学習	教科書の132頁から134頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	訴因変更命令と訴訟条件：裁判所は訴因変更を命じる義務を負うかについての判例の立場と主要な学説の考え方、訴因変更命令の効力についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10	事前学習	教科書の144頁から152頁、156頁から163頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	公判の諸原則の概説、公判準備①(事前準備手続、公判前整理手続と証拠開示)：公判の諸原則の概説、公判準備①(事前準備手続、公判前整理手続と証拠開示)：口頭主義、直接主義、公開主義等の説明、公判前整理手続の目的及び従前の準備手続との異同、公判前整理手続に組み込まれている証拠開示制度の趣旨・目的、争点を整理し立証計画を立てるシステムについての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11	事前学習	教科書の152頁から156 頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	公判準備②(被告人の出頭を確保する手続、保釈)：公訴提起後の主要な手続きの流れ（起訴状謄本の送達、弁護人選任権の告知、第一回公判期日の指定・通知、被告人の召喚等）についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12	事前学習	教科書の150頁から152頁、163頁から172 頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	公判期日の手続(冒頭手続、証拠調べ、弁論、論告・求刑、判決の宣告)：第一審公判の手続きの進行(冒頭手続、証拠調べ、弁論、論告・求刑、判決の宣告)と、裁判所の訴訟指揮権及び法廷警察権についての説明。
	事後学習	従業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13	事前学習	教科書の169頁から170頁、16頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	公判の分離・併合、公判手続の更新・停止、公判外の手続：弁論の分離・併合の意義と趣旨及び手続、公判手続を停止・更新しなければならない場合、公判期日外の証人尋問等についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14	事前学習	教科書の20頁から25頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	裁判員裁判概説：裁判員裁判の基本構造(対象事件、裁判体の構成、裁判官と裁判員の権限及び評決の方法)についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

15	事前学習	教科書の172頁から177頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	簡易手続(簡易公判手続、即決裁判手続、略式手続、交通事件即決裁判手続)：簡易公判手続、即決裁判手続、略式手続、交通事件即決裁判手続の意義と内容についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
16	事前学習	教科書の180頁から187頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	証拠法総説①(証拠の意義と種類、証拠裁判主義)：証拠の意義と種類、証拠能力と証明力、証拠裁判主義の意義、厳格な照明と自由な照明の概念、厳格な照明が必要な事実の範囲についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
17	事前学習	教科書の187頁から190頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	証拠法総説②(自由心証主義、挙証責任)：自由心証主義の意義と例外、挙証責任の意義、証拠提出責任、争点形成責任、挙証責任の転換が認められるかについての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
18	事前学習	教科書の193頁から196頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	自白法則：自白の意義、自白法則の趣旨についての判例の立場及び主要な学説の考え方についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
19	事前学習	教科書の193頁から196頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	自白法則に関する裁判例：自白法則に関する裁判例を検討、約束による自白、偽計による自白、違法な手続で採取された自白等の具体的事例に則しての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
20	事前学習	教科書の196頁から199頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	補強法則：自白に補強証拠を必要とする理由、公判廷自白にも補強証拠が必要とされるか、補強証拠適格、補強証拠が必要とされる範囲、補強証拠に『必要とされる証明力の程度、共犯者の自白に補強証拠かが必要とされるかについての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
21	事前学習	教科書の199頁から204頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞法則①：伝聞証拠の意義、供述証拠と伝聞法則の趣旨、伝聞法則と憲法との関係、伝聞法則が適用されない場合についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
22	事前学習	教科書の204頁から211頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞法則②：伝聞法則の例外を認める理由と例外を認める場合の柱、伝聞書面と伝聞供述について条文に則した例外とされる場合の説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
23	事前学習	教科書の212頁から215頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	伝聞法則③：任意性の調査、同意書面、合意書面、証明力を争うための証拠、写真・録音テープ・ビデオテープの証拠法上の取扱についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
24	事前学習	教科書の215頁から218頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	違法収集証拠の排除法則①：違法収集証拠の排除法則の根拠、違法収集証拠の証拠能力が否定される要件とその判断の際に考慮する要素、判例の立場及び主要な学説の考え方についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
25	事前学習	教科書の218頁から219頁を読み予習をしておくこと
	授業内容	違法収集証拠の排除法則②：毒樹の果実の法理、違法に収集された証拠が派生して収集された証拠の取扱いと判例の事案の説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
26	事前学習	教科書の222頁から237頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	裁判の効力(確定判決の内容的確定力)：裁判の種類、裁判の成立の時点、裁判の確定の意義とその効力、実体裁判の内容的確定力の意義とそれが及ぶ事件の範囲についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

27	事前学習	教科書237頁から239頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	裁判の効力②(一事不再理効一二重の危険の禁止)：一事不再理効の意義及び根拠、一事不再理効の発生時期、一事不再理効の及ぶ客観的範囲についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
28	事前学習	教科書248頁から255頁、268頁から271頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	上訴総説(上訴権、不利益変更の禁止の原則、破棄判決の効力)：上訴制度の意義と種類、上訴の利益、不利益変更禁止の原則、破棄判決の拘束力についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
29	事前学習	教科書255頁から267頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	控訴、上告：控訴理由の市ゆるい、控訴審の基本構造、審理手続、事実の取調べ、上告理由の種類、上告審の行う裁判の種類、職権破棄事由についての説明。
	事後学習	業業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
30	事前学習	教科書274頁から281頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	非常救済手続(再審、非常上告)：再審、非常上告の手続についての概説、再審開始の要件としての証拠の新規性と明白性についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

科目名	刑事訴訟法Ⅱ	担当者	田中 優企	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この授業は、我が国の刑事手続の内、捜査以後、すなわち、公訴・公判・上訴・非常救済手続及び裁判の執行を中心とする講義を通して、我が国の刑事法運用制度の実際を理解すること並びにそのあるべき姿を探求します。なお、捜査についても、授業を進めるために必要な限度でお話します。公訴から裁判の執行に至る過程は、捜査と異なり、イメージを持ちにくいかもしれませんが、授業では、適宜、判例や各種統計・資料等を用いながらお話します。				
授業目的・到達目標	この授業は、受講者各自が、我が国の刑事手続を規律する基本原理・原則を正しく理解することを目的とします。また、この授業の到達目標は、受講者各自が、１．我が国の刑事手続の流れや全体像を理解することに加え、２．我が国の刑事手続を規律する原理・原則、基本的知識、そこで生じている問題・課題及びこれに対して示されている考え方・解決策を修得すること、３．我が国の刑事法運用制度の実際や近時の動向を理解することです。				
履修条件	ありません。				
授業方法	板書とパワーポイントを用いながら、適宜、資料等も配布しつつ、教科書を読み解いていきます。そのため、教科書及び六法を必ず持参して下さい。また、板書はもちろん、教員の話などについても、適宜、ノートにとってください。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	事例又は一行の論述問題を通じて、公訴から裁判の執行に至る過程に係る知識・理解及びこれらを説明する能力が身に付いているか否かを基準に評価します。	
	平常評価		20%	授業内の小テストを複数回実施します。なお、定期試験前にレポート（任意）を提出した者については、これを成績に加味して評価します。詳細は、初回に説明します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	弘文堂		Next教科書シリーズ刑事訴訟法	関正晴
	2018年3月刊行予定	信山社		刑事訴訟法基本判例解説（第2版）	椎橋隆幸・柳川重規
	備考				
参考書	椎橋隆幸編『よくわかる刑事訴訟法（第2版）』ミネルヴァ書房・2016年、椎橋隆幸編『プライマリー刑事訴訟法（第6版）』不磨書房・2017年、渥美東洋『全訂刑事訴訟法（第2版）』有斐閣・2009年など				
オフィスアワー	授業の開始前・後に講師控室にて受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書（Next教科書シリーズ刑事訴訟法。以下同じ） 2～10頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	オリエンテーション（今年度の授業について、刑事訴訟法の学び方、我が国の犯罪情勢と刑事手続の概要）
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
2	事前学習	教科書10～12頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	刑事裁判のかたち－弾劾主義・当事者主義－
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。

3	事前学習	教科書１４～２０頁、２６～４８頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	刑事手続に関与する機関・人とその役割①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
4	事前学習	教科書１４～２０頁、２６～４８頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	刑事手続に関与する機関・人とその役割②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
5	事前学習	教科書１００～１０５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	公訴，訴追裁量の規制
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
6	事前学習	事前に配布する資料を読み、概要を把握する。
	授業内容	捜査・公判協力型協議・合意制度，刑事免責
	事後学習	配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
7	事前学習	教科書１０５～１０８頁、１１０～１１５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	訴因制度
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
8	事前学習	教科書１０８～１１０頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	起訴状一本主義
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
9	事前学習	教科書３６～４１頁、９２～９５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	弁護権①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
10	事前学習	教科書３６～４１頁、９２～９５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	弁護権②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
11	事前学習	教科書１５２～１５４頁、１５６～１６３頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	公判前整理手続，証拠開示①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
12	事前学習	教科書１５２～１５４頁、１５６～１６３頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	公判前整理手続，証拠開示②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
13	事前学習	教科書１４４～１５２頁、１６３～１７１頁、２０～２５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	公判，裁判員制度①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
14	事前学習	教科書１４４～１５２頁、１６３～１７１頁、２０～２５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	公判，裁判員制度②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。

15	事前学習	教科書１８０～１９３頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	証拠法総論①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
16	事前学習	教科書１８０～１９３頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	証拠法総論②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
17	事前学習	教科書１９３～１９５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	自白法則①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
18	事前学習	教科書１９３～１９５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	自白法則②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
19	事前学習	教科書１９５～１９９頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	補強法則①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
20	事前学習	教科書１９５～１９９頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	補強法則②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
21	事前学習	教科書２１５～２２０頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	排除法則①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
22	事前学習	教科書２１５～２２０頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	排除法則②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
23	事前学習	教科書１９９～２１５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	伝聞法則①
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
24	事前学習	教科書１９９～２１５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	伝聞法則②
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
25	事前学習	教科書１９９～２１５頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	伝聞法則③
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
26	事前学習	教科書２２２～２４０頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	裁判とその効力
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。

27	事前学習	教科書 248～272 頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	上訴
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
28	事前学習	教科書 241～246 頁、274～281 頁を読み、概要を把握する。
	授業内容	裁判の執行、非常救済手続
	事後学習	教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
29	事前学習	事前に配布する資料を読み、概要を把握する。
	授業内容	刑事手続に関する法改正や近時の動向
	事後学習	配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する。
30	事前学習	これまでの学習を踏まえ、理解が不足していると思われる箇所について、教科書やノート、資料などを読み返す。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの学習を踏まえ、教科書や配布資料などを基に、講義内容について、ノートを整理する

科目名	刑事法 I	担当者	岡西 賢治	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための		担当形態		
科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等				
授業概要	犯罪と刑罰に関する実体法と手続法を概観する。専門的な知識の習得だけではなく、刑事司法を身近なものとしてとらえながら、犯罪等についての理論がいかに現実の現象に反映されているか、実務の実態がどのようなものなのか等、自ら考えられるような機会として講義を行う。また、教科書だけではなく、その時々 of 犯罪にかかわるニュースを取り入れながら進める。			
授業目的・到達目標	刑法および刑事訴訟法を中心とした刑事司法に関する法についての基礎的な知識の習得を目的とする。同時に、近年生じている犯罪の動向やその問題点なども指摘しながら、これからの刑事的制裁の意義あるいは機能等を論ずる。専門基礎知識を得ることによって、現実 to 起きている犯罪やその抑止のための諸政策に関して問題意識を持ち、問題解決の方策を模索するような姿勢を身につけるようにする。			
履修条件	特にない。			
授業方法	講義形式による。 講義中、必要に応じて質疑応答を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	論述式試験を行う。	
	平常評価	20%	講義内での小テストや発言等によって判断する。（20%）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	有斐閣	基礎から学ぶ刑事法	井田良
	備考			
参考書	船山泰範『刑事法入門』（弘文堂） 『平成29年版犯罪白書』			
オフィスアワー	月曜 12：10～13：00			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	犯罪に関する最近のニュースを調べておく。
	授業内容	犯罪をめぐる日本の現状を概観する。
	事後学習	犯罪とは何か、刑事司法とは何かについて自説をまとめる。
2	事前学習	教科書の第1章、4章を読む。
	授業内容	刑事法とは何か、刑法とは何かについて考える。 実体法と手続法、解釈論と立法論、社会学や心理学との関係などについて論じる。
	事後学習	諸概念について内容等を整理しておく。

3	事前学習	教科書の第2章を読む。
	授業内容	なぜ犯罪が起き、なぜ処罰されるのか。
	事後学習	犯罪の原因と対策について考える。
4	事前学習	教科書の第3章を読む。
	授業内容	統計から見た犯罪の動向 犯罪白書の見かた
	事後学習	犯罪の現状・実態を知る。
5	事前学習	教科書の第5章、6章を読む。
	授業内容	刑罰の目的 死刑制度について考える。
	事後学習	なぜ人を処罰するのかについて自説を整理しておく。
6	事前学習	教科書の第6章を読む。
	授業内容	刑罰の種類① 生命刑と自由刑
	事後学習	刑罰の違いを理解する。
7	事前学習	教科書の第6章を読む。
	授業内容	刑罰の種類② 財産刑と刑罰に関する今日的課題
	事後学習	刑罰と刑罰以外の法的制裁との関係を知る。
8	事前学習	教科書の第17章、18章を読む。
	授業内容	刑事訴訟法とは 刑事手続の流れ① 犯罪の捜査
	事後学習	刑事手続きの全体を理解する。
9	事前学習	教科書の第18章、19章を読む。
	授業内容	刑事手続の流れ② 起訴と公判
	事後学習	刑事裁判の実態を知る。
10	事前学習	教科書の第20章を読む。
	授業内容	日本の刑事手続の特色
	事後学習	裁判の傍聴に行ってみる。
11	事前学習	教科書248～251頁を読む。裁判所のホームページで裁判員裁判の現状を把握しておく。
	授業内容	裁判員制度の概要
	事後学習	裁判員になった時のための準備をする。
12	事前学習	教科書の第21章、22章を読む。
	授業内容	犯罪者の処遇 矯正と保護
	事後学習	犯罪者の社会復帰について考える。
13	事前学習	教科書の第21章288～297頁を読む。
	授業内容	少年犯罪の手続と処遇
	事後学習	少年犯罪の実態を知る。
14	事前学習	教科書の第23章を読む。
	授業内容	比較法研究のすすめ
	事後学習	日本の現状を諸外国の制度と比較しながら考える。

15	事前学習	刑事訴訟法と犯罪者処遇法の理論と実態を整理する。
	授業内容	試験 刑事手続の概要についてまとめる。
	事後学習	刑事司法手続の全体を把握しておく。

科目名	刑事法Ⅰ	担当者	野村 和彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑法総論の内容を、よりコンパクトに学んでいく。講義回数に限りがあるので、重要な論点に照準を合わせ、かつ、社会生活と結びつきの強いテーマを取り上げ、講義を展開する。				
授業目的・到達目標	事件や社会問題を、刑法を学んだ者としての視点で考える姿勢を身につけることを目標とする。裁判員制度の時代であるから、刑法の基礎知識はもはや社会常識として知っておかねばならない。				
履修条件	後学期の「刑事法Ⅱ」における学習につなげて内容を組んでいるので、そのことをふまえて履修されたい。また、事前学習として、下記に指定したテキストの箇所をあらかじめ読むことを求める。				
授業方法	もっぱら講義を中心に展開する。指定した教科書を用いつつ、レジュメでその内容を補い、講義を展開する。質問も快く承る。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑法学の基礎に対する考察ができているか否かをみていきたい。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
		ミネルヴァ書房		『よくわかる刑法（第3版）』（2018年4月刊行予定）	井田良ほか
	備考				
参考書	授業の際、適宜紹介する。				
オフィスアワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）におりますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	序・基礎理論 1～3 まで読む。
	授業内容	刑事法はいったい何のために存在するのか。
	事後学習	他の法律と刑法はどこが異なるのかを考える。
2	事前学習	序・基礎理論 4～5 まで読む。
	授業内容	罪刑法定主義の重要性とその背後にある思想とは。
	事後学習	罪刑法定主義と刑法の在り方はどう結びついているのかを考える。

3	事前学習	第1部刑法総論・Ⅰ 構成要件8～10を読む。
	授業内容	なぜ刑法は故意犯処罰の原則を採用しているのか。
	事後学習	刑法の在り方と故意犯処罰の原則がどう結びつくのかを考える。
4	事前学習	第1部刑法総論・Ⅰ 構成要件11～13を読む
	授業内容	組織体による過失行為に対して刑法はどう対処しようとしているのか
	事後学習	JR福知山線脱線事故や東京電力福島第一原発の事故は刑法的にどう考えるべきか。
5	事前学習	第1部刑法総論・Ⅰ 構成要件 2 を読む。
	授業内容	法人を処罰することの意義とは。
	事後学習	法人処罰により目指すものは何かを考える。
6	事前学習	第1部刑法総論・Ⅰ 構成要件 5 ～ 7 を読む。
	授業内容	犯罪行為から重い結果が生じさえすれば、その者を重罰に処してよいのか。
	事後学習	刑罰の軽重を決める際に、被害者の視点に立つことがなぜ許されないのかを、合理的に考える。
7	事前学習	第1部刑法総論・Ⅱ 違法性 1 ～ 4 , 5 を読む
	授業内容	他者を犠牲にしてまで、自己または他者を救うことがなぜ認められているのか。
	事後学習	刑法と道徳の違いとどう関係するか、さらに法益保護とどう結びつくかを考える。
8	事前学習	第1部刑法総論・Ⅱ 違法性 8 を読む。
	授業内容	指を詰めてくれと依頼され、その者の指を切り落とすことは犯罪か。
	事後学習	被害者の同意が許容される範囲と許容されない範囲の線引きを考える。
9	事前学習	第1部刑法総論・Ⅱ 違法性 9 を読む。
	授業内容	終末期における医療に対し刑法はどうかかわるべきか。
	事後学習	この問題はおそらく身近だろうから、身近な事例を刑法的に考察する。
10	事前学習	第1部刑法総論・Ⅲ 責任 1 および 2 を読む。
	授業内容	刑法は、刑罰を科す前提として、刑事責任能力があることをなぜ要求しているのか。
	事後学習	刑事責任能力が問題となっている事件について考えてみる。
11	事前学習	第1部刑法総論・Ⅳ 未遂犯 1 および 2 を読む。
	授業内容	犯罪行為に出たものの結果が生じなかった場合、刑法はどう対応するか。
	事後学習	刑法の役割論とどう関係するか考察する。
12	事前学習	第1部刑法総論・Ⅴ 共犯 1 ～ 4 を読む。
	授業内容	犯罪者にも、1等（正犯）と2等（共犯）とランク付けがあるが、それはなぜか。
	事後学習	なぜランク付けするべきなのかを考える。
13	事前学習	第1部刑法総論・Ⅴ 共犯 5 ～ 8 を読む。
	授業内容	まずは共謀罪の意味を正しく知る。
	事後学習	賛成論や反対論はどこか感情的になっている。社会の変化との関係で共謀罪の問題を考える。
14	事前学習	第1部刑法総論・Ⅵ 犯罪の数と量刑理論 1 および 2 を読む。
	授業内容	死刑は本当に必要か。
	事後学習	ドイツ政府は友好国である日本が死刑を執行するたびに、抗議声明を出している。このことを考える。

15	事前学習	これまで学んだことを自分なりに頭の中でまとめる
	授業内容	刑法はどうあるべきか（まとめに代えて）
	事後学習	自分が考える刑法の在り方についてまとめる。

科目名	刑事法Ⅱ	担当者	岡西 賢治	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	犯罪と刑罰に関する実体法と手続法を概観する。専門的な知識の習得だけではなく、刑事司法を身近なものとしてとらえながら、犯罪等についての理論がいかに現実の現象に反映されているか、実務の実態がどのようなものなのか等、自ら考えられるような機会として講義を行う。また、教科書だけではなく、その時々犯罪にかかわるニュースを取り入れながら進める。				
授業目的・到達目標	刑法および刑事訴訟法を中心とした刑事司法に関する法についての基礎的な知識の習得を目的とする。同時に、近年生じている犯罪の動向やその問題点なども指摘しながら、これからの刑事的制裁の意義あるいは機能等を論ずる。専門基礎知識を得ることによって、現実に行き起きている犯罪やその抑止のための諸政策に関して問題意識を持ち、問題解決の方策を模索するような姿勢を身につけるようにする。				
履修条件	特にない。				
授業方法	講義形式による。 講義中、必要に応じて質疑応答を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	論述式試験を行う。	
	平常評価		20%	講義内での小テストや発言等によって判断する。（20%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	有斐閣		基礎から学ぶ刑事法	井田良
	備考				
参考書	船山泰範『刑事法入門』（弘文堂） 『平成29年版犯罪白書』				
オフィスアワー	月曜 12：10～13：00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の第4章を読む。
	授業内容	刑法とは
	事後学習	犯罪と刑罰に関する基礎的知識を整理する。
2	事前学習	教科書の第8章を読む。
	授業内容	刑法各論のあらまし①
	事後学習	犯罪の諸類型について理解し、現状を把握する。

3	事前学習	教科書の第8章を読む。
	授業内容	刑法各論のあらまし②
	事後学習	犯罪の諸類型について理解し、現状を把握する。 とくに、交通事件について考える。
4	事前学習	教科書の第8章を読む。
	授業内容	刑法各論のあらまし③
	事後学習	犯罪の諸類型について理解し、現状を把握する。 とくに性犯罪について考える。
5	事前学習	教科書の第9章を読む。
	授業内容	刑法各論のあらまし④
	事後学習	偽造犯罪に関する理解を深める。
6	事前学習	教科書の第7章を読む。
	授業内容	罪刑法定主義とは
	事後学習	罪刑法定主義に関する判例を理解する。
7	事前学習	教科書の第10章、11章を読む。
	授業内容	構成要件という概念①
	事後学習	犯罪の成立要件に関する基礎概念を整理する。
8	事前学習	教科書の第11章を読む。
	授業内容	構成要件という概念①
	事後学習	構成要件に関する諸概念をよく理解する。
9	事前学習	教科書の第12章を読む。
	授業内容	違法の本質
	事後学習	刑法における違法とその他の法領域の違法との区別を理解する。
10	事前学習	教科書の第13章を読む。
	授業内容	責任の概念
	事後学習	責任主義という原則について考える。
11	事前学習	教科書の第14章を読む。
	授業内容	故意と過失
	事後学習	個々の犯罪を通じて故意と過失の違いを理解する。
12	事前学習	教科書の第15章を読む。
	授業内容	未遂と共犯
	事後学習	共犯や未遂が処罰される根拠を理解する。
13	事前学習	教科書の第16章を読む。
	授業内容	刑の適用
	事後学習	刑が宣告されるまでの手続を整理する。
14	事前学習	現在の犯罪の状況を調べる。
	授業内容	犯罪に関する今日的な課題を探る。
	事後学習	犯罪に対する理解や感覚を養う。

15	事前学習	犯罪の成立要件について確認しておく。
	授業内容	試験 犯罪論と刑罰論のまとめ
	事後学習	犯罪に関する理論を理解する。

科目名	刑事法Ⅱ	担当者	野村 和彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑法各論の内容をコンパクトにし、具体的な論点に焦点を絞り、講義を展開する。刑法各論では、一つひとつの刑罰法規の中身を明らかにし、いかなる行為がどのような理由で処罰されるべきなのかを議論する。				
授業目的・ 到達目標	一つひとつの刑罰法規が社会生活とどのような関係があるかを理解することを目標としたい。裁判員制度の時代であるから、刑法に関する知識はもはや社会常識として知っておかなければならない。				
履修条件	前学期の「刑事法Ⅰ」と内容をリンクさせていますが、この授業からはじめて履修する人も歓迎します。六法を持参しない者の授業出席は認めません。				
授業方法	レジュメで内容を補いつつ、教科書を用いて講義を展開する。質問は快く承る。なお、事前学習として、教科書を事前に読んでもらうことを義務付ける。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	刑罰法規と実社会との関係をどれだけ深く考察したかをみます。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
		ミネルヴァ書房		『よくわかる刑法（第3版）』4月上旬刊行予定	井田良ほか
	備考	刑事法Ⅰから続いて本講座を履修する人へ。同じテキストを用いますので、あらためて購入する必要はありません。			
参 考 書	講義の際に指示する。				
オフィス アワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）におりますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	刑法各論において何を学ぶのか。
	事後学習	殺人罪の規定をよく読みながら、その背後に広がる様々な事件について想像を膨らませよう。
2	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪1および2を読む。
	授業内容	人の生命はどのように保護されるべきか。
	事後学習	人の始期と終期はどう定められるべきか考える。

3	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪4および5を読む。
	授業内容	人の身体を刑法はどう保護するべきか。
	事後学習	精神障害は刑法上の傷害概念に含みうるか考える。
4	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪10を読む。
	授業内容	性犯罪規定はどのように改正されたか。
	事後学習	性犯罪が改正された社会的背景を考える。
5	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪12および13を読む。
	授業内容	言論の自由と個人の名誉の保護とをどう調和させるべきか。
	事後学習	いずれか一方を強調するときのデメリットを考察しよう。
6	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪15および16を読む。
	授業内容	刑法は私有財産をどのように保護しようとしているか。
	事後学習	窃盗罪が保護する財産は限定的であるのはなぜかを考える。
7	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪19および20を読む。
	授業内容	財産犯が保護しようとしている法益は何か。
	事後学習	最高裁判例が保護法益を占有と解している政策的な理由を考える。
8	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪24～28を読む。
	授業内容	詐欺罪が処罰される真の理由はどこにあるか。
	事後学習	この授業でとりあげた様々な事案をどう考えるべきか整理しておく。
9	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪30および31を読む。
	授業内容	横領罪はどのような構造をもつ犯罪か。
	事後学習	他の財産犯との違いを調べておく。
10	事前学習	第2部刑法各論・Ⅰ個人的法益に対する罪32～34を読む。
	授業内容	背任罪とはどのような犯罪かー経済犯罪と絡めてー。
	事後学習	企業のトップに背任罪が問われる場合、その理由は何かを考える。
11	事前学習	第2部刑法各論・Ⅱ社会的法益に対する罪1～3を読む。
	授業内容	放火罪の処罰範囲について。
	事後学習	危険犯という概念をおさらいする。
12	事前学習	第2部刑法各論・Ⅱ社会的法益に対する罪4～7を読む。
	授業内容	文書偽造罪が処罰される理由とは何か。
	事後学習	履歴書の氏名記載欄に虚偽の名前を書き、写真欄に自身の写真を添付する行為は、私文書偽造罪に当たるか。
13	事前学習	第2部刑法各論・Ⅱ社会的法益に対する罪8を読む。
	授業内容	インターネットとわいせつ罪との関係
	事後学習	わいせつ動画ファイルを販売する行為は、その場所が日本と外国とで、処罰の可否が分かれるかを考える。
14	事前学習	第2部刑法各論・Ⅲ国家的法益に対する罪4および5を読む。
	授業内容	収賄罪はいかなる構造をもつ犯罪か。
	事後学習	収賄罪の保護法益をめぐりどう対立しているかを整理する。

15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	刑罰法規と社会生活とのかかわりについて（特に犯罪化の意味について）
	事後学習	社会の変化に刑法はどう対応するべきかを考える。

科目名	刑事法特殊講義ⅠA	担当者	設楽 裕文	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実体刑法に関する近年の裁判例を素材として、判例と理論の双方について研究する授業である。				
授業目的・到達目標	判例を通じて刑法の基礎的な事項を理解することを目的とする。刑法の判例を分析し、理解し、批判できるようになる。				
履修条件	刑法の基礎的事項を取り扱った科目（刑法Ⅰ、刑法Ⅱなど）を履修したか、少なくとも同時に履修中であること。				
授業方法	講義の方法を用いる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	必要な点についての確な論述がなされているか否かにより評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014年	八千代出版	現代の判例と刑法理論の展開		板倉宏監修・著
	2012年	信山社	法学刑法5判例インデックス1000		設楽裕文編
	備考				
参考書	『法学刑法1総論』設楽裕文編：信山社　『法学刑法2各論』設楽裕文編：信山社				
オフィスアワー	水曜日（14：30）授業講堂ないしその周辺において、授業に関係する事項について、おこなう（最大で60分）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代（教科書『現代の判例と刑法理論の展開』を指す。以下同じ）の145～166頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	序　判例研究の意義
	事後学習	共謀共同正犯　スワット事件最高裁決定を素材として 現代145頁の冒頭判例（各章の冒頭に出てくる裁判例を指す。以下同じ）を論評できるようにする（800字程度の判例評論文を作成する。以下同じ）。
2	事前学習	現代の167～178頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	承継的共同正犯　傷害重篤化事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代167頁の冒頭判例を論評できるようにする。
3	事前学習	現代の179～195頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	共犯関係からの離脱　強盗着手前立去り事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代179頁の冒頭判例を論評できるようにする。
4	事前学習	現代の197～208頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	中立的行為の幫助　ウィニー事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代197頁の冒頭判例を論評できるようにする。

5	事前学習	現代の209～222頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	傷害について 睡眠薬混入事件最高裁決定、PTSD発症事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代209頁の冒頭判例を論評できるようにする。
6	事前学習	現代の223～234頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	飲酒運転と危険運転致死傷 福岡飲酒運転3児死亡事件最高裁決定をもとにする刑事政策的考慮をも加えた考察
	事後学習	現代223頁の冒頭判例を論評できるようにする。
7	事前学習	現代の235～247頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	窃盗罪の実行の着手 自動券売機への接着剤塗布事件東京高裁判決を素材として
	事後学習	現代235頁の冒頭判例を論評できるようにする。
8	事前学習	現代の248～262頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	強盗利得罪における「財産上不法の利益」の取得 家主殺害事件鹿児島地裁判決などをもとにする総合的検討
	事後学習	現代248頁の冒頭判例を論評できるようにする。
9	事前学習	現代の263～273頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	強盗致死傷罪における強盗の機会 強盗致死罪の成立を肯定した東京高裁平成23年判決などをもとにする規範的考察
	事後学習	現代263頁の冒頭判例を論評できるようにする。
10	事前学習	現代の275～286頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	詐欺罪における欺罔行為と財産的損害 搭乗券詐欺事件最高裁決定などを素材として
	事後学習	現代275頁の冒頭判例を論評できるようにする。
11	事前学習	現代の287～301頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	成年後見人による横領と244条1項 成年後見人横領事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代287頁の冒頭判例を論評できるようにする。
12	事前学習	現代の302～314頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	わいせつ電磁的記録等送信頒布の意義 電気通信の送信によるわいせつ電磁的記録送信頒布事件東京高裁判決を素材として
	事後学習	現代302頁の冒頭判例を論評できるようにする。
13	事前学習	現代の315～321頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	賄賂罪の諸判例（1）一職務密接関連行為を中心に 北海道開発庁汚職事件最高裁決定を素材として
	事後学習	職務密接関連行為に関する裁判例を整理する。
14	事前学習	現代の321～327頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	賄賂罪の諸判例（2）一賄賂の意義を中心に 福島県汚職事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代315頁の冒頭判例を論評できるようにする。
15	事前学習	今までに作成した冒頭判例についての判例評論文を整理する。
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	授業で聞いたところと判例評論文を照合し、加筆・訂正して、定期試験に備える。

科目名	刑事法特殊講義ⅠA	担当者	角田 正紀	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	刑事手続の基本原則や捜査・公判の手続等を体系的に教える。個々の制度の手続全体における位置付けを常に意識しつつ、基礎的な知識を使いこなせるレベルまで習得させる。			
授業目的・到達目標	法曹志望者、研究者を志す者、また難易度の高い資格試験の受験を目ざす者などを主な対象に、判例を重視して、生きた刑事訴訟法の理解を得ることを目的とする。刑法・刑事訴訟法の各テーマに関し、実際に活用される場面に即し制度や理論を学ぶことにより、体系的かつ実践的な理解を深め、司法試験予備試験合格の素地となる程度の学力習得を目標にする。			
履修条件	法曹志望者を主たる対象とするが、広く刑事法を深く理解したい3年生を対象とする。			
授業方法	講義を中心とするが、適宜教員と学生との質疑応答を交えながら進行する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	60%	前学期末試験（60点満点）を実施する。評価の観点は、①論点把握の的確さ、②判断枠組の理解、③結論を導く論理の説得力などを重視する。	
	平常評価	40%	平常評価は、①小テスト(20%)、②意見の発表状況等(20%)を総合して評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	有斐閣	入門刑事手続法〔第7版〕	三井誠・酒巻匡
	備考	各回、必要に応じてレジュメを配布する。		
参考書	前田雅英・星周一郎『刑事訴訟法判例ノート』〔第2版〕弘文堂。			
オフィスアワー	水曜日16:10～19:00			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	導入講義、裁判員制度の位置付け
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて、授業内容を復習する。
2	事前学習	予め論文資料（前田雅英「刑法から見た刑事訴訟法」）を配布するので、それを読んでおく。
	授業内容	刑事実体法と刑事訴訟法との関係
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて、授業内容を復習する。
3	事前学習	授業内容の項目について、教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	任意捜査と強制捜査（判例ノート1－1）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて、授業内容を復習する。
4	事前学習	授業内容の項目について、教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	写真撮影の許容性（判例ノート1－7）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて、授業内容を復習する。

5	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	準現行犯逮捕と逮捕に伴う搜索・差押（判例ノート1-20，1-48）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
6	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	別件逮捕・勾留と余罪取調べ（判例ノート1―29）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
7	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	被疑者と弁護人の接見交通（判例ノート1-63）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
8	事前学習	小テストに備えて，第1回ないし第7回の授業内容について総復習をしておく。
	授業内容	捜査に関する復習，小テスト
	事後学習	小テストの内容について復習する。
9	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	訴因と公訴事実，訴因変更の可否（判例ノート3-11）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
10	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	公判手続の構造（教科書3章，Ⅱ，1ないし4）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
11	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	訴因変更の要否（判例ノート3-15）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
12	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	刑事事件における事実認定
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
13	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	不任意自白とその派生的証拠の証拠能力（判例ノート4-56）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
14	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	伝聞法則とその例外[1]（判例ノート4-18）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。
15	事前学習	授業内容の項目について，教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	伝聞法則とその例外[2]（判例ノート4-26）
	事後学習	配布されたレジュメ等に基づいて，授業内容を復習する。

科目名	刑事法特殊講義ⅠB	担当者	設楽 裕文	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	実体刑法に関する近年の裁判例を素材として、判例と理論の双方について研究する授業である。				
授業目的・到達目標	判例を通じて刑法の基礎的な事項を理解することを目的とする。刑法の判例を分析し、理解し、批判できるようになる。				
履修条件	刑法の基礎的事項を取り扱った科目（刑法Ⅰ、刑法Ⅱなど）を履修したか、少なくとも同時に履修中であること。				
授業方法	講義の方法を用いる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	必要な点についての確な論述がなされているか否かにより評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014年	八千代出版	現代の判例と刑法理論の展開		板倉宏監修・著
	2012年	信山社	法学刑法5判例インデックス1000		設楽裕文編
	備考				
参考書	『法学刑法1総論』設楽裕文編：信山社　『法学刑法2各論』設楽裕文編：信山社				
オフィスアワー	水曜日（14：30）授業講堂ないしその周辺において、授業に関係する事項について、おこなう（最大で60分）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代（教科書『現代の判例と刑法理論の展開』を指す。以下同じ）の「はしがき」「あとがき」を読み、目次でどのような問題がとりあげられているか確認する。
	授業内容	序　判例研究の視点と方法
	事後学習	現代の各章の冒頭に出てくる裁判例（以下、「冒頭判例」という）を研究する際に注意すべきことをまとめる。
2	事前学習	参考書等で罪刑法定主義と刑法解釈のあり方（厳格解釈が要求される理由等）について確認する。
	授業内容	刑法の解釈と罪刑法定主義（1）　鳥獣保護法の「捕獲」の解釈を中心に　（補充レジュメを配付する予定）
	事後学習	「捕獲」の解釈について、学説を整理し、根拠を示して自説を述べられるようにする。
3	事前学習	現代の1～16頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	刑法の解釈と罪刑法定主義（2）　児童ポルノ変換URL掲載事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代1頁の冒頭判例を論評できるようにする（800字程度の判例評論文を作成する。以下同じ）。
4	事前学習	参考書等で明確性の原則について確認する。
	授業内容	刑罰法規の明確性と罪刑法定主義（1）　青少年保護育成条例の「淫行」の明確性　（補充レジュメを配付する予定）
	事後学習	明確性の原則に関する裁判例を整理する。

5	事前学習	現代の17～28頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	刑罰法規の明確性と罪刑法定主義（2） 清掃・リサイクル条例の「所定の場所」の明確性
	事後学習	現代17頁の冒頭判例を論評できるようにする。
6	事前学習	現代の29～39頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	第三者の行為の介在と因果関係 航空管制官の誤指示による機長の降下操作継続の介在 危険の現実化論
	事後学習	現代29頁の冒頭判例を論評できるようにする。
7	事前学習	現代の41～53頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	脱線転覆事故と安全対策責任者の過失 尼崎 J R 脱線事件と過失論についての考察
	事後学習	現代41頁の冒頭判例を論評できるようにする。
8	事前学習	現代の55～66頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	刑事製造物責任と過失不作為犯 ハブ破損事故における品質保証部門関係者の過失責任
	事後学習	現代55頁の冒頭判例を論評できるようにする。
9	事前学習	現代の67～92頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	早すぎた構成要件の実現 クロロホルム事件最高裁決定をはじめとする判例と学説についての考察
	事後学習	現代67頁の冒頭判例を論評できるようにする。
10	事前学習	現代の93～104頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	正当行為と精神鑑定を命じられた医師の秘密漏示 鑑定人秘密漏示事件最高裁決定を素材として
	事後学習	現代93頁の冒頭判例を論評できるようにする。
11	事前学習	現代の105～116頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	安楽死と治療行為の中止 積極的安楽死、治療行為の中止の可否と要件についての考察
	事後学習	現代105頁の冒頭判例を論評できるようにする。
12	事前学習	現代の117～124頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	事後的過剰防衛（1） 事後的過剰についての裁判例と学説
	事後学習	事後的過剰防衛に関する裁判例を整理する。
13	事前学習	現代の125～131頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	事後的過剰防衛（2） 「一連の行為」と正当防衛、過剰防衛
	事後学習	現代117頁の冒頭判例を論評できるようにする。
14	事前学習	現代の133～144頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	間接正犯 間接正犯と共同正犯・教唆犯との区別 特別法における間接正犯
	事後学習	現代133頁の冒頭判例（なお、この冒頭判例の判決月日は、5月1日ではなく5月10日である）を論評できるようにする。
15	事前学習	今までに作成した冒頭判例についての判例評論文を整理する。
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	授業で聞いたところと判例評論文を照合し、加筆・訂正して、定期試験に備える。

科目名	刑事法特殊講義 I B	担当者	清水 洋雄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	刑法総論・刑法各論の基本的知識があることを前提に、刑法のより詳しい知識の修得と、具体的事件に臨んだ場合に刑法を解釈・適用して妥当性のある結論を導きうる能力の涵養を目指す。刑法総論の分野では、特に基本的でかつ重要な問題を、刑法各論の分野では、個人的法益に対する罪、特に財産犯罪の問題を中心に授業を進める。			
授業目的・到達目標	法曹志望者、研究者を志す者、また、難易度の高い資格試験の合格を目指す者などを主な対象に、判例を重視して、生きた刑法の理解を得ることを目的とする。また、刑法の各テーマに関し、実際に活用される場面に即し、制度や理論を学ぶことにより、体系的かつ実践的な理解を深め、司法試験予備試験合格の素地となる程度の学力修得を目標とする。			
履修条件	刑法総論・刑法各論を履修した者で、法曹志望者を主たる対象とするが、それだけではなく、より深く刑事法を理解したいと考えている3年生以上の者を対象とする。			
授業方法	講義を中心とするが、適宜教員と学生との質疑応答を交えながら進行する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		60%	①論点の把握は的確か、②結論を導く論旨の展開は説得的か、③重要な判例や学説を十分に意識して論じているか、などを総合して判断する。
	平常評価		40%	平常評価は、①小テスト（20％）、②授業態度、意見の発表状況等（20％）を総合して評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	東京大学出版会	刑法総論講義第6版	前田雅英
	2015年	東京大学出版会	刑法各論講義第6版	前田雅英
	備考			
参考書	前田雅英『最新重要判例250刑法第11版』2017年（弘文堂）			
オフィスアワー	水曜3時限			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	総論の教科書（特に48～64頁）、参考書（特に事例1～4）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	刑法の基本的な考え方——罪刑法定主義、特に類推解釈の禁止
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
2	事前学習	総論の教科書（特に76～99頁）、参考書（特に事例7～11）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	実行行為・不作為犯
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
3	事前学習	総論の教科書（特に100～126頁）、参考書（特に事例12～17）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	未遂の理解、障害未遂・中止未遂・不能犯
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
4	事前学習	総論の教科書（特に127～148頁）、参考書（特に事例18～26）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	因果関係
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。

5	事前学習	総論の教科書（特に156～187頁）、参考書（特に事例27～31）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	故意
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
6	事前学習	総論の教科書（特に188～201頁）、参考書（特に事例32～34）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	錯誤、事実の錯誤・法律の錯誤
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
7	事前学習	総論の教科書（特に249～282頁）、参考書（特に事例48～59）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	正当防衛
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
8	事前学習	総論の教科書（特に299～313頁）、参考書（特に事例65～68）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	責任の基本的理解、責任能力・原因において自由な行為
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
9	事前学習	総論の教科書（特に321～387頁）、参考書（特に事例69～98）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	共犯論の基礎、共同正犯・教唆犯・従犯（幫助犯）
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
10	事前学習	各論の教科書（特に6～38頁）、参考書（特に事例111～123）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	個人的法益に対する罪の基本、人の始期と終期、傷害とは
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
11	事前学習	各論の教科書（特に146～162頁）、参考書（特に事例151～159）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	財産犯の保護法益、不法領得の意思
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
12	事前学習	各論の教科書（特に163～184頁）、参考書（特に事例160～170）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	窃盗罪と占有
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
13	事前学習	各論の教科書（特に185～218頁）、参考書（特に事例171～182）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	強盗罪、事後強盗罪、強盗致死傷罪
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
14	事前学習	各論の教科書（特に219～253頁）、参考書（特に事例183～199）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	詐欺罪
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。
15	事前学習	各論の教科書（特に262～293頁）、参考書（特に事例203～213）をよく読み、大事だと思われる箇所はノートに取り、十分な予習を行って授業に臨むこと。
	授業内容	横領罪、背任罪
	事後学習	教科書・参考書の該当箇所の熟読、当日の授業で取ったメモ、当日配布の資料等を検討し、知識を確実にすること。

科目名	刑事法特殊講義ⅡA	担当者	南部 篤	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法曹志望者，研究を志す者，また難易度の高い資格試験の受験を旨とする者などを主な対象に，刑法に関する答案やレポート，論文作成等に必要な，専門性の高い応用能力獲得を目指した授業を展開する。刑法学の実践的テーマを中心に事例問題を扱いながら授業を進める予定である。加えて，難度の高い複雑なテーマを整理したうえで，今日の理論刑法学が直面する重要課題への取り組みも視野に入れた授業を試みる。			
授業目的・到達目標	刑法に関する応用能力を発揮するためには，刑法理論に関する真の理解に加え，論点の発見・整理・把握，答案構成，表現・文章力等のスキルが必要となる。これらを身につけることを目的に，刑法学の実践的諸テーマを取り上げ授業を進め，刑法学のテーマに関する真の理解に到達することを目指し，応用能力・問題処理能力を獲得すること。換言すれば，具体的な設例について，事実関係を読み解き，争点を抽出・整理して的確に答える力を身につけることを基本的な到達目標とする。			
履修条件	原則として，初回授業で学力チェック試験を受け合格することが条件となる。この試験の未受験者および不合格者は，履修登録を認めない。刑法の基礎を習得していない者には難度の高い事例問題への取り組みは不可能だからである。			
授業方法	判例，設例や過去問等を用いる。授業前半で受講者に答案を作成させ，後半を検討・質疑に充てる。時間を要する問題の場合は，自宅での答案作成とし，次回授業の全部を費やして検討を行うこともある。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	到達目標を，完璧に達成 S，十分に達成 A，概ね達成 B，最低限達成 C，不達成 D（授業内試験約80%＋その他約20%＝100%）。
教科書	年	出版社	書名	著者名
			なし（初回授業時に主な書籍等を紹介し，授業のたびに使用する補足資料を配布する。）	
	備考	六法（出版社を問わない。）		
参考書	設楽裕文編『法学刑法3演習（総論）』信山社，西田典之『刑法各論』弘文堂，山口厚『刑法各論』有斐閣（いずれも開講時点で最新の刷，版のもの。）			
オフィスアワー	土曜日，12時10分から13時まで研究室で対応する。ただし，Eメール（開講時に開示）による事前のアポイントメントを要する。予約無しに訪れても面談は不可である。Eメールによる質問・相談も受付ける。授業内容以外で受付ける質問・相談事項は，刑事法学の研究一般について。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	刑法総論，各論について，基本書を読み返すなどして基本的理解を確かなものにした上で初回授業に臨むこと。
	授業内容	受講資格確認のための試験実施（刑法総論，各論分野から出題する。）
	事後学習	出題されたテーマについて，提出した自分の答案を振り返り，自己採点，解答点検を怠らないようにする。
2	事前学習	前回受験した試験についての復習に基づき，教員に対する質問を用意した上で授業に臨むこと。
	授業内容	この授業のすすめ方，教材・参考書等の準備について，成績評価等について
	事後学習	これまでの授業をふまえ，自分なりの模範答案をもう一度作成してみる。
3	事前学習	予定されたテーマについて，基本書，参考書，参考判例を調べ，どのような事例が出題されるかを予想し，答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は，書き出しておくこと。
	授業内容	自殺関与と殺人（偽装心中と殺人の成否）
	事後学習	答案作成後の検討，教員からの指摘，質疑応答，添削内容等をふまえ，疑問点を残さないよう振り返り作業を行い，さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
4	事前学習	予定されたテーマについて，基本書，参考書，参考判例を調べ，どのような事例問題が出題されるかを予想し，答案構成を含めた準備検討作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は，書き出しておくこと。
	授業内容	同時傷害の特例
	事後学習	答案作成後の検討，教員からの指摘，質疑応答，添削内容等をふまえ，疑問点を残さないよう振り返り作業を行い，さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。

5	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	傷害罪と被害者の承諾
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
6	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	監禁罪の保護法益
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
7	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	住居侵入罪の保護法益
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
8	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	名誉毀損罪と真実性の錯誤
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
9	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	刑法における占有の概念
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
10	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	不法領得の意思
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
11	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	強盗と恐喝の相違
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
12	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	事後強盗の予備
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
13	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	詐欺罪における処分行為
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
14	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	クレジットカードの不正使用と詐欺
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
15	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	不法原因給付と詐欺罪の成否
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。

科目名	刑事法特殊講義ⅡA	担当者	西貝 吉晃	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法解釈に関して書かれた英語の書籍・論文を受講者と読んでいく。場合によっては訳の添削指導も行う。英語及び法解釈の技法を学ぶ。その過程で英語で書かれた刑事法の判例を読んでもらいたい。毎回、和訳の課題が課される。					
授業目的・到達目標	地道に英語を読むことのできる忍耐力・継続力。ディスカッションを通して妥当な解を見つけていく柔軟性を学ぶことも到達目標となる。					
履修条件	英語力。英語で書かれた文献の内容を理解することが目的なので、英文法については基本的な理解があることが前提となる。					
授業方法	全訳を報告してもらって議論する。議論は日本語で行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		講義への積極的な参加及び講義を通して得た成長の程度。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参 考 書	Scalia and Garner's Reading Law: The Interpretation of Legal Texts 1st Edition (2012) 購入不要。					
オフィス アワー	火曜日 14：40～16：10					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業概要や目的を理解する。
	授業内容	ガイダンス。訳の割当て等。
	事後学習	不要。ただし、次回のための訳を行う。
2	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Interpretation Principle p.53-55
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
3	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Interpretation Principle
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
4	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Supremacy-of-Text Principle p.56-58
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。

5	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Supremacy-of-Text Principle
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
6	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Principle of Interrelating Canons p.59-62
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
7	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Principle of Interrelating Canons
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
8	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Presumption Against Ineffectiveness p.63-65
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
9	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Presumption Against Ineffectiveness
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
10	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Presumption of Validity p.66-68
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
11	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Presumption of Validity
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
12	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Ordinary-Meaning Canon p.69-77
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
13	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Ordinary-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
14	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Ordinary-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
15	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Ordinary-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。まとめ。

科目名	刑事法特殊講義ⅡB	担当者	南部 篤	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	法曹志望者，研究を志す者，また難易度の高い資格試験の受験を旨とする者などを主な対象に，刑法に関する答案やレポート，論文作成等に必要な，専門性の高い応用能力獲得を目指した授業を展開する。刑法学の実践的テーマを中心に事例問題を扱いながら授業を進める予定である。加えて，難度の高い複雑なテーマを整理したうえで，今日の理論刑法学が直面する重要課題への取り組みも視野に入れた授業を試みる。			
授業目的・到達目標	刑法に関する応用能力を発揮するためには，刑法理論に関する真の理解に加え，論点の発見・整理・把握，答案構成，表現・文章力等のスキルが必要となる。これらを身につけることを目的に，刑法学の実践的諸テーマを取り上げ授業を進め，刑法学のテーマに関する真の理解に到達することを目指し，応用能力・問題処理能力を獲得すること。換言すれば，具体的な設例について，事実関係を読み解き，争点を抽出・整理して的確に答える力を身につけることを基本的な到達目標とする。			
履修条件	原則として，初回授業で学力チェック試験を受け合格することが条件となる。この試験の未受験者および不合格者は，履修登録を認めない。刑法の基礎を習得していない者には難度の高い事例問題への取り組みは不可能だからである。			
授業方法	判例，設例や過去問等を用いる。授業前半で受講者に答案を作成させ，後半を検討・質疑に充てる。時間を要する問題の場合は，自宅での答案作成とし，次回授業の全部を費やして検討を行うこともある。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	到達目標を，完璧に達成 S，十分に達成 A，概ね達成 B，最低限達成 C，不達成 D（授業内試験約80%＋その他約20%＝100%）。
教科書	年	出版社	書名	著者名
			なし（初回授業時に主な書籍等を紹介し，授業のたびに使用する補足資料を配布する。）	
	備考	六法（出版社を問わない。）		
参考書	設楽裕文編『法学刑法3演習（総論）』信山社，西田典之『刑法各論』弘文堂，山口厚『刑法各論』有斐閣（いずれも開講時点で最新の刷，版のもの。）			
オフィスアワー	土曜日，12時10分から13時まで研究室で対応する。ただし，Eメール（開講時に開示）による事前のアポイントメントを要する。予約無しに訪れても面談は不可である。Eメールによる質問・相談も受付ける。授業内容以外で受付ける質問・相談事項は，刑事法学の研究一般について。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	予定されたテーマについて，基本書，参考書，参考判例を調べ，どのような事例が出題されるかを予想し，答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は，書き出しておくこと。
	授業内容	使途を定めて委託した金銭（いわゆる「金銭所有権」と横領）
	事後学習	答案作成後の検討，教員からの指摘，質疑応答，添削内容等をふまえ，疑問点を残さないよう振り返り作業を行い，さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
2	事前学習	予定されたテーマについて，基本書，参考書，参考判例を調べ，どのような事例が出題されるかを予想し，答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は，書き出しておくこと。
	授業内容	不法原因給付物と横領
	事後学習	答案作成後の検討，教員からの指摘，質疑応答，添削内容等をふまえ，疑問点を残さないよう振り返り作業を行い，さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
3	事前学習	予定されたテーマについて，基本書，参考書，参考判例を調べ，どのような事例が出題されるかを予想し，答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は，書き出しておくこと。
	授業内容	横領と背任の関係
	事後学習	答案作成後の検討，教員からの指摘，質疑応答，添削内容等をふまえ，疑問点を残さないよう振り返り作業を行い，さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
4	事前学習	予定されたテーマについて，基本書，参考書，参考判例を調べ，どのような事例が出題されるかを予想し，答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は，書き出しておくこと。
	授業内容	不動産の二重売買と横領
	事後学習	答案作成後の検討，教員からの指摘，質疑応答，添削内容等をふまえ，疑問点を残さないよう振り返り作業を行い，さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。

5	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	不動産の二重抵当と背任
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
6	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	横領後の横領
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
7	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	放火罪の既遂時期
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
8	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	放火罪の客体と建造物の一体性
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
9	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	コピーと文書偽造
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
10	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	代理代表名義の冒用と文書偽造
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
11	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	作成名義人の承諾と文書偽造罪の成否
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
12	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	サイバーポルノとわいせつ物頒布等の罪
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
13	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	職務行為の適法性と公務執行妨害罪
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
14	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	職権濫用罪における「職権を濫用して」の意義
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。
15	事前学習	予定されたテーマについて、基本書、参考書、参考判例を調べ、どのような事例が出題されるかを予想し、答案作成の検討準備作業を行った上で授業に臨むこと。疑問点は、書き出しておくこと。
	授業内容	わいろ罪における「職務に関し」の意義
	事後学習	答案作成後の検討、教員からの指摘、質疑応答、添削内容等をふまえ、疑問点を残さないよう振り返り作業を行い、さらに必要があれば次回教員への質問メモを作成しておく。

科目名	刑事法特殊講義ⅡB	担当者	西貝 吉晃	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法解釈に関して書かれた英語の書籍・論文を受講者と読んでいく。場合によっては訳の添削指導も行う。英語及び法解釈の技法を学ぶ。その過程で英語で書かれた刑事法の判例を読んでもらうことにしたい。毎回、和訳の課題が課される。訳の対象は前期の続きとなることに注意。				
授業目的・到達目標	地道に英語を読むことのできる忍耐力・継続力。ディスカッションを通して妥当な解を見つけていく柔軟性を学ぶことも到達目標となる。				
履修条件	英語力。英語で書かれた文献の内容を理解することが目的なので、英文法については基本的な理解があることが前提となる。				
授業方法	全訳を報告してもらって議論する。議論は日本語で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義への積極的な参加及び講義を通して得た成長の程度。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	Scalia and Garner's Reading Law: The Interpretation of Legal Texts 1st Edition (2012) 購入不要。				
オフィスアワー	火曜日 14：40～16：10				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業概要や目的を理解する。
	授業内容	後期ガイダンス。
	事後学習	不要。ただし、次回のための訳を行う。
2	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Fixed-Meaning Canon p. 78-92
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
3	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Fixed-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
4	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Fixed-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。

5	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Fixed-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
6	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Fixed-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
7	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Fixed-Meaning Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
8	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Omitted-Case Canon p.93-100
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
9	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Omitted-Case Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
10	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Omitted-Case Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
11	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	Omitted-Case Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
12	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	General-Terms Canon p.101-106
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
13	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	General-Terms Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
14	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	General-Terms Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。
15	事前学習	与えられた部分について事前に訳を作りemailで提出する。
	授業内容	General-Terms Canon
	事後学習	他の受講者の訳と統合し、少なくとも日本語で訳の内容を理解する。まとめ。

科目名	刑事法特殊講義ⅢA	担当者	関 正晴	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	被疑者と被告人の地位と権利、裁判員裁判、検察官の地位・役割、被疑者等と弁護人の接見交通権、逮捕と勾留、逮捕前置主義、再逮捕・再勾留の許否、別件逮捕と余罪取調べ、捜索・差押の諸問題、検察官の公訴権行使を適正化する諸制度、起訴状一本主義、訴因と訴因変更制度、証拠開示、証拠裁判主義、自由心象主義、挙証責任、違法収集証拠の排除法則、自白法則、補強法則、伝聞法則とその諸問題、控訴審の構造と事実取調べの範囲等について説明する。				
授業目的・到達目標	捜査、公訴の提起、公判、証拠法の各領域の基本的問題点について、以下の授業内容のところで挙げる講義項目に関する設問の検討・解決を通して、刑事訴訟法の重要な問題点についての理解を深める。刑事訴訟法の基本構造と刑事訴訟手続の流れを理解できるようにする。捜査、公訴提起、公判、証拠法の各領域における基本的問題や判例百選の事案等の検討を通して、刑事手続の具体的な内容の理解をはかれるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	設問の検討・解決を通して、刑事訴訟法の重要な問題点の理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑事訴訟法の基礎理論と基礎知識が身についているかを判定する。授業で採りあげた基本的判例等について、その内容を整理し理解しておくこと。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成24年	弘文堂		N e x t 教科書シリーズ 刑事訴訟法	関正晴編
	備考				
参考書	『Next教科書シリーズ刑事訴訟法』関正晴編、弘文堂。「刑事訴訟法講義(第5版)」福井厚、法律文化社、刑事訴訟法判例百選（第9版）井上正仁編、有斐閣。				
オフィスアワー	土曜日１０：３０に、質問を受け付けます。質問内容によっては、授業終了後に、事前のアポイントを取ってもらい相談の時間を設けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の7頁から14頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	年間の講義予定、講義の進め方、成績評価方法、参考文献などの説明。刑事手続の概要を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2	事前学習	教科書の10頁から11頁、33頁から36頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者・被告人の地位と権利：適正手続主義、実体的真実主義の内容について確認し、訴訟構造に関する当事者主義と職権主義を対比して内容を確認し、弾劾的捜査観と糾問的捜査観の分析を通して被疑者と被告人の刑事訴訟における法的地を明らかにする。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3	事前学習	教科書の20頁から25頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体①（裁判所と裁判員裁判）：判員裁判について対象事件、裁判体の構成、裁判官と裁判員の権限及び評決方法等の内容を確認し、最近の裁判例を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4	事前学習	教科書の26頁から33頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体②（検察官）：刑事手続における検察官の地位・役割、司法警察職員の地位・役割、捜査における検察官と司法警察職員との関係について
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

5	事前学習	教科書の36頁から41頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	刑事訴訟の主体③（弁護士）：弁護士選任権、被疑者と被告人についてそれぞれの国選弁護制度の仕組み、弁護人の誠実義務と真実義務等について説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6	事前学習	教科書の92頁から95頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	被疑者と弁護人の接見交通権：接見交通権の保障の趣旨、憲法34条の弁護士依頼権との関係、接見指定要件である「捜査のため必要があるとい」の解釈、秘密交通権の保障等に関する学説と判例について
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7	事前学習	教科書の58頁から67頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	逮捕と勾留：通常逮捕の要件と手続、現行犯及び準現行犯の意義と要件、緊急逮捕の要件、逮捕前置主義の条文上の根拠と趣旨、勾留の実体要件としての勾留の理由と必要性に關しての裁判例や学説を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8	事前学習	教科書の58頁、95頁から96頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	逮捕前置主義：逮捕前置主義の条文上の根拠と趣旨、逮捕後に被疑事実が変動した場合の処理、逮捕手続が違法であった場合に勾留請求は認められるか等を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9	事前学習	教科書の68頁から69頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	別件逮捕と余罪取調べ：別件逮捕・勾留の問題点と主要な学説(本件基準説、別件基準説、令状主義先達説)と判例、違法な別件逮捕・勾留があった場合の法的効果、余罪取調べの法的規制につての主要な学説の検討。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10	事前学習	教科書の68頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	再逮捕・再勾留の許否：一罪一逮捕の原則の意義と条文上の根拠、どのような場合に例外を認められるかについて主要な学説の検討。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が称している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11	事前学習	教科書の70頁から76頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	令状による捜索・差押：憲法35条の法意、捜索と差押の実体的要件、捜索場所の特定、差押目的物の特定、捜索・差押の実施手続、捜索・差押の実施に「必要な処分」等について問題となった事例の検討。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12	事前学習	教科書の80頁から82頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	逮捕に伴う捜索・差押：逮捕に伴う捜索・差押が無令状で許される理由、捜索・差押の対象物、捜索の対象となる場所の範囲、逮捕と捜索・差押の時間的關係、場所を移動しての被逮捕者の身体・所持品の捜索の許否等について問題となった裁判例を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13	事前学習	教科書の100頁から105頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	捜査の終局段階における検察官の事件処理を適正化する控制制度：起訴独占主義と起訴便宜主義の概説、検察審査会制度、付審判請求手続、公訴権濫用論の意義と具体例についての説明。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14	事前学習	教科書の105頁から110頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	起訴一本主義と公訴の提起：起訴状一本主義の趣旨、具体的事例に則した予断排除の原則違反の有無を説明、同原則違反の効果についての説明を裁判例の検討を通して行う。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15	事前学習	教科書の110頁から120頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	訴因変更制度：訴因制度、訴因と公訴事実の關係、訴因の明示・特定の要請、判例の具体的事例の検討を通して訴因が明示・特定されているか否かの基準を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

科目名	刑事法特殊講義ⅢB	担当者	関 正晴	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	被疑者と被告人の地位と権利、裁判員裁判、検察官の地位・役割、被疑者等と弁護人の接見交通権、逮捕と勾留、逮捕前置主義、再逮捕・再勾留の許否、別件逮捕と余罪取調べ、捜索・差押の諸問題、検察官の公訴権行使を適正化する諸制度、起訴状一本主義、訴因と訴因変更制度、証拠開示、証拠裁判主義、自由心象主義、挙証責任、違法収集証拠の排除法則、自白法則、補強法則、伝聞法則とその諸問題、控訴審の構造と事実取調べの範囲等について説明する。				
授業目的・到達目標	捜査、公訴の提起、公判、証拠法の各領域の基本的問題点について、以下の授業内容のところで挙げる講義項目に関する設問の検討・解決を通して、刑事訴訟法の重要な問題点についての理解を深める。刑事訴訟法の基本構造と刑事訴訟手続の流れを理解できるようにする。捜査、公訴提起、公判、証拠法の各領域における基本的問題や判例百選の事案等の検討を通して、刑事手続の具体的な内容の理解をはかれるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	設問の検討・解決を通して、刑事訴訟法の重要な問題点の理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑事訴訟法の基礎理論と基礎知識が身についているかを判定する。授業で採りあげた基本的判例等について、その内容を整理し理解しておくこと。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成24年	弘文堂		N e x t 教科書シリーズ 刑事訴訟法	関正晴編
	備考				
参考書	『Next教科書シリーズ刑事訴訟法』関正晴編、弘文堂。「刑事訴訟法講義(第5版)」福井厚、法律文化社、刑事訴訟法判例百選（第9版）井上正仁編、有斐閣。				
オフィスアワー	土曜日１０：３０に、質問を受け付けます。質問内容によっては、授業終了後に、事前のアポイントを取ってもらい相談の時間を設けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の90頁から92頁を読み予習をしておくこと、告人の取調べについての各人の参考書を読み予習しておくこと
	授業内容	被告人の取調べ：被告人の取調べの可否について、判例の立場及び主要な学説の考え方を明らかにして具体的な事例を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2	事前学習	教科書の156頁から163頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	証拠開示：従来の証拠開示につての最高裁判例を分析して、その問題点を明らかにし、その上で公判前整理手続に組み込まれている証拠開示制度の運用上の問題点を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3	事前学習	教科書の184頁から187頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	証拠裁判主義：証拠裁判主義の意義、厳格な照明と自由な照明の概念、厳格な照明が必要な事実の範囲を検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4	事前学習	教科書の189頁から190頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	自由心証主義：自由心証主義の意義とその合理性を担保する刑事訴訟法上の諸制度について検討し、上訴と再審制度との関係についても検討する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

5	事前学習	教科書の187頁から189頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	挙証責任：挙証責任の意義、証拠提出責任、争点形成責任、挙証責任の転換などについて一般的に問題となる設例を通して検討をする。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6	事前学習	教科書の215頁から220頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	違法収集証拠の証拠能力：違法収集証拠の排除法則の根拠、違法収集証拠の証拠能力が否定される要件とその判断の際に考慮する要素、判例の立場及び主要な学説の考え方について一般的な設例について検討して説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7	事前学習	教科書の7193頁から195頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	自白法則：自白の意義、自白法則の趣旨についての判例の立場及び主要な学説の考え方を、具体的に裁判で問題となった約束による自白、偽計による自白、違法な手続で採取された自白等の事例に則しての説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8	事前学習	教科書の195頁から198頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	補強法則①：自白に補強証拠を必要とする理由、公判廷自白にも補強証拠が必要とされるか、補強証拠適格、補強証拠が必要とされる範囲、補強証拠に『必要とされる証明力の程度につて説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9	事前学習	教科書の198頁から199頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	補強法則②：共犯者の自白に補強証拠かが必要とされるかについて判例と主要な学説の内容を検討して明らかにする。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10	事前学習	教科書の199頁から204頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞法則：①：伝聞証拠の意義、供述証拠と伝聞法則の趣旨、伝聞法則が適用されない場合について具体的な事例も検討して説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11	事前学習	教科書の204頁から212頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞証拠に関する諸問題①：伝聞法則の例外を認める理由と例外を認める場合の柱を説明し、具体例として例外としての検察官面前調書に証拠能力を認める要件について説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12	事前学習	教科書の212頁から213頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞証拠に関する諸問題②：刑事訴訟法326条の書証に対する同意制度についての諸問題を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13	事前学習	教科書の2137頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞証拠に関する諸問題③：刑事訴訟法328条の弾劾証拠（証明力を争うための証拠）についての刑事訴訟法326条の諸問題を説明する。、
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14	事前学習	教科書の213頁から215頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	伝聞証拠に関する諸問題④：再伝聞証拠の証拠能力について、判例の立場と主要な学説の考え方を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15	事前学習	教科書の255頁から262頁を読み予習をしておくこと。
	授業内容	控訴審の構造と事実の取調べ：控訴審の基本構造、審理手続、事実の取調べの範囲につての判例の立場と主要な学説の考え方を説明する。
	事後学習	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と各自が使用している参考書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。

科目名	刑事法特殊講義ⅣA	担当者	毛利 晴光	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	刑事訴訟の基本原則や手続の流れを、実際の刑事手続（実務）を踏まえて、通常の授業とは異なった視点から、分かりやすく教える。捜査、公判全般を扱うが、必ずしも論点中心の授業ではなく、また、網羅的に教えるものでもない。				
授業目的・到達目標	刑法や刑事訴訟法を学ぶ者にとって、そこで繰り返し広げられている法理論が、実際の刑事手続（特に、裁判員裁判を含む刑事裁判手続）において、どのように実践、活用されているのかを体感してもらい、法理論の理解が地に足の着いたものとなることを目指している。司法試験予備試験合格の素地となる程度の学力習得の一助となることを目標とする。				
履修条件	3年次生を主要な対象とするが、4年次生も歓迎する。				
授業方法	指定の教科書を中心に進めるが、毎回、レジメと参考資料を配布して、それに基づき講義をする。教科書に掲載された書式は随時活用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	講義の基本的理解度を判定する。	
	平常評価		40%	小テスト、受講態度等を総合して評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017年	有斐閣	入門 刑事手続法〔第7版〕		三井誠・酒巻匡
	備考				
参考書	裁判所職員総合研修所監修「刑事訴訟法講義案（4訂補訂版）」司法協会				
オフィスアワー	第1回講義の際に告知する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	六法を持参のこと、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	はじめに 本講義のねらい、学び方 刑事訴訟法の条文
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
2	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	刑事手続の流れと刑事手続の主体
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
3	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	捜査の実際（殺人事件） 逮捕、勾留、取調べを中心に
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
4	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	捜査の実際（覚せい剤事件） 任意捜査、搜索差押えを中心に
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。

5	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	公訴提起、公判準備 付・被告人の勾留、保釈、証拠開示など
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
6	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	公判期日の手続 付・訴訟指揮、訴因の変更、弁論の併合
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
7	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	小テスト 復習 刑事立法の動きなど 証拠法その1 総論
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
8	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	証拠法その2 伝聞証拠
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
9	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	証拠法その3 自白、違法収集証拠排除
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
10	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	裁判員裁判 公判前整理手続
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
11	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	裁判員裁判 選任手続、公判手続
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
12	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	裁判員裁判 評議、判決
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
13	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	要通訳事件、被害者保護
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
14	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	情状立証、量刑
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
15	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	小テスト 復習 判決、準抗告など
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。

科目名	刑事法特殊講義ⅣB	担当者	毛利 晴光	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	刑事裁判の事実認定に関して入門的な講義をするものであるが、証拠法についても、必要な範囲でできる限りカバーして教えるつもりである。特に、刑事法特殊講義ⅣAで取り上げることができなかった事項については、事実認定と関連づけながら、適宜授業に取り入れる。				
授業目的・到達目標	刑事裁判における事実認定に焦点を当て、実務の実際を紹介するとともに、刑法や刑事訴訟法において問題になるテーマを、事実認定と関連づけながら、様々な角度から考察することを目指すものである。事実認定のノウハウだけを教えるものではない。刑事法における法理論の理解が、表面的なものにとどまらず、いわば地に足の着いたものとして深まり、司法試験予備試験合格の素地となる程度の学力習得の一助となることを目標とする。				
履修条件	3年次生を主要な対象とするが、4年次生も歓迎する。				
授業方法	指定の教科書を中心に進めるが、毎回、レジメと参考資料を配布して、それに基づき講義をする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	講義の基本的理解度を判定する。	
	平常評価		40%	小テスト、受講態度等を総合して評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015年	判例タイムズ社	刑事事実認定入門〔第3版〕		石井一正
	2017年	有斐閣	入門 刑事手続法〔第7版〕		三井誠・酒巻匡
	備考				
参考書	裁判所職員総合研修所監修「刑事訴訟法講義案（4訂補訂版）」司法協会				
オフィスアワー	第1回講義の際に告知する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	できれば教科書（刑事事実認定入門）にざっと目を通しておく。
	授業内容	はじめに 本講義のねらい、学び方 付・事実認定が問題になった事例
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
2	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	事実認定の基礎、資料、方法
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
3	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	供述証拠の信用性判断その1 一般 付・供述の証明力を争う方法（反対尋問、弾劾証拠、供述経過の立証など）
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
4	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	供述証拠の信用性判断その2 被害供述
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。

5	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	供述証拠の信用性判断その3 目撃供述、犯人識別供述
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
6	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	供述証拠の信用性判断その4 共犯者の供述 付・共犯者供述の証拠能力、証明力など
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
7	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	供述証拠の信用性判断その5 被告人の供述 付・自白の補強法則など
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
8	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	小テスト 復習 信用性判断に用いられる客観的証拠その1 実況見分調書など
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
9	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	信用性判断に用いられる客観的証拠その2 鑑定
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
10	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	事実認定の構造 直接証拠による認定と状況証拠による認定
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
11	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	事実認定の具体例 殺意、薬物の認識
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
12	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	事実認定の具体例 共謀 付・共謀をめぐる争い方
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
13	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	事実認定の具体例 犯人と被告人との同一性
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
14	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	事実認定に関わる問題 類似事実による立証、訴因変更の要否、択一的認定
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。
15	事前学習	教科書の指定された箇所をよく読んでおく。
	授業内容	小テスト 復習 裁判員裁判における事実認定
	事後学習	配布されたレジメと参考資料でもって、授業内容を復習する。

科目名	刑法Ⅰ	担当者	設楽 裕文	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	刑法総論の基本的事項について講じる授業である。					
授業目的・到達目標	刑法の概要を、基礎理論、犯罪論（犯罪総論）に重点を置いて、理解することを目的とする。基本的事項を理解し、刑法を適切に解釈・適用できるようになることを目標とする。					
履修条件	法学を履修済であること。					
授業方法	講義の方法を用いる。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	必要な点についての確に論じられているか否かにより評価する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	八千代出版		現代の判例と刑法理論の展開		板倉宏監修・著、沼野輝彦ほか編
	2012年	信山社		法学刑法5判例インデックス1000		設楽裕文編
	2018年（予定）	弘文堂		N e x t教科書シリーズ刑法総論		設楽裕文＝南部篤編
	備考	『N e x t教科書シリーズ刑法総論』は、2018年8月刊行予定である。もし授業開始までに刊行できなかった場合は、別の概説書（参考書欄掲記のもの）を指定する。				
参 考 書	『法学刑法1総論』設楽裕文編：信山社					
オフィスアワー	水曜日及び金曜日（16：10）授業講堂ないしその周辺において、授業に関係する事項について、おこなう（最大で60分）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	『N e x t 教科書シリーズ刑法総論』の序論または『法学刑法1総論』の序章を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	序章—刑法を学びはじめる人たちへ 刑法及び刑法学の歴史 刑法の学び方・こころがまえ
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する（800字程度の解答を作成することが望ましい）。
2	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	刑法の意義・性格・機能 刑法の解釈
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。

3	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	刑法の基本原則（罪刑法定主義、責任主義） 刑法の適用範囲
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
4	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	犯罪論総説 行為論 構成要件論（Ⅰ）総説
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
5	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	構成要件論（Ⅱ）実行行為（Ⅰ）不能犯、不作為犯
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
6	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	構成要件論（Ⅲ）実行行為（Ⅱ）間接正犯
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
7	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	構成要件論（Ⅳ）因果関係（条件関係、相当因果関係理論、客観的帰属論）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
8	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	構成要件論（Ⅴ）主観的構成要件要素（構成要件の故意、錯誤、構成要件の過失）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
9	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	構成要件論（Ⅵ）早すぎた構成要件実現、遅すぎた結果発生、被害者の承諾と構成要件該当性
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
10	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	違法性論（Ⅰ）意義、可罰的違法性 違法性阻却事由総説
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
11	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	違法性論（Ⅱ）正当行為（35条）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
12	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	違法性論（Ⅲ）正当防衛（36条1項）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
13	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	違法性論（Ⅳ）緊急避難（37条1項本文）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
14	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	責任論（Ⅰ）責任能力、刑事未成年者、原因において自由な行為の理論
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。

15	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	責任論（２）責任故意の意義、違法性の意識と責任故意
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
16	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	責任論（３）錯誤と責任故意（誤想防衛等）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
17	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	責任論（４）責任過失、期待可能性
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
18	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	未遂犯論（１）総説、実行の着手
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
19	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	未遂犯論（２）中止未遂
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
20	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（１）総説（意義、処罰根拠等）
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
21	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（２）共同正犯の意義・要件等
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
22	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（３）過失犯の共同正犯、結果的加重犯の共同正犯
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
23	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（４）承継的共同正犯、共謀共同正犯
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
24	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（５）教唆犯、従犯
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
25	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（６）共犯の諸問題（Ⅰ）共犯と身分
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
26	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（７）共犯の諸問題（Ⅱ）不作為と共犯、予備と共犯
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。

27	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（8）共犯の諸問題（Ⅲ）共犯と錯誤
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
28	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（9）共犯の諸問題（Ⅳ）共犯と正当防衛・過剰防衛
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
29	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	共犯論（10）共犯の諸問題（Ⅴ）共犯関係からの離脱、共犯と中止未遂
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。
30	事前学習	教科書の該当箇所（前の回に指定）を読んで、問題点をメモする。
	授業内容	罪数論（実質的一罪、科刑上一罪等） 刑罰論 授業のまとめ
	事後学習	教科書記載の問題、または配付する検討用問題を検討する。

科目名	刑法 I	担当者	南部 篤	部 別	第一部 第二部	期 間	後期	単位数	4
-----	------	-----	------	-----	------------	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	担当形態			
科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等				
授業概要	犯罪と刑罰に関する基本法である刑法の総論を扱う。他の分野と比較すると、この授業の内容をなす犯罪論の特徴はきわめて厳格な論理性と体系性にある。これは、犯罪成立要件が刑罰という峻厳な制裁手段発動の条件をなすことに由来する。そこで、刑罰権の制約原理をたしかなものとしつつ効果的な法益保護（秩序維持）を図るべく構築される犯罪論体系の理解を得るため、精密な法解釈とリアルな各種テーマと取り組んでいく。			
授業目的・到達目標	犯罪論・刑罰論の重要テーマを体系的に学び、刑法学の堅牢な基礎を築くことを目的とする（そのため、この授業の参加者は自分の頭をフルに働かせて刑法学と取り組む積極姿勢が常に要求される）。犯罪論と刑罰制度の基礎的理解、および刑法固有の法的思考能力を身につけることが基本的な到達目標である。さらに、事案を読み解き、論点を抽出・整理して法の適用を論ずる法的処理能力獲得を発展的到達目標とする。加えて、刑法理論が直面する今日的課題・立法論と取り組む能力獲得も視野に入れていく。			
履修条件	条件はとくにない。ただし、この授業は刑法の真の理解獲得を目指すことから、効率的な単位取得のみを考える者には不向きである。その意味では、刑法学に関心と熱意を持つことが実質的条件になるといってもよい。			
授業方法	テキストに沿って進める。但し、テーマの重要度、難易度に応じて割愛、要約、補足説明を行うことがある。もとより、受講者が刑法総論の理解を有することを前提に、また事前・事後の学習が行われることを想定して進めて行く。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	到達目標の達成度に応じて、80点を上限に点数を付与する。	
	平常評価	20%	授業内テスト等により20点を上限に付与。定期試験と合せ100点満点で、完璧に達成90以上、十分に達成80以上、概ね達成70以上、最低限達成60以上の基準で評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年発行予定	弘文堂	ネクスト教科書シリーズ・刑法総論	設楽裕文＝南部篤編
備考				
参考書	設楽裕文編『法学刑法3演習』信山社、山口厚『刑法総論』有斐閣、前田雅英『刑法総論講義』東大出版会			
オフィスアワー	土曜日、12時10分から13時まで研究室で対応する。ただし、Eメール（開講時に開示）による事前のアポイントメントを要する。予約無しに訪れても面談は不可である。Eメールによる質問・相談も受付ける。授業内容以外で受付ける質問・相談事項は、刑事法学の研究一般について。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	もし、窃盗や殺人、放火などが罰せられず放任されるとしたら世界はどうか、また、どんな行為が罰せられるか、まったく分からない世界で生きていかなければならないとしたらどうか、想像してみる。
	授業内容	刑罰制度と「刑法」の意義（刑法はどのような役割をはたしているのか、他の法分野とのちがい）
	事後学習	法は権利や利益を保護するためにあるが、民法やその他の法分野と比べ、刑法はいかなる意味で権利・利益を保護しているのか、その特徴は何かを整理し確認する。
2	事前学習	六法を開き、刑事法分野に属する法令をながめ、どのように分類され、体系的に整理されているか考えたうえで授業に臨むこと。
	授業内容	刑事法の中の刑法の位置（刑事訴訟法や少年法、刑事収容施設法などとの関係）と刑法「総論」の意味
	事後学習	刑事実体、刑事手続法、矯正保護法の三分類に属する各種法律を確認し、刑法総則と各則の関係、刑法総則の地位について確認する。

3	事前学習	刑罰の種類と定義に関する条文に目を通し、疑問に思った点を挙げておくこと。
	授業内容	刑罰とは何か（刑罰制度の概要と、行政処分、損害賠償など他の法的統制手段との関係）
	事後学習	行政処分等と比べ、刑罰の最も大きな特徴は何か、また各種刑罰の性格について文章にまとめ確認する。
4	事前学習	国家の手による刑罰も、犯人の生命・自由・財産という利益を奪う点で「法益の侵害」と共通の性格を有する。これをどう説明するか、自分なりの見解をまとめたうえで授業に臨むこと。
	授業内容	刑罰制度の正当化根拠（国家はなぜ刑罰の名の下に犯罪者の生命や自由、財産を奪うことができるのか）
	事後学習	絶対的応報刑と相対的応報刑，一般予防と特別予防，
5	事前学習	わが国で死刑が言い渡される件数，執行される件数を調べてみること。
	授業内容	死刑（死刑制度の概要と現状，死刑の存廃をめぐるホットな議論状況，死刑制度の是非）
	事後学習	直観的・情緒的な議論を除き，死刑存廃に関するさまざまな意見を整理し，授業で取り上げた内容をふまえ，両論を対比し自分なりの一覧表を作成してみる。
6	事前学習	罪刑法定主義の否定は何をもたらすか，考察した上で授業に臨むこと。
	授業内容	刑法を支配する基本原則Ⅰ（罪刑法定主義，その自由主義的側面と民主主義的側面）
	事後学習	罪刑法定主義の背景にある自由主義的要求と民主主義的要求，マグナカルタ以来の歴史的沿革，各種の派生原則などにつき整理・確認を行う。
7	事前学習	利益と法益と権利，これら三つの概念の異同を辞典，参考書等で調べ，考えてみること。
	授業内容	刑法を支配する基本原則Ⅱ（法益保護の原則，「法益なければ処罰なし」の意義，また，責任主義の原則，「非難可能性・他行為可能性」の意味するところ）
	事後学習	結果責任主義と団体責任主義に基づく刑事責任の追及が行われた前近代と比べ，非難可能性を刑罰の不可欠の要件とし，個人責任主義の徹底を図る今日の考え方を対比し，確認しておく。
8	事前学習	犯罪は行為者の悪い性格の一つの表れに過ぎず，未遂と既遂も本質的違いはなく，暴行，器物損壊，公務執行妨害も細かく区別して論じる必要はないとの考えをどう思うか，考察を試みること。
	授業内容	刑法理論の発展と学説の動向（新派と古典派、現代社会と刑法理論の課題）
	事後学習	新派刑法学は，それまでの古典派の考え方に対する批判に端を発した学説であるが，どのような点で古典派は批判されたのか，まとめる。
9	事前学習	さまざまな犯罪の中には，今日，あえて刑罰の対象とする必要性が乏しくなったものもあるとの指摘が行われたことがある。刑法典のなかにあるどの犯罪がそれにあたるかを考えてみる。
	授業内容	自然犯と法定犯とは？／非犯罪化論の是非／法人の犯罪と法人の処罰
	事後学習	各種犯罪を自然犯と法定犯とに分けて論じる見解に合理性はあるか，また，自然人のみを刑罰の名宛人とする現行刑法典のあり方は妥当か，自身の見解をまとめてみる。
10	事前学習	いかなる場合に犯罪は成立し，成立が妨げられるのか，刑法がきわめて慎重な判断をすることとしている理由は何か，考察したうえで授業に臨むこと。
	授業内容	犯罪成立要件の概観（刑法学はなぜ煩雑な法解釈問題に拘り，難解な理論構築を志向するのか）
	事後学習	三分体系のメリットとデメリットについて整理し確認する。
11	事前学習	犯罪成立要件と構成要件との関係はどうか，考えた上で授業に臨むこと。
	授業内容	構成要件とは何か（犯罪成立要件の構造と特徴，他の法分野との著しい違いの意味）
	事後学習	客観的構成要件要素および主観的構成要件要素をなすものをすべて挙げ，一覧表にするなどして整理確認する。
12	事前学習	作為とは何か，不作為とは何か，行為とは何か，考察してみること。
	授業内容	不作為犯をめぐる諸問題（作為と不作為，行為とは何か，真正不作為犯と不真正不作為犯）
	事後学習	不作為犯，とりわけ不真正不作為犯の成立要件について整理・確認し，放火罪に関する判例を検討しておく。
13	事前学習	自ら手を汚して犯罪を実行する場合と，他人の犯罪に間接的に関わる場合とではその罪悪性にどのような違いがあるか考えてみること。
	授業内容	正犯とはなにか（正犯と共犯・直接正犯と間接正犯・正犯のメルクマール）
	事後学習	正犯の概念をめぐる理論刑法学上の議論を整理しておく。
14	事前学習	ある行為と発生した被害との間に原因・結果の関係が認められなければ，その結果は行為者のしわざとはいえない，とされるのはなぜか，考えた上で授業に臨むこと。
	授業内容	因果関係をめぐる諸問題（条件関係・条件説と相当因果関係・因果関係の処理に関する新しいアプローチ）
	事後学習	因果関係の有無が問題とされた最高裁判例を検討し，判例がどのような基準に立って判断しているかを整理し確認する。

15	事前学習	法に違反する性質を意味する「違法性」とは実質的には何を意味するのか，考察した上で授業に臨むこと。
	授業内容	違法性論の基礎（違法性とは何か・主観的違法性論と客観的違法性論・結果無価値論と行為無価値論）
	事後学習	形式的違法・実質的違法，主観的違法正論・客観的違法正論，行為無価値論・結果無価値論，これらの違法性の本質をめぐる議論を整理しておく。
16	事前学習	正当防衛が認められやすい社会状況と，認められにくい状況とを対比して，どのような点がその違いをもたらすかを検討してみる。
	授業内容	違法性阻却事由と違法性阻却の原理（正当防衛・緊急避難・法令行為・正当業務行為・超法規的違法阻却事由）
	事後学習	刑法35条を拠り所とする違法阻却の場合にはどのようなものがあるか，整理し確認しておく。
17	事前学習	正当防衛と緊急避難の意義と要件をあげ，両者の共通点と相違点について考えた上で授業に臨むこと。
	授業内容	正当防衛と緊急避難（二つの違法阻却由の共通点と相違点，それらはどこから来るのか）
	事後学習	違法性阻却事由に関する刑法35条・36条・37条の規定の意義と内容を整理し確認する。
18	事前学習	自分の行為が原因で他人に被害が生じたとき，それが不可抗力であって自分に何の落ち度もないのに，厳しい非難にさらされた場合，どうこたえるか，熟慮してみたいうえで授業に臨むこと。
	授業内容	責任論の基礎（違法評価と責任評価との関係／期待可能性論・規範的責任論の発展）
	事後学習	責任，非難可能性，他行為可能性，期待可能性のそれぞれの意味と関係，位置づけ，また心理的責任論から規範的責任論への近代的責任概念の発展，これらについて整理・検討する。
19	事前学習	どんなに凶悪残忍な態様で多数の人命を奪う等しても，心神喪失にあたる場合は絶対に処罰できない。なぜか。自分なりの答えを見出すまで考えてみること。
	授業内容	責任論の諸問題（故意と過失・責任能力・心神喪失と心神耗弱・刑事未成年）
	事後学習	心神喪失・心神耗弱の意義，刑事未成年の意義，原因において自由な行為，これらの意義と問題点について整理し，まとめる。
20	事前学習	わざとやった場合＝故意の結果惹起と，うっかりやってしまった場合＝過失の結果惹起とでは，その重大性がきわめて大きく異なる，と考えるのはなぜか，考察した上で授業に臨むこと。
	授業内容	故意論（故意の体系的地位・確定的故意と不確定的故意・概括的故意と択一的故意、未必的故意）
	事後学習	確定的故意と不確定的故意，概括的・択一的・未必的故意の異同，認識説と意思説，認容説と蓋然性説をめぐる議論，故意と過失との分水嶺，こうした諸点を分析整理しまとめる。
21	事前学習	犯人が①殺そうとした人を誤って別人と取り違え撃ち殺してしまったとき，②撃った弾が逸れ物陰の別人にあたって死亡させてしまったとき，罪責に違いが生じるか，考えてみること。
	授業内容	事実の錯誤の処理（具体的事実の錯誤と抽象的事実の錯誤・客体の錯誤と方法の錯誤，因果関係の錯誤）
	事後学習	具体的事実の錯誤と抽象的事実の錯誤のちがいが，客体・方法・因果関係の錯誤のちがいとその罪責への影響，具体的符合説と法定的符合説，故意の個数の問題，これらを整理しておく。
22	事前学習	飼い犬を野犬だと思って撲殺してしまった場合と，飼い犬だが首輪もせず放し飼いなので処分しても罪に問われることはないと確信して撲殺した場合とで罪責は異なるか，考えてみること。
	授業内容	法律の錯誤の処理（事実の錯誤と法律の錯誤・厳格故意説と制限故意説、故意説と責任説）
	事後学習	法律の錯誤により違法性の意識を欠いた場合のうち，錯誤に無理もない（相当な）事情があり処罰が妨げられる場合とは具体的にどんなときか，判例を挙げて論じてみる。
23	事前学習	わざとやったわけではなくとも，過失による人の死傷等の惹起は処罰される。なぜか。考えた上で授業に臨むこと。
	授業内容	過失犯をめぐる諸問題（過失犯の構造と予見可能性の内容・程度、旧過失論・新過失論・危惧感説）
	事後学習	旧過失論から新過失論，危惧感説へと発展する刑事過失理論と判例の動向を検討してみる。
24	事前学習	犯罪が未遂に終わって被害が発生していないのに，多くの犯罪についてなぜ未遂犯として処罰する必要があるのか，考えてみること。
	授業内容	犯罪遂行のプロセス（犯行の決意⇒陰謀⇒予備⇒実行の着手⇒未遂⇒既遂）
	事後学習	刑法は，さまざまな犯罪類型において既遂のみを罰するものから，未遂をも罰する，あるいは少数ではあるが予備をも罰する，さらに早期の段階，陰謀を捕捉するものもある。その理由を考察する。
25	事前学習	殺人の用途でピストルを準備した段階（予備）と，それを被害者に向け引き金を引こうとした時点（未遂）とを比べると刑罰の重さに著しい違いがある。なぜかを考えてみること。
	授業内容	未遂犯の諸問題（実行の着手の意義，障害未遂と中止未遂，中止未遂の意義と要件）
	事後学習	中止未遂が寛大に扱われる理由は何か，中止が認められる要件はどうか，整理しておく。
26	事前学習	共犯者としての犯罪への関りにはどのような形態が考えられるか，検討したうえで授業に臨むこと。
	授業内容	共犯論の基礎（必要的共犯と任意的共犯，共同正犯と狭義の共犯，教唆犯と幫助犯）
	事後学習	共犯における「一部実行，全部責任の法理」とは何か，自分で事例を挙げて説明を試みる文章を書いてみる。

27	事前学習	盗みをするよう唆したが、唆された者が応じなかった場合、いったん窃盗を決意したが思い返し実行しなかった場合、実行に出たが発見されて盗めなかった場合、これらの罪責はどうか、考えてみること。
	授業内容	共犯論の諸問題（共犯独立性説と従属性説、共犯の従属性、承継的共犯、片面的共犯）
	事後学習	共犯の従属性につき、実行・罪名・要素の各従属性を説明し、それぞれ判例がどう考えているかを確認しておく。
28	事前学習	泥棒がA宅に侵入、書斎にあったAの財布を盗り、次いで子供Bの部屋から貯金箱を、さらに居間のタンスから妻Cのヘソクリ5万円を盗んだとき、窃盗罪は何個成立するか、考えてみること。
	授業内容	罪数（犯罪の個数はどのような基準により決するか、包括一罪、実質的数罪）
	事後学習	単純一罪、法条競合、包括一罪、科刑上一罪、併合罪、単純数罪、これらの分類・整理を確認し、体系的理解を確かなものにしておく。
29	事前学習	窃盗罪の懲役刑の上限は10年であるが、空き巣を繰り返し計10件の窃盗について起訴された犯人に科せられる懲役刑は最長何年になるか、10年か、100年か、それとも？この点を考えてみた上で授業に臨むこと。
	授業内容	併合罪（複数の犯罪の科刑処理について、科刑上一罪、併合罪加重）
	事後学習	法定刑⇒処断刑⇒宣告刑⇒執行刑という量刑と刑の宣告手続はどのように行われるか、とりわけ処断刑を導き出す処理はどうか、整理し確認しておく。
30	事前学習	執行猶予とはどのような制度で、何のためにあるのかを考えた上で授業に臨むこと。
	授業内容	その他刑罰適用上の諸問題（執行猶予・仮釈放等・刑の加重減免・刑の時効）
	事後学習	微罪処分、起訴猶予、宣告猶予（立法論）、執行猶予（一部執行猶予を含む）、仮釈放のそれぞれの意義と関係、制度の趣旨の理解を確かなものにしておく。

科目名	刑法Ⅰ	担当者	野村 和彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑罰法規は「犯罪（構成要件）と刑罰（法定刑）」から構成されている。この刑罰法規を、いかなる理由により、どのように用いていくべきかを考究することに主眼を置く。刑法は刑罰という峻厳な制裁手段を用意している法律である。それゆえ、刑法における議論は感情的であったり大衆迎合的であったり場当たりのであってはならない。つねに刑法の存在理由を考え、直面する課題に取り組まなければならない。刑法の存在理由を徹底的に考えていきたい。				
授業目的・到達目標	刑法の存在理由を考えるということは、刑法を理論的に考えることを意味する。したがって、ある事柄がなぜ刑法総論上問題となるのかを見極める目、そして筋を通してこの課題を考え抜く姿勢、この二つを養っていきたい。				
履修条件	刑法を学問することに関心のある人は、ぜひ履修していただきたい。ただし、毎回六法をもってくるのがおっくうな人、継続的に講義に参加する姿勢のない人は、履修を遠慮いただきたい。小事に忠実なことが大成につながると思う。				
授業方法	毎回、テキストおよび参考書の内容を踏まえたレジュメも用意し、その順序に従って講義する。なお、今回のシラバスから事前学習と事後学習の欄が設けられた。とくに、事前学習を受講者に強く求めたい。理由は開講時に説明する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑法総論上の課題を、刑法理論的・体系的に考えているかをみたい。その論拠の説得性に 応じ評価を出したい。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
		有斐閣		『講義刑法学総論』	井田良
	備考				
参 考 書	講義の際に指示する。				
オフィス アワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）におりますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	はじがき、第1編1章を読む。
	授業内容	刑法の存在理由と機能（①犯罪の予防、②法益保護、③比例原則）
	事後学習	行為規範を用いた法益保護の仕組みをまとめる。
2	事前学習	第1編2章を読む。
	授業内容	刑法の基本原則（①行為主義、②罪刑法定主義とその根拠、③責任主義）
	事後学習	罪刑法定主義の歴史的背景について考える。

3	事前学習	第1編3章を読む。
	授業内容	刑法、刑法典、刑罰法規（①現行刑法典の特色、②刑罰法規とその解釈、③刑法の適用範囲）
	事後学習	刑法の構造について説明できるようにする。
4	事前学習	第2編4章を読む。
	授業内容	犯罪論の基礎理論（①犯罪の三要素、②犯罪の本質）
	事後学習	結果無価値論と行為無価値論とはそれぞれどのような見解か。
5	事前学習	第2編5章を読む。
	授業内容	構成要件（①犯罪論体系における構成要件の位置、②構成要件の構造）
	事後学習	犯罪の成立要件について説明せよ。
6	事前学習	第2編6章を読む。
	授業内容	結果と因果関係（①構成要件要素としての因果関係、②条件関係、③刑法的因果関係）
	事後学習	刑法における因果関係を論ずるに際して、最も大切なことは何か。
7	事前学習	第2編7章を読む。
	授業内容	不作為犯（①作為犯と不作為犯、②不作為犯と罪刑法定主義、③保証者説）
	事後学習	不作為犯の処罰範囲が拡散することの問題は何か。
8	事前学習	第2編8章を読む。
	授業内容	故意（①故意犯処罰の原則、②故意における事実認識、③故意の程度及び過失犯との違い）
	事後学習	故意行為を重く処罰する理由は何か。
9	事前学習	第2編9章1～3節を読む。
	授業内容	具体的事実の錯誤（①故意犯処罰の原則と事実の錯誤、②具体的事実の錯誤、③因果関係の錯誤）
	事後学習	故意犯処罰の原則と錯誤論との関連性は何か。
10	事前学習	第2編9章4節を読む。
	授業内容	抽象的事実の錯誤（①刑法38条2項の意義、②構成要件の符合説と抽象的符合説）
	事後学習	刑法38条2項の存在理由について説明せよ。
11	事前学習	第2編10章を読む。
	授業内容	過失犯（①過失犯論の展開、②過失犯の構成要件、③結果の予見可能性、④結果回避義務）
	事後学習	旧過失論、新過失論、危惧感説の違いについて説明せよ。
12	事前学習	第2編11章を読む。
	授業内容	結果的加重犯（①問題の所在、②結果的加重犯の存在理由、③結果的加重犯の構造）
	事後学習	結果責任の問題について説明せよ。
13	事前学習	第2編12章および13章を読む。
	授業内容	違法性と違法性阻却（①違法性の基礎理論、②違法性阻却事由、③正当行為）
	事後学習	違法性阻却事由を論ずる意義は何か。
14	事前学習	第2編14章を読む。
	授業内容	正当防衛（①正当防衛の各要件、②過剰防衛）
	事後学習	防衛者と侵害者との関係性が、許容される正当防衛行為の内容にどう影響するか。

15	事前学習	第2編15章を読む。
	授業内容	緊急避難およびその他の緊急行為（①正当防衛との違い、②緊急避難の本質、③緊急避難をめぐる諸問題、④自救行為）
	事後学習	二分説について説明せよ。
16	事前学習	第2編16章及び17章を読む。
	授業内容	自己決定権に基づく違法性阻却事由（①被害者の同意、②治療行為、③安楽死と尊厳死、④過失犯と違法性阻却事由）
	事後学習	被害者の同意を論ずる意義は何か。
17	事前学習	第2編18章を読む。
	授業内容	違法性阻却事由の錯誤（①事実の錯誤か違法性の錯誤か、②消極的構成要件の理論、③誤想防衛の諸類型）
	事後学習	誤想過剰防衛はどう処理するべきか。
18	事前学習	第2編19章および20章1節を読む。
	授業内容	責任論の基礎（①責任の本質、②責任と自由意思、③責任の要素、④責任能力）
	事後学習	刑事責任能力制度の存在理由について考えよ。
19	事前学習	第2編20章2節から4節を読む。
	授業内容	違法性の錯誤（①事実の錯誤と違法性の錯誤との違い、②違法性の錯誤の本質、③違法性の錯誤をめぐる諸問題）
	事後学習	刑法を用いた取締りの在り方について考える。
20	事前学習	第2編21章を読む。
	授業内容	未遂犯と実行の着手（①犯罪行為の諸段階、②結果無価値論と行為無価値論、③実行の着手時期をめぐる諸問題）
	事後学習	実行の着手時期と違法性の本質論との関係について整理する。
21	事前学習	第2編22章を読む。
	授業内容	不能犯（①危険判断の構造、②危険判断の基礎事情、③適用されるべき法則的知識）
	事後学習	不能犯を論ずる意義について説明せよ。
22	事前学習	第2編23章を読む。
	授業内容	中止犯（①障害未遂と中止未遂、②中止犯の存在理由、③中止意思の任意性と中止行為）
	事後学習	中止犯の規定が存在する理由を考える。
23	事前学習	第2編24章を読む。
	授業内容	正犯と共犯（①正犯概念、②正犯と共犯の区別、③間接正犯、④原因において自由な行為）
	事後学習	間接正犯をめぐる議論について説明せよ。
24	事前学習	第2編25章を読む。
	授業内容	共同正犯（①共謀共同正犯、②何を共同するのか、③共同正犯の成否が問題となる諸事例）
	事後学習	予備罪や過失犯、結果的加重犯、不作為犯における共同正犯について説明せよ。
25	事前学習	第2編26章を読む。
	授業内容	教唆犯と幫助犯（①共犯の処罰根拠、②教唆犯、③幫助犯、④共犯における因果関係）
	事後学習	共犯の処罰根拠論と違法性の本質論との関係について考えよ。
26	事前学習	第2編27章 1 ～ 2 節を読む。
	授業内容	共犯をめぐる諸問題（①共犯と錯誤、②共犯の中止と共犯関係からの離脱）
	事後学習	共犯と錯誤の問題を解決する道筋を説明せよ。

27	事前学習	第2編27章3節を読む。
	授業内容	共犯と身分（①存在理由、②同条1項と2項の関係、③65条の適用範囲）
	事後学習	事後強盗罪は身分犯か否か。
28	事前学習	第2編28章を読む。
	授業内容	犯罪の個数および競合（①構成要件の意義、②本来的一罪、③併合罪と科刑上一罪）
	事後学習	犯罪の個数を論ずる意義は何か。
29	事前学習	第3編29章を読む。
	授業内容	刑罰とその種類（①刑罰の理論、②刑罰の種類）
	事後学習	死刑存廃論について説明せよ。
30	事前学習	第3編30章を読む。
	授業内容	刑罰の適用および刑罰の執行（①法定刑から処断刑へ、②量刑判断、③刑罰の執行）
	事後学習	執行猶予制度の存在理由について説明せよ。

科目名	刑法 I	担当者	野村 和彦	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑罰法規は「犯罪（構成要件）と刑罰（法定刑）」から構成されている。この刑罰法規を、いかなる理由により、どのように用いていくべきかを考究することに主眼を置く。刑法は刑罰という峻厳な制裁手段を用意している法律である。それゆえ、刑法における議論は感情的であったり大衆迎合的であったり場当たりのであってはならない。つねに刑法の存在理由を考え、直面する課題に取り組まなければならない。刑法の存在理由を徹底的に考えていきたい。				
授業目的・到達目標	刑法の存在理由を考えるということは、刑法を理論的に考えることを意味する。したがって、ある事柄がなぜ刑法総論上問題となるのかを見極める目、そして筋を通してこの課題を考え抜く姿勢、この二つを養っていきたい。				
履修条件	刑法を学問することに関心のある人は、ぜひ履修していただきたい。ただし、毎回六法をもってくるのがおっくうな人、継続的に講義に参加する姿勢のない人は、履修を遠慮いただきたい。小事に忠実なことが大成につながると思う。				
授業方法	毎回、テキストおよび参考書の内容を踏まえたレジュメも用意し、その順序に従って講義する。なお、今回のシラバスから事前学習と事後学習の欄が設けられた。とくに、事前学習を受講者に強く求めたい。理由は開講時に説明する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	刑法総論上の課題を、刑法理論的・体系的に考えているかをみたい。その論拠の説得性に 応じ評価を出したい。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
		有斐閣		『講義刑法学総論』	井田良
	備考				
参 考 書	講義の際に指示する。				
オフィスアワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）におりますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	はじがき、第1編1章を読む。
	授業内容	刑法の存在理由と機能（①犯罪の予防、②法益保護、③比例原則）
	事後学習	行為規範を用いた法益保護の仕組みをまとめる。
2	事前学習	第1編2章を読む。
	授業内容	刑法の基本原則（①行為主義、②罪刑法定主義とその根拠、③責任主義）
	事後学習	罪刑法定主義の歴史的背景について考える。

3	事前学習	第1編3章を読む。
	授業内容	刑法、刑法典、刑罰法規（①現行刑法典の特色、②刑罰法規とその解釈、③刑法の適用範囲）
	事後学習	刑法の構造について説明できるようにする。
4	事前学習	第2編4章を読む。
	授業内容	犯罪論の基礎理論（①犯罪の三要素、②犯罪の本質）
	事後学習	結果無価値論と行為無価値論とはそれぞれどのような見解か。
5	事前学習	第2編5章を読む。
	授業内容	構成要件（①犯罪論体系における構成要件の位置、②構成要件の構造）
	事後学習	犯罪の成立要件について説明せよ。
6	事前学習	第2編6章を読む。
	授業内容	結果と因果関係（①構成要件要素としての因果関係、②条件関係、③刑法的因果関係）
	事後学習	刑法における因果関係を論ずるに際して、最も大切なことは何か。
7	事前学習	第2編7章を読む。
	授業内容	不作為犯（①作為犯と不作為犯、②不作為犯と罪刑法定主義、③保証者説）
	事後学習	不作為犯の処罰範囲が拡散することの問題は何か。
8	事前学習	第2編8章を読む。
	授業内容	故意（①故意犯処罰の原則、②故意における事実認識、③故意の程度及び過失犯との違い）
	事後学習	故意行為を重く処罰する理由は何か。
9	事前学習	第2編9章1～3節を読む。
	授業内容	具体的事実の錯誤（①故意犯処罰の原則と事実の錯誤、②具体的事実の錯誤、③因果関係の錯誤）
	事後学習	故意犯処罰の原則と錯誤論との関連性は何か。
10	事前学習	第2編9章4節を読む。
	授業内容	抽象的事実の錯誤（①刑法38条2項の意義、②構成要件の符合説と抽象的符合説）
	事後学習	刑法38条2項の存在理由について説明せよ。
11	事前学習	第2編10章を読む。
	授業内容	過失犯（①過失犯論の展開、②過失犯の構成要件、③結果の予見可能性、④結果回避義務）
	事後学習	旧過失論、新過失論、危惧感説の違いについて説明せよ。
12	事前学習	第2編11章を読む。
	授業内容	結果的加重犯（①問題の所在、②結果的加重犯の存在理由、③結果的加重犯の構造）
	事後学習	結果責任の問題について説明せよ。
13	事前学習	第2編12章および13章を読む。
	授業内容	違法性と違法性阻却（①違法性の基礎理論、②違法性阻却事由、③正当行為）
	事後学習	違法性阻却事由を論ずる意義は何か。
14	事前学習	第2編14章を読む。
	授業内容	正当防衛（①正当防衛の各要件、②過剰防衛）
	事後学習	防衛者と侵害者との関係性が、許容される正当防衛行為の内容にどう影響するか。

15	事前学習	第2編15章を読む。
	授業内容	緊急避難およびその他の緊急行為（①正当防衛との違い、②緊急避難の本質、③緊急避難をめぐる諸問題、④自救行為）
	事後学習	二分説について説明せよ。
16	事前学習	第2編16章及び17章を読む。
	授業内容	自己決定権に基づく違法性阻却事由（①被害者の同意、②治療行為、③安楽死と尊厳死、④過失犯と違法性阻却事由）
	事後学習	被害者の同意を論ずる意義は何か。
17	事前学習	第2編18章を読む。
	授業内容	違法性阻却事由の錯誤（①事実の錯誤か違法性の錯誤か、②消極的構成要件の理論、③誤想防衛の諸類型）
	事後学習	誤想過剰防衛はどう処理するべきか。
18	事前学習	第2編19章および20章1節を読む。
	授業内容	責任論の基礎（①責任の本質、②責任と自由意思、③責任の要素、④責任能力）
	事後学習	刑事責任能力制度の存在理由について考えよ。
19	事前学習	第2編20章2節から4節を読む。
	授業内容	違法性の錯誤（①事実の錯誤と違法性の錯誤との違い、②違法性の錯誤の本質、③違法性の錯誤をめぐる諸問題）
	事後学習	刑法を用いた取締りの在り方について考える。
20	事前学習	第2編21章を読む。
	授業内容	未遂犯と実行の着手（①犯罪行為の諸段階、②結果無価値論と行為無価値論、③実行の着手時期をめぐる諸問題）
	事後学習	実行の着手時期と違法性の本質論との関係について整理する。
21	事前学習	第2編22章を読む。
	授業内容	不能犯（①危険判断の構造、②危険判断の基礎事情、③適用されるべき法則的知識）
	事後学習	不能犯を論ずる意義について説明せよ。
22	事前学習	第2編23章を読む。
	授業内容	中止犯（①障害未遂と中止未遂、②中止犯の存在理由、③中止意思の任意性と中止行為）
	事後学習	中止犯の規定が存在する理由を考える。
23	事前学習	第2編24章を読む。
	授業内容	正犯と共犯（①正犯概念、②正犯と共犯の区別、③間接正犯、④原因において自由な行為）
	事後学習	間接正犯をめぐる議論について説明せよ。
24	事前学習	第2編25章を読む。
	授業内容	共同正犯（①共謀共同正犯、②何を共同するのか、③共同正犯の成否が問題となる諸事例）
	事後学習	予備罪や過失犯、結果的加重犯、不作為犯における共同正犯について説明せよ。
25	事前学習	第2編26章を読む。
	授業内容	教唆犯と幫助犯（①共犯の処罰根拠、②教唆犯、③幫助犯、④共犯における因果関係）
	事後学習	共犯の処罰根拠論と違法性の本質論との関係について考えよ。
26	事前学習	第2編27章 1 ～ 2 節を読む。
	授業内容	共犯をめぐる諸問題（①共犯と錯誤、②共犯の中止と共犯関係からの離脱）
	事後学習	共犯と錯誤の問題を解決する道筋を説明せよ。

27	事前学習	第2編27章3節を読む。
	授業内容	共犯と身分（①存在理由、②同条1項と2項の関係、③65条の適用範囲）
	事後学習	事後強盗罪は身分犯か否か。
28	事前学習	第2編28章を読む。
	授業内容	犯罪の個数および競合（①構成要件の意義、②本来的一罪、③併合罪と科刑上一罪）
	事後学習	犯罪の個数を論ずる意義は何か。
29	事前学習	第3編29章を読む。
	授業内容	刑罰とその種類（①刑罰の理論、②刑罰の種類）
	事後学習	死刑存廃論について説明せよ。
30	事前学習	第3編30章を読む。
	授業内容	刑罰の適用および刑罰の執行（①法定刑から処断刑へ、②量刑判断、③刑罰の執行）
	事後学習	執行猶予制度の存在理由について説明せよ。

科目名	刑法Ⅰ【法職課程】	担当者	前田 雅英	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	刑法総論を通して、法解釈学の基本を身に付ける。そのためにも、基本書の徹底した理解を目的とする。ただ、講義はできるだけわかりやすくし、現実には生起している犯罪現象などへのコメントも交えていきたい。併せて、日本大学の特徴である「自主創造」の力、「日本の特質を理解し伝える力」を養成する。					
授業目的・到達目標	刑法総論について、予備試験に合格できる程度の知識を身に付けることを目指す。1年生が聴講することを前提に、大変読みやすいが、レベルが高い教科書を指定し、それを徹底して読み込む訓練を行い、在学中に国家試験合格のレベルに達する土台をつくる。					
履修条件	法職課程の目的を理解し、熱心に受講する学生。開講前に、教科書の16頁までを必ず読んでおくこと。					
授業方法	教科書の指定部分を読んでくることを前提に、双方向に近い講義を行う。理解度を確認する小テストを随時行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	講義の理解度を期末試験で判定する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年3月	東大出版会		刑法〔第4版〕		木村光江
	備考					
参考書	前田雅英『最新重要判例250刑法11版』弘文堂					
オフィスアワー	木曜日12：00-13：00 法務研究科1333号室。 ただし、メールで事前に予約することを条件とする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のはしがきと目次をよく見ておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	ノートを見直しておく
2	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	1 刑法と刑罰と犯罪
	事後学習	小テストに備えて復習する。

3	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	2-1 罪刑法定主義)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
4	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	2-2 犯罪論の基本構造
	事後学習	小テストに備えて復習する。
5	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-1客観的構成要件の構造
	事後学習	小テストに備えて復習する。
6	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-2結果
	事後学習	小テストに備えて復習する。
7	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-3不作為
	事後学習	小テストに備えて復習する。
8	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-4未遂犯(1)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
9	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-4未遂犯(2)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
10	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-5因果関係(1)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
11	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-5因果関係(2)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
12	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	3-5因果関係(3)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
13	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	4-1 故意(1)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
14	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	4-1故意(2)
	事後学習	小テストに備えて復習する。

15	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	4-1故意(3)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
16	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	4-2過失(1)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
17	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	4-2過失(2)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
18	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-1正当化の基本原理
	事後学習	小テストに備えて復習する。
19	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-2正当業務行為
	事後学習	小テストに備えて復習する。
20	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-5-63正当防衛(1)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
21	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-3正当防衛(2)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
22	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-4緊急避難
	事後学習	小テストに備えて復習する。
23	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-5 責任総論 期待可能性
	事後学習	小テストに備えて復習する。
24	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	5-6 責任能力 正当化事由の錯誤（誤想過剰防衛）
	事後学習	小テストに備えて復習する。
25	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	6-1共犯と正犯
	事後学習	小テストに備えて復習する。
26	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	6-2 共同正犯(1)
	事後学習	小テストに備えて復習する。

27	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	6-2共同正犯(2)
	事後学習	小テストに備えて復習する。
28	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	6-3 狭義の共犯
	事後学習	小テストに備えて復習する。
29	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	7 罪数
	事後学習	小テストに備えて復習する。
30	事前学習	教科書該当部分を必ず読んでくる。
	授業内容	8 刑罰論
	事後学習	小テストに備えて復習する。

科目名	刑法Ⅱ	担当者	岡西 賢治	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	刑法典に規定される犯罪の成立要件について、保護法益の分類を前提にしつつ主要なものを中心に講じる。基本となる犯罪類型や重要となる犯罪に関しては時間を割いて説明することとするため、すべての犯罪を網羅的に取り上げない。 また、判例については、可能なかぎり事実と結論や法理の関係が理解できるように説明する。				
授業目的・到達目標	刑法典上の犯罪及びそれに関連する重要な犯罪について、判例を中心に、基礎的知識を修得できることを目的とする。 個々の犯罪に関する基礎的知識を得ることによって、近年の犯罪傾向の特徴や対策について問題意識を持つようにするとともに、刑事立法や裁判員裁判に関する課題等を検討できる能力を身につける。				
履修条件	特にない。				
授業方法	講義形式による。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	論述式試験による。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		刑法各論（Next 教科書シリーズ）	沼野輝彦・設楽裕文編
	備考				
参 考 書	前田雅英『刑法各論講義〔第6版〕』（東大出版会） 前田雅英『最新重要判例250刑法』（弘文堂）				
オフィスアワー	月曜 12：00～13：00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	近年の犯罪状況について自分なりに考えておく。
	授業内容	刑法各論とは何か。 刑法総論との関係を理解する。 統計からみる犯罪の実態を見ながら、近年における刑事立法の動向を概観する。
	事後学習	日本における犯罪の現状を知る。
2	事前学習	保護法益という概念を理解し、整理しておく。
	授業内容	犯罪の分類の意義と機能について
	事後学習	保護法益の違いがいかなる意味を有しているのか理解しておく。

3	事前学習	教科書17～21頁、30～34頁を読んでおく。
	授業内容	生命に対する罪、殺人の罪 刑法における「人」の意義
	事後学習	生命に対する侵害行為の態様を整理する。
4	事前学習	教科書30～34頁を読んでおく。
	授業内容	堕胎・遺棄の罪
	事後学習	遺棄行為の今日的課題について考える。
5	事前学習	教科書22～30頁を読んでおく。
	授業内容	身体に対する罪 傷害の概念、暴行と傷害、業務上過失致死傷罪等について論じる。
	事後学習	業務上過失致死傷罪と自動車運転過失致死傷罪との違いを理解する。
6	事前学習	教科書35～38頁を読んでおく。
	授業内容	自動車運転に関する罪 近年の立法動向と保護法益について論じる。
	事後学習	危険運転致死傷罪と自動車運転過失致死傷罪との区別を理解する。
7	事前学習	教科書39～45頁を読んでおく。
	授業内容	自由に対する罪
	事後学習	刑法における「脅迫」概念について整理する。
8	事前学習	教科書46～49頁を読んでおく。
	授業内容	性犯罪 近年の立法動向やストーカー規制法等との関係についても論じる。
	事後学習	性犯罪に関する現状と課題について考えをまとめる。
9	事前学習	教科書51～56頁を読んでおく。
	授業内容	私的領域に対する罪 刑法における情報やプライバシー保護のあり方を考える。
	事後学習	刑法における「情報」「秘密」などの意義を理解する。
10	事前学習	教科書57～66頁を読んでおく。
	授業内容	名誉に対する罪 名誉の保護と表現の自由との関係
	事後学習	現代社会における名誉の保護のあり方について考えておく。
11	事前学習	教科書67～73頁を読んでおく。
	授業内容	信用、業務に対する罪
	事後学習	財産犯的性質を理解しながら、保護法益について考える。
12	事前学習	教科書75～78頁を読んでおく。
	授業内容	財産犯の分類と概要① 財物の概念について概観する。
	事後学習	財産侵害の客体と態様について整理する。
13	事前学習	教科書75～78頁を読んでおく。
	授業内容	財産犯の分類と概要② 利益や情報の保護のあり方について論じる。
	事後学習	財産侵害の今日的課題について考える。
14	事前学習	教科書79～90頁を読んでおく。
	授業内容	窃盗の罪 刑法における財産の保護と民事的保護の違いをみる。
	事後学習	刑法の補充性や断片性を通して、財産の刑事的保護のあり方を考える。

15	事前学習	教科書91～99頁を読んでおく。
	授業内容	強盗の罪 強盗罪の諸類型を概観する。
	事後学習	身体等に対する罪の性格を合わせて持つことを理解する。
16	事前学習	教科書99～117頁を読んでおく。
	授業内容	詐欺・恐喝の罪① 「欺く」行為の態様を類型的に整理する。
	事後学習	いわゆる悪質商法等による被害と詐欺罪の関係を理解しておく。
17	事前学習	教科書99～117頁を読んでおく。
	授業内容	詐欺・恐喝の罪②
	事後学習	強盗と恐喝の区別、詐欺と窃盗の違い等を理解する。
18	事前学習	教科書118～133頁を読んでおく。
	授業内容	横領・背任の罪 他の領得罪との関係や、横領と背任の区別を論じる。
	事後学習	会社法上の特別背任罪との関係を理解する。
19	事前学習	教科書134～147頁を読んでおく。
	授業内容	盗品等に関する罪、毀棄・隠匿の罪
	事後学習	他の財産犯との違いを整理する。
20	事前学習	教科書151～166頁を読んでおく。
	授業内容	公共安全に対する罪 放火罪における「焼損」概念をめぐる諸問題を論じる。
	事後学習	社会的法益としての放火罪等を理解する。
21	事前学習	教科書175～189頁を読んでおく。
	授業内容	文書偽造の罪① 公文書偽造罪と私文書偽造罪の諸類型を概観する。
	事後学習	文書の意義、有形偽造と無形偽造等についての基礎的知識を得る。
22	事前学習	教科書175～189頁、197～199頁を読んでおく。
	授業内容	文書偽造の罪② 印章偽造の罪
	事後学習	電磁的記録の保護について理解する。
23	事前学習	教科書193～196頁、199～202頁を読んでおく。
	授業内容	カードに関する罪、コンピュータウイルス作成等の罪
	事後学習	財産犯との違いを理解する。
24	事前学習	教科書205～217頁を読んでおく。
	授業内容	風俗に対する罪 風俗犯罪の現状と今後の課題について論じる。
	事後学習	「被害者なき犯罪」を考える。
25	事前学習	教科書222～227頁を読んでおく。
	授業内容	国家の存立に対する罪
	事後学習	これら犯罪の保護法益を考える。
26	事前学習	教科書229～235頁を読んでおく。
	授業内容	国家の作用に対する罪の意義 公務の執行を害する罪
	事後学習	公務の作用や意義を整理しつつ、その保護のあり方について理解する。

27	事前学習	教科書241～258頁を読んでおく。
	授業内容	司法作用等に対する罪、職権濫用の罪
	事後学習	公務員による犯罪の類型を整理する。
28	事前学習	教科書259～270頁を読んでおく。
	授業内容	賄賂の罪 収賄罪の類型とこれまでの処罰範囲の拡大の沿革を概観する。
	事後学習	あっせん利得処罰法等の特別法上の犯罪の関係を整理する。
29	事前学習	講義中に論じた判例を整理する。
	授業内容	講義中に取り上げることができなかった重要な判例について論じる。
	事後学習	判例の法理と動向を理解する。
30	事前学習	これまでの個々の犯罪の成立要件を理解しておく。
	授業内容	試験を実施する。 講義中に論じた犯罪の成立要件について、特に重要な点についてあらためて講じる。
	事後学習	各論上の犯罪の成立要件を整理する。

科目名	刑法Ⅱ	担当者	設楽 裕文	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	主に刑法典第2編（罪）の各規定につき解釈論を講じる授業である。					
授業目的・到達目標	刑法の概要を、犯罪各論に重点を置いて、理解することを目的とする。基本的な事項を理解し、刑法を適切に解釈・適用できるようになることを目標とする。					
履修条件	刑法Ⅰを履修済であること。					
授業方法	講義の方法を用いる。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	必要な点についての確に論じられているか否かにより評価する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	弘文堂		N e x t 教科書シリーズ刑法各論		沼野輝彦＝設楽裕文編
	2014年	八千代出版		現代の判例と刑法理論の展開		板倉宏監修・著、沼野ほか編
	備考	『N e x t 教科書シリーズ刑法各論』については、補遺を弘文堂のサイトから入手して手もとにおく必要がある（ http://www.koubundou.co.jp/files/00227_1.pdf ）。				
参考書	『法学刑法5判例インデックス1000』設楽裕文編：信山社					
オフィスアワー	水曜日及び金曜日（16：10）授業講堂ないしその周辺において、授業に関係する事項について、おこなう（最大で60分）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	以下、教科書『N e x t 教科書シリーズ刑法各論』を「N」、『現代の判例と刑法理論の展開』を「G」と略記する。 N 1～13頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	序論 総論と各論との関係、各論の学び方など
	事後学習	N13頁の問題に取り組む（各問につき800字程度の回答を作成することが望ましい）。
2	事前学習	N15～22頁、G105～116頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	生命・身体に対する罪（1）
	事後学習	N38頁の問題（1）に取り組む。G105～106頁の裁判例は妥当か、考えてみる。

3	事前学習	N22～30頁、G209～222頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	生命・身体に対する罪（2）
	事後学習	G209～210頁の裁判例は妥当か、考えてみる。
4	事前学習	N30～38頁、G223～234頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	生命・身体に対する罪（3）
	事後学習	N38頁の問題（2）に取り組む。G223～225頁の裁判例は妥当か、考えてみる。
5	事前学習	N39～49頁を読み、問題点をメモする。教科書・備考欄の補遺を必ず読む必要がある。
	授業内容	自由に対する罪
	事後学習	Nの補遺50頁の問題に取り組む。
6	事前学習	N51～56頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	私的領域に関する罪
	事後学習	N56頁の問題に取り組む。
7	事前学習	N57～65頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	名誉に対する罪
	事後学習	N65頁の問題に取り組む。
8	事前学習	N67～73頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	信用及び業務に対する罪
	事後学習	N73頁の問題に取り組む。
9	事前学習	N75～86頁、G249～262頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（財産に対する罪）（1）総説
	事後学習	N147頁の問題（1）に取り組む。
10	事前学習	N86～91頁、G235～247頁、G287～300頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（2）窃盗の罪
	事後学習	N147頁の問題（2）に取り組む。
11	事前学習	N91～93頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（3）強盗の罪（Ⅰ）
	事後学習	強盗罪に関する諸問題につき、知識を整理する。
12	事前学習	N94～96頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（4）強盗の罪（Ⅱ）
	事後学習	事後強盗罪に関する諸問題につき、知識を整理する。
13	事前学習	N96～99頁（補遺も参照すること）、G263～273頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（5）強盗の罪（Ⅲ）
	事後学習	G263～265頁の裁判例は妥当か、考えてみる。
14	事前学習	N99～113頁、G275～286頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（6）詐欺及び恐喝の罪（Ⅰ）
	事後学習	G275～276頁の裁判例は妥当か、考えてみる。

15	事前学習	N113～118頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（7）詐欺及び恐喝の罪（Ⅱ）
	事後学習	不法原因給付、権利行使と詐欺罪・恐喝罪の成否について考えてみる。
16	事前学習	N118～125頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（8）横領・背任の罪（Ⅰ）
	事後学習	不法原因給付と横領罪の成否など横領の罪に関する諸問題につき、知識を整理する。
17	事前学習	N125～131頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（9）横領・背任の罪（Ⅱ）
	事後学習	業務上横領罪等に関する問題につき、知識を整理する。
18	事前学習	N131～133頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（10）横領・背任の罪（Ⅲ）
	事後学習	横領罪・背任罪に共通する諸問題につき、知識を整理する。
19	事前学習	N134～137頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（11）盗品等に関する罪（Ⅰ）
	事後学習	盗品関与罪の法益等につき、知識を整理する。
20	事前学習	N137～139頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（12）盗品等に関する罪（Ⅱ）
	事後学習	盗品関与罪の各規定に関する諸問題につき、知識を整理する。
21	事前学習	N139～147頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	財産犯（13）毀棄及び隠匿の罪
	事後学習	N147頁の問題（3）に取り組む。
22	事前学習	N149～166頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	公共の安全に対する罪
	事後学習	N166頁の問題に取り組む。
23	事前学習	N167～175頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	偽造及びその周辺の罪（1）通貨偽造罪
	事後学習	N202頁の問題（1）に取り組む。
24	事前学習	N175～186頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	偽造及びその周辺の罪（2）文書偽造罪（Ⅰ）
	事後学習	N202頁の問題（2）に取り組む。
25	事前学習	N186～199頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	偽造及びその周辺の罪（3）文書偽造罪（Ⅱ）、電磁的記録不正作出・供用罪
	事後学習	N202頁の問題（3）に取り組む。
26	事前学習	N190～203頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	偽造及びその周辺の罪（4）有価証券偽造罪、印章偽造罪、支払用カード電磁的記録に関する罪、不正指令電磁的記録に関する罪
	事後学習	偽造等の概念につき、知識を整理する。

27	事前学習	N205～217頁、G301～304頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	風俗に対する罪
	事後学習	G301～303頁の裁判例は妥当か、考えてみる。
28	事前学習	N219～241頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	国家の存立に対する罪 国家・地方公共団体の作用に対する罪（1）公務の執行を妨害する罪
	事後学習	N270頁の問題（1）に取り組む。
29	事前学習	N241～255頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	国家・地方公共団体の作用に対する罪（2）逃走罪、犯人蔵匿及び証拠隠滅の罪など
	事後学習	N270頁の問題（2）に取り組む。
30	事前学習	N255～270頁、G315～327頁を読み、問題点をメモする。
	授業内容	国家・地方公共団体の作用に対する罪（3）職権濫用罪、賄賂罪
	事後学習	N270頁の問題（3）に取り組む。

科目名	刑法Ⅱ	担当者	南部 篤	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	4
-----	-----	-----	------	-----	------------	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	刑法典の各則に定める罪を中心に各種犯罪定型を考察の対象とする。個々の犯罪ごとに、その意義と保護法益、構成要件の特徴・構造を論じることを通じて、各犯罪に固有の問題を浮き彫りにしそれらの解明を行う。殺人や窃盗、放火、賄賂といった具体的類型を検討する分野であるため、イメージが掴み易い一方、個別論点は詳細に亘り、ときに込み入ったディールを解きほぐす作業が必要となる。				
授業目的・到達目標	この授業の目的は、各種の犯罪定型の考察を通じ、刑法がどのような利益を、どのような形態の侵害行為から保護しようとしているかの理解を得ることにある。総論のみならず、刑法各論の分野は、刑法システム全体の把握のためには不可欠の学修内容となる。受講者が目指すべき目標として、こうした理解獲得が、まずもって基本的な到達目標となる。加えて、最新判例と学説の動向、さらには理論刑法学の課題などについての理解獲得が発展的到達目標となる。				
履修条件	条件はとくにない。ただし、この授業は刑法の真の理解獲得を目指すことから、効率的な単位取得のみを考える者には不向きである。その意味では、刑法学修に関心と熱意を持つことが実質的条件になるといってもよい。				
授業方法	テキストに沿って進める。但し、テーマの重要度、難易度に応じて割愛、要約、補足説明を行うことがある。もとより、受講者が刑法総論の理解を有することを前提に、また事前・事後の学習が行われることを想定して進めて行く。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	到達目標の達成度に応じて、80点を上限に点数を付与する。	
	平常評価		20%	授業内テスト等により20点を上限に付与。定期試験と合せ100点満点で、完璧に達成90以上、十分に達成80以上、概ね達成70以上、最低限達成60以上の基準で評価。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年発行	弘文堂		ネクスト教科書シリーズ・刑法各論	沼野輝彦＝設楽裕文編
	備考	版、刷があらためられた場合は、開講時現在で最新のものを準備すること。			
参考書	設楽裕文編『法学刑法4演習』信山社、山口厚『刑法各論』有斐閣、前田雅英『刑法各論講義』東大出版会				
オフィスアワー	土曜日、12時10分から13時まで研究室で対応する。ただし、Eメール（開講時に開示）による事前のアポイントメントを要する。予約無しに訪れても面談は不可である。Eメールによる質問・相談も受付ける。授業内容以外で受付ける質問・相談事項は、刑事法学の研究一般について。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	すでに単位取得済みであっても、刑法総論全般を自身で復習し、基礎的理解を十分なものにしておく。とくに、責任主義と罪刑法定主義、構成要件要素、既遂と未遂、違法と責任分野の基本的テーマ等の理解を確認しておくこと。
	授業内容	刑法各論の基礎、「保護法益」と各則の体系
	事後学習	保護法益について、「利益」、「法益」、「権利」の意義とそれらの関係、法益の帰属主体による各種犯罪の三分類、体系的把握に関し、整理・確認を行う。
2	事前学習	殺人とその周辺の条文に目を通しておくこと。また、さまざまな法益の中で「生命」がもっとも重要なものであるとされる理由は何か、自分なりの答えを出せるよう考えておくこと。
	授業内容	生命に対する罪（殺人等）
	事後学習	殺人罪と自殺関与等の罪の法定刑に著しい軽重の差があるのはなぜか、試みに自分の言葉で答案を書いてみる。

3	事前学習	刑法が、生命に次いで身体を手厚く保護しているのはなぜか、こう問われたときどう答えるか、考えておくこと。
	授業内容	身体に対する罪（傷害等）
	事後学習	「傷害」とは何か、「心と体」に対する加害行為が傷害罪にあたる場合とあたらない場合について、判例はどう考えているか、整理しておく。
4	事前学習	過失犯は、故意に生命を害した場合・傷害を負わせた場合と比較し、どういった点が違うのか、よく考えてみたうえで授業に臨むこと。
	授業内容	生命・身体に対する過失犯（過失致死傷、交通犯罪等）
	事後学習	単純過失傷害・致死の刑が著しく軽い理由は何か、また、自動車運転に起因する死傷事故に対する刑事規制はどのように変わってきたのか、整理しておく。
5	事前学習	人の行動の自由を奪う行為を刑罰を用いて禁圧する理由は何か、いいかえれば逮捕監禁罪は何を保護しようとしているのかを考えてみること。
	授業内容	人身の自由に対する罪（逮捕・監禁、略取・誘拐の罪）
	事後学習	逮捕監禁罪の保護法益と、略取誘拐罪の保護法益との比較、また略取誘拐、人身売買の罪に関する法改正の内容と経緯・理由について整理しておく。
6	事前学習	脅迫罪が保護する自由とは何か、住居侵入・秘密を侵す罪は何を保護しようとしているのか、を考えてみる。
	授業内容	精神的自由等に対する罪（脅迫、住居侵入、秘密を侵す罪）
	事後学習	住居侵入罪の保護法益をめぐる判例と学説の動向について整理し、自分なりにまとめてみる。
7	事前学習	名誉とは無縁の一般の人々は、刑法で保護される名誉毀損とはかかわりないのか、刑法が保護する「名誉」は何を意味するのか、考えたうえで授業に臨むこと。
	授業内容	名誉に対する罪Ⅰ（名誉の保護と名誉毀損罪）
	事後学習	侮辱と名誉毀損、生者に対する名誉毀損と死者の名誉を毀損する行為、との比較対照を通じてここでの諸テーマを整理する。また、公然性が要求される理由は何かについて再確認しておく。
8	事前学習	誰のどんな事実であっても名誉を傷つける行為全てを処罰する、すなわちどれほど公的地位にある者でも権力者でも、名誉はどこまでも刑罰で保護されるべきだ、という考え方の徹底は、何をもたらすかを考えてみる。
	授業内容	名誉に対する罪Ⅱ（名誉の保護と言論・表現の自由）
	事後学習	名誉という個人的法益の保護と、言論・表現の自由、マスメディア等の取材・報道の自由の保護とは、どちらが優先されるか、あるいはどのように調和を図るべきか、整理しておく。
9	事前学習	「業務」という言葉から何を連想するか、その指し示す意味内容と、なぜ刑法がそれを保護しようとしているのかを考えてみること。
	授業内容	業務に対する罪
	事後学習	業務として保護されるものには何があるのか、公務執行妨害により保護される公務との関係はどうか、威力と偽計による業務妨害の具体的事例にはどんなものがあるか、整理しておく。
10	事前学習	強制わいせつ罪、強制性交等罪の意義、これらの罪は、わいせつ物頒布等罪など性表現に関する罪とその犯罪としての性質がどう違うのか、考えてみること。
	授業内容	性犯罪（性に関する自己決定の自由を保護する罪）
	事後学習	強制性交等罪を中心に近時行われた大きな法改正の内容と、立法経緯、その理由、改正前後の変更点について確認・整理をしておく。
11	事前学習	なぜ刑法は財産を保護する必要があるのか、また財産犯罪の種類について窃盗罪以下の条文を事前に読み込んでおくこと。
	授業内容	財産犯罪の基礎（刑法における財産の保護と財産犯の体系、財産犯の今日的課題）
	事後学習	他人の財産に対する加害的行為のうち、刑法はその一部をピックアップし、その特徴を記述することにより犯罪として規定しているが、財産犯全体の構成要件的行為と法定刑を一覧できるように整理してみる。
12	事前学習	窃盗と強盗はなぜ同じ章に規定されているか、また、これら二つの罪の違いはどこにあるか、条文の比較を試みること。
	授業内容	窃盗罪と強盗罪Ⅰ
	事後学習	窃盗罪の客体たる財物の意義について、占有の意義について、保護法益について、また不法領得の意思に関して、判例と学説を整理しておく。
13	事前学習	窃盗には財物に対する領得行為を罰する規定しかないが、強盗には財物に対する一項の規定と利益に対する二項の規定があるが、これはなぜかを考えてみること。
	授業内容	強盗罪と強盗罪Ⅱ
	事後学習	単純強盗と事後強盗、こん睡強盗、強盗致死傷、強盗殺人と強盗致死等の関連する諸規定・諸類型の擬律（適用関係）について整理しておく。
14	事前学習	詐欺罪が、「窃盗及び強盗の罪」とは別の章、すなわち次に扱われる恐喝罪と一緒に「詐欺及び恐喝の罪」の章に置かれてのはなぜかを考えてみること。
	授業内容	詐欺罪
	事後学習	詐欺罪の構成要件の構造とその構成要素（人を欺く行為、錯誤、処分行為、財物・利益の移転の連鎖）、処分行為の意義についての判例と学説について整理しておく。

15	事前学習	恐喝罪と詐欺罪との共通の性格は何か、異なる点は何かについて考えてみること。
	授業内容	恐喝罪（詐欺と恐喝、強盗と恐喝との比較等）
	事後学習	正当な権利を有する者が、その権利行使の手段として用いた方法が脅迫行為に当たる場合、恐喝罪が成立することがあるか、あるとすればどのような場合で、どの範囲について恐喝が認められるか、解答を試みる。
16	事前学習	横領罪に問われる典型的な行為はどのようなものであるか、テキスト等から納得いくまで読み取っておくこと。
	授業内容	横領罪、背任罪
	事後学習	横領、業横、遺失物等横領、窃盗を比較対照し、占有侵害の有無、委託信任関係違背の点、背任との区別、占有が委託等による基礎を有するか否か、占有の業務性、など諸点の関係を各自で表を作るなどして整理しておく。
17	事前学習	財産犯罪を抑止するために盗品等の買受行為などを厳しく処罰する必要があるのはなぜか、考えてみること。
	授業内容	盗品等に関する罪
	事後学習	保護法益をめぐる議論、盗品等に関する各種犯罪類型の内容、本犯の共犯者による行為の取扱いについて整理し、自分の考えをまとめておく。
18	事前学習	器物損壊は他人の物を破壊等する財産侵害行為であって、物の効用を所有者から完全に奪う点に特徴がある。しかし刑罰は最高3年の懲役で、所有者による回復可能性を残す窃盗より相当軽い。この理由を考えて授業に臨むこと。
	授業内容	毀棄・隠匿の罪
	事後学習	物の破壊、隠匿等利用妨害、動物の殺傷など本罪を構成する様々な行為の態様を挙げ、分類・整理しておく。
19	事前学習	住宅等への放火に、死刑を含む殺人と同等の重い刑罰が予定されている理由はなぜか、自己の見解を述べられるよう考察しておくこと。
	授業内容	公共危険犯（放火罪とその他の罪）
	事後学習	客体の別により、各種放火罪が、具体的危険発生の要否、法定刑の大きな格差など細かにかき分けられていることを条文に即して確認・整理しておく。
20	事前学習	麻薬などの規制薬物を自己に用いる行為は、直接他人向けられた加害行為とは言い難い面を持つが、それにもかかわらず処罰の対象とされるのはなぜかを考えておくこと。
	授業内容	国民の健康を害する罪
	事後学習	薬物濫用行為の規制は、刑法典以外の法令に委ねられている部分がほとんどである。そこで、戦後の薬物規制立法の沿革と内容、現行法令の概要をまとめ、理解を深めておく。
21	事前学習	偽札を作ったり、勝手に人の名前の領収書を作ったりすることを、なぜ重い刑罰で禁止する必要があるのか。仮に、大量の偽札が出回る事態が起こったとして、それが何をもたらすのか。こうしたことを考察してみること。
	授業内容	偽造犯罪Ⅰ（通貨偽造罪、有価証券偽造罪等）
	事後学習	行使の目的とは何か、偽造と変造の違いは何か、偽造と模造との違いは何か、偽造と行使との関係はどうか、通貨の概念・有価証券の概念、こうしたことについて、自分自身納得がいくまで検討し、確認・整理しておく。
22	事前学習	他人の名義の文書を勝手に作ることで、内容虚偽の自分名義の文書を作ることが区別され、私文書においては後者は処罰の対象とはならない理由はどこにあるか、自分なりの答えを出したうえで授業に臨むこと。
	授業内容	偽造犯罪Ⅱ（文書偽造罪）
	事後学習	可視性・可読性、永続性、有形偽造と無形偽造、偽造と虚偽文書作成、公・私文書、有印・無印文書、権利・義務、事実証明に関する文書の概念等につき得心が行くまでテキスト等を読み込み、確認と整理を怠らない。
23	事前学習	なぜ、わいせつな表現行為に刑法が介入する必要があるのか（刑罰をもって禁圧することが正当とされる理由は何か）、ポルノグラフィーなどを処罰することにより何を護ろうとしているのか、考えたうえで授業に臨むこと。
	授業内容	風俗を害する罪Ⅰ（各種わいせつ表現犯罪）
	事後学習	公然わいせつ罪とわいせつ物頒布等の罪の刑罰に、大きな差異が設けられている理由は何かについて、各自、答案を書いてみる。
24	事前学習	自分の金を賭けて賭博に参加することは、自身の財産を自己の意思で処分すること（もとより殆どの場合掛金を失うことになる）なので、刑罰をもって介入禁止する必要があるのか、考えてみた上で授業に参加すること。
	授業内容	風俗を害する罪Ⅱ（賭博・富くじに関する罪、礼拝所・墳墓に関する罪）
	事後学習	賭博・富くじの罪、礼拝所・墳墓に関する罪の保護法益は何か、言い換えれば、これらの犯罪は誰の、どのような利益を侵害する犯罪なのか、という設問について答えを書いてみる。
25	事前学習	職権濫用罪の被害者は誰か、同罪はなぜ「汚職の罪」として位置づけられているか、十分に考えた上で授業に臨むこと。
	授業内容	公務員を犯罪主体とする罪Ⅰ（職権濫用の罪）
	事後学習	職権濫用罪の成否が争われた事例について、そこでは何が争点とされ、裁判所はどのような判断を示したか、その判例の考え方は妥当なものかを論評してみる。
26	事前学習	賄賂罪の被害者誰か、賄賂のやり取りは、どのような害悪をもたらすか、よく考えて自分なりの答えを得た上で授業に臨むこと。
	授業内容	公務員を犯罪主体とする罪Ⅱ（賄賂の罪）
	事後学習	収賄罪構成要件の中核にある「職務関連性」をめぐる論点を整理し、わが国の判例がどのような事案について、いかなる判断を示してきたかを整理・分析しておく。

27	事前学習	刑法は、公務執行中の公務員に暴力を振るったり脅迫を加えたりする行為を処罰しているが、これは何を保護しようとしているのか、この点について自分の考えをまとめた上で授業に臨むこと。
	授業内容	公務を害する罪Ⅰ（公務執行妨害罪）
	事後学習	公務執行妨害罪成立のためには、公務の外形を有することで足りるのか、それとも適法なものでなければならないのか、適法性を要するとして、どの程度厳格に要求されるのか、業務妨害との関係はどうかを整理しておく。
28	事前学習	勾留中の被疑者や、刑務所収容中の受刑者がそれら刑事施設から逃走することや、犯人を匿ったり証拠を消し去ったりすることが処罰されるのはなぜか、考えてみること。
	授業内容	公務を害する罪Ⅱ（逃走の罪、犯人蔵匿・証拠隠滅、偽証等）
	事後学習	逃走、犯人蔵匿、証拠隠滅、偽証の各罪について、また捜査機関への不協力が犯人蔵匿罪に問われることがあるのか、冤罪を主張して逃走中の者の無実を信じて隠避する行為も同罪に問われるか等論点を整理し、確認する。
29	事前学習	内乱罪は国の統治機構自体の破壊を指向する大規模な加害を想定した犯罪であるが、過去に本罪に問われた例はあるのか、調べてみること。
	授業内容	国家の存立を脅かす罪Ⅰ（内乱・外患の罪）
	事後学習	内乱、外患の成立要件と、関連する各種の規定を整理しておく。
30	事前学習	衆人環視の中で外国の国旗を焼いたり、外国に敵対する軍事組織に所属して攻撃する準備を行ったりする行為は、それら外国の利益を保護するためのものなのか、考察した上で授業に臨むこと。
	授業内容	国家の存立を脅かす罪Ⅱ（国交に関する罪）
	事後学習	刑法が国益を護るために定める各種国交に関する罪を整理し、その保護法益、成立要件等を確認する。

科目名	刑法Ⅱ【法職課程】	担当者	西貝 吉晃	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑法の判例集を丁寧に読んで、解釈論及び解釈結果の事案への当てはめを考えていく。なるべく双方向での講義を行いたい。				
授業目的・到達目標	刑法各論における議論を理解する。具体的な事案を解決できるようになる。				
履修条件	刑法総論及び民事法の理解。				
授業方法	判例の理解を確認しながら進める。具体的には教科書類に書いてある議論を知っていることを前提に判例の表現選択等を検討する。予習をしないといけない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	定期試験結果で評価をする	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	有斐閣		判例刑法各論 第7版	西田典之ほか
	備考				
参考書	西田典之『刑法各論 第6版』，山口厚『刑法各論 第2版』，井田良『刑法講義各論』等の教科書。				
オフィスアワー	火曜日 14：40～16：10				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	刑法各論を学ぶ前提知識を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	刑法各論で学ぶことの紹介及び刑法総論の復習。
	事後学習	刑法各論を学ぶ前提知識を理解し，説明できるようになる。
2	事前学習	生命・身体に対する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	生命・身体に対する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	生命・身体に対する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。

3	事前学習	生命・身体に対する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	生命・身体に対する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	生命・身体に対する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
4	事前学習	自由に対する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	自由に対する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	自由に対する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
5	事前学習	自由に対する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	自由に対する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	自由に対する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
6	事前学習	私的領域に関する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	私的領域に関する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	私的領域に関する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
7	事前学習	私的領域に関する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	私的領域に関する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	私的領域に関する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
8	事前学習	名誉に対する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	名誉に対する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	名誉に対する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
9	事前学習	信用および業務に対する罪の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	信用および業務に対する罪に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	信用および業務に対する罪の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
10	事前学習	財産に対する罪(総論・窃盗罪)の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(総論・窃盗罪)に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(総論・窃盗罪)の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
11	事前学習	財産に対する罪(窃盗罪・不動産侵奪罪)の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(窃盗罪・不動産侵奪罪)に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(窃盗罪・不動産侵奪罪)の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
12	事前学習	財産に対する罪(強盗罪・事後強盗罪)の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(強盗罪・事後強盗罪)に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(強盗罪・事後強盗罪)の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
13	事前学習	財産に対する罪(詐欺罪)の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(詐欺罪)に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(詐欺罪)の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。
14	事前学習	財産に対する罪(詐欺罪・電子計算機使用詐欺罪・恐喝罪)の解釈・適用法を理解し，説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(詐欺罪・電子計算機使用詐欺罪・恐喝罪)に関し，主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(詐欺罪・電子計算機使用詐欺罪・恐喝罪)の解釈・適用法について，自身の有していた疑問点を解決する。

15	事前学習	財産に対する罪(横領罪)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(横領罪)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(横領罪)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
16	事前学習	財産に対する罪(背任罪)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(背任罪)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(背任罪)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
17	事前学習	財産に対する罪(盗品等に関する罪・毀棄罪)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(盗品等に関する罪・毀棄罪)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	財産に対する罪(盗品等に関する罪・毀棄罪)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
18	事前学習	財産に対する罪の全体像を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	財産に対する罪(まとめ)に関し、読んだ判例の復習を行う。
	事後学習	財産に対する罪(まとめ)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
19	事前学習	取引等の安全に対する罪の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	取引等の安全に対する罪に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	取引等の安全に対する罪の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
20	事前学習	取引等の安全に対する罪の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	取引等の安全に対する罪に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	取引等の安全に対する罪の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
21	事前学習	取引等の安全に対する罪の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	取引等の安全に対する罪に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	取引等の安全に対する罪の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
22	事前学習	風俗に対する罪(わいせつ罪)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	風俗に対する罪(わいせつ罪)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	風俗に対する罪(わいせつ罪)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
23	事前学習	風俗に対する罪(わいせつ罪以外)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	風俗に対する罪(わいせつ罪以外)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	風俗に対する罪(わいせつ罪以外)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
24	事前学習	公共危険罪の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	公共危険罪に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	公共危険罪の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
25	事前学習	公共危険罪の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	公共危険罪に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	公共危険罪の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
26	事前学習	国家的法益に対する罪(賄賂罪)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	国家的法益に対する罪(賄賂罪)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	国家的法益に対する罪(賄賂罪)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。

27	事前学習	国家的法益に対する罪(賄賂罪)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	国家的法益に対する罪(賄賂罪)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	国家的法益に対する罪(賄賂罪)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
28	事前学習	国家的法益に対する罪(それ以外)の解釈・適用法を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	国家的法益に対する罪(それ以外)に関し、主に判例を読み解いていく。
	事後学習	国家的法益に対する罪(それ以外)の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
29	事前学習	刑法各論全体を理解し、説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	刑法各論全体の総覧
	事後学習	刑法各論全体の総覧の解釈・適用法について、自身の有していた疑問点を解決する。
30	事前学習	各論の解釈論を総論のそれと接続して説明できるようになることを目的とする。
	授業内容	刑法総論との接続のための議論を行い、刑法全体の理解を確認する。
	事後学習	刑法全体の理解について、自身の有していた疑問点を解決する。

科目名	刑法Ⅱ	担当者	野村 和彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	この授業では、刑法典の第二編「罪」の規範的内容を探究していく（刑法各論）。				
授業目的・到達目標	「罪（刑罰法規）」は「構成要件と法定刑」から構成され、構成要件そのものは抽象的であり、法定刑の幅も広めにとられている。だからこそ、その具体的内容を、様々な事案と絡めながら、明らかにしていかなければならない。これが本講義の目的である。各犯罪の射程範囲を理解するとともに、この社会で起きている事件に刑罰法規を適用することによって、刑法的に問題の解決を図る力を身につける。				
履修条件	刑法Ⅰ（総論）を履修していることが望ましい。刑法は罪刑法定主義が支配する法律であるから、六法は必ず持参されたい。特に刑法各論ではこまめに条文にあたる。				
授業方法	担当者がもつぱら講義を展開する方法をとる。教科書を中心に講義を展開すると同時に、教科書の行間を埋め合わせるため、担当者が作成するレジュメも併用する。事前学習であらかじめ指示した箇所を必ず読み授業に臨む。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	到達目標がどの程度育まれているのかをみる。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
		有斐閣		講義刑法学・各論	井田良
	備考				
参考書	井田・佐渡島・山野目『法を学ぶ人のための文章作法』（有斐閣、2016年）				
オフィスアワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）におりますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	はしがき、第1章
	授業内容	刑法各論で学ぶべきこと（①刑罰法規を解釈する意義、②保護法益、③法益侵害行為、④時代の変化と刑法解釈）
	事後学習	刑罰法規を解釈する際に重要なことは何か。
2	事前学習	第2章
	授業内容	人の生命に対する罪（1）（①全体像、②人の始期と終期）
	事後学習	人の始期と終期について説明せよ。

3	事前学習	第2章
	授業内容	人の生命に対する罪（2）（①199条と202条との区別、②積極的安楽死、治療中止）
	事後学習	人を欺いて自殺させる行為は何罪に該当するか。
4	事前学習	第3章
	授業内容	身体に対する罪（1）（①暴行概念、②傷害概念、③精神障害の扱い、④日常生活と暴行・傷害）
	事後学習	精神障害は傷害に該当するか。
5	事前学習	第3章
	授業内容	身体に対する罪（2）（①結果的加重犯、②同時傷害の特例）
	事後学習	結果的加重犯について説明せよ。
6	事前学習	第4章
	授業内容	生命及び身体に対する危険犯（①危険犯、②堕胎罪、③遺棄罪）
	事後学習	危険犯とは何か。
7	事前学習	第5章
	授業内容	身体的内密領域に対する罪（①性的自己決定権、②強制性交等罪、強制わいせつ罪、③監護者による性犯罪）
	事後学習	性犯罪に関する旧規定と新規定の違いについて説明せよ。
8	事前学習	第6章
	授業内容	自由に対する罪（①脅迫罪、②強要罪、③逮捕・監禁罪、④略取誘拐・人身売買罪）
	事後学習	逮捕・監禁罪の保護法益は何か。
9	事前学習	第7章
	授業内容	個人の私的領域を侵す罪（①「私的領域」とは、②住居侵入罪、③秘密侵害罪）
	事後学習	住居侵入罪の保護法益をめぐる対立について説明せよ。
10	事前学習	第8章
	授業内容	社会的存在としての人の保護（1）（①名誉毀損罪、②信用毀棄罪、③業務に対する罪）
	事後学習	名誉毀損罪の保護法益は何か。
11	事前学習	第8章
	授業内容	社会的存在としての人の保護（2）→230条2に関する問題←
	事後学習	真実性の錯誤をどう考えるべきか。
12	事前学習	第9章
	授業内容	財産犯総論（1）（①財産犯の体系、②財物と財産上の利益）
	事後学習	財物と財産上の利益について説明せよ。
13	事前学習	第9章
	授業内容	財産犯総論（2）（①財産犯の保護法益、②不法領得の意思、③占有概念）
	事後学習	財産罪の保護法益について説明せよ。
14	事前学習	第10章
	授業内容	窃盗罪と不動産侵奪罪（①窃盗罪詳説、②不動産侵奪罪、③親族相盗例）
	事後学習	不動産侵奪罪の特徴について説明せよ。

15	事前学習	第11章
	授業内容	強盗罪（1）（①罪質、②1項強盗と2項強盗、③事後強盗罪・昏睡強盗罪）
	事後学習	強盗罪の要件について説明せよ。
16	事前学習	第11章
	授業内容	強盗罪（2）-240条の解釈をめぐる問題-
	事後学習	240条の適用をめぐる見解の対立について説明せよ。
17	事前学習	第12章
	授業内容	詐欺罪と恐喝罪（①基本構造、②詐欺罪に関する諸問題、③権利行使と恐喝罪）
	事後学習	ヤクザが、暴力団関係者の使用禁止の看板を掲げているゴルフ場を利用することは、2項詐欺罪に当たるか。
18	事前学習	第13条
	授業内容	横領罪と背任罪（①横領罪と背任罪の関係、②不法原因給付物と横領、③背任罪における「他人の事務」）
	事後学習	横領と背任の区別について説明せよ。
19	事前学習	第14章
	授業内容	盗品等に対する罪（①保護法益、②盗品関与罪の本質、③親族間の犯罪の特例）
	事後学習	盗品に対する罪の保護法益は何か。
20	事前学習	第15章
	授業内容	毀棄・隠匿の罪（①器物損壊罪、②文書等毀棄罪、③建造物損壊罪）
	事後学習	器物損壊罪の保護法益について説明せよ。
21	事前学習	第16章、第17章
	授業内容	社会的法益に対する罪・総説、騒乱の罪
	事後学習	公共危険罪とはどのような犯罪か。
22	事前学習	第18章
	授業内容	放火の罪（①現住建造物等放火罪、②非現住建造物等放火罪、③建造物等以外放火罪）
	事後学習	焼損概念について説明せよ。
23	事前学習	第20章、第21章
	授業内容	偽造罪総説、通貨偽造罪（①通貨偽造罪、②外国通貨偽造罪など、③取得後知情行使等罪）
	事後学習	取得後知情行使等罪について説明せよ。
24	事前学習	第22章
	授業内容	文書偽造罪（①文書偽造罪の基礎理論、②公文書偽造罪、③私文書偽造罪、④そのほかの文書偽造罪）
	事後学習	文書偽造罪の基礎理論について説明せよ。
25	事前学習	第23章、第24章、第25章、第26章
	授業内容	有価証券偽造罪、支払用カード電磁的記録の罪、印章偽造罪、不正指令電磁的記録に関する罪
	事後学習	ウィルス作成罪の意義について説明せよ。
26	事前学習	第27章、第28章
	授業内容	風俗犯総説、わいせつの罪（①わいせつ概念、②公然わいせつ罪、③わいせつ物頒布等罪）
	事後学習	芸術作品とわいせつの罪の関係について説明せよ。

27	事前学習	第31章、第35条
	授業内容	公務の執行を妨害する罪（①公務執行妨害罪、②職務強要罪、③その他の類型）
	事後学習	公務執行妨害罪において保護される公務とは何か。
28	事前学習	第37章、第38章、第39章
	授業内容	犯人蔵匿・証拠隠滅罪、偽証罪、虚偽告訴罪
	事後学習	偽証の本質について説明せよ。
29	事前学習	第40章、第41章
	授業内容	職権乱用罪、贈収賄罪
	事後学習	「職務に関し」の意義について説明せよ。
30	事前学習	これまでの学びをふりかえる
	授業内容	まとめ
	事後学習	疑問のある点について復習する

科目名	刑法Ⅱ	担当者	野村 和彦	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態			
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
授業概要	この授業では、刑法典の第二編「罪」の規範的内容を探究していく（刑法各論）。					
授業目的・到達目標	「罪（刑罰法規）」は「構成要件と法定刑」から構成され、構成要件そのものは抽象的であり、法定刑の幅も広めにとられている。だからこそ、その具体的内容を、様々な事案と絡めながら、明らかにしていかなければならない。これが本講義の目的である。各犯罪の射程範囲を理解するとともに、この社会で起きている事件に刑罰法規を適用することによって、刑法的に問題の解決を図る力を身につける。					
履修条件	刑法Ⅰ（総論）を履修していることが望ましい。刑法は罪刑法定主義が支配する法律であるから、六法は必ず持参されたい。特に刑法各論ではこまめに条文にあたる。					
授業方法	担当者がもつぱら講義を展開する方法をとる。教科書を中心に講義を展開すると同時に、教科書の行間を埋め合わせるため、担当者が作成するレジュメも併用する。事前学習であらかじめ指示した箇所を必ず読み授業に臨む。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	到達目標がどの程度育まれているのかをみる。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
		有斐閣		講義刑法学・各論		井田良
	備考					
参考書	井田・佐渡島・山野目『法を学ぶ人のための文章作法』（有斐閣、2016年）					
オフィスアワー	平日はほとんど研究室（本館7階1707号室）におりますので、10:30－16:30の間ならばいつでもどうぞ。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	はしがき、第1章
	授業内容	刑法各論で学ぶべきこと（①刑罰法規を解釈する意義、②保護法益、③法益侵害行為、④時代の変化と刑法解釈）
	事後学習	刑罰法規を解釈する際に重要なことは何か。
2	事前学習	第2章
	授業内容	人の生命に対する罪（1）（①全体像、②人の始期と終期）
	事後学習	人の始期と終期について説明せよ。

3	事前学習	第2章
	授業内容	人の生命に対する罪（2）（①199条と202条との区別、②積極的安楽死、治療中止）
	事後学習	人を欺いて自殺させる行為は何罪に該当するか。
4	事前学習	第3章
	授業内容	身体に対する罪（1）（①暴行概念、②傷害概念、③精神障害の扱い、④日常生活と暴行・傷害）
	事後学習	精神障害は傷害に該当するか。
5	事前学習	第3章
	授業内容	身体に対する罪（2）（①結果的加重犯、②同時傷害の特例）
	事後学習	結果的加重犯について説明せよ。
6	事前学習	第4章
	授業内容	生命及び身体に対する危険犯（①危険犯、②堕胎罪、③遺棄罪）
	事後学習	危険犯とは何か。
7	事前学習	第5章
	授業内容	身体的内密領域に対する罪（①性的自己決定権、②強制性交等罪、強制わいせつ罪、③監護者による性犯罪）
	事後学習	性犯罪に関する旧規定と新規定の違いについて説明せよ。
8	事前学習	第6章
	授業内容	自由に対する罪（①脅迫罪、②強要罪、③逮捕・監禁罪、④略取誘拐・人身売買罪）
	事後学習	逮捕・監禁罪の保護法益は何か。
9	事前学習	第7章
	授業内容	個人の私的領域を侵す罪（①「私的領域」とは、②住居侵入罪、③秘密侵害罪）
	事後学習	住居侵入罪の保護法益をめぐる対立について説明せよ。
10	事前学習	第8章
	授業内容	社会的存在としての人の保護（1）（①名誉毀損罪、②信用毀棄罪、③業務に対する罪）
	事後学習	名誉毀損罪の保護法益は何か。
11	事前学習	第8章
	授業内容	社会的存在としての人の保護（2）→230条2に関する問題←
	事後学習	真実性の錯誤をどう考えるべきか。
12	事前学習	第9章
	授業内容	財産犯総論（1）（①財産犯の体系、②財物と財産上の利益）
	事後学習	財物と財産上の利益について説明せよ。
13	事前学習	第9章
	授業内容	財産犯総論（2）（①財産犯の保護法益、②不法領得の意思、③占有概念）
	事後学習	財産罪の保護法益について説明せよ。
14	事前学習	第10章
	授業内容	窃盗罪と不動産侵奪罪（①窃盗罪詳説、②不動産侵奪罪、③親族相盗例）
	事後学習	不動産侵奪罪の特徴について説明せよ。

15	事前学習	第11章
	授業内容	強盗罪（1）（①罪質、②1項強盗と2項強盗、③事後強盗罪・昏睡強盗罪）
	事後学習	強盗罪の要件について説明せよ。
16	事前学習	第11章
	授業内容	強盗罪（2）-240条の解釈をめぐる問題-
	事後学習	240条の適用をめぐる見解の対立について説明せよ。
17	事前学習	第12章
	授業内容	詐欺罪と恐喝罪（①基本構造、②詐欺罪に関する諸問題、③権利行使と恐喝罪）
	事後学習	ヤクザが、暴力団関係者の使用禁止の看板を掲げているゴルフ場を利用することは、2項詐欺罪に当たるか。
18	事前学習	第13条
	授業内容	横領罪と背任罪（①横領罪と背任罪の関係、②不法原因給付物と横領、③背任罪における「他人の事務」）
	事後学習	横領と背任の区別について説明せよ。
19	事前学習	第14章
	授業内容	盗品等に対する罪（①保護法益、②盗品関与罪の本質、③親族間の犯罪の特例）
	事後学習	盗品に対する罪の保護法益は何か。
20	事前学習	第15章
	授業内容	毀棄・隠匿の罪（①器物損壊罪、②文書等毀棄罪、③建造物損壊罪）
	事後学習	器物損壊罪の保護法益について説明せよ。
21	事前学習	第16章、第17章
	授業内容	社会的法益に対する罪・総説、騒乱の罪
	事後学習	公共危険罪とはどのような犯罪か。
22	事前学習	第18章
	授業内容	放火の罪（①現住建造物等放火罪、②非現住建造物等放火罪、③建造物等以外放火罪）
	事後学習	焼損概念について説明せよ。
23	事前学習	第20章、第21章
	授業内容	偽造罪総説、通貨偽造罪（①通貨偽造罪、②外国通貨偽造罪など、③取得後知情行使等罪）
	事後学習	取得後知情行使等罪について説明せよ。
24	事前学習	第22章
	授業内容	文書偽造罪（①文書偽造罪の基礎理論、②公文書偽造罪、③私文書偽造罪、④そのほかの文書偽造罪）
	事後学習	文書偽造罪の基礎理論について説明せよ。
25	事前学習	第23章、第24章、第25章、第26章
	授業内容	有価証券偽造罪、支払用カード電磁的記録の罪、印章偽造罪、不正指令電磁的記録に関する罪
	事後学習	ウィルス作成罪の意義について説明せよ。
26	事前学習	第27章、第28章
	授業内容	風俗犯総説、わいせつの罪（①わいせつ概念、②公然わいせつ罪、③わいせつ物頒布等罪）
	事後学習	芸術作品とわいせつの罪の関係について説明せよ。

27	事前学習	第31章、第35条
	授業内容	公務の執行を妨害する罪（①公務執行妨害罪、②職務強要罪、③その他の類型）
	事後学習	公務執行妨害罪において保護される公務とは何か。
28	事前学習	第37章、第38章、第39章
	授業内容	犯人蔵匿・証拠隠滅罪、偽証罪、虚偽告訴罪
	事後学習	偽証の本質について説明せよ。
29	事前学習	第40章、第41章
	授業内容	職権乱用罪、贈収賄罪
	事後学習	「職務に関し」の意義について説明せよ。
30	事前学習	これまでの学びをふりかえる
	授業内容	まとめ
	事後学習	疑問のある点について復習する

科目名	原価計算論Ⅰ	担当者	船越 洋之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	製造業企業の製造活動について、簿記や原価計算の専門領域の基礎知識・計算技法を用いてその基本的な内容を学習する。日商簿記検定2級レベルの学習を念頭においている。				
授業目的・到達目標	製造業企業の製造活動の成果である製品に関して、その製造コスト（製造原価）をどのように測定・計算するのかをテーマに、主として工業簿記のしくみと基本的な計算技法（日商簿記検定2級レベル）を中心に理解し、説明できることを目的とする。 ①製造業の原価計算の考え方の理解②基本的な原価計算技法のマスター③日商簿記検定2級レベルの簡単な計算問題の理解④工業簿記の基本的な仕訳の理解の4点について学ぶことで、工業簿記と原価計算の基礎知識が身につくようになる。				
履修条件	教科書を購入する人で、日商簿記検定2級に興味のある者。簿記原理をマスターしている者。できれば簿記原理を履修してから履修が望ましい。なお、電卓を持参したくない学生については履修をお断りする。				
授業方法	教科書を使用する講義形式だが、毎回演習の時間（プリント配付）を入れるため、教科書・電卓・ノートを持参すること。電子辞書やモバイル機器の使用は禁止する。なお、続けて休むとプリントをもらえないので注意のこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	出席は毎回取る。出席点はないが、3分の2以上の出席が必要条件となる。授業内ミニテストを実施し、到達目標レベルに達しているかを判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	中央経済社		原価計算ガイダンス（ISBN:9784502465802）	柳田仁編著
	備考				
参考書	各自の気に入った日商簿記検定2級関連テキスト				
オフィスアワー	非常勤講師ゆえ、休み時間に受け付ける（本務校；武蔵野大学）。なお、スポーツ系クラブ所属学生と就職活動に忙しい4年生については相談に乗るが、原則メールでの対応になる（すぐには返事できない場合あり）。 メールアドレス：hirofuna@musashino-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと。
	授業内容	ガイダンス（工業簿記と商業簿記）、簿記実務電卓カシオ・AZ-26Sの紹介
	事後学習	履修すると決めたら、テキストを購入し、電卓を用意すること。簿記実務電卓カシオ・AZ-26S購入希望者は購入方法にしたがって購入すること。
2	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	原価計算総論（工業簿記と原価計算）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。

3	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	原価の概念と原価計算
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
4	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	工業簿記の構造①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
5	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	工業簿記の構造②
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
6	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	工業簿記の構造③、1回目ミニテスト（予定）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。
7	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	材料費の計算①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
8	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	材料費の計算②
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
9	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	労務費の計算①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
10	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	労務費の計算②
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
11	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	経費の計算
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
12	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	製造間接費の計算と記帳①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
13	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	製造間接費の計算と記帳②
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
14	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	製造業の財務諸表①（製造原価報告書の基本）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。

15	事前学習	ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	2回目ミニテスト
	事後学習	ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。

科目名	原価計算論Ⅱ	担当者	船越 洋之	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	製造業企業の製造活動について、原価計算論Ⅰで学習した内容を土台にして、簿記や原価計算の専門領域の応用知識・計算技法を用いてその発展的内容を学習する。日商簿記2級レベルの学習を念頭においている。				
授業目的・到達目標	製造業企業の製造活動の成果である製品に関して、その製造コスト（製造原価）をどのように測定・計算するのかをテーマに、主として日商簿記検定2級レベルの原価計算技法を中心に理解し、説明できることを目的とする。 ①製造業の原価計算の考え方の理解②発展的な原価計算技法のマスター③日商簿記検定2級レベルの計算問題の理解④経営管理に役立つ原価計算技法の理解の4点について学ぶことで、2月の日商簿記検定2級合格に向けた専門知識の基礎が身につくようになる。				
履修条件	教科書を購入する人で、日商簿記検定2級に興味のある者。簿記原理をマスターしている者。できれば簿記原理を履修してから履修が望ましい。なお、電卓を持参したくない学生については履修をお断りする。				
授業方法	教科書を使用する講義形式だが、毎回演習の時間（プリント配付）を入れるため、教科書・電卓・ノートを持参すること。電子辞書やモバイル機器の使用は禁止する。なお、続けて休むとプリントをもらえないので注意のこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	出席は毎回取る。出席点はないが、3分の2以上の出席が必要条件となる。授業内ミニテストを実施し、到達目標レベルに達しているかを判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	中央経済社		原価計算ガイダンス（ISBN:9784502465802）	柳田仁編著
	備考	前期の原価計算論Ⅰで使用した教科書を引き続き使用する。			
参考書	各自の気に入った日商簿記検定2級関連テキスト				
オフィスアワー	非常勤講師ゆえ、休み時間に受け付ける（本務校；武蔵野大学）。なお、スポーツ系クラブ所属学生と就職活動に忙しい4年生については相談に乗るが、原則メールでの対応になる（すぐには返事できない場合あり）。 メールアドレス：hirofuna@musashino-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期で学んだことを復習しておくこと。
	授業内容	前期の復習、日商簿記2級に向けた勉強について
	事後学習	日商簿記2級受験希望者は、勉強の計画を立てること。それ以外の学生は授業内容を復習しておくこと。
2	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	原価の部門別計算①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。

3	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	原価の部門別計算①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
4	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	個別原価計算
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
5	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	製造業の財務諸表②（日商簿記2級レベルの製造原価報告書）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
6	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	総合原価計算の基礎（単純総合原価計算）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
7	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	総合原価計算における仕損・減損の処理、1回目ミニテスト（予定）
	事後学習	配付したプリントを復習すること。ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。
8	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	総合原価計算の応用①（組別総合原価計算と等級別総合原価計算）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
9	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	総合原価計算の応用②（工程別総合原価計算）
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
10	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	標準原価計算①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
11	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	標準原価計算②
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
12	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	直接原価計算
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
13	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	CVP分析と原価予測の方法①
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。
14	事前学習	テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	CVP分析と原価予測の方法②
	事後学習	配付したプリントを復習しておくこと。

15	事前学習	ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	2回目ミニテスト
	事後学習	ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。

科目名	現代行政論Ⅰ	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代行政は、多様な利害関係の中で、多くのアクターが互いに交渉・調整を繰り返しながら展開されるダイナミックな過程である。本講では、特に近年、行政と民間セクターの間にあって、公共的課題解決のために不可欠となっている住民参加、官民協働、NPO、ソーシャルビジネスに焦点を当てた講義を行う。				
授業目的・到達目標	近年、民間セクターを巻き込んで、ネットワーク化が急速に進展する現代行政の特質や運営実態等を、直面する諸課題との関連の中で具体的イメージをもって把握できるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		75%		
	平 常 評 価		25%	授業への参加度、事前学習の出来映え、講義中の質問・意見等の発言状況を評価対象とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない。			
参 考 書	テキストブックNPO 第2版-非営利組織の制度・活動・マネジメント 雨森孝悦著 東洋経済新報社2012年 その他授業内で適宜指示する。				
オフィスアワー	金曜日 3 限。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	（前半各回共通）特に事前に読んでおくべき文献は指定しないが、日頃より新聞・ニュースの政治・行政関連記事は常にフォローしておくこと。市民としての感覚・行政者としての知見を持つことが肝要である。
	授業内容	ガイダンス、官民連携（PPP）総論
	事後学習	講義で紹介された文献・資料等の収集。
2	事前学習	なぜ現代行政において官民連携が必要となってきたのか、その背景事情は何か？あなたの考えをまとめ、発言できるようにしておくこと。
	授業内容	官民連携の諸相①（PFIの基礎概念）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

3	事前学習	刑務所の民営化は可能か？なぜ民間企業が刑務所の運営に参画できるのか？あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	官民連携の諸相②（PFIの事例1：刑務所等）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	関西国際空港や仙台空港の「経営主体」はどこか？事前に調べておくこと。
	授業内容	官民連携の諸相③（PFIの事例2：空港・道路等）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
5	事前学習	講義で扱うもの以外にPFIにどのような事例があるか最近の新聞報道等から把握し、その特徴を自分の言葉で発言出来るようにしておくこと。
	授業内容	官民連携の諸相④（PFIの事例3：上下水道・公園等）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	あなたが日常的に行政の現場で接する職員は、いわゆる「公務員」なのか、それとも「民間」の職員なのか、可能な限り事例を収集し、説明できるようにしておくこと。
	授業内容	官民連携の諸相⑤（第三セクター、指定管理者制度、市場化テスト）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	あなたの居住自治体のHP等を調べ、あなたの意見を行政に反映させる手段としてどのようなものが用意されているか調べておくこと
	授業内容	官民連携の諸相⑥（住民意見の把握と社会的合意形成）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	住民が政策決定・実施に直接参画する制度・手段としてどのようなものがあるか、行政学・地方自治論のテキスト等で学習しておくこと。
	授業内容	官民連携の諸相⑦（住民参加）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	（後半各回共通）この回以降は、指定された文献の読み込みはもとより、日頃の政治・行政関連等の勉強をいかしてより積極的に授業参加すること。
	授業内容	NPO論①（総論・現状）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	行政、民間に次ぐ第三の公共的アクターとして非営利組織等がクローズアップされてきた理由について、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	NPO論②（各分野でのNPOの活動1）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	社会福祉施設等の運営主体にはどのようなものがあるか、複数事例に当たり、その類型を把握しておくこと。
	授業内容	NPO論③（各分野でのNPOの活動2）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	国際的に有名なNPO・NGOの名称を挙げられるようにしておくこと。このためにも海外のニュース番組を視聴したり政治経済雑誌などを読んでおき、日頃より情報収集しておくこと。
	授業内容	NPO論④（世界のNPO）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	「非営利組織」において事業収益の追求は許されるか？その意義とはなにか？あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	NPO⑤（ソーシャルビジネス）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	あなたが日頃、サークル・バイト先・ゼミなどの運営・マネジメントについて感じている疑問や要改善点などについて発言できるように考えをまとめておくこと
	授業内容	NPO論⑥（NPO等のマネジメント1）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

15	事前学習	可能な範囲で人材マネジメント論・リーダーシップ論などの文献に目を通した上で、「自分がNPO職員だったら」という当事者意識をもって授業に参加すること。
	授業内容	NPO論⑦（NPO等のマネジメント2）
	事後学習	講義内での紹介事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	現代行政論Ⅱ	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講では、主として戦後我が国における政官関係の変遷をたどることにより、現代行政の特徴を明らかにする。また講義後半では政官の相互作用が端的に表れる立法過程について3つのケースを取り上げる。その他、最近の行政トピックスを適宜取上げ、現実の行政の動向を分析する。			
授業目的・到達目標	本講義では、特に政と官の各アクターが、どのように相互に連携し、また時に対立しつつ行動しているのかを分析・検討する事を目的とする。これにより様々なアクターの相互干渉過程である現代行政の特質や運営実態等を、当面の諸課題との関連の中で具体的イメージをもって理解できるようにする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義形式			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	75%		
	平常評価	25%	授業への参加度、事前学習の出来映え、講義中の質問・意見等の発言状況を評価対象とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特に指定しない		
参考書	出雲明子著「公務員制度改革と政治主導―戦後日本の任用制」東海大学出版部 2014。これ以外に外山公美・村松岐夫・西尾勝・真淵勝・曽我謙悟各氏の行政学テキストは随時参照する。その他は授業中に適宜提示する。			
オフィスアワー	金曜日 3 限。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	講義で紹介された文献・資料等の収集。
2	事前学習	事前配布されたレジュメを予め読み込み、授業内で積極的に発言できるようにしておくこと。特に英米仏独等の主要国の基本的政体等については把握した上で授業に臨むこと。
	授業内容	政官関係①（基礎理論と各国比較）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

3	事前学習	国家公務員の種類にはどのようなものがあるか、また、それぞれにどのような特徴があるか各自で調べておくこと。
	授業内容	政官関係②（公務員グループと政官関係）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	過去の報道等により普天間基地問題の経緯・現状を調査し、何が問題なのか授業内で発言できるようにしておくこと。
	授業内容	【トピックⅠ】（行政の具体的事例：普天間基地問題）
	事後学習	その後の報道等を適宜フォローしておくこと。
5	事前学習	可能であれば日本史の教科書等によりGHQによる戦後占領政策の概要を把握しておくことが望ましい。
	授業内容	政官関係③（戦前の政官関係⇒占領政策と国家公務員法の制定）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	行政法のテキスト等により国家行政組織法とは何か、その概要を把握しておくこと。
	授業内容	政官関係④（政務次官制度と国家行政組織法、特別職公務員）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	過去の報道等により、熊本地震に係る政府等の対応の経緯・現状を調査し、何が問題なのか授業内で発言できるようにしておくこと。
	授業内容	【トピックⅡ】（行政の具体的事例：政府の災害対応（熊本地震））
	事後学習	その後の報道等を適宜フォローしておくこと。
8	事前学習	憲法や内閣法で規定された内閣総理大臣の権限とはどのようなものか、調べておくこと。
	授業内容	政官関係⑤（執政の補佐機構、ブレーン政治と統合調整機能）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	可能な限り行政学のテキスト等により2001年中央省庁等改革の概要を把握しておくこと。
	授業内容	政官関係⑥（内閣機能強化と中央省庁改革）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	授業内で指定する参考文献等により、いわゆる「官邸主導」とは何か、その試みにどのようなものがあつたか把握して授業に臨むこと。
	授業内容	政官関係⑦（公務員改革と国家戦略スタッフ構想）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	過去の報道等により、東京オリンピックの開催準備に係る経緯・現状を調査し、何が問題点なのか授業内で発言できるようにしておくこと。
	授業内容	【トピックⅢ】（東京オリンピック開催準備）
	事後学習	その後の報道等を適宜フォローしておくこと。
12	事前学習	可能な範囲で行政学、立法過程論、国会論のテキスト等により法案提出の政府内プロセスについて把握しておくこと。
	授業内容	立法過程①（与党事前審査制）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	可能な範囲で行政法・情報法のテキスト等により個人情報保護法の概要を把握しておくこと。
	授業内容	立法過程②（個人情報保護法）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	可能な範囲で行政法のテキスト等により行政手続法の概要を把握しておくこと
	授業内容	立法過程③（行政手続法）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

15	事前学習	可能な範囲で行政法のテキスト等により行政不服審査法の概要を把握しておくこと。
	授業内容	立法過程②（行政不服審査法）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	現代政治理論	担当者	岩崎 正洋	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし法律学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この授業は、現代「政治学」の基本的な知識をできるだけ幅広く、体系的に、しかも正確に伝えることを企図している。そのために、講義においては、現代政治学の主要な政治学者の理論について解説し、検討を行うこととする。					
授業目的・到達目標	本講義では、現代政治学の基本的な理論の検討を通して、「政治学は現実政治を考える上で、どのように役立つのか」という問題を考えることを目的とする。この講義で解説する現代政治学のさまざまな理論は、現実の政治を理解するための視点を提供することになるだろう。授業を通して、現実政治と政治理論との両者に目を向け、両者の間を架橋することが出来るような視点をもつことができるようにする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義形式で行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業内容に関して、正確な理解がなされているか否か確認する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業の際に提示する。				
参考書	白鳥令編『現代政治学の理論』（上・下・続）早稲田大学出版部、1981～1985年。白鳥令・曾根泰教編『現代世界の民主主義理論』新評論、1984年。					
オフィスアワー	月曜日12：10～13：00 研究室（4号館2階425）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の授業内容をふりかえり、後期の授業で取り扱う内容を教科書や参考文献等で確認しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	事前学習の内容と授業内容をまとめ、理解しておくこと。
2	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	民主主義とは何か
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。

3	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	古典的民主主義と現代民主主義
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
4	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	J. A. シュンペーターの競合的エリート民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
5	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	G. サルトーリの選挙によるポリアーキー論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
6	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	C. ペイトマンの参加民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
7	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	A. ダウンズの民主主義の経済理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
8	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	S. M. リブセットの社会経済発展と民主主義の理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
9	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	R. A. ダールの多元的民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
10	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	A. レイブハルトの多数代表型・合意形成型民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
11	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	T. ロウィの依法的民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
12	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	S. P. ハンチントンの民主主義の統治能力論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
13	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	J. フィッシュキンの討論民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
14	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	P. ロザンヴァロンの対抗民主主義理論
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。

15	事前学習	今学期の内容に関する疑問点などをまとめておくこと。
	授業内容	今学期のまとめ
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。

科目名	現代政治理論	担当者	吉野 篤	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし法律学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	政治理論とは何かを導入部分にして、主としてアメリカの政治研究の歴史的足跡をたどり、理論的發展がどのようなになされたのかについて、具体的事例に沿って授業を行う。				
授業目的・到達目標	主として20世紀の政治理論の系譜をアメリカの政治研究を基にして辿り、政治理論がどのような背景の下で生成し、展開したのかを考える。併せてイギリスの政治理論について取り上げ、両者の間にどのような違いがあるかを考察することで、政治理論の意味を探る。理論とはどういうことなのかを政治研究を素材として考察することで、できる限りその多様な意味を知ること。規範と経験という分析枠組みを掘り下げること。				
履修条件	政治学原論の履修が基本的には前提となる。				
授業方法	講義形式で行う。併せて、現在の政治問題を認識するために、新聞報道を適宜素材として用いる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	問いに対して的確に答えているか、論理的な構成になっているか。	
	平常評価		20%	授業への参加度	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	弘文堂		Next教科書シリーズ 政治学 第2版	吉野篤編
	備考				
参考書	授業時にその都度指示する。				
オフィスアワー	火曜日2時限目				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	一般に理論とは何か、「政治の」理論とは何かについて自分なりに考えておくこと
	授業内容	政治理論とは何か
	事後学習	講義の内容を踏まえて、理論についての理解度を深めること
2	事前学習	19世紀イギリスの置かれた政治状況を調べておくこと
	授業内容	19世紀の政治哲学：イギリス理想主義の政治哲学
	事後学習	時代の転換期に政治研究がどのように対応したのか、講義を踏まえて整理すること

3	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	政治過程論の生成：A・ベントレーの『政治過程論』
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
4	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	K・マンハイムの『イデオロギーとユートピア』：「政治学は科学として可能であるか」を中心に
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
5	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	シカゴ学派の問題意識：全体的立場と具体的な成果—H・ラズウェルの政治的精神分析学を中心に
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
6	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	行動論政治学の登場：全体的特徴と課題
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
7	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	D・イーストンの「政治システム論」
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
8	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	脱行動論革命の衝撃：「政治学における新しい革命」
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
9	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	脱行動論段階の新たな研究動向
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
10	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	政治制度研究の系譜①
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
11	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	政治制度研究の系譜②
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
12	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	新制度論の分析枠組み総論
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
13	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	新制度論の分析枠組み①：歴史的制度論
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること
14	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	新制度論の分析枠組み②：合理的選択制度論
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること

15	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、事前に問題点を頭に入れておくこと
	授業内容	新制度論の分析枠組み③：社会学的制度論
	事後学習	講義の内容を確認してノートに改めて整理し、問題点を把握すること

科目名	現代メディア社会論Ⅰ	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディア環境が変化し、SNSによってかつて受け手や消費者だった立場が、容易に送り手・発信者となれる現状がある。その為、受け手や消費者としての立場だけでなく、送り手や作る側からの視点を織り交ぜながら具体的な業界別に研究し、メディアの現状と課題を知る。 学籍番号で二つに分かれている「現代メディア社会論Ⅰ」では、2度合同講義を行い、映像を使用しメディア研究をする。					
授業目的・到達目標	メディアが多様化するなかで、メディア環境は私たちの生活環境、社会環境と限りなく重複している。この講義では、メディアの現状と課題を理解することを目的とする。現代メディアに関する幅広い基礎知識と認識を習得することを目標とする					
履修条件	新聞学科に在籍、またはメディア、コミュニケーション、ジャーナリズムに関心を持っていること					
授業方法	映像や統計資料などを適宜使用する。また、授業日毎に授業の疑問点や意見、感想などを書く「リアクションペーパー」を提出させる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内試験	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2012年初版	NHKブックス1196		図説 日本のメディア		藤竹 暁
	備考					
参考書	伊藤守編『よくわかるメディア・スタディーズ』ミネルヴァ書房 橋元良明『メディアと日本人』岩波新書1298 佐藤卓己『メディア社会』岩波新書1022					
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入して、目次を読んでおく、また、自分の興味のある分野を読んでおく。
	授業内容	ガイダンス 今後の講座の進め方、合同講義、映像使用など。
	事後学習	授業進め方を受けて今後の授業の実施予定と授業日を調べ、自分なりの計画を立てる。
2	事前学習	テキストP15～31を読んでおく。
	授業内容	現代メディアの多様性 [テキストp. 15-31]
	事後学習	この講座テキスト「図説 日本のメディア」編著者 藤竹 暁氏の研究考え方が良く出ていて藤竹氏自身が書いた文章である。「送り手と受け手」といった従来のマスメディアとオーディエンスの二分法は成り立たなくなり、Webでは誰もが発信者者になれる為、その責任も生じることを考えておく。
3	事前学習	テキストp. 236～261 を読んでおく
	授業内容	現代メディアの利用と環境 [テキストp. 236-261] ：メディア利用と統計と自分のメディア利用を比較する
	事後学習	様々なメディアと人々がどう接しているか統計から読み解く章であったが、今後、大学の研究ではこうした発表統計や調査結果を複数使用し、数字から読み取れる様々な事象を比較検討する事を行う。表やグラフなどからどのような事が読み取れるかを今後応用する。
4	事前学習	テキストp. 34～56 を読んでおく。また、前日、当日の新聞を読んでおく。
	授業内容	新聞の多様性と仕組み [テキストp. 34-56]
	事後学習	日本の新聞史、新聞社の組織を理解しておく。学生諸君が何故、新聞を読まなくなったか、また新聞はなくなってしまっているのかも考察しておく。

5	事前学習	テキストp. 56～64を読んでおく。また、前日、当日の新聞を読んでおく。
	授業内容	ビジネスとしての新聞 [テキストp. 56-64]
	事後学習	新聞社の経営（新聞は紙面製作と販売は別々に行われる）の特徴を知る。また、Web化を進めているが、簡単にすべてWebにはならない理由を知っておく。
6	事前学習	マスコミュニケーションが成立するためには、どういう社会状況や条件が必要か調べ、考えてみる。
	授業内容	マス・コミュニケーションの成立と近代 レポート課題提出
	事後学習	レポート課題について、調べたことと自らの考察は、分けて書く事。
7	事前学習	映画『薔薇の名前』について内容と中世の書物はどう扱われ、当時のどんな階層が読んでいたか調べておく。 講義講堂が普段と変わる場合があるので注意する事
	授業内容	合同開催講座　映画『薔薇の名前』一部上映：中世と書物の世界
	事後学習	映画の中で出てくる「情報・知識」としての書物が当時どんな意味を持っていたかを考察する。
8	事前学習	テキストp. 75～96について読んでおく
	授業内容	テレビの制度と構造 [テキストp. 75-96]
	事後学習	日本で65年が経つテレビ放送の歴史と発達変化、売上等の変化を知る。いままでのビジネススタイルは何故通用しなくなった来たかも合わせて知っておく。
9	事前学習	テキストp. 96-117について読んでおく
	授業内容	テレビを観ること作ること[テキストp. 96-117]
	事後学習	テレビの番組編成と災害時の情報源としての放送について考える。Web、SNSの発達との関係と役割のすみわけ等による情報の効率的な取得方法も考えてみる。
10	事前学習	映画『グッドナイト&グッドラック』について内容を調べ、「赤狩り」・レッドバージ（red purge）とは何か知っておく。講義講堂が普段と変わる場合があるので注意する事
	授業内容	合同開催講座　映画『グッドナイト&グッドラック』：表現の自由とニュース
	事後学習	映画の内容と、表現の自由について考察する。
11	事前学習	テキストp. 65～74、p. 181～205を読んでおく
	授業内容	インターネットの普及と利用 [テキストp. 181-205] インターネットの普及とマス・メディア [テキストp. 65-74] 授業内レポート課題発表
	事後学習	新聞のデジタル化とインターネット利用について。合わせてインターネット利用の注意点と弊害も考える。
12	事前学習	テキストp. 263～281を読んでおく
	授業内容	ソーシャルメディアと社会[テキストp. 263～281]
	事後学習	SNSは普段自分が使用しているものだが、落書きのように発信したものが、瞬時に世界を駆け巡る能力がある。年代別利用は若者はもちろん多いが、若者でもほとんど使わない人もおり、高年齢層でも使っている人もいる。
13	事前学習	テキストp. 119～148、p. 207～234を読んでおく
	授業内容	出版／広告　業界の概要　[テキストp. 119～148、p. 207～234]
	事後学習	出版、広告業界もWebの波に押されている。特に変化の激しい広告業界は、伝統的な看板からスマートフォン利用の広告まで幅広い。業界の変化が速さを増していることを知る。
14	事前学習	これまでの授業の内容をまとめ、自分の意見を付けておく
	授業内容	授業内レポート執筆（60分）及びまとめ、振り返り
	事後学習	書いたレポートの内容についてもう一度確認しておく。
15	事前学習	フェイクニュースとは何か調べておく。
	授業内容	「フェイク・ニュース」及び本講座のまとめ
	事後学習	「現代メディアの概論」としての本講座Ⅰを今後の学習研究に役立てるためにまとめておく。

科目名	現代メディア社会論Ⅰ	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディアが多様化するなかで、メディア環境はわたしたちの生活環境、社会環境と限りなく重複している。この講義では、メディア環境が変化するなかで、受け手や消費者という立場だけでなく、送り手や作る側からの視点や研究する視点を織り交ぜながら、メディアの現状と課題を理解することを目的とする。				
授業目的・到達目標	現代メディアに関する幅広い基礎知識と認識を習得することを目指す。				
履修条件	新聞学科に在籍、またはメディア、コミュニケーション、ジャーナリズムに関心を持っていること。				
授業方法	映像や統計資料を適宜使用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	NHKブックス		図説 日本のメディア	藤竹暁
	備考				
参考書	伊藤守編(2015)『よくわかるメディア・スタディーズ』ミネルヴァ書房。 他は適宜紹介する。				
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでくること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内で配布した資料を読むこと。
2	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	現代メディアの多様性 [テキストpp. 15-31]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
3	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	現代メディアの利用と環境 [テキストpp. 236-261]：メディア利用の統計と自分のメディア利用を比較する
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
4	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	新聞の多様性と仕組み [テキストpp. 34-56]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。

5	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	ビジネスとしての新聞 [テキストpp. 56-64]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
6	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	マス・コミュニケーションの成立と近代
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
7	事前学習	事前に配布した資料を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	映画『薔薇の名前』：中世と書物の世界
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
8	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	テレビの精度と構造 [テキストpp. 75-96]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
9	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	テレビを観ること作ること [テキストpp. 96-117]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
10	事前学習	事前に配布した資料を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	映画『グッドナイト&グッドラック』：表現の自由とニュース
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
11	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	インターネットの普及と利用 [テキストpp. 181-205]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
12	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	インターネットの普及とマス・メディア [テキストpp. 65-74、pp. 181-205]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
13	事前学習	教科書を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	ソーシャルメディアと社会 [テキストpp. 263-281]
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
14	事前学習	事前に配布した資料を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	ソーシャルメディアに関する映像資料
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
15	事前学習	これまでの講義を見直し、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	テストと講義のまとめ
	事後学習	これまでの講義を見直し、これまで抱いた疑問が解消されているのかを再度確認すること。

科目名	現代メディア社会論Ⅱ	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会の持つ多種多様面とWebを含むメディアの関わりについて、できるだけ具体的な論点やケースをキーワードとして参照しながら検討・考察を進めていく。 学籍番号で分かれる2つの講座が同時進行するが、後学期途中で合同授業を1度開催し「ゲストスピーカー」を招聘する。							
授業目的・到達目標	本講義の目的は、現代社会の多様な諸相とメディアの関わりについて、「情報行動」「グローバル化」「世論」「社会関係資本」などをキーワードにしながら把握・分析していくことである。現代社会とメディアのあいだの、複雑で構造的な関係性について認識し、理解することが到達目標。							
履修条件	メディア、コミュニケーション、ジャーナリズムと現代社会、時事問題について強い関心を持っていること。							
授業方法	映像や統計資料を適宜使用する。 また、授業日毎に授業の疑問点や意見、感想などを書く「リアクションペーパー」を提出させる。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験							
	平常評価		100%		授業期間中に数回のレポートを課す			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	備考		使用しない					
参考書	藤竹 暁『図説 日本のメディア』NHKブックス1196 佐藤卓己『メディア社会』（岩波新書）、 橋本良明『メディアと日本人』（岩波新書）ほか、適宜、紹介・指示する。							
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代メディア社会論Ⅰでのメディアの諸問題についてまとめておく。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	個人・社会・メディアの関わりについて考える。
2	事前学習	既存メディアはとWebは社会でどのような位置を占めているか考える。
	授業内容	現代社会とメディアの関係
	事後学習	Webの台頭が著しいが、それに対して既存メディアはどう対処しているか。また、既存メディアの必要性はどうか考える。
3	事前学習	マス・コミュニケーションとは何かその成立を調べておく
	授業内容	現代人の情報行動①：メディアの大衆化
	事後学習	メディアが大衆化したことでどういう利点と欠点が生まれたかまとめる。
4	事前学習	今、自分たちは何のために、どうメディアを利用しているか考えてみる。
	授業内容	現代人の情報行動②：メディア利用の個人化・細分化
	事後学習	メディアの個人利用化細分化は社会に何をもたらしているか考える。

5	事前学習	「日本人の情報行動調査」（東京大学出版）について概要を知っておく
	授業内容	現代人の情報行動③：ネット時代の情報行動
	事後学習	自ら情報に接しているメディアとその接し方について問題点をまとめておく。
6	事前学習	社会関係資本とは何か、社会資本との違いを調べておく。
	授業内容	社会統合／分断とメディア①：社会関係資本とメディア
	事後学習	情報が社会に与える影響と、情報に接する方法が社会に与える影響についてを考える。
7	事前学習	アメリカの社会学者　ロバート・D・パットナム、イギリスの経済学者　M. ブルックスのを知っておく。
	授業内容	社会統合／分断とメディア②：R. パットナムのテレビ論 社会統合／分断とメディア③：M. ブルックスの「共有体験」論
	事後学習	社会関係資本とテレビ視聴との関係をまとめる。
8	事前学習	授業での疑問点をまとめておく。
	授業内容	リアクションペーパーのリアクション（授業で書いたリアクションペーパーの中の質問等をまとめ発表していく）
	事後学習	疑問点が解明されなかったら再びリアクションペーパーを出す。
9	事前学習	政治家の発言、行動の特徴を一部で良いので、具体的個人例で調べておく。
	授業内容	政治・世論とメディア①：「テレビ政治」の戦後史
	事後学習	有権者として政治家を正當に評価するにはどんな基準が最も必要か考える。
10	事前学習	劇場型政治とは何か、ポピュリズムとは何か具体的に調べておく
	授業内容	政治・世論とメディア②：政治の劇場化、ポピュリズム
	事後学習	近年の政治動向と劇場化、ポピュリズム現象についてその例をまとめておく
11	事前学習	身近な世論調査については何があり、どんなものか調べてみる。
	授業内容	政治・世論とメディア③：世論調査と世論のジレンマ （授業内リポートの課題を発表）
	事後学習	調査と実態の落差は何故生じるか、改めて考えておく。
12	事前学習	ゲストスピーカーのプロフィールをよく読み予め質問を考えておく
	授業内容	ゲストスピーカー招聘
	事後学習	ゲストスピーカー講義内容を復習し、自分の考えをまとめる。
13	事前学習	グローバル化とは何か。概要を知っておく
	授業内容	グローバル化とメディア①：社会のグローバル化、メディアのグローバル化 グローバル化とメディア②：多文化社会とエスニック・メディア
	事後学習	メディアのグローバル化の利点・欠点をまとめておく。
14	事前学習	これまでの講座のノートをまとめて見やすくしておく
	授業内容	授業内リポート　60分　ノート持ち込み可
	事後学習	提出したリポートの内容を確認しておく。
15	事前学習	グローバル化の所を改めて読んでおく。
	授業内容	グローバル化とメディア③：グローバル時代におけるジャーナリズムの役割・機能 まとめ・総括
	事後学習	現代メディア社会論　Ⅰ・Ⅱで指摘されたメディアと社会と問題点をまとめ、今後の研究に生かせるようにする。

科目名	現代メディア社会論Ⅱ	担当者	米倉 律	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義の目的は、現代社会の多様な諸相とメディアの関わりについて、「情報行動」「グローバル化」「世論」「社会関係資本」などをキーワードにしながら把握・分析していくことである。各テーマについて、できるだけ具体的な論点やケースを参照しながら検討・考察を進めていく。			
授業目的・到達目標	現代社会とメディアのあいだの、複雑で構造的な関係性について認識し、理解すること。			
履修条件	メディア、コミュニケーション、ジャーナリズムと現代社会、時事問題について強い関心を持っていること。			
授業方法	映像や統計資料を適宜使用する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業期間中に数回のレポートを課す
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	佐藤卓己『メディア社会』（岩波新書）、橋本良明『メディアと日本人』（岩波新書）ほか、適宜、紹介・指示する。			
オフィスアワー	毎週月曜日の12～14時。研究室は本館7階（1719）できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@law.nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	参考書などを読んでおくこと
2	事前学習	関連資料や情報を収集し目を通しておくこと
	授業内容	現代社会とメディアの関係
	事後学習	授業ノートや配布資料等を使いながら復習すること
3	事前学習	参考書の関連個所を読んでおくこと
	授業内容	現代人の情報行動①：メディアの大衆化
	事後学習	関連の文献などを読んで理解を深めること
4	事前学習	参考書の関連個所を読んでおくこと
	授業内容	現代人の情報行動②：メディア利用の個人化・細分化
	事後学習	授業ノートや配布資料等を使って振り返りをする

5	事前学習	関連資料や情報を収集し目を通しておくこと
	授業内容	現代人の情報行動③：ネット時代の情報行動
	事後学習	関連の文献などを読んで理解を深めること
6	事前学習	参考書の該当箇所を読んでおくこと
	授業内容	社会統合／分断とメディア①：社会関係資本とメディア
	事後学習	授業ノートや配布資料を使って振り返りをする
7	事前学習	参考書の該当箇所を読んでおくこと
	授業内容	社会統合／分断とメディア②：R. パットナムのテレビ論
	事後学習	関連の文献などを読んで理解を深めること
8	事前学習	関連資料や情報を収集し目を通しておくこと
	授業内容	社会統合／分断とメディア③：M. ブルックスの「共有体験」論
	事後学習	授業ノートや配布資料を使って振り返りをする
9	事前学習	参考書の該当箇所を読んでおくこと
	授業内容	政治・世論とメディア①：「テレビ政治」の戦後史
	事後学習	関連の文献などを読んで理解を深めること
10	事前学習	関連資料や情報を収集し目を通しておくこと
	授業内容	政治・世論とメディア②：政治の劇場化、ポピュリズム
	事後学習	授業ノートや配布資料を使って振り返りをする
11	事前学習	参考書の該当箇所を読んでおくこと
	授業内容	政治・世論とメディア③：世論調査と世論のジレンマ
	事後学習	関連文献などを読んで理解を深めること
12	事前学習	ゲストスピーカーのプロフィールを把握すること
	授業内容	ゲストスピーカー招聘
	事後学習	ゲストスピーカーの話と自らが考えたことをまとめておく
13	事前学習	関連資料や情報を収集し目を通しておくこと
	授業内容	グローバル化とメディア①：社会のグローバル化、メディアのグローバル化
	事後学習	授業ノートや配布資料を使って振り返りをする
14	事前学習	参考書の該当箇所を読んでおくこと
	授業内容	グローバル化とメディア②：多文化社会とエスニック・メディア
	事後学習	関連文献などを読んで理解を深めること
15	事前学習	関連文献や情報を収集し目を通しておくこと
	授業内容	グローバル化とメディア③：グローバル時代におけるジャーナリズムの役割・機能
	事後学習	学期全体の授業を振り返り復習すること

科目名	憲法 I（人権）	担当者	池田 実	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	憲法の基本概念を明らかにしたうえで、日本国憲法に定める基本的人権（包括的人権、自由権、受益権、参政権、社会権）をめぐる諸問題に関し、その意義や重要判例・学説を講義する。					
授業目的・到達目標	憲法上の権利の特質を理解し、日本国憲法に定める基本的人権の概要を説明できるようになることを目的とする。憲法の基本問題（人権）につき、憲法および法律に定める制度の概要、主要な学説や判例を説明し、法的な観点から評価できるようになる。					
履修条件	授業日程、補助教材、試験等に関する学生への通知は、随時、ポータルにて行い、かつ、COLNetドライブの「学生教員共有」フォルダにPDFファイルをアップして配布する。ポータルやCOLNetの利用に慣れておくこと。					
授業方法	教科書に完全に準拠し、講義形式で行う。教科書は必ず持参すること。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	客観テスト（正誤問題等）の正答率を評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極性を評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	嵯峨野書院		憲法〔第2版〕		池田実
	備考					
参考書	講義中に適宜指示する。					
オフィスアワー	金曜日12:10-13:00 研究室（4号館5階454号室）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書pp. i-iiiを1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	授業案内・導入 憲法の学び方
	事後学習	教科書pp. i-iiiの記述と講義を振り返り、憲法（人権）学修のポイントを確認する。
2	事前学習	教科書pp. 1-9を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	憲法総論（1） 憲法とは何か／立憲主義の展開
	事後学習	教科書pp. 1-9の記述と講義を振り返り、憲法の意味、法体系における憲法の地位をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

3	事前学習	教科書pp. 9-13, 23-25, 49を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	憲法総論（2） 日本憲法史／日本国憲法総論
	事後学習	教科書pp. 9-13, 23-25, 49の記述と講義を振り返り、日本憲法史の概略、日本国憲法前文の趣旨、日本国憲法の成立過程をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
4	事前学習	教科書pp. 13-18を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	人権総論 人権の類型／人権の私人間効力
	事後学習	教科書pp. 13-18の記述と講義を振り返り、人権の類型、人権の享有主体、人権の私人間効力（第三者効力）をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
5	事前学習	教科書pp. 136-145を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（1） 思想・良心の自由／信教の自由
	事後学習	教科書pp. 136-145の記述と講義を振り返り、思想・良心の自由の意義・判例、信教の自由の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
6	事前学習	教科書pp. 145-150を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（2） 政教分離
	事後学習	教科書pp. 145-150の記述と講義を振り返り、政教分離原則の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
7	事前学習	教科書pp. 150-161を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（3） 政教分離をめぐる判例
	事後学習	教科書pp. 150-161の記述と講義を振り返り、政教分離をめぐる判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
8	事前学習	教科書pp. 161-165を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（4） 学問の自由
	事後学習	教科書pp. 161-165の記述と講義を振り返り、学問の自由の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
9	事前学習	教科書pp. 165-170を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（5） 表現の自由
	事後学習	教科書pp. 165-170の記述と講義を振り返り、表現の自由の意義（表現の自由の優越的地位、表現の自由に対する規制の合憲性審査基準）をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
10	事前学習	教科書pp. 170-177を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（6） 表現の自由をめぐる判例／知る権利
	事後学習	教科書pp. 170-177の記述と講義を振り返り、表現の自由をめぐる判例および知る権利の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
11	事前学習	教科書pp. 177-186を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（7） 取材・報道の自由／検閲の禁止
	事後学習	教科書pp. 177-186の記述と講義を振り返り、取材・報道の自由の意義・判例、検閲の禁止の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
12	事前学習	教科書pp. 187-200を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（8） 集会・結社の自由／通信の秘密
	事後学習	教科書pp. 187-200の記述と講義を振り返り、集会・結社の自由の意義・判例、通信の秘密の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
13	事前学習	教科書pp. 201-211を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	経済的自由権（1） 職業選択の自由
	事後学習	教科書pp. 201-211の記述と講義を振り返り、経済的自由権の意義、職業選択の自由の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
14	事前学習	教科書pp. 211-220を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	経済的自由権（2） 財産権
	事後学習	教科書pp. 211-220の記述と講義を振り返り、財産権の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

15	事前学習	教科書pp. 220-224を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	経済的自由権（3） その他の経済的自由権／（復習）
	事後学習	教科書pp. 201-224の記述と講義を振り返り、経済的自由権をめぐる論点をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
16	事前学習	教科書pp. 225-233を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	身体的自由権（1） 適正手続の保障
	事後学習	教科書pp. 225-233の記述と講義を振り返り、奴隷的拘束・苦役からの自由の意義、適正手続の保障の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
17	事前学習	教科書pp. 233-238を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	身体的自由権（2） 被疑者の権利
	事後学習	教科書pp. 233-238の記述と講義を振り返り、被疑者の権利（不法な逮捕・抑留・拘禁からの自由、住居等の不可侵）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
18	事前学習	教科書pp. 239-250を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	身体的自由権（3） 刑事被告人の権利
	事後学習	教科書pp. 239-250の記述と講義を振り返り、刑事被告人の権利（公平な裁判所の迅速な公開裁判を受ける権利、証人審問権・証人喚問権、弁護人依頼権・国選弁護制度、自己に不利益な供述を強要されない権利、自白の証拠能力、事後法の禁止・一事不再理、拷問・残虐刑の禁止）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
19	事前学習	教科書pp. 320-326, 124-135を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	参政権 参政権と選挙制度
	事後学習	教科書pp. 320-326, 124-135の記述と講義を振り返り、「法の下の平等」原則との関連において、議員定数不均衡（一票の較差）問題をめぐる判例の動向をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
20	事前学習	教科書pp. 251-263を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	受益権 受益権
	事後学習	教科書pp. 251-263の記述と講義を振り返り、受益権（裁判を受ける権利、国家賠償請求権、刑事補償請求権、請願権）の意義・制度・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
21	事前学習	教科書pp. 264-272を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	社会権（1） 生存権の法的性格
	事後学習	教科書pp. 264-272の記述と講義を振り返り、社会権の意義、生存権の法的性格をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
22	事前学習	教科書pp. 272-280を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	社会権（2） 生存権をめぐる判例／教育を受ける権利
	事後学習	教科書pp. 272-280の記述と講義を振り返り、生存権をめぐる判例、教育を受ける権利の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
23	事前学習	教科書pp. 280-290を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	社会権（3） 労働者の権利
	事後学習	教科書pp. 280-290の記述と講義を振り返り、勤労の権利・義務の意義、労働基本権の意義、公務員の労働基本権に対する制約の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
24	事前学習	教科書pp. 107-114を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	包括的人権（1） 法の下の平等
	事後学習	教科書pp. 107-114の記述と講義を振り返り、「法の下の平等」原則の意義、憲法14条の差別禁止事由列举の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
25	事前学習	教科書pp. 115-124を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	包括的人権（2） 平等原則違反の違憲審査基準／判例
	事後学習	教科書pp. 115-124の記述と講義を振り返り、平等原則違反の違憲審査基準および関連する判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
26	事前学習	教科書pp. 77-83を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	包括的人権（3） 個人の尊重と幸福追求権
	事後学習	教科書pp. 77-83の記述と講義を振り返り、個人の尊重と幸福追求権の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

27	事前学習	教科書pp. 83-93を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	包括的人権（4） プライバシー権・肖像権
	事後学習	教科書pp. 83-93の記述と講義を振り返り、「新しい人権」の類型、一般的人格権（プライバシー権、肖像権）の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
28	事前学習	教科書pp. 93-106を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	包括的人権（5） 名誉権・環境（人格）権／自己決定権
	事後学習	教科書pp. 93-106の記述と講義を振り返り、名誉権・環境（人格）権の意義・判例、自己決定権の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
29	事前学習	適宜指示する。
	授業内容	総括・補遺（法令改正、新制度、最新判例等を講義する）
	事後学習	適宜指示する。
30	事前学習	適宜指示する。
	授業内容	総括・補遺（法令改正、新制度、最新判例等を講義する）
	事後学習	適宜指示する。

科目名	憲法 I（人権）	担当者	齋藤 康輝	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法（人権）の講義を行う。現在の憲法理論ならびに日本国憲法の条文の内容を解説する。そして、重要テーマについて学説にも言及するが、最高裁の解釈を基本とし、判例は必要な範囲で取り上げていく。日本の憲法をよく知るために、世界各国の憲法にもふれる。				
授業目的・到達目標	憲法は国家権力の濫用を防ぐための装置であり、その結果として人権保障を実現している。そもそも人権の概念は、自然権思想や社会契約説の影響を受けて、市民革命とともに成立したといわれる。なにより、人間の尊厳が人権の根拠となるわけである。本講義では、教科書の項目に沿って日本国憲法の人権に関する規定の条文解釈、学説の検討を行う。もちろん判例も数多く取り上げ、解説する。 到達目標は、人権についての基礎知識を習得することである。憲法条文の意味を把握するのはもちろん、主要な学説を理解し、判例を数多く学ぶことで法的・論理的思考力（リーガルマインド）を身につける。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポートの成績（100％）により評価する。なお、本レポートでは、授業に出席し、授業内容をきちんと理解しているかどうかチェックする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		『Next教科書シリーズ憲法（第2版）』	齋藤康輝・高畑英一郎編
	備考				
参考書	授業中適宜紹介する。				
オフィスアワー	時間帯：毎週水曜日の昼休み（12:30～13:00）と3限（13:00～14:30） ただし、祝日・休暇期間は除く 場所：研究室（本館1809） 必ずメール等で事前予約した上で来室すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「はじめに」を読んでくること。
	授業内容	憲法の意義と立憲主義（1） 国家論 国家と国民
	事後学習	教科書（1頁～4頁）を復習すること。
2	事前学習	教科書（5頁～8頁）を予習すること。
	授業内容	憲法の意義と立憲主義（2） 憲法とは何か、憲法の特質
	事後学習	教科書（5頁～8頁）を復習すること。

3	事前学習	教科書（9 頁～1 2 頁）を予習すること。
	授業内容	日本憲法史（1） 明治憲法
	事後学習	教科書（9 頁～1 2 頁）を復習すること。
4	事前学習	教科書（1 3 頁～1 6 頁）を予習すること。
	授業内容	日本憲法史（2） 日本国憲法の成立、日本国憲法の成立における法理
	事後学習	教科書（1 3 頁～1 6 頁）を復習すること。
5	事前学習	教科書（4 0 頁～4 1 頁）を予習すること。
	授業内容	基本的人権の原理、基本的人権の保障と限界（1） 人権の歴史、観念 人権論入門
	事後学習	教科書（4 0 頁～4 1 頁）を復習すること。
6	事前学習	教科書（4 1 頁～4 2 頁）を予習すること。
	授業内容	基本的人権の原理、基本的人権の保障と限界（2） 人権の類型 人権論の光と影
	事後学習	教科書（4 1 頁～4 2 頁）を復習すること。
7	事前学習	教科書（4 3 頁～4 8 頁）を予習すること。
	授業内容	基本的人権の原理、基本的人権の保障と限界（3） 人権の享有主体
	事後学習	教科書（4 3 頁～4 8 頁）を復習すること。
8	事前学習	教科書（4 9 頁～5 4 頁）を予習すること。
	授業内容	基本的人権の原理、基本的人権の保障と限界（4） 人権の限界
	事後学習	教科書（4 9 頁～5 4 頁）を復習すること。
9	事前学習	教科書（5 6 頁）を予習すること。
	授業内容	包括的人権（1） 幸福追求権
	事後学習	教科書（5 6 頁）を復習すること。
10	事前学習	教科書（5 6 頁～6 8 頁）を予習すること。
	授業内容	包括的人権（2） 新しい人権
	事後学習	教科書（5 6 頁～6 8 頁）を復習すること。
11	事前学習	教科書（6 9 頁～7 1 頁）を予習すること。
	授業内容	平等（1） 日本国憲法における「平等」概念、憲法 1 4 条 1 項の差別禁止事項
	事後学習	教科書（6 9 頁～7 1 頁）を復習すること。
12	事前学習	教科書（7 2 頁～7 8 頁）を予習すること。
	授業内容	平等（2） 判例にみる「差別」と「合理的区別」
	事後学習	教科書（7 2 頁～7 8 頁）を復習すること。
13	事前学習	教科書（7 9 頁～8 1 頁）を予習すること。
	授業内容	精神的自由（1） 思想・良心の自由
	事後学習	教科書（7 9 頁～8 1 頁）を復習すること。
14	事前学習	教科書（8 5 頁～9 1 頁）を予習すること。
	授業内容	精神的自由（2） 信教の自由、政教分離
	事後学習	教科書（8 5 頁～9 1 頁）を復習すること。

15	事前学習	教科書（９４頁～１０５頁）を予習すること。
	授業内容	精神的自由（３） 表現の自由
	事後学習	教科書（９４頁～１０５頁）を復習すること。
16	事前学習	教科書（１０６頁～１１０頁、９２頁～９３頁）を予習すること。
	授業内容	精神的自由（４） 集会・結社の自由、学問の自由
	事後学習	教科書（１０６頁～１１０頁、９２頁～９３頁）を復習すること。
17	事前学習	教科書（１１１頁～１１６頁）を予習すること。
	授業内容	人身の自由（１） 歴史的由来、居住・移転の自由、奴隷的拘束とその意に反する苦役からの自由、適正手続
	事後学習	教科書（１１１頁～１１６頁）を復習すること。
18	事前学習	教科書（１１６頁～１２４頁）を予習すること。
	授業内容	人身の自由（２） 被疑者の権利、被告人の権利、拷問・残虐な刑罰の禁止
	事後学習	教科書（１１６頁～１２４頁）を復習すること。
19	事前学習	教科書（１２５頁～１３２頁）を予習すること。
	授業内容	経済的自由（１） 経済的自由の一般的特質、職業選択の自由
	事後学習	教科書（１２５頁～１３２頁）を復習すること。
20	事前学習	教科書（１３３頁～１４０頁）を予習すること。
	授業内容	経済的自由（２） 財産権
	事後学習	教科書（１３３頁～１４０頁）を復習すること。
21	事前学習	教科書（１４１頁～１４３頁）を予習すること。
	授業内容	社会権（１） 社会権の登場背景
	事後学習	教科書（１４１頁～１４３頁）を復習すること。
22	事前学習	教科書（１４４頁～１４７頁）を予習すること。
	授業内容	社会権（２） 生存権、生活保護制度
	事後学習	教科書（１４４頁～１４７頁）を復習すること。
23	事前学習	教科書（１４８頁～１４９頁）を予習すること。
	授業内容	社会権（３） 教育を受ける権利
	事後学習	教科書（１４８頁～１４９頁）を復習すること。
24	事前学習	教科書（１５０頁～１５４頁）を予習すること。
	授業内容	社会権（４） 勤労権、労働基本権
	事後学習	教科書（１５０頁～１５４頁）を復習すること。
25	事前学習	教科書（１５５頁～１５８頁）を予習すること。
	授業内容	国務請求権
	事後学習	教科書（１５５頁～１５８頁）を復習すること。
26	事前学習	教科書（１５９頁～１６２頁）を予習すること。
	授業内容	参政権
	事後学習	教科書（１５９頁～１６２頁）を復習すること。

27	事前学習	教科書（１６３頁～１７０頁）を予習すること。
	授業内容	人権と統治の融合 人権論の新しい展望
	事後学習	教科書（１６３頁～１７０頁）を復習すること。
28	事前学習	教科書（１７０頁～１７１頁）を予習すること。
	授業内容	人権観と義務の再評価
	事後学習	教科書（１７０頁～１７１頁）を復習すること。
29	事前学習	レポート課題に取り組むこと。
	授業内容	人権論のまとめ（１） 個人の尊重（人間の尊厳）
	事後学習	教科書（１頁～１６頁、３９頁～１７１頁、１７６頁）を通読すること。
30	事前学習	レポート課題に取り組むこと。
	授業内容	人権論のまとめ（２） 人権教育
	事後学習	教科書（１頁～１６頁、３９頁～１７１頁、１７６頁）を通読すること。

科目名	憲法 I（人権）	担当者	高畑 英一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	中学の「公民」や高等学校の「現代社会」「政治・経済」で学んできた、憲法は国家の根本原則、すなわち国家の統治組織・統治作用や権利保障のあり方について定めた基本となる法です。憲法をよく理解した上で、よりよい社会を作り出していくことは、国民としての必須の事柄と思います。この講義では、立憲主義という近代国家に不可欠な視点から、日本国憲法の意義や内容その問題点などについて、判例・学説を素材に平易かつ具体的に解説していきます。				
授業目的・到達目標	日本国憲法の人権保障に関する基本的内容と特徴についての理解・習得を目的とします。18歳選挙権が実現したので、みなさんは有権者として憲法改正や選挙に向き合うことになります。民主主義とはなにか、なぜ政府は存在しているのか、法律を守らなければならないのはなぜか、といった問題意識を持ってもらいたいと考えています。こうした問題意識は、正しい政治判断をするためには不可欠です。そのような能力を身に着けることが、この講義の到達目的となります。				
履修条件	ありません。				
授業方法	指定の教科書に即して講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	人権規定の一般原則および各権利の内容についての理解・習得ができたのかを判定します。	
	平常評価		10%	受講態度も考慮の対象とする場合があります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	弘文堂		Next教科書シリーズ 憲法 第2版	齋藤康輝・高畑英一郎
	備考				
参考書	戸松秀典・初宿正典『憲法判例〔8版〕』（2018、有斐閣）				
オフィスアワー	月曜18:00～19:00、研究室（9号館9303）にて行います。 メールでの相談は（takahata.eiichiro@nihon-u.ac.jp）に送信してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要及び目的を理解しておくこと
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	オリエンテーションを振り返ること
2	事前学習	教科書1-8ページを読んでくること。立憲主義という考え方や、憲法・政府・国民の関係はどのようなものかを考えてくること。
	授業内容	国家とは、憲法とは何か
	事後学習	講義の内容を振り返り、人間社会における国家の存在意義、憲法・政府・国民の関係、立憲主義の内容とその効果をまとめること。

3	事前学習	教科書40-54ページを読んでくること。「人権保障の意義と歴史」を考察し、現代に人権保障がなかった場合を考えてくること。
	授業内容	人権総論(1) (人権保障の意義)
	事後学習	講義の内容を振り返り、人権の性質と政府との関係をまとめること。
4	事前学習	教科書43-54ページを読んでくること。人権保障の対象となる人は誰なのかについて考えてくること。
	授業内容	人権総論(2) (人権の享有主体)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「人権の享有主体」「平等(人種・外国人)」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
5	事前学習	教科書43-54ページを読んでくること。憲法というものの性質と、人権保障が及ぶ場面はどのようなものであるのかを考えてくること。
	授業内容	人権総論(3) (私人間効力)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「私人間効力」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
6	事前学習	教科書49-54ページを読んでくること。「自由」と「勝手気まま」とは同じなのかを考えてくること。
	授業内容	人権総論(4) (人権の制約原理)
	事後学習	講義の内容を振り返り、「福祉国家主義」という憲法原則の内容と「内在的制約」の内容をまとめること。また、参考書で「公務員の政治活動」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
7	事前学習	ある法律が憲法に違反するということをどのように決定するのかを考えてくること。
	授業内容	人権総論(5) (違憲審査基準)
	事後学習	講義の内容を振り返り、「比較衡量」「比例原則」「二重の基準」の内容をまとめること。
8	事前学習	教科書70-76ページを読んでくること。何を基準にして等しいものと等しくないものを区別することができるのかを考えてくること。
	授業内容	法の下の平等
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「平等(家族関係)」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
9	事前学習	教科書56-68ページを読んでくること。電子機器の発展とプライバシー保護との関係を考えてくること。
	授業内容	幸福追求権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「幸福追求権の意味」「プライバシーの権利」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
10	事前学習	教科書56-68ページを読んでくること。自然環境を保護するために憲法は有効なのかを考えてくること。
	授業内容	環境権・自己決定権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「環境権・人格権」「自己決定権・人格権」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
11	事前学習	教科書79-91ページを読んでくること。国旗国歌に起立斉唱しなければならないのかを考えてくること。
	授業内容	思想・良心の自由
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「思想・良心の自由」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
12	事前学習	教科書79-91ページを読んでくること。風変わりな信仰をもつ人たちは気持ちが悪いので追い出してしまうことは許されるのか、東日本大震災で犠牲になった人たちを政府が追悼するのは許されるのかを考えてくること。
	授業内容	信教の自由・政教分離
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「信教の自由」「政教分離原則」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
13	事前学習	教科書92-93ページを読んでくること。
	授業内容	学問の自由・大学の自治
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「学問の自由と大学の自治」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
14	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること。
	授業内容	表現の自由(1) (表現の自由の意義)
	事後学習	講義の内容を振り返り、表現の自由は一般に他の人権よりも「優越的地位」にあるといわれるが、その理由を考えてくること。

15	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること。
	授業内容	表現の自由(2)(表現内容規制)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「扇動的言論」「わいせつ表現」「名誉毀損」「営利的言論」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
16	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること。
	授業内容	表現の自由(3)(表現内容中立規制)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「ビラ貼り・ビラ配布」「選挙運動」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
17	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること。
	授業内容	表現の自由(4)(検閲・知る権利)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「情報公開・知る権利」「事前抑制・検閲の禁止」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
18	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること。
	授業内容	表現の自由(5)(報道の自由、通信の秘密)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「報道の自由・取材源秘匿権」「通信の秘密」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
19	事前学習	教科書106-108ページを読んでくること。
	授業内容	集会・結社の自由
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「集会・結社の自由」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
20	事前学習	教科書112-123ページを読んでくること。
	授業内容	人身の自由
	事後学習	講義の内容を振り返り、「意に反する苦役」と「強制役務」の違いをまとめること。
21	事前学習	教科書112-123ページを読んでくること。
	授業内容	法定(適正)手続の保障
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「適正手続の原則」「行政手続」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
22	事前学習	教科書112-123ページを読んでくること。
	授業内容	刑事手続きの保障(1)(被疑者の権利)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「令状主義」「住居の不可侵」「弁護士依頼権」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
23	事前学習	教科書112-123ページを読んでくること。
	授業内容	刑事手続きの保障(2)(被告人の権利)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「残虐な刑罰の禁止」「遡及処罰・事後立法の禁止」「一事不再理・二重の危険」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
24	事前学習	教科書126-132ページを読んでくること。
	授業内容	職業選択の自由(営業の自由)
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「職業活動の自由」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
25	事前学習	教科書133-139ページを読んでくること。
	授業内容	財産権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「財産権」「正当な補償」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
26	事前学習	教科書142-148ページを読んでくること。社会的格差是正のためにどのような政策がとられているのかを考えてくること。
	授業内容	社会権全般・生存権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「生存権」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。

27	事前学習	教科書148-154ページを読んでくること。
	授業内容	教育を受ける権利・労働権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「教育を受ける権利」「団結権・団体交渉権」「争議権」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
28	事前学習	教科書156-158ページを読んでくること。
	授業内容	国務請求権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「裁判を受ける権利」「国家賠償請求権」「刑事補償請求権」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
29	事前学習	教科書159-162ページを読んでくること。
	授業内容	参政権
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「選挙権」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
30	事前学習	今までの授業内容をまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	今までの授業内容を振り返っておくこと。

科目名	憲法 I（人権）	担当者	東 裕	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	4
-----	----------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	近代立憲主義の成立から現代立憲主義へと変容する中で、人権の概念がどのように変化してきたかを概観し、日本国憲法における人権保障について通説・判例を理解することを主とし、さらに人権保障の現状と課題についても言及する。			
授業目的・到達目標	日常生活で気軽に使われる「人権」という言葉であるが、憲法学ではその背後にある歴史や思想をも含めて考察し、人権の種類に応じた保障ないし限界があることを理解する必要がある。安易に人権という言葉を使うのではなく、社会の中で生きる人間が、その尊厳を保持しながら生きるための人権保障のあり方を考えることがこの授業の目的である。主要な条文・学説・判例の知識を身につけ、人権と公共性についての思考を深められること。			
履修条件	特になし。			
授業方法	レジュメと教科書をもとに講義形式で行う。教科書の巻末には、日本国憲法と明治憲法の条文が掲載されているが、できるだけ六法も持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	授業で扱った条文・学説・判例に関する客観式問題（60％）と論述式問題（40％）を出題し、授業内容の理解度と到達目標の達成度を判定する。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度	嵯峨野書院	新・テキストブック日本国憲法	東 裕・下條芳明ほか4名
	備考	教科書に即して授業を展開するので、授業の際には必ず持参すること。定期試験の際、持ち込みを認める。		
参 考 書	授業で配付するレジュメの中で適宜紹介する。			
オフィスアワー	金曜日・4時限（出来るだけ事前に予約すること）。なお、これ以外の曜日・時限も可。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書第5講を読むこと。
	授業内容	近代立憲主義と人権概念の成立
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
2	事前学習	教科書第5講を読むこと。
	授業内容	現代立憲主義と人権概念の変容
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

3	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	人権の享有主体―（1）日本国民
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
4	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	人権の享有主体―（2）外国人
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
5	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	人権の享有主体―（3）法人
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
6	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	人権と公共の福祉
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
7	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	幸福追求権と新しい人権―（1）名誉権・プライバシー権
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
8	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	幸福追求権と新しい人権―（2）自己決定権・環境権
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
9	事前学習	教科書第7講を読むこと。
	授業内容	法の下での平等―（1）憲法14条1項の解釈
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
10	事前学習	教科書第7講を読むこと。
	授業内容	法の下での平等―（2）尊属殺重罰規定違憲判決
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
11	事前学習	教科書第7講を読むこと。
	授業内容	法の下での平等―（3）議員定数不均衡訴訟
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
12	事前学習	教科書第8講を読むこと。
	授業内容	精神的自由権―（1）思想・良心の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
13	事前学習	教科書第8講を読むこと。
	授業内容	精神的自由権―（2）信教の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
14	事前学習	教科書第8講を読むこと。
	授業内容	精神的自由権―（3）表現の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

15	事前学習	教科書第8講を読むこと。
	授業内容	精神的自由権―（4）集会・結社の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
16	事前学習	教科書第8講を読むこと。
	授業内容	精神的自由権―（5）学問の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
17	事前学習	教科書第9講を読むこと。
	授業内容	経済的自由権―（1）居住・移転の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
18	事前学習	教科書第9講を読むこと。
	授業内容	経済的自由権―（2）職業選択の自由
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
19	事前学習	教科書第10講を読むこと。
	授業内容	人身の自由―（1）適正手続きの保障
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
20	事前学習	教科書第10講を読むこと。
	授業内容	人身の自由―（2）被疑者・被告人の権利
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
21	事前学習	教科書第11講を読むこと。
	授業内容	参政権―（1）選挙権と選挙制度
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
22	事前学習	教科書第11講を読むこと。
	授業内容	参政権―（2）直接民主政の諸制度
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
23	事前学習	教科書第12講を読むこと。
	授業内容	国務請求権―（1）請願権
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
24	事前学習	教科書第12講を読むこと。
	授業内容	国務請求権―（2）裁判を受ける権利
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
25	事前学習	教科書第12講を読むこと。
	授業内容	国務請求権―（1）国家賠償・刑事補償請求権
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
26	事前学習	教科書第13講を読むこと。
	授業内容	社会権―（1）生存権
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

27	事前学習	教科書第 1 3 講を読むこと。
	授業内容	社会権―（2）教育を受ける権利
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
28	事前学習	教科書第 1 3 講を読むこと。
	授業内容	社会権―（3）労働基本権
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
29	事前学習	教科書第 1 4 講を読むこと。
	授業内容	国民の義務
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
30	事前学習	前回までの授業範囲を確認しておくこと。
	授業内容	授業全体のまとめ
	事後学習	全授業で扱った部分をすべて確認すること。

科目名	憲法 I（人権）【法職課程】	担当者	柳瀬 昇	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法は、国家統治の組織・作用の基本法である。特に、今日では、自由主義に基づき人権保障のために権力を抑制することを定めた基本法をいう。この講義では、日本国憲法の標準的な解釈論の基礎を、概括的に、かつ、平明に講述する。日本国憲法に定める人権保障の仕組みについて、この講義において、しっかりと理解してほしい。				
授業目的・到達目標	この講義は、日本国憲法の解釈論を学ぶことを通じて、法的なものの考え方を養うことを目的とする。日本国憲法の解釈論上の重要な概念を理解するとともに、主要な論点について問題の所在と通説・判例の論理を説明できるようになることが要求される。				
履修条件	講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれない。				
授業方法	憲法総論及び人権論について、体系的性を重視し、通説・判例の見地から、概括的に、かつ、平明に講述する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	講義で扱った内容について、上記の到達目標に達成しているかどうかで評価する。	
	平常評価		20%	授業時間中に適宜小テスト等を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	学文社		『教育判例で読み解く 憲法』	柳瀬昇
	備考	上記のほかに、第2回の講義以降、六法が必携である（種類や出版社は問わない）。詳しくは、第1回の講義で説明する。			
参考書	野中俊彦・江橋崇編著、渋谷秀樹補訂『憲法判例集〔第11版〕』（有斐閣、2016年）を挙げる。そのほかについては、第1回の講義で紹介する。				
オフィスアワー	講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、講義の前後またはオフィスアワー（火曜日12時20分～12時50分）において対応する。授業担当者の研究室は、本館8階1810号室である。他の用務のため中止することもあるため、確実に時間を確保したい場合には、eメール（yanase.noboru@nihon-u.ac.jp）で事前に連絡をとることをすすめる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をあらかじめ熟読しておく。
	授業内容	憲法の概念 法学の全体像と憲法学の位置、憲法の概念
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
2	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の1-3頁及び8-12頁を読んでおく。
	授業内容	立憲主義の基本原理（1） 憲法規範の特質、日本国憲法の基本原理、人権尊重主義
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

3	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	立憲主義の基本原理 (2) 国民主権主義、平和主義、立憲主義の意義と変遷
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
4	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の13-15頁を読んでおく。
	授業内容	憲法と人権の限界 (1) 法人の人権、外国人の人権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
5	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	憲法と人権の限界 (2) 外国人の人権 (承前)、未成年者の人権、特別な法律関係における人権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
6	事前学習	教科書の27-30頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	憲法と人権の限界 (3) 一般職公務員の人権、刑事施設被収容者の人権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
7	事前学習	教科書の17-18頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	憲法と人権の限界 (4) 憲法の私人間効力
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。また、教科書の16-25頁を読んでおく。
8	事前学習	マクリーン事件最高裁判決 (最大判昭和53年10月4日判タ368号196-200頁) 及び三菱樹脂事件最高裁判決 (最大判昭和48年12月12日判タ302号112-123頁) について、法学部図書館3階の東側の書架で判例タイムズの該当ページをコピーするか、または、学内のネットワーク環境からD1-Law.comにアクセスしてダウンロードし、あらかじめ読んでおく。
	授業内容	憲法判例の読み方 判決原文の探し方、判決原文の読み方、調査官解説の探し方、判例の学び方
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
9	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	幸福追求権 (1) 幸福追求権の意義、プライバシーの権利
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
10	事前学習	教科書の37-39頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	幸福追求権 (2) 環境権、自己決定権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
11	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の36-44頁を読んでおく。
	授業内容	法の下の平等 (1) 法の下の平等の意義、優先処遇と逆差別
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
12	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の112頁を読んでおく。また、前回のレジュメの2頁のReading Assignmentについてあらかじめ読んでおく。
	授業内容	法の下の平等 (2) 優先処遇と逆差別
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
13	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	法の下の平等 (3) 具体的な事例の検討
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
14	事前学習	教科書の47-50頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	内心の自由 (1) 思想・良心の自由、信教の自由
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

15	事前学習	前半の講義の内容を改めて復習し、理解が不十分な点をまとめておく。
	授業内容	前半の総括
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
16	事前学習	教科書の56-61頁及び86-89頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	内心の自由（2） 信教の自由（承前）、学問の自由
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
17	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の86-93頁を読んでおく。
	授業内容	表現の自由（1） 表現の自由の価値・射程、表現の自由の内容
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
18	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の66-73頁を読んでおく。また、教科書の66-72頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	表現の自由（2） 表現の自由の内容（承前）、検閲の禁止
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
19	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の73-75頁を読んでおく。
	授業内容	表現の自由（3） 表現の自由の規制立法に対する違憲審査、集会・結社の自由
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
20	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の76-85頁を読んでおく。
	授業内容	表現の自由（4） 表現の自由に対する規制の類型化
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
21	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	表現の自由（5） その他の判例の検討
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
22	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	経済の自由（1） 公共の福祉、居住・移転の自由、財産権の保障
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
23	事前学習	教科書の95-97頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	経済の自由（2） 財産権の保障（承前）、職業選択の自由、職業選択の自由の規制立法に対する違憲審査
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
24	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の94-102頁を読んでおく。
	授業内容	人身の自由 法定適正手続の保障、憲法に定める刑事手続上の権利、死刑制度の憲法適合性
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。また、教科書の103頁を読んでおく。
25	事前学習	教科書の105-109頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国家による自由（1） 国務請求権、生存権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。また、教科書の104-113頁を読んでおく。
26	事前学習	教科書の114-119頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国家による自由（2） 教育を受ける権利、勤労の権利と労働基本権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

27	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	国家への自由（1） 参政権の意義
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
28	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の123頁を読んでおく。
	授業内容	国家への自由（2） 一票の較差
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
29	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	違憲審査基準論 違憲審査基準論概観、自由権・平等権・社会権等への規制に対する違憲審査基準
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
30	事前学習	後半の講義の内容を改めて復習し、理解が不十分な点をまとめておく。
	授業内容	後半の総括
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

科目名	憲法Ⅱ（統治機構）	担当者	池田 実	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	憲法の基本概念を明らかにしたうえで、日本国憲法に定める統治機構（国会、内閣、裁判所、天皇、財政、地方自治）及び戦争の放棄をめぐる諸問題に関し、制度の概要や重要判例・学説を講義する。					
授業目的・到達目標	政治の法である憲法に固有の特質を理解し、日本国憲法に定める統治機構の概要を説明できるようになることを目的とする。憲法の基本問題（統治機構）につき、憲法および法律に定める制度の概要、主要な学説や判例を説明し、法的な観点から評価できるようになる。					
履修条件	授業日程、補助教材、試験等に関する学生への通知は、随時、ポータルにて行い、かつ、COLNetドライブの「学生教員共有」フォルダにPDFファイルをアップして配布する。ポータルやCOLNetの利用に慣れておくこと。					
授業方法	教科書に完全に準拠し、講義形式で行う。教科書は必ず持参すること。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	客観テスト（正誤問題等）の正答率を評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極性を評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	嵯峨野書院		憲法〔第2版〕		池田実
	備考					
参考書	講義中に適宜指示する。					
オフィスアワー	金曜日12:10-13:00 研究室（4号館5階454号室）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書pp. i-iiiを1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	授業案内・導入 憲法の学び方
	事後学習	教科書pp. i-iiiの記述と講義を振り返り、憲法（統治機構）学修のポイントを確認する。
2	事前学習	教科書pp. 1-9を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	憲法総論 （1） 憲法とは何か／立憲主義の展開
	事後学習	教科書pp. 1-9の記述と講義を振り返り、憲法の意味、法体系における憲法の地位をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

3	事前学習	教科書pp. 9-13, 23-25, 49を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	憲法総論 (2) 日本憲法史／日本国憲法総論
	事後学習	教科書pp. 9-13, 23-25, 49の記述と講義を振り返り、日本憲法史の概略、日本国憲法前文の趣旨、日本国憲法の成立過程をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
4	事前学習	教科書pp. 291-299を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会 (1) 国会の地位
	事後学習	教科書pp. 291-299の記述と講義を振り返り、代表民主制の趣旨、国会の地位、国会議員の地位をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
5	事前学習	教科書pp. 300-306を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会 (2) 国会の活動
	事後学習	教科書pp. 300-306の記述と講義を振り返り、国会の会期制、会議の諸原則をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
6	事前学習	教科書pp. 306-315を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会 (3) 国会の権能と衆議院の優越
	事後学習	教科書pp. 306-315の記述と講義を振り返り、国会の権能（衆議院の優越）をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
7	事前学習	教科書pp. 315-320を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会 (4) 議院の権能
	事後学習	教科書pp. 315-320の記述と講義を振り返り、議院の権能をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
8	事前学習	教科書pp. 320-326を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会 (5) 参政権と選挙制度
	事後学習	教科書pp. 320-326の記述と講義を振り返り、参政権の意義と選挙制度の特徴をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
9	事前学習	教科書pp. 124-135を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会 (6) 議員定数不均衡問題
	事後学習	教科書pp. 124-135の記述と講義を振り返り、議員定数不均衡（一票の較差）問題をめぐる判例の動向をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
10	事前学習	教科書pp. 327-330を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	内閣 (1) 行政権と内閣制度
	事後学習	教科書pp. 327-330の記述と講義を振り返り、行政権の意義、内閣制度の変遷をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
11	事前学習	教科書pp. 330-337を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	内閣 (2) 議院内閣制
	事後学習	教科書pp. 330-337の記述と講義を振り返り、議院内閣制の趣旨をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
12	事前学習	教科書pp. 337-341を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	内閣 (3) 内閣の組織
	事後学習	教科書pp. 337-341の記述と講義を振り返り、内閣の組織をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
13	事前学習	教科書pp. 342-348を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	内閣 (4) 内閣の権能
	事後学習	教科書pp. 342-348の記述と講義を振り返り、内閣および内閣総理大臣の権能をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
14	事前学習	教科書pp. 23-34を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	天皇 (1) 象徴天皇制
	事後学習	教科書pp. 23-34の記述と講義を振り返り、象徴天皇制の成立過程、天皇の地位、皇位継承の原則をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

15	事前学習	教科書pp. 34-43を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	天皇（2） 国事行為／皇室経済
	事後学習	教科書pp. 34-43の記述と講義を振り返り、天皇の国事行為と皇室経済の原則をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
16	事前学習	教科書pp. 349-354を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	裁判所（1） 司法権
	事後学習	教科書pp. 349-354の記述と講義を振り返り、司法権の意義および限界をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
17	事前学習	教科書pp. 354-360を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	裁判所（2） 司法権の独立
	事後学習	教科書pp. 354-360の記述と講義を振り返り、司法権の独立の意義と裁判官の身分保障をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
18	事前学習	教科書pp. 360-370を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	裁判所（3） 裁判所の組織・権能
	事後学習	教科書pp. 360-370の記述と講義を振り返り、裁判所の組織および権能、裁判手続の原則をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
19	事前学習	教科書pp. 370-374を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	裁判所（4） 違憲審査制
	事後学習	教科書pp. 370-374の記述と講義を振り返り、違憲審査制の意義、憲法判断の方法をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
20	事前学習	教科書pp. 375-384を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	財政（1） 財政民主主義／予算
	事後学習	教科書pp. 375-384の記述と講義を振り返り、財政の基本原則と予算の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
21	事前学習	教科書pp. 384-389を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	財政（2） 決算／公金支出等の禁止
	事後学習	教科書pp. 384-389の記述と講義を振り返り、決算の意義と公金支出等の禁止の趣旨をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
22	事前学習	教科書pp. 44-48を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	戦争の放棄（1） 平和主義の理念
	事後学習	教科書pp. 44-48の記述と講義を振り返り、平和主義の理念と戦争違法化の経緯をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
23	事前学習	教科書pp. 49-58を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	戦争の放棄（2） 憲法9条の解釈
	事後学習	教科書pp. 49-58の記述と講義を振り返り、憲法9条の解釈をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
24	事前学習	教科書pp. 58-65を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	戦争の放棄（3） 自衛隊をめぐる判例
	事後学習	教科書pp. 58-65の記述と講義を振り返り、自衛隊をめぐる判例の動向をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
25	事前学習	教科書pp. 65-76を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	戦争の放棄（4） 安全保障
	事後学習	教科書pp. 65-76の記述と講義を振り返り、日米安保条約および自衛権をめぐる判例の動向、安全保障関連法制の経緯をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
26	事前学習	教科書pp. 390-393を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	地方自治（1） 地方自治の本旨
	事後学習	教科書pp. 390-393の記述と講義を振り返り、地方自治の本旨をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

27	事前学習	教科書pp. 393-404を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	地方自治（2） 地方公共団体の組織
	事後学習	教科書pp. 393-404の記述と講義を振り返り、地方公共団体の組織および諸制度をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
28	事前学習	教科書pp. 404-410を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	地方自治（3） 条例制定権
	事後学習	教科書pp. 404-410の記述と講義を振り返り、地方公共団体の条例制定権をめぐる諸問題をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
29	事前学習	適宜指示する。
	授業内容	総括・補遺（法令改正、新制度、最新判例等を講義する）
	事後学習	適宜指示する。
30	事前学習	適宜指示する。
	授業内容	総括・補遺（法令改正、新制度、最新判例等を講義する）
	事後学習	適宜指示する。

科目名	憲法Ⅱ（統治機構）	担当者	齋藤 康輝	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法（統治機構）の講義を行う。現在の憲法理論ならびに日本国憲法の条文の内容を解説する。そして、重要テーマについて学説にも言及するが、最高裁の解釈を基本とし、判例は必要な範囲で取り上げていく。日本の憲法をよく知るために、世界各国の憲法にもふれる。				
授業目的・到達目標	憲法は国の最高法規であり、国民主権・人権尊重・平和主義などの基本原則をベースに民主主義を実現することを目的とした「国家の設計図」である。もちろん、憲法は私たちの日常生活と密接な関係を持っているのだが、憲法の規定はかなり抽象的で、わかりにくく、それを縁遠いものと感じているひとが多いかもしれない。本講義では、統治機構に関する日本国憲法の条文解釈を行うが、初学者に配慮し、できるだけわかりやすい授業をする。到達目標は、統治（立法、行政、司法、財政、地方自治など）全般の基礎知識を習得することである。そのさい、国家権力の濫用を防止するという視点を確認するとともに権力の適切な行使という面もしっかり理解できるようにしたい。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポートの成績（100％）により評価する。なお、本レポートでは、授業に出席し、授業内容をきちんと理解しているかどうかチェックする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		『Next教科書シリーズ憲法（第2版）』	齋藤康輝・高畑英一郎編
	備考				
参考書	授業中適宜紹介する。				
オフィスアワー	時間帯：毎週水曜日の昼休み（12:30～13:00）と3限（13:00～14:30） ただし、祝日・休暇期間は除く 場所：研究室（本館1809） 必ずメール等で事前予約した上で来室すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「はじめに」を読んでくること。
	授業内容	憲法の意義と立憲主義（1） 国家論 国家と国民
	事後学習	教科書（1頁～4頁）を復習すること。
2	事前学習	教科書（5頁～8頁）を予習すること。
	授業内容	憲法の意義と立憲主義（2） 憲法とは何か、憲法の特質 統治論入門
	事後学習	教科書（5頁～8頁）を復習すること。

3	事前学習	教科書（１６３頁～１６８頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（１） 人権と統治の融合 権力分立
	事後学習	教科書（１６３頁～１６８頁）を復習すること。
4	事前学習	教科書（１７２頁～１７６頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（２） 統治制度改革
	事後学習	教科書（１７２頁～１７６頁）を復習すること。
5	事前学習	教科書（１７頁～１８頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（３） 国民主権と象徴天皇制
	事後学習	教科書（１７頁～１８頁）を復習すること。
6	事前学習	教科書（１９頁～２４頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（４） 天皇の行為および権能、皇室財政
	事後学習	教科書（１９頁～２４頁）を復習すること。
7	事前学習	教科書（２５頁～２９頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（５） 平和主義（世界史の中の９条、憲法９条の成立経緯、戦争の放棄、戦力の不保持）
	事後学習	教科書（２５頁～２９頁）を復習すること。
8	事前学習	教科書（２９頁～３８頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（６） 平和主義（自衛隊の海外派遣、自衛隊に関する判例、国民保護法制、安保法制と集団的自衛権）
	事後学習	教科書（２９頁～３８頁）を復習すること。
9	事前学習	教科書（１７７頁～１７９頁）を予習すること。
	授業内容	国会（１） 国会の地位と組織、国会の構成
	事後学習	教科書（１７７頁～１７９頁）を復習すること。
10	事前学習	教科書（１８０頁）を予習すること。
	授業内容	国会（２） 国会議員の地位と特権
	事後学習	教科書（１８０頁）を復習すること。
11	事前学習	教科書（１８１頁～１８３頁）を予習すること。
	授業内容	国会（３） 国会の運営と活動
	事後学習	教科書（１８１頁～１８３頁）を復習すること。
12	事前学習	教科書（１８４頁～１９６頁）を予習すること。
	授業内容	国会（４） 国会および議院の権能、議院の権限（自律権、国政調査権）
	事後学習	教科書（１８４頁～１９６頁）を復習すること。
13	事前学習	教科書（１９７頁～１９９頁）を予習すること。
	授業内容	内閣（１） 内閣の地位・性格
	事後学習	教科書（１９７頁～１９９頁）を復習すること。
14	事前学習	教科書（２００頁～２０１頁）を予習すること。
	授業内容	内閣（２） 内閣の組織
	事後学習	教科書（２００頁～２０１頁）を復習すること。

15	事前学習	教科書（２０１頁～２０６頁）を予習すること。
	授業内容	内閣（３） 内閣の権限・責任
	事後学習	教科書（２０１頁～２０６頁）を復習すること。
16	事前学習	教科書（２０３頁）を予習すること。
	授業内容	財政
	事後学習	教科書（２０３頁）および授業内容を復習すること。
17	事前学習	教科書（２０７頁～２１５頁）を予習すること。
	授業内容	司法（裁判所）（１） 司法権の概念、司法権の独立
	事後学習	教科書（２０７頁～２１５頁）を復習すること。
18	事前学習	教科書（２１６頁～２２０頁）を予習すること。
	授業内容	司法（裁判所）（２） 裁判所の構成と権限
	事後学習	教科書（２１６頁～２２０頁）を復習すること。
19	事前学習	教科書（２２１頁～２２５頁）を予習すること。
	授業内容	違憲審査制（１） 違憲審査制総説、違憲審査制の性格、違憲審査の主体と対象
	事後学習	教科書（２２１頁～２２５頁）を復習すること。
20	事前学習	教科書（２２６頁～２２８頁）を予習すること。
	授業内容	違憲審査制（２） 憲法判断の方法と判決の効力、違憲判決のリスト
	事後学習	教科書（２２６頁～２２８頁）を復習すること。
21	事前学習	教科書（１７５頁、２１２頁）を予習すること。
	授業内容	裁判員制度
	事後学習	教科書（１７５頁、２１２頁）を復習すること。
22	事前学習	教科書（２２９頁～２３４頁）を予習すること。
	授業内容	地方自治（１） 地方自治の基本的枠組み
	事後学習	教科書（２２９頁～２３４頁）を復習すること。
23	事前学習	教科書（２３８頁～２４２頁）を予習すること。
	授業内容	地方自治（２） 条例、住民による直接民主制的契機
	事後学習	教科書（２３８頁～２４２頁）を復習すること。
24	事前学習	教科書（２４３頁～２４６頁）を予習すること。
	授業内容	憲法の最高法規性
	事後学習	教科書（２４３頁～２４６頁）を復習すること。
25	事前学習	教科書（２４７頁～２４８頁）を予習すること。
	授業内容	世界の憲法（１） 国家と憲法
	事後学習	教科書（２４７頁～２４８頁）を復習すること。
26	事前学習	教科書（２４８頁～２５４頁）を予習すること。
	授業内容	世界の憲法（２） 各国の憲法
	事後学習	教科書（２４８頁～２５４頁）を復習すること。

27	事前学習	教科書（２５５頁～２５６頁）を予習すること。
	授業内容	日本国憲法の将来（１） 憲法改正の是非
	事後学習	教科書（２５５頁～２５６頁）を復習すること。
28	事前学習	教科書（２５６頁～２６１頁）を予習すること。
	授業内容	日本国憲法の将来（２） 護憲、改憲、加憲、創憲、憲法価値をめぐるさまざまな議論、憲法改正試案 憲法改正国民投票法
	事後学習	教科書（２５６頁～２６１頁）を復習すること。
29	事前学習	レポート課題に取り組むこと。
	授業内容	統治機構論のまとめ（１） 民主主義と立憲主義
	事後学習	教科書（１頁～３８頁、１６３頁～２６１頁）を通読すること。
30	事前学習	レポート課題に取り組むこと。
	授業内容	統治機構論のまとめ（２） 国家の設計図
	事後学習	教科書（１頁～３８頁、１６３頁～２６１頁）を通読すること。

科目名	憲法Ⅱ（統治機構）	担当者	高畑 英一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	中学の「公民」や高等学校の「現代社会」「政治・経済」で学んできた、憲法は国家の根本原則、すなわち国家の統治組織・統治作用や権利保障のあり方について定めた基本となる法です。憲法をよく理解した上で、よりよい社会を作り出していくことは、国民としての必須の事柄と思います。この講義では、立憲主義という近代国家に不可欠な視点から、日本国憲法の意義や内容その問題点などについて、判例・学説を素材に平易かつ具体的に解説していきます。				
授業目的・到達目標	日本国憲法の統治機構・政府組織に関する基本理念と特徴についての理解・習得を目的とします。18歳選挙権が実現したので、みなさんは有権者として憲法改正や選挙に向き合うことになります。民主主義とはなにか、なぜ政府は存在しているのか、法律を守らなければならないのはなぜか、といった問題意識を持ってもらいたいと考えています。こうした問題意識は、正しい政治判断をするためには不可欠です。そのような能力を身に着けることが、この講義の到達目的となります。				
履修条件	ありません。				
授業方法	指定の教科書に即して講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	日本国憲法の基本理念と国家機構についての理解・習得ができたのかを判定します。	
	平常評価		10%	受講態度も考慮の対象とする場合があります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	弘文堂		Next教科書シリーズ 憲法 第2版	齋藤康輝・高畑英一郎
	備考				
参考書	戸松秀典・初宿正典『憲法判例〔8版〕』（2018、有斐閣）				
オフィスアワー	月曜18:00～19:00、研究室（9号館9303）にて行います。 メールでの相談は（takahata.eiichiro@nihon-u.ac.jp）に送信してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要及び目的を理解しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	オリエンテーションを振り返ること。
2	事前学習	教科書1-8ページを読んでくること。立憲主義という考え方や、憲法・政府・国民の関係はどのようなものかを考えてくること。
	授業内容	国家とは・憲法とは何か、立憲主義
	事後学習	講義の内容を振り返り、人間社会における国家の存在意義、憲法・政府・国民の関係、立憲主義の内容とその効果をまとめること。

3	事前学習	教科書10-16ページを読んでくること。明治維新後の日本は憲法と共にどのように発展してきたのかを考えてくること。
	授業内容	憲法史
	事後学習	講義の内容を振り返り、明治憲法の欠陥はなんであったのか、日本国憲法の特徴は何かをまとめること。
4	事前学習	教科書164-168ページを読んでくること。社会のルールは国民の意思に基づいて決定するが、その決定にはどのような限界があったのかを考えてくること。
	授業内容	統治の原理（1）（民主制について）
	事後学習	講義の内容を振り返り、代表民主政において議員と国民の関係はどのようなものであるのかをまとめること。
5	事前学習	教科書74、160-162、166-167ページを読んでくること。選挙の原則の内容を確認するとともに、なぜ「一票の格差」が問題となるのかを考えてくること。
	授業内容	統治の原理（2）（選挙制度）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「選挙の平等」に関連する最高裁判例の内容をまとめること。
6	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること。「国権の高校機関」「唯一の立法機関」の意味を確認してくること。
	授業内容	国会（1）（国会の地位）
	事後学習	講義の内容を振り返り、三権分立の観点から国会の地位はどのようなものであるのかをまとめること。
7	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること。「法規概念」の内容を確認してくること
	授業内容	国会（2）（立法権）
	事後学習	講義の内容を振り返り、法律で規定すべき内容についてまとめること。また立法手続の過程もまとめておくこと。
8	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること。参議院の存在意義と衆議院の優越が認められる理由を考えてくること。
	授業内容	国会（3）（国会の組織）
	事後学習	講義の内容を振り返り、二院制の意義と「ねじれ国会」の問題点をまとめること。
9	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること。国会議員の権原と特権の内容を確認してくること。
	授業内容	国会（4）（国会議員の地位）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「国会議員の特権」に関する最高裁判例の内容をまとめること。
10	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること。国会の権能と各議員に認められる権能の内容を確認すること。
	授業内容	国会（5）（国会と議院の権能）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「議院自律権」に関する最高裁判例の内容をまとめること。
11	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること。
	授業内容	国会（6）（国政調査権）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「国政調査権」に関する最高裁判例の内容をまとめること。
12	事前学習	教科書198-206ページを読んでくること。議院内閣制と大統領制にはどのような違いがあるのかを考えてくること。
	授業内容	議院内閣制
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「衆議院の解散」に関する裁判例の内容をまとめること。
13	事前学習	教科書198-206ページを読んでくること。文民統制の意義について考えてくること。
	授業内容	内閣（1）（内閣の組織）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「内閣総理大臣の職務権限」に関する最高裁判例の内容をまとめること。
14	事前学習	教科書198-206ページを読んでくること。
	授業内容	内閣（2）（行政権）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「法令の公布」「行政権による立法」に関する裁判例の内容をまとめること。

15	事前学習	教科書208-220ページを読んでくること。「法律上の争訟」の内容とその機能はどのようなものかを考えてくること。
	授業内容	司法権（１）（司法権の内容）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「司法権」に関する最高裁判例の内容をまとめること。
16	事前学習	教科書208-220ページを読んでくること。裁判員制度の意義について考えてくること。
	授業内容	司法権（２）（裁判所の組織）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「特別裁判所の禁止」「裁判官」「国民の司法参加」に関する最高裁判例の内容をまとめること。
17	事前学習	教科書208-220ページを読んでくること。民主政と公平な裁判の関係はどうあるべきかを考えてくること。
	授業内容	司法権（３）（司法権の独立）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「規則制定権」「裁判公開の原則」に関する裁判例の内容をまとめること。
18	事前学習	教科書222-228ページを読んでくること。最高裁判所は「憲法の番人」と呼ばれるが、それは正しい理解なのかを考えてくること。
	授業内容	違憲審査制
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「違憲審査権」「憲法判断の方法」に関する裁判例の内容をまとめること。
19	事前学習	教科書230-241ページを読んでくること。
	授業内容	地方自治（１）（地方自治の本旨）
	事後学習	講義の内容を振り返り、国と地方の関係はどのようなものであるのかをまとめること。
20	事前学習	教科書230-241ページを読んでくること。住民は地方政府に対してどのような権利をもっているのかを確認してくること。
	授業内容	地方自治（２）（地方公共団体の組織）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「地方公共団体」に関する裁判例の内容をまとめること。
21	事前学習	教科書230-241ページを読んでくること。
	授業内容	地方自治（３）（条例制定権）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「条例制定権とその限界」「自治体財政権」に関する裁判例の内容をまとめること。
22	事前学習	教科書189-190ページを読んでくること。
	授業内容	財政（１）（租税制度）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「租税法律主義」に関する裁判例の内容をまとめること。
23	事前学習	教科書189-190ページを読んでくること。
	授業内容	財政（２）（予算制度）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「公の財産」に関する裁判例の内容をまとめること。
24	事前学習	教科書18-24ページを読んでくること。わが国における天皇の存在はなにかを考えてくること。
	授業内容	天皇制
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「天皇」に関する裁判例の内容をまとめること。
25	事前学習	教科書26-38ページを読んでくること。現在の国際社会での自衛権の行使について考えてくること。
	授業内容	平和主義（１）（９条と自衛権）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「日米安保条約の合憲性」に関する裁判例の内容をまとめること。
26	事前学習	教科書26-38ページを読んでくること。自衛隊の任務について確認してくること。
	授業内容	平和主義（２）（自衛隊と国民保護法制）
	事後学習	講義の内容を振り返り、参考書で「自衛隊の合憲性」に関する裁判例の内容をまとめること。

27	事前学習	教科書164-168ページを読んてくること。社会のルールは国民の意思に基づいて決定するが、その決定にはどのような限界があったのかを考えてくること。
	授業内容	国民主権
	事後学習	講義の内容を振り返り、国民主権と立憲主義の関係をまとめること。
28	事前学習	教科書243-247ページを読んてくること。
	授業内容	憲法改正の手続、国際法と憲法
	事後学習	講義の内容を振り返り、国際法と国内法の関係をまとめること。
29	事前学習	授業内容を予習しておくこと。
	授業内容	憲法規範の特徴と法源
	事後学習	講義の内容を振り返り、憲法解釈の権威となるものはなにかをまとめること。
30	事前学習	今までの授業内容をまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	今までの授業内容を振り返っておくこと。

科目名	憲法Ⅱ（統治機構）	担当者	東 裕	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	近代憲法の基本原理である人権保障と権力分立を基本とする、日本国憲法の定める統治機構について、制度の目的・機能・結果という視点を踏まえながら、その組織、権能、および相互関係について解説する。通説・判例を踏まえながら、適宜自説を解説する。また、比較憲法的視点からの日本国憲法の考察にも留意する。				
授業目的・到達目標	近代憲法の基本原理である人権保障と権力分立を基本に、日本国憲法の統治機構について、制度の目的・機能・結果という視点を踏まえながら、その組織、権能、および相互関係について理解を深めることを目的とする。日本国憲法の定める統治機構の原理と制度について説明ができ、制度の問題点も指摘できるようになること。				
履修条件	特になし。				
授業方法	レジュメと教科書をもとに講義形式で行う。教科書の巻末には、日本国憲法、明治憲法およびポツダム宣言の条文がそれぞれ掲載されているが、できるだけ六法も持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業で扱った条文・学説・判例に関する客観式問題（60％）と論述式問題（40％）を出題し、授業内容の理解度と到達目標の達成度を判定する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成30年度	嵯峨野書院	新・テキストブック日本国憲法		東 裕・下條芳明ほか4名
	備考	教科書に即して授業を展開するので、授業の際には必ず持参すること。定期試験の際、持ち込みを認める。			
参 考 書	授業で配付するレジュメの中で適宜紹介する。				
オフィスアワー	金曜日・4時限（出来るだけ事前に予約すること）。なお、これ以外の曜日・時限も可。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書第1講を読むこと。
	授業内容	近代国家と憲法 ＊教科書：第1講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
2	事前学習	教科書第1講を読むこと。
	授業内容	現代の国際社会と憲法 ＊教科書：第1講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

3	事前学習	教科書第1講を読むこと。
	授業内容	現代国家における憲法の目的と機能 ＊教科書：第1講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
4	事前学習	教科書第2講を読むこと。
	授業内容	明治憲法の「改正」と日本国憲法の「制定」 ＊教科書：第2講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
5	事前学習	教科書第2講を読むこと。
	授業内容	日本国憲法における権力分立 ＊教科書：第2講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
6	事前学習	教科書第2講を読むこと。
	授業内容	日本国憲法の基本原理とその相互関係 ＊教科書：第2講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
7	事前学習	教科書第3講を読むこと。
	授業内容	天皇（1）―天皇と国民主権 ＊教科書：第3講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
8	事前学習	教科書第3講を読むこと。
	授業内容	天皇（2）―天皇と元首論 ＊教科書：第3講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
9	事前学習	教科書第3講を読むこと。
	授業内容	天皇（3）―国事行為 ＊教科書：第3講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
10	事前学習	教科書第4講を読むこと。
	授業内容	戦争の放棄（1）―占領下における9条解釈 ＊教科書：第4講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
11	事前学習	教科書第4講を読むこと。
	授業内容	戦争の放棄（2）―独立後の9条解釈 ＊教科書：第4講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
12	事前学習	教科書第4講を読むこと。
	授業内容	戦争の放棄（3）―現代国際社会と安全保障 ＊教科書：第4講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
13	事前学習	教科書第15講を読むこと。
	授業内容	国会（1）―国会の地位 ＊教科書：第15講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
14	事前学習	教科書第15講を読むこと。
	授業内容	国会（2）―国会の組織と選挙制度 ＊教科書：第15講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

15	事前学習	教科書第 1 5 講を読むこと。
	授業内容	国会（3）―国会の権能 ＊教科書：第 1 5 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
16	事前学習	教科書第 1 5 講を読むこと。
	授業内容	国会（4）―議院の権能 ＊教科書：第 1 5 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
17	事前学習	教科書第 1 6 講を読むこと。
	授業内容	内閣（1）―内閣の組織 ＊教科書：第 1 6 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
18	事前学習	教科書第 1 6 講を読むこと。
	授業内容	内閣（2）―内閣の権能 ＊教科書：第 1 6 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
19	事前学習	教科書第 1 6 講を読むこと。
	授業内容	内閣（3）―議院内閣制 ＊教科書：第 1 6 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
20	事前学習	教科書第 1 6 講を読むこと。
	授業内容	内閣（4）―首相公選論 ＊教科書：第 1 6 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
21	事前学習	教科書第 1 7 講を読むこと。
	授業内容	裁判所（1）―司法権と司法権の独立 ＊教科書：第 1 7 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
22	事前学習	教科書第 1 7 講を読むこと。
	授業内容	裁判所（2）―裁判所の組織と権能 ＊教科書：第 1 7 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
23	事前学習	教科書第 1 7 講を読むこと。
	授業内容	裁判所（3）―違憲審査制 ＊教科書：第 1 7 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
24	事前学習	教科書第 1 8 講を読むこと。
	授業内容	予算と財政 ＊教科書：第 1 8 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
25	事前学習	教科書第 1 9 講を読むこと。
	授業内容	地方自治の本旨 ＊教科書：第 1 9 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
26	事前学習	教科書第 1 9 講を読むこと。
	授業内容	地方公共団体の組織と権能 ＊教科書：第 1 9 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

27	事前学習	教科書第 1 9 講を読むこと。
	授業内容	条例制定権と住民投票条例 ＊教科書：第 1 9 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
28	事前学習	教科書第 2 0 講を読むこと。
	授業内容	憲法改正の手続きと限界 ＊教科書：第 2 0 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
29	事前学習	教科書第 2 0 講を読むこと。
	授業内容	憲法保障 ＊教科書：第 2 0 講
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
30	事前学習	前回までの授業範囲を確認しておくこと。
	授業内容	授業の総まとめ・定期試験についての説明
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

科目名	憲法Ⅱ（統治機構）【法職課程】	担当者	柳瀬 昇	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法は、国家統治の組織・作用の基本法である。特に、今日では、自由主義に基づき人権保障のために権力を抑制することを定めた基本法をいう。この講義では、日本国憲法の標準的な解釈論の基礎を、概括的に、かつ、平明に講述する。日本国憲法に定める統治機構の仕組みについて、この講義において、しっかりと理解してほしい。				
授業目的・到達目標	この講義は、日本国憲法の解釈論を学ぶことを通じて、法的なものの考え方を養うことを目的とする。日本国憲法の解釈論上の重要な概念を理解するとともに、主要な論点について問題の所在と通説・判例の論理を説明できるようになることが要求される。				
履修条件	講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれない。				
授業方法	統治機構論及び憲法史について、体系性を重視し、通説・判例の見地から、概括的に、かつ、平明に講述する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	講義で扱った内容について、上記の到達目標に達成しているかどうかで評価する。	
	平常評価		20%	授業時間中に適宜小テスト等を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	有斐閣		『憲法I（LEGAL QUEST） 総論・統治〔第2版〕』	毛利透ほか
	備考	上記のほかに、六法が必携である（種類や出版社は問わない）。			
参考書	野中俊彦ほか『憲法II〔第5版〕』（有斐閣、2012年）を挙げる。そのほかについては、第1回の講義で紹介する。				
オフィスアワー	講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、講義の前後またはオフィスアワー（火曜日12時20分～12時50分）において対応する。授業担当者の研究室は、本館8階1810号室である。他の用務のため中止することもあるため、確実に時間を確保したい場合には、eメール（yanase.noboru@nihon-u.ac.jp）で事前に連絡をとることをすすめる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の1-18頁及び68-71頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	立憲主義の基本原理 日本国憲法の基本原則、権力分立、法治主義と法の支配、立憲主義の意義と変遷
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
2	事前学習	教科書の72-90頁及び164-182頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国会と立法権（1） 国会の地位
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

3	事前学習	教科書の193-201頁及び209-215頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国会と立法権（2） 国会の組織、国会の権能・議院の権能
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
4	事前学習	教科書の179-182頁及び215-219頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国会と立法権（3） 国会の活動方法
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
5	事前学習	教科書の196-200頁及び219-225頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国会と立法権（4） 国政調査権の性質と限界、議員特権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
6	事前学習	教科書の201-208頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	民主政治と選挙（1） わが国の選挙制度の変遷、代表制・選挙制度の類型
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
7	事前学習	「憲法I（人権）」における参政権の講義内容を復習しておく。
	授業内容	民主政治と選挙（2） 一票の較差
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
8	事前学習	教科書の90-102頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	民主政治と政党 政党の意義・機能、トリーペルの政党4段階説、政党制
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
9	事前学習	教科書の226-234頁及び243-256頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	内閣と行政権（1） 内閣の組織、内閣の権能・内閣総理大臣の権限、独立行政委員会の合憲性
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
10	事前学習	教科書の234-243頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	内閣と行政権（2） 議会と政府との関係、解散権の所在
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
11	事前学習	教科書の257-259頁及び281-294頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と司法権（1） 法原理機関としての裁判所、裁判所の組織
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
12	事前学習	教科書の294-314頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と司法権（2） 司法権の独立、裁判の公開
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
13	事前学習	教科書の259-271頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と司法権（3） 司法権の内容
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
14	事前学習	教科書の271-281頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と司法権（4） 司法権の限界
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

15	事前学習	前半の講義の内容を改めて復習し、理解が不十分な点をまとめておく。
	授業内容	前半の総括
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
16	事前学習	教科書の18-30頁、315-322頁及び327-329頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と違憲審査権 (1) 憲法保障制度としての違憲審査制、違憲審査権の性格・主体・対象
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
17	事前学習	教科書の239-340頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と違憲審査権 (2) 違憲審査権の性格・主体・対象 (承前)
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
18	事前学習	教科書の322-237頁及び348-368頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と違憲審査権 (3) 違憲判断の方法・効力、憲法訴訟の訴訟要件と憲法訴訟の当事者適格
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
19	事前学習	教科書の340-348頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	裁判所と違憲審査権 (4) 司法消極主義と憲法判断の方法
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
20	事前学習	教科書の182-193頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	財政からみる民主主義 財政の基本原則、公金・公の財産の支出・利用の制限、予算と決算
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
21	事前学習	教科書の369-385頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	地方からみる民主主義 (1) 地方自治の本旨、条例制定権とその限界
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
22	事前学習	教科書の386-390頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	地方からみる民主主義 (2) 条例制定権とその限界 (承前) 、住民投票の可能性
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
23	事前学習	教科書の102-120頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	天皇 天皇の地位・性格、天皇の権限、天皇・皇族の人権享有主体性、天皇に関連する論点
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
24	事前学習	教科書の122-126頁及び133-149頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	安全保障 (1) 自衛権の概念、戦力の不保持と交戦権の否認、平和的生存権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
25	事前学習	教科書の126-132頁及び149-163頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	安全保障 (2) 日米安全保障体制、わが国の国際貢献
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
26	事前学習	教科書の42-52頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	日本国憲法制定史 日本国憲法の成立——明治憲法から日本国憲法へ
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

27	事前学習	教科書の52-67頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	日本国憲法運用史（1） 戦後政治と日本国憲法——安全保障を通じて考える
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
28	事前学習	教科書の130-132頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	日本国憲法運用史（2） 日本国憲法の行方
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
29	事前学習	教科書の30-41頁をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	憲法改正 憲法改正の意義、憲法改正権の限界
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
30	事前学習	後半の講義の内容を改めて復習し、理解が不十分な点をまとめておく。
	授業内容	後半の総括
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

科目名	憲法A(人権)	担当者	池田 実	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	憲法の基本概念を明らかにしたうえで、日本国憲法に定める基本的人権（包括的人権、自由権、受益権、社会権）をめぐる諸問題に関し、その意義や重要判例・学説を講義する。					
授業目的・到達目標	憲法上の権利の特質を理解し、日本国憲法に定める基本的人権の概要を説明できるようになることを目的とする。憲法の基本問題（人権）につき、憲法および法律に定める制度の概要、主要な学説や判例を説明できるようになる。					
履修条件	授業日程、補助教材、試験等に関する学生への通知は、随時、ポータルにて行い、かつ、COLNetドライブの「学生教員共有」フォルダにPDFファイルをアップして配布する。ポータルやCOLNetの利用に慣れておくこと。					
授業方法	教科書に完全に準拠し、講義形式で行う。教科書は必ず持参すること。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	客観テスト（正誤問題等）の正答率を評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極性を評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	嵯峨野書院		憲法〔第2版〕		池田実
	備考					
参考書	講義中に適宜指示する。					
オフィスアワー	金曜日12:10-13:00 研究室（4号館5階454号室）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書pp. i-iiiを1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	授業案内 憲法（人権）の学び方
	事後学習	教科書pp. i-iiiの記述と講義を振り返り、憲法（人権）学修のポイントを確認する。
2	事前学習	教科書pp. 1-9を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	憲法総論 人権論へのイントロダクション
	事後学習	教科書pp. 1-9の記述と講義を振り返り、憲法の意味、法体系における憲法の地位をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

3	事前学習	教科書pp. 12-18を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	人権総論　人権の種類／人権の私人間効力
	事後学習	教科書pp. 12-18の記述と講義を振り返り、人権の種類、人権の享有主体、人権の私人間効力（第三者効力）をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
4	事前学習	教科書pp. 136-145を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（1）　思想・良心の自由／信教の自由
	事後学習	教科書pp. 136-145の記述と講義を振り返り、思想・良心の自由の意義・判例、信教の自由の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
5	事前学習	教科書pp. 145-161, 165-170を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（2）　政教分離／表現の自由
	事後学習	教科書pp. 145-161, 165-170の記述と講義を振り返り、政教分離原則の意義・判例、表現の自由の意義、表現の自由に対する規制の合憲性審査基準をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
6	事前学習	教科書pp. 170-200, 161-165を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	精神的自由権（3）　表現の自由／その他の精神的自由権
	事後学習	教科書pp. 170-200, 161-165の記述と講義を振り返り、表現の自由をめぐる判例、その他の精神的自由権（学問の自由、集会・結社の自由等）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
7	事前学習	教科書pp. 201-211を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	経済的自由権（1）　職業選択の自由
	事後学習	教科書pp. 201-211の記述と講義を振り返り、職業選択（営業）の自由の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
8	事前学習	教科書pp. 211-224を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	経済的自由権（2）　財産権／その他の経済的自由権
	事後学習	教科書pp. 211-224の記述と講義を振り返り、財産権の意義・判例、その他の経済的自由権（居住・移転の自由、外国移住・国籍離脱の自由）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
9	事前学習	教科書pp. 225-233を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	身体的自由権（1）　適正手続の保障
	事後学習	教科書pp. 225-233の記述と講義を振り返り、奴隷的拘束・苦役からの自由の意義、適正手続の保障の意義・判例をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
10	事前学習	教科書pp. 233-250を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	身体的自由権（2）　被疑者の権利／刑事被告人の権利
	事後学習	教科書pp. 233-250の記述と講義を振り返り、被疑者の権利（不法な逮捕・抑留・拘禁からの自由、住居等の不可侵）・刑事被告人の権利（公平な裁判所の迅速な公開裁判を受ける権利、証人審問権・証人喚問権、弁護人依頼権・国選弁護制度、自己に不利益な供述を強要されない権利、自白の証拠能力、事後法の禁止・一事不再理、拷問・残虐刑の禁止）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
11	事前学習	教科書pp. 251-263を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	受益権　受益権
	事後学習	教科書pp. 251-263の記述と講義を振り返り、受益権（裁判を受ける権利、国家賠償請求権、刑事補償請求権、請願権）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
12	事前学習	教科書pp. 264-272を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	社会権（1）　生存権の法的性格
	事後学習	教科書pp. 264-272の記述と講義を振り返り、社会権の意義、生存権の法的性格をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
13	事前学習	教科書pp. 272-290を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	社会権（2）　生存権をめぐる判例／その他の社会権
	事後学習	教科書pp. 272-290の記述と講義を振り返り、生存権をめぐる判例、その他の社会権（教育を受ける権利、勤労の権利・義務、労働基本権）の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
14	事前学習	教科書pp. 107-116, pp. 77-83を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	包括的人権　法の下の平等／幸福追求権
	事後学習	教科書pp. 107-116, pp. 77-83の記述と講義を振り返り、「法の下の平等」原則の意義、個人の尊重と幸福追求権の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

15	事前学習	適宜指示する。
	授業内容	総括・補遺（法令改正、新制度、最新判例等を講義する）
	事後学習	適宜指示する。

科目名	憲法A(人権)	担当者	齋藤 康輝	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	憲法（人権）の講義を行う。現在の憲法理論ならびに日本国憲法の条文の内容を解説する。そして、重要テーマについて学説にも言及するが、最高裁の解釈を基本とし、判例は必要な範囲で取り上げていく。日本の憲法をよく知るために、世界各国の憲法にもふれる。			
授業目的・到達目標	憲法は国家権力の濫用を防ぐための装置であり、その結果として人権保障を実現している。そもそも人権の概念は、自然権思想や社会契約説の影響を受けて、市民革命とともに成立したといわれる。なにより、人間の尊厳が人権の根拠となるわけである。本講義では、教科書の項目に沿って日本国憲法の人権に関する規定の条文解釈、学説の検討を行う。もちろん判例も数多く取り上げ、解説する。 到達目標は、人権についての基礎知識を習得し、さらに「公共の福祉」に関する諸学説を理解できるようにすることである。また、判例を学ぶことで法的・論理的思考力（リーガルマインド）を身につける。			
履修条件	とくになし。			
授業方法	講義形式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	レポートの成績（100％）により評価する。なお、本レポートでは、授業に出席し、授業内容をきちんと理解しているかどうかチェックする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	弘文堂	『Next教科書シリーズ憲法（第2版）』	齋藤康輝・高畑英一郎編
	備考			
参考書	授業中適宜紹介する。			
オフィスアワー	時間帯：毎週水曜日の昼休み（12:30～13:00）と3限（13:00～14:30） ただし、祝日・休暇期間は除く 場所：研究室（本館1809） 必ずメール等で事前予約した上で来室すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「はじめに」を読んでくること。
	授業内容	憲法の意義と立憲主義
	事後学習	教科書（1頁～8頁）を復習すること。
2	事前学習	教科書（9頁～16頁）を予習すること。
	授業内容	日本憲法史
	事後学習	教科書（9頁～16頁）を復習すること。

3	事前学習	教科書（３９頁～４２頁）を予習すること。
	授業内容	基本的人権の原理 人権の歴史、人権の観念、人権の類型
	事後学習	教科書（３９頁～４２頁）を復習すること。
4	事前学習	教科書（４３頁～５４頁）を予習すること。
	授業内容	基本的人権の保障と限界 人権の享有主体、人権の限界
	事後学習	教科書（４３頁～５４頁）を復習すること。
5	事前学習	教科書（５５頁～６８頁）を予習すること。
	授業内容	包括的人権 幸福追求権、新しい人権
	事後学習	教科書（５５頁～６８頁）を復習すること。
6	事前学習	教科書（６９頁～７８頁）を予習すること。
	授業内容	法の下での平等 日本国憲法における「平等」概念、憲法１４条１項の差別禁止事項、判例にみる「差別」と「合理的区別」
	事後学習	教科書（６９頁～７８頁）を復習すること。
7	事前学習	教科書（７９頁～９３頁）を予習すること。
	授業内容	精神的自由（１） 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離、学問の自由
	事後学習	教科書（７９頁～９３頁）を復習すること。
8	事前学習	教科書（９４頁～１１０頁）を予習すること。
	授業内容	精神的自由（２） 表現の自由の意味・内容・限界、集会・結社の自由、通信の秘密
	事後学習	教科書（９４頁～１１０頁）を復習すること。
9	事前学習	教科書（１１１頁～１２４頁）を予習すること。
	授業内容	人身の自由
	事後学習	教科書（１１１頁～１２４頁）を復習すること。
10	事前学習	教科書（１２５頁～１４０頁）を予習すること。
	授業内容	経済的自由
	事後学習	教科書（１２５頁～１４０頁）を復習すること。
11	事前学習	教科書（１４１頁～１４７頁）を予習すること。
	授業内容	社会権（１） 社会権の登場背景、生存権
	事後学習	教科書（１４１頁～１４７頁）を復習すること。
12	事前学習	教科書（１４８頁～１５４頁）を予習すること。
	授業内容	社会権（２） 教育を受ける権利、勤労権、労働基本権
	事後学習	教科書（１４８頁～１５４頁）を復習すること。
13	事前学習	教科書（１５５頁～１６２頁）を予習すること。
	授業内容	国務請求権・参政権
	事後学習	教科書（１５５頁～１６２頁）を復習すること。
14	事前学習	教科書（１６３頁～１７１頁）を予習すること。
	授業内容	人権と統治の融合
	事後学習	教科書（１６３頁～１７１頁）を復習すること。

15	事前学習	レポート課題に取り組むこと。
	授業内容	人権論のまとめ
	事後学習	教科書（1 頁～1 6 頁、3 9 頁～1 7 1 頁）を通読すること。

科目名	憲法A(人権)	担当者	高畑 英一郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態			
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
授業概要	中学の「公民」や高等学校の「現代社会」「政治・経済」で学んできた、憲法は国家の根本原則、すなわち国家の統治組織・統治作用や権利保障のあり方について定めた基本となる法です。憲法をよく理解した上で、よりよい社会を作り出していくことは、国民としての必須の事柄と思います。この講義では、立憲主義という近代国家に不可欠な視点から、日本国憲法の意義や内容その問題点などについて、判例・学説を素材に平易かつ具体的に解説していきます。					
授業目的・到達目標	日本国憲法の基本理念と特徴についての理解・習得を目的とします。18歳選挙権が実現したので、みなさんは有権者として憲法改正や選挙に向き合うことになります。目の前の政治課題にどのような問題があるのか、それがみなさんの自由や権利とどのような関係をもつのかを理解することは、正しい政治判断をするためには不可欠です。そのような能力を身に着けることが、この講義の到達目的となります。					
履修条件	ありません。					
授業方法	指定の教科書に即して講義形式で行います。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	日本国憲法の基本理念と特徴についての理解・習得ができたのかを判定します。		
	平常評価		10%	受講態度も評価の対象とする場合があります。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	弘文堂		Next教科書シリーズ 憲法 第2版		齋藤康輝・高畑英一郎
	備考					
参考書	初回講義時に指定する。					
オフィスアワー	月曜18:00～19:00、研究室（9号館9303）にて行います。 メールでの相談は（takahata.eiichiro@nihon-u.ac.jp）に送信してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要及び目的を理解しておくこと
	授業内容	オリエンテーション【講義の進め方の説明】
	事後学習	オリエンテーションを振り返ること
2	事前学習	教科書40-54ページを読んでくること
	授業内容	人権保障の一般原則(1)【人権保障の意義】
	事後学習	講義の中で示された「人権保障の意義と歴史」を考察し、現代に人権保障がなかった場合を想定してみよう

3	事前学習	教科書43-54ページを読んでくること
	授業内容	人権保障の一般原則(2)【人権の主体・私人間効力】
	事後学習	講義の内容を思い返して、憲法と国民との関係を考えて自分が外国に行った時のことを想定してみよう、また社会の中の格差や差別をどうやって解決すべきかを考えてみよう
4	事前学習	教科書49-54ページを読んでくること
	授業内容	人権の一般原則(3)【人権制約の原理】
	事後学習	講義の内容を思い返して、「みんなが平和に暮らす」ことと「みな同じように行動しなければダメ」は同じか、違うのかを考えてみよう
5	事前学習	教科書79-91ページを読んでくること
	授業内容	精神的自由(1)【良心・信教の自由】
	事後学習	講義の内容を思い返して、国旗国歌に起立斉唱しなければならないのか、風変わりな信仰をもつ人たちは気持ちが悪いので追い出してしまうことは許されるのか、東日本大震災で犠牲になった人たちを政府が追悼するのは許されるかを考えてみよう
6	事前学習	教科書92-105ページを読んでくること
	授業内容	精神的自由(2)【学問の自由・表現の自由の意義】
	事後学習	講義の内容を思い返して、クローン技術やiPS細胞、AI技術のような人間の生活に大きな影響を与える研究はなぜ推進されるのか、表現の自由は「優越的地位」にあるというのが本当にそうなのかを考えてみよう
7	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること
	授業内容	精神的自由(3)【表現の自由の制限】
	事後学習	講義の内容を思い返して、表現の自由を制約する理由はすべてにおいて同じか、それとも異なる理由づけによるのかを考えてみよう
8	事前学習	教科書97-105ページを読んでくること
	授業内容	精神的自由(4)【事前抑制と検閲】
	事後学習	講義の内容を思い返して、ネットやメールでの発言は完全に自由だろうか、それとも監視されているのだろうか、もしそうならどのような対策を採るべきだろうかを考えてみよう
9	事前学習	教科書106-108ページを読んでくること
	授業内容	精神的自由(5)【集会・結社の自由】
	事後学習	講義の内容を思い返して、サークルやバンドを結成し参加して活動することにどのような問題があるのかを考えてみよう
10	事前学習	教科書126-132ページを読んでくること
	授業内容	経済的自由(1)【職業選択の自由】
	事後学習	講義の内容を思い返して、人はだれでも生活のために働くが、それを選び継続する自由はどこまで認められるのかを考えてみよう
11	事前学習	教科書133-139ページを読んでくること
	授業内容	経済的自由(2)【財産権保障】
	事後学習	講義の内容を思い返して、財産をもつ権利にはどのような制限が及ぶのかを考えてみよう
12	事前学習	教科書142-148ページを読んでくること
	授業内容	社会権(1)【福祉国家主義・生存権】
	事後学習	講義の内容を思い返して、社会的格差是正のためにどのような政策がとられているのかを考えてみよう
13	事前学習	教科書148-154ページを読んでくること
	授業内容	社会権(2)【教育権・労働基本権】
	事後学習	講義の内容を思い返して、国家が国民に教育を提供することの意味を考えてみよう、また労働者が集団で使用者と交渉する権利が認められるのはなぜかを考えてみよう
14	事前学習	教科書56-68ページを読んでくること
	授業内容	幸福追求権【人格権・自己決定権】
	事後学習	講義の内容を思い返して、自然環境を保護するために憲法は有効なのかを考えてみよう、また電子機器とプライバシー保護との関係を考えてみよう

15	事前学習	教科書70-76ページを読んでくること
	授業内容	平等【形式的平等と実質的平等】
	事後学習	講義の内容を思い返して、何を基準にして等しいものと等しくないものを区別することができるのかを考えてみよう

科目名	憲法A(人権)	担当者	東 裕	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	近代立憲主義の成立から現代立憲主義へと変容する中で、人権の概念がどのように変化してきたかを概観し、日本国憲法における人権保障について通説・判例を理解することを主とし、さらに人権保障の現状と課題についても言及する。				
授業目的・到達目標	日常生活で気軽に使われる「人権」という言葉であるが、憲法学ではその背後にある歴史や思想をも含めて考察し、人権の種類に応じた保障ないし限界があることを理解する必要がある。安易に人権という言葉を使うのではなく、社会の中で生きる人間が、その尊厳を保持しながら生きるための人権保障のあり方を考えることがこの授業の目的である。主要な条文・学説・判例の知識を身につけ、人権と公共性についての思考を深められること。				
履修条件	特になし。				
授業方法	レジュメと教科書をもとに講義形式で行う。教科書の巻末には、日本国憲法と明治憲法の条文が掲載されているが、できるだけ六法も持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業で扱った条文・学説・判例に関する客観式問題（60％）と論述式問題（40％）を出題し、授業内容の理解度と到達目標の達成度を判定する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成30年度	嵯峨野書院	新・テキストブック日本国憲法		東 裕・下條芳明ほか4名
	備考	教科書に即して授業を展開するので、授業の際には必ず持参すること。定期試験の際、持ち込みを認める。			
参 考 書	授業で配付するレジュメの中で適宜紹介する。				
オフィスアワー	金曜日・4時限（出来るだけ事前に予約すること）。なお、これ以外の曜日・時限も可。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	憲法と立憲主義：近代憲法の成立と基本的人権の保障、イギリスの名誉革命と権利章典、アメリカの独立革命と憲法的文書、フランス革命と人権宣言。（教科書73-85頁、授業時にレジュメ配布）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
2	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	人権の観念と内容：人権の性格、人間の尊厳、人権の分類。（教科書73-85頁、授業時にレジュメ配布）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

3	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	現代立憲主義と人権概念の変容：近代立憲主義から現代立憲主義へ、現代憲法の人権保障、人権の国際化。（教科書85-88頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
4	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	人権の分類・享有主体：人権の分類、個人の尊重の意義、人権の享有主体（日本国民・外国人・法人・未成年者）。（教科書90-96頁、授業時にレジュメ配布）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
5	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	人権の妥当範囲・違憲審査基準：「公共の福祉」とは何か、公共の福祉による人権制約、人権の違憲審査基準。（教科書98-99頁、授業時にレジュメ配布）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
6	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	幸福追求権：幸福追求権の意義と範囲、幸福追求権から導き出される人権（名誉権・プライバシー権・自己決定権・環境権）。教科書97-104頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
7	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	平等原則：平等観念の展開（市民革命期の人権宣言）、日本国憲法における平等原則（14条1項の解釈・14条1項違反とされた判例）、選挙権の平等、家庭生活および職場における男女平等。（教科書105-120頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
8	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	精神的自由権（1）―内心の自由：精神的自由権の意義、思想・良心の自由、信教の自由、政教分離の原則、学問の自由。（教科書122-131頁、141-142頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
9	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	精神的自由権（2）―表現の自由：表現の自由の意義と内容、集会の自由、結社の自由。（教科書132-140頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
10	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	経済的自由権：経済的自由権の意義、居住・移転の自由、外国移住・国籍離脱の自由、職業選択の自由、財産権の保障。（教科書144-158頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
11	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	人身の自由：人身の自由の意義、奴隷的拘束および苦役からの自由、適正手続きの保障、被疑者の権利と被告人の権利。（教科書159-178頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
12	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	参政権：参政権の意義、選挙権の法的性質、選挙の基本原則、選挙の方法と選挙運動の規制、直接民主制方式としての参政権。（教科書180-195頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
13	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	国務請求権：国務請求権の意義、請願権、裁判を受ける権利、国家賠償請求権、刑事補償請求権。（教科書196-210頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
14	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	社会権（1）：社会権の歴史的背景、日本国憲法における社会権保障、生存権（法的性格・主要判例）、教育を受ける権利、教育権の所在と教育の自由。（教科書211-223頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

15	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	社会権（2）：勤労権、労働基本権の性格と内容、労働基本権の制限（根拠・主要判例）。（教科書223-232頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

科目名	憲法A(人権)	担当者	柳瀬 昇	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法は、国家統治の組織・作用の基本法である。特に、今日では、自由主義に基づき人権保障のために権力を抑制することを定めた基本法をいう。この講義では、日本国憲法の標準的な解釈論の基礎を、概括的に、かつ、平明に講述する。日本国憲法に定める人権保障の仕組みについて、この講義において、しっかりと理解してほしい。				
授業目的・到達目標	この講義は、日本国憲法の解釈論を学ぶことを通じて、法的なものの考え方を養うことを目的とする。日本国憲法の解釈論上の重要な概念を説明できるようになるとともに、主要な論点について問題の所在と通説・判例の論理を理解することが要求される。				
履修条件	講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれたい。後期の同一曜日・時間に設置された「憲法B（統治機構）」を受講するものとする。				
授業方法	この講義では、憲法総論及び人権論について、体系性を重視し、概括的に、かつ、平明に講述する。なお、統治機構及び憲法史については、後期の同一曜日・時間に設置された「憲法B（統治機構）」で講述する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	講義で扱った内容について、上記の到達目標に達成しているかどうかで評価する。	
	平常評価		20%	授業時間中に適宜小テスト等を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	学文社		『教育判例で読み解く 憲法』	柳瀬昇
	備考	上記のほかに、第2回の講義以降、六法が必携である（種類や出版社は問わない）。詳しくは、第1回の講義で説明する。			
参考書	第1回の講義で紹介する。				
オフィスアワー	講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、講義の前後またはオフィスアワー（火曜日12時20分～12時50分）において対応する。授業担当者の研究室は、本館8階1810号室である。他の用務のため中止することもあるため、確実に時間を確保したい場合には、eメール（yanase.noboru@nihon-u.ac.jp）で事前に連絡をとることをすすめる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をあらかじめ熟読しておく。
	授業内容	憲法を学ぶ意義 法学の全体像と憲法学の位置、憲法の概念、憲法規範の特質
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
2	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の1-3頁及び8-12頁を読んでおく。
	授業内容	立憲主義の基本原理（1） 日本国憲法の基本原理、人権尊重主義（基本的人権の尊重）、国民主権主義、平和主義
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

3	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の13-15頁を読んでおく。
	授業内容	憲法と人権の限界（1） 法人の人権、外国人の人権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
4	事前学習	教科書の17-18頁及び27-30頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	憲法と人権の限界（2） 一般職公務員の人権、憲法の私人間効力
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
5	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の16-25頁及び26-34頁を読んでおく。また、教科書の37-39頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	幸福追求権 幸福追求権の意義、プライバシーの権利、自己決定権
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
6	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の36-45頁を読んでおく。また、第5回のレジュメの2頁のReading Assignmentについて考えておく。
	授業内容	法の下の平等 法の下の平等の意義、優先処遇と逆差別、尊属殺人事件最高裁判決
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
7	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	内心の自由 思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
8	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の46-55頁、56-65頁及び86-93頁を読んでおく。
	授業内容	表現の自由（1） 表現の自由の価値・射程、表現の自由の内容
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
9	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の66-75頁を読んでおく。
	授業内容	表現の自由（2） 検閲の禁止、表現の自由の規制立法に対する違憲審査
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
10	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の76-85頁を読んでおく。
	授業内容	経済の自由（1） 公共の福祉、居住・移転の自由、財産権の保障
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
11	事前学習	教科書の95-97頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	経済の自由（2） 職業選択の自由
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
12	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の94-103頁を読んでおく。
	授業内容	身体の自由 法定適正手続の保障、憲法に定める刑事手続上の権利、死刑制度の憲法適合性
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
13	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の103頁を読んでおく。また、教科書の105-109頁及び114-119頁の事件の概要、下級裁判所の判断及び最高裁判所の判断をあらかじめ読んでおく。
	授業内容	国家による自由 生存権、教育を受ける権利
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
14	事前学習	前回の講義の復習として、教科書の104-122頁を読んでおく。
	授業内容	国家への自由 参政権、議員定数不均衡事件最高裁判決
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。また、今回の講義の復習として、教科書の123頁を読んでおく。

15	事前学習	講義の内容を改めて復習し、理解が不十分な点をまとめておく。
	授業内容	人権論の総括
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

科目名	憲法B(統治機構)	担当者	池田 実	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	憲法の基本概念を明らかにしたうえで、日本国憲法に定める統治機構（国会、内閣、裁判所、天皇、財政、地方自治）及び戦争の放棄をめぐる諸問題に関し、制度の概要や重要判例・学説を講義する。					
授業目的・到達目標	政治の法である憲法に固有の特質を理解し、日本国憲法に定める統治機構の概要を説明できるようになることを目的とする。憲法の基本問題（統治機構）につき、憲法および法律に定める制度の概要、主要な学説や判例を説明できるようになる。					
履修条件	授業日程、補助教材、試験等に関する学生への通知は、随時、ポータルにて行い、かつ、COLNetドライブの「学生教員共有」フォルダにPDFファイルをアップして配布する。ポータルやCOLNetの利用に慣れておくこと。					
授業方法	教科書に完全に準拠し、講義形式で行う。教科書は必ず持参すること。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	客観テスト（正誤問題等）の正答率を評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極性を評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2016年	嵯峨野書院		憲法〔第2版〕		池田実
	備考					
参 考 書	講義中に適宜指示する。					
オフィスアワー	金曜日12:10-13:00 研究室（4号館5階454号室）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書pp. i-iiiを1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	授業案内 憲法（統治機構）の学び方
	事後学習	教科書pp. i-iiiの記述と講義を振り返り、憲法（統治機構）学修のポイントを確認する。
2	事前学習	教科書pp. 1-9を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	憲法総論 統治機構論へのイントロダクション
	事後学習	教科書pp. 1-9の記述と講義を振り返り、憲法の意味、法体系における憲法の地位をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

3	事前学習	教科書pp. 9-13, 23-25, 49を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	日本国憲法論 日本憲法史／日本国憲法の基本原理
	事後学習	教科書pp. 9-13, 23-25, 49の記述と講義を振り返り、日本憲法史の概略、日本国憲法前文の趣旨、日本国憲法の成立過程をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
4	事前学習	教科書pp. 291-299を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会（1） 国会の地位
	事後学習	教科書pp. 291-299の記述と講義を振り返り、代表民主制の趣旨、国会の地位、国会議員の地位をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
5	事前学習	教科書pp. 300-306を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会（2） 国会の活動
	事後学習	教科書pp. 300-306の記述と講義を振り返り、国会の会期制、会議の諸原則をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
6	事前学習	教科書pp. 306-320を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	国会（3） 国会の権能／議院の権能
	事後学習	教科書pp. 306-320の記述と講義を振り返り、国会の権能、議院の権能をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
7	事前学習	教科書pp. 320-326, 124-133を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	参政権と選挙制度 参政権と選挙制度
	事後学習	教科書pp. 320-326, 124-133の記述と講義を振り返り、参政権の意義、選挙制度の特徴、議員定数不均衡（一票の較差）問題をめぐる判例の動向をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
8	事前学習	教科書pp. 327-337を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	内閣（1） 行政権と内閣／議院内閣制
	事後学習	教科書pp. 327-337の記述と講義を振り返り、行政権の意義、議院内閣制の趣旨をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
9	事前学習	教科書pp. 337-348を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	内閣（2） 内閣の組織・権能
	事後学習	教科書pp. 337-348の記述と講義を振り返り、内閣の組織、内閣および内閣総理大臣の権能をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
10	事前学習	教科書pp. 23-43を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	天皇 象徴天皇制／国事行為／皇室経済
	事後学習	教科書pp. 23-43の記述と講義を振り返り、天皇の地位、皇位継承の原則、天皇の国事行為、皇室経済の原則をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
11	事前学習	教科書pp. 349-360を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	裁判所（1） 司法権／司法権の独立
	事後学習	教科書pp. 349-360の記述と講義を振り返り、司法権（の独立）の意義、裁判官の身分保障をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
12	事前学習	教科書pp. 360-374を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	裁判所（2） 裁判所の組織・権能／違憲審査制
	事後学習	教科書pp. 360-374の記述と講義を振り返り、裁判所の組織・権能、違憲審査制の意義、憲法判断の方法をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
13	事前学習	教科書pp. 44-76を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	戦争の放棄 平和主義／憲法9条／安全保障
	事後学習	教科書pp. 44-76の記述と講義を振り返り、憲法9条の解釈・判例、自衛権の意義、安全保障法制の概略をノートにまとめ、説明できるようにしておく。
14	事前学習	教科書pp. 375-389を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	財政 予算・決算／公金支出等の禁止
	事後学習	教科書pp. 375-389の記述と講義を振り返り、予算・決算の制度、公金支出等の禁止の意義をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

15	事前学習	教科書pp. 390-410を1～2回通読し、疑問点をメモしておく。
	授業内容	地方自治 地方自治の本旨／地方公共団体の組織・運営
	事後学習	教科書pp. 390-410の記述と講義を振り返り、地方自治の本旨、地方公共団体の組織・運営をノートにまとめ、説明できるようにしておく。

科目名	憲法B(統治機構)	担当者	齋藤 康輝	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法（統治機構）の講義を行う。現在の憲法理論ならびに日本国憲法の条文の内容を解説する。そして、重要テーマについて学説にも言及するが、最高裁の解釈を基本とし、判例は必要な範囲で取り上げていく。日本の憲法をよく知るために、世界各国の憲法にもふれる。				
授業目的・到達目標	憲法は国の最高法規であり、国民主権・人権尊重・平和主義などの基本原則をベースに民主主義を実現することを目的とした「国家の設計図」である。もちろん、憲法は私たちの日常生活と密接な関係を持っているのだが、憲法の規定はかなり抽象的で、わかりにくく、それを縁遠いものと感じているひとが多いかもしれない。本講義では、統治機構に関する日本国憲法の条文解釈を行うが、初学者に配慮し、できるだけわかりやすい授業をする。到達目標は、統治（立法、行政、司法、財政、地方自治など）全般の基礎知識を習得することである。そのさい、国家権力の濫用を防止するという視点を確認するとともに権力の適切な行使という面もしっかり理解できるようにしたい。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポートの成績（100％）により評価する。なお、本レポートでは、授業に出席し、授業内容をきちんと理解しているかどうかチェックする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	弘文堂		『Next教科書シリーズ憲法（第2版）』	齋藤康輝・高畑英一郎編
	備考				
参考書	授業中適宜紹介する。				
オフィスアワー	時間帯：毎週水曜日の昼休み（12:30～13:00）と3限（13:00～14:30） ただし、祝日・休暇期間は除く 場所：研究室（本館1809） 必ずメール等で事前予約した上で来室すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「はじめに」を読んでくること。
	授業内容	憲法の意義 国家論 国家と国民
	事後学習	教科書（1頁～8頁）を復習すること。
2	事前学習	教科書（163頁～176頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（1） 人権と統治の融合 権力分立
	事後学習	教科書（163頁～176頁）を予習すること。

3	事前学習	教科書（１７頁～２４頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（２） 国民主権と天皇制
	事後学習	教科書（１７頁～２４頁）を復習すること。
4	事前学習	教科書（２５頁～３８頁）を予習すること。
	授業内容	統治の基本原理（３） 平和主義
	事後学習	教科書（２５頁～３８頁）を復習すること。
5	事前学習	教科書（１７７頁～１８０頁）を予習すること。
	授業内容	国会（１） 国会の地位と組織、国会の構成、国会議員の地位と特権
	事後学習	教科書（１７７頁～１８０頁）を復習すること。
6	事前学習	教科書（１８１頁～１９６頁）を予習すること。
	授業内容	国会（２） 国会の運営と活動、国会および議院の権能、議院の権限（自律権、国政調査権）
	事後学習	教科書（１８１頁～１９６頁）を復習すること。
7	事前学習	教科書（１９７頁～２００頁）を予習すること。
	授業内容	内閣（１） 内閣の地位・性格、内閣の組織
	事後学習	教科書（１９７頁～２００頁）を復習すること。
8	事前学習	教科書（２０１頁～２０６頁）を予習すること。
	授業内容	内閣（２） 内閣の権限・責任、財政
	事後学習	教科書（２０１頁～２０６頁）を復習すること。
9	事前学習	教科書（２０７頁～２１５頁）を予習すること。
	授業内容	司法（裁判所）（１） 司法権の概念、司法権の独立
	事後学習	教科書（２０７頁～２１５頁）を復習すること。
10	事前学習	教科書（２１６頁～２２８頁）を予習すること。
	授業内容	司法（裁判所）（２） 裁判所の構成と権限、違憲審査制
	事後学習	教科書（２１６頁～２２８頁）を復習すること。
11	事前学習	教科書（２２９頁～２４２頁）を予習すること。
	授業内容	地方自治
	事後学習	教科書（２２９頁～２４２頁）を復習すること。
12	事前学習	教科書（２４３頁～２４６頁）を予習すること。
	授業内容	憲法の最高法規性
	事後学習	教科書（２４３頁～２４６頁）を復習すること。
13	事前学習	教科書（２４７頁～２５４頁）を予習すること。
	授業内容	世界の憲法
	事後学習	教科書（２４７頁～２５４頁）を復習すること。
14	事前学習	教科書（２５５頁～２６１頁）を予習すること。
	授業内容	日本国憲法の将来
	事後学習	教科書（２５５頁～２６１頁）を復習すること。

15	事前学習	レポート課題に取り組むこと。
	授業内容	統治機構論のまとめ
	事後学習	教科書（1 頁～3 8 頁、1 6 3 頁～2 6 1 頁）を通読すること。

科目名	憲法B(統治機構)	担当者	高畑 英一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	中学の「公民」や高等学校の「現代社会」「政治・経済」で学んできた、憲法は国家の根本原則、すなわち国家の統治組織・統治作用や権利保障のあり方について定めた基本となる法です。憲法をよく理解した上で、よりよい社会を作り出していくことは、国民としての必須の事柄と思います。この講義では、立憲主義という近代国家に不可欠な視点から、日本国憲法の意義や内容その問題点などについて、判例・学説を素材に平易かつ具体的に解説していきます。				
授業目的・到達目標	日本国憲法の基本理念と特徴についての理解・習得を目的とします。18歳選挙権が実現したので、みなさんは有権者として憲法改正や選挙に向き合うことになります。目の前の政治課題にどのような問題があるのか、それがみなさんの自由や権利とどのような関係をもつのかを理解することは、正しい政治判断をするためには不可欠です。そのような能力を身に着けることが、この講義の到達目的となります。				
履修条件	ありません。				
授業方法	指定の教科書に即して講義形式で行います。				
成績評価	種別	割合	評価方法		
	定期試験	90%	日本国憲法の基本理念と特徴についての理解・習得ができたのかを判定します。		
	平常評価	10%	受講態度も評価の対象とする場合があります。		
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	弘文堂	Next教科書シリーズ 憲法 第2版		齋藤康輝・高畑英一郎
	備考				
参考書	初回講義時に指定する。				
オフィスアワー	月曜18:00～19:00、研究室（9号館9303）にて行います。 メールでの相談は（takahata.eiichiro@nihon-u.ac.jp）に送信してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書164-168ページを読んでくること
	授業内容	国民主権【国民主権の意義・民主主義】
	事後学習	講義の内容を思い返して、社会のルールは国民の意思に基づいて決定するが、その決定にはどのような限界があったのかを考えてみよう
2	事前学習	教科書74, 160-162ページを読んでくること
	授業内容	選挙(1)【国民の政治参加を具体化する制度の原則】
	事後学習	講義の内容を思い返して、選挙の原則の内容を確認するとともに、なぜ「一票の格差」が問題となるのかを考えてみよう

3	事前学習	教科書166-167ページを読んでくること
	授業内容	選挙(2)【現在の選挙制度】
	事後学習	講義の内容を思い返して、現行の選挙制度にはどのような問題点があるのかを考えてみよう
4	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること
	授業内容	国会(1)【二院制・国会の審議方法】
	事後学習	講義の内容を思い返して、参議院の存在意義と衆議院の優越が認められる理由を考えてみよう
5	事前学習	教科書178-195ページを読んでくること
	授業内容	国会(2)【立法権・議員特権】
	事後学習	講義の内容を思い返して、国民よりも厚く保護されている国会議員に求められる役割とはどのようなものかを考えてみよう
6	事前学習	教科書198-206ページを読んでくること
	授業内容	内閣【議院内閣制・内閣の構造と権能】
	事後学習	講義の内容を思い返して、議院内閣制と大統領制にはどのような違いがあるのかを考えてみよう
7	事前学習	教科書208-220ページを読んでくること
	授業内容	裁判所(1)【司法権の内容・日本の裁判所の特徴】
	事後学習	講義の内容を思い返して、「法律上の争訟」の内容とその機能はどのようなものかを考えてみよう
8	事前学習	教科書208-220ページを読んでくること
	授業内容	裁判所(2)【司法権の限界・司法の独立】
	事後学習	講義の内容を思い返して、民主政と公平な裁判の関係はどうあるべきかを考えてみよう
9	事前学習	教科書222-228ページを読んでくること
	授業内容	違憲立法審査権【法律を無効にする裁判所の権能】
	事後学習	講義の内容を思い返して、最高裁判所は「憲法の番人」と呼ばれるが、それは正しい理解なのかを考えてみよう
10	事前学習	教科書230-241ページを読んでくること
	授業内容	地方自治(1)【地方自治制度・地方自治体の構造】
	事後学習	講義の内容を思い返して、国と地方の関係はどのようなものであるのかを考えてみよう
11	事前学習	教科書230-241ページを読んでくること
	授業内容	地方自治(2)【住民の権利・条例制定権】
	事後学習	講義の内容を思い返して、住民は地方政府に対してどのような権利をもっているのかを考えてみよう
12	事前学習	教科書18-24ページを読んでくること
	授業内容	天皇制【象徴としての地位・国事行為】
	事後学習	講義の内容を思い返して、わが国における天皇の存在はなにかを考えてみよう
13	事前学習	教科書26-38ページを読んでくること
	授業内容	平和主義【戦争放棄規定と自衛権・安全保障体制】
	事後学習	講義の内容を思い返して、現在の国際社会での自衛権の行使について考えてみよう
14	事前学習	教科書1-8ページを読んでくること
	授業内容	国家について・憲法とは何か、立憲主義【憲法の一般原則や現代憲法に共通する憲法特徴】
	事後学習	講義の内容を思い返して、立憲主義という考え方や、憲法・政府・国民の関係はどのようなものかを考えてみよう

15	事前学習	教科書10-16ページを読んでくること
	授業内容	憲法史【明治憲法と現行憲法の歴史】
	事後学習	講義の内容を思い返して、明治維新後の日本は憲法と共にどのように発展してきたのかを考えてみよう

科目名	憲法B(統治機構)	担当者	東 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-----	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	近代憲法の基本原理である人権保障と権力分立を基本に、日本国憲法の統治機構について、制度の目的・機能・結果という視点を踏まえながら、その組織、権能、および相互関係について解説する。通説・判例を踏まえながら、適宜自説を解説する。また、比較憲法的視点からの日本国憲法の考察にも留意する。				
授業目的・到達目標	近代憲法の基本原理である人権保障と権力分立を基本に、日本国憲法の統治機構について、制度の目的・機能・結果という視点を踏まえながら、その組織、権能、および相互関係について理解を深めることを目的とする。日本国憲法の定める統治機構の原理と制度について説明ができ、制度の問題点も指摘できるようになること。				
履修条件	特になし。				
授業方法	レジュメと教科書をもとに講義形式で行う。教科書の巻末には、日本国憲法、明治憲法およびポツダム宣言の条文がそれぞれ掲載されているが、できるだけ六法も持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業で扱った条文・学説・判例に関する客観式問題（60％）と論述式問題（40％）を出題し、授業内容の理解度と到達目標の達成度を判定する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成30年度	嵯峨野書院	新・テキストブック日本国憲法		東 裕・下條芳明ほか4名
	備考	教科書に即して授業を展開するので、授業の際には必ず持参すること。定期試験の際、持ち込みを認める。			
参 考 書	授業で配付するレジュメの中で適宜紹介する。				
オフィスアワー	金曜日・4時限（出来るだけ事前に予約すること）。なお、これ以外の曜日・時限も可。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	国家と憲法：憲法と国家、憲法の分類、憲法の分類、憲法の特質、近代憲法の基本原理、近代国家から現代国家への変容と現代憲法の展開。（教科書1-15頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
2	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	日本国憲法の成立：ポツダム宣言の意味、占領下における日本国憲法成立過程、8月革命説。（教科書17-24頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

3	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	日本国憲法の基本原理：日本国憲法の基本原理とその相互関係について。（教科書25-31頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
4	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	天皇の地位と権能：国民主権と天皇制、天皇の地位、天皇の権能と行為、皇室経済。（教科書33-46頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
5	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	戦争の放棄：日本国憲法の平和主義の特徴、9条解釈のあり方、政府及び裁判所の9条解釈、9条解釈の学説、憲法と国家と安全保障。（教科書47-70頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
6	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	権力分立原理：権力分立の意義、権力分立の目的、権力分立の現代的変容。（教科書11-12、242、261、275頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
7	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	議院内閣制：議院内閣制の意義と本質、議院内閣制と大統領制、首相公選論。（教科書264-271頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
8	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	国会の地位：国民の代表機関、国権の最高機関、国の唯一の立法機関。（教科書241-244頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
9	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	国会の組織と権能：二院制、会期、国会の権能と議院の権能、衆議院の優越、国会議員の地位と特権、議会制民主主義と政党。（教科書241-259頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
10	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	内閣の組織と権能：行政権の意義、独立行政委員会、内閣の構成、内閣の責任、内閣の権能、内閣総理大臣の地位と権能。（教科書261-273頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
11	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	裁判所の組織と権能：司法権の意義、司法権の独立、裁判所の構成・運営・管轄、裁判員制度、最高裁判所の組織と権能。（教科書275-286頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
12	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	違憲審査制：違憲審査制の類型、違憲審査の主体と対象、違憲審査制の運用、司法権の限界（統治行為論・立法裁量・行政裁量）違憲審査の方法と効力。（教科書286-302頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
13	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	財政：財政の基本原則、予算の意義・性質・内容、予算の作成手続、決算の意義・効果、公金の支出制限。（教科書303-315頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。
14	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	地方自治：地方自治の概念、わが国の地方自治制度、地方自治の本旨（住民自治・団体自治）、地方公共団体の組織、条例制定権とその限界、住民投票、直接請求。（教科書316-331頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

15	事前学習	授業内容に記載された教科書の該当頁の部分を読むこと。
	授業内容	憲法保障と憲法改正：憲法保障の意義、国家緊急権、抵抗権、憲法改正の意義、憲法改正手続、憲法改正の限界、憲法の変遷の意義。（教科書333—346頁）
	事後学習	授業で扱った部分を確認すること。

科目名	憲法B(統治機構)	担当者	柳瀬 昇	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし経営法学科は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	憲法は、国家統治の組織・作用の基本法である。特に、今日では、自由主義に基づき人権保障のために権力を抑制することを定めた基本法をいう。この講義では、日本国憲法の標準的な解釈論の基礎を、概括的に、かつ、平明に講述する。日本国憲法に定める統治機構の仕組みについて、この講義において、しっかりと理解してほしい。				
授業目的・到達目標	この講義は、日本国憲法の解釈論を学ぶことを通じて、法的なものの考え方を養うことを目的とする。日本国憲法の解釈論上の重要な概念を説明できるようになるとともに、主要な論点について問題の所在と通説・判例の論理を理解することが要求される。				
履修条件	前期の同一曜日・時間に設置された「憲法A（人権）」を受講したことを履修条件とする。講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれない。				
授業方法	憲法総論及び人権論については、前期の同一曜日・時間に設置された「憲法A（人権）」で講述した。この講義では、統治機構論及び憲法史について、体系性を重視し、概括的に、かつ、平明に講述する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	講義で扱った内容について、上記の到達目標に達成しているかどうかで評価する。	
	平常評価		20%	授業時間中に適宜小テスト等を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	学文社		『教育判例で読み解く 憲法』	柳瀬昇
	備考	上記のほかに、六法が必携である（種類や出版社は問わない）。			
参考書	第1回の講義で紹介する。				
オフィスアワー	講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、講義の前後またはオフィスアワー（火曜日12時20分～12時50分）において対応する。授業担当者の研究室は、本館8階1810号室である。他の用務のため中止することもあるため、確実に時間を確保したい場合には、eメール（yanase.noboru@nihon-u.ac.jp）で事前に連絡をとることをすすめる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をあらかじめ熟読しておく。
	授業内容	立憲主義の基本原理（2） 日本国憲法の基本原理、権力分立、法治主義と法の支配、立憲主義の意義と変遷
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
2	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	国会と立法権（1） 国会の地位
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

3	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	国会と立法権（2） 国会の組織、国会の権能・議院の権能、国会の活動方法
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
4	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	内閣と行政権（1） 行政権の概念、内閣の組織、内閣の権能・内閣総理大臣の権限
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
5	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	内閣と行政権（2） 議会と政府との関係、解散権の所在
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
6	事前学習	第2回から第5回までの講義の復習として、教科書の124-133頁を読んでおく。
	授業内容	裁判所と司法権・違憲審査権（1） 裁判所の組織・権能、司法権の独立
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
7	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	裁判所と司法権・違憲審査権（2） 司法権の内容、司法権の限界
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
8	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	裁判所と司法権・違憲審査権（3） 憲法保障制度としての違憲審査制、違憲審査権の性格・主体・対象、違憲判断の方法・効力
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
9	事前学習	第6回から第8回までの講義の復習として、教科書の134-143頁を読んでおく。
	授業内容	財政からみる民主主義 財政の基本原則、公金・公財産の支出・利用の制限、予算と決算
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
10	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	地方からみる民主主義 地方自治の本旨、条例制定権とその限界
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
11	事前学習	第9回から第10回までの講義の復習として、教科書の144-153頁を読んでおく。
	授業内容	天皇 天皇の地位・性格、天皇の権限、天皇・皇族の人権享有主体性、天皇に関連する論点
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
12	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	安全保障 自衛権の概念、戦力の不保持と交戦権の否認、平和的生存権、日米安全保障体制、わが国の国際貢献
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
13	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	日本国憲法の生成と展開（1） 日本国憲法の成立——明治憲法から日本国憲法へ、戦後政治と日本国憲法——安全保障を通じて考える
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。
14	事前学習	前回の講義の復習を行う。
	授業内容	日本国憲法の生成と展開（2） 日本国憲法の行方、憲法改正権の限界
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

15	事前学習	講義の内容を改めて復習し、理解が不十分な点をまとめておく。
	授業内容	統治機構論の総括
	事後学習	レジュメに沿って講義で学んだ内容を復習する。

科目名	公共経済学Ⅰ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	公共経済学は、政府の経済行動を理論的に分析する応用経済学の一分野である。本講では、ミクロ・マクロの基本的な経済理論を公共部門に応用して、政府の経済行動を支出、収入の両面から分析するとともに、公共部門に関わる経済主体の経済行動を、政治的な側面も併せて、理論編に現実編を織り交ぜながら講義を進める。				
授業目的・到達目標	政府公共部門の役割とその実現方法ないし指針の提示方法の修得を目的とする。市場システムは効率的に資源配分を実現すること。市場は失敗するケースがあること。市場の失敗の具体的なケースにおいて、政府公共部門の対策方法の考え方をさまざまな学説や理論を考察して学習し、受講生が説明できるようになることを目標とする。				
履修条件	経済学Ⅰ・Ⅱないしミクロ・マクロ経済学を履修していることが望ましい。				
授業方法	テキスト・参考書を参照しつつ講義毎レジメと関連する資料を配付して講義を進める。スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	筆記試験は、公共経済学の意義と重要概念を具体的なケースにおいて習得できているかを判定する。授業で解説された各事項について、意義を踏まえて理解すること。	
	平常評価		20%	レポート提出、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	新世社		『基礎コース 公共経済学 第2版』	井堀利宏著
	備考				
参考書	スティグリッツ著『公共経済学第2版（上・下）』（東洋経済新報社）、林正義・小川光・別所俊一郎著『公共経済学（有斐閣アルマ）』（有斐閣）、柴田弘文・柴田愛子著『公共経済学』（東洋経済新報社）、その他授業中に紹介。				
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。教科書を入手して、各章の冒頭にある導入説明を読む。
	授業内容	〔ガイダンス〕 講義のテーマや内容、講義スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて公共経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 第1章の「1節 市場の機能」の部分を読み、市場の機能とメリットを理解し、市場の失敗の意味を考察する。
	授業内容	〔公共経済学の意義〕 市場の機能とメリットを学習、競争的市場は優れた機能を有するが、失敗するケースがあることを学習、効率性を基準に公共経済学が市場の失敗の調整を提唱することを考察する。
	事後学習	講義ノートを確認して、市場の機能とメリット及び市場の失敗について、自分なりの説明をまとめる。

3	事前学習	教科書 第1章の「2節 政府の役割」の部分を読み、市場の失敗と政府の役割との関係を考察する。
	授業内容	〔市場の失敗と政府の役割1〕 資源配分のケースにおける市場の失敗を学習し、政府の役割（財政の三大機能）との関連を考察する。
	事後学習	講義ノートを確認して、資源配分のケースにおける市場の失敗と政府の役割（財政の機能）との関係について、自分なりの説明をまとめる。
4	事前学習	教科書 第1章の「2節 政府の役割」の部分を読み、市場の失敗と政府の役割との関係を考察する。
	授業内容	〔市場の失敗と政府の役割2〕 所得分配及び景気循環のケースにおける市場の失敗を学習し、政府の役割（財政の役割）との関連を考察する。
	事後学習	講義ノートを確認して、所得分配・景気循環のケースにおける市場の失敗と政府の役割（財政の役割）との関係について、自分なりの説明をまとめる。現行財政の予算配分と財政の三大機能との関連を考察する。
5	事前学習	教科書 第2章の「1節 選挙と投票」、「2節 選挙と棄権」の部分を読み、民主主義の基本制度である投票によって、有権者の意向が適切に反映されない可能性を考察する。
	授業内容	〔国民と投票1〕 中位投票者定理、投票のパラドックス、選挙区、選挙と棄権を学習し、多数決原理の意義と問題点について受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、中位投票者定理や投票のパラドックスの理論を作図して説明できるようにする。八代尚宏著『シルバー民主主義』（中公新書）を読み、感想をまとめる。
6	事前学習	教科書 第2章の「3節 望ましい投票制度」の部分を読み、様々な投票制度の概念を考察する。
	授業内容	〔国民と投票2〕 様々な投票制度を学習し、投票の回数を少なくしながら、有権者の意向をより適切に反映できる投票制度について、簡単な数値例を用いて考察し、受講生が各投票制度の評価を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、節末の練習問題を解いてみる。
7	事前学習	教科書 第2章「4節 有権者の政治行動」を読み、有権者による投票以外の政治行動について考察する。
	授業内容	〔国民と投票3〕 住民投票、声による投票、圧力団体モデル、足による投票を学習し、投票以外の政治行動の意義と問題点について、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、住民投票、圧力団体、足による投票の具体例を挙げてそれらの意義と問題点についてまとめる。
8	事前学習	教科書 「第3章 政党と政策」を読み、政党の行動原理、政権交代の影響、政党の数と規模の決定要因、連立政権の意味について考察する。
	授業内容	〔政党と政策〕 政党の政権獲得行動と政策の収束、政権交代に伴う政治的景気循環、党派的景気循環、政党の数と規模の決定要因、連立政権の意味について学習し、政党の行動に関する理論や影響について受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、日本における政党の行動と影響に関する理論を検証してみる。
9	事前学習	教科書 第4章の「1節 参入規制」「2節 価格規制」を読み、規制の弊害を考察する。
	授業内容	〔規制1〕 政府による参入規制及び価格規制の経済的分析を学習し、公的規制が社会に損失をもたらすことを考察する。
	事後学習	講義ノートを確認して、節末の練習問題を解く。T P Pの意義と問題点について、自分なりの考えをまとめてみる。
10	事前学習	教科書 第4章の「3節 独占と公的規制」を読み、自然独占企業の概念を考察する。
	授業内容	〔規制2〕 市場の失敗するケースの1つである自然独占企業の特徴を学習し、その企業に対する規制方法を効率性基準から考察し、さらに、代表的料金規制の意義と問題点について学習し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自然独占企業の具体例を挙げて、その特徴をまとめてみる。
11	事前学習	教科書 第5章の「1節 外部性とは何か」「2節 ピグー課税」を読み、外部性の概念とピグー課税の意味について考察する。
	授業内容	〔外部性1〕 市場の失敗の代表的な例である外部性、特に外部不経済（＝公害）のケースを取り上げ、簡単な数値例を用いて超過負担の概念から市場の失敗との関連を学習し、それを解消するための政府によるピグー課税を学習する。
	事後学習	講義ノートを確認して、地球規模での環境税設立の可能性について、囚人のジレンマの理論を踏まえて、自分なりの説明をまとめる。また、C O Pの会議の推移についてまとめてみる。
12	事前学習	教科書 第5章の「3節 コースの定理」「4節 外部性対策の経済的手段」の部分を読み、コースの定理、代表的な経済的手段の意義を考察する。
	授業内容	〔外部性2〕 コースの定理、汚染権の売買、リサイクル、地球環境問題、禁煙対策の複数均衡について学習し、それぞれの意義と問題点を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、コースの定理の現実適用例を挙げてみる。
13	事前学習	教科書 第6章の「1節 公共財の概念とただ乗りの問題」「2節 公共財の公的供給と私的供給」を読み、公共財とは、どのように定義されるのか、また、公共財はなぜ市場の失敗の原因となるのか考察する。
	授業内容	〔公共財1〕公共財という特別の概念をもつ政府支出を、資源配分の効率性の観点から学習するために、まず公共財の概念を学習し、ただ乗りの問題が重要であることを学習する。さらに、公的供給と私的供給のメカニズムを学習し、公共財の最適供給条件であるサムエルソンルールは市場で成立しないことを学習する。学習を踏まえ受講者が政府による公共財供給の意義を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、6－2節 練習問題を解いてみる。

14	事前学習	教科書 第6章の「3節 準公共財」を読み、純粋公共財との違いは何か、地方公共財とはどのように定義され準公共財に分類されるのか考察する。
	授業内容	〔公共財2〕 準公共財の概念、地方公共財、クラブ財の最適供給を学習し、地方公共財の最適供給の方法と地方分権の意義を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、地方分権の意義と問題点、および日本における地方分権の状況について自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、公共経済学の扱うテーマと分析手法の特徴点を考察する。
	授業内容	講義のまとめとして、扱ってきた公共経済学のテーマと分析手法の特徴点を学習し、同様に公共部門を研究対象とする財政学との相違点を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	初回からの授業ノートを見直し、公共経済学の分析手法の特徴と財政学との相違点を自分なりの説明をまとめる。

科目名	公共経済学Ⅱ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	公共経済学は、政府の経済行動を理論的に分析する応用経済学の一分野である。本講では、ミクロ・マクロの基本的な経済理論を公共部門に応用して、政府の経済行動を支出、収入の両面から分析するとともに、公共部門に関わる経済主体の経済行動を、政治的な側面も併せて、理論編に現実編を織り交ぜながら講義を進める。				
授業目的・到達目標	政府公共部門の役割とその実現方法ないし指針の提示方法の修得を目的とする。 市場システムは効率的に資源配分を実現すること。市場は失敗するケースがあること。市場の失敗の具体的なケースにおいて、政府公共部門の対策方法の考え方をさまざまな学説や理論を考察して学習し、受講生が説明できるようになることを目標とする。				
履修条件	公共経済学Ⅰを履修していることが望ましい。 経済学Ⅰ・Ⅱないしミクロ経済学Ⅰを履修していることが望ましい。				
授業方法	テキスト・参考書を参照しつつ講義毎レジメを配付して講義を進める。 スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	筆記試験は、公共経済学の意義と重要概念を具体的なケースにおいて習得できているかを判定する。授業で解説された各事項について、意義を踏まえて理解すること。	
	平常評価		20%	レポート提出、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	新世社		『基礎コース 公共経済学 第2版』	井堀利宏著
	備考				
参考書	スティグリッツ著『公共経済学第2版（上・下）』東洋経済新報社、林正義・小川光・別所俊一郎著『公共経済学』（有斐閣アルマ）：有斐閣、柴田弘文・柴田愛子著『公共経済学』東洋経済新報社、その他適宜紹介。				
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。教科書を入手して各章の冒頭にある導入説明を読む。
	授業内容	【ガイダンス】 講義のテーマや内容、講義スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて公共経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 第1章 市場と政府 を読み、市場の機能とメリットを理解し、市場の失敗と政府の機能との関連を考察する。
	授業内容	【市場の機能と政府の役割】 市場の機能とメリット、市場の失敗を学習し、効率性を基準に公共経済学が市場の失敗の政府による調整方法を提唱することを学習し、受講生が同様に公共部門の研究をする財政学との相違点を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、市場の機能と市場の失敗、および市場の失敗と政府の役割（財政の機能）との関係について、自分なりの説明をまとめる。

3	事前学習	教科書 第7章の「1節 費用便益分析」を読み、その意義と手法を考察する。
	授業内容	【公共支出の評価1】 公共財の最適供給を実現するための、代表的な公共支出の評価方法である費用便益分析を学習し、その意義と分析手法を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、7－1節 練習問題を解いてみる。
4	事前学習	教科書 第7章の「2節 最適な公共投資」を読み、その意義とテーマに対する公共経済学のアプローチ手法を考察する。
	授業内容	【公共支出の評価2】 公共支出の役割、市場経済での公共投資の役割、公共投資の割引率を学習し、受講生が公共経済学のアプローチによって最適な公共投資を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、日本における地域間の生産性の違いデータをネット等から取得して、どのような資源配分が効率的と言えるのか自分なりの説明をまとめる。
5	事前学習	教科書 第7章の「3節 費用便益分析に代わる方法」を読み、代表的代替法を確認し代替法の意義を考察する。
	授業内容	【公共支出の評価3】 費用便益分析に代わる方法として、トラベルコスト法、ヘドニック・アプローチ、仮想的市場評価法を学習し、費用便益分析との相違点と意義について受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、代替法が具現化しているケースを挙げてみる。
6	事前学習	教科書 第8章の「1節 直接税と間接税」をよみ、相違点を考察する。
	授業内容	【課税1】 直接税と間接税の定義、転嫁と帰着、累進税と比例税について学習し、個別間接税の経済的な負担が、税金を誰が納税するかとは無関係に、需要と供給の関係で決まることを受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、需要および供給の価格弾力性の異なる財に間接税を課すことによって生じる資源配分の攪乱を考察してみる。
7	事前学習	教科書 第8章の「2節 課税体系の考え方」を読み、わが国の所得税の特徴を考察する。
	授業内容	【課税2】 わが国の所得税の特徴、総合課税と分離課税、クロヨンの意味、付加価値税、一般消費税と労働所得税、税支払いのタイミング効果、包括的所得税と支出税について学習し、受講生が所得税体系の考え方を説明し、一般消費税と労働所得税の効果を比較して、その類似性を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、現代の租税（課税）原則論を調べて、原則論の内容を考察する。
8	事前学習	教科書 第8章の「3節 最適課税の理論」を読み、その意義を前回の事後学習で得た租税原則論を踏まえて考察する。
	授業内容	【課税3】 一括固定税と攪乱税、最適課税のルール、複数家計の存在、支出税と最適課税、最適課税論と税制改革の理論を学習し、受講生が最適課税論の意義とその限界説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、最適課税論と公共経済学のアプローチとの共通点を自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	教科書 第9章の「1節 財政運営の考え方」「2節 財政赤字の負担」を読み、財政運営の考え方のいろいろな立場の存在を考察し、財政赤字の負担の様々な捉え方を考察する。
	授業内容	【財政赤字と公債】 日本の公債発行状況、公債発行の問題点、財政運営のいろいろ考え方、クラウドディング・アウト、将来世代への負担の転嫁、リカードの中立命題、バローの中立命題を学習し、公債発行の問題点を踏まえて、日本の財政がいかに深刻であるのか受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、9－2節 練習問題を解いてみる。
10	事前学習	教科書 第10章の「1節 公的年金制度」を読み、わが国の公的年金制度の特徴と問題点を考察する。
	授業内容	【年金1】 公的年金制度とは何か、わが国における公的年金制度の概要、2つの年金制度、長生きのリスク、公的年金の所得再分配効果、公的年金の存在理由について学習し、私的年金とは別個の公的年金の必要とされる理由を受講者が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、10－1節 練習問題を解いてみる。
11	事前学習	教科書 第10章の「2節 世代間の再分配政策」「3節 高齢化・少子化社会の年金改革」を読み、少子高齢化社会の進展による世代間の負担の不公平の実態を考察する。
	授業内容	【年金2】 世代会計、世代間の不公平、老人パワーと政策、人口変化のモデル、賦課方式の年金制度、確定拠出方式への移行について学習し、確定拠出方式への移行のいきについて受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、わが国の公的年金制度の持続可能性について自分なりの説明をまとめる。
12	事前学習	教科書 第11章の「1節 個人間の再分配政策」を読み、再分配政策の意義について考察する。
	授業内容	【再分配政策1】 所得格差を是正する問題を学習し、どの程度の再分配が望ましいのか、また、それを実現するために、その程度の累進的所得税が望ましいか考察し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、11－1節 練習問題を解いてみる。
13	事前学習	教科書 第11章の「2節 地域間の再分配政策」を読み、その意義と問題点を考察する。
	授業内容	【再分配政策2】 地域間での再分配政策のあり方を学習し、また、地域間での人口移動や公共財の波及効果を考慮すると、公平性の観点からデメリットが有ることし、再分配政策のあり方やその問題点について受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを整理し、日本の人口移動の現状とその要因について、自分なりの説明をまとめる。

14	事前学習	教科書 第 1 1 章の 2 節内の地方分権を再読し、前回の事後学習で得た資料を基に、地方分権の意義を考察する。
	授業内容	【再分配政策 3】 オーツの「地方分権定理」、ティブーの「足による投票」を学習し、地方分権の意義について、社会的厚生（経済的厚生）最大化の基準から評価し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	少子高齢化と人口減少が生じているわが国の現状を鑑みて、従来方式の再分配政策の有効性について自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	講座の初回からの各章、講義ノートと配付資料を見直し、公共経済学の扱うテーマと分析手法の特徴点を考察する。
	授業内容	講義のまとめとして、講義内で扱ってきた公共経済学のテーマと分析手法の特徴点を学習し、各テーマについて受講生が公共経済学の立場から説明できるようにする。
	事後学習	初回からの授業ノートを見直し、公共経済学の分析手法の特徴と財政学との相違点を自分なりの説明をまとめる。期末試験の準備をする。

科目名	公共政策基礎演習	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要					
授業目的・到達目標	本講義では、日本の行政組織を始めとして、公務員制度、独立行政法人・特殊法人、地方公共団体、行政改革などを題材にすることで、行政の意義を理解する。そのために、現役公務員の方を招き話を聞くなど、実際の行政活動をイメージすることが出来るようになることも行う。また、必要に応じて行政に関する様々なデータを取り上げることで、学生相互での意見交換をし、自分自身の目標達成に必要なものを見つけ出すことを目的とする。様々な行政の諸制度を検討することで、今後の学問的研究方法、ならびに自分自身の将来の目標を理解する。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義、発表、討議等を組み合わせて行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	学年末試験は行わない。	
	平 常 評 価		100%	出席・授業態度・授業内の発表などを総合評価する。また、簡単な授業内レポートで、授業ポイントを理解しているかを判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参 考 書	必要に応じて授業内で示す。				
オフィスアワー	水曜日、3時限目（13：30～14：30） 尚、来訪時間の調整のため、必ず事前にメールでアポイントを取るようにしてください。 iwai.yoshikazu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	
	授業内容	演習の全体的な枠組み、及び演習方法の説明。 (研究とは)
	事後学習	
2	事前学習	
	授業内容	日本の統治機構 (研究の流れ)
	事後学習	
3	事前学習	
	授業内容	日本の行政組織 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
4	事前学習	
	授業内容	公務員 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	

5	事前学習	
	授業内容	独立行政法人・特殊法人 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
6	事前学習	
	授業内容	地方公共団体 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
7	事前学習	
	授業内容	行政改革① (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
8	事前学習	
	授業内容	行政改革② (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
9	事前学習	
	授業内容	行政評価 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
10	事前学習	
	授業内容	行政情報 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
11	事前学習	
	授業内容	情報公開・個人情報保護 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
12	事前学習	
	授業内容	国の予算 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
13	事前学習	
	授業内容	地方公共団体の予算 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
14	事前学習	
	授業内容	国の財政と地方財政 (事例研究及びグループワーク)
	事後学習	
15	事前学習	
	授業内容	まとめ
	事後学習	

科目名	公共政策基礎演習	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	公共政策学の代表的な教科書を使用し、今後の専門分野における学習のベースとなる基礎的な知識の確実な習得を目指す。				
授業目的・到達目標	公共政策学の取り扱う諸テーマを一通り網羅することにより、今後、専門領域において都市政策、環境政策、福祉政策、まちづくり等の個別政策を学習を進めて行く上で必要となる、制度知識や方法論を身につけることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	学期前半は教科書（「入門公共政策学」）の講義。後半は個人又はグループ単位（履修人数による）での教科書（「公共政策学の基礎」）の輪読・討議。学期末には参加者が選択したテーマに基づき、レポートを提出する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	議論への積極的参加状況、グループ・個人発表の出来映え、レポートの内容を評価対象とする。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	中央公論社	入門 公共政策学		秋吉貴雄
	2015	有斐閣	公共政策学の基礎（新版）		秋吉貴雄
	備考				
参考書	授業内で適宜紹介する				
オフィスアワー	金曜日 3 限。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	イントロダクション：公共政策学とはなにか
	事後学習	講義で紹介された文献・資料等の収集。
2	事前学習	あなたの身近にある様々な問題のうち、社会的解決を必要とするものは何か、そしてそれはなぜ個人や企業の努力で解決することが出来ないのか、考えをまとめ、授業内で積極的に発言出来るようにしておくこと
	授業内容	公共政策課題の発見
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
3	事前学習	社会的問題の解決のために考えられる手段としてどのようなものがあるか、自分の考えを整理し、積極的に発表できるようにしておくこと。
	授業内容	公共政策の設計
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	政策決定過程に参画する多くのアクター（政治・民間・学界・市民・官僚）とその相互作用について、行政学や立法過程論のテキストなどで学習しておくこと。
	授業内容	公共政策の決定
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	決定された政策はどのように具体化され、現場で展開されるのか、指定教科書に記載された生活保護の事例を精読しておくこと。
	授業内容	公共政策の実施
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	実施された政策の「善し悪し」は何をもって測るのか、また政策が社会に与える「効果」とは何なのか、あなたの考えをまとめ、授業内で積極的に発言できるようにしておくこと。
	授業内容	公共政策の評価
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	政策決定への市民・専門家の参画方法にはどのようなものがあるか調べておくこと。
	授業内容	公共政策の改善
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	公共政策へのアプローチ
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
9	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	公共政策のデザイン①（アジェンダ設定論など）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
10	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	公共政策のデザイン②（政策問題の構造化）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
11	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	公共政策のデザイン③（政策手段と規範的判断）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
12	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	政策決定論①（政策決定の合理性と利害調整）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
13	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	政策決定論②（決定プロセス・制度と理念・アイデア）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
14	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	公共政策のガバナンス①（政策の効果測定）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
15	事前学習	担当分の輪読準備・教科書該当部分の読み込み
	授業内容	公共政策のガバナンス②（政策管理システム）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	公共政策基礎演習	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	企業が外部に情報を公表するための書類が決算書であり、企業活動を適切に評価するためには決算書を読み解く必要がある。中でも特に大切なのは財務３表であり、損益計算書（P/L）、貸借対照表（B/S）、キャッシュフロー計算書（C/F）の３つである。本講義ではいくつかの具体的ケースを参考に経営分析の基礎を身に付け、実際に財務諸表を読み解いていく。					
授業目的・到達目標	【授業目的】企業経営を適切に評価するために経営分析の基礎を理解し、正しく財務３表を読み解くことができる人材を育成する。 【到達目標】1. 財務３表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）を読み解くことができる。2. 会計数値や会計指標の基礎について理解している。3. 各指標を用いて経営分析を行い、適切な企業評価ができる。					
履修条件	特になし。基礎から説明するので初学者でも可。					
授業方法	パワーポイントを使用して授業を行う。授業内では実際に経営分析作業を実施、小テストも数回実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（60%） 授業時に小テストを実施（40%）ノートは持ち込み可	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	特になし。					
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義計画，成績評価方法
	事後学習	財務３表について調べる
2	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	決算書とは何か（財務３表の種類と内容）
	事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	売上高、利益、原価率（P/L）
	事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	キャッシュフロー計算書（C/F）
	事後学習	授業の復習

5	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	有利子負債（B/S）・のれん代の減損（B/S、P/L）
	事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	連結決算（B/S、P/L）
	事後学習	授業の復習
7	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ1（SONY）
	事後学習	授業の復習
8	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ2（トヨタ自動車・RIZAP）
	事後学習	授業の復習
9	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ3（SNS・不動産）
	事後学習	授業の復習
10	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ4（イオン・外食チェーン）
	事後学習	授業の復習
11	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ5（通信・物流）
	事後学習	授業の復習
12	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ6（航空・石油）
	事後学習	授業の復習
13	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ7（製薬・東芝）
	事後学習	授業の復習
14	事前学習	事前配布資料を読んでくること
	授業内容	ケーススタディ8（電力・銀行・証券）
	事後学習	授業の復習
15	事前学習	学習内容の確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	授業内容の総点検

科目名	公共政策基礎演習	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本演習では、公共政策学科行政職課程在籍の学生を対象に、わが国の公務員制度を理解するとともに職務の特質を理解することを主眼としている。専任教員の講義の他、ゲストスピーカーを招き、実際の公務員試験の択一、面接（口述）、試験問題を教材として、演習を進めていく。				
授業目的・到達目標	公務員制度について理解している。公務員試験制度の概要、試験内容について理解している。公務員の仕事を理解し、理想の公務員像を描くことができる。				
履修条件	公共政策学科で行政職課程の在籍が許可された学生のみで、他のコースの学生、他学科の学生は履修できない。				
授業方法	講義および演習				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	適宜レポート試験や課題レポートを提出すること。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	必要に応じて担当教員が講義中に紹介する。				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	公務員とはなにかイメージを整理してくる
	授業内容	授業内容・評価方法の説明 公務員とは
	事後学習	公務員について調べる
2	事前学習	国家公務員の種類について調べてくる
	授業内容	わが国の国家公務員制度の概要
	事後学習	国家公務員制度についてまとめてみる
3	事前学習	地方公務員の種類について調べてくる
	授業内容	わが国の地方公務員試験の概要
	事後学習	地方公務員制度についてまとめてみる
4	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	公務員の仕事の実態と特質について学ぶ
	事後学習	聞いたことをまとめる

5	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	公務員の仕事の特特殊性について学ぶ
	事後学習	聞いたことをまとめる
6	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	公務員の仕事への使命感について学ぶ
	事後学習	聞いたことをまとめる
7	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	公務員の仕事の課題について認識する
	事後学習	聞いたことをまとめる
8	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	公務員と社会の関係について学ぶ
	事後学習	聞いたことをまとめる
9	事前学習	ゲストスピーカーの職務について調べてくる
	授業内容	公務員と民間的感觉 (ゲストスピーカー)
	事後学習	聞いたことをまとめる
10	事前学習	ゲストスピーカーの職務について調べてくる
	授業内容	行政手法の担い手としての公務員 (ゲストスピーカー)
	事後学習	聞いたことをまとめる
11	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	公務員の実際と特質
	事後学習	聞いたことをまとめ課題を抽出する。
12	事前学習	事前に周知した公務員について調べてくる
	授業内容	わが国の公務員選択問題について学ぶ
	事後学習	聞いたことをまとめ課題を抽出する。
13	事前学習	地方公務員の試験について調べてくる
	授業内容	わが国の公務員論述試験について学ぶ
	事後学習	実際の公務員試験を解いてみる
14	事前学習	面接試験の方法について調べてくる
	授業内容	わが国の公務員集団面接・口述試験
	事後学習	自宅で練習をしてみる
15	事前学習	面接試験の注意点について理解したうえで練習してくる
	授業内容	わが国の公務員個別面接・口述試験の実際
	事後学習	反省点をまとめたうえで、練習課題を整理する。

科目名	公共政策基礎演習	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グループワークを通じ、公共政策の形成過程、及びわが国における公共政策の現状と課題について理解を深めていきます。					
授業目的・到達目標	プレゼンテーションのスキルを習得しつつ、わが国における政策過程や公共政策の特質や課題について、自分の言葉で説明できるようになることを目指します。					
履修条件	前期の公共政策論を履修していることが求められます。また、グループ学習を行うため、必ず毎回授業に出席することが必要です。※履修制限をかける場合があるので、初回授業には必ず出席すること。					
授業方法	グループ学習を行いつつ、（グループごとの）プレゼンテーションやディベートを実施します。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%		毎回グループディスカッションに積極的に参加することが必要です。	
	平常評価		100%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	授業中に適宜指示します。					
オフィスアワー	金曜日12：15～12：55 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修を希望する場合には、必ず初回ガイダンスに出席すること ※履修制限を行う場合があります。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件を確認すること
2	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	政策過程の基礎的なモデルに関する学習（１）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
3	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	政策過程の基礎的なモデルに関する学習（２）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
4	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	政策過程の基礎的なモデルに関する学習（３）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること

5	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	グループごとの予備的討議（政策過程）（１）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
6	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	グループごとの予備的討議（政策過程）（２）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
7	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	プレゼンテーション（政策過程）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
8	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	ディベート（政策過程）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
9	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関する学習（１）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
10	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関する学習（２）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
11	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	グループごとの予備的討議（現代日本の公共政策）（１）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
12	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	グループごとの予備的討議（現代日本の公共政策）（２）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
13	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	プレゼンテーション（現代日本の公共政策）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
14	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	ディベート（現代日本の公共政策）
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること
15	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を整理し、再検討すること

科目名	公共政策基礎演習	担当者	山村 りつ	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この科目では、社会政策と社会福祉の関係という点から、公共政策とは何かという大きなテーマについて概観していく。とかくその実践的なイメージやヒューマンイズムの観点からとらえられがちな社会福祉を、公共、そして制度や政策というシステムの一環としてとらえ、社会福祉を実現していくための社会政策、そしてその基礎となる公共において問われるものは何かを考察していく。				
授業目的・到達目標	個々の学生がその知識と認識において公共政策および福祉社会政策という概念の大枠を獲得し、現代の日本の公共政策全体およびその一部領域について、今後の展望とそれに対する評価、未来に向けた提言を自らの意見として表明できるようになること。				
履修条件	授業の構成および進行は、公共政策学科の学生を念頭において行われるが、他学科・他学部の学生の受講も大いに歓迎します。				
授業方法	演習形式を取り、学生の積極的な質問や意見表明を期待する。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		詳細は最初の授業で説明する。
	平常評価		100%		授業への参加度を中心に評価。詳細は最初の授業で説明する。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	中央公論社		入門 公共政策学	秋吉貴雄
	備考	購入は必須ではありません			
参考書	必要に応じて授業内で案内するとともに、随時資料を配布する。				
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	ウォーミングアップ：課題と評価について 公共政策とは？福祉政策との関係は？
	事後学習	最後の課題で自分を取り上げるテーマを考えてくる。
2	事前学習	前回の授業で示す課題を行ってくる
	授業内容	公共政策の基本知識と原理 理念・目的・税との関係
	事後学習	社会問題と公共政策の関係について考察する
3	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	公共政策とは① 種類と範囲の理解
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する
4	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	公共政策とは② 対象理解：二つの対象
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する

5	事前学習	最後の課題で得自分が取り上げるテーマについて、最終的な決定をし、発表の準備をする
	授業内容	中間発表
	事後学習	他の学生への講評を自分に引き付けて考えておく
6	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	政策の作り方: 発議
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する
7	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	政策の作り方: 財源とモノ
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する
8	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	政策の作り方: 人
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する
9	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	政策の作り方: 評価と共有
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する
10	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	福祉政策の条件
	事後学習	授業での学びを自分の選択したテーマに引き付けて考察する
11	事前学習	前回の授業で示すテーマについて考えてくる
	授業内容	発表のための基礎知識
	事後学習	授業内容を自分の発表に還元させる
12	事前学習	発表の準備
	授業内容	発表(テスト)
	事後学習	自分の発表の改善、講評
13	事前学習	発表の準備
	授業内容	発表(テスト)
	事後学習	自分の発表の改善、講評
14	事前学習	発表の準備
	授業内容	発表(テスト)
	事後学習	自分の発表の改善、講評
15	事前学習	自分の発表の改善、講評
	授業内容	授業のまとめと振り返り
	事後学習	今後に向けての講評

科目名	公共政策特殊講義A	担当者	矢野 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会福祉事業史について講義をする。社会福祉事業史は権力の側ばかりでなく人々の側から制度の歴史を学ぶ学問であるとともに、日本における基本的人権の概念に関する具体的な発達を知るうえでも重要である。社会福祉制度の世界的起源とその発展過程を歴史的に掌握する。とりわけ世界で最も古く世界の公的社会福祉制度に影響を与えたイギリス救貧法の歴史について、中世から近代までのイギリス社会史を織り込みながら学ぶようにする。			
授業目的・到達目標	社会福祉事業史の履修講座は、社会保障や社会政策と同様に公務員の社会福祉主事任用資格要件を得るための基幹講座となっている。同時に本講座の履修によってイギリス史全体の政治経済的流れと、イギリス行政史を深く学習することができる。比較政治学からの学問研究的視点を醸成することができる。			
履修条件	学科の別を選ばない。履修を望む者に対してはそれが実現できるように配慮する。			
授業方法	シラバスに沿ってパワーポイントおよびプリントを使って講義を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		80%	学期末に行う。
	平 常 評 価		20%	授業参加度
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参 考 書	参考となる書籍はその都度指示する。			
オフィス アワー	木、金曜日11時30分から13時前まで			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	公務員試験やその他の国家試験での過去問題で社会福祉事業の歴史についてどのような出題があるか確認する。
	授業内容	はじめに。 法学部で社会福祉事業史を学ぶ意義について
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
2	事前学習	古代から中世までのイギリス史を把握する。
	授業内容	イギリス救貧法成立以前。チューダー王朝までのイギリス社会と古典的福祉制度
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
3	事前学習	エリザベス一世のイギリスの時代を把握する。
	授業内容	エリザベス救貧法の成立過程 中世封建制度の瓦解
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
4	事前学習	ピューリタン(清教徒)革命の概略を把握する。
	授業内容	定住法の成立とピューリタン革命による混乱
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。

5	事前学習	名誉革命とその後のイギリス社会を把握する。
	授業内容	名誉革命による社会の安定とナッチブル法の成立
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
6	事前学習	18世紀の社会変動と政治の動きを把握する。
	授業内容	産業資本主義の萌芽と救貧法の人道主義化　ギルバート法の成立過程
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
7	事前学習	18世紀末の産業革命時の急激な社会変動を把握する。
	授業内容	産業革命と救貧法の行き詰まり　イーデンの貧困調査
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
8	事前学習	ホイッグ党による社会改良の時代を把握する。
	授業内容	救貧法廃止論と救貧法存続論　タウンゼンドとジェレミー・ベンサム
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
9	事前学習	資本主義の進行と近代的貧困について考察する。
	授業内容	古典派資本主義経済理論と救貧法の改正
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
10	事前学習	新救貧法の内容についてあらかじめ予習をする。
	授業内容	新救貧法の成立過程
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
11	事前学習	スウィングー揆、チャーチスト運動、それに友愛組合運動、COS等について把握する。
	授業内容	労働運動と慈善組織活動
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
12	事前学習	ブースのロンドン調査、ラウントリのヨーク調査について把握する。
	授業内容	失業問題とロンドン調査、ヨーク調査
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
13	事前学習	19世紀末から20世紀初頭の自由党、労働党の政治的動きについて把握する。
	授業内容	自由社会改良の時代と貧困に関する王立委員会報告
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
14	事前学習	ロイドジョージ内閣、マクドナルド内閣、ネヴィル・チェンバレン内閣等の政治的動きを把握する。
	授業内容	2つの世界大戦による社会保障の興隆と救貧法の解体
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。
15	事前学習	すべての講義内容を概観し、まとめる。
	授業内容	まとめ　イギリスの社会政策に見る救貧法の歴史的意義
	事後学習	プリントに沿って講義内容を復習する。

科目名	公共政策特殊講義B	担当者	矢野 聡	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会福祉事業史について講義をする。社会福祉事業史は人々の側から制度の歴史を学ぶ学問であるとともに、日本における基本的人権の具体的な発達を知るうえでも重要である。日本における社会福祉の発展過程を歴史的に掌握する。奈良時代から中世および江戸期の社会福祉の源流を考察するとともに、近代社会福祉制度の成立に関わる明治大正、昭和時代の人権思想の成立、変容・発展過程についても考察する。			
授業目的・到達目標	社会福祉事業史の履修講座は、社会保障や社会政策と同様に公務員の社会福祉主事任用資格要件を得るための基幹講座となっている。同時に本講義の履修によって今までの日本社会福祉事業史とは異なった、より幅の広い学問的研究視点を醸成することができる。			
履修条件	学科の別を問わない。履修を望む者に対してはそれが実現できるように配慮する。			
授業方法	シラバスに沿ってパワーポイントおよびプリントを使って講義を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		80%	学期末に行う。
	平 常 評 価		20%	授業参加度
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参 考 書	参考となる書籍はその都度指示する。			
オフィスアワー	木、金曜日11時30分から13時前まで			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今までの代表的な日本社会福祉事業史の概論に触れること。
	授業内容	日本の社会福祉事業の概観 慈善博愛から人権思想の尊重まで
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
2	事前学習	施薬院、悲田院、四箇院等について調べること。
	授業内容	日本社会福祉事業の源流 奈良時代、および鎌倉時代の仏教的慈善事業、奈良仏教による慈善事業、鎌倉期の真言律宗の慈善活動について
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
3	事前学習	徳川吉宗の時代について調べる。
	授業内容	江戸期の社会福祉事業（1）享保の改革と「赤ひげ養療院」、長谷川平蔵と石川島人足寄せ場
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
4	事前学習	江戸幕府老中・松平定信の時代について調べる。
	授業内容	江戸期の社会福祉事業（2）寛政の改革、長谷川平蔵と石川島人足寄せ場、松平定信の七分積み金制度
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。

5	事前学習	明治維新前後のキリスト教の普及の状態について調べる。
	授業内容	明治維新とキリスト教慈善普及活動。
	事後学習	配布され配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
6	事前学習	日本の最初の公的扶助立法、恤救規則について調べる。
	授業内容	明治前半の社会福祉事業活動　恤救規則の成立
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
7	事前学習	明治の民間社会福祉活動について調べる。
	授業内容	キリスト教思想の浸透と民間社会福祉活動　石井十次、留岡幸助、山室軍平、石井亮一
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
8	事前学習	日露戦争以降の日本の重工業化と近代的沈労働者層の形成について調べる。
	授業内容	大正デモクラシーと低所得、貧困層へのアプローチ　片山潜、横山源之助、
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
9	事前学習	米騒動について調べる
	授業内容	米騒動と政府による社会政策、民間の福祉活動　セツルメント、井上友一、賀川豊彦
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
10	事前学習	治安維持法と救護法について調べる。
	授業内容	マルクス主義浸透への対処と救護法の成立
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
11	事前学習	第二次大戦の敗北と新しい社会福祉思想について調べる。
	授業内容	G H Qの指令と福祉3法の時代
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
12	事前学習	日本の高度経済成長時代について調べる。
	授業内容	高度経済成長と社会福祉制度の拡充、発展
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
13	事前学習	国際連合の社会福祉宣言について調べる。
	授業内容	欧米福祉国家へのキャッチ・アップの時代から日本型福祉の時代へ
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
14	事前学習	民営化とバブル崩壊の時代背景を調べる。
	授業内容	官庁による措置の時代から民営化による民間の契約の時代へ　社会福祉制度改革
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。
15	事前学習	今までのプリントを概観すること。
	授業内容	まとめ　新たな社会福祉の充実に向けて
	事後学習	配布されたプリントに沿って講義内容を復習する。

科目名	公共政策論	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義では、政治の表舞台・裏舞台において活動する政治的アクターの組織と機能について触れつつ、実際の公共政策を事例として取り上げ、その形成過程、及びわが国における公共政策の現状と課題について検討します。				
授業目的・ 到達目標	公共政策に関する基礎的な知識を習得しつつ、わが国における政策過程や公共政策の特質や課題について、自分の言葉で説明できるようになることを目指します。				
履修条件	特にありませんが、日本の公共政策に関心のある学生の履修を望みます。 ※公共政策学科の必修科目です。他学科の学生は履修できません。				
授業方法	講義				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		80%	論述形式の試験を実施します。	
	平 常 評 価		20%	授業時間中に、毎回小テストを実施します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2 0 1 8	慈学社		議会政治 第3版	加藤秀治郎・水戸克典
	備考				
参 考 書	授業中に適宜指示します。				
オフィス アワー	金曜日 1 2 : 1 5 ~ 1 2 : 5 5 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修条件を説明するので、初回ガイダンスには必ず出席すること
	授業内容	授業ガイダンスー「公共政策」とは何か
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件を確認するとともに、教科書を用意しておくこと
2	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国家の役割と公共政策
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

3	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	公共政策と議会（１）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
4	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	公共政策と議会（２）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
5	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	公共政策と政党
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
6	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政府と官僚制
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
7	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	利益団体の圧力活動
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
8	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政策過程のモデル
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
9	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政策類型論
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
10	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	現代日本における公共政策の現状（１）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
11	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	現代日本における公共政策の現状（２）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
12	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	現代日本における公共政策の現状（３）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
13	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	現代日本における公共政策の現状（４）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
14	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	現代日本における公共政策の現状（５）
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

15	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

科目名	公共選択論	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	合理的選択論（公共選択論）と呼ばれる研究領域について、その成立の歴史や背景を述べたうえで、投票行動のパラドクス問題について説明する。				
授業目的・到達目標	第一に、政治現象を合理的な個人の行動から導き出される結果として論理的に説明する合理的選択論（公共選択論）の方法論的および理論的特徴を理解したうえで、第二に、合理的選択論の立場から投票行動のパラドクス問題について理解することを目的とする。合理的選択論の方法論的および理論的特徴を理解し、現実の政治的出来事について論理的に考えることができるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。学んだ知識を正確に習得できているか否か、授業内に試験を行い確認する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	勁草書房		『ライブ・合理的選択論』	小田中直樹
	備考				
参考書	授業時に提示する。				
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	教科書の序章、および第1章の「合理的選択論とは何か」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	合理的選択論とは何か（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。

3	事前学習	教科書の序章、および第1章の「合理的選択論とは何か」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	合理的選択論とは何か (2)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
4	事前学習	教科書の序章、および第1章の「合理的選択論とは何か」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	合理的選択論とは何か (3)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
5	事前学習	教科書の第1章の「中位投票者仮説」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	中位投票者仮説 (1)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
6	事前学習	教科書の第1章の「中位投票者仮説」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	中位投票者仮説 (2)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
7	事前学習	教科書の第1章の「ダウنز・モデル」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	投票参加のダウنز・モデル (1)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
8	事前学習	教科書の第1章の「ダウنز・モデル」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	投票参加のダウنز・モデル (2)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
9	事前学習	教科書の第2章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	投票行動のパラドクス (1)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
10	事前学習	教科書の第2章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	投票行動のパラドクス (2)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
11	事前学習	教科書の第3章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	投票行動のパラドクス (3)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
12	事前学習	教科書の第3章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	投票行動のパラドクス (4)
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
13	事前学習	教科書の終章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	合理的選択論の含意と可能性
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
14	事前学習	教科書の序章から終章までの内容について、授業で配布されたレジュメや説明を踏まえて確認する。
	授業内容	講義のふりかえり
	事後学習	授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。

15	事前学習	教科書の序章から終章までを読み、これまでに学んだ内容について自分で説明できるようにしておく。
	授業内容	試験および解説
	事後学習	試験で問われた内容について、自分の解答がどの程度説明できていたのか確認し、十分に説明できなかった部分について改めて理解を深める。

科目名	広告コミュニケーションⅠ	担当者	安達 周	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	広告を幅広い視点から見ることによって、広告コミュニケーションの全体像を理解させる。そのために、広告の定義など基礎的な知識をはじめ、広告主・広告会社・媒体社の関係、マーケティングにおける広告の役割、広告計画の立案、広告表現の制作プロセス、評価された広告事例、インターネットの出現による広告コミュニケーションの変容などを教える。				
授業目的・到達目標	〈授業目的〉私たちは毎日当たり前のように広告に接しているが、どのような過程を経て広告が世に出てくるのか。その過程には様々なコミュニケーションの連携がある。授業によって広告コミュニケーションの全体像を理解し、説明できるようになることを目的とする。 〈到達目標〉広告の定義など基礎知識をはじめ、広告業界の仕組み、マーケティングにおける広告の役割、広告表現作成などの広告業務について学び、広告コミュニケーションの概略を説明できるようになる。				
履修条件	「広告コミュニケーションⅡ」を履修することが原則。				
授業方法	講義形式とする。授業ごとに資料を配布する。 教科書は使わないが、授業の中で参考書を適宜紹介する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	前期の授業最終日にレポートを提出（80%） 授業参加度（20%） レポートの詳細は授業の中で説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論 第3版』有斐閣アルマ（2017）『広告コミュニケーションの総合講座』日経広告研究所（2015年～2018年 ※各年ごとに別売） その他、授業で適宜示す。				
オフィスアワー	質問などは、次のメールアドレスによって受け付ける。 meguru@arion.ocn.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日常での、あなたの広告接触について意識しておくこと（どんな媒体によって広告を見るか どんな広告を探したか どんな広告が面白いと思ったか）
	授業内容	ガイダンス 「広告コミュニケーション」の概要について
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
2	事前学習	宣伝、広報、パブリシティについて調べておくこと
	授業内容	広告とはなにか（1） 広告の歴史 広告の定義 宣伝（プロパガンダ）・広報（PR）・パブリシティと広告の違い 広告の種類
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

3	事前学習	広告の経済的機能について調べておくこと
	授業内容	広告とはなにか (2) 広告の機能 (経済的機能、社会的・文化的機能などについて)
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
4	事前学習	マーケティングの4Pを調べておくこと
	授業内容	マーケティングと広告 (1) マーケティングとは何か マーケティングの4P 広告とマーケティングの関係
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
5	事前学習	マーケティング・ミックスについて概略を調べておくこと
	授業内容	マーケティングと広告 (2) プロモーション・ミックス マーケティング・ミックス マーケティング・コミュニケーションの統合 (IMC)
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
6	事前学習	広告会社が、広告主・媒体に対して果たす役割について調べておくこと
	授業内容	広告に関わる組織 (1) 広告主と広告会社・関係会社 (クリエイティブ・エージェンシー等) と媒体社 その機能と役割 広告会社の歴史と発展
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
7	事前学習	広告会社の組織構造について調べておくこと
	授業内容	広告に関わる組織 (2) 続・広告会社の機能と役割 広告業界団体 (JAROなど) の機能と役割
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
8	事前学習	DAGMAR理論について調べておくこと
	授業内容	広告計画の概要 (1) 広告計画の策定:状況分析、広告目標の設定 広告調査
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
9	事前学習	ブランドのポジショニングについて調べておくこと
	授業内容	広告計画の概要 (2) 広告戦略の策定:ブランドのポジショニングの決定など
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
10	事前学習	ブランド・エクイティについて調べておくこと
	授業内容	ブランドと広告 ブランドとはなにか ブランド構築における広告の役割 ブランド・エクイティ
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
11	事前学習	AIDMAとAISASについて調べておくこと
	授業内容	広告の効果過程 消費者の媒体接触から購買意思決定まで 広告効果過程モデルの変化 (AIDA・AIDMAからAISASへ)
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
12	事前学習	「広告主のオリエンテーション」について調べておくこと
	授業内容	広告表現の企画と制作 (1) 広告クリエイティブのプロセス
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
13	事前学習	アカウントプランニングについて調べておくこと
	授業内容	広告表現の企画と制作 (2) アカウントプランニング コンシューマーインサイトの発見
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
14	事前学習	記憶に残る印象的な広告 (CM) をチェックしておくこと
	授業内容	評価の高い広告クリエイティブ事例など
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

15	事前学習	これまでの授業を復習し、要点を整理しておくこと
	授業内容	授業のまとめ ※レポート提出
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

科目名	広告コミュニケーションⅡ	担当者	安達 周	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	広告を幅広い視点から見ることによって、広告コミュニケーションの全体像を理解させる。「広告コミュニケーションⅠ」で学んだ知識を土台として、広告効果を最大に発揮させるためにどのように媒体を選ぶかをはじめ、急速に伸びているインターネット広告の特性と問題点、様々な広告手法、知的財産と広告、広告規制、人権の観点から問題となった広告事例、国際的に評価された広告事例など、幅広い領域にわたって教える。				
授業目的・到達目標	〈授業目的〉私たちは毎日当たり前のように広告に接しているが、どのような過程を経て広告が世に出てくるのか。その過程には様々なコミュニケーションの連携がある。授業によって広告コミュニケーションの全体像を理解し、説明できるようになることを目的とする。 〈到達目標〉「広告コミュニケーションⅠ」で学んだ知識を土台とし、広告媒体計画、インターネット広告の特性と問題点、広告手法の多様性、知的財産と広告、広告規制について学び、広告コミュニケーション全体像の概略を説明できるようになる。				
履修条件	この科目は「広告コミュニケーションⅠ」を履修している学生に限り履修できる。 ※「Ⅰ」を履修していない学生はこの科目を選択しないこと（選択しても単位を与えない）。				
授業方法	講義形式とする。授業ごとに資料を配布する。 教科書は使わないが、適宜参考書を紹介する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	後期の授業最終日にレポートを提出（80%） 授業参加度（20%） レポートの詳細は授業の中で説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論 第3版』有斐閣アルマ（2017） 『広告コミュニケーションの総合講座』日経広告研究所（2015年～2018年 ※各年ごとに別売） その他、授業で適宜示す。				
オフィスアワー	質問などは、次のメールアドレスによって受け付ける。 meguru@arion.ocn.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	広告媒体となるマスコミ4媒体（テレビ、新聞、雑誌、ラジオ）の特徴について調べておくこと
	授業内容	最初に「コミュニケーションⅠ」の要点復習 メディア・プランニング〈媒体計画〉(1) 広告媒体の役割:マスコミ4媒体の特徴 マス4媒体以外の広告媒体の種類と特徴
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
2	事前学習	リーチとフリクエンシーについて調べておくこと
	授業内容	メディア・プランニング (2) 媒体目標設定と媒体戦略 リーチとフリクエンシーの概念 媒体別広告費
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

3	事前学習	インターネット広告と従来メディア広告の相違を調べておくこと
	授業内容	インターネット広告 (1) ソーシャルメディアの発展 従来メディア広告との相違 インターネット広告の種類と特徴
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
4	事前学習	ネイティブ広告について調べておくこと
	授業内容	インターネット広告 (2) インターネット広告の問題点 ネイティブ広告 ステルスマーケティング
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
5	事前学習	編集タイアップ広告について調べておくこと
	授業内容	様々な広告手法 編集タイアップ広告 比較広告 ティーザー広告
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
6	事前学習	景品表示法の概略について調べておくこと
	授業内容	広告規制 (1) 広告を規制する法律 景品表示法を中心に
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
7	事前学習	法律によらない業界自主規制について調べておくこと
	授業内容	広告規制 (2) 業界の自主規制と公正競争規約
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
8	事前学習	媒体責任とは何か調べておくこと
	授業内容	広告と媒体責任 裁判事例から考察
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
9	事前学習	広告とコンテンツの融合について調べておくこと
	授業内容	ブランデッド・エンタテインメント 広告とコンテンツの融合 キャラクタービジネス
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
10	事前学習	知的財産にはどのようなものがあるか調べておくこと
	授業内容	知的財産と広告 商標 肖像権 著作権 オリンピックビジネスとスポンサーシップ
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
11	事前学習	ジェンダーとジェンダー・フリーの概念について調べておくこと
	授業内容	人権・倫理的観点からみる広告表現 広告による差別的表現 (ジェンダー・身分・身体・人種)
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
12	事前学習	ソーシャルマーケティングが重視される背景を調べておくこと
	授業内容	ソーシャルマーケティング 社会との関係を重視 CSR広告 非営利組織による広告 公共広告
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
13	事前学習	「カンヌライオンズ」で受賞した日本の広告について調べておくこと
	授業内容	カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル (世界3大広告賞の一つ) に見る広告の動向
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
14	事前学習	グローバル広告にはどのようなものがあるか調べておくこと
	授業内容	グローバル広告 グローバル企業の広告展開
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

15	事前学習	これまでの授業を復習し、要点を整理しておくこと
	授業内容	授業のまとめ ※レポート提出
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

科目名	広報広告コミュニケーション演習Ⅰ	担当者	河本 久廣	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	1本のCMには広告のすべてが凝縮されている。本授業はその生成過程（環境分析➡消費者インサイト➡アイデア開発➡施策立案）を考察および構造解析することで、広告（&広告会社）特有のやり方や思考法を、その歴史や機能・人的役割等も含め理解・体得する。さらに学習成果を演習（履修者各自が選んだCMを詳細分析するレポート作成）に取り組むことで、知識の実用・実践化を志向する。				
授業目的・到達目標	広告（業界、ビジネス）の情報・知識だけではなく、バックグラウンドのマーケティングの知識・手法の習得も目指す。またロジカルライティングに基づいたレポート作成を実地に体験することで、卒論制作への対応力をも身に着ける。				
履修条件	「広告コミュニケーションⅠ・Ⅱ」の単位を取得していることが望ましい。				
授業方法	図・画像多用のワポでの講義をベースに、多数のCM等の映像資料も利・活用した授業。また演習レポート作成に関し、履修者の個別質問に応える形式で具体的なアドバイスを授業内で実施。手厚いレポート作成のサポートを行う。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		なし
	平常評価		100%		授業参加度（配点30%）／演習レポート（配点70%）：（必ず提出）
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特にない。			
参考書	講義の際に随時紹介する。				
オフィスアワー	質疑は「Q」（リアペ） ➡ 「A」翌週の授業内（もしくは配布教材での文書回答）を基本とするが、どうしても面談形式を希望する履修者は授業終了時に申し出てもらえば、できるだけ当日対応（但し、1名30分以内、場所はロビー等と）する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容		
1	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく。 また同PDFデータはプリントアウトして授業に持参し、学習の効率化に供して欲しい。	
	授業内容	ガイダンス：講師の自己紹介、講義のスタイルと概要、演習レポート作成のフォーマットと取り組み方、評価方針…など	
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。	
2	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアペの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。	
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解①：広告が始動するー広告会社は競合（コンペ）に燃える	
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。	
3	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアペの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。	
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解②：（続）広告が始動するープレゼンは広告マンの晴れ舞台	
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。	
4	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアペの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。	
	授業内容	実戦マーケティングの知識と手法①：環境（マクロ&ミクロ）分析／SWOT分析	
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。	

5	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解③：プレゼン準備に追われる（あるTVドラマで描かれた）広告会社を覗く
	事後学習	授業内で観たドラマの続きを鑑賞し、その感想文を提出して欲しい（必ではない。形式自由、提出者には無条件で加 点。期限は最終授業日まで）。
6	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	演習レポート作成のポイント①：履修者が陥るレポートの弱点と、犯しやすいミスを指摘・指導する
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
7	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	実戦マーケティングの知識と手法②―「イノベータ」・最初に買う人たち
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
8	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解④：「アカウントプランナー」と「インサイト」の発見
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
9	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	演習レポート作成のポイント②：過去レポートを検証する（先輩たちはどう書いてきたのか？）
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
10	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	実戦マーケティングの知識と手法③―STPは「差別化」戦略の決め手
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
11	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解⑤：「ビッグ（コア）アイデア」誕生の秘密―クリエイター列伝
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
12	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解⑥：（続）「ビッグ（コア）アイデア」誕生の秘密―クリエイター列伝
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
13	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	演習レポート作成のポイント③：（続）過去レポートを検証する（先輩たちはどう書いてきたのか？）
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
14	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	（補講）演習レポートの模擬添削講座：履修者の個別質問に公開で応える
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。
15	事前学習	事前（遅くとも前週の金曜まで）にCOLNetの教材配布欄にアップされた授業時に使用するパワーポイントのPDFドキュメントに目を通しておく（リアベの質問にも全て答えているので、自身のみならず、他の履修者の質問に対しても興味をもつこと）。
	授業内容	広告(CM)生成過程の理解⑦：コミュニケーションをデザインする今日的メディアの諸相／（演習レポートの提出）
	事後学習	授業内で紹介された文献や資料（CMはいうに及ばず、映画やTV・ラジオ番組等）をネットで確認し、できれば現物に直接アタックして欲しい。

科目名	広報広告コミュニケーション演習Ⅱ	担当者	古川 隆	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	卒業レポート作成のための学術的な文章の書き方、参考文献の探し方、ヒアリングや調査の方法などを“講義”にて、一つのテーマに対する問題意識の持ち方を“グループワーク”を通じて、レポート作成の基礎となる文章力を“新聞クリッピングレポート”にて、総合的に取り組んでいく。広報ならびに広告は授業担当者の専門研究分野であり、本務での業務分野でもある。どのようなテーマであっても歓迎するつもりだ。				
授業目的・到達目標	学部4年間で学んだ知識をもとに締めくくりとしての卒業レポートを作成するのが目的となる。1年間かけての作成を前提としているので「広報広告演習Ⅱ」と「広報広告演習Ⅲ」は継続して履修してもらうことが条件である。社会人となった場合、あらゆる局面でレポート作成能力は問われる。単に卒業レポートの作成に留まらず、学術的な文章の書き方、参考文献の探し方、ヒアリングや調査の方法、実践で活用できるレポート作成能力を身につけてもらうのが目標である。（前年度テーマの決まっていない学生がいたが、自分のテーマを見つけて立派な卒業レポートを作成しているので心配はしていない）				
履修条件	演習Ⅰなどの履修を経て広報や広告に関連するテーマを持っていること。1年間かけてレポートを書き上げる意気込みがあること。就職活動（欠席）には配慮するが、課題に関しては各自が責任を持って取り組むことが大前提である。				
授業方法	通常の講義の他、小グループによるグループワークや発表なども取り入れる。積極的な授業参画を求めている。広報や広告に関するテーマが決まっていない学生に対しても時間をかけて親切に個人指導を行う予定である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末に提出してもらうレポート作成計画書50%、毎回の提出物30%、グループワークなどの授業参画態度20%を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	新聞クリッピングレポートを毎回の授業で提出してもらうので、新聞の購読はした方がよい。広報や広告に関するテキストは各人のテーマによって個別に指導をする。			
参考書	全国紙（日本経済新聞など）を購読すること。毎回の授業で提出する新聞クリッピングレポートで新聞購読は必須となる。契約による購読が望ましいが、経済的な事情がある場合は大学の図書館での閲覧を利用する。				
オフィスアワー	毎週授業終了後12:10～12:20に教室で受け付ける。希望者が多い場合は、相談のうえ別の日時を指定することがある。オフィスアワーでの質問・相談は授業に関するものに限定する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ。
	授業内容	オリエンテーション（1年間の授業計画・内容、講師自己紹介、学生自己紹介） 新聞クリッピングレポート作成方法の説明。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
2	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	年間目標設定(MBO) の詳細な説明と作成。 巡回による個別作成指導。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
3	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	ケーススタディによるグループワーク（1） ケーススタディを用いてグループワーク実施。グループごとの発表。講評と解説。
	事後学習	グループワークを通じて学んだことを復習してノートに整理。
4	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	ケーススタディによるグループワーク（2） ケーススタディを用いてグループワーク実施。グループごとの発表。講評と解説。
	事後学習	グループワークを通じて学んだことを復習してノートに整理。

5	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	ケーススタディによるグループワーク（3） ケーススタディを用いてグループワーク実施。グループごとの発表。講評と解説。
	事後学習	グループワークを通じて学んだことを復習してノートに整理。
6	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート作成方法の講義（1） 「大石芳裕研究室 論文・レポート執筆要項」をもとに講義。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
7	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート作成方法の講義（2） 「大石芳裕研究室 論文・レポート執筆要項」をもとに講義。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
8	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート作成方法の講義（3） 「大石芳裕研究室 論文・レポート執筆要項」をもとに講義。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
9	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート作成方法の講義（4） 「大石芳裕研究室 論文・レポート執筆要項」をもとに講義。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
10	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート作成方法の講義（5） 「大石芳裕研究室 文献検索法」をもとに講義。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
11	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート作成方法の講義（6） 「大石芳裕研究室 文献検索法」をもとに講義。
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
12	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポート作成計画書の個別指導（1名10分～20分） ※履修人数により個別指導の時間は変更となる。
	事後学習	個別指導されたことの整理と卒業レポート作成計画書への反映。
13	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポート作成計画書の個別指導（1名10分～20分） ※履修人数により個別指導の時間は変更となる。
	事後学習	個別指導されたことの整理と卒業レポート作成計画書への反映。
14	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポート作成計画書の発表と全体討議（Aグループ） ※履修人数により発表の予定は変更となる。 講師による講評
	事後学習	発表と全体討議から学んだことをノートに整理。
15	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のピックアップ、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポート作成計画書の発表と全体討議（Bグループ） ※履修人数により発表の予定は変更となる。 講師による講評 ○夏休みの課題発表と説明
	事後学習	発表と全体討議から学んだことをノートに整理。

科目名	広報広告コミュニケーション演習Ⅲ	担当者	古川 隆	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期の広報広告演習Ⅱで学んだことをもとに卒業レポートを作成していく。参考文献をただ単に整理して並べるのではなく、自分なりの調査を設計して実施したり、有識者へのヒアリングなどの実施も推奨する。そのための方法論は授業でいねいに説明をする予定である。なるべく個別指導を多くするつもりである。広報ならびに広告は授業担当者の専門研究分野であり、本務での業務分野でもある。どのようなテーマであっても歓迎するつもりだ。				
授業目的・到達目標	学部4年間で学んだ知識をもとに締めくくりとしての卒業レポートを作成するのが目的となる。1年間かけての作成を前提としているので「広報広告演習Ⅱ」と「広報広告演習Ⅲ」は継続して履修してもらうことが条件である。社会人となった場合、あらゆる局面でレポート作成能力は問われる。単に卒業レポートの作成に留まらず、学術的な文章の書き方、参考文献の探し方、ヒアリングや調査の方法、実践で活用できるレポート作成能力を身につけてもらうのが目標である。				
履修条件	前期の広報広告演習Ⅱの単位を取得していること。1年間かけてレポートを書き上げる意気込みがあること。就職活動（欠席など）には配慮するが、課題に関しては各自が責任を持って取り組むことが大前提である。				
授業方法	前期の「広報広告演習Ⅱ」で学んだ知識をもとに各自卒業レポートの作成を行っていく。講義の他にグループに分けての個別の学生への作成指導なども行う予定である。※履修人数により方法の変更がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	期末に提出してもらう卒業レポート70%、毎回の提出物20%、授業への参画態度10%を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	新聞クリッピングレポートを毎回の授業で提出してもらうので、新聞の購読はした方がよい。広報や広告に関するテキストは各人のテーマによって個別に指導をする。			
参考書	全国紙（日本経済新聞など）を購読すること。毎回の授業での新聞クリッピングレポートで新聞購読は必須となる。契約による購読が望ましいが、経済的な事情がある場合は大学の図書館での閲覧を利用することになる。				
オフィスアワー	毎週授業終了後12:10～12:20に教室で受け付ける。希望者が多い場合は、相談のうえ別の日時を指定することがある。オフィスアワーでの質問・相談は授業に関するものに限定する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	後期オリエンテーション（前期提出の目標設定(MBO) のレビュー、課題の認識)
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
2	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート・ドラフトの発表と全体討議（Aグループ） 講師による講評。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
3	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート・ドラフトの発表と全体討議（Bグループ） 講師による講評。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
4	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート・ドラフトの発表と全体討議（予備） 講師による講評。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。

5	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート・ドラフトの発表にもとづくフォローアップ授業（1）
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
6	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	レポート・ドラフトの発表にもとづくフォローアップ授業（2）
	事後学習	授業内容の復習とノートの整理。
7	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポートの発表と全体討議　A（個別、先着順） 講師による講評。※先着順とするので遅い者は発表と全体討議ができない場合がある。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
8	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポートの発表と全体討議　B（個別、先着順） 講師による講評。※先着順とするので遅い者は発表と全体討議ができない場合がある。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
9	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポートの発表と全体討議　C（個別、先着順） 講師による講評。※先着順とするので遅い者は発表と全体討議ができない場合がある。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
10	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポートの発表と全体討議　D（個別、先着順） 講師による講評。※先着順とするので遅い者は発表と全体討議ができない場合がある。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
11	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポートの発表と全体討議　予備（個別、先着順） 講師による講評。※先着順とするので遅い者は発表と全体討議ができない場合がある。
	事後学習	発表と討議から学んだことをノートに整理。
12	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	個別学生レポート指導　A（先着順、予約制） ※先着順とするので遅い者は指導できない場合がある。
	事後学習	個別指導の内容をノートに整理、卒業レポートへの反映。
13	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	個別学生レポート指導　B（先着順、予約制） ※先着順とするので遅い者は指導できない場合がある。
	事後学習	個別指導の内容をノートに整理、卒業レポートへの反映。
14	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	個別学生レポート指導　C（先着順、予約制） ※先着順とするので遅い者は指導できない場合がある。
	事後学習	個別指導の内容をノートに整理、卒業レポートへの反映。
15	事前学習	新聞の購読と興味のある記事のクリッピング、新聞クリッピングレポートの作成。
	授業内容	卒業レポート提出。1年間総括の講義。 ※この授業での提出が最終期限となる。いかなる理由によっても事後の提出は受け付けない。（事前提出は相談による）
	事後学習	1年間の振り返りをする。

科目名	公法特殊講義 I (憲法)A	担当者	蟻川 恒正	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法の権利論についての講義。				
授業目的・到達目標	憲法の権利論に関する知見を深め、判例をはじめとする現実の諸問題のなかでその意義を検証することを試みる。憲法の権利論について基礎となる理解を定着させ、それを踏まえて、最高裁の重要基本判例を読むことができるようになることを目標とする。				
履修条件	憲法の権利論を学ぶことに対して真摯であること、判例を読むことに対して貪欲であること、社会を知的なものに構築しようとするに対して誠実かつ主体的であること。				
授業方法	講義形式とする。ただし、受講者には、予告する判例を判例集等と首っ引きで読みながら受講することが毎回求められる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	期末に筆記試験を行い、講義をどれだけ理解できているかを考査する。	
	平常評価		0%	講義を理解するためには、格別の支障がない限りは毎回の出席が必要である。したがって、固有の平常評価はしないが、平常評価が事実上定期試験に反映される恰好となる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	追って指示する。				
オフィスアワー	火曜日の13：30～14：30に対応します。13号館1階受付にて蟻川へ連絡するよう伝えてください。 なお、相談内容等により、改めて日時を指定する場合があります。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	憲法の権利論についての各自の先入見を言葉にしておくこと。
	授業内容	開講の辞 憲法の権利論を学ぶことの意味を考える。
	事後学習	上記先入見が変化したか否かをひそかに見極めること。
2	事前学習	憲法の権利論の歴史を各自で概観しておくこと。
	授業内容	憲法の権利論 憲法の権利論の歴史的概観を試みる。
	事後学習	憲法の権利論の将来を展望すること。
3	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	会社という技術 株式会社の自由について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
4	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	結社と団結 労働組合の自由について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。

5	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	組織と個人 強制加入団体の自由について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
6	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	平等 判例の「判断枠組み」を理解する。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
7	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	家族と個人 家族における自由について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
8	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	在監者の自由 判例の「判断枠組み」を理解する。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
9	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	学生の自由 判例の「判断枠組み」を理解する。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
10	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	内心の自由 内面と外形の関係について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
11	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	表現の自由 マスメディアと個人の関係について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
12	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	規制と給付 自由の制約の諸相について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
13	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	生存と自由 自由の制約の諸相について考える。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
14	事前学習	主題判例を読んでおくこと。
	授業内容	職業の自由 判例の「判断枠組み」を理解する。
	事後学習	授業内容の不明点をなくしておくこと。
15	事前学習	言葉にしてあるはずの憲法の権利論についての各自の先入見を再度読んでおくこと。
	授業内容	閉講の辞 憲法の権利論を学ぶことの意味をあらためて考える。
	事後学習	言葉にしてあるはずの憲法の権利論についての各自の先入見を自ら論評すること。

科目名	公法特殊講義 I (憲法)B	担当者	蟻川 恒正	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法の権利論についての演習的講義。				
授業目的・到達目標	憲法の権利論について、具体的問題を素材としながら、発表・討論ができるようになることを目指す。憲法の権利論に関する重要な最高裁判例の事案に即して、原告ないし被告人の立場、被告ないし検察官の立場、裁判所の立場のそれぞれに立って、憲法上の見解を主張し、相互に討議ができるようになることを目標とする。				
履修条件	社会に生起する諸事象のなかに憲法問題の芽を発見し、そのことにつき考え方を共有しない他者との間で議論を交わし、議論のみによりその他者を説得し又は説得されることを、意味あることと感ずることができる者であること。				
授業方法	委細は参加者との話し合いによるが、各回の担当者が原告班・被告班・裁判官班に分かれ、事前準備の上、発表し討論するという方法。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		0%		演習の形式をとるため、定期試験は行わない。
	平常評価		100%		成績評価は、担当者のときの発表・討論、担当者でないときの発言や授業態度等によって行う。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	特になし。				
オフィスアワー	火曜日の13：30～14：30に対応します。13号館1階受付にて蟻川へ連絡するよう伝えてください。 なお、相談内容等により、改めて日時を指定する場合があります。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	この授業について考えてみること
	授業内容	この授業の進め方について
	事後学習	この授業の進め方について批評できるようにすること
2	事前学習	拳法の権利論についての見通しとは何かを考え、言葉にしておくこと
	授業内容	憲法の権利論についての見通し
	事後学習	上記見通しについて批評できるようにすること
3	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	団体と個人
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
4	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	思想の自由
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと

5	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	外国人の権利
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
6	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	社会権①
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
7	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	社会権②
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
8	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	社会権③
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
9	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	人格権
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
10	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	政教分離と信教の自由
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
11	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	表現の自由①
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
12	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	表現の自由②
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
13	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	表現の自由③
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
14	事前学習	主題について考えておくこと
	授業内容	集会・結社の自由
	事後学習	主題について1000字で表現できるようにしておくこと
15	事前学習	拳法の権利論についての経過観察とは何かを考え、言葉にしておくこと
	授業内容	憲法の権利論についての経過観察
	事後学習	上記経過観察について批評できるようにすること

科目名	公法特殊講義Ⅱ（行政法）A	担当者	長谷川 福造	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座では、行政法領域の判例の検討と事例研究を行う。 主に行政救済法の分野を取り扱う予定である。必要に応じて行政組織法や行政作用法の範囲も説明する。 履修者数や理解の進捗に対応して、法律の実務に携わる専門家をゲストスピーカーとして招くことも予定している。				
授業目的・到達目標	本講座は、行政法領域における判例を分析し事例研究を行うことにより、行政法全般の理解を深めることを目的としている。行政救済法について基本的な理解がされていることを標準として、関係する判例を読み込むことにより、判例の射程について理解を深める。判例の理解と連動して、実際の事例を解決する際の法的思考力を醸成することを目標にしている。前期は主に判例分析を行う。後期に継続して受講することが望ましい。場面に応じて国家試験等の過去問を検討する。ロースクール進学希望者については、進学後の行政法及びその関連分野の講座を、支障なく受講できる程度に到達することを目標とする。				
履修条件	法職課程の学生であることが望ましい。対応する標準学年は4年生である。総合法コースの学生の受講も可能である。ロースクールへの進学希望者、司法試験予備試験受験者及び各国家試験受験者の受講を歓迎する。				
授業方法	前もって検討予定の判例や事例問題を指定する。各回担当者を決めて、該当判例や事例について報告や質疑を行う。受講者は、報告を割り当てられたか否かに関わらず全員予習をしてくること。進度は人数等に応じて調整する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価		100%	講座の受講状況、報告及び授業内での質疑応答の内容等を総合評価する。 欠席理由の有無・内容を問わず、一定の限度を超えた場合は評価を行わない。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	有斐閣	行政判例百選Ⅱ（第7版）		宇賀克也ほか編
	備考	教科書と平成30(2018)年版の小型六法を必ず毎回持参すること。 六法は、デイリー六法（三省堂）又はポケット六法（有斐閣）を使用すること。			
参考書	（1）池村正道編『行政法（第3版）Next教科書シリーズ』弘文堂（2017年） （2）『行政判例百選Ⅰ（第7版）』有斐閣（2017年）				
オフィスアワー	火曜日15:00から16:00まで。事前にメールでアポイントメントを取ること。他の時間帯については必要に応じて個別に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	前期のガイダンス 判例研究と報告に関する説明
	事後学習	講座内容の確認
2	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 行政上の不服申立て総論（1）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
3	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 行政上の不服申立て総論（2）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
4	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 抗告訴訟の対象（1）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること

5	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 抗告訴訟の対象（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
6	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 原告適格（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
7	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 原告適格（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
8	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 訴えの利益
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
9	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 取消訴訟以外の抗告訴訟（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
10	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 取消訴訟以外の抗告訴訟（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
11	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 国家賠償法（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
12	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 国家賠償法（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
13	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 損失補償
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
14	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 前期のまとめ（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
15	事前学習	所定判例や関連事項の検討
	授業内容	判例研究 前期のまとめ（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること

科目名	公法特殊講義Ⅱ（行政法）B	担当者	長谷川 福造	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座では、行政法領域の判例の検討と事例研究を行う。 主に行政救済法の分野を取り扱う予定である。必要に応じて行政組織法や行政作用法の範囲も説明する。 履修者数や理解の進捗に対応して、法律の実務に携わる専門家をゲストスピーカーとして招くことも予定している。				
授業目的・到達目標	本講座は、行政法領域における判例を分析し事例研究を行うことにより、行政法全般の理解を深めることを目的としている。行政救済法について基本的な理解がされていることを標準として、関係する判例を読み込むことにより、判例の射程について理解を深める。判例の理解と連動して、実際の事例を解決する際の法的思考力を醸成することを目指している。後期は主に事例演習を行う計画である。前期から引き続いて履修することが望ましい。場面に応じて国家試験等の過去問を検討する。ロースクール進学希望者については、進学後の行政法及びその関連分野の講座を、支障なく受講できる程度に到達することを目標とする。				
履修条件	法職課程の学生であることが望ましい。対応する標準学年は4年生である。総合法コースの学生の受講も可能である。ロースクールへの進学希望者、司法試験予備試験受験者及び各国家試験受験者の受講を歓迎する。				
授業方法	前もって検討予定の判例や事例問題を指定する。各回担当者を決めて、該当判例や事例について報告や質疑を行う。受講者は、報告を割り当てられたか否かに関わらず全員予習をしてくること。進捗は人数等に応じて調整する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価		100%	講座の受講状況、報告及び授業内での質疑応答の内容等を総合評価する。 欠席理由の有無・内容を問わず、一定の限度を超えた場合は評価を行わない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	有斐閣		事例から行政法を考える	北村和生ほか著
	備考	教科書と平成30(2018)年版の小型六法を必ず毎回持参すること。六法は、デイリー六法（三省堂）又はポケット六法（有斐閣）を使用すること。			
参考書	(1) 池村正道編『行政法（第3版）Next教科書シリーズ』弘文堂（2017年） (2) 『行政判例百選Ⅰ（第7版）』有斐閣（2017年）、『行政判例百選Ⅱ（第7版）』有斐閣（2017年）				
オフィスアワー	火曜日15:00から16:00まで。事前にメールでアポイントメントを取ること。他の時間帯については必要に応じて個別に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	後期のガイダンス 事例研究と報告に関する説明
	事後学習	講座内容の確認
2	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 地下水保護条例をめぐる紛争（1）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
3	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 地下水保護条例をめぐる紛争（2）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
4	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 公の施設の利用許可をめぐる紛争（1）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること

5	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 公の施設の利用許可をめぐる紛争（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
6	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 地方公務員の懲戒処分に対する司法審査（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
7	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 地方公務員の懲戒処分に対する司法審査（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
8	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 老人福祉施設の民間化をめぐる利益調整のあり方（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
9	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 老人福祉施設の民間化をめぐる利益調整のあり方（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
10	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 社会保障給付決定とその返還をめぐる紛争（１）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
11	事前学習	所定事例や関連事項の検討
	授業内容	事例研究 社会保障給付決定とその返還をめぐる紛争（２）
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
12	事前学習	所定課題や関連事項の検討
	授業内容	司法試験論文式試験（行政法）過去問の検討 必要に応じて事例研究を調整して行う。
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
13	事前学習	所定課題や関連事項の検討
	授業内容	司法試験論文式試験（行政法）過去問の検討 必要に応じて事例研究を調整して行う。
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
14	事前学習	所定課題や関連事項の検討
	授業内容	司法試験論文式試験（行政法）過去問の検討 必要に応じて事例研究を調整して行う。
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること
15	事前学習	所定課題や関連事項の検討
	授業内容	講座のまとめ
	事後学習	講義での説明に基づいて復習し理解を深めること

科目名	公務員制度論	担当者	藤原 恒夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	行政を担う公務員がどのような理念・枠組みの下に管理されているのか、その実態はどうなっているのか、これからどう変化しようとしているのかについて考察し、公務員制度への理解を深める。				
授業目的・到達目標	公務員の採用から退職までの公務員制度の基本的事項について理解できるようにすることを目的とする。 公務員を巡る様々な課題について自分なりの意見をまとめられるようになることを目指す。				
履修条件	定めない。				
授業方法	講義方式による。pptを用いるほか、プリントを配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題についての理解度, 授業への貢献度による。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	指定しない。			
参考書	最初の講義において紹介する。				
オフィスアワー	fujiwara.tsuneo11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	公務員白書 (http://www.jinji.go.jp/hakusho/h28/0-4a.html)
	授業内容	ガイダンス、公務員の概念
	事後学習	公務員の種類、公務員の特質、公務員の役割について理解する。
2	事前学習	公務員白書 (http://www.jinji.go.jp/hakusho/h20/032.html ; http://www.jinji.go.jp/hakusho/h20/033.html)
	授業内容	公務員制度の発展過程(1)
	事後学習	明治期の官吏制度から戦後の公務員制度への変革の流れを理解する。

3	事前学習	公務員白書（ http://www.jinji.go.jp/hakusho/h20/034.html ； http://www.jinji.go.jp/hakusho/h20/035.html ； http://www.jinji.go.jp/hakusho/h20/036.html ） 国公法：3条～25条、地公法：6条～12条
	授業内容	公務員制度の発展過程(2) 人事行政機関
	事後学習	人事管理機関の役割分担について理解する。
4	事前学習	国公法：27条～28条 地公法：13条・14条
	授業内容	公務員制度の通則
	事後学習	平等取扱いの原則や情勢適応の原則について理解する。
5	事前学習	国公法：33条、35条～38条、59条、60条 地公法：15条～22条 公務員白書（ http://www.jinji.go.jp/hakusho/h28/1-3-01.html ）
	授業内容	任用(1)
	事後学習	成績主義の原則の成立とその具体化の流れについて理解する。
6	事前学習	国公法：74条～81条の5 地公法：27条～28条の5、29条の2
	授業内容	任用(2)、分限
	事後学習	公務員の身分保障（就中、分限）について、その背景や概要を理解する。
7	事前学習	国公法：28条、附則16条 地公法：14条、58条
	授業内容	勤務条件(1)　　＜決定方式＞
	事後学習	公務員の勤務条件決定方式について、民間労働者との差異や決定基準を中心に理解する。
8	事前学習	公務員白書（ http://www.jinji.go.jp/hakusho/h28/1-3-03-1-1.html ） 国公法：28条、62条～67条、地公法：24条～26条
	授業内容	勤務条件(2)　　＜給与＞
	事後学習	公務員給与の概要を理解する。
9	事前学習	公務員白書（ http://www.jinji.go.jp/hakusho/h28/1-3-05-1.html ； http://www.jinji.go.jp/hakusho/h28/1-3-05-1-1.html ） 国公法：28条、93条～95条、地公法：26条の4
	授業内容	勤務条件(3)　　＜勤務時間、休暇、福祉、災害補償＞
	事後学習	給与以外の勤務条件について、民間企業との差異を中心に理解する。
10	事前学習	国公法：96条～105条 地公法：30条～38条
	授業内容	服務
	事後学習	公務員の服務規制（就中、公務員に特有の規制）について理解する。
11	事前学習	国家公務員倫理法3条～9条、国家公務員倫理規程1条～10条 公務員白書（ http://www.jinji.go.jp/hakusho/h28/1-3-05-9-2.html ） 国公法：82条～85条、地公法：29条
	授業内容	倫理、懲戒
	事後学習	公務員倫理と規律違反に対する懲戒について理解する。
12	事前学習	国公法：108条の2～108条の7、70条の2～70条の4、行政執行法人の労働関係に関する法律37条 地公法：52条～56条、23条～23条の4、地方公営企業等の労働関係に関する法律4条
	授業内容	労使関係、人事評価
	事後学習	公務員の労使関係の特殊性について理解する。
13	事前学習	国公法：106条の2～106条6の4 地公法：38条の2、38条の6
	授業内容	退職管理、退職手当、退職年金
	事後学習	公務員の退職時の規制と退職時・退職後の給付について理解する。
14	事前学習	国公法：86条～92条の2 地公法：46条～51条の2
	授業内容	苦情処理
	事後学習	公務員の苦情処理について理解する。

15	事前学習	内閣人事局調査 (http://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/files/h2809hijokin_chosa.pdf) 総務省調査 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000476494.pdf ; http://www.soumu.go.jp/main_content/000476560.pdf) 地公法・自治法の改正 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000472093.pdf)
	授業内容	今後の課題 (非常勤職員)
	事後学習	非常勤職員の実態について理解し、処遇改善策について考える。

科目名	コーポレート・ガバナンス論Ⅰ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	我が国におけるコーポレート・ガバナンスの概要、理論と企業における実践について経営面、法務面など総合的な視点に立ち、基礎的なことから幅広く講義を行いたい。またコンプライアンス（法令遵守）、リスクマネジメント、社会的責任（CSR）、更にはスチュワードシップ・コード、機関投資家との対話・エンゲージメント、ESG（環境、社会、ガバナンス）投資など近年の新しい動向についても解説していきたい。				
授業目的・到達目標	授業の目的について、アベノミクスの経済再生の鍵としてコーポレート・ガバナンス（企業統治）の確立が求められ、その理解はいまや不可欠である。前期は主として企業経営の観点からコーポレートガバナンスの基礎的な知識を深めてもらいたい。ケーススタディを中心に、経済・経営・法務の視点から背景、仕組み・制度の効率性の検証を行う。コーポレート・ガバナンスに関しては、基礎的な法理論のにならず、企業経営の組織的考察など実務との接点が重要性を持つ。到達目標としては、各自がコーポレート・ガバナンスに関する理解に基づき、企業における法務や経営企画の担当になった意識を持って、企業経営に関する実践感覚を是非身につけてほしい。				
履修条件	1年生から4年生を対象とする。特定の科目の履修は前提としておらず、平易に解説を行う。基礎的な専門用語や概念、仕組みは就職後の企業社会において重要なものとなり、不明な点を残さないように確実に理解を深めて欲しい。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験、レポートなどにより評価を行う。授業中の発言や積極的な対応などを評価したい。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。			
参考書	参考書などについては授業内で指示する。				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気楽にご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に各自でコーポレート・ガバナンスに関して概要を調べて授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	コーポレート・ガバナンス制度概論ーコーポレート・ガバナンスの新たな意義と展望ー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	アベノミクスの第3の矢・成長戦略と新しいコーポレート・ガバナンス改革の重要性ー企業価値向上に向けてー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日本再興戦略におけるコーポレート・ガバナンス改革の位置付けー成長戦略の中核としてのガバナンスー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	2014年会社法改正とコーポレート・ガバナンス改革
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	指名委員会等設置会社（米国型）、監査役会設置会社、および新設の監査等委員会設置会社のスキームの比較考察
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日本版スチュワードシップ・コードの策定と課題ー機関投資家と経営陣の対話・エンゲージメント作りー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日本版コーポレート・ガバナンス・コードの策定と課題
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	会社法改正、2つの日本版コードと上場企業の取り組み
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	プリンシプル・ベースとComply or Explainルール（遵守せよ、さもなければ説明せよ）
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	有価証券報告書とコーポレート・ガバナンス報告書、東京証券取引所上場規程
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	新たなコーポレート・ガバナンス検討に当たっての視点ー旧来のガバナンス理論から日本独自の転換へ、欧米との相違ー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	独立社外取締役、取締役会の監督機能強化、監査役・監査機能の強化など
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国型・指名委員会設置会社、日本型・監査役会設置会社のケーススタディー実効性あるガバナンス改革の考察ー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	新たな監査等委員会設置会社の理論と実践の活用
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日本版コードの改訂、コードの実質化に向けての最新のフォローアップ状況
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	コーポレート・ガバナンス論Ⅱ	担当者	稲葉 陽二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	講義形式であるが、非財務情報について外部からのゲストスピーカーも招く。受講生からの質疑応答に時間を設け、クラスコントリビューションも評価する。授業内容は、企業とはなにか、法人とはなにかという問題意識のもとで、経済・経営の視点から背景、仕組み・制度の効率性の検証を行う。加えて、経営者をめぐるソーシャル・キャピタル（主にネットワーク）が不祥事と業績に深く関連していること、従って従来型のガバナンス改革では不十分であることを実証する。				
授業目的・ 到達目標	経済再生の鍵としてコーポレート・ガバナンス（企業統治）の確立が求められ、その理解はいまや不可欠である。前期は主として企業経営の観点からケーススタディを中心に、後期は企業とはなにか、法人とはなにかという問題意識のもとで、経済・経営の視点から背景、仕組み・制度の効率性の検証を行う。加えて、経営者をめぐるソーシャル・キャピタル（主にネットワーク）が不祥事と業績に深く関連していること、従って従来型のガバナンス改革では不十分であることを実証する。コーポレート・ガバナンスに関しては、基礎的な法理論のほか、企業経営の組織的考察など実務との接点が重要性を持つ。現実の企業経営に関する法的感覚を是非身につけてほしい。				
履修条件	1年生から4年生を対象とする。				
授業方法	講義、レジュメ配布				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験、レポートなど。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	中央公論新書		『企業不祥事はなぜ起きるのか ソーシャル・キャピタルから読み解く組織風土』	稲葉陽二
	備考				
参 考 書	吉森賢『日米欧の企業経営』、吉森賢・斎藤正章『コーポレート・ガバナンス』放送大学教育振興会、関孝哉『コーポレート・ガバナンスとアカウンタビリティ論』商事法務				
オフィス アワー	毎週木曜日12時から13時 事前にメールにてアポイントメントをとってください				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書「はじめに」を読んでおいてください
	授業内容	後期授業ガイダンス 前期に学習した基本事項の確認と後期の授業計画・目標の説明
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
2	事前学習	教科書「序章」を読んでおいてください
	授業内容	企業風土について
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。

3	事前学習	教科書「第1章」を読んでおいてください
	授業内容	日本における企業統治の制度の再確認：改革で何が変わったのか会社とはなにか、企業不祥事はなぜ起こるのか
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
4	事前学習	PPTを確認
	授業内容	米国における企業統治制度の展開：一元的企業概念と多元的企業概念～フォードの変節、所有と経営の分離、キャンペーンGM
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
5	事前学習	PPTを確認
	授業内容	米国における企業統治制度の展開：市場の評価とM&A、コンプライアンスと内部統制・企業のリスクマネジメント経営
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
6	事前学習	PPTを確認
	授業内容	米国における企業統治制度の展開：ドイツ、イギリスとの比較
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
7	事前学習	PPTを確認
	授業内容	経済学・経営学からの企業統治 エージェンシー問題への対応
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
8	事前学習	PPTを確認
	授業内容	経済学・経営学からみた企業統治：株主構成の影響／債権者からの見方/市場からの規律
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
9	事前学習	教科書「第2章」を読んでおいてください。
	授業内容	それでも無くならない企業不祥事（1）企業不祥事の定義と分類
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
10	事前学習	教科書「第3章」を読んでおいてください。
	授業内容	企業不祥事が生じる背景
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
11	事前学習	教科書「第4章」を読んでおいてください。
	授業内容	企業統治のどこに問題があるのか 社会関係資本の観点の欠如
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
12	事前学習	教科書「第5章」を読んでおいてください。
	授業内容	ケーススタディから不祥事を考える 過去に多くの企業統治の仕組みを作ってきたが、肝心の経営者に関する規律づけの仕組みに瑕疵がある
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
13	事前学習	教科書「第6章」を読んでおいてください。
	授業内容	企業内社会関係資本と不祥事は密接にかかわっている。
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。
14	事前学習	教科書「第7章」「第8章」を読んでおいてください。
	授業内容	不祥事を未然に防ぐためにはどうすれば良いのか、働きやす会社とはなにか、ESG投資をどう考えるのか
	事後学習	授業で使用したPPTを復習してください。

15	事前学習	過去問を確認しておくこと
	授業内容	授業内試験（持ち込み参照不可） まとめ、振り返り
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと。

科目名	国際関係史 I	担当者	河合 利修	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	近代ヨーロッパの歴史について、宗教改革から19世紀半ばまで学ぶ。				
授業目的・到達目標	世界をリードしたヨーロッパの近代史について理解することを目的とし、特に16世紀から19世紀半ばまでの近代ヨーロッパの歴史について理解することを到達目標とする。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	教科書に沿いながら講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	①問題に対して的確に解答している。②自分の言葉で、適切な文章で解答している。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	有斐閣		近代ヨーロッパ国際政治史	君塚直隆
	備考				
参考書	授業中、適宜、紹介する。				
オフィスアワー	月曜日13時00分―14時30分（事前にメールでアポイントメントを取る）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際関係史についてネット等で各自情報収集をする。
	授業内容	はじめに：授業の概要について
	事後学習	授業で紹介された文献を各自、図書館等で探す。
2	事前学習	教科書の該当部分（序章）を読む。
	授業内容	国際関係と国際関係史について
	事後学習	国際関係と国際関係史についての授業の内容を復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分（第1章）を読む。
	授業内容	宗教改革について
	事後学習	宗教改革についての授業の内容を復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分（第1章、第2章）を読む。
	授業内容	宗教戦争について
	事後学習	宗教戦争についての授業の内容を復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分（第3章pp. 65~76）を読む。
	授業内容	三十年戦争について
	事後学習	三十年戦争についての授業の内容を復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分（第3章pp. 76~83）を読む。
	授業内容	ウェストファリア条約とウェストファリア体制について
	事後学習	ウェストファリア条約とウェストファリア体制についての授業の内容を復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分（第4章）を読む。
	授業内容	勢力均衡の始まりについて
	事後学習	勢力均衡の始まりについての授業の内容を復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分（第5章）を読む。
	授業内容	ロシア帝国の台頭について
	事後学習	ロシア帝国の台頭についての授業の内容を復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分（第6章）を読む。
	授業内容	神聖ローマ帝国について
	事後学習	神聖ローマ帝国についての授業の内容を復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分（第7章）を読む。
	授業内容	アメリカの独立について
	事後学習	アメリカの独立についての授業の内容を復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分（第8章pp. 179~186）を読む。
	授業内容	フランス革命について
	事後学習	フランス革命についての授業の内容を復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分（第8章pp. 186~201）を読む。
	授業内容	ナポレオン戦争について
	事後学習	ナポレオン戦争についての授業の内容を復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分（第9章）を読む。
	授業内容	ウィーン体制と勢力均衡について
	事後学習	ウィーン体制と勢力均衡についての授業の内容を復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分（第10章）を読む。
	授業内容	クリミア戦争について
	事後学習	クリミア戦争についての授業の内容を復習する。

15	事前学習	これまで学習した内容を確認する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまで学習した内容を総復習する。

科目名	国際関係史 I	担当者	柑本 英雄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	ジョセフ・ナイのテキストを使いながら、国際関係の成り立ちを歴史的に考察していきます。				
授業目的・到達目標	国際関係論の理論を学び、国際社会の「現実」「事実」を「理論的な立場（一般化）」から分析する力を養うことを目標とします。				
履修条件	①講義は、全て出席して、全体の理解が届くように構成されているので、出席回数を計算してギリギリで単位を取得しようとは考えず、毎回休まず出席すること。②テキストを予習して講義に臨むこと。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	基本概念が理解され、国際的な思考力が身についているかなど、総合的に判定します。	
	平常評価		30%	受講態度20%、課題提出10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	有斐閣		『国際紛争 ― 理論と歴史 原書第10版 』	ジョセフ・ナイ
	備考				
参 考 書	必要に応じて適宜紹介します。				
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通すほか、ニュースフィード系のウェブサイトを利用して、その週の世界の主要な国際政治・経済の出来事をフォローしておこう。
	授業内容	イントロダクション：なぜ国際関係理論が重要なのか
	事後学習	授業中に出てきた用語や内容について、理解度を確認してみよう。
2	事前学習	「第1章 世界政治における紛争と協調には一貫した論理があるか?」（p. 1-p. 48）を、国際政治の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	世界政治における紛争と協調には一貫した論理があるか?
	事後学習	国際政治を学ぶ意義について考えてみよう。

3	事前学習	「第2章 紛争と協調を説明する一知の技法」 (p. 49-p. 101) を、パラダイムの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	紛争と協調を説明する一知の技法
	事後学習	国際政治のパラダイムについて考えてみよう。
4	事前学習	「第3章 ウェストファリアから第一次世界大戦まで」 (p. 103-p. 143) を、バランス・オブ・パワー・システムの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	ウェストファリアから第一次世界大戦まで
	事後学習	第一次世界大戦が起こった要因について考えてみよう。
5	事前学習	「第4章 1 集団安全保障の興亡」 (p. 145-p. 157) を、国際連盟の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	集団安全保障の興亡
	事後学習	集団安全保障とバランス・オブ・パワーとの違いについて考えてみよう。
6	事前学習	「第4章 2 第二次世界大戦の起源」 (p. 147-p. 178) を、国際連盟の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	第二次世界大戦の起源
	事後学習	第二次世界大戦は不可避だったのか考えてみよう。
7	事前学習	ゲストスピーカーからの課題を行う。内容については後日講義内で指示する。
	授業内容	特別講義 第五福竜丸展示館 学芸員 市田真理氏
	事後学習	第五福竜丸事件について、自分の理解と現実の違いをまとめてみよう。
8	事前学習	「第5章 1 抑止と封じ込め」、「第5章 2 冷戦を説明する」 (p. 179-p. 201) を、封じ込めの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	冷戦
	事後学習	冷戦の歴史的意味について考えてみよう。
9	事前学習	「第5章 3 封じ込めの実践」、「第5章 4 その後の冷戦」 (p. 201-p. 235) を、核抑止の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	封じ込めの実践ーヴェトナム戦争
	事後学習	国際政治における核兵器の存在について考えてみよう。
10	事前学習	「第6章 冷戦後の紛争と協調」 (p. 237-p. 274) を、軍事介入の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	冷戦後の紛争と協調
	事後学習	国家と民族の関係性について考えてみよう。
11	事前学習	「第7章 現在の引火点」 (p. 275-p. 338) を、最近の世界情勢を考えながら読んでみよう。
	授業内容	現在の引火点
	事後学習	今日の世界における国家間紛争の引火点について考えてみよう。
12	事前学習	「第8章 グローバリゼーションと相互依存」 (p. 339-p. 374) を、グローバリゼーションの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	グローバリゼーションと相互依存
	事後学習	グローバリゼーションの功罪について考えてみよう。
13	事前学習	「第9章 情報革命と脱国家的主体」 (p. 375-p. 411) を、インターネットの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	情報革命と脱国家的主体
	事後学習	情報革命が世界政治に与えた影響について考えてみよう。
14	事前学習	「第10章 未来に何を期待できるか？」 (p. 412-p. 453) を、新しい世界秩序の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	未来に何を期待できるか？
	事後学習	今日の世界における様々な問題を整理してみよう。

15	事前学習	これまでに学習した内容を復習し、テストに備えよう。
	授業内容	テスト及び振り返り
	事後学習	答案の見直しを通して、これまでの学習で不足している知識や理解が不十分な事項がないか確認しよう。

科目名	国際関係史Ⅰ	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	戦後の国際関係の歴史について、重要なできごとに関する映像を参照し、また、可能な限り一次史料を用いながら講義します。			
授業目的・到達目標	第二次世界大戦（太平洋戦争）から戦後の国際関係がどのように進展してきたのかを、可能なかぎり、ドキュメンタリー映像をとおして、身近に感じられ、かつ、理解できるようにすることを目的とします。いわば、「映像で綴る国際関係史」です。それと同時に、できるだけ一次史料を参照し、国際関係史をより深く理解できるようにします。第二次世界大戦（太平洋戦争）、冷戦の進展、デタント、冷戦の終焉をとおして、国際関係史の全体像を理解できるようになるだけではなく、国際関係史の枠組みの中で、日本がどのような歩みを重ね、今日の日本があるのかを理解できるようにします。			
履修条件	3年生、4年生を対象とするが、映像を見ること、資料を読むことが重要なので、そうしたことに関心のある学生に履修してもらいたい。			
授業方法	講義形式ではあるが、同時に、可能なかぎり多くの映像を紹介し、国際関係の流れ、および、日本外交について、適宜、説明を加えます。講義の進み具合によって、映像の順番の変動、差し替え、追加等がある場合があります。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	映像に関する小レポートを何回か提出してもらい、それによって評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しません		
参考書	講義の際、適宜、紹介します。			
オフィスアワー	水曜日１２：２０～１２：５０。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	戦後の国際関係史はどのようになっていたのかを俯瞰してみよう。
	授業内容	前期のガイダンス（映像の概要）
	事後学習	ガイダンスを基に、自らが関心を持つテーマについて考察してみよう。
2	事前学習	第二次世界大戦とはどのように始まり、どのように終わったのか、第二次世界大戦の実態も可能な限り調べてみよう。
	授業内容	第二次世界大戦 世界は地獄を見た
	事後学習	これまで人類が経験したもっとも悲惨な戦争が第二次世界大戦であったことに鑑み、なぜ戦争は起こるのか、防ぐ手立てはなかったのか、自ら調べ、考えてみよう。

3	事前学習	太平洋戦争はどのように始まったのか、とくに、日本軍による真珠湾攻撃について調べてみよう。
	授業内容	太平洋戦争のはじまり パールハーバー（1）
	事後学習	なぜ日本は英米との開戦に踏み切ったのかを考えてみよう。
4	事前学習	太平洋戦争はどのように始まったのか、とくに、日本軍による真珠湾攻撃について調べてみよう。
	授業内容	太平洋戦争のはじまり パールハーバー（2）
	事後学習	なぜ日本は英米との開戦に踏み切ったのかを考えてみよう。
5	事前学習	3年8ヶ月にわたる太平洋戦争が、どのように推移したのかを整理してみよう。
	授業内容	太平洋戦争の経緯 3年8ヶ月にわたる太平洋戦争
	事後学習	太平洋戦争の経緯を振り返ると同時に、この戦争が日本にとってどのような意味をもっていたのかを考えてみよう。
6	事前学習	太平洋戦争のなかで、戦争末期の沖縄戦とはどのようなものであったのかを調べてみよう。
	授業内容	沖縄戦の記録とその後の沖縄 沖縄戦全記録
	事後学習	沖縄戦の実態を知ることによって、今日、沖縄がおかれている状況をどのように理解したらよいのかを考えてみよう。
7	事前学習	第二次世界大戦の勝者となった連合国は、戦後の世界をどのように描いたのかを調べてみよう。
	授業内容	戦後世界の形成 勝者の世界分割（1）
	事後学習	ヤルタ協定を整理してみよう。
8	事前学習	第二次世界大戦の勝者となった連合国は、戦後の世界をどのように描いたのかを調べてみよう。
	授業内容	戦後世界の形成 勝者の世界分割（2）
	事後学習	ヤルタ協定を整理してみよう。
9	事前学習	朝鮮戦争について調べてみよう。
	授業内容	朝鮮戦争と日本の主権回復
	事後学習	朝鮮戦争が日本の主権回復にどのように影響したのかを考えてみよう。
10	事前学習	核開発競争の歴史を調べてみよう。
	授業内容	核兵器開発競争 核の中の平和
	事後学習	核開発競争の歴史を整理してみよう。
11	事前学習	なぜベルリンの壁が構築されたのかを調べてみよう。
	授業内容	ベルリンの壁の構築
	事後学習	ベルリンの壁構築の意味を考えてみよう。
12	事前学習	キューバ危機はなぜ起こったのかを調べてみよう。
	授業内容	第三次世界大戦勃発の瀬戸際 キューバ危機（1）
	事後学習	キューバ危機の経緯を整理してみよう。
13	事前学習	キューバ危機はなぜ起こったのかを調べてみよう。
	授業内容	第三次世界大戦勃発の瀬戸際 キューバ危機（2）
	事後学習	キューバ危機の経緯を整理してみよう。
14	事前学習	キューバ危機の展開について調べてみよう。
	授業内容	第三次世界大戦勃発の瀬戸際 キューバ危機（3）
	事後学習	キューバ危機の教訓を考えてみよう。

15	事前学習	前期の講義を振り返ってみよう。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期の講義を整理してみよう。

科目名	国際関係史Ⅱ	担当者	河合 利修	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	近代ヨーロッパの歴史について、19世紀半ばから冷戦崩壊まで学ぶ。				
授業目的・到達目標	世界をリードしたヨーロッパの近代史について理解することを目的とし、特に19世紀半ばから冷戦崩壊までの近代ヨーロッパの歴史について理解することを到達目標とする。				
履修条件	とくになし。				
授業方法	教科書に沿いながら講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	①問題に対して的確に解答している。②自分の言葉で、適切な文章で解答している。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010	有斐閣		近代ヨーロッパ国際政治史	君塚直隆
	2008	有斐閣		ヨーロッパ国際関係史（新版）	渡邊啓貴
	備考				
参考書	授業中、適宜、紹介する。				
オフィスアワー	月曜日13時00分―14時30分（事前にメールでアポイントメントを取る）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際関係史に関する情報をネット等で調べておく。
	授業内容	はじめに
	事後学習	授業で紹介された文献を各自、図書館等で探す。
2	事前学習	教科書の該当部分（『近代ヨーロッパ国際政治史』第11章）を読む。
	授業内容	アメリカ南北戦争について
	事後学習	アメリカ南北戦争についての授業の内容を復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分（『近代ヨーロッパ国際政治史』第12章）を読む。
	授業内容	ビスマルク体制について
	事後学習	ビスマルク体制についての授業の内容を復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分（『近代ヨーロッパ国際政治史』第13章）を読む。
	授業内容	日露戦争から第一次世界大戦前まで
	事後学習	日露戦争から第一次世界大戦前までの授業の内容を復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分（『近代ヨーロッパ国際政治史』第14章）を読む。
	授業内容	第一次世界大戦について
	事後学習	第一次世界大戦についての授業の内容を復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』 pp. 54~56）を読む。
	授業内容	ヴェルサイユ体制について
	事後学習	ヴェルサイユ体制についての授業の内容を復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』 pp. 56~65）を読む。
	授業内容	戦間期について
	事後学習	戦間期についての授業の内容を復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』 pp. 65~68）を読む。
	授業内容	第二次世界大戦について
	事後学習	第二次世界大戦についての授業の内容を復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』第2章）を読む。
	授業内容	冷戦とヨーロッパの分断について
	事後学習	冷戦とヨーロッパの分断についての授業の内容を復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』第3章1）を読む。
	授業内容	植民地の独立について
	事後学習	植民地の独立についての授業の内容を復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』第3章2）を読む。
	授業内容	ヨーロッパの統合について
	事後学習	ヨーロッパの統合についての授業の内容を復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』第4章1）を読む。
	授業内容	1968年について
	事後学習	1968年についての授業の内容を復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』第4章3、第5章2）を読む。
	授業内容	デタントについて
	事後学習	デタントについての授業の内容を復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分（『ヨーロッパ国際関係史』第5章3、4）を読む。
	授業内容	冷戦の崩壊について
	事後学習	冷戦の崩壊についての授業の内容を復習する。

15	事前学習	これまで学習した内容を確認する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまで学習した内容を総復習する。

科目名	国際関係史Ⅱ	担当者	柑本 英雄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	地域統合の先進モデルとされるEUが形成される過程を学びます。Brexitなどで揺れる、最近のEUの動向にも触れていきます。				
授業目的・到達目標	国際関係論の理論を学び、国際社会の「現実」「事実」を「理論的な立場（一般化）」から分析する力を養うことを目標とします。				
履修条件	①講義は、全て出席して、全体の理解が届くように構成されているので、出席回数を計算してギリギリで単位を取得しようとは考えず、毎回休まず出席すること。②テキストを予習して講義に臨むこと。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	基本概念が理解され、国際的な思考力が身についているかなど、総合的に判定します。	
	平常評価		30%	受講態度20%、課題提出10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	名古屋大学出版会		『ヨーロッパ統合史』	遠藤乾
	備考				
参考書	必要に応じて適宜紹介します。				
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通すほか、ニュースフィード系のウェブサイトを利用して、その週の世界の主要な国際政治・経済の出来事をフォローしておこう。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	授業中に出てきた用語や内容について、理解度を確認しておこう。
2	事前学習	「第1章 ヨーロッパ統合の前史」（p. 20-p. 53）を、ヨーロッパの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	EUを理解するために①：主権国家とグローバリゼーション
	事後学習	間主観性とは、について考えてみよう。

3	事前学習	「第2章 ヨーロッパ統合の胎動」(p. 54-p. 93)を、冷戦の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	EUを理解するために②：冷戦と安全保障
	事後学習	ヨーロッパが統合しなければならなかった歴史的背景を考えてみよう。
4	事前学習	「第3章 ヨーロッパ統合の生成 1947-50年」(p. 94-p. 130)を、冷戦の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	ヨーロッパ統合の歴史①：ヨーロッパ統合の胎動
	事後学習	ヨーロッパが統合していく過程を考えてみよう。
5	事前学習	「第4章 シューマン・プラン～ローマ条約へ」(p. 131-p. 156)を、欧州統合体の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	ヨーロッパ統合の歴史②：ヨーロッパ統合の生成から20世紀中旬
	事後学習	ヨーロッパ統合の意義について、今日のヨーロッパと比較して考えてみよう。
6	事前学習	「第5章 大西洋同盟の動揺とEECの定着」(p. 157-p. 194)をEECの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	ヨーロッパ統合の歴史③：ヨーロッパ統合の再活性化
	事後学習	統合の対立軸について考えてみよう。
7	事前学習	「第8章 冷戦後のヨーロッパ統合」(p. 255-p. 279)を冷戦を軸に読んでみよう。
	授業内容	ヨーロッパ統合の歴史④：冷戦後
	事後学習	冷戦がもたらしたものを考えてみよう。
8	事前学習	欧州委員会のウェブサイト(http://eumag.jp/questions/f0417/)に目を通しておこう。
	授業内容	EUの機構①：欧州理事会
	事後学習	欧州理事会の役割について整理してみよう。
9	事前学習	欧州委員会のウェブサイト(http://eumag.jp/questions/f0516/)を読んでおこう。
	授業内容	EUの機構②：欧州委員会
	事後学習	欧州委員会の組織と役割についてまとめてみよう。
10	事前学習	欧州委員会のウェブサイト(http://eumag.jp/questions/f0117/)を読んでおこう。
	授業内容	EUの機構③：欧州議会と欧州政党
	事後学習	欧州議会と欧州政党の役割と制度についてまとめてみよう。
11	事前学習	「終章 ヨーロッパ統合とは何だったのか」(p. 323-p. 343)を、欧州統合の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	統合理論
	事後学習	EUに関する最近の記事を読んでみよう。今起こっている問題が統合にどのような意味をもたらしたのかを考えてみよう。
12	事前学習	駐日欧州連合代表部の公式ウェブマガジンEU MAG(http://eumag.jp/feature/b1012/)を読んでみよう。
	授業内容	共通漁業政策
	事後学習	共通漁業政策の目的、経緯、課題をまとめてみよう。
13	事前学習	駐日欧州連合代表部の公式ウェブマガジンEU MAG(http://eumag.jp/feature/b0912/)を読んでみよう。
	授業内容	共通農業政策
	事後学習	共通農業政策の経緯と課題についてまとめてみよう。
14	事前学習	欧州統合の歴史を振り返ってみよう。
	授業内容	まとめ：講義から得られた知見と講評
	事後学習	今日の世界における様々な問題を整理してみよう。

15	事前学習	これまでに学習した内容を復習し、テストに備えよう。
	授業内容	テスト及び振り返り
	事後学習	答案の見直しを通して、これまでの学習で不足している知識や理解が不十分な事項がないか確認しよう。

科目名	国際関係史Ⅱ	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	戦後の国際関係の歴史について、重要なできごとに関する映像を参照し、また、可能な限り一次史料を用いながら講義します。				
授業目的・到達目標	第二次世界大戦（太平洋戦争）から戦後の国際関係がどのように進展してきたのかを、可能なかぎり、ドキュメンタリー映像をとおして、身近に感じられ、かつ、理解できるようにすることを目的とします。いわば、「映像で綴る国際関係史」です。それと同時に、できるだけ一次史料を参照し、国際関係史をより深く理解できるようにします。第二次世界大戦（太平洋戦争）、冷戦の進展、デタント、冷戦の終焉をとおして、国際関係史の全体像を理解できるようになるだけではなく、国際関係史の枠組みの中で、日本がどのような歩みを重ね、今日の日本があるのかを理解できるようにします。				
履修条件	3年生、4年生を対象とするが、映像を見ること、資料を読むことが重要なので、そうしたことに関心のある学生に履修してもらいたい。				
授業方法	講義形式ではあるが、同時に、可能なかぎり多くの映像を紹介し、国際関係の流れ、および、日本外交について、適宜、説明を加えます。講義の進み具合によって、映像の順番の変動、差し替え、追加等がある場合があります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	映像に関する小レポートを何回か提出してもらい、それによって評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません			
参考書	講義の際、適宜紹介します。				
オフィスアワー	水曜日１２：２０～１２：５０。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	戦後の国際関係の歴史を振り返ってみよう。
	授業内容	後期のガイダンス 映像の概要
	事後学習	戦後の国際関係の歴史の概要をつかんでみよう。
2	事前学習	ベトナム戦争について調べてみよう。
	授業内容	冷戦の激化 ベトナム戦争（1）
	事後学習	ベトナム戦争の経緯を整理してみよう。

3	事前学習	ベトナム戦争について調べてみよう。
	授業内容	冷戦の激化 ベトナム戦争（2）
	事後学習	ベトナム戦争の経緯を整理してみよう。
4	事前学習	1970年以降のデタントについて調べてみよう。
	授業内容	デタントの始まり 米中和解
	事後学習	デタントの意味を考えてみよう。
5	事前学習	新冷戦とは何かを調べてみよう。
	授業内容	新冷戦 ソ連によるアフガニスタン侵攻
	事後学習	ソ連によるアフガニスタン侵攻について整理してみよう。
6	事前学習	ベルリンの壁はなぜ崩壊したのかを調べてみよう。
	授業内容	冷戦終焉の始まり ベルリンの壁崩壊（1）
	事後学習	ベルリンの壁崩壊が国際政治に与えた影響を考えてみよう。
7	事前学習	ベルリンの壁はなぜ崩壊したのかを調べてみよう。
	授業内容	冷戦終焉の始まり ベルリンの壁崩壊（2）
	事後学習	ベルリンの壁崩壊が国際政治に与えた影響を考えてみよう。
8	事前学習	ソ連邦崩壊の経緯を調べてみよう。
	授業内容	ソ連邦の崩壊（1）
	事後学習	国際政治におけるソ連邦崩壊の意味を考えてみよう。
9	事前学習	ソ連邦崩壊の経緯を調べてみよう。
	授業内容	ソ連邦の崩壊（2）
	事後学習	国際政治におけるソ連邦崩壊の意味を考えてみよう。
10	事前学習	サンフランシスコ平和条約および日米安保条約について調べてみよう。
	授業内容	サンフランシスコ平和条約 日米安保条約の締結
	事後学習	サンフランシスコ平和条約および日米安保条約の意義を考えてみよう。
11	事前学習	日米安保条約の改定について調べてみよう。
	授業内容	日米安保条約の改定
	事後学習	日米安保条約の改定の意味を考えてみよう。
12	事前学習	日米間の核持ち込み密約とは何かを調べてみよう。
	授業内容	日米密約 核持ち込み密約
	事後学習	日米間の核持ち込み密約を整理してみよう。
13	事前学習	沖縄核持ち込み密約とは何かを調べてみよう。
	授業内容	沖縄核密約（1）
	事後学習	沖縄核持ち込み密約の経緯を整理してみよう。
14	事前学習	沖縄核持ち込み密約とは何かを調べてみよう。
	授業内容	沖縄核密約（2）
	事後学習	日米密約について考えてみよう。

15	事前学習	後期の講義を振り返ってみよう。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期の講義から得られた知見を考えてみよう。

科目名	国際関係法〔公法系〕A I	担当者	河合 利修	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし法律学科の公民、経営法学科の公民は必修科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	世界では、武力紛争、領土問題、環境問題、資源をめぐる争いなど、様々な問題が存在する。国際法は、これらの問題を法的に解決し、国際社会に平和と秩序をもたらすものである。本講義では、国際法の歴史、主体、法源、国家の基本的な権利義務などについて講義する。					
授業目的・到達目標	国際法の基本的な事項について理解することを目的とする。国際法の基本的な事項についての知識をもち、国際法に関して考える基礎を身に着けることを到達目標とする。					
履修条件	なし。					
授業方法	教科書にもとづいて講義する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	問題に対して、事例、判例、学説などを適宜引用しながら、的確に答えているかを特に重視する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		NEXT教科書シリーズ『国際法（第3版）』		渡部茂己・喜多義人
	2018	有斐閣		国際条約集2018		岩沢雄司
	備考					
参考書	授業で適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日13時00分—14時30分（事前にメールでアポイントメントを取ることを）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際法に関する情報をネット等で探してみる。
	授業内容	はじめに：講義の進め方、成績評価などの説明
	事後学習	授業で紹介した参考書等を確認する。
2	事前学習	教科書の該当部分（第1章2―5頁）を読んでおく。
	授業内容	国際社会と国際法
	事後学習	国際社会と国際法についての授業の内容を復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分（第1章5－8頁）を読んでおく。
	授業内容	近代国際法の成立と発展
	事後学習	近代国際法の成立と発展についての授業の内容を復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分（第1章9－10頁）を読んでおく。
	授業内容	国際法の主体
	事後学習	国際法の主体についての授業の内容を復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分（第1章11－12頁）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国内法
	事後学習	国際法と国内法についての授業の内容を復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分（第2章国際慣習法以外の部分）を読んでおく。
	授業内容	国際法の法源①：条約、法の一般原則、判例、学説、国際機関の決議
	事後学習	条約、法の一般原則、判例、学説、国際機関の決議についての授業の内容を復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分（第2章国際慣習法の部分）を読んでおく。
	授業内容	国際法の法源②：国際慣習法
	事後学習	国際慣習法についての授業の内容を復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分（第3章28－29頁）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国家①：国家の成立要素
	事後学習	国家の成立要素についての授業の内容を復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分（第3章29－31頁）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国家②：国家承認
	事後学習	国家承認についての授業の内容を復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分（第3章32－33頁）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国家③：政府承認
	事後学習	政府承認についての授業の内容を復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分（第3章34－35頁）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国家④：国家承継・政府承継
	事後学習	国家承継・政府承継についての授業の内容を復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分（第3章36－37頁）を読んでおく。
	授業内容	国家の基本的権利義務①：国家主権、主権平等、主権免除
	事後学習	国家主権、主権平等、主権免除についての授業の内容を復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分（第3章37－39頁）を読んでおく。
	授業内容	国家の基本的権利義務②：不干渉義務、管轄権
	事後学習	不干渉義務、管轄権についての授業の内容を復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分（第3章39頁）を読んでおく。
	授業内容	国家の基本的権利義務③：自衛権
	事後学習	自衛権についての授業の内容を復習する。

15	事前学習	前期の授業の内容を確認する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	前記の授業の内容を復習する。

科目名	国際関係法〔公法系〕A I	担当者	喜多 義人	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし法律学科の公民、経営法学科の公民は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際法は、15世紀後半から17世紀半ばにかけて西ヨーロッパで成立した法規範で、原則として主権国家間の権利義務関係を規定する。しかし、国際法は「法」であっても、国内法とはその性質が大きく異なる。本講義では、国際法の特徴を理解したうえで、近代国際法の成立、国際法の法源、国際法上の国家の成立とその権利義務、国家の領域について解説し、国際法のもつ国際関係調整機能、紛争処理機能、国際社会の組織化機能に関する理解を深めたい。				
授業目的・到達目標	国際法に関する基礎知識の修得を目的とする。まず、国際社会と国家社会の法構造の違い、近代国際法の成立過程、近代国際法から現代国際法への発展を説明することができる。さらに、国際法の法源、その成立要件と機能、国際法上の権利義務の帰属者、国際法の国内事項への適用と国内法との関係、国際法主体としての国家の成立要件、国家の主要な権利義務、とくに国家行為に対する裁判権免除と自衛権ならびに国家領域と領域主権に関する理解を深化させることにより、国際法がいかなる法体系であり、それが国際社会の秩序維持にどのような機能を果たしているかについて説明できるようになる。				
履修条件	なし。				
授業方法	教科書にもとづき、講義形式で行なう。必要に応じて補足資料を配布する。指定の条約集を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	答案の構成、条約や判例、学説への言及、文章表現などを総合的に評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	弘文堂		『国際法[第3版]』（Next教科書シリーズ）	渡部茂己・喜多義人編
	2018年	有斐閣		『国際条約集 2018』	岩沢雄司編集代表
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	月曜日19：30～20：30、水曜日18、00～19、00 メールか電話で予約すること（kita.yoshito@nihon-u.ac.jp、03-5275-8602）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	図書館で本講義に関係する文献を検索し、手にとってみること。
	授業内容	ガイダンス：講義の進め方、成績評価、参考文献の紹介など
	事後学習	提示した参考文献を図書館で閲覧し、その内容を把握すること。
2	事前学習	教科書2～8頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際社会と法：近代国際法の成立、現代国際法への発展
	事後学習	古代と中世の国際法の特徴および近代国際法との違いについて調べること。

3	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法と国内法の差異：法の定立、解釈・適用、執行における差異
	事後学習	国際法の執行がどのような形で行なわれるかについて調べること。
4	事前学習	教科書9～10頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法の主体：国際機構と個人の法主体性
	事後学習	国際機構および個人の国際法上の権利義務を規定した条約について調べること。
5	事前学習	教科書16～23頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法の法源(1)：国際慣習法(成立要件、法典化と漸進的発達)
	事後学習	国際慣習法の法典化と漸進的発達に関係する条約について調べること。
6	事前学習	教科書22～25頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法の法源(2)：条約、法の一般原則、学説と判例、国際機構の決議
	事後学習	法の一般原則、判例と学説が国際裁判で適用された事例について調べること。
7	事前学習	教科書11～12頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法と国内法の関係：国際法の国内的適用、優劣関係
	事後学習	国際法が日本の裁判所で適用された事例について調べること。
8	事前学習	教科書28～32頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家承認：国家の構成要素、国際法上の国家の成立要件、国家承継
	事後学習	未承認国家の法的地位、国際機構への加盟と国家承認との関係について調べること。
9	事前学習	教科書32～34頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	政府承認：革命やクーデターにより成立した新政府の地位
	事後学習	政府承認の要件と近年の国家実行について調べること。
10	事前学習	教科書36～37頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家の権利義務(1)：主権、平等権、国家の裁判権免除
	事後学習	日本の裁判所で外国の行為に対して裁判権が免除された事例について調べること。
11	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家の権利義務(2)：自衛権(個別的自衛権)
	事後学習	自衛権と緊急避難の違いについて調べること。
12	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家の権利義務(3)：自衛権(集団的自衛権)
	事後学習	集団的自衛権に関する日本政府の見解および行使要件を定めた国内法について調べること。
13	事前学習	教科書37～38頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家の権利義務(4)：国内問題不干渉義務
	事後学習	人道的干渉が主張された武力行使の事例について調べること。
14	事前学習	教科書68～72頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家の領域：領域主権、領土・領海・領空の法的地位
	事後学習	日本の領海と領空が侵犯された事例について調べること。

15	事前学習	教科書73～76頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家領域の取得方式：先占、添付、割譲、併合、征服、時効
	事後学習	日本による領域取得方式の適用事例について調べること。

科目名	国際関係法〔公法系〕AⅡ	担当者	河合 利修	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし法律学科の公民、経営法学科の公民は必修科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	世界では、武力紛争、領土問題、環境問題、資源をめぐる争いなど、様々な問題が存在する。国際法は、これらの問題を法的に解決し、国際社会に平和と秩序をもたらすものである。本講義では、国家の領域と海洋法などを中心に講義する。					
授業目的・到達目標	国際法の基本的な事項について理解することを目的とする。そのなかでも、国家の領域と海洋法に関する基本的な事項についての知識をもち、国際法に関して考える基礎を身に着けることを到達目標とする。					
履修条件	なし。					
授業方法	教科書にもとづいて講義する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	問題に対して、事例、判例、学説などを適宜引用しながら、的確に答えているかを特に重視する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		NEXT教科書シリーズ『国際法（第3版）』		渡部茂己・喜多義人
	2018	有斐閣		国際条約集2018		岩沢雄司
	備考					
参考書	授業で適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日13時00分―14時30分（事前にメールでアポイントメントを取ること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際法の諸問題についてネットなどで調べておく。
	授業内容	授業の説明
	事後学習	授業で紹介した参考書等を各自確認する。
2	事前学習	教科書の該当部分（第6章67-76頁）を読んでおく。
	授業内容	国家の領域①：領域主権、国家領域の構造、領域取得の方式
	事後学習	領域主権、国家領域の構造、領域取得の方式についての授業の内容を復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分（第6章76－81頁）を読んでおく。
	授業内容	国家の領域②：日本の領土問題
	事後学習	日本の領土問題についての授業の内容を復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分（第7章84－85頁）を読んでおく。
	授業内容	海洋法①：歴史的展開
	事後学習	海洋法の歴史的展開についての授業の内容を復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分（第7章86－95頁）を読んでおく。
	授業内容	海洋法②：海洋法の構造
	事後学習	海洋法の構造についての授業の内容を復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分（第7章96－99頁）を読んでおく。
	授業内容	海洋法③：海洋境界の画定と紛争の解決
	事後学習	海洋境界の画定と紛争の解決についての授業の内容を復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分（第8章）を読んでおく。
	授業内容	国際公域
	事後学習	国際公域についての授業の内容を復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分（第4章）を読んでおく。
	授業内容	外交関係と国際法：外交使節と領事使節
	事後学習	外交関係と国際法についての授業の内容を復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分（第13章）を読んでおく。
	授業内容	条約法
	事後学習	条約法についての授業の内容を復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分（第9章）を読んでおく。
	授業内容	国際法と個人：人権
	事後学習	国際法と個人についての授業の内容を復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分（第10章）を読んでおく。
	授業内容	国際法と地球環境
	事後学習	国際法と地球環境についての授業の内容を復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分（第11章）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国際経済
	事後学習	国際法と国際経済についての授業の内容を復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分（第12章）を読んでおく。
	授業内容	国際法と国際機構
	事後学習	国際法と国際機構についての授業の内容を復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分（第5章）を読んでおく。
	授業内容	国家の国際責任
	事後学習	国家の国際責任についての授業の内容を復習する。

15	事前学習	後期の授業の内容の確認をする。
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	後期の授業の総復習をする。

科目名	国際関係法〔公法系〕AⅡ	担当者	喜多 義人	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目（ただし法律学科の公民、経営法学科の公民は必修科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義では、国際関係法〔公法系〕AⅠで学んだことをもとに、日本の領土問題のほか、主要な国際法制度について解説する。すなわち、安全保障および資源確保上重要な海洋に関する法制度、外交官・領事官の任務と特権免除、外国人の国際法上の地位、人権の国際的保障制度、国際犯罪とその処罰制度、国際機構の目的と限界、条約の締結手続と効力、国家責任の成立要件と解除方法に関する理解を深化させる。				
授業目的・到達目標	国際法の国際関係調整機能、紛争解決機能、国際社会の組織化機能が、どのような形で国際関係に安定と発展をもたらしているかを理解することを目的とする。まず、北方領土、尖閣諸島、竹島をめぐる領土問題の事実関係、双方の主張を説明することができる。さらに、領海、公海、排他的経済水域の法的地位、大陸棚と深海底の開発制度、外交公館の不可侵および外交官・領事官の特権と免除、犯罪人引渡しに関する諸原則、難民に関する滞在国の義務、主要な人権条約の概要と履行確保制度について理解するとともに、国際犯罪、国際機構、条約、国家の国際責任に関する国際法規範についての知識を充実させることにより、国家の行動を法的に評価できるようになる。				
履修条件	国際法Ⅰまたは国際関係法〔公法系〕AⅠを履修していること。				
授業方法	教科書にもとづき、講義形式で行なう。必要に応じて補足資料を配布する。指定の条約集を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	答案の構成、条約や判例、学説への言及、文章表現などを総合的に評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	弘文堂		『国際法〔第3版〕』（Next教科書シリーズ）	渡部茂己・喜多義人編
	2018年	有斐閣		『国際条約集 2018』	岩沢雄司編集代表
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	月曜日19：30～20：30、水曜日18：00～19：00 メールか電話で予約すること（kita.yoshito@nihon-u.ac.jp、03-5275-8602）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書76～78頁および関連図書を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	日本の領土問題(1)：北方領土
	事後学習	外務省や関係自治体のHPなどにより、双方の主張の根拠となっている資料を調べること。
2	事前学習	教科書78～79頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	日本の領土問題(2)：尖閣諸島
	事後学習	外務省や関係自治体のHPなどにより、双方の主張の根拠となっている資料を調べること。

3	事前学習	教科書79～81頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	日本の領土問題(3)：竹島
	事後学習	外務省や関係自治体のHPなどにより、双方の主張の根拠となっている資料を調べること。
4	事前学習	教科書84～86頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	海洋法(1)：海洋法の形成と発展、内水
	事後学習	海洋法の発展過程、とくに法典化について調べること。
5	事前学習	教科書87～92頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	海洋法(2)：領海の法的地位、国際海峡、公海における国家の管轄権
	事後学習	軍艦の領海および国際海峡における通航権について調べること。
6	事前学習	教科書92～95頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	海洋法(3)：排他的経済水域、大陸棚、深海底の法制度
	事後学習	排他的経済水域内での漁業に関する沿岸国の権利義務について調べること。
7	事前学習	教科書42～47頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	外交・領事関係法(1)：外交使節の任務、構成員、特権免除
	事後学習	外交公館の不可侵権や外交官の特権免除が侵害された事例について調べること。
8	事前学習	教科書47～51頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	外交・領事関係法(2)：領事機関の任務、構成員、特権免除および国家元首・外務大臣の特権免除、外国軍隊の法的地位
	事後学習	在日米軍の構成員による犯罪に対する裁判権が問題となった事例について調べること。
9	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法における個人(1)：国籍、外国人の国際法上の地位、犯罪人の引渡し
	事後学習	日本の裁判所において犯罪人の引渡しの可否が争われた事例について調べること。
10	事前学習	教科書124～127頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法における個人(2)：難民（定義、難民条約の締約国の義務、日本の難民政策）、庇護権
	事後学習	国連難民高等弁務官事務所の活動について調べること。
11	事前学習	教科書114～124頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法における個人(3)：国際人権法の発展、主要な人権条約の概要、履行確保制度
	事後学習	地域的人権条約とその履行確保制度について調べること。
12	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際法における個人(4)：国際犯罪の概念と類型、国際的規制犯罪と国際法上の犯罪、国際刑事裁判所の管轄権
	事後学習	国際刑事裁判所の設立経緯と基本原理、管轄権行使の条件について調べること。
13	事前学習	教科書162～179頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際機構：国際機構の概念、発展過程、組織構造、加盟国の権利義務、意思決定
	事後学習	国際連合の専門機関の任務と活動、日本との関係について調べること。
14	事前学習	教科書182～196頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	条約法：条約の概念、締結手続、留保、無効と終了
	事後学習	条約の無効、終了、運用停止が主張された事例について調べること。

15	事前学習	教科書54～66頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国家責任法：国家責任の成立、違法性阻却事由、責任解除の方法、外交保護権
	事後学習	会社に対する外交保護権と関係事例について調べること。

科目名	国際関係法〔公法系〕BⅠ	担当者	河合 利修	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国際社会には様々な問題が存在し、当事者が平和的に解決できる問題もあるが、武力紛争に至る問題もある。本講義では、紛争の平和的解決に関する法について講義する。					
授業目的・到達目標	国際社会に存在する紛争に関して、国際法が規定する解決法について理解することを目的とする。国際法が規定する紛争の平和的解決および安全保障システムについて理解を深めることを到達目標とする。					
履修条件	国際法Iを履修していることが望ましい。					
授業方法	教科書にもとづいて講義する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	問題に対して、事例、判例、学説などを適宜引用しながら、的確に答えているかを特に重視する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		NEXTシリーズ国際法（第3版）		渡部茂己・喜多義人
	2018	有斐閣		国際条約集2018		岩沢雄司
	備考					
参考書	授業で適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日13時00分—14時30分（事前にメールでアポイントメントを取ることを）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	世界で発生している戦争について調べてみる。
	授業内容	はじめに：講義の進め方、成績評価などの説明
	事後学習	授業で紹介された参考書等を確認しておく。
2	事前学習	教科書の該当部分（第14章198頁）を読んでおく。
	授業内容	戦争の違法化
	事後学習	戦争の違法化についての授業の内容を復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分（第3章39頁）を読んでおく。
	授業内容	自衛権
	事後学習	自衛権についての授業の内容を復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分（第14章199－202頁）を読んでおく。
	授業内容	国際紛争の平和的解決①：非裁判的手続き
	事後学習	非裁判的手続きについての授業の内容を復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分（第14章202－208頁）を読んでおく。
	授業内容	国際紛争の平和的解決②：裁判手続
	事後学習	裁判手続についての授業の内容を復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分（第7章99－100頁）を読んでおく。
	授業内容	国際紛争の平和的解決③：我が国と国際司法裁判所
	事後学習	我が国と国際司法裁判所についての授業の内容を復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分（第15章212-214頁）を読んでおく。
	授業内容	国際安全保障①：正戦論から集団安全保障へ
	事後学習	正戦論から集団安全保障までについての授業の内容を復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分（第15章214－216頁）を読んでおく。
	授業内容	国際安全保障②：国際連盟と国際連合の安全保障
	事後学習	国際連盟と国際連合の安全保障についての授業の内容を復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分（第15章217－228頁）を読んでおく。
	授業内容	国際安全保障③：国際連合の集団安全保障制度の変遷
	事後学習	国際連合の集団安全保障制度の変遷についての授業の内容を復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分（第15章228－233頁）を読んでおく。
	授業内容	国連平和維持活動（PKO）の発生から冷戦終結まで
	事後学習	国連平和維持活動（PKO）の発生から冷戦終結までについての授業の内容を復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分（第15章233－237頁）を読んでおく。
	授業内容	軍備管理と軍縮
	事後学習	軍備管理と軍縮についての授業の内容を復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分（第16章240－245頁）を読んでおく。
	授業内容	国際人道法①：歴史と基本的事項
	事後学習	国際人道法の歴史と基本的事項についての授業の内容を復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分（第16章245－247頁）を読んでおく。
	授業内容	国際人道法②：諸原則
	事後学習	国際人道法の諸原則についての授業の内容を復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分（第16章243頁）を読んでおく。
	授業内容	国際人道法③：適用範囲
	事後学習	国際人道法の適用範囲についての授業の内容を復習する。

15	事前学習	前期に行った授業の内容を確認する。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	前記の授業の内容を復習する。

科目名	国際関係法〔公法系〕BⅠ	担当者	喜多 義人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際社会で生起する紛争はどのような手続で解決されるのか。また、国家はいかなる方法で自国の領土と政治的独立を保全するのか。本講義では、戦争の違法化の過程を概観したうえで、国際紛争を平和的に解決するための政治的手続と司法的手続について解説し、復讐、干渉、自衛および現在では違法化されている戦争などの強力的解決手続にも言及する。さらに、第一次世界大戦後に採用された集団安全保障制度について解説する。				
授業目的・到達目標	国際紛争の平和的解決および強力的解決、国際の平和と安全の維持・回復に関する国際法規範に関する知識を修得することを目的とする。まず、国際紛争の政治的解決の諸手続、国際連盟と国際連合の紛争解決制度、司法的解決手続としての国際裁判の特質、国際司法裁判所の管轄権などについての理解を深める。また、国際連盟と国際連合が国際平和の維持・回復のためにとりうる措置と適用例、これらの機構の集団安全保障制度の問題点を理解したうえで、国連平和維持活動が考案された背景、その基本原則と冷戦後の活動に関する知識を身につけることにより、国際平和の実現に関する国際法の諸制度について説明できるようになる。				
履修条件	国際法Ⅰまたは国際関係法〔公法系〕Aを履修していること。				
授業方法	教科書にもとづき、講義形式で行なう。必要に応じて補足資料を配布する。指定の条約集を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	答案の構成、条約や判例、学説への言及、文章表現などを総合的に評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	弘文堂		『国際法[第3版]』（Next教科書シリーズ）	渡部茂己・喜多義人編
	2018年	有斐閣		『国際条約集 2018』	岩沢雄司編集代表
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	水曜日１８：００～１９：００、木曜日１０：３０～１１：３０ メールか電話で予約すること（kita.yoshito@nihon-u.ac.jp、03-5275-8602）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	図書館で本講義に関係する文献を検索し、手にとってみること。
	授業内容	ガイダンス：講義の進め方、成績評価、参考文献の紹介など
	事後学習	提示した参考文献を図書館で閲覧し、その内容を把握すること。
2	事前学習	教科書198～199、212～213頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	戦争の違法化：正戦論、無差別戦争観から戦争違法観へ
	事後学習	戦争観の変遷について、その背景と代表的な学者について調べること。

3	事前学習	教科書199～201頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際紛争の平和的解決手続(1) 非裁判手続①：交渉、周旋、仲介、審査、調停
	事後学習	非裁判手続によって紛争が解決された事例について調べること。
4	事前学習	教科書201～202頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	非裁判手続②：国際連盟の紛争解決手続
	事後学習	国際連盟に付託された紛争、特に満州事変について調べること。
5	事前学習	教科書201～202頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	非裁判手続③：国際連合、地域的機構の紛争解決手続
	事後学習	国連安全保障理事会と事務総長によって解決された紛争について調べること。
6	事前学習	教科書202～204頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際紛争の平和的解決手続(2) 裁判手続①：国際裁判の特質および分類、常設の裁判所の設立
	事後学習	国際裁判の発展過程について調べること。
7	事前学習	教科書204～208頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	裁判手続②：国際司法裁判所の裁判官、管轄権、訴訟手続、判決の執行
	事後学習	国際司法裁判所の管轄権に対する先決的抗弁について調べること。
8	事前学習	教科書99～98頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	裁判手続③：日本と国際裁判
	事後学習	みなみマグロ事件と南極海調査捕鯨事件の事実関係、当事者の主張、判決の内容について調べること。
9	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際紛争の強力的解決手続(1)：復仇、戦争、干渉
	事後学習	復仇と干渉の事例について調べること。
10	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際紛争の強力的解決手続(2) 自衛①：個別的自衛権
	事後学習	個別的自衛権が主張された武力行使の事例について調べること。
11	事前学習	教科書24～25頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	自衛②：集団的自衛権、日本国憲法と自衛権
	事後学習	ニカラグア事件の事実関係、国際司法裁判所における当事者の主張、判決の内容およびその評価について調べること。
12	事前学習	教科書213～216頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際安全保障制度(1)：勢力均衡方式と集団安全保障制度、国際連盟の集団安全保障制度
	事後学習	国際連盟に付託された紛争の事実関係および連盟の行動について調べること。
13	事前学習	教科書217～228頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際安全保障制度(2)：国際連合の集団安全保障制度
	事後学習	国連安全保障理事会の決議にもとづいてとられた強制措置について調べること。
14	事前学習	教科書228～233頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際連合の平和維持活動(1)：P K Oの成立、法的根拠と基本原則
	事後学習	P K O、国連章、多国籍軍の相違点とそれぞれの事例について調べること。

15	事前学習	教科書230～233頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際連合の平和維持活動(2)：冷戦後のP K Oの変容、日本のP K O参加と問題点
	事後学習	日本の自衛隊が参加したP K Oの設立根拠、任務、課題について調べること。

科目名	国際関係法〔公法系〕BⅡ	担当者	河合 利修	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国際社会には様々な問題が存在し、当事者が平和的に解決できる問題もあるが、武力紛争に至る問題もある。本講義では、武力紛争に関する法について講義する。					
授業目的・到達目標	国際社会に存在する紛争に関して、国際法が規定する解決法について理解することを目的とする。国際法が規定する武力紛争に関する法について理解を深めることを到達目標とする。					
履修条件	国際法Iを履修していることが望ましい。					
授業方法	教科書にもとづいて講義する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	問題に対して、事例、判例、学説などを適宜引用しながら、的確に答えているかを特に重視する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		NEXTシリーズ国際法（第3版）		渡部茂己・喜多義人
	2018	有斐閣		国際条約集2018		岩沢雄司
	備考					
参考書	授業で適宜紹介する。					
オフィスアワー	月曜日13時00分―14時30分（事前にメールでアポイントメントを取ること）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前記の授業をもう一回復習する。
	授業内容	後期授業の説明
	事後学習	授業で紹介された参考書等を確認する。
2	事前学習	教科書の該当部分（第16章251頁の陸戦の部分）を読んでおく。
	授業内容	ジュネーブ諸条約①：陸戦における傷病者の保護
	事後学習	陸戦における傷病者の保護についての授業の内容を復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分（第16章251頁の海戦の部分）を読んでおく。
	授業内容	ジュネーブ諸条約②：海戦における傷病者の保護
	事後学習	海戦における傷病者の保護についての授業の内容を復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分（第16章252頁B）を読んでおく。
	授業内容	ジュネーブ諸条約③：捕虜の保護
	事後学習	捕虜の保護についての授業の内容を復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分（第16章253頁C）を読んでおく。
	授業内容	ジュネーブ諸条約④：文民の保護
	事後学習	文民の保護についての授業の内容を復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分（第16章251頁赤十字標章の部分）を読んでおく。
	授業内容	ジュネーブ諸条約⑤：赤十字の活動と赤十字標章
	事後学習	赤十字の活動と赤十字標章についての授業の内容を復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分（第16章242-243頁）を読んでおく。
	授業内容	ハーグ諸条約：戦闘手段の制限・禁止
	事後学習	戦闘手段の制限・禁止についての授業の内容を復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分（第16章248頁）を読んでおく。
	授業内容	兵器の使用規制・禁止①：通常兵器と生物・化学兵器
	事後学習	通常兵器と生物・化学兵器についての授業の内容を復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分（第16章249頁）を読んでおく。
	授業内容	兵器の使用規制・禁止②：核兵器
	事後学習	核兵器についての授業の内容を復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分（第16章253-255頁）を読んでおく。
	授業内容	国際人道法の履行確保：普及、利益保護国、人道的団体
	事後学習	普及、利益保護国、人道的団体についての授業の内容を復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分（第16章255頁）を読んでおく。
	授業内容	国際人道法の履行確保：重大な違反行為の処罰
	事後学習	重大な違反行為の処罰についての授業の内容を復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分（第16章256頁）を読んでおく。
	授業内容	重大な違反行為の処罰のための取組み：国内裁判と国際裁判
	事後学習	重大な違反行為の処罰のための取組みとしての国内裁判と国際裁判についての授業の内容を復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分（第16章256-257頁）を読んでおく。
	授業内容	国際刑事裁判所
	事後学習	国際刑事裁判所についての授業の内容を復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分（第16章249-250頁）を読んでおく。
	授業内容	国際人道法の将来：サイバー攻撃とロボット兵器
	事後学習	サイバー攻撃とロボット兵器についての授業の内容を復習する。

15	事前学習	後期の授業の内容を確認する。
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	後期の授業の内容を総復習する。

科目名	国際関係法〔公法系〕BⅡ	担当者	喜多 義人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	武力による国際紛争の解決が原則的に禁止された現代の国際社会においても、武力紛争は絶えることがない。第二次世界大戦以降は、文民の犠牲者が増加する傾向にある。こうした現状をふまえて、本講義では戦時国際法・武力紛争法ともよばれる国際人道法に関する理解を深める。まず、国際人道法の概念と基本原則を理解したうえで、内戦への人道法の適用、害敵手段（戦闘手段）の規制、捕虜・傷病者・文民の保護、人道法の履行確保などについて解説する。				
授業目的・到達目標	武力紛争に適用される国際法規範に関する知識を修得することを目的とする。まず、国際人道法の概念と基本原則を理解することにより、内戦に適用される人道法の諸規則、捕虜となりうる者およびその権利義務、傷病兵と文民の保護に関する諸原則、大量破壊兵器や通常兵器の規制に関する国際法規について説明することができる。また、復讐・戦争犯罪人の処罰などの人道法の履行確保制度、軍縮・軍備管理の歴史と現状、日本による人道法の適用や第二次世界大戦中の違法行為に対する戦後補償についても説明できる学識が身につくようになる。				
履修条件	国際関係法[公法系] BⅠを履修していること。				
授業方法	教科書にもとづき、講義形式で行なう。必要に応じて補足資料を配布する。指定の条約集を持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	答案の構成、条約や判例、学説への言及、文章表現などを総合的に評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	弘文堂		『国際法[第3版]』(Next教科書シリーズ)	渡部茂己・喜多義人編
	2018年	有斐閣		『国際条約集 2018』	岩沢雄司編集代表
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	水曜日18:30～19:00、木曜日10:30～11:30 メールか電話で予約すること (kita.yoshito@nihon-u.ac.jp、03-5275-8602)				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書240～242頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際人道法の概念と歴史
	事後学習	Jus ad bellum とjus in bello、ハーグ法とジュネーブ法という国際人道法の分類にもとづき、それぞれに属する条約について調べること。
2	事前学習	教科書242～244頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際人道法の法典化、適用範囲
	事後学習	人道法の法典化のための国際会議について調べること。

3	事前学習	教科書245～248頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際人道法の基本原則：目標区別原則、不必要な苦痛を与える兵器の禁止原則、均衡性の原則など
	事後学習	軍事目標主義について調べること。
4	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	日本による国際人道法の実践(1)：明治・大正時代
	事後学習	日清戦争、日露戦争で日本が国際人道法を遵守するためにとった措置について調べること。
5	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	日本による国際人道法の実践(2)：昭和時代
	事後学習	第二次世界大戦で日本が国際人道法に違反した事例とその原因について調べること。
6	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	内戦への国際人道法の適用
	事後学習	内戦に国際人道法が適用された事例について調べること
7	事前学習	教科書234～235、248～249頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	害敵手段の規制(1)：核兵器
	事後学習	2017年7月に国連総会で採択された核兵器禁止条約について調べること。
8	事前学習	教科書235～236、248～249頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	害敵手段の規制(2)：化学兵器、生物兵器
	事後学習	化学兵器禁止条約の構造と履行確保制度について調べること。
9	事前学習	教科書248頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	害敵手段の規制(3)：特定通常兵器（対人地雷、焼夷兵器、レーザー兵器、クラスター爆弾など）、背信行為
	事後学習	対人地雷禁止条約の採択に貢献したNGOの活動について調べること。
10	事前学習	教科書252頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	戦争犠牲者の保護(1)：捕虜（捕虜資格と待遇）
	事後学習	過去の戦争や武力紛争における捕虜の取扱いについて調べること。
11	事前学習	教科書251～253頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	戦争犠牲者の保護(2)：傷病者、文民
	事後学習	傷病者保護に関するジュネーブ条約の発展について調べること。
12	事前学習	教科書253～255頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際人道法の履行確保(1)：復仇、利益保護国制度、事実調査制度、国際人道法の教育・普及など
	事後学習	利益保護国が指定され、また事実調査が実施された事例について調べること。
13	事前学習	教科書255～257頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	国際人道法の履行確保(2)：戦争犯罪の概念、処罰制度、日本と戦争犯罪裁判
	事後学習	東京裁判とBC級戦犯裁判の法的根拠、訴訟手続、問題点について調べること。
14	事前学習	配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	日本の戦争責任と戦後補償
	事後学習	日本が戦後、連合国やアジア諸国に対して行なった金銭賠償、役務提供などについて調べること。

15	事前学習	教科書233～234頁および配布資料を熟読し、論点を確認しておくこと。
	授業内容	軍縮と軍備管理
	事後学習	国連軍縮委員会の組織構造、活動、成果について調べること。

科目名	国際関係法〔私法系〕AⅠ	担当者	中村 進	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	国際私法、国際民事訴訟法、国際取引法の一部を学習するのが国際関係法〔私法系〕A及びBである。その内の「国際関係法〔私法系〕A」においては、国際契約や国際的不法行為、国際結婚・離婚等の国際的な私的生活関係に適用される法（準拠法）を決定する法律である国際私法を授業の対象とする。「国際関係法〔私法系〕A」のⅠでは、国際私法の基礎理論と総則上の諸規定を中心に学習する。判例等の資料や質疑応答なども交えて分かり易い講義にする。			
授業目的・到達目標	国際私法の基本的な構造や主要な規定の内容を理解するとともに、その実際の場面での適用の仕方を修得することを目的とする。より具体的には、国際私法は、国際的な契約や不法行為、国際的な結婚・離婚等に関する紛争が発生した場合に、どの様にしてその紛争について適用すべき法（＝準拠法）を選択し、私的な解決を図っているかについて理解することを到達目標とする。その際に、国際私法が国際民事訴訟法や国際取引法とどの様に結びついているのかについての理解も図る。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書に沿って講義するが、適宜資料等を配布する。六法を必ず持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業の理解度を図るための授業内で小テストを2回行う。その成績に、授業への参加度と質疑応答の際の貢献度を加味して平常評価を行う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年	有斐閣	『国際私法（第6版）』（有斐閣Sシリーズ）	櫻田嘉章
	備考			
参考書	『国際私法判例百選[第2版]』（別冊ジュリスト）：有斐閣			
オフィスアワー	金曜日16:20~17:50（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館2階206号）nakamura.susumu00@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際私法がどのような法律であるかについて調べる。
	授業内容	ガイダンス：授業の計画とその進め方について説明する。また、国際私法の全体像について解説する。
	事後学習	国際私法と他の諸法との相違について調べる。
2	事前学習	教科書第1章を予習する。
	授業内容	国際私法の必要性：国際私法は、なぜ必要とされているか、またどのような理念に基づいて国境を越えて発生する私的紛争の解決を図っているかについて解説する。
	事後学習	国際私法という法律の必要性について確認する。

3	事前学習	教科書第2章を予習する。
	授業内容	国際私法の基礎的観念：国際私法の基礎的観念について、その定義、目的と方法、基本的用語等について解説する。
	事後学習	国際私法の基礎的観念とそこで用いられる基本的用語について復習する。
4	事前学習	教科書第3・4章を予習する。
	授業内容	国際私法の法的性質・機能と隣接法分野：国際私法の法的性質と機能を明らかにするとともに、国際私法と関係の深い法分野について概観する。
	事後学習	国際私法の法的性質について確認し、国際私法と関係の深い法分野との関連性についても復習する。
5	事前学習	教科書第5章を予習する。
	授業内容	国際私法の沿革：国際私法の歴史について学習する。
	事後学習	国際私法の歴史について、現代の国際私法の基礎となっているサヴィニーの国際私法理論を理解する。
6	事前学習	教科書第6章を予習する。
	授業内容	国際私法の法源：条約及び国内法を中心に国際私法の法源について学習する。
	事後学習	国際私法の法源を成す条約と国内諸法について確認する。
7	事前学習	教科書第7章を予習する。また、小テストに備えて、これまで授業内で学習した国際私法の基礎的観念や基本的用語について復習をする。
	授業内容	法律関係の性質決定：準拠法を決定する際に最初に問題となる法律関係の法律決定とは何かについて、具体例を交えて解説する。授業の後半で、これまでの講義内容の理解度をはかるための小テストを実施する。
	事後学習	授業内で配布された「法律関係の性質決定」に関する課題に取り組む。また、教科書で小テストの答え合わせをする。
8	事前学習	教科書第8章を予習する。
	授業内容	連結点の確定：準拠法の決定における連結点の確定について、連結点の中心をなす国籍、常居所を中心に解説する。また、法律回避の問題にも触れる。
	事後学習	授業内で配布された「連結点の確定」に関する課題に取り組む。
9	事前学習	教科書第9章を予習する。
	授業内容	準拠法の指定：当事者の本国（国籍国）が地域的または人的に不統一法国である場合の処理について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「準拠法の指定」に関する課題に取り組む。
10	事前学習	教科書第10章を予習する。
	授業内容	反致：反致とは何か、また準拠法決定において反致がどのような意味を有するのかについて解説する。
	事後学習	授業内で配布された「反致」に関する課題に取り組む。
11	事前学習	教科書第11章を予習する。
	授業内容	外国法の適用：準拠法として外国法を適用することの意味、指定された外国の法規に欠缺や内容の不明があった場合の処理について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「外国法の適用」に関する課題に取り組む。
12	事前学習	教科書第12章を予習する。
	授業内容	国際私法上の公序：準拠法として指定された外国法の適用がわが国の公序に反する場合に発動される公序則について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「公序」に関する課題に取り組む。
13	事前学習	教科書第13章を予習する。
	授業内容	先決問題と適用問題：国際私法独自の問題である先決問題と適用問題について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「先決問題」と「適用問題」に関する課題に取り組む。
14	事前学習	教科書第14章を予習する。また、小テストに備えて、第7回～第13回の授業内で学習した国際私法上の総則上の基本的諸問題について復習をする。
	授業内容	自然人：自然人の権利能力、失踪宣告、行為能力、後見等の開始の審判の準拠法（国際裁判管轄権も含む）について解説する。授業の後半で、第7回から前回までの講義内容の理解度をはかるための小テストを実施する。
	事後学習	授業内で配布された「自然人の権利能力」に関する課題に取り組む。また、教科書で小テストの答え合わせをする。

15	事前学習	前期の授業内容全体を復習し、質問事項の有無を確認する。
	授業内容	前期の授業をまとめ、質疑応答を行う。
	事後学習	前期の授業内容全体を復習する。

科目名	国際関係法〔私法系〕AⅡ	担当者	中村 進	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際私法、国際民事訴訟法、更に国際取引法の一部を学習するのが国際関係法〔私法系〕A及びBである。その内の「国際関係法〔私法系〕A」は、国際契約、国際的不法行為、国際結婚・離婚といった国際的な私的生活関係に適用される法（準拠法）を選択する法律である国際私法を中心に学習する。「国際関係法〔私法系〕A」のⅡにおいては、契約、不法行為、婚姻・離婚、親子関係、相続等の個別的な問題に関する準拠法についての国際私法規定を講ずる。				
授業目的・到達目標	国際私法の基本的な構造や主要な規定の内容を理解するとともに、その実際の場面での適用の仕方を修得することを目的とする。より具体的には、国際的な契約や不法行為、国際的な結婚・離婚等に関する紛争が発生した場合に、国際私法がどの様にしてその紛争に適用すべき法（準拠法）を選択し、解決を図っているかについて理解する。その際に、国際私法が国際民事訴訟法や国際取引法とどの様に結びついているのかについての理解も図る。				
履修条件	国際私法の基礎理論の修得を目的とする「国際関係法〔私法系〕AⅠ」の履修を既に終えていること。ただし、単位の修得に至ってなくても良い。本科目を「国際私法〔私法系〕AⅠ」より先に又は同時に履修することは認められない。				
授業方法	教科書に沿って講義を行うが、適宜資料等を配布する。六法を必ず持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	国際私法の基本的構造と各規定内容についての理解度を中心に判定する。	
	平常評価		20%	授業への参加度と質疑応答の際の貢献度を加味して平常評価とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年度	有斐閣		『国際私法（第6版）』（有斐閣Sシリーズ）	櫻田嘉章
	備考				
参考書	『国際私法判例百選[第2版]』（別冊ジュリスト）：有斐閣				
オフィスアワー	金曜日16:20～17:50（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館2階206号）nakamura.susumu00@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書第15章を予習する。
	授業内容	法人：法人の権利能力の準拠法の決定、及び外国会社のわが国における権利能力の享有に関する民法等の諸規定について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「法人の権利能力」に関する課題に取り組む。
2	事前学習	教科書第16章を予習する。
	授業内容	法律行為：法律行為全般に関する問題のうち、法律行為の方式の準拠法の決定を中心に解説する。
	事後学習	授業内で配布された「法律行為」に関する課題に取り組む。

3	事前学習	教科書第17章を予習する。
	授業内容	物権法：物権の準拠法の決定とその適用について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「物権法」に関する課題に取り組む。
4	事前学習	教科書第18章Ⅰの１・２を予習する。
	授業内容	契約(1)：契約の準拠法の決定につき、特に当事者自治の原則とその制限論について解説する。
	事後学習	債権契約の準拠法の決定に関して世界的に容認されている「当事者自治の原則」のメリットとデメリットについて確認する。
5	事前学習	教科書第18章Ⅰの２・３を予習する。
	授業内容	契約(2)：当事者による準拠法選択がない場合の契約の準拠法、及び消費者契約及び労働契約の準拠法の決定について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「契約債権」に関する課題に取り組む。
6	事前学習	教科書第18章Ⅱ・Ⅲを予習する。
	授業内容	法定債権：不法行為を中心とした法定債権の準拠法の決定とその適用について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「法定債権」に関する課題に取り組む。
7	事前学習	教科書第19章Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを予習する。
	授業内容	婚姻の成立：婚姻の実質的成立要件と形式的成立要件（方式）の準拠法の決定について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「婚姻の成立」に関する課題に取り組む。
8	事前学習	教科書第19章Ⅴ・Ⅵを予習する。
	授業内容	婚姻の効力：婚姻の身分的効力及び財産的効力（夫婦財産制）の準拠法の決定と適用について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「婚姻の効力」に関する課題に取り組む。
9	事前学習	教科書第19章Ⅶ・Ⅷを予習する。
	授業内容	離婚：離婚の国際裁判管轄権、離婚の準拠法（方式も含む）とその適用、及び婚約と内縁の準拠法について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「離婚」に関する課題に取り組む。
10	事前学習	教科書第20章Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴを予習する。
	授業内容	実親子関係：実親子関係の成立の準拠法について、嫡出親子関係と嫡出でない子の親子関係に分けて解説する。また、準正についても解説する。
	事後学習	授業内で配布された「実親子関係」に関する課題に取り組む。
11	事前学習	教科書第20章Ⅵ・Ⅶを予習する。
	授業内容	養親子関係：養親子関係の実質的成立要件、離縁等の準拠法の決定とその適用について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「養親子関係」に関する課題に取り組む。
12	事前学習	教科書第21章・第22章・23章を予習する。
	授業内容	親子間の法律関係、扶養義務、後見・保佐：親子間の法律関係、扶養義務、後見・保佐の準拠法の決定とその適用について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「親子間の法律関係」、「親族関係」、「扶養義務」及び「後見・保佐」に関する課題に取り組む。
13	事前学習	教科書第24章・25章を予習する。
	授業内容	相続、遺言：相続、遺言の準拠法の決定と適用、及び「遺言の方式の準拠法に関する法律」の主要規定について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「相続」及び「遺言」に関する課題に取り組む。
14	事前学習	教科書第26章を予習する。
	授業内容	国際民事訴訟法：国際裁判管轄権、外国判決の承認・執行等の国際民事訴訟法上の諸問題について解説する。
	事後学習	授業内で配布された「国際裁判管轄」及び「外国判決の承認・執行」に関する課題に取り組む。

15	事前学習	一年間の授業内容全体を復習し、質問事項の有無を確認する。
	授業内容	一年間の授業をまとめるとともに、質疑応答も行う。
	事後学習	一年間の授業内容全体を復習する。

科目名	国際関係法〔私法系〕BⅠ	担当者	笠原 俊宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際契約、涉外不法行為、国際結婚・離婚のように、渉外的要素を有する私法関係に適用される法（準拠法）を選択する法律が国際私法である。わが国国際私法の主要な法源は「法の適用に関する通則法」であるが、その他、特別法として、「扶養義務の準拠法に関する法律」及び「遺言の方式の準拠法に関する法律」がある他、民法、民事訴訟法、会社法等の諸法に、法源となる規定が散在している。授業においては、それらの立法及び学説について講義する。				
授業目的・到達目標	わが国国際私法の法源、及び、それを構成する諸法規の解釈・適用に関する基礎的な知識の習得を講義の目的とする。そのため、学説、判例等の文献・資料の利用の他、諸国の立法例との比較法的検討も行い、また、受講者の質疑応答にも十分に応えて、理解し易い講義にしたい。それにより、国際関係法（私法系）の基本的構造及び実定法の内容を習得し、実的な場面において、ある程度、解決のあり方の目途を立てられる程度の応用力を習得することを到達目標とする。				
履修条件	なし				
授業方法	教科書に沿って講義するが、適時、資料等を配布する。六法を必ず持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験を行なうか又はレポートの提出を求める。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	文眞堂		国際私法原論	笠原俊宏
	備考				
参考書	櫻田嘉章＝道垣内正人編『国際私法判例百選（第2版）』（有斐閣）				
オフィスアワー	随時、メールによって行う。メールアドレス：kasat@proof.ocn.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	ガイダンス：授業の計画とその進め方について説明する。
	事後学習	ノートを確認する。
2	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際私法・国際民事訴訟法・国際取引法の関係：国際私法・国際民事訴訟法を中心に概説する。
	事後学習	ノートを確認する。

3	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際私法の構造について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（１）：法律関係の性質決定
	事後学習	ノートを確認する。
4	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際私法の構造について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（２）：連結点
	事後学習	ノートを確認する。
5	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	準拠法の指定について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（１）：不統一法国法の指定・反致
	事後学習	ノートを確認する。
6	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	準拠法の指定について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（２）：強行規定・例外条項・その他
	事後学習	ノートを確認する。
7	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（１）：外国法の内容の不明・公序
	事後学習	ノートを確認する。
8	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（２）：先決問題・適応問題・その他
	事後学習	ノートを確認する。
9	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際家族法について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（１）：婚姻関係
	事後学習	ノートを確認する。
10	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際家族法について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（２）：親子関係
	事後学習	ノートを確認する。
11	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際家族法について、「法の適用に関する通則法」、「扶養義務の準拠法に関する法律」を中心として解説する（３）：後見・扶養義務
	事後学習	ノートを確認する。
12	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際家族法について、「法の適用に関する通則法」、「遺言の方式の準拠法に関する法律」を中心として解説する（４）：相続・遺言・その他
	事後学習	ノートを確認する。
13	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際家族法に関する事例問題について解説する（１）：婚姻関係・親子関係
	事後学習	ノートを確認する。
14	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際家族法に関する事例問題について解説する（２）：相続・人事・その他
	事後学習	ノートを確認する。

15	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	前期のまとめ、質疑応答
	事後学習	ノートを確認する。

科目名	国際関係法〔私法系〕BⅠ	担当者	中村 進	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際私法、国際民事手続法、更に国際取引法の一部を学習するのが「国際関係法〔私法系〕」のA及びBである。その内の「国際関係法〔私法系〕B」は、Aの講義で学んだ国際私法の実際的な適用過程を学習するとともに、国際民事手続法の主要規定と国際取引法における主要な条約・法律の内容について講ずる。「BⅠ」では、特に、国際私法を復習しながら、実際の適用過程や問題点を学習する。				
授業目的・到達目標	国際私法の主要な法源である「法の適用に関する通則法」の主要な規定の実際上の適用過程について修得するとともに、その問題点についても理解する。その上で、国際的私的紛争について適用される準拠法の決定と適用の方法について理解することを到達目標とする。				
履修条件	「国際関係法〔私法系〕B」は「A」の学習の終了者を対象として講義を行うため、同科目の履修を既に終えていること。ただし、単位の修得には至ってなくても良い。また、「BⅠ」を「AⅠ」と同一学期内での同時履修も認めない。				
授業方法	教科書に沿って講義を行うが、適宜資料等を配布する。六法を必ず持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業の理解度をはかるため、2回程度の授業内小試験を行う。また、講義への参加度と質疑応答の際の授業への貢献度も加味して平常評価とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	有斐閣		『国際関係私法入門（第3版）』	松岡博編
	備考				
参考書	必要に応じてパワー・ポイントを使用して講義を行うので、それを参考資料として利用すること。				
オフィスアワー	金曜日16:20~17:50（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館2階206号）nakamura.susumu00@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際私法、国際民事手続法（国際民事訴訟法）、国際取引法がどのような役割を果たしている法律かについて調べる。
	授業内容	ガイダンス：授業の計画とその進め方について説明する。また、国際私法・国際民事手続法・国際取引の概要について解説する。
	事後学習	国際私法、国際民事手続法及び国際取引法の相互関連性について復習する。
2	事前学習	教科書第1章を予習する。
	授業内容	国際関係私法の学び方：国際関係私法とは何か、またそれを構成する国際私法、国際民事手続法及び国際取引法はどのような役割を持つ法分野かについて講ずる。また、それらをどのように学び方についても学習する。
	事後学習	国際私法、国際民事手続法及び国際取引法の学び方について確認する。

3	事前学習	教科書第2章を予習する。
	授業内容	法選択規則：国際的私的紛争に適用される法（＝準拠法）を選択する法選択規則である「国際私法」の目的とその実現方法について解説する。
	事後学習	法選択規則としての国際私法の役割と規律の方法について復習する。
4	事前学習	教科書第3章を予習する。
	授業内容	準拠法の決定：準拠法の決定・適用のプロセスにおいて発生する様々な問題のうち、法律関係の性質決定、連結点、不統一法国及び反致について学習する。
	事後学習	準拠法の決定・適用のプロセスにおいて発生する諸問題、特に法律関係の性質決定、不統一法国法の指定、反致の問題に対する国際私法の解決方法について確認する
5	事前学習	教科書第4章を予習する。
	授業内容	外国法の適用：準拠法の決定・適用のプロセスにおいて発生する様々な問題のうち、外国法の適用、公序、先決問題、適応問題について学習する。
	事後学習	準拠法の決定・適用のプロセスにおいて発生する諸問題、特に外国法の適用、公序、先決問題、適応問題に対する国際私法の解決方法について確認する。
6	事前学習	教科書第5章を予習する。
	授業内容	人・法人に関する準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の人に関する規定、法人に関する準拠法について確認する。
7	事前学習	教科書第6章を予習する。また、小テストに備えて、これまで授業内で学習した事項について復習をする。
	授業内容	契約に関する準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。また、これまでの講義内容の理解度をはかるための小テストを実施する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の契約に関する規定について確認する。また、教科書で小テストの答え合わせをする。
8	事前学習	教科書第7章を予習する。
	授業内容	不法行為・事務管理・不当利得に関する準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の不法行為・事務管理・不当利得に関する規定について確認する。
9	事前学習	教科書第8章を予習する。
	授業内容	債権債務関係（金銭債権、債権の対外的効力、債権の消滅等）の準拠法の適用について解説する。
	事後学習	債権債務関係の準拠法の適用について確認する。
10	事前学習	教科書第9・10章を予習する。
	授業内容	物権・知的財産に関する準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。また、国際私法上における家族法の基本原則について解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の物権・知的財産に関する規定について確認する。
11	事前学習	教科書第11章を予習する。
	授業内容	婚姻・離婚に関する準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の婚姻の成立・効力及び離婚に関する規定について確認する。
12	事前学習	教科書第12章を予習する。
	授業内容	親子関係の準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の親子関係に関する規定について確認する。
13	事前学習	教科書第13章を予習する。
	授業内容	親族関係の準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の親族関係に関する規定について確認する。
14	事前学習	教科書第14章を予習する。また、小テストに備えて、第7回～第13回の授業内で学習した国際私法上の総則上の基本的諸問題について復習をする。
	授業内容	相続・遺言の準拠法の適用について、「法の適用に関する通則法」の規定を中心に解説する。
	事後学習	「法の適用に関する通則法」中の相続及び遺言に関する規定について確認する。また、教科書で小テストの答え合わせをする。

15	事前学習	前期の授業内容全体を復習し、質問事項の有無を確認する。
	授業内容	前期の授業をまとめ、質疑応答を行う。
	事後学習	前期の授業内容全体を復習する。

科目名	国際関係法〔私法系〕BⅡ	担当者	笠原 俊宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際契約、涉外不法行為、国際結婚・離婚のように、渉外的要素を有する私法関係に適用される法（準拠法）を選択する法律が国際私法である。わが国国際私法の主要な法源は「法の適用に関する通則法」であるが、その他、特別法として、「扶養義務の準拠法に関する法律」及び「遺言の方式の準拠法に関する法律」がある他、民法、民事訴訟法、会社法等の諸法にも、法源となる規定が散在している。授業においては、それらの立法及び学説について講義する。				
授業目的・到達目標	わが国国際私法の法源、及び、それを構成する諸法規の解釈・適用に関する基礎的な知識の習得を講義の目的とする。そのため、学説、判例等の文献・資料の利用の他、諸国の立法例との比較法的検討も行い、また、受講者の質疑応答にも十分に応えて、理解し易い講義にしたい。それにより、国際関係法（私法系）の基本的構造及び実定法の内容を習得し、実際の場面において、ある程度、解決のあり方の目途を立てられる程度の応用力を習得することを到達目標とする。				
履修条件	なし				
授業方法	教科書に沿って講義するが、適時、資料等を配布する。六法を必ず持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験を行なうか又はレポートの提出を求める。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	文真堂		国際私法原論	笠原俊宏
	備考				
参考書	櫻田嘉章＝道垣内正人編『国際私法判例百選（第2版）』（有斐閣）				
オフィスアワー	随時、メールによって行う。メールアドレス：kasat@proof.ocn.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	ガイダンス：授業の計画とその進め方について説明する。
	事後学習	ノートを確認する。
2	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際財産法について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（1）：契約
	事後学習	ノートを確認する。

3	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際財産法について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（２）：物権
	事後学習	ノートを確認する。
4	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際財産法について、「法の適用に関する通則法」を中心として解説する（３）：事務管理・不当利得・不法行為
	事後学習	ノートを確認する。
5	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際裁判管轄について解説する（１）：総説
	事後学習	ノートを確認する。
6	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際裁判管轄について解説する（２）：涉外財産関係事件
	事後学習	ノートを確認する。
7	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際裁判管轄について解説する（３）：涉外身分関係事件
	事後学習	ノートを確認する。
8	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	外国判決の承認及び執行について解説する。
	事後学習	ノートを確認する。
9	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際取引法総説：国際取引法と国際私法・国際民事訴訟法との関係、国際取引法の特質について概説する。
	事後学習	ノートを確認する。
10	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際物品売買の規律について解説する。
	事後学習	ノートを確認する。
11	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際運送・国際保険・国際決済の規律について解説する。
	事後学習	ノートを確認する。
12	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際財産法に関する事例問題について解説する（１）：法律行為一般・債権債務関係
	事後学習	ノートを確認する。
13	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際財産法に関する事例問題について解説する（２）：契約・物権・不法行為
	事後学習	ノートを確認する。
14	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	国際取引法に関する事例問題について解説する。
	事後学習	ノートを確認する。

15	事前学習	教科書を読む。
	授業内容	後期のまとめ、質疑応答
	事後学習	ノートを確認する。

科目名	国際関係法〔私法系〕BⅡ	担当者	中村 進	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国際私法、国際民事手続法、更に国際取引法の一部を学習するのが「国際関係法〔私法系〕」のA及びBである。その内の「国際関係法〔私法系〕B」は、Aの講義で学んだ国際私法の実際的な適用過程を学習するとともに、国際民事手続法の主要規定と国際取引法における主要な条約・法律の内容について講ずる。「BⅡ」では、国際民事手続法の主要な規定及び国際取引システムを学ぶとともにその主要な国内法と条約について学習する。					
授業目的・到達目標	国際民事手続法における国際裁判管轄と外国判決の承認・執行等に関する主要な規定の内容を学習するとともに、国際取引のシステム及びそれを規律する国内法と現在国際取引実務上で有効に利用されている主要な条約の内容を理解することが本授業の到達目標である。					
履修条件	「国際関係法〔私法系〕B」は「A」の学習の終了者を対象として講義を行うため、同科目の履修を既に終えていること。ただし、単位の修得には至ってなくても良い。また、「BⅡ」を「BⅠ」より先に履修することも認めない。					
授業方法	教科書に沿って講義を行うが、適宜資料等を配布する。六法を必ず持参すること。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	国際民事手続法及び国際取引法に関する基礎的な理解度を判定する。		
	平常評価		20%	講義への参加度と質疑応答の際の授業への貢献度を加味して平常評価とする。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2012	有斐閣		『国際関係私法（第3版）』		松岡博編
	備考					
参考書	必要に応じてパワー・ポイントを使用して講義を行うので、それを参考資料として利用すること。					
オフィスアワー	金曜日16:20~17:50（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館2階206号）nakamura.susumu00@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際民事手続法（国際民事訴訟法）及び国際取引法がどのような役割を果たしている法律か、またそれらが国際私法とどのように結び付いてか調べる
	授業内容	ガイダンス：後期の授業内容についてのガイダンスを行う。また、前期の授業内容を復習するとともに、それらと国際民事手続法と国際取引法との結びつきについて解説する。
	事後学習	国際民事手続法と国際取引法が果たす役割を確認する。またそれらが国際私法とどのように結び付いているかについても確認する。
2	事前学習	教科書第15章第1節・第2節を予習する。
	授業内容	国際裁判管轄(1):国際裁判管轄とは何か、またどのような基準に基づいて決定されるかについて解説する。
	事後学習	国際裁判管轄とは何か、またどのような基礎的観念に基づいているかについて確認する。

3	事前学習	教科書第15章の第3節・第4節・第5節を予習する。
	授業内容	国際裁判管轄(2):各種の国際裁判管轄規定について解説する。また、国際的な訴訟競合についても解説する。
	事後学習	各種の国際裁判管轄規定について確認する。また、国際的な訴訟競合についての議論についても確認する。
4	事前学習	教科書第16章を予習する。
	授業内容	国際民事事件における当事者・送達・証拠調べについて解説する。
	事後学習	国際民事事件における当事者・送達・証拠調べに関する諸規定について確認する。
5	事前学習	教科書第17章を予習する。
	授業内容	外国判決の承認・執行について解説する。
	事後学習	外国判決の承認・執行に関する規定及び論議について確認する。
6	事前学習	教科書第18章の第1節・第2節を予習する。
	授業内容	国際家事事件(1):国際家事事件の特性と離婚事件の国際裁判管轄と外国離婚判決の承認について解説する。
	事後学習	国際家事事件の特性を理解するとともに、離婚事件における国際裁判管轄と外国離婚判決の承認についての議論を確認する。
7	事前学習	教科書第18章の第3節・第4節・第5節を予習する。
	授業内容	国際家事事件(2):親子関係事件、扶養請求事件及び相続関係事件の国際裁判管轄と外国離婚判決の承認について解説する。
	事後学習	親子関係事件、扶養請求事件及び相続関係事件の国際裁判管轄と外国離婚判決の承認についての議論を確認する。
8	事前学習	教科書第19章を予習する。
	授業内容	国際商事仲裁について解説する。
	事後学習	国際商事仲裁のシステムを理解し、その果たす役割について確認する。
9	事前学習	教科書第20章を予習する。
	授業内容	国際取引の特質と私法的規律について解説する。
	事後学習	国際取引の基本的な特質を理解し、その私法的規律の方法について確認する。
10	事前学習	教科書第21章の第1節・第2節を予習する。
	授業内容	国際物品売買(1):国際物品売買に関する国際取引と「国際物品売買契約に関する国際連合条約」について概説する。
	事後学習	国際取引の基礎をなす国際物品売買に関する国際取引のシステムと「国際物品売買契約に関する国際連合条約」の基礎的な規定の内容について確認する。
11	事前学習	教科書第21章の第3節を予習する。
	授業内容	国際物品売買(2):インコタームズについて概説する。
	事後学習	国際取引におけるインコタームズの役割について理解し、その規律方法に関して確認する。
12	事前学習	教科書第22章を予習する。
	授業内容	国際運送及び国際保険について解説する。
	事後学習	国際運送及び国際保険のシステムについて理解し、その規律方法に関して確認する。
13	事前学習	教科書第23章を予習する。
	授業内容	国際的な決済の方法と荷為替信用状について解説する。
	事後学習	国際的な決済のシステムについて理解し、その規律方法に関して確認する。
14	事前学習	事例問題を解説するので、国際取引の仕組みと基本的な法律について復習し、それを事前学習とすること。
	授業内容	国際取引に関する事例問題について解説する。
	事後学習	国際取引に関する紛争の解決方法について確認する。

15	事前学習	後期の授業内容全体を復習し、質問事項の有無を確認する。
	授業内容	後期の授業内容をまとめるとともに、質疑応答を行う。
	事後学習	後期の授業内容全体を復習する。

科目名	国際関係論Ⅰ	担当者	佐渡友 哲	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	ヒト・モノ・カネ・情報などが国境を超えるグローバリゼーションの時代を客観的に分析する方法を学び、国際関係の見方を理解する。世界議会も世界政府も存在しない無政府状態の中で、主権国家同士がどのような国際秩序を形成しているのかについて、国際レジーム論など理論分析をする。そしてグローバリゼーションとともに進展している欧州連合（EU）や東南アジア諸国連合（ASEAN）などの地域化の形成について考察する。					
授業目的・到達目標	今日の国際関係においては、南北格差、貧困、環境、紛争、資源、労働移動など、多くの課題がある。これらの課題を知的に理解するために、研究方法、現状、理論、課題の4つの視点から分析することを目的とする。具体的には国際関係研究の方法、今日の国際関係の現状、国際関係理論の分析、リージョナリゼーションとグローバリゼーションの視座などを明らかにする。到達目標は①今日の国際社会の成り立ちや構造を全体的に把握することができる。②現実主義と理想主義、国際レジームなど理論的な視点から国際関係を説明できる。③グローバリゼーションとリージョナリゼーションの2つの方向性を説明でる。					
履修条件	①2年次生以上を対象とする。②毎回休まず出席できる学生を対象とする。③翌週の授業内容については「教科書」や「講義スライド」を利用して必ず予習をしておくこと。④レポート課題が課せられた場合は翌週に提出すること。					
授業方法	授業では、スライドを使用して説明し、グループ討論、意見発表などを導入したアクティブ・ラーニング（参加型）で行う。授業の最後に受講生の意見・感想を「リアクション・ペーパー」に記入してもらう。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		0%	定期試験は実施せず授業内にて試験を実施する。①基本的な知識と専門用語が理解されているか、②問題を把握し独自の論理構成で記述されているか。		
	平 常 評 価		100%	授業内試験（50%）／授業の参加度、グループ討論の発表、レポート課題、「リアクション・ペーパー」など（50%）を総合的に判定する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	弘文堂		国際関係論（第3版）		佐渡友・信夫・柑本 編
	備考	翌週の授業内容については、あらかじめ指定された「教科書」の章（頁）と「講義スライド」を熟読して予習をしておくこと。				
参 考 書	「参考文献リスト」、翌週使用する「講義スライド」については学生教員共有フォルダに掲載する。 ＊レポート作成や試験の準備には、多くの参考文献を読む必要がある。					
オフィスアワー	毎週火曜日13：00～14：30、9号館5階の研究室にて。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『国際関係論』第1章（4～13頁）、「講義スライド」①（4月11日分）を熟読し授業に備えること。 ＊「講義スライド」については、学生教員共有フォルダから「さ」⇒「佐渡友」⇒「教材配布【国際関係論Ⅰ】」⇒「講義スライド」を検索してダウンロードしておくこと。
	授業内容	ガイダンス：国際関係論はどのような学問か ①グローバリゼーションの中の私たちの生活 ②学習者にとって関心事は何か ③国際関係論の学び方と心構え
	事後学習	・私たちの生活がグローバリゼーションの大波にどのように影響されているかについて復習してみよう。 ・国際関係論を学ぶための基本的な心構えについて復習してみよう。
2	事前学習	教科書『国際関係論』第1章（13～18頁）、第13章（208～217頁）「講義スライド」②（4月18日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	国際関係研究の基本的枠組み ①近代国際社会の始まり ②世界政治における3つの形態 ③近代500年の覇権国家 ④国際社会における多様なアクター ⑤国際政治学と国際関係論の区別
	事後学習	・ウエストファリア・システム（1648年～）と現代の国際システムの共通点を確認してみよう。 ・非国家アクターの多様性を活動別に分類してみよう。

3	事前学習	教科書『国際関係論』第1章（9～18頁）、「講義スライド」③（4月25日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	国際関係研究の学問的特徴 ①研究の諸視点、②誰が世界の秩序やルールを決めるのか、③学際的アプローチとは何か ④歴史分析における3つの仮設
	事後学習	・世界の秩序を形成するメカニズムについて考えてみよう。 ・「国際関係論」に代わる新しい学問にふさわしい名称について考えてみよう。
4	事前学習	教科書『国際関係論』第3章（43～51頁）、「講義スライド」④（5月9日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	トランプ政権成立後の国際関係 ①トランプ大統領誕生の背景とは、②米国の新しい外交政策とは何か ③2018年の国際情勢をどう理解するのか
	事後学習	・トランプ大統領誕生の背景にある国内問題を考えまとめてみよう。 ・オバマ政権とトランプ政権の外交政策について比較してみよう。
5	事前学習	教科書『国際関係論』第1章（16～18頁）、「講義スライド」⑤（5月16日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	米国とはどのような国家なのか ①覇権国家としての米国、②近代500年の覇権国家の長期サイクル、③米中関係は覇権競争の関係か 【討論】あなたにとって日本にとって米国とはどのような国家ですか？
	事後学習	・国際関係における米国の役割について考えてみよう。
6	事前学習	教科書『国際関係論』第8章（122～129頁）、「講義スライド」⑥（5月23日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	国際関係理論とは何か ①理論構築までのプロセス、②国際関係論の理論についての事例 ③国際関係論における理念型の事例
	事後学習	・現実の国際関係を説明する理論とは具体的にどのようなものか考えてみよう。
7	事前学習	教科書『国際関係論』第8章（124～136頁）、「講義スライド」⑦（5月30日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	4つの世界観と国際関係理論 ①ホブズの世界観、②マルクスの世界観、③スミスの世界観、④カントの世界観 【討論】あなたの世界観はどれですか？
	事後学習	・現実主義と理想主義の世界観の違いを考えてまとめてみよう。
8	事前学習	教科書『国際関係論』第8章（124～136頁）、「講義スライド」⑧（6月6日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	国際関係における現実主義と理想主義 ①古典的現実主義と古典的理想主義、②ネオリアリズムとネオリベラリズム ③コンストラクティヴィズム
	事後学習	・現代の国際関係を分析するためにはどのような理論が有効かについて考えてみよう。
9	事前学習	教科書『国際関係論』第9章（138～147頁）、「講義スライド」⑨（6月13日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	理論としての国際レジーム論 ①国際レジームとは何か、②国際レジームの多様な問題領域 ③海洋レジーム／貿易レジーム／核兵器管理レジーム
	事後学習	・多様な国際レジームの中から1つ選び、そのレジームの①目的、②問題点、③機能の有無についてまとめてみよう。
10	事前学習	教科書『国際関係論』第9章（144～152頁）、「講義スライド」⑩（6月20日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	国際レジームの分析 ①世界貿易機関（WTO）、②核不拡散条約（NPT）、③包括的核実験禁止条約（CTBT） ④国際原子力機関（IAEA）、⑤国際レジーム論の課題と論争
	事後学習	・どのような国際レジームが世界の秩序形成に貢献しているかについて考えてみよう。
11	事前学習	教科書『国際関係論』第10章（154頁）、「講義スライド」⑪（6月27日分）を熟読し授業に備えること。またリージョナリズム（地域主義）についての理解を深めておくこと。
	授業内容	リージョナリズムを考える視点 ①リージョナリズム（地域主義）とは何か、②なぜ世界各地でリージョナリズムが台頭するのか ②アジア太平洋地域のリージョナリズム：ASEAN, APEC, RCEP, TPP11, ARF
	事後学習	・アジア太平洋地域で日本が関わっているリージョナリズムを取り上げ、それらの目的と加盟国をまとめてみよう。
12	事前学習	「講義スライド」⑫（7月4日分）を熟読し授業に備えること。東アジア共同体構想についてネットなどで調べて理解を深めておくこと。
	授業内容	リージョナリズムと東アジア共同体構想 ①なぜ今「東アジア共同体（EAC）」なのか、②東アジア共同体構想への批判と課題 ③米国はなぜ東アジア共同体構想に反対するのか 【討論】あなたは東アジア共同体構想に賛成ですか反対ですか？
	事後学習	・東アジア共同体構想の可能性について考えてみよう。
13	事前学習	教科書『国際関係論』第10章（154～170頁）、「講義スライド」⑬（7月11日分）を熟読し授業に備えること。
	授業内容	リージョナリズムと欧州連合（EU） ①国際地域統合とは何か、②なぜ欧州統合に強い推進力があるのか、③欧州統合のプロセス ④欧州連合の基本原理とその仕組み
	事後学習	・なぜ欧州連合が世界で最も進んだ統合が実現できたのかについて考えてみよう。 ・英国がEU離脱（Brexit）を宣言したことによってどんな問題が生じているか考えてみよう。

14	事前学習	教科書『国際関係論』第10章（154 ～170頁）、「講義スライド」⑭（7月18日分）を熟読し授業に備えること
	授業内容	国際統合の理論分析 ①統合理論の事例：D. ミトラニー／B. パラッサ／E. ハース、②欧州統合理論は他の地域に適用できるのか ③リージョナリズムの再検討、④なぜリージョナリズムを研究するのか
	事後学習	・東アジアにはどのような地域統合理論が適用できるかについて考えてみよう。
15	事前学習	教科書『国際関係論』第1章、第3章、第8章、第9章、第10章、第13章、これまで学んだ「講義スライド」を復習し、事業内試験に備えること。
	授業内容	授業内試験（7月18日）及び振り返り
	事後学習	後学期に国際関係論Ⅱの履修を希望する者は、この国際関係論Ⅰを基本にして取り組むこと。

科目名	国際関係論Ⅱ	担当者	佐渡友 哲	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	今日の国際関係においては、グローバル化、南北格差、貧困、環境、紛争、人権、移民、難民など多くの地球的問題がある。これらの課題を知的に理解するために、現状分析の方法を提示し、それらの解決へ向けて考察する。映像を利用して世界の現状を把握し、グループ討論の協働作業による問題解決型の授業をめざしたい。				
授業目的・到達目標	・授業目的：今日のグローバル化の光と陰に注目しながら、地球的問題の現状とその解決のため2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成へ向けた国際機関、政府、企業、NGOの貢献について分析することを目的とする。 ・到達目標：①グローバル化の進展に伴って生じる国際関係の光と陰を論理的に説明することができる、②地球的問題の解決のための国際協力について論理的に説明できる、③地球温暖化防止のための環境国際レジームについて論理的に説明できる、④地球的問題について自ら主体的に取り組む姿勢を発揮する。				
履修条件	①2年次生以上を対象とする。②基本的に毎回休まず出席できる学生を対象とする。③翌週の授業内容については教科書や講義プリントを利用して必ず予習をすること。④レポート課題が課せられた場合は翌週に提出すること。				
授業方法	授業ではスライドを使用して説明し、グループ討論、DVD鑑賞、ワークショップなどを導入した参加型で行う。授業の最後に「リアクション・ペーパー」に記入してもらう。受講生は主体的に授業に参加することが求められている。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は実施せず授業内にて試験を実施する。①基本的な知識と専門用語が理解されているか、②問題を把握し独自の論理構成で記述されているか、などを判定する。	
	平常評価		100%	授業内試験（50％）、授業への参加度、課題レポート、「リアクション・ペーパー」など（50％）を総合的に判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	弘文堂		国際関係論（第3版）	佐渡友・信夫・柑本 編著
	備考				
参考書	「講義スライド」「参考文献リスト」などは学生教員共有フォルダから「さ」⇒「佐渡友」⇒「教材配布【国際関係論Ⅱ】」⇒「講義スライド」「主要参考文献」を検索してダウンロードしておくこと。				
オフィスアワー	毎週火曜日13：00～14：30、9号館5階研究室にて。 「講義スライド」「主要参考文献」を検索してダウンロードしておくこと。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『国際関係論』第4章（54～60頁）、 講義スライド①を熟読し授業に備えること。
	授業内容	グローバリゼーションの時代をどう読むか ①グローバリゼーションのイメージ ②グローバリゼーションはなぜ起きるのか ③グローバリゼーションの光と陰
	事後学習	・グローバリゼーションを推進する3つの要因・背景についてまとめてみよう。
2	事前学習	教科書『国際関係論』第4章（61～67頁）、 講義スライド②を熟読し授業に備えること。
	授業内容	グローバリゼーションの光と陰 ①DVD「巨大企業VS. 国家」 ②新自由主義的グローバリゼーションの対抗軸 ③・グローバリゼーションの理論的分析 【課題】国連グローバル・コンパクト（UNGC）の目的について説明せよ。
	事後学習	・多国籍企業（グローバル企業）の何が問題かについてまとめてみよう。 ・新自由主義政策とはどのような思想に基づき、具体的にどのような政策かについてまとめてみよう。

3	事前学習	教科書『国際関係論』第4章（63～68頁）、 講義スライド③を熟読し授業に備えること。
	授業内容	グローバリゼーションとローカリゼーション ①国際社会におけるローカルとは ②グローバリゼーションに対抗するローカル ③内発的発展の思想
	事後学習	・イタリア北部の町BRAでスローフード運動が始まったきっかけとその活動についてまとめてみよう。 ・日本においてグローバリゼーションに対抗するローカルの運動について調べてみよう。
4	事前学習	教科書『国際関係論』第11章（174～181頁）、 講義スライド④を熟読し授業に備えること。
	授業内容	南北問題をどう解決するのか ①南北問題とは何か ②国連における南北問題解決の試み ③経済開発から人間開発へ ④新興国の台頭とG20の時代をどう読むのか
	事後学習	・南北格差を是正するために国連総会ではどのような決議がなされてきたのかについてまとめてみよう。 ・国際社会におけるG20の役割についてまとめてみよう。
5	事前学習	教科書『国際関係論』第11章（177～184頁）、 講義スライド⑤を熟読し授業に備えること。
	授業内容	今日の南北問題の諸課題 ①累積債務問題と構造調整プログラム ②途上国内部における格差（南南問題） ③南北問題の理論的枠組み
	事後学習	・累積債務問題が重債務貧困国にどのような影響を与えているのかについてまとめてみよう。 ・BRICS開発銀行とAIIBの創設が国際社会に与えたインパクトについてまとめてみよう。
6	事前学習	教科書『国際関係論』第11章（185～189頁）、 講義スライド⑥を熟読し授業に備えること
	授業内容	国連ミレニアム開発目標（MDGs）から持続可能な開発目標（SDGs）へ ①MDGs の概要とその結果 ②SDGs の概要とその達成へ向けて 【課題】SDGsの17分野の開発目標と169のターゲットを検索してプリントし、17分野に優先順位をつけて理由も記
	事後学習	・SDGsの17の開発目標を分野別に分類してみよう。 ・SDGsの目標の中で先進国にも適用される分野について考えてまとめてみよう。
7	事前学習	教科書『国際関係論』第11章（186～189頁）、 講義スライド⑦を熟読し授業に備えること
	授業内容	ワークショップ：「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現へ向けて ①DVD「国連70周年：SDGs」 ②グループ討論：開発目標ランキング ②各グループの発表
	事後学習	・SDGsの中で日本が達成できている目標とできていない目標について分類してみよう。
8	事前学習	教科書『国際関係論』第12章（192～196頁）、 講義スライド⑧を熟読し授業に備えること
	授業内容	地球環境問題をどう解決するのか ①地球環境問題とは何か ②地球環境問題の発生メカニズム ③環境問題を考える3つの立場 ④環境国際レジーム構築は可能か
	事後学習	・北と南の格差から生じる環境問題について具体的に事例を挙げてまとめてみよう。
9	事前学習	教科書『国際関係論』第12章（196～202頁）、 講義スライド⑨を熟読し授業に備えること
	授業内容	地球温暖化問題とポスト京都議定書 ①地球温暖化はなぜ起こるのか ②温暖化によって私たちの生活はどうなるのか ③温暖化防止国際レジームと「京都議定書」 ④DVD「温暖化防止のために働くアル・ゴアの告白」
	事後学習	・地球温暖化によって海面上昇、異常気象、農作物被害などが起きている事例を挙げてみよう。 ・「京都議定書」の弱点についてまとめてみよう。
10	事前学習	教科書『国際関係論』第12章（201～206頁）、講義スライド⑩を熟読し授業に備えること
	授業内容	ワークショップ：地球温暖化防止へ向けて ①DVD「地球サミットにおけるセヴァン・スズキ伝説のスピーチ」 ②COP21「パリ協定」からCOP23へ ③グループ討論：地球温暖化防止のために何が有効か：ランキングしてみよう！
	事後学習	・「パリ協定」が達成されれば温暖化は防止できるのかについて考えてみよう。 ・私たちが日常生活でできることを具体的に挙げてまとめてみよう。
11	事前学習	教科書『国際関係論』第7章（112～117頁）、講義スライド⑪を熟読し授業に備えること
	授業内容	国際協力によるSDGsの実現は可能か ①国際協力とは何か ②日本政府による政府開発援助（ODA）の目的と現状 ③日本のODAの欠点について考えてみよう
	事後学習	・日本のODAは国連のSDGsの達成に貢献しているかどうかについて考えてまとめてみよう。 ・なぜ日本政府は1兆8000億円もの公金を使って途上国に供与（贈与・貸付・技術支援）、国際機関に拠出しているのか について、その理由をまとめてみよう。
12	事前学習	講義スライド⑫を熟読し授業に備えること
	授業内容	ゲストスピーカーによる国際協力セミナー ①日本の国際協力についての歴史と現状 ②JICA青年海外協力隊の活動とその意義
	事後学習	・ゲストが協力隊に参加した理由を聞いてみよう。 ・協力隊の活動が途上国の人間開発、人材育成、格差は正に貢献しているか確認してみよう。
13	事前学習	講義スライド⑬を熟読し授業に備えること
	授業内容	ワークショップ：私たちにできる国際協力 ①なぜ私たちが国際協力に関わるのか ②援助する前に考えよう ③バングラデシュの農村の人々に何ができるのか ④DVD「私のボイラ村」を観てランキング
	事後学習	・途上国の農村のために私たちにできることを考えてみよう。

14	事前学習	講義スライド⑭を熟読し授業に備えること
	授業内容	国際協力についての最近の傾向 ①援助から投資へ ②新興国が援助国へ ③フェアトレード ④BOPビジネ ⑤再度：なぜ私たちが国際協力に関わるのか
	事後学習	・私たちと世界との関わりをヒト・モノ・カネ・情報から考えてみよう。 ・SDGsの達成のために私たちにできることを考えてみよう。
15	事前学習	グローバリゼーションの光と陰、南北問題の現実、地球的諸問題とSDGs、地球温暖化問題の解決、国際協力の役割などについてふりかえり、理解を深め、論理的に説明できるように備えること。
	授業内容	授業内試験（60分）及び振り返り
	事後学習	・政府、企業、NGO、私たちがそれぞれ地球的諸問題の解決のために何ができるのかについて、具体的にまとめてみよう。

科目名	国際金融論Ⅰ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	この授業では国際金融について学ぶ準備となる、金融論の基礎から、講義をすすめていきます。最近の国際金融の動向や諸問題を理解する上で、知っておくとよいと考えられる内容を中心に、金融論の基礎から学んでいきます。また、金融の理論や金融制度についての知識に加え、金融を考える上で有用な、経済学のさまざまな概念についても紹介していきます。					
授業目的・到達目標	国際金融論では国の枠を越えた金融取引を扱う。この授業では金融の理論や金融制度といった、金融論の基礎を理解することを目的の1つとする。その上で、そこで理解した事柄を、国の枠を越えて取引が行われる場合に応用できるようにすることを、もう1つの目的とする。					
履修条件	経済学Ⅰ,Ⅱの受講を終えていると、この授業で学ぶ内容を理解しやすくなります。					
授業方法	講義形式で授業を行います。また中間試験を実施します。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		65%	金融論の基礎を理解していること。		
	平常評価		35%	授業中に実施する中間試験で評価します。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	中央経済社		金融論		家森信善
	備考					
参考書	高木信二著『入門国際金融』日本評論社					
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	はじめに・金融論で学ぶこと
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
2	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	貨幣
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

3	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金利
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
4	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融政策のための経済学
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
5	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融政策と日本銀行
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
6	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融政策の基本手段
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
7	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融システムと金融仲介機関の役割
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
8	事前学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
	授業内容	中間試験とその解説
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
9	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	銀行以外の金融機関
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
10	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融システム安定化のための政策
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
11	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融機関の破綻への対応策
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
12	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融市場に関する規制
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
13	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	間接金融の金融商品
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
14	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	直接金融の金融商品
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

15	事前学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

科目名	国際金融論Ⅱ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	この授業では国際金融市場と国際金融制度について学びます。具体的には、外国為替市場で行われる取引(直物取引・先渡取引・通貨派生取引)について説明します。また、各種外国為替相場制度を紹介します。適宜、各種資料や統計を参照しながら国際金融取引の現状を見ていきます。またユーロ市場、金利先物取引と金利スワップ取引、クレジットデフォルトスワップ(CDS)取引についても扱います。				
授業目的・到達目標	この授業では国際金融市場と国際金融制度について学びます。国際金融市場と国際金融制度についての基本知識を得ること、そして国際金融市場で行われる取引の仕組みを理解することを目標とします。				
履修条件	経済学Ⅰ、Ⅱ、国際経済論Ⅱ、国際金融論Ⅰの受講を終えていると、授業内容の理解が容易になります。				
授業方法	講義形式で授業を行います。また、中間試験を実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		65%	国際金融市場と制度の基本知識が身についているか。 国際金融市場で行われる取引の仕組みを理解しているか。	
	平常評価		35%	授業中に実施する中間試験で評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	勁草書房		新版 現代の国際金融を学ぶ	中條誠一
	備考				
参考書	高木信二著『入門国際金融』日本評論社				
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	はじめに・外国為替市場
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
2	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	直物取引と先渡取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

3	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	ユーロ市場
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
4	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	通貨派生取引(1)通貨先物取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
5	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	通貨派生取引(2)通貨オプション取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
6	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	企業の国際財務活動
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
7	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	為替リスクの管理
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
8	事前学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
	授業内容	中間試験・解説
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
9	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金利先物取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
10	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金利スワップ取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
11	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	CDS取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
12	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	外国為替相場の決定理論
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
13	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	様々な外国為替相場制度
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
14	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	国際協力
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

15	事前学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

科目名	国際経営法学Ⅰ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グローバルに展開する国際的企業を取り巻く法制度について基礎的な内容から理解を図る。特に企業経営面に関する法制度の理解に主眼を置き、前期では成長戦略の中心となるグローバル企業のコーポレート・ガバナンス（企業統治）改革、スチュワードシップ・コード、サブプライム・ローン問題と米国金融危機、米国の株主代表訴訟と取締役責任、経営判断原則、コンプライアンス（法令遵守）問題などを採り上げる。			
授業目的・到達目標	サブプライム金融危機など国際金融法制、アベノミクスの第3の矢の成長戦略のコーポレート・ガバナンス(企業統治)改革、フジテレビ事件等敵対的企業買収・防衛策などグローバル企業を巡る組織法、比較法的考察について理解し、説明できるようにすることを目的とする。法律関係学科以外の学生や2年生も歓迎する。金融機関やグローバル企業の就職を目指す者も幅広く、できるだけ多く受講してほしい。基礎理論と実務の接点となる重要科目で、国際ビジネス法について学び、グローバル企業を巡る総合的な法制・経営の一体的な理解ができるようになる。パナソニック、メガバンク等最新の総合的ケーススタディを交える。新しいテーマであるフィンテック、仮想通貨などに関しても理解を深めたい。			
履修条件	法律科目履修を前提としない。初めて法律科目を勉強する者、2年生も大歓迎。企業経営、連結・財務分析、企業評価・格付、金融知識も修得させる。関連科目で英語力向上からも「ビジネスロー文献講読」も受講すると更によくなる。			
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。参考書などについては授業内で指示する。		
参考書	藤川信夫『国際経営法の新展開』文真堂（2014年）、藤川信夫『英国Senior Management Regime (SMR)、上級管理者機能 (SMFs) とコーポレート・ガバナンス・コード』文真堂（2015年）			
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気軽ににご相談下さい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に各自でグローバル企業の経営について概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際経営法学概説－企業の国際展開と法制度、国際会社法、金融理論ならびに国際金融論など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	サブプライム・ローン問題と米国金融危機（1）－問題の根源と経緯、国際金融法制の動向とわが国の金融機関経営の展望－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	サブプライム・ローン問題と米国金融危機（2）－証券化商品の仕組みと格付機関、投資銀行の戦略の破綻など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	サブプライム・ローン問題と米国金融危機（3）－パーゼル銀行監督委員会の自己資本規制、オバマ政権の金融改革法など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。

5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	欧州債務危機問題と国際金融（1）－ギリシャ危機、財政破綻とEU・ユーロ危機の関係など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	欧州債務危機問題と国際金融（2）－国債の格付などソブリンリスク問題、欧米の国際金融法制と銀行経営－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	アベノミクスの第3の矢・成長戦略の中心となるグローバル企業のコーポレート・ガバナンス改革の重要性
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	長期的企業価値向上と日本版スチュワードシップ・コード（機関投資家向）の理論と上場企業の実践－株主総会の対応と法的課題－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	車の両輪としての日本版コーポレート・ガバナンス・コード（経営陣向）の理論と上場企業の実践－株主総会の対応と法的課題－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	スチュワードシップとコーポレート・ガバナンス・コード（1）－プリンシプルベースとComply or Explain－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	スチュワードシップとコーポレート・ガバナンス・コード（2）－機関投資家と経営陣のエンゲージメント・対話の形成－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	コーポレート・ファイナンスと企業経営-企業評価・分析手法、DES（債務の株式化）、DIPファイナンス(つなぎ資金)-
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国におけるコーポレート・ガバナンス（企業統治）法制－取締役会制度、独立社外取締役、監査委員会・指名・報酬委員会ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国の機関投資家・年金基金、英国スチュワードシップ・コードと会社法改正－インテル、カルパース（カリフォルニア州基金）など
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。
15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国の株主代表訴訟と取締役責任、経営判断原則、コンプライアンス（法令遵守）体制等－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示すので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたい。

科目名	国際経営法学Ⅱ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グローバルに展開する国際的企業を取り巻く法制度について基礎的な内容から理解を図る。特に企業経営面に関する法制度の理解に主眼を置き、後期では米国ドッド・フランク法（金融改革法）、M&A（企業買収）、リスクマネジメント、企業不祥事・コンプライアンス、国際不正取引、国際的企業やメガバンクにおける経営戦略と法務に焦点を当て、仮想通貨やAI（人工知能）など新しいテーマであるフィンテックに関しても事例、司法判断など説明する。			
授業目的・到達目標	サブプライム金融危機など国際金融法制、アベノミクスの第3の矢の成長戦略のコーポレート・ガバナンス（企業統治）改革、フジテレビ事件等敵対的企業買収・防衛策などグローバル企業を巡る組織法、比較法的考察について理解し、説明できるようになることを目的とする。法律関係学科以外の学生や2年生も歓迎する。金融機関やグローバル企業の就職を目指す者も幅広く、できるだけ多く受講してほしい。基礎理論と実務の接点となる重要科目で、国際ビジネス法について学び、グローバル企業を巡る総合的な法制・経営の一体的な理解ができるようになる。パナソニック、メガバンク等最新の総合的ケーススタディを交える。新しいテーマであるフィンテック、仮想通貨などに関しても理解を深めたい。			
履修条件	法律科目履修を前提としない。初めて法律科目を勉強する者、2年生も大歓迎。企業経営、連結・財務分析、企業評価・格付、金融知識も修得させる。関連科目で英語力向上からも「ビジネスロー文献講読」も受講すると更によくなる。			
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。参考書などについては授業内で指示する。		
参考書	藤川信夫『国際経営法の新展開』文真堂（2014年）、藤川信夫『英国Senior Management Regime (SMR)、上級管理者機能 (SMFs) とコーポレート・ガバナンス・コード』文真堂（2015年）			
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気軽ににご相談下さい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に各自でグローバル企業の経営について概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国ドッド・フランク法（金融改革法）の概要（1）ーシステム上重要な金融機関（SIFIs）、ボルカールールによる規模・M&A・業務制限ー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使っておいて下さい。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国ドッド・フランク法（金融改革法）の概要（2）ーコーポレート・ガバナンス、報酬改革、消費者保護などー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使っておいて下さい。
3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	世界のM&A（企業買収）動向-米国のM&A法制、EU企業買収指令、合併、株式交換、三角合併、株式公開買付（TOB）などー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使っておいて下さい。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	米国の敵対的企業買収防衛策に関する司法の変遷ーユノカル判決、ポイズンピル（毒薬条項）、経済産業省買収防衛策指針ー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使っておいて下さい。

5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	M&A（企業買収）判例研究－ニッポン放送・フジテレビ s ライブドア、ブルドックソース、UFJ 信託銀行メガバンク経営統合－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	エンロン事件、米国COSO報告書と米国企業改革法（SOX法）、日本版SOX法（金商法）
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	グローバル企業におけるリスクマネジメントの理論と実際－内部統制・内部監査、戦略的リスクマネジメント（ERM）－研究など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	企業不祥事・コンプライアンスの法的研究－オリンパス事件：損失飛ばし・損失分離のスキーム、東芝事件：不正会計処理・業務監査問題、大王製紙事件：親子会社間の結合法制・子会社少数株主保護・グループ監査など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際不正取引と域外適用－欧米汚職行為防止法と丸紅・日揮、ブリジストン事件など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	M&A（企業買収）や企業再生における企業評価、ファイナンス－企業評価手法・財務分析、ROE（株主資本利益率）、LBO（借入金をしてこにした買収）、MBO（経営陣による買収）など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業における経営戦略と法務・ガバナンス－パナソニック、日立製作所、ソニー、帝人、トヨタなど総合的なケーススタディー－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	メガバンクにおける経営戦略・法務・ガバナンス－三菱東京UFJ、みずほ、三井住友、三井住友信託銀行など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	フィンテックの概要と法制度（1）－フィンテックの概要、銀行法改正など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	フィンテックの概要と法制度（2）－仮想通貨の概要、近時の司法判断事例、AI（人工知能）など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	フィンテックの概要と法制度（2）－各国の制度動向、新しい法制度の課題と展望－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	国際経営論 I	担当者	築場 保行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	多国籍企業の経営の生成、発展、そしてその現代の国際経営について、その事業行動、経営が現代の世界と社会にどのような影響を与えているか考察する。テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。			
授業目的・到達目標	多国籍企業ないし国際企業、グローバル企業と国際経営の歴史と現状から歴史的、理論的に考察し、また多くの事例を紹介する。前期は米英独仏ほか欧米、日本の多国籍企業の活動を主な研究対象とする。また比較経営の視点から多国籍企業の経営管理・戦略、経営組織・制度、経営文化を中心に考察する。国際経営の事例を紹介するため予定を変更することが多い。国際企業、国際ビジネスについて理解を深める			
履修条件	経営学領域科目（築場）履修が望ましい			
授業方法	板書、講義			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	
	平 常 評 価		100%	プリント、コピーについてレポートを課すことがある Q&Aの内容と積極性評価
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	文真堂	企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド	築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示		
参 考 書	適宜紹介（プリント配布）			
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営の研究対象・テーマ
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	企業の多国籍化・国際化の意義 多国籍企業 国際企業 国際経営の用語
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	経営管理、経営組織、経営文化の国際化 企業間国際分業 企業内国際分業
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営の前史 東インド会社による国際貿易
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	19c後半以降のの英米欧企業の多国籍化 シェル、エクソン、シンガー、ネスレ、ユニリーバほか
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	戦前における外国企業の日本での事業展開
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	戦前日本企業の国際的活動 貿易商社、産業企業の海外活動：三井物産 日産 日室 東洋紡 など
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	戦後日本企業の国際的活動1. ソニーほか
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	戦後日本企業の国際的活動2. 自動車、電機産業ほか
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	日本の中小企業、サービス業の国際化
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	多国籍企業の出現・成長、経営の国際化 ：20、21c大企業の多国籍化・国際化
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営の先進企業：ネスレ、GE、IBMなどの経営管理
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	多国籍企業の理論： バーノンモデル、OLIパラダイム、B&Gモデルなど
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	前期まとめ、質疑
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事、プリントを読む

科目名	国際経営論Ⅱ	担当者	築場 保行	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	多国籍企業の経営の生成、発展、そしてその現代の国際経営について、その事業行動、経営が現代の世界と社会にどのような影響を与えているか考察する。テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。テキスト、プリント、コピー、板書により講義。適宜、予習用記事コピー配布し授業中にQ&Aをおこなう。				
授業目的・到達目標	多国籍企業ないし国際企業、グローバル企業と国際経営の歴史と現状から歴史的、理論的に考察し、また多くの事例を紹介する。後期は韓国、中国などの後発多国籍企業・国有企業の活動を主な研究対象とする。また比較経営の視点から多国籍企業の経営管理・戦略、経営組織・制度、経営文化を中心に考察する。国際経営の事例を紹介するため予定を変更することが多い。国際企業、国際ビジネスについて理解を深める				
履修条件	経営学領域科目（築場）履修が望ましい				
授業方法	板書、講義				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	プリント、コピーについてレポートを課すことがある Q&Aの内容、積極性を評価	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2013	文真堂	企業の国際化、情報化と日本企業革新のトレンド		築場保行
	備考	上記ほか新教科書準備中 後日指示			
参考書	適宜紹介（プリント配布）				
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	事業国際化と国際経営の戦略
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
2	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営活動の管理
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
3	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営の組織
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
4	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	国際経営の人事：採用、育成、異動 国際経営文化の形成
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む

5	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	銀行、金融企業の国際化1. ：マーチャント・バンク、投資銀行、コマーシャルバンクの業務
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
6	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	銀行、金融企業の国際化2. ：投資ファンド、買収ファンドの国際活動
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
7	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	日本の金融機関の多国籍化
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
8	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	多国籍企業の多極化・多軸化・多様化：既存英米欧企業の国際化進展＋流通企業などの多国籍化 日本企業の多国籍化
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
9	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	新興多国籍企業の登場 ：韓国、Asean企業の国際的活動 サムソン 現代
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
10	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	中国企業の多国籍活動：国有企業、民間企業の海外展開 その他の国の多国籍企業
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
11	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	新興産業、IT関連の多国籍企業の登場 ：サービス、飲食産業の多国籍化 コンチネンタルH、スターバック、MAC等
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
12	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	多国籍企業、グローバル企業の経営文化・経営理念
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
13	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	多国籍企業の財務、税務とタックス・ヘイブン：租税回避
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
14	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	後期まとめ、質疑
	事後学習	授業ノートを読む 新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
15	事前学習	新聞の経済記事、ビジネス記事を読む
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題関連の授業ノート、新聞の経済記事、ビジネス記事、プリントを読む

科目名	国際経済法Ⅰ	担当者	野木村 忠邦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	関税、自由貿易の観点から国際経済法を考えていく。				
授業目的・到達目標	今日グローバルに経済活動が行われていることから、多国間にわたる経済問題が多発しているが、このような多国間をまたぐ問題について国際経済法が果たす役割について体系的に理解する。				
履修条件	なし				
授業方法	開講の際に指示する				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	自由貿易政策がわが国にとって、なぜベストな政策であるかを問う問題を出題	
	平常評価		20%	時事問題についてのレポートの提出を求めている（任意）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	問わない	尚学者		「米国ジョイントベンチャー法概説」	野木村忠邦邦訳
	備考				
参考書	開講の際に指示する				
オフィスアワー	木曜日12：10～13：00 教員室（2号館1階）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自由貿易・保護主義の意味について調べておくこと
	授業内容	自由貿易主義と保護貿易主義
	事後学習	講義の際に指示する。
2	事前学習	絶対優位説について調べておくこと。
	授業内容	絶対優位説
	事後学習	講義の際に指示する。

3	事前学習	比較優位説について調べておくこと。
	授業内容	比較優位説
	事後学習	講義の際に指示する。
4	事前学習	リカードの経済理論について各自で調べておくこと。
	授業内容	リカード理論
	事後学習	講義の際に指示する。
5	事前学習	サムエルソンの定理について理解しておくこと。
	授業内容	ヘクシャー・オーリン・サムエルソンの定理Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
6	事前学習	前回の理論の理解を深めておくこと。
	授業内容	ヘクシャー・オーリン・サムエルソンの定理Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。
7	事前学習	オタワ会議とその当時の世界経済について調べておくこと。
	授業内容	オタワ会議（ブロック経済）
	事後学習	講義の際に指示する。
8	事前学習	関税とはなにかについて調べておくこと。
	授業内容	米1930年関税法（スムート・ホーレイ法）
	事後学習	講義の際に指示する。
9	事前学習	米通商法301条について調べておくこと。
	授業内容	米通商法301条
	事後学習	講義の際に指示する。
10	事前学習	1980年代の日米貿易摩擦について調べておくこと。
	授業内容	日本の対米輸出自主規制
	事後学習	講義の際に指示する。
11	事前学習	ITOについて調べておくこと。
	授業内容	ITO
	事後学習	講義の際に指示する。
12	事前学習	GATTについて調べておくこと。
	授業内容	GATT
	事後学習	講義の際に指示する。
13	事前学習	WTOについて調べておくこと。
	授業内容	WTO
	事後学習	講義の際に指示する。
14	事前学習	FTA・EPAとTPP/RCEP/FTAAPの言葉の意味を調べておくこと。
	授業内容	FTA・EPAとTPP/RCEP/FTAAP
	事後学習	講義の際に指示する。

15	事前学習	幼稚産業保護論／近隣窮乏化論/国際収支
	授業内容	幼稚産業保護論／近隣窮乏化論/国際収支
	事後学習	講義の際に指示する。

科目名	国際経済法Ⅱ	担当者	野木村 忠邦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	関税、自由貿易の観点から国際経済法を考えていく。				
授業目的・到達目標	今日グローバルに経済活動が行われていることから、多国間にわたる経済問題が多発しているが、このような多国間をまたぐ問題について国際経済法が果たす役割について体系的に理解する。				
履修条件	なし				
授業方法	開講の際に指示する				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	自由貿易政策がわが国にとって、なぜベストな政策であるかを問う問題を出題	
	平常評価		20%	時事問題についてのレポートの提出を求めている（任意）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	問わない	尚学者		「米国ジョイントベンチャー法概説」	野木村忠邦邦訳
	備考				
参考書	開講の際に指示する				
オフィスアワー	木曜日12：10～13：00 教員室（2号館1階）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	EUの現在の状況について調べておくこと
	授業内容	EUの成立と発展
	事後学習	講義の際に指示する。
2	事前学習	EECについて調べておくこと。
	授業内容	EEC
	事後学習	講義の際に指示する。

3	事前学習	EUについて調べておくこと
	授業内容	EC
	事後学習	講義の際に指示する。
4	事前学習	EU成立の背景について復習をしておくこと。
	授業内容	EU
	事後学習	講義の際に指示する。
5	事前学習	EUはなぜ危機に瀕したのか、について調べておくこと。
	授業内容	Euの危機・崩壊？
	事後学習	講義の際に指示する。
6	事前学習	EU競争法とはどのようなものを調べておくこと
	授業内容	EU競争法Ⅰ
	事後学習	講義の際に指示する。
7	事前学習	EU競争法の体系について各自で調べ理解を深めておくこと。
	授業内容	EU競争法Ⅱ
	事後学習	講義の際に指示する。
8	事前学習	EU競争法の特徴について調べておくこと。
	授業内容	EU競争法Ⅲ
	事後学習	講義の際に指示する。
9	事前学習	EU競争当局について検討しておくこと。
	授業内容	EU競争法Ⅳ
	事後学習	講義の際に指示する。
10	事前学習	域外適用とはなにかを調べておくこと
	授業内容	国内競争法の域外適用
	事後学習	講義の際に指示する。
11	事前学習	米国反トラスト法及び競争徳局について調べておくこと
	授業内容	米国反トラスト法
	事後学習	講義の際に指示する。
12	事前学習	ジョイントベンチャーとはなにかを調べておくこと。
	授業内容	ジョイントベンチャー
	事後学習	講義の際に指示する。
13	事前学習	国際経済法の文献を読んでおくこと。
	授業内容	日本における国際経済法研究
	事後学習	講義の際に指示する。
14	事前学習	コミティはなにかを検討すること。
	授業内容	コミティの原則
	事後学習	講義の際に指示する。

15	事前学習	これまでの考えを整理しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの国際経済法の考えをまとめておくこと。

科目名	国際経済論Ⅰ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし社会は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	この国際経済論Ⅰでは貿易論を、国際経済論Ⅱでは国際マクロ経済学を学びます。貿易論では、国同士が財の交換を行うことで生じる利得から、貿易を説明します。授業では最初に、余剰の概念を用いて、貿易政策の影響について説明します。次に、基本的な貿易モデルを、具体的には交換モデル、リカード・モデル、ヘクシャー=オリーン・モデルという3つのモデルを順に紹介します。				
授業目的・到達目標	貿易政策が生産者と消費者、双方に与える影響について理解すること。 貿易モデル(交換モデル、リカード・モデル、ヘクシャー=オリーン・モデル)を理解すること。 二種類の生産要素(資本と労働)を使い生産した財を国同士で交換するヘクシャー=オリーン・モデルを理解することで、国を跨いだ資本と労働の移動について考える、1つの見方を手にすることができるようになること。				
履修条件	経済学Ⅰの受講を終えていることが望ましい。または、経済学の基本的な概念(経済学の消費者行動理論で出てくる無差別曲線・限界代替率)を知っていることが望ましい。				
授業方法	講義形式で行います。また授業中に小テストを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	基本的な貿易モデル(交換モデル、リカード・モデル、ヘクシャー=オリーン・モデル)を理解していること。貿易政策の影響について理解していること。	
	平常評価		30%	授業中に実施する小テストで評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	新世社		コア・テキスト国際経済学 第2版	大川昌幸
	備考				
参考書	澤田康幸著『国際経済学』新世社				
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	はじめに・貿易政策(1)需要曲線と消費者余剰
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
2	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	貿易政策(2)供給曲線と生産者余剰、貿易の自由化と貿易利益
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

3	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	相対価格、予算制約
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
4	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	効用・無差別曲線
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
5	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	限界代替率
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
6	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	自給自足経済
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
7	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	交換モデル
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
8	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	リカード・モデル(1)比較優位
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
9	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	リカード・モデル(2)生産可能性フロンティア
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
10	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	リカード・モデル(3)相対価格と貿易パターン
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
11	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	リカード・モデル(4)貿易利益
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
12	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	ヘクシャー=オリーン・モデル(1)資本・労働比率、生産要素の集約性、生産可能性フロンティア
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
13	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	ヘクシャー=オリーン・モデル(2)リブチンスキー定理
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
14	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	ヘクシャー=オリーン・モデル(3)ストルパー=サミュエルソン定理
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

15	事前学習	教科書・ノート・参考書等を利用する
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	教科書・ノート・参考書等を利用する

科目名	国際経済論Ⅱ	担当者	横溝 えりか	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	必修科目（ただし社会は選択科目）		担当形態	単独	
	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	この国際経済論Ⅱの授業では、国際マクロ経済学を学びます。外国との取引を取り入れたマクロ経済モデル(開放経済モデル)を扱うことになり、閉鎖経済モデルにはなかった、外国為替相場や輸出入といった新しい変数を取り入れられます。国際収支統計は、公表されている統計資料を用いて、数字の読み方についても解説します。外国為替相場決定理論の紹介の他、経済政策の効果について考察するためのマクロ経済モデルを紹介します。				
授業目的・ 到達目標	この授業では国際マクロ経済学を学びます。開放経済を説明する諸変数とそれらの相互関係について理解することを目的・目標とします。 さらには、外国と取引が行われている場合では経済政策の効果が、取引が行われていない場合と異なることを、その理由も含めて考えられるようになる道筋をつけることを目標とします。				
履修条件	経済学Ⅰ、Ⅱの受講を終えていることが望ましい。あるいは、45度線図モデルやIS・LMモデルについて理解していると、この授業で扱う経済政策の効果について考察するためのマクロ経済モデルの理解が容易になる。				
授業方法	講義形式で授業を行います。また授業中に小テストを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	外国為替相場や国際収支等、変数の意味と相互関係を理解しているか。 国際マクロ経済モデルを用いて、経済政策の効果を考えることができるか。	
	平常評価		30%	授業中に実施する小テストで評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	新世社		コア・テキスト国際経済学 第2版	大川昌幸
	備考				
参 考 書	澤田康幸著『国際経済学』新世社				
オフィス アワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	はじめに・国民所得勘定と対外取引
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
2	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	開放経済と国際収支統計
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する

3	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	外国為替市場と外国為替相場
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
4	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	変動相場制度と固定相場制度
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
5	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	貿易と外国為替相場
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
6	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	短期における外国為替相場の決定
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
7	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	長期における外国為替相場の決定
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
8	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	閉鎖マクロ経済モデルと開放マクロ経済モデル
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
9	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	45度線図モデルの復習
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
10	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	外国貿易乗数
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
11	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	IS-LMモデルの復習
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
12	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	マンデル=フレミング・モデル(1) IS曲線とLM曲線
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
13	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	マンデル=フレミング・モデル(2) BP線の導出
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する
14	事前学習	教科書を利用する
	授業内容	金融政策と財政政策の効果
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する

15	事前学習	教科書・ノート・参考書を利用する
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	教科書・ノート・参考書を利用する

科目名	国際契約法Ⅰ	担当者	平野 英則	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際取引が進展する中で必要とされる国際売買契約について、日本の民法と比較しながら、ウィーン売買条約における契約の成立および効力を中心に授業を行う。				
授業目的・到達目標	国際商取引に関する基礎知識の修得を目的として、その成立、特徴的ツールおよび契約書の構成等について、ウィーン売買条約等も参考にしながら、講義を進める予定である。国際商取引に関する契約の基礎知識の修得を目的とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	テキストをベースに講師が講義し、それに対する受講生との質疑応答を行う方式で、授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	国際契約の基礎知識を修得していること。前期に3回の理解度確認テストを行うとともに、前期末に論述式の授業内試験を実施し、総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	文眞堂		『現代国際商取引－よくわかる理論と実務－』	亀田尚己編著 平野英則ほか著
	備考				
参 考 書	新堀聰著『ウィーン売買条約と貿易契約』同文館、2009年				
オフィスアワー	講義が質疑応答方式で行われることから、学生からの質問および相談は、授業内に書面または口頭にて受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	国際商取引の概要および講義の導入
	事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	国際取引の意義と歴史
	事後学習	講義内容の復習

3	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	国際商取引のあらまし
	事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	国際商取引のルール①
	事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	国際商取引のルール②
	事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	国際商取引のルール③
	事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	売買契約①
	事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	売買契約②
	事後学習	講義内容の復習
9	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	売買契約③
	事後学習	講義内容の復習
10	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	売買契約④
	事後学習	講義内容の復習
11	事前学習	教科書の概要箇所の精読
	授業内容	売買契約⑤
	事後学習	講義内容の復習
12	事前学習	事前配付のケーススタディに対する事前解答の準備
	授業内容	事例研究①
	事後学習	講義内容の復習
13	事前学習	事前配付のケーススタディに対する事前解答の準備
	授業内容	事例研究②
	事後学習	講義内容の復習
14	事前学習	前期講義内容における疑問点のとりまとめ
	授業内容	前期講義内容の総括および質疑応答
	事後学習	講義内容の復習

15	事前学習	前期講義内容の総復習
	授業内容	前期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	解答内容の自己検証

科目名	国際契約法Ⅱ	担当者	平野 英則	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国際取引の進展に伴い国際売買契約が締結されるが、当該解約について紛争が生じた場合の対応について、国際民事訴訟や国際商事仲裁を中心に授業を行う。 また、必要に応じてわが国の仲裁法やニューヨーク条約なども参考にしながら、より実践的な授業を行う。					
授業目的・到達目標	国際売買契約に関する特徴的ツールおよび紛争発生時の対応などについて、ウィーン売買条約やニューヨーク条約等も参考にしながら、講義を進める予定である。主に国際商取引における紛争解決に関する基礎知識の修得を目標とする。					
履修条件	国際契約法Ⅰを履修済みであることが望ましい。					
授業方法	テキストをベースに講師が講義し、それに対する受講生との質疑応答を行う方式で、授業を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%	国際契約の基礎知識を修得していること。後期中に3回授業内理解度確認テストを実施する。また、後期末に論述式の授業内試験を実施し、総合的に評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	文眞堂		『現代国際商取引－よくわかる理論と実務－』		亀田尚己編著 平野英則ほか著
	備考					
参 考 書	新堀聰『ウィーン売買条約と貿易契約』同文館、2009年					
オフィスアワー	講義が質疑応答方式で行われることから、学生からの質問および相談は、授業内に書面または口頭にて受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	講義の導入 インコタームズ①
	事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	インコタームズ②
	事後学習	講義内容の復習

3	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	外国為替①
	事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	外国為替②
	事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	貿易金融
	事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	国際物品運送①
	事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	国際物品運送②
	事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	国際紛争解決：国際民事訴訟と国際商事仲裁①
	事後学習	講義内容の復習
9	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	国際紛争解決：国際民事訴訟と国際商事仲裁②
	事後学習	講義内容の復習
10	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	国際紛争解決：国際民事訴訟と国際商事仲裁③
	事後学習	講義内容の復習
11	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	国際紛争解決：国際民事訴訟と国際商事仲裁④
	事後学習	講義内容の復習
12	事前学習	事前配付のケーススタディについての解答の作成
	授業内容	事例研究①
	事後学習	講義内容の復習
13	事前学習	事前配付のケーススタディについての解答の作成
	授業内容	事例研究②
	事後学習	講義内容の復習
14	事前学習	後期講義内容についての疑問点の取りまとめ
	授業内容	後期講義内容の総括および質疑応答
	事後学習	講義内容の復習

15	事前学習	後期講義内容の総復習
	授業内容	後期試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	解答内容の自己検証

科目名	国際政治学 I	担当者	柑本 英雄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし社会は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国際政治学の理論を国際社会のさまざまな現実照射して、今、起こっている問題をどう考えればよいのかの道標を提供します。国際政治におけるパワーの概念や平和構築概念を使って、グローバル化がもたらす貧困の問題、歴史的な宗教的対立など、「格差」と「相違」の問題を論理的に把握します。本講義では、国際社会をみる上で「学問」の価値がどこにあるのかから説き起こし、社会科学的な思考の訓練をまず実施します。					
授業目的・到達目標	国際政治学の学術的基礎知識（国際社会の事実、専門用語）、基礎的理論（理論・分析枠組み）などを身に付け、理論の理解が、社会の現実の分析にどのように役立つのかを考えられるようになることを目指します。					
履修条件	①講義は、全て出席して、全体の理解が届くように構成されているので、出席回数を計算してギリギリで単位を取得しようとは考えず、毎回休まず出席すること。②テキストを予習して講義に臨むこと。					
授業方法	教科書、配布資料を用いて講義を進めます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	基本概念が理解され、国際的な思考力が身につけているかなど、総合的に判定します。		
	平常評価		30%	受講態度20%、課題提出10%		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		『国際関係論 <第3版>』（Next教科書シリーズ）		佐渡友哲，信夫隆司， 柑本英雄 編
	備考					
参考書	原彬久『国際関係学 講義（第4版）』（有斐閣、2011年）。 初瀬龍平『国際関係論入門：思考の作法』（法律文化社、2012年）。					
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること) 研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通すほか、ニュースフィード系のウェブサイトを利用して、その週の世界の主要な国際政治・経済の出来事をフォローしておこう。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	授業中に出てきた用語や内容について、理解度を確認しておこう。
2	事前学習	「第1章 国際関係論はどのような学問なのか」（p. 3-p. 18）を、ウエストファリア・システムの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	国際関係論はどのような学問なのか
	事後学習	国際政治学とはどのような学問なのか確認しよう。

3	事前学習	「第2章 20世紀の国際関係をどう理解するのか」 (p. 19-p. 34) を、20世紀がどのような時代だったのかを考えながら読んでみよう。
	授業内容	20世紀の国際関係をどう理解するのか
	事後学習	20世紀とは何であったのか、2回の大戦と冷戦を踏まえて考えてみよう。
4	事前学習	ゲストスピーカーからの課題を行う。内容については後日講義内で指示する。
	授業内容	特別講義 第五福竜丸展示館 学芸員 市田真理氏
	事後学習	第五福竜丸事件について、自分の理解と現実の違いをまとめてみよう。
5	事前学習	「第3章 今日の国際関係をどう読むのか」 (p. 37-p. 43) を、9. 11の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	今日の国際関係 1
	事後学習	ブッシュ政権の政策について考えてみよう。
6	事前学習	「第3章 今日の国際関係をどう読むのか」 (p. 43-p. 51) を、オバマ政権の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	今日の国際関係 2
	事後学習	日米安保と密約について考えてみよう。
7	事前学習	「第4章 グローバリゼーションの時代をどう読むのか」 (p. 53-p. 60) を、グローバリゼーションの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	グローバリゼーションの時代 1
	事後学習	グローバリゼーションを理解できているか確認してみよう。
8	事前学習	「第4章 グローバリゼーションの時代をどう読むのか」 (p. 61-p. 68) を、グローバリゼーションの光と陰を意識しながら読んでみよう。
	授業内容	グローバリゼーションの時代 2
	事後学習	グローバリゼーションの「光」と「陰」を考えてみよう。
9	事前学習	「第5章 現代の安全保障をどう読むのか」 (p. 69-p. 78) を、安全保障の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	現代の安全保障をどう読むのか 1
	事後学習	安全保障の変遷について考えてみよう。
10	事前学習	「第5章 現代の安全保障をどう読むのか」 (p. 79-p. 84) を、リベラリズムとコントラクティビズムの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	現代の安全保障をどう読むのか 2
	事後学習	安全保障についての概念とその限界について考えてみよう。
11	事前学習	「第6章 北東アジアの政治と国際関係をどう読むのか」 (p. 85-p. 93) を、韓国の歴史を考えながら読んでみよう。
	授業内容	北東アジアの政治と国際関係 1
	事後学習	韓国外交の歴史を振り返ってみよう。
12	事前学習	「第6章 北東アジアの政治と国際関係をどう読むのか」 (p. 93-p. 100) を、中国の歴史を考えながら読んでみよう。
	授業内容	北東アジアの政治と国際関係 2
	事後学習	日本の東アジアにおける立ち位置を日米の関係もあわせて、自分なりに考えてみよう。
13	事前学習	「第7章 国際社会における日本の位置づけをどう読むのか」 (p. 101-p. 111) を、領土の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	国際社会における日本の位置づけ 1
	事後学習	領土問題についての理解を深めよう。
14	事前学習	「第7章 国際社会における日本の位置づけをどう読むのか」 (p. 112-p. 118) を、国際社会の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	国際社会における日本の位置づけ 2
	事後学習	日本が国際社会にどのように貢献できるか考えてみよう。

15	事前学習	これまでに学習した内容を復習し、テストに備えよう。
	授業内容	テスト及び振り返り
	事後学習	これまでの学習を通して、今日の国際政治における問題を整理してみよう。

科目名	国際政治学Ⅰ	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし社会は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代の国際政治を理解するするの必要となる歴史、国際政治理論、国際政治問題を学習します。				
授業目的・到達目標	現代国際政治の理解に必要な歴史と理論の基本を学ぶことを目的とします。２０世紀から２１世紀にかけての国際政治を、第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦、冷戦後という形で、叙述的に歴史を学ぶだけではなく、国際政治の「学」としての分析的歴史（国際政治理論）も理解できるようにします。同時に、現在の国際政治事象の理解を深めることも目的とします。日々起るさまざまな国際事象を、これまでの歴史的経緯、また、国際政治学の理論的なアプローチから理解できるようになることを到達目標とします。				
履修条件	履修条件はとくにありません。				
授業方法	講義形式ですが、可能なかぎり、講義の理解に役立つビデオ教材、あるいは、一次史料を用います。また、その時々国際政治に関する出来事についての新聞記事を紹介しながら、国際政治学を学べるようにします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度、小レポート、授業内試験を総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		国際関係論（第３版）。かならず第３版を使用してください。	佐渡友哲・信夫隆司・柑本英雄
	備考				
参考書	講義の際、適宜、紹介します。				
オフィスアワー	水曜日１２：２０～１２：５０。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。				

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	国際政治学と何か、自分でイメージしてみよう。
	授業内容	前期のガイダンス
	事後学習	国際政治学の概要を整理してみよう。
2	事前学習	国際政治学とはどのような学問であるのかを考えてみよう。
	授業内容	国際政治学はどのような学問なのか（1）
	事後学習	「学」としての国際政治学とは何かを整理してみよう。

3	事前学習	国際政治学とはどのような学問であるのかを考えてみよう。
	授業内容	国際政治学はどのような学問なのか（2）
	事後学習	「学」としての国際政治学とは何かを整理してみよう。
4	事前学習	20世紀の国際関係の歴史を概観してみよう。
	授業内容	20世紀の国際関係をどう理解するか（1）
	事後学習	20世紀の国際関係の特徴を整理してみよう。
5	事前学習	20世紀の国際関係の歴史を概観してみよう。
	授業内容	20世紀の国際関係をどう理解するか（2）
	事後学習	20世紀の国際関係の特徴を整理してみよう。
6	事前学習	21世紀の国際関係を調べてみよう。
	授業内容	今日の国際関係をどう読むのか（1）
	事後学習	21世紀の国際関係の特徴を整理してみよう。
7	事前学習	21世紀の国際関係を調べてみよう。
	授業内容	今日の国際関係をどう読むのか（2）
	事後学習	21世紀の国際関係の特徴を整理してみよう。
8	事前学習	トランプ政権の誕生、イギリスのEUからの離脱にみられる自国第一主義について調べてみよう。
	授業内容	自国第一主義の時代（1）
	事後学習	自国第一主義の問題点を整理してみよう。
9	事前学習	トランプ政権の誕生、イギリスのEUからの離脱にみられる自国第一主義について調べてみよう。
	授業内容	自国第一主義の時代（2）
	事後学習	自国第一主義の問題点を整理してみよう。
10	事前学習	今日におけるグローバリゼーションとは何かを調べてみよう。
	授業内容	グローバリゼーションとは何か（1）
	事後学習	グローバリゼーションの功罪について整理してみよう。
11	事前学習	今日におけるグローバリゼーションとは何かを調べてみよう。
	授業内容	グローバリゼーションとは何か（2）
	事後学習	グローバリゼーションの功罪について整理してみよう。
12	事前学習	現代の安全保障における問題点を調べてみよう。
	授業内容	現代の安全保障をどう読むのか（1）
	事後学習	現代の安全保障の特徴を整理してみよう。
13	事前学習	現代の安全保障における問題点を調べてみよう。
	授業内容	現代の安全保障をどう読むのか（2）
	事後学習	現代の安全保障の特徴を整理してみよう。
14	事前学習	北朝鮮、中国を中心とする北東アジアの国際関係を調べてみよう。
	授業内容	北東アジアの政治と国際関係
	事後学習	北東アジアの国際関係を整理してみよう。

15	事前学習	前期の講義を振り返ってみよう。
	授業内容	前期のまとめ（授業内試験）
	事後学習	本講義から得られた知見を整理してみよう。

科目名	国際政治学Ⅱ	担当者	柑本 英雄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし社会は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国際関係論や国際協力論など、国際政治学の基礎となる理論を学び、理論的枠組みを利用して現実の政治をどう分析すればよいのか理解します。グローバル化が進む現在、国際政治学の中で追求される「分析枠組みとしての理論や概念」を援用しながら、「平和とは何か」を考えます。					
授業目的・到達目標	講義を通じて「大学生としての知の作法」についても習得し、国際関係の諸問題について、「なぜ、それが起こるのか？」の原因と結果の因果関係を一般化する方法論を習得することを目標とします。					
履修条件	①講義は、全て出席して、全体の理解が届くように構成されているので、出席回数を計算してギリギリで単位を取得しようとは考えず、毎回休まず出席すること。②テキストを予習して講義に臨むこと。					
授業方法	教科書、配布資料を用いて講義を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	基本概念が理解され、国際的な思考力が身についているかなど、総合的に判定します。		
	平常評価		30%	受講態度20%、課題提出10%		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		『国際関係論 <第3版>』（Next教科書シリーズ）		佐渡友哲, 信夫隆司, 柑本英雄 編
	備考					
参考書	原彬久『国際関係学講義 第5版』（有斐閣、2016年）。 初瀬龍平『国際関係論入門：思考の作法』（法律文化社、2012年）。					
オフィスアワー	水曜日12:15～12:55(事前にアポイントメントを取ること)					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通すほか、ニュースフィード系のウェブサイトを利用して、その週の世界の主要な国際政治・経済の出来事をフォローしておこう。
	授業内容	イントロダクション：後期講義の進め方
	事後学習	授業中に出てきた用語や内容について、理解度を確認しておこう。
2	事前学習	「第8章 国際関係理論とは何か」（p. 122～p. 136）を、リアリズム、ネオリベラリズム、コントラクティビズムの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	国際理論とは何か
	事後学習	国際関係理論における「理論」と自然科学における理論の違いを考えてみよう。

3	事前学習	「第9章 国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論」（p. 137–p. 152）を、国際レジームの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論
	事後学習	ネオリアリズムとの違いについて考えてみよう。
4	事前学習	「第10章 リージョナリズムと欧州統合」（p. 153–p. 170）を、EUの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	リージョナリズムと欧州統合
	事後学習	EUの国際社会における役割について考えてみよう。
5	事前学習	「第11章 南北問題をどう解決するのか」（p. 174–p. 182）を、南北問題の意味を考えながら読よう。
	授業内容	南北問題 1
	事後学習	新興国の登場が世界にもたらしたことについて考えてみよう。
6	事前学習	「第11章 南北問題をどう解決するのか」（p. 182–p. 189）を、SDGsの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	南北問題 2
	事後学習	G20の議題について調べてみよう。
7	事前学習	「第12章 地球環境問題をどう解決するのか」（p. 191–p. 206）を、地球環境問題の解決と国際協力について考えながら読んでみよう。
	授業内容	地球環境問題
	事後学習	地球環境問題を先進国、途上国、それぞれの立場から考えてみよう。
8	事前学習	「第13章 非国家アクターの台頭をどう見るのか」（p. 207–p. 217）を、公の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	非国家アクターの台頭 1
	事後学習	非国家アクターとは何か、国家システムの果たすべき役割と現状を踏まえて考えてみよう。
9	事前学習	「第13章 非国家アクターの台頭をどう見るのか」（p. 217–p. 222）を、非国家アクターの意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	非国家アクターの台頭 2
	事後学習	非国家アクターの現状と課題を考えてみよう。
10	事前学習	「第14章 市民社会は世界を動かすことができるのか」（p. 223–p. 229）を、市民社会の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	市民社会 1
	事後学習	市民社会アクターが登場した社会的背景について考えてみよう。
11	事前学習	「第14章 市民社会は世界を動かすことができるのか」（p. 230–p. 239）を、市民社会が行っている具体的活動を考えながら読んでみよう。
	授業内容	市民社会 2
	事後学習	市民社会アクターの可能性と限界について整理してみよう。
12	事前学習	「第15章 国際紛争・国内紛争をどう解決するのか」（p. 241–p. 247）を、紛争の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	紛争をどう解決するのか 1
	事後学習	ポスト冷戦期の紛争の特徴をまとめてみよう。
13	事前学習	「第15章 国際紛争・国内紛争をどう解決するのか」（p. 247–p. 256）を、安全保障の意味を考えながら読んでみよう。
	授業内容	紛争をどう解決するのか 2
	事後学習	人間の安全保障について、国家の役割を考えてみよう。
14	事前学習	これまでの学習を通して、今日の国際政治における問題を整理してみよう。
	授業内容	まとめ：講義から得られた知見と講評
	事後学習	日本が国際社会とどのように関わっているか、現状の問題に照らして考えてみよう。

15	事前学習	これまでに学習した内容を復習し、テストに備えよう。
	授業内容	テスト及び振り返り
	事後学習	答案の見直しを通して、これまでの学習で不足している知識や理解が不十分な事項がないか確認しよう。

科目名	国際政治学Ⅱ	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし社会は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代の国際政治を理解するするの必要となる歴史、国際政治理論、国際政治問題を学習します。				
授業目的・到達目標	現代国際政治の理解に必要な歴史と理論の基本を学ぶことを目的とします。２０世紀から２１世紀にかけての国際政治を、第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦、冷戦後という形で、叙述的に歴史を学ぶだけではなく、国際政治の「学」としての分析的歴史（国際政治理論）も理解できるようにします。同時に、現在の国際政治事象の理解を深めることも目的とします。日々起るさまざまな国際事象を、これまでの歴史的経緯、また、国際政治学の理論的なアプローチから理解できるようになることを到達目標とします。				
履修条件	履修条件はとくにありません。				
授業方法	講義形式ですが、可能なかぎり、講義の理解に役立つビデオ教材、あるいは、一次史料を用います。また、その時々国際政治に関する出来事についての新聞記事を紹介しながら、国際政治学を学べるようにします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業参加度、小レポート、授業内試験を総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		国際関係論（第３版）。かならず第３版を使用してください。	佐渡友哲・信夫隆司・柑本英雄
	備考				
参考書	講義の際、適宜、紹介します。				
オフィスアワー	水曜日１２：２０～１２：５０。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	後期のシラバスをよく読んでみよう。
	授業内容	後期のガイダンス
	事後学習	後期の講義の全体像をつかもう。
2	事前学習	国際政治理論とは何かを調べてみよう。
	授業内容	国際政治理論とは何か（1）
	事後学習	主要な国際政治理論を整理してみよう。

3	事前学習	国際政治理論とは何かを調べてみよう。
	授業内容	国際政治理論とは何か（2）
	事後学習	主要な国際政治理論を整理してみよう。
4	事前学習	国際政治理論とは何かを調べてみよう。
	授業内容	国際政治理論とは何か（3）
	事後学習	主要な国際政治理論を整理してみよう。
5	事前学習	欧州統合の歴史を調べてみよう。
	授業内容	リージョナリズムと欧州統合（1）
	事後学習	欧州統合の歴史を整理してみよう。
6	事前学習	昨今の欧州統合の問題点を調べてみよう。
	授業内容	リージョナリズムと欧州統合（2）
	事後学習	イギリスのEUからの離脱について考えてみよう。
7	事前学習	南北問題とはどのようなものを調べてみよう。
	授業内容	南北問題をどう解決するのか（1）
	事後学習	南北問題の解決策を考えてみよう。
8	事前学習	南北問題とはどのようなものを調べてみよう。
	授業内容	南北問題をどう解決するのか（2）
	事後学習	南北問題の解決策を考えてみよう。
9	事前学習	地球環境問題にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	地球環境問題をどう解決するのか（1）
	事後学習	地球環境問題の発生原因、影響、国際社会の取り組みを整理してみよう。
10	事前学習	地球環境問題にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	地球環境問題をどう解決するのか（2）
	事後学習	地球環境問題の発生原因、影響、国際社会の取り組みを整理してみよう。
11	事前学習	地球環境問題にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	地球環境問題をどう解決するのか（3）
	事後学習	地球環境問題の発生原因、影響、国際社会の取り組みを整理してみよう。
12	事前学習	国際政治における非国家アクターとしてどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	非国家アクターと市民社会
	事後学習	非国家アクターの役割を整理してみよう。
13	事前学習	現代の国際紛争にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	国際紛争・国内紛争をどう解決するのか（1）
	事後学習	国際紛争・国内紛争の解決策を考えてみよう。
14	事前学習	現代の国際紛争にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	国際紛争・国内紛争をどう解決するのか（2）
	事後学習	国際紛争・国内紛争の解決策を考えてみよう。

15	事前学習	後期の講義を振り返ってみよう。
	授業内容	後期のまとめ（授業内試験）
	事後学習	後期に学んだことを整理してみよう。

科目名	国際政治経済特殊講義A	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	地球環境問題、とりわけ大気をめぐる地球環境問題について学びます。具体的には、地球温暖化、オゾン層の破壊、長距離越境大気汚染（酸性雨）について、発生の原因、影響、国際社会の取り組み、具体的な環境条約、それら条約の効果、わたしたちの生活への影響について学習します。				
授業目的・到達目標	地球環境問題、とりわけ、地球温暖化、オゾン層の破壊、長距離越境大気汚染（酸性雨）といった大気に関する地球環境問題について、（１）なぜこれらの問題が発生したのか、（２）これらの問題に対する国際社会の対応はいかなるものか、（３）これらの問題について、具体的にどのような環境レジーム（条約）が作られているのか、（４）これらの条約の効果如何について、体系的に学ぶことを目的とします。さらに、可能なかぎり、これらの問題がわたしたちの生活にどのような影響を及ぼしているのかを実感できるようにすることを到達目標とします。				
履修条件	地球環境問題に関心のある学生に履修してもらいたいと思います。また、レポート作成・プレゼンが必須となりますので、意欲のある学生が履修してください。				
授業方法	特殊講義の特性をいかし、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業方法とします。大気に関する地球環境問題を中心に、各自がテーマを決め、レポートを作成し、プレゼンを行う形式です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	テーマに関する事前学習、レポート作成、プレゼンテーションを総合的に判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しません			
参考書	講義の際、適宜、紹介します。				
オフィスアワー	水曜日１２：２０～１２：５０。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	地球環境問題にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	どのような地球環境問題に関心があるかを探ってみよう。
2	事前学習	地球環境問題全般について調べてみよう。
	授業内容	地球環境問題とは何か（１）
	事後学習	地球環境問題の特徴を明らかにしてみよう。
3	事前学習	大気をめぐる地球環境問題にはどのようなものがあるかを調べてみよう。
	授業内容	地球環境問題とは何か（２）
	事後学習	地球環境問題の特徴を明らかにしてみよう。
4	事前学習	地球温暖化はなぜ起るのか、および、その影響を調べてみよう。
	授業内容	地球温暖化の基礎
	事後学習	地球温暖化の科学的知見について整理してみよう。

5	事前学習	気候変動枠組条約とはいかなるものか、調べてみよう。
	授業内容	気候変動枠組条約の概要
	事後学習	気候変動枠組条約の内容について整理してみよう。
6	事前学習	京都議定書はなぜ締結されたのかを調べてみよう。
	授業内容	京都議定書の概要（１）
	事後学習	京都議定書の内容について整理してみよう。
7	事前学習	京都議定書にはどのような特徴があるかを調べてみよう。
	授業内容	京都議定書の概要（２）
	事後学習	京都議定書の内容について整理してみよう。
8	事前学習	ポスト京都議定書への国際社会の対応について調べてみよう。
	授業内容	パリ協定の概要（１）
	事後学習	パリ協定の内容について整理してみよう。
9	事前学習	パリ協定が誕生するまでの交渉過程を調べてみよう。
	授業内容	パリ協定の概要（２）
	事後学習	京都議定書とパリ協定とを比較してみよう。
10	事前学習	オゾン層の破壊とはいかなるものか、その原因を調べてみよう。
	授業内容	オゾン層破壊（１）科学的知見
	事後学習	オゾン層破壊に関する科学的知見を整理してみよう。
11	事前学習	オゾン層を保護するためのウィーン条約について調べてみよう。
	授業内容	オゾン層破壊（２）ウィーン条約
	事後学習	ウィーン条約の内容を整理してみよう。
12	事前学習	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書について調べてみよう。
	授業内容	オゾン層破壊（３）モントリオール議定書
	事後学習	モントリオール議定書の内容を整理してみよう。
13	事前学習	長距離越境大気汚染（酸性雨）問題の発生原因を調べてみよう。
	授業内容	長距離越境大気汚染（酸性雨）問題
	事後学習	長距離越境大気汚染（酸性雨）問題の発生原因を整理してみよう。
14	事前学習	長距離越境大気汚染（酸性雨）問題に関する国際社会の取り組みを調べてみよう。
	授業内容	長距離越境大気汚染条約の概要
	事後学習	長距離越境大気汚染条約の内容について整理してみよう。
15	事前学習	これまで学習した地球環境問題を整理してみよう。
	授業内容	前期講義のまとめ
	事後学習	これらの問題がわたしたちの生活にどのように関連しているのかを考えてみよう。

科目名	国際政治経済特殊講義B	担当者	信夫 隆司	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	地球環境問題、とりわけ自然環境・野生生物をめぐる地球環境問題について学びます。具体的には、生物多様性、野生生物の減少、森林の減少、砂漠化等について、発生の原因、影響、国際社会の取り組み、具体的な環境条約、それら条約の効果、わたしたちの生活への影響について学習します。			
授業目的・到達目標	地球環境問題、とりわけ、生物多様性、野生生物の減少、森林の減少、砂漠化といった自然環境と野生生物に関する地球環境問題について、（１）なぜこれらの問題が発生したのか、（２）これらの問題に対する国際社会の対応はいかなるものか、（３）これらの問題について、具体的にどのような環境レジーム（条約）が作られているのか、（４）これらの条約の効果如何について、体系的に学ぶことを目的とします。さらに、可能なかぎり、これらの問題がわたしたちの生活にどのような影響を及ぼしているのかを実感できるようにすることを到達目標とします。			
履修条件	地球環境問題に関心のある学生に履修してもらいたいと思います。また、レポート作成・プレゼンが必須となりますので、意欲のある学生が履修してください。			
授業方法	特殊講義の特性をいかし、一方的な講義形式ではなく、学生が積極的に参加する授業方法とします。自然環境・野生生物に関する地球環境問題を中心に、各自がテーマを決め、レポートを作成し、プレゼンを行う形式です。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	テーマに関する事前学習、レポート作成、プレゼンテーションを総合的に判断します。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しません		
参考書	講義の際、適宜、紹介します。			
オフィスアワー	水曜日１２：２０～１２：５０。なお、事前にメールでアポイントメントをとってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自然環境・野生生物に関する地球環境問題について調べてみよう。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	自分がどの問題に関心があるかを考えてみよう。
2	事前学習	生物多様性とは何かを調べてみよう。
	授業内容	生物多様性とは
	事後学習	生物多様性はわたしたちの暮らしにどのような意味をもっているかを考えてみよう。
3	事前学習	生物多様性条約とはいかなるものかを調べてみよう。
	授業内容	生物多様性条約の概要
	事後学習	生物多様性条約の内容を整理してみよう。
4	事前学習	生物多様性の保護と利用について調べてみよう。
	授業内容	名古屋議定書の概要
	事後学習	名古屋議定書の内容について整理してみよう。

5	事前学習	野生生物とわたしたちの暮らしについて調べてみよう。
	授業内容	野生生物の利用
	事後学習	野生生物の利用について整理してみよう。
6	事前学習	野生生物がどの程度減少しているのか、調べてみよう。
	授業内容	野生生物の減少
	事後学習	野生生物減少の原因を考えてみよう。
7	事前学習	野生生物減少を防ぐ国際的な取り組みに何があるかを考えてみよう。
	授業内容	ワシントン条約(CITES) の概要（１）
	事後学習	ワシントン条約の内容を整理してみよう。
8	事前学習	野生生物減少を防ぐ国際的な取り組みに何があるかを考えてみよう。
	授業内容	ワシントン条約(CITES) の概要（２）
	事後学習	ワシントン条約の内容を整理してみよう。
9	事前学習	野生生物の保護に関する国内の取り組みを調べてみよう。
	授業内容	国内における野生生物保護の取り組み
	事後学習	日本国内における野生生物の保護に関する法律を調べてみよう。
10	事前学習	なぜ森林が減少するのかを調べてみよう。
	授業内容	森林減少とは
	事後学習	森林減少の実態を整理してみよう。
11	事前学習	森林減少を防ぐ国際社会の取り組みを調べてみよう。
	授業内容	森林原則声明とは
	事後学習	森林原則声明の内容を整理してみよう。
12	事前学習	森林減少を防ぐ日本の取り組みについて調べてみよう。
	授業内容	森林減少を防ぐ仕組みとは
	事後学習	わたしたちと森林とのかかわりを考えてみよう。
13	事前学習	どうして砂漠化が起きるのかを調べてみよう。
	授業内容	砂漠化とは
	事後学習	砂漠化防止に向けた日本の取り組みを調べてみよう。
14	事前学習	砂漠化防止に向けた国際社会の取り組みを調べてみよう。
	授業内容	砂漠化対処条約の概要
	事後学習	砂漠化対処条約の内容を整理してみよう。
15	事前学習	これまで学習した地球環境問題を整理してみよう。
	授業内容	後期の講義のまとめ
	事後学習	これらの問題がわたしたちの生活にどのように関連しているのかを考えてみよう。

科目名	国際取引法A I	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際取引に関する法制度を基礎から講義していきたい。国際取引法の枠組み、TPP問題など各国間の貿易ルール策定、国際売買契約、国際製造物責任、国際知的財産権などについて説明していきたい。				
授業目的・到達目標	国際取引全般に関する法制度の理解、説明ができるようになることを目的とする。企業の国際化が進展し、就職希望者にとって国際取引法の修得は必須である。国際売買契約など国際契約、国際的製造物責任、国際的M&A（企業買収）、国際投融资、国際企業結合、紛争処理、国際金融など、総論として幅広く、万遍なく概説する。全くの初心者にも理解しやすいよう講義する。法律関係でない学科の学生や1年生にもできるだけ多く受講してほしい。国際取引に関する基本的な法制度を一般的に学び、それに基づき理解、実践ができるようになる。基礎理論から企業実務に繋がる重要な法分野であり、さらなる専門科目の履修に向け、各自の将来展望を見据えてぜひ修得されたい。				
履修条件	1年生から4年生まで広く対象とし、全くの基礎から教える。法律関係科目の履修を条件としない。関連科目として、民法（契約法）・商法のほか、英語力向上からも「ビジネスロー文献講読」も受講するとさらによくなる。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。参考書などについては授業内で指示する。			
参考書	藤川信夫『国際取引法－理論と実務－』尚学社（2013年）				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気楽にご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に国際取引について各自で調べて授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法概説（1）－国際取引法の枠組み－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法概説（2）－国際取引法と関連法分野－
	事後学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。

3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法と企業の海外進出形態（1）
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法と企業の海外進出形態（2）
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際統一規則等と国際取引法
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際通商法関係と国際取引法（1）－WTO、米国通商法・関税法ダンピング規制、相殺関税、セーフガード措置、原産地国問題－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際通商法関係と国際取引法（2）－EU、NAFTA、ASEANなど地域統合条約ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際通商法関係と国際取引法（3）－TPP問題－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引と知的財産権訴訟－米国のプロパテント政策、パリ条約、WTOと中国の模倣品対策など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引と製造物責任訴訟（1）－PL責任と契約責任－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引と製造物責任訴訟（2）－米国の厳格責任主義ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	域外適用（1）－近年の域外適用問題の概要、管轄・裁判権など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	域外適用（2）－米国汚職行為防止法（FCPA）、英国腐敗防止法（Bribery Act 2010）－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	域外適用（3）－グローバル内部統制とコンプライアンス・プログラム、日本企業の対応－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引と企業法務－企業の業種と国際取引の形態、国際契約、法的リスクなど－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	国際取引法AⅡ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際取引に関する法制度を基礎から講義していきたい。国際売買契約、国際運送・保険契約、国際販売代理店契約、国際的M&A（企業買収）契約、準拠法や裁判管轄、国際紛争処理として国際仲裁などについて幅広く説明していきたい。				
授業目的・到達目標	国際取引全般に関する法制度の理解、説明ができるようになることを目的とする。企業の国際化が進展し、就職希望者にとって国際取引法の修得は必須である。国際売買契約など国際契約、国際的製造物責任、国際的M&A（企業買収）、国際投融资、国際企業結合、紛争処理、国際金融など、総論として幅広く、万遍なく概説する。全くの初心者にも理解しやすいよう講義する。法律関係でない学科の学生や1年生にもできるだけ多く受講してほしい。国際取引に関する基本的な法制度を全般的に学び、それに基づき理解、実践ができるようになる。基礎理論から企業実務に繋がる重要な法分野であり、さらなる専門科目の履修に向け、各自の将来展望を見据えてぜひ修得されたい。				
履修条件	1年生から4年生まで広く対象とし、全くの基礎から教える。法律関係科目の履修を条件としない。関連科目として、民法（契約法）・商法のほか、英語力向上からも「ビジネスロー文献講読」も受講するとさらによくなる。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。参考書などについては授業内で指示する。			
参考書	藤川信夫『国際取引法－理論と実務－』尚学社（2013年）				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気楽にご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際取引について各自で調べ、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際売買契約の概要（1）－インコタームズ2010、FOB、CIFなど引渡条件－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際売買契約の概要（2）－品質保証、瑕疵（かし）担保責任、不可抗力条項、契約解除など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際売買契約の概要（3）－国際的資金決済、荷為替信用状（L／C）ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際運送・保険契約、国際秘密保持契約などの概要
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業買収（M&A）（1）－意義と概要－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業買収（M&A）（2）－友好的企業買収と敵対的企業買収－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業買収（M&A）（3）－M&A契約、買収方式、資金調達、企業評価方法、ケーススタディー
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業買収（M&A）（4）－デューディリジェンス（詳細調査）、買収後の企業運営－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際投融资と国際契約（1）－国際合弁契約・ジョイント・ベンチャー・ゼネラル・パートナーシップ、国際共同開発－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際投融资と国際契約（2）－リース、プロジェクト・ファイナンスほか新しい融資・担保契約－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際企業組織－代理店・販売店、支店、現地法人、子会社管理など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引と紛争処理（1）－国際民事訴訟と準拠法、裁判管轄ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引と紛争処理（2）－国際仲裁、ADR（裁判外紛争処理制度）、国際倒産ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法分野の新展開（1）－ウイーン売買条約と実務の対応など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法分野の新展開（2）－サブプライム・ローン問題と国際金融取引、欧州債務危機、国際金融取引法制－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	国際取引法B I	担当者	藤川 信夫	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業の国際取引に関する法制度を広く包括的に採り上げ、基礎から応用まで説明していきたい。国際取引法各論として、重要な領域に焦点を当て、理論と企業実務も含め、わかりやすく解説していきたい。主として前期では、国際投資分野として国際的企業買収（M&A）、買収防衛策などに関して各国のルールと企業の対応などを採り上げたい。ケーススタディ、為替・金利動向などグローバル企業を巡る国際金融・経済の最新の状況も分かりやすく教えたい。				
授業目的・到達目標	国際取引法各論としてグローバル企業の国際業務等に関し比較法的に理解し、説明できるようになることを目的とする。注目を浴びる国際的M&A（企業買収）と敵対的防衛策、国際売買契約、国際販売代理店、国際投融資、国際企業結合法制などを取り上げ、ウィーン売買条約、インコタームズ2010、国際資金決済、国際不正取引、国際金融法、域外適用など最新のテーマも具体的に解説する。法律関係でない学科の学生、2年生にも多く受講してほしい。各論分野として専門的展開を図る。企業実務の接点として重要な科目である。基礎理論のみならず実践・専門的内容を学び、それに基づき総合的な国際ビジネス法の修得ができるようになる。卒業後の進路に役立つよう備えて欲しい。				
履修条件	国際取引法Ⅰの履修を前提としない。できるだけ、わかりやすく解説する。法律科目を全く新しく勉強する者も大歓迎する。可能であれば民法・商法のほか、英語力向上からも「ビジネスロー文献講読」も受講すると更に向上する。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。参考書などについては授業内で指示する。			
参考書	藤川信夫『国際取引法－理論と実務－』尚学社（2013年）				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気楽にご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に各自で国際取引について概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際取引法概説－基礎的知識の講義－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的M&A（企業買収）の概要
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	企業買収（M&A）と法制度－合併、株式交換・移転、会社分割、MBO、三角合併など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	企業買収（M&A）と敵対的買収防衛策の具体例－ライツプラン、黄金株など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業買収（M&A）契約の概要（1）－意義、概要－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的企業買収（M&A）契約の概要（2）－資産特定、負債承継、競業避止義務など具体的条項例－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	敵対的企業買収（M&A）とTOB（株式公開買付）ルール、国際組織再編制度（1）－米国－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	敵対的企業買収（M&A）とTOB（株式公開買付）ルール、国際組織再編制度（2）－欧州－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日米欧における買収防衛策の新動向（1）－経営判断原則、ユノカル判決など米国の判例法理の変遷と企業の対応など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日米欧における買収防衛策の新動向（2）－レブロン判決、ブラウシス判決など米国の判例法理の変遷と企業の対応など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日米欧における買収防衛策の新動向（3）－国際的企業買収のケーススタディー英ボーダフォンによる独マンネスマンの敵対的買収など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	日米欧における敵対的買収・防衛策の法制と今後の展望
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	敵対的買収・防衛策と我が国の対応（1）－ブルドックスソース事件、買収防衛策指針、MBO指針など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	敵対的買収・防衛策と我が国の対応（2）－ブルドックスソース事件、買収防衛策指針、MBO指針など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	中国、アジアにおけるM&A法制度と企業の対応
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	国際取引法Ⅱ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業の国際取引に関する法制度を広く包括的に採り上げ、基礎から応用まで説明していきたい。国際取引法各論として、重要な領域に焦点を当て、理論と企業実務も含め、わかりやすく解説していきたい。主として後期では、国際投融资、国際合弁（ジョイントベンチャー）、国際売買契約に関してインコタームス2010やウィーン売買条約、国際金融法制などを採り上げ説明していきたい。				
授業目的・到達目標	国際取引法各論としてグローバル企業の国際業務等に関し比較法的に理解し、説明できるようになることを目的とする。注目を浴びる国際的M&A（企業買収）と敵対的防衛策、国際売買契約、国際販売代理店、国際投融资、国際企業結合法制などを取り上げ、ウィーン売買条約、インコタームズ2010、国際資金決済、国際不正取引、国際金融法、域外適用など最新のテーマも具体的に解説する。法律関係でない学科の学生、2年生にも多く受講してほしい。各論分野として専門的展開を図る。企業実務の接点として重要な科目である。基礎理論のみならず実践・専門的内容を学び、それに基づき総合的な国際ビジネス法の修得ができるようになる。卒業後の進路に役立つよう備えて欲しい。				
履修条件	国際取引法Ⅰの履修を前提としない。できるだけ、わかりやすく解説する。法律科目を全く新しく勉強する者も大歓迎する。可能であれば民法・商法のほか、英語力向上からも「ビジネスロー文献講読」も受講すると更に向上する。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。参考書などについては授業内で指示する。			
参考書	藤川信夫『国際取引法－理論と実務－』尚学社（2013年）				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気楽にご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際取引について各自で事前に調べ、授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際投融资、企業結合法制概説
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際合弁契約の概要（Ⅰ）－意義、概要－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際合弁契約の概要（2）－株主間契約など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際合弁契約の概要（3）－譲渡制限、撤退条項など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際秘密保持契約の概要－秘密情報遵守、返却・破棄、義務違反など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際共同開発契約、国際ライセンス契約の概要－意義、業務委託、成果物帰属・利用など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際売買契約の概要（1）－意義、インコタームス、具体的条項例、引渡条件など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際売買契約の概要（2）－品質保証、瑕疵（かし）担保責任など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際売買契約の概要（3）－不可抗力条項、契約解除、裁判管轄・準拠法など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際的資金決済の概要－外国為替、荷為替信用状、船荷証券など－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	ウィーン売買条約の概要(1)－基本的構成、適用範囲および総則－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	ウィーン売買条約の概要(2)－契約の成立、物品の売買、売主・買主の義務、危険の移転、損害賠償、解除、最終規定ほか－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	域外適用問題－国際私法、準拠法・国際管轄、国際不正とコンプライアンス、最新の事例研究－
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	国際金融におけるサブプライムローン金融取引の構造と米国ドッド・フランク法など金融改革法の動向
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	ギリシャ危機など欧州債務危機の問題点と展望
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	国際民事紛争処理法Ⅰ	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本科目では、特に日本とアメリカを例として、裁判所に国際民事事件を提訴した際の法的問題点を学習する。			
授業目的・到達目標	国際ビジネスの予防法務の一側面として、世界の国々の法制度の多様性を認識し、特に、国際ビジネス紛争を解決する手段としてアメリカにおける裁判所を利用する際の法的枠組と法的リスクを理解し説明できるようになることを目的とする。また、アメリカの裁判所を国際ビジネス紛争の解決手段として利用する際の法的枠組みと法的リスクを理解、説明できるようになり、当該法的リスクの回避方策を自ら考え提言できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書と講義中に配布した資料や事案を教材として、講義形式とディスカッション形式を併用し、講義を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内での発言（30%）とレポート（70%）を総合的に評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	成文堂	『国際取引紛争 紛争解決の基本ルール 第2版』	中村達也
	備考			
参考書	授業中に適時紹介する。			
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取ること）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本、アメリカ、アジア、ヨーロッパにおける紛争解決文化、民事事件の紛争解決方法、頻繁に使用されている紛争解決手段、についてできるだけ調べてくる。
	授業内容	訴訟社会と呼ばれるアメリカの背景とアジア・欧米諸国との比較（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
2	事前学習	配布された資料を読んでくる。
	授業内容	訴訟社会と呼ばれるアメリカの背景とアジア・欧米諸国との比較（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
3	事前学習	配布された資料を読んでくる。
	授業内容	アメリカの裁判所における民事訴訟手続の流れ
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
4	事前学習	配布された資料を読んでくる。
	授業内容	アメリカにおける日本企業に対する訴訟リスク
	事後学習	講義で学んだポイントをまとめておく。

5	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	当事者適格・主権免除と外国に対する裁判権
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
6	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	アメリカの裁判所における人的管轄権（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
7	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	アメリカの裁判所における人的管轄権（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
8	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	アメリカの裁判所における人的管轄権（3）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
9	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	クラスアクション
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
10	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	訴状の国外送達と司法共助（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
11	事前学習	前回の講義で配布された資料を読んてくる。
	授業内容	訴状の国外送達と司法共助（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
12	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	フォーラム・ノンコンビニエンスの法理
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。。
13	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際訴訟競合　日本（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
14	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際訴訟競合　アメリカ（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
15	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際訴訟競合　EU（3）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

科目名	国際民事紛争処理法Ⅱ	担当者	坂本 力也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本科目では、特に日本とアメリカを例として、裁判所に国際民事事件を提訴した際の法的問題点を学習し、そのうえで、裁判外紛争解決手段である仲裁と調停を利用して国際民事事件の解決にあたる場合の法的問題点を検討していく。			
授業目的・到達目標	国際ビジネス紛争を解決する手段としてアメリカの裁判所または裁判外紛争解決手段(Alternative Dispute Resolution(ADR))を利用する際の法的枠組みと法的リスクを理解し説明できるようになることを目的とする。アメリカの裁判所またはADRを国際商事紛争の解決手段として利用する際の法的リスクを指摘できるようになり、当該法的リスクの回避方を自ら考え提言できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書と講義中に配布した資料や事案を教材として、講義形式とディスカッション形式を併用し、講義を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内での発言（30%）とレポート（70%）を総合的に評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	成文堂	『国際取引紛争 紛争解決の基本ルール 第2版』	中村達也
	備考			
参考書	授業中に適時紹介する。			
オフィスアワー	水曜日12:30-13:00（授業後にアポイントメントを取ること）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本、アメリカ、アジア、ヨーロッパにおける紛争解決文化、民事事件の紛争解決方法、頻繁に使用されている紛争解決手段、についてできるだけ調べてくる。
	授業内容	管轄合意の効力（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
2	事前学習	配布された資料を読んでくる。
	授業内容	管轄合意の効力（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
3	事前学習	配布された資料を読んでくる。
	授業内容	準拠法の選択（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
4	事前学習	配布された資料を読んでくる。
	授業内容	準拠法の選択（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

5	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	外国法の証明
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
6	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	証拠開示手続（ディスカバリー）（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
7	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	証拠開示手続（ディスカバリー）（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
8	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	弁護士・依頼人秘匿特権問題
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
9	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	外国判決の承認と執行（1）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
10	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	外国判決の承認と執行（2）
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
11	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	裁判外紛争解決手段一和解・調停・仲裁
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
12	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際商事仲裁とそのメリット・デメリット
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
13	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際商事仲裁における仲裁合意の効力の範囲
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
14	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際商事仲裁における仲裁の訴訟化と今後の展開
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。
15	事前学習	配布された資料を読んてくる。
	授業内容	国際商事調停の可能性10文字 1行
	事後学習	授業で学んだポイントをまとめておく。

科目名	国会論	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	周知の通り、わが国の国会は「国権の最高機関」として位置付けられています。しかしその実態については、ほとんどの国民に理解されているとは言い難い状況です。本講義では、国会について指摘される様々な特質を解説しながら、その問題と課題を多面的に検討していきます。					
授業目的・到達目標	国会や政党の組織・運営に関する知識を身に付けつつ、実際の立法過程について自分の言葉で説明できるようになることを目指します。					
履修条件	本講義の履修登録にあたっては、前期の「立法過程論」を履修している必要があります（後期からの履修はできません）。					
授業方法	講義					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	論述形式の試験を実施します。		
	平常評価		20%	授業内で小テストを実施します。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	慈学社		議会政治 第3版		加藤秀治郎・水戸克典
	備考					
参考書	授業中に適宜紹介します。					
オフィスアワー	金曜日12：15～12：55 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修を希望する場合は、必ず初回ガイダンスに出席すること
	授業内容	法律の立案―官僚の果たす役割とその問題点
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件を確認すること
2	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	法律の立案―審議会
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

3	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	法令審査―内閣法制局と衆参両院法制局
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
4	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	与党審査―政務調査会
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
5	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	与党審査―総務会
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
6	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	族議員の登場とその役割
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
7	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	ポスト55年体制下の与党審査
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
8	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政府手続き―事務次官等会議
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
9	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政府手続き―閣議決定
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
10	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	予算編成と財務省の役割
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
11	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	予算編成と経済財政諮問会議
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
12	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会における決算機能の強化
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
13	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会とマス・メディア
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
14	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会改革の可能性と限界
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

15	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

科目名	コミュニケーション演習Ⅰ	担当者	浅利 光昭	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座は、新聞や出版、放送（テレビ／ラジオ）などのマスメディアに加え、インターネットサービス等新たな技術を用いたさまざまなメディア／コンテンツ／サービスにおけるメディアコミュニケーションの現状と課題について、主としてユーザー面（需要サイド）からの整理・分析を行う。分析においては、公的機関（政府統計等）や業界団体、各種調査会社等が実施した各種統計データなどを用いる。			
授業目的・到達目標	技術革新やメディア・サービスの多様化に伴い、「特定の情報源からマス（大衆）を対象とした情報の伝達」という従来のメディアコミュニケーションの形態も変容を迫られている。さらには少子・高齢化社会の到来が本格化する中で、メディアイメージとメディアユーザーとの間の乖離も顕在化しつつある。こうした社会背景、メディア環境の変化を踏まえ、メディア／コンテンツを通じたコミュニケーションの現在の在り様を整理、分析することが本講座の目的である。履修者は、自らの興味・関心のあるメディア／コンテンツに関するユーザーデータの収集、整理を通じ、データを活用した表現方法を体得することで、自らの研究課題の解決に至る手法の体得を到達目標とする。			
履修条件	特になし。履修者自身が課題を設定し、課題を解決するために手を動かすことを求められる演習科目であることを理解し積極的に取り組む姿勢を期待する。			
授業方法	講義前半はメディア／コンテンツのユーザー分析の基礎となるマクロ指標及び各種メディアの分析を中心に、後半は履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）に関するプレゼンテーションの実施及び講評を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	演習科目のため筆記試験は行わない。	
	平常評価	100%	各回講義での提案、発言等の積極性、プレゼンテーション内容の到達度等を総合的に判断して評価する。適宜、講義内容に関するリアクションペーパー等の提出を求める。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず		
参考書	㈱電通「情報メディア白書2018」ダイヤモンド社／藤田真文編「メディアの卒論」ミネルヴァ書房／博報堂D＼＼メディアパートナーズ編『メディアガイド2017』宣伝会議など。その他演習の進み具合を考慮し、適宜紹介する。			
オフィスアワー	質問及び相談等は、各回講義後20分程度を目安に時間を設けて対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	担当講師の自己紹介及び本演習のガイダンス
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の概要をまとめた小レポートの提出を求める。
2	事前学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の概要をまとめた小レポートの提出を求める。
	授業内容	マーケティング領域における一般的な分析手法である「4C分析」や「PEST分析」を用い、メディア／コンテンツ分析におけるユーザー分析の手法について俯瞰する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、「4C分析」「PEST分析」などの手法で活用可能だと考えられる事項について考察を加える。
3	事前学習	第3回講義で用いる政府統計等（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」／国土地理協会「住民基本台帳要覧」）及び業界団体統計（例：日本新聞協会の公式ホームページ上のデータなど）をあらかじめ確認すること。
	授業内容	データ分析の基本となる相関関係について簡単な解説をしたのち、日本のマスメディア産業と関係性の深いマクロ指標（人口、世帯数等）との関係性について、総務省等の政府統計や各業界団体等が実施した調査結果（データ等）を用いて分析する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、日本社会全体を俯瞰できる各種データの活用方法に関する考察を加える。
4	事前学習	第4回講義で用いるメディアユーザー関連のデータ（総務省「通信利用動向調査」／NHK放送文化研究所「国民生活時間調査」／総務省「家計調査年報」）の所在及び内容等をあらかじめ確認すること。
	授業内容	政府（総務省等）や各種調査機関（NHK放送文化研究所等）が調査した定量データをもとに、現代日本のマスメディアやエンタテインメントコンテンツ、インターネット等におけるメディアユーザーの実態について具体的に分析する。そのうえで、ユーザー行動の変化を導く分析手法としてのコーホート分析を紹介する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、メディアユーザーの実態及びコーホート分析等ユーザー分析で活用可能な手法について検討する。

5	事前学習	新聞読者（ユーザー）の特徴を俯瞰するため、日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」（2015年度版）を取得し、熟読すること。
	授業内容	マスメディアのひとつである新聞読者（ユーザー）の実態を俯瞰する。日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」（2015年度版）をもとに、他のメディアと比較した新聞メディアの特徴及び接触行動等について整理、分析す
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」（2015年度版）の活用可能性について検討する。
6	事前学習	テレビ視聴の特徴を俯瞰するため、NHK放送文化研究所「テレビ視聴とメディア利用の現在～日本人とテレビ・2015～」『放送研究と調査』（2015年8月号）を取得し、熟読すること。
	授業内容	マスメディアのひとつであるテレビ視聴者（ユーザー）の実態を俯瞰する。NHK放送文化研究所「テレビ視聴とメディア利用の現在～日本人とテレビ・2015～」『放送研究と調査』（2015年8月号）をもとに、他のメディアと比較したテレビメディアの特徴及び接触行動等について整理、分析する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、NHK放送文化研究所「テレビ視聴とメディア利用の現在～日本人とテレビ・2015～」『放送研究と調査』（2015年8月号）の活用可能性について検討する。
7	事前学習	第6回講義に引き続き、テレビ視聴の特徴を俯瞰するため、NHK放送文化研究所「スマホユーザーはテレビをどう見ているか～「モバイルシフト社会とテレビ調査」から～」『放送研究と調査』（2017年9月号）を取得し、熟読すること。
	授業内容	インターネットユーザーとテレビ視聴の関係及び実態を俯瞰する。NHK放送文化研究所「スマホユーザーはテレビをどう見ているか～「モバイルシフト社会とテレビ調査」から～」『放送研究と調査』（2017年9月号）をもとに、テレビ視聴者の類型化（クラスター化）の手法及び各クラスター特徴及び接触行動等について整理、分析する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、NHK放送文化研究所「スマホユーザーはテレビをどう見ているか～「モバイルシフト社会とテレビ調査」から～」『放送研究と調査』（2017年9月号）活用可能性について検討する。
8	事前学習	インターネットユーザーの意識変容・行動変容を踏まえた広告戦略を学ぶため、博報堂DYメディアパートナーズ編（2017）「6－2. デジタル概況」『メディアガイド2017』宣伝会議、を熟読すること。
	授業内容	スマートフォンの普及に伴うインターネット利用行動の変化に伴い、「マイクロモーメント」「分散型メディア戦略」「マルチデバイス型マーケティングコミュニケーション」などのキーワードを踏まえたインターネットを活用した新たなコミュニケーション戦略を確認し、その特徴等について整理、分析する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、「マイクロモーメント」「分散型メディア戦略」「マルチデバイス型マーケティングコミュニケーション」などのキーワードの活用可能性について検討する。
9	事前学習	双方向メディアであるインターネットの特徴を踏まえた行動履歴（視聴履歴等を含む）の活用及びターゲティング広告について学ぶため、博報堂DYメディアパートナーズ編（2017）「6－4. デジタル広告手法」『メディアガイド2017』宣伝会議、を熟読すること。
	授業内容	主に片方向コミュニケーションで成立していた従来のメディアコミュニケーションに対し、双方向メディアの特性を活用した行動履歴（視聴履歴等を含む）に基づくターゲティングコミュニケーション戦略について、インターネット広告を事例として確認し、その特徴等について整理、分析する。
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、行動履歴（視聴履歴等を含む）に基づくターゲティングコミュニケーション戦略の活用可能性について検討する。
10	事前学習	インターネットを活用したゲームコンテンツ等で多用される「フリーミアム戦略」「概念としてのゲーミフィケーション」について学ぶため、担当講師が配布する資料・リジュメ等を熟読すること。
	授業内容	インターネットを活用したゲームコンテンツ（スマホゲーム等）で多用される「フリーミアム戦略」「ゲーミフィケーション」について、フリーミアム戦略がインターネットサービスで多用される理由及びゲーミフィケーションの背景にある心理的な意識変容・行動変容に導く鍵概念について確認し、その特徴と応用事例について整理、分析す
	事後学習	履修者自身の興味・関心に基づく課題（テーマ等）の解決のために、「フリーミアム戦略」「ゲーミフィケーション」の活用可能性について検討する。
11	事前学習	自らの興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）を解決するために、各種統計調査（データ等）の収集、整理及び適切な手法による分析を踏まえたプレゼンテーションを作成する。
	授業内容	各履修者の興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）に基づくデータ収集、整理、分析を踏まえたプレゼンテーションの実施（各自30分程度の発表時間とする）及びプレゼンテーションに対して講評を行う（各自15分程度）。
	事後学習	プレゼンテーションを行った履修者は、自らのプレゼンテーションの反省点の整理、分析を行う。また、講師及び他の履修者からのリアクションを踏まえたプレゼンテーションの修正版を速やかに提出する。
12	事前学習	自らの興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）を解決するために、各種統計調査（データ等）の収集、整理及び適切な手法による分析を踏まえたプレゼンテーションを作成する。
	授業内容	各履修者の興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）に基づくデータ収集、整理、分析を踏まえたプレゼンテーションの実施（各自30分程度の発表時間とする）及びプレゼンテーションに対して講評を行う（各自15分程度）。
	事後学習	プレゼンテーションを行った履修者は、自らのプレゼンテーションの反省点の整理、分析を行う。また、講師及び他の履修者からのリアクションを踏まえたプレゼンテーションの修正版を速やかに提出する。
13	事前学習	自らの興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）を解決するために、各種統計調査（データ等）の収集、整理及び適切な手法による分析を踏まえたプレゼンテーションを作成する。
	授業内容	各履修者の興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）に基づくデータ収集、整理、分析を踏まえたプレゼンテーションの実施（各自30分程度の発表時間とする）及びプレゼンテーションに対して講評を行う（各自15分程度）。
	事後学習	プレゼンテーションを行った履修者は、自らのプレゼンテーションの反省点の整理、分析を行う。また、講師及び他の履修者からのリアクションを踏まえたプレゼンテーションの修正版を速やかに提出する。
14	事前学習	自らの興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）を解決するために、各種統計調査（データ等）の収集、整理及び適切な手法による分析を踏まえたプレゼンテーションを作成する。
	授業内容	各履修者の興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）に基づくデータ収集、整理、分析を踏まえたプレゼンテーションの実施（各自30分程度の発表時間とする）及びプレゼンテーションに対して講評を行う（各自15分程度）。
	事後学習	プレゼンテーションを行った履修者は、自らのプレゼンテーションの反省点の整理、分析を行う。また、講師及び他の履修者からのリアクションを踏まえたプレゼンテーションの修正版を速やかに提出する。
15	事前学習	自らの興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）を解決するために、各種統計調査（データ等）の収集、整理及び適切な手法による分析を踏まえたプレゼンテーションを作成する。
	授業内容	各履修者の興味・関心に基づき設定した課題（テーマ等）に基づくデータ収集、整理、分析を踏まえたプレゼンテーションの実施（各自30分程度の発表時間とする）及びプレゼンテーションに対して講評を行う（各自15分程度）。
	事後学習	プレゼンテーションを行った履修者は、自らのプレゼンテーションの反省点の整理、分析を行う。また、講師及び他の履修者からのリアクションを踏まえたプレゼンテーションの修正版を速やかに提出する。

科目名	コミュニケーション調査	担当者	西田 善行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	コミュニケーションの調査とは何か、そこから何がわかるのか、実際にやってみようことでそれを理解してもらおう。具体的にはテレビ番組と番組をめぐるインターネット上のコミュニケーションを調査し、テレビは何をどのように伝え、視聴者はネットで何を語るのか、テレビを巡るテキスト生成のダイナミズムについて考えていく。				
授業目的・ 到達目標	分析を通して、日常的に私たちが行っている（マス・）コミュニケーションについて、普段考えることのなかった見方を獲得してもらおうこと、そして自分が関心を持ったコミュニケーションの内容について、自分自身で調べることができるようになることが目標となる。				
履修条件	テレビに関心があり、なおかつインターネット、スマートフォンを日常的に使用している人で、自分でも調査を行うことを希望している人。演習スタイルのため、授業に毎回出席すること。				
授業方法	講義と演習。映像の視聴や、PC、スマートフォンの使用を行う。グループワークとグループディスカッションも行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	ほぼ毎回授業時のミニレポートを提出する。また全体としての調査結果の報告をし、最終的に調査レポートを提出する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない			
参考書	藤田真文・岡井崇之編『プロセスが見えるメディア分析入門』（世界思想社）。他の文献は適宜授業で指示する。				
オフィス アワー	授業開始前（昼休み）か終了後の教室、もしくはメールで受け付ける。 nishida.yoshiyuki.teach☆gmail.com （☆を@に変換する）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んで授業内容を理解する
	授業内容	オリエンテーション（メディアコミュニケーションの調査方法を大まかに理解する）
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習する
2	事前学習	初回プリントや参考書を読んで予習する
	授業内容	テレビ番組の調査手法①マルチモダリティ分析
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習し、ミニレポートを完成させる

3	事前学習	初回プリントや参考書を読んで予習する
	授業内容	テレビ番組の調査手法②映像分析
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習し、ミニレポートを完成させる
4	事前学習	初回プリントや参考書を読んで予習する
	授業内容	インターネットによるテレビ視聴分析①フィールドワークを行う
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習し、ミニレポートを完成させる
5	事前学習	初回プリントや参考書を読んで予習する
	授業内容	インターネットによるテレビ視聴分析②内容分析を行う
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習し、ミニレポートを完成させる
6	事前学習	初回プリントや参考書を読んで予習する
	授業内容	インターネットによるテレビ視聴分析③テキストマイニングを行う
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習し、ミニレポートを完成させる
7	事前学習	これまでの配布プリントや参考書を読んで復習する、調査対象を考えておく
	授業内容	調査の実行①調査対象の選定（グループの決定・話し合い）
	事後学習	配布プリントや授業時に指示した参考書を読んで復習し、調査対象について調べる
8	事前学習	これまでの配布プリントを読んで予習し、各自分担して調査対象についての資料を集める
	授業内容	調査の実行②調査資料の収集、調査対象の記述
	事後学習	配布プリントを読んで復習し、不足した資料を再度収集、対象について記述しておく
9	事前学習	これまでの配布プリントを読んで予習し、分析シートのデザインを考えておく
	授業内容	調査の実行③分析シートの作成（グループで話し合い、分析シートを作成）
	事後学習	配布プリントを読んで復習し、分析シートを完成させる
10	事前学習	配布プリントを読んで復習し、分析シートを完成させておく
	授業内容	調査の実行④番組言説・ネット言説の分析（分析シートを元に分担して分析を実行する）
	事後学習	各自分担に従い分析を進めておく
11	事前学習	各自分担に従い分析を進めておく
	授業内容	調査の実行⑤テキストマイニング（分析シートをもとにテキストマイニングを行う）
	事後学習	テキストマイニングを完成させる
12	事前学習	前回までの分析を完成させておく
	授業内容	調査結果のとりまとめ①分析データの整形（分析をもとに表やグラフを作成する）
	事後学習	分析をもとに表やグラフを完成させる
13	事前学習	分析や表、グラフを完成させておく
	授業内容	調査結果のとりまとめ②分析結果の提出（分析結果を文章化し、グループで提出）
	事後学習	分析結果の報告資料を作成する
14	事前学習	分析結果の報告資料を完成させる
	授業内容	調査結果のとりまとめ③分析結果の報告
	事後学習	グループ報告をもとに個人レポートを作成する

15	事前学習	グループ報告をもとに個人レポートを完成する
	授業内容	まとめ 分析レポートの提出
	事後学習	これまでの配布プリントや個人レポートを読み返し、授業内容を振り返る

科目名	コミュニケーションの科学A	担当者	佐幸 信介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	コミュニケーションの類型、シンボリック相互作用論、記号論など、コミュニケーションに関する学問的な基礎を学ぶ。					
授業目的・到達目標	コミュニケーションの仕組みを学問的な視点からとらえ、かつ、現代のコミュニケーションをめぐる現象を分析・説明する力を養うことを重視する。また、近年のメディア環境の変化に合わせ、ソーシャル・ネットワークにおけるコミュニケーション状況について、その特性と問題点を理解する。基礎的な学説や議論を習得すること。概念やフレームを用いて、現象に対して問いを立て、説明する力をつける。また、身の回りのコミュニケーション現象を理解する力をつける。					
履修条件	特になし					
授業方法	現代のコミュニケーションに関わる現象、事例と理論・学説の組み合わせで講義する。適宜、映像資料も利用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%	期末のレポート提出（60％）、小テスト及び小レポート計2回		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008	世界思想社		自己・他者・関係		井上俊・伊藤公雄編
	備考					
参 考 書	適宜、講義で紹介する					
オフィスアワー	水曜4限					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容を確認すること
2	事前学習	前回の講義で出された課題を考えてくること
	授業内容	コミュニケーションとは何か？／コミュニケーションを分類してみる
	事後学習	講義内で示された、主要概念を辞典等で整理しておくこと

3	事前学習	前回の講義で出された課題を考えてくること
	授業内容	動物のコミュニケーション／人間のコミュニケーション：信号と記号、ノンバーバルコミュニケーション
	事後学習	第2回と第3回の講義を合わせて復習すること
4	事前学習	テキスト：第6章と第22章を読み、要点を確認すること
	授業内容	コミュニケーションが成立するとはどういうことか？
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
5	事前学習	テキスト：第5章と第6章を読み、要点を確認すること
	授業内容	自我とコミュニケーション
	事後学習	講義で出された課題を検討すること
6	事前学習	第2回から第5回の講義の内容を復習すること
	授業内容	小レポート（前半50分）、小レポートのための課題資料の解説
	事後学習	資料解説を復習すること
7	事前学習	テキスト：第4章、第20章を読み、要点を確認すること
	授業内容	役割とコミュニケーション①
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
8	事前学習	テキスト：第4章、第20章を読み、要点を確認すること
	授業内容	役割とコミュニケーション②
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
9	事前学習	テキスト：第11章、第18章を読み、要点を確認すること
	授業内容	コミュニケーションとアイデンティティ
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
10	事前学習	第7回から第9回までの講義の内容を復習すること
	授業内容	小レポート（前半50分）、小レポートのための課題資料の解説
	事後学習	資料解説を復習すること
11	事前学習	テキスト：第15章を読み、要点を確認すること
	授業内容	コミュニケーションと親密性／ウソ／秘密
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
12	事前学習	テキスト：第13章、第14章を読み、要点を確認すること
	授業内容	社会の現実とコミュニケーション
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
13	事前学習	テキスト：第16章を読み、要点を確認すること
	授業内容	贈与とコミュニケーション
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
14	事前学習	テキスト：第3章、第12章を読み、要点を確認すること
	授業内容	現代社会でコミュニケーションを問うことの意味
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること

15	事前学習	第1回から第14回までの講義の内容を確認すること
	授業内容	テスト及びまとめ，振り返り
	事後学習	テストをふまえ、講義全体を復習すること

科目名	コミュニケーションの科学A	担当者	佐幸 信介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	コミュニケーションの類型、シンボリック相互作用論、記号論など、コミュニケーションに関する学問的な基礎を学ぶ。					
授業目的・到達目標	コミュニケーションの仕組みを学問的な視点からとらえ、かつ、現代のコミュニケーションをめぐる現象を分析・説明する力を養うことを重視する。また、近年のメディア環境の変化に合わせ、ソーシャル・ネットワークにおけるコミュニケーション状況について、その特性と問題点を理解する。基礎的な学説や議論を習得すること。概念やフレームを用いて、現象に対して問いを立て、説明する力をつける。また、身の回りのコミュニケーション現象を理解する力をつける。					
履修条件	特になし					
授業方法	現代のコミュニケーションに関わる現象、事例と理論・学説の組み合わせで講義する。適宜、映像資料も利用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	期末のレポート提出（60％）、小テスト及び小レポート計2回		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2008	世界思想社		自己・他者・関係		井上俊・伊藤公雄編
	備考					
参考書	適宜、講義で紹介する					
オフィスアワー	水曜4限					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容を確認すること
2	事前学習	前回の講義で出された課題を考えてくること
	授業内容	コミュニケーションとは何か？／コミュニケーションを分類してみる
	事後学習	講義内で示された、主要概念を辞典等で整理しておくこと

3	事前学習	前回の講義で出された課題を考えてくること
	授業内容	動物のコミュニケーション／人間のコミュニケーション：信号と記号、ノンバーバルコミュニケーション
	事後学習	第2回と第3回の講義を合わせて復習すること
4	事前学習	テキスト：第6章と第22章を読み、要点を確認すること
	授業内容	コミュニケーションが成立するとはどういうことか？
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
5	事前学習	テキスト：第5章と第6章を読み、要点を確認すること
	授業内容	自我とコミュニケーション
	事後学習	講義で出された課題を検討すること
6	事前学習	第2回から第5回の講義の内容を復習すること
	授業内容	小レポート（前半50分）、小レポートのための課題資料の解説
	事後学習	資料解説を復習すること
7	事前学習	テキスト：第4章、第20章を読み、要点を確認すること
	授業内容	役割とコミュニケーション①
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
8	事前学習	テキスト：第4章、第20章を読み、要点を確認すること
	授業内容	役割とコミュニケーション②
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
9	事前学習	テキスト：第11章、第18章を読み、要点を確認すること
	授業内容	コミュニケーションとアイデンティティ
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
10	事前学習	第7回から第9回までの講義の内容を復習すること
	授業内容	小レポート（前半50分）、小レポートのための課題資料の解説
	事後学習	資料解説を復習すること
11	事前学習	テキスト：第15章を読み、要点を確認すること
	授業内容	コミュニケーションと親密性／ウソ／秘密
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
12	事前学習	テキスト：第13章、第14章を読み、要点を確認すること
	授業内容	社会の現実とコミュニケーション
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
13	事前学習	テキスト：第16章を読み、要点を確認すること
	授業内容	贈与とコミュニケーション
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること
14	事前学習	テキスト：第3章、第12章を読み、要点を確認すること
	授業内容	現代社会でコミュニケーションを問うことの意味
	事後学習	テキストの内容と講義の内容を照合すること

15	事前学習	第1回から第14回までの講義の内容を確認すること
	授業内容	テスト及びまとめ，振り返り
	事後学習	テストをふまえ、講義全体を復習すること

科目名	コミュニケーションの科学B	担当者	小林 義寛	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	インターネットとくにソーシャル・ネットワーク上のコミュニケーション現象に対して、コミュニケーション理論の枠組みでどのようにアプローチすればよいのだろうか。ネットワークやコンピュータ技術もふまえながら、そのアプローチを考える。				
授業目的・到達目標	近年のメディア環境の変化に合わせ、ソーシャル・ネットワークにおけるコミュニケーション状況をについて、その特性と問題点を理解する。身の回りのコミュニケーション現象を理解する力をつける。				
履修条件	コミュニケーションの科学Aを先修していることが望ましい。				
授業方法	基本的には講義形式。授業資料はCo1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にpdfとしておいておくので、授業時参照できるようにしておくこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	期末のレポート提出（60%）、小テストおよび小レポート計2回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	とくに使用しない。授業方法で示した授業資料を参照する。			
参 考 書	講義中に適宜指示する。				
オフィスアワー	水曜5限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の流れを理解しておく。
2	事前学習	Co1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

3	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
4	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
5	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化④
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
6	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メイロウィッツの電子メディア論①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
7	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メイロウィッツの電子メディア論②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
8	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メイロウィッツの電子メディア論③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
9	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ゴッフマンとフレーム・アナリシス①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
10	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ゴッフマンとフレーム・アナリシス②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
11	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ゴッフマンとフレーム・アナリシス③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
12	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	同期・非同期・擬似同期①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
13	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	同期・非同期・擬似同期②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
14	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	同期・非同期・擬似同期③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

15	事前学習	Co1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	授業内容、授業資料、参考文献などをもとにレポートを作成する。

科目名	コミュニケーションの科学B	担当者	小林 義寛	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	インターネットとくにソーシャル・ネットワーク上のコミュニケーション現象に対して、コミュニケーション理論の枠組みでどのようにアプローチすればよいのだろうか。ネットワークやコンピュータ技術もふまえながら、そのアプローチを考える。				
授業目的・到達目標	近年のメディア環境の変化に合わせ、ソーシャル・ネットワークにおけるコミュニケーション状況をについて、その特性と問題点を理解する。身の回りのコミュニケーション現象を理解する力をつける。				
履修条件	コミュニケーションの科学Aを先修していることが望ましい。				
授業方法	基本的には講義形式。授業資料はCo1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にpdfとしておいておくので、授業時参照できるようにしておくこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	期末のレポート提出（60%）、小テストおよび小レポート計2回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	とくに使用しない。授業方法で示した授業資料を参照する。			
参 考 書	講義中に適宜指示する。				
オフィスアワー	水曜5限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の流れを理解しておく。
2	事前学習	Co1ネット共有フォルダー（Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B）にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

3	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
4	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
5	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア環境の変化④
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
6	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メイロウィッツの電子メディア論①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
7	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メイロウィッツの電子メディア論②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
8	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メイロウィッツの電子メディア論③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
9	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ゴッフマンとフレーム・アナリシス①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
10	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ゴッフマンとフレーム・アナリシス②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
11	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ゴッフマンとフレーム・アナリシス③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
12	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	同期・非同期・擬似同期①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
13	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	同期・非同期・擬似同期②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
14	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	同期・非同期・擬似同期③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

15	事前学習	Co1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	授業内容、授業資料、参考文献などをもとにレポートを作成する。

科目名	債権法各論	担当者	田中 夏樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	本授業では、民法の債権法を取り扱う。人からお金を借りた場合（消費貸借契約）や人と物の売り買いを行った場合（売買契約）といった人に対する権利，すなわち，債権について，具体的な契約類型に関する規律（債権各論）について取り扱う。 また，債権法改正を踏まえ，基本的には新法を基準として講義を行うが，旧法についても言及する。					
授業目的・到達目標	債権法は，債権総論・契約・事務管理・不当利得・不法行為等に項目が分けられているが，いずれも実社会において非常に重要な役割を担っている。判例や学説を理解し，それぞれの考え方を習得する。細かな論点の知識を習得するよりは，全体像を把握してもらい，債権法の機能を理解してもらうことを目的とする。判例等を通じて，実際の社会での債権の役割を理解し，債権法の考え方を習得する。最終的には，簡単な事例問題にも対応できるようになってもらいたい。					
履修条件	特に指定しないが，六法を持参すること。					
授業方法	講義形式で行う。具体的な債権をイメージしやすいように債権各論を先行して解説する予定である。また，あらかじめパワーポイントの資料を配布する予定。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	最終的に，債権法の理解を問う。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内において指示する。				
参考書	特に指定しないが，授業中に紹介することがある。					
オフィスアワー	水曜日１４：３０～１６：１０（事前にアポイントメントを取ること） メールアドレス：tanaka.natsuki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	債権各論の基本書（教科書・参考書）の導入部分に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	民法内における債権法の位置づけを確認する。
2	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	贈与
	事後学習	契約各論において，契約類型を定める意義を理解し，贈与契約の特徴を理解する。

3	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	売買契約①
	事後学習	売買契約における特徴について，贈与契約の場合と比較して，特に債務者の責任を理解する。
4	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	売買契約②
	事後学習	売買契約における特徴について，贈与契約の場合と比較して，特に債務者の責任を理解する。
5	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	消費貸借①
	事後学習	消費貸借契約がどのような場面で問題となるのかを理解し，具体的な権利関係を説明できるようにする。
6	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	消費貸借②
	事後学習	消費貸借契約がどのような場面で問題となるのかを理解し，具体的な権利関係を説明できるようにする。
7	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	貸貸借①
	事後学習	貸借型契約の中で，消費貸借契約との違いを理解しながら，借主の権利義務を理解する。
8	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	貸貸借②
	事後学習	貸借型契約の中で，消費貸借契約との違いを理解しながら，借主の権利義務を理解する。
9	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	請負
	事後学習	請負契約と売買契約の違いについて，債務者の負っている義務を中心に説明ができるようにする。
10	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	委任
	事後学習	具体的な委任契約の適用場面を理解し，委任者と受任者間の信頼関係を中心とした権利関係の構成を理解する。
11	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	不当利得
	事後学習	法定債権について，契約の場合との差異を理解する。また，不当利得が適用される類型を理解する。
12	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	事務管理
	事後学習	事務管理がどのような場合に問題となり，どの限度で権利義務が生じるかを理解する。
13	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	不法行為①
	事後学習	不法行為の争点としてどのようなものが議論されているか，また，それらの議論はどのような問題意識を持っているかを理解する。
14	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	不法行為②
	事後学習	不法行為の争点としてどのようなものが議論されているか，また，それらの議論はどのような問題意識を持っているかを理解する。

15	事前学習	該当範囲の条文や基本書，パワーポイントを読み，疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	不法行為③
	事後学習	不法行為における各学説や判例の理論構成を理解し，論理的一貫性をもって説明ができるようにする。

科目名	債権法各論	担当者	野中 貴弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法典の第3編「債権」のうち、債権の発生原因として規定されている契約・事務管理・不当利得・不法行為を対象とする。具体的には、契約にはどのようなものがあり、どのようにして成立するのか、最も身近な契約である売買契約における売主の義務にはどのようなものがあるか、契約の解除はどのような場合に認められるか、不法行為による損害賠償請求はどのような場合にどういった損害について請求できるのか等を学ぶことになる。				
授業目的・到達目標	授業で扱った制度・論点について、適宜自身で具体例を挙げることができるレベルで理解をし、かつまたそれを他者に論理的に説明できるようになることを目的とする。また、事例問題の中から法的問題を発見できるようになることも目的とする。より具体的には、債権各論の分野に関しては、行政書士試験や公務員試験等の各種資格試験にも対応できるようになる。				
履修条件	「民法総則」を履修済みであること。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、定期的に演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	基礎知識が身についているかを判定する。正誤問題（誤りの場合には理由も書く）と簡易記述式問題とを予定している。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	道垣内弘人『リーガルバイシス民法入門〔第2版〕』（日本経済新聞出版社・2017年）				
オフィスアワー	水曜日13:00-17:00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（本館6階1608） nonaka.takahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	講義案内、民法における債権法各論の位置づけと構造
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
2	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	民法の全体像（民法とは何か、民法の全体像、民法の基本原則）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること

3	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約総論①（契約の意義、分類、契約自由の原則とその修正、契約の成立時期、契約解釈）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
4	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約総論②（契約締結上の過失、事情変更、同時履行の抗弁、危険負担）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
5	事前学習	あらかじめ演習（第1回）の問題を全問検討してくること 学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	演習（第1回）、契約総論③（解除の要件と効果）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する 第7回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
6	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	売買①
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第7回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
7	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと あらかじめ演習（第2回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	売買②、演習（第2回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
8	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	使用貸借、賃貸借①
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第10回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
9	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	賃貸借②
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第10回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
10	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと あらかじめ演習（第3回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	雇用、請負、委任、寄託、組合、和解、終身定期金、演習（第3回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
11	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為①（要件）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
12	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為②（効果）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
13	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為③（特別の不法行為）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
14	事前学習	これまでのレジュメを見ながら、あらかじめ演習（第4回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	総合演習（第4回）をしながら重要部分の復習
	事後学習	演習問題の回答を整理する 分からない箇所があれば、レジュメや参考書、さらには図書館にある文献も参照しながら整理する

15	事前学習	これまでのレジメを読み返し、理解していない箇所をあらかじめ明らかにしておくこと
	授業内容	総括と質問受付け
	事後学習	レジメを整理する

科目名	債権法総論	担当者	田中 夏樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本授業では、民法の債権法を取り扱う。人からお金を借りた場合（消費貸借契約）や人と物の売り買いを行った場合（売買契約）といった人に対する権利、すなわち、債権について、具体的な契約類型に関する規律（債権各論）ではなく、債権に共通した事柄（債権総論）を扱うものとする。また、債権法改正を踏まえ、基本的には新法を基準として講義を行うが、旧法についても言及する。			
授業目的・ 到達目標	債権法は、債権総論・契約・事務管理・不当利得・不法行為等に項目が分けられているが、いずれも実社会において非常に重要な役割を担っている。判例や学説を理解し、それぞれの考え方を習得する。細かな論点の知識を習得するよりは、全体像を把握してもらい、債権法の機能を理解してもらうことを目的とする。判例等を通じて、実際の社会での債権の役割を理解し、債権法の考え方を習得する。最終的には、簡単な事例問題にも対応できるようになってもらいたい。			
履修条件	特に指定しないが、六法を持参すること。			
授業方法	講義形式で行う。具体的な債権をイメージしやすいように債権各論を先行して解説する予定である。また、あらかじめパワーポイントの資料を配布する予定。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	最終的に、債権法の理解を問う。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業内において指示する。		
参考書	特に指定しないが、授業中に紹介することがある。			
オフィス アワー	水曜日１４：３０～１６：１０（事前にアポイントメントを取ること） メールアドレス：tanaka.natsuki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	債権総論の基本書（教科書・参考書）の導入部分に目を通しておく。
	授業内容	債権総論概説
	事後学習	債権各論と債権総論の取り扱う内容の差異を理解する。
2	事前学習	債権法の位置づけについて、物権法との違いを確認しておく。
	授業内容	債権法の体系①
	事後学習	債権法がどのような場面の権利義務を規律するものか理解する。

3	事前学習	債権法の位置づけについて，物権法との違いを確認しておく。
	授業内容	債権法の体系②
	事後学習	債権法がどのような場面の権利義務を規律するものか理解する。
4	事前学習	契約に関する規律が債権法の中でどのような位置づけにあるか，基本書を確認しておく。
	授業内容	契約
	事後学習	前期に学習した契約の債権法における位置づけを相対的に理解する。
5	事前学習	債務不履行について，制度の目的や要件について，パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債務不履行①
	事後学習	債務不履行の要件や効果について，何故そのような理解となるのか，暗記ではなく自分の言葉で説明できるか確認し，理解する。
6	事前学習	債務不履行について，制度の目的や要件について，パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債務不履行②
	事後学習	債務不履行の要件や効果について，何故そのような理解となるのか，暗記ではなく自分の言葉で説明できるか確認し，理解する。
7	事前学習	債務不履行について，制度の目的や要件について，パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債務不履行③
	事後学習	債務不履行の要件や効果について，何故そのような理解となるのか，暗記ではなく自分の言葉で説明できるか確認し，理解する。
8	事前学習	受領遅滞と一般的な債務不履行がどのように異なるか，事前に確認しておく。
	授業内容	受領遅滞
	事後学習	受領遅滞という概念の必要性や法的性質について，何故そのような理解が求められるのか確認する。
9	事前学習	責任財産とは何か，責任財産を保全する目的は何かをパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	責任財産の保全
	事後学習	責任財産の保全について，法的な手段の区分と要件及び効果を制度趣旨と関連させながら理解する。
10	事前学習	多数当事者とはどういった事実関係で問題となるか，問題点を確認しておく。
	授業内容	多数当事者の債権関係
	事後学習	多数当事者の場合には，二当事者の場合と比べてどのような点に影響があるか理解する。
11	事前学習	連帯債務とはどのような当事者が登場し，債権関係に立っているか概要を確認する。
	授業内容	連帯債務①
	事後学習	連帯債務は，債権者にとってどういったメリットのある制度であり，どのような制度設計が念頭に置かれているかを理解し，債権者の権利の拡張を理解する。
12	事前学習	連帯債務とはどのような当事者が登場し，債権関係に立っているか概要を確認する。
	授業内容	連帯債務②
	事後学習	連帯債務は，債権者にとってどういったメリットのある制度であり，どのような制度設計が念頭に置かれているかを理解し，債権者の権利の拡張を理解する。
13	事前学習	債権譲渡の制度について，該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債権譲渡
	事後学習	債権譲渡がどのような目的で行われる制度であるか，また，債務者がどのような役割をはたすものであるか理解する。
14	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し，該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務の消滅①
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し，各制度ごとの論点や特徴を理解する。

15	事前学習	債務が消滅するのはどのような類型が存在するか確認し、該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務の消滅②
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。

科目名	債権法総論	担当者	野中 貴弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法「第3編 債権」の「第1章 総則」（講学上「債権法総論」と呼ばれる領域）を対象とする。債権法総論で扱われるテーマは、大きく分ければ、①契約が正常に履行されていく場面、②契約が履行されないために債権者が民法に基づき何らかの手立てを講じる場面、そして③不良債権の債権者が債権回収をする場面の3つである。講義では、細かい知識等は省略することで、債権総論の大きな枠組みに時間をかけて丁寧に説明する。				
授業目的・到達目標	授業で扱った制度・論点について、適宜自身で具体例を挙げることができるレベルで理解をし、かつまたそれを他者に論理的に説明できるようになることを目的とする。また、事例問題の中から法的問題を発見できるようになることも目的とする。より具体的には、債権法総論の分野に関しては、行政書士試験や公務員試験等の各種資格試験にも対応できるようになる。				
履修条件	「民法総則」を履修済みであること。また、前期の「債権法各論」も履修済みであることが望ましい。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、定期的に演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	基礎知識が身についているかを判定する。正誤問題（誤りの場合には理由も書く）と簡易記述式問題とを予定している。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	道垣内弘人『リーガルバイシス民法入門〔第2版〕』（日本経済新聞出版社・2017年）				
オフィスアワー	水曜日13:00-17:00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（本館6階1608） nonaka.takahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	講義案内、民法における債権法総論の位置づけと構造
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
2	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約の履行①（弁済、第三者による弁済）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること

3	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約の履行②（多数当事者の債権債務関係）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
4	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約の履行③（弁済による代位）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
5	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと あらかじめ演習（第1回）の問題を全問検討してくる
	授業内容	契約の履行④（決済システム）、演習（第1回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
6	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約の不履行①（債務履行の強制）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
7	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約の不履行②（損害賠償請求の要件）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
8	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約の不履行③（損害賠償請求の効果）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
9	事前学習	あらかじめ演習（第2回）の問題を全問検討してくる
	授業内容	演習（第2回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
10	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不良債権の回収－責任財産の保全①（債権者代位権）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第12回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
11	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不良債権の回収－責任財産の保全②（詐害行為取消権）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第12回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
12	事前学習	あらかじめ演習（第3回）の問題を全問検討してくる 学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	演習（第3回）、不良債権の回収－変則的な債権回収①（相殺、代物弁済）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
13	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不良債権の回収－変則的な債権回収②（債権譲渡）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
14	事前学習	これまでのレジュメを見ながら、あらかじめ演習（第4回）の問題を全問検討してくる
	授業内容	総合演習（第4回）をしながら重要部分の復習
	事後学習	演習問題の回答を整理する 分からない箇所があれば、レジュメや参考書、さらには図書館にある文献も参照しながら整理する

15	事前学習	これまでのレジメを読み返し、理解していない箇所をあらかじめ明らかにしておくこと
	授業内容	総括と質問受付け
	事後学習	レジメを整理する

科目名	財政学Ⅰ	担当者	川又 祐	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	現実社会で起こっている財政現象を適宜紹介しながら、学生自らそれらを理解し、説明できるよう授業を行う。また、各種公務員試験や資格試験も、経済学や財政学が重要科目となっている。経済学や財政学の学びを通じて、試験対策に役立つよう授業を行う。					
授業目的・到達目標	国家の財政がどのように運営されているのかを理解することがこの授業の目的である。日本の財政が抱える問題点を自分なりに考える力を獲得する。					
履修条件	特になし（経済学Ⅰ、Ⅱを履修していることが望ましい）。					
授業方法	テキスト中心に講義形式の授業を行う。適宜、パワポを使用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		100%	定期試験の成績で評価する。		
	平 常 評 価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	八千代		財政学入門		楠谷・藪下・斎藤・川又
	備考					
参 考 書	使用しない					
オフィスアワー	毎週金曜日昼休み、本館8階の研究室で質問・相談に応じます。それ以外の時間でも、事前に連絡をもらえれば、対応可能です。kawamata.hiroshi@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	古典学派と官房学派について調べる。
	授業内容	第1章 財政の3大機能 1 財政と、財政学の歴史
	事後学習	財政学の2大源流を説明できるようにする。
2	事前学習	財政の役割を調べる。
	授業内容	2 財政と資源配分機能①
	事後学習	市場の失敗を説明できるようにする。

3	事前学習	公共財の概念を調べる。
	授業内容	2 財政と資源配分機能②
	事後学習	純粋公共財と準公共財を説明できるようにする。
4	事前学習	所得の不平等の原因を調べる。
	授業内容	3 財政と所得再配分機能①
	事後学習	絶対的貧困と相対的貧困を説明できるようにする。
5	事前学習	累進税と生活保護を調べる。
	授業内容	3 財政と所得再配分機能②
	事後学習	ローレンツ曲線とジニ係数を説明できるようにする。
6	事前学習	ケインズの業績について調べる。
	授業内容	4 財政と経済安定機能①
	事後学習	有効需要の原理、乗数理論を説明できるようにする。
7	事前学習	フィスカル・ポリシー、ビルト・イン・スタビライザーを調べる。
	授業内容	4 財政と経済安定機能② 5 現代財政の課題
	事後学習	完全雇用を説明できるようにする。
8	事前学習	財政民主主義を調べる。
	授業内容	第2章 予算制度 1 財政民主主義
	事後学習	財政民主主義の柱を説明できるようにする。
9	事前学習	予算の種類を調べる。
	授業内容	2 予算制度
	事後学習	予算がどのような過程を経て成立するか、説明できるようにする。
10	事前学習	財政民主主義を再確認する。
	授業内容	3 予算原則
	事後学習	伝統的予算原則と現代的予算原則を説明できるようにする。
11	事前学習	財政民主主義を再確認する。
	授業内容	4 予算制度の課題
	事後学習	財政の役割を実現するために必要な事柄を説明できるようにする。
12	事前学習	フィスカル・ポリシーを再確認する。
	授業内容	第3章 政府支出の理論と実際 1 政府支出の理論
	事後学習	政府支出（経費）の効果を説明できるようにする。
13	事前学習	アドルフ・ワグナーの業績を調べる。
	授業内容	2 政府支出の膨張要因
	事後学習	経費膨張の法則を説明できるようにする。
14	事前学習	政府支出（経費）の効果を再確認する。
	授業内容	3 政府支出の構造
	事後学習	政府支出（経費）の分類を説明できるようにする。

15	事前学習	今年度予算を調べる。
	授業内容	4 主要な経費
	事後学習	主要経費を説明できるようにする。

科目名	財政学Ⅰ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	財政とは、国や地方自治体などの公共部門の経済活動のことであり、保育・教育・防衛・公共事業から年金・医療と言った社会保障、環境問題まで国民生活の広範囲にわたる。本講義では、財政制度及びその理論の理解の上に、現在の日本が直面する財政の諸問題を取り扱う。				
授業目的・到達目標	本講では、財政収支の逼迫と財政の構造転換という課題を踏まえて、現在、日本の財政が当面する諸問題を体系的に検討する。現代財政の重要課題を解明するのに必要な、財政に関する理論・制度・政策・歴史を平易に解説することによって学生諸君に理解させること、さらに、他国の財政と比較しながら現在の日本の財政システムの抱える構造問題を抽出し、それに対する学生諸君の判断力を養うことを目的とする。 財政の機能、財政制度、他国の財政と比較した日本の財政状況の把握、租税制度改革等を含む財政制度改革の意義、等について、受講生が修得し説明できるようになることを目標とする。				
履修条件	経済学Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。				
授業方法	講義毎にレジメと関連する資料を配付して講義を進める。 スライド（パワーポイント）を使用して講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	筆記試験は財政学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された各項目・事項について理解すること。	
	平常評価		20%	レポート提出、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年	八千代出版	『財政学入門』		楠谷・藪下・川又・斉藤編著
	備考				
参考書	林宜嗣著『基礎コース 財政学 第3版』（新世社）、『図説 日本の財政 平成30年度版（または平成29年度版）』（東洋経済）、その他、授業中に適宜紹介。				
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。教科書を入手して、「第1章 財政の三大機能」を読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的にできるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 第1章の「1. 財政と財政学の歴史」「2. 財政と資源配分機能」を読み、財政とは何か、財政学の発展過程、財政の三大機能の1つである資源配分機能の意義を考察する。
	授業内容	【財政と財政の機能】 経済循環と政府の財政、財政学理論の発展過程、市場の機能、市場の失敗と財政の機能（役割）との関係を学習し、受講生が財政の機能の意義について説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、財政の三大機能のうち資源配分機能の意義を市場の失敗との関連づけて、自分なりの説明をまとめる。

3	事前学習	教科書 第1章の「3. 財政と所得再分配機能」を読み、所得分配の現状と財政の所得再分配機能の意義を考察する。
	授業内容	【財政の所得再分配機能】資本主義経済における所得分配の決定メカニズム、所得格差の現状、財政の所得再分配機能を学習し、受講生が財政による所得再分配機能の意義を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、わが国における所得格差の推移データを参考に、格差を生じさせる原因は何か、自分なりの説明をまとめる。
4	事前学習	教科書 第1章の「4. 財政と経済安定機能」、「5. 現代財政の課題」を読み、経済安定機能の意義と日本の財政が抱える課題について、考察する。
	授業内容	【財政の経済安定機能、現代財政の課題】資本主義経済における景気循環を学習し、財政の経済安定機能の意義を学習する。また、日本の財政の現状を主要経費別分類の会計資料を基に学習し、財政の現状把握から日本の財政の抱える課題を考察し、経済安定機能と日本の財政の現状について受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、財政の経済安定機能とその意義、日本の財政が抱える課題について、自分なりの説明をまとめる。
5	事前学習	教科書 第2章の「1. 財政民主主義」、「2. 予算制度」を読み、財政民主主義の概念、税や予算などの財政活動を規定する法制度を考察する。
	授業内容	【予算制度1】税や予算などの財政活動を規定する法制度を学習し財政民主主義の考え方を学び、どのような法制度の枠組みの中で財政が営まれることによって財政民主主義が保証されているのか考察し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、税や予算が法律で規定されているのはなぜかについて、自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	教科書 第2章の「2. 予算制度の3) 予算過程、4) 財政投融资計画」を読み、予算過程の仕組み、及び財政投融资計画の機能について考察する。
	授業内容	【予算制度2】予算過程の仕組みと、財政投融资計画の機能を学習して、受講生がそれらを説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、予算過程の構造、財政投融资計画の意義について、自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	教科書 第2章の「3. 予算原則」、「4. 予算制度の課題」を読み、予算作成の原則と予算制度の課題について考察する。
	授業内容	【予算制度3】予算作成の意義と予算編成に求められる原則について法規定との関連性を学習し、これらの意義について受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、伝統的予算原則の内容を整理し、予算原則の意義について自分なりの説明をまとめる。
8	事前学習	教科書 第3章の「1. 政府支出の理論」を読み、政府支出に求められる経済効率の意義について考察する。
	授業内容	【政府支出の理論と実際1】政府の支出には効率性が求められるが、どのような意味で効率的と判断されるのかを学習し、どのような条件が満たされれば、政府支出は効率的となるのか関連する経済学理論を用いて学習し、受講生が政府支出の経済的効率意義を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、公共財の最適供給と地方分権の関係について、自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	教科書 第3章の「2. 政府支出の膨張要因」を読み、その意味を考察する。
	授業内容	【政府支出の理論と実際2】政府支出の膨張傾向と支出膨張に関するワグナーの法則、転移効果、官僚制と経費膨張の法則等を学習し、受講生が経費膨張に関する代表的理論を説明できるようにする。
	事後学習	わが国の政府支出が、膨張する現代の具体的要因としてどのようなことが考えられるか、自分なりの説明をまとめる。
10	事前学習	教科書 第3章の「3. 政府支出の構造」を読み、わが国の経費の分類について考察する。
	授業内容	【政府支出の理論と実際3】わが国の一般会計予算における経費の分類方法、経費構造の特徴を学習し、これらを受講生が説明できるようにする。
	事後学習	わが国の政府支出の構造と歴史的な移り変わり（戦中→戦後→現在）を、予算の主要経費別分類に基づいて自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	教科書 第4章の「1. 税の役割と租税原則」を読み、その意義について考察する。
	授業内容	【租税の原則と日本の税制1】租税の役割、租税の分類、スミス及びワグナーの租税原則を学習し、租税の果たす役割、様々な分類方法、現代の租税原則について、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、スミスとワグナーの租税原則の相違点を指摘し、相違点を両者の活躍した時代背景から捉え、自分なりの説明をまとめる。
12	事前学習	教科書 第4章の「2. 公平な税とは」、「3. 課税と経済効率」を読み、その意義について考察する。
	授業内容	【租税の原則と日本の税制2】租税原則に関する公平な税の意味を学習し、また、租税原則の中立性原則と同義語の経済効率を学習し現行の所得税の問題点を考察し、受講生が租税原則を具体的に説明出来るようにする。
	事後学習	（レポート提出課題）1989年にわが国は消費税を導入したが、その際、物品税が廃止された。このような間接税の改革は経済効率の改善につながると言われるが、この点について自分なりの説明をまとめる。
13	事前学習	教科書 第4章の「4. 日本の租税構造」、「5. 所得税」を読み、その構造と特徴について考察する。
	授業内容	【租税の原則と日本の税制3】日本の租税構造を主要国のものと比較して日本の租税構造の特徴を学習する。さらに、わが国の所得税の仕組みと特徴について学習し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、わが国における所得税の特徴を税率構造、課税最低限などの点から自分なりの説明をまとめる。

14	事前学習	教科書 第4章の「6. 消費税」を読み、その構造と特徴について考察する。
	授業内容	【租税の原則と日本の税制4】 わが国の消費税の仕組みとメリット、デメリットを学習し、これらを受講生が説明できるようにする。
	事後学習	消費税の負担はなぜ逆進的となるのか。また、逆進性を緩和する手段と、緩和にともなう問題点について自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	教科書 第4章の「7. 法人税」、「8. 資産税」を読み、その構造と特徴について考察する。
	授業内容	【租税の原則と日本の税制5】 わが国の法人税を主要国と比較して特徴点、法人税の仕組みと問題点、ボーダーレスに企業活動が営まれる中で、法人税制度に求められる改革等を学習し、これら法人税に係わる課題を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	法人税の重複課税について、個人株主の場合と法人株主の場合の重複課税をまとめ、その対応策を日本ではどのように行っているか説明をまとめる。

科目名	財政学Ⅱ	担当者	川又 祐	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	現実社会で起こっている財政現象を適宜紹介しながら、学生自らそれらを理解し、説明できるよう授業を行う。また、各種公務員試験や資格試験も、経済学や財政学が重要科目となっている。経済学や財政学の学びを通じて、試験対策に役立つよう授業を行う。				
授業目的・到達目標	国家の財政がどのように運営されているのかを理解することがこの授業の目的である。日本の財政が抱える問題点を自分なりに考える力を獲得する。				
履修条件	特になし（経済学Ⅰ、Ⅱ、財政学Ⅰを履修していることが望ましい）。				
授業方法	テキスト中心に講義形式の授業を行う。適宜、パワポを使用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	定期試験の成績で評価する。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	八千代		財政学入門	楠谷・藪下・斎藤・川又
	備考				
参 考 書	使用しない				
オフィスアワー	毎週金曜日昼休み、本館8階の研究室で質問・相談に応じます。それ以外の時間でも、事前に連絡をもらえれば、対応可能です。kawamata.hiroshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	財政民主主義を調べる。
	授業内容	第4章 租税の原則と日本の税制 1 税の役割と租税原則①
	事後学習	課税の正義を説明できるようにする。
2	事前学習	租税の役割を調べる。
	授業内容	1 税の役割と租税原則②
	事後学習	スミス4原則、ワグナー4大9小原則、現代租税原則を説明できるようにする。

3	事前学習	公平を実現する方法を調べる。
	授業内容	2 公平な税とは①
	事後学習	水平的公平と垂直的公平を説明できるようにする。
4	事前学習	租税の応益原則、応能原則を調べる。
	授業内容	2 公平な税とは②
	事後学習	累進税を説明できるようにする。
5	事前学習	現代租税原則を再確認する。
	授業内容	租税の転嫁と帰着①
	事後学習	転嫁の種類を説明できるようにする。
6	事前学習	余剰概念を再確認する。
	授業内容	租税の転嫁と帰着②
	事後学習	超過負担を説明できるようにする。
7	事前学習	労働に影響を与えるものは何か、を調べる。
	授業内容	3 課税と経済効率
	事後学習	所得税と労働供給の関係を説明できるようにする。
8	事前学習	今年度予算を調べる。
	授業内容	4 日本の租税構造 5 所得税 6 消費税 7 法人税 8 資産課税
	事後学習	租税収入の大きさを説明できるようにする。
9	事前学習	今年度予算を調べる。
	授業内容	第5章 日本の公債問題 1 租税と公債の相違
	事後学習	租税と公債の違いを説明できるようにする。
10	事前学習	公債残高を調べる。
	授業内容	2 公債発行の問題 3 公債の負担 4 日本の公債発行の現状
	事後学習	財政赤字を減らす方法を説明できるようにする。
11	事前学習	日本の人口ピラミッドを調べる。
	授業内容	第6章 社会保障財政 1 超高齢社会と社会保障
	事後学習	超高齢社会における財政の役割を説明できるようにする。
12	事前学習	財政の所得再分配機能を調べる。
	授業内容	2 年金保険制度 3 医療保険制度と財政 4 公的扶助
	事後学習	年金保険制度を説明できるようにする。
13	事前学習	フィスカル・ポリシーを調べる。
	授業内容	第7章 財政政策の理論 1 政府の目的 2 乗数効果と45度線分析
	事後学習	均衡国民所得の決定を説明できるようにする。
14	事前学習	流動性選好を調べる。
	授業内容	3 IS曲線とLM曲線 4 IS-LM分析
	事後学習	IS曲線とLM曲線、クラウディングアウトを説明できるようにする。

15	事前学習	中央財政と地方財政の違いを調べる。
	授業内容	第8章 地方の財政問題
	事後学習	地方財政の役割を説明できるようにする。

科目名	財政学Ⅱ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	財政とは、国や地方自治体などの公共部門の経済活動のことであり、保育・教育・防衛・公共事業から年金・医療と言った社会保障、環境問題まで国民生活の広範囲にわたる。本講義では、財政制度及びその理論の理解の上に、現在の日本が直面する財政の諸問題を取り扱う。				
授業目的・到達目標	本講では、財政収支の逼迫と財政の構造転換という課題を踏まえて、現在、日本の財政が当面する諸問題を体系的に検討する。現代財政の重要課題を解明するのに必要な、財政に関する理論・制度・政策・歴史を平易に解説することによって学生諸君に理解させること、さらに、他国の財政と比較しながら現在の日本の財政システムが抱える構造問題を抽出し、それに対する学生諸君の判断力を養うことを目的とする。 財政の機能、財政制度、他国の財政と比較した日本の財政状況の把握、租税制度改革等を含む財政制度改革の意義、等について修得し、受講生が説明できるようになることを目標とする。				
履修条件	財政学Ⅰを履修していることが望ましい。 経済学Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。				
授業方法	講義毎にレジメと関連する資料を配付して講義を進める。 スライド（パワーポイント）を使用して講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	筆記試験は財政学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された各項目・事項について理解すること。	
	平常評価		20%	レポート提出、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	八千代出版		『財政学入門』	楠谷・藪下・川又・斎藤著
	備考				
参考書	『図説 日本の財政 平成30年度版（または平成29年度版）』（東洋経済）、『図説 日本の税制 平成30年度版（または平成29年度版）』（財経詳報社）、その他授業中に適宜紹介。				
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。教科書を入手して、「第1章 財政の三大機能」を読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的にできるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 第5章の「1. 公債の定義と種類」、「2. 公債の発行方法および償還方法」を読み、財源調達手段としての租税との相違、公債の種類や発行方法について考察する。
	授業内容	【日本の公債問題1】 公債の定義と種類、公債の発行方法および償還方法を学習し、受講生が公債の仕組みや公債の評価を説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、公債発行に関するわが国の財政規定を確認し、その財政規定の根拠を、自分なりの説明をまとめる。

3	事前学習	教科書 第5章の「3. 公債負担に関する考え方」を読み、負担に関する各学説を考察する。
	授業内容	【日本の公債問題2】 公債負担の問題に関する各学説（古典派経済学、ケインズ派経済学、ブキャナンの説、ポーエン・デービス・コップ、モディリアーニの説、中立命題）を考察し、各学説の意義と相違点を明らかにし、受講生が公債負担に関する各学説を説明できるようにする。
	事後学習	中立命題の成立可能性に関する理論的論争を参考に、自分なりの説明をまとめる。
4	事前学習	教科書 第5章の「4. 公債累増の問題点」、「5. 日本の財政状況と公債発行の推移」を読み、わが国の公債発行残高の状況を踏まえて累増の問題点を考察する。
	授業内容	【日本の公債問題3】 公債発行の累増によって、財政の硬直化、世代間の不公平、経済に損失をもたらす非効率生む大きな政府、民間経済活動への阻害、わが国の財政状況を学習し、累増による問題点を考察し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、わが国の財政再建に求められることは何か、自分なりの説明をまとめる。
5	事前学習	教科書 第6章の「1. 超高齢社会と社会保障」を読み、社会保障の概念と意義について考察する。
	授業内容	【社会保障財政1】 わが国の社会保障制度の意義と財政との関連を学習し、超高齢社会の進展によって、社会保障給付費が拡大していることを学習し、制度の仕組みと意義、現状を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	（レポート提出課題）社会保障給付費の概念と一般会計予算の社会保障関係費の概念の違いを確認し、社会保障関係費の一般会計予算に占める推移と現役世代（若年世代）の負担について、自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	教科書 第6章の「2. 年金保険制度と財政」を読み、公的年金制度の意義と現状について考察する。
	授業内容	【社会保障財政2】 わが国の公的年金制度の意義と体系、年金財政の危機、制度改革の方向性を学習し、超高齢社会の進展によって年金財政の破綻が危惧されること、制度改革はどのような内容で進められているか学習し、公的年金の意義と現状、制度改革の必要性と方向性を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、年金の財政方式には2つの方式があるが、それぞれの方式の特徴と問題点について自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	教科書 第6章の「3. 医療保険制度と財政」、「4. 公的扶助」を読み、医療保険制度の仕組みと現状、また、公的扶助の意義と現状について考察する。
	授業内容	【社会保障財政3】 わが国の医療保険制度の概要、意義、課題について学習し、超高齢化の進展とともに厳しい財政状況にあること、また、どのような改革が進められているのか学習する。さらに、公的扶助の内容と現状について学習し、これらの内容を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	「医療保険制度の存在が、医療費を増加させる原因である」とも言われる。この点について、自分なりの説明をまとめる。
8	事前学習	教科書 第7章の「1. 乗数理論」を読み、財政の経済安定化機能との関係を考察する。
	授業内容	【財政政策の理論1】 乗数理論、政府支出の乗数効果、租税の乗数効果を学習し、財政支出と課税が経済の安定化と成長にどのように影響するのか学習し、受講生が内容について理論的に説明できるようにする。
	事後学習	財政政策の効果が小さくなってきていると言われるが、その理由について自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	教科書 第7章の「2. 財市場の均衡と貨幣市場の均衡」を読み、IS－LM分析の理論を考察する。
	授業内容	【財政政策の理論2】 財市場と貨幣市場の同時均衡を分析するIS－LM分析を学習し、その分析の意義を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	利子率を縦軸に取り国民所得を横軸に取った場合、IS曲線は右下がりに描かれ、LM曲線は右上がりに描かれることを経済学（マクロ経済学）のテキスト等を参考に学習する。
10	事前学習	教科書 第7章の「3. IS－LM分析と財政政策・金融政策の効果」を読み、各政策の違いを考察する。
	授業内容	【財政政策の理論3】 IS－LM分析による財政政策と金融政策の経済効果と両政策の効果の相違点を学習する。また、ケインズの財政政策とは何か学習する。受講生が内容について理論的に説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、公共支出によるクラウディング・アウト発生の可能性を、IS－LM分析を用いて自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	教科書 第7章の「4. ケインズの財政政策に対する批判」を読み、ケインズの財政政策に対する批判の代表的考えを考察する。
	授業内容	【財政政策の理論4】 財政による景気対策の効果に疑問をもつ代表的な考え方として、マネタリスト、合理的期待形成学派、サプライサイド経済学、公共選択学派の主張を学習し、各考え方を受講生が説明できるようにする。
	事後学習	マンデル＝フレミング効果について、自分なりに解説してみる。
12	事前学習	教科書 第8章の「1. 地方財政の課題」、「2. 地方財政の収入」を読み、中央財政と地方財政の関係、地方財政の理論、地方の歳入構造、地方税体系を考察する。
	授業内容	【地方の財政問題1】 中央集権と地方分権のメリット・デメリット、地方財政の機能の特徴、国と地方政府間財政関係、地方財政計画の役割、ティプラーの地方財政モデルの意義、地方歳入の構造、地方税体系を学習し地方財政の特徴点や地方分権の意義について学習する。
	事後学習	地方公共財の供給において民間手法を活用すべきだという意見について、自分なりの考えをまとめる。

13	事前学習	教科書 第8章の「3. 地方の歳出構造」を読み、歳出の分類について考察する。
	授業内容	【地方の財政問題2】 普通会計と公営事業会計、目的別分類、性質別分類、経常収支比率を学習し、地方公共団体の会計制度について考察する。
	事後学習	地方分権時代にふさわしい地方税のあり方について、自分なりの説明をまとめる。
14	事前学習	教科書 第8章の「4. 地方交付税と財政調整」、「5. 国庫支出金」を読み、各制度の仕組みを考察する。
	授業内容	【地方の財政問題3】 地方交付税の仕組み、地方交付税の地域間再分配効果、国庫支出金意義、国庫支出金の経済効果等を学習し、地方交付税と国庫支出金の役割と問題点について、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	特定補助金と一般補助金の違いについて説明し、地方住民の厚生水準を引き上げるためには、特定補助金を一般補助金に変えるべきとする主張について、自分なりの説明をまとめる。
15	事前学習	教科書 第8章の「6. 分権化の地方財政」を読み、分権化の意味と分権化のメリット・デメリットを考察する。 初回からの教科書の各章と講義ノートを見直し、財政学の体系を考察する。
	授業内容	【地方の財政問題4】 三位一体改革、分権化の推進と関連する学説「地方分権の定理」「足による投票」等を学習して、分権化のメリット・デメリットを考察する。講義のまとめ
	事後学習	高齢化や人口減少により地方消滅が心配されているわが国において、地方分権の意義と推進策について自分なりの説明をまとめる。 初回からの授業ノートや事後学習を見直して整理し、期末試験に向けた準備をする。

科目名	サイバー法 I	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータに関する問題やインターネット上に生ずる問題を、現行法によりどのように解決することが、社会にとって妥当なのか、それでは解決できない場合はどのような解決策を講じればよいのかを考えてみる講義である。			
授業目的・到達目標	コンピュータやインターネットに関わる問題を特別法や現行法や条約によりいかに解決するかを学ぶ。コンピュータネットワークやスマートフォンを利用する際に生ずる様々な問題をどのように解決することが良いのかや、現行法上の問題点などを理解することを目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義形式で行う。デジタル形式の資料を配布する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	試験は行わない。
	平 常 評 価		100%	指定したテーマについて学期末にレポートを提出してもらい、それにより評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	有斐閣	インターネット法	松井、鈴木、山口編
	備考			
参 考 書	「情報ネットワークの法律実務」第一法規			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	最近話題となった、コンピュータ、インターネットに関する問題を調べておく(例えばAI)。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	コンピュータやインターネットが何をもたらすのかを自ら考えてみる。
2	事前学習	コンピュータやインターネットを利用した1日の有効利用を考える。
	授業内容	情報の検索と収集
	事後学習	講義内容からコンピュータやインターネットを利用して1日の有効利用法を考え、試す。
3	事前学習	情報発信の意義を考えておく。
	授業内容	インターネット上の人権侵害
	事後学習	自己の情報発信が他者の人権を侵害していないかを検証する。
4	事前学習	生体情報とは何なのか、その収集方法どのように行われるのかを調べておく。
	授業内容	バイオメトリクス(画像検索エンジン)
	事後学習	管理できない個人情報(例えば、顔)の管理の要否を考える。

5	事前学習	表現の自由の概念を理解しておくこと。
	授業内容	インターネットと表現の自由、インターネット上の差別的表現
	事後学習	表現に対する制限の基準を考えてみる。
6	事前学習	見解、意見の対立に対する解決方法を考える。
	授業内容	ネット正義の問題点
	事後学習	ネット正義と偏見の違いについて正しく理解し、検証する。
7	事前学習	違法なウェブサイトとはどのようなものか調べておく。
	授業内容	プロバイダーの責任
	事後学習	プロバイダーの責任と人の権利に対する制限の境界線を考える。
8	事前学習	他人の電子メールを読む方法を調べておく。
	授業内容	電子メールの盗み読み
	事後学習	自分宛の電子メールを読まれないためのセキュリティー対策を考えてみる。
9	事前学習	大学のコンピュータの利用の為のID、PWを友達に教えたらどうなるのか
	授業内容	不正アクセス禁止法の問題点
	事後学習	ドイツ法と日本法では客体に違いがあることを理解する。
10	事前学習	パソコンの自動アッププログラムはウイルスソフトには該当しないのか確認する。
	授業内容	不正指令電磁的記録作成供用罪(刑165条の2)
	事後学習	「クッキー」に対する欧州と我が国の捉え方の違いから、不正指令を正しく説明できるようにする。
11	事前学習	通信の秘密の意義を確認しておくこと。
	授業内容	通信の秘密の諸問題
	事後学習	誰でもが取得可能な情報は通信の秘密で保護できるのかを正しく理解する。
12	事前学習	携帯電話不正利用防止法を確認しておくこと。
	授業内容	携帯電話(スマホ)の譲渡
	事後学習	今日ではチップの譲渡が対象となること、本人確認の方法について問題点を把握すること。
13	事前学習	青少年保護条例による有害図書の指定とは何かを調べておく。
	授業内容	ブロッキングとフィルタリング
	事後学習	フィルタリングとブロッキングの趣旨を理解すること。
14	事前学習	どのようにして子供のヌード画像が作られるか調べておくこと。
	授業内容	わいせつ、チャイルドポルノの規制
	事後学習	インターネットの使用制限の必要性まで及ぶ可能性を考える。
15	事前学習	私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律を調べておくこと。
	授業内容	リベンジポルノ、名誉毀損
	事後学習	被害者に氏名の変更を認めるという解決方法やドイツ法のような規制と我が国の法とを比較して違いを理解する。

科目名	サイバー法Ⅱ	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータに関する問題やインターネット上に生ずる問題を、現行法によりどのように解決することが、社会にとって妥当なのか、それでは解決できない場合はどのような解決策を講じればよいのかを考えてみる講義である。			
授業目的・到達目標	コンピュータやインターネットに関わる問題を特別法や現行法や条約によりいかに解決するかを学ぶ。コンピュータネットワークやスマートフォンを利用する際に生ずる様々な問題をどのように解決することが良いのかや、現行法上の問題点などを理解することを目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義形式で行う。デジタル形式の資料を配布する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		0%	試験は行わない。
	平 常 評 価		100%	指定したテーマについて学期末にレポートを提出してもらい、それにより評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	有斐閣	インターネット法	松井、鈴木、山口編
	備考			
参 考 書	「情報ネットワークの法律実務」第一法規			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	最近話題となった、コンピュータ、インターネットに関する問題を調べておく(例えばAI)。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	コンピュータやインターネットが何をもたらすのかを自ら考えてみる。
2	事前学習	グーグルストリートビュー事件判決(福岡地裁平23, 3, 16)を読んでおく
	授業内容	道路周辺映像サービスの問題点
	事後学習	米国とヨーロッパの個人情報の保護の考え方を理解する。
3	事前学習	最高裁平成29年1月31日判決、欧州裁判所2014年5月13日判決を読んでおくこと。
	授業内容	忘れられる権利(削除権)
	事後学習	我が国とEUの個人情報の保護の相違を理解すること。
4	事前学習	情報タグや情報機器からプライバシーが侵害される場合を考えてみる。
	授業内容	情報タグの利用とプライバシーの保護
	事後学習	配布した情報タグの目的外の使用によるプライバシーの侵害は生ずるのか考える。

5	事前学習	詐欺罪(刑法246条、246条の2)の成立要件と、不正アクセス禁止法7条を確認しておくこと。
	授業内容	コンピュータ、インターネットと詐欺
	事後学習	それぞれの詐欺について理解し、その違いを整理し正しく理解すること。
6	事前学習	賭博罪(刑法185条)、富くじ発売等(刑法186条)の成立要件を確認する。最高裁判決昭52年12月22日を確認する。
	授業内容	国境のないインターネットと犯罪の成否
	事後学習	各国の固有法の適用と、グローバルスタンダードについて考えてみる。
7	事前学習	ネットワークで制御されている社会インフラにはどのようなものがあるか確認する。
	授業内容	サイバーテロ
	事後学習	テロの定義を正しく理解すること。社会インフラに対する攻撃のリスクを考えてみる。
8	事前学習	検索エンジン利用の際にブロッキングはなされているのかを調べてみる。
	授業内容	検索エンジンサイト、プロバイダー、SNSの自主規制
	事後学習	検索エンジンのブロッキングと公益性、言論の自由、知る権利との関係を理解し、規制の是非を考える。
9	事前学習	デジタル万引きが何罪に当たるのか考えてみること。
	授業内容	デジタル万引き
	事後学習	法律の解釈方法についてよく理解すること。
10	事前学習	いわゆるダフ屋行為とはどのようなものか理解しておくこと。
	授業内容	ウェブサイトでの各種チケット、現金の販売の問題点
	事後学習	転売目的か否かの判断が可能か考えてみる。
11	事前学習	公共の場所でのスマホ利用の是非を考えてみる。
	授業内容	いわゆるポケモンGOに関わる事件の法的な検証
	事後学習	法の解釈と適用について理解する。
12	事前学習	いまだにスパムメールが配信されたり、ワン切りがかかってくる理由を考えてみる。
	授業内容	スパムメールとワン切り
	事後学習	スパムメールやワン切りの新たな利用方法とその規制の成否を理解する。
13	事前学習	杉並区防犯カメラの設置及び利用に関する条例を確認しておく。ネットに投稿される防犯カメラ映像と設置場所の関係を把握しておく。
	授業内容	防犯カメラの法規制
	事後学習	個人による防犯カメラの設置と撮影可能範囲の境界線を理解する。
14	事前学習	情報の一局集中のメリット、デメリットを考える。
	授業内容	ビックデータの利用と保護の問題点
	事後学習	経済発展を優先するのか、ブラバシーを優先するのか、そのバランスは可能なのかを考えてみる。
15	事前学習	AIがもたらす未来とはどのようなものなのか考える。
	授業内容	AIがもたらす未来
	事後学習	AIとIoTがもたらすリスクを理解し、個々のAI研究の是非を客観的に判断できるようにする。

科目名	財務諸表論Ⅰ	担当者	尾上 選哉	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	会計は、公認会計士、税理士、会社の経理担当者だけが理解すればよいものではなく、企業に関わるすべての人にとって必要不可欠な知識です。例えば、投資者はどの企業の株式を購入するかという意味決定を行う際に、会計の知識が役立ちます。また就職活動などにおいても、この会社の将来はどうか、財務データからある程度読み取ることができます。そこで本授業においては、企業の仕組みや会計の役割、会計に関わる基本的概念を理解します。				
授業目的・到達目標	企業における会計いわゆる「企業会計」をテーマとして、企業の作成する財務諸表（損益計算書および貸借対照表等）を読み、理解し説明できるようになることを到達目標とします。				
履修条件	簿記原理を履修し、簿記の基礎を習得していることが望ましいです。				
授業方法	指定したテキストに沿って授業を進めます。そして必要に応じてレジュメやプリントを配布する予定です。第1回目の授業において授業方針等を説明しますので、受講者は必ず出席して下さい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	授業内容の理解度を確認するために実施します。	
	平常評価		40%	授業内に指示したレポートや提出物を評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	新世社		財務会計	齋藤真哉他
	備考				
参考書	中央経済社『新版 会計法規集』ないしは税務経理協会『会計諸則集』（いずれも最新版）。森田哲彌・宮本匡章編著『会计学辞典（第5版）』中央経済社。				
オフィスアワー	授業終了後および電子メールにより対応します。 eliya.onoe★mail.o-hara.ac.jp（★を@に置き換えてください。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通すこと
	授業内容	オリエンテーション 財務会計の意義・基礎（1）
	事後学習	授業は基本的にシラバスに沿って進む予定ですので、テキストの該当箇所を読んでおくことと授業の理解につながります。予習・復習を大事にしてください。
2	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	財務会計の意義・基礎（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す

3	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	財務会計の意義・基礎（3）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
4	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	複式簿記と財務諸表の構成要素（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
5	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	複式簿記と財務諸表の構成要素（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
6	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	損益計算と資産負債の関係（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
7	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	損益計算と資産負債の関係（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
8	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	会計制度（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
9	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	会計制度（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
10	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	会計制度（3）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
11	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	財務諸表（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
12	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	財務諸表（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
13	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	会計基準（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
14	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	会計基準（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す

15	事前学習	前期に学習した部分でわからないところをピックアップする
	授業内容	まとめ
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す

科目名	財務諸表論Ⅱ	担当者	尾上 選哉	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	会計は、公認会計士、税理士、会社の経理担当者だけが理解すればよいものではなく、企業に関わるすべての人にとって必要不可欠な知識です。例えば、投資者はどの企業の株式を購入するかという意味決定を行う際に、会計の知識が役立ちます。また就職活動などにおいても、この会社の将来はどうか、財務データからある程度読み取ることができます。そこで本授業においては、企業の仕組みや会計の役割、会計に関わる基本的概念を理解します。				
授業目的・到達目標	企業における会計いわゆる「企業会計」をテーマとして、企業の作成する財務諸表（損益計算書および貸借対照表等）を読み、理解し説明できるようになることを到達目標とします。				
履修条件	簿記原理を履修し、簿記の基礎を習得していることが望ましいです。				
授業方法	指定したテキストに沿って授業を進めます。そして必要に応じてレジュメやプリントを配布する予定です。第1回目の授業において授業方針等を説明しますので、受講者は必ず出席して下さい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	授業内容の理解度を確認するために実施します。	
	平常評価		40%	授業内に指示したレポートや提出物を評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	新世社		財務会計	齋藤真哉他
	備考				
参考書	中央経済社『新版 会計法規集』ないしは税務経理協会『会計諸則集』（いずれも最新版）。森田哲彌・宮本匡章編著『会计学辞典（第5版）』中央経済社。				
オフィスアワー	授業終了後および電子メールにより対応します。 eliya.onoe★mail.o-hara.ac.jp（★を@に置き換えてください。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通すこと
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業は基本的にシラバスに沿って進む予定ですので、テキストの該当箇所を読んでおく授業の理解につながります。予習・復習を大事にしてください。
2	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	金融商品に関わる取引（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す

3	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	金融商品に関わる取引（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
4	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	金融商品に関わる取引（3）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
5	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	棚卸資産に関わる取引（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
6	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	棚卸資産に関わる取引（2） 有形固定資産に関わる取引（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
7	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	有形固定資産に関わる取引（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
8	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	有形固定資産に関わる取引（3）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
9	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	無形固定資産に関わる取引
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
10	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	引当金等に関わる取引
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
11	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	法人税等に関わる取引（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
12	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	法人税等に関わる取引（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
13	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	純資産に関わる取引（1）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す
14	事前学習	テキストの該当箇所を読む
	授業内容	純資産に関わる取引（2）
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す

15	事前学習	後期に学習した部分でわからないところをピックアップする
	授業内容	まとめ
	事後学習	今回の授業内容を確認するために、テキストおよびノート等に再度目を通す

科目名	産学連携と知的財産 I	担当者	金澤 良弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	産学連携は、新しい知識・技術の創出と活用を促進するため、大学と企業が連携して研究、新技術の製品化、人材育成等を行うことを言う。産学連携は、大学及び企業双方のポテンシャルを高めるとともに、イノベーション創出の有力な手段としても政策的に積極的に推進されている。本授業では、産学連携に関する基本的な概念、知的財産の役割、産学連携に関する政策制度等について概説する。				
授業目的・到達目標	本授業を通じて産学連携による大学の研究成果の事業化や産学連携による独創的なイノベーション創出の状況、課題、解決に向けた取組等を学ぶことにより、産学連携の重要性、知的財産の役割、推進上の課題、課題解決の方向等について理解を深めることを目的とする。また、これらを踏まえ、将来企業等において創造的な活動を行うための視点を身につけることを目標とする。				
履修条件	研究の推進や技術移転などの実務に関心を持つ学生の受講を希望する。				
授業方法	毎回配布する資料に基づく講義及びディスカッションによる。授業中に小テスト、レポート課題等を課すことがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（出席率70%未満者は採点しない）、小テスト及びレポートの内容並びに授業への参加・貢献度を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	必要な場合には授業中に指示する。				
オフィスアワー	火曜日16：30～17：30（7号館，742研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の概要、授業目的・到達目標、授業の進め方等を理解する。
	授業内容	イントロダクション 授業のねらい、進め方、成績評価の方法等
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
2	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携について① 産学連携に関する基本的な概念
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

3	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携について② 産学連携に参加するプレーヤー
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
4	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携について③ 産及び学における連携の意義
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
5	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	事例研究① 様々な産学連携事例の分析
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
6	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	事例研究② 様々な産学連携事例の分析
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
7	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携と知的財産① 産学連携における知的財産の役割
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
8	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携と知的財産② 産学連携における知的財産取扱の実際（共同研究）
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
9	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携と知的財産③ 産学連携における知的財産取扱の実際（ライセンス）
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
10	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携と知的財産④ 産学連携における知的財産取扱の実際（その他のケース）
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
11	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に関連する政策制度① 産学連携に関する法律，制度等の概要
	事後学習	前配布されたプリントを復習する。
12	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に関連する政策制度② イノベーション政策における産学連携①
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
13	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に関連する政策制度③ イノベーション政策における産学連携②
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
14	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に関連する政策制度④ 地域振興政策における産学連携
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

15	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

科目名	産学連携と知的財産Ⅱ	担当者	金澤 良弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	産学連携は、新しい知識・技術の創出と活用を促進するため、大学と企業が連携して研究、新技術の製品化、人材育成等を行うことを言う。産学連携は、大学及び企業双方のポテンシャルを高めるとともに、イノベーション創出の有力な手段としても政策的に積極的に推進されている。本授業では、大学、企業、公的研究機関等における産学連携への取組状況、産学連携推進上の課題と解決に向けた取組等について概説する。				
授業目的・到達目標	本授業を通じて産学連携による大学の研究成果の事業化や産学連携による独創的なイノベーション創出の状況、課題、解決に向けた取組等を学ぶことにより、産学連携の重要性、知的財産の役割、推進上の課題、課題解決の方向等について理解を深めることを目的とする。また、これらを踏まえ、将来企業等において創造的な活動を行うための視点を身につけることを目標とする。				
履修条件	研究の推進や技術移転などの実務に関心を持つ学生の受講を希望する。				
授業方法	毎回配布する資料に基づく講義及びディスカッションによる。授業中に小テスト、レポート課題等を課すことがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度（出席率70%未満者は採点しない）、小テスト及びレポートの内容並びに授業への参加・貢献度を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	必要な場合には授業中に指示する。				
オフィスアワー	火曜日16：30～17：30（7号館，742研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の概要、授業目的・到達目標、授業の進め方等を理解する。
	授業内容	大学における産学連携への取組①
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
2	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	大学における産学連携への取組②
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

3	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	企業における研究開発と産学連携
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
4	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	公的研究機関における産学官連携
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
5	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	大学発ベンチャーの現況
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
6	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	技術移転機関（TLO）の活動
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
7	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携を推進する人材 コーディネーターとリサーチアドミニストレーター
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
8	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	大学発ベンチャーを育むインキュベーション活動
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
9	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携推進に向けた取組① 共同研究を促進するための様々な取組
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
10	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携推進に向けた取組② 技術移転を促進するための様々な取組
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
11	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携による人材育成 高度産業人材の育成への取組
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
12	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に伴う課題への対応① 利益相反マネジメント
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
13	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に伴う課題への対応② 産学間のコンフリクトへの対応
	事後学習	配布されたプリントを復習する。
14	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	産学連携に伴う課題への対応③ 産学連携に伴うリスク管理
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

15	事前学習	前回の授業において指示された予習を行う。
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	配布されたプリントを復習する。

科目名	産業技術と知財A(情報通信) I	担当者	菅野 政孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	I C T（情報通信技術）を取り巻く学問や歴史を踏まえて I C Tの全体像を示す．次に I C Tの中心となるコンピュータのハードウェア，ソフトウェアについて概略を述べ，コンピュータを用いたサービスやアプリケーション，ビジネス等を概説する．				
授業目的・到達目標	世の中には情報通信機器やデジタル家電など情報・通信技術（I C T）を利用した装置やシステムが溢れている．通常これらの仕組みを知らなくても I C Tを利用できるが，その仕組みを知ることにより更に効果的かつ効率的に装置やシステムを利用できるようになる． 本講義ではこれらの知識を修得するのみでなく，世の中の発展に寄与する技術は何かといったことを考察する力も身につける．新聞、インターネット、T V等の記事・番組の中で触れられる I C Tの話題について、その内容がほぼ理解できるとともに、その技術が取りあげられている趣旨についても分かることが出来るようになる。				
履修条件	I C T（情報技術）や情報通信に興味があること〔予備知識は不要〕				
授業方法	プレゼンテーション図面（プロジェクタ投影）や配布資料による授業と質疑応答，レポート回答				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内で活発に質問したり，意見を発表したりするかどうかを重視する．また，授業レポートや期末レポートを実施し判定する．	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に使用せず，必要に応じ資料を配布			
参 考 書	その都度紹介				
オフィスアワー	時間帯：火曜日 1 6：3 0～1 8：0 0 場所：研究室（7号館5階 7 5 2号） 内容：学業・研究、就職活動支援、その他諸事可 記事：メールでの相談可（sugano.masataka@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	IT(Information Technology)やICT(Information Communication Technology)といった用語の意味をWeb等で調べる．
	授業内容	1 はじめに ・ I C T，情報通信とは何か
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
2	事前学習	「情報」という言葉から自分自身が思い浮かべる内容を整理する．
	授業内容	2 情報 ・ 情報とは何か？
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
3	事前学習	アナログとデジタルの相違を調べる．また，2進数とは何かを調べ，1 0進数の“1”から“1 0”までを2進数で表してみる．
	授業内容	・ アナログ情報とデジタル情報 ・ 2進数，1 0進数，1 6進数 ・ 情報の表現
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
4	事前学習	情報処理学会（国内最大の情報処理に関する学会）のホームページ「コンピュータ博物館（ http://museum.ipsj.or.jp/ ）」に目を通しておく．
	授業内容	3 コンピュータの概要 ・ コンピュータの歴史 ・ コンピュータの種類
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習

5	事前学習	自分が使用しているコンピュータ（PCやタブレット，スマートフォン等）の装置の構成要素を洗い出し，リスト化する．
	授業内容	4 コンピュータハードウェア ・コンピュータの動作の仕組み ・ハードウェアの構成
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
6	事前学習	自分が使用しているPCやスマートフォンのOS（Operating System）やアプリケーションの種別を確認し，列挙する．
	授業内容	5 コンピュータソフトウェア ・ソフトウェアの構成
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
7	事前学習	PCやスマートフォンで利用可能なアプリケーションにはどのようなものが有るか挙げてみる．
	授業内容	・オペレーティングシステム（OS） ・アプリケーションプログラム
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
8	事前学習	PCやスマートフォン等で視聴する文書，音楽，画像，映像の情報形式を調べる．また，その容量を推測する．
	授業内容	6 デジタルコンテンツ ・メディアとコンテンツ ・コンテンツの情報量とメディアの容量
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
9	事前学習	コンテンツにはどのような種類があるか調べる．また，コンテンツ産業の規模やコンテンツ産業に含まれる企業にはどのようなところがあるか調査する．
	授業内容	・圧縮の仕組み ・コンテンツ産業
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
10	事前学習	自分がPCやスマートフォンに保有している大量の情報（情報の種別には拘らない）の管理方法と問題点についてとりまとめる．
	授業内容	7 データベース ・データベースの定義と分類 ・データベースの事例
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
11	事前学習	サーバに格納されている同じ文書を複数のPCから編集できるようになっているとき，同時に複数の利用者がその文書を編集しようとする場合に気をつけなければならないことは何か．また，そのサーバが障害で故障する恐れがあることを考慮して準備しておく仕組みは何かについて考える．
	授業内容	・データベースマネジメントシステム（DBMS）
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
12	事前学習	スーパーマーケットやコンビニで商品を購入したときにレジで収集する情報にはどのようなものがあるか予測する．また，自分がよく利用するこれらの店舗（あるいはその企業全体）の1日の利用者数や販売物品の種類と数量，売り上げを考える．
	授業内容	8 データウェアハウスとBI ・データウェアハウスの概要 ・BI（ビジネスインテリジェンス）の概要
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
13	事前学習	店舗が顧客に物やサービスを売るためにどのような工夫をしていると思うか，とりわけ，ICTの機能を使うとすればどのような仕組みを取り入れれば良いかを考える．
	授業内容	9 CRM(Customer Relationship Management) ・CRMの概要と用いられているICT
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習と，これまでの授業内容に関する感想と質問項目をレポートにまとめる．（次回の授業で提出）
14	事前学習	「ユビキタス」という言葉の由来を事前に調べ，ユビキタスという言葉を使った様々な概念をピックアップして纏める．
	授業内容	10 ユビキタス ・ユビキタスの概念 ・ユビキタスを実現する技術
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
15	事前学習	今までの授業で学習した内容を復習する．
	授業内容	今までの授業内容に関する質問項目への回答
	事後学習	回答したパワーポイント資料の復習

科目名	産業技術と知財A(情報通信)Ⅱ	担当者	菅野 政孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ＩＣＴ（情報通信技術）の主要な技術・サービスである通信の基礎に触れ、情報通信のサービス・アプリケーション・ビジネスを概説する．その後ＩＣＴ分野で知っておくべき法律や情報セキュリティについて概要を示す．				
授業目的・到達目標	世の中には情報通信機器やデジタル家電など情報・通信技術（ＩＣＴ）を利用した装置やシステムが溢れている．通常これらの仕組みを知らなくてもＩＣＴを利用できるが、その仕組みを知ることにより更に効果的かつ効率的に装置やシステムを利用できるようになる． 本講義ではこれらの知識を修得するのみでなく、世の中の発展に寄与する技術は何かといったことを考察する力も身につける．新聞、インターネット、ＴＶ等の記事・番組の中で触れられるＩＣＴの話題について、その内容がほぼ理解できるとともに、その技術が取りあげられている趣旨についても分かることが出来るようになる。				
履修条件	ＩＣＴ（情報技術）や情報通信に興味があること〔予備知識は不要〕				
授業方法	プレゼンテーション図面（プロジェクタ投影）や配布資料による授業と質疑応答，レポート回答				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内で活発に質問したり，意見を発表したりするかどうかを重視する．また，授業レポートや期末レポートを実施し判定する．	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に使用せず，必要に応じ資料を配布			
参考書	その都度紹介				
オフィスアワー	時間帯：火曜日１６：３０～１８：００ 場所：研究室（7号館５階 752号） 内容：学業・研究、就職活動支援、その他諸事可 記事：メールでの相談可（sugano.masataka@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「通信」という言葉から思い浮かべるサービスの種類，また通信を行う上で必要となる“要素”を抜き出してみる．
	授業内容	1 情報通信の基礎 ・通信とは何か？ ・通信の歴史
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
2	事前学習	アナログ情報とデジタル情報の違いを調べる．また，世の中で「ネットワーク」と呼ばれるものにはどのようなものがあるか列挙する．
	授業内容	・アナログ通信とデジタル通信 ・ネットワークとは
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
3	事前学習	大学の校内で繋がっているネットワークはどのような仕組みであるか調査する．
	授業内容	2 LAN(Local Area Network) ・LANの概要 ・イーサネット(Ethernet)
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
4	事前学習	無線LANとよばれるものにはどのようなものがあるか調査する．また，WiFiという言葉の由来を調べる．
	授業内容	・無線LAN
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習

5	事前学習	WANと呼ばれるものの代表的なサービスは電話であるが、電話で受話器を取ってプッシュボタンを押し、相手に繋がって話した後に受話器を置くまでにどのようなルートを通っているか想像してみる。
	授業内容	3 WAN (Wide Area Network) ・WANの概要 ・WANの事例
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
6	事前学習	前回の授業で学んだ電話が繋がる仕組みを参考に、携帯電話やスマートフォンを使って相手と通話・メールをやり取りする場合の情報交換の仕組みについて考える。
	授業内容	4 モバイル通信 ・モバイルの概要 ・携帯電話／スマートフォンの仕組み
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
7	事前学習	「インターネット」とは何かについて考察する。とりわけ前回学習した「モバイル」との仕組みの違いについて考える。
	授業内容	5 インターネット ・インターネットの歴史 ・インターネットの基礎
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
8	事前学習	インターネットで提供されているサービスを思いつく限り列挙する。また、これらがサービス携帯として類別化できるか検討する。
	授業内容	・インターネットのアプリケーション ・インターネットのアドレス
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
9	事前学習	I C T分野でここ数年間にわたりマスコミで話題となった情報セキュリティの事件に関する記事を調査する。また、自分のP Cのセキュリティ対策についてとりまとめる。
	授業内容	6 情報セキュリティ ・情報セキュリティの概要 ・セキュリティの脅威と対策
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
10	事前学習	「暗号」という言葉から連想する内容について纏める。子供時代に友達同士で「暗号」を使って遊んだ経験がある履修生は、その時暗号に必要な要素は何であったかを思い出してまとめる。
	授業内容	・暗号 ・情報及びシステム防御の技術
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
11	事前学習	I C Tに関連する法律には何があるか列挙する。
	授業内容	7 I C T分野における法律 ・I C Tに関連する法令等の概要 ・I C T全体に関わる法律 ・ネットワークと情報セキュリティに関わる法律
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
12	事前学習	I C Tのビジネス種類と産業規模、及び代表的な企業について調査する。
	授業内容	8 I C Tのビジネス分野
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習と、これまでの授業内容に関する感想と質問項目をレポートにまとめる。（次回の授業で提出）
13	事前学習	I C Tに関わる知的財産と知的財産権にはどのようなものがあるか考える。
	授業内容	9 I C Tと知財 ・I C Tにおける知財の役割
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
14	事前学習	後期の授業の教材を復習する。
	授業内容	後期の授業に関する質問への回答、及び全体とりまとめ
	事後学習	回答したパワーポイント資料の復習
15	事前学習	I C Tの最新トピックや課題をネット等で調べる。
	授業内容	10 I C Tの最新動向と課題 ・I C Tの最新動向 ・I C Tの課題と将来
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習

科目名	産業技術と知財D(コンテンツ) I	担当者	秋山 雅和	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	産業構造に変革を迫るデジタル技術、そもそもデジタルとなにか、アナログとなにか異なるのか、文系の学生にも判りやすく解説し、デジタル技術がコンテンツおよびメディア業界に何を齎すのか俯瞰する。また、AR, IoT, AIといった先端技術、クラウド時代・ビッグデータの活用など今日的キーワードにも触れていく。				
授業目的・到達目標	コンテンツの表現手段である映像・音声・文字がデジタルとなり、ソーシャルメディアは爆発的に拡大していく。一方、AR, IoT, AIといった先端技術がハリウッドの描いた未来社会を現実のものとしつつある。『クラウド時代・ビッグデータの活用・プラットフォーム戦争・ギャング4』これらのキーワードから見えてくるものは。デジタル時代の覇者となるためには。コンテンツ・メディア業界の現状と課題を学び、関連する法がデジタル時代に対応できているか考察していく。情報ネットワーク社会時代のビジネス戦略はビッグデータの利活用がキーである。デジタル時代に於けるコンテンツ流通のあるべき姿を著作権法の改正問題なども視野に入れ提言できる知見を得ること。				
履修条件	授業目的に記述した講義内容に関心を持ち、授業におけるディスカッションなどにも積極的に参加する学生 「産業技術と知財D（コンテンツ）Ⅱ」を引き続き履修することが望ましい。				
授業方法	パワーポイントと映像を活用して講義を行う。また、一方通行の講義ではなく、時としてアクティブラーニング形式なども取り入れ、学生の積極的な発言を引き出し講義の活性化を図っていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参画意識などを勘案し、期末に実施するグループ討論会の姿勢と内容で総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	長谷川文雄・福富忠和 編『コンテンツ学』：世界思想社 刊 『デジタルコンテンツ白書(財)日本デジタルコンテンツ協会 他、必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	講義や研究に関する質問や相談があれば、下記のアドレスにメールを送信すること。 必要に応じてメールあるいは面談の上回答する。 e-mail：akiyama@dhw.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	オリエンテーション 講義の理解に必要なキーワードを解説する。 知財、メディア、コンテンツとは？
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復ししておくこと。
2	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	知的財産大綱及び知的財産推進計画の概要 何故、コンテンツ産業の拡大に力を注ぐのか
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復ししておくこと。
3	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本ブランド戦略の概要 クールジャパンで世界進出 “cool Japan、コミケ、魔改造フィギュア”
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復ししておくこと。
4	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	デジタルとは？（デジタルの基礎知識①） アナログと何が違うのか。 デジタル技術について判りやすく解説する。
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復ししておくこと。

5	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	デジタルとは？（デジタルの基礎知識②） デジタルだから、デジタルだと、デジタル故に
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
6	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	光、色は電磁波である（赤い林檎が赤く見えるわけ） 情報を見る、聞く、伝える
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
7	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	メディア概論（コンテンツとメディアの関係） メディアの変遷（アナログからデジタルへ）
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
8	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	著作権の生立ち（コンテンツと著作権） 著作者、著作権者、ユーザー立場で異なる著作権への要望
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
9	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	デジタル時代の著作権のあり方① インターネット社会と著作権保護のあり方
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
10	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	デジタル時代の著作権のあり方② クラウドとコンテンツの保管、配信サービス
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
11	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業①（映画の誕生） 映画はどの様にして誕生し、何処へ向かうのか
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
12	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業②（映画産業の現状） 数字で見る映画産業：制作・配給・興行
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
13	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業③（デジタル技術と映画） デジタルが拓ける映像表現 1933年のキングコングと2005年のキングコング
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
14	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業④（デジタル技術と映画） デジタルで蘇る旧作 1927年制作「メトロポリス」の修復
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
15	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	グループワーキングによる評価
	事後学習	後半の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。

科目名	産業技術と知財D(コンテンツ)Ⅱ	担当者	秋山 雅和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	産業構造に変革を迫るデジタル技術、そもそもデジタルとなにか、アナログとなにか異なるのか、文系の学生にも判りやすく解説し、デジタル技術がコンテンツおよびメディア業界に何を齎すのか俯瞰する。また、AR, IoT, AIといった先端技術、クラウド時代・ビッグデータの活用など今日的キーワードにも触れていく。				
授業目的・到達目標	コンテンツの表現手段である映像・音声・文字がデジタルとなり、ソーシャルメディアは爆発的に拡大していく。一方、AR, IoT, AIといった先端技術がハリウッドの描いた未来社会を現実のものとしつつある。『クラウド時代・ビッグデータの活用・プラットフォーム戦争・ギャング4』これらのキーワードから見えてくるものは、デジタル時代の覇者となるためには。コンテンツ・メディア業界の現状と課題を学び、関連する法がデジタル時代に対応できているか考察していく。情報ネットワーク社会時代のビジネス戦略はビッグデータの利活用がキーである。デジタル時代に於けるコンテンツ流通のあるべき姿を著作権法の改正問題なども視野に入れ提言できる知見を得ること。				
履修条件	授業目的に記述した講義内容に関心を持ち、授業におけるディスカッションなどにも積極的に参加する学生 「産業技術と知財D（コンテンツ）Ⅰ」を履修しておくことが望ましい。				
授業方法	パワーポイントと映像を活用して講義を行う。また、一方通行の講義ではなく、時としてアクティブラーニング形式なども取り入れ、学生の積極的な発言を引き出し講義の活性化を図っていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参画意識などを勘案し、期末に実施するグループ討論会の姿勢と内容で総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	長谷川文雄・福富忠和 編『コンテンツ学』：世界思想社 刊 『デジタルコンテンツ白書』(財)日本デジタルコンテンツ協会 他、必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	講義や研究に関する質問や相談があれば、下記のアドレスにメールを送信すること。 必要に応じてメールあるいは面談の上回答する。 e-mail：akiyama@dhw.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業⑤（テレビ業界①） テレビの誕生から放送サービスの多様化へ
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復いしておくこと。
2	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業⑥（テレビ業界②） コマーシャルとテレビ、セカンドスクリーン問題
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復いしておくこと。
3	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業⑦（放送と通信の融合） インターネット時代のサバイバル競争
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復いしておくこと。
4	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業⑧（アニメ業界の概要） アニメの沿革とデジタル化 アニメのマルチ展開と世界進出
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお復いしておくこと。

5	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	日本の映像産業⑨ 映像系コンテンツの制作における下請構造の考察 光と影ー華やかな業界を支えるものは
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
6	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	音楽産業①（音楽業界の仕組み） アーティストを売り出すトライアングル体制
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
7	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	音楽産業②（音楽と技術イノベーション） 技術の進化が音楽産業を変容させる
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
8	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	音楽産業③（デジタルと音楽業界） デジタルは音楽業界にどのような影響を与えたか
	事後学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
9	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	電子書籍 最後に来たデジタルコンテンツ、自炊問題
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
10	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	コンテンツの流通チャンネルの変遷 クラウドサービスと著作権 ビッグデータの活用
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
11	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	ハリウッド映画産業の考察（ハリウッドは、1日ではなく） 映画史は政治経済の歴史でもある。 社会環境の変化に対応するハリウッドの戦略
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
12	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	資金調達と運用（製作委員会方式・完成保証） 莫大な制作資金はどのように賄うのか
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
13	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	メディアリテラシー 情報の洪水に流されないように 錯誤、錯覚、思い込み
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
14	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	デジタル化の齎したものは、 デジタル時代に突入したコンテンツ産業の行方は
	事後学習	次の講義は、前回のレビューからスタートし理解度を確認していくので、講義中に指摘したポイントを必ずお浸いしておくこと。
15	事前学習	授業で使用するパワーポイントを事前にアップしておくので必ず目を通しておくこと。また、問題点や課題を抽出し積極的に発言してくることを期待している。
	授業内容	グループワーキングによる評価
	事後学習	全体のまとめを整理し、質問があればメールしてくる。

科目名	産業技術と知財F(エレクトロニクス) I	担当者	菅野 政孝	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	エレクトロニクスとは電子工学・電子機器という意味であるが、世の中に必須なコンピュータやスマートフォン等の情報通信機器のみでなく、自動車・エネルギー・医療・環境等の最先端産業を支える基幹技術とサービスの事である。エレクトロニクスⅠではコンピュータと半導体に焦点を絞り、これらの技術・サービス及びビジネスに関する概要と関係する知的財産権との関わりについて概説する。					
授業目的・到達目標	本講義ではエレクトロニクスの基本的な技術とそのサービスについて修得し、これにより世の中の発展に寄与する技術とは何か、またその技術がどのように役立つサービスとして実現されるかと言った事を考察する力を身に付ける。エレクトロニクスの技術とサービスについて理解できるとともに、それにより世の中の最先端産業が我々の生活にどう関わってくるかということについて常に意識を向けることが出来るようになる。					
履修条件	エレクトロニクスに興味があること〔予備知識は不要〕					
授業方法	プレゼンテーション図面や配布資料による授業と、質疑応答（質問票の提出も含む）、レポート回答					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内容の理解度、及び授業内での質問や意見発表、質問票の提供等の状況により総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特に使用せず、必要に応じ資料を配布				
参考書	その都度紹介する。					
オフィスアワー	時間帯：火曜日１６：３０～１８：００ 場所：研究室（7号館５階 752号） 内容：学業・研究、就職活動支援、その他諸事可 記事：メールでの相談可（sugano.masataka@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	エレクトロニクスという用語から思いつく技術やサービスの項目を自分なりに取りまとめる．
	授業内容	＜オリエンテーション＞ エレクトロニクス基礎技術とは？
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
2	事前学習	PCがどのような装置から構成されているかを考える．また，光の3原色，色の3原色とは何かを思い出す．
	授業内容	1．エレクトロニクス基礎技術とコンピュータ （1）コンピュータの仕組みと情報のデジタル化
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
3	事前学習	PCを利用する場合に，文書や音声・音楽， 画像，映像などを格納する媒体にはどのようなものがあるか整理する．
	授業内容	（2）デジタル情報の記録・保存の仕組み
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
4	事前学習	PCを利用する場合に，情報を入力・出力したり，通信でやり取りする装置にはどのようなものがあるか整理する．
	授業内容	（3）デジタル情報の入力・出力の仕組み
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習

5	事前学習	情報処理学会（情報処理の分野で国内最大の学会）のホームページ「コンピュータ博物館（ http://museum.ipsj.or.jp/index.html ）」に目を通しておく．
	授業内容	（４）コンピュータ産業の誕生と発展の歴史
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習と、これまでの授業内容に関する感想と質問項目をレポートにまとめる．（次回の授業で提出）
6	事前学習	コンピュータにはどのような知的財産権が含まれているか、また、知的財産権に関する問題点は何かについて調査する．
	授業内容	（５）コンピュータ産業の将来と知財問題
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
7	事前学習	「１．エレクトロニクス基礎技術とコンピュータ」の教材を復習
	授業内容	「１．エレクトロニクス基礎技術とコンピュータ」に関する質問への回答
	事後学習	回答したパワーポイント資料の復習
8	事前学習	３回目の授業「（２）デジタル情報の記録・保存の仕組み」を復習する．
	授業内容	２．エレクトロニクス基礎技術と半導体 （１）トランジスタとコンピュータ素子の仕組み
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
9	事前学習	３回目の授業の「デジタル情報の記録・保存のしくみ」で学習した高密度化技術について復習する．
	授業内容	（２）半導体加工技術の進歩とコンピュータ性能
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
10	事前学習	NHK 高校講座のホームページ「元素の周期表（ https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/kagakukiso/archive/resume010.html ）」に目を通しておく．
	授業内容	（３）化合物半導体と光エレクトロニクス
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
11	事前学習	日本半導体歴史館（ http://www.shmj.or.jp/index.html ）の中の「業界動向」，「応用製品」，「集積回路」といった項目の歴史に目を通しておく．
	授業内容	（４）半導体産業の誕生と発展の歴史
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
12	事前学習	半導体にはどのような知的財産権が含まれているか、また、知的財産権に関する問題点は何かについて調査する．
	授業内容	（５）半導体産業の将来と知財問題
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
13	事前学習	エレクトロニクスの知的財産権に関する紛争やビジネス上のトピック等について調査する．
	授業内容	３．ビジネス実務に関する話題 （１）ビジネス活動における知的財産権問題
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習と、これまでの授業内容に関する感想と質問項目をレポートにまとめる．（次回の授業で提出）
14	事前学習	わが国が他国や地域と取り結んでいる国際協力協定等について調査する．
	授業内容	（２）ビジネスのグローバル化と国際経済協力
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
15	事前学習	「２．エレクトロニクス基礎技術と半導体， ３．ビジネス実務に関する話題」の教材を復習する．
	授業内容	「２．エレクトロニクス基礎技術と半導体， ３．ビジネス実務に関する話題」に関する質問への回答，及び全体取りまとめ
	事後学習	回答したパワーポイント資料の復習

科目名	産業技術と知財F(エレクトロニクス)Ⅱ	担当者	菅野 政孝	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	エレクトロニクスとは電子工学・電子機器という意味であるが、世の中に必須なコンピュータやスマートフォン等の情報通信機器のみでなく、自動車・エネルギー・医療・環境等の最先端産業を支える基幹技術とサービスの事である。エレクトロニクスⅡでは情報通信やエレクトロニクスを応用した技術・サービス及びビジネスに関する概要と関係する知的財産権との関わりについて概説する。					
授業目的・到達目標	本講義ではエレクトロニクスの基本的な技術とそのサービスについて修得し、これにより世の中の発展に寄与する技術とは何か、またその技術がどのように役立つサービスとして実現されるかと言った事を考察する力を身に付ける。エレクトロニクスの技術とサービスについて理解できるとともに、それにより世の中の最先端産業が我々の生活にどう関わってくるかということについて常に意識を向けることが出来るようになる。					
履修条件	エレクトロニクスに興味があること〔予備知識は不要〕					
授業方法	プレゼンテーション図面や配布資料による授業と、質疑応答（質問票の提出も含む）、レポート回答					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内容の理解度、及び授業内での質問や意見発表、質問票の提供等の状況により総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特に使用せず、必要に応じ資料を配布				
参考書	その都度紹介する。					
オフィスアワー	時間帯：火曜日１６：３０～１８：００ 場所：研究室（７号館５階 ７５２号） 内容：学業・研究、就職活動支援、その他諸事可 記事：メールでの相談可（sugano.masataka@nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	エレクトロニクスの応用分野である「自動車」，「医療」，「通信」，「電力」，「環境・エコ」等で，技術・サービスに関して最近話題となったトピックをネット情報などから洗い出す。
	授業内容	＜オリエンテーション＞ エレクトロニクス応用技術とは？
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
2	事前学習	エレクトロニクスⅠで学習した「デジタル情報」について復習する。また，エレクトロニクスⅠの未履修生においてはアナログ情報とデジタル情報の相違を調べる。
	授業内容	1. エレクトロニクス応用技術と情報通信 （1）通信情報のデジタル化と多重通信の仕組み
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
3	事前学習	大容量光ファイバ通信で利用する光ファイバとは何かを予め調査する。
	授業内容	（2）移動体無線通信と大容量光ファイバ通信
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
4	事前学習	自分自身が利用しているインターネットの通信サービスにはどのようなものがあるか列挙する。また，「ユビキタス」という言葉の由来を調べ，ユビキタスという言葉を使った様々な概念をピックアップしてまとめておく。
	授業内容	（3）インターネット通信の高度化とユビキタスネットワーク
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習と，これまでの授業内容に関する感想と質問項目をレポートにまとめる。（次の授業で提出）

5	事前学習	自分自身の身の回りに情報通信を利用したサービスやビジネスにどのようなものがあるか列挙する。
	授業内容	（４）情報通信産業の発展と法的課題
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
6	事前学習	「１．エレクトロニクス応用技術と情報通信」の教材を復習する。
	授業内容	「１．エレクトロニクス応用技術と情報通信」に関する質問への回答
	事後学習	回答したパワーポイント資料の復習
7	事前学習	最近最も頻繁に出てくる自動車の「自動運転」について、どのようなエレクトロニクス技術が使用されているか調べる。
	授業内容	２．エレクトロニクス応用技術と応用産業 （１）カーエレクトロニクスと自動車産業
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
8	事前学習	わが国の自然エネルギーにはどのようなものが有って、その比率や産業規模がどの程度かを調査する。
	授業内容	（２）パワーエレクトロニクスと電力産業
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
9	事前学習	電子化された医療機器にはどのような種類があるか調査する。
	授業内容	（３）メディカルエレクトロニクスと医療システム産業
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
10	事前学習	地球温暖化の原因と問題となっている理由、現在の状況や対策等について調べる。
	授業内容	（４）エレクトロニクスとエコ産業
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
11	事前学習	３Dプリンタ、レーザ加工、光センサといった言葉がどのような意味なのか、概要を掴んでおく。
	授業内容	（５）光エレクトロニクスと光応用産業
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
12	事前学習	エレクトロニクス応用技術と産業で学んだ技術・産業に関わる知的財産権には何があるか、またその権利に関する問題点は何かについて調査する。
	授業内容	（６）エレクトロニクス応用産業と知財問題
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
13	事前学習	エレクトロニクス業界が関連する国際的な技術紛争について調査する。
	授業内容	３．ビジネス実務に関する話題 （１）我が国のエレクトロニクス業界が体験した国際技術紛争
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習と、これまでの授業内容に関する感想と質問項目をレポートにまとめる。（次回の授業で提出）
14	事前学習	エレクトロニクスの技術規格に関する標準化の事例を調査する。
	授業内容	（２）技術規格の国際標準化と知的財産権
	事後学習	配布したパワーポイント教材の復習
15	事前学習	「１．エレクトロニクス応用技術と情報通信， ２．エレクトロニクス応用技術と応用産業， ３．ビジネス実務に関する話題」の教材を復習する。
	授業内容	「１．エレクトロニクス応用技術と情報通信， ２．エレクトロニクス応用技術と応用産業， ３．ビジネス実務に関する話題」に関する質問への回答
	事後学習	回答したパワーポイント資料の復習

科目名	産業立地論	担当者	小倉 眞	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	産業立地論は各種産業の特色ある機能の下で、「空間」のどの地点にそれを置けば、最少費用を実現し最も合理的に展開できるかについて、理論的に整理することである。理論の内とくに授業で取り上げるのは古典的理論ではあるが最も基本的視点を提起した農業立地論のチューネン、工業立地論のウェーバー、またクリスタラー等であり、これらについてやや詳細に分析・整理する。					
授業目的・到達目標	グローバル化・情報化社会にあつて、地域性や空間的展開など場所の特性を究明する研究が注目されている。とくに近年の国際的産業立地やドメスティックな立地展開については経済地理学分野における研究が進展している。本年度はこれらの成果を踏まえつつ各種の立地論を取り上げ、その理論的内容を解説する。さらに日本における工業立地の変遷を実証的に整理する。農業・工業・都市・商業などそれぞれの立地理論の基本構造を修得する。					
履修条件	特になし					
授業方法	テキストは使用せず、プリント等によって授業を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	授業内容を客観的に理解しているか、また論理思考がなされているかについて検証・評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート・発表小テストなどにより評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参 考 書	授業中に指示する。					
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスで授業内容を確認する。
	授業内容	産業立地と立地論の歴史
	事後学習	立地論の分析視点と経済空間の関係について整理する。
2	事前学習	配布プリントを読み、チューネン理論の成立時期などについて確認する。
	授業内容	チューネンの農業立地論 (1)理論の前提
	事後学習	理論の前提となる項目を整理し、それぞれについてまとめる。

3	事前学習	プリント1～7ページを読み、価格形成の内容について考察する。
	授業内容	チューネンの農業立地論 (2) 穀物価格の源泉
	事後学習	農産物価格は農家においては庭先価格で推し量ること、また輸送費の多寡が経営に影響を与える意味について確認する。
4	事前学習	農業形態・肥力・市場価格について栽培圏が変化することを検証・考察する。
	授業内容	チューネンの農業立地論 (3) 理論モデルと反論
	事後学習	チューナーネン理論の合理性と、理論的問題点などについて整理・検討する。
5	事前学習	チューナーネン理論の内容について再度整理する。
	授業内容	チューネン理論と空間構造(4)
	事後学習	チューナーネン理論（同心円理論）が現代の土地利用空間においても、合理する部分があることを確認し、整理する。次回小テストの準備をする。
6	事前学習	配布プリントの9～15ページを読み、ウェーバーの理論の概要について考察する。
	授業内容	ウェーバーの工業立地論 (1) 費用と輸送費
	事後学習	立地因子・立地単位などの用語整理と用語の意味等について整理する。
7	事前学習	立地因子の導出過程について検証する。
	授業内容	ウェーバーの工業立地論 (2) 工業立地モデル
	事後学習	局地的立地因子として、輸送費、労働費が影響を与え、とくに輸送費の影響について確認・整理する。
8	事前学習	資源調達、加工、消費の流れと立地について検証・考察する。
	授業内容	ウェーバーの工業立地論 (3) 工業立地モデル
	事後学習	立地三角形の理論的内容（輸送費・労働費）について整理する。
9	事前学習	プリントを読み、クリスタラーの理論について検証する。
	授業内容	クリスタラーの中心地理論 (1) 財の到達範囲
	事後学習	空間における財の到達範囲をどのように規定したか検証する。
10	事前学習	六角形図を描き、それぞれの焦点について確認してみる。
	授業内容	クリスタラーの中心地理論 (2) 理論モデル
	事後学習	六角形構造の内容を整理し、問題点なども列記してみる。
11	事前学習	レッシュ、クリスタラーの理論的相違を考察する。
	授業内容	レッシュの経済地域論 (1) 立地の一般均衡と市場圏
	事後学習	レッシュの理論を整理し、その特徴について整理する。
12	事前学習	クルーグマンの産業立地論について検証する。
	授業内容	クルーグマンの産業立地論 (1) 不完全競争
	事後学習	不完全競争下の立地運動について整理する。
13	事前学習	数式などについて再度確認する。
	授業内容	クルーグマンの産業立地論 (2) 立地モデル
	事後学習	クルーグマンの指摘とレッシュ等との相違について確認・検証する。
14	事前学習	日本の工業分布について調べる。
	授業内容	日本の工業立地変動
	事後学習	経済環境の変動と立地移動について整理する。

15	事前学習	加工貿易として臨海立地型の工業の展開について考察する。
	授業内容	日本の工業立地の特色，（授業のまとめ）
	事後学習	市場のグローバル化の中で，日本の工業立地がどのように変容したかについて整理する。

科目名	資本市場論Ⅰ	担当者	佐藤 猛	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	資本市場、特に証券市場を中心に授業をする。資本市場論Ⅰについては資本市場の金融プレーヤーを学習する。				
授業目的・到達目標	本科目は、内外の資本市場を包括して授業を行う。日経新聞の資本市場に関連する記事が理解できるようにする。また、実際の社会、特に金融機関の証券外務員試験にも対応できるようにする。				
履修条件	国際的経済の動向に関心を持つことが必要である。				
授業方法	基本的にパワーポイント（配布資料）とテキストで行う。また、授業に関連する重要な歴史的イベントのDVDや新聞で現代的なトピックスの紹介または解説をする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業中に2-3回感想等のコメント（40点） 授業最後にまとめのコメント（60点） 配布資料とテキストは持ち込み可	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成28年度	税務経理協会		証券理論の新体系	佐藤猛
	備考				
参考書	平成20年 税務経理協会 『証券市場の基礎理論』佐藤猛				
オフィスアワー	satou.takeshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの「はしがき」を読む
	授業内容	総論①-ガイダンス（体系）宗教（愛）とお金
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
2	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	総論①-証券理論の歴史
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認

3	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	総論②-証券の種類
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
4	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	総論③証券の評価
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
5	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	総論④-TOPIXと日経平均
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
6	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	家計①-家計の資産運用（ポートフォリオ）
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
7	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	家計②富裕層の家計：ヘッジファンドと投資信託
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
8	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	家計③格差問題：ピケティとアトキンソン
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
9	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	政府①-国債の歴史
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
10	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	政府②-財政とユーロ
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
11	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	企業①-企業の歴史
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
12	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	企業②-新古典派理論・契約理論
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
13	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	企業③-上場制度
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
14	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	企業④：ベンチャー企業
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認

15	事前学習	前期の配布プリントの復習
	授業内容	総復習とコメント
	事後学習	コメントの内容を確認

科目名	資本市場論Ⅱ	担当者	佐藤 猛	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	資本市場、特に証券市場を中心に授業をする。資本市場論Ⅱについては1証券市場のシステム—マーケット・マイクロストラクチャー（MM）、2証券市場の制度—金融商品取引法（解釈論ではない）における経済活動（金商法）3歴史的クラッシュ（暴落）、以上の3つを主要テーマとする。				
授業目的・到達目標	本科目は、内外の資本市場を包括して授業を行う。 日経新聞の資本市場に関連する記事が理解できるようにする。実際の社会、特に金融機関の証券外務員試験にも対応できるようにする。				
履修条件	原則、資本市場論Ⅰの受講者				
授業方法	基本的にパワーポイント（配布資料）とテキストで行う。また、授業に関連する重要な歴史的イベントのDVDや新聞で現代的なトピックスの紹介または解説をする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業中に2-3回感想等のコメント（40点） 授業最後にまとめのコメント（60点） 配布資料とテキストは持ち込み可	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成28年	税務経理協会		証券理論の新体系	佐藤猛
	備考				
参考書	平成20年 税務経理協会 『証券市場の基礎理論』佐藤猛				
オフィスアワー	satou.takeshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	you tube 取引所を見ておくこと
	授業内容	MM①-世界証券取引所めぐりとバブルの歴史
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
2	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	MM②-証券取引所の機能—オークション
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認

3	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	MM③-世界の株価指数と世界的企業の紹介
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
4	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	MM④-売買取引の種類（現物、信用からデリバティブ）
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
5	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	MM⑤-効率的市場仮説
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
6	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	MM⑥-情報の非対称性（ゲームの理論）
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
7	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	金商法①-歴史と体系
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
8	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	金商法②-デスクロジャー制度と監査
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
9	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	金商法③-インサイダー取引の実例
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
10	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	金商法④-TOBとM&A
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
11	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	金商法⑤-証券会社の状況（日米比較）
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
12	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	クラッシュ①-19世紀フランスのバリ大改造とバブル
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
13	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	クラッシュ②-1929年大恐慌
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認
14	事前学習	前回の配布プリントの復習
	授業内容	クラッシュ③-2008年リーマンショック
	事後学習	学んだ用語をテキストで確認

15	事前学習	後期の配布プリントの復習
	授業内容	総復習とコメント
	事後学習	コメントの内容の確認

科目名	ジャーナリズム演習Ⅰ	担当者	松尾 理也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	全国紙海外特派員としてのイラク戦争現地取材や米国での駐在経験をベースに、具体的なニュースの事例（過去のもの、現在進行形のもの両方を含む）に即してジャーナリズムの諸問題を論じる。					
授業目的・到達目標	主に新聞という媒体を通じて行われるジャーナリズム活動について、重要性と課題の双方をバランス良く理解し説明できるようにすることを目的とする。リサーチやレジュメ作成の基本を身につける。					
履修条件	とくになし					
授業方法	講義と発表からなる。講義は国際報道の分野を中心に講師側がテーマアップし、具体的な事例に則して行う（下記授業計画参照）。発表は学生側が自分の選んだテーマに沿って報告し、ディスカッションを行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		50%:担当したテーマに関するレポート 50%:積極的な発言や授業参加を評価する	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	とくになし。関連資料を適宜配布するとともに、参考文献を紹介する					
オフィスアワー	授業前、後に声をかけて下さい。またメールなどで連絡の上、時間を調整することも可能です。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでに学んだジャーナリズム関係の授業内容をおさらいしておく
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
2	事前学習	事前配布の参考資料を読んでおく
	授業内容	（ガイダンス）海外取材の現実：「特派員」ってどんな仕事？
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
3	事前学習	講師の著書である『ルート66をゆく アメリカの「保守」を求めて』（新潮新書）を読んでおく
	授業内容	（講義）みえないアメリカを探してー『ルート66』を題材に
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
4	事前学習	事前配布の参考資料を読んでおく
	授業内容	（講義）米国取材のいま：トランプ現象とフェイクニュース問題を読み解く
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる

5	事前学習	事前配布の参考資料を読んでおく
	授業内容	(講義)「知らないこと」はニュースになるか?日本人が知らない世界＝シリコンバレー取材してわかったこと
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
6	事前学習	事前配布の参考資料を読んでおく
	授業内容	(講義)戦爭取材の実際:いきなり戦地に派遣されるとどうなるか
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
7	事前学習	事前配布の参考資料を読んでおく
	授業内容	(講義)戦爭取材の系譜:澤田教一ほか「レジェンド」たち
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
8	事前学習	事前配布の参考資料を読んでおく
	授業内容	(講義)メディア史から学ぶジャーナリズム:戦前の「日本主義ジャーナリズム」が現代に示唆するもの
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
9	事前学習	担当者は参考文献に基づきレジュメを作成
	授業内容	(発表)以下、いくつかのテーマを例としてあげておきます。これらに限らず、ある事例をピックアップしてレジュメを作成し、発表してもらう方式です
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
10	事前学習	担当者は参考文献に基づきレジュメを作成
	授業内容	(発表)【社会問題】グリコ・森永事件、「疑惑の銃弾」報道など
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
11	事前学習	担当者は参考文献に基づきレジュメを作成
	授業内容	(発表)【経済問題】オリンパス事件、「日経寡占」の問題など
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
12	事前学習	担当者は参考文献に基づきレジュメを作成
	授業内容	(発表)【調査報道】ウォーターゲート事件、田中角栄「金脈」報道など
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
13	事前学習	担当者は参考文献に基づきレジュメを作成
	授業内容	(発表)【誤報、メディア批判】朝日新聞サンゴ事件、慰安婦報道
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
14	事前学習	担当者は参考文献に基づきレジュメを作成
	授業内容	(発表)【ジャーナリズム史】白虹事件、新聞統合、記者クラブ問題など
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる
15	事前学習	全体のふりかえりをまとめておく
	授業内容	まとめ
	事後学習	コメントペーパーに感想をまとめる

科目名	ジャーナリズム演習Ⅱ	担当者	伊藤 英一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	皆さんの将来を築く礎石をしっかりと固めるため、新聞、広報・広告、情報にかかわる社会の動向を把握し、それを学生諸君と一緒にゼミナール形式により、共同で分析、観察をして行きます。その時々により重要なトピックを取り上げ、新聞、雑誌、ニュース、プレス・リリース等の資料を配布しますので、それを利用しながら、問題意識の涵養に努めましょう。			
授業目的・到達目標	ジャーナリズムとメディアを俯瞰的な観点から考察する能力を身につけましょう。諸君の興味・関心を大切にしながら、これからの国際社会を生き抜いて行く上で必要となる観察力と情報分析力を涵養し、諸君自信をアピールするためにも役立つプレゼンテーション/レポーティング能力に磨きをかけて行きます。新聞、広報・広告、情報にかかわる分析能力、観察能力と、コミュニケーション能力を、お互いに切磋琢磨しながら、高めて行きたいと思ひます。			
履修条件	新聞・雑誌、広報・広告、情報通信ビジネス等、メディアにかかわる問題を探究したい諸君を歓迎します。後期のジャーナリズム演習Ⅲを引き続き受講して下さい。			
授業方法	基本的に、ゼミナール方式で進めて行きます。皆さんとの質疑応答を重視し、交流を深めながら、お互い仲間を大切にしながらに皆さんの能力を高めて行きます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	講義中の皆さんとの情報交換を重視し、授業への①寄与度と②参加度を各々30%の小計60%。および③お互いのコミュニケーションへの関与度に40%を配分します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1866	どの出版社のものでも可。	西洋事情	福沢諭吉
	備考	その時々により重要なトピックを取り上げ、新聞、雑誌、ニュース、プレス・リリース等の資料を配布します。教科書は、今日の視点と、150年前の歴史的視点との比較に用ひます。		
参考書	伊藤 英一：情報社会と忘却権 http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/download.php?file_id=60387			
オフィスアワー	授業時間内、およびその前後の時間も含め、活発な質疑応答を歓迎します。また、メールでの質問、相談等は ito.eiichil1@nihon-u.ac.jp にお寄せください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	皆さんに自己紹介をしていただきますので、心積もりをお願いします。
	授業内容	ガイダンス 諸君自身が解明したいと考えている問題点とテーマと一緒に考えてみよう
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
2	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	多様なメディアと単調な内容の問題点
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
3	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	自分独自の考えとメディアの影響
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
4	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	自分の考えとジャーナリズムの論調
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。

5	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアの伝える情報
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
6	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアの伝えない情報
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
7	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	自分の考えの中身を再考察
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
8	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	考える自分の再検証
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
9	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	自分と人と情報
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
10	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	自分と社会の情報
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
11	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論に関する理論
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
12	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	広報・広告に関する理論
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
13	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	問題意識と解明方法 1
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
14	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	問題意識と解明方法 2
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
15	事前学習	半年間の時事の変遷を振り返り、未来へのインパクトを考察して下さい。
	授業内容	問題意識と解明方法 3
	事後学習	共同研究の成果を後期に生かして下さい。

科目名	ジャーナリズム演習Ⅲ	担当者	伊藤 英一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	皆さんの将来を築く礎石をしっかりと固めるため、新聞、広報・広告、情報にかかわる社会の動向を把握し、それを学生諸君と一緒にやってゼミナール形式により、共同で分析、観察をして行きます。その時々により重要なトピックを取り上げ、新聞、雑誌、ニュース、プレス・リリース等の資料を配布しますので、それを利用しながら、問題意識の涵養に努めましょう。			
授業目的・到達目標	ジャーナリズムとメディアを俯瞰的な観点から考察してみます。諸君の興味・関心を大切にしながら、これからの国際社会を生き抜いて行く上で必要となる観察力と情報分析力を涵養し、諸君自信をアピールするためにも役立つプレゼンテーション/レポーティング能力を高めて行きます。社会に巣立ちした後にも、ジャーナリズムとメディアを大学で学んだことを自負できるコミュニケーション能力を身につけましょう。			
履修条件	新聞・雑誌、広報・広告、情報通信ビジネス等、メディアにかかわる問題を探究したい諸君を歓迎します。前期のジャーナリズム演習Ⅱに引き続いて履修して下さい。			
授業方法	基本的に、ゼミナール方式で進めて行きます。皆さんとの質疑応答を重視し、交流を深めながら、お互い仲間を大切にしながらに個々人の能力を高めて行きます。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	講義中の皆さんとの情報交換を重視し、授業への①寄与度と②参加度を各々30%の小計60%。および③お互いのコミュニケーションへの関与度に40%を配分します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	1866	どの出版社のものでも可。	西洋事情	福沢諭吉
	備考	その時々により重要なトピックを取り上げ、新聞、雑誌、ニュース、プレス・リリース等の資料を配布します。教科書は、今日の視点と、150年前の歴史的視点との比較に用います。		
参考書	伊藤 英一：情報社会と忘却権 http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/download.php?file_id=60387			
オフィスアワー	授業時間内、およびその前後の時間も含め、活発な質疑応答を歓迎します。また、メールでの質問、相談等は ito.eiichil1@nihon-u.ac.jp にお寄せください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	皆さんに自己紹介をしていただきますので、心積もりをお願いします。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
2	事前学習	その時々トピックに関心をもち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	ジャーナリズムとは？
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
3	事前学習	その時々トピックに関心をもち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	広報・広告の歴史
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
4	事前学習	その時々トピックに関心をもち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	情報ビジネスの歴史
	事後学習	興味の持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。

5	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアとは？
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
6	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアと歴史
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
7	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアと技術
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
8	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアを支配するもの(者/物)は？
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
9	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	情報と個人
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
10	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	情報と社会
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
11	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	情報と世界
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
12	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	情報と未来
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
13	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	広報・広告の未来展望
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
14	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	情報ビジネスの展望
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
15	事前学習	半年間の時事の変遷を振り返り、未来へのインパクトを考察して役立てて下さい。
	授業内容	ハイパー産業社会の未来を、どう生き抜くか??
	事後学習	共同学習の成果を今後に役立てて下さい。

科目名	ジャーナリズム・スタディーズⅠ	担当者	大井 眞二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校　社会　及び　高等学校　公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】　【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	現代社会の社会生活だけでなく日常生活ののすみずみまでに浸透している「ジャーナリズム」を改めて問い直す視座を提供する。			
授業目的・到達目標	授業概要を踏まえ、以下を目的とする。 ①ジャーナリズムのありようを批判的に読み解く力(批判的リテラシー)を身につけること。 ②ジャーナリズムをわれわれのものとするため、どのような質的な改善の方法あるかを考え、案出すること。			
履修条件	比較ジャーナリズム史の履修が望ましい。			
授業方法	教科書をベースにした講義中心となるが、ネットワークドライブ：学生教員共有（Y）にアップロードしている授業フォルダー資料を随時参照して欲しい。また学生諸君の議論参加を求めるなどインタラクティブな方法も採る。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業への参加度＋リアクションペーパー（25%） 小テスト（25%）、期末のまとめレポート(50%)	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度	世界思想社	現代ジャーナリズムを学ぶ人のために（第2版） 2018年	大井眞二、田村紀雄、鈴木雄雅編
	備考			
参考書	『The Global Journalist in the 21th Century』（David Weaver & Lars Willnat, Routledge, 2012）. 他は授業の折に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	講義概要・注意事項・参考文献紹介、次回授業の概要
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	教科書1章の精読
	授業内容	メディア化時代のジャーナリズム
	事後学習	リアクションペーパーの作成

3	事前学習	教科書2章の精読
	授業内容	ジャーナリズム史
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	教科書3章の精読
	授業内容	ジャーナリズム教育
	事後学習	リアクションペーパーの作成
5	事前学習	教科書4章の精読
	授業内容	ジャーナリズムの倫理・法制
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び教科書1章から4章の復習(小テスト準備)
6	事前学習	教科書5章の精読
	授業内容	取材と報道 小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	教科書6章の精読
	授業内容	「ニュースのコントロール」をめぐる相互作用過程
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	教科書7章の精読
	授業内容	プロフェッショナルリズムと客観性
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	教科書8章の精読
	授業内容	ジェンダーとメディア
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び教科書5章から8章の復習(小テスト準備)
10	事前学習	教科書9章の精読
	授業内容	ニュース価値と選択性 小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成
11	事前学習	教科書10章の精読
	授業内容	ニュースのフレーム
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	教科書11章の精読
	授業内容	ニュースにおける物語／神話のゆくえ
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	教科書12章の精読
	授業内容	オルタナティブ・ジャーナリズム
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び教科書9章から12章の復習(小テスト準備)
14	事前学習	教科書1章から12章までのノート整理
	授業内容	前期授業の総括と小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成

15	事前学習	教科書1章から12章の復習(まとめレポート準備)
	授業内容	まとめ：レポート
	事後学習	授業総括のリアクションペーパーの作成

科目名	ジャーナリズム・スタディーズⅡ	担当者	大井 眞二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代社会の社会生活だけでなく日常生活ののすみずみまでに浸透している「ジャーナリズム」を改めて問い直す視座を提供する。				
授業目的・ 到達目標	授業概要を踏まえ、以下を目的とする。 ①ジャーナリズムの制度、組織、構造、役割そして影響などの基本的な理解 ②グローバル化の文脈で、「日本のジャーナリズム」の基本的特徴の把握				
履修条件	比較ジャーナリズム史、ジャーナリズム・スタディーズⅠの履修。				
授業方法	教科書をベースにした講義中心となるが、ネットワークドライブ：学生教員共有（Y）にアップロードしている授業フォルダー資料を授業前に必ず参照して欲しい。また、学生諸君の議論参加を求めるインタラクティブな方法も採る。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度＋リアクションペーパー（25%）、小テスト（25%） 期末のまとめレポート(50%)	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書「ジャーナリズム・スタディーズの射程」（世界思想社）を準備中。			
参 考 書	『The Global Journalist in the 21th Century』（David Weaver & Lars Willnat, Routledge, 2012）. 他は授業の折に適宜紹介する。				
オフィス アワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	講義概要・注意事項・参考文献紹介、次回授業の概要
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	授業フォルダー（1）の資料精読
	授業内容	新たなジャーナリズム・スタディーズ（1）規範理論
	事後学習	リアクションペーパーの作成

3	事前学習	授業フォルダー（2）の資料精読
	授業内容	新たなジャーナリズム・スタディーズ（2）実証理論
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	授業フォルダー（3）の資料精読
	授業内容	比較ジャーナリズム（1）欧米理論
	事後学習	リアクションペーパーの作成
5	事前学習	授業フォルダー（4）の資料精読
	授業内容	比較ジャーナリズム（2）脱欧米理論
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び授業フォルダー資料（1）から（4）の復習（小テスト準備）
6	事前学習	資料フォルダー（5）の資料精読
	授業内容	メディアの自由の歴史：マスメディア 小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	資料フォルダー（6）の資料精読
	授業内容	メディアの自由の歴史；ネット時代の自由
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	資料フォルダー（7）の資料精読
	授業内容	ジャーナリズムの思想史：ビューリタニズム
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	資料フォルダー（8）の資料精読
	授業内容	ジャーナリズムの思想史：革新主義
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び資料（5）から（8）の復習（小テスト準備）
10	事前学習	資料フォルダー（9）の資料精読及
	授業内容	客観性の原理：起源 小テスト
	事後学習	リアクションペーパーの作成
11	事前学習	授業フォルダー（10）の資料精読
	授業内容	客観性の原理：プロフェッショナリズム
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	授業フォルダー（11）の資料精読
	授業内容	ジャーナリズムの行為規範：1000人調査から
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	授業フォルダー（12）の資料精読
	授業内容	ジャーナリズムの行為規範：WJS調査から
	事後学習	リアクションペーパーの作成及び授業フォルダー（9）から（12）の復習（小テスト準備）
14	事前学習	授業フォルダー（9）から（12）までのノート整理
	授業内容	後期授業の総括と小テスト
	事後学習	リアクションペーパー作成

15	事前学習	授業フォルダー（1）から(12)の復習（まとめレポート準備）
	授業内容	まとめ：レポート
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成

科目名	ジャーナリズム倫理Ⅰ	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	自律とは何かを理解し、ジャーナリストが遭遇する諸問題を自ら解決する素養を養う。				
授業目的・到達目標	ニュースを知るために新聞をきちんと読む人、何となくテレビの前にいる人等、マス・メディアとの接し方は人それぞれだろう。しかし、マス・メディアが現在の社会に不可欠なものであることは、否定できない事実である。それでは、マス・メディアはどうあるべきなのか。ジャーナリズムと呼ばれる行為は、マス・メディアにおけるどのようなもののことをいうのか。そうしたことが、なぜ倫理と関係してくるのか。こうしたことを受講者と一緒に考えていきたい。				
履修条件	テキストは必ず毎回持参。				
授業方法	講義形式で中心に行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	到達目標に達しているかどうかをレポート75%授業に対する取り組み方25%で判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2 0 1 0	南窓社		ジャーナリズム倫理学試論	
	備考				
参 考 書	川中康弘『新聞の自由と責任』（南窓社）				
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する
	授業内容	ガイダンス 講義概要 レポートの書き方等を中心に
	事後学習	レポートの書き方を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
2	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	ニュースとは何か ニュースの相対性 具体的な記事を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

3	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	専門職としてのジャーナリスト ジョゼフ・ピューリツァーの思い ジャーナリストはなぜ専門職か、を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
4	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	ジャーナリズムとは何か 社会の変遷とジャーナリズム 機械化・工業化・都市化を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
5	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	社会的責任論の登場背景 プレス自由委員会の位置づけ アメリカの具体例を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
6	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	社会的責任論とジャーナリズム倫理学① 社会的責任論の普及過程 『マスコミの自由に関する四理論』を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
7	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	社会的責任論とジャーナリズム倫理学② 記述倫理学と規範倫理学① メ講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。リルの批判を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
8	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	社会的責任論とジャーナリズム倫理学③ 記述倫理学と規範倫理学 新世界情報コミュニケーション秩序を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
9	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	ジャーナリズム倫理学の確立 ジャーナリズム倫理学の原理 メルル・ランベス・クリスチャンズを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
10	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	ジャーナリストの自律とは何か 自律と規範倫理学 メルルとクリスチャンズを中心として
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
11	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	日本の状況① GHQと日本のジャーナリズム 新聞倫理綱領と日本新聞協会を中心として
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
12	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	日本の状況② 日本のジャーナリズム教育と日本大学法学部新聞学科 日本大学法学部新聞学科の歴史を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
13	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	日本の状況③ 日本のアカウンタビリティ・システム 講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。具体的な内容を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

14	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	ジャーナリストの行為規範 五つの行為規範 これまでの講義をふまえて
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
15	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する
	授業内容	総括 講義概観 質疑応答を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。

科目名	ジャーナリズム倫理Ⅱ	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	ジャーナリストが遭遇する諸問題を自ら解決する素養を養い、必ずしも「正解」があるわけではない問題を、考え、プレゼンティングをし、自分なりの答を見出す、という習慣をつけることを目指す。					
授業目的・到達目標	ジャーナリズムとは、情報を伝える営みの種々の規範が伴った活動といえることができる。従って、ジャーナリズムとは、新聞記者や放送記者の報道活動のみを必ずしも指すわけではない。広告やバラエティ番組の制作であっても、情報を伝える活動には何某かの規範が伴うのであって、その意味では、ジャーナリズムの一端を担うものといえる。本講義では、情報を伝えるという営みに携わる場合、どのような規範に従えばいいかを、事例をテーマに受講者全員でプレゼンティングをしながら考えていこうというものである。					
履修条件	・ジャーナリズム倫理Ⅰの単位取得者であること。 ・テキストは必ず毎回持参。					
授業方法	講義形式とプレゼンティングを併用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	到達目標に達しているかどうかをプレゼンティングへの参加状況75%、取り組み方25%：、で判断する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2010	南窓社		ジャーナリズム倫理学試論		
	備考					
参考書	川中康弘『新聞の自由と責任』（南窓社）					
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する
	授業内容	ガイダンス：講義概要 事例① 「ハゲワシと少女」 事例①に関するプレゼンティング
	事後学習	自身の発言を反省する
2	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例② 紛争地取材と専門職倫理① 後藤健二の行為の内容の理解 事例②に関する講義を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく

3	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例② 紛争地取材と専門職倫理② 後藤健二の行為の評価 事例②のプレゼンティング
	事後学習	自身の発言を反省する
4	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例③ 外務省秘密電文漏洩事件① 西山太吉の行為の内容の理解① 事例③のビデオなどによる説明を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
5	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例③ 外務省秘密電文漏洩事件② 西山太吉の行為の内容の理解② 事例③に関する講義を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
6	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例③ 外務省秘密電文漏洩事件③ 西山太吉の行為の論点整理 事例③に関するプレゼンティング①
	事後学習	自身の発言を反省する
7	事前学習	前回のプレゼンティングの内容を把握する
	授業内容	事例③ 外務省秘密電文漏洩事件④ 西山太吉の行為の評価 事例③に関するプレゼンティング②
	事後学習	自身の発言を反省する
8	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例④ 記者クラブ問題① 記者クラブの歴史 事例④に関する講義を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
9	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例④ 記者クラブ問題② 記者クラブの問題点 事例④に関する講義を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
10	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例④ 記者クラブ問題③ 記者クラブと受け手 事例④に関する講義を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
11	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例④ 記者クラブ問題④ ジャーナリストと受け手の信頼 事例④に関するプレゼンティング
	事後学習	自身の発言を反省する
12	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例⑤ 東電社員殺害事件① セカンド・レイプの理解 事例⑤に関する講義を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
13	事前学習	自身の発言を反省する
	授業内容	事例⑤ 東電社員殺害事件② 報道内容の評価 事例⑤に関するプレゼンティング
	事後学習	自身の発言を反省する

14	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例⑥ 吉田調書① 調書の理解 事例⑥の体験を中心に
	事後学習	講義の内容を理解しておくように、テキスト等で確認しておく
15	事前学習	ジャーナリズム倫理Ⅰを復習しておく
	授業内容	事例⑥ 吉田調書② 関連報道の評価 事例⑥に関するプレゼンテーション
	事後学習	自身の発言を反省する

科目名	社会情報システム研究	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会において、情報武装としてのコンピュータの知識・技術は不可欠なものといえる。特に、資料やデータを収集・加工・分析する能力は必須である。ここでは、データベースソフトを用いたデータの集計や加工、分析などの処理について扱う。				
授業目的・到達目標	【授業目的】各種データの収集・加工・分析に必要な不可欠な「情報活用能力」を身に付けるために、基礎的スキルとしてのAccessの基本的操作方法を学習する。Accessを用いたデータの集計や加工、分析を行うための基本的な操作を習得すると同時に、データベースを設計し、必要なデータを抽出できる。さらに、グラフや表を作成し、視覚化した資料を作成できるようにすることを目標とする。 【到達目標】1. PCの基礎的取り扱いやファイルの管理方法について理解する。2. Accessの基本的操作方法を理解する。3. グラフや表を作成し視覚的なデータに加工できる。4. データを用い、統計処理や分析ができる。				
履修条件	Accessは比較的難解なためわかりやすい授業を心掛けているが、できればWord、Excel等の経験者が望ましい。ただし、頑張る気持ちがあればコンピュータ初心者でも対応する。				
授業方法	PC教室でコンピュータを利用した演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業内でコンピュータを利用した実技試験を実施（50%） 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	テキストは使用しない。必要に応じて資料をファイル形式で事前に配付する。			
参考書	講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ID、パスワードを事前に確認しておく、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	法学部情報システムの利用法、講義計画、成績評価方法
	事後学習	PCの基本構造について復習する
2	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	データベースの概略
	事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 1（リレーショナルデータベース）
	事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 2（データベースの設計）
	事後学習	授業内容の復習

5	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 3（テーブル：主キー、データ型、フィールドプロパティ）
	事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 4（テーブル：インポート、CSVファイル）
	事後学習	授業内容の復習
7	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 5（テーブル：リレーションシップ、参照整合性）
	事後学習	授業内容の復習
8	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 6（クエリ：選択クエリ、並べ替え、抽出条件）
	事後学習	授業内容の復習
9	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 7（クエリ：演算フィールド、集計）
	事後学習	授業内容の復習
10	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 8（クエリ：パラメータクエリ、Where条件）
	事後学習	授業内容の復習
11	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 9（フォーム：ツール、プロパティシート）
	事後学習	授業内容の復習
12	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 10（フォーム：プロパティの設定）
	事後学習	授業内容の復習
13	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 11（レポート：レポートウィザード、宛名ラベル）
	事後学習	授業内容の復習
14	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Access 12（表、グラフの作成：ピボットテーブル、ピボットグラフ）
	事後学習	授業内容の復習
15	事前学習	学習内容の再確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	授業内容の総点検

科目名	社会情報システム論	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会において、情報武装としてのコンピュータの知識・技術は不可欠なものといえる。特に、資料やデータを収集・加工・分析する能力は必須である。ここでは、表計算ソフトを用いて、データの集計や視覚化、加工などの処理について扱う。さらに、統計処理や分析についても触れていく。				
授業目的・到達目標	【授業目的】各種データの収集・加工・分析に必要な不可欠な「情報活用能力」を身に付けるために、基礎的スキルとしてのExcelの基本的操作方法を学習する。Excelを用いた表の作成および集計を行うための基本的な計算式や関数を習得すると同時に、ビジネスグラフを作成し視覚的なデータに加工できる。さらに、データから必要な情報を取り出し 統計処理や分析ができるようになることを目標とする 【到達目標】1.PCの基礎的取り扱いやファイルの管理方法について理解する。2.Excelの基本的操作方法を理解する。3. ビジネスグラフを作成し視覚的なデータに加工できる。4. データを用い、統計処理や分析ができる。				
履修条件	わかりやすい授業を心掛けており、コンピュータ初心者でも可。				
授業方法	PC教室でコンピュータを利用した演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業内でコンピュータを利用した実技試験を実施（50%） 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	テキストは使用しない。必要に応じて資料をファイル形式で事前に配付する。			
参考書	講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ID, パスワードを事前に確認しておく, 事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	法学部情報システムの利用法, 講義計画, 成績評価方法
	事後学習	PCの基本構造について復習する
2	事前学習	HP上の企業情報や官公庁の各種開示データを閲覧する
	授業内容	インターネットによる情報検索（収集, 加工, 分析, 評価）, Eメール利用, ファイル添付
	事後学習	情報検索について復習する
3	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 1（表の作成と計算）
	事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 2（計算式の利用、セル属性とコピー）
	事後学習	授業内容の復習

5	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 3（基本的な関数、SUM, AVERAGE, MAX, MIN）
	事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 4（絶対参照・相対参照、条件分岐、RANK, IF）
	事後学習	授業内容の復習
7	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 5（棒グラフ作成、2軸グラフ）
	事後学習	授業内容の復習
8	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 6（条件付き書式、データの入力規則）
	事後学習	授業内容の復習
9	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 7（簡易データベース機能、並べ替え、フィルタ、小計）
	事後学習	授業内容の復習
10	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 8（データ参照、VLOOKUP）
	事後学習	授業内容の復習
11	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 9（グラフの種類と特徴）
	事後学習	授業内容の復習
12	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 10（クロス集計）
	事後学習	授業内容の復習
13	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 11（基本統計量、相関分析、ヒストグラム）
	事後学習	授業内容の復習
14	事前学習	事前配布ファイルを確認し、次回取り扱う内容を予習する
	授業内容	Microsoft Excel 12（回帰分析）
	事後学習	授業内容の復習
15	事前学習	学習内容の再確認
	授業内容	総まとめ
	事後学習	授業内容の総点検

科目名	社会政策論Ⅰ	担当者	矢野 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	社会政策は、公共政策の中でもとりわけ人々が日常生活で遭遇する問題の解決や福祉の向上を図る目的で、日本や世界全体の政策動向と政策決定について学ぶための学問である。今日労働政策、労務管理、社会保障政策、保健医療政策、福祉政策、教育政策、住宅政策などを含む概念として理解されているが、これを人間の権利と尊厳を重視する視点から概説する。			
授業目的・到達目標	社会政策の政策目標は、産業社会の諸問題の緩和である。大きくは生活の向上と基本的人権の尊重である。これに従って学校教材の基礎、公務員試験対策、福祉行政の知識やNP0活動のための知識のほか、広く人々にとって幸福、権利、尊厳とは何か、について深く理解できるように講義を行う。学問としてのアプローチと分析方法を知ることによって、政府の政策に対する科学的・客観的な評価を行う力を身に着ける。			
履修条件	社会政策に関心がある諸君すべて受講可能である。学科、年次は問わない。（行政職課程は2年次から）			
授業方法	講義形式で行う。授業はパワーポイントとプリントを中心に行う。アンケートの結果も踏まえ、適切な受講者数であれば、ある程度討論を含む演習方式も採用したい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	期末試験	
	平常評価	20%	授業参加度	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参考書	特に指定しない、授業の際に指示する。			
オフィスアワー	木、金曜日11時30分から13時前まで			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	図書館等で社会政策に関する基本的文献にあたる。
	授業内容	はじめに 社会政策とは何か
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
2	事前学習	社会政策の源流について調べる。
	授業内容	社会政策の範囲、対象、および代表的な学説(ドイツ、イギリス)
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。

3	事前学習	公共政策のうち、社会政策の特徴について調べる。
	授業内容	秩序維持政策、経済財政政策、および社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
4	事前学習	法律、制度形成に至る社会政策の特徴について理解する。
	授業内容	立法過程論と社会政策との違い
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
5	事前学習	福祉国家とは何か、社会政策とのかかわりについて調べる。
	授業内容	社会政策の到達点、福祉国家諸国の変容
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
6	事前学習	第二次世界大戦後の国際政治体制の変化と社会政策について調べる。
	授業内容	イギリス社会政策　ブレトンウッズ体制、マーシャルプランによるベヴァリッジ計画の変容
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
7	事前学習	福祉国家イギリスの衰退と社会政策の変容過程について調べる。
	授業内容	イギリス社会政策　大英帝国の衰退、ストップ・ゴー経済政策の矛盾、英国病、債務国への凋落
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
8	事前学習	新自由主義の登場の原因と推移について調べる。
	授業内容	イギリス社会政策　サッチャーの登場と福祉国家、社会政策の見直し
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
9	事前学習	現代のイギリス社会政策について調べる。
	授業内容	イギリス社会政策　イギリス社会政策の理念と現実のギャップ。ブレア、キャメロンからメイへ
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
10	事前学習	日本の社会政策の源流について調べる。
	授業内容	日本社会政策　江戸期から明治・大正期の社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
11	事前学習	日本の産業化の黎明期と社会政策の対応について調べる。
	授業内容	日本社会政策　労働運動、米騒動等により、政府が行った戦前、戦時期の社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
12	事前学習	日本国憲法の成立と福祉国家の歩みについて調べる。
	授業内容	日本社会政策　戦後から現代の社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
13	事前学習	現代の社会政策の対応につて調べる。
	授業内容	現代日本の社会政策の特徴
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
14	事前学習	現在、社会政策上で政策課題として挙げられる社会問題について調べる。
	授業内容	社会政策が当面する課題
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。

15	事前学習	前期授業を総括し、社会政策が有する特徴についてまとめる。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	配布されたプリントと作成したノートを基に、前期授業の概要をまとめる。

科目名	社会政策論Ⅱ	担当者	矢野 聡	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	社会政策は、公共政策の中でもとりわけ人々が日常生活で遭遇する問題の解決や福祉の向上を図る目的で、日本や世界全体の政策動向と政策決定について学ぶための学問である。今日労働政策、労務管理、社会保障政策、保健医療政策、福祉政策、教育政策、住宅政策などを含む概念として理解されているが、これを人間の権利と尊厳を重視する視点から概説する。				
授業目的・ 到達目標	社会政策の政策目標は、産業社会の諸問題の緩和である。大きくは生活の向上と基本的人権の尊重である。これにしたがって公務員試験対策、福祉行政やNPO活動のほか、人々にとって幸福、権利、尊厳とは何か、について深く理解できるように講義を行う。学問としてのアプローチと分析方法を知ることによって、政府の政策に対する科学的・客観的な評価を行う力を身に着ける。また社会政策が人々の権利や尊厳をもとに制度設計がなされる傾向にある点にも注目して講義を行う。				
履修条件	社会政策に関心がある諸君はすべて受講可能である。学科、年次は問わない。（行政職課程は2年次から）				
授業方法	講義形式で行う。授業はパワーポイントとプリントを中心に行う。アンケートの結果も踏まえ、適切な受講者数であれば、ある程度討論を含む演習方式も採用したい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		80%	期末試験	
	平 常 評 価		20%	授業参加度	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	なし			
参 考 書	特に指定しない、授業の際に指示する。				
オフィス アワー	木、金曜日11時30分から13時前まで				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	人間の権利の獲得について、その歴史的過程（1948年国連世界人権宣言等）を調べる。
	授業内容	人権思想と社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
2	事前学習	人権問題の原点ともいえる「優生思想」について調べる。
	授業内容	人間の権利に反する思想「優生思想」の発生根拠とその理論、世界的普及の過程
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。

3	事前学習	かつてわが国で行われた人権問題について調べる。
	授業内容	「血友病エイズ問題」と「らい予防法」「優生保護法」
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
4	事前学習	人権思想をどう発展させるか、について調べる。
	授業内容	ジョン・ロールズ、マイケル・サンデルの正義論と人権思想
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
5	事前学習	生産中心主義の社会思想と人権思想をどのように融合するか、について考察する。
	授業内容	優生思想の残滓、知的障害者大量殺人事件と現代社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
6	事前学習	現代政治と社会政策について調べる。
	授業内容	経済財政諮問会議と社会政策
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
7	事前学習	現代の労働、賃金、失業率について調べる。
	授業内容	最低賃金と失業率
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
8	事前学習	社会保障国民会議の答申と福祉政策の在り方について調べる。
	授業内容	少子高齢化と介護・福祉問題、社会保障政策の方向性
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
9	事前学習	現代の貧困問題について調べる。
	授業内容	貧困問題とは何か。その原因と解決の方向性について。
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
10	事前学習	フリーター、ニートのの定義とその実態について調べる。
	授業内容	雇用問題　フリーター、ニートについて
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
11	事前学習	いわゆる非正規雇用問題についてその定義と実態について調べる。
	授業内容	雇用問題　非正規雇用のメリット、デメリット
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
12	事前学習	女性雇用、障害者雇用について調べる。
	授業内容	雇用問題　男女雇用平等と女性雇用、福祉の権利（福祉権）と障害者雇用
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
13	事前学習	OECD、EU等の統計資料から世界各国の社会政策の動向を調べる。
	授業内容	社会政策の国際的動向、欧米先進国の社会政策の動向と我が国への示唆
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。
14	事前学習	日本の労働市場における外国人労働の実態と課題について調べる。
	授業内容	社会保障、社会政策の問題解決のための優先順位　外国人労働の導入について
	事後学習	授業で配布されたプリントを参考にノートを整理する。

15	事前学習	今まで配布されたプリントと作成したノートを整理する。
	授業内容	後期のまとめ 新たな社会政策の制度設計 生産至上主義に代わるもの
	事後学習	配布されたプリントと作成したノートを基に、後期授業の概要をまとめる。

科目名	社会調査概論	担当者	島崎 哲彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	社会調査は、大学等の研究機関における理論・仮説の検証、行政における国情の実態把握、マスコミにおける世論の動向の把握、企業における消費動向の把握等様々な領域で活用されている。本授業では、調査対象の傾向を量的に把握しようとする定量調査について、各手法とその特性、及び調査計画立案から実施、集計、分析、報告書作成に至る過程とその要点について、講義する。				
授業目的・到達目標	授業概要にあげた定量調査・統計の基礎的手法の習得を目的とする。調査計画からデータ分析まで一通りの知識を習得し、各自が調査実施が可能な能力を身につけること、また、他者の実施した調査の報告書等から有用な知見を読み取る能力を身につけることを到達目標とする。				
履修条件	なし。				
授業方法	教科書に沿って講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度50%、レポート50% レポートの内容は、学生各自のテーマに基づく世論調査の「調査計画書」の作成	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	学文社		『社会調査の実際-統計調査の方法とデータの分析-』第12版	島崎哲彦・大竹延幸
	備考				
参考書	なし。				
オフィスアワー	学生の相談等には、下記のアドレスのメールで対応する。 akihikos@xui.biglobe.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「第1章社会調査とは」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	講義計画の概要
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわかりい部分を具体的に質問すること。
2	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	社会調査とは 社会調査の定義、効用と限界、仮説検証と事実探索等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわかりい部分を具体的に質問すること。

3	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	定量的手法の種類 面接調査、留め置き調査、郵送調査、電話調査、電子調査、インターネット調査等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
4	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	定量的手法の手順と設計 手順の概略と要点、仮説構築、調査設計
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
5	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	標本抽出と推計① 母集団と標本、確率比例抽出法、等確率抽出法、確率比例2段抽出法の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
6	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	標本抽出と推計② 割り当て抽出法、標本誤差等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
7	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査票の設計① 作成手順、質問文・回答選択肢の設計
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
8	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査票の設計② 回答形式等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
9	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査の実施① 手法別実施方法、調査環境
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
10	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査の実施② 回収率と推計、インスペクション等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
11	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	集計 集計計画、コーディング、データチェック、単純集計、クロス集計等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
12	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	データ分析① 平均値、中央値、最頻値
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
13	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	データ分析② 分散、標準偏差、四分位偏差
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。
14	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	データ分析③ 相関係数、検定
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからい部分を具体的に質問すること。

15	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査報告書の作成
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、この回の授業終了時にわかり部分を具体的に質問すること。

科目名	社会保障法Ⅰ	担当者	神尾 真知子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	社会保障法は、どのような法なのかを、その歴史、概念、体系、法理念から解明する。社会保障法と憲法の問題を取り上げる。代表的な判例を学び、社会保障法の法解釈を学修する。また、少子高齢社会における社会保障立法のあり方も考察する。					
授業目的・到達目標	社会保障法の理念及び制度を理解し、社会保障に関する判例を学ぶことによって、法解釈ができるようにする。					
履修条件	静粛に授業を聞くこと。社会保障法Ⅰと社会保障法Ⅱの両方を履修して、社会保障法の全体像が理解できます。					
授業方法	講義形式。社会保障法令便覧で条文を確認しながら講義を進める。適宜受講生に条文や判決を読んでもらったり、意見を求めたりすることがある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	前期末及び後期末の最終講義時に筆記試験を実施し、総合点によって評価。毎回の講義内容の理解を確認するペーパーは、授業参加度が良好な場合はプラスにのみ評価する		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	不磨書房		トピック社会保障法2018年版		本沢巳代子・新田秀樹編著
	2018年度	労働調査会		社会保障法令便覧2018年版		社会保障法令便覧編集委員会編
	備考	上記2冊の教科書は講義に必須ですので、必ず購入してください。				
参考書	『社会保障判例百選(第5版)』有斐閣、社会保障法学会編『講座社会保障法』（全6巻）法律文化社、社会保障法学会編『新・社会保障法』（全3巻）法律文化社					
オフィスアワー	月曜日12時30分～13時（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室（4号館4階444） kamio.machiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保障法の歴史、概念、目的、機能、財源
	事後学習	社会保障法はどのような法なのかを確認する。
2	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保障法の法理念、法体系、法源
	事後学習	社会保障法の法源を確認する。

3	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－医療保険①
	事後学習	医療保険の仕組みを確認する。
4	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－医療保険②
	事後学習	医療保険の仕組みを確認する。
5	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会保険－医療保険③
	事後学習	医療保険関連判決の判旨を確認する。
6	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－介護保険①
	事後学習	介護保険の仕組みを確認する。
7	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会保険－介護保険②
	事後学習	介護保険の仕組みを確認する。介護保険関連判決の判旨を確認する。
8	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－年金保険①
	事後学習	年金保険の仕組みを確認する。
9	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－年金保険②
	事後学習	年金保険の仕組みを確認する。
10	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会保険－年金保険③
	事後学習	年金保険関連判決の判旨を確認する。
11	事前学習	日本年金機構について調べる。
	授業内容	年金保険実務についてのゲストスピーカー
	事後学習	日本年金機構の理解を確認する。
12	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－労災保険①
	事後学習	労災保険の仕組みを確認する。
13	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－労災保険②
	事後学習	労災保険の仕組みを確認する。
14	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会保険－労災保険③
	事後学習	労災保険関連判決の判旨を確認する。

15	事前学習	前学期の講義内容を確認する。
	授業内容	前学期のまとめの試験を実施。振り返り。
	事後学習	前学期講義内容を確認する。

科目名	社会保障法Ⅱ	担当者	神尾 真知子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	社会保障法は、どのような法なのかを、その歴史、概念、体系、法理念から解明する。社会保障法と憲法の問題を取り上げる。代表的な判例を学び、社会保障法の法解釈を学修する。また、少子高齢社会における社会保障立法のあり方も考察する。 社会保障法Ⅰは社会保険を中心に、社会保障法Ⅱは社会福祉サービス、公的扶助、社会手当を中心に講義する。					
授業目的・到達目標	社会保障法の理念及び制度を理解し、社会保障に関する判例を学ぶことによって、法解釈ができるようにする。					
履修条件	社会保障法全体を理解するために、社会保障法Ⅰ及び社会保障法Ⅱを通して履修してほしい。					
授業方法	講義形式。社会保障法令便覧で条文を確認しながら講義を進める。また、適宜受講生にあてて、発言を求める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	前期末及び後期末の最終講義時に筆記試験を実施し、総合点によって評価。毎回の講義内容の理解を確認するペーパーは、授業参加度が良好な場合はプラスにのみ評価する		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	不磨書房		トピック社会保障法2018年版		本沢巳代子・新田秀樹編著
	2018年版	労働調査会		社会保障法令便覧2018年版		社会保障法令便覧編集委員会編
	備考	上記2冊の教科書は講義に必須ですので、必ず購入してください。				
参考書	『社会保障判例百選(第5版)』有斐閣、社会保障法学会編『講座社会保障法』（全6巻）法律文化社、社会保障法学会編『新・社会保障法』（全3巻）法律文化社					
オフィスアワー	月曜日12時30分～13時（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室（4号館4階444） kamio.machiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会保険－雇用保険①
	事後学習	雇用保険の仕組みを理解する。
2	事前学習	判決の関連する知識を確認する。
	授業内容	社会保険－雇用保険②
	事後学習	雇用保険関連判決の判旨を確認する。

3	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会福祉サービス－児童福祉①
	事後学習	児童福祉の仕組みを確認する。
4	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会福祉サービス－児童福祉②
	事後学習	児童福祉の仕組みを理解する。
5	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会福祉サービス－児童福祉③
	事後学習	児童福祉関連判決の判旨を確認する。
6	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会手当－児童手当
	事後学習	児童手当の仕組みを理解する。
7	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会手当－児童扶養手当①
	事後学習	児童扶養手当の仕組みを理解する。
8	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会手当－児童扶養手当②
	事後学習	児童扶養手当関連判決の判旨を確認する。
9	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	社会福祉サービス－障がい者福祉①
	事後学習	障がい者福祉の仕組みを理解する。
10	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	社会福祉サービス－障がい者福祉②
	事後学習	障がい者福祉関連判決の判旨を確認する。
11	事前学習	障がい者福祉の仕組みを再確認する。
	授業内容	障がい者福祉に携わっている方の講演（ゲストスピーカー）
	事後学習	障がい者福祉の実情と課題を確認する。
12	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。
	授業内容	公的扶助－生活保護①
	事後学習	生活保護の仕組みを確認する。
13	事前学習	判決に関連する知識を確認する。
	授業内容	公的扶助－生活保護②
	事後学習	生活保護関連判決の判旨を確認する。
14	事前学習	教科書の該当部分を読んでおく。判決に関連した知識を確認する。
	授業内容	外国人と社会保障
	事後学習	外国人への社会保障の適用及び関連判決の判旨を理解する。

15	事前学習	後学期の講義内容を確認する。
	授業内容	後学期のまとめの試験を実施。振り返り。
	事後学習	後学期講義内容の理解を確認する。

科目名	社会保障論Ⅰ	担当者	矢野 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	今日のわが国で最も重要な政策項目の一つである社会保障について全体的に学ぶ。前期では主に社会保障の概念、歴史を学び、その思想を理解する。					
授業目的・到達目標	社会保障の制度となる医療保険、年金、雇用保険、労災制度、介護保険、そして公的扶助制度及び社会福祉サービスについて、その制度を完全に理解できるように講義する。学生諸君は、講義が終了するところにはマスメディアや就職試験に頻繁に出てくる医療や年金、雇用・労災、介護・福祉の制度について、難なく理解するだけの知識が得られる。本講義に積極的に参加して、水準の高い社会保障の理解を得ていただきたい。					
履修条件	学科の別を選ばない。履修を望む者に対しては、それが実現できるようにする。ただ、授業内容の難易度は低くないが、就活や資格試験として一般社会に必要な知識が要求されるので、できる限り早いうちの履修が望ましい。					
授業方法	シラバスに沿って講義形式で行う。教科書は毎週持参のこと。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		80%	期末に行う		
	平 常 評 価		20%	授業参加度（20%）		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	労働調査会		社会保障法令便覧 2018		編集委員長 矢野聡
	備考					
参 考 書	矢野 聡『日本公的年金政策史研究』 ミネルヴァ書房 2012年					
オフィスアワー	木、金曜日11時30分から13時前まで					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	図書館等で社会保障の概要について調べる。
	授業内容	イントロダクション、社会保障とは何か
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
2	事前学習	法学部における社会保障の理念、目的とは何かについて理解する。
	授業内容	社会保障の理念 目的
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。

3	事前学習	社会保障の源流であるイギリスの歴史について調べる。
	授業内容	社会保障の歴史（１） イギリス救貧法と公的扶助
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
4	事前学習	ドイツの宰相ビスマルクが創始した社会保険制度について調べる。
	授業内容	社会保障の歴史（２） ドイツ社会政策と社会保険制度
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
5	事前学習	ルーズベルト大統領のニューデール政策と、世界最初の社会保障法について調べる。
	授業内容	社会保障の歴史（３） 世界大恐慌とアメリカ社会保障法
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
6	事前学習	日本の近代化とヨーロッパの社会保険制度の導入過程について調べる。
	授業内容	日本の社会保障（１） 明治大正期の労働保険
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
7	事前学習	健康保険制度成立の経緯について調べる。
	授業内容	日本の社会保障（２）健康保険法の成立と展開
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
8	事前学習	労働者年金制度の成立の経緯について調べる。
	授業内容	日本の社会保障（３）年金制度の成立と展開
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
9	事前学習	敗戦後の国家目標としての社会保障の確立の経緯について調べる。
	授業内容	日本の社会保障（４）戦後社会保障の成立
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
10	事前学習	高度経済成長と国民皆保険、皆年金児童手当、老人医療費無料化につて調べる。
	授業内容	日本の社会保障（５）社会保障の拡大
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
11	事前学習	政府予算に占める社会保障の比率、社会保障給付費、国民医療費等について調べる。
	授業内容	社会保障の給付と負担
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
12	事前学習	2000年以降の社会保障構造改革の動きについて調べる。
	授業内容	効率と公平、新自由主義と社会保障
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
13	事前学習	社会保障と政治動向について調べる。
	授業内容	政治と社会保障、国家財政政策、政権交代が及ぼす影響
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
14	事前学習	社会保障国民会議による社会保障の指針と政府の実行状況について調べる。
	授業内容	社会保障国民会議答申と、最近の社会保障政策の動き。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。

15	事前学習	前期の講義概要をまとめる。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期に配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。

科目名	社会保障論Ⅰ	担当者	山村 りつ	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	社会保障とそれに関連する政策に係る現在およびこれまでの日本国内外の状況について、政治的・制度的・理念的観点から捉え、その全体像をつかむとともに、現在の社会保障政策において基礎となる概念と価値観を探究する。					
授業目的・到達目標	複雑な社会保障政策のいずれか一部にでも興味を持てるようになること。社会保障を幅広くとらえ、さまざまな分野および活動を社会保障の視点から捉えられるようになること。 学生個々人が、社会保障全体およびいずれかの特定の分野について、社会保障政策とそのありようについてのその個人なりの現状把握と政策的展望を獲得し、政策提言等の形で表現することができるようになること。					
履修条件	社会保障および社会政策について最低限の基礎的理解（どんなイメージか程度でも可）を獲得し自らの糧することについての意欲と意識をもっていること。					
授業方法	講義形式をとるが、学生からの意見や価値観の表明があることを大いに期待する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		60%	通常の試験を行う。		
	平 常 評 価		40%	授業内での参加の状況および、授業後に回収するコメントに対して、内容の妥当性や表現方法の適切さを踏まえた上で評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	有斐閣アルマ		はじめての社会保障		棕野美智子ほか
	備考	購入は必須ではありません。				
参 考 書	特になし。ただし当該授業の参考資料をその前回の授業で随時案内していく。					
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス熟読
	授業内容	オリエンテーション:社会保障と制度の概観
	事後学習	授業で配布する資料に目を通す
2	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障の基本的知識
	事後学習	授業内で示す課題について考察する

3	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	歴史的展開:創生から拡大
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
4	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	歴史的展開:成熟と安定化
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
5	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	歴史的展開：危機と転換
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
6	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障における価値
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
7	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会の保障の対象とマイノリティ
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
8	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	世界的潮流と背景
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
9	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障制度の構造的理解
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
10	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	国家類型論の理解
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
11	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障における受給と抛出
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
12	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障供給における理論
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
13	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障における重要な概念
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
14	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障における「国家」問題
	事後学習	授業内で示す課題について考察する

15	事前学習	試験のための総復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	試験問題の確認

科目名	社会保障論Ⅱ	担当者	矢野 聡	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	今日のわが国で最も重要な政策項目の一つである社会保障について全体的に学ぶ。社会保障Ⅱでは各制度、すなわち医療保険、年金、雇用保険、労災制度、介護保険、そして公的扶助制度及び社会福祉サービスについて、その制度を完全に理解できるように講義する。					
授業目的・到達目標	学生諸君は、講義が終了するところにはマスメディアや就職試験に頻繁に出てくる医療や年金、雇用・労災、介護・福祉の制度について、難なく理解するだけの知識が得られる。本講義に積極的に参加して、水準の高い社会保障の理解を得ていただきたい。					
履修条件	学科の別を選ばない。履修を望む者に対しては、それが実現できるようにする。ただ、授業内容の難易度は低くないが、就活や資格試験として一般社会に必要な知識が要求されるので、できる限り早いうちの履修が望ましい。					
授業方法	シラバスに沿って講義形式で行う。教科書は毎週持参のこと。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	期末に行う		
	平常評価		20%	授業参加度（20%）		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	労働調査会		社会保障法令便覧 2018年度版		編集委員長 矢野聡
	備考					
参考書	矢野 聡『日本公的年金政策史研究』 ミネルヴァ書房 2012年					
オフィスアワー	木、金曜日11時30分から13時前まで					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	社会保障各制度の予習をする。日本の公的年金制度について調べる。
	授業内容	公的年金制度 国民年金制度、厚生年金制度の仕組み。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
2	事前学習	企業年金、国民年金基金、民間の個人年金について調べる。
	授業内容	公的年金以外の年金制度
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。

3	事前学習	被用者医療保険制度について調べる。
	授業内容	健康保険制度（協会けんぽ、健保組合、公務員共済組合）について。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
4	事前学習	その他の医療保険制度について調べる。
	授業内容	国民健康保険制度、後期高齢者医療制度について。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
5	事前学習	労働者災害補償保険(労災保険)制度について調べる。
	授業内容	労働者災害補償保険制度の特徴について。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
6	事前学習	雇用保険制度の基本手当制度について調べる。
	授業内容	雇用保険制度の失業給付その他の仕組み。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
7	事前学習	雇用保険の失業給付以外の制度について調べる。
	授業内容	雇用保険の失業給付以外の各制度について。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
8	事前学習	介護保険制度について調べる。
	授業内容	介護保険制度の仕組みと特徴について。保険料、財源、給付額その他について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
9	事前学習	公的扶助(生活保護)制度について調べる。
	授業内容	生活保護制度について。給付の申請、認定、保護の種類、給付内容等について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
10	事前学習	児童手当制度、児童の社会福祉給付制度について調べる。
	授業内容	児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当について。保険料、財源、給付額その他について。。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
11	事前学習	国家予算に占める社会保障の割合、社会保障給付費等について調べる。
	授業内容	国家予算に占める社会保障の割合、社会保障給付費、国民医療費等の統計の読み方と年次推移について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
12	事前学習	欧米先進国と比較した日本の社会保障の特徴について調べる。
	授業内容	社会保障のOECD、EU加盟諸国等との国際比較から見たわが国の特徴。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
13	事前学習	2013年から行われている税・社会保障の一体改革について調べる。
	授業内容	税・社会保障の一体改革について。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。
14	事前学習	労働と社会保障との関係について調べる。
	授業内容	労働と社会保障との関係と望ましい在り方に関する提言。
	事後学習	配布されたプリントに沿って授業内容を復習し、ノートを作る。

15	事前学習	後期のまとめ。
	授業内容	まとめ 日本社会保障の今日的要件と将来予測
	事後学習	後期の授業で配布されたプリント、作成したノートをもとに全体をまとめる。

科目名	社会保障論Ⅱ	担当者	山村 りつ	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	社会保障とそれに関連する政策に係る現在およびこれまでの日本国内外の状況について、政治的・制度的・理念的観点から捉え、その全体像をつかむとともに、現在の社会保障政策において基礎となる概念と価値観を探究する。					
授業目的・到達目標	複雑な社会保障政策のいずれか一部にでも興味を持てるようになること。社会保障を幅広くとらえ、さまざまな分野および活動を社会保障の視点から捉えられるようになること。 学生個々人が、社会保障全体およびいずれかの特定の分野について、社会保障政策とそのありようについてのその個人なりの現状把握と政策的展望を獲得し、政策提言等の形で表現することができるようになること。					
履修条件	社会保障および社会政策について最低限の基礎的理解（どんなイメージか程度でも可）を獲得し自らの糧することについての意欲と意識をもっていること。					
授業方法	講義形式をとるが、学生からの意見や価値観の表明があることを大いに期待する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		60%	通常の試験を行う。		
	平 常 評 価		40%	授業内での参加の状況および、授業後に回収するコメントに対して、内容の妥当性や表現方法の適切さを踏まえた上で評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	有斐閣アルマ		はじめての社会保障		棕野美智子ほか
	備考	購入は必須ではありません。				
参 考 書	特になし。ただし当該授業の参考資料をその前回の授業で随時案内していく。					
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読と前期の復習
	授業内容	前期の振り返りと後期に向けての確認事項
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
2	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論①-1:医療保障の方法論
	事後学習	授業内で示す課題について考察する

3	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論①-2：医療保障政策
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
4	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論②-1：所得保障の方法論
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
5	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論②-2：所得保障政策と公的扶助
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
6	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論②-3：所得保障政策と公的年金制度
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
7	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論③-1：労働保障の方法論
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
8	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論③-2：労働保障政策
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
9	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論④：教育の保障
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
10	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論⑤-1：社会サービス供給の方法論
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
11	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	各論⑤-2：社会サービスによる生活保障
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
12	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	我が国の社会保障財政
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
13	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障財政における方法論
	事後学習	授業内で示す課題について考察する
14	事前学習	授業で配布する資料に目を通す
	授業内容	社会保障政策の課題
	事後学習	授業内で示す課題について考察する

15	事前学習	試験のための総復習
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	試験問題の確認

科目名	出版メディア I	担当者	森重 良太	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	出版にまつわる様々な事象を解説し、考えてもらう。毎回、新聞記事などをもとに、ものすごい量の情報を提供するの で、その中から、自分のテーマを見つけて、あとは自分の力で発展させてほしい。					
授業目的・ 到達目標	①将来、出版関連業界（編集、書店、印刷、取次など）に進みたいひとと、②書痴のために、専門知識を身につける講 義。すでに、ある程度の読書習慣のあるひとが対象です。①②以外のひとには、まったく役に立たず、つらいだけなの で、絶対に受講しないでください。 卒業後、出版関連業界（上記）ですぐに対応できる基礎実力を身につける。書店で本を手にとっただけで、出自や造本・原 価構造などがわかる「本を知る力」を身につける。なお、この講義を受けても読書習慣が身につくわけではないので、誤 解しないでください。					
履修条件	①将来、出版関連業界（上記）に進みたい者、②本がなければ生きていけない「書痴」。それ以外の者には何の役にも立 たず、つらいだけなので受講しないでください。中途半端な興味による受講や、「聴講のみ」もお断りします。					
授業方法	毎回、前半は、最近の話題や新刊などについてライブ解説。後半は、出版にまつわる基礎知識。ラストで、映画や美術な どの雑談を（あくまで出版との関連で）行なう予定。本に興味がないひとには、たいへんつらい授業です。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		月に一度（計3～4本予定）、「課題書評」を提出してもらいます（書き方は指導し、添削して返却します）。1本でも欠けていたら、採点対象外になります。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参 考 書	特にありません。					
オフィス アワー	何かあれば、講義内で訊いて下さい。人に聴かれたくない話であれば、講義終了後、声をかけてください。その上で、あ らためて時間設定します。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	ガイドンスなど。2回目から本格講義に入るので、履修予定者は必ず出席すること。 ※以下はおおよその目安です。毎回、ライヴ解説に時間をとられることが多いので、下記のとおりには、まず行きま せん。書評の書き方、添削指導などは、適宜、行います。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、ど のような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
2	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	出版業界の現況～なぜ、本はこんなに売れないのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、ど のような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
3	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	本の構造～なぜ、本は「16頁」の倍数でできているのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、ど のような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
4	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	雑誌の構造～なぜ、週刊誌は、前と後ろにグラビアがあるのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、ど のような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。

5	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	戦後の主なベストセラー～なぜ、いまも昔も、漱石『こころ』が文庫売り上げ第1位なのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
6	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	文庫・新書の歴史～なぜ、書店には、あんなに新書があふれているのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
7	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	雑誌の歴史～なぜ、週刊新潮と週刊文春は同じ発売日なのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
8	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	図書館問題～なぜ、人々は本を買わないで、借りるのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
9	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	コミック編集・出版の世界～なぜ、ゴルゴ13の銃口の向きは決まっているのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
10	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	電子出版、ネット書店について～なぜ、アマゾン送料を取らずにやっていけるのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
11	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	取次とは～なぜ、書店で本を注文すると2週間かかるのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
12	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	出版契約について～なぜ、本は3年たたないと文庫にならないのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
13	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	著作権の話～なぜ、ミッキーマウスの著作権は、いつまでも切れないのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
14	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	本の映像化について～なぜ、映画化すると、ほとんどがつまらなくなるのか。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
15	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	予備日。前期中にできなかったテーマは、後期（出版メディアⅡ）で解説する予定です。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。

科目名	出版メディアⅡ	担当者	森重 良太	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰに準ずる。			
授業目的・到達目標	出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰと同様内容が、さらに本格的に、かつ詳しくなると考えてください。上記同様。一般学生の目に触れにくい業界紙なども配布資料に加えます。			
履修条件	前期で出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰを履修した者。このⅡだけを履修しても何の意味ありません。事実上、Ⅰ・Ⅱでワンセットと考えてください。中途半端な興味による受講は、お断りします。			
授業方法	出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰと同様ですが、ライブ解説が増えると思います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	月に一度（計3～4本予定）、「課題書評」を提出してもらいます（書き方は指導し、添削して返却します）。1本でも欠けていたら、採点対象外になります。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	特にありません。			
オフィスアワー	何かあれば、講義内で訊いて下さい。人に聴かれたくない話であれば、講義終了後、声をかけてください。その上で、あらためて時間設定します。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	ガイダンス。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
2	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	最近の話題、最新刊、書評解説など。前期（出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰ）で取り上げなかったテーマの解説など。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
3	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	最近の話題、最新刊、書評解説など。前期（出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰ）で取り上げなかったテーマの解説など。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。
4	事前学習	毎回、日曜日掲載の全国紙から1紙でいいので、「書評」欄に目を通しておくこと（日経のみ土曜日掲載）。
	授業内容	最近の話題、最新刊、書評解説など。前期（出版メディアⅠ／ジャーナリズム論Ⅰ）で取り上げなかったテーマの解説など。
	事後学習	毎回の講義内で知った、あるいは新聞の書評などで知った「本」「雑誌」で興味をもったものが、実際に書店で、どのような形で置かれているかを、気にかけてほしい。時々は、購入して読んでほしい。

科目名	上級簿記論Ⅰ	担当者	大野 智弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	上級簿記論Ⅰは簿記原理の上位科目である。この授業では、日商簿記検定2級レベルの商業簿記について、その計算原理と記帳技術を講義する。また、財務諸表の作成・公表にかかわるルールについても講義する。授業内では問題演習の時間をとることが難しい。よって、下記の参考書等を活用し、各自でスキルアップを図って欲しい。なお、この授業は日商簿記検定の受験に役立つが、合格指導を目的とした授業ではないので留意すること。			
授業目的・到達目標	この授業では、日商簿記検定2級レベルの商業簿記について、実践的に活用可能なスキルとして、その計算原理と記帳技術を身に着けることを目的とする。また、財務諸表の作成・公表にかかわるルールをより深く理解し、専門用語を交えながら、適切に説明できることも目的とする。よって、この授業の到達目標は、日商簿記検定2級レベルの商業簿記について、その計算原理と記帳技術を実践的に活用可能なスキルとして身に着けることが期待されている。また、財務諸表の作成・公表にかかわるルールを理解するだけでなく、専門用語を交えて自ら説明できるようになることが期待されている。			
履修条件	次の2つを履修条件とする。簿記原理の単位を修得しているか、日商簿記検定3級レベルの学習を終えていること。授業に欠かさず出席し、授業後の復習と問題演習に地道に取り組めること。			
授業方法	レジュメと教科書を使って講義を進める。授業の進行にあたり質疑応答を行う。筆記試験を中間と期末の2回、授業内において実施する。電卓を各自で用意・持参すること。なお、授業内におけるモバイルの使用を一切禁止する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	試験70%、平常点30%で評価する。ただし、次の場合には、単位認定しないので注意すること。出席が授業回数の3分の2に満たない場合。授業内でモバイル使用を見かけた場合。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年4月発行	森山書店	エッセンス簿記会計【第14版】	新田忠誓他著
	備考			
参考書	『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記』TAC出版 『合格トレーニング日商簿記2級商業簿記』TAC出版			
オフィスアワー	週に一度、当該授業時間のみの出講であるので、授業後に申し出て欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に確認する
	授業内容	授業ガイダンス（上級簿記論Ⅰの履修にあたって）
	事後学習	ガイダンスプリントの内容を読み返し、履修の可否を決定する
2	事前学習	テキストにて「簿記の概観」の箇所を読み込む
	授業内容	簿記の目的と一巡の手続き
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する

3	事前学習	テキストにて「財務諸表の公表」の箇所を読み込む
	授業内容	財務諸表の開示規則
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
4	事前学習	テキストにて「貸借対照表の例示と仕組み」の箇所を読み込む
	授業内容	株式会社の簿記と財務報告(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
5	事前学習	テキストにて「損益計算書の例示と仕組み」の箇所を読み込む
	授業内容	株式会社の簿記と財務報告(2)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
6	事前学習	第4回と第5回の授業内容について再確認をする
	授業内容	株式会社の簿記と財務報告(3)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
7	事前学習	ここまでの授業内容を確認する
	授業内容	試験1及び振り返り
	事後学習	出来の悪かった箇所をプリントとテキスト等に戻って確認する
8	事前学習	テキストにて「商品の管理と売上原価の計算」に関する箇所を読み込む
	授業内容	商品取引の記録と管理(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
9	事前学習	前回の授業の見直しとテキストにて「消費税の処理」の箇所を読み込む
	授業内容	商品取引の記録と管理(2)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
10	事前学習	テキストにて「貸倒れの処理」の箇所を読み込む
	授業内容	掛取引の記録と管理
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
11	事前学習	テキストにて「手形取引の記録」の箇所を読み込む
	授業内容	営業債権債務の記録と管理(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
12	事前学習	テキストにて「電子記録債権債務」の箇所を読み込む
	授業内容	営業債権債務の記録と管理(2)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
13	事前学習	テキストにて「銀行勘定調整表」の箇所を読み込む
	授業内容	支払資金の記録と管理
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
14	事前学習	試験1以降の授業内容を確認する
	授業内容	試験2及び振り返り
	事後学習	出来の悪かった箇所をプリントとテキスト等に戻って確認する

15	事前学習	試験2を踏まえ論点の補充箇所を指定するのでそこを学習する
	授業内容	論点の補充
	事後学習	授業内容の復習

科目名	上級簿記論Ⅱ	担当者	大野 智弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	上級簿記論Ⅱは簿記原理と上級簿記論Ⅰの上位科目である。この授業では、上級簿記論Ⅰに引続き、日商簿記検定2級レベルの商業簿記について、その計算原理と記帳技術を講義するほか、決算整理に関する内容を講義する。授業内では問題演習の時間をとることが難しい。よって、下記の参考書等を活用し、各自でスキルアップを図って欲しい。なお、この授業は日商簿記検定の受験に役立つが、合格指導を目的とした授業ではないので留意すること。				
授業目的・到達目標	この授業では、日商簿記検定2級レベルの商業簿記について、実践的に活用可能なスキルとして、その計算原理と記帳技術を身に着けることを目的とする。また、決算整理の意義と手続きを深く理解し、八桁精算表や財務諸表の作成が正確かつスピーディーに行えることを目的とする。よって、この授業の到達目標は、日商簿記検定2級レベルの商業簿記について、その計算原理と記帳技術を実践的に活用可能なスキルとして身に着けることが期待されている。また、決算整理の意義と手続きを深く理解し、八桁精算表や財務諸表の作成が正確かつスピーディーに行えるようになることが期待されている。				
履修条件	次の2つを履修条件とする。簿記原理の単位を修得しているか、または日商簿記検定3級レベルの学習を終了していること。授業に欠かさず出席し、授業後の復習と問題演習に地道に取り組めること。				
授業方法	レジュメと教科書を使って講義を進める。授業の進行にあたり質疑応答を行う。筆記試験を中間と期末の2回、授業内において実施する。電卓を各自で用意・持参すること。なお、授業内におけるモバイルの使用を一切禁止する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	試験70%、平常点30%で評価する。ただし、次の場合には、単位認定しないので注意すること。出席が授業回数の3分の2に満たない場合。授業内でモバイル使用を見かけた場合。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年4月発行	森山書店	エッセンス簿記会計【第14版】		新田忠誓他著
	備考				
参考書	『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記』TAC出版 『合格トレーニング日商簿記2級商業簿記』TAC出版				
オフィスアワー	週に一度、当該授業時間のみの出講であるので、授業後に申し出て欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に確認する
	授業内容	授業ガイダンス（上級簿記論の履修にあたって）
	事後学習	ガイダンスプリントの内容を読み返し、履修の可否を決定する
2	事前学習	テキストにて「貸借対照表の例示と仕組み」の箇所を読み込む
	授業内容	貸借対照表と純資産の部
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する

3	事前学習	テキストにて「株式会社の設立」の箇所を読み込む
	授業内容	資金調達活動の記録(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
4	事前学習	「繰延資産」と「合併」に関する処理の予習
	授業内容	繰延資産と合併の処理
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
5	事前学習	テキストにて「損益勘定」と「繰越利益剰余金」の箇所を読み込む
	授業内容	株式会社の決算
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
6	事前学習	テキストにて「株主資本等変動計算書」の箇所を読み込む
	授業内容	法人税等と株主資本等変動計算書
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
7	事前学習	ここまでの授業内容を確認する
	授業内容	試験1及び振り返り
	事後学習	出来の悪かった箇所をプリントとテキスト等に戻って確認する
8	事前学習	テキストにて「社債」に関する箇所を読み込む
	授業内容	資金調達活動の記録(2)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
9	事前学習	テキストにて「有価証券」の箇所を読み込む
	授業内容	資金運用活動の記録(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
10	事前学習	テキストにて「固定資産の減価償却」の箇所を読み込む
	授業内容	資金運用活動の記録(2)と固定資産の記録(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
11	事前学習	テキストにて「建設仮勘定、固定資産の除却等」の箇所を読み込む
	授業内容	固定資産の記録(2)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
12	事前学習	テキストにて「決算整理」の箇所を読み込む
	授業内容	決算整理(1)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
13	事前学習	テキストにて「精算表」の箇所を読み込む
	授業内容	決算整理(2)
	事後学習	プリントとテキスト等で授業内容を復習する
14	事前学習	試験1以降の授業内容を確認する
	授業内容	試験2及び振り返り
	事後学習	出来の悪かった箇所をプリントとテキスト等に戻って確認する

15	事前学習	試験2を踏まえ論点の補充箇所を指定するのでそこを学習する
	授業内容	論点の補充
	事後学習	授業内容の復習

科目名	少年法Ⅰ	担当者	尾田 清貴	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	刑法犯に占める少年の割合が半数余にのぼる今、少年事件がどの様に処理されているかについて、少年法の理念や目的を概観しつつ、刑事司法との関係についてその異同を正しく理解するために、比較法的な視点を踏まえて学習を進める。				
授業目的・到達目標	【授業目的】少年法は、刑事訴訟法の特別法という側面と少年の保護・教育を図るという機能を有していることを踏まえて、犯罪（非行）を犯した少年が被害者や地域社会との関係改善をどの様に進めることが、少年の改善に繋がるのかを考える。 【到達目標】少年法を、少年司法手続と刑事司法手続の比較を通して理解することにより、何故その様な取扱いが必要なのかを知る。 また、比較法的な観点で講義が進むので、国によって法制度の差違を知ることができる。				
履修条件	刑事訴訟法を履修していることが望ましい。				
授業方法	教科書や参考書を事前に読んでいることを前提に行う。また、適宜資料を配付する。適宜、ディベートやディスカッションを行う予定である。なお、ディベート後には、結果を踏まえてレポート作成が課せられる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	前期試験80%の配点。	
	平常評価		20%	課題レポートの対象となるディベートが実施され、その際出席していないと課題レポートは受理しない。課題レポートは、前期、後期各1回実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	有斐閣		少年法入門（第6版）	
	備考				
参考書	『少年法判例百選』有斐閣、平成29年版犯罪白書・警察白書（当方で必要箇所コピー配布）				
オフィスアワー	3限目に研究室で実施する。 ただし、メールで事前予約することが望ましい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年法とは（歴史を含む）
	事後学習	刑事訴訟法との異同を探す
2	事前学習	警察白書を読んだり、警察庁のHPで調べておく
	授業内容	少年非行の現状
	事後学習	傾向をまとめてみる

3	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	非行少年とは（不良行為少年を含む）
	事後学習	刑事上未成年を含む、少年関連年齢についてまとめる
4	事前学習	どの範囲の専門家・非専門家が関与するかイメージしてみる
	授業内容	少年司法手続に関わる人々
	事後学習	非行（犯罪）の発生から処遇までに関わる人について、区分してみる
5	事前学習	犯罪白書の概略図を見ておく
	授業内容	少年審判と刑事裁判の異同について
	事後学習	配付資料に加筆しておく
6	事前学習	現行少年法の母法であるイギリス・アメリカの少年法について調べてみる
	授業内容	アメリカ・イギリスの少年司法との異同
	事後学習	現行法との違いについて、何故その様な運用になっているのか考えてみる
7	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年警察の現状と課題
	事後学習	健全育成と事件処理についてまとめる
8	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年検察の現状と課題
	事後学習	検察官の役割と機能についてまとめる
9	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	触法少年と真犯少年の処遇
	事後学習	児童福祉上の措置と少年法上の措置の異同についてまとめる
10	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	家庭裁判所の機能と役割
	事後学習	他の第一審裁判所との異同についてまとめる
11	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	家庭裁判所調査官の機能と役割
	事後学習	家庭裁判所調査官になるためにはどうすれば良いか調べてみる
12	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	試験観察とParental Order
	事後学習	家庭裁判所の教育的機能についてまとめる
13	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年鑑別所と観護措置
	事後学習	役割と機能についてまとめる
14	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年審判の構造と役割
	事後学習	刑事司法と少年審判廷差異についてまとめる

15	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年審判と適正手続
	事後学習	適正手続がどこまで認められるのかまとめる

科目名	少年法Ⅱ	担当者	尾田 清貴	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	刑法犯に占める少年の割合が半数余にのぼる今、少年事件がどの様に処理されているのかについて、少年法の理念や目的を概観しつつ、刑事司法との関係について、その異同を正しく理解するために、比較法的な視点も踏まえて学習を進める。					
授業目的・到達目標	少年法は、刑事訴訟法の特別法という側面と少年の保護・教育を図るという機能を有していることを踏まえつつ、犯罪（非行）を犯した少年が被害者や地域社会との関係改善をどの様に進めることが、少年の改善に繋がるのかを考える。少年法を、少年司法手続と刑事司法手続の比較を通して理解することにより、何故その様な取扱いが必要なのかを知る。また、比較法的な観点で講義が進むので、国によって法制度の差違を知ることができる。					
履修条件	刑事訴訟法を履修していることが望ましい。					
授業方法	教科書や参考書を事前に読んでいることを前提に行う。また、適宜資料を配付する。適宜、ディベートやディスカッションを行う予定である。なお、ディベート後には、結果を踏まえてレポート作成が課せられる。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	後期試験80%の配点。		
	平常評価		20%	課題レポートの対象となるディベートが実施され、その際出席していないと課題レポートは受理しない。課題レポートは、前期、後期各1回実施する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	有斐閣		少年法入門（第6版）		澤登俊雄
	備考					
参考書	『少年法判例百選』有斐閣、平成29年版犯罪白書・警察白書（当方で必要箇所コピー配布）					
オフィスアワー	3限目に研究室で実施する。 ただし、メールで事前予約することが望ましい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	審判不開始と不処分
	事後学習	不起訴処分と無罪との差異についてまとめる
2	事前学習	教科書の該当箇所を読むとともに、犯罪白書で調べてみる
	授業内容	保護観察（一号観察）
	事後学習	課題と対策について考えてみる

3	事前学習	教科書の該当箇所を読むとともに、犯罪白書で調べてみる
	授業内容	少年院送致と少年院における教育
	事後学習	4つの教育内容について整理してみる
4	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	保護観察（二号観察）
	事後学習	遵守事項とそのペナルティーについてまとめる
5	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	児童福祉法上の措置
	事後学習	処遇内容についてまとめる
6	事前学習	教科書の該当箇所を読むとともに、犯罪白書で調べてみる
	授業内容	検察官送致と刑事処分（裁判員裁判を含む）
	事後学習	原則逆送と逆送の違いについて整理してみる
7	事前学習	修復的司法について調べておく
	授業内容	少年事件と修復的司法
	事後学習	少年事件にどの様に反映可能か考えてみる
8	事前学習	加害者が成人である場合と少年である場合に、被害者の権利や保護の内容に違いがあるのか考えておく
	授業内容	少年事件と被害者の権利・保護
	事後学習	配付資料に加筆して、まとめる
9	事前学習	webで調べてみる
	授業内容	Teen Court
	事後学習	レポートにまとめて、翌週提出
10	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	少年事件報道
	事後学習	少年法61条の意義についてまとめる
11	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	福祉犯と児童虐待
	事後学習	防ぐ方法について考えてみる
12	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	非行原因論
	事後学習	実際に発生している少年事件に当てはめてみる
13	事前学習	教科書の該当箇所を読む
	授業内容	薬物非行とDrug Court
	事後学習	Drug Courtは、日本で使えるか考えてみる
14	事前学習	警察白書で現状を調べる
	授業内容	性非行
	事後学習	対策についてまとめる

15	事前学習	警察白書で現状を調べる
	授業内容	交通非行とTraffic Court
	事後学習	Traffic Courtは、日本でも使えるか考えてみる

科目名	商法Ⅰ（会社法）	担当者	梅村 悠	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	共同企業の中で支配的地位を占めている会社（とくに株式会社）の組織や運営に関するルールを定める「会社の基本法」である会社法について講義する。					
授業目的・到達目標	実務の動向にも触れつつ、会社法の規整内容と解釈上の諸問題について基本的な理解ができるようになることを目的とする。上記のような会社法の基本的特色を理解し、その規整内容や判例の学習を通じた問題解決の手法を身に付けることを目標とする。					
履修条件	「法人」に関する特別ルールを勉強することになるため、少なくとも「民法Ⅰ（民法総則）」を履修済みであることを必要とする。					
授業方法	講義形式で実施するが、適宜、受講者に対して、授業参加を求める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	基本的に試験（正誤問題及び論述問題）の成績に基づいて評価する。受講生の人数によっては、評価方法を変更する場合もあり得る（詳細は初回のガイダンス時に説明する）。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015	中央経済社		会社法講義30講		松島隆弘（編）
	備考					
参考書	岩原伸作ほか（編）『会社法判例百選（第3版）』（有斐閣、2016年）					
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	会社の意義と会社法の目的
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
2	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	会社の能力
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること

3	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	会社の法人格、法人格否認の法理
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
4	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式と有限責任
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
5	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 1
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
6	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 2
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
7	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 3
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
8	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 4
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
9	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 5
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
10	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 6
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
11	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 7
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
12	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の資金調達 8
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
13	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 1
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
14	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 2
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること

15	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 3
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
16	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 4
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
17	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 5
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
18	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 6
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
19	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 7
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
20	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 8
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
21	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 9
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
22	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 1 0
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
23	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 1 1
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
24	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の機関構造 1 2
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
25	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	資本制度と会社の計算
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
26	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の設立 1
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること

27	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	株式会社の設立 2
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
28	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	持分会社の法規制
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
29	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	組織再編 1
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること
30	事前学習	テキストの該当部分を予め読んでおくこと
	授業内容	組織再編 2
	事後学習	授業中に指摘したポイントを中心に、復習をすること

科目名	商法Ⅰ（会社法）	担当者	大久保 拓也	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代社会で重要な役割を果たしている会社、特に株式会社に関する法知識の習得を目的とする。経済社会で重要な役割を担う会社について規律する会社法は、平成17年に全面改正（平成18年5月1日施行）され、平成26年に重要な改正がなされた（平成27年5月1日施行）。同法は実務に与える影響が大きく、その内容を知っておく必要性が高い。本講義では、これら会社に関する法規制の理解を目的とした講義を行う。				
授業目的・到達目標	会社法制度の全体構造を理解することを目的とする。制度の理解を通じて、会社法上の基本問題について、法的な解答を示すことのできる論理的思考力を習得できるようにする。				
履修条件	継続的に講義に出席し、予習・復習を行う者。				
授業方法	会社法の基本問題を講義形式で解説する。その際、各種資格試験の過去の問題等を教材とし、受講生に質疑を行う。六法を必ず持参すること。講義の進捗に合わせてシラバスの内容を変更することがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	会社法の基本問題について、論理的な解答を記述できたかどうかを判定する。講義中に示した基本事項について十分理解しておくこと。	
	平常評価		20%	授業参加度。また、何度か実施する小テストの評価を加味した総合評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	中央経済社		会社法講義30講	松嶋隆弘編著
	備考	六法を持参すること（民法（債権関係）改正が成立したため、最新版（2018(平成30)年版）が望ましい）			
参考書	『会社法判例百選（第3版）』岩原紳作ほか編（有斐閣、2016年）。その他必要に応じて資料を配付する。				
オフィスアワー	火曜5時限。事前にメールでアポイントメントをとること オフィス 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	講義の進捗に合わせて、以下の内容には変更がありうる。 ガイダンス
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。
2	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	会社の意義と会社法の目的
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1講

3	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	会社の能力、会社の法人格、法人格否認の法理 株式と有限責任
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第2講、第3講、第4講 株式と有限責任
4	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達1:株主平等の原則とその例外
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5講
5	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達2:種類株式
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6講
6	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達3:新株発行の手続き
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第7講
7	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達4: 新株発行の差止め、無効、不存在
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第8講
8	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達5: 株式譲渡
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第9講
9	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達6: 自己株式
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第10講
10	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達7: 株式の分割、併合等
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第11講
11	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達8: 社債の概要
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第12講
12	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造1: 機関総論、株主総会運営の手続
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第13講
13	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造2: 説明義務、株主提案権
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第14講
14	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造3: 株主総会決議の瑕疵
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第15講

15	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造4：役員の選任・解任手続
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第16講
16	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造5：競業取引と利益相反取引
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第17講
17	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造6：善管注意義務と忠実義務～経営判断と内部統制
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第18講
18	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造7：取締役会設置会社における取締役と取締役会の役割
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第19講
19	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造8：報酬規制
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第20講
20	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造9：指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社の構造、検査役
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第21講
21	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造10：取締役の対会社責任と株主代表訴訟
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第22講
22	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造11：取締役の対第三者責任
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第23講
23	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造12：監査役、監査役会、会計監査人、会計参与
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第24講
24	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	資本制度と会社の計算
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第25講
25	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の設立1：設立手続の概要、発起人の権限
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第26講
26	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の設立2：払込の手続と仮装払込
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第27講

27	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	持分会社の法規制
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第28講
28	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	組織再編1： 合併と分割、事業譲渡
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第29講
29	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	組織再編1： 合併と分割、事業譲渡
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第30講
30	事前学習	教科書全体、配付資料を読み返す。
	授業内容	講義のまとめと復習
	事後学習	授業で取り扱った重要論点を中心に復習する。

科目名	商法Ⅰ（会社法）	担当者	大久保 拓也	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代社会で重要な役割を果たしている会社、特に株式会社に関する法知識の習得を目的とする。経済社会で重要な役割を担う会社について規律する会社法は、平成17年に全面改正（平成18年5月1日施行）され、平成26年に重要な改正がなされた（平成27年5月1日施行）。同法は実務に与える影響が大きく、その内容を知っておく必要性が高い。本講義では、これら会社に関する法規制の理解を目的とした講義を行う。				
授業目的・到達目標	会社法制度の全体構造を理解することを目的とする。制度の理解を通じて、会社法上の基本問題について、法的な解答を示すことのできる論理的思考力を習得できるようにする。				
履修条件	継続的に講義に出席し、予習・復習を行う者。				
授業方法	会社法の基本問題を講義形式で解説する。その際、各種資格試験の過去の問題等を教材とし、受講生に質疑を行う。六法を必ず持参すること。講義の進捗に合わせてシラバスの内容を変更することがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	会社法の基本問題について、論理的な解答を記述できたかどうかを判定する。講義中に示した基本事項について十分理解しておくこと。	
	平常評価		20%	授業参加度。また、何度か実施する小テストの評価を加味した総合評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015	中央経済社		会社法講義30講	松嶋隆弘編著
	備考	六法を持参すること（民法（債権関係）改正が成立したため、最新版（2018(平成30)年版）が望ましい）			
参考書	『会社法判例百選（第3版）』岩原紳作ほか編（有斐閣、2016年）。その他必要に応じて資料を配付する。				
オフィスアワー	火曜5時限。事前にメールでアポイントメントをとること オフィス 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	講義の進捗に合わせて、以下の内容には変更がありうる。 ガイダンス
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。
2	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	会社の意義と会社法の目的
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1講

3	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	会社の能力、会社の法人格、法人格否認の法理 株式と有限責任
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第2講、第3講、第4講 株式と有限責任
4	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達1:株主平等の原則とその例外
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5講
5	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達2:種類株式
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6講
6	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達3:新株発行の手続き
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第7講
7	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達4: 新株発行の差止め、無効、不存在
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第8講
8	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達5: 株式譲渡
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第9講
9	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達6: 自己株式
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第10講
10	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達7: 株式の分割、併合等
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第11講
11	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の資金調達8: 社債の概要
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第12講
12	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造1: 機関総論、株主総会運営の手続
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第13講
13	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造2: 説明義務、株主提案権
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第14講
14	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造3: 株主総会決議の瑕疵
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第15講

15	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造4：役員の選任・解任手続
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第16講
16	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造5：競業取引と利益相反取引
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第17講
17	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造6：善管注意義務と忠実義務～経営判断と内部統制
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第18講
18	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造7：取締役会設置会社における取締役と取締役会の役割
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第19講
19	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造8：報酬規制
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第20講
20	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造9：指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社の構造、検査役
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第21講
21	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造10：取締役の対会社責任と株主代表訴訟
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第22講
22	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造11：取締役の対第三者責任
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第23講
23	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の機関構造12：監査役、監査役会、会計監査人、会計参与
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第24講
24	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	資本制度と会社の計算
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第25講
25	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の設立1：設立手続の概要、発起人の権限
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第26講
26	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	株式会社の設立2：払込の手続と仮装払込
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第27講

27	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	持分会社の法規制
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第28講
28	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	組織再編1： 合併と分割、事業譲渡
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第29講
29	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	組織再編1： 合併と分割、事業譲渡
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第30講
30	事前学習	教科書全体、配付資料を読み返す。
	授業内容	講義のまとめと復習
	事後学習	授業で取り扱った重要論点を中心に復習する。

科目名	商法Ⅰ（会社法）	担当者	小野寺 千世	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	平成17年に大改正され、平成26年にも改正された会社法について概観する。 本講義では、会社の種類の中でも、主として株式会社に関する法律の基本的知識、具体的には、株式の概念と機能、株式会社の経営機構、会社の資金調達等について学習する。					
授業目的・到達目標	会社法に関する基礎的知識を習得し、基礎的意義として、会社とは、株式とは、会社はどのように運営されているか等を理解するとともに、その実際の意義の理解を深めることを目的とする。					
履修条件	2・3・4年次を対象とする。					
授業方法	講義形式で行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	基礎的知識の習得度を評価する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017年	中央経済社		会社法講義30講		松嶋隆弘編
	備考					
参考書	会社法判例百選第3版 有斐閣					
オフィスアワー	金曜日12:20～13:00研究室にて（事前にメールでアポイントメントをとること。）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書第1講、第28講を読むこと。
	授業内容	ガイダンス 会社の意義
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
2	事前学習	教科書第2講を読むこと。
	授業内容	会社の能力
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。

3	事前学習	教科書第3講を読むこと。
	授業内容	会社の法人格、法人格否認の法理
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
4	事前学習	教科書第4講、第5講を読むこと。
	授業内容	株式の意義、株主平等原則
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
5	事前学習	教科書第6講を読むこと。
	授業内容	種類株式
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
6	事前学習	教科書第7講を読むこと。
	授業内容	新株発行の手続き
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
7	事前学習	教科書第8講を読むこと。
	授業内容	募集株式発行の差止め、無効、不存在
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
8	事前学習	教科書第9講を読むこと。
	授業内容	株式譲渡自由の原則、その例外
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
9	事前学習	教科書第10講を読むこと。
	授業内容	自己株式の取得規制
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
10	事前学習	教科書第11講を読むこと。
	授業内容	株式の分割、併合等
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
11	事前学習	教科書第12講を読むこと。
	授業内容	新株予約権・社債発行による資金調達
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
12	事前学習	教科書第9 講を読むこと。
	授業内容	株主名簿制度
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
13	事前学習	教科書第13講を読むこと。
	授業内容	機関総論、株主総会の招集
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
14	事前学習	教科書第14講を読むこと。
	授業内容	株主総会における株主の権利
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。

15	事前学習	教科書第15講を読むこと。
	授業内容	株主総会の決議、瑕疵
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
16	事前学習	教科書第16講を読むこと。
	授業内容	取締役、取締役会の意義
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
17	事前学習	教科書第19講を読むこと。
	授業内容	取締役会決議
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
18	事前学習	教科書第19講を読むこと。
	授業内容	代表取締役の意義
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
19	事前学習	教科書第17講を読むこと。
	授業内容	役員の義務：一般的義務
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
20	事前学習	教科書第18講を読むこと。
	授業内容	役員の義務：特別の義務
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
21	事前学習	教科書第20講を読むこと。
	授業内容	役員の報酬規制
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
22	事前学習	教科書第22講を読むこと。
	授業内容	役員の責任：会社に対する責任
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
23	事前学習	教科書第22講を読むこと。
	授業内容	株主代表訴訟
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
24	事前学習	教科書第23講を読むこと。
	授業内容	役員の責任：第三者に対する責任
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
25	事前学習	教科書第24講を読むこと。
	授業内容	監査役・監査役会、会計監査人、会計参与
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
26	事前学習	教科書第21講を読むこと。
	授業内容	指名委員会設置会社、監査等委員会設置会社
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。

27	事前学習	教科書第26講、第27講を読むこと。
	授業内容	会社の設立
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
28	事前学習	教科書第29講を読むこと。
	授業内容	組織再編(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
29	事前学習	教科書第30講を読むこと。
	授業内容	組織再編(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
30	事前学習	これまでのノート等を確認。
	授業内容	まとめ
	事後学習	定期試験の準備。

科目名	商法 I（会社法）	担当者	酒巻 俊之	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	会社法は、経済活動と密接に関わり、厳しすぎる規制は起業減少・倒産増加・企業の拠点移転等により、緩すぎる規制は悪徳商法の蔓延や企業不祥事により、経済の衰退や社会不安をもたらす。現代日本において、人々は、企業との取引で消費活動を行う他、多くの者が企業で働き、また企業に出資・投資・出捐をしたり企業の社会的活動の恩恵を受けたりすることも少なくない。こうした企業の中心となる会社、特に株式会社に対する規制を中心に講義を行う。				
授業目的・到達目標	会社法は経済の動きに応じて頻繁に改正される。単位習得後も企業との取引や企業での活動時に規制の現状を確認する習慣を身に付けさせることを目的とする。また、受講生には、会社に対する規制強化・規制緩和等を経済学的視点で、会社の組織形態等の選択を経営学的視点で捉える能力を得る、株式・新株予約権・社債等の金融商品の仕組みとリスクの知識を得る、会社の状態・規模・評価を学び経営方法・経済的影響について考察する、株主の立場・役員の責任・企業の社会的責任等を学び投資・取引・訴訟・罰則・社会活動の知識を得る、等を到達目標として就職活動や社会生活に役立てて欲しい。				
履修条件	授業に出ないと深い理解や調査方法等を学べない。仕事等で遅刻や休まざるをえない学生もいると思うが、途中入場も可であり、7限だけでも出席するよう努力して欲しい。				
授業方法	教科書・プリントの参照、板書、現物・条文・資料・検索エンジン等を用いた実演のスクリーン投射により授業を進める。テストは文献等参照可だが、事前勉強が必要な問題である(テスト時のみ電子機器使用不可)。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	テストは教科書等参照可(電子機器不可)。横断的な問題や改正関連の問題を複数出題のため、教科書を写しては解答時間が足りない。要点を教えるので要出席。	
	平常評価		30%	授業においてレポート課題を課す。業務等により出席不良の者や高評価を期待する者はレポート提出を忘れないこと。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	シラバス作成時点で制作中のため、授業内で指示する。酒巻俊之著「会社法の解説と考察 -平成30年改正を踏まえて-」2018年発行・中央経済社、予価3,000~3,999円を予定。			
参考書	平成30年度版の会社法が全文載っている六法(ポケット六法・判例六法など)。この授業では判例付き六法もテスト使用可。なお、電子機器の使用は授業時のみ(テスト使用不可)。				
オフィスアワー	研究室は法学部でないので注意。日本大学経済学部8号館3階3-23(ダイワ猿楽町ビル)。2階の受付でカードキーをもらわないと研究室棟に入れないので注意。そのため、必ずメールで事前に予約のこと。sakamaki.toshiyuki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	商法・会社法の性質・歴史・位置付けについて講義する。
	事後学習	[事後学習]1時間 授業内容のまとめ
2	事前学習	[事前学習]初回に続く2回目なので不要
	授業内容	会社の種類・役員等・機関設計について概説する。レポートテーマ発表も行う。
	事後学習	[事後学習]2時間 授業内容のまとめ

3	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	総則から商号・支配人・事業譲渡、さらに組織変更について講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間 授業内容のまとめ
4	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	株式会社の設立を定款規定を中心に講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
5	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	現物出資等の変態設立について詳細に解説し、増資時・新株予約権発行時との比較を行う。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
6	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	発起人等の責任を、後の増資時・新株予約権発行時の役員等の責任と比較しながら講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
7	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	株主名簿、株式の共有・質権等及び株券の現状について講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
8	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	種類株式について詳しく講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
9	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	公開会社・公開会社でない株式会社の株式の譲渡方法の違いを中心に講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
10	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	単独株主権・少数株主権について講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
11	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	単元株式、株式の分割・併合、自己株式の取得、配当等の制限について講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
12	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	株主総会について概説する。コーポレートガバナンス・コードについて解説する。検索エンジンの実演をする。レポート課題発表。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
13	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	MB0・子会社化・企業買収・キャッシュ・アウト・相続人に対する株式の売渡請求におけるスクイーズ・アウト(少数株主の締め出し)、事業承継、自己株式の取得について2回に渡り詳細に講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
14	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	MB0・子会社化・企業買収・キャッシュ・アウト・相続人に対する株式の売渡請求におけるスクイーズ・アウト(少数株主の締め出し)、事業承継、自己株式の取得について2回に渡り詳細に講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)

15	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	新株予約権・社債のシステム、特に新株予約権の使い方のうちストック・オプション、ポイズン・ビルについて2回に渡り詳しく講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
16	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	新株予約権・社債のシステム、特に新株予約権の使い方のうちストック・オプション、ポイズン・ビルについて2回に渡り詳しく講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
17	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	株主総会に関係する細かい内容を少数株主権とも絡めて詳細に講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
18	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	株主総会に関係する細かい内容をさらに詳細に講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
19	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	取締役の義務と責任について講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
20	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	取締役会の機能について特に公開会社を中心に講義する。コーポレートガバナンス、コンプライアンスという用語についても講義する。コーポレートガバナンス・コードについて解説する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
21	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	監査機関について2回に渡り講義する。監査役(業務監査権限の有無)、監査等委員会、監査委員の比較を行う。また、会計参与、会計監査人について講義する。違法行為差止請求権、代表訴訟(概説)についても講義する。コーポレートガバナンス・コードについて解説する。
	事後学習	[事後学習]3時間以上 授業内容のまとめ(重要)
22	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	監査機関について2回に渡り講義する。監査役(業務監査権限の有無)、監査等委員会、監査委員の比較を行う。また、会計参与、会計監査人について講義する。違法行為差止請求権、代表訴訟(概説)についても講義する。コーポレートガバナンス・コードについて解説する。
	事後学習	[事後学習]3時間以上 授業内容のまとめ(重要)
23	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	簿記や会計とも重複する計算部分を概説するとともに役員等の責任について講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
24	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	役員等の責任、訴訟について講義する。違法行為差止請求権、代表訴訟についても再講義する。
	事後学習	[事後学習]3時間以上 授業内容のまとめ(重要)
25	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	合併・分割・株式交換・株式移転について概説する。
	事後学習	[事後学習]1.5時間以上 授業内容のまとめ(重要)
26	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	合併・分割・株式交換・株式移転の手続きについて概説する。簡易合併等・略式合併等について詳しく講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)

27	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	詐欺的公司設立・詐欺的公司譲渡・詐欺的公司分割について解説する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
28	事前学習	[事前学習]該当部分の下読み
	授業内容	それぞれの該当箇所で講義していた会社法における罰則について整理して講義する。
	事後学習	[事後学習]2時間以上 授業内容のまとめ(重要)
29	事前学習	[事前学習]テスト勉強
	授業内容	テストの方式・解答の方法について講義した後、休憩をはさんで、授業内テストをする。
	事後学習	[事後学習]テスト及び全体振り返り
30	事前学習	[事前学習]テスト勉強
	授業内容	授業内テスト続き、テスト終了後、テスト等の解説講義、質疑応答の時間を設ける。
	事後学習	[事後学習]テスト及び全体振り返り

科目名	商法Ⅰ（会社法）	担当者	南 健悟	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この講義では会社法について扱う。現代の経済社会において、欠かすことのできない会社制度について、法的な側面から説明を行い、会社法の全体像及び法的論点について解説する。会社法は多くの利害関係者の利害を調整する法的仕組みを用意している。より具体的には、会社の法的意義、機関構造、設立手続、M&A等に関わる法的諸問題について講義を行う。					
授業目的・到達目標	この授業では、会社法関連の判例及び各論点に関する学説等に触れながら、その法的仕組みに係る知識を修得しつつ、会社法に関連する法的諸問題について自らの見識を醸成することが目的となる。まず、会社法の基本的な法的仕組みについて理解し、その上で、会社法上の法的論点について判例及び学説を踏まえて理解することが目標となる。さらに、企業実務で実際に生じ得る法的問題に対し自らの意見を持つことが目標となる。					
履修条件	特になし					
授業方法	基本的にはレジュメ等を配布した講義形式によるが、場合によっては、事前の予習を踏まえての積極的な発言を求めることがある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	定期試験において、択一・論述式による問題を出し、授業で扱った会社法上の問題について適切に理解をしているかを確認する。		
	平常評価		20%	講義内で提示される択一問題や空欄補充問題が正答しているかどうかにより、基礎的な知識が定着しているかを確認する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	有斐閣		会社法（有斐閣ストゥディア）		中東正文ほか
	備考					
参考書	江頭憲治郎『株式会社法（第7版）』（有斐閣、2017年）、松嶋隆弘他編『会社法講義30講』（中央経済社、2015年）、岩原紳作他編『会社法判例百選（第3版）』（有斐閣、2016年）					
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	オリエンテーション、会社法の意義と会社法の目的
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	会社法総論（Ⅰ）―会社の法的意義・会社の種類
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

3	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	会社法総論（2）―株主有限責任制度
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（1）―機関総論
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
5	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（2）―株主総会
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（3）―株主総会決議の瑕疵
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（4）―取締役・取締役会
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（5）―監査役、監査役会、会計監査人、会計参与
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（6）―指名委員会等設置会社・監査等委員会設置会社
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（7）―役員の責任①（役員の義務総説）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（8）―役員の責任②（利益相反取引・競業避止義務）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（9）―役員の責任③（会社に対する責任）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（10）―役員の責任④（株主代表訴訟・多重代表訴訟）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の機関（11）―役員の責任⑤（第三者に対する責任）
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

15	事前学習	配布された講義レジュメ及び教科書を通読し、知識の確認を図る
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する
16	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式制度と株主平等原則
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
17	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	種類株式制度
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
18	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式の譲渡（1）―株式譲渡自由の原則とその例外
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
19	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式の譲渡（2）―株式の譲渡方法
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
20	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	資金調達（1）―募集株式の発行手続
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
21	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	資金調達（2）―違法な募集株式の発行①
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
22	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	資金調達（3）―違法な募集株式の発行②
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
23	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	資金調達（4）―新株予約権・社債
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
24	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	会社の計算
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
25	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	組織再編（1）―組織再編手続総説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
26	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	組織再編（2）―株式買取請求・事業譲渡
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

27	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の設立（1）―設立手続総説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
28	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	株式会社の設立（2）―払込手続
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
29	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	会社の解散
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
30	事前学習	配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し、知識の確認を図る
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	商法Ⅱ（商取引法）	担当者	井口 浩信	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	本講座は商法総則および商行為法を学習対象とする。 商法総則はビジネスに関する法規範の原則を定めており、商行為法は各種商事取引の基本的な取引ルールを定めている。私たちの日常取引の大半は商法の規整対象であり、本講座では商事法分野の基礎知識を正確に習得することを目的とする。また、ビジネス法務のトピックの解説も行い、ビジネスの最先端における法の役割にもふれる。				
授業目的・到達目標	①民・商法の規律対象の違い、規律内容の相違、その相違の立法趣旨を理解する。 ②重要論点や重要裁判例を理解し、それらを他人に対して「自分の言葉」で説明ができ、かつ自分自身の考えを述べることができる。				
履修条件	民法総則および債権法を履修済みかまたは並行して履修していることが望ましい。なお、講義には必ず最新の六法（小型版六法で可）を携行されたい。				
授業方法	講義とする。なお、講師と学生とで一問一答を実施したり、学生に発表・報告を求める場合がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	確認テストの点数、授業内試験の点数の合計に、授業中の発表等の平常点を加味して評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	レジメ・判例・資料等を適宜配布する。			
参考書	1. 藤田勝利＝工藤聡一編著『現代商取引法』（弘文堂）、2. 弥永真生『リーガルマインド 商法総則・商行為法』（有斐閣）				
オフィスアワー	講義内容に関する質問等は、開講時ガイダンスでお知らせするメールアドレスあてにメール送信されたい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	本講義のガイダンス 商法総則・商行為法を学ぶ目的
	事後学習	民事法の全体像を把握したうえで、民事法の中における商法の役割・存在意義を理解する。
2	事前学習	商法1条～3条、同501条～503条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商法の法源・適用範囲
	事後学習	ビジネスに関係する法律にはどのような法律があるのか理解する。 それらの法律と当事者間の合意（契約）との優劣関係を理解する。

3	事前学習	商法4条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商人の意義
	事後学習	商人に関する判例を熟読する。
4	事前学習	商法11条～13条、15条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商号と商号登記（1）
	事後学習	商号・商号登記に関する判例を熟読する。
5	事前学習	商法14条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商号と商業登記（2）
	事後学習	名板貸責任に関する判例を熟読する。
6	事前学習	商法16条～18条2を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	営業譲渡（1）
	事後学習	営業譲渡に関する判例を熟読する。
7	事前学習	商法16条～18条2を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	営業譲渡（2）
	事後学習	営業譲渡に関する判例を熟読する。
8	事前学習	これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	確認テスト
	事後学習	テストと自己の解答を振り返り、自分の理解度を確認する。
9	事前学習	商法20条～26条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商業使用人
	事後学習	支配人・表見支配人に関する判例を熟読する。
10	事前学習	商法27条～31条、543条～558条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	代理商・仲立人・問屋（1）
	事後学習	代理商・仲立人・問屋の異同を理解する。
11	事前学習	商法27条～31条、543条～558条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	代理商・仲立人・問屋（2）
	事後学習	代理商・仲立人・問屋に関する判例を熟読する。
12	事前学習	商法501条～522条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商行為法総則（1）
	事後学習	諾否通知義務・物品保管義務等に関する判例を熟読する。
13	事前学習	商法501条～522条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商行為法総則（2）
	事後学習	フランチャイズシステムなどのビジネスモデルと商法との関係を理解する。
14	事前学習	商法524条～528条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	商事売買
	事後学習	商事売買取引の約款等の内容を理解する。

15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	授業内試験・解説
	事後学習	テストと自己の解答を振り返り、自分の理解度を確認する。

科目名	商法Ⅱ（商取引法）	担当者	中村 良	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	私たちの身の回りの商取引は民法を基礎としながらも、特有な規範価値・原理に基づいた法規制がなされている。本講義においては、企業法説の立場から、民法における取引規制と対比しながら商取引について体系的に学習する。					
授業目的・到達目標	企業の営業・事業活動に必要な人的物的施設および企業の営業活動・商取引に関する商法規制の意義とその特徴を理解し、将来、社会人として経済生活を営む際の基本的素養として生かせるようにする。					
履修条件	民法Ⅴを除く民法科目を履修していることが望ましい。					
授業方法	商法総則・商行為法の重要事項につき、教科書に沿いながら平易に講義する。必要に応じ裁判事例をとりあげ、検討を加える。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	期末に論述式試験を行って成績評価する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011年	弘文堂		『Next教科書シリーズ現代商取引法』（以下、「教科書」と略記する。		藤田勝利＝工藤聡一
	備考					
参考書	別冊ジュリスト194号『商法（総則・商行為）判例百選』〔第5版〕江頭憲治郎・山下友信編（2008）（以下「百選」と略記する）。					
オフィスアワー	授業後時間を作りますので予めメールを頂ければ助かります。 nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	1. 民法の教科書を読み直してください。特に民法総則と債権各論（契約法）を中心に復習しておくといいです。2. 授業への要望を考えておく。
	授業内容	商法入門：商法を勉強する意義、勉強方法、試験対策、授業の進め方、評価方法、オフィスアワー、担当教員との連絡方法等の説明。
	事後学習	1. 授業の進め方等確認してください。
2	事前学習	1. 教科書の3頁アウトラインと4頁から21頁までを通読。最後に21頁の問題を解く。
	授業内容	商法総説：商法の意義および法の形成と展開、法源、適用対象（教科書3頁から21頁の内容）
	事後学習	1. ノートの見直し。

3	事前学習	1. 教科書22頁から33頁までを通読。2. 教科書33頁の問題を解く。3. 民法総則の教科書で「代理」「表見代理」制度について法律要件・法律効果を復習しておくこと。
	授業内容	1. 前回の復習及び21頁問題解説。2. 商法の民法に対する特色（教科書第1章2商取引の通則）につき、民法の規定と比較しながら解説する。特に制度趣旨を意識しながら受講してもらいたい。授業の最後で教科書33頁の問題につき解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。2. 教科書32頁から33頁の注に記載されている資料の中から、興味を持ったものを図書館で検索し読んでみる。
4	事前学習	1. 教科書35頁から50頁までを通読。2. 百選3事件（最判昭和33年6月19日民集12巻10号1575頁）を読んでおく。3. 教科書50頁の問題を解く。
	授業内容	1. 前回の復習及び50頁問題解説。2. 商取引の主体（教科書35頁～50頁）につき、歴史的背景に触れながら説明する。「起業」の視点からも解説する。
	事後学習	2. 授業で聞いた「エピソード」について、自分で調べてみる。
5	事前学習	1. 教科書51頁から61頁までを通読。2. 百選17事件の事実関係を確認しておくこと。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 取引主体の表示：商号に関する規制、他人の商号の利用に関する規制（教科書51頁～61頁）を解説する。3. 百選17事件について、認定事実を詳しく説明する。
	事後学習	1. ノートの見直し。2. 授業で取り扱った百選17事件について、B to B、B to Cを意識したうえで、結果の妥当性について自分なりに考えてください。3. 教科書61頁の問題を解く。
6	事前学習	1. 教科書51頁から71頁までを通読。2. 「取締役の仕事」について、調べてみる。その上で、会社法上の「取締役の監視義務」について調べる。3. 百選10事件の事実関係を確認しておくこと。
	授業内容	1前回の復習及び教科書61頁問題解説。2. 商取引主体の開示と公示：商業登記の制度、登記の効力等（教科書62頁～71頁）を解説する。3. 百選10事件について詳しく解説する。3. 教科書72頁問題2を解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。2. 授業で取り扱った百選10事件について、中小企業、大企業との違いを意識したうえで、結果の妥当性について自分なりに考えてください。
7	事前学習	1. 教科書73頁から84頁までを通読。2. 教科書84頁問題1、2を解く。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 商取引主体による人的設備の利用（教科書73頁～84頁）について歴史的背景に触れながら解説する。
	事後学習	ノートの見直し。
8	事前学習	1. 教科書83頁のコラムを読むこと。2. 「フランチャイズ・システム」について調べる。3. 百選60事件から64事件を読む。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 代理店、フランチャイズ方式のメリット・デメリットについて解説する。百選60事件から64事件を解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。2. 百選60事件～64事件の結果について自分なりの意見をまとめる。
9	事前学習	1. 『ハンドブック消費者2014』（消費者庁HPから入手可能 http://www.caa.go.jp/adjustments/pdf/2014handbook.pdf ）の162頁～183頁を読んでくること。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 消費者取引全般に関する政策（消費者トラブルが発生しやすい商法、クーリング・オフ制度等）を解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。2. 消費者救済についてまとめておく。
10	事前学習	1. 教科書127頁から137頁までを通読。2. 教科書96頁問題1、2を解く。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 商取引主体の金融（教科書85頁から96頁）：企業の種々の資金調達について解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。2. 種々の資金調達の長所・短所をまとめておく。
11	事前学習	1. 教科書139頁から152頁までを通読。民法の教科書で「売買」契約について復習する。教科書111頁問題を解く。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 商事売買取引（教科書99頁から111頁）を民法における規制と比較しながら解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。
12	事前学習	1. 教科書127頁から137頁を通読する。教科書137頁問題1、2を解く。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 電子売買取引（教科書127頁から137頁）の法的論点を指摘しながら解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。
13	事前学習	1. 教科書269頁から280頁までを通読。2. 「不動産」紹介業、「証券会社」の仕事について調べる。3. 破産手続きについて調べる。百選83事件、86事件を読む。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 売買仲介取引（教科書140頁から152頁）を解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。
14	事前学習	1. 教科書257頁から268頁までを通読。2. 民法の教科書で「寄託」契約について復習する。3. 教科書268頁問題を解く。
	授業内容	1. 前回までの復習。2. 倉庫取引（教科書257頁から268頁）を解説する。
	事後学習	1. ノートの見直し。

15	事前学習	1. 教科書269頁から280頁までを通読。2. 民法の教科書で「寄託」契約について復習する。3. 百選108事件を読む。4. 1回目から14回目までのノートを復習し、質問を考えておく。教科書279頁問題を解く。
	授業内容	1. 前回の復習。2. 場屋取引（教科書269頁から280頁）を解説する。これまでの講義のまとめと質疑応答。
	事後学習	1. ノートの見直し。

科目名	商法Ⅱ（商取引法）	担当者	南 健悟	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この講義では、商法の分野のうち、総則・商行為法と呼ばれる分野について解説する。まず、総則では、B to BやB to Cのような取引の基盤となる法制度等について学び、商行為法では商事取引における法規整について扱う。総則で扱われる取引の基盤となる法制度では、商人概念、商人の補助者や商人の情報開示に関する事項（商業登記、商業帳簿制度等）などについて、そして商行為法では、各種商行為（商事売買等）について学修する。					
授業目的・到達目標	授業概要で述べたように、この講義では商法総則及び商行為法に関する基礎的知識を踏まえて、商取引において生じる法的諸問題に関する知識を修得することが目的となる。そして、商法総則及び商行為法を学修するに当たっては、現行の商法の規定と商取引の実態との関連について理解することが重要となる。商法総則及び商行為法は一部旧態依然たる規定も有しており、商取引の実際とは乖離している側面もあるものの、この講義では商取引法に係る理論的な枠組みを修得することも重要となる。そして、この講義では、商事取引の基盤となる法制度について理解した上で、そこから生じうる法的諸問題について、判例及び学説を踏まえて自らの意見を構築することが目標となる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	基本的には講義形式になるが、事前の予習を踏まえた上で、積極的な発言を求めることがある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	定期試験において、択一・論述形式により出される問題により、正確な知識等を有しているかを図る。		
	平常評価		20%	講義内で提示される択一問題や空欄補充問題が正答しているかどうかにより、基礎的な知識が定着しているかを確認する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011年	弘文堂		現代商取引法		藤田勝利＝工藤聡一編
	備考					
参考書	江頭憲治郎『商取引法（第7版）』（弘文堂、2013年）					
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	オリエンテーション―商法総則・商行為法の概要
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商法総論―商法の意義
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

3	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商取引の主体―商人
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商号
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
5	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人情報の公示（1）―商業登記制度概説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人情報の公示（2）―商業登記の効力
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人情報の公示（3）―商業帳簿
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人の補助者―商業使用人・代理商
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商行為法総論
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商事売買
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	交互計算
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	匿名組合
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	仲立人・問屋・運送取扱人
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	場屋営業
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

15	事前学習	配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し、知識の確認を図る
	授業内容	最後のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	商法Ⅱ（商取引法）	担当者	南 健悟	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この講義では、商法の分野のうち、総則・商行為法と呼ばれる分野について解説する。まず、総則では、B to BやB to Cのような取引の基盤となる法制度等について学び、商行為法では商事取引における法規整について扱う。総則で扱われる取引の基盤となる法制度では、商人概念、商人の補助者や商人の情報開示に関する事項（商業登記、商業帳簿制度等）などについて、そして商行為法では、各種商行為（商事売買等）について学修する。				
授業目的・到達目標	授業概要で述べたように、この講義では商法総則及び商行為法に関する基礎的知識を踏まえて、商取引において生じる法的諸問題に関する知識を修得することが目的となる。そして、商法総則及び商行為法を学修するに当たっては、現行の商法の規定と商取引の実態との関連について理解することが重要となる。商法総則及び商行為法は一部旧態依然たる規定も有しており、商取引の実際とは乖離している側面もあるものの、この講義では商取引法に係る理論的な枠組みを修得することも重要となる。そして、この講義では、商事取引の基盤となる法制度について理解した上で、そこから生じうる法的諸問題について、判例及び学説を踏まえて自らの意見を構築することが目標となる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的には講義形式になるが、事前の予習を踏まえた上で、積極的な発言を求めることがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	定期試験において、択一・論述形式により出される問題により、正確な知識等を有しているかを図る。	
	平常評価		20%	講義内で提示される択一問題や空欄補充問題が正答しているかどうかにより、基礎的な知識が定着しているかを確認する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011年	弘文堂		現代商取引法	藤田勝利＝工藤聡一編
	備考				
参考書	江頭憲治郎『商取引法（第7版）』（弘文堂、2013年）				
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	オリエンテーション―商法総則・商行為法の概要
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商法総論―商法の意義
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

3	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商取引の主体―商人
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商号
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
5	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人情報の公示（1）―商業登記制度概説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人情報の公示（2）―商業登記の効力
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人情報の公示（3）―商業帳簿
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商人の補助者―商業使用人・代理商
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商行為法総論
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	商事売買
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	交互計算
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	匿名組合
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	仲立人・問屋・運送取扱人
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	場屋営業
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

15	事前学習	配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し、知識の確認を図る
	授業内容	最後のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	商法Ⅲ（支払システム法）	担当者	大久保 拓也	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	--------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	個人や企業が売買代金の支払いを行う際、現金で支払うか、キャッシュ・カード、クレジットカード等で支払うか、銀行振込を利用するか等さまざまな方法が考えられる。支払決済の中心に位置するのが、銀行をはじめとする金融機関である。本講義では、これらの企業取引の決済手段に関する法知識を身に付ける者を育成する。					
授業目的・到達目標	金融機関への就職を希望して企業取引の基礎知識を得ることを目指す者、また、各種資格試験を目指す者を対象とした講義を行うつもりである。支払決済の仕組みを理解する。決済方法には、現金をはじめとしてコンビニ決済等身近な決済方法から、手形・小切手等企業間決済のような高度なものも存在する。その仕組みを理解し、法的な解答を示すことのできる論理的思考力の習得ができるようにする。					
履修条件	継続的に講義に出席し、予習・復習を行う者。					
授業方法	決済に関する法規制と基本問題をビジュアル的にわかりやすく解説する。各種資格試験の過去の問題等も教材とし、受講生に質疑を行うこともある。六法を必ず持参のこと。講義の進度に合わせてシラバスの内容を変更することがある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	支払決済に関する法規制や基本問題について、論理的な解答ができるかどうかを判定する。講義中に示した基本事項について十分理解しておくこと。		
	平常評価		20%	授業参加度。また、何度か実施する小テストの評価を加味した総合評価を行う。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	商事法務		支払決済法―手形小切手から電子マネーまで―（第3版）		小塚莊一郎＝森田果
	備考	六法を持参すること（民法（債権関係）改正が成立したため、最新版（2018(平成30)年版）が望ましい）				
参考書	『手形小切手判例百選（第7版）』神田秀樹＝神作裕之編（有斐閣、2014年）。『商法Ⅲ―手形・小切手―（第4版）』大塚龍児ほか（有斐閣、2011年）。その他必要に応じて資料を配付する。					
オフィスアワー	火曜5時限。事前にメールでアポイントメントをとること 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	講義の進度に合わせて、以下の内容には変更がありうる。 ガイダンス、支払決済法の全体像を理解する。
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。
2	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	支払手段法の役割 1
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1章第1節

3	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	支払手段法の役割 2
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1章第2節
4	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	支払手段法の役割 3
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1章第3節
5	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	電子マネーとデビットカード 1
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第2章第1節
6	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	電子マネーとデビットカード 2
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第2章第2・3節
7	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	銀行振込・資金移動業等
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章
8	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	小切手 1
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第4章第1・2節
9	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	小切手 2
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第4章第3節
10	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	為替手形
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5章
11	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 1
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第1節
12	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 2
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第1節
13	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 3
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第2節
14	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 4
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第2節

15	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 5
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第3節
16	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 6
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第3節
17	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 7
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第3節
18	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 8
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第4節
19	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 9
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第4節
20	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 10
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第5節
21	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 11
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第6節
22	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	約束手形 12
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章第7節
23	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	電子記録債権 1
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第7章第1・2節
24	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	電子記録債権 2
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第7章第3節
25	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	電子記録債権 3
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第7章第4・5節
26	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	クレジットカード 1
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第8章第1節

27	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	クレジットカード 2
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第8章第2節
28	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	クレジットカード 3
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第8章第3節
29	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	有価証券理論
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第9章
30	事前学習	教科書全体、配付資料を読み返す。
	授業内容	講義のまとめと復習
	事後学習	授業で取り扱った重要論点を中心に復習する。

科目名	商法Ⅲ（支払システム法）	担当者	丹羽 重博	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代の支払いシステムを体系的に概説する。抽象的解説にならないように具体的事例をあげ、見本図・書式例・図解等を板書し、さらに各種約款を参照しながら銀行取引の実態面についても理解しやすいようにする。				
授業目的・到達目標	支払システムの全体像を把握したうえで、その中心となる約束手形・為替手形・小切手の法律問題を体系的に講義する。実際に生じた問題を多数取り上げる事により、最終的には、実務上の問題を自ら解決できるようになることを目標とする。				
履修条件	民法総則の「法律行為」の理解を必要とする。				
授業方法	法律関係の図を板書するので、ノートと六法を持参する事が必要です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	筆記試験により、問題に対する理解力と表現力を中心に評価する。	
	平常評価		20%	質疑応答および授業への参加度を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2007年	法学書院		手形・小切手法概論 第3版	丹羽重博 著
	備考				
参考書	手形小切手判例百選＜第7版＞ 別冊ジュリスト N o . 222 有斐閣				
オフィスアワー	木曜日12:20～13:00（451研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の全体を読み概要を把握する
	授業内容	支払システムの全体像
	事後学習	関連法令の確認
2	事前学習	ニュース・新聞等を参考に仮想通貨を考える
	授業内容	仮想通貨について
	事後学習	仮想通貨の法的位置の確認

3	事前学習	約束手形・為替手形・小切手の意義
	授業内容	手形・小切手の経済的機能（支払いの用具、信用利用の用具、送金・取り立ての用具）
	事後学習	流通の安全性と支払いの確実性
4	事前学習	当座勘定規定の概観
	授業内容	銀行取引と手形・小切手（当座勘定取引契約）
	事後学習	約束手形の流通と決済の順序の確認
5	事前学習	手形交換制度
	授業内容	統一手形用紙・手形交換・取引停止処分
	事後学習	手形交換所の仕組みと不渡り事由
6	事前学習	有価証券の意義
	授業内容	有価証券としての手形・小切手
	事後学習	完全有価証券と不完全有価証券
7	事前学習	免責証券・設権証券の意義
	授業内容	有価証券に類似する証券
	事後学習	金券との相違
8	事前学習	有価証券の分類方法
	授業内容	有価証券の種類
	事後学習	有価証券としての手形・小切手の性質の確認
9	事前学習	一般法上の法律行為の意味
	授業内容	手形行為の種類と意義
	事後学習	手形行為の特性の確認
10	事前学習	書面行為と要式行為
	授業内容	手形行為の特性①
	事後学習	条文の確認
11	事前学習	無因性・文言性・独立性
	授業内容	手形行為の特性②
	事後学習	関連条文の解釈
12	事前学習	署名の意義と種類
	授業内容	手形行為と署名①
	事後学習	自署についての確認
13	事前学習	印章について
	授業内容	手形行為と署名②
	事後学習	記名・捺印の意義と機能
14	事前学習	手形の作成と交付の意味
	授業内容	手形理論①
	事後学習	手形理論の内容と相違について

15	事前学習	交付行為の欠缺と第三者の保護
	授業内容	手形理論②
	事後学習	判例の確認
16	事前学習	手形権利能力と手形行為能力
	授業内容	手形能力
	事後学習	一般法の条文の解釈と手形の関係
17	事前学習	意思表示に関する民法の考え方
	授業内容	手形行為と意思表示の瑕疵・欠缺
	事後学習	判例の立場の検討
18	事前学習	他人による手形行為の意義
	授業内容	手形行為の代理・代表
	事後学習	形式的要件と実質的要件
19	事前学習	会社法356条の立法趣旨
	授業内容	手形行為と会社法356条の適用の有無
	事後学習	判例（相対的無効説）の確認
20	事前学習	代理に関する一般法の条文の確認と解釈
	授業内容	無権代理・越権代理・表見代理
	事後学習	結論の妥当性の検討
21	事前学習	代行の意義と形式
	授業内容	手形行為の代行の有効性
	事後学習	代行の分類の確認
22	事前学習	名板貸しの意味の検討
	授業内容	他人名義による手形行為
	事後学習	手形行為の名板貸し
23	事前学習	手形偽造の意義
	授業内容	手形偽造者の責任
	事後学習	学説と判例の確認
24	事前学習	責任を負わせる根拠について
	授業内容	被偽造者の責任
	事後学習	原則と例外の確認
25	事前学習	手形法69条の解釈
	授業内容	手形変造の意義と効果
	事後学習	変造前の責任と、変造後の責任についての確認
26	事前学習	立証責任の意味について考える
	授業内容	変造の立証責任
	事後学習	各学説の妥当性の検討

27	事前学習	抹消と毀損の意義
	授業内容	手形の抹消と毀損
	事後学習	抹消と毀損の効果の確認
28	事前学習	手形喪失の意義と公示催告手続き
	授業内容	手形の喪失（意義・公示催告・除権決定）
	事後学習	非訟事件手続法の条文の確認
29	事前学習	除権決定の法的意味
	授業内容	手形の喪失（除権決定と善意取得の関係）
	事後学習	有価証券紛失広告について
30	事前学習	除権決定の消極的効力と積極的効力
	授業内容	白地手形の喪失と除権決定
	事後学習	判例と学説の確認

科目名	商法Ⅲ（支払システム法）	担当者	丹羽 重博	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代の支払いシステムを体系的に概説する。抽象的解説にならないように具体的事例をあげ、見本図・書式例・図解等を板書し、さらに各種約款を参照しながら銀行取引の実態面についても理解しやすいようにする。				
授業目的・到達目標	支払システムの全体像を把握したうえで、その中心となる約束手形・為替手形・小切手の法律問題を体系的に講義する。実際に生じた問題を多数取り上げる事により、最終的には、実務上の問題を自ら解決できるようになることを目標とする。				
履修条件	民法総則の「法律行為」の理解を必要とする。				
授業方法	法律関係の図を板書するので、ノートと六法を持参する事が必要です。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	筆記試験により、問題に対する理解力と表現力を中心に評価する。	
	平常評価		20%	質疑応答および授業への参加度を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2007年	法学書院		手形・小切手法概論 第3版	丹羽重博 著
	備考				
参考書	手形小切手判例百選＜第7版＞ 別冊ジュリスト N o . 222 有斐閣				
オフィスアワー	木曜日12:20～13:00（451研究室）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の全体を読み概要を把握する
	授業内容	支払システムの全体像
	事後学習	関連法令の確認
2	事前学習	ニュース・新聞等を参考に仮想通貨を考える
	授業内容	仮想通貨について
	事後学習	仮想通貨の法的位置の確認

3	事前学習	約束手形・為替手形・小切手の意義
	授業内容	手形・小切手の経済的機能（支払いの用具、信用利用の用具、送金・取り立ての用具）
	事後学習	流通の安全性と支払いの確実性
4	事前学習	当座勘定規定の概観
	授業内容	銀行取引と手形・小切手（当座勘定取引契約）
	事後学習	約束手形の流通と決済の順序の確認
5	事前学習	手形交換制度
	授業内容	統一手形用紙・手形交換・取引停止処分
	事後学習	手形交換所の仕組みと不渡り事由
6	事前学習	有価証券の意義
	授業内容	有価証券としての手形・小切手
	事後学習	完全有価証券と不完全有価証券
7	事前学習	免責証券・設権証券の意義
	授業内容	有価証券に類似する証券
	事後学習	金券との相違
8	事前学習	有価証券の分類方法
	授業内容	有価証券の種類
	事後学習	有価証券としての手形・小切手の性質の確認
9	事前学習	一般法上の法律行為の意味
	授業内容	手形行為の種類と意義
	事後学習	手形行為の特性の確認
10	事前学習	書面行為と要式行為
	授業内容	手形行為の特性①
	事後学習	条文の確認
11	事前学習	無因性・文言性・独立性
	授業内容	手形行為の特性②
	事後学習	関連条文の解釈
12	事前学習	署名の意義と種類
	授業内容	手形行為と署名①
	事後学習	自署についての確認
13	事前学習	印章について
	授業内容	手形行為と署名②
	事後学習	記名・捺印の意義と機能
14	事前学習	手形の作成と交付の意味
	授業内容	手形理論①
	事後学習	手形理論の内容と相違について

15	事前学習	交付行為の欠缺と第三者の保護
	授業内容	手形理論②
	事後学習	判例の確認
16	事前学習	手形権利能力と手形行為能力
	授業内容	手形能力
	事後学習	一般法の条文の解釈と手形の関係
17	事前学習	意思表示に関する民法の考え方
	授業内容	手形行為と意思表示の瑕疵・欠缺
	事後学習	判例の立場の検討
18	事前学習	他人による手形行為の意義
	授業内容	手形行為の代理・代表
	事後学習	形式的要件と実質的要件
19	事前学習	会社法356条の立法趣旨
	授業内容	手形行為と会社法356条の適用の有無
	事後学習	判例（相対的無効説）の確認
20	事前学習	代理に関する一般法の条文の確認と解釈
	授業内容	無権代理・越権代理・表見代理
	事後学習	代理に関する一般法の条文の確認と解釈
21	事前学習	代行の意義と形式
	授業内容	手形行為の代行の有効性
	事後学習	代行の分類の確認
22	事前学習	名板貸しの意味の検討
	授業内容	他人名義による手形行為
	事後学習	手形行為の名板貸し
23	事前学習	手形偽造の意義
	授業内容	手形偽造者の責任
	事後学習	学説と判例の確認
24	事前学習	責任を負わせる根拠について
	授業内容	被偽造者の責任
	事後学習	原則と例外の確認
25	事前学習	手形法69条の解釈
	授業内容	手形変造の意義と効果
	事後学習	変造前の責任と、変造後の責任についての確認
26	事前学習	立証責任の意味について考える
	授業内容	変造の立証責任
	事後学習	各学説の妥当性の検討

27	事前学習	抹消と毀損の意義
	授業内容	手形の抹消と毀損
	事後学習	抹消と毀損の効果の確認
28	事前学習	手形喪失の意義と公示催告手続き
	授業内容	手形の喪失（意義・公示催告・除権決定）
	事後学習	非訟事件手続法の条文の確認
29	事前学習	除権決定の法的意味
	授業内容	手形の喪失（除権決定と善意取得の関係）
	事後学習	有価証券紛失広告について
30	事前学習	除権決定の消極的効力と積極的効力
	授業内容	白地手形の喪失と除権決定
	事後学習	判例と学説の確認

科目名	商法Ⅳ（保険法）	担当者	小野寺 千世	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義は、保険契約の意義を理解し、損害保険契約および生命保険契約に関する解釈論上の問題点とこれに関する裁判例を検討し、保険法に関する法的基礎知識を学習する。				
授業目的・到達目標	保険契約の意義および損害保険契約および生命保険契約に関する法的制度に関する基礎的知識を習得することを目的とする。				
履修条件	債権法を履修していることが望ましい。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	学習した基礎的知識の取得度を評価する。	
	平常評価		20%	前半部分について小テストを行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	有斐閣		ポイントレクチャー保険法	甘利公人、福田弥夫、遠山聡
	備考				
参考書	『保険判例百選』山下友信＝洲崎博史編（有斐閣）				
オフィスアワー	金曜日 12:20～13:00 研究室にて（事前にメールでアポイントメントをとること。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書UNIT 1を読むこと。
	授業内容	ガイダンス 保険法とは
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
2	事前学習	教科書UNIT 1 Ⅰ～Ⅴを読むこと。
	授業内容	保険監督法(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。

3	事前学習	教科書UNIT 1 5 VI～を読むこと。
	授業内容	保険監督法(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
4	事前学習	教科書UNIT 1 I、IIを読むこと。
	授業内容	保険法総論(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
5	事前学習	教科書UNIT 1 III、IVを読むこと。
	授業内容	保険法総論(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
6	事前学習	教科書UNIT 2 I～IIIを読むこと。
	授業内容	保険契約総論(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
7	事前学習	教科書UNIT 2 IV、Vを読むこと。
	授業内容	保険契約総論(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
8	事前学習	教科書UNIT 3を読むこと。
	授業内容	被保険利益
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
9	事前学習	教科書UNIT 4 I、IIを読むこと。
	授業内容	告知義務(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
10	事前学習	教科書UNIT 4 IIIを読むこと。
	授業内容	告知義務(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
11	事前学習	教科書UNIT 5 I～IVを読むこと。
	授業内容	損害保険契約総論(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
12	事前学習	教科書UNIT 5 V～を読むこと。
	授業内容	損害保険契約総論(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
13	事前学習	教科書UNIT 6を読むこと。
	授業内容	保険代位(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
14	事前学習	教科書UNIT 6を読むこと。
	授業内容	保険代位(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。

15	事前学習	これまでのノートを確認すること。
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	これまでのノートを確認し、分からない点を調べること。
16	事前学習	教科書UNIT 7を読むこと。
	授業内容	損害保険の免責事由
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
17	事前学習	教科書UNIT 8 I、IIを読むこと。
	授業内容	責任保険(1)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
18	事前学習	教科書UNIT 8 IIIを読むこと。
	授業内容	責任保険(2)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
19	事前学習	教科書UNIT 9 I、IIを読むこと。
	授業内容	自動車保険－自賠責保険(1)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
20	事前学習	教科書UNIT 9 IIIを読むこと。
	授業内容	自動車保険－自賠責保険(2)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
21	事前学習	教科書UNIT 10 I、IIを読むこと。
	授業内容	自動車保険－任意保険(1)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
22	事前学習	教科書UNIT 10 III～を読むこと。
	授業内容	自動車保険－任意保険(2)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
23	事前学習	教科書UNIT 11 I～Vを読むこと。
	授業内容	生命保険契約(1)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
24	事前学習	教科書UNIT 11 VI～を読むこと。
	授業内容	生命保険契約(2)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
25	事前学習	教科書UNIT 12 I、IIを読むこと。
	授業内容	生命保険金受取人(1)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。
26	事前学習	教科書UNIT 12 III～を読むこと。
	授業内容	生命保険金受取人(2)
	事後学習	ノート等を確認し、分からない点を調べること。

27	事前学習	教科書UNIT 1 3を読むこと。
	授業内容	生命保険の免責事由
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
28	事前学習	教科書UNIT 1 4 Iを読むこと。
	授業内容	傷害疾病保険(1)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
29	事前学習	教科書UNIT 1 4 IIを読むこと。
	授業内容	傷害疾病保険(2)
	事後学習	ノート等を確認し、わからない点を調べること。
30	事前学習	これまでのノート等を確認。
	授業内容	まとめ
	事後学習	定期試験の準備。

科目名	商法Ⅳ（保険法）	担当者	福田 弥夫	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	平成22年4月1日施行の「保険法」を中心とした講義を行う。保険法施行前は、商法保険編において規律されていた保険契約であるが、保険法は保険契約に加えて共済契約をも保険法の中で規律することとなった。本講義では、「保険法」のほかに、「保険業法」や「自動車損害賠償保障法」なども検討の対象とし、現代社会の中で大きな役割を果たしている各種保険契約の法的構造を学ぶこととする。				
授業目的・到達目標	私たちは常にいろいろな危険（リスク）と隣り合わせで生活しているが、保険は、そのようなリスクを分散する手段として利用される。この講義では、保険に関する基本的な法的知識の習得を目的とする。保険契約の法的な構造や各種保険契約の特質を理解する。保険監督法の構造を理解すると同時に、生命保険、損害保険の基本的な商品内容を理解し、各種保険に関連する法的論点を理解する。				
履修条件	特にないが、民法の債権法までを履修済みか並行して履修していることが望ましい。				
授業方法	講義形式を中心とした授業であるが、判例を素材として授業を進めるので事前の判例読了が必要である。判例の事実や判旨について出席者から意見を求めることがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	定期試験は論文式で実施する。保険法に関する法的な知識が習得できているかを評価基準とする。	
	平常評価		40%	授業時に2回実施を予定する小テスト各20%とする。小テストの日程は事前に連絡する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成29年	有斐閣	ポイントレクチャー保険法(第2版)		甘利公人、福田弥夫、遠山聡
	備考	授業の際には必ず六法を携帯すること。			
参考書	福田弥夫・古笛恵子編『逐条解説改正保険法』（ぎょうせい） 山下友信・洲崎博史編「保険法判例百選」（有斐閣）				
オフィスアワー	事前にメール（yasufukuda@nihon-u.ac.jp）にてアポイントメントをとってください。状況に応じて時間等を決定します。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	保険判例百選2事件と3事件の読了
	授業内容	ガイダンス・保険法の概要
	事後学習	保険契約における約款の役割を復習する
2	事前学習	保険判例百選6事件と7事件の読了
	授業内容	保険法総論
	事後学習	保険契約締結における情報提供と説明義務を復習する

3	事前学習	保険判例百選1事件の読了
	授業内容	保険監督法（1）
	事後学習	保険と保険業の定義について復習する。保険会社の種類について復習する
4	事前学習	保険判例百選79事件108事件の読了
	授業内容	保険監督法（2）
	事後学習	保険監督法や消費者契約法などによる保険募集の規制について復習する
5	事前学習	保険判例百選12事件、14事件、最判平成9年3月25日民衆51巻3号1565頁の事件
	授業内容	保険契約法総論（1）
	事後学習	保険契約の締結から保険給付の履行期までの一連の流れについて復習する
6	事前学習	東京地裁平成14年6月21日事例研レボ182号1ページの事件、保険判例百選16事件、91事件の読了
	授業内容	保険契約法総論（2）
	事後学習	保険契約の重大事由解除の内容について復習する
7	事前学習	保険判例百選5事件、89事件、損害保険判例百選5事件を読了する
	授業内容	被保険利益
	事後学習	生命保険契約と損害保険契約における被保険利益の違いなどについて復習する
8	事前学習	保険判例百選59事件、60事件、生命保険判例百選39事件を読了する
	授業内容	保険契約と告知義務（1）
	事後学習	生命保険契約と損害保険契約に関連する告知義務違反の要件を復習する
9	事前学習	保険判例百選66事件、101事件、105事件を読了する
	授業内容	保険契約と告知義務（2）
	事後学習	生命保険契約と損害保険契約に関連する告知義務違反の効果を復習する
10	事前学習	損害保険契約における損害填補性について配布する資料を読了する
	授業内容	損害保険契約総論（1）
	事後学習	損害填補の意味、保険価額と保険金額の関係について復習する
11	事前学習	保険判例百選10事件、15事件を読了する
	授業内容	損害保険契約総論（2）
	事後学習	損害保険契約における保険契約者・被保険者の義務について復習する
12	事前学習	保険判例百選17事件、27事件、28事件を読了する
	授業内容	損害保険契約総論（3）
	事後学習	各種損害保険契約の特殊性について復習する
13	事前学習	保険判例百選23事件、36事件、75事件、損害保険判例百選36事件を読了する
	授業内容	保険代位
	事後学習	残存物代位と請求権代位について復習する
14	事前学習	保険判例百選19事件、20事件、35事件を読了する
	授業内容	損害保険の免責事由（1）
	事後学習	損害保険の免責事由である「故意」について復習する

15	事前学習	保険判例百選43事件、104事件、最判昭和32年7月9日民衆11巻7号1203ページの事件を読了する
	授業内容	損害保険の免責事由（2）
	事後学習	損害保険の免責事由である「重大な過失」について復習する
16	事前学習	損害賠償と責任保険について事前に配布する資料を読了する
	授業内容	賠償責任保険と不法行為責任
	事後学習	賠償責任保険の基本的な構造を復習する
17	事前学習	保険判例百選47事件、49事件を読了する
	授業内容	賠償責任保険（1）
	事後学習	税理士賠償責任保険と医師賠償責任保険の基本的な仕組みを復習する
18	事前学習	保険判例百選48事件、千葉地判平成13年3月27日判タ1106号170ページの事件を読了する
	授業内容	賠償責任保険（2）
	事後学習	建築家賠償責任保険と弁護士賠償責任保険の基本的な仕組みを復習する
19	事前学習	事前に配布する自賠責保険に関する資料を読了する。保険法判例百選29事件、30事件を読了する。
	授業内容	自賠責保険（1）
	事後学習	自賠責保険の基本的な仕組みについて復習する
20	事前学習	交通事故判例百選8事件、13事件、32事件を読了する
	授業内容	自賠責保険（2）
	事後学習	運行概念と運行供用者責任について復習する
21	事前学習	保険判例百選33事件、39事件、40事件を読了する
	授業内容	任意自動車保険（1）
	事後学習	自賠責保険と任意保険の関係と搭乗者傷害保険の内容について復習する
22	事前学習	最判平成24年2月20日交通民集66巻2号742ページの事件、保険判例百選44事件、45事件を読了する
	授業内容	任意自動車保険（2）
	事後学習	人身傷害補償保険の構造と車両保険の仕組みと特有な論点について復習する
23	事前学習	保険判例百選53事件と78事件を読了する
	授業内容	生命保険契約（1）
	事後学習	生命保険契約の基本構造について復習する
24	事前学習	保険判例百選55事件、88事件、生命保険判例百選14事件を読了する
	授業内容	生命保険契約（2）
	事後学習	生命保険契約に特有な法的論点について復習する
25	事前学習	保険判例百選68事件、72事件を読了する
	授業内容	生命保険契約（3）
	事後学習	生命保険契約の保険金受取人指定の効力について復習する
26	事前学習	保険判例百選75事件、76事件、77事件、生命保険判例百選追補3事件を読了する
	授業内容	生命保険契約（4）
	事後学習	保険金受け取人の変更とそれに関連する法的論点について復習する

27	事前学習	保険判例百選81事件、82事件、83事件、84事件、86事件を読了する
	授業内容	生命保険契約と免責事由
	事後学習	生命保険契約に特有な免責事由について復習する
28	事前学習	保険判例百選41事件、98事件、99事件を読了する
	授業内容	傷害疾病保険（1）
	事後学習	傷害疾病保険の基本的な仕組みと外来性の要件について復習する
29	事前学習	保険判例百選107事件を読了する
	授業内容	傷害疾病保険（2）
	事後学習	傷害疾病保険に特有な責任開始前発病不担保条項について復習する
30	事前学習	事前に配布する資料を読了する
	授業内容	保険契約法の現代的課題―講義のまとめとして―
	事後学習	保険契約法が抱えている現代的な課題について復習する

科目名	商法Ⅴ（運送法）	担当者	井口 浩信	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための				担当形態	
科目					
施行規則に定める 科目区分又は事項等					
授業概要	本講座は運送法を対象とする。日常生活や企業のビジネス活動において、物流・運送は不可欠のインフラであるとともに、さまざまな法律問題が生じる分野でもある。本講座では運送法の基礎知識を正確に習得することを目的とする。				
授業目的・ 到達目標	①運送法領域の基礎知識を習得する。 ②重要論点や重要裁判例を理解し、それらを他人に対して「自分の言葉」で説明ができ、かつ自分自身の考えを述べる ことができる。				
履修条件	民法総則および債権法を履修済みかまたは並行して履修していることが望ましい。なお、講義には必ず最新の六法（小型 版六法で可）を携行されたい。				
授業方法	講義とする。なお、講師と学生とで一問一答を実施したり、学生に発表・報告を求める場合がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	確認テストの点数、授業内試験の点数の合計に、授業中の発表等の平常点を加味して評 価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	レジメ・判例・資料等を適宜配布する。			
参 考 書	1. 藤田勝利＝工藤聡一編著『現代商取引法』（弘文堂）、2. 弥永真生『リーガルマインド 商法総則・商行為法』（有斐閣）				
オフィス アワー	講義内容に関する質問等は、開講時ガイダンスでお知らせするメールアドレスあてにメール送信されたい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	本講義のガイダンス 運送法を学ぶ目的－対象範囲－
	事後学習	講義で配布した資料（設例）を検討する。
2	事前学習	商法569条、593条、597条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	「モノを預かる」「モノを運ぶ」ことに関する法規制の法源・適用範囲
	事後学習	場屋営業・倉庫営業・運送のそれぞれのビジネスの法律関係の異同を理解する。

3	事前学習	商法593条～596条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	倉庫取引・場屋取引と運送法の異同－場屋取引－
	事後学習	場屋営業者に関する判例を熟読する。
4	事前学習	商法597条～628条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	倉庫取引・場屋取引と運送法の異同－倉庫取引－
	事後学習	倉庫営業者に関する判例を熟読する。
5	事前学習	商法559条～592条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	運送取引の基本構造（１）
	事後学習	運送法の規律内容と運送約款の内容を理解する。
6	事前学習	商法559条～592条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	運送取引の基本構造（２）
	事後学習	運送に関する判例を熟読する。
7	事前学習	商法570条～575条を通読し、条文の意味するところを考える。
	授業内容	運送証券
	事後学習	貨物引換証に関する判例を熟読する。
8	事前学習	これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	確認テスト
	事後学習	テストと自己の解答を振り返り、自分の理解度を確認する。
9	事前学習	事前配布資料を通読する。
	授業内容	海上運送法（１）
	事後学習	海上運送の実際を理解する。
10	事前学習	事前配布資料を通読する
	授業内容	海上運送法（２）
	事後学習	海上運送に関する判例を熟読する。
11	事前学習	事前配布資料を通読する
	授業内容	国際取引に関するルール
	事後学習	国際取引に関する判例を熟読する。
12	事前学習	事前配布資料を通読する
	授業内容	航空運送法（１）
	事後学習	航空運送の実際を理解する。
13	事前学習	事前配布資料を通読する
	授業内容	航空運送法（２）
	事後学習	航空運送の判例を熟読する。
14	事前学習	事前配布資料を通読する
	授業内容	複合運送取引
	事後学習	複合運送の実際を理解する。

15	事前学習	これまでの復習を行っておくこと
	授業内容	授業内試験・解説
	事後学習	テストと自己の解答を振り返り、自分の理解度を確認する。

科目名	商法Ⅴ（運送法）	担当者	工藤 聡一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義では、生産過程から消費過程にいたる製品の流れを統制し合理化する企業システム、すなわちビジネス・ロジスティクスを念頭に、陸・海・空の各運送取引、そして倉庫寄託取引についての法規制を、各取引の動態を踏まえつつ理解しようとするものである。				
授業目的・到達目標	ビジネス・ロジスティクスに関する事項を中心に、法規範及びその社会的背景を考察・分析することを通じて、企業取引に関する主要法制度の機能的特徴を理解し、これを円滑に運用するための学識を獲得することを目的とする。				
履修条件	商法Ⅱ（企業取引法）を履修していることが望ましい。				
授業方法	毎授業の最初にその日の「なぜ」を提示する。授業は講義形式のなぞ解きである。最終回の授業内テストは幾つかの「なぜ」を結びつけた総合問題となる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	リアクション・ペーパー（2回、ウェート50%）及び授業内テスト（1回、ウェート50%）により、知識の理解度と定着度をはかる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011年	弘文堂		現代商取引法	藤田勝利＝工藤聡一
	備考				
参考書	藤田勝利編『新航空法講義』（信山社、2007年）				
オフィスアワー	金曜日18：00～19：00於415研究室 メール（kudo.soichi@nihon-u.ac.jp）でアポイントメントをとることが望ましい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト4～21、36～84頁を通読する。
	授業内容	ガイダンス、イントロダクションー商法（企業法）の体系、企業主体と一般企業補助設備
	事後学習	営利、簡易迅速といった商法の特色・理念が商法の条文にどのように現れているか確認する。
2	事前学習	テキスト22～33、99～152、258～279頁を通読する。
	授業内容	企業取引の諸類型ー売買・売買仲介・運送・運送仲介・施設
	事後学習	典型的な企業取引において、民法規範がどのように修正されているか確認する。

3	事前学習	テキスト165～175頁を通読する。
	授業内容	ロジスティクス法の範疇、陸上運送の企業主体―運送人、責任制度
	事後学習	陸上物品運送に関する運送人の損害賠償責任制度の特徴を整理する。
4	事前学習	テキスト175～187、249～253頁を通読する。
	授業内容	陸上運送の企業活動―物品運送・相次運送・貨物引換証・運送約款、旅客運送
	事後学習	陸上旅客運送に関する運送人の損害賠償責任制度の特徴を整理する。
5	事前学習	テキスト188～199頁を通読する。
	授業内容	海上運送の企業主体と企業設備―船舶所有者等、責任制度、海員・船舶
	事後学習	海上物品運送に関する運送人の損害賠償責任制度の特徴を、陸上物品運送との対比において整理する。
6	事前学習	テキスト200～206頁を通読する。
	授業内容	海上運送の企業活動―物品運送・船荷証券・複合運送・旅客運送
	事後学習	海上物品運送の諸形態における契約関係を整理する。
7	事前学習	テキスト206～213、282～293、306～327頁を通読する。
	授業内容	海上危険への対処―共同海損・船舶衝突・海難救助、海上保険、油濁損害
	事後学習	油濁損害の補償のために採用された国際基金の仕組みを確認する。
8	事前学習	テキスト153～163、242～253頁を通読する。
	授業内容	運送仲介と倉庫寄託の企業活動―運送取扱・通運・フォワーディング、倉庫
	事後学習	航空運送に占めるフォワダーの役割と法的性質を確認する。
9	事前学習	テキスト214～223頁を通読する。
	授業内容	航空運送の企業主体―航空運送人・責任制度①
	事後学習	1929年ワルソー条約が成功した理由を確認する。
10	事前学習	テキスト226～233頁を通読する。
	授業内容	航空運送の企業主体―航空運送人・責任制度②、航空運送の企業設備―航空機・航空機金融、機長・空員
	事後学習	1929年ワルソー条約が後に失敗した理由を確認する。
11	事前学習	テキスト223～225、234～241頁を通読する。
	授業内容	航空運送の企業活動―貨物運送、エア・ウェイビル、旅客運送
	事後学習	エア・ウェイビルの特徴を、船荷証券との対比において整理する。
12	事前学習	9. 1 1 同時多発テロの人的・物的被害額を調べてくる。
	授業内容	航空危険への対処―空中衝突・空難救助、地上第三者損害、航空保険
	事後学習	9. 1 1 型地上第三者責任の負担のあり方を、油濁損害の場合と対比しつつ検討する。
13	事前学習	テキスト249～255頁を通読する。
	授業内容	宇宙運送の可能性―宇宙法と弾道宇宙飛行
	事後学習	国際航空法及び宇宙法の諸原理をもとに、弾道民間宇宙飛行における責任のあり方を検討する。
14	事前学習	「商法及び国際海上物品運送法の一部を改正する法律案」を通読する。
	授業内容	ロジスティクスの動態と法規制の将来
	事後学習	現行商法の課題と、改正商法における立法措置とを対応させ、商法の現代化の意義を確認する。

15	事前学習	第1回～第14回の授業内容を振り返り、運送取引を貫く原理と、各運送取引に固有の事情を検討する。
	授業内容	サマリー、授業内テスト、テスト解説
	事後学習	ビジネス・ロジスティクスが災害によって機能不全に陥ったことを想定してみる。

科目名	商法Ⅴ（運送法）	担当者	南 健悟	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この講義では、商法の分野のうち、運送及び海商法と呼ばれる分野について解説する。商法は、商取引の一つとして運送取引に関する規整を有しているが、運送取引は、自動車・鉄道・航空機・船舶による物品及び旅客の運送が含まれている。この講義では、運送のモード（陸上運送・航空運送・海上運送）に応じて生じうる法的諸問題について扱う。そのため、この講義では、運送法総論及び海商法が講義の中心となる。				
授業目的・到達目標	この講義の目的は、まず商法が規定する運送取引に関わる法的問題について基礎的な知識を得ることである。普段、宅配便や鉄道・自動車旅客運送を利用することも一般的に行われているが、この講義では、そのような各種運送契約に関する法規整及び判例等の知識を得ることが重要である。そして、この講義を通して、運送取引に関する基礎知識を踏まえて、そこで生じうる法的論点について、従来の判例や学説を手がかりに考察することができるようになることが、本講義の到達目標である。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的には講義形式になるが、事前の予習を踏まえた上で、積極的な発言を求めることがある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	定期試験において、択一・論述形式により出される問題により、正確な知識等を有しているかを図る。	
	平常評価		20%	講義内で提示される択一問題や空欄補充問題が正答しているかどうかにより、基礎的な知識が定着しているかを確認する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011年	弘文堂		現代商取引法	藤田勝利＝工藤聡一編
	備考				
参考書	中村眞澄＝箱井崇史『海商法（第2版）』（成文堂、2013年）				
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	オリエンテーション―運送法の概要
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	運送法総論（1）―運送法概説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

3	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	運送法総論（2）―陸上物品運送人の責任①
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	運送法総論（3）―陸上物品運送人の責任②
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
5	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	鉄道運送
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	航空運送
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海商法総論・船舶概念
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	船舶運航の主体と補助者
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	船主責任制限制度
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	船荷証券
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上物品運送契約の履行
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上物品運送人の責任
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上物品運送人の責任制限と免責
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上危険―船舶の衝突・海難救助・共同海損
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

15	事前学習	配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し、知識の確認を図る
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	商法Ⅴ（運送法）	担当者	南 健悟	部 別	第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この講義では、商法の分野のうち、運送及び海商法と呼ばれる分野について解説する。商法は、商取引の一つとして運送取引に関する規整を有しているが、運送取引は、自動車・鉄道・航空機・船舶による物品及び旅客の運送が含まれている。この講義では、運送のモード（陸上運送・航空運送・海上運送）に応じて生じうる法的諸問題について扱う。そのため、この講義では、運送法総論及び海商法が講義の中心となる。					
授業目的・到達目標	この講義の目的は、まず商法が規定する運送取引に関わる法的問題について基礎的な知識を得ることである。普段、宅配便や鉄道・自動車旅客運送を利用することも一般的に行われているが、この講義では、そのような各種運送契約に関する法規整及び判例等の知識を得ることが重要である。そして、この講義を通して、運送取引に関する基礎知識を踏まえて、そこで生じうる法的論点について、従来の判例や学説を手がかりに考察することができるようになることが、本講義の到達目標である。					
履修条件	特になし。					
授業方法	基本的には講義形式になるが、事前の予習を踏まえた上で、積極的な発言を求めることがある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	定期試験において、択一・論述形式により出される問題により、正確な知識等を有しているかを図る。		
	平常評価		20%	講義内で提示される択一問題や空欄補充問題が正答しているかどうかにより、基礎的な知識が定着しているかを確認する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011年	弘文堂		現代商取引法		藤田勝利＝工藤聡一編
	備考					
参考書	中村眞澄＝箱井崇史『海商法（第2版）』（成文堂、2013年）					
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	オリエンテーション―運送法の概要
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
2	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	運送法総論（1）―運送法概説
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

3	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	運送法総論（2）―陸上物品運送人の責任①
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
4	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	運送法総論（3）―陸上物品運送人の責任②
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
5	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	鉄道運送
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
6	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	航空運送
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
7	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海商法総論・船舶概念
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
8	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	船舶運航の主体と補助者
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
9	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	船主責任制限制度
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
10	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	船荷証券
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
11	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上物品運送契約の履行
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
12	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上物品運送人の責任
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
13	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上物品運送人の責任制限と免責
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る
14	事前学習	事前に配布されるレジュメ及びそこに記載されている教科書の該当ページを読む
	授業内容	海上危険―船舶の衝突・海難救助・共同海損
	事後学習	講義後に配布される小テストを講義レジュメや教科書を確認しながら解答し、知識の定着を図る

15	事前学習	配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し、知識の確認を図る
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	小テスト等の解答等を講義レジュメや教科書で確認する

科目名	情報システム論 I	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ワードやエクセルを利用して、データベースを利用して必要な情報を抽出すること等も含め情報の処理ができるように演習形式で進める講義である。ワード、エクセルの操作方法の習得が中心となる。			
授業目的・到達目標	情報は紙ベースの時代から電子データの時代へと変化している。そこで、ワード、エクセル、パワーポイントによる電子データの作成と処理方法を習得することを目的とする。各ソフトウェアを十分に使いこなせること、特にエクセルに関しては関数が十分に利用できることを目標とする。			
履修条件	演習が中心となるので、毎回出席して、説明に従ってソフトウェアを操作することが望ましい。			
授業方法	配布するデジタルデータを利用して、その処理を説明する方法で進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価	100%	学期末に習熟度を考査するための課題の処理の結果と、受講態度を併せて評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	FOM出版	よくわかる Microsoft Word 2013 ドリル	FOM株式会社
	2013年	FOM出版	よくわかる Microsoft Excel 2013 ドリル	FOM株式会社
	備考			
参考書	市販の様々なテキストがあるが、ビジネス系パソコン雑誌の特集記事の方がより実践的な処理方法を記述しているのでそれらを入手して利用すること。			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	タッチキー入力ができるか確かめてみること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	タッチキー入力ができるよう練習すること。
2	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	ワードの基本操作 文章の作成
	事後学習	特殊文字の入力には様々な方法があるので合理的な方法を活用する。
3	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	文章の作成 ページの基礎的な編集
	事後学習	同一の結果になる複数の操作方法があるので好みの方法で行えばよい。
4	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	表の作成 文書内に表を作成する
	事後学習	表の作成作業は、エクセルと共通する操作方法もあるので復習すること。

5	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	文章の編集 文字の修飾 箇条書き 等
	事後学習	操作ボタンは予想がつくので、簡単に選択、操作できるようになること。
6	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	表現をアップする機能Ⅰ 図形、画像の挿入 ワードアート 等
	事後学習	操作ボタンは予想がつくので、簡単に選択、操作できるようになる。
7	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	表現をアップする機能Ⅱ 図形、オンライン画像の挿入 ヘッダー・フッターの利用 等
	事後学習	操作ボタンは予想がつくので、簡単に選択、操作できるようになる。
8	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	図形や図表を使った文書の作成Ⅰ 応用
	事後学習	様々な基本操作の組み合わせができるようにする。
9	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	図形や図表を使った文書の作成Ⅱ スマートアート利用 応用
	事後学習	様々な基本操作の組み合わせができるようにする。
10	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	写真を使った文書の作成
	事後学習	基本操作の応用なので、基本操作の組み合わせができるようにする。
11	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	差し込み印刷
	事後学習	データベースをいかに作成するかを復習すること。
12	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	長文の作成
	事後学習	見出しを利用することで編集する方法を復習すること。
13	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	エクセルデータの利用
	事後学習	エクセルデータの利用方法を理解すること。
14	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	表紙 目次 等の作成
	事後学習	レポートのような文書の作成方法を理解すること。
15	事前学習	前期講義内容を復習しておくこと。
	授業内容	前期講義内容の習熟度考査
	事後学習	作業ができなかった点を復習して習得すること。

科目名	情報システム論Ⅱ	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ワードやエクセルを利用して、データベースを利用して必要な情報を抽出すること等も含め情報の処理ができるように演習形式で進める講義である。ワード、エクセルの操作方法の習得が中心となる。			
授業目的・到達目標	情報は紙ベースの時代から電子データの時代へと変化している。そこで、ワード、エクセル、パワーポイントによる電子データの作成と処理方法を習得することを目的とする。各ソフトウェアを十分に使いこなせること、特にエクセルに関しては関数が十分に利用できることを目標とする。			
履修条件	演習が中心となるので、毎回出席して、説明に従ってソフトウェアを操作することが望ましい。			
授業方法	配布するデジタルデータを利用して、その処理を説明する方法で進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価	100%	学期末に習熟度を考査するための課題の処理の結果と、受講態度を併せて評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	FOM出版	よくわかる Microsoft Word 2013 ドリル	FOM株式会社
	2013年	FOM出版	よくわかる Microsoft Excel 2013 ドリル	FOM株式会社
	備考			
参考書	市販の様々なテキストがあるが、ビジネス系パソコン雑誌の特集記事の方がより実践的な処理方法を記述しているのでそれらを入手して利用すること。			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	数学、代数計算を復習しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	表計算ソフトは代数計算であることを理解すること。
2	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	エクセルの基礎知識 データの入力 表の作成Ⅰ
	事後学習	データの入力方法を理解すること。
3	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	表の作成Ⅱ 数式の入力
	事後学習	データの入力と数式の入力の違いについて理解すること。
4	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	複数シートの操作 表の印刷
	事後学習	複数シートの操作方法を理解すること。

5	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	グラフの作成
	事後学習	どのデータを利用してグラフを作成するのかよく理解すること。
6	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	関数の利用
	事後学習	個々の関数の意味を理解し、その使い方を十分に理解すること。
7	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	表作成の活用
	事後学習	関数の利用と表作成についてよく理解すること。
8	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	グラフの活用
	事後学習	どのデータを利用してグラフを作成するのかよく理解すること。
9	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	グラフィックの利用
	事後学習	ワード文書の図形を利用した文書の作成方法であり、どちらのソフトが便利か判断できるようにする。
10	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	データベースの活用
	事後学習	表計算ソフト、パソコンの得意とする作業であり、その使用方法をよく理解すること。
11	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	ピボットテーブルとピボットグラフの作成
	事後学習	データベースの分析機能であり、その使用方法をよく理解すること。
12	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	マクロの作成
	事後学習	作業の効率化の為に使える機能で、利用できると便利である。
13	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	その他便利な機能
	事後学習	利用できると便利な機能である。
14	事前学習	テキストの練習問題を予習しておく。
	授業内容	関数の利用 関数利用の復習
	事後学習	関数の機能、利用方法を復習すること。
15	事前学習	後期講義の内容を復習すること。
	授業内容	後期講義内容の習熟度考査
	事後学習	作業ができなかった点を復習して習得すること。

科目名	消防政策	担当者	渡辺 剛英	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	消防は、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、傷病者の救急・救助、地震等の災害による被害軽減など、国民の安心・安全に関する重要な役割を担っている。 本講義では、消防に関する制度、組織、主な施策と課題等について、基礎的な知識と考え方を学習する。				
授業目的・ 到達目標	【授業目的】 消防の基本的な枠組み（関係法令、実施体制、予算等）を理解し、消防白書を読みこなして内容を説明することができるようになることを目的とする。 【到達目標】 公共政策上の主な課題と方向性について学び、それにもとづき日々発生している火災や自然災害等の背景や対応策を考えることができるようになる。				
履修条件	2年次生以上を対象とする。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	消防政策に関する基礎的な知識と考え方が身についているかを判定する。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	講義中に適宜紹介（消防白書の該当URLなど）				
オフィス アワー	メールにて対応 watanabe.takehide11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防防災に関する概論
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
2	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（1）－消防に関する体制整備
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。

3	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（２）－火災統計と火災原因調査
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
4	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（３）－住宅や事業所の火災予防
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
5	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（４）－危険物施設や石油コンビナートの災害対策
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
6	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（５）－救急
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
7	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（６）－救助
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
8	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（７）－緊急消防援助隊と消防活動の高度化
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
9	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（８）－大規模な事故災害等への対応
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
10	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	消防行政（９）－消防における国際協力と研究開発
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
11	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	防災・危機管理（１）－国・地方公共団体における防災の体制
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
12	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	防災・危機管理（２）－震災への対応
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
13	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	防災・危機管理（３）－風水害・雪害への対応
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。
14	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	防災・危機管理（４）－国・地方公共団体における国民保護の体制
	事後学習	授業中に紹介した消防白書の該当箇所を復習すること。

15	事前学習	消防に関する新聞、ニュース等の報道を精読すること。
	授業内容	防災・危機管理（5） 一種々の危機管理事案への対応
	事後学習	本講義（全15回）において配布したレジュメを復習すること。

科目名	情報通信政策	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	情報通信は、官民を問わずあらゆる社会活動のベースとなる基礎インフラであり、これを如何に整備・活用していくかが今後の我が国経済社会の死命を制する重要課題となっている。本講義では、新産業の育成・社会活性化のため喫緊の課題となっているIoT, オープンデータなどの問題を始め、セキュリティ・個人情報保護対策や、ICTによる産業・生活の高度化等の施策を取り上げ、その現状と課題を明らかにする。				
授業目的・到達目標	情報通信に係る制度・施策や新しい技術を活用した社会・産業の発展方向性に係る知識は、公務部門・民間部門を問わず将来の職業生活において必須の基礎素養となっている。本講義では、これらの多様なトピックを具体例に即して講義することにより、実践的な基本知識を習得できるようにする。				
履修条件	特にICTの専門知識は必要としないが、AI、クラウド、IoT等の用語になじみのない学生は、参考書として掲げた「未来を味方にする技術ーこれからのビジネスを創るITの基礎の基礎ー」を一読しておくことを勧める。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		75%		
	平 常 評 価		25%	事前学習の出来映え、授業中の質問・発言等を評価対象とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない。			
参 考 書	上村進他「e-ガバメント論」三恵社2012、総務省「情報通信白書」、「未来を味方にする技術ーこれからのビジネスを創るITの基礎の基礎ー」（斎藤 昌義著・技術評論社）2017				
オフィスアワー	金曜日3限。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	講義で紹介した文献・資料等の収集
2	事前学習	報道等で最新のAI、IoT、クラウド、ブロックチェーン等に係る記事をフォローしておき、その概要を把握しておくこと。
	授業内容	最新ICT技術の動向と社会経済
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

3	事前学習	最新の「成長戦略」「骨太の方針」等に記載された我が国中央政府の基本的なICT政策の方向性を把握しておくこと。
	授業内容	情報通信政策の概観
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	現在の主要通信キャリア各社がどのような変遷（合併・吸収・事業譲渡等）を経て現在の体制になったか確認しておくこと。
	授業内容	我が国における情報通信政策等の経緯（通信自由化等）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
5	事前学習	あなたが居住する自治体の「情報化推進計画」等をネット等で入手し、その特徴を確認しておくこと。
	授業内容	電子政府・電子自治体①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	あなたの居住する自治体の公式ウェブサイトで施設予約・許認可手続・証明書入手・意見提出等がどうすれば出来るようになっているか確認しておくこと。
	授業内容	電子政府・電子自治体②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	最近の報道等で特にテレビ放送に関する論調について調べておくこと。
	授業内容	放送政策①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	あなたが普段ニュース・エンタテインメントなどを視聴するのはテレビ・ラジオか、それともインターネットか？この両者の間にはどのような違いがあると考えられるか、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	放送政策②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	あなたが普段の学習・研究等で使用する統計・データ等の入手先はどこが多いか？政府の提供する「e-stat」や「DATA GO JP」「RESAS」と比べてその使い勝手・充実度はどうか？実際に比較してみること。
	授業内容	オープンデータ・オープンガバメント①（全体像、諸外国の状況）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	あなたの居住する自治体（都道府県及び市町村の双方）はオープンデータのためのサイトを用意しているか？していない場合その理由は何か？そのサイトの使い易さ・充実度は他自治体のサイトと比べてどうか？調べておくこと。
	授業内容	オープンデータ・オープンガバメント②（我が国の状況）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	あなたが実際に体験したor身近に見聞した情報セキュリティ上の脅威について、その概要を発表出来るようまとめておくこと。
	授業内容	ICTセキュリティ①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	近年、世界的に脅威となっているコンピュータ・ウィルス等を活用した代表的な手口について調べ、パターンごとに類型化しておくこと。
	授業内容	ICTセキュリティ②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	ICTの発展に伴って、なぜ個人情報の保護が急速にクローズアップされるようになってきたのか、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	個人情報保護①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	米国の情報系巨大企業（いわゆる”FANG”）の強みは、個人情報の囲い込み・活用にあると言われているが、その理由について考察し、発表出来るようにしておくこと。
	授業内容	個人情報保護②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

15	事前学習	これまでの授業内容を踏まえ、新たな情報通信技術を活用する際の課題等についてまとめておくこと。
	授業内容	最新ICTと産業・社会（医療・農業等）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	情報の科学 I	担当者	小林 正幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	情報をめぐる最も基礎的な考え方を講義する。情報は工学においても重要な概念ではあるが、本講義では人文社会科学、あるいは思想や哲学的に情報という概念がもつ意義について考察する。これを足がかりとして情報とメディアに関する具体的な事例を取り上げ、皆で考察していく。				
授業目的・到達目標	コンピュータとネットワークは家庭からビジネスまで全ての場面で利用されている。もちろん旧メディアも。しかしその根底となる情報なる概念がもつ意義について、われわれは理解しているとはいえない。情報は人文社会科学と自然科学両者の考え方に橋渡し可能な概念である。そこでこのような性格の情報概念について、人文社会科学の方に比重を置きつつ、基本的な理解を行い、現実の社会理解に役立つような力を身につけることが本講義の目的となる。情報の基礎的理解を深め、現実の社会理解や批判を行うことができるような力を身につけること。				
履修条件	通俗的な情報に関する理解を乗り越えること。その判断は試験において行う。 とにかく講義を聞くこと。無駄話など講義の雰囲気損なうような行為はしないこと。				
授業方法	毎回資料を提示する予定。それをもとに講義形式で行う。受講者の理解度に応じて柔軟な運営を行う。そのうえで、時に話題となっている問題について取り上げることも行っていきたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	講義で関わった理論、概念等が生かされた解答	
	平常評価		20%	リアクションペーパーの内容を勘案する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	西垣通　こころの情報学　1999年　ちくま新書 他は適宜指示				
オフィスアワー	メールにて質問を受けます				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでほしい。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
2	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでほしい。
	授業内容	情報の基礎(1) 最も基礎的な情報の性質の捉え方、情報の表現としての記号と符号化、情報の伝達と通信についての工学的理解を人文社会科学的に解説する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
3	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでほしい。
	授業内容	情報の基礎(2) 情報の人間科学的理解を解説する。まず、人文社会科学と自然科学のありようについて簡単に説明を行い、両者を接続する考え方として情報を位置づける。そのうえで人間にとって情報には遺伝情報と社会情報があることを解説する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
4	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでほしい。
	授業内容	情報の基礎(3) グレゴリー・ベイトソンにおける情報の定義を巡って解説する。さらにベイトソンの遊び論、フレーム論、ダブルバインド論を取り上げ、世界理解のありようについて検討する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。

5	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報とマスメディア(1) コミュニケーション科学の歴史を取り上げる。そこでノーバート・ウィーナーのコミュニケーションの数学的理解、サイバネティクスに関して説明する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
6	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報とマスメディア(2) 上記サイバネティクスのマス・コミュニケーション論への影響を取り上げ、ハロルド・ラスウェルの宣伝効果やポール・ラザースフェルドの効果研究などの科学を取り上げる。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
7	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報とマスメディア(3) サイバネティクスは通信技術への適応に優れていたため、数量的なモデルとして理解された。しかしながら、もともとのサイバネティクスはより思想的な広がりをもっていた。その可能性をインターネット理解に適合できるか検討する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
8	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報とシステム(1) 情報とオートポイエシス論について解説する。生物学者のウンベルト・マトゥラーナとフランシスコ・ヴァレラは生命が自己人身のあり方を自ら変化させるシステムであることを突き止めたが、この考え方をもとに情報を位置づけていく。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
9	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報とシステム(2) ニクラス・ルーマンの社会システム論は社会のモデル化を行っている。ルーマンはコミュニケーションを情報→伝達→理解というプロセスとして、メディアは世界の複雑性の縮減である。ここから情報とは何かに ついて社会学的理解を紹介する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
10	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報とシステム(3) サイバネティクスとオートポイエシスの考え方を基礎とした社会科学にも適応可能な情報の分類学について解説する。そこで情報と生きられた世界の意味について検討する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
11	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報と言語 ここでは言語情報について考察する。言語の機能や構造について「差異の体系」として捉え、チョムスキーの言語理論を足がかりに世界とわれわれの心的システムの関係についてわかりやすく解説する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
12	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報と記号 ロラン・バルトの記号論から記号の理解を行う。記号がもつ一次的な意味作用、そして二次的な意味作用という意味の広がり、さらにローマン・ヤコブソンの詩的機能を取り上げ、記号情報がもつ幅広い意味のあり方について検討する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
13	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報と身体 ミシェル・フーコーの身体論を下敷きとして、近代的な権力のあり方を身体を訓練し規律化することとして捉え、そこで情報が果たす役割について講義する。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
14	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	情報と都市 情報の一般的理解を乗り越える。ここでは、情報を固定した存在として、あるいは数学的な理解に留まる場合に作り出される社会観について解説し、その問題点を都市論として取り上げる。
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。
15	事前学習	情報にかかわる人文社会学的な本を自ら選んで適度に読んでいてほしい。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布プリントを読んで、その内容と自らの経験と重ね合わせて考察してほしい。

科目名	情報の科学Ⅱ	担当者	小林 正幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	情報やメディアに関する根本的な考え方を講義する。情報が身の回りにあふれている社会ではある。それによって、情報のありようが変化し、人間や社会も変容はする。しかしながら、情報やメディアと人間の関係性を問うならば、人間が「よく生きること」において、情報やメディアとの関係を問うことになる。その意味で普遍的な知に開かれた情報やメディアとの理解につながるような講義を行いと思う。				
授業目的・到達目標	多様なメディアが存在する現代社会において、われわれはメディアや情報とどのように接触していけばいいのか。メディアは意識や行動、生活に影響をあたえ、知識や情報の供給源である。にもかかわらず、メディアと情報について表層的な理解に留まるのが常である。そこで、本講義ではメディアと情報に関して、科学的理解を押さえ、その限界について考察し、メディア倫理の原的理解を行うことを目的とする。情報に関する科学的理解を押さえ、その乗り越えとして、情報とメディアに関する倫理的な理解へと視野を広げること。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式で行う。時に映像鑑賞を行い、リアクションペーパーを活用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	講義で取り扱ったことが生かされているかが、試験採点の鍵となる	
	平常評価		10%	リアクションペーパーの内容、姿勢を勘案する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	風塵社		メディア・リテラシーの倫理学	小林正幸
	備考				
参考書	講義内で指摘				
オフィスアワー	メールにて質問を受けます				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
2	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	情報とメディアの基礎的理解
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
3	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	情報のモノ的理解とその限界について
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
4	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	情報の科学的理解とコミュニケーションの伝達モデル
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること

5	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	基礎情報学によるIT社会理解
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
6	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	ギリシャ哲学およびプラトンの倫理
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
7	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	情報と有害メディア論
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
8	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	プラトンのメディア論
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
9	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	ルターの宗教改革と書くことの倫理性
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
10	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	ハイデガーの芸術論と美としての情報
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
11	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	ハイデガーの技術論からの現代情報技術批判
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
12	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	和辻哲郎からのメディアと共同性
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
13	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	西田幾多郎の行為的直観からのメディア理解
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
14	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	情報／メディアの倫理学について
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること
15	事前学習	指定教科書を読むこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義内容を自らの情報との関わりに重ねて考えること

科目名	情報法 I	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	電気通信分野では、これまで放送と通信を明確に区分することが可能でした。しかし、インターネットの急激な発達によって、利用者から見るとその境界が曖昧になりつつあります。また、ソーシャルメディアの普及によって、だれもが容易に情報発信ができるようになる一方で、違法・有害情報が拡散するなど、新たな問題も起きています。こうした認識のもと、講義では、情報の「自由」「規制」「保護」に着目して解説します。				
授業目的・到達目標	情報社会の一員として、情報に関する法的知識と倫理についての基本的な理解と認識を身につけて欲しい。				
履修条件	特にありません。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業内レポートおよび最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜プリントを配付します。			
参 考 書	「情報法概説」（曾我部真裕、林秀弥、栗田昌裕、弘文堂）				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでください。
	授業内容	ガイダンス「情報法と何か」
	事後学習	サイバースペース宣言の全文を読んでください。
2	事前学習	憲法第21条の内容を改めて確認するとともに、大日本国憲法第29条との違いを調べてください。
	授業内容	表現の自由Ⅰ：歴史と保障根拠
	事後学習	検閲の歴史についてまとめてください。

3	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	表現の自由Ⅱ：自己実現と自己統治、思想の自由市場論、知る権利
	事後学習	自己実現と自己統治の考え方についてまとめてください。
4	事前学習	自己実現と自己統治の考え方についてまとめてください。
	授業内容	放送制度Ⅰ：放送法制の変遷
	事後学習	放送法の策定過程における日本政府とGHQの攻防についてまとめてください。
5	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	放送制度Ⅱ：放送規制の根拠と番組編集準則をめぐる議論
	事後学習	放送内容規制についてまとめてください。
6	事前学習	1985年の通信の自由化について調べてください。
	授業内容	電気通信事業の変遷Ⅰ：電話から携帯、インターネットへ
	事後学習	時代とともにどのようなサービスが展開されてきたかをまとめてください。
7	事前学習	e-japan戦略について調べてください。
	授業内容	電気通信事業の変遷Ⅱ：ブローバンドとスマートフォンの時代
	事後学習	政府の情報通信政策についてまとめてください。
8	事前学習	「5G」について調べてください。
	授業内容	電気通信事業の変遷Ⅲ：5Gの時代
	事後学習	IoTの概念をまとめてください。
9	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	通信の秘密とは
	事後学習	通信の秘密への制約についてまとめてください。
10	事前学習	総務省ホームページで「通信・放送の在り方に関する懇談会報告書」を検索し、読んでください。
	授業内容	情報通信法構想Ⅰ：「通信・放送の在り方に関する懇談会」での議論のポイント
	事後学習	懇談会が示したコンテンツ規制の根拠についてまとめてください。
11	事前学習	総務省ホームページで「通信・放送の在り方に関する懇談会報告書」を検索し、読んでください。
	授業内容	情報通信法構想Ⅱ：コンテンツ規制に対する反対意見と2010年放送法改正
	事後学習	放送のハード・ソフト分離についてメリットとデメリットをまとめてください。
12	事前学習	インターネットが、これまでのメディアと異なる独自の特徴について調べてみてください。
	授業内容	インターネットとは何か
	事後学習	インターネットの光と陰についてまとめてください。
13	事前学習	表現の自由Ⅰ、Ⅱの授業ノート、事後学習のまとめを改めて読んでください。
	授業内容	インターネットにおける表現の自由
	事後学習	インターネットにおける新たな課題についてまとめてください。
14	事前学習	インターネット上で問題となっている事柄について調べてください。
	授業内容	インターネット法はどうあるべきか
	事後学習	包括的な法律が必要かどうか考えてください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、前学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。

科目名	情報法Ⅱ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	「情報法Ⅰ」の講義内容を踏まえ、インターネット上での名誉毀損、わいせつなど個別の問題について解説します。				
授業目的・到達目標	「情報法Ⅰ」で培った知識をさらに深めて欲しい。情報社会の一員として、情報に関する法的知識と倫理についての基本的な理解と認識を身につけて欲しい。				
履修条件	情報法Ⅰの単位取得者。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内レポートおよび最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜プリントを配付します。			
参考書	「情報法概説」（曾我部真裕、林秀弥、栗田昌裕、弘文堂）				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでください。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	インターネット上での情報の送信・受信行為について「通信」もしくは「表現」となると思われる内容をそれぞれ整理してください。
2	事前学習	COLNetにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	名誉毀損とインターネット上の表現の自由
	事後学習	名誉毀損におけるインターネット上の特徴についてまとめてください。

3	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	インターネットにおける名誉毀損の実例
	事後学習	ラーメンチェーン店事件の1 審、2 審、最高裁の判断について整理してください。
4	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	インターネットにおけるプライバシー・肖像権侵害の実例
	事後学習	インターネットにおけるプライバシー・肖像権侵害が抱える課題についてまとめてください。
5	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	インターネットとわいせつ表現
	事後学習	授業内で出された問題をもう一度、考えてください。
6	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	児童ポルノ規制
	事後学習	児童ポルノ法が抱える課題を整理してください。
7	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	個人情報保護法Ⅰ：法律の成立までの過程
	事後学習	授業を踏まえ、OECD8原則の内容を再度、確認してください。
8	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	個人情報保護法Ⅱ：法律の概要
	事後学習	授業を受けて、配布した法の抜粋部分を良く読んでください。
9	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	個人情報保護法Ⅲ：2015年改正の概要
	事後学習	2015年の改正概要のポイントをまとめてください。
10	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	青少年保護と情報の取り扱いⅠ：有害図書規制
	事後学習	有害図書の定義の不明確さについてまとめてください。
11	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	青少年保護と情報の取り扱いⅡ：青少年環境整備法
	事後学習	青少年環境整備法の第4条に記されているのは「例示」となった理由にいてまとめてください。
12	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	差別表現とヘイト・スピーチ
	事後学習	インターネット上の特有の問題についてまとめてください。
13	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	電子取引と契約Ⅰ：ワンクリック請求、なりすまし
	事後学習	契約成立時期についてまとめてください。
14	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	電子取引と契約Ⅱ：モール・サイト運営者の責任
	事後学習	消費者保護の仕組みについてまとめてください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、後学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでください。

科目名	人材マネジメント論Ⅰ	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営目的を達成するために経営資源としてのヒトをマネジメントするのが人材マネジメントである。この授業では、組織・企業における人材マネジメントの実態を把握し、「働きがいの仕組み」の観点から人材マネジメントのシステムを学習する。前期の「人材マネジメント論Ⅰ」では、総論、雇用管理、人事管理、モチベーションの領域が学習対象である。				
授業目的・到達目標	組織・企業における人材マネジメントの理念、目的、役割を理解し、人事・処遇システムの体系を把握し、個々の人事・処遇制度に関してその概要を習得するのが授業目的である。 企業における人材マネジメントの個々のシステムが、従業員の働きがいにどう機能しているかを理解するのが到達目標である。				
履修条件	とくになし。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	テキストを参照するほか、講義用のレジュメ、資料を配布し、最新の人材マネジメントの実態を把握しながら講義形式を中心に授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	学年末の論述試験の結果を基本にするが、自らテーマを選定して自発的にレポートを提出する者には加点する。	
	平常評価		0%	受講者が少ない場合は学年末試験に代えて授業内試験を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	晃洋書房		働きがいの人材マネジメント	谷田部光一
	備考				
参考書	谷田部光一『キャリア・マネジメント』（晃洋書房、2010年）、谷田部光一『専門・プロ人材のマネジメント』（桜門書房、2013年）、佐藤博樹他『新しい人事労務管理〔第5版〕』（有斐閣、2015年）				
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス、人事管理と人材マネジメント、経営と人材マネジメント、人材マネジメントの領域
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	日本的雇用システムとその変化①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

3	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	日本的雇用システムとその変化②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	日本的雇用システムとその変化③
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
5	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	雇用管理① 人材戦略
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
6	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	雇用管理② 採用管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
7	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	雇用管理③ 多様な雇用形態
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
8	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	雇用管理④ 雇用調整
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
9	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	雇用管理⑤ 退職管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
10	事前学習	事前に教科書とレジュメ、資料をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人事管理① 社員等級制度と昇格管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
11	事前学習	事前に教科書とレジュメ、資料をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人事管理② 複線型人事制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
12	事前学習	事前に教科書とレジュメ、資料をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人事管理③ 複線型役職制度と昇進管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
13	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人事管理④ 専門・プロ人材の管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
14	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人事管理⑤ 配置・異動、キャリア・マネジメント
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

15	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	働きがいとモチベーション
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

科目名	人材マネジメント論Ⅱ	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経営目的を達成するために経営資源としてのヒトをマネジメントするのが人材マネジメントである。この授業では、組織・企業における人材マネジメントの実態を把握し、「働きがいの仕組み」の観点から人材マネジメントのシステムを学習する。後期の「人材マネジメント論Ⅱ」では、賃金、労働時間、評価制度、能力開発、福利厚生、労使関係の領域が学習対象である。				
授業目的・到達目標	組織・企業における人材マネジメントの理念、目的、役割を理解し、人事・処遇システムの体系を把握し、個々の人事・処遇制度に関してその概要を習得するのが授業目的である。 企業における人材マネジメントの個々のシステムが、従業員の働きがいにどう機能しているかを理解するのが到達目標である。				
履修条件	前期に「人材マネジメント論Ⅰ」を受講しておくことが望ましい。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	テキストを参照するほか、講義用のレジュメ、資料を配布し、最新の人材マネジメントの実態を把握しながら講義形式を中心に授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	学年末の論述試験の結果を基本にするが、自らテーマを選定して自発的にレポートを提出する者には加点する。	
	平常評価		0%	受講者が少ない場合は学年末試験に代えて授業内試験を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	晃洋書房		働きがいの人材マネジメント	谷田部光一
	備考				
参考書	谷田部光一『キャリア・マネジメント』（晃洋書房、2010年）、谷田部光一『専門・プロ人材のマネジメント』（桜門書房、2013年）、佐藤博樹他『新しい人事労務管理〔第5版〕』（有斐閣、2015年）				
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金管理① 賃金の意味・範囲、賃金体系、賃金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
2	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金管理② 基本給管理、諸手当管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

3	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金管理③ 昇給管理と人件費
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金管理④ 賃金と労働法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
5	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金管理⑤ 成果・業績賃金、賞与、年俸制、退職金、年金
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
6	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	労働時間管理① 労働時間の実態
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
7	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	労働時間管理② 労働時間と労働基準法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
8	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	労働時間管理③ 就業管理の実態
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
9	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	労働時間管理④ 労働時間管理の多様化と弾力化
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
10	事前学習	事前に教科書とレジュメ、資料をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	評価制度① 人事考課制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
11	事前学習	事前に教科書とレジュメ、資料をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	評価制度② 目標管理制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
12	事前学習	事前に教科書とレジュメ、資料をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人材育成・能力開発
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
13	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	福利厚生制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
14	事前学習	事前にレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	労使関係管理① 個別的労使関係と集団的労使関係
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

15	事前学習	事前にレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	労使関係管理② 労使関係と労働法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

科目名	西欧政治思想史Ⅰ	担当者	佐藤 高尚	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	古代から現代にいたる、アメリカを含む西洋の政治思想に関する知識や理論について講義を行う。また、講義を通して、政治学が本来は規範的なものであり、究極的には人間の尊厳をめぐる学であることを明らかにしていく。政治思想の適切な理解にはその思想が生まれた時代背景の把握が重要であるため、政治思想のみを講義するのではなく、西洋の歴史に関しても可能な限り詳しく講義する。				
授業目的・到達目標	政治思想史はすべての政治学科目の基礎であるとともに、公務員試験等でも出題される分野であるため、受講者が政治学ならびに政治思想に関する基本的知識を習得し、西洋における政治思想の全体像を把握することを目的とする。また、政治に関する理論的な考察方法について学ぶことを通して、受講者が政治現象を本質的に理解・考察する能力と政治に対する自分独自の考えを組み立てる能力の習得をめざす。これらの知識や能力を身につけることによって、政治学を学ぶ大学生というだけでなく、市民・社会人として必要不可欠な資質を養うことを最終的な目標とする。				
履修条件	政治について理論的かつ論理的に考えるように意識してもらいたい。なお、この講義では歴史的な話題も多く取り上げるが、西洋史に自信のない学生であっても理解できるようにていねいに説明していく。				
授業方法	基本的にPowerPointのプレゼンテーションを利用した講義形式で行う。なお、プレゼンテーション資料は印刷して配布するか、データで提供する予定である（配布方法は、受講者の人数に応じて決定する）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		75%	期末に定期試験を実施する。講義内容の理解度や文章表現などを総合的に評価する。定期試験の内容や評価方法については、試験前に説明を行う。	
	平常評価		25%	質疑や発言など、講義に対する積極的な姿勢は評価対象とする。自主的にレポートを提出した場合は、肯定的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	有斐閣		西洋政治思想史	宇野重規
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	オフィスアワーは火曜日15:00～16:00とする（研究室：本館8階1808研究室）。事前にメールで予定を確認してもらいたい（E-Mail：sugimoto.tatsuya@nihon-u.ac.jp）。なお、2018年度前期は担当教員が在外研究中のため、代講者が講義を行う。よって、その間は代講者に問い合わせてもらいたい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスの内容を確認して、期中の講義内容の全体像を把握する。
	授業内容	ガイダンス 講義の方針や内容、また関係科目である政治哲学との違いなどのほか、成績評価方法の概要について説明を行う。受講を希望する学生は、できる限り出席するように求める。
	事後学習	可能であれば、教科書を入手し、目次に目を通して全体の流れを把握しておく。
2	事前学習	教科書を入手し、目次に目を通して全体の流れを把握しておく。
	授業内容	「西洋政治思想の目指したもの 個人と共同体」 「自由」という概念をキーワードとして、古代から近現代にいたる西洋政治思想の全体的な流れを概説する。 なお、この回の講義は、この後たびたび振り返ることになるため、できる限り出席するように求める。
	事後学習	講義内容を復習するとともに、教科書の「はじめに」に目をとおす。

3	事前学習	教科書や歴史書、またインターネットなどを利用して、古代ギリシアについて簡単に調べておく。
	授業内容	「プラトン（古代の政治思想①）」 アテナイを中心とする古代ギリシアにおける人間観・政治観・社会観について講義する。そのうえで、イデア論を中心とするプラトンの哲学を概説し、そして『国家』に代表される彼の政治思想について詳しく説明する。
	事後学習	第2回講義の内容や資料もあわせて参考にしながら、古代ギリシアにおける政治の意味や役割を考える。そのうえで、教科書などを使ってプラトンの政治思想について復習を行う。
4	事前学習	教科書や配付資料などを利用して、プラトンの政治思想について復習する。また、プラトンとの違いを意識しながら、アリストテレスの政治思想について簡単に確認しておく。
	授業内容	「アリストテレス（古代の政治思想②）」 前回講義したプラトンとの違いを示しながら、『ニコマコス倫理学』や『政治学』を中心にアリストテレスの政治思想に関する講義を行う。また、彼の政治思想が現代にいたるまで政治学に影響を与えていることを説明して、その理由と意義を考える。
	事後学習	プラトンとの違いに注意しながら、教科書や資料などに使ってアリストテレスの政治思想について、あらためて確認しておく。
5	事前学習	教科書や歴史書、またインターネットなどを利用して、中世ヨーロッパについて簡単に確認しておく。その際、特にローマ・カトリックやその長であるローマ教皇（法王）に注目する。
	授業内容	「中世社会とキリスト教（トマス・アクイナスを中心に）」 まず、草創期から中世にかけてのキリスト教の歴史とそのころのヨーロッパの状況を説明する。そのうえで、普遍論争やトマス・アクイナスの政治思想について講義する。
	事後学習	教科書や配付資料を使用して、講義内容について復習する。 また、トマス・アクイナスについては、充実した無料のインターネット講義が開設されているため、関心があればその視聴をすすめる（サイトの情報は、講義の際に紹介する）。
6	事前学習	教科書や書籍などの資料を利用して、キリスト教の教義や歴史について確認しておく。
	授業内容	「ルネサンスと宗教改革」 まず、当時のイタリアの政治状況について説明したうえで、ルネサンスとその政治的意味について説明する。そして、マルティン・ルターやジャン・カルヴァンによって始められた宗教改革とそれが政治や社会に与えた影響について解説する。
	事後学習	前回の講義資料なども参考にしながらキリスト教の特徴や歴史を確認したうえで、宗教改革とその政治的影響について確認する。また、現代社会における政治と宗教をめぐる問題についても考えてみる。
7	事前学習	教科書や歴史書、またインターネットなどを利用して、中世から近代にかけてのヨーロッパの歴史を確認しておく。
	授業内容	「絶対王政の政治思想（ジャン・ボダンを中心に）」 宗教改革によって生じた政治対立（コンフェッショナルリズム）やその克服を目的として打ち立てられたジャン・ボダンの主権理論、そしてボダンの理論などを根拠として成立した絶対王政について講義を行う。
	事後学習	講義内容について、とりわけジャン・ボダンの主権概念を中心に復習する。
8	事前学習	第2回講義から第4回講義で取り上げた古代ギリシアの政治思想について、あらためて確認しておく。
	授業内容	「ニコロ・マキアヴェリ 近代政治思想の幕開け」 『君主論』で展開されたきわめて現実的な政治思想と『ローマ史論』に見られる共和主義的な政治思想というニコロ・マキアヴェリの政治思想に見られる2つの側面について比較しながら、彼の政治思想の本質を明らかにするとともに、その政治思想史的意義について説明していく。
	事後学習	古代や中世の政治思想と比較しながら、マキアヴェリの政治思想の特徴と彼が後の政治に与えた影響について考えてみる。
9	事前学習	第7回講義の資料などを利用して、絶対王政について復習する。
	授業内容	「モンテスキュー 自由主義の一元流」 『法の精神』を主要な材料として、モンテスキューの政治思想について講義する。彼の思想には保守主義的性質と自由主義的性質をあわせ持つ複雑な特徴があるため、具体的な政体論の紹介などを通して、できる限りわかりやすく説明を行っていく。
	事後学習	「モンテスキューのいう『自由』とは何なのか」という問題意識をもって、講義内容について再確認しておく。
10	事前学習	「社会や国家は、個人によって形成される」という考え方を意識しながら、第2回講義の内容を振り返る。
	授業内容	「社会契約説とは何か？（社会契約説①）」 「個人」や「擬制」（フィクション）といった概念を材料として、さまざまな思想家によって主張され、今日でも国家の成立根拠のひとつとして承認されている社会契約説という政治思想の本質的な特徴について考える。
	事後学習	社会や国家といった共同体と個人の作為との関係性に注意しながら、資料を使って講義内容を復習する。
11	事前学習	前回講義の内容を再確認するとともに、教科書などを使ってトマス・ホッブズに関して確認する。
	授業内容	「トマス・ホッブズ（社会契約説②）」 『リヴァイアサン』を主な材料として、「自然状態」「自然権」「自然法」などの概念を説明しながら、トマス・ホッブズの政治思想に関する講義を行う。とりわけ、「自然状態」などの概念は社会契約説を考えるうえで重要な概念であるため、詳しく説明する。
	事後学習	講義内容や教科書を確認し、講義内容を理解する。特に、「自然状態」「自然権」「自然法」については、内容を正しく把握するように努める。
12	事前学習	教科書や講義資料などを使用して、トマス・ホッブズの政治思想について確認を行う。
	授業内容	「ジョン・ロック（社会契約説③）」 主として『統治二論』で展開されたジョン・ロックの社会契約説を講義する。「自然状態」「自然権」「自然法」に関するロックとトマス・ホッブズとの考え方の違いを比較しながら説明するとともに、ロックの政治思想における「プロパティ」（所有権）の重要性について詳しく解説を行う。
	事後学習	「自然状態」「自然権」「自然法」に注目しながら、トマス・ホッブズとジョン・ロックによるそれぞれの社会契約説の特徴と違いについて十分に確認する。

13	事前学習	トマス・ホッブズとジョン・ロックの社会契約説をあらためて確認したうえで、教科書などを使って、ジャン＝ジャック・ルソーについて確認する。
	授業内容	「ジャン＝ジャック・ルソー（社会契約説④）」 他の2人の社会契約論者の考え方や啓蒙思想などとの共通点と相違点に注目しながら、ジャン＝ジャック・ルソーの政治思想について講義を行う。一般意志をはじめとするルソーの思想概念は独自性が高く、理解しにくいものも多いため、詳しく説明を行う。
	事後学習	トマス・ホッブズ、ジョン・ロック、ジャン＝ジャック・ルソーの社会契約説を比較しながら、それぞれの思想の内容と特徴を十分に理解する。そのうえで、3人の思想に共通する要素を考えて、社会契約説が持っている政治思想史的な意義について考察する。 必要なら、他の書籍や資料なども確認する。
14	事前学習	教科書や講義資料などを利用して、トマス・ホッブズ、ジョン・ロック、ジャン＝ジャック・ルソーの社会契約説について復習を行う。
	授業内容	「フランス革命をめぐる政治思想」 フランス革命のなかで登場してきた政治思想、具体的には急激な改革を求めたジャコバン主義や絶対王政への回帰を望んだ反動思想について、講義を行う。この講義では、政治における過激な考え方や実際の暴力といった問題について取り扱う。
	事後学習	講義内容を確認するとともに、テロリズムやヘイト・スピーチといった現代の政治的・社会的問題についても考えてみる。
15	事前学習	前期の講義内容全体を再確認し、疑問点などがあれば、それらを整理しておく。
	授業内容	前期総括 古代から近代の市民革命の時代にいたる政治思想について、総括的な講義を行う。また、講義内容について質疑応答を行う。 加えて、試験の内容や評価に関して説明を行うので、受講者はできる限り出席するようにを求める。
	事後学習	教科書や講義資料などを総復習する。

科目名	西欧政治思想史Ⅰ	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	古代から社会契約思想にいたる西洋の政治思想を体系的に理解することができるように講義を行う。また、政治思想史はすべての政治学領域の基礎であると共に、公務員試験等でも出題される科目であるため、その基本的知識も十分に習得させたい。政治思想や政治哲学に関する知識や理論を習得させることを通して、政治現象を表面的に捉えるのではなく、それを本質的に理解・考察する能力と政治に対する自分なりの考えを組み立てる能力を身につけさせる。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 古代から社会契約思想までの西欧政治思想史を体系的に理解することを目的とする。 【到達目標】 1. 古代から社会契約思想にいたる西洋の政治思想を体系的に理解することができる。 2. 政治現象を本質的に理解・考察する能力と政治に対する自分なりの考えを組み立てる能力を身につける。				
履修条件	あらかじめ各自で西洋史の大まかな流れを把握しておいた方が、より深い講義内容の理解が可能になると思われる。ただ、世界史未習者も理解が容易になるように、講義では各思想の歴史的背景について詳しく説明する予定である。				
授業方法	毎回プリントを配布すると共に、パワーポイントを用いて授業を進める。また、定期的に小テストを実施し、受講者の授業理解を確認する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	期末に定期試験を実施する。論述式の試験により、講義内容の理解度を総合的に評価する。	
	平常評価		30%	小テストを授業時間内に計3回実施する。実施日は当日決める。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	有斐閣		西洋政治思想史	宇野重規
	備考	教科書の入手に関する指示は初回の講義で行う。			
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配付プリントを読み直す
2	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	西欧政治思想の概観
	事後学習	配付プリントを読み直す

3	事前学習	アテナイの政治について調べる
	授業内容	古代ギリシアの政治思想
	事後学習	配付プリントを読み直す
4	事前学習	共和政ローマについて調べる
	授業内容	古代ローマの政治思想
	事後学習	配付プリントを読み直す
5	事前学習	キリスト教について調べる
	授業内容	中世キリスト教世界
	事後学習	配付プリントを読み直す
6	事前学習	自然法について調べる
	授業内容	自然法思想
	事後学習	配付プリントを読み直す
7	事前学習	ルネサンスについて調べる
	授業内容	二つの人文主義
	事後学習	配付プリントを読み直す
8	事前学習	宗教改革について調べる
	授業内容	宗教改革と宗教戦争
	事後学習	配付プリントを読み直す
9	事前学習	絶対王政について調べる
	授業内容	絶対主義の政治思想
	事後学習	配付プリントを読み直す
10	事前学習	清教徒革命について調べる
	授業内容	社会契約説Ⅰ：ホッブズ
	事後学習	配付プリントを読み直す
11	事前学習	名誉革命について調べる
	授業内容	社会契約説Ⅱ：ロック
	事後学習	配付プリントを読み直す
12	事前学習	フランス革命について調べる
	授業内容	社会契約説Ⅲ：ルソー
	事後学習	配付プリントを読み直す
13	事前学習	産業革命について調べる
	授業内容	経済的自由主義
	事後学習	配付プリントを読み直す
14	事前学習	啓蒙思想について調べる
	授業内容	啓蒙思想の光と影
	事後学習	配付プリントを読み直す

15	事前学習	配付プリント全体の振り返り
	授業内容	期末総括
	事後学習	授業全体の振り返り

科目名	西欧政治思想史Ⅱ	担当者	杉本 竜也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	古代から現代にいたる、アメリカを含む西洋の政治思想に関する知識や理論について講義を行う。また、講義を通して、政治学が本来は規範的なものであり、究極的には人間の尊厳をめぐる学であることを明らかにしていく。政治思想の適切な理解にはその思想が生まれた時代背景の把握が重要であるため、政治思想のみを講義するのではなく、西洋の歴史に関しても可能な限り詳しく講義する。				
授業目的・到達目標	政治思想史はすべての政治学科目の基礎であるとともに、公務員試験等でも出題される分野であるため、受講者が政治学ならびに政治思想に関する基本的知識を習得し、西洋における政治思想の全体像を把握することを目的とする。また、政治に関する理論的な考察方法について学ぶことを通して、受講者が政治現象を本質的に理解・考察する能力と政治に対する自分独自の考えを組み立てる能力の習得をめざす。これらの知識や能力を身につけることによって、政治学を学ぶ大学生というだけでなく、市民・社会人として必要不可欠な資質を養うことを最終的な目標とする。				
履修条件	「西欧政治思想史Ⅰ」を受講していることが望ましい。なお、この講義では歴史的な話題も多く取り上げるが、西洋史に自信のない学生であっても理解できるようにていねいに説明していく。				
授業方法	基本的にPowerPointのプレゼンテーションを利用した講義形式で行う。なお、プレゼンテーション資料は印刷して配布するか、データで提供する予定である（配布方法は、受講者の人数に応じて決定する）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		75%	期末に定期試験を実施する。講義内容の理解度や文章表現などを総合的に評価する。定期試験の内容や評価方法については、試験前に説明を行う。	
	平常評価		25%	質疑や発言など、講義に対する積極的な姿勢は評価対象とする。自主的にレポートを提出した場合は、肯定的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013年	有斐閣		西洋政治思想史	宇野重規
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	オフィスアワーは火曜日15:00～16:00とする（研究室：本館8階1808研究室）。事前にメールで予定を確認してもらいたい（E-Mail：sugimoto.tatsuya@nihon-u.ac.jp）。また、講義に関する意見や提案なども歓迎する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを確認して、講義の流れを把握しておく。
	授業内容	ガイダンス 「西欧政治思想史Ⅰ」の講義内容について簡単に説明したのち、後期に行う講義の方針や内容、成績評価方法の概要について説明を行う。受講を希望する学生は、できる限り出席するように求める。
	事後学習	教科書を入手し、目次に目を通して全体の流れを把握しておく。
2	事前学習	「保守」または「保守主義」「保守思想」といった言葉が現在一般にどのように使われているのか、インターネットなどを利用して調べてみる。そして、教科書を用いて、エドマンド・パークの保守思想について簡単に確認しておく。
	授業内容	「エドマンド・パーク 革命に対するリアクションとしての保守主義」 「自由」をキーワードとして、エドマンド・パークの保守思想に関する講義を行う。それにあたり、講義テーマをパークに限定せず、デイヴィッド・ヒュームなども含めて、より広い視野から保守主義について説明をしていく。また、イギリスとアメリカの保守主義の比較考察も行う。
	事後学習	教科書や講義資料などを参考として、「自由」という概念に注目しながら、エドマンド・パークの保守思想について復習を行う。また、現代政治や現代社会における「保守」や「保守主義」「保守思想」についても考えてみる。

3	事前学習	今日、多様な意味で使われている「デモクラシー」という言葉について、インターネットなどを利用して調べてみる。そのうえで、教科書を利用しながら、アレクシス・ド・トクヴィルの政治思想について確認しておく。
	授業内容	「アレクシス・ド・トクヴィル（市民革命後の政治思想①）」 主著『アメリカのデモクラシー』を材料として、アレクシス・ド・トクヴィルの政治思想について講義を行う。トクヴィルのいうデモクラシーは一般の認識よりも広い意味を持っているため、その点に注意しながら説明を行っていく。また、デモクラシーの長所だけでなく、その問題点についても取り上げる。
	事後学習	まず、アレクシス・ド・トクヴィルの政治思想におけるデモクラシーの意味について、教科書や講義資料などを参考にしながら、復習を行う。そのうえで、現代のデモクラシーが抱えている問題点について考えてみる。
4	事前学習	教科書や哲学・倫理学に関する書籍、またインターネットなどを利用して、功利主義について確認しておく。
	授業内容	「ジョン・スチュアート・ミル（市民革命後の政治思想②）」 はじめに功利主義やロマン主義について説明を行ったうえで、ジョン・スチュアート・ミルの政治思想について講義する。ミルの思想的業績は膨大なので、この講義では主に『自由論』と『代議制統治論』を取り上げて講義を行う。
	事後学習	教科書や講義資料などを利用して、「自由」の意味の正確な理解を心がけながら、ジョン・スチュアート・ミルの政治思想について復習を行う。
5	事前学習	教科書や哲学・倫理学に関する書籍、またインターネットなどを利用して、ドイツ観念論について確認しておく。詳細は講義の中で説明していくので、事前学習の段階では正確に理解していなくても構わない。
	授業内容	「カントとヘーゲル 市民社会と国家」 イマヌエル・カントとゲオルグ・ウィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲルの政治思想について講義する。彼らの哲学的業績はきわめて多く、多岐にわたるため、この講義では特にそれぞれの人間観や国家観・市民社会観に関して講義を行う。
	事後学習	教科書や講義資料、その他の文献なども利用しながら、講義の内容について再確認しておく。
6	事前学習	18世紀末のフランス革命から19世紀初頭までのフランスの政治・社会状況について、教科書や歴史書、またはインターネットなどを利用して簡単に把握しておく。
	授業内容	「フランス初期社会主義思想（社会主義思想①）」 はじめに19世紀の急速な産業化・都市化の進展に伴って発生した、貧困をはじめとする社会問題について説明を行う。それを踏まえて、それらの問題を解決するために、サン＝シモンやシャルル・フーリエ、ピエール・ジョセフ・ブルードンらによって主張されたフランス初期社会主義思想について講義する。
	事後学習	「社会」という概念に注目し、その意味を考えながら、講義内容を復習する。
7	事前学習	教科書や講義資料などを利用して、第5回講義および第6回講義の内容を再確認する。
	授業内容	「カール・マルクス（社会主義思想②）」 「剰余価値」や「上部構造・下部構造」、「疎外」といったカール・マルクスの社会主義思想の基本概念を説明し、そして彼の思想が後の政治に与えた影響やその政治学的な意味について講義を行う。あわせて、現代にも共通する、政治と経済の間に存在する摩擦や緊張に関しても講義する。
	事後学習	第5回講義や第6回講義の内容とあわせて、カール・マルクスの社会主義思想・政治思想について復習を行う。必要であれば、各種の書籍やインターネットなども利用する。
8	事前学習	教科書や講義資料などを利用して、第6回講義および第7回講義で取り上げた社会主義思想について再確認しておく。
	授業内容	「レーニン／ベルンシュタイン（社会主義思想③）」 レーニンやベルンシュタインらによって実際に推進された社会主義構想に関して講義する。彼らが自らの理想の実現にあたって直面した困難に触れることを通して、政治における理論と現実の差とそれを埋める困難さについて考えた
	事後学習	教科書や講義資料などを利用して、第6回講義から第8回講義において取り上げた社会主義思想について再確認する。
9	事前学習	第3回講義の内容を再確認して、デモクラシーの問題点について確認しておく。
	授業内容	「全体主義（ファシズム・ナチズム）」 はじめにデモクラシーの特徴とそれを原因として生じる問題点について押さえる。そのうえで、全体主義およびファシズム、ナチズムについて、その定義や特質、発生要因などをについて講義を行う。
	事後学習	「なぜデモクラシーが全体主義の原因になってしまうのか」という問題意識をもって、講義内容を復習する。
10	事前学習	教科書や前回講義の資料などを利用して全体主義の発生要因について確認したうえで、教科書などを利用してハンナ・アレントの政治思想について簡単に把握しておく。
	授業内容	「ハンナ・アレント 全体主義に対する批判」 第一に全体主義批判、第二に『人間の条件』で展開された理想的な政治のあり方、第三に『イェルサレムのアイヒマン』で示された時代や政治、組織の中における人間の存在に関する考察を材料として、ハンナ・アレントの政治思想に関する講義を行う。
	事後学習	現代の社会や政治、デモクラシーに対する批判としての性格を持っていることを認識したうえで、ハンナ・アレントの政治思想について復習を行う。近年、アレントに関する映画が公開されており、関心があればその視聴をすすめる。
11	事前学習	教科書や歴史書、またインターネットなどを利用して、アメリカの歴史、とりわけ植民地成立期から独立戦争、その後の国家形成のころまでの経緯について簡単に確認しておく。なお、アメリカの歴史については、在日アメリカ大使館・アメリカンセンターのホームページが詳しく、正確である。
	授業内容	「フェデラリストトリバプリカン（アメリカの政治思想①）」 はじめに、ヨーロッパ人によるアメリカ植民の時代から独立戦争、その後のアメリカ合衆国憲法に代表される国家体制の整備の時代にいたる、政治・社会状況について説明する。そして、その経緯であらわれたフェデラリストトリバプリカンの対立を紹介したうえで、アメリカという国家の原理について講義する。
	事後学習	教科書や講義資料などを利用して、アメリカ独立の指導者（ファウンディング・ファーザーズ）の政治思想について確認する。
12	事前学習	教科書などを利用して、ジョン・ロールズの政治思想について確認しておく。
	授業内容	「ロールズのリベラリズム（アメリカの政治思想②）」 『正義論』の内容を中心に、ジョン・ロールズの政治思想について詳しく講義を行う。「無知のヴェール」や「正義の2原理」といったロールズの基本概念に関して詳細に解説するとともに、彼の政治思想が後の政治学や現実の政治に与えた影響についても説明する。
	事後学習	教科書や講義資料などを利用して、『正義論』を中心にジョン・ロールズの政治思想について復習する。必要に応じて、他の書籍なども確認する。

13	事前学習	教科書や講義資料などを利用して、ジョン・ロールズの政治思想について再確認しておく。
	授業内容	「コミュニタリアニズム（アメリカの政治思想③）」 ジョン・ロールズの政治思想に対する批判の中から生まれた、アラスデア・マッキンタイアやマイケル・サンデルらによるコミュニタリアニズム（共同体主義）について講義を行う。また、アメリカの政治思想における「自由」の意味の多様さについて考える。
	事後学習	ジョン・ロールズの政治思想と比較しながら、コミュニタリアニズムについて復習を行う。
14	事前学習	さまざまな書籍や資料、インターネットなどを利用して、女性差別や人種差別、セクシュアル・マイノリティに対する差別といった社会問題について把握しておく。
	授業内容	「近代政治思想の再検討」 フェミニズムやクイア理論、ケアの倫理、またアフリカ系アメリカ哲学などによる問題提起を参考として、「個人」や「理性」、「男性」の存在を前提に形成されてきた近代政治思想の問題点について講義を行う。
	事後学習	前回まで取り上げてきた近代政治思想と今回講義したさまざまな政治思想を比較して、それぞれの評価すべき点や功績と問題点の両方について考えてみる。
15	事前学習	後期の講義内容全体を再確認し、疑問点などがあれば、それらを整理しておく。
	授業内容	後期総括 市民革命後から現代にいたるまでの政治思想について、総括的な講義を行う。また、講義内容について質疑応答を行う。 加えて、試験の内容や評価に関して説明を行うので、受講者はできる限り出席するようにを求める。
	事後学習	教科書や講義資料などを総復習する。

科目名	政策過程論	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	我が国における行政機関（とりわけ地方自治体を対象とする）における政策課題の発見から政策形成（PLAN）段階、政策実施（DO）、政策評価（SEE）の各段階を概観したうえで、その課題を検討する。				
授業目的・到達目標	政策形成過程の各段階も問題点を理解している。また、どのような作業や手法があるのか理解している。				
履修条件	なし。				
授業方法	講義形式を主とする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	政策形成過程について、各段階での問題について理解している問う。	
	平常評価		10%	授業への参加度	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んてくる。
	授業内容	授業内容、評価の説明
	事後学習	関心を明らかにする。
2	事前学習	政策形成について調べる
	授業内容	行政機関における政策形成・政策実施・政策評価をめぐる現状と課題
	事後学習	政策形成の課題について明らかにする。

3	事前学習	PDCAサイクルについて調べる
	授業内容	行政のサイクル
	事後学習	PDCAサイクルの意義についてまとめる。
4	事前学習	政策について定義を調べる
	授業内容	政策の立案（１）
	事後学習	政策立案の手法についてまとめる。
5	事前学習	政策立案のアクターについてあげてみる
	授業内容	政策の立案（２）
	事後学習	政策立案のアクターの特性をまとめる
6	事前学習	政策課題についてその用語を調べる
	授業内容	政策の立案（３）
	事後学習	政策課題の抽出について理解する
7	事前学習	新聞から政策課題を抜き出してみる。
	授業内容	政策の立案（４）
	事後学習	政策立案の方法について理解する
8	事前学習	政策の実施の意義について調べる
	授業内容	政策の実施段階（１）
	事後学習	政策立案と政策実施の関係を理解する。
9	事前学習	法令、条例についてその性格を理解する
	授業内容	政策の実施段階（２）
	事後学習	抽象的なものを具体的にするプロセスを理解する
10	事前学習	規制行政について調べる
	授業内容	政策の実施段階（３）
	事後学習	規制行政の実態を理解する
11	事前学習	給付行政について調べる
	授業内容	政策の実施段階（４）
	事後学習	給付行政の課題についてまとめる
12	事前学習	政策評価とはなにか調べる
	授業内容	政策の評価段階（１）
	事後学習	政策評価の必要性を理解する
13	事前学習	政策評価のタイミングについて理解する
	授業内容	政策の評価段階（２）
	事後学習	事前、事後などの特徴を理解する。
14	事前学習	政策評価の手法について理解する
	授業内容	政策の評価段階（３）
	事後学習	政策評価の手法についてまとめる

15	事前学習	全体を総括する
	授業内容	まとめ
	事後学習	知識の整理を行う

科目名	政策研究A	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政策研究Aでは、新しい公共、共助社会において重要な役割が期待される非営利組織（NPO）について、理論と実証を通じて講義を行う。なお、適宜ゲストスピーカーからの話題提供を通じて履修者の理解が深まるようにする。				
授業目的・到達目標	非営利組織について、その背景を理解することで、現実の社会課題（人口減少、雇用、少子化、高齢化、まちづくり）解決において果たす・期待される役割について説明できるようになる。非営利組織の経済学に基づく理論的背景について学び、それに基づいて営利企業との違いやミッション、現状について議論することができるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義ノートに基づいて、講義形式で行う。なお、講義ノートは授業前日までに学生教員フォルダにアップするので必要に応じて持参すること。（教員から配布は行わない）				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	期末レポート及び小課題で総合的に評価する	
	平常評価		100%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に用いない。講義ノートを利用する。			
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自分の知っている、聞いたことのある非営利組織（NPO法人等）の団体をインターネット等で調べておくこと。
	授業内容	オリエンテーション（非営利組織とは何か）
	事後学習	非営利組織について今まで誤解していた部分・初めて知った部分について整理すること。
2	事前学習	必要に応じて、ミクロ経済学の企業行動について復習しておくこと。
	授業内容	営利企業と何が違うか（利潤最大化と費用最小化）①
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
3	事前学習	前回の講義内容を復習しておく。必要に応じて、ミクロ経済学の企業行動について再復習しておくこと。
	授業内容	営利企業と何が違うか（利潤最大化と費用最小化）②
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
4	事前学習	インターネット等で非営利組織（NPO法人等）のミッションを調べておくこと。
	授業内容	非営利組織は何を目的に行動をするのか（ミッションとは何か）
	事後学習	授業内容を踏まえ、インターネット等で非営利組織（NPO法人等）のミッションを調べ直すこと。

5	事前学習	インターネット等で社会的インパクト評価について調べておくこと。
	授業内容	非営利組織は何で評価されるのか、何で評価されるべきか（社会的インパクト評価）
	事後学習	社会的インパクト評価の実施計画を作成してみること。
6	事前学習	インターネット等で非営利組織の求人等について調べておくこと。
	授業内容	非営利組織で働くということ①
	事後学習	必要に応じて、講義内容で紹介したデータについて復習を行うこと。
7	事前学習	ゲストスピーカーの所属団体について調べてくること。
	授業内容	非営利組織で働くということ②（ゲストスピーカー予定）
	事後学習	小レポートの作成
8	事前学習	小レポートを作成し、提出すること。
	授業内容	寄付・ボランティアについて考える①
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
9	事前学習	必要に応じて、前回の講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行っておくこと。
	授業内容	寄付・ボランティアについて考える②
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてミクロ経済学のテキスト等で復習を行うこと。
10	事前学習	インターネット等でソーシャル・ビジネスについて調べておくこと。
	授業内容	ソーシャル・ビジネス（営利と非営利のあいだ）
	事後学習	授業内容を踏まえて、ソーシャル・ビジネスについて知識を整理すること。
11	事前学習	インターネット等で企業の社会貢献について調べておくこと。
	授業内容	営利企業の社会貢献（CSRの実態と課題）
	事後学習	授業内容を踏まえて、企業の社会貢献の類型について整理すること。
12	事前学習	インターネット等でSDGsについて調べておくこと。
	授業内容	グローバルな活動について考える（ゲストスピーカー予定）
	事後学習	小レポート
13	事前学習	小レポートを作成し、提出すること。 インターネット等で国のNPO施策について調べておくこと。
	授業内容	非営利組織に対する国の施策
	事後学習	授業内容を踏まえて、国のNPO施策について整理すること。
14	事前学習	インターネット等で行政とNPOとの協働について調べておくこと。
	授業内容	行政との協働
	事後学習	授業内容を踏まえて、行政とNPOの協働について整理すること。
15	事前学習	これまでの講義内容について整理し、理解しておく。
	授業内容	まとめ（非営利組織を取り巻く今日的課題）
	事後学習	最終レポートの作成

科目名	政治学 I	担当者	荒井 祐介	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	「政治と経済」および「政治と社会」の関係に焦点を合わせながら、政治学の基礎的な概念や理論・モデル等について、現実の事例を適宜示しつつ説明する。			
授業目的・到達目標	実際の政治的な出来事に触れながら政治学の基本的な知識を習得することにより、第一に、政治的問題を自ら論理的に考える能力を身につけ、第二に、民主主義を構成する政治的市民としての意識を涵養することを目的とする。政治学の基礎的な概念や理論・モデル等を理解し、その知識に基づき自ら現実政治の諸問題を論理的に考えることができるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義形式で進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。学んだ知識を正確に習得できているか否か、授業内に試験を行い確認する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2009年	有斐閣	『はじめて出会う政治学〔第3版〕』	北山俊哉・久米郁男・真淵勝
	備考			
参考書	授業時に提示する。			
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	教科書の第1章の「鉄の三角同盟」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	組織された集団（1）：鉄の三角同盟
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
3	事前学習	教科書の第1章の「少数者たちが支配する？」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	組織された集団（2）：少数者たちが支配する？
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
4	事前学習	教科書の第2章の「規制緩和で何が変わったか？」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	官と民の関係（1）：規制緩和で何が変わったか？
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。

5	事前学習	教科書の第2章の「市場の失敗・政府の失敗」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	官と民の関係（2）：市場の失敗・政府の失敗
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
6	事前学習	教科書の第3章の「大企業が政治を支配している？」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	大企業と政治（1）：大企業が政治を支配している？
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
7	事前学習	教科書の第3章の「大企業の構造的な影響力と政治的紛争」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	大企業と政治（2）：大企業の構造的な影響力と政治的紛争
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
8	事前学習	教科書の第4章の「政策で選挙は戦えるか」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	選挙と政治（1）：政策で選挙は戦えるか
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
9	事前学習	教科書の第4章の「政策に代わる手がかりは」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	選挙と政治（2）：政策に代わる手がかりは
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
10	事前学習	教科書の第5章の「自治体には2つの役割がある」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	地方分権（1）：自治体には2つの役割がある
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
11	事前学習	教科書の第5章の「国と地方の相互依存」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	地方分権（2）：国と地方の相互依存
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
12	事前学習	教科書の第6章の「マスメディアは政治を動かす？」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	マスメディアと政治（1）：マスメディアは政治を動かす？
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
13	事前学習	教科書の第6章の「マスメディアは誰の味方か？」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	マスメディアと政治（2）：マスメディアは誰の味方か？
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
14	事前学習	教科書の第1章から第6章までの内容について、授業で配布されたレジュメや説明を踏まえて確認する。
	授業内容	講義のふりかえり
	事後学習	授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
15	事前学習	教科書の第1章から第6章までを読み、これまでに学んだ内容について説明できるようにしておく。
	授業内容	試験および解説
	事後学習	試験で問われた内容について、自分の解答がどの程度説明できていたのか確認し、十分に説明できなかった部分について改めて理解を深める。

科目名	政治学 I	担当者	鈴木 隆志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学の基礎的な知識を身につけるために、政治学の歴史や主要な理論、政治制度等について学ぶ。			
授業目的・到達目標	政治学は、本来、改革のための学問であるという側面をもっている。本講義は、政治学上の理論や、歴史的経緯、政治制度などについて学んだ上で、自らが政治の当事者として、どのように政治の仕組みや手続を改善していくべきであるかについての知識や能力、すなわち「政治を視る眼」を養うこと目的としている。現実の政治現象を把握し、政治上の諸問題を分析して、解決策を提案することができる能力を身に付けることを目標としている。			
履修条件	特になし。ただし、私語など学習の妨げになる行為を行わないなど基本的なマナーをわかまえることを求める。			
授業方法	講義形式の授業である。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	定期試験により評価する。論理的な思考や文章表現力等を基準として評価する。	
	平常評価	20%	出席状況及び授業内のリアクションペーパー等により評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	北樹出版	デモクラシーの政治学[増補版]	杉本稔
	備考			
参考書	吉野篤編（2018）『政治学〔第2版〕』弘文堂。その他にも、授業内で適宜紹介する。（例：吉野孝ほか編（2015）『論点日本の政治』東京法令出版など。）			
オフィスアワー	火曜日 12：10～13：00、事前にメールでアポイントメントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、授業に臨むこと。
	授業内容	ガイダンス：授業計画及び成績評価に関する説明 政治とは何か。
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
2	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政治学とは何か。
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
3	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政治学の歴史（1）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
4	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政治学の歴史（2）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。

5	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	デモクラシー
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
6	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	権力と政治（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
7	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	権力と政治（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
8	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	リーダーシップ論
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
9	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	市民革命と市民社会（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中にしめた参考文献を参照し復習すること。
10	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	市民革命と市民社会（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
11	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	大衆社会と大衆デモクラシー（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中にしめた参考文献を参照し復習すること。
12	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	大衆社会と大衆デモクラシー（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
13	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政治制度（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
14	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政治制度（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
15	事前学習	これまで授業で扱った内容の復習を行うこと。
	授業内容	これまでの講義の総括
	事後学習	これまで学んだことについて振り返り、自身で興味を持った点や課題を確認し、今後の学習のための準備を行うこと。

科目名	政治学 I	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業は、政治学に関する入門的・基礎的知識を学ぶことを目的とする。日々のニュース報道や新聞報道で見聞するように、「政治」は私たちの生活に非常に密着したものである。しかし、政治が具体的にどのような仕組み・メカニズムのもとに成り立っているかは、一見して理解しづらいかもしれない。本授業では、政治を「集合的意思決定」の行為と捉えた上で、その仕組み・メカニズムについて基礎から詳しく説明する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】選挙制度、政党、政治体制といった政治学の基礎的知識を得ることを目的とする。 【到達目標】1. 政治学の基礎的知識を得ることができる。2. それらの知識を背景に、日々のニュース報道や新聞報道により深い理解・関心をもつことができる。				
履修条件	なし				
授業方法	毎回プリントを配布すると共に、パワーポイントを用いて授業を進める。また、定期的に小テストを実施し、受講者の授業理解を確認する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	期末に定期試験を実施する。論述式の試験により、講義内容の理解度を総合的に評価する。	
	平常評価		30%	小テストを授業時間内に計3回実施する。実施日は当日決める。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2012	有斐閣	現代政治学 第4版		加茂利男他
	備考	教科書の入手に関する指示は初回の授業で行う。			
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配付プリントを読み直す
2	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	「政治」とは何か？
	事後学習	配付プリントを読み直す
3	事前学習	市場の失敗について調べる
	授業内容	政治と経済
	事後学習	配付プリントを読み直す
4	事前学習	自由民主主義について調べる
	授業内容	政治体制と政治変動
	事後学習	配付プリントを読み直す

5	事前学習	議院内閣制について調べる
	授業内容	議会と内閣
	事後学習	配付プリントを読み直す
6	事前学習	日本の省庁について調べる
	授業内容	政治と行政
	事後学習	配付プリントを読み直す
7	事前学習	日本の選挙制度について調べる
	授業内容	選挙と投票行動
	事後学習	配付プリントを読み直す
8	事前学習	最近の世論調査について調べる
	授業内容	世論とメディア
	事後学習	配付プリントを読み直す
9	事前学習	NPOについて調べる
	授業内容	市民の政治参加
	事後学習	配付プリントを読み直す
10	事前学習	最近の総選挙結果について調べる
	授業内容	政党
	事後学習	配付プリントを読み直す
11	事前学習	無党派層について調べる
	授業内容	政治文化
	事後学習	配付プリントを読み直す
12	事前学習	政府の失敗について調べる
	授業内容	官民関係
	事後学習	配付プリントを読み直す
13	事前学習	地方財政について調べる
	授業内容	中央と地方
	事後学習	配付プリントを読み直す
14	事前学習	主権国家体制について調べる
	授業内容	国内政治と国際政治
	事後学習	配付プリントを読み直す
15	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	期末総括
	事後学習	配付プリントを読み直す

科目名	政治学 I	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学の基礎概念や理論を説明するとともに、その知識を現実政治の分析に援用する。そのため、必要に応じて時事問題を取り上げることで、どのような分析視角から政治を理解することが可能なのかを提示していく。			
授業目的・到達目標	政治学の基礎理論を修得した上で、「現実」政治と政治「学」を結合していく。そのことによって政治に対して積極的に関わる人材を育成する。また、社会科学的な認識を身に着けることによって、政治学のみならず、様々な事象を論理的に読み解く能力を涵養する。社会科学が対象とする社会現象の多面性（絶対的な答えがないこと）を理解することによって、社会的多様性を尊重できるようにする。また、市民1人1人と政治の関わりを学ぶことによって主体的に政治参加しようとする態度を身につける。			
履修条件	履修条件は特に設けないが、他の学生の学習を妨げるような行為には厳しく対応する。			
授業方法	パワーポイントを用いた講義形式。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	基本的には学期末試験のみで成績評価を行う。なお、試験では文章力と論理的思考を重視して採点する。	
	平常評価	10%	適宜当該講義の理解度を問う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011年	北樹出版	デモクラシーの政治学【増補版】	杉本稔
	備考			
参考書	授業中に適宜、提示する。			
オフィスアワー	オフィスアワーは、火曜日の13:00から14:00までとする。担当者が不在の場合もあるので、事前にメールで予定を確認すること。 misawa.masahiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認することで、本授業の全体像を把握する。
	授業内容	ガイダンス 講義の流れや成績評価についての説明を行う。受講希望者は、必ず出席することを求める。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	政治にかかわる時事ニュースを確認する。
	授業内容	政治と政治「学」 政治の定義を説明するとともに、学問とは何かを考える。
	事後学習	大学における学問である政治学の特性を確認する。
3	事前学習	古代ギリシアや中世ヨーロッパの歴史を確認する。
	授業内容	政治学の展開 アリストテレスやマキャベリの政治学を説明する。
	事後学習	政治学の対象が変化していったことを確認する。
4	事前学習	第3回授業内容を確認する。
	授業内容	科学としての政治学 19世紀以降の政治学の対象や分析方法が変化していったことを説明する。
	事後学習	政治学の科学性を考えてみる。

5	事前学習	第4回授業内容を確認する。
	授業内容	政治システム D. イーストンの政治システム論を説明する。
	事後学習	政治システムの諸要素を確認する。
6	事前学習	日常で使う「権力」という言葉の意味を考えてみる。
	授業内容	政治権力 権力概念について説明する。
	事後学習	2つの権力概念を確認する。
7	事前学習	歴史上の著名なリーダーを確認する。
	授業内容	リーダーシップ論 政治的リーダーシップの諸類型について説明する。
	事後学習	現在の政治的リーダーのリーダーシップを考えてみる。
8	事前学習	イギリス革命とフランス革命の歴史を確認する。
	授業内容	市民革命と市民社会 イギリスやフランスの市民革命について説明する。
	事後学習	イギリス革命とフランス革命の類似点と相違点を確認する。
9	事前学習	第8回授業内容を確認する。
	授業内容	市民社会と大衆社会 市民社会と大衆社会の特質について説明する。
	事後学習	社会の担い手の変化したことを確認する。
10	事前学習	民主主義とは何かを考えてみる。
	授業内容	民主主義論① 近代民主主義と現代民主主義について説明する。
	事後学習	決定の制度としての民主主義を確認する。
11	事前学習	第10回授業内容を確認する。
	授業内容	民主主義論② A. レイブハルトの民主主義について説明する。
	事後学習	多数代表型民主主義と多極共存型民主主義を確認する。
12	事前学習	首相と大統領の違いについて考えてみる。
	授業内容	執政制度① 議院内閣制、大統領制、半大統領制の制度的相違点を説明する。
	事後学習	それぞれの制度が持つ委任関係を確認する。
13	事前学習	第11回授業内容を確認する。
	授業内容	執政制度② 議院内閣制や大統領制の安定性とバリエーションを説明する。
	事後学習	現在の日本の執政制度の妥当性を考えてみる。
14	事前学習	日本の官僚について考えてみる。
	授業内容	官僚制 官僚制の機能と逆機能について説明する。
	事後学習	現代社会における官僚制の問題点を考えてみる。
15	事前学習	これまで授業で学習してきた点で、十分に理解できなかったことを把握する。
	授業内容	まとめ 当期授業の総括を行うとともに、受講生からの質問に答える。
	事後学習	講義資料、教科書、参考書などを用いて、本授業の最終的な確認を行う。

科目名	政治学 I	担当者	三澤 真明	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学に関する知識や理論について、全般的に講義を行う。具体的には、政治過程論をはじめとする政治学理論のほか、日本や各国の政治体制、選挙制度、そして国際政治などに関する基本的な理論や具体的な事例に関して詳しく説明を行う。 ※この科目は年度によって受講者が変動するため、受講者数によって下記の講義計画を大きく変更する可能性がある。その点は、あらかじめ注意してもらいたい。			
授業目的・到達目標	受講者が、社会科学を学ぶ大学生というだけでなく、市民・社会人として当然理解しておくべき政治学の基本的な知識や理論を正確に身につけることを目的としている。 また、受講者が、さまざまな政治現象について、理論的かつ論理的に思考する能力を習得することをめざす。			
履修条件	政治や政治学に対して、強い関心を持っていることを求める。また、出席や受講態度など、積極的かつ誠実に講義に向き合うことを求める。			
授業方法	基本的に、PowerPointを使用したプレゼンテーション形式で講義を行う。また、受講者に対しても意見を求めることがある。※受講者が少ない場合は、授業方法を変更する可能性がある。			
成績評価	種別		割合	
	定期試験		50%	
	平常評価		50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	弘文堂	政治学（第2版）	吉野篤編
	備考	受講者の人数によって授業の計画が変更される可能性があるため、その場合は別の本を使用する可能性がある。この件については、初回講義の際に説明するので、教科書はその後に購入することをすすめる。		
参考書	必要に応じて、紹介する。			
オフィスアワー	オフィスアワーは、月曜日18:00～18:30とする（研究室：本館8階1808研究室）。必ず事前にメールで予定を確認する（E-Mail：sugimoto.tatsuya@nihon-u.ac.jp）。なお、2018年度前期は担当教員が在外研究中のため、代講者が講義を行う。そのため、その間は代講者に問い合わせる。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを確認して、期中の講義全体の流れを把握する。
	授業内容	ガイダンス まず、講義の流れや評価方法などについて説明を行う。受講を希望する学生は必ず出席するように求める。 また、政治学の講義を始めるにあたって、政治とは何かというテーマについて考える。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	教科書の内容全体を簡単に確認しておく。
	授業内容	現代の政治過程① 政治過程論 現代の政治学における主要領域である政治過程論について、イーストンの政治システム論などを中心に講義する。
	事後学習	教科書なども利用して、講義内容を確認する。
3	事前学習	イーストンの政治システム論を中心に、前回講義の内容を振り返る。
	授業内容	現代の政治過程② 政治文化と世論 アームンドらによる政治文化論や、ラスウェルらによる現代政治における人々の意識の研究、そのほかリップマンの世論研究などについて講義する。
	事後学習	教科書なども利用して、前回講義と合わせて、今回の講義内容を復習する。
4	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。また、歴史書やインターネットなどを使って、西洋各国で普通選挙制が導入されていった経緯について簡単に確認しておく。
	授業内容	現代の政治過程③ 選挙と投票行動 世界各国における選挙制度の歴史（特に普通選挙制導入にいたる経緯）や、小選挙区制・大選挙区制・比例代表制といった具体的な選挙制度の特徴について説明する。
	事後学習	それぞれの選挙制度の違いや長所・短所に注意しながら、講義内容を確認する。

5	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	現代の政治過程④ 政党と圧力団体 政党の持つ機能や意味について概説した上で、サルトーリやデュヴェルジェによる政党研究を紹介する。 また、現代政治における圧力団体の意味や、その有効性と問題点について説明する。
	事後学習	教科書なども利用して、今回の講義内容を復習する。
6	事前学習	インターネットなども利用して、イギリスの政治制度について簡単に確認しておく。
	授業内容	各国の政治体制① イギリス 議院内閣制の特徴について説明したうえで、イギリスの政治制度について講義を行う。イギリスが議院内閣制を確立していった経緯について説明するとともに、同じ制度を採用している日本とも比較しながら、その特徴を考える。
	事後学習	イギリスと日本の制度を比較しながら、議院内閣制の特徴について考えてみる。
7	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。また、インターネットなども利用して、アメリカの政治制度について簡単に把握しておく。
	授業内容	各国の政治制度② アメリカ 大統領制の特徴を説明したうえで、アメリカの政治制度について講義を行う。日本やイギリスが採用している議院内閣制と比較しながら、アメリカの大統領制の特徴や問題点について説明する。
	事後学習	議院内閣制との違いに注意しながら、アメリカの大統領制の特徴についてあらためて確認する。
8	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。また、インターネットなども利用して、フランスの政治制度について簡単に把握しておく。
	授業内容	各国の政治制度③ フランス 半大統領制を採用するフランスの大統領制について、アメリカの大統領制と比較しながら説明する。また、半大統領制を採用していることによって生じるコピタシオンのような、フランス政治特有の現象についても講義する。
	事後学習	アメリカとフランスの政治制度を比較しながら、大統領制の特徴について考える。
9	事前学習	現在の日本の政治制度について、簡単に確認しておく。
	授業内容	現代日本の政治① 55年体制と21世紀の日本政治 55年体制を中心に戦後の日本政治について概説するとともに、21世紀に入ってからの日本政治に関して、ポピュリズムをキーワードにして講義を行う。
	事後学習	ポピュリズムと呼ばれる政治現象に注意しながら、現代の日本政治が抱えている問題点について考えてみる。
10	事前学習	第4回講義の内容も参考にして、小選挙区制などの各選挙制度の特徴について再確認しておく。
	授業内容	現代日本の政治② 日本の政治社会と選挙 現在採用されている小選挙区比例代表並立制（衆議院）について説明したうえで、政治風土と関連させながら日本の選挙の問題点について講義する。
	事後学習	小選挙区比例代表並立制の仕組みについて十分に理解するとともに、日本で行われている選挙の問題点について考える。
11	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	現代日本の政治③ 日本の議会政治と政策過程 国対政治に代表される日本の議会政治の特徴や、政党（特に自民党）や官僚機構が政策決定に関与するプロセスとその問題点について説明する。
	事後学習	第9回講義から第11回講義で取り上げた現代の日本政治の特徴や問題点について復習する。
12	事前学習	教科書内の、国際政治に関する個所に目を通しておく。
	授業内容	国際政治の理論① 主要理論の特徴と問題点 モーゲンソーに代表される古典的な現実主義やナイの相互依存論など、主要な国際政治理論について講義を行う。
	事後学習	国際関係や国際政治、また外交の場面における「現実」や「理想」とは何なのか考える。
13	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	国際政治の理論② 「中心」と「周辺」の国際政治経済理論 先進国と発展途上国の格差問題に関して、従属論などを参考にして考えるとともに、ウォーラステインの世界システム論について説明する。
	事後学習	講義で取り上げたさまざまな理論の内容を十分に理解するとともに、南北問題について考えてみる。
14	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	国際政治の理論③ 人間の安全保障 センラによって提唱された「人間の安全保障」を中心に、ヌスパウムやボググらによるグローバル正義論について講義する。
	事後学習	講義で取り上げたさまざまな理論の内容を十分に理解するとともに、国際社会における正義の意味について考える。
15	事前学習	期中の講義内容を確認し、疑問点を整理しておく。
	授業内容	講義総括 当期の講義内容の総括を行う。また、それに関して、受講者からの質問に答える。 また、期末試験や成績評価について説明を行うので、受講者は必ず出席することを求める。
	事後学習	教科書なども利用して、ここまでの講義内容の総復習を行う。

科目名	政治学 I	担当者	渡邊 容一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、政治の理論と実際をマクロな視点で分析する。具体的には、政治システム、政治制度、民主主義、国家、権力、国際政治などが主な講義テーマとなる。なお、理解度を確認するため、毎回授業の最初に簡単な小テストを実施する（受講生の人数次第で変更する可能性もあります）。				
授業目的・到達目標	政治とは「多様な価値観を有する他者との共生を実現する営み」であることが理解できるようになることを目的とする。政治学を学ぶことによって、現実の政治を理論的に説明できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。教科書とノートは必ず持参すること。必要に応じてレジュメや資料を配布する。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		80%		論文答案が論理的に構成されているか、授業中示した内容が正しく書かれているか。
	平常評価		20%		原則毎回行う小テストの総合成績。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		Next 教科書シリーズ 政治学[第2版]	吉野篤編
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	金曜日 16：20～17：50 （事前にメール等で予約してください） 9号館2階 9207研究室 watanabe.yoichiro@nihon-u.ac.jp 授業内容以外では、留学相談、大学院進学相談も受けつけています。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のpp. 162-163を予め読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス、政治システム論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
2	事前学習	教科書のpp. 28-29、74-75、82-89を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治体制論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
3	事前学習	教科書のpp. 90-95を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治制度論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
4	事前学習	教科書のpp. 26-27を予め読んでおくこと。
	授業内容	イデオロギー論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。

5	事前学習	教科書のpp. 10-11、66-77を予め読んでおくこと。
	授業内容	民主主義論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
6	事前学習	教科書のpp. 4-5、12-15、20-21を予め読んでおくこと。
	授業内容	国家論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
7	事前学習	教科書のpp. 68-73を予め読んでおくこと。
	授業内容	現代政治論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
8	事前学習	教科書のpp. 18-19を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治権力論(1)：権力・影響力・権威
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
9	事前学習	教科書のpp. 22-23を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治権力論(2)：支配と服従
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
10	事前学習	教科書のpp. 70-71を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治権力論(3)：エリート論と権力構造論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
11	事前学習	教科書のpp. 30-31を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治的リーダーシップ論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
12	事前学習	教科書のpp. 178-179を予め読んでおくこと。
	授業内容	国際政治論(1)：国際社会の特質と主要アクター①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
13	事前学習	教科書のpp. 180-189を予め読んでおくこと。
	授業内容	国際政治論(2)：国際社会の特質と主要アクター②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
14	事前学習	教科書のpp. 190-191を予め読んでおくこと。
	授業内容	国際政治論(3)：グローバリゼーションの諸問題
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
15	事前学習	ポピュリズムと反知性主義について調べておくこと。
	授業内容	国際政治論(4)：21世紀の世界政治とその課題、まとめ、定期試験について
	事後学習	定期試験の準備として、試験範囲を復習しておくこと。

科目名	政治学Ⅱ	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国内政治の仕組み、および国際関係に焦点を合わせながら、政治学の基礎的な概念や理論・モデル等について、現実の事例を適宜示しつつ説明する。				
授業目的・到達目標	実際の政治的な出来事に触れながら政治学の基本的な知識を習得することにより、第一に、政治的問題を自ら論理的に考える能力を身につけ、第二に、民主主義を構成する政治的市民としての意識を涵養することを目的とする。政治学の基礎的な概念や理論・モデル等を理解し、その知識に基づき自ら現実政治の諸問題を論理的に考えることができるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。学んだ知識を正確に習得できているか否か、授業内に試験を行い確認する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2009年	有斐閣		『はじめて出会う政治学〔第3版〕』	北山俊哉・久米郁男・真淵勝
	備考				
参 考 書	授業時に提示する。				
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	教科書の第7章の「ねじれ国会」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	国会（1）：ねじれ国会
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
3	事前学習	教科書の第7章の「国会の影響力」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	国会（2）：国会の影響力
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
4	事前学習	教科書の第8章の「総理大臣と大統領」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	内閣と総理大臣（1）：総理大臣と大統領
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。

5	事前学習	教科書の第8章の「総理大臣の影響力」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	内閣と総理大臣（2）：総理大臣の影響力
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
6	事前学習	教科書の第9章の「大臣と官僚のバトル」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	官僚（1）：大臣と官僚のバトル
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
7	事前学習	教科書の第9章の「キャリア官僚のキャリア」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	官僚（2）：キャリア官僚のキャリア
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
8	事前学習	教科書の第10章の「戦後の国際環境」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	冷戦の終わってからテロとの戦いへ（1）：戦後の国際環境
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
9	事前学習	教科書の第10章の「日本の対外政策」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	冷戦の終わってからテロとの戦いへ（2）：日本の対外政策
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
10	事前学習	教科書の第11章の「貿易は世界を幸せにするか？」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	経済交渉（1）：貿易は世界を幸せにするか？
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
11	事前学習	教科書の第11章の「経済交渉の行われ方」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	経済交渉（2）：経済交渉の行われ方
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
12	事前学習	教科書の第12章の「ビリヤード・ゲームのような国際政治」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	国境を越える政治（1）：ビリヤード・ゲームのような国際政治
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
13	事前学習	教科書の第12章の「裸になる国家」を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	国境を越える政治（2）：裸になる国家
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
14	事前学習	教科書の第7章から第12章までの内容について、授業で配布されたレジュメや説明を踏まえて確認する。
	授業内容	講義のふりかえり
	事後学習	授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
15	事前学習	教科書の第7章から第12章までを読み、これまでに学んだ内容について自分で説明できるようにしておく。
	授業内容	試験および解説
	事後学習	試験で問われた内容について、自分の解答がどの程度説明できていたのか確認し、十分に説明できなかった部分について改めて理解を深める。

科目名	政治学Ⅱ	担当者	杉本 竜也	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学に関する知識や理論について、全般的に講義を行う。具体的には、西洋を中心とした政治史、主要な政治思想概念、そして政治学の方法論に関して講義を行っていく。 ※この科目は年度によって受講者が変動するため、受講者数によって下記の講義計画を大きく変更する可能性がある。その点は、あらかじめ注意してもらいたい。			
授業目的・到達目標	受講者が、社会科学を学ぶ大学生というだけでなく、市民・社会人として当然理解しておくべき政治学の基本的な知識や理論を正確に身につけることを目的としている。 また、受講者が、さまざまな政治現象について、理論的かつ論理的に思考する能力を習得することをめざす。			
履修条件	政治や政治学に対して、強い関心を持っていることを求める。また、出席や受講態度など、積極的かつ誠実に講義に向き合うことを求める。			
授業方法	基本的に、PowerPointを使用したプレゼンテーション形式で講義を行う。また、受講者に対しても意見を求めることがある。※受講者が少ない場合は、授業方法を変更する可能性がある。			
成績評価	種別		割合	
	定期試験		50%	
	平常評価		50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	弘文堂	政治学（第2版）	吉野篤編
	備考	受講者の人数によって授業の計画が変更される可能性があるため、その場合は別の本を使用する可能性がある。この件については、初回講義の際に説明するので、教科書はその後に購入することをすすめる。		
参考書	必要に応じて、紹介する。			
オフィスアワー	オフィスアワーは、月曜日18:00～18:30とする（研究室：本館8階1808研究室）。必ず事前にメールで予定を確認する（E-Mail：sugimoto.tatsuya@nihon-u.ac.jp）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを確認して、期中の講義全体の流れを把握する。
	授業内容	ガイダンス まず、講義の流れや評価方法などについて説明を行う。受講を希望する学生は必ず出席するように求める。 また、政治学の講義を始めるにあたって、政治とは何かというテーマについて考える。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	教科書の内容全体を簡単に確認しておく。
	授業内容	政治とは何か 「自由」をキーワードとして、政治というものの本質について考える。
	事後学習	教科書なども利用して、多様な意味を持っている自由について考えてみる。
3	事前学習	歴史に関する書籍やインターネットなどを利用して、絶対王政から市民革命にかけてのヨーロッパの歴史について簡単に確認しておく。
	授業内容	政治社会の形成① 近代市民革命について まず絶対王政について説明する。そのうえで、イギリスのピューリタン革命・名誉革命およびフランスのフランス革命に関して詳しく説明して、その政治史的意義を考える。
	事後学習	「なぜ革命が発生したのか」「なぜ革命という過激な方法が採用されたのか」「革命がもたらしたものは何なのか」という問題意識を持って、講義内容を復習する。
4	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	政治社会の形成② 市民社会の成立とその特質 近代市民革命後に成立した市民社会の特質とその政治的・政治学的意義とともに、その限界と問題点についても説明する。
	事後学習	近代市民革命やその後の市民社会において前提とされていた「市民」像について考えながら、講義内容を復習する。

5	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	政治社会の形成③ 市民社会の変容と大衆社会の形成 産業化・都市化の急速な進展が市民社会やそれを前提とした政治に与えた影響、またそれに伴う国家の変容について講義する。また、ウェーバーの官僚制論についても説明を行う。
	事後学習	教科書なども利用して、今回の講義内容を復習する。特にウェーバーの官僚制論は公務員試験などにも登場する政治学の基本であるため、十分な理解に努める。
6	事前学習	教科書なども利用して、デモクラシーの諸理論について確認しておく。
	授業内容	政治学を構成する原理① デモクラシー 古代ギリシアのアリストテレスから現代のダールに至る、デモクラシーという概念の変遷やその内容について概説する。
	事後学習	デモクラシーという語が多様な意味合いで使用されていることに注意しながら、教科書などを参考として講義内容を確認する。
7	事前学習	第2回講義の内容や教科書なども利用しながら、政治学に「自由」という概念がどのように用いられてきたか確認する。
	授業内容	政治学を構成する原理② 自由主義 ロックやスミス、ミル、そしてロールズなど、主として近代以降の自由主義者の思想について講義する。そして、西洋の政治学における「自由」という概念の重要性について説明する。
	事後学習	講義で取り上げたさまざまな自由主義者の政治思想について、それぞれ比較しながら共通点と相違点を考えてみる。
8	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認しておく。
	授業内容	政治学を構成する原理③ 保守主義 ヒュームやバークの政治思想について詳しく説明する。また、それらと世間一般に流通している保守主義のイメージを比較することによって、政治思想的に保守主義思想の意義を考える。
	事後学習	「もともと、保守主義は何を『保守』しようとしていたのか」という観点に立って、バークらの保守主義について考えてみる。
9	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認しておく。
	授業内容	政治学を構成する原理④ ナショナリズム ルナンやゲルナー、アンダーソンらによる、ナショナリズムに関する基本的な理論に関して講義し、近代国家が抱えている問題点について説明する。
	事後学習	「民族」「国民」といった語の意味を考えながら、講義内容を復習する。
10	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認しておく。また、第5回講義の内容も見直しておく。
	授業内容	政治学を構成する原理⑤ 社会主義 貧困に代表される社会問題を解決するために主張された社会主義について、マルクスやレーニン、ベルンシュタインらの社会主義理論を紹介しながら、その特徴と問題点について講義する。
	事後学習	講義内容などを振り返って、それぞれ理論家の社会主義理論の正確な理解に努める。
11	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	政治学を構成する原理⑥ 全体主義 全体主義およびファシズムに関して、その理論的特徴を詳しく説明していく。また、フロムやリースマンらの研究も紹介して、全体主義が生まれた社会背景・時代背景についても説明を行う。
	事後学習	現代社会に散見されるさまざまな対立や摩擦も念頭におきながら、全体主義やファシズムの特徴を考える。
12	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	政治学の基礎理論① 政治の科学 ペントレーやメリアム、イーストンらによって推進された政治学の科学化、またそれを通して確立された行動論政治学について講義を行う。
	事後学習	イーストンの政治システム論を中心に、講義内容について復習を行う。
13	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	政治学の基礎理論② 権力と支配 権力に関する諸理論とともに、エリートをめぐる政治理論について講義を行う。
	事後学習	権力とエリートの関係について、現代政治の問題点と絡めて考えてみる。
14	事前学習	教科書なども利用して、前回講義の内容を再確認する。
	授業内容	政治学の基礎理論③ 権力とリーダーシップ 大衆社会の問題点とそれが政治に与える影響について説明したうえで、ライト・ミルズやダールの政治理論について講義を行う。
	事後学習	第12回講義から第14回講義までの内容を、教科書などを利用して復習する。
15	事前学習	期中の講義内容を確認し、疑問点を整理しておく。
	授業内容	講義総括 当期の講義内容の総括を行う。また、それに関して、受講者からの質問に答える。 また、期末試験や成績評価について説明を行うので、受講者は必ず出席することを求める。
	事後学習	教科書なども利用して、ここまでの講義内容の総復習を行う。

科目名	政治学Ⅱ	担当者	鈴木 隆志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学の基礎的な知識を身につけるために、政策形成過程やさまざまなレベルにおける政治等について学ぶ。			
授業目的・到達目標	政治学は、本来、改革のための学問であるという側面をもっている。本講義は、政策形成過程やさまざまなレベルにおける政治などについて学んだ上で、自らが政治の当事者として、どのように政治の仕組みや手続を改善していくべきであるかについての知識や能力、すなわち「政治を視る眼」を養うこと目的としている。現実の政治現象を把握し、政治上の諸問題を分析して、解決策を提案することができる能力を身に付けることを目標としている。			
履修条件	特になし。ただし、私語など学習の妨げになる行為を行わないなど基本的なマナーをわかまえることを求める。			
授業方法	講義形式の授業である。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		80%	定期試験により評価する。論理的な思考や文章表現力等を基準として評価する。
	平常評価		20%	出席状況及び授業内のリアクションペーパー等により評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	北樹出版	デモクラシーの政治学[増補版]	杉本稔
	備考			
参考書	吉野篤編（2018）『政治学〔第2版〕』弘文堂。その他にも、授業内で適宜紹介する。（例：吉野孝ほか編（2015）『論点日本の政治』東京法令出版など。）			
オフィスアワー	火曜日 12：10～13：00、事前にメールでアポイントメントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、授業に臨むこと。
	授業内容	ガイダンス：授業計画及び成績評価に関する説明 政治過程
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
2	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	選挙
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
3	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	投票行動
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
4	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政党（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。

5	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政党（2）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
6	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	官僚制
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
7	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	圧力団体
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
8	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	マスメディア
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
9	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	政策過程
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
10	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	国際政治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
11	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方自治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
12	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	日本の政治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
13	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	日本の行政
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
14	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	日本の地方自治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
15	事前学習	これまで授業で扱った内容の復習を行うこと。
	授業内容	これまでの講義の総括
	事後学習	これまで学んだことについて振り返り、自身で興味を持った点や課題を確認し、今後の学習のための準備を行うこと。

科目名	政治学Ⅱ	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学問としての政治学は、私たちの「政治」を様々な観点で分析することを目的とする。そのためにまず必要なことは、私たちの「政治」のあり様を大きく形作っている、近代政治原理そのものを正しく理解することである。そこで本講義では、西洋および日本における近代化の歴史的諸相に注目しながら、自由主義や民主主義、立憲主義といった近代政治原理の内実や意義について解説する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】歴史的観点から近代政治原理の内実や意義について理解することを目的とする。 【到達目標】1. 政治学の基礎的知識を得ることができる。2. それらの知識を背景に、日々のニュース報道や新聞報道により深い理解・関心をもつことができる。			
履修条件	前期に開講する「政治学I」を履修済みであることが望ましい。			
授業方法	毎回プリントを配布すると共に、パワーポイントを用いて授業を進める。また、定期的に小テストを実施し、受講者の授業理解を確認する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		70%	期末に定期試験を実施する。論述式の試験により、講義内容の理解度を総合的に評価する。
	平常評価		30%	小テストを授業時間内に計3回実施する。実施日は当日決める。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参考書	授業中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にはアポイントメントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配付プリントを読み直す
2	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	「政治」の意味
	事後学習	配付プリントを読み直す
3	事前学習	中世・近世について調べる
	授業内容	近代政治原理前史
	事後学習	配付プリントを読み直す
4	事前学習	清教徒革命について調べる
	授業内容	自由主義Ⅰ：個人の発見と政府の権威
	事後学習	配付プリントを読み直す

5	事前学習	名誉革命について調べる
	授業内容	自由主義Ⅱ：市民的自由と経済的自由
	事後学習	配付プリントを読み直す
6	事前学習	アメリカ独立革命について調べる
	授業内容	立憲主義Ⅰ：自然法の観念
	事後学習	配付プリントを読み直す
7	事前学習	三権分立について調べる
	授業内容	立憲主義Ⅱ：権力分立の思想
	事後学習	配付プリントを読み直す
8	事前学習	フランス革命について調べる
	授業内容	民主主義Ⅰ：身分制議会から国民議会へ
	事後学習	配付プリントを読み直す
9	事前学習	第二次世界大戦について調べる
	授業内容	民主主義Ⅱ：ファシズムの経験
	事後学習	配付プリントを読み直す
10	事前学習	自由民権運動について調べる
	授業内容	戦前日本Ⅰ：明治維新から明治憲法まで
	事後学習	配付プリントを読み直す
11	事前学習	大正デモクラシーについて調べる
	授業内容	戦前日本Ⅱ：議会主義の展開と挫折
	事後学習	配付プリントを読み直す
12	事前学習	日本国憲法について調べる
	授業内容	戦後日本Ⅰ：近代主義と戦後憲法
	事後学習	配付プリントを読み直す
13	事前学習	高度経済成長期について調べる
	授業内容	戦後日本Ⅱ：市民運動の時代
	事後学習	配付プリントを読み直す
14	事前学習	2016年米国大統領選について調べる
	授業内容	「政治」についてどのように「学」ぶか
	事後学習	配付プリントを読み直す
15	事前学習	配付プリント全体の振り返り
	授業内容	期末総括
	事後学習	授業全体の振り返り

科目名	政治学Ⅱ	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学の基礎概念や理論を説明するとともに、その知識を現実政治の分析に援用する。そのため、必要に応じて時事問題を取り上げることで、どのような分析視角から政治を理解することが可能なのかを提示していく。			
授業目的・到達目標	政治学の基礎理論を修得した上で、「現実」政治と政治「学」を結合していく。そのことによって政治に対して積極的に関わる人材を育成する。また、社会科学的な認識を身に着けることによって、政治学のみならず、様々な事象を論理的に読み解く能力を涵養する。社会科学が対象とする社会現象の多面性（絶対的な答えがないこと）を理解することによって、社会的多様性を尊重できるようにする。また、市民1人1人と政治の関わりを学ぶことによって主体的に政治参加しようとする態度を身につける。			
履修条件	履修条件は特に設けないが、他の学生の学習を妨げるような行為には厳しく対応する。			
授業方法	パワーポイントを用いた講義形式。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	基本的には学期末の試験のみで成績評価を行う。 なお、試験では文章力と論理的思考を重視して採点する。	
	平常評価	10%	適宜当該講義の理解度を問う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011年	北樹出版	デモクラシーの政治学【増補版】	杉本稔
	備考			
参考書	参考書は各授業で紹介していく。			
オフィスアワー	オフィスアワーは、火曜日の13:00から14:00までとする。担当者が不在の場合もあるので、事前にメールで予定を確認すること。 misawa.masahiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認することで、本授業の全体像を把握する。
	授業内容	ガイダンス 講義の流れや成績評価についての説明を行う。受講希望者は、必ず出席することを求める。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	日本にはどのような政党があるかを確認する。
	授業内容	政党 政党の定義や機能を説明する。
	事後学習	現代の政党が機能しているかを考えてみる。
3	事前学習	第2回授業内容を確認する。
	授業内容	政党組織と政党システム 政党組織とシステムの類型について説明する。
	事後学習	自身が興味を持つ政党や国がどのような類型に分類されるかを考えてみる。
4	事前学習	第3回授業内容を確認する。
	授業内容	政党システム 政党システムを規定する要因について説明する。
	事後学習	日本の政党システム形成の要因を考えてみる。

5	事前学習	イギリスの政党を確認する。
	授業内容	イギリスの政党政治 イギリス二大政党制の形成と変化について説明する。
	事後学習	現在のイギリス政党システムの現状を確認する。
6	事前学習	ドイツの政党を確認する。
	授業内容	ドイツの政党政治 戦後ドイツ（主に西ドイツ）の政党政治を連立パターンに着目して説明する
	事後学習	現在のドイツの連立政権について確認する。
7	事前学習	日本の政党を確認する。
	授業内容	日本の政党政治 55年体制の成立から崩壊までについて説明する。
	事後学習	現在の日本の政党システムについて考えてみる。
8	事前学習	日本の選挙制度を確認する。
	授業内容	選挙制度論 選挙制度の理論について説明する。
	事後学習	あるべき選挙制度について考えてみる。
9	事前学習	自身の投票行動（投票に行くか否か、だれに投票するか）について考えてみる。
	授業内容	投票行動論 投票行動研究の理論について説明する。
	事後学習	日本における若者の低投票率について考えてみる。
10	事前学習	自身が情報収集のために、普段から利用している媒体について考えてみる。
	授業内容	世論とメディア マスメディアの影響力について説明する。
	事後学習	現在のマスメディアの影響力について考えてみる。
11	事前学習	政治に関する時事問題を確認する。
	授業内容	利益団体と政治 利益団体が政治与える影響について説明する。
	事後学習	政党の機能と関連させて利益団体の意義を考えてみる。
12	事前学習	EUの現状を確認する。
	授業内容	主権国家と超国家的共同体① 国家を定義するとともにヨーロッパ統合の歴史を説明する。
	事後学習	ヨーロッパ統合の意義を確認する。
13	事前学習	第12回授業内容を確認する。
	授業内容	主権国家と超国家的共同体② マーストリヒト条約以後のEUについて説明する。
	事後学習	ヨーロッパ統合が深化したことについて確認する。
14	事前学習	第13回授業内容を確認する。
	授業内容	主権国家と超国家的共同体③ EUの諸機関について説明する。
	事後学習	国家の在り方について考えてみる。
15	事前学習	これまで授業で学習してきた点で、十分に理解できなかったことを把握する。
	授業内容	まとめ 当期授業の総括を行うとともに、受講生からの質問に答える。
	事後学習	講義資料、教科書、参考書などを用いて、本授業の最終的な確認を行う。

科目名	政治学Ⅱ	担当者	渡辺 容一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、政治の理論と実際をミクロな視点で分析する。具体的には、政治過程、時事問題、政治学史が主な講義テーマとなる。なお、理解度を確認するため、毎回授業の最初に簡単な小テストを実施する（受講生の人数次第で変更する可能性もあります）。							
授業目的・到達目標	政治とは「多様な価値観を有する他者との共生を実現する営み」であることが理解できるようになることを目的とする。政治学を学ぶことによって、現実の政治を理論的に説明できるようになる。							
履修条件	特になし。							
授業方法	講義形式で行う。教科書とノートは必ず持参すること。必要に応じてレジュメや資料を配布する。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		80%		論文答案が論理的に構成されているか、授業中示した内容が正しく書かれているか。			
	平常評価		20%		原則毎回行う小テストの総合成績。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	2018		弘文堂		Next 教科書シリーズ 政治学[第2版]		吉野篤編	
	備考							
参考書	必要に応じて紹介する。							
オフィスアワー	金曜日 16：20～17：50（事前にメール等で予約してください） 9号館2階 9207研究室 watanabe.yoichiro@nihon-u.ac.jp 授業内容以外では、留学相談、大学院進学相談も受けつけています。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のpp. 98-105を予め読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス、選挙制度と投票行動(1)
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
2	事前学習	教科書のpp. 106-109を予め読んでおくこと。
	授業内容	選挙制度と投票行動(2)
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
3	事前学習	教科書のpp. 114-119、126-127を予め読んでおくこと。
	授業内容	政党と政党システム(1)
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
4	事前学習	教科書のpp. 120-125を予め読んでおくこと。
	授業内容	政党と政党システム(2)
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。

5	事前学習	教科書のpp. 130-137を予め読んでおくこと。
	授業内容	圧力団体(1)
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
6	事前学習	教科書のpp. 138-143を予め読んでおくこと。
	授業内容	圧力団体(2)
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
7	事前学習	教科書のpp. 108-109、154-159を予め読んでおくこと。
	授業内容	マスメディア、ソーシャルメディア、世論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
8	事前学習	教科書のpp. 218-219を予め読んでおくこと。
	授業内容	官僚制論
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
9	事前学習	教科書のpp. 174-175を予め読んでおくこと。
	授業内容	時事問題(1)：ソヴィエト・ロシアとプーチン・ロシア
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
10	事前学習	20世紀の中国政治史を確認しておくこと。
	授業内容	時事問題(2)：毛沢東の中国と習近平の中国
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
11	事前学習	教科書のpp. 34-35を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治学史(1)：古代、中世
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
12	事前学習	教科書のpp. 36-37を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治学史(2)：近代①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
13	事前学習	教科書のpp. 38-47を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治学史(3)：近代②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
14	事前学習	教科書のpp. 50-55を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治学史(4)：現代①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
15	事前学習	教科書のpp. 56-63を予め読んでおくこと。
	授業内容	政治学史(5)：現代②、まとめ、定期試験について
	事後学習	定期試験の準備として、試験範囲を復習しておくこと。

科目名	政治学原論	担当者	岩崎 正洋	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし法律学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この授業は、現代「政治学」の基本的な知識をできるだけ幅広く、体系的に、しかも正確に伝えることを企図している。そのために、講義においては、現代政治学の主要な政治学者の理論について解説し、検討を行うこととする。				
授業目的・到達目標	本講義では、現代政治学の基本的な理論の検討を通して、「政治学は現実政治を考える上で、どのように役立つのか」という問題を考えることを目的とする。この講義で解説する現代政治学のさまざまな理論は、現実の政治を理解するための視点を提供することになるだろう。授業を通して、現実政治と政治理論との両者に目を向け、両者の間を架橋することが出来るような視点をもつことができるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	授業内容に関して、正確な理解がなされているか否か確認する。	
	平 常 評 価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業の際に提示する。			
参 考 書	白鳥令編『現代政治学の理論』（上・下・続）早稲田大学出版会。				
オフィスアワー	月曜日12：10～13：00 研究室（4号館2階425）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、教科書等を入手しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	事前学習の内容と授業内容とをまとめ、理解しておくこと。
2	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所目を通しておくこと。
	授業内容	政治と政治学
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。

3	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	現代政治学の対象
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
4	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	現代政治学の方法
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
5	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政治権力と国家
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
6	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政治システム
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
7	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政治システムの構造機能分析
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
8	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政治システムの発展
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
9	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政治システムと政治文化
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
10	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政党
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
11	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政党システム
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
12	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	圧力団体（利益集団）
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
13	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	官僚制
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。
14	事前学習	教科書および参考文献等の該当箇所を目を通しておくこと。
	授業内容	政策決定
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。

15	事前学習	今学期の内容に関する疑問点などをまとめておくこと。
	授業内容	今学期のまとめ
	事後学習	授業内容について、教科書および参考文献等の該当箇所と照らし合わせて正確に理解し、説明できるように復習しておくこと。

科目名	政治学原論	担当者	吉野 篤	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし法律学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	政治学の学問的特質、固有の問題性などを前提としながら、政治史の具体的問題、保守主義・社会主義の出現や現代の政治過程のアクター分析を行う。				
授業目的・到達目標	民主主義概念の歴史的変容の理解を前提として、政治研究のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取り上げることによって、個別科学（discipline）としての政治学のアウトラインを理解してもらうことを目的とする。基礎科目の政治学の知識を前提として、さらに、一定の原理的な諸問題について、ある程度掘り下げた知識、思考方法の修得を目指す。				
履修条件	1年次に配当されている政治学を履修済みであることが望ましい。				
授業方法	講義形式で行い、出来る限り毎時間、主として新聞の論説報道を資料として取り上げ、現実に生起している政治問題について理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		80%	問いに対する的確な答えになっているかどうか、学術用語をきちんと正確に理解して記述できているかどうか。	
	平 常 評 価		20%	授業への参加度	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	弘文堂		N e x t教科書シリーズ 政治学 第2版	吉野篤編
	備考				
参 考 書	授業時に指示する。				
オフィスアワー	火曜日2時限目				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	デモクラシー概念の歴史的変容：古典古代と近現代
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
2	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	社会科学の方法論についての概説：マックス・ウェーバーの議論を中心に
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること

3	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	政治学の固有な学問的性格と意義について
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
4	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	権力の概念と分析枠組みについて
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
5	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	市民革命の政治過程①：市民革命の歴史的意義とイギリス革命
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
6	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	市民革命の政治過程②：アメリカ独立革命
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
7	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	市民革命の政治過程③：フランス革命
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
8	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	保守主義の政治理論：E・パークの考え方を中心に
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
9	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	社会主義の政治理論：K・マルクスの考え方を中心に
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
10	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	現代政治過程のアクター分析①：政党の概念と機能
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
11	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	現代政治過程のアクター分析②：政党システムの分析枠組み [※]
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
12	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	現代政治過程のアクター分析③：選挙の意義と機能
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
13	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	現代政治過程のアクター分析④：選挙制度の諸問題
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること
14	事前学習	テキストの該当箇所を入念に読み、問題点を事前に頭に入れること
	授業内容	議院内閣制の生成と展開
	事後学習	講義の内容を確認し、ノートに改めて整理して問題点を把握すること

15	事前学習	前期全体の内容を復習して全体像を理解しておくこと
	授業内容	総括
	事後学習	何か問題であり、争点であるかを講義内容に基づいて把握すること

科目名	政治経済原書研究A	担当者	川又 祐	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	PCを毎時間使用する。周りの学生と協力、共同しながら翻刻・講読を行う。				
授業目的・到達目標	貴重な外国語文献（一次資料）に直接触れることで、その魅力や重要性を理解する。外国語資料の翻刻・講読を通じて、その資料が書かれた時代背景、思潮、その後の影響などを自ら研究できる能力を養う。				
履修条件	特になし。辞書を携行すること。				
授業方法	図書館が所蔵する手稿（封書、はがき）を翻刻して、和訳する。翻刻・和訳を課題として提出する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業に2/3以上出席した学生が評価対象となる。①授業内課題50%、②平常評価（授業への参加度）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	下記のファイルを使用する			
参考書	使用しない				
オフィスアワー	毎週金曜日昼休み、本館8階の研究室で質問・相談に応じます。それ以外の時間でも、事前に連絡をもらえれば、対応可能です。kawamata.hiroshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容		
1	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。	
	授業内容	ガイドダンス 翻刻の技法	
	事後学習	課題提出方法を確認する。	
2	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。	
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出	
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。	
3	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。	
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出	
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。	
4	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。	
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出	
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。	

5	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
6	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
7	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
8	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
9	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
10	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
11	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
12	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
13	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
14	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。
15	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有 (Y) → か → 川又祐 → 原書内のファイルを閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出
	事後学習	ファイルの筆者の経歴、時代背景を調べる。

科目名	政治経済原書研究A	担当者	川又 祐	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	PCを毎時間使用する。周りの学生と協力、共同しながら翻刻・講読を行う。				
授業目的・到達目標	貴重な外国語文献（一次資料）に直接触れることで、その魅力や重要性を理解する。外国語資料の翻刻・講読を通じて、その資料が書かれた時代背景、思潮、その後の影響などを自ら研究できる能力を養う。				
履修条件	特になし。辞書を携行すること。				
授業方法	図書館が所蔵する手稿（封書、はがき）を翻刻して、和訳する。翻刻・和訳を課題として提出する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業に2/3以上出席した学生が評価対象となる。①授業内課題提出50%、②平常評価（授業への参加度）50%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	下記のファイル（改訂版図書館書簡画像2）を使用する。			
参考書	使用しない。 https://www.post.japanpost.jp/navi/e_letter.html				
オフィスアワー	毎週金曜日昼休み、本館8階の研究室で質問・相談に応じます。それ以外の時間でも、事前に連絡をもらえれば、対応可能です。kawamata.hiroshi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	コンピュータ → 学生教員共有（Y） → か → 川又祐 → 原書 → 改訂版図書館書簡画像2のファイルを開覧する。
	授業内容	ガイダンス 翻刻の技法
	事後学習	課題提出方法を確認する。
2	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を開覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 発信者、宛名、発信日、切手を確認しよう（その1）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
3	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を開覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 発信者、宛名、発信日、切手を確認しよう（その2）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
4	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を開覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 発信者、宛名、発信日、切手を確認しよう（その3）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。

5	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 省略文字を確認しよう（その1）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
6	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 省略文字を確認しよう（その2）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
7	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 書簡で用いられる表現（拝啓、敬具）を確認しよう（その1）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
8	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 書簡で用いられる表現（拝啓、敬具）を確認しよう（その2）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
9	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 書簡のレイアウト（セミブロック式）を確認しよう（その1）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
10	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 書簡のレイアウト（セミブロック式）を確認しよう（その2）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
11	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習、課題提出 書簡の書式を確認しよう（その1）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
12	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 書簡の書式を確認しよう（その2）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
13	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 パーソナル・レターとビジネス・レターの違いを確認しよう（その1）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
14	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	翻刻・和訳実習 パーソナル・レターとビジネス・レターの違いを確認しよう（その2）
	事後学習	著者の経歴、時代背景を調べる。
15	事前学習	改訂版図書館書簡画像2を閲覧する。
	授業内容	まとめとふりかえり
	事後学習	書簡、はがきの翻刻の重要性をまとめる。

科目名	政治経済原書研究A	担当者	鈴木 隆志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカの地方自治に関する基礎的な英語文献を講読する。文献の購読を通し、現代に至るアメリカ地方自治制度の確立の過程やその特徴についての理解を深める。				
授業目的・到達目標	アメリカの地方自治について理解を深めると同時に、比較考察の視点を養うことを目的とする。英語文献からの専門的な知識を習得し、分析する能力を身に付ける。そして、受講生が文献から得た知識を研究ないしは職業に生かせることを目標にしている。				
履修条件	特になし。ただし、予習をした上で授業に出席すること。また、第1回授業に必ず出席すること。				
授業方法	基本的には、演習授業の形式である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	出席2/3以下の場合は評価不可。評価は、①授業内の発表（45%）、②期末レポート（45%）、③内容の理解度等（リアクションペーパー等）（10%）による。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014	Routledge	City Politics(9th edition)		Judd, D.R. and Swanstrom, T.
	備考	授業で扱う部分についてはコピーを配布する。また、適宜授業内容に応じて他の文献も使用する。			
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	火曜日 12：10～13：00、事前にメールでアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、授業のための準備をすること。
	授業内容	ガイダンス：授業計画及び成績評価に関する説明など
	事後学習	当授業で割り振った担当箇所、順番で発表をしてもらうので、適宜準備を開始すること。
2	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	アメリカ地方自治の概要：地方政府の種類と統治形態
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
3	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	初期の地方自治（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
4	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	初期の地方自治（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。

5	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	初期の地方自治（3）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
6	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	都市の自治
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
7	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	マシーン政治（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
8	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	マシーン政治（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
9	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	マシーン政治（3）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
10	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	市政改革（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
11	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	市政改革（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
12	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	市政改革（3）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
13	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	市政改革（4）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
14	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	市政改革と現代の地方自治
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
15	事前学習	これまでの内容について復習をすること。
	授業内容	総括
	事後学習	期末レポートの完成に向け取り組むこと。

科目名	政治経済原書研究A	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治経済原書研究は、英語文献を用いて演習形式で行う。割当て部分について、各自2～3名のグループでパワーポイント資料を作成し、内容について報告を行う。 なお、初回授業時に報告回の割当てを行うので、必ず出席すること。また、報告のない受講者は事前に該当部分を一読していただくが求められる。			
授業目的・到達目標	経済学について、その原書を読むことで、経済学について英語で理解し、説明できるようになる。また、演習を通じてプレゼンテーションスキルが向上する。経済学の用語を英語で読むことができるようになる。そして、簡単な経済理論について英語で説明できるようになる。また、パワーポイントを使ってプレゼンテーションができるようになる。			
履修条件	特になし。ただし、必ず第1回のオリエンテーションに参加すること。4回以上の欠席は認めない。			
授業方法	演習形式ですすめる。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	各回のリアクションペーパー及び授業での報告による。履修者が多数の場合は、レポートを課す場合もある。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2007	Oxford University Press	Economics A very Short Introduction	Partha Dasugupt
	備考			
参考書	特になし。			
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義及びテキストがどのような内容か理解しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
2	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	プロローグ
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
3	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	マクロ経済の歴史
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
4	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	信頼①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。

5	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	信頼②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
6	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	コミュニティ
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
7	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	市場①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
8	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	市場②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
9	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	科学技術
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
10	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	家計と企業
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
11	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	持続可能な発展①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
12	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	持続可能な発展②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
13	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	社会福祉と民主主義①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
14	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	社会福祉と民主主義②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
15	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	エピローグ
	事後学習	学んだ内容について整理すること。

科目名	政治経済原書研究A	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治学に関する基礎的な英語文献を講読し、国家、権力、民主主義といった政治学の基礎概念についての理解を深める。また、レジュメ発表を通じて比較的丁寧な英語文献を輪読することにより、参加者の原書読解能力を養う。			
授業目的・到達目標	【授業目的】 英語文献を通じて、政治学の理解と原書読解能力を高めることを目的とする。 【到達目標】 1. 政治学の理解と原書読解能力を高めることができる。2. レジュメ発表を通じてプレゼンテーションを構成することができる。			
履修条件	辞書を持参すること。			
授業方法	演習形式で進める。毎回レジュメ発表の担当者を指定する。担当者は教科書の該当部分についてのレジュメを準備し、発表する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業に2/3以上出席した学生が評価対象となる。①授業内課題50%、②授業への参加度50%
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015	Profile Books	Politics: Ideas in Profile	David Runciman
	備考	各自購入し、毎回の授業に持参すること。		
参考書	授業中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	授業の趣旨を確認する
2	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「Consensus and coercion」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
3	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「The invention of the state」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
4	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「The dilemma of dirty hands」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す

5	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「The perils of peace」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
6	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「The technology revolution」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
7	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「google vs. government」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
8	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「Technocracy vs. democracy」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
9	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「The new aristocracy」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
10	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「As bad as it gets」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
11	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「Not the end of history」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
12	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「Drowning children」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
13	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「A government for the world」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
14	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。発表者はレジュメを準備する
	授業内容	「Epilogue」のレジュメ発表、内容確認、討論
	事後学習	教科書の該当部分を読み直す
15	事前学習	教科書全体の振り返り
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業全体の振り返り

科目名	政治経済原書研究B	担当者	鈴木 隆志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカの地方自治に関する基礎的な英語文献を講読する。アメリカの地方自治を巡る状況の変化とその特徴について理解を深める。			
授業目的・到達目標	アメリカの地方自治を巡る状況の変化とその特徴について理解を深めると同時に、比較考察の視点を養うことも目的としている。英語文献からの専門的な知識を習得し、分析する能力を身に付ける。そして、受講生が文献から得た知識を研究ないしは職業に生かせることを目標にしている。			
履修条件	特になし。ただし、予習をした上で授業に出席すること。また、第1回授業に必ず出席すること。			
授業方法	基本的には、演習授業の形式である。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	出席2/3以下の場合は評価不可。評価は、①授業内の発表（45%）、②期末レポート（45%）、③内容の理解度等（リアクションペーパー等）（10%）による。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	CQ Press	Urban Politics: A Reader	McGovern, S. J. (ed.)
	備考			
参考書	授業中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	火曜日12：10～13：00、事前にメールでアポイントメントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、授業のための準備をすること。
	授業内容	ガイダンス：授業計画及び成績評価に関する説明
	事後学習	当授業で割り振った担当箇所、順番で発表をしてもらうので、適宜準備を開始すること。
2	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	地球時代のアメリカの都市
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
3	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	都市の変化
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
4	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	都市政治の分析（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。

5	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	都市政治の分析（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
6	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	都市政治の分析（3）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
7	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	多様化と地方自治（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
8	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	多様化と地方自治（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
9	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	災害と地方自治
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
10	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	移民と地方自治（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
11	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	移民と地方自治（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
12	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	現代のアメリカ都市政治（1）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
13	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	現代のアメリカ都市政治（2）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
14	事前学習	事前に指示をした部分の日本語訳を行い授業に備えること。
	授業内容	現代のアメリカ都市政治（3）
	事後学習	自分の日本語訳と授業内での発表や解説を照らし合わせて、理解を深めること。
15	事前学習	これまでの内容について復習をすること。
	授業内容	総括
	事後学習	期末レポートの完成に向け取り組むこと。

科目名	政治経済原書研究B	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治経済原書研究は、英語文献を用いて演習形式で行う。割当て部分について、各自2～3名のグループでパワーポイント資料を作成し、内容について報告を行う。 なお、初回授業時に報告回の割当てを行うので、必ず出席すること。また、報告のない受講者は事前に該当部分を一読していただくが求められる。					
授業目的・到達目標	経済学について、その原書を読むことで、経済学について英語で理解し、説明できるようになる。また、演習を通じてプレゼンテーションスキルが向上する。経済学の用語を英語で読むことができるようになる。そして、簡単な経済理論について英語で説明できるようになる。また、パワーポイントを使ってプレゼンテーションができるようになる。					
履修条件	特になし。ただし、必ず第1回のオリエンテーションに参加すること。4回以上の欠席は認めない。					
授業方法	演習形式ですすめる。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		各回のリアクションペーパー及び授業での報告による。履修者が多数の場合は、レポートを課す場合もある。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	William Morrow Paperbacks		Freakonomics: a Rouge Economist Explores the Hidden Side of Everything		Steven Levitt他
	備考					
参考書	特になし。					
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義及びテキストがどのような内容か理解しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
2	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Introduction
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
3	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter1 （インセンティブとインチキ）①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
4	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter1 （インセンティブとインチキ）②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。

5	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter2 （情報の悪用）①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
6	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter2 （情報の悪用）②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
7	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter3 （通念を疑う）①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
8	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter3（通念を疑う） ②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
9	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter4（犯罪の嘘と真） ①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
10	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter4 （犯罪の嘘と真）②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
11	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter5 （親で子どもは変わるのか） ①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
12	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter5 （親で子どもは変わるのか） ②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
13	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter6（キラキラネームの裏側） ①
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
14	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Chapter6 （キラキラネームの裏側） ②
	事後学習	報告に向けた準備を行うこと。
15	事前学習	教科書の該当部分を一読してくること。
	授業内容	Epilogue
	事後学習	学んだ内容について整理すること。

科目名	政治経済専門研究A	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今日の日本が直面している様々な政策課題について、講義形式の授業を通じて基礎的な知識を獲得したうえで自らの意見・考えを論理的に構築し、グループワークでの討議を通じてより広い視野から理解する。				
授業目的・到達目標	今日の日本が直面している様々な政策課題について、第一に、講義形式の授業を通じて基礎的な知識を獲得したうえで自らの意見・考えを論理的に構築し、第二に、グループワークでの討議を通じてより広い視野から理解する力を涵養することを目的とする。日本が直面している政策課題についての基礎的知識を習得したうえで、それらの政策課題について自らの考え・意見を論理的に構築することができるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	各テーマについて講義形式とグループワーク形式を組み合わせる。グループワークでは、グループ内で意見を出し合い、その話し合った内容について発表を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。グループワークでの積極性および発表内容（20％）、課題レポートの内容（80％）で評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	八千代出版		『日本の政策課題』	岩崎正洋（編）
	備考				
参考書	授業時に提示する。				
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	教科書の第1章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	少子化（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
3	事前学習	教科書の第1章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	少子化（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
4	事前学習	教科書の第2章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	生殖医療（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。

5	事前学習	教科書の第2章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	生殖医療（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
6	事前学習	教科書の第3章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	医師不足（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
7	事前学習	教科書の第3章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	医師不足（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
8	事前学習	教科書の第4章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	公務員（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
9	事前学習	教科書の第4章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	公務員（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
10	事前学習	教科書の第5章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	地方創生（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
11	事前学習	教科書の第5章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	地方創生（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
12	事前学習	教科書の第6章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	格差社会（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
13	事前学習	教科書の第6章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	格差社会（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
14	事前学習	教科書の第7章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	貧困（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
15	事前学習	教科書の第7章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	貧困（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。

科目名	政治経済専門研究A	担当者	賀来 健輔	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	現代社会においては、日常我々の生活のありとあるゆる場面に「行政」との接点が見いだせる。しかし、一般には三権の中でも「行政」とは何かと問われると、他の「立法」や「司法」に比べると漠として捉えがたいものがあるのも確かである。以上のことを鑑み、この授業では「行政」とは何かという点に応じていくべく、特に現代日本の行政を事例的に中心に取り上げ、制度、機能、課題、展望など全般的に学習する。				
授業目的・到達目標	この授業の履修をきっかけに、普段あまり意識をしていない「行政」についてその役割や機能を知ることにより、主権者としての国民そして住民としての責務（責任感、問題意識）を持つようになること。				
履修条件	特にないが、関連科目を併せて履修することをお奨めする。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業への参加度、履修態度、復習テスト、レポート、授業内学習到達度テストなどを総合的に評価する。従って、前提となる出席が少ない場合は評価の対象外となる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参 考 書	真淵勝『行政学』有斐閣、2009年、及び同『行政学案内（第2版）』慈学社、2014年。 この他各回の授業において、必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	木曜日12時～13時。 また他の曜日、時間帯でも可能です。まずはメールで希望日時をご連絡下さい。 kaku.kensuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認。
	授業内容	講義計画・成績評価の方法・参考文献紹介ほか
	事後学習	図書館に所蔵している参考書を手に取って、現代日本の行政についてイメージを明確にしてほしい。
2	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国家行政機構(1)行政組織―中央省庁の仕組みや省庁再編等について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
3	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国家行政組織(2)意思決定―中央省庁における政策形成や意思決定の特徴について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
4	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国家行政組織（3）官僚―戦後日本の官僚像の変容について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

5	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国家公務員制度(1)制度の概要—日本の国家公務員制度の概要について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
6	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国家公務員制度(2)採用と昇進—任用制度の中の採用と昇進の仕組みや特徴に関して学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
7	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国家公務員制度(3)退職と天下り—キャリア官僚の退職や天下りに関してその特色を学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
8	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	内閣制度(1)内閣—内閣制度の主な概要について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
9	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	内閣制度(2)内閣総理大臣—内閣総理大臣の権能やリーダーシップについて学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
10	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	行政ネットワーク(1)グレーゾーン組織—公的機関の周辺に存在するグレーゾーン組織の概要を学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
11	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	行政ネットワーク(2)諮問機関—審議会等機関の仕組みや機能を学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
12	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国と地方(1)事務と権限の関係について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
13	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国と地方(2)財政関係の内容、意味合いを学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
14	事前学習	参考書の該当章をあらかじめ読んでおくこと。マスコミを通して、現代日本の行政に関する話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国と地方(3)組織と人事について学ぶ
	事後学習	改めて参考書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
15	事前学習	これまでの授業で学んだ事柄について、教科書やノートを見ながら全体的な理解に努めること。
	授業内容	まとめ～授業内において学習到達度を測るテスト
	事後学習	復習

科目名	政治経済専門研究A	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講座は、ゼミナールに代わる科目として設定されている。従って、受講生が少ないことが望ましいが、受講生の数の状況に応じて、授業の仕方が代わってくる。この講座は演習科目であるので、研究テーマを経済学及び応用経済学（財政学、公共経済学）に関するものとし、今日のアップツーデートなテーマを選び、受動的な講義形式ではなく受講生の能動的な発表とアクティブラーニングを目指して授業を展開する。			
授業目的・到達目標	経済社会現象に対する問題意識をもち、その重要性を適格に見抜き、積極的に研究してみる知的な姿勢を修得することを目的とする。研究テーマを設定し、受講生自身が問題の所在（問題意識）を明確に示した上で、テーマに関する資料収集を行い、問題意識に対してどのように研究し結論を得たか、パワーポイントを使って発表する。受講生の発表の後に、ディスカッションを行う。受講生の問題意識に対する一連の工程を修得することを目標とする。			
履修条件	経済学（ミクロⅠ、マクロⅠ）および財政学を履修していること。			
授業方法	受講生各人による研究発表、ディスカッションによって授業を進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	レポート提出、発表の内容、授業への参加度によって評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書の特定、参考書の選定については、受講状況に応じて決定する。		
参考書	楠谷・戴下・川又・斎藤著『財政学入門』（八千代出版）、林宜嗣著『基礎コース 財政学 第3版』（新世社） 神野直彦著『財政学』（有斐閣）、井堀利宏著『基礎コース 公共経済学 第2版』（新世社）			
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業方法、成績評価の方法等についてのガイダンスを行う。
	事後学習	授業で予定された研究テーマに関する情報を、書籍・新聞・政府発表資料（各省庁のHPなど）等から収集する。
2	事前学習	テーマA（前回の授業で指定）についての考察、書籍・新聞・政府発表資料等の収集と要点整理、論点の整理・考察。 発表担当者は、パワーポイントのスライド及び配付レジュメを準備する。
	授業内容	テーマAについて、指名された学生による報告発表、発表に対する受講生間での意見感想評価を含めてディスカッション。
	事後学習	授業ノート・配付された資料等を確認して、テーマAに関して自分なりの整理・意見をまとめる。 A 4用紙に発表者の感想評価、テーマに対する個人の意見をまとめ、次回提出に備える。
3	事前学習	テーマB（前回の授業で指定）についての考察、書籍・新聞・政府発表資料等の収集と要点整理、論点の整理・考察。 発表担当者は、パワーポイントのスライド及び配付レジュメを準備する。
	授業内容	テーマBについて、指名された学生による報告発表、発表に対する受講生間での意見感想評価を含めてディスカッション。
	事後学習	授業ノート・配付された資料等を確認して、テーマBに関して自分なりの整理・意見をまとめる。 A 4用紙に発表者の感想評価、テーマに対する個人の意見をまとめ、次回提出に備える。
4	事前学習	テーマC（前回の授業で指定）についての考察、書籍・新聞・政府発表資料等の収集と要点整理、論点の整理・考察。 発表担当者は、パワーポイントのスライド及び配付レジュメを準備する。
	授業内容	テーマCについて、指名された学生による報告発表、発表に対する受講生間での意見感想評価を含めてディスカッション。
	事後学習	授業ノート・配付された資料等を確認して、テーマCに関して自分なりの整理・意見をまとめる。 A 4用紙に発表者の感想評価、テーマに対する個人の意見をまとめ、次回提出に備える。

科目名	政治経済専門研究A	担当者	佐藤 高尚	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	私たちは、眼前の紛争や貧困そして難民といったグローバルな問題に、どう向き合うべきでしょうか。他方、3.11以後の日本の政治や社会の変化を、どう理解すべきなのでしょう？そうした議論を、この授業では「共感（同感）」という観点から考えていきたいと思います。特にアマルティア・センとアダム・スミスの議論を取り上げ、そこから、震災後の日本や現代世界の課題を考えていきたいと思います。				
授業目的・到達目標	授業目的：スミスの「共感」の概念について理解し、説明できるようになることを目的とする。 到達目標：「共感」の観点から、現代の問題を分析しうるようになること。				
履修条件	必要な予備知識は、特にありません。積極的に参加しうる履修者を希望します。				
授業方法	講義を中心にすすめていきます。演習形式での報告・討論、集団討議や小テスト、レポート提出なども適宜実施する予定です。人数・習熟度により弾力的な授業運営を行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	講義や文献資料の正確な理解を評価の対象とします。	
	平常評価		30%	小テスト、報告、授業時の発言回数と内容、課題提出、受講態度などを評価の対象とします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	適宜紹介します。			
参考書	適宜紹介しますが差し当たり以下を参照のこと。必ずしも購入を求めるものではありません。稲葉振一郎『不平等との闘い ルソーからピケティまで』、木暮太一『アダム・スミス ほくらはいかに働き、いかに生きるべきか』。				
オフィスアワー	講義前後の当該教室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読しておくこと。
	授業内容	ガイダンス：授業の進め方、担当者の割り当て、成績評価基準についての説明等
	事後学習	アダム・スミスの『道徳感情論』には、現在入手可能なものでは、どのような翻訳があるのか、調べること。
2	事前学習	アダム・スミスの主要著作にはどのようなものがあるのか、刊行年も含め調べておくこと。
	授業内容	人間は「利己心」だけで動くのか？
	事後学習	スミスの主張で、現代に適用可能な部分を検討し整理しておくこと。
3	事前学習	「資本主義」とは、そもそも何を意味するのか、複数の文献にあたり、調べておくこと。
	授業内容	スミスは「純粋な資本主義」の擁護者なのか？
	事後学習	スミスの主張で、賛成できる箇所・できない箇所を自分なりに検討し、整理しておくこと。
4	事前学習	「グローバル化」の概念について、どのような人が、どのような定義づけをしているか調べておくこと。複数の定義をおさえておくことが望ましい。
	授業内容	グローバル時代に有効な「中立な観察者」の視点
	事後学習	スミスはどのようなプロセスで「中立」を担保しようとしているのか、整理しておくこと。

5	事前学習	国内外における偏見・差別の事例にはどのようなものがあるのか、調べてくること。
	授業内容	偏見と差別に立ち向かうグローバルな宣言書としての『道徳感情論』
	事後学習	事前学習で調べた事例に、授業内容で扱ったスミスの議論はどのように関連付けることができるのか検討すること。
6	事前学習	スミスにおいて、「観察者」・「当事者」の概念は、どのような用いられ方をしているのか確認しておくこと。
	授業内容	「共感」と行為の適否について
	事後学習	自分自身と他人はそれぞれ判断する際の過程に相違は生じるのか、整理すること。
7	事前学習	「適宜性」のレベルと、「報酬」・「賞罰」のレベルとの違いを調べておくこと。
	授業内容	価値と害悪、すなわち報酬と賞罰について：感謝と復讐の間で
	事後学習	前半のまとめとして、これまでの内容を振り返り、整理しておくこと。
8	事前学習	前半の内容を振り返り、疑問点や理解が不十分な点を、確認しておくこと。
	授業内容	正義と慈恵について：グローバルな正義の可能性（小括：中間試験の可能性あり）
	事後学習	スミスは「正義」と「慈恵」の優先順位の違いをどのように考えていたのか確認すること。
9	事前学習	現代において移民・難民の論点としてどのようなものがあるのか調べておくこと。
	授業内容	私たち自身の行為の基準と他人の目：移民・難民問題と寛容
	事後学習	スミスは、宗教など価値基準が異なる人をどのように見ていたのか、振り返り、整理しておくこと。
10	事前学習	「ナショナリズム」の概念について、どのような人が、どのような定義づけをしているか調べておくこと。複数の定義をおさえておくことが望ましい。
	授業内容	「共感」に対する慣習と流行の影響：伝統とナショナリズム
	事後学習	現代の「排外主義」、「ポピュリズム」は、スミスの観点からはどのように分析可能か、自分なりに検討しておくこと。
11	事前学習	これまでの議論の中で、スミスは他の思想家について、どのような主張や評価をしていたのか、チェックしておくこと。複数人について調べておくことが望ましい。
	授業内容	徳の性格と道徳哲学の学説
	事後学習	スミスの他の思想家に対する評価の共通点は何か？ー授業内容をこの点から整理しておくこと。
12	事前学習	「人間の安全保障」という概念について調べておくこと。特に従来の「安全保障」の考え方との違いについて、注意すること。
	授業内容	「貧困の克服」と「人間の安全保障」
	事後学習	アマルティア・センの「貧困」の概念を確認しておくこと。
13	事前学習	事前に具体的なテーマを示すので、それについて賛否両方の立場から、立論の根拠を複数考えてくること。
	授業内容	ディベート（１）現代世界と「共感」ー紛争と平和
	事後学習	自分とは異なる立場の主張の中から、説得力のある議論を取り上げ、自分自身がそのように評価する理由を検討すること。
14	事前学習	事前に具体的なテーマを示すので、それについて賛否両方の立場から、立論の根拠を複数考えてくること。
	授業内容	ディベート（２）3.11後の日本と「共感」
	事後学習	自分とは異なる立場の主張の中から、説得力のある議論を取り上げ、自分自身がそのように評価する理由を検討すること。 後半のまとめとして、これまでの内容を振り返り、整理しておくこと。
15	事前学習	後半の内容を振り返り、疑問点や理解が不十分な点を、確認しておくこと。
	授業内容	まとめ、授業評価
	事後学習	授業全体のまとめとして、これまでの内容を振り返り、整理すること。

科目名	政治経済専門研究B	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今日の日本が直面している様々な政策課題について、講義形式の授業を通じて基礎的な知識を獲得したうえで自らの意見・考えを論理的に構築し、グループワークでの討議を通じてより広い視野から理解する。			
授業目的・到達目標	今日の日本が直面している様々な政策課題について、第一に、講義形式の授業を通じて基礎的な知識を獲得したうえで自らの意見・考えを論理的に構築し、第二に、グループワークでの討議を通じてより広い視野から理解する力を涵養することを目的とする。日本が直面している政策課題についての基礎的知識を習得したうえで、それらの政策課題について自らの考え・意見を論理的に構築することができるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	各テーマについて講義形式とグループワーク形式を組み合わせる。グループワークでは、グループ内で意見を出し合い、その話し合った内容について発表を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。グループワークでの積極性および発表内容（20％）、課題レポートの内容（80％）で評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	八千代出版	『日本の政策課題』	岩崎正洋（編）
	備考			
参考書	授業時に提示する。			
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	教科書の第8章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	外国人労働者（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
3	事前学習	教科書の第8章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	外国人労働者（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
4	事前学習	教科書の第9章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	観光立国（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。

5	事前学習	教科書の第9章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	観光立国（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
6	事前学習	教科書の第10章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	エネルギー問題（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
7	事前学習	教科書の第10章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	エネルギー問題（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
8	事前学習	教科書の第11章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	防災（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
9	事前学習	教科書の第11章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	防災（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
10	事前学習	教科書の第12章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	安全保障（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
11	事前学習	教科書の第12章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	安全保障（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
12	事前学習	教科書の第13章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	ソーシャルメディアと政治（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
13	事前学習	教科書の第13章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	ソーシャルメディアと政治（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。
14	事前学習	教科書の第14章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	政治とカネ（1）：講義
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて教科書を読んで理解を深める。
15	事前学習	教科書の第14章を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	政治とカネ（2）：グループワーク・発表
	事後学習	グループワークでの討議内容をふりかえりながら、改めて理解を深める。

科目名	政治経済専門研究B	担当者	賀来 健輔	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本の現代政治について論じていく。現代政治はめまぐるしく動いている。政治学の基本的な制度や機能を理解することにより、この日々動いている現代政治の諸問題に関する「本質」を読み解いていく。なるべく日本の政治状況の事例を取り上げながら、分かりやすく、これまでの政治のあり方とこれからの向かうべき政治の方向性を検討していきたい。				
授業目的・到達目標	現代の政治や社会状況について、十分に理解することができ、また批判的判断力をも養うことができるようになることが、本授業の到達目標である。				
履修条件	特にないが、関連科目を併せて履修することをお奨めする。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度、履修態度、復習テスト、レポート、授業内学習到達度テストなどを総合的に評価する。従って、前提となる出席が少ない場合は評価の対象外となる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	弘文堂		『N e x t 教科書シリーズ政治学[第2版]』	吉野篤編
	備考				
参考書	真淵勝他『初めて出会う政治学第3版』有斐閣、1,944円、2009年、真淵勝他『政治学』有斐閣、3,672円、2011年。その他随時授業において紹介する。				
オフィスアワー	木曜日12時～13時。 また他の曜日、時間帯でも可能です。まずはメールで希望日時をご連絡下さい。 kaku.kensuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認。
	授業内容	1. ガイダンス：シラバスを用いて授業計画及び留意事項について説明を行う。
	事後学習	教科書を購入し、授業で扱うテーマに関してイメージを明確化しておくこと。
2	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	2. 議会制度(1)：二院制、議会制の機能
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
3	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	3. 議会制度(2)：政策決定過程
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
4	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	4. 政党(1)：選挙と政党、政党とイデオロギー・ウィング
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

5	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	5. 政党 (2) : 政党制の種類、政党と類似団体
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
6	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	6. 選挙制度 (1) : 選挙の種類、小選挙区制と比例代表制
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
7	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	7. 選挙制度 (2) : 一票の格差、選挙運動
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
8	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	8. 利益集団 (1) : 利益集団の機能、利益集団と圧力団体
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
9	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	9. 利益集団 (2) : 私的利益と公的利益
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
10	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	10. 政府 (1) : 内閣の役割、大統領制と議院内閣制
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
11	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	11. 政府 (2) : 内閣総理大臣の役割、国務大臣
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
12	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	12. 官僚制 (1) : 行政国家、官僚制の進行
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
13	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	13. 官僚制 (2) : 行政改革と省庁再編、各省庁の役割
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
14	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	14. 地方政治 : 地方自治体、首長、議員、議会
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
15	事前学習	この授業で学んだ事柄について、教科書やノートを見ながら全体的な理解に努めること。
	授業内容	まとめ～授業内において学習到達度を測るテスト
	事後学習	復習

科目名	政治経済専門研究B	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講座は、ゼミナールに代わる科目として設定されている。従って、受講生が少ないことが望ましいが、受講生の数の状況に応じて、授業の仕方が代わってくる。この講座は演習科目であるので、研究テーマを経済学及び応用経済学（財政学、公共経済学）に関するものとし、今日のアップツーデートなテーマを選び、受動的な講義形式ではなく受講生の能動的な発表とアクティブラーニングを目指して授業を展開する。							
授業目的・到達目標	経済社会現象に対する問題意識をもち、その重要性を適格に見抜き、積極的に研究してみる知的な姿勢を修得することを目的とする。研究テーマを設定し、受講生自身が問題の所在（問題意識）を明確に示した上で、テーマに関する資料収集を行い、問題意識に対してどのように研究し結論を得たか、パワーポイントを使って発表する。受講生の発表の後に、ディスカッションを行う。受講生の問題意識に対する一連の工程を修得することを目標とする。							
履修条件	経済学（ミクロⅠ、マクロⅠ）および財政学を履修していることが望ましい。							
授業方法	受講生各人による研究発表、ディスカッションによって授業を進める。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験							
	平常評価		100%		レポート提出、発表の内容、授業への参加度によって評価する。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	備考		教科書の特定、参考書の選定については、受講生状況に応じて決定する。					
参考書	楠谷・戴下・川又・斎藤著『財政学入門』（八千代出版）、林宜嗣著『基礎コース 財政学 第3版』（新世社） 神野直彦著『財政学』（有斐閣）、井堀利宏著『基礎コース 公共経済学 第2版』（新世社）							
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業方法、成績評価の方法等についてのガイダンスを行う。
	事後学習	授業で予定された研究テーマに関する情報を、書籍・新聞・政府発表資料（各省庁のHPなど）等から収集する。
2	事前学習	テーマA（前回の授業で指定）についての考察、書籍・新聞・政府発表資料等の収集と要点整理、論点の整理・考察。 発表担当者は、パワーポイントのスライド及び配付レジュメを準備する。
	授業内容	テーマAについて、指名された学生による報告発表、発表に対する受講生間での意見感想評価を含めてディスカッション。
	事後学習	授業ノート・配付された資料等を確認して、テーマAに関して自分なりの整理・意見をまとめる。 A 4用紙に発表者の感想評価、テーマに対する個人の意見をまとめ、次回提出に備える。
3	事前学習	テーマB（前回の授業で指定）についての考察、書籍・新聞・政府発表資料等の収集と要点整理、論点の整理・考察。 発表担当者は、パワーポイントのスライド及び配付レジュメを準備する。
	授業内容	テーマBについて、指名された学生による報告発表、発表に対する受講生間での意見感想評価を含めてディスカッション。
	事後学習	授業ノート・配付された資料等を確認して、テーマBに関して自分なりの整理・意見をまとめる。 A 4用紙に発表者の感想評価、テーマに対する個人の意見をまとめ、次回提出に備える。
4	事前学習	テーマC（前回の授業で指定）についての考察、書籍・新聞・政府発表資料等の収集と要点整理、論点の整理・考察。 発表担当者は、パワーポイントのスライド及び配付レジュメを準備する。
	授業内容	テーマCについて、指名された学生による報告発表、発表に対する受講生間での意見感想評価を含めてディスカッション。
	事後学習	授業ノート・配付された資料等を確認して、テーマCに関して自分なりの整理・意見をまとめる。 A 4用紙に発表者の感想評価、テーマに対する個人の意見をまとめ、次回提出に備える。

科目名	政治経済専門研究B	担当者	佐藤 高尚	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アダム・スミスというと、多くの人は『国富論』を思い浮かべるでしょう。しかし彼はそれのみならず、政治に関わる議論もしています。この授業では、アダム・スミスの『法学講義』を手がかりに、法と政治との関係を考察していく予定です。そこからは、近年の市場を重視する自由主義とは違った社会像が導き出せるでしょう。スミスの政治の議論を考えることで、現在の私たちの社会のありようをも考えてみたいと思います。			
授業目的・到達目標	授業目標：スミスの主張する統治の議論について理解し、説明できるようになることを目的とする 到達目標：「法と政治との関係性」の観点から、現代の政治や社会を分析しうるようになること。			
履修条件	必要な予備知識は、特にありません。積極的に参加しうる履修者を希望します。			
授業方法	講義を中心にすすめていきます。演習形式での報告・討論、集団討議や小テスト、レポート提出なども適宜実施する予定です。人数・習熟度により弾力的な授業運営を行います。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		70%	講義や文献資料の正確な理解を評価の対象とします。
	平常評価		30%	小テスト、報告、授業時の発言回数と内容、課題提出、受講態度などを評価の対象とします。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	適宜紹介します。		
参考書	適宜紹介しますが差し当たり以下を参照のこと。必ずしも購入を求めるものではありません。高哲男『アダム・スミス競争と共感、そして自由な社会へ』講談社選書メチエ、2017年。			
オフィスアワー	講義前後の当該教室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読しておくこと。
	授業内容	ガイダンス：授業の進め方、担当者の割り当て、成績評価基準についての説明等
	事後学習	アダム・スミスの生涯について確認しておくこと。
2	事前学習	スミスの『法学講義』の時代背景を調べておくこと。
	授業内容	『法学講義』行政論を読む意義
	事後学習	スミスを読む現代的意義を、日本の事例とどのように関連付けることができるのか、検討すること。
3	事前学習	LJ（A）とLJ（B）とは何か、その違いは何かを調べてくること。
	授業内容	『法学講義』行政論の成立過程と構成
	事後学習	『法学講義』の「法学」と、現代の「法学」との異同を検討すること。
4	事前学習	『道徳感情論』と『法学講義』との関係性について調べてくること。
	授業内容	『法学講義』行政論の2つの主題—富の性質と富の原因
	事後学習	『道徳感情論』・『法学講義』・『国富論』の関係性について整理しておくこと。

5	事前学習	スミスは、どのような人々を社会の担い手として考えていたか、調べておくこと。
	授業内容	『法学講義』：市民社会の原理
	事後学習	スミスの主張する市民社会の原理の現代的意義を検討すること。
6	事前学習	スミスの主張する市民社会の原理の問題点を検討しておくこと。
	授業内容	『法学講義』：統治の成立と起源
	事後学習	スミスと社会契約論者（ホッブズ、ロック、ルソー）との違いを確認しておくこと。
7	事前学習	君主政・共和政・民主政の違いを調べてくること。
	授業内容	『法学講義』：共和政・君主政・軍事的君主政
	事後学習	前半のまとめとして、これまでの内容を振り返り、整理しておくこと
8	事前学習	当時のヨーロッパの歴史（18世紀）を、英国を中心に概観してくること。
	授業内容	『法学講義』：イングランドとヨーロッパ（小括：中間試験の可能性あり）
	事後学習	スミスの置かれた状況の特殊性とは何かを確認しておくこと。
9	事前学習	スミスの主権者観を検討し、自分なりに賛否の理由を考えてくること。
	授業内容	『法学講義』：主権者の権利と市民権
	事後学習	スミスの市民権の議論の現代的意義を検討すること。
10	事前学習	「安全保障」の概念について、複数調べてくること。
	授業内容	『法学講義』：清潔と安全保障
	事後学習	現代の国際政治や国際関係論の観点からは、スミスの議論をどのように評価することができるのか検討すること。
11	事前学習	国際関係観としてのホッブズの伝統、グロティウスの伝統、カント的伝統について調べてくること。
	授業内容	『法学講義』：軍備と国際法
	事後学習	上記の伝統とスミスとの関係性について検討すること。
12	事前学習	現代の国内外における財政をめぐる問題としてどのようなものがあるのか調べてくること。
	授業内容	『法学講義』：国内における支出に関する見解について
	事後学習	事前学習で調べた事例に、授業内容で扱ったスミスの議論はどのように関連付けることができるのかを検討すること。
13	事前学習	事前に具体的なテーマを示すので、それについて賛否両方の立場から、立論の根拠を複数考えてくること。
	授業内容	ディベート（1）ネオリベラリズムへの賛否
	事後学習	自分とは異なる立場の主張の中から、説得力のある議論を取り上げ、自分自身がそのように評価する理由を検討すること。
14	事前学習	事前に具体的なテーマを示すので、それについて賛否両方の立場から、立論の根拠を複数考えてくること。
	授業内容	ディベート（2）ポピュリズムと排外主義
	事後学習	自分とは異なる立場の主張の中から、説得力のある議論を取り上げ、自分自身がそのように評価する理由を検討すること。後半のまとめとして、これまでの内容を振り返り、整理しておくこと。
15	事前学習	後半の内容を振り返り、疑問点や理解が不十分な点を、確認しておくこと。
	授業内容	まとめ、授業評価
	事後学習	授業全体のまとめとして、これまでの内容を振り返り、整理すること。

科目名	政治コミュニケーション	担当者	岩 淵 美 克	部 別	第一部	期 間	前期	単 位 数	2
-----	-------------	-----	---------	-----	-----	-----	----	-------	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	日本の報道、其の他のメディアの現実等について、時事問題を混ぜながら解説します。					
授業目的・到達目標	政治コミュニケーションという学問領域は、日本ではまだなじみが薄いかもしれません。しかし、政治とコミュニケーションの関係は不可分であり、たとえば政治家が有権者と意思疎通を図る際にはコミュニケーションが重要であることは誰でもわかると思います。本講義では、政治の分野において、どのようなコミュニケーション活動が行われ、それが政治に対してどのような影響を与えているのかを説明します。講義を通じて、政治だけでなくコミュニケーションの大切さを学んでもらえればよいと思います。その結果として選挙への参加や日ごろの政治に対する関心が高まることを目標とします。					
履修条件	特にありませんが、政治や社会の出来事全般に興味や関心を持っている学生の受講を希望します。					
授業方法	講義を中心に行います。その際に、できるだけ具体的な事象や映像などを例示しながら分かりやすく説明しようと思います。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	論述試験により、講義の理解度、政治コミュニケーションの重要性をどこまで理解しているのかを判断します。		
	平常評価		30%	講義内で行われるレポートや講義内試験の結果から判断します。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	適宜、参考書を提示。				
参 考 書	特に指定しませんが、適宜講義内で紹介します。関心のある領域の参考書については、遠慮なく聞きに来てください。					
オフィスアワー	12：30～14：30 特に予約の必要はありませんが、急用等がある場合には閉室とします。必要に応じてHPにあるメールアドレスで、在室の確認をしてください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治コミュニケーションとは何か？
	事後学習	政治コミュニケーションの実態を伝考える。
2	事前学習	事前資料の分からない部分や質問を整理しておいてください。
	授業内容	政治家からのコミュニケーションと有権者からのコミュニケーション、メディアと政治の関係 復習：事前の問題が解決したかどうかをもう一度確認してください。
	事後学習	事前の問題が解決したかどうかをもう一度確認してください。

3	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治家・政党からのコミュニケーション 1) 選挙運動
	事後学習	選挙運動など、講義の内容と結びつける。
4	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治家・政党からのコミュニケーション 2) 選挙ポスターと選挙CM
	事後学習	選挙ポスターや政党CMなどを、講義内容と結びつける。
5	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治家・政党からのコミュニケーション 3) アメリカ大統領の選挙運動
	事後学習	選挙ポスターや政党CMなどを、講義内容と結びつける。
6	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治家・政党からのコミュニケーション 4) 政治活動
	事後学習	政治家の政治活動を理解する。
7	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治家・政党からのコミュニケーション 5) 政権政党のメディア戦略
	事後学習	政党の活動を理解する。
8	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	政治家・政党からのコミュニケーション 6) その他
	事後学習	政党の活動を理解する。
9	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	メディアと政治 1) 日本型政治報道
	事後学習	日本のメディアの是非を理解する。
10	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	メディアと政治 2) 日本における新聞と政治 : 情勢報道
	事後学習	新聞の是非を理解する。
11	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	メディアと政治 3) 日本におけるテレビと政治 : 開票速報
	事後学習	新聞の是非を理解する。
12	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	メディアと政治 4) 日本におけるネットと政治
	事後学習	ネット報道の是非を理解する。
13	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	メディアと政治 5) 外国におけるメディアと政治
	事後学習	外国メディア（アメリカ中心）を理解する。
14	事前学習	今までの政治報道を読んで来ること。テレビもしくは新聞に限る。
	授業内容	メディアと政治 6) その他
	事後学習	日本メディアの是非を理解する。

15	事前学習	予今までの講義の分からない部分や質問を整理しておいてください。
	授業内容	まとめ
	事後学習	事前の問題が解決したかどうかをもう一度確認してください。

科目名	政治制度論	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	新制度論と呼ばれる一連の理論・分析枠組みについて、伝統的な制度論との対比を明確にしながら説明する。				
授業目的・到達目標	1980年代に政治学に登場した「新制度論」と呼ばれる一連の理論・分析枠組みについて、第一に、伝統的な制度論との相違がどこにあるのか、第二に、「新制度論」には具体的にどのような理論や分析枠組みが存在するのかを理解することを目的とする。伝統的制度論と新制度論との相違を明確に認識したうえで、新制度論の理論・分析枠組みを用いて現実政治を理解できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。学んだ知識を正確に習得できているか否か、授業内に試験を行い確認する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	授業時に提示する。				
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	旧制度論と新制度論（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。

3	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	旧制度論と新制度論（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
4	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	旧制度論と新制度論（3）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
5	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	新制度論のルーツ（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
6	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	新制度論のルーツ（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
7	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	合理的選択論と制度論（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
8	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	合理的選択論と制度論（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
9	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	歴史的制度論（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
10	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	歴史的制度論（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
11	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	歴史的制度論（3）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
12	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	社会学的制度論（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
13	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	社会学的制度論（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
14	事前学習	これまでに学んだ内容について、授業で配布されたレジュメや説明を踏まえて確認する。
	授業内容	講義のふりかえり
	事後学習	授業での説明をふりかえりながら、改めて授業で学んだ内容についての理解を深める。

15	事前学習	これまでに学んだ内容について自分で説明できるようにしておく。
	授業内容	試験および解説
	事後学習	試験で問われた内容について、自分の解答がどの程度説明できていたのか確認し、十分に説明できなかった部分について改めて理解を深める。

科目名	政治哲学	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	政治哲学は政治学における「べき」論、すなわち、どのような公共政策や政治制度が望ましいかについて考える分野である。しかし、政策担当者（政治家・官僚）が抱く「べき」論は、一私人が抱くそれとは自ずから異なる。本講義では、どのような政治目的を追求すべきかという観点から、幸福、自由、平等といった政治哲学の規範的概念について議論する。また、内容に関連する歴史的事例・小説・映画なども積極的に紹介したい。				
授業目的・ 到達目標	【授業目的】政治哲学の諸概念について理解することを目的とする。 【到達目標】1. 政治哲学の諸概念について適切に理解できる。2. 得られた理解・知識に基づいて、政策担当者の現実の決定や判断について分析・評価することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	毎回プリントを配布すると共に、パワーポイントを用いて授業を進める。また、定期的に小テストを実施し、受講者の授業理解を確認する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	期末に定期試験を実施する。論述式の試験により、講義内容の理解度を総合的に評価する。	
	平常評価		30%	小テストを授業時間内に計3回実施する。実施日は当日決める。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	なし			
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィス アワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配付プリントを読み直す
2	事前学習	政治倫理綱領について調べる
	授業内容	政治の倫理：政治目的
	事後学習	配付プリントを読み直す

3	事前学習	古典古代の政治について調べる
	授業内容	公共の利益Ⅰ：共和主義
	事後学習	配付プリントを読み直す
4	事前学習	市場原理について調べる
	授業内容	公共の利益Ⅱ：経済学
	事後学習	配付プリントを読み直す
5	事前学習	ベンサムについて調べる
	授業内容	公共の利益Ⅲ：功利主義
	事後学習	配付プリントを読み直す
6	事前学習	フランス人権宣言について調べる
	授業内容	社会と個人Ⅰ：権利
	事後学習	配付プリントを読み直す
7	事前学習	自由主義について調べる
	授業内容	社会と個人Ⅱ：自由
	事後学習	配付プリントを読み直す
8	事前学習	社会主義について調べる
	授業内容	社会と個人Ⅲ：平等
	事後学習	配付プリントを読み直す
9	事前学習	東日本大震災について調べる
	授業内容	目的の調整Ⅰ：リスクと不確実性
	事後学習	配付プリントを読み直す
10	事前学習	フランス革命について調べる
	授業内容	目的の調整Ⅱ：保守主義
	事後学習	配付プリントを読み直す
11	事前学習	南北戦争について調べる
	授業内容	目的の調整Ⅲ：妥協
	事後学習	配付プリントを読み直す
12	事前学習	1848年革命について調べる
	授業内容	政治の境界Ⅰ：代表
	事後学習	配付プリントを読み直す
13	事前学習	国連憲章について調べる
	授業内容	政治の境界Ⅱ：国際関係
	事後学習	配付プリントを読み直す
14	事前学習	地球環境問題について調べる
	授業内容	政治の境界Ⅲ：世代関係
	事後学習	配付プリントを読み直す

15	事前学習	配付プリント全体の振り返り
	授業内容	期末総括
	事後学習	授業全体の振り返り

科目名	政治経済理論特殊講義A	担当者	岩崎 正洋	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、比較政治学の基本的な知識をできるだけ幅広く、体系的に、しかも正確に伝えることを企図している。そのために、まず、初めて比較政治学を勉強しようとする場合に「最低限これだけ知っておくと、とりあえず、比較政治学の入門レベルをおさえることができるし、これから先の勉強にも役立つ」という内容を盛り込んでいる。				
授業目的・到達目標	本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は、現実政治を考える上で、どのように役立つのか」という問題を考えることを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学のさまざまな理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。授業を通して、現実政治と政治理論との両者に目を向け、両者の間を架橋することが出来るような視点をもつことができるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業内容に関して、正確な理解がなされているか否か確認する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	勁草書房		『比較政治学入門』	岩崎正洋
	備考				
参考書	河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治学』日本経済評論社、2002年。その他、授業中に提示する。				
オフィスアワー	月曜日12：10～13：00 研究室（4号館2階425）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の授業をふりかえり、後期の授業で取り扱う内容を教科書で確認しておくこと。後期は教科書の「第Ⅱ部」を取り扱う。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	事前学習の内容と授業内容とをまとめ、理解しておくこと。
2	事前学習	教科書の「第6章」を読んでおくこと。
	授業内容	民主主義：古典的民主主義と現代民主主義
	事後学習	「民主主義」について正確に説明できるように復習しておくこと。
3	事前学習	教科書の「第6章」を読んでおくこと。特に、「6.2」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	競合的民主主義
	事後学習	「競合的民主主義」の理論について正確に説明できるように復習しておくこと。
4	事前学習	教科書の「第6章」を読んでおくこと。特に、「6.3」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	民主主義の二つのモデル
	事後学習	「民主主義の二つのモデル」について正確に説明できるように復習しておくこと。

5	事前学習	教科書の「第7章」を読んでおくこと。
	授業内容	選挙制度
	事後学習	「選挙制度」について正確に説明できるように復習しておくこと。
6	事前学習	教科書の「第7章」を読んでおくこと。特に、「7.3」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	デュベルジェの法則
	事後学習	「デュベルジェの法則」について正確に説明できるように復習しておくこと。
7	事前学習	教科書の「第8章」を読んでおくこと。
	授業内容	政党
	事後学習	「政党」について正確に説明できるように復習しておくこと。
8	事前学習	教科書の「第9章」を読んでおくこと。特に、「9.2」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	政党システムの形成
	事後学習	「政党システム」について正確に説明できるように復習しておくこと。
9	事前学習	教科書の「第9章」を読んでおくこと。特に、「9.3」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	政党システムのタイポロジー
	事後学習	「政党システムのタイポロジー」について正確に説明できるように復習しておくこと。
10	事前学習	教科書の「第10章」を読んでおくこと。
	授業内容	議院内閣制と大統領制
	事後学習	「議院内閣制」と「大統領制」の違いについて正確に説明できるように復習しておくこと。
11	事前学習	教科書の「第10章」を読んでおくこと。特に、「10.3」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	政治の大統領制化
	事後学習	「政治の大統領制化」について正確に説明できるように復習しておくこと。
12	事前学習	教科書の「第11章」を読んでおくこと。
	授業内容	政策とは何か
	事後学習	「政策」について正確に説明できるように復習しておくこと。
13	事前学習	教科書の「第11章」を読んでおくこと。
	授業内容	政策過程：コーポラティズムと拒否権プレイヤー
	事後学習	「政策過程」のモデルについて正確に説明できるように復習しておくこと。
14	事前学習	教科書の「第12章」を読んでおくこと。
	授業内容	政策過程とガバナンス
	事後学習	「ガバナンス」について正確に説明できるように復習しておくこと。
15	事前学習	教科書を再読し、今学期の内容に関する疑問点などをまとめておくこと。
	授業内容	今学期のまとめ・質問受付
	事後学習	今学期の内容について、教科書と授業内容とを照らし合わせて復習しておくこと。

科目名	政治経済理論特殊講義B	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治制度/政治機構の基底にある政治的原理、およびそれらが政治制度/政治機構にどのように具現化されているのかを説明する。				
授業目的・到達目標	現代国家の政治制度/政治機構について深い知識を獲得するために、政治制度/政治機構の基底にある政治的原理について学び、それらの政治的原理が政治制度/政治機構にどのように具現化されているのか理解することを目的とする。現代国家の政治制度/政治機構が、どのような政治的原理に基づくものであるのかを理解し、各国で異なる作動様式を示すことについて論理的に考えることができるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が成績評価対象となる。学んだ知識を正確に習得できているか否か、授業内に試験を行い確認する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	田口富久治・中谷義和編『比較政治制度論〔第3版〕』（法律文化社、2006年） 中村勝範編『主要国政治システム概論〔改訂版〕』（慶應義塾大学出版会、205年）				
オフィスアワー	月曜日 12：15～13：00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（9号館4階9403） arai.yusuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通してくる。
	授業内容	ガイダンス：講義の内容・進め方・評価等についての説明
	事後学習	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、この授業で何が学べるのかを改めて考える。
2	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	政治機構論／政治制度論とは何か
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
3	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	統治機構の基本原理（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
4	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	統治機構の基本原理（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。

5	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	統治機構の基本原理（3）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
6	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	執政制度
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
7	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	日本の統治機構（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
8	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	日本の統治機構（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
9	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	イギリスの統治機構（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
10	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	イギリスの統治機構（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
11	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	アメリカの統治機構（1）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
12	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	アメリカの統治機構（2）
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
13	事前学習	前回の授業時に提示する参考文献等を読み、自分なりに理解したうえで授業に出席する。
	授業内容	ドイツの統治機構
	事後学習	授業で配布されたレジュメ、および授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
14	事前学習	これまでに学んだ内容について、授業で配布されたレジュメや説明を踏まえて確認する。
	授業内容	講義のふりかえり
	事後学習	授業での説明をふりかえりながら、改めて理解を深める。
15	事前学習	これまでに学んだ内容について自分で説明できるようにしておく。
	授業内容	試験および解説
	事後学習	試験で問われた内容について、自分の解答がどの程度説明できていたのか確認し、十分に説明できなかった部分について改めて理解を深める。

科目名	政治経済理論特殊講義C	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治哲学は政治学における「べき」論、すなわち、どのような公共政策や政治制度が望ましいかについて考える分野である。しかし、政策担当者（政治家・官僚）が抱く「べき」論は、一私人が抱くそれとは必ずから異なる。本講義では、どのような政治手段に訴えるべきかという観点から、権力、暴力、操作といった政治哲学の規範的概念について議論する。また、内容に関連する歴史的事例・小説・映画なども積極的に紹介したい。				
授業目的・到達目標	【授業目的】政治哲学の諸概念について理解することを目的とする。 【到達目標】1. 政治哲学の諸概念について適切に理解できる。2. 得られた理解・知識に基づいて、政策担当者の現実の決定や判断について分析・評価することができる。				
履修条件	前期に開講する「政治哲学」を履修済みであることが望ましい。				
授業方法	毎回プリントを配布すると共に、パワーポイントを用いて授業を進める。また、定期的に小テストを実施し、受講者の授業理解を確認する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		70%	期末に定期試験を実施する。論述式の試験により、講義内容の理解度を総合的に評価する。	
	平 常 評 価		30%	小テストを授業時間内に計3回実施する。実施日は当日決める。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参 考 書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配付プリントを読み直す
2	事前学習	ロッキード事件について調べる
	授業内容	政治の倫理：政治手段
	事後学習	配付プリントを読み直す
3	事前学習	抜き打ち解散について調べる
	授業内容	目的と手段Ⅰ：次悪の論理
	事後学習	配付プリントを読み直す
4	事前学習	権力政治について調べる
	授業内容	目的と手段Ⅱ：政治と権力
	事後学習	配付プリントを読み直す

5	事前学習	ナチス・ドイツについて調べる
	授業内容	手段の選択Ⅰ：暴力
	事後学習	配付プリントを読み直す
6	事前学習	「四つの自由」演説について調べる
	授業内容	手段の選択Ⅱ：操作
	事後学習	配付プリントを読み直す
7	事前学習	ポスト真実について調べる
	授業内容	手段の選択Ⅲ：嘘
	事後学習	配付プリントを読み直す
8	事前学習	キューバ危機について調べる
	授業内容	手段の選択Ⅳ：秘密
	事後学習	配付プリントを読み直す
9	事前学習	正戦論について調べる
	授業内容	手段の選択Ⅴ：戦争
	事後学習	配付プリントを読み直す
10	事前学習	政治家の公約違反について調べる
	授業内容	次悪の彼岸Ⅰ：偽善
	事後学習	配付プリントを読み直す
11	事前学習	政治改革関連四法について調べる
	授業内容	次悪の彼岸Ⅱ：腐敗
	事後学習	配付プリントを読み直す
12	事前学習	フリードリヒ＝ファイナー論争について調べる
	授業内容	責任の問題Ⅰ：政治家と官僚
	事後学習	配付プリントを読み直す
13	事前学習	ベトナム戦争について調べる
	授業内容	責任の問題Ⅱ：次悪の責任
	事後学習	配付プリントを読み直す
14	事前学習	政治的無関心について調べる
	授業内容	責任の問題Ⅲ：政治と市民
	事後学習	配付プリントを読み直す
15	事前学習	配付プリント全体の振り返り
	授業内容	期末総括
	事後学習	授業全体の振り返り

科目名	政治経済理論特殊講義D	担当者	松元 雅和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、政策規範の観点から公共政策学の基礎と応用について解説する。具体的には公共政策を設計・デザインする際に考えるべき諸問題、続いて政策過程（決定・実施・評価）に関する知識、最後に政策立案に携わる者の政策規範について順次取り上げる。これらの知識の習得を通じて、具体的な公共政策を分析・評価することが、本講義のねらいである。				
授業目的・到達目標	【授業目的】公共政策学の基礎的・応用的議論を理解することを目的とする。 【到達目標】1. 政策規範の具体的な知識を習得する。2. 習得した知識を用いて、具体的な公共政策を分析・評価することができる。				
履修条件	なし				
授業方法	毎回プリントを配布すると共に、パワーポイントを用いて授業を進める。また、定期的に小テストを実施し、受講者の授業理解を確認する。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		70%		期末に定期試験を実施する。論述式の試験により、講義内容の理解度を総合的に評価する。定期試験の内容や評価方法については、試験前に説明を行う。
	平常評価		30%		小テストを授業時間内に計3回実施する。実施日は当日決める。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	授業中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	水曜日昼休み、事前にアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・新聞報道に触れる
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配付プリントを読み直す
2	事前学習	PPBSについて調べる
	授業内容	公共政策学の発展
	事後学習	配付プリントを読み直す
3	事前学習	市場の失敗について調べる
	授業内容	公共問題とは何か
	事後学習	配付プリントを読み直す
4	事前学習	日本の財政赤字について調べる
	授業内容	政策デザインⅠ：問題の構造化
	事後学習	配付プリントを読み直す

5	事前学習	機会費用の概念について調べる
	授業内容	政策デザインⅡ：費用便益分析
	事後学習	配付プリントを読み直す
6	事前学習	電電公社の民営化について調べる
	授業内容	政策デザインⅢ：制約条件
	事後学習	配付プリントを読み直す
7	事前学習	石油危機について調べる
	授業内容	政策の決定
	事後学習	配付プリントを読み直す
8	事前学習	法令の種類について調べる
	授業内容	政策の実施
	事後学習	配付プリントを読み直す
9	事前学習	政策評価法について調べる
	授業内容	政策の評価
	事後学習	配付プリントを読み直す
10	事前学習	オバマ・ケアについて調べる
	授業内容	映像教材上映
	事後学習	配付プリントを読み直す
11	事前学習	ライシテについて調べる
	授業内容	中立主義の政策規範論
	事後学習	配付プリントを読み直す
12	事前学習	フランス革命について調べる
	授業内容	保守主義の政策規範論
	事後学習	配付プリントを読み直す
13	事前学習	日本の年金制度について調べる
	授業内容	増分主義の政策規範論
	事後学習	配付プリントを読み直す
14	事前学習	コンドルセの陪審定理について調べる
	授業内容	民主主義の政策規範論
	事後学習	配付プリントを読み直す
15	事前学習	配付プリント全体の振り返り
	授業内容	期末総括
	事後学習	授業全体の振り返り

科目名	税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	担当者	阿部 徳幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	法律学としての税法、ことさらその基礎理論をここでは皆さんに考えてもらいます。					
授業目的・到達目標	「税」は、日常生活において身近な存在である反面、「税法」は、法律の中でも遠いところに位置する存在ではないだろうか。本講座においては、このような立場の税法の基礎理論を中心に、法律学としての租税法の視点から講義を行う。税法基礎理論のその法的諸問題を習得することを目標とする。その結果、あるべき税制について意見を持ち、発言可能となることを到達目標としたい。					
履修条件	特にない。この講座は法律学としての税法を扱うため計算問題は、原則として扱わない。					
授業方法	原則として、毎回の講義において、それぞれのテーマに関連する簡単な問題を提示します。その問題について検討を進めることにより、それぞれのテーマについて理解してもらいます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	基本的内容を問う論述試験を実施します。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
		清文社		『現代税法入門塾(第9版)』		石村耕治
	備考					
参考書	北野弘久編『現代税法講義（5訂版）』（法律文化社）、北野弘久編『現代税法事典（第2版）』（中央経済社）、北野弘久『税法学原論（第7版）』（勁草書房）					
オフィスアワー	月曜日・金曜日の16：00～ 事前に連絡のこと。9号館 9301研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を見てくること
	授業内容	オリエンテーション、この授業で何を学ぶのか、テストの方法と勉強の仕方（復習主義）、資格試験についてなど
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（1）租税の意義と租税法の体系
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答

3	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（2）租税法律主義と国税の納税義務
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
4	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（3）租税条例主義と地方税の納税義務
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
5	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（4）実質課税の原則－租税負担公平原則とは何か
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
6	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（5）租税回避行為－節税・租税回避行為・脱税、それぞれの違いは何か
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
7	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（6）租税法律関係－納税者と課税庁との法律関係とはどのようなものか
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
8	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（7）税法と私法－税法上の信義則の原則ほか
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
9	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（8）応能負担原則－そもそも租税法律をつくるための原則とは何か？
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
10	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（9）課税最低限－どこから課税できるのか？
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
11	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（10）課税の限界－どこまで課税できるのか？
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
12	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（11）租税立法プロセスとその問題点－租税立法違憲訴訟と立法裁量論
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
13	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	基本原則（12）税務行政と税理士制度
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
14	事前学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答
	授業内容	基本原則（13）現代税法における諸問題
	事後学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答

15	事前学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答
	授業内容	基本原則（14）まとめ
	事後学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答

科目名	税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	担当者	黒川 功	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	税法は国民経済の流れを規定し、国民の現実的権利状況に決定的影響を及ぼす、現代法の中心領域に位置する法です。この税法を、民主主義法学の立場から体系的、具体的に講義し、現代を生きる者としての基礎的学識を涵養します。また、将来税法専門家を目指す場合にも、その基本となる法的思考方法をしっかり身に付けます。				
授業目的・到達目標	現代国家における税の存在の位置と意義を理解し、近代税法の基本原則と法的推論の基本をマスターします。租税実体法、租税手続法両域における租税問題を法的に理解し、実例を引きながら、我国税法の特徴を考察して、解釈理論を展開できるだけの学識を身につけます。これにより、現代における真の洞察眼と生きたリーガルマインドの形成を目指します。				
履修条件	民・商法、憲法等、法律学の基礎科目の基礎知識があるか少なくともこれらとの平行学習が望ましい。簿記会計の素養は理解の助けとなります。				
授業方法	毎回の講義はなるべくテキストに沿った形で進めますが、必ずノートをとってください。その場（教室）で理解・習得できるよう、濃い時間の使い方をしてもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	期末の論述式の筆記試験です。出題範囲から予想される問題や論点は、試験前の授業で改めて見直し、指摘します。	
	平常評価		20%	時折行う授業内レポートの評価を、平常点として加味します。20%を基本としますが、特に優れたものについてはこれを超えることもあります。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年9月	勁草書房	税法各原論（第7版）		北野弘久著 黒川功監修
	1981年11月	岩波新書	納税者の権利		北野弘久
	備考	授業はほぼ税法学原論の内容に従って行われる。			
参考書	北野弘久・谷山治夫編著『日本税制の総点検』（勁草書房）2008年10月。				
オフィスアワー	金曜14時40分～16時10分。事前にアポイントメントを取り、相談内容を知らせた上で訪問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	オリエンテーション、年間講義計画など 租税制度と国民生活・権利
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
2	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	現代の暮らしと税金問題～国民生活と税
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。

3	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税法学の特質（１）～会計学との関係
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
4	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税法学の特質（２）～財政学との関係
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
5	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税法学の特質（３）～行政法学との関係
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
6	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税の法的疑念
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
7	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税法律関係と税法体系
	事後学習	ノートをに直して内容を再確認しておくことが望ましい。
8	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税の分類(1)～国税・地方税、所得・資産・消費税
	事後学習	ノートをに直して内容を再確認しておくことが望ましい。
9	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税の分類(2)～人税・物税、直接税・間接税、他
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
10	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税法律主義の原則（１）～税法の根本原理とその意義
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
11	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税法律主義の原則（２）～具体的法理とその内容
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
12	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税法律主義の原則（３）～現代における機能と意義
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
13	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	本来的租税条例主義～地方財政権と地方税
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
14	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税法学の系譜～官僚税法学vs. 民主主義税法学
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。

15	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	試験説明とポイント解説
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。

科目名	税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	担当者	阿部 徳幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	法律学としての税法、ことさらその基礎理論を、そしてその中でも租税手続法、租税救済法、租税処罰法などについて皆さんに考えてもらいます。					
授業目的・到達目標	「税」は、日常生活において身近な存在である反面、「税法」は、法律の中でも遠いところに位置する存在ではないだろうか。本講座においては、このような立場の税法の基礎理論を中心に、法律学としての租税法の視点から講義を行う。税法基礎理論のその法的諸問題を習得することを目標とする。その結果、あるべき税制について意見を持ち、発言可能となることを到達目標としたい。					
履修条件	税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）を履修していることが望ましい。なお、この講座は法律学としての税法を扱うため計算問題は、原則として扱わない。					
授業方法	原則として、毎回の講義において、それぞれのテーマに関連する簡単な問題を提示します。その問題について検討を進めることにより、それぞれのテーマについて理解してもらいます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	基本的内容を問う論述試験を実施します。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
		清文社		『現代税法入門塾(第9版)』		石村耕治
	備考					
参考書	北野弘久編『現代税法講義（5訂版）』（法律文化社）、北野弘久編『現代税法事典（第2版）』（中央経済社）、北野弘久『税法学原論（第7版）』（勁草書房）					
オフィスアワー	月曜日・金曜日の16：00～ 事前に連絡のこと。9号館 9301研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を見てください
	授業内容	オリエンテーション、この授業で何を学ぶのか、テストの方法と勉強の仕方（復習主義）、資格試験についてなど
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税手続法（1） 納税義務の成立と確定－納税者からの確定と課税庁からの確定
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答

3	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税手続法（2） 源泉徴収と年末調整－サラリーマンと確定申告
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
4	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税手続法（3） 税務調査－課税処分のための税務調査とその法的限界
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
5	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税手続法（4） 滞納処分－税金を強制的に取り立てる方法
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
6	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税手続法（5） 納税緩和制度ほか－滞納処分の緩和とは
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
7	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税救済法（1）不服申立制度－課税庁の処分に不満がある場合には税務争訟ができる
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
8	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税救済法（2）租税裁判－主な税務訴訟のあらまし
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
9	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税処罰法（1）租税犯とは何か、附帯税とは
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
10	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	租税処罰法（2）租税犯則調査・通告処分とは
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
11	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	地方税制－自治体が独自に課税できるか
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
12	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	国際税制－国際税法の法源と基本原理
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
13	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	税の使途－税の使いみちの監視制度
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
14	事前学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答
	授業内容	現代税法における諸問題
	事後学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答

15	事前学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答

科目名	税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	担当者	黒川 功	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	税法は国民経済の流れを規定し、国民の現実的権利状況に決定的影響を及ぼす、現代法の中心領域に位置する法です。この税法を、民主主義法学の立場から体系的、具体的に講義し、現代を生きる者としての基礎的学識を涵養します。また、将来税法専門家を目指す場合にも、その基本となる法的思考方法をしっかり身に付けます。				
授業目的・到達目標	現代国家における税の存在の位置と意義を理解し、近代税法の基本原則と法的推論の基本をマスターします。租税実体法、租税手続法両域における租税問題を法的に理解し、実例を引きながら、我国税法の特徴を考察して、解釈理論を展開できるだけの学識を身につけます。これにより、現代における真の洞察眼と生きたリーガルマインドの形成を目指します。				
履修条件	民・商法、憲法等、法律学の基礎科目の基礎知識があるか少なくともこれらとの平行学習が望ましい。簿記会計の素養は理解の助けとなります。				
授業方法	毎回の講義はなるべくテキストに沿った形で進めますが、必ずノートをとってください。その場（教室）で理解・習得できるよう、濃い時間の使い方をしてもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	期末の論述式の筆記試験です。出題範囲から予想される問題や論点は、試験前の授業で改めて見直し、指摘します。	
	平常評価		20%	時折行う授業内レポートの評価を、平常点として加味します。20%を基本としますが、特に優れたものについてはこれを超えることもあります。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年9月	勁草書房	税法各原論（第7版）		北野弘久著 黒川功監修
	1981年11月	岩波新書	納税者の権利		北野弘久
	備考	授業はほぼ税法学原論の内容に従って行われる。			
参考書	北野弘久・谷山治夫編著『日本税制の総点検』（勁草書房）2008年10月。				
オフィスアワー	金曜14時40分～16時10分。事前にアポイントメントを取り、相談内容を知らせた上で訪問してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	応能負担原則(1)～憲法原則、公平の概念、最低生活費
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
2	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	応能負担原則(2)～担税力の理論、応益負担論、他
	事後学習	ノートをに直して内容を再確認しておくことが望ましい。

3	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	実質課税論(1)～意義と問題点、租税回避等
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
4	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	実質課税論(2)～事例分析、実質課税原則の正体
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
5	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税法と信義則
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
6	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	サラリーマンの税法的地位～源泉徴収と供与所得課税
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
7	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	家族税制(1)～戦前の家父長制的課税関係と今日
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
8	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	家族税制(2)～米国の家族税制と日本税制の問題
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
9	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	企業課税の構造～日米比較にみる日本税制
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
10	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税務調査権の法的限界
	事後学習	ノートをに直して内容を再確認しておくことが望ましい。
11	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	納税者権利憲章～世界の動向と日本の現状
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
12	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	税務争訟制度の仕組みと問題点
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
13	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税犯の種類と犯罪構成要件
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。
14	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	租税犯の処罰と法的問題点
	事後学習	ノートをに直して内容を再確認しておくことが望ましい。

15	事前学習	テキストに目を通しておくことが望ましい。
	授業内容	国際税法の概要と動向
	事後学習	ノートを見直して内容を再確認しておくことが望ましい。

科目名	税法ⅡA(所得税法)	担当者	阿部 徳幸	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	法律学としての税法、ことさら所得税についてその基礎理論をここでは皆さんに考えてもらいます。					
授業目的・到達目標	「税」は、日常生活において身近な存在である反面、「税法」は、法律の中でも遠いところに位置する存在ではないだろうか。本講座においては、このような立場の税法の基礎理論、特に個人課税（所得税法）を中心に、法律学としての租税法の視点から講義を行う。個人課税の法的諸問題を習得することを目標とする。その結果、あるべき税制（個人課税）について意見を持ち、発言可能となることを到達目標としたい。					
履修条件	特にない。なお、この講座は法律学としての税法を扱うため計算問題は原則として扱わない。					
授業方法	毎回の講義において、それぞれのテーマに関連する簡単な問題を提示します。その問題について検討を進めることにより、それぞれのテーマについて理解してもらいます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	基本的内容を問う論述試験を実施します。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
		清文社		『現代税法入門塾(第9版)』		石村耕治
	備考					
参考書	北野弘久編『現代税法講義（5訂版）』（法律文化社）、北野弘久編『現代税法事典（第2版）』（中央経済社）、北野弘久『税法学原論（第7版）』（勁草書房）					
オフィスアワー	月曜日・金曜日の16：00～ 事前に連絡のこと。9号館 9301研究室					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を見てくること
	授業内容	オリエンテーション、この授業で何を学ぶのか、テストの方法と勉強の仕方（復習主義）、資格試験についてなど
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	日本国憲法における租税概念・租税法律主義・応能負担原則・実質課税の原則
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答

3	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（１）所得概念
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
4	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（２）納税義務の範囲
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
5	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（３）課税単位
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
6	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（４）所得分類①
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
7	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（５）所得分類②
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
8	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（６）給与所得課税
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
9	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（７）源泉徴収と年末調整
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
10	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（８）収入金額とは？
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
11	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（９）必要経費とは？
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
12	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	所得税法（１０）所得税の計算構造
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
13	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	住民税（１）個人住民税①
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
14	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	住民税（２）個人住民税②
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答

15	事前学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答
	授業内容	総まとめ
	事後学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答

科目名	税法ⅡB(法人税法)	担当者	伊藤 悟	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	企業課税法のうち法人所得課税法である「法人税法」を考察、授業する。法人税法の理論問題のみならず法人税額の計算法構造についても授業する。				
授業目的・到達目標	法人税法を中心に研究学習する。法人税の基礎事項を知り、法人税の理論基礎及び計算基礎を知る。				
履修条件	税法条文の参照を総務省「法令データ提供システム」を活用することから、ＰＣ等でのネット利用できることが望ましい。				
授業方法	税法の知識・情報として、財務省や国税庁等のサイトを活用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	就学度を知るためにレポート提出を求める。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	八千代出版社		市民のための税法学	伊藤悟
	備考				
参 考 書	国税庁WEB内の税大校本『法人税法』を副読本とする。その他、必要により授業内で指示する。				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付けます。またメールでの対応もします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	カリキュラム表、シラバスの記述確認
	授業内容	ガイダンス：シラバスの解説、国税庁WEB等の授業内活用、PC等でのノートテーク可、税法研究論と本授業、企業課税法について
	事後学習	国税庁WEB(http://www.nta.go.jp/)>税について調べる、等を閲覧
2	事前学習	テキスト第14章「課税基礎と税制論」および第15章「所得課税法の基礎」を通読、財務省WEB内税制(http://www.mof.go.jp/tax_policy/)を閲覧
	授業内容	法人所得課税の基礎：所得課税法としての法人税法、税分類と法人税、法人税法の本質
	事後学習	法人税法、法人税法施行令および法人税法施行規則を法令データWEBにて確認、法人税基本通達を国税庁WEBにて確認

3	事前学習	テキスト第17章「法人税の基本構造と課題」を通読
	授業内容	現行法人税法の基本構造
	事後学習	法人税の歴史を調べる。法人擬制説に基づく法人税の特徴を考える。
4	事前学習	会社法に規定する会社とは何か調べる。一般社団法人とは何か。日本の法人設立はどうする。
	授業内容	納税義務者、各事業年度所得に対する法人税の基本事項、副読本第1章
	事後学習	青色申告制度について調べる。
5	事前学習	副読本第2章を通読する。
	授業内容	企業損益と税務調整、法人税法22条、副読本第2章
	事後学習	税務調整の必要性と分類について考察する。
6	事前学習	副読本第3章と第4章を通読する。
	授業内容	益金事項：売上、受取配当金、副読本第3章・4章
	事後学習	売上計上基準についてまとめる。
7	事前学習	副読本第5章1節を通読する。
	授業内容	損金事項(1)：売上原価、テキスト第5章1節
	事後学習	期末棚卸商品の評価方法による売上原価と売上利益への影響をまとめる。
8	事前学習	副読本第5章2節を通読する。
	授業内容	損金事項(2)：減価償却費、副読本第5章2節
	事後学習	償却過不足の当期と翌期の処理を理解する。
9	事前学習	副読本第6章を通読する。
	授業内容	損金事項(3)：給与、交際費、副読本第6章1節、2節
	事後学習	役員給与の損金算入となる支給方法についてまとめる。
10	事前学習	法人企業が負担する税金について検討する。
	授業内容	損金事項(4)：租税公課、引当金、その他、副読本第6章4節、第7章、第8章
	事後学習	法人税、住民税、事業税の法人税処理を理解する。
11	事前学習	副読本第9章、第10章を通読する。
	授業内容	税額計算、別表4、別表5(1)等、副読本第9章、第10章
	事後学習	副読本掲載の設例に基づく処理と申告書記載を理解する。
12	事前学習	副読本第11章、第12章を通読する。
	授業内容	連結納税とグループ法人税制、更正等、テキスト第11章、第12章、理論演習問題
	事後学習	出題した理論演習問題を復習する。
13	事前学習	副読本第10章末の設例を理解する。
	授業内容	計算演習問題(1) 設例の確認、全経3級法人税法過去問演習
	事後学習	演習問題の復習をする。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	計算演習問題(2) 全経2級法人税法過去問演習
	事後学習	演習問題の復習をする。

15	事前学習	授業全体での疑問点をまとめる。
	授業内容	総括：法人税法の課題
	事後学習	この講義を基礎とし、法人税法につき税理士試験等をめざし勉強してください。

科目名	税法ⅢA(資産税法)	担当者	阿部 徳幸	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	法律学としての税法、ことさら相続税・贈与税についてその基礎理論をここでは皆さんに考えてもらいます。				
授業目的・到達目標	「税」は、日常生活において身近な存在である反面、「税法」は、法律の中でも遠いところに位置する存在ではないだろうか。本講座においては、このような立場の税法の基礎理論、特に個人課税（資産税法）を中心に、法律学としての租税法の視点から講義を行う。個人課税の法的諸問題を習得することを目標とする。その結果、あるべき税制（個人課税）について意見を持ち、発言可能となることを到達目標としたい。				
履修条件	特にない。なお、この講座は法律学としての税法を扱うため計算問題は原則として扱わない。				
授業方法	毎回の講義において、それぞれのテーマに関連する簡単な問題を提示します。その問題について検討を進めることにより、それぞれのテーマについて理解してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	基本的内容を問う論述試験を実施します。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
		清文社		『現代税法入門塾(第9版)』	石村耕治
	備考				
参考書	北野弘久編『現代税法講義(5訂版)』（法律文化社）、北野弘久編『現代税法事典(第2版)』（中央経済社）、北野弘久『税法学原論(第7版)』（勁草書房）				
オフィスアワー	月曜日・金曜日の16：00～ 事前に連絡のこと。9号館 9301研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次を見てください
	授業内容	オリエンテーション、この授業で何を学ぶのか、テストの方法と勉強の仕方（復習主義）、資格試験についてなど
	事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	日本国憲法における租税概念・租税法律主義・応能負担原則・実質課税の原則
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答

3	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(1) 相続税・贈与税のあらまし
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
4	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(2) 納税義務者と納税義務の範囲
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
5	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(3) 相続税の課税価格と税額計算(1)
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
6	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(4) 相続税の課税価格と税額計算(2)
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
7	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(5) 相続税の課税価格と税額計算(3)
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
8	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(6) 贈与税の課税価格と税額計算(1)
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
9	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(7) 贈与税の課税価格と税額計算(2)
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
10	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(8) 相続時精算課税制度
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
11	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(9) 税金の納付と延納及び物納
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
12	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(10) 相続税・贈与税の納税猶予及び免除の特例
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
13	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(11) 申告・更正及び決定
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答
14	事前学習	教科書の該当項目の熟読
	授業内容	相続税法(12) 財産の評価
	事後学習	授業内容の復習、レジュメの問題の解答

15	事前学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答
	授業内容	総まとめ
	事後学習	これまでの授業内容の復習、レジュメの問題の解答

科目名	税法ⅢB(消費・諸税法)	担当者	伊藤 悟	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	所得課税および資産課税以外の消費課税に関係する税目についての税法各論の考察を行う。「消費、諸税法」ではあるが、授業の中心は「消費税法」である。企業課税法のうち消費課税法である「消費税法」を中心に授業する。消費税法に関する理論および計算につき講義する。				
授業目的・到達目標	消費税法を中心に研究学習する。消費税の基礎事項を知り、課税額の計算等の基本を知る。また、消費税法の課題についての解決策を思考する。				
履修条件	税法条文の参照を総務省「法令データ提供システム」を活用することから、ＰＣ等でのネット利用できることが望ましい。				
授業方法	税法の知識・情報として、財務省や国税庁等のサイトを活用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	就学度を知るためにレポート提出を求める。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	八千代出版		市民のための税法学	伊藤悟
	備考				
参 考 書	国税庁WEB内の税大講本「消費税法」を副読本とする。その他、必要により授業内で指示する。				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付けます。またメールでの対応もします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの記載を確認する。
	授業内容	ガイダンス：シラバスの解説、税法研究論と本授業
	事後学習	テキスト「はしがき」を読む
2	事前学習	財務省WEB>税制>わが国税制>税の種類をみて、日本税制の税目を知る。
	授業内容	課税基礎論からみた消費課税：課税基礎論、消費課税の位置・意義、消費課税目の分類
	事後学習	テキスト第14章「課税基礎と税制論」を読む

3	事前学習	テキスト第19章「消費課税法の基礎」を読む
	授業内容	消費課税法の諸原則等：税法原理・原則、消費課税諸原則、消費税と付加価値税、財政赤字と消費税、福祉目的税論
	事後学習	税大講本「税法入門」第4章第4節消費税、同「消費税法」（副読本）第1章を読む。消費税法を法令データベース等で確認する。
4	事前学習	副読本第2章を通読する。
	授業内容	事業者の取引と消費税、不課税取引と課税取引
	事後学習	不課税取引と課税取引を理解する。
5	事前学習	副読本第3章を通読する。
	授業内容	課税取引と非課税取引、免税取引
	事後学習	消費税に係る取引区分を理解する。
6	事前学習	副読本第4章を通読する。
	授業内容	消費税の納税義務者、免税事業者、納税義務の成立
	事後学習	事業者課税である消費税の特質を理解する。
7	事前学習	副読本第5章を通読する。
	授業内容	消費税の計算基礎、地方消費税、関税等、課税標準の計算
	事後学習	関税等と消費税の関係、消費税計算と地方消費税計算の関係を理解する。端数処理を知る。
8	事前学習	副読本第6章仕入税額控除の節を通読する。
	授業内容	仕入税額控除
	事後学習	原則課税における仕入税額控除の基本を知る。
9	事前学習	副読本第6章簡易課税制度の節を通読する。
	授業内容	簡易課税制度
	事後学習	中小企業の消費税負担のあり方を検証する。
10	事前学習	副読本第7章、第9章を通読する。
	授業内容	消費税の課税期間、申告・納付等、雑則
	事後学習	個人事業者・法人事業者の申告等手続を理解する。
11	事前学習	副読本(参考)4確定申告書の作成手順を知る。
	授業内容	一般用申告書、簡易課税用申告書
	事後学習	申告書の記載手順に従い、消費税額の計算を理解する。
12	事前学習	副読本の記載で不明なところをチェックする。
	授業内容	消費税演習問題(1) 基礎問題、理論問題
	事後学習	演習問題を復習する
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	消費税演習問題（2）総合計算問題(全経3級消費税法過去問)
	事後学習	演習問題を復習する。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	消費税演習問題（3）総合計算問題(全経2級消費税法過去問)
	事後学習	演習問題を復習する。

15	事前学習	授業全体での疑問点をまとめる。
	授業内容	総括：消費税法の課題
	事後学習	この講義を基礎とし、消費税法につき税理士試験等をめざし勉強してください。

科目名	西洋政治史Ⅰ	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	西ヨーロッパ（特にイギリス、フランス、ドイツ）の政治史に関する講義を行う。絶対王政から市民革命を経て、議会制民主主義を実現した過程を概観する。過去の事象が原因となって、現在の結果を導いたという因果関係に着目しながら授業を展開することで、「歴史は重要である（history matters）」ことを示していく。				
授業目的・到達目標	本講義の目的は、西ヨーロッパ諸国がどのようにして民主的な政治体制を成立させてきたのかを理解してもらうことにある。 上記の目的を実現することで、現在の政治現象について、自らの考えを論理的かつ理論的に説明できるようになることが到達目標となる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	パワーポイントを用いた講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	事実関係が整理されているとともに、因果関係が正しく示されていること。	
	平常評価		10%	授業中に実施される小テストによって評価する（数回程度）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012年	北樹出版		現代ヨーロッパ政治史【増補版】	杉本稔
	備考				
参考書	授業中に適宜、提示する。				
オフィスアワー	オフィスアワーは、火曜日の13:00から14:00までとする。担当者が不在の場合もあるので、事前にメールで予定を確認すること。 misawa.masahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認することで、本授業の全体像を把握する。
	授業内容	ガイダンス 講義の流れや成績評価についての説明を行う。受講希望者は、必ず出席することを求める。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	政治学や比較政治学の教科書等を利用して、ポリアーキーについて確認をしておく。
	授業内容	民主主義理論 西ヨーロッパ諸国の市民革命を検討するにあたって、R. ダールのポリアーキーについて、講義を行う。
	事後学習	R. ダール（2014）『ポリアーキー』（岩波文庫）を読み、講義内容の理解を深めていく。

3	事前学習	教科書の序章2節を読み、イギリス革命の全体像を把握しておく。
	授業内容	イギリス革命の特質 ピューリタン革命と名誉革命の類似点と相違点を明らかにしていくとともに、なぜ両革命が起こったのかを講義していく。
	事後学習	講義資料と教科書を確認し、疑問や理解が十分でない部分を明らかにしておく。
4	事前学習	第2回、第3回講義内容を確認しておく。
	授業内容	名誉革命体制の意義と課題 イギリス革命の結果、絶対王政が打倒されたことによって、新たな政治体制（名誉革命体制）が確立された。名誉革命体制とはどのような体制であったのか、民主主義理論の中で、どのように位置づけられるかを検討していく。
	事後学習	イギリス革命を特殊な出来事として捉えるのではなく、民主主義の中で、どのように位置づけられるかをポリアーキーと結びつけて勉強していく。
5	事前学習	教科書の序章3節を読み、フランス革命の全体像を把握しておく。
	授業内容	フランス革命の展開 フランス革命が勃発した原因を明らかにしていくとともに、それぞれの時期に制定された憲法を比較していくことで、どのような階層が革命の担い手あったのかを講義していく。
	事後学習	91年、93年、95年憲法の特質がどのようなものであったのかを確認しておく。
6	事前学習	第2回、第5回の講義内容を確認しておく。
	授業内容	フランス革命後の政治体制 ナポレオンが権力を獲得してからナポレオン3世が皇帝になるまで、フランスの政治体制は、幾度となく変化してきた。政治体制の変化に着目することで、フランス政治の特徴を説明していく。
	事後学習	フランス革命を特殊な出来事として捉えるのではなく、民主主義の中で、どのように位置づけられるかをポリアーキーと結びつけて勉強していく。
7	事前学習	教科書の序章4節を読み、ドイツ帝国成立の全体像を把握しておく。
	授業内容	ドイツ帝国の成立 19世紀中ごろまで、ドイツは、国民国家としてのまとまりを欠いていた。ビスマルクに焦点を当てることで、ドイツ帝国が成立した過程を説明していく。
	事後学習	ビスマルク外交の特徴がドイツ帝国の成立および安定化に対して、どのような影響を及ぼしたのかを確認しておく。
8	事前学習	教科書の第1章1節、2節を読み、第一次世界大戦の全体像を把握しておく。
	授業内容	第一次世界大戦とヨーロッパ政治 第一次世界大戦を契機に、ヨーロッパが相対的に没落をしていった。アメリカやロシアの台頭によって、世界のパワーバランスに変化が見られるようになったことを説明していく。
	事後学習	アメリカの台頭、ロシアでの共産党政権樹立がヨーロッパ統合の萌芽となる「ヨーロッパ合衆国」構想へと繋がっていったことを確認しておく。
9	事前学習	教科書の第1章3節1項を読み、戦間期のイギリス政治の全体像を把握しておく。
	授業内容	イギリスにおける政党政治の構造的変化① 自由党の没落 名誉革命体制移行、イギリス政治の中核を担っていたのが、保守党と自由党であった。選挙権の拡大や自由主義の変容、第一次世界大戦といった要因が自由党の没落を招いたことを講義していく。
	事後学習	イギリス政治の状況を政党システム論の観点から確認しておく。
10	事前学習	第9回の講義内容を確認しておく。
	授業内容	イギリスにおける政党政治の構造的変化② 労働党の台頭 自由党が没落していく中で、有意な存在となったのが労働党であった。結党直後は、小政党に過ぎなかった労働党は、いかにして二大政党の一翼を担うようになっていったのかを説明していく。
	事後学習	労働党の躍進のきっかけとして、特に政党組織という観点から確認をしておく。
11	事前学習	教科書の第1章3節2項を読み、戦間期のフランス政治の全体像を把握しておく。
	授業内容	第三共和制の成立と人民戦線内閣 権力の集中を図った帝政への反省から権力の分散を企図た共和制への移行は、不安定な政治状況を生み出した。不安定な政治状況が生み出したファシズム勢力とそれに対抗する人民戦線内閣の意義について講義していく。
	事後学習	フランス革命以後の特徴である権力の集中と分散という観点から戦間期のフランス政治を確認しておく。
12	事前学習	教科書の第1章3節3項を読み、戦間期のドイツ政治の全体像を把握しておく。
	授業内容	ワイマール共和国の誕生 第一次世界大戦によって、帝政ドイツは崩壊した。当時、最も民主的な憲法を備えたワイマール共和国がどのように誕生したのか、どのような政党政治が展開されたのかを説明していく。
	事後学習	ワイマール憲法の先進性や強大な大統領権限が認められていた点を確認することで、ヒトラーの台頭を許す制度的な要因が内在していたことを理解しておく。
13	事前学習	第12回の講義内容を確認しておく。
	授業内容	ヒトラーの台頭とワイマール共和国の崩壊 相対的に安定していたワイマール共和国は、世界恐慌をきっかけにして不安定化していく。不安定な政治情勢の中、ヒトラーが台頭したことによって、ワイマール憲法は停止に追い込まれてしまう。ワイマール共和国を規定したワイマール憲法が停止された過程を説明していく。
	事後学習	全権委任法の成立がワイマール憲法の実質的停止を招いたことを確認しておく。

14	事前学習	第13回の講義内容を確認しておく。
	授業内容	第二次世界大戦への道 全権委任法を成立させたヒトラーは、第一次世界大戦後のヨーロッパ政治を規定したヴェルサイユ体制に挑戦していく。ヒトラーの外交に着目することで、第二次世界大戦までの経緯を説明していく。
	事後学習	ヒトラー独裁体制は、なぜ民主的ではないのかということをポリアーキーに沿って確認しておく。
15	事前学習	これまで授業で学習してきた点で、十分に理解できなかったことを把握する。
	授業内容	まとめ 当期授業の総括を行うとともに、受講生からの質問に答える。
	事後学習	講義資料、教科書、参考書などを用いて、講義内容の最終的な確認を行う。

科目名	西洋政治史Ⅰ	担当者	渡辺 容一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】					
授業概要	近代の欧米政治史について、当時の国際関係史も含めて概観的に講義を行う。また、重要な部分については政治思想面からの考察も加えるが、それは政治史が政治思想と無縁に成立し得ないからである。 なお、理解度を確認するため、毎回授業の最初に簡単な小テストを実施する（受講生の人数次第で変更する可能性もあります）。					
授業目的・到達目標	「近代欧米政治史の展開」をテーマとして、現代政治経済システムの基礎が近代の欧米政治にあることを理解できるようになることを目的とする。政治史を学ぶことによって、今日の政治現象の背景を説明できるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義形式で行う。教科書とノートは必ず持参すること。必要に応じてレジュメや資料を配布する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	論文答案が論理的に構成されているか、授業中示した内容が正しく書かれているか。		
	平常評価		20%	原則毎回行う小テストの総合成績。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	弘文堂		Next 教科書シリーズ 西洋政治史		杉本稔編
	備考					
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	金曜日 16:20～17:50 （事前にメール等で予約してください） 9号館2階 9207研究室 watanabe.yoichiro@nihon-u.ac.jp 授業内容以外では、留学相談、大学院進学相談も受けつけています。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のpp. 1-14を予め読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス、＜第1章 市民的政治体制の形成＞ 市民革命の位置づけと市民的政治体制①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
2	事前学習	教科書のpp. 7-14を予め読んでおくこと。
	授業内容	市民革命の位置づけと市民的政治体制②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。

3	事前学習	教科書のpp. 14-24を予め読んでおくこと。
	授業内容	イギリス革命と議会主権の確立①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
4	事前学習	教科書のpp. 14-24を予め読んでおくこと。
	授業内容	イギリス革命と議会主権の確立②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
5	事前学習	教科書のpp. 24-31を予め読んでおくこと。
	授業内容	アメリカ独立革命と合衆国の建国
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
6	事前学習	教科書のpp. 31-41を予め読んでおくこと。
	授業内容	フランス革命の展開①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
7	事前学習	教科書のpp. 31-41を予め読んでおくこと。
	授業内容	フランス革命の展開②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
8	事前学習	教科書のpp. 41-49を予め読んでおくこと。
	授業内容	ドイツ三月革命とドイツ帝国の成立
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
9	事前学習	教科書のpp. 53-58を予め読んでおくこと。
	授業内容	＜第2章 市民的政治体制の展開＞ ホイッグ寡頭制の展開とトーリ党の進化
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
10	事前学習	教科書のpp. 59-62を予め読んでおくこと。
	授業内容	イギリス議院内閣制の生成と展開
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
11	事前学習	教科書のpp. 62-66を予め読んでおくこと。
	授業内容	市民的政治体制の展開への試練としての「ウィーン体制」
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
12	事前学習	教科書のpp. 66-69を予め読んでおくこと。
	授業内容	1848年の革命運動
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
13	事前学習	教科書のpp. 70-73を予め読んでおくこと。
	授業内容	イギリス議会政治の近代化と古典的展開①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
14	事前学習	教科書のpp. 70-73を予め読んでおくこと。
	授業内容	イギリス議会政治の近代化と古典的展開②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。

15	事前学習	ジャクソニアン・デモクラシーについて調べておくこと。
	授業内容	ジャクソニアン・デモクラシーとアメリカ二大政党の起源、定期試験について
	事後学習	定期試験の準備として、試験範囲を復習しておくこと。

科目名	西洋政治史Ⅱ	担当者	渡辺 容一郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】					
授業概要	現代の欧米政治史について、今日の国際情勢も含めて概観的に講義を行う。また、重要な部分については政治思想面からの考察も加えるが、それは政治史が政治思想と無縁に成立し得ないからである。 なお、理解度を確認するため、毎回授業の最初に簡単な小テストを実施する（受講生の人数次第で変更する可能性もあります）。					
授業目的・到達目標	「現代欧米政治史の展開」をテーマとして、近代の市民的政治体制が、なぜ、どのように、変化していったのかを理解できるようにすることを目的とする。政治史を学ぶことによって、国内政治と世界経済との関係性を説明できるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義形式で行う。教科書とノートは必ず持参すること。必要に応じてレジュメや資料を配布する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	論文答案が論理的に構成されているか、授業中示した内容が正しく書かれているか。		
	平常評価		20%	原則毎回行う小テストの総合成績。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	弘文堂		Next 教科書シリーズ 西洋政治史		杉本稔編
	備考					
参考書	必要に応じて紹介する。					
オフィスアワー	金曜日 16:20～17:50 （事前にメール等で予約してください） 9号館2階 9207研究室 watanabe.yoichiro@nihon-u.ac.jp 授業内容以外では、留学相談、大学院進学相談も受けつけています。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のpp. 77-85を予め読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス、＜第3章 現代政治の幕開け＞ 第一次世界大戦の勃発
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
2	事前学習	教科書のpp. 86-93を予め読んでおくこと。
	授業内容	総力戦体制とロシア革命
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。

3	事前学習	教科書のpp. 93-96を予め読んでおくこと。
	授業内容	第一次世界大戦の終結とヴェルサイユ条約
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
4	事前学習	教科書のpp. 96-101を予め読んでおくこと。
	授業内容	ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
5	事前学習	教科書のpp. 96-101を予め読んでおくこと。
	授業内容	ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
6	事前学習	教科書のpp. 101-105を予め読んでおくこと。
	授業内容	世界恐慌とナチスの台頭
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
7	事前学習	教科書のpp. 109-125を予め読んでおくこと。
	授業内容	＜第4章 第二次世界大戦と冷戦＞ 第二次世界大戦、冷戦の始まりとヨーロッパの分断①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
8	事前学習	教科書のpp. 114-130を予め読んでおくこと。
	授業内容	冷戦の始まりとヨーロッパの分断②、模索する西ヨーロッパ諸国①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
9	事前学習	教科書のpp. 125-130を予め読んでおくこと。
	授業内容	模索する西ヨーロッパ諸国②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
10	事前学習	教科書のpp. 131-140を予め読んでおくこと。
	授業内容	冷戦の緊張緩和とオイルショック①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
11	事前学習	教科書のpp. 131-140を予め読んでおくこと。
	授業内容	冷戦の緊張緩和とオイルショック②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
12	事前学習	教科書のpp. 140-150を予め読んでおくこと。
	授業内容	新冷戦から冷戦の終結へ①
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
13	事前学習	教科書のpp. 140-150を予め読んでおくこと。
	授業内容	新冷戦から冷戦の終結へ②
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。
14	事前学習	教科書のpp. 153-164を予め読んでおくこと。
	授業内容	＜第5章 冷戦の終結とグローバリゼーションの時代＞ 東欧革命と民主化の第三の波、ヨーロッパ統合をめぐる相克
	事後学習	授業内容に関する小テストを次回授業の最初に行うので、復習をしておくこと。

15	事前学習	教科書のpp. 165-177を予め読んでおくこと。
	授業内容	EU新時代と世界の行方、アメリカから見たヨーロッパ、NATOの変容、定期試験について
	事後学習	定期試験の準備として、試験範囲を復習しておくこと。

科目名	西洋法制史Ⅰ	担当者	吉原 達也	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	6世紀ローマ皇帝ユスティニアヌスによって集大成された『ローマ法大全』は、西ヨーロッパにおいて、12世紀以後、分析・研究されて、ヨーロッパ法思想・政治思想の議論の基礎を与えることになった。明治以後、ヨーロッパ法の強力な影響のもとに形成された日本の淵源を辿り、ヨーロッパ法文化の発展においてローマ法の果たした役割を理解する。私たちが学ぶ学問としての法律学とはいかなる営みであるかを概観する。				
授業目的・到達目標	6世紀ローマ皇帝ユスティニアヌスによって集大成された『ローマ法大全』は、西ヨーロッパにおいて、12世紀以後、分析・研究されて、ヨーロッパ法思想・政治思想の議論の基礎を与えることになった。明治以後、ヨーロッパ法の強力な影響のもとに形成された日本の淵源を辿り、ヨーロッパ法文化の発展においてローマ法の果たした役割を理解する。私たちが学ぶ学問としての法律学とはいかなる営みであるか、歴史的に考察する力を修得する。				
履修条件	とくにありません。				
授業方法	主として、講義形式で行なう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験を行う。西洋法制史に関する基礎的な知識について理解しているか、与えられた問題について自らどのように考えるかを論理的に示せるかを中心に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	ピーター・スタイン『ローマ法とヨーロッパ』ミネルヴァ書房・2003年； ペーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法ーローマ法との対話』日本評論社・2001				
オフィスアワー	金曜日12：10～13：00（事前にメールでアポイントメントをとること。） 研究室（本館9階1908）yoshihara.tatsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ピーター・スタイン『ローマ法とヨーロッパ』、ペーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法ーローマ法との対話』などを手がかりに、西洋法制史全般について概観しておくこと。
	授業内容	前学期オリエンテーション
	事後学習	指示された参考文献を参照しつつ、西洋法制史についての理解を深めておくこと。
2	事前学習	事前配布資料及び日本近代法史に関する参考文献を手がかりに、明治期における西欧法継受について概観しておくこと。
	授業内容	日本近代における西欧的法伝統[到達目標]明治期における西欧法継受について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、明治期における西欧法継受について基本的な理解を確認すること。

3	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、法の担い手としての法律家から見たヨーロッパ法史を国別比較について、基本的な事項を概観しておくこと。
	授業内容	ヨーロッパ法史の見方（１）[到達目標]法の担い手としての法律家から見たヨーロッパ法史を国別比較について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、ヨーロッパ各国の法のあり方について基本的な理解を確認しておくこと。
4	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、法の担い手としての法律家から見たヨーロッパ法史について、とくに英独仏諸国のあり方について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ヨーロッパ法史の見方（２）[到達目標]法の担い手としての法律家から見たヨーロッパ法史を国別比較を通じて概観する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、ヨーロッパ各国の法のあり方について基本的な理解を確認しておくこと。
5	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、「法律家」という観点からみたローマ法の形成について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	古代ローマ（１）[到達目標]「法律家」という観点からみたローマ法の形成について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、「法律家」という観点からみたローマ法の形成について基本的な理解を確認しておくこと。
6	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、法律家の営みとは何か、ローマ古代から共和政期について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	古代ローマ（２）[到達目標]法律家の営みとは何か、ローマ古代から共和政期について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、法律家の営みとは何か、ローマ古代から共和政期について基本的な理解を確認しておくこと。
7	事前学習	事前配布資料及び日本近代法史に関する参考文献を手がかりに、
	授業内容	古代ローマ（３）[到達目標]古典期におけるローマ法学成立と法学者のあり方について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、古典期におけるローマ法学成立と法学者のあり方について基本的な理解を確認しておくこと。
8	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、12世紀ルネサンスとローマ法の復活という問題について基本的事項を把握しておくこと。
	授業内容	ユスティニアヌス法典の復活（１）[到達目標]12世紀ルネサンスとローマ法の復活という問題について基本的理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、12世紀ルネサンスとローマ法の復活という問題について基本的な理解を確認しておくこと。
9	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、注釈学派とボローニア大学法学部の歴史について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ユスティニアヌス法典の復活（２）[到達目標]注釈学派とボローニア大学法学部の歴史について基本的理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、注釈学派とボローニア大学法学部の歴史について基本的な理解を確認しておくこと。
10	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、注釈学派の活動をめぐって帝国と立法権を中心に基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ユスティニアヌス法典の復活（３）[到達目標]注釈学派の活動をめぐって帝国と立法権を中心に基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、注釈学派の活動をめぐって帝国と立法権を中心に基本的な理解を確認しておくこと。
11	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、注解学派の活動をめぐってその法学史的意義について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と国民国家（１）[到達目標]注解学派の活動をめぐってその法学史的意義について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、注解学派の活動をめぐってその法学史的意義について基本的な理解を確認しておくこと。
12	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、人文主義法学の活動をめぐってその法学史的意義について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と国民国家（２）[到達目標]人文主義法学の活動をめぐってその法学史的意義について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、人文主義法学の活動をめぐってその法学史的意義について基本的な理解を確認しておくこと。
13	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、ドイツにおけるローマ法の継受をめぐる諸問題について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と国民国家（３）[到達目標]ドイツにおけるローマ法の継受をめぐる諸問題について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、ドイツにおけるローマ法の継受をめぐる諸問題について基本的な理解を確認しておくこと。
14	事前学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、前期の講義内容を総復習しておくこと。
	授業内容	前期のまとめ 古代ローマからローマ法継受に至る時代を通観し、修得した基本的理解の成果を再確認する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、古代ローマからローマ法継受に至る時代を通観し、修得した基本的理解の成果を確認しておくこと。

15	事前学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、前期の講義内容を総復習しておくこと。
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、前期の講義内容を総復習しておくこと。

科目名	西洋法制史Ⅱ	担当者	吉原 達也	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	6世紀ローマ皇帝ユスティニアヌスによって集大成された『ローマ法大全』は、西ヨーロッパにおいて、12世紀以後、分析・研究されて、ヨーロッパ法思想・政治思想の議論の基礎を与えることになった。明治以後、ヨーロッパ法の強力な影響のもとに形成された日本の淵源を辿り、ヨーロッパ法文化の発展においてローマ法の果たした役割を理解する。私たちが学ぶ学問としての法律学とはいかなる営みであるかを概観する。				
授業目的・到達目標	6世紀ローマ皇帝ユスティニアヌスによって集大成された『ローマ法大全』は、西ヨーロッパにおいて、12世紀以後、分析・研究されて、ヨーロッパ法思想・政治思想の議論の基礎を与えることになった。明治以後、ヨーロッパ法の強力な影響のもとに形成された日本の淵源を辿り、ヨーロッパ法文化の発展においてローマ法の果たした役割を理解する。私たちが学ぶ学問としての法律学とはいかなる営みであるか、歴史的に考察する力を修得する。				
履修条件	とくにありません。				
授業方法	主として、講義形式で行なう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験を行う。西洋法制史に関する基礎的な知識について理解しているか、与えられた問題について自らどのように考えるかを論理的に示せるかを中心に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	ピーター・スタイン『ローマ法とヨーロッパ』ミネルヴァ書房・2003年； ペーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法ーローマ法との対話』日本評論社・2001				
オフィスアワー	金曜日12：10～13：00（事前にメールでアポイントメントをとること。） 研究室（本館9階1908）yoshihara.tatsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、啓蒙絶体制期の法と政治・自然法学の成立について、基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	後学期オリエンテーション。ローマ法と法典編纂（1）[到達目標]啓蒙絶体制期の法と政治・自然法学の成立。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、啓蒙絶体制期の法と政治・自然法学の成立についての基本的な理解を確認しておくこと。
2	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、継受法学の展開、自然法と法律学について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と法典編纂（2）[到達目標]継受法学の展開、自然法と法律学について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、継受法学の展開、自然法と法律学について基本的な理解を確認しておくこと。

3	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、啓蒙的自然法論及び近代法典編纂について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と法典編纂（3）[到達目標]啓蒙的自然法論及び近代法典編纂について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、啓蒙的自然法論及び近代法典編纂について基本的な理解を確認しておくこと。
4	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、19世紀初頭の法と政治及びその思想的背景について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	歴史法学とその時代（1）[到達目標]19世紀初頭の法と政治及びその思想的背景について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、19世紀初頭の法と政治及びその思想的背景について基本的な理解を確認しておくこと。
5	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、19世紀初頭の法と政治及び法典論争の思想的背景について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	歴史法学とその時代（2）[到達目標]19世紀初頭の法と政治及び法典論争の思想的背景についてに基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、19世紀初頭の法と政治及び法典論争の思想的背景について基本的な理解を確認しておくこと。
6	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、19世紀初頭の法と政治、とくに1830年代の時代状況について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	歴史法学とその時代（3）[到達目標]19世紀初頭の法と政治、とくに1830年代の時代状況について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、19世紀初頭の法と政治、とくに1830年代の時代状況について基本的な理解を確認しておくこと。
7	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、1840年代新権力体制と歴史法学をめぐる諸問題について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	革命前の法と政治（1）[到達目標]1840年代新権力体制と歴史法学をめぐる諸問題について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、1840年代新権力体制と歴史法学をめぐる諸問題について基本的な理解を確認しておくこと。
8	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、1840年代における歴史法学の分極化をめぐる諸問題について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	革命前の法と政治（2）[到達目標]1840年代における歴史法学の分極化をめぐる諸問題について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、1840年代における歴史法学の分極化をめぐる諸問題について基本的な理解を確認しておくこと。
9	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、歴史法学、概念法学の時代に法学方法論について、基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	法実証主義の時代（1）[到達目標]、歴史法学、概念法学の時代に法学方法論について、基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、歴史法学、概念法学の時代に法学方法論について、基本的な理解を確認しておくこと。
10	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、19世紀後半におけるパンデクテン法学の形成とその意義について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	法実証主義の時代（2）[到達目標]19世紀後半におけるパンデクテン法学の形成とその意義について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、19世紀後半におけるパンデクテン法学の形成とその意義について基本的な理解を確認しておくこと。
11	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、ドイツ民法典の成立の経緯及びその意義について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	法実証主義の時代（3）[到達目標]ドイツ民法典の成立の経緯及びその意義について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、ドイツ民法典の成立の経緯及びその意義について基本的な理解を確認しておくこと。
12	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、20世紀前半の法学史の一コマである自由法論について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と20世紀（1）[到達目標]20世紀前半の法学史の一コマである自由法論について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、20世紀前半の法学史の一コマである自由法論について基本的な理解を確認しておくこと。
13	事前学習	事前配布資料及び参考文献を手がかりに、20世紀ドイツ法学をめぐってとくにナチスの時代の法学について基本的な事項を把握しておくこと。
	授業内容	ローマ法と20世紀（2）[到達目標]20世紀ドイツ法学をめぐってとくにナチスの時代の法学について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を参照しつつ、20世紀ドイツ法学をめぐってとくにナチスの時代の法学について基本的な理解を確認しておくこと
14	事前学習	配布資料及び指示された参考文献を手がかりに、前期の講義内容を総復習しておくこと。
	授業内容	後期のまとめ、近世自然法論、歴史法学、パンデクテン法学から20世紀に至る時代を通観し、基本的理解の成果を再確認する。
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を手がかりに、後期の講義内容を総復習しておくこと。

15	事前学習	配布資料及び指示された参考文献を手がかりに、
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	配布資料及び指示された参考文献を手がかりに、試験の結果をふまえつつ、後期の講義内容をあらためて総復習しておくこと。

科目名	選挙制度論	担当者	小島 勇人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	憲法は、国民主権主義を基調とした代議制民主主義をとることを明示している。その具体的手段である選挙について、我が国の現行選挙制度のあらまし、我が国の選挙制度の沿革、諸外国の選挙制度等、多数代表制、少数代表制と比例代表制（選挙制度の類型）などとともに、現行実定法である公職選挙法からみた我が国の選挙制度の実態の理解に資するため、実務の動向を踏まえ講義する。			
授業目的・到達目標	選挙は、民主政治の基礎であり基盤をなすものである。選挙の原理とともに我が国の選挙制度の実際を学び、民主政治とは何か、民主政治が発展するためには選挙制度はどうあるべきか、国民はどうあるべきか、について考えていきたい。我が国の選挙制度の基本的な構造とそれを支える実定法たる公職選挙法の中身を理解し、それを習得することを通じて今後の選挙制度のあり方について学生自身が自ら考える意識を醸成することを目的とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書を使用しつつ、必要に応じて各講義で資料を配布する。教科書や資料にない事例等を話す場合があるので、ノートへの筆記も必要となる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	選挙制度についての理解度とそれを文章で表現する力。	
	平常評価	0%	なし。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度	ぎょうせい	実務と研修のためのわかりやすい公職選挙法 第15次改訂版	選挙制度研究会
	備考			
参 考 書	必要に応じて講義に使用する資料を配布する。			
オフィスアワー	質問等については、授業時間中もしくは終了後に対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	憲法の選挙に関する基本原則を理解しておく。
	授業内容	オリエンテーション、講義計画、憲法における選挙の原則
	事後学習	憲法における選挙の原則を講義内容とともに復習する。
2	事前学習	教科書から我が国の現行選挙制度を概観しておく。
	授業内容	我が国の現行選挙制度のあらまし
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。

3	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	我が国の選挙制度の沿革
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	諸外国の選挙制度等
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
5	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	多数代表制、少数代表制と比例代表制（選挙制度の類型）
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	小選挙区比例代表制の種類とその仕組み
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	定数配分と投票価値の平等
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	選挙権と被選挙権
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	選挙の執行プロセス(1)
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	選挙の執行プロセス(2)
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	選挙運動と政治活動
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	選挙の管理執行に関する問題事例と選挙争訟
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	選挙犯罪と制裁
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分を読み、理解しておく。
	授業内容	政治資金の規正
	事後学習	講義内容と配布資料に基づき復習する。

15	事前学習	これまでの講義内容を踏まえ選挙制度の意義を考える。
	授業内容	まとめ
	事後学習	今後の選挙制度の在り方について考える。

科目名	専門演習A	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グループディスカッションやプレゼンテーションを行ないつつ、現代社会における諸政策の問題と課題について理解を深めていきます。			
授業目的・到達目標	現代の諸政策の特質や課題について自分の言葉で説明できるようになるとともに、グループディスカッションやプレゼンテーションのスキルの習得を目指します。			
履修条件	履修にあたり特に予備知識は必要としません。但し、グループ学習を行うため、必ず毎回授業に出席することが必要です。 ※履修制限をかける場合があるので、初回授業には必ず出席すること。			
授業方法	グループディスカッション及びプレゼンテーションを行ないます。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	毎回グループディスカッションに積極的に参加することが必要です。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー	金曜日 12:15～12:55 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修を希望する場合には、初回ガイダンスに必ず出席すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件を確認すること
2	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	グループディスカッション及びプレゼンテーションに関する方法論
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
3	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（1）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
4	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（2）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること

5	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（1）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
6	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（3）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
7	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（4）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
8	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（2）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
9	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（5）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
10	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（6）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
11	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（3）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
12	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（7）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
13	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（8）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
14	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（4）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
15	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること

科目名	専門演習A	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今日の企業経営には、専門職的人材、プロフェッショナル的人材が求められている。そこで、「専門・プロ人材」という概念のもと、高度専門職業人のマネジメントについて研究する。			
授業目的・到達目標	専門・プロ人材の概念、ニーズ、人材要件、人材マネジメントにおける専門・プロ人材の重要性などを理解し、職業人として生きていくうえで、専門能力がいかに必要かを受講者に認識してもらうことが授業目的である。 専門・プロ人材の人事・処遇システム、能力開発、活用、評価、動機づけなどに関して提案できる基礎的な力を習得するのが到達目標である。			
履修条件	とくになし。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。			
授業方法	指定する教科書に基づき、教員による講義と受講者による討議、報告を組み合わせる授業を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	受講者が多い場合は授業内試験に代えて定期試験を実施する。
	平常評価		100%	授業内試験の結果を基本に、授業内での発表や、期末および随時に提出する指定レポートの内容で総合評価する。自発的レポートの提出者には加点する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	桜門書房	専門・プロ人材のマネジメント	谷田部光一
	備考			
参考書	谷田部光一『働きがいの人材マネジメント』（晃洋書房、2016年）　その他、授業の中で適宜紹介する。			
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の概念とニーズ①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
3	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の概念とニーズ②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材に求められる人材要件①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

5	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材に求められる人材要件②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
6	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	これまでの専門職制度の問題点と最近の動向
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
7	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人材マネジメントと専門・プロ人材①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
8	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人材マネジメントと専門・プロ人材②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
9	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材に適合する人事システム
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
10	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の育成と能力開発
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
11	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の配置と活用
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
12	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の評価システム
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
13	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の報酬システム
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
14	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の動機づけ
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
15	事前学習	これまでの授業内容を総括し、専門・プロ人材に関して総合的に理解する。
	授業内容	まとめ（授業内試験の場合有り）
	事後学習	専門・プロ人材に向けたキャリア形成はどうあるべきか、自分なりの考えを整理する。

科目名	専門演習A	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今日の企業経営には、専門職的人材、プロフェッショナルの人材が求められている。そこで、「専門・プロ人材」という概念のもと、高度専門職業人のマネジメントについて研究する。			
授業目的・到達目標	専門・プロ人材の概念、ニーズ、人材要件、人材マネジメントにおける専門・プロ人材の重要性などを理解し、職業人として生きていくうえで、専門能力がいかに必要かを受講者に認識してもらうことが授業目的である。 専門・プロ人材の人事・処遇システム、能力開発、活用、評価、動機づけなどに関して提案できる基礎的な力を習得するのが到達目標である。			
履修条件	とくになし。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。			
授業方法	指定する教科書に基づき、教員による講義と受講者による討議、報告を組み合わせる授業を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	受講者が多い場合は授業内試験に代えて定期試験を実施する。
	平常評価		100%	授業内試験の結果を基本に、授業内での発表や、期末および随時に提出する指定レポートの内容で総合評価する。自発的レポートの提出者には加点する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	桜門書房	専門・プロ人材のマネジメント	谷田部光一
	備考			
参考書	谷田部光一『働きがいの人材マネジメント』（晃洋書房、2016年） その他、授業の中で適宜紹介する。			
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の概念とニーズ①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
3	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の概念とニーズ②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材に求められる人材要件①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

5	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材に求められる人材要件②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
6	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	これまでの専門職制度の問題点と最近の動向
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
7	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人材マネジメントと専門・プロ人材①
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
8	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	人材マネジメントと専門・プロ人材②
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
9	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材に適合する人事システム
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
10	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の育成と能力開発
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
11	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の配置と活用
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
12	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の評価システム
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
13	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の報酬システム
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
14	事前学習	事前に教科書をよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	専門・プロ人材の動機づけ
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
15	事前学習	これまでの授業内容を総括し、専門・プロ人材に関して総合的に理解する。
	授業内容	まとめ（授業内試験を実施する場合有り）
	事後学習	専門・プロ人材に向けたキャリア形成はどうあるべきか、自分なりの考えを整理する。

科目名	専門演習A	担当者	山村 りつ	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	授業名：『マイノリティと社会政策』 公共政策と深い関わりのある社会福祉について、公共政策が与える影響または受ける影響や、公共政策との関わりについての思索を深め、公共政策について考える上での重要な知見の土台を作ること。『福祉政策』等の科目とリンクさせながら、福祉政策全般について理解を深めるとともに、マイノリティ政策を題材として政策策定のプロセスを学んでいく。				
授業目的・到達目標	個々の学生が興味関心をもつ領域の社会福祉実践と公共政策について、現状、そこにみられる関係性や課題、重要な理念について理解をするとともに、公共政策のあり方について各自の見解をもち、それを表現できるようになること。				
履修条件	マイノリティの社会的地位や政策に興味をもち、関連する政策策定や行政的業務に関わりたいと考える学生。【重要】2回目の授業欠席者は履修不可。無理な場合は1回目もしくは事前にその旨申し出ること。				
授業方法	受講生数をみて最終的に決めるが、基本的には演習形式をとりながら、そのなかで意見交換や意見表明の機会を設けていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行わない。	
	平常評価		100%	最終的な成果発表を基本として、授業内での積極的な発言やコメントカードの内容を考慮に入れて評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014	昭和堂	社会的包摂/排除の人類学		内藤直樹ほか
	備考	購入は必須ではありません			
参考書	参考となる資料については、授業内で随時紹介する。				
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	オリエンテーション・イントロダクション
	事後学習	最後の発表で自分が扱うテーマについて考える
2	事前学習	自分が考えるマイノリティについて考えを整理しておく
	授業内容	マイノリティとは
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
3	事前学習	身の回りのマイノリティのイメージをもつ
	授業内容	世界と日本のマイノリティ
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
4	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	政策が作るマイノリティ
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する

5	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	マイノリティ政策とは
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
6	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	誰のための政策か：対象設定の課題
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
7	事前学習	自分の発表テーマを最終的に決定し、発表の準備をする
	授業内容	中間発表
	事後学習	中間発表に対する講評等を参考に自分の発表テーマを深める
8	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	資源の限界とマイノリティ
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
9	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	対立する利害関係への理解
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
10	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	事例検討①
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
11	事前学習	前回の授業で示す課題を行う
	授業内容	事例検討②
	事後学習	自分の発表テーマと授業の学びを引き付けて考察する
12	事前学習	発表準備
	授業内容	発表①
	事後学習	他の人の発表を参考に自分の発表を改善する
13	事前学習	発表準備
	授業内容	発表②
	事後学習	他の人の発表を参考に自分の発表を改善する
14	事前学習	発表準備
	授業内容	発表③
	事後学習	他の人の発表を参考に自分の発表を改善する
15	事前学習	総合復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	今後どう生かすかについての目標をもつ

科目名	専門演習B	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グループディスカッションやプレゼンテーションを行ないつつ、現代社会における諸政策の問題と課題について理解を深めていきます。				
授業目的・到達目標	現代の諸政策の特質や課題について自分の言葉で説明できるようになるとともに、グループディスカッションやプレゼンテーションのスキル習得を目指します。				
履修条件	履修にあたり特に予備知識は必要としません。但し、グループ学習を行うため、毎回授業に出席することが必要です。 ※履修制限をかける場合があるので、初回授業には必ず出席すること。				
授業方法	グループディスカッション及びプレゼンテーションを行ないます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	毎回グループディスカッションに積極的に参加することが必要です。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業中に適宜紹介します。				
オフィスアワー	金曜日 12:15～12:55 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修を希望する場合には、初回ガイダンスに必ず出席すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件を確認すること
2	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	グループディスカッション及びプレゼンテーションに関する方法論
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
3	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（1）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
4	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（2）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること

5	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（1）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
6	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（3）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
7	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（4）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
8	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（2）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
9	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（5）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
10	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（6）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
11	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（3）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
12	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（7）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
13	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（8）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
14	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（4）
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること
15	事前学習	指定されたテーマに関する資料を収集し、政策や政策過程の特質、問題を整理しておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で扱った政策課題を整理、再確認すること

科目名	専門演習C	担当者	山村 りつ	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	授業名：『企業活動と福祉』 特にこの授業では、企業活動や市場といったこれまで福祉とは相容れないと思われてきた領域について、新たな視点と現在の社会政策の観点から考えていくことを目的とする。また、公共政策が与える影響または受ける影響や、公共政策との関わりについての思索を深め、公共政策について考える上での重要な知見の土台を作る				
授業目的・到達目標	個々の学生が興味関心をもつ領域の社会福祉実践と公共政策について、現状、そこにみられる関係性や課題、重要な理念について理解をするとともに、公共政策のあり方について各自の見解をもち、それを表現できるようになること。				
履修条件	【重要】第2回目の授業を欠席した者は履修を認めない可能性がある。それが難しい場合には、1回目の授業もしくは事前に受講の意思を教員に確実に伝えること。				
授業方法	受講生数をみて最終的に決めるが、基本的には講義とグループワークを中心に行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行わない。	
	平常評価		100%	最終的な成果発表を基本として、授業内での積極的な発言やコメントカードの内容を考慮に入れて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2003	東京大学出版会		アメリカの福祉国家システム	渋谷博史ほか
	備考	購入は必須ではありません			
参考書	参考となる資料については、授業内で随時紹介する。				
オフィスアワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	オリエンテーション・イントロダクション
	事後学習	自分の発表テーマについて考える
2	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	社会政策における企業の役割
	事後学習	自分の発表テーマについて考える
3	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	社会問題と企業活動
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
4	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	企業のCSRと慈善活動
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める

5	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	社会政策領域における企業の参入
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
6	事前学習	中間発表の準備
	授業内容	中間発表
	事後学習	中間発表への講評を踏まえて自分の発表を改善する
7	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	企業のモチベーション
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
8	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	福祉国家類型と市場型福祉
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
9	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	事例検討①
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
10	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	事例検討②
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
11	事前学習	自分の発表テーマについて情報を集める
	授業内容	政策による誘導
	事後学習	授業での学びに引き付けて自分の発表テーマを深める
12	事前学習	発表準備
	授業内容	成果発表①
	事後学習	他の人の発表を参考に自分の発表を改善する
13	事前学習	発表準備
	授業内容	成果発表②
	事後学習	自分の発表テーマについて情報を集める
14	事前学習	発表準備
	授業内容	成果発表③
	事後学習	自分の発表テーマについて情報を集める
15	事前学習	総復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	今後に向けた授業成果の活用についての目標をもつ

科目名	専門演習D	担当者	藤本 知彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	急速な少子高齢化を背景として、わが国の社会保障は大きな転換期を迎えており、制度改革も頻繁に行われている。本講義では、社会保障の中心的な制度である社会保険（医療保険、介護保険、年金保険等）について、意義、基本構造及び歴史の変遷を解説する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】 本講義では、社会保険の意義、基本構造及び歴史の変遷を理解し、社会保障としての社会保険の基本的な概念や考え方を身に付けることで、社会保険の現代的課題への関心を持てるようになることを目的とする。 【到達目標】 ・社会保険の仕組みや特徴を公的扶助、民間保険との対比において説明できるようになる。 ・社会保険制度の変遷と現状について、社会的・経済的背景を踏まえて説明できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的に講義形式で行う。指定テキストを参照しながら授業を進めるので、毎回持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	原則として、授業への参加度と授業内レポートにより評価する。評価に関する詳細（出席の最低基準等）は初回授業で説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	初回授業で指示する。			
参考書	授業時に適宜紹介する。				
オフィスアワー	授業終了後、適宜対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んで授業の概要を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス：授業計画・評価方法等，日常生活と社会保険
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ，理解を深める。
2	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の基礎１：医療保険の基礎概念
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ，理解を深める。
3	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の基礎２：介護保険，年金保険の基礎概念
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ，理解を深める。
4	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保障と社会保険１：社会保障の概念と体系
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ，理解を深める。

5	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保障と社会保険 2：社会保障の目的と機能
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
6	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保障と社会保険 3：社会保障の保障方法
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
7	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の意義と基本構造 1：社会保険の意義、仕組み、原理
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
8	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の意義と基本構造 2：社会保険の特徴、メリット・デメリット、種類
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
9	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の意義と基本構造 3：社会保険の費用負担、行政機構
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
10	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の意義と基本構造 4：社会保険における権利救済
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
11	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の歴史 1：社会保険の生成と発展、社会保険制度の変遷（～昭和40年代）
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
12	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の歴史 2：社会保険制度の変遷（昭和50年代～平成10年）
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
13	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の歴史 3：社会保険制度の変遷（平成10年代）
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
14	事前学習	テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	社会保険の歴史 4：社会保険制度の変遷（平成20年代）
	事後学習	授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
15	事前学習	テキスト・参考書等のこれまでの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	本講義を通して学んだ内容をまとめ、理解を深める。

科目名	専門演習D	担当者	宮澤 隆義	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	本科目は、公務員論文試験において課される文章を書く技術を習得することを目的としている。それらの試験で出される、社会問題や政策提案に対する各自の意見をまとめ、言語化する技術を高めてゆきたい。扱うトピックとしては、災害問題・経済・環境問題・社会思想等に関する、幅広い社会的関心が要求される。				
授業目的・到達目標	授業内で課題として執筆・提出する文章を通じて、社会問題・政策のあり方等に関する理解を深めつつ、試験でも通用するような文章力を磨く。問題に関して調査・考察を行ないながらアウトプットする方法を学ぶ。				
履修条件	社会問題や政策に関する意見を文章化する技術を上げたい学生を望む。社会思想等の問題も扱うので、それらに興味がなく、単に試験の通過だけを考えている学生の参加は望まない。				
授業方法	履修人数にもよるが、班ごとにテーマについて討議を行い、数回に一回の小論文執筆を通じて文章力を磨いてゆく。課題を毎週出すため、調査や文章執筆に積極的で、かつ相互批評を怖れない学生の参加を望む。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は行なわない。	
	平常評価		100%	授業への参加度と、課題の出来によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業内で配布するプリントをテキストとして使用する。			
参考書	講義内に適宜指示する。				
オフィスアワー	火曜4限、本館1614研究室にて（事前に必ずアポイントメントを取ること）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまでの自分の文章表現に対する取り組みを振り返っておくこと。
	授業内容	文章表現について、イントロダクション
	事後学習	文章表現について、演習内容を確認しておくこと。
2	事前学習	前回の演習内容を復習しておくこと。これまでの自分の「高齢化社会」についての知識を確認した上で、そのテーマにつき調査しておくこと。
	授業内容	課題提示日（1）：高齢化社会について学習する
	事後学習	演習内容を確認し、自分で「高齢化社会」に関して調査しておくこと。提出課題の準備をしておくこと。
3	事前学習	前回の演習内容で指示があった、文章表現のポイントを復習しておくこと。
	授業内容	課題提出日（1）：高齢化社会について執筆する
	事後学習	提出課題について、執筆内容を元にさらに「高齢化社会」について調査しておくこと。
4	事前学習	前回の演習内容を復習し、「高齢化社会」についてさらに掘り下げた視点を得ておくこと。
	授業内容	相互評価日（1）：高齢化社会について確認する
	事後学習	提出課題について、自分の意見がどれだけ変化したかを確認し、書き直しておくこと。

5	事前学習	前回の演習内容を復習しておくこと。これまでの自分の「国際化と日本社会」についての知識を確認した上で、そのテーマにつき調査しておくこと。
	授業内容	課題提示日（2）：国際化と日本社会について学習する
	事後学習	演習内容を確認し、自分で「国際化と日本社会」に関して調査しておくこと。提出課題の準備をしておくこと。
6	事前学習	前回の演習内容で指示があった、文章表現のポイントを復習しておくこと。
	授業内容	課題提出日（2）：国際化と日本社会について執筆する
	事後学習	提出課題について、執筆内容を元にさらに「国際化と日本社会」について調査しておくこと。
7	事前学習	前回の演習内容を復習し、「国際化と日本社会」についてさらに掘り下げた視点を得ておくこと。
	授業内容	相互評価日（2）：国際化と日本社会について確認する
	事後学習	提出課題について、自分の意見がどれだけ変化したかを確認し、書き直しておくこと。
8	事前学習	前回の演習内容を復習しておくこと。これまでの自分の「少子化問題」についての知識を確認した上で、そのテーマにつき調査しておくこと。
	授業内容	課題提示日（3）：少子化問題について学習する
	事後学習	演習内容を確認し、自分で「少子化問題」に関して調査しておくこと。提出課題の準備をしておくこと。
9	事前学習	前回の演習内容で指示があった、文章表現のポイントを復習しておくこと。
	授業内容	課題提出日（3）：少子化問題について執筆する
	事後学習	提出課題について、執筆内容を元にさらに「少子化問題」について調査しておくこと。
10	事前学習	前回の演習内容を復習し、「少子化問題」についてさらに掘り下げた視点を得ておくこと。
	授業内容	相互評価日（3）：少子化問題について確認する
	事後学習	提出課題について、自分の意見がどれだけ変化したかを確認し、書き直しておくこと。
11	事前学習	前回の演習内容を復習しておくこと。これまでの自分の「災害対策」についての知識を確認した上で、そのテーマにつき調査しておくこと。
	授業内容	課題提示日（4）：災害対策について学習する
	事後学習	演習内容を確認し、自分で「災害対策」に関して調査しておくこと。提出課題の準備をしておくこと。
12	事前学習	前回の演習内容で指示があった、文章表現のポイントを復習しておくこと。
	授業内容	課題提出日（4）：災害対策について執筆する
	事後学習	提出課題について、執筆内容を元にさらに「災害対策」について調査しておくこと。
13	事前学習	前回の演習内容を復習し、「災害対策」についてさらに掘り下げた視点を得ておくこと。
	授業内容	相互評価日（4）：災害対策について確認する
	事後学習	提出課題について、自分の意見がどれだけ変化したかを確認し、書き直しておくこと。
14	事前学習	前回の演習内容を復習しておくこと。これまでの自分の「貧困と生活保護」についての知識を確認した上で、そのテーマにつき調査しておくこと。
	授業内容	課題提示日（5）：貧困と生活保護について学習する
	事後学習	演習内容を確認し、自分で「貧困と生活保護」に関して調査しておくこと。提出課題の準備をしておくこと。
15	事前学習	前回の演習内容で指示があった、文章表現のポイントを復習しておくこと。
	授業内容	課題提出日（5）：貧困と生活保護について執筆する
	事後学習	提出課題について、執筆内容を元にさらに「貧困と生活保護」について調査しておくこと。これまでの演習内容と課題を確認し、再学習しておくこと。

科目名	専門演習D	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、組織内・企業内に存在する各種の報酬のうち、最も大きなウエイトを占めかつ労働者の関心が最も高い賃金を中心に多角的、実務的に研究する。				
授業目的・到達目標	働く者にとっての賃金を持つ意味、これからの職業人生における賃金の位置づけについて考えるのが授業目的である。賃金の思想、賃金の意義・役割、賃金の決定要素、賃金体系、賃金制度、基本給、諸手当、賞与、退職金などの概念と実態、運用方法に関して理解するのが到達目標である。				
履修条件	3年生以上対象。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	教員による講義と受講者のワークショップ、討議などを組み合わせて授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	受講者が多い場合は授業内試験に代えて定期試験を実施する。	
	平 常 評 価		100%	授業内試験の結果を基本に、指定レポートの提出状況、授業内での発言、発表、報告などを総合的に評価する。自発的レポートの提出者には加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	晃洋書房		働きがいの人材マネジメント	谷田部光一
	備考	テキストのほか、各種の賃金統計・資料を参照する。			
参 考 書	授業内で適宜紹介する。				
オフィス アワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修要件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス、企業内報酬システムの構成、報酬の種類
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	外的報酬（金銭的報酬、非金銭的報酬）と内的報酬
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
3	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金と動機づけ
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金統計の種類、検索方法、利用方法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

5	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金が持つ意味、役割
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
6	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金の範囲
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
7	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金形態と賃金体系、賃金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
8	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金の決定要因と調整要因
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
9	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	基本給の決定要素と基本給の種類
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
10	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	諸手当管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
11	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	総額人件費と昇給管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
12	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	成果・業績主義賃金、 賞与・一時金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
13	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	退職金・年金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
14	事前学習	簡単な労働基準法の解説書、とくに賃金部分を事前によく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金と労働基準法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
15	事前学習	これまでの授業内容を総括して、自分なりの賃金に対する考え方を整理する。
	授業内容	まとめ（授業内試験）
	事後学習	実社会での賃金の実態について多様な媒体から情報を収集し、さらに理解を深めるようにする。

科目名	専門演習D	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、組織内・企業内に存在する各種の報酬のうち、最も大きなウエイトを占めかつ労働者の関心が最も高い賃金を中心に多角的、実務的に研究する。				
授業目的・到達目標	働く者にとっての賃金を持つ意味、これからの職業人生における賃金の位置づけについて考えるのが授業目的である。賃金の思想、賃金の意義・役割、賃金の決定要素、賃金体系、賃金制度、基本給、諸手当、賞与、退職金などの概念と実態、運用方法に関して理解するのが到達目標である。				
履修条件	3年生以上対象。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	教員による講義と受講者のワークショップ、討議などを組み合わせて授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	受講者が多い場合は授業内試験に代えて定期試験を実施する。	
	平 常 評 価		100%	授業内試験の結果を基本に、指定レポートの提出状況、授業内での発言、発表、報告などを総合的に評価する。自発的レポートの提出者には加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	晃洋書房		働きがいの人材マネジメント	谷田部光一
	備考	テキストのほか、各種の賃金統計・資料を参照する。			
参 考 書	授業内で適宜紹介する。				
オフィス アワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修要件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス、企業内報酬システムの構成、報酬の種類
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	外的報酬（金銭的報酬、非金銭的報酬）と内的報酬
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
3	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金と動機づけ
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
4	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金統計の種類、検索方法、利用方法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。

5	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金が持つ意味、役割
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
6	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金の範囲
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
7	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金形態と賃金体系、賃金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
8	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金の決定要因と調整要因
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
9	事前学習	事前に教科書とレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	基本給の決定要素と基本給の種類
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
10	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	諸手当管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
11	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	総額人件費と昇給管理
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
12	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	成果・業績主義賃金、 賞与・一時金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
13	事前学習	事前に教科書をとレジュメをよく読み、指定された賃金統計・資料を見て、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	退職金・年金制度
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
14	事前学習	簡単な労働基準法の解説書、とくに賃金部分を事前によく読み、授業内容の概要を理解しておく。
	授業内容	賃金と労働基準法
	事後学習	授業のノートを整理し、教員の提示した課題に関して自分なりの考えをまとめる。
15	事前学習	これまでの授業内容を総括して、自分なりの賃金に対する考え方を整理する。
	授業内容	まとめ（授業内試験を実施する場合有り）
	事後学習	実社会での賃金の実態について多様な媒体から情報を収集し、さらに理解を深めるようにする。

科目名	専門演習D	担当者	山田 正雄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	企業や官公庁のHP等に公開されている各種情報から財務情報を中心に分析・研究することによって当該組織の経営トレンドを把握して組織への実体的理解を深める。				
授業目的・到達目標	各種企業や官公庁の経営トレンドを企業・業種間比較・官公庁間比較など多角的に分析・研究することによって組織の戦略的経営行動に関する評価能力・意思決定能力を獲得する。				
履修条件	特になし。コンピュータ・リテラシーを履修済みであることが望ましいが、受講生のスキルに応じてMicrosoft Excelによるデータ分析やグラフ化、Word等へのでータ転用など基礎から学習する時間を設ける。				
授業方法	PC教室での講義やグループワーク、個々の調査研究成果をもとにプレゼンテーションやレポート作成を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業への参加度（50%）と企業（または官公庁）等に関する分析レポート等（50%）によって行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しない。講義時に適宜資料を配付する。			
参考書	國貞克則 『財務3表図解分析法』 朝日新書 2016、その他は講義時に適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則的には火曜日・13時まで、または16時20分以降・学内某所としますが、ご希望によって日時・場所等を相談しましょう。 必ず事前に電子メールでアポイントメントを取って下さい。 → → → 【yamada.masao@nihon-u.ac.jp】 授業や就職活動、進学等キャンパスライフ全般についてご相談に応じます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・メディア教育センターに設置されているPCの利用方法に慣れておく。
	授業内容	・授業ガイダンス ・法学部情報システム（COLNet）の利用方法・講義計画・課題の入手と提出方法・成績評価等について
	事後学習	・インターネット上に公開された企業や官公庁の経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に関する情報や業界・企業研究サイト等を閲覧・検討しておくこと。
2	事前学習	・資料（企業とは何か）を熟読し、A4一枚にまとめ、指定フォルダへ提出する。
	授業内容	・組織（企業・官公庁）とは・・・（目的・戦略・経営行動・情報開示） ・利害関係者と情報要求、Accountability、CSR
	事後学習	・企業や官公庁等の各組織の利害関係者を挙げて情報ニーズを考察しWordにまとめる。 ・資料（Excel入門1）を熟読しておく。
3	事前学習	・企業や官公庁のHP等に公開されている各種情報から財務情報を中心にデータをダウンロードしておく。
	授業内容	・HP上の企業（官公庁）情報の収集1（財務情報の収集・評価）
	事後学習	・収集したデータをMicrosoft ExcelやWordに整理しておく。
4	事前学習	・調査対象の企業や官公庁について調査範囲を広げる。
	授業内容	・HP上の企業（官公庁）情報の収集2（財務情報の収集・評価）
	事後学習	・収集したデータをMicrosoft ExcelやWordに整理しておく。

5	事前学習	・調査対象の企業や官公庁について調査範囲をさらに広げる。
	授業内容	・HP上の企業（官公庁）情報の収集3（その他情報の収集・評価）
	事後学習	・収集したデータをMicrosoft ExcelやWordに整理しておく。
6	事前学習	・資料（Excel入門2）を熟読しておく。
	授業内容	・Microsoft Excelによるデータ分析1（合計・平均の計算、各種グラフ作成）
	事後学習	・Excelデータの集計を指定課題で復習する。
7	事前学習	・Excelデータの集計結果をWordにまとめる。
	授業内容	・Microsoft Excelによるデータ分析2（ピボットテーブルによるクロス集計と分析）
	事後学習	・ExcelデータをMicrosoft Wordに転用する技法を課題で予習する。
8	事前学習	・調査・研究結果をMicrosoft Wordにまとめる。
	授業内容	・企業「」（官公庁）研究の成果の中間発表1
	事後学習	・発表内容を評価表に整理記入しておく。
9	事前学習	・調査・研究結果をMicrosoft Wordにまとめる。
	授業内容	・企業（官公庁）研究の成果の中間発表2
	事後学習	・発表内容を評価表に整理記入しておく。
10	事前学習	・資料（利益の算出過程）を一読して損益計算書の構造を理解しておく。
	授業内容	・企業（官公庁）情報の分析（時系列的財務分析と企業評価）
	事後学習	・各種財務データを時系列的にExcelにセイルしておく。
11	事前学習	・有価証券報告書の概要や各種白書の概要についてサンプルを一読しておく。
	授業内容	・企業（官公庁）情報の分析（戦略的経営行動と企業評価）
	事後学習	・Excelデータの集計を課題で復習し、指定フォルダへ提出する。
12	事前学習	・資料（PowerPoint入門講座）を一読してプレゼン資料作成の基本を学習しておく。
	授業内容	・PowerPointによるプレゼンテーション方法について実習
	事後学習	・プレゼンテーション資料の作成と発表準備
13	事前学習	・プレゼンテーションの準備
	授業内容	・企業（官公庁）研究の成果発表1
	事後学習	・プレゼンテーション内容を評価集計表にまとめておく。
14	事前学習	・プレゼンテーションの準備
	授業内容	・企業（官公庁）研究の成果発表3
	事後学習	・プレゼンテーション内容を評価集計表にまとめておく。
15	事前学習	・プレゼンテーション評価集計表を各自集計しておく。
	授業内容	・プレゼンテーションの講評と経営トレンド分析の概要について講評
	事後学習	・各自のプレゼンテーション資料をまとめて指定フォルダへ提出する。

科目名	専門演習E	担当者	岩井 義和	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	今日、先進諸国においては、国民の欲求や価値観が急速に多様化し、政策立案や実施段階での政府と国民との双方向性コミュニケーションや国民相互のコミュニケーションの促進が、政策の有効性を確保するために重要になってきている。そうした中、時代が直面する課題を適切に認識し、それに対する対応策を構築、評価するとともに、それを国民に伝達し、合意を形成することのできる高度の能力が組織には求められている。本講義では、個別の政策形成活動や日常的な業務運営の中での情報提供、収集活動を対象とし、日本におけるPublic Relations（広報・広聴）活動の実態の分析・整理を行っていく。				
授業目的・到達目標	現在Public Relations（広報・広聴）は、様々な課題を解決し、ニーズの充足を実現していく上で欠くことのできないものとなっている。それは、従来型の「聴く」「知らせる」活動ではなく、コミュニケーション（双方向・相互作用）への変革の要請を含む。そこで本講義では、市民・組織の2WAY 関係を築き、社会が今、何を求めているかを把握し、それを実行していくこと、すなわち組織の中枢管理的決定へ連動する広報・広聴活動を理論と実践をふまえて官民の活動を検討していく。そして市民との関係を調整する、広報・広聴機能を検討することで、組織におけるマネジメントとしてのPublic Relationsを理解できるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義ノート・教科書・資料に沿って講義するので、受講に当たっては必ずノートを持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	学期末試験は行わない。	
	平常評価		100%	授業態度・授業内の発表などを総合評価する。また、簡単な授業内レポートで、授業のポイントを理解しているかを判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	講義時に随時、紹介する				
オフィスアワー	水曜日、3時限目（13：30～14：30） 尚、来訪時間の調整のため、必ず事前にメールでアポイントを取るようになしてください。 iwai.yoshikazu@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	広報・広聴・Public Relationsという言葉に対する印象を一人一人考えておくこと。
	授業内容	ガイダンス（講義計画、成績評価等の説明）
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
2	事前学習	自治体の広報紙・ホームページを見ておくこと。
	授業内容	広報の概念
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
3	事前学習	民間企業の広報活動を調べておくこと。
	授業内容	広報の理論的考察①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
4	事前学習	行政の広報と民間の広報を比較検討しておくこと。
	授業内容	広報の理論的考察②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。

5	事前学習	市町村と都道府県の広報の違いを見ておくこと。
	授業内容	行政広報と自治体
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
6	事前学習	一般的な行政学の教科書を読み、住民参加について理解しておくこと。
	授業内容	住民参加と広報①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
7	事前学習	一般的な行政学の教科書を読み、住民参加手法について理解しておくこと。
	授業内容	住民参加と広報②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
8	事前学習	メディアの種類について調べ、その特徴などを理解しておくこと。
	授業内容	メディア・リレーションズ
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
9	事前学習	組織における情報発信の意義について調べておくこと。
	授業内容	メディアとパブリシティ
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
10	事前学習	いままでの講義内容を踏まえ、関心ある広報メディアを調べておくこと。
	授業内容	広報メディアの構造①
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
11	事前学習	発表に向けての準備。
	授業内容	広報メディアの構造②
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
12	事前学習	発表に向けての準備。
	授業内容	広報メディアの構造③
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
13	事前学習	発表に向けての準備。
	授業内容	広報メディアの構造④
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
14	事前学習	発表に向けての準備。
	授業内容	広報メディアの構造⑤
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。
15	事前学習	発表に向けての準備。
	授業内容	発表
	事後学習	自分で書いた講義内容のノートと事前学習を照らし合わせて、理解を深めること。

科目名	専門演習E	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	公共政策決定・実施の判断基準である「公共政策規範」について学習する。（ポイント）は次のとおり。 ①各種の政策課題は、何をもって公共課題として認知されるのか、また、何故、公共的な解決が必要とされるのか ②解決が求められる様々な課題の優先順位はどうつけるべきか、施策遂行のための資源配分はどうあるべきか ③これらの課題解決のために公共的な介入が何故必要とされるのか、「良い」政策とは何をもって評価されるのか					
授業目的・到達目標	過去の様々な文献・理論の学習や、具体的事例に基づいた議論を通して、公共政策規範の考え方を身につけるとともに、政策判断の基準・方法論を具体的ケースに即して適用できるようにする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	学期前半は講義形式。後半は、グループ単位での特定テーマに関する発表とディスカッションを行う。学期の終わりには参加者が選択したテーマに基づき、個人研究の成果を発表する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		議論への積極的参加状況、グループ発表及び個人発表を評価対象とする。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特に指定しない				
参考書	BASIC公共政策学 2 公共政策規範 佐野亘著ミネルヴァ書房2010、公共哲学とはなんだろう 増補版：民主主義と市場の新しい見方 桂木隆夫著勁草書房2016、これかの「正義」の話をしよう マイケル・サンデル著早川書房2011					
オフィスアワー	金曜日3限。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要、目的等を理解しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	講義で紹介された文献・資料等の収集。
2	事前学習	事前配布されるレジュメを予め読み込み、授業内で積極的に発言できるようにしておくこと。
	授業内容	公共政策規範とはなにか
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
3	事前学習	参考文献欄に掲げたサンデルの著書など前回講義で指定された文献の該当部分を読み込み、授業内で積極的に発言できるようにしておくこと
	授業内容	正義論の系譜①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	前回に引き続き、サンデルの著書など指定された文献のうち、特にカント、アリストテレスに言及した部分を読み込み、授業内で積極的に発言できるようにしておくこと
	授業内容	正義論の系譜②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

5	事前学習	レジュメの読み込みの他、ジョン・ロックやミルの思想などについて出来る限り、その内容を把握しておくこと。
	授業内容	自由主義①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	リバタリアンの思想傾向について調べ、その特徴・問題点などを把握しておくこと
	授業内容	自由主義②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	ベンサム思想等について可能な範囲で調べ、その内容を把握しておくこと。
	授業内容	功利主義①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	功利主義の発想が現代社会科学等に与えた影響等について調べ、考えをまとめておくこと。
	授業内容	功利主義②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	功利主義のメリットと限界について、前回講義の内容を良く復習し、ロールズの思想が登場するバックグラウンドを理解しておくこと。
	授業内容	ロールズの正義原理①
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	いわゆる「正義の二原理」について、具体的事例をもって自分の言葉で説明できるよう準備しておくこと。
	授業内容	ロールズの正義原理②
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	各グループ内での発表に向けた討議・準備
	授業内容	ケーススタディ①（ディベートとグループ発表）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
12	事前学習	各グループ内での発表に向けた討議・準備
	授業内容	ケーススタディ②（ディベートとグループ発表）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
13	事前学習	各グループ内での発表に向けた討議・準備
	授業内容	ケーススタディ③（ディベートとグループ発表）
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
14	事前学習	発表に向けた準備。発表者以外は議論に積極的に参加できるように、過去のレジュメ・教材を見直して論点を整理しておくこと
	授業内容	個人発表①
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。
15	事前学習	発表に向けた準備。発表者以外は議論に積極的に参加できるように、過去のレジュメ・教材を見直して論点を整理しておくこと
	授業内容	個人発表②
	事後学習	発表で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	専門演習F	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	グループディスカッションやプレゼンテーションを行ないつつ、現代社会における諸問題についての理解を深め、同時にその解決のための政策オプションを検討します。				
授業目的・到達目標	現代の諸政策の特質や課題について自分の言葉で説明できるようになるとともに、グループディスカッションやプレゼンテーションスキルの習得、向上を目指します。				
履修条件	授業はグループディスカッションを中心に進めるため、授業に積極的に参加することが必要です。 ※履修制限をかける場合があるので、初回授業には必ず出席すること。				
授業方法	グループディスカッション及びプレゼンテーションを行ないます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	政策課題に対する理解度、及びグループディスカッションのスキル等を評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	授業中に適宜紹介します。				
オフィスアワー	金曜日 12:15～12:55 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修を希望する場合には、初回ガイダンスに必ず出席すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件等を確認すること
2	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	グループディスカッション及びプレゼンテーションに関する方法論
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
3	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（1）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
4	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（2）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること

5	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（Ⅰ）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
6	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（3）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
7	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（4）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
8	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（Ⅱ）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
9	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（5）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
10	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（6）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
11	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（Ⅲ）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
12	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（7）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
13	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション（8）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
14	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション（Ⅳ）
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること
15	事前学習	参考資料を収集し、事前に政策課題について調べておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業で扱った政策の諸問題について整理し、復習すること

科目名	専門研究B	担当者	木川 裕	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	企業活動とは経営戦略の実行であり当然これを実行した結果が決算書に表れてくる。つまりより良く企業を知るためには企業が目指す経営戦略を念頭に置いて決算書を読み解く必要がある。つまり経営分析を行うためにも経営戦略の評価が必要であり、経営分析は正しい戦略的意思決定を行うプロセスであるといえる。本講義では戦略的意思決定を行うための経営分析の知識を身に付け、実際に財務諸表を読み解くケーススタディを実施する。			
授業目的・到達目標	【授業目的】企業経営を評価するための前提として経営戦略を念頭に置いた経営分析を理解し、正しい意思決定ができる人材を育成する。 【到達目標】1. 財務3表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）を読み解くことができる。2. 会計数値や会計指標について理解している。3. 各指標を用いて経営分析を行い、適切な意思決定を提案することができる。			
履修条件	会計知識があることが望ましいが、基礎から説明するので初学者でも可。ただし、事前学習として十分にテキスト対応ページを読み込んでくる必要がある。			
授業方法	テキストとパワーポイントを使用して授業を行い、授業内で小テストを数回実施する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	2/3以上出席した者が評価対象となる。 授業に対する姿勢・提出物等で総合的に評価（60%） 授業時に小テストを実施（40%）ノートは持ち込み可
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年5月9日	ダイヤモンド社	戦略思考で読み解く経営分析入門	大津広一
	備考			
参考書	授業内で適宜指示する。			
オフィスアワー	火曜日12：15～12：55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	財務3表について調べる
	授業内容	講義計画、成績評価方法
	事後学習	テキストのまえがきと目次を読む
2	事前学習	テキストの対応ページを読んでくる
	授業内容	戦略思考と経営分析（財務3表の読み方）
	事後学習	授業の復習
3	事前学習	テキストの対応ページを読んでくる
	授業内容	売上高総利益率
	事後学習	授業の復習
4	事前学習	テキストの対応ページを読んでくる
	授業内容	売上高販管費率
	事後学習	授業の復習

5	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	損益分岐点比率
	事後学習	授業の復習
6	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	EBITDAマージン
	事後学習	授業の復習
7	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	総資産回転率
	事後学習	授業の復習
8	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	キャッシュ・コンバージョン・サイクル
	事後学習	授業の復習
9	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	棚卸資産回転期間
	事後学習	授業の復習
10	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	有形固定資産回転率
	事後学習	授業の復習
11	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	固定長期適合率
	事後学習	授業の復習
12	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	DEレシオ
	事後学習	授業の復習
13	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	インタレスト・カバレッジ・レシオ
	事後学習	授業の復習
14	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	フリー・キャッシュフロー成長率
	事後学習	授業の復習
15	事前学習	テキストの対応ページを読んてくる
	授業内容	会計指標の選択手法
	事後学習	授業内容の総点検

科目名	ソーシャル・キャピタル論	担当者	稲葉 陽二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	社会の絆であるソーシャル・キャピタル（社会関係資本）は社会経済活動の要である。特に、市場メカニズムが十分に機能しない健康、福祉、生活の安全、防災などの分野で重要な意味を持つ。政策的にも健康日本21にとりあげられて以来公衆衛生・福祉の分野では広くその重要性が認識され、公的な資格試験にも出題されている。本講座ではこのソーシャル・キャピタルの内容とその影響、およびそれに影響を与える要因を分析する。			
授業目的・到達目標	社会の絆であるソーシャル・キャピタル（社会関係資本）は社会経済活動のかなめであるが、従来は十分に分析されていなかった。とくに、市場メカニズムが必ずしも十分に機能しない健康、福祉、生活の安全などの分野ではソーシャル・キャピタルが重要な意味を持つ。本講座ではこのソーシャル・キャピタルの内容とその影響、およびソーシャル・キャピタルに影響を与える要因などを分析する。ソーシャル・キャピタルへの理解を深め、それを日常生活のなかでいかに実践し生かすかについて自分なりの考えを持つこと。			
履修条件	なし			
授業方法	講義			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内試験（持ち込み、参照可）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	中央公論新社	『ソーシャル・キャピタル入門』	稲葉陽二
	備考			
参考書	埴淵知哉『社会関係資本の地域分析』ナカニシヤ出版 稲葉陽二『ソーシャル・キャピタルの世界』ミネルヴァ書房			
オフィスアワー	毎週木曜日 1 2 時から 1 3 時 事前にメールにてアポイントメントをとってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおいてください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルとは何か：過去の展開と定義
	事後学習	教科書「はじめに」＋第1章を読んでおいてください。
2	事前学習	教科書「第2章」を読んでおいてください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルの定義－ネットワーク、規範、信頼をめぐる議論（1）
	事後学習	授業で使用したPPT（学生教員共有ドライブにアップしてあります）で復習してください。

3	事前学習	もし可能でしたら参考文献 稲葉陽二『ソーシャル・キャピタルの世界』第2章を確認してください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルの定義—ネットワーク、規範、信頼をめぐる議論（2）エリノア・オストロムの議論
	事後学習	PPT資料を復習してください。
4	事前学習	教科書「第3章」を読んでおいてください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルは何の役にたつのか
	事後学習	PPT資料を復習してください。
5	事前学習	教科書「第4章」を読んでおいてください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルは何によって醸成されるのか。どう測るのか（1）
	事後学習	PPT資料を復習してください。
6	事前学習	もし可能でしたら参考文献 埴淵知哉『社会関係資本の地域分析』第2章を確認してください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルは何によって醸成されるのか。どう測るのか（2） 「曖昧さへどう対処するのか」「どう数量化するのか」
	事後学習	PPT資料を復習してください。
7	事前学習	教科書「第5章」を読んでおいてください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルは何に影響を与えるのか（1）健康と福祉の向上
	事後学習	PPT資料を復習してください。
8	事前学習	教科書「第6章」を読んでおいてください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルと社会的孤立
	事後学習	PPT資料を復習してください。
9	事前学習	PPT資料を復習してください。
	授業内容	演習：信頼性とネットワーク調査
	事後学習	PPT資料を復習してください。
10	事前学習	PPT資料を復習してください。
	授業内容	演習：上記調査の評価
	事後学習	PPT資料を復習してください。
11	事前学習	PPT資料を復習してください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルの多面性：経済学との関連
	事後学習	PPT資料を復習してください。
12	事前学習	PPT資料を復習してください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルの多面性：社会疫学との関連
	事後学習	PPT資料を復習してください。
13	事前学習	PPT資料を復習してください。
	授業内容	ソーシャル・キャピタルの多面性：情報化の影響
	事後学習	PPT資料を復習してください。
14	事前学習	PPT資料を復習してください。
	授業内容	少子高齢化・情報化時代におけるソーシャル・キャピタルの政策的含意：政策にどう反映されるのか
	事後学習	PPT資料を復習してください。

15	事前学習	1回から14回までのPPT資料を確認しておいてください。
	授業内容	授業内試験 持込、参照可 採点基準 ①基本概念を理解しているか、②基本概念を用いて論理的な論考がなされているか、③自分の意見が体験に基づき記述されているか
	事後学習	PPT資料を復習してください。

科目名	地域開発論	担当者	小倉 眞	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	地域間格差形成のメカニズムについて整理した後に、地域間格差の是正、経済政策の一環として公共ファクターが主導する地域開発について整理する。具体的には地域開発政策の端緒となったアメリカのニューディールによるTVA開発の内容（点から面へ）分析し、日本の地域開発政策としての国土開発政策の歴史的展開過程と地域問題について整理する。					
授業目的・到達目標	経済活動は地域に均等に展開するわけではなく、集中・分散を通じて不均等に現象する。地域開発はこれら経済活動の結果としての地域間不均等や地域問題とのかかわりで政策的に実施されてきた。本年度は日本の地域開発政策等を整理し、経済開発政策と不均等発展についての理論的位置づけを行う。また、地域間格差と地域活性化策の展開との関係について整理する。地域変動についての最新理論を理解し、日本の地域開発についての展開状況を客観的に把握できるようにする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	テキストは使用せず、プリント等によって授業を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	授業内容を客観的に理解しているか、また論理思考がなされているかについて検証・評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート、発表・小テストなどにより評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	授業中に指示する。					
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスで授業内容を確認する。
	授業内容	講義の概要と学修のポイントについての説明
	事後学習	ノートの内容を整理する。
2	事前学習	地域間格差形成の要因などについて考えてみる。
	授業内容	地域間不均等発展論の理論的整理 (1)
	事後学習	労働力・所得の偏在と産業構造の変動について整理する。

3	事前学習	中央と地方の格差形成要因について考察する。
	授業内容	地域間不均等発展論の理論的整理（2）
	事後学習	資本主義社会における資金の移動と地域との関係について整理する。 （授業後レポート提出）
4	事前学習	日本の近代化期における産業構造の変化状況について考察してみる。
	授業内容	日本の近代化期における産業変動と地域経済（1）人・モノ・金の移動
	事後学習	商業活動における日本海側の果たした役割と変容過程について整理する。
5	事前学習	半島の地域経済的变化について考察する。
	授業内容	日本の近代化期における産業変動と地域経済（2）鉄道施設など公共資本の投下と地域変容
	事後学習	裏日本化と日本海側の地域変容について整理する。（次回小テストの準備をする）
6	事前学習	地域経済圏と国土開発政策について考える。
	授業内容	国土利用論と地域開発政策
	事後学習	国土開発と地域開発の関係について整理する。
7	事前学習	1920年代のアメリカ経済について考察する
	授業内容	国民経済と地域開発（ニューディール政策）（1）：第一次世界大戦後の経済好況と国民消費
	事後学習	自動車・建設・道路等公共投資などの経済状況について整理する。
8	事前学習	経済破綻がなぜ起きたかについて考察する。
	授業内容	国民経済と地域開発（ニューディール政策）（2）：投機経済化による経済破綻と経済改革
	事後学習	金融・産業政策の展開について整理する。
9	事前学習	テネシー川の地域的性格について整理する。
	授業内容	国民経済と地域開発（ニューディール政策）（3）：TVA施策の目的と内容、問題点
	事後学習	TVAの具体的な開発政策の展開状況について整理する。
10	事前学習	戦後日本における傾斜生産方式など経済・産業政策について整理する。
	授業内容	日本の国土開発政策と地域開発（1） 全国総合開発計画と地域経済
	事後学習	新産業都市指定と地域開発との関係について整理する。
11	事前学習	地域経済状況の変化、特に1970年代初期と1970年代後期の経済状況について考察する。
	授業内容	日本の国土開発政策と地域開発（2）新・第三次全国総合開発計画と大規模プロジェクト構想、定住圏構想
	事後学習	産業の高度化と地域経済力の低下状況の下で提案された地域定住圏やテクノポリス地域指定についての内容と問題点について整理する。
12	事前学習	都市圏以外の地域における人口減少、産業の空洞化過程について、資料などの利用により調べる。
	授業内容	日本の国土開発政策と地域開発（3）第四次・第五次全国総合開発計画と交通ネットワーク、多軸型国土形成
	事後学習	地方の衰退と地域化開発政策の展開について検証してみる。
13	事前学習	豊後高田市の人口規模、産業構造などについて事前に調べる。
	授業内容	地域活性化と町・村おこし（1） 大分県豊後高田市の例
	事後学習	人口減・資金不足のため残された古い街並みを利用して行われた町おこしの内容・地域住民などについて整理する。
14	事前学習	熊野市紀和町の位置と千枚田の分布について確認する。
	授業内容	地域間格差と地域活性化策（3） 三重県熊野市紀和町の例
	事後学習	生産性・労働力不足により放棄された千枚田の再建と村おこし・地域政策について整理する。

15	事前学習	地域開発と国・地方との関係について考える。
	授業内容	まとめ：地域開発と地域経済との関係
	事後学習	マクロ経済と地域経済政策について整理する。

科目名	地域コミュニケーションA	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	昨今、日本メディアは韓国や北朝鮮に関する膨大な情報を提供している。だが、このことは、韓国や北朝鮮を見つめるまなざしの重層性や知識の広がり、思考の奥行きを深さを、かならずしも担保していない。本授業は、韓国や北朝鮮報道に関するメディア批評の力を養うために、韓国や北朝鮮が、どのような「国」であり、そこには、いかなる営みが存在し、変容し続けているのかについて、地域研究や国際政治学、メディア研究の視点から学ぶものである。				
授業目的・到達目標	本授業は、韓国や北朝鮮の歴史や文化、政治や経済などについて包括的に学び、メディア報道を吟味するための力＝リテラシーの確保を目的とする。到達目標は、次の三点である。 1. 韓国・北朝鮮に関する知識の習得 2. 当該社会に内在する論理の把握 3 日韓・日朝関係を考えるための思考基盤の獲得				
履修条件	中国やアメリカなど、外国メディアに関する授業もあわせて受講することが望ましい。 韓国や北朝鮮、そして東アジアやアメリカについて考えるための知的体力を身につけたい学生を、特に歓迎する。				
授業方法	受講者の人数にもよるが、発表形式、ディスカッション形式などを取り入れることで、可能な限り学生との対話を重視したインタラクティブな授業を試みたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	小レポートなど提出課題と試験による評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	随時、授業内で紹介する。				
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
2	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	日韓関係の現在
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること

3	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	近代日本と植民地朝鮮
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
4	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	大韓民国成立までの道程
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
5	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	朝鮮民主主義人民共和国成立までの道程
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
6	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	南北分断体制と東アジア国際関係
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
7	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	朝鮮戦争(1)
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
8	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	朝鮮戦争(2)
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
9	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	北朝鮮の政治体制
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
10	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	韓国の政治体制
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
11	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	韓国の経済発展と朴正熙政権
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
12	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	韓国社会の構造変動
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
13	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	日朝関係の過去と現在
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること
14	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	歴史認識問題と日韓関係
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること

15	事前学習	朝鮮半島に関するニュースに触れておくこと
	授業内容	おわりに
	事後学習	紹介した文献に目を通し、メディア報道について、自らの視点で分析すること

科目名	地域コミュニケーションB	担当者	山本 賢二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	国際関係を語る際、中国はすでに不可欠の存在になっている。その中国を理解するために、日本を含む西側の信奉するフリープレスの理念とは全く異なる「党がメディアを管理する」という言葉に象徴されるプレス理念によって統制されている中華人民共和国のジャーナリズム・メディア環境を国際的視座から検証する。				
授業目的・到達目標	中華人民共和国のジャーナリズム・メディアが国際的に見ていかなる位置づけがされるのかを理解することを通じて、ジャーナリズム・メディアの中国モデルを考えるうえでの基本知識を得る。				
履修条件	特に履修条件はないが、「外国ジャーナリズム史A」を履修すれば本講義内容の理解が深まるであろう。				
授業方法	授業担当者の論文、授業内容に関係したビデオ、映画などを活用し、講義するとともに、可能な限り履修者に発言の機会を与え、ジャーナリズムの本質について議論したい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	ジャーナリズムの中国モデルを問う問題に答える。	
	平常評価		50%	授業担当者の論文、ビデオ、映画などに関連した小レポートと授業参与度について評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年度	教員学生共有サイト掲載	2018 地域コミュニケーションB（山本）教材		山本賢二
	備考	授業に臨むにあたって、上記教材をプリントアウトし、持参するか、情報端末で見られるようにしておくこと。			
参考書	授業内容に関係するものについては、授業中に指示する。また、教材p.228-に掲載している「中国のジャーナリズム・メディアを理解するための基礎知識」は熟読しておくこと。				
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	米国の憲法修正一条を確認しておく。
	授業内容	ジャーナリズムとは－米国のベトナム戦争報道－NHKの関係ドキュメンタリーを視聴し、当時の米国のジャーナリズムについて考える。
	事後学習	視聴後の感想を提出する。
2	事前学習	2018 地域コミュニケーションB（山本）教材（以下「教材」）p.2-40を読む。
	授業内容	日中相互理解とメディアリテラシー－日本と中国のメディアの特質を明らかにし、われわれが備えるべきメディアリテラシーについて考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。

3	事前学習	「教材」 p. 41-44を読む。
	授業内容	中国の改革開放とインターネット －改革開放期におけるインターネットの発展を概観し、中国における新旧メディアについて考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
4	事前学習	「教材」 p. 45-55を読む。
	授業内容	中国の社会管理とウェイボー（微博） －社会管理の一環としての中国におけるSNSの管理について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
5	事前学習	「教材」 p. 56-76を読む。
	授業内容	中国(党内)の改革派の声 －ジャーナリズムをめぐる「党性」と「人民性」の論争について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
6	事前学習	NHKに關係する知識を得ておくこと。
	授業内容	NHK「激流中国」を視聴し、同ドキュメンタリーの伝える中国のメディア環境を考える。
	事後学習	視聴後の感想を提出する
7	事前学習	「教材」 p. 77-86を読む。
	授業内容	中国の憲政主義とジャーナリズム －中国の憲政主義者のジャーナリズム観を概観し、憲法と言論の自由について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
8	事前学習	「教材」 p. 87-108を読む。
	授業内容	中国の情報管理と国家秘密保護 －国家秘密保護法などを中心に、中国の情報管理について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
9	事前学習	「教材」 p. 109-136を読む。
	授業内容	中国におけるスローガンの機能 －中国共産党のスローガン利用を概観し、宣伝に果たすスローガンの機能について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
10	事前学習	「教材」 p. 137-148を読む。
	授業内容	中国の出版の自由と『炎黄春秋』月刊 －『炎黄春秋』の運営主体の変化から、中国における出版の自由について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
11	事前学習	「教材」 p. 149-172を読む。
	授業内容	習近平時代の中国の言論空間 －習近平体制において、狭まりつつある「言論空間」について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
12	事前学習	「教材」 p. 173-207を読む。
	授業内容	中国における公民の権利としての「四権」 －「知る権利、参与する権利、表現する権利、監督する権利」の消長から、中国における公民の権利について考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
13	事前学習	「教材」 p. 208-227を読む。
	授業内容	一言堂－中国共産党一党独裁と「08憲章」をめぐる －欧米と中国の「言論の自由」について、「08憲章」を基にして考える。
	事後学習	「教材」内容と講義内容を比較整理し、ノートにまとめる。疑問点など、質問事項があれば次回授業時に提起する。
14	事前学習	書籍の『1984年』（文庫）0を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	オーウェル『1984年』（映画ビデオ）を視聴し、情報管理社会について考える。
	事後学習	視聴後の感想を提出する。

15	事前学習	これまでの講義内容を考え、自分の意見をまとめておく。
	授業内容	中国のジャーナリズム・メディアモデルについて議論する。
	事後学習	議論内容を踏まえ、修正するところは修正して、自分の意見をまとめる。

科目名	地域コミュニケーション演習Ⅰ	担当者	仲川 秀樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	地域社会の問題を講義と実践的な事例をもとに授業を進めます。地域活性化のためのポピュラーな試みを中心に、学生のみなさんの意見をふまえた授業となります				
授業目的・到達目標	地方の時代、地方創生、地域活性化について、メディア文化の視点から考え、人が集まる方策を示すことを目的とする地域活性化に必要な具体的方法論を提示し、人が集まる空間の構築を可能にするメディア環境を提示したい				
履修条件	とくにありませんが、流行やファッション、トレンドに関心をもつ学生が望ましい				
授業方法	地域社会とコミュニケーションなどの概念を理解。つぎに、地域社会の再生とメディア環境の充実（アイドルやキャラクター効果）について考える。講義と学生からのリプライを含め、バランスあるスタイルで進めていく				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	中間試験において、講義内容の基礎概念の理解を確認	
	平常評価		40%	授業時の小レポートなど	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2006	学文社	もう一つの地域社会論		仲川秀樹
	備考				
参考書	必要に応じて指示します				
オフィスアワー	開講時に指示します				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	地方都市を考える
	授業内容	「地域コミュニケーション演習Ⅰ」の進め方
	事後学習	注目する地域を見つける
2	事前学習	地方の何が問題なのか
	授業内容	地方の時代、地方創生、地域活性化の視点
	事後学習	注目する地域を考える
3	事前学習	地方に人が集まらない理由
	授業内容	基礎理論① 「人が集まる空間を考える」（人びとの関心度を再考する）
	事後学習	地方に人が集まる方策を考える
4	事前学習	メディア文化とは何か
	授業内容	基礎理論② 「メディア文化の視点」（メディア文化の理論を考える）
	事後学習	メディア文化の視点を確認する

5	事前学習	地域社会の概念を考える
	授業内容	基礎理論③ 「地域社会の視点」（地域社会の基礎理論を考える）
	事後学習	地域社会の概念を理解する
6	事前学習	メディア環境とは何かを考える
	授業内容	基礎理論④ 「地域社会とメディア環境」（地域社会におけるメディア環境の重要性を考える）
	事後学習	メディア環境の具体例を知る
7	事前学習	地域社会の基礎理論を総括
	授業内容	前半授業理解の確認
	事後学習	地域社会を実証的にみるための方策を確認
8	事前学習	メディア文化の街とは、どのような街なのかを考える
	授業内容	実証的視点① 「地域社会のフィールドワークから」（メディア文化の街）
	事後学習	具体的に示されたメディア文化の街を調べる
9	事前学習	地域アイドルとは何をしているのか関心をもつ
	授業内容	実証的視点② 「地域社会のフィールドワークから」（アイドルによるまちおこし）
	事後学習	地域アイドルの活動を知る
10	事前学習	キャラクター誕生を考える
	授業内容	実証的視点③ 「地域社会のフィールドワークから」（キャラクター効果）
	事後学習	キャラクター効果を知る
11	事前学習	フィールドワークの結果をまとめる
	授業内容	実証的視点④ 「フィールドワークのリポート」（学生からのリプライ）
	事後学習	フィールドワークの結果を応用する
12	事前学習	フィールドワークの結果をまとめる
	授業内容	実証的視点⑤ 「フィールドワークのリポート」（学生からのリプライ）
	事後学習	フィールドワークを応用する
13	事前学習	地域活性化のために必要な視点を考える
	授業内容	総括① 「メディア環境とポピュラーな視点」
	事後学習	メディア環境の重要性を再考する
14	事前学習	地域社会活性化のために必要な具体例を考える
	授業内容	総括② 「地域社会の活性化はメディア環境の充足」
	事後学習	メディア環境を実践する方法を理解する
15	事前学習	これまでの内容を整理する
	授業内容	「地域コミュニケーション演習Ⅰ」のまとめ
	事後学習	これまでの内容をレポートにする

科目名	地域コミュニケーション演習Ⅲ	担当者	村瀬 眞文	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期の演習Ⅱに引き続き、大学での学習・研究の総決算として「リサーチ・ペーパー」の作成に向けた授業を演習形式で行う。 演習の主たるテーマ領域は、ヨーロッパ地域、日本、およびアメリカのメディア、メディアやコミュニケーションに関わる制度・政策の比較研究とする。			
授業目的・到達目標	メディアやコミュニケーションに関する現状・制度・政策に関する内外の知識を深め、それに基づく判断や考えを説明する力を養うことを目的とする。成果をまとめ、表現する力を「リサーチ・ペーパー」の形で具体化表できるようになる。			
履修条件	演習テーマに関わる科目を多く履修していることが望ましい			
授業方法	演習テーマ領域に関連する概括的講義、履修生の問題意識の説明、具体的テーマの設定、文献・資料の収集法の指導、意見交換。演習Ⅲでは、「リサーチ・ペーパー」の最終版の作成・報告を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験			
	平 常 評 価		100%	リサーチ・ペーパーの内容
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参 考 書	随時、紹介する。			
オフィスアワー	授業時間終了後。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、研究テーマを考える 全期間を通じて、事前学習と事後学習は必須である
	授業内容	後期演習の進め方
	事後学習	研究テーマを考える
2	事前学習	研究テーマについて考えをまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」に関する意見交換
	事後学習	「リサーチ・ペーパー」で取り上げたい研究テーマについて考えを深める
3	事前学習	研究テーマについて考えをまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」に関する意見交換
	事後学習	意見交換を受けて考えを深める
4	事前学習	講義に関連して紹介される資料を調べる
	授業内容	演習テーマに関連する補足的な講義
	事後学習	講義を参考に「リサーチ・ペーパー」に対する考えを深める

5	事前学習	講義に関連して紹介される資料を調べる
	授業内容	演習テーマに関連する補足的な講義
	事後学習	講義を参考に「リサーチ・ペーパー」に対する考えを深める
6	事前学習	講義に関連して紹介される資料を調べる
	授業内容	演習テーマに関連する補足的な講義
	事後学習	講義を参考に「リサーチ・ペーパー」に対する考えを深める
7	事前学習	講義に関連して示される資料を調べる
	授業内容	演習テーマに関連する補足的な講義
	事後学習	講義を参考に研究テーマ・内容に対する考えを深める
8	事前学習	講義に関連して紹介される資料を調べる
	授業内容	演習テーマに関連する補足的な講義
	事後学習	これまでの意見交換や講義を参考に「リサーチ・ペーパー」の内容・作成計画を考える
9	事前学習	「リサーチ・ペーパー」の内容・作成計画をまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」の内容・作成計画に関する意見交換
	事後学習	意見交換を参考に「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画を考える
10	事前学習	「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画をまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画に関する意見交換
	事後学習	意見交換を参考に「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画を考える
11	事前学習	「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画をまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画に関する意見交換
	事後学習	意見交換を参考に「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画を考える
12	事前学習	「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画をまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」最終版の内容・作成計画に関する意見交換
	事後学習	意見交換を参考に「リサーチ・ペーパー」最終版の具体的内容を考える
13	事前学習	「リサーチ・ペーパー」最終版を口頭で報告できるようまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」最終版の口頭報告・意見交換
	事後学習	「リサーチ・ペーパー」最終版を作成する
14	事前学習	「リサーチ・ペーパー」最終版を口頭で報告できるようまとめる
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」最終版の口頭報告・意見交換
	事後学習	「リサーチ・ペーパー」最終版を作成する
15	事前学習	「リサーチ・ペーパー」最終版を完成する
	授業内容	「リサーチ・ペーパー」完成版の提出
	事後学習	「リサーチ・ペーパー」で取り上げた研究テーマをさらに深めることを考える

科目名	地域政策	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	地方分権社会の自治体の政策について、政策展開の考え方、政策手法、他のアクターとの関係などについて学ぶ。課題の発見方法、抽出方法について検討する。				
授業目的・到達目標	地方分権一括法の施行を契機として、地域政策は国の地域振興政策の意味合いから脱し、地域主導へと転換しつつあり、地方自治体は自立のために積極的に取り組んでいるところである。本講義では、地域政策の手法と視点を学ぶ。地域課題の抽出、課題解決手法、その考え方を身につける。				
履修条件	地方自治論、都市政策を学んでいる方が望ましい。				
授業方法	講義形式を主とする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	地域課題の解決手法について、その手法と考え方について問う。	
	平常評価		10%	地域課題について関心をもっているか問う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論	福島康仁編
	備考				
参考書	本田弘ほか編著『地方分権下の地方自治』公人社、2002年。『自治体職員ハンドブック』公職研、2007年。				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	地方自治体の定義について調べてみる
	授業内容	講義概要など
	事後学習	地方自治体の役割について考える
2	事前学習	地方分権の自治体の役割変化について検討する
	授業内容	地方分権化時代の地域づくり
	事後学習	地方分権法について考える

3	事前学習	ローカルガバメントの違いについて考える
	授業内容	ローカルガバナンス
	事後学習	ローカルガバナンスの主役はなにか考える
4	事前学習	国土計画法について調べる
	授業内容	国土計画と地域（1）
	事後学習	国土計画の歴史を整理する
5	事前学習	国土計画の歴史について整理してくる
	授業内容	国土計画と地域(2)
	事後学習	国土計画の考え方の転換点についてまとめる
6	事前学習	公民連携の必要性について感がる
	授業内容	地域づくりのと公民連携（1）
	事後学習	公民連携の形態について整理する
7	事前学習	PPPとはなにか整理する
	授業内容	地域づくりと公民連携（2）
	事後学習	PPPの種類と選択方法について整理する
8	事前学習	定住人口と交流人口の違いについて検討する
	授業内容	地域づくりと観光
	事後学習	交流人口政策の意義について整理する
9	事前学習	定住人口の限界について学習する
	授業内容	地域づくりと観光
	事後学習	観光政策の手法について整理する
10	事前学習	日本の外国人の人数や出身国について調べる
	授業内容	国際化と地域（1）
	事後学習	外国と自治体の関係について考える
11	事前学習	在住外国人の生活問題について考える
	授業内容	国際化と地域（2）
	事後学習	自治体にとって、なぜ国際化が必要なのか整理する
12	事前学習	ICTとはなにか、その意義について検討する
	授業内容	ICTと地域（1）
	事後学習	ICTを活用した地域づくりについて先進例を復習する
13	事前学習	ICTの有効性について考える
	授業内容	ICTと地域（2）
	事後学習	ICTの課題について整理する
14	事前学習	空き家の将来推計について調べる
	授業内容	空き家と地域
	事後学習	空き家の課題を整理する

15	事前学習	地域政策の考え方について整理する
	授業内容	まとめ
	事後学習	地域政策の課題を考える

科目名	知的財産英語	担当者	加藤 浩	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、知的財産英語における基本的な英語表現について説明したうえで、特許法、意匠法、商標法、著作権法それぞれの事例を紹介して具体的な英語表現について解説する。				
授業目的・到達目標	知的財産権のグローバル化に伴い、知的財産に関わる法務では、英語を用いる機会が増加している。そこで、本講義では、知的財産に関する基本的な英語表現について習得することを目的とする。また、本講義では、知的財産英語の基本的な英語表現について理解し、英語で知的財産法務を行えるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。（知的財産法に関する基礎科目の履修は、本講義の履修条件とはしない。本講義の中で、知的財産法の基本事項を確認しながら講義を進める予定。）				
授業方法	講義形式とする。毎回、英語辞書を持参のこと。（知的財産法に関する時事問題として、英語ニュースや英文記事などを題材とする。）				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業態度（授業への参加・貢献度）と授業内テスト（2回）により評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。毎回、レジュメを配布する。（知的財産法に関する時事問題として、英語ニュースや英文記事など）			
参 考 書	必要に応じ紹介する。（例えば、WIPO Journalなど）				
オフィスアワー	木曜日 5 時限目に設定する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産英語とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	知的財産英語とは何か
	事後学習	知的財産英語とは何かについて復習しておくこと。
2	事前学習	特許法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	特許法（1）基本的な英語表現
	事後学習	特許法の基本的な英語表現について復習しておくこと。
3	事前学習	特許法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	特許法（2）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
4	事前学習	特許法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	特許法（3）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。

5	事前学習	意匠法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	意匠法（１）基本的な英語表現
	事後学習	意匠法の基本的な英語表現について復習しておくこと。
6	事前学習	意匠法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	意匠法（２）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
7	事前学習	意匠法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	意匠法（３）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
8	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	まとめ（演習）
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。
9	事前学習	商標法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	商標法（１）基本的な英語表現
	事後学習	商標法の基本的な英語表現について復習しておくこと。
10	事前学習	商標法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	商標法（２）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
11	事前学習	商標法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	商標法（３）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
12	事前学習	著作権法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	著作権法（１）基本的な英語表現
	事後学習	著作権法の基本的な英語表現について復習しておくこと。
13	事前学習	著作権法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	著作権法（２）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
14	事前学習	著作権法の基本的な英語表現について考えておくこと。
	授業内容	著作権法（３）時事問題
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
15	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。

科目名	知的財産法A(特許・実用新案)Ⅰ	担当者	小川 宗一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	知的財産制度（法）の概要、特許制度（法）の基本的内容〔とりわけ、特許法の概要・意義・仕組み、及び特許法上の保護客体（発明）、特許要件（主体・客体・手続）、特許権取得のための手続（出願・審査・審判・訴訟）等を中心とする〕				
授業目的・到達目標	（授業目的）企業活動においては、特許権等の知的財産権で自社の製品を守ることが、企業の盛衰・命運をも左右することとなるものであるところ、知的財産法の中核をなす特許法についての概要・意義・仕組みを理解し、説明できるようになることを目的とする。 （到達目標）技術的創作を保護する特許制度（法）の基本的な内容を習得し、それに基づき企業活動における特許戦略の重要性を認識することができるようになると共に、他の知的財産法の学習への展開が容易にできるようになる。				
履修条件	本授業を履修する者は、知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱも履修することが望ましい。				
授業方法	講義形式で行う。教科書を中心とし、最新の話題・事例も適宜教材とする。特許法掲載の六法、法令集等を必ず持参のこと。毎回、授業内容の理解度確認のための小テストを行い、翌週その講評及び解説をする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内で行う小テスト及び筆記試験等により、特許制度（法）の基本的内容の習得度を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	有斐閣		知的財産法入門 第2版（4月の授業開始時に、新版が発行されていれば、最新版を使用する）	茶園成樹編
	備考				
参考書	必要に応じ、紹介する。				
オフィスアワー	水曜日12:30～13:30（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室（4号館5階452） ogawa.soichi@nihon-u.ac.jp 【授業内容以外で受け付ける質問・相談について】 弁理士試験対策、大学院法学研究科私法学専攻（知的財産コース）への進学				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、知的財産及び知的財産制度（法）の概要
	事後学習	授業内容を記したノート及び配布資料等を再度読み直し、今後の授業内容についての理解を深めた上で、履修の有無を決定する。
2	事前学習	指定の教科書を用意し、冒頭の「イントロダクション」を読んでくる。
	授業内容	知的財産制度（法）の意義 知的財産基本法・国家の知的財産政策
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。

3	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許制度(法)の意義・仕組み、特許権
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
4	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許法の保護対象（発明）
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
5	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許の客体的要件（１）産業上の利用可能性、新規性
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
6	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許の客体的要件（２）進歩性、不特許事由
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
7	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許の客体的要件（３）先願、２９条の２
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
8	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許の主体的要件（１）権利能力、特許を受ける権利、冒認出願
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
9	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許の主体的要件（２）職務発明
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
10	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許取得手続（１）出願・出願公開・審査
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
11	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	特許取得手続（２）補正・分割・変更・国内優先
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
12	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	審判（１）拒絶査定不服審判
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
13	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	審判（２）特許異議申立て・無効審判・訂正審判等
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
14	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読むこと。
	授業内容	審決取消訴訟
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。

15	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。

科目名	知的財産法A(特許・実用新案)Ⅰ	担当者	加藤 浩	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	特許法・実用新案法について講義する。具体的には、特許法の解説を行い、特許法の目的、特許の保護対象、特許を受けるための要件、特許を受けるまでの手続きについて講義する。必要に応じて、裁判事例についても解説して理解を深める。					
授業目的・到達目標	近年、企業法務において、知的財産法は重要な法律として重視されており、とくに、特許法・実用新案法は、「発明に関する法的保護」として重要な役割を担っている。そこで、本講義では、特許法・実用新案法の概要について理解することを目的とする。また、本講義では、特許法・実用新案法の基礎知識を修得するとともに、重要な論点については、判例を示して理解を深めることにより、特許法・実用新案法に関する企業法務を担えるようになることを目標とする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	レジュメを配布して講義を行う。知的財産権を巡る最新の話題・事例も適宜、教材とする。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験					
	平常評価		100%	授業態度（授業の参加・貢献度）と授業内テスト（２回）を中心に評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。（毎回、レジュメを配布する。）				
参 考 書	必要に応じ紹介する。					
オフィスアワー	水曜日 5 時限目に設定する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産権とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	知的財産法の概要
	事後学習	知的財産法の概要について復習しておくこと。
2	事前学習	特許法の目的について考えておくこと。
	授業内容	特許法（1）特許法の目的
	事後学習	特許法の目的について復習しておくこと。

3	事前学習	特許の保護対象について考えておくこと。
	授業内容	特許法（２）保護対象
	事後学習	特許の保護対象について復習しておくこと。
4	事前学習	特許要件について考えておくこと。
	授業内容	特許法（３）特許要件（産業上の利用可能性）
	事後学習	特許要件（産業上の利用可能性）について復習しておくこと。
5	事前学習	特許要件について考えておくこと。
	授業内容	特許法（４）特許要件（新規性）
	事後学習	特許要件（新規性）について復習しておくこと。
6	事前学習	特許要件について考えておくこと。
	授業内容	特許法（５）特許要件（進歩性）
	事後学習	特許要件（進歩性）について復習しておくこと。
7	事前学習	特許要件について考えておくこと。
	授業内容	特許法（６）特許要件（記載要件、単一性の要件）
	事後学習	特許要件（記載要件、単一性の要件）について復習しておくこと。
8	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲について復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。
9	事前学習	特許に関する手続きについて考えておくこと。
	授業内容	特許法（７）特許に関する手続き（出願書類）
	事後学習	特許に関する手続き（出願書類）について復習しておくこと。
10	事前学習	特許に関する手続きについて考えておくこと。
	授業内容	特許法（８）特許に関する手続き（出願公開・審査請求）
	事後学習	特許に関する手続き（出願公開・審査請求）について復習しておくこと。
11	事前学習	特許に関する手続きについて考えておくこと。
	授業内容	特許法（９）特許に関する手続き（審査実務）
	事後学習	特許に関する手続き（審査実務）について復習しておくこと。
12	事前学習	特許に関する手続きについて考えておくこと。
	授業内容	特許法（１０）特許に関する手続き（拒絶理由に対する出願人の対応）
	事後学習	特許に関する手続き（拒絶理由に対する出願人の対応）について復習しておくこと。
13	事前学習	特許に関する手続きについて考えておくこと。
	授業内容	特許法（１１）特許に関する手続き（審判実務）
	事後学習	特許に関する手続き（審判実務）について復習しておくこと。
14	事前学習	特許に関する手続きについて考えておくこと。
	授業内容	特許法（１２）特許に関する手続き（審決取消訴訟）
	事後学習	特許に関する手続き（審決取消訴訟）について復習しておくこと。

15	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲について復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。

科目名	知的財産法A(特許・実用新案)Ⅰ	担当者	三村 淳一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	知的財産法（とりわけ、産業財産権法）の中心的位置にある特許法について、特に、出願から権利化までの一連の手続き及び制度に関し、基礎的な内容について学ぶ。また、保護対象が類似なものである実用新案制度とはどこが異なるのか、区分ごとに理解する。特許出願書類（願書・クレーム・明細書・要約書）の基礎的な事項は、記載できるようになる。また、IPDLの基本的な操作も行えるようになる。				
授業目的・到達目標	講義目的は、特許法・実用新案法で規定される知的財産制度の基本大系を学習し、その制度の趣旨と意義を理解する。また、そのような制度の実務と実践について基礎的理解を得る。				
履修条件	特に無し				
授業方法	講義を基本とするが、一部、授業内にて、ある発明品を示し、それに基づく、出願書類を作成するといった実践的な内容も取り入れた講義とする。尚、一方通行ではなく、双方向の講義を行い、講義内容の理解を深めるようにする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	合格／不合格の判定は絶対評価により、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(B)、60点以上(C)は、それぞれ5:25:40:30を目安とする相対評価。	
	平常評価		30%	出席率が70%に満たない者は不合格とし、受講態度や授業への参加意欲を積極的に評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
		発明推進協会		産業財産権標準テキスト 特許編 第8版	工業所有権情報・研修館
	備考	上記教科書は最新改正法を網羅していないので、以下の参考書①②にて最新改正法をフォローアップする。			
参考書	①高林龍『標準 特許法 第6版』（有斐閣2017） ②特許庁編『産業財産権法 逐条解説』「第20版」（発明協会 2017） ※特許庁WEBでダウンロード可				
オフィスアワー	火曜日の12:10-1:00に、7号館（751）研究室にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書P1-35を事前に読んでおく。知的財産権にはどのような法律があるのか理解する。
	授業内容	総説（１）：知的財産権法の概要及び現状
	事後学習	今まで自己が考えてきた無体財産はどのような法律で守られているのか認識する。また、知財の現状を理解し、今後、日本はどのような方向に進むべきか考える。 尚、以下、特に重要な部分については特記しているが、基本的には、参考書①②にて対応する講義主題を確認する。
2	事前学習	教科書P41-42を事前に読んでおく。なぜ特許法が制定されたのか理解する。特許法が無かった場合の世界を想像する。教科書P141-142を事前に読んでおき、特許成立までの流れの概略を理解する。
	授業内容	総説（２）：特許法の目的及び特許権成立までの概略
	事後学習	特許法1条の各用語の意味を再確認する。特許成立までの流れにおいて、各段階での手続きの内容を参考書①②で確認する。

3	事前学習	教科書P43-48を事前に読んでおく。一般的に使用されている「発明」と特許法で規定する「発明」の意味の相違を理解する。特許成立に必要である「産業上の利用性」を理解する。
	授業内容	特許要件（１）：客体要件（発明、産業上の利用性）
	事後学習	授業内で、特定の分野において、特許庁に出願されているアイデアが、法上の発明にあたるか否かをレポートする宿題を実施する。
4	事前学習	教科書P49-51, 53を事前に読んでおく。新規であるという状況をいうのか理解する。また、新しい発明をしても、従来のものから容易に発明できるものは特許とはならないという進歩性の判断基準を理解する。
	授業内容	特許要件（２）：客体要件（新規性、進歩性）
	事後学習	新しさの時間的・地域的基準や公然の意味など、参考書①②で確認する。
5	事前学習	教科書P51-52を事前に読んでおく。新規ではない状態となっても一定条件のもと、新規性を失わない場合はどのような場合であるか、理解をしておく。
	授業内容	特許要件（３）：新規性喪失の例外
	事後学習	通常、新規性を喪失した発明は特許化が不可能であることは、研究者は知っているはずであるが、どのような場合に、この規定の適用を受けることになるのか、考えてみる。
6	事前学習	教科書P56を事前に読んでおく。上記の要件を満足しても、特許化すべきではない発明がある。どのような発明が、特許化すべきではないのか、またその理由は何であるか、学習して置く。
	授業内容	特許要件（４）：客体要件（不特許事由）
	事後学習	授業で取り上げていない事例なども、自己で考えて、結論を導く。
7	事前学習	教科書P54-55を事前に読んでおく。先願主義とは何かを理解する。同一の発明が同日に時間を異にして出願された場合の取り扱いが、異日出願お場合と異なる点を十分に理解しておく。
	授業内容	特許要件（５）：先願主義
	事後学習	先願主義と先発明主義に比べ、日本が採用する先願主義には、どのような利点があるか考える。また、先発明主義を採用していた国の制度を参考書①②で確認する。
8	事前学習	教科書P55を事前に読んでおく。理解が難しいきいていであるため、参考書①P66も事前に読んでおき、規定の内容を理解する。
	授業内容	特許要件（６）：拡大された先願範囲の地位
	事後学習	本規定の条文である29条の2について、授業後の再度読み返し、規定の内容と条文の文言を確認する。
9	事前学習	教科書P57-59, 121-139を事前に読んでおく。出願書類にはどのような記載をすべきであると法が規定しているか理解する。また、１つの出願で権利の請求が行える発明の範囲について事前に学んでおく。
	授業内容	出願・審査手続（１）：出願書類・明細書及び請求項の記載要件／発明の単一性
	事後学習	物の発明と方法の発明では、その記載方法や記載すべき内容も異なる点を参考書①②で確認する。
10	事前学習	教科書P163-181を事前に読んでおく。外国において特許を取得する理由や取得するための手続きについて理解する。
	授業内容	出願・審査手続（２）：優先権（パリ条約による優先権・パリ条約の例による優先権、国内優先権）
	事後学習	優先権の種類や利用場面を考える。この講義はパリ条約４条に基づく国内法であるため、パリ条約４条を読み理解を深めるとともに、教科書1167-172及び参考書①326-327も読んでおく。
11	事前学習	教科書P141を思い出しながら、P142-144を事前に読んでおく。手続きの補正とは何か、何故、その様な補正を行うのかについて十分理解し、そのような補正が何時、どのような範囲で行うことができるのかを学ぶ。
	授業内容	出願・審査手続（３）：補正
	事後学習	補正は、その補正時期により、制限事項が異なることを参考書①②で確認する。
12	事前学習	参考書①P235-237を事前に読んでおく。出願分割や変更は、どのような制度であるか、なぜ認められているのか、どのような状況での利用となるのか、理解する。
	授業内容	出願・審査手続（４）：出願分割及び出願変更
	事後学習	出願分割は、パリ条約でも同盟国民に認められている権利であり、パリ条約４条Fについても、読んで確認する。
13	事前学習	参考書①②内の36条の2及びその解説を事前に読んでおく。日本語に加え一部の言語にて、日本では特許出願が可能であることを理解した上で、外国語出願した出願人がその後取るべき手続やその内容を理解する。
	授業内容	出願・審査手続（５）：外国語書面出願
	事後学習	外国語書面出願の場合、翻訳ミスがあった場合の訂正は、通常の手続補正書では行わない、補正の範囲は翻訳の範囲など、通常の日本語出願とは大きく異なる点があるので、何が異なるのか、どの様に異なるのか理解する。
14	事前学習	教科書P145-146を事前に読んでおく。出願公開の要件及び補償金請求権の要件及び内容を理解する。
	授業内容	出願・審査手続（６）：特許庁の行為１（出願公開及び補償金請求権）
	事後学習	参考書①P227-229にて講義内容を確認する。

15	事前学習	教科書P150-156を事前に読んでおく。拒絶理由通知を受けた出願人の対応手法を理解する
	授業内容	出願・審査手続（7）：特許庁の行為2（拒絶理由通知、査定と登録）
	事後学習	参考書①②にて講義内容を確認する。

科目名	知的財産法A(特許・実用新案)Ⅱ	担当者	小川 宗一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	特許制度（法）の基本的内容（とりわけ、特許権の効力や特許権の侵害等を中心とする）、及び実用新案制度（法）の概要・意義・仕組み				
授業目的・到達目標	（授業目的）企業活動においては、特許権等の知的財産権で自社の製品を守ることが、企業の盛衰・命運をも左右することとなるものであるところ、知的財産権法の中核をなす特許法・実用新案法についての概要・意義・仕組みを理解し、説明できるようになることを目的とする。 （到達目標）技術的創作を保護する特許制度(法)の基本的な内容、及び実用新案制度(法)との相違を習得し、それに基づき企業活動における特許等戦略の重要性を認識することができるようになると共に、他の知的財産法の学習への展開が容易にできるようになる。				
履修条件	本授業を履修する者は、知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰを履修しておくことが望ましい。				
授業方法	講義形式で行う。教科書を中心とし、最新の話題・事例も適宜教材とする。特許法・実用新案法掲載の六法、法令集等を必ず持参のこと。毎回、授業内容の理解度確認のための小テストを行い、翌週その講評及び解説をする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内で行う小テスト及び筆記試験等により、特許制度・実用新案制度の基本的内容の習得度を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	有斐閣		知的財産法入門 第2版（4月の授業開始時に、新版が発行されていれば、最新版を使用する）	茶園成樹編
	備考				
参考書	必要に応じ、適宜紹介する。				
オフィスアワー	水曜日12:30～13:30（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室（4号館5階452） ogawa.soichi@nihon-u.ac.jp 【授業内容以外で受け付ける質問・相談について】 弁理士試験対策、大学院法学研究科知的財産コースへの進学				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておくこと。
	授業内容	ガイダンス、特許権（性質、発生、消滅等）
	事後学習	授業内容を記したノート及び配布資料等を再度読み直し、今後の授業内容についての理解を深めた上で、履修の有無を決定する。
2	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の効力
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。

3	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の効力の制限
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
4	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の活用（１）許諾による実施権
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
5	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の活用（２）法定通常実施権・裁定通常実施権
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
6	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の活用（３）権利の譲渡、質権、信託
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
7	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の侵害（１）文言侵害、特許発明の技術的範囲
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
8	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	特許権の侵害（２）均等論・間接侵害
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
9	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	侵害に対する救済（１）民事上の救済
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
10	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	侵害に対する救済（２）刑事罰
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
11	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	実用新案制度の意義・仕組み、実用新案法の保護対象（考案）
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
12	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	実用新案の登録要件、実用新案権取得手続
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
13	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	実用新案権の効力、実用新案権の侵害・実用新案技術評価書制度
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。
14	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	発明等保護の国際的枠組み
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。

15	事前学習	前回授業終了時に指示した教科書の該当頁を読んでくること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業の最後に、授業内容の理解度確認のための小テストを実施するが、その内容は期末試験の出題範囲となるので、復習をし整理をしておくこと。

科目名	知的財産法A(特許・実用新案)Ⅱ	担当者	加藤 浩	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	特許法・実用新案法について講義する。具体的には、特許法の解説を行い、特許権の効力と制限、特許権の侵害と救済について講義する。また、実用新案法についても、特許法との比較を中心に講義する。必要に応じて、裁判事例についても解説して理解を深める。					
授業目的・到達目標	近年、企業法務において、知的財産法は重要な法律として重視されており、とくに、特許法・実用新案法は、「発明に関する法的保護」として重要な役割を担っている。そこで、本講義では、特許法・実用新案法の概要について理解することを目的とする。また、本講義では、特許法・実用新案法の基礎知識を修得するとともに、重要な論点については、判例を示して理解を深めることにより、特許法・実用新案法に関する企業法務を担えるようになることを目標とする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	レジュメを配布して講義を行う。知的財産権を巡る最新の話題・事例も適宜、教材とする。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験					
	平常評価		100%	授業態度（授業の参加・貢献度）と授業内テスト（２回）を中心に評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。（毎回、レジュメを配布する。）				
参 考 書	必要に応じ紹介する。					
オフィスアワー	水曜日 5 時限目に設定する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産権とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	知的財産法の概要
	事後学習	知的財産法の概要について復習してておくこと。
2	事前学習	特許権の効力について考えておくこと。
	授業内容	特許法（1）特許権の効力・制限（1）
	事後学習	特許権の効力について復習しておくこと。

3	事前学習	特許権の効力について考えておくこと。
	授業内容	特許法（2）特許権の効力・制限（2）
	事後学習	特許権の効力について復習しておくこと。
4	事前学習	特許権の効力の制限について考えておくこと。
	授業内容	特許法（3）特許権の効力・制限（3）
	事後学習	特許権の効力の制限について復習しておくこと。
5	事前学習	特許権の効力の制限について考えておくこと。
	授業内容	特許法（4）特許権の効力・制限（4）
	事後学習	特許権の効力の制限について復習しておくこと。
6	事前学習	特許権の侵害について考えておくこと。
	授業内容	特許法（5）特許権の侵害・救済（1）
	事後学習	特許権の侵害について復習しておくこと。
7	事前学習	特許権の侵害について考えておくこと。
	授業内容	特許法（6）特許権の侵害・救済（2）
	事後学習	特許権の侵害について復習しておくこと。
8	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲について復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。
9	事前学習	特許権の侵害に対する救済について考えておくこと。
	授業内容	特許法（7）特許権の侵害・救済（3）
	事後学習	特許権の侵害に対する救済について復習しておくこと。
10	事前学習	特許権の侵害に対する救済について考えておくこと。
	授業内容	特許法（8）特許権の侵害・救済（4）
	事後学習	特許権の侵害に対する救済について復習しておくこと。
11	事前学習	特許権の侵害に対する救済について考えておくこと。
	授業内容	特許法（9）特許権の侵害・救済（5）
	事後学習	特許権の侵害に対する救済について復習しておくこと。
12	事前学習	実用新案法の概要について考えておくこと。
	授業内容	実用新案法（1）実用新案法の目的、保護対象
	事後学習	実用新案法の目的、保護対象について復習しておくこと。
13	事前学習	実用新案法の概要について考えておくこと。
	授業内容	実用新案法（2）実用新案登録の要件・手続き
	事後学習	実用新案登録の要件・手続きについて復習しておくこと。
14	事前学習	実用新案法の概要について考えておくこと。
	授業内容	実用新案法（3）実用新案権の侵害・救済
	事後学習	実用新案権の侵害・救済について復習しておくこと。

15	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲について復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。

科目名	知的財産法A(特許・実用新案)Ⅱ	担当者	三村 淳一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	知的財産法（とりわけ、産業財産権法）の中心的位置にある特許法について、特許権の効力、特許侵害、損害賠償制度、各種実施権制度、及び審判制度の基本的な構造・体系、さらには実用新案法についての基本的な構造・体系、両法を併存させている理由、両法の比較、さらには実用新案制度の特異な制度について基礎的な理解を深め、両法の現状を的確に理解・認識する。				
授業目的・到達目標	講義目的は、特許法・実用新案法で規定される知的財産制度の基本大系を学習し、その制度の趣旨と意義を理解する。また、そのような制度の実務と実践について基礎的理解を得る。				
履修条件	特に無し				
授業方法	パワーポイントを使用した講義を基本とする。尚、一方通行ではなく、双方向の講義を行い、講義内容の理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	合格／不合格の判定は絶対評価により、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(B)、60点以上(C)は、それぞれ5:25:40:30を目安とする相対評価。	
	平常評価		30%	出席率が70%に満たない者は不合格とし、受講態度や授業への参加意欲を積極的に評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	有斐閣		標準 特許法 第6版	高林龍
	備考				
参考書	①産業財産権標準テキスト 特許編 第8版 発明推進協会 ②特許庁編『産業財産権法 逐条解説』「第20版」（発明協会 2017） ※特許庁WEBでダウンロード可				
オフィスアワー	火曜日の12:10-1:00に、7号館（751）研究室にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書P73-79、参考書②33-34条及びそれらの解説を事前に読んでおく。
	授業内容	特許を受ける権利：権利対象、権利侵害に対する救済、権利の利用
	事後学習	共有に係る場合の特則や訴訟提起の場合の単独性について教科書を利用し理解する。
2	事前学習	教科書P80-97を事前に読んでおく。現行法下での権利の原始的帰属や使用者の権利を理解する。
	授業内容	職務発明制度
	事後学習	旧法との比較を行い、改正点を整理するとともに、改正法の課題を考える。

3	事前学習	教科書P98-118を事前に読んでおく。特に特許権者はどのようなことを独占排他的に行えるのか理解する。
	授業内容	特許の効力（１）：効力範囲
	事後学習	特に、消尽説を教科書102-114を利用し理解する。
4	事前学習	教科書189-191（効力制限）、教科書174-186（間接侵害）を事前に読んでおく。
	授業内容	特許の効力（２）：効力の制限、拡張的効力
	事後学習	「グアニジノ安息香酸誘導体III上告審」平成10（受）153を読み、69条1項の理解を深める。
5	事前学習	教科書118-122を事前に読んでおく。特許が延長される場合について理解する。
	授業内容	特許権の存続期間
	事後学習	「バシーフカプセル事件」（最高裁判所第1小法廷平成21年(行ヒ)第326号平成23年4月28日）を読み、講義の理解を深める。
6	事前学習	教科書127-173を事前に読んでおく。特許侵害はどのように判断されるのか理解する。
	授業内容	特許権侵害（１）：成立要件（技術的範囲の判断、均等論）
	事後学習	「ボールスプライン軸受」平成6(オ)1083を読み、均等の5要件の意味を理解する。
7	事前学習	教科書279-316を事前に読んでおく。損害賠償にかかる特別規程の内容を理解する。
	授業内容	特許権侵害（２）：民事的救済（差止請求権、損害賠償請求権）
	事後学習	講義にて簡単な事例問題を提示するので、各自賠償額を計算する。
8	事前学習	教科書193-207を事前に読んでおく。専用と通常の相違点を理解する。
	授業内容	権利の変動（１）：専用実施権／許諾による通常実施権
	事後学習	企業間の実施契約を非独占的なものであるため、この契約をする上で必要な要素を考える。
9	事前学習	教科書207-218を事前に読んでおく。各実施権の内容を理解する。特に裁定の場合、実施権種類により判断主体が異なる点、その理由を含めて理解する。
	授業内容	権利の変動（２）：法定通常実施権及び裁定通常実施権常実施権
	事後学習	国家間で問題となっている国家による強制実施権について考える。
10	事前学習	教科書P218（移転）、参考書②34条の2及び34条の3及びそれらの解説（仮実施権）を事前に読んでおく。
	授業内容	権利の変動（３）：権利の移転／仮専用実施権及び仮通常実施権
	事後学習	仮実施権と実施権の相違、特許権成立後の仮実施権の取り扱いについて理解する。
11	事前学習	教科書P245-247を事前に読んでおく。審判手続きは、各種審判に共通する部分が多い。まず、本講義で一般的な審判の流れや共通する手続き、特定の審判にのみ用いられる手続きなどを講義する。
	授業内容	審判（１）：審判手続
	事後学習	特許庁：「審判制度の概要と運用」を読んで、講義内容をフォローアップする。 https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/pdf/h29_jitsumusya_txt/23.pdf
12	事前学習	教科書P245-247を事前に読んでおく。拒絶査定不服審判請求時に補正を行う場合と行わない場合で、審判手続きに差異が生じる点を理解する
	授業内容	審判（２）：拒絶査定不服審判／前置審査
	事後学習	特許庁：「審判制度の概要と運用」を読んで、講義内容をフォローアップする。 https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/pdf/h29_jitsumusya_txt/23.pdf
13	事前学習	教科書P247-257を事前に読んでおく。類似手続きである訂正審判と訂正請求の相違を理解する。。
	授業内容	審判（３）：特許無効審判・訂正審判・延長登録無効の審判
	事後学習	特許庁：「審判制度の概要と運用」を読んで、講義内容をフォローアップする。 https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/pdf/h29_jitsumusya_txt/23.pdf
14	事前学習	教科書P257-259（異議）及びP260-278（訴訟）を事前に読んでおく。異議制度と無効審判の相違を理解する。
	授業内容	訴訟：異議申立制度及び審決取消訴訟・その他の訴訟
	事後学習	審決取消訴訟は、査定系と当事者系があるが、請求主体が異なると考えられているため、その点を参考書①を利用して理解を深める。

15	事前学習	教科書P317-324を事前に読んでおく。特に、権利行使に必要である技術評価書はどのようなものであるか理解する。
	授業内容	実用新案登録制度
	事後学習	特許制度との相違を理解する。

科目名	知的財産法B(意匠)	担当者	加藤 暁子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	魅力的な工業デザインは、今日の企業活動における重要な財産である。それらを保護する意匠法を中心に、商標法、及び、両法を補完する関係にある不正競争防止法にも目配りしながら、企業活動におけるこれらの法制度の活用の重要性について理解し、活用手法を案出する姿勢を養う。					
授業目的・到達目標	意匠法及び関連知的財産法の概要を理解し、その活用を考える姿勢を養うことを目的とする。					
履修条件	意匠法に加えて商標法、不正競争防止法について理解を深めるために、知的財産法C(商標・不正競争防止) も併せて履修することが望ましい。					
授業方法	講義形式で行う。毎回資料を配布して事例・判例や国際的動向を含む時事、法改正を紹介する。履修者は法令集等を持参して法条文を参照すること。数回に一度、履修者にコメントを記入させ、次回講義冒頭でコメントに対し解説する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	期末試験による。		
	平常評価		40%	授業への参加態度、講義に対するコメントの内容等で評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2012	有斐閣		意匠法		茶園成樹
	2017年			事例から学ぶ意匠制度活用ガイド		特許庁
	備考	『事例から学ぶ意匠制度活用ガイド』は履修者に配布を予定しています。				
参考書	土肥一史『知的財産法入門 第15版』（中央経済社、2015年）、『別冊ジュリスト188号 商標・意匠・不正競争判例百選』（有斐閣、2007年）、各種HP他、必要に応じて講義中に指示する。					
オフィスアワー	水曜 16時30分～17時30分 研究室にて。なるべく事前にメール(以下のアドレス宛)でアポイントを採ることを勧める。メールでも質問等を受け付ける。kato.akiko@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書(茶園)の1章1節、及び、参考書(土肥著作、序論)に目を通す。
	授業内容	知的財産法の体系
	事後学習	配布資料及び教科書、参考書に基づいて講義内容を復習する。(以下毎回同じ) 講義で紹介した特許庁HPの内容及び掲載動画を自身で閲覧する。
2	事前学習	教科書(茶園)1章2～5節、及び、参考書(土肥著作3章1節)に目を通す。
	授業内容	知的財産法における意匠法の位置づけ
	事後学習	講義で紹介した特許庁HPの内容及び掲載動画を自身で閲覧する。

3	事前学習	教科書(茶園)の1章2～5節、及び、参考書(土肥著作3章1節)に再度目を通す。
	授業内容	意匠法の沿革、意義
	事後学習	特許庁HP掲載の「意匠制度120年の歩み」に目を通す。
4	事前学習	教科書(茶園)2章、及び、参考書(土肥著作3章2節)に目を通す。
	授業内容	意匠法上の意匠
	事後学習	特許庁HP(特に意匠審査基準)を参照する。
5	事前学習	教科書(茶園)4章、及び、参考書(土肥著作3章3節1～2)に目を通す。
	授業内容	意匠の登録要件
	事後学習	特許庁HP(特に意匠審査基準)を参照する。
6	事前学習	教科書(茶園)6章、1章5節、及び、参考書(土肥著作3章3節3、7章5節)に目を通す。
	授業内容	意匠権に係る手続き(含む 国際条約)
	事後学習	特許庁HP掲載の「出願の手続」第四章「意匠登録出願の手続」を読む。
7	事前学習	教科書(茶園)7章3～4節、及び、参考書(土肥著作3章3節7、8)に目を通す。
	授業内容	特別な意匠登録制度(1)秘密意匠、組物の意匠等
	事後学習	特許庁HP掲載の上記意匠制度に関する記事を読む。
8	事前学習	教科書(茶園)7章1～2節、及び、参考書(土肥著作3章2節3、3節9)に目を通す。
	授業内容	特別な意匠登録制度(2)部分意匠、関連意匠等
	事後学習	特許庁HP掲載の上記意匠制度に関する記事を読む。
9	事前学習	教科書(茶園)9章に目を通す。
	授業内容	意匠権
	事後学習	配布資料及び教科書に基づいて講義内容を復習する。
10	事前学習	教科書(茶園)10章4節、及び、参考書(土肥著作3章2節8)に目を通す。
	授業内容	意匠権の制限
	事後学習	配布資料及び教科書、参考書に基づいて講義内容を復習する。
11	事前学習	教科書(茶園)5章、10章1～3節に目を通す。
	授業内容	意匠権の類否の判断と侵害
	事後学習	『判例百選』の類否関連事案の評釈を読む。
12	事前学習	教科書(茶園)10章5節に目を通す。
	授業内容	意匠権の侵害に対する救済(1)民事
	事後学習	知的財産高等裁判所HPを閲覧する。
13	事前学習	教科書(茶園)10章5節に目を通す。
	授業内容	意匠権の侵害に対する救済(2)行政：水際措置、刑事
	事後学習	税関、警察庁のHPを閲覧する。
14	事前学習	教科書(茶園)11章に目を通す。
	授業内容	意匠権の活用
	事後学習	配布資料及び教科書(ガイド)、参考書に基づいて講義内容を復習する。 『特許行政年次報告書』を読む。

15	事前学習	前回までの配布資料を見返す。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布資料及び教科書、参考書に基づいて講義内容を復習する。

科目名	知的財産法C(商標・不正競争)	担当者	加藤 暁子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	自社ブランドを体現する商標の保護に係る商標法や、競業者による不正な競争行為を封じることのできる不正競争防止法は、今日の企業活動における重要な法領域である。これらの法の概要と、企業活動におけるこれらの法制度の活用の重要性について理解し、活用手法を案出する姿勢を養う。				
授業目的・到達目標	商標法及び不正競争防止法の概要を理解し、活用を考える姿勢を養うことを目的とする。				
履修条件	商標法、不正競争防止法に加えて意匠法についても理解を深めるために、知的財産法B(意匠法) も併せて履修することが望ましい。				
授業方法	講義形式で行う。毎回資料を配布して事例・判例や国際的動向を含む時事、法改正を紹介する。履修者は法令集等を持参して法条文を参照すること。数回に一度、履修者にコメントを記入させ、次回講義冒頭でコメントに対し解説する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	期末試験による。	
	平常評価		40%	授業への参加態度、講義に対するコメントの内容等で評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	有斐閣		商標法	茶園成樹
	2015年	有斐閣		不正競争防止法	茶園成樹
	備考				
参考書	土肥一史『知的財産法入門第15版』（2015年、中央経済社）、経済産業省知的財産政策室『逐条解説不正競争防止法各年版』、『別冊ジュリスト188号商標・意匠・不正競争判例百選』（有斐閣、2007年）等適宜指示する。				
オフィスアワー	水曜 16時30分～17時30分 研究室にて。なるべく事前にメール(以下のアドレス宛)でアポイントを採ることを勧める。メールでも質問等を受け付ける。kato.akiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書(商標法1章1節) 及び参考書(土肥著作、序論)に目を通す。
	授業内容	知的財産法の体系
	事後学習	配布資料及び教科書、参考書に基づいて講義内容を復習する。(以下毎回同じ) 講義で紹介した特許庁HPの内容及び掲載動画を自身で閲覧する。
2	事前学習	教科書(商標法1章2節、不競法1章2節)に目を通す。
	授業内容	知的財産法における商標法、不正競争防止法の位置づけ
	事後学習	講義で紹介した特許庁HPの内容及び掲載動画を自身で閲覧する。

3	事前学習	教科書(商標法 1 章 3、4 節)、及び、参考書(土肥著作 2 章 1 節)に目を通す。
	授業内容	商標法の沿革と意義
	事後学習	講義で紹介した特許庁HP掲載動画を自身で閲覧する。
4	事前学習	教科書(商標法 2 章)に目を通す。
	授業内容	商標の機能、商標法上の商標(商標法上の商品・役務、商標の使用概念)
	事後学習	参考書(土肥著作 2 章 1 ～ 5 節)に目を通す。
5	事前学習	教科書(商標法 3 章) に目を通す。
	授業内容	商標の登録要件
	事後学習	参考書(土肥著作 2 章 6 節)に目を通す。 講義で紹介した特許庁HP掲載動画を自身で閲覧する。
6	事前学習	教科書(商標法 5 章、 1 4 章)に目を通す。
	授業内容	商標権に係る手続き(含む マドリッド協定及びマドリッド協定附属議定書)
	事後学習	特許庁HP掲載「出願の手続」 5 章「商標登録出願の手続」及び「国際出願」の「マドリッド協定議定書に…」に目を通す。
7	事前学習	教科書(商標法 8 章) に目を通す。
	授業内容	商標権
	事後学習	参考書(土肥著作 2 章 1 0 節)に目を通す。
8	事前学習	教科書(商標法 1 0 章、可能であれば 1 3 章 4 節も) に目を通す。
	授業内容	商標権の制限(実施権の設定を含む)と活用
	事後学習	参考書(土肥著作 2 章 1 0 節、可能であれば 7 節も)に目を通す。 特許庁HP「地域団体商標について」に目を通す。
9	事前学習	教科書(不競法 1 章)に目を通す。
	授業内容	不正競争防止法の目的、沿革
	事後学習	参考書(土肥著作 1 章 1 ～ 2 節)に目を通す。 経済産業省HPの「政策について」「不正競争防止法」の掲載内容をつかんでおく。
10	事前学習	教科書(不競法 2 章 1 ～ 4 節)に目を通す。
	授業内容	不正競争行為の類型 (1)
	事後学習	参考書(土肥著作 1 章 3 節 1 ～ 3)に目を通す。 経済産業省HPの「政策について」「不正競争防止法」の関連情報をみる。
11	事前学習	教科書(不競法 2 章 5 節)に目を通す。
	授業内容	不正競争行為の類型 (2)
	事後学習	参考書(土肥著作 1 章 3 節 4)に目を通す。 経済産業省HPの「政策について」「不正競争防止法」の営業秘密に関する情報をみる。
12	事前学習	教科書(不競法 2 章 6 ～ 9 節)に目を通す。
	授業内容	不正競争行為の類型 (3)
	事後学習	参考書(土肥著作 1 章 3 節 5 ～ 8)に目を通す。可能であれば教科書(不競法 4 章 3 ～ 5 節)に目を通す。 経済産業省HPの「政策について」「不正競争防止法」の関連情報をみる。
13	事前学習	教科書(不競法 3 章 1 ～ 7 節)に目を通す。
	授業内容	不正競争防止法の適用除外、商標法・不正競争防止法の違反にかかる救済 (1) 民事
	事後学習	参考書(土肥著作 1 章 4 節 5 ～ 8)に目を通す。 可能であれば教科書(不競法 4 章 3 ～ 5 節)、参考書(1 章 5 ～ 6 節)に目を通す。 知的財産高等裁判所のHPを閲覧する。
14	事前学習	教科書(不競法 3 章 8 節、 4 章 1 ～ 2 節、 6 節)に目を通す。
	授業内容	商標法・不正競争防止法の違反にかかる救済 (2) 行政、刑事、
	事後学習	参考書(土肥著作 1 章 8 節)に目を通す。 税関、警察庁HPの関連ページを閲覧する。

15	事前学習	これまでの資料類を見返す。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの資料類を見返す。

科目名	知的財産法D(著作権) I	担当者	金井 重彦	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	著作権法を判例を投資で具体的に学ぶ 受講生に報告を科すことによって理解を深め、表現力を身に着けるようにする				
授業目的・到達目標	著作権法について、体系的な知識と理解を深め、応用力を養う。具体的には裁判例や実務についての分析検討を行うことによって、著作権法の実務上必要とされる最低限度の解釈、理論を習得し、さらには法理論の事例への当てはめ能力を養う。一応の著作権の知識を習得し、興味があれば発展学習できる力をつける。				
履修条件	特になし				
授業方法	・ 毎回レポーターを定め、発表させ、全員で討論する。 ・ レポーターはA 4 縦用紙2枚程度の発表用レジュメを作成、配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	課題提出、試験等60% 受講生の議論への参加態度30%、授業参加度10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	有斐閣		著作権法判例百選第5版	小泉直樹外編
	2007年	有斐閣		著作権法第2版	
	備考				
参 考 書	小倉＝金井共編 著作権法コンメンタール（レクシスネクシス）				
オフィスアワー	水曜7限の時間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	判例百選2乃至4を読んでくる 教科書の該当箇所を読んでくる
	授業内容	創作保護法としての著作権法
	事後学習	授業であったことを復習する
2	事前学習	知的財産権のうちで、著作権法による著作物の保護と、特許法による発明の保護の違いを調べてくる
	授業内容	著作物と発明、著作権と特許権
	事後学習	授業であったことを復習する

3	事前学習	教科書及び福井健策著「著作権とは何か」集英社新書を読んてくる
	授業内容	著作物とは何か
	事後学習	授業であったことを復習する
4	事前学習	判例百選5，7，8番を読んてくる
	授業内容	著作物の例示①
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて理解を深める
5	事前学習	判例百選9，10，12番を読んてくる
	授業内容	著作物の例示②
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて理解を深める
6	事前学習	判例百選14乃至20番を読んてくる
	授業内容	編集著作物とデータベース
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて知識を整理する
7	事前学習	判例百選21乃至25を読んてくる
	授業内容	著作権の主体は誰か
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて知識を整理する
8	事前学習	判例百選28無いし0を読んてくる
	授業内容	創作者
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて知識を整理する
9	事前学習	共同著作について善解指示した判例を読んてくる
	授業内容	共同著作
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて知識を整理する
10	事前学習	2次著作について善解の授業で指示した判例と教科書の該当箇所を読んてくる
	授業内容	2次著作
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書、参考書の該当部分を読んて知識を整理する
11	事前学習	判例百選37乃至40を読んてくる
	授業内容	映画の著作物と映画の著作物の著作権者
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて知識を整理する
12	事前学習	著作財産権の構造について教科書参考書を読んてくる
	授業内容	著作財産権の構造
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を再度読んて知識を整理する
13	事前学習	教科書の該当箇所を読んてくる
	授業内容	複製権
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分、参考書、判例百選の複製権に関する判例を読んて知識を整理する
14	事前学習	判例百選26，27番をを読んてくる
	授業内容	変形利用権
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んて知識を整理する

15	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる
	授業内容	著作権の制限一般
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する

科目名	知的財産法D(著作権) I	担当者	藤田 晶子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	知的財産法の中でも我が国の著作権法は、特許・実用新案等の他の産業財産権と異なり、出願・審査・登録という権利化のプロセスがなく、著作物が創作の時から保護の対象となるほか、実に種類豊富、多彩な創作活動の成果物が「著作物」として扱われている。著作権法の知識は、企業法務においても、個人の社会生活においても、身近で役立つ法律知識である。前期はまずは法文及び判例の検討を通して、著作権法の基礎知識の習得を目指す。				
授業目的・到達目標	前期は著作権侵害が問題となった様々な裁判例を題材にして、著作権法の構造と基礎知識を概観する。後期は事例分析能力を養う演習教材を用いて著作権法マスターを目指すため、前期後期のセット履修が望ましい。著作権法は面白い、と実感してほしい。				
履修条件	著作権法は民法・民事訴訟法の特別法としての性格を有する。基本の民法・民事訴訟法の基礎知識が著作権法の理解のベースとなることに留意すること。				
授業方法	著作権法の体系に沿って論点を整理し、基礎知識の習得と判例の検討を行う。基本的に講義形式であるが、受講生も積極的に手を挙げて発言してほしい。期間中に小テストを1回行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	著作権法の基礎知識、条文・判例等の知識が習得されているかを判定する。講義中に指摘した基礎的事項についての習熟度を問う。	
	平常評価		20%	授業への参加度・受講態度及び小テストの評価を加味する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年	有斐閣	著作権法判例百選 第5版		小泉直樹, 他3名編
	2016年	有斐閣	標準 著作権法 第3版		高林龍
	備考	上記のほか、各回復習レジュメをアップする。			
参考書	土肥一史「知的財産法入門【第15版】」（中央経済社 2015年）、中山信弘「著作権法 第2版」（有斐閣 2014年）				
オフィスアワー	火曜日16:30pm～17:30pm 事前にメールで予約を取ること。 e-mail : akiko_fujita@lapinrose.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入して全体の目次に目を通しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション、著作権法制の概要
	事後学習	教科書等で知的財産法の全体像と著作権法制の概要を理解する。
2	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作物性 (1) 書体, キャラクター 「著作物」とは何か。裁判例は最判平12.9.7（書体）、最判平9.7.17（キャラクター）等を検討。
	事後学習	教科書等で、著作権法上の客体としての「著作物」とは何か、様々なバリエーションや論点があることを理解する。

3	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作物（2）応用美術，編集著作物，データベースの著作物 「応用美術」とは何か，「編集著作物」，「データベースの著作物」とは何か。裁判例は仙台高判平14.7.9（ファービー人形），東京地判平12.3.23（色見本帳），東京地判平12.3.17（データベース）等を検討。
	事後学習	教科書等で，「応用美術」や「編集著作物」，「データベースの著作物」の特徴・論点を理解する。
4	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作物（3）「二次的著作物」，「共同著作物」 「二次的著作物」とは何か，「共同著作物」とは何か。裁判例は知高判平18.9.26（考古学研究事典），最判平13.10.25（キャンディ・キャンディ）等を検討。
	事後学習	教科書等で，「二次的著作物」，「共同著作物」の意義，違い，条文構造等を理解する。
5	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「著作者」 「著作者」とは何か。映画の著作物の著作者。裁判例は最判平5.3.30（智恵子抄），東京地判平10.10.29（雑誌のインタビュー記事）等を検討。
	事後学習	教科書等で，様々な事件の著作権の帰属主体に関する認定や，映画の著作物の場合の特殊性を理解する。
6	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「職務著作」 「職務著作」とは何か，裁判例は最判平15.4.11（RGBアドベンチャー），知高判平18.10.19（計装士学会）等を検討。
	事後学習	教科書等で，「職務著作」と条文，具体的論点についての解釈を理解する。
7	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作権・「複製権」 「複製」とは何か，翻案との違い。裁判例は東京高判平14.2.18（雪月花），最判昭53.9.7（ワン・レイニー・ナイト・イン・トーキョー）等を検討。
	事後学習	教科書等で，「複製」とは何か，複製の要件，翻案との違い等を理解する。
8	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「翻案権」・二次的著作物の原著作者の権利 「翻案」とは何か。裁判例は最判平13.6.28（江差追分），東京高判平14.9.6（記念樹）等を検討。
	事後学習	教科書等で，「翻案」とは何か，判例の規範や二次的著作物の原著作者との関係を理解する。
9	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「公衆送信権」・「上演権」・「頒布権」等の支分権 複製権，翻案権以外の権利の内容。裁判例は東京高判平17.3.3（2ちゃんねる），最判平14.4.25（中古ソフト）等を検討。
	事後学習	教科書等で，複製権・翻案権以外の「支分権の束」と具体的判例を理解する。
10	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作権の「制限」 私的複製，引用等の著作権の「制限」。裁判例は東京高判昭60.10.17（藤田嗣治），東京地判平9.9.5（ダリ）等を検討
	事後学習	教科書等で，法律上設けられている著作権の「制限」規定，論点，判例等を理解する。
11	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作権のライセンス契約の解釈，譲渡契約の解釈，登録と対抗要件，電子書籍関連。裁判例は知高判平20.3.27（Von Dutch）等を検討。
	事後学習	教科書等で，著作権のライセンス契約の実務，登録と対抗要件，出版権設定行為等を理解する。
12	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「著作者人格権」，「著作隣接権」 著作者人格権の内容・条文。裁判例は東京地判平12.2.29（中田英寿），大阪地判平17.1.17（セキスイツーユーホーム）等を検討。「著作隣接権」とは何か。著作権と著作隣接権の関係。
	事後学習	教科書等で，著作者人格権（公表権・氏名表示権・同一性保持権）の内容・条文，論点を理解する。著作隣接権とは何かを理解する。
13	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	保護期間，侵害と救済（1）差止請求，「間接侵害」 各種知的財産権の保護期間，著作権の保護期間，著作権侵害に基づく差止請求。裁判例は東京高判平成17.3.31（P2Pファイル交換），最判平23.1.18（まねきTV）等を検討。
	事後学習	教科書等で，保護期間，著作権侵害に基づく差止請求の構成や判例法理を理解する。

14	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	侵害と救済（2）損害賠償請求，みなし侵害等 著作権侵害に基づく損害賠償請求，損害額の算定方法。裁判例は最判平13.3.2（ビデオメイツ），東京地判平13.5.16（東京リーガルマインド）等を検討。
	事後学習	教科書等で，著作権侵害に基づく損害賠償請求の算定方法，論点・解釈等を理解する。
15	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事罰，国際関係 著作権法の罰則規定の理解，国際裁判管轄，裁判例は実際の刑事事件を紹介。
	事後学習	教科書等で，著作権法の罰則規定の理解，国際関係の論点を理解する。

科目名	知的財産法D(著作権)Ⅱ	担当者	金井 重彦	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	D1に引き継いで、著作権法の概要を習得する。できる限り事例に即して、具体的に著作権法を理解する。				
授業目的・到達目標	著作権法について、体系的な知識と理解を深め、応用力を養う。具体的には裁判例や実務についての分析検討を行うことによって、著作権法の実務上必要とされる最低限度の解釈、理論を習得し、さらには法理論の事例への当てはめ能力を養う。一応の著作権の知識を習得し、興味があれば発展学習できる力をつける。				
履修条件	特になし。知的財産法D1を履修していることが望ましいが、条件ではない。				
授業方法	・毎回レポーターを定め、発表させ、全員で討論する。 ・レポーターはA 4 縦用紙2枚程度の発表用レジュメを作成、配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題提出、授業内試験等60% 受講生の議論への参加態度30%、授業参加度10%	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	有斐閣		著作権法判例百選	小泉直樹外
	2007年	有斐閣		著作権法	中山信弘
	備考				
参考書	小倉＝金井編 著作権法コンメンタール（レクシスネクシス） そのほか授業内において適宜参考文献を指示する				
オフィスアワー	水曜7限の時間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	判例百選71乃至74番を読んでくる。D1を履修しないで本講座を履修するものはこのほかに福井健策著「著作権とは何か」（集英社新書）を一読しておくことが望ましい（読みやすく新書なのですぐに読み終わらせる）。
	授業内容	引用について
	事後学習	著作権の制限規定の中で最も重要な「引用」の概念を、教科書を読んで復習する。
2	事前学習	教科書の該当箇所を予め読んでくる。
	授業内容	著作人格権とその内容
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する

3	事前学習	教科書の該当箇所を予め読んでくる。
	授業内容	著作権侵害と救済
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
4	事前学習	教科書の該当箇所を予め読んでくる。判例百選93乃至98番を読んでくる。
	授業内容	著作権の直接侵害と間接侵害
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
5	事前学習	教科書の該当箇所を予め読んでくる。
	授業内容	著作権侵害の認定方法
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
6	事前学習	教科書の該当箇所を予め読んでくる
	授業内容	著作者人格権侵害とその救済
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
7	事前学習	判例百選82乃至85番を予め読んでくる。
	授業内容	著作権者の変動
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
8	事前学習	前回の授業内で指示した判例を読んでくる。
	授業内容	著作権の消尽
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
9	事前学習	著作権の保護期間について調べて考えてくる。
	授業内容	著作権の保護期間
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
10	事前学習	教科書の放送権、有線放送権の箇所を予め読んでくる
	授業内容	放送と著作権
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
11	事前学習	指示した文献を読んでくる
	授業内容	フェアユース　なぜフェアユースなのか
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
12	事前学習	判例百選86乃至89を予め読んでくる
	授業内容	著作権の取引
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する
13	事前学習	教科書の該当箇所を予め読んでくる
	授業内容	著作隣接権
	事後学習	授業であったことを教科書を再読して復習する。
14	事前学習	指示した文献を読んでくる。最近の法改正について考えてくる。
	授業内容	著作権の刑事罰則
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する

15	事前学習	著作権法全体をもう一度、全体的にとらえなおす。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業であったことを復習する 教科書の該当部分を読んで知識を整理する

科目名	知的財産法D(著作権)Ⅱ	担当者	藤田 晶子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	知的財産法の中でも我が国の著作権法は、特許・実用新案等の他の産業財産権と異なり、出願・審査・登録という権利化のプロセスがなく、著作物が創作の時から保護の対象となるほか、実に種類豊富、多彩な創作活動の成果物が「著作物」として扱われている。著作権法の知識は、企業法務においても、個人の社会生活においても、身近で役立つ法律知識である。法文及び関連法規と判例の検討を通して、著作権法の基礎知識と事例分析能力の習得を目指す。				
授業目的・到達目標	著作権法の基礎知識確認と事例の分析方法を身につけることを目標とする。内容・分量を考慮すると前期後期のセット履修が望ましい。著作権法は面白い、と実感してほしい。				
履修条件	著作権法は民法・民事訴訟法の特別法としての性格を有する。基本の民法・民事訴訟法の基礎知識が著作権法の理解のベースとなることに留意すること。				
授業方法	著作権法の体系に沿って論点を整理し、基礎知識の確認と判例の検討を行う。基本的に講義形式であるが受講生も積極的 的に手を挙げて発言してほしい。期間中にレポートと小テストを行う。後期は演習問題を取り入れた講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	著作権法の基礎知識、条文・判例等の知識が習得されているかを判定する。講義中に指摘した基礎的事項についての習熟度を問う。	
	平常評価		20%	授業への参加度・受講態度及びレポート、小テストの評価を加味する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年	有斐閣		著作権法判例百選 第5版	小泉直樹，他3名編
	2016年	有斐閣		標準 著作権法 第3版	高林龍
	備考	上記のほか、各回復習レジュメをアップする。			
参考書	中山信弘「著作権法 第2版」（有斐閣 2014年）				
オフィスアワー	火曜日16:30pm～17:30pm 事前にメールで予約を取ること。 e-mail : akiko_fujita@lapinrose.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の全体の目次に目を通しておくこと。
	授業内容	(後半) オリエンテーション, 著作権法制の概要 著作権法制全体の概要, 条文構造等。
	事後学習	教科書等で知的財産法の全体像と著作権法制の概要を理解する。
2	事前学習	教科書, 前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作物性 (1) 書体, キャラクター 「著作物」に関する知識の確認と演習。
	事後学習	教科書等で, 著作権法上の客体としての「著作物」に関する論点, 演習問題の構成・分析を理解する。

3	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作物（2）応用美術，編集著作物，データベースの著作物に関する知識の確認及び演習。
	事後学習	教科書等で，「応用美術」や「編集著作物」，「データベースの著作物」の特徴・論点，演習問題の構成・分析を理解する。
4	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作物（3）「二次的著作物」，「共同著作物」に関する知識の確認及び演習。
	事後学習	教科書等で，二次的著作物，共同著作物に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
5	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「著作者」に関する知識の確認及び演習。
	事後学習	教科書等で，権利の帰属主体に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
6	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「職務著作」に関する知識の確認及び演習。
	事後学習	教科書等で，「職務著作」に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
7	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作権・「複製権」に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，「複製」に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
8	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「翻案権」・二次的著作物の原著作者の権利に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，「翻案」，二次的著作物の原著作者との関係に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
9	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	公衆送信権・上演権・頒布権・出版権等の支分権に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，複製権・翻案権以外の支分権に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
10	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作権の「制限」に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，法律上設けられている著作権の「制限」に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
11	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	著作権のライセンス契約の解釈，譲渡契約の解釈，登録と対抗要件に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，著作権のライセンス契約の実務，登録と対抗要件に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
12	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	「著作者人格権」，「著作隣接権」に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，著作者人格権（公表権・氏名表示権・同一性保持権）に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
13	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	保護期間，侵害と救済（1）差止請求，間接侵害に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，保護期間，著作権侵害に基づく差止請求に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。
14	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	侵害と救済（2）損害賠償請求，みなし侵害等に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，著作権侵害に基づく損害賠償請求に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。

15	事前学習	教科書，前期レジュメの該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	刑事罰，国際関係に関する知識の確認及び演習
	事後学習	教科書等で，著作権法の罰則規定の理解，国際関係に関する論点，演習問題の構成・分析を理解する。

科目名	知的財産法E(関連条約) I	担当者	加藤 浩	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	知的財産法の国際的なルールについて講義する。具体的には、知的財産法の基本条約として、パリ条約について講義し、また、知的財産法の各論として、特許法に関する条約、意匠法に関する条約について講義する。					
授業目的・到達目標	近年、特許権、意匠権、商標権、著作権などの知的財産権を巡る国際的な争いや模倣品被害が増加する中、企業においては、知的財産制度の国際的なルールを理解することが必要不可欠である。そこで、本講義では、知的財産分野の条約（国際法）の概要を理解することを目的とする。また、本講義では、知的財産法に関する基本条約（パリ条約）のほか、特許法、意匠法それぞれに関する国際条約を理解することにより、国際的な知財法務を担えるようになることを目標とする。					
履修条件	特になし。（知的財産法の初学者でも履修可とする。）					
授業方法	レジュメを配布して講義を行う。知的財産権を巡る最新の話題・事例も適宜、教材とする。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験					
	平常評価		100%	授業態度（授業の参加・貢献度）と授業内テスト（２回）を中心に評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。毎回、レジュメを配布する。				
参考書	必要に応じ紹介する。					
オフィスアワー	水曜日 5 時限目に設定する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産権とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	知的財産法の概要
	事後学習	知的財産法の概要について復習しておくこと。
2	事前学習	知的財産権とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	W I P O 設立条約
	事後学習	W I P O 設立条約の概要について復習しておくこと。

3	事前学習	パリ条約とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	工業所有権の保護に関するパリ条約（１）
	事後学習	パリ条約の概要について復習しておくこと。
4	事前学習	パリ条約の三原則について考えておくこと。
	授業内容	工業所有権の保護に関するパリ条約（２）
	事後学習	パリ条約の三原則について復習しておくこと。
5	事前学習	パリ条約の三原則について考えておくこと。
	授業内容	工業所有権の保護に関するパリ条約（３）
	事後学習	パリ条約の三原則について復習しておくこと。
6	事前学習	パリ条約の各論について考えておくこと。
	授業内容	工業所有権の保護に関するパリ条約（４）
	事後学習	パリ条約の各論について復習しておくこと。
7	事前学習	パリ条約の各論について考えておくこと。
	授業内容	工業所有権の保護に関するパリ条約（５）
	事後学習	パリ条約の各論について復習しておくこと。
8	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。
9	事前学習	特許に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	特許に関する条約（１） 特許協力条約
	事後学習	特許協力条約の概要について復習しておくこと。
10	事前学習	特許協力条約の各論について考えておくこと。
	授業内容	特許に関する条約（２） 特許協力条約
	事後学習	特許協力条約の各論について復習しておくこと。
11	事前学習	特許協力条約の各論について考えておくこと。
	授業内容	特許に関する条約（３） 特許協力条約
	事後学習	特許協力条約の各論について復習しておくこと。
12	事前学習	特許に関するその他の条約について考えておくこと。
	授業内容	特許に関する条約（４） その他の条約
	事後学習	特許に関するその他の条約の概要について復習おくこと。
13	事前学習	意匠に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	意匠に関する条約（１） ハーグ協定
	事後学習	ハーグ協定の概要について復習しておくこと。
14	事前学習	意匠に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	意匠に関する条約（２） その他の条約
	事後学習	意匠に関するその他の条約の概要について復習しておくこと。

15	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	まとめ（授業内テスト）
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。

科目名	知的財産法E(関連条約)Ⅱ	担当者	加藤 浩	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	知的財産法の国際的なルールについて講義する。具体的には、知的財産法の基本条約として、ベルヌ条約、TRIPS協定について講義し、また、知的財産法の各論として、商標法に関する条約、著作権法に関する条約について講義する。					
授業目的・到達目標	近年、特許権、意匠権、商標権、著作権などの知的財産権を巡る国際的な争いや模倣品被害が増加する中、企業においては、知的財産制度の国際的なルールを理解することが必要不可欠である。そこで、本講義では、知的財産分野の条約（国際法）の概要を理解することを目的とする。また、本講義では、知的財産法に関する基本条約（ベルヌ条約、T R I P S協定）のほか、商標法、著作権法それぞれに関する国際条約を理解することにより、国際的な知財法務を担えるようになることを目標とする。					
履修条件	特になし。（知的財産法の初学者でも履修可とする。）					
授業方法	レジュメを配布して講義を行う。知的財産権を巡る最新の話題・事例も適宜、教材とする。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%	授業態度（授業の参加・貢献度）と授業内テスト（2回）を中心に評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。毎回、レジュメを配布する。				
参 考 書	必要に応じ紹介する。					
オフィスアワー	水曜日 5 時限目に設定する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産権とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	知的財産法の概要
	事後学習	知的財産法の概要について復習しておくこと。
2	事前学習	商標に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	商標に関する条約（1） マドリッド協定議定書
	事後学習	マドリッド協定議定書の概要について復習しておくこと。

3	事前学習	マドリッド協定議定書の各論について考えておくこと。
	授業内容	商標に関する条約（２）　マドリッド協定議定書
	事後学習	マドリッド協定議定書の各論について復習しておくこと。
4	事前学習	マドリッド協定議定書の各論について考えておくこと。
	授業内容	商標に関する条約（３）　マドリッド協定議定書
	事後学習	マドリッド協定議定書の各論について復習しておくこと。
5	事前学習	商標に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	商標に関する条約（４）　その他の条約
	事後学習	商標に関するその他の条約について復習しておくこと。
6	事前学習	著作権に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	著作権に関する条約（１）　ベルヌ条約
	事後学習	ベルヌ条約の概要について復習しておくこと。
7	事前学習	著作権に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	著作権に関する条約（２）　ローマ条約
	事後学習	ローマ条約の概要について復習しておくこと。
8	事前学習	著作権に関する条約の概要について考えておくこと。
	授業内容	著作権に関する条約（３）　W I P O 著作権条約
	事後学習	W I P O 著作権条約の概要について復習しておくこと。
9	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。
10	事前学習	T R I P S 協定（W T O）の概要について考えておくこと。
	授業内容	T R I P S 協定（W T O）　（１）
	事後学習	T R I P S 協定（W T O）の概要について復習しておくこと。
11	事前学習	T R I P S 協定（W T O）の原則について考えておくこと。
	授業内容	T R I P S 協定（W T O）　（２）
	事後学習	T R I P S 協定（W T O）の原則について復習しておくこと。
12	事前学習	T R I P S 協定（W T O）の総論について考えておくこと。
	授業内容	T R I P S 協定（W T O）　（３）
	事後学習	T R I P S 協定（W T O）の総論について復習しておくこと。
13	事前学習	T R I P S 協定（W T O）の各論について考えておくこと。
	授業内容	T R I P S 協定（W T O）　（４）
	事後学習	T R I P S 協定（W T O）の各論について復習しておくこと。
14	事前学習	T R I P S 協定（W T O）の各論について考えておくこと。
	授業内容	T R I P S 協定（W T O）　（５）
	事後学習	T R I P S 協定（W T O）の各論について復習しておくこと。

15	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。

科目名	知的財産政策	担当者	加藤 浩	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義では、知的財産政策について解説する。具体的には、特許法、意匠法、商標法、著作権法それぞれに関する政策について、政策課題とその解決に向けた取り組みについて解説する。				
授業目的・ 到達目標	近年、特許法、意匠法、商標法、著作権法などの知的財産法への社会的な関心が高まる中、国家政策として知的財産政策が急速に推進されている。また、地方政府においても、知的財産政策を積極的に導入する傾向にある。そこで、本講義では、知的財産政策の現状と課題について理解することを目的とする。また、本講義では、知的財産政策の基本的な考え方を理解することにより、知的財産政策や企業の知財法務を担えるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。（知的財産法の初学者でも履修可とする。）				
授業方法	レジュメを配布して講義を行う。知的財産政策を巡る最新的话题・実例も適宜、題材とする。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業態度（授業への参加・貢献度）と授業内テスト（2回）を中心に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	必要に応じ紹介する。 例えば、「知的財産推進計画2017」など。（ホームページから入手可）				
オフィス アワー	木曜日5時限目にに設定する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	知的財産政策とは何かについて考えておくこと。
	授業内容	総論（知的財産政策の現状と課題）
	事後学習	知的財産政策の現状と課題について復習しておくこと。
2	事前学習	特許法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	特許法に関する政策（1）基本的な考え方
	事後学習	特許法に関する政策として、基本的な考え方について復習しておくこと。

3	事前学習	特許法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	特許法に関する政策（2）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
4	事前学習	特許法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	特許法に関する政策（3）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
5	事前学習	意匠法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	意匠法に関する政策（1）基本的な考え方
	事後学習	意匠法に関する政策として、基本的な考え方について復習しておくこと。
6	事前学習	意匠法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	意匠法に関する政策（2）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
7	事前学習	意匠法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	意匠法に関する政策（3）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
8	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。
9	事前学習	商標法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	商標法に関する政策（1）基本的な考え方
	事後学習	商標法に関する政策として、基本的な考え方について復習しておくこと。
10	事前学習	商標法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	商標法に関する政策（2）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
11	事前学習	商標法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	商標法に関する政策（3）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
12	事前学習	著作権法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	著作権法に関する政策（1）基本的な考え方
	事後学習	著作権法に関する政策として、基本的な考え方について復習しておくこと。
13	事前学習	著作権法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	著作権法に関する政策（2）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。
14	事前学習	著作権法に関する政策について考えておくこと。
	授業内容	著作権法に関する政策（3）事例研究
	事後学習	授業で解説した事例について復習しておくこと。

15	事前学習	授業内テストを行うので、テスト範囲を復習しておくこと。
	授業内容	授業内テスト及びまとめ
	事後学習	授業内テストの範囲について、さらに復習しておくこと。

科目名	地方行財政特殊講義A	担当者	山田 光矢	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本では地方創生をメインスローガンに地方行財政制度の改革が各地方公共団体で実践されている。その実態を、日本経済新聞の月曜日の朝刊「地域総合」の記事を中心に、各地方公共団体の現状や地方創生策等を題材に、各項目を分析していくことによって日本の地方創生の全体像や、各地方公共団体の実施策の特徴や問題点に迫っていく。				
授業目的・到達目標	日本の地方自治制度改革の実態を、多くの資料を活用することによって理解し、受講生の出身地や現在生活している地域あるいは興味のある地域などの地方創生策の目標や内容や背景などを理解し、そのあるべき姿を自分の考えや視点から確立してもらうことを目標とする。				
履修条件	指定する日の新聞だけではなく、毎日新聞をきちんと読んで、各地域の地方創生策や地方行財政改革の目的や方向性を理解して講義に出席すること。				
授業方法	資料を中心にしながら皆さんの理解した内容や考えを述べてもうことで演習形式を含んだ授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	テーマの理解度や表現力などを総合的に判断する。レポートに替えることもある。	
	平常評価		50%	授業への参加度や提出物、受講態度などを総合的に判断する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	日本経済新聞月曜日朝刊「地方総合」を主たる資料として講義を進める。			
参考書	福島康仁編、山田光矢他著『地方自治論』（第二版）弘文堂				
オフィスアワー	水曜日5限に研究室（9号館5階9505）で行います。 ※会議等のために毎週確実に対応できないことも考えられるので、相談を希望する場合には事前にメールで連絡し、私からの相談可能な連絡を受けてからきてください。（yamada.mitsuya@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本経済新聞（日経新聞）2018年4月2日朝刊の「地方総合」のページを読んできると
	授業内容	ガイダンス 講義の目的や内容を解説する 日経新聞4月2日朝刊の「地域総合」を利用して講義の進め方等を説明する
	事後学習	4月2日の「地域総合」の内容を理解する
2	事前学習	2018年4月16日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくると
	授業内容	4月16日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	4月16日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
3	事前学習	2018年4月23日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくると
	授業内容	4月23日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	4月23日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
4	事前学習	2018年4月30日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくると
	授業内容	4月30日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	4月30日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する

5	事前学習	5月2日に配布した資料の内容を整理してくる
	授業内容	5月2日に配布した資料の内容を分析する 資料の内容について報告してもらう 資料の内容について質疑応答を行う
	事後学習	5月2日に配布した資料の内容を理解する
6	事前学習	2018年5月14日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	5月14日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	5月14日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
7	事前学習	2018年5月21日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	5月21日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	5月21日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
8	事前学習	2018年5月28日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	5月28日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	5月28日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
9	事前学習	2018年6月4日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	6月4日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	6月4日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
10	事前学習	6月6日に配布した資料の内容を整理してくる
	授業内容	6月6日に配布した資料の内容を分析する 資料の内容について報告してもらう 資料の内容について質疑応答を行う
	事後学習	6月6日に配布した資料の内容を理解する
11	事前学習	2018年6月18日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	6月18日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	6月18日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
12	事前学習	2018年6月25日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	6月25日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	6月25日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
13	事前学習	2018年7月2日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	7月2日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	7月2日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
14	事前学習	これまでの講義に合わせて指示に応じてレポートを作成してくる
	授業内容	レポートの報告 レポートの内容について報告してもらう レポートの内容について質疑応答を行う
	事後学習	レポートの内容を再吟味する
15	事前学習	レポートの内容を整理してくる
	授業内容	レポートの評価 レポートの内容やレベルについて話をする 再提出を含めて指導を行う
	事後学習	レポートを中心にしてこれまでの講義の内容を理解する

科目名	地方行財政特殊講義B	担当者	山田 光矢	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本では地方創生をメインスローガンに地方行財政制度の改革が各地方公共団体で実践されている。その実態を、日本経済新聞の月曜日の朝刊「地域総合」の記事を中心に、各地方公共団体の現状や地方創生策等を題材に、各項目を分析していくことによって日本の地方創生の全体像や、各地方公共団体の実施策の特徴や問題点に迫っていく。				
授業目的・到達目標	日本の地方自治制度改革の実態を、多くの資料を活用することによって理解し、受講生の出身地や現在生活している地域あるいは興味のある地域などの地方創生策の目標や内容や背景などを理解し、そのあるべき姿を自分の考えや視点から確立してもらうことを目標とする。				
履修条件	指定する日の新聞だけではなく、毎日新聞をきちんと読んで、各地域の地方創生策や地方行財政改革の目的や方向性を理解して講義に出席すること。				
授業方法	資料を中心にしながら皆さんの理解した内容や考えを述べてもうことで演習形式を含んだ授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	テーマの理解度や表現力などを総合的に判断する。レポートに替えることもある。	
	平常評価		50%	授業への参加度や提出物、受講態度などを総合的に判断する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	日本経済新聞月曜日朝刊「地方総合」を主たる参考資料とする			
参考書	福島康仁編、山田光矢他著『地方自治論』（第二版）弘文堂				
オフィスアワー	水曜日5限に研究室（9号館5階9505）で行います。 ※会議等のために毎週確実に対応できないことも考えられるので、相談を希望する場合には事前にメールで連絡し、私からの相談可能な連絡を受けてからきてください。（yamada.mitsuya@nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本経済新聞（日経新聞）2018年9月17日朝刊の「地方総合」のページを読んでくる
	授業内容	ガイダンス 講義の目的や内容を解説する 日経新聞9月17日朝刊の「地域総合」を利用して講義への進め方等を説明する
	事後学習	9月17日の「地域総合」の内容を理解する
2	事前学習	2018年9月24日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	9月24日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	9月24日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
3	事前学習	2018年10月1日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	10月1日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	10月1日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
4	事前学習	2018年10月8日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	10月8日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	10月8日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する

5	事前学習	2018年10月15日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	10月15日に配布した資料の内容を分析する 資料の内容について報告してもらう 資料の内容について質疑応答を行う
	事後学習	10月15日に配布した資料の内容を理解する
6	事前学習	2018年10月22日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	10月22日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	10月22日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
7	事前学習	2018年10月29日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	10月29日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	10月29日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
8	事前学習	2018年11月5日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	11月5日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	10月29日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
9	事前学習	11月7日に配布した資料の内容を整理してくる
	授業内容	11月7日に配布した資料の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	11月7日に配布した資料の内容を理解する
10	事前学習	2018年11月19日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	11月19日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 資料の内容について報告してもらう 資料の内容について質疑応答を行う
	事後学習	11月19日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
11	事前学習	2018年11月26日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	11月26日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	11月26日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
12	事前学習	2018年12月3日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	12月3日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	12月3日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
13	事前学習	2018年12月17日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を整理してくる
	授業内容	12月17日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を分析する 記事の内容について報告してもらう 記事の内容について質疑応答を行う
	事後学習	12月17日の日経新聞朝刊「地方総合」の内容を理解する
14	事前学習	2018年12月24日と1929年1月7日の日経新聞朝刊「地域総合」の内容のレポートを作成してくる
	授業内容	レポートの報告 レポートの内容について報告してもらう レポートの内容について質疑応答を行う
	事後学習	レポートの内容を再吟味する
15	事前学習	再吟味したレポートの内容を整理してくる
	授業内容	レポートの評価 レポートの内容やレベルについて話をする 再提出を含めて指導を行う
	事後学習	レポートを中心にこれまでの講義の内容を理解する

科目名	地方行財政特殊講義C	担当者	賀来 健輔	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業は、「地方自治体の政策過程における住民参加」を主題とし、一般には住民参加論とか市民参加論などと呼ばれているものである。位置づけとしては、地方自治論の展開科目である。この授業では、地方自治体の政策に住民の声（意見）が十分に反映されていないという現状認識をもとに、どのようにしてより効果的に住民の声（意見）を反映させていくかという点を検討していく。具体的には、住民参加の仕組みや現状を理解し、その課題と改善点を探る。				
授業目的・到達目標	地方自治の主人公（＝主権者）としてふさわしい政治的リテラシーを習得し、地方自治の醸成のために積極的な行動（住民参加）が取れるようになること。				
履修条件	特になし。地方自治論を始め行政学、政治学系の関連科目を併せて履修すると、より効果的な学習が見込める。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業への積極的な取り組み、復習テスト、レポート、授業内学習到達度テストを総合的に評価する。従って、前提となる出席が少ない場合は評価の対象外となる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	高橋秀行他編『新説 市民参加[新版]』公人社、2013年、賀来健輔著『地方自治を学ぶ-要点と資料-[第2版]』三恵社、2017年、山田光矢・福島康仁編著『地方自治論』弘文堂、2018年など。この他必要に応じて授業で紹介する。				
オフィスアワー	木曜日12時～13時。 また他の曜日・時間帯でも可能です。まずはメールで希望日時をご連絡下さい。 kaku.kensuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認。
	授業内容	ガイダンス～講義計画・成績評価の方法、参考文献の紹介など
	事後学習	図書館に所蔵している参考書を手に取って、住民参加・市民参加とはどんなことをいうのかイメージを掴んでほしい。
2	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	住民参加の基礎理論
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
3	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方自治体の政策過程における住民参加～各過程における住民参加の概観
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
4	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	住民参加と自治体情報(1)情報公開制度
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

5	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	住民参加と自治体情報(2)自治体広報活動
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
6	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	住民参加の見取り図～制度・非制度、強・弱、行政統制としての機能ほか
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
7	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	直接請求制度 (1)全体の概観及び条例の制定又は改廃請求①
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
8	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	直接請求制度 (2)条例の制定又は改廃請求②条例に基づく住民投票その1
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
9	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	直接請求制度 (3)条例の制定又は改廃請求③条例に基づく住民投票その2
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
10	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	直接請求制度 (4)事務の監査請求～特に住民監査請求との比較、そして市民オンブズマンとの関連において
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
11	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	直接請求制度 (5)議会の解散請求、議員・長・主要公務員の解職請求
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
12	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	その他の住民参加の諸制度～請願、陳情、市民公募委員ほか
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
13	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	非制度的な住民参加～住民運動、NPO/NGOによるアドボカシー（政策提言）活動
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
14	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治や住民参加の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	住民参加のこれから～目指すべき方向性
	事後学習	授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書に当たって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
15	事前学習	この授業で学んだ事柄について、参考書やノートを見ながら全体的な理解に努めること。
	授業内容	授業内において学習到達度を測るテスト
	事後学習	復習

科目名	地方行財政特殊講義D	担当者	賀来 健輔	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、「国と地方自治体の環境行政と政策」を取り上げる。現代において最も深刻で解決すべき喫緊の課題の一つである環境問題について、国や地方自治体はどのような役割を果たしているのかその制度と役割を概観し、今後の求められる方向性を検討する。				
授業目的・到達目標	環境問題を中心に各分野の公共政策の仕組みや機能が理解できるようになることが、授業の目的、到達目標である。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度、履修態度、復習テスト、レポート、授業内学習到達度テストなどを総合的に評価する。従って、前提となる出席が少ない場合は、評価の対象外となる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	鈴木洋昌著『図解よくわかる自治体環境法のしくみ』学陽書房、2012年、岩崎忠著『自治体の公共政策』学陽書房、2013年。この他必要に応じて授業で紹介する。				
オフィスアワー	木曜日12時～13時。 また他の曜日、時間帯でも可能です。まずはメールで希望日時をご連絡下さい。 kaku.kensuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認。
	授業内容	講義計画・成績評価の方法・参考文献の紹介ほか
	事後学習	図書館に所蔵している参考書を手に取って、授業のイメージを明確にしておくこと。
2	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	公共政策と環境政策(1)環境問題とは何か？
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
3	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	公共政策と環境政策(2)公共政策、環境政策とは何か？
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
4	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境政策の政策過程
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

5	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	国と地方自治体の環境行政組織
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
6	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境政策の手法(1)規制的手法
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
7	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境政策の手法(2)経済的手法
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
8	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境政策の手法(3)情報的手法
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
9	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境法体系(1)環境法とは何か？
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
10	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境法体系(2)環境基本法の内容紹介
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
11	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境政策の歴史(1)高度経済成長期まで
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
12	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	環境政策の歴史(2)高度経済成長期以降現在まで
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
13	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	自治体環境政策のケース・スタディ(1)先進自治体の環境政策を紹介、解説する①
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
14	事前学習	ウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから環境問題、環境政策の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	自治体環境政策のケース・スタディ(2)先進自治体の環境政策を紹介、解説する②
	事後学習	改めて授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみること。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次の授業で質問すること。
15	事前学習	授業で学んだ事柄について、参考書や講義でとったノートを見ながら全体的な理解に努めること。
	授業内容	まとめ～授業内において学習到達度を測るテスト
	事後学習	復習

科目名	地方財政論Ⅰ	担当者	斎藤 英明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	地方財政の現状、制度を学び、現在地方自治体が抱えている財政上の問題を理解します。そのうえで、解決すべき問題とその解決方法を自分の言葉で紡ぎだせるようにします。				
授業目的・到達目標	私たちの生活は地方自治体が供給するさまざまなサービスから影響を受けています。地方財政論Ⅰは、地方自治体がどのような経済活動によってサービスを供給しているのか、理論や地方財政の現状を中心に学びます。そこから、地方財政の解決すべき問題を見つけ出すことが目的となります。地方財政の制度や仕組みを知り、また、新聞やニュース等で地方自治体が抱える問題を知りましょう。そのうえで、改善策を自分の言葉で紡ぎだすことができるようになることがこの授業の最大の目標です。				
履修条件	特にありません。余裕があれば財政学も履修すると、より楽しく学ぶことができるでしょう。また、後期に地方財政論Ⅱを履修すると、より理解が深まるでしょう。				
授業方法	【授業計画】にしたがって、講義形式で進めます。授業の最後に質問やコメントを書いてもらい、次の授業でレスポンスするなど、双方向性を高めたいと考えています。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	授業で学んだ理論や考え方が身に付き、自分の言葉で説明ができるようになっているのかを判断します。筆記試験を実施する予定です。	
	平常評価		30%	授業へ臨む態度、有意義な質問やコメントから判断します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。授業で使用する教材については、毎回ポータル等を通じて配布します。			
参考書	授業中に適宜紹介します。				
オフィスアワー	下記のアドレスにメールを送ってください。 hideaki_saito0318@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞やニュースで地方財政について触れてみましょう。
	授業内容	ガイダンス ・履修上の注意、前期の授業でどのようなことを学ぶのか ・地方財政論の意義
	事後学習	単位習得のための心構えをしましょう。
2	事前学習	全国総合開発計画を調べておきましょう。
	授業内容	過去と今を知ろう ・地方財政の歴史と現状
	事後学習	地方財政の現状を復習しておきましょう。

3	事前学習	財政の三機能を調べておきましょう。
	授業内容	国と地方の財政関係を学ぼう（１） ・国，地方自治体とは何か ・財政の三機能
	事後学習	財政の三機能を復習しておきましょう。
4	事前学習	国と地方自治体の間でのお金の流れを調べておきましょう。
	授業内容	国と地方の財政関係を学ぼう（２） ・国と地方の役割分担 ・政府間財政移転
	事後学習	国と地方自治体の間のお金の流れを確認しましょう。
5	事前学習	財・サービスとは何か思い出しましょう。
	授業内容	財・サービスの供給について観察しよう（１） ・私的財と公共財
	事後学習	身近にある私的財と公共財を調べてみましょう。
6	事前学習	スピルオーバーの意味を調べておきましょう。
	授業内容	財・サービスの供給について観察しよう（２） ・地方公共財とスピルオーバー ・クラブ財
	事後学習	身近な公共財でスピルオーバーする財を調べてみましょう。
7	事前学習	地方財政計画とは何か調べてみましょう。
	授業内容	予算や収入・支出について知ろう（１） ・地方予算制度と地方財政計画 ・地方財政収入
	事後学習	地方財政計画による国と地方自治体の財政関係を復習しておきましょう。
8	事前学習	補助金と地方交付税の違いを調べておきましょう。
	授業内容	予算や収入・支出について知ろう（２） ・補助金の種類，地方交付税制度 ・目的別経費と性質別経費
	事後学習	補助金と地方交付税の違いを整理しておきましょう。
9	事前学習	現代の租税原則を思い出しておきましょう。
	授業内容	税金について学ぼう（１） ・租税原則と地方税への応用 ・税源配分論
	事後学習	地方税で重要な租税原則を復習しておきましょう。
10	事前学習	身近にある地方税を調べてみましょう。
	授業内容	税金について学ぼう（２） ・日本の国税，道府県税，市町村税
	事後学習	道府県税，市町村税を整理しておきましょう。
11	事前学習	複数の地域にまたがる地方税を調べてみましょう。
	授業内容	税金について学ぼう（３） ・租税の外部性，租税輸出論 ・重複課税，課税競争
	事後学習	地方税の問題点を考えてみましょう。
12	事前学習	公債とは何か調べてみましょう。
	授業内容	税金が不足する時はどうするのか（１） ・公債の種類と公債負担論
	事後学習	公債は誰の負担になるか復習しておきましょう。
13	事前学習	地方財政法第5条を確認しておきましょう。
	授業内容	税金が不足する時はどうするのか（２） ・地方債と地方財政法，協議制度
	事後学習	地方債の累積状況を復習しておきましょう。

14	事前学習	これまでの授業から地方財政の問題を考えてみましょう。
	授業内容	地方財政の抱える問題
	事後学習	地方財政の解決すべき問題を考えましょう。
15	事前学習	第1回～第14回の内容を思い出しておきましょう。
	授業内容	前期授業のまとめと復習 ・前期授業の復習 ・試験準備のポイント説明
	事後学習	これまでの内容を復習して，試験に備えましょう。

科目名	地方財政論Ⅱ	担当者	斎藤 英明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	地方財政の現状、制度を学び、現在地方自治体が抱えている財政上の問題を理解します。そのうえで、解決すべき問題とその解決方法を自分の言葉で紡ぎだせるようにします。			
授業目的・ 到達目標	私たちの生活は地方自治体が供給するさまざまなサービスから影響を受けています。地方財政論Ⅰは、地方自治体がどのような経済活動によってサービスを供給しているのか、理論や地方財政の現状を中心に学びます。そこから、地方財政の解決すべき問題を見つけ出すことが目的となります。地方財政の制度や仕組みを知り、また、新聞やニュース等で地方自治体が抱える問題を知りましょう。そのうえで、改善策を自分の言葉で紡ぎだすことができるようになることがこの授業の最大の目標です。			
履修条件	特にありません。余裕があれば財政学も履修すると、より楽しく学ぶことができるでしょう。また、前期に地方財政論Ⅰを履修すると、より理解が深まるでしょう。			
授業方法	【授業計画】にしたがって、講義形式で進めます。授業の最後に質問やコメントを書いてもらい、次の授業でレスポンスするなど、双方向性を高めたいと考えています。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	授業で学んだ理論や考え方が身に付き、自分の言葉で説明ができるようになっているのかを判断します。筆記試験を実施する予定です。	
	平常評価	30%	授業へ臨む態度、有意義な質問やコメントから判断します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特に指定しません。授業で使用する教材については、毎回ポータル等を通じて配布します。		
参 考 書	授業中に適宜紹介します。			
オフィス アワー	下記のアドレスにメールを送ってください。 hideaki_saito0318@yahoo.co.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞やニュースで地方財政について触れてみましょう。
	授業内容	ガイダンス ・国と地方の財政の現状、少子高齢化の財政への影響
	事後学習	単位習得のための心構えをしましょう。
2	事前学習	新聞やニュースで地方財政について調べましょう。
	授業内容	日本が抱えている問題を知ろう ・国と地方の財政の現状、少子高齢化の財政への影響
	事後学習	国と地方自治体の財政の現状を復習しておきましょう。

3	事前学習	財政赤字とは何か調べておきましょう。
	授業内容	財政赤字は問題なのだろうか ・財政赤字の問題，持続可能性 ・財政再建と経済成長
	事後学習	財政赤字はなぜ問題なのか整理しておきましょう。
4	事前学習	国と地方自治体の予算原則を確認しておきましょう。
	授業内容	どうして財政赤字が発生するのだろうか ・量出制入の原則，政治的景気循環，二元代表制
	事後学習	政治的景気循環とは何を意味するのか復習しておきましょう。
5	事前学習	中央集権と地方分権の意味を調べておきましょう。
	授業内容	地方分権は有効な解決策だろうか（１） ・足による投票，分権化定理
	事後学習	地方分権のメリットを復習しておきましょう。
6	事前学習	国庫支出金と地方交付税の違いを調べましょう。
	授業内容	地方分権は有効な解決策だろうか（２） ・補助金，地方交付税の問題点，フライペーパー効果
	事後学習	国庫支出金の問題点を整理しておきましょう。
7	事前学習	三位一体の改革を調べておきましょう。
	授業内容	地方分権は有効な解決策だろうか（３） ・民営化，三位一体の改革，道州制
	事後学習	三位一体の改革の功罪をまとめておきましょう。
8	事前学習	所得はどこに納めるのか調べてみましょう。
	授業内容	収入を増やすにはどうするか（１） ・個人住民税と三位一体の改革，消費税の課題
	事後学習	三位一体の改革により個人住民税はどう影響を受けたのか
9	事前学習	企業は誰のものか考えてみましょう。
	授業内容	収入を増やすにはどうするか（２） ・実在説と擬制説 ・法人二税の税収格差，法人事業税の外形標準化
	事後学習	法人実在説と法人犠牲説を整理しておきましょう。
10	事前学習	日本で最も地価が高い場所を調べてみましょう。
	授業内容	収入を増やすにはどうするか（３） ・基幹税としての固定資産税
	事後学習	固定資産税の重要性を復習しておきましょう。
11	事前学習	3割自治を思い出しておきましょう。
	授業内容	地方財政のあり方を考えよう（１） ・財政再建と課税自主権
	事後学習	地方自治体の租税には何が適切か考えてみましょう。
12	事前学習	道州制について思い出してみましょう。
	授業内容	地方財政のあり方を考えよう（２） ・合併と最適規模，都道府県不要論，道州制
	事後学習	道州制について自分なりの考えをまとめましょう。
13	事前学習	補助金の問題点を思い出しておきましょう。
	授業内容	地方財政のあり方を考えよう（３） ・補助金依存と地方自治体財政（原子力発電など）
	事後学習	補助金は不要なのか考えてみましょう。
14	事前学習	PFIとは何か調べておきましょう。
	授業内容	地方財政のあり方を考えよう（４） ・民間資金の活用（PFI）
	事後学習	地方財政のあり方を考えましょう。

15	事前学習	第1回～第14回の内容を思い出しておきましょう。
	授業内容	後期授業のまとめと復習 ・後期授業の復習 ・試験準備のポイント説明
	事後学習	これまでの内容を復習して，試験に備えましょう。

科目名	地方自治法Ⅰ	担当者	西原 雄二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業では、地方自治法の理論や制度について基本的な知識や考え方を習得することを目的としている。重要な問題を取り上げて、簡潔に説明する。				
授業目的・到達目標	地方自治法の基本的構造とそれを支える基本的概念等を理解しながら、身近で重要な法律の一つである「地方自治法」に興味・関心を持ってもらえるようにする。				
履修条件	「六法」を持参すること。				
授業方法	講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。 板書する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業参加度や授業内試験等に基づいて総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	使用しない。	使用しない。		使用しない。	使用しない。
	備考				
参 考 書	授業の中で紹介する。				
オフィスアワー	火曜日１４：３０に質問を受付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に「六法」で「憲法」と「地方自治法」にざっと目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	「地方自治法」にざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方自治とは何か
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。

3	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	憲法上の地方自治
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方自治法の基本構造
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
5	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の種類（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の種類（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の事務（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の事務（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	自治立法（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	自治立法（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	住民の権利（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	住民の権利（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	住民の権利（３）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
14	事前学習	これまでの授業内容を総確認すること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内容を復習し、さらに理解を深めること。

15	事前学習	これまでの授業で学んだことを総復習してみること。
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	授業内容を再度復習し、さらに理解を深めること。

科目名	地方自治法Ⅱ	担当者	西原 雄二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業では、地方自治法の理論や制度について基本的な知識や考え方を習得することを目的としている。重要な問題を取り上げて、簡潔に説明する。				
授業目的・到達目標	地方自治法の基本的構造とそれを支える基本的概念等を理解しながら、身近で重要な法律の一つである「地方自治法」に興味・関心を持ってもらえるようにする。				
履修条件	「六法」を持参すること。				
授業方法	講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。 板書する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業参加度や授業内試験等に基づいて総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	使用しない。	使用しない。		使用しない。	使用しない。
	備考				
参 考 書	授業の中で指示する。				
オフィスアワー	火曜日１４：３０に受付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	六法で「地方自治法」にざっと目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	「地方自治法」にざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の議会（1）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。

3	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の議会（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	執行機関（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
5	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	執行機関（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方議会と執行機関の関係
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	公の施設
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の財務（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	地方公共団体の財務（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	国と地方公共団体の関係（１）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	国と地方公共団体の関係（２）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	国と地方公共団体の関係（３）
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に当該箇所について調べてみること。
	授業内容	外部監査
	事後学習	授業で行った内容を確認し、さらに理解を深めること。
14	事前学習	これまでの授業で行った内容を確認すること。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの授業内容を総復習し、さらに理解を深めること。

15	事前学習	これまでの授業内容を総復習してみること。
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	これまでの授業内容を再度復習し、さらに理解を深めること。

科目名	地方自治論Ⅰ	担当者	賀来 健輔	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	政治学や行政学系の展開科目として、地方自治の制度や機能そして歴史などに関する基本的な事項を学ぶ。地方自治は日々目まぐるしく動いていることから、それら実例を豊富に紹介しながら地方自治の抱える諸課題にも目を配り理解を促していく。			
授業目的・ 到達目標	受講者が、地方自治の当事者（＝主役・主人公）として積極的に「地方自治」の問題に関心を抱いていくことが授業の目的である。地方公務員を目指す学生においては、自発的に専門的な問題意識を育んでいけるようになることを、またそれ以外の学生においても、地方自治の主人公として積極的な「市民」像を育めるようになることを授業の到達目標とする。			
履修条件	特にない。本講義科目と併せて、地方財政論Ⅰ、Ⅱ、行政学Ⅰ、Ⅱ、財政学Ⅰ、Ⅱ、地方行財政特殊講義C、Dなどの関連科目を併せて履修することで、より深い理解が期待される。			
授業方法	教科書を使用した講義形式。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	0%		
	平 常 評 価	100%	最終日に行う授業内学習到達度試験、宿題や授業への積極的取り組みをあわせて評価する。当然のことながら、出席が少ない学生は評価の対象外となる。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	三恵社	地方自治を学ぶ―要点と資料―〔第2版〕	賀来 健輔
	備考			
参 考 書	山田光矢・福島康仁編『地方自治論〔第2版〕』弘文堂、2018年。 この他必要に応じて、授業の際に適宜紹介する。			
オフィス アワー	木曜日12時～13時。 また他の曜日、時間帯でも可能です。まずはメールで希望日時をご連絡下さい。 kaku.kensuke@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認。
	授業内容	これからの授業概要、講義計画、成績評価の方法などの説明と、教科書・参考文献の紹介など
	事後学習	指定された教科書を購入しておくこと。
2	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の種類(Ⅰ)―普通地方公共団体(Ⅰ) 県・市町村
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

3	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の種類(2)普通地方公共団体(2)指定都市・中核市・施行時特例市
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
4	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の種類(3)特別地方公共団体(1)特別区・一部事務組合・広域連合
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
5	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の種類(3)特別地方公共団体(2)財産区、外郭団体及び地方公共団体の種類ところのまとめ
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
6	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の区域(1)市町村の区域の変更
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
7	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の区域(2)市町村合併
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
8	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の区域(3)平成の大合併の検証
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
9	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の区域(4)都道府県の区域の問題～道州制、連邦制
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
10	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の組織(1)首長、首長の補助機関
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
11	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の組織(2)出先機関、執行機関の付属機関
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
12	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の組織(3)行政委員会(1)行政委員会制度
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
13	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の組織(4)行政委員会(2)個別行政委員会の概要と行政委員会制度の問題点
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
14	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心に向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の事務
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

15	事前学習	前期の授業で学んだ事柄について、教科書やノートを見ながら全体的な理解に努めること。
	授業内容	まとめ～授業内において学習到達度を測るテスト
	事後学習	復習

科目名	地方自治論Ⅰ	担当者	鈴木 隆志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	我々の日常生活上の身近な問題は、個々の人間の努力だけでは解決することができない。住んでいる地域の自治体との協力が不可欠である。また、近年、地方分権改革を経て、地方自治の重要性が指摘され、自治体の業務等にも変化が生じてきた。本講義では、わが国の地方自治制度とその特徴、各国の地方自治制度等について学ぶ。				
授業目的・到達目標	本講義では、地方自治の制度や現状の課題等を理解し、地方自治に関する問題を捉える視点やその解決のために必要な知識を養うことを目的とする。地方自治についての知識を修得し、地方自治をめぐる問題について、自ら考える能力を身に付ける。				
履修条件	特になし。ただし、私語など学習の妨げになる行為を行わないなど基本的なマナーをわかまえることを求める。				
授業方法	講義形式の授業である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	定期試験により評価する。論理的な思考や文章表現力等を基準として評価する。	
	平常評価		30%	出席状況及び授業内のリアクションペーパー等により評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論〔第2版〕	福島康仁編
	備考				
参考書	吉野篤編（2018）『政治学〔第2版〕』弘文堂。その他にも、講義の内容に応じ適宜紹介する。（例：寄本勝美・小原隆治編（2011）『新しい公共と自治の現場』コモンズなど。）				
オフィスアワー	火曜日 12：10～13：00、事前にメールでアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、授業に臨むこと。
	授業内容	ガイダンス：授業計画及び成績評価に関する説明 地方自治とは何か、地方自治論とは何かについて
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
2	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方政府と自治権
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。

3	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	日本の地方自治制度の歴史（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
4	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	日本の地方自治制度の歴史（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
5	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	日本国憲法と地方自治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
6	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方自治法と地方自治制度（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
7	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方自治法と地方自治制度（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
8	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方分権改革（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
9	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方分権改革（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
10	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方財政制度（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
11	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方財政制度（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
12	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	地方公共団体の再編と開発行政・広域行政
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
13	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	各国の地方自治制度（１）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
14	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	各国の地方自治制度（２）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。

15	事前学習	これまで授業で扱った内容の復習を行うこと。
	授業内容	これまでの講義の総括
	事後学習	これまで学んだことについて振り返り、自身で興味を持った点や課題を確認し、今後の学習のための準備を行うこと。

科目名	地方自治論Ⅰ	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	時代の潮流は、政治、行政、文化など社会全般にわたって「中央から地方へ」となり、名実ともに地方の時代が到来しつつある。これに伴い、地方自治体の果たす役割はますます大きくなり、それへの住民の期待や関心は高まっている。さらに、主役である住民の活動にも自己決定と責任が求められるようになってきている。本講義では、地方自治の概念、基礎用語などの整理・説明からはじめたうえで、地方自治のなかで生じている具体的な問題について考察する。				
授業目的・到達目標	地方自治のしくみについて基本的な知識を修得する。地方自治の課題については、その本質を分析・理解する力を養う。				
履修条件	特にないが、いうまでもなく講義中の私語は厳禁であり、真面目な学生の迷惑になるので、不真面目な学生の履修は遠慮願いたい。				
授業方法	地方自治に関する基礎理論を中心に講義をおこなう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	論述試験を実施し、評価する。（90％、但し、履修人数によっては講義内試験が困難な場合がある。）レポートなどを提出による。（10％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論	福島康仁編
	備考				
参考書	講義のテーマに応じて、講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義の概要を読んできると
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	自分の学びたいことをまとめる。
2	事前学習	1 歴史からみた国家と地方公共団体の関係、2 国家主権と自治権を読む。
	授業内容	地方政府と自治権（1）
	事後学習	1 歴史からみた国家と地方公共団体の関係、2 国家主権と自治権をまとめる。

3	事前学習	3 各国の地方公共団体の特徴、4 地方公共団体の政府形態を読んてくる。
	授業内容	地方政府と自治権（2）
	事後学習	3 各国の地方公共団体の特徴、4 地方公共団体の政府形態をまとめる。
4	事前学習	1 明治維新と地方制度、2 三新法と地方自治制度を読む。
	授業内容	日本の地方自治制度の歴史（1）
	事後学習	明治時代の地方自治制度についてまとめる。
5	事前学習	3 大日本帝国憲法と地方自治制度、4 戦前の地方自治制度の改正と戦時体制下の地方自治制度について読む。
	授業内容	日本の地方自治制度の歴史（2）
	事後学習	戦前と戦後の地方自治制度についてまとめる。
6	事前学習	1 日本国憲法と地方自治法、2 地方自治の本旨について読む。
	授業内容	日本国憲法と地方自治（1）
	事後学習	地方自治の本旨についてまとめる。
7	事前学習	3 日本型首長制の特徴と行政委員会、4 地方公共団体の権能、5 法律と条令、6 地方自治特別法と住民投票を読む。
	授業内容	日本国憲法と地方自治（2）
	事後学習	日本の地方自治制度について憲法上の規定を復習する。
8	事前学習	1 国と地方公共団体の関係と役割、2 地方公共団体の種類、3 直接請求権について読む。
	授業内容	地方自治法と地方自治制度（1）
	事後学習	地方公共団体の種類と権限について復習する。
9	事前学習	4 議会と執行機関、5 国と地方公共団体、地方公共団体の相互関係、について読む。
	授業内容	地方自治法と地方自治制度（2）
	事後学習	地方自治法上の地方知事制度について要点をまとめる。
10	事前学習	6 都制と特別区、政令指定都市と総合区・行政区、地域自治組織について読む。
	授業内容	地方自治法と地方自治制度（3）
	事後学習	地方自治法上の地方知事制度について要点をまとめる。
11	事前学習	地方分権改革の概要についてテキストで読む。
	授業内容	地方分権改革（1）
	事後学習	第1次分権改革と第2次分権改革の成果について確認する。
12	事前学習	民主党の分権改革と地域主権改革、一部事務組合・広域連合と事務の共同処理、地方分権改革と特区制度についてまとめる。
	授業内容	地方分権改革（2）
	事後学習	民主党の分権改革と地域主権改革、一部事務組合・広域連合と事務の共同処理、地方分権改革と特区制度確認する。
13	事前学習	戦後復興とインフレーション、シャウプ勧告と地方財政改革、三割自治と地方交付税交付金制度および国庫支出金制度を読む。
	授業内容	地方財政制度の特徴と問題点（1）
	事後学習	シャウプ勧告と地方財政改革、三割自治と地方交付税交付金制度および国庫支出金制度をまとめる。
14	事前学習	一般会計と特別会計、三位一体の改革、地域格差と地方財政の実態を読む。
	授業内容	地方財政制度の特徴と問題点（2）
	事後学習	地域格差の諸要因を検討する。

15	事前学習	いままでのものを整理しておくこと。
	授業内容	試験とまとめ
	事後学習	試験後、見直しをすることをおすすめします。

科目名	地方自治論Ⅰ	担当者	山田 光矢	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	国家や地方公共団体の関係や主権と自治権の関係を中心に、地方自治制度存在の必要性やその目的と形態等を各国の地方自治制度の歴史や目的等を、次いで明治維新以降の地方自治制度の確立と改革の歴史・目的・方向性等を、そして戦後の日本国憲法と地方自治関連法規の整備と確立された日本の地方自治制度の概要や特色を解説し、その後の地方自治制度改革の歴史・目的・方向性を軸に日本の地方行財政制度の今後の方向性について多様な考えを解説する。					
授業目的・到達目標	地方分権制度の重要性と日本における地方自治制度のあるべき姿や進むべき方向性等について、現在の日本の地方自治制度の有する特徴や問題点を諸外国（特にイギリス、フランスやドイツ、オランダとスウェーデン等）の地方自治制度（効率性重視型の広域型、福祉政策対応を前提とした中間型、住民参加を前提とした狭域型の地方自治制度）の対比を通じて考えてもらい、明治維新から現在に至るまでの日本地方公共団体にとって望ましいと思われる地方行政制度の望ましい方向性や制度等について、学生自身の考え方を確立させる。					
履修条件	講義では教科書の内容だけでなく、地方自治の実態や問題点あるいは改革の方向性も扱うので、それに関する情報を得るために、一般紙を毎朝読んでくる。教室での守ることが当然とされる基本的なマナーやルールやエチケットを守る。					
授業方法	原則として講義中心で行いますが、学生との相互コミュニケーションのある講義にするため、積極的な質問を歓迎します。なお、時事問題や地方自治に関する常識や講義内容の理解などを判断するために時折小テストを実施します。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	大きな問題1題と、項目を問う小問を4題出題し、大きな問題を60%、小問を40%で評価する。内容の程度が高いものは加点する。		
	平常評価		40%	前期レポート(2000字以上・A4版：前期提出)と授業への参加度と小テストとを総合して評価する。自主レポート(2000字以上・A4版：試験前まで)は加点要素とする。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	弘文堂		地方自治論（第二版）		福島康仁編 山田光矢他 著
	備考					
参考書	吉野篤編・山田光矢他著 『政治学』（第二版） 弘文堂 その他講義時に必要に応じて紹介する					
オフィスアワー	火曜日 - 16：20～17：00 研究室（9号館5階9505） ※会議等のために毎週確実に対応できないことも考えられるので、相談を希望する場合には事前にメールで連絡し、私からの相談可能な連絡を受けてからきてください。（myamada@law.nihon-u.ac.jp）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	誕生から700～600万年を経過している人類の歴史と文化や文明について考えてくる
	授業内容	ガイダンス授業：講義の概要 歴史から見た国家と地方公共団体の関係 take offの原理から見た国家と地方公共団体
	事後学習	世界史の古代・中世・近世・近代・現代・ポストモダンと国家や地方公共団体の変遷を理解する
2	事前学習	教科書第1章1-3を読んでくる
	授業内容	地方政府と自治権：国家と地方の関係 集落と都市、国家と地方、主権と自治権 固有権説、伝来(承認)説、制度的保障説
	事後学習	固有権説・伝來說・制度的保障説の相違を理解する

3	事前学習	教科書第1章4-6を読んてくる
	授業内容	諸外国の地方自治制度と日本の地方自治制度の比較 住民自治と団体自治・制限列举方式と概括例示方式 各国の地方自治体の特徴、地方政府の形態
	事後学習	議院内閣制・首長（大統領）制・委員会制・市支配人制・住民総会制の相違を理解する
4	事前学習	教科書第2章1-2を読んてくる
	授業内容	明治維新と地方制度の確立 版籍奉還、廃藩置県、戸籍法と大区・小区制、三新法 明治維新の性格、自然村と行政村、郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則
	事後学習	明治維新後の廃藩置県から大区・小区制さらに三新法へと移行した経緯と内容を理解する
5	事前学習	教科書第2章3-5を読んてくる
	授業内容	大日本帝国憲法制定と帝国議会開設とその前後の地方自治制度改革の特質 市制町村制・明治の大合併・府県制郡制 大日本帝国憲法制定期の地方自治制度の変遷
	事後学習	明治の大合併後の地方自治制度改革の変遷を理解する
6	事前学習	教科書第3章1-2を読んてくる
	授業内容	日本国憲法と地方自治制度Ⅰ 日本国憲法と地方自治関連法規の公布と施行 憲法第92条と地方自治法第1条・第1条の2
	事後学習	地方自治の本旨（住民自治と団体自治）、自治権（国と地方公共団体の関係）とはどのようなものなのかを理解する
7	事前学習	教科書第3章3-6を読んてくる
	授業内容	日本国憲法と地方自治制度Ⅱ 憲法第93条・第94条・第95条 地方公共団体の機関・その直接選挙、地方公共団体の権能、特別法の住民投票
	事後学習	日本国憲法第8章の内容を理解する
8	事前学習	教科書第4章1-2を読んてくる。教科書第9章をまとめたレポートを提出する。
	授業内容	地方公共団体の種類と区域 普通地方公共団体：都道府県と市町村、政令市制度 特別地方公共団体：特別区・地方公共団体の組合・財産区
	事後学習	普通地方公共団体と特別地方公共団体の種類と特質を理解する
9	事前学習	教科書第4章3-4を読んてくる
	授業内容	普通地方公共団体の執行機関と事務 首長制・独立規制（行政）委員会・審議会 機関委任事務の廃止、自治事務と法定受託事務
	事後学習	三権分立制と独立規制委員会の関係及び国と地方公共団体の事務配分の目的と内容を理解する
10	事前学習	教科書第4章5-6を読んてくる
	授業内容	首長制における議会の役制と住民の直接請求制度 三読会制と委員会中心主義、100条委員会 リコール、イニシアティブ、レファレンダム、
	事後学習	住民自治と首長制（二元代表制）および直接請求制度の目的と特色を理解する
11	事前学習	教科書第5章1-3を読んてくる
	授業内容	大日本帝国憲法下の地方自治制度改革と日本国憲法制定から高度経済成長期の地方自治制度改革 明治維新後の地方自治制度と大日本帝国憲法下の地方自治制度改革の流れ GHQ主導の地方自治制度改革とサンフランシスコ講和会議後の地方自治制度改革の流れ
	事後学習	大日本帝国憲法下の地方自治制度改革の流れと、日本国憲法下の地方自治制度改革の流れを理解する
12	事前学習	教科書第5章4-6を読んてくる
	授業内容	高度経済成長の終焉後の政治経済の混乱と政権交代を挟んだ地方自治制度改革 ネオ・コーポラティズムを活用した地方制度改革の流れ 政権交代と地方自治制度改革の目的と方向性
	事後学習	20世紀末から現在までの政権交代を挟んだ地方自治制度改革の目的や問題点を理解する
13	事前学習	教科書第6章1-3を読んてくる
	授業内容	地方行財政改革が目的とするガバメントからガバナンスへの転換と地方自治制度の転換 NPMの目的と自治体経営、行政評価 PPPや指定管理者制度
	事後学習	自治体経営の本質や実態をNPMやPPPを手がかりとして理解する

14	事前学習	教科書第6章4-6を読んでくる
	授業内容	広域行政の方向性を大都市制度・地域間連携制度 都市内分権、都市計画、地域運営組織、小さな拠点 大都市制度、都制、政令市制度、定住自立圏、連携中枢都市圏
	事後学習	地域格差に対応する形で多様化し複雑化している地方自治制度の実態を理解する
15	事前学習	これまでの講義の内容を再確認してくる
	授業内容	学生の理解度の確認 講義概要の整理とレポート等の評価 講義に関する質問と回答を通じた理解度の確認と向上
	事後学習	試験に向けてこれまでの講義内容を再確認する

科目名	地方自治論Ⅱ	担当者	賀来 健輔	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	政治学や行政学系の展開科目として、地方自治の制度や機能そして歴史などに関する基本的な事項を学ぶ。地方自治は日々目まぐるしく動いていることから、それら実例を豊富に紹介しながら地方自治の抱える諸課題にも目を配り理解を促していく。				
授業目的・到達目標	受講者が、地方自治の当事者（＝主役・主人公）として積極的に「地方自治」の問題に関心を抱いていくことが授業の目的である。地方公務員を目指す学生においては、自発的に専門的な問題意識を育んでいけるようになることを、またそれ以外の学生においても、地方自治の主人公として積極的な「市民」像を育めるようになることを授業の到達目標とする。				
履修条件	特にない。併せて、地方財政論Ⅰ、Ⅱ、行政学Ⅰ、Ⅱ、財政学Ⅰ、Ⅱ、地方行財政特殊講義C、Dなどの関連科目を併せて履修することで、より深い理解が期待される。なお地方自治論Ⅰと併せて履修することを望む。				
授業方法	教科書を使用した講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	最終日に行う授業内学習到達度試験、宿題や授業への積極的取り組みをあわせて評価する。当然のことながら、出席が少ない学生は評価の対象外となる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	三恵社		地方自治を学ぶ―要点と資料―〔第2版〕	賀来 健輔
	備考				
参考書	山田光矢・福島康仁編『地方自治論〔第2版〕』弘文堂、2018年。 この他必要に応じて、授業の際に適宜紹介する。				
オフィスアワー	木曜日12時～13時。 また他の曜日、時間帯でも可能です。まずはメールで希望日時をご連絡下さい。 kaku.kensuke@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	これからの授業概要、講義計画、成績評価の方法などの説明と、教科書・参考文献の紹介など
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
2	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方議会の組織と機能(1)議会の基本的性格、組織、運営
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

3	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方議会の組織と機能(2)議会の権限、議会と住民の関係、地方議会を取り巻く課題
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
4	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体への住民参加(1)地方公共団体への住民参加とは
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
5	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体への住民参加(2)住民による地方公共団体の統制、直接請求制度とは
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
6	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体への住民参加(3)4つの直接請求について、直接請求の問題点
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
7	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体に対する統制(1)情報公開制度とは、情報公開制度の変遷、仕組み
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
8	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体に対する統制(2)情報公開制度の「公開」の範囲をめぐる論点、情報公開制度の課題
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
9	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体に対する統制(3)オンブズマン制度とは、オンブズマン制度の変遷
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
10	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体に対する統制(4)地方公共団体のオンブズマン制度、川崎市市民オンブズマン制度の事例紹介、オンブズマン制度の課題
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
11	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の基本原理(1)憲法における地方自治の保障
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
12	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方公共団体の基本原理(2)地方自治を考える視点
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
13	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方制度の変遷(1)戦前の地方制度に関する主な出来事
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。
14	事前学習	あらかじめ教科書の該当章を読んでおくこと。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、日ごろから地方自治の話題に関心を向けて接しておくこと。
	授業内容	地方制度の変遷(2)戦後の地方制度に関する主な出来事
	事後学習	改めて教科書の該当章と授業でとった講義ノートで復習し、理解に努めること。仕上げとして章末の問題を解いてみる。疑問点は参考書にあたって疑問を解消すること。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問すること。

15	事前学習	後期の授業で学んだ事柄について、教科書やノートを見ながら全体的な理解に努めること。
	授業内容	まとめ～授業内において学習到達度を測るテスト
	事後学習	復習

科目名	地方自治論Ⅱ	担当者	鈴木 隆志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	我々の日常生活上の身近な問題は、個々の人間の努力だけでは解決することができない。住んでいる地域の自治体との協力が不可欠である。また、近年、地方分権改革を経て、地方自治の重要性が指摘され、自治体の業務等にも変化が生じてきた。本講義では、自治体の経営・運営、住民参加、政策形成等について学ぶ。				
授業目的・到達目標	本講義では、地方自治の制度や現状の課題等を理解し、地方自治に関する問題を捉える視点やその解決のために必要な知識を養うことを目的とする。地方自治についての知識を修得し、地方自治をめぐる問題について、自ら考える能力を身に付ける。				
履修条件	特になし。ただし、私語など学習の妨げになる行為を行わないなどの基本的なマナーをわかまえていることを求める。				
授業方法	講義形式の授業である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	定期試験により評価する。論理的な思考や文章表現力等を評価の基準とする。	
	平常評価		30%	出席状況及び授業内のリアクションペーパー等により評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論[第2版]	福島康仁編
	備考				
参考書	吉野篤編（2018）『政治学〔第2版〕』弘文堂。その他にも、講義の内容に応じ適宜紹介する。（例：寄本勝美・小原隆治編（2011）『新しい公共と自治の現場』コモンズなど。）				
オフィスアワー	火曜日 12：10～13：00、事前にメールでアポイントメントをとること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通し、授業に臨むこと。
	授業内容	ガイダンス：授業計画及び成績評価に関する説明 わが国の地方自治について
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
2	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体経営と自治体改革（1）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。

3	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体経営と自治体改革（2）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
4	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体行政への民主的統制（1）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
5	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体行政への民主的統制（2）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
6	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体の広報・公聴活動
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
7	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体情報化と地方自治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
8	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	住民と自治（1）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
9	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	住民と自治（2）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
10	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	住民と自治（3）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
11	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体の組織とその運営
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
12	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	持続可能な発展と地方自治
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
13	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体の政策（1）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。
14	事前学習	授業で扱う内容をよりよく理解するために、新聞記事等から政治に関する情報収集を行うこと。
	授業内容	自治体の政策（2）
	事後学習	授業で扱った内容について教科書、ノート及び授業中に示した参考文献を参照し復習すること。

15	事前学習	これまで授業で扱った内容の復習を行うこと。
	授業内容	これまでの講義の総括
	事後学習	これまで学んだことについて振り返り、自身で興味を持った点や課題を確認し、今後の学習のための準備を行うこと。

科目名	地方自治論Ⅱ	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	時代の潮流は、政治、行政、文化など社会全般にわたって「中央から地方へ」となり、名実ともに地方の時代が到来しつつある。これに伴い、地方自治体の果たす役割はますます大きくなり、それへの住民の期待や関心は高まっている。さらに、主役である住民の活動にも自己決定と責任が求められるようになってきている。本講義では、地方自治の概念、基礎用語などの整理・説明からはじめたうえで、地方自治のなかで生じている具体的な問題について考察する				
授業目的・到達目標	。地方自治のしくみについて基本的な知識を修得する。地方自治の課題については、その本質を分析・理解する力を養う。				
履修条件	特にないが、いうまでもなく講義中の私語は厳禁であり、真面目な学生の迷惑になるので、不真面目な学生の履修は遠慮願いたい。				
授業方法	地方自治に関する基礎理論を中心に講義をおこなう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	論述試験を実施し、評価する。（90％、但し、履修人数によっては講義内試験が困難な場合がある。）レポートなどを提出による。（10％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論	福島康仁編
	備考				
参考書	講義のテーマに応じて、講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通すこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	問題点を明らかにし、質問する。
2	事前学習	市町村合併と自治制度の再編について読む。
	授業内容	地方公共団体の再編と開発行政・広域行政（1）
	事後学習	全国総合開発計画と広域行政、全国総合開発計画の変質について考える。

3	事前学習	平成の大合併と自治制度の変質について読む。
	授業内容	地方公共団体の再編と開発行政・広域行政（2）
	事後学習	地方創生と身近な制度の導入について考える。
4	事前学習	公害問題と自治体の対応について読む。
	授業内容	環境政策と廃棄物処理
	事後学習	公害対策と自治体の対応（横出し条例・上乗せ条例他）について理解する。
5	事前学習	NPMについて、概念を勉強する。
	授業内容	新しい地方行政の展開と都市制度
	事後学習	行政評価の意義についてまとめる。
6	事前学習	自治基本条例について読む。
	授業内容	地域と多元的アクター
	事後学習	協働の概念について理解する。
7	事前学習	行政の民主的統制、情報公開条例と情報公開法について読む。
	授業内容	住民の自治体行政への民主的統制（1）
	事後学習	行政の民主的統制の手法についてまとめる。
8	事前学習	パブリックコメント、オンブズマンについて読む。
	授業内容	住民の自治体行政への民主的統制（2）
	事後学習	住民による統制についてまとめる。
9	事前学習	広報・公聴の意義について考える。
	授業内容	自治体の広報・公聴活動（1）
	事後学習	広報公聴の課題についてまとめる。
10	事前学習	首長と広報組織、議会広報の役割と課題、広報メディアについて調べる。
	授業内容	自治体の広報・公聴活動（2）
	事後学習	広聴組織についてまとめる。
11	事前学習	自治体の電子情報化の事例を調べる。
	授業内容	自治体情報化と地方自治（1）
	事後学習	自治体における情報化の現状についてまとめる。
12	事前学習	情報化と住民、情報化と住民のリスクについて考える。
	授業内容	自治体情報化と地方自治（2）
	事後学習	住民本位の自治体情報化とはなにか考える。
13	事前学習	海外の地方自治制度について調べる
	授業内容	諸外国の地方自治
	事後学習	アメリカの首長と議会との関係についてまとめる。
14	事前学習	持続可能な発展を遂げるためには何が必要か考える。
	授業内容	持続可能な発展と地方自治
	事後学習	持続可能な地方自治の意義についてまとめる。

15	事前学習	いままでのまとめをする。
	授業内容	試験とまとめ 人数の都合により総括に変更する
	事後学習	全体を通じて復習する。

科目名	地方自治論Ⅱ	担当者	山田 光矢	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	少子高齢化社会の中で、人口減少・地域格差・地方消滅・限界集落等が問題視されている日本の地方の実情を理解し、中央政府と地方政府がその対策として掲げている政策や実際に行われている地方創生や地域創生に策を、教科書や私の論文その他各種資料を駆使して考察し、日本の各地方公共団体の地方創生や地域創生策等の特色や内容等を中心に解説する。				
授業目的・到達目標	日本の各地方公共団体や地方行政に係る地域行政単位（広域行政単位や地域自治組織やそれに相当する単位：コミュニティ・町内会・自治会・地区会等）が、地方創生や地域創生等を目的に実施あるいは導入している政策を中心に、現在の日本の地域圏における地方自治行政の実態の理解度を高め、学生にいずれかの地方公共団体や地域行政単位を選択してもらい、その実態や改善点等を分析し、望ましいその地域のあり方を確立する。				
履修条件	講義では教科書の内容だけでなく、地方自治の実態や問題点あるいは改革の方向性も扱うので、それに関する情報を得るために、一般紙を毎朝読んでくる。教室での守ることが当然とされる基本的なマナーやルールやエチケットを守る。				
授業方法	原則として講義中心で行いますが、学生との相互コミュニケーションのある講義にするため、積極的な質問を歓迎します。なお、時事問題や地方自治に関する常識や講義内容の理解などを判断するために時折小テストを実施します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	大きな問題1題と、項目を問う小問を4題出題し、大きな問題を60%、小問を40%で評価する。内容の程度が高いものは加点する。	
	平常評価		40%	前期レポート(2000字以上・A4版：前期提出)と授業への参加度と小テストとを総合して評価する。自主レポート(2000字以上・A4版：試験前まで)は加点要素とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論（第二版）	福島康仁編 山田光矢他 著
	備考				
参考書	吉野篤編・山田光矢他 著 『政治学』（第二版） 弘文堂 その他講義時に必要に応じて紹介する				
オフィスアワー	火曜日 - 16：20～17：00 研究室（9号館5階9505） ※会議等のために毎週確実に対応できないことも考えられるので、相談を希望する場合には事前にメールで連絡し、私からの相談可能の連絡を受けてからきてください。（myamada@law.nihon-u.ac.jp）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本の地方自治制度の実態を日本国憲法第8章を土台として考えてくる
	授業内容	ガイダンス授業：講義の概要 前期講義の解説と確認 教科書第5章と第9章を中心に、現行地方自治制度を理解する
	事後学習	憲法第8章の内容を確認する
2	事前学習	教科書第7章を読んでくる
	授業内容	住民による民主的統制 住民の民主的統制と情報公開・パブリックコメント 行政監察・行政監査・行政不服審査・行政相談・オンブズマン制度
	事後学習	第7章の概要を理解する

3	事前学習	教科書第8章を読んでくる
	授業内容	日本の地方財政制度の特色 三割（四割）自治と地方交付金制度ならびに国庫支出金（補助金）制度 日本の地方財政制度の課題
	事後学習	日本の地方財政制度の特色と問題点ならびに改善すべき点を理解する
4	事前学習	教科書第10章を読んでくる
	授業内容	地域と多面的アクターの新しい関係 自助・共助・公助とNPO等 コミュニティビジネス、安全安心のまちづくり
	事後学習	自助・共助・公助を通じて見えてくる新しい地方公共団体のあり方を理解する
5	事前学習	教科書第11章を読んでくる
	授業内容	環境政策と廃棄物と資源 公害問題と環境政策 資源循環型社会の推進
	事後学習	廃棄物と資源との関係から環境問題や循環型社会のあり方を理解する
6	事前学習	教科書第12章を読んでくる
	授業内容	参加型地方自治制度と広報・公聴（公聴） 住民参加とPR 地方公共団体の機関と広報
	事後学習	参加型地方自治制度発展とPRの必要性を理解する
7	事前学習	教科書第13章を読んでくる
	授業内容	自治体の情報化の進展と問題点 自治体の情報化戦略の特色 自治体情報化の抱える問題点
	事後学習	住民本位の自治体情報化のあるべき姿を理解する
8	事前学習	教科書第14章を読んでくる
	授業内容	地方創生を巡る内発的発展と外発的発展 全国総合開発計画と外発的発展策 持続可能な発展と内発的発展策
	事後学習	住民の幸福と内発的発展の関係を理解する
9	事前学習	教科書第15章を読んでくる
	授業内容	諸外国の地方自治制度の特色 英米法系の国家と大陸法系の国家における地方自治制度の相違 地方政治と選挙制度
	事後学習	ヨーロッパ主要国の地方自治制度の変遷と特色を理解する
10	事前学習	「群馬県の地方創生」（桜門論争96巻）の1を読んでくる
	授業内容	群馬県の地方公共団体の変遷と広域行政圏 群馬県の歴史と群馬県の地方制度の変遷 四国四県の歴史と自治制度の特質（「四国四県の地方創生」法学紀要第59巻との対比）
	事後学習	戦後日本の都道府県ごとの地方自治制度の変遷と特質を資料を基に再確認する
11	事前学習	「群馬県の地方創生」を（桜門論争96巻）の2を読んでくる
	授業内容	群馬県の地域圏を単位とした地方公共団体の変遷と今後 群馬県の各地域の特色と将来構想等 四国四県の各地域の特色と将来構想等（「四国四県の地方創生」法学紀要第59巻との対比）
	事後学習	群馬県と四国四県の地域的特性と将来構想を理解する
12	事前学習	「群馬県の地方創生」（桜門論争96巻）の3を読んでくる
	授業内容	群馬県の地域区分と吾妻地域 群馬県における吾妻地域の特色 四国四県における高知県の特色（「四国四県の地方創生」法学紀要第59巻との対比）
	事後学習	吾妻地域と高知県を通じて過疎地域の地方創生の特徴を理解する
13	事前学習	「群馬県の地方創生」（桜門論争96巻）の4を読んでくる
	授業内容	吾妻地域の地方創生策と今後 吾妻地域の目指す地方創生策の特色と問題点 四国四県の瀬戸内地域と高知県の相違（「四国四県の地方創生」法学紀要第59巻との対比）
	事後学習	吾妻地域や四国四県の取組から日本の地方創生の地域的特色を理解する

14	事前学習	「群馬県の地方創生」を参考に、いずれかの地方公共団体か地域行政単位の地方創生に関するレポートを作成してくる
	授業内容	レポート課題に関する内容を資料「群馬県の地方創生」と「四国四県の地方創生」を用いて解説する 日本の広域行政や地方創生を資料を通じて解説する 地方圏における地方創生の特色を解説する
	事後学習	レポートの作成を通じて日本の地方自治制度の特色や問題点を理解する
15	事前学習	これまでの講義の内容を再確認してくる
	授業内容	学生の理解度の確認と向上 講義概要の整理とレポート評価等 講義に関する質問と回答を通じた理解度の確認と向上
	事後学習	試験に向けてこれまでの講義内容を再確認する

科目名	調査ジャーナリズム	担当者	高橋 俊一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	ジャーナリストが実際に現場でなにをしているか、ニュースをどう発掘するかを具体的に知り、調査報道について理解する。ジャーナリスティックなセンスを磨き、各自の進路開拓にも役立てる。					
授業目的・ 到達目標	大手新聞２社でいずれも社会部記者をつとめた講師キャリアを生かした「実戦的な内容」にする。当局発表や統計調査とはまったく異なる、記者自らが隠れた事実を調べあげて、自らの責任で報道する「調査報道」の真実と実態を理解する。「記者に何が必要か」「ジャーナリズムの責任」を学び、現代マスコミの問題も見きわめることをめざす。希望があれば、進路選択に資する方向も視野に入れる。報道への基本知識と新聞、テレビ、ネットの情報を読み解く力をつける。実際の調査報道手法を学びながら、社会の動きに対する感性を少しずつ磨いていき、取材最前線だけでなく学界をめざす人にも一助とする。					
履修条件	とくにありません。ほんの少しでも関心があれば十分です。					
授業方法	講義を軸に、必要ならマスコミ各社や報道現場への見学、一線記者との接触なども考慮する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%	5 0 %：筆記試験またはレポートを講義最終日に（基礎知識の習得度を中心に） 5 0 %；取り組み方や意欲、感受性を評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし。必要な場合は適時指定する。				
参 考 書	必要なら適時指定する。					
オフィス アワー	授業時間とその前後に適時実施する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	各自の進路希望に応じてガイダンス内容を再確認する。
2	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	報道とメディアの意味と実際について、国際的な感覚もふくめた考え方の基礎作り
	事後学習	授業内容の再確認

3	事前学習	新聞の精読やテレビニュースの摂取をできる範囲で。
	授業内容	新聞、テレビ、ネットの実態と特質
	事後学習	授業内容の再確認
4	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	取材の基本と調査報道への応用
	事後学習	授業内容の再確認
5	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	具体的な取材方法論とその課題について
	事後学習	授業内容の再確認や最新ニュースの摂取
6	事前学習	新聞の精読やテレビニュースの視聴をできる範囲で。
	授業内容	調査報道の基本的構造について
	事後学習	授業内容の再確認
7	事前学習	新聞記事の精読をできる範囲で。
	授業内容	調査報道事例の研究（海外、地方紙など）
	事後学習	授業内容の再確認。
8	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	調査報道事例の研究（全国紙レベルを中心に）と課題の分析
	事後学習	授業内容とニュースの社会性を確認する。
9	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	調査報道の対象と個別手法
	事後学習	ニュースの社会性とその反響を再確認
10	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	特ダネ競争と調査報道の関係およびそれぞれのあり方について
	事後学習	授業内容の再確認と各自の意見集約
11	事前学習	新聞の精読やテレビニュースの摂取をできる範囲で。
	授業内容	現代調査報道と個人情報、プライバシー保護
	事後学習	授業内容の再確認と各自の意見集約
12	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	調査報道と国家機密あるいは行政の秘密
	事後学習	授業内容の再確認
13	事前学習	新聞の精読やテレビニュースの摂取をできる範囲で。
	授業内容	メディア内部の諸問題について
	事後学習	授業内容の再確認と各自の考察
14	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	調査報道の条件と特質
	事後学習	授業内容の再確認

15	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	まとめ・質問受け付け
	事後学習	授業内容全般の再確認

科目名	倒産法Ⅰ	担当者	杉本 純子	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	わが国の倒産法制のうち、前期は清算型倒産手続を規定する破産法を学び、後期は再建型倒産手続の一つである民事再生法を学ぶ。各々の倒産手続の流れを学ぶとともに、倒産手続の開始に伴う契約関係の処理や相殺権の行使など倒産実体法についても理解を深める。			
授業目的・到達目標	【授業目的】 倒産法は、個人にせよ会社にせよ、経済的に一度失敗してしまったものに、新たな再スタートの機会を与える大切な法律である。この授業は、破産手続と民事再生手続を中心とする倒産手続の流れを学び、これらの手続の社会における必要性和役割を理解することを目的とする。 【到達目標】 社会経済における倒産手続の必要性を学ぶとともに、特に民法等実体法の理解も深めることができるようになる。			
履修条件	特にないが、担保物権、債権総論・各論の知識がある方が望ましい。			
授業方法	配布レジュメを中心に授業を行う。六法は最新のものを持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	授業で扱った内容の全体について、理解度を問う。	
	平常評価	20%	授業への参加度。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず。 配布レジュメを使用する。		
参考書	山本和彦『倒産処理法入門』第5版（有斐閣、2018年）、中島弘雅＝佐藤鉄男『現代倒産手続法』（有斐閣、2013年）、松下淳一『民事再生法入門』第2版（有斐閣、2014年）、伊藤眞ほか編『倒産判例百選』第5版（有斐閣、2013年）			
オフィスアワー	火曜日15:00～16:00（事前にメールでアポイントメントをとること） 研究室（4号館1階417）sugimoto.junko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	倒産に関する新聞記事やニュースなどを調べておく。
	授業内容	倒産処理制度の概要
	事後学習	倒産処理制度の概要について復習する。
2	事前学習	講義レジュメを参考にしながら、倒産処理制度の概要について復習する。
	授業内容	破産手続の基本的な流れと手続の機関
	事後学習	破産手続の社会における必要性和基本的な手続の流れについて復習する。

3	事前学習	条文を参考に、破産手続の申立てから開始決定までの流れを予習する。
	授業内容	手続の開始
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産手続の申立てから開始決定までの流れを復習する。
4	事前学習	条文を参考に、破産財団の定義と破産手続における債権の種類を予習する。
	授業内容	破産財団・債権の種類と優先順位
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産財団の定義・範囲と破産手続における債権の種類と優先順位について復習する。
5	事前学習	条文を参考に、破産手続における別除権の取扱いを破産財団の取扱いについて予習する。
	授業内容	別除権
	事後学習	講義レジュメを参考に、別除権の定義や破産手続における取扱いについて復習する。
6	事前学習	民法を参考に、保証契約や連帯保証契約について復習する。
	授業内容	多数債務者関係と破産債権
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産手続における多数債務者関係を復習する。
7	事前学習	民法を参考に、双務契約について復習する。
	授業内容	双方未履行双務契約の処理（１）
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産手続における双方未履行双務契約の処理について復習する。
8	事前学習	条文を参考に、双方未履行双務契約の基本的な取扱いについて復習する。
	授業内容	双方未履行双務契約の処理（２）
	事後学習	講義レジュメを参考に、個別の双方未履行双務契約の処理について復習する。
9	事前学習	民法を参考に、相殺制度について復習する。
	授業内容	取戻権・相殺権
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産手続における相殺権の行使について復習する。
10	事前学習	民法を参考に、詐害行為取消権について復習する。
	授業内容	否認権（１）
	事後学習	講義レジュメを参考に、否認権の制度趣旨と基本類型について復習する。
11	事前学習	条文を参考に、否認権の基本的類型と趣旨について復習する。
	授業内容	否認権（２）
	事後学習	講義レジュメを参考に、対抗要件否認や転得者に対する否認等を復習する。
12	事前学習	条文を参考に、破産管財人の権限について復習する。
	授業内容	係属中の手続法律関係の処理
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産手続開始による係属中の民事訴訟手続等の処理について復習する。
13	事前学習	条文を参考に、破産債権の届出・調査・確定について予習する。
	授業内容	手続の進行・配当・終了
	事後学習	講義レジュメを参考に、破産債権の確定手続・配当・終了までを復習する。
14	事前学習	これまでの講義レジュメを参考に、破産手続の社会における必要性について復習する。
	授業内容	消費者破産
	事後学習	講義レジュメを参考に、消費者破産手続の特徴と免責制度について復習する。

15	事前学習	これまでの講義レジュメを復習する。
	授業内容	破産手続のまとめ
	事後学習	破産手続の流れを確認し、倒産実体法の理解を深める。

科目名	倒産法Ⅱ	担当者	杉本 純子	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	わが国の倒産法制のうち、前期は清算型倒産手続を規定する破産法を学び、後期は再建型倒産手続の一つである民事再生法を学ぶ。各々の倒産手続の流れを学ぶとともに、倒産手続の開始に伴う契約関係の処理や相殺権の行使など倒産実体法についても理解を深める。			
授業目的・ 到達目標	【授業目的】 倒産法は、個人にせよ会社にせよ、経済的に一度失敗してしまったものに、新たな再スタートの機会を与える大切な法律である。この授業は、破産手続と民事再生手続を中心とする倒産手続の流れを学び、これらの手続の社会における必要性和役割を理解することを目的とする。 【到達目標】 社会経済における倒産手続の必要性を学ぶとともに、特に民法等実体法の理解も深めることができるようになる。			
履修条件	特にないが、担保物権、債権総論・各論の知識がある方が望ましい。			
授業方法	配布レジュメを中心に授業を行う。六法は最新のものを持参すること。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	80%	授業で扱った内容の全体について、理解度を問う。	
	平 常 評 価	20%	授業への参加度。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず。 配布レジュメを使用する。		
参 考 書	山本和彦『倒産処理法入門』第5版（有斐閣、2018年）、中島弘雅＝佐藤鉄男『現代倒産手続法』（有斐閣、2013年）、松下淳一『民事再生法入門』第2版（有斐閣、2014年）、伊藤眞ほか編『倒産判例百選』第5版（有斐閣、2013年）			
オフィス アワー	火曜日15:00～16:00（事前にメールでアポイントメントをとること） 研究室（4号館1階417） sugimoto.junko@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事業再生や企業再建に関する新聞記事やニュースなどを調べておく。
	授業内容	再建型倒産手続の概要
	事後学習	講義レジュメを参考に、再建型倒産手続の必要性和概観について復習する。
2	事前学習	条文を参考に、民事再生手続の流れを予習する。
	授業内容	民事再生手続の基本的な流れの概観
	事後学習	講義レジュメを参考に、民事再生手続の基本的な流れ復習する。

3	事前学習	条文を参考に、民事再生手続の申立てから開始決定までの流れを予習する。
	授業内容	民事再生手続の開始
	事後学習	講義レジュメを参考に、民事再生手続の申立てから開始決定までの流れや保全措置について復習する。
4	事前学習	条文を参考に、民事再生手続の機関となる再生債務者、監督委員、債権者の役割について予習する。
	授業内容	民事再生手続の機関
	事後学習	講義レジュメを参考に、再生債務者の法的地位、監督委員の役割、債権者集会や債権者委員会について復習する。
5	事前学習	民事再生手続における債権の種類と優先順位について、破産手続の場合と比較して予習する。
	授業内容	再生手続における債権の種類と優先順位
	事後学習	講義レジュメを参考に、再生手続における債権の種類と優先順位について復習する。
6	事前学習	民事再生手続における債権の届出・調査・確定手続について、破産手続と比較して予習する。
	授業内容	再生債権の届出・調査・確定
	事後学習	講義レジュメを参考に、再生債権の届出・調査・確定手続について復習する。
7	事前学習	民事再生手続における担保権の取扱いについて、破産手続と比較しながら予習する。
	授業内容	再生手続における担保権の処遇
	事後学習	講義レジュメを参考に、民事再生手続における別除権の取扱いについて復習する。
8	事前学習	破産手続における契約関係の処理や否認権、相殺権の行使について復習する。
	授業内容	債務者財産の調査・確保（１）
	事後学習	講義レジュメを参考に、双方未履行双務契約の処理や否認権、相殺権の行使について復習する。
9	事前学習	破産手続における契約関係の処理や否認権、相殺権の行使について復習する。
	授業内容	債務者財産の調査・確保（２）
	事後学習	講義レジュメを参考に、双方未履行双務契約の処理や否認権、相殺権の行使について復習する。
10	事前学習	条文を参考に、再生計画の立案要件について予習する。
	授業内容	再生計画の立案・認可（１）
	事後学習	講義レジュメを参考に、再生計画立案の要件や時期等について復習する。
11	事前学習	条文を参考に、再生計画の決議と認可について予習する。
	授業内容	再生計画の立案・認可（２）
	事後学習	講義レジュメを参考に、再生計画の決議方法や認可要件等について復習する。
12	事前学習	条文を参考に、再生計画の履行確保の方法について予習する。
	授業内容	再生計画の履行確保
	事後学習	講義レジュメを参考に、再生計画の履行確保の方法等について復習する。
13	事前学習	条文を参考に、民事再生手続の終了や破産手続の移行について予習する。
	授業内容	民事再生手続の終了
	事後学習	講義レジュメを参考に、民事再生手続の終了や破産手続の移行について復習する。
14	事前学習	個人再生手続の特徴や必要性について、破産手続と比較しながら予習する。
	授業内容	個人再生手続
	事後学習	講義レジュメを参考に、個人再生手続の流れと特徴について復習する。

15	事前学習	これまでの講義レジュメを復習する。
	授業内容	再建型倒産手続のまとめ
	事後学習	民事再生手続を中心に再建型倒産手続の流れを理解し、破産手続との相違点を確認する。

科目名	東洋法制史Ⅰ	担当者	加藤 雄三	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	この講義では、帝制期の中国における法制史を論じます。講義前半では、法典編纂の沿革を通史的に説明します。中国の前近代法という律令格式をイメージする方が多いでしょうが、それは隋唐の時期に出現した一時的な完成形態にしか過ぎません。受講生には、その固定観念を振り払って、実態として法体系がどのように変遷したのかを学ぶよう期待します。後半は、貴族制度が高潮に達した魏晉南北朝時代を対象として、刑罰、家族のありようを論じます。				
授業目的・到達目標	中国前近代法の体系的変遷を説明できるようになる。 魏晉南北朝時代の刑罰、家族のありようを説明できるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	パワーポイントスライドを用いて講義形式で行う。スライドを印刷したものをノート用に配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	講義の範囲内で、論述試験を課す。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	『訳注 中国歴代刑法志（補）』、『訳注 続中国歴代刑法志（補）』、『訳注中国近世刑法志』、滋賀秀三『中国法制史論集：法典と刑罰』、富谷至『漢唐法制史研究』、辻正博『唐宋時代刑罰制度の研究』、顔之推『顔氏家訓』				
オフィスアワー	質問などについては、講義の前後に教室で受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	高校の世界史教科書などで中国歴代王朝の境域の変遷を確認しておく。
	授業内容	前近代中国法史総論
	事後学習	前近代中国法の体系について理解する。
2	事前学習	戦国時代から秦の天下一統、その国家体制を確認しておく。
	授業内容	帝制以前の法と秦代の律と令について学ぶ。
	事後学習	秦代の法制が国内各地に通達される単行法によっていたことを理解する。

3	事前学習	漢代の国家体制と匈奴との関係について確認しておく。
	授業内容	秦の法体系を受け継いだ、漢代の律と令について学ぶ。
	事後学習	秦代の法制が漢代にどのように引き継がれたかを理解する。
4	事前学習	「中国」がふたたび分裂し、南北に出自がことなる貴族制国家が出現したことを確認する。
	授業内容	魏晋南北朝期における律典と令典の形成と展開について学ぶ。
	事後学習	書写材料の変化と法典の出現の関係を理解する。また、北方の遊牧集団の法が中華王朝の法に流入したことを把握する。
5	事前学習	隋による南北統一と唐代なかばからの藩鎮割拠情況、両代における遊牧集団由来の支配者の系譜を確認する。
	授業内容	律令格式体系の完成と社会変容について学ぶ。
	事後学習	律令格式の4法典からなる体系が出現した社会背景とそれらの法の実効性について理解する。
6	事前学習	五代十国時期の諸王朝の国家体制とその中での沙陀系集団の意義、宋代に完成する皇帝独裁制について確認する。
	授業内容	五代諸王朝と宋朝において実用的な変遷を遂げた法典について学ぶ。
	事後学習	五代から南宋までの法典編纂が法律の実効性向上をめざしてのものだったことを理解する。
7	事前学習	北方の遊牧集団が開いた遼金元の3王朝とチベット系タングト集団が開いた西夏について、それぞれ国家体制を確認する。
	授業内容	北方から崛起し、中華王朝の支配者となった集団の法的な漢化問題について学ぶ。
	事後学習	遼、金、西夏、元の諸王朝では、支配者集団の固有法を尊重する動きと中華王朝系の律中心の体系に倣おうとする動きの両者がせめぎあっていたことを理解する。
8	事前学習	モンゴルの要素を継承しながら「唐宋に倣う」ことを志向した明朝とマンジュ・モンゴル・中国の三面に君臨した清朝の国家体制を確認する。
	授業内容	明清の律と例からなる新たな法体系について学ぶ。
	事後学習	律例の体系がいかに成立し、編纂がどのように制度化されていったかを理解する。
9	事前学習	日本の刑法における死刑制度の意義について確認する。
	授業内容	魏晋の棄市刑について学ぶ。
	事後学習	魏晋の王朝が漢代の死刑制度を継承していたことを理解する。
10	事前学習	前回講義の内容を確認する。
	授業内容	南北朝の死刑について学ぶ。
	事後学習	斬絞という死刑体系の確立について理解する。
11	事前学習	日本の前近代の流刑について確認する。
	授業内容	漢代以来の「徙遷刑」の漢人を主とした魏晋南朝における変遷について学ぶ。
	事後学習	死刑と労役刑の中間に位置づけられた南朝の「徙遷刑」について理解する。
12	事前学習	前回講義の内容を確認する。
	授業内容	律の五刑体系に引き継がれる「流刑」というカテゴリーの成立について学ぶ。
	事後学習	北朝において流刑が確立し、後の五刑の一部となっていくことを理解する。
13	事前学習	現代社会における社会的非違と刑罰の性格の変容について確認する。
	授業内容	刑罰全体の体系と性格の変化の中での笞杖（鞭杖）の変遷について理解する。
	事後学習	督から刑への鞭杖の性格の変化について理解する。
14	事前学習	自分が属する一族と家族について、家族内で確認しておく。
	授業内容	南北両朝に仕えた顔之推が著した『顔氏家訓』に示される家族像について理解する。
	事後学習	親子や夫婦など、個人と個人の相対的な「関係」の集積として、南北朝時代の家族形態を見直す。

15	事前学習	授業を総括すること。
	授業内容	授業内テストの実施および解説、ならびに授業の総括と質疑応答を行う。
	事後学習	授業内容全体の理解を深めること。

科目名	東洋法制史Ⅱ	担当者	加藤 雄三	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	この講義は、1)帝制末期の王朝であり、前近代の王朝の中でもっとも多く資料が残り、司法と社会の実態を詳細に知ることができる清朝時代と2)清末から民国時代にかけて進められた司法の近代化について論じます。本講の前半では、法源論、刑罰論、法意識、家族関係といった面から清代の司法と社会について説明します。本講の後半は、清末から民国時代にかけての司法と法制の近代化に向けられた努力について論じます。				
授業目的・到達目標	前近代中国法の最終形態と中国法の近代化過程について説明できるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	パワーポイントスライドを用いて講義形式で行う。スライドを印刷したものをノート用に配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	講義の範囲内で、論述試験を課す。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	滋賀秀三『中国国家族法の原理』、『清代中国の法と裁判』、『続・清代中国の法と裁判』 寺田浩明『中国法制史』、汪楫宝『民国司法志』、陳新宇・陳煜・江照信『中国近代法律史講義』				
オフィスアワー	質問などについては、講義の前後に教室で受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期受講生は前期第8講の内容を復習しておくこと。
	授業内容	清代の律例編纂について学ぶ。
	事後学習	清代の法体系が定期的に改訂される律例を中心として成立していることを理解する。
2	事前学習	日本の司法機構について復習しておく。
	授業内容	清代の刑事裁判を司る裁判機構について学ぶ。
	事後学習	清代の民政機関の裁判機構としての役割と関係性、裁判の進め方について理解する。

3	事前学習	罪刑法定主義について復習しておく。
	授業内容	裁判手続上の問題点と裁判における準拠法について学ぶ。
	事後学習	清代の量刑がどのような準則にもとづいて、いかなる論理で行われたのかを理解する。
4	事前学習	「判決の確定力」という言葉について調べておく。
	授業内容	清代の裁判における判決に確定力があつたのかいなかについて考察する。
	事後学習	「聴訟」をキーワードとして講義内容を整理する。
5	事前学習	日本の裁判で援用される法源について調べておく。
	授業内容	民事的な争訟において言及される「情・理・法」の概念について学ぶ。
	事後学習	「情・理・法」の法源性の有無について理解する。
6	事前学習	日本刑法内の刑罰について調べておく。
	授業内容	律の上での正刑（五刑）とその周辺で発展した諸刑罰、地方で執行された臨時の刑罰について学ぶ。
	事後学習	正刑とその読み替え、例外、やむを得ざる状況下における臨時の措置という諸刑罰の体系と関係性について理解する。
7	事前学習	日本の家族関係や相続関係を民法に則して調べるとともに、家族内で話し合う。
	授業内容	清代の家族関係、相続関係にかかわる諸概念について学ぶ。
	事後学習	礼にもとづく家族関係、同居共財という財産関係を理解する。
8	事前学習	アヘン戦争以来の中国の国際関係について復習しておくこと。
	授業内容	中国近代史の概略を学ぶ。
	事後学習	清期末期に中国が欧米列強とわたりあわねばならない環境に巻き込まれていったことを理解する。
9	事前学習	世界史教科書あるいは中国史基本書の該当箇所を読み直す。
	授業内容	清末の法制改革について学ぶ。
	事後学習	日清戦争、義和団戦争から意識された国政改革の必要性からもたらされた法制改革の動きについて理解する。
10	事前学習	世界史教科書あるいは中国史基本書の該当箇所を読み直す。
	授業内容	近代中国の立憲政治の模索について学ぶ。
	事後学習	清末における君主立憲制の探求、民国期の共和制下の憲政への変遷について理解する。
11	事前学習	明治期日本における刑事法典の編纂過程について確認する。
	授業内容	中国における近代刑法の編纂とその内容について学ぶ。
	事後学習	固有法から近代刑法に移行するために紆余曲折があつたことを理解する。
12	事前学習	日本の民法典論争について確認する。
	授業内容	中国における近代民法典及び商事単行法の編纂とその内容について学ぶ。
	事後学習	中華国民民法典が制定されるまでの私法の状況と同法典の先進的構成と固有法的規定について理解する。
13	事前学習	世界史教科書あるいは中国史基本書のナショナリズムにかかわる箇所を読み直す。
	授業内容	司法の近代化過程におけるナショナリズムの発揚と昇華について学ぶ。
	事後学習	近代化の過程において中国的なものが失われることについての危機感が知識人に共有されたことを理解する。
14	事前学習	世界史教科書あるいは中国史基本書の該当箇所を読み直す。
	授業内容	租界社会における司法について上海の2租界を事例として学ぶ。
	事後学習	租界における法の混淆状況について理解する。

15	事前学習	授業を総括すること。
	授業内容	授業内テストの実施および解説、ならびに授業の総括と質疑応答を行う。
	事後学習	授業内容全体の理解を深めること。

科目名	都市政策	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この講義では、地方分権時代において、都市の強みをいかしながら、まちづくりをする手法について検討する。都市にはいかなる課題があり、それをどのように解決すべきなのか。都市自治体のとるべき行動やその指針、考え方について考察する。				
授業目的・到達目標	地方分権の時代においては、都市のもつあらゆるリソースを有効に活用し、それぞれの都市の独自性がある魅力的なまちづくりを積極的に行なわなければならない。本講義では、まちづくりのための手法を分析する目を養う。都市問題解決のための政策について自治体職員としての基礎知識、あるいは自治の担い手としての基礎知識が身についている。				
履修条件	特にないが、講義中私語をする者は他の者の迷惑となるので履修を遠慮すること。				
授業方法	講義中心でおこなう予定であるが、受講人数によっては討論など他の方法も併用することもある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	都市政策の手法について考え方を理解している。	
	平常評価		10%	授業への参加度を中心に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	弘文堂		地方自治論	福島康仁編
	備考				
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則水曜日の昼休みとする。事前にメールなどでアポイントメントをとること（別の人の相談がはいっていたり、研究室にいないことがあります）。場所は本館6階の研究室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	まちづくりとはなにか考えてくる
	授業内容	評価方法、授業内容についての説明。
	事後学習	街づくりとまちづくりの違いを理解できたか考える
2	事前学習	時代ごとに都市はどのような変化について考える
	授業内容	新時代の都市の様相、都市の再生、成熟化する都市
	事後学習	成熟化した都市の住民の考え方について学習する

3	事前学習	都市の定義について調べてみる
	授業内容	都市の歴史：都市とはなにか
	事後学習	都市の時代ごとの役割を復習する
4	事前学習	現代都市と近代都市の違いを考える
	授業内容	都市の歴史：都市を考える
	事後学習	都市の歴史的な役割と機能について検討する
5	事前学習	都市をつくる指針について考える
	授業内容	都市の原理
	事後学習	自分の住む自治体の長期構想を読んでみる
6	事前学習	新しい公共とはなにか考える
	授業内容	都市の主体、都市の構造
	事後学習	都市と新しい公共についてまとめてみる
7	事前学習	都市法とはなにか調べている
	授業内容	都市の法規
	事後学習	都市法の役割と機能についてまとめてみる
8	事前学習	都市計画とはなにか調べてみる
	授業内容	都市をつくる：都市計画
	事後学習	都市計画制度についてまとめてみる
9	事前学習	用途地域について調べてみる
	授業内容	都市をまもる：都市計画
	事後学習	用途地域の役割について、建築基準法との関係について検討する
10	事前学習	日本の犯罪率について考える
	授業内容	都市をまもる；安全安心な都市
	事後学習	犯罪の起こりにくいまちとは何か考える
11	事前学習	犯罪をなくす先進的な取り組みにつてい考える
	授業内容	都市をまもる；安全安心な都市
	事後学習	犯罪のはないまちの特徴を整理する
12	事前学習	コミュニティの定義について調べる
	授業内容	住みやすい都市：コミュニティ政策
	事後学習	コミュニティの在り方について考える
13	事前学習	ソーシャルキャピタルの定義について調べてみる
	授業内容	住みやすい都市：コミュニテニィ政策
	事後学習	自治体のコミュニティ政策の変化について整理する
14	事前学習	都市自治体の環境政策について、市町村レベルと都道府県レベルの相違を調べる
	授業内容	住みやすい都市：環境政策
	事後学習	環境政策の有効性と住民との関係について考える

15	事前学習	いままでの学習を通じてなにを学んだのか整理してみる
	授業内容	まとめ
	事後学習	残された課題を整理する

科目名	日本経済論Ⅰ	担当者	稲葉 陽二	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	日本経済における付加価値の源泉である会社に焦点を当てて、日本型経済システムの変化と現状、課題をミクロの企業の観点から検討する。 日本経済新聞を無理なく読めるようになることも目指している。			
授業目的・ 到達目標	日本経済の基本的なフレームワークを、①日本型経済システム、②日本経済の現状と課題、③日本経済発展の軌跡、の3つの視点から検討し、社会人として要求される日本経済の基本的な事柄への理解を深める。日本経済新聞を無理なく読めるようになることも目指している。			
履修条件	特にない。			
授業方法	講義による。資料は必要に応じ、講師より呈示する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	(90%)授業内試験により評価 (10%)外部識者による講演について感想文提出	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2011	弘文堂	『日本経済論』	稲葉陽二・乾友彦・伊ヶ崎大理
備考	統計は最新のものを学生教員共有ドライブにアップします。要約のPPTを毎回作成するので、参照してください。			
参考書	『経済財政白書 平成30年版』内閣府 稲葉陽二『企業不祥事はなぜ起きるのか』中公新書			
オフィス アワー	毎週木曜日12時から13時 研究室（9号館9406研究室） 事前にメールにてアポイントメントをとってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	『日本経済論』序章を読んでおいてください。
	授業内容	第Ⅰ部 ミクロ編—日本経済と会社『日本経済論』序章 なぜ会社なのか（付加価値とはなにか、誰が創りだすのか）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
2	事前学習	『日本経済論』第1章を読んでおいてください。
	授業内容	会社とはなにか（自然人と法人、法人の起源、会社の特徴と諸形態、わが国における会社の発展と現状）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。

3	事前学習	『日本経済論』第2章を読んでおいてください。
	授業内容	会社はだれのものか
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
4	事前学習	『日本経済論』第3章を読んでおいてください。
	授業内容	日本的経営一年功序列・終身雇用・企業内組合・株式持ち合い
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
5	事前学習	事前に指定した資料を読んでおいてください。
	授業内容	銀行の役割とその盛衰―間接金融から直接金融、そしてフィンテック、AI
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
6	事前学習	事前に指定した資料を読んでおいてください。
	授業内容	雇用形態の変化：非正規雇用をどう考えるか
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
7	事前学習	『日本経済論』第4章を読んでおいてください。
	授業内容	企業統治（経営者の役割と地位、経営者への規律づけメカニズム、企業不祥事への対応、ケーススタディ）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
8	事前学習	可能なら参考文献『企業不祥事はなぜ起きるのか』第1章（13-31頁）を読んでおいてください。
	授業内容	それでもなくならない企業不祥事 ケーススタディ
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
9	事前学習	『日本経済論』第5章を読んでおいてください。
	授業内容	日本企業の低収益性（収益率の国際比較、収益率はなにを反映するのか、企業収益と生産性・付加価値、ケーススタディ）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
10	事前学習	『日本経済論』第6章を読んでおいてください。
	授業内容	市場の失敗（市場の失敗とは何か、外部性、公共財、独占・寡占、情報の非対称性、政府の失敗）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
11	事前学習	第10回までの授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
	授業内容	ミクロ編まとめ
	事後学習	まとめを復習してください。
12	事前学習	前回の授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。 過去問を学生教員共有ドライブにアップしておきますので確認をお願いします。
	授業内容	授業内試験及び振り返り。
	事後学習	試験後に解答を配布するので確認し、復習してください。
13	事前学習	復習してください。
	授業内容	第Ⅱ部 マクロ編―日本経済の課題 日本経済の現状 ガイダンス
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
14	事前学習	『日本経済論』第7章を読んでおいてください。
	授業内容	GDPの構成要素（産業連関表、支出面からみたGDP、生産面からみたGDP、所得面からみたGDP）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。

15	事前学習	『日本経済論』第8章を読んでおいてください。
	授業内容	景気変動（景気変動の定義と変動の要因、日米における四半期別GDPの動き、景気動向指数、インフレーションと失業率）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。

科目名	日本経済論Ⅱ	担当者	稲葉 陽二	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済財政白書を用いてマクロの観点から日本経済の現状と課題を概観したのち、格差問題とAIの影響を論じる。最後に日本経済の今後を論じるが、その前提として日本経済の発展の軌跡を概観する。日本経済新聞を無理なく読めるようになることも目指している。				
授業目的・到達目標	日本経済の基本的なフレームワークを、①日本型経済システム、②日本経済の現状と課題、③日本経済発展の軌跡、の3つの視点から検討し、社会人として要求される日本経済の基本的な事柄への理解を深める。日本経済新聞を無理なく読めるようになることも目指している。				
履修条件	特にない。				
授業方法	講義による。資料は必要に応じ、講師より呈示する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	(90%)授業内試験により評価 (10%)外部講師による講演について出席して感想文を提出	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2011	弘文堂		『日本経済論』	稲葉陽二・乾友彦・伊ヶ崎大理
	備考	統計データは最新のものを学生教員共有ドライブにアップします。要約のPPTを毎回作成するので、参照してください。			
参考書	『経済財政白書 平成30年版』内閣府 稲葉陽二『企業不祥事はなぜ起きるのか』中公新書				
オフィスアワー	毎週木曜日12時から13時 研究室（9号館9406研究室） 事前にメールにてアポイントメントをとってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	『経済財政白書 平成30年版』第1章
	授業内容	経済財政白書を読む その1
	事後学習	授業内で用いた資料で復習をお願いします。
2	事前学習	『経済財政白書 平成30年版』第2章
	授業内容	経済財政白書を読む その2
	事後学習	授業内で用いた資料で復習をお願いします。

3	事前学習	『経済財政白書 平成30年版』第3章
	授業内容	経済財政白書を読む その3
	事後学習	授業内で用いた資料で復習をお願いします。
4	事前学習	『日本経済論』第9章を読んでおいてください。
	授業内容	経済成長の諸要因（ソロー型成長モデル、成長会計の方法、日本の産業別の成長の要因分解、生産性の重要性）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
5	事前学習	『日本経済論』第10章を読んでおいてください。
	授業内容	生産性の規定要因（研究開発と生産性、競争と生産性、経済の国際化と生産性、金融の発展と生産性）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
6	事前学習	『日本経済論』第11章を読んでおいてください。
	授業内容	成長の制約（成長の限界、持続可能な発展、公害問題、地球環境問題）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
7	事前学習	『日本経済論』第12章を読んでおいてください。
	授業内容	現代日本経済の諸課題（低成長時代を生きる、失業、少子高齢化と社会保障問題、財政の持続可能性）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
8	事前学習	『日本経済論』第13章を読んでおいてください。
	授業内容	経済成長と政府の役割 金融の変化
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
9	事前学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
	授業内容	格差問題を考える
	事後学習	授業内で用いた資料で復習をお願いします。
10	事前学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
	授業内容	人工知能の影響
	事後学習	授業内で用いた資料で復習をお願いします。
11	事前学習	『日本経済論』第14章を読んでおいてください。
	授業内容	第Ⅲ部 戦後日本経済の流れ 戦時経済体制と日本的システム（第二次世界大戦後の混乱、朝鮮戦争、高度成長、日本型システム）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
12	事前学習	『日本経済論』第15章を読んでおいてください。
	授業内容	オイルショックの影響（オイルショック、低成長の時代、成長率が屈折した理由、バブルの発生と崩壊） バブル崩壊後の日本経済（ゼロ成長の時代、金融危機、小泉構造改革、政権交代）
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
13	事前学習	『日本経済論』第16章を読んでおいてください。
	授業内容	政治経済学入門 制度と政治
	事後学習	授業資料（PPT）を用いて復習をお願いします。
14	事前学習	第13回から第28回の資料を用いて復習をお願いします。
	授業内容	第Ⅱ部と第Ⅲ部まとめ
	事後学習	授業内で用いた資料で復習をお願いします。

15	事前学習	第13回から第28回の資料を用いて復習をお願いします。
	授業内容	授業内試験及び振り返り。
	事後学習	試験後に解答を配布するので確認し、復習してください。

科目名	日本ジャーナリズム史Ⅰ	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	ジャーナリズムやメディアを批判的に読み解くうえで、その特性を表面的に捉えているだけでは十分な考察はできない。それらの成り立ちから現代までに展開された歴史的経緯を把握してこそ、本質に迫る議論が可能となる。こうした視座から、本講義では、近代日本におけるジャーナリズムの発展過程を学ぶ。「Ⅰ」では幕末期から大正前期、「Ⅱ」では大正後期から昭和期までを対象とする。				
授業目的・到達目標	本講義では、日本のジャーナリズムの歴史を通じて、ジャーナリズムの社会的意義について考察する。例えば、新聞における「中立性」や「客観性」といった概念は如何なる過程の中で生まれたのか。こうした考察を通じて、学生諸子が現代のジャーナリズムの構造と機能について、より深く理解できるようになることが本講義の目的である。到達目標としては、上記の目的を達するほかに、「①日本の新聞の変遷について、系統立てて説明することができるようになること」と、「②歴史的出来事の中でジャーナリズムが果たした役割について、具体例をあげて説明することができるようになること」の2点を重視する。				
履修条件	特になし。本講義は新聞学科の必修科目だが、学ぶ熱意があれば他学科の学生も歓迎する。なお、「Ⅰ」の単位を修得していない者は「Ⅱ」を履修することはできないので注意すること。				
授業方法	講義形式。 受講時は、必ずノートを持参すること。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		95%	設問の形式などは授業で説明する。（定期試験以外に小テスト等を課した場合は、出来に応じて平常評価の加点として扱う）	
	平常評価		5%	出席は当然のことなので、出席点といった加点は存在しない。欠席による減点は特に行わないが、講義総数の3分の1以上の欠席がある者は成績評価の対象としないので注意。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2013年	櫻門書房	日本のジャーナリズム		黒川貢三郎 石川徳幸
備考	【入手方法】新聞学科の学生専用のテキストのため、一般書店での入手ができない。取り扱い、教科書販売期間中に学内に設置される臨時教科書販売所および日本大学経済学部内にある図書販売部のみ。				
参考書	必要に応じて適宜紹介する。 一例として、『近代日本メディア人物誌（創始者・経営者編／ジャーナリスト編）』（ミネルヴァ書房）など。				
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れた者を優先する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通してくること。
	授業内容	ガイダンス メディア史およびジャーナリズム史の射程
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
2	事前学習	教科書の序章を下読みしておくこと。
	授業内容	西洋新聞略史
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。

3	事前学習	教科書第1章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	江戸時代の情報伝達 外字新聞の発行とその影響
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
4	事前学習	教科書第1章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	外字新聞の発行とその影響 戊辰戦争と新聞 幕末期のジャーナリスト
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
5	事前学習	教科書第2章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	明治政府の新聞規制政策 明治政府の新聞保護育成政策
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
6	事前学習	教科書第2章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	民権運動と新聞 新聞恐怖時代
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
7	事前学習	教科書第3章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	報道機関としての新聞 明治14年の政変と新聞
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
8	事前学習	教科書第3章第3節～第5節を下読みしておくこと。
	授業内容	新聞の政党機関紙化 「小新聞」の発生とその発展 明治初期のジャーナリスト
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
9	事前学習	教科書第4章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	編集と経営の改革 言論第一主義の復活
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
10	事前学習	教科書第4章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	「政論新聞」の没落と新興新聞の台頭 三面記事新聞の台頭
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
11	事前学習	教科書第5章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	日清戦争と新聞 新聞の近代化
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
12	事前学習	教科書第5章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	日露戦争と新聞 日露講和条約と新聞 (社会主義言論の盛衰)
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
13	事前学習	教科書第6章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	大正の政変と新聞 シーメンス事件と新聞
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
14	事前学習	教科書第6章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	第1次世界大戦と新聞 白虹事件と新聞の商業化
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。

15	事前学習	授業を受けてきた中で疑問点があれば整理しておくこと。
	授業内容	総括 質疑応答
	事後学習	本講義を通して得た知見を今後の学習に活かせるように、自分がまとめたノートをいつでも見られる状態にしておくこと。

科目名	日本ジャーナリズム史Ⅱ	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】					
授業概要	ジャーナリズムやメディアを批判的に読み解くうえで、その特性を表面的に捉えているだけでは十分な考察はできない。それらの成り立ちから現代までに展開された歴史的経緯を把握してこそ、本質に迫る議論が可能となる。こうした視座から、本講義では、近代日本におけるジャーナリズムの発展過程を学ぶ。「Ⅰ」で扱った幕末期から大正前期の内容を踏まえて、「Ⅱ」では大正後期から昭和期までを対象とする。					
授業目的・到達目標	本講義では、日本のジャーナリズムの歴史を通じて、ジャーナリズムの社会的意義について考察する。例えば、「新聞の公益性」や「編集権」に関する議論は如何なる過程で生まれたのか。戦時体制下に築かれた制度の残滓とは何か。こうした考察を通じて、学生諸子が現代のジャーナリズムの構造と機能について、より深く理解できるようになることが本講義の目的である。到達目標としては、上記の目的を達するほかに、「①日本の新聞の変遷について、系統立てて説明することができるようになること」と、「②歴史的出来事の中でジャーナリズムが果たした役割について、具体例をあげて説明することができるようになること」の2点を重視する。					
履修条件	【先修条件あり】「日本ジャーナリズム史Ⅰ」の単位を修得している者のみ履修可。「日本ジャーナリズム史Ⅰ」の単位を修得していない者は履修不可。					
授業方法	講義形式。受講にあたっては必ずノートを持参すること。 なお、授業の方法に関しては、受講者に告知した上で、履修者数に応じた方法に改めることがある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		95%	設問の形式などは授業で説明する。 （定期試験以外に小テスト等を課した場合は、出来に応じて平常評価の加点として扱う）		
	平常評価		5%	出席は当然のことなので、出席点といった加点は存在しない。欠席による減点は特に行わないが、講義総数の3分の1以上の欠席がある者は成績評価の対象としないので注意。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013年	櫻門書房		日本のジャーナリズム		黒川貢三郎 石川徳幸
	備考	【入手方法】新聞学科の学生専用のテキストのため、一般書店での入手ができない。取り扱い、教科書販売期間中に学内に設置される臨時教科書販売所および日本大学経済学部内にある図書販売部のみ。				
参考書	必要に応じて随時紹介する。 一例として、『近代日本メディア人物誌（創始者・経営者編／ジャーナリスト編）』（ミネルヴァ書房）など。					
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れた者を優先する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。 ※以下に記す授業内容は、進捗状況に応じて若干の変更が生じることがある。変更がある場合は、事前に受講生に告知する。
	授業内容	ガイダンス メディア史およびジャーナリズム史の射程
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
2	事前学習	教科書第7章第1節を下読みしておくこと。
	授業内容	補論1：日本のジャーナリズムと国際通信の歴史 ＜国際会議と新聞＞ パリ講和会議と新聞
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。

3	事前学習	教科書第7章第2節～第3節を下読みしておくこと。
	授業内容	<国際会議と新聞> 軍縮条約交渉と新聞 新聞争議と流言飛語
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
4	事前学習	教科書第7章第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	<国際会議と新聞> 大正期における編集と経営の変化
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
5	事前学習	教科書第8章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	<『朝毎』全盛時代> 政党政治の腐敗墮落と新聞 大阪系新聞の東京制覇
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
6	事前学習	教科書第8章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	<『朝毎』全盛時代> 東京各紙の没落 新聞の軍部批判
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
7	事前学習	教科書第8章第5節を下読みしておくこと。
	授業内容	<『朝毎』全盛時代> 軍部による言論統制と二・二六 補論2：日本における通信社の歴史
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
8	事前学習	教科書第9章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	<大日本帝国の崩壊と新聞> 日中戦争と新聞 第2次世界大戦の開幕と新聞
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
9	事前学習	教科書第9章第3節を下読みしておくこと。
	授業内容	<大日本帝国の崩壊と新聞> 新聞の統廃合
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
10	事前学習	教科書第9章第4節～第10章第1節を下読みしておくこと。
	授業内容	<大日本帝国の崩壊と新聞> 敗戦と新聞 <占領期の新聞> GHQの新聞政策
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
11	事前学習	教科書第10章第2節～第3節を下読みしておくこと。
	授業内容	新聞の民主化運動 取材源証言拒否事件と捏造報道
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
12	事前学習	教科書第11章第1節～第2節を下読みしておくこと。
	授業内容	<飛躍する新聞> 対日講和条約と新聞 激化する販売競争
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。
13	事前学習	教科書第11章第3節～第4節を下読みしておくこと。
	授業内容	<飛躍する新聞> 新聞界の技術革新と報道協定 安保問題と新聞
	事後学習	ノートの整理。復習用の資料を毎回COLNet共有フォルダに提供する。

14	事前学習	自筆のノートの内容の振り返り。
	授業内容	大正後期から昭和期までのジャーナリズムの歴史のまとめ 理解度テスト
	事後学習	テスト内容の見返し。
15	事前学習	自筆のノートの内容の振り返り。
	授業内容	総括
	事後学習	本講義を通して得た知見を今後の学習に活かせるように、自分がまとめたノートをいつでも見られる状態にしておくこと。

科目名	日本政治史Ⅰ	担当者	中 静 未知	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	明治・大正期の日本政治の歴史を概説する。大日本帝国憲法制定時(1889年)に設計された政治体制（明治国家体制）と、その後の政治の変容過程を中心に講義する。				
授業目的・到達目標	①日本の国家・政治の近過去に関する基礎的な理解を得ること。授業内容を「覚える」のではなく「理解すること」が重要です。 ②歴史の学問的な見方（「現在から過去を振り返る」のではなく「過去の状況を前提にして過去の事実を捉える」）を通じて、事実を客観的に認識する姿勢と能力を養うこと。				
履修条件	Ⅰ・Ⅱ両方の履修を原則とする。1年生はできるだけ木曜1限で受講してください。				
授業方法	授業時に配布するレジュメ（各回の概要と構成を記したプリント）に基づいて講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期末に論述形式の筆記試験を行う。採点は特に次の点に注目する。①設問に対する応答になっていること、②史実に関する理解度、③正しい日本語表現・表記。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	『日本の近代』第2・3・4巻（中公文庫）、『シリーズ日本近現代史』②③④（岩波新書）等。他に適宜レジュメで紹介する。				
オフィスアワー	面談可能時間：火曜昼休み～3限(12:15-14:30)。事前にアポイントメントを取ってください（メールか授業の前後に口頭で）。 研究室（9号館4階405号）nakashizuka.michi@nihon-u.ac.jp なお、授業内容についてはメールでの質問も受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中学・高校で学んだ日本史の「明治時代以降」を思い出しておいてください。
	授業内容	科目と講義の案内 序論 (1)歴史の見方 (2)時代区分とは
	事後学習	「事実」に対する認識を新たにしてください。
2	事前学習	「近代国家」とは何か（世界史か社会科系の授業で説明を聞いたことがあるはず）。考えて定義してみてください。
	授業内容	序論(2)の続き：「近代」と「現代」 1. 明治国家の形成 (1)明治維新と新政府（1868-1882年）
	事後学習	明治維新とは要するに何だったのか。統一国家を作るには何が必要だったか。政変による新政府の構成の変化。このように、授業で話したことを論題ごとに大きく捉え、その中に細部の事項を位置づけていくと理解しやすくなるはずです。

3	事前学習	「政府」、「統治」、（三権分立の）「三権」。以上の語義を、国語辞典と政治学事典の両方で調べてみてください。
	授業内容	1. 明治国家の形成（2）統治体制の構築（1883-1889年）
	事後学習	憲法制定・国会開設「の前に」統治体制を整えた、ということが持つ意味は理解できましたか。
4	事前学習	「大日本帝国憲法」に目を通してみてください（法律の授業で使う六法に載っています）。特に条文の前の「告文」「憲法発布勅語」と、第一章（天皇）・第四章（国务大臣及枢密顧問）の各条文は念入りに読んでください。
	授業内容	1. 明治国家の形成（3）大日本帝国憲法下の政治構造①天皇の地位と権限
	事後学習	天皇の権限（天皇大権）の内容だけでなく、その使われ方（発動要件）が重要です。「親政ではない」という意味は解りましたか。
5	事前学習	立法府（立法権）と行政府（行政権）。その役割と違いを理解していますか。
	授業内容	1. 明治国家の形成（3）大日本帝国憲法下の政治構造②「政治」の力量と限界（議会と内閣）
	事後学習	貴族院は身分制議会の一種。衆議院の選挙権（制限選挙）は資産に基づく制限。いずれも当時世界的に存在した仕組みです。帝国議会の権限は、天皇や内閣の権限と対抗関係にある（「分権」の担保とも言える）。現在の日本の議会制度（国会）との違いは解りますか。
6	事前学習	日本国は「官僚制の強い国」に分類されてきたことを知っていますか。そうなった理由も考えてみてください。
	授業内容	1. 明治国家の形成（3）大日本帝国憲法下の政治構造③「官治」の強大（行政権力による国民統治） 2. 明治国家の確立過程（1）初期議会期～日清戦後期の内閣と議会（1890-1903年）
	事後学習	2-(1)は「内閣と衆議院の関係」に焦点を絞って説明しています。両者の関係が変化する過程と理由を理解してください。
7	事前学習	日本近代史を細分する時代区分の一つに「日清・日露戦争期」があります。10年を隔てて遂行された二つの戦争が時代を画する変化をもたらしたからです。戦争が政治や経済・社会にどんな影響を与え得るか、考えてみてください。
	授業内容	2. 明治国家の確立過程（1）の続き（2）日清戦争・戦後外交・日露戦争（1894-1905年）
	事後学習	戦争は外交の延長線上にある一手段ですが、当時の日本が二度も戦争にふみきった理由（戦争目的）は何にあったか（二度とも同じ）。そこが2-(2)の焦点です。理解できましたか。
8	事前学習	日清・日露戦争を経て、明治政府は維新の目的を達成します。明治維新の最大の目的（必要性）は何だったかを思い出しておいてください。
	授業内容	2. 明治国家の確立過程（2）の続き 明治国家の確立（日清・日露戦争期の帰結と新たな課題）
	事後学習	「国民意識」(national identity)とは何か、解りましたか。それは近代国家を成立させる要件の一つであり、創り出されるものなのです。
9	事前学習	ここからは、維新当初の想定を超えた新たな政治課題に対処するなかで、政治が変化していく過程に入ります。前回話した「帝国化」と「大衆化」の意味を、改めて考えてみてください。
	授業内容	3. 明治国家体制の動揺（1）桂園時代の政局（1905-1912年）
	事後学習	桂園時代は、単に桂と西園寺が交互に首相になった時期ではない。政治家個人ではなく政治勢力の拮抗状態が、政権委譲を生み出したのです。このことは議会政治開始以後の「内閣と衆議院の関係の変化」の延長上で捉えれば理解できるはずです。
10	事前学習	朝鮮半島には現在二つの国家が存在するが、それはいつからか。また「満州」という地域（現在は通例「中国東北部」と呼ばれる）はどこにあるか。知っておいてください。
	授業内容	3. 明治国家体制の動揺（2）桂園時代の外交：韓国と南満州（1904-1911年）
	事後学習	植民地や権益（租借地等）を持つことの得失を、長期的・世界的な視野で考えてみてください。日本でも他の国でも、この時代（帝国主義の時代）に為したことの影響は、現在なお様々な形で存在します。
11	事前学習	「大正デモクラシー」という語が何を指すものか、日本史辞典等で調べてみてください。結構多面的です。
	授業内容	3. 明治国家体制の動揺（3）「民衆的示威運動」の時代：憲政擁護運動と二つの政変（1912-1914年）
	事後学習	世論が政治に反映し政界内で具体化する過程は見えにくいものですが、大正政変はそれがよくわかる事例なので、経過を詳しく説明します。「憲政擁護」「閥族打破」の語に込められた含意も理解してください。
12	事前学習	大隈重信がどういう立場で何をした人だったか、思い出しておいてください（本講で2回ほど登場しました）。
	授業内容	3. 明治国家体制の動揺（4）第一次大戦期の政治：政党内閣への抵抗（1914-1918年）
	事後学習	護憲運動は政変を惹起したが、要求がすんなり政治に反映されたわけではない（変化は窺えるが）。政治が各勢力の力関係に左右される側面を理解してください（各勢力の力の淵源が何にあるかも含めて）。
13	事前学習	人類初の総力戦と言われる第一次世界大戦ですが、欧州諸国と日本とではずいぶん様相が違います。大戦全体の概要を調べてみてください。また、日本の「大戦景気」がどんな状況だったかを知らうる具体例を探してみてください。
	授業内容	4. 第一次大戦後の政治（1）大戦後の状況と原内閣：政友党内閣の成立と原の施政（1918-1921年）
	事後学習	原敬は、公益にも適う政策手段を駆使して自らの政治目的を実現していく優れた政治家だったが、彼がめざしたものと世論が期待した「デモクラシー」が必ずしも一致しないことは理解できましたか。
14	事前学習	第一次大戦がもたらした好景気は1920年から反動恐慌に転じます。1930年代の恐慌ほど知られていませんが、例えばどんな業種に影響が生じたか調べてみてください。
	授業内容	4. 第一次大戦後の政治（2）政友党内閣の崩壊と「中間内閣」の継続（1921-1924年）
	事後学習	高橋内閣の総辞職は、政党を基盤とする政権が党内紛によって倒れた例。これはようやく実現した政党内閣が続かなかった理由にもつながる（直接には元老の選択結果だが）。そのように捉えてみてください。

15	事前学習	明治から大正末期に至る日本政治の推移を説明しました。レジユメのタイトル（本シラバス「授業内容」欄と同じ）は時期区分と主題を示しています。各部分の見出しも手掛りにして説明の要点を押さえ、時代ごとの政治の特質とそ の変化を大きく捉えて復習してください。
	授業内容	講義のまとめ（試験実施予定）
	事後学習	興味を引かれた時期や事柄を扱った本を探して読んでみてください。参考書欄やレジユメに記した書籍でもいいで す。講義は概説に留まりますが、歴史の本当の面白さは細部にあり、具体的な事実を知るほど面白くなるものです。

科目名	日本政治史Ⅱ	担当者	岩井 奉信	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】			
授業概要	明治維新に始まる日本の近代国家発展の歴史は官僚制を抜きに語ることはできない。最近まで、日本の政治経済体制は「官僚主導」と言われ続けてきたように、官僚制が日本を牽引してきたということもできる。本講義では、明治維新から現代に至るまでの政治の歴史を「官僚制」という観点から解説することを通して、日本政治史の中で、官僚制が果たしてきた役割や政治との関係について、通史的に論じていく。			
授業目的・到達目標	今日にも続く「官僚主導」と言われるの政治経済体制が、歴史的にどのように形成されてきたかを知ることを通して、政党や政治家を軸とした日本政治の歴史とは異なる別の視点を提供することを通して、現代日本の政治を理解する一助となることを目的とする。			
履修条件	原則として、教職を目指す者を受講の対象とする。			
授業方法	授業は、明治維新を起点として、時系列に沿って、講義を中心に行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	授業内容をどのように理解しているかについて、論述方式の試験を定期試験期間に行う。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書は特に定めないが、必要に応じて、授業中に示唆する。		
参考書	清水唯一朗『近代日本の官僚』中公新書 野口悠紀雄『1940年体制』東洋経済新報社			
オフィスアワー	月曜日昼休みまたは金曜日昼休み			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておくこと。
	授業内容	「官僚主導」とは何か、今日の政治の中で、官僚制がいかなる役割を担っているかを「入門」として説明する。
	事後学習	現代政治における「官僚主導」と「政治主導」について、文献や資料などを通じて、確認しておくこと。
2	事前学習	明治維新や近代国家について、基礎的な知識を学習しておくことが望ましい。
	授業内容	明治維新より、日本が目指した近代国家形成に向けて「中央集権」体制をいかに確立していったかを論じる。
	事後学習	徳川幕藩体制と明治政府の体制の違いについて、「分権」と「集権」の違いを確認しておくこと。

3	事前学習	明治初期に起きた、さまざまな政治的な事件などについて、基礎的な知識を学習しておくことが望ましい。
	授業内容	日本の近代官僚制の形成について、明治初年の政体書から明治21年の高等文官試験制度の確立までを論じる。
	事後学習	初期官僚制形成の中で、大久保利通が果たした役割について、再確認しておくこと。
4	事前学習	明治の自由民権運動と政党の発展について、基礎的な知識を学習しておくことが望ましい。
	授業内容	大日本帝国憲法の発布に伴う帝国議会の成立が明治政府と官僚制に与えた影響について、隈板内閣を中心に論じる。
	事後学習	帝国憲法において、内閣や議会そして官僚制はどう位置づけられたかについて、確認しておくこと。
5	事前学習	明治から大正にかけての日本における政党の発展の歴史について、学習しておくことが望ましい。
	授業内容	明治から大正にかけての政党政治の発展とその限界について、明治憲法の構造などから論じる。
	事後学習	日本の政党政治の限界について、天皇大権との関わりについて、確認しておくこと。
6	事前学習	世界大恐慌と昭和恐慌について、基礎的な知識を学んでおくことが望ましい。
	授業内容	世界恐慌に端を発する戦時体制への流れと政党政治の終焉と軍部内閣の下での「新官僚」の登場について論じる。
	事後学習	5.15事件により、何故、政党政治は突然の終焉を迎えたのかについて、確認しておくこと。
7	事前学習	満州事変以降の戦時体制への流れについて、基礎的な知識を学習しておくことが望ましい。
	授業内容	戦時体制が確立する中で登場してくる「革新官僚」を軸に、彼らが進めた「戦時総動員体制」について論じる。
	事後学習	「戦時総動員体制」にどのようなものがあるのかについて、確認すること。
8	事前学習	ロシア革命やドイツのナチス体制について、経済面における影響について、基礎的学習しておくことが望ましい。
	授業内容	「戦時総動員体制」に端を発する政策が、現代にも影響を与えているという「1940年体制」について論じる。
	事後学習	「1940年体制」とは何かについて、再確認をしておくこと。
9	事前学習	第二次世界大戦の敗戦とアメリカによる占領体制について、基礎的な事実を学習しておくことが望ましい。
	授業内容	日本の敗戦による占領の下で行われた、さまざまな「戦後改革」について「間接統治」をキーワードに説明する。
	事後学習	占領軍による「戦後改革」の中で、授業で触れなかったものについて、確認しておくこと。
10	事前学習	吉田茂が戦後政治の中で果たした役割について、どのような人物かを含めて、学習しておくことが望ましい。
	授業内容	占領軍による「公職追放」と吉田茂内閣の登場が、戦後の政治にいかなる影響を与えたかについて論じる。
	事後学習	官僚出身政治家には、どのような人物がいたのかについて、再確認しておくこと。
11	事前学習	戦後の政党の変遷について、基礎的な知識を学んでおくことが望ましい。
	授業内容	戦後の官僚出身政治家の台頭と戦後復興に向けて「官僚主導」体制の確立について論じる。
	事後学習	戦後の経済復興の原動力となった「傾斜生産方式」とは何かについて確認しておくこと。
12	事前学習	第二次世界大戦後の米ソ対立の歴史的背景について、基礎的な学習を行っておくことが望ましい。
	授業内容	朝鮮戦争を契機とする日本の独立と占領体制の終焉が、日本の政治や官僚制にいかなる影響を与えたかについて論じる。
	事後学習	朝鮮戦争が日本の経済復興に与えた影響について確認しておくこと。
13	事前学習	再度、戦後の政党の変遷について、基礎的な知識を学んでおくことが望ましい。
	授業内容	保守合同による自民党の誕生と社会党の再統一の背景とその影響について論じる。
	事後学習	二大政党制確立に対する国民世論の反応について、確認しておくこと。
14	事前学習	「高度経済成長」とは何かについて、基礎的な学習を行っておくことが望ましい。
	授業内容	自民党による「一党優位体制」の確立と「高度経済成長」の中で、官僚制が果たした役割について論じる。
	事後学習	自民党という政党はいかなる政党かについて、確認しておくこと。

15	事前学習	「官僚主導」とは何かについて、基礎的な学習を行っておくことが望ましい。
	授業内容	明治から現代に至るまで、官僚制が果たした役割と政官関係の変遷についてまとめるに論じる。
	事後学習	再度、「1940年体制」とは何かについて、確認しておくこと。

科目名	日本政治史Ⅱ	担当者	中 静 未 知	部 別	第一部	期 間	後 期	単 位 数	2
-----	--------	-----	---------	-----	-----	-----	-----	-------	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	昭和戦前期（太平洋戦争開戦まで）の日本政治の歴史を概説する。戦前民主政治の頂点とされる政党内閣期の政治と、政党内閣の崩壊から戦時期に至る政治の変容過程を説明の中心とし、二つの戦争（日中戦争、太平洋戦争）にふみきった経緯を含めて講義する。				
授業目的・到達目標	①日本の国家・政治の近過去に関する基礎的な理解を得ること。授業内容を「覚える」のではなく「理解すること」が重要です。 ②歴史の学問的な見方（「現在から過去を振り返る」のではなく「過去の状況を前提にして過去の事実を捉える」）を通じて、事実を客観的に認識する姿勢と能力を養うこと。				
履修条件	Ⅰ・Ⅱ両方の履修を原則とする。1年生はできるだけ木曜1限で受講してください。				
授業方法	授業時に配布するレジュメに基づいて講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	論述形式の筆記試験を行う。採点は特に次の点に注目する。①設問に対する応答になっていること、②史実に関する理解度、③正しい日本語表現・表記。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	『日本の近代』第4・5巻（中公文庫）、『シリーズ日本近現代史』④⑤⑥（岩波新書）等。他に適宜レジュメで紹介する。				
オフィスアワー	面談可能時間：火曜昼休み～3限(12:15-14:30)。事前にアポイントメントを取ってください（メールか授業の前後に口頭で）。 研究室（9号館4階405号）nakashizuka.michi@nihon-u.ac.jp なお、授業内容についての質問はメールでも受け付けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Iの授業内容を思い出しておいてください（自分が前期試験の答案に何をどう書いたかも）。
	授業内容	前史の概観（Iで扱った時代の概括＋Iの試験の講評・解説）
	事後学習	IIの時代も政治機構の大枠は変わらないので、政治の仕組みを改めて確認してください。当時の内閣制度と現在の制度（議院内閣制）との違いを理解していますか。
2	事前学習	時代は政党内閣の最盛期に入ります。明治期以来の主要政党の結党時とその後の系統関係を確認しておいてください（Iで折々説明しましたし、日本史辞典類には政党系統図などの資料も載っています）。
	授業内容	1. 政党内閣の時代 序：政党内閣と元老西園寺 (1) 憲政会内閣（護憲三派～憲政会単独）の内政と政党の動向（1924-1927年）
	事後学習	政党内閣期は各政党の動向が重要になるので、政界内情勢の説明が増えます。ややこしいかもしれませんが、これぞ政治という側面でもありますから、理解に努めてください。

3	事前学習	田中義一が政友会に入ってすぐに総裁となり、まもなく首相になる。田中義一の経歴を調べてみてください（日本史辞典にも人名辞典にも載っているはずです）。
	授業内容	1．政党内閣の時代（1）の続き（2）田中内閣（政友会）の内政と政党の動向（1927-1928年）
	事後学習	田中内閣は歴史上あまり評判がよくないが、その一因は内相の鈴木喜三郎にあるだろう。田中も鈴木も新参党员ながらすぐに党幹部となり、昭和期の政友会を形作った人物です。
4	事前学習	辛亥革命(1912-1913年)と以後の中国の国内情勢について、概要を調べてみてください。
	授業内容	1．政党内閣の時代（3）両党内閣の外交：「幣原外交」と「田中外交」（1924-1928年）
	事後学習	幣原＝協調外交、田中＝積極(強硬)外交とよく言われるが、現実はその単純に言い切れるものでもない。違いの焦点は満州利権をめぐる方針だが、それも程度の違いと捉え得る。解ったでしょうか。
5	事前学習	「金本位制」とはどのような仕組みか、知っておいてください。
	授業内容	1．政党内閣の時代（4）浜口内閣（民政党）の内政と外交問題（1929-1931年）
	事後学習	時代が進むにつれて経済政策の重要性が高まる。浜口内閣は井上準之助という専門家を得て金解禁にふみきるが、やがて判断の誤りとされる結果をもたらすことになる。海軍軍縮問題は条約自体（外交問題）ではなく国内の政治問題として説明していることに注意してください。
6	事前学習	世界恐慌（大恐慌）について概要を知っておいてください。
	授業内容	2．「非常時」の政治：政党内閣の崩壊と「革新」（1）昭和恐慌・満州事変・テロリズム（1930-1932年）
	事後学習	恐慌下の惨状、特に農村部の様相は想像しにくいと思う。レジュメの参考文献に挙げた『労働者と農民』は、近現代日本に生きた普通の人々の状態を知りうる好著です。通して読めば理解は深まるが、「窮乏の農村」の章だけでも読んでみてほしい。
7	事前学習	満州事変の首謀者・石原莞爾は昭和日本のダークヒーロー。関心が高いので関係書も多い。どんな人物だったか調べてみてください。
	授業内容	2．「非常時」の政治：政党内閣の崩壊と「革新」（2）挙国一致内閣の成立、「高橋財政」と満州国承認（1932-1933年）
	事後学習	この時期の政治（特に軍との関係）を理解するには、テロリズムの恐怖が政治家の身に迫るものとして存在したことを考えに入れる必要がある。そのなかで事態の改善に体を張った政治家もいたわけです。
8	事前学習	松岡洋右は後に外務大臣として日本国の運命を導く一人となります。どんな人物だったか調べてみてください。
	授業内容	2．「非常時」の政治：政党内閣の崩壊と「革新」（3）挙国一致内閣の継続と政党の動向（1933-1936年）
	事後学習	「我が党内閣」を持てなくなった政党勢力は、事態の打開を求めて行動する。政権奪取や組織の維持存続のための手段が国家・社会に重大な影響をもたらす結果となったことを、政治が持つ性質の一面として理解してください。
9	事前学習	二・二六事件は関心の高い歴史的事件の一つ。講義は政治への影響を中心に説明しますが、陸軍や首謀者達に焦点を当てた関係書も多数あります。事件について調べてみてください。
	授業内容	3．「革新」の政治（1）二・二六事件と陸軍の政治介入（1936年）
	事後学習	事件を経て軍の政治介入はあからさまに強まり、以後の日本政治は「政軍関係」抜きには語れなくなる。広田内閣の成立過程と施政は「軍部の台頭」と言われる事態を具体的に示す例です。
10	事前学習	近衛文麿について人物や経歴を調べてみてください。1945年の敗戦後までカリスマ性を持ち続けた人物ですが、そのことと政治家として現実にしたこととのギャップが謎でもあります。
	授業内容	3．「革新」の政治（2）「革新」をめぐる政界動向と近衛内閣の成立（1936-1937年）
	事後学習	この時期の政治を動かした「革新派」は、軍や右翼団体だけでなく政党勢力内にも存在したことを知ってください。
11	事前学習	「国共合作」について調べてみてください。
	授業内容	4．戦時下の政治（1）日中戦争：意思なき開戦と拡大（1937-1938年）
	事後学習	日中戦争は「するつもりのない戦争も起こりうる」ことの実例。戦争拡大を導いた重大な要素は、当時の日本に（政界にも軍にも国民にも）広く存在した中国に対する侮蔑意識です。満州事変以後の対中関係は現在に至る日中関係の根底にある事実ですから学んでください。
12	事前学習	この時期の日本の針路に大きな影響を与えた国は、アメリカとともにドイツです。1930年代のドイツ（特に外交）について調べてみてください。
	授業内容	4．戦時下の政治（2）対外関係の混迷、欧州情勢の急転（1938-1939年）
	事後学習	「出先の暴走」は軍のみにあらず。官僚にも「革新派」は生まれていた。日中戦争が米国との関係悪化をもたらす淵源は、第一次大戦後国際的に定めた諸原則（九カ国条約や平和条約の規定）にあるので、その内容を確認してください。
13	事前学習	「フランス領インドシナ（仏印）」「オランダ領東インド（蘭印）」が現在のどこに位置するかを調べて確認しておいてください。
	授業内容	4．戦時下の政治（3）欧州大戦の下で：戦時体制化の進行、南進論と近衛「新体制」（1939-1940年）
	事後学習	平沼・阿部・米内と短命内閣が続いた後、再び近衛がまたも輿望を担って登場する。「大政翼賛会」の名はよく知られているが、それが何をめざした末の帰結だったかを理解してください。
14	事前学習	欧州大戦におけるドイツ軍の快進撃は、ドイツの外交とあわせて日本を幻惑する。1939年以降ドイツ軍が侵攻し占領した国々と範囲を地図上で確認してみてください。
	授業内容	4．戦時下の政治（4）対米開戦に至る経緯：松岡外交と日米交渉、開戦方針の推移（1940-1941年）
	事後学習	松岡外相の外交構想は破綻し、彼が実現したことは逆の結果を生むに至る。対米開戦に向かう曖昧な決定の連鎖は、日本の組織的決定の典型とも言えるもの。開戦決定が「軍部の強行」ではないことを理解してください。

15	事前学習	政党内閣期、その崩壊と軍を含む「革新」政治の台頭、目的もなく止めることもできない対中戦争と、それが要因となった対米開戦まで、昭和戦前期の政治の推移を説明しました。なぜそうなったのかという視点を持って復習してください。
	授業内容	講義のまとめ（講義補充の可能性あり）
	事後学習	事実の発生と展開には行為主体と状況要因の両方が関わります。現実の出来事は様々な要素を考慮に入れないと正しく認識できません。講義で話せる範囲は限られるので、書籍等で補い、多面的な理解を得るようにしてください。

科目名	日本政治思想史Ⅰ	担当者	上地 聡子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	西洋の衝撃（ウェスタンインパクト）の前と後でなにが変わったのか、国家の樹立、国民の創出とは何を意味するのか、隣国や世界に対する認識はどのように変化したのか、といった問題意識のもと、19世紀半ばから20世紀初期という時期、東アジアという空間のなかで、日本列島の政権が近代国家を樹立して行くまでの過程を、その時代の思想を通じて学んでいく。				
授業目的・到達目標	「西洋の衝撃」あるいは近代化以降の時代の「常識」を相対化・客観化し、私たちがいる「いま・ここ」をつねに多元的に想像し直す、思考の「くせ」の取得を目的とする。よって到達目標は、①「近代」との出会い以前の思想と世界・秩序観を学び、また明治維新以降の「国民創出」過程に噴出した政治思想に対する基礎的な理解を得ること、②理解を深める過程で社会科学的方法論を意識化し、それを教科書読解の過程で実践してみること、これらの作業を通じて、③「常識」と思われている政治社会制度の来歴を歴史的な視座から問い直し、さまざまな可能性を想像する思考の「くせ」の意識化と習得、の3点が挙げられる。				
履修条件	必須条件ではないが、対象時期が連続し内容も関連するため、可能であれば後期「日本政治思想史Ⅱ」と併せて受講することが望ましい。また、歴史一般に対する関心を持っている方が望ましい。				
授業方法	レビューシートへの応答と講義を行う。講義は教科書に沿って行うが関連資料を読むこともある。当日に簡単なレジュメを配布し、板書を書き写す形式で進める。関連資料や論文の配布は共有フォルダを通じて行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	①設問を理解し適切に答えているかどうか、②授業内容の理解度、③論路的思考と考察力をもとに総合的に判断する。	
	平常評価		30%	毎回提出してもらうレビューシートなどを通じて、授業へ積極的に取り組む姿勢を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	1999年	岩波書店		『近代日本思想案内』	鹿野政直
	備考				
参考書	講義の中で随時、紹介する。				
オフィスアワー	水曜日 17時50分から18時30分 教員室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書「はじめにー思想と向き合う」の部分をPDFファイルにして共有フォルダへアップロードしておくので、事前に読んでおくこと。
	授業内容	前期ガイダンス（授業目的、講義の概要、成績評価の説明）および「日本政治思想史を学ぶということ」について、「はじめにー思想と向き合う」の内容に沿って講義する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
2	事前学習	石田徹「華夷秩序をめぐる一国際関係史的思考」をPDFファイルにして共有フォルダへアップロードしておくので、事前に読んでおくこと。
	授業内容	「華夷秩序と万国公法体制：西洋の衝撃を考える①：明治維新以前の東アジアの国際関係とその背後の考え方を学び、日本列島の政権が有していた対外認識が、近代化の前と後とでどのように変化したのかを考察する。
	事後学習	論文の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。

3	事前学習	石田徹「華夷秩序をめぐる一国際関係史的思考」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	「華夷秩序と万国公法体制：西洋の衝撃を考える②：引き続き明治維新以前の東アジアの国際関係とその背後の考え方を学び、西洋の衝撃（ウェスタンインパクト）が日本と東アジアに何をもたらしたのかについて考える。
	事後学習	論文の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
4	事前学習	教科書「1 幕末という時代」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	「西洋」の発見、中国観の転換、「日本」の発見①：ペリー来航を契機として人々がどのように「西洋」を知ろうとし、受けとめたのかについて考察する。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
5	事前学習	教科書「1 幕末という時代」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	「西洋」の発見、中国観の転換、「日本」の発見②：アヘン戦争の衝撃、西洋の探索などが前近代・華夷秩序時代の中国観を変えていき、同時に「日本」が意識化されていく様子をたどる。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
6	事前学習	教科書「1 幕末という時代」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	「西洋」の発見、中国観の転換、「日本」の発見③：「日本」の意識化により、幕藩体制を超える視野と身分制打破の意識が生じた過程を確認し、幕末のこうした動きの上に近代日本思想が展開していった様子を確認する。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
7	事前学習	教科書「2 啓蒙思想」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	啓蒙思想家が目指したこと①：明治維新、日本という国家を建設しようと意図した「文明開化」の流れの中で、その国の住人（国民）を造り上げることを目指した啓蒙思想の諸相について学ぶ。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
8	事前学習	教科書「2 啓蒙思想」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	啓蒙思想家が目指したこと②：引き続き啓蒙思想について学ぶ。啓蒙思想家がどのように「西洋」の導入を試み、人々の気風の改革を目指したのかについて明六社や福沢諭吉を中心に理解を深める。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
9	事前学習	教科書「2 啓蒙思想」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	啓蒙思想家が目指したこと③：引き続き啓蒙思想について学ぶ。啓蒙思想によって歴史の見方に文明という尺度が取り入れられたこと、また思想の導入の過程で翻訳の問題が生じたことなどを確認する。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
10	事前学習	教科書「3 自由と平等」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	自由民権運動①：自由民権運動がどのような政治状況から生まれ、何を主張し、のちにどのような影響を与えたのかについて植木枝盛の主張と著書を中心に学ぶ。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
11	事前学習	教科書「3 自由と平等」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	自由民権運動②：引き続き自由民権運動について中江兆民の主張と著書を中心に学ぶ。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
12	事前学習	教科書「3 自由と平等」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	自由民権運動③：自由民権思想における「西洋」と「東洋」について、また同思想と天皇制の関係について確認する。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
13	事前学習	教科書「4 欧化と国粋」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	平民主義、国粋主義、アジア主義①：民権運動の退潮と国家体制樹立後の明治日本において提唱された平民主義と国粋主義の思想、国家観、世界観を確認する。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
14	事前学習	教科書「4 欧化と国粋」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	平民主義、国粋主義、アジア主義②：平民主義と国粋主義がもたらした新しい文化意識を確認し、国粋主義の思想とアジア主義的な機運について学ぶ。
	事後学習	教科書の当該箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。

15	事前学習	これまでのレジュメおよび板書を事前に確認しておくこと。
	授業内容	授業内試験を実施する。 まとめ：西洋の衝撃前後の時代から20世紀初期という時間、東アジアという空間の中で、日本が近代以前の国際秩序観から近代国家化へ動き出す過程をもう一度振り返る。
	事後学習	本講義で学んだことをもう一度確認し、試験に備えること。

科目名	日本政治思想史Ⅱ	担当者	上地 聡子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	国家形成を達成し、ナショナリズムの昂揚、帝国主義化を経験していく日本のなかで展開していった思想を、「人権・生存権」「国体論」「社会主義」「フェミニズム」の四つの側面から理解を深める。それぞれの思想が同時代的状況への応答であり、直面する政治社会との往還のなかで生み出されて行ったことをふまえた上で、それらの多面性、帰結、影響そして陥穽についてもできるかぎり学んでいく。				
授業目的・到達目標	「人権」「国体」「社会主義」「フェミニズム」といった思想の歴史的来歴を知ることにより、それらの概念に対する理解を深める。また過去の視座から現在を振り返ることにより、私たちのあり方に対する多様な視座を得る。よって到達目標は、①「人権」「国体」「社会主義」「フェミニズム」の思想について、その歴史的来歴と、同時代の思想家の具体的な言説と実践を学ぶことにより、基礎的な理解を得ること、②理解を深める過程で社会科学的方法論を意識化し、それを教科書読解の過程で実践してみること、これらの作業を通じて、③現在の政治社会制度とこれらの思想の関係を捉え直し、多様な理解を得る、の3点が挙げられる。				
履修条件	必須条件ではないが、対象時期が連続し内容も関連するため、可能であれば前期「日本政治思想史Ⅰ」と併せて受講することが望ましい。また、歴史一般に対する関心を持っている方が望ましい。				
授業方法	レビューシートへの応答と講義を行う。講義は教科書に沿って行うが関連資料を読むこともある。当日に簡単なレジュメを配布し、板書を書き写す形式で進める。関連資料や論文の配布は共有フォルダを通じて行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	①設問を理解し適切に答えているかどうか、②授業内容の理解度、③論路的思考と考察力をもとに総合的に判断する。	
	平常評価		30%	毎回回収するレビューシートなどを通じて、授業へ積極的に取り組む姿勢を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	1999年	岩波書店	『近代日本思想案内』		鹿野政直
	備考				
参考書	講義の中で随時、紹介する。				
オフィスアワー	水曜日 17時50分から18時30分 教員室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書「はじめにー思想と向き合う」の部分をPDFファイルにして共有フォルダへアップロードしておくので、事前に読んでおくこと。
	授業内容	後期ガイダンス（授業目的、講義の概要、成績評価の説明）および「日本政治思想史を学ぶということ」について、「はじめにー思想と向き合う」の内容に沿って確認する。併せて前期の授業内容を確認する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
2	事前学習	教科書「8 民本主義と教養主義」の特に民本主義の箇所を事前に読んでおくこと。
	授業内容	日露戦争以降の国家と思想 概観①：日露戦争以降の政治的な流れ、つまり国内的には民権の伸張が主張され、対外的には列強の一国として植民地獲得の動きを強めるなかで新たな展開をみせた思想界を概観する。後期で扱うテーマ（「7 生存権・人権」「6 国体論」「11 社会主義」）を日露戦争前後の政治状況に当てはめて確認する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。

3	事前学習	教科書「8 民本主義と教養主義」の特に民本主義の箇所を事前に読んでおくこと。
	授業内容	日露戦争以降の国家と思想 概観②：吉野作造を中心に民本主義の諸相を確認する。内国の立憲主義、対外の帝国主義という二重基準を、吉野作造がどのような言論活動で乗り越えようとしていたのかを確認する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
4	事前学習	教科書「7 生存権・人権」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	第近代日本における生存権・人権の希求①：1880年代後半からの貧民、廃娼、公害、被差別部落といったテーマに対する思想と実践を通じて、人権概念、生存権という概念が人々の生活と社会の中から練り上げられてきた過程を確認する。とくに貧民問題の提起者とそれに対する反応、公娼制度の廃止をめぐる主張を中心に考察する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
5	事前学習	教科書「7 生存権・人権」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	近代日本における生存権・人権の希求②：田中正造と足尾銅山鉱毒問題に着目し、公害問題から表出する人権意識、言論と実践の足場としての国会や憲法の意味について考える。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
6	事前学習	教科書「7 生存権・人権」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	近代日本における生存権・人権の希求③：中江兆民と全国水平社運動に着目し、被差別部落問題からみえる人権・生存権の希求、および日本におけるマイノリティの存在について理解を深める。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
7	事前学習	教科書「6 国体論」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	国体を巡る思想：水戸学から戦前期まで①：明治日本が近代国家化を進める過程において、人々の思想と行動に対する影響力を強めていった「国体」観念について概観する。明治維新以前の水戸学から帝国憲法・教育勅語までの時期を対象に、思想家が「国体」に付与してきた意味と概念を確認する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
8	事前学習	教科書「6 国体論」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	国体を巡る思想：水戸学から戦前期まで②：19世紀末までに定着した「国体」思想に対して挑戦した北一輝と幸徳秋水の思想について学ぶ。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
9	事前学習	教科書「6 国体論」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	国体を巡る思想：水戸学から戦前期まで③：「国体」思想を支えた思想としての農本主義について理解を深め、第二次世界大戦以前の昭和において「国体」概念がどのように使用されて、どのような知的・言論的風土を築いたのかを学ぶ。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
10	事前学習	教科書「11 社会主義」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	近代日本における社会主義思想の位置①：社会主義思想が近代日本にもたらした歴史観・世界観、他の思想動向へ与えた影響、治安維持法下の言論活動と昭和期の弾圧、限界および転向の問題を扱う。とりわけ初期社会主義の3つの意義を確認する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
11	事前学習	教科書「11 社会主義」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	近代日本における社会主義思想の位置②：初期社会主義とアナキズムの関係について理解を深める。また昭和のマルクス主義の影響を確認し三木清の思想に触れる。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
12	事前学習	教科書「11 社会主義」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	近代日本における社会主義思想の位置③：マルクス主義の諸相として講座派の思想と戸坂潤の「日本イデオロギー」論を確認する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
13	事前学習	教科書「12 フェミニズム」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	女性にとっての日本の近代①：自由民権運動から大正期までを中心に、女性をとりまく政治・社会・言論の変化のなかで、女性という立場の視座と主張を確認する。与謝野晶子の思想と行動を中心に理解を深める。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。
14	事前学習	教科書「12 フェミニズム」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	女性にとっての日本の近代②：平塚らいてうと青鞥社の活動を中心に当時のフェミニズム思想の理解を深める。貞操論争、堕胎論争、公娼（廃止）論争を概観する。
	事後学習	教科書の講義箇所と、配布レジュメおよび板書内容をもとに授業内容を復習すること。

15	事前学習	これまでのレジュメおよび板書を事前に確認しておくこと。
	授業内容	授業内試験を実施する。 まとめ：近代国家樹立以降から第二次世界大戦前の昭和という時間、東アジアのなかの日本という社会・言論空間の中で、国内的、対外的にどのような思想が胚胎されたのか、をもう一度概観する。
	事後学習	本講義で学んだことをもう一度確認し、試験に備えること。

科目名	日本政治特殊講義B	担当者	小島 勇人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	選挙時において候補者が有権者に自らの政策や公約などを訴え、投票を依頼するために行う選挙運動とともに平常時乃至選挙時の政治活動の実際について現行の公職選挙法等に基づくルールを実践的に学ぶ。平常時・選挙時における現実の政治活動と選挙運動は微妙に交錯する場面が多く、公正な選挙運動の実践に向けた判断力を養うため、それぞれの規制を理解するために、現行法によるルールの基本を講義する。				
授業目的・到達目標	選挙は、民主政治の基礎であり基盤をなすものである。選挙時において候補者が有権者に自らの政策や公約などを訴え、投票を依頼するために行う選挙運動とともに平常時乃至選挙時の政治活動の実際について現行の公職選挙法等に基づくルールを実践的に学び、正しい選挙・政治のあり方とは何かを考える礎とする。平常時・選挙時における現実の政治活動と選挙運動は微妙に交錯する場面が多く、それぞれの規制を理解するために、現行法によるルールの基本を習得し、公正な選挙運動の実践に向けた判断力を養う。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教科書を使用しつつ、必要に応じて授業区分ごとに資料を配布する。教科書や資料にない事例等を話す場合もあるので、ノートへの筆記も必要となる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	政治活動及び選挙運動に関する実践的理解の文章表現力。	
	平常評価		0%	なし。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成30年度	ぎょうせい		実務と研修のためのわかりやすい公職選挙法 第15次改訂版	選挙制度研究会
	備考				
参考書	必要に応じて講義に用いる資料を配布する。				
オフィスアワー	質問等については、授業時間中もしくは終了後に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	選挙運動論の命題である「選挙運動」の概念を教科書で掴んでおく。
	授業内容	オリエンテーション、講義計画、選挙運動の概念
	事後学習	講義計画、選挙運動の概念を配布資料と講義内容に基づき復習し、理解を深める。
2	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙運動の期間、事前運動について理解しておく。
	授業内容	選挙運動の期間、事前運動
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
3	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙運動の主体について理解しておく。
	授業内容	選挙運動の主体
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
4	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙運動における文書図画について理解しておく。
	授業内容	選挙運動の方法（１）文書図画
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。

5	事前学習	教科書の該当部分を読み、言論について理解しておく。
	授業内容	選挙運動の方法（2）言論
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
6	事前学習	教科書の該当部分を読み、その他の選挙運動について理解しておく。
	授業内容	選挙運動の方法（3）その他
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
7	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙運動に関する費用について理解しておく。
	授業内容	選挙運動に関する費用
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
8	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙運動員又は選挙労務者に対する実費弁償又は報酬の支給について理解しておく。
	授業内容	選挙運動員又は選挙労務者に対する実費弁償又は報酬の支給
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
9	事前学習	教科書の該当部分を読み、政治資金の規正について理解しておく。
	授業内容	政治資金の規正
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
10	事前学習	教科書の該当部分を読み、寄附の禁止について理解しておく。
	授業内容	寄附の禁止
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
11	事前学習	教科書の該当部分を読み、政治活動の概念・平常時における政治活動について理解しておく。
	授業内容	政治活動の概念・平常時における政治活動
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
12	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙時における政治活動について理解しておく。
	授業内容	選挙時における政治活動（1）
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
13	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙時における政治活動について理解しておく。
	授業内容	選挙時における政治活動（2）
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
14	事前学習	教科書の該当部分を読み、選挙運動・政治活動の規制違反と制裁について理解しておく。
	授業内容	選挙運動・政治活動の規制違反と制裁
	事後学習	配布資料と講義内容に基づき復習する。
15	事前学習	これまでの講義内容から選挙運動の在り方を考察する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの講義から公正な選挙運動の実践に向けた判断力について考える。

科目名	日本政治論Ⅰ（月曜1時限）	担当者	岩井 奉信	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	今日、日本の政治は自民党の「一強多弱」を背景に、安倍晋三内閣の長期安定政権が続いている。このような中、日本政治の最大の争点であった憲法改正が現実味を帯びる一方、アベノミクスには限界がささやかれている。この授業では日本政治の現状と「一強多弱」の背景について論じるとち同時にメディアと政治の関係についても論じていく。また、必要に応じて、時事的な問題に対する解説も行っていく。			
授業目的・到達目標	・現代日本政治を客観的かつ冷静に見る「眼」を養う。 ・時事的な問題について、その背景について理解を深める。 ・今後の日本政治を考えていく上に必要な「広い視野」を提供する。			
履修条件	政治経済学科以外の履修を認める。政治経済学科の学生は、月曜3時限の日本政治論を履修すること。			
授業方法	授業は基本的に講義形式で行う。時事的な話題を講義の出発点とするため、必ずしもシラバス通りに授業が展開しない場合もあることを理解されたい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	60%	授業で扱った日本政治の現状に対し、各自が問題意識をいかに形成したかを確認するような内容の試験を論述形式で行う試験の評価基準とする。	
	平常評価	40%	時事的な問題について、どの程度、理解しているかについて、必要に応じて、授業中に小テストやレポートを課すことがある。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参考書	中北浩爾『自民党政治の変容』NHK出版 牧原出『安倍一強の謎』朝日新書			
オフィスアワー	月曜日昼休みまたは金曜日昼休み			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本政治に対する関心を持ち、新聞やテレビのニュースなどを見聞きする習慣をつけておくこと。
	授業内容	今日、日本政治を学ぶ意義
	事後学習	日本の政治を学ぶ意義について、自ら考え、問題意識を持つようにすること。
2	事前学習	本政治に対する関心を持ち、新聞やテレビのニュースなどを見聞きする習慣をつけておくこと。
	授業内容	2018年の日本政治スケジュール
	事後学習	今年の日本政治のスケジュールで何が重要なのかを考えること。

3	事前学習	今日の日本政治の中で、何が重要な関心事なのかを知り、各自の問題意識を醸成しておくこと。
	授業内容	日本政治の「今」を知る1 自民党の「一強多弱」の現状と背景
	事後学習	民党の「一強多弱」は日本の政治・経済にとって、どのような利害得失があるかを考えること。
4	事前学習	安倍晋三首相がどのような人物であるのかについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	日本政治の「今」を知る2 安倍首相による自民党内における「一強多弱」の状況と背景
	事後学習	「安倍一強」という状況が何故、起こったのかについて、理解を深めること。
5	事前学習	現代の日本における政党の変遷について、基礎的な知識を学んでおくこと。
	授業内容	日本政治の「今」を知る3 旧民進党の混迷と野党の分裂の背景
	事後学習	日本の野党が、何故、「一強多弱」を許すことになったのかを授業の内容を前提に、各自、考えてみること。
6	事前学習	9月の自民党総裁選について、新聞やテレビのニュースを見聞きして、状況を理解しておくこと。
	授業内容	日本政治の「今」を知る4 自民党総裁選の仕組みと現状
	事後学習	自民党総裁選の仕組みと候補者のプロフィールについて、確認しておくこと。
7	事前学習	憲法改正の段取りと仕組みについて基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	憲法改正への道1 何故、安倍総理は憲法改正を進めようとするのか。
	事後学習	自民党における憲法改正について、これまでの動向と現状について、再度、理解しておくこと。
8	事前学習	憲法9条と自衛隊の関係について、どのような議論が行われてきたのか、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	憲法改正への道2 9条改正をめぐる自民党案と安倍首相案などのさまざまな考え方
	事後学習	憲法9条第2項改正案と3項加憲案の違いと問題点について、確実に理解すること。
9	事前学習	憲法改正をめぐる改憲論と護憲論の経緯について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	憲法改正への道3 憲法改正に対する各党の対応と世論の動向
	事後学習	各党の憲法改正に対する姿勢の違いを再確認しておくこと。
10	事前学習	日本の経済が抱える問題について、自ら考え、問題意識を醸成しておくこと。
	授業内容	アベノミクスのゆくえ1 アベノミクスとは何か
	事後学習	アベノミクスの「三本の矢」とは何かについて、再確認しておくこと。
11	事前学習	日本の経済が抱える問題について、自ら考え、問題意識を醸成しておくこと。
	授業内容	アベノミクスのゆくえ2 アベノミクス5年間の成果
	事後学習	経済統計にみるアベノミクスの成果について、再度、理解しておくこと。
12	事前学習	自らの生活の中で、アベノミクスの成果を実感できているかどうかを考えておくこと。
	授業内容	アベノミクスのゆくえ3 アベノミクスの果実を享受できない国民の不満
	事後学習	経済統計にみる日本経済の活況と国民の所得や消費が伸びない矛盾について、自ら確認しておくこと。
13	事前学習	自らの将来を考えた時、日本の経済の未来像はどのようなものになるかを考えてみること。
	授業内容	アベノミクスのゆくえ4 停滞する成長戦略
	事後学習	日本の潜在成長率が低く見られているのは何故かについて、再度、理解しておくこと。
14	事前学習	憲法改正が国民の中で受け入れられていくためには何が必要か、考えてみること。
	授業内容	安倍政治は憲法改正とアベノミクスを両立できるのか。
	事後学習	憲法改正とアベノミクスとの関係性について、再確認すること。

15	事前学習	安倍政治の現状について、新聞やテレビのニュースから、その動向についての情報を得ておくこと。
	授業内容	前期まとめ-2018年、日本の政治に求められていること。
	事後学習	憲法改正とアベノミクスとの関係性について、再確認すること。

科目名	日本政治論Ⅰ（月曜3時限）	担当者	岩井 奉信	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	今日、日本の政治は大きな転換混迷の中にある。このような時代であるからこそ、現代日本政治を客観的、かつ冷静に見る「眼」が求められる。本講義では、日本政治を単に政治だけでなく、経済、社会などとの相互関係を重視し、多角的な視野から学んでいく。ここでの学習を通じて、現代日本政治が置かれている状況を理解すると同時に、問題の所在や解決方法などを探っていく。・現代日本政治の発展過程を正確に理解し、問題意識を養う。				
授業目的・ 到達目標	・日本政治についての報道を見るための「眼」を養う。 ・学ぶ機会が少ない現代史について体系的に理解する。				
履修条件	政治経済学科の学生のみが履修を許される。政治経済学科以外の学生は、月曜日 1 時限の日本政治論を履修すること。				
授業方法	授業は基本的に講義形式で行う。講義の途中では、適宜、日本政治に関する時事問題的な解説を行う。また、必要に応じて、受講生からの要望に基づいた講義も行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		60%	授業内で扱った現代日本政治の事象について理解されているか、説明や論理の展開について、一貫性や独創性があるかを評価基準とする。	
	平 常 評 価		40%	前期に学んできた授業内容について、必要に応じて、レポートを課す場合がある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参 考 書	薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣				
オフィス アワー	月曜日昼休みまたは金曜日昼休み				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日本政治に関心を持つため、日頃から新聞やテレビの政治ニュースを見聞きしておくこと。
	授業内容	・現代日本政治を学ぶ 何故、日本の政治を学ぶ必要があるのか、それで何が得られるのかを考える。
	事後学習	今日の日本政治の状況について、自分なりの問題意識を確認すること。
2	事前学習	日本政治に関心を持つため、日頃から新聞やテレビの政治ニュースを見聞きしておくこと。
	授業内容	・日本政治の現状 今日の日本政治に何が起きているのか、何が問題とされているのかを確認する。
	事後学習	「一強多弱」とは何かについて確認しておくこと。

3	事前学習	日本政治に関心を持つため、日頃から新聞やテレビの政治ニュースを見聞きしておくこと。
	授業内容	・日本政治の特質 世界の中で日本政治の特質とされているものは何かについて概観する。
	事後学習	日本政治の特質がどのように変化してきたかを確認しておくこと。
4	事前学習	戦後期の政治について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展1－戦後復興と政界再編 1945年～1955年の戦後復興期における政治と経済の相互関係について概観する。
	事後学習	日米安保体制について、基礎的な知識を得ておくこと。
5	事前学習	戦後におけるアメリカとソビエトの対立について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展2－高度経済成長 1955年～64年の高度経済成長期における政治、経済の相互関係について概観する。
	事後学習	「五五年体制」とは何かについて確認しておくこと。
6	事前学習	「高度経済成長」について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展3－経済成長の矛盾 1965年～74年の高度経済成長後期における政治、経済の相互関係について概観する。
	事後学習	日本における政党の多党化の背景について確認しておくこと。
7	事前学習	1970年代の石油危機について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展4－低成長の時代 1975年～84年の低成長期における政治、経済の相互関係について概観する。
	事後学習	社会・経済構造の変化と自民党長期低落傾向との関係について確認しておくこと。
8	事前学習	バブル経済の時代について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展5－バブル経済 1985～94年のバブル経済期における政治、経済の相互関係について概観する。
	事後学習	1994年に実現した政治改革について確認しておくこと。
9	事前学習	1990年代における政界再編の動向について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展6－混迷の時代 1995年～2009以降の混迷の時代における政治、経済の相互関係について概観する。
	事後学習	小泉純一郎内閣について確認しておくこと。
10	事前学習	2009年の政権交代を実現させた民主党について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の発展7－政権交代と保守復活 2009年～今日の混迷の時代における政治、経済の相互関係について概観する。
	事後学習	民党政権崩壊の背景と意味について確認しておくこと。
11	事前学習	自由民主党について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の基本概念1－自民党一党優位体制 自民党による長期政権支配とは何かについて解説して考える。
	事後学習	自民党の強さについて確認しておくこと。
12	事前学習	戦後日本政治の争点について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の基本概念－改憲と護憲 1955年に成立した自民党と社会党の「五五年体制」に起因する対立の構図と何かを解説する。
	事後学習	今日における改憲論にはどのようなものがあるか確認しておくこと。
13	事前学習	政策運営における官僚制の役割について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・日本政治の基礎概念－官僚主導と政治主導 日本政治の課題と言われてきた官僚主導から政治主導の転換について解説する。
	事後学習	日本における「政官関係」について確認しておくこと。
14	事前学習	政治と経済の相互関係について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代史にみる政治と経済 現代日本において政治と経済の関係から現代史を振り返り総括する。
	事後学習	日本における政治と経済の相互関係の特質について確認しておくこと。

15	事前学習	現代日本政治の課題について、新聞やテレビのニュースから基礎的知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治の今日ー前期まとめ 今日、日本政治が置かれている状況とはいかなるものかを前期の総括から確認する。
	事後学習	現代日本の政治課題の解決方法について、各自が独自に考えるみこと。

科目名	日本政治論Ⅱ（月曜1時限）	担当者	岩井 奉信	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	今日、「一強多弱」を背景に、安倍内閣は、これまでになく強い政権を作り上げた。その一方で、強すぎる政治ゆえの問題点も指摘されている。特にメディアへの対応については、従来の内閣とは異なる「力」を背景に圧力をかけているとも言われる。本講義では、日本における政治とメディアの関係について、テレビを中心に理解し、問題点を明らかにしていく。				
授業目的・到達目標	・現代日本政治を客観的かつ冷静に見る「眼」を養う。 ・日本におけるメディアと政治の関係の変遷を理解し、メディア・リテラシーを高める。 ・今後の日本政治を考えていく上に必要な「広い視野」を提供する。				
履修条件	政治経済学科以外の履修を認める。政治経済学科の学生は、月曜３時限の日本政治論を履修すること。				
授業方法	授業は基本的に講義形式で行う。時事的な話題を講義の出発点とするため、必ずしもシラバス通りに授業が展開しない場合もあることを理解されたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	授業で扱った日本政治の現状に対し、各自が問題意識をいかに形成したかを確認するような内容の試験を論述形式で行う試験の評価基準とする。	
	平常評価		40%	時事的な問題について、どの程度、理解しているかについて、必要に応じて、授業中に小テストやレポートを課すことがある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	中公新書		日本政治とメディア	逢坂巖
	2015年	集英社新書		安倍官邸とテレビ	砂川浩慶
	備考				
参考書	蒲島郁夫ほか『メディアと政治』有斐閣				
オフィスアワー	月曜日昼休みまたは金曜日昼休み				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代の日本政治の動向について関心を持つよう、平素から新聞やテレビのニュースを見聞きしておくこと。
	授業内容	日本政治とメディア1 日本政治の現在
	事後学習	各自が日本政治の現状について、問題意識を持つようにすること。
2	事前学習	現代の日本政治の動向について関心を持つよう、平素から新聞やテレビのニュースを見聞きしておくこと。
	授業内容	日本政治とメディア2 新聞からテレビへ、そしてインターネットへ
	事後学習	活字メディアと映像メディアの特性の違いについて確認しておくこと。

3	事前学習	占領期の時代について、基本的な知識を得ておくこと。
	授業内容	日本政治とメディア 3 戦後改革における「総ざんげ」とメディア
	事後学習	「総ざんげ」という言葉を語った大宅壮一について調べてみること。
4	事前学習	「五五年体制」成立以前の日本政治の状況について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	政治とテレビの発達史 1 1950年代 戦後におけるテレビの登場と政治報道
	事後学習	黎明期のテレビ番組について自ら調べてみること。
5	事前学習	自民党一党優位体制について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	政治とテレビの発達史 2 1960年代～70年代 キャスターニュースの登場と自民党一党優位体制
	事後学習	ニュースキャスターについて日米の違いを確認しておくこと。
6	事前学習	中曽根内閣とはどのような内閣であったのかについて知っておくこと。
	授業内容	政治とテレビの発達史 3 1980年代 中曽根内閣におけるテレビの利用
	事後学習	第二臨調におけるNHKの役割について確認しておくこと。
7	事前学習	ニュースステーションとはどのような番組であったのかについて知っておくこと。
	授業内容	政治とテレビの発達史 4 1990年代 ニュースステーションの登場と政権交代
	事後学習	1980年代から90年代における政治報道番組の隆盛について確認しておくこと。
8	事前学習	1990年代初頭の政治改革の動向について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	テレポリティックスの時代 1 政治改革・政権交代とテレビ報道
	事後学習	1993年の政権交代に新聞が役割を果たせなかった理由を再確認しておくこと。
9	事前学習	小泉純一郎内閣について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	テレポリティックスの時代 2 小泉「劇場政治」とメディア戦略
	事後学習	「劇場政治」とはいかなるものであったのかを確認しておくこと。
10	事前学習	小泉純一郎内閣について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	テレポリティックスの時代 3 報道番組の時代からワイドショー政治の時代へ
	事後学習	小泉純一郎内閣のメディア戦略にはどのようなものがあったかについて確認しておくこと。
11	事前学習	現代政治における世論の役割について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	テレポリティックスの時代 4 世論調査の隆盛と世論調査政局
	事後学習	世論調査の手法と課題について確認しておくこと。
12	事前学習	第二次安倍晋三内閣の理念や政策について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	安倍内閣とメディア 1 安倍内閣における各種メディアの位置取り
	事後学習	メディアにおける「親自民」と「反自民」の分岐点について確認しておくこと。
13	事前学習	「親安倍」メディアと「反安倍」メディアについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	安倍内閣とメディア 2 選別と圧力による強圧的メディア対策
	事後学習	安倍晋三内閣のメディア戦略について確認しておくこと。
14	事前学習	放送法について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	安倍内閣とメディア 3 圧力に屈するメディアと対決するメディア
	事後学習	安倍晋三内閣と小泉純一郎内閣のメディア戦略の違いについて確認しておくこと。

15	事前学習	政治報道における公正性と中立性について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	転機に立つ政治とメディア
	事後学習	放送法の改正や電波オークション制などテレビを巡る新しい動向について確認しておくこと。

科目名	日本政治論Ⅱ（月曜3時限）	担当者	岩井 奉信	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	今日、日本の政治は大きな転換混迷の中にある。このような時代であるからこそ、現代日本政治を客観的、かつ冷静に見る「眼」が求められる。本講義では、日本政治を単に政治だけでなく、経済、社会などとの相互関係を重視し、多角的な視野から学んでいく。ここでの学習を通じて、現代日本政治が置かれている状況を理解すると同時に、問題の所在や解決方法などを探っていく。・現代日本政治の発展過程を正確に理解し、問題意識を養う。					
授業目的・到達目標	・日本政治についての報道を見るための「眼」を養う。 ・日本政治の制度と実態について理解する。					
履修条件	政治経済学科の学生のみが履修を許される。政治経済学科以外の学生は、月曜日 1 時限の日本政治論を履修すること。					
授業方法	授業は基本的に講義形式で行う。講義の途中では、適宜、日本政治に関する時事問題的な解説を行う。また、必要に応じて、受講生からの要望に基づいた講義も行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		60%	授業内で扱った現代日本政治の事象について理解されているか、説明や論理の展開について、一貫性や独創性があるかを評価基準とする。		
	平 常 評 価		40%	前期に学んできた授業内容について、理解されているか、レポートを課す場合がある。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参 考 書	薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣 佐々木毅ほか編『ゼミナール現代日本政治』日本経済新聞社					
オフィスアワー	月曜日昼休みまたは金曜日昼休み					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代の日本政治について、各自が独自の問題意識を持つようにすること。
	授業内容	・現代日本政治の制度構造 日本政治を特徴づける制度的特質とは何かに概観し、その視点について概観する。
	事後学習	政治制度が現実の政治に与える影響について確認しておくこと。
2	事前学習	小選挙区制と比例代表制の違いと特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本の選挙制度1－衆議院 今日の衆議院の小選挙区比例代表並立制について制度の概要について解説する。
	事後学習	小選挙区比例代表並立制における当選者の決定方法について確認しておくこと。

3	事前学習	二院制の役割について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本の選挙制度 2－参議院 今日の参議院の選挙区選挙と非拘束名簿式比例代表制について解説する。
	事後学習	参議院の選挙制度と衆議院の選挙制度の違いについて確認しておくこと。
4	事前学習	小選挙区制と比例代表制の違いと特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・中選挙区制 1－制度の概要 1994年まで、日本独自の選挙制度であった中選挙区制の特徴と問題点について学ぶ。
	事後学習	中選挙区制の特徴と問題点について確認しておくこと。
5	事前学習	中選挙区制とはどのような選挙制度かについて、基礎的な知識を得てくこと。
	授業内容	・中選挙区制 2－後援会型選挙 中選挙区制が日本政治に与えたさまざまな影響について解説し政治家本位を考える。
	事後学習	選挙制度が選挙運動や政治活動に与える影響について確認しておくこと。
6	事前学習	中選挙区制の問題点について、基礎的な知識を確認しておくこと。
	授業内容	・政治改革 1－選挙制度改革 1994年政治改革の原点とその理念について解説し小選挙区導入の背景について学ぶ。
	事後学習	政治家本位の政治と政党本位の政治の違いについて確認しておくこと。
7	事前学習	選挙制度と政党制との関連性について、諸外国の例などについて基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・政治改革 2－政界再編 1994年の政治改革が政党に与えた影響について、政界再編という視点から明らかにする。
	事後学習	野党勢力の離合集散の背景について選挙制度との関係について確認しておくこと。
8	事前学習	日本の国会の特徴について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・日本の国会 1－二院制 衆議院と参議院からなる国会の二院制について制度論の視点から学ぶ。
	事後学習	二院制の利点と問題点について確認しておくこと。
9	事前学習	世界各国の議会制度について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・日本の国会 2－強すぎる参議院 ねじれ国会や決められない政治の原因とされる参議院の問題点について学ぶ。
	事後学習	「強すぎる参議院」とは何かについて確認しておくこと。
10	事前学習	自民党とはどのような政党かについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・自民党 1－党優位体制 長年にわたり政権政党である自民党とはどのような政党であるのかを政党論から学ぶ。
	事後学習	「一党優位体制」とはどのような体制なのかについて確認しておくこと。
11	事前学習	政党とは何かについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・自民党 1－議員政党 自民党の党組織の特質について、議員政党という視点から解説していく。
	事後学習	議員政党と中選挙区制との関係について確認しておくこと。
12	事前学習	政党と社会利益との関係について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・自民党 1－包括政党 自民党が代表する社会的利益について考え長期政権が生み出した包括政党について学ぶ。
	事後学習	「包括政党」の利点と弱点について確認しておくこと。
13	事前学習	議会政治における野党の役割について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・野党 1－反対政党と責任野党 日本の野党には、どのような政党があるのか、その特徴は何かについて解説する。
	事後学習	野党が政権交代を実現するために必要なことを確認しておくこと。
14	事前学習	「一強多弱」とは何かについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・変わる日本政治 今日の安倍内閣の登場で日本政治はどのように変わったかについて考える。
	事後学習	安倍「一強政治」と選挙制度の簡易家について確認しておくこと。

15	事前学習	現代日本政治の問題点について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	・現代日本政治のゆくえ 講義全体を振り返り、今後の日本政治の行方について、多様な視点から概観する。
	事後学習	日本政治のあるべき姿について、各自が問題意識を確認しておくこと。

科目名	日本法制史Ⅰ	担当者	末澤 国彦	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	この講義は、近代を中心に日本の法体系や各種制度がどのように成立したか、またそれらがどのように運用されていたかについて詳しく講述する。				
授業目的・到達目標	現代の法システムが、どのような歴史的背景の下に成立しているのかを知ることによって、法という社会現象についてより深い理解が得られるようになることを目標とする。				
履修条件	日本近代史の基本的知識があることを前提に講義を進める（高校レベルで十分）。				
授業方法	テキストを使用しながら、講義形式で進める。なお、テキストを補足する点は、板書を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	法制史についての基本的知識が身についているかどうかを判断する。	
	平常評価		10%	授業に臨む姿勢などで判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2002年	法律文化社		新・日本近代法論	山中永之佑編
	備考				
参考書	山中永之佑編『日本近代法案内』法律文化社				
オフィスアワー	水曜日14：00～17：00研究室で行う。なおblue.jade@par.odn.ne.jp宛のメールでアポイントを取ること。その際に場所の指示を行う。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの序章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	日本法制史の基本的な考え方
	事後学習	法制史という学問の特色を理解しながら、ノートを整理しておく。
2	事前学習	テキストの序章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	時代区分とそれぞれの法の特色～古代・中世～
	事後学習	律令制と初期武家法の特色を理解しながら、ノートを整理しておく。

3	事前学習	テキストの序章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	時代区分とそれぞれの法の特徴～近世～
	事後学習	戦国家法と江戸期の法の特徴を理解しながら、ノートを整理しておく。
4	事前学習	テキストの序章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	時代区分とそれぞれの法の特徴～明治期～
	事後学習	明治期の法体系の全体像を理解しながら、ノートを整理しておく。
5	事前学習	テキスト第2章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治初期の国家機構～太政官制～
	事後学習	太政官制の特徴と意義を理解しながら、ノートを整理しておく。
6	事前学習	テキスト第2章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治初期の国家機構～廃藩置県～
	事後学習	封建体制の解体過程と派生した問題点について理解しながら、ノートを整理しておく。
7	事前学習	テキスト第8章第1節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治初期の刑事法と治安法制
	事後学習	律型刑法典の特徴と各種治安法制の内容・目的を理解しながら、ノートを整理しておく。
8	事前学習	テキスト第11章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治初期の民事法
	事後学習	統一的民法典作成の動きと現実に発生した民事事件の対処策の内容を理解しながら、ノートを整理しておく。
9	事前学習	テキスト第9章第1節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治初期の司法制度
	事後学習	近代的司法制度構築へ向けての動きと法曹養成についてを理解しながら、ノートを整理しておく。
10	事前学習	テキスト第8章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	旧刑法の成立と治安法制
	事後学習	近代的法典の嚆矢である旧刑法の特徴と自由民権運動取締の動きについて理解しながら、ノートを整理しておく。
11	事前学習	テキスト第3章第1節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	大日本帝国憲法の制定～制定前史～
	事後学習	明治初期の憲法制定へ向けての動きや各種私擬憲法草案の特徴を理解しながら、ノートを整理しておく。
12	事前学習	テキスト第3章第1節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	大日本帝国憲法の制定～制定過程と内容・特色～
	事後学習	大日本帝国憲法の制定過程とその内容を理解しながら、ノートを整理しておく。
13	事前学習	テキスト第2章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	内閣と枢密院
	事後学習	内閣および枢密院の構成・権限を理解しながら、ノートを整理しておく。
14	事前学習	テキスト第2章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	帝国議会
	事後学習	帝国議会の構成・権限を理解しながら、ノートを整理しておく。

15	事前学習	これまでのノート等を整理しておく。
	授業内容	半年間のまとめ
	事後学習	ノート等の不備な箇所を補充しておく。

科目名	日本法制史Ⅱ	担当者	末澤 国彦	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	この講義は、近代を中心に日本の法体系や各種制度がどのように成立したか、またそれらがどのように運用されていたかについて詳しく講述する。				
授業目的・到達目標	現代の法システムが、どのような歴史的背景の下に成立しているのかを知ることによって、法という社会現象についてより深い理解が得られるようになることを目標とする。				
履修条件	日本近代史の基本的知識があることを前提に講義を進める（高校レベルで十分）。				
授業方法	テキストを使用しながら、講義形式で進める。なお、テキストを補足する点は、板書を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	法制史についての基本的知識が身についているかどうかを判断する。	
	平常評価		10%	授業に臨む姿勢などで判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2002年	法律文化社		新・日本近代法論	山中永之佑編
	備考				
参考書	山中永之佑編『日本近代法案内』法律文化社				
オフィスアワー	水曜日14：00～17：00研究室で行う。なおblue.jade@par.odn.ne.jp宛のメールでアポイントを取ること。その際に場所の指示を行う。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの序章の部分を一読しておくこと。
	授業内容	時代区分とそれぞれの法の特色～大正・昭和期～
	事後学習	大正・昭和期の法体系の全体像を理解しながら、ノートを整理しておく。
2	事前学習	テキスト第9章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治憲法下の司法制度～裁判所構成法の制定～
	事後学習	裁判所構成法の内容と特色を理解しながら、ノートを整理しておく。

3	事前学習	テキスト第9章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	明治憲法下の司法制度～司法官の任用と弁護士制度～
	事後学習	近代的な法曹養成制度の内容について理解しながら、ノートを整理しておく。
4	事前学習	テキスト第1章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	民法典の編纂と法典論争～民法典の編纂過程～
	事後学習	旧民法と新民法の相違点を理解しながら、ノートを整理しておく。
5	事前学習	テキスト第1章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	民法典の編纂と法典論争～法典論争の動きと評価～
	事後学習	法典論争における延期派・断行派の主張の内容を理解しながら、ノートを整理しておく。
6	事前学習	テキスト第14章第1節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	商法の成立
	事後学習	商法の成立過程と商法典論争の動きを理解しながら、ノートを整理しておく。
7	事前学習	テキスト第10章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の成立
	事後学習	治罪法・明治刑事訴訟法における訴訟手続の特徴を理解しながら、ノートを整理しておく。
8	事前学習	テキスト第10章第3節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	民事訴訟法の成立
	事後学習	明治初期の民事訴訟手続の内容と民事訴訟法の成立過程・特徴を理解しながら、ノートを整理しておく。
9	事前学習	テキスト第16章第1節・第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	条約改正と日本の対外政策
	事後学習	条約規制の流れと日本帝国主義の確立の過程を理解しながら、ノートを整理しておく。
10	事前学習	テキスト第8章第3節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	現行刑法の成立と治安法制
	事後学習	刑法の成立過程と労働・農民運動対策の内容を理解しながら、ノートを整理しておく。
11	事前学習	テキスト第13章第3節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	臨時法制審議会
	事後学習	大正期における法の再編・強化の流れを理解しながら、ノートを整理しておく。
12	事前学習	テキスト第10章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	刑事訴訟法の改正と陪審制
	事後学習	刑事訴訟法の改正内容と陪審制の特徴を理解しながら、ノートを整理しておく。
13	事前学習	テキスト序章第2節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	普通選挙法と治安維持法の成立
	事後学習	普通選挙法の内容と治安維持法の内容・運用の変化を理解しながら、ノートを整理しておく。
14	事前学習	テキスト第14章第4節の部分を一読しておくこと。
	授業内容	国家総動員法の成立と戦時立法
	事後学習	国家総動員法による統制の内容と戦時特別法の内容を理解しながら、ノートを整理しておく。

15	事前学習	これまでのノート等を整理しておく。
	授業内容	半年間のまとめ
	事後学習	ノート等の不備な箇所を補充しておく。

科目名	ニュース英語Ⅰ	担当者	太田 昌宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	各国メディアの英語ニュースを取り上げ、ニュースの背景とともにニュース英語の特徴を学ぶ。			
授業目的・到達目標	国際情勢について基礎的な知識を得る。時事英語の基礎力を養う。			
履修条件	真摯に学ぶ。電子辞書などを用意する。			
授業方法	毎週その週の重要ニュースのプリントを配布する。その主要部分を独力で翻訳する。このあと翻訳の仕方、ニュースの背景などを解説する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	45% 最終日に実施する筆記試験。 55% 授業態度および毎週の教材の翻訳内容。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず		
参考書	その都度授業内に紹介する。			
オフィスアワー	毎週授業の冒頭を質問時間とする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	電子辞書などの用意
	授業内容	授業方針のガイダンス
	事後学習	整理・まとめ
2	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする。
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 どうなる日銀BOJの金融政策)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
3	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 キューバの行方)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
4	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認

5	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
6	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 仏マクロン大統領の一年)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
7	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 英ヘンリー王子結婚式)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
8	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
9	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
10	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 G7 カナダ・シャルルボア)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
11	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 サッカーW杯 ロシア)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
12	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説 (予想教材 ユネスコ世界遺産)
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
13	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	国際ニュース記事の翻訳、解説
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
14	事前学習	BBCなどのホームページでニュースをチェックする
	授業内容	古今東西メディアをめぐる発言
	事後学習	翻訳文の精査。重要ニュース用語確認
15	事前学習	まとめ
	授業内容	試験及び振り返り
	事後学習	チェック

科目名	ニュース英語Ⅰ	担当者	加藤 賢治	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国内外の政治、経済、社会情勢に関するニュースを題材に、英語力の向上と時事問題への理解を深める。主要な演説や記者会見（トランスクリプトや動画を含む）、国際機関の決議文、新聞記事などを教材として活用し、和訳、英訳の技術を養う。				
授業目的・到達目標	時事英語の和訳、国内関連記事の英訳を通じて、時事問題を日本語、英語の双方で考え、理解する習慣付けを目指す。語学力向上にとどまらず、時事問題の本質を理解することも重視。和訳から始め、英訳力を養い、「何をどう伝えるか」、「何をどう聞き出すのか」という基本を習熟してもらう。				
履修条件	授業には、英和や和英の辞典持参を求めます。電子辞書、携帯の辞書アプリも使用可とします。				
授業方法	英和関連では、予習のため、次回授業用に演説等のトランスクリプトを配布します。授業では、内容の概略を説明後、学生からの質問等を通じて、理解を深めることとします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		40%	英語演説と日本語記事の双方の翻訳の正確性、速度を評価する。	
	平常評価		60%	4月時点での語学力は問いません。授業での質問内容や頻度を注視します。最終的な評価は、個々の習熟度の変化を最重視することになります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	現時点では特にありません。			
参考書	日本の新聞は当然として、英字紙（日本の英字紙The Japan News等）を読むことが望ましい。				
オフィスアワー	授業終了後に質問等に応じます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	読売新聞と英字紙The Japan News等で時事ニュースを読むことが望ましい。
	授業内容	授業の基本的な説明①ニュースとは何か②何を伝えるか③なぜ、英語なのかーの後、課題を提示する。次回授業までにレポートを作成し、提出してもらう。
	事後学習	課題レポートの作成。
2	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
3	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
4	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。

5	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
6	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
7	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
8	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
9	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
10	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
11	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
12	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
13	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
14	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
15	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。

科目名	ニュース英語 I	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	高度情報社会において、外国で生じた出来事や社会問題が日本においても大きく報道されることは少なくない。間接的な情報のみならず、現地でのメディアに接し理解する力は、不確かな情報がインターネットなどに掲載される環境において重要なものとなる。この講義では外国メディアのニュースを取り上げ、ニュースを読むための英語力を高めると同時に、国際社会や諸外国でどのような出来事がなぜ問題になっているのかを考える。					
授業目的・到達目標	講義を通じて、外国メディアのニュースを読み解く力を高めることが目的である。					
履修条件	特にない。講義には英語の辞書を持参すること。					
授業方法	講義では時事問題や英語の解説を行うが、時事問題の背景やニュースに関する英語を理解するためには、積極的に学び取ろうとする姿勢が重要である。そのため、配布した英語の記事に関する発表を行ってもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内での発表の内容と、定期的に行われる小テストで評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	毎回英語の記事を配布する。				
参考書	適宜紹介する。					
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内で配布した資料を読むこと
2	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	日本に関する報道（1）外国メディアで報道された日本関連ニュース
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
3	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	日本に関する報道（2）外国メディアで報道された日本関連ニュース
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
4	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	日本に関する報道（3）外国メディアで報道された日本関連ニュース
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。

5	事前学習	これまでの復習
	授業内容	日本に関する報道で出てきた単語や内容に関する小テスト
	事後学習	小テストでわからなかった部分を確認すること。
6	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	社会問題に関するニュース（１）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
7	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	社会問題に関するニュース（２）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
8	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	社会問題に関するニュース（３）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
9	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	社会問題に関するニュース（４）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
10	事前学習	これまでの復習
	授業内容	社会問題に関する報道で出てきた単語や内容に関する小テスト
	事後学習	小テストでわからなかった部分を確認すること。
11	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	政治に関するニュース（１）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
12	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	政治に関するニュース（２）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
13	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	政治に関するニュース（３）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
14	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	政治に関するニュース（４）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
15	事前学習	これまでの復習
	授業内容	政治に関する報道で出てきた単語や内容に関する小テスト
	事後学習	小テストでわからなかった部分を確認すること。

科目名	ニュース英語Ⅰ	担当者	柳沢 亨之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本国内外で激しく動く政治や経済、社会の情勢について、より正しく深く早く理解できるよう、ニュース現場で使われる英語を把握する力と時事問題への素養を高める。世界各国首脳らが最近行った英語の演説や記者会見、ツイッター発信またはそれらの公式英訳、さらには国際機関の決議などを正しく和訳する力を養う。これとは逆に、日本語の新聞記事を英訳する練習も行う。				
授業目的・到達目標	時事英語を和訳する「英和」、日本の情勢を英語で伝える「和英」双方向の学習を通じて、国内外の情勢について日本語だけでなく英語でも知識を蓄積し論じる能力を将来的に持つための基礎固めを目的とする。首脳らが語る言葉や国際機関の決議の内容を理解するには、事象の背景となる知識を高める必要があるため、演説などを「音」で聞くことにこだわらず、各政府などが公式に出すトランスクリプトの「文字」を主な教材とする。読売新聞の英字紙The Japan Newsが行う在京大使らへのインタビューも時折、教材とする。英訳では、読売新聞とThe Japan Newsの両方を使う。国内外の現況を日英両言語で学ぶことで、国内外のニュースソースから直接情報を集め、時事問題をより多面的に理解することができる。授業では、語彙が多い中上級者向けの英和や和英の辞典を持参する。電子辞書やスマホの辞書アプリでも中上級者向けなら問題ない。				
履修条件					
授業方法	▽英和：トランスクリプトを配り、次の授業で使う。授業では概略を説明した後、予習で分からなかった点について質問してもらう▽和英：記事をその場で英訳。英字紙掲載の翻訳をもとに翻訳のコツや英文記事の特徴を解説。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	①英語の演説などをどの程度正確に和訳できるかを評価する。専門用語を正しい定訳にしているかも重視する②日本語記事をどの程度正確に英訳できるかを評価する。	
	平常評価		40%	①授業での質問内容や頻度を見て、時事英語力を向上させる意欲と実力を評価②時折課す課題に対する回答を見て、時事英語力向上の意欲を測る	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特になし。			
参考書	日頃から、読売新聞と同紙の英字紙The Japan Newsの双方に目を通していただくことが望ましい。				
オフィスアワー	授業終了直後に直接、質問できる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	読売新聞と同紙の英字紙The Japan Newsの双方に目を通していることが望ましい。
	授業内容	授業の概要：①「ニュース英語」とは何か②なぜ「和訳」が大切か③なぜ「英訳」が大切か④どのように授業を進めていくのか——などを解説する。
	事後学習	日本語で回答する簡単な課題を授業中に示すので、レポートを作成し、次回の授業で提出する。
2	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳らの演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
3	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳らの演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
4	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳らの演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。

科目名	ニュース英語Ⅱ	担当者	太田 昌宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	各国メディアの英語ニュースを取り上げ、ニュースの背景とともにニュース英語の独自表現を学ぶ。				
授業目的・到達目標	国際情勢について社会人として必要な知識を得る。各国メディアのホームページニュース概要が理解できる。				
履修条件	真摯に学ぶ。積極的に発言する。電子辞書などを用意する。				
授業方法	重要ニュースのプリントを配布する。主要部分を独力で翻訳する。このあと翻訳の仕方、ニュースの背景などを解説する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	45% 最終日に実施する筆記試験。 55% 授業態度および毎週の教材の翻訳内容。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	その都度紹介する。				
オフィスアワー	毎週、授業の冒頭を質問時間とする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	BBC, アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
2	事前学習	BBC, アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 リーマン破たん10年)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
3	事前学習	BBC, アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 国連総会始まる)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
4	事前学習	BBC, アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 ノーベル賞は?)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認

5	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
6	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 米 中間選挙の動向)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
7	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュース翻訳、解説 (予想教材 英EU離脱交渉、終結へ)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
8	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 米中間選挙の結果は？)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
9	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 APEC首脳会議 PNG)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
10	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュース翻訳、解説 (予想教材 APEC ベトナム)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
11	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (4K 8K衛星放送 世界の注目は)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
12	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュースの翻訳、解説 (予想教材 COP24 ポーランド)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
13	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	国際ニュース翻訳、解説 (サウジ、アラムコ上場)
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
14	事前学習	BBC，アルジャジーラなどのホームページでニュースチェック
	授業内容	古今東西メディアをめぐる発言
	事後学習	翻訳精査、重要ニュース用語確認
15	事前学習	まとめ
	授業内容	試験及び振り返り
	事後学習	チェック

科目名	ニュース英語Ⅱ	担当者	加藤 賢治	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国内外の政治、経済、社会情勢に関するニュースを題材に、英語力の向上と時事問題への理解を深める。主要な演説や記者会見（トランスクリプトや動画を含む）、国際機関の決議文、新聞記事などを教材として活用し、和訳、英訳の技術を養う。				
授業目的・到達目標	時事英語の和訳、国内関連記事の英訳を通じて、時事問題を日本語、英語の双方で考え、理解する習慣付けを目指す。語学力向上にとどまらず、時事問題の本質を理解することも重視。和訳から始め、英訳力を養い、「何をどう伝えるか」、「何をどう聞き出すのか」という基本を習熟してもらう。				
履修条件	授業には、英和や和英の辞典持参を求めます。電子辞書、携帯の辞書アプリも使用可とします。				
授業方法	英和関連では、予習のため、次回授業用に演説等のトランスクリプトを配布します。授業では、内容の概略を説明後、学生からの質問等を通じて、理解を深めることとします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		40%	英語演説と日本語記事の双方の翻訳の正確性、速度を評価する。	
	平常評価		60%	4月時点での語学力は問いません。授業での質問内容や頻度を注視します。最終的な評価は、個々の習熟度の変化を最重視することになります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	現時点では特にありません。			
参考書	日本の新聞は当然として、英字紙（日本の英字紙The Japan News等）を読むことが望ましい。				
オフィスアワー	授業終了後に質問に応じます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	読売新聞と英字紙The Japan News等で時事ニュースを読むことが望ましい。
	授業内容	授業の基本的な説明①ニュースとは何か②何を伝えるか③なぜ、英語なのかーの後、課題を提示する。次回授業までにレポートを作成し、提出してもらう。
	事後学習	課題レポートの作成。
2	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
3	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
4	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。

5	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
6	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
7	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
8	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
9	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
10	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
11	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
12	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
13	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
14	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。
15	事前学習	前回授業で配布する演説や会見のトランスクリプトを熟読、和訳する。
	授業内容	上記資料について、解説、質疑応答。読売新聞記事を英訳させ、The Japan News記事と比較する。
	事後学習	授業の説明を基に、改めて和訳、英訳する。

科目名	ニュース英語Ⅱ	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	高度情報社会において、外国で生じた出来事や社会問題が日本においても大きく報道されることは少なくない。間接的な情報のみならず、現地でのメディアに接し理解する力は、不確かな情報がインターネットなどに掲載される環境において重要なものとなる。この講義では外国メディアのニュースを取り上げ、ニュースを読むための英語力を高めると同時に、国際社会や諸外国でどのような出来事がなぜ問題になっているのかを考える。					
授業目的・到達目標	講義を通じて、外国メディアのニュースを読み解く力を高めることが目的である。					
履修条件	特にない。講義には英語の辞書を持参すること。					
授業方法	講義では時事問題や英語の解説を行うが、時事問題の背景やニュースに関する英語を理解するためには、積極的に学び取ろうとする姿勢が重要である。そのため、配布した英語の記事に関する発表を行ってもらう。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内での発表の内容と、定期的に行われる小テストで評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	毎回英語の記事を配布する。				
参考書	適宜紹介する。					
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース英語Ⅰの復習
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業内で配布した資料を読むこと
2	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	国際問題に関する報道（1）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
3	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	国際問題に関する報道（2）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
4	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	国際問題に関する報道（3）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。

5	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	国際問題に関する報道（4）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
6	事前学習	これまでの復習
	授業内容	国際問題に関する報道で出てきた単語や内容に関する小テスト
	事後学習	小テストでわからなかった部分を確認すること
7	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	文化に関する報道（1）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
8	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	文化に関する報道（2）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
9	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	文化に関する報道（3）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
10	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	文化に関する報道（4）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
11	事前学習	これまでの復習
	授業内容	文化に関する報道で出てきた単語や内容に関する小テスト
	事後学習	小テストでわからなかった部分を確認すること
12	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	マス・メディアに関する報道（1）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
13	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	マス・メディアに関する報道（2）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
14	事前学習	英語の記事を読み、わからない部分や質問を整理しておくこと。
	授業内容	マス・メディアに関する報道（3）
	事後学習	授業前の疑問が解消されたのかを確認すること。
15	事前学習	これまでの復習
	授業内容	マス・メディアに関する報道で出てきた単語や内容に関する小テスト
	事後学習	小テストでわからなかった部分を確認すること

科目名	ニュース英語Ⅱ	担当者	柳沢 亨之	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	日本国内外で激しく動く政治や経済、社会の情勢について、より正しく深く早く理解できるよう、ニュース現場で使われる英語を把握する力と時事問題への素養を高める。世界各国首脳らが最近行った英語の演説や記者会見、ツイッター発信またはそれらの公式英訳、さらには国際機関の決議などを正しく和訳する力を養う。これとは逆に、日本語の新聞記事を英訳する練習も行う。				
授業目的・到達目標	時事英語を和訳する「英和」、日本の情勢を英語で伝える「和英」双方向の学習を通じて、国内外の情勢について日本語だけでなく英語でも知識を蓄積し論じる能力を将来的に持つための基礎固めを目的とする。首脳らが語る言葉や国際機関の決議の内容を理解するには、事象の背景となる知識を高める必要があるため、演説などを「音」で聞くことにこだわらず、各政府などが公式に出すトランスクリプトの「文字」を主な教材とする。読売新聞の英字紙The Japan Newsが行う在京大使らへのインタビューも時折、教材とする。英訳では、読売新聞とThe Japan Newsの両方を使う。国内外の現況を日英両言語で学ぶことで、国内外のニュースソースから直接情報を集め、時事問題をより多面的に理解することができるように授業は、語彙が多い中上級者向けの英和や和英の辞典を持参する。電子辞書やスマホの辞書アプリでも中上級者向けなら問題ない。				
履修条件					
授業方法	▽英和：トランスクリプトを配り、次の授業で使う。授業では概略を説明した後、予習で分からなかった点について質問してもらう▽和英：記事をその場で英訳。英字紙掲載の翻訳をもとに翻訳のコツや英文記事の特徴を解説。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	①英語の演説などをどの程度正確に和訳できるかを評価する。専門用語を正しい定訳にしているかも重視する②日本語記事をどの程度正確に英訳できるかを評価する。	
	平常評価		40%	①授業での質問内容や頻度を見て、時事英語力を向上させる意欲と実力を評価②時折課す課題に対する回答を見て、時事英語力向上の意欲を測る	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	特になし。			
参考書	日頃から、読売新聞と同紙の英字紙The Japan Newsの双方に目を通していただくことが望ましい。				
オフィスアワー	授業終了直後に直接、質問できる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	読売新聞と同紙の英字紙The Japan Newsの双方に目を通していることが望ましい。
	授業内容	後期の授業の概要：①9月25日に始まる国連総会の一般討論演説など国連関連の演説や記者会見、決議も教材に加えていくことを説明し、国連の取材現場についても解説する②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	国連の概要について調べておく。
2	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳らの演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
3	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳らの演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく③国連総会の一般討論演説を国連のウェブサイト経由でざっと聞いておく
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
4	事前学習	①国連総会の一般討論演説を国連のウェブサイト経由でざっと聞いておく②前回の授業の最後に配布された一般討論演説のコピーを熟読する③可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された一般討論演説について質疑応答と解説③直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説を全訳してみる。

5	事前学習	①国連総会の一般討論演説を国連のウェブサイト経由でざっと聞いておく②前回の授業の最後に配布された一般討論演説のコピーを熟読する③可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された一般討論演説について質疑応答と解説③直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説を全訳してみる。
6	事前学習	①国連総会の一般討論演説を国連のウェブサイト経由でざっと聞いておく②前回の授業の最後に配布された一般討論演説のコピーを熟読する③可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された一般討論演説について質疑応答と解説③直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説を全訳してみる。
7	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
8	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
9	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
10	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
11	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
12	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
13	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。
14	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	①今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。 ②日本語で回答する簡単な課題を授業中に示すので、レポートを作成し、次回の授業で提出する。
15	事前学習	①前回の授業の最後に配布された各国首脳の演説や記者会見のコピーを熟読する②可能なら、辞書などを使って自力で和訳しておく。
	授業内容	①前回の授業の最後に配布された演説または記者会見について質疑応答と解説②直近の読売新聞記事を英訳してもらい、The Japan Newsを基に解説する。
	事後学習	今回の授業での解説をもとに演説などを全訳してみる。

科目名	農業政策	担当者	小倉 眞	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	いわゆる先進工業国の内で食料自給率が最も低い日本の食料供給力の現状について、生産の側の農業およびその背景にある農村の変容過程について整理する。具体的には農地改革実施過程の内容と特徴、農村構造変動の主因ともなった農業基本法農政、そして総合農政から食料・農業・農村基本法政策までの過程を分析・整理する。					
授業目的・到達目標	日本の農業は米の生産過剰，農業就業人口の高齢化と減少，農地改廃と耕作放棄地の拡大，農家と農業の乖離化など，農業・農村の崩壊といえる現象を呈している。そこで日本における第二次世界大戦後の農業政策の展開過程と，農村(農業地域)の変容状況を整理し，日本農業の方向について検討することを目的とする。 到達目標：農業政策の展開過程を整理し，農業と農村の変容実態について客観的に理解できる					
履修条件	特になし					
授業方法	テキストは使用せず，プリント等によって授業を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	授業の内容を理解しているか，また論理思考がなされているかについて検証・評価する。		
	平常評価		10%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート・発表・小テストなどにより評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	授業中に指示する。					
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスで授業内容を確認する。
	授業内容	講義の概要と学修のポイントについての説明
	事後学習	ノートの内容を整理する。
2	事前学習	地租改正の内容・実施状況などについて事前に調べる。
	授業内容	戦前の農業状況と農民，土地改革
	事後学習	明治の地租改正以降の地代の相対的上昇や，小作の増加状況について資料に基づき整理する。

3	事前学習	1945・46年頃のGHQの改革について考察する。
	授業内容	戦前の地主・小作関係と第一次農地改革の実施
	事後学習	第一次農地改革の内容とその後の変更内容について検証する。
4	事前学習	農地改革と当時の農村状況について考察する。
	授業内容	戦後農業の基点としての第二次農地改革（1）
	事後学習	第一次農地改革と第二次改革の相違について整理するとともに、第二次改革の基本的視点について考察する。
5	事前学習	第二次改革と日本政府の対応について考察する。
	授業内容	戦後農業の基点としての第二次農地改革（2）
	事後学習	農地改革の内容と結果について整理するとともに、その後の日本農業に及ぼした影響について考察する。
6	事前学習	食の西欧化と日本農業の実態について考察する。
	授業内容	農業基本法農政と地域農業（1）選択的拡大政策
	事後学習	米から野菜・肉・乳製品などへの作付転換と機械化への政策転換と農業・農村の実態との乖離について検証する。
7	事前学習	高度経済成長期初期の工業人口と農村人口の比率と内容について調べる。
	授業内容	農業基本法農政と地域農業（2）農村の労働力移動と農業近代化事業
	事後学習	経済成長と農業労働力移動の実態を分析、工業化のための農業・農村政策について整理する。
8	事前学習	圃場の規格変更（10a～30a）のメリットとデメリットについて考える。
	授業内容	農業基本法農政と地域農業（3）圃場整備事業と地域農業
	事後学習	農業労働力賦存と農家経営について整理する。
9	事前学習	なぜ米が生産過剰になったのか、その理由について考察する。
	授業内容	総合農業政策の展開（1）米過剰と減反政策
	事後学習	減反政策による一律割り当ての問題について整理する。
10	事前学習	農地所有を巡って、農業継続と農家維持の関係について考察する。
	授業内容	総合農業政策の展開（2）農地異動の緩和
	事後学習	農地法改定と農村への影響について整理する。
11	事前学習	貿易収支の黒字と日米貿易関係について事前に調べる。
	授業内容	新農業政策の展開（1）農産物自由化と地域農業
	事後学習	GATTのウルグアイラウンド合意と日本農業への影響について整理する。
12	事前学習	多角間貿易交渉締結内容について調べる。
	授業内容	新農業政策の展開（2）地域農業農業の変容
	事後学習	1990年以降の農業・農村変動の内容について整理する。
13	事前学習	新基本法の内容について事前に調べる。
	授業内容	食料・農業・農村の基本法政策の展開
	事後学習	農業の農業基本法から食料・農業・農村の基本法への変化について検証及び整理する。
14	事前学習	農業生産法人の内容・範囲について考察する。
	授業内容	農業生産法人と地域農業
	事後学習	集落営農中心から民間法人の参入実態と内容について整理する。

15	事前学習	比較的維持されている都市近郊の農業・農村の実態について分析する。
	授業内容	都市近郊農業の展開と食料政策，まとめ
	事後学習	地方に展開する農業と都市近郊に立地する農業・農村の相違について整理する。

科目名	犯罪心理学	担当者	水田 一彦	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	犯罪心理学が扱う分野は幅広いが、本講義では、①各種犯罪とその犯人像、②犯罪捜査と心理学、③少年非行の心理、の三つに絞って授業を進める。①においては、暴力犯罪、殺人罪、性犯罪等を扱う。②においては、目撃証言の信頼性、虚偽自白等を扱う。③においては、児童虐待と少年非行の関連等について説明する。授業を通して、犯罪の心理は一般的な心理からも了解可能であること、少年非行には環境面の問題も大きく影響することなどについて示したい。				
授業目的・到達目標	(授業目的) 犯罪心理学の基礎的な知識や考え方を学ぶとともに、新聞等で報道されるような具体的な事例を検討することにより、犯罪・非行を行う者の心理を、行動科学的観点から理解し説明できるようになることを目的とする。 (到達目標) 犯罪・非行を行う者の心理を、行動科学的観点から理解し説明できるようになる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教科書に沿った講義 (PowerPointを使用)				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	①レポート、②授業内での小テスト、③受講態度等から総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	サイエンス社		犯罪心理学	越智啓太
	備考				
参 考 書	「ケースで学ぶ犯罪心理学」 越智啓太著 北大路書房				
オフィス アワー	mizuta.kazuhiko11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書に目を通しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 犯罪心理学とは
	事後学習	授業の流れについて確認すること。
2	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	犯罪心理学を学ぶ① (事例から学ぶ)
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
3	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	犯罪心理学を学ぶ② (統計から学ぶ)
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
4	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	各種犯罪とその犯人像① (暴力犯罪)
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。

5	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	各種犯罪とその犯人像②（殺人）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
6	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	各種犯罪とその犯人像③（性犯罪）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
7	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	各種犯罪とその犯人像④（子供に対する性犯罪）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
8	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	犯罪捜査と心理学①（目撃証言の心理）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
9	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	犯罪捜査と心理学②（子供の目撃証言）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
10	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	犯罪捜査と心理学③（虚偽自白と取調べ）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
11	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	犯罪捜査と心理学④（プロファイリングによる捜査支援）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
12	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	少年非行の心理①（児童虐待と少年非行）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
13	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	少年非行の心理②（発達の観点から見た少年非行）
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
14	事前学習	講義時に用いる資料に目を通しておくこと。
	授業内容	防犯と心理学
	事後学習	講義時に用いた資料を再読し、内容の理解を深めること。授業内容について、教科書と参考書の該当箇所とつき合わせてノートを整理しておくこと。
15	事前学習	各回の授業時に配付された資料を整理すること。
	授業内容	まとめと復習
	事後学習	犯罪心理学を学ぶ中で特に関心をもった事項について調べ、レポートにまとめること。

科目名	比較行政論	担当者	上村 進	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	現代欧米諸国の行政制度がどのような歴史的変遷を経て今日の姿に至ったのか、その起源となったローマ帝国やローマ教皇庁の行政制度、近代行政の祖型を形作ったフランス行政の成立過程を通して学ぶ。				
授業目的・到達目標	各国の行政（我が国行政も含む）が人為的な構築物などではなく、長い歴史の中で、それぞれの社会的・文化的特性を色濃く反映しつつ政治・外交的な変動を経て今日の姿に至っていることを理解できるようにする。				
履修条件	特に条件はないが、「行政組織研究」科目において、同様に我が国行政の歴史的展開を講義するので、併せて受講するとなお理解が深まることが期待される。				
授業方法	講義形式を前提としている。 （履修人数が少ない場合は、グループ討議や個人のレポート発表等を主体とすることも検討する。）				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		75%	注：評価方法・配点割合は履修人数により変更があり得る	
	平常評価		25%	注：以下は履修人数により変更があり得る。 出席状況、事前学習の出来映え、授業中の質問・発言状況を評価する	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない。			
参考書	授業中に適宜指示する。				
オフィスアワー	金曜日 3 限。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	講義で紹介する文献・資料の収集等
2	事前学習	世界史教科書等でローマ帝国統治機構の概要を把握しておくこと。
	授業内容	西洋行政発達の歴史 1（ローマ帝国の行政・官僚制 1）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

3	事前学習	前回講義内容を踏まえ、ローマ帝国の行政制度等で現代にまで引き継がれている要素は何か、各自の考えをまとめておくこと。
	授業内容	西洋行政発達の歴史2（ローマ帝国の行政・官僚制2）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
4	事前学習	世界史教科書等で当時のヨーロッパ社会・経済に及ぼした中世教皇庁の影響等を調べておくこと。
	授業内容	西洋行政発達の歴史3（ローマ教皇庁・カトリック教会1）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
5	事前学習	前回講義内容を踏まえ、ローマ教会の組織制度と近代行政制度の類似点等について把握しておくこと。
	授業内容	西洋行政発達の歴史4（ローマ教皇庁・カトリック教会2）
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
6	事前学習	フランス・フランス人とはどういう国であり人たちであるのか、各種文献等により、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	フランスの社会と憲法制度
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
7	事前学習	世界史教科書等により第2次大戦後にフランスの置かれた状況と、アルジェリア動乱の経緯について把握しておくこと。
	授業内容	フランスの統治構造
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
8	事前学習	世界史教科書等で、カペー朝・ヴァロワ朝・ブルボン朝の主要な国王の事績について可能な範囲で把握しておくこと。 併せてノルマンディー公国、ブルゴーニュ公国、アキテーヌ公国等の歴史概要を調べておくこと。
	授業内容	フランスの行政制度1
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
9	事前学習	世界史教科書等で皇帝ナポレオン1世が政治・行政体制確立の上で果たした事績について把握しておくこと。
	授業内容	フランス行政制度2
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
10	事前学習	前回までの講義内容を踏まえ、フランス官僚の特権性はどのような歴史的経緯に由来するものか、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	フランスの官僚制度1
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
11	事前学習	前回の講義内容を踏まえ、日仏公務員制度の類似点・相違点について整理しておくこと。
	授業内容	フランスの官僚制度2
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
12	事前学習	地歴地図帳等を用い、フランスの各州・県がどのような配置となっているか、また各州は中世諸侯領（トゥールーズ伯領など）とどのように重なっているか確認しておくこと。
	授業内容	フランスの地方制度
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
13	事前学習	世界史教科書等で、アメリカ合衆国独立の経緯、憲法制定会議における議論等を把握しておくこと。
	授業内容	アメリカの憲法・統治制度
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。
14	事前学習	前回までの講義内容を踏まえ、フランスの行政・官僚制度とアメリカの制度の主な違いは何か、また違いの生まれる理由は何か、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	アメリカの行政・官僚制度
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認し、次回講義時に疑問点等を質問できるようにしておくこと。

15	事前学習	これまでの講義内容を踏まえ、フランス・アメリカの行政・官僚制度と英国制度の主な違いは何か、また違いの生まれる理由は何か、あなたの考えをまとめておくこと。
	授業内容	英国の行政・官僚制度
	事後学習	講義内で紹介された事例・文献等を各自で確認しておくこと。

科目名	比較憲法Ⅰ	担当者	玉蟲 由樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義では、いわゆる近代立憲主義の諸国家における憲法体制を比較し、それぞれの特徴を分析するとともに、比較のなかでの日本国憲法の位置づけを論じることとする。 それぞれ異なる歴史的状況から展開されてきた各国の憲法体制を見ることによって、日本国憲法が置かれた状況や解釈論的な課題が明らかになってくるだろう。			
授業目的・到達目標	本講義では、主に英米仏独4か国の憲法体制を一つのモデルとして、そこでの憲法体制や解釈論の展開を学び、そこから日本国憲法への示唆を引き出すことをさしあたっての目的とする。 比較素材は、憲法条文にとどまらず、憲法判例、解釈論争、政治的な動きなど多岐にわたるが、これらから各国の憲法の現代的状況を明らかにしていきたい。 必要に応じて、これら主要4か国以外の国家やEUなどの動向にも言及することとする。			
履修条件	とくになし。			
授業方法	講義方式によって行う。事前に配布する資料を準備しておくこと。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	講義の理解，論証のプロセス等を総合的に判断する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	初宿正典・辻村みよ子編『新解説世界憲法集〔第4版〕』（三省堂，2017年）			
オフィスアワー	木曜10：40～12：10 金曜13：00～14：30 事前にメール等で連絡をすること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでおくこと。
	授業内容	比較憲法とは何か
	事後学習	比較憲法学の方法論について復習しておくこと。
2	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	日本国憲法と比較憲法学
	事後学習	憲法後進国であった日本にとっての比較憲法学の意義を復習しておくこと。

3	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	近代立憲主義の展開
	事後学習	比較のキーワードとなる近代立憲主義について復習しておくこと。
4	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	現代の憲法体制の展開
	事後学習	現代の各国憲法の特徴について復習しておくこと。
5	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	民主政原理（1）
	事後学習	デモクラシーの2類型について復習しておくこと。
6	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	民主政原理（2）
	事後学習	議会制民主主義と選挙制度について復習しておくこと。
7	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	権力分立原理（1）
	事後学習	民主主義的正当性について復習しておくこと。
8	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	権力分立原理（2）
	事後学習	法律の留保について復習しておくこと。
9	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	司法制度
	事後学習	各国の司法制度の特徴について復習しておくこと。
10	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	違憲審査制度（1）
	事後学習	司法権と違憲審査権との関係性について復習しておくこと。
11	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	違憲審査制度（2）
	事後学習	各国の違憲審査制度の特徴について復習しておくこと。
12	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	違憲審査制度（3）
	事後学習	各国の違憲審査制度の特徴について復習しておくこと。
13	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法保障（1）
	事後学習	憲法保障の枠組みについて復習しておくこと。
14	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法保障（2）
	事後学習	憲法改正について復習しておくこと。

15	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	まとめ①
	事後学習	国家組織に関する各国比較について復習しておくこと。

科目名	比較憲法Ⅱ	担当者	玉蟲 由樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義では、いわゆる近代立憲主義の諸国家における憲法体制を比較し、それぞれの特徴を分析するとともに、比較のなかでの日本国憲法の位置づけを論じることとする。 それぞれ異なる歴史的状況から展開されてきた各国の憲法体制を見ることによって、日本国憲法が置かれた状況や解釈論的な課題が明らかになってくるだろう。			
授業目的・到達目標	本講義では、主に英米仏独4か国の憲法体制を一つのモデルとして、そこでの憲法体制や解釈論の展開を学び、そこから日本国憲法への示唆を引き出すことをさしあたっての目的とする。 比較素材は、憲法条文にとどまらず、憲法判例、解釈論争、政治的な動きなど多岐にわたるが、これらから各国の憲法の現代的状況を明らかにしていきたい。 必要に応じて、これら主要4か国以外の国家やEUなどの動向にも言及することとする。			
履修条件	とくになし。			
授業方法	講義方式によって行う。事前に配布する資料を準備しておくこと。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	講義の理解，論証のプロセス等を総合的に判断する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	初宿正典・辻村みよ子編『新解説世界憲法集〔第4版〕』（三省堂，2017年）			
オフィスアワー	木曜10：40～12：10 金曜13：00～14：30 事前にメール等で連絡をすること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	基本権総論（1）
	事後学習	各国の基本権保障の展開について復習しておくこと。
2	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	基本権総論（2）
	事後学習	現代の基本権保障の特徴について復習しておくこと。

3	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	包括的基本権（1）
	事後学習	人格権・プライバシー権について復習しておくこと。
4	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	包括的基本権（2）
	事後学習	基本権保護義務について復習しておくこと。
5	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法における平等（1）
	事後学習	各国での平等にまつわる議論の変遷を復習しておくこと。
6	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	憲法における平等（2）
	事後学習	現代の平等問題について復習しておくこと。
7	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	精神的自由権（1）
	事後学習	信教の自由をめぐる各国の状況を復習しておくこと。
8	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	精神的自由権（2）
	事後学習	表現の自由に関する各国の主要判例について復習しておくこと。
9	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	経済的自由権（1）
	事後学習	職業の自由について復習しておくこと。
10	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	経済的自由権（2）
	事後学習	財産権をめぐる問題について復習しておくこと。
11	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	人身の自由
	事後学習	刑事手続と基本権との関係について復習しておくこと。
12	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	手続的権利・受益権
	事後学習	手続的権利に関する各国の認識の違いについて復習しておくこと。
13	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	社会的基本権（1）
	事後学習	社会的基本権に関する各国での議論状況について復習しておくこと。
14	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	社会的基本権（2）
	事後学習	社会的基本権に関する状況変化について復習しておくこと。

15	事前学習	事前配布資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	まとめ②
	事後学習	基本権保障に関する各国比較について復習しておくこと。

科目名	比較ジャーナリズム史	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業では、日本のほか、アメリカや東アジア諸国の事例を比較しながら、ジャーナリズムの役割や機能、直面する/構造化された問題群について考える。授業のタイトルに「史」がついていることから明らかなように、ここでは歴史的な視点から、これらの問題群にせまろうとする。そこには、＜古いこと＞を学んでいるが、実は、きわめて現代的な問題を考え、これからの世界を見通そうとしている知的営みの一環であることを示すねらいがある。				
授業目的・ 到達目標	本授業は、ジャーナリズムが有する可能性と限界を把握し、現代社会におけるジャーナリズムの諸問題を考えるための歴史的視点と、考えるための知識の提供を目的としている。到達目標は、第一に異なる地域における歴史的展開を比較し、歴史が、いかに重層的で複数性を有しているのか（histories）を感知しながら、現在の問題を立体的に考えることのできる思考枠組を獲得することである。第二に、ジャーナリズム史に対するグローバルな観点からの理解と、それに必要なジャーナリズムやメディア、そして世界史や国際政治に関する知識を獲得することにある。				
履修条件	海外のメディアやジャーナリズム、国際政治に関する授業もあわせて受講することが望ましい。				
授業方法	授業では学生の理解を助けるために、レジュメを配付し、随時、視聴覚教材（映画やドキュメンタリー）を活用する。また、できるだけ学生との対話を重視したインタラクティブな授業を目指すつもりである。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	小レポートなどの提出課題と試験による評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	随時、授業内で紹介する。				
オフィス アワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	国際情勢に関する関心をもち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
2	事前学習	国際情勢に関する関心をもち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	比較ジャーナリズム「史」を考える
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。

3	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	近代日本の新聞成立
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
4	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	19世紀末東アジアと日中ジャーナリズム （1）
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
5	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	19世紀末東アジアと日中ジャーナリズム （2）
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
6	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	19世紀末東アジアと日中ジャーナリズム （3）
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
7	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	メディアの戦争責任とジャーナリズムの在り方
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
8	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	メディアと記憶：日本編
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
9	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	メディアと記憶：東アジア編 （1）
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
10	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	メディアと記憶：東アジア編 （2）
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
11	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	GHQ占領期のメディア検閲
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
12	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	戦後日本のジャーナリズム教育とアメリカ
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
13	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	朝鮮戦争とNHK
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。
14	事前学習	国際情勢に関する関心を持ち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	沖縄ジャーナリズムを考える
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。

15	事前学習	国際情勢に関する関心をもち、日常的に国際報道に接しておくこと。
	授業内容	おわりに
	事後学習	授業で紹介した参考文献について目を通すこと。

科目名	比較政治学	担当者	岩崎 正洋	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この授業では、比較政治学の基本的な知識をできるだけ幅広く、体系的に、しかも正確に伝えることを企図している。そのために、まず、初めて比較政治学を勉強しようとする場合に「最低限これだけ知っておくと、とりあえず、比較政治学の入門レベルをおさえることができるし、これから先の勉強にも役立つ」という内容を盛り込んでいる。					
授業目的・到達目標	本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は、現実政治を考える上で、どのように役立つのか」という問題を考えることを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学のさまざまな理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。授業を通して、現実政治と政治理論との両者に目を向け、両者の間を架橋することが出来るような視点をもつことができるようにする。					
履修条件	特になし					
授業方法	講義形式で行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業内容に関して、正確な理解がなされているか否か確認する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	勁草書房		『比較政治学入門』		岩崎正洋
	備考					
参考書	河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治学』日本経済評論社、2002年。その他、授業中に提示する。					
オフィスアワー	月曜日12：10～13：00 研究室（4号館2階425）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「はしがき」および「序章」に目を通しておくこと。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	事前学習の内容と授業内容とをまとめ、理解しておくこと。
2	事前学習	教科書の「序章」を読んでおくこと。
	授業内容	比較政治学とは何か
	事後学習	「比較政治学」がどのような学問であるのかについて、教科書と授業内容とをふまえて復習しておくこと。

3	事前学習	教科書の「第1章」を読んでおくこと。
	授業内容	政治と国家
	事後学習	「政治」、「政治学」、「比較政治学」などを正確に理解しておくこと。
4	事前学習	教科書の「第1章」を読んでおくこと。
	授業内容	政治システム
	事後学習	「政治システム論」について正確に説明できるように復習しておくこと。
5	事前学習	教科書の「第2章」を読んでおくこと。
	授業内容	政治発展
	事後学習	「政治発展論」について正確に説明できるように復習しておくこと。
6	事前学習	教科書の「第3章」を読んでおくこと。
	授業内容	政治文化
	事後学習	「政治文化」について正確に説明できるように復習しておくこと。
7	事前学習	教科書の「第3章」を読んでおくこと。特に、「3. 2」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	市民
	事後学習	「市民文化」について正確に説明できるように復習しておくこと。
8	事前学習	教科書の「第3章」を読んでおくこと。特に、「3. 3」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	物質主義的価値観と脱物質主義的価値観
	事後学習	「物質主義的価値観」と「脱物質主義的価値観」との違いや、「脱物質主義的価値観」がみられるようになった背景や特徴について、正確に説明できるように復習しておくこと。
9	事前学習	教科書の「第4章」を読んでおくこと。特に、「4. 1」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	政治体制：民主主義体制・権威主義体制・全体主義体制
	事後学習	「政治体制」の違いについて正確に説明できるように復習しておくこと。
10	事前学習	教科書の「第4章」を読んでおくこと。特に、「4. 2」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	ポリアーキー
	事後学習	「ポリアーキー」について正確に説明できるように復習しておくこと。
11	事前学習	教科書の「第4章」を読んでおくこと。特に、「4. 3」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	多極共存型民主主義
	事後学習	「多極共存型民主主義」について正確に説明できるように復習しておくこと。
12	事前学習	教科書の「第4章」を読んでおくこと。特に、「4. 4」の部分を熟読しておくこと。
	授業内容	非民主主義体制
	事後学習	「非民主主義体制」のバリエーションについて正確に説明できるように復習しておくこと。
13	事前学習	教科書の「第5章」を読んでおくこと。
	授業内容	民主化の第三の波
	事後学習	「民主化の第三の波」について正確に説明できるように復習しておくこと。
14	事前学習	教科書の「第5章」を読んでおくこと。
	授業内容	民主主義の移行と定着
	事後学習	「民主化」、「民主主義の移行と定着」について正確に説明できるように復習しておくこと。

15	事前学習	教科書を再読し、今学期の内容に関する疑問点などをまとめておくこと。
	授業内容	今学期のまとめ・質問受付
	事後学習	今学期の内容について、教科書と授業内容とを照らし合わせて復習しておくこと。

科目名	東アジア経済論	担当者	陳 文 孝	部 別	第一部	期 間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	21世紀はアジアの時代だと言われており、東アジア新興国や中国の台頭によってアジアのみならず、世界の政治経済、社会文化、安全保障の構図は急変している。本講義は経済発展論に基づき、東アジア経済発展の歴史、発展のパターン、直面する様々な問題について学習し、研究を行う。また、急速に台頭してきた中国の経済発展についても調べ、日中経済の相互依頼関係および地域経済統合の動きに対して考察し、明らかにする。				
授業目的・到達目標	今現在、国際政治経済における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域経済の多様性、複雑性、可能性等について立体的な視点から考察し、東アジア経済論の基礎だけではなく、実体経済の変化についても事例研究を通じて明らかにする。本講義を通じて学生諸君は東アジア経済に関する基礎知識を身につけ、東アジア経済の変動に関する考察力、理解力、そして分析力が高められる。				
履修条件	特にない。				
授業方法	主にパワーポイントによる講義。ビデオ鑑賞、PC演習、新聞・雑誌・Webサイト資料の解説もある。リアクションペーパーを書くこともある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業課題に対する理解、練習、レポート完成状況（70%） 授業態度（30%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	開講時に指示する。				
オフィスアワー	月曜昼休み				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Webサイトから「東アジア経済」について調べてみる
	授業内容	授業紹介、成績評価等の説明
	事後学習	自分が東アジア経済についての学習意識を明確にする
2	事前学習	Webサイトから東アジアの植民地の歴史について調べてみる
	授業内容	東アジアの経済発展と植民地の歴史
	事後学習	植民地の“功罪”について考える

3	事前学習	「絶対値」と「相対値」について調べてみる
	授業内容	東アジア経済の多様性と戦後東アジアの経済発展
	事後学習	脱植民地主義について調べてみる
4	事前学習	「冷戦」について調べておく
	授業内容	東アジア農業の発展と「緑の革命」
	事後学習	現代農業についてまとめる。
5	事前学習	「算数級数」と「対数級数」を調べてみる
	授業内容	東アジアの経済発展と人口問題
	事後学習	日本、アジアの人口分布と今後の推移を調べる
6	事前学習	「NIEs」とは何かについて調べておく
	授業内容	東アジアの工業化とNIEs
	事後学習	労働集約的産業と資本集約的産業を再確認する
7	事前学習	「比較優位」について調べておく
	授業内容	東アジアの国際貿易と産業移転
	事後学習	「雁行形態」について復習し理解を深める
8	事前学習	WTO、FTAについて調べる
	授業内容	東アジア経済統合の動きについて
	事後学習	TPPについて理解を深める
9	事前学習	前半の学習内容について復習する
	授業内容	中間まとめ、進捗状況確認テスト
	事後学習	テストの設問について再度確認する
10	事前学習	「大躍進」は何かを調べておく
	授業内容	中国の経済発展概論 1：計画経済とその失敗
	事後学習	AI、ビッグデータなどによって計画経済はうまくいくのか
11	事前学習	中国共産党十一期三中全会について調べてみる
	授業内容	中国の経済発展概論 2：改革開放と市場化の成功
	事後学習	改革開放の意義を再度確認する
12	事前学習	「緑の革命」を復習しておく
	授業内容	中国の農業改革と工業化
	事後学習	インセンティブ、モチベーションについて再確認する
13	事前学習	日本の高度経済成長について調べておく
	授業内容	中国経済の高度成長とその終焉
	事後学習	中国経済の「新常态」を再確認する
14	事前学習	日中国交回復の歴史について調べておく
	授業内容	日中経済関係について
	事後学習	チャイナ+ワンはどうなっているのか

15	事前学習	後半学習の要点をまとめる
	授業内容	まとめ、復習とレポート作成要領説明
	事後学習	レポート作成、提出

科目名	東アジア政治論Ⅰ	担当者	孔 義植	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	1. 辛亥革命から現在までの中華民国（後の台湾）と中華人民共和国の政治の流れや政治制度、政治過程を説明する。 2. 戦後の中華人民共和国と台湾との対立と共存関係を国際情勢の変化と関連して説明する。 3. 日中関係、日台関係を説明する。				
授業目的・到達目標	戦後の中国・台湾政治の流れと政治制度や政治過程を知り、日本を中心としてこれらの国々との2カ国間および多国間の政治・外交関係の展開と現状を理解し、望ましい日中・日台関係の在り方に関して意見が述べられるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	毎週「学生教員共有フォルダー」に載せる講義要約を元にして作成したパワーポイントで講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験(50%), レポート(30%)、講義内容の要約（20%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	「学生教員共有フォルダー」から講義要約をダウンロードして教科書の代わりに使う。			
参考書	『中国は今』国分良成、岩波書店、2011年 『現代中国「解体」新書』梁過、講談社、2011年 『現代中国政治』毛里和子、名古屋大学出版会、2004年				
オフィスアワー	月曜日の12時20分～13：00（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室：9号館404室 メール：kong.eui.sik@law.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダーにある孔義植の講義ガイダンスをよく読むこと。
	授業内容	講義ガイダンス（講義方法、講義内容、講義目標、レポート提出、出欠、試験など）
	事後学習	学生教員共有フォルダーにある孔義植の講義要約を確認すること
2	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅰ」をよく読むこと
	授業内容	現代中国政治の流れ（改革・開放以前）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること

3	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ」をよく読むこと
	授業内容	現代中国政治の流れ（改革・開放以後）
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
4	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅲ」をよく読むこと
	授業内容	中国の政治制度と政治過程
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
5	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅳ」をよく読むこと
	授業内容	中国の政治制度と政治過程
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
6	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅴ」をよく読むこと
	授業内容	台湾政治の流れ
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
7	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅴ」をよく読むこと
	授業内容	台湾の政治制度と過程
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
8	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅴ」をよく読むこと
	授業内容	中・台関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
9	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅵ」をよく読むこと
	授業内容	戦後日・中関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
10	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅶ」をよく読むこと
	授業内容	戦後中・韓関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
11	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅶ」をよく読むこと
	授業内容	戦後中・朝関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
12	事前学習	日中、日韓関係に関する新聞や雑誌などの記事を読むこと
	授業内容	戦後日・中・韓関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
13	事前学習	日米、米中、米韓、米朝関係に関する新聞や雑誌などの記事をよく読むこと
	授業内容	東アジアとアメリカ
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
14	事前学習	今まで学習した内容を整理して発言できるようにすること
	授業内容	総括と討論
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること

15	事前学習	授業の内容に関する質問や意見を準備すること
	授業内容	前期まとめ・質問受け
	事後学習	テストを実施する。

科目名	東アジア政治論Ⅱ	担当者	孔 義植	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	戦後の韓国・北朝鮮の政治の流れと政治制度や政治過程を説明する。 日本を中心としてこれらの国々との2カ国間および多国間の政治・外交関係の展開と現状を説明する。				
授業目的・到達目標	戦後の韓国・北朝鮮の政治の流れと政治制度や政治過程を理解し、日韓、日朝関係に関する自分の意見が述べるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	毎週「学生教員共有フォルダー」に載せる講義要約を元にして作成したパワーポイントで講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験（50％）レポート(30%) 授業参加度（20％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	「学生教員共有フォルダー」から講義要約をダウンロードして教科書の代わりに使う。			
参考書	清水敏行『韓国政治と市民社会』北海道大学出版会、2011年 孔義植・鄭俊坤『韓国現代政治を読む』芦書房、2008年				
オフィスアワー	月曜日の12時20分～13：00（事前にメールでアポイントを取ること） 研究室：9号館404室 メール：kong.eui.sik@law.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダーにある孔義植の講義ガイダンスをよく読むこと。
	授業内容	講義ガイダンス （講義方法、講義内容、講義目標、レポート提出、出欠、試験など）
	事後学習	学生教員共有フォルダーにある孔義植の講義要約を確認すること
2	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）1」をよく読むこと
	授業内容	韓国現代政治の歴史的概観 （南北分断と米軍政、大韓民国樹立と李承晩政権、朝鮮戦争、学生革命と張勉政権）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること

3	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）１」をよく読むこと
	授業内容	韓国現代政治の歴史的概観 （軍事革命と朴正熙政権、光州民主化抗争と全斗煥政権、民主化宣言と盧泰愚政権、文民政権の誕生と金泳三政権）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
4	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）２」をよく読むこと
	授業内容	韓国現代政治の歴史的概観 （太陽政策と金大中政権、インターネット世代と盧武鉉政権、保守政権への回帰と李明博政権・朴槿恵政権）
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
5	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）３」をよく読むこと
	授業内容	韓国の政治制度（韓国の憲法、国会）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
6	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）３」をよく読むこと
	授業内容	韓国の政治制度（韓国の大統領制と行政府、政党）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
7	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）３」をよく読むこと
	授業内容	韓国の政治制度（韓国の選挙、地方自治、地益集団）
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること 課題を示すので、レポートを作成すること
8	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）３」をよく読むこと
	授業内容	韓国の民主化と市民運動、政治文化など
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
9	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）４」をよく読むこと
	授業内容	北朝鮮政治の流れ（1948年から現在まで）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
10	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）４」をよく読むこと
	授業内容	北朝鮮の政治制度（党：朝鮮労働党、国家機関、一般生活、北朝鮮社会の変貌）
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
11	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）５」をよく読むこと
	授業内容	韓国と北朝鮮との関係（1948年から現在まで）
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
12	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）５」をよく読むこと
	授業内容	戦後日・韓関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること
13	事前学習	学生教員共有フォルダーにある講義要約の「東アジア政治論Ⅱ（韓国政治論）５」をよく読むこと
	授業内容	戦後日・朝関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に授業内容を要約すること
14	事前学習	日韓、日朝関係に関する新聞や雑誌などの記事をよく読むこと
	授業内容	戦後日本・韓国・北朝鮮関係の展開と現状
	事後学習	配られた用紙に前回の授業内容を要約して提出すること

15	事前学習	授業の内容に関する質問や意見を準備すること
	授業内容	後期まとめ・質問受け
	事後学習	テストを実施する。

科目名	ビジネスロー文献講読Ⅰ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	欧米のビジネスローの専門書や報告書の原文を使用して、国際ビジネスや国際金融に関する内容を教えていきたい。主として英国におけるコーポレート・ガバナンス・コード、さらに国際的に活動する金融機関に関する規制であるバーゼル規制を題材として進めていきたい。				
授業目的・到達目標	ビジネスローに関する外国専門書（英語）について理解し、説明できるようになることを目的とする。サブプライム金融危機以後の国際金融法規制、コーポレート・ガバナンス（企業統治）等の重要テーマを中心にG20のバーゼル銀行監督委員会、英国コーポレート・ガバナンス・コードなど最新の文献を題材に進める。欧米のガバナンス、取締役会など法的スキームを学んでいきたい。英語が苦手な者も、だからこそ是非参加してほしい。大歓迎する。国際ビジネス法に関する専門の英語文献について学び、それに基づき専門書を読むことに慣れることが目標である。細かい法知識の修得もさることながら、専門書講読が苦にならなくなることが眼目である。英語習得は今や必須である。				
履修条件	特にないが、経営法学科以外、また2年生も広く大歓迎する。金融機関や国際的分野の就職志望者、留学希望者、留学生、英語を改めて学びたい者も来て欲しい。ゼミ的に、1人ずつと対話できる形で相談を受けていくつもりである。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。			
参考書	適宜、授業内で指示する。				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気軽にご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に各自でビジネスローについて概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	G20のバーゼル銀行監督委員会とサブプライム金融危機後のコーポレート・ガバナンスを強化するための諸原則
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	OECD（経済協力開発機構）のコーポレート・ガバナンス(Corporate Governance)原則
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス法制度の概観
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（1） 取締役会の責務と実務
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（２） 銀行の戦略と目標、銀行のリスク許容度/リスク選好度
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（３） 議長、独立社外取締役（Outside Independent Director）
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（４） 企業価値基準と行動規範(Code of Conduct)
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（５） 上級管理職（Senior Management)に対する監視、取締役の資質
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（６） 取締役会の構造と機能、支配株主、指名・報酬・監査委員会
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（７） グループ構造、持株会社、親子会社の支配・権利義務・少数株主関係
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	銀行のコーポレート・ガバナンス（８） 上級管理職の役割と責任、規律付け
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	健全なコーポレート・ガバナンスの原則（１） リスク管理（Risk Management)と内部統制
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	健全なコーポレート・ガバナンスの原則（２） 新しい報酬規制と対応など
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	健全なコーポレート・ガバナンスの原則（３） 複雑または不透明な組織構造、情報開示（Disclosure)と透明性
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	健全なコーポレート・ガバナンスの原則（４） 銀行の監督当局の役割、健全なコーポレート・ガバナンスを支える環境の育成など
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	ビジネスロー文献講読Ⅱ	担当者	藤川 信夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	欧米のビジネスローの専門書や報告書の原文を使用して、国際ビジネスや国際金融に関する内容を教えていきたい。主として英国におけるコーポレート・ガバナンス・コード、さらに国際的に活動する金融機関に関する規制であるバーゼル規制を題材として進めていきたい。				
授業目的・到達目標	ビジネスローに関する外国専門書（英語）について理解し、説明できるようになることを目的とする。サブプライム金融危機以後の国際金融法規制、コーポレート・ガバナンス（企業統治）等の重要テーマを中心にG20のバーゼル銀行監督委員会、英国コーポレート・ガバナンス・コードなど最新の文献を題材に進める。欧米のガバナンス、取締役会など法的スキームを学んでいきたい。英語が苦手な者も、だからこそ是非参加してほしい。大歓迎する。国際ビジネス法に関する専門の英語文献について学び、それに基づき専門書を読むことに慣れることが目標である。細かい法知識の修得もさることながら、専門書講読が苦にならなくなることが眼目である。英語習得は今や必須である。				
履修条件	特にないが、経営法学科以外、また2年生も広く大歓迎する。金融機関や国際的分野の就職志望者、留学希望者、留学生、英語を改めて学びたい者も来て欲しい。ゼミ的に、1人ずつ対話できる形で相談を受けていくつもりである。				
授業方法	政府系銀行の勤務経験と融資・財務ノウハウを生かし、わかりやすく解説する。講義形式を基本とするが、一方的な授業にならないようにアクティブラーニングを組み合わせ、事例を用いて課題解決型学習により関心と理解を深める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内評価。授業内試験を行う。期末定期試験は行わない。授業内試験と共に、授業への積極的な取り組み、議論への参加などを合わせて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	毎回レジメを配布する。パソコンを用いて授業を行う。			
参考書	適宜、授業内で指示する。				
オフィスアワー	授業の内容に関する質問と共に、就職、進路相談などにも積極的に応じます。希望があれば、授業の前後に、直接、その旨を話に来てください。後日、時間を調整して、改めてお話を伺います。金融業界、メーカー・商社などグローバル企業の就職、大学院進学希望者はぜひ、いつでも気軽ににご相談下さい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に各自でビジネスローについて概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国におけるスチュワードシップ・コード（機関投資家向けの規律）と株主責任の概要
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
2	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国スチュワードシップ・コード(Stewardship Code)の課題と展望
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
3	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国コーポレート・ガバナンス・コード（企業経営者向けの規律）の概要と課題
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
4	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（1） ガバナンスおよびコード（Code）の概説
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

5	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（2） プリンシプル（原則）・ベースの意義
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
6	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（3） コンプライ・オア・エクスプレイン(遵守せよ、さもなければ説明せよ) 原則
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
7	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（4） 経営陣のリーダーシップと経営戦略
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
8	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（5） 取締役会の有効性と取締役会評価(Evaluation)
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
9	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（6） 説明責任と透明性(Transparency)
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
10	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（7） 機関投資家との関係、対話とエンゲージメント(Engagement)作り
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
11	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（8） 報酬規制とコードの役割
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
12	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（9） 業務執行取締役に対する績連動型報酬の設計など
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
13	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（10） コーポレート・ガバナンスに係る開示 (Disclosure)
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
14	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（11） 非業務執行取締役 (Non Executive Director)の役割
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。
15	事前学習	事前に学習内容を示しますので、概要を把握して授業に臨んで下さい。専門用語、キーワードなども意味を調べておいて下さい。
	授業内容	英国のコーポレート・ガバナンス・コード（12） 取締役の研鑽・研修 (Training) など
	事後学習	毎回の授業内容に関する復習課題と、一層の理解のための発展的な課題を示しますので、授業と同程度の時間を使って取り組んで頂きたいと思います。

科目名	フォト・ジャーナリズム	担当者	会田 法行	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	言葉を越えた世界共通言語である報道写真を理解する。報道写真に対するリテラシーを深め、日々溢れかえる報道写真をしっかりと受け止め、そこにこめられた情報を享受することができるようになること。				
授業目的・到達目標	写真という世界共通言語を通してジャーナリズムを学ぶ。報道写真の歴史や倫理、日々溢れる報道写真を通して、報道写真のグローバルスタンダードを身につけ、その役割を理解する				
履修条件	写真とジャーナリズムに興味があること。				
授業方法	座学とディスカッション形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業毎に短いレポートを書いてもらいます。出欠を確認するとともに、みなさんの理解度を評価します。クラス内のディスカッションも同様です。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	テーマに合わせて資料を配布いたします。			
参考書	『他者の苦痛へのまなざし』（スーザン・ソントグ著、みすず書房、2003）				
オフィスアワー	授業後の教室で。または、aidphotoj@gmail.comまで連絡を。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	オリエンテーション。報道写真てなんだろう？
	事後学習	気になる人物の肖像写真を徹底的に見て、自分の好きな一枚を選ぶ 新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
2	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	世界報道写真コンテストにみる報道写真の現在地
	事後学習	昨年撮影された本年度の報道写真賞受賞作品の中からお気に入りの一枚を選ぶ 新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする

3	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	学生による気になる人物の肖像写真と世界報道写真展受賞作品の発表会
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
4	事前学習	20世紀を代表する報道写真家であるアンリ・カルティエ・ブレッソンについて調べる 彼のお気に入りの一枚を選ぶ
	授業内容	アンリカルティエブレッソンに学ぶ、肖像写真と報道写真
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
5	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	報道写真の世界史・日本史
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
6	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	ロバート・キャパとマグナムの写真家たちについての紹介と、そもそもよい報道写真とは何かを考える
	事後学習	キャパをはじめとしたマグナムの写真家たちの写真を徹底的に見て、お気に入りのをさがす
7	事前学習	お気に入りの写真家や写真について、なぜ好きなのかをしっかりと言語化できるように写真としっかりと向き合ってくること。
	授業内容	学生による気になるマグナム写真家発表会
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
8	事前学習	『ハゲワシと少女』と呼ばれる写真と向き合いながら、自身が現場に立ったつもりであれこれ想像してくる
	授業内容	報道写真の倫理1。『ハゲワシと少女』に見る「撮るべきか、助けるべきか」の議論
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
9	事前学習	全米報道写真家協会の倫理コードを熟読してくる
	授業内容	報道写真の倫理2。全米報道写真家協会の倫理コードから学ぶ最先端の報道写真のルール
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
10	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	報道写真の倫理3。写真を撮るといふ攻撃的な行為について考える
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
11	事前学習	今も最前線で活躍する写真家ジェームズナクトウェイについて調べてくる
	授業内容	ジェームズナクトウェイの戦場のフォトグラファー前編
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
12	事前学習	今も最前線で活躍する写真家ジェームズナクトウェイの写真をできるだけたくさん見てくる
	授業内容	ジェームズナクトウェイの戦場のフォトグラファー後編
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
13	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	ネット時代の報道写真。写真と映像の共存
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
14	事前学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする
	授業内容	好きなこと、気になることを徹底的に掘り下げてみる
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする

15	事前学習	現代社会が抱える問題のなかで、こういったテーマならば写真表現が合うのではないか？というテーマを探してみる
	授業内容	報道カメラマンになったつもりで、現代社会と向き合い、自分なら今何を撮りたいのか、企画書を書いてみる
	事後学習	新聞や雑誌、ネットなどで日々の報道写真をチェックする

科目名	福祉契約論	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	この講義では、少子高齢化が家族や社会にもたらす影響やその法的問題について扱います。具体的には、高齢化が進展し、家族の姿が変容する中、高齢者がどのような問題を抱え、高齢期の暮らしを誰がいかに支えていくのかについて考えていきます。高齢者の話は、学生の皆さんにとってはまだ先のことのように思えるかもしれませんが避けては通れません。問題の本質を理解し、その難問につきいかなる解決手段があるのかを考えてみます。			
授業目的・ 到達目標	この講義では、現行民法には規定のない、福祉サービスの提供に関する契約（いわゆる福祉契約）の観点から検討してみることが第一の目的とします。福祉契約は、自由競争・市場原理の世界における手段としての契約とは異なり、契約の新たな一面を感じさせるものであり、発展途上にある学問です。あまり気負うことなく、高齢者問題を考える1つのきっかけになるというくらいの気持ちで、ゆっくりと学んでいきましょう。 契約、高齢者福祉の基本的な考え方を身につけることを到達目標とします。			
履修条件	講義には必ず出席すること、最新の六法を持参すること、わからないことができたときは、面倒がらずに調べるか、もしくは、質問をすること。			
授業方法	基本的には、レジュメを配布し講義形式で進めていきます。ただし、現場の最新情報につき専門家から話を伺います。また、講義の中で、認知症サポーター養成講座も開催し、皆さんには認知症サポーターになってもらう予定です。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業態度、課題の提出、小テスト等を総合的に評価します。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	放送大学教育振興会	家族と高齢社会の法	川島志保・関ふ佐子
	備考			
参考書	初回の講義で、いくつか紹介します。			
オフィス アワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館7F1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。 （※相談の上、別の日時に設定することもあります。）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、まえがきを読んてくること
	授業内容	ガイダンス（※当日は、六法を持参すること）
	事後学習	レジュメを読み、六法の読み方等について復習しておくこと
2	事前学習	テキストの1、2、4、5章にざっと目を通すこと
	授業内容	変容する家族が直面する課題 そもそも家族とは？
	事後学習	レジュメ、テキストの該当箇所について復習すること

3	事前学習	家族にまつわる新聞記事等の収集
	授業内容	契約の基本①－契約とは何か
	事後学習	レジュメを復習すること
4	事前学習	家族、消費者契約法にまつわる新聞記事等の収集
	授業内容	契約の基本②－消費者契約法と高齢者の取引トラブル
	事後学習	レジュメを復習すること
5	事前学習	高齢者にまつわる新聞記事等の収集、高齢者問題についてどのような問題が具体的にあるのかを考えてくること
	授業内容	福祉契約とは何か－定義、特徴、課題 高齢者問題にはいかなる問題があるのか。
	事後学習	レジュメを復習すること
6	事前学習	高齢者にまつわる新聞記事等の収集、 テキストの7章を読んでくること
	授業内容	超高齢社会の現状認識、高齢社会を支える法理念 レポートの書き方
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること
7	事前学習	レポートテーマについて考えてくること テキストの8章を読んでくること
	授業内容	老いじたくを支える法制度①－成年後見制度 レポートテーマの発表①
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること
8	事前学習	レポートテーマについて考えてくること テキストの9章を読んでくること
	授業内容	老いじたくを支える法制度②－相続と遺言 レポートテーマの発表②
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること
9	事前学習	レポートテーマの資料収集、参考文献を作成してくること テキストの10、11章を読んでくること
	授業内容	公的年金と社会的扶養、仕事と社会参加 「措置から契約」へとはどのような意味か－介護保険制度の基本的な仕組みを知ろう！
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること
10	事前学習	レポートテーマの資料収集、参考文献を作成してくること テキストの6、13章を読んでくること
	授業内容	縮小する家族と介護 高齢者虐待
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること レポート作成
11	事前学習	レポートテーマの第一章を書いてくること テキストの12章を読んでくること
	授業内容	高齢者の住まいとケア－終の住まいの選び方と契約問題
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること レポート作成
12	事前学習	レポートテーマの第2章を書いてくること テキストの14、15章をよんでくること
	授業内容	高齢期の医療と法、看取りと地域包括ケア 講義のまとめ
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習すること レポート作成
13	事前学習	11回の講義を復習してくること
	授業内容	ゲストスピーカー （住まいの専門家に話をきこう！）
	事後学習	講義の感想及びレポート作成
14	事前学習	認知症にまつわる新聞記事を収集し、読んでくること
	授業内容	ゲストスピーカー （認知症サポーターになろう！）
	事後学習	講義の感想及びレポート作成

15	事前学習	セーフティーネット法について調べてくること
	授業内容	ゲストスピーカー (福祉の専門家に話をきこう！)
	事後学習	講義の感想及びレポート作成

科目名	福祉政策	担当者	山村 りつ	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	社会福祉に関する政策について講義を行う。社会福祉についての概観とともに、それに関連する政策を、歴史的な動向と、その背景にある思想や理念の変化とともに考察していく。その後、現代の福祉政策において重要となる個別の理論や思想について整理するとともに、個別領域にも目を向け、実際の政策策定およびその運用における現実的課題との対応を捉え、今後の福祉政策における考察に必要な知識的理解の基礎を得る。				
授業目的・ 到達目標	福祉政策の要素と基礎となる概念、拠って立つべき理念と、現在の福祉政策に対する自分の意見をもち、表明できるようになること。				
履修条件	主に公共政策学科の学生を対象に授業を構成するが、他学部の学生も歓迎します。				
授業方法	講義方式を取る。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		60%	詳細は授業内で説明する。	
	平 常 評 価		40%	授業への参加（意見表明の状況）および授業後に回収するコメントカードの内容を対象とし、表現の適切さを踏まえたうえで評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	有斐閣アルマ		社会福祉政策－現代社会と福祉	坂田周一
	備考	購入は必須ではありません			
参 考 書	『社会保障法令便覧2016』労働調査会発行。 その他、当該授業で参考とする資料についてはその前回授業で指定していく。				
オフィス アワー	火曜3限（それ以外は要相談） ※ただし、上記時間帯であっても事前にメール（yamamura.ritsu@nihon-u.ac.jp）等で連絡すること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	オリエンテーション:福祉政策の基本的知識と理解
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
2	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	福祉政策の機能と役割
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察

3	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	福祉政策における理論
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
4	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	個別領域①：児童に関する福祉政策
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
5	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	個別領域②：障害者に関する福祉政策
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
6	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	個別領域③：高齢者に関する福祉政策
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
7	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	個別領域④：生活困窮者に関する福祉政策
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
8	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	個別領域⑤：拡大する福祉政策
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
9	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	社会福祉実践の価値と政策のあり様
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
10	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	福祉政策と行政組織
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
11	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	国際社会と福祉政策
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
12	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	福祉政策における二項対立構造
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
13	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	福祉政策のプロセス
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察
14	事前学習	前回の授業で指示する
	授業内容	福祉政策の担い手
	事後学習	授業内で指示するテーマについての考察

15	事前学習	これまでの授業の総復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業内で扱った課題についての復習

科目名	物権・担保物権法	担当者	金光 寛之	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	物権とは物に対する権利であり、物を直接・排他的に支配する権利である。 この物権は１０種類あり、講義では各々の物権について学ぶ。			
授業目的・到達目標	民法は、「私法の基礎をなしている一般法」であるとされている。そして民法は、社会生活関係を規制している法であると考えられる。本講義は、民法第一編総則と第二編物権を学習対象とし、総則と物権の基本原理の理解を目標とする。民法総則・物権法の講義を履修することで日常で起きている様々な法律関係について考えられることを到達目標とする。また本講義を受講することにより公務員試験及び様々な資格試験の基本的な内容を網羅することも到達目標とする。			
履修条件	特になし			
授業方法	テキストを参照しつつ講義を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	期末試験にて総合的評価をする。	
	平常評価	0%	受講生の人数および出席者の人数によっては授業参加度を加味することもある。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012	法研出版	民法総則・物権法	山川一陽 小野健太郎
	備考			
参考書	なし			
オフィスアワー	電子メール等にて適宜相談を受ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	物権とは何かについてテキストを読んでおく。
	授業内容	物権の意義、及びその対象
	事後学習	物権の意義、及びその対象に関する講義についてテキスト等を読み内容を確認する。
2	事前学習	所有権の移転時期についてテキストを読んでおく。
	授業内容	物権変動
	事後学習	所有権の移転時期に関する講義内容についてテキスト等を読む。

3	事前学習	不動産取引における対抗要件についてテキストを読んでおく。
	授業内容	不動産取引と登記
	事後学習	不動産取引における対抗要件に関する講義内容についてテキスト等を読む。
4	事前学習	登記簿の構造及び登記手続と権利証についてテキストを読む。
	授業内容	登記制度概説①
	事後学習	登記簿の構造及び登記手続と権利証に関する講義内容についてテキスト等を読む。
5	事前学習	登記の有効要件、登記請求権についてテキスト等を読む。
	授業内容	登記制度概説②
	事後学習	登記の有効要件、登記請求権の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
6	事前学習	動産取引における対抗要件についてテキスト読む。
	授業内容	動産取引と占有
	事後学習	動産取引における対抗要件講義内容についてテキスト等を読み確認する
7	事前学習	占有権の意義と機能についてテキストを読む。
	授業内容	占有権
	事後学習	占有権の意義と機能の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
8	事前学習	所有権の性質と内容についてテキストを読む
	授業内容	所有権①
	事後学習	所有権の性質と内容の講義内容についてテキストを読む確認をする。
9	事前学習	共同所有についてテキストを読む。
	授業内容	所有権②
	事後学習	共同所有の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
10	事前学習	用益物権ついてテキストを読む。
	授業内容	用益物権
	事後学習	用益物権の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
11	事前学習	担保制度の概要についてテキストを読む
	授業内容	債務の履行確保と担保制度
	事後学習	担保制度の概要の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
12	事前学習	法定担保物権についてテキストを読む。
	授業内容	法定担保物権
	事後学習	法定担保物権の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
13	事前学習	約定担保物権についてテキストを読む。
	授業内容	約定担保物権
	事後学習	約定担保物権の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
14	事前学習	非典型担保についてテキストを読む。
	授業内容	非典型担保
	事後学習	非典型担保の講義内容についてテキスト等を読み確認する。

15	事前学習	今までの講義内容に関してテキスト等で確認する。
	授業内容	まとめ・質問受付
	事後学習	講義で説明された内容についてテキスト等で確認する。

科目名	物権・担保物権法	担当者	野中 貴弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法典の第2編「物権」に定められたルールについて学ぶ。具体的には、まず所有権の意義や効力などをおさえた後、こうした所有権をはじめとする物権が複数に譲渡等された場合の優先関係に関するルールや、お金を借りるにあたって設定される抵当権についてのルールを学ぶ。講義では、細かい知識については省略することで、物権・担保物権法の重要部分に時間をかけて丁寧に説明する。				
授業目的・到達目標	授業で扱った制度・論点について、適宜自身で具体例を挙げることができるレベルで理解をし、かつまたそれを他者に論理的に説明できるようになることを目的とする。また、事例問題の中から法的問題を発見できるようになることも目的とする。より具体的には、物権・担保物権法の分野に関しては、行政書士試験や公務員試験等の各種資格試験にも対応できるようになる。				
履修条件	前期の「民法総則」を履修済みであること。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、定期的に演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	基礎知識が身についているかを判定する。正誤問題（誤りの場合には理由も書く）と簡易記述式問題とを予定している。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2005年	有斐閣		物権一エッセンシャル民法2	永田眞三郎ほか
	備考				
参考書	道垣内弘人『リーガルバイシス民法入門〔第2版〕』（日本経済新聞出版社・2017年）				
オフィスアワー	水曜日13:00-17:00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（本館6階1608） nonaka.takahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダから第1回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと 教科書1－4頁を読んでおくこと
	授業内容	講義案内、民法における物権法の位置付け、物権・担保物権法とは何か
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
2	事前学習	教科書の5－19頁を読んでおくこと
	授業内容	所有権①
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第4回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること

3	事前学習	教科書の 2 0－2 5 頁を読んでおくこと
	授業内容	所有権②
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 4 回講義の際に扱う演習（第 1 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
4	事前学習	教科書の 2 6－3 2 頁を読んでおくこと あらかじめ演習（第 1 回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	所有権③、演習（第 1 回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
5	事前学習	教科書の 4 5－6 2 頁を読んでおくこと
	授業内容	物権変動①（不動産）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 9 回講義の際に扱う演習（第 2 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
6	事前学習	教科書の 6 2－7 0 頁を読んでおくこと
	授業内容	物権変動②（不動産）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 9 回講義の際に扱う演習（第 2 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
7	事前学習	教科書の 7 0－7 6 頁を読んでおくこと
	授業内容	物権変動③（不動産）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 9 回講義の際に扱う演習（第 2 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
8	事前学習	教科書の 7 6－9 2 頁を読んでおくこと
	授業内容	物権変動④（動産、即時取得も含む）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 9 回講義の際に扱う演習（第 2 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
9	事前学習	教科書の 9 3－1 2 2 頁を読んでおくこと あらかじめ演習（第 2 回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	演習（第 2 回）、用益物権、占有
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
10	事前学習	教科書の 1 2 3－1 4 1 頁を読んでおくこと
	授業内容	抵当権①
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 1 2 回講義の際に扱う演習（第 3 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
11	事前学習	教科書の 1 4 2－1 7 8 頁を読んでおくこと
	授業内容	抵当権②
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第 1 2 回講義の際に扱う演習（第 3 回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
12	事前学習	あらかじめ演習（第 3 回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	演習（第 3 回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
13	事前学習	教科書の 1 7 9－2 2 1 頁を読んでおくこと
	授業内容	抵当権以外の担保物権
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
14	事前学習	これまでのレジュメや教科書を見ながら、あらかじめ演習（第 4 回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	演習（第 4 回）をしながら重要部分の復習
	事後学習	演習問題の回答を整理する 分からない箇所があれば、教科書やレジュメ、さらには図書館にある文献も参照しながら整理する

15	事前学習	これまでのレジメを読み返し、理解していない箇所をあらかじめ明らかにしておくこと
	授業内容	総括と質問受付け
	事後学習	レジメを整理する

科目名	平和学	担当者	佐渡友 哲	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	平和学（Peace Studies）は、第二次世界大戦後の冷戦や核戦争の恐怖のなかから、主として欧米の大学で始められた比較的新しい学問分野である。日本でも現在、４５の大学に平和学講座が常設されている。前半で平和学の始まりとその発展について学び、現代の紛争、テロ、貧困、格差、環境など多様な視点から「平和」の意義を理解する。後半では、ワークショップ形式で受講生とともに、それぞれのテーマで平和創造について考えてみたい。				
授業目的・到達目標	「平和」という言葉の多様性を理解するために、貧困、格差、環境、人権、難民などの視点から現代の「平和ならざる状態」について分析・議論して、各自が平和の意義について考えることを目的とする。到達目標は①「平和」という言葉の多様性を認識すること。②これまでの「平和学」の主要テーマと時代背景を理解すること。③現代世界における「平和」への取り組みについて個人的に見識をもつこと。				
履修条件	①原則として政治経済学科2年生以上を対象とする。②授業はアクティブ・ラーニング（能動的学修）で行われる。③毎回休まず出席できる、主体性のある学生を対象とする。④指定された資料は必ず予習して授業に備えること。				
授業方法	スライド・映像を使用して説明し、グループ討論を中心としたアクティ・ブラーニングで行われる。受講生は、指定された資料を読み、課題レポートを提出し、討論・発表などで積極的な授業参加が求められている。。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験			①講義中に学んだ基本的な知識と専門的な概念を理解しているか。②問題を把握し独自の論理構成で記述されているか、などで判定する。	
	平常評価		100%	期末レポート（５０％）／授業への参加度・発言・報告・「課題レポート」・「リアクション・ペーパー」（５０％）などで総合的に判定する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2016年	『政経研究』第53巻第2号	平和学講義テキスト「平和学の発展過程と今日的課題」		佐渡友 哲
	備考	「平和学講義テキスト」、資料論文などは学生教員共有フォルダから検索し、ダウンロードして利用すること。学生教員共有フォルダ⇒「さ」⇒「佐渡友」⇒「教材配布【平和学】」⇒「平和学講義テキスト」など			
参考書	「平和学講義テキスト（平和学の発展過程と今日的課題）」の中に掲載されている。多数の資料論文は参考書として利用できる。				
オフィスアワー	毎週火曜日１３：００～１４：３０、９号館研究室にて。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「平和学講義テキスト」第1節（1～5頁）、講義スライド①を熟読し授業に備えること。
	授業内容	ガイダンス：平和学はどのような学問なのか ①【グループ討論】あなたにとって「平和」とはなんですか？ ②平和学は何をどのように研究するのか ③平和学誕生の背景とその特徴
	事後学習	・「平和」に対して人々の共通認識はあるのかについて考えてみよう。 ・あなたの平和を脅かすものは何かについて考えてみよう。
2	事前学習	資料論文「9.11とは何だったのか」、講義スライド②を熟読してグループ討論に備えること。
	授業内容	近代500年間における対立の構図 世界の平和を脅かすものは何だろう ①2001年9.11以後の世界 ②【グループ討論】なぜ若者はテロに向かうのか ③実行犯ムハマド・アタとジハーディ・ジョンの生い立ちから考える
	事後学習	・なぜ若者が「イスラム国（IS）」やテロ集団に引き付けられるのかについて考えてみよう。

3	事前学習	講義スライド③を熟読してグループ討論に備えること。
	授業内容	イスラム世界をどう理解するのか ①【グループ討論】イスラム世界とは？ ②イスラムの宗教と習慣を考える ③イスラム教徒から見た世界とは？ ④今日のテロの時代をどう読むのか
	事後学習	・イスラム教徒から見た世界について再度考えてまとめてみよう。
4	事前学習	「講義テキスト」第4節（10～12頁）、資料論文「構造的暴力と平和」、講義スライド④を熟読して討論に備えること。
	授業内容	「消極的平和」と「積極的平和」 ①第二次大戦後の平和学の展開 ②新しい「平和」概念の登場 ③J. ガルトゥングの直接的暴力と間接的暴力
	事後学習	・J. ガルトゥングの積極的平和について考えてまとめてみよう。
5	事前学習	「講義テキスト」第4節（10～15頁）、資料論文「構造的暴力と平和」、資料論文「The Expanding Tool Chest for Peacebuilders」、講義スライド⑤を熟読して討論に備えること。
	授業内容	構造的暴力と平和学 ①C. アルジャーによる国際社会の構造的暴力 ②C. アルジャーによる積極的平和 ③国連SDG s（持続可能な開発目標）にみる現代の構造的暴力
	事後学習	現代世界における構造的暴力を見つけて分類してみよう。
6	事前学習	講義スライド⑥を熟読して討論に備えること。
	授業内容	経済的不公平と構造的暴力 ①グローバリゼーションの光と陰 ②国際経済システムは途上国にとって公平なのか？ ③世界貿易ルールは途上国にとって公正なのか
	事後学習	・国際経済の不正を是正するためにどのような変革が可能か考えてまとめてみよう。
7	事前学習	資料論文「コモンズをとりもどす」、講義スライド⑦を熟読して討論に備えること。
	授業内容	コモンズから考える平和 ①コモンズとは何か？：伝統的コモンズ／現代のコモンズ／新しいコモンズ ②コモンズの悲劇とは何か？：環境・資源・開発の問題点
	事後学習	・現代の「コモンズの悲劇」はどのような分野で起こっているのか考えてみよう。
8	事前学習	資料論文「コモンズをとりもどす」、講義スライド⑧を熟読して討論に備えること。
	授業内容	映像で観る世界の構造的暴力 ①アフリカの農民の土地はなぜ収奪されるのか？ ②パームオイルと私たちの生活 ③【グループ討論】何が問題か？ 私たちに何ができるのか？
	事後学習	・私たちの生活と関わっている構造的暴力についてふりかえりまとめてみよう。
9	事前学習	「講義テキスト」第5節（12～22頁）、講義スライド⑨を熟読して討論に備えること。
	授業内容	ワークショップ（1）： 国際協力による「構造的暴力の除去」について考える 【グループ討論】国際協力とは何だろう？
	事後学習	・国家、企業、市民にできる国際協力についてそれぞれ考えてまとめてみよう。
10	事前学習	講義スライド⑩を熟読して討論に備えること。
	授業内容	ワークショップ（2）： なぜ私たちが国際協力に関わるのか？ 【グループ討論】映像で観るバングラデシュの子どもたち
	事後学習	・途上国の子どもたちに何ができるのか考えてみよう。
11	事前学習	講義スライド⑩を熟読して討論に備えること。
	授業内容	ワークショップ（3）： 構造的暴力を除去するための世界的目標について考える 【グループ討論】SDG sについてのランキング
	事後学習	・先進国が関わったSDG sについてふりかえりまとめてみよう。
12	事前学習	講義スライド⑪を熟読して討論に備えること。
	授業内容	ワークショップ（4）： チョコレートと構造的暴力 【グループ討論】【ロールプレイ】カカオ豆の生産地で何が起きたいのか？
	事後学習	・世界の児童労働について実態とその解決策について考えてみよう。
13	事前学習	講義スライド⑫を熟読して討論に備えること。
	授業内容	ワークショップ（5）： 構造的暴力を除去するための「BOPビジネス」を考える 【グループ討論】「BOPビジネス」の事例から実践まで
	事後学習	・世界でどのようなビジネスが可能か考えてみよう。

14	事前学習	講義スライド⑬を熟読して討論に備えること。
	授業内容	ワークショップ（6）： 音楽は「平和」に貢献できるのか？（DVD鑑賞） 【グループ討論】私たちににとって音楽って何なのか？
	事後学習	・音楽は社会に平和にどのような影響があるのか考えてみよう。
15	事前学習	講義スライド⑭を熟読して討論に備えること。
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	期末レポートに備え、これまでの学修をふりかえってみよう。

科目名	法学 I	担当者	上野 幸彦	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学年進行により法律分野のさまざまな専門科目を学修するうえで、共通に必要とされる基本的な知識・概念や、法の基本的な考え方を中心に説明する。六法に載っている条文から、法の規範的特徴やその機能を確認し、裁判システムと関連させながら、法概念における手続的特徴や解釈・適用などの問題について説明する。				
授業目的・到達目標	【授業目的】法律の専門分野の学習に先立って、それらに共通する法ないし法学上の基本的な知識や概念について学修するとともに、法の目的、構造、機能を一般的に分析することにより、法の特質、法的な観点や判断の特徴や、社会と法との基本的な関係性について理解し、適切に説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】社会的に生起する出来事に対して、法の基礎的な概念・知識、理解にもとづいて、法的な観点から分析し、一定の基本的な帰結を導き出すことができるようになる。				
履修条件	特になし				
授業方法	基本的に、教科書にもとづいて講義の形式で行う。なお、毎回、六法は必携のこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	実施せず	
	平 常 評 価		100%	演習課題（２５％）、レポート（２５％）、授業内テスト（５０％）	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	２０１８年	成文堂	国家と社会の基本法（第４版）		上野幸彦・古屋等
	備考				
参 考 書	必要に応じて紹介する。				
オフィス アワー	授業終了後、30分程度応接する。これ以外に、メールによる質問等を随時受け付ける。 メールアドレス：ueno.yukihiko@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	六法を手にとって読み、何が書いてあるのか、どういう意味なのかを考える。
	授業内容	「条文」には、どんなことが書かれているのだろうか ・・・具体的な条文に触れながら、基本的な読み方などについて学ぶ。
	事後学習	一般の用法とは異なる法令上の用語法について復習し、確認する。
2	事前学習	いくつかの条文を選んで、「誰が」、「誰に」対して、どんなことを指示しているのかをチェックする。
	授業内容	「条文」は、どのような意味をもっているのだろうか ・・・条文の記述を通じて、ルール、規範とは何かを学ぶ。
	事後学習	授業で取り上げたさまざまな規定に関し、その規範的特性を確認し、その機能を分析して、ノートに整理する。
3	事前学習	教科書を事前に読み、法と呼ばれるものには、さまざまな基準により分類可能であることを確認する。
	授業内容	法の分類 ・・・法にはいろいろな種類のものが存在している。これらを整理して分類し、それぞれの特徴について学ぶ。
	事後学習	演習課題1に答えて、次の授業時に提出する。
4	事前学習	教科書を事前に読み、法と道徳との共通性と相違点について、理解しておく。
	授業内容	法と道徳 ・・・両者の区別に関する議論を通じて、法の特徴を明確に理解する。
	事後学習	「法の外面性・道徳の内面性」といわれる場合に、どのような意味・内容を有するのか、復習する。

5	事前学習	ごみのポイ捨てや歩行喫煙を禁止する自治体の条例による規制について、なぜそのような規制を行うのか、理由について考える。
	授業内容	法による道德の強制 ・・・道德違反のみを根拠にして法による強制を行うことの是非について考える。
	事後学習	法と道德に関連する問題をテーマとするレポート課題に取り組む。
6	事前学習	教科書を事前に読み、歴史的な法と裁判との関係について、理解しておく。
	授業内容	法と裁判 ・・・歴史的に法と裁判は密接に関連して展開されてきた。裁判と法の関係そして裁判制度について学ぶ。
	事後学習	演習課題2に答えて、次の授業時に提出する。
7	事前学習	教科書を事前に読み、裁判する場合の規準としての法として、どのようなものがあるのかを確認する。
	授業内容	法源 ・・・裁判する際の規準足り得るものを法源という。とくに慣習や判例などの法源性について考える。
	事後学習	法の種類とも関連させながら、法源について整理し確認する。
8	事前学習	判例を読んで、裁判官が具体的な結論を導き出すうえで、どのような点を考慮しているのかについて考える。
	授業内容	法解釈の技法 ・・・法規の適用を行うにあたり、法規を解釈する必要がある。この技法を中心に学ぶ。
	事後学習	演習課題3に答えて、次の授業時に提出する。
9	事前学習	指示された判例の事案の概要および要旨を整理し、各自の考えをまとめておく。
	授業内容	具体的な判例における法の解釈適用（1） ・・・憲法に関する事件を取り上げて、憲法解釈の特徴を学ぶ。
	事後学習	法的な争点、裁判所の判断の特徴、その当否について、ノートにまとめる。
10	事前学習	指示された判例の事案の概要および要旨を整理し、各自の考えをまとめておく。
	授業内容	具体的な判例における法の解釈適用（2） ・・・民事に関する事件を取り上げて、裁判所の判断の特色を考える。
	事後学習	法的な争点、裁判所の判断の特徴、その当否について、ノートにまとめる。
11	事前学習	指示された判例の事案の概要および要旨を整理し、各自の考えをまとめておく。
	授業内容	具体的な判例における法の解釈適用（3） ・・・刑事に関する事件を取り上げて、裁判所の判断の特色を考える。
	事後学習	演習課題4に答えて、次の授業時に提出する。
12	事前学習	教科書を事前に読み、一般的な正義と法的な正義との違いについて考える。
	授業内容	法の理念 ・・・法が追求する理念としての正義や法的安定性とは何かを学ぶ。
	事後学習	ロールズの「公正としての正義」の特徴と、現代法との関係について、ノートに整理する。
13	事前学習	教科書を事前に読み、法システムとその作動に係わる存在として、どのようなものがあるのかを理解する。
	授業内容	システムとしての法 ・・・実定的な法のシステムを分析し、その機能と作動について学ぶ。
	事後学習	演習課題5に答えて、次の授業時に提出する。
14	事前学習	「法とは何か」という問いについて、各自、どのように答えるのか、ノートにまとめる。
	授業内容	「法とは何か」 ・・・法の世界の特質について学ぶ。 ＊授業内テスト実施
	事後学習	授業内テスト問題について、各自見直しを行い、正解を導き、ノートに記載する。
15	事前学習	教科書を事前に読む。
	授業内容	日本法の歴史と課題 ・・・日本法の発展を概観し、今日の課題について考える。 ＊授業内テスト解説
	事後学習	この授業を通じて、法について学修し得たことを考えて、まとめる。

科目名	法学 I	担当者	金光 寛之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講義では学生が専門科目を学習する前に必要な法律の知識は何かという観点に立って法律の基本的な内容を説明する。			
授業目的・到達目標	この講義は、これから憲法や民法など法律学の専門科目を勉強していく上で、主要な法と法律学についての基礎知識を習得することに主たる目標がある。法学の総論的な内容を学ぶことにより法律の基本的な必要不可欠な内容を理解することを到達目標とする。その他、様々な法律の概要を学ぶことで専門科目を履修する際に理解しやすい状態になることを到達目標とする。			
履修条件	1年次生を対象とする。			
授業方法	テキストを参照しつつ、講義を行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		100%	基本的には筆記試験で評価を決める。
	平常評価		0%	受講生の人数または出席者の人数によって出席をとる場合もある。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年度	芦書房	『プライマリー法学』	茂野隆晴編著
	備考			
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	電子メール等にて適宜相談を受ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを読む
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講義で学んだ内容について復習をする。
2	事前学習	テキストを読み法学の意義について考える
	授業内容	法学の意義
	事後学習	法学の意義とは何であったかを復習する。
3	事前学習	法とは何かについてテキストをよく読み考える
	授業内容	法とはなにか
	事後学習	法とは何かについて身近な事例を通じて考える
4	事前学習	法の効力とその範囲についてテキストをよく読み考える。
	授業内容	法の効力の意義およびその範囲
	事後学習	講義の内容についてもう一度テキスト等をよく読み理解する。

5	事前学習	法の効力の根拠についてテキストをよく読み考える。
	授業内容	法の効力の根拠
	事後学習	講義の内容についてもう一度テキストを読み理解する。
6	事前学習	法と道徳ついてテキストよく読む
	授業内容	法と道徳
	事後学習	法と道徳の関係について日常生活を通じてよく考える。
7	事前学習	法と権利についてテキストをよく読む
	授業内容	法と権利
	事後学習	権利というものがいかなるものかを日常生活を通じて考える。
8	事前学習	法がどのように分類されているかについてテキストをよく読む
	授業内容	法の分類
	事後学習	講義に内容をテキストを通じて振り返る。
9	事前学習	法の解釈とはいかなるものかをテキストをよく読み考える。
	授業内容	法の適用および解釈①
	事後学習	講義の内容をテキストを読み振り返る。
10	事前学習	法の解釈とはいかなるものかをテキストをよく読み考える。
	授業内容	法の適用および解釈②
	事後学習	講義の内容をテキストを読み振り返る
11	事前学習	法と国家についてテキストをよく読む
	授業内容	法と国家（１）
	事後学習	法と国家についてテキストその他の文献をよく読んだうえで復習をする。
12	事前学習	法と国家についてテキストをよく読む
	授業内容	法と国家（２）
	事後学習	法と国家についてテキストその他の文献をよく読んだうえで復習をする
13	事前学習	一般法とは何かについてテキストをよく読む
	授業内容	一般法
	事後学習	一般法について講義内容をテキストその他の文献をよく読んだうえで復習する。
14	事前学習	一般法と特別法との関係についてテキストをよく読む
	授業内容	特別法
	事後学習	一般法と特別法について講義内容を振り返る
15	事前学習	今まで学習した内容についてテキストをよく読む。
	授業内容	まとめ。質問受付
	事後学習	講義全体をまとめる

科目名	法学 I	担当者	小林 忠正	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	法学は法律学への入門の学であり、また手引きの学である。したがってもっぱら法全般に共通し、その基礎となるべき知識を統括的に講義したい。				
授業目的・到達目標	社会人として何よりも必要な、遵法の精神を養うことを目的とするものであるが、法及び法学の必須なその基礎知識を、全般にわたって体系的に理解させるとともに、社会に生起する現象を法的に把握し、判断する資質を涵養させたい。				
履修条件	1年次生を対象とする。				
授業方法	テキストを参照しつつ講義をするが、毎回の講義にノートは必需品である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	法及び法学の基礎知識が理解できているかを判定する。	
	平常評価		20%	授業への参加の度合いによって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	成文堂		『ステップアップ法学（第二版）』	小林忠正
	備考				
参考書	講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	第一部、第二部：水曜日 13時30分～14時30分、2号館1階講師室。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認をしておくこと。
	授業内容	講義計画の説明
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
2	事前学習	教科書の第1章法の起源と発展の4、近代社会の法（P15～）、5、現代社会の法（P20～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	近代法の原則と現代法によるその修正
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
3	事前学習	教科書の第2章法の概念（P24～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の概念
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
4	事前学習	教科書の第3章法と他の社会規範の1、法と道徳（P29～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法と他の社会規範（1）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。

5	事前学習	教科書の第3章法と他の社会規範の2、法と宗教（P 3 4～）、3、法と習俗（P 3 6～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法と他の社会規範（2）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
6	事前学習	教科書の第4章法の妥当根拠と法理念の1、法の妥当根拠（P 3 8～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の妥当根拠と法理念（1）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
7	事前学習	教科書の第4章法の妥当根拠と法理念の2、法理念（P 4 3～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の妥当根拠と法理念（2）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
8	事前学習	教科書の第5章法源の理論の1、法源の意味（P 5 4～）、2、成文法（P 5 5～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法源の理論（1）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
9	事前学習	教科書の第5章法源の理論の3、不文法（P 6 1～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法源の理論（2）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
10	事前学習	教科書の第6章法の分類の2、法の内容にもとづく分類（P 6 7～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の分類（1）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
11	事前学習	教科書の第6章法の分類の3、効力範囲にもとづく分類（P 7 2～）、4、効力の強行性にもとづく分類（P 7 4～）、5、成立資料にもとづく分類（P 7 6～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の分類（2）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
12	事前学習	教科書の第8章法の適用（P 8 3～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の適用
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
13	事前学習	教科書の第9章法の解釈の2、法解釈の方法の種類（P 8 9～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の解釈（1）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
14	事前学習	教科書の第9章法の解釈の3、法解釈の目的（P 9 7～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の解釈（2）
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。
15	事前学習	教科書の第7章法の一般的効力（P 7 8～）と、第10章法の消滅（P 1 0 0～）を熟読し予習しておくこと。
	授業内容	法の一般的効力と法の消滅
	事後学習	上記部分の授業内容を復習しておくこと。

科目名	法学 I	担当者	佐々木 良行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、とかく抽象的になりがちな法学に多少でも興味をもって親しみを感じることができるようにするために、できる限り具体的な問題に即して説明を行う。なお、最近の最高裁判例を紹介したり、時事問題等についても法的な観点からコメントする。				
授業目的・到達目標	本授業は、社会統制の一つである法を、生きた社会との関連の中で捉えるべく、「身近なところに生きているものとしての法」を理解してもらうことを目的とする。本授業を履修することにより、法的な基礎知識及び法解釈の基本を理解することができるようになる。				
履修条件	六法（平成30年版のものであれば、どこの出版社でも構わない）及び指定の教科書を予め購入・持参の上、授業に臨むこと。また、授業の妨げとなる行為（私語、スマートフォン等の電子機器の使用）を禁ずる。				
授業方法	指定の教科書や配布資料を参照し、質疑応答を交えながら授業を進める。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		90%		法的な基礎知識や法解釈の基本的事項を十分に理解しているかを判断するために、前期末に筆記試験を行う。
	平常評価		10%		授業中の質疑応答、発言の積極性等を総合して評価する。なお、授業日数の2/3以上の出席数がない場合には成績評価の対象としない。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	有斐閣		法学入門 第6版補訂版	末川博編
	備考				
参考書	使用しない				
オフィスアワー	水曜日の午後14時～15時30分までの間、13号館（法科大学院研究棟）4階の1346研究室において応対する。その際には、予めメールにて連絡されたい。sasaki.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の1頁から21頁までを読んでおくこと
	授業内容	①社会と法と法学の関係、②法学の対象・方法・目的を理解する。
	事後学習	法学を学ぶ意義を具体的に説明できる。
2	事前学習	教科書の21頁から42頁までを読んでおくこと
	授業内容	①社会と規範の関係、②法と道徳との違い、③実定法と自然法、④近代法の三原則を理解する。
	事後学習	法と道徳の違い、近代法の三原則を説明できる。
3	事前学習	教科書の43頁から55頁までを読んでおくこと
	授業内容	法と裁判（民事裁判・刑事裁判等）を理解する。
	事後学習	裁判制度全般を具体的に説明できる。
4	事前学習	教科書の56頁から80頁までを読んでおくこと
	授業内容	法源（制定法、慣習法、判例法、条理）を理解する。
	事後学習	法源の意味と種類を説明できる。

5	事前学習	教科書の72頁から80頁までを読んでおくこと
	授業内容	法の適用と解釈を理解する。
	事後学習	法の適用と解釈を事例を挙げて説明できる。
6	事前学習	教科書の81頁から104頁までを読んでおくこと
	授業内容	①近代憲法の原理、②明治憲法と日本国憲法の比較、③権力分立（国会、内閣、裁判所）を理解する。
	事後学習	日本国憲法の基本原理を説明できる。
7	事前学習	教科書の105頁から129頁までを読んでおくこと
	授業内容	①基本的人権と公共の福祉、②憲法の人権規定（法の下の平等、思想・良心・信教の自由、表現の自由、学問の自由等）を理解する。
	事後学習	日本国憲法における人権規定の概略を説明できる。
8	事前学習	教科書の130頁から139頁までを読んでおくこと
	授業内容	①刑事責任の意味、②犯罪と刑罰に関する考え方、③罪刑法定主義を理解する。
	事後学習	刑事責任と民事責任の違い、罪刑法定主義の意義を説明できる。
9	事前学習	教科書の140頁から151頁までを読んでおくこと
	授業内容	①家族法の近代化、②夫婦、③親子、④扶養と相続を理解する。
	事後学習	家族法（親族法・相続法）の概略を具体的に説明できる。
10	事前学習	教科書の152頁から164頁までを読んでおくこと
	授業内容	①権利能力の意味、②契約自由の原則、③契約の成立・効力等を理解する。
	事後学習	権利能力の意義、契約自由の原則の意義とその内容を具体的に説明できる。
11	事前学習	教科書の165頁から175頁までを読んでおくこと
	授業内容	①物権と債権の違い、②財産権の保障とその制約を理解する。
	事後学習	財産権（物権、債権）の違いを具体的に説明できる。
12	事前学習	教科書の176頁から187頁までを読んでおくこと
	授業内容	①交通事故から生ずる民事責任・刑事責任、②過失責任と無過失責任の違いを理解する。
	事後学習	民事責任と刑事責任の違い、過失責任主義を具体的に説明できる。
13	事前学習	教科書の188頁から201頁までを読んでおくこと
	授業内容	①公害の意義を前提に、②環境をめぐる法規制とその実際を理解する。
	事後学習	環境をめぐる法規制・条例の概略を具体的に説明できる。
14	事前学習	教科書の202頁から212頁までを読んでおくこと
	授業内容	①労働法出現の背景、②労働法の内容、③労働者の諸権利を理解する。
	事後学習	労働法の内容と労働者の権利の概要を具体的に説明できる。
15	事前学習	これまでの授業で配布したレジュメを参考に、教科書の1頁から212頁までを読みかえしておくこと
	授業内容	これまでの授業における学修項目の理解度を確認するとともに、項目相互間の関連性を踏まえ、発展的・応用的な観点からの検討内容の理解を目指す。
	事後学習	これまでの授業における学修項目の理解度を前提に、項目相互間の関連性を踏まえた説明ができる。

科目名	法学 I	担当者	清水 恵介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	消費者問題等の具体的な事例や法制度の検討を通じて、解釈論や立法論についての基礎を学習する。第2回の授業において、法学の学習に求められるリーガルリサーチを学び、自分で授業に関連する判例や文献を調べたうえで積極的に授業に参加することが求められる。					
授業目的・到達目標	法律家になるために必須となる法学及び法律実務の素養（ものの考え方）を身につけることを目的とする。法的議論を理解し、法律家としての視点で適切な論評をすることができるようになること。					
履修条件	法職課程。					
授業方法	一定のテーマにつき、1週目に問題提起的な議論を、2週目に議論の回を設け、各テーマの考察に丁寧に取り組む。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		レポートを課す。発言の積極性及びレポートによって判断する。講義日数の2/3以上の出席数がなければ、成績評価の対象としない。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	指定をしない。					
オフィスアワー	当該授業に関する質問を、授業期間中の火曜日12時～13時に研究室で受け付ける。ただし、オフィスアワーを利用した質問を希望する学生は、ガイダンスの際に教示するメールアドレス宛てに、質問の概要及び希望日を事前に通知し、希望者の競合等により対応不能である旨の回答がない場合であることを条件とする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に図書館等で法学についての入門書等に簡単に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回以降の授業に備え、条文や判例を読み法律の言葉遣いに慣れるようにする。
2	事前学習	法情報の源として何があり、それを調べるうえで何が必要であるかについて、事前段階での考えをまとめておく。
	授業内容	〔リーガルリサーチ〕DBの使用法等、リーガルリサーチの基本を会得してもらう。
	事後学習	授業で学習した方法に従って、特定の法情報を調査してみる。
3	事前学習	学生自らが被害者となり得るような場面として、消費者被害の場면을いくつか想定しておく。
	授業内容	〔消費者問題とその対応〕消費者問題の実態とその具体的対応について説明する。
	事後学習	消費者問題への一般的な対応をまとめ、問題の回避や解決の重要性を考える。
4	事前学習	消費者問題に関する具体的な事例を読み、その対応について答えられるようにしておく。
	授業内容	〔消費者問題とその対応〕成年年齢引下げ論も視野に入れつつ、学生に身近な消費者問題について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	上記事例に対する具体的な法的処理のあり方をまとめ、法的知識・思考の重要性を考える。

5	事前学習	事前に指定された判例を読んで、課題として出した設問の回答を考えてくる。自分の頭で考えたことを言えるようにしてくること。
	授業内容	〔法解釈の方法〕いくつかの判例を読んできてもらい、法解釈の方法を説明する。
	事後学習	法解釈を現実に使えるようになる方法について自分なりに考える。
6	事前学習	先週の議論の内容をおさらいし、先週の議論について、当てられたら答えられるようにしておく。
	授業内容	〔法解釈の方法〕法解釈の在り方について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	法解釈という方法の限界について考える。
7	事前学習	私人間における法とはどのような法が想定されているか、整理しておく。
	授業内容	〔私人間における法〕私人間において、どのような法がどのような場合に適用されるのか。事例を基に説明する。
	事後学習	次週に備え、私人間における法適用の目的や特徴を自分なりに考えておく。
8	事前学習	私人間における法適用の目的や特徴について考えたことを整理し、疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	〔私人間における法〕私人間における法について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	私人間における法の適用について、自分なりに理解し、言葉で説明ができるようにする。
9	事前学習	法律小論文の書き方について、事前段階での考えをまとめておく。
	授業内容	〔法律小論文の書き方〕法律職国家試験で要求される法律小論文の書き方について説明する。
	事後学習	形式・実質両面から、法的知識とは別に、法律小論文を作成する能力を身に付けることの重要性を考える。
10	事前学習	法律学に関する具体的な事例問題について、事前に論述式での解答を用意する
	授業内容	〔法律小論文の書き方〕実際に法律小論文を書いてきてもらい、これを踏まえて議論する。
	事後学習	添削された各自の解答につき、授業での視点を踏まえて何が足りなかったのかを考える。
11	事前学習	課題の設問の答えを考えてくる。自身の頭で考えたことを言えるようにしてくること。
	授業内容	〔解釈論と立法論〕特定の立法を題材にして、解釈論の限界と立法の方法を説明する。
	事後学習	解釈論と立法論の相違点を一応理解する。
12	事前学習	先週の議論の内容をおさらいし、先週の議論について、当てられたら答えられるようにしておく。
	授業内容	〔解釈論と立法論〕解釈論と立法論の違い等に関して、質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	解釈論と立法論の相違点を自分なりに他者に説明できる程度まで理解する。
13	事前学習	なぜ裁判という手続によって法の実現が必要なのか考えておく。
	授業内容	〔法の実現〕裁判による法の実現がなぜ必要か、民事上の救済と刑事上の制裁がなぜ裁判に基づく必要があるのか説明する。
	事後学習	法がどのような手続に基づいて実現されるのか、また、何故そのような手続が必要なのかを考えておく。
14	事前学習	裁判による法の実現に関し、第13回の授業内容を整理しておく。
	授業内容	〔法の実現〕裁判による法の実現に関して、質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	裁判による法の実現に関し、どのような手続が用意されているか、体系的に理解し、説明できるようにする。
15	事前学習	第14回までの授業で扱った解釈論や立法論について、確認しておく。
	授業内容	〔まとめ〕法律家による考え方の確認をする。
	事後学習	解釈論や立法論について単なる暗記ではなく、自分なりに理解し、論理的に説明ができるようにする。

科目名	法学 I	担当者	末澤 国彦	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講座は、法律学を学ぶ際の基礎となる「法の一般理論」についての講義を中心に構成する。							
授業目的・到達目標	この講座は、法とは何か、法的思考の方法はどういうものかについての基礎的な知識を習得してもらうことを目的とする。すべての法に共通する原理・原則及び日本の法システムの構造や問題点を習得することで、今後さまざまな分野の法律学を学ぶ際の応用・展開がはかれるようにする。							
履修条件	なるべく出席し、あらかじめ図書館等で下調べをして抗議に参加することを望む。また、六法は必ず持参のこと。							
授業方法	講義形式で行う。また、板書の他、適宜プリント等を配布する。							
成績評価	種別		割合		評価方法			
	定期試験		90%		法律学についての基本的知識が身についているかどうかを判断する。授業中に指摘した具体例を合わせて理解しておくこと。			
	平常評価		10%		授業に臨む姿勢などで判断する。			
教科書	年		出版社		書名		著者名	
	2017年		弘文堂		Next教科書シリーズ法学〔第2版〕		高橋雅夫編	
	備考							
参考書	山川一陽・根田正樹・和知賢太郎編『アプローチ法学入門』弘文堂							
オフィスアワー	水曜日14：00～17：00研究室で行う。なお、bluejade@par.odn.ne.jp宛のメールでアポイントを取ること。その際に場所の指示を行う。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの法の学び方の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	講義の方針についての説明。
	事後学習	法の学び方について、ノートを整理しておく。
2	事前学習	テキストの法の目的・機能の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法の目的について。
	事後学習	正義、合目的性、法的安定性について、ノートを整理しておく。
3	事前学習	テキストの法の目的・機能の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法の社会的機能について。
	事後学習	法の伝統的機能に加え、新しく注目される機能について、ノートを整理しておく。
4	事前学習	テキストの法の目的・機能の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法とその隣接領域について。
	事後学習	法と道徳、政治、経済との関係について、ノートを整理しておく。

5	事前学習	テキストの法の存在形式（法源論）の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法源（成文法）について。
	事後学習	成文法に分類されるものとその特徴について、ノートを整理しておく。
6	事前学習	テキストの法の存在形式（法源論）の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法源（不文法）について。
	事後学習	不文法に分類されるものとその特徴について、ノートを整理しておく。
7	事前学習	テキストの法の分類の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法の分類（公法・私法・社会法、実体法と手続法）について。
	事後学習	公法・私法・社会法の内容と実体法と手続法の関係について、ノートを整理しておく。
8	事前学習	テキストの法の分類の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法の分類（強行法と任意法、一般法と特別法、固有法と継受法）について。
	事後学習	強行法と任意法の内容、一般法と特別法の関係、固有法と継受法の内容について、ノートを整理しておく。
9	事前学習	テキストの法の概念の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法の効力範囲について。
	事後学習	法の時間的、場所的、人的効力について、ノートを整理しておく。
10	事前学習	テキストの裁判と法の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法と裁判について。
	事後学習	日本の裁判制度の内容について、ノートを整理しておく。
11	事前学習	テキストの裁判と法の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	裁判の特質について。
	事後学習	裁判をめぐる制約原理とシステムの限界について、ノートを整理しておく。
12	事前学習	テキストの法の解釈と適用の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法的事実の認定方法について。
	事後学習	事実認定の方法と事実認定が不可能な場合の方法について、ノートを整理しておく。
13	事前学習	テキストの法の解釈と適用の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法解釈の意義について。
	事後学習	法解釈の必要性、法解釈の機関について、ノートを整理しておく。
14	事前学習	テキストの法の解釈と適用の箇所をあらかじめ一読しておくこと。
	授業内容	法解釈の技法について。
	事後学習	各種の法解釈の技法の内容と具体例について、ノートを整理しておく。
15	事前学習	これまでのノート等を準備する。
	授業内容	半年間の総括。
	事後学習	試験に向けてノート等の不備な箇所を補充する。

科目名	法学 I	担当者	杉山 嘉尚	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会生活の中で法学的思考を会得して、健全なるかつ指導的役割を身につける視点の下に、法の役割を講義をしていく。				
授業目的・到達目標	大学生としての健全なる法意識、すなわちリーガルマインドを身につけてもらうことを基軸に、専門理論に対応できる「法学的常識」を身近な具体的事例を通して講義していく。法の仕組みを体系的、理論的に理解し、法学部の学生として理性ある思考と行動を習得し、日常生活の中での法的生活を意識し、社会のなかでの法の役割に関して問題意識をもつことを目的とする。 講義を通して、しっかりと「聞く」、「話す」、「書く」、「読む」を意識してもらう。				
履修条件	経営法学科1年次生の必須科目である。				
授業方法	講義形式であるので、講義内容をよく聞き、自分のノートにメモできる能力を身につけてもらう。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		70%		試験は論文試験である。問題に対して論理的展開がなされていること。法律用語を十分に理解して記述がなされていること。
	平常評価		30%		授業態度が良好であること。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016年2月	有斐閣		現代法学入門 [第4版]	伊藤正巳他
	備考				
参考書	必要に応じて紹介する。				
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読むこと。
	授業内容	受講上の心構え 六法とは 法の分類
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
2	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読むこと。
	授業内容	社会科学としての法学
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
3	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読むこと。
	授業内容	法は社会規範―「社会あるところに法あり」
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
4	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読むこと。
	授業内容	法は行為規範―行為規範の形態
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。

5	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と道徳 1 法と道徳の差異
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
6	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と道徳 2 法は守るべき道徳
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
7	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と強制 1 強制方式
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
8	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と強制 2 刑罰 罪刑法定主義
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
9	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と強制 3 日本の刑罰
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
10	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と強制 4 民事上の制裁
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
11	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と裁判 1 裁判基準法—法源
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
12	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法と裁判 2 日本の裁判制度 三審制
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
13	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法の解釈
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
14	事前学習	シラバスを確認して、事前に教科書の該当箇所を読んでくること。
	授業内容	法の分類 公法 私法 社会法
	事後学習	講終了後には、教科書で講義内容を確認し、ノートを充実させていく。
15	事前学習	各問のテーマごとのキーワードを確認すること。
	授業内容	法律論文指導
	事後学習	指導を受けた文章、そして論文の書き方を意識して、テーマごとの論文作成をする。

科目名	法学 I	担当者	田中 夏樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	消費者問題等の具体的な事例や法制度の検討を通じて，解釈論や立法論についての基礎を学習する。第2回の授業において，法学の学習に求められるリーガルリサーチを学び，自分で授業に関連する判例や文献を調べたうえで積極的に授業に参加することが求められる。				
授業目的・到達目標	法律家になるために必須となる法学及び法律実務の素養（ものの考え方）を身につけることを目的とする。法的議論を理解し，法律家としての視点で適切な論評をすることができるようになること。				
履修条件	法職課程。				
授業方法	授業方法 一定のテーマにつき，1週目に問題提起的な議論を，2週目に議論の回を設け，各テーマの考察に丁寧に取り組む。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	レポートを課す。発言の積極性及びレポートによって判断する。講義日数の2/3以上の出席数がなければ，成績評価の対象としない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	指定しない。			
参 考 書	指定しない。				
オフィスアワー	水曜の4限、本館6階 予めメールにて連絡すること tanaka.natsuki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に図書館等で法学についての入門書等に簡単に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回以降の授業に備え、条文や判例を読み法律の言葉遣いに慣れるようにする。
2	事前学習	法情報の源として何があり、それを調べるうえで何が必要であるかについて、事前段階での考えをまとめておく。
	授業内容	〔リーガルリサーチ〕DBの使用法等、リーガルリサーチの基本を会得してもらう。
	事後学習	授業で学習した方法に従って、特定の法情報を調査してみる。
3	事前学習	学生自らが被害者となり得るような場面として、消費者被害の場면을いくつか想定しておく。
	授業内容	〔消費者問題とその対応〕消費者問題の実態とその具体的対応について説明する。
	事後学習	消費者問題への一般的な対応をまとめ、問題の回避や解決の重要性を考える。
4	事前学習	消費者問題に関する具体的な事例を読み、その対応について答えられるようにしておく。
	授業内容	〔消費者問題とその対応〕成年年齢引下げ論も視野に入れつつ、学生に身近な消費者問題について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	上記事例に対する具体的な法的処理のあり方をまとめ、法的知識・思考の重要性を考える。

5	事前学習	事前に指定された判例を読んで、課題として出した設問の回答を考えてくる。自分の頭で考えたことを言えるようにしてくること。
	授業内容	〔法解釈の方法〕いくつかの判例を読んできてもらい、法解釈の方法を説明する。
	事後学習	法解釈を現実に使えるようになる方法について自分なりに考える。
6	事前学習	先週の議論の内容をおさらいし、先週の議論について、当てられたら答えられるようにしておく。
	授業内容	〔法解釈の方法〕法解釈の在り方について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	法解釈という方法の限界について考える。
7	事前学習	私人間における法とはどのような法が想定されているか、整理しておく。
	授業内容	〔私人間における法〕私人間において、どのような法がどのような場合に適用されるのか。事例を基に説明する。
	事後学習	次週に備え、私人間における法適用の目的や特徴を自分なりに考えておく。
8	事前学習	私人間における法適用の目的や特徴について考えたことを整理し、疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	〔私人間における法〕私人間における法について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	私人間における法の適用について、自分なりに理解し、言葉で説明ができるようにする。
9	事前学習	法律小論文の書き方について、事前段階での考えをまとめておく。
	授業内容	〔法律小論文の書き方〕法律職国家試験で要求される法律小論文の書き方について説明する。
	事後学習	形式・実質両面から、法的知識とは別に、法律小論文を作成する能力を身に付けることの重要性を考える。
10	事前学習	法律学に関する具体的な事例問題について、事前に論述式での解答を用意する。
	授業内容	〔法律小論文の書き方〕実際に法律小論文を書いてきてもらい、これを踏まえて議論する。
	事後学習	添削された各自の解答につき、授業での視点を踏まえて何が足りなかったのかを考える。
11	事前学習	課題の設問の答えを考えてくる。自身の頭で考えたことを言えるようにしてくること。
	授業内容	〔解釈論と立法論〕特定の立法を題材にして、解釈論の限界と立法の方法を説明する。
	事後学習	解釈論と立法論の相違点を一応理解する。
12	事前学習	先週の議論の内容をおさらいし、先週の議論について、当てられたら答えられるようにしておく。
	授業内容	〔解釈論と立法論〕解釈論と立法論の違い等に関して、質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	解釈論と立法論の相違点を自分なりに他者に説明できる程度まで理解する。
13	事前学習	なぜ裁判という手続によって法の実現が必要なのか考えておく。
	授業内容	〔法の実現〕裁判による法の実現がなぜ必要か、民事上の救済と刑事上の制裁がなぜ裁判に基づく必要があるのか説明する。
	事後学習	法がどのような手続に基づいて実現されるのか、また、何故そのような手続が必要なのかを考えておく。
14	事前学習	裁判による法の実現に関し、第13回の授業内容を整理しておく。
	授業内容	〔法の実現〕裁判による法の実現に関して、質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	裁判による法の実現に関し、どのような手続が用意されているか、体系的に理解し、説明できるようにする。
15	事前学習	第14回までの授業で扱った解釈論や立法論について、確認しておく。
	授業内容	〔まとめ〕法律家による考え方の確認をする。
	事後学習	解釈論や立法論について単なる暗記ではなく、自分なりに理解し、論理的に説明ができるようにする。

科目名	法学 I	担当者	田中 夏樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律の初学者にとって、これから専門的な学習を行う上で必要となる基礎知識及び法的思考能力（論理的思考能力）を学ぶ。授業では、法とは何かといった抽象的な内容を含めて取り扱うものであるが、身近な事例などを通じて、単なる暗記ではなく、法の役割を理解できるよう進める。					
授業目的・到達目標	法律を学ぶ上で必須となる基礎知識及び法的思考能力を身につけることを目的とする。判例や学説の議論における法的な問題点に対し、自分なりに論理的に考え、理解できるようにする。					
履修条件	特にないが、積極的に授業に参加することが求められる。					
授業方法	原則として講義形式で授業を行うが、発言を求める場合がある。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		出席状況、発言の積極性及びレポートによって判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業内で指示する。				
参 考 書	指定しない。					
オフィスアワー	水曜の4限、本館6階 予めメールにて連絡すること tanaka.natsuki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に、六法の条文を読むなどして、法律の文に慣れておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	法の必要性や社会的意義を踏まえ、法学がどういった事柄を対象としたものか理解する。
2	事前学習	社会規範としての法にはどのような形式のものが存在するか確認する。
	授業内容	法とは何か
	事後学習	法以外にも社会規範が存在するのか、その社会規範は法にどのような影響を与えるものか理解する。
3	事前学習	法の構造について、公法・私法・国際法とは何かを確認する。
	授業内容	法とは何か
	事後学習	各法がどのような分野を規律しているものか整理し、それぞれの役割を理解する。
4	事前学習	前回までの授業で扱った法の社会における役割を確認しておく。
	授業内容	法学の学習について
	事後学習	実際に授業で扱った条文の読み方や適用の仕組みを自分の言葉で説明できるようにする。

5	事前学習	法源という概念がどのようなものか確認する。
	授業内容	法源
	事後学習	成文法とは何か，具体例や役割について理解する。
6	事前学習	成文法以外の法源として何が存在するか確認する。
	授業内容	法源
	事後学習	成文法以外の法源の役割と成文法との関係を整理しておく。
7	事前学習	強行法規，任意法規，実体法，手続法，一般法，特別法の概念を調べておく。
	授業内容	法の分類
	事後学習	各法の分類を行う意義及び各法の性質の違いを理解する。
8	事前学習	前回の授業で扱った内容を理解している確認する。
	授業内容	法の分類
	事後学習	各法律が実際の事案ではどのように適用されているのか，順を追って理解する。
9	事前学習	私人間に適用される法律を整理しておく。
	授業内容	私人間における法適用
	事後学習	私人間における法の性質や目的を理解する。
10	事前学習	私人間における法の適用と公法の適用ではどのような差異があるか確認しておく。
	授業内容	私人間における法適用
	事後学習	私人間における法の適用では，どのような特徴があるか，公法の場合と比較して理解する。
11	事前学習	法律の適用について，不明確な条文があった場合にはどのような問題が生じるか考えてみる。
	授業内容	解釈論と立法論
	事後学習	解釈論の必要性和具体的な考え方を理解する。
12	事前学習	ルールを作る際にどのようなことを気を付けなければならないか考えてみる。
	授業内容	解釈論と立法論
	事後学習	解釈論と立法論の関係を自分なりに考えてみる。
13	事前学習	法で認められた権利がどのように実現されるのか，文献で確認しておく。
	授業内容	法の実現
	事後学習	裁判における法の実現の必要性和制度を理解する。
14	事前学習	裁判所のホームページなどで，裁判所の手続を確認してみる。
	授業内容	法の実現
	事後学習	裁判所における手続を具体的に理解し，各段階でどのような意義があるのか考えてみる。
15	事前学習	前期の授業での不明点を確認しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	法的思考能力を実践する。

科目名	法学 I	担当者	西貝 吉晃	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	消費者問題等の具体的な事例や法制度の検討を通じて，解釈論や立法論についての基礎を学習する。第2回の授業において，法学の学習に求められるリーガルリサーチを学び，自分で授業に関連する判例や文献を調べたうえで積極的に授業に参加することが求められる。					
授業目的・到達目標	法律家になるために必須となる法学及び法律実務の素養（ものの考え方）を身につけることを目的とする。法的議論を理解し，法律家としての視点で適切な論評をすることができるようになること。					
履修条件	法職課程。					
授業方法	一定のテーマにつき，1週目に問題提起的な議論を，2週目に議論の回を設け，各テーマの考察に丁寧に取り組む。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験		0%			
	平 常 評 価		100%		レポートを課す。発言の積極性及びレポートによって判断する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考					
参 考 書	指定しない。					
オフィスアワー	火曜日 14：40～16：10					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前に図書館等で法学についての入門書等に簡単に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第2回以降の授業に備え、条文や判例を読み法律の言葉遣いに慣れるようにする。
2	事前学習	法情報の源として何があり、それを調べるうえで何が必要であるかについて、事前段階での考えをまとめておく。
	授業内容	〔リーガルリサーチ〕DBの使用法等、リーガルリサーチの基本を会得してもらう。
	事後学習	授業で学習した方法に従って、特定の法情報を調査してみる。
3	事前学習	学生自らが被害者となり得るような場面として、消費者被害の場면을いくつか想定しておく。
	授業内容	〔消費者問題とその対応〕消費者問題の実態とその具体的対応について説明する。
	事後学習	消費者問題への一般的な対応をまとめ、問題の回避や解決の重要性を考える。
4	事前学習	消費者問題に関する具体的な事例を読み、その対応について答えられるようにしておく。
	授業内容	〔消費者問題とその対応〕成年年齢引下げ論も視野に入れつつ、学生に身近な消費者問題について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	上記事例に対する具体的な法的処理のあり方をまとめ、法的知識・思考の重要性を考える。

5	事前学習	事前に指定された判例を読んで、課題として出した設問の回答を考えてくる。自分の頭で考えたことを言えるようにしてくること。
	授業内容	〔法解釈の方法〕いくつかの判例を読んできてもらい、法解釈の方法を説明する。
	事後学習	法解釈を現実に使えるようになる方法について自分なりに考える。
6	事前学習	先週の議論の内容をおさらいし、先週の議論について、当てられたら答えられるようにしておく。
	授業内容	〔法解釈の方法〕法解釈の在り方について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	法解釈という方法の限界について考える。
7	事前学習	私人間における法とはどのような法が想定されているか、整理しておく。
	授業内容	〔私人間における法〕私人間において、どのような法がどのような場合に適用されるのか。事例を基に説明する。
	事後学習	次週に備え、私人間における法適用の目的や特徴を自分なりに考えておく。
8	事前学習	私人間における法適用の目的や特徴について考えたことを整理し、疑問点を明らかにしておく。
	授業内容	〔私人間における法〕私人間における法について質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	私人間における法の適用について、自分なりに理解し、言葉で説明ができるようにする。
9	事前学習	法律小論文の書き方について、事前段階での考えをまとめておく。
	授業内容	〔法律小論文の書き方〕法律職国家試験で要求される法律小論文の書き方について説明する。
	事後学習	形式・実質両面から、法的知識とは別に、法律小論文を作成する能力を身に付けることの重要性を考える。
10	事前学習	法律学に関する具体的な事例問題について、事前に論述式での解答を用意する。
	授業内容	〔法律小論文の書き方〕実際に法律小論文を書いてきてもらい、これを踏まえて議論する。
	事後学習	添削された各自の解答につき、授業での視点を踏まえて何が足りなかったのかを考える。
11	事前学習	課題の設問の答えを考えてくる。自身の頭で考えたことを言えるようにしてくること。
	授業内容	〔解釈論と立法論〕特定の立法を題材にして、解釈論の限界と立法の方法を説明する。
	事後学習	解釈論と立法論の相違点を一応理解する。
12	事前学習	先週の議論の内容をおさらいし、先週の議論について、当てられたら答えられるようにしておく。
	授業内容	〔解釈論と立法論〕解釈論と立法論の違い等に関して、質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	解釈論と立法論の相違点を自分なりに他者に説明できる程度まで理解する。
13	事前学習	なぜ裁判という手続によって法の実現が必要なのか考えておく。
	授業内容	〔法の実現〕裁判による法の実現がなぜ必要か、民事上の救済と刑事上の制裁がなぜ裁判に基づく必要があるのか説明する。
	事後学習	法がどのような手続に基づいて実現されるのか、また、何故そのような手続が必要なのかを考えておく。
14	事前学習	裁判による法の実現に関し、第13回の授業内容を整理しておく。
	授業内容	〔法の実現〕裁判による法の実現に関して、質疑応答を交えて議論する。
	事後学習	裁判による法の実現に関し、どのような手続が用意されているか、体系的に理解し、説明できるようにする。
15	事前学習	第14回までの授業で扱った解釈論や立法論について、確認しておく。
	授業内容	〔まとめ〕法律家による考え方の確認をする。
	事後学習	解釈論や立法論について単なる暗記ではなく、自分なりに理解し、論理的に説明ができるようにする。

科目名	法学 I	担当者	西原 雄二	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、法の各専門分野を学ぶために必要な基礎的知識や法的思考を習得することを目的としている。重要なテーマを取り上げて、簡潔に説明する。				
授業目的・到達目標	法・法律・法学についての基礎をしっかりと身に付けて、さらに今後学んでいく法律専門分野への展開が図れるようにする。				
履修条件	六法を持参すること。				
授業方法	講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。 板書をしながら解説する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度、授業内試験の成績等によって評価する。 なお、4年生については、レポートによる評価とする。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017年2月	弘文堂	法学（第2版）		高橋雅夫編
	備考				
参考書	講義の中で紹介する。				
オフィスアワー	水曜日19：30/金曜日10：30に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	六法や法学の教科書等をざっと目を通してみること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	六法や教科書等をざっと目を通し、どのようなことを学ぶのかを理解すること。
2	事前学習	「ポケット六法」に付いている「有斐閣六法の使い方・読み方」（小冊子）を事前に目を通しておくこと。
	授業内容	六法について
	事後学習	「六法の使い方・読み方」を再読し、理解を深めること。
3	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法とは何か（1）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等で確認し、さらに理解を深めること。
4	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法とは何か（2）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等で確認し、さらに理解を深めること。

5	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法の目的
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
6	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法源（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
7	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法源（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
8	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法の分類（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
9	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法の分類（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
10	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法の効力
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
11	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	裁判
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
12	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法の適用と解釈（１）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
13	事前学習	事前に教科書等で該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	法の適用と解釈（２）
	事後学習	授業で行った内容を教科書等とつき合わせて、さらに理解を深めること。
14	事前学習	これまで授業で行った内容をおさらいしておくこと。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	これまでの授業の内容を教科書等で復習し、さらに理解を深めること。
15	事前学習	これまでの授業の内容を教科書等で復習しておくこと。
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	試験の内容を再度調べて、確認すること。

科目名	法学 I	担当者	丹羽 重博	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	初学者は法律用語の意味が判らないということから躓くことがしばしば見られる。そのことから授業では図や表を多く用いて視覚的に法学全体の構成内容を概観する。また、法律用語の説明にも定義となるように留意する。さらに、法学として必要な範囲で具体的事例や判例の内容の説明を行う。				
授業目的・到達目標	法学の入門的役割を有するのが、この「法学」の講座である。したがって、授業では法学の全体を展望していくが、その趣旨は、法解釈学を理解し、その素養を身につけることにある。 最終的には、現代社会を網の目のごとく被って規制している法と社会との関係を理解することを目的とする。法学の全体像を把握したうえで、現実には生きていく法律が社会でどのように機能しているかを理解することを、目標とする。				
履修条件	なし				
授業方法	授業には、教科書とともに六法及びノートを持参することが必要である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	3分の2以上の授業出席を要件としたうえで、期末に行う筆記試験により成績評価を行う。	
	平常評価		20%	質疑・応答および授業への参加度を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2006年	法学書院		やさしい 法学 〔第三版〕	丹羽重博 編著
	備考				
参考書	授業中に紹介する。				
オフィスアワー	毎週木曜日 12時20分～13時 451研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の全体を把握すること
	授業内容	年間授業計画等の説明。法学の目的
	事後学習	リーガルマインドについて考える
2	事前学習	裁判所の種類と権限
	授業内容	裁判所と司法権
	事後学習	判決三段論法
3	事前学習	抽象的な法を個別的・具体的事件に適用して実現する方法
	授業内容	法の適用一事実認定と解釈（1）
	事後学習	事実認定の意味と事実認定の法則
4	事前学習	法の解釈方法の種類
	授業内容	法の適用一事実認定と解釈（2）
	事後学習	有権解釈と隔離解釈

5	事前学習	論理解釈の意義と種類
	授業内容	法の適用—事実認定と解釈（3）
	事後学習	授業中の事例や判例の確認
6	事前学習	規範とは、また社会秩序とは何か
	授業内容	存在の法則と当為の法則
	事後学習	当為の法則の特徴
7	事前学習	社会規範の種類と相違
	授業内容	社会規範とその分類
	事後学習	規範の内面性と外面性
8	事前学習	様々な法の概念
	授業内容	法の概念
	事後学習	法の概念を考える意義
9	事前学習	法と強制力の意義
	授業内容	法規範の強制力
	事後学習	実定法上の強制力の内容
10	事前学習	法と道徳とを区別する理由
	授業内容	法と他の社会規範（1）
	事後学習	法と道徳とを区別する基準
11	事前学習	法と宗教
	授業内容	法と他の社会規範（2）
	事後学習	近代法における宗教の意義
12	事前学習	法の理念としての法の目的
	授業内容	法の目的
	事後学習	法的正義について
13	事前学習	法源の意味
	授業内容	法源の多義性
	事後学習	法の欠缺の認識
14	事前学習	成文法の意義と限界
	授業内容	成文法の種類と効力
	事後学習	ケルゼンの法段階説
15	事前学習	不文法の役割
	授業内容	不文法
	事後学習	慣習法と判例法

科目名	法学 I	担当者	松島 雪江	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律学の専門では、憲法や民法、刑法などそれぞれ個別の領域を扱うが、そもそも法律学には共通する「法的な」問題把握や解決に向けた考え方、それを支える法の歴史や法概念、法の解釈方法などがある。こうした法の姿を社会科学の一領域として把握しながら、法的なものの見方（リーガルマインドの一端）を身につけることが、法学という授業である。授業内で教科書を参照することはないが、事前・事後に参考書に目を通しておく和良好的。				
授業目的・到達目標	法律の初学者が、今後専門研究を進める際の基盤となる基礎知識を習得することが、この授業の目的である。法の歴史・特質・構造を見ながら、現代法の課題や、その問題点を自ら考察し表現できるようにすることを、最終目的とする。第一に、法の基礎的概念・用語について正しく理解すること。次に、そうした基礎知識に基づき、法の課題や問題点について自ら考える姿勢とそれを表現する力をつけることを、到達目標とする。最終筆記試験では、問われている課題を正確に把握し、基本概念を抑えて論理的な記述が行われているかを評価するので、それが可能となるような論述を行えるようにする。				
履修条件	法律の初学者を対象とするので特段の履修条件は必要ないが、真摯な態度で授業に臨むことが要請される。事前学習欄に参考文献の目安となるページ数を記しているため、該当箇所に目を通しておく和良好的。				
授業方法	講義形式。板書と講義をもとに、授業内で各自が行うノート作成が重要になる。授業内では適宜小レポートの作成を行い、講義の理解を深めてもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	7割以上の出席を前提に、セメスター最後の筆記試験による評価（50%）。授業内小レポートの提出有無、その内容により評価（50%）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業内で教科書を用いることはないが、事前・事後学習に参考書A・Bを生かしてほしい。			
参考書	A 船山泰範他『法学』日本大学通信教育部、2016年。 B 田中成明『法学入門』有斐閣、2016年。				
オフィスアワー	木曜2限、研究室にて。事前にメールで訪問につき連絡をして下さい。 matsushima.yukie@nihon-u.ac.jp 本館7階1713研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日常生活で法を意識する場面について、各自考えておくこと。
	授業内容	オリエンテーション 法学とはどのような学問か、法の必要性、規範と社会生活
	事後学習	法とは何か、法学とはどのような学問かについて、ノートをまとめ直し、自分の言葉で説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
2	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B1章
	授業内容	法とは何か 様々な社会規範と法、法の構造（公法・私法、国際法の位置付け）
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
3	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A32-41 B4章
	授業内容	法の歴史1 ローマ法、近代法典の成立、英米法と大陸法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
4	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A41-50 B4章
	授業内容	法の歴史2 近代日本の法典形成、現代の日本法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。

5	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A28-31 B5章
	授業内容	法と強制 法的強制、刑罰、様々なサンクション
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
6	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A17-28 B6章
	授業内容	法と道徳 どうして法を守らなくてはならないのか、法的パターンリズム
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
7	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A136-149 B2章
	授業内容	法源 1 法源とは何か、成文法（制定法）
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
8	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A136-149 B2章
	授業内容	法源 2 不文法（慣習法、判例法）
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
9	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A57-62
	授業内容	近代法の成立と変容 1 法における近代西欧の意義、近代法典の成立、近代法の原則
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
10	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A57-62
	授業内容	近代法の成立と変容 2 近代法原則の修正、現代法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
11	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A62-67
	授業内容	法の形態 強行法・任意法、実体法・手続法、一般法・特別法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
12	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B33-46
	授業内容	法の規範性と機能 行為規範、裁決規範、組織規範としての法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
13	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B248-256
	授業内容	法の目的と法の支配 法的安定性の確保、正義の実現
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめられるようにしておく。十分説明できていない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
14	事前学習	前期の内容について、事前に再度確認しておく。 要点を各自で抽出し、不明点について質問できるようにまとめておく。 A209-213
	授業内容	法の現代的特徴 法化、パターンリズム
	事後学習	前期の授業内容を見直し、ノートを整理する。自分で問題点を見つけ出し、要点を論理的にまとめておく。
15	事前学習	前期の内容について、要点を確認し、問題について論理的な記述が行えるようにしておく。
	授業内容	まとめと評価
	事後学習	重要論点がどこにあったかを確認し、その点を整理し直しておく。

科目名	法学 I	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法学部で学ぶ学生のための、法律の基礎を学ぶ講義である。講義形式で行う。			
授業目的・到達目標	諸法を学ぶ前提としての、法律を学ぶための基本的な理論を理解し習得することを目的とする。諸法を学ぶにあたり、法律学の基本的概念や用語が理解できていることを目指す。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義を中心とする。資料はプリントないしデジタルデータで配布する。六法は、持参するか、「法令データ提供サービス」を利用してもよい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価	100%	学期末に試験形式で理解度の考査を行う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
		通信教育部教材	法学(教材コード 000515)	
	備考	テキストは、通信教育部教材の「法学」とする。このテキストは、丸沼書店にて購入することになります。ガイダンスの際に説明します。		
参考書	参考書としては、図書館にいわゆる「法学」という本が多数あるのでそれを利用すること。			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	法学を学ぶことの意味を考えてみること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	論理的思考と論理的説明の重要性をよく理解すること。
2	事前学習	法という言葉から何を連想するか確かめる。
	授業内容	法とは何か
	事後学習	法は社会的生活を営む人が作り出すものであることを理解する。
3	事前学習	日本の法制度を日本史から考えてみる。
	授業内容	日本の法制度 継受法 固有法
	事後学習	他国との関係から日本の法制度がどのように変化してきたかを理解する。
4	事前学習	我々の生活を律するものは法以外に存在するのか考えてみる。テキスト「法と他の社会規範」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法と他の社会規範 1 法と道徳の違い
	事後学習	法と道徳の区別ができるように理解すること。

5	事前学習	法と他の社会規範との違い。テキスト「法と他の社会規範」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法と他の社会規範2 法と宗教、法と慣習(習俗)との違い
	事後学習	法と宗教、慣習(習俗)との区別ができるように理解すること。
6	事前学習	法は何を実現しようとするのか。テキスト「法の目的」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の目的 法と正義
	事後学習	法のいうところの正義とはどのようなものを理解すること。
7	事前学習	法を知る手がかりとなるものは何であるか。テキスト「法源」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法源1 法源とは何か 成文法と不文法の特徴
	事後学習	現代は成文法が中心的役割を担っていること。成文法の種類と特徴、不文法の種類と特徴を理解すること。
8	事前学習	成文法について、テキスト「成文法」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法源2 法源としての成文法
	事後学習	法の解釈・適用において重要であるから、各成分法の間係を理解すること。
9	事前学習	不文法について、テキスト「不文法」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法源3 法源としての不文法
	事後学習	裁判所の判決は、不文法であることを理解すること。
10	事前学習	法の適用には順番があることを確認する。テキスト「法の分類」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の分類 普通法(一般法)と特別法、強行法と任意法、公法、私法、社会経済法 など
	事後学習	法の適用には順番があること、どの法(条文)が優先するのか正しく理解する。
11	事前学習	日本の法律はどのよう範囲に効力が及ぶのか確かめる。テキスト「法の効力範囲」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の効力範囲 時間的効力範囲、地理的効力範囲、人的効力範囲
	事後学習	国境のないインターネットの世界では、どこの国の法律が適用されるのか考えてみる。
12	事前学習	脳死と判定されたドナーの心臓にナイフを刺して心停止にすると何罪になるか考える。テキスト「法の解釈と適用」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の解釈と適用1 事実認定 推定、擬制
	事後学習	どの条文が推定の規定か、犠牲の規定か確認しておく。
13	事前学習	テキスト「法の解釈と適用」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の解釈と適用2 有権解釈 学理解釈
	事後学習	解釈のそれぞれの分類の意味を正しく理解すること。
14	事前学習	テキスト「法の解釈と適用」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の解釈と適用3 論理解釈 など
	事後学習	特に拡張解釈と類推解釈の違いについて正しく理解すること。
15	事前学習	法学Ⅰの講義内容に関して、十分に理解できたか復習する。
	授業内容	法学Ⅰの講義内容に関する理解度考査
	事後学習	十分に解答できなかったところは、復習すること。

科目名	法学Ⅱ	担当者	杉山 嘉尚	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法学の具体的な法律として、各法律の基礎となる「日本国憲法」と財産法である「民法（総則、物権、債権）」を学ぶ。			
授業目的・到達目標	「法学Ⅰ」（前期）の法学的素養を意識して、日本の法制を概説していく。国家の最高法規としての日本国憲法の基本原則を学び、近時の憲法改正議論も検討してみる。さらに経営法学科としての中心的なる法制、すなわち財産法（ビジネス法）に関して、民法、商法、会社法、独占禁止法、知的所有権法などの概略を説明し、考えることを目的とする。講義内容を理解するため、しっかりと聞く、書く、話す、読むの四味一体を意識することを目標とする。			
履修条件	経営法学科1年生の必須科目である。			
授業方法	講義形式であるので、講義内容をよく聞き、自分のノートにメモできる能力を身につけてもらう。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		70%	試験は論文試験である。問題に対して論理的展開がなされていること。法律用語を十分に理解して記述がなされていること。ノート中心であるので、その充実に努める。
	平常評価		30%	授業態度が良好であること。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006年2月	有斐閣	現代法学入門第4版（杉山「法学Ⅰ」と同じ）。	伊藤正巳他
	備考			
参考書	授業時に指示する。			
オフィスアワー	授業後に質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストで指定された頁を読んでもくること。
	授業内容	日本の法制―憲法の仕組み 近代憲法の基本原―大日本帝国憲法と日本国憲法
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
2	事前学習	テキストで指定された頁を読んでもくること。
	授業内容	日本国憲法の基本原理―国民主権
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
3	事前学習	テキストで指定された頁を読んでもくること。
	授業内容	日本国憲法の基本原理―平和主義
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
4	事前学習	テキストで指定された頁を読んでもくること。
	授業内容	日本国憲法の基本原理―権力分立
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。

5	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	日本憲法の基本原理―人権保障
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
6	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	民法の仕組み―財産法と家族法
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
7	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	財産法の主体―人および法人（会社）
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
8	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	財産法の客体
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
9	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	物権―所有権の絶対
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
10	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	債権―契約自由の原則
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
11	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	企業法制―商法
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
12	事前学習	テキストで指定された頁を読んで繰ること。
	授業内容	企業法制―会社法
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
13	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	企業法制―独占禁止法
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
14	事前学習	テキストで指定された頁を読んで行くこと。
	授業内容	知的財産法
	事後学習	関連授業で確認し、ノートを充実させること。
15	事前学習	充実させたノートを確認し、キーワードを整理しておくこと。
	授業内容	日本の法制のまとめと課題そして答案作成
	事後学習	課題レポートをノート中心に作成し、提出する。

科目名	法学Ⅱ	担当者	松島 雪江	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律学の専門では、憲法や民法、刑法などそれぞれ個別の領域を扱うが、そもそも法律学には共通する「法的な」問題把握や解決に向けた考え方、それを支える法の歴史や法概念、法の解釈方法などがある。こうした法の姿を、社会科学の一領域として把握しながら、法的なものの見方（リーガルマインドの一端）を身につけることが、法学という授業である。				
授業目的・到達目標	法律の初学者が、今後専門研究を進める際の基盤となる基礎知識を習得することが、この授業の目的である。法の歴史・特質・構造を見ながら、現代法の課題や、その問題点を自ら考察し表現できるようにすることを、最終目的とする。第一に、法の基礎的概念・用語について正しく理解すること。次に、そうした基礎知識に基づき、法の課題や問題点について自ら考える姿勢とそれを表現する力をつけることを、到達目標とする。問われている課題を正確に把握し、基本的概念を押さえて論理的な記述を行えるようにすることを目標とし、評価対象とする。				
履修条件	法律の初学者を対象とするので特段の履修条件は必要ないが、真摯な態度で授業に臨むことが要請される。事前学習欄に参考文献の目安となるページ数を記している場合、該当箇所に目を通しておくこと。				
授業方法	講義形式。板書と講義をもとに、授業内で各自が行うノート作成が重要になる。授業内では適宜小レポートの作成を行い、講義の理解を深めてもらう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	7割以上の出席を前提に、セメスターの最後に筆記試験を実施する（50%）。また、授業内小レポートの提出有無、その内容により評価する（50%）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業内で教科書を用いることはないが、事前・事後学習に、参考書A・Bを生かしてほしい。			
参考書	A 船山泰範他『法学』日本大学通信教育部、2016年。 B 田中成明『法学入門』有斐閣、2016年。				
オフィスアワー	木曜2限、研究室にて。事前にメールで訪問につき連絡をして下さい。 matsushima.yukie@nihon-u.ac.jp 本館7階1713研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	法は何のためにあるのか、なぜ法を守らなければならないのかについて、各自考えておくこと。
	授業内容	法とは何か 法の社会的な機能
	事後学習	法とは何か、法が社会の中でどのような機能を担っており、それによりいかなる効果をもたらしているかにつき、ノートをまとめ直し、自分の言葉で説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点を整理し、質問できるようにしておく。
2	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A68-76ページ
	授業内容	権利と義務Ⅰ 権利義務とは何か、様々な権利
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
3	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A68-76ページ
	授業内容	権利と義務Ⅱ 権利の性質
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
4	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A68-76ページ
	授業内容	権利と義務Ⅲ 権利義務主体、権利濫用の禁止
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。

5	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A150-165ページ B151-165ページ
	授業内容	法の適用と解釈Ⅰ 法の適用、法的三段論法、事実の確定・推定
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
6	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A150-165ページ B167-182ページ
	授業内容	法の適用と解釈Ⅱ 様々な解釈方法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
7	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 B113-129ページ
	授業内容	裁判の仕組みと手続 裁判所の組織と制度、民事裁判・刑事裁判
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
8	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 B131-149ページ
	授業内容	裁判の機能 裁判の効果、裁判外手続による紛争解決（ADR）
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
9	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A207-212ページ B135-141ページ
	授業内容	法の現代的展開 現代型訴訟、議論の場
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
10	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A207-213ページ B183-199ページ
	授業内容	法的思考 要件効果図式、法ドグマティーク
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
11	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。
	授業内容	社会科学領域と法Ⅰ 法と政治、立法過程
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
12	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。
	授業内容	社会科学領域と法Ⅱ 法と経済、行動経済学と法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
13	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認をしておく。 A213-223ページ B95-111ページ
	授業内容	法と正義Ⅰ リベラリズム、リパタリアニズム
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。自分の言葉で授業内容をまとめておく。十分理解できなかった点があれば、質問できるようにしておく。
14	事前学習	このセメスターの内容につき、要点を自分で抽出し、不明点について質問できるようにしておく。 A213-223ページ B95-111ページ
	授業内容	法と正義Ⅱ 功利主義、ジェンダーと法
	事後学習	このセメスターの内容を通して見直し、ノートを整理する。自分で問題点を見つけ出し、要点を論理的にまとめておく。
15	事前学習	このセメスターの内容につき、要点を確認し、問題について論理的な記述を行えるようにしておく。
	授業内容	まとめと評価
	事後学習	重要論点がどこにあったかを確認し、その点を整理し直しておく。

科目名	法学Ⅱ	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法学Ⅰの学習を基礎として、コンピュータやインターネットを利用する際生じる問題を、諸法によりどのように解決できるのかについて考える講義である。			
授業目的・到達目標	諸法を学ぶ為の基礎知識を習得することと、インターネットに関わる法律問題を考えながらネットリテラシーを考える。各法律がインターネットの問題にどのように作用するのかを理解すること。			
履修条件	法学Ⅰを履修していることが望ましい。			
授業方法	講義が中心となる。参考資料を必要に応じプリント又はデジタルデータで配布する。六法は、持参するか、「法令データ提供サービス」を利用しても構わない。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価	100%	学期末に理解度を考査する為の試験を行う。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
		通信教育部教材	法学 通信教育部教材	通信教育部
	備考	テキストは、通信教育部教材の「法学」を使用する。法学Ⅰを履修する際に用意したものでよい。		
参考書	各自、諸法を学ぶにあたり必要とされるテキストを図書館などで参照すること。 参考書 例えば 「インターネット法」 松田・鈴木・山口 編 有斐閣			
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	法の適用と解釈についてもう一度復習しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	現行法がなぜそのように解釈され適用されるのか疑問をもって考え理解すること。
2	事前学習	法の主体とは何であるか、テキスト「法の主体」部分を読んでおくこと。
	授業内容	法の主体
	事後学習	誰が法の主体となり得るのか、理解すること。
3	事前学習	権利と義務との関係について、テキスト「権利と義務」の部分を読んでおくこと。
	授業内容	権利と義務
	事後学習	権利と義務の関係は単純なものではないことを正しく理解すること。
4	事前学習	日本国憲法の成立過程を調べてみること。
	授業内容	日本国憲法の成立過程
	事後学習	日本国憲法の成立には事実だけでなく解釈が必要であることを理解する。

5	事前学習	日本国憲法と条約の関係について憲法上はどのように規定されているか確認する。
	授業内容	日本国憲法と条約
	事後学習	前期に学んだ法の適用と解釈により解釈を実践してみる。
6	事前学習	他人のスマホに保存されているメールを見るのは刑法133条違反または通信の秘密の侵害に当たるか考えてみる。
	授業内容	通信の秘密
	事後学習	手紙や有線電話の時代とことなり、盗み見ができる時代の通信の秘密を正しく理解する。
7	事前学習	スマホの新機種が出たので、今使っているスマホを人に譲る方法を考える。
	授業内容	携帯電話(スマートフォン)の契約に関する諸問題
	事後学習	機器の譲渡、契約の際のフィルタリング、契約内容の説明義務等、複雑すぎる契約を認識する。
8	事前学習	インターネット上での契約に関する法律(特定商取引法)の内容を確認する。
	授業内容	特定商取引ー通信販売
	事後学習	インターネット上の契約に適用される法律を理解し、違法サイトを見抜く。
9	事前学習	電子マネー(例えば、Suica)とサービスポイント(例えば、航空会社のマイル)は同じものなのか確認する。
	授業内容	電子マネーとサービスポイント
	事後学習	電子マネーとサービスポイントの保護の違いを理解すること。
10	事前学習	図書館から借りた本をデジタルデータにすることは許されるか考える。
	授業内容	インターネットと著作権(ホームページの著作権、いわゆる自炊)
	事後学習	HPを公開することは頒布にあたる。どこまでデジタル化が可能か正しく理解する。
11	事前学習	スマホで接続できないサイトがあるか確認する。新聞などでブロックングについて確認する。青少年インターネット規制法を確認しておく。
	授業内容	フィルタリングとブロックング
	事後学習	青少年の保護と政治的な目的によるブロックングと知る権利について考えてみる。
12	事前学習	名誉毀損罪(刑法230条、230条の2)を確認しておく。
	授業内容	インターネット上の名誉毀損
	事後学習	自分が加害者、被害者とならないようネチケットとして考えてみる。
13	事前学習	本屋で雑誌のあるページを写真に撮り雑誌を買わずに帰った。万引きになるのか調べる。窃盗罪(刑法235条)の成立要件を確認しておく。
	授業内容	デジタル万引き
	事後学習	法の解釈と適用について具体的に考え、様々な場合を考える。
14	事前学習	大学のパソコンのIDやPWを友達に教え使わせるのは許されるか、「イマドコサーチ」アプリはコンピュータウイルスではないのか確認しておく。
	授業内容	不正アクセス行為とウイルスの作成と供用
	事後学習	ネット社会を保護するための法律について、その解釈と適用の難しさを理解する。
15	事前学習	法学Ⅱの講義内容に関して、十分に理解できたか復習する。
	授業内容	法学Ⅱの講義内容に関する理解度考査
	事後学習	十分に解答できなかったところは、復習すること。

科目名	法学演習A I	担当者	長谷川 福造	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座では、演習を通じて法学一般の基礎的事項を理解する。法を学んでいく際に必要な基礎知識を把握した上で、理解した事項を説明する思考力や表現力を向上させていく。				
授業目的・到達目標	法学一般の基礎的事項を理解することを目的としている。また、必要に応じて行政法領域を中心に判例や法制度を理解していく。前期は、基礎的事項の確認を主体とする予定である。引き続き後期も履修することが望ましい。法学一般や行政法の法令・判例を学ぶために必要な基礎的知識、理解力、思考力及び表現力を備えることを到達目標とする。				
履修条件	特に指定しない。基本的には初学者を対象としているため、1年生から3年生までの履修が望ましい。				
授業方法	前期は講義形式と演習形式を併用する。受講者数や進度に応じて講義中に小テストを実施する予定。演習の具体的方式は履修人数や理解の進度に応じて調整する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価		100%	講座の受講状況、報告及び授業中の発言内容等を総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017	弘文堂		法学（第2版）Next教科書シリーズ	高橋雅夫 編
	備考	教科書と小型六法を毎回必ず持参すること。六法は平成30(2018)年版のデイリー六法（三省堂）又はポケット六法（有斐閣）を使用すること。			
参考書	池村正道編『行政法（第3版）Next教科書シリーズ』弘文堂（2017年） その他、進度に応じて参考資料等を説明する。				
オフィスアワー	火曜日15:00から16:00まで。事前にメールでアポイントメントを取ること。他の時間帯については必要に応じて個別に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	前期のガイダンス
	事後学習	講座内容の確認
2	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	法の学び方、法の概念
	事後学習	講義の復習
3	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	法の目的・機能
	事後学習	講義の復習
4	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	法の存在形式（法源論）
	事後学習	講義の復習

5	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	法の分類
	事後学習	講義の復習
6	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	法の解釈と適用
	事後学習	講義の復習
7	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	日本国憲法（人権） 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
8	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	日本国憲法（統治） 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
9	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	家族と法 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
10	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	財産と法 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
11	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	刑罰と犯罪 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
12	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	企業と法 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
13	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	雇用と法 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
14	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	裁判と法 受講者の人数と理解の進展に応じて、報告発表等を調整する。
	事後学習	講義の復習
15	事前学習	前期で学んだ事柄の総復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期の総復習

科目名	法学演習AⅡ	担当者	長谷川 福造	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講座では、演習を通じて法学一般の基礎的事項を理解する。法を学んでいく際に必要な基礎知識を把握した上で、理解した事項を説明する思考力や表現力を向上させていく。				
授業目的・到達目標	法学一般の基礎的事項を理解することを目的としている。また、必要に応じて行政法領域を中心に判例や法制度を理解していく。後期は、担当者の報告と質疑応答によるアウトプットを主体とする予定。前期から引き続き履修することが望ましい。法学一般や行政法の法令・判例を学ぶために必要な基礎的知識、理解力、思考力及び表現力を備えることを到達目標とする。				
履修条件	特に指定しない。基本的に初学者を対象としているため、1年生から3年生までの履修が望ましい。				
授業方法	後期は演習形式を主体とする。報告発表や質疑応答が主体となる。演習の具体的方式は履修人数や理解の進度に応じて調整する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価		100%	講座の受講状況、報告及び授業中の発言内容等を総合的に判断する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2017	弘文堂	法学（第2版）Next教科書シリーズ		高橋雅夫 編
	備考	教科書と小型六法を毎回必ず持参すること。六法は平成30(2018)年版のデイリー六法（三省堂）又はポケット六法（有斐閣）を使用すること。			
参考書	池村正道編『行政法（第3版）Next教科書シリーズ』弘文堂（2017年） その他、進度に応じて参考資料等を説明する。				
オフィスアワー	火曜日15:00から16:00まで。事前にメールでアポイントメントを取ること。他の時間帯については必要に応じて個別に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	後期のガイダンス
	事後学習	講座内容の確認
2	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	行政と法
	事後学習	講義の復習
3	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	情報と法
	事後学習	講義の復習
4	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習

5	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
6	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
7	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
8	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
9	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
10	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
11	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
12	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
13	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
14	事前学習	所定事項の予習
	授業内容	担当者の発表、分析と検討
	事後学習	講義の復習
15	事前学習	後期で学んだ事柄の総復習
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	後期の総復習

科目名	法学演習BⅠ	担当者	田上 雄大	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法に関する諸問題について扱い、学生自身に考えてもらう。			
授業目的・到達目標	本講義では、憲法の分野で議論のある部分を扱っていく。その中で憲法問題について自己の意見を固め、そこから憲法にかかわる諸問題について考察できるようにすることを目標とする。参考文献の検索や、レジュメ作成などができるようになることを目標とする。また、自らの立ち位置と異なった意見とも柔軟に向き合えるようにする。			
履修条件	特にないが法学演習Ⅱを続けて履修することが望ましい。			
授業方法	基礎知識の講義を踏まえて、学生自身が各テーマの問題について考えもらう。その上で報告者を決めて、報告してもらう。 学生次第で内容もフレキシブルに対応するので、シラバスと異なる可能性もある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	発言、授業態度、提出物等から総合的に評価する。 自主レポートは随時受け付ける。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成29	弘文堂	憲法（Next教科書シリーズ）第二版	齋藤康輝, 高畑英一郎（編集）
	備考			
参考書	憲法判例百選Ⅰ 第6版（ISBN 978-4-641-11517-0）、憲法判例百選Ⅱ 第6版（ISBN 978-4-641-11518-7）、ポケット六法などその他、講義内で必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	学内の開かれたスペースで行う。要事前連絡。 金曜日 10：30に受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスを踏まえて今後の学習予定を考えること。
2	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	憲法九条 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
3	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
4	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	法の下の平等 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。

5	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
6	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	外国人の政治活動 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
7	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
8	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	思想・良心の自由 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
9	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
10	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	政教分離 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
11	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
12	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	表現の自由 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
13	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
14	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
	授業内容	知る権利 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。
15	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みることが望ましい。

科目名	法学演習BⅡ	担当者	田上 雄大	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法に関する諸問題について扱い、学生自身に考えてもらう。			
授業目的・到達目標	本講義では、憲法の分野で議論のある部分を扱っていく。その中で憲法問題について自己の意見を固め、そこから憲法にかかわる諸問題について考察できるようにすることを目標とする。参考文献の検索や、レジュメ作成などができるようになることを目標とする。また、自らの立ち位置と異なった意見とも柔軟に向き合えるようにする。			
履修条件	特にないが法学演習BⅠから続けて履修することが望ましい。			
授業方法	基礎知識の講義を踏まえて、学生自身が各テーマの問題について考えもらう。その上で報告者を決めて、報告してもらう。 学生次第で内容もフレキシブルに対応するので、シラバスと異なる可能性もある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	発言、授業態度、提出物等から総合的に評価する。 自主レポートは随時受け付ける。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成29	弘文堂	憲法（Next教科書シリーズ）第二版	齋藤康輝, 高畑英一郎（編集）
	備考			
参考書	憲法判例百選Ⅰ 第6版（ISBN 978-4-641-11517-0）、憲法判例百選Ⅱ 第6版（ISBN 978-4-641-11518-7）、ポケット六法などその他、講義内で必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	学内の開かれたスペースで行う。要事前連絡。 金曜日10：30に受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスを踏まえて今後の学習予定を考えること。
2	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	教育権 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
3	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
4	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	緊急権 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。

5	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
6	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	身体的自由権 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
7	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
8	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	労働基本権 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
9	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
10	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	裁判員制度 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
11	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
12	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	立法 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
13	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－前回のテーマに関する報告と検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
14	事前学習	テーマについて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
	授業内容	憲法改正 －講義と問題の検討
	事後学習	講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。
15	事前学習	前回の講義を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。 報告者は要準備。
	授業内容	－講義と問題の検討
	事後学習	他の学生の報告を踏まえて自身の意見を考えるよう試みるのが望ましい。

科目名	法学演習C I	担当者	岡田 俊幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法の「基本的人権」は法学部の基本的科目の一つであり、多くの学生は、「憲法Ⅰ（人権）」の講義の履修によって基本的人権に関する基礎的知識をある程度は習得しているはずである。この授業においては、基本的人権に関する基礎的知識を、判例の研究や事例問題の検討を通して確実なものとするとともに、法律家に求められる事案処理能力を修得するために必要な基礎的能力を修得する。そのために教科書の読み方や判例の読み方を重点的に学修する。				
授業目的・到達目標	この授業は、法律家に求められる事案処理能力を今後の学修を通して修得することができるために必要な基礎的能力を修得することを目的とする。上記の基礎的能力を身に付けるために、この授業は、「基本的人権」の分野に属する事例問題を解くという方法を採用する。達成目標は、憲法の「基本的人権」の分野に関する判例及び学説を復習することと、法律家に求められる事案処理能力（事例解析能力、論理的思考力、法解釈・適用能力等）を修得するために前提となる基礎的能力を修得することである。なお、念のために言うと、事案処理能力の修得それ自体が到達目標ではなく、それに向けた一歩を踏み出すために必要な基本的な能力を身に付けることが到達目標であり、授業内容も難解なものではない。				
履修条件	2年次以上の学生であること以外にとくに限定はないが、憲法Ⅰ（人権）を履修済み（又は履修中）であることが望ましい。なお、法学演習ⅢⅠのみの履修でも構わない。				
授業方法	演習形式（事例問題について報告者を指定し、報告者は、在宅にて起案等を作成して指定日までに提出した上で、起案の内容を授業で発表する。この発表に基づいて、事例問題に含まれる問題点について議論する。）で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	課題の提出、平常点（授業での発言内容及び頻度など）によって評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は指定しない。			
参考書	長谷部恭男・石川健治・宍戸常寿編『憲法判例百選Ⅰ、Ⅱ第6版』（有斐閣、2013年）				
オフィスアワー	月曜日13：30～14：30：13号館（法科大学院）5階 研究室1352				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス:事例問題の解き方及び判例の読み方について解説する。事例問題を解くためには事案処理の模範を示している判例を読んで事案処理の方法を理解する必要がある。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
2	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（１）：憲法21条２項の定める「検閲」の概念及び検閲又は表現の事前抑制が禁止される根拠について判例を踏まえて、検討する。明確性の理論について、判例を踏まえて検討する。「表現の自由を規制する立法の合憲性は、経済的自由を規制する立法よりも厳しい基準によって審査されなければならない」という見解について、検討する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
3	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（２）：どのような場合に憲法が禁止する検閲又は表現の事前抑制に該当するか否かについて、裁判所による名誉及びプライバシーを侵害する表現の差止め及び教科書検定などの具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。「わいせつ」の概念を説明するとともに、わいせつ表現の制約が憲法に適合するか否かについて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
4	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（３）：公務員の人権が特別の制約に服するか否かについて、政治的行為の自由や労働基本権が制約される場合などの具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。

5	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（４）：受刑者及び未決拘禁者の人権について、閲読の自由が制約される場合などの具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
6	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（５）：「知る権利」について、情報の受領を公権力によって妨げられる場合、公権力に対して情報の開示を求める場合及びマスメディアに対して反論文の掲載などを求める場合など、判例を踏まえて、考察する。放送の自由に対する規律の基本的な在り方について説明する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
7	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（６）：公務員の政治活動の自由・公務員の人権が特別の制約に服するか否かについて、政治的行為の自由が制約される場合などの具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。表現の自由の直接的制約と間接的・付随的制約を区別する見解について、判例を踏まえて、検討する。・委任立法の意義及び問題点について検討する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
8	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（７）：表現の内容に着目した規制と表現内容に中立的な規制を区別する見解について、検討する。文面審査や適用審査などの違憲審査の方法及び、法令の全部又は一部違憲、適用違憲などの違憲判断の方法について、説明をする。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
9	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	表現の自由（８）：青少年の健全育成のために、「わいせつ」とまではいえない性表現を制約することが憲法に適合するか否かについて、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
10	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	集会の自由（１）：集会の自由の保障の制約について、公共施設の管理の必要がある場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。また、これに関連して、届出制や許可制などの規制態様に関する問題及び「敵意ある聴衆の法理」について、説明する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
11	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	集会の自由（２）：集会の自由の保障の制約について、道路交通の安全を確保する場合及び公共の秩序を維持する場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
12	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	職業の自由（１）：職業選択の自由の制約目的として、どのようなものがあるかについて、消極目的（警察目的）及び積極目的（社会・経済政策目的）などの区別に留意して、説明する。職業選択の自由の制約について、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
13	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	職業の自由（２）：職業選択の自由の制約について、営業許可の要件として距離制限などを定める場合、租税収入を確保するため開業について許可制をとる場合及び規制一定の品目の輸入を専ら特定の団体に行わせ、その売渡方法及び価格などの規制を行う場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
14	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	生存権：生存権の法的性格に関する学説及び判例の内容について、検討する。・生存権の実現について、立法及び行政の裁量が広く認められるという立場について説明するとともに、判例を踏まえて、裁量統制のあり方を考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
15	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	総復習：前期の授業の総復習として、事例問題を解く力とは何かを確認し、今後の勉強のあり方について考える。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。

科目名	法学演習CⅠ	担当者	佐々木 良行	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、法学の基本的事項の説明を交えつつ、民法の債権各則（債権各論）の基本的事項を具体的に説明する。			
授業目的・到達目標	本授業は、民法の債権各則（債権各論）に関する基本的事項を理解させることを目的とする。本授業（及び法学演習CⅡ）を履修することにより、民法の債権法全体を概観できるようになるとともに、将来の専門的な勉強の基礎固めができるようになる。			
履修条件	六法（平成30年版のものであれば、どこの出版社でも構わない）及び指定の教科書を予め購入・持参の上、授業に臨むこと。また、法学演習CⅡを続けて履修することが望ましい。			
授業方法	指定の教科書や配布資料を参照し、質疑応答を交えながら授業を進める。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		90%	債権各則の基礎知識・基本的事項を十分に理解しているかを判断するために、前期末に筆記試験を行う。
	平常評価		10%	授業中の質疑応答、発言の積極性等を総合して評価する。なお、授業日数の2/3以上の出席数がない場合には成績評価の対象としない。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	日本評論社	スタートライン債権法【第6版】	池田真朗
	備考			
参考書	中田裕康・窪田充見編『民法判例百選Ⅱ 債権[第7版]』（有斐閣、2015年）			
オフィスアワー	水曜日の午後14時～15時30分までの間、13号館（法科大学院研究棟）4階の1346研究室において応対する。その際には、予めメールにて連絡されたい。sasaki.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の2頁から13頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の概念、契約自由の原則、債権法の内容等を理解する。
	事後学習	民法全体の中での債権法の位置づけを具体的に説明できる。
2	事前学習	教科書の14頁から28頁までを読んでおくこと
	授業内容	契約総論、契約の成立を理解する。
	事後学習	契約の拘束力、契約の成立時期等を具体的に説明できる。
3	事前学習	教科書の29頁から40頁までを読んでおくこと
	授業内容	契約の効力を理解する。
	事後学習	同時履行の抗弁権、危険負担等を具体例を用いて説明できる。
4	事前学習	教科書の41頁から54頁までを読んでおくこと
	授業内容	契約の解除を理解する。
	事後学習	解除の意義・要件・効果等を説明できる。

5	事前学習	教科書の55頁から65頁までを読んでおくこと
	授業内容	契約各論の全体像、贈与を理解する。
	事後学習	贈与契約の成立・効力等を説明できる。
6	事前学習	教科書の66頁から72頁までを読んでおくこと
	授業内容	売買（総論）を理解する。
	事後学習	売買の意義・売買契約の成立を説明できる。
7	事前学習	教科書の73頁から88頁までを読んでおくこと
	授業内容	売買（各論Ⅰ）を理解する。
	事後学習	売買契約の効力（前半）を説明できる。
8	事前学習	教科書の89頁から98頁までを読んでおくこと
	授業内容	売買（各論Ⅱ）を理解する。
	事後学習	売買契約の効力（後半）、買戻しを説明できる。
9	事前学習	教科書の99頁から108頁までを読んでおくこと
	授業内容	交換、消費貸借、使用貸借の全体像を理解する。
	事後学習	交換、消費貸借（意義・成立・効力）、使用貸借（意義・成立・効力）を説明できる。
10	事前学習	教科書の109頁から123頁までを読んでおくこと
	授業内容	貸貸借の全体像を理解する。
	事後学習	貸貸借（意義・期間・効力・終了）を説明できる。
11	事前学習	教科書の124頁から135頁までを読んでおくこと
	授業内容	雇用、請負、委任の全体像を理解する。
	事後学習	雇用、請負（意義・成立・効力）、委任（意義・成立・効力・終了）を説明できる。
12	事前学習	教科書の136頁から139頁までを読んでおくこと
	授業内容	その他の典型契約の全体像を理解する。
	事後学習	寄託、組合、終身定期金、和解を説明できる。
13	事前学習	教科書の140頁から155頁までを読んでおくこと
	授業内容	事務管理・不当利得の全体像を理解する。
	事後学習	事務管理（意義・成立要件・効果等）、不当利得（意義・成立要件・効果、特殊の不当利得等）を説明できる。
14	事前学習	教科書の156頁から164頁までを読んでおくこと
	授業内容	不法行為（総論）を理解する。
	事後学習	不法行為の意義・成立要件・効果を説明できる。
15	事前学習	教科書の165頁から176頁までを読んでおくこと
	授業内容	不法行為（各論）を理解する。
	事後学習	特殊な不法行為、現代的不法行為、不法行為の特別法等を説明できる

科目名	法学演習CⅡ	担当者	岡田 俊幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法の「基本的人権」は法学部の基本的科目の一つであり、多くの学生は、「憲法Ⅰ（人権）」の講義の履修によって基本的人権に関する基礎的知識をある程度は習得しているはずである。この授業においては、基本的人権に関する基礎的知識を、判例の研究や事例問題の検討を通して確実なものとするとともに、法律家に求められる事案処理能力を修得するために必要な基礎的能力を修得する。そのために教科書の読み方や判例の読み方を重点的に学修する。			
授業目的・到達目標	この授業は、法律家に求められる事案処理能力を今後の学修を通して修得することができるために必要な基礎的能力を修得することを目的とする。上記の基礎的能力を身に付けるために、この授業は、「基本的人権」の分野に属する事例問題を解くという方法を採用する。達成目標は、憲法の「基本的人権」の分野に関する判例及び学説を復習することと、法律家に求められる事案処理能力（事例解析能力、論理的思考力、法解釈・適用能力等）を修得するために前提となる基礎的能力を修得することである。なお、念のために言うと、事案処理能力の修得それ自体が到達目標ではなく、それに向けた一歩を踏み出すために必要な基本的な能力を身に付けることが到達目標であり、授業内容も難解なものではない。			
履修条件	2年次以上の学生であること以外にとくに限定はないが、憲法Ⅰ（人権）を履修済み（履修中）であることが望ましい。なお、法学演習Ⅱ C のみの履修でも構わない。			
授業方法	演習形式（事例問題について報告者を指定し、報告者は、在宅にて起案等を作成して指定日までに提出した上で、起案の内容を授業で発表する。この発表に基づいて、事例問題に含まれる問題点について議論する。）で行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	課題の提出、平常点（授業での発言内容及び頻度など）によって評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	教科書は指定しない。		
参考書	長谷部恭男・石川健治・宍戸常寿編『憲法判例百選Ⅰ、Ⅱ第6版』（有斐閣、2013年）			
オフィスアワー	月曜日18：00～17：00：13号館（法科大学院）5階 研究室1352			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス:事例問題の解き方及び判例の読み方について解説する。事例問題を解くためには事案処理の模範を示している判例を読んで事案処理の方法を理解する必要がある。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
2	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	良心の自由（1）：思想及び良心の自由の制約について、裁判所が謝罪広告の掲載を命令する場合及び学校が内申書に政治活動歴を記載する場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
3	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	良心の自由（2）：思想及び良心の自由の制約について、公立学校の校長が国歌斉唱の際に音楽教師にピアノ伴奏を命令する場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
4	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	信教の自由：信教の自由の制約について、宗教上の行為により他者加害をもたらす場合及び信仰に基づく体育実技の履修の免除など、法が一般的に課す義務の免除を宗教上の理由に基づいて求める場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。

5	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	政教分離：どのような行為が政教分離規定に違反するかについて、国などが宗教的行事を行う場合、国などが宗教団体若しくは宗教的活動に公金の支出などを行う場合、公務員が宗教的行事に参加する場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえ、目的効果基準に照らして考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
6	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	財産権（１）：財産権に対する制約について、共有物の分割請求権を制限する場合及び金融商取引におけるインサイダー情報の不当な利用の防止に係る規制を課す場合など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
7	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	財産権（２）：憲法29条3項の定める「公共のために用ひる」の意味について説明する。財産権に対する制約のうち、どのような場合に補償を行う必要があるかについて、判例を踏まえて、検討する。憲法29条3項の定める「正当な補償」の意味について説明する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
8	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	選挙権（１）法律の規定の廃止又は不存在のために選挙権を行使できないことが憲法に違反するか、違憲の場合にいかなる裁判上の救済がありうるかについて、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
9	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	選挙権（２）：選挙権の性格について説明する。被選挙権及び立候補の自由の保障根拠並びにその制約の根拠と制約が許される程度などについて、具体的事例を挙げて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
10	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	選挙権（３）：外国人に選挙権や被選挙権が保障されるか否か、国政選挙と地方選挙の場合について、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
11	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	選挙権（４）：外国人に公務就任権が保障されるか、既に公務員となっている定住外国人に管理職への昇進の機会を与えないことが平等原則に違反するかについて、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
12	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	平等（１）：どのような区別が合理的な根拠に基づくものではなく、法の下での平等に反するかについて、尊属に対する犯罪を特に重く処罰する規定及び日本国民の父と外国籍の母との間に出生し、その後、父から認知された子に対して、帰化と準正の場合を除き日本国籍の取得を認めない規定など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
13	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	平等（２）：どのような区別が合理的な根拠に基づくものではなく、法の下での平等に反するかについて、非嫡出子の法定相続分を嫡出子の2分の1とする規定及び女性の再婚禁止期間を定める規定など、具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
14	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	平等（３）：選挙における投票価値の平等について、議員定数不均衡問題などの具体的事例を挙げ、判例を踏まえて、考察する。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。
15	事前学習	事前に配布する教材を事前によく読み、授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	総復習：後期の授業の総復習として、事例問題を解く力とは何かを確認し、今後の勉強のあり方について考える。
	事後学習	配布された教材に基づいて授業内容を復習すること。

科目名	法学演習CⅡ	担当者	佐々木 良行	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、法学の基本的事項の説明を交えつつ、民法の債権総則（債権総論）の基本的事項を具体的に説明する。				
授業目的・到達目標	本授業は、民法の債権総則（債権総論）に関する基本的事項を理解させることを目的とする。本授業（及び法学演習CⅠ）を履修することにより、民法の債権法全体を概観できるようになるとともに、将来の専門的な勉強の基礎固めができるようになる。				
履修条件	六法（平成30年版のものであれば、どこの出版社でも構わない）及び指定の教科書を予め購入・持参の上、授業に臨むこと。また、法学演習CⅠを履修していることを前提とする。				
授業方法	指定の教科書や配布資料を参照し、質疑応答を交えながら授業を進める。				
成績評価	種別		割合		評価方法
	定期試験		90%		債権総則の基礎知識・基本的事項を十分に理解しているかを判断するために、後期末に筆記試験を行う。
	平常評価		10%		授業中の質疑応答、発言の積極性等を総合して評価する。なお、授業日数の2/3以上の出席数がない場合には成績評価の対象としない。
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017年	日本評論社		スタートライン債権法【第6版】	池田真朗
	備考				
参考書	中田裕康・窪田充見編『民法判例百選Ⅱ 債権[第7版]』（有斐閣、2015年）				
オフィスアワー	水曜日の午後14時～15時30分までの間、13号館（法科大学院研究棟）4階の1346研究室において応対する。その際には、予めメールにて連絡されたい。sasaki.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の177頁から180頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権総論の全体像を理解する。
	事後学習	債権として成立するための基本的要件、債権の分類を説明できる。
2	事前学習	教科書の181頁から190頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の目的（債権の内容と種類）を理解する。
	事後学習	特定物債権と種類債権、金銭債権、選択債権を説明できる。
3	事前学習	教科書の191頁から194頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の効力Ⅰを理解する。
	事後学習	債権の基本的効力、強制履行を説明できる。
4	事前学習	教科書の195頁から210頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の効力Ⅱを理解する。
	事後学習	債務不履行、損害賠償を説明できる。

5	事前学習	教科書の211頁から215頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の効力Ⅲを理解する。
	事後学習	受領遅滞、債権の対外的効力を説明できる。
6	事前学習	教科書の216頁から228頁までを読んでおくこと
	授業内容	責任財産の保全Ⅰを理解する。
	事後学習	債権者代位権を説明できる。
7	事前学習	教科書の229頁から239頁までを読んでおくこと
	授業内容	責任財産の保全Ⅱを理解する。
	事後学習	詐害行為取消権を説明できる。
8	事前学習	教科書の240頁から252頁までを読んでおくこと
	授業内容	多数当事者の債権関係Ⅰを理解する。
	事後学習	分割債権・分割債務、不可分債権・不可分債務を説明できる。
9	事前学習	教科書の253頁から269頁までを読んでおくこと
	授業内容	多数当事者の債権関係Ⅱを理解する。
	事後学習	連帯債務・連帯債権、保証債務（前半）を説明できる。
10	事前学習	教科書の270頁から278頁までを読んでおくこと
	授業内容	多数当事者の債権関係Ⅲを理解する。
	事後学習	保証債務（後半）を説明できる。
11	事前学習	教科書の279頁から298頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権関係の移転Ⅰを理解する。
	事後学習	債権関係の移転の全体像、債権譲渡を説明できる。
12	事前学習	教科書の299頁から311頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権関係の移転Ⅱを理解する。
	事後学習	債務引受、契約上の地位の移転を説明できる。
13	事前学習	教科書の312頁から324頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の消滅Ⅰを理解する。
	事後学習	債権の消滅の全体像、弁済を説明できる。
14	事前学習	教科書の329頁から335頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の消滅Ⅱを理解する。
	事後学習	相殺を説明できる。
15	事前学習	教科書の336頁から338頁、教科書の325頁から328頁までを読んでおくこと
	授業内容	債権の消滅Ⅲを理解する。
	事後学習	更改・免除・混同、代物弁済・供託を説明できる。

科目名	法学演習D I	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、私たちにもっとも身近なテーマである「家族」をとりあげ、法的観点から、議論を行います。そこで、まずは、判例研究を行う上で必要な知識（条文・判例の読み方、文献・資料の調べ方、・答案の書き方）を学んでもらいます。その後、グループで判例研究を行ってもらい、それを順次発表していきます。また、それと併行し、個別のレポート課題の作成にも取り組んでもらいます。				
授業目的・到達目標	この演習授業では、学生の皆さんの生活領域の中でどのような法律問題が存在しうるのかについてまずは気づいてもらい、法を学ぶ面白さを広く知ってもらうことを目的としています。ただし、表面的な面白さではなく、真の面白さに気付くためには、自らがその事柄につき深くかかわり、考えることが必要です。 そこで、この授業では、授業概要でも述べたとおり、私たちにもっとも身近なテーマである「家族」をとりあげ、法的観点から、議論を行います。法律を深く学んでいくために必要な知識（条文・判例の読み方、文献・資料の調べ方、レポート・答案の書き方）を身につけてもらうことを到達目標とします。				
履修条件	原則として、民法Ⅰを履修済の学生を対象とします。ただし、民法Ⅰを履修中の学生であっても、民法に興味がある学習意欲のある学生は歓迎します。この授業では、積極的な授業参加が求められます。				
授業方法	テキスト・配布レジュメを用いて基礎知識を学んだ後、グループに分かれ、演習を行います。その際は、文献・資料の調べ方、レジュメ・レポート・答案の作成方法、判例の読み方なども一緒に学習していきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業態度、課題の提出などを総合的に評価します。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014	有斐閣	法解釈入門―「法的」に考えるための第一歩		山下純司・島田聡一郎・矢野常寿
	備考				
参考書	演習の際に適宜紹介しますが、親族・相続法のテキストを1冊は用意すること				
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館7F1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、目次に目を通してくること
	授業内容	ガイダンス、六法の読み方（※六法を持参すること）
	事後学習	レジュメを見直すこと
2	事前学習	テキストのIntroductionの箇所を読んでくること
	授業内容	テキストのIntroductionの確認 テキスト第1部第1章、2章の輪読（条文を眺めてみる、条文を解釈するとは？）
	事後学習	テキストの第1部第1章、2章の要約の作成
3	事前学習	テキスト第1部第3章、第4章を読んでくること
	授業内容	テキスト第1部第3章、第4章の輪読（民法における法解釈の特徴、法解釈と利益衡量論）
	事後学習	テキスト第1部第3章の要約の作成
4	事前学習	テキスト第1部第5章、第6章を読んでくること
	授業内容	テキスト第1部第5章、第6章の輪読（解釈の対象となる法、判例学説の関係）
	事後学習	テキスト第1部第5章、第6章の要約の作成

5	事前学習	テキスト第2部第7章を読んでくること 物権的請求権について学習してくること
	授業内容	物権的請求権の基礎知識の確認 テキスト第2部第7章の輪読（法解釈例－物権的請求権）
	事後学習	テキスト第2部第7章の物権的請求権の箇所を復習すること
6	事前学習	テキスト第2部第7章を読んでくること 権利外観法理について学習してくること
	授業内容	テキスト第2部第7章の輪読（94条2項の類推適用） グループ分け
	事後学習	テキストにでてきた権利外観法理の判例について調べてくること テキストの総復習をしておくこと
7	事前学習	講義内で指示した判例を集めてくること
	授業内容	判例の読み方について確認 演習①（グループでの判例研究の準備（資料収集等）
	事後学習	グループごとに判例研究の準備
8	事前学習	判例研究報告の準備
	授業内容	演習②（研究発表の準備）
	事後学習	グループごとに研究報告の準備
9	事前学習	グループごとに研究報告の準備
	授業内容	演習③（研究発表）
	事後学習	グループごとに研究発表の準備
10	事前学習	グループごとに研究発表の準備
	授業内容	演習④（研究発表）
	事後学習	グループごとに研究発表の準備 判例研究の方法について復習しておくこと
11	事前学習	判例研究のテーマ候補を考えてくること（グループ、個別）
	授業内容	演習⑤（判例研究の方法についての再確認、新たなグループ発表のテーマ選択、資料収集）
	事後学習	グループごとに研究発表の準備（資料収集等） 個別課題のテーマ選択・資料収集
12	事前学習	グループごとに研究発表の準備
	授業内容	演習⑥（研究発表準備、個別課題のテーマを発表）
	事後学習	グループごとに研究発表の準備 個別課題の作成準備
13	事前学習	グループごとに研究発表の準備
	授業内容	演習⑦（研究発表準備、個別レポートの指導）
	事後学習	グループごとに研究発表の準備
14	事前学習	グループごとに研究発表の準備
	授業内容	演習⑧（研究発表）
	事後学習	個別のレポートの作成、グループごとに研究発表の準備
15	事前学習	個別レポートの完成
	授業内容	演習⑨（研究発表） 個別レポート課題の提出
	事後学習	後期に実施する個別レポート課題の発表準備

科目名	法学演習Ⅱ	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この演習授業では、私たちにもっとも身近なテーマである「家族」をとりあげ、法的観点から、議論を行います。そこで、前期で学んだ必要な知識（条文・判例の読み方、文献・資料の調べ方、小論文・答案の書き方）を用いて、後期は、グループ発表を行うとともに、個別のレポート課題の作成に取り組んでもらいます。				
授業目的・到達目標	この演習授業では、まずは、学生の皆さんの生活領域の中でどのような法律問題が存在しうるのかについて気づいてもらい、法を学ぶ面白さを広く知ってもらうことを目的としています。ただし、表面的な面白さではなく、真の面白さに気付くためには、自らがその事柄につき深くかかわり、考えることが必要です。 そこで、この授業では、最終的には、自身でテーマを選択し、小論文を完成することを目標とします。				
履修条件	原則として、民法Ⅰを履修済の学生を対象とします。ただし、民法Ⅰを履修中の学生であっても、民法に興味がある学習意欲のある学生は歓迎します。この授業では、積極的な授業参加が求められます。				
授業方法	前半は、グループに分かれて演習を行います。その際は、文献・資料の調べ方、レジュメの作成方法、判例の読み方などについても一緒に学習していきます。後半は、小論文の指導を行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業態度、課題の提出などを総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	演習の際に適宜紹介しますが、親族・相続法のテキストを1冊は用意すること				
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館7F1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期末のレポート課題について個別報告を行ってもらうため、その準備をしてくること 後期では、小論文を完成を目標としているため、そのテーマについて考えてくこと
	授業内容	レポート課題の報告会、小論文の書き方についての説明
	事後学習	小論文のテーマについて考えてくこと（関連する資料を集めてくこと）
2	事前学習	小論文のテーマ及びその概要についてまとめてくこと
	授業内容	小論文のテーマ選択について個別面談の実施 （ただし、テーマ選択が済んでいる学生については、資料収集）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成
3	事前学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表においてやってみたいテーマを考えてくこと
	授業内容	判例研究①（グループ発表の準備、テーマ選択）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表の準備を進めてくこと
4	事前学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表の準備を進めてくこと
	授業内容	判例研究②（発表準備）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成

5	事前学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表の準備を進めてくること
	授業内容	判例研究③（発表準備）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表の準備を進めてくること
6	事前学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表の準備を進めてくること
	授業内容	判例研究④（グループ発表）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成 グループ発表の準備を進めてくること
7	事前学習	グループ発表の準備を進めてくること
	授業内容	判例研究⑤（グループ発表）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成
8	事前学習	グループ発表の準備をすすめてくること
	授業内容	判例研究⑥（グループ発表）
	事後学習	選択した小論文のテーマに関する資料収集、参考文献の作成
9	事前学習	小論文の1章「はじめに」を完成させてくること
	授業内容	小論文の経過報告会①
	事後学習	小論文を書き進めること
10	事前学習	小論文の第2章までを完成させてくること
	授業内容	小論文の経過報告会②
	事後学習	小論文を書き進めること
11	事前学習	小論文を第3章までを完成させてくること
	授業内容	小論文の指導①
	事後学習	小論文を書き進めること
12	事前学習	小論文の「おわりに」の部分の完成及び「はじめに」の部分の修正
	授業内容	小論文の指導②
	事後学習	小論文を書きあげるとともに、報告の準備
13	事前学習	小論文を書きあげるとともに、要旨の作成
	授業内容	小論文の報告会①
	事後学習	小論文を書き進めること（指摘を受けた点について修正すること）
14	事前学習	小論文を書きあげるとともに、要旨の作成
	授業内容	小論文の報告会②
	事後学習	小論文の推敲、注、参考文献の完成
15	事前学習	小論文の完成、提出の準備
	授業内容	小論文の提出・最終校正
	事後学習	修正箇所 の指摘があったときには、それを修正し、再提出すること

科目名	法学演習E I	担当者	蟻川 恒正	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	憲法の基本原理について演習する。			
授業目的・到達目標	憲法の基本原理について批判的討究ができるようになること。			
履修条件	この演習を楽しむ意欲のある学生でること。			
授業方法	演習形式			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	この演習の全体をどれだけ理解しているかをレポートによって判定する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	追って指示する。			
オフィスアワー	火曜日の13：30～14：30に対応します。13号館1階受付にて蟻川へ連絡するよう伝えてください。 なお、相談内容等により、改めて日時を指定する場合があります。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	憲法の基本原理を主題とする演習について想像をめぐらしておくこと。
	授業内容	開講の辞
	事後学習	事前の想像と開講の辞とのギャップがあったとすればそれは何故かを自問すること。
2	事前学習	事前の想像と開講の辞とのギャップがあったとすればそれは何故かを自答すること。
	授業内容	憲法の基本原理
	事後学習	次回以下のこの演習の展開を希望的に予測すること。
3	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	戦後日本の前提
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
4	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	戦争の法
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。

5	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	自衛権
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
6	事前学習	前3回の演習について考えておくこと。
	授業内容	小括
	事後学習	前3回の演習について1000字前後で表現できるようになること。
7	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	国家儀礼
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
8	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	象徴
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
9	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	公的行為と私的行為
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
10	事前学習	前3回の演習について考えておくこと。
	授業内容	小括
	事後学習	前3回の演習について1000字前後で表現できるようになること。
11	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	社会契約
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
12	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	人権
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
13	事前学習	主題について考えておくこと。
	授業内容	公共の福祉
	事後学習	主題について1000字前後で表現できるようになること。
14	事前学習	前3回の演習について考えておくこと。
	授業内容	小括
	事後学習	前3回の演習について1000字前後で表現できるようになること。
15	事前学習	事前の想像とこの演習とのギャップがあったとすればそれは何故かを自問すること。
	授業内容	閉講の辞
	事後学習	事前の想像と開講の辞とのギャップがあったとすればそれは何故かを自答すること。

科目名	法学演習EⅡ	担当者	蟻川 恒正	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	人権総論の基本問題について演習する。				
授業目的・到達目標	人権総論の基本問題についての判例をめぐり討議できるようになること。				
履修条件	この演習を楽しむ意欲のある学生であること。				
授業方法	演習形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	この演習の全体をどれだけ理解できているかをレポートによって判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	追って指示する。				
オフィスアワー	火曜日の13：30～14：30に対応します。13号館1階受付にて蟻川へ連絡するよう伝えてください。 なお、相談内容等により、改めて日時を指定する場合があります。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	人権総論の基本問題を主題とする演習について想像をめぐらしておくこと。
	授業内容	開講の辞
	事後学習	事前の想像と開講の辞とのギャップがあったとすればそれは何故かを自問すること。
2	事前学習	事前の想像と開講の辞とのギャップがあったとすればそれは何故かを自答すること。
	授業内容	人権総論
	事後学習	次回以下のこの演習の展開を希望的に予測すること。
3	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	私人間効力の判例
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
4	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	私人間効力の判例
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。

5	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	公務員の自由についての判例
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
6	事前学習	題判例について考えておくこと。
	授業内容	公務員の自由についての判例
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
7	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	法人の自由についての判例
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
8	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	法人の自由についての判例
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
9	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	個人の自由についての判例Ⅰ
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
10	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	個人の自由についての判例Ⅰ
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
11	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	個人の自由についての判例Ⅱ
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
12	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	個人の自由についての判例Ⅱ
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
13	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	個人の自由についての判例Ⅲ
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
14	事前学習	主題判例について考えておくこと。
	授業内容	個人の自由についての判例Ⅲ
	事後学習	主題判例について500字前後で表現できるようになること。
15	事前学習	事前の想像とこの演習とのギャップがあったとすればそれは何故かを自問すること。
	授業内容	閉講の辞
	事後学習	事前の想像とこの演習とのギャップがあったとすればそれは何故かを自答すること。

科目名	法学特殊講義（ジェンダーと法）Ⅰ	担当者	松島 雪江	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「正義の実現」を目的の一つに掲げる法を、ジェンダーの視点から分析することが、この「ジェンダーと法」の授業である。私たちの社会には、伝統的な慣習や認知バイアスなどから、差別構造を含む法の条文や法システムを、不変的な既定のものとして捉えることがある。またそのような法規範が存在することにより、妥当とは言えない規範意識が再生産され、生き辛さに結びつくことがある。こうした「法のゆがみ」をジェンダーという視点から見直してみたい。				
授業目的・到達目標	法の目的の一つである「正義の実現」のために、法がどのような機能を果たしており、また果たす可能性を持つのか、もしくはいかに法により操作されうるのかを、ジェンダーの見地から検証しつつ、現代法に潜む問題を認識することが、この授業の目的である。ジェンダーとは何か、それがどのように法と関連しているのかという基盤的知識を習得すること。そしてその上で、現代法の構造的・機能的問題を見出すことを授業目的とする。法をジェンダーの視点から見たとき、どのような問題があるのかを理解し、それを論理的に表現する力をつけることを到達目標とする。				
履修条件	真摯かつ積極的な態度で授業に臨むことが要請される。				
授業方法	講義形式を基本としつつ、グループディスカッションや相互の意見交換、小レポートの作成などを行いながら授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	70%以上の出席を前提に、前・後期各1回（計2回）の筆記試験による評価（50%）。発言や質問、小レポート等、授業への参加内容による評価（50%）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	A 犬伏由子、井上匡子、君塚正臣編『レクチャー ジェンダー法』法律文化社、2012年。 B 辻村みよ子『概説ジェンダーと法（第2版）』信山社、2016年。				
オフィスアワー	木曜2限、研究室にて。事前にメールで訪問につき連絡をして下さい。 matsushima.yukie@nihon-u.ac.jp 本館7階1713研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「ジェンダー差別」という言葉から想起される事例を各自考えておく。
	授業内容	オリエンテーション ジェンダーを学ぶ意義
	事後学習	「ジェンダー・ステレオタイプ」を考え直しておく。自分の問題として、ジェンダーがどう関わっているのかを考える。
2	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A序章
	授業内容	ジェンダーとは何か
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
3	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A1章
	授業内容	日本における性差別
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
4	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A2章
	授業内容	諸外国における性差別
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。

5	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A3章
	授業内容	フェミニズム法学の展開
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
6	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A4章
	授業内容	学校教育にみるジェンダー・バイアス
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
7	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A5章、（B9章）
	授業内容	家族と平等
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
8	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A6章、（B9章）
	授業内容	家族と自由
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
9	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A7章
	授業内容	失われたものの「値段」の男女差
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
10	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A8章、（B 7 章）
	授業内容	労働とワーク・ライフ・バランス 雇用とジェンダー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
11	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A9章、（B8章、B9章）
	授業内容	社会保障とジェンダー1 家族と個人
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
12	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A9章、（B8章、B 9 章）
	授業内容	社会保障とジェンダー 2 家族モデルの変化
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
13	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A17章
	授業内容	男性にとってのジェンダー法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
14	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 A18章
	授業内容	ジェンダー法学の応用
	事後学習	このsemesterでの授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、どのような問題があるのか、またその何が問題であるのかを論理的に説明できるようにしておく。
15	事前学習	このsemesterの内容について、要点を確認し、問題について論理的な記述が行えるようにしておく。
	授業内容	まとめと評価
	事後学習	重要論点がどこにあったかを確認し、その点を整理し直しておく。

科目名	法学特殊講義（ジェンダーと法）Ⅱ	担当者	松島 雪江	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	「正義の実現」を目的の一つに掲げる法を、ジェンダーの視点から分析することが、この「ジェンダーと法」の授業である。私たちの社会には、伝統的な慣習や認知バイアスなどから、差別構造を含む法の条文や法システムを、不変的な既定のものとして捉えることがある。またそのような法規範が存在することにより、妥当とは言えない規範意識が再生産され、生き辛さに結びつくことがある。こうした「法のゆがみ」をジェンダーという視点から見直してみたい。				
授業目的・到達目標	法の目的の一つである「正義の実現」のために、法がどのような機能を果たしており、また果たす可能性を持つのか、もしくはいかに法により操作されうるのかを、ジェンダーの見地から検証しつつ、現代法に潜む問題を認識することが、この授業の目的である。ジェンダーとは何か、それがどのように法と関連しているのかという基盤的知識を習得すること。そしてその上で、現代法の構造的・機能的問題を見出すことを授業目的とする。法をジェンダーの視点から見たとき、どのような問題があるのかを理解し、それを論理的に表現する力をつけることを到達目標とする。				
履修条件	真摯かつ積極的な態度で授業に臨むことが要請される。				
授業方法	講義形式を基本としつつ、グループディスカッションや相互の意見交換、小レポートの作成などを行いながら授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	70%以上の出席を前提に、前・後期各1回（計2回）の筆記試験による評価（50%）。発言や質問、小レポート等、授業への参加内容による評価（50%）。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	A 犬伏由子、井上匡子、君塚正臣編『レクチャー ジェンダー法』法律文化社、2012年。 B 辻村みよ子『概説ジェンダーと法（第2版）』信山社、2016年。				
オフィスアワー	木曜2限、研究室にて。事前にメールで訪問につき連絡をして下さい。 matsushima.yukie@nihon-u.ac.jp 本館7階1713研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ジェンダーと何か、ジェンダーを巡ってどのような問題があるのかを、自分に引きつけて具体的に考えておく。
	授業内容	前期セメスターの確認 ジェンダーとは何か、「ジェンダーと法」が明らかにするもの
	事後学習	自分に起きたジェンダーに関する具体的問題を、ジェンダー中立的見地から眺めるとどのようになるかを考える。
2	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B2章
	授業内容	女性の権利の展開
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
3	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B3章
	授業内容	男女共同参画
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
4	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B4章
	授業内容	日本における男女共同参画社会基本法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。

5	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B5章
	授業内容	日本国憲法の平等原理と性差別
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
6	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B6章
	授業内容	政治参加とジェンダー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
7	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B7章
	授業内容	雇用とジェンダー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
8	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B8章
	授業内容	社会保障とジェンダー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
9	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B9章
	授業内容	家族とジェンダー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
10	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B10章
	授業内容	リプロダクティブ・ライツ
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
11	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B14章
	授業内容	性表現と法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
12	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B13章
	授業内容	セクシュアリティと法 1
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
13	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B13章
	授業内容	セクシュアリティと法2
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、自分の言葉で授業内容を説明できるようにしておく。十分説明できない点、わからなかった点、疑問点など質問できるようにしておく。
14	事前学習	前回の内容について、事前に再度確認しておく。 B15章、（A16章）
	授業内容	司法におけるジェンダー・バイアス
	事後学習	このセメスターでの授業内容を見直し、ノートを整理する。キーワードを用いながら、どのような問題があるのか、またその何が問題であるのかを論理的に説明できるようにしておく。
15	事前学習	このセメスターの内容について、要点を確認し、問題について論理的な記述が行えるようにしておく。
	授業内容	まとめと評価
	事後学習	重要論点がどこにあったかを確認し、その点を整理し直しておく。

科目名	法思想史Ⅰ	担当者	井上 琢也	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	この授業では、古代から中世までの自然法論の流れに身を任せじっくり下っていくことにします。「自然」という不思議かつ本質的な概念を手がかりに、西欧の法思想家たちは、法学・神学の隅々にまで目配りした巧妙な議論を展開して来ました。「自由意志」論や「清貧論争」等にもつながる自然法論について丹念に掘り下げ考察した上で、臨床研修として、「正戦」や「死体」を法思想はどう位置づけてきたのか紹介することになります。			
授業目的・到達目標	現在を考えるためには過去の思想の蓄積と戯れることが不可欠であることに気づいてもらい、「自然」や「自由」等の言葉を巡って陥りがちな誤解から皆さんが脱出する手助けをすることが、この授業の目的となります。皆さんが主体的に学修すれば、法学徒として知るべき基礎概念の意味を正確に把握し、社会人として生き抜いていく支えとなる法的語彙を豊富に身につけることができ、資格試験の短答問題等にも頻出する「自然法」等の主題について確信をもって解答を行うことが出来るようになると思います。			
履修条件	特にありません。			
授業方法	講義形式で行います。ノートをしっかりとってください。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	15回目に実施予定の授業内試験で判定します。記述式説明問題を出題し、授業で言及した概念をどれだけ上手に使いこなせているかが主な評価基準となります。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	私が作成し授業時に配布する資料に基づいて講義を行います。		
参考書	田中・竹下等著『法思想史 第2版』有斐閣・2011；森村進編『法思想の水脈』法律文化社・2016 その他、授業で適宜紹介します。			
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「自然」という言葉の意味を辞典で調べておいて下さい。
	授業内容	<プレリュード> 開幕にあたり、授業で何を話すか、どう進めていくか説明します。
	事後学習	「自然」という言葉がもつ意味の豊かさを存分に味わって下さい。
2	事前学習	ソポクレス作『オイディプス王』のあらすじについて確認しておいて下さい。
	授業内容	<古代ギリシアの法思想と女神達> 戯曲『オイディプス王』等を参照しながら、ディケー等の女神たちとギリシア法思想が契った関係について概観します。
	事後学習	アルカイック期における「自然と人為」の関係性の変化について整理しておいて下さい。

3	事前学習	世界史の教科書等を参照して、紀元前6世紀から前4世紀にかけてのギリシアの状況を確認しておいて下さい。
	授業内容	＜ピュシスとノモス＞ プラトンのソフィスト批判に注目しながら、自然法論の源流に立てられた「ピュシスとノモス」という二つの旗について考察します。
	事後学習	プラトンにおける「ピュシスと法」の関係性について整理しておいて下さい。
4	事前学習	プラトンの「イデア」論について読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜アリストテレスと自然、正義（1）＞ 万学の祖とされるアリストテレスの「目的」論的世界観を、「自然」概念と正義論に焦点を絞って概観します。
	事後学習	「ゾーン・ポリティコン」等の重要概念について意味を確認しておいて下さい。
5	事前学習	前回の配付資料を読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜アリストテレスと自然、正義（2）＞ 前回の続きです。
	事後学習	「配分的正義」等の重要概念について意味を確認しておいて下さい。
6	事前学習	ソフィストの「ノモス」批判について読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜ストア派周辺の人々と自然法＞ 自然法について考えるとき準拠される枠組みをほぼ完成させたストア派周辺の議論を整理し、「万民法」や「ロゴス」といった概念の位置づけを確認します。
	事後学習	多様な「ius」概念について慎重に整理しておいて下さい。
7	事前学習	世界史の教科書等を参照して、後4世紀のキリスト教会の状況を確認しておいて下さい。
	授業内容	＜アウグスティヌスと自然法＞ 「神の国」や「自由意志」に関する議論にも当然目配りしながら、「永久法」概念等に基づくアウグスティヌスの自然法論について考察します。
	事後学習	アウグスティヌスが「国家」や「悪」等についてどう考えたか整理しておいて下さい。
8	事前学習	アリストテレスの「自然」論とアウグスティヌスの「永久法」論について読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜トマス・アクィナスと自然法（1）＞ 中世スコラ学を体系化し、その後の「法」の見方についても決定的な影響を与えた教会人トマスの自然法論について紹介した上で、彼の思想を多角的に考察します。
	事後学習	トマスの「ius」論、「墮罪」論等について整理しておいて下さい。
9	事前学習	前回の配付資料を読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜トマス・アクィナスと自然法（2）＞ 前回の続きです。
	事後学習	「主知主義」や「自由意志」等について整理しておいて下さい。
10	事前学習	『薔薇の名前』という小説・映画について調べておいて下さい。
	授業内容	＜『薔薇の名前』の法思想史 オッカム＞ 14世紀の哲学者オッカムには主意主義や唯名論という属性が通常付与されるのですが、彼が展開した教会批判を自然法論等の枠組に依拠して考察します。
	事後学習	「主意主義」や「唯名論」等について整理しておいて下さい。
11	事前学習	世界史の教科書等を参照して、17世紀前半のオランダの状況を確認しておいて下さい。
	授業内容	＜「正戦」の法思想史 グロティウス＞ グロティウスの「正戦」論を手がかりに、ヨーロッパ「正戦」論の流れを概観した上で、この早熟な思想家の複眼的営為を様々な角度から分析します。
	事後学習	戦争を巡る「悪」や「嘘」について見つめ直して下さい。
12	事前学習	前々回の配付資料を読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜「所有」の法思想史＞ オッカムの「清貧論争」等を前提として、イスラームの「所有」観等と比較しながら、「所有」の様々な捉え方を復習を兼ねて紹介します。
	事後学習	トマス等の「所有」論とも比較して整理しておいて下さい。
13	事前学習	「死」をどのように定義するか、自分なりの答えを考えておいて下さい。
	授業内容	＜「死」の法思想史（1） 「死体」＞ ヨーロッパ社会において、死体がどのように扱われてきたか、近代ドイツのユダヤ共同体等を例に、法思想史の立場から考察します。
	事後学習	近代ユダヤ人の「死」に対する考え方を踏まえて、「死体」とは何か考え直してみして下さい。

14	事前学習	「自殺」と「自死」の違いについて調べておいて下さい。
	授業内容	<「死」の法思想史（2） 「自死」> ヨーロッパ社会において、自ら死を選んだ者がどのように扱われてきたかを概観して、死を巡る思想史的考察を総括します。
	事後学習	「自殺の病理化」等について歴史的意味を確認しておいて下さい。
15	事前学習	重要な言葉の意味をしっかりと確認して、全体像を整理して試験に臨んで下さい。
	授業内容	授業内試験及びこれまでの授業の振返りを実施する予定です。但し、履修者数等によって予定変更することもありますのでご注意ください。
	事後学習	試験で答えられなかった箇所を見つめ直して下さい。

科目名	法思想史Ⅰ	担当者	松島 雪江	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	基礎法学としての法を考えると、法の歴史、法をどう見るか（正義論）、法的な問題解決の方法などが主たるテーマであり、それを法思想を通じて見るのがこの授業である。自然法論と法実証主義との対立、何を社会的な正義とみなすか、正当な手続きとはどのようなものか、といった視点から、法がどのように捉えられ、活用されてきたのか、そして現代的な諸課題にどう対応できるのかを考えていく。			
授業目的・到達目標	法的な正しさを論理的に示すためには、適切な材料を用いる必要がある。法思想はその宝庫である。国家主権、正義論、民主主義、生命倫理等の問題と関連させながら、様々な法思想を確認していくことを目的とする。法的な正しさについて考える際、どのような見方がありうるのかを理解し、相対立し合う見解をもを踏まえた上で、自己の見方を論理的に表現できるようにすること。			
履修条件	真摯な態度で授業に望むこと。授業の前・後に学習を行い、授業内容のより深い理解に努めること。授業内で議論をする際には、必ず発言すること。			
授業方法	講義形式を基本としつつ、一定のテーマを扱った後、それについてレポートを作成してもらう。授業内で議論し合うこともある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	70%以上の出席を前提として、最終レポートの作成（50%）、及び授業内レポートの提出有無とその内容（50%）により評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	法律文化社	法思想の水脈	森村進編
	備考			
参考書	深田三徳、濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』ミネルヴァ書房、2007年。 竹下賢他編『はじめて学ぶ法哲学・法思想』ミネルヴァ書房、2010年。			
オフィスアワー	木曜2限、研究室にて。事前にメールで訪問につき連絡をして下さい。 matsushima.yukie@nihon-u.ac.jp 本館7階1713研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	社会的な正しさと、法的な正しさとの異同を考えておく。
	授業内容	前期オリエンテーション 法思想と法哲学
	事後学習	法思想を学ぶ意義を押さえておく。
2	事前学習	教科書1章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	古代ギリシアの法思想1 ソクラテス、プラトン
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。

3	事前学習	教科書 1 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	古代ギリシアの法思想 2 アリストテレス
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
4	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。 教科書 2 章に目を通しておく。
	授業内容	神学的自然法論 トマス・アキナス
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
5	事前学習	教科書 3 章を読んでおく。
	授業内容	法の支配 1 クック
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
6	事前学習	教科書 3 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	法の支配 2 ベンサム、ミル
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
7	事前学習	教科書 4 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	社会契約 1 ホッブズ、ロック
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
8	事前学習	教科書 4 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	社会契約 2 ルソー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
9	事前学習	教科書 5 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	ドイツ観念論 カント、ヘーゲル
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
10	事前学習	教科書 6 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	歴史法学 サヴィニー
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
11	事前学習	教科書 7 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	概念法学 プフタ、イエーリング
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
12	事前学習	教科書 8 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	法社会学の形成 エールリッヒ
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
13	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	プラグマティズム ホームズ
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
14	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	価値相対主義の法哲学 ラートブルフ
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。

15	事前学習	前期の内容を振り返り、疑問点などがあれば質問できるように整理しておく。
	授業内容	前期まとめと評価
	事後学習	社会的な正しさと、法的な正しさとの異同について整理しておく。

科目名	法思想史Ⅱ	担当者	井上 琢也	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	この講義では、西欧近世の「社会契約」論について深く掘り下げて考察します。「契約」ですから「当事者」や「目的物」について検討することがまず必要で、さらに自然法論、あるいは法や自由の捉え方等にも目配りする必要があるのですが、これらの厄介な作業を片付けた上で、臨床研修として、「敵」や「例外状態」といった問題群をカール・シュミットやアガンベン等に依拠しながら分析します。			
授業目的・ 到達目標	現在を考えるためには過去の思想の蓄積と戯れることが不可欠であることに気づいてもらい、「自然権」や「人民」等の言葉を巡って陥りがちな誤解から皆さんが脱出する手助けをすることが、この授業の目的となります。皆さんが主体的に学修すれば、法学徒として知るべき基礎概念の意味を正確に把握し、社会人として生き抜いていく支えとなる法的語彙を豊富に身につけることができ、資格試験の短答問題等にも頻出する「社会契約」等の主題について確信をもって解答を行うことが出来るようになると考えます。			
履修条件	必須条件ではありませんが、法思想史Ⅰを受講しておくことをお勧めします。			
授業方法	講義形式で行います。ノートをしっかりとってください。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験			
	平 常 評 価	100%	1 5 回目に実施予定の授業内試験で判定します。記述式説明問題を出題し、授業で言及した概念をどれだけ上手に使いこなせているかが主な評価基準となります。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	私が作成し授業時に配布する資料に基づいて講義を行います。		
参 考 書	田中・竹下等著『法思想史 第2版』有斐閣・2011；森村進編『法思想の水脈』法律文化社・2016 その他、授業で適宜紹介します。			
オフィス アワー	授業の前後に質問等を受け付けます。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	世界史の教科書等を参照して、ヨーロッパで「近世」と呼ばれる時代のイメージをつかんでおいて下さい。
	授業内容	<インターミッション> この授業でどのようなことを話すか、「契約」という言葉に注目をして、早送りで紹介します。
	事後学習	「契約」という言葉がいろんな意味で使われてきたことを確認して下さい。
2	事前学習	「自然法」という言葉の意味を辞典やインターネット等で確認しておいて下さい。
	授業内容	<グロティウスと近世自然法論> グロティウスの自然法論の「新しさ」を確認する作業を通じて、近世の法思想を検討するのに必要な全般的前提を確保してみようと思います。
	事後学習	新旧の自然法論の違いについて整理しておいて下さい。

3	事前学習	世界史の教科書等を参照して、ピューリタン革命前後のイングランドの状況をつかんでおいて下さい。
	授業内容	<ホッブズと社会契約 総論（1）> ボイルの好敵手としても名高いホッブズの社会契約論について、意志、信約、代表等の概念に注目をして、彼の人間観、自由観にも留意しながら詳論してみます。
	事後学習	「恐怖」を出発点として、ホッブズが人間をどう描こうとしたか確認して下さい。
4	事前学習	前回の配付資料を読み直しておいて下さい。
	授業内容	<ホッブズと社会契約 総論（2）> 前回の続きです。
	事後学習	契約の担い手、法と自由の関係等をホッブズがどのように捉えていたか整理しておいて下さい。
5	事前学習	旧約聖書でモーセがどのように登場するか、確認しておいて下さい。
	授業内容	<ホッブズと社会契約 各論> 聖書解釈等と関連づけられて進化し続けている、ホッブズ社会契約論に関する研究の最先端を、スピノザの思想等にも留意しながら紹介します。
	事後学習	ホッブズが提示した複数の「信約」について、内容を整理しておいて下さい。
6	事前学習	世界史の教科書等を参照して、名誉革命前後のイングランドの状況をつかんでおいて下さい。
	授業内容	<ロックと社会契約（1）> ロックの社会契約論について、「自然的権力」や「固有権」等の語義を確認しながら考察します。
	事後学習	「自然権」「自然法」等の概念をきちんと区別して整理しておいて下さい。
7	事前学習	前回の配付資料を読み直しておいて下さい。
	授業内容	<ロックと社会契約（2）> 前回の続きです。
	事後学習	ロックが用いた「信託」という言葉の意味を確認しておいて下さい。
8	事前学習	世界史の教科書等を参照して、ルソーが生きた18世紀フランスのイメージをつかんでおいて下さい。
	授業内容	<ルソーと社会契約 総論（1）> ルソーの社会契約論について、彼が「人民」や「自然状態」等の概念に込めた意味を慎重に確認しながら、多方面から検討してみます。
	事後学習	ルソーが提示した複数の「自然状態」について、内容を整理しておいて下さい。
9	事前学習	前回の配付資料を読み直しておいて下さい。
	授業内容	<ルソーと社会契約 総論（2）> 前回の続きです。
	事後学習	ルソーが提示した「人民」概念等の中身を慎重に確認しておいて下さい。
10	事前学習	ホッブズやロックの社会契約に関する説明を読み直しておいて下さい。
	授業内容	<ルソーと社会契約 各論> 伝統的思想に対するルソーの鋭敏な批判を手がかりに、近世社会契約論の整理を行い、社会契約論を巡る「知ったかぶり」を解消する格好の機会を提供します。
	事後学習	各思想家の社会契約論の違いを自然法論と関連づけながら再確認しておいて下さい。
11	事前学習	ホッブズやルソーの自然状態論を読み直しておいて下さい。
	授業内容	<「敵をどう罰すればいいのか」という問いを巡る法思想史> 9/11以来賑やかになっている「対敵刑法」を巡る議論について、ホッブズ等に注目しながら歴史的観点も交え紹介します。
	事後学習	各思想家の「刑罰権」論の違い等を整理しておいて下さい。
12	事前学習	「緊急事態」等の言葉を巡ってどのような議論が存在するのか確認しておいて下さい。
	授業内容	<「例外状態にどう対すればいいのか」という問いを巡る法思想史> カール・シュミット等が構築した基本枠組を紹介しながら、現在を生きる皆さんが、「例外状態」を巡る議論について「決断」するための足場を提供します。
	事後学習	ルソーやシュミットの「独裁」論を比較して整理しておいて下さい。
13	事前学習	初回にお話した「契約」論を読み直しておいて下さい。
	授業内容	<「契約」と近代 展望> 近世の法思想家たちが「契約」一般をどう捉え直そうとしたかを確認して、近代社会における「契約」のあり方を展望します。
	事後学習	「近代的」契約がもつ意味について整理しておいて下さい。

14	事前学習	ホッブズの社会契約論について読み直しておいて下さい。
	授業内容	＜「社会契約」と現代 総括＞ 現代イタリアの思想家、アガンベンが提示する、ポップなホッブズ論を紹介しながら、授業を総括します。
	事後学習	ホッブズの「人民」概念について再確認しておいて下さい。
15	事前学習	重要な言葉の意味をしっかりと確認して、全体像を整理して試験に臨んで下さい。
	授業内容	授業内試験及びこれまでの授業の振り返りを実施する予定です。但し、履修者数等で予定変更することもありますのでご注意ください。
	事後学習	試験で答えられなかった箇所を見つめ直して下さい。

科目名	法思想史Ⅱ	担当者	松島 雪江	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	基礎法学としての法を考えると、法の歴史、法をどう見るか（正義論）、法的な問題解決の方法などが主たるテーマであり、それを法思想を通じて見るのがこの授業である。自然法論と法実証主義との対立、何を社会的な正義とみなすか、正当な手続きとはどのようなものか、といった視点から、法がどのように捉えられ、活用されてきたのか、そして現代的な諸課題にどう対応できるのかを考えていく。			
授業目的・到達目標	法的な正しさを論理的に示すためには、適切な材料を用いる必要がある。法思想はその宝庫である。国家主権、正義論、民主主義、生命倫理等の問題と関連させながら、様々な法思想を確認していくことを目的とする。法的な正しさについて考える際、どのような見方がありうるのかを理解し、相対立し合う見解をもを踏まえた上で、自己の見方を論理的に表現できるようにすること。			
履修条件	真摯な態度で授業に望むこと。授業の前・後に学習を行い、授業内容のより深い理解に努めること。授業内で議論をする際には、必ず発言すること。			
授業方法	講義形式を基本としつつ、一定のテーマを扱った後、それについてレポートを作成してもらう。授業内で議論し合うこともある。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	70%以上の出席を前提として、最終レポートの作成（50%）、及び授業内レポートの提出有無とその内容（50%）により評価。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	法律文化社	法思想の水脈	森村進編
	備考			
参考書	深田三徳、濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』ミネルヴァ書房、2007年。 竹下賢他編『はじめて学ぶ法哲学・法思想』ミネルヴァ書房、2010年。			
オフィスアワー	木曜2限、研究室にて。事前にメールで訪問につき連絡をして下さい。 matsushima.yukie@nihon-u.ac.jp 本館 7 階1713研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	法的な正しさと国家との関係について考えておく。
	授業内容	後期オリエンテーション 法的妥当性と正義
	事後学習	正義と国家とがどのように関係しているのか整理しておく。
2	事前学習	教科書9章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	国法学と立憲主義1 イエリネク
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。

3	事前学習	教科書 9 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	国法学と立憲主義 2 天皇機関説
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
4	事前学習	教科書 1 0 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	法実証主義 1 ケルゼン、シュミット
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
5	事前学習	教科書 1 1 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	法実証主義 2 H. L. A. ハート
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
6	事前学習	教科書 1 2 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	再生自然法論と法実証主義 ハート・フラー論争
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
7	事前学習	教科書 1 3 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	正義論 1 ロールズ
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
8	事前学習	教科書 1 3 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	正義論 2 ドゥオーキン
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
9	事前学習	教科書 1 4 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	正義論 3 ハイエク、ノージック
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
10	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	正義論 4 コミュニタリアニズム、フェミニズム
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
11	事前学習	教科書 1 5 章と参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	ポストモダンの法思想 ルーマン
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
12	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	現代の問題 1 動物の権利
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
13	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	現代の問題 2 グローバル・ジャスティス
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。
14	事前学習	参考文献の関連箇所を読んでおく。
	授業内容	現代の問題 3 生命倫理と法
	事後学習	授業内容を見直し、ノートを整理しておく。理解が十分でなかった個所は調べ、疑問点は質問できるようにしておく。

15	事前学習	後期の内容を振り返り、疑問点などがあれば質問できるようにしておく。
	授業内容	後期まとめと評価
	事後学習	社会的な正しさ、法的な正しさ、国家の正当性について整理しておく。

科目名	法情報学 I	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータネットワークやインターネットを通して、データベースを利用するなどし、法律学のレポートを作成するための情報、資料の収集を学ぶとともに、インターネットやコンピュータに関する諸問題とその法律関係を考える。				
授業目的・到達目標	少なくとも法学部図書館から利用できるデータベースを通して、様々な情報を検索できるようになること。インターネット上に生ずる様々な問題を現行法を通してどのように解決できるのか、また現行法上の問題点を考え、諸問題の解決方法を正しく判断できるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義が中心となるが、講義の際に、コンピュータネットワークを利用して実際に情報にアクセスし利用する。必要な資料は、デジタルデータ形式で配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	定期試験は実施しない。	
	平常評価		100%	指定した課題について学期末にレポートを提出してもらい、それにより評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015年	有斐閣	インターネット法		松井・鈴木・山口
	備考	コンピュータ、インターネットに関する問題は多様で、このテキストに講義内容の全ての項目が記載されているわけではない。			
参考書	「情報ネットワークの法実務」第一法規				
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	コンピュータやインターネットに関する法的問題にはどのようなものがあるか事前に考えてみる。例えば、毎日の新聞にどのような事件として、記事として掲載されているか見てみる。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	コンピュータやインターネット上で起こる問題と現実世界で起こる問題の違いを理解する。
2	事前学習	コンピュータ、インターネットを利用することでどのように時間を節約できるかを考えてみる。
	授業内容	インターネットの概念とコンピュータの活用法
	事後学習	コンピュータ、インターネットを学習のために利用し、時間の節約、有効利用を実践してみる。
3	事前学習	コンピュータ、インターネットの利用がもたらす経済効果と情報の支配を考えてみる。
	授業内容	デジタル経済社会の進展と競争
	事後学習	コンピュータ、インターネットがもたらす省資源化とプライバシーの関係を考え、その調和を考えてみる。
4	事前学習	店舗での対面販売の際のクレジットカード決済について調べておくこと。
	授業内容	電子決済 1 (クレジットカード決済)
	事後学習	通常の店舗でのクレジットカード決済とインターネットにおけるクレジットカード決済の違いを十分に理解すること。

5	事前学習	電子マネー、プリペイドカードとはどういうものなのか、自らが利用しているか調べておくこと。 資金決済に関する法律
	授業内容	電子決済2（電子マネー、プリペードカード）
	事後学習	電子マネー、プリペイドカードの法的保護について正しく理解すること。
6	事前学習	マイルージやサービスポイントとはどういうものなのか、金銭と同じものとして使えるのか調べておくこと。
	授業内容	サービスポイント制度の問題点
	事後学習	サービスポイントの法的性格を正しく理解し、ポイント制度を有効に利用する方法を理解すること。
7	事前学習	インターネットオークションサイトに関わる事件を調べておくこと。
	授業内容	インッターネットオークションサイトの問題点
	事後学習	インターネットオークションサイトの主催者やサイトの責任について正しく理解すること。
8	事前学習	盗品の譲渡について理解しておくこと。刑法256条以下、古物営業法について確認しておくこと。
	授業内容	古物営業と盗品の譲渡
	事後学習	インターネット上での取引に対応するための法改正の必要性の一例として理解する。
9	事前学習	インターネット上の取引に関して適用される法律である特定商取引法を事前に確認しておくこと。
	授業内容	インターネット上での売買
	事後学習	法律に則った店舗であるか否かを見極めることができるよう理解する。
10	事前学習	マルチ商法、業務提携誘引販売取引について調べておくこと。
	授業内容	ネットワーク上の悪質商法
	事後学習	インターネットを利用することによる悪徳商法が行われやすいことを理解し、対策を理解する。
11	事前学習	民法526条(隔地者間の契約の成立時期)および民法95条(錯誤)と、電子消費者契約及び電子承諾通知に関する民法の特例に関する法律の違いについて確認しておく。
	授業内容	電子消費者契約及び電子承諾通知に関する民法の特例に関する法律について。
	事後学習	民法の特例に関する法律がネット上の取引にどのように適用されているかを確認する。
12	事前学習	インターネット上のオークションサイトに同一商品を販売する店舗が多いのか考えてみる。
	授業内容	アフィリエイトとドロップシッピング
	事後学習	契約の当事者が誰であるのかを正しく理解できるかサイト上で検証すること。
13	事前学習	電話勧誘に関する法律(特定商取引法)と電気通信事業法を確認しておくこと。
	授業内容	電気通信事業者の電話勧誘行為
	事後学習	電話勧誘行為を規制する諸国との違いを知り、どのような規制が望ましいか考えてみる。
14	事前学習	インターネットバンキングとはどのようなものか調べておくこと。
	授業内容	インターネットバンキングと不正払戻の保証
	事後学習	個人情報の管理の重要性を理解すること。
15	事前学習	日頃、個人情報がどのように収集されているか調べておくこと。
	授業内容	個人情報の保護
	事後学習	個人情報の集中化とその利用、漏洩と自らの情報の管理と提供の範囲を考えること。

科目名	法情報学Ⅱ	担当者	水野 正	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータネットワークやインターネットを通して、データベースを利用するなどし、法律学のレポートを作成するための情報、資料の収集を学ぶとともに、インターネットやコンピュータに関する諸問題とその法律関係を考える。				
授業目的・到達目標	少なくとも法学部図書館から利用できるデータベースを通して、様々な情報を検索できるようになること。インターネット上に生ずる様々な問題を現行法を通してどのように解決できるのか、また現行法上の問題点を考え、諸問題の解決方法を正しく判断できるようにする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義が中心となるが、講義の際に、コンピュータネットワークを利用して実際に情報にアクセスし利用する。必要な資料は、デジタルデータ形式で配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%	定期試験は実施しない。	
	平 常 評 価		100%	指定した課題について学期末にレポートを提出してもらい、それにより評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2015年	有斐閣	インターネット法		松井・鈴木・山口
	備考	コンピュータ、インターネットに関する問題は多様で、このテキストに講義内容の全ての項目が記載されているわけではない。			
参 考 書	「情報ネットワークの法実務」第一法規				
オフィスアワー	事前にメールでアポイントを取ること E-Mail: mizuno.tadashi@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	コンピュータやインターネットに関する法的問題にはどのようなものがあるか事前に考えてみる。例えば、毎日の新聞にどのような事件として、記事として掲載されているか見てみる。
	授業内容	ガイダンスと前期講義内容に関する質問と回答
	事後学習	コンピュータやインターネット上で起こる問題と現実世界で起こる問題の違いを理解する。
2	事前学習	ブログやフェイスブックのサイトを作成する際のソースの著作権は誰にあるのか考えてみる。
	授業内容	情報ネットワーク利用に関する著作権
	事後学習	公衆送信権と複製の私的使用の違いを正しく理解すること。
3	事前学習	書籍のデジタル化に関して、最高裁平成23年1月20日第一小法廷判決を読んでおく。
	授業内容	自炊と著作物の私的利用
	事後学習	書籍のデジタル化に関し、代行業者に依頼する場合と自ら行う場合の違いを理解すること。
4	事前学習	物品の購入と所有権について知識を確認しておく。最判平成14年4月25日を読んでおく。
	授業内容	ソフトウェアの利用許諾
	事後学習	ソフトウェアを他人に譲渡することが可能か否かを正しく理解すること。

5	事前学習	電子メールのモニタリングやGPS機能を利用した位置情報の取得が許される場合と許されない場合を考えてみる。
	授業内容	情報通信装置を利用した従業員の監視
	事後学習	種々のケースに当てはめ、プライバシーの保護の境界線を考えてみる。
6	事前学習	仮想通貨を利用するメリット、デメリットを調べておくこと。
	授業内容	仮想通貨の諸問題
	事後学習	仮想通貨が主流となった場合のメリット、デメリットを比較して理解する。
7	事前学習	検索エンジンを利用する際に表示される検索語や結果の要約と著作権、名誉毀損との関係を確認する。
	授業内容	検索エンジンの問題点
	事後学習	検索結果が諸権利を侵害しない理由を説明できるように考えてみる。
8	事前学習	最高裁H29年12月6日判決を読んでおく。
	授業内容	放送受信料制度をめぐる問題点。
	事後学習	NHKに放送受信料を支払わなくてよい場合を考えてみる。
9	事前学習	コンサートチケットの高額転売はゆるされるのか考える。
	授業内容	コンサートチケットの転売、現金の販売の問題点
	事後学習	コンサートチケットの転売の有効な対策はあるのか考えてみる。
10	事前学習	ポケモンGOの社会現象がもたらした法的な問題点を考える。
	授業内容	ポケモンGOの法的諸問題
	事後学習	法の解釈、適用の範囲を考える(例えば、教唆、幫助)。
11	事前学習	顔認証システムはどのように利用されているか確認すること。
	授業内容	バイオメトリクス個人認証
	事後学習	バイオメトリクス情報の利用とプライバシー侵害の境界線を考えてみる。
12	事前学習	IoTの意味を調べ、問題点を考える。
	授業内容	IoTの法的課題
	事後学習	IoTにより集積されるデータの保護とプライバシーの保護を考えてみる。
13	事前学習	インターネットにおける自主規制の必要性について調べる。
	授業内容	検索エンジンサイト、プロバイダー、SNS等の自主規制
	事後学習	インターネットとは何なのかを再考して、規制の必要性を考えてみる。
14	事前学習	不法行為の動画などの投稿はパロディか考えてみる。
	授業内容	バカッターの投稿の問題点
	事後学習	他人に不快感を与える投稿と他人の権利を侵害した内容の投稿違いを理解する。
15	事前学習	コルネットのIDやパスワードを友人に使わせると、違法か否か考える。
	授業内容	不正アクセス禁止法の諸問題
	事後学習	不正アクセス行為が国により違うことを理解し、その理由を説明できるように考える。

科目名	法哲学Ⅰ	担当者	西村 清貴	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	法哲学は、哲学的知見を用いて、法という現象をより深く理解することを目的とする学問である。 法哲学Ⅰでは、古代から19世紀頃までの代表的な(法)哲学者の見解を取り上げ、彼らが法をどのように理解していたかを確認する。				
授業目的・ 到達目標	受講者が法哲学における基本的諸概念の習得を通じて、法を多様な観点から見るができるようになることを本講義の目的とする。 法哲学の基本的知識を身につけ、それらについて精確に説明できるようになることを到達目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式で行う。レジュメを配布する予定である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	講義で示した法哲学の基本的知識が身についているかを確認する。 論述試験を予定している。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は使用しない。			
参 考 書	瀧川裕英/宇佐美誠/大屋雄裕『法哲学』（有斐閣、2014年） 深田三徳/濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房、2015年）				
オフィス アワー	授業前後において質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	授業・評価の方法と前期の概要
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
2	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	古代ギリシアの法思想(1):ソクラテスの遵法義務論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること

3	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	古代ギリシアの法思想(2):プラトンの国家論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
4	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	古代ギリシアの法思想(3):アリストテレスの正義論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
5	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	中世の法思想:トマス・アキナスの自然法論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
6	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	社会契約論(1):トマス・ホッブズの社会契約論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
7	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	社会契約論(2):ジョン・ロックの社会契約論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
8	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	社会契約論(3):J・J・ルソーの社会契約論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
9	事前学習	質疑応答の時間を設けるため、不明な点等について質問する用意をすること
	授業内容	ここまでの振り返りと質疑応答
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
10	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	ドイツ観念論の法思想(1):カントの道徳論と法思想を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
11	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	ドイツ観念論の法思想(2):ヘーゲルの法思想を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
12	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	歴史法学の法思想(1):サヴィニーの法典編纂反対論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
13	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	歴史法学の法思想(2):サヴィニーの実定法論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
14	事前学習	事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	歴史法学後の法思想:概念法学や自由法論を見る
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること

15	事前学習	質疑応答の時間を設けるため、不明な点等について質問する用意をすること
	授業内容	ここまでの振り返りと質疑応答
	事後学習	レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること

科目名	法哲学Ⅱ	担当者	西村 清貴	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	法哲学は、哲学的知見を用いて、法という現象をより深く理解することを目的とする学問である。 法哲学Ⅱでは、法とはなにかを取り扱う法概念論および法とはなにであるべきかを取り扱う正義論の議論を確認する。			
授業目的・ 到達目標	受講者が法哲学における基本的諸概念の習得を通じて、法を多様な観点から見るができるようになることを本講義の 目的とする。 法哲学の基本的知識を身につけ、それらについて精確に説明できるようになることを到達目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義形式で行う。レジュメを配布する予定である。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定 期 試 験	100%	講義で示した法哲学の基本的知識が身についているかを確認する。 論述試験を予定している。	
	平 常 評 価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	後期開講時までに刊行予定の教科書を用いる予定である。 詳細は開講時に指示する。		
参 考 書	瀧川裕英/宇佐美誠/大屋雄裕『法哲学』（有斐閣、2014年） 深田三徳/濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房、2015年）			
オフィス アワー	授業前後において質問を受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	はじめに：授業・評価の方法と全体の概要
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
2	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	純粋法学：ハンスケルゼンの法実証主義を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること

3	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	ナチスの法思想(1):カール・シュミットの決断主義を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
4	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	ナチスの法思想(2):カール・シュミットの具体的秩序思想を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
5	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	再生自然法論:グスタフ・ラートブルフのナチス批判を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
6	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	法とルール(1):H・L・A・ハートの法体系論を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
7	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	法とルール(2):H・L・A・ハートの法解釈論を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
8	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	法と解釈(1):ロナルド・ドゥオーキンにおけるルールと原理の相違について見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
9	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	法と解釈(2):ロナルド・ドゥオーキンにおける法解釈論を見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
10	事前学習	質疑応答の時間を設けるため、不明な点等について質問する用意をすること
	授業内容	ここまでの振り返りと質疑応答
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
11	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	リベラリズム(1):前期ジョン・ロールズにおける正義の理論について見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
12	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	リベラリズム(2):後期ジョン・ロールズにおける正義の理論について見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
13	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	リバタリアニズム:ロバート・ノージックの最小国家論について見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること
14	事前学習	講義で指定する教科書の該当箇所および事前に配布するレジュメによって不明点を確認しておくこと
	授業内容	コミュニタリアニズム:マイケル・サンデルにおけるロールズ批判について見る
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること

15	事前学習	質疑応答の時間を設けるため、不明な点等について質問する用意をすること
	授業内容	ここまでの振り返りと質疑応答
	事後学習	教科書、レジュメおよびノートに基づいて内容を確認すること

科目名	法律外国語A I【経営法学科】	担当者	平野 英則	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際化が加速する今日において、企業の国際法務部門で英文契約書の理解および作成に必要とされる法律外国語に特有な表現などを学びます。 また、受講する学生の大半が1年生および2年生であることから、法律関係の理解をするために必要とされる基本的な解説も行います。				
授業目的・到達目標	法律外国語の基本的な知識の修得を目的として、貿易代金の決済に用いられる信用状に関する統一規則の英語による条文の精読を通じて、信用状に関する法律関係を解説する。法律英語における重要な単語や慣用句の言い回しを修得するとともに、信用状取引の基本的な法律構造を理解することを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講師による講義および学生との質疑応答により、理解度を確認する方法で授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前期に3回の理解度確認テストを授業内に実施するとともに、前期末に論述式の授業内試験を行い、総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	文眞堂		『現代国際商取引－よくわかる理論と実務－』	亀田尚己編著 平野英則ほか著
	備考				
参考書	飯田勝人訳『ICC 荷為替信用状に関する統一規則および慣例（UCP600）』国際商業会議所日本支部				
オフィスアワー	講義が質疑応答方式で行われることから、学生からの質問および相談は、授業内に書面または口頭にて受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	信用状の意義と機能（講義の導入）
	事後学習	教科書の該当箇所および講義内容の復習
2	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	貿易取引の概要（国際商取引のあらまし）
	事後学習	教科書の該当箇所および講義内容の復習
3	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	支払いの方法（前払い送金、後払い送金）
	事後学習	教科書の該当箇所および講義内容の復習
4	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	支払いの方法（支払渡し、引受渡し）
	事後学習	教科書の該当箇所および講義内容の復習

5	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	支払いの方法（信用状による決済 - その1）
	事後学習	教科書の該当箇所および講義内容の復習
6	事前学習	教科書の該当箇所の事前精読
	授業内容	支払いの方法（信用状による決済 - その2）
	事後学習	教科書の該当箇所および講義内容の復習
7	事前学習	信用状統一規則の適用範囲（1条）の事前精読および事前配付レジュメに記載の重要法律用語の和訳・重要事項の事前まとめ
	授業内容	信用状統一規則の適用範囲（1条）
	事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	信用状統一規則における定義（2条）の事前精読および事前配付レジュメに記載の重要法律用語の和訳・重要事項の事前まとめ
	授業内容	信用状統一規則における定義（2条）
	事後学習	講義内容の復習
9	事前学習	信用状統一規則における解釈（3条）の事前精読および事前配付レジュメに記載の重要法律用語の和訳・重要事項の事前まとめ
	授業内容	信用状統一規則における解釈（3条）
	事後学習	講義内容の復習
10	事前学習	信用状の独立抽象性（4条）（その1）の事前精読および事前配付レジュメに記載の重要法律用語の和訳・重要事項の事前まとめ
	授業内容	信用状の独立抽象性（4条）（その1）
	事後学習	講義内容の復習
11	事前学習	信用状の独立抽象性（4条）（その2）の事前精読および事前配付レジュメに記載の重要法律用語の和訳・重要事項の事前まとめ
	授業内容	信用状の独立抽象性（4条）（その2）
	事後学習	講義内容の復習
12	事前学習	書類取引の原則（5条）の事前精読および事前配付レジュメに記載の重要法律用語の和訳・重要事項の事前まとめ
	授業内容	書類取引の原則（5条）
	事後学習	講義内容の復習
13	事前学習	事前配付のレジュメの事例に基づく事前解答の作成
	授業内容	事例研究
	事後学習	講義内容の復習
14	事前学習	前期の講義における疑問点の事前取りまとめ
	授業内容	前期講義内容の総括と質疑応答
	事後学習	前期講義内容の総括と質疑応答内容の復習
15	事前学習	前期講義内容の全体的復習
	授業内容	前期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	自己の解答の確認

科目名	法律外国語A I【法律学科】	担当者	松澤 幸太郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	----------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律文献の読解、法学的トピックにかかわる会話(討論・交渉)、法的な文章の作文に関する基礎的な知識の習得を目的とする。			
授業目的・到達目標	英文の法学文献の探索、読解ができるようになること、英語を用いて法学的トピックにかかわる討論や交渉ができるようになること、基礎的で簡単な法的事項に関するレポートを書けるようになることを目標とする。			
履修条件	特になし			
授業方法	配布資料を参照する等しながら講義を進める。英語の辞書は必須。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定 期 試 験		80%	英文の読解等の試験を実施する。
	平 常 評 価		20%	授業への参加(発言)等を勘案する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
			教材とする資料等は、事前若しくは授業中に配布する(必要に応じて指定する場合がある。)	
	備考	授業でgoogle play等を使う場合等があるので、大学のメールアドレスは必ず取得して下さい。		
参 考 書	おって指示する。			
オフィスアワー	原則として電子メールで質問・相談を受ける。必要に応じて(可能な限り)、希望があれば、授業の後の時間を利用するなどして面談をする。jwnth942@yahoo.co.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	講義のガイダンス
	事後学習	第一回授業の復習を行っておくこと。
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	英語文献の探索（総論）
	事後学習	復習
3	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	法的交渉の基礎
	事後学習	復習
4	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削の見直し。

5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	立法資料（米国）
	事後学習	復習
6	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉のスタイル
	事後学習	復習
7	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削の見直し。
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	立法資料（英国）
	事後学習	復習
9	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉の実施（1）
	事後学習	復習
10	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削の見直し。
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	判例（米国）
	事後学習	復習
12	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉実施（2）
	事後学習	復習
13	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削の見直し。
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	判例（英国）
	事後学習	復習
15	事前学習	前期授業内容の見直し
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験結果の見直し。

科目名	法律外国語AⅡ【経営法学科】	担当者	平野 英則	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	国際化が進展する企業において、法務部門で英文契約書等を理解ために、また、契約書を作成するうえで必要とされる法律外国語の解説を行います。 なお、この授業の受講生の大半がこれから専門科目を履修する予定の1年生および2年生であることから、必要に応じて法律関係の基本的な解説も行います。				
授業目的・到達目標	法律外国語の基本的な知識の修得を目的として、貿易代金の決済に用いられる信用状に関する統一規則の英語による条文の精読を通じて、信用状に関する法律関係を解説する。法律英語における重要な単語や慣用句の言い回しを修得するとともに、信用状取引の基本的な法律構造を理解することを目標とする。				
履修条件	法律外国語AⅠを履修済みであること。				
授業方法	講師による講義および学生との質疑応答により、理解度を確認する方法で授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	後期に3回の理解度確認テストを授業内に実施するとともに、後期末に論述式の授業内試験を行い、総合的に評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	文眞堂		『現代国際商取引－よくわかる理論と実務－』	亀田尚己編著 平野英則ほか著
	備考				
参 考 書	飯田勝人訳『ICC 荷為替信用状に関する統一規則および慣例（UCP600）』国際商業会議所日本支部				
オフィスアワー	講義が質疑応答方式で行われることから、学生からの質問および相談は、授業内に書面または口頭にて受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	信用状の利用可能性、有効期限および呈示地（6条）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	講義の導入 信用状の利用可能性、有効期限および呈示地（6条）
	事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	発行銀行の約束（7条）（その1）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	発行銀行の約束（7条）（その1）
	事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	発行銀行の約束（7条）（その2）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	発行銀行の約束（7条）（その2）
	事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	確認銀行の約束（8条）（その1）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	確認銀行の約束（8条）（その1）
	事後学習	講義内容の復習

5	事前学習	確認銀行の約束（8条）（その２）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	確認銀行の約束（8条）（その２）
	事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	指定（12条）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	指定（12条）
	事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	書類点検の標準（14条）、充足した呈示（15条）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	書類点検の標準（14条）、充足した呈示（15条）
	事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	ディスクレパンシーのある書類、権利放棄（16条）（その１）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	ディスクレパンシーのある書類、権利放棄（16条）（その１）
	事後学習	講義内容の復習
9	事前学習	ディスクレパンシーのある書類、権利放棄（16条）（その２）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	ディスクレパンシーのある書類、権利放棄（16条）（その２）
	事後学習	講義内容の復習
10	事前学習	書類の有効性等に関する免責（34条、37条）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	書類の有効性等に関する免責（34条、37条）
	事後学習	講義内容の復習
11	事前学習	伝送および翻訳に関する銀行の免責（35条）（その１の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	伝送および翻訳に関する銀行の免責（35条）（その１）
	事後学習	講義内容の復習
12	事前学習	伝送および翻訳に関する銀行の免責（35条）（その２）の事前精読および事前配付レジュメの重要な法律用語の和訳および重要事項の事前取りまとめ
	授業内容	伝送および翻訳に関する銀行の免責（35条）（その２）
	事後学習	講義内容の復習
13	事前学習	事前に後期の講義内容を踏まえた総合的な事例研究問題を配付するので、それに対する事前解答の準備
	授業内容	事例研究
	事後学習	講義内容の復習
14	事前学習	後期の講義内容で疑問な点についての事前取りまとめ
	授業内容	後期の講義内容の総括と質疑応答
	事後学習	講義内容の復習
15	事前学習	後期講義の全体体的な復習
	授業内容	後期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	解答内容の確認

科目名	法律外国語AⅡ【法律学科】	担当者	松澤 幸太郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	法律文献の読解、法学的トピックにかかわる会話(討論・交渉)、法的な文章の作文に関する基礎的な知識の習得を目的とする。				
授業目的・到達目標	英文の法学文献の探索、読解ができるようになること、英語を用いて法学的トピックにかかわる討論や交渉ができるようになること、基礎的で簡単な法的事項に関するレポートを書けるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	配布資料を参照する等しながら講義を進める。英語の辞書は必須。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	英文の読解等の試験を実施する。	
	平常評価		20%	授業への参加(発言)等を勘案する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				教材とする資料等は、事前若しくは授業中に配布する(必要に応じて指定する場合がある。)	
	備考	授業でgoogle play等を使う場合等があるので、大学のメールアドレスは必ず取得して下さい。			
参考書	おって指示する。				
オフィスアワー	原則として電子メールで質問・相談を受ける。必要に応じて(可能な限り)、希望があれば、授業の後の時間を利用するなどして面談をする。jwnth942@yahoo.co.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	行政情報（米国）
	事後学習	復習
2	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉の終結（1）
	事後学習	復習
3	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削を見直すこと
4	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	行政情報（英国）
	事後学習	復習

5	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉の終結（2）
	事後学習	復習
6	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削を見直すこと
7	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	論文等（米国）
	事後学習	復習
8	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉の終結（3）
	事後学習	復習
9	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削を見直すこと
10	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	論文等（その他）
	事後学習	復習
11	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	交渉のロールプレイ
	事後学習	復習
12	事前学習	事前に課題の英作文をすること。
	授業内容	英作文実習
	事後学習	授業中にされた添削を見直すこと
13	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	国際条約
	事後学習	復習
14	事前学習	次回授業の予習を行っておくこと。
	授業内容	その他の国際文書
	事後学習	復習
15	事前学習	後期授業内容の見直し
	授業内容	試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験結果の見直し。

科目名	法律外国語B I【経営法学科】	担当者	三村 淳一	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ法（憲法・不法行為法・財産法・契約法）の代表判例を用いながら、基本的な知識を身につける。尚、全ての講義は、英語にて実施するが、極めて重要な箇所は、日本語と英語にて解説を行う。				
授業目的・到達目標	アメリカ法を構成する多くの法域の基本的知識の習得及びそれら法域で使用されるLegal Termを理解することを目的とする。判決文を正確に読み、英文でまとめることができる能力を身につけることを目標とする。				
履修条件	特に無いが、米国法の授業を受講済み又は受講中出ることが望ましい。また、英語での講義を予定しているので、ある程度の英語力が必要である。				
授業方法	講義形式と演習形式の融合。講義は基本的に英語で行い。受講者は、教員から与えられた事例を読み、事実関係・争点・判決概要を英語で発表する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	合格／不合格の判定は絶対評価により、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(B)、60点以上(C)は、それぞれ5:25:40:30を目安とする相対評価。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	別途指示する				
オフィスアワー	火曜日の12:10-1:00に、7号館（751）研究室にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	米国憲法 Article I - III を事前に配布する資料で読んでおく。
	授業内容	Orientation & Constitutional Law(1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
2	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Marbury v. Madison, 5 U.S. 137 (1803) United State v. Nixon, 418 U.S. 683 (1803)
	授業内容	Constitutional Law(2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
3	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Roe v. Wade, 410 U.S. 113 (1973) Lawrence v. Texas, 539 U.S. 558 (2003) Washington v. Glucksberg, et al New York Times v. Sullivan, 376 U.S. 254 (1964))
	授業内容	Constitutional Law (3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。

4	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Dred Scott v. Stanford, 60 U.S. 393 (1857) Plessy v. Ferguson, 163 U.S. 537 (1896) Brown v. Board of Education, 347 U.S. 483 (1954)
	授業内容	Constitutional Law (4)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
5	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Van Camp v. McAfoos, 261 Iowa 1124 (1968) Garratt v. Dailey, 46 Wn.2d 197(1955)
	授業内容	Torts Law(1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
6	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Coblyn v. Knnedý s Inc, 359 Mass. 319 (1971) Katko v. Briney, 183 N.W. 2d 657 (1971)
	授業内容	Torts Law(2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
7	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Wilkinson v. Downton, 2 Q.B. 57 (1897) ※イギリス判決 Byrne v. Boadle, 2 H. & C. 722(1863) ※イギリス判決 Summers v. Tice, 33 Cal. 2d 80 (1948)
	授業内容	Torts Law(3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
8	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Lee v. Crookston Coca-Cola Bottling Co, 290 Minn. 321(1971) Gehrts v. Batteen, 620 N.W. 2d 775(S.D.2001)
	授業内容	Torts Law(4)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
9	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Lucy v. Zehmer, 196 Va 493(Va.1954) ProCD, Inc v. Zeidenberg, 96 F.3d 1447(7th Cir. 1996)
	授業内容	Contract Law(1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
10	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Mills v. Wyman, 20 Mass. 207(Mass. 1825) Webb v. McGowin, 27 Ala.App. 82(Ala.App. 1935)
	授業内容	Contract Law(2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
11	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Mitchill v. Lath, 247 N.Y. 377 (N.Y. 1928) Taylor v. Caldwell, 3 Best & S. 826(1863) Jacob & Young v. Kent, 230 N.Y. 239(N.Y. 1921)
	授業内容	Contract Law(3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
12	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Walker & Co. v. Harrison, 347 Mich. 630(Mich. 1957) Hadley v. Baxendale, 9 Exch. 341(1854)
	授業内容	Contract Law(4)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
13	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 ohnson v. M’ lntosh, 21 U.S. 543(1823) Armory v. Delamirie, 1 Strange 505(1722) McAvoy v. Medina, 93 Mass 548(1866) Mannillo v. Gorski, 54 N.J. 378(1969)
	授業内容	Property Law(1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。

14	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Swartzbaugh v. Sampson, et al, 11 Cal App. 2d 451(1936) In re Marriage of Graham, 574 P.2d 75(1978) Berg v. Wiley, 264 N.W. 2d 145(Minn1978)
	授業内容	Property Law(2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
15	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Hilder v. St. Peter, 144 Vt 150 (1984) Shelly v. Kraemer, 334 U.S. 1(1948) Pennsylvania Coral Co. v. Mahon, 260 U.S. 393(1922)
	授業内容	Property Law(3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。

科目名	法律外国語BⅡ【経営法学科】	担当者	三村 淳一	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	アメリカ法（証拠法・刑法・捜査法）の代表判例を用いながら、基本的な知識を身につける。尚、全ての講義は、英語にて実施するが、極めて重要な箇所は、日本語と英語にて解説を行う。				
授業目的・到達目標	アメリカ法を構成する多くの法域の基本的知識の習得及びそれら法域で使用されるLegal Termを理解することを目的とする。判決文を正確に読み、英文でまとめることができる能力を身につけることを目標とする。				
履修条件	法律外国語BⅠを受講していることが望ましい。また、それ以外でも米国法の授業を受講済み又は受講中であることが望ましい。また、英語での講義を予定しているので、ある程度の英語力が必要である				
授業方法	講義形式と演習形式の融合。講義は基本的に英語で行い。受講者は、教員から与えられた事例を読み、事実関係・争点・判決概要を英語で発表する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	合格／不合格の判定は絶対評価にり、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(B)、60点以上(C)は、それぞれ5:25:40:30を目安とする相対評価	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するPPTを事前に学生に配布する。			
参考書	別途指示する				
オフィスアワー	火曜日の12:10-1:00に、7号館（751）研究室にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Michelson v. United States, 335 U.S. 469(1948)
	授業内容	Evidence (1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
2	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 State v. Cassidy, 3 Conn.App 374 (1985) United States v. Cunningham, 103 F.3d 553(7th Cir.1996)
	授業内容	Evidence (2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
3	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Sirico v. Cotto, 67 Misc.2d 636 (NY 1971) Hill v. Skinner, 81 Ohio App 375 (NY 1947)
	授業内容	Evidence (3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
4	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 United States v. Owens, 21 M.J. 117 (NY 1985) United States v. Woodruff, 383 F.Supp 696(Penn 1974)
	授業内容	Evidence (4)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。

5	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Clark v. State, 159 Texas Cr.R. 187 (1953) Estate of Murdock, 32 Muc. 352 (1983)
	授業内容	Evidence (5)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
6	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 United States v. English, 201 N.C. 295 (1931) Truck Ins. Exchange v. Michling, 364 S.W.2d 172(1963)
	授業内容	Evidence (6)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
7	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 People v. Newton, 340 N.Y.S. 77(1973) Regina v. Prince, L.R. 2 Crim. Cas. Res. 154(CCCR 1875) United States v. Diaz, 864 F.2d 544 (7th Cir. 1988)
	授業内容	Criminal Law(1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
8	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 McQuirter v. State, 63 So.2d 388(Ala. App.1953) People v. La Voie, 395 P.2d 1001 (Colo. 1964)
	授業内容	Criminal Law(2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
9	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Rowland v. State, 35 So. 826 (Miss. 1904) People v. Hickman, 297 N.E. 2d 582 (1973)
	授業内容	Criminal Law(3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
10	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 People v. Liberta, 485 N.Y.S. 2d 207 (1984) Brown v. State, 106 N.W. 536(1906) State v. Colvin, 645 N.W. 2d. 449(Minn. 2002)
	授業内容	Criminal Law(4)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
11	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Mapp v. Ohio, 367 U.S. 643(1961) Illinois v. Gates, 462 U.S. 213(1983)
	授業内容	Criminal Procedure(1)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
12	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 United States v. Watson, 423 U.S. 411(1976) United States v. Robinson, 414 U.S. 218 (1973)
	授業内容	Criminal Procedure(2)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
13	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Miranda v. Arizona, 384 U.S. 436 (1966) United States v. Wade, 388 U.S. 218 (1967)
	授業内容	Criminal Procedure(3)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
14	事前学習	以下の判例の要約（配布します）を読んで授業に参加する。 Batson v. Kentucky, 476 U.S. 79 (1986) Jacobson v. United States, 503 U.S. 540 (1992)
	授業内容	Criminal Procedure(4)
	事後学習	講義で学んだ内容を配布資料の空欄部分を埋める形で理解を深める。
15	事前学習	後期で学んだことをすべて復習し講義に向かう。
	授業内容	捜査法や刑事訴訟等を扱った米国のメディアを視聴し、各場面でどの様な手続きが行われているのか確認する。
	事後学習	講義で学んだ内容がどの様な場面で再現されているか、レポートをまとめる。

科目名	法律外国語C I【経営法学科】	担当者	ノエル・ウィリアムズ	部別	第一部	期間	前期	単位数	1
-----	-----------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	To improve the student to legal and business terms and ideas through film and other material.				
授業目的・到達目標	To improve the student's English ability in general, and ability to express himself orally, in particular. To get the student to express his opinion in English on law- and business-related matters.				
履修条件	The student should have a good command of English.				
授業方法	The student will be exposed to law- and business-related material in English in class, required him to respond in an appropriate manner.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Participation and effort	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	There is no set textbook.			
参 考 書	To be explained in our first class.				
オフィス アワー	授業前の30分間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Introduction
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
2	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business, law and society
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
3	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
4	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.

5	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility - discussion 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
6	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility - discussion 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
7	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility - presentation
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
8	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility 3
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
9	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility 4
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
10	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility -discussion 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
11	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility - discussion 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
12	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Issues in contemporary business, law and society: corporate social responsibility - presentation 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
13	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	issues in contemporary business , law and society: corporate social responsibility - presentation 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
14	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Review 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
15	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Review 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.

科目名	法律外国語CⅡ【経営法学科】	担当者	ノエル・ウィリアムズ	部別	第一部	期間	後期	単位数	1
-----	----------------	-----	------------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	To introduce the student to legal and business terms and ideas through film and other material.				
授業目的・到達目標	To improve the student's English ability in general, and ability to express himself orally, in particular. To get the student to express his opinion in English on law- and business-related matters.				
履修条件	The student should have a good command of English.				
授業方法	The student will be exposed to law- and business-related material in English in class, required him to respond in an appropriate manner.				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	Participation and effort	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	There is no textbook.			
参 考 書	To be explained in our first class.				
オフィスアワー	授業前の30分間				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Introduction
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
2	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business, law and society
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
3	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
4	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.

5	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment 3
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
6	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment - discussion 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
7	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment - discussion 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
8	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment - presentation 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
9	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and the environment - presentation 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
10	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and nuclear power 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
11	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and nuclear power 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
12	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and nuclear power - discussion 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
13	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and nuclear power - discussion 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
14	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and nuclear power - presentation 1
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.
15	事前学習	Prepare to talk about the issue in hand through research on the internet.
	授業内容	Business and nuclear power - presentation 2
	事後学習	To think about the issue brought up in the classroom and write down the main points.

科目名	簿記原理 I	担当者	尾上 選哉	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	簿記原理では簿記の基礎を学びます。簿記は、企業、官公庁、家庭などの各経済主体の経済活動に伴う財産の増減・変化を継続的に記録・計算・整理し、その原因と結果を明らかにする会計的技法です。				
授業目的・到達目標	本講義では、企業（個人企業）における簿記（複式簿記）を取り上げ、企業がどのようにして財産の増減・変化を把握し、損益計算を行い、その結果として、どのように貸借対照表、損益計算書を作成するかを学びます。①個人企業の決算書（貸借対照表・損益計算書）の作成過程を説明できるようになること。②企業会計の基礎を習得することができる。③日本商工会議所簿記検定試験 3 級合格レベルの知識を習得し、簿記の仕組みを理解し説明できるようになること。				
履修条件	特にありません。受講者が、簿記・会計学についての初学者であることを前提に授業を行います。				
授業方法	指定したテキストに沿って授業を進めます。そして必要に応じてプリントを配布する予定です。また、授業内に問題演習やテストを行います。第 1 回目の授業において授業方針等を説明しますので、受講者は必ず出席して下さい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	到達目標レベルに達しているかを判定します。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	税務経理協会		段階式日商簿記 3 級商業簿記〔第14版〕	加古宜士・亀山幹夫監修
	2016	税務経理協会		段階式日商簿記ワークブック 3 級商業簿記〔6 訂版〕	加古宜士・亀山幹夫監修
	備考				
参 考 書	中村忠『簿記の考え方・学び方（五訂版）』税務経理協会。 上記以外は授業内において、適宜、指示します。				
オフィスアワー	授業終了後および電子メールにより対応します。 eliya.onoe★mail.o-hara.ac.jp（★を@に置き換えてください。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通すこと
	授業内容	オリエンテーション 簿記とは
	事後学習	簿記の習得には単に授業に出席し講義を聞くだけでは不十分です。受講生自らが問題を解くことが必要ですので、予習・復習と行って頂きたい。特に簿記は積み重ねが重要ですので、毎回の授業後の復習を心掛けてください。
2	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	貸借対照表
	事後学習	今回の授業内容の復習
3	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	損益計算書
	事後学習	今回の授業内容の復習
4	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	取引と勘定
	事後学習	今回の授業内容の復習

5	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	仕訳・転記・試算表
	事後学習	今回の授業内容の復習
6	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	仕訳
	事後学習	今回の授業内容の復習
7	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	仕訳帳と総勘定元帳
	事後学習	今回の授業内容の復習
8	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	決算（１）概要・帳簿決算
	事後学習	今回の授業内容の復習
9	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	決算（２）財務諸表の作成・精算表
	事後学習	今回の授業内容の復習
10	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	現金・預金（１）
	事後学習	今回の授業内容の復習
11	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	現金・預金（２）
	事後学習	今回の授業内容の復習
12	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	商品売買（１）記帳方法
	事後学習	今回の授業内容の復習
13	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	商品売買（２）その他
	事後学習	今回の授業内容の復習
14	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	今回の授業内容の復習
15	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	今回の授業内容の復習

科目名	簿記原理 I	担当者	北川 道男	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	企業活動を記録する複式簿記の基礎を体系的にパワー・ポイントを使い説明する。						
授業目的・到達目標	企業の経済活動を記録・計算・整理し、その財政状態、経営成績およびキャッシュフローの状況をステークホルダーに明らかにするための財務諸表を作成する技術である複式簿記を、初学者が理解しやすいように講義する。ビジネスマンになる人には必修のスキルとなります。日本商工会議所簿記検定試験 3 級程度。						
履修条件	簿記を学習するためには、毎回の積み重ねが重要である。試験前にテキストを熟読しても身につけるのは困難。繰り返し電卓を用い演習問題で復習することで身に付いた学習となります。						
授業方法	解説、問題、小テストを繰り返し行う。						
成績評価	種別		割合		評価方法		
	定期試験		70%		過去問題より出題。		
	平常評価		30%		プリント課題、小テスト。		
教科書	年	出版社		書名		著者名	
		中央経済社		検定簿記講義 3 級商業簿記		渡部、片山、北村	
		中央経済社		検定簿記ワークブック 3 級		渡部、片山、北村	
	備考						
参考書	授業で指示						
オフィスアワー	事前にkitagawa.michio@nihon-u.ac.jpにメールし時間を調整してください。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストのまえがきをよく読む
	授業内容	簿記の学習の仕方、関連資格試験
	事後学習	将来の職業を考える
2	事前学習	テキスト 1 章を 1 項をよく読む
	授業内容	複式簿記の意義、目的
	事後学習	ワークブック 1 章でおさらい
3	事前学習	企業活動に関する法律は
	授業内容	簿記と関連法規
	事後学習	商法、会社法、金融商品取引法の目的を考える
4	事前学習	テキスト 1 章 3 項を読む
	授業内容	貸借対照表とその要素
	事後学習	プリント課題

5	事前学習	テキスト1章4項をよく読む
	授業内容	損益計算書とその要素
	事後学習	プリント課題
6	事前学習	テキスト1章5項をよく読む
	授業内容	貸借対照表と損益計算書との関係
	事後学習	プリント課題
7	事前学習	テキスト2章をよく読む
	授業内容	取引と勘定
	事後学習	ワークブック2章でおさらい
8	事前学習	テキスト3章をよく読む
	授業内容	仕訳の方法と仕訳帳
	事後学習	ワークブック3章でおさらい
9	事前学習	テキスト3章をよく読む
	授業内容	転記の方法と総勘定元帳
	事後学習	プリント課題
10	事前学習	テキスト3章をよく読む
	授業内容	帳簿
	事後学習	ワークブック3章でおさらい
11	事前学習	テキスト4章2項をよく読む
	授業内容	試算表
	事後学習	プリント課題提出
12	事前学習	テキスト4章4項をよく読んでおく
	授業内容	六桁精算表
	事後学習	プリント課題提出
13	事前学習	テキスト5章をよく読むこと
	授業内容	個別勘定の処理：現金取引の処理
	事後学習	小テスト
14	事前学習	テキスト5章
	授業内容	当座預金取引の処理
	事後学習	ワークブック5章でおさらい
15	事前学習	まとめ
	授業内容	商品売買の処理　理解度テスト
	事後学習	まとめ

科目名	簿記原理Ⅰ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、企業の財務諸表を作成するための技法である複式簿記を学習します。複式簿記とは、企業の営む経済活動を貨幣額によって測定・記録する技術です。			
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・複式簿記による基本的な記帳技術を理解し、仕訳・転記および試算表作成までの一連の手続きを身に付ける ・現預金取引や商品売買取引など、流通業が行う一般的な取引を簿記処理できるようになる			
履修条件	簿記原理Ⅱを併せて履修するようにしてください。また、会計学・財務諸表論・原価計算論といった科目は簿記原理を先に履修し、その内容を理解してから履修するとよいでしょう。			
授業方法	毎回の授業に先立って共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、問題演習を踏まえた講義を実施します。授業では毎回電卓を使用しますので、必ず電卓を持参するようにしてください。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	講義内容の理解度を確認するために、前学期末に試験を実施します。なお、日商簿記検定試験等の合格者については、成績評価上、その実績を加味します。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度版	中央経済社	検定簿記講義3級	渡部裕亘・片山 覚・北村敬子
	備考			
参考書	『検定簿記ワークブック3級』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子 編著 中央経済社			
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「簿記」とはどのようなものかイメージしてみる (第1回レジュメのみ授業時に配布)
	授業内容	簿記の基礎概念 ①：簿記とは、資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表
	事後学習	簿記の基本的考え方を理解し、貸借対照表の構造を理解する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	簿記の基礎概念 ②：純資産の増減＝純損益、収益・費用と損益計算書
	事後学習	利益計算の考え方を理解し、損益計算書の構造を理解する
3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	簿記上の取引
	事後学習	簿記上の取引の概念を理解し、8要素の結合関係を把握する
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	勘定と仕訳 ①：勘定の意義と分類
	事後学習	勘定の役割と勘定記入の基本的考え方を理解する

5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	勘定と仕訳 ②：取引の仕訳
	事後学習	簿記上の取引を仕訳処理できるようにする
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	勘定と仕訳 ③：仕訳内容の転記
	事後学習	仕訳処理した取引を、勘定へと転記できるようにする
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	試算表の作成
	事後学習	仕訳および転記の結果から、試算表を作成できるようにする
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	現金・預金 ①：現金の意義と現金勘定、当座預金の意義と当座預金勘定
	事後学習	現金勘定および当座預金勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付ける
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	現金・預金 ②：当座借越の意義と当座借越勘定・当座勘定、小口現金の意義と小口現金勘定
	事後学習	当座借越がある場合の記帳方法と、小口現金勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付ける
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	商品売買 ①分記法による記帳、三分法による記帳
	事後学習	分記法による記帳と三分法による記帳の違を理解し、三分法による記帳技術を身に付ける
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	商品売買 ②：値引・返品
	事後学習	値引や返品があった場合の売り手および買い手の簿記処理を理解する
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	売掛金と買掛金
	事後学習	売掛金勘定および買掛金勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付ける
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	手形 ①：約束手形
	事後学習	手形取引の概要を理解し、受取手形勘定および支払手形勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付ける
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	手形 ②：手形の割引と裏書譲渡
	事後学習	手形の割引および裏書譲渡の概要を理解し、それらの簿記処理方法を身に付ける
15	事前学習	前期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：各取引の簿記処理を織り込んだ試算表の作成
	事後学習	定期試験に向けて前期の学習内容を包括的に復習する

科目名	簿記原理 I	担当者	円谷 昭一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ビジネス・パーソンにとって必須の知識となった「会計」。いまやビジネスにとって不可欠となった会計情報を読み解く力を育成するとともに、それらが作成されるプロセスである「簿記」を学ぶことを本講義の目的とする。					
授業目的・到達目標	夏学期の終了時点で日商簿記検定3級（全範囲）の水準まで到達することを目標とする。したがって、講義のスピードはかなり早いものとなる。1回の欠席で大きく取り残され则认为してほしい。					
履修条件	なし。受講者が、会計学についてまったくの初学者であることを前提に、基礎の基礎から講義する。ただし、出席を取りかつ小テストも随時実施するので、履修にあたっては慎重に判断すること。					
授業方法	問題集を購入してもらい、それらの問題を講義内で解いてもらいながら、随時解説を行う。講義は基本的にパワーポイントでのプレゼンテーションで行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		期末試験で全体の80%を評価する。 講義中に数回の小テストを行う予定でいる。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	中央経済社		検定簿記ワークブック3級商業簿記		中央経済社
	備考					
参考書	講義中に適宜指示する。					
オフィスアワー	担当者は非常勤のため研究室がない。質問等は講義後に受けるとともに、e-mailにて問い合わせしてほしい。アドレスは初回講義にて伝える。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	問題意識の設定
	授業内容	ガイダンス・会計の役割
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
2	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	貸借対照表の解説（資産・負債・純資産とは）
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
3	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	損益計算書の解説（収益・費用・利益とは）
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
4	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	仕訳と転記
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題

5	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	仕訳帳と元帳、決算
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
6	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	現金預金、商品売買
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
7	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	債権・債務（手形以外）
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
8	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	手形
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
9	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	有価証券
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
10	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	固定資産
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
11	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	貸倒引当金
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
12	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	収益と費用
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
13	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	引出金、税金、伝票
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
14	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	決算仕訳と精算表
	事後学習	講義中に（時間的余裕により）解くことができなかった問題
15	事前学習	前回宿題に出されていた範囲
	授業内容	授業内試験
	事後学習	期末試験の復習

科目名	簿記原理 I	担当者	船越 洋之	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	企業の経営活動を正確に記録・測定・計算するための技法を複式簿記という。複式簿記を理解することで計数感覚を身につけ、財務諸表を分析することも可能になる。個人商店レベルの商業簿記を前提に、複式簿記の基本原理と取引記録から財務諸表作成までの流れを学習する。			
授業目的・到達目標	個人商店の商業簿記を対象に複式簿記の基本原理を学ぶが、取引記録から財務諸表の作成までの流れを中心に理解し、説明できることを目的とする。 ①複式簿記の構造②仕訳と転記③試算表作成④帳簿の締め切り⑤財務諸表の作成の5点について学ぶことで、複式簿記の基礎知識が身につくようになる。			
履修条件	簿記や会計に興味のある者。教科書を必ず購入し、無断欠席をしない者。電卓を用意できる者。電卓を持参したくない学生については履修をお断りする。			
授業方法	教科書を使用する講義形式だが、問題演習（適宜プリント配付）も行うので、毎回、教科書・ノート・電卓（8桁以上）を持参すること。電子辞書やモバイル機器の使用厳禁。なお、続けて休むとプリントをもらえないので注意。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回出席は取るが、出席点はない。ただし、授業回数の3分の2以上の出席が評価の必要条件となる。授業内ミニテストを実施し、到達目標レベルに達しているかを判定する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	創成社	イントロダクション簿記（第11版）	大野智弘編著
	備考	4月に11版が刊行されるので、それを購入のこと。簿記検定の改定に伴い、10版以前のものでは使用できません。		
参考書	各自の気に入った日商簿記検定3級関連テキスト			
オフィスアワー	非常勤講師ゆえ、休み時間に受け付ける（本務校；武蔵野大学）。なお、スポーツ系クラブ所属学生と就職活動に忙しい4年生については相談に乗るが、原則メールでの対応になる（すぐには返事できない場合あり）。 メールアドレス：hirofuna@musashino-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読むこと。
	授業内容	ガイダンス（簿記と会計の世界）、各種簿記検定について、簿記実務電卓カシオ・AZ-26Sの紹介
	事後学習	履修を決定したら、テキストを購入し、電卓を用意すること。簿記実務電卓カシオ・AZ-26S購入希望者は購入方法にしたがって購入すること。
2	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	簿記の基礎①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
3	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	簿記の基礎②
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
4	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	取引と仕訳①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。

5	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	取引と仕訳②
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
6	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	転記、試算表の原理①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
7	事前学習	ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	試算表の原理②、1回目ミニテスト（予定）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。
8	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	精算表の仕組み（6桁精算表）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
9	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	損益計算書と貸借対照表の構成
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
10	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	元帳の締切り（英米式決算法）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
11	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	小切手の振出しと受け取り（当座預金、現金）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
12	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	当座預金と当座借越、現金（通貨代用証券）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
13	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	商品売買①（値引と返品）、月末合計試算表の作成
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
14	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	前期のまとめ（試算表作成総合問題）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
15	事前学習	ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	2回目ミニテスト
	事後学習	ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。

科目名	簿記原理Ⅱ	担当者	尾上 選哉	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	簿記原理では簿記の基礎を学びます。簿記は、企業、官公庁、家庭などの各経済主体の経済活動に伴う財産の増減・変化を継続的に記録・計算・整理し、その原因と結果を明らかにする会計的技法です。			
授業目的・到達目標	本講義では、企業（個人企業）における簿記（複式簿記）を取り上げ、企業がどのようにして財産の増減・変化を把握し、損益計算を行い、その結果として、どのように貸借対照表、損益計算書を作成するかを学びます。①個人企業の決算書（貸借対照表・損益計算書）の作成過程を説明できるようになること。②企業会計の基礎を習得することができる。③日本商工会議所簿記検定試験３級合格レベルの知識を習得し、簿記の仕組みを理解し説明できるようになること。			
履修条件	特にありません。受講者が、簿記・会計学についての初学者であることを前提に授業を行います。			
授業方法	指定したテキストに沿って授業を進めます。そして必要に応じてプリントを配布する予定です。また、授業内に問題演習やテストを行います。第１回目の授業において授業方針等を説明しますので、受講者は必ず出席して下さい。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		100%	到達目標レベルに達しているかを判定します。
	平常評価		0%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016	税務経理協会	段階式日商簿記３級商業簿記〔第14版〕	加古宜士・亀山幹夫監修
	2016	税務経理協会	段階式日商簿記ワークブック３級商業簿記〔６訂版〕	加古宜士・亀山幹夫監修
	備考			
参考書	中村忠『簿記の考え方・学び方（五訂版）』税務経理協会。 上記以外は授業内において、適宜、指示します。			
オフィスアワー	授業終了後および電子メールにより対応します。 eliya.onoe★mail.o-hara.ac.jp（★を@に置き換えてください。）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通すこと
	授業内容	オリエンテーション 簿記原理Ⅰの学習範囲の復習等
	事後学習	簿記の習得には単に授業に出席し講義を聞くだけでは不十分です。受講生自らが問題を解くことが必要ですので、予習・復習と行って頂きたい。特に簿記は積み重ねが重要ですので、毎回の授業後の復習を心掛けてください。
2	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	売掛金と買掛金
	事後学習	今回の授業内容の復習
3	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	手形（１）約束手形と為替手形
	事後学習	今回の授業内容の復習
4	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	手形（２）裏書手形、割引手形など
	事後学習	今回の授業内容の復習

5	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	その他の債権債務
	事後学習	今回の授業内容の復習
6	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	貸倒損失と貸倒引当金
	事後学習	今回の授業内容の復習
7	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	有価証券
	事後学習	今回の授業内容の復習
8	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	固定資産（１）取得等
	事後学習	今回の授業内容の復習
9	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	固定資産（２）減価償却・売却
	事後学習	今回の授業内容の復習
10	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	費用と収益
	事後学習	今回の授業内容の復習
11	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	資本金・引出金・税金
	事後学習	今回の授業内容の復習
12	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	決算（１）決算整理事項
	事後学習	今回の授業内容の復習
13	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	決算（２）精算表・財務諸表の作成
	事後学習	今回の授業内容の復習
14	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	理解度の確認
	事後学習	今回の授業内容の復習
15	事前学習	前回学習の授業内容の復習
	授業内容	まとめ
	事後学習	今回の授業内容の復習

科目名	簿記原理Ⅱ	担当者	北川 道男	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	複式簿記の応用を中心に					
授業目的・到達目標	企業の経済活動を記録・計算・整理し、その財政状態、経営成績およびキャッシュフローの状況をステークホルダーに明らかにするための財務諸表を作成する技術である複式簿記を、初学者が理解しやすいように講義する。ビジネスマンになる人には必修のスキルとなります。日本商工会議所簿記検定試験３級程度。					
履修条件	簿記を学習するためには、毎回の積み重ねが重要である。試験前にテキストを熟読しても身につけるのは困難。繰り返し電卓を用い演習問題で復習することで身に付いた学習となります。					
授業方法	解説、問題、小テストを繰り返し行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		70%		過去問題より出題。	
	平常評価		30%		提出課題、小テスト。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
		中央経済社		検定簿記講義３級商業簿記		渡部、片山、北村
		中央経済社		検定簿記ワークブック３級		渡部、片山
	備考					
参考書	授業で指示					
オフィスアワー	事前にkitagawa.michio@nihon-u.ac.jpにメールし時間を調整してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキスト７章をよく読む
	授業内容	掛け取引の処理
	事後学習	ワークブック７章でおさらい
2	事前学習	テキスト９章をよく読む
	授業内容	手形取引の処理
	事後学習	ワークブック９章でおさらい
3	事前学習	テキスト８章をよく読む
	授業内容	その他の債権・債務の処理
	事後学習	ワークブック８章でおさらい
4	事前学習	テキスト１０章をよく読む
	授業内容	有価証券の処理
	事後学習	ワークブック１０章でおさらい

5	事前学習	テキスト 1 1 章をよく読む
	授業内容	固定資産の処理と減価償却
	事後学習	ワークブック 1 1 章でおさらい
6	事前学習	テキスト 1 2 章をよく読む
	授業内容	貸倒引当金
	事後学習	ワークブック 1 2 章でおさらい
7	事前学習	テキスト 1 4 章をよく読む
	授業内容	収益・費用の繰延・見越
	事後学習	ワークブック 1 4 章でおさらい
8	事前学習	テキスト 1 3 章をよく読む
	授業内容	資本金と引出金
	事後学習	ワークブック 1 3 章でおさらい
9	事前学習	テキスト 1 3 章をよく読む
	授業内容	個人企業の税金の処理
	事後学習	ワークブック 1 3 章でおさらい
10	事前学習	テキスト 1 5 章をよく読む
	授業内容	伝票の処理
	事後学習	ワークブック 1 5 章でおさらい
11	事前学習	テキスト 1 6 章をよく読む
	授業内容	決算手続
	事後学習	ワークブック 1 6 章でおさらい
12	事前学習	テキスト 1 6 章をよく読む
	授業内容	決算修正（1）
	事後学習	ワークブック 1 6 章でおさらい
13	事前学習	テキスト 1 6 章 4 項をよく読む
	授業内容	決算修正（2）
	事後学習	プリント課題
14	事前学習	まとめ
	授業内容	精算表（1）テスト
	事後学習	まとめ
15	事前学習	まとめ
	授業内容	精算表（2）テスト
	事後学習	反省

科目名	簿記原理Ⅱ	担当者	小阪 敬志	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この授業では、企業の財務諸表を作成するための技法である複式簿記を学習します。複式簿記とは、企業の営む経済活動を貨幣額によって測定・記録する技術です。			
授業目的・到達目標	この授業の目的・到達目標は次の通りです。 ・複式簿記による基本的な記帳技術を理解し、精算表の作成を通じた財務諸表の作成技術を身に付ける ・企業が行う様々な取引を簿記処理できるようになる			
履修条件	簿記原理Ⅰと併せて履修するようにしてください。また、会計学・財務諸表論・原価計算論といった科目は簿記原理を先に履修し、その内容を理解してから履修するとよいでしょう。			
授業方法	毎回の授業に先立って共有フォルダを通じて授業範囲のレジュメを配布し、問題演習を踏まえた講義を実施します。授業では毎回電卓を使用しますので、必ず電卓を持参するようにしてください。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	授業内容の理解度を確認するために、後学期末に試験を実施します。なお、日商簿記検定試験等の合格者については、成績評価上、その実績を加味します。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成30年度版	中央経済社	検定簿記講義3級	渡部裕亘・片山 覚・北村敬子
	備考			
参考書	『検定簿記ワークブック3級』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子 編著 中央経済社			
オフィスアワー	研究室での相談対応は、毎週火曜日の夕方（16:30頃～18:00頃）実施します。希望者は実施時間帯に担当教員の研究室（本館8階の1820研究室）まで来ること。 都合により不在の場合もあるため、事前にメール（kosaka.takashi@nihon-u.ac.jp）にてアポを取るようにしてください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期に配布したレジュメを通読しておく （簿記原理Ⅱの第1回レジュメのみ授業時に配布）
	授業内容	簿記原理Ⅰで学習した内容の復習
	事後学習	簿記手続き一巡と、前期に学習した各取引の簿記処理について再確認する
2	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	その他の債権と債務 ①：貸付金・借入金、未収入金・未払金、立替金・預り金
	事後学習	その他の債権と債務の各勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付ける
3	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	その他の債権と債務 ②：仮払金・仮受金、商品券・他店商品券 有価証券
	事後学習	その他の債権と債務の各勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付け、有価証券取引の簿記処理を身に付ける
4	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	固定資産
	事後学習	固定資産取引の簿記処理を身に付ける

5	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	資本金と引出金
	事後学習	資本の元入れと引出しについて理解し、資本金勘定および引出金勘定を用いた仕訳処理と転記方法を身に付ける
6	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	決算整理の流れ
	事後学習	会計期間中の簿記手続き一巡を再確認し、決算整理手続きの位置づけを理解する
7	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	決算整理手続 ①：現金過不足、商品評価
	事後学習	現金過不足および期末商品評価の決算手続を身に付ける
8	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	決算整理手続 ②：貸倒引当金、消耗品
	事後学習	貸倒引当金の設定および消耗品に関する決算手続を身に付ける
9	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	決算整理手続 ③：減価償却
	事後学習	減価償却の仕組みを理解し、減価償却手続を身に付ける
10	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	決算整理手続 ④：収益・費用の見越し
	事後学習	収益・費用の見越しの考え方を理解し、見越処理のための簿記手続きを身に付ける
11	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	決算整理手続 ⑤：収益・費用の繰延べ
	事後学習	収益・費用の繰延べの考え方を理解し、繰延処理のための簿記手続きを身に付ける
12	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	勘定の締切と当期純損益の計算
	事後学習	帳簿の締切手続を身に付け、当期純損益の計算の仕組みを理解する
13	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	精算表の作成 ①：作成方法の概要
	事後学習	精算表の作成手順を理解する
14	事前学習	レジュメの該当範囲を通読する
	授業内容	精算表の作成 ②：問題による作成方法の演習
	事後学習	問題演習を通じて精算表の作成技術を身に付ける
15	事前学習	後期の学習内容を概観しておく
	授業内容	総括：各取引の簿記処理の確認と精算表の作成
	事後学習	定期試験に向けて後期の学習内容を包括的に復習する

科目名	簿記原理Ⅱ	担当者	円谷 昭一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	ビジネス・パーソンにとって必須の知識となった「会計」。いまやビジネスにとって不可欠となった会計情報を読み解く力を育成するとともに、それらが作成されるプロセスである「簿記」を学ぶことを本講義の目的とする。					
授業目的・到達目標	冬学期の終了時点で日商簿記検定2級商業簿記の水準まで到達することを目標とする。したがって、講義のスピードはかなり早いものとなる。1回の欠席で大きく取り残されると考えてほしい。					
履修条件	夏学期の同時限（月曜5限）に開講される簿記原理Ⅰで講義する内容（日商簿記検定3級レベル）を習得済であることを前提に講義を進める。したがって、簿記の基礎的部分については一切触れないので注意すること。					
授業方法	問題集を購入してもらい、それらの問題を講義内で解いてもらいながら、随時解説を行う。講義は基本的にパワーポイントでのプレゼンテーションで行う。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		期末試験で全体の80%を評価する。 講義中に数回の小テストを行う予定でいる。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年度	中央経済社		検定簿記ワークブック2級商業簿記		中央経済社
	備考					
参考書	講義中に適宜指示する。					
オフィスアワー	担当者は非常勤のため研究室がない。質問等は講義後に受けるとともに、e-mailにて問い合わせしてほしい。アドレスは初回講義にて伝える。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	問題意識の設定
	授業内容	ガイダンス、現金預金
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
2	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	有価証券、手形
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
3	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	その他の債権債務
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
4	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	商品売買、特殊商品売買
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題

5	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	固定資産
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
6	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	引当金
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
7	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	収益と費用
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
8	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	純資産の会計
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
9	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	社債
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
10	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	税金
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
11	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	決算
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
12	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	本支店会計①
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
13	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	本支店会計②
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
14	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	財務分析
	事後学習	講義中に（時間的余裕がなく）解くことができなかった問題
15	事前学習	前回講義で指示された宿題
	授業内容	授業内試験
	事後学習	試験の復習

科目名	簿記原理Ⅱ	担当者	船越 洋之	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

授業概要	個人商店レベルの商業簿記について、簿記原理Ⅰで学習した内容を土台にして、いろいろな取引の仕訳を学ぶとともに、8桁精算表の作成を学習する。全経簿記3級レベルないし日商簿記3級基本レベルの学習を念頭においている。				
授業目的・到達目標	簿記原理Ⅰに引き続き、複式簿記の基本原理を学習するが、全経簿記3級レベルの仕訳と8桁精算表作成を中心に理解し、説明できることを目的とする。 ①全経簿記3級レベルの仕訳の理解②8桁精算表の作成③補助簿の作成の3点について学ぶことで、全経簿記3級レベルないし日商簿記3級基本レベルの知識・技法が身につくようになる。				
履修条件	簿記や会計に興味のある者。教科書を必ず購入し、無断欠席をしない者。簿記原理Ⅰを学習済みであること。電卓を持参したくない学生については履修をお断りする。				
授業方法	教科書を使用する講義形式だが、問題練習（適宜プリント配付）も行うので、毎回、教科書・ノート・電卓（8桁以上）を持参すること。電子辞書やモバイル機器の使用厳禁。なお、続けて休むとプリントをもらえないので注意。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	出席は毎回取る。出席点はない。ただし、授業回数の3分の2以上の出席が必要条件となる。授業内ミニテストを実施し、到達目標レベルに達しているかを判定する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	創成社		イントロダクション簿記（第11版）	大野智弘編著
	備考	前期の簿記原理Ⅰで使用した教科書を引き続き使用する。			
参考書	各自の気に入った日商簿記検定3級関連テキスト				
オフィスアワー	非常勤講師ゆえ、休み時間に受け付ける（本務校；武蔵野大学）。なお、スポーツ系クラブ所属学生と就職活動に忙しい4年生については相談に乗るが、原則メールでの対応になる（すぐには返事できない場合あり）。 メールアドレス：hirofuna@musashino-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	商品売買②（付随費用）、現金過不足、小口現金
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
2	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	商品売買③（売上原価の計算）、手形①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
3	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	手形②、補助簿の作成（小口現金出納帳、商品有高帳）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
4	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	貸倒れと貸倒引当金、有価証券
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。

5	事前学習	ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	有形固定資産、1回目ミニテスト（予定）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。
6	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	減価償却、内金、他店商品券
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
7	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	その他の債権と債務①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
8	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	その他の債権と債務②
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
9	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	その他の取引と仕訳①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
10	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	その他の取引と仕訳②
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
11	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	費用・収益の繰延と見越（営業費用を中心に学習）
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
12	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	8桁精算表の作成①
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
13	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	8桁精算表の作成②
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
14	事前学習	テキストの該当箇所にある学習のポイントを読んでおくこと。
	授業内容	損益計算書と貸借対照表の作成
	事後学習	テキストの問題と配付したプリントを復習しておくこと。
15	事前学習	ミニテストに向けた準備をしておくこと。
	授業内容	2回目ミニテスト
	事後学習	ミニテストについて自己採点し、今後の学習に役立てること。

科目名	マーケティング戦略論Ⅰ	担当者	臼井 哲也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める科目区分又は事項等							
授業概要	競争市場における事業戦略とマーケティング行動の関係について体系的に理解する。とくに戦略経営論の基礎と戦略的マーケティング論について理解を深める。						
授業目的・到達目標	ビジネスの成功は、急変を繰り返す環境要因を所与としながらも、「考え抜く力」と「実現力」で決まる。本講義では、教員が受講生に対して常に疑問を投げかけることにより、受講生が自ら考える抜く力の基礎を修得することを第一の目標としている。						
履修条件	原則として「マーケティング論」の単位取得を条件とする。「マーケティング論」の単位未取得者は必ず第1回目講義終了後に教員へ相談にくること。						
授業方法	教員による講義と受講生による討論により進める。						
成績評価	種別		割合	評価方法			
	定期試験		60%	詳しくは第1回目の講義にて説明するため、必ず出席すること。第1回目の講義に出席できないものは受講資格を失うこともあるので注意すること。			
	平常評価		40%	40%の内訳は、原則としてグループ演習20%×2回とするが、その他参加態度を加味し、総合的に判断する。			
教科書	年	出版社		書名			著者名
	2018	臼井哲也		臼井講義資料（詳細は講義内で説明する）			臼井哲也
	備考						
参考書	Kumar 著 井上崇道・村松潤一監訳『戦略としてのマーケティング』同友館出版。						
オフィスアワー	水曜13：30～14：30 以下のメールアドレスへ問い合わせること。個別に時間を設定する。 usui.tetsuya@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講義ノートの整理
2	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略とは何か（マーケティングの基礎と戦略の関係）
	事後学習	講義ノートの整理

3	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略経営論：ポジショニング・アプローチ1
	事後学習	講義ノートの整理
4	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略経営論：ポジショニング・アプローチ2
	事後学習	講義ノートの整理
5	事前学習	グループ演習課題のための2次資料収集
	授業内容	グループ演習1：業界分析
	事後学習	講義ノートの整理
6	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略経営論：資源ベース・ビュー1
	事後学習	講義ノートの整
7	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略経営論：資源ベース・ビュー2
	事後学習	講義ノートの整理
8	事前学習	グループ演習課題のための2次資料収集
	授業内容	グループ演習2：経営資源に基づく戦略策定
	事後学習	講義ノートの整理
9	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略的マーケティングの枠組み
	事後学習	講義ノートの整理
10	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ビジネスモデル1
	事後学習	講義ノートの整理
11	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ビジネスモデル2
	事後学習	講義ノートの整理
12	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ビジネスモデル3
	事後学習	講義ノートの整理
13	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ダイナミック・ケイバビリティ論と市場志向
	事後学習	講義ノートの整理
14	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ケーススタディ：ゲストスピーカー（予定）
	事後学習	講義ノートの整理

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験及び解説
	事後学習	試験の振り返り

科目名	マーケティング戦略論Ⅱ	担当者	臼井 哲也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	競争市場における事業戦略とマーケティング行動の関係について体系的に理解する。とくに国際マーケティング戦略について講じる。				
授業目的・到達目標	ビジネスの成功は、急変を繰り返す環境要因を所与としながらも、「考え抜く力」と「実現力」で決まる。本講義では、教員が受講生に対して常に疑問を投げかけることにより、受講生が自ら考える抜く力の基礎を修得することを第一の目標としている。				
履修条件	原則として「マーケティング論」の単位取得を条件とする。「マーケティング論」の単位未取得者は必ず第1回目講義終了後に教員へ相談にくること。				
授業方法	教員による講義と受講生による討論により進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	詳しくは第1回目の講義にて説明するため、必ず出席すること。第1回目の講義に出席できないものは受講資格を失うこともあるので注意すること。	
	平常評価		40%	個人演習（レポート）とその他参加態度を加味し、総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018	臼井哲也		臼井講義資料（詳細は講義内で説明する）	臼井哲也
	備考				
参考書	Kumar著 井上崇道・村松潤一監訳『戦略としてのマーケティング』同友館出版。				
オフィスアワー	水曜13：30～14：30 以下のメールアドレスへ問い合わせること。個別に時間を設定する。 usui.tetsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習
	授業内容	ガイダンスと前期復習
	事後学習	講義ノートの整理
2	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	海外市場参入行動1（歴史）
	事後学習	講義ノートの整理

3	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	海外市場参入行動2（市場分析）
	事後学習	講義ノートの整理
4	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	海外市場参入行動3（参入モード）
	事後学習	講義ノートの整理
5	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	戦略的海外市場参入行動
	事後学習	講義ノートの整理
6	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	国際マーケティング標準化ー適応化1
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
7	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	国際マーケティング標準化ー適応化2
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
8	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	国際マーケティング標準化ー適応化3
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
9	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	標準化ー適応化の戦略的意味
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
10	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	リソース・リポジショニング・フレーム1
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
11	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポートの準備
	授業内容	リソース・リポジショニング・フレーム2
	事後学習	講義ノートの整理、レポートの準備
12	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ケーススタディ：ゲストスピーカー（予定）
	事後学習	講義ノートの整理
13	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	個人演習 1
	事後学習	講義ノートの整理
14	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	個人演習 2
	事後学習	講義ノートの整理

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験及び解説
	事後学習	試験の振り返り

科目名	マーケティング論Ⅰ	担当者	臼井 哲也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	市場の形成、マーケティングの発生、企業によるマーケティング行動につき体系的に講じる。とくに4Pを用いたマーケティング計画の具体的手順と消費者行動につき理解を深める。				
授業目的・到達目標	ビジネスの成功は、急変を繰り返す環境要因を所与としながらも、「考え抜く力」と「実現力」で決まる。本講義では、教員が受講生に対して常に疑問を投げかけることにより、受講生が自ら考える抜く力の基礎を修得することを第一の目標としている。				
履修条件	特になし。2年次以降に履修が可能となる「マーケティング戦略論」の履修には本単位の取得が条件となるため、本単位を1年次で履修することを推奨する。				
授業方法	教員による講義と受講生による討論により進める。講義への積極的な関与が求められる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		60%	詳しくは第1回目の講義にて説明するため、必ず出席すること。第1回目の講義に出席できないものは受講資格を失うこともあるので注意すること。	
	平常評価		40%	40%の内訳は、グループ演習20%×2回とするが、その他参加態度を加味し、総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	日本経済新聞社		ゼミナールマーケティング入門	石井・嶋口・栗木・余田著
	備考	教科書の事前購入は必要ない。詳しくは講義内で説明する。			
参考書	『広告コミュニケーションの総合講座2018』日本経済新聞出版社 『1からのマーケティング』中央経済社。				
オフィスアワー	水曜13：30～14：30 以下のメールアドレスへ問い合わせること。個別に時間を設定する。 usui.tetsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス資料に基づき、年間の学習スケジュールと目標を理解しておく
2	事前学習	講義ノートの準備
	授業内容	マーケティングの発生
	事後学習	講義ノートの整理

3	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	マーケティング・マネジメント
	事後学習	講義ノートの整理
4	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	コンセプトと製品・サービス (Product)
	事後学習	講義ノートの整理
5	事前学習	グループ演習課題のための2次資料の収集
	授業内容	グループ演習1 (法学部のコンセプト策定)
	事後学習	講義ノートの整理
6	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	価格のデザイン(Price)
	事後学習	講義ノートの整理
7	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	マーケティング・チャネル(Place)
	事後学習	講義ノートの整理
8	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	プロモーション(Promotion)
	事後学習	講義ノートの整理
9	事前学習	グループ演習課題のための2次資料の収集
	授業内容	グループ演習2 (プロモーション企画立案)
	事後学習	講義ノートの整理
10	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	消費者行動の理解1
	事後学習	講義ノートの整理
11	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	消費者行動の理解2
	事後学習	講義ノートの整理
12	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	消費者行動モデル
	事後学習	講義ノートの整理
13	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ケーススタディ：ゲストスピーカー講義（予定）
	事後学習	講義ノートの整理
14	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義ノートの整理

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験及び解説
	事後学習	試験の振り返り

科目名	マーケティング論Ⅱ	担当者	臼井 哲也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	市場の形成、マーケティングの発生、企業によるマーケティング行動、流通のしくみなどにつき体系的に講じる。とくに流通システムと小売業の業態と戦略について講じる。					
授業目的・到達目標	ビジネスの成功は、急変を繰り返す環境要因を所与としながらも、「考え抜く力」と「実現力」で決まる。本講義では、教員が受講生に対して常に疑問を投げかけることにより、受講生が自ら考える抜く力の基礎を修得することを第一の目標としている。					
履修条件	特になし。2年次以降に履修が可能となる「マーケティング戦略論」の履修には本単位の取得が条件となるため、本単位を1年次で履修することを推奨する。					
授業方法	教員による講義と受講生による討論により進める。講義への積極的な関与が求められる。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		60%	詳しくは第1回目の講義にて説明するため、必ず出席すること。第1回目の講義に出席できないものは受講資格を失うこともあるので注意すること。		
	平常評価		40%	個人演習（レポート）に加え、その他参加態度を加味し、総合的に判断する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013	日本経済新聞社		ゼミナールマーケティング入門		石井・嶋口・栗木・余田著
	備考	教科書の事前購入は必要ない。詳しくは講義内で説明する。				
参考書	『広告コミュニケーションの総合講座2018』日本経済新聞出版社 『1からのマーケティング』中央経済社。					
オフィスアワー	水曜13：30～14：30 以下のメールアドレスへ問い合わせること。個別に時間を設定する。 usui.tetsuya@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ガイダンスと前期復習
	事後学習	講義ノートの整理
2	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）1
	事後学習	講義ノートの整理

3	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング） 2
	事後学習	講義ノートの整理
4	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ブランド・マネジメント1
	事後学習	講義ノートの整理
5	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	ブランド・マネジメント2
	事後学習	講義ノートの整理
6	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポート準備
	授業内容	流通システム1
	事後学習	講義ノートの整理、レポート準備
7	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポート準備
	授業内容	流通システム2
	事後学習	講義ノートの整理、レポート準備
8	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポート準備
	授業内容	小売業態発展の歴史1
	事後学習	講義ノートの整理、レポート準備
9	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポート準備
	授業内容	小売業態発展の歴史2
	事後学習	講義ノートの整理、レポート準備
10	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポート準備
	授業内容	ケーススタディ：ゲストスピーカー講義（予定）
	事後学習	講義ノートの整理、レポート準備
11	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備、レポート準備
	授業内容	現代小売業の競争1
	事後学習	講義ノートの整理
12	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	現代小売業の競争2
	事後学習	講義ノートの整理
13	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	個人演習 1
	事後学習	講義ノートの整理
14	事前学習	前回の復習ならびに講義ノートの準備
	授業内容	個人演習 2
	事後学習	講義ノートの整理

15	事前学習	試験の準備
	授業内容	授業内試験及び解説
	事後学習	試験の振り返り

科目名	マクロ経済学Ⅰ	担当者	武縄 卓雄	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済学の基礎であるマクロ経済学を，ケインズ経済学を中心に講義する．マクロ経済学を理解するために必要な，基本的な概念と用語，基礎的な理論，関連した統計を説明する。				
授業目的・到達目標	われわれはマクロ経済を直接「みる」ことはできない。マクロ経済を「みる」ためには必ず「眼鏡」（理論）が必要になる。この「眼鏡」について学ぶことが本講義の目的である。 （吉川洋『マクロ経済学入門 第3版』より）マクロ経済学の中級レベルを到達目標としている。マクロ経済学の基本的分析ツールを用いて、経済全体の多様な変化を説明できる能力を養う。				
履修条件	数学の予備知識は必要としないが、割り算の意味を理解していないと単位修得は難しい。また、経済学もしくは経済学Ⅰ・Ⅱを修得していることが望ましい。				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度, 授業内試験およびレポート等を考慮します。なお、欠席率が30%以上の学生は、講義を受けることはできませんが、評価対象者から除外されます。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2017/3/3	岩波書店		マクロ経済学 第4版	吉川洋
	備考				
参考書	西村和雄『入門 経済学ゼミナール』実務教育出版，三橋・内田・池田『ゼミナール日本経済入門(第25版)』日本経済新聞社，J. K. シム/J. G. シーゲル著／井堀／栗沢訳『新経済学用語辞典』新世社				
オフィスアワー	メールで問い合わせてください。 takenawa.takuo@nihon-u.ac.jp 時間調整をします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストとノートを準備する。事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	第1章 マクロ経済学の諸概念 ストックとフロー、GDPとその統計原則、
	事後学習	ノートの整理をし、GDPに関する質問を作成する。
2	事前学習	前回のノートを再確認する。
	授業内容	名目GDPと実質GDP
	事後学習	ノートを整理し、実質GDPを算出する数値例を自作して、計算する。

3	事前学習	前回のノートを確認する。
	授業内容	貯蓄・投資バランス GDP統計の限界
	事後学習	ノートを整理し、財市場の均衡条件式の導出法を文章化する。
4	事前学習	前回のノートを確認する。
	授業内容	第2章 GDPの決定 有効需要の原理 消費関数
	事後学習	ノートを整理する。消費関数を自作し、作図する。
5	事前学習	有効需要の原理を中心に、前回のノートを確認する。
	授業内容	財市場におけるマクロの需給均衡とGDPの決定 会計上の恒等式と経済理論の均衡式
	事後学習	ノートを整理し、GDPの決定について文章化する。
6	事前学習	前回のノートを確認し、GDP決定の計算例を一題作問する。
	授業内容	乗数
	事後学習	ノートを整理し、乗数メカニズムを文章化する。
7	事前学習	前回のノートを確認し、投資乗数の計算例を一題作問する。
	授業内容	政府支出と税
	事後学習	租税乗数を中心に、ノートを整理する。
8	事前学習	前回のノートを確認し、租税乗数の数値例を一題作問する。
	授業内容	IS曲線の導出
	事後学習	IS曲線の定義を中心に、ノートを整理する。
9	事前学習	IS曲線の数値例を1問作成し、ノートを確認する。
	授業内容	第3章 資産市場 資産の特性と貨幣 債券価格と利子率
	事後学習	債券価格と利子率の関係を中心にノートを整理する。
10	事前学習	債券価格と利子率の関係を文章化し、ノートを確認する。
	授業内容	資産市場の均衡 貨幣の需要 貨幣の供給
	事後学習	貨幣の定義と利子率の決定を中心に、ノートを整理する。
11	事前学習	致死率の決定を文章化し、ノートを確認する。
	授業内容	第4章 IS/LMモデル 貨幣市場の均衡：LM曲線
	事後学習	LM曲線の定義を中心に、ノートを整理する。
12	事前学習	LM曲線の数値例を1問作成し、ノートを確認する。
	授業内容	財市場の均衡：IS曲線 貨幣市場と財市場の同時均衡
	事後学習	同時均衡の数値問題を1問作成し、ノートを整理する。
13	事前学習	同時均衡を文章化し、ノートを確認する。
	授業内容	財政政策
	事後学習	IS曲線のシフトと財政政策の関係を中心にノート整理する。
14	事前学習	財政政策とIS曲線のシフトに関する数値例を1問作成し、ノートを確認する。
	授業内容	金融政策
	事後学習	LM曲線のシフトと財政政策の関係を中心にノート整理する。

15	事前学習	金融政策とLM曲線のシフトに関する数値例を1問作成し、これまでのノートを確認する。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験を再度、解いてみる。

科目名	マクロ経済学Ⅰ	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	マクロ経済学とは、一国経済について理解するための体系的な理論である。本講義ではその基礎となる概念やモデルについて講義を行う。 なお講義の進捗に応じて講義内容を多少変更する場合がある。				
授業目的・到達目標	経済現象や市場メカニズムを解明するための基本的な分析枠組みであるマクロ経済学を講義する。マクロ経済学では、よくニュース等で取り上げられる、GDPや物価、失業率、利子率、為替レートなどを扱う。この講座では、マクロ経済学の基本的なモデルと考え方を理解することを目的とする。マクロ経済学の中級レベルを到達目標とする。具体的には、公務員試験や大学院受験（旧帝大レベル）の基本的な問題が解けるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教科書及び講義ノートに基づいて、講義形式で行う。なお、講義ノートは授業前日までに学生教員フォルダにアップするので必要に応じて持参すること。（教員から配布は行わない）				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	学期末試験で評価する。	
	平常評価		10%	小テストを考慮する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2013年	東洋経済新報社	マンキュー経済学Ⅱマクロ編（第3版）		N. グレゴリー・マンキュー
	備考				
参考書	使用しない				
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のイントロダクションを一読しておくことが望ましい。
	授業内容	オリエンテーション：経済学の対象と方法と理論体系
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
2	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	マクロ経済指標 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

3	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	マクロ経済指標 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
4	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	経済成長 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
5	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	経済成長 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
6	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	貯蓄投資と金融 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
7	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	貯蓄投資と金融 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
8	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	ファイナンス 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
9	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	ファイナンス 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
10	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	貨幣とは何か
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
11	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	中央銀行の役割
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
12	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	失業とは何か
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
13	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	開放経済の基礎 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
14	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	開放経済の基礎 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

15	事前学習	これまでの講義内容について整理し、理解しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	期末試験に向けて準備しておくこと。

科目名	マクロ経済学Ⅰ	担当者	羽田 翔	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済現象や市場経済のメカニズムを理解するために、一国の経済活動を決定する要因や経済政策の基礎理論を中心に講義を進める。具体的には、GDP、物価水準、貨幣、利子率、雇用、賃金、為替レートに決定と、これらの経済指標が変化する要因を説明する。				
授業目的・到達目標	本講義では、現実に行っているマクロ経済に関する現象を読み解くために必要なマクロ経済学の基本的な知識、分析手法および経済学的なモノの考え方を習得することを目標とする。				
履修条件	特に条件はないが、経済学の授業を履修した後に本科目を履修することでより理解が深まると考える。				
授業方法	講義ノートとレジュメを活用して授業を進める。小テストを複数回行うことで理解を促す。また、主に図表を使用し、受講生の理解を促す方法を採用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	学期末の定期試験で評価する。	
	平常評価		20%	授業への積極的な参加および小テストで評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2007年	日本評論社		入門マクロ経済学 第5版	中谷 巖
	備考				
参考書	特に指定しない。しかし、自分でマクロ経済学の入門書を実際に手に取り、合ったものを1冊参考にすることが望ましい。				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を準備し、シラバスの内容を確認してくること。
	授業内容	マクロ経済学を学ぶ意味：経済学におけるマクロ経済学とミクロ経済学の説明、授業概要および成績評価方法の解説
	事後学習	講義内容を整理する。
2	事前学習	教科書第2章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	GDPと物価指数（1）：GDPとGNP、付加価値、名目と実質、フローとストックについて
	事後学習	講義内容を整理する。

3	事前学習	教科書第2章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	GDPと物価指数（2）：GDPの計算における消費と投資の違い
	事後学習	講義内容を整理する。
4	事前学習	教科書第2章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	GDPと物価指数（3）：三面等価の原則の理解
	事後学習	講義内容を整理する。
5	事前学習	教科書第2章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	GDPと物価指数（4）：三面等価の原則と現実の世界について
	事後学習	講義内容を整理する。
6	事前学習	教科書第2章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	GDPと物価指数（5）：物価水準の指標とGDPデフレーター
	事後学習	講義内容を整理する。
7	事前学習	教科書第4章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	所得の決定メカニズム（1）：財市場における数量調整と価格調整について
	事後学習	講義内容を整理する。
8	事前学習	教科書第4章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	所得の決定メカニズム（2）：消費関数と投資関数について
	事後学習	講義内容を整理する。
9	事前学習	教科書第4章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	所得の決定メカニズム（3）：45度線モデルと所得の決定
	事後学習	講義内容を整理する。
10	事前学習	教科書第4章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	所得の決定メカニズム（4）：乗数波及効果とデフレギャップ、インフレギャップについて
	事後学習	講義内容を整理する。
11	事前学習	教科書第5章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	貨幣の需給バランスと利子率（1）：ストック市場におけるワルラスの法則について
	事後学習	講義内容を整理する。
12	事前学習	教科書第5章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	貨幣の需給バランスと利子率（2）：貨幣の3つの機能と割引現在価値
	事後学習	講義内容を整理する。
13	事前学習	教科書第5章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	貨幣の需給バランスと利子率（3）：債券価格と利子率の関係
	事後学習	講義内容を整理する。
14	事前学習	教科書第5章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	貨幣の需給バランスと利子率（4）：貨幣の供給と政策について
	事後学習	講義内容を整理する。

15	事前学習	マクロ経済学Ⅰで学んだ内容の確認および疑問点を考えてくること。
	授業内容	マクロ経済学Ⅰのまとめ及び試験内容の確認
	事後学習	講義内容を整理し試験に備える。

科目名	マクロ経済学Ⅰ	担当者	日隈 信夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）では、経済活動の行われる3つの市場（財市場、資産《貨幣・債券》市場および労働市場）のうち、財市場と貨幣市場を取り扱い、その後、財市場からIS曲線、貨幣市場からLM曲線を導出し、IS-LM分析を行う。また、IS-LMモデルを使用して、財政政策と金融政策の有効性について解説する。					
授業目的・到達目標	マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）を学ぶことによって、家計、企業および政府からなる3つの経済主体（経済活動を行なうプレーヤー）と財市場、資産（貨幣・債券）市場および労働市場からなる3つの市場（経済活動が行われる場所）を整理することによって、マクロ経済学の全体像を把握することを目的とする。 そのうえで、マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）で習得した知識や理論を基に、経済に関する新聞やニュースを理解するだけでなく、自分の考えで、現実の経済問題を議論できるようになることを目標とする。					
履修条件	特になし					
授業方法	講義形式					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		50%	定期試験		
	平常評価		50%	確認テストおよび受講態度		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2007	日本評論社		入門マクロ経済学 第5版		中谷巖
	備考					
参考書	大淵三洋ほか著『基本経済学』八千代出版，2018年。					
オフィスアワー	質問、要望などがあれば、授業前後など、気軽にお声がけいただきたい（メールでも対応可）。また、やむを得ず欠席する場合も、以下のメールアドレスに事前連絡（欠席理由も報告）いただきたい。 sunbears7@hotmail.com					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	この授業のガイダンス（受講方法、授業方針などの解説）を行った後、マクロ経済学の概要、ミクロ経済学との関係、周辺領域との関係について解説する。履修希望者は、必ず出席すること。
	事後学習	第1回に行った解説の内容（マクロ経済学の概要、ミクロ経済学との関係、周辺領域との関係を復習しておくこと。
2	事前学習	第2回に行われる第1章前半を読んでおくこと。
	授業内容	世界経済との関連で、日本経済の動向と今後の展望について解説する。
	事後学習	第2回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。

3	事前学習	第3回に行われる第2章前半を読んでおくこと。
	授業内容	フローとストック、名目と実質、静学と動学など、マクロ経済学を学習するためのいくつかの概念を解説したうえで、国民所得統計としてのGDPの概念について解説する。
	事後学習	第3回になった解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
4	事前学習	第4回に行われる第2章後半を読んでおくこと。
	授業内容	三面等価の原則、ISバランスおよび物価水準について解説したうえで、簡単な数値例を基に、物価水準に関する簡単な計算問題を行う。
	事後学習	第4回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
5	事前学習	第5回に行われる第3章前半を読んでおくこと。
	授業内容	マクロ経済学の枠組みとして、日常生活における「歴史的時間」とマクロ経済学における「抽象的時間」の違いを解説したうえで、「短期」と「長期」の違い、「総供給曲線」と「総需要曲線」の関係について解説する。
	事後学習	第5回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
6	事前学習	第6回に行われる第3章後半を読んでおくこと。
	授業内容	マクロ経済学の枠組みとして、「短期」における総供給曲線と「長期」における総供給曲線の違いから、「有効需要の原理」と「セイの法則」について解説する。その後、「短期」と「長期」のそれぞれにおける物価水準と産出量の決定過程について解説する。
	事後学習	第6回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
7	事前学習	第7回に行われる第4章前半を整理しておくこと。
	授業内容	財市場の分析として、消費や投資といった総需要を構成する経済変数に関連して、消費関数、投資の限界効率、投資関数から、国民所得決定の過程について解説する。
	事後学習	第7回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
8	事前学習	第8回に行われる第4章後半を読んでおくこと。
	授業内容	財市場の分析として、財市場の均衡式から、財政政策の有効性と乗数について解説する。その後、簡単な数値例を基に、均衡国民所得や乗数に関連する計算問題を行う。
	事後学習	第8回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
9	事前学習	第9回に行われる第5章前半を読んでおくこと。
	授業内容	資産市場の分析として、資産の特性とワルラスの法則について解説したうえで、貨幣の機能、債券価格と利子率の関係から、貨幣の保有動機（貨幣の需要）について解説する。
	事後学習	第9回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
10	事前学習	第10回に行われる第5章後半を読んでおくこと。
	授業内容	資産市場の分析として、貨幣の種類と乗数について解説したうえで、貨幣の供給について解説する。その後、貨幣市場の均衡と利子率の決定や金融政策の有効性について解説する。
	事後学習	第10回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
11	事前学習	第11回に行われる第6章前半を読んでおくこと。
	授業内容	財市場のモデルからIS曲線、貨幣市場のモデルからLM曲線を導出し、IS-LMモデルの基本的な枠組みについて解説する。
	事後学習	第11回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
12	事前学習	第12回に行われる第6章後半を読んでおくこと。
	授業内容	IS-LMモデルを使用して、財政政策と金融政策の有効性およびその効果を妨げる現象（クラウディング・アウト効果、流動性のわな、投資の利子非弾力性）について解説する。
	事後学習	第12回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
13	事前学習	第13回に行われる第6章のポイントを整理しておくこと。
	授業内容	簡単な数値例を基に、IS曲線、LM曲線、IS-LMモデルに関連する簡単な計算問題を行う。
	事後学習	第13回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
14	事前学習	第14回に行われる第4章から第6章のポイントを整理しておくこと。
	授業内容	マクロ経済学Ⅱ（国際マクロ経済学および長期モデル）に繋げる（対応させる）ために、財市場の分析、貨幣市場の分析およびIS-LM分析など、マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）の総復習を行う。
	事後学習	第14回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。

15	事前学習	これまでの単元を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）、特に、IS-LMモデルの基本的な枠組みを十分復習し、マクロ経済学Ⅱ（国際マクロ経済学および長期モデル）の受講準備をしておくこと。

科目名	マクロ経済学Ⅱ	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	マクロ経済学とは、一国経済について理解するための体系的な理論である。本講義ではそのマクロ経済政策について講義を行う。 なお講義の進捗に応じて講義内容を多少変更する場合がある。			
授業目的・到達目標	経済現象や市場メカニズムを解明するための基本的な分析枠組みであるマクロ経済学を講義する。マクロ経済学では、よくニュース等で取り上げられる、GDPや物価、失業率、利子率、為替レートなどを扱う。この講座では、マクロ経済政策の基本的なモデルと考え方、効果を理解することを目的とする。マクロ経済学の中級レベルを到達目標とする。具体的には、公務員試験や大学院受験（旧帝大レベル）の基本的な問題が解けるようになることを目標とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	教科書及び講義ノートに基づいて、講義形式で行う。なお、講義ノートは授業前日までに学生教員フォルダにアップするので必要に応じて持参すること。（教員から配布は行わない）			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	学期末試験で評価する。	
	平常評価	10%	小テストを考慮する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	東洋経済新報社	マンキュー経済学Ⅱマクロ編（第3版）	N. グレゴリー・マンキュー
	備考			
参考書	必要に応じて紹介する。			
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のイントロダクションを一読しておくことが望ましい。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
2	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

3	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
4	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析 3
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
5	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	開放経済におけるマクロ経済政策 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
6	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	開放経済におけるマクロ経済政策 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
7	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	AD - ASモデル 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
8	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	AD - ASモデル 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
9	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	安定化政策
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
10	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	インフレーション 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
11	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	インフレーション 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
12	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	インフレと失業 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
13	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	インフレと失業 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
14	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	マクロ経済政策の論争
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

15	事前学習	これまでの講義内容について整理し、理解しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	期末試験に向けて準備しておくこと。

科目名	マクロ経済学Ⅱ	担当者	羽田 翔	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済現象や市場経済のメカニズムを理解するために、一国の経済活動を決定する要因や経済政策の基礎理論を中心に講義を進める。具体的には、GDP、物価水準、貨幣、利子率、雇用、賃金、為替レートに決定と、これらの経済指標が変化する要因を説明する。				
授業目的・到達目標	本講義では、現実に行き起きているマクロ経済に関する現象を読み解くために必要なマクロ経済学の基本的な知識、分析手法および経済学的なモノの考え方を習得することを目標とする。				
履修条件	特に条件はないが、経済学の授業を履修した後に本科目を履修することでより理解が深まると考える。				
授業方法	講義ノートとレジュメを活用して授業を進める。小テストを複数回行うことで理解を促す。また、主に図表を使用し、受講生の理解を促す方法を採用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	学期末の定期試験で評価する。	
	平常評価		20%	授業への積極的な参加および小テストで評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2007年	日本評論社		入門マクロ経済学 第5版	中谷 巖
	備考				
参考書	特に指定しない。しかし、自分でマクロ経済学の入門書を実際に手に取り、合ったものを1冊参考にすることが望ましい。				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書を購入し、シラバスを事前に確認してくること。
	授業内容	マクロ経済学Ⅱを学ぶ意味：講義概要と成績評価方法の説明
	事後学習	講義の内容と成績評価方法について再確認する。
2	事前学習	教科書第6章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析（Ⅰ）：IS-LM分析の考え方とIS曲線の導出
	事後学習	講義内容の整理。

3	事前学習	教科書第6章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析（2）：IS-LM分析の考え方とLM曲線の導出
	事後学習	講義内容の整理。
4	事前学習	教科書第6章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析（3）：IS曲線とLM曲線の交点とその意味
	事後学習	講義内容の整理。
5	事前学習	教科書第6章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析と財政政策・金融政策（1）：財政政策・金融政策とIS-LM曲線のシフト
	事後学習	講義内容の整理。
6	事前学習	教科書第6章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	IS-LM分析と財政政策・金融政策（2）：クラウディングアウト、金融政策が機能しないケースについて
	事後学習	講義内容の整理。
7	事前学習	教科書第7章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	国際マクロ経済の理解（1）：国際収支表と為替制度
	事後学習	講義内容の整理。
8	事前学習	教科書第7章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	国際マクロ経済の理解（2）：マンデル＝フレミングモデルについて
	事後学習	講義内容の整理。
9	事前学習	教科書第7章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	国際マクロ経済の理解（3）：固定相場制と変動相場制におけるマンデル＝フレミングモデル
	事後学習	講義内容の整理。
10	事前学習	主に教科書第3章と8章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	マクロ経済学における短期モデルと長期モデル
	事後学習	講義内容の整理。
11	事前学習	教科書第9章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	物価水準の決定メカニズム（1）：ケインズと古典派の総供給曲線
	事後学習	講義内容の整理。
12	事前学習	教科書第9章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	物価水準の決定メカニズム（2）：現実的な短期の総供給曲線と価格の調整速度について
	事後学習	講義内容の整理。
13	事前学習	教科書第10章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	インフレーションとデフレーション（1）：インフレとデフレを理解する
	事後学習	講義内容の整理。
14	事前学習	教科書第10章の当該箇所を熟読しておくこと。
	授業内容	インフレーションとデフレーション（2）：合理的期待形成とインフレ及びデフレの社会的費用
	事後学習	講義内容の整理。

15	事前学習	マクロ経済学Ⅱで学んだ内容の確認および疑問点を考えてくること。
	授業内容	マクロ経済学Ⅱのまとめ及び試験問題の確認。
	事後学習	講義内容を整理し試験に備える。

科目名	マクロ経済学Ⅱ	担当者	日隈 信夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）、特に、IS-LMモデルの復習を十分行っただうえで、国際マクロ経済学の解説を行う。つぎに、短期モデルと長期モデルの違いを解説し、供給サイドを考慮したマクロ経済学Ⅱ（長期モデル）へと解説を繋げていく。				
授業目的・到達目標	マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）を十分復習したうえで、マクロ経済学の全体像を把握するだけでなく、マクロ経済学Ⅱ（長期モデル）を習得することによって、物価水準、インフレーション、失業などに関するより専門的な理論を理解することを目的とする。そのうえで、経済に関する新聞やニュースを理解するだけでなく、より専門的な視点から、自分の考えで、現実の経済問題を議論できるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	定期試験	
	平常評価		50%	確認テストおよび受講態度	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2007年	日本評論社		入門マクロ経済学 第5版	中谷巖
	備考				
参考書	大淵三洋ほか著『基本経済学』八千代出版，2018年。				
オフィスアワー	質問、要望などがあれば、授業前後など、気軽にお声がけいただきたい（メールでも対応可）。また、やむを得ず欠席する場合は、以下のメールアドレスに事前連絡（欠席理由も報告）いただきたい。 sunbears7@hotmail.com				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおくこと。
	授業内容	この授業のガイダンス（受講方法、授業方針などの解説）を行った後、マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）の概要について復習する。履修希望者は、必ず出席すること。
	事後学習	第1回に行った解説の内容（マクロ経済学Ⅰ《短期モデル》）を復習しておくこと。
2	事前学習	第2回に行われる第6章前半を読んでおくこと。
	授業内容	財市場と貨幣市場のモデルからIS曲線とLM曲線を導出し、IS-LMモデルの基本的な枠組みを復習する。
	事後学習	第2回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。

3	事前学習	第3回に行われる第6章後半を読んでおくこと。
	授業内容	IS-LMモデルを使用して、財政政策と金融政策の有効性について解説する。
	事後学習	第3回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
4	事前学習	第4回に行われる第6章のポイントを整理しておくこと。
	授業内容	IS-LMモデルに関する簡単な計算問題を行うことによって、IS-LMモデルの理解を深める。
	事後学習	第4回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
5	事前学習	第5回に行われる第7章前半を読んでおくこと。
	授業内容	国際収支の構造と外国為替制度について解説する。
	事後学習	第5回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
6	事前学習	第6回に行われる第7章後半を読んでおくこと。
	授業内容	固定為替相場制、変動為替相場制のそれぞれの制度におけるマンデル＝フレミング・モデルについて解説する。
	事後学習	第6回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
7	事前学習	第7回に行われる第7章のポイントを整理しておくこと。
	授業内容	国際マクロ経済学のポイントを整理したうえで、簡単な計算問題を行う。
	事後学習	第7回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
8	事前学習	第8回に行われる第8章前半を読んでおくこと。
	授業内容	短期モデルと長期モデルの枠組みについて解説する。
	事後学習	第8回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
9	事前学習	第9回に行われる第8章後半を読んでおくこと。
	授業内容	海外部門を考慮した短期モデル（マンデル＝フレミング・モデル）と海外部門を考慮した長期モデルの枠組みについて解説する。
	事後学習	第9回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
10	事前学習	第10回に行われる第8章のポイントを整理しておくこと。
	授業内容	名目利子率と実質利子率に関連したフィッシャー方程式、インフレ率を考慮したIS-LMモデルについて解説する。
	事後学習	第10回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
11	事前学習	第11回に行われる第9章前半を読んでおくこと。
	授業内容	ケインジアン総供給曲線と古典派総供給曲線について解説する。
	事後学習	第11回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
12	事前学習	第12回に行われる第9章後半を読んでおくこと。
	授業内容	物価水準の決定と総需要管理政策の有効性について解説する。
	事後学習	第12回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
13	事前学習	第13回に行われる第10章前半を読んでおくこと。
	授業内容	総供給曲線から、インフレ供給曲線、フィリップス曲線について、総需要曲線から、インフレ需要曲線について解説する。
	事後学習	第13回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
14	事前学習	第14回に行われる第10章後半を読んでおくこと。
	授業内容	合理的期待形成と自然失業率仮説について解説する。
	事後学習	第14回に行った解説の内容を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。

15	事前学習	これまでの単元を復習し、理解できる箇所と理解できない箇所を整理しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	マクロ経済学Ⅰ（短期モデル）とマクロ経済学Ⅱ（長期モデル）で習得した知識や理論を基に、現実の経済問題を考え、自分の考えで積極的に議論に臨んでいくこと。

科目名	ミクロ経済学Ⅰ	担当者	清水 千弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	市場経済を構成する消費者と生産者の需要・供給行動，および市場における価格の資源配分機能を理解し，需要と供給の理論が現実の経済問題に対し果たす役割を学習することを目標にする。本講義は，全く初めて経済学を学ぶ受講者を対象として，ミクロ経済学の基本を解説する。ミクロ経済学の基本は，市場メカニズムや価格の役割を明らかにする「価格理論」としてほぼコンセンサスのあるものであり，わかりやすく丁寧に解説したい。				
授業目的・到達目標	講義を通じて，文化的素養，市民的教養としての経済社会の構造を理解する。経済情報の理解・分析を通じて，市民参加への応用を図る。具体的には，経済の各行動主体である家計・企業または国が，どのような行動基準に基づき行動をしているのか，それぞれの最適行動の基準を理解することを目的とする。				
履修条件	なし				
授業方法	講義と演習の二部構成となる。講義を聴いたうえで，10回の演習を実施していただく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		20%	平常評価を重視する。定期試験では，演習・小テストの総括的問題を解く。	
	平常評価		80%	学期期間中に10回の演習・小テストを実施する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年度	東洋経済新報社	マンキュー経済学Ⅰ（ミクロ編）		グレゴリー・マンキュー
	備考				
参考書	ハル・ヴァリアン「入門ミクロ経済学」勁草書房				
オフィスアワー	事前に教員に予約したうえで，個別指導を求めること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	経済に関する時事問題を新聞等で学習しておく。
	授業内容	ガイダンス:授業の概要，目的，到達目標および授業の方法について説明を行う。評価基準について説明する。とりわけ法学部としてミクロ経済学を学習することの意義を解説する。
	事後学習	経済学を学習することの意義を整理する。
2	事前学習	経済学とはどのような学問かを整理する。
	授業内容	(概要) 経済学的思考 経済学の10大原理:経済学では，様々な原理を学ぶ。機会費用，絶対優位または比較優位，経済政策の目標(インフレーション・失業)など，多くの基礎的な概念がある。経済学を学習していくための基礎的な概念を学ぶ。
	事後学習	経済学の10大原理について整理する。

3	事前学習	経済政策について調べる
	授業内容	経済学者らしく考える:経済学者は、経済政策に強く関与している。政策アドバイザーとして、経済学者がどのような仕事をしているのか、経済学者同士でどうして意見が一致しないのかについて解説する。
	事後学習	経済論争について整理する
4	事前学習	比較優位・絶対優位とは何かを整理する。
	授業内容	相互依存と交易からの利益:経済活動は、近年においてますますグローバル化が進んできている。それでは、どうしてグローバル化が必要なのであろうか。国と国とが交易することでどのようなメリットがあるのであろうか。ここでは交易の利益に関して学習する。
	事後学習	数値例を持って比較優位性を説明する。
5	事前学習	競争市場について整理する。
	授業内容	市場における需要と供給の作用:経済学の最も基礎的な概念となる市場の機能を、需要と供給の基礎的概念とともに学ぶ。とりわけ競争市場、寡占、独占の問題などを学習する。
	事後学習	寡占・独占の問題を整理する。
6	事前学習	弾力性の意味について調べる。
	授業内容	弾力性とその応用:価格が上昇したり下落したときに、そのものに対する需要はどのように変化するのか、または所得が変化した場合はどうかと言ったことを中心に学ぶ。
	事後学習	価格弾力性、所得弾力性を数値例をもって整理する。
7	事前学習	価格が規制されているものにはどのようなものがあるのを調べる。
	授業内容	需要・供給と政府の政策1: 経済市場は、必ずしも完全ではない。そのような中で、政府は様々な形で介入している。最低賃金を設定したり、電力価格や鉄道料金にも介入する。そのような市場に対する政府の介入とその問題を学習する。
	事後学習	価格上限・下限を設定することの是非を整理する。
8	事前学習	価格が規制されているものにはどのようなものがあるのを調べる。
	授業内容	需要・供給と政府の政策2: 経済市場は、必ずしも完全ではない。そのような中で、政府は様々な形で介入している。最低賃金を設定したり、電力価格や鉄道料金にも介入する。そのような市場に対する政府の介入とその問題を学習する。
	事後学習	価格上限・下限を設定することの是非を整理する。
9	事前学習	「厚生」とはどのようなことかを調べる。
	授業内容	消費者・生産者・市場の効率性:資源の配分が経済的福祉にどのように影響を与えるかを研究する分野として、厚生経済学という分野がある。ここでは、その基礎的概念を学習する。
	事後学習	消費者余剰・生産者余剰について整理する。
10	事前学習	税の種類について調べる。
	授業内容	応用・課税の費用:税は、多くの場合で市場を歪める。税は市場の厚生水準をどのように作用するのかを、市場の効率性と併せて理解する。
	事後学習	効率的な税制の在り方を整理する。
11	事前学習	貿易の意義について整理する。
	授業内容	応用・国際貿易:貿易の勝者と敗者は誰なのか。貿易制限を支持する意見が強くなってきているが、それはどうしてかを考える。
	事後学習	貿易摩擦はなぜ起こるのかを整理する。
12	事前学習	外部性とはどのようなことを意味しているのかを調べる。
	授業内容	外部性:市場が機能しないケースとして、財が外部性を持つ場合があげられる。ここでは、市場の失敗として外部経済、外部不経済を例を交えて学習する。
	事後学習	外部経済、外部不経済を持つ財をそれぞれ一つずつ上げ、整理する。
13	事前学習	政府が供給している財に何があるのかを調べる。
	授業内容	公共財と共有資源: 市場が機能しない対象として、公共財と呼ばれる政府が主として供給する財がある。公共財の性質を、政府の役割とともに学習する。
	事後学習	政府はどうして存在するのかを、その機能と併せて整理する。
14	事前学習	税制改正を取り巻く課題を整理する。
	授業内容	税制の設計:税制改正を巡っては様々な議論がある。税の効率性、公平性、または租税原則に関して学習する。
	事後学習	日本の税制にどのような課題があるのかを整理する。

15	事前学習	ミクロ経済を取り巻く最近の話題について整理する。
	授業内容	ミクロ経済学と法:法と経済学について、制度設計に経済学がどのような貢献ができるのかを応用例を交えて学習する。
	事後学習	ミクロ経済学の法制度設計に対する応用について整理する。

科目名	ミクロ経済学Ⅰ	担当者	武縄 卓雄	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	経済現象や市場経済のメカニズムを解明するための基本的分析枠組みであるミクロ経済学を講義する。ミクロ経済学は消費者（労働者）や企業の行動及び財・サービスの価格と取引量の決定と変動のメカニズムを解明し、われわれの経済の資源（労働・土地・資本）配分や所得分配のメカニズムを解明する。				
授業目的・到達目標	この講座は、モデル分析と仮説から命題を導出する基本的アプローチを習得し、市場メカニズムの特徴と政府の政策効果を理解することを目的としている。ミクロ経済学の初級レベルを到達目標としている。ミクロ経済学の基本的分析ツールを用いて、人々の多様な行動と諸々の価格の変化を説明できる能力を養う。				
履修条件	数学の予備知識は必要としないが、割り算の意味を理解していると単位修得が容易である。また、経済学もしくは経済学Ⅰ・Ⅱを修得していることが望ましい。				
授業方法	講義形式				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業参加度, 授業内試験およびレポート等を考慮します。なお、欠席率が30%以上の学生は、講義を受けることはできませんが、評価対象者から除外されます。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2008年	新世社		グラフィックミクロ経済学 第2版	金谷貞男 吉田真理子
	備考				
参考書	武熊慎一『ミクロ経済学』新世社 / 滝川好夫『経済学計算問題の攻略法』税務経理協会 J. K. シム/J. G. シーゲル著／井堀／栗沢訳『新経済学用語辞典』新世社経済新報社				
オフィスアワー	メールで問い合わせてください。 takenawa.takuo@nihon-u.ac.jp 時間調整をします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストとノートを準備する。事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	経済学の対象と方法と理論体系 ミクロ経済学とマクロ経済学の対象と方法と理論体系
	事後学習	経済学の定義、ミクロ経済学とマクロ経済学の違いを中心にノートを整理する。
2	事前学習	前回のノートを再確認する。
	授業内容	基本概念（1） 経済主体、市場と財・用益、行動原理
	事後学習	行動原理を中心にノートを整理する。

3	事前学習	前回のノートを確認し、経済循環図を文章化する。
	授業内容	基本概念（2） 需要と供給
	事後学習	需要(供給)と需要量(供給量)との相違を中心にノートを整理する。
4	事前学習	前回のノートを確認する。
	授業内容	家計の理論（1） 効用関数と効用曲線
	事後学習	ノートを整理し、効用曲線の導出法を文章化する。
5	事前学習	限界効用を重点にして、前回のノートを確認する。
	授業内容	家計の理論（2） 限界効用逓減の法則 無差別曲線
	事後学習	限界効用が逓減する根拠が何かを考えながら、ノートを整理する。
6	事前学習	前回のノートを確認しながら、無差別曲線の特徴を文章化する。
	授業内容	家計の理論（3） 予算制約線とグラフ化
	事後学習	予算制約線の数値例を作成し、それをグラフに作図することがスムーズにできるまで、繰り返す。 ノートを整理する。
7	事前学習	前回のノートを確認する。また、作図された予算制約線上で消費の組合せが決定されることを文章化する。
	授業内容	家計の理論（4） 最適消費量の決定 加重限界効用均等
	事後学習	ノートを整理する。その際、最適消費量の決定を文章化する。
8	事前学習	最適消費点で加重限界効用が均等になることを文章化しながら、前回のノートを確認する。
	授業内容	家計の理論（5） 予算線のシフト：代替効果と所得効果
	事後学習	ノートを整理する。その際、代替効果と予算線のシフトに関して文章化する。
9	事前学習	前回のノートを確認する。その際、所得効果と予算線のシフトに関して文章化する。
	授業内容	家計の理論（6） 個別需要曲線の導出 市場需要曲線の導出
	事後学習	ノートを整理する。その際、個別需要曲線の導出法について文章化する。
10	事前学習	前回のノートを確認する。その際、市場需要曲線の導出法について文章化する。
	授業内容	家計の理論（7） 需要の価格弾力性
	事後学習	ノートを整理する。その際、需要の価格弾力性の作図法を文章化する。
11	事前学習	前回のノートを確認する。その際、需要の価格弾力性の値を求める数値例を1問作成する。
	授業内容	家計の理論（8） 需要の価格弾力性と支払額
	事後学習	ノートを整理する。その際、価格の変化と取引額の変化について文章化する。
12	事前学習	前回のノートを確認する。その際、価格変化が与える取引額の変化についての数値例を1問作成する。
	授業内容	家計の理論（9） 需要曲線のシフト要因とシフト方向
	事後学習	ノートを整理する。その際、需要曲線のシフト要因を再確認する。
13	事前学習	前回のノートを確認する。
	授業内容	家計の理論（10） 労働供給の決定 労働供給曲線の導出
	事後学習	ノートを整理する。その際、労働供給曲線の導出を文章化する。
14	事前学習	前回のノートを確認する。その際、導出した労働供給曲線を所得効果と代替効果に分解してみる。
	授業内容	家計の理論（11） 貯蓄の決定
	事後学習	ノートを整理する。その際、貯蓄の決定を文章化する。

15	事前学習	これまでのノートを全て再確認する。
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	行った試験を再チェックする。

科目名	ミクロ経済学Ⅰ	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】					
授業概要	ミクロ経済学とは、経済主体の合理的行動を説明するための体系的な理論である。本講義ではその基礎となる消費者行動と企業行動について講義を行う。 なお講義の進捗に応じて講義内容を多少変更する場合がある。					
授業目的・到達目標	ミクロ経済学の理論は経済現象だけでなく、犯罪や寄付・ボランティアなど様々な分野で応用されている。この講座では、ミクロ経済学の基本的なモデルと考え方を理解することを目的とする。ミクロ経済学の中級レベルを到達目標とする。具体的には、公務員試験や大学院受験（旧帝大レベル）の基本的な問題が解けるようになることを目標とする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	教科書及び講義ノートに基づいて、講義形式で行う。なお、講義ノートは授業前日までに学生教員フォルダにアップするので必要に応じて持参すること。（教員から配布は行わない）					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	学期末試験で評価する。		
	平常評価		10%	小テストの結果を考慮する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013年	東洋経済新報社		マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編（第3版）		N. グレゴリー・マンキュー
	備考					
参考書	使用しない					
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のイントロダクションを一読しておくことが望ましい。
	授業内容	オリエンテーション：経済学の対象と方法と理論体系
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
2	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	機会費用
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

3	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	需要と供給
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
4	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	弾力性 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
5	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	弾力性 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
6	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	厚生分析 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
7	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	厚生分析 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
8	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	消費者行動 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
9	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	消費者行動 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
10	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	生産コスト
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
11	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	企業行動 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
12	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	企業行動 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
13	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	独占 1
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
14	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。
	授業内容	独占 2
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

15	事前学習	これまでの講義内容について整理し、理解しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	期末試験に向けて準備しておくこと。

科目名	ミクロ経済学Ⅰ	担当者	丸田 利昌	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	ミクロ経済学の初歩を学ぶ。特別な予備知識を想定しない。ただし、中学校で学ぶ数学の知識は前提とする。				
授業目的・到達目標	ミクロ経済学とは、「人々の選択」を精査する学問である。キーワードは「インセンティブ」と「トレードオフ」。われわれの生活とは、日々行われる何らかの選択の積み重ねである。あらゆる「選択」を、経済学的に考える力を身に着けよう。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	教科書・ノート・参考書参照可。	
	平常評価		0%	出席点はなし。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2013	有斐閣		ミクロ経済学の第一歩	安藤至大
	備考	受講者の手元に教科書があるという前提で講義を行う。この前提が満たされない場合、講義は理解不能となろう。			
参 考 書	ミクロ経済学の力，神取道宏，日本評論社，2014.				
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ミクロ経済学とは。価格と価値の違い，交換，利益と余剰などについて学ぶ。
	事後学習	講義の復習
2	事前学習	教科書第1章の通読
	授業内容	ミクロ経済学とは（続き）。ミクロ経済学の目的を明らかにする。
	事後学習	講義の復習

3	事前学習	教科書第2章1～3節の通読
	授業内容	「個人の選択」を考える。インセンティブとは何かを学ぶ。
	事後学習	講義の復習
4	事前学習	教科書第2章4～5節の通読
	授業内容	「個人の選択」を考える。機会費用とは何かを学ぶ。
	事後学習	講義の復習
5	事前学習	教科書第3章1～3節の通読
	授業内容	完全競争市場・需要曲線を考える。
	事後学習	講義の復習。
6	事前学習	教科書第3章4節の通読
	授業内容	供給曲線を考える。
	事後学習	講義の復習。
7	事前学習	教科書第4章1～3節の通読
	授業内容	消費者余剰・生産者余剰を考える。
	事後学習	講義の復習。
8	事前学習	教科書第4章4～6節の通読
	授業内容	市場均衡を考える。均衡が効率的であることを理解する。
	事後学習	講義の復習
9	事前学習	これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	問題演習
	事後学習	講義の復習
10	事前学習	教科書第5章1節の通読
	授業内容	価格規制について考える。
	事後学習	講義の復習
11	事前学習	教科書第5章2～3節の通読
	授業内容	参入規制・税・補助金について考える。
	事後学習	講義の復習
12	事前学習	教科書第6章1～2節の通読
	授業内容	市場の失敗・政府の介入について考える。
	事後学習	講義の復習
13	事前学習	教科書第6章2～3節の通読
	授業内容	市場の失敗と政府の失敗について考える。
	事後学習	講義の復習
14	事前学習	講義全体の復習
	授業内容	問題演習
	事後学習	講義の復習

15	事前学習	講義全体の復習
	授業内容	期末試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題の再考

科目名	ミクロ経済学Ⅱ	担当者	清水 千弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	市場経済を構成する消費者と生産者の需要・供給行動，および市場における価格の資源配分機能を理解し，需要と供給の理論が現実の経済問題に対し果たす役割を学習することを目標にする。本講義は，全く初めて経済学を学ぶ受講者を対象として，ミクロ経済学の基本を解説する。ミクロ経済学の基本は，市場メカニズムや価格の役割を明らかにする「価格理論」としてほぼコンセンサスのあるものであり，わかりやすく丁寧に解説したい。				
授業目的・到達目標	講義を通じて，文化的素養，市民的教養としての経済社会の構造を理解する。経済情報の理解・分析を通じて，市民参加への応用を図る。具体的には，経済の各行動主体である家計・企業または国が，どのような行動基準に基づき行動をしているのか，それぞれの最適行動の基準を理解することを目的とする。				
履修条件	なし				
授業方法	講義と演習の二部構成となる。講義を聴いたうえで，10回の演習を実施していただく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		20%	平常評価を重視する。定期試験では，演習・小テストの総括的問題を解く。	
	平常評価		80%	学期期間中に10回の演習・小テストを実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年度	東洋経済新報社		マンキュー経済学Ⅰ（ミクロ編）	グレゴリー・マンキュー
	備考				
参考書	ハル・ヴァリアン「入門ミクロ経済学」勁草書房				
オフィスアワー	事前に教員に予約したうえで，個別指導を求めること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	経済に関する時事問題を新聞等で学習しておく。
	授業内容	ガイダンス:授業の概要，目的，到達目標および授業の方法について説明を行う。評価基準について説明する。とりわけ法学部としてミクロ経済学を学習することの意義を解説する。
	事後学習	経済学とはどのような学問かを整理する。
2	事前学習	企業が生産する際の費用について整理する。
	授業内容	生産の費用:費用とは何を意味するのか，企業における利潤とは何か，企業における短期と長期の費用とは何か，利潤最大化条件とは何かを解説する。
	事後学習	短期と長期の費用について整理する。

3	事前学習	経済学における競争の意味について調べる。
	授業内容	競争市場における企業1:企業が完全競争市場の中で財やサービスを生産することで、市場の効率性は維持される。完全競争とはどのような状態を意味するのかを学習する。
	事後学習	完全競争条件を整理する。
4	事前学習	経済学における競争の意味について調べる。
	授業内容	競争市場における企業2:企業が完全競争市場の中で財やサービスを生産することで、市場の効率性は維持される。完全競争とはどのような状態を意味するのかを学習する。また、演習問題を解く。
	事後学習	完全競争条件を整理する。
5	事前学習	独占企業の事例を整理する。
	授業内容	独占:独占がどうして生じるのか、独占が市場厚生にどのような影響をもたらすのか、独占に対してどのような公共政策が有効かを解説する。
	事後学習	独占の弊害について整理する。
6	事前学習	独占を取り巻く問題を事例を交えて整理する。
	授業内容	独占的競争:差別化された製品の競争は、と市場均衡に対してどのような影響をもたらすのか、広告をめぐるどのような論争があるのかを解説する。
	事後学習	広告を取り巻く議論を整理する。
7	事前学習	寡占とは何かを整理する。
	授業内容	寡占:少数の売り手しかいない市場でどのようなことが起こるのか、協調の経済学とはどのようなものか、寡占に対する公共政策とはどのようなものがあるのかを解説する。
	事後学習	寡占を取り巻く公共政策について整理する。
8	事前学習	指定された産業をケースとして、財やサービスの生産の差異にどのようなものを調達する必要があるかを調べる。
	授業内容	生産要素市場1:財やサービスを生産するためには労働、資本、土地を調達してこななければならない。生産要素市場におけるそれぞれの調達と最適条件について学習する。
	事後学習	労働市場に注目し、その均衡条件を整理する。
9	事前学習	指定された産業をケースとして、財やサービスの生産の差異にどのようなものを調達する必要があるかを調べる。
	授業内容	生産要素市場2:財やサービスを生産するためには労働、資本、土地を調達してこななければならない。生産要素市場におけるそれぞれの調達と最適条件について学習する。
	事後学習	労働市場に注目し、その均衡条件を整理する。
10	事前学習	ジニ係数とはどのようなものを調べる。
	授業内容	勤労所得と差別・貧困1:どうして貧困は生まれるのか、どうして格差はなくなるのかをミクロ経済学の応用として考える。
	事後学習	貧困を減らすための政策としてどのような政策が好ましいか整理する。
11	事前学習	ジニ係数とはどのようなものを調べる。
	授業内容	勤労所得と差別・貧困2:どうして貧困は生まれるのか、どうして格差はなくなるのかをミクロ経済学の応用として考える。
	事後学習	貧困を減らすための政策としてどのような政策が好ましいか整理する。
12	事前学習	所得・資産の不平等の実態を整理する。
	授業内容	所得不平等と貧困1:各国の所得の不平等度はどのようにになっているのか、所得の再分配をどのように考えた方がいいのか、政策的な対応はどうしたらいいかを解説する。
	事後学習	所得不平等度を是正するための政策について整理する。
13	事前学習	所得・資産の不平等の実態を整理する。
	授業内容	所得不平等と貧困2:各国の所得の不平等度はどのようにになっているのか、所得の再分配をどのように考えた方がいいのか、政策的な対応はどうしたらいいかを解説する。
	事後学習	所得不平等度を是正するための政策について整理する。
14	事前学習	一日においてどのようなものをどのような選択の結果として購入したかを調べる。
	授業内容	消費者選択の理論:私たちは、多くの場合で厳しい所得の制約を受けながら消費を選択している。そのような消費者の選択行動を学習する。
	事後学習	ミクロ経済学を学びどのような選択行動をしていくべきかと考えると整理する。

15	事前学習	今までの講義を踏まえて、ミクロ経済学と法との関係を整理する。
	授業内容	ミクロ経済学のフロンティア:ミクロ経済学の残された様々な課題を解説する。具体的には、情報の非対称性、制度経済学、行動経済学について説明する。
	事後学習	ミクロ経済学を総括する。

科目名	ミクロ経済学Ⅱ	担当者	立福 家徳	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	ミクロ経済学とは、経済主体の合理的行動を説明するための体系的な理論である。本講義では、ゲーム理論について講義を行う。 なお講義の進捗に応じて講義内容を多少変更する場合がある。				
授業目的・到達目標	ミクロ経済学の理論は経済現象だけでなく、犯罪や寄付・ボランティアなど様々な分野で応用されている。この講座では、ゲーム理論の基本的なモデルと考え方を理解することを目的とする。ミクロ経済学の中級レベルを到達目標とする。具体的には、公務員試験や大学院受験（旧帝大レベル）の基本的な問題が解けるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	教科書及び講義ノートに基づいて、講義形式で行う。なお、講義ノートは授業前日までに学生教員フォルダにアップするので必要に応じて持参すること。（教員から配布は行わない）				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	学期末試験で評価する。	
	平常評価		10%	小テストの結果を考慮する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2002年	日本評論社		ミクロ経済学 戦略的アプローチ	梶井厚志、松井彰彦
	備考				
参考書	使用しない				
オフィスアワー	授業期間中の毎週火曜12:15～12:55に研究室（9502）で受け付ける（予約は不要）、また適宜メール（tatefuku.ienori@nihon-u.ac.jp）による予約も受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のイントロダクションを一読しておくことが望ましい。
	授業内容	オリエンテーション：ゲーム理論とは何か
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
2	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	戦略と均衡
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

3	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	裁量かルールか
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
4	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	情報とゲーム
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
5	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	交渉ゲーム
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
6	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	公共財供給
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
7	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	オークション
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
8	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	市場取引
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
9	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	消費者理論
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
10	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	寡占と結託
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
11	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	製品差別化
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
12	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	契約とインセンティブ
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
13	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	進化論ゲーム
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。
14	事前学習	3～4回ごとに小テストを実施するので、前回授業の内容について理解しておくこと。 該当する章のイントロを読んでおくこと。
	授業内容	ゲーム理論の応用
	事後学習	必要に応じて、講義内容についてテキスト等で復習を行うこと。

15	事前学習	これまでの講義内容について整理し、理解しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	期末試験に向けて準備しておくこと。

科目名	ミクロ経済学Ⅱ	担当者	丸田 利昌	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	ミクロ経済学の初歩を学ぶ。特別な予備知識を想定しない。ただし、中学校で学ぶ数学の知識は前提とする。			
授業目的・到達目標	ミクロ経済学とは、「人々の選択」を精査する学問である。キーワードは「インセンティブ」と「トレードオフ」。われわれの生活とは、日々行われる何らかの選択の積み重ねである。あらゆる「選択」を、経済学的に考える力を身に着けよう。			
履修条件	ミクロ経済学Ⅰの学修を前提とする。			
授業方法	講義形式			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	教科書・ノート・参考書参照可。	
	平常評価	0%	出席点はなし。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	有斐閣	ミクロ経済学の第一歩	安藤至大
	備考	受講者の手元に教科書があるという前提で講義を行う。この前提が満たされない場合、講義は理解不能となろう。		
参 考 書	ミクロ経済学の力，神取道宏，日本評論社，2014.			
オフィスアワー	授業前後に質問を受け付ける			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	需要曲線・完全競争市場について復習する。
	事後学習	講義の復習
2	事前学習	教科書第7章1～2節の通読
	授業内容	独占市場・独占企業について考える。
	事後学習	講義の復習

3	事前学習	教科書第7章3～4節の通読
	授業内容	独占企業の利潤最大化行動について考える。
	事後学習	講義の復習
4	事前学習	教科書第8章1～3節の通読
	授業内容	外部性・コースの定理について学ぶ。
	事後学習	講義の復習
5	事前学習	教科書第8章4～5節の通読
	授業内容	正の外部性・負の外部性について考える。
	事後学習	講義の復習
6	事前学習	教科書第9章1～2節の通読
	授業内容	公共財について考える。
	事後学習	講義の復習
7	事前学習	教科書第9章2～3節の通読
	授業内容	公共財の最適供給量について考える。
	事後学習	講義の復習
8	事前学習	教科書第10章1～2節の通読
	授業内容	情報の非対称性について考える。
	事後学習	講義の復習
9	事前学習	教科書第10章2～3節の通読
	授業内容	情報の非対称性に対処する政策について考える。
	事後学習	講義の復習。
10	事前学習	教科書第11章1～2節の通読
	授業内容	取引費用について考える。
	事後学習	講義の復習。
11	事前学習	教科書第12章1～3節の通読
	授業内容	ゲーム理論とは何か？
	事後学習	講義の復習
12	事前学習	教科書第12章4～6節の通読
	授業内容	ゲーム理論の経済学的応用について考える。
	事後学習	講義の復習
13	事前学習	教科書第12章4～6節の通読
	授業内容	ゲーム理論の法と経済学への応用について考える。
	事後学習	講義の復習
14	事前学習	講義全体の復習
	授業内容	問題演習
	事後学習	講義全体の復習

15	事前学習	講義全体の復習
	授業内容	最終試験及びまとめ、振り返り
	事後学習	試験問題の再考

科目名	民事執行・保全法	担当者	吉田 純平	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民事執行法および民事保全法に関する基本的の知識の説明、及び重要論点についての判例等を通じた解説。				
授業目的・到達目標	民事執行法及び民事保全法に関する基本的な知識を習得するとともに、重要な論点に関する議論を理解することができることを目的とする。				
履修条件	必須ではないが、民法（特に担保物権）、民事訴訟法を履修していることが望ましい。講義には必ず六法を持参すること。				
授業方法	講義形式で行う。各講義項目について、教科書の記述を参照しながら基本的な概念を説明し、判例・学説の検討を通して重要論点についての説明を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	民事執行法及び民事保全法の基礎知識の習得と事案に対する同法の適用能力を問う。	
	平 常 評 価		0%	小テストの結果を加点する場合がある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014年	弘文堂		民事執行法・民事保全法	小田司
	備考				
参 考 書	必要に応じて授業内で紹介する。				
オフィスアワー	水曜日12：10～13：00 研究室・メールアドレスは授業内で連絡します。 授業内容のほか、法科大学院進学について等				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	民事訴訟手続と民事執行手続
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
2	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	民事執行手続の構造と法体系・執行機関と執行当事者
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

3	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	債務名義
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
4	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	執行文
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
5	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	強制執行の対象：責任財産、差押禁止財産
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
6	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	法的救済制度（１）執行抗告・執行異議
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
7	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	法廷救済制度（２）請求異議の訴え
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
8	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	法廷救済制度（３）第三者異議の訴え
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
9	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	強制執行の開始
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
10	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	強制執行の停止・取消し
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
11	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	不動産執行（１）：強制競売の開始・売却の準備
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
12	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	不動産執行（２）：強制競売の売却手続
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
13	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	不動産執行（３）：強制競売の配当手続
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
14	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	不動産執行（４）：強制管理
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

15	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	動産執行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
16	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	債権執行（１）：金銭債権に対する強制執行①
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
17	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	債権執行（２）：金銭債権に対する強制執行②
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
18	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	債権執行（３）：その他の財産権に対する強制執行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
19	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	非金銭執行（１）：物の引渡・明渡請求権についての強制執行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
20	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	非金銭執行（２）：作為・不作為請求権についての強制執行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
21	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	非金銭執行（３）：意思表示請求権の強制執行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
22	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	担保権実行（１）：担保権実行総論
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
23	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	担保権実行（２）：担保不動産競売・担保不動産収益執行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
24	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	担保権実行（３）：担保動産競売
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
25	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	担保権実行（４）：債権等についての担保権実行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
26	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	財産開示手続等
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

27	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	民事保全法（１）：民事保全の概要
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
28	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	民事保全法（２）保全命令手続
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
29	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	民事保全法（３）：仮差押え
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
30	事前学習	教科書の該当箇所を読む。
	授業内容	民事保全法（４）：仮処分
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

科目名	民事訴訟法	担当者	小田 司	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義は、訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの判決手続を対象とするものであり、裁判管轄、当事者（当事者能力、訴訟能力）、訴訟の開始（訴えの類型、訴えの利益）、訴訟の審理（裁判資料の収集、口頭弁論、証拠調べと事実認定）、確定判決の効力（既判力の時的限界、既判力の客観的範囲・主観的範囲）、不服申立手続（控訴、上告、抗告、再審）など、判決手続における重要事項について学ぶ。			
授業目的・到達目標	民事訴訟の全体像について把握した上で、民事訴訟の基本構造と基本理論について理解し、民事訴訟の仕組みについての確に説明できるようになることを目的とする。訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの過程について学び、それに基づいて具体的な民事紛争の解決方法を示すことができるようになる。			
履修条件	2年次生以上を対象とする。講義には、必ず六法を持参すること。			
授業方法	講義形式で行う。民事訴訟について具体的なイメージが描けるように、貸金返還請求訴訟、売買代金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟、土地・建物明渡請求訴訟など、具体的な紛争事例を用いて講義を進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	民事訴訟法の重要事項について基礎的知識が身についているかを判定する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	弘文堂	民事訴訟法〔第2版〕	小田司編
	備考			
参考書	使用しない			
オフィスアワー	月曜12：10～13：00 研究室（9号館9320） 授業内容の他、法科大学院進学、海外留学（ヨーロッパ諸国）などについて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	民事紛争とは（民事訴訟の概要）など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
2	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	民事紛争の解決方法（訴訟とADR）など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

3	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	民事訴訟の流れとその基本構造：貸金返還請求訴訟を例に
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
4	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	裁判所（１）：裁判所の種類・構成など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
5	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	裁判所（２）：民事裁判権の範囲、裁判管轄など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
6	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者（１）：当事者の概念、当事者の確定など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
7	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者（２）：当事者能力、訴訟能力、訴訟代理など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
8	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者（３）：当事者適格、第三者の訴訟担当など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
9	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟の開始：訴えの種類、訴え提起の方式など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
10	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟係属の効果：重複起訴の禁止、時効の中断など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
11	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟の審理（１）：本案と訴訟要件、訴訟要件の調査など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
12	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟の審理（２）：裁判資料の収集、審理の進行など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
13	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	口頭弁論：口頭弁論の必要性と準備、審理の基本原則など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
14	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	口頭弁論・口頭弁論における当事者の訴訟行為、当事者の欠席など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

15	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	弁論の準備：準備書面、争点整理手続、当事者照会など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
16	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	証拠調べ：証明の対象、訴え提起前の証拠収集手続など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
17	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	証拠調べの手続：証人尋問、当事者尋問、鑑定、書証、検証、調査の囑託、証拠保全
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
18	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	証拠の評価：自由心証主義、証明責任など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
19	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者の行為による訴訟終了：訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
20	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	終局判決による訴訟終了：判決の種類、判決の成立・言渡し・送達など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
21	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（１）：確定判決の効力、既判力の作用・性質など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
22	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（２）：既判力の時的限界など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
23	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（３）：既判力の客観的範囲など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
24	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（４）：既判力の主観的範囲など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
25	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	複数請求訴訟：訴えの併合・変更、反訴など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
26	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟（１）：共同訴訟、選定当事者など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

27	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟（２）：訴訟参加、訴訟承継など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
28	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	不服申立手続（１）：上訴制度の意義と目的、上訴の種類・要件など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
29	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	不服申立手続（２）：控訴、上告、抗告、再審など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
30	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	略式訴訟手続：少額訴訟手続、督促手続など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

科目名	民事訴訟法	担当者	小田 司	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義は、訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの判決手続を対象とするものであり、裁判管轄、当事者（当事者能力、訴訟能力）、訴訟の開始（訴えの類型、訴えの利益）、訴訟の審理（裁判資料の収集、口頭弁論、証拠調べと事実認定）、確定判決の効力（既判力の時的限界、既判力の客観的範囲・主観的範囲）、不服申立手続（控訴、上告、抗告、再審）など、判決手続における重要事項について学ぶ。			
授業目的・到達目標	民事訴訟の全体像について把握した上で、民事訴訟の基本構造と基本理論について理解し、民事訴訟の仕組みについての確に説明できるようになることを目的とする。訴えの提起から口頭弁論を経て終局判決に至るまでの過程について学び、それに基づいて具体的な民事紛争の解決方法を示すことができるようになる。			
履修条件	2年次生以上を対象とする。講義には、必ず六法を持参すること。			
授業方法	講義形式で行う。民事訴訟について具体的なイメージが描けるように、貸金返還請求訴訟、売買代金返還請求訴訟、交通事故による損害賠償請求訴訟、土地・建物明渡請求訴訟など、具体的な紛争事例を用いて講義を進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	民事訴訟法の重要事項について基礎的知識が身についているかを判定する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	弘文堂	民事訴訟法〔第2版〕	小田司編
	備考			
参考書	使用しない			
オフィスアワー	月曜12：10～13：00 研究室（9号館9320） 授業内容の他、法科大学院進学、海外留学（ヨーロッパ諸国）などについて			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	民事紛争とは（民事訴訟の概要）など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
2	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	民事紛争の解決方法（訴訟とADR）など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

3	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	民事訴訟の流れとその基本構造：貸金返還請求訴訟を例に
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
4	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	裁判所（１）：裁判所の種類・構成など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
5	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	裁判所（２）：民事裁判権の範囲、裁判管轄など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
6	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者（１）：当事者の概念、当事者の確定など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
7	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者（２）：当事者能力、訴訟能力、訴訟代理など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
8	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者（３）：当事者適格、第三者の訴訟担当など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
9	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟の開始：訴えの種類、訴え提起の方式など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
10	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟係属の効果：重複起訴の禁止、時効の中断など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
11	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟の審理（１）：本案と訴訟要件、訴訟要件の調査など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
12	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	訴訟の審理（２）：裁判資料の収集、審理の進行など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
13	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	口頭弁論：口頭弁論の必要性と準備、審理の基本原則など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
14	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	口頭弁論・口頭弁論における当事者の訴訟行為、当事者の欠席など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

15	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	弁論の準備：準備書面、争点整理手続、当事者照会など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
16	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	証拠調べ：証明の対象、訴え提起前の証拠収集手続など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
17	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	証拠調べの手続：証人尋問、当事者尋問、鑑定、書証、検証、調査の囑託、証拠保全
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
18	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	証拠の評価：自由心証主義、証明責任など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
19	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	当事者の行為による訴訟終了：訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
20	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	終局判決による訴訟終了：判決の種類、判決の成立・言渡し・送達など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
21	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（１）：確定判決の効力、既判力の作用・性質など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
22	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（２）：既判力の時的限界など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
23	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（３）：既判力の客観的範囲など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
24	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	判決の効力（４）：既判力の主観的範囲など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
25	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	複数請求訴訟：訴えの併合・変更、反訴など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
26	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟（１）：共同訴訟、選定当事者など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

27	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟（２）：訴訟参加、訴訟承継など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
28	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	不服申立手続（１）：上訴制度の意義と目的、上訴の種類・要件など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
29	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	不服申立手続（２）：控訴、上告、抗告、再審など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。
30	事前学習	指定した教科書の該当箇所を事前に読み、各自予習しておくこと。
	授業内容	略式訴訟手続：少額訴訟手続、督促手続など
	事後学習	学習した項目について正しく理解できているかどうか、テキスト末尾の学習課題を解き確認すること。

科目名	民事訴訟法	担当者	畑 宏樹	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民事紛争の処理方法には様々なものがあるところ、公権力を介して実体法上の権利義務関係を確定していく民事訴訟制度はとりわけ重要な制度である。この授業においては、民事裁判という一連の手続の流れについて説明する。				
授業目的・到達目標	民事紛争の処理方法には様々なものがあるところ、公権力を介して実体法上の権利義務関係を確定していく民事訴訟制度はとりわけ重要な制度である。この授業においては、民事裁判という一連の手続の流れについて理解し、説明できるようになることを目的とする。民事裁判に関する知識の習得・定着を目指すと同時に、実体法との関連性を意識することにより、民事法の全体構造の把握をすることを目指す。				
履修条件	民事実体法に関する科目をある程度履修済みであることが望ましい。				
授業方法	毎回授業時にはレジュメを配布し、それに基づいて講義形式で授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	論述式の答案を作成してもらうが、法的な文章としての最低限（問題提起、先例・学説の検討、自説の展開・あてはめ）をみたしていることが必須である。	
	平常評価		30%	講義に出席するのは当然のこと。漫然と出席をするのではなく授業内容に意欲的に取り組んでもらいたい。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	弘文堂		民事訴訟法（Next教科書シリーズ）〔第2版〕	小田司編
	備考				
参考書	高橋宏志ほか編『民事訴訟法判例百選〔第5版〕』（有斐閣、2015）				
オフィスアワー	毎授業後教室にて。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書1～16頁を読んでおくこと。
	授業内容	ガイダンス／民事紛争とは
	事後学習	教科書16頁の確認問題(1)(3)をまとめておくこと。
2	事前学習	教科書1～16頁を読んでおくこと。
	授業内容	民事訴訟制度の概要
	事後学習	教科書16頁の確認問題(4)をまとめておくこと。

3	事前学習	教科書18～39頁を読んでおくこと。
	授業内容	裁判所―管轄を中心に
	事後学習	教科書59～60頁の確認問題(2)をまとめておくこと。
4	事前学習	教科書40～59頁を読んでおくこと。
	授業内容	訴訟の主体―当事者
	事後学習	教科書60頁の確認問題(3)(4)(5)をまとめておくこと。
5	事前学習	教科書73～77頁を読んでおくこと。
	授業内容	訴訟の客体―訴訟物
	事後学習	教科書92頁の確認問題(1)をまとめておくこと。
6	事前学習	教科書62～65, 69～72頁を読んでおくこと。
	授業内容	訴訟の開始(1)―訴えの提起
	事後学習	教科書72頁に掲げられている訴状のフォーマットをよく確認しておくこと。
7	事前学習	教科書164～167, 181頁, 77～81頁を読んでおくこと。
	授業内容	訴訟の開始(2)―処分権主義、訴え提起の効果
	事後学習	教科書92頁の確認問題(2)をまとめておくこと。
8	事前学習	教科書81～83頁を読んでおくこと。
	授業内容	訴訟の審理／訴訟要件(1)
	事後学習	教科書82頁に掲げられている訴訟要件の種類をよく確認しておくこと。
9	事前学習	教科書83～92頁を読んでおくこと。
	授業内容	訴訟要件(2)―当事者適格・訴えの利益を中心に
	事後学習	教科書92頁の確認問題(3)(4)(5)をまとめておくこと。
10	事前学習	教科書111～114頁を読んでおくこと。
	授業内容	口頭弁論における基本原則
	事後学習	攻撃防御方法の提出に関する一般原則とそれに対する規制の方途についてまとめておくこと。
11	事前学習	教科書100～103頁を読んでおくこと。
	授業内容	弁論主義(1)
	事後学習	教科書144頁の確認問題(1)(2)をまとめておくこと。
12	事前学習	教科書101～106頁を読んでおくこと。
	授業内容	弁論主義(2)
	事後学習	教科書144頁の確認問題(3)をまとめておくこと。
13	事前学習	教科書109～111頁を読んでおくこと。
	授業内容	争点整理手続
	事後学習	現行民事訴訟における争点整理の重要性について説明できるようにしておくこと。
14	事前学習	教科書122～123頁, 132～137頁を読んでおくこと。
	授業内容	証拠調べ(1)
	事後学習	証拠方法、証拠能力、証拠資料、証拠原因など類似する用語の違いについてまとめておくこと。

15	事前学習	教科書137～138頁を読んでおくこと。
	授業内容	証拠調べ(2)
	事後学習	人証、物証のそれぞれの証拠調べ手続の進め方についてまとめておくこと。
16	事前学習	教科書138～140頁を読んでおくこと。
	授業内容	証拠収集制度(1)
	事後学習	教科書144頁の確認問題(6)をまとめておくこと。
17	事前学習	教科書66～69頁， 111頁を読んでおくこと。
	授業内容	証拠収集制度(2)
	事後学習	教科書68頁に出てくる広島地決の裁判例を参考書を手がかりに確認しておくこと。
18	事前学習	教科書129～132頁を読んでおくこと。
	授業内容	証明責任
	事後学習	教科書144頁の確認問題(5)をまとめておくこと。
19	事前学習	教科書146～160頁を読んでおくこと。
	授業内容	裁判によらない訴訟の終了
	事後学習	教科書193頁の確認問題(1)をまとめておくこと。
20	事前学習	教科書161～164頁， 167～172頁を読んでおくこと。
	授業内容	判決の成立
	事後学習	教科書72頁に掲げられている訴状の事件において、原告の請求を認容する判決書はどのようなものになるのかイメージをつけておくこと。
21	事前学習	教科書173～179頁を読んでおくこと。
	授業内容	既判力とは／既判力の時的限界
	事後学習	教科書193頁の確認問題(2)をまとめておくこと。
22	事前学習	教科書180～184頁を読んでおくこと。
	授業内容	既判力の客観的範囲
	事後学習	教科書193頁の確認問題(3) (5)をまとめておくこと。
23	事前学習	教科書184～190頁を読んでおくこと。
	授業内容	既判力の主観的範囲
	事後学習	教科書193頁の確認問題(4)をまとめておくこと。
24	事前学習	教科書196～204頁を読んでおくこと。
	授業内容	複数請求訴訟
	事後学習	訴えの客観的併合の併合形態について、具体例を用いつつ説明ができるようにしておくこと。
25	事前学習	教科書204～219頁を読んでおくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟(1)
	事後学習	教科書234頁の確認問題(1)をまとめておくこと。
26	事前学習	教科書216～224頁を読んでおくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟(2)
	事後学習	教科書234頁の確認問題(2)をまとめておくこと。

27	事前学習	教科書224～230頁を読んでおくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟(3)
	事後学習	教科書234頁の確認問題(2)をまとめておくこと。
28	事前学習	教科書230～232頁を読んでおくこと。
	授業内容	多数当事者訴訟(4)
	事後学習	教科書234頁の確認問題(3)をまとめておくこと。
29	事前学習	教科書264～273頁を読んでおくこと。
	授業内容	簡易裁判所における訴訟手続
	事後学習	教科書275頁の確認問題(1)をまとめておくこと。
30	事前学習	教科書236～261頁を読んでおくこと。
	授業内容	上訴・再審
	事後学習	教科書262頁の確認問題(1)～(4)をまとめておくこと。

科目名	民事訴訟法	担当者	吉田 純平	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民事訴訟法の基本的知識を説明し、民事訴訟法の重要論点について判例・学説の検討を通して解説する。				
授業目的・ 到達目標	民事訴訟法に関する基礎的知識を取得し、民事訴訟法の重要論点に関する議論を理解することを目的とする。				
履修条件	特にない。授業には必ず六法を持参すること。				
授業方法	講義形式でおこなう。教科書の記述を参照しながら、基本的概念を説明し、判例等の事案を通して論点の整理・検討を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	民事訴訟の基礎的概念の確認、事案における同法に関する問題発見能力、問題解決能力を問う。	
	平 常 評 価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	弘文堂		『民事訴訟法〔第2版〕』	小田司
	備考				
参 考 書	使用しない。				
オフィス アワー	水曜日12：10～13：00 研究室・メールアドレスは授業内で連絡します。 授業内容のほか、法科大学院進学について等				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	民事紛争の解決と民事訴訟
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
2	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	民事訴訟の流れと基本構造
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

3	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	裁判所（１）裁判所の種類・構成
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
4	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	裁判所（２）民事裁判権の範囲、管轄
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
5	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	当事者（１）：当事者の概念、当事者確定
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
6	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	当事者（２）：当事者能力、訴訟能力、訴訟代理
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
7	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	当事者（３）：当事者適格、第三者の訴訟担当
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
8	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟の開始：訴えの種類、訴え提起
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
9	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟係属の効果：重複起訴の禁止など
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
10	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟の審理（１）：訴訟要件
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
11	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟の審理（２）：裁判資料の収集、審理の進行
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
12	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	民事訴訟の審理原則（１）
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
13	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	民事訴訟の審理原則（２）
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
14	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟行為
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

15	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
16	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	証拠手続：証明の対象・自白
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く
17	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	証拠調べ
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
18	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	証明責任
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
19	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟の終了（１）：当事者による訴訟の終了
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
20	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	訴訟の終了（２）：判決による訴訟の終了
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
21	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	判決の効力（１）：確定判決の効力、既判力の作用・性質
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
22	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	判決の効力（２）：既判力の時的限界
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
23	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	判決の効力（３）：既判力の客観的範囲
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
24	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	判決の効力（４）：既判力の主観的範囲
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
25	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	複雑訴訟（１）：複数請求訴訟
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
26	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	複雑訴訟（２）：共同訴訟①
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

27	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	複雑訴訟（３）：共同訴訟②
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
28	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	複雑訴訟（４）：訴訟参加
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
29	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	上訴制度
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。
30	事前学習	教科書の該当部分を読む。
	授業内容	後半のまとめ
	事後学習	「知識を確認しよう」を解く。

科目名	民事法特殊講義 I（要件事実） A	担当者	奥田 正昭	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	民法に関する基本的かつ典型的な事例問題を素材として、要件事実についての基本的な理解が可能になるよう、学生同士の議論を中心とした演習を行う。				
授業目的・到達目標	民法に関するこれまでの知識を確認、整理するとともに、その知識、理解が民事裁判実務にどのように生かされて紛争解決に結びついていくかを、要件事実の観点から学習し、法科大学院入学試験ないしこれに準ずる試験に合格できるレベルの正確な知識及び法的思考力を獲得できることを目的とする。				
履修条件	法職課程（法職コースを含む）に在籍する者、又はそれと同等以上に民法等を勉強しようとする意欲を有する者。				
授業方法	事例問題を素材とし、学生同士の議論を中心に授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内のレポートと質疑応答の内容による。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない			
参考書	司法研修所「新問題研究要件事実」法曹会				
オフィスアワー	法科大学院研究科の研究室で対応 通年で、金曜日の午後2時から4時まで				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	要件事実の考え方が民事裁判実務でなぜ必要とされているか各自考えてみること。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
2	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（1）（総則・物権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
3	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（1）（総則・物権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
4	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（2）（総則・物権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習

5	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（2）（総則・物権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
6	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（3）（総則・物権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
7	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（3）（総則・物権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
8	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（4）（債権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
9	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（4）（債権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
10	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（5）（債権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
11	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（5）（債権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
12	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（6）（債権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
13	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（6）（債権）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
14	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（7）（総合・身分法）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
15	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	事例問題（7）（総合・身分法）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習

科目名	民事法特殊講義Ⅰ（要件事実） A	担当者	中野 哲弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前学期である本講義では、主として民王的観点から、民法の事例問題に基づき、演習と解説を行う。					
授業目的・到達目標	前学期では、要件事実の観点から民法固有の事例問題の演習を行い、これまで講義で学んだ内容につき検討する訓練を行う。 民法及びこれに関する民事訴訟実務につき、法科大学院入学試験ないしこれに準ずる試験に合格するレベルの知識を習得する。					
履修条件	法職課程（含む法職コース）に在籍する者、もしくはそれと同等以上に民法等の勉強をしようという意欲を有する者。					
授業方法	予備試験（論文式）レベルの事例問題を素材として学生同士の討論を中心に授業を進める。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験					
	平常評価		100%		授業内レポート内容と質疑応答による。最終時期に、まとめのレポートを提出してもらう。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	司法研修所「改訂紛争類型別の要件事実」「新問題研究要件事実」「10訂民事判決起案の手引」（いずれも法曹会）中野哲弘「わかりやすい民事訴訟法概説」「わかりやすい債権総論概説」「わかりやすい担保物権法概説」（いずれも信山社）					
オフィスアワー	大学院法務研究科の研究室で対応する。（木曜日午後）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	民法の法文を手元に置くこと。事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
2	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（１）（総則・物権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
3	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（１）（総則・物権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
4	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（２）（総則・物権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。

5	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（2）（総則・物権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
6	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（3）（総則・物権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
7	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（3）（総則・物権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
8	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（4）（債権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
9	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（4）（債権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
10	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（5）（債権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
11	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（5）（債権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
12	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（6）（債権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
13	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（6）（債権）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
14	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（7）（総合・身分法）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。
15	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること。
	授業内容	事例問題（7）（総合・身分法）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること。

科目名	民事法特殊講義Ⅰ（要件事実） B	担当者	中野 哲弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	後学期である本講義では、民事訴訟実務の基礎について修得してもらうため、訴訟物と要件事実を中心に、事例問題の演習と解説を行う。				
授業目的・到達目標	後学期では、民事訴訟手続で使われる民法の要件事実を中心として、事例問題を中心に訓練を行う。民法及びこれに関する民事訴訟実務につき、法科大学院入学試験ないしこれに準ずる試験に合格するレベルの知識を習得する。				
履修条件	法職課程（含む法職コース）に在籍する者、もしくはそれと同等以上に民法等の勉強をしようという意欲を有する者。				
授業方法	予備試験（論文式）レベルの事例問題を素材として学生同士の討論を中心に授業を進める。後学期では実務基礎科目（民事）を念頭に置く。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内レポート内容と質疑応答による。最終時期に、まとめのレポートを提出してもらう。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	司法研修所「改訂紛争類型別の要件事実」「新問題研究要件事実」「10訂民事判決起案の手引」（いずれも法曹会）中野哲弘「わかりやすい民事訴訟法概説」「わかりやすい債権総論概説」「わかりやすい担保物権法概説」（いずれも信山社）				
オフィスアワー	大学院法務研究科の研究室で対応する。（木曜日午後）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	民事訴訟法について出来るだけ学習してくること
	授業内容	民法と要件事実（1）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
2	事前学習	民事訴訟法について出来るだけ学習してくること
	授業内容	民法と要件事実（1）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
3	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（1）（貸金）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
4	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（1）（貸金）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること

5	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（１）（貸金）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
6	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（２）（売買）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
7	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（２）（売買）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
8	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（２）（売買）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
9	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（３）（登記）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
10	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（３）（登記）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
11	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（３）（登記）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
12	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（４）（賃貸借）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
13	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（４）（賃貸借）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
14	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	事例研究（４）（賃貸借）
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること
15	事前学習	予め配付する事例問題につき検討してくること
	授業内容	全体を振り返って
	事後学習	受講内容をノートに記載し、復習をすること

科目名	民事法特殊講義Ⅱ（判例演習） A	担当者	奥田 正昭	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	民法上の基本的な問題点に関する事例問題とこれに関連する基本的な判例を事前に検討してもらい、授業では、学生同士の議論を中心に進めることになる。				
授業目的・到達目標	民法に関するこれまでの知識を確認、整理するとともに、その知識が社会に生起する法的紛争の解決にどのように生かされ、紛争解決に結びついていくかを事例問題を用いて検討し、併せて、関連する基本的な判例を調査し、理解することにより、法科大学院入学試験ないしこれに準ずる試験に合格できるレベルの正確な知識及び法的思考力を獲得できることを目的とする。				
履修条件	特にない				
授業方法	民法上の基本的な問題点に関する事例問題を素材として、学生にはあらかじめ問題点を検討してもらい、併せて関連する基本的な判例の調査、検討をしてもらうことになる。授業は、学生同士の議論を中心に進める予定である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内のレポートと質疑応答の内容による	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書として特に指定するものはない。			
参 考 書	司法研修所「新問題研究要件事実」法曹会				
オフィスアワー	法科大学院研究科の研究室で対応 通年で、金曜日の午後2時から4時まで				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
2	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	合意と契約（契約書）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
3	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約の当事者
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
4	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約締結の能力
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習

5	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と意思表示（１）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
6	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と意思表示（２）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
7	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約の無効
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
8	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約の取消し
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
9	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と代理（１）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
10	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と代理（２）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
11	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と無権代理（１）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
12	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と無権代理（２）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
13	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約の効力
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
14	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約の付款
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
15	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	売買契約について
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習

科目名	民事法特殊講義Ⅱ（判例演習） B	担当者	奥田 正昭	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	民法上の基本的な問題点に関する事例問題とこれに関連する基本的な判例を事前に検討してもらい、授業では、学生同士の議論を中心に進めることになる。					
授業目的・到達目標	民法に関するこれまでの知識を確認、整理するとともに、その知識が社会に生起する法的紛争の解決にどのように生かされ、紛争解決に結びついていくかを事例問題を用いて検討し、併せて、関連する基本的な判例を調査し、理解することにより、法科大学院入学試験ないしこれに準ずる試験に合格できるレベルの正確な知識及び法的思考力を獲得できることを目的とする。					
履修条件	特にない					
授業方法	民法上の基本的な問題点に関する事例問題を素材として、学生にはあらかじめ問題点を検討してもらい、併せて関連する基本的な判例の調査、検討をしてもらうことになる。授業は、学生同士の議論を中心に進める予定である。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%		授業内のレポートと質疑応答の内容による	
	平常評価		100%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	教科書として特に指定するものはない。				
参考書	司法研修所「新問題研究要件事実」法曹会					
オフィスアワー	法科大学院研究科の研究室で対応 通年で、金曜日の午後2時から4時まで					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	特定物の売買契約（1）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
2	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	特定物の売買契約（2）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
3	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	不特定物の売買契約（1）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
4	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し、そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	不特定物の売買契約（2）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習

5	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	売買契約と瑕疵担保責任
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
6	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約と物権変動
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
7	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	賃貸借契約と賃借権の物権化
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
8	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	契約における説明義務
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
9	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	弁済・債務の履行に関する諸問題
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
10	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	債権譲渡
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
11	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	債権の履行確保（１）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
12	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	債権の履行確保（２）
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
13	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	委任契約・請負契約
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
14	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	不当利得
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習
15	事前学習	授業前に提示された事例問題を事前に検討し，そこに含まれている法的な問題点について自分の見解を述べられるようにしておくこと。
	授業内容	民法と要件事実
	事後学習	授業内容に関する疑問点等を解消するための復習

科目名	民事法特殊講義Ⅲ(会社法)A	担当者	大久保 拓也	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	商法の重要論点を検討する授業を行う。司法試験、司法試験予備試験クラスの問題を解いてゆくことで、高度な法律論を展開する能力を養成する。			
授業目的・到達目標	商法の重要論点を検討する。これにより、(1)商法Iで習得した知識を具体的事例に当てはめて再確認するとともに、(2)具体的事例に当てはめる能力を習得することを目的とする。問題に関連する裁判例についても触れてゆく。具体的事例から、検討されるべき会社法上の問題点と当てはめに必要な個々の事実を抽出できるようにして、難易度の高い資格試験にチャレンジすることができる程度の知識の習得を目標とする。			
履修条件	商法Ⅰ（会社法）を履修済みであること。法曹志望者、難易度の高い資格試験の受験を目指す者を歓迎したい。			
授業方法	司法試験、司法試験予備試験の過去問やそれと同等クラスの問題を取り上げて、それを解いてゆく。少人数の場合は演習的な講義とする。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	会社法に関する基礎的知識が理解できていること、事例問題への当てはめ能力があることを確認する。 授業参加度、意見の発表等の平常の講義への取り組みを総合して評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017	勁草書房	論文演習会社法 上巻	上田純子＝松嶋隆弘編
	備考	六法を持参すること（民法（債権関係）改正が成立したため、最新版（2018(平成30)年版）が望ましい）		
参考書	各自の基本書 岩原紳作ほか編『会社法判例百選（第3版）』（有斐閣、2016年）			
オフィスアワー	火曜5時限。事前にメールでアポイントメントをとること オフィス 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	ガイダンス 受講生と適宜相談の上決めるため、下記の授業内容は変更する場合がある。
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。
2	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第1章 会社法総論 I 会社の目的
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1章 I
3	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第1章 会社法総論 II 法人格否認の法理
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第1章 II
4	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第2章 設立 I 発起人の権限、定款に記載なき財産引受け、事後設立
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第2章 I

5	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第2章 設立 II 仮装払込み
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第2章II
6	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 I 株主名簿、募集株式発行の差止め
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章I
7	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 II 株式譲渡①
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章II
8	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 III 株式譲渡②（総合問題）
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章III
9	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 IV 自己株式
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章IV
10	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 V 新株発行無効
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章V
11	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 VI 新株発行不存在
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章VI
12	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第3章 株式、新株発行 VII キャッシュ・アウト
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第3章VII
13	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第4章 機関1：株主総会 I 説明義務、提案権
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第4章I
14	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第4章 機関1：株主総会 II 株主総会決議の瑕疵①
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第4章II
15	事前学習	教科書全体、配付資料を読み返す。
	授業内容	講義のまとめと復習
	事後学習	授業で取り扱った重要論点を中心に復習する。

科目名	民事法特殊講義Ⅲ(会社法)B	担当者	大久保 拓也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	商法の重要論点を検討する授業を行う。司法試験、司法試験予備試験クラスの問題を解いてゆくことで、高度な法律論を展開する能力を養成する。					
授業目的・到達目標	商法の重要論点を検討する。これにより、(1)商法Iで習得した知識を具体的事例に当てはめて再確認するとともに、(2)具体的事例に当てはめる能力を習得することを目的とする。問題に関連する裁判例についても触れてゆく。具体的事例から、検討されるべき会社法上の問題点と当てはめに必要な個々の事実を抽出できるようにして、難易度の高い資格試験にチャレンジすることができる程度の知識の習得を目標とする。					
履修条件	商法Ⅰ（会社法）を履修済みであること。法曹志望者、難易度の高い資格試験の受験を目指す者を歓迎したい。					
授業方法	司法試験、司法試験予備試験の過去問やそれと同等クラスの問題を取り上げて、それを解いてゆく。少人数の場合は演習的な講義とする。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		会社法に関する基礎的知識が理解できていること、事例問題への当てはめ能力があることを確認する。 授業参加度、意見の発表等の平常の講義への取り組みを総合して評価する。	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2017	勁草書房		論文演習会社法 上巻・下巻		上田純子＝松嶋隆弘編
	備考	六法を持参すること（民法（債権関係）改正が成立したため、最新版（2018(平成30)年版）が望ましい）				
参考書	各自の基本書 岩原紳作ほか編『会社法判例百選（第3版）』（有斐閣、2016年）					
オフィスアワー	火曜5時限。事前にメールでアポイントメントをとること オフィス 研究室（9号館2階9204）ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	ガイダンス 受講生と適宜相談の上決めるため、下記の授業内容は変更する場合がある。
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。
2	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第4章 機関2：株主総会 Ⅲ 株主総会決議の瑕疵②
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第4章Ⅲ
3	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第5章 機関2：取締役会 Ⅱ 重要な財産の処分
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5章Ⅱ
4	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第5章 機関2：取締役会 Ⅲ 取締役会決議の瑕疵①（総合問題）
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5章Ⅲ

5	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第5章 機関2：取締役会 IV 取締役会決議の瑕疵②（総合問題）
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5章IV
6	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第5章 機関2：取締役会 V 取締役会決議の瑕疵③（総合問題）
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第5章V
7	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 I 内部統制、経営判断
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章I
8	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 II 従業員の引き抜き
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章II
9	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 III 競業取引
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章III
10	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 IV 利益相反取引①
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章IV
11	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 VI 利益相反取引③
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章VI
12	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 VII 報酬
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章VII
13	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 VIII 差止め
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章VIII
14	事前学習	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
	授業内容	第6章 機関3：役員の義務、責任 X 対第三者責任
	事後学習	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。第6章X
15	事前学習	教科書全体、配付資料を読み返す。
	授業内容	講義のまとめと復習
	事後学習	授業で取り扱った重要論点を中心に復習する。

科目名	民事法特殊講義Ⅳ(商法)A	担当者	南 健悟	部 別	第一部	期 間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

授業概要	この講義は、商法（特に、総則・商取引法）に関する先端的な法的諸問題について、判例及び論文等を素材に受講生と演習形式により検討を行うものである。この講義では、商法総則、商取引法、運送法に関する法的問題を中心に扱う。				
授業目的・到達目標	この講義では、商法に関する先端的な法的諸問題についての確に理解した上で、それを論述する力を涵養することが目的である。企業法としての商法はその要求される知識量が多く、またその領域も広範にわたるが、この講義ではその先端的な法的諸問題を扱うことで、より深く理解し、それを適切にアウトプットする能力等を修得することが目的である。商法及び会社法の基本的知識を踏まえた上で、自らに与えられた商法に関する先端的な法的問題について、過去の判例及び学説に触れながら、自らの意見をアウトプットすることがこの授業の目標となる。				
履修条件	商法（総則商行為・運送法）を履修していることが望ましい。				
授業方法	一定の課題について受講生と共に議論する演習形式を予定している。またアウトプットされたものに対してコメントを行う。なお、検討の素材は判例や論文等を予定している。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	事前の課題に対する取り組み、授業中での積極的な態度及び提出物によって評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	授業中に指示する。				
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	受講生自身が興味を有する商法に関するテーマを調べておく
	授業内容	オリエンテーション（課題の提示等）
	事後学習	提示された課題について確認する
2	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商法総則に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
3	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商法総則に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
4	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商法総則に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める

5	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商法総則に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
6	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商行為法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
7	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商行為法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
8	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商行為法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
9	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	商行為法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
10	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	運送法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
11	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	運送法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
12	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	運送法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
13	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	運送法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
14	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	運送法に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
15	事前学習	受講生が扱った課題をまとめておく
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める

科目名	民事法特殊講義Ⅳ(商法)B	担当者	南 健悟	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講義では、商法（会社法）に関する先端的な法的諸問題について、判例及び論文等を素材に受講生と演習形式により検討を行うものである。この講義では、会社法に関する法的問題を中心に扱う。				
授業目的・到達目標	この講義では、商法（会社法）に関する先端的な法的諸問題についての的確に理解した上で、それを論述する力を涵養することが目的である。企業法としての商法及び会社法はその要求される知識量が多く、またその領域も広範にわたるが、この講義ではその先端的な法的諸問題を扱うことで、より深く理解し、それを適切にアウトプットする能力等を修得することが目的である。商法及び会社法の基本的知識を踏まえた上で、自らに与えられた商法及び会社法に関する先端的な法的問題について、過去の判例及び学説に触れながら、自らの意見をアウトプットすることがこの授業の目標となる。				
履修条件	商法（総則商行為・運送法）及び会社法科目を履修していることが望ましい。				
授業方法	一定の課題について受講生と共に議論する演習形式を予定している。またアウトプットされたものに対してコメントを行う。なお、検討の素材は判例・演習本・過去の司法試験問題等を予定している。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	事前の課題に対する取り組み、授業中での積極的な態度及び提出物によって評価を行う。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考				
参考書	授業中に指示する。				
オフィスアワー	水曜日の午後2時40分～午後4時10分。ただし、在室中は原則対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	受講生自身が興味を有する会社法に関するテーマを調べておく
	授業内容	オリエンテーション（事前課題の提示等）
	事後学習	提示された課題について確認する
2	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	会社法総論に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
3	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	株式有限責任制度に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
4	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	会社の設立手続に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める

5	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	会社の機関設計に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
6	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	役員の責任に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
7	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	役員の責任に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
8	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	役員の責任に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
9	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	役員の責任に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
10	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	株式制度に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
11	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	株式制度に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
12	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	組織再編に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
13	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	組織再編に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
14	事前学習	提示された課題について予め調査する
	授業内容	資金調達に関する先端的法的問題の検討
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める
15	事前学習	受講生が扱った課題をまとめておく
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義で扱った内容について他の参考文献も参照しながら考察を深める

科目名	民事法特殊講義Ⅴ（不動産登記法）	担当者	堀江 泰夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	不動産登記制度は、「不動産の現況と権利関係を登記簿に記録して公示する制度」であり、不動産に関する物権変動の對抗要件である（民法177条）。不動産登記について、登記簿の概要、登記業務を行う官庁である登記所と登記官、実際の登記申請方法等を具体的な素材（登記簿謄本、登記記録例、申請情報・添付情報等）を用いて講義する。				
授業目的・到達目標	・不動産登記法の理解なくして、民法（特に物権・担保物権）の真の理解には至らない。不動産登記法は、司法書士はもとより、弁護士、企業法務等にとっても重要な法律である。本講義では、不動産登記法の基礎について、実務と関連させながら、また常に最新の話題を提供して授業を進めていく。 ・不動産登記法の基礎理論及び基礎知識を習得して、法曹・準法曹（司法書士等）及び企業法務等の法律関連業務へ進んだ場合に、また一般企業・官庁へ進んだ場合にも役立つ不動産登記の知識・能力を習得することを目標とする（講師は組織内司法書士として、これまで企業の法務部門に28年間勤務している）。				
履修条件	・民法の物権・担保物権の基本を理解していることが前提				
授業方法	・指定教科書を中心に毎回レジュメを配布して講義を行う。講義には六法必携のこと。登記業務のイメージを得るため、東京法務局見学会（最寄駅地下鉄「九段下駅」。時間約90分）を学外授業として、補講期間中に実施予定。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	要レポート提出（1回）。レポート評価は、平常評価の40%の割合とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年	成文堂		集中講義不動産登記法 [第3版]	斎藤 隆夫
	備考				
参考書	『詳細 登記六法』平成30年版（きんざい）				
オフィスアワー	電子メールにより授業内容に関する質問・相談を受け付ける。質問・相談は、授業内容以外の司法書士、企業法務等に関するものも可。e-mail:horiey@r2.dion.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・法務局HPにアクセスして、登記業務について概観しておくこと（例：法務局トップページ>業務のご案内）。 (http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/static/goannai_index.html)
	授業内容	オリエンテーション：不動産登記法・商業登記法等、登記法の全体像
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
2	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記制度概要－登記簿、登記所、登記官等
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
3	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（1）－登記の種類・登記の順位
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
4	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（2）－共同申請の原則、登記の申請方法・処理①
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。

5	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（２）－共同申請の原則、登記の申請方法・処理②
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
6	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（３）－登記申請情報
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
7	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（４）－添付情報①（登記原因証明情報、登記識別情報）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
8	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（５）－添付情報②（印鑑証明書、その他）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
9	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法総論（６）－権利に関する登記の手續上の分類（移転登記、変更・更正登記、抹消登記）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
10	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法各論（１）－所有権に関する登記①（所有権保存）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
11	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法各論（２）－所有権に関する登記②（所有権移転）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
12	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法各論（３）－抵当権等に関する登記①
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
13	事前学習	・これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	不動産登記法各論（４）－抵当権等に関する登記②
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
14	事前学習	・事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	不動産登記法各論（５）－単独申請の登記（相続登記、判決による登記等）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを教科書の該当箇所と照らして復習すること。
15	事前学習	・特になし。
	授業内容	東京法務局見学会（学外授業）実施予定
	事後学習	東京法務局で当日配布される資料を復習すること。

科目名	民事法特殊講義Ⅵ(商業登記法)	担当者	堀江 泰夫	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	商業登記制度は、取引の安全等のために「会社について、一定事項を登記簿に記録して公示する制度」である。会社のうち株式会社について、登記簿の概要、登記申請方法等を具体的な素材（登記簿謄本、登記記録例、申請書・添付書類）を用いて講義する。その他、司法書士業務である供託、債権譲渡登記及び動産譲渡登記について簡単に解説する。				
授業目的・到達目標	・商業登記法の理解なくして、商法・会社法の真の理解には至らない。商業登記法は、司法書士はもとより、弁護士、企業法務等の法律実務にとっても重要である。本講義では、実体法である商法・会社法の理解を深めるために最低限必要となる商業登記（株式会社に限定）の基礎について実務と関連させながら講義を進めていく。 ・商業登記法の基礎理論及び基礎知識を習得して、法曹・準法曹（司法書士等）及び企業法務等の法律関連業務へ進んだ場合に、また一般企業・官庁へ進んだ場合に役立つ知識・能力を習得することを目標とする（講師は組織内司法書士として、これまで企業の法務部門に28年間勤務している）。				
履修条件	・商法・会社法の基本を理解していることが前提				
授業方法	・毎回レジュメを配布して講義を行う。六法を必携のこと。民事法特殊講義Ⅴ（不動産登記法）で、東京法務局見学会を実施する予定であり、同講義と合わせて選択することが望ましいが、本講義のみを選択しても問題はない。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	要レポート提出（1回）。レポート評価は、平常評価の40%の割合とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	・使用しない。適宜レジュメを配布して講義を行う。			
参考書	・『詳細登記六法』平成30年版（きんざい）				
オフィスアワー	電子メールにより授業内容に関する質問・相談を受け付ける。質問・相談は、授業内容以外の司法書士、企業法務等に関するものも可。e-mail:horiey@r2.dion.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	・法務局HPにアクセスして、登記業務について概観しておくこと（例：法務局トップページ>業務のご案内）。 (http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/static/goannai_index.html)
	授業内容	会社法と商業登記法の関係
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
2	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法総論（1）①商業登記制度とは ②登記所・登記官・登記簿
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
3	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法総論（2）①登記情報手続概論 ②印鑑届出制度
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
4	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―株式会社の設立の登記（1）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。

5	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―株式会社の設立の登記（２）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
6	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―定款記載事項と登記（１）①商号変更 ②目的変更 ③公告方法の変更
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
7	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―定款記載事項と登記（２）本店移転
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
8	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―役員に関する登記（１）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
9	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―役員に関する登記（２）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
10	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―増資（募集株式発行）の登記
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
11	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―減資（資本減少）の登記
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
12	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―合併・会社分割等組織変更に関する登記（１）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
13	事前学習	・事前に会社法の教科書で講義該当部分を読んでおくことが望ましい。
	授業内容	商業登記法各論―合併・会社分割等組織変更に関する登記（２）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
14	事前学習	・民法の教科書で、供託及び動産・債権譲渡登記について読んでおくこと。
	授業内容	供託法、動産譲渡登記（法人がする動産の譲渡について登記によって公示）、債権譲渡登記（法人の行う債権譲渡のための簡便な対抗要件制度）
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。
15	事前学習	・これまでの復習を行っておくこと。
	授業内容	企業法務概論
	事後学習	・授業において配布するレジュメを復習すること。

科目名	民事法特殊講義Ⅶ(民事手続法)A	担当者	井上 哲男	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義においては、民事訴訟法の基本的な論点について一定の時間をかけ、多くの平易な事例を用いて議論、検討、説明することにより、受講者の理解を深めていきたいと考えている。講義は、初学者にも理解できるようにできるだけ噛み砕いた内容にしたいと考えている。担当者は、本学法科大学院の専任教員（元裁判官）である。				
授業目的・到達目標	本講義は、民事法特殊講義Ⅷ（民事手続法）Bと共に、民事訴訟法の基本的な概念や論点について分かり易く解説することを目的とする。民事訴訟法の基本を理解し、具体的な事例に即して法の適用ができるようになるのが目標である。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的に講義形式をとるが、できるだけ多くの具体的な事例に基づき議論をして、理解力と思考能力を養成したい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業中の質疑応答に際しての各人の論理的な思考力・表現能力や分析力, 問題練習の結果等を加味して総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義資料は、学内システム「学生教員共有」の「教材配布」にアップする。			
参考書	和田吉弘『基礎からわかる民事訴訟法』（商事法務、2012年） 高橋宏志ほか編『民事訴訟法判例百選〔第5版〕』（有斐閣、2015年）				
オフィスアワー	木曜日午後1時30分～5時30分 法科大学院本館4階1343号室 事前に連絡してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	民事訴訟のイメージ（訴えの提起から判決までの流れ）（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
2	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	民事訴訟のイメージ（訴えの提起から判決までの流れ）（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
3	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	当事者の確定，当事者能力，訴訟能力, 当事者適格（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
4	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	当事者の確定，当事者能力，訴訟能力, 当事者適格（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。

5	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	訴訟要件，訴えの利益（1）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
6	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	訴訟要件，訴えの利益（2）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
7	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	処分権主義と弁論主義（1）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
8	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	処分権主義と弁論主義（2）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
9	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	処分権主義と弁論主義（3）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
10	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	既判力（1）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
11	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	既判力（2）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
12	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	既判力（3）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
13	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	証明と証拠（1）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
14	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	証明と証拠（2）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
15	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるように準備しておくこと。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	授業を踏まえた総復習をすること。

科目名	民事法特殊講義Ⅶ(民事手続法)B	担当者	井上 哲男	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	本講義においては、民事訴訟法の基本的な論点について一定の時間をかけ、多くの平易な事例を用いて議論、検討、説明することにより、受講者の理解を深めていきたいと考えている。講義は、初学者にも理解できるようにできるだけ噛み砕いた内容にしたいと考えている。担当者は、本学法科大学院の専任教員（元裁判官）である。				
授業目的・到達目標	本講義は、民事法特殊講義Ⅷ（民事手続法）Aと共に、民事訴訟法の基本的な概念や論点について分かり易く解説することを目的とする。民事訴訟法の基本を理解し、具体的な事例に即して法の適用ができるようになることが目標である。				
履修条件	特になし。				
授業方法	基本的に講義形式をとるが、できるだけ多くの具体的な事例に基づき議論をして、理解力と思考能力を養成したい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業中の質疑応答に際しての各人の論理的な思考力・表現能力や分析力、練習問題の結果等を加味して総合的に判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義資料は、学内システム「学生教員共有」の「教材配布」にアップする。			
参考書	和田吉弘『基礎からわかる民事訴訟法』（商事法務、2012年） 高橋宏志ほか編『民事訴訟法判例百選〔第5版〕』（有斐閣、2015年）				
オフィスアワー	木曜日午後1時30分～5時30分 法科大学院本館4階1343号室 事前に連絡してください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	一部請求（1）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
2	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	一部請求（2）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
3	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	請求の併合，訴えの変更，反訴，中間確認の訴え（1）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
4	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	請求の併合，訴えの変更，反訴，中間確認の訴え（2）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。

5	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	共同訴訟（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
6	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	共同訴訟（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
7	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	参加（補助参加，独立当事者参加）（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
8	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	参加（補助参加，独立当事者参加）（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
9	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	訴訟承継（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
10	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	訴訟承継（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
11	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	裁判によらない訴訟の完結（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
12	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	裁判によらない訴訟の完結（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
13	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	上訴の利益、不利益変更の禁止（１）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
14	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	上訴の利益、不利益変更の禁止（２）
	事後学習	レジュメ，参考書等に基づき，授業内容を復習すること。
15	事前学習	レジュメ，参考書等を読み，授業中に積極的に発言できるよう準備しておくこと。
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	授業を踏まえた総復習をすること。

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	大杉 麻美	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	民法第1編(民法総則)を扱う。具体的には、「誰が」「どのように」権利を行使することができるか(権利の主体、能力)、自らの意思をどのように相手方に伝えるか(意思表示)、「他人」に法律行為を代わってもらうことは可能か(代理)、権利はいつまで請求することが可能か(時効)等について講義を行う。また、私的自治等の私法の基本的な考え方についても本講義で扱う。					
授業目的・到達目標	(1) 民法の基本原則につき説明することができる (2) 専門用語を理解し、権利主体、能力・意思表示・代理・時効等について簡単に説明することができる (3) (1)、(2)で学修した内容につき実例をあげ、問題点を発見し条文を用いて解決方法を探ることができる。					
履修条件	六法を持参すること。					
授業方法	具体的な事例をあげつつ講義を進めていく。講義はシラバスに沿って行う。事前に教科書の該当箇所を読み、分からない法律用語や文章を確認しておくこと。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		90%	講義で学んだ内容につき論述式試験を行う。講義で学んだ内容がどの程度答案に表現されているかで判定する。		
	平常評価		10%	授業への参加度、予習・復習の度合い		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	法律文化社		『ハイブリッド民法1 民法総則[第2版]』		小野秀誠・良永和隆他著
	備考					
参考書	講義中に指示する。					
オフィスアワー	金曜日2限。事前にアポイントをとってから訪問すること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義概要を読み、指定された教科書の目次を確認しておく
	授業内容	ガイダンス、民法の体系
	事後学習	教科書を該当箇所を読むこと。講義内で扱われた条文を確認しておくこと
2	事前学習	民法の基本的な考え方について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	民法の法源、民法の解釈、民法上の権利、民法の指導原理
	事後学習	講義で学んだ判例を再度読み直し、事実関係を整理する

3	事前学習	権利能力、意思能力の意義を調べておく
	授業内容	権利能力・意思能力・未成年者
	事後学習	それぞれの「能力」に関する考え方の違いを整理する
4	事前学習	制限行為能力者制度について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	制限行為能力者制度(成年後見制度)
	事後学習	高齢者の消費者被害の状況について調査する
5	事前学習	失踪宣告の制度について教科書を読んでおく
	授業内容	制限行為能力者制度、住所・不在者の財産管理、失踪宣告
	事後学習	失踪宣告が必要とされる場面について整理をする。
6	事前学習	法人について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	法人の種類・設立・能力、一般法人法、公益法人法その他
	事後学習	法人の種類について整理をする
7	事前学習	権利の客体にはどのようなものがあるか教科書を読んでおく
	授業内容	権利の客体(物)：動産、不動産、主物・従物、元物・果実
	事後学習	権利の客体についてそれぞれ具体的な適用場面を整理する
8	事前学習	法律行為の意義について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	法律行為の意義・法律行為の解釈
	事後学習	法律行為の基本的な考え方について整理をしておく
9	事前学習	公序良俗の意味・内容について教科書で確認をしておく
	授業内容	公序良俗、強行法規と任意法規
	事後学習	公序良俗が適用される具体的な場面について整理する
10	事前学習	意思表示の意義について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	意思表示の意義、効力発生時期、受領能力
	事後学習	意思表示の基本的考え方について教科書を読んで確認しておく
11	事前学習	心裡留保・通謀虚偽表示の内容を教科書で確認しておく
	授業内容	意思の不存在：心裡留保・通謀虚偽表示(1)
	事後学習	心裡留保・通謀虚偽表示の違いについて整理する
12	事前学習	錯誤について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	意思の不存在：通謀虚偽表示(2)、錯誤
	事後学習	通謀虚偽表示の判例を確認すること、錯誤の適用場面について整理しておくこと
13	事前学習	詐欺・強迫について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	瑕疵ある意思表示：詐欺、強迫
	事後学習	詐欺・強迫の適用される具体的場面を整理する
14	事前学習	契約場面における意思の不存在・瑕疵ある意思表示を考えてみる
	授業内容	契約場面における意思表示：消費者契約法等
	事後学習	講義で示された事例についての考え方を整理しておく

15	事前学習	これまでの講義で分からなかったところを整理しておく
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	理解できた内容をノートにまとめておく
16	事前学習	代理の考え方、種類について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	代理制度(1)：代理の基本的考え方
	事後学習	代理の基本的考え方について整理しておく
17	事前学習	代理の法律関係について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	代理制度(2)：代理の法律関係、代理権の濫用
	事後学習	代理権濫用の事例について整理しておく
18	事前学習	復代理について教科書の該当箇所を整理しておく
	授業内容	代理制度(2)：復代理
	事後学習	復代理について整理しておく
19	事前学習	無権代理について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	代理制度(3)：無権代理の意義・内容
	事後学習	無権代理についてまとめておく
20	事前学習	無権代理の派生的問題について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	代理制度(4)：無権代理と相続、単独行為の無権代理
	事後学習	無権代理の派生的問題について具体的事例を整理しておく
21	事前学習	表見代理の意義について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	代理制度(5)：表見代理の意義、内容
	事後学習	表見代理の内容について整理しておく
22	事前学習	表見代理の類型について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	代理制度(6)：表見代理の類型
	事後学習	表見代理の類型について整理する
23	事前学習	無効と取消しの概念について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	無効・取消し(1)：概念と効果
	事後学習	無効と取消しの違いについて整理する
24	事前学習	無効と取消しの具体的事例について考えておく
	授業内容	無効・取消し(2)：二重効、無効行為の転換他
	事後学習	無効と取消しが適用される場面を整理する
25	事前学習	法律行為に条件や期限が付される場合について考えてみる
	授業内容	条件、期限、期間
	事後学習	条件・期限の具体的事例について整理する
26	事前学習	時効制度の意義、時効の援用について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	時効制度(1)：時効制度の意義、時効の援用、時効利益の放棄
	事後学習	時効制度の存在理由について整理しておく

27	事前学習	時効の中断・取得時効について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	時効制度(2)：時効の中断、時効の停止、取得時効
	事後学習	時効の中断と停止について整理しておく
28	事前学習	消滅時効について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	時効制度(3)：消滅時効
	事後学習	取得時効と消滅時効の違いを整理しておく
29	事前学習	取得時効・消滅時効の基礎的知識について確認しておく
	授業内容	時効制度(4)：取得時効・消滅時効の派生的問題
	事後学習	講義で学んだことを具体的事例をあげてまとめておく
30	事前学習	これまでの講義で分からないところを整理しておく
	授業内容	後半のまとめ
	事後学習	理解できた箇所を整理しておく

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	岡島 芳伸	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	民法が私法の一般法であるところから、民法の理解は、私法全般の入門的理解にとって不可欠である。とりわけ民法Ⅰは法律初学者に重要な科目であるところから、教科書の理解を助けるための補足説明資料を配付して授業を進める。平成29年改正法についても説明する。				
授業目的・到達目標	民法Ⅰは、学生が初めて学ぶ民法であるにもかかわらず、民法全体に共通する事項を対象とするために抽象的な議論が多くてわかりにくい。そこで、できるだけ具体例を挙げながら説明し、民法に親しみを持つことを第1の目的としたい。民法という法律の根本理念、および、これから民法の解釈学を学んでゆくに当たって基本的に必要となる概念を身につけることを目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式による				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	期末に行う筆記試験で評価する。	
	平常評価		10%	受講態度及び授業時間等における私との質疑応答を総合評価して定期試験の成績に加味する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成30年後期	中央経済社		民法総則講義（第五版）	山川一陽
	平成30年後期	文堂		民法総則講義（第三版）	藤村和夫
	備考	上記2冊のどちらでも良い。最新版があればそちらの方が望ましい。藤村先生著のものとしては新民法基本講義「民法総則」（第1版第1刷）、信山社が最新である。			
参考書	特に指定しないが六法は必携。他に適宜に示す。				
オフィスアワー	後期は火曜日13時から13時30分。前期は月曜日12時20分から13時30分。但し、私が空いていれば、何時でも良い。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	民法はどのような法か。民法Ⅰで何を学ぶか。
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
2	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	民法の基本原理
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること

3	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（１）権利能力・意思能力
	事後学習	サブノートを作成すること
4	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（２）制限能力者制度その１
	事後学習	練習問題を検討し解答を作成すること。
5	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（３）制限能力者制度その２
	事後学習	練習問題を検討し解答を作成すること。
6	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（４）住所・失踪宣告
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
7	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（５）法人その１
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
8	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（６）法人その２
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
9	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	権利主体（６）権利能力の無い団体
	事後学習	練習問題を検討し解答を作成すること。
10	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。練習問題を検討しておくこと。
	授業内容	法律行為とその解釈（１）公序良俗、強行法規
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
11	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	法律行為の有効要件
	事後学習	練習問題を検討し解答を作成すること。
12	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	意思表示（１）心裡留保と虚偽表示
	事後学習	練習問題を検討し解答を作成すること。
13	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	意思表示（２）錯誤
	事後学習	練習問題を検討し解答を作成すること。
14	事前学習	練習問題を検討しておくこと。
	授業内容	意思表示（３）詐欺と強迫
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。

15	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	代理（１）代理とは何か
	事後学習	サブノートを作成すること
16	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	代理（２）代理の要件と効果
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。
17	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	代理（３）表見代理その１
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。
18	事前学習	教科書の該当部分を熟読し、練習問題を検討しておくこと。
	授業内容	代理（４）表見代理その２
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。
19	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	代理（５）表見代理その３
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。
20	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	代理（６）無権代理
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。
21	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	代理（７）代理の応用問題
	事後学習	練習問題の解答を作成すること。
22	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	条件・期限
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
23	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	期間
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
24	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	時効（１）その意義
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
25	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	時効（２）時効の要件その１。時効の援用
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
26	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	時効（３）時効の要件その２　時効の中断
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること

27	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	時効（４）取得時効
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
28	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	時効（５）消滅時効
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
29	事前学習	教科書の該当部分を熟読しておくこと。
	授業内容	時効（６）時効と類似の制度
	事後学習	配付資料を利用して、サブノートを作成すること
30	事前学習	今までの授業内容を振り返っておくこと。
	授業内容	やり残したこと。補足説明
	事後学習	練習問題の再検討

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	加藤 雅之	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	民法典第1編「総則」1条～169条（2017年民法の一部を改正する法律案による改正後の条文）について学ぶ。もっとも、民法の規定は相互に関係しているため、必要に応じて対象範囲以外の規定および特別法についても学ぶ。私法の一般法である民法は、法学部で学ぶ法律科目の中でも重要な基本法の1つである。民法総則の理解は、物権および債権などの民法の他の分野のみならず、商法等の他の私法分野における法律を学ぶ上でも必須である。			
授業目的・到達目標	（1）対象範囲に関する基本用語および概念を理解し、適切に用いることができる。 （2）対象範囲における諸制度・諸規定について、そのような制度・規定が設けられた趣旨を理解し、説明できる。 （3）解釈上の問題について、基本的な最上級審の立場（判例）を理解し、説明できる。 （4）対象範囲に関する単純な事例について、法律の規定に基づいて論理的に解答できる。			
履修条件	最新版の六法を持参すること。			
授業方法	講義形式による。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	論述式試験により、到達目標に達しているかを判定する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	日本評論社	民法総則（日評ベーシック・シリーズ）	原田昌和・寺川永・吉永一行
	備考			
参考書	必要に応じて講義中に紹介する。			
オフィスアワー	火曜日16：20～17：00、研究室で講義内容について質問を受け付ける。事前にアポイントをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の目次、第1章を読んでおくこと。
	授業内容	民法とは
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
2	事前学習	講義資料を参考に、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	民法の全体像
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

3	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	意思表示・法律行為総説
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
4	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	心理留保・虚偽表示
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
5	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	錯誤
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
6	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	詐欺・強迫
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
7	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	法律行為の有効要件
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
8	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	条件・期限
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
9	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	無効・取消し
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
10	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	権利能力
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
11	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	意思能力と行為能力
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
12	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	制限行為能力者制度
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
13	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	代理総説
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
14	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	有権代理
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

15	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	無権代理
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
16	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	表見代理
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
17	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	時効総説、取得時効と消滅時効
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
18	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	時効の完成猶予および更新
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
19	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	時効の援用、時効利益の放棄
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
20	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	法人
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
21	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	法人
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
22	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	私権の行使に対する制限
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
23	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義　意思表示の解釈と錯誤
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
24	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義　第三者保護の問題について
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
25	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義　第三者保護の問題について
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
26	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義　代理に関する事例の検討
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

27	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義　時効に関する事例の検討
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
28	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	民法の基本原則と課題
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
29	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
30	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	清水 恵介	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法第1編総則に規定された、第1条から第174条の2（全130ヶ条）までが対象領域である。法律行為と時効（取得時効・消滅時効）を中心とする、民法の通則的制度を扱う。これのみで民法の総合的な理解に達するのは容易でないが、民法ひいては私法全体の入門のつもりで講義したい。				
授業目的・到達目標	上記対象領域の条文を理解させるとともに、民法学がどのような学問であるかを理解させる。				
履修条件	民法総則等の条文が大幅に改正されるため、最新版の六法を持参すること。				
授業方法	新出の専門用語は逐一解説をする。また、条文等の基礎的な説明と代表的な解釈論の説明とを分ける形で、民法総則全体を2巡するように授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	試験は、授業内容を踏まえて出題される設問を単語の穴埋め方式と論述方式とで解答させる。その解答内容により、民法総則の理解度をはかり、評価する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	なし			
参考書	授業内で適宜教示する。				
オフィスアワー	当該授業に関する質問を、授業期間中の火曜日12時～13時に研究室で受け付ける。ただし、オフィスアワーを利用した質問を希望する学生は、ガイダンスの際に教示するメールアドレス宛てに、質問の概要及び希望日を事前に通知し、希望者の競合等により対応不能である旨の回答がない場合であることを条件とする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、履修条件に該当するように準備する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業で指定した参考書を購入するなどして、次回以降の授業に備える。
2	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	民法総論・その1（民法の意義・歴史構造）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

3	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	民法総論・その2（民法の基本原則、私権の種類）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
4	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為概論・その1（法律行為の成立要件・一般的有効要件）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
5	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為概論・その2（意思の欠缺・瑕疵ある意思表示）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
6	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為概論・その3（行為能力の制限）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
7	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	代理概論・その1（基礎理論）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
8	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	代理概論・その2（無権代理）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
9	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法人概論・その1（意義・組織）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
10	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法人概論・その2（能力）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
11	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	時効概論・その1（要件）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
12	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	時効概論・その2（効果、除斥期間）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
13	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	概論その他（期間、条件・期限、物、住所、不在者）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
14	事前学習	条文等の基礎的な説明に関する参考書の該当部分を通読する。
	授業内容	民法総則の基礎まとめ1
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

15	事前学習	条文等の基礎的な説明に関する参考書の該当部分を通読する。
	授業内容	民法総則の基礎まとめ 2
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
16	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為の解釈・その 1（動機の不法，取締法規違反，92条と法例2条）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
17	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為の解釈・その 2（代理権の濫用，94条2項の類推適用）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
18	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為の解釈・その 3（動機の錯誤，第三者からする錯誤無効の主張）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
19	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法律行為の解釈・その 4（取消後の第三者，無効と取消の二重効）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
20	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	代理の解釈・その 1（代理権授与行為の法的性質，無権代理と相続，表見代理と他の制度との関係）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
21	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	代理の解釈・その 2（109条に関する解釈）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
22	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	代理の解釈・その 3（110条に関する解釈）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
23	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法人の解釈・その 1（法人本質論，法人の目的による制限）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
24	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	法人の解釈・その 2（権利能力なき社団・財団）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
25	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	時効の解釈・その 1（時効総論，取得時効の争点 1）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
26	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	時効の解釈・その 2（取得時効の争点 2，消滅時効の争点）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

27	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	その他の解釈（失踪宣告の取消，信義則，権利濫用の判断基準）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
28	事前学習	事前配布するレジュメに目を通す。
	授業内容	債権法改正による影響
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
29	事前学習	代表的な解釈論の説明に関する参考書の該当部分を通読する。
	授業内容	民法総則の解釈まとめ 1
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
30	事前学習	代表的な解釈論の説明に関する参考書の該当部分を通読する。
	授業内容	民法総則の解釈まとめ 2
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	長谷川 貞之	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					
授業概要	民法典は、権利の主体である「人」が出生から死亡に至るまでの法律関係を権利・義務の観点から規律している。本講義では、民法典の第1編総則（民法1条―174条）を中心に、民法の基本原理（意思の自律と私的自治の原則、私法の3大原則など）、を理解したうえで、民法典の規定に即して、権利の主体（人）、権利の客体（物）、法律行為（意思表示・契約・代理など）、条件・期限・期間、および時効制度について学ぶ。				
授業目的・到達目標	本講義では、民法の全体構造を体系的に理解するとともに、民法典が規律する規範構造とそれを支える基本原則を習得し、今後学んで行くことになる民法の他の領域（物権・債権や親族・相続）、その他の法律科目群への展開が図れる基礎学力を身につけることを目標とする。民法総則は、民法典の第1編総則（民法1条―174条）の規定を中心に、私法の原論や民法概論を含み、幅広い領域を対象とする学問領域であるので、本講義を受講することによりこれらの関連性についても理解が深まる。				
履修条件	1年次および2年次以降の学生を対象とする。学習効果を上げるために、憲法・刑法を学んでいることが望ましい。				
授業方法	教科書に即して講義形式で行う。適宜、ソクラテスメソッド（問答方法）を用いる。基本判例を紹介しながら、具体的な設例を挙げて、理解を深めて行く。考える授業が本講義のモットーである。六法は必携である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	授業等で学んだ基本的な事項および裁判例について、論文試験により基礎学力を判定し評価する。受講者数によっては、授業内試験に切り替えることもある。	
	平常評価		20%	授業態度、課題の取組み、予習・復習などを評価の対象として考慮する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	有斐閣		民法Ⅰ――総則〔第4版〕＜有斐閣Sシリーズ＞	山田卓生ほか
	備考				
参考書	椿寿夫=中舎寛樹編『解説 新・条文にない民法』（日本評論社、2011年）、松本恒雄・潮見佳男編『判例ブラクティスⅠ』（信山社、2013年）ほか。このほか、授業中に、適宜指示する。				
オフィスアワー	木曜日・12時30分～50分、研究室（4号館4階443）。事前にアポイントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	民法典は、権利の主体である「人」が出生から死亡に至るまでの法律関係を権利・義務の観点から規律している。民法典を手に取り、ポイントとなる規定を押さえながら人の一生を概観してみよう。あわせて教科書を2・3回ほど通読する。
	授業内容	ガイダンス：民法総則を学ぶ意義 序論・民法と市民生活、人の一生と法
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
2	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、近代私法の諸原則――法律行為自由・所有権絶対・過失責任の各原則、および法的人格の平等――を把握しておく。
	授業内容	民法とは何か―民法の基本原則、民法典の制定とパンデクテン体系
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

3	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、権利の主体である「人」（自然人）とは何か。人は出生から死亡に至るまでどのような法的地位を有するのかを、民法典の規定に即して把握しておこう。
	授業内容	権利の主体①：権利能力・意思能力・制限能力
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
4	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、人が活動する生活の本拠「住所」とは何か、人が行方不明になった場合の取扱いなどについて把握しておこう。
	授業内容	権利の主体②：住所・失踪宣告、同時死亡の推定
	事後学習	授業の成果を教科書および配布プリントを参考に、整理してまとめる。
5	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、未成年者や事理弁識能力が欠如する者について、民法上、どのような処遇がなされるのかを、民法典の規定に即して把握しておこう。
	授業内容	権利の主体④：未成年者、事理弁識能力が欠如する者と制限行為能力者制度
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
6	事前学習	教科書を熟読し、自然人以外で権利能力の帰属主体となりうる法人について、公益・営利の観点から分類するとともに、法人制度の意義・内容について、その概要を理解しておこう。
	授業内容	法人制度：意義・種類、新しい法人制度の概略・仕組み
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
7	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、権利の客体である「物」について、不動産・動産の観点から把握する。民法典には、不動産・動産と並んで、定着物・従物・付合物・付加物や果実などの分類もあるので、相互の関係に注意が必要である。
	授業内容	権利の客体①：物の分類・種類、不動産と動産、土地の定着物と従物・付合物・付加物の区別
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
8	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、物理的に触知しえない物（無体物）について、民法典はどのような取扱いをしているかを把握しておく。あわせて、無体物に対する権利にはどのようなものがあるか、これについても調べておこう。
	授業内容	権利の客体②：無体物と知的財産権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
9	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思に基づく権利・義務の変動原因である「法律行為」の概念を調べておく。法律行為が無効とされる場合とは、どのような場合か。
	授業内容	法律行為制度①：法律行為の意義、任意法規と強行法規
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
10	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思に基づく権利・義務の変動原因である「法律行為」の概念を調べておく。法律行為が無効とされる場合とは、どのような場合か。
	授業内容	法律行為制度②：公序良俗違反、法律行為とその解釈など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
11	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思と意思表示、契約、法律行為との関係を、民法典の規定に即して把握する。
	授業内容	意思表示①：意思表示の意義、意思主義と表示主義
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
12	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思と意思表示、契約、法律行為との関係を、民法典の規定に即して把握する。
	授業内容	意思表示②：心裡留保と通謀虚偽表示、錯誤
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
13	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思と意思表示、契約、法律行為との関係を、民法典の規定に即して把握する。
	授業内容	意思表示③：錯誤
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
14	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思と意思表示、契約、法律行為との関係を、民法典の規定に即して把握する。併せて、消費者関連基本三法の1つである消費者契約法についても調べておく。
	授業内容	意思表示④：詐欺・強迫、消費者契約法と悪徳商法
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

15	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、意思と意思表示、契約、法律行為との関係を、民法典の規定に即して把握する。併せて、法律行為が無効・取消しとなった場合の効果と第三者との関係を検討する。
	授業内容	法律行為の瑕疵と第三者の保護、善意者保護制度
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
16	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、代理制度の意義について理解を深める。
	授業内容	代理①：代理の意義、代理の種類と類似する他の制度（委任、間接代理、信託など）、代理の要件・効果
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
17	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、代理権が濫用された場合の本人保護と相手方の関係について検討する。
	授業内容	代理②：代理権の濫用、利益相反行為と自己契約・双方代理
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
18	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、適法かつ有効な有権代理と無権代理、および表見代理との関係について検討する。
	授業内容	代理③：無見代理と表見代理、表見代理の3類型と相互の関係
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
19	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、代理をめぐる解釈上の諸問題につて検討する。
	授業内容	代理④：代理をめぐる解釈上の諸問題
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
20	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、法律行為が無効・取消しとなった場合の効果と第三者との関係を検討する。
	授業内容	無効・取消し：意義・効果、取消しの遡及効と第三者の保護
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
21	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、無効行為の転換とはどのようなことをいうのか、無効行為の転換によって無効な法律行為が一定の要件のもとに有効とされる場合があるかを、検討する。
	授業内容	無効行為の転換、その他
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
22	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、法律行為の効力発生要件である条件・期限、および期間について検討する。
	授業内容	条件・期限、期間
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
23	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、時効制度について調べてみよう。なぜこのような制度が必要とされるのか、時効制度の存在理由はどこにあるのか。
	授業内容	時効①：時効の意義、時効制度の存在理由、時効の援用と時効利益の放棄、
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
24	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、時効と類似する除斥期間などの制度を調べ、違いを検討してみよう。
	授業内容	時効②：時効と類似する他の制度
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
25	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、取得時効について理解を深める。
	授業内容	時効③：取得時効の意義、要件・効果
	事後学習	授業の成果を教科書および配布プリントを参考に、整理してまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
26	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、取得時効と関連する即時取得について、理解を深める。
	授業内容	時効④：取得時効と即時取得
	事後学習	授業の成果を教科書および配布プリントを参考に、整理してまとめる。

27	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、消滅時効について理解を深める。
	授業内容	時効③：消滅時効の意義、要件・効果
	事後学習	授業の成果を教科書および配布プリントを参考に、整理してまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
28	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、時効制度の問題点などを検討する。
	授業内容	時効④：時効制度と民法改正
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
29	事前学習	教科書を熟読し、民法典を取り巻く現代社会を読み説く。民法の世界は、どのよう見えるか。
	授業内容	一般条項と民法典——公共の福祉、信義則、権利の濫用 民法典を取り巻く私法と現代社会
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
30	事前学習	教科書のページの余白に記載してある★印（重要度に応じて3段階）に注意して教科書を通読し、重要な論点を確認する。
	授業内容	総括と質疑応答／授業内試験
	事後学習	これまでの授業内容を、教科書および配布プリントを参考に総括し、まとめる。 「課題と質問」を整理する。

科目名	民法Ⅰ（民法総則）【法職課程】	担当者	藤村 和夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	-----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	民法総則は、民法財産法の基礎・根幹をなす領域であり、総則の理解なくしては、財産法は勿論、家族法の理解も叶わない。総則であるがゆえに抽象的な内容が少なくないが、民法典の規定に沿い、判例および通説的な見解を中心に、なるべく具体的な事例を交えながら総則全体を俯瞰する。					
授業目的・到達目標	民法総則の全体像を把握し、民法の他の分野とどのように関わっているのかを理解することを目指す。民法総則の全体像を把握し、民法の他の分野とどのように関わっているのかをおよそ理解できるようにする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義中心となるが、適宜、質疑も交え、受講生の理解度を確認しながら講義を進める。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業で学んだことがどの程度理解できているかをみて評価する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018年	信山社		民法総則		藤村和夫
	備考					
参考書	必要があれば、授業中に示す。					
オフィスアワー	木曜日16時30分～17時30分					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書～18頁を読んでおく（以下、同様）
	授業内容	授業の進め方の説明、基本的事項（1）
	事後学習	民法とは、およそどういうものであるかに思いを致してみる
2	事前学習	18頁～23頁
	授業内容	基本的事項（2）
	事後学習	近代私法の三大原則および民法上の基本原則とはどういうものかを理解する

3	事前学習	25頁～30頁
	授業内容	権利主体としての自然人
	事後学習	権利能力についての理解
4	事前学習	30頁～39頁
	授業内容	権利能力、制限行為能力者（1）
	事後学習	制限行為能力者についての理解
5	事前学習	39頁～45頁
	授業内容	制限行為能力者（2）
	事後学習	制限行為能力者の種類とその違いを理解
6	事前学習	45頁～54頁
	授業内容	制限行為能力者（3）
	事後学習	任意後見制度等についての理解
7	事前学習	54頁～61頁
	授業内容	制限行為能力者の相手方の保護
	事後学習	制限行為能力者の相手方の保護についての理解
8	事前学習	61頁～70頁
	授業内容	失踪宣告、住所
	事後学習	失踪宣告についての理解
9	事前学習	71頁～75頁
	授業内容	権利の客体としての物
	事後学習	権利の客体にはどのようなものがあるか
10	事前学習	77頁～85頁
	授業内容	法律行為一般
	事後学習	法律行為の意義を確認する
11	事前学習	86頁～92頁
	授業内容	意思表示（1）
	事後学習	意思表示とはどのようなものかの理解
12	事前学習	92頁～110頁
	授業内容	意思表示（2）
	事後学習	虚偽表示についての理解
13	事前学習	110頁～120頁
	授業内容	意思表示（3）
	事後学習	錯誤についての理解
14	事前学習	121頁～132頁
	授業内容	意思表示（4）
	事後学習	瑕疵ある意思表示についての理解

15	事前学習	132頁～139頁
	授業内容	意思表示（５）
	事後学習	消費者契約法ではどのような規制があるのかを理解する
16	事前学習	139頁～143頁
	授業内容	代理総説
	事後学習	代理の意義と法的構成についての理解
17	事前学習	143頁～154頁
	授業内容	代理権
	事後学習	代理権を巡る基礎的な理解
18	事前学習	154頁～158頁
	授業内容	代理行為（１）
	事後学習	代理権の濫用と消滅についての理解
19	事前学習	158頁～164頁
	授業内容	代理行為（２）
	事後学習	代理行為についての理解
20	事前学習	164頁～174頁
	授業内容	無権代理と表見代理
	事後学習	無権代理と表見代理の意義についての理解
21	事前学習	175頁～192頁
	授業内容	狭義の無権代理
	事後学習	無権代理人の責任等についての理解
22	事前学習	192頁～206頁
	授業内容	無効および取消
	事後学習	無効と取消の意義と効果についての理解
23	事前学習	206頁～216頁
	授業内容	条件および期限
	事後学習	条件と期限の意義と効力についての理解
24	事前学習	217頁～222頁
	授業内容	期間、時効総説
	事後学習	期間の意義と時効制度の存在理由についての理解
25	事前学習	223頁～242頁
	授業内容	時効（１）
	事後学習	取得時効についての理解
26	事前学習	242頁～260頁
	授業内容	時効（２）
	事後学習	債権および債権以外の消滅時効についての理解

27	事前学習	260頁～279頁
	授業内容	時効（3）
	事後学習	消滅時効類似の制度と時効中断についての理解
28	事前学習	279頁～302頁
	授業内容	時効（4）
	事後学習	時効の援用と時効利益の放棄についての理解
29	事前学習	303頁～338頁
	授業内容	権利主体としての法人（1）
	事後学習	法人の意義と種類、法人の設立についての理解
30	事前学習	338頁～356頁
	授業内容	権利主体としての法人（2）
	事後学習	法人の能力等についての理解

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	山口 齊昭	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法のうち第1編総則の部分を中心に解説するが、民法において最初に学ぶべき科目であるため、総則に限らず総論や基本的考え方、民法における「ものの見方」を取り扱う。なお、平成29年5月26日に民法の一部が改正され、平成32年4月1日から施行されることになっている。本授業では、現行法及び現行法を前提に作られてきた議論や判例をまず取り扱い、その上で、新法ではどのような改正がなされたかを取り扱うことにする。				
授業目的・到達目標	民法の基本的考え方と、民法総則の基本的論点を、講義、および、受講者への問いかけ等により理解し、考えていく。民法の初修者も受講するであろうから、具体的な事例、最新の判例等も取り上げ、理論や実務における民法の使われ方や「考え方」自体を理解できるよう、工夫を試みたい。民法、および、法の基本的な概念や思考方法を身につけることを目標とする。				
履修条件	受講する以上は、意欲と主体性を持って取り組むこと。私語をしない、教科書および六法を持参するなどは当然である。なお、総則部分は民法の中でも最も抽象度が高いため、常に考えながら取り組むことが重要である。				
授業方法	受講者の人数によるが、適宜受講者への問いかけ、議論等を行い、時間的余裕があれば事例研究・問題演習も行いたい。なお、下記「授業区分」は予定であるため、変更の可能性がある。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	基本的な用語や概念についての理解、および、事案解決についての考え方、論点の理解について判定する。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	中央経済社		民法総則講義（第5版）	山川一陽
	備考	上記第5版は現行法準拠のものであり改正法には未対応のため、改正法部分は授業内で補足する。			
参考書	最新の文献を含め、適宜授業内で紹介する。				
オフィスアワー	授業終了後、質問等を受付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	六法の目次部分を見ておくこと
	授業内容	ガイダンス、民法について、民法の勉強法
	事後学習	自らに合う民法の概説書を見つけ、目を通しておくことよい
2	事前学習	教科書12頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	民法および民法解釈論について
	事後学習	他の分野との比較をして自ら考えること

3	事前学習	教科書24頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	民法の基本原則
	事後学習	基本概念、考え方を確認しておくこと
4	事前学習	教科書34頁あたりまでに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	権利の主体・行為能力
	事後学習	基本概念、考え方を確認しておくこと
5	事前学習	教科書47～66頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	制限能力者制度
	事後学習	制度の内容をまとめておくこと
6	事前学習	教科書69頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	制限能力者の相手方の保護
	事後学習	制度の内容だけでなく趣旨について確認すること
7	事前学習	教科書72頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	任意後見制度等について目を通しておくこと
	事後学習	民法の周辺制度について確認すること
8	事前学習	教科書34～47頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	失踪宣告・同時死亡の推定
	事後学習	制度趣旨や用語について確認すること
9	事前学習	教科書139～156に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	法律行為総説（その1）
	事後学習	基本的概念・考え方を確認すること
10	事前学習	教科書165頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	法律行為総説（その2）
	事後学習	基本的概念・考え方を確認すること
11	事前学習	教科書186頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	意思の欠缺
	事後学習	各制度の内容につき確認すること
12	事前学習	教科書200頁までに目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	瑕疵ある意思表示
	事後学習	各制度の内容につき確認すること
13	事前学習	教科書165～200頁における該当箇所に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	意思表示と第三者（その1）
	事後学習	制度の趣旨について考え、その適用の意味について考えること
14	事前学習	教科書165～200頁における該当箇所に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	意思表示と第三者（その2）
	事後学習	複数の制度を理解し横断的理解をすること

15	事前学習	教科書165～200頁における該当箇所に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	意思表示に関するその他の問題、効力発生時期等
	事後学習	意思表示の制度を整理すること
16	事前学習	教科書201～216頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	代理（総論）
	事後学習	制度の仕組み、趣旨、考え方について確認すること
17	事前学習	教科書222～232頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	表見代理
	事後学習	制度の仕組み、趣旨、考え方について確認すること
18	事前学習	教科書234～240頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	無権代理
	事後学習	制度の仕組み、趣旨、考え方について確認すること
19	事前学習	教科書240～241頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	無権代理と相続
	事後学習	さまざまな事例を整理し、再度考えること
20	事前学習	教科書201～241頁における該当箇所に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	代理権の濫用、第三者との関係ほか
	事後学習	趣旨から適用を考える手法について理解すること。
21	事前学習	教科書73～101頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	法人制度
	事後学習	制度の概要を整理すること
22	事前学習	教科書101～118頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	法人の権利能力・行為能力
	事後学習	議論がなせ生じるのかを振り返りつつ各事例を整理すること
23	事前学習	教科書119～137頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	物
	事後学習	基本概念を確認・整理すること
24	事前学習	教科書243～259頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること。また、改正法にも目を通しておくこと
	授業内容	無効と取消
	事後学習	これまでの学修の復習を兼ねて基本概念の確認をしておくこと。 改正法についても確認しておくこと。
25	事前学習	教科書261～275頁 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	条件・期限・期間の数え方
	事後学習	条文理解を正確にしておくこと
26	事前学習	教科書281～287頁、教科書304～323頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること。また、改正法にも目を通しておくこと
	授業内容	時効総説
	事後学習	制度の趣旨と仕組みについて確認すること。 改正法についても確認しておくこと。

27	事前学習	教科書287～303頁に目を通しておくこと 関連する条文を探して目を通し、理解を試みること
	授業内容	取得時効・消滅時効
	事後学習	制度内容について確認しておくこと。 改正法についても確認しておくこと
28	事前学習	改正法の条文に目を通しておくこと
	授業内容	改正法について
	事後学習	現行法との比較をし、なぜ改正がなされたかを考えること。
29	事前学習	改正法の条文に目を通しておくこと
	授業内容	改正法について（その2）
	事後学習	現行法との比較をし、なぜ改正がなされたかを考えること。
30	事前学習	これまでの学修を振り返っておくこと。
	授業内容	問題演習
	事後学習	問題の出来不出来を確認し、できなかったところを再度確認すること。

科目名	民法Ⅰ（民法総則）	担当者	益井 公司	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目（ただし公共経済学科は選択科目）		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法総則の各制度のついて、判例・通説を中心に概説する。初めて民法を学ぶことになるので、レジュメを配って授業をわかりやすく進めていく予定である。授業計画の予習の部分では、あらかじめ教科書の該当部分を読んでもくることが予定されている。授業内容の部分は項目だけを書いてあるが、復習する部分で学ぶべき重要な個所を示しているのので、それを参考にしていただきたい。				
授業目的・到達目標	民法の総則の部分につき、通説・判例を中心として各制度の意味・機能を概説する。その際、なぜそうした判例・学説が主張されることになったのかを示すことにより、受講者各人が自分で各制度が持つ意味・機能をより深く理解できる基礎力をつけることを授業の目的としている。民法総則に関する各制度の概要を理解するとともに、判例・学説がなぜそのような議論をしているのか、なぜある学説が通説となっているのかの理由を各自が自分自身で納得できるようになることを到達目標としている。				
履修条件	授業に必ず出席し、その際、必ず六法を持参すること。				
授業方法	講義形式で進めるが、必要に応じて資料を配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		90%	論文試験により評価する。	
	平常評価		10%	授業に際しては、時々質問をすることにしており、それに的確に答えたとか、よい質問をした者には加点することを予定している。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2014年	中央経済社	民法総則講義（第5版）		山川一陽
	備考	民法総則の法律行為の一部、消滅時効の部分など改正がなされており、教科書の改訂が間に合わない場合は、それらについてはプリント等において補う予定にしている。			
参考書	必要に応じて授業の際に指示する。				
オフィスアワー	火曜日の12時20分より13時20分までの時間帯でオフィスアワーを行う。もっとも2部の学生はこの時間に来ることはできないであろうから、講義の終わりに、どの時間が大丈夫か相談していただきたい。9号館 9407研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第一回目なので事前の予習は必要ないが、六法を持参すること。
	授業内容	学習の仕方を中心とした講義のガイダンス（本を読む際には、なぜこうした制度が必要とされているのか、なぜ学説や判例はわかれているのかを考えるとともに、具体的なケースを想定しながらなぜそうした解決がなされているのかを理解すること）。
	事後学習	民法の学習の仕方を中心に、法律の学習の仕方、六法の使い方などを説明し、レジュメも配布するので、それをもう一度よく読んでいただきたい。
2	事前学習	民法とはなにかから始まって権利の濫用・信義誠実の原則等に至るまでの部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	民法とは何か、民法の基本原則とその修正（権利の乱用、審議誠実の原則）、法律行為の概略
	事後学習	大判昭和10年10月5日民衆14巻1965頁（宇奈月温泉事件）、最判平成14年3月28日民衆56巻3号662頁（信義則）を検討すること。

3	事前学習	権利能力、意思能力の部分であらかじめ読んでおくこと。
	授業内容	1 権利の主体 ①自然人 権利能力 意思能力
	事後学習	大判昭和7年10月6日民衆11巻2023頁（胎児の権利能力）、大判明治38年5月11日民録11輯706頁（意思能力のないものの行為）、最判昭和61年6月11日民衆40巻4号872頁（人格権）について検討すること。
4	事前学習	住所 失踪宣告 同時死亡の推定について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	住所 不在者の財産管理および失踪宣告 同時死亡の推定
	事後学習	失踪宣告が取り消された場合の効果につき財産行為の場合と身分行為の場合に分け善意・悪意によって違ってくるのかなど学説を整理しておくこと。
5	事前学習	意思能力と行為能力の関係について考えること。行為能力の制限と成年後見制度、未成年者の部分を読んでおくこと。
	授業内容	制限行為能力者制度 その1（意思能力と行為能力、行為能力と成年後見制度、未成年者、成年被後見人）
	事後学習	成年年齢を変えようとの議論があるので、どう考えるべきかを各人で考えてもらいたい。
6	事前学習	被保佐人、被補助人、任意後見制度、制限行為能力者と取引をした者の保護の部分を読んでおくこと。
	授業内容	その2（被保佐人、被補助人、任意後見制度、制限行為能力者と取引をした者の保護）
	事後学習	最判昭和44年2月13日民衆23巻2号291頁（制限行為能力者であることの黙秘は詐術になるか）を検討しておくこと。
7	事前学習	法人の社会的意義、法人の種類、法人制度の改革、法人の設立、法人の能力の部分について読んでおくこと。
	授業内容	②法人 その1（法人の社会的意義、法人の種類、法人制度の改革、法人の設立、法人の能力）
	事後学習	最判昭和41年4月26日民集20巻4号849頁（協同組合の院外貸付）、最大判昭和45年6月24日民集24巻6号625頁（会社の政治献金）、最判平成8年3月19日民集50巻3号615頁（税理士会の政治献金）、最判平成14年4月25日判時1785号31ページ（司法書士会の政治献金）について検討すること。
8	事前学習	権利能力泣き社団、法人の組織の部分を読んでおくこと。
	授業内容	その2（権利能力なき社団、法人の組織）
	事後学習	最判昭和39年10月15日民集18巻8号1671頁（権利能力なき社団の成立要件）、最判昭和48年10月9日民集27巻9号1129頁（権利能力なき社団の取引上の債務）を検討すること。さらに時間があれば、山田誠一「権利能力なき社団」法学教室193号を読んで勉強すること。
9	事前学習	物の初めの部分を教科書で確認し、読んでおくこと。
	授業内容	2 権利の客体 その1（物の意義[有体物、支配可能性、非人格性≪肢体、臓器など≫、独立性・特定性）
	事後学習	レジュメに挙げておいた判例等についても再度検討すること。
10	事前学習	動産と不動産、主物と従物について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	その2（動産と不動産、主物と従物）
	事後学習	大判大13年10月7日民集3巻476頁（一筆の土地の一部の取引）大判昭和10年10月1日民集14巻1671頁（建築中の建物）、最判平成2年4月19日判時1354号80頁（従物の例）について検討しておくこと。
11	事前学習	法律行為の意義、法律行為の解釈に関する教科書の部分を読んでおくこと。
	授業内容	3 法律行為の意義 法律行為とその解釈
	事後学習	最判昭和62年2月20日民集41巻1号159頁（法律行為の解釈と任意規定）、最判昭和58年3月18日判時1076号116頁（遺言の解釈）について検討すること。
12	事前学習	教科書の心裡留保、痛棒虚偽表示に関する部分を読んでくること。
	授業内容	意思表示の構造 ①心裡留保 ②通謀虚偽表示 94条2項の類推適用
	事後学習	代理権の濫用に93条の類推適用により問題を処理していたが、民法改正により立法的な解決がなされていることを確認すること。最判昭和45年9月22日民衆24巻10号1424頁（民法94条2項の類推適用）、最判平成18年2月23日民衆60巻2号546頁（民法94条2項・110条の類推適用）について検討すること。
13	事前学習	教科書の錯誤の部分を読んでおくこと。
	授業内容	③錯誤、錯誤と瑕疵担保責任、錯誤と事情変更の原則
	事後学習	最判平成元年9月14日判時1336号93頁を検討すること。民法改正により、錯誤に効果はは無効ではなく、取り消しになっていることに注意が必要です。動機の錯誤や不実表示の問題等について検討すること。
14	事前学習	教科書の詐欺・強迫の部分を読んでおくこと。
	授業内容	④詐欺・強迫、消費者契約法による規律、意思表示の効力発生時期
	事後学習	最判昭和49年9月26日民集28巻6号1213頁（詐欺における善意の第三者の登記の必要性）、取消しと登記に関する問題を講義の中でまとめておくのでそれをもう一度よく検討しておくこと。

15	事前学習	公序良俗違反、取締法規違反について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	⑤公序良俗違反、取締法規違反、同期の不法
	事後学習	最判昭和35年3月18日民集14巻4号483頁（取締法規違反の効力）、最判昭和61年11月20日民集40巻7号1167頁（不倫な関係にある女性に対する包括遺贈）、最判昭和61年11月20日判時1220号61頁（ホステスの保証）について検討すること。
16	事前学習	代理の意義と存在理由、代理の法的構造について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	代理 ①代理の意義、代理の法的構造（①代理の基本構造、②代理と類似する制度、③代理の種類）、本人と代理人の関係（代理権授与行為）
	事後学習	使者と代理に関し、大判昭和9年5月4日民集13巻633頁（使者とし95条により処理）と大判昭和2年3月23日新聞2677号7頁（表見代理（110条）により処理）とを比べてみよ。代理権授与行為の法的性質をどのように考えるべきかを検討せよ。
17	事前学習	代理人の義務、代理権の濫用 代理権の範囲 自己契約・双方代理・復代理 代理行為（代理行為の成立要件、代理行為の有効要件、代理行為の効果）に関する教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	②代理人の義務、代理権の濫用 代理権の範囲 自己契約・双方代理・復代理 ③代理行為（代理行為の成立要件、代理行為の有効要件、代理行為の効果）
	事後学習	108条の拡張と縮小に関し、大判昭和7年6月6日民集11巻1115頁、大判昭和14年3月18日民集18巻183頁を検討せよ。また法定代理についての代理権濫用につき最判平成4年12月10日民集46巻9号2727頁も検討せよ。
18	事前学習	表見代理制度の意義、代理権授与の表示による表見代理について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	④表見代理 その1（表見代理制度の意義、代理権授与の表示による表見代理）
	事後学習	白紙委任状の問題につき、最判昭和42年11月10日民集21巻9号2417頁および最判昭和39年5月23日民集18巻4号621頁を検討せよ。
19	事前学習	権限外の行為の表見代理、代理権消滅後の表見代理、109条と110条及び110条と112条の重畳適用に関する教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	その2（権限外の行為の表見代理、代理権消滅後の表見代理、109条と110条及び110条と112条の重畳適用）
	事後学習	最判昭和35年2月19日民集14巻2号250頁（事実行為）、最判昭和51年6月21日民集30巻6号665頁（民法110条の正当理由）、最判昭和60年11月29日民集7号1760頁（代表理事の代表権の制限と民法110条）、最判昭和44年12月18日民集23巻12号2476頁（日常家事債務）、最判昭和45年7月28日民集24巻7号1203頁（109条と110条の重畳適用）を検討。
20	事前学習	教科書の狭義の無権代理の部分を読んでおくこと。
	授業内容	⑤狭義の無権代理 その1（無権代理の一般的効力、無権代理人の責任、表見代理と狭義の無権代理の関係）
	事後学習	最判昭和62年7月7日民集41巻5号1133頁（無権代理人の責任）を検討すること。
21	事前学習	教科書の無権代理と相続の箇所を読んでおくこと。
	授業内容	その2（無権代理と相続など）
	事後学習	最判平成5年1月21日民集47巻1号265頁（無権代理人の本人相続）、最判昭和37年4月20日民集16巻4号955頁（本人の無権代理人相続）、最判昭和48年7月3日民集27巻7号751頁、最判平成10年7月17日民集52巻5号1296頁を検討せよ。
22	事前学習	教科書の無効・取消しの部分を読んでおくこと。
	授業内容	無効・取消 その1（無効と取消しの違い、二重効の問題、無効行為の基本的効果、一部無効、無効行為の転換、無効行為の追認）
	事後学習	最判昭和53年2月24日民集32巻1号110頁（無効行為の転換を肯定）、最判昭和56年6月16日民集35巻4号791頁（養子縁組への転換を否定）
23	事前学習	教科書の取消しの部分を読んでおくこと。
	授業内容	その2（取消しの意義、取消権者、取消しの方法、取消しの基本的効果、土地消すことのできる行為の有効確定（追認、法定追認）、取消権の消滅）
	事後学習	現存利益について、大判昭和7年10月26日民集11巻1920頁、最判昭和50年6月27日金融商事判例485号20頁の判例を検討せよ。
24	事前学習	条件・期限・期間に関する教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	条件・期限・期間
	事後学習	最判平成6年5月31日民集48巻4号1029頁（故意の条件成就）、期限の利益の喪失条項と相殺について検討しておくこと。
25	事前学習	時効の存在理由、時効の障害（中断と停止（改正法により猶予に変更））時効の援用と時効利益の放棄について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	時効 ①その意義 ②時効の通則（時効の存在理由、時効の障害（中断と停止（改正法により完成猶予と更新））時効の援用と時効利益の放棄）
	事後学習	最判昭和61年3月17日民集40巻2号420頁（時効援用の効果）、最判昭和41年4月20日民集30巻4号702頁（時効完成後の債務の承認）を検討すること。
26	事前学習	教科書の取得時効の認められる権利、取得時効の要件の部分を読んでおくこと。
	授業内容	③取得時効 その1（取得時効の認められる権利、取得時効の要件）
	事後学習	最判昭和45年12月15日民集24巻13号2051頁・最判昭和62年6月5日判時1260号7頁（貸借権の時効取得）、最判平成8年11月12日民集50巻10号2591頁（相続は新たな権原か）、さいh

27	事前学習	教科書の取得時効の要件と効果の部分を読んでおくこと。
	授業内容	その2（取得時効の要件と効果）自己の物でも時効取得することができるか、物の一部はどうか、占有の承継と善意・無過失の判断辞典、期間計算の起算点、時効と登記
	事後学習	最判昭和42年7月21日民集21巻6号1643頁（自己の物の取得時効）、最判53年3月6日民集32巻2号135頁（前主の無過失と10年の取得時効）、最判昭和46年11月5日民集25巻8号1087頁（取得時効と登記）につき検討しておくこと。しょうm
28	事前学習	教科書の消滅時効の部分をおあらかじめ読んでおくこと。
	授業内容	④消滅時効（消滅時効の適用範囲、消滅時効の要件と効果）、短期消滅時効がなくなるなど消滅時効は大きく変わっているのて改正法の内容を説明したい。
	事後学習	最判平成6年2月22日民集48巻2号441頁（消滅時効の起算点）について検討すること。
29	事前学習	除斥期間、権利失効の原則について図書館で調べてみること。
	授業内容	⑤時効と類似する制度（除斥期間、権利失効の原則）除斥期間と消滅時効の違い。形成権行使の結果請求権が生じる場合のどのように処理するか。
	事後学習	最判平成10年6月12日民集52巻4号1087頁（除斥期間に158条を類推適用）、最判平成元年12月21日民集43巻12号2209頁（724条の20年は除斥期間）、2段階権利行使の場合前段の形成権行使は除斥期間、公団の請求権は消滅時効（大判大正7年4月13日民録24輯669頁・最判平成4年10月20日民集46巻7号1129頁）を検討せよ。
30	事前学習	これまで学んできたことを再度学習し、わからないことがないか自分で検討しておくこと。
	授業内容	まとめと質問受付（事前学習をした結果わからないことがあった場合質問を受け付け、それにこたえとともに、法律の答案の書き方等について説明する）
	事後学習	質問の回答を受け、自分のノートを整理するなど、これまで学習したことを文章に表わすことができるかやってみること。

科目名	民法Ⅱ（物権法）	担当者	加藤 雅之	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	民法総則に関する理解を前提に、民法典第２編「物権」１７５条から２９４条までについて学ぶ。もともと、民法の規定は相互に関係しているため、必要に応じて対象範囲以外の規定および特別法についても学ぶ。					
授業目的・到達目標	（１）対象範囲に関する基本用語および概念を理解し、適切に用いることができる。 （２）対象範囲における諸制度・諸規定について、そのような制度・規定が設けられた趣旨を理解し、説明できる。 （３）解釈上の問題について、基本的な最上級審の立場（判例）を理解し、説明できる。 （４）対象範囲に関する単純な事例について、法律の規定に基づいて論理的に解答できる。					
履修条件	最新版の六法を持参すること。					
授業方法	講義形式による。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	論述式試験により、到達目標に達しているかを判定する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	２００５年	有斐閣		物権 エッセンシャル民法２		永田眞三郎ほか
	備考					
参考書	必要に応じて講義中に紹介する。					
オフィスアワー	火曜日１６：２０～１７：００、研究室で講義内容について質問を受け付ける。事前にアポイントをとること。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	民法総則の内容を再確認し、教科書の目次を概観しておくこと。
	授業内容	物権法概論：民法における物権法の位置づけ
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
2	事前学習	講義資料を参考に、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	物権の意義、効力
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

3	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	所有権の意義
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
4	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	所有権に基づく物権的請求権
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
5	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	所有権の取得
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
6	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	共同所有
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
7	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	共同所有
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
8	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	物権変動概説
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
9	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	物権変動における意思主義と対抗要件主義
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
10	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動論 登記制度の概要
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
11	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動論 民法１７６条と民法１７７条の関係
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
12	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動論 民法１７７条に関する諸問題
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
13	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	登記請求権
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
14	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	動産物権変動論 動産物権変動の対抗要件
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

15	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	動産物権変動論 即時取得
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
16	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	用益物権
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
17	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	用益物権
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
18	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	占有 占有の意義
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
19	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	占有 占有の効力
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
20	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	小括 物権法に関する基礎的事項のまとめ
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
21	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 物権的請求権と費用負担
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
22	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 不動産物権変動論の理論的検討
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
23	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 不動産物権変動論各論・取消しと登記
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
24	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 不動産物権変動論各論・取得時効と登記
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
25	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 不動産物権変動における対抗法理と公信法理
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
26	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 即時取得に関する事例の検討
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

27	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 動産物権変動における対抗法理と公信法理
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
28	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	論点講義 占有について
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
29	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。
30	事前学習	講義資料を参考にして、教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義資料中の『確認問題』を参考に、講義内容を復習しておくこと。

科目名	民法Ⅱ（物権法）	担当者	根本 晋一	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態			
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
授業概要	民法学における、物権法総論と、物権法各論の一部、すなわち占有権、所有権、用益物権（地上権、永小作権、地役権）について説明をする。					
授業目的・到達目標	民法学における「物権」の体系的な位置付けと、「物権法」領域の内容、即ち、物権法総論・占有権・所有権・用益物権の全体像と理解することを目的とする。これらの理解と修得を前提として「物権法」領域における基本論点の解釈ができるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義形式を採用し、板書事項をしっかりと示す。なお、シラバス（学習計画）は凡その目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	レポート試験を実施しない場合のみ、実施する。		
	平常評価		30%	授業参加度		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業開始後に紹介をする。				
参考書	授業開始後に紹介をする。					
オフィスアワー	水道橋における出講は前期土曜日の午前中のみなので、原則として授業の前後の休み時間に対応をする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンスなど
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
2	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	物権法総論（意義、直接支配性と物権的請求権、排他性と対抗力、債権との相違、債権に対する優先的効力、物権法定主義など）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。

3	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	物権法総論（意義、直接支配性と物権的請求権、排他性と対抗力、債権との相違、債権に対する優先的効力、物権法定主義など）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
4	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	物権法総論（意義、直接支配性と物権的請求権、排他性と対抗力、債権との相違、債権に対する優先的効力、物権法定主義など）③
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
5	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	物権変動総論（物権変動の原因、物権変動意思主義の原則、物権変動公示の原則、対抗関係の意義など）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
6	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	物権変動総論（物権変動の原因、物権変動意思主義の原則、物権変動公示の原則、対抗関係の意義など）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
7	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	物権変動総論（物権変動の原因、物権変動意思主義の原則、物権変動公示の原則、対抗関係の意義など）③
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
8	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
9	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
10	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）③
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
11	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）④
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
12	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）⑤
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
13	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）⑥
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
14	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	不動産物権変動（対抗要件としての登記、登記の意義と効力、公信力の有無、第177条に関する解釈上の諸問題、明認方法など）⑦
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。

15	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	動産物権変動（対抗要件としての「引渡し（占有）」、「引渡し」の意義、即時取得など）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
16	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	動産物権変動（対抗要件としての「引渡し（占有）」、「引渡し」の意義、即時取得など）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
17	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	動産物権変動（対抗要件としての「引渡し（占有）」、「引渡し」の意義、即時取得など）③
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
18	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	占有権（意義と効力、占有訴権、準占有など）
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
19	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	所有権総論（意義と効力、完全物権と制限物権、不動産所有権に関する相隣関係など）
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
20	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	所有権の取得（取得原因、無主物先占、遺失物拾得、埋蔵物発見、附合、混和、加工、など）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
21	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	所有権の取得（取得原因、無主物先占、遺失物拾得、埋蔵物発見、附合、混和、加工、など）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
22	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	共有（共有の意義、共有物の変更と管理、分割、準共有、区分所有法など）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
23	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	共有（共有の意義、共有物の変更と管理、分割、準共有、区分所有法など）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
24	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	共有（共有の意義、共有物の変更と管理、分割、準共有、区分所有法など）③
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
25	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	地上権（意義と効力、区分地上権、不動産賃借権との相違、とくに借地借家法の適用を受ける建物所有を目的とする借地について）①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
26	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	地上権（意義と効力、区分地上権、不動産賃借権との相違、とくに借地借家法の適用を受ける建物所有を目的とする借地について）②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。

27	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	永小作権、地役権、入会権など①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
28	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	永小作権、地役権、入会権など②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
29	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	補遺・調整・まとめ①
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。
30	事前学習	前回授業時の板書をよく読んでおくこと。
	授業内容	補遺・調整・まとめ②
	事後学習	板書事項が多いので、それをしっかりと録取して、よく復習しておくこと。

科目名	民法Ⅱ（物権法）	担当者	益井 公司	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	物権法に関する各制度の内容につき、通説・判例を中心にして概説する。講義内容を十分理解できるためには、事前に該当する教科書の箇所を読んでおく必要がある。さらに、講義後の復習として、講義で扱われた判例をもう一度さらによく読み、自分で考えてみる必要がある。それで、よくわからない場合には、次の講義において質問していただきたい。			
授業目的・到達目標	物権法に関する各制度の持つ意味やそれが果たす機能を理解してもらう。その際、判例・学説を紹介・検討することになるが、なぜそのような判例や学説が主張されることになったのかを示すことにより、各人が自分自身で各制度の持つ意味をより深く理解することができるようになることを講義の目的としている。物権法に関する正確な知識の習得だけでなく、各学説や判例がなぜそのような主張をするのかの理由を十分に把握し、理解したことをうまく文章に表せるようになることを到達目標としている。			
履修条件	講義には必ず出席すること。			
授業方法	講義形式で進めるが、必要に応じて資料を配布する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	論文式試験による。法的構成、理由づけ等に配慮して答案を構成する必要がある。	
	平常評価	10%	授業の際の質問や、私の質問に対する解答等を考慮して、加点する場合がある。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年	日本評論社	物権法講義（第3版）	山川一陽
	備考			
参考書	必要に応じて講義の際に指示する。			
オフィスアワー	火曜日の12時15分より13時15分までの時間帯でオフィスアワーを行う（講義のあとで予約を入れるようにしていただきたい）。9号館 9407研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	民法総則で民法の学習の仕方を習っていたものと思われるので、それをもう一度出して読んでおいていただきたい。以下すべての事前学習では教科書の該当部分を必ず読んできていることが必要であり、そのことは繰り返して書かないで、その際注意すべき点など留意すべきことのみを簡単に指摘しておくことにした。
	授業内容	講義のガイダンス 物権の意義と特質
	事後学習	物権・債権の違い、なぜ両者を峻別しているのか等についてもう一度検討しておくこと。
2	事前学習	物権法定主義にした理由をよく考えながら教科書を読み、慣習法上の物権で物権法定主義に反するものとそうでないものが生じるのはなぜかを考えてみること。
	授業内容	物権の種類 ①物権法定主義 ②慣習法上の物権
	事後学習	譲渡担保が認められる理由について、よく検討すること。

3	事前学習	特定性、独立性を必要とし、一物一権主義をとっている理由を考えてください。そうすれば必然的に集合物についてどうするかということが理解できるはずである。
	授業内容	物権の客体
	事後学習	集合物に関する最判昭和54年2月15日民衆33巻1号5 1 頁、最判昭和6 2 年11月10日民衆41巻6号1559頁をもう一度よく検討すること。
4	事前学習	物権・債権を分けたことの意味が物権の効力を検討することで分かるようになります。物権的請求権がなぜ認められているのかの理由を考えらすが、教科書の該当部分をよく読んでいくことが必要である。
	授業内容	物権の効力 ①優先的効力 ②物権的請求権
	事後学習	物権的請求権の性質、費用負担の問題は重要である。さらには、物権的請求権の相手方は誰になるのかについての最判平成6年2月8日民衆48巻2号373頁の判例を検討しておくこと。
5	事前学習	物権の得喪・変更・喪失が物権変動ですが、それを公示する必要があるのか、公示されているものを信頼して取引した場合どうなるのかを考えること。
	授業内容	物権変動 ①序説 i 物権変動の意義 ii 公示の原則と公信の原則
	事後学習	不動産登記簿はどのようにできているかを見ることによってどのような形で公示されているかを見ること。民法94条2項の類推適用の意味を検討すること、
6	事前学習	フランス法、ドイツ法、日本法の物権変動の法的構造を考えながら教科書を読むこと。日本法の条文をドイツ法がとっているように解釈することもできるが、かなり無理があり、意思主義、対抗要件主義になっていることを理解すること。
	授業内容	②物権変動を生じる法律行為 i 物権行為と債権行為 ii 意思主義と形式主義 iii 物権行為の独自性 iv 無因性
	事後学習	物権行為の独自性を認める意味があるのか否かを検討すること。
7	事前学習	契約時、代金支払い時、登記時のどこで所有権が移転するか考えてみよ。所有権移転時期を議論する実益はどの点にあるのか。
	授業内容	③物権変動の時期
	事後学習	有償性理論で説明することができるのか、さらには段階的所有権移転説（鈴木禄弥）をとることができるか検討せよ。
8	事前学習	物権の特質から公示する必要性が出てくることを考えながら教科書を読むこと。
	授業内容	不動産物権変動における公示 ①序説 ②公示方法としての登記
	事後学習	なぜ公示の原則がとられているのか、公示の原則は徹底しているかを考えてみよ。
9	事前学習	無権利者法理による第三者保護と対抗要件主義による第三者保護の関係を考えよ。さらに、「対抗できない」ということの法的意味について考えること。
	授業内容	②不動産物権変動と対抗 i 対抗とは何か
	事後学習	176条で売買の意思表示だけでAからBに所有権が移転しているのならその時点で、すでにAは無権利者のはずなのに、さらにAがCに所有権を移転しCが先に登記するとなぜCが勝つのはなぜかをどう説明するか。
10	事前学習	不動産売買契約が取り消されたり解除された場合にその不動産が第三者にすでに売られていたとか、取り消し、解除されたのにそのちに第三者に売られた場合の法的処理について考えよ。民法総則でやった取消の問題と関連させながら理解することが必要である。
	授業内容	ii 取消と登記 iii 解除と登記
	事後学習	大審院昭和17年9月30日民衆21巻911頁、最判昭和25年11月29日民衆14巻13号2869頁の判例をよく読むこと。こうした復帰的物権変動説をとるか、遡及的無効説（無権利説）をとるべきか検討せよ。
11	事前学習	①共同相続人の登記の冒用、②相続放棄、③遺産分割協議、④遺贈、死因贈与、さらには、⑤相続させる旨の遺言があった場合のケースなどで登記なくして第三者に対抗できるか否かを検討せよ。
	授業内容	iv 相続と登記
	事後学習	①最判昭和38年2月22日民集17巻1号235頁、②最判昭和42年1月20日民集21巻1号16頁、③最判昭和46年1月26日民集25巻1号90頁、④最判昭和39年3月6日民集18巻3号437頁、⑤最判平成3年4月19日民集45巻4号477頁をよく読んでみること。
12	事前学習	他人Aの不動産を時効取得したBはAに対してだけでなく、Aからの譲り受け人Cに対しても登記なくしてその取得を対抗できるであろうかについて検討せよ。
	授業内容	v 時効と登記
	事後学習	①占有開始時における所有者との関係（最判昭和42年7月21日民集21巻6号1653頁）、②時効完成前の第三取得者との関係（最判昭和41年11月22日民集20巻9号1901頁）、時効完成後の第三取得者との関係（最判昭和33年8月28日民集12巻12号1936頁）、さらには、最判昭和46年11月5日民集25巻8号1087頁の判例についても検討せよ。
13	事前学習	民法177条にいう「第三者」とはいかなる者をいうか。無制限説をとるか、制限説をとるか、不法占有者に新所有者は登記なくして自分が所有者といえるか、また賃借人に対し新所有者は登記なくして賃料を請求できるかなどを考えよ。177条の第三者には悪意者も含まれるか考えよ。
	授業内容	④第三者の範囲 悪意者の問題（背信的悪意者）
	事後学習	①大連判明治41年12月15日民録14輯1276頁（制限説を採用）、②最判昭和25年12月19日民集4巻12号660頁（不法占拠者）、③最判昭和49年3月19日民集28巻2号325頁（賃料請求）、④最判平成18年1月17日民集60巻1号27頁（背信的悪意者）⑤最判平成8年10月29日民集50巻9号2506頁（背信的悪意者からの転得者）の判例につき検討せよ。

14	事前学習	登記の効力と順位について考えよ。対抗力、推定力、公信力について検討せよ。
	授業内容	登記の推定力と公信力（94条2項の類推適用） 仮登記の効力
	事後学習	最判昭和34年1月8日民集13巻1号1頁（登記の推定力）、登記には公信力がないが94条2項の類推適用により公信力があるのに近い運用がなされている。これらのことにつき整理しておくこと。
15	事前学習	登記の申請手続き、登記請求権、登記の有効要件についてみておくこと。特に中間省略登記、登記の流用が重要である。
	授業内容	登記手続 登記請求権、登記の有効要件（中間省略登記、登記の流用）
	事後学習	最判昭和40年9月21日民集19巻6号1560頁（中間省略登記） 最判昭和49年12月24日民集28巻10号2117頁（登記の流用）について検討せよ。この問題については不動産判例百選を参照のこと。
16	事前学習	なぜ明認方法のような対抗要件が必要とされるのかを考えてみること。
	授業内容	明認方法等
	事後学習	最判昭和36年5月4日民集15巻5号1253頁の判例を検討すること。
17	事前学習	動産物権変動における対抗要件である引き渡しは、現実の引き渡し以外に観念的な引き渡しも認められていることに注意する必要がある。
	授業内容	動産物権変動と対抗要件（178条）
	事後学習	間接占有下にある動産の譲渡と「対抗」の関係について、大判大正8年10月16日民録25輯1824頁、最判昭和29年8月31日民集8巻8号が追う1567頁を参考に考えてみよ。
18	事前学習	なぜ即時取得制度が必要とされるのか、その要件効果はどうなっているのかを事前に教科書で確認しておくこと。占有改定でも即時取得は成立するかについてよく見ておくこと。
	授業内容	動産の即時取得
	事後学習	最判昭和35年2月11日民集14巻2号168頁（占有改定と即時取得）、最判平成12年6月27日民集54巻5号1737頁（194条に該当する善意占有者の使用収益権）をよく検討すること。
19	事前学習	混同、目的物の滅失、消滅時効、放棄、公用徴収などについて教科書の該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	物権の消滅
	事後学習	混同の問題・海没した土地の所有権の問題・抵当権についての396条などについて検討すること。
20	事前学習	占有権が成立するための所持と意思についてみておくこと、相続は新たな権限か、占有承継（187条）の問題についてよく読んでおくこと。
	授業内容	占有権 ①占有と占有権 ②占有権の取得
	事後学習	最判昭和58年3月24日民集37巻2号131頁（占有意思）、最判昭和32年2月15日民集11巻2号270頁（法人の代表機関と占有）、最判平成8年11月12日民集50巻10号2591頁（相続と新たな権原）、最判昭和53年3月6日民集32巻2号135頁（前主の無過失と10年の取得時効[占有の承継の問題]）につき検討すること。
21	事前学習	占有訴権（占有訴権の種類、交互侵奪の問題、占有訴権と本権の訴え）、権利の推定機能、占有者と回復者との関係（果実の取得等不当利得との関係）について見ておくこと。
	授業内容	③占有権の効力、占有権の消滅。準占有
	事後学習	大判大13年5月22日民集3巻224頁（交互侵奪の問題）、最判昭和40年3月4日民集19巻2号197頁（占有訴権と反訴による本権の訴え）について検討すること。
22	事前学習	近代的所有権の性質、所有権の内容、所有権行使の制限、土地所有権の及ぶ範囲（土地の上下、地中の鉱物、地下水、海面下の土地）
	授業内容	所有権 ①所有権の意義と性質 ②所有権の内容
	事後学習	大判昭和10年10月5日民集14巻1965頁（宇奈月温泉事件）等権利の濫用事件、最判昭和52年12月12日判時878号65頁・最判昭和61年12月16日判時1221号3頁（海面下の土地）について検討すること。
23	事前学習	隣地通行権や境界付近の工作物に関する相隣関係を中心に教科書の該当部分を、所有権の取得については附合・加工を中心とし他所有権の取得の部分を読んでおくこと。
	授業内容	③相隣関係 ④所有権の取得
	事後学習	最判平成2年11月20日民集44巻8号1037頁・最判平成18年3月16日民集60巻3号735頁（通行券の問題）、最判昭和54年1月25日民集33巻1号26頁（建築途中の建物への第三者の工事と所有権の帰属）、最判平成6年1月25日民集48巻1号18頁（建物が合体した場合、抵当権はどうなるか）の判例を検討すること。
24	事前学習	共有・合有・総有について理解するとともに、共有物の管理、共有物の分割について教科書の該当部分を読んでおくこと。
	授業内容	⑤共有
	事後学習	最判昭和31年5月10日民集10巻5号487頁（共有物の管理）、最判昭和41年5月19日民集20巻5号947頁（共有者相互間の明渡し請求）、最判平成8年10月31日民集50巻9号2563頁（全面的価格賠償を認めた判例）を検討すること。
25	事前学習	いわゆるマンション法に關しての概要を簡単に説明するので、教科書の該当部分は必ず読んでくること。
	授業内容	⑥建物の区分所有（教科書の記述は簡単すぎるのでもう少し詳しく説明する）
	事後学習	この部分については、皆さんにとっても重要となることが考えられるので、区分所有法に関するいくつかの本を紹介するので、さらに勉強したい人はそれを読んでください。

26	事前学習	以下用益物権についての概略を説明し、地上権に入っていく、賃借権の物権化との関係も考えながら、該当箇所を読んでおくこと。
	授業内容	地上権、区分地上権
	事後学習	借地借家法による修正を検討しておくこと。
27	事前学習	小作権の歴史や農地法の制定との関係で永小作権のことを考えるとともに、日本の農政をどうするかということを考えていただきたい。
	授業内容	永小作権
	事後学習	農地法が大きく変わっていることとの関係を考えて、日本の農政がどうあるかを再検討すること。
28	事前学習	地役権とは何かを理解するとともに、地役権の対抗力については、重要な判例がいくつかあるのでそれを読んでおくこと（その一つは爾後学習の欄に示している）。
	授業内容	地役権
	事後学習	最判平成10年2月13日民集52巻1号62頁（未登記地役権の対抗力）について再検討すること。
29	事前学習	入会権の社会的意義、法的性質、入会権の内容、入会権の変動、入会権の近代化事業等について該当部分を読みながら考えること。
	授業内容	入会権
	事後学習	最判昭和48年3月13日民集27巻2号272頁（官地編入によっても入会権は消滅しない）、最判平成6年5月31日民集48巻4号1065頁（入会団体による総有権確認請求権）について検討すること。
30	事前学習	これまで学習したことでよくわからない点について質問できるよう、自分のノート等を整理してみること。
	授業内容	まとめと質問受付（事前学習をした結果わからないことがあった場合質問を受け付け、それにこたえとともに、法律の答案の書き方等について説明する）
	事後学習	質問の回答を基によりさらに自分で考えてみること。

科目名	民法Ⅱ（物権法）	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この講義では、民法の中でも物権法とよばれる分野を学びます。物権は、取っ付きにくい印象を受けるかもしれません。しかし、物権を学ぶということは、社会のなりたちを知ることにはかならず、また考えることの楽しさを知ることができる分野です。具体的な事例をあげ、ゆっくり丁寧に説明をしていきますので、一緒に学んでいきましょう。					
授業目的・到達目標	この講義では、民法の中でも物権法とよばれる分野の基礎的・体系的な理解をしっかりと身につけてもらうことを目的とします。物権法の基本的概念を正確に修得することを到達目標とします。					
履修条件	講義には必ず出席すること、最新の六法を持参すること、わからない法律用語がでてきたら、面倒がらずに調べること					
授業方法	レジュメを配布し、講義形式で進めていきます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	物権法の基礎知識が身についているかを判定します。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2013	一学舎		ロードマップ民法②－物権－		小川富之・矢田尚子編
	備考					
参考書	法令用語研究会編『有斐閣法律用語辞典(第4版)』（有斐閣・2012）					
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館 7 F 1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、目次に目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス（条文の読み方、法律用語の確認） （※六法を持参すること）
	事後学習	レジュメを復習しておくこと
2	事前学習	事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権制度と物権の権能
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること

3	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 民法総則のテキストの該当箇所（物）を読んで行くこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	物権の意義、物権の対象
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
4	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権の効力
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
5	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	物権的請求権
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
6	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権変動① 総説
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
7	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	物権変動② 物権変動を生じる法律行為
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
8	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権変動③ 物権変動の時期
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
9	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動① 登記の意義、機能
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
10	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動② 登記の効力
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
11	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動③ 二重譲渡の法的構成（対抗要件主義など）
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
12	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 民法総則のテキストの該当箇所（法律行為、取り消し・無効）を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動④登記を必要とする物権変動 （1）法律行為の取消と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
13	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 民法総則のテキストの該当箇所（法律行為、取り消し・無効）を読んで行くこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑤登記を必要とする物権変動 （2）解除と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
14	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んで行くこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑥登記を必要とする物権変動 （3）相続と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること

15	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 民法総則のテキストの該当箇所（時効）を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑦登記を必要とする物権変動 （4）取得時効と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
16	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑧ 177条の第三者
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
17	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑨ 不動産取引と登記（まとめ）
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること （不動産に関する物権変動につき、事例問題を中心に全体を総復習すること）
18	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	動産に関する物権変動① 動産取引と占有
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
19	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	動産に関する物権変動② 動産取引と即時取得
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
20	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	立木等に関する物権変動、物権の消滅
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること （動産に関する物権変動につき、事例問題を中心に全体を総復習すること）
21	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所を読んでもおくこと
	授業内容	占有権① 意義、機能、態様
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
22	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	占有権② 占有訴権と物権的請求権
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
23	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	所有権① 意義、性質、内容
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
24	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	所有権② 相隣関係、所有権の取得原因
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
25	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	所有権③ 共有
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
26	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んでもくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	所有権④ 建物の区分所有
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること

27	事前学習	講義内で指示したテキストの該当箇所を読んできること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	用益物権（地上権、永小作権地役権、入会権）
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
28	事前学習	テストに向けてテキスト全体の見直しを行うこと
	授業内容	ゲストスピーカー（不動産の専門家に話をきいてみよう！①）
	事後学習	テキストの事例問題を中心に復習すること
29	事前学習	テストに向けてテキストの復習をすること
	授業内容	ゲストスピーカー（不動産の専門家に話をきいてみよう！②）
	事後学習	テストに向けてテキストの総復習をすること
30	事前学習	テストに向けてテキストの総復習をすること 質問事項がないかを考えてくること
	授業内容	総まとめ、質問受付、答案の書き方など
	事後学習	テストに向けてテキストの総復習をすること

科目名	民法Ⅱ（物権法）【法職課程】	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この講義では、民法の中でも物権法とよばれる分野を学びます。物権は、取っ付きにくい印象を受けるかもしれません。しかし、物権を学ぶということは、社会のなりたちを知ることにはかならず、また考えることの楽しさを知ることができる分野です。具体的な事例をあげ、ゆっくり丁寧に説明をしていきますので、一緒に学んでいきましょう。					
授業目的・到達目標	この講義では、民法の中でも物権法とよばれる分野の基礎的・体系的な理解をしっかりと身につけてもらうことを目的とします。物権法の基本的概念を正確に修得することを到達目標とします。					
履修条件	講義には必ず出席すること、最新の六法を持参すること、わからない法律用語がでてきたら、面倒がらずに調べること					
授業方法	レジュメを配布し、講義形式で進めていきます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	物権法の基礎知識が身についているかを判定します。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	有斐閣		民法の基礎 2 物権		佐久間毅
	備考					
参考書	法令用語研究会編『有斐閣法律用語辞典(第4版)』（有斐閣・2012）					
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館 7 F 1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、目次に目を通しておくこと
	授業内容	ガイダンス（条文の読み方、法律用語の確認） （※六法を持参すること）
	事後学習	レジュメを復習しておくこと
2	事前学習	テキストの第1章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所目を通しておくこと
	授業内容	物権制度と物権の権能
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること

3	事前学習	テキストの第1章を読んでおくこと 民法総則のテキストの該当箇所を読んでくること 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	物権の意義、物権の対象
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
4	事前学習	テキストの第1章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権の効力
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
5	事前学習	テキストの第1章、第6章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	物権的請求権
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
6	事前学習	テキストの第2章1を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権変動① 総説
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
7	事前学習	テキストの第2章2を読んでおくこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	物権変動② 物権変動を生じる法律行為
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
8	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	物権変動③ 物権変動の時期
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
9	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動① 登記の意義、機能
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
10	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動② 登記の効力
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
11	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動③ 二重譲渡の法的構成（対抗要件主義など）
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
12	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 民法総則のテキストの該当箇所を読んでくること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動④登記を必要とする物権変動 （1）法律行為の取消と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
13	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 民法総則のテキストの該当箇所を読んでくること 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑤登記を必要とする物権変動 （2）解除と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
14	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑥登記を必要とする物権変動 （3）相続と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること

15	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 民法総則のテキストの該当箇所を読んできること 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑦登記を必要とする物権変動 (4) 取得時効と登記
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
16	事前学習	テキストの第2章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑧ 177条の第三者
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
17	事前学習	テキストの第2章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不動産に関する物権変動⑨ 不動産取引と登記(まとめ)
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
18	事前学習	テキストの第2章4を読んでおくこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	動産に関する物権変動① 動産取引と占有
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
19	事前学習	テキストの第2章4を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	動産に関する物権変動② 動産取引と即時取得
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
20	事前学習	テキストの第2章4を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	立木等に関する物権変動、物権の消滅
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
21	事前学習	テキストの第5章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所を読んでおくこと
	授業内容	占有権① 意義、機能、態様
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
22	事前学習	テキストの第5章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	占有権② 占有訴権と物権的請求権
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
23	事前学習	テキストの第3章1を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	所有権① 意義、性質、内容
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
24	事前学習	テキストの第3章1、2を読んでおくこと 事前に配布したレジュメに目を通しておくこと
	授業内容	所有権② 相隣関係、所有権の取得原因
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
25	事前学習	テキストの第3章3を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	所有権③ 共有
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
26	事前学習	テキストの第3章4を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	所有権④ 建物の区分所有
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること

27	事前学習	テキストの第4章を読んでおくこと 事前に配布したレジュメの該当箇所に通しておくこと
	授業内容	用益物権（地上権、永小作権地役権、入会権）
	事後学習	レジュメを参考にしつつ、テキストの該当箇所を復習すること
28	事前学習	テストに向けてテキストの復習をすること
	授業内容	ゲストスピーカー（不動産の専門家に話をきいてみよう！①）
	事後学習	テキストの事例問題を復習すること
29	事前学習	テストに向けてテキストの復習をすること
	授業内容	ゲストスピーカー（不動産の専門家に話をきいてみよう！②）
	事後学習	テストに向けてテキストの復習をすること
30	事前学習	テストに向けてテキストの復習をすること 質問事項がないかを考えてくること
	授業内容	総まとめ、質問受付、答案の書き方など
	事後学習	テストに向けてテキストの復習をすること

科目名	民法Ⅲ(担保物権法)【法職課程】	担当者	清水 恵介	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	条文上は、民法第2編物権のうち、第295条から第398条の22までが対象領域であるが、金融実務に促される形で日々発展を遂げている非典型担保の諸類型も、担保物権法の重要な領域の1つを構成している。全体として、債権の回収を容易にするための様々な物的保護手段を扱うことになる。					
授業目的・到達目標	一般に理解が困難とされる担保法の仕組みやその社会的意義を理解させる。					
履修条件	最新版の六法を持参すること。また、民法Ⅰ・Ⅱ（民法総則・物権法）の単位を修得する程度の知識を有することが前提。					
授業方法	実務や学界の動向，最新判例なども視野に入れつつ講義を行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業内容を踏まえて出題される設問を論述式で解答させる。その論述内容により，担保物権法の理解度ををはかり，評価する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	授業内で適宜教示する。					
オフィスアワー	当該授業に関する質問を，授業期間中の火曜日12時～13時に研究室で受け付ける。ただし，オフィスアワーを利用した質問を希望する学生は，ガイダンスの際に教示するメールアドレス宛てに，質問の概要及び希望日を事前に通知し，希望者の競合等により対応不能である旨の回答がない場合であることを条件とする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み，履修条件に該当するように準備する。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業で指定した参考書を購入するなどして，次回以降の授業に備える。
2	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	担保物権序論
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

3	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	留置権（１）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
4	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	留置権（２）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
5	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	先取特権（１）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
6	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	先取特権（２）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
7	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	質権（１）質権序論
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
8	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	質権（２）動産・不動産質
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
9	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	質権（３）権利質
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
10	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（１）序論，設定
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
11	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（２）効力範囲１
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
12	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（３）効力範囲２
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
13	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（４）第三取得者の保護
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
14	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（５）賃借人の保護
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

15	事前学習	参考書の前半部分を通読する。
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
16	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（6）抵当権侵害
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
17	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（7）優先弁済権 1
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
18	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（8）優先弁済権 2，消滅
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
19	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（9）根抵当権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
20	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	抵当権（10）特別法上の抵当権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
21	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	仮登記担保（1）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
22	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	仮登記担保（2）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
23	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	譲渡担保（1）譲渡担保序論
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
24	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	譲渡担保（2）譲渡担保の基礎理論
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
25	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	譲渡担保（3）流動動産譲渡担保
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
26	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	譲渡担保（4）債権譲渡担保
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

27	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	所有権留保
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
28	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	その他の担保手段（１）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
29	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	その他の担保手段（２）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
30	事前学習	参考書の後半部分を通読する。
	授業内容	後半のまとめ
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

科目名	民法Ⅲ（担保物権法）	担当者	長谷川 貞之	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	担保は、債権の履行を確保する法的手段として、現代社会では重要な意味をもっている。本講義では、担保のうち、物的担保を取り上げる。本講義で取り上げる範囲は、民法典が定める担保物権、すなわち、留置権・先取特権・質権・抵当権（民法２９５条―３９８条の２２）を中心に、企業実務で用いられることの多い譲渡担保や仮登記担保、所有権留保、ＡＢＬなどの非典型担保についても触れる予定である。				
授業目的・到達目標	本講義では、教科書に沿いながら、各種の担保物権の意義、沿革を説明したうえで、個々の担保物権における要件・効果に分けて、解釈上の問題点および基本判例などを学ぶ。本講義を受講することにより、民法を中心とした担保物権に関する法の体系を理解するとともに、担保物権の基本構造とそれを支える基本概念を修得し、各種の担保物権に関する理解を深めることができる。また、担保物権は物権と債権が交錯する領域であるから、本講義を受講することにより、各種の担保物権により被担保債権や担保目的物との関係に関する理解を深め、債権法や民事執行などの法律関連科目への展開が図れることが可能となる。				
履修条件	民法総則は履修済みであること。物権法の基礎理論については、履修していることが望ましいが、本講義でも復習を兼ねて講義をする。債権法総論と各論については、本講義と合わせて履修することが望ましい。				
授業方法	教科書に即して講義形式で行う。適宜、ソクラテスメソッド（問答方法）を用いる。基本判例を紹介しながら、具体的な設例を挙げて理解を深めて行く。考える授業が本講義のモットーである。六法は必携である。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	授業等で学んだ基本的な事項および裁判例について、論文試験により基礎学力を判定し評価する。受講者数によっては、授業内試験に切り替えることもある。	
	平常評価		20%	授業態度、課題の取組み、予習・復習などを評価の対象として考慮する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	２０１８年	有斐閣	民法Ⅱ——物権〔題４版〕＜有斐閣Ｓシリーズ＞		淡路剛久ほか
	備考				
参考書	椿寿夫=中舎寛樹編『解説 新・条文にない民法』（日本評論社、２０１１年）、松本恒雄・潮見佳男編『判例プラクティスⅠ』（信山社、２０１３年）。このほか、授業中に、適宜指示する。				
オフィスアワー	木曜日・１２時３０分～５０分、研究室（４号館４階４４３）。事前にアポイントを取ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	あらかじめ教科書を２・３回通読する。併せて、これから学ぶ民法典の担保物権に関する規定（民法２９５条―３９８条の２２）を音読しておく。
	授業内容	ガイダンス：担保物権法を学ぶ意義 序論：担保の意義——これから学ぶ“担保”とは何か？
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 物的担保の概要および民法典における担保物権の輪郭を把握し、整理する。
2	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、民法典が定める４種類の担保物権（典型担保）の特徴を把握しておく。
	授業内容	物権法における担保物権の位置付け―「物」を「直接に」「債権」の「担保にあてる」法律上の手段とは？
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

3	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、担保物権の種類ごとに法的性質を調べておく。
	授業内容	担保物権の意義・種類、法的性質／特別法上の担保物権——各種の財団抵当制度、企業担保権、立木抵当ほか
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
4	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、担保物権の効力を調べておく。
	授業内容	担保物権の効力
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
5	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、留置権の沿革を調べておく。
	授業内容	法定担保物権 留置権の意義・法的性質など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 留置権の意義・性質を整理するとともに、同時履行の抗弁権との異同を整理する。
6	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、留置権の成立要件を確認しておく。
	授業内容	留置権の成立要件
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 とくに、物と債権と牽連関係について裁判例を整理し、理解を深める。「課題と質問」に取り組む。
7	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、留置権の効果を確認しておく。
	授業内容	留置権の効力・留置権の消滅
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
8	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、先取特権の沿革、先取特権が担保目的物に着眼してどのように分類されるかを調べておく。
	授業内容	先取特権の意義・法的性質・種類
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
9	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、先取特権の効果を確認しておく。
	授業内容	先取特権の順位・効力・消滅
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
10	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、質権の沿革、現代社会における質権の役割・機能を調べておく。
	授業内容	約定担保物権 質権の意義・性質・対象・種類
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
11	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、質権設定の一般的要件および効果を確認しておく。
	授業内容	質権の設定・効力
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
12	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、質権が設定される目的物に即して、質権設定の要件および効果を確認しておく。
	授業内容	動産質権と不動産質権と権利質—それぞれの意義・成立要件・効力
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
13	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、抵当権の沿革、取引社会における抵当権の機能・役割、近代抵当制度という観点から、わが国の抵当制度がどのような特徴を有しているかをなどを確認しておく。
	授業内容	抵当権の意義・法的性質、抵当権の設定と対象など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
14	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、抵当権が不動産に設定されることの意味、抵当権の効力が及ぶ目的物の範囲を確認しておく。
	授業内容	抵当権の効力の及ぶ範囲（目的物）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

15	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、抵当権の実行によって担保される債権の範囲を確認しておく。
	授業内容	抵当権の効力の及ぶ範囲（被担保債権）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
16	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、抵当権の実効手続としてどのようなものがあるかを把握しておく。
	授業内容	抵当権の実効手続——担保不動産の競売、抵当権の物上代位、担保不動産収益執行
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
17	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、抵当不動産に対する抵当権者と利用権者との利害の対立とその調整方法、抵当不動産の第三取得者の地位などについて確認しておく。
	授業内容	抵当権と利用権との関係、抵当不動産の第三取得者の地位など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
18	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、抵当権者と利用権者との利害調整として、法定地上権がどのような機能を有しているかを確認しておく。
	授業内容	法定地上権の意義・成立要件など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
19	事前学習	抵当権の処分とは何かを、民法典の規定および教科書を読み、確認しておく。
	授業内容	抵当権の処分=転抵当・譲渡・放棄・順位の譲渡など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
20	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、共同抵当の意義、配当方法における同時配当と異時配当の関係を確認しておく。
	授業内容	共同抵当
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
21	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、極度額と元本確定という観点から根抵当の仕組みを確認しておく。
	授業内容	根抵当①——根抵当制度の概要：根抵当権の意義と性質、設定と内容
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
22	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、根抵当権の内容の変更と処分をめぐる問題について確認しておく。
	授業内容	根抵当②——根抵当権の内容の変更と処分：極度額の変更、被担保債権の譲渡・質入れ、根抵当権の譲渡など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
23	事前学習	教科書を熟読し、民法典が定める典型担保以外にどのような担保があるか、その特徴について確認しておく。
	授業内容	非典型担保①：総論
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
24	事前学習	教科書を熟読し、譲渡担保の沿革、譲渡担保の意義と特色について確認しておく。
	授業内容	非典型担保②：譲渡担保①
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
25	事前学習	教科書を熟読し、譲渡担保の効力について、対内的関係と対外的関係の観点から確認しておく。
	授業内容	非典型担保③：譲渡担保②
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
26	事前学習	教科書を熟読し、仮登記担保の意義と特色、立法上の手続について確認しておく。
	授業内容	非典型担保④：仮登記担保
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。

27	事前学習	教科書を熟読し、所有権留保の意義と特色について確認しておく。
	授業内容	非典型担保⑤：所有権留保
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
28	事前学習	教科書を熟読し、工場財団を中心とした各種の財団抵当制度、企業担保などの仕組みを確認しておく。
	授業内容	特殊の担保——工場抵当法における工場財団、その他の財団抵当制度、企業担保など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
29	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、民法における非担保制度としての担保的利用としてどのようなものがあるか確認しておく。
	授業内容	その他の担保：代理受領、再売買予約など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
30	事前学習	教科書のページの余白に記載してある★印（重要度に応じて3段階）に注意して教科書を通読し、重要な論点を確認する。
	授業内容	総括と質疑応答／授業内試験
	事後学習	これまでの授業内容を、教科書および配布プリントを参考に総括し、まとめる。 「課題と質問」を整理する。

科目名	民法Ⅲ（担保物権法）	担当者	峯川 浩子	部別	第二部	期間	前期	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める科目区分又は事項等							
授業概要	民法典第3編物権における、留置権、先取特権、抵当権等の典型担保物権および金融実務等によって日々発展を遂げている譲渡担保等の非典型担保物権を取り上げ、担保物権の法律上の意義、要件、効果、解釈上の問題点等を体系的に学習する。						
授業目的・到達目標	担保物権の基本構造、基本概念等を体系的に理解するとともに、この領域で生じる初歩的かつ具体的な問題について一応の解決が図れるようになることを目標とする。						
履修条件	民法総則を履修済みであること。物権・債権総論を履修済みないし履修中であることが望ましい。						
授業方法	講義形式による。2コマ続きとなるので、練習問題を解くなど気分転換をはかりつつ効率よく授業をすすめたい。						
成績評価	種別		割合	評価方法			
	定期試験		80%	試験の結果を評価する。			
	平常評価		20%	授業態度、学習への取り組み、質問等を評価の対象とする。			
教科書	年	出版社		書名			著者名
	平成23年	弘文堂		担保物件法〔第3版〕			山川一陽
	備考	レジュメを配布して授業を進めるので教科書は持参しなくても構わない。事前・事後学習で活用してもらいたい。 条文を参照するので六法を必ず持参すること。					
参考書	椿寿夫＝中舎寛樹編『解説・新・条文にない民法』（日本評論社、2011年）						
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの確認
	授業内容	ガイダンス、担保物権とは何か
	事後学習	復習
2	事前学習	教科書7頁～15頁に目を通しておく
	授業内容	担保物権の構成、種類、意義
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習

3	事前学習	教科書16頁～24頁に目を通しておく
	授業内容	担保物権に共通して認められる性質
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
4	事前学習	教科書25頁～31頁に目を通しておく
	授業内容	留置権（1）意義、法的性格、成立要件
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
5	事前学習	教科書32頁～49頁に目を通しておく
	授業内容	留置権（2）成立要件、効力、消滅
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
6	事前学習	教科書51頁～66頁に目を通しておく
	授業内容	先取特権（1）意義、法的性質、種類
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
7	事前学習	教科書67頁～74頁に目を通しておく
	授業内容	先取特権（2）順位、効力、消滅
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
8	事前学習	教科書75頁～81頁に目を通しておく
	授業内容	質権（1）質権の概要、質権の設定
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
9	事前学習	教科書82頁～98頁に目を通しておく
	授業内容	質権（2）質権の効力、転質
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
10	事前学習	教科書82頁～98頁に目を通しておく
	授業内容	質権（3）動産質権と不動産質権
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
11	事前学習	教科書99頁～104頁に目を通しておく
	授業内容	質権（4）債権質権と機能、対抗要件
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
12	事前学習	教科書107頁～132頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（1）抵当権の意義と機能、法的性質
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
13	事前学習	教科書133頁～150頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（2）抵当権の設定
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
14	事前学習	教科書143頁～153頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（3）抵当権の効力・範囲
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習

15	事前学習	教科書107頁～153頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（4）前半まとめ
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
16	事前学習	教科書169頁～173頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（5）抵当権の用益権の関係：法定地上権
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
17	事前学習	教科書169頁～173頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（6）抵当権の用益権の関係：法定地上権
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
18	事前学習	教科書195頁～204頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（7）抵当権と賃借人の保護
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
19	事前学習	教科書155頁～165頁、201～204頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（8）抵当権侵害、抵当不動産の第三取得者の地位
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
20	事前学習	教科書205頁～217頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（9）転抵当、譲渡、放棄
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
21	事前学習	教科書215頁～217頁に目を通しておく
	授業内容	抵当権（10）共同抵当権
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
22	事前学習	教科書219頁～225頁に目を通しておく
	授業内容	根抵当権（1）根抵当権の意義、設定、範囲
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
23	事前学習	教科書226頁～234頁に目を通しておく
	授業内容	根抵当権（2）根抵当権の確定、共同根抵当
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
24	事前学習	教科書235頁～245頁、298頁～301頁、246～250頁に目を通しておく
	授業内容	非典型担保の種類、機能/所有権留保/譲渡担保（1）意義、法的性質等
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
25	事前学習	教科書246頁～254頁に目を通しておく
	授業内容	譲渡担保（2）設定、効力等
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
26	事前学習	教科書254頁～262頁に目を通しておく
	授業内容	譲渡担保（3）目的物の利用関係、処分、実行
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習

27	事前学習	教科書263頁～271頁に目を通しておく
	授業内容	譲渡担保（4）集合譲渡担保
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
28	事前学習	教科書272頁～284頁に目を通しておく
	授業内容	仮登記担保（1）意義、基本的構造
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
29	事前学習	教科書285頁～298頁に目を通しておく。
	授業内容	仮登記担保（2）目的物、効力、私的実行/その他の非典型担保、
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習
30	事前学習	教科書と配布したレジュメに目を通して確認しておく
	授業内容	まとめ
	事後学習	教科書とレジュメを用いて復習

科目名	民法Ⅳ（債権法総論）	担当者	清水 恵介	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	民法第3編債権のうち、第1章の「総則」に規定された、第399条から第520条までの全126ヶ条が対象領域である。債権の効力・譲渡・消滅といった債権一般の基本理論を扱う。					
授業目的・到達目標	財産法の全体を把握する上で要となる債権法総論中の各制度を理解させる。					
履修条件	債権法が大幅に改正されるため、必ず最新版の六法を持参すること。また、民法Ⅰ・Ⅱ（民法総則・物権法）の単位を修得する程度の知識を有することが前提。					
授業方法	実務や学界の動向，最新判例，債権関係法改正の動向なども視野に入れつつ講義を行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	試験は、授業内容を踏まえて出題される設問を論述式で解答させる。その論述内容により、債権法総論の理解度をはかり，評価する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	なし				
参考書	授業内で適宜教示する。					
オフィスアワー	当該授業に関する質問を，授業期間中の火曜日12時～13時に研究室で受け付ける。ただし，オフィスアワーを利用した質問を希望する学生は，ガイダンスの際に教示するメールアドレス宛てに，質問の概要及び希望日を事前に通知し，希望者の競合等により対応不能である旨の回答がない場合であることを条件とする。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み，履修条件に該当するように準備する。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	授業で指定した参考書を購入するなどして，次回以降の授業に備える。
2	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権法総論序説
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

3	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の目的（１）特定物債権，種類債権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
4	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の目的（２）金銭債権，利息債権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
5	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の効力（１）債務と責任
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
6	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の効力（２）強制履行
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
7	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の効力（３）債務不履行（損害賠償）の要件
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
8	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の効力（４）損害賠償
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
9	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	責任財産の保全（１）債権者代位権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
10	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	責任財産の保全（２）詐害行為取消権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
11	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	責任財産の保全（３）債権侵害に対する保護
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
12	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	多数当事者の債権関係（１）分割債権，不可分債権
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
13	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	多数当事者の債権関係（２）連帯債務１
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
14	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	多数当事者の債権関係（３）連帯債務２
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

15	事前学習	参考書の前半部分を通読する。
	授業内容	前半のまとめ
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
16	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	多数当事者の債権関係（４）保証債務１
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
17	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	多数当事者の債権関係（５）保証債務２
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
18	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権譲渡（１）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
19	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権譲渡（２）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
20	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債務引受，契約上の地位の移転
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
21	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（１）第三者弁済，弁済受領者
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
22	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（２）弁済の提供
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
23	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（３）弁済による代位
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
24	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（４）受領遅滞，代物弁済
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
25	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（５）弁済供託
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
26	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（６）相殺１
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

27	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権の消滅（7）相殺2，更改，免除，混同
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
28	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権法改正の動向（1）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
29	事前学習	参考書の該当箇所を事前に読む。
	授業内容	債権法改正の動向（2）
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。
30	事前学習	参考書の後半部分を通読する。
	授業内容	後半のまとめ
	事後学習	授業でわからなかった箇所を参考書等で確認する。

科目名	民法Ⅳ（債権法総論）【法職課程】	担当者	田中 夏樹	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	本授業では、民法の債権総論を取り扱う。人からお金を借りた場合（消費貸借契約）や人と物の売り買いを行った場合（売買契約）といった人に対する権利、すなわち、債権について、具体的な契約類型に関する規律（債権各論の分野）ではなく、債権に共通した事柄を扱うものである。 また、債権法改正を踏まえ、基本的には新法を基準として講義を行うが、旧法についても言及する。					
授業目的・到達目標	判例や学説の解説を通じて民法における債権法の位置づけや債権法がどのような機能を担っているのかを学ぶ。特に、債権の発生、効果、消滅に至るまでのプロセスを理解してもらうことを目的とする。同時に、債権が持つ効果について、適宜物権との比較を用いながら解説する。 債権法の位置づけや債権が発生してから消滅するまでの各段階についての基本的な知識を習得することを目的とするが、演習問題を行うことで、実際に身につけた知識を活用できるようにしてもらいたい。					
履修条件	法職課程の学生に限る。また、民法総則、物権法の知識があるのが望ましい。 また、六法を持参すること。					
授業方法	講義形式によって行う。あらかじめ、パワーポイントによって資料を配布する予定。また、 2 回に 1 回程度簡単な演習問題をやらせてもらう予定（成績には加味せず、提出不要）。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定 期 試 験		90%	記述形式の定期試験を予定している。授業に出席せずに解答できるような問題にはしない予定。		
	平 常 評 価		10%	出席点を加味する予定。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2009	成文堂		民法講義〈4〉債権総論		近江幸治
	2013	岩波書店		債権総論 第三版		中田裕康
	備考	教科書はあくまで参考であり、授業内（ガイダンス）にて具体的に指示するため、第 1 回授業開始前に準備する必要はない。				
参 考 書	授業中に適宜指示する。					
オフィスアワー	水曜日 1４：３０～1６：1０（事前にアポイントメントを取ること） メールアドレス：tanaka.natsuki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	債権総論の基本書（教科書・参考書）の導入部分に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	民法内における債権法ないし債権総論の位置づけを確認する。
2	事前学習	同じ財産法として扱われる物権法と債権法とがどのように異なるかについて、パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債権法の体系
	事後学習	特に物権法とどのように役割や機能が違うかについて、何故違うのか、何故そのような役割が与えられているかを考えてみる。

3	事前学習	債権の分類の仕方について、パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債権の種類
	事後学習	何故そのような分類をする必要があり、分類にはどのような意味があるのかについて自分なりに考えてみる。
4	事前学習	債務不履行について、制度の目的や要件について、パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債務不履行1
	事後学習	債務不履行の要件や効果について、何故そのような理解となるのか、暗記ではなく自分の言葉で説明できるか確認し、理解する。
5	事前学習	債務不履行について、制度の目的や要件について、パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債務不履行2
	事後学習	債務不履行の要件や効果について、何故そのような理解となるのか、暗記ではなく自分の言葉で説明できるか確認し、理解する。
6	事前学習	債務不履行について、制度の目的や要件について、パワーポイントや基本書に目を通しておく。
	授業内容	債務不履行3
	事後学習	債務不履行の要件や効果について、何故そのような理解となるのか、暗記ではなく自分の言葉で説明できるか確認し、理解する。
7	事前学習	受領遅滞と一般的な債務不履行がどのように異なるか、事前に確認しておく。
	授業内容	受領遅滞
	事後学習	受領遅滞という概念の必要性や法的性質について、何故そのような理解が求められるのか確認する。
8	事前学習	履行の強制の種類や方法について、該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	履行の強制
	事後学習	債務不履行との連続性を意識し、債権が最終的にどのように実現されるかを確認する。
9	事前学習	損害賠償制度について、該当範囲をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	損害賠償1
	事後学習	債務不履行に基づく損害賠償制度の目的や機能について、不法行為に基づく損害賠償制度との違いを踏まえながら理解する。
10	事前学習	損害賠償制度について、該当範囲をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	損害賠償2
	事後学習	債務不履行に基づく損害賠償制度の目的や機能について、不法行為に基づく損害賠償制度との違いを踏まえながら理解する。
11	事前学習	責任財産とは何か、責任財産を保全する目的は何かをパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	責任財産の保全1
	事後学習	責任財産の保全について、法的な手段の区分と要件及び効果を制度趣旨と関連させながら理解する。
12	事前学習	責任財産とは何か、責任財産を保全する目的は何かをパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	責任財産の保全2
	事後学習	責任財産の保全について、法的な手段の区分と要件及び効果を制度趣旨と関連させながら理解する。
13	事前学習	多数当事者とはどういった事実関係で問題となるか、問題点を確認しておく。
	授業内容	多数当事者の債権関係
	事後学習	多数当事者の場合には、二当事者の場合と比べてどのような点に影響があるか理解する。
14	事前学習	連帯債務とはどのような当事者が登場し、債権関係に立っているか概要を確認する。
	授業内容	連帯債務1
	事後学習	連帯債務は、債権者にとってどういったメリットのある制度であり、どのような制度設計が念頭に置かれているかを理解し、債権者の権利の拡張を理解する。

15	事前学習	連帯債務とはどのような当事者が登場し、債権関係に立っているか概要を確認する。
	授業内容	連帯債務2
	事後学習	連帯債務は、債権者にとってどういったメリットのある制度であり、どのような制度設計が念頭に置かれているかを理解し、債権者の権利の拡張を理解する。
16	事前学習	保証債務の場合に、連帯債務とどのように異なるかを意識して、該当箇所を確認する。
	授業内容	保証債務1
	事後学習	保証債務について、制度趣旨の違いを踏まえ、連帯債務と比較しながら理解する。
17	事前学習	保証債務の場合に、連帯債務とどのように異なるかを意識して、該当箇所を確認する。
	授業内容	保証債務2
	事後学習	保証債務について、制度趣旨の違いを踏まえ、連帯債務と比較しながら理解する。
18	事前学習	債権譲渡の制度について、該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債権譲渡1
	事後学習	債権譲渡がどのような目的で行われる制度であるか、また、債務者がどのような役割をはたすものであるか理解する。
19	事前学習	債権譲渡の制度について、該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債権譲渡2
	事後学習	債権譲渡がどのような目的で行われる制度であるか、また、債務者がどのような役割をはたすものであるか理解する。
20	事前学習	債務引受、契約上の地位の移転について、該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務引受等
	事後学習	債権譲渡制度とどのような差があり、制度の目的は何であることを理解する。
21	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し、弁済についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 弁済1
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。
22	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し、弁済についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 弁済2
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。
23	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し、弁済による代位についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 弁済による代位
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。
24	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し、代物弁済についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 代物弁済
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。
25	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し、供託債務についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 供託債務
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。
26	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し、相殺についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 相殺1
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し、各制度ごとの論点や特徴を理解する。

27	事前学習	債務が消滅するのはどういった類型が存在するか確認し，相殺についての該当箇所をパワーポイントや基本書で確認しておく。
	授業内容	債務消滅 - 相殺2
	事後学習	債務が消滅する法制度間の差異を理解し，各制度ごとの論点や特徴を理解する。
28	事前学習	改正された条文を確認しておく。
	授業内容	債権法改正について
	事後学習	改正された条文がどのような目的で改正されたものか理解する。
29	事前学習	改正された条文を確認しておく。
	授業内容	債権法改正について
	事後学習	改正された条文がどのような目的で改正されたものか理解する。
30	事前学習	授業で扱った内容のうち，疑問点をまとめておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	細かな論点ではなく，各制度の趣旨や理論構成を正確に理解することを目指す。

科目名	民法Ⅳ（債権法総論）	担当者	長谷川 貞之	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める 科目区分又は事項等							
授業概要	債権は、人と人との法律関係を規律する法律概念であり、売買や賃貸借などの各種の契約や不法行為を主たる原因として発生する。本講義では、各種の契約や不法行為で発生した債権について、民法典の第3編債権（399条―520条）の条文に即しながら、物権と対比される債権の意義と性質、給付の概念を通じて分類される債権の種類、債権の対内的効力と対外的効力、債権の消滅などを学ぶ。						
授業目的・ 到達目標	本講義を受講することにより、民法典における債権の規範構造とそれを支える基本原理を修得し、債権法の観点から民法を体系的に捉える能力を身につけることができる。また、それを通じて、今後学んで行くことになる債権法各論、および他の科目群への展開が図れる能力を養うことができる。						
履修条件	2年次以降の学生を対象とする。学修効果を上げるため、民法総則は履修済みであること。あわせて債権法各論を履修する（している）ことが望ましい。						
授業方法	教科書に即して講義形式で行う。適宜、ソクラテスメソッド（問答方法）を用いる。基本判例を紹介しながら、具体的な設例を挙げて、理解を深めて行く。考える授業が本講義のモットーである。六法は必携である。						
成績評価	種別		割合	評価方法			
	定期試験		80%	授業等で学んだ基本的な事項および裁判例について、論文試験により基礎学力を判定し評価する。受講者数によっては、授業内試験に切り替えることもある。			
	平常評価		20%	授業態度、課題の取組み、予習・復習などを評価の対象として考慮する。			
教科書	年	出版社		書名			著者名
	2018年	有斐閣		民法Ⅲ——債権総論〔第4版〕＜有斐閣Sシリーズ＞			野村豊弘ほか
	2017年	商事法務		民法（債権関係）改正法新旧対照条文			商事法務（編）
	備考						
参考書	椿寿夫=中倉寛樹編『解説 新・条文にない民法』（日本評論社、2011年）、松本恒雄・潮見佳男編『判例プラクティスⅡ』（信山社、2013年）ほか。このほか、授業中に、適宜指示する。						
オフィス アワー	木曜日・12時30分～50分、研究室（4号館4階443）。事前にアポイントを取ること。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	あらかじめ教科書を2・3回通読する。併せて、これから学ぶ民法典の債権総則に関する規定（民法399条―520条）を音読しておく。
	授業内容	ガイダンス／債権法総論を学ぶ意義 序論：債権の意義、債権法総論と各論、最近の債権法改正と民法理論
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
2	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、売買や賃貸借などの各種の契約、不法行為を主たる原因として発生した債権がどのような性質を有するかを、排他性を有する物権との対比で整理し、事前に学習しておく。
	授業内容	債権の法的性質
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

3	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権は何を目的として発生し、どのような要件を備えていることが必要とされるのか、事前に学習して押さえておこう。債権の目的と給付の目的物との関係に、注意が必要である。
	授業内容	債権の目的
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
4	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権は給付の目的物に従ってどのように分類されるか、検討しておく。とくに給付の目的物が不動産と動産でどのように異なるのか、注意して調べてみよう。
	授業内容	債権の種類①：特定物債権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
5	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権は給付の目的物に従ってどのように分類されるか、検討しておく。とくに給付の目的物が不動産と動産でどのように異なるのか、注意して調べてみよう。
	授業内容	債権の種類②：種類債権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
6	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、特定物債権・種類債権以外に民法典にはどのような種類の債権が規定されているのか、調べてみる。とくに、金銭の支払いを目的とする債権は、どのような規律に服するのか、検討しておこう。
	授業内容	債権の種類③：金銭債権、その他の債権——選択債権、種類債権など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
7	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権が何時履行期を迎え、どのような効力を有するかを、債権の対内的関係を通して理解する。とりわけ、債務者が任意に履行しない場合に、どのような効果が発生するかを考えてみよう。
	授業内容	債権の効力①：履行請求、債権の履行強制、第三者による債権の侵害
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
8	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権が履行期を徒過して履行されない場合の処理として、民法典にはどのような制度が設けられているかを、事前に学習しておこう。
	授業内容	債権の効力②：債務不履行—3類型（履行遅滞・履行不能・不完全履行）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。
9	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債務不履行の要件と効果を、債務不履行の3類型（履行遅滞・履行不能・不完全履行）に即して、事前に学習しておく。
	授業内容	債権の効力③：債務不履行の要件と効果
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。
10	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権者が一定の要件のもとに債務者の財産の利用処分に干渉する制度としてどのようなものがあるかを、事前に学習する。とくに、私的自治との関係で、要件と効果に注意を要する。
	授業内容	責任財産の保全（債権の対外的効力）①：債権者代位権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
11	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権者が一定の要件のもとに債務者の財産の利用処分に干渉する制度としてどのようなものがあるかを、事前に学習する。とくに、私的自治との関係で、要件と効果に注意を要する。
	授業内容	責任財産の保全（債権の対外的効力）②：債権者取消権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
12	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権者が一定の要件のもとに債務者の財産の利用処分に干渉する制度としてどのようなものがあるかを、事前に学習する。とくに、私的自治との関係で、要件と効果に注意を要する。
	授業内容	責任財産の保全（債権の対外的効力）③：債権者代位権・債権者取消権の整理&まとめ
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
13	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、同一の給付につき2人以上の債権者または債務者がある場合の法律関係として、民法典にはどのような規定が設けられているか、事前に学習しておく。
	授業内容	多数当事者の債権・債務関係①：総論—基本原則と分割債権・債務
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
14	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、多数当事者の債権・債務関係のうち、複数人が一個の不可分な給付を目的とする債権・債務を負う場合、数人の債務者が同一内容の給付につき各自独立して全部の給付を負うべき場合を検討してみよう。
	授業内容	多数当事者の債権・債務関係②：不可分債権・債務、連帯債務
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

15	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、数人の債務者が同一内容の給付につき各自独立して全部の給付を負うべき場合でありながら、法定の連帯債務とは異なる取扱いをする場合の必要性について考えてみよう。
	授業内容	多数当事者の債権債務③：不真正連帯債務
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。
16	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権の回収を容易にするために、人的担保の代表的なものとしてどのようなものがあるか、物的担保と対比しながら、その意義・性質・社会的作用を検討しておく。
	授業内容	多数当事者の債権債務④：保証—総論（法的性質、保証債務の成立など）、普通保証と連帯保証、共同保証
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
17	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、継続的取引から生じる債務の保証としてどのようなものがあるか、整理してまとめてみよう。
	授業内容	多数当事者の債権債務⑤：継続的保証——根保証、信用保証、身元保証など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。
18	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権や債務が移転する場合として、民法典にはどのような制度が設けられているか、整理してまとめてみよう。
	授業内容	債権譲渡①：債権譲渡、債務引受・履行引受、契約上の地位の移転（契約譲渡）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
19	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権譲渡の意義・性質・社会的作用につて、事前に学習しておく。とりわけ、一般の債権である指名債権について、理解を深めておこう。
	授業内容	債権譲渡②：債権譲渡の意義と機能、指名債権の譲渡の要件と効果
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
20	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債務者の債務を他人が引き受ける場合としてどのようなものがあるか、学習しておく。また、債権・債務が一括して第三者に移転する場合として、どのような場合があるか、考えてみよう。
	授業内容	債務引受・履行引受 契約上の地位の移転（契約譲渡）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
21	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、売買や賃貸借などの各種の契約、不法行為を主たる原因として発生した債権がどのような原因で消滅するかを、事前に学習しておく。
	授業内容	債権の消滅①：総論——7つの債権消滅原因
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
22	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権の消滅原因である弁済について、給付の目的物である特定物・種類物などの区別に注意を払いながら、事前に弁済の一般的ルールを学習しておく。
	授業内容	債権の消滅②：弁済——弁済の意義・方法・場所
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
23	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、弁済に代わる債権の消滅原因である代物弁済と供託について、その意義・性質・社会的作用を理解しておく。
	授業内容	債権の弁済③：代物弁済、供託
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
24	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権の消滅原因である相殺について、その意義・性質・社会的作用を事前に学習する。併せて、相殺制度の社会的機能についても、理解を深めておこう。
	授業内容	債権の弁済④：相殺—相殺適状と要件・効果
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
25	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、相殺には簡易決済機能のほかに担保的機能があることを、事前に学習しておく。併せて、相殺の担保的機能が問題となる裁判例についても検討しておこう。
	授業内容	債権の消滅⑤：相殺の担保的機能
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
26	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、相殺が債権・債務の対立する当事者間以外でも成立することがあることについて、事前に調べてみよう。債権・債務が複雑に絡みあう現代の取引社会では、多数当事者間での相殺も少なくない。
	授業内容	債権の消滅⑥：多数当事者間の相殺（三者間相殺、CCPを伴うマルチネ・ネットィングなど）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

27	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、更改・免除・混同について、その意義、性質、社会的作用を学習しておく。
	授業内容	債権の消滅⑦：更改、免除、混同
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
28	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、最近の民法（債権関係）改正について、その目的や意義を理解し、改正点などを明らかにしておく。併せて、改正されないで残された課題についても、理解を深めておこう。
	授業内容	民法（債権関係）改正と解釈上の論点①
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
29	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、最近の民法（債権関係）改正について、その目的や意義を理解し、改正点などを明らかにしておく。併せて、改正されないで残された課題についても、理解を深めておこう。
	授業内容	民法（債権関係）改正と解釈上の論点②
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
30	事前学習	教科書のページの余白に記載してある★印（重要度に応じて3段階）に注意して教科書を通読し、重要な論点を確認する。
	授業内容	総括&質疑応答／授業内試験
	事後学習	これまでの授業内容を、教科書および配布プリントを参考に総括し、まとめる。 「課題と質問」を整理する。

科目名	民法Ⅳ（債権法総論）	担当者	益井 公司	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	講義形式で授業を進めていくが、時々学生に質問してきちんと理解しているか確かめながら講義する。債権法総論に関しては全面的な改正がなされているが、まだ施行されていないため、旧法と新法の両方を説明する必要があり、講義時間はたりなくなるので、新法に関するプリント等を配布する予定なので、教科書とそのプリントの両方をあらかじめよく読んでおいていただきたい。			
授業目的・到達目標	債権法に関する各制度の持つ意味やそれが果たす機能を理解してもらう。その際、判例・学説を紹介・検討することになるが、なぜそのような判例や学説が主張されることになったのかを示すことにより、各人が自分自身で各制度の持つ意味をより深く理解することができるようになることを講義の目的としている。債権法に関する正確な知識の習得だけでなく、各学説や判例がなぜそのような主張をするのかの理由を十分に把握し、理解したことをうまく文章に表せるようになることを到達目標としている。			
履修条件	講義には必ず出席すること。			
授業方法	講義形式で進めるが、必要に応じて資料を配布する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	90%	論文式試験による。法的構成、理由づけ等に配慮して答案を構成する必要がある。	
	平常評価	10%	授業の際の質問や、私の質問に対する解答等を考慮して、加点する場合がある。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010年	嵯峨野書院	マルシェ債権総論（第2版）	宮本健蔵編著
	備考	債権総論は大きく改正されたが、まだ施行されていないため、新法と旧法の両方を説明する。新法についてはプリントを配布する予定である。4月の講義のときまでに新法の内容をもった適切な教科書が見つければ講義の初めに教科書を変更したことをお知らせする。		
参考書	必要に応じて講義の際に指示する。			
オフィスアワー	火曜日の12時20分より13時20分までの時間帯でオフィスアワーを行う（講義の終わりに予約を入れておいていただきたい）。9号館 9407研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	第一回目の講義なので、債権法総論に関し予習する必要はないが、民法総則、物権法をすでに学んでいるので、それら全体をもう一度見ておいていただきたい。
	授業内容	講義のガイダンス
	事後学習	民法の学び方に関し、プリントを配布するので、それをもう一度よく読んでおくこと。
2	事前学習	債権の基本概念 債権と物権 債権法の特質に関する教科書簿部分をあらかじめ読んでくること。
	授業内容	1 債権法の意義 ①債権の基本概念 ②債権と物権 債権法の特質
	事後学習	債権と物権の峻別にどのような意味があるのか、債権法の普遍的性質等についてもう一度考えること。。

3	事前学習	教科書の特定債権、種類債権の部分を読んでおくこと。
	授業内容	債権の目的 ①特定物債権 ②種類債権 旧規定による特定物ドグマの否定（新483条）、特定物と機変負担等との関係が新法では改正されていることに注意する必要がある。
	事後学習	最判昭和30年10月18日民集9巻11号1642頁、この部分に関する改正法の内容についてもう一度確認しておくこと。
4	事前学習	金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権の箇所をあらかじめ学習しておくこと。
	授業内容	③金銭債権 ④利息債権 ⑤選択債権 ⑥任意債権
	事後学習	最判平成22年4月20日民衆64巻3号921頁、最判平成20年6月10日民集62巻6号1488頁をよく読んでみること。
5	事前学習	債権の対内的効力、債権の保全的効力、債権の対外的効力、不完全債務（自然債務）について、あらかじめ読んでおくこと。
	授業内容	2 債権の効力 ①序説（債権の対内的効力、債権の保全的効力、債権の対外的効力） i 不完全債務（自然債務）
	事後学習	自然債務という概念が、必要かを検討すること。
6	事前学習	第三者による債権侵害と不法行為、債権に基づく妨害排除請求の部分を読んでおくこと。
	授業内容	ii 第三者による債権侵害（不法行為の成立と妨害排除）
	事後学習	大審院大正4年3月10日刑録21輯279頁（第三者の債権侵害と不法行為）、最判昭和30年5月31日民集9巻6号774頁（2重譲渡）、東京地判平成20年12月10日判時2035号70頁（引き抜き）、最判昭和28年12月18日民集7巻12号1515頁（妨害排除）、最大判昭和61年6月11日民集40巻4号872頁（人格権）を検討すること。
7	事前学習	債務の履行の強制の部分を読んでおくこと。
	授業内容	②現実的履行の強制
	事後学習	大決昭和10年12月16日民集14巻2044頁（謝罪広告）、幼児の引き渡し請求の問題について整理しておくこと。
8	事前学習	債務不履行責任の拡大（客観的拡大、人的拡大、時間的拡大）、つまり、安全配慮義務、契約交渉破棄における責任、説明義務違反に基づく損害賠償について、あらかじめ教科書等で見ておくこと
	授業内容	③損害賠償の請求（債務不履行の種類、債務不履行責任の拡大）
	事後学習	最判昭和50年2月25日民集29巻2号143頁（判然配慮義務）、最判昭和59年9月18日判時1137号51頁（契約交渉破棄における責任）、最判平成23年4月22日民集65巻3号1405頁（契約締結説明義務違反）
9	事前学習	履行不能、履行遅滞、不完全履行について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	i 債務不履行の種類と要件（履行不能、履行遅滞、不完全履行）
	事後学習	債務者の帰責事由（帰責事由か免責事由か）履行補助者の故意・過失（どのような形で債務を履行するかという契約内容の問題か）など自分でもう一度整理しておくこと。
10	事前学習	債務不履行の効果の部分を読んでおくこと。
	授業内容	ii 債務不履行による損害賠償（損害賠償の範囲を中心に） 損害の概念 損害の種類、損害賠償の範囲、損害賠償の調整（損益相殺、過失相殺）、損害賠償の予定、代償請求権の新法での明文化
	事後学習	損害賠償の範囲を中心として、最判平成21年1月19日民集63巻1号97頁（損害回避減少措置）、大審院大正7年8月27日民集24巻1658頁（416条2項の予見時期）、最判昭和28年12月18日民集7巻12号1448頁および最判昭和47年4月20日民集26巻3号520頁（損害算定時期）をもう一度整理しておくこと。
11	事前学習	受領遅滞に関し教科書等を使い勉強しておくこと。
	授業内容	④受領遅滞
	事後学習	新法による受領遅滞における効果の明文化、受領不能か履行不能か争われるケース（最判昭和62年7月17日民集41巻5号1350頁）を検討すること。また受領遅滞の解消に関し最判昭和45年8月20日民集24巻9号1243頁を検討すること。
12	事前学習	債権者代位権の意義・機能と要件の部分教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	3 責任財産の保全 ①債権者代位権 その1（意義と機能、債権者代位権の要件、債権者代位権の対象となる権利）
	事後学習	最判昭和55年7月11日民集34巻4号628頁（内容確定前の金銭債権）、最判昭和50年3月6日民集29巻3号203頁（債務者の無資力）、最判平成13年11月22日民集55巻6号1033頁（遺留分減殺請求）、最判昭和58年10月6日民集37巻8号1041頁（慰謝料請求）、最判昭和43年9月26日民集22巻9号2002頁（時効の援用権）について検討すること。
13	事前学習	債権者代位権の行使方法、行使の効果、債権者代位権の転用につき教科書等を使い勉強しておくこと。
	授業内容	その2（行使方法、行使の効果、債権者代位権の転用）
	事後学習	最判昭和44年6月24日民集23巻7号1079頁（行使できる範囲）、大判明治43年7月6日民録16輯537頁（登記請求権の代位行使）、大判昭和4年12月16日民集8巻944頁、最判昭和29年9月24日民集8巻9号1658頁（不動産賃借権の保全）、最判昭和50年3月6日民集29巻3号203頁（金銭債権の特定債権としての保全）を検討すること。
14	事前学習	詐害行為取消権の意義、その法的性質、詐害行為取消権の要件（①詐害行為）について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	2 詐害行為取消権 その1（意義、法的性質、詐害行為取消権の要件①[詐害行為]） 相対的取消を否定し絶対的取消を新法では認める。要件は相関的判断による。
	事後学習	時価相当価額での不動産の売却、一部の債権者への弁済または担保の供与等につき新法および旧法での議論を整理しておくこと。

15	事前学習	詐害行為取消権の要件②[被保全債権の要件]、詐害行為取消権の行使方法、行使の効果について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	その2（詐害行為取消権の要件②[被保全債権の要件]、詐害行為取消権の行使方法、行使の効果、行使期間等）
	事後学習	対抗要件を具備させる行為は詐害行為となるか、相続の放棄・遺産分割の合意・離婚に際しての財産分与等は詐害行為になるか検討しておくこと。特定債権でも被保全債権となるか、被保全債権の成立時期さらには取消権の範囲および内容について整理しておくこと。
16	事前学習	多数当事者の債権関係の①意義、②分割債権関係、③不可分債権関係について教科書などで勉強しておくこと。
	授業内容	4 多数当事者の債権関係 ①序説 ②分割債権関係、③不可分債権関係
	事後学習	平成17年9月8日民集59巻7号1931頁、最判昭和42年8月25日民集21巻7号1740頁の判例を検討すること。不可分的給付の対価の支払い義務は不可分債務か検討せよ（大判対象1年11月24日民集1巻670頁、大判昭和7年6月8日裁判例6巻民179頁）。
17	事前学習	連帯債務の意義、連帯債務の成立、連帯債務の効力の部分を教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	④連帯債務関係 その1（意義、連帯債務の成立、連帯債務の効力（連帯債務の対外的効力、連帯債務の一人について生じた事由））
	事後学習	債務者の一人についての無効・取消し、連帯債務の一人について生じた事由につき絶対的効力事由差応対的効力事由について整理しておくこと。
18	事前学習	連帯債務の対内的効力である求償関係、不真正連帯債務、連帯債権について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	その2（連帯債務の対内的効力（求償関係）、不真正連帯債務、連帯債権）
	事後学習	大判昭和7年9月30日民集11巻2008頁（有効とみなす効果の法的構成（相対的效果説））、最判平成22年10月8日民集64巻7号1719頁、最大判平成28年12月19日民集70巻8号2121頁を検討せよ。
19	事前学習	保障債務の意義と性質、保証債務の成立について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	⑤保証債務 その1（意義と性質、保証債務の成立）
	事後学習	最判昭和40年6月30日民集19巻4号1143頁、最判平成28年1月12日民集70巻1号1頁を検討しておくこと。
20	事前学習	保証債務の内容、保証債務の対外的効力について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	その2（保証債務の内容、保証債務の対外的効力）
	事後学習	最判昭和40年6月30日民集19巻4号1143頁・最判昭和47年3月23日民集26巻2号274頁、最判昭和20年5月21日民集24巻9頁を検討のこと。
21	事前学習	主たる債務者または保証人に生じた事由の効力を教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	その3（主たる債務者または保証人に生じた事由の効力）
	事後学習	最判平成15年3月14日民集57巻3号286頁、最判昭和46年10月26日民集25巻7号1019頁、最判昭和43年10月17日判時540号34頁、大判昭和20年9月10日民集24巻82頁を検討すること。
22	事前学習	保証債務の内部関係、特殊な保証を教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	その4（保証債務の内部関係、特殊な保証）
	事後学習	最判平成2年12月18日民集44巻9号1686頁、最判昭和60年2月12日民集39巻1号89頁、最判平成27年11月19日民集69巻7号1988頁、平成24年12月14日民集66巻12号3559頁を検討のこと。
23	事前学習	債権の譲渡性（将来債権の譲渡性）と譲渡制限について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	5 債権・債務の移転 ①序説 ②債権譲渡 その1（債権の譲渡性（将来債権の譲渡性）と譲渡制限など）
	事後学習	最判昭和53年12月15日判時916号25頁、最判平成11年1月29日民集53巻1号151頁、最判平成13年11月22日民集55巻6号1059頁を検討すること。
24	事前学習	債権譲渡の債務者および第三者対抗要件のぶぶんを教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	その2（債権譲渡の債務者および第三者対抗要件）
	事後学習	最判昭和49年3月7日民集28巻2号174頁、最判昭和55年1月11日民集34巻1号42頁、最判平成5年3月30日民集47巻4号3334頁を検討のこと。
25	事前学習	債務引き受け・契約上の地位の移転について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	③債務引き受け・契約上の地位の移転
	事後学習	最判昭和41年12月20日民集20巻10号2139頁、最判昭和46年4月23日民集25巻3号388頁を検討すること。
26	事前学習	債権の消滅 ①序説 ②弁済の部分を教科書等で勉強しておくこと
	授業内容	6 債権の消滅 ①序説 ②弁済
	事後学習	最判昭和63年7月1日判時1287号63頁、最判昭和37年8月21日民集16巻9号1809頁、最判昭和59年2月23日民集38巻3号445頁、平成15年4月8日民集57巻4号337頁を検討のこと。

27	事前学習	弁済者代位の部分を教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	弁済者代位
	事後学習	最判昭和59年5月29日民集38巻7号885頁、平成7年3月23日民集49巻3号987頁、最判平成23年11月22日民集65巻8号3165頁、最判昭和61年11月27日民集40巻7号1205頁を検討のこと。
28	事前学習	相殺の部分を教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	③相殺
	事後学習	最判平成25年2月28日民集67巻2号343頁、最判昭和45年6月24日民集24巻6号587頁を検討すること。
29	事前学習	代物弁済・供託、更改・免除・混同について教科書等で勉強しておくこと。
	授業内容	④代物弁済・供託、更改・免除・混同
	事後学習	最判平成24年9月4日金判1413号46頁、最判昭和46年10月14日民集25巻7号933頁を検討すること。
30	事前学習	これまでの講義においてよくわからなかった点を自分で整理しておくこと。
	授業内容	まとめと質問受付（事前学習をした結果わからないことがあった場合質問を受け付け、それにこたえとともに、法律の答案の書き方等について説明する）
	事後学習	質問に対する説明を受けたはずなのでそれを整理しておくこと。

科目名	民法Ⅴ（債権法各論）	担当者	野中 貴弘	部別	第二部	期間	後期	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法典の第3編「債権」のうち、債権の発生原因として規定されている契約・事務管理・不当利得・不法行為を対象とする。具体的には、契約にはどのようなものがあり、どのようにして成立するのか、最も身近な契約である売買契約における売主の義務にはどのようなものがあるか、契約の解除はどのような場合に認められるか、不法行為による損害賠償請求はどのような場合にどういった損害について請求できるのか等を学ぶことになる。				
授業目的・到達目標	授業で扱った制度・論点について、適宜自身で具体例を挙げることができるレベルで理解をし、かつまたそれを他者に論理的に説明できるようになることを目的とする。また、事例問題の中から法的問題を発見できるようになることも目的とする。より具体的には、債権各論の分野に関しては、行政書士試験や公務員試験等の各種資格試験にも対応できるようになる。				
履修条件	「民法総則」を履修済みであること。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、定期的に演習を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	基礎知識が身についているかを判定する。正誤問題（誤りの場合には理由も書く）と簡易記述式問題とを予定している。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	道垣内弘人『リーガルバイシス民法入門〔第2版〕』（日本経済新聞出版社・2017年）				
オフィスアワー	水曜日13:00-17:00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（本館6階1608） nonaka.takahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	講義案内・民法における債権各論の位置づけと債権各論の構造
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
2	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	民法の全体像①（民法とは何か、民法の全体像）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること

3	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	民法の全体像②（民法の基本原則）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
4	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約法総論①（契約の意義、分類、契約自由の原則と修正、契約の成立時期、契約解釈）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
5	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約法総論②（契約締結上の過失、事情変更の原則、危険負担）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
6	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約法総論③（同時履行の抗弁）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
7	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約法総論④（解除の要件）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
8	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	契約法総論⑤（解除の効果）、不当利得法
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第9回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
9	事前学習	あらかじめ演習（第1回）の問題を全問検討してくる
	授業内容	演習（第1回）
	事後学習	演習問題の回答を整理する
10	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	売買契約①
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第14回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
11	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	売買契約②
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第14回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
12	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	売買契約③（実際の売買契約書の検討や消費者保護法制も含む）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第14回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
13	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	交換契約、贈与契約
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第14回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
14	事前学習	あらかじめ演習（第2回）の問題を全問検討してくる
	授業内容	演習（第2回）
	事後学習	演習問題の回答を整理する

15	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	消費貸借契約
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第19回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
16	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	使用貸借契約、賃貸借契約①（意義、成立と効力）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第19回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
17	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	賃貸借契約②（賃貸借契約の効力）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第19回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
18	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	賃貸借契約③（更新、賃貸借の終了、借地借家法など）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第19回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
19	事前学習	あらかじめ演習（第3回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	演習（第3回）
	事後学習	演習問題の回答を整理する
20	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	役務提供契約①（雇用、請負、委任、寄託）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第22回講義の際に扱う演習（第4回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
21	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	役務提供契約②（雇用、請負、委任、寄託）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第22回講義の際に扱う演習（第4回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
22	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと あらかじめ演習（第4回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	その他の契約（団体設立契約、保険契約、第三者のためにする契約など）、演習（第4回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
23	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	約款
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
24	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為①（成立要件）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
25	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為②（効果）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
26	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為③（特別の不法行為）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと

27	事前学習	学生教員共有フォルダからレジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	不法行為④（特別の不法行為）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
28	事前学習	あらかじめ演習（第5回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	総合演習（第5回）
	事後学習	演習問題の回答を整理する 分からない箇所があれば、レジュメや参考書、さらには図書館にある文献も参照しながら整理する
29	事前学習	これまでのレジュメを読み返し、授業の際に重要であると指摘した部分を中心に復習をしておくこと
	授業内容	全体の復習
	事後学習	レジュメを整理する
30	事前学習	これまでのレジュメを読み返し、理解していない箇所をあらかじめ明らかにしておくこと
	授業内容	総括及び質問の受付け
	事後学習	レジュメを整理する

科目名	民法Ⅴ（債権法各論）	担当者	長谷川 貞之	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための			担当形態			
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
授業概要			債権は、人と人との法律関係を規律する法律概念であり、売買や賃貸借などの各種の契約や不法行為を主たる原因として発生する。本講義では、民法典が定める債権法の領域（民法５２１条―７２４条）のうち、主たる債権の発生原因である売買や賃貸借などの各種の契約、および不法行為・事務管理・不当利得を取り上げ、これを学ぶ。			
授業目的・到達目標			契約については、契約法の基礎理論を修得したうえで、民事特別法がカバーする借地借家法、特定商取引法などについても触れる。不法行為については、自動車事故や公害、商品の欠陥事故などの現代型不法行為を中心に、民事責任の要件・効果などを学ぶ。本講義を受講することにより、現代社会における契約理論、各種の契約および不法行為の基本構造を体系的に理解し、それを支える基本原理を修得し、今後学んで行くことになる関連科目群への展開を図りうる能力を得ることができる。			
履修条件			２年次以降の学生を対象とする。民法総則は履修済みであること。あわせて債権総論を履修する（している）ことが望ましい。			
授業方法			教科書に即して講義形式で行う。適宜、ソクラテスメソッド（問答方法）を用いる。基本判例を紹介しながら、具体的な設例を挙げて、理解を深めて行く。考える授業が本講義のモットーである。六法は必携である。			
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	授業等で学んだ基本的な事項および裁判例について、論文試験により基礎学力を判定し評価する。受講者数によっては、授業内試験に切り替えることもある。		
	平常評価		20%	授業態度、課題の取組み、予習・復習などを評価の対象として考慮する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	２０１８年	有斐閣		民法Ⅳ――債権各論〔第４版〕＜有斐閣Ｓシリーズ＞		藤岡康宏ほか
	２０１７年	商事法務		民法（債権関係）改正法新旧対照条文		商事法務（編）
	備考					
参考書			椿寿夫=中倉寛樹編『解説 新・条文にない民法』（日本評論社、２０１１年）、松本恒雄・潮見佳男編『判例プラクティスⅡ』（信山社、２０１３年）ほか。このほか、授業中に、適宜指示する。			
オフィスアワー			木曜日・12時30分～50分、研究室（4号館4階443）。事前にアポイントを取ること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	あらかじめ教科書を２・３回通読する。併せて、これから学ぶ民法典の債権各論に関する規定（民法５２１条―７２４条）を音読しておく。
	授業内容	ガイダンス：債権法各論を学ぶ意義 序論：債権各論と契約・不法行為、最近の債権法改正と民法理論
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
2	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、債権が売買や賃貸借などの各種の契約を主たる原因として発生すること、契約の一般的ルールがどのようなものであるかを、民法典の規定に即して整理しておく。
	授業内容	契約法総論①：契約の意義、契約の種類と性質、契約の分類
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

3	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、各種の契約に共通する契約の一般的ルールについて、理解を深めておく。併せて、現代社会における契約の特色を調べておく。
	授業内容	契約法総論②：契約自由の原則とその制限、約款取引／現代社会における契約の特色——契約の多角的法律関係、複合的給付
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。
4	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、契約が成立するための要件について、申込と承諾、承諾機関の有無、対話者・隔地者間の取引の違いなどを考慮し、検討しておく。
	授業内容	契約法総論③：契約の成立と効力（その１）—申込と承諾、契約の成立時期、契約と信義則、事情変更の原則
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
5	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、各種の契約の中心をなす双務契約について、物の引渡しと代金の支払いとの対価的牽連関係という観点から、民法典の規定がどのように規定されているか調べておく。
	授業内容	契約法総論④：契約の成立と効力（その２）—双務契約と牽連関係：契約締結上の過失理論
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
6	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、各種の契約の中心をなす双務契約について、物の引渡しと代金の支払いとの対価的牽連関係という観点から、民法典の規定がどのように規定されているか調べておく。
	授業内容	契約法総論⑤：契約の成立と効力（その３）—双務契約と牽連関係：危険負担、債務不履行
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
7	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、各種の契約の中心をなす双務契約について、物の引渡しと代金の支払いとの対価的牽連関係という観点から、民法典の規定がどのように規定されているか調べておく。
	授業内容	契約法総論⑥：契約の成立と効力（その４）—契約の解除、解除と第三者
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
8	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、贈与の社会的意義を知ったうえで、贈与がどのような場合に成立し、いかなる効力を有するかをを学習しておく。併せて、贈与の種類についても、理解を深めておく。
	授業内容	贈与：意義、成立と効力／特殊の贈与——負担付贈与、死因贈与、定期贈与など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
9	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、現代社会の取引の根幹をなす売買について、消費者取引の観点から、売買の意義・性質、売買が成立するに至るプロセスを調べておく。
	授業内容	売買①：意義と性質、売買の成立と効力、手付の意義・種類、買戻・再売買の予約
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
10	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、引き渡された給付の目的物に欠陥・瑕疵があった場合の処理につて、動産売買と不動産売買とを対比しながら、売主の責任を検討しておく。
	授業内容	売買②：売主の（瑕疵）担保責任
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
11	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、民法典が定める売買と異なる取引類型である割賦販売と訪問販売について、消費者取引の観点から理解を深めておく。
	授業内容	売買③：特殊の売買——割賦販売・訪問販売など 交換
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
12	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、金銭などの消費物の借入がどのような仕組みで行われるかについて学習しておく。金銭の消費貸借は売買と並んで現代社会で最も重要な契約である。併せて、利息に関する法規制についても調べておこう。
	授業内容	消費貸借①：意義、成立と効力、準消費貸借、利息に関する法規制—金利と利息制限、刑罰など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
13	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、物の貸し借りの中核をなす賃貸借について、意義、成立と効力などを学習しておく。売買と同様に、賃貸借も多様な目的物を対象としているから、注意を要する。
	授業内容	使用貸借：意義、成立と効力、使用貸借の終了 賃貸借①：意義、成立と効力、賃貸借の存続期間・更新、賃貸借の終了
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
14	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、賃貸借が成立した後の当事者間の権利・義務関係について、学習しておく。併せて、賃貸中の不動産の譲渡、賃借権の譲渡や賃借物の転貸などの第三者に対する関係についても、理解を深めておく。
	授業内容	賃貸借②：賃借権の譲渡・目的物の転貸、賃借人の第三者に対する関係、直接訴権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

15	事前学習	教科書を熟読し、宅地・建物・農地の賃貸借に関する法律関係について事前に学習しておく。生活の基盤である不動産の賃貸借はますます重要性を増してきており、借地借家法などの特別法の理解が不可欠である。
	授業内容	賃貸借③：特殊の賃貸借―借地借家契約（その1）
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
16	事前学習	教科書を熟読し、宅地・建物・農地の賃貸借に関する法律関係について事前に学習しておく。生活の基盤である不動産の賃貸借はますます重要性を増してきており、借地借家法などの特別法の理解が不可欠である。
	授業内容	賃貸借③：特殊の賃貸借―借地借家（その2）、農地賃貸借
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
17	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、労務提供型契約として民法典が定める雇用・請負・委任・寄託について事前に学習し、それぞれの意義・法的性質・社会的作用の観点から理解を深めておく。
	授業内容	雇用：意義、成立と効力、雇用の終了 請負①：意義、成立と効力、請負人の担保責任、特殊の解除権
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
18	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、労務提供型契約として民法典が定める雇用・請負・委任・寄託について事前に学習し、それぞれの意義・法的性質・社会的作用の観点から理解を深めておく。
	授業内容	請負②：意義、成立と効力、請負人の担保責任、特殊の解除権 委任①：意義、成立と効力、受任者の善管注意義務、委任の終了、専門家の責任
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
19	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、労務提供型契約として民法典が定める雇用・請負・委任・寄託について事前に学習し、それぞれの意義・法的性質・社会的作用の観点から理解を深めておく。
	授業内容	委任②：意義、成立と効力、受任者の善管注意義務、委任の終了、専門家の責任 寄託：意義、成立と効力、消費寄託、特殊の寄託
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
20	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、民法典が定める組合・終身定期金・和解について事前に学習し、それぞれの意義・法的性質・社会的作用の観点から理解を深めておく。
	授業内容	組合・終身定期金・和解
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
21	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、契約以外の債権の主たる発生原因である不法行為について、民事責任の観点から事前に学習しておく。現代社会における不法行為は、自動車事故に限らず幅広いものが対象となるから、注意を要する。
	授業内容	不法行為法概説：不法行為制度の意義と目的、民事責任における不法行為法の現状
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
22	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、不法行為制度の沿革、あらゆる不法行為に共通する不法行為の成立要件について、事前に学習しておく。
	授業内容	一般的不法行為の成立要件：故意・過失、権利侵害と違法性、因果関係、損害の発生など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
23	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、不法行為が成立した場合の賠償責任について、賠償の基本的ルールを事前に学習しておく。
	授業内容	不法行為の効果：金銭賠償の原則、損害賠償の請求権者、損害の種類と損害賠償の範囲、過失相殺、損益相殺など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
24	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、一般的不法行為に対して、特別の要件で不法行為の成立が認められるものにはどのようなものがあるかを学習しておく。
	授業内容	特殊的不法行為①：責任無能力者の不法行為と監督者の責任 特殊的不法行為②：使用者責任
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。
25	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、一般的不法行為に対して、特別の要件で不法行為の成立が認められるものにはどのようなものがあるかを学習しておく。
	授業内容	特殊的不法行為③：注文者の責任、工作物責任 特殊的不法行為④：動物占有者責任
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
26	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、不法行為が競合する場合の複数主体による賠償責任について学習しておく。あわせて、民法典以外のその他の不法行為についても、現代社会における民事責任の観点から理解を深めておく。
	授業内容	特殊的不法行為⑤：共同不法行為 民法典以外のその他の不法行為――運行供用者責任、製造物責任、医療過誤責任、原子力損害賠償責任など
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。

27	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、不当利得の意義と目的、不当利得の類型を学習しておく。不当利得において類型論的処理が必要とされる理由・根拠をしっかりと理解することが重要である。
	授業内容	不当利得①：意義と目的、不当利得の類型
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に授業の成果をまとめる。
28	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、不当利得における給付利得にはどのような問題があるのかを理解する。あわせて、多数当事者間の不当利得の問題についても、理解を深めておく。
	授業内容	不当利得②：騙取金による弁済、転用物訴権、多数当事者間の不当利得
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
29	事前学習	民法典の規定および教科書を読み、事務管理がどのような場合に成立し、事務管理者はいかなる範囲で本人に対して費用の償還を請求することができるのか、他人の事務の要件・成立範囲、その効果を学習しておく。
	授業内容	事務管理
	事後学習	教科書および配布プリントを参考に、授業の成果をまとめる。 「課題と質問」に取り組む。
30	事前学習	教科書のページの余白に記載してある★印（重要度に応じて3段階）に注意して教科書を通読し、重要な論点を確認する。
	授業内容	総括と質疑応答／授業内試験
	事後学習	これまでの授業内容を、教科書および配布プリントを参考に総括し、まとめる。 「課題と質問」を整理する。

科目名	民法Ⅴ（債権法各論）【法職課程】	担当者	藤村 和夫	部別	第一部	期間	前期	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	債権法各論は、契約法総論から不法行為法までに至る大変広い分野を対象とするが、そこでは、およそどのような規制がなされているのかを概観する。時間の関係上、契約法が中心となるが、近時の改正内容にも触れながら進める。				
授業目的・ 到達目標	債権法各論には、どのような規定が置かれているのか、その概要を把握することを目的とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	講義中心となるが、適宜、質疑も交え、受講生の理解度を確認しながら講義を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		100%	授業で学んだことがどの程度理解できているかをみて評価する。	
	平 常 評 価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2018年	信山社		契約法	藤村和夫
	備考				
参 考 書	必要があれば、授業中に示す。				
オフィス アワー	木曜日16時30分～17時30分				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書～13頁を読んでおく（以下、同様）
	授業内容	民法の構造、民法における契約法の位置づけ
	事後学習	民法とは、およそどのようなものかの復習
2	事前学習	17頁～24頁
	授業内容	契約法の原理
	事後学習	契約の意義と種類についての理解

3	事前学習	25頁～30頁
	授業内容	契約の成立
	事後学習	契約の成立要件と契約締結上の過失についての理解
4	事前学習	30頁～43頁
	授業内容	各種の契約成立方法
	事後学習	契約が成立する際の仕組みについての理解
5	事前学習	45頁～58頁
	授業内容	契約の効力（1）
	事後学習	同時履行の抗弁権の理解
6	事前学習	58頁～70頁
	授業内容	契約の効力（2）
	事後学習	危険負担の理解
7	事前学習	70頁～82頁
	授業内容	第三者のためにする契約
	事後学習	第三者のためにする契約とはどのようなものかの理解
8	事前学習	82頁～90頁
	授業内容	解除（1）
	事後学習	解除の意義と機能についての理解
9	事前学習	90頁～104頁
	授業内容	解除（2）
	事後学習	法定解除権の種類とその発生
10	事前学習	104頁～120頁
	授業内容	解除（3）
	事後学習	法定解除の効果等についての理解
11	事前学習	120頁～131頁
	授業内容	解除（4）
	事後学習	約定解除、解除契約、定型約款についての理解
12	事前学習	135頁～140頁
	授業内容	贈与
	事後学習	贈与一般についての理解
13	事前学習	141頁～146頁
	授業内容	売買（1）
	事後学習	売買の意義と成立についての理解
14	事前学習	146頁～164頁
	授業内容	売買（2）
	事後学習	売主の担保責任についての理解

15	事前学習	164頁～171頁
	授業内容	売買（3）
	事後学習	特殊の売買についての理解
16	事前学習	171頁～176頁
	授業内容	買戻
	事後学習	買戻の意義、効力等の理解
17	事前学習	177頁～190頁
	授業内容	交換、消費貸借
	事後学習	消費貸借の意義と効力についての理解
18	事前学習	191頁～198頁
	授業内容	使用貸借
	事後学習	使用貸借の意義と効力についての理解
19	事前学習	199頁～207頁
	授業内容	貸貸借（1）
	事後学習	貸貸借の意義と存続期間についての理解
20	事前学習	207頁～222頁
	授業内容	貸貸借（2）
	事後学習	貸貸借の効力についての理解
21	事前学習	222頁～233頁
	授業内容	貸貸借（3）
	事後学習	貸借権の譲渡・転貸についての理解
22	事前学習	235頁～244頁
	授業内容	雇傭
	事後学習	雇傭の意義と効力についての理解
23	事前学習	245頁～254頁
	授業内容	請負
	事後学習	請負の意義と効力についての理解
24	事前学習	255頁～263頁
	授業内容	委任
	事後学習	委任の意義と効力についての理解
25	事前学習	265頁～276頁
	授業内容	寄託
	事後学習	寄託の意義と効力についての理解
26	事前学習	277頁～286頁
	授業内容	組合（1）
	事後学習	組合の意義と業務執行についての理解

27	事前学習	286頁～296頁
	授業内容	組合（2）
	事後学習	組合の財産関係についての理解
28	事前学習	297頁～300頁
	授業内容	終身定期金、和解
	事後学習	終身定期金と和解の意義
29	事前学習	時期が近づいたら指示する
	授業内容	不法行為（1）
	事後学習	不法行為の成立要件についての理解
30	事前学習	時期が近づいたら指示する
	授業内容	不法行為（2）
	事後学習	不法行為の効果についての理解

科目名	民法Ⅴ（債権法各論）	担当者	峯川 浩子	部別	第一部	期間	後期	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための			担当形態		
科目					
施行規則に定める 科目区分又は事項等					
授業概要	本講義は、財産法のなかで債権各論とよばれる領域を対象とする。契約法と不法行為法が授業の主たる内容となる。契約においては、権利移転型（売買、交換、贈与）、利用型（消費貸借、賃貸借）、役務提供型（請負、委任、寄託）の契約を順次取り上げ、各契約から発生する権利義務の内容と各契約独自の事項について学習する。不法行為においては、一般の不法行為と特殊の不法行為について学習する。改正債権法の内容なども織り込みながら講義を進める。				
授業目的・ 到達目標	債権の発生原因たる契約、事務管理、不当利得、不法行為の基礎的知識・理論を拾得することが目的である。				
履修条件	民法総則を受講済みであることが望ましい。				
授業方法	講義形式による。2 コマ続きとなるので、気分転換をはかりつつ効率よく授業をすすめたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		80%	法律の基礎的知識が身についているかを判定する 授業中に指摘した基本的な事項について理解しておくこと	
	平 常 評 価		20%	授業態度や取り組み等で評価する。詳細については初回の授業のときに説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				レジュメを配布するので特に指定しない。	
	備考	条文を参照するので六法は必ず持参すること。 予習・復習のため、自分がわかりやすいと思う「債権各論」の参考書を一冊準備しておく（以下に記載する参考書に限定する必要はない）。			
参 考 書	潮見佳男『債権各論Ⅰ・Ⅱ』（新世社、2017年）。内田貴『民法Ⅱ債権各論』（東京大学出版会、2011年） 中田 裕康ほか「判例百選Ⅱ債権」（有斐閣、2009年）				
オフィス アワー	授業終了後に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバス確認
	授業内容	ガイダンス・債権法の基礎：債権法の構造、債権の種類、債権の概念と特色等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
2	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	契約の成立：申込みと承諾、隔地者間の契約等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習

3	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	契約の成立と契約前の責任
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
4	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	同時履行の抗弁権
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
5	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	危険負担
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
6	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	第三者のためにする契約
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
7	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	解除（１）契約解除の意義、要件、効果、解除と類似の制度
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
8	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	解除（２）解除の効果をめぐる諸問題：解除権を行使した際の損害賠償の範囲、解除と第三者等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
9	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	有償契約の問題（１）担保責任
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
10	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	有償契約の問題（２）担保責任の重要論点
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
11	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	売買契約：売買契約の成立、売買の予約、手付、売買契約の効力、買戻し、再売買の予約等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
12	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	贈与契約、交換契約
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
13	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	貸貸借契約（１）貸貸借契約の成立、存続期間、貸貸人・賃借人の権利・義務等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
14	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	貸貸借契約（２）貸貸借契約の終了、貸貸人の地位の移転、賃借権の譲渡、目的物の転貸
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習

15	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	貸貸借契約（3）特殊な貸貸借
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
16	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	消費貸借契約：消費貸借契約の成立、準消費契約、消費者信用等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
17	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	請負契約
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
18	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	委任契約
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
19	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	寄託契約、和解契約、事務管理
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
20	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	一般不当利得
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
21	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	特殊の不当利得
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
22	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不法行為制度概説：意義・機能、不法行為責任と刑事責任、請求権の関係等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
23	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	一般不法行為の成立要件（1）故意・過失、権利侵害と違法性
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
24	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	一般不法行為の成立要件（2）損害の発生、因果関係、責任能力
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
25	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不法行為の効果（1）損害の金銭的評価、損害賠償の方法、賠償の範囲等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
26	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	不法行為の効果（2）損害賠償請求権者、損害賠償額の調整、消滅時効等
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習

27	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	特殊な不法行為（１）監督義務者の責任
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
28	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	特殊な不法行為（２）使用者責任
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
29	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	特殊な不法行為（３）工作物責任・動物占有者の責任、
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習
30	事前学習	参考書の該当箇所に目を通しておくこと
	授業内容	特殊な不法行為（４）共同不法行為
	事後学習	レジュメ・参考書を用いて復習

科目名	民法Ⅵ(親族法)	担当者	大杉 麻美	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義では、民法第4編(親族編)の講義を行う。わが国における家族をめぐる状況は、近年、大きく変わりつつある。様々な状況が発生する中で、法律はどのように対応する必要があるだろうか。本講義では、親族法に関連する基礎的知識に関する講義を行うと同時に、現代的課題も扱い、今後の家族の行く末について課題を示していく。			
授業目的・到達目標	(1)親族編の基礎について正確に理解することができる (2)親族編の具体的事例につき簡単に説明することができる (3)現代的課題について理解し、自らの意見を発信することができる			
履修条件	六法を持参のこと。社会の動きに興味を持つこと。			
授業方法	講義形式でシラバスに沿って講義を行う。適宜、判例のみならず新聞等で取り上げられる事例を紹介しつつ、現代的課題に対する理解を深めたい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	定期試験は論述式で行う。講義で学んだことに関する理解の程度により評価する。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	弘文堂	『親族・相続法[第2版]』	犬伏由子他3名著
	備考			
参考書	水野紀子・大村敦志編『民法判例百選3 親族・相続（別冊ジュリストNo. 239）』（有斐閣・2018）			
オフィスアワー	金曜日2限。事前にアポイントをとって訪問すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義概要を読んでおく
	授業内容	ガイダンス、家族法の考え方・家族法の歴史
	事後学習	現代の家族形態と戦前までの家族形態について比較し整理しておく
2	事前学習	家族法と戸籍制度、家庭裁判所について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	家族法と戸籍、家庭裁判所のしくみ、紛争解決手続き
	事後学習	家庭裁判所のHPにアクセスし、紛争解決の仕組みについて確認する

3	事前学習	婚姻の成立について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	婚姻の成立要件
	事後学習	婚姻の成立要件について具体的に整理しておく
4	事前学習	婚姻の効果について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	婚姻の効果、夫婦財産制
	事後学習	婚姻の効果について、一般的効果と財産的效果に分けて整理しておく
5	事前学習	離婚の成立要件について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	離婚の意義・方式
	事後学習	離婚原因について様々な事例をまとめておく
6	事前学習	離婚の財産的效果について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	離婚の財産的效果(財産分与)
	事後学習	財産分与の具体的事例についてまとめておく
7	事前学習	離婚と子どもの関係について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	離婚と子ども、親権者・監護者、面会交流
	事後学習	離婚をめぐる子どもの状況についてまとめておく
8	事前学習	婚姻外の男女の法律関係につき教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	婚約・内縁(事実婚)
	事後学習	さまざまなカップルの形についてまとめておく
9	事前学習	親子の法律問題につき教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	実親子関係(嫡出子・非嫡出子)
	事後学習	親子関係の成立について母子関係と父子関係に分けて整理する
10	事前学習	養子の法律問題につき教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	養親子関係(普通養子・特別養子)
	事後学習	普通養子と特別養子の違いについて整理しておく
11	事前学習	親子関係の派生的問題について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	生殖補助医療(代理母ほか)
	事後学習	生殖補助医療に関する最近の動向を調べておく
12	事前学習	親と子の法律関係について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	親権に服する者、親権者、親権者の変更、親権の内容
	事後学習	親権の内容について具体的にまとめておく
13	事前学習	児童虐待などの親権濫用の事例について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	親権濫用、親子間の利益相反行為
	事後学習	親権濫用についての具体的事例をまとめておく
14	事前学習	後見と扶養について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	未成年後見・成年後見、扶養
	事後学習	未成年子と親の関係、成年子と老親の関係にわけて整理をしておく

15	事前学習	これまでの講義で分からなかった箇所を整理する
	授業内容	まとめ
	事後学習	理解できた内容を整理しておく

科目名	民法Ⅵ(親族法)	担当者	武田 政明	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	男女、夫婦、親子、親族、高齢者等の現代の家族が直面している具体的法律問題を、親族法条文構成に即して、現行親族法条文の成立経緯、基本理念を踏まえた上で平易に解説する。					
授業目的・到達目標	単なる技術的法知識の習得に終わることなく、これからの私達の生活により合致する親族に関する新たな法の原理・原則の構築について考える契機となるky授業をする。実際の争い事の中から、法律的問題点を識別し、解決のために必要となる法律的結論を導き出せる能力を獲得することを目標とする。					
履修条件	男女関係、夫婦、家族・親族関係、高齢者、子ども等に関する問題に関心のある者に受講してもらいたい。					
授業方法	講義方式で行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業内容の理解の程度、正確な法的知識、正しい法的思考のもとに妥当な法的結論を導き出せているかを評価基準とする。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成26年第6版	日本加除出版		親族法・相続法講義〔第六版〕		山川一陽
	備考					
参考書	「家族法判例百選 第7版」（有斐閣） 「Q&Aわかるわかる！よくわかる家族法」 山川一陽（日本加除出版）					
オフィスアワー	希望する場合には、あらかじめ相談の上、授業の前後に時間をとり可能な限り応じる。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	現代社会と家族法、憲法と家族法
	事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親族関係の原則 基本原則
	事後学習	講義内容の復習

3	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親族関係の原則　効果　終了
	事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親族に関する法と戸籍
	事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	婚姻に関する法　総論　日本　外国
	事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	婚姻に関する法　要件
	事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	婚姻に関する法　効果
	事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	離婚に関する法　総論　日本　外国
	事後学習	講義内容の復習
9	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	離婚に関する法　要件
	事後学習	講義内容の復習
10	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	離婚に関する法　効果
	事後学習	講義内容の復習
11	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親子に関する法　実親子関係　嫡出である子
	事後学習	講義内容の復習
12	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親子に関する法　実親子関係　嫡出でない子
	事後学習	講義内容の復習
13	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親子に関する法　養親子関係
	事後学習	講義内容の復習
14	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	親権　後見
	事後学習	講義内容の復習

15	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	保佐および補助 扶養
	事後学習	講義内容の復習

科目名	民法Ⅵ(親族法)	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	この講義では、民法の中でも親族法とよばれる分野を学習します。ここで扱う内容は、身近な法律問題ではありますが、近時、新たな動きが生まれ、検討すべき事柄の多い領域でもあります。そこで、この講義では、生殖補助医療・児童虐待・無戸籍児・事実婚など新たなトピックにも言及しつつ、家族の今について、皆さんと共に考えていきたいと思います。				
授業目的・到達目標	この講義では、民法の中でも親族法とよばれる分野の基礎的・体系的な理解を身につけてもらうことを目的とします。親族法の基本的概念を正確に修得することを到達目標とします。				
履修条件	講義には必ず出席すること、最新の六法を持参すること、わからない法律用語がでてきたら、面倒がらずに調べること。				
授業方法	レジュメを配布し、講義形式で進めていきます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	親族法の基礎知識が身についているかを判定します。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2014	日本加除出版		親族法・相続法講義（第6版）	山川一陽
	備考				
参考書	①法令用語研究会編『有斐閣法律用語辞典(第4版)』（有斐閣・2012） ②水野紀子・大村敦志編『民法判例百選3 親族・相続（別冊ジュリストNo. 239）』（有斐閣・2018）				
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館7F1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、目次等をみっておくこと
	授業内容	ガイダンス（条文の読み方、法律用語の確認）、家族法入門（※六法を持参すること）
	事後学習	レジュメを復習しておくこと
2	事前学習	事前に配布したレジュメの総論部分についてみっておくこと テキストの第1部1～3章、第2部1章を読んでくこと
	授業内容	親族法総論
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を復習しておくこと

3	事前学習	事前に配布したレジュメの婚姻の箇所についてみておくこと テキストの第2部2章第1～3を読んでもくること
	授業内容	夫婦関係（1） 婚姻の成立
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を復習しておくこと
4	事前学習	事前に配布したレジュメの婚姻の効果等の箇所についてみておくこと テキストの第2部2章第4を読んでもくること
	授業内容	夫婦関係（2） 婚姻の一般的効果・財産的効果（夫婦財産制）
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
5	事前学習	事前に配布したレジュメの婚姻の解消の箇所についてみておくこと テキストの第2部3章を読んでもくること
	授業内容	夫婦関係（3） 離婚の成立
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を復習しておくこと
6	事前学習	事前に配布したレジュメの婚姻の解消の箇所についてみておくこと テキストの第2部3章を読んでもくること
	授業内容	夫婦関係（4） 離婚の効果・DV・無戸籍児問題
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を復習しておくこと
7	事前学習	事前に配布したレジュメの該当箇所を読んでもおくこと
	授業内容	婚外関係（内縁・事実婚）
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
8	事前学習	事前に配布したレジュメの実親子関係の箇所についてみておくこと テキストの第2部4章第1、2を読んでもくること
	授業内容	親子関係（1） 実親子関係①（嫡出子）
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
9	事前学習	事前に配布したレジュメの実親子関係の箇所についてみておくこと テキストの第2部4章第1、2を読んでもくること
	授業内容	親子関係（2） 実親子関係②（非嫡出子・準正）
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
10	事前学習	事前に配布したレジュメの実親子関係の箇所についてみておくこと テキストの第2部4章第3～5を読んでもくること
	授業内容	親子関係（3） 養親子関係
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
11	事前学習	事前に配布したレジュメの生殖補助医療の箇所を読んでもくること
	授業内容	親子関係（4） 生殖補助医療
	事後学習	レジュメの該当箇所を復習しておくこと
12	事前学習	事前に配布したレジュメの親権の箇所についてみておくこと テキストの第2部5章第1、2を読んでもくること
	授業内容	親子関係（5） 親権①（親権に服する者、親権者、親権の内容）
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
13	事前学習	事前に配布したレジュメの親権の箇所についてみておくこと
	授業内容	親子関係（6） 親権②（児童虐待・医療ネグレクト）
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと
14	事前学習	事前に配布したレジュメの後見・扶養の箇所についてみておくこと テキストの第2部5章第2～4、6章を読んでもくること
	授業内容	後見・扶養
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所を読んでもおくこと

15	事前学習	質問すべき点がないかを考えてくること
	授業内容	まとめ・質問受付
	事後学習	配布したレジュメ及びテキストを試験に向けてよく読んでおくこと

科目名	民法Ⅶ(相続法)	担当者	大杉 麻美	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講義では、民法第5編(相続編)の講義を行う。わが国における家族をめぐる状況は、近年、大きく変わりつつある。様々な状況が発生する中で、法律はどのように対応する必要があるだろうか。本講義では、相続法に関連する基礎的知識に関する講義を行うと同時に、現代的課題も扱い、今後の家族の行く末について課題を示していく。			
授業目的・到達目標	(1)相続編の基礎について正確に理解することができる (2)相続編の具体的事例につき簡単に説明することができる (3)現代的課題について理解し、自らの意見を発信することができる			
履修条件	六法を持参のこと。社会の動きに興味を持つこと。			
授業方法	講義形式でシラバスに沿って講義を行う。適宜、判例のみならず新聞等で取り上げられる事例を紹介しつつ、現代的課題に対する理解を深めたい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	定期試験は論述式で行う。講義で学んだことに関する理解の程度により評価する。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2016年	弘文堂	『親族・相続法[第2版]』	犬伏由子他3名著
	備考			
参考書	水野紀子・大村敦志編『民法判例百選3 親族・相続（別冊ジュリストNo. 239）』（有斐閣・2018）			
オフィスアワー	金曜日2限。事前にアポイントをとって訪問すること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講義概要を読んでおく
	授業内容	ガイダンス、相続法の考え方
	事後学習	相続法の考え方についてまとめておく
2	事前学習	相続人の種類と順位について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	相続人の種類と順位(血族相続人、配偶者、代襲相続)
	事後学習	相続人に関する法律の考え方について整理しておく

3	事前学習	相続欠格と廃除について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	相続欠格、相続人の廃除
	事後学習	相続欠格と廃除の違いについて整理しておく
4	事前学習	相続財産の承継原則、相続財産の範囲について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	包括承継の原則、包括承継原則の例外、相続財産の範囲
	事後学習	相続財産の範囲に関する具体的事例をまとめておく
5	事前学習	遺産共有と相続分に関する教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺産共有、法定相続分と指定相続分
	事後学習	遺産共有の考え方について整理しておく
6	事前学習	相続分の調整(特別受益と寄与分)について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	特別受益・寄与分
	事後学習	特別受益と寄与分の違いについて整理しておく
7	事前学習	遺産分割について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺産分割の基準、遺産分割の実行・効果
	事後学習	遺産分割の手順について整理しておく
8	事前学習	相続の承認及び放棄について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	相続の承認及び放棄(単純承認・限定承認・放棄)
	事後学習	単純承認と限定承認の違いについて整理しておく
9	事前学習	相続回復請求権、財産分離、相続人不存在について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	相続回復請求権、財産分離、相続人不存在(相続財産法人、特別縁故者)
	事後学習	相続人不存在の場合の法律につき整理をしておく
10	事前学習	遺言の意義・要件、遺言の方式に関する教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺言の意義・要件、遺言の方式(自筆証書遺言、公正証書遺言、秘密証書遺言)
	事後学習	遺言の方式の違いを整理しておく
11	事前学習	遺言の効力、遺言の方式に関する教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺言の成立要件、有効要件、効力発生要件、遺言の方式
	事後学習	遺言の方式について表を作って整理しておく
12	事前学習	遺言の効力・遺贈について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺言の撤回、遺贈、遺贈の効力、死因贈与との関係ほか
	事後学習	遺贈の効力について整理しておく
13	事前学習	遺言の執行と遺留分の確定について、教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺言の検認・開封、遺言執行者、遺留分権利者、遺留分の算定
	事後学習	遺留分権利者と遺留分額の算定について整理しておく
14	事前学習	遺留分減殺請求権について教科書の該当箇所を読んでおく
	授業内容	遺留分減殺請求権の成立・行使・効力、遺留分の放棄
	事後学習	遺留分減殺請求権について再度教科書の該当箇所を読み返す

15	事前学習	これまでの講義で分からなかった箇所を書き出してみる
	授業内容	まとめ
	事後学習	理解できた箇所を整理する

科目名	民法Ⅶ(相続法)	担当者	武田 政明	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	相続を理解するために必要な基礎的法律知識、現代の相続が直面している具体的法律問題を、相続法条文構成に即して、相続法の基本理念を踏まえて平易に解説する。				
授業目的・到達目標	相続に関する単なる技術的法知識の習得に終わることなく、これからの私達の生活に合致する新たな相続の原理・原則の構築についても考える授業をする。実際の争いに即した正確な相続法の知識を習得し、相続に関する争いを法的に解決できる能力を獲得することを目的とする。				
履修条件	相続に関する争い事、これからの相続法はどのようにあるべきかに関心のある者に受講してもらいたい。				
授業方法	講義方式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業内容の理解の程度、正確な法的知識、正しい法的思考のもとに妥当な結論を導き出しているかを評価基準とする。	
	平常評価				
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成26年第6版	日本加除出版		親族法・相続法講義〔第六版〕	山川一陽
	備考				
参考書	「家族法判例百選 第7版」（有斐閣） 「Q＆Aわかるわかる！よくわかる家族法」 山川一陽（日本加除出版）				
オフィスアワー	希望する場合には、あらかじめ相談の上で、授業の前後に時間をとり可能な限り応じる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続序説
	事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続の開始
	事後学習	講義内容の復習

3	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続人と相続分 総論
	事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続人と相続分 欠格 廃除
	事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続人と相続分 特別受益 寄与分
	事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	遺産分割
	事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	承認・放棄 総論
	事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	単純承認 限定承認
	事後学習	講義内容の復習
9	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続放棄 財産分離
	事後学習	講義内容の復習
10	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	相続人の不存在
	事後学習	講義内容の復習
11	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	遺言 総論
	事後学習	講義内容の復習
12	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	遺言の方式
	事後学習	講義内容の復習
13	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	遺言の効果
	事後学習	講義内容の復習
14	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	遺言の執行 遺言の撤回・取消
	事後学習	講義内容の復習

15	事前学習	教科書の該当箇所の予習
	授業内容	遺留分
	事後学習	講義内容の復習

科目名	民法Ⅶ(相続法)	担当者	矢田 尚子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	この講義では、民法の中でも相続法とよばれる分野を学んでいきます。ここで扱う内容は、身近な法律問題ではありますが、近時、新たな動きが生まれ、検討すべき課題の多い領域でもあります。そこで、この講義では、非嫡出子の相続分、相続させる旨の遺言といった近年の重要判例にも言及しながら、家族、相続の今について、皆さんと共に考えていきたいと思ひます。					
授業目的・到達目標	この講義では、民法の中でも相続法とよばれる分野の基礎的・体系的な理解を身につけてもらうことを目的とします。相続法の基本概念を正確に修得することを到達目標とします。					
履修条件	講義には必ず出席すること、最新の六法を持参すること、わからない法律用語がでてきたら、面倒がらずに調べること。					
授業方法	レジュメを配布し、講義形式で進めていきます。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	親族法の基礎知識が身についているかを判定します。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	日本加除出版		親族法・相続法講義（第6版）		山川一陽
	備考					
参考書	①法令用語研究会編『有斐閣法律用語辞典(第4版)』（有斐閣・2012） ②水野紀子・大村敦志編『民法判例百選3 親族・相続（別冊ジュリストNo. 239）』（有斐閣・2018）					
オフィスアワー	原則として火曜日の12:15～12:50に研究室（本館7F1720）にて、講義内容につき、質問を受け付けます。（※相談の上、別の日時に設定することもあります。）					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	テキストを購入し、目次を確認してくること
	授業内容	ガイダンス（条文の読み方、法律用語の確認）、家族法入門
	事後学習	レジュメを復習しておくこと
2	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと、法務省のホームページをみておくこと（相続法改正の動向） テキストの第3部1、2章を読んでおくこと
	授業内容	相続法改正の概要 相続法総論(1)－意義、開始原因と場所、推定相続人の地位
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと

3	事前学習	事前に配布したレジュメを確認しておくこと テキストの第3部3、4章を読んでおくこと
	授業内容	相続法総論(2)－相続回復請求権、祭祀承継
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
4	事前学習	事前に配布したレジュメを確認しておくこと テキストの第3部3章を読んでおくこと
	授業内容	相続人と相続分(1)－意義、相続人の種類と順位、相続欠格、廃除
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
5	事前学習	事前に配布したレジュメの該当箇所を読んでおくこと テキストの第3部3章を読んでおくこと
	授業内容	相続人と相続分(2)－法定相続分、指定相続分、代襲相続人の相続分
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
6	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部1～3章を読んでおくこと
	授業内容	相続人と相続分(3)－特別受益者、寄与者の相続分
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
7	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部4章を読んでおくこと
	授業内容	相続の効果
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
8	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部4章を読んでおくこと
	授業内容	遺産分割(1)－意義、実行、分割の基準と方法
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
9	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部4章を読んでおくこと
	授業内容	遺産分割(2)－効力、共同相続人間の担保責任、対象
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
10	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部5、6、7章を読んでおくこと
	授業内容	相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
11	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部8章を読んでおくこと
	授業内容	遺言(1)－意義、普通方式、特別方式、一般的効力
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
12	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部8章を読んでおくこと
	授業内容	遺言(2)－遺贈、遺言の執行、遺言の撤回・取消し
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
13	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部8章を読んでおくこと
	授業内容	遺留分(1)－意義、遺留分権利者と遺留分割合、遺留分の算定
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと
14	事前学習	事前に配布したレジュメに目を通しておくこと テキストの第3部8章について読んでおくこと
	授業内容	遺留分(2)－遺留分減殺請求権の行使、効力、消滅
	事後学習	レジュメ及びテキストの該当箇所について復習しておくこと

15	事前学習	質問事項がないかを考えておくこと
	授業内容	まとめ・質問受付
	事後学習	配布したレジュメ及びテキストを試験に向けてよく読んでおくこと

科目名	民法総則	担当者	金光 寛之	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法総則では、権利の主体から学び始め、権利の客体、法律行為、代理、条件、法律行為の無効や取消等について学ぶ。				
授業目的・到達目標	民法は、「私法の基礎をなしている一般法」であるとされている。そして民法は、社会生活関係を規制している法であると考えられる。本講義は、民法第一編総則と第二編物権を学習対象とし、総則と物権の基本原理の理解を目標とする。民法総則・物権法の講義を履修することで日常で起きている様々な法律関係について考えられることを到達目標とする。また本講義を受講することにより公務員試験及び様々な資格試験の基本的な内容を網羅することも到達目標とする。				
履修条件	特になし				
授業方法	テキストを参照しつつ講義を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	期末試験にて総合的評価をする。	
	平常評価		0%	受講生の人数および出席者の人数によっては授業参加度を加味することもある。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2012	法研出版		民法総則・物権法	
	備考				
参考書	なし				
オフィスアワー	電子メール等にて適宜相談を受ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定されたテキストを読み講義に備える
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講義で説明された内容について再度考える。
2	事前学習	民法の基本原理に関する内容についてテキストをよく読む
	授業内容	民法の基本原理
	事後学習	民法の基本原理に関して講義で説明された内容についてテキスト・ノートを読み直す

3	事前学習	民法上の権利の主体についてテキストをよく読んでおく。
	授業内容	民法上の権利の主体・自然人
	事後学習	民法上の権利の主体・自然人の講義で説明された内容についての判例等を調べる。
4	事前学習	法人についてテキストをよく読んでおく。
	授業内容	民法上の権利の主体・法人
	事後学習	民法上の権利の主体・法人についてテキスト等をもう一度読みなおす。
5	事前学習	民法上の権利の客体・物についてテキストをよく読んでおく。
	授業内容	民法上の権利の客体・物
	事後学習	民法上の権利の客体・物の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
6	事前学習	法律行為の意義と種類についてテキスト等をよく読んでおく。
	授業内容	法律行為①
	事後学習	法律行為の意義と種類の講義内容についてテキスト等を読み確認する。
7	事前学習	法律行為の解釈と基準についてテキストをよく読んでおく。
	授業内容	法律行為②
	事後学習	法律行為の解釈と基準の講義内容についてテキスト等を読み確認をする。
8	事前学習	法律行為の目的上の有効要件についてテキストをよく読んでおく。
	授業内容	法律行為③
	事後学習	法律行為の目的上の有効要件の講義内容についてテキスト等を読み確認をする。
9	事前学習	代理の意義と機能についてテキストをよく読んでおく。
	授業内容	代理①
	事後学習	代理の意義と機能の講義内容についてテキスト等を読み内容を確認する。
10	事前学習	代理権の制限についてテキストをよく読んでおく
	授業内容	代理②
	事後学習	代理権の制限の講義内容についてテキスト等を読み内容を確認する。
11	事前学習	無権代理についてテキストを読んでおく。
	授業内容	代理③
	事後学習	無権代理の講義内容についてテキスト等を読み内容を確認する。
12	事前学習	無効・取消、条件・期限についてテキストをよく読んでおく
	授業内容	無効・取消、条件・期限
	事後学習	無効・取消、条件・期限の講義についてテキスト等を読み内容を確認する。
13	事前学習	取得時効についてテキストを読んでおく
	授業内容	時効①
	事後学習	取得時効の講義についてテキスト等を読み内容を確認する。
14	事前学習	消滅時効についてテキストを読んでおく。
	授業内容	時効②
	事後学習	消滅時効の講義についてテキスト等を読み内容を確認する。

15	事前学習	時効の効力と時効の援用についてテキストを読んでおく。
	授業内容	時効③
	事後学習	時効の効力と時効の援用の講義についてテキスト等を読み内容を確認する。

科目名	民法総則	担当者	野中 貴弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	民法典の第1編「総則」に定められたルールについて学ぶ。具体的には、民法がどのような場面に適用されるのかをおさえた後、民法における登場人物についてのルール、納得のいかない意思表示をしてしまった場合の当事者間の利益調整のあり方、他者を使って取引等をする場合の代理制度、さらには永続した事実状態を尊重する制度としての時効制度を学ぶ。講義では、細かい知識等は省略することで、民法総則の重要部分に時間をかけて丁寧に説明する。			
授業目的・到達目標	授業で扱った制度・論点について、適宜自身で具体例を挙げることができるレベルで理解をし、かつまたそれを他者に論理的に説明できるようになることを目的とする。また、事例問題の中から法的問題を発見できるようになることも目的とする。より具体的には、民法総則の分野に関しては、行政書士試験や公務員試験等の各種資格試験にも対応できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	基本的に講義形式で行うが、定期的に演習を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	基礎知識が身についているかを判定する。正誤問題（誤りの場合には理由も書く）と簡易記述式問題とを予定している。	
	平常評価	0%		
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	有斐閣	民法入門・総則〔第5版〕エッセンシャル民法1	永田眞三郎ほか
	備考			
参考書	道垣内弘人『リーガルバイシス民法入門〔第2版〕』（日本経済新聞出版社・2017年）			
オフィスアワー	水曜日13:00-17:00（事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（本館6階1608） nonaka.takahiro@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学生教員共有フォルダから第1回レジュメを印刷し、あらかじめ読んでおくこと
	授業内容	講義案内、民法の特徴と魅力、民法の構造と民法における民法総則の位置づけ
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
2	事前学習	教科書の第1章、2章を読んでおくこと
	授業内容	民法の全体像①（民法とは何か、民法の全体像）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと

3	事前学習	教科書の第1章、2章を読んでおくこと 第3回講義は、第2回の講義内容の続きになるので、第2回レジュメを読み返してから講義に望むこと
	授業内容	民法の全体像②（民法の基本概念）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
4	事前学習	教科書の第3章を読んでくること
	授業内容	権利の主体（人）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
5	事前学習	教科書の第5章を読んでくること あらかじめ演習（第1回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	権利の客体（物）、演習（第1回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
6	事前学習	教科書の第6章のうち、冒頭から心裡留保の箇所まで読んでくること
	授業内容	法律行為と意思表示①（法律行為と意思表示の関係、意思表示の到達と受領、法律行為と意思表示の解釈、心裡留保）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第8回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
7	事前学習	教科書の第6章のうち、通謀虚偽表示と錯誤の箇所を読んでくること
	授業内容	法律行為と意思表示②（通謀虚偽表示、錯誤）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第8回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
8	事前学習	教科書の第6章のうち、詐欺と強迫の箇所を読んでくること あらかじめ演習（第2回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	法律行為と意思表示③（詐欺、強迫）、演習（第2回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
9	事前学習	教科書の第7章、8章、9章を読んでくること
	授業内容	法律行為の自由と制約、無効と取消し、条件と期限
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第11回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
10	事前学習	教科書の第10章のうち、無権代理の前までを読んでくること
	授業内容	代理①（代理の基本的仕組みと機能、代理権、代理行為）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 第11回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち、今回学んだ部分の問題につき解いてみること
11	事前学習	教科書の第10章のうち、無権代理と表見代理の箇所を読んでくること あらかじめ演習（第3回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	代理②（無権代理、表見代理）、演習（第3回）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと 演習問題の回答を整理する
12	事前学習	教科書の第12章のうち、取得時効の箇所を読んでくること
	授業内容	時効①（取得時効）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
13	事前学習	教科書の第12章のうち、消滅時効以下を読んでくること
	授業内容	時効②（消滅時効、時効の共通原則、時効制度の意義と類似の制度）
	事後学習	レジュメを再度読み直しておくこと
14	事前学習	これまでのレジュメや教科書を見ながら、あらかじめ演習（第4回）の問題を全問検討してくること
	授業内容	演習（第4回）をしながら重要部分の復習
	事後学習	演習問題の回答を整理する 分からない箇所があれば、教科書やレジュメ、さらには図書館にある文献も参照しながら整理する

15	事前学習	これまでのレジメを読み返し、理解していない箇所をあらかじめ明らかにしておくこと
	授業内容	総括と質問受付け
	事後学習	レジメを整理する

科目名	メディア演習Ⅰ	担当者	高木 強	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	新聞メディアを中心にジャーナリズム活動の現状と社会的・法的・経済的環境、およびそれらの理解を通じて、ジャーナリズム活動の構造や社会的な意義・役割について学ぶ。				
授業目的・到達目標	ジャーナリズム・メディア・言論の自由の問題をさまざまな観点から考察し、ジャーナリズム活動の現状・構造や社会的役割を把握、理解する。 到達目標：社会の中でのジャーナリズム、メディアの構造、制度への理解を深め、メディア、情報に接する主体的判断力を養う。				
履修条件	ジャーナリズム、言論・表現の自由に関心を有していること。				
授業方法	主に講義形式で行う。質疑応答、討論の時間を適宜設ける。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業での質疑、授業内リポートの内容で評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。授業ごとに適宜、資料を配布する。			
参 考 書	授業ごとに適宜、紹介する。				
オフィスアワー	授業内で質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読し、授業概要、目的について理解しておく。
	授業内容	全体の授業計画の説明、ガイダンス
	事後学習	新聞あるいは新聞社に対するイメージを考える。
2	事前学習	新聞あるいは新聞社に対するイメージをまとめておく。
	授業内容	新聞メディアの活動と構造1（組織）：新聞社がどのような組織体であり、どのような構造となっており、どのような活動を行っているのかについて。
	事後学習	新聞以外に自分が関心を持っているメディアの組織・構造について考える。
3	事前学習	新聞の取材・報道について日頃気になっていることをまとめておく。
	授業内容	新聞メディアの活動と構造2（活動）：新聞社の中心的活動である取材と報道の基本的な流れ、構造について。
	事後学習	新聞以外の他のメディアの取材や報道の仕組みについて考える。
4	事前学習	新聞社の経営がどのように成り立っているのかについて想像しておく。
	授業内容	新聞メディアの活動と構造3（産業）：新聞産業・経営の概要、構造について。
	事後学習	新聞以外の他のメディアの経営構造について考える。

5	事前学習	日頃の報道の中で倫理上、疑問に感じたことをまとめておく。
	授業内容	ジャーナリズムの倫理 1（新聞倫理綱領）：新聞を中心に、取材・報道倫理について。
	事後学習	倫理綱領などに照らして、日々の新聞やテレビなどの報道について考える。
6	事前学習	倫理について考えをまとめておく。
	授業内容	ジャーナリズムの倫理 2：諸外国での取材・報道倫理やその向上のための活動について。
	事後学習	日本の報道倫理と比較し考える。
7	事前学習	刑法・民法の違いを整理しておく。
	授業内容	メディアと法制度 1：取材・報道に関連する法制度の概要について。
	事後学習	名誉毀損訴訟など報道に関わる判決文を読んでみる。
8	事前学習	法律と倫理の違いについて考えておく。
	授業内容	メディアと法制度 2：取材・報道に関連する法制度の概要について。（前回続き）
	事後学習	日頃の報道を、報道する側と報道される側の立場になって考えてみる。
9	事前学習	言論の自由の必要性について考えをまとめておく。
	授業内容	言論の自由をめぐる問題 1：言論の自由の意義、戦前・戦中と戦後の比較について。
	事後学習	戦前の言論統制に関する書籍を読んでみる。
10	事前学習	フリーのジャーナリストと企業のジャーナリストはどちらがより自由かについて考えをまとめておく。
	授業内容	言論の自由をめぐる問題 2：組織的ジャーナリズムにおける言論の自由について。
	事後学習	仮に自分がジャーナリストになるとして、フリーと企業のどちらを選択するかを考えてみる。
11	事前学習	ヘイト・スピーチ規制の是非について考えをまとめておく。
	授業内容	言論の自由をめぐる問題 3：ヘイト・スピーチ規制の是非を具体的なテーマとして、言論の自由と人権との関係の在り方について。
	事後学習	自分が組織内ジャーナリストになったと想定し、言論の自由と組織の論理、人権、法律、読者・視聴者との関係で、どのように行動するかを考えてみる。
12	事前学習	民主主義の仕組み、意義を整理しておく。
	授業内容	民主主義とジャーナリズムの役割：民主主義社会におけるジャーナリズムの役割について。
	事後学習	民主主義と自由が対立した場合にジャーナリズムはどうあるべきかを考えてみる。
13	事前学習	社会はマスメディアに何を求めているのかについて考えをまとめておく。
	授業内容	メディアの社会的責任・公共性：メディアの社会的責任や期待される役割について。
	事後学習	現在のマスメディアの役割や責任について考えてみる。
14	事前学習	事前に告知するレポートテーマについて考えを整理し、執筆構成を準備しておく。
	授業内容	授業内レポート：事前に告知するテーマについて、授業内でレポートを執筆する。
	事後学習	これまでの授業を通じて感じたこと、日頃のメディアに対する疑問などをまとめておく。
15	事前学習	これまでの授業を通じて感じたこと、日頃のメディアに対する疑問などをまとめておく。
	授業内容	これまでの授業を通じて感じたこと、日頃のメディアに対する疑問などについて討議する。
	事後学習	今後のジャーナリズム、メディアの役割について考える。

科目名	メディア演習Ⅱ	担当者	黒井 克行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディアと受け手の一方向の関係は終わった。今やネットの日々進化成長により、誰もが自らの意のままに情報の送受信を可能とし、“メディア”にもなり得る時代となった。メディアが担ってきた役割や存在意義が大きく変容したわけである。しかし、情報コンテンツは依然、現場から生み出されるアナログで、それに対する信頼性が揺らぐことはない。メディアのあり方の変化と、現場でしかわかり得ぬ情報コンテンツを史実と実際の報道を通じて検証する。			
授業目的・到達目標	あらゆるメディアの修羅場を潜ってきた担当者が、その経験を活かし、大学本来のアカデミズムを見据えつつも、常にメディアの現場を想定しながらその歴史や役割、そして今後の可能性について実例や現象を取り上げてリアルに追究し、メディアの理解を深める。引いてはそれが受講者諸兄の進路にも結びつけばと考えている。各メディアが意図するところを分析し、さらに洞察力や想像力を持って自らも一つのメディアとして発信・表現できる能力を身につける。			
履修条件	この大学3年間を漫然と過ごし、確たる実感を持たずして卒業してしまう不安にかられている者、「まだまだ」と向学の徒と腕をぶす者、要は知的欲求に飢えた者を歓迎する。			
授業方法	本講座はゼミナールで、講義と演習を併用する。講義8に対して演習2の割合で進めるが、その心はせっかく得たばかりの知識や考え方を演習を通じて血となり肉として身につけさせるためである。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	本講座はゼミナールであり、双方向の授業における「問題意識を持った真摯な姿勢」が評価の対象とされる。授業内にミニレポートを課すこともあるが、点数化することはない。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	適宜指示。			
オフィスアワー	講義のある日は、その1時間前後は講師控室にて面談可能。予めメールにてアポイントを取ることが望ましいが、他日でも都合が折り合えば対応する。他、メールのやりとりにてコミュニケーションをはかることにも応じる。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『もう一つの“君の名は”』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
2	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『街頭テレビと力道山』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
3	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディアと政治家の首』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
4	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『ロッキード事件と文藝春秋』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける

5	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『スポーツとメディア～野球とJリーグ』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
6	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『スポーツとメディア～マラソンと駅伝』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
7	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『スポーツスキャンダル～江川事件』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
8	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディアとデマの相関関係』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
9	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『事件報道～松本・地下鉄サリン事件』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
10	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディアと衆愚政治』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
11	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディア(ツイッター)と選挙』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
12	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『スポーツとメディア～オリンピック』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
13	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディアとヒットラー』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
14	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディアと言葉、表現力』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
15	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『文章作法と取材術』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける

科目名	メディア演習Ⅲ	担当者	黒井 克行	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディアと受け手の一方向の関係は終わった。今やネットの日々進化成長により、誰もが自らの意のままに情報の送受信を可能とし、“メディア”にもなり得る時代となった。メディアが担ってきた役割や存在意義が大きく変容したのである。しかし、情報コンテンツは依然、現場から生み出されるアナログで、それに対する信頼性が揺らぐことはない。メディアのあり方の変化と、現場でしかわかり得ぬ情報コンテンツを史実や実際の報道を通じて検証する。			
授業目的・到達目標	あらゆるメディアの修羅場を潜ってきた担当者が、その経験を活かし、大学本来のアカデミズムを見据えつつも、常にメディアの現場を想定しながらその歴史や役割、そして今後の可能性について実例や現象を取り上げてリアルに追究し、メディアの理解を深める。引いては、それが受講者諸兄の進路にも結びつけられと考えている。各メディアが意図するところを分析し、さらに洞察力や想像力を持って自らも一つのメディアとして発信・表現できる能力を身につける。			
履修条件	前期「メディア演習Ⅱ」を履修した者の引き続きの取り組みが望ましい。この「Ⅲ」を持って、新聞学科の集大成として、最終的な成果を掴み取って欲しい。			
授業方法	本講座はゼミナールで、講義と演習を併用する。講義8に対して演習2の割合で進めるが、その心はせっかく得たばかりの知識や考え方を演習を通じて、早速、血となり肉として身につけさせるためである。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	本講座はゼミナールであり、双方向の授業における「問題意識を持った真摯な姿勢」が評価の対象とされる。授業内にミニレポートを課すこともあるが、点数化することはない。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	適宜指示。			
オフィスアワー	講義のある日は、その1時間前後は講師控室にて面談可能。予めメールにてアポイントを取ることが望ましいが、他日でも都合が折り合えば対応する。他、メールのやりとりにてコミュニケーションをはかることにも応じる。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『玉音放送』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
2	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『昭和天皇崩御と報道のあり方』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
3	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『日航ジャンボ機墜落事故』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
4	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『リクルート事件と調査報道』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける

5	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『歌は世につれ世は歌につれ～芸能ニュース』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
6	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『暴かれたロス疑惑～美談の人から刑事被告人へ』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
7	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『怪事件～グリコ森永事件』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
8	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『流行発信源としてのメディア』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
9	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『ピコ太郎とYouTube』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
10	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『スポーツとメディア～サッカーW杯』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
11	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『大統領選挙とメディア戦略』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
12	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『2つの大震災に見るメディアの社会的意義と役割』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
13	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『メディアの社会的影響力の変遷と未来』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
14	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『インタビュー術』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける
15	事前学習	当該授業内容に関する事柄や事象の予備チェック
	授業内容	『資料検索術』
	事後学習	当該授業内容から受けた刺激を知的好奇心に変え、柔軟性溢れる発想力に磨きをかける

科目名	メディア・コミュニケーションの科学A	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	マス・コミュニケーションは現代社会でどのような効果を有しているのだろうか。効果研究はマス・コミュニケーション研究の初期から中心的なテーマとされている。この講義では、効果研究の系譜を紹介するとともに、特に第3期の強力効果論を中心に具体的な事例を交えて様々な研究を紹介する。			
授業目的・到達目標	効果研究の系譜を学習することを通じてマス・コミュニケーション研究に関する体系的な知識を取得すること、そしてマス・コミュニケーションが日常生活や広範な政治社会とどのような関係性を有しているのかを理解することを目的とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	授業は講義形式で行う。進行に応じて映像資料を用いる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	期末に行う試験、またはレポートによって評価する。	
	平常評価	20%	講義内での質問によって評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業内で資料を配布する。		
参考書	適宜紹介する。			
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認すること
	授業内容	ガイダンス：マス・コミュニケーション研究の基礎的な概念について
	事後学習	授業内で配布した資料を読むこと
2	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	メディアの機能と社会的効果
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること

3	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第1期の効果研究 皮下注射モデル（1）
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
4	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第1期の効果研究 皮下注射モデル（2）
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
5	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第1期の効果研究 皮下注射モデル（3）
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
6	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第2期の効果研究 限定効果モデル（1）ピープルズチョイス
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
7	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第2期の効果研究 限定効果モデル（2）説得的コミュニケーション研究、イノベーションの普及過程理論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
8	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第2期の効果研究 限定効果モデル（3）利用と満足研究、コミュニケーション効果の一般化 第1期と第2期の効果研究のまとめ
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
9	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（1）アジェンダ設定効果
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
10	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（2）沈黙の螺旋理論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
11	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（3）知識ギャップ仮説
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
12	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（4）スキーマ理論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
13	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（5）培養効果論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
14	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（6）メディア・フレーム論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること

15	事前学習	これまでの授業のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの授業を見直し、抱いた疑問が解消されたのかを再確認すること

科目名	メディア・コミュニケーションの科学A	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	マス・コミュニケーションは現代社会でどのような効果を有しているのだろうか。効果研究はマス・コミュニケーション研究の初期から中心的なテーマとされている。この講義では、効果研究の系譜を紹介するとともに、特に第3期の強力効果論を中心に具体的な事例を交えて様々な研究を紹介する。			
授業目的・到達目標	効果研究の系譜を学習することを通じてマス・コミュニケーション研究に関する体系的な知識を取得すること、そしてマス・コミュニケーションが日常生活や広範な政治社会とどのような関係性を有しているのかを理解することを目的とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	授業は講義形式で行う。進行に応じて映像資料を用いる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	期末に行う試験、またはレポートによって評価する。	
	平常評価	20%	講義内での質問によって評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業内で資料を配布する。		
参考書	適宜紹介する。			
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認すること
	授業内容	ガイダンス：マス・コミュニケーション研究の基礎的な概念について
	事後学習	授業内で配布した資料を読むこと
2	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	メディアの機能と社会的効果
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること

3	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第1期の効果研究 皮下注射モデル（1）
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
4	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第1期の効果研究 皮下注射モデル（2）
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
5	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第1期の効果研究 皮下注射モデル（3）
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
6	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第2期の効果研究 限定効果モデル（1）ピープルズチョイス
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
7	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第2期の効果研究 限定効果モデル（2）説得的コミュニケーション研究、イノベーションの普及過程理論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
8	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第2期の効果研究 限定効果モデル（3）利用と満足研究、コミュニケーション効果の一般化 第1期と第2期の効果研究のまとめ
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
9	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（1）アジェンダ設定効果
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
10	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（2）沈黙の螺旋理論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
11	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（3）知識ギャップ仮説
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
12	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（4）スキーマ理論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
13	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（5）培養効果論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること
14	事前学習	事前に配布した資料のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	第3期の効果研究 強力効果モデル（6）メディア・フレーム論
	事後学習	授業前に抱いていた疑問が解消したかを確認すること

15	事前学習	これまでの授業のわからない部分や質問を整理すること
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでの授業を見直し、抱いた疑問が解消されたのかを再確認すること

科目名	メディア・コミュニケーションの科学B	担当者	小林 義寛	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	規範的な研究に対するカルチュラル・スタディーズの批判的な研究を概観し、その後、オーディエンス研究、メディア・スタディーズとりわけメディア・テクノロジー研究の基礎を学ぶ。				
授業目的・到達目標	身の回りのメディア・コミュニケーション現象を理解する力をつける。				
履修条件	メディア・コミュニケーションの科学Aを先修していることが望ましい。				
授業方法	基本的には講義形式。授業資料はCo1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にpdfとしておいておくので、授業時参照できるようにしておくこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	レポート試験（60%） 小テストおよび小レポート2回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業方法で示した授業資料を参照する。			
参 考 書	講義中に適宜指示する。				
オフィスアワー	水曜5限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の流れを理解しておく。
2	事前学習	Co1ネット共有フォルダー（Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B）にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	規範的な研究へのホールの批判①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

3	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	規範的な研究へのホールの批判②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
4	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	規範的な研究へのホールの批判③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
5	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
6	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
7	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
8	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究④
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
9	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究⑤
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
10	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ハートレイのオーディエンス研究への疑義①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
11	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ハートレイのオーディエンス研究への疑義②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
12	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア・テクノロジー研究①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
13	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア・テクノロジー研究②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
14	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア・テクノロジー研究③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

15	事前学習	Co1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	授業内容、授業資料、参考文献などをもとにレポートを作成する。

科目名	メディア・コミュニケーションの科学B	担当者	小林 義寛	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	規範的な研究に対するカルチュラル・スタディーズの批判的な研究を概観し、その後、オーディエンス研究、メディア・スタディーズとりわけメディア・テクノロジー研究の基礎を学ぶ。				
授業目的・到達目標	身の回りのメディア・コミュニケーション現象を理解する力をつける。				
履修条件	メディア・コミュニケーションの科学Aを先修していることが望ましい。				
授業方法	基本的には講義形式。授業資料はCo1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：コミュニケーションの科学B)にpdfとしておいておくので、授業時参照できるようにしておくこと。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	レポート試験（60%） 小テストおよび小レポート2回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業方法で示した授業資料を参照する。			
参 考 書	講義中に適宜指示する。				
オフィスアワー	水曜5限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業の流れを理解しておく。
2	事前学習	Co1ネット共有フォルダー（Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B）にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	規範的な研究へのホールの批判①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

3	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	規範的な研究へのホールの批判②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
4	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	規範的な研究へのホールの批判③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
5	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
6	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
7	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
8	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究④
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
9	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	オーディエンス研究⑤
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
10	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ハートレイのオーディエンス研究への疑義①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
11	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	ハートレイのオーディエンス研究への疑義②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
12	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア・テクノロジー研究①
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
13	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア・テクノロジー研究②
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。
14	事前学習	Colネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	メディア・テクノロジー研究③
	事後学習	授業資料と合わせて内容を確認し、疑問点などを整理しておく。

15	事前学習	Co1ネット共有フォルダー(Y：小林義寛：メディア・コミュニケーションの科学B)にある授業資料を確認しておく。
	授業内容	全体のまとめ
	事後学習	授業内容、授業資料、参考文献などをもとにレポートを作成する。

科目名	メディア史	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】			
授業概要	現在、私たちが目にしているメディアは、昨日、今日に突然現れ出てきたものではない。むしろ、長い歴史的な時間のなかで成立し、現在にいたっている。本授業は、日本のみならず、欧米やアジアの状況にも目配りしながら、19世紀以降のメディアの歴史的展開を跡づけることで、私たちが暮らす社会の歴史的構造を浮き彫りにする。			
授業目的・到達目標	本授業の目的は、第一に、歴史的な文脈のなかで、現在のメディアを考え、そのメディアが、現代社会の形成に、どのような影響を与えてきたのかを読み解くことにある。第二に、さまざまなメディアの成立と展開が、私たちの知覚や感覚に、いかなる変化をもたらし、それにともなって、＜近代＞の社会が、どのように変容していったのかを考えることである。 本授業の到達目標は、第一にメディアの歴史的展開に関する理解であり、第二にメディアの諸問題を考えるための歴史的な視野の獲得におかれている。			
履修条件	特になし			
授業方法	授業では学生の理解を助けるために、詳細なレジュメを配付し、随時、視聴覚教材（映画やドキュメンタリー）を活用する。また、できるだけ学生との対話を重視したインタラクティブな授業を目指すつもりである。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	小レポートなどの提出課題と試験による評価	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業の際に、レジュメを配布する。		
参考書	随時、授業で紹介する。			
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	はじめに
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
2	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	メディア史の射程
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。

3	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	新聞の成立
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
4	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	電話の誕生
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
5	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	映画の誕生
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
6	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	ラジオの誕生
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
7	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	宣伝／動員のメディア
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
8	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	プロパガンダを考える
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
9	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	映像から考えるメディアの歴史
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
10	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	戦後日本のラジオ放送
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
11	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	日本のテレビ放送　(1)
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
12	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	日本のテレビ放送　(2)
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
13	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	日本のメディア史研究の動向　(1)
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。
14	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	日本のメディア史研究の動向　(2)
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。

15	事前学習	「メディア」を扱ったメディア報道について、しっかりと見ておくこと。
	授業内容	おわりに
	事後学習	授業内であげた参考文献について目を通すこと。

科目名	メディア史	担当者	佐幸 信介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】					
授業概要	メディアの歴史は、人びとの言語や記号とコミュニケーションの歴史であり、「世界」や「社会」とのかかわり方の歴史でもある。この観点からすれば、メディアの通史はありえず、むしろメディアをどうとらえるのかという視点のフレームに関わってくる。あるいは、メディアが社会を変えたといった単純な因果律からは距離をとらなければならない。本講義では、19世紀をひとつのポイントにして、メディアの歴史を考えていく。					
授業目的・到達目標	メディアという存在を、歴史的な文脈のなかでとらえること、さらにそのメディアの成立や社会的普及の過程が、私たちの身体を含めた社会との関係のなかにあり、「近代」という問題とも深くかかわっていることを理解する。その上で、メディアの諸問題を考えるための歴史的な視野の獲得が目標である。					
履修条件	特になし					
授業方法	授業では、レジュメを配布する。適宜、視聴覚教材を活用する。講義内では受講生のレポートに応答するような試みを組み込む。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	レポートなどの提出課題と試験による評価		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	随時、授業で紹介する					
オフィスアワー	水曜日4限					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読み、確認すること
	授業内容	ガイダンス：講義の計画と概要
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	メディア史の射程
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること

3	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	中世からのまどろみ：文字から活版へ
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
4	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	中世から近代へ：マクルーハンの視角
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること。時間をみつけて、印刷博物館へ自主的に見学しておくことが望ましい
5	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	新聞と公共圏
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
6	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	読書と想像の共同体
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
7	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	映画の誕生と表象メディア
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
8	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	ラジオの誕生
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
9	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	電話の誕生
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
10	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	宣伝と動員のメディア
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
11	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	日本のマス・メディアの歴史1：民主化とメディア
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
12	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	日本のマス・メディアの歴史2：メディアの構造化のプロセス
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
13	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	戦後の生活とメディアの普及
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること
14	事前学習	前回の講義で提示した課題を準備してくること
	授業内容	メディアと空間の編制
	事後学習	講義の内容を確認・復習すること

15	事前学習	これまでの講義の内容を復習しておくこと
	授業内容	講義内テスト（全講義のふりかえり）
	事後学習	テストの内容をふまえ、講義の内容を復習すること

科目名	メディア／情報産業Ⅰ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	新聞、放送などの私たちが普段接しているマスメディアの情報伝達活動がどのような産業構造によって支えられているかを解説します。また、インターネットの登場によってマスメディア産業が抱える課題について考えます。				
授業目的・ 到達目標	ビジネスとしてのマスメディアのあり方を理解して欲しい。				
履修条件	特にありません。				
授業方法	講義形式を中心に行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	授業内レポートおよび、最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜、プリントを配付します。			
参 考 書	「マスメディア論」（後藤将之、有斐閣コンパクト）、「図説 日本のマスメディア」（藤竹暁、日本放送協会出版）				
オフィス アワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでください。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	興味を持ったメディアについて調べてください。
2	事前学習	電通ホームページ内の「2017年 日本の広告費」を読んでください。
	授業内容	メディア/情報産業の全体像
	事後学習	授業を踏まえ、自分の各メディアに対する評価を再度、まとめてください。

3	事前学習	電気を使った通信が始まる前は、どのような通信があったのかについて調べてください。
	授業内容	通信から放送の誕生まで
	事後学習	放送が誕生した理由をまとめてください。
4	事前学習	テレビを見て、CMにはどのような種類があるかについて取りまとめてください。
	授業内容	民放テレビの営業概論Ⅰ：民放テレビの発展とセールス形態
	事後学習	民放テレビのビジネスモデルについてまとめてください。
5	事前学習	ビデオリサーチのホームページ内で「視聴率」について調べてください。
	授業内容	民放テレビの営業概論Ⅱ：視聴率と視聴質
	事後学習	視聴率と視聴質の違いを整理してください。
6	事前学習	民放テレビの営業概論Ⅰ、Ⅱでの自分の授業ノート、まとめ、整理を改めて読んでおいてください。
	授業内容	民放テレビの営業概論Ⅲ：テレビ営業の仕組み
	事後学習	民放テレビがどのように収入を得ているかについてまとめてください。
7	事前学習	コーヒーハウスの起源について調べてください。
	授業内容	新聞の歴史：パンフレットから新聞へ
	事後学習	どのようにしてマス広告が誕生したのかについてまとめてください。
8	事前学習	新聞にはどのような種類があるか調べてください。
	授業内容	新聞産業の概要Ⅰ：新聞媒体の種類と特徴、宅配と再版制度
	事後学習	なぜ、再版制度が必要なのかについてまとめてください。
9	事前学習	新聞を見て、新聞広告にはどのような種類があるかについて調べてください。
	授業内容	新聞産業の概要Ⅱ：新聞広告の実態
	事後学習	新聞広告の種類と特徴をまとめてください。
10	事前学習	テレビや新聞以外に、広告にはどのようなものがあるかについて調べてください。
	授業内容	広告と消費者動向Ⅰ：1940年代から1980年代前半まで
	事後学習	メディアと広告の発展の関係について整理してください。
11	事前学習	授業を受けて、広告にはどのようなものがあるかについて再整理してください。
	授業内容	広告と消費者動向Ⅱ：1980年代から2000年代
	事後学習	メディアと広告の発展の関係についてまとめてください。
12	事前学習	授業を受けて、広告にはどのようなものがあるかについて再整理してください。
	授業内容	広告と消費者動向Ⅲ：2000年代以降
	事後学習	インターネットの登場による広告の変化をまとめてください。
13	事前学習	2020年東京大会で想定されている大会に係る経費、経済効果について調べてください。
	授業内容	オリンピックとメディアⅠ：ベルリン大会からピョンチャン大会まで
	事後学習	オリンピックとメディアの関係をまとめてください。
14	事前学習	「オリンピック」という言葉や五輪マークを使って広告を行っているスポンサーは、どのような業種があるかについて調べてください。
	授業内容	オリンピックとメディアⅡ：オリンピックのマーケティング収益、TOPスポンサー
	事後学習	IOCの収支構造を整理してください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、前学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでください。

科目名	メディア／情報産業Ⅱ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	出版、映画、音楽など、私たちが普段接しているマスメディアの情報伝達活動がどのような産業構造によって支えられているかを解説します。また、インターネット広告の特徴などについても説明します。				
授業目的・到達目標	ビジネスとしてのマスメディア、インターネットのあり方を理解して欲しい。				
履修条件	メディア/情報産業Ⅰの単位取得者。				
授業方法	講義形式を中心に行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内レポートおよび、最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜、プリントを配付します。			
参考書	「マスメディア論」（後藤将之、有斐閣コンパクト）、「図説 日本のマスメディア」（藤竹暁、日本放送出版協会）				
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでおいてください。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	興味を持ったメディアについて調べてください。
2	事前学習	電通ホームページ内の「2017 日本の広告費」を読んでください。
	授業内容	出版メディアⅠ：出版メディアをとりまく現状
	事後学習	出版界の厳しい現状をまとめてください。

3	事前学習	「取次」について調べてください。
	授業内容	出版メディアⅡ：出版の流通と販売
	事後学習	「取次」の役割についてまとめてください。
4	事前学習	電子書籍を読んでみてください。
	授業内容	出版メディアⅢ：出版のデジタル化
	事後学習	デジタル化によるメリットを整理してください。
5	事前学習	エジソンとリュミエール兄弟が発明したものを調べてください。
	授業内容	映画産業Ⅰ：映画の誕生まで
	事後学習	技術の発展と動く絵の関係を整理してください。
6	事前学習	ハリウッドについて調べてください。
	授業内容	映画産業Ⅱ：サイレント映画からデジタル化まで
	事後学習	チャップリンの映画を見ましょう。
7	事前学習	映画倫理機構について調べてください。
	授業内容	映画産業Ⅲ：映画産業の現状と自主規制
	事後学習	映画ビジネスの収益配分方法についてまとめてください。
8	事前学習	音楽の入手方法を整理してください。
	授業内容	音楽産業Ⅰ：パッケージビジネスのバリューチェーンから360度ビジネスへ
	事後学習	パッケージビジネスのバリューチェーンについてまとめてください。
9	事前学習	昨年、ヒットした音楽を洋楽、邦楽ともに調べ傾向を取りまとめてください。
	授業内容	音楽産業Ⅱ：音楽産業の現状
	事後学習	音楽産業の今後につてまとめてください。
10	事前学習	自分が携帯で行っていること、どのくらいの時間を費やしているかについて取りまとめてください。
	授業内容	ケータイが変えたもの
	事後学習	ケータイが変えたものは何か、を整理してください。
11	事前学習	自分が視聴している動画サービスと、どのくらいの時間を費やしているかについて取りまとめてください。
	授業内容	動画配信サービスの現状
	事後学習	個人による動画配信で気を付けるべきことをまとめてください。
12	事前学習	インターネット上で展開されている広告はどのようなものがあるかについて取りまとめてください。
	授業内容	インターネットと広告Ⅰ：ネット広告の歴史と変化
	事後学習	インターネット広告の特徴をまとめてください。
13	事前学習	前回の授業ノートと、まとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	インターネットと広告Ⅱ：A I D M AからA I S A S、そしてS I P Sへ
	事後学習	S I P SとA I D M A・A I S A Sの違いを整理してください。
14	事前学習	どのような広告会社があるのかについて調べてください。
	授業内容	広告会社とは
	事後学習	広告会社の役割をまとめてください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、前学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでください。

科目名	メディア調査	担当者	浅利 光昭	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】			
授業概要	本講座は、新聞や出版、放送（テレビ／ラジオ）などのマスメディア産業をはじめ、音楽やゲーム、劇映画などのエンタテインメント産業、インターネット等情報通信産業の現状と課題について、主として産業面（サブライサイド）からの分析・研究を行うものである。分析・研究に当たっては、公的機関(政府等)や業界団体、各産業におけるキープレイヤー（企業）等がまとめた各種統計指標や財務関連資料等を用いる。			
授業目的・到達目標	各種資料の探索及び分析を通じて、マスメディア産業、エンタテインメント産業、情報産業等における「ヒト」「モノ」「おカネ」という3つの要素の動きを的確に把握することを目的とする。履修者は、半期15回の講義を通じて、新聞や出版、放送、インターネットなど情報メディア産業に関するデータ収集、整理・分析及びデータを活用した表現方法を体得することで、自らの研究課題の解決に至る一助とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義前半は現在の日本のメディアを取り巻くマクロ環境及びユーザー全般の動向について統計資料の探索、整理、分析手法を紹介する。後半はマスメディアを中心とした主要なメディア産業に特化した分析を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	70%	現在のマスメディア産業を俯瞰するために必要な統計資料の探索、整理、分析手法等に加え、マスメディア産業等を構成する産業的諸要素を確認するための定期試験を課す。	
	平常評価	30%	適宜、講義の冒頭で過去に実施した講義内容に関する小テストを実施する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用せず		
参考書	㈱電通・電通総研（2018）『情報メディア白書2018』ダイヤモンド社／藤田真文編「メディアの卒論」ミネルヴァ書房など。その他講義の進度を勘案し、適宜紹介する。			
オフィスアワー	質問及び相談等は、各回講義後20分程度の時間を設けて対応する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	担当講師の自己紹介及び本講座のガイダンス
	事後学習	第一回授業の復習を行っておくこと。
2	事前学習	第二回以降の授業についてシラバスを読み概観しておくこと。
	授業内容	本講座の研究・分析等で用いる方法論（産業論）について、用語の定義を踏まえた分析の基礎的要素（ヒト／モノ／カネ）をデータで確認する手法を解説する。そのうえで、劇映画を例に採り、ヒト、モノ、カネに関する指標の公的データ（政府統計、業界団体統計、各企業業績等）等の活用手法について具体的に紹介する。
	事後学習	第2回講義にて解説した産業論の基礎的要素および具体的な活用手法等について、第3回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。

3	事前学習	第3回講義で用いる政府統計等（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」／国土地理協会「住民基本台帳要覧」）及び業界団体統計（日本新聞協会の公式ホームページ「Pressnet」上のデータ）をあらかじめ確認すること。
	授業内容	データ分析の基本となる相関関係について簡単な解説をしたのち、日本のマスメディア産業と関連性の深いマクロ指標（人口、世帯数等）との関係性について、総務省等の政府統計や業界団体等がまとめた産業関連のデータを用いて具体的に分析する。
	事後学習	第3回講義にて分析したデモグラフィック関連のマクロ指標と新聞産業の関係性について、第4回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
4	事前学習	第4回講義で用いるメディアユーザー関連のデータ（総務省「通信利用動向調査」／NHK放送文化研究所「国民生活時間調査」／総務省「家計調査年報」）の所在及び内容等をあらかじめ確認すること。
	授業内容	政府（総務省等）や各種調査機関（NHK放送文化研究所等）が提供する定量データをもとに、現代日本のマスメディア産業、エンタテインメント産業、情報通信産業を支えるメディアユーザーの実態について具体的に分析する。そのうえで、ユーザー行動の変化を導く分析手法としてのコーホート分析を紹介する。
	事後学習	第4回講義にて分析したユーザー関連のマクロ指標とその分析手法について、第5回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
5	事前学習	第5回講義で用いる総務省情報通信政策研究所（2017）「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査」のデータの所在及び内容等をあらかじめ確認すること。
	授業内容	総務省・情報通信政策研究所「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査」（2017年7月7日発表）をもとに、現代日本のコンテンツ産業（メディア産業）の概況及び特徴等について具体的に分析する。日本のコンテンツ産業全体におけるマスメディア産業の位置づけ、マルチユース市場の現状及びインターネットをはじめとする通信系コンテンツの現状等について俯瞰する。
	事後学習	第5回講義にて分析した日本のコンテンツ産業等の現状について、第6回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
6	事前学習	第6回講義で紹介する日本の新聞産業に関する定量データ（日本新聞協会の公式ホームページ「Pressnet」掲載データ等）の所在及び内容等をあらかじめ確認すること。
	授業内容	マスメディア産業のひとつとして新聞産業を取り上げる。日本の新聞産業の特徴（諸外国と比べて発行部数が多い、個別宅配制度の充実、法制度としての再販売価格維持制度の適用を受けるなど）を踏まえ、日本で発行される主要日刊紙の業界団体である日本新聞協会の公式ホームページ（Pressnet）上の統計をもとに、日本の新聞産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第6回講義にて分析した新聞産業の現状及び課題について、第7回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
7	事前学習	第7回講義で紹介する日本の出版産業（コミックスを含む）に関する定量データ（全国出版協会・出版科学研究所『出版指標 年報』／出版ニュース社『出版年鑑』／経済産業省「特定サービス産業実態調査 出版業編」など）の所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	マスメディア産業のひとつとして出版産業（書籍・コミックス）を取り上げる。日本の出版産業の特徴（法制度としての再販売価格維持制度の適用を受けるなど）を踏まえ、日本で発行される書籍（コミックスを含む）に関する各種データブック（『出版指標年報』『出版年鑑』など）及び政府統計（経済産業省『特定サービス産業実態調査 出版業編』など）をもとに、日本の出版産業（書籍・コミックス）の現状と課題について分析する。
	事後学習	第7回講義にて分析した出版産業（書籍・コミックス）の現状及び課題について、第8回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
8	事前学習	第7回講義に引き続き、第8回講義で紹介する日本の出版産業（雑誌）に関する定量データ（全国出版協会・出版科学研究所『出版指標 年報』／出版ニュース社『出版年鑑』／経済産業省「特定サービス産業実態調査 出版業編」／電通「日本の広告費」など）の所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	第7回講義に引き続き、マスメディア産業のひとつとして出版産業（雑誌）を取り上げる。第7回講義で取り上げた書籍・コミックスとのビジネスモデル上の相違点などを踏まえ、日本で発行される雑誌に関する各種データブック（『出版指標年報』『出版年鑑』など）及び政府統計（経済産業省『特定サービス産業実態調査 出版業編』など）、広告関連指標等をもとに、日本の出版産業（雑誌）の現状と課題について分析する。
	事後学習	第8回講義にて分析した出版産業（雑誌）の現状及び課題について、第9回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
9	事前学習	第9回講義で紹介する日本のテレビ放送産業（地上波放送）に関する定量データ（日本民間放送連盟『日本民間放送年鑑』／NHK『NHK年鑑』（NHK業務報告書））に加え、広告関連指標（電通「日本の広告費」）及び視聴率関連のデータブック（電通総研『情報メディア白書』など）などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	マスメディア産業のひとつとしてテレビ放送産業（地上波放送）を取り上げる。受信料モデルを基本とする日本放送協会と広告モデルを採用する民放テレビ放送の特徴や法制度上の位置づけなどを踏まえ、日本のテレビ放送（地上波放送）に関する各種データブック（『NHK年鑑』『日本民間放送年鑑』など）及び政府統計（総務省「民間放送事業者の収支状況」など）、広告関連指標等をもとに、日本のテレビ放送産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第9回講義にて分析したテレビ放送産業（地上波放送）の現状及び課題について、第10回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
10	事前学習	第9回講義に引き続き、マスメディア産業のひとつとして日本のラジオ放送産業（地上波放送）に関する定量データ（日本民間放送連盟『日本民間放送年鑑』）に加え、政府統計（総務省「民間放送事業者の収支状況」）や広告関連指標（電通「日本の広告費」）及び聴取率関連のデータブック（電通総研『情報メディア白書』など）などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	第9回講義に引き続き、マスメディア産業のひとつとしてラジオ放送産業（コミュニティFM放送を含む）を取り上げる。広告モデルを採用する民放ラジオ放送の特徴や法制度上の位置づけなどを踏まえ、日本のラジオ放送に関する各種データブック（『日本民間放送年鑑』など）及び政府統計（総務省「民間放送事業者の収支状況」など）、広告関連指標等をもとに、日本のラジオ放送産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第10回講義にて分析したラジオ放送産業（地上波放送）の現状及び課題について、第11回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
11	事前学習	第9回、第10回講義に引き続き、マスメディア産業のひとつとして日本のテレビ放送産業（衛星放送、ケーブルテレビ）に関する定量データ（日本民間放送連盟『日本民間放送年鑑』、衛星放送協会公式ホームページ等）に加え、政府統計（総務省「民間放送事業者の収支状況」）や広告関連指標（電通「日本の広告費」）などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	第9回、第10回講義に引き続き、マスメディア産業のひとつとして日本の有料テレビ放送産業（衛星放送、ケーブルテレビ）を取り上げる。第9回、第10回講義で取り上げた広告放送と有料放送モデルの特徴や相違点、法制度上の位置づけなどを踏まえ、日本の有料テレビ放送放送に関する各種データ（『日本民間放送年鑑』、衛星放送協会公式ホームページなど）及び政府統計等をもとに、日本の有料テレビ放送産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第11回講義にて分析した有料テレビ放送産業の現状及び課題について、第12回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。

12	事前学習	エンタテインメント産業のひとつとして日本の音楽産業に関する定量データ（日本レコード協会「日本のレコード産業」、日本レコード協会公式ホームページ等）に加え、音楽産業関連の各種データブック（電通総研『情報メディア白書』等）などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	エンタテインメント産業のひとつとして日本の音楽産業を取り上げる。日本の音楽産業の特徴と推移、ビジネスモデルの変化などを踏まえ、日本の音楽産業に関する各種データ（日本レコード協会公式ホームページなど）及び音楽産業関連のデータブック等をもとに、日本の音楽産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第12回講義にて分析した音楽産業の現状及び課題について、第13回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
13	事前学習	エンタテインメント産業のひとつとして日本の劇映画産業に関する定量データ（日本映画製作者連盟公式ホームページ等）に加え、劇映画産業関連の各種データブック（電通総研『情報メディア白書』等）、政府統計（経済産業省「特定サービス産業実態調査 映画館編」等）などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	エンタテインメント産業のひとつとして日本の劇映画産業を取り上げる。劇映画産業のビジネスモデルである「興行モデル」を概観したうえで、日本の劇映画産業の特徴と推移、ビジネスモデルの変化・多様化などを踏まえ、日本の劇映画産業に関する各種データ（日本映画製作者連盟公式ホームページなど）及び劇映画産業関連のデータブック等をもとに、日本の劇映画産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第13回講義にて分析した劇映画産業の現状及び課題について、第14回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
14	事前学習	エンタテインメント産業のひとつとして日本のビデオゲーム産業に関する定量データ（コンピュータエンターテインメント協会『CESAゲーム白書』等）に加え、ビデオゲーム産業関連の各種データブック（電通総研『情報メディア白書』等）、政府関連調査などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	エンタテインメント産業のひとつとして日本のビデオゲーム産業を取り上げる。技術革新・普及に伴うビデオゲーム産業のビジネスモデルの変化・多様化を概観したうえで、日本のビデオゲーム産業に関する各種データ（『CESAゲーム白書』など）及び各種調査会社の統計調査等をもとに、日本のビデオゲーム産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第14回講義にて分析したビデオゲーム産業の現状及び課題について、第15回講義前に小テストを実施するので、講義内容を復習しておくこと。
15	事前学習	情報通信産業のひとつとして日本のインターネットコンテンツ産業に関する定量データ（デジタルコンテンツ協会『デジタルコンテンツ白書』）に加え、ビデオゲーム産業関連の各種データブック（「電子書籍ビジネス調査報告書」、モバイルコンテンツフォーラム公式ホームページ等）、政府関連調査などの所在及び内容をあらかじめ確認すること。
	授業内容	情報通信産業のひとつとして日本のインターネットコンテンツ産業を取り上げる。インターネットを活用したコンテンツビジネスの特徴等を踏まえ、日本のインターネットコンテンツ産業に関する各種データ（『デジタルコンテンツ白書』、モバイルコンテンツフォーラム公式ホームページなど）及び政府統計、各種調査会社の統計調査等をもとに、日本のインターネットコンテンツ産業の現状と課題について分析する。
	事後学習	第15回講義終了後に実施する定期試験に向けて、第2回から第15回までの講義内容を復習しておくこと。

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。					
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。					
履修条件	新聞学科に在籍する学生					
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				特に指定しない		
	備考					
参考書	講義の中で、適宜紹介する					
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅰ	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。				
履修条件	新聞学科に在籍する学生				
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				特に指定しない	
	備考				
参考書	講義の中で、適宜紹介する				
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	小林 義寛	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。				
履修条件	新聞学科に在籍する学生				
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない			
参考書	講義の中で、適宜紹介する				
オフィスアワー	水曜5限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	佐幸 信介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。			
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。			
履修条件	新聞学科に在籍する学生			
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回
教科書	年	出版社	書名	著者名
			特に指定しない	
	備考			
参考書	講義の中で、適宜紹介する			
オフィス アワー	水曜4限			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。				
履修条件	新聞学科に在籍する学生				
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				特に指定しない	
	備考				
参考書	講義の中で、適宜紹介する				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅰ	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。				
履修条件	新聞学科に在籍する学生				
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しない			
参考書	講義の中で、適宜紹介する				
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。				
履修条件	新聞学科に在籍する学生				
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				特に指定しない	
	備考				
参考書	講義の中で、適宜紹介する				
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。					
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。					
履修条件	新聞学科に在籍する学生					
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0%			
	平常評価		100%		授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				特に指定しない		
	備考					
参考書	講義の中で、適宜紹介する					
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎 I	担当者	米倉 律	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	学部1年生を対象にした少人数制の科目であり、新聞学科で学ぶための学問・研究の基礎的な認識、方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	社会科学の方法的態度、思考方法、分析・観察方法、表現方法についてマスターする。				
履修条件	新聞学科に在籍する学生				
授業方法	30人前後のクラスで、講義、ワークショップ的な形式などで行う。 また、全クラス共通の小テスト、テストを実施する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内テストとして、小テスト2回、テスト1回	
教科書	年	出版社		書名	著者名
				特に指定しない	
	備考				
参考書	講義の中で、適宜紹介する				
オフィスアワー	毎週月曜日の12～14時。研究室は本館7階（1719） できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@law.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読むこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） ガイダンス：講義のねらい、新聞学科での学びと研究など
	事後学習	ガイダンス後に、新聞学科の特徴を確認しておくこと
2	事前学習	前回の講義で提示した課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 新聞学科で学ぶ学問と学問領域
	事後学習	新聞学科の学問の特徴について、再確認すること
3	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第1クール／学問とは】（木曜1限、5限、それぞれ合同授業） 「社会」をみる/捉えるとはどのようなことか
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】（第4講以降は、各クラスごとの授業） 問題を解き明かすための第一歩：疑似科学と普遍性、経験的妥当性
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと 基本用語集を配布する。各自辞典等で基本用語について補強的に調べておくことが望ましい

5	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 説明すること／因果関係をとらえる
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 経験科学・実証とは
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
7	事前学習	第4講から第6までの内容、基本用語集の内容を復習すること
	授業内容	【第2クール／科学的なものの見方】 小テスト（第2クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
8	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
9	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 演繹と帰納
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 統計と資料：社会調査
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
11	事前学習	第9講、第10の内容を復習すること
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テスト（第3クールのふりかえり）
	事後学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
12	事前学習	小テストでの不明な点や曖昧な部分を再確認しておくこと
	授業内容	【第3クール／経験科学・実証とは】 小テストの解説
	事後学習	小テストの内容をブラッシュアップしマスターすること
13	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 学術情報を調べよう
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で提示した資料・課題を行うこと
	授業内容	【第4クール／説明と記述・関係をとらえる】 レポート・論文の書き方の手法
	事後学習	講義内容が理解できたのか、確認し疑問点は次回の講義で質問できるように整理しておくこと
15	事前学習	第1講から第14講までの講義の内容を再確認しておくこと
	授業内容	第4クールおよび講義全体のまとめ
	事後学習	講義全体の内容と自らの達成度を確認しておくこと

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	石川 徳幸	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参考書	適宜紹介する				
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00～12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れていた者を優先する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	小林 聡明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参考書	適宜紹介する				
オフィスアワー	原則的には、火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	小林 義寛	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参 考 書	適宜紹介する				
オフィスアワー	水曜5限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	佐幸 信介	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参 考 書	適宜紹介する				
オフィスアワー	水曜4限				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参 考 書	適宜紹介する				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参考書	適宜紹介する				
オフィスアワー	月曜～木曜日の13：00～18：00 授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。 対面質問も受けるが、メールでも日時予約が条件。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参 考 書	適宜紹介する				
オフィス アワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	三谷 文栄	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参 考 書	適宜紹介する				
オフィスアワー	毎週水曜日の14時半～16時 できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅱ	担当者	米倉 律	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	前期のメディア・テキストの基礎Ⅰでの学習をふまえ、「読む、調べる、書く、表現する」の一連の研究作業を、実際に行いながら基礎的なリテラシーを習得する。				
授業目的・到達目標	受講する学生自身が、研究の作業とアウトプットを行い、学問的なテキストの読み方やプレゼンテーションの方法や手法をマスターする				
履修条件	新聞学科に在籍していること				
授業方法	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	講義内での課題	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	講義で使用するテキストについては、適宜提示する			
参 考 書	適宜紹介する				
オフィスアワー	毎週月曜日の12～14時。研究室は本館7階（1719） できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@law.nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	前期の講義をふまえ、メディア・テキストⅠとⅡとのつながりを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	後期の授業計画や目標などを確認すること
2	事前学習	前期に課した課題を自分なりに振り返っておくこと
	授業内容	メディア・テキストⅠの課題に対する講評およびコメント
	事後学習	講義の内容と課題とを照らし合わせ、復習する
3	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
4	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと

5	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
6	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	テキストを読む／書く④
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
7	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	ディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
8	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
9	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
10	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	グループ・ワーク③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
11	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション①
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
12	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション②
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
13	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	プレゼンテーションとディスカッション③
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
14	事前学習	前回の講義で課された課題を準備する
	授業内容	レポートと総括的なディスカッション
	事後学習	準備した課題と講義の内容を振り返り、不明点、疑問点などをあらためて整理しておくこと
15	事前学習	後期の講義内容を確認しておくこと
	授業内容	後期全体のまとめ
	事後学習	講義の内容を受けて、メディア・テキストⅡを総括する

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅲ	担当者	岸本 裕紀子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	社会問題、政治問題、経済問題を前にして、自分の考えを整理し、論理的に組み立て、効果的に文章にしてアピールするか、その方法を学ぶ。				
授業目的・到達目標	どのようなテーマを前にしても、自分の意見の柱が立てられるようになること。 また、それを制限時間内に、いかに説得力ある文章にまとめていくかを習得する。				
履修条件	なし				
授業方法	講義形式をとり、後半30－40分で実際に文章を書いてもらう。 講義の後半期に、文章をもとに個人面接を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内で6、7回提出してもらう文章で評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	特に指定しない。				
オフィスアワー	次の授業に支障がない範囲で質問に対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	メディアテキストの基礎Ⅰを復習する
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	第一回は文章の提出がないので、ガイダンスの内容を復習する
2	事前学習	メディアテキストの基礎Ⅱを復習する
	授業内容	文章表現 好き・嫌いの軸 自分の感情を文章で表現するには
	事後学習	授業内で提出した文章に改良すべき点がないか考えてみる
3	事前学習	前回の授業の復習をする
	授業内容	文章表現 好き・嫌いの軸
	事後学習	授業内で提出した文章に改良すべき点がないか考えてみる
4	事前学習	前回の授業の復習をする
	授業内容	文章表現 良い・悪いの軸 ある現象について、評価すべき点、問題となる点の両面から整理する
	事後学習	授業内で提出した文章に改良すべき点がないか考えてみる

5	事前学習	前回の授業の復習をする
	授業内容	文章表現　古い・新しいの軸　何が人々に受け入れられたかを分析する
	事後学習	授業内で提出した文章に改良すべき点がないか考えてみる
6	事前学習	前回の授業の復習をする
	授業内容	企画を立てて、取材し、まとめる　テーマの探し方
	事後学習	授業内で提出した文章に改良すべき点がないか考えてみる
7	事前学習	テレビ局（出版社）の放送（出版物）をチェックし、取材の準備をする
	授業内容	企画を立てて、取材し、まとめる　テレビ局か出版社を取材する
	事後学習	取材の内容をまとめる
8	事前学習	テレビ局（出版社）の放送（出版物）をチェックし、取材の準備をする
	授業内容	企画を立てて、取材し、まとめる　テレビ局か出版社を取材する
	事後学習	取材の内容をまとめる
9	事前学習	新聞を読んてくる
	授業内容	政治社会評論　報道を読み解く
	事後学習	授業の内容を復習する
10	事前学習	新聞を読んてくる
	授業内容	論文を書く　論文の組み立て方
	事後学習	授業の内容を復習する
11	事前学習	新聞を読んてくる
	授業内容	論文を書く　論文テーマの説明
	事後学習	自分なりに論文の構成を考えてみる
12	事前学習	自分なりに論文の構成を考えてみる
	授業内容	論文を書く　論文の文献、データの活用について
	事後学習	実際に論文を書き始める
13	事前学習	それまでの提出物を思い出し、自分なりに問題点を整理しておく
	授業内容	文章評価　個人面談（他の履修者は論文作成）
	事後学習	面談の内容をまとめておく
14	事前学習	それまでの提出物を思い出し、自分なりに問題点を整理しておく
	授業内容	文章評価　個人面談（他の履修者は論文作成）
	事後学習	面談の内容をまとめておく
15	事前学習	これまでの授業を復習する
	授業内容	まとめ　自分論
	事後学習	授業の内容をまとめておく

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅲ	担当者	高橋 俊一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	作文力の錬成と発展を期す。その基礎をさらに固め、応用力をつける。			
授業目的・到達目標	プロの世界でも通用する人材となるための第一歩として、大学生活や就職活動、社会人生活に必要な情報伝達と文章力の基礎を身につける。そのための「読む、書く、理解する」それぞれの技術を少しずつマスターしていく。意思や情報を人にしっかりと伝えるノウハウを習得する。同時に、実戦的なメディア知識にも触れ、ジャーナリスティックなセンスを磨くことに配慮する。			
履修条件	指定の教科書を「必携」とする。			
授業方法	さまざまなテーマを書きこなすための要点やコツを整理してわかりやすく示す。学生はそれらの一つずつ、実際に文章を書きながら確認し、表現力を高めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	一部を除いてほぼ毎週、作文の提出し、学科内試験にかえる。	
	平常評価	100%	多彩な課題を書きこなす実戦的作業を通じて基本姿勢や成長度を評価する。日頃の努力や向上心を重視する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017 2018	三笠書房（知的生きかた文庫）	すぐ書ける！ 「頭のいい文章」 ちょっとしたコツ	高橋俊一
	備考			
参考書	『すっきり！ わかりやすい！ 文章が書ける』（すばる舎＝電子版もあります） 『決定版！ すっきり書ける文章のコツ80』（成美堂出版）			
オフィスアワー	授業時間とその前後に適時実施する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておくこと
	授業内容	ガイドランス 講義の基本と構成などについて
	事後学習	自分の希望進路や学習志望とよく照合すること
2	事前学習	新聞や教科書の精読
	授業内容	「有用な情報伝達」の条件、ノウハウ習得の基本姿勢など
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
3	事前学習	教科書をできるだけ読んでおくこと
	授業内容	文章を書く意味と楽しさ、おもしろさについて
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
4	事前学習	教科書の通読（部分的でもよい）
	授業内容	メディア情報と文章の基本条件
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証

5	事前学習	教科書の通読
	授業内容	現代メディアの情報と文章を読み解く
	事後学習	新聞の記事チェック
6	事前学習	教科書の通読
	授業内容	原稿を書くための事前準備 何をすればよいか
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
7	事前学習	教科書の通読
	授業内容	実際に文章を書くときの基本
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
8	事前学習	教科書の通読
	授業内容	実際に文章を書く、その応用
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
9	事前学習	教科書の通読
	授業内容	ニュースと新聞記事の基本構造
	事後学習	新聞の記事チェック
10	事前学習	教科書の通読
	授業内容	主語述語の再確認 誤解を防ぐための具体的注意点
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
11	事前学習	教科書の通読
	授業内容	句読点や修飾語の使い方 基本と注意事項
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
12	事前学習	教科書の通読
	授業内容	文章を輝かせるコツと条件およびノウハウ
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
13	事前学習	教科書の通読
	授業内容	プロの記事・作品構成の基礎と応用
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
14	事前学習	教科書の通読
	授業内容	原稿の仕上げに必要な注意事項
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証
15	事前学習	教科書の通読
	授業内容	まとめ・質問受け付け・ディスカッション
	事後学習	文法や全体構成の精読・再検証

科目名	メディア・テキストの基礎Ⅲ	担当者	新田 直子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	どのような文章にも読み手があり、目的に応じた書き方がある。だから書き手は、はっきりと読み手と目的を意識して、ルールに沿った文章を書くべきである。毎回の異なる課題を通して、読み手が文章に（そして書き手に）何を求めているのか、読み手にとって価値のある文章とは何かを学生自身に考えてもらう。				
授業目的・到達目標	まずは文章作成の基本について学び、その上で、より豊かな発想力を養い、将来的にさまざまな場面で役立てることのできる技術を身につけることを目的とする。一定の時間内に与えられた課題に対して自分の考えを整理し、文章化できるだけだけの論述力を養う。具体的には自己PR文、創作文、三題晰、小論文など、さまざまな文章を書いてもらうほか、いくつかの思考法に従って発想をのばす方法を学ぶ。				
履修条件	特になし				
授業方法	基本的には毎週、講義時間内に実際に課題文を書いて提出してもらう。残りの時間に、前回課題の講評、注意点を述べるほか、文章作成上の注意点や論の組み立て方など、基本的なことを解説する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%	行わない。	
	平常評価		100%	受講姿勢および提出された文章により評価する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	文章課題となる図書については講義中に指示する。			
参考書	講義内で適宜指示・紹介する。				
オフィスアワー	授業終了時にアポイントを取ること。その翌週の授業後に時間をもうける。文章作成に関する質問には可能な限り応じる。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	特になし
	授業内容	ガイダンス 文章作成の基本（１）
	事後学習	講義内容の復習。
2	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	文章作成の基本（２）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
3	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	文章作成の基本（３）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
4	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	文章作成の基本（４）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。

5	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	文章作成の基本（５）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
6	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	発想を広げ、文章力を蓄える（１）
	事後学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
7	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	発想を広げ、文章力を蓄える（２）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
8	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	発想を広げ、文章力を蓄える（３）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
9	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	発想を広げ、文章力を蓄える（４）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
10	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	さまざまな課題への対応を学ぶ（１）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
11	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	さまざまな課題への対応を学ぶ（２）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
12	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	さまざまな課題への対応を学ぶ（３）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
13	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	さまざまな課題への対応を学ぶ（４）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
14	事前学習	指示された課題について予備知識を得ておくこと。課題文がある場合は、読んでおくこと。
	授業内容	さまざまな課題への対応を学ぶ（５）
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。
15	事前学習	推敲・校正について講義する。指示された課題について予備知識を得ておくこと。
	授業内容	推敲・校正。質疑。
	事後学習	講義内容の復習に加え、返却された答案を今一度読み返し、再度課題に取り組むよう求める。

科目名	メディア・ビジネス	担当者	公野 勉	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	情報メディアの中核をなす映像をテーマとし、実写・アニメーション・CG等を活用した、映画・TVコンテンツ・キャラクターMDの具体的な制作方法を、実地者の立場から“ナマの声”で講義する(担当講師は、映画会社日活で製作・配給の取締役を務めた現役のプロデューサーであり、アニメ会社タツノコ・プロダクションの'09年度取締役)。				
授業目的・到達目標	メディア産業を概観し、コンテンツ製作の市場原理の把握とコンテンツのエポックメイキングの理解を得ることを目的とする。コンテンツ知財ビジネスの基礎構造とコンテンツ企業の収益モデルが理解可能になる。				
履修条件	2年生以上。				
授業方法	時事情報を導入し、レジメに則って講義を展開する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加度および講義内レポートを予定。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	適宜、資料配布および各種紹介予定。				
オフィスアワー	講義設定日の前後休み時間。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	講師の事歴をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	講師自己紹介およびガイダンス
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
2	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	映像メディアのセグメント
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと

3	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	映像業界の構造について、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
4	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	映画興行について、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
5	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	映画配給について、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
6	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	映画宣伝について、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
7	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	劇場公開終了後のビジネス、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
8	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	邦画の海外戦略について、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
9	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	映像版権について、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
10	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	コンテンツ企業のメカニズム解析、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
11	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	キャラクターコンテンツ企業のメカニズム解析
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
12	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	玩具企業のマーチャンダイジングメカニズム解析
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
13	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	企画書の作り方、
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと
14	事前学習	前回講義末提示の事案をインターネット等で検索、熟読しておくこと
	授業内容	収支計画の作り方、
	事後学習	最終講義回収予定のテーマのレポートを作成しておくこと

15	事前学習	前回講義末提示のテーマのレポートを作成しておくこと
	授業内容	総括、レポート回収
	事後学習	講義内提示の事案をインターネット等で確認しておくこと

科目名	メディア文化演習Ⅰ	担当者	玉川 博章	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	文化社会学やカルチュラルスタディーズの先行研究を参照し、現代におけるグローバル化や流動化（リキッドモダニティ）などの状況を踏まえて、文化やメディアのあり方を考察する。				
授業目的・到達目標	基本的な概念や文献を学び、各自が文化やメディアを多角的に捉え考察するための知識取得、議論などのインプットとアウトプットの訓練となる演習を目的とする。メディアや文化を政治や社会との関連から分析し、考察できるようになることを目標とする。				
履修条件	特になし。				
授業方法	配付資料や文献を参照しての講義と、学生によるグループディスカッションや発表などを併用する演習形式とする（半分程度はディスカッションや発表）。演習では学術文献を利用し、当該授業の予習として事前に一読することが必須。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業への参加（提出物・発表内容等）に加え、期末に課すレポートにより、文化分析の基礎的知識やメディアと社会・政治との関係性の理解を確認し評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	演習の対象とする文献は、授業開始時に以下の参考書の中などから、受講生の人数等を鑑み決定し指示する。			
参考書	岩淵功一『文化の対話力』、谷川・王・呉編『サブカルで読むナショナリズム』、五十嵐編『変容するアジアと日本』世織書房、イアン・コンドリー『日本のヒップホップ』、高井編『「反戦」と「好戦」のポピュラー・カルチャー』				
オフィスアワー	授業の前後や電子メールにより質問等を受けつける。アドレスは授業開始時に指示をする。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよむ
	授業内容	イントロダクション グローバル化とリキッドモダニティ①
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
2	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	グローバル化とリキッドモダニティ②
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
3	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	文化研究の基本概念①
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
4	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	文化研究の基本概念②
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。

5	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	文化研究の基本概念③ (発表・ディスカッション等を予定)
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
6	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	メインストリーム×サブカルチャー①
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
7	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	メインストリーム×サブカルチャー② (発表・ディスカッション等を予定)
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
8	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	メインストリーム×サブカルチャー③
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
9	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	様々なサブカルチャーの事例考察① (発表・ディスカッション等を予定)
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
10	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	様々なサブカルチャーの事例考察② (発表・ディスカッション等を予定)
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
11	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	様々なサブカルチャーの事例考察③ (発表・ディスカッション等を予定)
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
12	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	「クールジャパン」：グローバル化の中の日本①
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
13	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	「クールジャパン」：グローバル化の中の日本② (発表・ディスカッション等を予定)
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。
14	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	「クールジャパン」：グローバル化の中の日本③
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。期末レポートのための文献収集と閲覧、レポート執筆。
15	事前学習	事前に指示された場合は関連文献を読んでもくる。また、発表・ディスカッション等が予定される時は、準備として指定文献を読んだり調べ、それを元に資料等を作成・提出する
	授業内容	まとめ
	事後学習	授業でふれた事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。期末レポートのための文献収集と閲覧、レポート執筆。

科目名	メディア文化演習Ⅱ	担当者	大泉 克郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本的人権の中心的課題である「表現の自由」を守るとは、民主主義社会を維持し発展させる重要な営みである。メディアが伝える情報はどのような性格をもち、どんなプロセスをへて伝えているのか。メディアが送り出す情報を、主体的に読み解く演習を行う。					
授業目的・到達目標	新聞、テレビ、広告、映画、アニメ、インターネットコンテンツなどさまざまな「メディア」の情報を発信する力を学び、さらに自らメディアをクリエートする力を養う。さあ、知的好奇心を満足させるメディア・クリエイターの世界に船出しよう。					
履修条件	一日一善、ワンテーマを予定しています。前期のメディア文化演習Ⅱと後期のメディア文化演習Ⅲを継続的に受講して欲しい。					
授業方法	P C入力メモをもと講義形式で口述します。T Vドラマ、T V番組なども適宜使用します。授業内で課題・レポートを提出していただきます。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定期試験		0 %			
	平常評価		100%		リアクションペーパー（50 %）、メディア演習課題6月提出（50 %）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	ありません。				
参考書	講義の中で推薦します。					
オフィスアワー	授業中に質問を受けます。リアクションペーパーでの質問は、翌週お答えします。相談事は授業終了後に受けます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	就活状況をまとめる。
	授業内容	「Be in the game」（マスコミ）就活に克つ
	事後学習	就職試験の作文を書く。
2	事前学習	今年度政府予算案についてトータルの数字などを調べる。
	授業内容	AGENDA（議題） SETTING メディア決定論
	事後学習	財政規律について復習する。
3	事前学習	報道の自由について世界ランキングを調べる。
	授業内容	なぜ表現の自由なのか
	事後学習	「巨怪伝」（佐野真一）を読む。
4	事前学習	日本テレビ事件について調べる。
	授業内容	「情を通じて」報道の自由と国家機密 DVD「おとり隠し撮り」
	事後学習	特定機密保護法について復習する。

5	事前学習	ロス疑惑事件について調べる。
	授業内容	表現の自由と名誉棄損
	事後学習	名誉棄損の事例について復習する。
6	事前学習	東電OL殺人事件を読む。
	授業内容	「東電OL殺人事件」プライバシー侵害
	事後学習	東電福島原発事故裁判について調べる。
7	事前学習	自己情報コントロール権について調べる。
	授業内容	「国家権力は隠す」知る権利と情報公開法 ACCOUTABILITTY（説明責任）
	事後学習	公文書管理ができているか調べる。
8	事前学習	「出会い系バアー報道」について調べる。
	授業内容	メディア・リテラシーと情報操作の論理
	事後学習	国連の「報道の自由に関する」日本調査について調べる。
9	事前学習	「高松塚古墳」について調べる。
	授業内容	「過去は変化する」ジャーナリズム倫理学
	事後学習	「元号」報道について過去を振りかえり、新元号について考える。
10	事前学習	電波法76条を調べる
	授業内容	「TELEVISION」放送の自由
	事後学習	東京スカイツリーにのぼってみる。
11	事前学習	ギリシャ神話を調べる。
	授業内容	「カタルシス」という放送演出論 DVD「はじめてのおつかい」
	事後学習	「はじめてのおつかい」の感想文を書く。
12	事前学習	民放TVの夜ニュースの項目（前日）をチェックする
	授業内容	カセの研究 TVドラマ「ストレートニュース」
	事後学習	「ストレートニュース」のカセについて書く。
13	事前学習	靖国神社に行く。
	授業内容	「新聞は戦争に反対したことがない」戦争という現象～不条理の倫理学
	事後学習	沖縄に行く。
14	事前学習	国会の予算委員会を傍聴する。
	授業内容	戦争とメディア DVD「掃海艇の妻たちの暑い夏」
	事後学習	自衛隊基地を見学する。
15	事前学習	東日本大震災のその後を見に立つ
	授業内容	「貞観津波がきた」巨大地震の過去と未来
	事後学習	フクシマに行ってみる。

科目名	メディア文化演習Ⅲ	担当者	大泉 克郎	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	基本的人権の中心的課題である「表現の自由」を守ることは、民主主義社会を維持し発展させる重要な営みである。メディアが伝える情報はどのような性格をもち、どんなプロセスをへて伝えているのか。メディアが送り出す情報を、主体的に読み解く演習を行う。				
授業目的・到達目標	新聞、テレビ、広告、映画、アニメ、インターネットコンテンツなどさまざまな「メディア」の情報を発信する力を学び、さらに自らメディアをクリエートする力を養う。さあ、知的好奇心を満足させるメディア・クリエイターの世界に船出しよう。				
履修条件	一日一善、ワンテーマを予定しています。前期「メディア演習文化Ⅱ」と後期「メディア文化演習Ⅲ」を継続受講して欲しい。				
授業方法	P C入力メモをもとに講義形式で口述します。T Vドラマ、T V番組なども適宜使用します。授業内で論文を提出してもらいます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0 %		
	平 常 評 価		100%	リアクションペーパー（5 0 %）、メディア文化演習論文1 0月提出（5 0 %）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	ありません。			
参 考 書	講義の中で推薦します。				
オフィスアワー	質問は講義中に受けます。リアクションペーパーでの質問は、翌週お答えします。相談事は授業終了後に受けます。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ドラフト会議「空白の一日」
	授業内容	メディア演習①スポーツコンテンツ DVD「追跡」
	事後学習	スポーツビジネスのランキング
2	事前学習	ロッキード事件
	授業内容	メディア演習 ② ニュースの源流 「事件記者」
	事後学習	政治資金規正法
3	事前学習	Edmund Burke
	授業内容	メディア演習 ③ 政治の共生学 「政治部記者」
	事後学習	Band Wagon Effect
4	事前学習	ジョセフ・フーシェ
	授業内容	メディア演習 ④ 「フーシェの陰謀」大平正芳研究
	事後学習	大平正芳と財政規律

5	事前学習	トクヴィルのアメリカン・デモクラシー
	授業内容	メディア演習 ⑤ 「自由と平等」 (経済部記者)
	事後学習	脱成長論
6	事前学習	「それ、違法です」
	授業内容	「ジャニーズは隠れる」 著作権と著作隣接権
	事後学習	フェアユース規程
7	事前学習	メディア広告費
	授業内容	デジタル時代のメディア戦略
	事後学習	各局比較
8	事前学習	「事実をまげない」 放送法
	授業内容	「捏造はなくなる」 放送の危機管理
	事後学習	B P O
9	事前学習	政治の圧力そして付度
	授業内容	「放送文化を守ろう」 NHKがアブナイ
	事後学習	NHK ネット同時配信
10	事前学習	楽天の時価総額
	授業内容	メディアウオーズ
	事後学習	新聞の身売り
11	事前学習	インターネット人口
	授業内容	インターネット物語
	事後学習	S t e v e J o b s
12	事前学習	米NSA
	授業内容	ソーシャルメディア・リテラシー
	事後学習	スノーデンの告白
13	事前学習	携帯利用者
	授業内容	C h a n g e i s g o o d ケイタイ文化
	事後学習	L I N E
14	事前学習	日本に暮らす外国人
	授業内容	文明は東から西へ
	事後学習	インドの経済力
15	事前学習	日本人はいつどこから来たか
	授業内容	優しさの循環～地球環境の研究
	事後学習	パリ協定

科目名	メディア法Ⅰ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	メディア法の範囲は、放送、新聞、雑誌などマスメディア、あるいはそこで仕事に従事しているジャーナリストに適用される法とします。それらの法について概説するとともに、判例や学説を踏まえながらマスメディアの活動に関わる法的問題を考えます。				
授業目的・到達目標	現代のマスメディアが抱える法的な諸課題を体系的に理解して欲しい。				
履修条件	新聞学科 1 年次生は履修できません。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	授業内レポートおよび最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜プリントを配付します。			
参 考 書	別冊ジュリスト「メディア判例百選」（有斐閣）、「法とジャーナリズム 第3版」（山田健太、学陽書房）				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んでください。
	授業内容	ガイダンス「メディア法とは何か」
	事後学習	授業に関心を持った法律を調べてください。
2	事前学習	憲法第21条の内容を改めて確認するとともに、博多駅テレビフィルム提出命令事件について調べてください。
	授業内容	表現の自由と報道の自由：表現の自由はなぜ憲法で保障されているのか、表現の自由と報道の自由・取材の自由
	事後学習	表現の自由、報道の自由、取材の自由について整理してください。

3	事前学習	北方ジャーナル事件について調べてください。
	授業内容	検閲の禁止と報道の自由：検閲の禁止の意味、検閲の禁止の具体例の解説
	事後学習	検閲の禁止をどのように理解すべきかとまとめてください。
4	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	知る権利と情報公開制度：知る権利とは何か、情報公開制度の概要
	事後学習	知る権利がなぜ重要かをまとめてください。
5	事前学習	最高裁判所のホームページにアクセスし、どのような情報が公開されているかについて調べてください。
	授業内容	裁判の公開と報道の自由：法廷における取材、裁判員制度
	事後学習	報道における裁判員制度の課題をまとめてください。
6	事前学習	日本テレビ・リクルートテープ押収事件について調べてください。
	授業内容	取材源の秘匿：証言拒否、ビデオテープの証拠採用、押収、差し押さえ
	事後学習	取材源の開示の強制やビデオテープの証拠採用がその後の報道活動に与える影響をまとめてください。
7	事前学習	月刊ペン事件、夕刊和歌山時事事件について調べてください。
	授業内容	名誉棄損と報道の自由：名誉棄損の判断基準と免責要件
	事後学習	名誉毀損が免責されるための要件についてまとめてください。
8	事前学習	イエロージャーナリズムについて調べてください。
	授業内容	プライバシーの侵害と報道の自由：プライバシー権の侵害要件と違法性阻却事由
	事後学習	プライバシーの確立と発展過程についてまとめてください。
9	事前学習	日本新聞協会ホームページ内の『「個人情報保護法」「人権擁護法案」に関する見解等』を読んでください。
	授業内容	個人情報保護法と報道の自由：メディアの適用除外、報道への影響
	事後学習	報道との関係において、個人情報保護法の問題点をまとめてください。
10	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	少年法と報道の自由：少年の実名報道の是非
	事後学習	少年の保護における少年法の役割についてまとめてください。
11	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	わいせつ表現：わいせつの概念、児童ポルノ
	事後学習	わいせつ性の判断基準の変化についてまとめてください。
12	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	放送の自由Ⅰ：日本で唯一の“言論立法”と呼ばれる放送法の内容規制
	事後学習	放送内容の規制についてまとめてください。
13	事前学習	放送倫理・番組向上機構（ＢＰＯ）ホームページ内の「ＢＰＯとは」を読んでください。
	授業内容	放送の自由Ⅱ：自主自律と放送倫理
	事後学習	なぜ、自主規制が必要なのかをまとめてください。
14	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	放送・新聞と著作権：著作隣接権、ネット配信での権利処理
	事後学習	著作権で何を守るのかをまとめてください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、前学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでください。

科目名	メディア法Ⅰ	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本講義では、ジャーナリズムといわれる活動に関わる法律問題を取り扱う。よって、対象となるメディアは新聞・放送・出版といった、古典的なものとなる。扱う事例も名誉毀損・プライバシー侵害等の古典的なものである。できるだけ多くの事例を取り上げていく。				
授業目的・到達目標	本講義では、ジャーナリズムといわれる活動に関わる法律問題を「自分」で分析できる力を養成していくつもりである。ジャーナリズムに関する法的問題を、適切に分析できる素養を養う。				
履修条件	月曜日の１時限は新聞学科１年次生のみ。 火曜日の５時限は経営法学科１年次生以上、及び他の４学科（２部法律学科を含む）２年次生以上。				
授業方法	講義形式を中心に行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	到達目標に達しているかどうか100%。授業内試験・レポート等でチェックする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2005	有斐閣		メディア判例百選	
	備考				
参考書	『ポケット六法』等（六法は初回から毎回必ず持参する）塚本晴二郎『ジャーナリズム倫理学試論－ジャーナリストの行為規範の研究－』（南窓社）川中康弘『新聞の自由と責任』（南窓社）				
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。
	授業内容	ガイダンス：『メディア判例百選』・『ポケット六法』は必ず持参する。 講義の概要 レポートの書き方等を中心に
	事後学習	レポートの書き方を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
2	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	知る権利・取材・報道の自由① 取材源の秘匿① 朝日新聞記者証言拒否事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

3	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	取材・報道の自由② 取材源の秘匿② 北海道新聞記者証言拒否事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
4	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	取材・報道の自由③ 目的外使用① 博多駅事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
5	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	取材・報道の自由④ 目的外使用② 日本テレビ事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
6	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	取材・報道の自由⑤ 目的外使用③ TBS事件を中心
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
7	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	名誉毀損① 公共の利害 『月刊ペン』事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
8	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	名誉毀損② 相当性 嬰兒変死事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
9	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	名誉毀損③ 配信サービスの抗弁 ロス疑惑共同通信事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
10	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	プライバシーの侵害① 憲法的根拠 『宴のあと』事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
11	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	プライバシーの侵害② 時の経過の基準 『逆転』事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
12	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	性表現の自由① 性行為の非公然性 チャタレー事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
13	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	性表現の自由② 内在的制約 『悪徳の栄え』事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

14	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	性表現の自由③ わいせつ性判断の具体化 『四畳半襖の下張り』事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
15	事前学習	テキストの該当箇所を熟読する。
	授業内容	性表現の自由④ ハード・コア・ポルノの基準 ビニール本の販売事件を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点を総括する。

科目名	メディア法Ⅱ	担当者	笹田 佳宏	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	メディア法の範囲は、放送、新聞、雑誌などマスメディアあるいはそこで仕事に従事しているジャーナリストに適用される法とします。それらの法について概説するとともに、判例や学説を踏まえながらマスメディアの活動に関わる法的問題を考えます。				
授業目的・到達目標	現代のマスメディアが抱える法的な諸課題を体系的に理解して欲しい。				
履修条件	メディア法Ⅰの単位取得者。				
授業方法	講義形式を中心に行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業内レポートおよび、最終授業での課題レポート等で総合的に評価します。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。適宜、プリントを配付します。			
参考書	別冊ジュリスト「メディア判例百選」（有斐閣）、「法とジャーナリズム 第3版」（山田健太、学陽書房）				
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	外務省沖縄密約事件について調べてください。
	授業内容	国家秘密と報道の自由Ⅰ：公務員の職務上の秘密、防衛上の秘密
	事後学習	国家秘密と取材・報道の自由のバランスをどのように取ればよいかをまとめてください。
2	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	国家秘密と報道の自由Ⅱ：特定秘密保護法
	事後学習	報道との関連において、特定秘密保護法の問題点をまとめてください。

3	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	選挙と報道の自由：公職選挙法、政見放送、選挙広告、テレビCM問題
	事後学習	選挙報道における公平性の考え方をまとめてください。
4	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	国民投票法と報道の自由：国民投票運動、広報活動、メディア規制
	事後学習	国民投票における広告の問題点についてまとめてください。
5	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	メディアと人権：パリ原則、人権擁護法案、過剰取材
	事後学習	メディアスクラムが発生する原因をまとめてください。
6	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	社会秩序の維持と表現の自由：ヘイト・スピーチ、デモ規制、ビラ規制
	事後学習	ヘイト・スピーチと表現の自由に関する課題をまとめてください。
7	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	プレスオンブズマン：苦情処理機関、プレス評議会
	事後学習	苦情処理機関が抱える課題についてまとめてください。
8	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	報道被害と救済：名誉棄損、プライバシー侵害と事前差止め、損害賠償、謝罪広告
	事後学習	損害賠償額の高額化による影響をまとめてください。
9	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	公共放送と民間放送Ⅰ：NHKと民間放送の二元体制、NHKの経営体制
	事後学習	受信料の性格についてまとめてください。
10	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	公共放送と民間放送Ⅱ：民間放送の特徴、マスメディア集中排除原則
	事後学習	マスメディア集中排除原則の運用実態についてまとめてください。
11	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	公共放送と民間放送Ⅲ：構造規制、参入規制、資本規制
	事後学習	放送内容以外の規制についてまとめてください。
12	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	記者クラブ：閉鎖性、発表ジャーナリズム
	事後学習	記者クラブが抱える問題点をまとめてください。
13	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめておいてください。
	授業内容	広告と表現の自由：営利的言論、規制の構造と責任
	事後学習	広告の規制の態様についてまとめてください。
14	事前学習	COLNe tにある資料を読んで疑問点をまとめてください。
	授業内容	諸外国のメディア法：アメリカ、イギリス、ドイツ等
	事後学習	授業で解説した諸外国と日本の違いをまとめてください。

15	事前学習	自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでおいてください。
	授業内容	総括
	事後学習	総括を踏まえ、再度、後学期の自分の授業ノート、事後学習でまとめたものを読んでください。

科目名	メディア法Ⅱ	担当者	塚本 晴二郎	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	、「メディア法Ⅰ」で培った基礎を前提に、メディア法の応用力の養成を主眼とする。				
授業目的・到達目標	本講義では、メディア法に関する諸問題に関する、分析力・判断力の涵養をめざす。ジャーナリズムに関する法的問題を、適切に分析できる素養を養う。				
履修条件	メディア法Ⅰの単位取得者				
授業方法	講義形式とディベート（リーグ戦）を併用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	到達目標に達しているかどうかを授業に対する取り組み方50%、ディベートに臨む姿勢50%で判断する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2 0 0 5	有斐閣		メディア判例百選	
	備考				
参 考 書	『ポケット六法』等（六法は初回から毎回必ず持参する） その他は適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する
	授業内容	ガイダンス 講義概要 ディベートのルール説明を中心に
	事後学習	ディベートのルールの内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする
2	事前学習	メディア法Ⅰの復習を徹底的に行う
	授業内容	メディア法Ⅰのブリーフィング チーム編成 試合日程の決定を中心に
	事後学習	チーム内の分担に従った次の準備を行う

3	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	チーム・ミーティング① 作戦の設定と役割分担等 教員はチーム毎に適切な対応をする
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
4	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	チーム・ミーティング② 資料収集と読み合わせ 教員はチーム毎に適切な対応をする
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
5	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	チーム・ミーティング③ 具体的な作戦会議 教員はチーム毎に適切な対応をする
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
6	事前学習	実際のディベートに向けた作戦会議
	授業内容	ディベート① ディベートの実施とジャッジ 教員は解説を中心に行う
	事後学習	実際のディベートを踏まえた反省会
7	事前学習	実際のディベートに向けた作戦会議
	授業内容	ディベート② ディベートの実施とジャッジ 教員は解説を中心に行う
	事後学習	実際のディベートを踏まえた反省会
8	事前学習	実際のディベートに向けた作戦会議
	授業内容	ディベート③ ディベートの実施とジャッジ 教員は解説を中心に行う
	事後学習	際のディベートを踏まえた反省会
9	事前学習	メディア法Ⅰの復習を徹底的に行う
	授業内容	メディア法Ⅰのブリーフィング 試合日程の決定を中心に
	事後学習	チーム内の分担に従った次回の準備を行う
10	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	チームミーティング④ 作戦の設定と役割分担等 教員はチーム毎に適切な対応をする
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
11	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	チームミーティング⑤ 資料収集と読み合わせ 教員はチーム毎に適切な対応をする
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
12	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	チーム・ミーティング⑥ 具体的な作戦会議 教員はチーム毎に適切な対応をする
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
13	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	ディベート④ ディベートの実施とジャッジ 教員は解説を中心に行う
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う

14	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	ディベート⑤ ディベートの実施とジャッジ 教員は解説を中心に行う
	事後学習	チーム・ミーティングに従った次回の準備を行う
15	事前学習	チーム・ミーティング準備
	授業内容	ディベート⑥ ディベートの実施とジャッジ 教員は解説を中心に行う
	事後学習	チーム毎に反省会を行う

科目名	メディア理論	担当者	平井 智尚	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	ジャーナリズム、メディア、情報、コミュニケーションに関連する理論を学習し、専門的な調査・研究を実施していくための視座を養います。				
授業目的・到達目標	政治、文化、社会問題など現代社会の様々な事象をメディア理論と対応させ、理解できるようになることを期待します。受講者自身が関心のある現代社会の事象をメディア理論に基づき説明・考察できるようになることを最終的な到達目標に設定します。				
履修条件	学科の指定する履修条件に従ってください。				
授業方法	文献や各種資料を使用しながら授業を進めます。授業方法は受講者数に応じて調整します。演習形式で授業を実施する場合もあります。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		0%		
	平 常 評 価		100%	期末レポート（50％）、口頭報告、小レポート等（50％）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業に関連する文献を使用します。必ず手元に置いておくようにしてください。その他、適宜資料を配布します。なお教科書を指定する場合には改めて指示します。			
参 考 書	岩本裕（2015）『世論調査とは何だろうか』岩波新書 山腰修三編（2017）『入門メディア・コミュニケーション』慶應義塾大学出版会 ほか				
オフィスアワー	質問は随時受け付けます。連絡先（メールアドレス）は初回の授業の際にお伝えします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	これまで履修したメディア関連科目の復習
	授業内容	ガイダンス：メディアの理論とは何か
	事後学習	配布資料を確認し次回以降の授業に備える
2	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディアに関連する理論と概念（1）：社会科学における理論
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備

3	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディアに関連する理論と概念（2）：メディアと理論の歴史
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
4	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディアに関連する理論と概念（3）：メディアと理論の現在
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
5	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディア・コミュニケーションと理論（1）：マス・メディアと理論の展開
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
6	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディア・コミュニケーションと理論（2）：世論に関する理論
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
7	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディア・コミュニケーションと理論（3）：ニュースに関する理論
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
8	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディア・コミュニケーションと理論（4）：うわさの理論
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
9	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	メディア・コミュニケーションと理論（5）：現代社会の事象をメディア・コミュニケーションの理論で読み解く
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
10	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	情報社会とメディア（1）：情報社会に関する理論
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
11	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	情報社会とメディア（2）：インターネット利用に関する理論
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
12	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	情報社会とメディア（3）：ソーシャルメディアとコミュニケーション
	事後学習	授業内容の復習と小レポートの準備
13	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	情報社会とメディア（4）：デジタルメディアと社会運動
	事後学習	授業内容の復習と期末レポートの準備
14	事前学習	指定した文献に目を通しておく
	授業内容	情報社会とメディア（5）：現代社会の事象を情報社会とメディアの理論で読み解く
	事後学習	授業内容の復習と期末レポートの準備

15	事前学習	これまでの授業内容を復習する
	授業内容	授業のまとめ
	事後学習	理論的な知見をもとにジャーナリズム、メディア、情報、コミュニケーションに関連する現象を読み解く

科目名	ヨーロッパ経済論	担当者	円居 総一	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	欧州は戦前の汎ヨーロッパ運動の構想を引き継ぎ、荒廃した第二次大戦後の欧州の復興と復権を目指して経済統合を軸に再建を進めてきた。その統合の歴史を共有する理念、経済的意義と一国未満の連合体としての矛盾と対立、そこに根差す危機のメカニズム等を含めて振り返り、直面する問題、とりわけEUを分裂の危機に直面させた格差、移民問題とBREXIT（英のEU離脱）を整理、考察し、グローバルな文脈から今後を展望していく。				
授業目的・到達目標	米国型の自由主義を基本とする資本主義モデルとは一線を画した欧州型のリベラル思想をベースとする市場経済に立脚した欧州（EU）経済の特徴、その発展と現状を、EUの経済・通貨統合を縦軸に、世界経済の変化とEU経済の関係を横軸に体系的に理解し、今後のEU経済・社会の展開と世界経済の先行きを考察していける知識基盤を身に付けていくことを目標とする。同時に、経済統合とグローバル化の関係、統合の深化と拡大に内包する問題を含め、欧州経済・社会の特質と実態を踏まえて、その多様性の中の統合という実験を体系的に理解し、日欧関係やアジア等の経済共同体化の問題の考察にも応用していける知識基盤を併せ拡充していくことを目指す。				
履修条件	特にないが、半期授業につき、原則2回目の授業までに必ず出席していることを登録条件とする。国際経済学や国際金融論の基礎知識と通貨発行権、徴税権等を含む国家の仕組み等に関した知識を有していれば理解が早まる。				
授業方法	通常の講義形式に、対話形式を交えて授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート提出及び授業への参加意欲と態度。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	30年度	日本経済新聞社		『EUの知識』（最新版、旧版でも可）	藤井良広
	備考	基本書として使用。下記参考書等でEU関連の図書であれば夫々の自己判断で代用可能。			
参考書	『欧州連合―統治の論理とゆくえ』庄司克宏、岩波新書。経済基本知識の補完として前期アメリカ経済論受講者は『ブランシャール マクロ経済学上』東洋経済新報社刊。その他は開講以降適宜指示。				
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	EUの歴史を教科書等で予習が理解促進上望まれる。また前期ブランシャールの教科書をもつ学生は、その第一部、二部の復習を必要に応じ行っていくが理解を助けるため望まれる。
	授業内容	大戦後の衰微と欧州統合の起源 第二次大戦後の欧州の衰微の状況と復興の原点となった超国家組織構築の理念と構想、米国の復興支援との関係等を含め、また大戦前の「汎ヨーロッパ運動と構想」との関連を含めて、統合の起源と今日に続くその理念を中心に授業へのイントロを兼ねて講義する。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
2	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	EECからECへ 欧州の復興計画は、まず経済統合による経済基盤の再建から進められた。その具体的一歩が、R.シューマンが提唱した「欧州石炭鉄鋼共同体」である。1951年に西独、仏等のコア6か国で条約として締結されたが、そこからさらに「欧州経済共同体（EEC）」の設立と「欧州原子力共同体」の設立を含めたローマ条約が締結（1957年）されている。その経緯と目的等を解説、講義する。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。

3	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	関税同盟と第一次通貨統合計画 欧州の経済復興は着実に進み、経済共同体化への重要な具体的一步となる「関税同盟」が1967年に締結されていく。その二年後には農業共同市場も設立され、経済統合の完成に向けた10年計画の具体策として通貨統合計画が策定、実施に移されていくことになる。その進め方を巡っては独仏の理論的対立があったが、それ以前に国際経済、通貨環境の激変に見舞われ計画は頓挫していく。その経緯と理論検証を教授していく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
4	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	第二次通貨統合計画（EMS） 第一次統合計画の失敗は、EC（欧州共同体）分裂の危機をも招いた。その再出発のために提示されたのが、EMS（欧州通貨制度）であった。通貨の変動幅と対応に柔軟性を採り入れ、またショックアブソーバシステムとして相互信用機構の拡充を図った。同システムは複数基軸通貨制度にも参考となるものにつき、経緯に加えやや複雑な仕組みについても併せ教授していく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
5	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	単一市場の形成 1980年代半ば迄にEUの参加国は英国の再加盟やギリシャ、スペイン等の加盟を含めて12か国に拡大していったが、「拡大」は「深化」との間でトレード・オフを生む。通貨統合計画の失敗を受けた80年代初頭は農業問題に根差す分担金を巡る対立も激化し、ECは分裂の危機に直面。その対応としての経済利益の拡大と統合への基盤作りを目指し導入されたのが単一市場計画であった。その利益の検証と意義を解き明かしていく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
6	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	統合の経済理論と検証1. 紆余曲折を経ながらもECは粘り強く統合を進めてきた。独仏を柱とする大陸欧州主導で進んできた統合の第一の基盤は、理念の共有であった。しかし、同時に経済的メリットも不可欠であった。統合の発展段階を含む基本理論としてバラッサの理論枠組みがある。その概説、検証に加えて、最適通貨圏理論をベースとする通貨経済統合の理論からの検証を含めて、欧州の経済統合計画を理論的に見ていく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
7	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	統合の経済理論と検証2. 上記6回目授業の継続（共通通貨の費用と便益、および最適通貨圏理論に対する批判を中心に）
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
8	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	ECからEUへ 単一市場計画は予期以上の成果を収め、巨大な財市場が形成される。それがEMS（欧州通貨制度）の安定にもつながり、経済通貨統合の基盤が整っていった。これを受けて、共通外交安全保障政策と司法・内務協力のための政府間機構の創設を含めた欧州連合条約が締結（1992年）されEUが誕生する。さらに99年には共通通貨ユーロの導入がされ、09年には実質的な憲法条約となるリスボン条約の締結へと進む。その過程を学ぶ。
	事後学習	前回上記に同じ。参考文献としての庄司氏の著作を活用して理解を深めることが一層望ましい。
9	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	EUの機構、共通政策—EUの組織形態 EUを形成する「3つの柱」は、EC（欧州共同体＝超国家的性格）、CFSP（共通外交安全保障政策＝政府間機構）、JHA（司法・内務協力＝政府間機構）であるが、これらの関係に加えて、EU議会、行政機構等EUの組織形態について解説、講義していく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
10	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	統合バブルと経済・金融危機 単一通貨ユーロの実現と金融政策の統合化は、財政統合が未整備の段階において、ドイツの信用に支えられた周辺国の経済バブル化を生起していった。それがギリシャ危機、EUのソブリン危機へとつながる背景要因となっていたが、経済格差のある中での共通金融政策がそれに拍車をかけることになった。そのメカニズムと究極の統合（合衆国水準）への財政統合問題との関連を中心に講義していく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
11	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	統合バブルと危機の連鎖 前回授業の続き。危機の具体的展開と問題を、リーマンショックを契機とするギリシャ問題の発覚からソブリン危機への展開を含めて解き明かしていく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。

12	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	新たな危機の構図 1 ソブリン危機は小康化したもののEUの分裂を招きかねない構造的問題が浮上してきた。グローバル化の進行に伴う経済格差の拡大と難民・移民問題、それらに根差す社会の分断と排外主義の広まりである。多様性の中の統合とEU市民の形成を進めてきたEUにとっては重大な脅威となる。その格差の実態、政治構造の変化を統計を含め検証、考察していく。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
13	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	新たな危機の構図 2。 前回の続き。主要選挙の推移にみる政治構造の変化および移民問題の実態を中心に学習、考察を進める。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
14	事前学習	授業内容の進捗に併せ、基本教科書での予習を奨める。
	授業内容	英国のEU離脱問題 EU分裂のさきがけともなりかねない英国のEU離脱。離脱手続きに入ってきたが、その脱退後の英国とEUの関係を巡る選択肢問題や離脱の真因、そのEU全体への影響を含めて解説、講義を進める。
	事後学習	ポイントを出来るだけ板書していく。そのノートやメモで復習を積み重ねていくことが次回授業の予習にもなるため望まれる。
15	事前学習	これまでの講義の要点を1 4 回目授業で示すのでそれを踏まえてノート等を参考に準備を進めること。
	授業内容	まとめ（今後のEUの展開を含む）と授業内レポート試験
	事後学習	学習ポイントを自主的に復習、補完することで応用力を磨くことが望まれる。

科目名	ヨーロッパ政治論Ⅰ	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業は、近年のヨーロッパ各国でみられる共通の現象を理論的に検討するとともに、その理論を用いて各国事例を説明する。本年度のキーワードは、大統領制化、ポピュリズム、極右勢力の台頭である。				
授業目的・到達目標	ヨーロッパの各国政治に対する理解を深めるとともに、理論と事例を検討することで、演繹的思考能力、帰納的思考能力を身につけることを目的としている。ヨーロッパ政治への理解を深めることで、その知見を日本政治へと応用できるようになることが目標となる。				
履修条件	履修条件は特に設けないが、他の学生の学習を妨げるような行為には厳しく対応する。				
授業方法	パワーポイントを用いた講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		80%	学期末に行われる定期試験によって評価する。試験は、事実関係が整理されているか、因果関係が明示されているかによって採点される。	
	平 常 評 価		20%	授業中に実施される小テストによって加点する。任意提出のレポートによって加点する。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	2018年（予定）	ミネルヴァ書房	大統領制化の国際比較（仮題）		岩崎正洋編
	備考				
参 考 書	授業中に適宜、提示する。				
オフィスアワー	オフィスアワーは、火曜日の13:00から14:00までとする。担当者が不在の場合もあるので、事前にメールで予定を確認すること。 misawa.masahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認することで、本授業の全体像を把握する。
	授業内容	ガイダンス 講義の流れや成績評価についての説明を行う。受講希望者は、必ず出席することを求める。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	執政制度（議院内閣制、半大統領制、大統領制）の違いの確認する。
	授業内容	大統領制化の理論 首相の大統領制化と呼ばれる現象の理論について説明する。
	事後学習	政治学で学んだ、選挙や政党や執政制度などの知識と大統領制化を関連付ける。

3	事前学習	サッチャー以降のイギリスの首相を確認する。
	授業内容	ヨーロッパにおける大統領制化　イギリス イギリスにおける首相の地位の変化について説明する。
	事後学習	現在のイギリス政治にも当てはまるのかを考えてみる。
4	事前学習	シュレーダー以降のドイツの首相を確認する。
	授業内容	ヨーロッパにおける大統領制化　ドイツ ドイツにおける首相の地位の変化について説明する。
	事後学習	現在のドイツ政治にも当てはまるのかを考えてみる。
5	事前学習	マルテンス以降のベルギーの首相を確認する。
	授業内容	ヨーロッパにおける大統領制化　ベルギー ベルギーにおける首相の地位の変化について説明する。
	事後学習	現在のベルギー政治にも当てはまるのかを考えてみる。
6	事前学習	パーション以降のスウェーデンの首相を確認する。
	授業内容	ヨーロッパにおける大統領制化　スウェーデン スウェーデンにおいても大統領制化がみられるかを説明する。
	事後学習	現在のスウェーデン政治にも当てはまるのかを考えてみる。
7	事前学習	半大統領制という制度を確認する。
	授業内容	ヨーロッパにおける大統領制化　フランス 大統領と首相の権限の変化について説明する。
	事後学習	現在のフランス政治にも当てはまるのかを考えてみる。
8	事前学習	大統領制という制度を確認する。
	授業内容	ヨーロッパにおける大統領制化　ロシア 大統領制における大統領制化を説明する。
	事後学習	現在のロシア政治にも当てはまるのかを考えてみる。
9	事前学習	小泉以降の日本政治を確認する。
	授業内容	日本における大統領制化 ヨーロッパ各国の事例を基に、日本でも大統領制化が見られるのかを説明する。
	事後学習	各国事例を基にして、大統領制化の理論の妥当性について考えてみる。
10	事前学習	ポピュリズムという言葉を使っているニュースを確認する。
	授業内容	ポピュリズムとは何か ポピュリズムという言葉の定義について説明する。
	事後学習	ニュースワードとしてのポピュリズムとアカデミックワードとしてのポピュリズムの違いを考えてみる。
11	事前学習	2016年国民投票（EU離脱を問う）について確認する。
	授業内容	ポピュリスト勢力の台頭　イギリス国民投票 2016年国民投票とイギリス独立党を事例に、イギリスのポピュリズムを説明する。
	事後学習	イギリスの政党政治について考えてみる。
12	事前学習	2017年総選挙の結果を確認する。
	授業内容	ポピュリスト勢力の台頭　AfD（ドイツのための選択枝）の躍進（ドイツ） 2017年総選挙を事例に極右政党AfDが躍進したことの意味を説明する。
	事後学習	ドイツの政党政治について考えてみる。
13	事前学習	2017年大統領選挙の結果を確認する。
	授業内容	ポピュリスト勢力の台頭　2017年フランス大統領選挙 2017年大統領選挙を事例に、極右政党の候補者ルペンが多くの支持を得たことの意味を説明する。
	事後学習	フランスにおける既存政党の凋落について考えてみる。
14	事前学習	2017年総選挙の結果を確認する。
	授業内容	ポピュリズムの終息？　オランダ2017年総選挙 2017年総選挙を事例に、ポピュリスト勢力が第一党となれなかった意味を説明する。
	事後学習	各国事例を基に、日本におけるポピュリズムを考えてみる。

15	事前学習	これまで授業で学習してきた点で、十分に理解できなかったことを把握する。
	授業内容	まとめ 当期授業の総括を行うとともに、受講生からの質問に答える。
	事後学習	講義資料、教科書、参考書などを用いて、講義内容の最終的な確認を行う。

科目名	ヨーロッパ政治論Ⅱ	担当者	三澤 真明	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	本授業は、ヨーロッパ政治を理解する上で必要不可欠であるEUについて、その歴史、制度およびヨーロッパ統合の理論を説明するものである。				
授業目的・ 到達目標	本授業は、EUの歴史や制度、ヨーロッパ統合の理論を検討することで、国家の存在を相対化するものである。そこで目標となるのは、EUを多角的な視点から分析することで、ヨーロッパ統合の現在を理解し、国家の在り方を考えることができるようになることである。				
履修条件	履修条件は特に設けないが、他の学生の学習を妨げるような行為には厳しく対応する。				
授業方法	パワーポイントを用いた講義形式。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験		80%	学期末に行われる定期試験によって評価する。 試験は、事実関係が整理されているか、因果関係が明示されているかによって採点される。	
	平 常 評 価		20%	授業中に実施される小テストによって加点する。 任意提出のレポートによって加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参 考 書	授業中に適宜、提示する。				
オフィス アワー	オフィスアワーは、火曜日の13:00から14:00までとする。担当者が不在の場合もあるので、事前にメールで予定を確認すること。 misawa.masahiro@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認することで、本授業の全体像を把握する。
	授業内容	ガイダンス 講義の流れや成績評価についての説明を行う。受講希望者は、必ず出席することを求める。
	事後学習	次回授業の予習を行っておくこと。
2	事前学習	第二次世界大戦後から1950年までのヨーロッパの歴史を確認する。
	授業内容	ヨーロッパ統合への道 第二次世界大戦終結からヨーロッパ統合がスタートするまでの歴史を説明する。
	事後学習	なぜヨーロッパ統合が必要とされたのかを確認する。

3	事前学習	1950年代のヨーロッパの歴史を確認する。
	授業内容	ECSCの誕生からEECへ ECSC誕生からEECへと統合が深化する過程について説明する。
	事後学習	主権の共有範囲が広がったことを確認する。
4	事前学習	1960年代から70年代初頭までのヨーロッパの歴史を確認する。
	授業内容	EECからECへ EECからECへと統合が深化する過程について説明する。
	事後学習	統合が単線的に進展したわけではないことを確認する。
5	事前学習	1970年代から90年代初頭までのヨーロッパの歴史を確認する。
	授業内容	ECからEUへ ECからEUへと統合が深化する過程について説明する。
	事後学習	統合が深化するとともに、加盟国が拡大していったことを確認する。
6	事前学習	EUの現在について確認する。
	授業内容	リスボン条約の締結とEUの現在 マーストリヒト条約締結以後の統合の深化と課題について説明する。
	事後学習	EUの問題点について考えてみる。
7	事前学習	ヨーロッパ統合の歴史を確認する。
	授業内容	統合の理論① 新機能主義 共同体の形成、発展に関して、新機能主義の立場から理論的な説明を行う。
	事後学習	新機能主義の妥当性を統合の歴史と関連付けて考えてみる。
8	事前学習	第7回授業内容を確認する。
	授業内容	統合の理論② 政府間主義 共同体の形成、発展に関して、政府間主義の立場から理論的な説明を行う。
	事後学習	国家主権と共同体について考えてみる。
9	事前学習	第8回授業内容を確認する。
	授業内容	統合の理論③ 連邦主義 共同体の形成、発展に関して、連邦主義の立場から理論的な説明を行う。
	事後学習	ヨーロッパ統合の未来について、理論的な検討を行ってみる。
10	事前学習	第8回、第9回授業内容を確認する。
	授業内容	ヨーロッパ委員会 委員会の役割と課題について説明を行う。
	事後学習	EU機構内での委員会の位置づけを確認する。
11	事前学習	第10回授業内容を確認する。
	授業内容	ヨーロッパ理事会 理事会の役割と課題について説明を行う。
	事後学習	EU機構内での理事会の位置づけを確認する。
12	事前学習	一般的な議会の役割を確認する。
	授業内容	ヨーロッパ議会 議会の役割と課題について説明を行う。
	事後学習	EU機構内での議会の位置づけを確認する。
13	事前学習	一般的な裁判所の役割を確認する。
	授業内容	ヨーロッパ司法裁判所 司法裁判所の役割と課題について説明を行う。
	事後学習	各国の裁判所とヨーロッパ司法裁判所の関係を確認する。
14	事前学習	一般的な中央銀行の役割を確認する。
	授業内容	ヨーロッパ中央銀行 中央銀行の役割と課題について説明を行う。
	事後学習	各国中央銀行とヨーロッパ中央銀行との関係を確認する。

15	事前学習	これまで授業で学習してきた点で、十分に理解できなかったことを把握する。
	授業内容	まとめ 当期授業の総括を行うとともに、受講生からの質問に答える。
	事後学習	講義資料、教科書、参考書などを用いて、講義内容の最終的な確認を行う。

科目名	リサーチ・ペーパー（メディアと社会）	担当者	安達 周	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディアとはテレビやラジオ、新聞、ソーシャルメディアなど情報を伝える媒体のことだ。特性の異なるこれらメディアがどう発展し、どんな影響を社会に与えているかを考察する。講義は「欧州と日本の新聞の違い」「調査報道の成果」「報道写真・テレビ報道の力」「新聞社による情報の捉え方の違い」「SNSで拡散するフェイクニュース」「報道による人権侵害」などをテーマとし、民主主義社会におけるメディアのあるべき役割と問題点を浮き彫りにする。				
授業目的・到達目標	〈授業目的〉私たちは普段意識していないが、メディアからは絶え間なく大量の情報が流され、私たちの考え方や行動に影響を及ぼしている。メディアがその特性によって社会に与えてきた影響のプラス面とマイナス面を理解し、メディアの情報を鵜呑みにせず批判的に捉える視点を養うことを目的とする。 〈授業目標〉メディアの影響の功罪、調査報道の成果、報道写真の力、SNSの問題点、報道による人権侵害、広告などを幅広く学ぶことにより、4年で執筆する「論文」のテーマを見つける。				
履修条件	原則としてゼミナールに入らない学生が対象。				
授業方法	講義形式で行う。授業ごとに資料を配布する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業最終日にレポートを提出（80%） 授業参加度（20%） レポートの詳細は授業の中で触れる。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。			
参考書	授業の中で適宜紹介する。				
オフィスアワー	質問などは、次のメールアドレス（個人パソコン）によって受け付ける。 meguru@arion.ocn.ne.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新聞が「第4の権力」といわれる理由を調べておくこと
	授業内容	ガイドダンス 新聞の発展 ――欧州の新聞に見る権力との闘い 近代ジャーナリズムの形成 権力の監視――
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
2	事前学習	「白虹事件」「大本営発表」について調べておくこと
	授業内容	日本の新聞 ――戦前戦中は権力の補完装置 戦後の再出発――
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
3	事前学習	日本のラジオの戦前戦後の使われ方の概略を調べておくこと
	授業内容	ラジオ・映画 ――ナチス、プロパガンダ装置として巧妙に利用――
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
4	事前学習	「テレ・ポリティクス」について調べておくこと
	授業内容	テレビ ――生活様式を変えた影響力――
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

5	事前学習	インターネットによるメディアとマスメディアの違いを調べておくこと
	授業内容	ソーシャルメディア（1）——誰でもメディアになれる時代——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
6	事前学習	SNSを日常どのような目的で使っているか意識し整理しておくこと
	授業内容	ソーシャルメディア（2）——SNSの問題点 フェイクニュースの拡散 脅かされる民主主義——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
7	事前学習	「パナマ文書」について調べておくこと
	授業内容	メディアの功績（1）——ジャーナリストの世界的連携による報道 米国を動かした報道——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
8	事前学習	ベトナム戦争が「テレビに負けた戦争」といわれる意味を調べておくこと
	授業内容	メディアの功績（2）——テレビ報道と報道写真の力——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
9	事前学習	評価の高い日本の調査報道の事例を調べておくこと
	授業内容	メディアの功績（3）——不正を暴いた日本の調査報道——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
10	事前学習	メディア・スクラムの事例を調べておくこと
	授業内容	報道による人権侵害 ——警察発表の落とし穴 メディア・スクラム（集团的過熱取材）——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
11	事前学習	メディア・リテラシーの欠落により社会的な問題となった事例を調べておくこと
	授業内容	メディア・リテラシー ——メディアにより情報の捉え方が違う 情報を鵜呑みにしない——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
12	事前学習	人権上あるいは倫理上、問題とされた広告事例を調べておくこと
	授業内容	広告に見る人権侵害 ——無意識の差別表現——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
13	事前学習	記事や論評などの一般的言論と広告との違いを調べておくこと
	授業内容	広告規制 ——許されない虚偽・誇大表現——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
14	事前学習	東日本大震災など大災害時に力を発揮するメディアとデマの拡散について調べておくこと
	授業内容	災害とメディア ——災害時に果たすメディアの役割 デマの拡散——
	事後学習	講義内容をノートにまとめること
15	事前学習	これまでの授業内容を復習しておくこと
	授業内容	授業の要点まとめ ※レポート提出
	事後学習	講義内容をノートにまとめること

科目名	リサーチ・ペーパー（情報と社会）	担当者	平井 智尚	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	情報と社会に関する調査・研究を実施していくための方法を学習します。				
授業目的・到達目標	インターネット、モバイル、ソーシャルメディアなど情報と社会に関連する事象を実際に調査・分析し、レポートが作成できるようになることを目的とします。受講者自身が関心を持つ情報社会の事象を調査・分析し、レポートを作成することが到達目標となります。				
履修条件	科目履修に関連する条件等は各自で確認してください。				
授業方法	演習形式を想定していますが受講者数に応じて調整します。文献や資料を随時使用しながら授業を進めます。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	期末レポート（50%） 口頭報告、小レポート等（50%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書は指定しませんが授業に関連する文献を使用します。必ず手元に置いておくようにしてください。その他、適宜資料を配布します。			
参考書	藤田真文編（2012）『メディアの卒論——テーマ・方法・実際』ミネルヴァ書房 藤田真文・岡井崇之編（2009）『プロセスが見えるメディア分析入門』世界思想社 ほか				
オフィスアワー	質問は随時受け付けます。連絡先（メールアドレス）は初回の授業の際にお伝えします。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	情報と社会に関する事象に興味を持って接する
	授業内容	ガイダンス：情報と社会に関する調査・分析の進め方
	事後学習	レポートの執筆に向け全体的な構想を考える
2	事前学習	指定した文献および配布資料を読んでおく
	授業内容	情報と社会の基礎（1）：講義を進めるにあたって参考となる資料の紹介
	事後学習	中間報告やレポートの執筆に向けて資料や文献の内容を整理する
3	事前学習	指定した文献および配布資料を読んでおく
	授業内容	情報と社会の基礎（2）：メディア利用と情報行動に関連する資料・文献の講読
	事後学習	中間報告やレポートの執筆に向けて資料や文献の内容を整理する
4	事前学習	指定した文献および配布資料を読んでおく
	授業内容	情報と社会の基礎（3）：インターネット利用に関連する資料・文献の講読
	事後学習	中間報告やレポートの執筆に向けて資料や文献の内容を整理する

5	事前学習	リサーチ対象について下調べを行う
	授業内容	リサーチ設計（1）：リサーチ対象の設定（ソーシャルメディアやモバイルに関するリサーチを想定）
	事後学習	リサーチに着手する
6	事前学習	リサーチを通じて収集した情報を整理しておく
	授業内容	リサーチ設計（2）：調査・分析の進め方について検討
	事後学習	リサーチに着手する
7	事前学習	リサーチを通じて収集した情報を整理しておく
	授業内容	リサーチ設計（3）：リサーチの工程をまとめる
	事後学習	リサーチに着手する
8	事前学習	指定した文献および配布資料を読んでおく
	授業内容	情報と社会の基礎（4）：モバイルに関連する資料・文献の講読
	事後学習	中間報告やレポートの執筆に向けて資料や文献の内容を整理する
9	事前学習	指定した文献および配布資料を読んでおく
	授業内容	情報と社会の基礎（5）：ソーシャルメディアに関連する資料・文献の講読
	事後学習	中間報告やレポートの執筆に向けて資料や文献の内容を整理する
10	事前学習	中間報告の準備
	授業内容	リサーチ中間報告（1）：リサーチにおける進捗を報告
	事後学習	指摘やコメントをふまえて今後のリサーチの進め方を改めて確認する
11	事前学習	中間報告の準備
	授業内容	リサーチ中間報告（2）：リサーチにおける問題点や課題を確認
	事後学習	指摘やコメントをふまえて今後のリサーチの進め方を改めて確認する
12	事前学習	リサーチの継続
	授業内容	リサーチ・ペーパー作成（1）：リサーチ内容の整理
	事後学習	期末レポートの執筆に向けた作業
13	事前学習	リサーチの継続
	授業内容	リサーチ・ペーパー作成（2）：レポートの構成を改めて確認する
	事後学習	期末レポートの執筆に向けた作業
14	事前学習	リサーチの継続
	授業内容	リサーチ・ペーパー作成（3）：レポート内容の報告、問題点等の修正
	事後学習	期末レポートの執筆作業
15	事前学習	期末レポートの準備
	授業内容	講義のまとめ：情報と社会についての理解をさらに深めるために
	事後学習	授業内容をふまえて情報と社会に関する事象を把握する

科目名	リサーチ・ペーパー(政治行動論)	担当者	水野 泰志	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	政治全般についてジャーナリズムの視点から考察し、日常的な政治への興味から、ニュースの入手、政治問題に関する調査研究、署名やデモの政治活動、選挙における投票行動にいたるまで、さまざまな政治行動の実情や課題を明らかにしていく。			
授業目的・到達目標	卒論に相当するレポートを作成する「リサーチ・ペーパー」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」の一連の流れの第1段階として位置づけ、さまざま政治行動について「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」へ展開していく導入となることを目的とする。 さまざま政治行動に関する基礎的理解を深め、問題意識が明確になり、克服すべき課題を整理できるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	個々の学生が興味を持つ政治行動に関するテーマを選び、レポートとしてまとめる。受講者のプレゼン（問題提起、中間報告等）を踏まえ、受講者全員でさまざまな政治行動のテーマについて討議する（基本的にゼミ形式）。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験			
	平常評価		100%	学生ごとに設定したテーマにおける研究の成果（レポートなど）、講義への取り組み、討議の内容などによる総合判断。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	必要に応じて指示する。			
オフィスアワー	メールにて対応（aei03021@nifty.com）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	政治行動とは何かを考えておくこと
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	政治行動について整理しておくこと
2	事前学習	政治行動の類型について考えておくこと
	授業内容	政治行動の類型
	事後学習	政治行動の類型について整理しておくこと
3	事前学習	自らが研究する政治行動のテーマについて検討しておくこと
	授業内容	ネット時代における政治行動
	事後学習	検討した政治行動のテーマについて整理しておくこと
4	事前学習	自らが研究する政治行動に関するテーマを決定すること
	授業内容	政治行動に関する個々の研究テーマの設定
	事後学習	次回以降、受講者はそれぞれ決定した研究テーマについて、順番にプレゼンするので、それぞれ準備にとりかかること

5	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治参加の概要
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
6	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治とメディア①新聞
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
7	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治とメディア②放送
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
8	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治とメディア③ネット
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
9	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治とメディア④その他
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
10	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治参加・選挙①投票行動
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
11	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治参加・選挙②ネット選挙
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
12	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	政治参加・選挙③18歳選挙権
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
13	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ネット時代の政治①政権
	事後学習	講義やプレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
14	事前学習	プレゼン担当者は事前に自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出し、受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ネット時代の政治②国民
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
15	事前学習	受講者全員が提出する最終レポートを作成すること
	授業内容	まとめ
	事後学習	講座全般内容について、知見を深めておくこと

科目名	リサーチ・ペーパー（メディアと文化）	担当者	玉川 博章	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディアと文化、そして社会との関係について、メディアの歴史とアニメやマンガなどのサブカルチャーを事例に分析する。授業前半では、メディアの発達とプロパガンダの関係、アニメ・マンガの歴史をみながら表現（サブカルチャーの生産）と社会・政治との関連を考察する。後半では、現在のグローバル化した生産・消費をテーマとし、産業、受容者、政策等の側面が絡み合ったサブカルチャーの理解を促す。			
授業目的・到達目標	アニメーションやマンガの歴史的経緯とプロパガンダの関係性、メディアと政治の関係やグローバル化の流れ、そしてアニメやマンガを中心とした文化の特徴とを理解する目的であり、そうすることで、政治や社会との関係性を踏まえたサブカルチャーの捉え方ができるようになることを目標とする。			
履修条件	特になし			
授業方法	配付資料を参照しながら講義形式を中心に行う。必要に応じ視聴覚資料を利用する。適宜、ミニレポートや簡単なディスカッションなどを行う。			
成績評価	種別		割合	評価方法
	定期試験		0%	
	平常評価		100%	授業期間中のミニレポート等の提出物と期末レポートにより評価する。期末に課すレポートでは、サブカルチャー分析の基礎的知識や社会との関係性の理解を確認し評価する。
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	『キャラクターとは何か』小田切博著 『アジア海賊版文化』土佐昌樹著 『トランスナショナル・ジャパン』岩渕功一著 『ハルヒ in USA』三原龍太郎著 『メイン・ストリーム』フレデリック・マルテル著、林はる芽訳			
オフィスアワー	授業の前後や電子メールにより質問等を受けつける。アドレスは授業開始時に指示をする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよむ
	授業内容	メディアと文化：「サブカルチャー」
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
2	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	エンターテインメントメディアと戦争 娯楽メディアと戦争
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
3	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	エンターテインメントメディアと戦争 20世紀前半の戦争とプロパガンダ
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
4	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	キャラクター文化とリアリズム 戦前・戦中のメディア状況とキャラクターブーム
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める

5	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	キャラクター文化とリアリズム リアリズムと科学
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
6	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	キャラクター文化とリアリズム 戦争とマンガ・アニメ
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
7	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	現代のエンターテインメントメディアと国家 戦後のプロパガンダ
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
8	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	現代のエンターテインメントメディアと国家 キャラクターとプロパガンダ・広告
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
9	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	現代のエンターテインメントメディアと国家 戦争とアニメ・コミックの変質
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
10	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	メディアの世界市場と政策 「クールジャパン」の言説と政策
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
11	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	メディアの世界市場と政策 グローバル化するメディア産業
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
12	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	メディアの世界市場と政策 海賊版と著作権の国際的調和
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
13	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	グローバリズムとサブカルチャー 文化とナショナルリティ
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める
14	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	グローバリズムとサブカルチャー 「クールジャパン」とファン：海外での受容
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。期末レポートのための文献収集と読読、レポート執筆。
15	事前学習	自宅学習の課題となるミニレポートやディスカッションのための資料作成を指示した場合は（3-4回に1回を予定）、それを作成し提出する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配付資料に記載されている事例やキーワード等についてインターネットや文献で詳細を調べ理解を深める。期末レポートのための文献収集と読読、レポート執筆。

科目名	リサーチ・ペーパー(メディア史)	担当者	緒川 直人	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	メディア史研究、それも「写真史研究」の分野の諸問題を講じる。主に、ドキュメンタリーフォト（報道写真）の歴史を題材に、「フォトリテラシー」の視座から、写真における「現実」「事実」「表現」とは何かを、批判的かつ歴史的に読み解く手法を教授する予定。講義では、可能なかぎり、写真史上の具体的なトピックについて、論文執筆や研究をする際の「問いの立てかた」「取り組むための視点」「解釈の仕方」等を示すようにしたい、と思う。					
授業目的・到達目標	①写真ないし写真資料を、歴史的かつ批判的に読み解くための、「フォトリテラシー」を身につける。 ②写真史ないしメディア史の諸問題を研究・分析するための、「問いの立てかた」や「解釈の仕方」の要領を知る。 ③「フォトリテラシー」や写真史の知見から（上記①②）、現代社会を論評する手がかりを得る。					
履修条件	とくになし。					
授業方法	主に講義形式。レジュメを配布。					
成績評価	種別		割合		評価方法	
	定 期 試 験					
	平 常 評 価		100%		レポート（60％）と、各回の授業参加の姿勢（40％）	
教科書	年	出版社		書名		著者名
				とくになし		
	備考					
参 考 書	・東京都写真美術館監修『写真の歴史入門』第1～3部、新潮社、2005年 ・今橋映子『フォトリテラシー』中央公論新社、2008年					
オフィスアワー	授業時に、アポイントをねがいます。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「写真史」や「報道写真」について、どんなイメージを抱き、どんな学びを期待しているか、簡単に考えてみる。
	授業内容	Guidanceー「フォトリテラシー」から写真史／メディア史を考えるー
	事後学習	配布した写真資料について、自分なりの「読みかた」を練習してみる。
2	事前学習	配布予定の資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	イメージの史料性とは何か？ー写真資料から何を引きだせるのかー
	事後学習	講義の復習。
3	事前学習	①配布資料を読み、「政治写真」というジャンルを考える困難を理解しておく。 ②配布資料を読み、自由民権運動の概要を理解しておく。
	授業内容	政治写真は可能か？（1）ー「ザンダー的なもの」と政治思想の可視化？ー
	事後学習	講義の復習。
4	事前学習	配布予定の資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	政治写真は可能か？（2）ー自由民権運動とポピュリズムの起源ー
	事後学習	講義の復習。

5	事前学習	①カルティエ・ブレッソンの写真集『決定的瞬間』の写真史上の意義を調べておく。 ②「ドキュメンタリー写真」ないし「報道写真」の一般的な通念をイメージしておく。
	授業内容	ドキュメンタリーの「神話」－カルティエ・ブレッソンと「決定的瞬間」－
	事後学習	講義の復習。
6	事前学習	写真家ロベール・ドアノの代表作について調べておく。
	授業内容	写真（史）における「現実」とは何か？
	事後学習	講義の復習。
7	事前学習	配布資料を読み、安井仲治の人物像を知っておく。
	授業内容	安井仲治と昭和ドキュメンタリズムの視線（１）－社会の発見と歴史の可視化－
	事後学習	講義の復習。 また、適宜、安井仲治の写真集を参照してみるとよい。
8	事前学習	配布予定の資料をよく読んでおくこと。
	授業内容	安井仲治と昭和ドキュメンタリズムの視線（２）－「帝国の他者」－
	事後学習	講義の復習。
9	事前学習	配布資料を読み、小石清の人物像を知っておく。
	授業内容	小石清の批評精神－時代を撃つシュルレアリスム－
	事後学習	講義の復習。 また、適宜、小石清の写真集を参照してみるとよい。
10	事前学習	配布資料を読み、濱谷浩の人物像を知っておく。
	授業内容	濱谷浩と昭和ドキュメンタリズムの再生－「フェイクニュース」から「ソーシャルワーク」へ－
	事後学習	講義の復習。 また、適宜、濱谷浩の写真集各種を参照してみるとよい。
11	事前学習	1955年の「人間家族展」（ニューヨーク近代美術館）の概要を調べておく。
	授業内容	写真の倫理－異文化表象とヒューマンイズムの陥穽－
	事後学習	講義の復習。
12	事前学習	配布資料を読み、スーザン・ソング『他者の苦痛へのまなざし』の主張の要点を理解しておく。
	授業内容	写真は世界を「救う」のか？
	事後学習	講義をふまえ、自分の見解をまとめてみる。
13	事前学習	配布資料を読み、歴史認識問題における写真資料の位置づけについて事前に理解しておく。
	授業内容	写真は「歴史の審判」に堪えうるのか？－写真と歴史認識－
	事後学習	講義をふまえ、自分の見解をまとめてみる。
14	事前学習	①戦後復興期・高度成長期の中央と地方の関係や、「望郷感情」を調べておく。 ②配布資料を読み、小島一郎の人物像を事前に知っておく。
	授業内容	小島一郎と「故郷」の造形－戦後復興期・高度成長期の時代精神－
	事後学習	講義の復習。 また、適宜、小島一郎の写真集を参照してみるとよい。
15	事前学習	講義全体をふりかえり、興味関心を覚えた領域や論点を整理しておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	最終レポートの準備。

科目名	リスク・コミュニケーション	担当者	中森 広道	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	災害を中心に、非常時における人々の対応、行動や情報の機能、人々のコミュニケーションについて、社会学・社会心理学の視点から考えていく。内容は、まず、パニック・流言・デマを中心とした、情報の混乱と人々の対応について、次に、警報や避難に関する情報に関する人々の対応、そして、これまでの災害に関するケーススタディについて講義し、これらを踏まえて、リスク・コミュニケーションの特性と課題について検討する。				
授業目的・到達目標	「リスク・コミュニケーション」とは、人々に危険を与える可能性があり生命・健康・生活等を脅かす現象や事態について、その被害や影響を最小限に食い止めるために行われる情報の対応や合意形成等のことである。ここでは、自然災害を中心に、これまでの事例を挙げながら、そこで生じたリスク・コミュニケーションに関する問題（特に災害と情報）について検討し、これからの災害対策につなげていく課題を再考していくことを目的に授業を進めていく。これまでの事例を踏まえ、各自が、災害に関するリスク・コミュニケーションの問題を抽出し、その対応策を提示できるようにする。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義形式で行う。必要に応じて資料の配布や映像を利用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		80%	授業内容の理解度や各自の問題意識を中心に評価する。	
	平常評価		20%	不定期で出欠を確認することもある。その際に求めるコメントの内容によって加点する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用せず			
参考書	吉井博明・田中淳編『災害危機管理論入門』（弘文堂）、田中淳・吉井博明編『災害情報論入門』（弘文堂）、福田充『リスク・コミュニケーションとメディア』（北樹出版）ほか（授業中に紹介する）。				
オフィスアワー	Eメールで対応する（nakamori@chs.nihon-u.ac.jp）。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んで、授業の概要を把握しておくこと。
	授業内容	ガイダンス 授業の概要（以下、予定）。
	事後学習	関連する書籍・資料等を読むこと。
2	事前学習	「パニック」と考えられる現象をまとめておくこと。
	授業内容	パニック（1） パニックとは
	事後学習	これまで考えていた「パニック」について、この授業ではどのような位置づけになるのか確認しておくこと。
3	事前学習	日常で使われている「パニック」と専門用語の「パニック」の意味の違いを整理しておくこと。
	授業内容	パニック（2） パニックの分類
	事後学習	使用した映像の内容について整理しておくこと。
4	事前学習	前回、前々回の内容を確認しておくこと。
	授業内容	パニック（3） パニックの背景
	事後学習	映像で扱った時代の世相について考えること。

5	事前学習	この授業で扱う「パニック」について、まとめておくこと。
	授業内容	パニック（4）　パニックの発生が少ない理由
	事後学習	パニックの発生条件について整理しておくこと。
6	事前学習	流言・うわさ・デマについて、思いつくものを挙げておくこと。
	授業内容	情報と混乱（1）　流言
	事後学習	流言の意味確認しておくこと。
7	事前学習	マス・メディアの特性について考えておくこと。
	授業内容	情報と混乱（2）　メディアと流言
	事後学習	使用した映像の内容について整理しておくこと。
8	事前学習	以前にとりあげた「パニックの社会的背景」について整理しておくこと。
	授業内容	情報と混乱（3）　情報の社会的混乱
	事後学習	使用した映像の内容について整理しておくこと。
9	事前学習	記憶に残っている災害について整理しておくこと
	授業内容	災害情報の展開とリスク・コミュニケーション（1）　災害情報とは
	事後学習	災害情報の特性についてまとめておくこと
10	事前学習	記憶に残っている災害について整理しておくこと
	授業内容	災害情報の展開とリスク・コミュニケーション（2）　災害情報と避難①　災害情報の機能
	事後学習	災害時の人々の避難についてまとめておくこと
11	事前学習	記憶に残っている災害について整理しておくこと
	授業内容	災害情報の展開とリスク・コミュニケーション（3）　災害情報と避難②　人々が避難しない理由
	事後学習	災害時の人々の避難についてまとめておくこと
12	事前学習	記憶に残っている災害について整理しておくこと
	授業内容	災害情報の展開とリスク・コミュニケーション（4）　災害情報と避難③　近年の問題
	事後学習	災害時の人々の対応の特性についてまとめておくこと
13	事前学習	「東日本大震災」について考えておくこと
	授業内容	「東日本大震災」とリスク・コミュニケーション
	事後学習	授業で紹介したデータを整理しておくこと
14	事前学習	最近の災害における問題点を整理しておくこと
	授業内容	「東日本大震災」以降の災害とリスク・コミュニケーション
	事後学習	授業で紹介したデータを整理しておくこと
15	事前学習	これまでの授業の内容をまとめておくこと。
	授業内容	まとめ
	事後学習	定期試験に備えること。

科目名	立法過程論	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	周知の通り、わが国の国会は「国権の最高機関」として位置付けられています。しかしその実態については、ほとんどの国民に理解されているとは言い難い状況です。本講義では、国会について指摘される様々な特質を解説しながら、その問題と課題を多面的に検討していきます。					
授業目的・到達目標	国会や政党の組織・運営に関する知識を身に付けつつ、実際の立法過程について自分の言葉で説明できるようになることを目指します。					
履修条件	後期の「国会論」と併せて履修することを強く推奨します。					
授業方法	講義					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		80%	論述形式の試験を実施します。		
	平常評価		20%	授業内で小テストを実施します。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2018	慈学社		議会政治 第3版		加藤秀治郎・水戸克典
	備考					
参考書	授業中に適宜紹介します。					
オフィスアワー	金曜日12：15～12：55 ※事前にメール（mito.katsunori@nihon-u.ac.jp）で必ず連絡・予約してください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	履修を希望する場合には、必ず初回ガイダンスに出席すること
	授業内容	ガイダンス—国会の「常識」と「非常識」
	事後学習	ガイダンスで示された履修条件を確認すること
2	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	現代の政治と議会—議会の存在意義
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

3	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政治制度と議会―議院内閣制と大統領制
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
4	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	議会の諸類型―「変換議会」と「アリーナ議会」
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
5	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	帝国議会と戦後の国会
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
6	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会の制度と慣行
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
7	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会―内閣提出法案と議員立法
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
8	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会―会期制と会期不継続の原則
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
9	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会―委員会における審査と本会議における審議
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
10	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会―わが国の二院制と参議院
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
11	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	与・野党の立法行動
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
12	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	議院運営委員会と国会対策委員会
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
13	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	政党の党議決定と党議拘束
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと
14	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	国会無能論と国会機能論
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

15	事前学習	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと

科目名	労働事情	担当者	谷田部 光一	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	この授業では、雇用・就業状況を中心とした現下の労働事情について、各種の労働関係統計資料や労働経済白書を基に、全体的状況を広く把握するほか、特定労働者層（若年層、非正規雇用、女性、高齢者など）にも焦点を当てて労働問題を深く理解する。				
授業目的・到達目標	現下の労働事情の実態を把握し、併せて、働くことの意味を自ら考えることができる能力を養成することが目的である。問題の所在を理解し、政策課題と解決の方途に関する提案ができる基礎的能力を身につけることが到達目標である。				
履修条件	とくになし。なお、全回出席が原則であり、所定授業数の3分の2以上出席しなければ、成績評価の対象にはしない。				
授業方法	各種の労働関係統計、労働関係調査資料に受講者がアクセスし、最新の労働環境や雇用・就業実態を把握する。これに教員が講義とコメントすることによって労働事情、労働問題に対する受講者の理解を深める方法で授業を進める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	学期末の論述試験の結果を基本にするが、自らテーマを選定して自発的にレポートを提出する者には加点する。	
	平常評価		0%	受講者が少ない場合は定期試験に代えて授業内試験を実施する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない。各種労働関係統計・調査の原資料をテキストにする。			
参考書	厚生労働省『平成29年版 労働経済白書』（勝美印刷、2017年）				
オフィスアワー	授業終了後に受け付け、内容、日時、場所等を確認、調整する。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを事前に読み、授業概要、授業目的・到達目標、履修条件、授業方法、成績評価、教科書、参考書、授業計画に関して理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスに基づき、今後の受講計画を自分なりに立てる。
2	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	雇用・失業の実態と動向①
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。

3	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	雇用・失業の実態と動向②
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
4	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	若年者の雇用問題
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
5	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	非正規雇用問題
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
6	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	女性労働
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
7	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	高齢者の雇用・生活問題
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
8	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	身体障害者の雇用問題 外国人労働者
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
9	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	賃金の実態と動向①
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
10	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	賃金の実態と動向②
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
11	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	労働時間の実態と動向
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
12	事前学習	事前に指定の資料、文献などに当たって実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	ワーク・ライフ・バランス
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
13	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	勤労者生活（物価と家計の動向）
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。
14	事前学習	事前に指定の労働統計・資料を印刷して実態を把握するとともに、教員が提示した課題について考えておく。
	授業内容	労使関係の動向
	事後学習	授業内容についてノートをまとめ、自分なりの考えを整理し、さらに類似の労働資料を探索する。

15	事前学習	これまでの授業内容全体を総括し、労働事情全般の理解を深める。
	授業内容	まとめ（授業内試験を実施する場合有り）
	事後学習	自分が最も興味を持った労働問題、労働事情のテーマに関して、さらに文献や資料を探索する。

科目名	労働政策	担当者	白川 欽也	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	労働政策について、政策を取り巻く現状、目的や政策手法・効果などを、歴史的経緯や諸外国と比較しながら学びます。働き方改革など、現在の労働政策の動きも説明します。				
授業目的・到達目標	労働政策の果たす機能と役割、政策手法などをバランスよく理解することにより、より良い社会労働システムの構築に向けた問題発見力と解決力を身に付け、実社会で働く際にも労働政策を活用できるようになることが目標です。				
履修条件	2年次以上を対象とします。				
授業方法	講義形式で行います。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定 期 試 験				
	平 常 評 価		100%	ミニテストを3回実施して、評価します。（レポート提出があれば、加点します。）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	教科書の代わりに、「講義用レジメ」を使用します。COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておいください。			
参 考 書	参考文献として、労働経済白書、厚生労働白書等を授業中に紹介します。				
オフィスアワー	質問等については、メールで対応します。 メールアドレスは、次のとおりです。 shirakawa.kinya11@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておいください
	授業内容	「ガイダンス」 労働契約、労働政策の歴史、基本的視点、労働市場
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください。
2	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておいください
	授業内容	「労使関係」 ろ紙関係の歴史、労働組合、団体交渉とストライキ、集团的紛争の解決
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください

3	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「雇用政策 1」 労働市場と労働力需給システム（ハローワーク、派遣事業等）
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
4	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「雇用政策 2」 失業への対応、雇用保険、教育訓練など
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
5	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「雇用政策 3」 若年者雇用対策（新卒支援等）、非正規雇用対策
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
6	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「雇用政策 4」 高年齢者雇用対策、障害者雇用対策、職業能力開発政策
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
7	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「労働基準 1」 労働時間規制、最低賃金等
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
8	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「労働基準 2」 安全衛生対策、労災保険
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
9	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「労働契約」 労働契約、有期労働、解雇規制、公益通報
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
10	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「個別労働紛争の解決」 個別労働紛争、紛争調整委員会、労働審判
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
11	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「女性の活躍促進」 雇用均等、セクハラ・パワハラ対策、両立支援（育児・介護）
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
12	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「国際化と労働問題」 グローバル化と雇用、外国人労働者、国際機関
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
13	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「労働行政の組織と政策決定過程」 厚生労働省、政党、国会
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください
14	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「労働市場の変化、技術革新と労働政策の課題」
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください

15	事前学習	COLnetの教員白川のところから、出席する回の「講義レジメ」をダウンロードして、印刷し、事前に目を通しておい てください
	授業内容	「日本的雇用慣行の変化、国際化と労働政策の課題」
	事後学習	講義用レジメの「用語」を中心に講義を復習し、理解を深めてください

科目名	労働法Ⅰ	担当者	新谷 真人	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	労働法は働く者のための法律である。その法領域は大きく個別法と集団法に分かれる。個別法は主として労働基準法を対象とし、集団法は労働組合法が中心となる。本授業では、労働法総論と個別的労働法の一部を学ぶ。アルバイトなどで疑問に感じている点も、法的根拠が明らかになるであろう。将来の管理職候補である諸君も、職場の法律として必須のものといえる。					
授業目的・到達目標	個別的労働法及び集団的労働法の双方にわたって、労働法全体の基礎的法律知識を身につけることを目的とする。また、それらの知識を十分に理解し、説明できるようにすることを目標とする。。					
履修条件	日頃から労働問題に関心をもち、新聞報道等に注意してほしい。なお、労働法Ⅱを履修すると労働法の全体を学習することができる。					
授業方法	ほぼテキストの順序どおりに講義する。毎回パワーポイントを使用する。スライドは事前又は事後に「学生教員共有ホルダー」にアップする。必要に応じ、新聞記事、DVD等を使用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	設問の意図を正しく理解しているか、適切に条文や判例の指摘がなされているか、答えは論理的に構成されているか、などを勘案して総合評価する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	平成30年度	弘文堂		労働法		新谷真人編著
	備考					
参考書	ジュリスト『労働判例百選第9版』有斐閣 ジュリスト増刊『労働法の争点』有斐閣（2014年刊行）					
オフィスアワー	月曜日10:40～12:00					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておく。
	授業内容	ガイダンス、労働法の体系
	事後学習	ガイダンスの内容を復習しておく。
2	事前学習	テキスト第1章を読んでおく。
	授業内容	労働法の法的特色
	事後学習	スライドを確認する。

3	事前学習	テキスト第1章を読んでおく。
	授業内容	労働法の歴史と団結権保障の意義
	事後学習	スライドを確認する。
4	事前学習	テキスト第2章を読んでおく。
	授業内容	労働契約の成立，労働憲章
	事後学習	スライドを確認する。
5	事前学習	テキスト第2章を読んでおく。
	授業内容	採用内定、試用期間
	事後学習	スライドを確認する。
6	事前学習	テキスト第3章を読んでおく。
	授業内容	就業規則とその変更
	事後学習	スライドを確認する。
7	事前学習	テキスト第3章を読んでおく。
	授業内容	企業秩序と懲戒
	事後学習	スライドを確認する。
8	事前学習	テキスト第4章を読んでおく。
	授業内容	配転・出向・転籍
	事後学習	スライドを確認する。
9	事前学習	テキスト第5章を読んでおく。
	授業内容	賃金請求権
	事後学習	スライドを確認する。
10	事前学習	テキスト第5章を読んでおく。
	授業内容	最低賃金、賃金支払いの原則
	事後学習	スライドを確認する。
11	事前学習	テキスト第6章を読んでおく。
	授業内容	法定労働時間と規制緩和
	事後学習	スライドを確認する。
12	事前学習	テキスト第6章を読んでおく。
	授業内容	時間外・休日労働
	事後学習	スライドを確認する。
13	事前学習	テキスト第7章を読んでおく。
	授業内容	休憩・休日・年次有給休暇
	事後学習	スライドを確認する。
14	事前学習	テキスト第8章を読んでおく。
	授業内容	労働災害の予防と補償
	事後学習	スライドを確認する。

15	事前学習	これまでのノート、教科書に目を通しておく。
	授業内容	復習
	事後学習	スライドを確認する。

科目名	労働法 I	担当者	大山 盛義	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】					
授業概要	労働法は多くの人にとって身近な法律といえよう。「ワーキングプア」「ブラックバイト」「ブラック企業」「サービス残業」「過労死」「過労自殺」「ワーク・ライフ・バランス」「リストラ」「パワハラ」「セクハラ」等々、これらの聞き慣れた言葉は全て労働法に直結する問題である。労働法は個別的労働関係領域と集団的労使関係に関する領域に分けられる。労働法Ⅰでは主に前者を取り扱い当事者の権利義務について講義する					
授業目的・到達目標	学生が、個別的労働法分野についての法制度および裁判例などを通して現代日本における雇用・労働問題を理解し、雇用・労働に関する法律及び判例について基本的な知識を獲得するとともに、課題を発見し解決に向けた思考を養うことができるようにする					
履修条件	2018年度の六法を必携すること。					
授業方法	教科書や、配布するレジュメに沿って行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	条文や判例の内容を正しく理解しているか、論理的に主張が展開されているか、などを考慮して判断する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014年	弘文堂		Next 教科書シリーズ労働法		新谷真人編
	備考					
参考書	ジュリスト『労働判例百選第9版』有斐閣、ジュリスト増刊『労働法の争点』（2014年）有斐閣。その他、講義において適宜案内する。					
オフィスアワー	火曜日4時限（事前にメールでアポイントメントをとること）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	憲法上の労働者の権利を確認する
	授業内容	ガイダンス 労働法の概要
	事後学習	法体系の中での労働法の位置づけを確認する
2	事前学習	戦後日本の社会経済の展開を確認する
	授業内容	現代社会における労働法
	事後学習	労働法の史的展開の意義を理解する

3	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働関係の成立
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
4	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働関係の当事者
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
5	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働条件の決定と変更 就業規則 労働契約
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
6	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	賃金
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
7	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働時間
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
8	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	休日 年次有給休暇
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
9	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	配転 出向 転勤
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
10	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	懲戒権
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
11	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働者の人格権
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
12	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	雇用形態の多様化と非典型雇用
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
13	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働関係の終了
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする
14	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働者の人格権
	事後学習	法文・裁判例等についての知識を確実にする

15	事前学習	前回に示した論点を確認する
	授業内容	復習
	事後学習	労働法の主要論点に関する知識を確実にする

科目名	労働法Ⅱ	担当者	新谷 真人	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	労働法は働く者のための法律である。その法領域は大きく個別法と集団法に分かれる。個別法は主として労働基準法を対象とし、集団法は労働組合法が中心となる。本授業では、労働法Ⅰに引き続き個別的労働法を学ぶとともに、集団的労働法の領域も講義する。				
授業目的・到達目標	個別的労働法及び集団的労働法の双方にわたって、労働法全体の基礎的法律知識を身につけることを目的とする。また、それらの知識を十分に理解し、説明できるようにすることを目標とする。				
履修条件	日頃から労働問題に関心をもち、新聞報道等に注意してほしい。労働法Ⅰから継続して履修するのが望ましい。				
授業方法	ほぼテキストの順序どおりに講義する。毎回パワーポイントを使用する。スライドは事前又は事後に「学生教員共有ホルダー」にアップする。必要に応じ、新聞記事、DVD等を使用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	設問の意図を正しく理解しているか、適切に条文や判例の指摘がなされているか、答えは論理的に構成されているか、などを勘案して総合評価する。	
	平常評価				
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成30年度	弘文堂	労働法		新谷真人編著
	備考				
参考書	ジュリスト『労働判例百選第9版』有斐閣 ジュリスト増刊『労働法の争点』有斐閣（2014年刊行）				
オフィスアワー	月曜日10:40～12:00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読み、授業概要や目的を理解しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンスの内容を復習しておく。
2	事前学習	テキスト第9章を読んでおく。
	授業内容	男女雇用機会均等法
	事後学習	スライドを確認する。

3	事前学習	テキスト第9章を読んでおく。
	授業内容	セクシュアルハラスメント（DVD使用予定）
	事後学習	スライドを確認する。
4	事前学習	テキスト第9章を読んでおく。
	授業内容	非正規労働者の法律問題
	事後学習	スライドを確認する。
5	事前学習	テキスト第10章を読んでおく。
	授業内容	退職と解雇
	事後学習	スライドを確認する。
6	事前学習	テキスト第10章を読んでおく。
	授業内容	整理解雇、定年制
	事後学習	スライドを確認する。
7	事前学習	テキスト第11章を読んでおく。
	授業内容	団結権保障、公務員の労働基本権
	事後学習	スライドを確認する。
8	事前学習	テキスト第11章を読んでおく。
	授業内容	労組法上の労働組合、組合活動の正当性
	事後学習	スライドを確認する。
9	事前学習	テキスト第12章を読んでおく。
	授業内容	不当労働行為制度の概要
	事後学習	スライドを確認する。
10	事前学習	テキスト第12章を読んでおく。
	授業内容	不当労働行為の類型と法的救済
	事後学習	スライドを確認する。
11	事前学習	テキスト第13章を読んでおく。
	授業内容	団体交渉
	事後学習	スライドを確認する。
12	事前学習	テキスト第13章を読んでおく。
	授業内容	労働協約の効力
	事後学習	スライドを確認する。
13	事前学習	テキスト第14章を読んでおく。
	授業内容	争議行為の意義
	事後学習	スライドを確認する。
14	事前学習	テキスト第14章を読んでおく。
	授業内容	争議行為の正当性
	事後学習	スライドを確認する。

15	事前学習	これまでの教科書、ノートに目を通しておく。
	授業内容	復習
	事後学習	スライドを確認する。

科目名	労働法Ⅱ	担当者	大山 盛義	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】			
授業概要	労働法は多くの人にとって身近な法律といえよう。「ワーキングプア」「ブラックバイト」「ブラック企業」「サービス残業」「過労死」「過労自殺」「ワーク・ライフ・バランス」「リストラ」「パワハラ」「セクハラ」等々、これらの聞き慣れた言葉は全て労働法に直結する問題である。労働法は個別的労働関係領域と集団的労使関係に関する領域に分けられる。労働法Ⅱでは主に後者を取り扱い当事者の権利義務について講義する。			
授業目的・到達目標	学生が、集団的労働法分野についての法制度および裁判例などを通して現代日本における雇用・労働問題を理解し、雇用・労働に関する法律及び判例について基本的な知識を獲得するとともに、課題を発見し解決に向けた思考を養うことができるようにする。			
履修条件	2018年度の六法を必携すること。労働法Ⅰを履修済みであること。			
授業方法	教科書や、配布するレジュメに沿って講義形式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	条文や判例の内容を正しく理解しているか、論理的に主張が展開されているか、などを考慮して判断する。	
	平常評価			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2014年	弘文堂	Next 教科書シリーズ労働法	新谷真人編
	備考			
参考書	ジュリスト『労働判例百選第9版』有斐閣、ジュリスト増刊『労働法の争点』（2014年）有斐閣。その他、講義において適宜案内する。			
オフィスアワー	火曜日4時限（事前にメールでアポイントメントをとること）。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	憲法上の労働者の権利について確認する
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	現代の労働問題についてどのような課題があるか確認する
2	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働災害（1）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする

3	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働災害（２）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
4	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	育児介護休業法
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
5	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	男女雇用機会均等法
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
6	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働と生活の調和
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
7	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	集団的労使関係と労働組合（１）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
8	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	集団的労使関係と労働組合（２）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
9	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労使紛争
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
10	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	不当労働行為（１）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
11	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	不当労働行為（２）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
12	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	団体交渉
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
13	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働協約（１）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする
14	事前学習	関連法文を確認する
	授業内容	労働協約（２）
	事後学習	どのような課題があるか確認し知識を確実にする

15	事前学習	不確実な知識をピックアップする
	授業内容	復習
	事後学習	労働法の主要論点を確認する

科目名	ローカル／コミュニティ・メディアⅠ	担当者	大西 正行	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	地方紙はじめ地方民放、地方出版、コミュニティFM等による情報発信を基軸に、超高齢化社会を生き抜く地域再生が問われる地方の世論形成を担う「ローカル／コミュニティ・メディア」の今日の姿を、中央メディアとの関連・対比も交えて俯瞰する。同時に地方メディアの発達過程とネット社会における変容を見据えた諸課題を把握。報道面を含むコンテンツ制作のありようやそれを支える産業面についても総合的に理解を深める。				
授業目的・到達目標	１：情報の発信と論評を通し地方自立の矜持を耕す「たいまつ」役を担う地方メディアの使命を理解する。なかんずく地方が直面する少子化・超高齢化と社会保障、北朝鮮情勢と日本の安全保障問題、地方および国政各選挙等の報道面の重要性を認識する。 ２：地方では地方紙が全国紙を凌ぐ発信力を持つ現実を見据え、中央目線では発信し得ないコンテンツの重要性に触れ、世界の潮流変化も地方の視座から捉える洞察力を養う。地方紙、地方民放、地方出版、コミュニティFM等が地方自立の基盤をなすべき意義を認識。通信社や広告会社も含めた地方と中央との関係も理解し、「地方創造」の担い手たらしめとする人材養成にも寄与する。				
履修条件	特になし。				
授業方法	地方紙記者・編集局長等の実務経験を踏まえた講義が中心で、教員の取材データ等も盛り込み、メディアのエキスパートの見識も伝える。随時、時事的テーマも盛り込み、柔軟かつ多角的に展開する。必要な講義資料等を配布。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	70%＝講義に関するリアクションペーパー等 30%＝授業内に行う学期末考査。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用せず。			
参考書	授業中に指示。				
オフィスアワー	双方向シートを活用した質問・相談等を中心とする。翌週の授業時に教室で。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読んで授業に臨んでもらう。
	授業内容	前期ガイダンス（授業の目的と講義の大きな流れについて知ってもらう）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
2	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方メディア〈地方紙等〉はなぜ必要か（整備新幹線建設報道・社説等から検証）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。

3	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方紙から説き起こす地方メディアの成長と戦時報道（戦前編＝一県一紙等）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
4	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方のメディアの発達と今：GHQとアメリカ（戦後編＝「1940年体制論」の考察と地方メディア）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
5	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	「県紙・ブロック紙・全国紙」の競合のもとで（現代編）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
6	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方メディア〈地方紙等〉に伴走してきた通信社（共同通信社等）の源流
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
7	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	インターネットで伝える「47NEWS」（地方紙と共同通信が連携）の展開及び地方紙を意識した通信社の報道
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
8	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	広告会社の視点からとらえる地方メディアの姿（地方紙、地方民放）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
9	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方民放ラジオの発達（NHKを見据えて）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
10	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方民放テレビの発達とキー局系列
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
11	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方民放テレビのこれから
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
12	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方出版の歩みとこれから
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
13	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	コミュニティFMの役割と展開
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。
14	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方のメディアが支える地方のアイデンティティ
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。

15	事前学習	これまでの授業を振り返って学んだことを整理し授業に臨んでもらう。
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義に関してこれまでに配布した資料等を再点検し、次なるステップの基礎としてもらう。

科目名	ローカル／コミュニティ・メディアⅡ	担当者	大西 正行	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「社会学、経済学」（社会）】 【「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（公民）】				
授業概要	地方紙はじめ地方民放、地方出版、コミュニティFM等による情報発信を基軸に、超高齢化社会を生き抜く地域再生が問われる地方の世論形成を担う「ローカル／コミュニティ・メディア」の今日の姿を、中央メディアとの関連・対比も交えて俯瞰する。同時に地方メディアの発達過程とネット社会における変容を見据えた諸課題を把握。報道面を含むコンテンツ制作のありようやそれを支える産業面についても総合的に理解を深める。				
授業目的・到達目標	１：情報の発信と論評を通し地方自立の矜持を耕す「たいまつ」役を担う地方メディアの使命を理解する。なかんずく地方が直面する少子化・超高齢化と社会保障、北朝鮮情勢と日本の安全保障問題、地方および国政各選挙等の報道面の重要性を認識する。 ２：地方では地方紙が全国紙を凌ぐ発信力を持つ現実を見据え、中央目線では発信し得ないコンテンツの重要性に触れ、世界の潮流変化も地方の視座から捉える洞察力を養う。地方紙、地方民放、地方出版、コミュニティFM等が地方自立の基盤をなすべき意義を認識。通信社や広告会社も含めた地方と中央との関係も理解し、「地方創造」の担い手たらしめとする人材養成にも寄与する。				
履修条件	特になし。				
授業方法	地方紙記者・編集局長等の実務経験を踏まえた講義が中心で、教員の取材データ等も盛り込み、メディアのエキスパートの見識も伝える。随時、時事的テーマも盛り込み、柔軟かつ多角的に展開する。必要な講義資料等を配布。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	70%＝講義に関するリアクションペーパー等 30%＝授業内に行う学期末考査。	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	備考	使用せず。			
参考書	授業中に指示。				
オフィスアワー	双方向シートを活用した質問・相談等を中心とする。翌週の授業時に教室で。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読んで授業に臨んでもらう。
	授業内容	後期ガイダンス（地方紙の報道、社説をはじめ、地方メディアの情報発信を例に、その内燃と自噴の大切さに触れていく。後期段階の国内外・地方の情勢を踏まえ、地方メディアと関係する時事的テーマも加味していくことについて説明する。
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよくよく読み、理解を深めてもらう。
2	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地べたのジャーナリズムを担う地方メディアならではの報道
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読み、理解を深めてもらう。

3	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方メディアの社説の論調と、二極化が際立つ中央メディアの論調の源流（憲法とも関連付けて）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
4	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方メディアと北朝鮮問題等の安全保障報道
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
5	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方メディアと社会保障報道
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
6	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方政治（都道府県市町村）と霞が関・永田町（国政）と、地方メディア・中央メディアの立ち位置
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
7	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	災害報道と地方メディア（中央メディアも見据えて）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
8	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	事件報道（警察取材）と地方メディア（中央メディアも見据えて）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
9	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	グローバル報道と地方メディア（中央メディアも見据えて）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
10	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方文化発展の中核を担う地方メディア
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
11	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	地方経済と地方メディア（中央メディアも見据えて）
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
12	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	これからの永続的論点：広告発信（コンテンツ）からアプローチする I T 時代におけるグローバル社会の「地方メディア観」
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
13	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	これからの永続的論点：人口減少と地方消滅の危惧、少子高齢化対策と地方メディア
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。
14	事前学習	事前に予告したテーマに関するニュース等をチェックし授業に臨んでもらう。
	授業内容	これからの永続的論点：東京一極集中是正、地方自立の重要性から考える国の「地方創生」と地方メディアの視点
	事後学習	講義に関して配布した資料等をよく読んで、理解を深めてもらう。

15	事前学習	これまでの授業を振り返って整理し、授業に臨んでもらう。
	授業内容	まとめ
	事後学習	これまでに配布した資料を再点検し、今後の勉強に生かしてもらう。

科目名	ローマ法Ⅰ	担当者	吉原 達也	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法典をはじめとする日本の法制度の根幹は明治以来西欧法の伝統のもとで形成されきたが、この授業では、民法典の遠い淵源としての古代ローマ法を中心に、その歴史を通じて、契約法と不法行為法という考え方が生まれいかにそれが現代とつながっているかを辿ってみること。				
授業目的・到達目標	民法典をはじめとする日本の法制度の根幹は明治以来西欧法の伝統のもとで形成されたものです。この授業では、民法典の遠い淵源としての古代ローマ法を中心に、その歴史を通じて、契約法と不法行為法という考え方が生まれてきた淵源をたどってみたいと思います。前半はローマ法の歴史を概観し、後半は、ローマ法文資料の講読を中心に、主としてローマ所有権法、契約法と不法行為法の基本的な考え方を学ぶことにします。私たちが学ぶ学問としての法律学とはいかなる営みであるか、歴史的に考察する力を修得する。				
履修条件	とくにありません。				
授業方法	主として、講義形式で行なう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前学期・後学期各1回・各50%の授業内試験の合計で評価します。ローマ法に関する基礎的な知識の習得度及び理解度によります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	とくに指定しません。授業内で講義資料を適宜配布します。			
参考書	マンテ著田中・瀧澤訳『ローマ法の歴史』ミネルヴァ書房・2008。ベーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法―ローマ法との対話』日本評論社・2001。木庭顕『新ローマ法案内』勁草書房書房・2017。				
オフィスアワー	金曜日12：10～13：00（事前にメールでアポイントメントをとること。） 研究室（本館9階1908）yoshihara.tatsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	上記の参考書を手がかりに、ローマ法史及び日本近代法史についての基礎的な知識を修得しておくこと。
	授業内容	前学期のオリエンテーション
	事後学習	上記の参考書を手がかりに、ローマ法史及び日本近代法史についての理解を確認しておくこと。
2	事前学習	日本近代法史について、ベーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法―ローマ法との対話』補講1などを参考に基礎的な知識を修得しておくこと。
	授業内容	日本民法典と西欧的法伝統（1）[到達目標] 明治期の西欧法継受・法典編纂史及び学説継受について基本的な理解を修得する。
	事後学習	上記の参考書を手がかりに、日本近代法史についての理解を深めておくこと。

3	事前学習	日本近代法史について、ペーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法―ローマ法との対話』補講1などを参考に基礎的な知識を習得しておくこと。
	授業内容	日本民法典と西欧的法伝統（2））[到達目標] 日本民法典とローマ法との関係について基本的な理解を修得する。
	事後学習	上記の参考書を手がかりに、日本近代法史についての理解を深めておくこと。
4	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古代 十二表法以前（1）[到達目標]最古の所有権訴訟・神聖賭金による対物的法律訴訟について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりにローマ古法をどのように考えるか、理解を深めておくこと。
5	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古代 十二表法以前（2）[到達目標]握取行為による儀式的所有権移転・ネクスムについて基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりにローマ古法をどのように考えるか、理解を深めておくこと。
6	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古代 十二表法とその社会（1））[到達目標]家族法・家長権・婚姻について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、家族制度の歴史をどのように考えるか、理解を深めておくこと。
7	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古代 十二表法とその社会（2））[到達目標]共和政期の国制・十二表法の成立について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、十二表法以後のローマ古法をどのように考えるか、理解を深めておくこと。
8	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ共和政期(1)[到達目標]古代ローマにおける法学の誕生・神官法学について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、古代ローマにおける法学の誕生・神官法学について基本的な理解を修得しておくこと。
9	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ共和政期 [到達目標]法学の形成に関するギリシア思想の影響について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、法学の形成に関するギリシア思想の影響について基本的な理解を確認すること。
10	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古典期[到達目標]ローマ古典法学の形成、法学の体系をめぐる諸問題について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ古典法学の形成、法学の体系をめぐる諸問題について基本的な理解を確認すること。
11	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古典期[到達目標] ローマ古典法学の形成、法学の体系をめぐる諸問題について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ古典法学の形成、法学の体系をめぐる諸問題について基本的な理解を確認すること。
12	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ古典期以後の時代）[到達目標] テオドシウス法典をはじめ、ローマ古典期以後の時代めぐる諸問題について概観する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、テオドシウス法典をはじめ、ローマ古典期以後の時代めぐる諸問題について基本的な理解を確認すること。
13	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ユスティニアヌスの時代）[到達目標] ユスティニアヌス法典の成立・ビザンツ帝国と法について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ユスティニアヌス法典の成立・ビザンツ帝国と法について基本的な理解を確認すること。
14	事前学習	配布された資料をもとに、講義内容の全般を復習し理解を深めておくこと。
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	試験をふまえて、配布資料、参考文献を手がかりに、講義内容の全般を復習し理解を深めておくこと。

15	事前学習	配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	前学期のまとめ
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、前学期の講義内容の全般を復習し理解を深めるとともに、現代法との接続を考えること。

科目名	ローマ法Ⅱ	担当者	吉原 達也	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「法律学、政治学」（社会）】 【「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（公民）】				
授業概要	民法典をはじめとする日本の法制度の根幹は明治以来西欧法の伝統のもとで形成されきたが、この授業では、民法典の遠い淵源としての古代ローマ法を中心に、その歴史を通じて、契約法と不法行為法という考え方が生まれいかにそれが現代とつながっているかを辿ってみること。				
授業目的・到達目標	民法典をはじめとする日本の法制度の根幹は明治以来西欧法の伝統のもとで形成されたものです。この授業では、民法典の遠い淵源としての古代ローマ法を中心に、その歴史を通じて、契約法と不法行為法という考え方が生まれてきた淵源をたどってみたいと思います。前半はローマ法の歴史を概観し、後半は、ローマ法文資料の講読を中心に、主としてローマ所有権法、契約法と不法行為法の基本的な考え方を学ぶことにします。私たちが学ぶ学問としての法律学とはいかなる営みであるか、歴史的に考察する力を修得する。				
履修条件	とくにありません。				
授業方法	主として、講義形式で行なう。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	前学期・後学期各1回・各50%の授業内試験の合計で評価します。ローマ法に関する基礎的な知識の習得度及び理解度によります。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	とくに指定しません。授業内で講義資料を適宜配布します。			
参考書	マンテ著田中・瀧澤訳『ローマ法の歴史』ミネルヴァ書房・2008。バーレンツ著河上正二訳著『歴史の中の民法ーローマ法との対話』日本評論社・2001。木庭顕『新ローマ法案内』勁草書房書房・2017。				
オフィスアワー	金曜日12：10～13：00（事前にメールでアポイントメントをとること。） 研究室（本館9階1908）yoshihara.tatsuya@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	上記の参考文献などを手がかりに、後期の講義内容についての基礎的な理解を修得しておくこと。
	授業内容	後学期のオリエンテーション。[到達目標]ローマ民事訴訟法についてについて基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ民事訴訟法についてについて基本的な理解を確認すること。
2	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ刑事法[到達目標]ローマ刑法・刑事訴訟の歴史的展開について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ刑法・刑事訴訟の歴史的展開について基本的な理解を確認する。

3	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ所有権法（１）[到達目標]ローマ所有権法について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりにローマ所有権法についてについて基本的な理解を確認すること。
4	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ所有権法（２）[到達目標]資料を講読しながらローマ所有権法の基本的な考え方を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ法史料を読みつつ、ローマ所有権法の考え方についての理解を深めておくこと。
5	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ契約法（１）[到達目標]ローマ契約法の歴史的展開について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ契約法の歴史的展開について基本的な理解を確認すること。
6	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ契約法（２）[到達目標]ローマ契約法の歴史的展開について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ契約法の歴史的展開について基本的な理解を確認すること。
7	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ契約法（３）[到達目標]資料を講読しながらローマ契約法の基本的な考え方について理解を修得する。危険負担
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ契約法の基本的な考え方について理解を確認すること。
8	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ契約法（４）[到達目標]資料を講読しながらローマ契約法の基本的な考え方について理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、ローマ契約法の基本的な考え方について理解を確認すること。
9	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ不法行為法（１）[到達目標]主としてアクィリウス法を中心に不法行為法について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、アクィリウス法を中心に不法行為法について基本的な理解を確認すること。
10	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ不法行為法（２）[到達目標]主としてアクィリウス法を中心に不法行為法について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、アクィリウス法を中心に不法行為法について基本的な理解を確認すること。
11	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ不法行為法（３）[到達目標]不法行為法の歴史的展開として、民法719条前史について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、不法行為法の歴史的展開として、民法719条前史について基本的な理解を確認すること。
12	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ不法行為法（４）[到達目標]不法行為法の歴史的展開として、民法719条前史について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、不法行為法の歴史的展開として、民法719条前史について基本的な理解を確認すること。
13	事前学習	事前に配布された資料をもとに講義内容をあらかじめ概観しておくこと。
	授業内容	ローマ家族法の諸問題 [到達目標]家父長制・婚姻・相続に関する法的問題について基本的な理解を修得する。
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、家父長制・婚姻・相続に関する法的問題について基本的な理解を確認すること。
14	事前学習	配布された資料をもとに、講義内容の全般を復習し理解を深めておくこと。
	授業内容	授業内試験及び振り返り
	事後学習	試験をふまえて、配布資料、参考文献を手がかりに、講義内容の全般を復習し理解を深めておくこと。

15	事前学習	配布された資料をもとに講義内容全般についての理解を確認しておくこと。
	授業内容	後学期のまとめ
	事後学習	配布資料、参考文献を手がかりに、講義内容の全般を復習し理解を深めるとともに、現代法との接続を考えること。

VIII群

教職課程科目

VIII群

教職課程科目

科目名	教育原論	担当者	壽福 隆人	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想】				
授業概要	人間と教育の関係、学校の成立とそれを支える教育思想、を歴史的な視点から理解し、これからの教育の在り方を自ら考察することができる教師を養成する。				
授業目的・到達目標	人間が教育という行為を行っていることは人類が人類たる所以ある。この人間としての最高の行為である教育を支える思想を学び、その意味を理解する。とくにこの講義は教員採用試験の受験対策として問題演習も実施していく。教育学の基礎的な思想的背景だけでなく、学校教育が目指すもの、学校教育が持つ多様な価値観について理解出来るようになることを目標とする。				
履修条件	教員採用試験の受験を考えている学生。				
授業方法	講義だけでなく、教員採用試験対策問題等を行いながら、解説を加えていく。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	テーマに対して的確にまとめられているかどうかが重要で、講義内容に触れながら自分の考えを示すことを求める。	
	平常評価		0%		
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	あらかじめ指定しないが、第1回目の講義で指定する。				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	各自の今の人格はどのようにして形成されたのかを考える。
	授業内容	人類のいとなみと教育の関係について
	事後学習	人の営みと教育が深く関係する事例を集める。
2	事前学習	あらゆる生活現場で起きている教育現象に注目する。
	授業内容	教育現象の分類について（海後宗臣の教育論紹介を例として）
	事後学習	教育現象を分類できることを確認し、事例を収集する。

3	事前学習	「子どもの遊び」について考える。
	授業内容	「子ども」文化の成立と教育の発達について（久木幸男の教育論紹介を例として）
	事後学習	文明の発達と教育の関係について知見を広める。
4	事前学習	学校の発生について調べる。
	授業内容	学校の定義について
	事後学習	学校が持つ教育機能について知見を広める。
5	事前学習	古代ギリシャの歴史を調べる。
	授業内容	近代教育学成立以前の教育・学校（古代ギリシャの教育の紹介）
	事後学習	社会と教育の関係について知見を広める。
6	事前学習	18世紀のヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	ルソーの教育思想　―　子どもの発見とは何か　―
	事後学習	ルソーの果たした役割について知見を広める。
7	事前学習	16世紀以降のヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	新教育運動の展開
	事後学習	コメニウスについて調べる。
8	事前学習	18世紀以降のヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	近代教育学の成立（1）ペスタロッチの教育思想
	事後学習	直観教授に関する知見を広める。
9	事前学習	18世紀以降のヨーロッパの歴史を調べる。
	授業内容	近代教育学の成立（2）ヘルバルトの教育思想
	事後学習	教育学成立の意義に関する知見を広める。
10	事前学習	19世紀以降のアメリカの歴史を調べる。
	授業内容	進歩主義教育運動の展開
	事後学習	デューイの書籍を検索して知見を広める。
11	事前学習	コアカリキュラムに関する情報を収集する。
	授業内容	進歩主義教育運動の展開
	事後学習	デューイ主義とコアカリキュラムに関する知見を広める。
12	事前学習	日本の近代史を調べる。
	授業内容	わが国近代公教育の成立と発展
	事後学習	近代日本の発展と教育の関係についての知見を広める。
13	事前学習	終戦と戦後史について調べる。
	授業内容	戦後教育界改革と学習指導要領の変遷
	事後学習	戦後教育改革が目指したものについて知見を広める。
14	事前学習	いじめ、非行、校内暴力という言葉について調べる。
	授業内容	1970年代「学校の教育荒廃現象」と新学力観による教育
	事後学習	「ゆとり教育」が導入された背景について知見を広める。

15	事前学習	現代の学校に見られる教育問題を調べる。
	授業内容	1970年代「学校の教育荒廃現象」と新学力観による教育
	事後学習	これからの学校が求められる改革について考察する。

科目名	教職実践演習(中・高)	担当者	香川 七海	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	複数	
科目	教職に関する科目（教職実践演習）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教職実践演習】				
授業概要	これまでの教職課程での学びを総括するかたちで学習を進めていきます。				
授業目的・到達目標	受講者の多数が介護等体験や教育実習を経験していることを踏まえて、これまで学び得た知見をグループによる発表と討議をもって、共有、相対化することを最終的な到達目標とします。				
履修条件	教職を志望する学生を対象とします。				
授業方法	介護等体験や教育実習の経験をもとに、個々人が教職観や教育実践観を発表し、それをもとに授業を進めていきます。また、都合がつけば、学校教育現場の教職員の方々や教育委員会の方々をお呼びいたします。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート（50%）、発表報告（50%）にて判断いたします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	特に指定しません。			
参考書	北澤毅『「いじめ」自殺の社会学』（世界思想社）、遠山啓『かけがえのない、この自分』（太郎次郎社）、鳥山敏子『いのちに触れる』（太郎次郎社）				
オフィスアワー	木曜日１０：３０に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	参考文献や新聞媒体をチェックし、教職に関する話題に目を向ける。
	授業内容	授業の進め方についての説明とグループ分け
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
2	事前学習	前回の内容をレジュメを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。

3	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
4	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
5	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
6	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
7	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
8	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
9	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
10	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
11	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
12	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
13	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。
14	事前学習	前回の内容をレジюмеを読みなおして復習する。
	授業内容	学生による発表報告
	事後学習	授業内容を踏まえて発表報告の準備をする。

15	事前学習	前回の内容をレジユメを読みなおして復習する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	教職課程での学習を振り返る。

科目名	教職実践演習(中・高)	担当者	壽福 隆人	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	複数	
科目	教職に関する科目（教職実践演習）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教職実践演習】				
授業概要	4年間の教職課程履修及び介護体験、教育実習を踏まえて、教職に対する高い意識を育成する。				
授業目的・到達目標	教職課程科目の履修をほとんど終え、また、多くの学生が介護体験や教育実習を終え、最終的な進路決定として教職を目指すために、何をなすべきか、教職をどのように考えるかをまとめることを授業目的とする。教職に対する真剣な姿勢と現在の教育界が抱える問題を認識できることを目標とする。				
履修条件	教員免許状の取得が見込まれる学生。				
授業方法	介護体験や教育実習体験をもとに、学生の教職に関する体験や経験の発表を中心に講義は進められる。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	教職に対する真摯な態度が見られるかどうかを各学生の発表から評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	適宜紹介する。				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教育実習の体験をまとめる。
	授業内容	講義方法や評価方法に対するガイダンス。
	事後学習	教育実習の体験をまとめたレポートを作成する。
2	事前学習	教職課程の科目や実習を踏まえて、学校現場で疑問に思ったことをまとめる。
	授業内容	学生の発表をもとに議論する。
	事後学習	学校をよりよく改善していくための方向を考える。

15	事前学習	教職に対する考えをまとめる。
	授業内容	講義を通じて、学生の発表を総括する。
	事後学習	職業人としての教師のあり方を考える。

科目名	教職実践演習(中・高)	担当者	和田 万紀	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	複数	
科目	教職に関する科目（教職実践演習）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教職実践演習】				
授業概要	学生各自の教職課程での学びを振り返り、それに基づいて集団討議や特別講義への参加、課題レポートの提出を行う。なお、各クラスは約30名前後で構成される。また、法学部教職課程特別講義（年3回程度、教育委員会、附属高等学校等教職員と連携済み）に出席して、そのテーマについてレポートし、討議する（日程は別途指示する）。				
授業目的・到達目標	大学の教職課程での学びを振り返り、「教師」として教育実践に携わるための基礎知識や技能、心がまえ等への修得と決意を確認する。教師としての自覚と、基本的な心構えや技能の獲得をする				
履修条件	教育実習を修了していること。教職に関する特別講義（2回）に参加すること（日程は後日通知する）				
授業方法	教職課程での学びと実習への参加を通じて、各自の教師としての自覚を確認する。また、特別講義への参加、課題レポート作成等を中心とする				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	教育実習のふりかえり、課題レポート、集団討議への参加等を総合的に判断して評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	授業中に配布する資料、文科省HPからのダウンロードした資料、文献検索による資料を用いる。			
参考書	授業中に指示する。				
オフィスアワー	月曜お昼休み				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「教育実習ノート」、授業で使用了資料等を用意する。授業計画の中で、特別講義の日程を確認する。
	授業内容	授業の計画と評価方法の説明、グループわけ。
	事後学習	教育実習だけではなく、教職課程での学びを振り返る。
2	事前学習	教職課程の学びをまとめて文章にする。
	授業内容	教職課程での学びのふりかえり：個人の学びをまとめる。この経験を、他者と共有するため、発表を行う。
	事後学習	自分と他者の学びの共通点、相違点を考える。

3	事前学習	教職課程での学びの中で、教育実習での学びをまとめて、文章にする。指導の先生、実習生等との関わりについて、文章化する。
	授業内容	教育実習で何を学んだか：個人の学びのまとめと、教師の日常の業務を振り返り、集団討議する。
	事後学習	教師の1日がどのように進んでいくのかについて、まとめる。
4	事前学習	実際の授業で使用した授業案、資料を基に、自分の授業を振り返る。
	授業内容	教育実習で何を学んだか：個人の発表と全体の討議1：授業の作り方、展開、振り返り、について、集団で討議する。
	事後学習	自分の授業の改善点をまとめる。
5	事前学習	「教師と生徒」という関係について、実習での経験を振り返る。
	授業内容	教育実習で何を学んだか：個人の発表と全体の討議2：教師と生徒との「距離の取り方、距離感」について、各自の経験を基に、集団討議する。
	事後学習	教師と生徒との関係について、経験から学んだことをまとめる。
6	事前学習	「学級経営」について、経験したことをまとめる。
	授業内容	教育実習で何を学んだか：個人の発表と全体の討議3：学級経営における「教師」の役割について、各自の経験を基に集団討議する
	事後学習	教師として学級経営に何ができるのかをまとめる。
7	事前学習	「組織としての学校」という視点について、考える
	授業内容	教育実習で何を学んだか：個人の発表と全体の討議4：「組織としての学校」について、何を学んだかを、各自の経験を基に集団討議する。
	事後学習	校長をはじめとして、組織として学校がいかに機能しているのかについて、経験をまとめる。
8	事前学習	第1回特別講義について、資料やノートをまとめる。
	授業内容	特別講義について：第1回特別講義の内容について、全体で討議する。
	事後学習	第1回特別講義について、レポートを作成する。
9	事前学習	第2回特別講義について、資料やノートをまとめる。
	授業内容	特別講義について：第2回特別講義の内容について、全体で討議する 教師という職業：教師という職業の特殊性について、教育実習を通じて学んだことを討議する。
	事後学習	第2回特別講義について、レポートを作成する。
10	事前学習	第3回特別講義について、資料やノートをまとめる。
	授業内容	特別講義について：第3回特別講義の内容について、 教師という職業：自分自身の職業として教師を選択することの意味について考える。
	事後学習	第3回特別講義について、レポートを作成する。
11	事前学習	教師という職業の特殊性をまとめる。
	授業内容	教師という職業について考える： 教師という職業の特殊性を、他の職業との比較から考えて集団討議する。 他の職種との教師との比較をして、教師を選択することの自覚を促す。
	事後学習	教師という職業と他の職業の相違点をまとめる。
12	事前学習	自分の将来計画において、教師という職業を選択する意味を考える。
	授業内容	教師という職業について考える： 教師という職業を自分が選択することの意味について考え、集団討議する。
	事後学習	教師という職業を選択するために、自分に不足している点を考える。
13	事前学習	自分の授業を再度行う準備をする
	授業内容	模擬授業：1人20分程度の模擬授業を行いお互いに批評する。
	事後学習	改めて、自分の授業のよかった点と改善点を確認する。
14	事前学習	自分の授業を再度行う準備をする。
	授業内容	模擬授業：1人20分程度の模擬授業を行いお互いに批評する。
	事後学習	改めて、自分の授業のよかった点と改善点を確認する。

15	事前学習	本授業から学んだことをまとめる。
	授業内容	全体のまとめとわちあい
	事後学習	自分が教師という職業を選択することの意味を再度確認する。

科目名	教育制度論	担当者	李 吉魯	部 別	第二部	期 間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育に関する社会的、制度的又は経営的事項】			
授業概要	学校教育においては、その目的とそれに関わる者の範囲（児童、生徒、教師など）が教育制度によって規定されており、目的達成のための方法・手段（学校制度、学校経営、学校組織、教育内容、教材など）にも共通性が認められる。この授業では、教育に関する社会的、制度的および経営的事項についての基礎的知識を習得し、今日の教育改革に関する理解を深める。			
授業目的・到達目標	・授業目的 教育に関する基礎的知識、概念、また法規や制度について理解し、学校教育のあり方や国民の教育を受ける権利などを説明できるようにすることを目的とする。 ・到達目標 教育に関する社会的、制度的および経営的事項について学び、それに基づき教育改革や学校運営の取り組みなどが理解できるようになる。			
履修条件	学生諸君は気持ちを引き締めて、教職への強い志をもって受講されたい。			
授業方法	授業中には教育の問題に対する理解を深めるとともに、学生どうしの「話し合い」を通じて、多様な考え方を交流させる場としたい。また、毎回作成したリアクションペーパーを含め、課題やレポートについてはフィードバックを行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	レポートおよび課題（20％）、授業への積極的な参加度等（20％）によって総合的に評価する。学習成果の確認のため、授業内試験（60％）を行う。試験時は参考書等の持込は「不可」。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2012年	啓明出版	新訂版『わかりやすく学ぶ教育制度―課題と討論による授業の展開―』	北野秋男編
	備考			
参考書	森秀夫『要説 教育制度』学芸図書、2011年。早田幸政著『教育制度論』ミネルヴァ書房、2016年。『教育小六法』学陽書房、2016年。その他の資料は、必要に応じて授業中に紹介する。			
オフィスアワー	オフィスアワー：授業の前後とする。 onkochishin6@hotmail.com（事前にメールでアポイントメントを取ること）			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「教育」の概念について整理しておくこと
	授業内容	教育（制度）とは何か―学校・社会と教育の関係、授業の課題や進め方、評価、教職の学習方法など―
	事後学習	授業の復習。教育と社会の関係性や学校文化について考える
2	事前学習	近代化と学校との関係について整理しておくこと
	授業内容	近代学校教育の原初形態と制度化―学校のはじまり、近代学校の制度化過程、学校教育制度発展の道筋など―
	事後学習	授業の復習。日本の近代学校制度の歩みについて考える

3	事前学習	義務教育について整理しておくこと
	授業内容	公教育制度の原理および理念―義務制、無償性、中立性、「教育を受ける権利」と「教育の機会均等」など―
	事後学習	授業の復習。教育の機会均等と教育改革について考える
4	事前学習	教育行政機関の役割について整理しておくこと
	授業内容	教育に関する行政と財政―教育行政の原理、国と地方の教育財政およびその分担―
	事後学習	授業の復習。教育行財政のあり方について考える
5	事前学習	教育法規の体系と特徴について整理しておくこと
	授業内容	教育に関する法規―日本国憲法・教育基本法、学校教育法および学校保健安全法など―
	事後学習	授業の復習。改正教育基本法の意義について考える
6	事前学習	文部科学省の役割について整理しておくこと
	授業内容	日本の中央および地方の教育行政の組織―文部科学省と教育委員会の役割―
	事後学習	授業の復習。現在の教育委員会制度について考える
7	事前学習	学校選択制について整理しておくこと
	授業内容	規制緩和や地方分権―学校選択制、民間人校長、「公設民営学校」の構想など―
	事後学習	授業の復習。公設民営学校の特徴について考える
8	事前学習	学校・地域社会・家庭の関係性について整理しておくこと
	授業内容	学校経営―学校の管理・運営、学校経営の様態（学校・家庭と地域社会との連携）―
	事後学習	授業の復習。「希望」としての地域社会の学校について考える
9	事前学習	学校における教育評価の基本的概念について整理しておくこと
	授業内容	学校における教育活動と学校評価の制度―学校評価の導入の経緯とその意義、学校評価の内容と実施など―
	事後学習	授業の復習。学校評価の意義と評価方法について考える
10	事前学習	「コミュニティ」概念の登場と「地域の教育力」の見直しについて整理しておくこと
	授業内容	学校と地域社会との連携―地域社会に根差した学校づくり、コミュニティ・スクールの仕組みや活動等―
	事後学習	授業の復習。地域社会とともにある学校について考える
11	事前学習	学校保健安全法について整理しておくこと
	授業内容	学校安全への対応策（１）安全管理―児童・生徒及び職員の健康診断、食品の安全性の確保、事件・事故や災害時の安全対策など―
	事後学習	授業の復習。災害に対する備えと発生時及び発生後の対応について考える
12	事前学習	在校時の防犯・安全対策について整理しておくこと
	授業内容	学校安全への対応策（２）安全教育（防災教育、防犯教育、交通安全教育）
	事後学習	授業の復習。命・安全を守るためにどうしたらいいのかについて考える
13	事前学習	アジアの教育制度（日本・中国・韓国等）について整理しておくこと
	授業内容	諸外国の学校制度と教育状況―アメリカ、イギリス、ドイツなど―
	事後学習	授業の復習。ヨーロッパの教育制度とアジアの教育制度の相違点について考える
14	事前学習	女子教育とジェンダー問題について整理しておくこと
	授業内容	現代日本の教育制度改革―子どもの貧困、教育格差、大学入試制度の改革など―
	事後学習	授業の復習。学校教育改革によって生じた変化について考える

15	事前学習	これまでの学習内容について整理しておくこと
	授業内容	授業のまとめと試験（学習成果の確認）
	事後学習	今日求められる教師像について考える

科目名	教育相談	担当者	和田 万紀	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目	担当形態	オムニバス	
科目	教職に関する科目（生徒指導，教育相談及び進路指導に関する科目）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法】			
授業概要	オムニバス形式で3名の担当者が講義中心で行う。講義ごとに、関連したエクササイズまたは知識の確認のための質問を取り入れる。これにはグループ討議、ロールプレイング、心理検査（性格検査等）、事例研究等を含み、最後にリフレクションペーパーを作成して提出する。文科省等のHPからダウンロードした資料を使用して、グループ討議等に使用する。レポート提出、試験を行う。			
授業目的・到達目標	①教育相談の基本的知識を獲得して、その実践のために、②組織内外や専門家と、また教員同士と「連携」をしながら、③教師自らがカウンセリングの理論と技術の基礎，基本的態度を身につけ、心理教育的援助の実践に寄与できる知識と資質を得ることを目標とする。そして、教師としての教育相談のあり方を考え、学ぶこととする。			
履修条件	心理学Ⅰ、心理学Ⅱ、発達と学習を履修済みまたは履修中であること。			
授業方法	3名の担当によるオムニバス形式の授業となる。講義形式を中心とするが、授業内で実習やロールプレイング、集団討議等を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業内テスト、レポート課題提出、討議への積極的参加、レフレクションペーパー等提出を総合的に判断する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	文科省HPからダウンロードした資料等を使用する。また、授業中に資料を配布する。		
参考書	和田万紀編 心理学第3版 弘文堂 和田万紀編 教育心理学 弘文堂			
オフィスアワー	月曜日昼休み			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業形式、授業概要を読み、授業に際しての注意事項を確認する。
	授業内容	授業の進め方、評価の方法等の説明と集団討議、心理検査実習、ロールプレイング等のグループ分けの実施（担当：和田万紀）
	事後学習	3人の担当者によるオムニバス形式であり、森沢担当の授業は授業日程に注意する。
2	事前学習	「教育相談」のイメージは何かについて、考える。
	授業内容	教育相談総論：（1）歴史と理念を理解する（教育相談とは、日本の教育相談の歴史と特徴、諸外国の教育相談の例等）（担当：和田万紀）
	事後学習	「教育相談」のイメージが、授業前後でどのように変化したのか（しなかったのか）を考える。

3	事前学習	教育相談は、誰が、どのような方法で、だれに対して、行うのか、を考える
	授業内容	教育相談総論：（２）理論と方法を理解する （学校という組織、校内相談システムと専門機関との連携、協働、SC、SSWRとの連携と協働教育相談の予防、治療、開発の側面）（担当：和田万紀）
	事後学習	学校という組織のなかで、「協働」を基本として教育相談が行われる現状を考える。
4	事前学習	学校組織における教育相談の実際を考え、教師として何を行うのかを具体的に考える。
	授業内容	教育相談総論：（３）教育相談の課題と解決のための学校等組織の取り組みを理解する。 （教育相談の年間計画と運営、形態、展開、評価と活用、教育相談担当者に求められる基本的態度、保護者の理解と対応）（担当：和田万紀）
	事後学習	学校組織の中で、教育相談の具体的過程を知り、組織の一員としての教師に求められる行動を考える。
5	事前学習	児童生徒にとって、悩みとは何か。誰に相談するのか。自分の経験等を通して考える。
	授業内容	教育相談総論：（４）児童生徒にとっての教育相談の意味を理解し、援助の方法を理解する。 心理検査等の実習等を行い、アセスメントの理解を深める。（自己開示、悩みと相談、児童生徒の発達課題と教育相談、アセスメントと方法）（担当：和田万紀）
	事後学習	児童生徒の悩みは、教育相談を通じてどのように取り扱われて解決へと向かうのか。アセスメントとは何か、その方法について考える。
6	事前学習	教師が教育相談を行う際に求められる資質とは何かを考える。
	授業内容	カウンセリングのための心理学的基礎理論と技法１：カウンセリングマインドの意味と意義を実習をもとに理解を深める。（カウンセリングマインド、カウンセリングにおける人間関係、傾聴、共感リフレーミング）（担当：伊藤令枝）
	事後学習	教師にとってカウンセリングマインドとは何かを考える。
7	事前学習	参考書から、臨床心理学についての知識を得る。
	授業内容	カウンセリングのための心理学的基礎理論と技法２：カウンセリングの心理学的基礎理論と技法を理解する。（フロイト、ロジャースの理論、学習理論と認知行動療法）（担当：伊藤令枝）
	事後学習	フロイト、ロジャース、学習理論、認知行動療法、について、その相違点を考える。
8	事前学習	上手な人間関係の築き方に必要なスキルについて考える。
	授業内容	予防、開発的取り組み：ソーシャルスキルトレーニングを中心にしてその理論と技法を理解する。ロールプレイングを行いその理解を深める。（担当：伊藤令枝）
	事後学習	社会的スキルと人間関係について考える。自分の社会的スキルと人間関係について振り返る。
9	事前学習	問題行動の具体的な例を経験等を踏まえながら考える。
	授業内容	「問題行動」と教育相談１：問題行動とはなにかについて、暴力、いじめ問題を中心にして理解する。ロールプレイングを行いその理解を深める。（担当：伊藤令枝）
	事後学習	暴力、いじめ、について、加害者と当事者の立場から、考えをまとめる。
10	事前学習	不登校について、最近の資料（文科省のHP等よりダウンロード）をもとにして、概要をまとめる。
	授業内容	「問題行動」と教育相談２：不登校を中心にして、ロールプレイングを行い、その理解を深める。（担当：伊藤令枝）
	事後学習	不登校について、教育相談の立場からの接近方法をまとめる。
11	事前学習	なぜ学ぶことに積極的になれないのか、自分の経験等から考える
	授業内容	「問題行動」と教育相談３：「学力問題」という問題について理解する。ロールプレイングを行い、その理解を深める。（学習意欲、学習習慣、学級崩壊等）（担当：和田万紀）
	事後学習	教師として、学ぶことに消極的な児童生徒にどのような対処が考えられるかをまとめる
12	事前学習	「発達障害」の定義を調べてまとめる
	授業内容	発達障害と教育相談；発達障害のとらえ方と対応、アセスメント、認知発達、社会情動発達 言語発達とその支援、保護者への支援について、集団討議等を行い理解する。（（担当：森澤亮介
	事後学習	発達障害と教育相談の実際について、保護者の視点からまとめる。
13	事前学習	「インクルーシブ教育」の定義を調べてまとめる
	授業内容	インクルーシブ教育と教育相談：インクルーシブ教育の基本的概念、インクルーシブ教育の 必要条件について検討し、教員への支援、保護者への支援について集団討議等を行い理解する。 （担当：森澤亮介）
	事後学習	インクルーシブ教育の実際について、保護者の視点を含めてまとめる。
14	事前学習	感情労働、バーンアウト、メンタルヘルス、職場復帰、について定義を調べてまとめる 教師の
	授業内容	教師の支援と教育相談：感情労働とバーンアウト、教師のメンタルヘルス、教師支援と教育 相談、休職と職場復帰とそのサポートについて、理解をする。（担当：和田万紀）
	事後学習	ストレスに対する対処法について、自分の例を考える。

15	事前学習	授業での資料等をまとめる。
	授業内容	総合的なまとめと授業内テストを行う（担当：和田万紀）
	事後学習	各講義のキーワードと事後学習について、まとめる。

科目名	教育の方法・技術論	担当者	壽福 隆人	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）】				
授業概要	これからの子どもに求められる資質・能力を育成するために、情報機器を活用した授業展開ができる教師の育成めざし、教育方法学、教育技術論の基礎を理解する。				
授業目的・到達目標	学校教育の意義を考えつつ、今、学校が求めている教師像を明らかにし、教師に必要とされている「教育方法学」の基本知識と実践で求められる「教育の技術」の習得を目指す。学校教育を支える教師の授業実践能力を高めるためには、学校教育に対する基本的な認識、教育に対する価値観が重要であることに気づく必要がある。教育に対する健全な思想を背景とした「方法・技術」を学ぶことを目標とする。				
履修条件	教職に強い関心がある学生、プレゼンテーション技術等を学びたい学生。				
授業方法	基本的には講義形式で行うが、適宜レポートの提出を求める。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	テスト課題について、的確な判断ができているかどうか、および、テキストをよく読んでいるかどうかの評価基準となる。	
	平常評価		50%	欠席・遅刻や居眠りの学生に対しては履修を拒否することがある。レポート課題を制限期間内に正しい方法で提出できるかどうかが重要な評価基準である。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成27年4月	DTP出版		歴史教育の課題と教育の方法・技術	壽福隆人
	備考				
参 考 書	講義の中で、適宜紹介する。				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	わかりやすい授業とはなにか考える。
	授業内容	教育学における教育方法学の位置について
	事後学習	教育学研究のなかで、教育方法学の意味を理解する。
2	事前学習	教育原論で学習した「教育学の成立」についてふりかえる。
	授業内容	教育方法学に寄与した教育家の理論と実践
	事後学習	教育方法学の発展をまとめる。

3	事前学習	近世の手習塾について調べる。
	授業内容	わが国近代公教育の成立と教授法の紹介（古典的教授理論の紹介）
	事後学習	近代公教育の教授法についてまとめる。
4	事前学習	産業革命期のイギリスについて調べる。
	授業内容	一斉教授法の成立と問題点
	事後学習	一斉教授法が本来持っている問題点を整理する。
5	事前学習	各自のグループ学習の経験をまとめる。
	授業内容	学習集団の編成と学習集団に適した指導法の紹介
	事後学習	学習集団編成の理論に関する知見を広める。
6	事前学習	各自の経験の中で、どのような学習集団が望ましかったか考える。
	授業内容	教具・教育機器を用いたバズ学習の実践方法
	事後学習	バズセッションの意義や先生方法に関する事例をお集める。
7	事前学習	各自の持っている「小テスト」の経験をまとめる
	授業内容	教具・教育機器を用いた完全習得学習の実践方法
	事後学習	形成テストの使い方についての知見を広める。
8	事前学習	複数教員による指導について、各自の学習経験からまとめる。
	授業内容	ティームティーチングでの教具・教育機器の利用
	事後学習	諸外国のティームティーチングの様子を検索する。
9	事前学習	学習指導案を入手する方法を経験する。
	授業内容	学習指導案とは何か（種類と目的）
	事後学習	学習指導案の意義と目的を理解する。
10	事前学習	各自テーマを設定して、自分なりの学習指導案を作成する。
	授業内容	学習指導案作成のための教材研究の方法
	事後学習	学習指導案作成には十分なきょうあい研究が必要であることを理解する。
11	事前学習	各自が経験したことがある教具、教育機器についてまとめる。
	授業内容	教具・教育機器の発達（1）古典的教具
	事後学習	掛け図や紙媒体の資料を作成してみる。
12	事前学習	各自が経験したことがある映像提示機器についてまとめる。
	授業内容	教具・教育機器の発達（2）映像メディア
	事後学習	各自のテーマにしたがって、映像教材を作成してみる。
13	事前学習	インターネット情報の質について考える。
	授業内容	教具・教育機器の発達（3）ICTを用いた教育
	事後学習	インターネットを用いて実際に授業を展開してみる。
14	事前学習	通知表など教育評価の方法を考える。
	授業内容	評価法の種類と歴史及び意義
	事後学習	実際に教育評価を実践してみる。

15	事前学習	各自の通知表や調査書を受け取った経験をまとめる。
	授業内容	通知表・指導要録作成の意義と方法
	事後学習	教育評価の意義を考える。

科目名	現代教職論	担当者	香川 七海	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教職の意義等に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教職の意義及び教員の役割】 【教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）】 【進路選択に資する各種の機会の提供等】				
授業概要	(1) 日本における学校教育や教職の社会的意義を学習する。(2) 教育界の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を学習する。(3) 教員の職務内容の全体像や教員の服務上・身分上の義務を学習する。(4) 学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について学習する。(文部科学省「コアカリキュラム」から)				
授業目的・到達目標	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について見につけ、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。(文部科学省「コアカリキュラム」から)				
履修条件	教職、および、教育学分野の領域に関心のある学生が対象になります。				
授業方法	配布する資料をもとに講義を進めます。映像資料なども視聴します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	レポート（60％）、コメント・ペーパー（40％）にて判断いたします。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	有斐閣		『やさしい教育原理 第3版』（有斐閣アルマ）	田嶋一 ほか
	備考				
参考書	里見実『学校を非学校化する』（太郎次郎社）、里見実『働くことと学ぶこと』（太郎次郎社）、里見実『学校でこそできることは、なんだろうか』（太郎次郎社）				
オフィスアワー	月曜日 10：30に質問を受け付ける。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書などの準備
	授業内容	被教育経験を相対化する試み
	事後学習	配布資料を読みなおす。
2	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教職についての概論：公教育の構造と教職の社会的意義
	事後学習	配布資料を読みなおす。

3	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師観の歴史的変遷：戦前の教育制度と教師
	事後学習	配布資料を読みなおす。
4	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師観の歴史的変遷：戦後の教育制度と教師
	事後学習	配布資料を読みなおす。
5	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の身分と服務（1）：教師の身分保障
	事後学習	配布資料を読みなおす。
6	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の身分と服務（2）：懲戒・分限処分、体罰と懲戒の区別、労働環境について
	事後学習	配布資料を読みなおす。
7	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の役割と仕事（1）：学習指導（授業実践）、生活・生徒指導／学級経営（教育実践）
	事後学習	配布資料を読みなおす。
8	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の役割と仕事（2）：校務分掌、学校経営、保護者と地域社会とのかかわり
	事後学習	配布資料を読みなおす。
9	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の資質・能力：教職の専門性の輪郭
	事後学習	配布資料を読みなおす。
10	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の研修：教員研修の種別と内実
	事後学習	配布資料を読みなおす。
11	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	多様な教師像
	事後学習	配布資料を読みなおす。
12	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の多忙化と教育労働
	事後学習	配布資料を読みなおす。
13	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	チームとしての学校：「開かれた学校」と「コミュニティ・スクール」
	事後学習	配布資料を読みなおす。
14	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教師の理想と現実
	事後学習	配布資料を読みなおす。

15	事前学習	前回の授業内容について、配布資料をもとに復習をする。授業内容にリンクする時事問題をチェックする。
	授業内容	教職に関する要点まとめ
	事後学習	配布資料を読みなおす。

科目名	自然地理学概論Ⅰ	担当者	田代 崇	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【地理学（地誌を含む。）（社会）】 【人文地理学及び自然地理学（地理歴史）】					
授業概要	地形・気候・植生をテーマとした地理学的諸現象を例に挙げ、これらの基礎的知識を修得する。					
授業目的・到達目標	近年、中・長期的時間スケールで発生する環境変動とこれに関する人間社会の対応が大きな注目を浴びている。このような自然－人間環境間の問題を理解するためには、分野を超えた幅広い教養が必要とされており、包括的理解の手段として自然地理学は有用である。この授業では、教育職員として地理歴史科を教える上で必要とされる自然地理学の基礎的知識とこの知識を用いた自然地理学的なものの見方・考え方の修得を目的とする。					
履修条件	なし。					
授業方法	基本的に講義形式でおこなう。授業内において、学生主体のプレゼン及びディスカッションをおこなう。課題提出を課す。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	学期末試験の評価		
	平常評価		30%	課題提出及び小テストの評価		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。				
参考書	必要な際に授業内にて参考図書を紹介する。					
オフィスアワー	水曜日１０：４０/月曜日１９：３０及び研究日以外に適宜対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの理解
	授業内容	ガイダンス：講義の概要と半期の流れ，評価方法の解説，心構えなど
	事後学習	配布資料の復習
2	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	自然地理学の概要：自然地理学とは，自然地理学の研究対象
	事後学習	今回の授業内容の復習

3	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	宇宙の中の地球：太陽系と地球，地球の形成史
	事後学習	今回の授業内容の復習
4	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	地球の姿：地帯構造，地質年代，プレートテクトニクス
	事後学習	今回の授業内容の復習
5	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	地形Ⅰ：地形の形成プロセス
	事後学習	今回の授業内容の復習
6	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	地形Ⅱ：サンゴ礁，氷河地形と第四紀学，日本の地形
	事後学習	今回の授業内容の復習
7	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	気候Ⅰ：気候要素と気候因子
	事後学習	今回の授業内容の復習
8	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	気候Ⅱ：気候区分
	事後学習	今回の授業内容の復習
9	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	気候Ⅲ：日本の気候，都市気候
	事後学習	今回の授業内容の復習
10	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	植生Ⅰ：植生区分と森林帯
	事後学習	今回の授業内容の復習
11	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	植生Ⅱ：日本の森林帯
	事後学習	今回の授業内容の復習
12	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	植生Ⅲ：森林と土壌
	事後学習	今回の授業内容の復習
13	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	水の循環：水の循環と水収支，湖沼，地下水など
	事後学習	今回の授業内容の復習
14	事前学習	前学期授業の復習
	授業内容	グループディスカッション - 身近な自然の中の地形・気候・植生 -
	事後学習	ディスカッション内容のまとめ

15	事前学習	前回の授業内容の復習
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	今回の授業内容の復習

科目名	自然地理学概論Ⅱ	担当者	田代 崇	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【地理学（地誌を含む。）（社会）】 【人文地理学及び自然地理学（地理歴史）】					
授業概要	環境変化とその人間社会への影響や人間活動による自然環境への影響に主眼を置いた地理学的諸トピック挙げて、その時空間分布と影響について学ぶ。					
授業目的・到達目標	地球温暖化など環境変化の人間社会に対する影響や人間活動による自然環境への影響の理解を十分なものとするために、自然地理学的知識は有用と考えられる。この授業では、教育職員として地理歴史科を教える上で必要な自然地理学的な基礎知識やものの見方・考え方の修得を目的とする。					
履修条件	なし。					
授業方法	基本的に講義形式でおこなう。授業内において、学生主体のプレゼン及びディスカッションをおこなう。課題提出を課す。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	学期末試験の評価		
	平常評価		30%	提出課題の評価		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない。				
参考書	必要な際に授業内にて参考図書を紹介する。					
オフィスアワー	水曜日１０：４０/月曜日１９：３０及び研究日以外に適宜対応する。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの理解
	授業内容	ガイダンス：講義の概要と半期の流れ，評価方法の解説，心構えなど
	事後学習	配布資料の復習
2	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	自然地理学の概要：地理学とは，自然地理学の研究対象
	事後学習	今回の授業の復習

3	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	環境問題とその地域的差異
	事後学習	今回の授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	環境問題Ⅰ：世界の環境問題，地球温暖化
	事後学習	今回の授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	環境問題Ⅱ：森林破壊，砂漠化，酸性雨など
	事後学習	今回の授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	環境問題Ⅲ：日本の環境問題
	事後学習	今回の授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	気候変動とエネルギー問題
	事後学習	今回の授業の復習
8	事前学習	後学期前半授業の復習
	授業内容	グループディスカッション①：身近な環境問題に関する資料作成及びプレゼン
	事後学習	ディスカッション内容のまとめ
9	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	自然災害Ⅰ：地震，火山活動
	事後学習	今回の授業の復習
10	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	自然災害Ⅱ：水害，土砂災害
	事後学習	今回の授業の復習
11	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	異常気象：気象災害
	事後学習	今回の授業の復習
12	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	急激な気候変動とそのメカニズム：自然科学的ケーススタディ
	事後学習	今回の授業の復習
13	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	人間活動による自然の変化：人類紀自然学的ケーススタディ
	事後学習	今回の授業の復習
14	事前学習	後学期後半授業の復習
	授業内容	グループディスカッション②：気候変動と人間生活に関する資料作成及びプレゼン
	事後学習	ディスカッション内容のまとめ

15	事前学習	前回の授業の復習
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	今回の授業の復習

科目名	社会科・公民科教育法Ⅰ	担当者	奥田 智	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育課程の意義及び編成の方法】 【各教科の指導法】				
授業概要	授業の前半は新学習指導要領の改訂の背景及び改訂のポイント及び、中学校社会科公民分野に関わる学習指導要領の「目標」「内容」「内容の取り扱い」及び「学習評価」についての理解を深めるとともに、事例研究等を行いながら「思考力」「判断力」「表現力」等を高める学習指導の在り方について学習する。授業の後半は、指導案作成及び模擬授業を行い、受講者相互に批評する形式をとり、実践的な授業構想力及び授業展開力を身に付ける。				
授業目的・到達目標	1. 新学習指導要領の改訂の背景及び改訂のポイントについて理解し説明することができる。 2. 中学校社会科公民分野に関わる学習指導要領の目標及び内容等について理解し説明することができる。 3. 中学校社会科公民分野に関わる学習指導及び学習評価の考え方について理解し説明することができる。 4. 生徒の実態を視野に入れて指導計画及び学習指導案を作成することができる。 5. 模擬授業を行うとともに、その振り返りを通して、より実践的な授業構想力及び授業展開力を身に付けることができる。				
履修条件	中学校社会科の教員免許取得に必修である。また、高等学校公民科・地理歴史科の教員免許取得希望者も履修することが望ましい。				
授業方法	学習指導要領等に関わる解説及び先進的な授業に関わる事例研究などについては原則は講義形式で行う。受講者による学習指導案の作成及び模擬授業等については演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業に対する姿勢（20%）、指導案作成及び模擬授業(30%)、授業理解度(レポート含)（20%）、授業参加度(30%)	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成26年1月一部改訂	日本文教出版	中学校学習指導要領解説社会編		文部科学省
	備考				
参考書	新学習指導要領の展開 社会編 原田智仁編著 明治図書				
オフィスアワー	授業終了後及び休憩時間に行う。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	学習指導要領とはどのような性格を有するものか事前に調べる
	授業内容	新学習指導要領が改訂された背景及び改訂のポイントについて解説する
	事後学習	講義の内容を受けて、新学習指導要領が改訂された背景及び改訂のポイントについて復習する
2	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。 学習指導要領における「中学校社会科公民分野」の内容構成について確認する
	授業内容	学習指導要領における「中学校社会科公民分野」の内容構成について解説する
	事後学習	講義の内容を受けて、学習指導要領における「中学校社会科公民分野」の内容構成について復習する

3	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。 学習指導要領において「思考力・判断力・表現力」の育成についてどのように記されているか確認する
	授業内容	学習指導要領における「思考力・判断力・表現力」の育成について、「思考力・判断力・表現力とは何か」「思考力・判断力・表現力はどのようにすれば育むことができるのか」という視点で解説する。①
	事後学習	講義の内容を受けて、思考力・判断力・表現力を育む指導の在り方について考える
4	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。 学習指導要領において「思考力・判断力・表現力」の育成についてどのように記されているか確認する
	授業内容	学習指導要領における「思考力・判断力・表現力」の育成について、「思考力・判断力・表現力とは何か」「思考力・判断力・表現力はどのようにすれば育むことができるのか」という視点で解説する。②
	事後学習	講義の内容を受けて、思考力・判断力・表現力を育む指導の在り方について考える
5	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。
	授業内容	生徒が意欲的に学習に取り組む先進的な授業展開（中学校社会科公民分野）に関わる事例研究①を行う
	事後学習	講義を受けて、自身が指導者になった仮定で参考になることを整理する
6	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。
	授業内容	生徒が意欲的に学習に取り組む先進的な授業展開（中学校社会科公民分野）に関わる事例研究②を行う
	事後学習	講義を受けて、自身が指導者になった仮定で参考になることを整理する
7	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。 指定された単元（政治分野・経済分野・国際分野）の教科書記述を理解しておく
	授業内容	グループ毎に学習指導案（政治分野・経済分野・国際分野）を作成する ※グループ毎に担当分野を指定する。
	事後学習	授業で作成した学習指導案を振り返り修正する
8	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。 指定された単元（政治分野・経済分野・国際分野）の教科書記述を理解しておく
	授業内容	グループ毎に学習指導案（政治分野・経済分野・国際分野）を作成する。 ※グループ毎に担当分野を指定する。
	事後学習	授業で作成した学習指導案を振り返り改善を加える
9	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業（政治分野）を行う。1グループ30分×2グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
10	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業（政治分野）を行う。1グループ30分×2グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
11	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業（経済分野）を行う。1グループ30分×2グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
12	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業（経済分野）を行う。1グループ30分×2グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
13	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業（国際分野）を行う。1グループ30分×2グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
14	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業（国際分野）を行う。1グループ30分×2グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする

15	事前学習	生徒の学習意欲を高める授業に必要な要件について自身の考えをまとめる
	授業内容	生徒の学習意欲を高める授業に必要な要件についてレポートにまとめる 生徒の学習意欲を高める学習指導という観点で授業を総括する
	事後学習	学習意欲を高める授業の在り方について振り返る

科目名	社会科・公民科教育法Ⅰ	担当者	壽福 隆人	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育課程の意義及び編成の方法】 【各教科の指導法】				
授業概要	中学校社会科・高等学校公民科学習の意義を理解し、具体的に授業計画を立案・実践できる教師の育成を目指す。講義形式を中心に行うが、並行して学習指導案の作成のための教材研究を行い、適宜、研究発表を実践し、教材研究の具体的方法について講義する。				
授業目的・到達目標	教職に対する認識を深め、教員を目指す者に取って、最も基本となる、「教材研究の方法」と「教育研究の方法」に必要な基礎的学力、さらに教員としての資質の育成を目標とする。自ら学び、自らテーマに向かって解決する研究方法を身につけ、さらに研究結果を広く発表する技術の育成を目的とする。 その前提として、「社会科・公民科教育」の理念や目標についてまず学ぶ。自ら、教育の問題や研究課題を発掘し、その原因と解決策を探し出す方法と技術を身につけ、その課程と成果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションが出来るような資質を養成することを目標とする。				
履修条件	教職課程を将来も履修し、教員免許状取得を目指している学生が優先される。				
授業方法	講義形式を中心に行うが、並行して学習指導案の作成のための教材研究を行い、適宜、研究発表を実践し、教材研究の具体的方法について講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	社会科・公民科教育の理論と実践方法に関する論述試験を実施する。	
	平常評価		50%	定期的に課題を設定し、それに対応した学習指導案等提出物を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成27年4月	DTP出版		歴史教育の課題と教育の方法・技術	壽福隆人
	備考				
参考書	中学校社会科・高等学校現代社会・高等学校政経・高等学校倫理の教科書を準備する。各自が中学校、高等学校時代に使用した教科書可。出版社は問わない。				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	19世紀アメリカの社会情勢について調べる。
	授業内容	アメリカにおいて社会科が成立した背景を理解する。
	事後学習	アメリカにおける社会科成立の意味についてまとめる。
2	事前学習	中学校学習指導要領の構成について調べる。
	授業内容	学習指導要領における社会科の目標と内容について理解する。
	事後学習	学習指導要領における社会科の目標についてまとめる。

3	事前学習	「教育課程」という語と「教科課程」という語の違いを調べる。
	授業内容	教育課程の意義と編成方法について考える。
	事後学習	色々な学校の教育課程を調査する。
4	事前学習	中学校公民科教科書を事前に読む。
	授業内容	中学校社会科公民科分野の指導目標と指導上の留意点について。
	事後学習	中学校社会科公民分野が扱う学習課題を理解する。
5	事前学習	中学校社会科公民科の資料を収集する。
	授業内容	中学校社会科公民科指導で使われる資料集を用いる方法について
	事後学習	中学校社会科公民科資料資料と学習課題の関係を理解する。
6	事前学習	中学校社会科公民科と地理分野と歴史分野との関連について考える。
	授業内容	中学校社会科各分野の関連する教材の取り扱いについて。
	事後学習	中学校社会科各分野の関連についてまとめる。
7	事前学習	高等学校公民科の教科書を読む。
	授業内容	学習指導要領における公民科の目標と内容について理解する。
	事後学習	高等学校公民科が扱う学習課題の概略を理解する。
8	事前学習	高等学校現代社会の教科書を読む。
	授業内容	高等学校現代社会の背景となる学問と指導目標・指導上の留意点について。
	事後学習	高等学校現代社会の学習課題をまとめる。
9	事前学習	高等学校政経の教科書を読む。
	授業内容	高等学校政経の背景となる学問と指導目標・指導上の留意点について。
	事後学習	高等学校政経の学習課題をまとめる。
10	事前学習	高等学校倫理の教科書を読む。
	授業内容	高等学校倫理の背景となる学問と指導目標・指導上の留意点について。
	事後学習	高等学校倫理の学習課題をまとめる。
11	事前学習	各科目の高校入試、大学入試問題を調べる。
	授業内容	暗記教科とならないための工夫（生徒の認識・思考・学力の理解）
	事後学習	試験問題と思考力の育成の関係について考察する。
12	事前学習	社会科、公民科の形成テストについて調べる。
	授業内容	「社会科嫌い」をなくすための工夫（生徒の認識・思考・学力の理解）
	事後学習	社会科嫌い原因についてまとめる。
13	事前学習	思考力とは何かについて考える。
	授業内容	評価法の工夫（暗記教科とならず、「社会科嫌い」をなくす試験問題への試み）
	事後学習	思考力を育成する社会科・公民科のあり方について、自分の考えをまとめる。
14	事前学習	各自が関心を持つ学習課題の近年の学問研究の成果を調べる。
	授業内容	教材研究の方法（1）発展的学習内容と学問領域との継続的接触の必要性
	事後学習	教師が継続して学問研究を続けていく必要性について認識する。

15	事前学習	学習課題と生徒の興味との関係について考える。
	授業内容	教材研究の方法（2）発展的学習内容と生徒の文化との関連への着目
	事後学習	生徒がより深く学習したいと思う教材とはなにかを考察する。

科目名	社会科・公民科教育法Ⅱ	担当者	奥田 智	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【各教科の指導法】				
授業概要	授業の前半は新学習指導要領の改訂の背景・ポイント、高等学校公民科に関わる学習指導要領の「目標」「内容」「内容の取り扱い」及び「学習評価」についての理解を深めるとともに、ディベート学習等の事例研究等を行いながら生徒の学習意欲を高める学習指導の在り方について学習する。授業の後半は、指導案作成及び模擬授業を行い、受講者相互に批評する形式をとり、実践的な授業構想力及び授業展開力を身に付ける。				
授業目的・到達目標	1. 新学習指導要領改訂の背景・ポイント等について理解し説明することができる。 2. 学習指導要領（公民科）の内容構成等について理解し説明することができる。 3. 高等学校公民科に関わる学習指導及び学習評価の考え方について理解し説明することができる。 4. 生徒の実態を視野に入れて指導計画及び学習指導案を作成することができる。 5. 模擬授業を行うとともに、その振り返りを通して、より実践的な授業構想力及び授業展開力を身に付けることができる。				
履修条件	高等学校公民科の教員免許取得に必修である。また、高等学校地理歴史科及び中学校社会科の教員免許取得希望者も履修することが望ましい。				
授業方法	学習指導要領等に関わる解説及び先進的な授業に関わる事例研究などについては原則は講義形式で行う。受講者による学習指導案の作成及び模擬授業等については演習形式で行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験				
	平常評価		100%	授業に対する姿勢（20％）、指導案作成及び模擬授業(30%)、授業理解度(レポート含)（20％）、授業参加度(30%)	
教科書	年	出版社	書名		著者名
	平成22年 6月	教育出版	高等学校学習指導要領解説公民編		文部科学省
	備考				
参考書	高等学校新学習指導要領の展開公民編 大杉昭英編著 明治図書				
オフィスアワー	授業終了後及び休憩時間に対応します				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	新学習指導要領が改訂された背景・改訂のポイントについて事前に調べる
	授業内容	新学習指導要領が改訂された背景・改訂のポイントについて解説する
	事後学習	講義の内容を受けて、新学習指導要領が改訂された背景・改訂のポイントについて復習する
2	事前学習	指定された者は、時事問題に関する3分間スピーチを用意する。
	授業内容	新学習指導要領における新科目「公共」の設置の背景など新教育課程における公民科が果たす役割について解説する。
	事後学習	公民としての資質とは何かについてまとめる

3	事前学習	指定された者は、時事問題に関する３分間スピーチを用意する
	授業内容	公民科「現代社会」「政治経済」「倫理」の内容構成について解説する
	事後学習	「現代社会」「政治経済」「倫理」の目標等をまとめる
4	事前学習	指定された者は、時事問題に関する３分間スピーチを用意する
	授業内容	生徒が意欲的に学習に取り組む先進的な授業展開「現代社会」に関わる事例研究を行う
	事後学習	講義を受けて、自身が指導者になった仮定で参考になることを整理する
5	事前学習	指定された者は、時事問題に関する３分間スピーチを用意する
	授業内容	生徒が意欲的に学習に取り組む先進的な授業展開「政治経済」「倫理」に関わる事例研究を行う
	事後学習	講義を受けて、自身が指導者になった仮定で参考になることを整理する
6	事前学習	ディベート学習について事前に調べる
	授業内容	公民科におけるディベート学習の有効性について解説するとともに、グループ別に「我が国においては『大きな政府』に関わる政策を推進すべきである」という論題でディベート準備を行う
	事後学習	ディベート準備を継続する
7	事前学習	ディベートに必要な基礎資料を用意する
	授業内容	代表グループが模擬ディベートを実施する（論題：「我が国においては『大きな政府』に関わる政策を推進すべきである」）
	事後学習	公民科におけるディベート学習の有効性を整理する
8	事前学習	指定された者は、時事問題に関する３分間スピーチを用意する。 指定された科目「現代社会」「政治経済」「倫理」の教科書記述を理解しておく
	授業内容	グループ毎に学習指導案「現代社会」「政治経済」「倫理」を作成する ※グループ毎に担当科目を指定する。
	事後学習	授業で作成した学習指導案を振り返り修正する
9	事前学習	指定された者は、時事問題に関する３分間スピーチを用意する。 指定された科目「現代社会」「政治経済」「倫理」の教科書記述を理解しておく
	授業内容	グループ毎に学習指導案「現代社会」「政治経済」「倫理」を作成する ※グループ毎に担当科目を指定する。
	事後学習	授業で作成した学習指導案を振り返り修正する
10	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業「現代社会」を行う。１グループ３０分×２グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
11	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業「現代社会」を行う。１グループ３０分×２グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
12	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業「政治経済」を行う。１グループ３０分×２グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
13	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業「政治経済」を行う。１グループ３０分×２グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする
14	事前学習	模擬授業を行う内容を理解しておく
	授業内容	指定されたグループは模擬授業「倫理」を行う。１グループ３０分×２グループ 受講者同士で批評する
	事後学習	模擬授業を振り返り成果と課題を明らかにする

15	事前学習	公民科における課題追究学習の重要性について自身の考えをまとめる
	授業内容	公民科における課題追究学習の重要性についてレポートにまとめる 公民科における課題追究学習の重要性の観点で授業を総括する
	事後学習	公民科の授業の在り方について振り返る

科目名	社会科・公民科教育法Ⅱ	担当者	壽福 隆人	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【各教科の指導法】				
授業概要	中学校社会科・高等学校公民科学習の意義を理解し、教育機器を用いて具体的に授業を立案し実践的報告を通して教科指導力の向上を目指す。				
授業目的・到達目標	「社会科・公民科教育法Ⅰ」の講義を継続して学習する。 教職に対する認識を深め、教員を目指す者にとって、最も基本となる、「教材研究の方法」と「教育研究の方法」に必要な基礎的学力、さらに教員としての資質の育成を目標とする。自ら学び、自らテーマに向かって解決する研究方法を身につけ、さらに研究結果を広く発表する技術の育成を目的とする。 自ら、教育の問題や研究課題を発掘し、その原因と解決策を探し出す方法と技術を身につけ、その課程と成果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションが出来るような資質を養成することを目標とする。				
履修条件	教職課程を将来も履修し、教員免許状取得を目指している学生が優先される。				
授業方法	講義形式を中心に行うが、並行して学習指導案の作成のための教材研究を行い、適宜、研究発表を実践し、教材研究の具体的方法について説明を加える。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	社会科・地歴科教育の理論と実践方法に関する論述試験を実施する。	
	平常評価		50%	定期的に課題を設定し、それに対応した学習指導案等提出物を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成27年4月	DTP出版		歴史教育の課題と教育の方法・技術	壽福隆人
	備考				
参考書	中学校社会科・高等学校現代社会・高等学校政経・高等学校倫理の教科書を準備する。各自が中学校、高等学校時代に使用した教科書可。出版社は問わない。				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材研究の基礎となる資料収集の方法を考える。
	授業内容	資料検索の方法（1）NDL-OPACを利用した資料収集の方法
	事後学習	実際に各自テーマを決めて資料収集を実施する。
2	事前学習	インターネットを用いて資料検索を試行する。
	授業内容	資料検索の方法（2）ReaD & Researchmapを利用した研究者及び資料収集の方法
	事後学習	実際に各自テーマを決めて資料収集を実施する。

3	事前学習	収集した資料で学習指導案を作成してみる。
	授業内容	資料収集と知的財産権の問題
	事後学習	学習指導案作成における知的財産権の特例について理解する。
4	事前学習	学習指導案を修正する。
	授業内容	収集した資料を中学生・高校生の認識・思考・学力に合わせて構成することの意義
	事後学習	思考力を育てる学習指導案とは何かを考える。
5	事前学習	各自学習指導案を作成する。
	授業内容	収集した資料を中学生・高校生の認識・思考・学力に合わせて構成するための方法
	事後学習	修正点を見つけて修正する。
6	事前学習	論理的な学習指導案を作成すてみる。
	授業内容	教育の工学的方法について
	事後学習	論理的な学習指導案への修正。
7	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	紙媒体の資料を用いた授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
8	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	映像資料を用いた授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
9	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	インターネットを利用する授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
10	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	教科書・資料集の利用方法と授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
11	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	討論を用いる授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
12	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	討論を用いる授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
13	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	生徒のグループ発表を実施する場合の資料収集方法の指導
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
14	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	生徒のグループ発表を実施する場合の資料収集方法の指導
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。

15	事前学習	実地調査を試行する。
	授業内容	実地調査や実地見学の報告文を指導する方法
	事後学習	実地調査を学習指導案づくりに生かす。

科目名	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	担当者	壽福 隆人	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【教育課程の意義及び編成の方法】 【各教科の指導法】				
授業概要	中学校社会科・高等学校地理歴史科学習の意義を理解し、具体的に授業計画を立案・実践できる教師の育成を目指す。講義形式を中心に行うが、並行して学習指導案の作成のための教材研究を行い、適宜、研究発表を実践し、教材研究の具体的方法について講義する。				
授業目的・到達目標	教職に対する認識を深め、教員を目指す者に取って、最も基本となる、「教材研究の方法」と「教育研究の方法」に必要な基礎的学力、さらに教員としての資質の育成を目標とする。自ら学び、自らテーマに向かって解決する研究方法を身につけ、さらに研究結果を広く発表する技術の育成を目的とする。 その前提として、「社会科・地理歴史科教育」の理念や目標についてまず学ぶ。自ら、教育の問題や研究課題を発掘し、その原因と解決策を探し出す方法と技術を身につけ、その課程と成果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションが出来るような資質を養成することを目標とする。				
履修条件	教職課程を将来も履修し、教員免許状取得を目指している学生が優先される。				
授業方法	講義形式を中心に行うが、並行して学習指導案の作成のための教材研究を行い、適宜、研究発表を実践し、教材研究の具体的方法について講義する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		50%	社会科・地歴科教育の理論と実践方法に関する論述試験を実施する。	
	平常評価		50%	定期的に課題を設定し、それに対応した学習指導案等提出物を評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	平成27年4月	DTP出版		歴史教育の課題と教育の方法・技術	壽福隆人
	備考				
参考書	中学校社会科・高等学校地理・高等学校日本史・高等学校世界史の教科書を準備する。各自が中学校、高等学校時代に使用した教科書可。出版社は問わない。				
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	19世紀アメリカの社会情勢について調べる。
	授業内容	アメリカにおいて社会科が成立した背景を理解する。
	事後学習	アメリカにおける社会科成立の意味についてまとめる。
2	事前学習	中学校学習指導要領の構成について調べる。
	授業内容	学習指導要領における社会科の目標と内容について理解する。
	事後学習	学習指導要領における社会科の目標についてまとめる。

3	事前学習	「教育課程」という語と「教科課程」という語の違いを調べる。
	授業内容	教育課程の意義と編成方法について考える。
	事後学習	いろいろな教育機関が持っている「教育課程」を調べる。
4	事前学習	中学校地理教科書を事前に読む。
	授業内容	中学校社会科地理的分野の指導目標と指導上の留意点について。
	事後学習	中学校社会科地理分野が扱う学習課題を理解する。
5	事前学習	中学校社会科歴史教科書を読む。
	授業内容	中学校社会科歴史的分野の指導目標と指導上の留意点について。
	事後学習	中学校社会科歴史分野が扱う学習課題を理解する。
6	事前学習	中学校社会科地理分野と歴史分野の学習課題を整理する。
	授業内容	中学校社会科各分野の関連する教材の取り扱いについて。
	事後学習	中学校社会科各分野の関連についてまとめる。
7	事前学習	高等学校地理歴史科の教科書を読む。
	授業内容	学習指導要領における地理歴史科の目標と内容について理解する。
	事後学習	高等学校地理歴史科が扱う学習課題の概略を理解する。
8	事前学習	高等学校地理の教科書を読む。
	授業内容	高等学校地理AB科の背景となる学問と指導目標・指導上の留意点について。
	事後学習	高等学校地理科の学習課題をまとめる。
9	事前学習	高等学校世界史の教科書を読む。
	授業内容	高等学校世界史ABの背景となる学問と指導目標・指導上の留意点について。
	事後学習	高等学校世界史の学習課題をまとめる。
10	事前学習	高等学校日本史の教科書を読む。
	授業内容	高等学校日本史ABの背景となる学問と指導目標・指導上の留意点について。
	事後学習	高等学校日本史の学習課題をまとめる。
11	事前学習	各科目の高校入試、大学入試問題を調べる。
	授業内容	暗記教科とならないための工夫（生徒の認識・思考・学力の理解）
	事後学習	試験問題と思考力の育成の関係について考察する。
12	事前学習	社会科、地歴科の形成テストについて調べる。
	授業内容	「社会科嫌い」をなくすための工夫（生徒の認識・思考・学力の理解）
	事後学習	社会科嫌い原因についてまとめる。
13	事前学習	思考力とは何かについて考える。
	授業内容	評価法の工夫（暗記教科とならず、「社会科嫌い」をなくす試験問題への試み）
	事後学習	思考力を育成する社会科・地歴科のあり方について、自分の考えをまとめる。
14	事前学習	各自が関心を持つ学習課題の近年の学問研究の成果を調べる。
	授業内容	教材研究の方法（1）発展的学習内容と学問領域との継続的接触の必要性
	事後学習	教師が継続して学問研究を続けていく必要性について認識する。

15	事前学習	学習課題と生徒の興味との関係について考える。
	授業内容	教材研究の方法（2）発展的学習内容と生徒の文化との関連への着目
	事後学習	生徒がより深く学習したいと思う教材とはなにかを考察する。

科目名	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	担当者	壽福 隆人	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【各教科の指導法】			
授業概要	中学校社会科・高等学校地理歴史科学習の意義を理解し、教育機器を用いて具体的に授業を立案し実践的報告を通して教科指導力の向上を目指す。			
授業目的・到達目標	「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ」の講義を継続して学習する。 教職に対する認識を深め、教員を目指す者にとって、最も基本となる、「教材研究の方法」と「教育研究の方法」に必要な基礎的学力、さらに教員としての資質の育成を目標とする。自ら学び、自らテーマに向かって解決する研究方法を身につけ、さらに研究結果を広く発表する技術の育成を目的とする。 自ら、教育の問題や研究課題を発掘し、その原因と解決策を探し出す方法と技術を身につけ、その課程と成果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションが出来るような資質を養成することを目標とする。			
履修条件	教職課程を将来も履修し、教員免許状取得を目指している学生が優先される。			
授業方法	講義形式を中心に行うが、並行して学習指導案の作成のための教材研究を行い、適宜、研究発表を実践し、教材研究の具体的方法について説明を加える。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	50%	社会科・地歴科教育の理論と実践方法に関する論述試験を実施する。	
	平常評価	50%	定期的に課題を設定し、それに対応した学習指導案等提出物を評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	平成27年4月	DTP出版	歴史教育の課題と教育の方法・技術	壽福隆人
	備考			
参考書	中学校社会科・高等学校地理・高等学校日本史・高等学校世界史の教科書を準備する。各自が中学校、高等学校時代に使用した教科書可。出版社は問わない。			
オフィスアワー	月曜日4限 9号館9106研究室			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教材研究の基礎となる資料収集の方法を考える。
	授業内容	資料検索の方法（1）NDL-OPACを利用した資料収集の方法
	事後学習	実際に各自テーマを決めて資料収集を実施する。
2	事前学習	インターネットを用いて資料検索を試行する。
	授業内容	資料検索の方法（2）ReaD & Researchmapを利用した研究者及び資料収集の方法
	事後学習	実際に各自テーマを決めて資料収集を実施する。

3	事前学習	収集した資料で学習指導案を作成してみる。
	授業内容	資料収集と知的財産権の問題
	事後学習	学習指導案作成における知的財産権の特例について理解する。
4	事前学習	学習指導案を修正する。
	授業内容	収集した資料を中学生・高校生の認識・思考・学力に合わせて構成することの意義
	事後学習	思考力を育てる学習指導案とは何かを考える。
5	事前学習	各自学習指導案を作成する。
	授業内容	収集した資料を中学生・高校生の認識・思考・学力に合わせて構成するための方法
	事後学習	修正点を見つけて修正する。
6	事前学習	論理的な学習指導案を作成すてみる。
	授業内容	教育の工学的方法について
	事後学習	論理的な学習指導案への修正。
7	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	紙媒体の資料を用いた授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
8	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	映像資料を用いた授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
9	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	インターネットを利用する授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
10	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	教科書・資料集の利用方法と授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
11	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	討論を用いる授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
12	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	討論を用いる授業実践例紹介及び模擬授業
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
13	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	生徒のグループ発表を実施する場合の資料収集方法の指導
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。
14	事前学習	模擬授業のためのマイクロティーチング
	授業内容	生徒のグループ発表を実施する場合の資料収集方法の指導
	事後学習	模擬授業の反省を学習指導案に生かす。

15	事前学習	実地調査を試行する。
	授業内容	実地調査や実地見学の報告文を指導する方法
	事後学習	実地調査を学習指導案づくりに生かす。

科目名	人文地理学概論Ⅰ	担当者	品田 光春	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【地理学（地誌を含む。）（社会）】 【人文地理学及び自然地理学（地理歴史）】					
授業概要	地表面における人間の存在や活動の在り方を地域的差異といった空間的視点から考察する人文地理学という学問について、その基本的なものの見方・考え方を各種の事例を紹介しながら解説する。特に本授業では人文地理学の教材としての地図の利用法について重点的に取り上げる。					
授業目的・到達目標	授業目的：人文地理学に関する諸概念や教材としての地図類の利用法などについて学び、教職にとって必要とされる人文地理学的な知識・視点および技能の基礎を習得し、中学・高校で教える「地理」に関する人文地理的内容を理解できるようになることを目的とする。 到達目標：人文地理学という学問の特性について学び、それに基づき地形図をはじめとする地図類から人文地理学的事象を読解し、教材として利用できるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義資料（プリント）を中心とした講義形式。必要に応じて、授業中に作業を行う。可能ならば映像教材も多用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業中に解説した重要事項（地理学用語、地図の読み方など）の理解度を判定する。		
	平常評価					
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	授業中に紹介する。					
オフィスアワー	授業前後に講師室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んで、授業内容等を確認する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
2	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	地理学の体系と人文地理学
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。

3	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	地域と地域スケール
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
4	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	人文地理学的資料としての地図
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
5	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	地形図の読み方① 地形図とは
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
6	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	地形図の読み方② 地図記号・等高線
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
7	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	地形図の読み方③ 平野の地形と土地利用（扇状地）
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
8	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	地形図の読み方④ 平野の地形と土地利用（氾濫原）
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
9	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	新旧地形図から地域変容をとらえる① 旧版地形図の利用
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
10	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	新旧地形図から地域変容をとらえる② 浦安
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
11	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	新旧地形図から地域変容をとらえる③ 多摩ニュータウン
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
12	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	新旧地形図から地域変容をとらえる④ 戦時改描
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
13	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	分布図の利用
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
14	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	古地図と歴史地理① 古地図から過去の地理を読む
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。

15	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	古地図と歴史地理② 油田開発の歴史地理 前期のまとめ
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。

科目名	人文地理学概論Ⅱ	担当者	品田 光春	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	----------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【地理学（地誌を含む。）（社会）】 【人文地理学及び自然地理学（地理歴史）】					
授業概要	地表面における人間の存在や活動の在り方を地域的差異といった空間的視点から考察する人文地理学という学問について、その基本的なものの見方・考え方を各種の事例を紹介しながら解説する。特に本授業では地域概念、メンタルマップ、環境、景観について重点的に取り上げる。					
授業目的・到達目標	授業目的：人文地理学に関する地域・環境・景観の諸概念とその事例について学び、教職にとって必要とされる人文地理学的な知識・視点および技能の基礎を習得し、中学・高校で教える「地理」に関する人文地理的内容を理解できるようになることを目的とする。 到達目標：人文地理学という学問の特性について学び、それに基づき現実の人文地理的事象について具体的に説明できるようになる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義資料（プリント）を中心とした講義形式。必要に応じて、授業中に作業を行う。可能ならば映像教材も多用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		100%	授業中に解説した重要事項の理解度を判定する。		
	平常評価		0%			
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	授業中に紹介する。					
オフィスアワー	授業前後に講師室にて					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを読んで、授業内容等を確認する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
2	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	等質地域と機能地域① 等質地域と機能地域の概念
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。

3	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	等質地域と機能地域② 等質地域の事例
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
4	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	等質地域と機能地域③ 機能地域の事例
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
5	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	等質地域と機能地域④ 実質地域と形式地域
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
6	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	メンタルマップ① 頭の中の世界像
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
7	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	メンタルマップ② 都市のイメージ
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
8	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	環境論① 環境決定論と環境可能論
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
9	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	環境論② 現代の環境問題
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
10	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	環境論③ 『銃・病原菌・鉄』①
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
11	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	環境論④ 『銃・病原菌・鉄』②
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
12	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	景観論① 景観の定義と分類
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
13	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	景観論② 石見銀山
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。
14	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	景観論③ 端島（軍艦島） 鉱山集落としての景観特性
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。

15	事前学習	授業内容に関する地理学用語等を調べる。事前に配布プリントがある場合は、内容を確認しておく。
	授業内容	景観論④ 端島（軍艦島） 産業遺産としての保全・活用 後期のまとめ
	事後学習	配布プリントの重要事項を復習する。

科目名	生徒指導・進路指導論	担当者	山田 智之	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教職に関する科目（生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【生徒指導の理論及び方法】 【進路指導の理論及び方法】					
授業概要	学校教育は、すべての児童生徒の人格の健全な育成を図ることを目的に存在している。時代の変化の中で、表面化する問題への対処の仕方にも違いが出てくるが、生徒指導・進路指導には不易な部分がある。この不易な部分を学び、なおかつ現実を知ることが必要である。本講義では、学校教育現場で起こっている現実を見据え、児童生徒の個性の伸長や自己実現、自立を援助するための生徒指導、進路指導の在り方や具体的な方策について取り組みについて考える。					
授業目的・到達目標	中学校・高等学校における生徒指導及び進路指導・キャリア教育について理解を深め、その指導法と効果について検討することを目的とする。中学校・高等学校における生徒の発達に即した生徒指導及びキャリア教育の在り方を考察し、展望できるようにすることを到達目標とする。					
履修条件	特になし。					
授業方法	講義とアクティブラーニングによる授業を行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		40%	生徒指導及び進路指導・キャリア教育に関する論述形式（1000字）の試験。		
	平常評価		60%	1 発表、論議への参加状況、リアクションペーパー（15回×3%）45% 2 課題レポート（3回×5%）15%		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	特に指定しない。資料を随時配布する。				
参考書	指定しない					
オフィスアワー	メールにて対応する。 tomoyuki@juen.ac.jp yamada.tomoyuki@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	ガイダンス及び、進路指導・キャリア教育の意義と課題
	事後学習	リアクションペーパーにて、本日の学びを整理する。
2	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	進路指導・キャリア教育の歴史的経緯
	事後学習	リアクションペーパーにて、本日の学びを整理する。

3	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	進路指導・キャリア発達理論（クランボルツ、スーパー、シャイン等）
	事後学習	リアクションペーパーにて、本日の学びを整理する。
4	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスとカウンセリング機能
	事後学習	リアクションペーパーにて、本日の学びを整理する。
5	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	【AL】自己理解に関わる授業事例の検討 人生双六＜金の糸＞
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
6	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	【AL】職業観・勤労観などの育成に関わる授業事例の検討
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
7	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	これからの時代の進路指導・キャリア教育
	事後学習	リアクションペーパーにて、本日の学びを整理する。
8	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	進路指導・キャリア教育の組織と体制 （課題提示）
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
9	事前学習	ワークシートを用いて授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	【AL】職場体験とキャリア教育
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
10	事前学習	ワークシートを用いて授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	【AL】三者面談とキャリア教育
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
11	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	生徒指導の組織と体制
	事後学習	リアクションペーパーにて、本日の学びを整理する。
12	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	【AL】学級活動に関連する生徒指導上の課題と解決策 席決め
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
13	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	【AL】いじめ問題に関連する教育課題と解決策
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。
14	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	学校現場におけるリスクマネジメントの実際
	事後学習	リアクションペーパー及びワークシートに、本日の学びを整理する。

15	事前学習	授業内容について理解が深められるよう、概要を事前に把握する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	半期の学びを整理する。

科目名	西洋史概論Ⅰ	担当者	馬 渕 彰	部 別	第一部 第二部	期 間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	---------	------	------------	-----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】					
授業概要	政治社会・文化共同体としての「ヨーロッパ」がどのように形成され、またどのように変容してきたのかについて、古代オリエントの時代からカール大帝の時代までの西洋の通史を通じて学ぶ。					
授業目的・到達目標	本講義では、ヨーロッパが超民族的的文化共同体であるとの視点に立ち、その文化共同体を生み出している歴史的構造を理解する力を養う。ヨーロッパの過去の世界を正確に把握し他者に伝える能力を、この講義を機により一層磨いていけるよう歴史感覚を養う。					
履修条件	少なくとも高校世界史の教科書や資料集などを用いて予習、復習すること。自分の専門分野や好きな事項に視野を狭めず、人間に関わるあらゆる事柄に関心を持つよう努めること。そうしないと、過去の世界は把握できない。					
授業方法	講義（具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である）。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		50%	授業内試験や授業中の態度なども数値化し最終評価に含める。出席日数不足の者は授業内課題や試験を受けても点数がつかない。出席日数についてはガイダンスなどで説明する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	必要に応じて、授業中に資料を配布する。				
参考書	『ヨーロッパ論Ⅱ』 澤田昭夫編著：放送大学教育振興会（絶版。他学部図書館などに所蔵あり）。『西洋の歴史：古代・中世編』『西洋の歴史：近現代編』『教養のための西洋史入門』（どれもミネルヴァ書房）					
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「ヨーロッパ（西洋）とは何か」との問いへの答えを考えてくる。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ヨーロッパ（西洋）史の通史を扱うこの講義が、どのような独特な二つの視点に立って展開されていくのかを確認しておく。
2	事前学習	ヨーロッパとは、どのような文化を持った世界なのかを考えてくる。
	授業内容	超民族的文化共同体としてのヨーロッパ
	事後学習	講義で出てきた用語を理解し、補足をつけてノートにまとめておく。

3	事前学習	ヨーロッパの通史が、なぜ「古代」「中世」「近代」と分けられているのかを考えてくる。
	授業内容	ヨーロッパの歴史的構造：時代区分問題
	事後学習	講義で学んだ、時代五区分について要点を明らかにしてノートにまとめておく。
4	事前学習	古代アッシリア、新バビロニア、アケメネス朝ペルシア、古代ギリシアについて調べ、政治・社会・文化などの特徴を調べ、ノートに整理しておく。
	授業内容	ヨーロッパの語源についての諸説
	事後学習	ヨーロッパの語源について、どのような説があるかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
5	事前学習	歴史地図を探し、古代ギリシア人が活動した地域がどこまで及んでいたのかを調べておく。また、ペルシア戦争、アテネの民主政、アレクサンドロス大王の功績について調べておく。
	授業内容	地理的表現および価値表現としてのヨーロッパ
	事後学習	地理的表現および価値表現として「ヨーロッパ」という語がどのように用いられていたのか、その理由とともに整理しておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
6	事前学習	古代ギリシアの建築、学問、娯楽がどのようなものであったのか、また、「ルネサンス」と古代ギリシアがどのように関係しているか調べておく。
	授業内容	古代ギリシアと後のヨーロッパとの人為的結合
	事後学習	古代ギリシアと後のヨーロッパとの人為的結合が、どのようになされたかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
7	事前学習	教養教育とは何か、また、古代アテネの民主政がどのように誕生したかについて調べておく。
	授業内容	教養理念（パイディア）と民主主義（デモクラシー）
	事後学習	古代ギリシアの教育方法がどのように現代にまで引き継がれてきたのか、また古代ギリシアと現在のデモクラシーとはどのように異なるのかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
8	事前学習	共和政期のローマが、どのように周辺の国々や地域を支配下に置いたのか調べておく。
	授業内容	「国々」を支配したローマ共和国
	事後学習	皇帝のいないローマ共和国も帝國的支配をしていたとはどういうことなのかまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
9	事前学習	共和政期の古代ローマの元老院や民会がどのようなものであったのか、またローマの支配者たちがどのようにローマ市民たちを治めていたのか調べておく。
	授業内容	ローマ共和国を支配した人々
	事後学習	ローマ共和国がどのような人々によって支配されていたのかまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
10	事前学習	古代ローマがどの地域まで支配下に置いていたのか、そして今日その地域において古代ローマのどのような遺跡が存在するか調べておく。
	授業内容	都市（キヴィタス）建設による地中海世界のローマ化
	事後学習	古代ローマに支配された地域が、どのようにしてローマの文化的影響を受けたのか整理しておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
11	事前学習	古代ローマにおいて支配者たちがどのような教育を受けていたのか調べてみる。
	授業内容	地中海世界に浸透したローマの「文明」：「自由な帝国」
	事後学習	古代ローマの支配者たちがなぜ教養教育を重視したのかまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
12	事前学習	ゲルマン民族による民族大移動と西ローマの崩壊の流れを、フランク王国のクローヴィスの時代まで学んでおく。
	授業内容	政治社会としての「ヨーロッパ」の誕生
	事後学習	「ヨーロッパ」という言葉が、文化共同体的な意味でどのように使われ始めたかまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
13	事前学習	フラン王国カロリング朝の王たちの功績や、イギリスの七王国とその文化を調べておく。
	授業内容	ヨーロッパの王カールとキリスト教帝国建設プラン
	事後学習	カール大帝がなぜキリスト教帝国を建設しようとしたのか、またどのような政治・社会・文化政策を推進したのかまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
14	事前学習	カール大帝の時代から教皇グレゴリウス7世の時代までに、カールの帝国がどのように変容したか調べておく。
	授業内容	ヨーロッパ王国からキリスト教社会へ
	事後学習	カール大帝の戴冠からグレゴリウス7世までの間に、皇帝（王）と教皇とがどのような関係にあったのかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。

15	事前学習	古代ペルシアから教皇グレゴリウス 7 世までの流れを復習する。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	古代ペルシアから教皇グレゴリウス 7 世までの流れで、まだ理解できていなかった箇所や忘れてしまっていた箇所を学びなおす。

科目名	西洋史概論Ⅱ	担当者	馬 淵 彰	部 別	第一部 第二部	期 間	後 期	単 位 数	2
-----	--------	-----	-------	-----	------------	-----	-----	-------	---

教員の免許状取得のための	必修科目			担当形態	単独
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	政治社会・文化共同体としての「ヨーロッパ」がどのように形成され、またどのように変容してきたのかについて、カール大帝の時代から現代までの西洋の通史を通じて学ぶ。				
授業目的・到達目標	本講義では、ヨーロッパが超民族的的文化共同体であるとの視点に立ち、その文化共同体を生み出している歴史的構造を理解する力を養う。ヨーロッパの過去の世界を正確に把握し他者に伝える能力を、この講義を機により一層磨いていけるよう歴史感覚を養う。				
履修条件	少なくとも高校世界史の教科書や資料集などを用いて予習、復習すること。自分の専門分野や好きな事項に視野を狭めず、人間に関わるあらゆる事柄に関心を持つよう努めること。そうしないと、過去の世界は把握できない。				
授業方法	講義（具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である）。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		50%	授業内試験や授業中の態度なども数値化し最終評価に含める。出席日数不足の者は授業内課題や試験を受けても点数がつかない。出席日数についてはガイダンスなどで説明する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	必要に応じて、授業中に資料を配布する。			
参考書	『ヨーロッパ論Ⅱ』 澤田昭夫編著：放送大学教育振興会（絶版。他学部図書館などに所蔵あり）。『西洋の歴史：古代・中世編』『西洋の歴史：近現代編』『教養のための西洋史入門』（どれもミネルヴァ書房）				
オフィスアワー	授業終了後、質問・相談等を受付ける。オフィスアワーは火曜日の昼休みと4限。オフィスアワー利用の際は、事前にご連絡ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ベネディクト修道会、クリューニ修道院、シトー会、フランシスコ会、ドミニコ会がどのような修道会であるか調べておく。また、「中世ヨーロッパの都市」がいつ頃からどのように発展した、インノケンティウス3世とはどんな人物であったのか調べておく。
	授業内容	ガイダンス キリスト教社会の拡充：ベネディクトから托鉢修道会まで
	事後学習	国境や民族の壁を越えて、修道院が文化共同体を各地で広め、キリスト教社会を支え、発展させていたこと、また、キリスト教社会の崩壊の危機を生み出したことをまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
2	事前学習	いつ頃から大学がヨーロッパに登場したのか、また、大学で何がどのように学ばれていたのか、またスコラ学とは何かについて調べておく。
	授業内容	大学の登場とその成果：討論とスコラ哲学
	事後学習	国境や民族の壁を越えて、大学が知的権威を発揮して分析的・批判的精神を有する人材を輩出し、キリスト教社会を支えていたこと、またキリスト教社会崩壊の危機を生み出したことをまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。

3	事前学習	教皇ボンifaceティウス8世以降、カペー朝とヴァロア朝のフランス国王たちが教皇権に対抗してどのように王権を強めていったか調べておく。
	授業内容	民族王権の台頭とキリスト教社会の動揺
	事後学習	フランス国王などの民族王権の台頭と、ローマ教皇権の衰退がどのように生じたのかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
4	事前学習	ヨーロッパが、セルジューク朝トルコ、モンゴル帝国、中国の元朝、オスマン朝トルコとどのような関係にあったか調べておく。また、北方ゲルマン（ノルマン人やデーン人）の移動やイベリア半島でのレコンキスタについて調べておく。
	授業内容	世界像の変容：新たな地理的知識
	事後学習	古代ローマの文化やキリスト教を通じてヨーロッパに継承されてきた世界像が、どのように変容したのか。また、その変容によって、ヨーロッパ人のアイデンティティがどのようなものになったのかまとめておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
5	事前学習	ヒューマニストとは何か、またその作品や業績にどんなものがあるのか調べておく。
	授業内容	キリスト教社会から再びヨーロッパへ： ヒューマニストによる「ヨーロッパ」の復活
	事後学習	ヒューマニストたちによって、「ヨーロッパ」がどのような意味で用いられ始めたかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
6	事前学習	絶対王政、宗教改革、イギリス国教会、三十年戦争、名誉革命とはどのようなものか調べておく。
	授業内容	主権国家の形成と勢力均衡のヨーロッパ
	事後学習	主権国家の形成がどのようになされたのか、また、皇帝権や教皇権に代わって新たな国際秩序形成の力となったものがなんだったのか整理する。
7	事前学習	アリストタルコス、プトレマイオス、コペルニクス、ケプラー、ガリレオ、ニュートンが天文学とどのように関係していたのか調べておく。また、啓蒙思想とは何か、その思想に関係する人物にどのような人々がいるか調べておく。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
	授業内容	啓蒙と世俗化のヨーロッパ
	事後学習	ヨーロッパにおいて、信仰（恩寵の光）ではなく理性の重視へとなぜ変わったのか、また、「理性の時代」にもそれに沿わない、あるいは反する文化が力を伸ばしていたことをまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
8	事前学習	教皇権や皇帝権がヨーロッパ世界秩序の要として機能しなくなったこの時代、ヨーロッパ世界の平和を実現するのにどんな方法があるか考えてくる。
	授業内容	ヨーロッパの平和の模索：さまざまな統合案・平和案
	事後学習	18世紀末までに、ヨーロッパの平和への多種多様な案が唱えられていたことをまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
9	事前学習	フランス革命、ナポレオンによる支配によってヨーロッパがどのように変容したか調べてくる。
	授業内容	ナショナリズムのヨーロッパ： フランス革命とナポレオン
	事後学習	フランス革命とナポレオンによって、どのようにナショナリズムがヨーロッパに広まったのかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
10	事前学習	ナポレオンがなぜ失脚したのか、ウィーン体制とは何か、メッテルニヒとはどのような人物であったのか調べてくる。
	授業内容	反ナポレオンの「愛欧心」： ウィーン体制とメッテルニヒ
	事後学習	ナポレオン帝国崩壊後のヨーロッパ新秩序がどのようにつくられたのか、また、その新秩序はなぜ不安定となったのかまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
11	事前学習	「産業革命」とはどのように始まったのか、また、「帝国主義時代」とはどのようなものなのか調べてくる。
	授業内容	ヨーロッパ世界の世界的拡大： 産業革命および帝国主義
	事後学習	世界がヨーロッパ化されていく過程と、ヨーロッパそのもののが他の文化との接触で変容することをまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
12	事前学習	19世紀末のヨーロッパの人々の間に、どのような理想的な国家像や世界像があったのか考えてくる。
	授業内容	さまざまヨーロッパ像が共存するヨーロッパ
	事後学習	ナショナリズム、リベラリズム、社会主義、民族主義、帝国主義などに基づく新たな理想像が登場したことをまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
13	事前学習	第一次世界大戦と第二次世界大戦について、それぞれ原因と経過と結果について調べてくる。
	授業内容	二つの世界大戦
	事後学習	ヨーロッパの「近代」に登場した体制や思想・理想が発展し衝突支配ながら、ヨーロッパ列強（主権国家）間の争いが世界規模で戦争を引き起こしたことをまとめる。講義中に出てきた用語や人名で分からなかったものを、調べてノートに整理する。
14	事前学習	第二次世界大戦終結からEUの誕生までのヨーロッパの統合の流れを調べてくる。
	授業内容	戦後ヨーロッパの向かうところ： 共同体としてのヨーロッパの見直し・挑戦
	事後学習	かつての共同体としてのヨーロッパの復活を、新たな原理によって試みているヨーロッパについてまとめる。

15	事前学習	ヨーロッパの王カールの帝国（超民族連合体）崩壊から第二次世界大戦後のヨーロッパ連合までの流れを復習する。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	ヨーロッパの王カールの帝国（超民族連合体）崩壊から第二次世界大戦後のヨーロッパ連合までの流れにおいて、理解できていない箇所や忘れていた箇所を学びなおす。

科目名	地誌学概論Ⅰ	担当者	小倉 眞	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【地理学（地誌を含む。）（社会）】 【地誌（地理歴史）】					
授業概要	教職課程の本講義では、地理学的概念に基づいて「地域」を抽出し、地域内に展開する自然的・社会経済的諸現象を整理するとともに詳細な実態分析を行い、「地域構造」を把握するすることを目標とする。具体的には地理学の学問的特徴と地誌学の関係、地域の画定方法、また日本の諸地域について地誌学手視点からの整理をするとともに、小地域を抽出して徹視的観点からの分析・整理などを行う。					
授業目的・到達目標	地誌学は地理学的概念に基づいて「地域」を抽出し、地域内に展開する自然的・社会経済的諸現象を整理すると共に詳細な実態分析を行い、「地域の構造」を把握することを目的としている。到達目標：1.地域の諸要素を抽出し、地域の特色を客観的に理解できる。2.日本及び世界の諸地域における多様性や特徴を把握し、説明できる。3.地図・地理資料などを使用して地理学的視点に基づいて説明できる。					
履修条件	特になし。					
授業方法	テキストは使用せず、基本的には板書とプリントによって授業を進める。随時、PC・ビデオを使用する。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		85%	授業内容を客観的に理解しているか、また論理思考がなされているかについて検証・評価する。		
	平常評価		15%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート・発表などにより評価する。（5%）特定のテーマについて課題を設定し、レポート提出を求める。（10%）		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	使用しない				
参考書	地図帳を準備する。その他の参考文献については授業中に指示する。					
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスにより授業内容の確認をする。
	授業内容	地誌学と地理学（1）地理学の学問的特徴
	事後学習	地理学の歴史と発展過程、地域研究との関係について整理する。
2	事前学習	プリントにより地理学の研究範囲（自然地理学と人文地理学）と地誌学の関係について検証する。
	授業内容	地誌学と地理学（2）系統地理学と地誌学における地域の捉え方
	事後学習	系統地理学（テーマ研究）と地誌学（総合的地域研究）の相違・特色について整理する。

3	事前学習	地域に内在する諸要素について抽出し、考察してみる。
	授業内容	地域の空間構造　：地域抽出方法と地域の画定
	事後学習	分布要素と分布領域との関係、および地域画定方法について整理する。
4	事前学習	地理の教科書の内容について整理してみる。
	授業内容	地理教育と地誌学
	事後学習	地理教育の変遷について整理し、地理Aと地理Bとの関係、自然と人文との関係について検証する。
5	事前学習	既存の書籍において、地誌学的記述であると考えられるものを選出してみる。
	授業内容	地誌の捉え方・記述内容
	事後学習	古典的近代地誌や総合地誌についての記述内容を整理し、その特徴を検証してみる。次回の小テストの準備をする。
6	事前学習	日本の自然的特徴などについて事前に整理・考察してみる。
	授業内容	日本における地帯構造と自然・社会文化の特徴
	事後学習	東北日本と西南日本の文化的・歴史的特徴について整理する。
7	事前学習	北海道の自然的特徴について考察する。
	授業内容	日本地誌（1）　北海道地方　：開拓史と経済開発を中心として
	事後学習	屯田村・道央開発の歴史、農林業の展開、産業の特徴について整理する。
8	事前学習	東北6県のそれぞれの特徴についてまとめてみる。
	授業内容	日本地誌（2）　東北地方　：太平洋側と日本海側の地域の特徴
	事後学習	関東外縁の福島県と遠隔地に位置する青森・岩手県等について経済的発展状況の相違について整理する。
9	事前学習	関東地方を地域的なまとまりから小地域に分類してそれぞれの地域の特徴について考察する。
	授業内容	日本地誌（3）　関東地方　：自然環境、農業・工業等の展開
	事後学習	近郊農業地域として日本有数の農業生産地域であることを確認し、農業の地域的展開について検証する。
10	事前学習	首都圏の範囲と、根拠となる法について調べ、その諸県を抽出してみる。
	授業内容	日本地誌（4）　首都圏地域の産業構造の変容を中心として（課題レポートの説明含む）
	事後学習	臨海立地型工業から内陸地域への立地移動の状況について整理する。
11	事前学習	北陸地方の自然的特徴、特に冬の降雪の特徴と社会生活について考察する。
	授業内容	日本地誌（5）　北陸地方　：自然的特徴と社会の歴史的展開
	事後学習	半周辺地域にあるといわれる産業構造の特徴について検証する。
12	事前学習	富山県を流れる河川と扇状地平野の分布について調べる。
	授業内容	日本地誌（6）　微視的地誌としての扇状地地域分析（富山県を中心に）
	事後学習	扇状地地形の地形的特色、三角州平野との違いと村落立地について整理する。（課題レポートを提出する。）
13	事前学習	地形図を読図し、地域の特徴について整理する。
	授業内容	日本地誌（7）　微視的地誌としての扇状地地域分析（黒部川扇状地）
	事後学習	合口事業・流水客土事業等を整理し、自然と地域問題について検証する。次回小テストの準備をする。
14	事前学習	東海地方・近畿地方を地域区分し、その地域の特徴について、産業の立地展開の視点で考察する。
	授業内容	日本地誌（8）　東海・近畿地方　：自然環境、産業、人口等の地域的特色
	事後学習	経済の相対的低下傾向にある大阪と自動車産業を中心に経済的拡大傾向の名古屋の産業・経済状況について整理する。

15	事前学習	西日本の自然と社会についての文献を選び考察する。
	授業内容	日本地誌（9） 中国・四国地方及び九州・沖縄地方の地誌
	事後学習	アジア経済圏と九州経済圏との連携について整理する。

科目名	地誌学概論Ⅱ	担当者	小倉 眞	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【地理学（地誌を含む。）（社会）】 【地誌（地理歴史）】				
授業概要	教職課程の本講義では、地理学的概念に基づいて「地域」を抽出し、地域内に展開する自然的・社会経済的諸現象を整理するとともに詳細な実態分析を行い、「地域構造」を把握するすることを目標とする。具体的には世界地誌をテーマとして取り上げ、アジア州全体と中国の地誌、ヨーロッパ州特にEU諸国とオランダ地誌、北アメリカ州とアメリカ合衆国地誌、南アメリカ地誌、オセアニア州とオーストラリア地誌について分析・整理する。				
授業目的・到達目標	地誌学は地理学的概念に基づいて「地域」を抽出し、地域内に展開する自然的・社会経済的諸現象を整理すると共に詳細な実態分析を行い、「地域の構造」を把握することを目的としている。到達目標：1. 地域の諸要素を抽出し、地域の特色を客観的に理解できる。2. 日本及び世界の諸地域における多様性や特徴を把握し、説明できる。3. 地図・地理資料などを使用して地理学的視点に基づいて説明できる。				
履修条件	特になし。				
授業方法	テキストは使用せず、基本的には板書とプリントによって授業を進める。随時、PC・ビデオを使用する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		85%	授業内容を客観的に理解しているか、また論理思考がなされているかについて検証・評価する。	
	平常評価		15%	授業への積極的参加度合いを授業後の小レポート・発表などにより評価する。（5%）特定のテーマについて課題を設定し、レポート提出を求める。（10%）	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	地図帳を準備する。その他の参考文献については授業中に指示する。				
オフィスアワー	(月) 12：10～13：00 14：40～16：00 研究室（4号館4階441） (水) 12：10～13：00 14：00～16：00				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	課題レポート提出の準備と確認を行う。
	授業内容	夏季休暇中の課題研究に基づく発表と討論（課題レポート提出）
	事後学習	発表・討論内容を確認し、気づいた点をノートにまとめる。
2	事前学習	大陸と地域区分の方法と相違について考える。
	授業内容	世界の地域区分方法
	事後学習	自然地域区分・社会歴史地域区分・経済地域区分の相違と特徴について整理する。

3	事前学習	西アジア・中央アジア・南アジア・東アジア地域の地域区分と地域の特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（１）　アジア州　：アジア諸国の自然環境，人口，産業，文化
	事後学習	世界の60％を占める人口分布状況と，乾燥アジア・湿潤アジアの地域的展開について整理する。
4	事前学習	中国の南部・北部における農業の相違と，沿岸部・内陸部における工業分布の特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（２）　アジア州　：中国の資源・経済展開を中心に
	事後学習	中国の改革開放体制と経済開発，工業立地の特質について整理する。次回の小テストの準備をする。
5	事前学習	EU地域の自然的特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（３）　ヨーロッパ州　：EU諸国の自然と産業・政治・文化（課題レポートの説明含む）
	事後学習	EU地域における農業・工業の展開と地域的経済格差について整理する。
6	事前学習	バルト海とライン川沿岸に位置するオランダの地理的特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（４）　ヨーロッパ州　：オランダの自然環境と地域開発を中心として
	事後学習	低地地域の干拓と地域開発，ヨーロッパの窓口としての経済構造について整理する。
7	事前学習	アメリカ合衆国とカナダとの地形・気候の特徴について事前に調べる。
	授業内容	世界地誌（５）　北アメリカ州　：北アメリカの自然環境と産業と都市
	事後学習	地形・気候の特徴として東西関係と南北関係の意味について確認・整理する。 （課題レポートを提出する）
8	事前学習	西経100度線を境に自然環境や農業が大きく変わることを検証し，地図等で確認する。
	授業内容	世界地誌（６）　北アメリカ州　：アメリカ合衆国の自然的特徴と農業地域の分布
	事後学習	アメリカ合衆国の農業地域分布，世界的農産物輸出国としての特徴について整理する。
9	事前学習	アメリカ合衆国の資源分布状況について調べ，確認する。
	授業内容	世界地誌（７）　北アメリカ州　：アメリカ合衆国の資源と工業地域変動
	事後学習	アメリカ合衆国におけるICを中心とした工業変動と工業地域について検証と整理する。次回小テストの準備をする。
10	事前学習	南アメリカ州に含まれる諸国を抽出し，各国の地域の特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（８）　南アメリカ州　：南アメリカ諸国の自然環境と社会文化
	事後学習	資源大国のブラジルの経済開発について特に重点的に検証する。
11	事前学習	アフリカのサヘル地域の分布と砂漠化の状況について考察する。
	授業内容	世界地誌（９）　アフリカ州　：アフリカ諸国の自然環境，産業，地域問題
	事後学習	アフリカの資源分布と経済開発，地域格差や地域紛争について整理する。
12	事前学習	オセアニアの自然的特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（10）　オセアニア州　：オセアニアの範囲と自然環境の特徴
	事後学習	太平洋諸国の地域区分及び火山国ニュージーランドの自然的特徴について整理する。
13	事前学習	乾燥大陸オーストラリアの気候と地形的特徴について考察する。
	授業内容	世界地誌（11）　オセアニア州　：オーストラリアの自然環境，植民の歴史
	事後学習	オーストラリアの農業や工業資源の分布と展開について整理する。
14	事前学習	オーストラリの都市分布と人口規模について事前に調べる。
	授業内容	世界地誌（12）　オセアニア州　：オーストラリアの空間構造（都市の分布，経済構造，日本との関係）
	事後学習	オーストラリアにおける空間構造（都市・外国との関係）と経済構造の特徴について整理する。

15	事前学習	各州における地域的特徴について考える。
	授業内容	世界地誌（13） 世界諸地域の地誌的分析の整理
	事後学習	世界の諸地域の地誌的特質について整理する。

科目名	哲学概論Ⅰ	担当者	岡山 敬二	部別	第一部 第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「哲学，倫理学，宗教学」（社会）】 【「哲学，倫理学，宗教学，心理学」（公民）】				
授業概要	「哲学とは何か」という問題を焦点にしながら、古代から近代に至るまで西洋哲学が歩んできた思考の道筋をたどる。自然観としての存在論の変遷という点を大きなテーマに据えて、ソクラテス以前の自然観が、ソクラテスを経てプラトンに始まり、近代にまで至る形而上学的な自然観によってどのように変貌してゆくのか、その展開の意味を問い、考えてゆく。				
授業目的・到達目標	時代や立場を越えた哲学的な考え方になじむことで、人間教育にとって不可欠な総合的視野を身につけることを目的とする。 1．古代から近代までの西洋哲学における主要な哲学的概念を抽出し、その背景にある問題意識や問いの動機を理解し、説明できるようになる。2．様々な哲学的な立場を比較・検討することで、それぞれの立場の限界や可能性を理解し、説明できるようになる。3．時代や立場を超えた哲学的な問いや考え方を理解し、説明できるようになる。				
履修条件	哲学への関心や学習意欲をもっていること。私語、遅刻厳禁（ばあいによっては減点対象にする）。				
授業方法	授業内容のレジュメを配布し（※共有フォルダからも入手可）、それに沿って講義を中心にすすめてゆく。リアクションペーパーにより質問、意見、感想等を提出してもらい、それに返答する機会を設け、一緒に問題を考えてゆきたい。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		100%	授業内容の要点を理解し、それを自分の言葉でしっかりと表現できているかを見る。 ※第二部については0%とする。	
	平常評価			※第二部については100%とする。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2010年5月28日	新潮社		反哲学入門（新潮文庫）	木田元
	備考	※第一部は使用せず、第二部のみの使用とする。			
参考書	木田元『反哲学史』講談社学術文庫、木田元『現代の哲学』講談社学術文庫。その他、必要なものについては授業のなかでそのつど紹介してゆく。				
オフィスアワー	原則として火曜日12：00～13：00、土曜日12:00～13:00（休暇期間は電子メールで相談の上対応する）。事前に電子メールでの連絡を踏まえ対応する。 研究室（本館6階1612）okayama.keiji@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス —— 授業内容や評価方法の説明。
	事後学習	ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。
2	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。哲学と科学との違いについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	哲学とは —— 常識や科学知と哲学との違いや関係について考える。
	事後学習	常識や科学知と哲学との違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

3	事前学習	ソクラテスのいう「無知の知」について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	「哲学」の誕生 ——ソクラテスの「知を愛すること（フィロソフィア）」の意味と役割について考える。
	事後学習	ソクラテスのいうフィロソフィアについてその意味と役割について確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
4	事前学習	皮肉と嘘の違いや共通点について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	アイロニーとしての哲学 ——ソクラテスの「皮肉（アイロニー）」の意味や目的について考える。
	事後学習	ソクラテスのアイロニーについてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
5	事前学習	ソクラテス裁判について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ソクラテス裁判 ——ソクラテスの「無限否定性」という生き方とその政治的立場との関係について考える。
	事後学習	ソクラテスの無限否定性についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
6	事前学習	自然について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ソクラテス以前の自然観 ——ソクラテス以前の思想家たちにとっての「自然（フュシス）」の意味と役割について考える。
	事後学習	ソクラテス以前のフュシスについてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
7	事前学習	ここまでの授業内容を振り返り、自然観という点から見たソクラテスの役割について整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括 ——授業内容のまとめ。
	事後学習	自然観という点から見たソクラテスの役割についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
8	事前学習	プラトンのイデア論について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	プラトンのイデア論 ——プラトンのイデア論の真意を探り、イデア論と物質的自然観との関係について考える。
	事後学習	イデア論と物質的自然観との関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
9	事前学習	プラトンとアリストテレスとの哲学の違いや関係性について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	アリストテレスの形而上学 ——アリストテレスによるイデア論の批判的継承と、形而上学的思考様式の普及について考える。
	事後学習	形而上学的思考様式についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
10	事前学習	スコラ哲学について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	プラトン・アウグスティヌス主義の復興 ——デカルト哲学への影響という点からスコラ哲学の動向について考える。
	事後学習	スコラ哲学のデカルト哲学への影響についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
11	事前学習	デカルトとはどういう哲学者であったのかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	デカルトと近代哲学の創建 ——デカルトによる量的自然観の基礎づけについて考える。
	事後学習	デカルトによる量的自然観の基礎づけについてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
12	事前学習	科学的世界観について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	近代哲学の構図（１） ——デカルトに始まる近代哲学の構図について考える。
	事後学習	近代哲学の構図についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
13	事前学習	科学の可能性と限界について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	近代哲学の構図（２） ——デカルトに始まる近代哲学が招いた問題について考える。
	事後学習	近代哲学が招いた問題についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
14	事前学習	カントとはどういう哲学者であったのかを調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	カントと近代哲学の完成 ——カントのコペルニクス的転回とは何か。直観の形式と思考のカテゴリーという発想の意味について考える。
	事後学習	カントのコペルニクス的転回についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

15	事前学習	授業内容の全体を振り返り、ソクラテス以前からカントに至るまでの自然観の変遷についてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括 ――授業内容のまとめ。定期試験の主題範囲や傾向、対策などの説明。
	事後学習	ソクラテス以前からカントに至るまでの自然観の変遷についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

科目名	哲学概論Ⅱ	担当者	岡山 敬二	部別	第一部 第二部	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	------------	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目	担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）			
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「哲学，倫理学，宗教学」（社会）】 【「哲学，倫理学，宗教学，心理学」（公民）】			
授業概要	「哲学とは何か」という問題を焦点にしながら、近代から現代に向けて西洋哲学が歩んできた思考の道筋をたどる。自然観としての存在論の変遷という点を大きなテーマに据えて、近代哲学において形而上学的な自然観がどのように完成されてゆくのか、現代哲学に向かって、近代哲学の自然観の限界がどのように克服されてゆくのか、その展開の意味を問い、考えてゆく。			
授業目的・到達目標	時代や立場を越えた哲学的な考え方になじむことで、人間教育にとって不可欠な総合的視野を身につけることを目的とする。 1．近代哲学における主要な哲学的概念の可能性や限界を抽出し、その克服を目指す現代哲学の主要な哲学的概念を理解し、説明できるようになる。2．様々な哲学的な立場を比較・検討することで、それぞれの立場の可能性や限界を理解し、説明できるようになる。3．時代や立場を超えた哲学的な問いや考え方を理解し、説明できるようになる。			
履修条件	哲学への関心や学習意欲をもっていること。私語、遅刻厳禁（ばあいによっては減点対象にする）。			
授業方法	授業内容のレジュメを配布し（※共有フォルダからも入手可）、それに沿って講義を中心にすすめてゆく。リアクションペーパーにより質問、意見、感想等を提出してもらい、それに返答する機会を設け、一緒に問題を考えてゆきたい。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	100%	授業内容の要点を理解し、それを自分の言葉でしっかりと表現できているかを見る。 ※第二部については0%とする。	
	平常評価	0%	※第二については100%とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年9月5日	文藝春秋	哲学散歩（文春文庫）	木田元
	備考	※第一部は使用せず、第二部のみの使用とする。		
参考書	木田元『反哲学史』講談社学術文庫、木田元『現代の哲学』講談社学術文庫。その他、必要なものについては授業のなかでそのつど紹介してゆく。			
オフィスアワー	原則として火曜日12：00～13：00、土曜日12:00～13:00（休暇期間は電子メールで相談の上対応する）。事前に電子メールでの連絡を踏まえ対応する。 研究室（本館6階1612）okayama.keiji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。
	授業内容	ガイダンス —— 授業内容や評価方法の説明。
	事後学習	ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。
2	事前学習	シラバスの「授業概要」、「授業目的・到達目標」を読み、その内容を確認しておくこと。それを含めて、その他のシラバスの内容についても疑問や質問がないか整理しておくこと。ガイダンスで話した内容とシラバスの内容を比較し、疑問や質問がないか整理しておくこと。形而上学についてその意味を整理しておくこと
	授業内容	形而上学とは —— 「哲学概論Ⅰ」の授業内容を振り返り、「哲学概論Ⅱ」の授業内容とのつながりを確認する。
	事後学習	形而上学についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

3	事前学習	ヘーゲルの弁証法について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ヘーゲルと近代哲学の完成 ——ヘーゲルの弁証法の意味を確認し、形而上学的思考様式の完成について考える。
	事後学習	ヘーゲルの弁証法、および形而上学的思考様式についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
4	事前学習	ヘーゲルとシェリングとの哲学の違いや関係性について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	後期シェリングと実存哲学 ——後期シェリングの実存主義について考える。
	事後学習	後期シェリングの実存という概念についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
5	事前学習	実存主義について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	実存とは ——「実存」について、後期シェリングとキルケゴールやサルトルとの考え方の違いと関係について考える。
	事後学習	実存についての後期シェリングとキルケゴールやサルトルとの考え方の違いや関係についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
6	事前学習	マルクスの労働概念について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	マルクスの自然主義 ——マルクスの『経済学・哲学草稿』における労働の弁証法と自然主義という考え方について。
	事後学習	マルクスのいう自然主義についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
7	事前学習	ここまでの授業を振り返り、近代哲学の完成、その可能性や限界についてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括 ——授業内容のまとめ。
	事後学習	近代哲学の完成、その可能性や限界についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
8	事前学習	ニヒリズムについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ニーチェのニヒリズム ——ヨーロッパのニヒリズムという点からニーチェの文化批判について考える。
	事後学習	ニーチェのいう「ヨーロッパのニヒリズム」についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
9	事前学習	ニーチェのいう「力への意志」について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	ニーチェと「力への意志」の哲学 ——「力への意志」という点からニーチェの自然観について考える。
	事後学習	「力への意志」という考えにおけるニーチェの自然観についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
10	事前学習	近代哲学にまで至る自然観の変遷についてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	近代から現代へ ——近代哲学にまで至る自然観の変遷を振り返る。
	事後学習	近代哲学にまで至る自然観の変遷についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
11	事前学習	科学の限界について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	科学の危機 ——近代理性の崩壊について科学の危機（数学の危機、物理学の危機）という点から考える。
	事後学習	科学の危機についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
12	事前学習	人間と機械との違いについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	現代哲学の課題 ——人間諸科学をめぐる問題の意味を踏まえ、現代哲学の課題について考える。
	事後学習	人間諸科学の問題と現代哲学の課題についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
13	事前学習	科学的世界像と日常生活の世界との違いや関係について思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	世界内存在 ——科学的世界観から生活世界への還帰の必要性について考える。
	事後学習	生活世界への還帰の必要性についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。
14	事前学習	幻影肢という現象について調べ、それについて思い、考えることを整理しておくこと。
	授業内容	心身の関係 ——幻影肢等の現象をとおして人間の心と身体（自然）との区別と統一について考える。
	事後学習	心と身体との区別と統一についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

15	事前学習	授業内容の全体を振り返り、近代哲学の可能性と限界、現代哲学の課題と方向性についてその意味を整理しておくこと。
	授業内容	授業の総括　——授業内容のまとめ。定期試験の主題範囲や傾向、対策などの説明。
	事後学習	近代哲学の可能性と限界、現代哲学の課題と方向性についてその意味を確認し、疑問や質問があれば整理しておくこと。

科目名	道徳教育の理論と方法	担当者	今泉 朝雄	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状 取得のための	選択科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める 科目区分又は事項等	【道徳の指導法】				
授業概要	学校教育における重要な教育活動の一つである道徳教育について、基礎知識を理解し、全体の指導計画を立て、特別の教科道徳の授業を構成し、指導するための能力を身につけるための科目である。				
授業目的・ 到達目標	本授業では、道徳の基本的概念を踏まえて、学校における道徳教育はどのようなものなのか、教師としてどのような道徳教育を実践するべきなのかについて考察し、道徳教育の構成力を身につけることをねらいとする。1. 中学校、高等学校における道徳教育の基礎知識を身に付ける。 2. 中学校、高等学校における道徳教育の構成力を身に付ける。とりわけ、中学校・特別の教科道徳の構成力を重視する。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義を中心としながら、討議など学生の意見を積極的に採り入れる授業を行う。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	最終レポートにて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』2017年 (http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/11/02/1387018_11_3.pdf)				
オフィス アワー	指導の時間が取れない場合が多いので、基本的にメールでの対応とする。アドレスは授業時に提示する。 直接対応が必要な場合は授業終了後に申し出ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	道徳教育に関する自身の経験を振り返る
	授業内容	イントロダクション 本講義の必要性
	事後学習	本時で求められる能力がどうして教員として必要なのかを自身なりに整理する。
2	事前学習	「道徳」という言葉を自身はどのように理解しているのか、検討する。
	授業内容	「道徳」とは何か
	事後学習	「道徳」の基本的定義、反省的道徳の考え方について自身なりの言葉で説明できるようにする

3	事前学習	小学生の道徳性と大学生の道徳性は何がどう違うのか、自分なりに考えてみる。
	授業内容	道徳性の発達について
	事後学習	道徳性の発達理論について自身なりに整理し、それを自身に当てはめてみる。
4	事前学習	学校教育が自身にどのような道徳的影響を持っていたのかについて検討する
	授業内容	教育課程における道徳教育1 ～全面主義の考え方～
	事後学習	学校教育が自身にどのような道徳的影響を持っていたのかについて、制度的な枠組みを踏まえて理論的に整理する。
5	事前学習	前回内容を復習しながら、自身の担当教科がどのような道徳教育の意味を持ち得るかについて検討する。
	授業内容	教育課程におけるにおける道徳教育2 ～他領域と道徳～
	事後学習	学習指導要領に照らし合わせながら自身の担当教科と道徳教育の関係を整理する
6	事前学習	日本の近代史を概観しておく
	授業内容	歴史から道徳教育を考察する
	事後学習	戦前、戦後の道徳教育の特徴を整理する。
7	事前学習	学習指導要領特別の教科道徳の内容を予め読んでおく
	授業内容	道徳の授業を考える1 ～学習指導要領の分析～
	事後学習	学習指導要領の総則、特別の教科道徳の目標の特徴を整理し、内容項目の構成を把握する。
8	事前学習	過去に受けた道徳の授業を振り返っておく。
	授業内容	道徳の授業を考える2 ～授業映像視聴と分析～
	事後学習	映像からみた実践について自身なりの感想をまとめる
9	事前学習	前回の内容についてその教育効果を振り返る
	授業内容	道徳の授業を考える3 ～前回の事例分析～
	事後学習	道徳の授業構成の基本的な考え方を整理する。
10	事前学習	授業作りのテーマを考えておく
	授業内容	道徳の授業を考える4 ～学習指導案の作り方～
	事後学習	学習指導案の構成要素を確認する。
11	事前学習	第9回の授業構成の基本を振り返る。
	授業内容	道徳の授業を構成する5 ～道徳の気付きを考える～
	事後学習	本日作成検討した内容について、自身なりにさらに検討を加え、自身がそれを受けたらどのように感じるかを考える。
12	事前学習	前回の内容を予習する。
	授業内容	道徳の授業を構成する6 ～気付きを深める～
	事後学習	深い気付きを得る、それをさらに深める指導方法について、自身の課題も含めて検討する。
13	事前学習	第9回の内容を復習する。
	授業内容	道徳の授業を構成する6 ～考え、判断する授業1 モラルジレンマ～
	事後学習	自身の課題に照らし合わせるとどんな内容が構成できるかを考えてみる。
14	事前学習	前回の復習をする。
	授業内容	道徳の授業を構成する6 ～考え、判断する授業2 問題解決型の授業～
	事後学習	前回のモラルジレンマとの違いを考えながら、自身の課題に照らし合わせて内容を構成してみる。

15	事前学習	どんな教師が道德教育において求められのかを考えておく
	授業内容	まとめ
	事後学習	自身なりの道德教師の理想像を描く。

科目名	道徳教育の理論と方法	担当者	香川 七海	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための				担当形態			
科目							
施行規則に定める科目区分又は事項等							
授業概要	道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。（文部科学省「コアカリキュラム」より）						
授業目的・到達目標	学校教育現場の教師となることを想定し、日本と海外の道徳教育の歴史を概観します。また、今日の学校教育における道徳教育のあり方を検討します。さらに、実際に授業計画を立案し、みずから教育実践を創出することを試みます。						
履修条件	教職を志望する学生を対象とします。						
授業方法	講義と学生による模擬授業を中心に進めます。模擬授業ということで、緊張をされるかもしれませんが、教壇に立つことを想定して、徐々に慣れていくことができるようにしていきましょう。						
成績評価	種別		割合	評価方法			
	定期試験		0%				
	平常評価		100%	模擬授業（60％）、授業参加度＋模擬授業の実践者へのコメント（40％）によって成績評価をいたします。			
教科書	年	出版社		書名			著者名
	2015	平凡社		差別の現在			好井裕明
	備考						
参考書	松下良平『道徳教育はホントに道徳的か?』（日本図書センター）、田中智志・橋本美保・松下良平『道徳教育論』（一藝社）、藤田昌士『道徳教育』（エイデル研究所）						
オフィスアワー	金曜日１０：３０に質問を受け付ける。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書や参考文献に目を通しておく。
	授業内容	被教育体験のなかの道徳教育
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
2	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	「道徳」の輪郭 道徳性の発達と概念の定義をめぐって
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。

3	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	日本における戦前の道徳教育史　江戸時代の通俗道徳から修身教育まで
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
4	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	日本における戦後の道徳教育史　敗戦後から「教科化」まで
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
5	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	具体的な戦後の道徳教育実践（1）黒田恭史を事例として
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
6	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	具体的な戦後の道徳教育実践（2）鳥山敏子を事例として
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
7	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	道徳教育の学習指導案　作成と方法
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
8	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	模擬授業の検討（1）　教材研究
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
9	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	模擬授業の実際（1）　各グループによる小授業
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
10	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	模擬授業の検討（2）　各グループへの意見交流
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
11	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	模擬授業の実際（2）　各グループによる授業実践（小学校）
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
12	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	模擬授業の実際（3）　各グループによる授業実践（中学校）
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
13	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	模擬授業の実際（3）　各グループによる授業実践（高等学校）
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。
14	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	各グループの教育評価のあり方をめぐって
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。

15	事前学習	配布資料と前回の学習内容について再度、指定箇所を読みなおす。
	授業内容	まとめ
	事後学習	配布資料をもとに復習をする。

科目名	東洋史概論Ⅰ	担当者	齋藤 史範	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】					
授業概要	先史時代から11世紀にいたる、東ユーラシアと中央ユーラシアの歴史的な展開、中国の歴史を中心に中央ユーラシア・朝鮮半島・ベトナムなどの諸地域の歴史を講義する。					
授業目的・到達目標	東方ユーラシア世界と中央ユーラシア世界、中国・朝鮮半島と草原地帯の歴史とその関係を講述する。中学高等学校の検定教科書の展開・記述のなかで留意すべき事項や、「歴史分野」（中学校）・「世界史」（高等学校）の授業を行うにあたって、身につけておきたい有益かつ正確な知識を獲得・蓄積しつつ、東方および中央ユーラシア世界の歴史的な理解を深める方法の確立をはかりたい。そのためには授業はもとより、事前学習と事後学習が不可欠である。授業（事前学習・事後学習を含む）を通じた学びの経験をきっかけに自律的／自立的に学修できる「教師」をめざす。					
履修条件	向上心のある学生に限る。授業内容が分かるまで自律的／自立的に学修しなければ、良い成績はとれません。辛抱づよく取り組んでほしい。また、常日頃から「教える側」に求められものは何かを追究してもらいたい。無礼な方お断り。					
授業方法	地図・補足資料などのプリントを多数配布します。A4版のクリアブック（クリアフォルダー）を用意して下さい。事前学習・事後学習のほかに「まとめレポート」を課します。「まとめレポート」は成績評価に加味します。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	期末試験		
	平常評価		30%	事前学習・事後学習 「まとめレポート」		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2015年	ちくま学芸文庫（筑摩書店）		『中国の歴史』		岸本美緒
	2011年	日経ビジネス文庫（日経新聞）		『遊牧民から見た世界史 増補版』		杉山正明
	2017年	ちくま新書（筑摩書店）		『朝鮮思想全史』		小倉紀蔵
	備考	授業はもとより事前学習・事後学習には教科書が必要です。必ずそろえて下さい。				
参考書	『中国史』『中央ユーラシア史』『朝鮮史』『世界史リブレット』のシリーズ（以上山川出版社） 井波律子『故事成句でたどる楽しい中国史』岩波書店（岩波ジュニア新書）					
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。研究室（4号館1階412） saito.fuminori@nihon-u.ac.jp					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	必ずテキストを購入し、『中国の歴史』「2 中国初期王朝の形成」を読んで授業にのぞんで下さい。
	授業内容	ガイダンス（授業展開と成績評価） 〔中国史1〕 中国初期王朝の形成
	事後学習	「中国の初期王朝の形成」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
2	事前学習	『中国の歴史』「3 春秋・戦国から秦の統一へ」を概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史2〕 皇帝支配の誕生 戦国から秦の統一へ
	事後学習	「皇帝支配の誕生 戦国から秦の統一へ」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

3	事前学習	『中国の歴史』「4 漢帝国と周辺地域」を概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史3〕 漢帝国の成立と発展 王莽の新と漢の再興
	事後学習	「漢帝国の成立と発展 王莽の新と漢の再興」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
4	事前学習	『中国の歴史』「5 分裂と融合の時代」を概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史4〕 中国の分裂 三国鼎立 南北朝時代 中国における胡漢融合と六朝政権
	事後学習	「中国の分裂 中国における胡漢融合と六朝政権」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
5	事前学習	『中国の歴史』「6 隋唐帝国の形成」を概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史5〕 隋唐律令国家の登場 唐と周辺諸地域
	事後学習	「隋唐律令国家の登場 唐と周辺諸地域」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
6	事前学習	配布プリントを参考にして、「羈縻政策」について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史6〕 東アジア文化圏の成立 隋唐の国際関係と文化
	事後学習	「東アジア文化圏の成立 隋唐の国際関係と文化」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
7	事前学習	『遊牧民から見た世界史 増補版』（スキタイ：p110～p135、匈奴：p144～p164）を参考にして、スキタイと匈奴を概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史1〕 騎馬遊牧民の誕生 遊牧国家の発生 スキタイ 匈奴の時代
	事後学習	「騎馬遊牧民の誕生 遊牧国家の発生 スキタイ 匈奴の時代」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
8	事前学習	『遊牧民から見た世界史 増補版』（p245～p280）を参考にして、五胡、柔然、高車、「カンカハンカ」について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史2〕 草原世界の「民族大移動」 鮮卑 五胡十六国時代 高車と柔然
	事後学習	「草原世界の「民族大移動」 鮮卑 五胡十六国時代 高車と柔然」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
9	事前学習	『遊牧民から見た世界史 増補版』（p280～p297）を参考にして、突厥について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史3〕 古テュルク時代 突厥の勃興と隋・唐等の関係 唐の羈縻政策と東突厥
	事後学習	「古テュルク時代 突厥の勃興と隋・唐等の関係 唐の羈縻政策と東突厥」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
10	事前学習	『遊牧民から見た世界史 増補版』（p297～p311）を参考にして、ウイグルについて概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史4〕 ウイグル遊牧国家 オアシス世界の展開 オアシス世界への中華文化の流入
	事後学習	「ウイグル遊牧国家 オアシス世界の展開 オアシス世界への中華文化の流入」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
11	事前学習	『朝鮮思想全史』（p49～p56）を参考にして、古朝鮮・漢の四郡・三韓について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔朝鮮史1〕 朝鮮の神話と伝承 朝鮮三国以前ー古朝鮮・漢の四郡・三韓
	事後学習	「古朝鮮・漢の四郡・三韓」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
12	事前学習	『朝鮮思想全史』（p56～p58、p62～p64、p69～p70）を参考にして、「高句麗・百済・新羅」について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔朝鮮史2〕 高句麗・百済・新羅・伽耶諸国 朝鮮三国の抗争
	事後学習	「高句麗・百済・新羅・伽耶諸国 朝鮮三国の抗争」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
13	事前学習	『朝鮮思想全史』（p70～p73）を参考にして、「統一新羅」について概述して提出して下さい（150字以上）。
	授業内容	〔朝鮮史3〕 統一新羅と渤海
	事後学習	「統一新羅と渤海」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

14	事前学習	配布プリントを参考にして、前近代の東南アジアの歴史展開について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔東南アジア史〕 前近代東南アジア史のなかの「中国」 中国の歴代王朝と東南アジアの諸国家の交流 朝貢冊封関係と東南アジア 中国文化の受容－仏教と儒教 ベトナムの独立王朝
	事後学習	前近代の東南アジアについて、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
15	事前学習	『遊牧民から見た世界史 増補版』（p311～p322）を参考にして、唐滅亡後の東アジア、ウイグル崩壊後の中央ユーラシアのイスラーム化とテュルク化についてを概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史7／中央ユーラシア史5〕 唐の滅亡と東アジア世界の変容 中央ユーラシアの変容－イスラーム化とテュルク化
	事後学習	「唐の滅亡と東アジア世界の変容 中央ユーラシアの変容－イスラーム化とテュルク化」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

科目名	東洋史概論Ⅱ	担当者	齋藤 史範	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【外国史（地理歴史）】				
授業概要	12世紀から近現代にいたる、東ユーラシアと中央ユーラシアの歴史的な展開、中国の歴史を中心に中央ユーラシア・朝鮮半島・ベトナムなどの諸地域の歴史を講義する。				
授業目的・到達目標	東方ユーラシア世界と中央ユーラシア世界、中国・朝鮮半島と草原地帯の歴史とその関係を講述する。中学高等学校の検定教科書の展開・記述のなかで留意すべき事項や、「歴史分野」（中学校）・「世界史」（高等学校）の授業を行うにあたって、身につけておきたい有益かつ正確な知識を獲得・蓄積しつつ、東方および中央ユーラシア世界の歴史的な理解を深める方法の確立をはかりたい。そのためには授業はもとより、事前学習と事後学習が不可欠である。授業（事前学習・事後学習を含む）を通じた学びの経験をきっかけに自律的／自立的に学修できる「教師」をめざす。				
履修条件	向上心のある学生に限る。授業内容が分かるまで自律的／自立的に学修しなければ、良い成績はとれません。辛抱づよく取り組んでほしい。また、常日頃から「教える側」に求められものは何かを追究してもらいたい。無礼な方お断り。				
授業方法	地図・補足資料などのプリントを多数配布します。A4版のクリアブック（クリアフォルダー）を用意して下さい。事前学習・事後学習のほかに「まとめレポート」を課します。「まとめレポート」は成績評価に加味します。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		70%	学期末試験。	
	平常評価		30%	事前学習・事後学習 「まとめレポート」	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2015年	ちくま学芸文庫（筑摩書店）		『中国の歴史』	岸本美緒
	2011年	日経ビジネス文庫（日経新聞社）		『遊牧民から見た世界史 増補版』	杉山正明
	2017年	ちくま新書（筑摩書店）		『朝鮮思想全史』	小倉紀蔵
	備考	授業はもとより事前学習・事後学習には教科書が必要です。必ずそろえて下さい。			
参考書	『中国史』『中央ユーラシア史』『朝鮮史』『世界史リブレット』のシリーズ（以上山川出版社） 井波律子『故事成句でたどる楽しい中国史』岩波書店（岩波ジュニア新書）				
オフィスアワー	金曜日の昼休み。事前にメール等で予約の上、質問・相談・指導をおこないます。 研究室（4号館1階412） saito.fuminori@nihon-u.ac.jp				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	『中国の歴史』 「7 宋と北方民族」を参考にして宋朝について概述して提出して下さい（250字以上）
	授業内容	〔中国史1〕 宋朝の成立と中国の統一 「唐宋変革」
	事後学習	「宋朝の成立と中国の統一 「唐宋変革」」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
2	事前学習	『中国の歴史』 「7 宋と北方民族」、『遊牧民から見た世界史』（p322～p338）を参考に遼、西夏、金について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史2／中央ユーラシア史1〕 遼と西夏、金－北方民族の台頭 「征服王朝論」
	事後学習	「遼と西夏、金－北方民族の台頭 「征服王朝論」」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

3	事前学習	『中国の歴史』「7 宋と北方民族」「8 元から明へ」、『遊牧民から見た世界史』（p358～p374）を参考にしてモンゴル帝国の成立と元朝について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史2／中国史3〕 モンゴル帝国の成立 元朝の中国統治
	事後学習	「モンゴル帝国の成立 元朝の中国統治」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
4	事前学習	『遊牧民から見た世界史』（p378～p388）を読んでモンゴル帝国時代の経済・文化の交流についてまとめて提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史3〕 モンゴルの平和 チャガタイ・ウルス モンゴルのイスラーム受容 東西文化交流
	事後学習	「モンゴルの平和 チャガタイ・ウルス モンゴルのイスラーム受容 東西文化交流」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
5	事前学習	『中国の歴史』「8 元から明へ」を参考にして、明朝について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史4〕 明朝の成立・発展と周辺諸地域
	事後学習	「明朝の成立・発展と周辺諸地域」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
6	事前学習	『中国の歴史』「9 清朝の平和」を参考にして、清朝について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史5〕 清朝支配の成立と広域統治
	事後学習	「清朝支配の成立と広域統治」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
7	事前学習	配布プリントを参考にして、チベットの歴史について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史4〕 チベット仏教国家 チベット仏教国家の誕生と唐朝 チベット仏教とモンゴル チベット仏教と清朝
	事後学習	「チベットの歴史」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
8	事前学習	『朝鮮思想全史』（p105～p108）を参考にして、「高麗」について概述して提出して下さい（150字以上）。
	授業内容	〔朝鮮史1〕 高麗の歴史と文化
	事後学習	「高麗の歴史」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
9	事前学習	『中国の歴史』「10 清末の動乱と社会の変容」を参考にして、二つのアヘン戦争と太平天国について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史6〕 清朝の動揺と社会の変容 二つのアヘン戦争 太平天国 朝貢国の喪失
	事後学習	「清朝の動揺と社会の変容 二つのアヘン戦争 太平天国 朝貢国の喪失」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
10	事前学習	『中国の歴史』「11 中国ナショナリズムの形成」を参考にして、日清戦争から辛亥革命までを概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史7〕 中国ナショナリズムの形成 日清戦争から戊戌変法へ 辛亥革命
	事後学習	「中国ナショナリズムの形成 日清戦争から戊戌変法へ 辛亥革命」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
11	事前学習	『中国の歴史』「12 五・四運動と社会の変容」を参考にして、第一次世界大戦と中国について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史8〕 五・四運動と社会の変容 第一次世界大戦と中国 五・四運動 北伐と「国民政府」による中国統一
	事後学習	「五・四運動と社会の変容 第一次世界大戦と中国 五・四運動 北伐と「国民政府」による中国統一」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
12	事前学習	『中国の歴史』「13 抗日戦争と中国革命」を参考にして、抗日戦争の展開と人中華人民共和国の成立について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史9〕 抗日戦争と中国革命 中華人民共和国の成立
	事後学習	「抗日戦争と中国革命 中華人民共和国の成立」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。
13	事前学習	『中国の歴史』「14 社会主義国家の建設の時代」を参考にして、人民共和国成立後の中国の歴史を概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中国史10〕 社会主義国家の建設 冷戦のなかの中国 プロレタリア文化大革命 現代中国の課題
	事後学習	「社会主義国家の建設 冷戦のなかの中国 プロレタリア文化大革命 現代中国の課題」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

14	事前学習	『朝鮮思想全史』（p127～p130、p214～243）を参考にして、朝鮮王朝の時代を概述して提出して下さい（150字以上）。
	授業内容	〔朝鮮史2〕 朝鮮王朝の成立から大韓帝国まで
	事後学習	「朝鮮王朝の成立から大韓帝国まで」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい
15	事前学習	配布プリントを参考にして、中央ユーラシアの近現代史について概述して提出して下さい（250字以上）。
	授業内容	〔中央ユーラシア史5〕 中央ユーラシアの近現代 ロシア・ソ連
	事後学習	「中央ユーラシアの近現代 ロシア・ソ連」について、授業内容を反映させたレポート（400字以上）を作成して、次回授業時に提出して下さい。

科目名	特別活動論	担当者	今泉 朝雄	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【特別活動の指導法】				
授業概要	教育課程の重要な一領域である特別活動について、その基礎理論、指導計画、指導方法の考え方や実践について学ぶ科目である。				
授業目的・到達目標	学校の重要な教育活動である特別活動の位置づけ、目的・意義、内容、方法に関する基礎的な理解を深めると共に、その実践的な指導力を身につけることを目標とする。 1. 特別活動についての基礎知識を理解する。 2. 特別活動の各領域についての実践的な計画力、指導力を身に付ける。				
履修条件	特になし				
授業方法	講義だけでなく、特別活動に関連する諸活動や討議なども多く採り入れ実践的に学習する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	最終レポートにて評価する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	備考	使用しない			
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領解説特別活動編』2017年 (http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/07/25/1387018_13_1.pdf)				
オフィスアワー	指導の時間が取れない場合が多いので、基本的にメールでの対応とする。アドレスは授業時に提示する。 直接対応が必要な場合は授業終了後に申し出ること。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	本時のシラバスを確認しておく
	授業内容	イントロダクション 特別活動とは何か
	事後学習	言葉の定義を整理する
2	事前学習	自身の経験を振り返り、それがどんな意味があったかを考える。
	授業内容	特別活動の教育的意義
	事後学習	教育的意義について自身なりの言葉で整理する

3	事前学習	学習指導要領について予習をしておく
	授業内容	学習指導要領における特別活動の位置付け
	事後学習	目標、内容を中心に簡潔に整理する。
4	事前学習	日本の戦後史について概観しておく
	授業内容	特別活動（教科外活動）の歴史
	事後学習	戦前・戦後の歴史の特徴とそこから学ぶべき事について整理する。
5	事前学習	よかった学級集団、悪かった学級集団を思い出し、その原因を検討しておく。
	授業内容	学校における集団形成①
	事後学習	同調圧力の理論を整理する。望ましい集団の考え方をまとめる。
6	事前学習	学級経営の始まりはどのようなものだったかを思い出しておく。
	授業内容	学校における集団形成②
	事後学習	そのプロセスについて、意義も含めて把握する。
7	事前学習	学級活動がどのような取り組みだったかを振り返っておく。
	授業内容	学級活動とは何か
	事後学習	学習指導要領における学級活動の位置付け、意義、指導方法の基礎的考え方を整理する。
8	事前学習	学校の話し合い活動がどのようなものだったのかを振り返る。
	授業内容	話し合い活動の方法①
	事後学習	本日の話し合い活動について自身なりに評価・検討する。
9	事前学習	第8回事後活動に同じ。
	授業内容	話し合い活動の方法②
	事後学習	その理論的枠組みを整理しながら、第8回の内容に当てはめて考えてみる。
10	事前学習	体育祭を性に、それが一体どのような教育定義があったのかについて検討する。
	授業内容	学校行事とは何か
	事後学習	教育課程の全体構成と学校行事の意義について自分なりの言葉で整理する。
11	事前学習	中高生時代、生徒会をどのように考えていたかについて振り返る。
	授業内容	生徒会活動とは何か
	事後学習	生徒会活動について民主的組織のあり方から説明が出来るようにする。
12	事前学習	前回の内容を振り返る。
	授業内容	生徒自治を考える
	事後学習	生徒の自主性、主体性、自治についての考え方を今回の内容を踏まえながら自身なりに検討する。
13	事前学習	自身の部活動について振り返りその教育的意義を検討する。
	授業内容	部活動とは何か
	事後学習	学校教育における位置付け、その問題の所在を整理する。
14	事前学習	自身が取り組んできた部活動の具体的活動内容を振り返る。
	授業内容	部活動の指導方法
	事後学習	指導方法の基本的考え方について踏まえ例を挙げて検討する。

15	事前学習	これまでの学習内容を振り返る
	授業内容	まとめ
	事後学習	本時の内容が教員を目指す自身にとってどんな意義があったのかを考える。

科目名	日本史概論Ⅰ	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	【歴史学入門＆日本前近代史概説】将来高校日本史を担当する教員として教壇に立つものを想定して、必要な素養を養うことを目的とする。歴史教師は「もの知り」や「歴史ファン」というだけでは勤まらない。高校レベルの内容を教育するためには、自ら歴史の探究者である必要がある。そのための基礎を築くべく、前半では歴史学入門を、後半では日本前近代史概説を講義する。なお本講義は教員採用試験対策の講義ではない。				
授業目的・到達目標	①なぜ歴史を学ぶのかについて、自分なりの答えを持つこと ②歴史学という学問の特徴について、基本的な理解をもつこと ③日本史を教えるということについて、自分なりの考えを持つこと ④日本前近代史の骨格を理解すること ⑤教科書的な「日本史」の向こう側にアプローチできるようになること				
履修条件	教職への熱意や歴史への関心の高い学生を歓迎する。課外でも積極的・主体的に勉強する意欲が求められる。要求水準が高めなので、単位のためだけに安易に履修することは避けるのが無難である。初回に必ず出席すること。				
授業方法	レジュメと史料、パワーポイントなどを使い、一話完結式で進めるようにする。配布の史料の他、写真や音声、映像などの教材も使用したい。講義中に小テストや小レポートを課すことがある。また毎回コメントカードの提出を課す。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験60%、中間レポートと小テスト40%。出席点はない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	吉川弘文館		『大学で学ぶ日本の歴史』	木村茂光・小山俊樹ほか編
	備考	上記教科書を講述することはしないが、併読を求める。本書から小テストの出題をする予定である。			
参考書	鹿野政直『歴史を学ぶこと』（岩波書店）、小田中直樹『歴史学って何だ』（PHP新書）、溪内謙『現代史を学ぶ』（岩波新書）、『わかる・身につく 歴史学の学び方』、および高等学校の日本史の教科書（出版社は問わない）。				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。遅刻・欠席しないように準備を整える。
	授業内容	ガイダンス（履修案内・注意事項・文献紹介）
	事後学習	ガイダンス資料を熟読し、履修登録するかどうかを検討する。
2	事前学習	これまでの日本史・世界史の学習歴を振り返りつつ、「なぜ歴史を学ぶのか」について自分なりの答えを考えてくる。
	授業内容	よく生きるための歴史——歴史学という営み
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。

3	事前学習	近隣の歴史博物館や史料館に足を運んで、ナマの史料を見てくる。
	授業内容	過去の痕跡としての史料
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。
4	事前学習	「「歴史」とは何か」について、自分なりの答えを考えてくる。
	授業内容	歴史認識について
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。
5	事前学習	「「日本史」の歴史」とはどういうことだろうか？を考えてくる。
	授業内容	「日本史」の歴史
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。
6	事前学習	学校教育で、なぜ「日本史」を学習させられるのだろうか？を考えてくる。
	授業内容	「日本史」をめぐる諸問題
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。
7	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	原始から古代へ
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
8	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	「日本」の誕生
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
9	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	中世の政治と社会
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
10	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	いくつもの「日本」——中世の西と東
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
11	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	戦争と平和——中世から近世へ
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
12	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	鎖国とは何か
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
13	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	幕藩体制と社会秩序
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
14	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	近世社会の成熟から動揺へ
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。

15	事前学習	全講義を復習して試験に備える。
	授業内容	まとめ・テスト
	事後学習	これまでの学びを振り返り、獲得したものと足りないものを確認する。

科目名	日本史概論Ⅰ	担当者	朴澤 直秀	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	この講義では、高等学校地歴科の免許の取得にふさわしい力量を育むことを目的とする。具体的には、前近代の日本史を中心に、地域の形成・変容と支配のありように焦点を当て、時代の特質とその変遷への理解を深めていく。そのことを通じて、下記の授業目的・到達目標の達成を目指す。				
授業目的・到達目標	教科書に書かれていることの背景に対する理解を深めること。また、歴史学の特質について理解を深めること。それらにより、研究状況の進展に即して、自ら教科書や教材を理解し、常に知識を更新して授業を行う力量を育むこと。				
履修条件	教職課程教科科目である。教職課程履修者以外も受講することができるが、講義内容は教職課程履修者を念頭においたものである。高等学校「日本史B」履修程度の知識を前提とするので、未履修の場合は自習のうえ講義に臨むこと。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、受講者数によって柔軟に対応する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内での達成度テストを中心に、受講姿勢などを勘案する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	最新版	山川出版社		『詳説日本史 改訂版』（日B309）	笹山晴生ほか
	備考	いわゆる「教科書」としてではなく、高等学校で用いられる教科書の記述の背景に対する理解を深めることを主眼として利用する。			
参考書	『岩波講座日本歴史』（2013～2016）、ほか、講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則として月曜日１８：００～１８：３０、ただし、必ず事前に、口頭、ないしはメールにてアポイントメントを取ること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す。高等学校「日本史B」履修程度の、古代史の内容について、振り返っておく。
	授業内容	導入 1
	事後学習	授業内のアンケートで問われた内容につき、調べる。
2	事前学習	前回説明された授業概要をめぐって、質問すべき点はなかったか、振り返っておく。
	授業内容	導入 2
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

3	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	原始から古代へ
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
4	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	ヤマト政権
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
5	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	律令国家の形成
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
6	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	律令国家の確立
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
7	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	律令国家の変容
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
8	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	古代から中世へ1
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
9	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	古代から中世へ2
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
10	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	院政と荘園制 1
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
11	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	院政と荘園制 2
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
12	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	「鎌倉幕府の成立」 1
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
13	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	「鎌倉幕府の成立」 2
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
14	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。これまでの講義内容について、質問すべき事はないか、自分の理解を点検しておく。
	授業内容	補足説明
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

15	事前学習	今学期の授業内容を整理し、授業内に説明した問題について、いかに解答すべきかを考えておく。
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	今学期の到達度を振り返り、理解の不十分な点について学習を深める。

科目名	日本史概論Ⅱ	担当者	大岡 聡	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	【世界史のなかの近代日本】 将来高校日本史を担当する教員として教壇に立つものを想定して、それに必要な素養を養うことにする。Ⅱでは「世界史のなかの近代日本」と題して、日本近代史を概観する。なお本講義は教員採用試験対策の講義ではない。				
授業目的・到達目標	①なぜ歴史を学ぶのかについて、自分なりの答えを持つこと ②歴史を教えるということについて、自分なりの考えを持つこと ③日本の近代の歴史過程とその特質について基本的な認識を持つこと ④政治・外交の推移や社会変容を構造的に理解できるようになること ⑤教科書的な「日本史」像の向こう側にアプローチできるようになること				
履修条件	教職への熱意や歴史への関心の高い学生を歓迎する。課外でも積極的・主体的に勉強する意欲が求められる。要求水準が高めなので、単位のためだけに安易に履修することは避けるのが無難である。初回に必ず出席すること。				
授業方法	レジュメと史料、パワーポイントなどを使い、一話完結式で進めるようにする。配布の史料の他、写真や音声、映像などの教材も使用したい。講義中に小テストや小レポートを課すことがある。また毎回コメントカードの提出を課す。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内試験60%、中間レポートと小テスト40%。出席点はない。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	2016	吉川弘文館		大学で学ぶ日本の歴史	木村茂光・小山俊樹ほか編
	備考	上記教科書を講述することはしないが、併読を求める。本書から小テストの出題をする予定である。			
参考書	講義中に紹介する。さしあたり岩波新書の「シリーズ日本近現代史」1～10巻の通読を勧める。また、高等学校の日本史の教科書（出版社は問わない）を手元に持っておく。				
オフィスアワー	火曜 13:00～14:30 金曜 18:00～18:30 講義に関する質問、講義とは直接関係のない勉強についての質問や相談、学生生活全般や進路についての相談ごとなど、上記の時間に対応します。メールでアポイントを取ると確実です。研究室は9号館 6階・9604室。メールは ohoka.satoshi@nihon-u.ac.jp 。なお試験やレポート、成績評価に関するメールでの質問・相談はご遠慮ください。				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する。遅刻・欠席しないように準備を整える。
	授業内容	ガイダンス（履修案内・注意事項・文献紹介） 後期 世界史のなかの近代日本・イントロダクション
	事後学習	ガイダンス資料を熟読し、履修登録するかどうかを検討する。
2	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	世界史のなかの「開国」と「維新」
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。

3	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	「文明国」になるということ——上からの＜文明化＞と＜国民化＞
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
4	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	「民権」と「国権」——明治憲法体制の形成
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
5	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	明治政府の外交と東アジア国際関係の再編
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
6	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	日清・日露戦争——帝国主義と東アジア
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
7	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	「帝国」日本と植民地主義
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
8	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	帝国とデモクラシー(1)——第一次世界大戦後の世界の変容と日本の針路
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
9	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	帝国とデモクラシー(2)——政治体制の民主化と社会の改造
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
10	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	「帝国」の再膨張——満州事変から日中戦争へ
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
11	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	アジア・太平洋戦争論
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
12	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	総力戦の時代
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
13	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	「大日本帝国」の崩壊
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。
14	事前学習	テキストの指定部分を通読しておく。
	授業内容	非軍事化と民主化——戦後の再出発
	事後学習	レジュメ・ノートを用いて、講義を復習する。 参考文献等を読んで、理解を深め、知識を広げる。

15	事前学習	全講義を復習して試験に備える。
	授業内容	まとめ・テスト
	事後学習	これまでの学びを振り返り、獲得したものと足りないものを確認する。

科目名	日本史概論Ⅱ	担当者	朴澤 直秀	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	必修科目		担当形態	単独	
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 地理歴史）				
施行規則に定める科目区分又は事項等	【日本史及び外国史（社会）】 【日本史】				
授業概要	この講義では、高等学校地歴科の免許の取得にふさわしい力量を育むことを目的とする。具体的には、前近代の日本史を中心に、地域の形成・変容と支配のありように焦点を当て、時代の特質とその変遷への理解を深めていく。そのことを通じて、下記の授業目的・到達目標の達成を目指す。				
授業目的・到達目標	教科書に書かれていることの背景に対する理解を深めること。また、歴史学の特質について理解を深めること。それらにより、研究状況の進展に即して、自ら教科書や教材を理解し、常に知識を更新して授業を行う力量を育むこと。				
履修条件	教職課程教科科目である。教職課程履修者以外も受講することができるが、講義内容は教職課程履修者を念頭においたものである。高等学校「日本史B」履修程度の知識を前提とするので、未履修の場合は自習のうえ講義に臨むこと。				
授業方法	基本的に講義形式で行うが、受講者数によって柔軟に対応する。				
成績評価	種別		割合	評価方法	
	定期試験		0%		
	平常評価		100%	授業内での達成度テストを中心に、受講姿勢などを勘案する。	
教科書	年	出版社		書名	著者名
	最新版	山川出版社		『詳説日本史 改訂版』（日B309）	笹山晴生ほか
	備考	いわゆる「教科書」としてではなく、高等学校で用いられる教科書の記述の背景に対する理解を深めることを主眼として利用する。			
参考書	『岩波講座日本歴史』（2013～2016）、ほか、講義中に適宜紹介する。				
オフィスアワー	原則として月曜日１８：００～１８：３０、ただし、必ず事前に、口頭、ないしはメールにてアポイントメントをとること				

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスに目を通す。高等学校「日本史B」履修程度の、中世史の内容について、振り返っておく。朴澤担当の「日本史概論Ⅰ」の受講者は、前期の要点についても振り返っておく。
	授業内容	導入
	事後学習	授業内のアンケートで問われた内容につき、調べる。朴澤担当の「日本史概論Ⅰ」を受講していない者は、授業内での指示に従い、該当内容について調べる。
2	事前学習	前回説明された授業概要をめぐって、質問すべき点はなかったか、振り返っておく。
	授業内容	鎌倉幕府政治の展開
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

3	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	蒙古襲来と社会の変容
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
4	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	南北朝内乱
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
5	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	室町幕府の成立
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
6	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	室町幕府の支配
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
7	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	戦国時代
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
8	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	中世から近世へ
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
9	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	近世社会の確立
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
10	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	近世社会の展開 1
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
11	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	近世社会の展開 2
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
12	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	近世社会の変動
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
13	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。
	授業内容	近世から近代へ
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。
14	事前学習	前回の講義の要点を今一度まとめておく。さらに、今回の授業内容に関する基礎知識につき、教員の指示に従い整理しておく。これまでの講義内容について、質問すべき事はないか、自分の理解を点検しておく。
	授業内容	補足説明
	事後学習	講義の要点を振り返る。講義中に出てきた事項・語彙などでわからないものがあれば調べる。理解が難しい論点があれば、質問できるように整理する。

15	事前学習	今学期の授業内容を整理し、授業内に説明した問題について、いかに解答すべきかを考えておく。
	授業内容	到達度の確認
	事後学習	今学期の到達度を振り返り、理解の不十分な点について学習を深める。

科目名	発達と学習	担当者	和田 万紀	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）】					
授業概要	人間の発達と学習の過程について、その基礎を主に心理学を中心として講義する。そして、実際の教育指導との関連性を講義して、基本的な知識と教育実践でのその応用可能性を考える。					
授業目的・到達目標	心身の発達及び学習の過程の基礎的知識を身につける。各発達段階の心理的特性を踏まえて、学習成立の基礎過程と学習活動を支える教育指導の基礎となる考え方を理解する。講義内の心理検査実習等を通じて、実際の知識の獲得と応用を可能にする。					
履修条件	心理学ⅠⅡを履修済み、または履修中であることが望ましい。					
授業方法	講義を中心とする。知識の確認等について、リフレクションペーパーを提出する。また、講義中に様々なエクササイズを取り入れる。レポート（テーマは授業中指示）を提出する。試験を行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		55%	基本的知識の修得。		
	平常評価		45%	レポート提出・授業内課題実習、授業参加度等から、総合的に評価する。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2014	弘文堂		教育心理学		和田万紀
	備考					
参考書	2017年度 弘文堂 心理学第3版 和田万紀編著					
オフィスアワー	月曜日2時限目昼休み					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	発達の定義について、教科書、参考書等からまとめる
	授業内容	発達の概念及び理論と教育における発達理解の意義を考える
	事後学習	実践的な教育現場で、発達と学習の知識をもつことの重要性、意味についてまとめる
2	事前学習	人間の発達の特徴について、他の動物等との比較から、具体的例を考える。
	授業内容	発達の一般的特徴と過程についての理論（遺伝と環境、発達の原理、生涯発達等）
	事後学習	生涯発達という観点から、自分の現在の発達の特徴はどこにあるのかをまとめる。

3	事前学習	教科書の発達に関連する章を読む。
	授業内容	発達の各時期の特徴と理論（ピアジェ、ピゴツキー、バルデス、エリクソン等）
	事後学習	発達の各時期の特徴について、各理論をまとめる。
4	事前学習	教科書の発達に関連する章読む。
	授業内容	発達の各時期の内容を理解する（運動、言語、認知の発達、社会性の発達等）
	事後学習	発達の各時期の内容をまとめる。
5	事前学習	青年期の発達の特徴を、自分の例について考える。
	授業内容	青年期の心身発達の特徴を理解する（第2の誕生、自我同一性確立と拡散
	事後学習	自分の自我同一性達成地位について考える。
6	事前学習	学ぶ過程について、教科書、参考書から該当の章を読む。
	授業内容	学習の成立過程を理解する（記憶の過程、ワーキングメモリー、知識等）
	事後学習	学習の成立過程にける。記憶と知識の働き、役割をまとめる。
7	事前学習	知識と問題外血の過程について、教科書、参考書の街頭の章を読む。
	授業内容	知識と問題解決の過程について理解する（メタ認知、直感、アリゴリズム等）
	事後学習	知識と問題解決について、教育現場での応用について考える。
8	事前学習	なぜ学ぼうと思うのか、自分の例から考える
	授業内容	学習の動機づけと行動（外発的、内発的動機づけ、自律性、報酬と阻害効果等）
	事後学習	基本的知識の確認をする。学習への動機づけを高める。低める要因について、まとめる。
9	事前学習	なぜ学習をしたくないと思うのか。自分の例から考える
	授業内容	認知と学習行動（原因帰属、統制感、学習性無力感、目標設定等）、
	事後学習	無気力になるのはなぜか、無気力から脱出するための要因をまとめる。
10	事前学習	頭が良い、とは何かについて考える。
	授業内容	知的能力と学力（知能とは何か、知能検査の歴史、教師期待効果等）
	事後学習	知的能力とは何か、知的能力を図ることはできるのか、について考えをまとめる。
11	事前学習	教科書、参考書の当該の章を読む。
	授業内容	「学習行動の形成（古典的条件づけ、道具的条件づけ、観察学習、自己強化等）
	事後学習	ほめることと叱ることが学習行動に与える影響をまとめる。
12	事前学習	教科書、参考書の該当の章を読む。
	授業内容	教授法と学習行動（発見学習、仮説実験授業、有意味受容学習、適正処遇効果等）
	事後学習	適正処遇効果という点から、自分の学習行動に適した教授法はどれか、それはなぜかを考える。
13	事前学習	教科書、参考書の該当の章を読む。
	授業内容	評価と学習行動（評価目的、評価基準、形成的評価等）
	事後学習	児童生徒の学習行動にとって「評価」はどのような効果、意味を持つのかを考える。
14	事前学習	教科書、参考書の該当の章を読む。
	授業内容	発達障害とインクルーシブ教育（発達障害の定義、インクルーシブ教育等）
	事後学習	インクルーシブ教育が一般の児童生徒に対して持つ影響を考える。

15	事前学習	教科書、参考書の該当の章を読む。
	授業内容	学級という社会（教師のリーダーシップ、学級雰囲気、生徒の人間関係等）
	事後学習	学級という社会が教師と児童生徒に与える影響をまとめる。

科目名	倫理学概論Ⅰ	担当者	上野山 晃弘	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「哲学，倫理学，宗教学」（社会）】 【「哲学，倫理学，宗教学，心理学」（公民）】					
授業概要	この授業では、中学校社会及び高等学校公民の指導に必要な基礎知識と倫理的な思考力の習得をめざす。具体的には、主に西洋思想および日本思想における主要な倫理学説の学習を通して、倫理学に関する幅広い知識と思考力を習得する。					
授業目的・到達目標	中学校社会及び高等学校公民の指導に必要な基礎知識と倫理的な思考力を習得することを目的とする。具体的には、主に西洋思想および日本思想における主要な倫理学説について理解し、さらに「自主創造」の理念のもと、現代社会の中で生じている諸問題について倫理的な観点から自ら考察できるようになることを目標とする。					
履修条件	教職をめざす学生、または倫理学に深い関心と学習意欲をもつ学生。この授業では、毎回の授業におけるリアクションペーパーの提出を重視する。受動的な聴講ではなく、積極的な参加が求められる。					
授業方法	講義形式を基本に行う。なお、毎回の授業内に、倫理学説の意味を自ら考え、他の学生と意見交換し、その内容を文章として表現するためのトレーニングを行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	リアクションペーパーと授業内テストにより評価する。倫理的な基礎知識と思考能力の習得度を判定する。授業内テストを必ず受験すること。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業中に適宜資料を配布する。				
参考書	小寺聡 （編）『もういちど読む山川倫理』山川出版社、2011年					
オフィスアワー	電子メールによる質問・相談（メールアドレスは初回授業時に提示する）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を熟読し、現代社会において生じている倫理的諸問題について調査・考察する。
	授業内容	導入 倫理学を学ぶ意義について
	事後学習	授業内容について復習し、倫理学を学ぶ意義についてさらに深く考察する。
2	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（1）ソクラテス・プラトン
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。

3	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（2）アリストテレス
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
4	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（3）デカルト
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
5	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（4）カント
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
6	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（5）ヘーゲル
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
7	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（6）ニーチェ
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
8	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	西洋思想と倫理（7）ハイデガー
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
9	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	日本思想と倫理（1）親鸞
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
10	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	日本思想と倫理（2）道元
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
11	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	日本思想と倫理（3）西田幾多郎
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
12	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	日本思想と倫理（4）和辻哲郎
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
13	事前学習	今学期の授業全体をふりかえり、各倫理学説の基礎知識を整理する。
	授業内容	現代社会の倫理的課題（1）環境・生命
	事後学習	今学期の授業全体をふりかえり、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
14	事前学習	今学期の授業全体をふりかえり、各倫理学説の基礎知識を整理する。
	授業内容	現代社会の倫理的課題（2）理解度の確認
	事後学習	今学期の授業全体をふりかえり、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。

15	事前学習	今学期の授業全体をふりかえり、各倫理学説の基礎知識を整理する。
	授業内容	総括
	事後学習	今学期の授業全体をふりかえり、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。

科目名	倫理学概論Ⅰ	担当者	金子 佳司	部別	第二部	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「哲学，倫理学，宗教学」（社会）】 【「哲学，倫理学，宗教学，心理学」（公民）】					
授業概要	この授業では、①倫理学という学問を生んだ古代ギリシア哲学の中の倫理思想、②西洋倫理に大きな影響を与えたキリスト教の倫理思想、③それらを継承しつつも新たな展開を見せた西洋近代の倫理思想を学びます。					
授業目的・到達目標	この授業は、高校公民科および中学社会科公民的分野の指導に必要な、倫理学の知識や倫理的視野を身につけるとともに、学生のみなさん自身が、自分の人生や人生と社会の関係を考えることができるようになることを目標としています。					
履修条件	高校公民科および中学社会科の教職を目指す学生。または、それと同等の能力を身につけたいと考えている学生。					
授業方法	授業は講義形式で行ないますが、できるかぎり学生のみなさんとの対話を取り入れながら、いっしょに問題を考えていきたいと思います。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	授業中に取り上げた事項や問題がしっかり理解できているかどうか、またその理解したことを自分の言葉で的確に表現できているかどうかを定期試験で判定します。		
	平常評価		30%	授授業中に行なう小テスト（3回行なう予定）で評価します。なお、やむをえない事情があつて小テストを受けられなかった場合は必ず速やかに申し出ること。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	山川出版		もういちど読む山川倫理		小寺聡
	備考					
参 考 書	授業中に随時紹介します。					
オフィスアワー	木曜日 2 部 2 限の前後の休み時間					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを読んで、授業の内容を十分に把握する。
	授業内容	ガイダンス（授業計画や評価方法などの説明） 序論（①公民とは誰か、②倫理学の成立について）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
2	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(Ⅰ) ソフィストとソクラテス——徳とは何か。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

3	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(2)プラトン——よりよい国家とはどのようなものか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
4	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(3)アリストテレス——「倫理学」の成立
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
5	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(4)エピクロスとストア派——グローバル化と個人主義
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
6	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	原始キリスト教とキリスト教の発展
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
7	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	宗教改革（ルター、カルヴァン）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
8	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	近代的自己と個人主義（デカルト）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
9	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	社会契約説(1)ホッブズとロック——人間と国家
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
10	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	社会契約説(2)ルソー —— 市民的自由とは何か。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
11	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カントの義務論(1)幸福と義務（したいこととすべきこと）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
12	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カントの義務論(2)義務（人間としてなすべきこと）とはどのようなことか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
13	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	功利主義(1) ベンサム
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
14	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	功利主義(2) ミル
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

15	事前学習	前回までの授業内容をノートを読み直して確認しておく。
	授業内容	授業の総まとめと理解の確認
	事後学習	授業の総まとめを振り返って、自分の理解が確かであったかどうか確認する。

科目名	倫理学概論Ⅱ	担当者	上野山 晃弘	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	--------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「哲学，倫理学，宗教学」（社会）】 【「哲学，倫理学，宗教学，心理学」（公民）】					
授業概要	この授業では、中学校社会及び高等学校公民の指導に必要な基礎知識と倫理的な思考力の習得をめざす。具体的には、主に社会思想や宗教思想に関する主要な倫理学説の学習を通して、倫理学に関する幅広い知識と思考力を習得する。					
授業目的・到達目標	中学校社会及び高等学校公民の指導に必要な基礎知識と倫理的な思考力を習得することを目的とする。具体的には、主に社会思想や宗教思想に関する主要な倫理学説について理解し、さらに「自主創造」の理念のもと、現代社会の中で生じている諸問題について倫理的な観点から自ら考察できるようになることを目標とする。					
履修条件	教職をめざす学生、または倫理学に深い関心と学習意欲をもつ学生。この授業では、毎回の授業におけるリアクションペーパーの提出を重視する。受動的な聴講ではなく、積極的な参加が求められる。					
授業方法	講義形式を基本に行う。なお、毎回の授業内に、倫理学説の意味を自ら考え、他の学生と意見交換し、その内容を文章として表現するためのトレーニングを行う。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		0%			
	平常評価		100%	リアクションペーパーと授業内テストにより評価する。倫理的な基礎知識と思考能力の習得度を判定する。授業内テストを必ず受験すること。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	備考	授業中に適宜資料を配布する。				
参考書	小寺聡 （編）『もういちど読む山川倫理』山川出版社、2011年					
オフィスアワー	電子メールによる質問・相談（メールアドレスは初回授業時に提示する）。					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容を熟読し、現代社会において生じている倫理的諸問題について調査・考察する。
	授業内容	導入 倫理学を学ぶ意義について
	事後学習	授業内容について復習し、倫理学を学ぶ意義についてさらに深く考察する。
2	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	社会思想と倫理（1）ミル
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。

3	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	社会思想と倫理（2）アーレント
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
4	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	社会思想と倫理（3）ハーバーマス
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
5	事前学習	今回扱う哲学者の基礎的な情報（人生や時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	社会思想と倫理（4）ロールズ
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
6	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（1）ユダヤ教
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
7	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（2）キリスト教
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
8	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（3）イスラーム
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
9	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（4）仏教
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
10	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（5）儒教
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
11	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（6）道教
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
12	事前学習	今回扱う宗教思想の基礎的な情報（時代背景等）について、参考図書や図書館等を活用して調査する。
	授業内容	宗教思想と倫理（7）神道
	事後学習	授業内容について復習し、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
13	事前学習	今学期の授業全体をふりかえり、各倫理学説の基礎知識を整理する。
	授業内容	現代社会の倫理的課題（1）異文化理解・国際平和・情報
	事後学習	今学期の授業全体をふりかえり、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。
14	事前学習	今学期の授業全体をふりかえり、各倫理学説の基礎知識を整理する。
	授業内容	現代社会の倫理的課題（2）理解度の確認
	事後学習	今学期の授業全体をふりかえり、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。

15	事前学習	今学期の授業全体をふりかえり、各倫理学説の基礎知識を整理する。
	授業内容	総括
	事後学習	今学期の授業全体をふりかえり、ディスカッション問題に対する自分自身の考えをさらに発展させる。

科目名	倫理学概論Ⅱ	担当者	金子 佳司	部別	第二部	期間	後期	単位数	2
-----	--------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

教員の免許状取得のための	選択科目		担当形態	単独		
科目	教科に関する科目（中学校 社会 及び 高等学校 公民）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	【「哲学，倫理学，宗教学」（社会）】 【「哲学，倫理学，宗教学，心理学」（公民）】					
授業概要	この授業では、①倫理学という学問を生んだ古代ギリシア哲学の中の倫理思想、②西洋倫理に大きな影響を与えたキリスト教の倫理思想、③それらを継承しつつも新たな展開を見せた西洋近代の倫理思想、④日本人の倫理に影響を与えた仏教や儒教などの東洋思想、⑤様々な外来思想の影響を受けながら重層的な文化を形成した日本の倫理思想、⑥現代の新たな倫理思想と⑦科学技術の発展に伴って新たに生まれた倫理問題を学びます。					
授業目的・到達目標	この授業は、高校公民科および中学社会科公民的分野の指導に必要な、倫理学の知識や倫理的視野を身につけるとともに、学生のみなさん自身が、自分の人生や人生と社会の関係を考えることができるようになることを目標としています。					
履修条件	高校公民科および中学社会科の教職を目指す学生。または、それと同等の能力を身につけたいと考えている学生。					
授業方法	授業は講義形式で行ないますが、できるかぎり学生のみなさんとの対話を取り入れながら、いっしょに問題を考えていきたいと思います。					
成績評価	種別		割合	評価方法		
	定期試験		70%	授業中に取り上げた事項や問題がしっかり理解できているかどうか、またその理解したことを自分の言葉で的確に表現できているかどうかを定期試験で判定します。		
	平常評価		30%	授授業中に行なう小テスト（6回行なう予定）で評価します。なお、やむをえない事情があつて小テストを受けられなかった場合は必ず速やかに申し出ること。		
教科書	年	出版社		書名		著者名
	2011	山川出版		もういちど読む山川倫理		小寺聡
	備考					
参考書	授業中に随時紹介します。					
オフィスアワー	木曜日 2 部 2 限の前後の休み時間					

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	このシラバスを読んで、授業の内容を十分に把握する。
	授業内容	ガイダンス（授業計画や評価方法などの説明） 序論（①公民とは誰か、②倫理学の成立について）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
2	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(1) ソフィストとソクラテス——徳とは何か。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

3	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(2)プラトン——よりよい国家とはどのようなものか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
4	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(3)アリストテレス——「倫理学」の成立
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
5	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	ギリシア哲学の中の倫理思想(4)エピクロスとストア派——グローバル化と個人主義
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
6	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	原始キリスト教とキリスト教の発展
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
7	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	宗教改革（ルター、カルヴァン）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
8	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	近代的自己と個人主義（デカルト）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
9	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	社会契約説(1)ホッブズとロック——人間と国家
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
10	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	社会契約説(2)ルソー —— 市民的自由とは何か。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
11	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カントの義務論(1)幸福と義務（したいこととすべきこと）
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
12	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	カントの義務論(2)義務（人間としてなすべきこと）とはどのようなことか。
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
13	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	功利主義(1) ベンサム
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。
14	事前学習	下記の授業内容の範囲を教科書で予習しておく。
	授業内容	功利主義(2) ミル
	事後学習	授業の内容を復習して、後で自分にわかるようにノートを作り、次回の授業につなげる。

15	事前学習	前回までの授業内容をノートを読み直して確認しておく。
	授業内容	前期の授業の総まとめと理解の確認
	事後学習	前期の授業の総まとめを振り返って、自分の理解が確かであったかどうか確認する。